三菱重工

エクシードハイパーシリーズ
ハイパーインバータシリーズ
暖ガンハイパーインバータシリーズ
マルチVシリーズ

技 術 資 料

天井埋込形4方向吹出し	(FDTZ)(FDTV)(FDTK)
天井埋込形小容量4方向吹出し	(FDTCZ)(FDTCV)
天井埋込形2方向吹出し	(FDTWZ)(FDTWV)(FDTWK)
天井埋込形1方向吹出し	(FDTSZ)(FDTSV)
天埋カセテリア	(FDRZ)(FDRV)(FDRK)
高静圧ダクト形	(FDUZ)(FDUV)(FDUK)
天吊形	(FDEZ)(FDEV)(FDEK)
天吊耐油形	(FDESZ)(FDESV)(FDESK)
壁掛形	(FDKZ)(FDKV)(FDKK)
床置形	(FDFZ)(FDFV)(FDFK)

4-608-1-D
'26-9 発 行

総　目　次

1.　エクシードハイパー・ハイパーインバータ・暖ガンハイパーインバータシリーズ …… 1
2.　マルチ V シリーズ …… 1348

セゾンエアコン機種一覧表

◆エクシードハイパーシリーズ　　（空冷ヒートポンプ）

機　種	形　式	容量										
		40	45	50	56	63	80	112	140	160	224	280
天井埋込形4方向吹出し (FDTZ)	FDTZ-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDTZ-HP						○	○	○	○	○	○
	FDTZ-HT									○	○	
	FDTZ-HD										○	○
	FDTZ-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDTZ-HKP						○					
天井埋込形小容量4方向吹出し (FDTCZ)	FDTCZ-H	○	○	○	○							
	FDTCZ-HK	○	○	○	○							
天井埋込形2方向吹出し (FDTWZ)	FDTWZ-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDTWZ-HP						○	○	○	○	○	○
	FDTWZ-HT									○	○	
	FDTWZ-HD										○	
	FDTWZ-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDTWZ-HKP						○					
天井埋込形1方向吹出し (FDTSZ)	FDTSZ-H	○	○	○	○	○	○					
	FDTSZ-HP						○	○	○	○		
	FDTSZ-HT									○	○	
	FDTSZ-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDTSZ-HKP						○					
天埋カセテリア (FDRZ)	FDRZ-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDRZ-HP						○	○	○	○	○	○
	FDRZ-HT									○	○	
	FDRZ-HD										○	○
	FDRZ-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDRZ-HKP						○					
高静圧ダクト形 (FDUZ)	FDUZ-H			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDUZ-HP							○	○	○	○	○
	FDUZ-HK			○	○	○	○					
天吊形 (FDEZ)	FDEZ-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDEZ-HP						○	○	○	○	○	○
	FDEZ-HT									○	○	
	FDEZ-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDEZ-HKP						○					
天吊耐油形 (FDESZ)	FDESZ-H						○		○			
	FDESZ-HP									○		○
	FDESZ-HK						○					
壁掛形 (FDKZ)	FDKZ-H	○	○	○	○	○	○	○				
	FDKZ-HP						○	○	○	○	○	
	FDKZ-HT									○		
	FDKZ-HK	○	○	○	○	○	○					
	FDKZ-HKP						○					
床置形 (FDFZ)	FDFZ-H			○		○	○	○	○	○	○	○
	FDFZ-HP							○	○	○	○	○
	FDFZ-HK			○		○	○					

注(1) 形式記号説明　H：冷暖房兼用機，HP：ツイン形冷暖房兼用機，HT：トリプル形冷暖房兼用機，HD：ダブルツイン形冷暖房兼用機，
HK：単相電源形冷暖房兼用機，HKP：単相電源ツイン形冷暖房兼用機

(2) 本シリーズはR32冷媒仕様となります。

●形式記号説明（例）

セット形式

FD T[1] Z 160 6 H P 6SA

- 室内シリーズNo.
- 無　シングルタイプ / P　ツインタイプ / T　トリプルタイプ / D　ダブルツインタイプ
- H　ヒートポンプ三相機 / HK　ヒートポンプ単相機
- 室外シリーズNo.
- 冷房最大能力を示す（16.0kW）
- エクシードハイパー
- タイプ[1]
- ファンコイルダイレクト

室内ユニット形式

FD T[1] Z P160 6SA

- シリーズNo.
- 冷房最大能力を示す（16.0kW）
- エクシードハイパー・ハイパーインバータ共用機
- タイプ[1]
- ファンコイルダイレクト

室外ユニット形式

FDC Z P160 6 H

- H　ヒートポンプ三相機 / HK　ヒートポンプ単相機
- シリーズNo.
- 冷房最大能力を示す（16.0kW）
- エクシードハイパー
- 室外ユニット
- ファンコイルダイレクト

注（1）T…天井埋込形4方向吹出し，TC…天井埋込形小容量4方向吹出し，TW…天井埋込形2方向吹出し，TS…天井埋込形1方向吹出し，R…天埋カセテリア，
U…高静圧ダクト形，E…天吊形，ES…天吊耐油形，K…壁掛形，F…床置形

セゾンエアコン機種一覧表

◆ハイパーインバータシリーズ　　（空冷ヒートポンプ）

機種	形式	容量										
		40	45	50	56	63	80	112	140	160	224	280
天井埋込形4方向吹出し (FDTV)	FDTV-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDTV-HP							○	○	○	○	○
	FDTV-HT									○	○	
	FDTV-HD										○	○
	FDTV-HK	○	○	○	○	○	○					
天井埋込形小容量 4方向吹出し (FDTCV)	FDTCV-H	○	○	○	○							
	FDTCV-HK	○	○	○	○							
天井埋込形2方向吹出し (FDTWV)	FDTWV-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDTWV-HP							○	○	○	○	○
	FDTWV-HT									○	○	
	FDTWV-HD										○	
	FDTWV-HK	○	○	○	○	○	○					
天井埋込形1方向吹出し (FDTSV)	FDTSV-H	○	○	○	○	○	○					
	FDTSV-HP							○	○	○		
	FDTSV-HT									○	○	
	FDTSV-HK	○	○	○	○	○	○					
天埋カセテリア (FDRV)	FDRV-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	FDRV-HP							○	○	○	○	○
	FDRV-HT									○	○	
	FDRV-HD										○	○
	FDRV-HK	○	○	○	○	○	○					
高静圧ダクト形 (FDUV)	FDUV-H			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDUV-HP							○	○	○	○	○
	FDUV-HK			○	○	○	○					
天吊形 (FDEV)	FDEV-H	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FDEV-HP							○	○	○	○	○
	FDEV-HT									○	○	
	FDEV-HK	○	○	○	○	○	○					
天吊耐油形 (FDESV)	FDESV-H						○		○			
	FDESV-HP									○		○
	FDESV-HK						○					
壁掛形 (FDKV)	FDKV-H	○	○	○	○	○	○	○				
	FDKV-HP							○	○	○	○	
	FDKV-HT									○		
	FDKV-HK	○	○	○	○	○	○					
床置形 (FDFV)	FDFV-H			○		○	○	○	○	○	○	○
	FDFV-HP							○	○	○	○	○
	FDFV-HK			○		○	○					

注(1) 形式記号説明　H：冷暖房兼用機，HP：ツイン形冷暖房兼用機，HT：トリプル形冷暖房兼用機，HD：ダブルツイン形冷暖房兼用機，HK：単相電源形冷暖房兼用機

(2) 本シリーズはR32冷媒仕様となります。

• 形式記号説明（例）

セット形式

FD TW(1) V 140 6 H P 6S

- FD：ファンコイルダイレクト
- TW(1)：タイプ(1)
- V：ハイパーインバータ
- 140：冷房最大能力を示す(14.0kW)
- 6：室外シリーズNo.
- H：ヒートポンプ三相機 / HK：ヒートポンプ単相機
- P：無 シングルタイプ / P ツインタイプ / T トリプルタイプ / D ダブルツインタイプ
- 6S：室内シリーズNo.

室内ユニット形式

FD TW(1) Z P140 6S

- FD：ファンコイルダイレクト
- TW(1)：タイプ(1)
- Z：エクシードハイパー・ハイパーインバータ共用機
- P140：冷房最大能力を示す(14.0kW)
- 6S：シリーズNo.

室外ユニット形式

FD C V P140 6 H

- FD：ファンコイルダイレクト
- C：室外ユニット
- V：ハイパーインバータ
- P140：冷房最大能力を示す(14.0kW)
- 6：シリーズNo.
- H：ヒートポンプ三相機 / HK：ヒートポンプ単相機

注（1）T…天井埋込形4方向吹出し，TC…天井埋込形小容量4方向吹出し，TW…天井埋込形2方向吹出し，TS…天井埋込形1方向吹出し，R…天埋カセテリア U…高静圧ダクト形，E…天吊形，ES…天吊耐油形，K…壁掛形，F…床置形

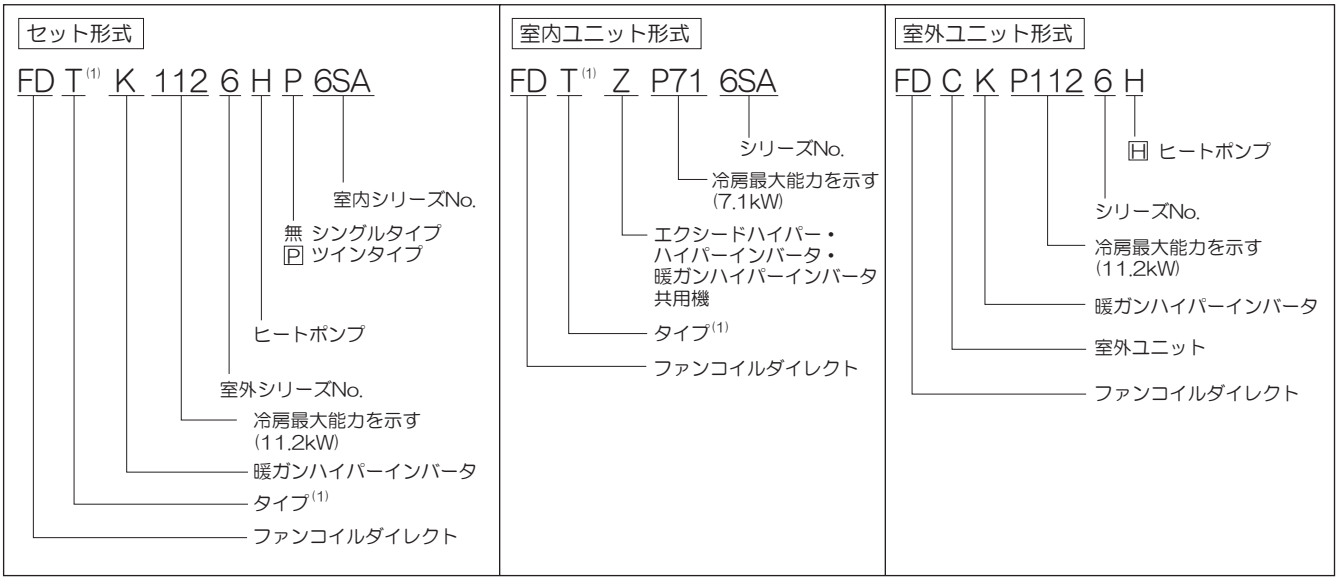
セゾンエアコン機種一覧表

◆暖ガンハイパーインバータシリーズ　（空冷ヒートポンプ）

機　　種	形　式	容量 80	容量 112
天井埋込形4方向吹出し (FDTK)	FDTK-H	○	○
	FDTK-HP	○	○
天井埋込形2方向吹出し (FDTWK)	FDTWK-H	○	○
	FDTWK-HP	○	○
天埋カセテリア (FDRK)	FDRK-H	○	○
	FDRK-HP	○	○
高静圧ダクト形 (FDUK)	FDUK-H	○	○
	FDUK-HP	○	○
天吊形 (FDEK)	FDEK-H	○	○
	FDEK-HP	○	○
天吊耐油形 (FDESK)	FDESK-H	○	
壁掛形 (FDKK)	FDKK-H	○	○
	FDKK-HP	○	○
床置形 (FDFK)	FDFK-H	○	○
	FDFK-HP	○	○

注(1) 形式記号説明　H：冷暖房兼用機，HP：ツイン形冷暖房兼用機
(2) 本シリーズはR32冷媒仕様となります。

• 形式記号説明（例）



注（1）T…天井埋込形4方向吹出し，TW…天井埋込形2方向吹出し，R…天埋カセテリア，U…高静圧ダクト形，E…天吊形，ES…天吊耐油形，K…壁掛形，F…床置形

1. エクシードハイパー・ハイパーインバータ・暖ガンハイパーインバータシリーズ

目　次

1.1　仕　　様 …… 2
1.2　使 用 範 囲 …… 245
1.3　外　形　図 …… 251
1.4　塗　装　色 …… 293
1.5　能 力 特 性 …… 298
1.6　送風機特性 …… 349
1.7　気 流 分 布 …… 370
1.8　運　転　音 …… 407
1.9　電気配線図 …… 425
1.10　電源・配線仕様 …… 455
1.11　防振設計用参考資料 …… 477
1.12　冷媒配管系統図 …… 483
1.13　据付関連事項 …… 492
1.14　マイコン運転制御機能 …… 773
1.15　電装品故障診断要領 …… 858
1.16　保護装置一覧 …… 1209
1.17　標準運転データ …… 1212
1.18　耐重塩害仕様室外ユニット …… 1217
1.19　別売品 …… 1221
1.19.1　ワイヤレスキット …… 1221
1.19.2　人感センサキット …… 1291
1.19.3　コンパクトリモコン（RCH-D3） …… 1309
1.19.4　スーパーリンクアダプタ（SC-ADNA） …… 1313
1.19.5　FDT お掃除ラクリーナパネル（T-PSCLS-6AW） … 1315
1.19.6　フィルタキット（FDR シリーズ） …… 1335
1.19.7　丸ダクト変換キット（FDU シリーズ） …… 1336
1.19.8　リニューアルキット …… 1337
1.19.9　サーマルセンサキット（FDT シリーズ） …… 1346

1.1 仕　様

(1) エクシードハイパーシリーズ

(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDTZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTZ-HK〕

PJF000Z862 F

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTZ406HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP406HK	FDTZ456HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP456HK	FDTZ506HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP506HK
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.4～4.5］	4.5［1.4～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.98	0.97	0.93
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.2	5.0	5.9
		暖房			4.5	5.0	5.5
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.720	0.858	1.04
			中間		0.228（中温：0.185）	0.235（中温：0.197）	0.287（中温：0.234）
			最小中温		0.145	0.145	0.145
		暖房	定格標準		0.770（最小：0.167）	0.884（最小：0.186）	0.985（最小：0.193）
			中間		0.257	0.303	0.334
			最大低温		1.58	1.58	2.18
	力率			%	冷：86，暖：86	冷：86，暖：88	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：5.00，中間：7.46	定格：4.66，中間：7.66	定格：4.33，中間：7.32
		暖房			定格：5.19，中間：7.00	定格：5.09，中間：6.93	定格：5.08，中間：6.89
	通年エネルギー消費効率	（2015）			7.2	7.2	7.2
		（2006）			6.8	6.8	6.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。		
		梱包			本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ566HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP566HK	FDTZ636HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP636HK
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.4～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.9	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.88	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.4	7.3
		暖房			6.4	7.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.17	1.36
			中間		0.327（中温：0.268）	0.372（中温：0.314）
			最小中温		0.145	0.145
		暖房	定格標準		1.18（最小：0.211）	1.44（最小：0.237）
			中間		0.381	0.429
			最大低温		2.34	2.20
	力率			%	冷：91，暖：92	冷：93，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.27，中間：7.03	定格：4.12，中間：6.99
		暖房			定格：4.75，中間：6.82	定格：4.38，中間：6.76
	通年エネルギー消費効率	（2015）			7.1	7.0
		（2006）			6.4	6.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	
		梱包			本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフロアアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ806HK6SA 室内：FDTZP806SA 室外：FDCZP806HK
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.9～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.9
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.4
定格冷房時の顕熱比					0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.3
		暖房			8.2
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.65
			中間		0.455（中温：0.375）
			最小中温		0.207
		暖房	定格標準		1.62（最小：0.338）
			中間		0.536
			最大低温		2.60
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.30，中間：7.03
		暖房			定格：4.94，中間：6.72
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.8
		(2006)			6.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房		P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房		P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房		P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：288（408/298）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：303×871×855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：24.5，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	120
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW×1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTZ-H〕

項目 ＼ セット形式						FDTZ406H6SA	FDTZ456H6SA	FDTZ506H6SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP406H	室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP456H	室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP506H
パネル形式（別売品）						293ページをご覧ください。		
リモートコントローラ						RC-DX3D		
電源						三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格			kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.4 ～ 4.5]	4.5 [1.4 ～ 5.0]
		中間				1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温				1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準				4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間				1.8	2.1	2.3
		最大低温				5.0	5.0	5.7
定格冷房時の顕熱比						0.98	0.97	0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	2.5	2.9	3.4
		暖房				2.6	2.9	3.1
	始動電流（最大電流）					5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格		kW	0.715	0.850	1.03
			中間			0.226（中温：0.183）	0.233（中温：0.195）	0.285（中温：0.232）
			最小中温			0.144	0.144	0.144
		暖房	定格標準			0.763（最小：0.166）	0.876（最小：0.183）	0.971（最小：0.191）
			中間			0.256	0.300	0.331
			最大低温			1.57	1.57	2.17
	力率				%	冷：83，暖：85	冷：85，暖：87	冷：87，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房				定格：5.03，中間：7.52	定格：4.71，中間：7.73	定格：4.37，中間：7.37
		暖房				定格：5.24，中間：7.03	定格：5.14，中間：7.00	定格：5.15，中間：6.95
	通年エネルギー消費効率	（2015）				7.3	7.3	7.3
		（2006）				6.9	6.9	6.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房			P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房			P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房			P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル				冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル				冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。		
		梱包				本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。		
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1		
		風量			m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0		
		電動機	定格出力		W	58		
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640×800（+71）×290		
		梱包				687×921×370		
	製品質量				kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5113SWE11×1		
			電動機出力		kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器				電子膨張弁		
		冷媒封入量			kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1		
		風量			m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力		W	34		
	クランクケースヒータ				W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管				φ12.7（フレア接続）		
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（15）		
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力					トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ566H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP566H	FDTZ636H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP636H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.4～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.9	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.88	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.9	4.4
		暖房			3.8	4.5
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.15	1.35
			中間		0.324（中温：0.266）	0.367（中温：0.311）
			最小中温		0.145	0.144
		暖房	定格標準		1.17（最小：0.209）	1.42（最小：0.234）
			中間		0.377	0.425
			最大低温		2.33	2.19
	力率			%	冷：85，暖：89	冷：89，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.35，中間：7.10	定格：4.15，中間：7.08
		暖房			定格：4.79，中間：6.90	定格：4.44，中間：6.82
	通年エネルギー消費効率	（2015）			7.1	7.0
		（2006）			6.5	6.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	
		梱包			本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW×1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ806H6SA 室内：FDTZP806SA 室外：FDCZP806H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.9～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.9
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.4
定格冷房時の顕熱比					0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.2
		暖房			5.2
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.64
			中間		0.452（中温：0.360）
			最小中温		0.196
		暖房	定格標準		1.61（最小：0.322）
			中間		0.533
			最大低温		2.60
	力率			%	冷：91，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.33，中間：7.08
		暖房			定格：4.97，中間：6.75
	通年エネルギー消費効率	（2015）			7.0
		（2006）			6.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房		P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房		P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房		P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：288（408/298）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：303×871×855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：24.5，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	120
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（34m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW×1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ1126H6SA 室内：FDTZP1606SA 室外：FDCZP1126H	FDTZ1406H6SA 室内：FDTZP1606SA 室外：FDCZP1406H	FDTZ1606H6SA 室内：FDTZP1606SA 室外：FDCZP1606H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.4～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.5）
		最小中温			2.7	3.4	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			14.5	15.5	15.5
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.75	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.5	9.7	11.8
		暖房			7.1	9.9	11.8
	始動電流（最大電流）				5（23）	5（23）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.15	3.18	3.88
			中間		0.679（中温：0.565）	0.895（中温：0.755）	1.02（中温：0.865）
			最小中温		0.306	0.355	0.420
		暖房	定格標準		2.34（最小：0.438）	3.26（最小：0.525）	3.89（最小：0.636）
			中間		0.748	1.00	1.17
			最大低温		4.98	5.88	5.88
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.65，中間：6.63	定格：3.93，中間：6.73	定格：3.61，中間：6.18
		暖房			定格：4.79，中間：6.82	定格：4.29，中間：6.30	定格：4.11，中間：6.15
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.9	6.6	6.2
		（2006）			6.4	5.9	5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：62，急：58，強：50，弱：45	P急：62，急：58，強：51，弱：46	P急：62，急：58，強：53，弱：46
			暖房		P急：63，急：58，強：50，弱：44	P急：63，急：58，強：51，弱：45	P急：63，急：58，強：53，弱：45
		音圧レベル	冷房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29	P急：48，急：42，強：38，弱：29
			暖房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29	P急：48，急：42，強：38，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：288（408/298）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。		
		梱包			本体：303×871×855，パネル：293ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：36，急：25，強：22，弱：18	P急：36，急：27，強：24，弱：19	P急：36，急：28，強：25，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	120		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370		
		梱包			1635×1020×452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW×1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフロアアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式						FDTZ806HKP6SA
項目 ＼ 形式						室内：FDTZP636SA × 2台 室外：FDCZP806HK
パネル形式（別売品）						293ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.9～8.0］
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.9
	暖房能力	定格標準				8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間				3.6
		最大低温				8.4
定格冷房時の顕熱比						0.96
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	7.1
		暖房				8.0
	始動電流（最大電流）					5（18.5）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.41
			中間			0.430（中温：0.341）
			最小中温			0.217
		暖房	定格標準			1.58（最小：0.329）
			中間			0.528
			最大低温			2.60
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房				定格：5.04，中間：7.44
		暖房				定格：5.06，中間：6.82
	通年エネルギー消費効率	（2015）				7.2
		（2006）				6.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42
			暖房			P急：48，急：45，強：41，弱：38
		音圧レベル	冷房			P急：35，急：32，強：30，弱：28
			暖房			P急：35，急：32，強：28，弱：23
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包				本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器					アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン × 1
		風量			m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	58
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	845×970×370
		梱包				975×1020×452
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1.37（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 2台
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTZ806HP6SA	FDTZ1126HP6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP636SA × 2台 室外：FDCZP806H	室内：FDTZP636SA × 2台 室外：FDZP1126H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.9 ～ 8.0]	10.0 [2.8 ～ 11.2]
		中間			3.2（中温：3.3）	4.5 （中温：4.6）
		最小中温			1.9	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.0 ～ 10.0]（最小：2.0）	11.2 [3.5 ～ 14.3]（最小：3.5）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.4	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.96	0.85
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.4	6.4
		暖房			5.0	7.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	2.12
			中間		0.423（中温：0.341）	0.630（中温：0.495）
			最小中温		0.205	0.310
		暖房	定格標準		1.55 （最小：0.324）	2.31 （最小：0.540）
			中間		0.519	0.740
			最大低温		2.60	4.98
	力率			%	冷：91 ，暖：89	冷：96 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：5.11，中間：7.57	定格：4.72，中間：7.14
		暖房			定格：5.16，中間：6.94	定格：4.85，中間：6.89
	通年エネルギー消費効率	(2015)			7.3	7.1
		(2006)			6.8	6.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	
		梱包			本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：17，急：15 ，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370	1505×970×370
		梱包			875×1020×452	1635×1020×452
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（34m）	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	2.16（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.030kW × 2台
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTZ1406HP6SA 室内：FDTZP716SA × 2台 室外：FDCZP1406H	FDTZ1606HP6SA 室内：FDTZP806SA × 2台 室外：FDCZP1606H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.2 ～ 14.0］	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5 ～ 18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			15.5	15.5
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.5	10.4
		暖房			9.9	10.9
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.14	3.42
			中間		0.865（中温：0.732）	0.940（中温：0.825）
			最小中温		0.360	0.385
		暖房	定格標準		3.26（最小：0.530）	3.60（最小：0.625）
			中間		0.950	1.07
			最大低温		5.83	5.83
	力率			%	冷：95 ，暖：95	冷：95 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.98，中間：6.59	定格：4.09，中間：6.70
		暖房			定格：4.29，中間：6.63	定格：4.44，中間：6.73
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.7	6.6
		(2006)			6.1	6.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	本体：288（408/298）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。	本体：303 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21（P140形），24.5（P160形），標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：19，急：15 ，強：13，弱：11	P急：30，急：22 ，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	120
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100 ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P140形：0.030kW × 2台，P160形：0.140kW × 2台
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)ツイン形(室内ユニット:2 台, 室外ユニット:1 台)〔FDTZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTZ2246HP6SA	FDTZ2806HP6SA
項目 ＼ 形式					室内:FDTZP1606SA × 2台 室外:FDCZP2246H	室内:FDTZP1606SA × 2台 室外:FDCZP2806H
パネル形式(別売品)					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	25.0 [6.3 ～ 27.0]
		中間			9.0 (中温:9.3)	11.3 (中温:11.8)
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0] (最小:5.6)	28.0 [7.0 ～ 31.5] (最小:7.0)
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.87	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	16.2	25.0
		暖房			15.5	21.8
	始動電流(最大電流)				5 (39)	5 (39)
	消費電力	冷房	定格	kW	5.42	8.32
			中間		1.55(中温:1.25)	2.06(中温:1.74)
			最小中温		0.721	0.740
		暖房	定格標準		5.17(最小:0.880)	7.26(最小:1.12)
			中間		1.62	2.10
			最大低温		7.90	8.00
	力率			%	冷:96 ,暖:96	冷:96 ,暖:96
	エネルギー消費効率	冷房			定格:3.69,中間:5.81	定格:3.00,中間:5.49
		暖房			定格:4.33,中間:6.23	定格:3.86,中間:6.00
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.3	5.9
		(2006)			5.6	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急:62,急:58,強:50,弱:45	P急:62,急:58,強:51,弱:46
			暖房		P急:63,急:58,強:50,弱:44	P急:63,急:58,強:51,弱:45
		音圧レベル	冷房		P急:48,急:42,強:35,弱:29	P急:48,急:42,強:36,弱:29
			暖房		P急:48,急:42,強:35,弱:29	P急:48,急:42,強:36,弱:29
	室外ユニット	パワーレベル			冷:76,暖:74	冷:76,暖:78
		音圧レベル			冷:62,暖:60	冷:62,暖:64
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	本体:288(408/298)×840×840 (5),パネル:293ページをご覧ください。	
		梱包			本体:303×871×855,パネル:293ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体:27,標準パネル:5,エアフレックスパネル:6,ラクリーナパネル:7,お掃除ラクリーナパネル:12	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急:36,急:25 ,強:22,弱:18	P急:36,急:27 ,強:24,弱:19
		機外静圧(標準風量時)		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	120	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様),ロングライフフィルタ,洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能(口 100ダクト接続)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能(65×112ダクト接続)	
	運転調整				操作(運転切換,風量調整,タイマー,換気,グリル昇降),室温調節(電子サーモスタット),表示(運転・点検用·LED,液晶表示)	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P,CNTA:2P)を保有(室内基板上)	
	加湿器				ー(気化式加湿器取付可能)	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機:防振ゴム,外板:吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	1505×970×370	
		梱包			1635×1020×452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0(R32) [主管配管30m分封入済]	
		冷凍機油封入量		L	1.00(M-MB75)	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷:145,暖:130	冷:145,暖:148
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機:防振ゴム,吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管(9)		mm	室内接続:φ9.52(フレア),分岐管:φ9.52,主管:φ9.52(P280形:φ12.7),室外接続:φ9.52(フレア)(P280形:φ12.7(フレア))	
		ガス管			室内接続:φ15.88(フレア),分岐管:φ15.88,主管:φ25.4,室外接続:φ25.4(ろう付)	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm^2	8.0×3本(26m)	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A	50	
	開閉器容量(ヒューズ容量)				60(50)	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上(M5)	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0(φ1.6mm)×3本(～70m),3.5×3本(～120m)	
設計圧力				MPa	高圧部:4.15,低圧部:2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65(届出不要)	
IPコード					室内:IPXO,室外:IPX4	
保護装置					高圧スイッチ,低圧センサ,吐出管温度センサ,吸入管温度センサ,熱交温度センサ,電流センサ,ヒューズ,ファンモータマイコン式過負荷保護,フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力,通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は,適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し,反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け,表示値より大きくなるのが普通です。なお,室外ユニットは本体前方1m,高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの( )内寸法は天井内部の高さ寸法(お掃除パネル/その他)を示します。
(6) エアフレックスパネル,ラクリーナパネル,お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.140kW × 2台
(8) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し,その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合,主管長が40mを超える場合は,主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) ツイン機の分岐配管は,必ず分岐管セットDIS-WC1G(別売品)を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
(11) 室内ユニットは共用タイプ(P112,P140,P160用)で,室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形,P140形に設定され,上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合,フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し,管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTZ1606HT6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP636SA × 3台 室外：FDCZP1606H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5～16.0］
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			15.5
定格冷房時の顕熱比					0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.5
		暖房			11.0
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	3.46
			中間		0.970（中温：0.830）
			最小中温		0.390
		暖房	定格標準		3.62（最小：0.605）
			中間		1.09
			最大低温		5.83
	力率			%	冷：95　，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.05，中間：6.49
		暖房			定格：4.42，中間：6.61
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.6
		（2006）			6.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房		P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房		P急：37　，急：33　，強：29　，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68　，暖：70
		音圧レベル			冷：52　，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：18　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	58
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：92　，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 3台
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満　：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上　：DIS-WA1Gを2セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)トリプル形(室内ユニット:3台,室外ユニット:1台)〔FDTZ-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDTZ2246HT6SA
項目 ＼ 形式						室内:FDTZP716SA × 3台 室外:FDCZP2246H
パネル形式(別売品)						293ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	20.0 [6.0～22.4]
		中間				9.0 (中温:9.4)
		最小中温				6.0
	暖房能力	定格標準				22.4 [5.6～28.0] (最小:5.6)
		中間				10.1
		最大低温				20.0
定格冷房時の顕熱比						0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	17.1
		暖房				17.5
	始動電流(最大電流)					5 (39)
	消費電力	冷房	定格		kW	5.70
			中間			1.52 (中温:1.27)
			最小中温			0.836
		暖房	定格標準			5.83 (最小:0.868)
			中間			1.70
			最大低温			8.60
	力率				%	冷:96 ,暖:96
	エネルギー消費効率	冷房				定格:3.51,中間:5.92
		暖房				定格:3.84,中間:5.94
	通年エネルギー消費効率	(2015)				6.0
		(2006)				5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急:50 ,急:46 ,強:44 ,弱:42
			暖房			P急:51 ,急:46 ,強:43 ,弱:40
		音圧レベル	冷房			P急:37 ,急:33 ,強:31 ,弱:29
			暖房			P急:37 ,急:33 ,強:31 ,弱:29
	室外ユニット	パワーレベル				冷:76 ,暖:74
		音圧レベル				冷:62 ,暖:60
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品			mm	本体:226 (346/236) × 840 × 840(5),パネル:293ページをご覧ください。
		梱包				本体:241 × 871 × 855,パネル:293ページをご覧ください。
	製品質量				kg	本体:21 ,標準パネル:5 ,エアフレックスパネル:6,ラクリーナパネル:7 ,お掃除ラクリーナパネル:12
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン × 1
		風量			m^3/min	P急:19 ,急:15 ,強:13 ,弱:11
		機外静圧(標準風量時)			Pa	0
		電動機	定格出力		W	58
		エアフィルタ				プラスチックネット(防カビ仕様),ロングライフフィルタ,洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能(口100ダクト接続)
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能(65 × 112ダクト接続)
	運転調整					操作(運転切換,風量調整,タイマー,換気,グリル昇降),室温調節(電子サーモスタット),表示(運転·点検用·LED,液晶表示)
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P,CNTA:2P)を保有(室内基板上)
	加湿器					ー(気化式加湿器取付可能)
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機:防振ゴム,外板:吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品			mm	1505 × 970 × 370
		梱包				1635 × 1020 × 452
	製品質量				kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力		kW	4.5
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	6.0 (R32) [主管配管30m分封入済]
		冷凍機油封入量			L	1.00 (M-MB75)
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 2
		風量			m^3/min	冷:145,暖:130
		電動機	定格出力		W	86 × 2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機:防振ゴム,吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(外径)	液管(9)			mm	室内接続:φ9.52 (フレア),分岐管:φ9.52, 主管:φ9.52,室外接続:φ9.52 (フレア)
		ガス管				室内接続:φ15.88 (フレア),分岐管:φ15.88, 主管:φ25.4,室外接続:φ25.4 (ろう付)
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ(こう長)				mm²	8.0 × 3本 (26m)
	漏電しゃ断器(高調波対応品)				A	50
	開閉器容量(ヒューズ容量)					60 (50)
	アース線サイズ				mm²	3.5以上 (M5)
	室内外ユニット接続配線				mm²	2.0 (φ1.6mm) × 3本 (～70m) ,3.5 × 3本 (～120m)
設計圧力					MPa	高圧部:4.15,低圧部:2.26
法定冷凍能力					トン	3.65 (届出不要)
IPコード						室内:IPXO ,室外:IPX4
保護装置						高圧スイッチ,低圧センサ,吐出管温度センサ,吸入管温度センサ,熱交温度センサ,電流センサ,ヒューズ,ファンモータマイコン式過負荷保護,フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力,通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は,適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し,反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け,表示値より大きくなるのが普通です。なお,室外ユニットは本体前方1m,高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの( )内寸法は天井内部の高さ寸法(お掃除パネル/その他)を示します。
(6) エアフレックスパネル,ラクリーナパネルは,お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.030kW × 3台
(8) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し,その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合,主管長が40mを超える場合は,主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) トリプル機の分岐配管は,必ず下記を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 :DIS-TB1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 :DIS-WA1G,DIS-WC1Gを各1セット
(11) 室内ユニットは共用タイプ(P71用)で,室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され,上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合,フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し,管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：４台，室外ユニット：１台）〔FDTZ-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDTZ2246HD6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP636SA × 4台 室外：FDCZP2246H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.5）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	15.6
		暖房			15.6
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.21
			中間		1.41（中温：1.15）
			最小中温		0.710
		暖房	定格標準		5.20（最小：0.825）
			中間		1.60
			最大低温		7.90
	力率			%	冷：96　，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.84　，中間：6.38
		暖房			定格：4.31　，中間：6.31
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.6
		(2006)			5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房		P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房		P急：37　，急：33　，強：29　，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76　，暖：74
		音圧レベル			冷：62　，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840(5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：18　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	58
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（口100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(13)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(11)（外径）	液管(9)		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7(フレア)，分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	50 60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 4台
(8) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) 冷媒配管の分岐管①は第１分岐～第２分岐の間，②は第２分岐～室内ユニットの間を示します。
(11) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(12) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDTZ-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDTZ2806HD6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP716SA × 4台 室外：FDCZP2806H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0［6.3～27.0］
		中間			11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.3
	暖房能力	定格標準			28.0［7.0～31.5］（最小：7.0）
		中間			12.6
		最大低温			21.2
定格冷房時の顕熱比					0.82
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	24.3
		暖房			22.5
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	8.09
			中間		1.92（中温：1.59）
			最小中温		0.754
		暖房	定格標準		7.49（最小：1.06）
			中間		2.08
			最大低温		7.90
	力率			%	冷：96　，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.09　，中間：5.89
		暖房			定格：3.74　，中間：6.06
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.1
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房		P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房		P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76　，暖：79
		音圧レベル			冷：62　，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840(5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：19　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	58
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（口100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1
			電動機出力	kW	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	50 60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 4台
(8) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(b) 天井埋込形小容量 4 方向吹出し（FDTCZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTCZ-HK〕

PJF000Z868 A

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTCZ406HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP406HK	FDTCZ456HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP456HK
パネル形式（別売品）					TC-PSAE-5BW (8)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]
		中間			1.7（中温：1.7）	1.8（中温：1.8）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0[1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）
		中間			1.8	2.1
		最大低温			4.6	4.6
定格冷房時の顕熱比					0.83	0.80
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	5.1	5.8
		暖房			5.4	6.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.900	1.02
			中間		0.304（中温：0.249）	0.320（中温：0.268）
			最小中温		0.188	0.188
		暖房	定格標準		0.950（最小：0.224）	1.14（最小：0.242）
			中間		0.331	0.380
			最大低温		1.83	1.83
	力率			%	冷：88，暖：88	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.00，中間：5.59	定格：3.92，中間：5.63
		暖房			定格：4.21，中間：5.44	定格：3.95，中間：5.53
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.3	5.3
		(2006)			5.3	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：56，強：51，弱：45	
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：38，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：213（248）×570×570，パネル：50（10）×620×620 (5)	
		梱包			本体：262×690×597，パネル：69×661×665	
	製品質量			kg	本体：14，エアフレックスパネル：3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				ー	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	0.6	0.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) パネルには，エアフレックス機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTCZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTCZ506HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP506HK	FDTCZ566HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP566HK
パネル形式（別売品）					TC-PSAE-5BW (8)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	4.5 [1.3 ～ 5.0]	5.0 [1.3 ～ 5.6]
		中間			2.1（中温：2.1）	2.3（中温：2.4）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			5.0[1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）	5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）
		中間			2.3	2.6
		最大低温			5.1	5.1
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.71
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	6.9	7.7
		暖房			6.9	8.1
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.22	1.43
			中間		0.377（中温：0.317）	0.462（中温：0.425）
			最小中温		0.187	0.187
		暖房	定格標準		1.26（最小：0.257）	1.51（最小：0.301）
			中間		0.412	0.472
			最大低温		2.01	2.01
	力率			%	冷：88，暖：91	冷：93，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.69，中間：5.57	定格：3.50，中間：4.98
		暖房			定格：3.97，中間：5.58	定格：3.71，中間：5.51
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.0
		（2006）			5.2	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：56，強：51，弱：45	
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：38，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：61
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：213（248）×570×570，パネル：50（10）×620×620 (5)	
		梱包			本体：262×690×597，パネル：69×661×665	
	製品質量			kg	本体：14，エアフレックスパネル：3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				ー	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	0.9	1.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) パネルには，エアフレックス機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTCZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTCZ406H6S	FDTCZ456H6S
					室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP406H	室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP456H
パネル形式（別売品）					TC-PSAE-5BW (8)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]
		中間			1.7（中温：1.7）	1.8（中温：1.8）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0[1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）
		中間			1.8	2.1
		最大低温			4.6	4.6
定格冷房時の顕熱比					0.83	0.80
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.1	3.3
		暖房			3.2	3.7
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.890	1.00
			中間		0.300（中温：0.245）	0.315（中温：0.264）
			最小中温		0.186	0.186
		暖房	定格標準		0.940（最小：0.222）	1.11（最小：0.240）
			中間		0.327	0.375
			最大低温		1.82	1.82
	力率			%	冷：83，暖：85	冷：87，暖：87
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.04，中間：5.67	定格：4.00，中間：5.71
		暖房			定格：4.26，中間：5.50	定格：4.05，中間：5.60
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.4
		（2006）			5.4	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：56，強：51，弱：45	
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：38，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：213（248）×570×570，パネル：50（10）×620×620 (5)	
		梱包			本体：262×690×597，パネル：69×661×665	
	製品質量			kg	本体：14，エアフレックスパネル：3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				ー	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	0.6	0.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	15 30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) パネルには，エアフレックス機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTCZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTCZ506H6S	FDTCZ566H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP506H	室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP566H
パネル形式（別売品）					TC-PSAE-5BW (8)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5 [1.3 ～ 5.0]	5.0 [1.3 ～ 5.6]
		中間			2.1（中温：2.1）	2.3（中温：2.4）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			5.0[1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）	5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）
		中間			2.3	2.6
		最大低温			5.1	5.1
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.0	4.7
		暖房			4.1	4.9
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.21	1.42
			中間		0.375（中温：0.315）	0.460（中温：0.423）
			最小中温		0.186	0.186
		暖房	定格標準		1.25（最小：0.256）	1.50（最小：0.300）
			中間		0.410	0.470
			最大低温		2.00	2.00
	力率			%	冷：87，暖：88	冷：87，暖：88
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.72，中間：5.60	定格：3.52，中間：5.00
		暖房			定格：4.00，中間：5.61	定格：3.73，中間：5.53
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5	5.1
		(2006)			5.3	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：56，強：51，弱：45	
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：38，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：61
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：213（248）×570×570，パネル：50（10）×620×620 (5)	
		梱包			本体：262×690×597，パネル：69×661×665	
	製品質量			kg	本体：14，エアフレックスパネル：3	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m³/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				ー	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	0.9	1.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	15 30（15）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) パネルには，エアフレックス機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(c) 天井埋込形２方向吹出し（FDTWZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWZ-HK〕

PJB001Z916 D

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTWZ406HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP406HK	FDTWZ456HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP456HK	FDTWZ506HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP506HK
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.98	0.93	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.7	5.6	6.2
		暖房			5.0	6.0	6.2
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.855	1.04	1.19
			中間		0.282（中温：0.230）	0.303（中温：0.255）	0.353（中温：0.315）
			最小中温		0.182	0.182	0.170
		暖房	定格標準		0.895（最小：0.200）	1.10（最小：0.220）	1.18（最小：0.246）
			中間		0.303	0.342	0.384
			最大低温		1.68	1.68	2.67
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：93，暖：92	冷：96，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.21，中間：6.03	定格：3.85，中間：5.94	定格：3.78，中間：5.95
		暖房			定格：4.47，中間：5.94	定格：4.09，中間：6.14	定格：4.24，中間：5.99
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.0	5.9	5.8
		（2006）			5.7	5.6	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46		
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。		
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWZ566HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP566HK	FDTWZ636HK6S 室内：FDTWZP636S 室外：FDCZP636HK
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.3 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.3
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.9	8.7
		暖房			7.4	9.0
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.34	1.68
			中間		0.415（中温：0.350）	0.473（中温：0.405）
			最小中温		0.181	0.185
		暖房	定格標準		1.43（最小：0.260）	1.74（最小：0.290）
			中間		0.443	0.514
			最大低温		2.88	2.55
	力率			%	冷：97，暖：97	冷：97，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：5.54	定格：3.33，中間：5.50
		暖房			定格：3.92，中間：5.87	定格：3.62，中間：5.64
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.5
		（2006）			5.2	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21（P63形：23），標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	40
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWZ-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ806HK6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP806S 室外：FDCZP806HK
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.2
		暖房			11.1
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.02
			中間		0.577（中温：0.474）
			最小中温		0.221
		暖房	定格標準		2.19（最少：0.372）
			中間		0.661
			最大低温		3.23
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率		冷房		定格：3.51，中間：5.55
			暖房		定格：3.65，中間：5.45
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6
		（2006）			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：17，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTWZ406H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP406H	FDTWZ456H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP456H	FDTWZ506H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP506H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.1）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）	5.0 [1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.98	0.93	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9	3.4	3.9
		暖房			3.0	3.7	3.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.845	1.03	1.18
			中間		0.280（中温：0.229）	0.300（中温：0.253）	0.350（中温：0.313）
			最小中温		0.180	0.180	0.169
		暖房	定格標準		0.885（最小：0.197）	1.09（最小：0.215）	1.17（最小：0.244）
			中間		0.300	0.340	0.382
			最大低温		1.67	1.67	2.66
	力率			%	冷：84，暖：85	冷：87，暖：85	冷：87，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.26，中間：6.07	定格：3.88，中間：6.00	定格：3.81，中間：6.00
		暖房			定格：4.52，中間：6.00	定格：4.13，中間：6.18	定格：4.27，中間：6.02
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	6.0	5.9
		（2006）			5.8	5.7	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46		
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。		
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTWZ566H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP566H	FDTWZ636H6S 室内：FDTWZP636S 室外：FDCZP636H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.3～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.3
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.2	5.0
		暖房			4.4	5.2
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.33	1.67
			中間		0.412（中温：0.348）	0.469（中温：0.402）
			最小中温		0.180	0.184
		暖房	定格標準		1.42（最小：0.258）	1.73（最小：0.288）
			中間		0.440	0.510
			最大低温		2.87	2.54
	力率			%	冷：91，暖：93	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.76，中間：5.58	定格：3.35，中間：5.54
		暖房			定格：3.94，中間：5.91	定格：3.64，中間：5.69
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.8	5.6
		（2006）			5.3	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21（P63形：23），標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	40
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	15 30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ806H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP806S 室外：FDCZP806H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.3
		暖房			6.9
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.99
			中間		0.572（中温：0.465）
			最小中温		0.219
		暖房	定格標準		2.15（最少：0.362）
			中間		0.654
			最大低温		3.17
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.57，中間：5.59
		暖房			定格：3.72，中間：5.50
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7
		（2006）			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：17，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置 圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
		電動機出力		kW	1.4
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒制御器				電子膨張弁
	冷媒封入量			kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
	冷凍機油封入量			L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（34m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWZ1126H6S 室内：FDTWZP1406S 室外：FDCZP1126H	FDTWZ1406H6S 室内：FDTWZP1406S 室外：FDCZP1406H	FDTWZ1606H6S 室内：FDTWZP1606S 室外：FDCZP1606H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.6）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.2	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.1～20.3］（最小：4.1）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.7
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.69	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.9	12.0	14.1
		暖房			8.1	11.7	14.1
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.60	3.95	4.64
			中間		0.700（中温：0.544）	0.986（中温：0.795）	1.11（中温：0.916）
			最小中温		0.314	0.393	0.444
		暖房	定格標準		2.67（最小：0.477）	3.85（最小：0.629）	4.63（最小：0.728）
			中間		0.842	1.09	1.34
			最大低温		5.40	6.21	6.25
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.85，中間：6.43	定格：3.16，中間：5.78	定格：3.02，中間：5.68
		暖房			定格：4.19，中間：6.06	定格：3.64，中間：5.78	定格：3.46，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.4	5.8	5.6
		（2006）			5.8	5.2	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：60，強：56，弱：52		
		音圧レベル			P急：48，急：45，強：41，弱：37		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×1535×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。		
		梱包			本体：352×1712×693，パネル：294ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：35（P160形：37），標準パネル：13，ラクリーナパネル：15		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×2		
		風量		m^3/min	P急：31，急：27，強：23，弱：20		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35×2		40×2
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370		
		梱包			1635×1020×452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112，P140形：0.10kW × 1台，P160形：0.11kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140用）および共用タイプ（P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTWZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ806HKP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP566S × 2台 室外：FDCZP806HK
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.7
		暖房			9.1
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.72
			中間		0.583（中温：0.483）
			最小中温		0.264
		暖房	定格標準		1.81　（最小：0.414）
			中間		0.635
			最大低温		3.23
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.13，中間：5.49
		暖房			定格：4.42，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7
		（2006）			5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置 圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
		電動機出力		kW	1.4
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒制御器				電子膨張弁
	冷媒封入量			kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
	冷凍機油封入量			L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 2台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTWZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTWZ806HP6S 室内：FDTWZP566S × 2台 室外：FDCZP806H	FDTWZ1126HP6S 室内：FDTWZP566S × 2台 室外：FDCZP1126H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	10.0［2.5～11.2］
		中間			3.2（中温：3.4）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			1.8	2.5
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1 ～ 10.0］（最小：2.1）	11.2［2.7 ～ 14.3］（最小：2.7）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.1	12.5
定格冷房時の顕熱比					0.86	0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.3	8.1
		暖房			5.6	8.4
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.67	2.66
			中間		0.569（中温：0.473）	0.760（中温：0.620）
			最小中温		0.260	0.310
		暖房	定格標準		1.76 （最小：0.404）	2.76 （最小：0.465）
			中間		0.619	0.830
			最大低温		3.17	5.48
	力率			%	冷：91 ，暖：91	冷：95 ，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.25 ，中間：5.62	定格：3.76 ，中間：5.92
		暖房			定格：4.55 ，中間：5.82	定格：4.06 ，中間：6.14
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.8	6.2
		（2006）			5.5	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57 ，急：53 ，強：49 ，弱：46	
		音圧レベル			P急：42 ，急：38 ，強：34 ，弱：31	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66 ，暖：66
		音圧レベル			冷：48 ，暖：48	冷：49 ，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：15，急：12 ，強：10 ，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370	1505×970×370
		梱包			975×1020×452	1635×1020×452
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：52 ，暖：48	冷：92 ，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5× 3本（34m）	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）	30 30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	2.16（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 2台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTWZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ1406HP6S	FDTWZ1606HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP806S × 2台 室外：FDCZP1406H	室内：FDTWZP806S × 2台 室外：FDCZP1606H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5 [3.2 ～ 14.0]	14.0 [3.5 ～ 16.0]
		中間			5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.3）
		最小中温			3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0 [3.5 ～ 18.3]（最小：3.5）	16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			14.5	14.8
定格冷房時の顕熱比					0.68	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.0	14.3
		暖房			11.6	13.7
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.94	4.70
			中間		0.965（中温：0.800）	1.06（中温：0.910）
			最小中温		0.390	0.415
		暖房	定格標準		3.83（最小：0.580）	4.50（最小：0.695）
			中間		1.08	1.27
			最大低温		6.10	6.35
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.17，中間：5.91	定格：2.98，中間：5.94
		暖房			定格：3.66，中間：5.83	定格：3.56，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.9	5.6
		（2006）			5.3	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：58，急：54，強：50，弱：47	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9	P急：17，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	40	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370	
		梱包			1635×1020×452	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P140形：0.04kW × 2台，P160形：0.06kW × 2台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTWZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ2246HP6S	FDTWZ2806HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP1406S × 2台 室外：FDCZP2246H	室内：FDTWZP1406S × 2台 室外：FDCZP2806H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	25.0 [6.3 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.5）	11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	17.9	29.6
		暖房			17.6	26.1
	始動電流（最大電流）				5（39）	5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.97	9.87
			中間		1.68（中温：1.42）	2.31（中温：1.96）
			最小中温		0.795	0.838
		暖房	定格標準		5.88（最小：0.981）	8.71（最小：1.25）
			中間		1.80	2.43
			最大低温		8.70	8.80
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.35，中間：5.36	定格：2.53，中間：4.89
		暖房			定格：3.81，中間：5.61	定格：3.21，中間：5.19
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.1
		（2006）			5.0	4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：60，強：56，弱：52	
		音圧レベル			P急：48，急：45，強：41，弱：37	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：81，暖：79
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：67，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×1535×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：352×1712×693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：35，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×2	
		風量		m^3/min	P急：31，急：27，強：23，弱：20	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35×2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(11)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370	
		梱包			1635×1020×452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.0（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン× 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管(9)	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0×3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	50 60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.100kW × 2台
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) しゃ風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTWZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ1606HT6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP566S × 3台 室外：FDCZP1606H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5～16.0］
		中間			6.3（中温：6.5）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.8
定格冷房時の顕熱比					0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	13.0
		暖房			12.6
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.28
			中間		1.11（中温：0.930）
			最小中温		0.440
		暖房	定格標準		4.14（最小：0.700）
			中間		1.27
			最大低温		6.35
	力率			%	冷：95　，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.27　，中間：5.68
		暖房			定格：3.86　，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7
		(2006)			5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 3台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
　① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満　：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上　：DIS-WA1Gを2セット
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTWZ-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDTWZ2246HT6S
項目 ＼ 形式						室内：FDTWZP806S × 3台 室外：FDCZP2246H
パネル形式（別売品）						294ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	20.0［6.0～22.4］
		中間				9.0（中温：9.5）
		最小中温				6.0
	暖房能力	定格標準				22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間				10.1
		最大低温				20.0
定格冷房時の顕熱比						0.66
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	20.2
		暖房				20.6
	始動電流（最大電流）					5（35）
	消費電力	冷房	定格		kW	6.85
			中間			1.77（中温：1.53）
			最小中温			0.880
		暖房	定格標準			6.87（最小：0.993）
			中間			1.91
			最大低温			9.40
	力率				%	冷：96　，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房				定格：2.96　，中間：5.08
		暖房				定格：3.26　，中間：5.29
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.2
		(2006)				4.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル				P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル				冷：77，暖：74
		音圧レベル				冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	本体：275（325）×820×620(5)，パネル：294ページをご覧ください。
		梱包				本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。
	製品質量				kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン×1
		風量			m^3/min	P急：17，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	50
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(11)
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1505×970×370
		梱包				1635×1020×452
	製品質量				kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5141SBE1×1
			電動機出力		kW	4.5
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量			m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力		W	86×2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)			mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管				室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	8.0×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）					60（50）
	アース線サイズ				mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	3.65（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW×3台
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)ダブルツイン形(室内ユニット:4台,室外ユニット:1台)〔FDTWZ-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDTWZ2246HD6S
項目 ＼ 形式					室内:FDTWZP566S × 4台 室外:FDCZP2246H
パネル形式(別売品)					294ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]
		中間			9.0 (中温:9.5)
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0] (最小:5.6)
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	17.9
		暖房			18.3
	始動電流(最大電流)				5 (39)
	消費電力	冷房	定格	kW	5.97
			中間		1.79 (中温:1.53)
			最小中温		0.917
		暖房	定格標準		6.11 (最小:0.953)
			中間		1.79
			最大低温		8.90
	力率			%	冷:96 ,暖:96
	エネルギー消費効率	冷房			定格:3.35 ,中間:5.03
		暖房			定格:3.67 ,中間:5.64
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急:57 ,急:53 ,強:49 ,弱:46
		音圧レベル			P急:42 ,急:38 ,強:34 ,弱:31
	室外ユニット	パワーレベル			冷:76 ,暖:74
		音圧レベル			冷:62 ,暖:60
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	本体:275 (325) ×820 ×620 (5),パネル:294ページをご覧ください。
		梱包			本体:315×997 ×693,パネル:294ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体:21,標準パネル:8.5,ラクリーナパネル:10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急:14.5,急:12 ,強:10 ,弱:9
		機外静圧(標準風量時)		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様),ロングライフフィルタ,洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1,接続可能(ユニット側面)(片側直吹と併設可能) (12)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能(φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内)
	運転調整				操作(運転切換,風量調整,タイマー,換気,グリル昇降),室温調節(電子サーモスタット),表示(運転·点検用·LED,液晶表示)
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P,CNTA:2P)を保有(室内基板上)
	加湿器				ー(気化式加湿器取付可能)
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機:防振ゴム,外板:吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0 (R32) [主管配管30m分封入済]
		冷凍機油封入量		L	1.00 (M-MB75)
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷:145,暖:130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(13)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機:防振ゴム,吸音断熱材巻付
配管寸法(外径)	冷媒配管(10)	液管(8)		mm	室内接続:φ6.35 (フレア),分岐管②①:φ9.52,主管:φ9.52,室外接続:φ9.52 (フレア)
		ガス管			室内接続:φ12.7 (フレア),分岐管②:φ12.7,①:φ15.88,主管:φ25.4,室外接続:φ25.4 (ろう付)
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm²	8.0 × 3本 (26m)
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A	50
	開閉器容量(ヒューズ容量)				60 (50)
	アース線サイズ			mm²	3.5以上 (M5)
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0 (φ1.6mm) × 3本 (～70m) ,3.5 × 3本 (～120m)
設計圧力				MPa	高圧部:4.15,低圧部:2.26
法定冷凍能力				トン	3.65 (届出不要)
IPコード					室内:IPXO ,室外:IPX4
保護装置					高圧スイッチ,低圧センサ,吐出管温度センサ,吸入管温度センサ,熱交温度センサ,電流センサ,ヒューズ,ファンモータマイコン式過負荷保護,フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力,通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は,適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し,反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け,表示値より大きくなるのが普通です。なお,室外ユニットは本体前方1m,高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの( )内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.040kW × 4台
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し,その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合,主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間,②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は,必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット,DIS-WC1Gを1セット(別売品)を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
(11) 室内ユニットは共用タイプ(P40,P45,P50,P56用)で,室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され,上記の仕様で運転します。
(12) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合,フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し,管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(d) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTSZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSZ-HK〕

PJC001Z530/C

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSZ406HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP406HK	FDTSZ456HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP456HK	FDTSZ506HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP506HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.8	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.86	0.88
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.8	5.7	6.5
		暖房			4.9	5.9	6.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.848	1.02	1.21
			中間		0.280（中温：0.223）	0.290（中温：0.250）	0.344（中温：0.297）
			最小中温		0.177	0.177	0.177
		暖房	定格標準		0.865（最小：0.209）	1.10（最小：0.218）	1.19（最小：0.242）
			中間		0.310	0.357	0.385
			最大低温		1.68	1.76	2.50
	力率			%	冷：88，暖：88	冷：89，暖：93	冷：93，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.25，中間：6.07	定格：3.92，中間：6.21	定格：3.72，中間：6.10
		暖房			定格：4.62，中間：5.81	定格：4.09，中間：5.88	定格：4.20，中間：5.97
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.0	5.9	5.9
		（2006）			5.7	5.6	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)		
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m^3/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P40，P45形：0.04kW × 1台，P50形：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSZ566HK6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCZP566HK	FDTSZ636HK6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCZP636HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	8.4
		暖房			7.2	8.6
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.59
			中間		0.410（中温：0.352）	0.460（中温：0.410）
			最小中温		0.187	0.197
		暖房	定格標準		1.35（最小：0.271）	1.64（最小：0.300）
			中間		0.445	0.500
			最大低温		2.74	2.48
	力率			%	冷：94，暖：94	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：5.61	定格：3.52，中間：5.65
		暖房			定格：4.15，中間：5.84	定格：3.84，中間：5.80
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.5
		（2006）			5.3	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：63，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：48，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)	
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5	P急：16，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.06kW × 1台，P63形：0.08kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTS-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSZ806HK6S 室内：FDTSZP806S 室外：FDCZP806HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.7
		暖房			10.9
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.93
			中間		0.602（中温：0.495）
			最小中温		0.241
		暖房	定格標準		2.16（最小：0.381）
			中間		0.690
			最大低温		3.42
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.68，中間：5.32
		暖房			定格：3.70，中間：5.22
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4
		（2006）			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.09kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTSZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSZ406H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP406H	FDTSZ456H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP456H	FDTSZ506H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP506H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.8	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.86	0.88
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.8	3.4	3.9
		暖房			2.9	3.6	3.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.840	1.01	1.19
			中間		0.278（中温：0.221）	0.288（中温：0.248）	0.343（中温：0.295）
			最小中温		0.175	0.175	0.175
		暖房	定格標準		0.860（最小：0.206）	1.09（最小：0.217）	1.17（最小：0.240）
			中間		0.307	0.353	0.384
			最大低温		1.67	1.75	2.49
	力率			%	冷：87，暖：86	冷：86，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.29，中間：6.12	定格：3.96，中間：6.25	定格：3.78，中間：6.12
		暖房			定格：4.65，中間：5.86	定格：4.13，中間：5.95	定格：4.27，中間：5.99
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	6.0	6.0
		（2006）			5.8	5.7	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)		
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m^3/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40，P45形：0.04kW × 1台，P50形：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTSZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSZ566H6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCZP566H	FDTSZ636H6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCZP636H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5	4.8
		暖房			4.2	4.9
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.38	1.58
			中間		0.407（中温：0.350）	0.457（中温：0.415）
			最小中温		0.185	0.196
		暖房	定格標準		1.34（最小：0.269）	1.63（最小：0.295）
			中間		0.441	0.495
			最大低温		2.73	2.47
	力率			%	冷：89，暖：92	冷：95，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.62，中間：5.65	定格：3.54，中間：5.69
		暖房			定格：4.18，中間：5.90	定格：3.87，中間：5.86
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.6
		（2006）			5.4	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：63，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：48，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)	
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5	P急：16，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.06kW×1台，P63形：0.08kW×1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTSZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ806H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP806S 室外：FDCZP806H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.0
		暖房			6.8
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.90
			中間		0.592（中温：0.485）
			最小中温		0.238
		暖房	定格標準		2.11（最小：0.375）
			中間		0.678
			最大低温		3.35
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.74，中間：5.41
		暖房			定格：3.79，中間：5.31
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5
		（2006）			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（34m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.09kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTSZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ806HKP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP506S × 2台 室外：FDCZP806HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8 ～8.0 ］
		中間			3.2（中温：3.3 ）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0 ～ 10.0］（最小：2.0 ）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.0
		暖房			9.5
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.78
			中間		0.568（中温：0.470）
			最小中温		0.281
		暖房	定格標準		1.88 （最小：0.414）
			中間		0.633
			最大低温		3.43
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.99，中間：5.63
		暖房			定格：4.26，中間：5.69
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6
		（2006）			5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：13，急：12 ，強：11 ，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管(8)	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.04kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTSZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ806HP6S	FDTSZ1126HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP506S × 2台 室外：FDCZP806H	室内：FDTSZP636S × 2台 室外：FDCZP1126H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8 ～8.0 ］	10.0［2.5 ～11.2］
		中間			3.2（中温：3.3）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			1.8	2.5
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0 ～ 10.0］（最小：2.0）	11.2［3.2 ～14.3 ］（最小：3.2）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.1	12.0
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.5	7.2
		暖房			5.9	7.9
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.74	2.37
			中間		0.560（中温：0.463）	0.780（中温：0.650）
			最小中温		0.269	0.360
		暖房	定格標準		1.84 （最小：0.407）	2.60 （最小：0.610）
			中間		0.623	0.910
			最大低温		3.36	5.30
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.08，中間：5.71	定格：4.22，中間：5.77
		暖房			定格：4.35，中間：5.78	定格：4.31，中間：5.60
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.7
		（2006）			5.5	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：60，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：45，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)	
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710	
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6	本体：28，標準パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：13，急：12 ，強：11，弱：9.5	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	50
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370	1505×970×370
		梱包			975×1020×452	1635×1020×452
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管(8)	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（34m）	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	2.16（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80形：0.04kW × 2台，P112形：0.06kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）および共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDTSZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTSZ1406HP6S	FDTSZ1606HP6S
					室内：FDTSZP806S × 2台 室外：FDCZP1406H	室内：FDTSZP806S × 2台 室外：FDCZP1606H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.2 ～ 14.0］	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5 ～ 18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.69	0.65
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.8	13.5
		暖房			11.6	14.4
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.56	4.43
			中間		1.05（中温：0.890）	1.18（中温：1.04 ）
			最小中温		0.420	0.490
		暖房	定格標準		3.81（最小：0.645）	4.75（最小：0.765）
			中間		1.20	1.40
			最大低温		6.20	6.20
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.51，中間：5.43	定格：3.16，中間：5.34
		暖房			定格：3.67，中間：5.25	定格：3.37，中間：5.14
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.1
		（2006）			5.0	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：61，強：56，弱：51	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：49，急：46，強：41，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)	
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：17，急：15 ，強：12，弱：10	P急：18，急：15 ，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	70	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370	
		梱包			1635×1020×452	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.09kW × 2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDTSZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTSZ1606HT6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP506S × 3台 室外：FDCZP1606H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			6.3（中温：6.6）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.5
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.4
		暖房			12.9
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.08
			中間		1.12（中温：0.990）
			最小中温		0.490
		暖房	定格標準		4.25（最小：0.770）
			中間		1.33
			最大低温		6.20
	力率			%	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.43，中間：5.63
		暖房			定格：3.76，中間：5.41
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4
		（2006）			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 3台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDTSZ-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDTSZ2246HT6S
項目 ＼ 形式						室内：FDTSZP806S × 3台 室外：FDCZP2246H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付					TS-PSA-3AW × 3枚
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	20.0［6.0 ～22.4］
		中間				9.0（中温：9.3）
		最小中温				6.0
	暖房能力	定格標準				22.4［5.6 ～ 28.0］（最小：5.6）
		中間				10.1
		最大低温				20.0
定格冷房時の顕熱比						0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	19.9
		暖房				19.6
	始動電流（最大電流）					5（39）
	消費電力	冷房	定格		kW	6.64
			中間			1.83（中温：1.58）
			最小中温			1.02
		暖房	定格標準			6.55（最小：1.06）
			中間			1.93
			最大低温			9.40
	力率				%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.01，中間：4.82
		暖房				定格：3.42，中間：5.23
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.0
		（2006）				4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル				P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル				冷：76，暖：74
		音圧レベル				冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650 (5)
		梱包				本体：298×1324×651，パネル：360×735×710
	製品質量				kg	本体：28，標準パネル：6
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×4
		風量			m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	70
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	新鮮空気取入口					背面を利用して可能
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1505×970×370
		梱包				1635×1020×452
	製品質量				kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5141SBE1×1
			電動機出力		kW	4.5
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量			m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力		W	86×2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)			mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管				室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	8.0×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）					60（50）
	アース線サイズ				mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	3.65（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の壁音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.090kW × 3台
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(e) 天埋カセテリア（FDRZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

PJG000Z862 D

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRZ406HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP406HK		FDRZ456HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP456HK		FDRZ506HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP506HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW
リモートコントローラ					RC-DX3D					
電源					単相 200V 50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]		4.0 [1.3 ～ 4.5]		4.5 [1.3 ～ 5.0]	
		中間			1.7（中温：1.8）		1.8（中温：1.9）		2.1（中温：2.2）	
		最小中温			1.3		1.3		1.3	
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）		4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）		5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）	
		中間			1.8		2.1		2.3	
		最大低温			4.6		4.6		5.2	
定格冷房時の顕熱比					0.84		0.80		0.75	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.9		5.8		6.9	
		暖房			4.9		5.8		6.7	
	始動電流（最大電流）				5（17）		5（17）		5（17）	
	消費電力	冷房	定格	kW	0.850		1.00		1.20	
			中間		0.320（中温：0.270）		0.339（中温：0.290）		0.408（中温：0.355）	
			最小中温		0.180		0.180		0.180	
		暖房	定格標準		0.860（最小：0.195）		1.02（最小：0.230）		1.20（最小：0.260）	
			中間		0.328		0.385		0.432	
			最大低温		1.60		1.60		2.05	
	力率			%	冷：86，暖：87		冷：86，暖：88		冷：87，暖：90	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.24，中間：5.31		定格：4.00，中間：5.31		定格：3.75，中間：5.15	
		暖房			定格：4.65，中間：5.49		定格：4.41，中間：5.45		定格：4.17，中間：5.32	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6		5.5		5.3	
		（2006）			5.4		5.3		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60		冷：60，暖：61		冷：60，暖：61	
		音圧レベル			冷：44，暖：45		冷：45，暖：45		冷：45，暖：46	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）× 750 × 635，キャンバスパネル仕様：279（348 ＋α）× 750 × 635 (5) (6)					
		本体梱包			321 × 936 × 799					
		パネル			295 ページをご覧ください。					
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1					
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8					
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)					
		電動機	定格出力	W	100					
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）					
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290					
		梱包			687 × 921 × 370					
	製品質量			kg	47					
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1					
			電動機出力	kW	0.6		0.8		0.9	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式					
		冷媒制御器			電子膨張弁					
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］					
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1					
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33					
		電動機	定格出力	W	34					
	クランクケースヒータ			W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）					
		ガス管			φ12.7（フレア接続）					
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）× 2本（18m）					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30					
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）					
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本					
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）		0.83（届出不要）		1.08（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4					
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）

(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ566HK6S		FDRZ636HK6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S 室外：FDCZP566HK		室内：FDRZP636S 室外：FDCZP636HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D			
電源					単相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]		5.6 [1.4 ～ 6.3]	
		中間			2.3（中温：2.4）		2.6（中温：2.7）	
		最小中温			1.3		1.4	
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）		6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）	
		中間			2.6		2.9	
		最大低温			5.4		5.8	
定格冷房時の顕熱比					0.75		0.87	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.6		9.6	
		暖房			7.9		8.0	
	始動電流（最大電流）				5（17）		5（18）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39		1.76	
			中間		0.469（中温：0.414）		0.484（中温：0.410）	
			最小中温		0.200		0.195	
		暖房	定格標準		1.45（最小：0.270）		1.52（最小：0.270）	
			中間		0.487		0.475	
			最大低温		2.30		2.43	
	力率			%	冷：91，暖：92		冷：92，暖：95	
	工ネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：4.90		定格：3.18，中間：5.37	
		暖房			定格：3.86，中間：5.34		定格：4.14，中間：6.11	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2		5.7	
		(2006)			4.9		5.3	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：64，暖：61		冷：63，暖：64	
		音圧レベル			冷：49，暖：47		冷：49，暖：49	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	279（348）×750×635 (5)	279（348＋α）×750×635 (5)(6)	279（348）×950×635 (5)	279（348＋α）×950×635 (5)(6)
		本体梱包			321×936×799		321×1136×799	
		パネル			295 ページをご覧ください。			
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）			
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（P63形キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2（P63形：3）スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290			
		梱包			687×921×370			
	製品質量			kg	47			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1			
			電動機出力	kW	1.0		1.2	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1			
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33		冷：38，暖：38	
		電動機	定格出力	W	34			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）			
		ガス管			φ12.7（フレア接続）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）×2本（18m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）			
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）		1.12（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRZ806HK6S 室内：FDRZP806S 室外：FDCZP806HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	
		中間			3.6	
		最大低温			8.1	
定格冷房時の顕熱比					0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.8	
		暖房			9.9	
	始動電流（最大電流）				5（20）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.94	
			中間		0.592（中温：0.467）	
			最小中温		0.269	
		暖房	定格標準		1.96（最小：0.416）	
			中間		0.661	
			最大低温		2.99	
	力率			%	冷：99，暖：99	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.66，中間：5.41	
		暖房			定格：4.08，中間：5.45	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	
		（2006）			5.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×950×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×950×635 (5) (6)	
		本体梱包			321×1136×799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370	
		梱包			975×1020×452	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRZ406H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP406H		FDRZ456H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP456H		FDRZ506H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP506H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW
リモートコントローラ					RC-DX3D					
電源					三相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］		4.0［1.3～4.5］		4.5［1.3～5.0］	
		中間			1.7（中温：1.8）		1.8（中温：1.9）		2.1（中温：2.2）	
		最小中温			1.3		1.3		1.3	
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）		4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）		5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）	
		中間			1.8		2.1		2.3	
		最大低温			4.6		4.6		5.2	
定格冷房時の顕熱比					0.84		0.80		0.75	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9		3.3		3.9	
		暖房			2.9		3.5		3.9	
	始動電流（最大電流）				5（13）		5（13）		5（13）	
	消費電力	冷房	定格	kW	0.840		1.00		1.19	
			中間		0.318（中温：0.268）		0.338（中温：0.289）		0.407（中温：0.352）	
			最小中温		0.180		0.180		0.180	
		暖房	定格標準		0.850（最小：0.195）		1.02（最小：0.230）		1.20（最小：0.260）	
			中間		0.327		0.383		0.430	
			最大低温		1.60		1.60		2.05	
	力率			%	冷：85，暖：85		冷：87，暖：85		冷：88，暖：88	
	工ネルギー消費効率	冷房			定格：4.29，中間：5.35		定格：4.00，中間：5.33		定格：3.78，中間：5.16	
		暖房			定格：4.71，中間：5.50		定格：4.41，中間：5.48		定格：4.17，中間：5.35	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6		5.5		5.3	
		（2006）			5.5		5.4		5.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60		冷：60，暖：61		冷：60，暖：61	
		音圧レベル			冷：44，暖：45		冷：45，暖：45		冷：45，暖：46	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×750×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×750×635 (5) (6)					
		本体梱包			321×936×799					
		パネル			295 ページをご覧ください。					
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1					
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8					
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)					
		電動機	定格出力	W	100					
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）					
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290					
		梱包			687×921×370					
	製品質量			kg	46					
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1					
			電動機出力	kW	0.6		0.8		0.9	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式					
		冷媒制御器			電子膨張弁					
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］					
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1					
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33					
		電動機	定格出力	W	34					
	クランクケースヒータ			W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）					
		ガス管			φ12.7（フレア接続）					
	排水口				［室内］VP25の排水管の接続可能［室外］内径φ20mmの排水穴×5個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20					
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）					
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本					
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）		0.83（届出不要）		1.08（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4					
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式						FDRZ566H6S		FDRZ636H6S	
項目 ＼ 形式						室内：FDRZP566S 室外：FDCZP566H		室内：FDRZP636S 室外：FDCZP636H	
吸込パネル						サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）						R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ						RC-DX3D			
電源						三相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格			kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]		5.6 [1.4 ～ 6.3]	
		中間				2.3（中温：2.4）		2.6（中温：2.7）	
		最小中温				1.3		1.4	
	暖房能力	定格標準				5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）		6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）	
		中間				2.6		2.9	
		最大低温				5.4		5.8	
定格冷房時の顕熱比						0.75		0.87	
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	4.5		5.7	
		暖房				4.5		4.8	
	始動電流（最大電流）					5（13）		5（14）	
	消費電力	冷房	定格		kW	1.39		1.75	
			中間			0.468（中温：0.413）		0.486（中温：0.413）	
			最小中温			0.200		0.194	
		暖房	定格標準			1.45（最小：0.270）		1.51（最小：0.268）	
			中間			0.486		0.468	
			最大低温			2.30		2.42	
	力率				%	冷：89，暖：92		冷：89，暖：91	
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.60，中間：4.91		定格：3.20，中間：5.35	
		暖房				定格：3.86，中間：5.35		定格：4.17，中間：6.20	
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.2		5.8	
		（2006）				5.0		5.4	
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル				P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル				冷：64，暖：61		冷：63，暖：64	
		音圧レベル				冷：49，暖：47		冷：49，暖：49	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体			mm	279（348）×750×635 (5)	279（348＋α）×750×635 (5) (6)	279（348）×950×635 (5)	279（348＋α）×950×635 (5) (6)
		本体梱包				321 × 936 × 799		321 × 1136 × 799	
		パネル				295 ページをご覧ください。			
	製品質量				kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器					アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 1（P63形：2）			
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：10（P63形キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)			
		電動機	定格出力		W	100		130	
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口					前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2（P63形：3）スポット接続）			
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640 × 800（+71）× 290			
		梱包				687 × 921 × 370			
	製品質量				kg	46			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5113SWE11 × 1			
			電動機出力		kW	1.0		1.2	
		空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器				電子膨張弁			
		冷媒封入量			kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1			
		風量			m^3/min	冷：38，暖：33		冷：38，暖：38	
		電動機	定格出力		W	34			
	クランクケースヒータ				W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ6.35（フレア接続）			
		ガス管				φ12.7（フレア接続）			
	排水口					［室内］VP25の排水管の接続可能［室外］内径φ20mmの排水穴×5個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）		3.5（φ2.0mm）×3本（32m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	20			
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（20）			
	アース線サイズ				mm²	2.0以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線				mm²	2.0（φ1.6mm）×3本			
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力					トン	1.12（届出不要）		1.12（届出不要）	
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ806H6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S 室外：FDCZP806H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	
		中間			3.6	
		最大低温			8.1	
定格冷房時の顕熱比					0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.0	
		暖房			6.2	
	始動電流（最大電流）				5（15）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.90	
			中間		0.582（中温：0.460）	
			最小中温		0.265	
		暖房	定格標準		1.92（最小：0.410）	
			中間		0.651	
			最大低温		2.97	
	力率			%	冷：91，暖：89	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.74，中間：5.50	
		暖房			定格：4.17，中間：5.53	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	
		（2006）			5.3	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×950×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×950×635 (5) (6)	
		本体梱包			321×1136×799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370	
		梱包			975×1020×452	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				［室内］VP25の排水管の接続可能［室外］内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（30m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRZ1126H6S	FDRZ1406H6S	FDRZ1606H6S
					室内：FDRZP1126S 室外：FDCZP1126H	室内：FDRZP1606S 室外：FDCZP1406H	室内：FDRZP1606S 室外：FDCZP1406H
吸込パネル					サイレントパネル / キャンバスパネル	サイレントパネル / キャンバスパネル	サイレントパネル / キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-4AW / R-PNC-4AW	R-PNS-4AW / R-PNC-4AW	R-PNS-4AW / R-PNC-4AW
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.5）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.2	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	11.2	13.0
		暖房			8.4	12.0	13.1
	始動電流（最大電流）				5（25）	5（26）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.44	3.70	4.28
			中間		0.766（中温：0.680）	1.05（中温：0.940）	1.20（中温：1.05）
			最小中温		0.350	0.445	0.505
		暖房	定格標準		2.75（最小：0.541）	3.95（最小：0.705）	4.32（最小：0.830）
			中間		0.932	1.23	1.45
			最大低温		5.45	6.04	6.10
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.10，中間：5.87	定格：3.38，中間：5.43	定格：3.27，中間：5.25
		暖房			定格：4.07，中間：5.47	定格：3.54，中間：5.12	定格：3.70，中間：4.97
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	5.1	5.0
		(2006)			5.4	4.9	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：56	P急：71，急：66，強：63，弱：57	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58	P急：74，急：68，強：63，弱：58	P急：75，急：69，強：64，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：44，強：41，弱：35	P急：50，急：45，強：42，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37	P急：53，急：47，強：42，弱：37	P急：54，急：48，強：43，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×1368×738，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×1368×738 (5) (6)		
		本体梱包			359×1554×902		
		パネル			295 ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3		
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：25，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)		
		電動機	定格出力	W	100+130	100+200	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×4 スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370		
		梱包			1635×1020×452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	5.5×3本（26m）		5.5×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）		
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：P112形：0.22kW×1台，P140形：0.26kW×1台，P160形：0.40kW×1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.30kW（静圧100Pa）×1台，P140形：最大0.36kW（静圧100Pa）×1台，P160形：最大0.44kW（静圧100Pa）×1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ806HKP6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S × 2台 室外：FDCZP806HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 2枚	R-PNC-2AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8 ～ 8.0］	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1 ～ 10.0］（最小：2.1）	
		中間			3.6	
		最大低温			8.1	
定格冷房時の顕熱比					0.88	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.4	
		暖房			9.5	
	始動電流（最大電流）				5（20）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.86	
			中間		0.589（中温：0.470）	
			最小中温		0.257	
		暖房	定格標準		1.88 （最小：0.423）	
			中間		0.671	
			最大低温		2.99	
	力率			%	冷：99，暖：99	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.82，中間：5.43	
		暖房			定格：4.26，中間：5.37	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	
		（2006）			5.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×750×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×750×635 (5) (6)	
		本体梱包			321 × 936 × 799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(12)	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845 × 970 × 370	
		梱包			975× 1020× 452	
	製品質量			kg	70	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	
			電動機出力	kW	1.4	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	
		電動機	定格出力	W	86	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 2本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ806HP6S		FDRZ1126HP6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S × 2台 室外：FDCZP806H		室内：FDRZP636S × 2台 室外：FDCZP1126H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 2枚	R-PNC-2AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3D			
電源					三相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.8 ～ 8.0]		10.0 [2.7 ～ 11.2]	
		中間			3.2（中温：3.3）		4.5（中温：4.6）	
		最小中温			1.8		2.7	
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.1 ～ 10.0]（最小：2.1）		11.2 [2.9 ～ 14.3]（最小：2.9）	
		中間			3.6		5.1	
		最大低温			8.1		13.0	
定格冷房時の顕熱比					0.88		0.93	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.8		7.4	
		暖房			5.9		7.5	
	始動電流（最大電流）				5（15）		5（25）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.83		2.45	
			中間		0.580（中温：0.462）		0.730（中温：0.600）	
			最小中温		0.252		0.360	
		暖房	定格標準		1.84 （最小：0.414）		2.51 （最小：0.535）	
			中間		0.660		0.905	
			最大低温		2.97		5.10	
	力率			%	冷：91，暖：90		冷：96，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.88，中間：5.52		定格：4.08，中間：6.16	
		暖房			定格：4.35，中間：5.45		定格：4.46，中間：5.64	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6		5.9	
		(2006)			5.3		5.6	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66		冷：66，暖：66	
		音圧レベル			冷：48，暖：48		冷：49，暖：50	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×750（P63形：950）×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×750（P63形：950）×635 (5) (6)			
		本体梱包			321 × 936（P63形：1136）× 799			
		パネル			295 ページをご覧ください。			
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1		シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(12)			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）		前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845 × 970 × 370		1505 × 970 × 370	
		梱包			975 × 1020 × 452		1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	70		115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	1.4		2.0	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］		4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）		0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48		冷：92，暖：92	
		電動機	定格出力	W	86		86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(11)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）			
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5 × 3本（30m）		5.5 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		40	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		60（40）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本		2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 ×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）		2.16（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80形：0.07kW × 2台，P112形：0.1kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 2台，P112形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ1406HP6S		FDRZ1606HP6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCZP1406H		室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCZP1606H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3D			
電源					三相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5 [3.2 ～ 14.0]		14.0 [3.5 ～ 16.0]	
		中間			5.7（中温：5.8）		6.3（中温：6.4）	
		最小中温			3.2		3.5	
	暖房能力	定格標準			14.0 [3.5 ～ 18.3]（最小：3.5）		16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）	
		中間			6.3		7.2	
		最大低温			15.0		15.0	
定格冷房時の顕熱比					0.89		0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.0		12.5	
		暖房			10.3		12.8	
	始動電流（最大電流）				5（27）			
	消費電力	冷房	定格	kW	3.30		4.10	
			中間		0.935（中温：0.815）		1.08（中温：0.955）	
			最小中温		0.415		0.450	
		暖房	定格標準		3.39（最小：0.655）		4.21（最小：0.770）	
			中間		1.27		1.34	
			最大低温		6.20		6.20	
	力率			%	冷：95，暖：95		冷：95，暖：95	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.79，中間：6.10		定格：3.41，中間：5.83	
		暖房			定格：4.13，中間：4.96		定格：3.80，中間：5.37	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5		5.4	
		(2006)			5.2		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32	P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69		冷：68，暖：70	
		音圧レベル			冷：50，暖：52		冷：52，暖：53	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×950×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×950×635 (5) (6)			
		本体梱包			321 × 1136 × 799			
		パネル			295 ページをご覧ください。			
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン ×2			
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10			
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(12)			
		電動機	定格出力	W	130			
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト ×3 スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370			
		梱包			1635 × 1020 × 452			
	製品質量			kg	115			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1			
			電動機出力	kW	2.7		3.4	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン ×2			
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100	
		電動機	定格出力	W	86 × 2			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(11)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）			
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	5.5 × 3本（26m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）			
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）		2.34（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分がα+されます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.14kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ2246HP6S 室内：FDRZP1126S × 2台 室外：FDCZP2246H		FDRZ2806HP6S 室内：FDRZP1606S × 2台 室外：FDCZP2806H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-4AW × 2枚	R-PNC-4AW × 2枚	R-PNS-4AW × 2枚	R-PNC-4AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3D			
電源					三相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0 ～ 22.4］		25.0［6.3 ～ 28.0］	
		中間			9.0（中温：9.2）		11.3（中温：11.2）	
		最小中温			6.0		6.3	
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6 ～ 28.0］（最小：5.6）		28.0［7.0 ～ 31.5］（最小：7.0）	
		中間			10.1		12.6	
		最大低温			20.0		21.2	
定格冷房時の顕熱比					0.75		0.69	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.5		29.4	
		暖房			17.2		24.6	
	始動電流（最大電流）				5（43）		5（43）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.18		9.79	
			中間		1.86（中温：1.62）		2.55（中温：2.23）	
			最小中温		0.878		0.908	
		暖房	定格標準		5.74（最小：1.05）		8.20（最小：1.35）	
			中間		1.92		2.50	
			最大低温		8.90		8.90	
	力率			%	冷：96，暖：96		冷：96，暖：96	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.24，中間：4.84		定格：2.55，中間：4.43	
		暖房			定格：3.90，中間：5.26		定格：3.41，中間：5.04	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1		4.6	
		（2006）			4.7		4.3	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：56	P急：71，急：66，強：63，弱：57	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58
		音圧レベル			P急：49，急：44，強：41，弱：35	P急：50，急：45，強：42，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74		冷：80，暖：78	
		音圧レベル			冷：62，暖：60		冷：66，暖：64	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）× 1368 × 738，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）× 1368× 738 (5) (6)			
		本体梱包			358 × 1554 × 902			
		パネル			295 ページをご覧ください。			
	製品質量			kg	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3			
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19		P急：39，急：32，強：25，弱：20	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(13)			
		電動機	定格出力	W	100 ＋ 130		100 ＋ 200	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 4 スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370			
		梱包			1635 × 1020 × 452			
	製品質量			kg	130			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1			
			電動機出力	kW	4.5		7.3	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2			
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130		冷：145，暖：148	
		電動機	定格出力	W	86 × 2			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(9)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））			
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（42m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）			
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）			
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：P224形：0.220kW × 2台，P280形：0.260kW × 2台［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P224形：最大0.300kW（静圧100Pa）× 2台，P280形：最大0.360kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット:3台，室外ユニット:1台）〔FDRZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ1606HT6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S × 3台 室外：FDCZP1606H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 3枚	R-PNC-2AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5 ～ 16.0］	
		中間			6.3（中温：6.5）	
		最小中温			3.5	
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）	
		中間			7.2	
		最大低温			15.0	
定格冷房時の顕熱比					0.76	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	13.3	
		暖房			13.2	
	始動電流（最大電流）				5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	4.38	
			中間		1.19（中温：1.05 ）	
			最小中温		0.490	
		暖房	定格標準		4.34（最小：0.770）	
			中間		1.39	
			最大低温		6.20	
	力率			%	冷：95，暖：95	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.20，中間：5.29	
		暖房			定格：3.69，中間：5.18	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2	
		(2006)			4.9	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68，暖：70	
		音圧レベル			冷：52，暖：53	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×750×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×750×635 (5) (6)	
		本体梱包			321 × 936 × 799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(12)	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	3.4	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：100	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分がα＋されます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 3台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 3台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDRZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ2246HT6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 3台 室外：FDCZP2246H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 3枚	R-PNC-3AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］	
		中間			9.0（中温：9.3）	
		最小中温			6.0	
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）	
		中間			10.1	
		最大低温			20.0	
定格冷房時の顕熱比					0.89	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.5	
		暖房			16.4	
	始動電流（最大電流）				5（43）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.17	
			中間		1.74（中温：1.50）	
			最小中温		0.907	
		暖房	定格標準		5.46（最小：1.05）	
			中間		1.80	
			最大低温		8.60	
	力率			%	冷：96，暖：96	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.24，中間：5.17	
		暖房			定格：4.10，中間：5.61	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	
		（2006）			5.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	
		音圧レベル			冷：62，暖：60	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×950×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×950×635 (5) (6)	
		本体梱包			321 × 1136 × 799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(13)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(9)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	14.0 × 3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 3台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 3台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4 台，室外ユニット：1 台）〔FDRZ-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ2246HD6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S × 4台 室外：FDCZP2246H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW × 4枚	R-PNC-2AW × 4枚
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	
		中間			9.0（中温：9.8）	
		最小中温			6.0	
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	
		中間			10.1	
		最大低温			20.0	
定格冷房時の顕熱比					0.69	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	19.9	
		暖房			19.0	
	始動電流（最大電流）				5（43）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.62	
			中間		1.91（中温：1.77）	
			最小中温		1.03	
		暖房	定格標準		6.32（最小：1.10）	
			中間		1.99	
			最大低温		9.50	
	力率			%	冷：96，暖：96	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.02，中間：4.71	
		暖房			定格：3.54，中間：5.08	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.8	
		（2006）			4.5	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	
		音圧レベル			冷：62，暖：60	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×750×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×750×635 (5) (6)	
		本体梱包			321 × 936 × 799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(14)	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(13)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(11)（外径）	液管(9)		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.070kW × 4台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 4台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) 冷媒配管の分岐管①は第１分岐～第２分岐の間，②は第２分岐～室内ユニットの間を示します。
(11) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(12) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(14) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(15) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(16) 総配管長は105m以内となります。
(17) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ2806HD6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 4台 室外：FDCZP2806H	
吸込パネル形式（別売品）					サイレントパネル	キャンバスパネル
					R-PNS-3AW × 4枚	R-PNC-3AW × 4枚
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0［6.3～28.0］	
		中間			11.3（中温：11.6）	
		最小中温			6.3	
	暖房能力	定格標準			28.0［7.0～31.5］（最小：7.0）	
		中間			12.6	
		最大低温			21.2	
定格冷房時の顕熱比					0.94	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	26.1	
		暖房			22.0	
	始動電流（最大電流）				5（43）	
	消費電力	冷房	定格	kW	8.71	
			中間		2.23（中温：1.90）	
			最小中温		0.892	
		暖房	定格標準		7.34（最小：1.23）	
			中間		2.27	
			最大低温		8.10	
	力率			%	冷：96，暖：96	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.87，中間：5.07	
		暖房			定格：3.81，中間：5.55	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.3	
		(2006)			4.5	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：78	
		音圧レベル			冷：62，暖：64	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×950×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×950×635 (5) (6)	
		本体梱包			321×1136×799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(13)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370	
		梱包			1635×1020×452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1	
			電動機出力	kW	7.3	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：148	
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0×3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 4台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 4台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

■天井リターン設置仕様（オプション）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

PJG000Z862 D

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ406HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP406HK	FDRZ456HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP456HK	FDRZ506HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP506HK
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.80	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.9	5.8	6.9
		暖房			4.9	5.8	6.7
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（17）	5（17）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.850	1.00	1.20
			中間		0.320（中温：0.270）	0.339（中温：0.290）	0.408（中温：0.355）
			最小中温		0.180	0.180	0.180
		暖房	定格標準		0.860（最小：0.195）	1.02（最小：0.230）	1.20（最小：0.260）
			中間		0.328	0.385	0.432
			最大低温		1.60	1.60	2.05
	力率			%	冷：86，暖：87	冷：86，暖：88	冷：87，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.24，中間：5.31	定格：4.00，中間：5.31	定格：3.75，中間：5.15
		暖房			定格：4.65，中間：5.49	定格：4.41，中間：5.45	定格：4.17，中間：5.32
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.5	5.3
		（2006）			5.4	5.3	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635		
		梱包			321×936×799		
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：95（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）×2本（18m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ566HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP566HK	FDRZ636HK6S 室内：FDRZP636S 室外：FDCZP636HK
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）	R-FL-3A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.4	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.6	9.6
		暖房			7.9	8.0
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.76
			中間		0.469（中温：0.414）	0.484（中温：0.410）
			最小中温		0.200	0.195
		暖房	定格標準		1.45（最小：0.270）	1.52（最小：0.270）
			中間		0.487	0.475
			最大低温		2.30	2.43
	力率			%	冷：91，暖：92	冷：92，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：4.90	定格：3.18，中間：5.37
		暖房			定格：3.86，中間：5.34	定格：4.14，中間：6.11
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2	5.7
		(2006)			4.9	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：64，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	(279 + 37) × 750 × 635	(279 + 37) × 950 × 635
		梱包			321 × 936 × 799	321 × 1136 × 799
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン ×1（P63形：2）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 (P63形：3) スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm, 背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800 (+71) × 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）× 2本（18m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P56形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P63形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ806HK6S 室内：FDRZP806S 室外：FDCZP806HK
天井リターンキット					R-FL-3A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.8
		暖房			9.9
	始動電流（最大電流）				5（20）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.94
			中間		0.592（中温：0.467）
			最小中温		0.269
		暖房	定格標準		1.96（最小：0.416）
			中間		0.661
			最大低温		2.99
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.66，中間：5.41
		暖房			定格：4.08，中間：5.45
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5
		（2006）			5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×950×635
		梱包			321×1136×799
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（18m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ406H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP406H	FDRZ456H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP456H	FDRZ506H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP506H
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.80	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9	3.3	3.9
		暖房			2.9	3.5	3.9
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）	5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.840	1.00	1.19
			中間		0.318（中温：0.268）	0.338（中温：0.289）	0.407（中温：0.352）
			最小中温		0.180	0.180	0.180
		暖房	定格標準		0.850（最小：0.195）	1.02（最小：0.230）	1.20（最小：0.260）
			中間		0.327	0.383	0.430
			最大低温		1.60	1.60	2.05
	力率			%	冷：85，暖：85	冷：87，暖：85	冷：88，暖：88
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.29，中間：5.35	定格：4.00，中間：5.33	定格：3.78，中間：5.16
		暖房			定格：4.71，中間：5.50	定格：4.41，中間：5.48	定格：4.17，中間：5.35
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.5	5.3
		（2006）			5.5	5.4	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635		
		梱包			321×936×799		
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：95（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（冷媒配管（外径））	液管			mm	φ6.35（フレア接続）		
	ガス管				φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRZ566H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP566H	FDRZ636H6S 室内：FDRZP636S 室外：FDCZP636H
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）	R-FL-3A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.4	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5	5.7
		暖房			4.5	4.8
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（14）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.75
			中間		0.468（中温：0.413）	0.486（中温：0.413）
			最小中温		0.200	0.194
		暖房	定格標準		1.45（最小：0.270）	1.51（最小：0.268）
			中間		0.486	0.468
			最大低温		2.30	2.42
	力率			%	冷：89，暖：92	冷：89，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：4.91	定格：3.20，中間：5.35
		暖房			定格：3.86，中間：5.35	定格：4.17，中間：6.20
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	5.8
		（2006）			5.0	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：64，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635	（279＋37）×950×635
		梱包			321×936×799	321×1136×799
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2　(P63形：3) スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）	3.5（φ2.0mm）×3本（32m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P56形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P63形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW×1台，P63形：0.1kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧95Pa）×1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ806H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S 室外：FDCZP806H
天井リターンキット					R-FL-3A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.0
		暖房			6.2
	始動電流（最大電流）				5（15）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.90
			中間		0.582（中温：0.460）
			最小中温		0.265
		暖房	定格標準		1.92（最小：0.410）
			中間		0.651
			最大低温		2.97
	力率			%	冷：91，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.74，中間：5.50
		暖房			定格：4.17，中間：5.53
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6
		(2006)			5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×950×635
		梱包			321×1136×799
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3Pスポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ1126H6S	FDRZ1406H6S	FDRZ1606H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP1126S 室外：FDCZP1126H	室内：FDRZP1606S 室外：FDCZP1406H	室内：FDRZP1606S 室外：FDCZP1606H
天井リターンキット					R-FL-4A（外形寸法は295ページをご覧ください。）		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.5）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.2	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	11.2	13.0
		暖房			8.4	12.0	13.1
	始動電流（最大電流）				5（25）	5（26）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.44	3.70	4.28
			中間		0.766（中温：0.680）	1.05（中温：0.940）	1.20（中温：1.05）
			最小中温		0.350	0.445	0.505
		暖房	定格標準		2.75（最小：0.541）	3.95（最小：0.705）	4.32（最小：0.830）
			中間		0.932	1.23	1.45
			最大低温		5.45	6.04	6.10
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.10，中間：5.87	定格：3.38，中間：5.43	定格：3.27，中間：5.25
		暖房			定格：4.07，中間：5.47	定格：3.54，中間：5.12	定格：3.70，中間：4.97
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.1	5.0
		（2006）			5.4	4.9	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：77，急：72，強：68，弱：62	P急：78，急：74，強：68，弱：63	P急：80，急：75，強：69，弱：64
		音圧レベル			P急：56，急：51，強：47，弱：41	P急：57，急：53，強：47，弱：42	P急：59，急：54，強：48，弱：43
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×1368×738		
		梱包			358×1554×902		
	製品質量			kg	本体：54，フィルタキット：3.3		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3		
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：25，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100＋130	100＋200	
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×4スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370		
		梱包			1635×1020×452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）		5.5×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.22kW×1台，P140形：0.26kW×1台，P160形：0.40kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.30kW（静圧100Pa）×1台，P140形：最大0.36kW（静圧100Pa）×1台，P160形：最大0.44kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式						FDRZ806HKP6S
項目 ＼ 形式						室内：FDRZP566S × 2台 室外：FDCZP806HK
天井リターンキット						R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1［1.8 ～8.0］
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0［2.1 ～10.0］（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				8.1
定格冷房時の顕熱比						0.88
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	9.4
		暖房				9.5
	始動電流（最大電流）					5（20）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.86
			中間			0.589（中温：0.470）
			最小中温			0.257
		暖房	定格標準			1.88（最小：0.423）
			中間			0.671
			最大低温			2.99
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.82，中間：5.43
		暖房				定格：4.26，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.5
		（2006）				5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル				P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，暖：66
		音圧レベル				冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	（279＋37）×750×635
		梱包				321×936×799
	製品質量				kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×1
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力		W	100
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	845×970×370
		梱包				975×1020×452
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1.37（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 2台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRZ806HP6S	FDRZ1126HP6S
					室内：FDRZP566S × 2台 室外：FDCZP806H	室内：FDRZP636S × 2台 室外：FDCZP1126H
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）	R-FL-3A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	10.0［2.7～11.2］
		中間			3.2（中温：3.3）	4.5（中温：4.6）
		最小中温			1.8	2.7
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.1	13.0
定格冷房時の顕熱比					0.88	0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.8	7.4
		暖房			5.9	7.5
	始動電流（最大電流）				5（15）	5（25）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.83	2.45
			中間		0.580（中温：0.462）	0.730（中温：0.600）
			最小中温		0.252	0.360
		暖房	定格標準		1.84　（最小：0.414）	2.51　（最小：0.535）
			中間		0.660	0.905
			最大低温		2.97	5.10
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：96，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.88，中間：5.52	定格：4.08，中間：6.16
		暖房			定格：4.35，中間：5.45	定格：4.46，中間：5.64
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.9
		（2006）			5.3	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635	（279＋37）×950×635
		梱包			321×936×799	321×1136×799
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1	シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）	前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370	1505×970×370
		梱包			975×1020×452	1635×1020×452
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（30m）	5.5×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	40
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	60（40）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	φ3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	2.16（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P80形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P112形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形：0.07kW × 2台，P112形：0.1kW× 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80形：最大0.095kW（静圧95Pa）× 2台，P112形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 2台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRZ1406HP6S 室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCZP1406H	FDRZ1606HP6S 室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCZP1606H
天井リターンキット					R-FL-3A（外形寸法は295ページをご覧ください。）	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			15.0	15.0
定格冷房時の顕熱比					0.89	0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.0	12.5
		暖房			10.3	12.8
	始動電流（最大電流）				5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.30	4.10
			中間		0.935（中温：0.815）	1.08（中温：0.955）
			最小中温		0.415	0.450
		暖房	定格標準		3.39（最小：0.655）	4.21（最小：0.770）
			中間		1.27	1.34
			最大低温		6.20	6.20
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.79，中間：6.10	定格：3.41，中間：5.83
		暖房			定格：4.13，中間：4.96	定格：3.80，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	5.4
		（2006）			5.2	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58	
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×950×635	
		梱包			321×1136×799	
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370	
		梱包			1635×1020×452	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.14kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDRZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ2246HP6S	FDRZ2806HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP1126S × 2台 室外：FDCZP2246H	室内：FDRZP1606S × 2台 室外：FDCZP2806H
天井リターンキット					R-FL-4A × 2セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	25.0 [6.3 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.2）	11.3（中温：11.2）
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.5	29.4
		暖房			17.2	24.6
	始動電流（最大電流）				5（43）	5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.18	9.79
			中間		1.86（中温：1.62）	2.55（中温：2.23）
			最小中温		0.878	0.908
		暖房	定格標準		5.74（最小：1.05）	8.20（最小：1.35）
			中間		1.92	2.50
			最大低温		8.90	8.90
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.24，中間：4.84	定格：2.55，中間：4.43
		暖房			定格：3.90，中間：5.26	定格：3.41，中間：5.04
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1	4.6
		（2006）			4.7	4.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：77，急：72，強：68，弱：62	P急：78，急：74，強：68，弱：63
		音圧レベル			P急：56，急：51，強：47，弱：41	P急：57，急：53，強：47，弱：42
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：80，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：66，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）× 1368 × 738	
		梱包			358 × 1554 × 902	
	製品質量			kg	本体：54，フィルタキット：3.3	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3	
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：25，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)	
		電動機	定格出力	W	100 ＋ 130	100 ＋ 200
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 4 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	60	
					60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P224形：0.220kW × 2台，P280形：0.260kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P224形：最大0.030kW（静圧100Pa）× 2台，P280形：最大0.360kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDRZ-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDRZ1606HT6S
項目 ＼ 形式						室内：FDRZP566S × 3台 室外：FDCZP1606H
天井リターンキット						R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	14.0［3.5～16.0］
		中間				6.3（中温：6.5）
		最小中温				3.5
	暖房能力	定格標準				16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間				7.2
		最大低温				15.0
定格冷房時の顕熱比						0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	13.3
		暖房				13.2
	始動電流（最大電流）					5（27）
	消費電力	冷房	定格		kW	4.38
			中間			1.19（中温：1.05）
			最小中温			0.490
		暖房	定格標準			4.34（最小：0.770）
			中間			1.39
			最大低温			6.20
	力率				%	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.20，中間：5.29
		暖房				定格：3.69，中間：5.18
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.2
		（2006）				4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル				P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル				冷：68，暖：70
		音圧レベル				冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	（297＋37）×750×635
		梱包				321×936×799
	製品質量				kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×1
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力		W	100
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1505×970×370
		梱包				1635×1020×452
	製品質量				kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5126SWE2×1
			電動機出力		kW	3.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量			m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力		W	86×2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	5.5×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）				A	40 60（40）
	アース線サイズ				mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	2.34（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 3台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 3台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDRZ-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ2246HT6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 3台 室外：FDCZP2246H
天井リターンキット					R-FL-3A × 3セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.3）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.89
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.5
		暖房			16.4
	始動電流（最大電流）				5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.17
			中間		1.74（中温：1.50）
			最小中温		0.907
		暖房	定格標準		5.46（最小：1.05）
			中間		1.80
			最大低温		8.60
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.24，中間：5.17
		暖房			定格：4.10，中間：5.61
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.3
		(2006)			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×950×635
		梱包			321×1136×799
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	14.0×3本（42m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 3台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 3台となります。］
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ2246HD6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S × 4台 室外：FDCZP2246H
天井リターンキット					R-FL-2A × 4セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.8）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	19.9
		暖房			19.0
	始動電流（最大電流）				5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.62
			中間		1.91（中温：1.77）
			最小中温		1.03
		暖房	定格標準		6.32（最小：1.10）
			中間		1.99
			最大低温		9.50
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.02，中間：4.71
		暖房			定格：3.54，中間：5.08
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.8
		（2006）			4.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635
		梱包			321×936×799
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0×3本（42m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.070kW × 4台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 4台となります。］
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDRZ-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRZ2806HD6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 4台 室外：FDCZP2806H
天井リターンキット					R-FL-3A × 4セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0［6.3～28.0］
		中間			11.3（中温：11.6）
		最小中温			6.3
	暖房能力	定格標準			28.0［7.0～31.5］（最小：7.0）
		中間			12.6
		最大低温			21.2
定格冷房時の顕熱比					0.94
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	26.1
		暖房			22.0
	始動電流（最大電流）				5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	8.71
			中間		2.23（中温：1.90）
			最小中温		0.892
		暖房	定格標準		7.34（最小：1.23）
			中間		2.27
			最大低温		8.10
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.87，中間：5.07
		暖房			定格：3.81，中間：5.55
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3
		（2006）			4.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×950×635
		梱包			321×1136×799
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1
			電動機出力	kW	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0×3本（42m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.140kW × 4台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 4台となります。］

(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。

(9) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(13) 総配管長は105m以内となります。

(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(f) 高静圧ダクト形（FDUZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUZ-HK〕

PJG000Z866 D

項目 ＼ セット形式 ／ 形式						FDUZ506HK6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCZP506HK	FDUZ566HK6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCZP566HK	FDUZ636HK6S 室内：FDUZP636S 室外：FDCZP636HK
リモートコントローラ						RC-DX3D		
電源						単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格			kW	4.5［1.3～5.0］	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間				2.1（中温：2.2）	2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温				1.3	1.3	1.4
	暖房能力	定格標準				5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）	5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間				2.3	2.6	2.9
		最大低温				5.2	5.4	5.8
定格冷房時の顕熱比						0.75	0.75	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.4	7.5	9.5
		暖房				6.4	7.8	8.1
	始動電流（最大電流）					5（17）	5（17）	5（18）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.20	1.39	1.78
			中間			0.409（中温：0.360）	0.470（中温：0.415）	0.488（中温：0.410）
			最小中温			0.190	0.210	0.205
		暖房	定格標準			1.20（最小：0.260）	1.46（最小：0.283）	1.54（最小：0.285）
			中間			0.433	0.486	0.485
			最大低温			2.05	2.30	2.45
	力率				%	冷：94，暖：94	冷：93，暖：93	冷：94，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.75，中間：5.13	定格：3.60，中間：4.89	定格：3.15，中間：5.33
		暖房				定格：4.17，中間：5.31	定格：3.84，中間：5.35	定格：4.09，中間：5.98
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.3	5.1	5.6
		（2006）				5.1	4.9	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：60，強：57，弱：52
		音圧レベル				P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：42，急：36，強：33，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル				冷：60，暖：61	冷：64，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル				冷：45，暖：46	冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	280×750×635		280×950×635
		梱包				325×917×736		325×1117×736
	製品質量				kg	29		34
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×1（P63形：2）		
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)		
		電動機	定格出力		W	100		130
		エアフィルタ				－（現地手配）		
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640×800（+71）×290		
		梱包				687×921×370		
	製品質量				kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5113SWE11×1		
			電動機出力		kW	0.9	1.0	1.2
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器				電子膨張弁		
		冷媒封入量			kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1		
		風量			m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力		W	34		
	クランクケースヒータ				W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管				φ12.7（フレア接続）		
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5（φ2.0mm）×2本（18m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）		
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力					トン	1.08（届出不要）	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P50，P56形：0.09kW × 1台，P63形：0.130kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP50，P56形：最大0.100kW（静圧200Pa）× 1台，P63形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 1台となります。］
(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。
(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P50形，P56形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

P63形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDUZ806HK6S 室内：FDUZP806S 室外：FDCZP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.9
		暖房			10.0
	始動電流（最大電流）				5（20）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.97
			中間		0.605（中温：0.478）
			最小中温		0.275
		暖房	定格標準		1.98（最小：0.426）
			中間		0.670
			最大低温		3.02
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：5.29
		暖房			定格：4.04，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52
		音圧レベル			P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280×950×635
		梱包			325×1117×736
	製品質量			kg	34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			－（現地手配）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.160kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.250kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUZ506H6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCZP506H	FDUZ566H6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCZP566H	FDUZ636H6S 室内：FDUZP636S 室外：FDCZP636H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.3～5.0］	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）	5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.3	2.6	2.9
		最大低温			5.2	5.4	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.75	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.9	4.5	5.7
		暖房			4.0	4.6	4.9
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）	5（14）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.19	1.39	1.77
			中間		0.409（中温：0.352）	0.468（中温：0.410）	0.484（中温：0.407）
			最小中温		0.180	0.200	0.204
		暖房	定格標準		1.20（最小：0.260）	1.45（最小：0.275）	1.53（最小：0.282）
			中間		0.431	0.485	0.480
			最大低温		2.05	2.30	2.44
	力率			%	冷：87，暖：87	冷：90，暖：91	冷：90，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.78，中間：5.13	定格：3.60，中間：4.91	定格：3.16，中間：5.37
		暖房			定格：4.17，中間：5.34	定格：3.86，中間：5.36	定格：4.12，中間：6.04
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.2	5.7
		（2006）			5.1	4.9	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：60，強：57，弱：52
		音圧レベル			P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：42，急：36，強：33，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：64，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280×750×635		280×950×635
		梱包			325×917×736		325×1117×736
	製品質量			kg	29		34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)		
		電動機	定格出力	W	100		130
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.9	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能 (9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）		3.5（φ2.0mm）×3本（32m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P50，P56形：0.09kW × 1台，P63形：0.130kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP50，P56形：最大0.100kW（静圧200Pa）× 1台，P63形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 1台となります。］
(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。
(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P50形，P56形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

P63形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDUZ806H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDUZP806S 室外：FDCZP806H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.1
		暖房			6.2
	始動電流（最大電流）				5（15）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.93
			中間		0.595（中温：0.471）
			最小中温		0.271
		暖房	定格標準		1.94（最小：0.420）
			中間		0.659
			最大低温		2.99
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.68，中間：5.38
		暖房			定格：4.12，中間：5.46
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5
		(2006)			5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52
		音圧レベル			P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280×950×635
		梱包			325×1117×736
	製品質量			kg	34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			－（現地手配）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（30m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.160kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.250kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDUZ1126H6S 室内：FDUZP1126S 室外：FDCZP1126H	FDUZ1406H6S 室内：FDUZP1606S 室外：FDCZP1406H	FDUZ1606H6S 室内：FDUZP1606S 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.5）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.2	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	11.2	12.7
		暖房			8.4	12.0	12.9
	始動電流（最大電流）				5（26）	5（26）	5（26）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.44	3.70	4.17
			中間		0.766（中温：0.684）	1.04（中温：0.930）	1.17（中温：1.02）
			最小中温		0.352	0.440	0.495
		暖房	定格標準		2.75（最小：0.546）	3.95（最小：0.700）	4.26（最小：0.800）
			中間		0.932	1.21	1.42
			最大低温		5.45	6.04	6.04
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.10，中間：5.87	定格：3.38，中間：5.48	定格：3.36，中間：5.38
		暖房			定格：4.07，中間：5.47	定格：3.54，中間：5.21	定格：3.76，中間：5.07
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	5.2	5.2
		（2006）			5.4	4.9	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：57	P急：71，急：67，強：61，弱：57	P急：74，急：67，強：62，弱：57
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：37，弱：32	P急：46，急：42，強：36，弱：32	P急：49，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280×1368×738		
		梱包			362×1535×839		
	製品質量			kg	54		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3		
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：26，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)		
		電動機	定格出力	W	100＋130	100＋200	
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370		
		梱包			1635×1020×452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100	
		電動機	定格出力	W	86×2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.230kW × 1台，P140形：0.250kW × 1台，P160形：0.350kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.320kW（静圧200Pa）× 1台，P140形：最大0.360kW（静圧200Pa）× 1台，P160形：最大0.430kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P112形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

P140形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

P160形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	40	50	60	70	80	90	100	110	130	140

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUZ-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDUZ2246H5A 室内：FDUZP2245A 室外：FDCZP2246H	FDUZ2806H5A 室内：FDUZP2805A 室外：FDCZP2806H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [7.1 ～ 22.4]	25.0 [7.7 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.6）	11.3（中温：11.9）
		最小中温			7.1	7.7
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.9 ～ 28.0]（最小：5.9）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	20.7
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	17.8	27.5
		暖房			17.5	25.6
	始動電流（最大電流）				5（43）	5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.91	9.14
			中間		1.90（中温：1.65）	2.36（中温：1.97）
			最小中温		1.10	1.22
		暖房	定格標準		5.80（最小：1.10）	8.50（最小：1.45）
			中間		2.15	2.68
			最大低温		7.93	8.20
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.38，中間：4.74	定格：2.74，中間：4.79
		暖房			定格：3.86，中間：4.70	定格：3.29，中間：4.70
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.9	4.8
		（2006）			4.5	4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：78，急：76，強：73，弱：70	
		音圧レベル			P急：50，急：48，強：45，弱：43	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：81，暖：79
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：67，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	379 × 1600 × 893	
		梱包			495 × 1864 × 1055	
	製品質量			kg	89	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3	
		風量		m^3/min	P急：80，急：72，強：64，弱：56	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(9)	
		電動機	定格出力	W	130 + 350	
		エアフィルタ			－（現地手配）	
	新鮮空気取入口				吸込ダクト接続	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管(6)		mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.930kW × 1台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大1.080kW（静圧200Pa）× 1台となります。]

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 丸ダクト 変換キットは，接続できません。

(9) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDUZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDUZ1126HP6S	FDUZ1406HP6S	FDUZ1606HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDUZP636S × 2台 室外：FDCZP1126H	室内：FDUZP806S × 2台 室外：FDCZP1406H	室内：FDUZP806S × 2台 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.6）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.7～14.3］（最小：2.7）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.0	15.0	15.0
定格冷房時の顕熱比					0.93	0.89	0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.7	10.4	12.7
		暖房			7.9	10.5	12.9
	始動電流（最大電流）				5（27）		5（26）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.55	3.41	4.19
			中間		0.740（中温：0.630）	0.970（中温：0.830）	1.11（中温：0.960）
			最小中温		0.390	0.430	0.460
		暖房	定格標準		2.59（最小：0.520）	3.46（最小：0.660）	4.26（最小：0.780）
			中間		0.910	1.22	1.35
			最大低温		5.16	6.25	6.25
	力率			%	冷：96，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.92，中間：6.08	定格：3.67，中間：5.88	定格：3.34，中間：5.68
		暖房			定格：4.32，中間：5.60	定格：4.05，中間：5.16	定格：3.76，中間：5.33
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.5	5.4
		（2006）			5.5	5.2	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：60，強：57，弱：52	P急：68，急：62，強：58，弱：52	
		音圧レベル			P急：42，急：36，強：33，弱：28	P急：44，急：38，強：34，弱：28	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280 × 950 × 635		
		梱包			325 × 1117 × 736		
	製品質量			kg	34		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2		
		風量		m³/min	P急：20，急：15，強：13，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）(4)		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(12)		
		電動機	定格出力	W	130		
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370		
		梱包			1635 × 1020 × 452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2		
		風量		m³/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア）（P140，P160形：φ9.52（フレア）），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア）（P140，P160形：φ15.88（フレア）），分岐管：φ12.7（P140，P160形：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	5.5 × 3本（26m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）／開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40／60（40）		
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P112形：0.130kW × 2台，P140形，P160形：0.160kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P112形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 2台，P140形，P160形：最大0.250kW（静圧200Pa）× 2台となります。］

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(8) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(9) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P112形（室内63形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

P140，P160形（室内71，80形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P63用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。か

(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)ツイン形(室内ユニット:2台,室外ユニット:1台)〔FDUZ-HP〕

項目 ＼ セット形式						FDUZ2246HP6S	FDUZ2806HP6S
項目 ＼ 形式						室内:FDUZP1126S × 2台 室外:FDCZP2246H	室内:FDUZP1606S × 2台 室外:FDCZP2806H
リモートコントローラ						RC-DX3D	
電源						三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格			kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	25.0 [6.3 ～ 28.0]
		中間				9.0 (中温:9.0)	11.3 (中温:11.4)
		最小中温				6.0	6.3
	暖房能力	定格標準				22.4 [5.6 ～ 28.0] (最小:5.6)	28.0 [7.0 ～ 31.5] (最小:7.0)
		中間				10.1	12.6
		最大低温				20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比						0.76	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	18.6	29.9
		暖房				17.2	25.1
	始動電流(最大電流)					5 (43)	5 (43)
	消費電力	冷房	定格		kW	6.20	9.95
			中間			1.85 (中温:1.56)	2.55 (中温:2.26)
			最小中温			0.859	0.910
		暖房	定格標準			5.74 (最小:1.03)	8.36 (最小:1.36)
			中間			1.90	2.54
			最大低温			9.00	9.00
	力率				%	冷:96,暖:96	冷:96,暖:96
	エネルギー消費効率	冷房				定格:3.23,中間:4.86	定格:2.51,中間:4.43
		暖房				定格:3.90,中間:5.32	定格:3.35,中間:4.96
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.1	4.6
		(2006)				4.8	4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急:70,急:65,強:62,弱:57	P急:71,急:67,強:61,弱:57
		音圧レベル				P急:45,急:40,強:37,弱:32	P急:46,急:42,強:36,弱:32
	室外ユニット	パワーレベル				冷:76,暖:74	冷:81,暖:79
		音圧レベル				冷:62,暖:60	冷:67,暖:64
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品			mm	280 × 1368 × 738	
		梱包				362 × 1535 × 839	
	製品質量				kg	54	
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 3	
		風量			m^3/min	P急:36,急:28,強:25,弱:19	P急:39,急:32,強:26,弱:20
		機外静圧(標準風量時)			Pa	定格:10,最小:10,最大:200(リモコンから設定)(13)	
		電動機	定格出力		W	100 + 130	100 + 200
		エアフィルタ				−(現地手配)	
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入(側面:φ125mmフレキシブルダクト接続),排気(側面:φ125mm フレキシブルダクト接続)	
	運転調整					操作(運転切換,風量調整,タイマー,換気),室温調節(電子サーモスタット),表示(運転·点検用·LED,液晶表示)	
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P,CNTA:2P)を保有(室内基板上)	
	加湿器					−(気化式加湿器取付可能)	
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機:防振ゴム,外板:吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品			mm	1505 × 970 × 370	
		梱包				1635 × 1020 × 452	
	製品質量				kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力		kW	4.5	7.3
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器				電子膨張弁	
		冷媒封入量			kg	6.0 (R32) [主管配管30m分封入済]	
		冷凍機油封入量			L	1.00 (M-MB75)	
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2	
		風量			m^3/min	冷:145,暖:130	冷:145,暖:148
		電動機	定格出力		W	86 × 2	
	クランクケースヒータ				W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置					圧縮機:防振ゴム,吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)(外径)	液管(7)			mm	室内接続:φ9.52(フレア),分岐管:φ9.52,主管:φ9.52(P280形:φ12.7),室外接続:φ9.52(フレア)(P280形:φ12.7(フレア))	
		ガス管				室内接続:φ15.88(フレア),分岐管:φ15.88,主管:φ25.4,室外接続:φ25.4(ろう付)	
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ(こう長)				mm^2	14.0 × 3本(42m)	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)				A	60	
	開閉器容量(ヒューズ容量)					60(60)	
	アース線サイズ				mm^2	3.5以上(M5)	
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0(φ1.6mm)×3本(～70m),3.5×3本(～120m)	
設計圧力					MPa	高圧部:4.15,低圧部:2.26	
法定冷凍能力					トン	3.65(届出不要)	
IPコード						室内:IPX0,室外:IPX4	
保護装置						高圧スイッチ,低圧センサ,吐出管温度センサ,吸入管温度センサ,熱交温度センサ,電流センサ,ヒューズ,ファンモータマイコン式過負荷保護,フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力,通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は,適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し,反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け,表示値より大きくなるのが普通です。なお,室外ユニットは本体前方1m,高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力:P224形:0.230kW × 2台,P280形:0.250kW × 2台〔ダクト機の場合,機外静圧設定により,P224形:最大0.320kW(静圧200Pa) × 2台,P280形:最大0.360kW(静圧200Pa) × 2台となります。〕
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し,その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) P224形の場合,主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(8) ツイン機の分岐配管は,必ず分岐管セットDIS-WC1G(別売品)を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
(9) 丸ダクト変換キットを使用した場合は,設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。
(10) 丸ダクト変換キットを使用する場合は,標準機(角ダクト)に対して機内圧力損失が増加するため,リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P224形(室内112形)

必要な機外静圧(Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定(Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

P280形(室内140形)

必要な機外静圧(Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定(Pa)	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

(11) 室内ユニットは共用タイプ(P112用)および共用タイプ(P140,P160用)で,室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形,P140形に設定され,上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合,フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(13) 機外静圧調整は,ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し,管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(g) 天吊形（FDEZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEZ-HK〕

PFA004Z149/D

項目＼セット形式／形式					FDEZ406HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP406HK	FDEZ456HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP456HK	FDEZ506HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP506HK
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.3
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.86	0.80
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.6	5.3	6.4
		暖房			5.0	5.9	6.6
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.847	0.985	1.20
			中間		0.270（中温：0.225）	0.280（中温：0.247）	0.336（中温：0.290）
			最小中温		0.168	0.168	0.168
		暖房	定格標準		0.918（最小：0.207）	1.11（最小：0.218）	1.24（最小：0.232）
			中間		0.310	0.351	0.386
			最大低温		1.61	1.61	2.47
	力率			%	冷：92，暖：92	冷：93，暖：94	冷：94，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.25，中間：6.30	定格：4.06，中間：6.43	定格：3.75，中間：6.25
		暖房			定格：4.36，中間：5.81	定格：4.05，中間：5.98	定格：4.03，中間：5.96
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.0	6.0	6.0
		(2006)			5.7	5.7	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690		
		梱包			344×1178×766		
	製品質量			kg	28		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（＋71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	20 30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEZ-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ566HK6S	FDEZ636HK6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP566S 室外：FDCZP566HK	室内：FDEZP636S 室外：FDCZP636HK
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.5～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.5
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.1	7.5
		暖房			7.7	8.1
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.37	1.46
			中間		0.381（中温：0.324）	0.420（中温：0.355）
			最小中温		0.168	0.166
		暖房	定格標準		1.49（最小：0.247）	1.58（最小：0.277）
			中間		0.449	0.463
			最大低温		2.65	2.27
	力率			%	冷：96，暖：97	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.65，中間：6.04	定格：3.84，中間：6.19
		暖房			定格：3.76，中間：5.79	定格：3.99，中間：6.26
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9	6.2
		(2006)			5.3	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：48，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：48，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690	210×1320×690
		梱包			344×1178×766	344×1428×766
	製品質量			kg	28	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2（P63形：4）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.05kW × 1台，P63形：0.06kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ806HK6S 室内：FDEZP806S 室外：FDCZP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.1
		暖房			9.3
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.80
			中間		0.509（中温：0.416）
			最小中温		0.215
		暖房	定格標準		1.85（最小：0.367）
			中間		0.615
			最大低温		2.93
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.94，中間：6.29
		暖房			定格：4.32，中間：5.85
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.1
		(2006)			5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1320×690
		梱包			344×1428×766
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ406H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP406H	FDEZ456H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP456H	FDEZ506H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP506H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.3
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.86	0.80
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.8	3.2	3.9
		暖房			3.1	3.6	4.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.839	0.970	1.19
			中間		0.268（中温：0.223）	0.277（中温：0.245）	0.334（中温：0.288）
			最小中温		0.167	0.167	0.167
		暖房	定格標準		0.910（最小：0.205）	1.10（最小：0.215）	1.23（最小：0.230）
			中間		0.307	0.348	0.386
			最大低温		1.60	1.60	2.46
	力率			%	冷：86，暖：85	冷：88，暖：88	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.29，中間：6.34	定格：4.12，中間：6.50	定格：3.78，中間：6.29
		暖房			定格：4.40，中間：5.86	定格：4.09，中間：6.03	定格：4.07，中間：5.96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	6.1	6.1
		（2006）			5.8	5.8	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690		
		梱包			344×1178×766		
	製品質量			kg	28		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2		
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m³/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ566H6S	FDEZ636H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP566S 室外：FDCZP566H	室内：FDEZP636S 室外：FDCZP636H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.5～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.5
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.3	4.4
		暖房			4.7	4.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.36	1.45
			中間		0.377（中温：0.320）	0.417（中温：0.353）
			最小中温		0.167	0.165
		暖房	定格標準		1.48（最小：0.245）	1.57（最小：0.275）
			中間		0.445	0.460
			最大低温		2.64	2.26
	力率			%	冷：91，暖：91	冷：95，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.68，中間：6.10	定格：3.86，中間：6.24
		暖房			定格：3.78，中間：5.84	定格：4.01，中間：6.30
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.0	6.3
		(2006)			5.4	5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：48，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：48，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690	210×1320×690
		梱包			344×1178×766	344×1428×766
	製品質量			kg	28	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2（P63形：4）	
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付加能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.05kW × 1台，P63形：0.06kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ806H6S 室内：FDEZP806S 室外：FDCZP806H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.5
		暖房			5.8
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.73
			中間		0.500（中温：0.409）
			最小中温		0.211
		暖房	定格標準		1.81（最小：0.361）
			中間		0.610
			最大低温		2.88
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.10，中間：6.40
		暖房			定格：4.42，中間：5.90
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.2
		(2006)			5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1320×690
		梱包			344×1428×766
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付加能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（34m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ1126H6S 室内：FDEZP1606S 室外：FDCZP1126H	FDEZ1406H6S 室内：FDEZP1606S 室外：FDCZP1406H	FDEZ1606H6S 室内：FDEZP1606S 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.6～11.2］	12.5［3.2～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.6）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.6	3.2	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	15.0	15.0
定格冷房時の顕熱比					0.73	0.70	0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	11.0	13.7
		暖房			8.4	11.4	14.1
	始動電流（最大電流）				5（23）	5（23）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.43	3.62	4.51
			中間		0.693（中温：0.586）	0.940（中温：0.860）	1.14（中温：0.992）
			最小中温		0.327	0.414	0.467
		暖房	定格標準		2.77（最小：0.488）	3.76（最小：0.651）	4.65（最小：0.749）
			中間		0.861	1.10	1.35
			最大低温		5.50	6.12	6.12
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.12，中間：6.49	定格：3.45，中間：6.06	定格：3.10，中間：5.53
		暖房			定格：4.04，中間：5.92	定格：3.72，中間：5.73	定格：3.44，中間：5.33
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.1	5.6	5.3
		(2006)			5.7	5.3	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：58，強：54，弱：50	P急：64，急：60，強：56，弱：51	P急：65，急：62，強：56，弱：52
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：38，弱：34	P急：48，急：44，強：40，弱：35	P急：49，急：46，強：40，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	250 × 1620 × 690		
		梱包			365 × 1732 × 766		
	製品質量			kg	43		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4		
		風量		m^3/min	P急：28，急：26，強：21，弱：17	P急：32，急：29，強：23，弱：17	P急：34，急：30，強：23，弱：18
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	65	80	90
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370		
		梱包			1635 × 1020 × 452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.08kW × 1台，P140形：0.11kW × 1台，P160形：0.12kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ2246H5A 室内：FDEZP2245A 室外：FDCZP2246H	FDEZ2806H5A 室内：FDEZP2805A 室外：FDCZP2806H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [5.0 ～ 22.4]	25.0 [6.1 ～ 27.8]
		中間			9.0（中温：8.9）	11.3（中温：12.0）
		最小中温			5.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.3 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [6.7 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	20.7
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	16.7	26.4
		暖房			17.5	24.2
	始動電流（最大電流）				5（39）	5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.56	8.78
			中間		1.60（中温：1.30）	2.21（中温：1.95）
			最小中温		0.60	0.83
		暖房	定格標準		5.80（最小：1.10）	8.06（最小：1.31）
			中間		1.95	2.44
			最大低温		8.60	8.80
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：5.63	定格：2.85，中間：5.11
		暖房			定格：3.86，中間：5.18	定格：3.47，中間：5.16
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	5.2
		（2006）			5.0	4.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：69，急：64，強：60，弱：54	P急：71，急：67，強：62，弱：56
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：42，弱：36	P急：53，急：49，強：44，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：63，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	350 × 2000 × 830	
		梱包			530 × 2130 × 1005	
	製品質量			kg	114	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	P急：60，急：50，強：42，弱：32	P急：65，急：55，強：45，弱：35
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	110 × 2	
		エアフィルタ			現地調達	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管(6)		mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	50 60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.480kW× 1台
(6) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ806HKP6S
					室内：FDEZP566S × 2台 室外：FDCZP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.6
		暖房			8.9
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.70
			中間		0.520（中温：0.413）
			最小中温		0.221
		暖房	定格標準		1.77（最小：0.393）
			中間		0.592
			最大低温		2.93
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.18，中間：6.15
		暖房			定格：4.52，中間：6.08
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.1
		(2006)			5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690
		梱包			344×1178×766
	製品質量			kg	28
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	30
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RM5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ806HP6S	FDEZ1126HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP566S × 2台 室外：FDCZP806H	室内：FDEZP566S × 2台 室外：FDCZP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	10.0［2.5～11.2］
		中間			3.2（中温：3.2）	4.5（中温：4.6）
		最小中温			1.8	2.5
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～10.0］（最小：2.1）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.1	12.5
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.3	7.8
		暖房			5.6	9.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.68	2.56
			中間		0.513（中温：0.408）	0.755（中温：0.635）
			最小中温		0.218	0.310
		暖房	定格標準		1.74　（最小：0.385）	2.97　（最小：0.510）
			中間		0.582	0.925
			最大低温		2.88	5.80
	力率			%	冷：92，暖：90	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.23，中間：6.24	定格：3.91，中間：5.96
		暖房			定格：4.60，中間：6.19	定格：3.77，中間：5.51
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.2	5.8
		(2006)			5.9	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690	
		梱包			344×1178×766	
	製品質量			kg	28	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370	1505×970×370
		梱包			975×1020×452	1635×1020×452
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1	RMT5126SWE2×1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（34m）	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	2.16（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ1406HP6S	FDEZ1606HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP806S × 2台 室外：FDCZP1406H	室内：FDEZP806S × 2台 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			5.7（中温：6.0）	6.3（中温：6.5）
		最小中温			3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			15.0	15.0
定格冷房時の顕熱比					0.80	0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.1	12.5
		暖房			10.1	12.7
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	3.33	4.13
			中間		0.940（中温：0.810）	1.07（中温：0.925）
			最小中温		0.420	0.430
		暖房	定格標準		3.33 （最小：0.640）	4.19 （最小：0.740）
			中間		1.07	1.31
			最大低温		6.12	6.12
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.75，中間：6.06	定格：3.39，中間：5.89
		暖房			定格：4.20，中間：5.89	定格：3.82，中間：5.50
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9	5.6
		(2006)			5.6	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46	
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1320×690	
		梱包			344×1428×766	
	製品質量			kg	33	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	55	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370	
		梱包			1635×1020×452	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2×1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEZ2246HP6S	FDEZ2806HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP1606S × 2台 室外：FDCZP2246H	室内：FDEZP1606S × 2台 室外：FDCZP2806H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］	25.0［6.3～27.8］
		中間			9.0（中温：9.4）	11.3（中温：11.6）
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）	28.0［7.0～31.5］（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	17.4	27.0
		暖房			17.5	24.8
	始動電流（最大電流）				5（39）	5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.80	8.98
			中間		1.61（中温：1.36）	2.16（中温：1.83）
			最小中温		0.779	0.853
		暖房	定格標準		5.85（最小：0.949）	8.25（最小：1.21）
			中間		1.78	2.33
			最大低温		8.70	8.40
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.45，中間：5.59	定格：2.78，中間：5.23
		暖房			定格：3.83，中間：5.67	定格：3.39，中間：5.41
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.3
		（2006）			5.1	4.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：58，強：54，弱：50	P急：64，急：60，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：38，弱：34	P急：48，急：44，強：40，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：63，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	250 × 1620 × 690	
		梱包			365 × 1732 × 766	
	製品質量			kg	43	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	P急：28，急：26，強：21，弱：17	P急：32，急：29，強：23，弱：17
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	65	80
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P224形：0.080kW × 2台，P280形：0.110kW × 2台
(6) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 総配管長は105m以内となります。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDEZ-HT〕

項目 ＼ セット形式 / 形式						FDEZ1606HT6S
						室内：FDEZP566S × 3台 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	14.0［3.5～16.0］
		中間				6.3（中温：6.5）
		最小中温				3.5
	暖房能力	定格標準				16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間				7.2
		最大低温				15.0
定格冷房時の顕熱比						0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	12.6
		暖房				13.1
	始動電流（最大電流）					5（23）
	消費電力	冷房	定格		kW	4.15
			中間			1.09（中温：0.940）
			最小中温			0.430
		暖房	定格標準			4.32（最小：0.730）
			中間			1.30
			最大低温			6.12
	力率				%	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.37，中間：5.78
		暖房				定格：3.70，中間：5.54
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.6
		(2006)				5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル				P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル				冷：68，暖：70
		音圧レベル				冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	210 × 1070 × 690
		梱包				344 × 1178 × 766
	製品質量				kg	28
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×2
		風量			m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	30
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					不可能
	新鮮空気取入口					不可能
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1505 × 970 × 370
		梱包				1635 × 1020 × 452
	製品質量				kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力			3.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2
		風量			m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力		W	86 × 2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	2.34（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 3台

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDEZ-HT〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEZ2246HT6S
					室内：FDEZP806S × 3台 室外：FDCZP2246H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.4）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	17.2
		暖房			17.2
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.74
			中間		1.69（中温：1.44）
			最小中温		0.820
		暖房	定格標準		5.75（最小：0.948）
			中間		1.80
			最大低温		8.50
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.48，中間：5.33
		暖房			定格：3.90，中間：5.61
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6
		(2006)			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210 × 1320 × 690
		梱包			344 × 1428 × 766
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力		4.5
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.070kW × 3台
(6) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 総配管長は105m以内となります。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(h) 天吊耐油形（FDESZ）

PFS000Z054/C

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDESZ-HK〕

（50/60Hz）

項目 ＼ セット形式						FDESZ806HK6
項目 ＼ 形式						室内：FDESZP806 室外：FDCZP806HK
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1〔1.9～8.0〕
		中間				3.2（中温：3.2）
		最小中温				1.9
	暖房能力	定格標準				8.0〔2.1～10.0〕（最小：2.1）
		中間				3.6
		最大低温				8.1
定格冷房時の顕熱比						0.91/0.94
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	9.1/8.9
		暖房				8.6/8.6
	始動電流（最大電流）					5（18.5）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.80/1.77
			中間			0.674/0.691（中温：0.558/0.578）
			最小中温			0.403/0.423
		暖房	定格標準			1.71/1.71（最小：0.465/0.482）
			中間			0.675/0.702
			最大低温			2.70/2.69
	力率				%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率		冷房			定格：3.94/4.01，中間：4.75/4.63
			暖房			定格：4.68/4.68，中間：5.33/5.13
	通年エネルギー消費効率		（2015）			4.9/4.8
			（2006）			5.1/5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	冷：急 65/69，弱 63/65，　暖：急 66/69，弱 63/65
		音圧レベル				冷：急 50/54，弱 47/49，　暖：急 51/54，弱 48/49
	室外ユニット	パワーレベル				冷：65，　暖：66
		音圧レベル				冷：48，　暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	295×1540×695
		梱包				445×1720×815
	製品質量				kg	66
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×4
		風量			m^3/min	急：30/35，　弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	70×2
		エアフィルタ				アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱300℃
	吹出ダクト接続口					前面（φ125mm スポットダクト×2か所，1m）〔品番SAD-10B（オプション）〕
	新鮮空気取入口					新鮮空気取入（背面：φ150mm フレキシブルダクト×2か所）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	845×970×370
		梱包				975×1020×452
	製品質量				kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1
			電動機出力		kW	1.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.6（R32）〔配管30m分封入済〕
		冷凍機油封入量			L	0.675（M-MB68）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力		W	86
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管				φ15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1.37(届出不要)
IPコード						室内：IP20，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は 最小最大範囲幅を示します。なお，結露防止ヒータOFF時の値です。（出荷時未接続）
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。なお，結露防止ヒータOFF時の値です。（出荷時未接続）
(3) 相対湿度80%（露点温度23℃）以上の環境で使用する場合は結露防止ヒータを接続してください。
(4) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(5) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.20/0.23kW × 1台
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDESZ-H〕

（50/60Hz）

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDESZ806H6 室内：FDESZP806 室外：FDCZP806H	FDESZ1406H6 室内：FDESZP1406 室外：FDCZP1406H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力		定格	kW	7.1 [1.9~8.0]	12.5 [5.0~14.0]
			中間		3.2（中温：3.2）	5.7（中温：5.7）
			最小中温		1.9	5.0
	暖房能力		定格標準		8.0 [2.1~10.0]（最小：2.1）	14.0 [3.5~18.3]（最小：3.5）
			中間		3.6	6.3
			最大低温		8.1	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.91/0.94	0.70/0.75
(1)運転特性	運転電流	冷暖		A	5.7/5.6	11.8/11.2
		暖暖			5.4/5.4	10.9/10.4
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.78/1.75	3.88/3.70
			中間		0.666/0.684（中温：0.553/0.572）	1.26/1.23（中温：1.09/1.08）
			最小中温		0.400/0.421	0.875/0.907
		暖房	定格標準		1.68/1.68（最小：0.46/0.477）	3.60/3.41（最小：0.673/0.691）
			中間		0.666/0.693	1.18/1.13
			最大低温		2.65/2.64	5.75/5.46
	力率			%	冷：90，暖：90	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.99/4.06，中間：4.80/4.68	定格：3.22/3.38，中間：4.52/4.63
		暖房			定格：4.76/4.76，中間：5.41/5.19	定格：3.89/4.11，中間：5.34/5.58
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.0/4.8	4.8/4.8
		（2006）			5.2/5.1	4.8/5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	冷：急 65/69，弱 63/65，　暖：急 66/69，弱 63/65	冷：急 64/67，弱 63/65，　暖：急 64/68，弱 63/65
		音圧レベル			冷：急 50/54，弱 47/49，　暖：急 51/54，弱 48/49	冷：急 49/52，弱 46/48，　暖：急 49/53，弱 47/49
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：67，　暖：69
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：50，　暖：52
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	295×1540×695	
		梱包			445×1720×815	
	製品質量			kg	66	69
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	急：30/35，　弱：27/29	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	70×2	
		エアフィルタ			アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱300℃	
	吹出ダクト接続口				前面（φ125mm スポットダクト×2か所，1m）〔品番SAD-10B（オプション）〕	
	新鮮空気取入口				新鮮空気取入（背面：φ150mm フレキシブルダクト×2か所）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370	1505×975×370
		梱包			975×1020×452	1635×1020×452
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置 圧縮機	形式・台数			RMT5118SWE1×1	RMT5126SWE2×1
		電動機出力		kW	1.4	2.7
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	冷媒制御器				電子膨張弁	
	冷媒封入量			kg	3.6（R32）[配管30m分封入済]	4.2（R32）[配管30m分封入済]
	冷凍機油封入量			L	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（34m）	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	φ2.0×3本（~70m），3.5×3本（~120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37(届出不要)	2.34(届出不要)
IPコード					室内：IP20，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。なお，結露防止ヒータON時の値です。（P80はOFF：出荷時未接続）
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。なお，結露防止ヒータON時の値です。（P80はOFF：出荷時未接続）
(3) 相対湿度80%（露点温度23℃）以上の環境で使用する場合は結露防止ヒータを接続してください。（P80）
(4) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(5) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.20/0.23kW × 1台
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDESZ-HP〕 (50/60Hz)

項目 ＼ セット形式 / 形式						FDESZ1606HP6 室内：FDESZP806 × 2台 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	14.0 [5.7~16.0]
		中間				6.3 (中温：6.5)
		最小中温				5.7
	暖房能力	定格標準				16.0 [4.0~20.3] (最小：4.0)
		中間				7.2
		最大低温				14.5
定格冷房時の顕熱比						0.92/0.96
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	12.2/11.9
		暖房				11.4/11.3
	始動電流（最大電流）					5 (23)
	消費電力	冷房	定格		kW	4.02/3.91
			中間			1.28/1.33 (中温：1.13/1.18)
			最小中温			0.940/1.00
		暖房	定格標準			3.75/3.73 (最小：0.880/0.900)
			中間			1.36/1.40
			最大低温			5.75/5.46
	力率				%	冷：95/95，暖：95/95
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.48/3.58，中間：4.92/4.74
		暖房				定格：4.27/4.29，中間：5.29/5.14
	通年エネルギー消費効率	(2015)				4.9/4.8
		(2006)				5.0/4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	冷：急 65/69，弱 63/65，　暖：急 66/69，弱 63/65
		音圧レベル				冷：急 50/54，弱 47/49，　暖：急 51/54，弱 48/49
	室外ユニット	パワーレベル				冷：68，　暖：70
		音圧レベル				冷：52，　暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	295 × 1540 × 695
		梱包				445 × 1720 × 815
	製品質量				kg	66
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 4
		風量			m^3/min	急：30/35，　弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	70×2
		エアフィルタ				アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱300℃
	吹出ダクト接続口					前面 (φ125mm スポットダクト×2箇所，1m)〔品番SAD-10B (オプション)〕
	新鮮空気取入口					新鮮空気取入 (背面：φ150mm フレキシブルダクト×2箇所)
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー (組込不可能)
	防振装置·防音·断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1505 × 970 × 370
		梱包				1635 × 1020 × 452
	製品質量				kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式·台数			RMT5126SWE2×1
			電動機出力		kW	3.4
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量(8)			kg	4.2 (R32) [主管配管30m分封入済]
		冷凍機油封入量			L	0.9 (M-MB75)
	送風装置	形式·台数				プロペラファン × 2
		風量			m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力		W	86×2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振·防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管			mm	室内接続：φ9.52 (フレア)，分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52 (フレア)
		ガス管				室内接続：φ15.88 (フレア)，分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88 (フレア)
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×3本 (19m)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30 (30)
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上 (M5)
	室内外ユニット接続配線				mm^2	φ2.0 × 3本 (~70m)，　3.5 × 3本 (~120m)
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	2.34(届出不要)
IPコード						室内：IP20，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房·暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。なお，結露防止ヒータOFF時の値です。（出荷時未接続）
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。なお，結露防止ヒータOFF時の値です。（出荷時未接続）
(3) 相対湿度80%（露点温度23℃）以上の環境で使用する場合は，結露防止ヒータを接続してください。
(4) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(5) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.20/0.23kW × 2台
(7) 外形寸法·製品質量·送風装置·運転音·補助電熱器の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2 台，室外ユニット：1 台）〔FDESZ-HP〕(50/60Hz)

項目 ＼ セット形式						FDESZ2806HP6
項目 ＼ 形式						室内：FDESZP1406×2台 室外：FDCZP2806H
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	25.0 [6.3~28.0]
		中間				11.3（中温：11.5）
		最小中温				6.3
	暖房能力	定格標準				28.0 [7.0~31.5]（最小：7.0）
		中間				12.6
		最大低温				21.2
定格冷房時の顕熱比						0.70/0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	28.6/26.9
		暖房				26.2/24.7
	始動電流（最大電流）					5（39）
	消費電力	冷房	定格		kW	9.54/8.97
			中間			2.50（中温：2.24）
			最小中温			1.09/1.15
		暖房	定格標準			8.72/8.24（最小：1.38/1.41）
			中間			2.51/2.46
			最大低温			8.80/8.40
	力率				%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房				定格：2.62/2.79，中間：4.52
		暖房				定格：3.21/3.40，中間：5.02/5.12
	通年エネルギー消費効率	(2015)				4.6
		(2006)				4.1/4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	冷：急 64/67，弱 63/65，　暖：急 64/68，弱 63/65
		音圧レベル				冷：急 49/52，弱 46/48，　暖：急 49/53，弱 47/49
	室外ユニット	パワーレベル				冷：78/77，　暖：78
		音圧レベル				冷：64，　暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	295 × 1540 × 695
		梱包				445 × 1720 × 815
	製品質量				kg	69
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×4
		風量			m^3/min	急：30/35，　弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	70×2
	エアフィルタ					アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱300℃
	吹出ダクト接続口					前面（φ125mm スポットダクト×2箇所，1m）〔品番SAD-10B（オプション）〕
	新鮮空気取入口					新鮮空気取入（背面：φ150mm フレキシブルダクト×2箇所）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1505 × 970 × 370
		梱包				1635 × 1020 × 452
	製品質量				kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5141SBE1×1
			電動機出力		kW	7.3
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン× 2
		風量			m^3/min	冷：145，　暖：148
		電動機	定格出力		W	86×2
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管			mm	室内分岐管：φ9.52（フレア接続），室外主管：φ12.7（フレア接続）
		ガス管				室内分岐管：φ15.88（フレア接続），室外主管：φ25.4（ろう付接続）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	8.0×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）				A	50 60（50）
	アース線サイズ				mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（~70m），3.5×3本（~120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	3.65(届出不要)
IPコード						室内：IP20，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。なお，結露防止ヒータON時の値です。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。なお，結露防止ヒータON時の値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.200/0.230kW × 2台
(6) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(10) 総配管長は105m以内となります。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(i) 壁掛形（FDKZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKZ-HK〕

PHA001Z190C

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ406HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP406HK	FDKZ456HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP456HK	FDKZ506HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP506HK
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.4～4.5］	4.5［1.4～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.1～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.2～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.74	0.76
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	5.0	6.0	6.8
		暖房			5.6	6.9	7.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.855	1.05	1.19
			中間		0.268（中温：0.223）	0.306（中温：0.260）	0.356（中温：0.291）
			最小中温		0.177	0.176	0.179
		暖房	定格標準		0.970（最小：0.184）	1.20（最小：0.194）	1.31（最小：0.213）
			中間		0.293	0.348	0.387
			最大低温		1.92	1.92	2.34
	力率			%	冷：86，暖：87	冷：87，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.21，中間：6.34	定格：3.81，中間：5.88	定格：3.78，中間：5.90
		暖房			定格：4.12，中間：6.14	定格：3.75，中間：6.03	定格：3.82，中間：5.94
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.3	6.1	6.1
		(2006)			5.8	5.5	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290×870×230		
		梱包			290×930×360		
	製品質量			kg	11		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1		
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				ー		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40形，P45形：0.025kW × 1台，P50形：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ566HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP566HK	FDKZ636HK6S 室内：FDKZP636S 室外：FDCZP636HK
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.4 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.6 ～ 6.3]（最小：1.6）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.6	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.70	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0	8.2
		暖房			8.8	9.0
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.42	1.45
			中間		0.407（中温：0.337）	0.398（中温：0.323）
			最小中温		0.175	0.150
		暖房	定格標準		1.59（最小：0.272）	1.62（最小：0.259）
			中間		0.451	0.468
			最大低温		2.34	2.30
	力率			%	冷：89，暖：90	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.52，中間：5.65	定格：3.86，中間：6.53
		暖房			定格：3.52，中間：5.76	定格：3.89，中間：6.20
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.8	6.5
		（2006）			5.2	5.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：53，急：51，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：37，急：34，強：31，弱：27
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290 × 870 × 230	339 × 1197 × 262
		梱包			290 × 930 × 360	381 × 1270 × 431
	製品質量			kg	11	17
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：18，急：16，強：14，弱：13
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ＋サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKZ-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDKZ806HK6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1126S 室外：FDCZP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.0
定格冷房時の顕熱比					0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.0
		暖房			11.6
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.98
			中間		0.549（中温：0.440）
			最小中温		0.230
		暖房	定格標準		2.29（最小：0.396）
			中間		0.657
			最大低温		3.24
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.59，中間：5.83
		暖房			定格：3.49，中間：5.48
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.8
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339×1197×262
		梱包			381×1270×431
	製品質量			kg	17
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	56
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				-
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845×970×370
		梱包			975×1020×452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1×1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDKZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ406H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP406H	FDKZ456H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP456H	FDKZ506H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP506H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.4 ～ 4.5]	4.5 [1.4 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.1 ～ 4.5]（最小：1.1）	4.5 [1.2 ～ 5.0]（最小：1.2）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.74	0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9	3.5	3.9
		暖房			3.3	4.0	4.3
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.845	1.04	1.18
			中間		0.264（中温：0.222）	0.303（中温：0.256）	0.353（中温：0.289）
			最小中温		0.176	0.176	0.178
		暖房	定格標準		0.960（最小：0.183）	1.19（最小：0.193）	1.29（最小：0.212）
			中間		0.291	0.345	0.384
			最大低温		1.90	1.90	2.32
	力率			%	冷：83，暖：84	冷：86，暖：86	冷：87，暖：87
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.26，中間：6.44	定格：3.85，中間：5.94	定格：3.81，中間：5.95
		暖房			定格：4.17，中間：6.19	定格：3.78，中間：6.09	定格：3.88，中間：5.99
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.3	6.1	6.1
		（2006）			5.8	5.5	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290 × 870 × 230		
		梱包			290 × 930 × 360		
	製品質量			kg	11		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42		
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				ー		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290		
		梱包			687 × 921 × 370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40形，P45形：0.025kW × 1台，P50形：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDKZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ566H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP566H	FDKZ636H6S 室内：FDKZP636S 室外：FDCZP636H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.4 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.6 ～ 6.3]（最小：1.6）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.6	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.70	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.7	4.8
		暖房			5.2	5.2
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.41	1.44
			中間		0.404（中温：0.334）	0.394（中温：0.321）
			最小中温		0.173	0.149
		暖房	定格標準		1.58（最小：0.267）	1.60（最小：0.257）
			中間		0.445	0.464
			最大低温		2.32	2.28
	力率			%	冷：87，暖：88	冷：87，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.55，中間：5.69	定格：3.89，中間：6.60
		暖房			定格：3.54，中間：5.84	定格：3.94，中間：6.25
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9	6.6
		(2006)			5.2	5.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：53，急：51，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：37，急：34，強：31，弱：27
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290 × 870 × 230	339 × 1197 × 262
		梱包			290 × 930 × 360	381 × 1270 × 431
	製品質量			kg	11	17
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：18，急：16，強：14，弱：13
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ＋サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDKZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ806H6S 室内：FDKZP1126S 室外：FDCZP806H	FDKZ1126H6S 室内：FDKZP1126S 室外：FDCZP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	10.0［2.7～11.2］
		中間			3.2（中温：3.4）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			1.8	2.7
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.0	11.2
定格冷房時の顕熱比					0.71	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.2	8.1
		暖房			7.4	10.4
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.94	2.67
			中間		0.539（中温：0.432）	0.738（中温：0.609）
			最小中温		0.226	0.299
		暖房	定格標準		2.28（最小：0.387）	3.42（最小：0.528）
			中間		0.645	0.900
			最大低温		3.17	4.57
	力率			%	冷：90，暖：89	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.66，中間：5.94	定格：3.75，中間：6.10
		暖房			定格：3.51，中間：5.58	定格：3.27，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9	5.9
		(2006)			5.2	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49	P急：60，急：58，強：55，弱：51
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33	P急：45，急：43，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339 × 1197 × 262	
		梱包			381 × 1270 × 431	
	製品質量			kg	17	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m³/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14	P急：24，急：22，強：18，弱：16
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	56	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				-	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				-（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845 × 970 × 370	1505 × 970 × 370
		梱包			975 × 1020 × 452	1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］	4.2（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	プロペラファン × 2
		風量		m³/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5 × 3本（34m）	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）× 3本	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	2.16（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形：0.05kW × 1台，P112形：0.06kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKZ-HKP〕

項目 ＼ セット形式					FDKZ806HKP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP566S × 2台 室外：FDCZP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.8 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.0 ～ 10.0]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			8.0
定格冷房時の顕熱比					0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.4
		暖房			11.6
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.86
			中間		0.552（中温：0.440）
			最小中温		0.233
		暖房	定格標準		2.29 （最小：0.368）
			中間		0.659
			最大低温		3.22
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.82，中間：5.80
		暖房			定格：3.49，中間：5.46
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290 × 870 × 230
		梱包			290 × 930 × 360
	製品質量			kg	11
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	42
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				—
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				—（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845 × 970 × 370
		梱包			975 × 1020 × 452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア）分岐管：φ9.52，主管：φ9.52， 室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア）分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.025kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ806HP6S	FDKZ1126HP6S
					室内：FDKZP566S × 2台 室外：FDCZP806H	室内：FDKZP566S × 2台 室外：FDCZP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］	10.0［2.7～11.2］
		中間			3.2（中温：3.4）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			1.8	2.7
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.0）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			8.0	12.5
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.8	7.6
		暖房			7.3	9.5
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.82	2.49
			中間		0.543（中温：0.433）	0.705（中温：0.587）
			最小中温		0.229	0.311
		暖房	定格標準		2.27（最小：0.361）	3.14（最小：0.548）
			中間		0.647	0.870
			最大低温		3.16	6.66
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.90，中間：5.89	定格：4.02，中間：6.38
		暖房			定格：3.52，中間：5.56	定格：3.57，中間：5.86
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.0	6.0
		(2006)			5.2	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66	冷：66，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48	冷：49，暖：50
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290 × 870 × 230	
		梱包			290 × 930 × 360	
	製品質量			kg	11	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				-	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				-（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845 × 970 × 370	1505 × 970 × 370
		梱包			975 × 1020 × 452	1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	70	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1	RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力	kW	1.4	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［主管配管30m分封入済］	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48	冷：92，暖：92
		電動機	定格出力	W	86	86×2
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（34m）	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）	2.16（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80形：0.025kW × 2台，P112形：0.03kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDKZ1406HP6S	FDKZ1606HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1126S × 2台 室外：FDCZP1406H	室内：FDKZP1126S × 2台 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5 [3.3 ～ 14.0]	14.0 [3.5 ～ 16.0]
		中間			5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.6）
		最小中温			3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			14.0 [3.5 ～ 18.3]（最小：3.5）	16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			6.3	7.2
		最大低温			14.0	14.2
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.2	12.9
		暖房			10.7	13.6
	始動電流（最大電流）				5（23）	5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	3.35	4.25
			中間		0.885（中温：0.724）	1.05（中温：0.867）
			最小中温		0.360	0.394
		暖房	定格標準		3.53（最小：0.606）	4.47（最小：0.712）
			中間		1.09	1.33
			最大低温		5.66	5.66
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：6.44	定格：3.29，中間：6.00
		暖房			定格：3.97，中間：5.78	定格：3.58，中間：5.41
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.2	5.9
		(2006)			5.5	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49	P急：56，急：54，強：52，弱：49
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33	P急：40，急：38，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339 × 1197 × 262	
		梱包			381 × 1270 × 431	
	製品質量			kg	17	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	56	
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				-	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	115	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1	
			電動機出力	kW	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				［室内］VP16の排水管の接続可能［室外］内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDKZ2246HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1126S × 2台 室外：FDCZP2246H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.5）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	19.3
		暖房			19.3
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.44
			中間		1.72（中温：1.48）
			最小中温		0.756
		暖房	定格標準		6.44（最小：0.897）
			中間		1.77
			最大低温		9.20
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.11，中間：5.23
		暖房			定格：3.48，中間：5.71
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：58，強：55，弱：51
		音圧レベル			P急：45，急：43，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339 × 1197 × 262
		梱包			381 × 1270 × 431
	製品質量			kg	17
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急：24，急：22，強：18，弱：16
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				―
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				―（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.060kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。
この組合せではP112形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(11) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDKZ-HT〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKZ1606HT6S
					室内：FDKZP566S × 3台 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0 [3.5 ～ 16.0]
		中間			6.3（中温：6.6）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.9
定格冷房時の顕熱比					0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.4
		暖房			13.6
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.09
			中間		1.04（中温：0.890）
			最小中温		0.410
		暖房	定格標準		4.49（最小：0.732）
			中間		1.30
			最大低温		6.19
	力率			%	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.42，中間：6.06
		暖房			定格：3.56，中間：5.54
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.8
		(2006)			5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290 × 870 × 230
		梱包			290 × 930 × 360
	製品質量			kg	11
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	42
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				-
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	115
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1
			電動機出力		3.4
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.34（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.03kW × 3台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(j) 床置形（FDFZ）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDFZ-HK〕

PGA000Z870 C

項目 ＼ セット形式						FDFZ506HK5SB	FDFZ636HK5SB
項目 ＼ 形式						室内：FDFZP635SB 室外：FDCZP506HK	室内：FDFZP635SB 室外：FDCZP636HK
リモートコントローラ						専用リモコン装着	
電源						単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格			kW	4.5 [1.4 ～ 5.0]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間				2.1（中温：2.2）	2.6（中温：2.7）
		最小中温				1.4	1.4
	暖房能力	定格標準				5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）	6.3[1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間				2.3	2.9
		最大低温				5.6	6.0
定格冷房時の顕熱比						0.93	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.4	8.5
		暖房				6.6	9.0
	始動電流（最大電流）					5（16）	
	消費電力	冷房	定格		kW	1.130	1.50
			中間			0.34（中温：0.30）	0.44（中温：0.37）
			最小中温			0.18	0.19
		暖房	定格標準			1.17　（最小：0.22）	1.62　（最小：0.28）
			中間			0.39	0.50
			最大低温			2.18	2.28
	力率				%	冷：88，暖：89	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.98，中間：6.14	定格：3.73，中間：5.91
		暖房				定格：4.27，中間：5.84	定格：3.89，中間：5.80
	通年エネルギー消費効率	(2015)				6.0	6.0
		(2006)				5.6	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46	
		音圧レベル				P急：42，急：37，強：34，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル				冷：60，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル				冷：45，暖：46	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1850 × 600 × 329	
		梱包				1898 × 708 × 481	
	製品質量				kg	46	
	空気熱交換器					アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 1	
		風量			m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0	
		電動機	定格出力		W	157	
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口					不可能	
	新鮮空気取入口					不可能	
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640 × 800 (+71) × 290	
		梱包				687 × 921 × 370	
	製品質量				kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力		kW	0.9	1.2
		空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器				電子膨張弁	
		冷媒封入量			kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1	
		風量			m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力		W	34	
	クランクケースヒータ				W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管				φ12.7（フレア接続）	
	排水口					〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	2.0（φ1.6mm）× 2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（20）	
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力					トン	1.08（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDFZ-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFZ806HK5SB 室内：FDFZP805SB 室外：FDCZP806HK
リモートコントローラ					専用リモコン装着
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.5～10.0］（最小：2.5）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	9.7
		暖房			11.4
	始動電流（最大電流）				5（18.5）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.93
			中間		0.59（中温：0.49）
			最小中温		0.25
		暖房	定格標準		2.26　（最小：0.54）
			中間		0.70
			最大低温		3.28
	力率			%	冷：99，暖：99
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.68，中間：5.42
		暖房			定格：3.54，中間：5.14
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：52，強：49，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：39，強：35，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 600 × 329
		梱包			1898 × 708 × 481
	製品質量			kg	47
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1
		風量		m^3/min	P急：18，急：16，強：14，弱：12
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	157
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845 × 970 × 370
		梱包			975 × 1020 × 452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）× 2本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ， 熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ， 冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDFZ506H5SB	FDFZ636H5SB
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP635SB 室外：FDCZP506H	室内：FDFZP635SB 室外：FDCZP636H
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.4～5.0］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.3	2.9
		最大低温			5.6	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.93	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.7	4.9
		暖房			3.8	5.2
	始動電流（最大電流）				5（12）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.12	1.49
			中間		0.34（中温：0.30）	0.43（中温：0.36）
			最小中温		0.18	0.18
		暖房	定格標準		1.16　（最小：0.22）	1.61　（最小：0.27）
			中間		0.39	0.49
			最大低温		2.17	2.27
	力率			%	冷：88，暖：88	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.02，中間：6.18	定格：3.76，中間：6.02
		暖房			定格：4.31，中間：5.90	定格：3.91，中間：5.92
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	6.1
		（2006）			5.7	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46	
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 600 × 329	
		梱包			1898 × 708 × 481	
	製品質量			kg	46	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	0.9	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFZ-H〕

項目 ＼ セット形式					FDFZ806H5SB
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP805SB 室外：FDCZP806H
リモートコントローラ					専用リモコン装着
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.8～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.0～10.0］（最小：2.5）
		中間			3.6
		最大低温			8.1
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.0
		暖房			7.1
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.90
			中間		0.58（中温：0.48）
			最小中温		0.25
		暖房	定格標準		2.22　（最小：0.54）
			中間		0.69
			最大低温		3.22
	力率			%	冷：91，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.74，中間：5.52
		暖房			定格：3.60，中間：5.22
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.3
		(2006)			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：52，強：49，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：39，強：35，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：48，暖：48
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 600 × 329
		梱包			1898 × 708 × 481
	製品質量			kg	47
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	157
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	845 × 970 × 370
		梱包			975 × 1020 × 452
	製品質量			kg	70
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5118SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.6（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.675（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：52，暖：48
		電動機	定格出力	W	86
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）× 3本（34m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.37（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ， 吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ， 冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFZ-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFZ1126H5SB 室内：FDFZP1605SB 室外：FDCZP1126H	FDFZ1406H5SB 室内：FDFZP1605SB 室外：FDCZP1406H	FDFZ1606H5SB 室内：FDFZP1605SB 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ					専用リモコン装着		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［2.7～11.2］	12.5［3.4～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.4	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.5～18.3］（最小：3.5）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.70	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.7	11.9	14.9
		暖房			8.1	11.8	14.7
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.54	3.91	4.90
			中間		0.78（中温：0.67）	1.06（中温：0.90）	1.18（中温：1.02）
			最小中温		0.35	0.43	0.49
		暖房	定格標準		2.68（最小：0.54）	3.88（最小：0.67）	4.83（最小：0.75）
			中間		0.93	1.20	1.39
			最大低温		5.48	5.80	5.80
	力率			%	冷：95，暖：96	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.94，中間：5.77	定格：3.20，中間：5.38	定格：2.86，中間：5.34
		暖房			定格：4.18，中間：5.48	定格：3.61，中間：5.25	定格：3.31，中間：5.18
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.4	5.2
		（2006）			5.4	4.9	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：63，強：61，弱：56		
		音圧レベル			P急：55，急：51，強：49，弱：44		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 600 × 329		
		梱包			1898 × 708 × 481		
	製品質量			kg	49		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：29，急：26，強：23，弱：19		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370		
		梱包			1635 × 1020 × 452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）× 3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.210kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140, P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFZ-H〕

（50/60Hz）

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFZ2246H5 室内：FDFZP2245 室外：FDCZP2246H	FDFZ2806H5 室内：FDFZP2805 室外：FDCZP2806H
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.5 ～ 22.4]	25.0 [7.2 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.8）	11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.5	7.2
	暖房能力	定格標準			22.4 [6.1 ～ 28.0]（最小：6.1）	28.0 [7.2 ～ 31.5]（最小：7.2）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			21.9	22.0
定格冷房時の顕熱比					0.79	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.8／18.9	31.9/32.2
		暖房			18.5／18.6	26.8/27.0
	始動電流（最大電流）				5（39）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.25／6.29	10.6／10.7
			中間		2.14/2.15（中温：1.90/1.91）	2.70/2.72（中温：2.36/2.37）
			最小中温		1.15／1.15	1.28/1.29
		暖房	定格標準		6.16/6.20（最小：1.19/1.20）	8.92/8.97（最小：1.48/1.49）
			中間		2.09／2.10	2.69/2.69
			最大低温		8.70／8.80	9.10/9.20
	力率			%	冷：96/96，暖：96/96	冷：96/96，暖：96/96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.20/3.18　，中間：4.21/4.19	定格：2.36/2.34　，中間：4.19/4.15
		暖房			定格：3.64/3.61　，中間：4.83/4.81	定格：3.14/3.12　，中間：4.68/4.68
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.7／4.7	4.4/4.4
		（2006）			4.4／4.4	4.1/4.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	急：69，強：64，弱：61	
		音圧レベル			急：57，強：52，弱：48	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：63，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 1200 × 320	
		梱包			1981 × 1366 × 533	
	製品質量			kg	110	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	急：57，強：43，弱：36	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	150 × 2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面上部を利用して可能（ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(6)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管(5)		mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（31m）	8.0 × 3本（29m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(6) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力（50/60Hz）：0.570/0.650kW × 1台

(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDFZ-HP〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFZ1126HP5SB 室内：FDFZP635SB × 2台 室外：FDCZP1126H	FDFZ1406HP5SB 室内：FDFZP805SB × 2台 室外：FDCZP1406H	FDFZ1606HP5SB 室内：FDFZP805SB × 2台 室外：FDCZP1606H
リモートコントローラ					専用リモコン装着		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0 [2.7 ～ 11.2]	12.5 [3.4 ～ 14.0]	14.0 [3.7 ～ 16.0]
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			2.7	3.4	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2 [2.8 ～ 14.3]（最小：2.8）	14.0 [3.5 ～ 18.3]（最小：3.5）	16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.0	14.5	14.5
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.70	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.4	10.6	13.4
		暖房			7.6	11.0	14.2
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.43	3.48	4.42
			中間		0.72（中温：0.60）	0.96（中温：0.84）	1.12（中温：0.98）
			最小中温		0.34	0.42	0.48
		暖房	定格標準		2.51　（最小：0.52）	3.61（最小：0.65）	4.66（最小：0.74）
			中間		0.87	1.12	1.34
			最大低温		5.25	5.69	5.69
	力率			%	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.12，中間：6.25	定格：3.59，中間：5.94	定格：3.17，中間：5.63
		暖房			定格：4.46，中間：5.86	定格：3.88，中間：5.63	定格：3.43，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.1	5.7	5.4
		(2006)			5.7	5.3	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46	P急：54，急：52，強：49，弱：47	
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32	P急：42，急：39，強：35，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
		音圧レベル			冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 600 × 329		
		梱包			1898 × 708 × 491		
	製品質量			kg	46	47	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12	P急：18，急：16，強：14，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370		
		梱包			1635 × 1020 × 452		
	製品質量			kg	115		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5126SWE2 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	2.7	3.4
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	4.2（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2		
		風量		m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
		電動機	定格出力	W	86 × 2		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（P112：φ6.35）（フレア），室内分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ15.88（P112：φ12.7）（フレア），室内分岐管：φ15.88（P112：φ12.7），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）× 3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16（届出不要）	2.34（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDFZ-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDFZ2246HP5SB	FDFZ2806HP5SB
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP1605SB × 2台 室外：FDCZP2246H	室内：FDFZP1605SB × 2台 室外：FDCZP2806H
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.6 ～ 22.4]	25.0 [7.2 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.8）	11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.6	7.2
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.8 ～ 28.0]（最小：5.8）	28.0 [7.2 ～ 31.5]（最小：7.2）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			21.9	22.0
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.3	30.7
		暖房			17.8	26.3
	始動電流（最大電流）				5（39）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.08	10.2
			中間		1.95（中温：1.68）	2.47（中温：2.13）
			最小中温		0.96	1.11
		暖房	定格標準		5.93（最小：1.01）	8.74（最小：1.28）
			中間		1.95	2.44
			最大低温		9.16	9.10
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.29，中間：4.62	定格：2.46，中間：4.57
		暖房			定格：3.78，中間：5.18	定格：3.20，中間：5.16
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2	4.9
		(2006)			4.7	4.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：63，強：61，弱：56	
		音圧レベル			P急：55，急：51，強：49，弱：44	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：63，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 600 × 329	
		梱包			1898 × 708 × 481	
	製品質量			kg	49	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m³/min	P急：29，急：26，強：23，弱：19	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m³/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ12.7，（P224：40m以内φ9.52），室外接続：φ9.52（P280：φ12.7）（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	8.0 × 3本（31m）	8.0 × 3本（29m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.210kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(2) ハイパーインバータシリーズ
(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDTV）
冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTV-HK〕

PJF000Z862 F

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTV406HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP406HK	FDTV456HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP456HK	FDTV506HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP506HK
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.4 ～ 4.5]	4.5 [1.4 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.98	0.97	0.93
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.4	5.2	6.2
		暖房			4.7	5.3	5.8
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.756	0.896	1.09
			中間		0.244（中温：0.198）	0.257（中温：0.209）	0.304（中温：0.248）
			最小中温		0.154	0.154	0.154
		暖房	定格標準		0.807（最小：0.177）	0.937（最小：0.197）	1.04（最小：0.205）
			中間		0.275	0.320	0.353
			最大低温		1.66	1.66	2.29
	力率			%	冷：86，暖：86	冷：86，暖：88	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.76，中間：6.97	定格：4.46，中間：7.00	定格：4.13，中間：6.91
		暖房			定格：4.96，中間：6.55	定格：4.80，中間：6.56	定格：4.81，中間：6.52
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.8	6.8	6.8
		(2006)			6.4	6.4	6.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。		
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800 (+71) × 290		
		梱包			687 × 921 × 370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能 (9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.030kW × 1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTV-HK〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式						FDTV566HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP566HK	FDTV636HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP636HK
パネル形式（別売品）						293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ						RC-DX3D	
電源						単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格			kW	5.0 [1.4 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間				2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温				1.4	1.4
	暖房能力	定格標準				5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間				2.6	2.9
		最大低温				5.9	6.0
定格冷房時の顕熱比						0.88	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.8	7.7
		暖房				6.8	7.9
	始動電流（最大電流）					5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.24	1.43
			中間			0.350（中温：0.283）	0.398（中温：0.324）
			最小中温			0.154	0.154
		暖房	定格標準			1.25（最小：0.224）	1.53（最小：0.245）
			中間			0.408	0.459
			最大低温			2.46	2.31
	力率				%	冷：91，暖：92	冷：93，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房				定格：4.03，中間：6.57	定格：3.92，中間：6.53
		暖房				定格：4.48，中間：6.38	定格：4.12，中間：6.32
	通年エネルギー消費効率	（2015）				6.7	6.7
		（2006）				6.0	5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房			P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房			P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房			P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル				冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル				冷：49，暖：47	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	
		梱包				本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。	
	製品質量				kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器					アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数				ターボファン × 1	
		風量			m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0	
		電動機	定格出力		W	58	
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）	
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包				687 × 921 × 370	
	製品質量				kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力		kW	1.0	1.2
		空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器				電子膨張弁	
		冷媒封入量			kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1	
		風量			m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力		W	34	
	クランクケースヒータ				W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能 (9)	
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管				φ12.7（フレア接続）	
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（20）	
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力					トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTV-HK〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式						FDTV806HK6SA 室内：FDTZP806SA 室外：FDCVP806HK
パネル形式（別売品）						293 ページをご覧ください。
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						単相　200V　50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格			kW	7.1 [1.5 ～ 8.0]
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0 [1.1 ～ 10.0]（最小：2.0）
		中間				3.6
		最大低温				7.0
定格冷房時の顕熱比						0.97
(1) 運転特性	運転電流	冷房			A	9.1
		暖房				9.1
	始動電流（最大電流）					5（17）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.77
			中間			0.515（中温：0.420）
			最小中温			0.210
		暖房	定格標準			1.76（最小：0.290）
			中間			0.575
			最大低温			2.48
	力率				%	冷：97，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房				定格：4.01，中間：6.21
		暖房				定格：4.56，中間：6.26
	通年エネルギー消費効率	(2015)				6.6
		(2006)				5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房		dB(A)	P 急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房			P 急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房			P 急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房			P 急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル				冷：67，暖：68
		音圧レベル				冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	本体：288 × (408/298) × 840 × 840 (5)，パネル：293 ページをご覧ください。
		梱包				本体：303 × 871 × 855，パネル：293 ページをご覧ください。
	製品質量				kg	本体：24.5，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				ターボファン × 1
		風量			m^3/min	P 急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	120
	エアフィルタ					プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100 ダクト接続）
	新鮮空気取入口					側板を利用して可能（65 × 112 ダクト接続）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640 × 800 (+71) × 290
		梱包				687 × 921 × 370
	製品質量				kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力		kW	1.8
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1
		風量			m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力		W	64
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (9)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管				φ 15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（22m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1,32（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコン RC-DX3D から設定します。
(7) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 1 台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTV406H6SA	FDTV456H6SA	FDTV506H6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP406H	室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP456H	室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP506H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.4 ～ 4.0]	4.0 [1.4 ～ 4.5]	4.5 [1.4 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.98	0.97	0.93
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.6	3.0	3.6
		暖房			2.7	3.1	3.3
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.751	0.888	1.08
			中間		0.242（中温：0.193）	0.254（中温：0.206）	0.298（中温：0.245）
			最小中温		0.153	0.153	0.153
		暖房	定格標準		0.799（最小：0.175）	0.930（最小：0.192）	1.03（最小：0.202）
			中間		0.274	0.314	0.348
			最大低温		1.65	1.65	2.28
	力率			%	冷：83，暖：85	冷：85，暖：87	冷：87，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.79，中間：7.02	定格：4.50，中間：7.09	定格：4.17，中間：7.05
		暖房			定格：5.01，中間：6.57	定格：4.84，中間：6.69	定格：4.85，中間：6.61
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.9	6.9	6.9
		（2006）			6.5	6.8	6.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：48，急：45，強：43，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：48，急：45，強：41，弱：38	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：35，急：32，強：30，弱：28	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：35，急：32，強：28，弱：23	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。		
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290		
		梱包			687 × 921 × 370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTV566H6SA	FDTV636H6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP566H	室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP636H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.4～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.9	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.88	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.1	4.6
		暖房			4.0	4.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.21	1.42
			中間		0.347（中温：0.280）	0.393（中温：0.321）
			最小中温		0.153	0.153
		暖房	定格標準		1.23（最小：0.222）	1.51（最小：0.243）
			中間		0.403	0.455
			最大低温		2.45	2.30
	力率			%	冷：85，暖：89	冷：89，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.13，中間：6.63	定格：3.94，中間：6.62
		暖房			定格：4.55，中間：6.45	定格：4.17，中間：6.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.8	6.7
		（2006）			6.1	5.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：29，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	
		梱包			本体：241×871×855，パネル：293ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW×1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTV806H6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP806SA 室外：FDCVP806H
パネル形式（別売品）					293 ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.5 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.1 ～ 10.0]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.0
定格冷房時の顕熱比					0.97
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	5.5
		暖房			5.5
	始動電流（最大電流）				5（11）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.74
			中間		0.510（中温：0.417）
			最小中温		0.207
		暖房	定格標準		1.74（最小：0.288）
			中間		0.570
			最大低温		2.45
	力率			%	冷：91，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.08，中間：6.27
		暖房			定格：4.60，中間：6.32
	通年エネルギー消費効率	(2015)			6.6
		(2006)			5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P 急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房		P 急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房		P 急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房		P 急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：288 × (408/298) × 840 × 840 (5)，パネル：293 ページをご覧ください。
		梱包			本体：303 × 871 × 855，パネル：293 ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：24.5，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P 急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	120
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100 ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112 ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800 (+71) × 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコン RC-DX3D から設定します。
(7) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 1 台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTV1126H6SA 室内：FDTZP1606SA 室外：FDCVP1126H	FDTV1406H6SA 室内：FDTZP1606SA 室外：FDCVP1406H	FDTV1606H6SA 室内：FDTZP1606SA 室外：FDCVP1606H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.5）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.8～18.3］（最小：3.8）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			13.5	14.5	14.9
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.75	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.2	10.1	12.4
		暖房			7.1	9.5	11.6
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.41	3.44	4.20
			中間		0.795（中温：0.610）	0.990（中温：0.832）	1.10（中温：1.00）
			最小中温		0.414	0.430	0.480
		暖房	定格標準		2.35（最小：0.500）	3.20（最小：0.610）	3.91（最小：0.610）
			中間		0.765	1.00	1.18
			最大低温		5.30	5.85	5.85
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.15，中間：5.66	定格：3.63，中間：5.76	定格：3.33，中間：5.73
		暖房			定格：4.77，中間：6.67	定格：4.38，中間：6.30	定格：4.09，中間：6.10
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.4	6.0	5.8
		（2006）			6.0	5.7	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：62，急：58，強：50，弱：45	P急：62，急：58，強：51，弱：46	P急：62，急：58，強：53，弱：46
			暖房		P急：63，急：58，強：50，弱：44	P急：63，急：58，強：51，弱：45	P急：63，急：58，強：53，弱：45
		音圧レベル	冷房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29	P急：48，急：42，強：38，弱：29
			暖房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29	P急：48，急：42，強：38，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：288（408/298）×840×840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。		
		梱包			本体：303×871×855，パネル：293ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：36，急：25，強：22，弱：18	P急：36，急：27，強：24，弱：19	P急：36，急：28，強：25，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	120		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100，200×100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65×112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				［室内］VP25の排水管の接続可能［室外］内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW×1台
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTV-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTV1126HP6SA 室内：FDTZP636SA × 2台 室外：FDCVP1126H	FDTV1406HP6SA 室内：FDTZP716SA × 2台 室外：FDCVP1406H	FDTV1606HP6SA 室内：FDTZP806SA × 2台 室外：FDCVP1606H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	14.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.85	0.76	0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.7	9.9	11.1
		暖房			7.3	9.7	9.9
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.25	3.35	3.77
			中間		0.663（中温：0.535）	0.931（中温：0.805）	1.09（中温：0.986）
			最小中温		0.378	0.370	0.426
		暖房	定格標準		2.43（最小：0.468）	3.25（最小：0.539）	3.33（最小：0.659）
			中間		0.767	0.966	1.09
			最大低温		5.26	5.64	5.98
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.44，中間：6.79	定格：3.73，中間：6.12	定格：3.71，中間：5.78
		暖房			定格：4.61，中間：6.65	定格：4.31，中間：6.52	定格：4.80，中間：6.61
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.8	6.3	6.0
		（2006）			6.2	5.8	5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：57，急：51，強：46，弱：43
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：58，急：51，強：46，弱：43
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：43，急：35，強：31，弱：28
			暖房		P急：37，急：33，強：29，弱：25	P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：43，急：35，強：31，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。		
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21（P805S：24.5），標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11	P急：30，急：22，強：18，弱：15
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	58		120
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100ダクト接続）		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370		
		梱包			1180 × 1020 × 452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形，P140形：0.030kW × 2台，P160形：0.140kW × 2台
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用），共用タイプ（P71用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTV2246HP6SA	FDTV2806HP6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP1606SA × 2台 室外：FDCVP2246H	室内：FDTZP1606SA × 2台 室外：FDCVP2806H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0 ～ 22.4］	25.0［6.3 ～ 27.0］
		中間			9.0（中温：9.3）	11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6 ～ 28.0］（最小：5.6）	28.0［7.0 ～ 31.5］（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.87	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	16.6	25.2
		暖房			15.9	22.0
	始動電流（最大電流）				5（39）	5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.53	8.40
			中間		1.80（中温：1.52）	2.08（中温：2.12）
			最小中温		0.770	0.850
		暖房	定格標準		5.30（最小：0.967）	7.33（最小：1.30）
			中間		1.80	2.10
			最大低温		7.90	8.00
	力率			%	冷：96 ，暖：96	冷：96 ，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.62，中間：5.00	定格：2.98，中間：5.43
		暖房			定格：4.23，中間：5.61	定格：3.82，中間：5.94
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.4
		（2006）			5.1	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：62，急：58，強：50，弱：45	P急：62，急：58，強：51，弱：46
			暖房		P急：63，急：58，強：50，弱：44	P急：63，急：58，強：51，弱：45
		音圧レベル	冷房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29
			暖房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：62，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：288（408/298）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	
		梱包			本体：303 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：36，急：25 ，強：22，弱：18	P急：36，急：27 ，強：24，弱：19
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	120	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（口 100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(9)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.140kW × 2台
(8) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDTV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTV1606HT6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP636SA × 3台 室外：FDCVP1606H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.7～16.0］
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.7
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.0
定格冷房時の顕熱比					0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	11.1
		暖房			10.1
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	3.76
			中間		1.08（中温：0.926）
			最小中温		0.418
		暖房	定格標準		3.38（最小：0.615）
			中間		1.10
			最大低温		5.59
	力率			%	冷：98　，暖：97
	エネルギー消費効率		冷房		定格：3.72，中間：5.83
			暖房		定格：4.73，中間：6.55
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.2
		（2006）			5.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房		P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房		P急：37　，急：33　，強：29　，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72　，暖：73
		音圧レベル			冷：58　，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急：18　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	58
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（口 100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370
		梱包			1180 × 1020 × 452
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1
			電動機出力	kW	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86　，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 3台
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
　① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット:3台，室外ユニット:1台）〔FDTV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTV2246HT6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP716SA × 3台 室外：FDCVP2246H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.4）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	17.1
		暖房			17.8
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.82
			中間		1.56（中温：1.38）
			最小中温		0.913
		暖房	定格標準		5.94（最小：0.947）
			中間		1.86
			最大低温		8.60
	力率			%	冷：96 ，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.44，中間：5.77
		暖房			定格：3.77，中間：5.43
	通年エネルギー消費効率（2015）				5.5
	通年エネルギー消費効率（2006）				5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50 ，急：46 ，強：44 ，弱：42
			暖房		P急：51 ，急：46 ，強：43 ，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37 ，急：33 ，強：31 ，弱：29
			暖房		P急：37 ，急：33 ，強：31 ，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76 ，暖：74
		音圧レベル			冷：62 ，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急：19 ，急：15 ，強：13 ，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	58
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（口100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管(10)	液管(9)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.030kW × 3台
(8) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフロアアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDTV-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDTV2246HD6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP636SA × 4台 室外：FDCVP2246H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.5）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	15.9
		暖房			15.9
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.32
			中間		1.44（中温：1.26）
			最小中温		0.775
		暖房	定格標準		5.30（最小：0.900）
			中間		1.75
			最大低温		7.90
	力率			%	冷：96　，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.76　，中間：6.25
		暖房			定格：4.23　，中間：5.77
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1
		（2006）			5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房		P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房		P急：37　，急：33　，強：29　，弱：25
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76　，暖：74
		音圧レベル			冷：62　，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急：18　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	58
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（口 100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(13)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(11)（外径）	液管(9)		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7(フレア)，分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 4台
(8) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(11) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(12) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDTV-HD〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTV2806HD6SA 室内：FDTZP716SA × 4台 室外：FDCVP2806H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0［6.3～27.0］
		中間			11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.3
	暖房能力	定格標準			28.0［7.0～31.5］（最小：7.0）
		中間			12.6
		最大低温			21.2
定格冷房時の顕熱比					0.82
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	24.8
		暖房			22.9
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	8.25
			中間		1.96（中温：1.74）
			最小中温		0.823
		暖房	定格標準		7.64（最小：1.15）
			中間		2.19
			最大低温		7.90
	力率			%	冷：96　，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.03　，中間：5.77
		暖房			定格：3.66　，中間：5.75
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7
		（2006）			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50　，急：46　，強：44　，弱：42
			暖房		P急：51　，急：46　，強：43　，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
			暖房		P急：37　，急：33　，強：31　，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76　，暖：79
		音圧レベル			冷：62　，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急：19　，急：15　，強：13　，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	58
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（口 100ダクト接続）
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.030kW × 4台
(8) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(b) 天井埋込形小容量 4 方向吹出し（FDTCV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTCV-HK〕

PJF000Z868 A

項目 ＼ セット形式					FDTCV406HK6S	FDTCV456HK6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP406HK	室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP456HK
パネル形式（別売品）					TC-PSAE-5BW (8)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相 200V 50/60Hz	
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]
		中間			1.7（中温：1.7）	1.8（中温：1.8）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0[1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）
		中間			1.8	2.1
		最大低温			4.6	4.6
定格冷房時の顕熱比					0.83	0.80
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	5.3	6.1
		暖房			5.6	6.6
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.935	1.07
			中間		0.311（中温：0.261）	0.323（中温：0.282）
			最小中温		0.195	0.195
		暖房	定格標準		0.985（最小：0.233）	1.18（最小：0.251）
			中間		0.338	0.383
			最大低温		1.88	1.88
	力率			%	冷：88，暖：88	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.85，中間：5.47	定格：3.74，中間：5.57
		暖房			定格：4.06，中間：5.33	定格：3.81，中間：5.48
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1	5.1
		（2006）			5.2	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：56，強：51，弱：45	
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：38，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：213（248）× 570 × 570，パネル：50（10）× 620 × 620 (5)	
		梱包			本体：262 × 690 × 597，パネル：69 × 661 × 665	
	製品質量			kg	本体：14，エアフレックスパネル：3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				ー	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	0.6	0.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) パネルには，エアフレックス機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTCV-HK〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTCV506HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP506HK	FDTCV566HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP566HK
パネル形式（別売品）					TC-PSAE-5BW (8)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5 [1.3 ～ 5.0]	5.0 [1.3 ～ 5.6]
		中間			2.1（中温：2.1）	2.3（中温：2.4）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			5.0[1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）	5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）
		中間			2.3	2.6
		最大低温			5.1	5.1
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.1	8.0
		暖房			7.1	8.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.26	1.49
			中間		0.379（中温：0.334）	0.482（中温：0.444）
			最小中温		0.195	0.195
		暖房	定格標準		1.30（最小：0.268）	1.57（最小：0.315）
			中間		0.415	0.492
			最大低温		2.06	2.06
	力率			%	冷：89，暖：92	冷：93，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.57，中間：5.54	定格：3.36，中間：4.77
		暖房			定格：3.85，中間：5.54	定格：3.57，中間：5.28
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	4.8
		（2006）			5.2	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：56，強：51，弱：45	
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：38，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：61
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：213（248）×570×570，パネル：50（10）×620×620 (5)	
		梱包			本体：262×690×597，パネル：69×661×665	
	製品質量			kg	本体：14，エアフレックス/パネル：3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				ー	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	0.9	1.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) パネルには，エアフレックス機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTCV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTCV406H6S	FDTCV456H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP406H	室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP456H
パネル形式（別売品）					TC-PSAE-5BW (8)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]
		中間			1.7（中温：1.7）	1.8（中温：1.8）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0[1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.1）
		中間			1.8	2.1
		最大低温			4.6	4.6
定格冷房時の顕熱比					0.83	0.80
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.2	3.5
		暖房			3.3	3.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.923	1.04
			中間		0.308（中温：0.255）	0.322（中温：0.276）
			最小中温		0.192	0.192
		暖房	定格標準		0.973（最小：0.230）	1.15（最小：0.248）
			中間		0.336	0.382
			最大低温		1.87	1.87
	力率			%	冷：83，暖：85	冷：86，暖：87
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.90，中間：5.52	定格：3.85，中間：5.59
		暖房			定格：4.11，中間：5.36	定格：3.91，中間：5.50
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	5.2
		（2006）			5.2	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：56，強：51，弱：45	
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：38，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：213（248）×570×570，パネル：50（10）×620×620 (5)	
		梱包			本体：262×690×597，パネル：69×661×665	
	製品質量			kg	本体：14，エアフレックス/パネル：3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				ー	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	0.6	0.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	15 30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) パネルには，エアフレックス機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTCV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTCV506H6S	FDTCV566H6S
					室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP506H	室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP566H
パネル形式（別売品）					TC-PSAE-5BW (8)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5 [1.3 ～ 5.0]	5.0 [1.3 ～ 5.6]
		中間			2.1（中温：2.1）	2.3（中温：2.4）
		最小中温			1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			5.0[1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）	5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）
		中間			2.3	2.6
		最大低温			5.1	5.1
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.1	4.8
		暖房			4.2	5.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.24	1.46
			中間		0.378（中温：0.325）	0.473（中温：0.435）
			最小中温		0.192	0.192
		暖房	定格標準		1.28（最小：0.263）	1.54（最小：0.308）
			中間		0.414	0.483
			最大低温		2.05	2.05
	力率			%	冷：87，暖：88	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.63，中間：5.56	定格：3.42，中間：4.86
		暖房			定格：3.91，中間：5.56	定格：3.64，中間：5.38
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	4.9
		（2006）			5.2	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：56，強：51，弱：45	
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：38，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：61
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：213（248）× 570 × 570，パネル：50（10）× 620 × 620 (5)	
		梱包			本体：262 × 690 × 597，パネル：69 × 661 × 665	
	製品質量			kg	本体：14，エアフレックスパネル：3	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様)，ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100×100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				ー	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	0.9	1.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) パネルには，エアフレックス機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(c) 天井埋込形２方向吹出し（FDTWV）
冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWV-HK〕

PJB001Z916 D

項目 ＼ セット形式					FDTWV406HK6S	FDTWV456HK6S	FDTWV506HK6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP406HK	室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP456HK	室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP506HK
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.98	0.93	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.0	5.9	6.5
		暖房			5.3	6.3	6.5
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.910	1.10	1.25
			中間		0.305（中温：0.248）	0.332（中温：0.273）	0.396（中温：0.340）
			最小中温		0.192	0.197	0.182
		暖房	定格標準		0.955（最小：0.212）	1.16（最小：0.238）	1.24（最小：0.263）
			中間		0.327	0.367	0.410
			最大低温		1.80	1.77	2.81
	力率			%	冷：91，暖：90	冷：93，暖：92	冷：96，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.96，中間：5.57	定格：3.64，中間：5.42	定格：3.60，中間：5.31
		暖房			定格：4.19，中間：5.50	定格：3.88，中間：5.72	定格：4.03，中間：5.61
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.5	5.4
		（2006）			5.3	5.2	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46		
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。		
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能） (8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV566HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP566HK	FDTWV636HK6S 室内：FDTWZP636S 室外：FDCVP636HK
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.3 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.3
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.2	9.1
		暖房			7.8	9.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.40	1.77
			中間		0.448（中温：0.380）	0.482（中温：0.433）
			最小中温		0.192	0.198
		暖房	定格標準		1.52（最小：0.278）	1.84（最小：0.310）
			中間		0.478	0.529
			最大低温		3.03	2.67
	力率			%	冷：97，暖：97	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.57，中間：5.13	定格：3.16，中間：5.39
		暖房			定格：3.68，中間：5.43	定格：3.42，中間：5.48
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.3	5.2
		(2006)			4.9	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）× 820 × 620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：315 × 997 × 693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21（P63形：23），標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	40
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTWV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV806HK6S 室内：FDTWZP806S 室外：FDCVP806HK
パネル形式（別売品）					294 ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.4 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.7
定格冷房時の顕熱比					0.69
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	11.1
		暖房			11.4
	始動電流（最大電流）				5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.17
			中間		0.610（中温：0.545）
			最小中温		0.233
		暖房	定格標準		2.23（最小：0.347）
			中間		0.650
			最大低温		2.65
	力率			%	冷：98，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.27，中間：5.25
		暖房			定格：3.59，中間：5.54
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P 急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P 急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275 ×（325）× 820 × 620 (5)，パネル：294 ページをご覧ください。
		梱包			本体：315 × 997 × 693，パネル：294 ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P 急：17，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ 200mm フレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能） (8)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ 125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800 (+71) × 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（22m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1 台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV406H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP406H	FDTWV456H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP456H	FDTWV506H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP506H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.98	0.93	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.1	3.6	4.1
		暖房			3.2	3.9	4.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.900	1.09	1.24
			中間		0.300（中温：0.247）	0.328（中温：0.271）	0.392（中温：0.338）
			最小中温		0.191	0.191	0.181
		暖房	定格標準		0.950（最小：0.210）	1.15（最小：0.230）	1.23（最小：0.261）
			中間		0.324	0.364	0.407
			最大低温		1.79	1.76	2.80
	力率			%	冷：84，暖：86	冷：87，暖：85	冷：87，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.00，中間：5.67	定格：3.67，中間：5.48	定格：3.63，中間：5.35
		暖房			定格：4.21，中間：5.56	定格：3.91，中間：5.77	定格：4.07，中間：5.65
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.6	5.5
		（2006）			5.4	5.3	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46		
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。		
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能） (8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能 (9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	15 30（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV566H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP566H	FDTWV636H6S 室内：FDTWZP636S 室外：FDCVP636H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.3 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.3
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.71
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.4	5.3
		暖房			4.7	5.5
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.76
			中間		0.445（中温：0.378）	0.478（中温：0.430）
			最小中温		0.190	0.197
		暖房	定格標準		1.51（最小：0.276）	1.83（最小：0.308）
			中間		0.475	0.525
			最大低温		3.02	2.66
	力率			%	冷：91，暖：93	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：5.17	定格：3.18，中間：5.44
		暖房			定格：3.71，中間：5.47	定格：3.44，中間：5.52
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.3
		（2006）			4.9	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）× 820 × 620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：315 × 997 × 693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21（P63形：23），標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35	40
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能） (8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV806H6S 室内：FDTWZP806S 室外：FDCVP806H
パネル形式（別売品）					294 ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.4 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.7
定格冷房時の顕熱比					0.69
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	6.7
		暖房			7.0
	始動電流（最大電流）				5（11）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.14
			中間		0.607（中温：0.542）
			最小中温		0.231
		暖房	定格標準		2.20（最小：0.345）
			中間		0.647
			最大低温		2.60
	力率			%	冷：92，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.32，中間：5.27
		暖房			定格：3.64，中間：5.56
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P 急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P 急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275 ×（325）× 820 × 620 (5)，パネル：294 ページをご覧ください。
		梱包			本体：315 × 997 × 693，パネル：294 ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P 急：17，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ 200mm フレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能） (8)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ 125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用 ·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1 台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTWV1126H6S 室内：FDTWZP1406S 室外：FDCVP1126H	FDTWV1406H6S 室内：FDTWZP1406S 室外：FDCVP1406H	FDTWV1606H6S 室内：FDTWZP1606S 室外：FDCVP1606H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.8～18.3］（最小：3.8）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.69	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.5	11.3	16.1
		暖房			8.3	11.8	14.1
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.52	3.83	5.46
			中間		0.748（中温：0.619）	1.08（中温：1.14）	1.28（中温：1.16）
			最小中温		0.442	0.465	0.432
		暖房	定格標準		2.76（最小：0.500）	3.96（最小：0.647）	4.73（最小：0.703）
			中間		0.899	1.16	1.29
			最大低温		5.87	5.68	6.64
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.97，中間：6.02	定格：3.26，中間：5.28	定格：2.56，中間：4.92
		暖房			定格：4.06，中間：5.67	定格：3.54，中間：5.43	定格：3.38，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.9	4.9	5.1
		（2006）			5.4	4.9	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：60，強：56，弱：52		
		音圧レベル			P急：48，急：45，強：41，弱：37		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×1535×620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。		
		梱包			本体：352×1712×693，パネル：294ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：35，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15		本体：37，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×2		
		風量		m^3/min	P急：31，急：27，強：23，弱：20		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35×2		40×2
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能） (8)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112，P140形：0.10kW×1台，P160形：0.11kW×1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140用）および共用タイプ（P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTWV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV1126HP6S	FDTWV1406HP6S	FDTWV1606HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP566S × 2台 室外：FDCVP1126H	室内：FDTWZP806S × 2台 室外：FDCVP1406H	室内：FDTWZP806S × 2台 室外：FDCVP1606H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.73	0.68	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.5	11.1	15.1
		暖房			8.6	11.5	12.9
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.53	3.77	5.11
			中間		0.797（中温：0.617）	1.02（中温：0.858）	1.20（中温：1.01）
			最小中温		0.478	0.443	0.468
		暖房	定格標準		2.86（最小：0.511）	3.86（最小：0.617）	4.35（最小：0.720）
			中間		0.882	1.10	1.28
			最大低温		5.69	5.68	6.13
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.95，中間：5.65	定格：3.32，中間：5.59	定格：2.74，中間：5.25
		暖房			定格：3.92，中間：5.78	定格：3.63，中間：5.73	定格：3.68，中間：5.63
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.9	5.7	5.4
		（2006）			5.3	5.1	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46	P急：58，急：54，強：50，弱：47	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）×820×620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。		
		梱包			本体：315×997×693，パネル：294ページをご覧ください。		
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			ターボファン×1		
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9		P急：17，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト×1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)		
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形，P140形：0.04kW×2台，P160形：0.06kW×2台

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTWV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV2246HP6S	FDTWV2806HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP1406S × 2台 室外：FDCVP2246H	室内：FDTWZP1406S × 2台 室外：FDCVP2806H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	25.0 [6.3 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.5）	11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.3	30.3
		暖房			18.0	26.7
	始動電流（最大電流）				5（39）	5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.09	10.1
			中間		1.71（中温：1.55）	2.36（中温：2.14）
			最小中温		0.867	0.914
		暖房	定格標準		6.0（最小：1.07）	8.89（最小：1.36）
			中間		1.96	2.65
			最大低温		8.70	8.80
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.28，中間：5.26	定格：2.48，中間：4.79
		暖房			定格：3.73，中間：5.15	定格：3.15，中間：4.75
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	4.7
		（2006）			4.8	4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：60，強：56，弱：52	
		音圧レベル			P急：48，急：45，強：41，弱：37	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：81，暖：79
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：67，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）× 1535 × 620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：352 × 1712 × 693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：35，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：31，急：27，強：23，弱：20	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35 × 2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(11)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	7.6（R410A）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.100kW × 2台
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) しゃ風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：3台，室外ユニット：1台）〔FDTWV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV1606HT6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP566S × 3台 室外：FDCVP1606H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5～16.0］
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.0
定格冷房時の顕熱比					0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.8
		暖房			11.7
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.33
			中間		1.27（中温：1.02）
			最小中温		0.625
		暖房	定格標準		3.93（最小：0.724）
			中間		1.27
			最大低温		6.06
	力率			%	冷：98　，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.23　，中間：4.96
		暖房			定格：4.07　，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3
		（2006）			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：53，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）× 820 × 620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。
		梱包			本体：315 × 997 × 693，パネル：294ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370
		梱包			1180 × 1020 × 452
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1
			電動機出力	kW	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52　（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸込管温度センサ，熱交温度センサ，パワトラ温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.04kW × 3台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満　：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上　：DIS-WA1Gを2セット
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTWV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV2246HT6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP806S × 3台 室外：FDCVP2246H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.5）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.66
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	20.7
		暖房			21.0
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.89
			中間		1.80（中温：1.65）
			最小中温		0.960
		暖房	定格標準		7.01（最小：1.08）
			中間		2.09
			最大低温		9.40
	力率			%	冷：96　，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.90　，中間：5.00
		暖房			定格：3.20　，中間：4.83
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.8
		（2006）			4.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：56，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：38，弱：34
	室外ユニット	パワーレベル			冷：77，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）× 820 × 620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。
		梱包			本体：315 × 997 × 693，パネル：294ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急：17，急：13，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	50
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(11)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置 圧縮機	形式・台数			RMT5141SBE1 × 1
		電動機出力		kW	4.5
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	冷媒制御器				電子膨張弁
	冷媒封入量			kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
	冷凍機油封入量			L	1.00（M-MB75）
	送風装置 形式・台数				プロペラファン × 2
	風量			m^3/min	冷：145，暖：130
	電動機	定格出力		W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 3台
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 総配管長は105m以内となります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDTWV-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDTWV2246HD6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP566S × 4台 室外：FDCVP2246H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.5）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.3
		暖房			18.7
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.09
			中間		1.82（中温：1.67）
			最小中温		1.00
		暖房	定格標準		6.23（最小：1.04）
			中間		1.95
			最大低温		8.90
	力率			%	冷：96 ，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.28 ，中間：4.95
		暖房			定格：3.60 ，中間：5.18
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.0
		（2006）			4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57 ，急：53 ，強：49 ，弱：46
		音圧レベル			P急：42 ，急：38 ，強：34 ，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76 ，暖：74
		音圧レベル			冷：62 ，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）× 820 × 620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。
		梱包			本体：315 × 997 × 693，パネル：294ページをご覧ください。
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1
		風量		m^3/min	P急：15，急：12 ，強：10，弱：9
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	35
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(12)
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(13)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO ，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.040kW × 4台
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(d) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTSV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSV-HK〕

PJC001Z530 C

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDTSV406HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP406HK	FDTSV456HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP456HK	FDTSV506HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP506HK
パネル形式（別売品） 標準仕様（直吹き）・オートスイング付					TS-PSA-3AW		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.1）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）	5.0 [1.3 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.8	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.86	0.88
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	5.2	6.0	6.8
		暖房			5.3	6.4	6.7
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.910	1.09	1.27
			中間		0.300（中温：0.239）	0.321（中温：0.270）	0.375（中温：0.321）
			最小中温		0.186	0.186	0.173
		暖房	定格標準		0.930（最小：0.222）	1.19（最小：0.242）	1.25（最小：0.263）
			中間		0.335	0.376	0.410
			最大低温		1.77	1.85	2.63
	力率			%	冷：88，暖：88	冷：91，暖：93	冷：93，暖：93
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.96，中間：5.67	定格：3.67，中間：5.61	定格：3.54，中間：5.61
		暖房			定格：4.30，中間：5.38	定格：3.78，中間：5.59	定格：4.00，中間：5.61
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.5	5.5
		（2006）			5.3	5.2	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）× 1150 × 565，パネル：68（35）× 1460 × 650 (5)		
		梱包			本体：298 × 1324 × 651，パネル：360 × 735 × 710		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4		
		風量		m³/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290		
		梱包			687 × 921 × 370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m³/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P40，P45形：0.04kW × 1台，P50形：0.06kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSV566HK6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCVP566HK	FDTSV636HK6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCVP636HK
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.9	8.8
		暖房			7.5	9.2
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.49	1.68
			中間		0.435（中温：0.373）	0.492（中温：0.445）
			最小中温		0.197	0.213
		暖房	定格標準		1.41（最小：0.285）	1.74（最小：0.324）
			中間		0.472	0.535
			最大低温		2.88	2.63
	力率			%	冷：94，暖：94	冷：95，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.36，中間：5.29	定格：3.33，中間：5.28
		暖房			定格：3.97，中間：5.51	定格：3.62，中間：5.42
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.1
		（2006）			5.0	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：63，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：48，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650(5)	
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m³/min	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5	P急：16，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.06kW × 1台，P63形：0.08kW × 1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDTSV-HK〕

項目 ＼ セット形式						FDTSV806HK6S
項目 ＼ 形式						室内：FDTSZP806S 室外：FDCVP806HK
パネル形式(別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付					TS-PSA-3AW
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1 [1.4 ～ 8.0]
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0 [1.1 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間				3.6
		最大低温				6.5
定格冷房時の顕熱比						0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	11.9
		暖房				11.2
	始動電流（最大電流）					5（17）
	消費電力	冷房	定格		kW	2.33
			中間			0.672（中温：0.610）
			最小中温			0.255
		暖房	定格標準			2.20（最小：0.360）
			中間			0.643
			最大低温			2.50
	力率				%	冷：98，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.05，中間：4.76
		暖房				定格：3.64，中間：5.6
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.1
		(2006)				4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P 急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル				P 急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル				冷：67，暖：68
		音圧レベル				冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	本体：223（220）× 1150 × 565，パネル：68（35）× 1460 × 650(5)
		梱包				本体：298 × 1324 × 651，パネル：360 × 735 × 710
	製品質量				kg	本体：28，標準パネル：6
	空気熱交換器					アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 4
		風量			m^3/min	P 急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	70
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	新鮮空気取入口					背面を利用して可能
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包				687 × 921 × 370
	製品質量				kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力		kW	1.8
		空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1
		風量			m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力		W	64
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (8)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管				φ 15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（22m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1,32（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.090kW × 1 台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71, P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTSV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSV406H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP406H	FDTSV456H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP456H	FDTSV506H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP506H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.3～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.8	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.86	0.88
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.0	3.6	4.1
		暖房			3.1	3.9	4.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.900	1.08	1.25
			中間		0.297（中温：0.236）	0.319（中温：0.268）	0.371（中温：0.319）
			最小中温		0.180	0.180	0.180
		暖房	定格標準		0.920（最小：0.218）	1.18（最小：0.240）	1.23（最小：0.263）
			中間		0.332	0.373	0.406
			最大低温		1.76	1.84	2.62
	力率			%	冷：87，暖：86	冷：87，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.00，中間：5.72	定格：3.70，中間：5.64	定格：3.60，中間：5.66
		暖房			定格：4.35，中間：5.43	定格：3.81，中間：5.63	定格：4.07，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.6	5.6
		（2006）			5.4	5.3	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：57，急：55，強：53，弱：50	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル			P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：42，急：40，強：38，弱：35	P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650(5)		
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710		
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m³/min	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：13，急：12，強：11，弱：9.5	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	35		50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m³/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	15 30（15）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40，P45形：0.04kW×1台，P50形：0.06kW×1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTSV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDTSV566H6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCVP566H	FDTSV636H6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCVP636H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.82	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.8	5.1
		暖房			4.4	5.2
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.48	1.67
			中間		0.431（中温：0.371）	0.489（中温：0.450）
			最小中温		0.195	0.212
		暖房	定格標準		1.40（最小：0.282）	1.73（最小：0.319）
			中間		0.467	0.530
			最大低温		2.87	2.62
	力率			%	冷：89，暖：92	冷：95，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.38，中間：5.33	定格：3.35，中間：5.32
		暖房			定格：4.00，中間：5.56	定格：3.64，中間：5.47
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.2
		（2006）			5.1	4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：63，急：57，強：54，弱：50
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：48，急：42，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650(5)	
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710	
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m³/min	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5	P急：16，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	50	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.06kW × 1台，P63形：0.08kW×1台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTSV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDTSV806H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTSZP806S 室外：FDCVP806H
パネル形式(別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付				TS-PSA-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.4 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.1 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.5
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.2
		暖房			6.9
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.30
			中間		0.670（中温：0.603）
			最小中温		0.254
		暖房	定格標準		2.18（最小：0.358）
			中間		0.638
			最大低温		2.48
	力率			%	冷：92，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.09，中間：4.78
		暖房			定格：3.67，中間：5.64
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.1
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）× 1150 × 565，パネル：68（35）× 1460 × 650(5)
		梱包			本体：298 × 1324 × 651，パネル：360 × 735 × 710
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.090kW × 1 台
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71, P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2 台，室外ユニット：1 台）〔FDTSV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTSV1126HP6S 室内：FDTSZP636S × 2台 室外：FDCVP1126H	FDTSV1406HP6S 室内：FDTSZP806S × 2台 室外：FDCVP1406H	FDTSV1606HP6S 室内：FDTSZP806S × 2台 室外：FDCVP1606H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 2枚		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	10.0 [3.3 ～ 11.2]	12.5 [3.3 ～ 14.0]	14.0 [3.5 ～ 16.0]
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2 [2.9 ～ 14.3]（最小：2.9）	14.0 [3.6 ～ 18.3]（最小：3.6）	16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.69	0.69	0.65
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	7.6	10.6	14.8
		暖房			8.2	11.2	13.5
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.55	3.60	5.04
			中間		0.824（中温：0.710）	1.08（中温：0.967）	1.27（中温：1.14）
			最小中温		0.476	0.457	0.532
		暖房	定格標準		2.72（最小：0.566）	3.78（最小：0.628）	4.55（最小：0.725）
			中間		0.921	1.16	1.34
			最大低温		5.93	5.87	6.13
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.92，中間：5.46	定格：3.47，中間：5.28	定格：2.78，中間：4.96
		暖房			定格：4.12，中間：5.54	定格：3.70，中間：5.43	定格：3.52，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	5.3	5.0
		（2006）			5.2	4.9	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：57，強：54，弱：50	P急：64，急：61，強：56，弱：51	P急：65，急：61，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：39，弱：35	P急：49，急：46，強：41，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650(5)		
		梱包			本体：298×1324×651，パネル：360×735×710		
	製品質量			kg	本体：28，標準パネル：6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4		
		風量		m³/min	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5	P急：17，急：15，強：12，弱：10	P急：18，急：15，強：12，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	50	70	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m³/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.06kW × 2台，P140形，P160形：0.09kW × 2台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P56，P63用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDTSV-HT〕

項目 ＼ セット形式						FDTSV1606HT6S
項目 ＼ 形式						室内：FDTSZP506S × 3台 室外：FDCVP1606H
パネル形式（別売品）	標準仕様（直吹き）・オートスイング付					TS-PSA-3AW × 3枚
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間				6.3（中温：6.4）
		最小中温				3.5
	暖房能力	定格標準				16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間				7.2
		最大低温				14.0
定格冷房時の顕熱比						0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	13.5
		暖房				12.1
	始動電流（最大電流）					5（23）
	消費電力	冷房	定格		kW	4.58
			中間			1.29（中温：1.11 ）
			最小中温			0.541
		暖房	定格標準			4.08（最小：0.738）
			中間			1.37
			最大低温			6.25
	力率				%	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.06，中間：4.88
		暖房				定格：3.92，中間：5.26
	通年エネルギー消費効率	（2015）				5.1
		（2006）				4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：59，急：56，強：53，弱：50
		音圧レベル				P急：44，急：41，強：38，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル				冷：72，暖：73
		音圧レベル				冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	本体：223（220）×1150×565，パネル：68（35）×1460×650(5)
		梱包				本体：298×1324×651，パネル：360×735×710
	製品質量				kg	本体：27，標準パネル：6
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン×4
		風量			m^3/min	P急：15，急：13，強：11，弱：9.5
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	50
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	新鮮空気取入口					背面を利用して可能
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1050×970×370
		梱包				1180×1020×452
	製品質量				kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5134SWE3×1
			電動機出力		kW	3.7
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量			L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×1
		風量			m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力		W	144
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管			mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管				室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（30）
	アース線サイズ				mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	2.82（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法，〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW × 3台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)トリプル形(室内ユニット:3台,室外ユニット:1台)〔FDTSV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDTSV2246HT6S
項目 ＼ 形式					室内:FDTSZP806S × 3台 室外:FDCVP2246H
パネル形式(別売品)	標準仕様(直吹き)・オートスイング付				TS-PSA-3AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0[6.0 ～ 22.4]
		中間			9.0(中温:9.3)
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4[5.6 ～ 28.0](最小:5.6)
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	20.3
		暖房			20.1
	始動電流(最大電流)				5(39)
	消費電力	冷房	定格	kW	6.77
			中間		1.86(中温:1.73)
			最小中温		1.11
		暖房	定格標準		6.69(最小:1.16)
			中間		2.10
			最大低温		9.40
	力率			%	冷:96, 暖:96
	エネルギー消費効率	冷房			定格:2.95, 中間:4.84
		暖房			定格:3.35, 中間:4.81
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.6
		(2006)			4.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急:65, 急:61, 強:56, 弱:51
		音圧レベル			P急:50, 急:46, 強:41, 弱:36
	室外ユニット	パワーレベル			冷:76, 暖:74
		音圧レベル			冷:62, 暖:60
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	本体:223(220)×1150×565, パネル:68(35)×1460×650(5)
		梱包			本体:298×1324×651, パネル:360×735×710
	製品質量			kg	本体:28, 標準パネル:6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	P急:18, 急:15, 強:12, 弱:10
		機外静圧(標準風量時)		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様), ロングライフフィルタ, 洗浄可能
	新鮮空気取入口				背面を利用して可能
	運転調整				操作(運転切換, 風量調整, タイマー, 換気), 室温調節(電子サーモスタット), 表示(運転·点検用·LED, 液晶表示)
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P, CNTA:2P)を保有(室内基板上)
	加湿器				ー(組込不可能)
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機:防振ゴム, 外板:吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0 (R32) [主管配管30m分封入済]
		冷凍機油封入量		L	1.00 (M-MB75)
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷:145, 暖:130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機:防振ゴム, 吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(外径)(9)	液管(8)		mm	室内接続:φ9.52(フレア), 分岐管:φ9.52, 主管:φ9.52, 室外接続:φ9.52(フレア)
		ガス管			室内接続:φ15.88(フレア), 分岐管:φ15.88, 主管:φ25.4, 室外接続:φ25.4(ろう付)
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm^2	8.0 × 3本(26m)
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A	50
	開閉器容量(ヒューズ容量)				60(50)
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上(M5)
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0(φ1.6mm)×3本(～70m), 3.5×3本(～120m)
設計圧力				MPa	高圧部:4.15, 低圧部:2.26
法定冷凍能力				トン	3.65(届出不要)
IPコード					室内:IPXO, 室外:IPX4
保護装置					高圧スイッチ, 低圧センサ, 吐出管温度センサ, 吸入管温度センサ, 熱交温度センサ, 電流センサ, ヒューズ, ファンモータマイコン式過負荷保護, フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力, 通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は, 適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し, 反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け, 表示値より大きくなるのが普通です。なお, 室外ユニットは本体前方1m, 高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの( )内寸法は右記の高さを示します。〔本体〕天井内部の寸法, 〔パネル〕天井から露出する部分の寸法。
(6) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.090kW × 3台
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し, その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合, 主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) トリプル機の分岐配管は, 必ず下記を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 :DIS-TB1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 :DIS-WA1G, DIS-WC1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ(P71, P80用)で, 室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され, 上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し, 管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(e) 天埋カセテリア（FDRV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

PJG000Z862 D

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRV406HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP406HK		FDRV456HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP456HK		FDRV506HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP506HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW
リモートコントローラ					RC-DX3D					
電源					単相 200V 50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]		4.0 [1.3 ～ 4.5]		4.5 [1.3 ～ 5.0]	
		中間			1.7（中温：1.8）		1.8（中温：1.9）		2.1（中温：2.2）	
		最小中温			1.3		1.3		1.3	
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.0）		4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）		5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.2）	
		中間			1.8		2.1		2.3	
		最大低温			4.6		4.6		5.2	
定格冷房時の顕熱比					0.84		0.80		0.75	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.1		5.9		7.0	
		暖房			5.1		6.0		6.8	
	始動電流（最大電流）				5（17）		5（17）		5（17）	
	消費電力	冷房	定格	kW	0.880		1.04		1.21	
			中間		0.340（中温：0.270）		0.350（中温：0.300）		0.418（中温：0.380）	
			最小中温		0.195		0.195		0.195	
		暖房	定格標準		0.890（最小：0.220）		1.06（最小：0.240）		1.22（最小：0.270）	
			中間		0.350		0.400		0.438	
			最大低温		1.60		1.60		2.06	
	力率			%	冷：86，暖：87		冷：88，暖：88		冷：87，暖：90	
	工ネルギー消費効率	冷房			定格：4.09，中間：5.00		定格：3.85，中間：5.14		定格：3.72，中間：5.02	
		暖房			定格：4.49，中間：5.14		定格：4.25，中間：5.25		定格：4.10，中間：5.25	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3		5.3		5.1	
		（2006）			5.1		5.1		5.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60		冷：60，暖：61		冷：60，暖：61	
		音圧レベル			冷：44，暖：45		冷：45，暖：45		冷：45，暖：46	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）× 750 × 635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）× 750 × 635 (5) (6)					
		本体梱包			321 × 936 × 799					
		パネル			295ページをご覧ください。					
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1					
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8					
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：100（リモコンから設定）					
		電動機	定格出力	W	100					
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）					
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290					
		梱包			687 × 921 × 370					
	製品質量			kg	47					
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1					
			電動機出力	kW	0.6		0.8		0.9	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式					
		冷媒制御器			電子膨張弁					
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］					
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1					
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33					
		電動機	定格出力	W	34					
	クランクケースヒータ			W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）					
		ガス管			φ12.7（フレア接続）					
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5（φ2.0mm）×2本（18m）					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30					
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）					
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本					
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）		0.83（届出不要）		1.08（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4					
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）

(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDRV566HK6S		FDRV636HK6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S 室外：FDCVP566HK		室内：FDRZP636S 室外：FDCVP636HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D			
電源					単相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］		5.6［1.4～6.3］	
		中間			2.3（中温：2.4）		2.6（中温：2.7）	
		最小中温			1.3		1.4	
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）		6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）	
		中間			2.6		2.9	
		最大低温			5.4		5.8	
定格冷房時の顕熱比					0.75		0.87	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.6		9.9	
		暖房			7.9		8.3	
	始動電流（最大電流）				5（17）		5（18）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39		1.82	
			中間		0.470（中温：0.422）		0.503（中温：0.435）	
			最小中温		0.210		0.207	
		暖房	定格標準		1.46（最小：0.285）		1.58（最小：0.286）	
			中間		0.488		0.494	
			最大低温		2.30		2.48	
	力率			%	冷：91，暖：92		冷：92，暖：95	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：4.89		定格：3.08，中間：5.17	
		暖房			定格：3.84，中間：5.33		定格：3.99，中間：5.87	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.0		5.4	
		（2006）			4.9		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：64，暖：61		冷：63，暖：64	
		音圧レベル			冷：49，暖：47		冷：49，暖：49	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	279（348）×750×635 (5)	279（348＋α）×750×635 (5) (6)	279（348）×950×635 (5)	279（348＋α）×950×635 (5) (6)
		本体梱包			321×936×799		321×1136×799	
		パネル			295ページをご覧ください。			
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）			
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（P63形キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2（P63形：3）スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290			
		梱包			687×921×370			
	製品質量			kg	47			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1			
			電動機出力	kW	1.0		1.2	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1			
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33		冷：38，暖：38	
		電動機	定格出力	W	34			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）			
		ガス管			φ12.7（フレア接続）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5（φ2.0mm）×2本（18m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）			
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）		1.12（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4			
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRV806HK6S	
					室内：FDRZP806S 室外：FDCVP806HK	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.3 ～ 8.0]	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 9.6]（最小：2.0）	
		中間			3.6	
		最大低温			6.5	
定格冷房時の顕熱比					0.77	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	11.6	
		暖房			11.5	
	始動電流（最大電流）				5（19）	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.25	
			中間		0.600（中温：0.545）	
			最小中温		0.283	
		暖房	定格標準		2.25（最小：0.390）	
			中間		0.680	
			最大低温		2.66	
	力率			%	冷：97，暖：98	
	工ネルギー消費効率	冷房			定格：3.16，中間：5.33	
		暖房			定格：3.56，中間：5.29	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.1	
		(2006)			4.8	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68	
		音圧レベル			冷：54，暖：54	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	279（348）× 950 × 635 (5)	279（348 ＋α）× 950 × 635 (5)(6)
		本体梱包			321 × 1136 × 799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ 200mm フレキシブルダクト × 2（P63 形：3）スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ 125mm，背面：φ 150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ 125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1	
			電動機出力	kW	1.8	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）［配管 30m 分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48	
		電動機	定格出力	W	64	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（20m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 1 台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大 0.190kW（静圧 100Pa）× 1 台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71, P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，eco タッチリモコン RC-DX3D メニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV406H6S	FDRV456H6S		FDRV506H6S	
					室内：FDRZP566S 室外：FDCVP406H	室内：FDRZP566S 室外：FDCVP456H		室内：FDRZP566S 室外：FDCVP506H	
吸込パネル					サイレントパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-2AW	R-PNC-2AW
リモートコントローラ					RC-DX3D				
電源					三相　200V　50/60Hz				
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］		4.5［1.3～5.0］	
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）		2.1（中温：2.2）	
		最小中温			1.3	1.3		1.3	
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）		5.0［1.2～5.6］（最小：1.2）	
		中間			1.8	2.1		2.3	
		最大低温			4.6	4.6		5.2	
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.80		0.75	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.0	3.4		3.9	
		暖房			3.0	3.6		4.0	
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）		5（13）	
	消費電力	冷房	定格	kW	0.875	1.03		1.20	
			中間		0.338（中温：0.270）	0.348（中温：0.295）		0.410（中温：0.360）	
			最小中温		0.195	0.195		0.195	
		暖房	定格標準		0.885（最小：0.210）	1.05（最小：0.235）		1.21（最小：0.265）	
			中間		0.340	0.395		0.431	
			最大低温		1.60	1.60		2.06	
	力率			%	冷：85，暖：85	冷：87，暖：85		冷：88，暖：88	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.11，中間：5.03	定格：3.88，中間：5.17		定格：3.75，中間：5.12	
		暖房			定格：4.52，中間：5.29	定格：4.29，中間：5.32		定格：4.13，中間：5.34	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.4		5.2	
		（2006）			5.2	5.2		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61		冷：60，暖：61	
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45		冷：45，暖：46	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×750×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×750×635 (5) (6)				
		本体梱包			321×936×799				
		パネル			295ページをご覧ください。				
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式				
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1				
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8				
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)				
		電動機	定格出力	W	100				
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能				
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）				
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）				
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）				
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）				
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）				
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付				
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290				
		梱包			687×921×370				
	製品質量			kg	46				
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1				
			電動機出力	kW	0.6	0.8		0.9	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式				
		冷媒制御器			電子膨張弁				
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］				
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）				
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1				
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33				
		電動機	定格出力	W	34				
	クランクケースヒータ			W	20				
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)				
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式				
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付				
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）				
		ガス管			φ12.7（フレア接続）				
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個				
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）				
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20				
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）				
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）				
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本				
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26				
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）		1.08（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4				
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ				

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）

(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRV566H6S		FDRV636H6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S 室外：FDCVP566H		室内：FDRZP636S 室外：FDCVP636H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D			
電源					三相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］		5.6［1.4～6.3］	
		中間			2.3（中温：2.4）		2.6（中温：2.7）	
		最小中温			1.3		1.4	
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）		6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）	
		中間			2.6		2.9	
		最大低温			5.4		5.8	
定格冷房時の顕熱比					0.75		0.87	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5		5.9	
		暖房			4.6		5.0	
	始動電流（最大電流）				5（13）		5（14）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39		1.81	
			中間		0.470（中温：0.418）		0.505（中温：0.438）	
			最小中温		0.210		0.206	
		暖房	定格標準		1.46（最小：0.275）		1.57（最小：0.284）	
			中間		0.488		0.487	
			最大低温		2.30		2.47	
	力率			%	冷：89，暖：92		冷：89，暖：91	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：4.89		定格：3.09，中間：5.15	
		暖房			定格：3.84，中間：5.33		定格：4.01，中間：5.95	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1		5.5	
		（2006）			4.9		5.2	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
		音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：64，暖：61		冷：63，暖：64	
		音圧レベル			冷：49，暖：47		冷：49，暖：49	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	279（348）×750×635 (5)	279（348＋α）×750×635 (5) (6)	279（348）×950×635 (5)	279（348＋α）×950×635 (5) (6)
		本体梱包			321×936×799		321×1136×799	
		パネル			295ページをご覧ください。			
	製品質量			kg	本体：29，パネル：10	本体：29，パネル：7.6	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）			
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（P63形キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)			
		電動機	定格出力	W	100		130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2（P63形：3）スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290			
		梱包			687×921×370			
	製品質量			kg	46			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1			
			電動機出力	kW	1.0		1.2	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		1.5（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1			
		風量		m³/min	冷：38，暖：33		冷：38，暖：38	
		電動機	定格出力	W	34			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）			
		ガス管			φ12.7（フレア接続）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）		3.5（φ2.0mm）×3本（32m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）			
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）		1.12（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4			
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧100Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRV806H6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S 室外：FDCVP806H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.3 ～ 8.0]	
		中間			3.2（中温：3.3）	
		最小中温			1.8	
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 9.6]（最小：2.0）	
		中間			3.6	
		最大低温			6.5	
定格冷房時の顕熱比					0.77	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.0	
		暖房			7.1	
	始動電流（最大電流）				5（13）	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.23	
			中間		0.595（中温：0.540）	
			最小中温		0.285	
		暖房	定格標準		2.23（最小：0.388）	
			中間		0.675	
			最大低温		2.63	
	力率			%	冷：92，暖：91	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.18，中間：5.38	
		暖房			定格：3.59，中間：5.33	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.1	
		(2006)			4.8	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68	
		音圧レベル			冷：54，暖：54	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）× 950 × 635，キャンバスパネル仕様：279（348 ＋α）× 950 × 635 (5) (6)	
		本体梱包			321 × 1136 × 799	
		パネル			295 ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ 200mm フレキシブルダクト × 2（P63 形：3）スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ 125mm，背面：φ 150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ 125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用 ·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	43	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1	
			電動機出力	kW	1.8	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]	
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48	
		電動機	定格出力	W	64	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）	
	排水口				[室内] VP25 の排水管の接続可能 [室外] 内径φ 20mm の排水穴× 5 個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（36m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋α されます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 1 台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大 0.190kW（静圧 100Pa）× 1 台となります。]
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71, P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，eco タッチリモコン RC-DX3D メニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV1126H6S 室内：FDRZP1126S 室外：FDCVP1126H		FDRV1406H6S 室内：FDRZP1606S 室外：FDCVP1406H		FDRV1606H6S 室内：FDRZP1606S 室外：FDCVP1606H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-4AW	R-PNC-4AW	R-PNS-4AW	R-PNC-4AW	R-PNS-4AW	R-PNC-4AW
リモートコントローラ					RC-DX3D					
電源					三相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.2～11.2］		12.5［3.3～14.0］		14.0［3.5～16.0］	
		中間			4.5（中温：4.7）		5.7（中温：5.8）		6.3（中温：6.4）	
		最小中温			3.2		3.3		3.5	
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）		14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）		16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）	
		中間			5.1		6.3		7.2	
		最大低温			12.5		13.0		14.0	
定格冷房時の顕熱比					0.84		0.77		0.79	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0		11.3		14.5	
		暖房			8.4		11.2		11.8	
	始動電流（最大電流）				5（25）		5（26）		5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.68		3.83		4.92	
			中間		0.851（中温：0.767）		1.19（中温：1.01）		1.37（中温：1.23）	
			最小中温		0.465		0.523		0.564	
		暖房	定格標準		2.80（最小：0.575）		3.78（最小：0.733）		3.96（最小：0.780）	
			中間		0.960		1.16		1.34	
			最大低温		5.77		5.95		6.37	
	力率			%	冷：97，暖：96		冷：98，暖：97		冷：98，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：5.29		定格：3.26，中間：4.79		定格：2.85，中間：4.60	
		暖房			定格：4.00，中間：5.31		定格：3.70，中間：5.43		定格：4.04，中間：5.37	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2		5.0		4.8	
		（2006）			5.1		4.8		4.7	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：56	P急：71，急：66，強：63，弱：57	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58	P急：74，急：68，強：63，弱：58	P急：75，急：69，強：64，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：44，強：41，弱：35	P急：50，急：45，強：42，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37	P急：53，急：47，強：42，弱：37	P急：54，急：48，強：43，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71		冷：70，暖：72		冷：72，暖：73	
		音圧レベル			冷：58，暖：59		冷：58，暖：59		冷：58，暖：59	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×1368×738，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×1368×738 (5) (6)					
		本体梱包			359×1554×902					
		パネル			295ページをご覧ください。					
	製品質量			kg	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3					
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19		P急：39，急：32，強：25，弱：20		P急：48，急：35，強：28，弱：22	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)					
		電動機	定格出力	W	100+130		100+200			
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×4 スポット接続）					
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370					
		梱包			1180×1020×452					
	製品質量			kg	86					
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1					
			電動機出力	kW	2.0		3.0		3.7	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式					
		冷媒制御器			電子膨張弁					
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］					
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1					
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86					
		電動機	定格出力	W	144					
	クランクケースヒータ			W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)					
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）					
		ガス管			φ15.88（フレア接続）					
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）(12)					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40					
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）					
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）					
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）		2.82（届出不要）		2.82（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4					
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.22kW×1台，P140形：0.26kW×1台，P160形：0.40kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.30kW（静圧100Pa）×1台，P140形：最大0.36kW（静圧100Pa）×1台，P160形：最大0.44kW（静圧100Pa）×1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 外気温が43℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは8.0mm^2配線こう長29mになります。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2 台，室外ユニット：1 台）〔FDRV-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRV1126HP6S		FDRV1406HP6S		FDRV1606HP6S	
					室内：FDRZP636S × 2台 室外：FDCVP1126H		室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCVP1406H		室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCVP1606H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3D					
電源					三相　200V　50/60Hz					
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0 [3.3 ～ 11.2]		12.5 [3.3 ～ 14.0]		14.0 [3.5 ～ 16.0]	
		中間			4.5（中温：4.7）		5.7（中温：5.8）		6.3（中温：6.4）	
		最小中温			3.3		3.3		3.5	
	暖房能力	定格標準			11.2 [2.8 ～ 14.3]（最小：2.8）		14.0 [3.6 ～ 18.3]（最小：3.6）		16.0 [4.0 ～ 20.3]（最小：4.0）	
		中間			5.1		6.3		7.2	
		最大低温			12.5		13.0		14.0	
定格冷房時の顕熱比					0.93		0.89		0.83	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.7		10.6		13.6	
		暖房			7.4		9.9		11.5	
	始動電流（最大電流）				5（25）		5（27）		5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.60		3.60		4.60	
			中間		0.835（中温：0.714）		1.12（中温：0.985）		1.27（中温：1.11）	
			最小中温		0.445		0.442		0.550	
		暖房	定格標準		2.45（最小：0.521）		3.31（最小：0.657）		3.85（最小：0.775）	
			中間		0.868		1.10		1.29	
			最大低温		5.20		5.56		5.91	
	力率			%	冷：97，暖：96		冷：98，暖：97		冷：98，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.85，中間：5.39		定格：3.47，中間：5.09		定格：3.04，中間：4.96	
		暖房			定格：4.57，中間：5.88		定格：4.23，中間：5.73		定格：4.16，中間：5.58	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7		5.4		5.1	
		(2006)			5.5		5.1		5.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33	P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32	P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71		冷：70，暖：72		冷：72，暖：73	
		音圧レベル			冷：58，暖：59		冷：58，暖：59		冷：58，暖：59	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）× 950 × 635，キャンバスパネル仕様：279（348 ＋α）× 950 × 635 (5) (6)					
		本体梱包			321 × 1136 × 799					
		パネル			295ページをご覧ください。					
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式					
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2					
		風量		m^3/min	P急：20，急：15，強：13，弱：10		P急：24，急：19，強：15，弱：10			
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(12)					
		電動機	定格出力	W	130					
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能					
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）					
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）					
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）					
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）					
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）					
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付					
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370					
		梱包			1180 × 1020 × 452					
	製品質量			kg	86					
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1					
			電動機出力	kW	2.0		3.0		3.7	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式					
		冷媒制御器			電子膨張弁					
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］					
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）					
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1					
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86					
		電動機	定格出力	W	144					
	クランクケースヒータ			W	20					
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)					
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式					
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付					
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）					
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）					
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個					
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）(14)					
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）					
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）					
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）					
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26					
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）		2.82（届出不要）		2.82（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4					
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ					

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.1kW × 2台，P140形，P160形：0.14kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 2台，P140形，P160形：最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（63用）および共用タイプ（P71用，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 外気温が43℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは8.0mm^2配線こう長29mになります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：２台，室外ユニット：１台）〔FDRV-HP〕

項目 ＼ セット形式				FDRV2246HP6S		FDRV2806HP6S	
項目 ＼ 形式				室内：FDRZP1126S × 2台 室外：FDCVP2246H		室内：FDRZP1606S × 2台 室外：FDCVP2806H	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-4AW × 2枚	R-PNC-4AW × 2枚	R-PNS-4AW × 2枚	R-PNC-4AW × 2枚
リモートコントローラ				RC-DX3D			
電源				三相　200V　50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格	kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]		25.0 [6.3 ～ 28.0]	
		中間		9.0（中温：9.2）		11.3（中温：11.2）	
		最小中温		6.0		6.3	
	暖房能力	定格標準		22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）		28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）	
		中間		10.1		12.6	
		最大低温		20.0		21.2	
定格冷房時の顕熱比				0.75		0.69	
(1)運転特性	運転電流	冷房	A	18.9		30.0	
		暖房		17.6		25.1	
	始動電流（最大電流）			5（43）		5（43）	
	消費電力 冷房	定格	kW	6.31		10.0	
		中間		1.90（中温：1.77）		2.60（中温：2.43）	
		最小中温		0.958		0.991	
	消費電力 暖房	定格標準		5.86（最小：1.14）		8.37（最小：1.48）	
		中間		2.10		2.61	
		最大低温		8.90		8.90	
	力率		%	冷：96，暖：96		冷：96，暖：96	
	エネルギー消費効率	冷房		定格：3.17，中間：4.74		定格：2.50，中間：4.35	
		暖房		定格：3.82，中間：4.81		定格：3.35，中間：4.83	
	通年エネルギー消費効率	(2015)		4.7		4.3	
		(2006)		4.5		4.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル	dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：56	P急：71，急：66，強：63，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58	P急：71，急：67，強：62，弱：57
		音圧レベル		P急：49，急：44，強：41，弱：35	P急：50，急：45，強：42，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37	P急：50，急：46，強：41，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル		冷：76，暖：74		冷：80，暖：78	
		音圧レベル		冷：62，暖：60		冷：66，暖：64	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体	mm	サイレントパネル仕様：279（348）×1368×738，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×1368×738 (5) (6)			
		本体梱包		358 × 1554 × 902			
		パネル		295ページをご覧ください。			
	製品質量		kg	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5
	空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置 形式・台数			シロッコファン × 3			
	送風装置 風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19		P急：39，急：32，強：25，弱：20	
	送風装置 機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(13)			
	送風装置 電動機	定格出力	W	100 ＋ 130		100 ＋ 200	
	送風装置 エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口			前面（φ200mm フレキシブルダクト × 4 スポット接続）			
	新鮮空気取入口			新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整			操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能			遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器			ー（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材			送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品	mm	1505 × 970 × 370			
		梱包		1635 × 1020 × 452			
	製品質量		kg	130			
	冷却装置 圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1			
	冷却装置 圧縮機	電動機出力	kW	4.5		7.3	
	冷却装置 空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
	冷却装置 冷媒制御器			電子膨張弁			
	冷却装置 冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］			
	冷却装置 冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）			
	送風装置 形式・台数			プロペラファン×2			
	送風装置 風量		m^3/min	冷：145，暖：130		冷：145，暖：148	
	送風装置 電動機	定格出力	W	86 × 2			
	クランクケースヒータ		W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能			室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(12)			
	除霜			マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置			圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(9)	mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））			
		ガス管		室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）			
	排水口			〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）		mm²	14.0 × 3本（42m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）		A	60			
	開閉器容量（ヒューズ容量）			60（60）			
	アース線サイズ		mm²	3.5以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線		mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）			
設計圧力			MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力			トン	3.65（届出不要）			
IPコード				室内：IPX0，室外：IPX4			
保護装置				高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P224形：0.220kW × 2台，P280形：0.260kW × 2台［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P224形：最大0.300kW（静圧100Pa）× 2台，P280形：最大0.360kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)トリプル形(室内ユニット:3台,室外ユニット:1台)〔FDRV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRV1606HT6S	
項目 ＼ 形式					室内:FDRZP566S × 3台 室外:FDCVP1606H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式(別売品)					R-PNS-2AW × 3枚	R-PNC-2AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0 [3.5 ～ 16.0]	
		中間			6.3 (中温:6.4)	
		最小中温			3.5	
	暖房能力	定格標準			16.0 [4.0 ～ 20.3] (最小:4.0)	
		中間			7.2	
		最大低温			14.0	
定格冷房時の顕熱比					0.76	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	14.9	
		暖房			11.5	
	始動電流(最大電流)				5 (27)	
	消費電力	冷房	定格	kW	5.05	
			中間		1.37 (中温:1.15)	
			最小中温		0.578	
		暖房	定格標準		3.88 (最小:0.754)	
			中間		1.29	
			最大低温		5.90	
	力率			%	冷:98,暖:97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格:2.77,中間:4.60	
		暖房			定格:4.12,中間:5.58	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.0	
		(2006)			4.8	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急:64,急:60,強:58,弱:57	P急:65,急:61,強:59,弱:58
		音圧レベル			P急:43,急:39,強:37,弱:36	P急:44,急:40,強:38,弱:37
	室外ユニット	パワーレベル			冷:72,暖:73	
		音圧レベル			冷:58,暖:59	
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	本体		mm	サイレントパネル仕様:279 (348) ×750×635,キャンバスパネル仕様:279 (348+α) ×750×635 (5) (6)	
		本体梱包			321 × 936 × 799	
		パネル			295ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体:29,パネル:10	本体:29,パネル:7.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急:13,急:10,強:9,弱:8	
		機外静圧(標準風量時)		Pa	定格:10 (キャンバスパネル仕様:30),最小:10,最大:100 (リモコンから設定) (12)	
		電動機	定格出力	W	100	
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様),ロングライフフィルタ,洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面 (φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続)	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入 (側面:φ125mm,背面:φ150mm フレキシブルダクト接続),排気 (側面:φ125mm フレキシブルダクト接続)	
	運転調整				操作(運転切換,風量調整,タイマー,換気),室温調節(電子サーモスタット),表示(運転·点検用·LED,液晶表示)	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P,CNTA:2P)を保有(室内基板上)	
	加湿器				ー(気化式加湿器取付可能)	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機:防振ゴム,外板:吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	1050 × 970 × 370	
		梱包			1180 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	86	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1	
			電動機出力	kW	3.7	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.3 (R32) [主管配管30m分封入済]	
		冷凍機油封入量		L	0.9 (M-MB75)	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷:86,暖:86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機:防振ゴム,吸音断熱材巻付	
配管寸法(外径)	冷媒配管(9)	液管		mm	室内接続:φ6.35 (フレア),分岐管:φ9.52,主管:φ9.52, 室外接続:φ9.52 (フレア)	
		ガス管			室内接続:φ12.7 (フレア),分岐管:φ12.7,主管:φ15.88,室外接続:φ15.88 (フレア)	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm^2	5.5 × 3本 (26m) (14)	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A	40	
	開閉器容量(ヒューズ容量)				60 (40)	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上 (M5)	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 (φ1.6) ×3本 (～70m),3.5 ×3本 (～120m)	
設計圧力				MPa	高圧部:4.15,低圧部:2.26	
法定冷凍能力				トン	2.82 (届出不要)	
IPコード					室内:IPXO,室外:IPX4	
保護装置					高圧スイッチ,低圧センサ,吐出管温度センサ,吸入管温度センサ,熱交温度センサ,電流センサ,ヒューズ,ファンモータマイコン式過負荷保護,フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力,通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は,適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し,反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け,表示値より大きくなるのが普通です。なお,室外ユニットは本体前方1m,高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの( )内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト(別売)分が+αされます。(詳細は外形図をご覧ください。)
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.07kW × 3台 [ダクト機の場合,機外静圧設定により最大0.095kW(静圧100Pa) × 3台となります。]
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し,その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) トリプル機の分岐配管は,必ず下記を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 :DIS-TA1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 :DIS-WA1Gを2セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ(P40,P45,P50,P56用)で,室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され,上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合,フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は,ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し,管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 外気温が43℃を超える場所に据付ける場合は,電源線太さは8.0mm^2配線こう長29mになります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDRV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRV2246HT6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 3台 室外：FDCVP2246H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 3枚	R-PNC-3AW × 3枚
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］	
		中間			9.0（中温：9.3）	
		最小中温			6.0	
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）	
		中間			10.1	
		最大低温			20.0	
定格冷房時の顕熱比					0.89	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.9	
		暖房			16.7	
	始動電流（最大電流）				5（43）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.30	
			中間		1.78（中温：1.63）	
			最小中温		0.990	
		暖房	定格標準		5.58（最小：1.15）	
			中間		1.96	
			最大低温		8.60	
	力率			%	冷：96，暖：96	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.17，中間：5.06	
		暖房			定格：4.01，中間：5.15	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.9	
		（2006）			4.8	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	
		音圧レベル			冷：62，暖：60	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×950×635，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）×950×635 (5) (6)	
		本体梱包			321 × 1136 × 799	
		パネル			295ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(13)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管(10)	液管(9)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 3台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 3台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)ダブルツイン形(室内ユニット:4 台, 室外ユニット:1 台)〔FDRV-HD〕

項目					セット形式	FDRV2246HD6S	
					形式	室内:FDRZP566S × 4台 室外:FDCVP2246H	
吸込パネル						サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式(別売品)						R-PNS-2AW × 4枚	R-PNC-2AW × 4枚
リモートコントローラ						RC-DX3D	
電源						三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力		定格	kW		20.0 [6.0 ～ 22.4]	
			中間			9.0 (中温:9.8)	
			最小中温			6.0	
	暖房能力		定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0] (最小:5.6)	
			中間			10.1	
			最大低温			20.0	
定格冷房時の顕熱比						0.69	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A		20.3	
		暖房				19.4	
	始動電流(最大電流)					5 (43)	
	消費電力	冷房	定格	kW		6.76	
			中間			1.95 (中温:1.93)	
			最小中温			1.12	
		暖房	定格標準			6.45 (最小:1.20)	
			中間			2.17	
			最大低温			9.50	
	力率			%		冷:96, 暖:96	
	エネルギー消費効率	冷房				定格:2.96, 中間:4.62	
		暖房				定格:3.47, 中間:4.65	
	通年エネルギー消費効率	(2015)				4.5	
		(2006)				4.3	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)		P急:64, 急:60, 強:58, 弱:57	P急:65, 急:61, 強:59, 弱:58
		音圧レベル				P急:43, 急:39, 強:37, 弱:36	P急:44, 急:40, 強:38, 弱:37
	室外ユニット	パワーレベル				冷:76, 暖:74	
		音圧レベル				冷:62, 暖:60	
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	本体		mm		サイレントパネル仕様:279 (348) × 750 × 635, キャンバスパネル仕様:279 (348+α) × 750 × 635 (5) (6)	
		本体梱包				321 × 936 × 799	
		パネル				295ページをご覧ください。	
	製品質量			kg		本体:29, パネル:10	本体:29, パネル:7.6
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 1	
		風量		m³/min		P急:13, 急:10, 強:9, 弱:8	
		機外静圧(標準風量時)		Pa		定格:10 (キャンバスパネル仕様:30), 最小:10, 最大:100 (リモコンから設定)(14)	
		電動機	定格出力	W		100	
		エアフィルタ				プラスチックネット(防カビ仕様), ロングライフフィルタ, 洗浄可能	
	吹出ダクト接続口					前面 (φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続)	
	新鮮空気取入口					新鮮外気取入 (側面:φ125mm, 背面:φ150mm フレキシブルダクト接続), 排気 (側面:φ125mm フレキシブルダクト接続)	
	運転調整					操作(運転切換, 風量調整, タイマー, 換気), 室温調節(電子サーモスタット), 表示(運転·点検用·LED, 液晶表示)	
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P, CNTA:2P)を保有(室内基板上)	
	加湿器					ー(気化式加湿器取付可能)	
	防振装置·防音·断熱材					送風用電動機:防振ゴム, 外板:吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm		1505 × 970 × 370	
		梱包				1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg		130	
	冷却装置	圧縮機	形式·台数			RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW		4.5	
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器				電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg		6.0 (R32) [主管配管30m分封入済]	
		冷凍機油封入量		L		1.00 (M-MB75)	
	送風装置	形式·台数				プロペラファン × 2	
		風量		m³/min		冷:145, 暖:130	
		電動機	定格出力	W		86 × 2	
	クランクケースヒータ			W		20	
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(13)	
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振·防音装置					圧縮機:防振ゴム, 吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(11)(外径)	液管(9)		mm		室内接続:φ6.35 (フレア), 分岐管②①:φ9.52, 主管:φ9.52, 室外接続:φ9.52 (フレア)	
		ガス管				室内接続:φ12.7 (フレア), 分岐管②:φ12.7, ①:φ15.88, 主管:φ25.4, 室外接続:φ25.4 (ろう付)	
	排水口					〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm²		14.0 × 3本 (42m)	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A		60	
	開閉器容量(ヒューズ容量)					60 (60)	
	アース線サイズ			mm²		3.5以上 (M5)	
	室内外ユニット接続配線			mm²		2.0 (φ1.6mm) × 3本 (～70m), 3.5 × 3本 (～120m)	
設計圧力				MPa		高圧部:4.15, 低圧部:2.26	
法定冷凍能力				トン		3.65 (届出不要)	
IPコード						室内:IPX0, 室外:IPX4	
保護装置						高圧スイッチ, 低圧センサ, 吐出管温度センサ, 吸入管温度センサ, 熱交温度センサ, 電流センサ, ヒューズ, ファンモータマイコン式過負荷保護, フロートスイッチ	

注(1) 冷房·暖房能力, 通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は, 適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し, 反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け, 表示値より大きくなるのが普通です。なお, 室外ユニットは本体前方1m, 高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの( )内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト(別売)分が+αされます。(詳細は外形図をご覧ください。)
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.070kW × 4台 [ダクト機の場合, 機外静圧設定により最大0.095kW(静圧100Pa) × 4台となります。]
(8) 外形寸法·製品質量·送風装置·運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し, その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) P224形の場合, 主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(10) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間, ②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(11) ダブルツイン機の分岐配管は, 必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット, DIS-WC1Gを1セット(別売品)を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
(12) 室内ユニットは共用タイプ(P40, P45, P50, P56用)で, 室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され, 上記の仕様で運転します。
(13) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(14) 機外静圧調整は, ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(15) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し, 管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(16) 総配管長は105m以内となります。
(17) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HD〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV2806HD6S	
					室内：FDRZP806S × 4台 室外：FDCVP2806H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 4枚	R-PNC-3AW × 4枚
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0［6.3～28.0］	
		中間			11.3（中温：11.6）	
		最小中温			6.3	
	暖房能力	定格標準			28.0［7.0～31.5］（最小：7.0）	
		中間			12.6	
		最大低温			21.2	
定格冷房時の顕熱比					0.94	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	26.7	
		暖房			22.5	
	始動電流（最大電流）				5（43）	
	消費電力	冷房	定格	kW	8.89	
			中間		2.28（中温：2.07）	
			最小中温		0.973	
		暖房	定格標準		7.49（最小：1.34）	
			中間		2.48	
			最大低温		8.10	
	力率			%	冷：96，暖：96	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.81，中間：4.96	
		暖房			定格：3.74，中間：5.08	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.9	
		（2006）			4.3	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：78	
		音圧レベル			冷：62，暖：64	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）×950×635，キャンバスパネル仕様：279（348+α）×950×635 (5) (6)	
		本体梱包			321 × 1136 × 799	
		パネル			295ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(13)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	7.3	
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：148	
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.140kW × 4台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 4台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。
(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(11) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(13) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(15) 総配管長は105m以内となります。
(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

■天井リターン設置仕様（オプション）
冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

PJG000Z862 D

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV406HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP406HK	FDRV456HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP456HK	FDRV506HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP506HK
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.80	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.1	5.9	7.0
		暖房			5.1	6.0	6.8
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（17）	5（17）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.880	1.04	1.21
			中間		0.340（中温：0.270）	0.350（中温：0.300）	0.418（中温：0.380）
			最小中温		0.195	0.195	0.195
		暖房	定格標準		0.890（最小：0.220）	1.06（最小：0.240）	1.22（最小：0.270）
			中間		0.350	0.400	0.438
			最大低温		1.60	1.60	2.06
	力率			%	冷：86，暖：87	冷：88，暖：88	冷：87，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.09，中間：5.00	定格：3.85，中間：5.14	定格：3.72，中間：5.02
		暖房			定格：4.49，中間：5.14	定格：4.25，中間：5.25	定格：4.10，中間：5.25
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.3	5.1
		（2006）			5.1	5.1	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635		
		梱包			321×936×799		
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：95（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（＋71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）×2本（18m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	0.56（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV566HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP566HK	FDRV636HK6S 室内：FDRZP636S 室外：FDCVP636HK
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）	R-FL-3A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.4	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.6	9.9
		暖房			7.9	8.3
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.82
			中間		0.470（中温：0.422）	0.503（中温：0.435）
			最小中温		0.210	0.207
		暖房	定格標準		1.46（最小：0.285）	1.58（最小：0.286）
			中間		0.488	0.494
			最大低温		2.30	2.48
	力率			%	冷：91，暖：92	冷：92，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：4.89	定格：3.08，中間：5.17
		暖房			定格：3.84，中間：5.33	定格：3.99，中間：5.87
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.0	5.4
		(2006)			4.9	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：64，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279 +37）×750×635	（279 +37）×950×635
		梱包			321×936×799	321×1136×799
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2（P63形：3）スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）×2本（18m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	30 30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P56形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P63形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW × 1台，P63形：0.1kW × 1台　[ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 1台となります。]

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDRV-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDRV806HK6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S 室外：FDCVP806HK
天井リターンキット					R-FL-3A（外形寸法は 295 ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.3 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.5
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	11.6
		暖房			11.5
	始動電流（最大電流）				5（19）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.25
			中間		0.600（中温：0.545）
			最小中温		0.283
		暖房	定格標準		2.25（最小：0.390）
			中間		0.680
			最大低温		2.66
	力率			%	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.16，中間：5.33
		暖房			定格：3.56，中間：5.29
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.1
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P 急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P 急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279 + 37）× 950 × 635
		梱包			321 × 1136 × 799
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P 急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ 200mm フレキシブルダクト × 2（P63 形：3）スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ 125mm，背面：φ 150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ 125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 1 台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大 0.190kW（静圧 100Pa）× 1 台となります。]
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDRV406H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP406H	FDRV456H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP456H	FDRV506H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP506H
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.3	1.3	1.3
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.0）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.2
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.80	0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.0	3.4	3.9
		暖房			3.0	3.6	4.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）	5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.875	1.03	1.20
			中間		0.338（中温：0.270）	0.348（中温：0.295）	0.410（中温：0.360）
			最小中温		0.195	0.195	0.195
		暖房	定格標準		0.885（最小：0.210）	1.05（最小：0.235）	1.21（最小：0.265）
			中間		0.340	0.395	0.431
			最大低温		1.60	1.60	2.06
	力率			%	冷：85，暖：85	冷：87，暖：85	冷：88，暖：88
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.11，中間：5.03	定格：3.88，中間：5.17	定格：3.75，中間：5.12
		暖房			定格：4.52，中間：5.29	定格：4.29，中間：5.32	定格：4.13，中間：5.34
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.4	5.4	5.2
		（2006）			5.2	5.2	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635		
		梱包			321×936×799		
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：95（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（＋71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRV566H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP566H	FDRV636H6S 室内：FDRZP636S 室外：FDCVP636H
天井リターンキット					R-FL-2A（外形寸法は295ページをご覧ください。）	R-FL-3A（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.4	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5	5.9
		暖房			4.6	5.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（14）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.39	1.81
			中間		0.470（中温：0.418）	0.505（中温：0.438）
			最小中温		0.210	0.206
		暖房	定格標準		1.46（最小：0.275）	1.57（最小：0.284）
			中間		0.488	0.487
			最大低温		2.30	2.47
	力率			%	冷：89，暖：92	冷：89，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.60，中間：4.89	定格：3.09，中間：5.15
		暖房			定格：3.84，中間：5.33	定格：4.01，中間：5.95
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1	5.5
		（2006）			4.9	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38
	室外ユニット	パワーレベル			冷：64，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635	（279＋37）×950×635
		梱包			321×936×799	321×1136×799
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1（P63形：2）	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：95（リモコンから設定）(5)	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100	130
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2（P63形：3）スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）	3.5（φ2.0mm）×3本（32m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）容量（ヒューズ容量）			A	20	
					30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P56形

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

P63形

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.07kW×1台，P63形：0.1kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP56形：最大0.095kW（静圧95Pa）×1台，P63形：最大0.140kW（静圧100Pa）×1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRV806H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S 室外：FDCVP806H
天井リターンキット					R-FL-3A（外形寸法は 295 ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.3 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.5
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	7.0
		暖房			7.1
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.23
			中間		0.595（中温：0.540）
			最小中温		0.285
		暖房	定格標準		2.23（最小：0.388）
			中間		0.675
			最大低温		2.63
	力率			%	冷：92，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.18，中間：5.38
		暖房			定格：3.59，中間：5.33
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.1
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P 急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P 急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279 + 37）× 950 × 635
		梱包			321 × 1136 × 799
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P 急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ 200mm フレキシブルダクト × 2（P63 形：3）スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ 125mm，背面：φ 150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ 125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用 ·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（36m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 1 台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大 0.190kW（静圧 100Pa）× 1 台となります。]
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDRV1126H6S	FDRV1406H6S	FDRV1606H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP1126S 室外：FDCVP1126H	室内：FDRZP1606S 室外：FDCVP1406H	室内：FDRZP1606S 室外：FDCVP1606H
天井リターンキット					R-FL-4A（外形寸法は295ページをご覧ください。）		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.2～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.2	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0	11.3	14.5
		暖房			8.4	11.2	11.8
	始動電流（最大電流）				5（25）	5（26）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.68	3.83	4.92
			中間		0.851（中温：0.767）	1.19（中温：1.01）	1.37（中温：1.23）
			最小中温		0.465	0.523	0.564
		暖房	定格標準		2.80（最小：0.575）	3.78（最小：0.733）	3.96（最小：0.780）
			中間		0.960	1.16	1.34
			最大低温		5.77	5.95	6.37
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：5.29	定格：3.26，中間：4.79	定格：2.85，中間：4.60
		暖房			定格：4.00，中間：5.31	定格：3.70，中間：5.43	定格：4.04，中間：5.37
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	5.0	4.8
		（2006）			5.1	4.8	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：77，急：72，強：68，弱：62	P急：78，急：74，強：68，弱：63	P急：80，急：75，強：69，弱：64
		音圧レベル			P急：56，急：51，強：47，弱：41	P急：57，急：53，強：47，弱：42	P急：59，急：54，強：48，弱：43
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×1368×738		
		梱包			358×1554×902		
	製品質量			kg	本体：54，フィルタキット：3.3		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3		
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：25，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	100＋130	100＋200	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×4スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(8)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）(10)		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.22kW × 1台，P140形：0.26kW × 1台，P160形：0.40kW × 1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.30kW（静圧100Pa）× 1台，P140形：最大0.36kW（静圧100Pa）× 1台，P160形：最大0.44kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(7) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(10) 外気温が43℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは8.0mm^2配線こう長29mになります。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRV1126HP6S 室内：FDRZP636S × 2台 室外：FDCVP1126H	FDRV1406HP6S 室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCVP1406H	FDRV1606HP6S 室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCVP1606H
天井リターンキット					R-FL-3A × 2セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）		
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3 ～ 11.2］	12.5［3.3 ～ 14.0］	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8 ～ 14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6 ～ 18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.93	0.89	0.83
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	7.7	10.6	13.6
		暖房			7.4	9.9	11.5
	始動電流（最大電流）				5（25）	5（27）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.60	3.60	4.60
			中間		0.835（中温：0.714）	1.12（中温：0.985）	1.27（中温：1.11）
			最小中温		0.445	0.442	0.550
		暖房	定格標準		2.45（最小：0.521）	3.31（最小：0.657）	3.85（最小：0.775）
			中間		0.868	1.10	1.29
			最大低温		5.20	5.56	5.91
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.85，中間：5.39	定格：3.47，中間：5.09	定格：3.04，中間：4.96
		暖房			定格：4.57，中間：5.88	定格：4.23，中間：5.73	定格：4.16，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.4	5.1
		（2006）			5.5	5.1	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：71，急：66，強：63，弱：59	P急：74，急：70，強：66，弱：58	
		音圧レベル			P急：50，急：45，強：42，弱：38	P急：53，急：49，強：45，弱：37	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279 +37）× 1368 × 738		
		梱包			358 × 1554 × 902		
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2		
		風量		m^3/min	P急：20，急：15，強：13，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)		
		電動機	定格出力	W	130		
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3スポット接続）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370		
		梱包			1180 × 1020 × 452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）(12)		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.1kW × 2台，P140形，P160形：0.14kW × 2台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.140kW（静圧100Pa）× 2台，P140形，P160形：最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P63用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 外気温が43℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは8.0mm^2配線こう長29mになります。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)ツイン形(室内ユニット:2台,室外ユニット:1台)〔FDRV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRV2246HP6S	FDRV2806HP6S
項目 ＼ 形式					室内:FDRZP1126S × 2台 室外:FDCVP2246H	室内:FDRZP1606S × 2台 室外:FDCVP2806H
天井リターンキット					R-FL-4A × 2セット(外形寸法は295ページをご覧ください。)	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	25.0 [6.3 ～ 28.0]
		中間			9.0 (中温:9.2)	11.3 (中温:11.2)
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0] (最小:5.6)	28.0 [7.0 ～ 31.5] (最小:7.0)
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.9	30.0
		暖房			17.6	25.1
	始動電流(最大電流)				5 (43)	5 (43)
	消費電力	冷房	定格	kW	6.31	10.0
			中間		1.90 (中温:1.77)	2.60 (中温:2.43)
			最小中温		0.958	0.991
		暖房	定格標準		5.86 (最小:1.14)	8.37 (最小:1.48)
			中間		2.10	2.61
			最大低温		8.90	8.90
	力率			%	冷:96,暖:96	冷:96,暖:96
	エネルギー消費効率	冷房			定格:3.17,中間:4.74	定格:2.50,中間:4.35
		暖房			定格:3.82,中間:4.81	定格:3.35,中間:4.83
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.7	4.3
		(2006)			4.5	4.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急:77,急:72,強:68,弱:62	P急:78,急:74,強:68,弱:63
		音圧レベル			P急:56,急:51,強:47,弱:41	P急:57,急:53,強:47,弱:42
	室外ユニット	パワーレベル			冷:76,暖:74	冷:80,暖:78
		音圧レベル			冷:62,暖:60	冷:66,暖:64
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	(279 +37) × 1368 × 738	
		梱包			358 × 1554 × 902	
	製品質量			kg	本体:54,フィルタキット:3.3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3	
		風量		m^3/min	P急:36,急:28,強:25,弱:19	P急:39,急:32,強:25,弱:20
		機外静圧(標準風量時)		Pa	定格:30,最小:20,最大:100(リモコンから設定)(5)	
		電動機	定格出力	W	100 + 130	100 + 200
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様),ロングライフフィルタ,洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面(φ200mm フレキシブルダクト × 4 スポット接続)	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入(側面:φ125mm,背面:φ150mm フレキシブルダクト接続),排気(側面:φ125mm フレキシブルダクト接続)	
	運転調整				操作(運転切換,風量調整,タイマー,換気),室温調節(電子サーモスタット),表示(運転·点検用·LED,液晶表示)	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P,CNTA:2P)を保有(室内基板上)	
	加湿器				ー(気化式加湿器取付可能)	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機:防振ゴム,外板:吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0 (R32) [主管配管30m分封入済]	
		冷凍機油封入量		L	1.00 (M-MB75)	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷:145,暖:130	冷:145,暖:148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機:防振ゴム,吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)(外径)	液管(8)		mm	室内接続:φ9.52 (フレア),分岐管:φ9.52,主管:φ9.52 (P280形:φ12.7),室外接続:φ9.52 (フレア) (P280形:φ12.7 (フレア))	
		ガス管			室内接続:φ15.88 (フレア),分岐管:φ15.88,主管:φ25.4,室外接続:φ25.4 (ろう付)	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm^2	14.0 × 3本 (42m)	
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A	60	
	開閉器容量(ヒューズ容量)				60 (60)	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上 (M5)	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 (φ1.6mm) × 3本 (～70m),3.5 × 3本 (～120m)	
設計圧力				MPa	高圧部:4.15,低圧部:2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65 (届出不要)	
IPコード					室内:IPXO,室外:IPX4	
保護装置					高圧スイッチ,低圧センサ,吐出管温度センサ,吸入管温度センサ,熱交温度センサ,電流センサ,ヒューズ,ファンモータマイコン式過負荷保護,フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力,通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は,適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し,反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け,表示値より大きくなるのが普通です。なお,室外ユニットは本体前方1m,高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は,標準機に対して機内圧力損失が低減するため,リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧(Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定(Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力:P224形:0.220kW × 2台,P280形:0.260kW × 2台 [ダクト機の場合,機外静圧設定により,P224形:最大0.030kW(静圧100Pa) × 2台,P280形:最大0.360kW(静圧100Pa) × 2台となります。]
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し,その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合,主管長が40mを超える場合は,主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) ツイン機の分岐配管は,必ず分岐管セットDIS-WC1G(別売品)を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
(10) 室内ユニットは共用タイプ(P112用)および共用タイプ(P140,P160用)で,室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形,P140形に設定され,上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合,フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し,管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：３台，室外ユニット：１台）〔FDRV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRV1606HT6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S × 3台 室外：FDCVP1606H
天井リターンキット					R-FL-2A × 3セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.0
定格冷房時の顕熱比					0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	14.9
		暖房			11.5
	始動電流（最大電流）				5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.05
			中間		1.37（中温：1.15 ）
			最小中温		0.578
		暖房	定格標準		3.88（最小：0.754）
			中間		1.29
			最大低温		5.90
	力率			%	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.77，中間：4.60
		暖房			定格：4.12，中間：5.58
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.0
		（2006）			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（297 +37）× 750 × 635
		梱包			321 × 936 × 799
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 2 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370
		梱包			1180 × 1020 × 452
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1
			電動機出力	kW	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，　室外接続：φ9.52 （フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）(12)
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 ×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.77（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.07kW × 3台　［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 3台となります。］

(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G　　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット

(9) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 外気温が43℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは8.0mm^2配線こう長29mになります。

(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：3 台，室外ユニット：1 台）〔FDRV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDRV2246HT6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 3台 室外：FDCVP2246H
天井リターンキット					R-FL-3A × 3セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0 ～ 22.4］
		中間			9.0（中温：9.3）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6 ～ 28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.89
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.9
		暖房			16.7
	始動電流（最大電流）				5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.30
			中間		1.78（中温：1.63）
			最小中温		0.990
		暖房	定格標準		5.58（最小：1.15）
			中間		1.96
			最大低温		8.60
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.17，中間：5.06
		暖房			定格：4.01，中間：5.15
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.9
		（2006）			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279 +37）×950×635
		梱包			321×1136×799
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0× 3本（42m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 3台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 3台となります。］
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(9) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G　② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4台，室外ユニット：1台）〔FDRV-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRV2246HD6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP566S × 4台 室外：FDCVP2246H
天井リターンキット					R-FL-2A × 4セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0～22.4］
		中間			9.0（中温：9.8）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6～28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	20.3
		暖房			19.4
	始動電流（最大電流）				5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.76
			中間		1.95（中温：1.93）
			最小中温		1.12
		暖房	定格標準		6.45（最小：1.20）
			中間		2.17
			最大低温		9.50
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.96，中間：4.62
		暖房			定格：3.47，中間：4.65
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.5
		（2006）			4.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61
		音圧レベル			P急：49，急：45，強：42，弱：40
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279＋37）×750×635
		梱包			321×936×799
	製品質量			kg	本体：29，フィルタキット：2.1
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：35，最小：15，最大：95（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	100
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト×2 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370
		梱包			1635×1020×452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(10)（外径）	液管(8)		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管②：φ12.7，①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0×3本（42m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.070kW × 4台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.095kW（静圧95Pa）× 4台となります。］

(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(8) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(9) 冷媒配管の分岐管①は第1分岐～第2分岐の間，②は第2分岐～室内ユニットの間を示します。

(10) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(11) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP56形に設定され，上記の仕様で運転します。

(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(14) 総配管長は105m以内となります。

(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ダブルツイン形（室内ユニット：4 台，室外ユニット：1 台）〔FDRV-HD〕

項目 ＼ セット形式					FDRV2806HD6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 4台 室外：FDCVP2806H
天井リターンキット					R-FL-3A × 4セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0［6.3 ～ 28.0］
		中間			11.3（中温：11.6）
		最小中温			6.3
	暖房能力	定格標準			28.0［7.0 ～ 31.5］（最小：7.0）
		中間			12.6
		最大低温			21.2
定格冷房時の顕熱比					0.94
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	26.7
		暖房			22.5
	始動電流（最大電流）				5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	8.89
			中間		2.28（中温：2.07）
			最小中温		0.973
		暖房	定格標準		7.49（最小：1.34）
			中間		2.48
			最大低温		8.10
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.81，中間：4.96
		暖房			定格：3.74，中間：5.08
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.9
		(2006)			4.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279 +37）× 950 × 635
		梱包			321 × 1136 × 799
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管②①：φ9.52，主管：φ12.7，室外接続：φ12.7（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管②①：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（42m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 ×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.140kW × 4台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により最大0.190kW（静圧100Pa）× 4台となります。］
(7) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット4台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) 冷媒配管の分岐管①は第１分岐～第２分岐の間，②は第２分岐～室内ユニットの間を示します。
(9) ダブルツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1Gを2セット，DIS-WC1Gを1セット（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP71形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(f) 高静圧ダクト形（FDUV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUV-HK〕

PJG000Z866 D

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUV506HK6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCVP506HK	FDUV566HK6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCVP566HK	FDUV636HK6S 室内：FDUZP636S 室外：FDCVP636HK
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5 [1.3 ～ 5.0]	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.1（中温：2.2）	2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）	5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.3	2.6	2.9
		最大低温			5.2	5.4	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.75	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.4	7.5	9.7
		暖房			6.5	8.0	8.3
	始動電流（最大電流）				5（17）	5（17）	5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.21	1.40	1.82
			中間		0.420（中温：0.380）	0.471（中温：0.425）	0.494（中温：0.426）
			最小中温		0.195	0.210	0.213
		暖房	定格標準		1.23（最小：0.270）	1.47（最小：0.285）	1.57（最小：0.296）
			中間		0.440	0.488	0.495
			最大低温		2.95	2.30	2.52
	力率			%	冷：94，暖：94	冷：93，暖：92	冷：94，暖：95
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.72，中間：5.00	定格：3.57，中間：4.88	定格：3.08，中間：5.26
		暖房			定格：4.07，中間：5.23	定格：3.81，中間：5.33	定格：4.01，中間：5.86
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.1	5.0	5.4
		(2006)			5.0	4.9	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：60，強：57，弱：52
		音圧レベル			P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：42，急：36，強：33，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：64，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280 × 750 × 635		280 × 950 × 635
		梱包			325 × 917 × 736		325 × 1117 × 736
	製品質量			kg	29		34
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1（P63形：2）		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)		
		電動機	定格出力	W	100		130
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290		
		梱包			687 × 921 × 370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.9	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）×2本（18m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P50，P56形：0.09kW × 1台，P63形：0.130kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP50，P56形：最大0.100kW（静圧200Pa）× 1台，P63形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P50形	必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
P56形	リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

P63形	必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
	リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDUV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUV806HK6S 室内：FDUZP806S 室外：FDCVP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.3 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.5
定格冷房時の顕熱比					0.80
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.0
		暖房			12.6
	始動電流（最大電流）				5（19）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.32
			中間		0.655（中温：0.565）
			最小中温		0.277
		暖房	定格標準		2.46（最小：0.417）
			中間		0.725
			最大低温		2.71
	力率			%	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.06，中間：4.89
		暖房			定格：3.25，中間：4.97
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.9
		(2006)			4.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52
		音圧レベル			P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280 × 950 × 635
		梱包			325 × 1117 × 736
	製品質量			kg	34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			−（現地手配）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ 125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ 125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				−（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度− 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（20m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.160kW × 1 台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大 0.250kW（静圧 200Pa）× 1 台となります。]
(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は 10 ～ 100Pa となります。
(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，eco タッチリモコン RC-DX3D メニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDUV506H6S	FDUV566H6S	FDUV636H6S
					室内：FDUZP566S 室外：FDCVP506H	室内：FDUZP566S 室外：FDCVP566H	室内：FDUZP636S 室外：FDCVP636H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5 [1.3 ～ 5.0]	5.0 [1.3 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.1（中温：2.2）	2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.3	1.3	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）	5.6 [1.4 ～ 6.3]（最小：1.4）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.3	2.6	2.9
		最大低温			5.2	5.4	5.8
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.75	0.87
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.0	4.5	5.8
		暖房			4.0	4.6	5.0
	始動電流（最大電流）				5（13）	5（13）	5（14）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.20	1.40	1.81
			中間		0.410（中温：0.360）	0.471（中温：0.420）	0.494（中温：0.423）
			最小中温		0.195	0.210	0.212
		暖房	定格標準		1.21（最小：0.265）	1.46（最小：0.280）	1.56（最小：0.293）
			中間		0.432	0.488	0.490
			最大低温		2.05	2.30	2.51
	力率			%	冷：87，暖：87	冷：90，暖：91	冷：90，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.75，中間：5.12	定格：3.57，中間：4.88	定格：3.09，中間：5.26
		暖房			定格：4.13，中間：5.32	定格：3.84，中間：5.33	定格：4.04，中間：5.92
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2	5.1	5.5
		(2006)			5.1	4.9	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：61，強：59，弱：56	P急：66，急：60，強：57，弱：52
		音圧レベル			P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：40，急：35，強：33，弱：30	P急：42，急：36，強：33，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：64，暖：61	冷：64，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280 × 750 × 635		280 × 950 × 635
		梱包			325 × 917 × 736		325 × 1117 × 736
	製品質量			kg	29		34
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1（P63形：2）		
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)		
		電動機	定格出力	W	100		130
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290		
		梱包			687 × 921 × 370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.9	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m³/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（11m）		3.5（φ2.0mm）×3本（32m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P50，P56形：0.09kW × 1台，P63形：0.130kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP50，P56形：最大0.100kW（静圧200Pa）× 1台，P63形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P50，P56形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

P63形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDUV806H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDUZP806S 室外：FDCVP806H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.3 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.5
定格冷房時の顕熱比					0.80
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.2
		暖房			7.7
	始動電流（最大電流）				5（13）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.30
			中間		0.650（中温：0.560）
			最小中温		0.275
		暖房	定格標準		2.44（最小：0.415）
			中間		0.720
			最大低温		2.69
	力率			%	冷：92，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.09，中間：4.92
		暖房			定格：3.28，中間：5.00
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.9
		(2006)			4.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52
		音圧レベル			P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280 × 950 × 635
		梱包			325 × 1117 × 736
	製品質量			kg	34
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)
		電動機	定格出力	W	130
		エアフィルタ			−（現地手配）
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ 125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ 125mm フレキシブルダクト接続）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				−（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度− 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				[室内] VP25 の排水管の接続可能［室外］内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（36m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616：2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は JIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は JIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は JIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方 1m，高さ 1m にて測定した値です。
(5) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.160kW × 1 台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大 0.250kW（静圧 200Pa）× 1 台となります。]
(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は 10 ～ 100Pa となります。
(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	90	90	100	110

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せでは P80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が -5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，eco タッチリモコン RC-DX3D メニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様は VCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に 3 本以下で電圧降下 2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDUV1126H6S 室内：FDUZP1126S 室外：FDCVP1126H	FDUV1406H6S 室内：FDUZP1606S 室外：FDCVP1406H	FDUV1606H6S 室内：FDUZP1606S 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.84	0.77	0.79
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0	11.1	14.1
		暖房			8.3	11.2	11.8
	始動電流（最大電流）				5（26）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.70	3.78	4.77
			中間		0.862（中温：0.777）	1.18（中温：0.986）	1.37（中温：1.19）
			最小中温		0.465	0.517	0.552
		暖房	定格標準		2.77（最小：0.576）	3.77（最小：0.725）	3.98（最小：0.760）
			中間		0.955	1.16	1.37
			最大低温		5.77	5.94	6.11
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.70，中間：5.22	定格：3.31，中間：4.83	定格：2.94，中間：4.60
		暖房			定格：4.04，中間：5.34	定格：3.71，中間：5.43	定格：4.02，中間：5.26
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	5.1	4.9
		（2006）			5.1	4.8	4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：57	P急：71，急：67，強：61，弱：57	P急：74，急：67，強：62，弱：57
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：37，弱：32	P急：46，急：42，強：36，弱：32	P急：49，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280×1368×738		
		梱包			362×1535×839		
	製品質量			kg	54		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3		
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：26，弱：20	P急：48，急：35，強：28，弱：22
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)		
		電動機	定格出力	W	100＋130	100＋200	
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）(12)		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.230kW×1台，P140形：0.250kW×1台，P160形：0.350kW×1台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP112形：最大0.320kW（静圧200Pa）×1台，P140形：最大0.360kW（静圧200Pa）×1台，P160形：最大0.430kW（静圧200Pa）×1台となります。］
(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。
(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P112形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

P140形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

P160形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	40	50	60	70	80	90	100	110	130	140

(8) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 外気温が43℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは8.0mm^2配線こう長29mになります。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式						FDUV2246H5A 室内：FDUZP2245A 室外：FDCVP2246H	FDUV2806H5A 室内：FDUZP2805A 室外：FDCVP2806H
リモートコントローラ						RC-DX3D	
電源						三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格			kW	20.0 [7.1 ～ 22.4]	25.0 [7.7 ～ 28.0]
		中間				9.0（中温：9.6）	11.3（中温：11.9）
		最小中温				7.1	7.7
	暖房能力	定格標準				22.4 [5.9 ～ 28.0]（最小：5.9）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間				10.1	12.6
		最大低温				20.0	20.7
定格冷房時の顕熱比						0.91	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	18.7	28.1
		暖房				17.6	26.1
	始動電流（最大電流）					5（43）	5（43）
	消費電力	冷房	定格		kW	6.21	9.35
			中間			2.20（中温：2.05）	2.81（中温：2.30）
			最小中温			1.10	1.22
		暖房	定格標準			5.86（最小：1.10）	8.67（最小：1.45）
			中間			2.17	2.70
			最大低温			7.93	8.20
	力率				%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.22，中間：4.09	定格：2.67，中間：4.02
		暖房				定格：3.82，中間：4.65	定格：3.82，中間：4.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）				4.6	4.6
		（2006）				4.3	3.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：78，急：76，強：73，弱：70	
		音圧レベル				P急：50，急：48，強：45，弱：43	
	室外ユニット	パワーレベル				冷：76，暖：74	冷：81，暖：79
		音圧レベル				冷：62，暖：60	冷：67，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	379 × 1600 × 893	
		梱包				495 × 1864 × 1055	
	製品質量				kg	89	
	空気熱交換器					アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 3	
		風量			m^3/min	P急：80，急：72，強：64，弱：56	
		機外静圧（標準風量時）			Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(9)	
		電動機	定格出力		W	130 + 350	
		エアフィルタ				－（現地手配）	
	新鮮空気取入口					吸込ダクト接続	
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	1505 × 970 × 370	
		梱包				1635 × 1020 × 452	
	製品質量				kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力		kW	4.5	7.3
		空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器				電子膨張弁	
		冷媒封入量			kg	6.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量			L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数				プロペラファン×2	
		風量			m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力		W	86 × 2	
	クランクケースヒータ				W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管(6)			mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管				φ25.4（ろう付接続）	
	排水口					［室内］VP25の排水管の接続可能［室外］内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	14.0 × 3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）					60（60）	
	アース線サイズ				mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力					トン	3.65（届出不要）	
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置						高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.930kW × 1台　[ダクト機の場合，機外静圧設定により最大1.080kW（静圧200Pa）× 1台となります。]

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(6) P224形の場合，主管配管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 丸ダクト 変換キットは，接続できません。

(9) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDUV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDUV1126HP6S	FDUV1406HP6S	FDUV1606HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDUZP636S × 2台 室外：FDCVP1126H	室内：FDUZP806S × 2台 室外：FDCVP1406H	室内：FDUZP806S × 2台 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.93	0.89	0.83
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.3	10.8	13.7
		暖房			7.7	9.9	11.6
	始動電流（最大電流）				5（27）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.79	3.66	4.65
			中間		0.802（中温：0.668）	1.09（中温：0924）	1.27（中温：1.12）
			最小中温		0.474	0.462	0.557
		暖房	定格標準		2.56 （最小：0.552）	3.34 （最小：0.676）	3.89（最小：0.757）
			中間		0.914	1.11	1.28
			最大低温		5.44	5.60	5.87
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.58，中間：5.61	定格：3.42，中間：5.23	定格：3.01，中間：4.96
		暖房			定格：4.38，中間：5.58	定格：4.19，中間：5.68	定格：4.11，中間：5.63
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.4	5.1
		（2006）			5.4	5.1	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：60，強：57，弱：52	P急：68，急：62，強：58，弱：52	
		音圧レベル			P急：42，急：36，強：33，弱：28	P急：44，急：38，強：34，弱：28	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280×950×635		
		梱包			325×1117×736		
	製品質量			kg	34		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2		
		風量		m^3/min	P急：20，急：15，強：13，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(12)		
		電動機	定格出力	W	130		
		エアフィルタ			－（現地手配）		
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160形：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160形：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160形：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）(14)		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）		
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P112形：0.130kW × 2台，P140形，P160形：0.160kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P112形：最大0.190kW（静圧200Pa）× 2台，P140形，P160形：最大0.250kW（静圧200Pa）× 2台となります。］
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。
(9) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P112形（室内63形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

P140，P160形（室内71，80形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(10) 室内ユニットは共用タイプ（P63用）および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP63形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 外気温が43℃を超える場所に据付ける場合は，電源線太さは8.0mm^2配線こう長29mになります。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDUV-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDUV2246HP6S 室内：FDUZP1126S × 2台 室外：FDCVP2246H	FDUV2806HP6S 室内：FDUZP1606S × 2台 室外：FDCVP2806H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	25.0 [6.3 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.0）	11.3（中温：11.4）
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	19.0	30.3
		暖房			17.5	25.6
	始動電流（最大電流）				5（43）	5（43）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.33	10.1
			中間		1.89（中温：1.70）	2.59（中温：2.46）
			最小中温		0.938	0.993
		暖房	定格標準		5.85（最小：1.12）	8.53（最小：1.48）
			中間		2.08	2.60
			最大低温		9.00	9.00
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.16，中間：4.76	定格：2.48，中間：4.36
		暖房			定格：3.83，中間：4.86	定格：3.28，中間：4.85
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.7	4.3
		（2006）			4.6	4.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：57	P急：71，急：67，強：61，弱：57
		音圧レベル			P急：45，急：40，強：37，弱：32	P急：46，急：42，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：81，暖：79
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：67，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280 × 1368 × 738	
		梱包			362 × 1535 × 839	
	製品質量			kg	54	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3	
		風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：26，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(13)	
		電動機	定格出力	W	100 + 130	100 + 200
		エアフィルタ			－（現地手配）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(12)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	14.0 × 3本（42m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	60	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（60）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 ×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P224形：0.230kW × 2台，P280形：0.250kW × 2台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P224形：最大0.320kW（静圧200Pa）× 2台，P280形：最大0.360kW（静圧200Pa）× 2台となります。］

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。

(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(9) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(10) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P224形（室内112形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

P280形（室内140形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

(11) 室内ユニットは共用タイプ（P112用）および共用タイプ（P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。

(12) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(13) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(14) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(15) 総配管長は105m以内となります。

(16) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(g) 天吊形（FDEV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEV-HK〕

PFA004Z149 D

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV406HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP406HK	FDEV456HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP456HK	FDEV506HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP506HK
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	3.6 [1.3 ～ 4.0]	4.0 [1.3 ～ 4.5]	4.5 [1.3 ～ 5.0]
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0 [1.0 ～ 4.5]（最小：1.1）	4.5 [1.1 ～ 5.0]（最小：1.2）	5.0 [1.2 ～ 5.6]（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.3
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.86	0.80
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.7	5.8	6.7
		暖房			5.2	6.2	6.9
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.865	1.08	1.26
			中間		0.284（中温：0.243）	0.301（中温：0.267）	0.357（中温：0.316）
			最小中温		0.181	0.181	0.181
		暖房	定格標準		0.955（最小：0.227）	1.17（最小：0.237）	1.30（最小：0.250）
			中間		0.326	0.362	0..400
			最大低温		1.69	1.69	2.60
	力率			%	冷：92，暖：92	冷：93，暖：94	冷：94，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.16，中間：6.00	定格：3.70，中間：5.97	定格：3.57，中間：5.89
		暖房			定格：4.19，中間：5.53	定格：3.85，中間：5.80	定格：3.85，中間：5.75
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	5.6	5.6
		(2006)			5.4	5.4	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210 × 1070 × 690		
		梱包			344 × 1178 × 766		
	製品質量			kg	28		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800 (+71) × 290		
		梱包			687 × 921 × 370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEV-HK〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDEV566HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP566HK	FDEV636HK6S 室内：FDEZP636S 室外：FDCVP636HK
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.5～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.5
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.6	7.9
		暖房			8.2	8.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.46	1.53
			中間		0.388（中温：0.353）	0.433（中温：0.383）
			最小中温		0.181	0.179
		暖房	定格標準		1.59（最小：0.267）	1.64（最小：0.299）
			中間		0.462	0.477
			最大低温		2.73	2.34
	力率			%	冷：96，暖：97	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.42，中間：5.93	定格：3.66，中間：6.00
		暖房			定格：3.52，中間：5.62	定格：3.84，中間：6.08
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.5	5.8
		（2006）			5.1	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：48，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：48，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690	210×1320×690
		梱包			344×1178×766	344×1428×766
	製品質量			kg	28	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2（P63形：4）	
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.05kW × 1台，P63形：0.06kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDEV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV806HK6S
					室内：FDEZP806S 室外：FDCVP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.4 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.2 ～ 10.0]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.0
定格冷房時の顕熱比					0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.3
		暖房			10.4
	始動電流（最大電流）				5（17）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.99
			中間		0.560（中温：0.475）
			最小中温		0.210
		暖房	定格標準		2.02（最小：0.330）
			中間		0.630
			最大低温		2.43
	力率			%	冷：97，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.57，中間：5.71
		暖房			定格：3.96，中間：5.71
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.9
		(2006)			5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210 × 1320 × 690
		梱包			344 × 1428 × 766
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能 (7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（22m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015)および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616 :2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006)はJIS B 8616 :2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル)はJIS B 8616 :2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル)はJIS B 8616 :2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1m にて測定した値です。
(5) BEST 計算用　室内送風機消費電力 :0.070kW × 1 台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80 用)で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売)を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3 本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDEV406H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP406H	FDEV456H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP456H	FDEV506H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP506H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.3～4.0］	4.0［1.3～4.5］	4.5［1.3～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.0～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			4.6	4.6	5.3
定格冷房時の顕熱比					0.91	0.86	0.80
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9	3.5	4.1
		暖房			3.2	3.8	4.2
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.860	1.07	1.25
			中間		0.281（中温：0.241）	0.299（中温：0.265）	0.354（中温：0.314）
			最小中温		0.180	0.180	0.180
		暖房	定格標準		0.945（最小：0.223）	1.16（最小：0.235）	1.29（最小：0.248）
			中間		0.322	0.359	0.395
			最大低温		1.68	1.68	2.59
	力率			%	冷：86，暖：85	冷：88，暖：88	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.19，中間：6.04	定格：3.74，中間：6.02	定格：3.60，中間：5.94
		暖房			定格：4.23，中間：5.58	定格：3.88，中間：5.85	定格：3.88，中間：5.82
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.7	5.7
		（2006）			5.5	5.5	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690		
		梱包			344×1178×766		
	製品質量			kg	28		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2		
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.05kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV566H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP566H	FDEV636H6S 室内：FDEZP636S 室外：FDCVP636H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.3～5.6］	5.6［1.5～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.5
	暖房能力	定格標準			5.6［1.4～6.3］（最小：1.4）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.5	5.7
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.86
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.6	4.6
		暖房			5.0	5.0
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.45	1.52
			中間		0.386（中温：0.349）	0.430（中温：0.381）
			最小中温		0.180	0.178
		暖房	定格標準		1.58（最小：0.265）	1.63（最小：0.297）
			中間		0.458	0.474
			最大低温		2.72	2.33
	力率			%	冷：91，暖：91	冷：95，暖：94
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.45，中間：5.96	定格：3.68，中間：6.05
		暖房			定格：3.54，中間：5.67	定格：3.87，中間：6.12
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6	5.9
		(2006)			5.2	5.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：60，急：51，強：48，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：48，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210×1070×690	210×1320×690
		梱包			344×1178×766	344×1428×766
	製品質量			kg	28	33
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2（P63形：4）	
		風量		m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：20，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	30	50
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P56形：0.05kW × 1台，P63形：0.06kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式						FDEV806H6S 室内：FDEZP806S 室外：FDCVP806H
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1 [1.4 ～ 8.0]
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0 [1.2 ～ 10.0]（最小：2.0）
		中間				3.6
		最大低温				7.0
定格冷房時の顕熱比						0.77
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.2
		暖房				6.3
	始動電流（最大電流）					5（11）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.96
			中間			0.555（中温：0.473）
			最小中温			0.208
		暖房	定格標準			1.99（最小：0.328）
			中間			0.625
			最大低温			2.40
	力率				%	冷：91，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.62，中間：5.77
		暖房				定格：4.02，中間：5.76
	通年エネルギー消費効率	(2015)				5.9
		(2006)				5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル				P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル				冷：67，暖：68
		音圧レベル				冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	210 × 1320 × 690
		梱包				344 × 1428 × 766
	製品質量				kg	33
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 4
		風量			m^3/min	P急：22，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	55
		エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口					不可能
	新鮮空気取入口					不可能
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包				687 × 921 × 370
	製品質量				kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力		kW	1.8
		空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1
		風量			m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力		W	64
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (7)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管			mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管				φ 15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	15
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（15）
	アース線サイズ				mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1,32（届出不要）
IPコード						室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015)および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616 :2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006)はJIS B 8616 :2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル)はJIS B 8616 :2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル)はJIS B 8616 :2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1m にて測定した値です。
(5) BEST 計算用　室内送風機消費電力 :0.070kW × 1 台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80 用)で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売)を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3 本以下で電圧降下2％とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDEV1126H6S 室内：FDEZP1606S 室外：FDCVP1126H	FDEV1406H6S 室内：FDEZP1606S 室外：FDCVP1406H	FDEV1606H6S 室内：FDEZP1606S 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	14.0
定格冷房時の顕熱比					0.73	0.70	0.68
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.7	10.9	14.1
		暖房			8.3	10.7	13.8
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.58	3.70	4.80
			中間		0.719（中温：0.591）	0.997（中温：0.880）	1.16（中温：0.988）
			最小中温		0.408	0.437	0.439
		暖房	定格標準		2.76（最小：0.525）	3.61（最小：0.624）	4.65（最小：0.715）
			中間		0.864	1.14	1.33
			最大低温		5.98	6.39	6.39
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.88，中間：6.26	定格：3.38，中間：5.72	定格：2.92，中間：5.43
		暖房			定格：4.06，中間：5.90	定格：3.88，中間：5.53	定格：3.44，中間：5.41
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.0	5.6	5.4
		（2006）			5.6	5.1	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：58，強：54，弱：50	P急：64，急：60，強：56，弱：51	P急：65，急：62，強：56，弱：52
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：38，弱：34	P急：48，急：44，強：40，弱：35	P急：49，急：46，強：40，弱：36
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	250×1620×690		
		梱包			365×1732×766		
	製品質量			kg	43		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4		
		風量		m^3/min	P急：28，急：26，強：21，弱：17	P急：32，急：29，強：23，弱：17	P急：34，急：30，強：23，弱：18
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	65	80	90
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.08kW × 1台，P140形：0.11kW × 1台，P160形：0.12kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV2246H5A 室内：FDEZP2245A 室外：FDCVP2246H	FDEV2806H5A 室内：FDEZP2805A 室外：FDCVP2806H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [5.0 ～ 22.4]	25.0 [6.1 ～ 27.8]
		中間			9.0（中温：8.9）	11.3（中温：12.0）
		最小中温			5.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.3 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [6.7 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	20.7
定格冷房時の顕熱比					0.76	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.3	27.3
		暖房			17.8	24.7
	始動電流（最大電流）				5（39）	5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.09	9.07
			中間		1.75（中温：1.70）	2.60（中温：2.50）
			最小中温		0.60	0.83
		暖房	定格標準		5.92（最小：1.10）	8.20（最小：1.31）
			中間		1.95	2.70
			最大低温		8.60	8.80
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.28，中間：5.14	定格：2.76，中間：4.35
		暖房			定格：3.78，中間：5.18	定格：3.41，中間：4.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.9	4.6
		(2006)			4.8	4.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：69，急：64，強：60，弱：54	P急：71，急：67，強：62，弱：56
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：42，弱：36	P急：53，急：49，強：44，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：63，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	350 × 2000 × 830	
		梱包			530 × 2130 × 1005	
	製品質量			kg	114	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	P急：60，急：50，強：42，弱：32	P急：65，急：55，強：45，弱：35
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	110 × 2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルター，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管(6)		mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.480kW× 1台
(6) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEV-HP〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDEV1126HP6S 室内：FDEZP566S × 2台 室外：FDCVP1126H	FDEV1406HP6S 室内：FDEZP806S × 2台 室外：FDCVP1406H	FDEV1606HP6S 室内：FDEZP806S × 2台 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.1 ～ 11.2］	12.5［3.3 ～ 14.0］	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.1	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8 ～ 14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6 ～ 18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.0	13.8
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.80	0.74
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.0	10.0	12.8
		暖房			9.0	9.5	11.4
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.68	3.41	4.33
			中間		0.795（中温：0.677）	0.982（中温：0.881）	1.18（中温：1.06）
			最小中温		0.410	0.413	0.469
		暖房	定格標準		2.98（最小：0.527）	3.19（最小：0.582）	3.84（最小：0.716）
			中間		0.921	1.07	1.27
			最大低温		6.14	6.21	6.13
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.73，中間：5.66	定格：3.67，中間：5.80	定格：3.23，中間：5.34
		暖房			定格：3.76，中間：5.54	定格：4.39，中間：5.89	定格：4.17，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.8	5.4
		（2006）			5.2	5.4	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45	P急：63，急：52，強：49，弱：46	
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32	P急：50，急：39，強：36，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210 × 1070 × 690	210 × 1320 × 690	
		梱包			344 × 1178 × 766	344 × 1428 × 766	
	製品質量			kg	28	33	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7	P急：22，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	30	55	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370		
		梱包			1180 × 1020 × 452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P112形：0.05kW × 2台，P140形，P160形：0.07kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用），および共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEV2246HP6S	FDEV2806HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP1606S × 2台 室外：FDCVP2246H	室内：FDEZP1606S × 2台 室外：FDCVP2806H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.0 ～ 22.4]	25.0 [6.3 ～ 27.8]
		中間			9.0（中温：9.4）	11.3（中温：11.6）
		最小中温			6.0	6.3
	暖房能力	定格標準			22.4 [5.6 ～ 28.0]（最小：5.6）	28.0 [7.0 ～ 31.5]（最小：7.0）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			20.0	21.2
定格冷房時の顕熱比					0.77	0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	17.8	27.5
		暖房			17.9	25.3
	始動電流（最大電流）				5（39）	5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.92	9.16
			中間		1.64（中温：1.48）	2.21（中温：2.00）
			最小中温		0.872	0.931
		暖房	定格標準		5.97（最小：1.04）	8.42（最小：1.33）
			中間		1.92	2.55
			最大低温		8.70	8.40
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.38，中間：5.49	定格：2.73，中間：5.11
		暖房			定格：3.75，中間：5.26	定格：3.33，中間：4.94
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.3	4.9
		(2006)			4.9	4.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：61，急：58，強：54，弱：50	P急：64，急：60，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：45，急：42，強：38，弱：34	P急：48，急：44，強：40，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：63，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	250 × 1620 × 690	
		梱包			365 × 1732 × 766	
	製品質量			kg	43	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m³/min	P急：28，急：26，強：21，弱：17	P急：32，急：29，強：23，弱：17
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	65	80
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m³/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52（P280形：φ12.7），室外接続：φ9.52（フレア）（P280形：φ12.7（フレア））	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	8.0 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm²	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P224形：0.080kW × 2台，P280形：0.110kW × 2台
(6) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 総配管長は105m以内となります。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：3 台，室外ユニット：1 台）〔FDEV-HT〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDEV1606HT6S
					室内：FDEZP566S × 3台 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0［3.5 ～ 16.0］
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0［4.0 ～ 20.3］（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.0
定格冷房時の顕熱比					0.90
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.9
		暖房			11.8
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.37
			中間		1.22（中温：1.07）
			最小中温		0.452
		暖房	定格標準		3.97（最小：0.686）
			中間		1.27
			最大低温		6.46
	力率			%	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.20，中間：5.16
		暖房			定格：4.03，中間：5.67
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.4
		(2006)			5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：51，強：49，弱：45
		音圧レベル			P急：47，急：38，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210 × 1070 × 690
		梱包			344 × 1178 × 766
	製品質量			kg	28
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2
		風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：7
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	30
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370
		梱包			1180 × 1020 × 452
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1
			電動機出力		3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ12.7（フレア），分岐管：φ12.7，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.05kW × 3台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TA1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1Gを2セット
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）トリプル形（室内ユニット：3 台，室外ユニット：1 台）〔FDEV-HT〕

項目 ＼ セット形式					FDEV2246HT6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP806S × 3台 室外：FDCVP2246H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0 ～ 22.4］
		中間			9.0（中温：9.4）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6 ～ 28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	17.5
		暖房			17.6
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	5.85
			中間		1.73（中温：1.57）
			最小中温		0.894
		暖房	定格標準		5.87（最小：1.03）
			中間		1.94
			最大低温		8.50
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.42，中間：5.20
		暖房			定格：3.82，中間：5.21
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2
		（2006）			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210 × 1320 × 690
		梱包			344 × 1428 × 766
	製品質量			kg	33
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：13，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	55
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力		4.5
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.070kW × 3台
(6) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(8) トリプル機の分岐配管は，必ず下記を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 ：DIS-TB1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 ：DIS-WA1G，DIS-WC1Gを各1セット
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 総配管長は105m以内となります。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(h) 天吊耐油形（FDESV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDESV-HK〕

（50/60Hz）

項目＼セット形式／形式					FDESV806HK6
					室内：FDESZP806 室外：FDCVP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.4 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.2）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.3 ～ 9.6]（最小：2.1）
		中間			3.6
		最大低温			7.0
定格冷房時の顕熱比					0.93/0.99
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	10.4/10.4
		暖房			9.4/9.3
	始動電流（最大電流）				5（18）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.02/2.01
			中間		0.690/0.715（中温：0.628/0.645）
			最小中温		0.377/0.390
		暖房	定格標準		1.82/1.80（最小：0.445/0.460）
			中間		0.680/0.700
			最大低温		2.55/2.52
	力率			%	冷：97/97，暖：97/97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.51/3.53，中間：4.64/4.48
		暖房			定格：4.40/4.44，中間：5.29/5.14
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.7/4.6
		(2006)			4.9/4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	冷：急 65/69，弱 63/65，暖：急 66/69，弱 63/65
		音圧レベル			冷：急 50/54，弱 47/49，暖：急 51/54，弱 48/49
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	295 × 1540 × 695
		梱包			445 × 1720 × 815
	製品質量			kg	66
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	急：30/35，弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70 × 2
		エアフィルタ			アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱 300℃
	吹出ダクト接続口				前面（φ 125mm スポットダクト× 2 か所，1m）〔品番 SAD-10B（オプション）〕
	新鮮空気取入口				新鮮空気取入（背面：φ 150mm フレキシブルダクト× 2 か所）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用 ·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン & 銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）〔配管 30m 分封入済〕
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (2)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（22m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IP20，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率(2015) および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616:2015 条件により運転した値です。
なお結露防止ヒータ，OFF 時の値です。(出荷時：未接続)
(2) 通年エネルギー消費効率(2006) は，JIS B 8616:2006 条件により運転した値です。
なお結露防止ヒータ，OFF 時の値です。(出荷時：未接続)
(3) 相対湿度80%（露点温度23℃)以上の環境で使用する場合は結露防止ヒータを接続してください。
(4) 運転音（パワーレベル)は，JIS B 8616:2015 に基づいた音響パワーレベルの値です。
(5) 運転音（音圧レベル)は JIS B 8616:2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は，周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。
なお室外ユニットは本体前方 1 m，高さ 1 m にて測定した値です。
(6) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.200 / 0.230 kW × 1 台
(7) スポットダクトを接続する場合は，右記部品を2 本まで使用できます。(別売品) 品番：SAD-10B φ125 1m(伸長時約1.4m)x1 本
(8) 配線仕様はVCT 線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3 本以下で電圧降下2% とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDESV-H〕

（50/60Hz）

項目 ＼ セット形式						FDESV806H6
項目 ＼ 形式						室内：FDESZP806 室外：FDCVP806H
リモートコントローラ						RC-DX3D
電源						三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格			kW	7.1 [1.4 ～ 8.0]
		中間				3.2（中温：3.3）
		最小中温				1.8
	暖房能力	定格標準				8.0 [1.3 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間				3.6
		最大低温				7.0
定格冷房時の顕熱比						0.93/0.99
(1)運転特性	運転電流	冷房			A	6.3/6.3
		暖房				5.7/5.6
	始動電流（最大電流）					5（12）
	消費電力	冷房	定格		kW	1.99/1.99
			中間			0.685/0.710（中温：0.625/0.640）
			最小中温			0.375/0.388
		暖房	定格標準			1.8/1.77（最小：0.442/0.457）
			中間			0.675/0.695
			最大低温			2.52/2.50
	力率				%	冷：91/91，暖：91/91
	エネルギー消費効率	冷房				定格：3.57/3.57，中間：4.67/4.51
		暖房				定格：4.44/4.52，中間：5.33/5.18
	通年エネルギー消費効率	(2015)				4.7/4.6
		(2006)				4.9/4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル			dB(A)	冷：急 65/69，弱 63/65，暖：急 66/69，弱 63/65
		音圧レベル				冷：急 50/54，弱 47/49，暖：急 51/54，弱 48/49
	室外ユニット	パワーレベル				冷：67，暖：68
		音圧レベル				冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	295 × 1540 × 695
		梱包				445 × 1720 × 815
	製品質量				kg	66
	空気熱交換器					アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数				シロッコファン × 2
		風量			m^3/min	急：30/35，　弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）			Pa	0
		電動機	定格出力		W	70 × 2
		エアフィルタ				アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱 300℃
	吹出ダクト接続口					前面（φ 125mm スポットダクト× 2 か所，1m）〔品番 SAD-10B（オプション）〕
	新鮮空気取入口					新鮮空気取入（背面：φ 150mm フレキシブルダクト× 2 か所）
	運転調整					操作（運転切換，風量調整，タイマ，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用 ·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能					遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器					－（組込不可能）
	防振装置·防音·断熱材					送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品			mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包				687 × 921 × 370
	製品質量				kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力		kW	1.8
		空気熱交換器				アルミフィン & 銅チューブ式
		冷媒制御器				電子膨張弁
		冷媒封入量			kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数				プロペラファン × 1
		風量			m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力		W	64
	クランクケースヒータ				W	20
	低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御及び圧縮機制御により外気温度－ 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (2)
	除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管			mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管				φ 15.88（フレア接続）
	排水口					〔室内〕VP25 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）				mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）				A	15
	開閉器容量（ヒューズ容量）					30（15）
	アース線サイズ				mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線				mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力					MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力					トン	1,32（届出不要）
IPコード						室内：IP20，室外：IPX4
保護装置						吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率(2015) および電気特性は，適正冷媒量において JIS B 8616:2015 条件により運転した値です。
なお結露防止ヒータ，OFF 時の値です。(出荷時：未接続)
(2) 通年エネルギー消費効率(2006) は，JIS B 8616:2006 条件により運転した値です。
なお結露防止ヒータ，OFF 時の値です。(出荷時：未接続)
(3) 相対湿度80%（露点温度23℃)以上の環境で使用する場合は結露防止ヒータを接続してください。
(4) 運転音（パワーレベル)は，JIS B 8616:2015 に基づいた音響パワーレベルの値です。
(5) 運転音（音圧レベル)は JIS B 8616:2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は，周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。
なお室外ユニットは本体前方 1 m，高さ 1 m にて測定した値です。
(6) BEST 計算用 室内送風機消費電力 :0.200 / 0.230 kW × 1 台
(7) スポットダクトを接続する場合は，右記部品を2 本まで使用できます。(別売品) 品番 :SAD-10B φ125 1m(伸長時約1.4m)x1 本
(8) 配線仕様はVCT 線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3 本以下で電圧降下2% とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDESV-H〕

（50/60Hz）

項目 ＼ セット形式					FDESV1406H6
項目 ＼ 形式					室内：FDESZP1406 室外：FDCVP1406H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	12.5 [3.3～14.0]
		中間			5.7（中温：5.8）
		最小中温			3.3
	暖房能力	定格標準			14.0 [3.6～18.3]（最小：3.6）
		中間			6.3
		最大低温			12.9/13.0
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.5/12.3
		暖房			10.9/10.0
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.26/4.16
			中間		1.18/1.20（中温：1.09/1.08）
			最小中温		0.654/0.660
		暖房	定格標準		3.65/3.35（最小：0.685/0.691）
			中間		1.18/1.16
			最大低温		5.84/5.41
	力率			%	冷：98/98，暖：97/97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.93/3.00，中間：4.83/4.75
		暖房			定格：3.84/4.18，中間：5.34/5.43
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.8/4.8
		(2006)			4.8/4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	冷：急 64/67，弱 63/65，　暖：急 64/68，弱 63/65
		音圧レベル			冷：急 49/52，弱 46/48，　暖：急 49/53，弱 47/49
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，　暖：72
		音圧レベル			冷：58，　暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	295 × 1540 × 695
		梱包			445 × 1720 × 815
	製品質量			kg	69
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	急：30/35，　弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70×2
		エアフィルタ			アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱300℃
	吹出ダクト接続口				前面（φ125mm スポットダクト×2か所，1m）〔品番SAD-10B（オプション）〕
	新鮮空気取入口				新鮮空気取入（背面：φ150mm フレキシブルダクト×2か所）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370
		梱包			1180 × 1020 × 452
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1
			電動機出力	kW	3.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(6)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 × 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.82(届出不要)
IPコード					室内：IP20，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。なお，結露防止ヒータON時の値です。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。なお，結露防止ヒータON時の値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.20/0.23kW × 1台
(6) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(7) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(8) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDESV-HP〕(50/60Hz)

項目 ＼ セット形式					FDESV1606HP6
項目 ＼ 形式					室内：FDESZP806 × 2台 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0 [5.7～16.0]
		中間			6.3（中温：6.4）
		最小中温			5.7
	暖房能力	定格標準			16.0 [4.0～20.3]（最小：4.0）
		中間			7.2
		最大低温			14.0
定格冷房時の顕熱比					0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.4/12.2
		暖房			11.0/10.9
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	4.20/4.13
			中間		1.38/1.42（中温：1.20/1.23）
			最小中温		1.13/1.18
		暖房	定格標準		3.68/3.67（最小：0.817/0.845）
			中間		1.34/1.37
			最大低温		5.09/5.07
	力率			%	冷：98/98，暖：97/97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.33/3.39，中間：4.57/4.44
		暖房			定格：4.35/4.36，中間：5.37/5.26
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.7/4.6
		(2006)			4.9/4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	冷：急 65/69，弱 63/65，　暖：急 66/69，弱 63/65
		音圧レベル			冷：急 50/54，弱 47/49，　暖：急 51/54，弱 48/49
	室外ユニット	パワーレベル			冷：72，　暖：73
		音圧レベル			冷：58，　暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	295 × 1540 × 695
		梱包			445 × 1720 × 815
	製品質量			kg	66
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	急：30/35，　弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70×2
		エアフィルタ			アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱300℃
	吹出ダクト接続口				前面（φ125mm スポットダクト×2箇所，1m）〔品番SAD-10B（オプション）〕
	新鮮空気取入口				新鮮空気取入（背面：φ150mm フレキシブルダクト×2箇所）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				－（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370
		梱包			1180 × 1020 × 452
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1
			電動機出力	kW	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 × 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				t-CO2	2.82(届出不要)
IPコード					室内：IP20，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。なお，結露防止ヒータOFF時の値です。（出荷時未接続）
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。なお，結露防止ヒータOFF時の値です。（出荷時未接続）
(3) 相対湿度80%（露点温度23℃）以上の環境で使用する場合は，結露防止ヒータを接続してください。
(4) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(5) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.20/0.23kW × 2台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音・補助電熱器の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2 台，室外ユニット：1 台）〔FDESV-HP〕(50/60Hz)

項目 ＼ セット形式					FDESV2806HP6
項目 ＼ 形式					室内：FDESZVP1406 × 2台 室外：FDCVP2806H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	25.0 [6.3~28.0]
		中間			11.3（中温：11.5）
		最小中温			6.3
	暖房能力	定格標準			28.0 [7.0~31.5]（最小：7.0）
		中間			12.6
		最大低温			21.2
定格冷房時の顕熱比					0.70/0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	29.2/27.5
		暖房			26.6/25.1
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	9.73/9.15
			中間		2.58（中温：2.41）
			最小中温		1.19/1.25
		暖房	定格標準		8.85/8.37（最小：1.50/1.54）
			中間		2.59/2.54
			最大低温		8.80/8.40
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：2.57/2.73，中間：4.38
		暖房			定格：3.16/3.35，中間：4.86/4.96
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.3
		(2006)			4.0/4.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	冷：急 64/67，弱 63/65，　暖：急 64/68，弱 63/65
		音圧レベル			冷：急 49/52，弱 46/48，　暖：急 49/53，弱 47/49
	室外ユニット	パワーレベル			冷：78/77，　暖：78
		音圧レベル			冷：64，　暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	295 × 1540 × 695
		梱包			445 × 1720 × 815
	製品質量			kg	69
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4
		風量		m^3/min	急：30/35，　弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70×2
		エアフィルタ			アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱300℃
	吹出ダクト接続口				前面（φ125mm スポットダクト×2箇所，1m）〔品番SAD-10B（オプション）〕
	新鮮空気取入口				新鮮空気取入（背面：φ150mm フレキシブルダクト×2箇所）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1×1
			電動機出力	kW	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン× 2
		風量		m^3/min	冷：145，　暖：148
		電動機	定格出力	W	86×2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(8)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内分岐管：φ9.52（フレア接続），室外主管：φ12.7（フレア接続）
		ガス管			室内分岐管：φ15.88（フレア接続），室外主管：φ25.4（ろう付接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0×3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（~70m），3.5×3本（~120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65(届出不要)
IPコード					室内：IP20，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量において日本工業規格（JIS B 8616：2015）条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。なお，結露防止ヒータON時の値です。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）は日本工業規格（JIS B 8616：2006）条件により運転した数値です。なお，結露防止ヒータON時の値です。
(3) 運転音（パワーレベル）は日本工業規格（JIS B 8616：2015）に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）は日本工業規格（JIS B 8616：2006）に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.200/0.230kW × 2台
(6) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(10) 総配管長は105m以内となります。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

（i） 壁掛形（FDKV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKV-HK〕

PHA001Z190 C

項目 ＼ セット形式					FDKV406HK6S	FDKV456HK6S	FDKV506HK6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP566S 室外：FDCVP406HK	室内：FDKZP566S 室外：FDCVP456HK	室内：FDKZP566S 室外：FDCVP506HK
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					単相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.4～4.5］	4.5［1.4～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.1～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.74	0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.9	6.0	6.9
		暖房			5.7	7.0	7.5
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.860	1.06	1.21
			中間		0.272（中温：0.228）	0.311（中温：0.266）	0.364（中温：0.300）
			最小中温		0.187	0.187	0.188
		暖房	定格標準		0.980（最小：0.194）	1.22（最小：0.204）	1.33（最小：0.222）
			中間		0.299	0.354	0.395
			最大低温		1.96	1.96	2.39
	力率			%	冷：87，暖：86	冷：88，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.19，中間：6.25	定格：3.77，中間：5.79	定格：3.72，中間：5.77
		暖房			定格：4.08，中間：6.02	定格：3.69，中間：5.93	定格：3.76，中間：5.82
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	5.9	5.9
		（2006）			5.7	5.4	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290×870×230		
		梱包			290×930×360		
	製品質量			kg	11		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1		
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				—		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				—（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	47		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P40形，P45形：0.025kW × 1台，P50形：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKV-HK〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKV566HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP566HK	FDKV636HK6S 室内：FDKZP636S 室外：FDCVP636HK
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0［1.4～5.6］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6［1.6～6.3］（最小：1.6）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.6	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.70	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.1	8.6
		暖房			8.9	9.4
	始動電流（最大電流）				5（16）	5（16）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.44	1.51
			中間		0.412（中温：0.346）	0.418（中温：0.340）
			最小中温		0.184	0.158
		暖房	定格標準		1.61（最小：0.286）	1.69（最小：0.272）
			中間		0.457	0.492
			最大低温		2.39	2.42
	力率			%	冷：89，暖：90	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.47，中間：5.58	定格：3.71，中間：6.22
		暖房			定格：3.48，中間：5.69	定格：3.73，中間：5.89
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7	6.2
		(2006)			5.1	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：53，急：51，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：37，急：34，強：31，弱：27
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290×870×230	339×1197×262
		梱包			290×930×360	381×1270×431
	製品質量			kg	11	17
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1	
		風量		m³/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：18，急：16，強：14，弱：13
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDKV-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDKV806HK6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1126S 室外：FDCVP806HK
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.5 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.1 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.7
定格冷房時の顕熱比					0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	11.3
		暖房			11.9
	始動電流（最大電流）				5（17）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.20
			中間		0.585（中温：0.505）
			最小中温		0.215
		暖房	定格標準		2.33（最小：0.350）
			中間		0.665
			最大低温		2.65
	力率			%	冷：97，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.23，中間：5.47
		暖房			定格：3.43，中間：5.41
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339 × 1197 × 262
		梱包			381 × 1270 × 431
	製品質量			kg	17
	空気熱交換器				アルミフィン & 銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ＋サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				−
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				−（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+ 71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン & 銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度− 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP16 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（22m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015)および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616 :2015 条件により運転した値です。[　～　] は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006)はJIS B 8616 :2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル)はJIS B 8616 :2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル)はJIS B 8616 :2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1m にて測定した値です。
(5) BEST 計算用　室内送風機消費電力 :0.050kW × 1 台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112 用)で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売)を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3 本以下で電圧降下2％とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDKV-H〕

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDKV406H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP406H	FDKV456H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP456H	FDKV506H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP506H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	3.6［1.4～4.0］	4.0［1.4～4.5］	4.5［1.4～5.0］
		中間			1.7（中温：1.8）	1.8（中温：1.9）	2.1（中温：2.2）
		最小中温			1.4	1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			4.0［1.1～4.5］（最小：1.1）	4.5［1.1～5.0］（最小：1.2）	5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）
		中間			1.8	2.1	2.3
		最大低温			5.0	5.0	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.74	0.76
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	2.9	3.5	4.0
		暖房			3.3	4.0	4.3
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	0.855	1.05	1.20
			中間		0.269（中温：0.227）	0.308（中温：0.262）	0.361（中温：0.299）
			最小中温		0.185	0.185	0.187
		暖房	定格標準		0.970（最小：0.193）	1.21（最小：0.203）	1.31（最小：0.220）
			中間		0.297	0.351	0.394
			最大低温		1.94	1.94	2.37
	力率			%	冷：84，暖：85	冷：87，暖：87	冷：87，暖：88
	エネルギー消費効率	冷房			定格：4.21，中間：6.32	定格：3.81，中間：5.84	定格：3.75，中間：5.82
		暖房			定格：4.12，中間：6.06	定格：3.72，中間：5.98	定格：3.82，中間：5.84
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.1	5.9	5.9
		（2006）			5.7	5.4	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：55，急：53，強：50，弱：46	P急：59，急：57，強：53，弱：47
		音圧レベル			P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：40，急：37，強：34，弱：30	P急：44，急：42，強：37，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：59，暖：60	冷：60，暖：61	冷：60，暖：61
		音圧レベル			冷：44，暖：45	冷：45，暖：45	冷：45，暖：46
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290×870×230		
		梱包			290×930×360		
	製品質量			kg	11		
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1		
		風量		m^3/min	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：11，急：10，強：9，弱：8	P急：14，急：12，強：10，弱：8
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				ー		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290		
		梱包			687×921×370		
	製品質量			kg	46		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1		
			電動機出力	kW	0.6	0.8	0.9
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33		
		電動機	定格出力	W	34		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）		
		ガス管			φ12.7（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	0.83（届出不要）	0.83（届出不要）	1.08（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P40形，P45形：0.025kW×1台，P50形：0.03kW×1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P45形，P50形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDKV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKV566H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP566H	FDKV636H6S 室内：FDKZP636S 室外：FDCVP636H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	5.0 [1.4 ～ 5.6]	5.6 [1.4 ～ 6.3]
		中間			2.3（中温：2.4）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.6 [1.6 ～ 6.3]（最小：1.6）	6.3 [1.6 ～ 8.0]（最小：1.6）
		中間			2.6	2.9
		最大低温			5.6	5.6
定格冷房時の顕熱比					0.70	0.81
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.7	5.0
		暖房			5.2	5.4
	始動電流（最大電流）				5（12）	5（12）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.43	1.50
			中間		0.409（中温：0.343）	0.414（中温：0.338）
			最小中温		0.182	0.157
		暖房	定格標準		1.60（最小：0.281）	1.67（最小：0.270）
			中間		0.451	0.488
			最大低温		2.37	2.40
	力率			%	冷：88，暖：89	冷：87，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.50，中間：5.62	定格：3.73，中間：6.28
		暖房			定格：3.50，中間：5.76	定格：3.77，中間：5.94
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7	6.3
		(2006)			5.1	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：53，急：51，強：49，弱：46
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：37，急：34，強：31，弱：27
	室外ユニット	パワーレベル			冷：63，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：49，暖：47	冷：49，暖：47
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290 × 870 × 230	339 × 1197 × 262
		梱包			290 × 930 × 360	381 × 1270 × 431
	製品質量			kg	11	17
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：18，急：16，強：14，弱：13
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	42	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290	
		梱包			687 × 921 × 370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11 × 1	
			電動機出力	kW	1.0	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：38，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.12（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.03kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDKV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDKV806H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1126S 室外：FDCVP806H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [1.5 ～ 8.0]
		中間			3.2（中温：3.4）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [1.1 ～ 9.6]（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			6.7
定格冷房時の顕熱比					0.75
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.8
		暖房			7.3
	始動電流（最大電流）				5（11）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.17
			中間		0.580（中温：0.503）
			最小中温		0.213
		暖房	定格標準		2.30（最小：0.347）
			中間		0.660
			最大低温		2.60
	力率			%	冷：92，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.27，中間：5.52
		暖房			定格：3.48，中間：5.45
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.6
		(2006)			4.9
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：67，暖：68
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339 × 1197 × 262
		梱包			381 × 1270 × 431
	製品質量			kg	17
	空気熱交換器				アルミフィン & 銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ＋サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				−
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用・LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				−（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（+71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン & 銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）[配管 30m 分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度− 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP16 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 1.6mm）× 3 本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1,32（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015)および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616 :2015 条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006)はJIS B 8616 :2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル)はJIS B 8616 :2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル)はJIS B 8616 :2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1m にて測定した値です。
(5) BEST 計算用　室内送風機消費電力 :0.050kW × 1 台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112 用)で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売)を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3 本以下で電圧降下2％とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDKV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDKV1126H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1126S 室外：FDCVP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］
		中間			4.5（中温：4.7）
		最小中温			3.3
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			5.1
		最大低温			10.3
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.2
		暖房			10.5
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.75
			中間		0.725（中温：0.664）
			最小中温		0.429
		暖房	定格標準		3.50（最小：0.574）
			中間		0.918
			最大低温		3.90
	力率			%	冷：97，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.64，中間：6.21
		暖房			定格：3.20，中間：5.56
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.5
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：58，強：55，弱：51
		音圧レベル			P急：45，急：43，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339×1197×262
		梱包			381×1270×431
	製品質量			kg	17
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1
		風量		m^3/min	P急：24，急：22，強：18，弱：16
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				ー
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370
		梱包			1180×1020×452
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1
			電動機出力	kW	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW×1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP112形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDKV1126HP6S	FDKV1406HP6S	FDKV1606HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP566S × 2台 室外：FDCVP1126H	室内：FDKZP1126S × 2台 室外：FDCVP1406H	室内：FDKZP1126S × 2台 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D		
電源					三相 200V 50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.5～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.8）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.5
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			10.4	13.0	13.8
定格冷房時の顕熱比					0.71	0.75	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	8.1	9.8	13.0
		暖房			9.4	10.1	12.4
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.73	3.31	4.40
			中間		0.778（中温：0.648）	0.946（中温：0.769）	1.17（中温：0.961）
			最小中温		0.426	0.387	0.435
		暖房	定格標準		3.11（最小：0.518）	3.39（最小：0.551）	4.16（最小：0.637）
			中間		0.890	1.09	1.26
			最大低温		4.46	6.07	6.32
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.66，中間：5.78	定格：3.78，中間：6.03	定格：3.18，中間：5.38
		暖房			定格：3.60，中間：5.73	定格：4.13，中間：5.78	定格：3.85，中間：5.71
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.8	6.2	5.8
		（2006）			5.2	5.4	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：59，急：57，強：53，弱：47	P急：56，急：54，強：52，弱：49	
		音圧レベル			P急：44，急：42，強：37，弱：32	P急：40，急：38，強：36，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	290 × 870 × 230	339 × 1197 × 262	
		梱包			290 × 930 × 360	381 × 1270 × 431	
	製品質量			kg	11	17	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1		
		風量		m^3/min	P急：14，急：12，強：10，弱：8	P急：19，急：18，強：16，弱：14	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	42	56	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）		
	吹出ダクト接続口				ー		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（組込不可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970× 370		
		梱包			1180 × 1020× 452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140，P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140，P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140，P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	2.82（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P112形：0.03kW × 2台，P140形，P160形：0.05kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P40，P45，P50，P56用）および共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDKV2246HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1126S × 2台 室外：FDCVP2246H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.0 ～ 22.4］
		中間			9.0（中温：9.5）
		最小中温			6.0
	暖房能力	定格標準			22.4［5.6 ～ 28.0］（最小：5.6）
		中間			10.1
		最大低温			20.0
定格冷房時の顕熱比					0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	19.7
		暖房			19.7
	始動電流（最大電流）				5（39）
	消費電力	冷房	定格	kW	6.57
			中間		1.75（中温：1.60）
			最小中温		0.825
		暖房	定格標準		6.57（最小：0.978）
			中間		1.93
			最大低温		9.20
	力率			%	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.04，中間：5.14
		暖房			定格：3.41，中間：5.23
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.2
		(2006)			4.7
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：58，強：55，弱：51
		音圧レベル			P急：45，急：43，強：39，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74
		音圧レベル			冷：62，暖：60
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339 × 1197 × 262
		梱包			381 × 1270 × 431
	製品質量			kg	17
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急：24，急：22，強：18，弱：16
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	56
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）
	吹出ダクト接続口				―
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				―（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370
		梱包			1635 × 1020 × 452
	製品質量			kg	130
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5141SBE1 × 1
			電動機出力	kW	4.5
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130
		電動機	定格出力	W	86 × 2
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×4個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（26m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P71，P80，P112用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。
この組合せではP112形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(11) 室内ユニットの項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂配管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 総配管長は105m以内となります。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機(ヒータレス三相電源形)トリプル形(室内ユニット:3 台, 室外ユニット:1 台)〔FDKV-HT〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKV1606HT6S
					室内:FDKZP566S × 3台 室外:FDCVP1606H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	14.0 [3.5 ～ 16.0]
		中間			6.3 (中温:6.4)
		最小中温			3.5
	暖房能力	定格標準			16.0 [4.0 ～ 20.3] (最小:4.0)
		中間			7.2
		最大低温			13.8
定格冷房時の顕熱比					0.73
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	12.7
		暖房			12.3
	始動電流(最大電流)				5 (23)
	消費電力	冷房	定格	kW	4.32
			中間		1.16 (中温:0.984)
			最小中温		0.457
		暖房	定格標準		4.14 (最小:0.659)
			中間		1.25
			最大低温		6.18
	力率			%	冷:98, 暖:97
	エネルギー消費効率	冷房			定格:3.24, 中間:5.43
		暖房			定格:3.86, 中間:5.76
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.7
		(2006)			5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急:59, 急:57, 強:53, 弱:47
		音圧レベル			P急:44, 急:42, 強:37, 弱:32
	室外ユニット	パワーレベル			冷:72, 暖:73
		音圧レベル			冷:58, 暖:59
室内ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	290 × 870 × 230
		梱包			290 × 930 × 360
	製品質量			kg	11
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1
		風量		m^3/min	P急:14, 急:12, 強:10, 弱:8
		機外静圧(標準風量時)		Pa	0
		電動機	定格出力	W	42
		エアフィルタ			プラスチックネット(防カビ仕様), 酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ(脱臭)
	吹出ダクト接続口				ー
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作(運転切換, 風量調整, タイマー), 室温調節(電子サーモスタット), 表示(運転·点検用·LED, 液晶表示)
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ(CNT:6P, CNTA:2P)を保有(室内基板上)
	加湿器				ー(組込不可能)
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機:防振ゴム, 外板:吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法(高さ×幅×奥行)	製品		mm	1050 × 970 × 370
		梱包			1180 × 1020 × 452
	製品質量			kg	86
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3 × 1
			電動機出力	kW	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.3 (R32) [主管配管30m分封入済]
		冷凍機油封入量		L	0.9 (M-MB75)
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷:86, 暖:86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(9)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機:防振ゴム, 吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管(7)(外径)	液管		mm	室内接続:φ6.35 (フレア), 分岐管:φ9.52, 主管:φ9.52, 室外接続:φ9.52 (フレア)
		ガス管			室内接続:φ12.7 (フレア), 分岐管:φ12.7, 主管:φ15.88, 室外接続:φ15.88 (フレア)
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ(こう長)			mm^2	3.5 × 3本 (19m)
	漏電しゃ断器(高調波対応品)			A	30
	開閉器容量(ヒューズ容量)				30 (30)
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上 (M5)
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 (φ1.6) × 3本 (～70m), 3.5 × 3本 (～120m)
設計圧力				MPa	高圧部:4.15, 低圧部:2.26
法定冷凍能力				トン	2.82 (届出不要)
IPコード					室内:IPXO, 室外:IPX4
保護装置					高圧スイッチ, 低圧センサ, 吐出管温度センサ, 吸入管温度センサ, 熱交温度センサ, 電流センサ, ヒューズ, ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力, 通年エネルギー消費効率(2015)および電気特性は, 適正冷媒量においてJIS B 8616:2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率(2006)はJIS B 8616:2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音(パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616:2006に準拠し, 反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け, 表示値より大きくなるのが普通です。なお, 室外ユニットは本体前方1m, 高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力:0.03kW × 3台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し, その他の項目は記載の室内ユニット3台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) トリプル機の分岐配管は, 必ず下記を使用して接続してください。(詳細は685ページをご覧ください。)
① 各室内ユニットまでの配管長差が3m未満 :DIS-TA1G ② 各室内ユニットまでの配管長差が3m以上 :DIS-WA1Gを2セット
(8) 室内ユニットは共用タイプ(P40, P45, P50, P56用)で, 室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP50形に設定され, 上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合, フレックスフローアダプタおよび防雪フード(別売)を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し, 管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(j) 床置形（FDFV）

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDFV-HK〕

PGA000Z870/C

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFV506HK5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCVP506HK	FDFV636HK5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCVP636HK
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					単相　200V　50/60Hz	
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.4～5.0］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.3	2.9
		最大低温			5.6	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.93	0.78
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	6.6	8.9
		暖房			6.7	9.9
	始動電流（最大電流）				5（16）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.16	1.56
			中間		0.37（中温：0.32）	0.47（中温：0.38）
			最小中温		0.19	0.20
		暖房	定格標準		1.19（最小：0.23）	1.79（最小：0.29）
			中間		0.42	0.54
			最大低温		2.26	2.39
	力率			%	冷：88，暖：89	冷：88，暖：90
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.88，中間：5.68	定格：3.59，中間：5.52
		暖房			定格：4.20，中間：5.48	定格：3.52，中間：5.42
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.6
		（2006）			5.3	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46	
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850×600×329	
		梱包			1898×708×481	
	製品質量			kg	46	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	47	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	0.9	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	2.0（φ1.6mm）×2本（14m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	20	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（20）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス単相電源形）〔FDFV-HK〕

項目 ＼ セット形式					FDFV806HK5SB
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP805SB 室外：FDCVP806HK
リモートコントローラ					専用リモコン装着
電源					単相　200V　50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.4～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［1.2～9.4］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.66
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	11.8
		暖房			12.7
	始動電流（最大電流）				5（17）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.04
			中間		0.59（中温：0.58）
			最小中温		0.27
		暖房	定格標準		2.33（最小：0.39）
			中間		0.66
			最大低温		2.60
	力率			%	冷：98，暖：98
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.06，中間：5.40
		暖房			定格：3.21，中間：5.50
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.0
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：52，強：49，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：39，強：35，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 600 × 329
		梱包			1898 × 708 × 481
	製品質量			kg	47
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1
		風量		m^3/min	P急：18，急：16，強：14，弱：12
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	157
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用 ·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（＋71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	47
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	1.7（R32）［配管 30m 分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 2 本（22m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.32（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015 条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1m にて測定した値です。
(5) BEST 計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1 台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3 本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFV506H5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCVP506H	FDFV636H5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCVP636H
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	4.5［1.4～5.0］	5.6［1.4～6.3］
		中間			2.1（中温：2.2）	2.6（中温：2.7）
		最小中温			1.4	1.4
	暖房能力	定格標準			5.0［1.2～5.6］（最小：1.3）	6.3［1.6～8.0］（最小：1.6）
		中間			2.3	2.9
		最大低温			5.6	6.0
定格冷房時の顕熱比					0.93	0.78
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	3.8	5.1
		暖房			3.9	5.8
	始動電流（最大電流）				5（12）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.15	1.55
			中間		0.37（中温：0.32）	0.46（中温：0.38）
			最小中温		0.19	0.19
		暖房	定格標準		1.18　（最小：0.23）	1.78　（最小：0.29）
			中間		0.42	0.53
			最大低温		2.25	2.38
	力率			%	冷：87，暖：87	冷：88，暖：89
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.91，中間：5.71	定格：3.61，中間：5.62
		暖房			定格：4.24，中間：5.53	定格：3.54，中間：5.52
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.7
		（2006）			5.4	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46	
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：60，暖：61	冷：63，暖：64
		音圧レベル			冷：45，暖：46	冷：49，暖：49
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850×600×329	
		梱包			1898×708×481	
	製品質量			kg	46	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1	
		風量		m³/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640×800（+71）×290	
		梱包			687×921×370	
	製品質量			kg	46	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5113SWE11×1	
			電動機出力	kW	0.9	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	1.3（R32）［配管20m分封入済］	1.5（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.450（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m³/min	冷：33，暖：33	冷：38，暖：38
		電動機	定格出力	W	34	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ6.35（フレア接続）	
		ガス管			φ12.7（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×5個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（21m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	1.08（届出不要）	1.12（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP50形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFV-H〕

項目 ＼ セット形式					FDFV806H5SB
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP805SB 室外：FDCVP806H
リモートコントローラ					専用リモコン装着
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［1.4～8.0］
		中間			3.2（中温：3.3）
		最小中温			1.8
	暖房能力	定格標準			8.0［1.2～9.4］（最小：2.0）
		中間			3.6
		最大低温			7.8
定格冷房時の顕熱比					0.66
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.2
		暖房			7.8
	始動電流（最大電流）				5（11）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.01
			中間		0.59（中温：0.58）
			最小中温		0.26
		暖房	定格標準		2.29（最小：0.38）
			中間		0.65
			最大低温		2.57
	力率			%	冷：92，暖：91
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.09，中間：5.42
		暖房			定格：3.24，中間：5.54
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.0
		(2006)			4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：52，強：49，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：39，強：35，弱：33
	室外ユニット	パワーレベル			冷：65，暖：66
		音圧レベル			冷：54，暖：54
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 600 × 329
		梱包			1898 × 708 × 481
	製品質量			kg	47
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1
		風量		m^3/min	P急：18，急：16，強：14，弱：12
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	157
	エアフィルタ				プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能
	吹出ダクト接続口				不可能
	新鮮空気取入口				不可能
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転・点検用 ·LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P，CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	640 × 800（＋71）× 290
		梱包			687 × 921 × 370
	製品質量			kg	43
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5115SWE1 × 1
			電動機出力	kW	1.8
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	冷媒制御器				電子膨張弁
	冷媒封入量			kg	1.7（R32）［配管 30m 分封入済］
	冷凍機油封入量			L	0.450（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：48，暖：48
		電動機	定格出力	W	64
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー 15℃～ 50℃で冷房運転可能 (7)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ 9.52（フレア接続）
		ガス管			φ 15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP20 の排水管の接続可能〔室外〕内径φ 20mm の排水穴× 5 個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ 2.0mm）× 3 本（39m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	15
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（15）
	アース線サイズ			mm^2	2.0 以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ 1.6mm）× 3 本
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	1.32（届出不要）
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4
保護装置					吐出管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015 条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006 条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015 に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006 に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1m にて測定した値です。
(5) BEST 計算用 室内送風機消費電力：0.060kW × 1 台
(6) 室内ユニットは共用タイプ（P80 用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP80 形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はVCT 線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3 本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFV1126H5SB 室内：FDFZP1605SB 室外：FDCVP1126H	FDFV1406H5SB 室内：FDFZP1605SB 室外：FDCVP1406H	FDFV1606H5SB 室内：FDFZP1605SB 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					専用リモコン装着		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.3～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.3	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.6	13.6
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.70	0.67
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.9	11.6	16.6
		暖房			8.3	11.8	14.8
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.65	3.93	5.65
			中間		0.87（中温：0.75）	1.11（中温：0.98）	1.34（中温：1.10）
			最小中温		0.48	0.48	0.52
		暖房	定格標準		2.77（最小：0.58）	3.98（最小：0.71）	4.96（最小：0.82）
			中間		0.95	1.21	1.39
			最大低温		5.72	6.26	6.26
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.77，中間：5.17	定格：3.18，中間：5.14	定格：2.48，中間：4.70
		暖房			定格：4.04，中間：5.37	定格：3.52，中間：5.21	定格：3.23，中間：5.18
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.1	4.9
		（2006）			5.1	4.8	4.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：63，強：61，弱：56		
		音圧レベル			P急：55，急：51，強：49，弱：44		
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850×600×329		
		梱包			1898×708×481		
	製品質量			kg	49		
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m^3/min	P急：29，急：26，強：23，弱：19		
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）		
		ガス管			φ15.88（フレア接続）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6 mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.210kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140, P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形，P160形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFV-H〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFV2246H5 室内：FDFZP2245 室外：FDCVP2246H	FDFV2806H5 室内：FDFZP2805 室外：FDCVP2806H
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0 [6.5 ～ 22.4]	25.0 [7.2 ～ 28.0]
		中間			9.0（中温：9.8）	11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.5	7.2
	暖房能力	定格標準			22.4 [6.1 ～ 28.0]（最小：6.1）	28.0 [7.2 ～ 31.5]（最小：7.2）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			21.9	22.0
定格冷房時の顕熱比					0.79	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.9／19.1	32.2／32.5
		暖房			18.7／18.8	27.0／27.1
	始動電流（最大電流）				5（39）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.30／6.34	10.7／10.8
			中間		2.24/2.25（中温：1.93/1.94）	2.75/2.77（中温：2.41/2.42）
			最小中温		1.20／1.20	1.33/1.34
		暖房	定格標準		6.21/6.25（最小：1.24/1.25）	8.97/9.02（最小：1.53/1.54）
			中間		2.14／2.15	2.72/2.74
			最大低温		8.75／8.85	9.15/9.25
	力率			%	冷：96/96，暖：96/96	冷：96/96，暖：96/96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.17/3.15　，中間：4.02/4.00	定格：2.34/2.31　，中間：4.11/4.08
		暖房			定格：3.61/3.58　，中間：4.72/4.70	定格：3.12/3.10　，中間：4.73/4.60
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.6／4.6	4.3／4.3
		（2006）			4.3／4.3	4.0/4.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	急：69，強：64，弱：61	
		音圧レベル			急：57，強：52，弱：48	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：63，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850 × 1200 × 320	
		梱包			1981 × 1366 × 533	
	製品質量			kg	110	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	急：57，強：43，弱：36	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	150 × 2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面上部を利用して可能（ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505 × 970 × 370	
		梱包			1635 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMTS5141SBE1 × 1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86 × 2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(5)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）	φ12.7（室内：ろう付接続，室外：フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0 × 3本（31m）	8.0 × 3本（29m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力（50/60Hz）：0.570/0.650kW × 1台

(7) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(8) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDFV-HP〕

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDFV1126HP5SB 室内：FDFZP635SB × 2台 室外：FDCVP1126H	FDFV1406HP5SB 室内：FDFZP805SB × 2台 室外：FDCVP1406H	FDFV1606HP5SB 室内：FDFZP805SB × 2台 室外：FDCVP1606H
リモートコントローラ					専用リモコン装着		
電源					三相　200V　50/60Hz		
(1)能力	冷房能力	定格		kW	10.0［3.3～11.2］	12.5［3.4～14.0］	14.0［3.7～16.0］
		中間			4.5（中温：4.7）	5.7（中温：5.9）	6.3（中温：6.4）
		最小中温			3.3	3.4	3.7
	暖房能力	定格標準			11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）	14.0［3.6～18.3］（最小：3.6）	16.0［4.0～20.3］（最小：4.0）
		中間			5.1	6.3	7.2
		最大低温			12.5	13.8	13.8
定格冷房時の顕熱比					0.78	0.70	0.70
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	7.5	10.7	13.3
		暖房			7.9	11.4	14.0
	始動電流（最大電流）				5（23）		
	消費電力	冷房	定格	kW	2.53	3.62	4.53
			中間		0.81（中温：0.67）	1.05（中温：0.91）	1.20（中温：1.06）
			最小中温		0.45	0.45	0.51
		暖房	定格標準		2.64　（最小：0.54）	3.82　（最小：0.71）	4.72　（最小：0.78）
			中間		0.92	1.16	1.36
			最大低温		5.54	6.13	6.13
	力率			%	冷：97，暖：96	冷：98，暖：97	冷：98，暖：97
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.95，中間：5.56	定格：3.45，中間：5.43	定格：3.09，中間：5.25
		暖房			定格：4.24，中間：5.54	定格：3.66，中間：5.43	定格：3.39，中間：5.29
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.7	5.4	5.1
		（2006）			5.3	5.0	4.8
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：51，強：48，弱：46	P急：54，急：52，強：49，弱：47	
		音圧レベル			P急：42，急：37，強：34，弱：32	P急：42，急：39，強：35，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
		音圧レベル			冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850×600×329		
		梱包			1898×708×481		
	製品質量			kg	46	47	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式		
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1		
		風量		m³/min	P急：18，急：15，強：13，弱：12	P急：18，急：16，強：14，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0		
		電動機	定格出力	W	157		
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能		
	吹出ダクト接続口				不可能		
	新鮮空気取入口				不可能		
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）		
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）		
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）		
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付		
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370		
		梱包			1180×1020×452		
	製品質量			kg	86		
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE3×1		
			電動機出力	kW	2.0	3.0	3.7
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
		冷媒封入量		kg	3.3（R32）［主管配管30m分封入済］		
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）		
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1		
		風量		m³/min	冷：86，暖：86		
		電動機	定格出力	W	144		
	クランクケースヒータ			W	20		
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)		
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ6.35（P140, P160：φ9.52）（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）		
		ガス管			室内接続：φ12.7（P140, P160：φ15.88）（フレア），分岐管：φ12.7（P140, P160：φ15.88），主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）		
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個		
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5（φ2.0mm）×3本（19m）		
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30		
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）		
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）		
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59（届出不要）	2.82（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4		
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護		

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプ（P50，P63用）および共用タイプ（P80用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP56形，P71形，P80形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDFV-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDFV2246HP5SB	FDFV2806HP5SB
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP1605SB × 2台 室外：FDCVP2246H	室内：FDFZP1605SB × 2台 室外：FDCVP2806H
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	20.0［6.6～22.4］	25.0［7.2～28.0］
		中間			9.0（中温：9.8）	11.3（中温：11.8）
		最小中温			6.6	7.2
	暖房能力	定格標準			22.4［5.8～ 28.0］（最小：5.8）	28.0［7.2～31.5］（最小：7.2）
		中間			10.1	12.6
		最大低温			21.9	22.0
定格冷房時の顕熱比					0.75	0.69
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	18.4	31.0
		暖房			17.9	26.4
	始動電流（最大電流）				5（39）	
	消費電力	冷房	定格	kW	6.12	10.3
			中間		1.98（中温：1.72）	2.50（中温：2.17）
			最小中温		0.96	1.14
		暖房	定格標準		5.96（最小：1.05）	8.77（最小：1.30）
			中間		2.00	2.48
			最大低温		9.22	9.15
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	エネルギー消費効率	冷房			定格：3.27，中間：4.55	定格：2.43，中間：4.52
		暖房			定格：3.76，中間：5.05	定格：3.19，中間：5.08
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1	4.8
		（2006）			4.6	4.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：63，強：61，弱：56	
		音圧レベル			P急：55，急：51，強：49，弱：44	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
		音圧レベル			冷：62，暖：60	冷：63，暖：64
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850×600×329	
		梱包			1898×708×481	
	製品質量			kg	49	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1	
		風量		m^3/min	P急：29，急：26，強：23，弱：19	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1505×970×370	
		梱包			1635×1020×452	
	製品質量			kg	130	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMTS5141SBE1×1	
			電動機出力	kW	4.5	7.3
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	6.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	1.00（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×2	
		風量		m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
		電動機	定格出力	W	86×2	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管(7)		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ12.7，（P224：40m以内φ9.52），室外接続：φ9.52（P280：φ12.7）（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ25.4，室外接続：φ25.4（ろう付）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×3個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	8.0×3本（31m）	8.0×3本（29m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	50	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（50）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5×3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65（届出不要）	
IPコード					室内：IPX0，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.210kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) P224形の場合，主管長が40mを超える場合は，主管液管サイズを必ずφ12.7としてください。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WC1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプ（P112，P140，P160用）で，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP112形，P140形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(3) 暖ガンハイパーインバータシリーズ

(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDTK）

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTK-H〕

PJF000Z886 B

項目 ＼ セット形式					FDTK806H6SA	FDTK1126H6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP1606SA 室外：FDCKP806H	室内：FDTZP1606SA 室外：FDCKP1126H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [2.8 ～ 8.0]	10.0 [2.8 ～ 11.2]
		中間			3.2（中温：3.6）	4.5（中温：5.0）
		最小中温			2.8	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.2 ～ 11.2]（最小：2.2）	11.2 [2.8 ～ 14.3]（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			12.6（極低温：12.6）	14.8（極低温：14.8）
		室外湿球温度-15℃時			12.6	14.8
		室外湿球温度-20℃時			10.7	13.0
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.86
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	4.4	7.1
		暖房			4.5	6.6
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.450	2.350
			中間		0.605（中温：0.440）	0.790（中温：0.680）
			最小中温		0.360	0.400
		暖房	定格標準		1.500（最小：0.430）	2.200（最小：0.490）
			中間		0.590	0.805
			最大低温		4.60（極低温：4.60）	5.90（極低温：6.3）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.2	6.2
		（2006）			5.9	6.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：62，急：58，強：50，弱：45	P急：62，急：58，強：50，弱：45
			暖房		P急：63，急：58，強：50，弱：44	P急：63，急：58，強：50，弱：44
		音圧レベル	冷房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：35，弱：29
			暖房		P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：35，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：56，暖：58	冷：56，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：288（408/298）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	
		梱包			本体：303 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：27，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m³/min	P急：36，急：25，強：22，弱：18	P急：36，急：25，強：22，弱：18
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	120	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370	
		梱包			1180 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m³/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5 × 3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。

(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。

(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：0.140kW × 1台

(8) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTK-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDTK806HP6SA	FDTK1126HP6SA
項目 ＼ 形式					室内：FDTZP716SA × 2台 室外：FDCKP806H	室内：FDTZP716SA × 2台 室外：FDCKP1126H
パネル形式（別売品）					293ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [2.8 ～ 8.0]	10.0 [2.7 ～ 11.2]
		中間			3.2（中温：3.7）	4.5（中温：5.0）
		最小中温			2.8	2.7
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.2 ～ 11.2]（最小：2.2）	11.2 [2.8 ～ 14.3]（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			12.6（極低温：12.6）	14.8（極低温：14.8）
		室外湿球温度-15℃時			12.6	14.8
		室外湿球温度-20℃時			10.7	13.0
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.96
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.2	6.9
		暖房			4.2	6.9
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.400	2.300
			中間		0.600（中温：0.400）	0.770（中温：0.680）
			最小中温		0.340	0.350
		暖房	定格標準		1.400（最小：0.390）	2.300（最小：0.490）
			中間		0.580	0.800
			最大低温		5.00（極低温：4.8）	5.90（極低温：6.3）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			6.7	6.2
		（2006）			6.0	6.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル	冷房	dB(A)	P急：50，急：46，強：44，弱：42	P急：50，急：46，強：44，弱：42
			暖房		P急：51，急：46，強：43，弱：40	P急：51，急：46，強：43，弱：40
		音圧レベル	冷房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
			暖房		P急：37，急：33，強：31，弱：29	P急：37，急：33，強：31，弱：29
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：70	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：226（346/236）× 840 × 840 (5)，パネル：293ページをご覧ください。	
		梱包			本体：241 × 871 × 855，パネル：293ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：21，標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m³/min	P急：19，急：15，強：13，弱：11	P急：19，急：15，強：13，弱：11
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	58	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				側板を利用して可能（100 × 100，200 × 100ダクト接続）	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（65 × 112ダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370	
		梱包			1180 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m³/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5 × 3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（　）内寸法は天井内部の高さ寸法（お掃除パネル／その他）を示します。
(6) エアフレックスパネル，ラクリーナパネル，お掃除ラクリーナパネルには風よけ機能・人感センサを搭載しております。リモコンRC-DX3Dから設定します。
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形，P112形：0.030kW × 2台
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(b) 天井埋込形２方向吹出し（FDTWK）

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDTWK-H〕

PJB001Z923 B

項目 ＼ セット形式					FDTWK806H6S	FDTWK1126H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDTWZP1406S 室外：FDCKP806H	室内：FDTWZP1406S 室外：FDCKP1126H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.7～8.0］	10.0［2.7～11.2］
		中間			3.2（中温：3.5）	4.6（中温：4.8）
		最小中温			2.7	2.7
	暖房能力	定格標準			8.0［2.2～11.2］（最小：2.2）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.8	5.3
		最大低温			12.6（極低温：12.6）	14.4（極低温：13.7）
		室外湿球温度-15℃時			12.6	14.4
		室外湿球温度-20℃時			10.7	12.6
定格冷房時の顕熱比					0.90	0.75
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	5.0	8.6
		暖房			5.4	8.4
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.650	2.850
			中間		0.700（中温：0.500）	0.920（中温：0.710）
			最小中温		0.400	0.410
		暖房	定格標準		1.800（最小：0.420）	2.800（最小：0.520）
			中間		0.700	0.960
			最大低温		5.90（極低温：5.9）	7.00（極低温：7.0）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.6
		（2006）			5.1	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：60，強：56，弱：52	
		音圧レベル			P急：48，急：45，強：41，弱：37	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：71，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）× 1535 × 620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：352 × 1712 × 693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：35，標準パネル：13，ラクリーナパネル：15	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：31，急：27，強：23，弱：20	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	35×2	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能） (8)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370	
		梱包			1180 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5 × 3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80，P112形：0.10kW × 1台

(7) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(11) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。

(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDTWK-HP〕

項目＼セット形式					FDTWK806HP6S	FDTWK1126HP6S
項目＼形式					室内：FDTWZP806S × 2台 室外：FDCKP806H	室内：FDTWZP806S × 2台 室外：FDCKP1126H
パネル形式（別売品）					294ページをご覧ください。	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [2.7 ～ 8.0]	10.0 [2.8 ～ 11.2]
		中間			3.2（中温：4.0）	4.5（中温：5.1）
		最小中温			2.7	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.2 ～ 11.2]（最小：2.2）	11.2 [2.8 ～ 14.3]（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			12.2（極低温：12.2）	14.2（極低温：14.2）
		室外湿球温度-15℃時			12.2	14.2
		室外湿球温度-20℃時			10.7	12.3
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.80
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.1	8.0
		暖房			5.1	7.5
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.700	2.650
			中間		0.690（中温：0.500）	0.900（中温：0.700）
			最小中温		0.420	0.420
		暖房	定格標準		1.700（最小：0.460）	2.500（最小：0.590）
			中間		0.690	0.950
			最大低温		5.00（極低温：5.1）	6.20（極低温：6.4）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.6	5.6
		（2006）			5.1	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：58，急：54，強：50，弱：47	P急：58，急：54，強：50，弱：47
		音圧レベル			P急：42，急：38，強：34，弱：31	P急：42，急：38，強：34，弱：31
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：70	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	本体：275（325）× 820 × 620 (5)，パネル：294ページをご覧ください。	
		梱包			本体：315 × 997 × 693，パネル：294ページをご覧ください。	
	製品質量			kg	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10	本体：23，標準パネル：8.5，ラクリーナパネル：10
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			ターボファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：15，急：12，強：10，弱：9	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	40	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				φ200mmフレシキブルダクト × 1，接続可能（ユニット側面）（片側直吹と併設可能）(10)	
	新鮮空気取入口				側板を利用して可能（φ125 フレシキブルダクト接続可能・天井内）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370	
		梱包			1180 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(8)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80形，P112形：0.04kW × 2台
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 遮風は吹出分岐ダクト側にしてください。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内には3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(13) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(14) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(c) 天埋カセテリア（FDRK）

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRK-H〕

PJG000Z904 B

項目＼セット形式					FDRK806H6S		FDRK1126H6S	
項目＼形式					室内：FDRZP1606S 室外：FDCKP806H		室内：FDRZP1606S 室外：FDCKP1126H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-4AW	R-PNC-4AW	R-PNS-4AW	R-PNC-4AW
リモートコントローラ					RC-DX3D			
電源					三相 200V 50/60Hz			
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [2.7 ～ 8.0]		10.0 [2.8 ～ 11.2]	
		中間			3.2（中温：3.8）		4.5（中温：5.0）	
		最小中温			2.7		2.8	
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.4 ～ 11.2]（最小：2.4）		11.2 [2.9 ～ 14.3]（最小：2.9）	
		中間			3.6		5.3	
		最大低温			12.6（極低温：12.6）		14.6（極低温：14.6）	
		室外湿球温度-15℃時			12.6		14.6	
		室外湿球温度-20℃時			10.7		12.8	
定格冷房時の顕熱比					0.99		0.92	
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.7		8.3	
		暖房			5.3		7.7	
	始動電流（最大電流）				5（27）		5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.900		2.750	
			中間		0.800（中温：0.630）		1.010（中温：0.900）	
			最小中温		0.500		0.500	
		暖房	定格標準		1.750（最小：0.530）		2.550（最小：0.620）	
			中間		0.710		0.980	
			最大低温		5.00（極低温：5.2）		6.20（極低温：6.6）	
	力率			%	冷：96，暖：96		冷：96，暖：96	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.9		5.0	
		（2006）			4.7		5.0	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58
		音圧レベル			P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37	P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71		冷：70，暖：71	
		音圧レベル			冷：57，暖：58		冷：57，暖：58	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）× 1368 × 738，キャンバスパネル仕様：279（348＋α）× 1368 × 738 (5) (6)			
		本体梱包			358 × 1554 × 902			
		パネル			295ページをご覧ください。			
	製品質量			kg	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5	本体：54，パネル：17	本体：54，パネル：13.5
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3			
		風量		m^3/min	P急：39，急：32，強：25，弱：20		P急：39，急：32，強：25，弱：20	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(10)			
		電動機	定格出力	W	100+200		100+200	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 4 スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370			
		梱包			1180 × 1020 × 452			
	製品質量			kg	92			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1			
			電動機出力	kW	1.2		2.0	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1			
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86			
		電動機	定格出力	W	144			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）			
		ガス管			φ15.88（フレア接続）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）			
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）		3.06（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80，P112形：0.26kW×1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80，P112形：最大0.36kW（静圧100Pa）× 1台となります。］
(8) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2 台，室外ユニット：1 台）〔FDRK-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRK806HP6S		FDRK1126HP6S	
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCKP806H		室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCKP1126H	
吸込パネル					サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）					R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚	R-PNS-3AW × 2枚	R-PNC-3AW × 2枚
リモートコントローラ					RC-DX3D			
電源					三相　200V　50/60Hz			
(1) 能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.7 ～ 8.0］		10.0［2.8 ～ 11.2］	
		中間			3.2（中温：3.8）		4.6（中温：5.3）	
		最小中温			2.7		2.8	
	暖房能力	定格標準			8.0［2.5 ～ 11.2］（最小：2.5）		11.2［2.9 ～ 14.3］（最小：2.9）	
		中間			3.6		5.3	
		最大低温			12.2（極低温：12.2）		14.6（極低温：14.6）	
		室外湿球温度-15℃時			12.2		14.6	
		室外湿球温度-20℃時			10.7		12.8	
定格冷房時の顕熱比					0.99		0.99	
(1) 運転特性	運転電流	冷房		A	6.3		8.4	
		暖房			4.8		7.7	
	始動電流（最大電流）				5（27）		5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	2.100		2.800	
			中間		0.720（中温：0.560）		0.980（中温：0.840）	
			最小中温		0.450		0.500	
		暖房	定格標準		1.600（最小：0.500）		2.550（最小：0.600）	
			中間		0.670		0.930	
			最大低温		5.00（極低温：5.2）		6.2（極低温：6.6）	
	力率			%	冷：96，暖：96		冷：96，暖：96	
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3		5.3	
		（2006）			5.1		5.1	
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
		音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32	P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：70		冷：70，暖：71	
		音圧レベル			冷：57，暖：58		冷：57，暖：58	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル仕様：279（348）× 950 × 635，キャンバスパネル仕様：279（348 ＋α）× 950 × 635 (5) (6)			
		本体梱包			321 × 1136 × 799			
		パネル			295ページをご覧ください。			
	製品質量			kg	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3	本体：34，パネル：11.4	本体：34，パネル：9.3
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式			
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2			
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10		P急：24，急：19，強：15，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10（キャンバスパネル仕様：30），最小：10，最大：100（リモコンから設定）(12)			
		電動機	定格出力	W	130			
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能			
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3 スポット接続）			
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）			
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）			
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）			
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）			
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付			
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370			
		梱包			1180 × 1020 × 452			
	製品質量			kg	92			
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1			
			電動機出力	kW	1.2		2.0	
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式			
		冷媒制御器			電子膨張弁			
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［主管配管30m分封入済］			
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）			
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1			
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86			
		電動機	定格出力	W	144			
	クランクケースヒータ			W	20			
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)			
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式			
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付			
配管寸法	冷媒配管(9)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）			
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）			
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個			
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）			
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	40			
	開閉器容量（ヒューズ容量）				60（40）			
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）			
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）			
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26			
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）		3.06（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4			
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ			

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 室内ユニットの（ ）内寸法は天井内部の高さ寸法を示します。
(6) キャンバスパネル仕様の外形寸法室内高さはキャンバスダクト（別売）分が＋αされます。（詳細は外形図をご覧ください。）
(7) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形，P112形：0.14kW × 2台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80形，P112形：最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(8) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(9) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(10) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。
(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(14) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

■ 天井リターン設置仕様（オプション）

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDRK-H〕

PJG000Z904 B

項目 ＼ セット形式 ／ 形式					FDRK806H6S 室内：FDRZP1606S 室外：FDCKP806H	FDRK1126H6S 室内：FDRZP1606S 室外：FDCKP1126H
天井リターンキット					R-FL-4A（外形寸法は295ページをご覧ください。）	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [2.7 ～ 8.0]	10.0 [2.8 ～ 11.2]
		中間			3.2（中温：3.8）	4.5（中温：5.0）
		最小中温			2.7	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.4 ～ 11.2]（最小：2.4）	11.2 [2.9 ～ 14.3]（最小：2.9）
		中間			3.6	5.3
		最大低温			12.6（極低温：12.6）	14.6（極低温：14.6）
		室外湿球温度-15℃時			12.6	14.6
		室外湿球温度-20℃時			10.7	12.8
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.7	8.3
		暖房			5.3	7.7
	始動電流（最大電流）				5（27）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.900	2.750
			中間		0.800（中温：0.630）	1.010（中温：0.900）
			最小中温		0.500	0.500
		暖房	定格標準		1.750（最小：0.530）	2.550（最小：0.620）
			中間		0.710	0.980
			最大低温		5.00（極低温：5.2）	6.20（極低温：6.6）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			4.9	5.0
		（2006）			4.7	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：78，急：74，強：68，弱：63	P急：78，急：74，強：68，弱：63
		音圧レベル			P急：57，急：53，強：47，弱：42	P急：57，急：53，強：47，弱：42
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279 +37）× 1368 × 738	
		梱包			358 × 1554 × 902	
	製品質量			kg	本体：54，フィルタキット：3.3	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 3	
		風量		m^3/min	P急：39，急：32，強：25，弱：20	P急：39，急：32，強：25，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)	
		電動機	定格出力	W	100 + 200	100 + 200
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 4スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm, 背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370	
		梱包			1180 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(8)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[～]は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80，P112形：0.26kW × 1台 ［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80，P112形：最大0.36kW（静圧100Pa）× 1台となります。］

(7) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(8) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(9) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(10) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。

(11) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDRK-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDRK806HP6S	FDRK1126HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCKP806H	室内：FDRZP806S × 2台 室外：FDCKP1126H
天井リターンキット					R-FL-3A × 2セット（外形寸法は295ページをご覧ください。）	
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.7～8.0］	10.0［2.8～11.2］
		中間			3.2（中温：3.8）	4.6（中温：5.3）
		最小中温			2.7	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.5～11.2］（最小：2.5）	11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）
		中間			5.1	5.3
		最大低温			12.2（極低温：12.2）	14.6（極低温：14.6）
		室外湿球温度-15℃時			12.2	14.6
		室外湿球温度-20℃時			10.7	12.8
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.99
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	6.3	8.4
		暖房			4.8	7.7
	始動電流（最大電流）				5（27）	5（27）
	消費電力	冷房	定格	kW	2.100	2.800
			中間		0.720（中温：0.560）	0.980（中温：0.840）
			最小中温		0.450	0.500
		暖房	定格標準		1.600（最小：0.500）	2.550（最小：0.600）
			中間		0.670	0.930
			最大低温		5.00（極低温：5.2）	6.2（極低温：6.6）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.3
		（2006）			5.1	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58	P急：74，急：70，強：66，弱：58
		音圧レベル			P急：53，急：49，強：45，弱：37	P急：53，急：49，強：45，弱：37
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：70	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	（279 +37）× 950 × 635	
		梱包			321 × 1136 × 799	
	製品質量			kg	本体：34，フィルタキット：2.6	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：30，最小：20，最大：100（リモコンから設定）(5)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				前面（φ200mm フレキシブルダクト × 3スポット接続）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm，背面：φ150mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370	
		梱包			1180 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(10)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管(8)	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5 × 3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～120m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) 天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(6) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形，P112形：0.14kW × 2台　［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80形，P112形：最大0.190kW（静圧100Pa）× 2台となります。］
(7) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(8) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(9) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。
(10) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(12) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(d) 高静圧ダクト形（FDUK）

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDUK-H〕

PJG000Z905 B

項目 ＼ セット形式					FDUK806H6S	FDUK1126H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDUZP1606S 室外：FDCKP806H	室内：FDUZP1606S 室外：FDCKP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.7～8.0］	10.0［2.8～11.2］
		中間			3.2（中温：3.8）	4.5（中温：5.0）
		最小中温			2.7	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.4～11.2］（最小：2.4）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.3
		最大低温			12.6（極低温：12.6）	14.6（極低温：14.6）
		室外湿球温度-15℃時			12.6	14.6
		室外湿球温度-20℃時			10.7	12.8
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.92
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.4	8.4
		暖房			5.0	7.5
	始動電流（最大電流）				5（26）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.800	2.800
			中間		0.760（中温：0.600）	1.000（中温：0.810）
			最小中温		0.470	0.510
		暖房	定格標準		1.650（最小：0.500）	2.500（最小：0.610）
			中間		0.690	0.950
			最大低温		5.00（極低温：5.2）	6.20（極低温：6.6）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.1	5.2
		（2006）			4.9	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：71，急：67，強：61，弱：57	P急：71，急：67，強：61，弱：57
		音圧レベル			P急：46，急：42，強：36，弱：32	P急：46，急：42，強：36，弱：32
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280×1368×738	
		梱包			362×1535×839	
	製品質量			kg	54	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×3	
		風量		m^3/min	P急：39，急：32，強：26，弱：20	P急：39，急：32，強：26，弱：20
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(10)	
		電動機	定格出力	W	100＋200	100＋200
		エアフィルタ			－（現地手配）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370	
		梱包			1180×1020×452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5×1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法（外径）	冷媒配管	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品） 開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80，P112形：0.250kW×1台［ダクト機の場合，機外静圧設定によりP80，P112形：最大0.360kW（静圧200Pa）×1台となります。］

(6) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(7) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P80，P112形

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

(8) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(10) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(11) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(12) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。

(13) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDUK-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDUK806HP6S	FDUK1126HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDUZP806S × 2台 室外：FDCKP806H	室内：FDUZP806S × 2台 室外：FDCKP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.7～8.0］	10.0［2.8～11.2］
		中間			3.3（中温：4.0）	4.6（中温：5.3）
		最小中温			2.7	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.4～11.2］（最小：2.4）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			12.2（極低温：12.2）	14.6（極低温：14.6）
		室外湿球温度-15℃時			12.2	14.6
		室外湿球温度-20℃時			10.7	12.8
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.99
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.1	8.4
		暖房			5.0	7.7
	始動電流（最大電流）				5（27）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.700	2.800
			中間		0.760（中温：0.600）	0.980（中温：0.840）
			最小中温		0.430	0.450
		暖房	定格標準		1.650（最小：0.500）	2.550（最小：0.600）
			中間		0.670	0.930
			最大低温		5.00（極低温：5.2）	6.20（極低温：6.6）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.3
		（2006）			5.1	5.1
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：62，強：58，弱：52	P急：68，急：62，強：58，弱：52
		音圧レベル			P急：44，急：38，強：34，弱：28	P急：44，急：38，強：34，弱：28
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：70	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	280×950×635	
		梱包			325×1117×736	
	製品質量			kg	34	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×2	
		風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10
		機外静圧（標準風量時）		Pa	定格：10，最小：10，最大：200（リモコンから設定）(12)	
		電動機	定格出力	W	130	
		エアフィルタ			－（現地手配）	
	新鮮空気取入口				新鮮外気取入（側面：φ125mmフレキシブルダクト接続），排気（側面：φ125mm フレキシブルダクト接続）	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				－（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370	
		梱包			1180×1020×452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5×1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(11)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	5.5×3本（26m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）開閉器容量（ヒューズ容量）			A	40 60（40）	
	アース線サイズ			mm^2	3.5以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護，フロートスイッチ	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形，P112形：0.160kW × 2台［ダクト機の場合，機外静圧設定により，P80形，P112形：最大0.250kW（静圧200Pa）× 2台となります。］

(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。

(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）

(8) 丸ダクト変換キットを使用した場合は，設定可能な機外静圧は10～100Paとなります。

(9) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

P80，P112形（室内80形）

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

(10) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P63形に設定され，上記の仕様で運転します。

(11) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(12) 機外静圧調整は，ecoタッチリモコンRC-DX3Dメニュー→据付設定→ダクト機静圧補正から機外静圧を設定してください。

(13) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(14) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。

(15) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(e) 天吊形（FDEK）

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDEK-H〕

PFA004Z156A

項目 ＼ セット形式					FDEK806H6S	FDEK1126H6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP1606S 室外：FDCKP806H	室内：FDEZP1606S 室外：FDCKP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相 200V 50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.9～8.0］	10.0［3.0～11.2］
		中間			3.2（中温：3.6）	4.5（中温：4.7）
		最小中温			2.9	3.0
	暖房能力	定格標準			8.0［2.1～11.2］（最小：2.1）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.8	5.5
		最大低温			12.6（極低温：12.6）	14.3（極低温：13.0）
		室外湿球温度-15℃時			12.6	14.3
		室外湿球温度-20℃時			10.7	12.9
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.85
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.8	7.8
		暖房			5.1	8.1
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.600	2.600
			中間		0.660（中温：0.480）	0.820（中温：0.660）
			最小中温		0.380	0.410
		暖房	定格標準		1.700（最小：0.530）	2.700（最小：0.650）
			中間		0.760	0.960
			最大低温		6.30（極低温：6.3）	7.70（極低温：7.8）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.3	5.5
		（2006）			5.1	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：56，弱：51	P急：64，急：60，強：56，弱：51
		音圧レベル			P急：48，急：44，強：40，弱：35	P急：48，急：44，強：40，弱：35
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	250×1620×690	
		梱包			365×1732×766	
	製品質量			kg	43	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×4	
		風量		m^3/min	P急：32，急：29，強：23，弱：17	P急：32，急：29，強：23，弱：17
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	80	80
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370	
		梱包			1180×1020×452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5×1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用 室内送風機消費電力：P80，P112形：0.11kW × 1台
(6) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。
(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(9) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDEK-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDEK806HP6S	FDEK1126HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDEZP806S × 2台 室外：FDCKP806H	室内：FDEZP806S × 2台 室外：FDCKP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.7～8.0］	10.0［2.8～11.2］
		中間			3.2（中温：3.6）	4.5（中温：5.1）
		最小中温			2.7	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.3～11.2］（最小：2.3）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			12.6（極低温：12.6）	14.6（極低温：14.6）
		室外湿球温度-15℃時			12.6	14.6
		室外湿球温度-20℃時			10.7	12.8
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.98
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5	7.8
		暖房			5.0	6.9
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.500	2.600
			中間		0.700（中温：0.480）	0.870（中温：0.680）
			最小中温		0.380	0.380
		暖房	定格標準		1.650（最小：0.430）	2.300（最小：0.520）
			中間		0.700	0.900
			最大低温		5.00（極低温：5.0）	5.90（極低温：6.4）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.8	6.0
		（2006）			5.1	5.4
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：63，急：52，強：49，弱：46	
		音圧レベル			P急：50，急：39，強：36，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：70	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	210 × 1320 × 690	
		梱包			344 × 1428 × 766	
	製品質量			kg	33	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4	
		風量		m^3/min	P急：22，急：15，強：13，弱：10	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	55	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），ロングライフフィルタ，洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，グリル昇降），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370	
		梱包			1180 × 1020 × 452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）× 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［ ～ ］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形，P112形：0.07kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(f) 天吊耐油形（FDESK）

PFS000Z057 B

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDESK-H〕

（50/60Hz）

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDESK806H6 室内：FDESZP806 室外：FDCKP806H
リモートコントローラ					RC-DX3D
電源					三相 200V 50/60Hz
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1 [2.7～8.0]
		中間			3.2（中温：4.0）
		最小中温			2.7
	暖房能力	定格標準			8.0 [2.4～11.2]（最小：2.4）
		中間			3.6
		最大低温			12.6/12.6（極低温：12.6/12.6）
		室外湿球温度-15℃時			12.6/12.6
		室外湿球温度-20℃時			10.7/10.7
定格冷房時の顕熱比					0.95/0.99
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.3/5.3
		暖房			5.4/5.4
	始動電流（最大電流）				5（23）
	消費電力	冷房	定格	kW	1.75/1.75
			中間		0.870/0.870（中温：0.700/0.700）
			最小中温		0.490/0.490
		暖房	定格標準		1.8/1.8（最小：0.540/0.540）
			中間		0.760/0.760
			最大低温		6.5/6.5（極低温：7.1/7.1）
	力率			%	冷：96/96，暖：96/96
	通年エネルギー消費効率	(2015)			4.7/4.7
		(2006)			4.5/4.5
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	冷：急 65/69，弱 63/65，　暖：急 66/69，弱 63/65
		音圧レベル			冷：急 50/54，弱 47/49，　暖：急 51/54，弱 48/49
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，　暖：71
		音圧レベル			冷：57，　暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	295 × 1540 × 695
		梱包			445 × 1720 × 815
	製品質量			kg	66
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 4
		風量		m^3/min	急：30/35，　弱：27/29
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0
		電動機	定格出力	W	70×2
		エアフィルタ			アルミ製オイルミストフィルタ，熱湯洗浄可能，耐熱300℃
	吹出ダクト接続口				前面（φ125mm スポットダクト×2か所，1m）〔品番SAD-10B（オプション）〕
	新鮮空気取入口				新鮮空気取入（背面：φ150mm フレキシブルダクト×2か所）
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，換気），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転･点検用･LED，液晶表示）
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）
	加湿器				ー（組込不可能）
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970 × 370
		梱包			1180 × 1020 × 452
	製品質量			kg	92
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5×1
			電動機出力	kW	1.2
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式
		冷媒制御器			電子膨張弁
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86
		電動機	定格出力	W	144
	クランクケースヒータ			W	20
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(6)
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）
	排水口				〔室内〕VP25の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0 × 3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IP20，室外：IPX4
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータ：インターナルサーモ

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。[　～　]は最小最大範囲幅を示します。なお，結露防止ヒータON時の値です。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。なお，結露防止ヒータON時の値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.20/0.23kW × 1台
(6) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(7) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(8) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(9) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(g) 壁掛形（FDKK）

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDKK-H〕

PHA001Z194 B

項目 ＼ セット形式 / 形式					FDKK806H6S	FDKK1126H6S
					室内：FDKZP1126S 室外：FDCKP806H	室内：FDKZP1126S 室外：FDCKP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.7～8.0］	10.0［2.6～11.2］
		中間			3.2（中温：4.0）	4.6（中温：5.2）
		最小中温			2.7	2.6
	暖房能力	定格標準			8.0［2.2～11.2］（最小：2.2）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.4
		最大低温			11.2（極低温：11.2）	11.2（極低温：12.0）
		室外湿球温度-15℃時			11.2	12.0
		室外湿球温度-20℃時			10.0	10.2
定格冷房時の顕熱比					0.85	0.72
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.7	8.3
		暖房			5.3	8.6
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.900	2.750
			中間		0.700（中温：0.550）	0.965（中温：0.840）
			最小中温		0.360	0.420
		暖房	定格標準		1.750　（最小：0.400）	2.850　（最小：0.590）
			中間		0.660	0.960
			最大低温		5.50（極低温：6.5）	5.50（極低温：6.3）
	力率			%	冷：96，暖：96	
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.8	5.3
		(2006)			5.1	5.0
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：60，急：58，強：55，弱：51	
		音圧レベル			P急：45，急：43，強：39，弱：35	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：71，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339×1197×262	
		梱包			381×1270×431	
	製品質量			kg	17	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン×1	
		風量		m^3/min	P急：24，急：22，強：18，弱：16	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	56	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370	
		梱包			1180×1020×452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5×1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5×3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.06kW×1台

(6) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDKK-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDKK806HP6S	FDKK1126HP6S
項目 ＼ 形式					室内：FDKZP1126S × 2台 室外：FDCKP806H	室内：FDKZP1126S × 2台 室外：FDCKP1126H
リモートコントローラ					RC-DX3D	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［3.0～8.0］	10.0［2.9～11.2］
		中間			3.2（中温：4.0）	4.5（中温：5.3）
		最小中温			3.0	2.9
	暖房能力	定格標準			8.0［2.2～11.2］（最小：2.2）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			11.2（極低温：11.2）	14.4（極低温：14.4）
		室外湿球温度-15℃時			11.2	14.4
		室外湿球温度-20℃時			10.0	12.6
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.99
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5	7.1
		暖房			5.1	7.4
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.500	2.350
			中間		0.700（中温：0.550）	0.900（中温：0.700）
			最小中温		0.360	0.480
		暖房	定格標準		1.700（最小：0.440）	2.450（最小：0.580）
			中間		0.660	0.930
			最大低温		5.50（極低温：6.5）	5.50（極低温：5.8）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.8	5.6
		（2006）			5.2	5.3
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：56，急：54，強：52，弱：49	
		音圧レベル			P急：40，急：38，強：36，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：70	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	339 × 1197 × 262	
		梱包			381 × 1270 × 431	
	製品質量			kg	17	
	空気熱交換器				アルミフィン＆銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			タンゼンシャルファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：19，急：18，強：16，弱：14	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	56	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），酵素強力除菌フィルタ+サンフィルタ（脱臭）	
	吹出ダクト接続口				ー	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（組込不可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050 × 970× 370	
		梱包			1180 × 1020× 452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度－15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88（フレア），分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP16の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5 × 3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6）×3本（～70m），3.5 × 3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：P80形，P112形：0.05kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

(h) 床置形（FDFK）

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）〔FDFK-H〕

PGA000Z871/B

項目 ＼ セット形式					FDFK806H5SB	FDFK1126H5SB
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP1605SB 室外：FDCKP806H	室内：FDFZP1605SB 室外：FDCKP1126H
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.7～8.0］	10.0［2.5～11.2］
		中間			3.2（中温：4.0）	4.6（中温：4.9）
		最小中温			2.7	2.5
	暖房能力	定格標準			8.0［2.3～11.2］（最小：2.3）	11.2［2.9～14.3］（最小：2.9）
		中間			3.6	5.3
		最大低温			12.6（極低温：12.6）	13.2（極低温：14.5）
		室外湿球温度-15℃時			12.0	12.0
		室外湿球温度-20℃時			10.7	11.6
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.88
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	5.1	9.0
		暖房			5.1	9.6
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.700	3.000
			中間		0.740（中温：0.580）	0.985（中温：0.820）
			最小中温		0.420	0.400
		暖房	定格標準		1.700（最小：0.460）	3.200（最小：0.560）
			中間		0.750	1.090
			最大低温		6.30（極低温：6.8）	6.20（極低温：7.6）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	(2015)			5.3	5.0
		(2006)			4.8	4.6
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：66，急：63，強：61，弱：56	
		音圧レベル			P急：55，急：51，強：49，弱：44	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：71	冷：71，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850×600×329	
		梱包			1898×708×481	
	製品質量			kg	49	
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン×1	
		風量		m^3/min	P急：29，急：26，強：23，弱：19	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370	
		梱包			1180×1020×452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5×1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン×1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(7)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm²	3.5（φ2.0mm）×3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm²	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm²	2.0（φ1.6 mm）×3本（～70m），3.5×3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。

(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。

(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。

(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。

(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.210kW × 1台

(6) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP80形，P112形に設定され，上記の仕様で運転します。

(7) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。

(8) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。

(9) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。

(10) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

冷暖房兼用機（ヒータレス三相電源形）ツイン形（室内ユニット：2台，室外ユニット：1台）〔FDFK-HP〕

項目 ＼ セット形式					FDFK806HP5SB	FDFK1126HP5SB
項目 ＼ 形式					室内：FDFZP805SB × 2台 室外：FDCKP806H	室内：FDFZP805SB × 2台 室外：FDCKP1126H
リモートコントローラ					専用リモコン装着	
電源					三相　200V　50/60Hz	
(1)能力	冷房能力	定格		kW	7.1［2.8～8.0］	10.0［2.8～11.2］
		中間			3.2（中温：4.0）	4.5（中温：5.2）
		最小中温			2.8	2.8
	暖房能力	定格標準			8.0［2.3～11.2］（最小：2.3）	11.2［2.8～14.3］（最小：2.8）
		中間			3.6	5.1
		最大低温			12.0（極低温：12.0）	12.9（極低温：14.2）
		室外湿球温度-15℃時			12.0	14.2
		室外湿球温度-20℃時			10.7	13.0
定格冷房時の顕熱比					0.99	0.88
(1)運転特性	運転電流	冷房		A	4.5	7.7
		暖房			5.4	7.8
	始動電流（最大電流）				5（23）	
	消費電力	冷房	定格	kW	1.500	2.550
			中間		0.700（中温：0.600）	0.900（中温：0.750）
			最小中温		0.420	0.470
		暖房	定格標準		1.800（最小：0.490）	2.600（最小：0.650）
			中間		0.780	0.930
			最大低温		5.50（極低温：6.8）	5.20（極低温：6.8）
	力率			%	冷：96，暖：96	冷：96，暖：96
	通年エネルギー消費効率	（2015）			5.2	5.3
		（2006）			4.8	5.2
運転音	室内ユニット	パワーレベル		dB(A)	P急：54，急：52，強：49，弱：47	
		音圧レベル			P急：42，急：39，強：35，弱：33	
	室外ユニット	パワーレベル			冷：70，暖：70	冷：70，暖：71
		音圧レベル			冷：57，暖：58	冷：57，暖：58
室内ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1850×600×329	
		梱包			1898×708×481	
	製品質量			kg	47	47
	空気熱交換器				アルミフィン&銅チューブ式	
	送風装置	形式・台数			シロッコファン × 1	
		風量		m^3/min	P急：18，急：16，強：14，弱：12	
		機外静圧（標準風量時）		Pa	0	
		電動機	定格出力	W	157	
		エアフィルタ			プラスチックネット（防カビ仕様），洗浄可能	
	吹出ダクト接続口				不可能	
	新鮮空気取入口				不可能	
	運転調整				操作（運転切換，風量調整，タイマー，オートスイング），室温調節（電子サーモスタット），表示（運転·点検用·LED，液晶表示）	
	遠方発停用機能				遠方発停入力用コネクタ（CNT：6P, CNTA：2P）を保有（室内基板上）	
	加湿器				ー（気化式加湿器取付可能）	
	防振装置・防音・断熱材				送風用電動機：防振ゴム，外板：吸音断熱材貼付	
室外ユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	製品		mm	1050×970×370	
		梱包			1180×1020×452	
	製品質量			kg	92	
	冷却装置	圧縮機	形式・台数		RMT5134SWE5 × 1	
			電動機出力	kW	1.2	2.0
		空気熱交換器			アルミフィン&銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
		冷媒封入量		kg	3.0（R32）［主管配管30m分封入済］	
		冷凍機油封入量		L	0.9（M-MB75）	
	送風装置	形式・台数			プロペラファン × 1	
		風量		m^3/min	冷：86，暖：86	
		電動機	定格出力	W	144	
	クランクケースヒータ			W	20	
	低外気温時冷房運転制御機能				室外送風用電動機制御および圧縮機制御により外気温度ー15℃～50℃で冷房運転可能(9)	
	除霜				マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
	防振・防音装置				圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管(7)（外径）	液管		mm	室内接続：φ9.52（フレア），分岐管：φ9.52，主管：φ9.52，室外接続：φ9.52（フレア）	
		ガス管			室内接続：φ15.88，分岐管：φ15.88，主管：φ15.88，室外接続：φ15.88（フレア）	
	排水口				〔室内〕VP20の排水管の接続可能〔室外〕内径φ20mmの排水穴×6個	
電気配線	電源配線サイズ（こう長）			mm^2	3.5（φ2.0mm）× 3本（19m）	
	漏電しゃ断器（高調波対応品）			A	30	
	開閉器容量（ヒューズ容量）				30（30）	
	アース線サイズ			mm^2	2.0以上（M5）	
	室内外ユニット接続配線			mm^2	2.0（φ1.6mm）×3本（～70m），3.5 ×3本（～105m）	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.06（届出不要）	3.06（届出不要）
IPコード					室内：IPXO，室外：IPX4	
保護装置					高圧スイッチ，低圧センサ，吐出管温度センサ，吸入管温度センサ，熱交温度センサ，電流センサ，ヒューズ，冷媒漏えいセンサ，ファンモータマイコン式過負荷保護	

注(1) 冷房・暖房能力，通年エネルギー消費効率（2015）および電気特性は，適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。［　～　］は最小最大範囲幅を示します。
(2) 通年エネルギー消費効率（2006）はJIS B 8616：2006条件により運転した数値です。
(3) 運転音（パワーレベル）はJIS B 8616：2015に基づいた音響パワーレベルの数値です。
(4) 運転音（音圧レベル）はJIS B 8616：2006に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け，表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方1m，高さ1mにて測定した値です。
(5) BEST計算用　室内送風機消費電力：0.060kW × 2台
(6) 外形寸法・製品質量・送風装置・運転音の項目はユニット1台分の仕様を示し，その他の項目は記載の室内ユニット2台と室外ユニットの組合せの仕様を示します。
(7) ツイン機の分岐配管は，必ず分岐管セットDIS-WA1G（別売品）を使用して接続してください。（詳細は685ページをご覧ください。）
(8) 室内ユニットは共用タイプで，室外ユニットを接続すると機種容量が自動設定されます。この組合せではそれぞれP40形，P56形に設定され，上記の仕様で運転します。
(9) 外気温度が-5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売）を取付けてください。
(10) 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し，管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(11) 室外湿球温度-15℃，-20℃時の暖房能力は除霜を考慮しないピーク値です。
(12) 本製品はグリーン購入法調達基準値をクリアしています。ただし常時遠隔監視システムは非対応です。

1.2 使用範囲

(1) エクシードハイパーシリーズ

項目 ＼ 室外ユニット形式		シングル機				ツイン機			トリプル機		ダブルツイン機
		P406 P456 P506 P566 P636	P806	P1126 P1406 P1606	P2246 P2806	P806	P1126 P1406 P1606	P2246 P2806	P1606	P2246	P2246 P2806
室内吸込空気温度	冷房時	詳細は使用温度範囲（次ページ）をご覧ください。									
	暖房時										
室外吸込空気温度	冷房時										
	暖房時										
適用地域		ヒートポンプ機（暖房運転を考慮して）日最低気温が 12 ～ 3 月の冬期 4 か月間の平均値で 0℃ DB 以上であって降雪の多くない地域。降雪地域では，防雪フード（オプション）を組付け使用してください。									
設置場所		外形図に据付スペースに関する制限を記載しております。 室内ユニットの据付は，床面から 2.5m 以上としてください。（除く FDK，FDF）									
室内ユニット雰囲気温・湿度(2)		露点温度 28℃以下，相対湿度 80％以下（除く FDE，FDES） 露点温度 23℃以下，相対湿度 80％以下（FDE，FDES の場合）									
風量・静圧		送風機特性範囲内で断熱性の良いダクト・吹出口を接続してください。（FDR，FDU のみ）									
エアフィルタ		必ず，メンテナンスが容易な位置にエアフィルタを設置（現地手配）してください。（FDR，FDU のみ）									
冷媒配管の断熱		相対温度が 70％を越える天井内等では，厚さ 20mm 以上の断熱が必要になります。									
ドレン配管の断熱		相対温度が 70％を越える天井内等では，厚さ 10mm 以上の断熱が必要になります。									
冷媒配管の片道配管長（実長）(3)(4)		50m 以下	70m 以下	100m 以下	100(40)m 以下	70m 以下	100m 以下	100(40)m 以下	100m 以下	100(40)m 以下	100(40)m 以下
室内・室外ユニット間の高さの差		30m 以下 （室外ユニットが下の場合：15m 以下）									
第 1 分岐後の室内ユニット間の配管長さの差		—				10m 以下					
室内ユニットの高さの差		—				0.5m 以下					
圧縮機の発停頻度	1 サイクル時間	7 分以上（停止～停止／始動～始動）									
	停止時間	3 分以上									
電源電圧	電圧変動	定格電圧 200V ± 10％以内									
	始動時の電圧降下	定格電圧 200V の 15％									
	相間アンバランス	3％以内									

注(1) 次のような場所への設置は行わないでください。
- 調理場や機械工場など，油の飛沫や油煙，蒸気・湿気の立ち込める場所。
- 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所。
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等，機器に影響する物質の発生・滞留する所。
- 海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
- 化粧品，特殊なスプレーを頻繁に使用する所。
- 電磁波・高周波の発生する機器の近く。
- カーボン繊維や金属分・粉およびパウダー等が浮遊する場所。
- 煙突の煙がかかる場所。
- 標高 1000m 以上の場所。
- 洗たく室等 水が掛かる場所。
  室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。
- ツイン，トリプル，ダブルツイン仕様の場合，同じ室外ユニットに接続されている室内ユニットは，間仕切りのない同一の部屋に設置し，空調負荷が同一となる条件で使用してください。
- 車両・船舶等移動するものへの設置。
- 積雪の多い所。
- ワイヤレス仕様で使われわる場合，受信部に影響のある光線が飛び交う所。
- お掃除ラクリーナパネル仕様で使われる場合，温度制御が重要な所。
  エアコン運転中に清掃運転を開始すると，風量 Lo・風向制御停止となります。
  24 時間運転等の所では，自動清掃（約 1 時間）運転状態（能力低下）が変わります。

(2) 雰囲気の温湿度が上記の値を超える場合は外板の断熱材のポリウレタンホーム（t10 以上）を追加してください。

(3) ツイン，トリプル，ダブルツインの片道長さの詳細については 649，661，670 ページをご覧ください。なお，（ ）内数値は P2246 形で液管サイズφ 9.52 の場合を示します。

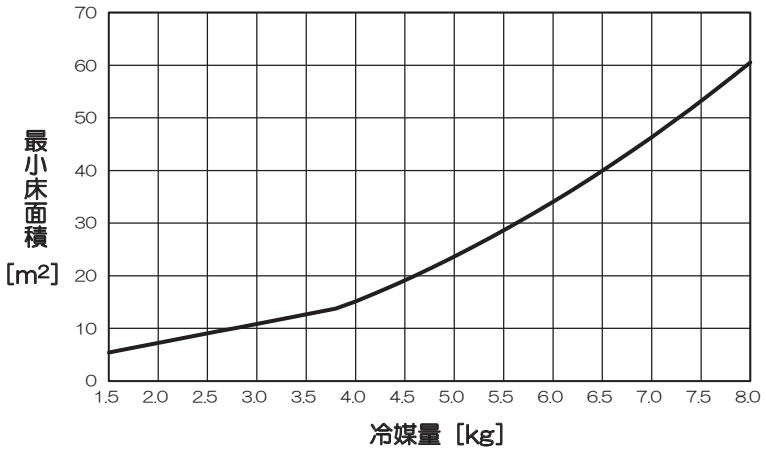
(4) P406 ～ P636 の場合，片道配管長が 4m（FDT との組合せの場合は 2m）より短い場合は，工場出荷時のチャージ量から -0.3kg の調整を行ってください。
P806 の場合，片道配管長が 3m より短い場合は，工場出荷時のチャージ量から -0.54kg の調整を行ってください。

(5) 冷媒 R32 には，わずかながら燃焼性があります。そのため，半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は，冷媒漏えいセンサを携行してください。冷媒が漏えいした場合は，窒息や着火の原因となる恐れがあります。

■冷媒量と最小床面積の関係

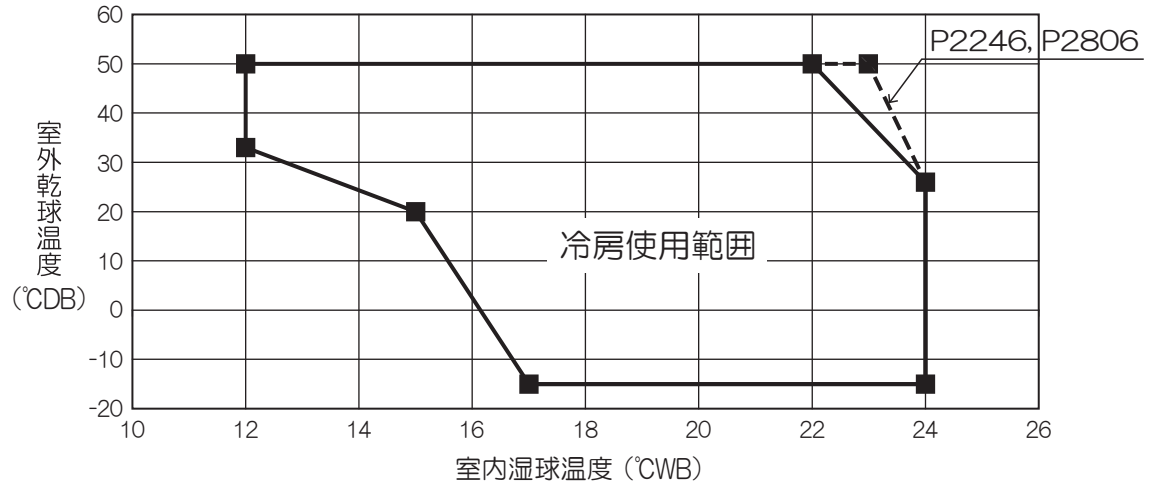
冷媒量ごとに規定している室内の最小床面積を下回るスペースへの設置はできません。

冷媒量	最小床面積
kg	m^2
1.5	5.4
2.0	7.2
2.5	9.1
3.0	10.9
3.5	12.7
4.0	15.1
4.5	19.2
5.0	23.7
5.5	28.6
6.0	34.1
6.5	40.0
7.0	46.3
7.5	53.2
8.0	60.5



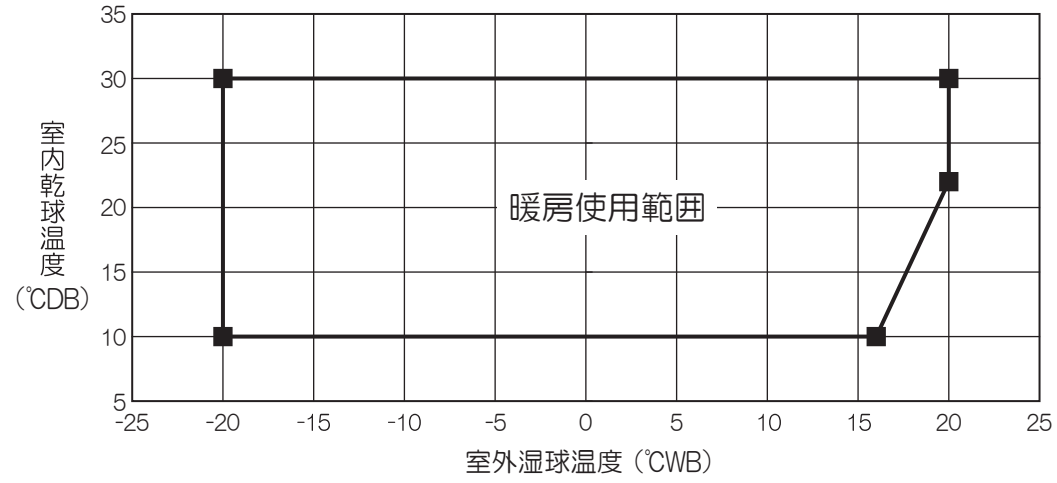
■使用温度範囲

・冷房運転



注　※－5℃以下で使用する場合は，防雪フード（オプション）を組付けてください。

・暖房運転



■ ユニットの風量を妨げる様な場所，室外ユニットに強風・他のユニット吹出風が当たる場所に設置された場合，冷房・暖房能力の減少，制御により連続運転をしない範囲が発生します。

PCA002Z092

PCB004Z896

PCB004Z893

(2) ハイパーインバータシリーズ

項目＼室外ユニット形式		シングル機				ツイン機		トリプル機		ダブルツイン機
		P406 P456 P506 P566 P636	P806	P1126 P1406 P1606	P2246 P2806	P1126 P1406 P1606	P2246 P2806	P1606	P2246	P2246 P2806
室内吸込空気温度	冷房時	詳細は使用温度範囲（次ページ）をご覧ください。								
	暖房時									
室外吸込空気温度	冷房時									
	暖房時									
適用地域		ヒートポンプ機（暖房運転を考慮して）日最低気温が 12 ～ 3 月の冬期 4 か月間の平均値で 0℃ DB 以上であって降雪の多くない地域。降雪地域では，防雪フード（オプション）を組付け使用してください。								
設置場所		外形図に据付スペースに関する制限を記載しております。 室内ユニットの据付は，床面から 2.5m 以上としてください。（除く FDK，FDF）								
室内ユニット雰囲気温・湿度(2)		露点温度 28℃以下，相対湿度 80％以下（除く FDE，FDES） 露点温度 23℃以下，相対湿度 80％以下（FDE，FDES の場合）								
風量・静圧		送風機特性範囲内で断熱性の良いダクト・吹出口を接続してください。（FDR，FDU のみ）								
エアフィルタ		必ず，メンテナンスが容易な位置にエアフィルタを設置（現地手配）してください。（FDR，FDU のみ）								
冷媒配管の断熱		相対温度が 70％を越える天井内等では，厚さ 20mm 以上の断熱が必要になります。								
ドレン配管の断熱		相対温度が 70％を越える天井内等では，厚さ 10mm 以上の断熱が必要になります。								
冷媒配管の片道配管長（実長）(3)(4)		50m 以下	50m 以下	80m 以下	100(40)m 以下	80m 以下	100(40)m 以下	80m 以下	100(40)m 以下	100(40)m 以下
室内・室外ユニット間の高さの差		30m 以下 （室外ユニットが下の場合：15m 以下）								
第 1 分岐後の室内ユニット間の配管長さの差		—				10m 以下				
室内ユニットの高さの差		—				0.5m 以下				
圧縮機の発停頻度	1 サイクル時間	7 分以上（停止～停止／始動～始動）								
	停止時間	3 分以上								
電源電圧	電圧変動	定格電圧 200V ± 10％以内								
	始動時の電圧降下	定格電圧 200V の 15％								
	相間アンバランス	3％以内								

注(1) 次のような場所への設置は行わないでください。
- 調理場や機械工場など，油の飛沫や油煙，蒸気・湿気の立ち込める場所。
- 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所。
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等，機器に影響する物質の発生・滞留する所。
- 海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
- 化粧品，特殊なスプレーを頻繁に使用する所。
- 電磁波・高周波の発生する機器の近く。
- カーボン繊維や金属分・粉およびパウダー等が浮遊する場所。
- 煙突の煙がかかる場所。
- 標高 1000m 以上の場所。
- 洗たく室等 水が掛かる場所。
  室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。
- ツイン，トリプル，ダブルツイン仕様の場合，同じ室外ユニットに接続されている室内ユニットは，間仕切りのない同一の部屋に設置し，空調負荷が同一となる条件で使用してください。
- 車両・船舶等移動するものへの設置。
- 積雪の多い所。
- ワイヤレス仕様で使われわる場合，受信部に影響のある光線が飛び交う所。
- お掃除ラクリーナパネル仕様で使われる場合，温度制御が重要な所。
  エアコン運転中に清掃運転を開始すると，風量 Lo・風向制御停止となります。
  24 時間運転等の所では，自動清掃（約 1 時間）運転状態（能力低下）が変わります。

(2) 雰囲気の温湿度が上記の値を超える場合は外板の断熱材のポリウレタンホーム（t10 以上）を追加してください。

(3) ツイン，トリプル，ダブルツインの片道長さの詳細については 665，670 ページをご覧ください。なお，（ ）内数値は P2246 形で液管サイズφ 9.52 の場合を示します。

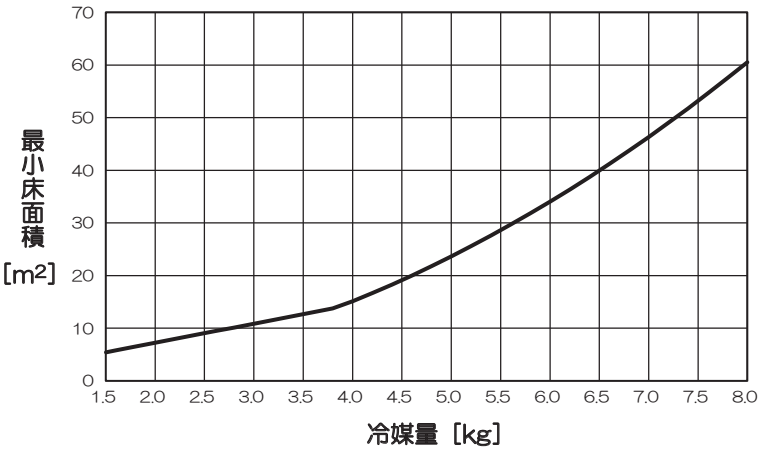
(4) P406 ～ P636 の場合，片道配管長が 4m（FDT との組合せの場合は 2m）より短い場合は，工場出荷時のチャージ量から -0.3kg の調整を行ってください。

(5) 冷媒 R32 には，わずかながら燃焼性があります。そのため，半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は，冷媒漏えいセンサを携行してください。冷媒が漏えいした場合は，窒息や着火の原因となる恐れがあります。

■冷媒量と最小床面積の関係

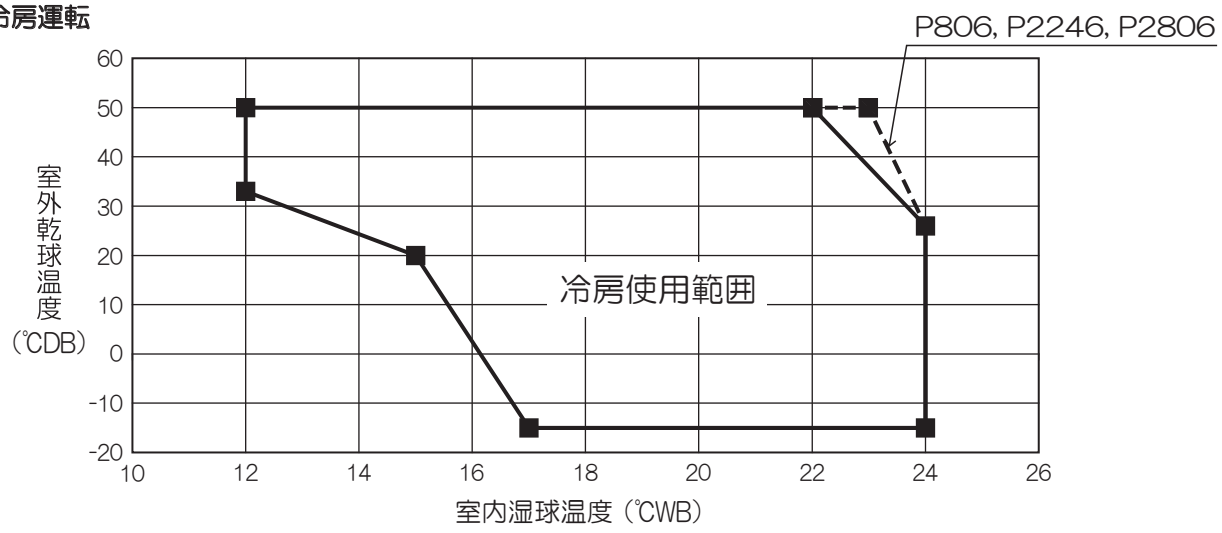
冷媒量ごとに規定している室内の最小床面積を下回るスペースへの設置はできません。

冷媒量 kg	最小床面積 m^2
1.5	5.4
2.0	7.2
2.5	9.1
3.0	10.9
3.5	12.7
4.0	15.1
4.5	19.2
5.0	23.7
5.5	28.6
6.0	34.1
6.5	40.0
7.0	46.3
7.5	53.2
8.0	60.5



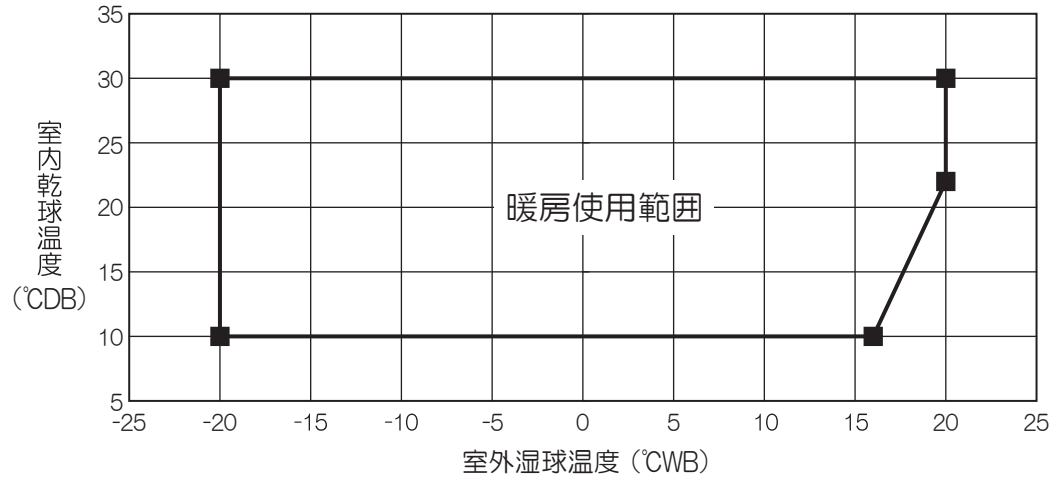
■使用温度範囲

・冷房運転



注　※－5℃以下で使用する場合は，防雪フード（オプション）を組付けてください。

・暖房運転



■ ユニットの風量を妨げる様な場所，室外ユニットに強風・他のユニット吹出風が当たる場所に設置された場合，冷房・暖房能力の減少，制御により連続運転をしない範囲が発生します。

PCA002Z092	PCA002Z097
PCB004Z890	PCB004Z893

(3) 暖ガンハイパーインバータシリーズ

室外ユニット形式 / 項目		シングル機	ツイン機
		P806 P1126	P806 P1126
室内吸込空気温度	冷房時	詳細は使用温度範囲（次ページ）をご覧ください。	
	暖房時		
室外吸込空気温度	冷房時		
	暖房時		
設置場所		外形図に据付スペースに関する制限を記載しております。 室内ユニットの据付は，床面から 2.5m 以上としてください。（除く FDK，FDF）	
室内ユニット雰囲気温・湿度(2)		露点温度 28℃以下，相対湿度 80％以下（除く FDE，FDES） 露点温度 23℃以下，相対湿度 80％以下（FDE，FDES の場合）	
風量・静圧		送風機特性範囲内で断熱性の良いダクト・吹出口を接続してください。（FDR，FDU のみ）	
エアフィルタ		必ず，メンテナンスが容易な位置にエアフィルタを設置（現地手配）してください。（FDR，FDU のみ）	
冷媒配管の断熱		相対温度が 70％を越える天井内等では，厚さ 20mm 以上の断熱が必要になります。	
ドレン配管の断熱		相対温度が 70％を越える天井内等では，厚さ 10mm 以上の断熱が必要になります。	
冷媒配管の片道配管長（実長）(3)(4)		80m 以下	80m 以下
室内・室外ユニット間の高さの差		30m 以下 （室外ユニットが下の場合：15m 以下）	
第 1 分岐後の室内ユニット間の配管長さの差		—	10m 以下
室内ユニットの高さの差		—	0.5m 以下
圧縮機の発停頻度	1 サイクル時間	7 分以上（停止～停止／始動～始動）	
	停止時間	3 分以上	
電源電圧	電圧変動	定格電圧 200V ± 10％以内	
	始動時の電圧降下	定格電圧 200V の 15％	
	相間アンバランス	3％以内	

注(1) 次のような場所への設置は行わないでください。
- 調理場や機械工場など，油の飛沫や油煙，蒸気・湿気の立ち込める場所。
- 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所。
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等，機器に影響する物質の発生・滞留する所。
- 海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
- 化粧品，特殊なスプレーを頻繁に使用する所。
- 電磁波・高周波の発生する機器の近く。
- カーボン繊維や金属分・粉およびパウダー等が浮遊する場所。
- 煙突の煙がかかる場所。
- 標高 1000m 以上の場所。
- 洗たく室等 水が掛かる場所。
  室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。
- ツイン仕様の場合，同じ室外ユニットに接続されている室内ユニットは，間仕切りのない同一の部屋に設置し，空調負荷が同一となる条件で使用してください。
- 車両・船舶等移動するものへの設置。
- 積雪の多い所。（設置する場合，所定の架台・防雪フードを取付けることが必要です。）
- 塩化カルシウム（融雪剤）が飛散し，ユニット本体に付着する場所。
- ワイヤレス仕様で使われわる場合，受信部に影響のある光線が飛び交う所。
- お掃除ラクリーナパネル仕様で使われる場合，温度制御が重要な所。
  エアコン運転中に清掃運転を開始すると，風量 Lo・風向制御停止となります。
  24 時間運転等の所では，自動清掃（約 1 時間）運転状態（能力低下）が変わります。

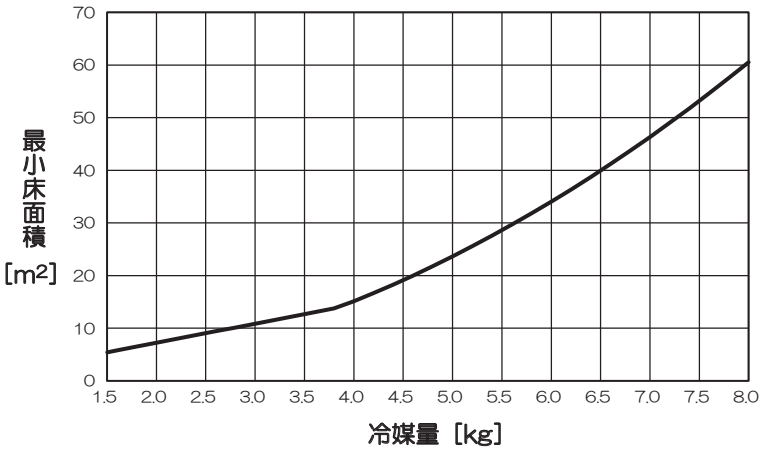
(2) 雰囲気の温湿度が上記の値を超える場合は外板の断熱材のポリウレタンホーム（t10 以上）を追加してください。

(3) 冷媒 R32 には，わずかながら燃焼性があります。そのため，半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は，冷媒漏えいセンサを携行してください。冷媒が漏えいした場合は，窒息や着火の原因となる恐れがあります。

■冷媒量と最小床面積の関係

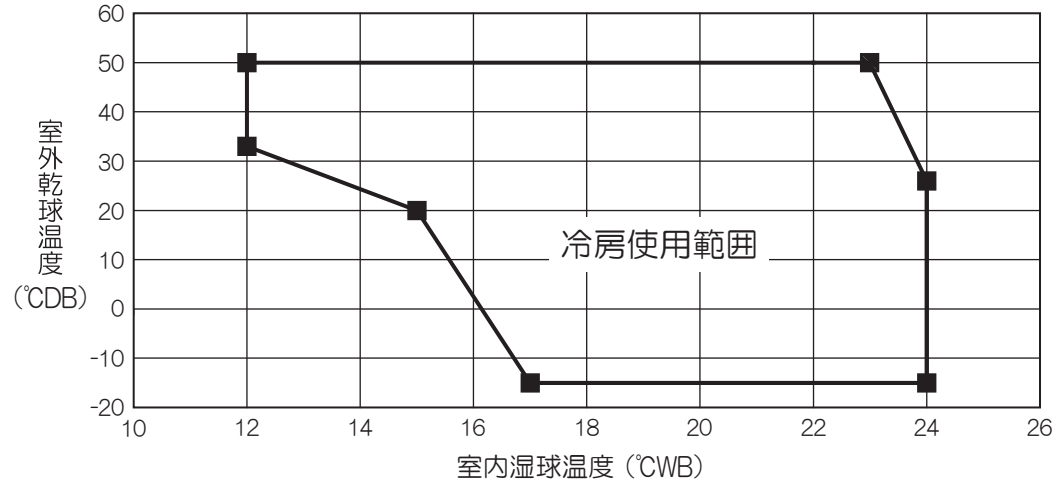
冷媒量ごとに規定している室内の最小床面積を下回るスペースへの設置はできません。

冷媒量 kg	最小床面積 m^2
1.5	5.4
2.0	7.2
2.5	9.1
3.0	10.9
3.5	12.7
4.0	15.1
4.5	19.2
5.0	23.7
5.5	28.6
6.0	34.1
6.5	40.0
7.0	46.3
7.5	53.2
8.0	60.5



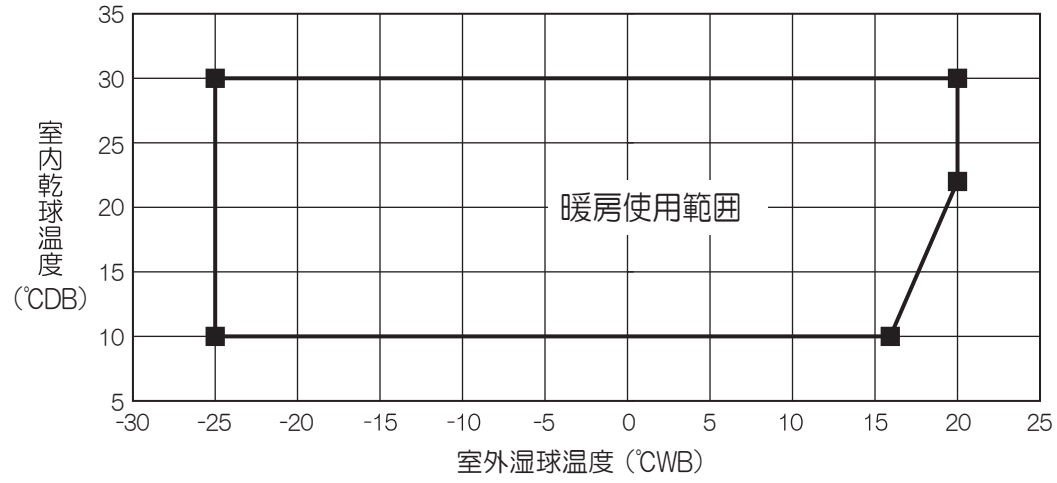
■使用温度範囲

• 冷房運転



注　※－5℃以下で使用する場合は，防雪フード（オプション）を組付けてください。

• 暖房運転



■ ユニットの風量を妨げる様な場所，室外ユニットに強風・他のユニット吹出風が当たる場所に設置された場合，冷房・暖房能力の減少，制御により連続運転をしない範囲が発生します。

PCA002Z111

1.3 外 形 図

(1) 室内ユニット

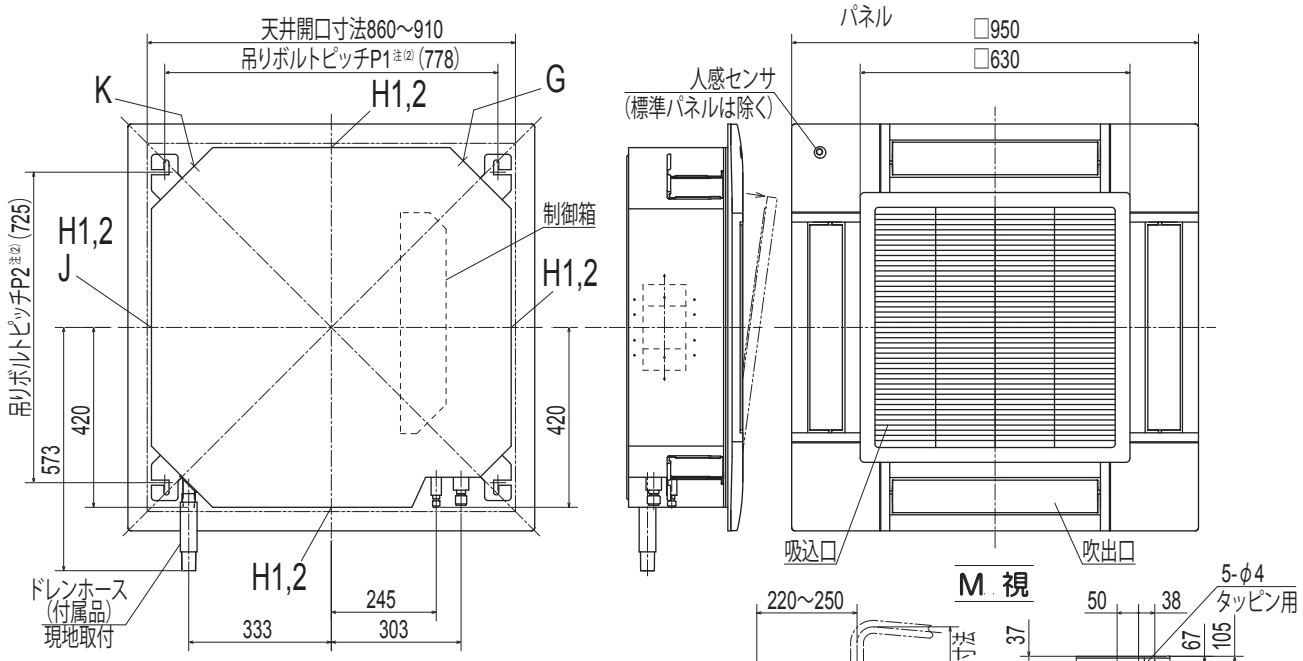
(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

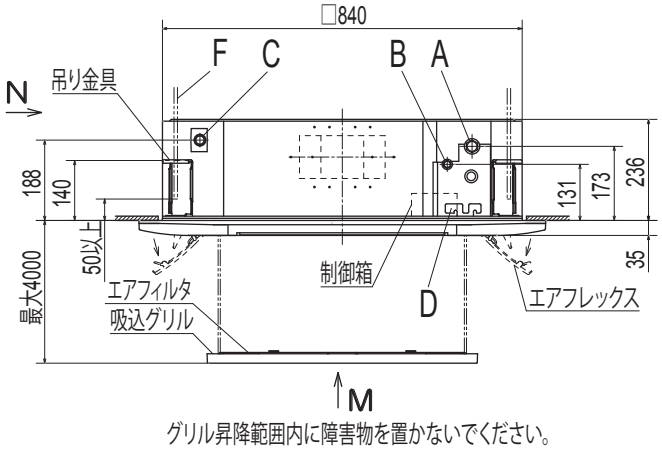
(i) 標準パネル・エアフレックスパネル・ラクリーナパネル仕様

FDTZP636SA, 716SA

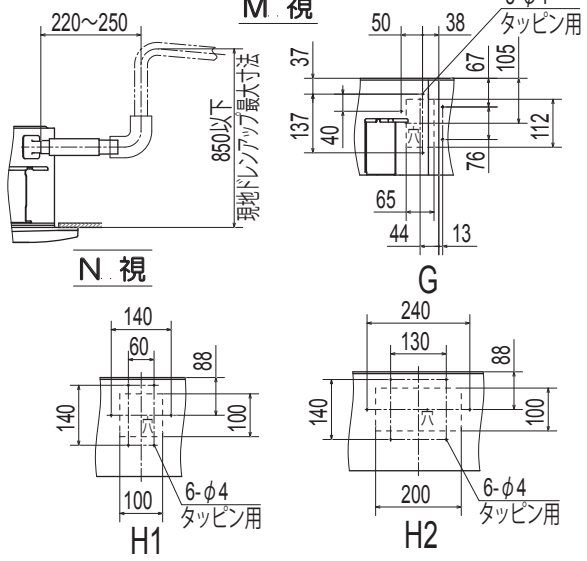
注　P63 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

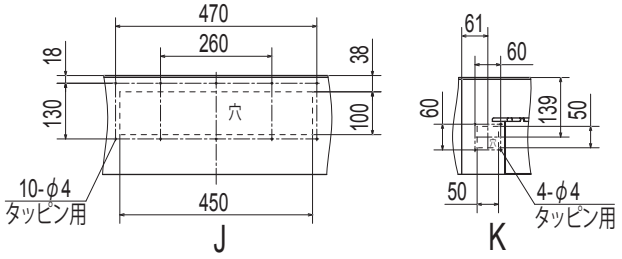
（単位：mm）

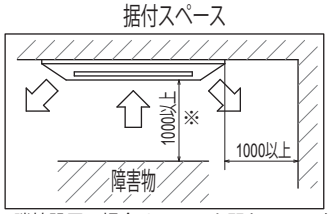




グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。







隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。
ラクリーナパネル仕様の場合, ※寸法は1400です。

●記号説明

記号	内容		
	機種	ZP63	ZP71
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	M10またはM8	
G	OA取入口		
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125	
H2		φ200	
J	加湿器接続口		
K	加湿器余剰水接続口		

注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。
(2)吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

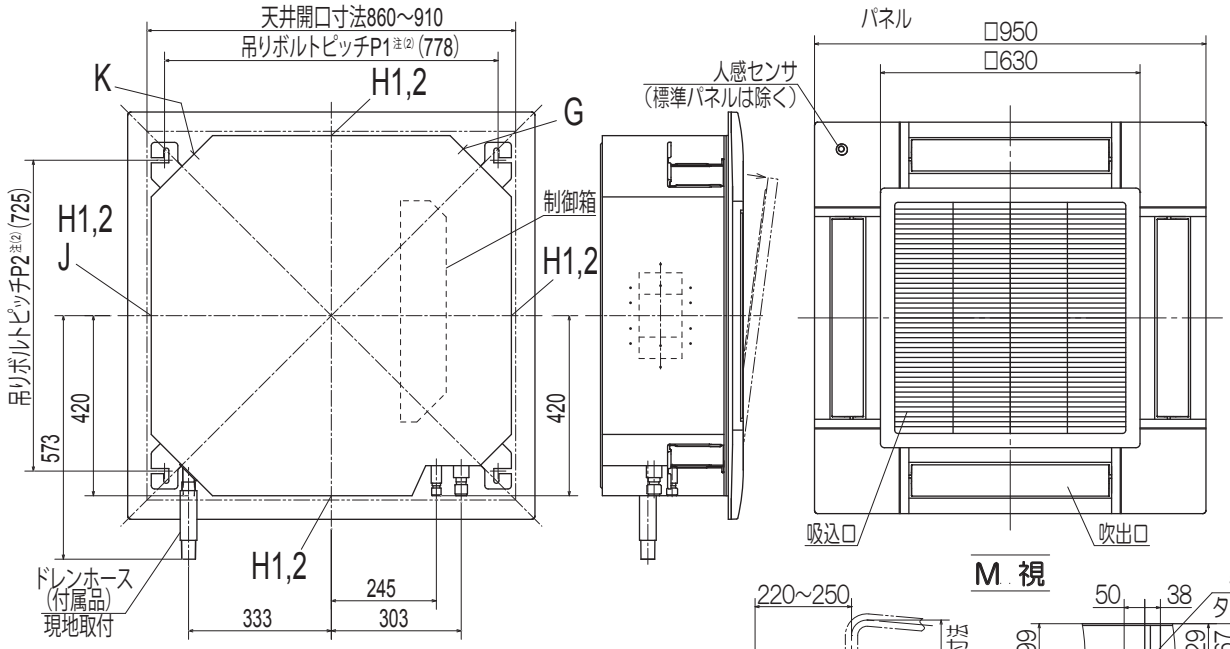
吊りボルトピッチ範囲表

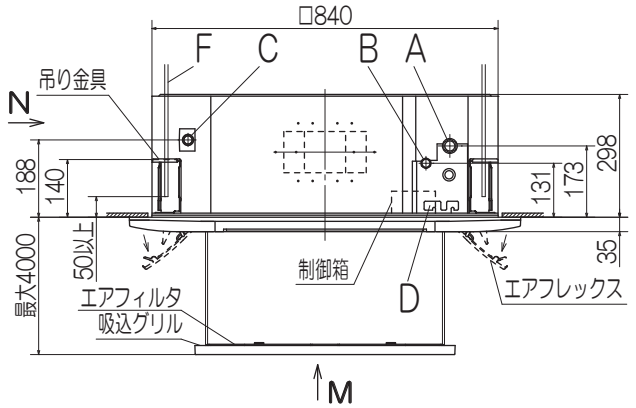
パターン＼記号	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

PJF000Z676 B
PJF000Z678 B
PJF000Z680 B

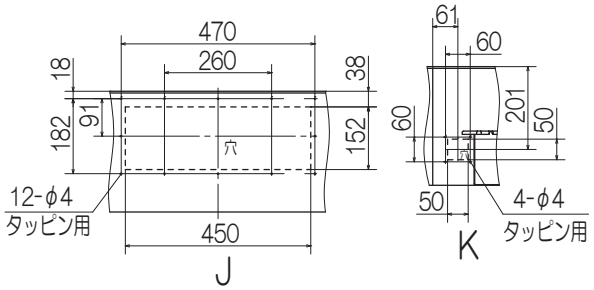
FDTZP806SA, 1606SA

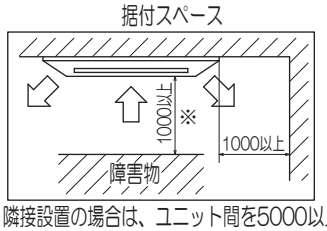
（単位：mm）



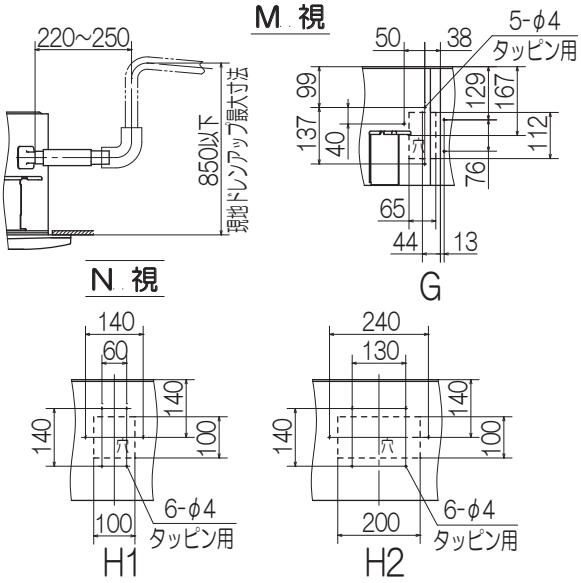


グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。





隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。
ラクリーナパネル仕様の場合、※寸法は1400です。



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
D	電源取入口	
F	吊りボルト	M10またはM8
G	OA取入口	
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125
H2		φ200
J	加湿器接続口	
K	加湿器余剰水接続口	

注（1）装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。
（2）吊りボルトピッチP1, P2は下表のパターンで調整可能です。

吊りボルトピッチ範囲表

パターン＼記号	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

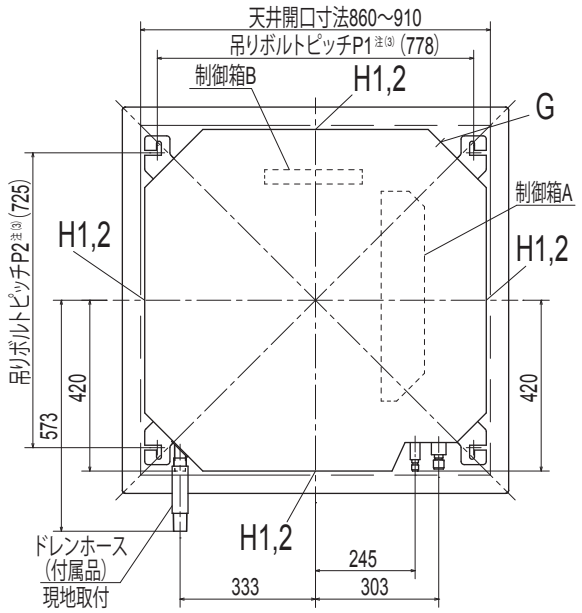
PJF000Z677 B
PJF000Z679 B
PJF000Z681 B

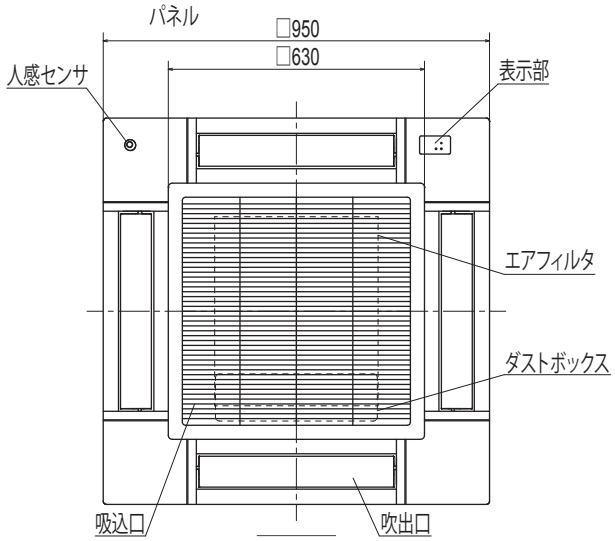
(ii) お掃除ラクリーナパネル仕様

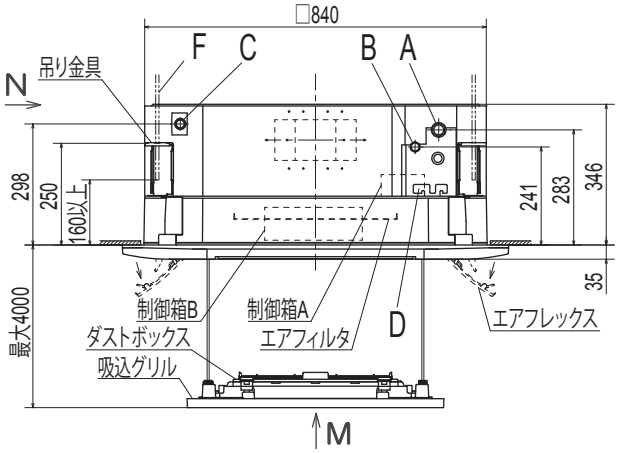
FDTZP636SA, 716SA

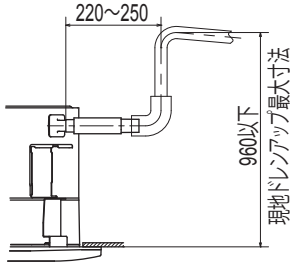
注　P63 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

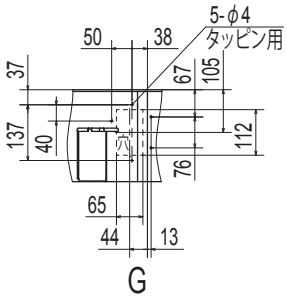
（単位：mm）



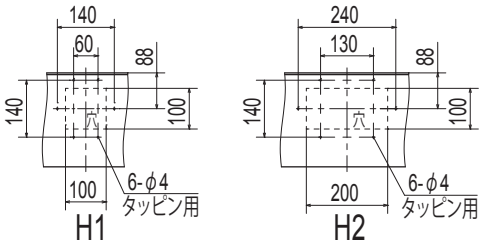


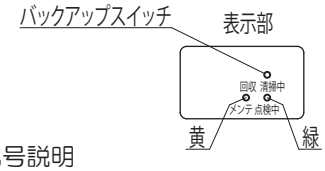


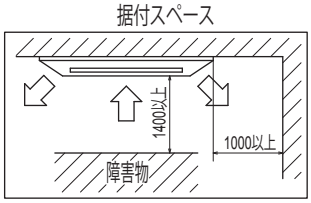




グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。







隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

●記号説明

記号	内容		
	機種	ZP63	ZP71
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	M10またはM8	
G	OA取入口		
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125	
H2		φ200	

注(1)装置銘板は制御箱Aの蓋に付いてます。
(2)吸込グリルには方向性があります。
(3)吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

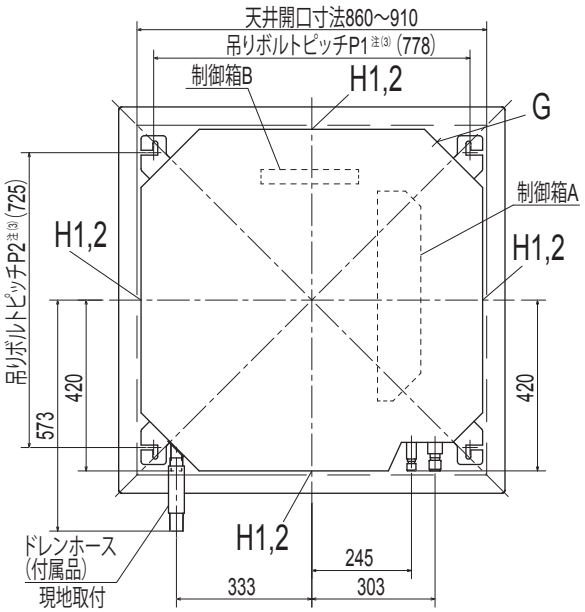
吊りボルトピッチ範囲表

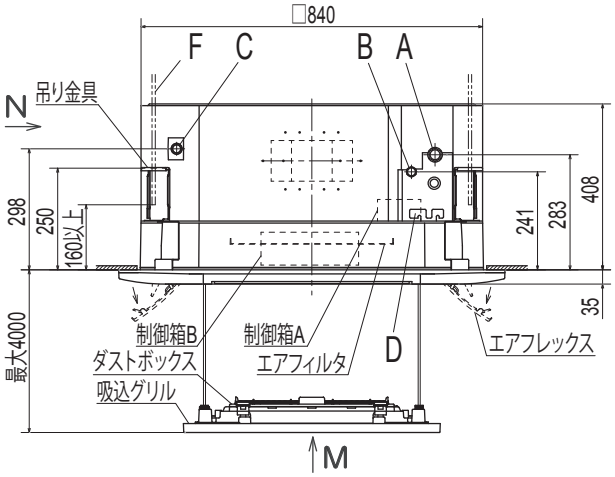
パターン＼記号	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

PJF000Z645 B

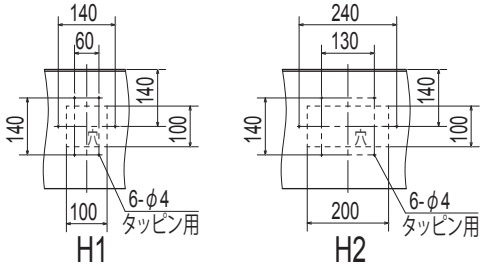
FDTZP806SA, 1606SA

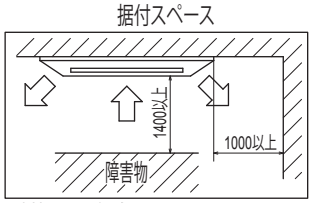
（単位：mm）



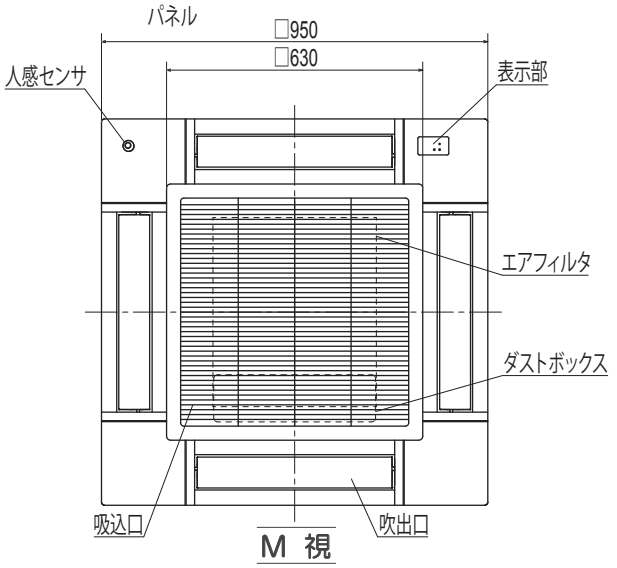


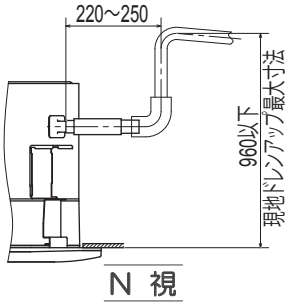
グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。

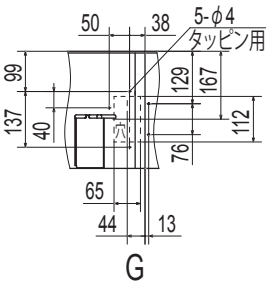


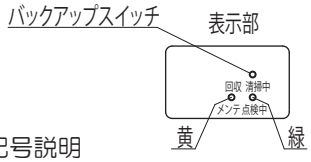


隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。









●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管	VP25(I.D.25,O.D.32)
D	電源取入口	
F	吊りボルト	M10またはM8
G	OA取入口	
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125
H2		φ200

注(1)装置銘板は制御箱Aの蓋に付いてます。
(2)吸込グリルには方向性があります。
(3)吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

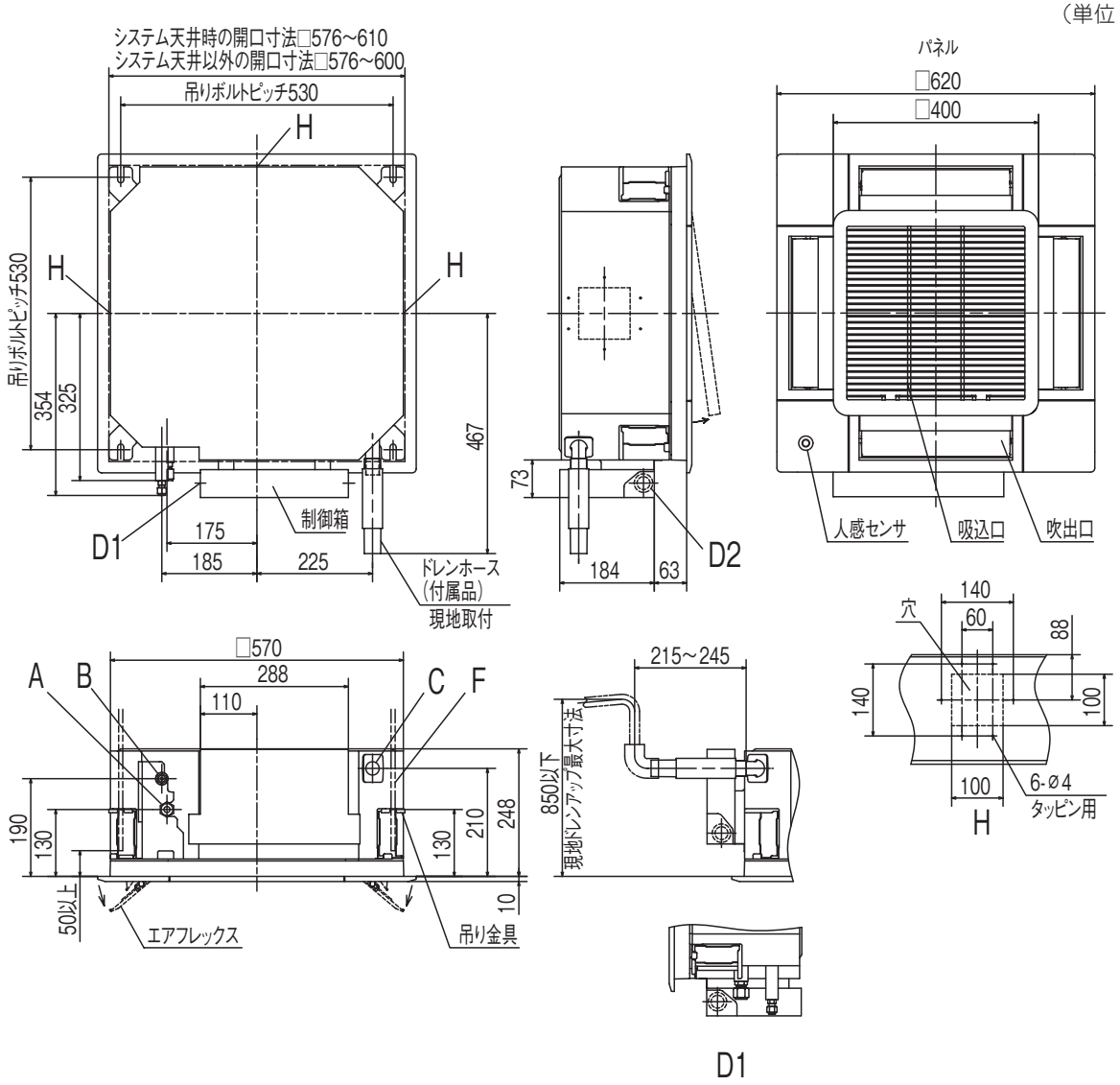
吊りボルトピッチ範囲表

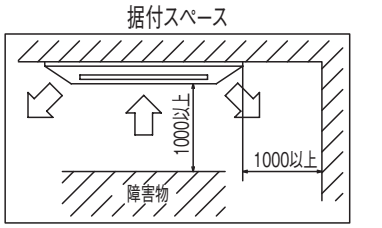
パターン＼記号	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

PJF000Z646 B

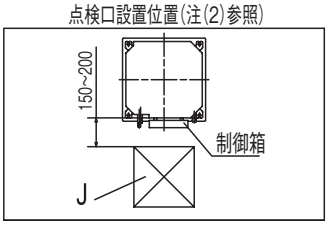
(b) 天井埋込形小容量 4 方向吹出し（FDTC）
FDTCZP566S

（単位：mm）





隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)
C	ドレン配管	VP25(I.D.25,O.D.32)
D1	電源線取入口	
D2	リモコン線・通信線取入口	
F	吊りボルト	M10またはM8
H	吹出分岐ダクト接続口	φ125
J	点検口	450×450

注 (1) 装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。
(2) このユニットは、システム天井用に設計されています。
もし、システム天井以外に据付ける場合は、制御箱側に点検口を設置してください。

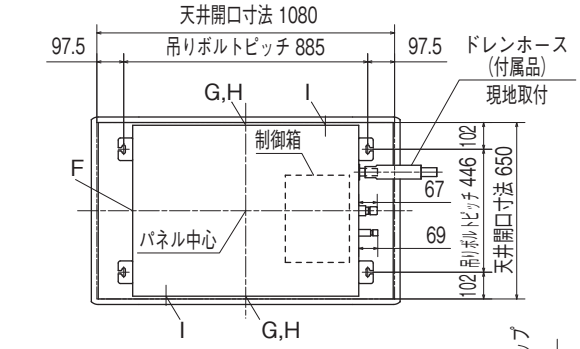
PJF000Z685 A

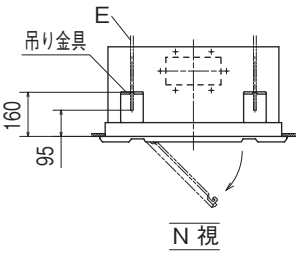
(c) 天井埋込形 2 方向吹出し（FDTW）

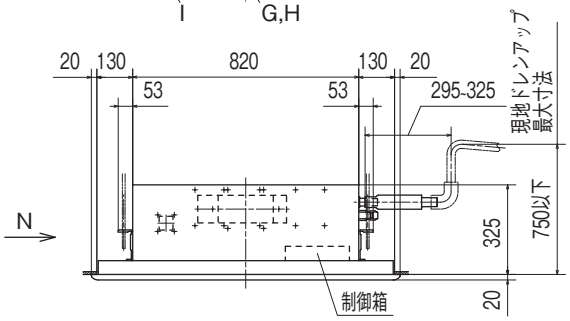
(i) 標準パネル仕様

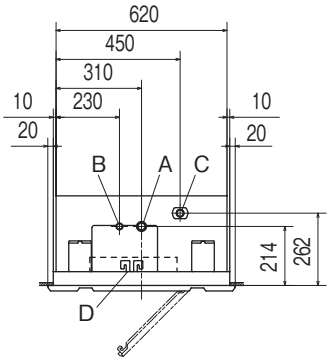
FDTWZP566S，636S，806S

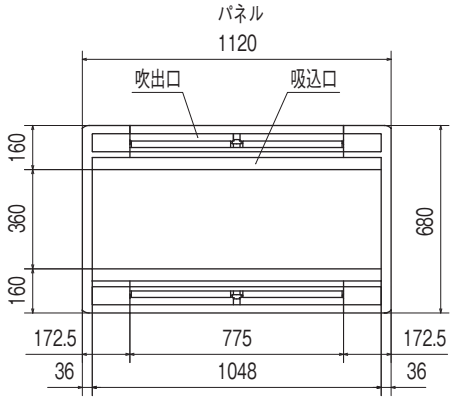
注　P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。　（単位：mm）

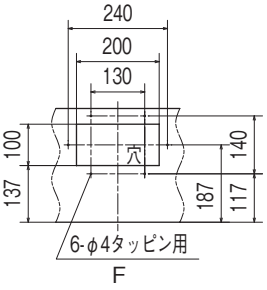


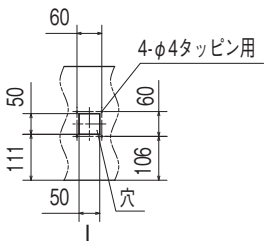


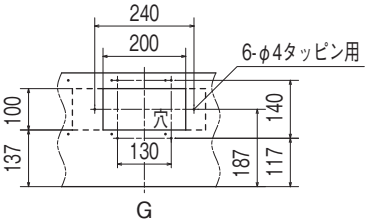


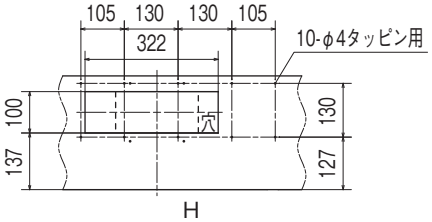






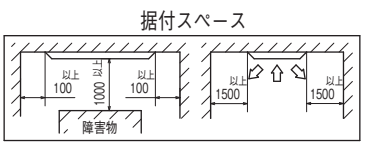






●記号説明

記号	内容		
	機種	P56,63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F	0A取入口		
G	吹出分岐ダクト接続口		
H	加湿器接続口		
I	加湿器余剰水接続口		



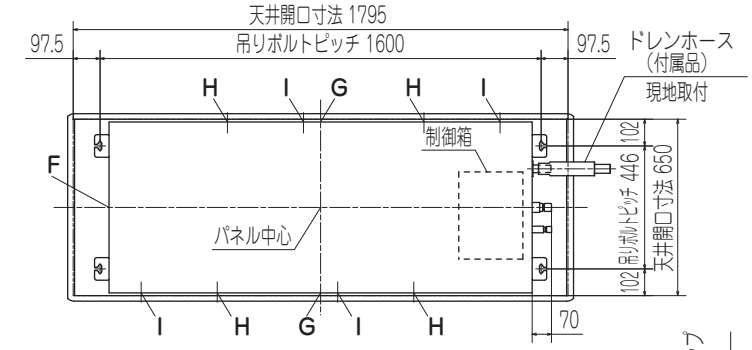
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

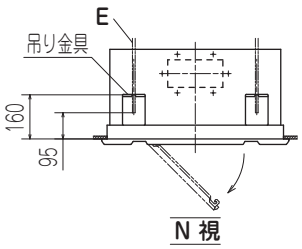
注　装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

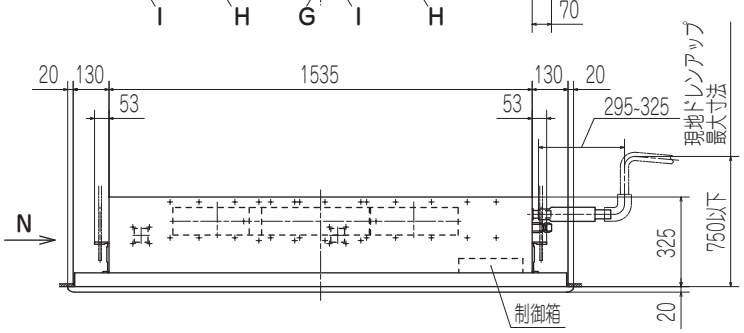
PJB001Z846 B

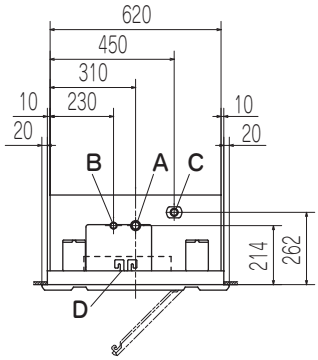
FDTWZP1406S，1606S

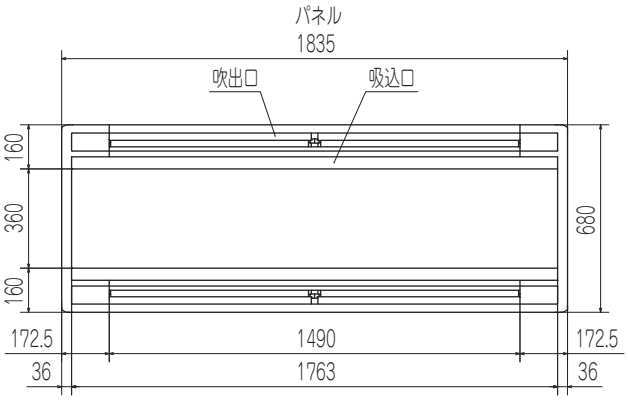
（単位：mm）

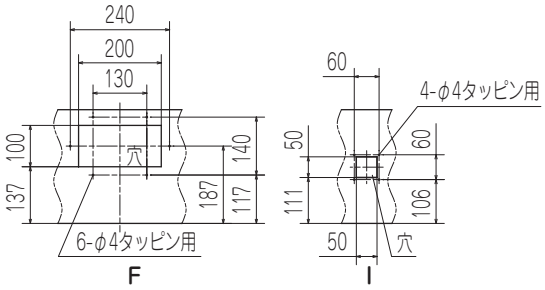


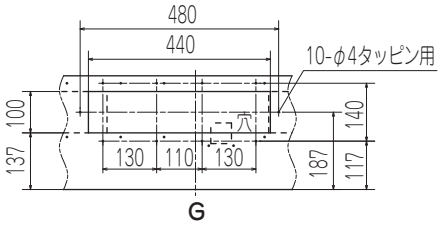


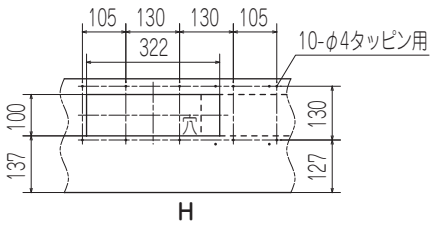








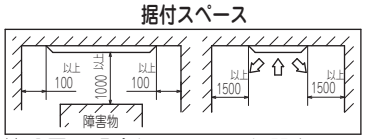




●記号説明

記号	内　　容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	
G	吹出分岐ダクト接続口	
H	加湿器接続口	
I	加湿器余剰水接続口	

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

注　装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

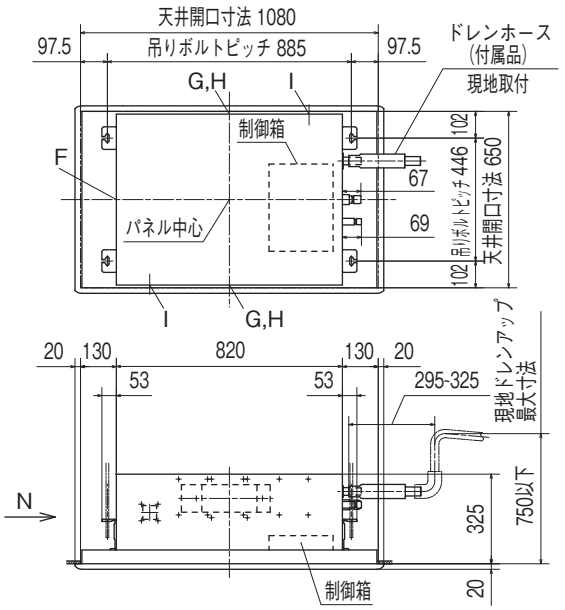
PJB001Z848 B

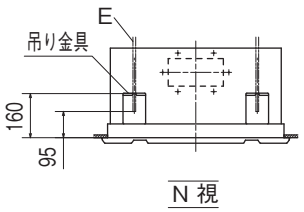
(ii) ラクリーナパネル仕様

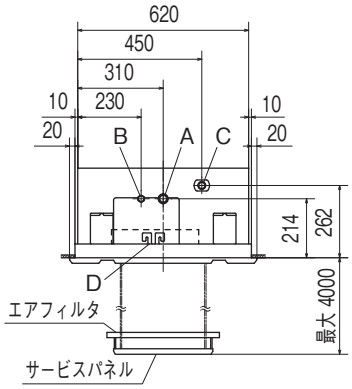
FDTWZP566S，636S，806S

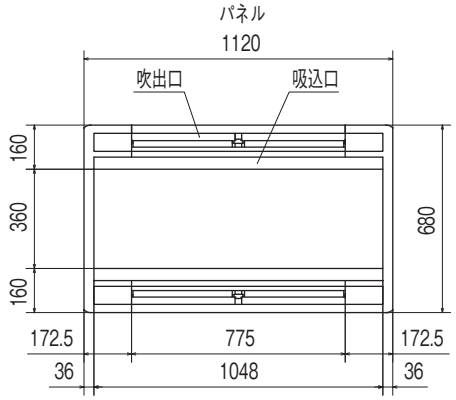
注　P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

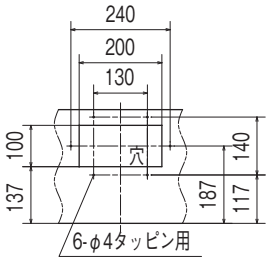
（単位：mm）

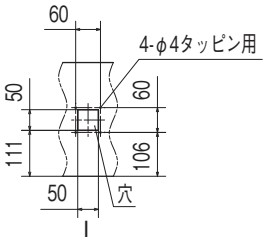


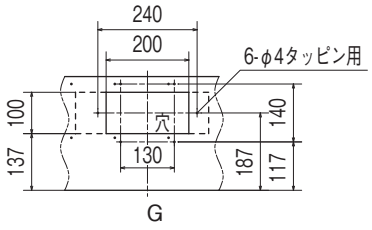


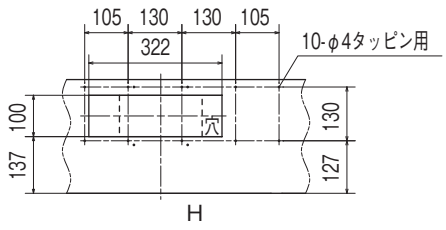








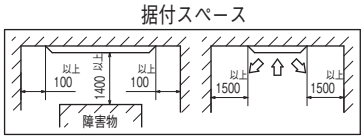




●記号説明

記号	内容		
	機種	P56,63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F	OA取入口		
G	吹出分岐ダクト接続口		
H	加湿器接続口		
I	加湿器余剰水接続口		

据付スペース



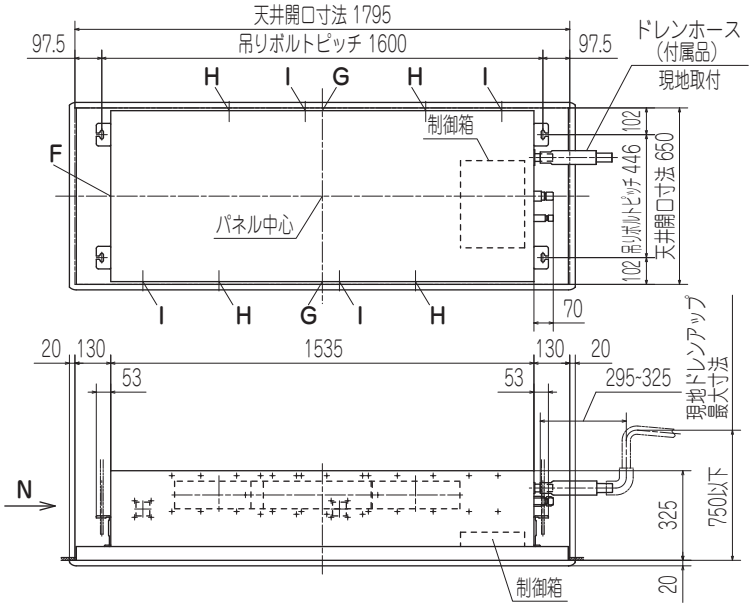
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

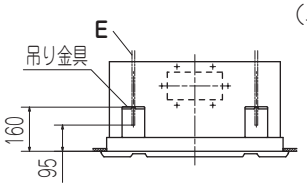
注　装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

PJB001Z851 B

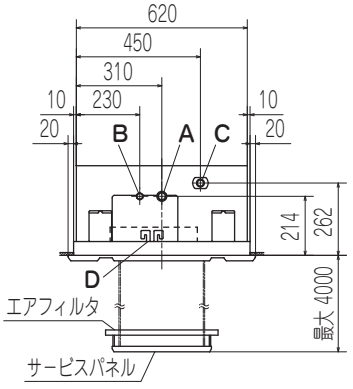
FDTWZP1406S，1606S

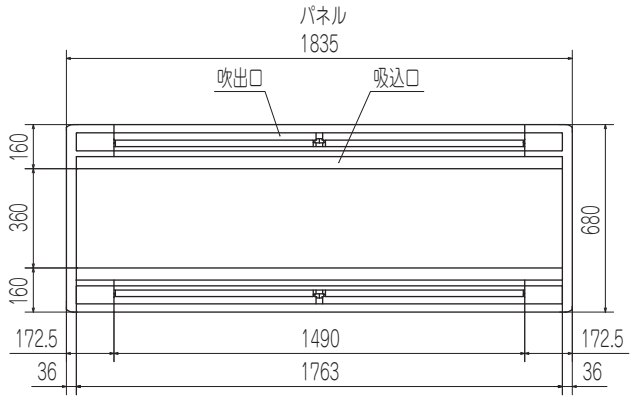
（単位：mm）

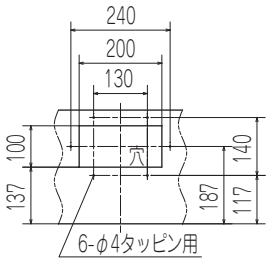


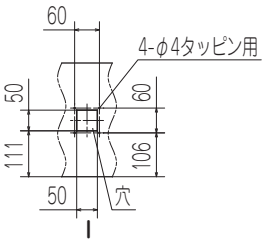


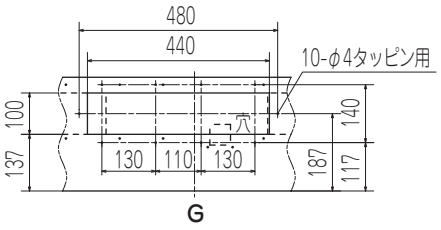
N 視

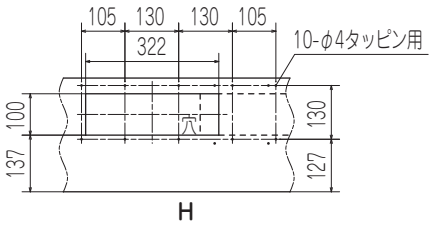








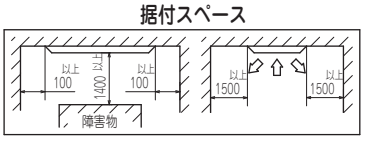




●記号説明

記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	
G	吹出分岐ダクト接続口	
H	加湿器接続口	
I	加湿器余剰水接続口	

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

注　装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

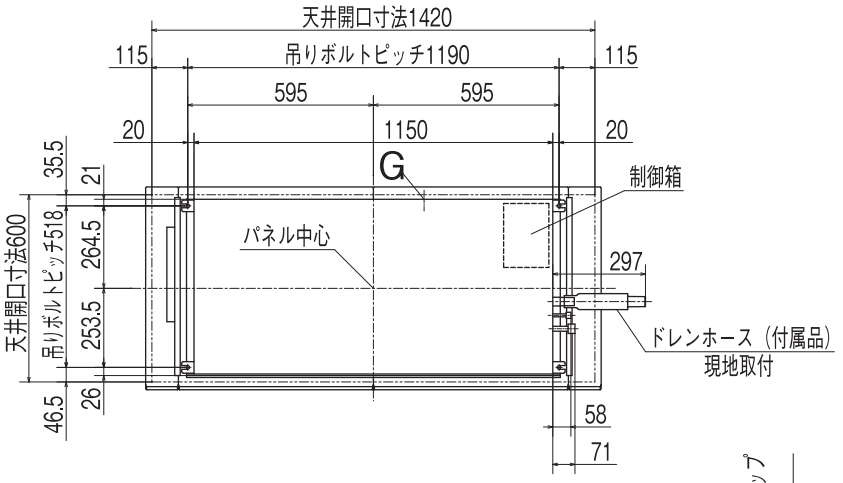
PJB001Z853 B

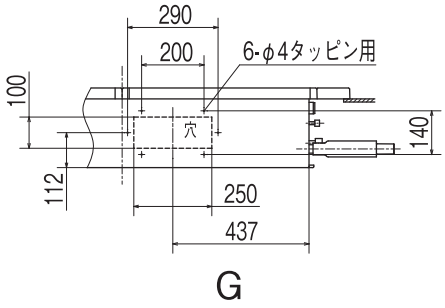
(d) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTS）

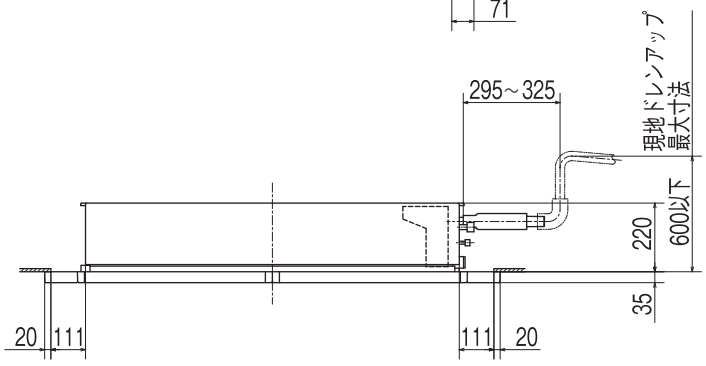
(i) 天井埋込仕様（直吹き）

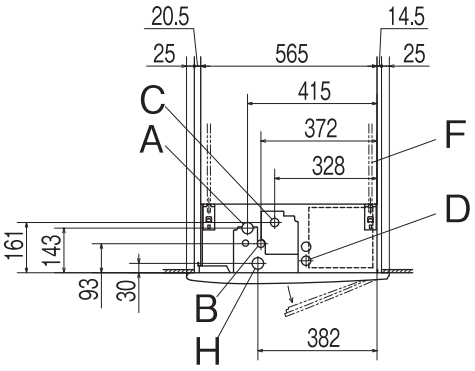
FDTSZP506S，636S，806S

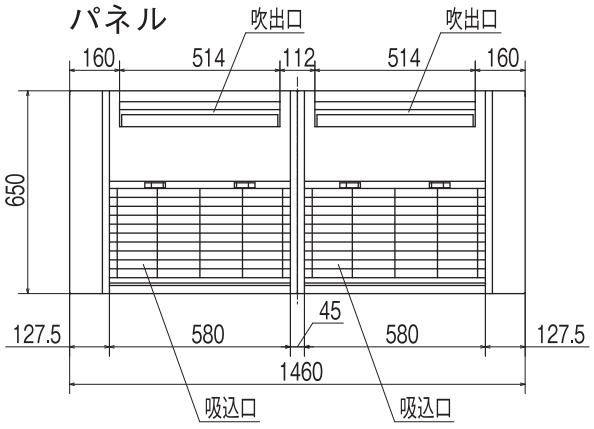
注　P50，P63 ユニットをツイン，トリプルに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズを φ 9.52** としてください。　（単位：mm）









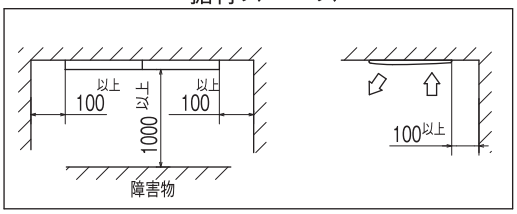


●記号説明

記号	内容		
	機種	P50,63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	電源取入口		
F	吊りボルト	M10	
G	OA取入口		
H	ドレン配管（自然排水）	VP25(I.D.25,O.D.32)	

注　装置銘板は吸込グリル内に付いてます。

据付スペース



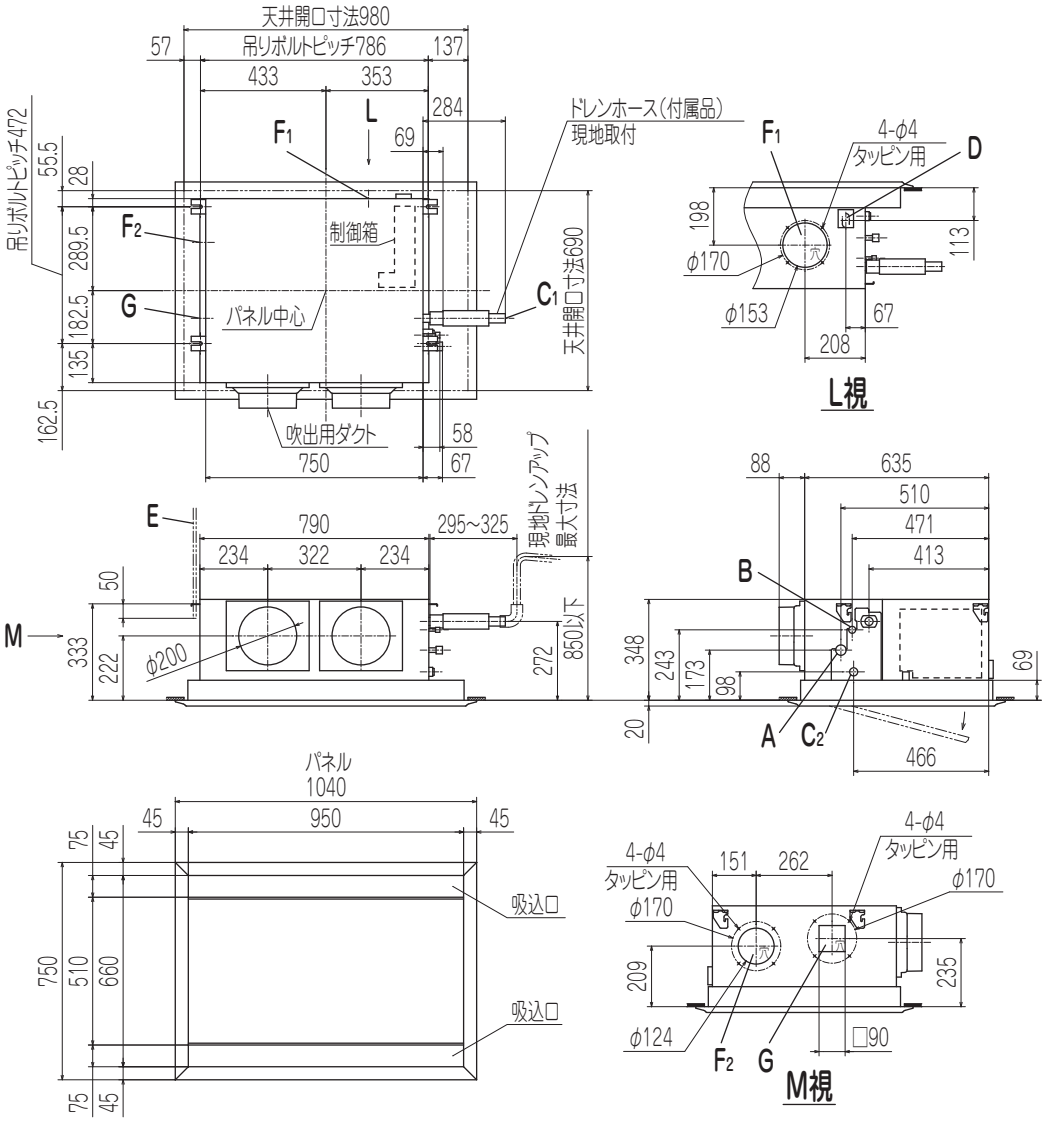
隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

(e) 天理カセテリア（FDR）
FDRZP566S

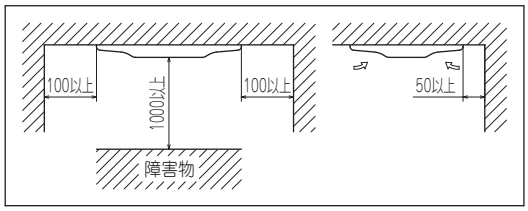
注　P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

サイレントパネル（品番：R-PNS-2AW）使用の場合

（単位：mm）



据付スペース



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
C_2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F_2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

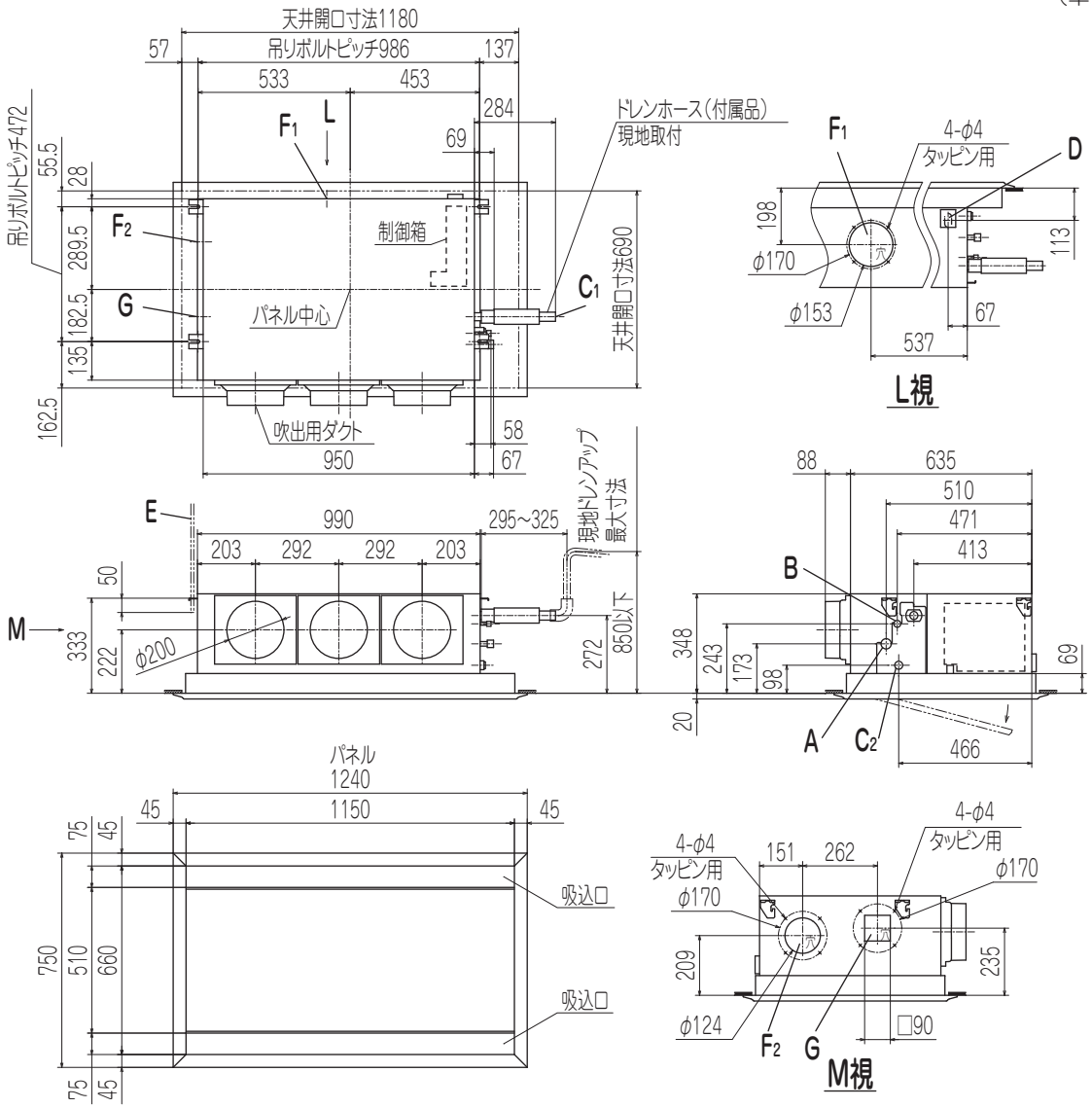
PJG000Z596 B

FDRZP636S，806S

注　P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

サイレントパネル（品番：R-PNS-3AW）使用の場合

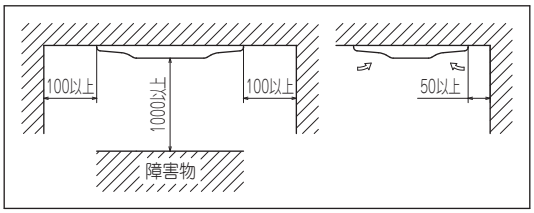
（単位：mm）



●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）	φ9.52（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト	
F_2		φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	

据付スペース



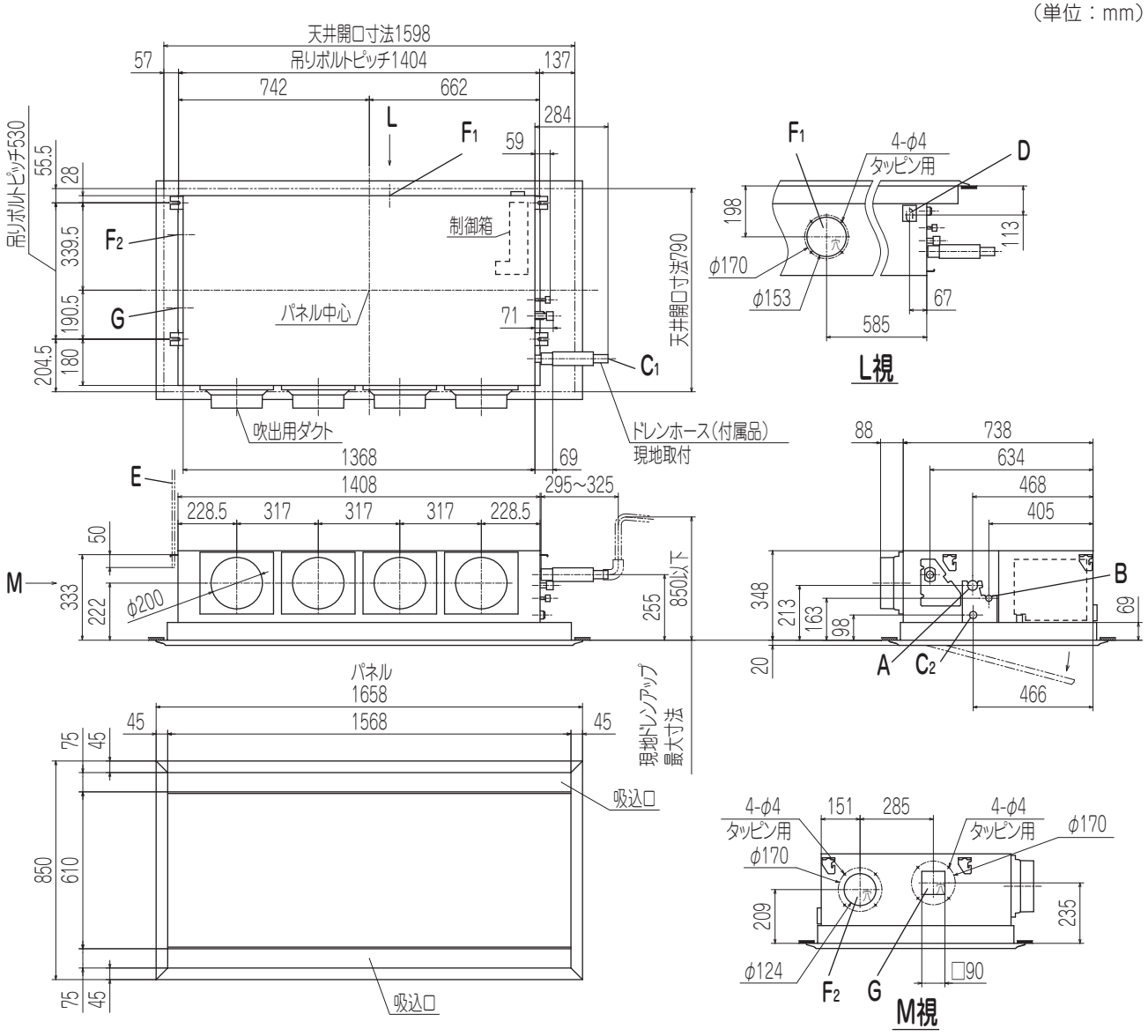
注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z597 B

FDRZP1126S，1606S

サイレントパネル（品番：R-PNS-4AW）使用の場合

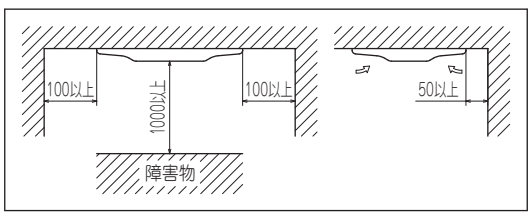
（単位：mm）



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

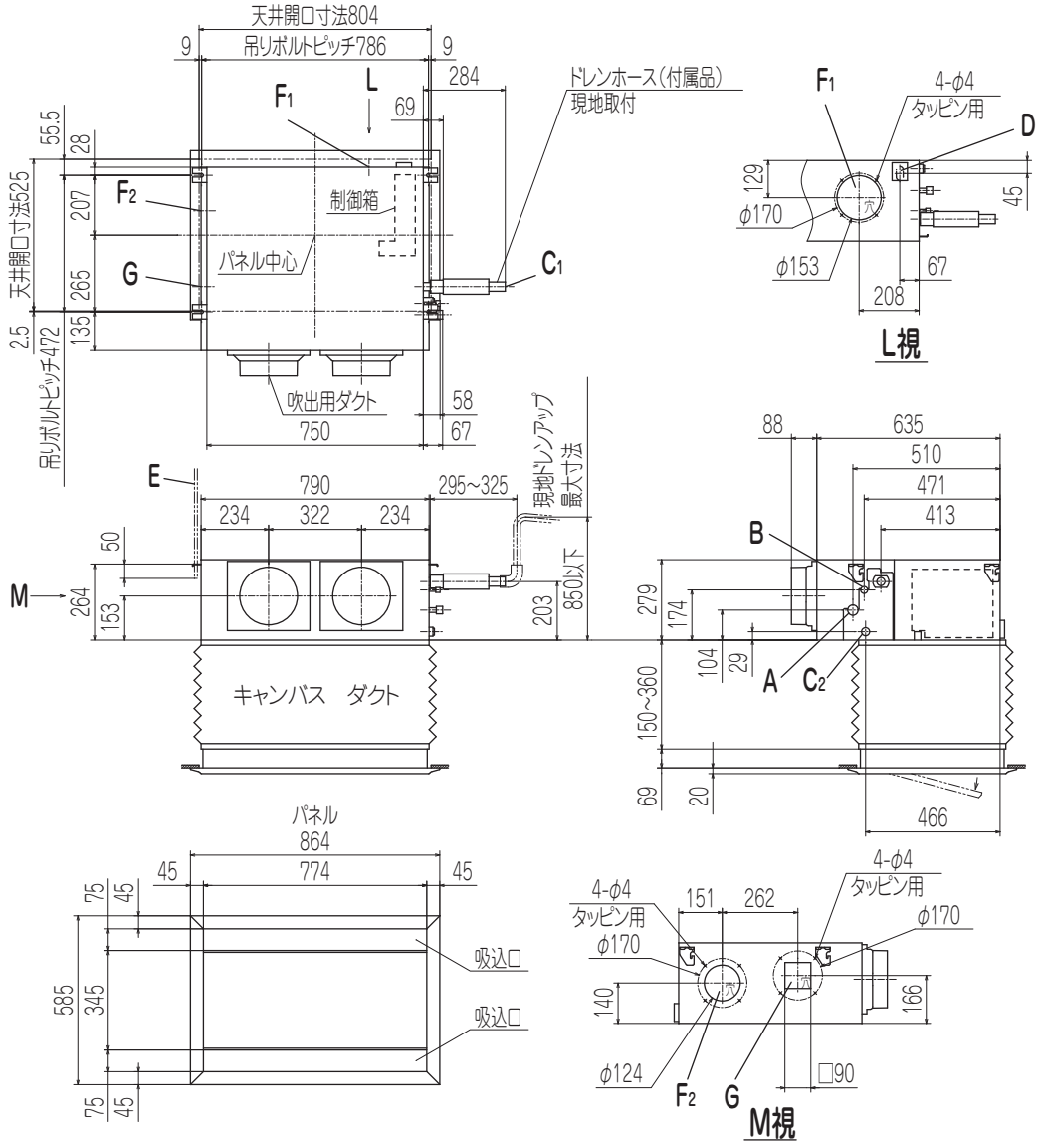
PJG000Z598 B

FDRZP566S

注　P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

キャンバスパネル（品番：R-PNC-2AW）使用の場合

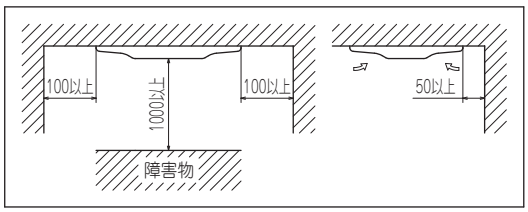
（単位：mm）



●記号説明

記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F_2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

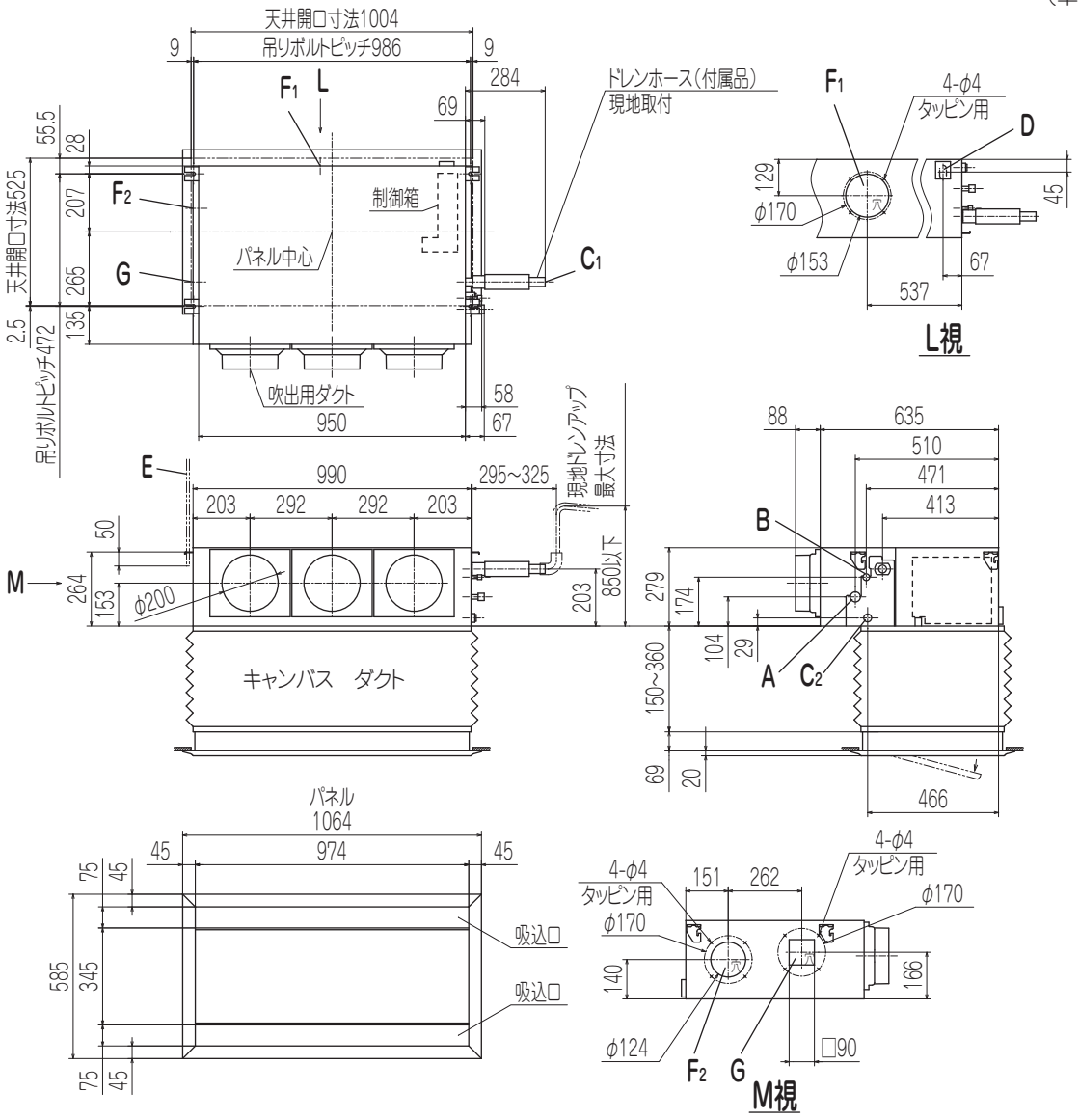
PJG000Z600 C

FDRZP636S，806S

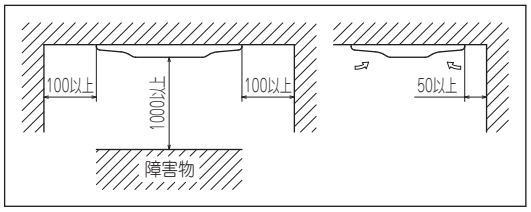
注　P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

キャンバスパネル（品番：R-PNC-3AW）使用の場合

（単位：mm）



据付スペース



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

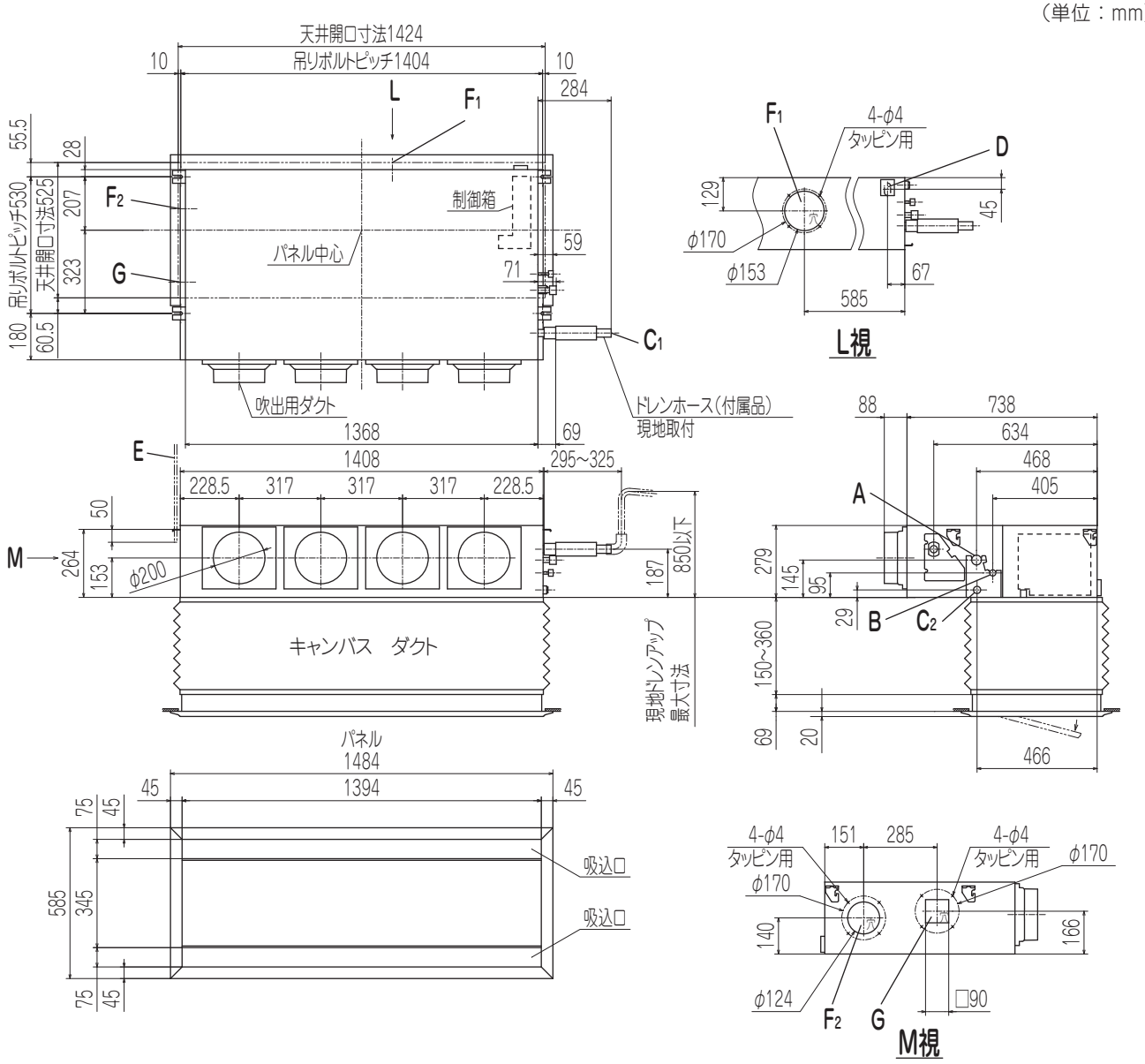
●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）	φ9.52（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト	
F_2		φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	

FDRZP1126S，1606S

キャンバスパネル（品番：R-PNC-4AW）使用の場合

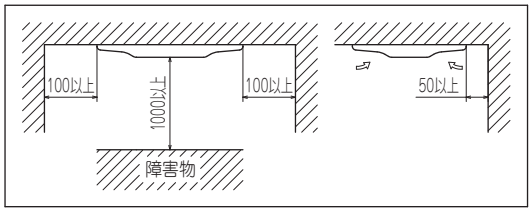
（単位：mm）



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

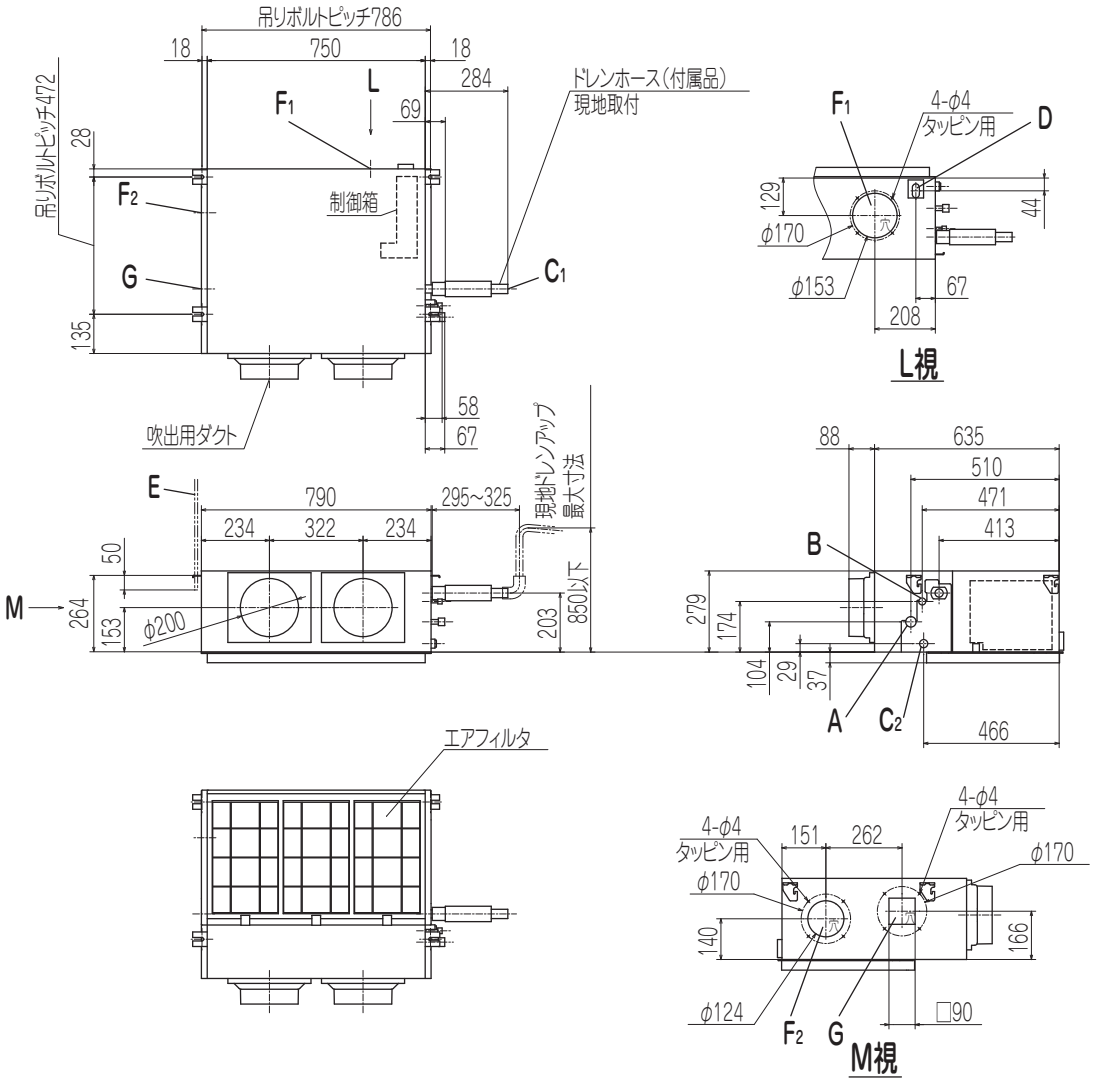
PJG000Z602 C

FDRZP566S

注　P56 ユニットをツイン，トリプル，ダブルツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

天井リターンキット（品番：R-FL-2A）使用の場合

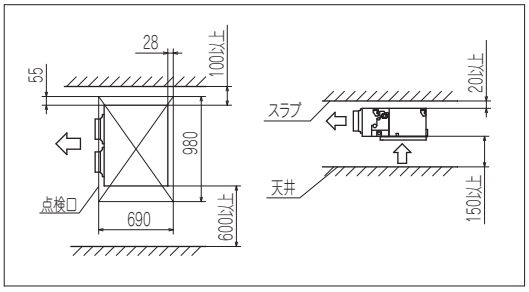
（単位：mm）



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）
C1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

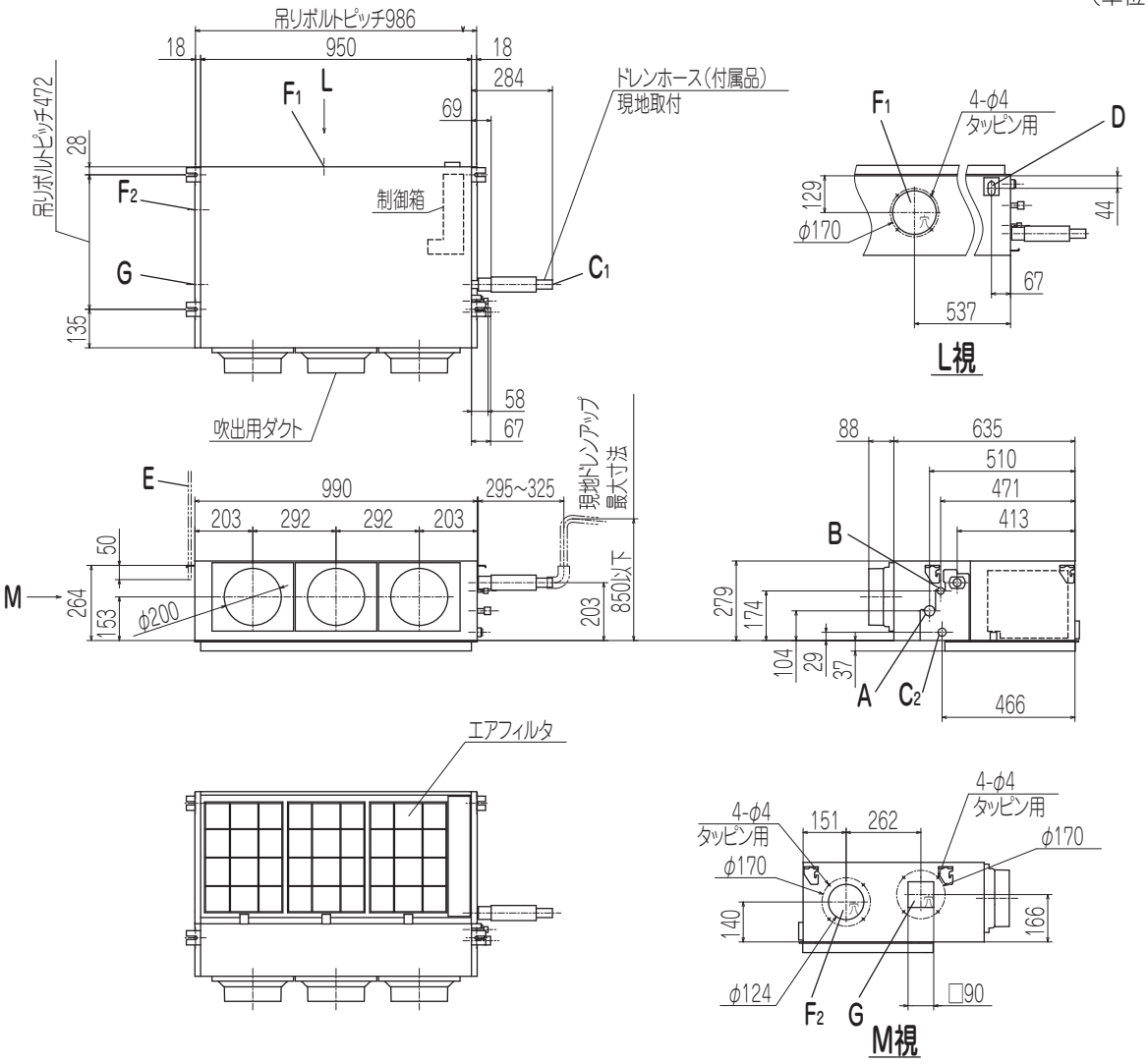
PJG000Z604 C

FDRZP636S，806S

注　P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

天井リターンキット（品番：R-FL-3A）使用の場合

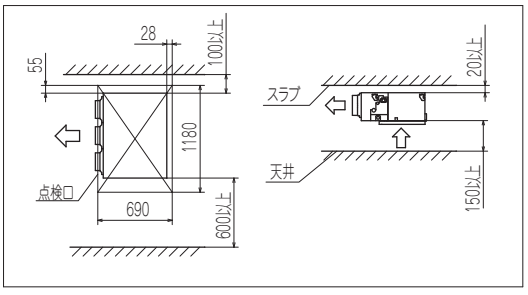
（単位：mm）



●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）	φ9.52（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F_1	OA取入口	φ150用ノックアウト	
F_2		φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	

据付スペース



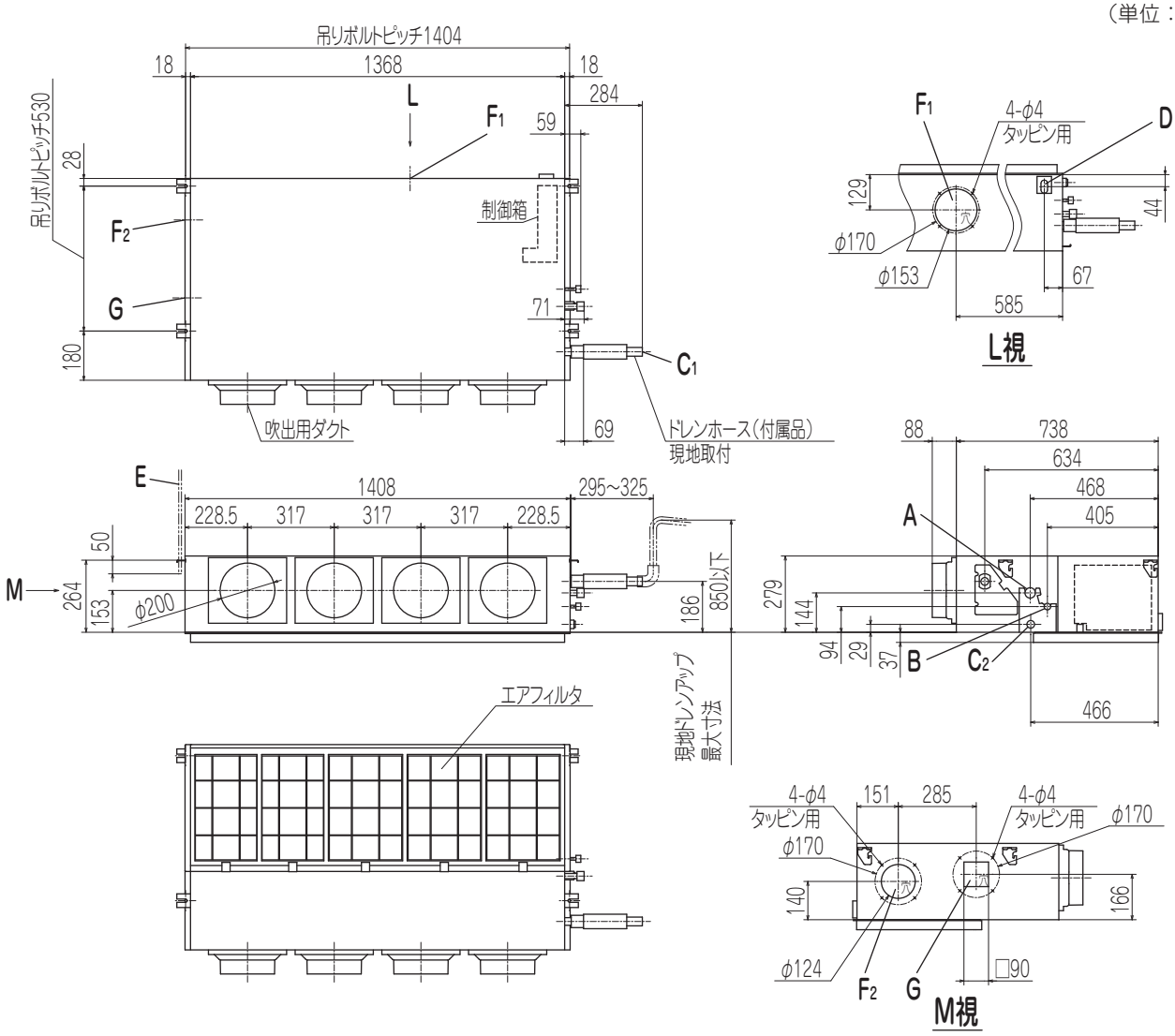
注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z605 C

FDRZP1126S，1606S

天井リターンキット（品番：R-FL-4A）使用の場合

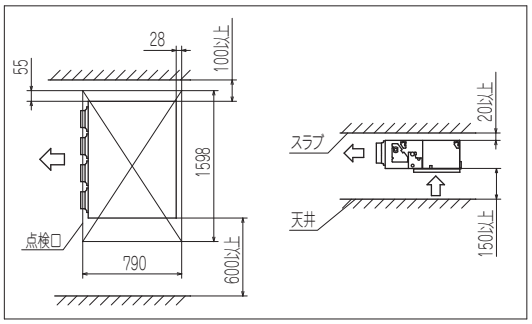
（単位：mm）



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

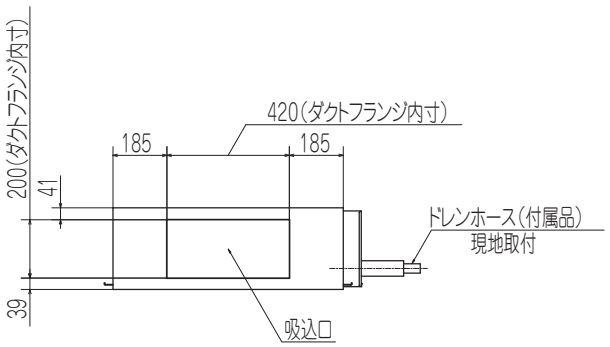
PJG000Z606 C

(f) 高静圧ダクト形（FDU）

(i) 標準仕様

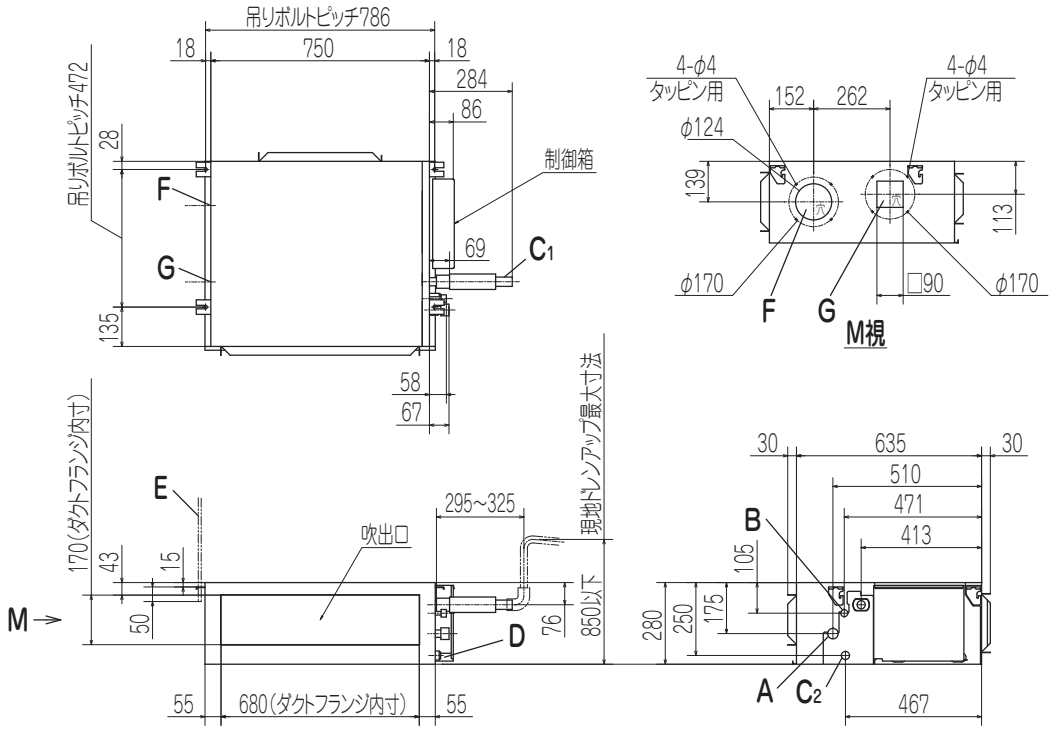
FDUZP566S

（単位：mm）



●記号説明

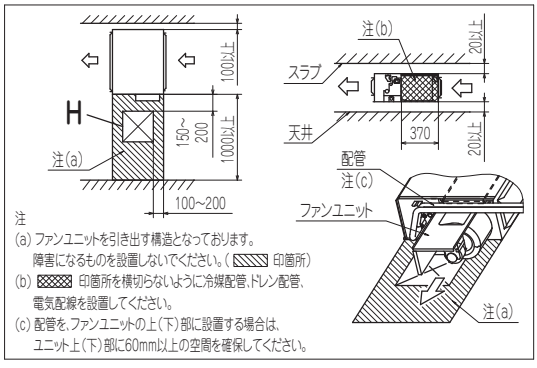
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)
C_1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
C_2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450×450



室内ユニット据付スペース

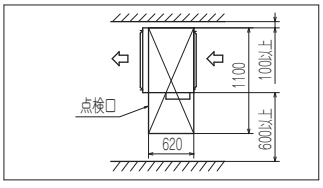
必ず吸込・吹出口にダクトを接続し、ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は、吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また、据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

(ケース1) ユニット側面から



注
(a) ファンユニットを引き出す構造となっております。
障害になるものを設置しないでください。(印箇所)
(b) 印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、電気配線を設置してください。
(c) 配管を、ファンユニットの上(下)部に設置する場合は、ユニット上(下)部に60mm以上の空間を確保してください。

(ケース2) ユニット下面から



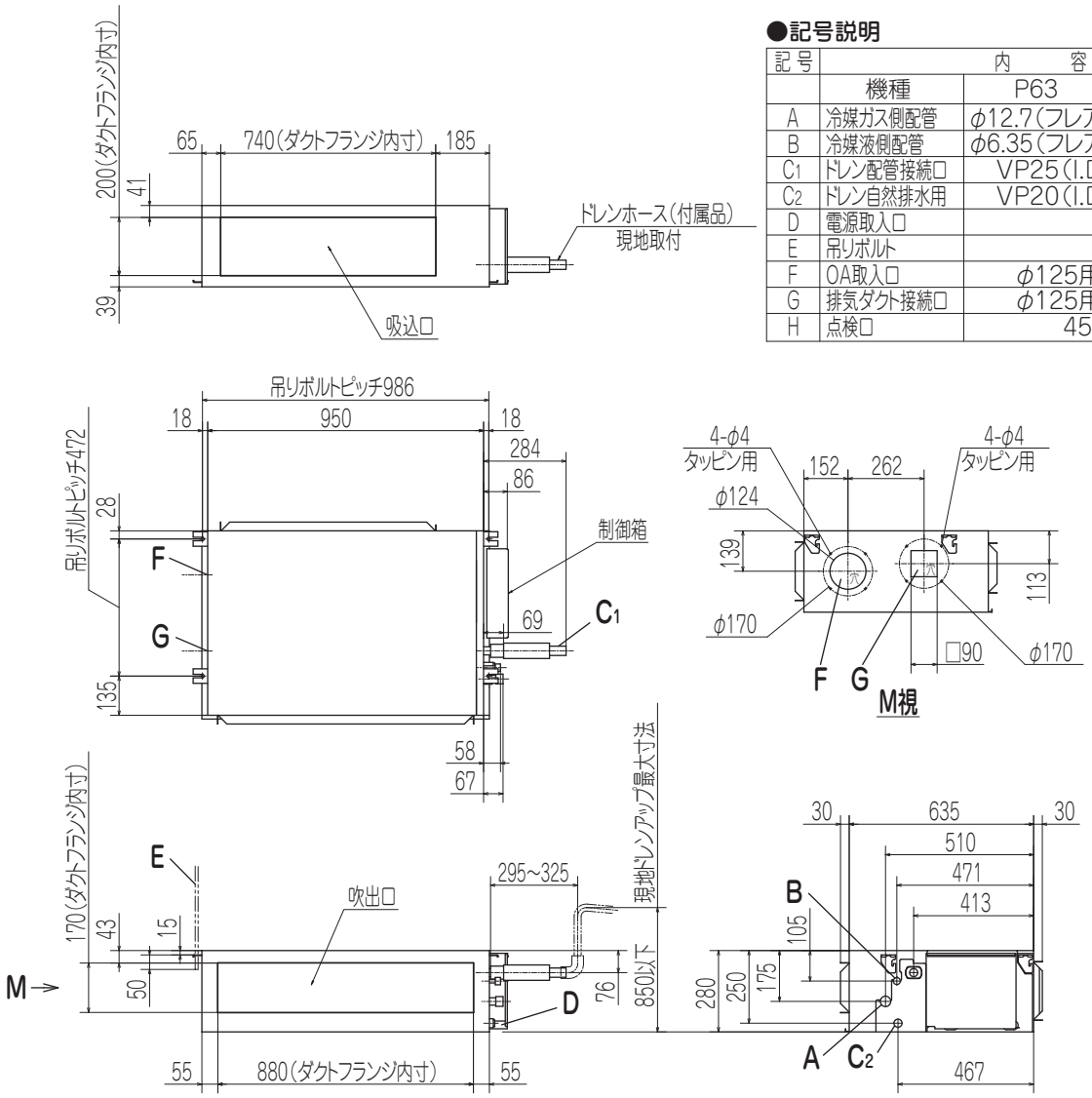
注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z611 A

FDUZP636S，806S

注　P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

（単位：mm）



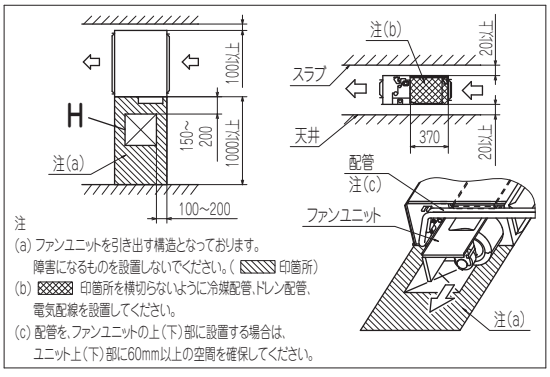
●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)	
C2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F	OA取入口	φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	
H	点検口	450×450	

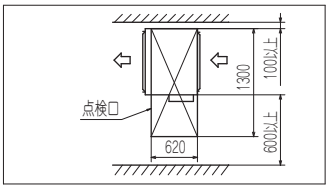
室内ユニット据付スペース

必ず吸込･吹出口にダクトを接続し、ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は、吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また、据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

（ケース1）ユニット側面から



（ケース2）ユニット下面から

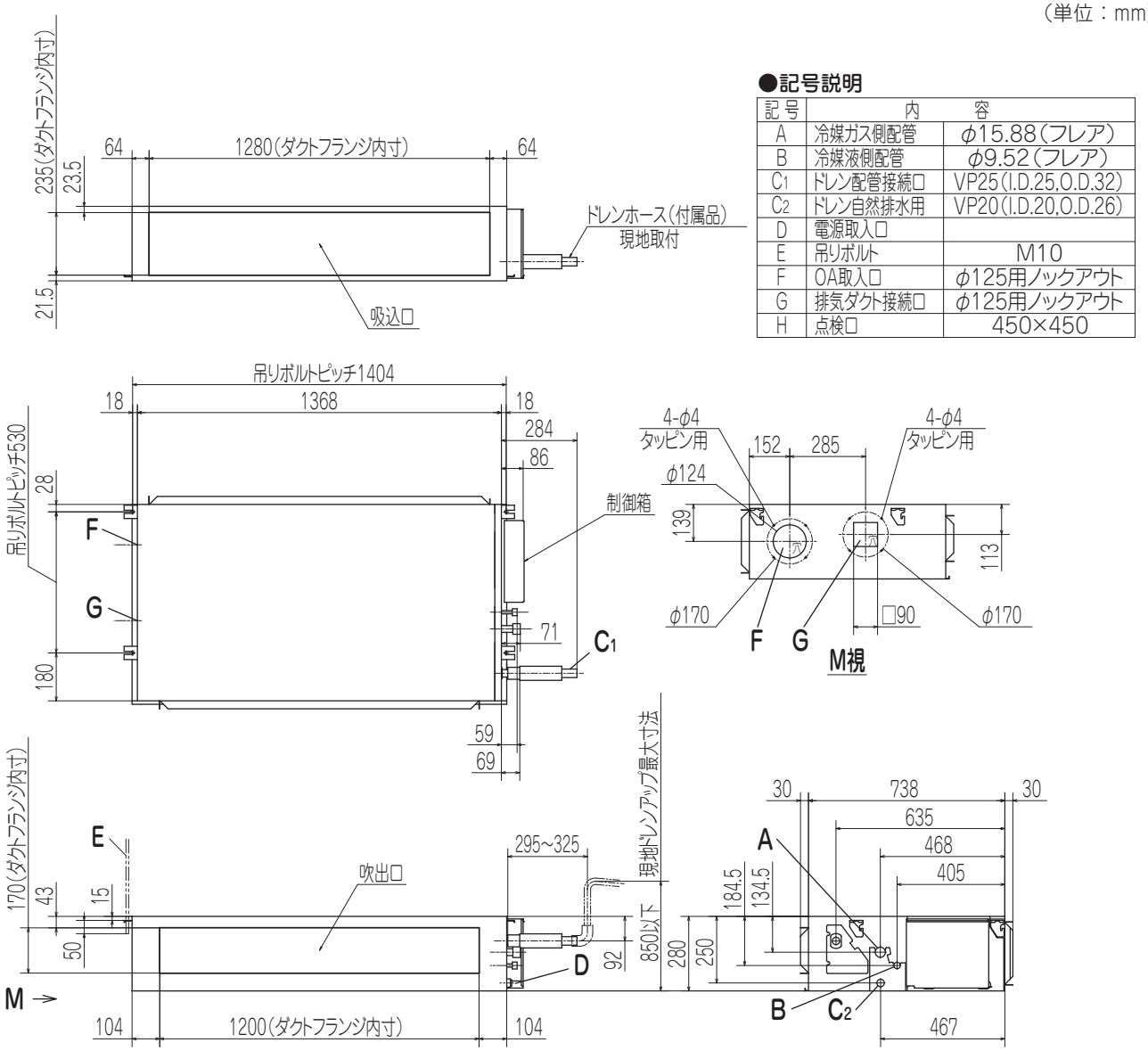


注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z612 A

FDUZP1126S，1606S

（単位：mm）



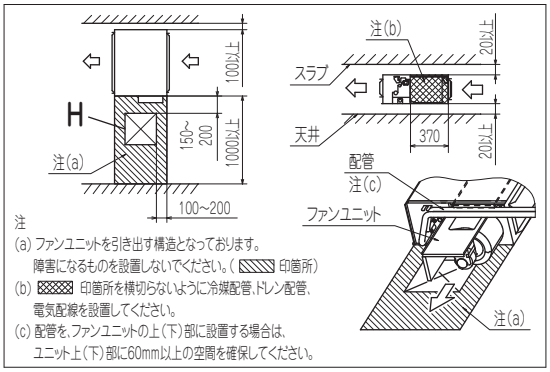
●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52(フレア)
C_1	ドレン配管接続口	VP25(I.D.25,O.D.32)
C_2	ドレン自然排水用	VP20(I.D.20,O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450×450

室内ユニット据付スペース

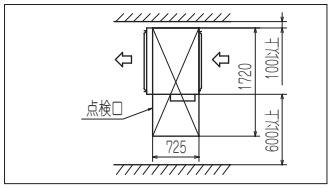
吸込･吹出口にダクトを接続し､ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください｡また､吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は､吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また､据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には､下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

(ケース1) ユニット側面から



注
(a) ファンユニットを引き出す構造となっております。
障害になるものを設置しないでください。(▨ 印箇所)
(b) ▩ 印箇所を横切らないように冷媒配管､ドレン配管､電気配線を設置してください。
(c) 配管を､ファンユニットの上(下)部に設置する場合は､ユニット上(下)部に60mm以上の空間を確保してください。

(ケース2) ユニット下面から

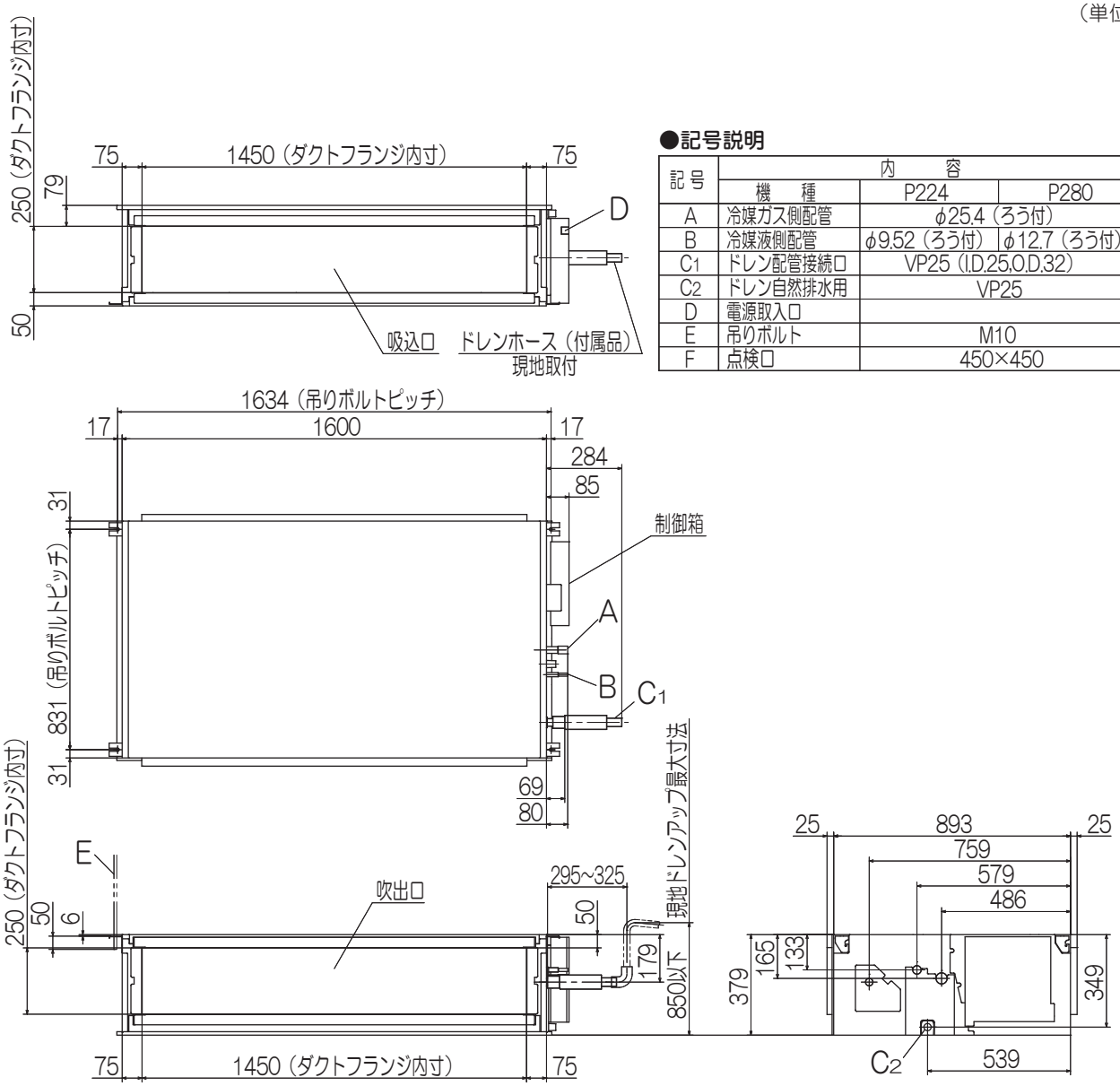


注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z613 A

FDUZP2245A, 2805A

（単位：mm）



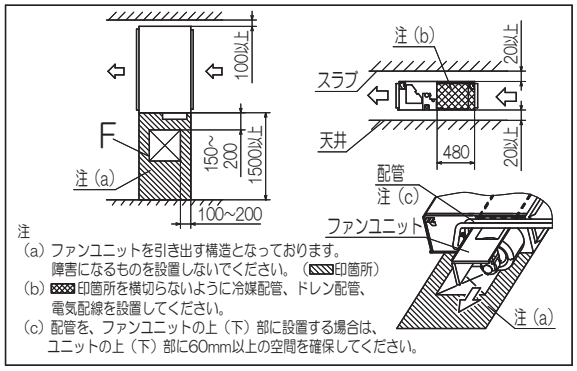
●記号説明

記号	内容		
	機種	P224	P280
A	冷媒ガス側配管	φ25.4（ろう付）	
B	冷媒液側配管	φ9.52（ろう付）	φ12.7（ろう付）
C1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
C2	ドレン自然排水用	VP25	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F	点検口	450×450	

室内ユニット据付スペース

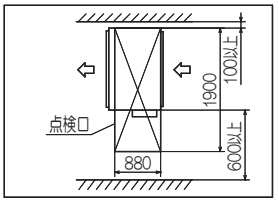
吸込・吹出口にダクトを接続し、ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は、吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また、据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

（ケース1） ユニット側面から



注
（a）ファンユニットを引き出す構造となっております。
障害になるものを設置しないでください。（▨印箇所）
（b）▩印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、
電気配線を設置してください。
（c）配管を、ファンユニットの上（下）部に設置する場合は、
ユニットの上（下）部に60mm以上の空間を確保してください。

（ケース2） ユニット下面から



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z806

(ii) **丸ダクト仕様**

FDUZP566S

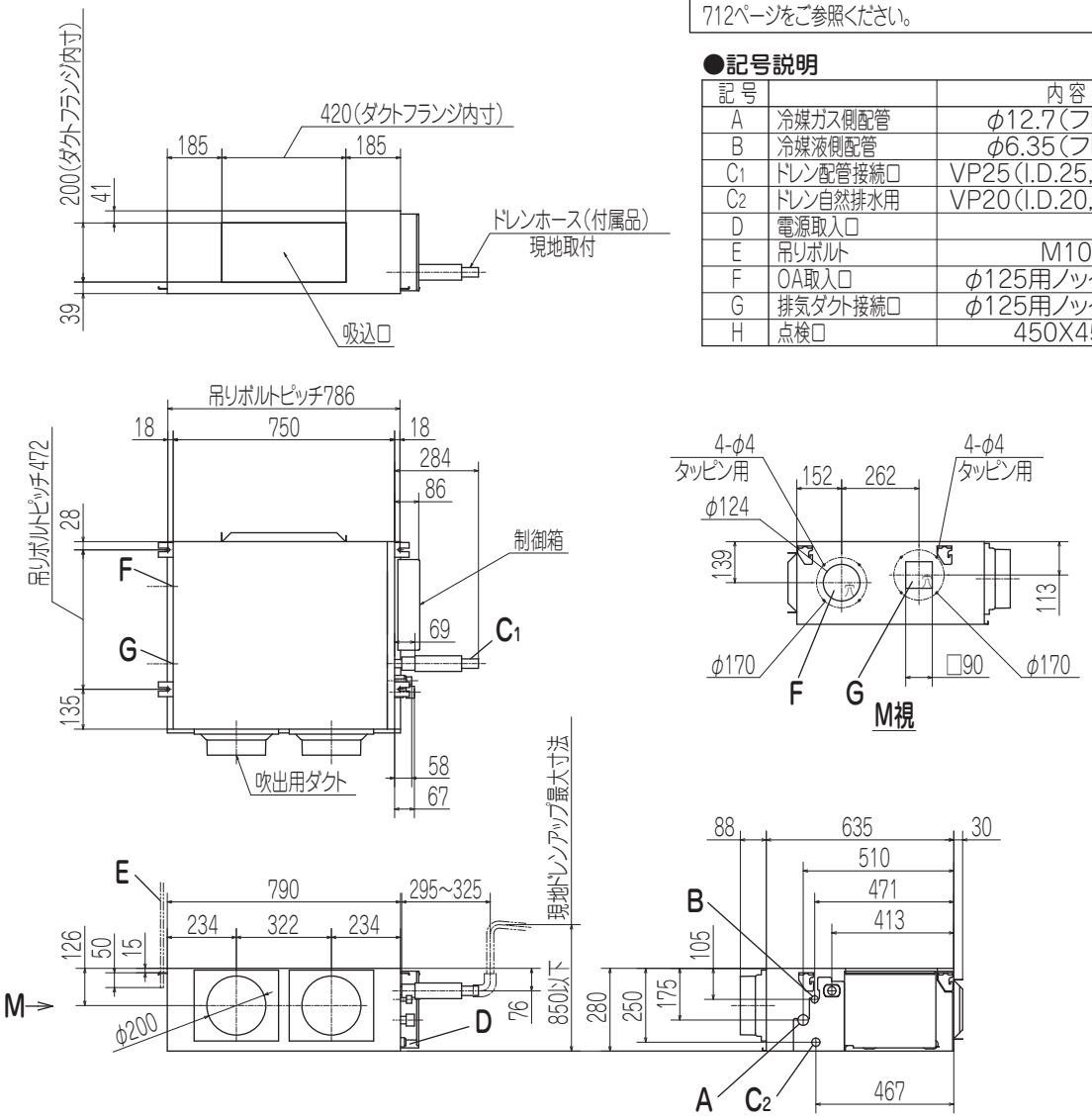
丸ダクト変換キット（品番：U-UM-2A）使用の場合

（単位：mm）

機外静圧設定範囲は10～100Paとなります。
丸ダクト変換キットを使用する場合は、機内圧力損失が増加するため、リモコンの静圧設定値の調整が必要です。
712ページをご参照ください。

●記号説明

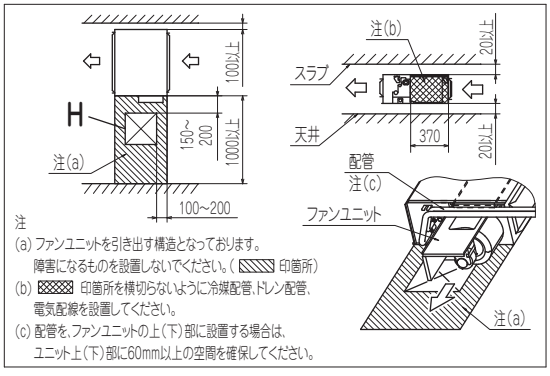
記号		内容
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450X450



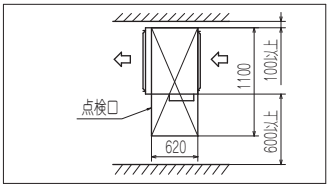
室内ユニット据付スペース

必ず吸込・吹出口にダクトを接続し、ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は、吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また、据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

（ケース1）ユニット側面から



（ケース2）ユニット下面から



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z615 A

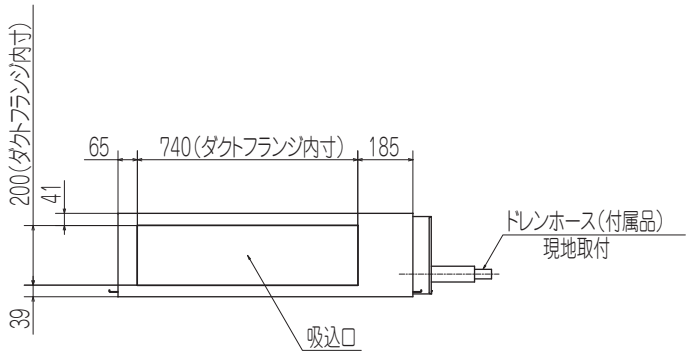
FDUZP636S，806S

注　P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

丸ダクト変換キット（品番：U-UM-3A）使用の場合

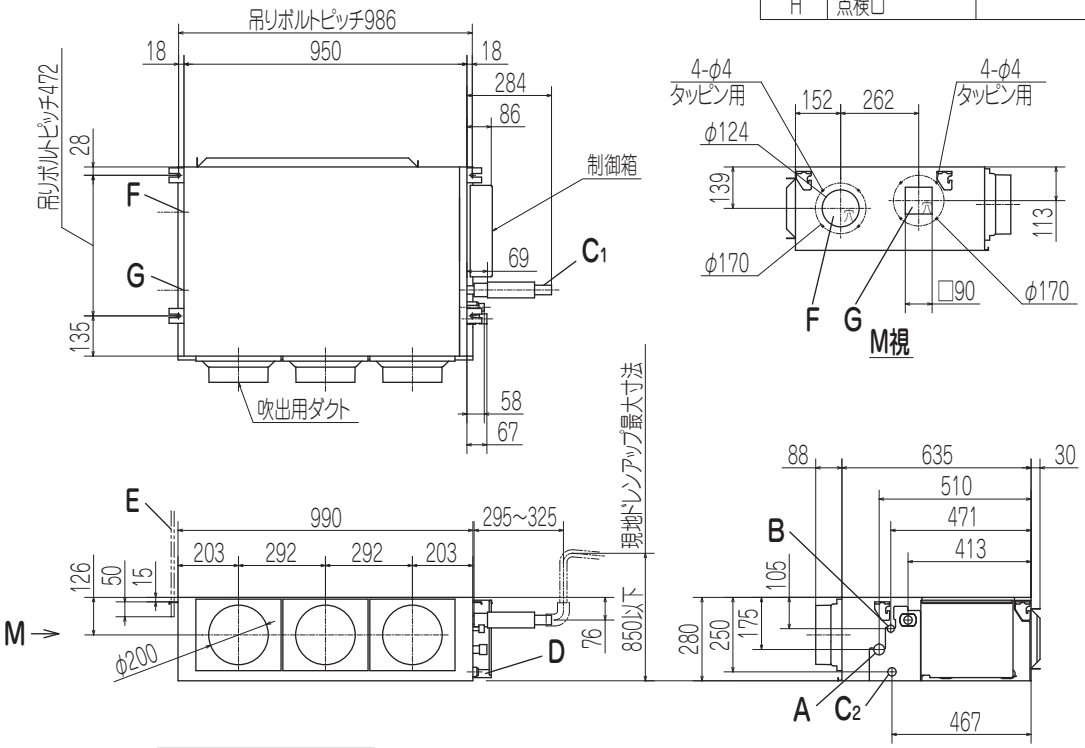
（単位：mm）

機外静圧設定範囲は10～100Paとなります。
丸ダクト変換キットを使用する場合は、機内圧力損失が増加するため、リモコンの静圧設定値の調整が必要です。
712ページをご参照ください。



●記号説明

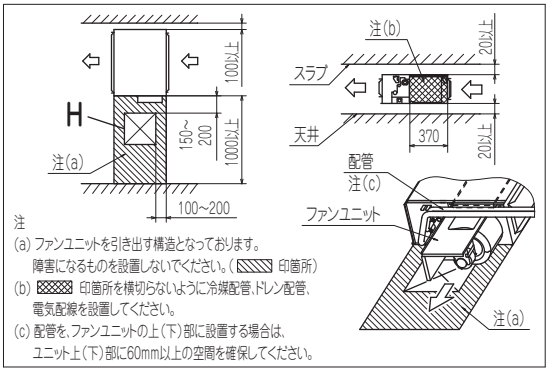
記号	内容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）	φ9.52（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）	
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）	
D	電源取入口	M10	
E	吊りボルト		
F	OA取入口	φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	
H	点検口	450X450	



室内ユニット据付スペース

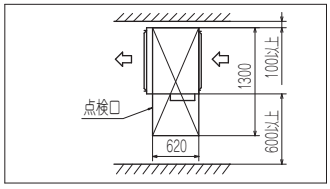
必ず吸込・吹出口にダクトを接続し、ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は、吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また、据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

（ケース1）ユニット側面から



注
(a) ファンユニットを引き出す構造となっております。
障害になるものを設置しないでください。（▨ 印箇所）
(b) ▩ 印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、電気配線を設置してください。
(c) 配管を、ファンユニットの上（下）部に設置する場合は、ユニット上（下）部に60mm以上の空間を確保してください。

（ケース2）ユニット下面から



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z616 A

FDUZP1126S，1606S

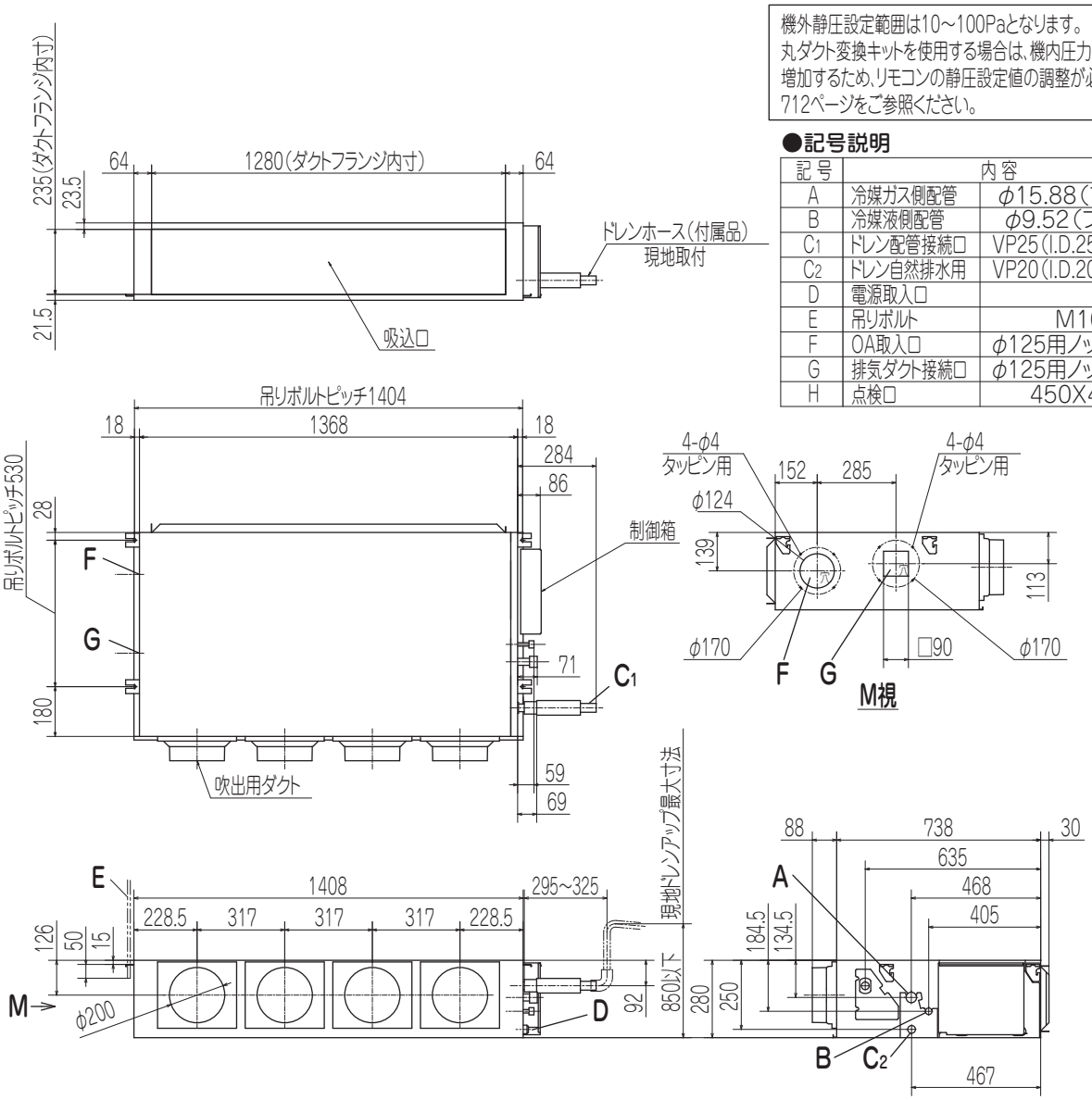
丸ダクト変換キット（品番：U-UM-4A）使用の場合

（単位：mm）

機外静圧設定範囲は10～100Paとなります。
丸ダクト変換キットを使用する場合は、機内圧力損失が増加するため、リモコンの静圧設定値の調整が必要です。
712ページをご参照ください。

●記号説明

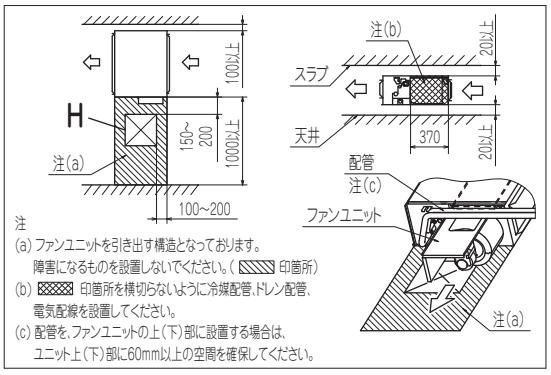
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
C_1	ドレン配管接続口	VP25（I.D.25,O.D.32）
C_2	ドレン自然排水用	VP20（I.D.20,O.D.26）
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450X450



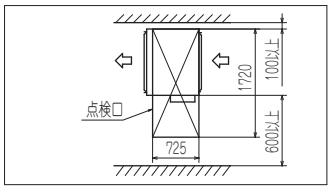
室内ユニット据付スペース

吸込･吹出口にダクトを接続し、ファンおよび他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。
吸込側を直吸込みで使用する場合は、吸込口にエアフィルタを取付けてください。
また、据付高さは2.5m以上としてください。
据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

（ケース1）ユニット側面から



（ケース2）ユニット下面から



注　装置銘板は制御箱蓋に付いています。

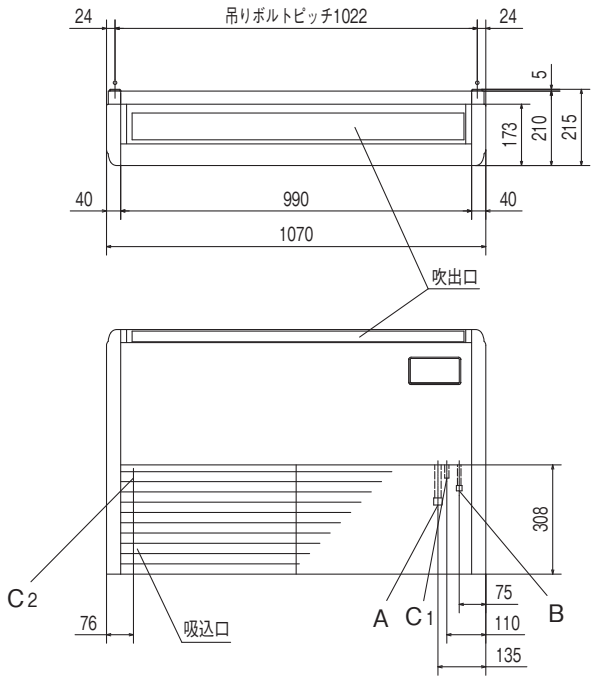
PJG000Z617 A

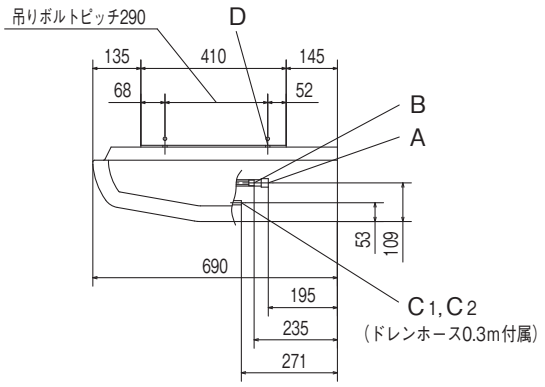
(g) 天吊形（FDE）

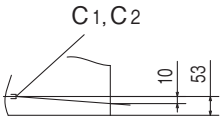
FDEZP566S

注　P56 ユニットをツイン，トリプルに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズを φ 9.52** としてください。

（単位：mm）





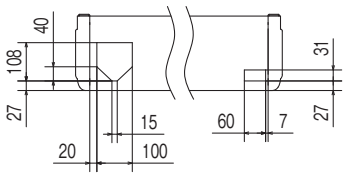


注）ドレンホースはユニット内で１０mmの
ドレン勾配をとってください。

● 記号説明

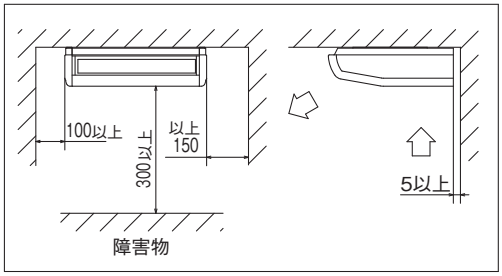
記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）
C 1,2	ドレン配管接続口	VP20（I.D20,O.D26）
D	吊りボルト用穴	M10
E	後抜き用穴	リッド
F	上抜き用穴	リッド
G	左後ろ抜きドレン用穴	ノックアウト

注　装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。

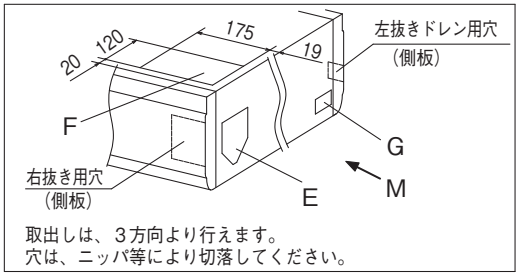


M視

据付スペース



上方後方取出穴位置



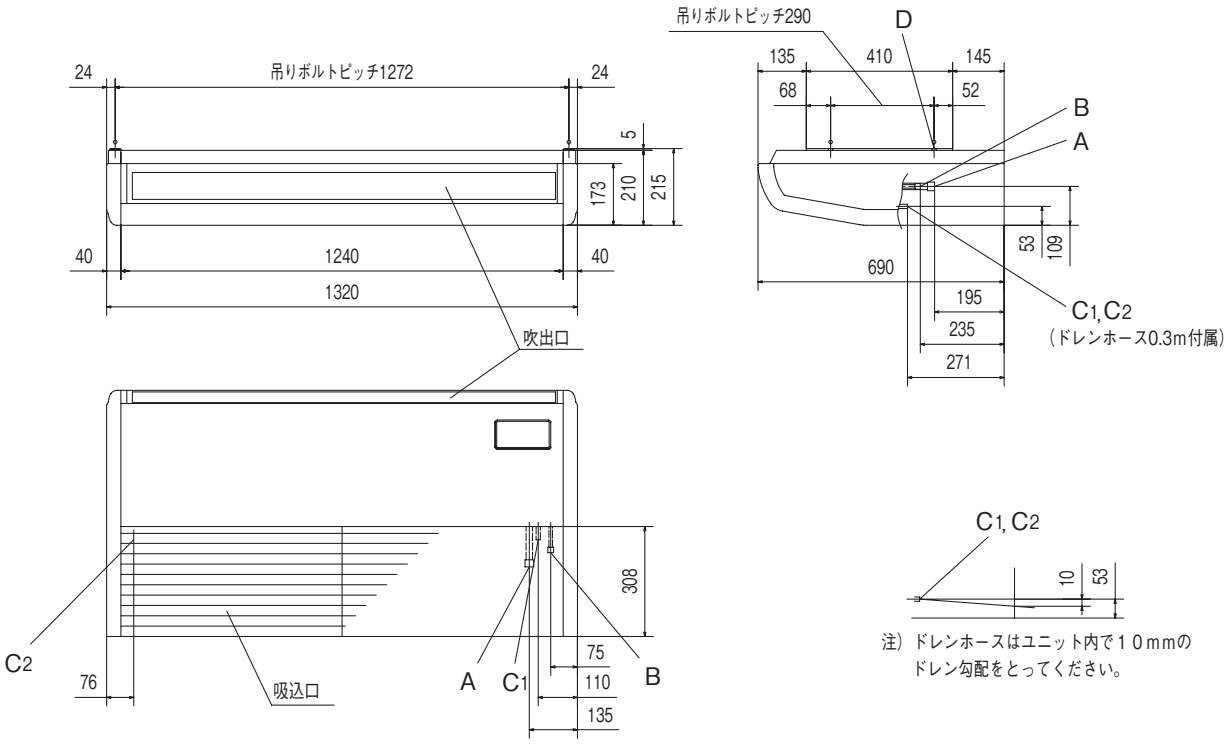
取出しは、３方向より行えます。
穴は、ニッパ等により切落してください。

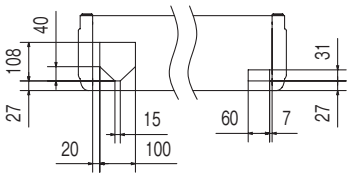
隣接設置の場合は、ユニット間を4000mm以上離してください。

PFA004Z106 B

FDEZP636S，806S

（単位：mm）





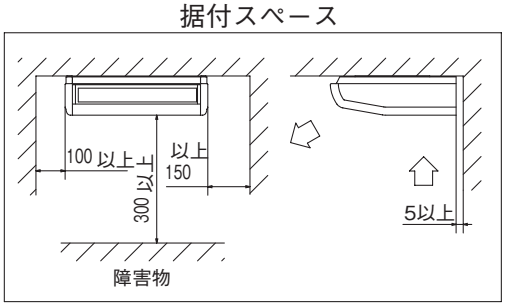
M視

●記号説明

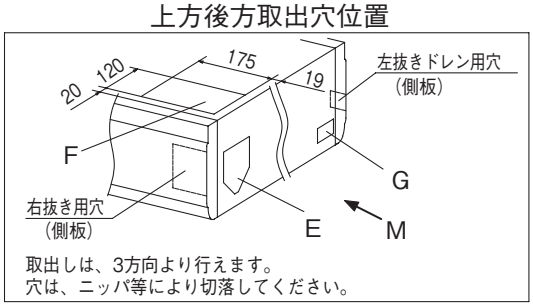
記号	内　容		
	機種	P63	P80
A	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)
C 1,2	ドレン配管接続口	VP20(I.D.20,O.D.26)	
D	吊りボルト用穴	M10	
E	後抜き用穴	リッド	
F	上抜き用穴	リッド	
G	左後ろ抜きドレン用穴	ノックアウト	

注　装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。

据付スペース



上方後方取出穴位置



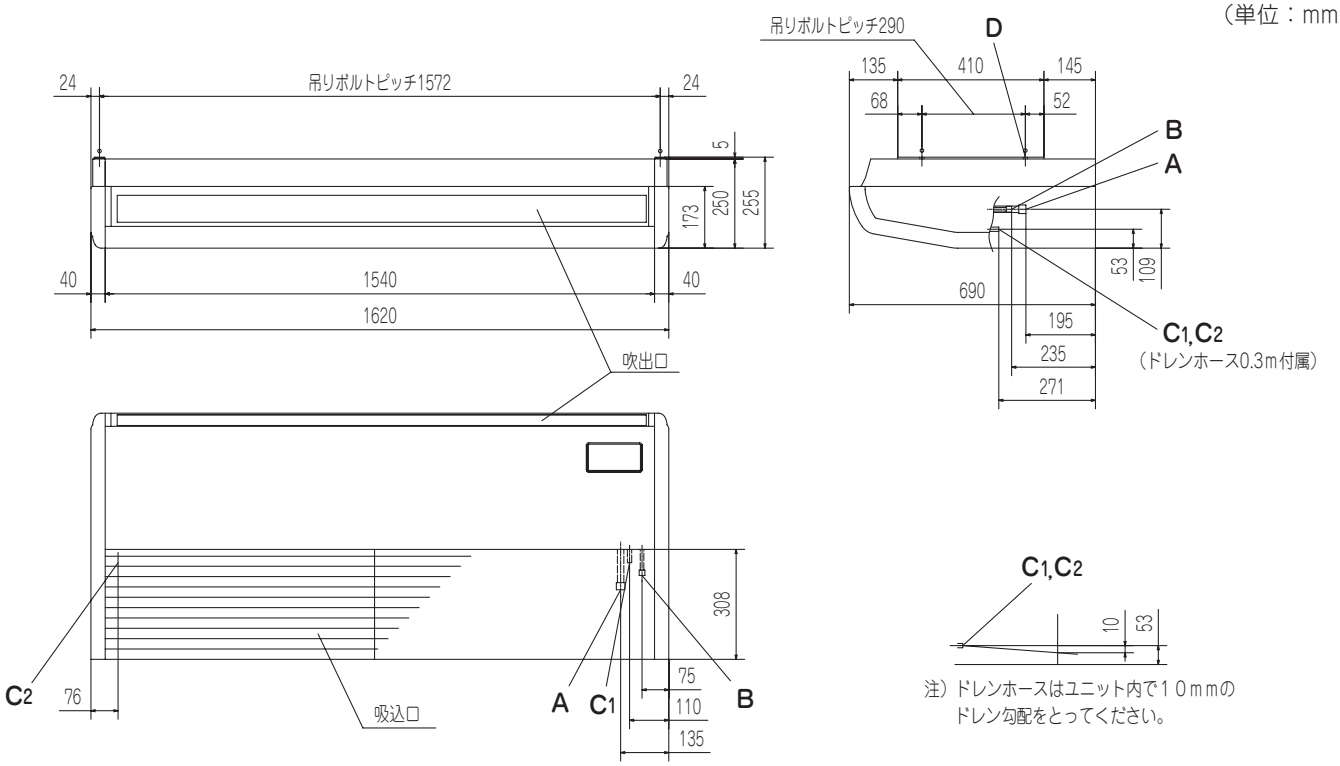
取出しは、3方向より行えます。
穴は、ニッパ等により切落してください。

隣接設置の場合は、ユニット間を4500mm以上離してください。

PFA004Z107 B

FDEZP1606S

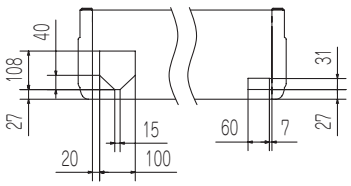
（単位：mm）



注）ドレンホースはユニット内で10mmの
ドレン勾配をとってください。

●記号説明

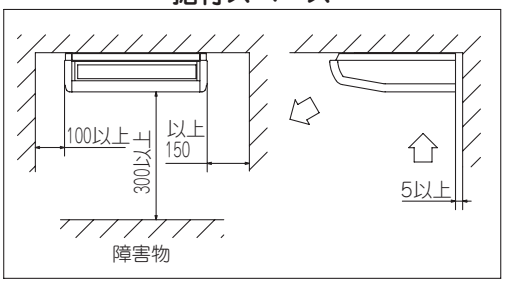
記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ9.52（フレア）
$C_{1,2}$	ドレン配管接続口	VP20（I.D.20, O.D.26）
D	吊りボルト用穴	M10
E	後抜き用穴	リッド
F	上抜き用穴	リッド
G	左後ろ抜きドレン用穴	ノックアウト



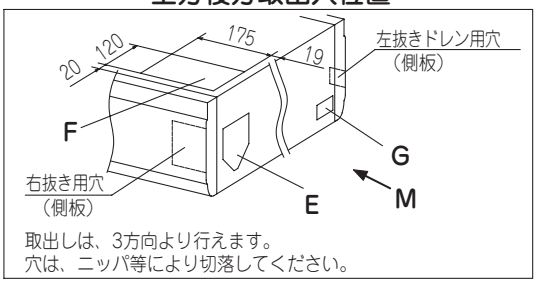
M視

注　装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。

据付スペース



上方後方取出穴位置



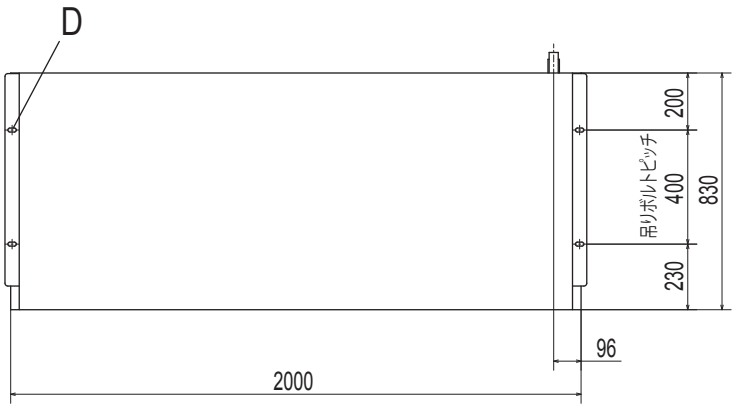
取出しは、3方向より行えます。
穴は、ニッパ等により切落してください。

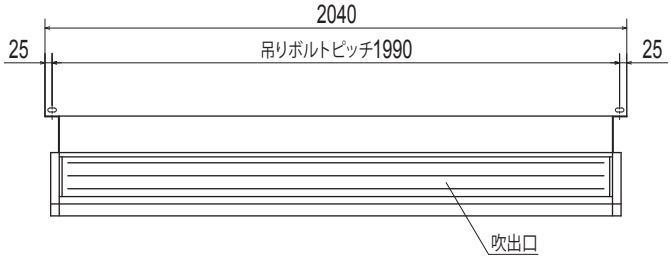
隣接設置の場合は、ユニット間を5000mm以上離してください。

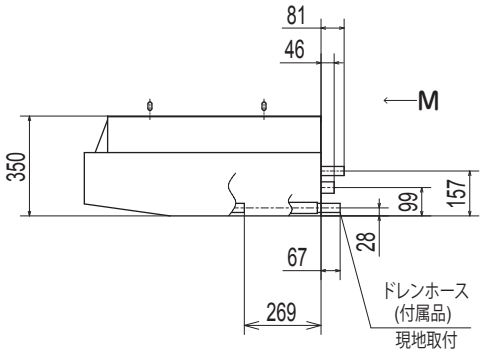
PFA004Z108 B

FDEZP2245A，2805A

（単位：mm）



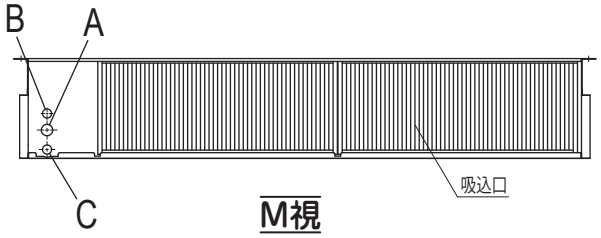




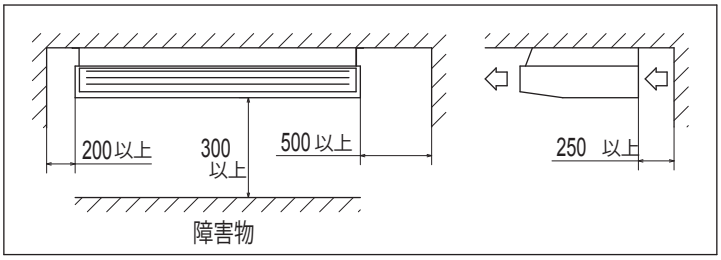
●記号説明

記号	内　　容		
	機　種	ZP224	ZP280
A	冷媒ガス側配管	φ25.4(ろう付)	
B	冷媒液側配管	φ9.52(ろう付)	φ12.7(ろう付)
C	ドレン配管	VP25(I.D.25,O.D.32)	
D	吊りボルト用穴	M10	

注　装置銘板は右側板についています。



据付スペース

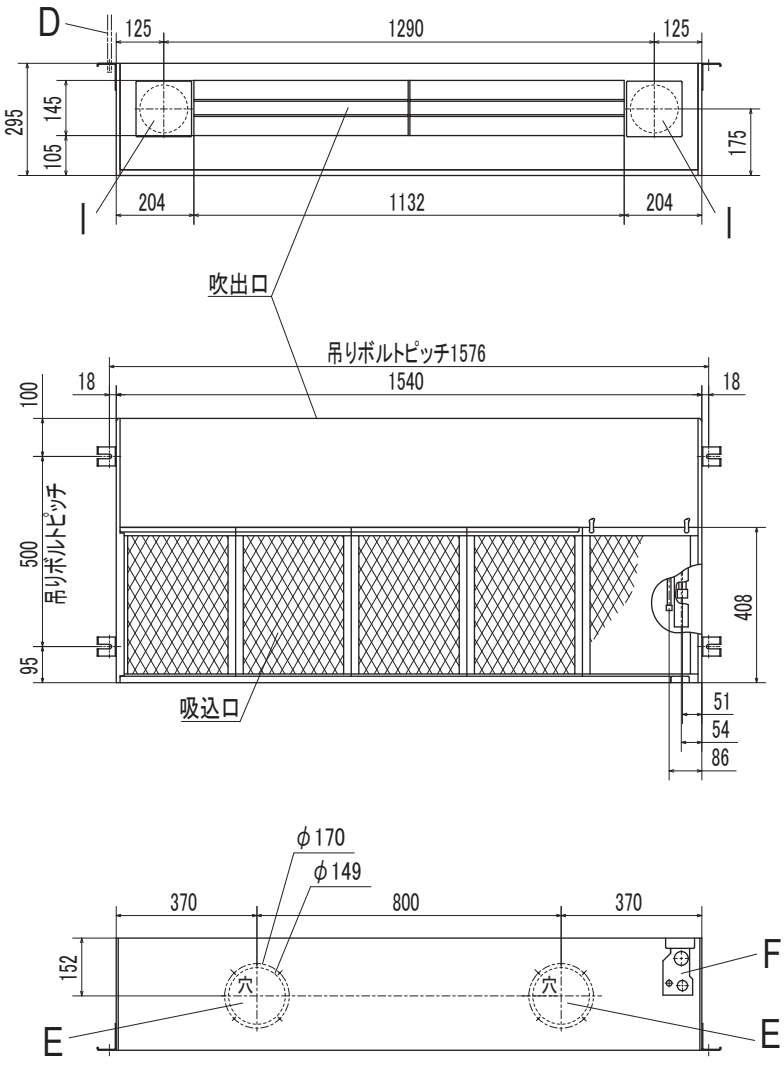


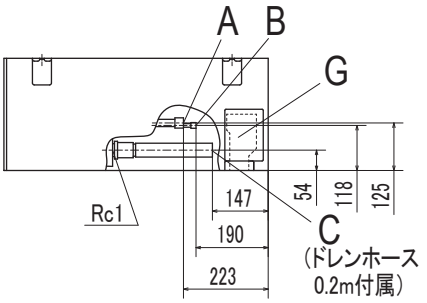
隣接設置の場合は、ユニット間を6000以上離してください。

PFC000Z091

(h) 天吊耐油形（FDES）
FDESZP806，1406

（単位：mm）



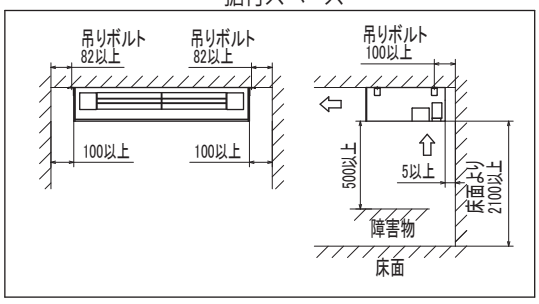


●記号説明

記号	内　　容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C	ドレン配管接続口	VP25
D	吊りボルト	M10
E	OA取入口	φ150用ノックアウト
F	後抜き用穴	
G	右抜き用穴	
H	上抜き用穴	
I	スポットダクト	φ125

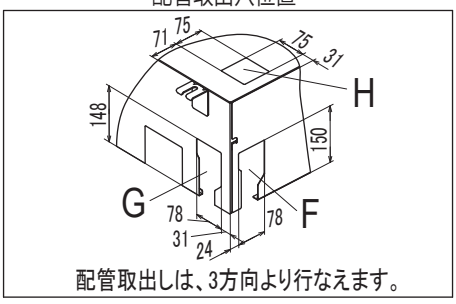
注　装置銘板は吸込グリル内のファンケース
正面についています。

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

配管取出穴位置



配管取出しは、3方向より行なえます。

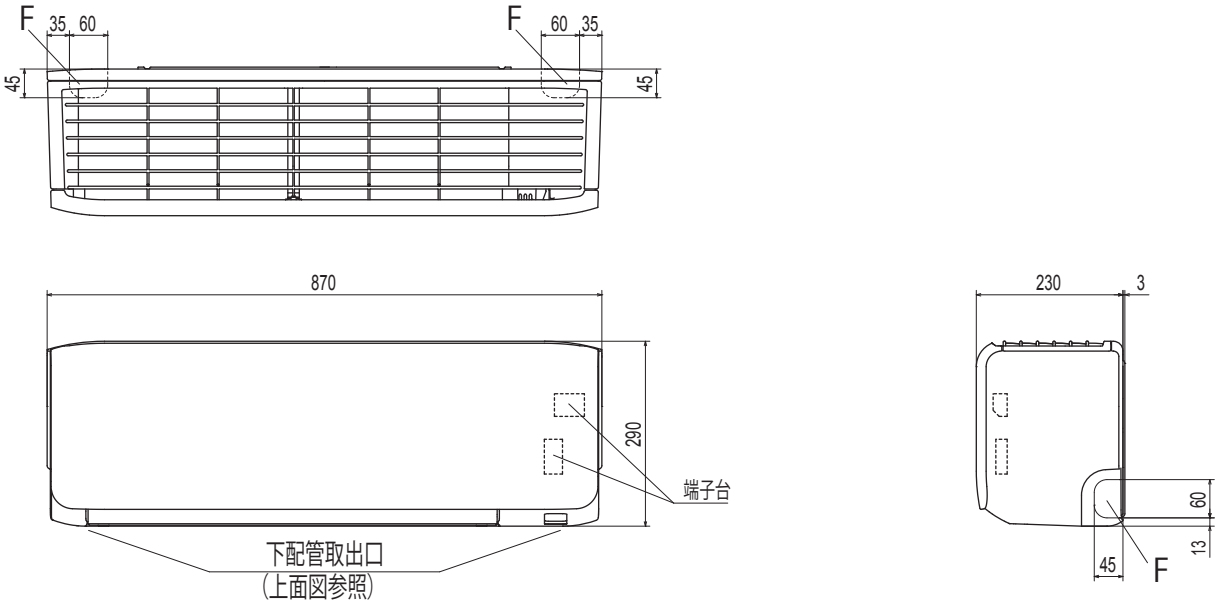
PFS000Z020 F

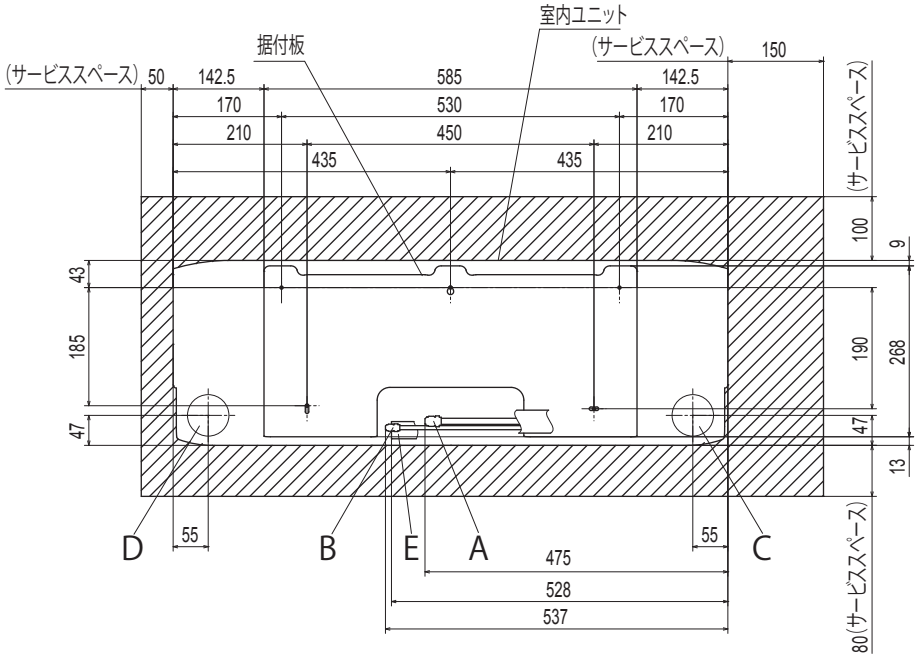
(i) 壁掛形（FDK）

FDKZP566S

注　P56 ユニットをツイン，トリプルに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の**液管サイズをφ 9.52** としてください。

（単位：mm）





正面から見た据付位置図および据付スペース

● 記号説明

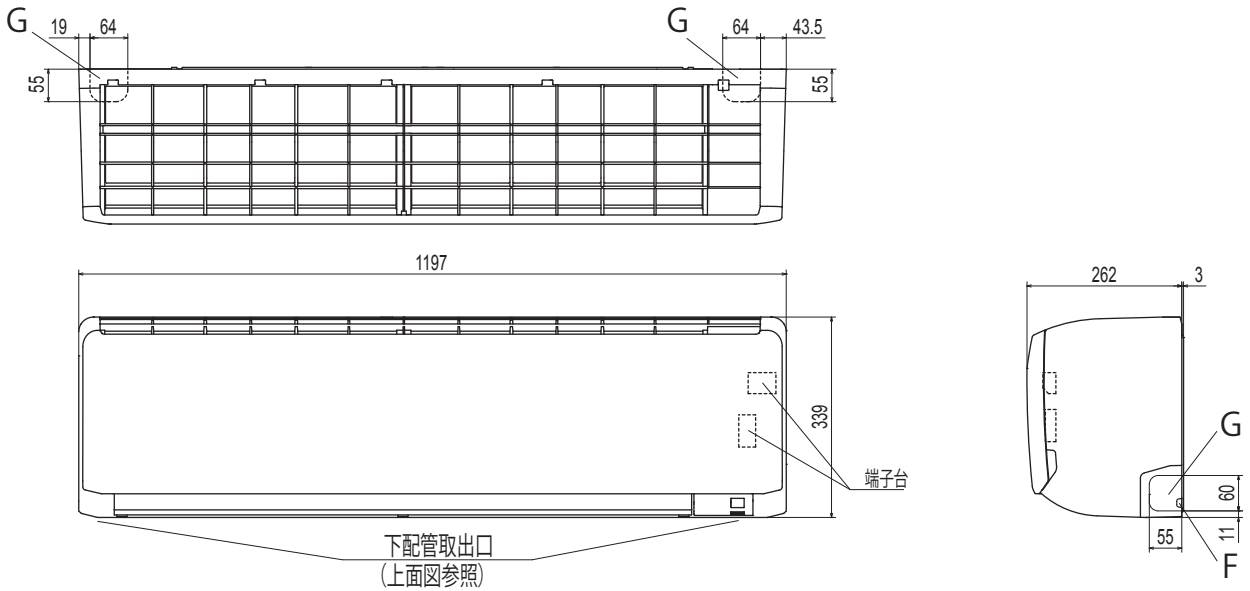
記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（1／2"）（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（1／4"）（フレア）
C	配管右後方抜壁穴	（φ65）
D	配管左後方抜壁穴	（φ65）
E	ドレンホース	VP16
F	配管取出口（左右）	

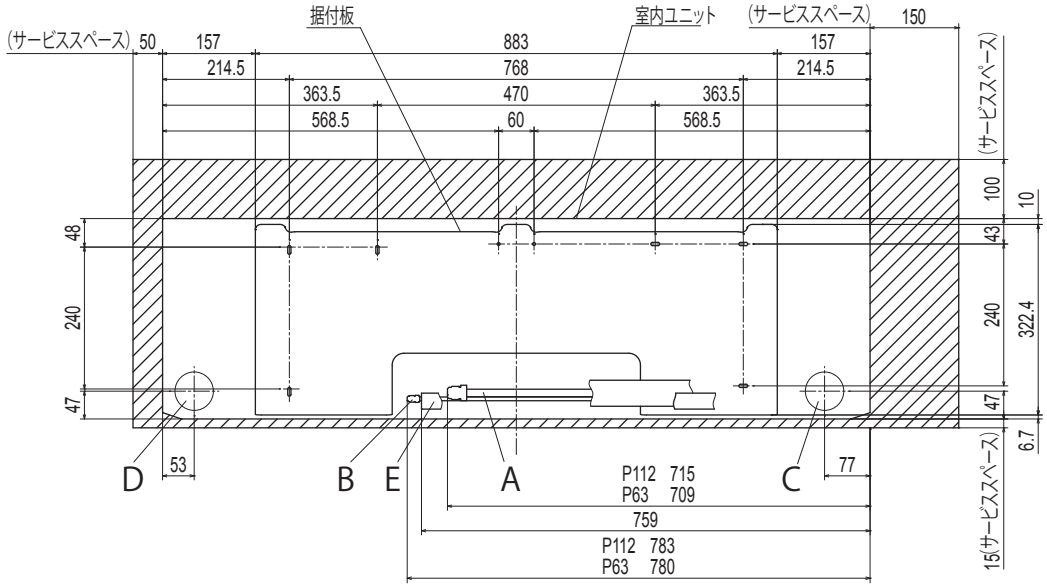
注　装置銘板はパネル右面に付いています。

PHA001Z150 B

FDKZP636S，1126S

（単位：mm）





正面から見た据付位置図および据付スペース

● 記号説明

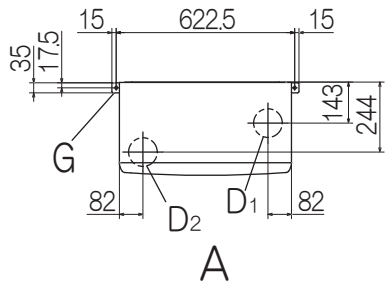
記号	内　容		
	機種	P63	P112
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（1／2"）（フレア）	φ15.88（5／8"）（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（1／4"）（フレア）	φ9.52（3／8"）（フレア）
C	配管右後方抜壁穴	（φ65）	
D	配管左後方抜壁穴	（φ65）	
E	ドレンホース	VP16	
F	電源コード取出口（左右）		
G	配管取出口（左右）		

注　装置銘板は下部パネルに付いています。

PHA001Z151 B

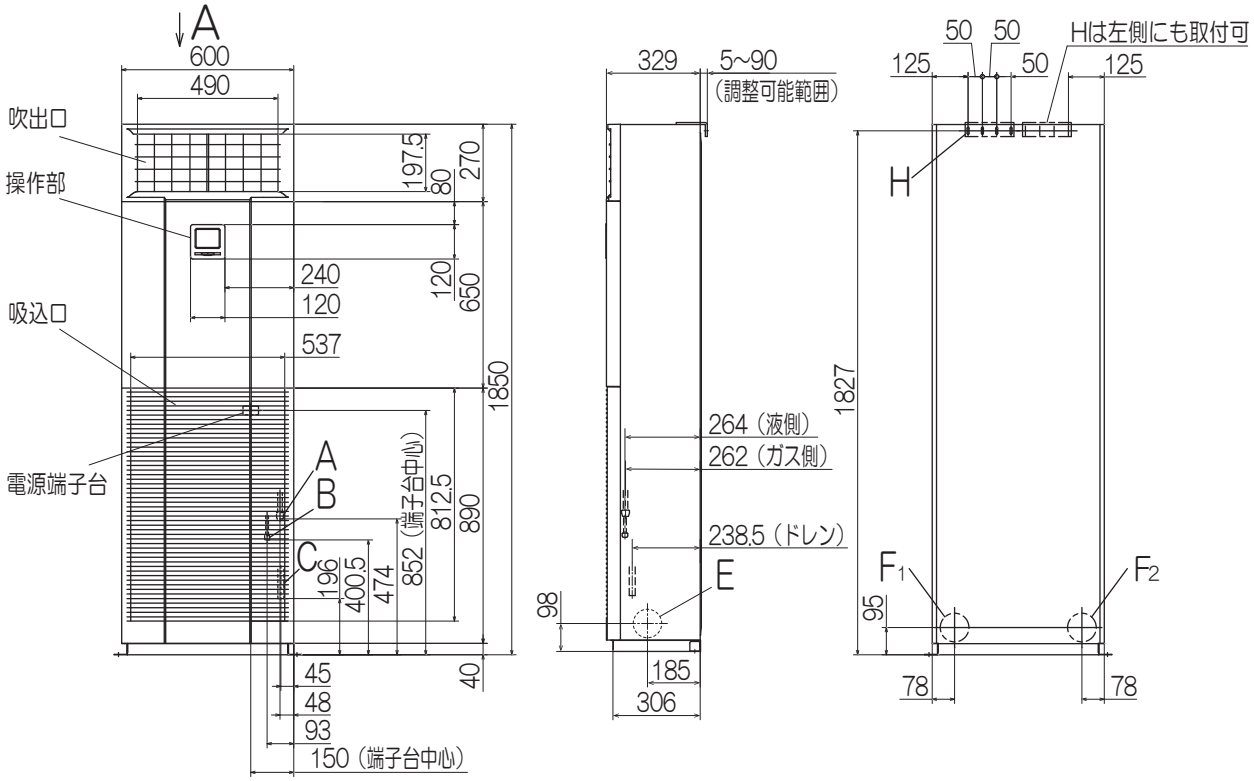
(j) 床置形（FDF）
FDFZP635SB,805SB,1605SB

（単位：mm）

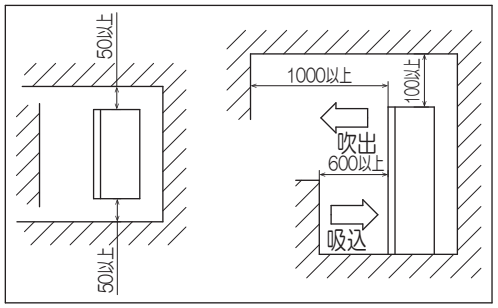


●記号説明

記号	内容		
	機種	P63	P80,160
A	冷媒ガス側配管	φ12.7（フレア）	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管	φ6.35（フレア）	φ9.52（フレア）
C	ドレン配管接続口	VP20	
$D_{1,2}$	下抜き用穴	φ100（樹脂キャップ有）	
E	横抜き穴兼新鮮空気取入口（左右共）	φ100ノックアウト	
$F_{1,2}$	後抜き用穴	φ100ノックアウト	
G	床面固定用金具	M8用 2か所	
H	転倒防止金具	4-7×25（長穴）	



据付スペース



注（1）装置銘板は吸込口グリルを開けて、左側の側板下部に貼付してあります。

（2）P63 ユニットをツインに使用する場合は，分岐管セットに付属している異径継手を用いて分岐配管（分岐部～室内ユニット）の液管サイズを φ 9.52 としてください。

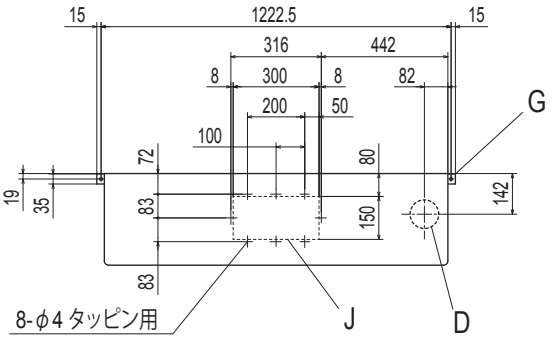
PGA000Z833 A

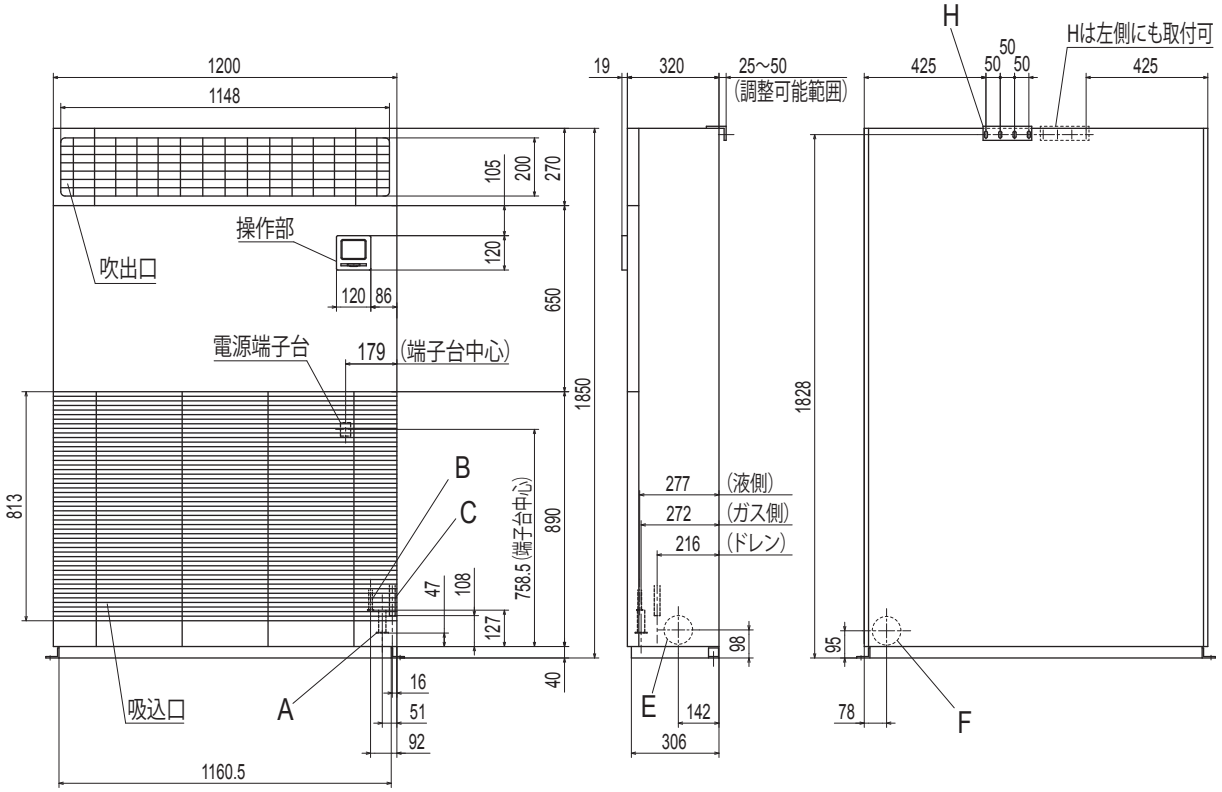
FDFZP2245,2805

●記号説明

記号	内容		
	機種	P224	P280
A	冷媒ガス側配管	φ25.4（ろう付）	
B	冷媒液側配管	φ9.52（ろう付）	φ12.7（ろう付）
C	ドレン配管接続口	VP20	
D	下抜き用穴	φ100（樹脂キャップ有）	
E	横抜き用穴兼新鮮空気取入口（左右共）	φ100ノックアウト穴	
F	後抜き用穴	φ100ノックアウト穴	
G	床面固定用金具	M8用 2か所	
H	転倒防止金具	4-7 × 25（長穴）	
J	ダクト接続口	ノックアウト穴	

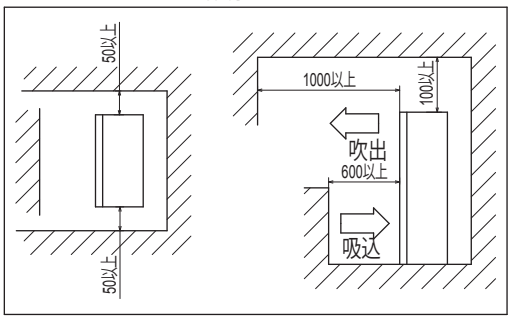
（単位：mm）





注.装置銘板はファン吸込口の
下部に貼付してあります。
吸込グリルを開けて
ご確認ください。

据付スペース

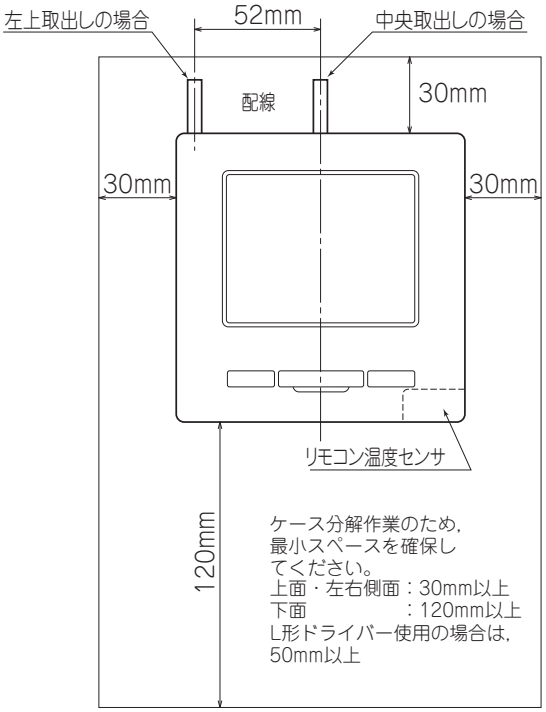


PGA000Z861

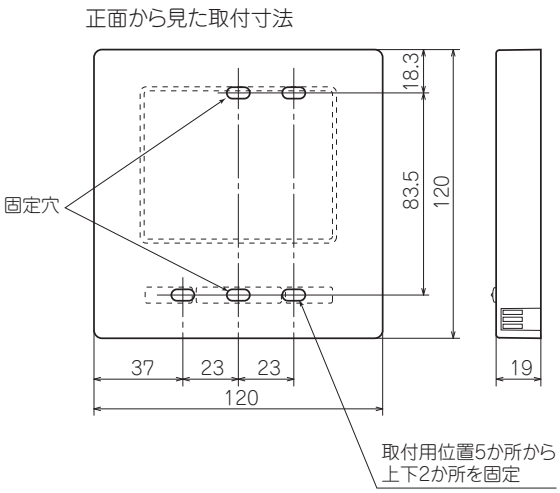
(2) リモートコントローラ
(a) ワイヤードリモコン（別売品）（FDF のみ専用リモコン装着）
(i) RC-DX3D

（単位：mm）

設置スペース



リモコン取付寸法



リモコンコードを延長する場合の注意　最大総延長600m

●リモコンコードは0.3mm^2×2心です。

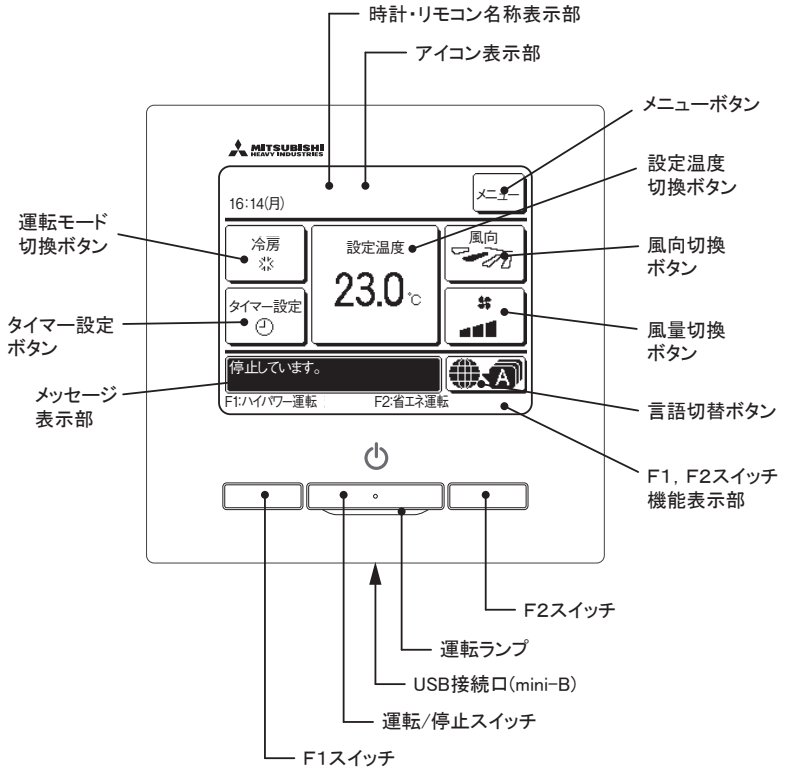
延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は，下記サイズに変更してください。ただし，リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm^{2}以下とし，リモコン外部の近傍で配線接続により，サイズを変更してください。配線接続する際は，水分等が浸入しないような処置を行ってください。また，配線の接続は，接触不良のないように確実に行ってください。

100～200m以内…0.50mm^2×2心
～300m以内…0.75mm^2×2心
～400m以内…1.25mm^2×2心
～600m以内…2.00mm^2×2心

PJZ000Z378

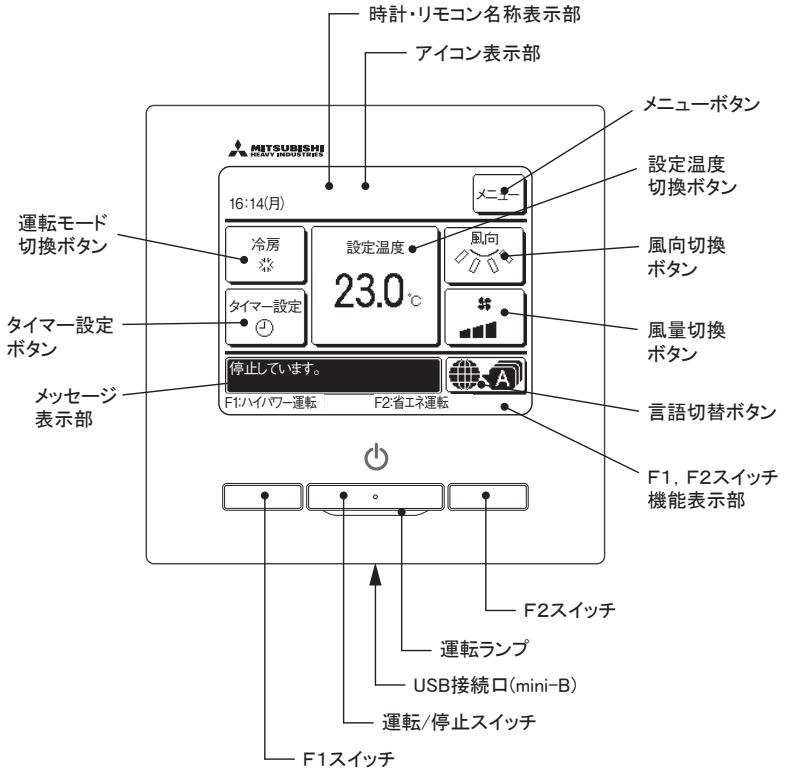
●操作部（フルドット表示，タッチパネル操作）

1) RC-DX3D



PJZ000Z378

2) FDF 専用リモコン

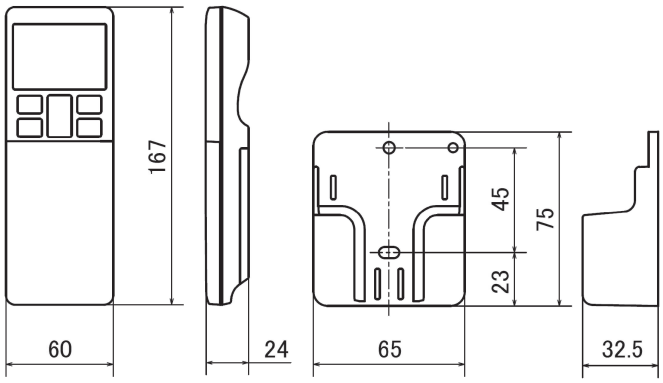


＊図中、液晶表示部は説明のため全部同時に表示してありますが実際には該当部分にのみ表示されます。

(b) ワイヤレスリモコン（別売品）：RCN-D5, D5K

(i) リモコン

（単位：mm）

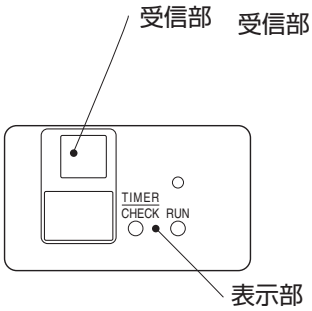


リモコン　　リモコン用ホルダー

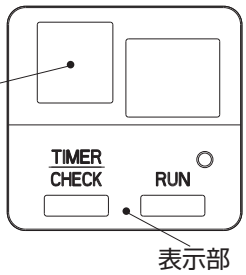
PJZ000Z324 A

(ii) 本体受信・表示部

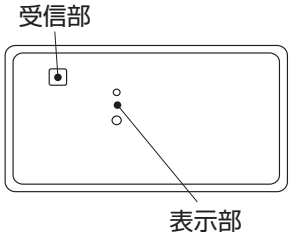
■天井埋込形（FDT）
■天井埋込形（FDTS）
■天吊形（FDE）



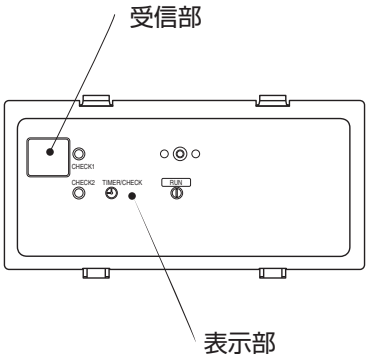
■天井埋込形小容量（FDTC）



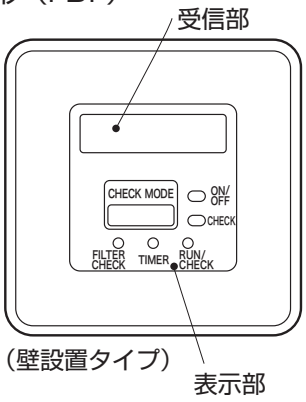
■天吊形（FDEP56, 63, 80, 160）



■天井埋込形（FDTW）

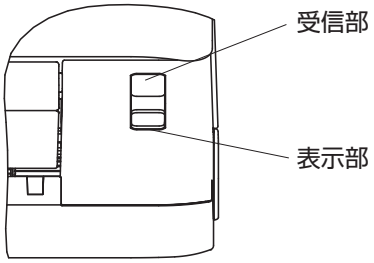


■天埋カセテリア（FDR）
■高静圧ダクト形（FDU）
■天吊形（FDEP224, 280）
■天吊耐油形（FDES）
■床置形（FDF）

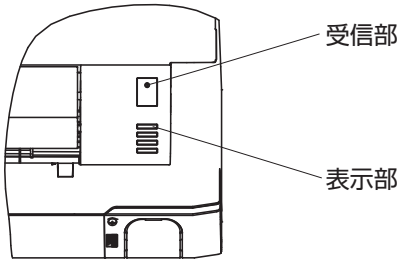


（壁設置タイプ）

■壁掛形（FDK）



P56

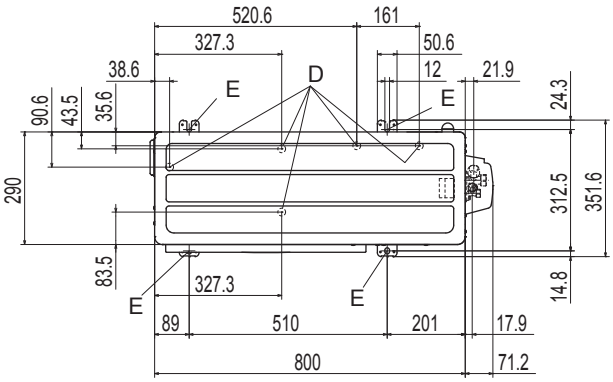


P63,112

(3) 室外ユニット

FDCZP406H，456H，506H，566H，636H，406HK，456HK，506HK，566HK，636HK
FDCVP406H，456H，506H，566H，636H，406HK，456HK，506HK，566HK，636HK

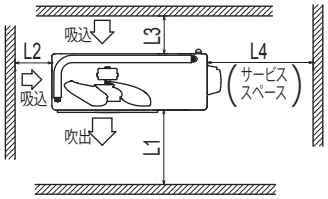
（単位：mm）



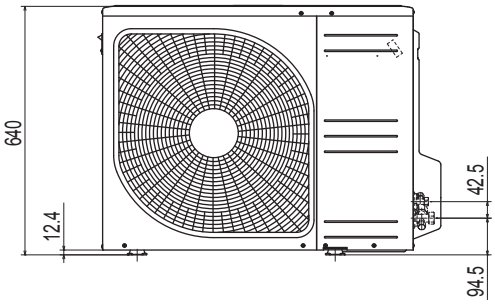
● 記号説明

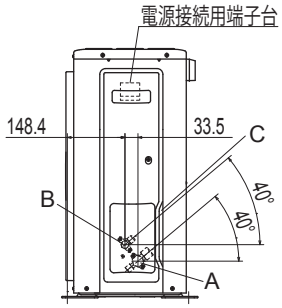
記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管接続口	φ12.7(フレア)
B	冷媒液側配管接続口	φ6.35(フレア)
C	配管配線取出口	
D	ドレン排水用穴	φ20　5か所
E	アンカーボルト用穴	M10用4か所

注(1) 四面障壁は不可です。
(2) ユニットは必ずアンカーボルトで固定してください。
アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
(3) 強風が吹きつける場合は吹出口と風向を直角にしてください。
(4) ユニット上部には,1m以上のスペースをとってください。
(5) 吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
(6) 装置銘板は正面右下についています。



据付最小スペース





		据付例			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
寸法	L1	開放	280	280	180
	L2	100	75	開放	開放
	L3	100	80	80	80
	L4	250	開放	250	開放

PCA002Z090

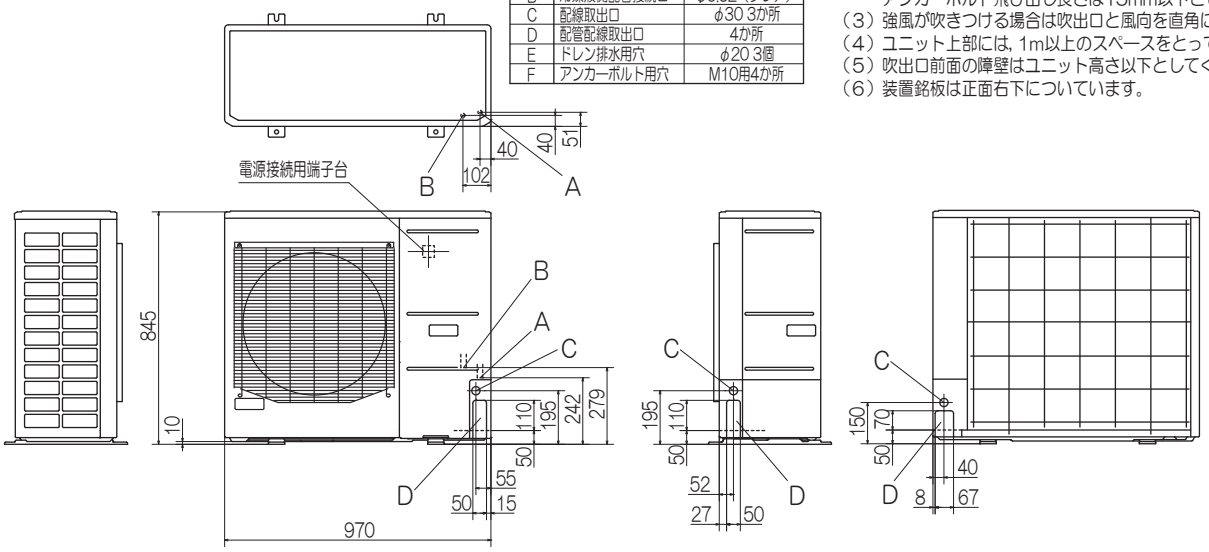
FDCZP806H，806HK

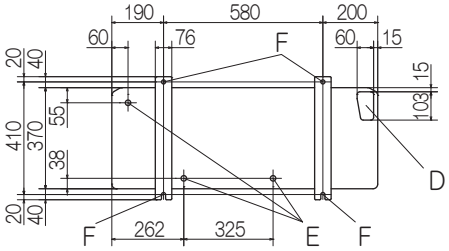
（単位：mm）

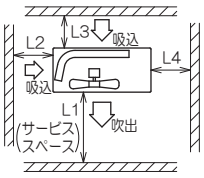
●記号説明

記号	内　容	
A	冷媒ガス側配管接続口	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管接続口	φ9.52（フレア）
C	配線取出口	φ30 3か所
D	配管配線取出口	4か所
E	ドレン排水用穴	φ20 3個
F	アンカーボルト用穴	M10用4か所

注（1）四面障壁は不可です。
（2）ユニットは必ずアンカーボルトで固定してください。
アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
（3）強風が吹きつける場合は吹出口と風向を直角にしてください。
（4）ユニット上部には，1m以上のスペースをとってください。
（5）吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
（6）装置銘板は正面右下についています。







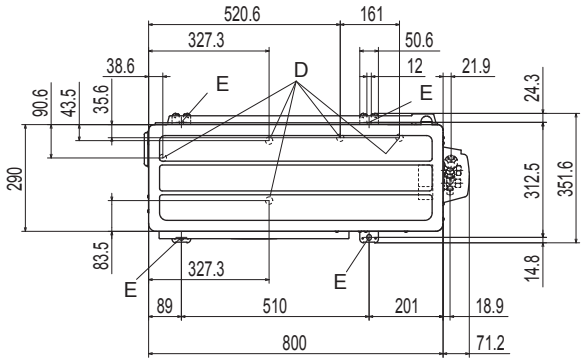
据付最小スペース

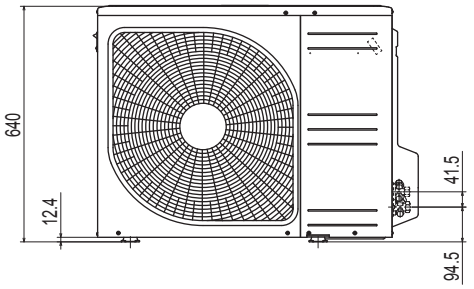
		据付例		
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
寸法	L1	開放	開放	500
	L2	300	5	開放
	L3	150	300	150
	L4	250	250	250

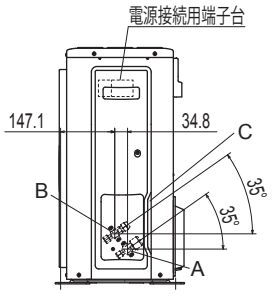
PCA002Z082

FDCVP806H, 806HK

（単位：mm）



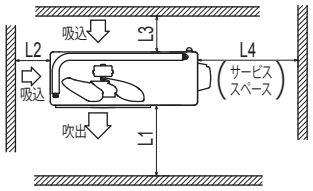




●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管接続口	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管接続口	φ9.52（フレア）
C	配管配線取出口	
D	ドレン排水用穴	φ20 5か所
E	アンカーボルト用穴	M10用4か所

注(1) 四面障壁は不可です。
(2) ユニットは必ずアンカーボルトで固定してください。
アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
(3) 強風が吹きつける場合は吹出口と風向を直角にしてください。
(4) ユニット上部には,1m以上のスペースをとってください。
(5) 吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
(6) 装置銘板は正面右下についています。



据付最小スペース

		据付例			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
寸法	L1	開放	280	280	180
	L2	100	75	開放	開放
	L3	100	80	80	80
	L4	250	開放	250	開放

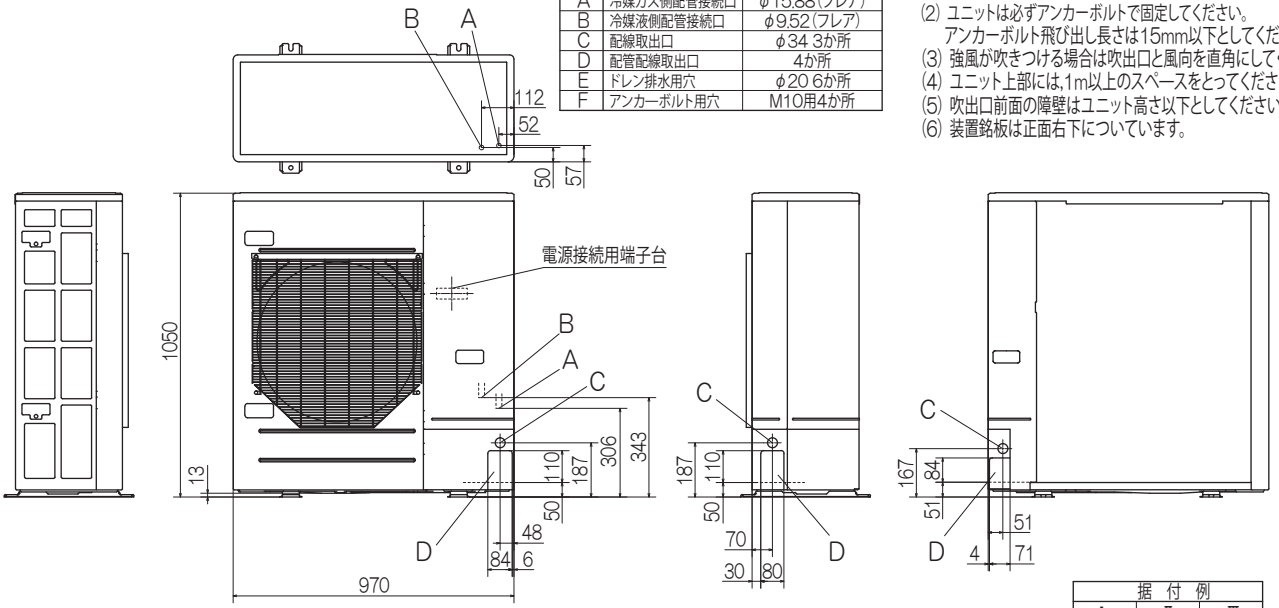
PCA002Z095

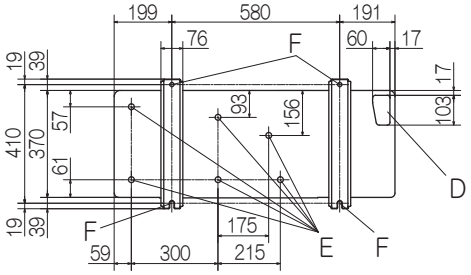
FDCKP806H, 1126H

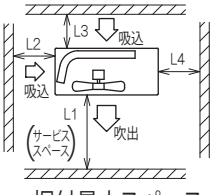
●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管接続口	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管接続口	φ9.52（フレア）
C	配線取出口	φ34 3か所
D	配管配線取出口	4か所
E	ドレン排水用穴	φ20 6か所
F	アンカーボルト用穴	M10用4か所

注(1) 四面障壁は不可です。
(2) ユニットは必ずアンカーボルトで固定してください。
アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
(3) 強風が吹きつける場合は吹出口と風向を直角にしてください。
(4) ユニット上部には,1m以上のスペースをとってください。
(5) 吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
(6) 装置銘板は正面右下についています。







据付最小スペース

		据付例		
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
寸法	L1	開放	開放	500
	L2	300	5	開放
	L3	150	300	150
	L4	250	250	250

PCA002Z109

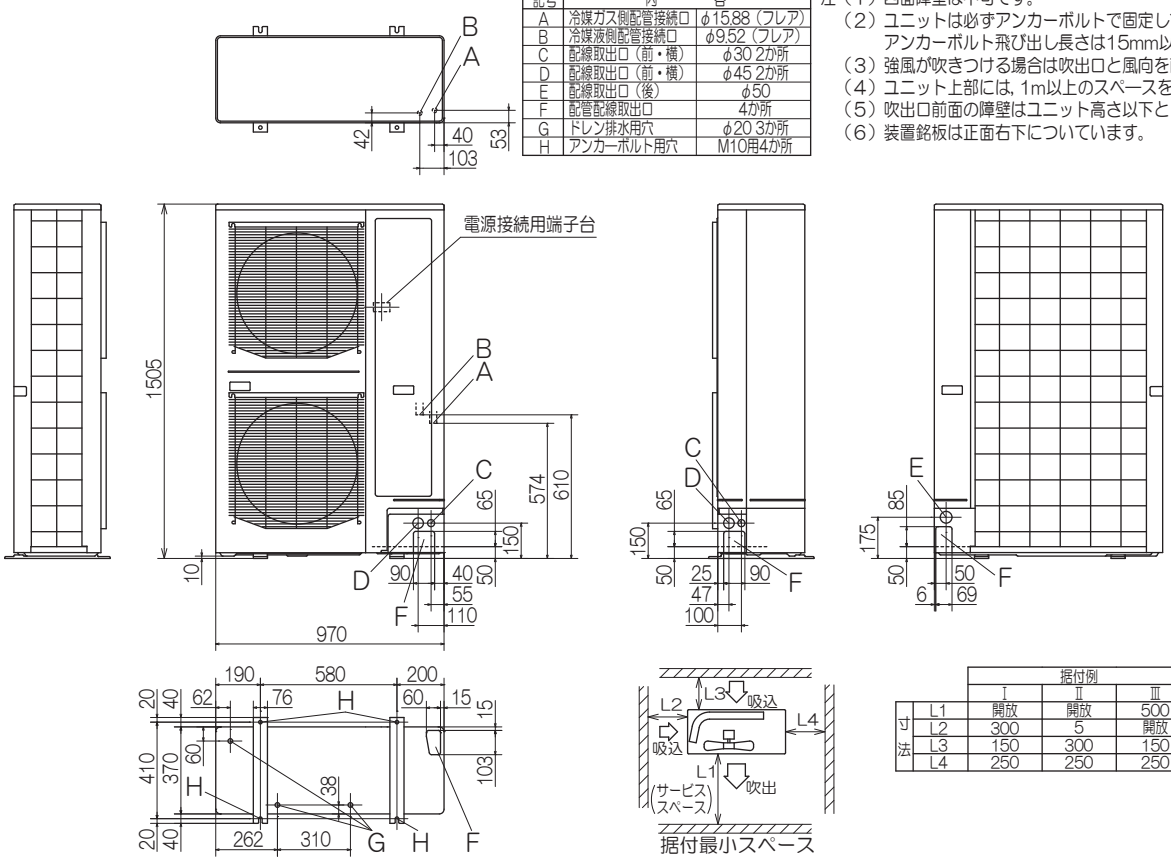
FDCZP1126H, 1406H, 1606H

（単位：mm）

●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管接続口	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管接続口	φ9.52（フレア）
C	配線取出口（前・横）	φ30 2か所
D	配線取出口（前・横）	φ45 2か所
E	配線取出口（後）	φ50
F	配管配線取出口	4か所
G	ドレン排水用穴	φ20 3か所
H	アンカーボルト用穴	M10用4か所

注（1）四面障壁は不可です。
（2）ユニットは必ずアンカーボルトで固定してください。
アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
（3）強風が吹きつける場合は吹出口と風向を直角にしてください。
（4）ユニット上部には，1m以上のスペースをとってください。
（5）吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
（6）装置銘板は正面右下についています。



寸法	据付例 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
L1	開放	開放	500
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	250	250	250

PCA002Z088

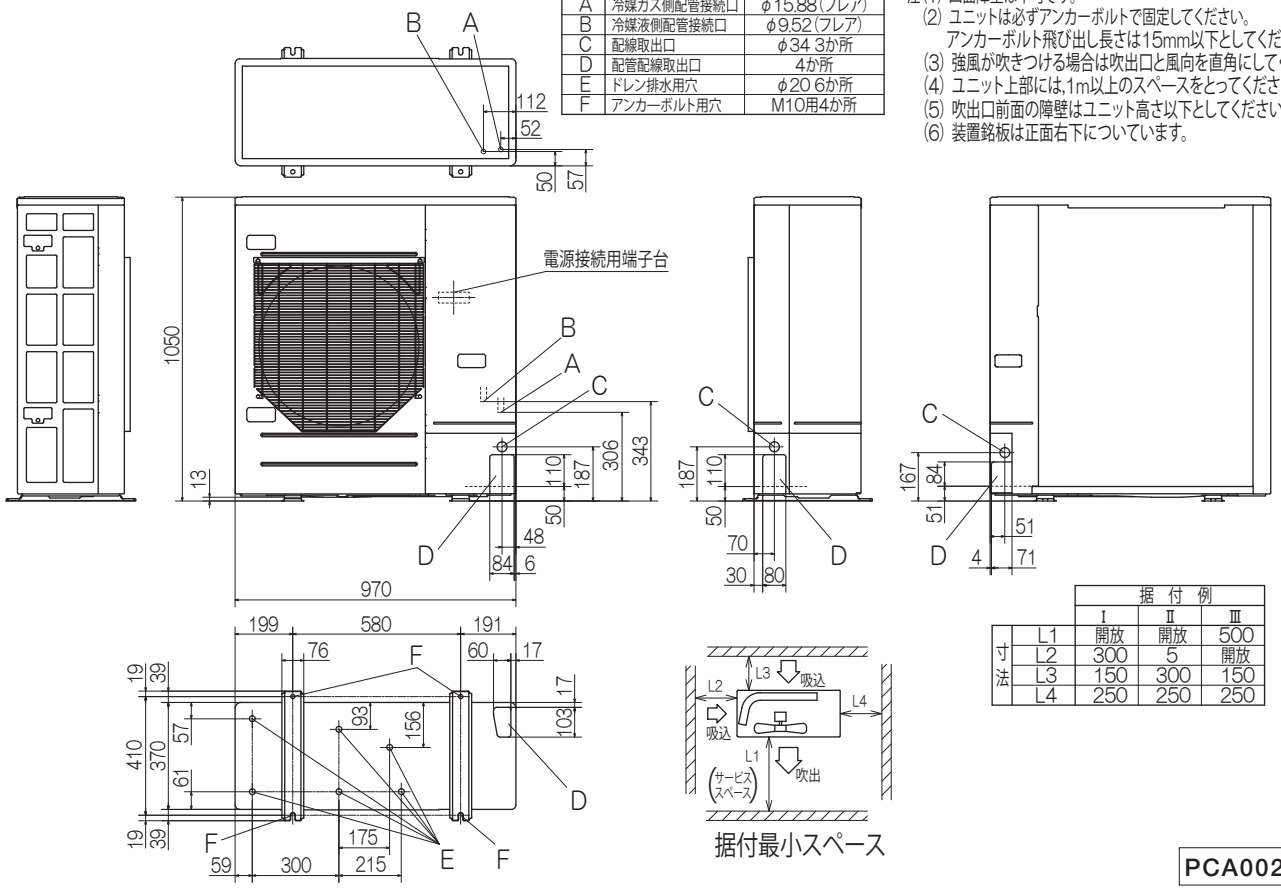
FDCVP1126H, 1406H, 1606H

（単位：mm）

●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管接続口	φ15.88（フレア）
B	冷媒液側配管接続口	φ9.52（フレア）
C	配線取出口	φ34 3か所
D	配管配線取出口	4か所
E	ドレン排水用穴	φ20 6か所
F	アンカーボルト用穴	M10用4か所

注(1) 四面障壁は不可です。
(2) ユニットは必ずアンカーボルトで固定してください。
アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
(3) 強風が吹きつける場合は吹出口と風向を直角にしてください。
(4) ユニット上部には,1m以上のスペースをとってください。
(5) 吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
(6) 装置銘板は正面右下についています。

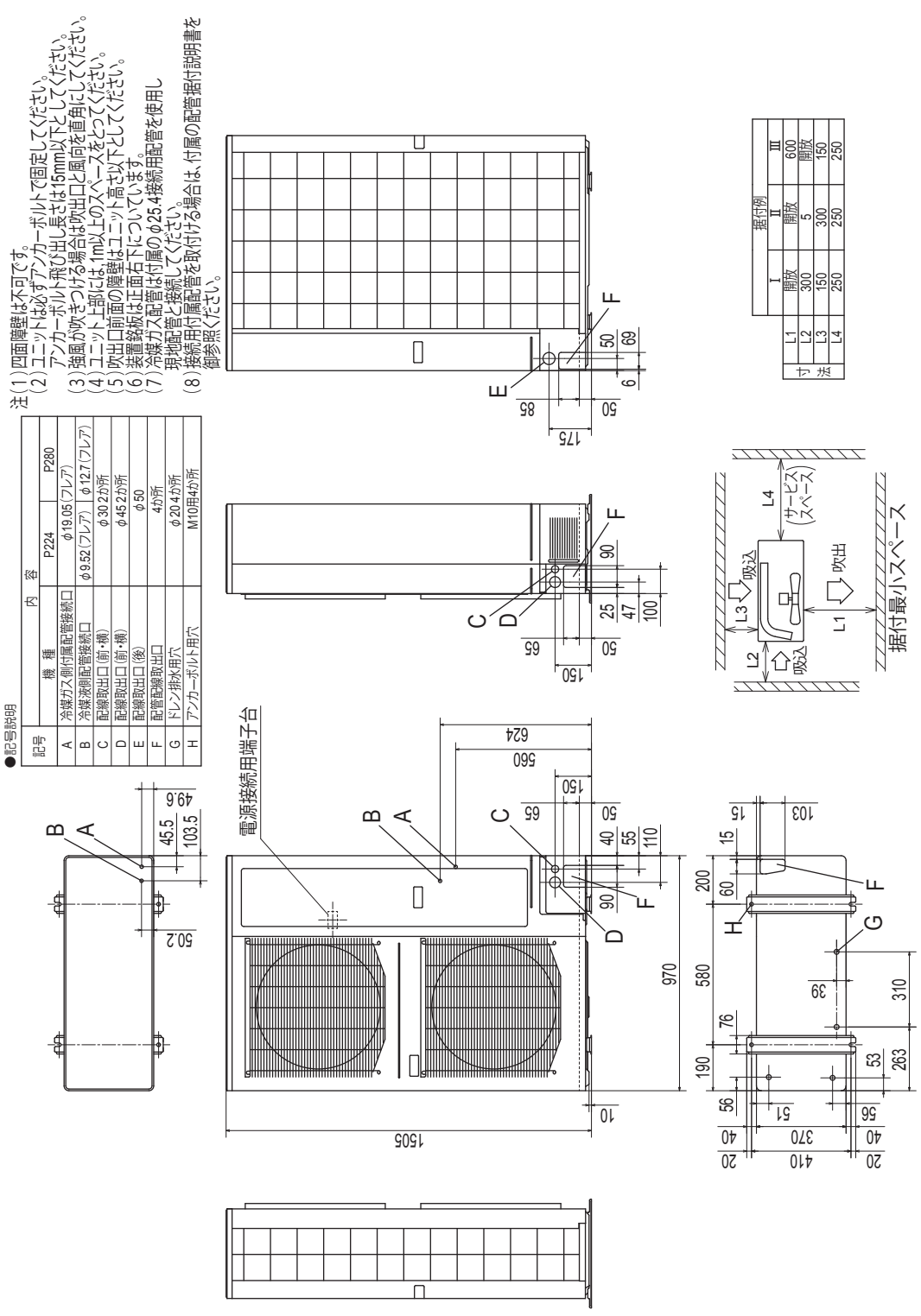


寸法	据付例 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
L1	開放	開放	500
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	250	250	250

PCA002Z085

FDCZP2246H, 2806H
FDCVP2246H, 2806H

（単位：mm）



PCB004Z891

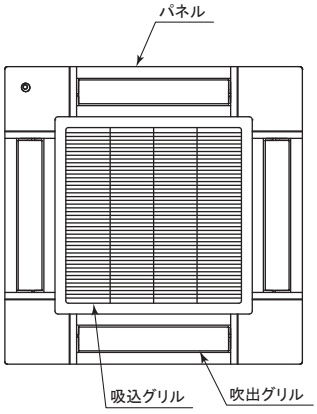
1.4 塗 装 色

(1) 室内ユニット

(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

(i) パネル

（商品ご注文時パネル形式を指定してください。）



(ii) パネル形式（オートスイング付）

区　分	パネル形式	降下長	パネル色
標準パネル	T-PSA-6AW	—	ファインスノー（マンセル8.0Y9.3/0.1近似）
	T-PSA-6AB	—	シャドウブラック（マンセル7.2BG2.9/0.6近似）
	T-PSA-6AC	—	ウッドベージュ（マンセル6.8Y7.9/3.9近似）
エアフレックスパネル	T-PSAE-6AW	—	ファインスノー（マンセル8.0Y9.3/0.1近似）
	T-PSAE-6AB	—	シャドウブラック（マンセル7.2BG2.9/0.6近似）
ラクリーナパネル	T-PSCL-6AW	～ 4.0m	ファインスノー（マンセル8.0Y9.3/0.1近似）
	T-PSCL-6AB	～ 4.0m	シャドウブラック（マンセル7.2BG2.9/0.6近似）
お掃除ラクリーナパネル	T-PSCLS-6AW	～ 4.0m	ファインスノー（マンセル8.0Y9.3/0.1近似）

(iii) ワイヤレスキット，ワイヤレス受信部（標準・エアフレックス・ラクリーナパネル・お掃除ラクリーナパネル共通）

形　式	塗 装 色
LA-T-5BW1	ファインスノー（マンセル8.0Y9.3/0.1近似）
LA-T-5SB1	シャドウブラック（マンセル7.2BG2.9/0.6近似）

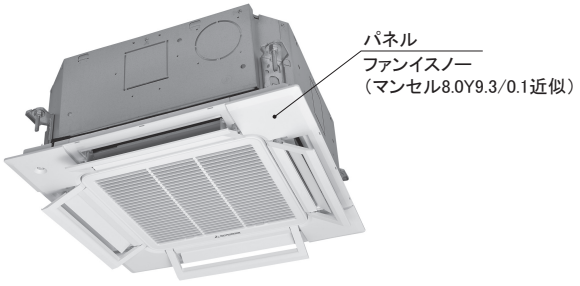
注(1) ワイヤレスキットおよびワイヤレス受信部の取付方法は，1221ページをご覧ください。
(2) ワイヤレス受信部は取付位置に制限があり取付位置によっては別売のハーネスセット（RCN-T-HA6G）が必要です。

(iv) パネル外形寸法

区　分	外形寸法（高さ×幅×奥行）[mm]	
	製　品	梱　包
標準パネル	50(35)×950×950	75×991×981
エアフレックスパネル	50(35)×950×950	75×991×981
ラクリーナパネル	90(35)×950×950	130×1025×1025
お掃除ラクリーナパネル	195(35)×950×950	243×1024×1002

（）内寸法は天井から露出する部分の寸法を示します。

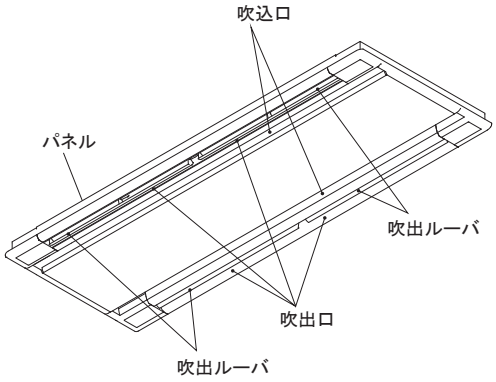
(b) 天井埋込形小容量 4 方向吹出し（FDTC）



(c) 天井埋込形 2 方向吹出し（FDTW）

(i) パネル

（商品ご注文時パネル形式を指定してください。）



(ii) パネル形式（オートスイング付）

区　分	パネル形式	パネル色	形　式
標準パネル	TW-PSA-27W	プラスターホワイト（マンセル6.8Y8.9/0.2近似）	FDTWZP566S FDTWZP636S FDTWZP806S
	TW-PSA-47W		FDTWZP1406S FDTWZP1606S
ラクリーナパネル	TW-PSL-27W	プラスターホワイト（マンセル6.8Y8.9/0.2近似）	FDTWZP566S FDTWZP636S FDTWZP806S
	TW-PSL-47W		FDTWZP1406S FDTWZP1606S

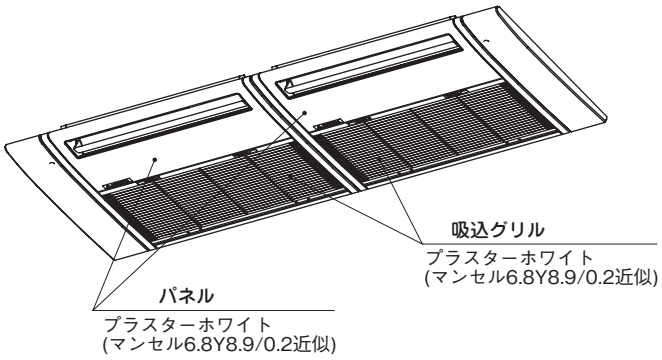
(iii) パネル外形寸法

区　分	パネル形式	外形寸法（高さ×幅×奥行）[mm]	
		製　品	梱　包
標準パネル	TW-PSA-27W	79(20)×1120×680	139×1200×790
	TW-PSA-47W	79(20)×1835×680	139×1914×790
ラクリーナパネル	TW-PSL-27W	79(20)×1120×680	139×1200×790
	TW-PSL-47W	79(20)×1835×680	139×1914×790

( )内寸法は天井から露出する部分の寸法を示します。

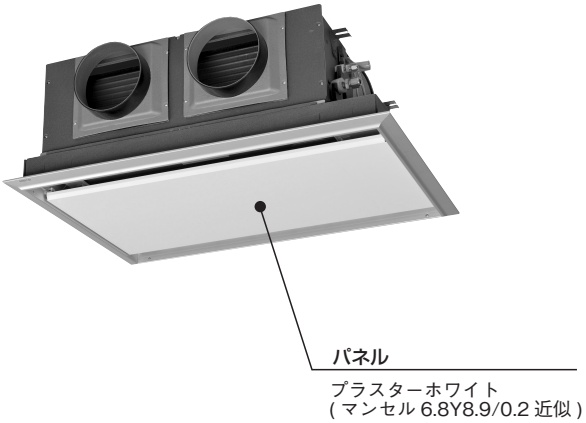
(d) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTS）

(i) パネル

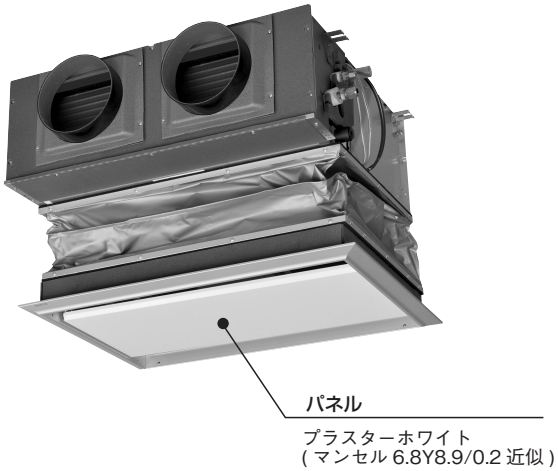


(e) 天埋カセテリア（FDR）

(i) サイレントパネル仕様



(ii) キヤンバスパネル仕様



(iii) 天井リターン仕様……クロメートフリー鋼板

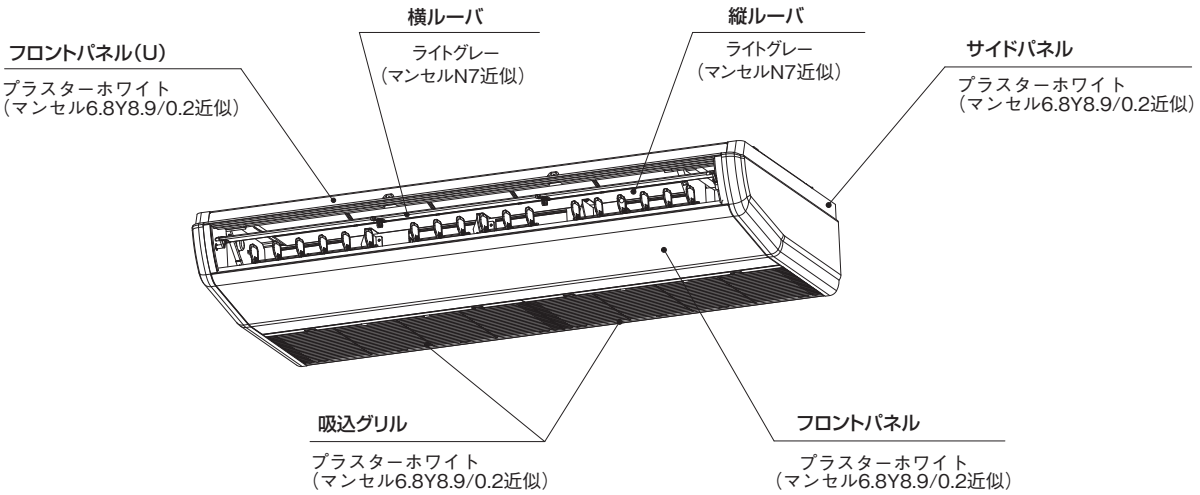
(iv) パネルおよびフィルタキット外形寸法

区　分	パネル形式	外形寸法（高さ×幅×奥行）[mm]	
		製　品	梱　包
サイレントパネル	R-PNS-2AW	95(20)×1040×750	124×1089×827
	R-PNS-3AW	95(20)×1240×750	124×1289×827
	R-PNS-4AW	95(20)×1658×850	124×1707×928
キャンバスパネル	R-PNC-2AW	89+α(20)×864×585	152×916×664
	R-PNC-3AW	89+α(20)×1064×585	152×1116×664
	R-PNC-4AW	89+α(20)×1484×585	152×1536×664
天井リターン フィルタキット	R-FL-2A	38×790×469	70×810×490
	R-FL-3A	38×990×469	70×1010×490
	R-FL-4A	38×1408×469	70×1430×490

注(1) ( )内寸法は天井から露出する部分の寸法を示します。
(2) キャンバスパネルのαはキャンバスダクト分を示します。

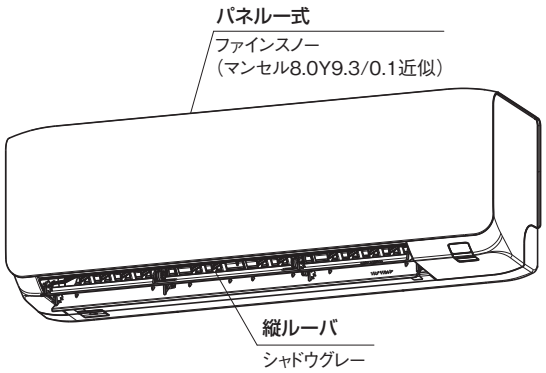
(f) 高静圧ダクト形（FDU)……クロメートフリー鋼板

(g) 天吊形（FDE）



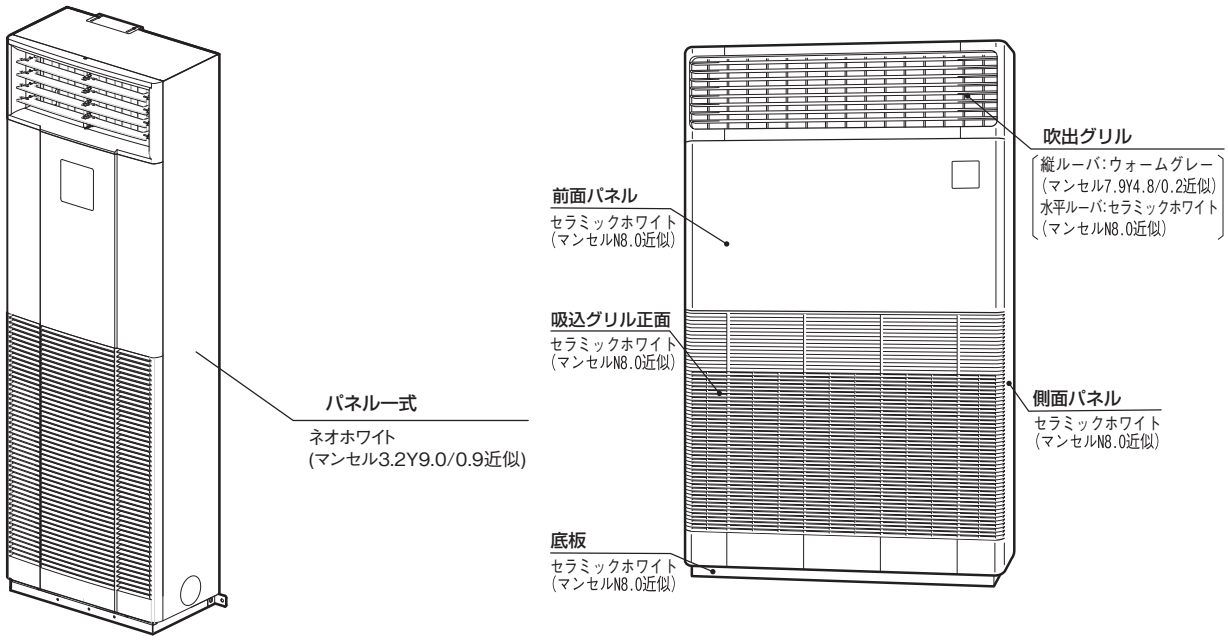
(h) 天吊耐油形（FDES）……ステンレス鋼板

(i) 壁掛形（FDK）



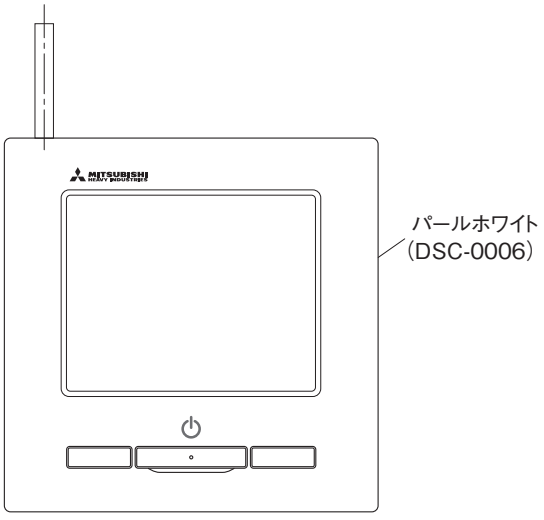
(j) 床置形（FDF）

FDFZP635SB, 805SB, 1605SB　　FDFZP2245, 2805

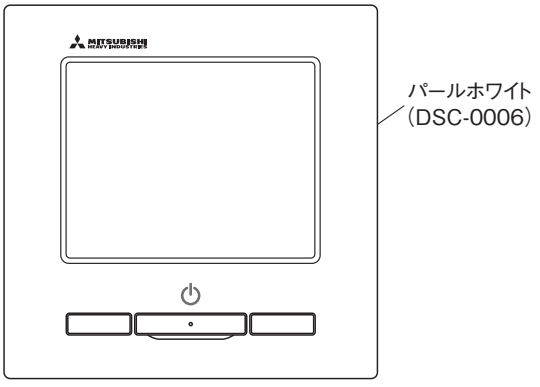


(2) リモートコントローラ

(a) RC-DX3D

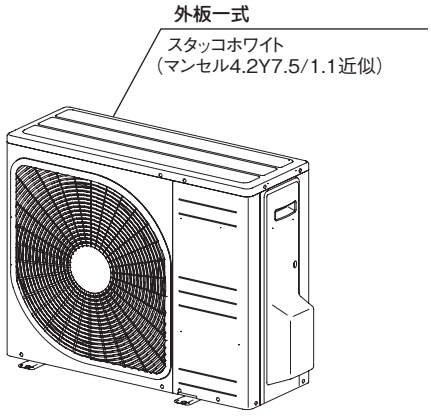


(b) FDF 専用リモコン
〔操作部〕

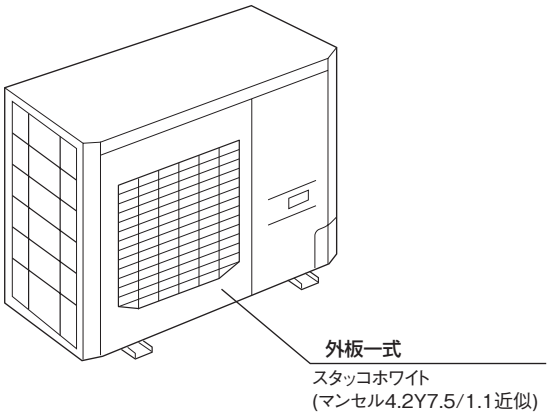


(3) 室外ユニット

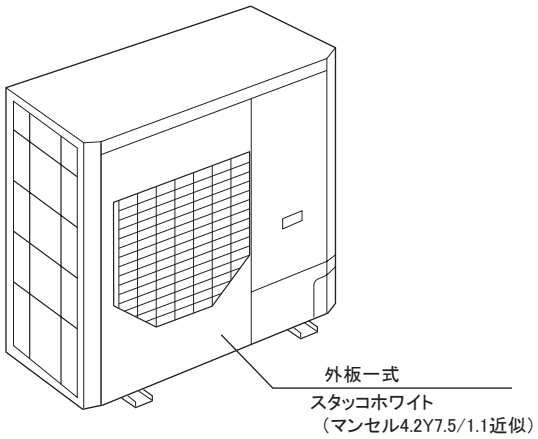
FDCZP406H, 456H, 506H, 566H, 636H, 406HK, 456HK, 506HK, 566HK, 636HK
FDCVP406H, 456H, 506H, 566H, 636H, 406HK, 456HK, 506HK, 566HK, 636HK
FDCVP806H, 806HK



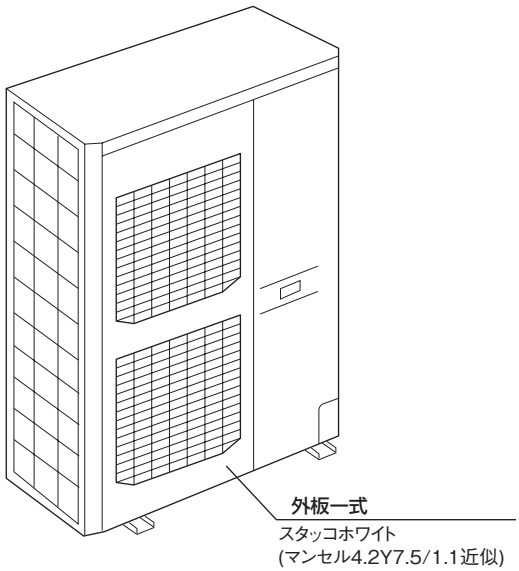
FDCZP806H, 806HK



FDCVP1126H, 1406H, 1606H
FDCKP806H, 1126H



FDCZP1126H, 1406H, 1606H
FDCZP2246H, 2806H
FDCVP2246H, 2806H



1.5 能力特性

仕様の能力値はJIS B 8616条件による値です。実際の能力は下式により求めてください。
（なお，暖房能力は，補助ヒータを含まないヒートポンプのみの値です。）

実際のユニット能力	＝ 定格能力 ×	温度条件による補正係数	×	配管相当長による補正係数	×	室内·外高低差による補正係数	×	風量変更時の補正係数

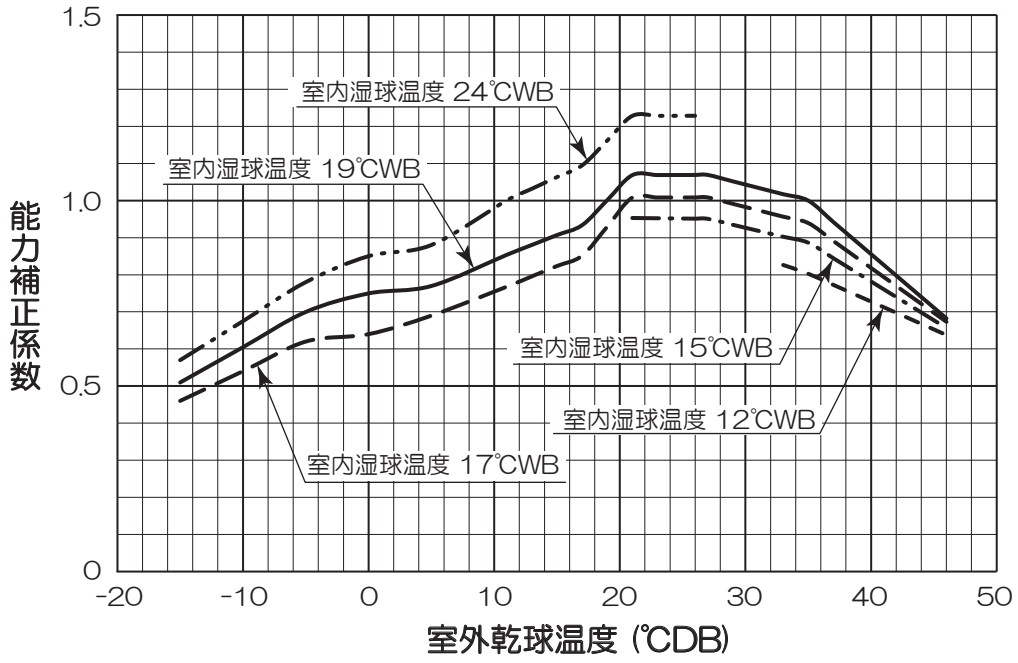
ご注意：外気温度が−5℃以下で冷房運転する場合は，できるだけ室外ユニットは自然風の影響を受けない設置状態としてください。風が当たると，低圧圧力の低下により圧縮機の停止頻度が多くなり，能力が更に低下しユニットの故障原因となります。

(1) エクシードハイパーシリーズ

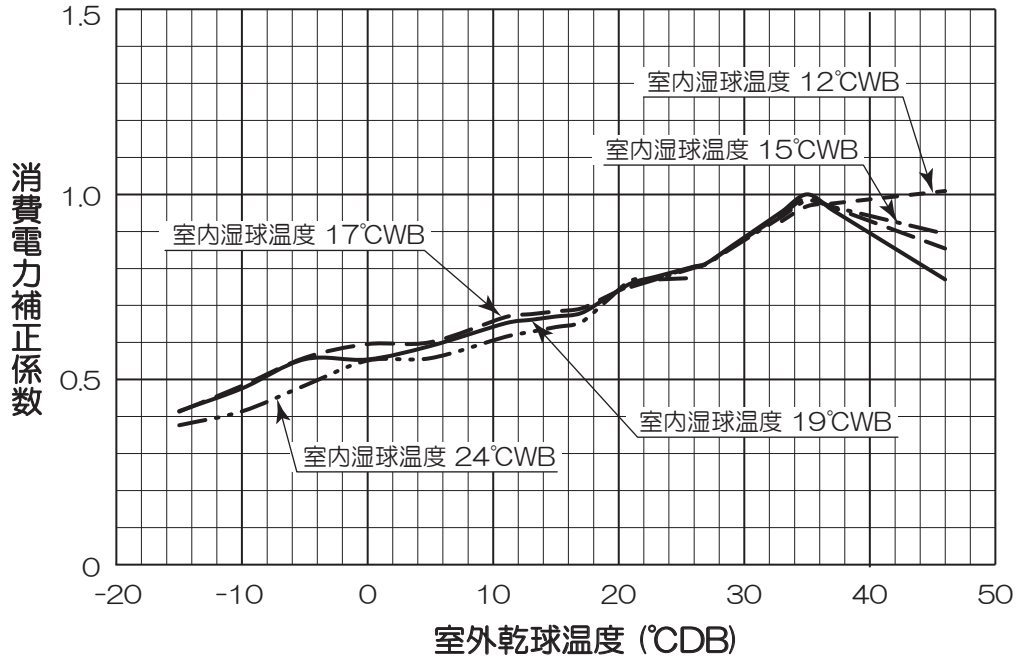
(a) P406 ～ P566

(i) 冷房

a) 室内・外温度条件による能力補正



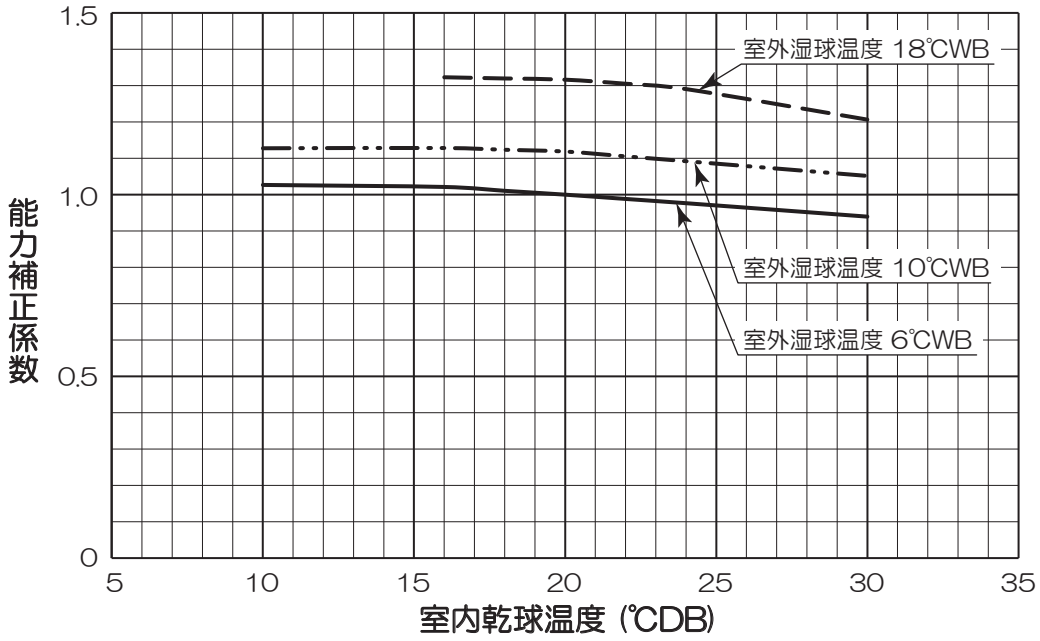
b) 室内・外温度条件による消費電力補正



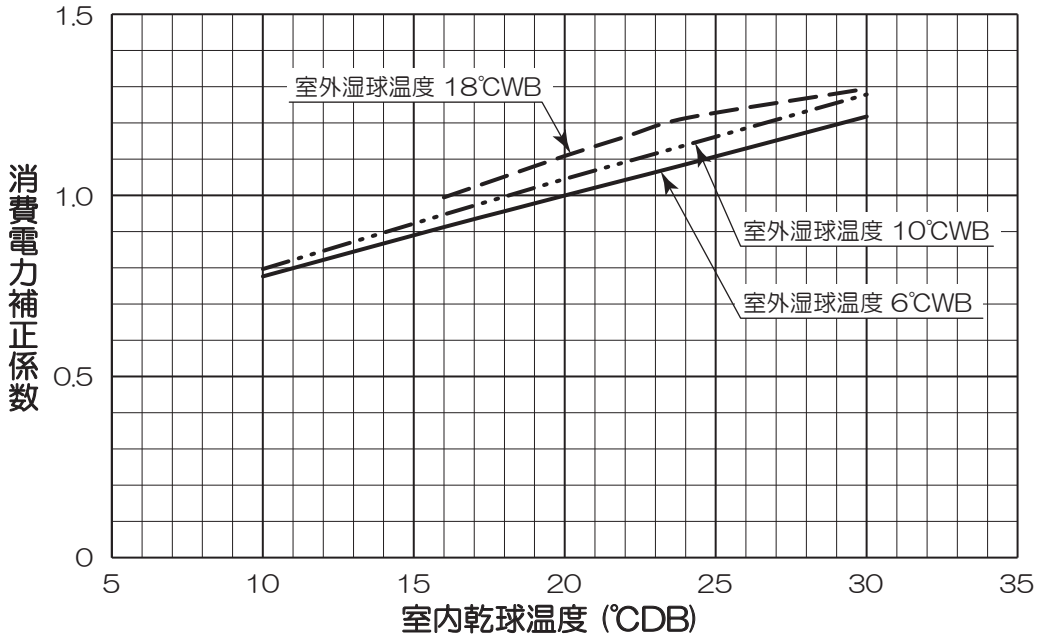
(ii) 暖房

1) 定格暖房標準条件の定格暖房能力を基準

a) 室内・外温度条件による能力補正

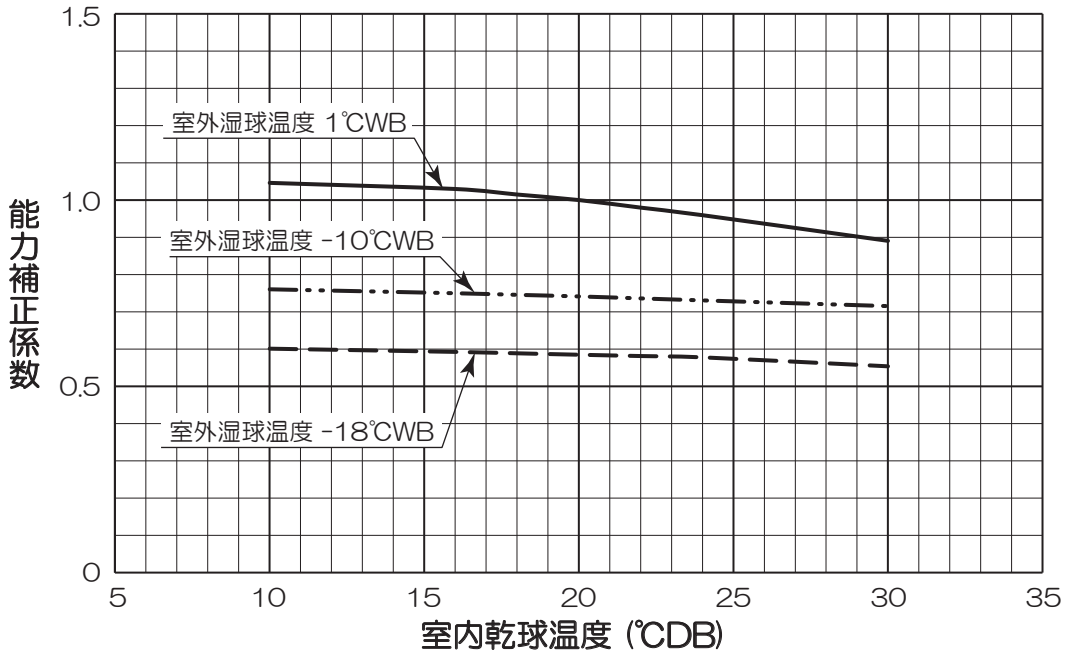


b) 室内・外温度条件による消費電力補正

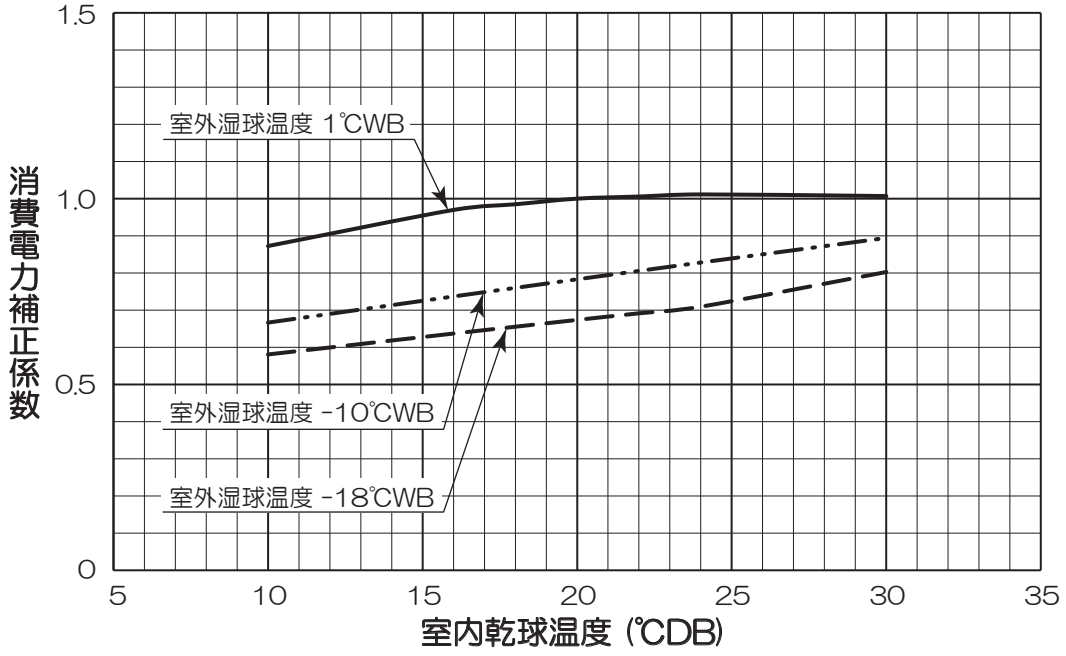


2） 最大暖房低温条件の最大暖房低温能力を基準

a） 室内・外温度条件による能力補正



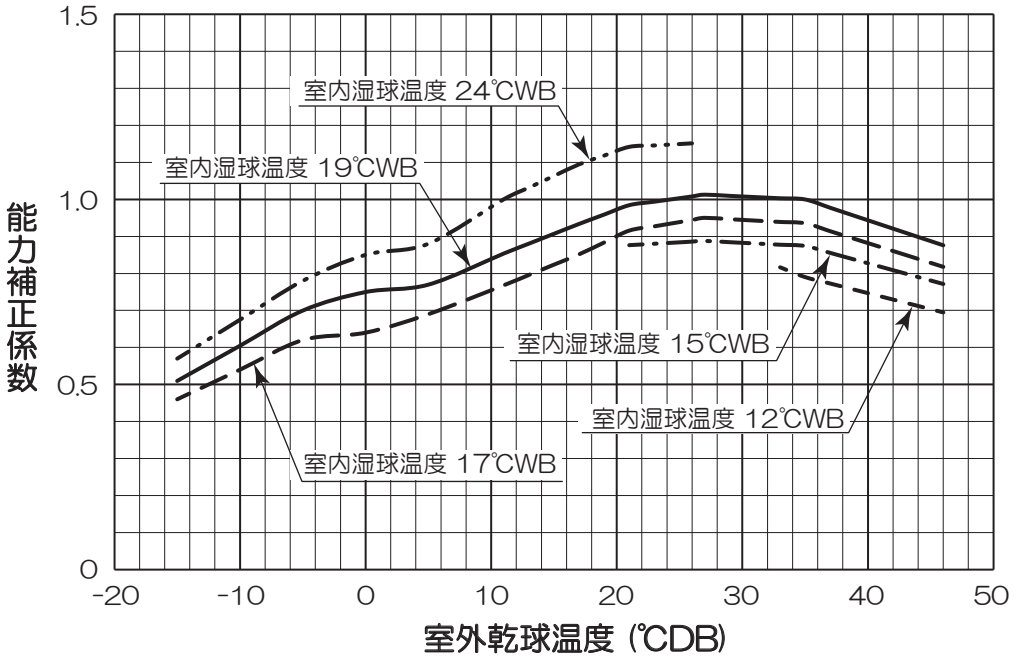
b） 室内・外温度条件による消費電力補正



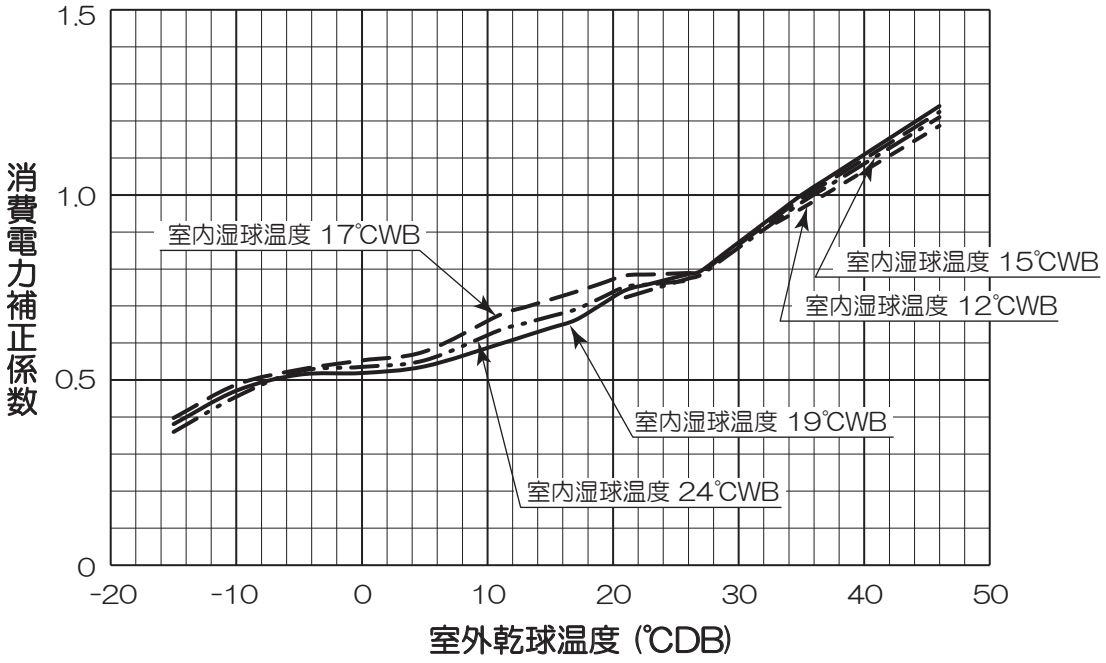
(b) P636

(i) 冷房

a) 室内・外温度条件による能力補正



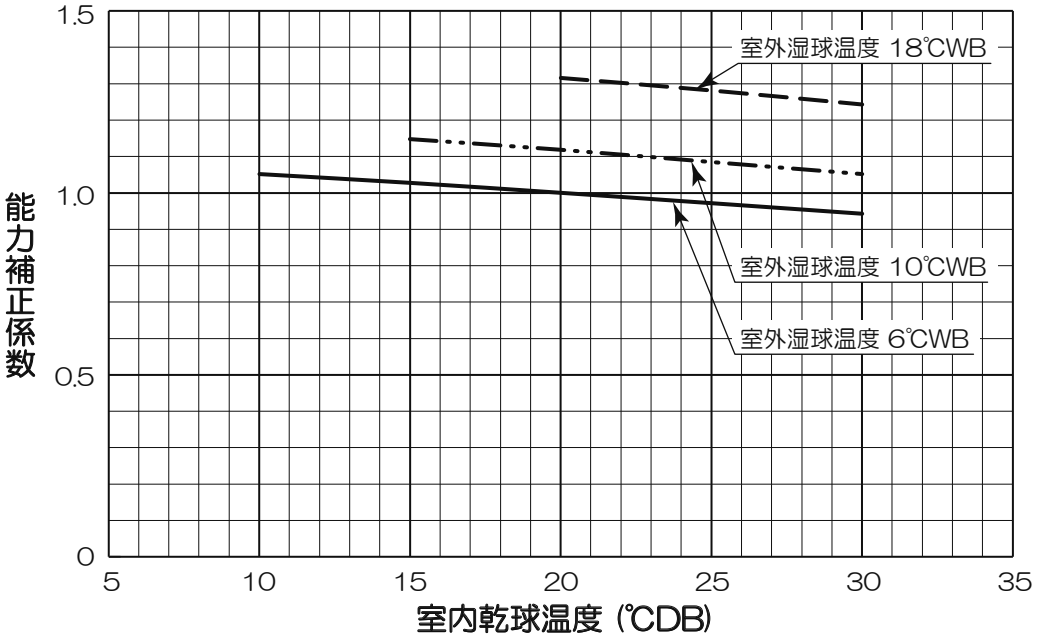
b) 室内・外温度条件による消費電力補正



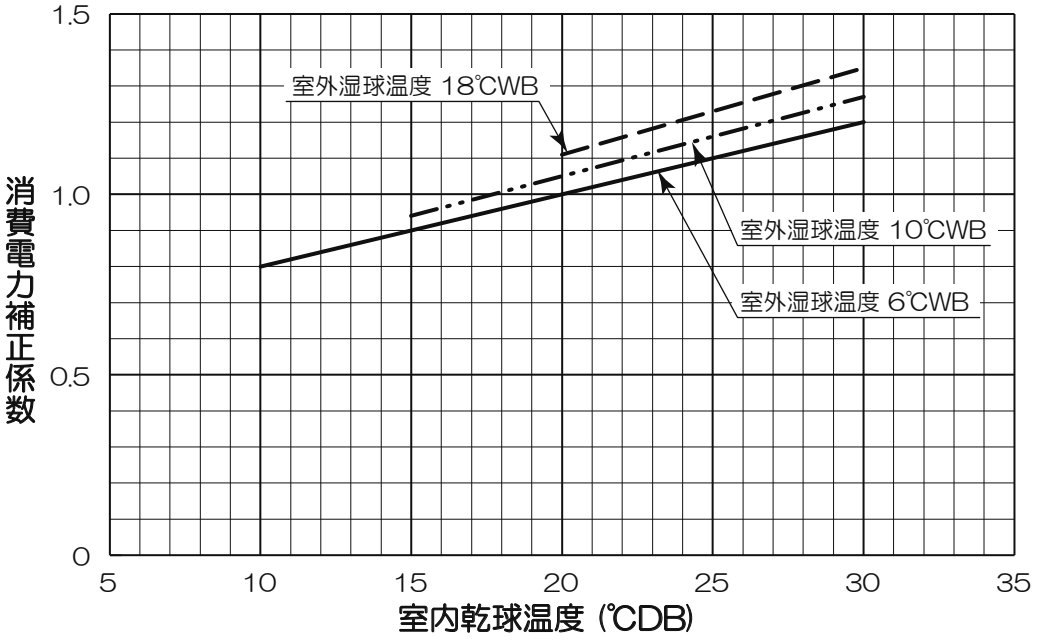
(ii) 暖房

1) 定格暖房標準条件の定格暖房能力を基準

a) 室内・外温度条件による能力補正

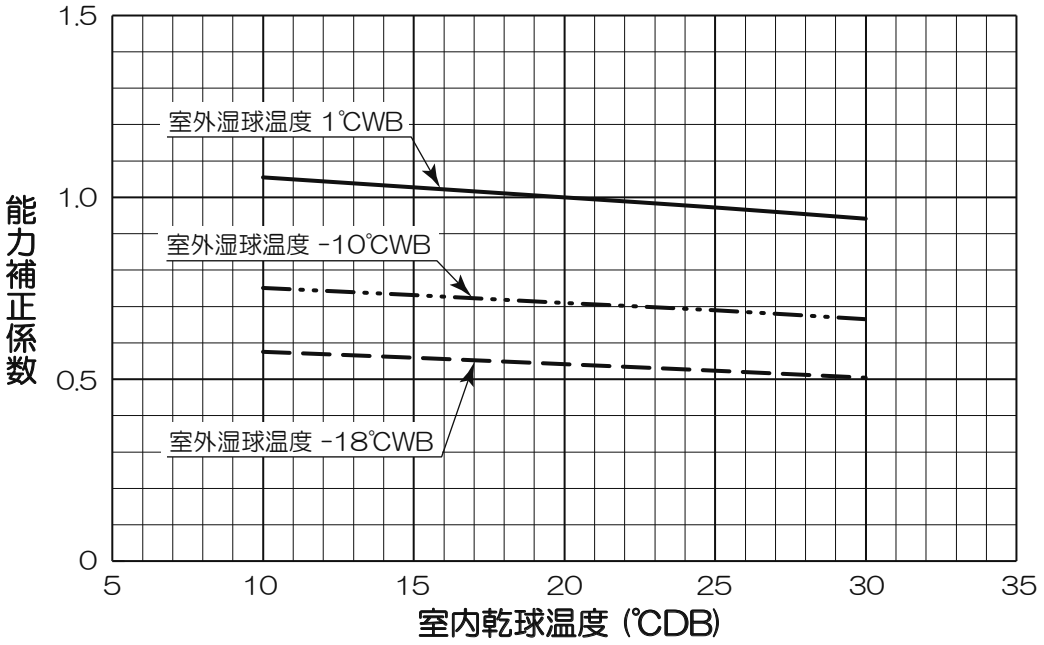


b) 室内・外温度条件による消費電力補正

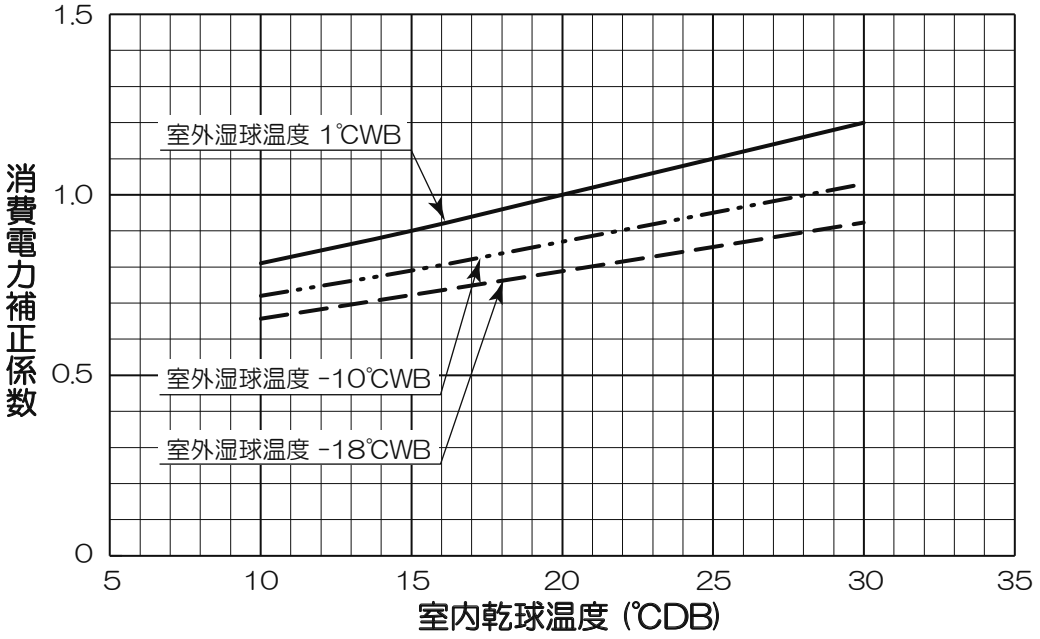


2）最大暖房低温条件の最大暖房低温能力を基準

a） 室内・外温度条件による能力補正



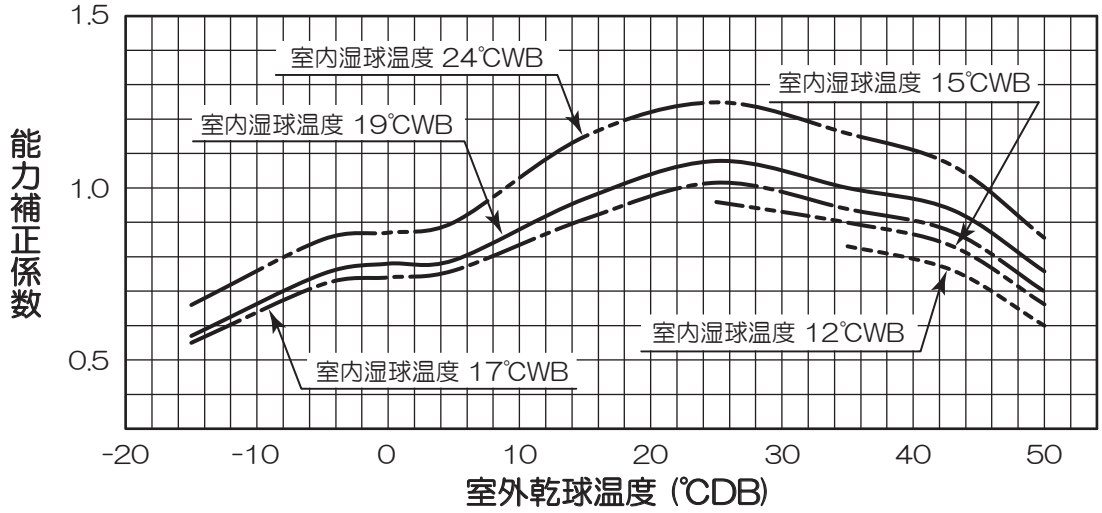
b） 室内・外温度条件による消費電力補正



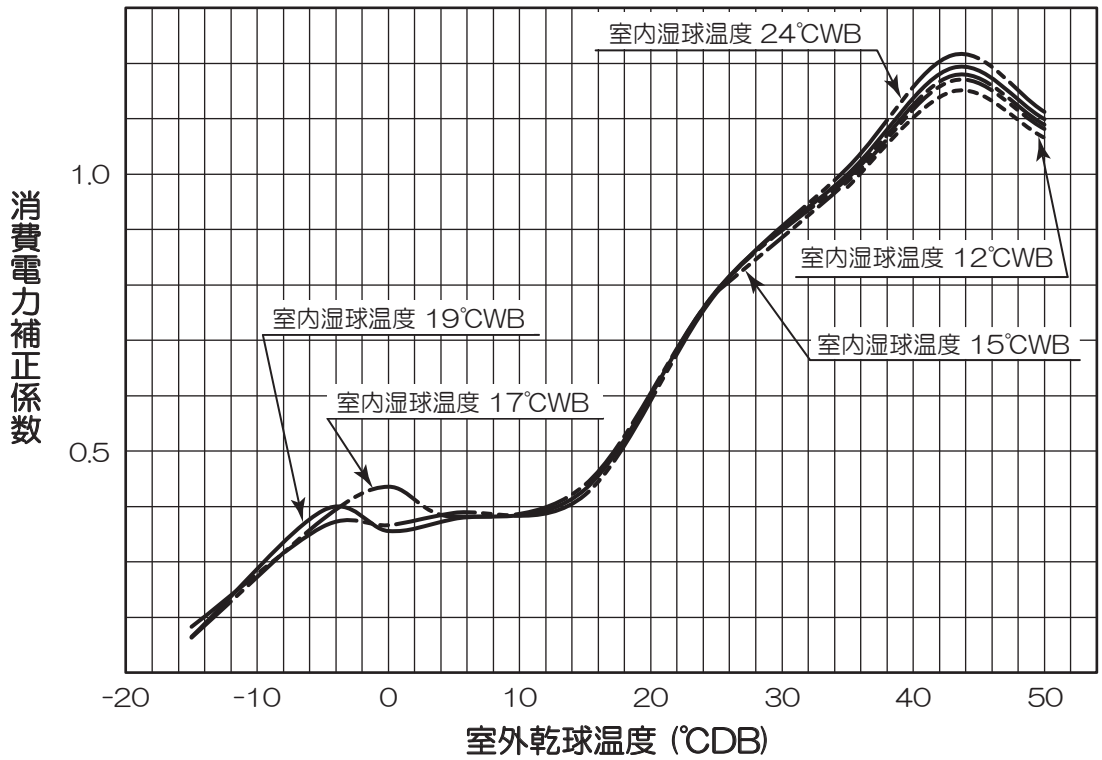
(c) P806

（i）冷房

1) 室内・外温度条件による能力補正

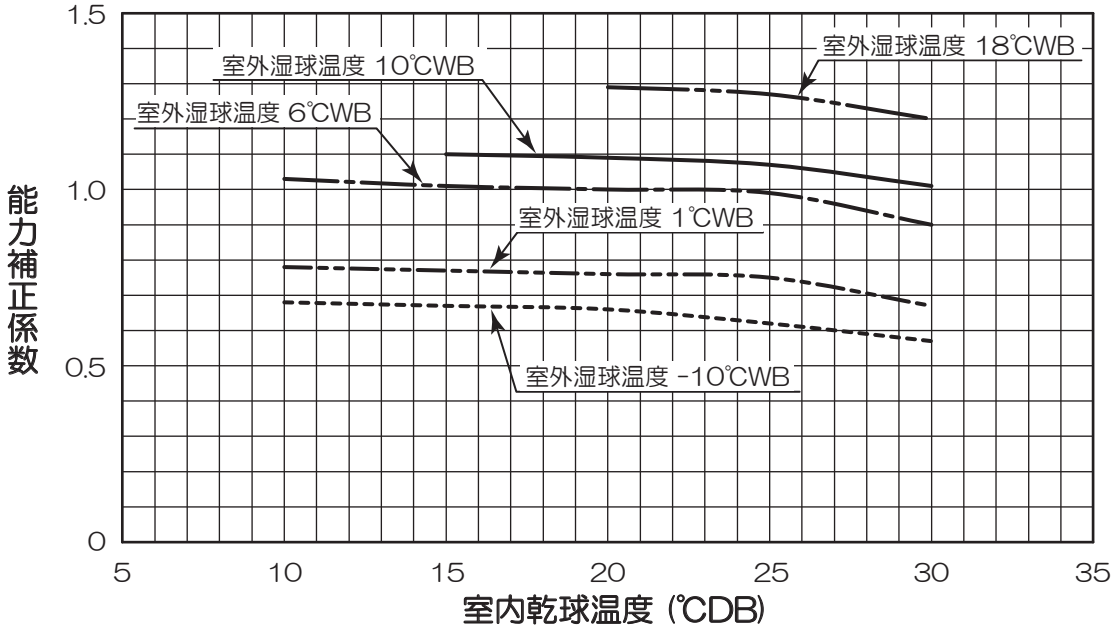


2) 室内・外温度条件による消費電力補正

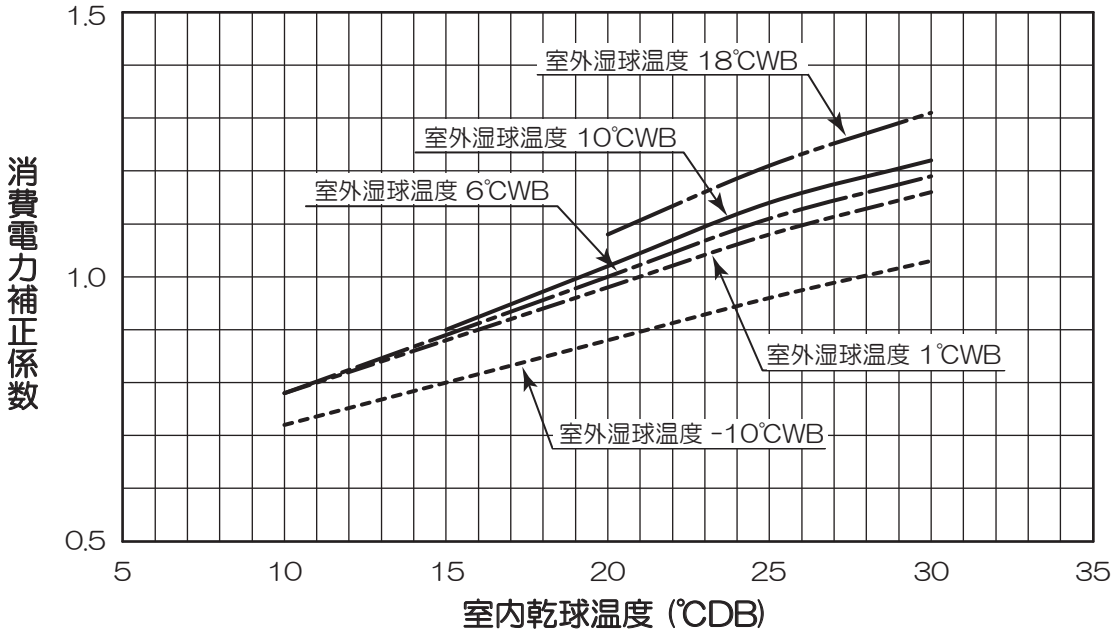


(ii) 暖房

1) 室内・外温度条件による能力補正



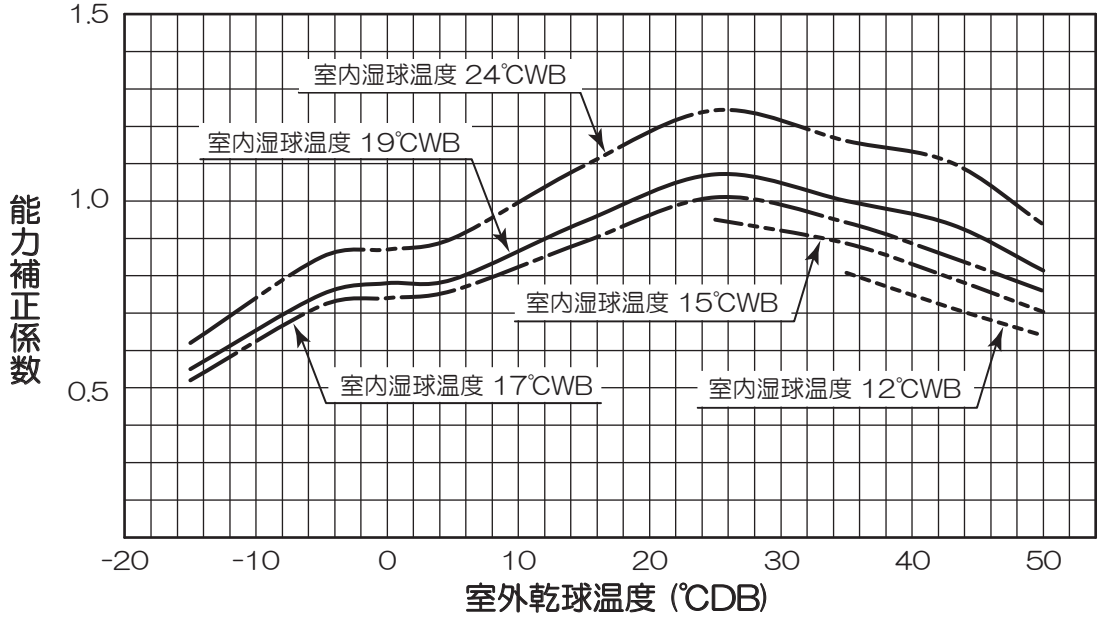
2) 室内・外温度条件による消費電力補正



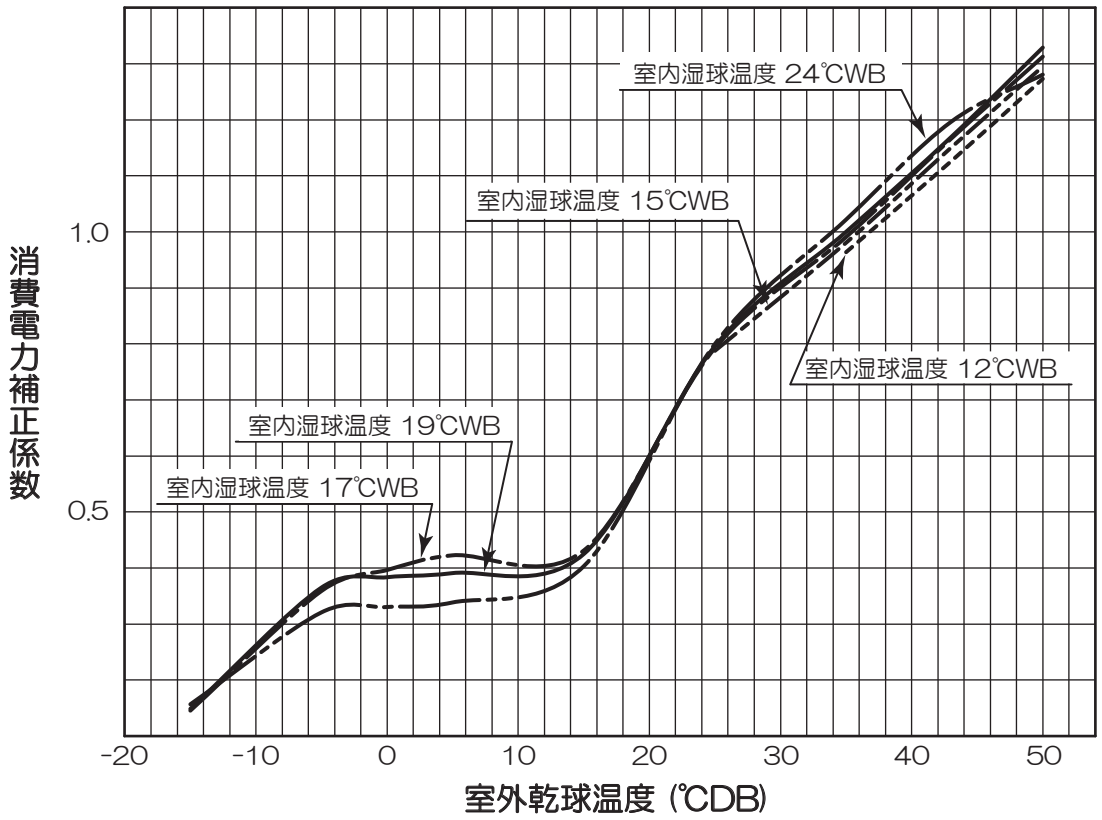
(d) P1126 ～ P1606

(i) 冷房

1) 室内・外温度条件による能力補正

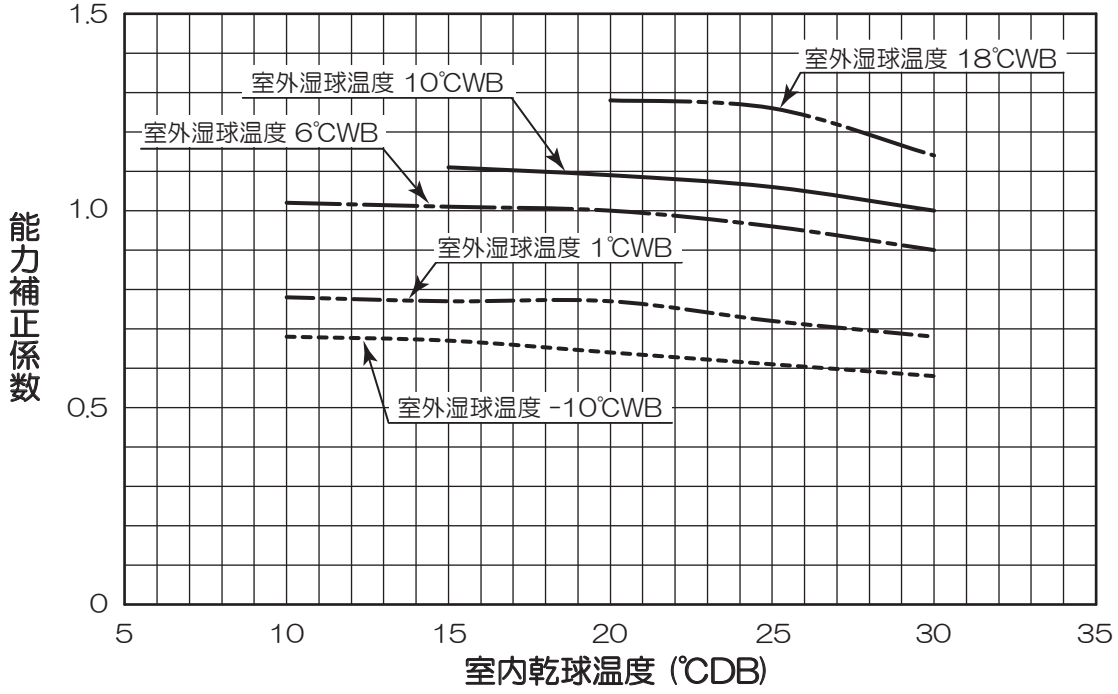


2) 室内・外温度条件による消費電力補正

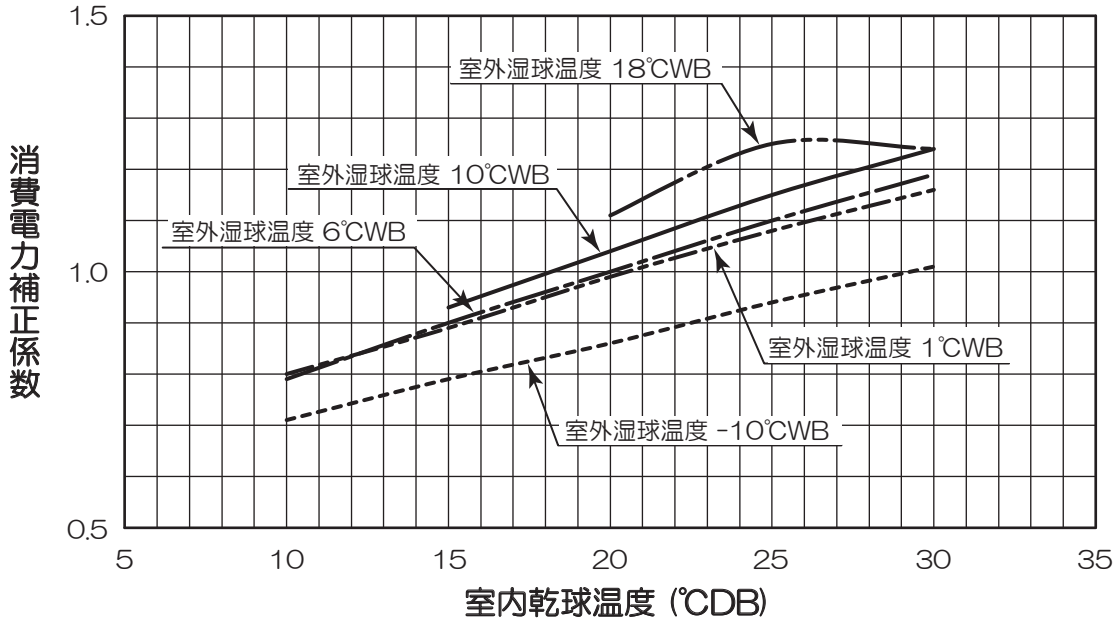


(ii) 暖房

1) 室内・外温度条件による能力補正



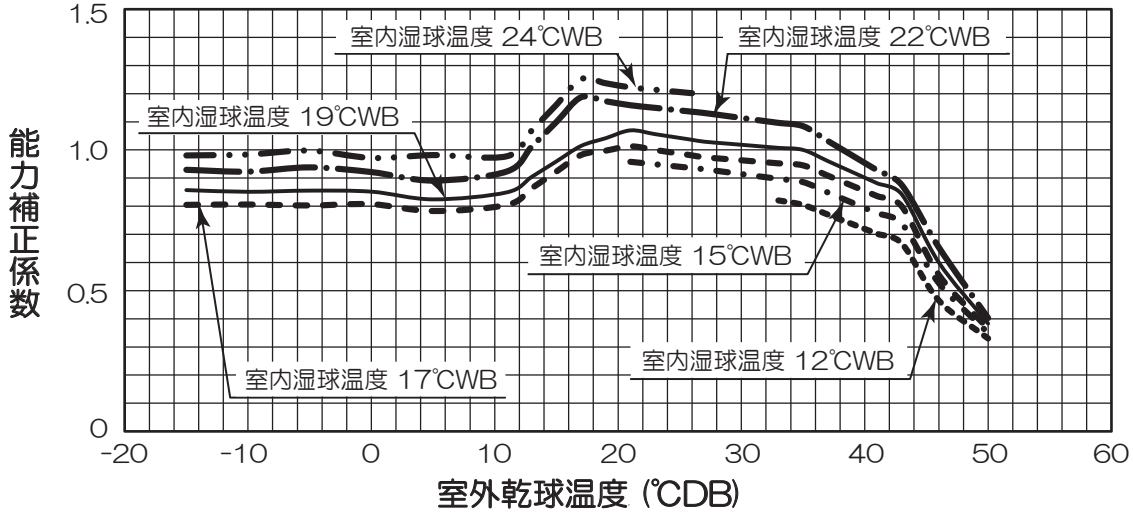
2) 室内・外温度条件による消費電力補正



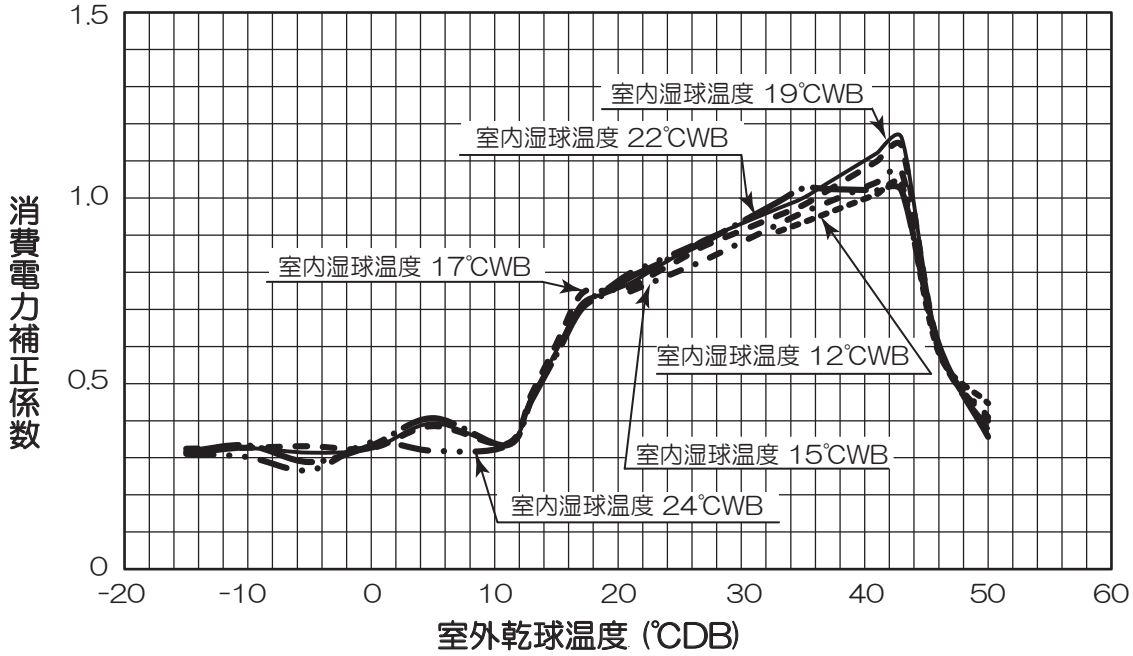
(e) P2246, P2806

(i) 冷房

1) 室内・外温度条件による能力補正

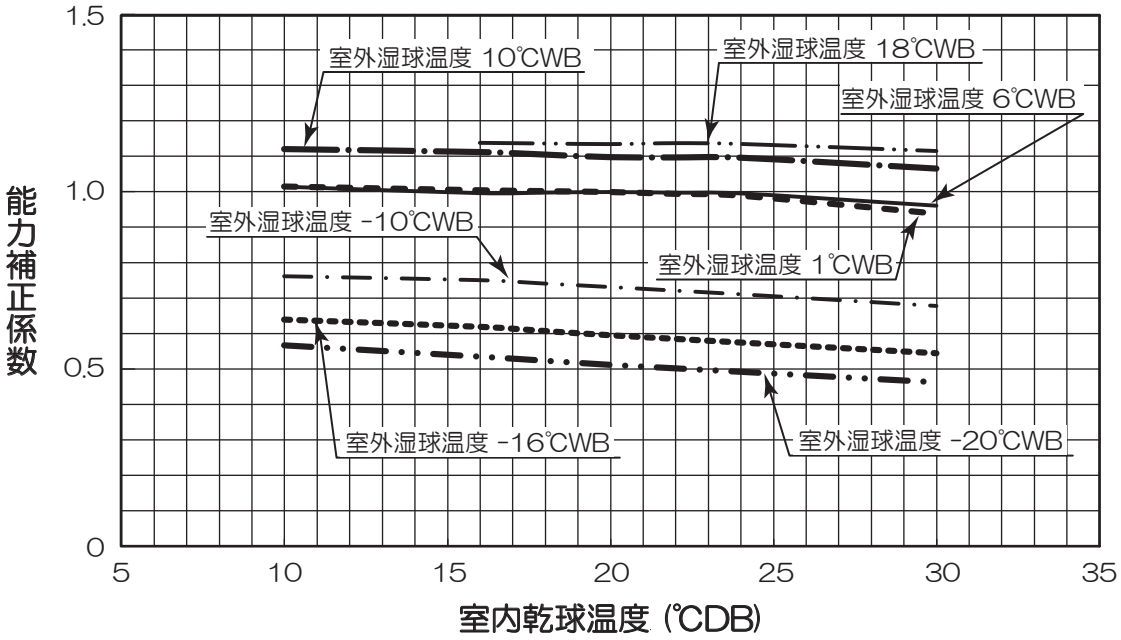


2) 室内・外温度条件による消費電力補正

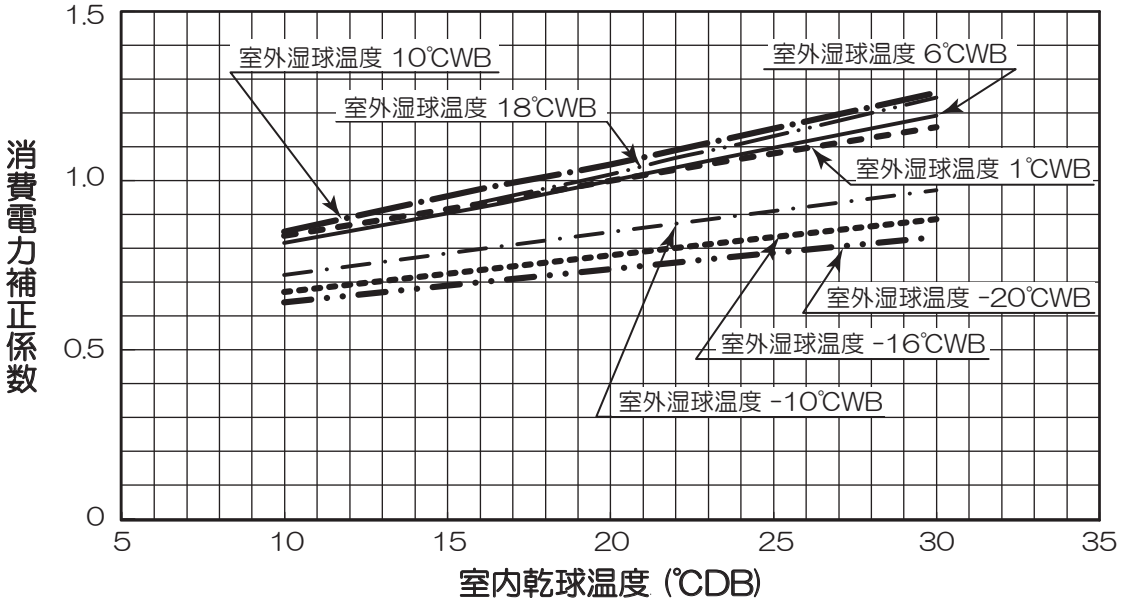


(ii) 暖房

1) 室内・外温度条件による能力補正



2) 室内・外温度条件による消費電力補正



参考　能力特性表

形式 FDTZ406H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCZP406H）

冷房　(kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度															
	18℃CDB		21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	12℃CWB		14℃CWB		16℃CWB		18℃CWB		19℃CWB		20℃CWB		22℃CWB		24℃CWB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					2.61	2.56	2.92	2.86	3.07	3.01	3.18	3.12	3.39	3.32	3.60	3.46
13					2.71	2.66	3.02	2.96	3.17	3.11	3.28	3.21	3.50	3.43	3.71	3.49
15					2.81	2.76	3.12	3.05	3.27	3.20	3.38	3.32	3.60	3.57	3.83	3.53
17					2.92	2.86	3.21	3.15	3.36	3.30	3.48	3.36	3.71	3.60	3.94	3.56
19					3.22	3.20	3.48	3.47	3.61	3.46	3.72	3.44	3.95	3.67	4.18	3.62
21					3.53	3.33	3.74	3.57	3.85	3.55	3.96	3.53	4.19	3.74	4.42	3.69
23					3.53	3.33	3.74	3.57	3.85	3.55	3.96	3.53	4.19	3.74	4.42	3.69
25			3.32	3.26	3.53	3.33	3.74	3.57	3.85	3.55	3.96	3.53	4.19	3.74	4.42	3.69
27			3.32	3.25	3.53	3.33	3.74	3.57	3.85	3.55	3.96	3.53	4.18	3.73		
29			3.26	3.20	3.47	3.30	3.68	3.55	3.79	3.53	3.90	3.51	4.11	3.72		
31			3.21	3.14	3.41	3.28	3.62	3.52	3.72	3.51	3.83	3.49	4.05	3.70		
33	2.98	2.92	3.18	3.12	3.35	3.25	3.55	3.50	3.66	3.48	3.77	3.46	3.99	3.68		
35	2.89	2.83	3.09	3.03	3.29	3.23	3.49	3.47	3.60	3.46	3.71	3.44	3.93	3.66		
37	2.78	2.73	2.95	2.90	3.12	3.06	3.30	3.23	3.39	3.38	3.48	3.36	3.67	3.59		
39	2.67	2.62	2.82	2.76	2.96	2.90	3.11	3.05	3.18	3.12	3.26	3.19	3.41	3.34		
41	2.57	2.51	2.68	2.63	2.80	2.74	2.92	2.86	2.98	2.92	3.04	2.97	3.15	3.09		
43	2.46	2.41	2.55	2.49	2.64	2.58	2.73	2.67	2.77	2.71	2.81	2.75	2.90	2.84		

暖房　(kW)

	外気温度		室内吸込温度 ℃CDB				
	℃CDB	℃WB	16℃CDB	18℃CDB	20℃CDB	22℃CDB	24℃CDB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	2.79	2.77	2.75	2.73	2.72
	-17.7	-18	2.96	2.94	2.92	2.91	2.89
	-15.7	-16	3.14	3.12	3.10	3.08	3.06
	-13.5	-14	3.34	3.32	3.30	3.28	3.26
	-11.5	-12	3.55	3.53	3.50	3.48	3.46
	-9.5	-10	3.75	3.73	3.71	3.68	3.65
	-7.5	-8	3.95	3.93	3.91	3.88	3.85
	-5.5	-6	4.22	4.19	4.15	4.11	4.06
	-3.0	-4	4.48	4.44	4.39	4.33	4.27
	-1.0	-2	4.75	4.69	4.64	4.56	4.48
	1.0	0	5.02	4.95	4.88	4.79	4.69
	2.0	1	5.15	5.07	5.00	4.90	4.80
	3.0	2	5.09	5.02	4.95	4.86	4.77
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	4.18	4.13	4.08	4.02	3.95
	7.0	6	4.09	4.04	4.00	3.95	3.91
	9.0	8	4.30	4.27	4.24	4.19	4.14
	11.5	10	4.51	4.50	4.48	4.42	4.37
	13.5	12	4.69	4.67	4.65	4.60	4.54
	15.5	14	4.87	4.85	4.83	4.77	4.71
	16.5	16	5.05	5.03	5.01	4.95	4.89

形式 FDTZ456H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCZP456H）

冷房　(kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度															
	18℃CDB		21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	12℃CWB		14℃CWB		16℃CWB		18℃CWB		19℃CWB		20℃CWB		22℃CWB		24℃CWB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					2.90	2.84	3.24	3.18	3.42	3.35	3.53	3.46	3.77	3.69	4.00	3.76
13					3.01	2.95	3.35	3.29	3.52	3.45	3.64	3.58	3.88	3.83	4.13	3.79
15					3.13	3.07	3.46	3.39	3.63	3.63	3.75	3.61	4.00	3.87	4.25	3.83
17					3.24	3.18	3.57	3.50	3.74	3.67	3.86	3.66	4.12	3.92	4.38	3.88
19					3.58	3.49	3.86	3.78	4.01	3.77	4.13	3.75	4.39	4.00	4.64	3.95
21					3.92	3.64	4.15	3.89	4.28	3.87	4.40	3.85	4.66	4.09	4.91	4.04
23					3.92	3.63	4.15	3.89	4.28	3.87	4.40	3.85	4.66	4.09	4.91	4.04
25			3.69	3.67	3.92	3.63	4.16	3.89	4.28	3.87	4.40	3.85	4.66	4.09	4.91	4.04
27			3.69	3.66	3.92	3.63	4.16	3.89	4.28	3.87	4.40	3.85	4.64	4.09		
29			3.63	3.55	3.85	3.61	4.09	3.87	4.21	3.84	4.33	3.82	4.57	4.06		
31			3.56	3.49	3.79	3.58	4.02	3.84	4.14	3.82	4.26	3.80	4.50	4.03		
33	3.31	3.30	3.53	3.46	3.72	3.55	3.95	3.81	4.07	3.79	4.19	3.78	4.43	4.01		
35	3.21	3.15	3.43	3.37	3.65	3.52	3.88	3.78	4.00	3.76	4.12	3.74	4.36	3.99		
37	3.09	3.03	3.28	3.22	3.47	3.45	3.67	3.59	3.77	3.68	3.87	3.66	4.08	3.90		
39	2.97	2.91	3.13	3.07	3.29	3.23	3.45	3.39	3.54	3.47	3.62	3.57	3.79	3.71		
41	2.85	2.79	2.98	2.92	3.11	3.05	3.24	3.18	3.31	3.24	3.37	3.31	3.50	3.43		
43	2.73	2.68	2.83	2.77	2.93	2.87	3.03	2.97	3.08	3.02	3.12	3.06	3.22	3.15		

暖房　(kW)

	外気温度		室内吸込温度 ℃CDB				
	℃CDB	℃WB	16℃CDB	18℃CDB	20℃CDB	22℃CDB	24℃CDB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	2.79	2.77	2.75	2.73	2.72
	-17.7	-18	2.96	2.94	2.92	2.91	2.89
	-15.7	-16	3.14	3.12	3.10	3.08	3.06
	-13.5	-14	3.34	3.32	3.30	3.28	3.26
	-11.5	-12	3.55	3.53	3.50	3.48	3.46
	-9.5	-10	3.75	3.73	3.71	3.68	3.65
	-7.5	-8	3.95	3.93	3.91	3.88	3.85
	-5.5	-6	4.22	4.19	4.15	4.11	4.06
	-3.0	-4	4.48	4.44	4.39	4.33	4.27
	-1.0	-2	4.75	4.69	4.64	4.56	4.48
	1.0	0	5.02	4.95	4.88	4.79	4.69
	2.0	1	5.15	5.07	5.00	4.90	4.80
	3.0	2	5.09	5.02	4.95	4.86	4.77
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	4.70	4.65	4.59	4.52	4.45
	7.0	6	4.60	4.55	4.50	4.45	4.39
	9.0	8	4.84	4.80	4.77	4.71	4.65
	11.5	10	5.08	5.06	5.04	4.98	4.92
	13.5	12	5.28	5.26	5.23	5.17	5.11
	15.5	14	5.48	5.46	5.43	5.37	5.30
	16.5	16	5.68	5.66	5.63	5.56	5.50

記事(1) 能力は下記条件での計算値です。ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は、その能力変化を考慮しています。
(a) 冷房能力：定格冷房標準条件（室内側：27℃CDB/19℃CWB、室外側：35℃CDB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(b) 暖房能力
（i）定格暖房標準条件を基準：定格暖房標準条件（室内側：20℃CDB、室外側：7℃CDB/6℃CWB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
（ii）最大暖房低温条件を基準：最大暖房低温条件（室内側：20℃CDB、室外側：2℃CDB/1℃CWB）の最大能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(2) 運転条件
配管長：5m　室内外ユニット高低差：0m
(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTZ506H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCZP506H）

冷房 (kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度 18℃CDB 12℃CWB		21℃CDB 14℃CWB		23℃CDB 16℃CWB		26℃CDB 18℃CWB		27℃CDB 19℃CWB		28℃CDB 20℃CWB		31℃CDB 22℃CWB		33℃CDB 24℃CWB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					3.26	3.20	3.65	3.58	3.84	3.81	3.97	3.79	4.24	4.06	4.50	4.02
13					3.39	3.32	3.77	3.70	3.96	3.85	4.10	3.84	4.37	4.10	4.64	4.06
15					3.52	3.45	3.89	3.82	4.08	3.90	4.22	3.89	4.50	4.16	4.78	4.11
17					3.65	3.60	4.02	3.94	4.20	3.94	4.35	3.93	4.64	4.20	4.92	4.15
19					4.02	3.75	4.35	4.07	4.51	4.06	4.65	4.04	4.94	4.30	5.22	4.24
21					4.41	3.93	4.67	4.20	4.81	4.17	4.95	4.15	5.24	4.40	5.52	4.34
23					4.41	3.93	4.67	4.20	4.81	4.17	4.95	4.15	5.24	4.40	5.53	4.34
25			4.15	3.96	4.41	3.93	4.67	4.20	4.81	4.17	4.95	4.15	5.24	4.40	5.53	4.34
27			4.15	3.96	4.41	3.93	4.68	4.20	4.81	4.17	4.95	4.15	5.22	4.40		
29			4.08	3.92	4.33	3.90	4.60	4.17	4.73	4.15	4.87	4.12	5.14	4.36		
31			4.01	3.89	4.26	3.87	4.52	4.13	4.66	4.11	4.79	4.09	5.06	4.34		
33	3.72	3.58	3.98	3.88	4.18	3.83	4.44	4.10	4.58	4.08	4.71	4.06	4.99	4.31		
35	3.61	3.53	3.86	3.82	4.11	3.78	4.36	4.07	4.50	4.06	4.64	4.03	4.91	4.29		
37	3.48	3.46	3.69	3.62	3.91	3.70	4.13	3.98	4.24	3.96	4.36	3.93	4.59	4.18		
39	3.34	3.28	3.52	3.45	3.70	3.62	3.89	3.81	3.98	3.86	4.07	3.84	4.26	4.07		
41	3.21	3.14	3.35	3.29	3.50	3.43	3.65	3.57	3.72	3.65	3.79	3.73	3.94	3.86		
43	3.07	3.01	3.18	3.12	3.30	3.23	3.41	3.34	3.46	3.39	3.51	3.44	3.62	3.55		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度 ℃CDB					
	℃CDB	℃CWB	16℃CDB	18℃CDB	20℃CDB	22℃CDB	24℃CDB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	3.18	3.15	3.13	3.11	3.10
	-17.7	-18	3.38	3.36	3.33	3.31	3.29
	-15.7	-16	3.58	3.56	3.53	3.51	3.49
	-13.5	-14	3.81	3.79	3.77	3.74	3.72
	-11.5	-12	4.04	4.02	4.00	3.97	3.94
	-9.5	-10	4.28	4.25	4.23	4.20	4.17
	-7.5	-8	4.51	4.48	4.46	4.42	4.39
	-5.5	-6	4.81	4.77	4.73	4.68	4.63
	-3.0	-4	5.11	5.06	5.01	4.94	4.87
	-1.0	-2	5.41	5.35	5.29	5.20	5.11
	1.0	0	5.72	5.64	5.56	5.46	5.35
	2.0	1	5.87	5.78	5.70	5.58	5.47
	3.0	2	5.81	5.73	5.65	5.54	5.44
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	5.22	5.16	5.10	5.02	4.94
	7.0	6	5.11	5.05	5.00	4.94	4.88
	9.0	8	5.37	5.34	5.30	5.23	5.17
	11.5	10	5.64	5.62	5.59	5.53	5.46
	13.5	12	5.87	5.84	5.82	5.75	5.68
	15.5	14	6.09	6.06	6.04	5.96	5.89
	16.5	16	6.31	6.28	6.26	6.18	6.11

形式 FDTZ566H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCZP566H）

冷房 (kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度 18℃CDB 12℃CWB		21℃CDB 14℃CWB		23℃CDB 16℃CWB		26℃CDB 18℃CWB		27℃CDB 19℃CWB		28℃CDB 20℃CWB		31℃CDB 22℃CWB		33℃CDB 24℃CWB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					3.63	3.61	4.06	3.95	4.27	3.97	4.42	3.95	4.71	4.24	5.00	4.19
13					3.77	3.67	4.19	4.00	4.40	4.01	4.55	4.00	4.86	4.28	5.16	4.24
15					3.91	3.73	4.33	4.05	4.54	4.06	4.69	4.04	5.00	4.33	5.31	4.28
17					4.05	3.78	4.46	4.10	4.67	4.11	4.83	4.12	5.15	4.38	5.47	4.33
19					4.47	3.97	4.83	4.27	5.01	4.25	5.17	4.24	5.49	4.49	5.81	4.43
21					4.90	4.15	5.19	4.41	5.34	4.39	5.50	4.37	5.82	4.59	6.14	4.52
23					4.90	4.15	5.19	4.41	5.34	4.39	5.50	4.37	5.82	4.59	6.14	4.52
25			4.62	4.19	4.90	4.15	5.19	4.41	5.35	4.39	5.50	4.37	5.82	4.59	6.14	4.53
27			4.61	4.18	4.90	4.15	5.19	4.41	5.35	4.39	5.50	4.37	5.80	4.59		
29			4.53	4.15	4.82	4.11	5.11	4.38	5.26	4.35	5.41	4.33	5.71	4.56		
31			4.46	4.11	4.73	4.08	5.02	4.35	5.17	4.32	5.32	4.30	5.63	4.53		
33	4.13	3.80	4.42	4.09	4.65	4.04	4.94	4.31	5.09	4.29	5.24	4.27	5.54	4.50		
35	4.01	3.73	4.29	4.04	4.57	4.00	4.85	4.27	5.00	4.25	5.15	4.24	5.45	4.48		
37	3.86	3.66	4.10	3.95	4.34	3.91	4.58	4.17	4.71	4.15	4.84	4.12	5.10	4.37		
39	3.71	3.58	3.91	3.86	4.11	3.82	4.32	4.05	4.42	4.02	4.53	3.99	4.74	4.25		
41	3.56	3.52	3.72	3.65	3.89	3.72	4.05	3.95	4.13	3.92	4.22	3.88	4.38	4.13		
43	3.41	3.35	3.54	3.46	3.66	3.62	3.79	3.71	3.85	3.82	3.90	3.78	4.02	4.01		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度 ℃CDB					
	℃CDB	℃CWB	16℃CDB	18℃CDB	20℃CDB	22℃CDB	24℃CDB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	3.29	3.27	3.24	3.22	3.20
	-17.7	-18	3.50	3.47	3.45	3.43	3.41
	-15.7	-16	3.71	3.68	3.66	3.64	3.61
	-13.5	-14	3.95	3.92	3.90	3.87	3.85
	-11.5	-12	4.19	4.16	4.14	4.11	4.08
	-9.5	-10	4.43	4.40	4.37	4.34	4.31
	-7.5	-8	4.66	4.64	4.61	4.58	4.54
	-5.5	-6	4.98	4.94	4.90	4.85	4.79
	-3.0	-4	5.29	5.24	5.19	5.11	5.04
	-1.0	-2	5.60	5.54	5.47	5.38	5.29
	1.0	0	5.92	5.84	5.76	5.65	5.54
	2.0	1	6.07	5.99	5.90	5.78	5.66
	3.0	2	6.01	5.93	5.84	5.74	5.63
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	5.85	5.78	5.71	5.62	5.54
	7.0	6	5.72	5.66	5.60	5.53	5.47
	9.0	8	6.02	5.98	5.93	5.86	5.79
	11.5	10	6.32	6.29	6.27	6.19	6.12
	13.5	12	6.57	6.54	6.51	6.44	6.36
	15.5	14	6.82	6.79	6.76	6.68	6.60
	16.5	16	7.07	7.04	7.01	6.92	6.84

記事(1) 能力は下記条件での計算値です。ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は、その能力変化を考慮しています。
(a) 冷房能力：定格冷房標準条件（室内側：27℃CDB/19℃CWB、室外側：35℃CDB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(b) 暖房能力
（i）定格暖房標準条件を基準：定格暖房標準条件（室内側：20℃CDB、室外側：7℃CDB/6℃CWB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
（ii）最大暖房低温条件を基準：最大暖房低温条件（室内側：20℃CDB、室外側：2℃CDB/1℃CWB）の最大能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(2) 運転条件
配管長：5m　室内外ユニット高低差：0m
(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTZ636H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCZP636H）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度															
	18℃CDB		21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
℃CDB	12℃WB		14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					4.06	3.62	4.54	3.96	4.78	3.97	4.95	3.96	5.27	4.20	5.60	4.15
13					4.22	3.69	4.69	4.02	4.93	4.03	5.10	4.01	5.44	4.24	5.78	4.19
15					4.38	3.75	4.85	4.07	5.08	4.11	5.26	4.09	5.60	4.33	5.95	4.28
17					4.54	3.82	5.00	4.15	5.23	4.17	5.41	4.15	5.77	4.38	6.13	4.34
19					4.74	3.92	5.16	4.22	5.37	4.22	5.55	4.20	5.91	4.44	6.26	4.38
21					5.02	4.05	5.32	4.29	5.51	4.27	5.69	4.26	6.04	4.49	6.39	4.42
23					5.06	4.07	5.38	4.31	5.57	4.30	5.74	4.28	6.08	4.50	6.41	4.43
25			4.80	4.11	5.10	4.08	5.44	4.34	5.62	4.32	5.78	4.29	6.11	4.51	6.44	4.44
27			4.80	4.11	5.15	4.10	5.50	4.36	5.67	4.34	5.85	4.32	6.20	4.54		
29			4.78	4.10	5.13	4.09	5.48	4.35	5.65	4.33	5.83	4.32	6.19	4.54		
31			4.76	4.09	5.11	4.08	5.46	4.34	5.64	4.33	5.81	4.30	6.17	4.54		
33	4.57	3.88	4.83	4.13	5.09	4.08	5.44	4.34	5.62	4.32	5.80	4.30	6.16	4.53		
35	4.42	3.80	4.74	4.08	5.07	4.07	5.42	4.33	5.60	4.31	5.78	4.29	6.14	4.53		
37	4.33	3.75	4.64	4.03	4.95	4.01	5.30	4.28	5.47	4.26	5.65	4.24	6.01	4.48		
39	4.23	3.70	4.53	3.99	4.84	3.96	5.17	4.22	5.35	4.21	5.52	4.20	5.87	4.43		
41	4.13	3.64	4.43	3.94	4.73	3.92	5.05	4.17	5.22	4.16	5.39	4.14	5.74	4.37		
43	4.03	3.60	4.33	3.88	4.62	3.87	4.93	4.13	5.10	4.11	5.26	4.09	5.60	4.32		

暖房 (kW)

外気温度			室内吸込温度					
			℃DB					
	℃DB	℃WB	16℃DB	18℃DB	20℃DB	22℃DB	24℃DB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	3.73	3.68	3.63	3.58	3.53
	-17.7	-18	4.02	3.97	3.91	3.86	3.81
	-15.7	-16	4.30	4.25	4.20	4.14	4.09
	-13.5	-14	4.59	4.53	4.48	4.42	4.37
	-11.5	-12	4.90	4.84	4.78	4.72	4.67
	-9.5	-10	5.21	5.15	5.08	5.02	4.97
	-7.5	-8	5.39	5.33	5.27	5.21	5.15
	-5.5	-6	5.58	5.51	5.45	5.39	5.33
	-3.0	-4	5.76	5.70	5.63	5.57	5.51
	-1.0	-2	5.95	5.88	5.82	5.75	5.68
	1.0	0	6.13	6.07	6.00	5.93	5.86
	2.0	1	6.22	6.16	6.00	5.93	5.86
	3.0	2	6.13	6.07	6.07	5.93	5.86
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	5.77	5.71	5.65	5.59	5.53
	7.0	6	6.44	6.37	6.30	6.23	6.16
	9.0	8	6.82	6.75	6.67	6.60	6.52
	11.5	10	7.20	7.12	7.05	6.96	6.88
	13.5	12	7.43	7.37	7.32	7.25	7.19
	15.5	14	7.67	7.63	7.58	7.54	7.50
	16.5	16	7.90	7.88	7.86	7.83	7.81

形式 FDTZ806H6SA（室内ユニット：FDTZP806SA, 室外ユニット：FDCZP806H ）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度													
	21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
℃CDB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					6.20	6.20	6.37	6.25	6.59	6.24	7.02	6.66	7.46	6.61
13					6.44	6.38	6.63	6.35	6.86	6.33	7.34	6.77	7.81	6.71
15					6.67	6.47	6.88	6.44	7.14	6.42	7.65	6.87	8.17	6.82
17					6.82	6.52	7.03	6.51	7.29	6.49	7.80	6.93	8.31	6.86
19					6.97	6.59	7.19	6.56	7.44	6.54	7.94	6.97	8.45	6.90
21					7.13	6.65	7.35	6.62	7.59	6.59	8.09	7.02	8.59	6.94
23					7.28	6.70	7.50	6.67	7.75	6.66	8.24	7.06	8.73	6.98
25			7.01	6.32	7.43	6.77	7.66	6.74	7.90	6.71	8.38	7.11	8.87	7.02
27			6.91	6.28	7.32	6.72	7.55	6.70	7.78	6.67	8.26	7.07		
29			6.82	6.25	7.21	6.68	7.43	6.64	7.67	6.61	8.14	7.03		
31			6.72	6.21	7.10	6.64	7.32	6.61	7.55	6.58	8.02	6.99		
33	6.35	6.27	6.62	6.17	6.99	6.60	7.21	6.57	7.44	6.54	7.90	6.96		
35	6.22	6.22	6.53	6.13	6.88	6.56	7.10	6.53	7.32	6.50	7.77	6.92		
37	6.10	6.10	6.40	6.07	6.77	6.50	6.99	6.47	7.20	6.46	7.63	6.86		
39	5.98	5.98	6.28	6.03	6.65	6.46	6.87	6.44	7.08	6.40	7.48	6.82		
41	5.85	5.85	6.16	5.98	6.53	6.42	6.76	6.40	6.95	6.36	7.34	6.77		
43	5.73	5.73	6.04	5.93	6.42	6.38	6.64	6.36	6.83	6.32	7.19	6.73		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃DB				
℃CDB	℃WB	16	18	20	22	24
-19.8	-20	3.77	3.69	3.62	3.54	3.46
-17.7	-18	4.07	3.99	3.92	3.83	3.75
-15.7	-16	4.37	4.29	4.21	4.13	4.04
-13.5	-14	4.68	4.59	4.51	4.42	4.33
-11.5	-12	5.01	4.96	4.90	4.79	4.68
-9.5	-10	5.34	5.32	5.29	5.16	5.04
-7.5	-8	5.49	5.46	5.43	5.32	5.21
-5.5	-6	5.63	5.60	5.57	5.48	5.39
-3.0	-4	5.77	5.74	5.72	5.64	5.56
-1.0	-2	5.92	5.89	5.86	5.80	5.74
1.0	0	6.06	6.03	6.00	5.95	5.91
2.0	1	6.13	6.10	6.07	6.03	6.00
3.0	2	6.52	6.49	6.45	6.42	6.38
5.0	4	7.31	7.27	7.23	7.19	7.15
7.0	6	8.09	8.04	8.00	7.96	7.91
9.0	8	8.44	8.39	8.34	8.30	8.25
11.5	10	8.78	8.73	8.68	8.64	8.59
13.5	12	9.11	9.08	9.05	9.02	8.99
15.5	14	9.44	9.43	9.42	9.41	9.40
16.5	16	9.77	9.78	9.79	9.79	9.80

記事(1) 能力は下記条件での計算値です。ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は、その能力変化を考慮しています。
(a) 冷房能力：定格冷房標準条件（室内側：27℃CDB/19℃CWB、室外側：35℃CDB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(b) 暖房能力
（ i ）定格暖房標準条件を基準：定格暖房標準条件（室内側：20℃CDB、室外側：7℃CDB/6℃CWB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
（ ii ）最大暖房低温条件を基準：最大暖房低温条件（室内側：20℃CDB、室外側：2℃CDB/1℃CWB）の最大能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(2) 運転条件
配管長：63形：5m、80形：7.5m　室内外ユニット高低差：0m
(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTZ1126H6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA, 室外ユニット：FDCZP1126H ）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度													
	21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	14℃CWB		16℃CWB		18℃CWB		19℃CWB		20℃CWB		22℃CWB		24℃CWB	
℃DB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					8.61	8.01	8.83	7.95	9.10	7.91	9.63	8.39	10.17	8.27
13					8.89	8.11	9.14	8.06	9.42	8.04	9.99	8.50	10.55	8.38
15					9.18	8.23	9.45	8.19	9.75	8.15	10.35	8.61	10.94	8.49
17					9.42	8.32	9.70	8.28	10.01	8.26	10.63	8.69	11.24	8.57
19					9.67	8.43	9.96	8.39	10.27	8.35	10.91	8.84	11.54	8.72
21					9.91	8.52	10.21	8.48	10.53	8.45	11.19	8.95	11.84	8.83
23					10.16	8.63	10.46	8.58	10.80	8.54	11.46	9.03	12.13	8.91
25			9.80	8.20	10.41	8.72	10.71	8.67	11.06	8.65	11.74	9.14	12.43	9.02
27			9.67	8.15	10.27	8.67	10.57	8.62	10.91	8.58	11.59	9.07		
29			9.54	8.10	10.13	8.62	10.43	8.57	10.76	8.53	11.43	9.02		
31			9.41	8.03	9.99	8.55	10.29	8.52	10.62	8.48	11.28	8.98		
33	8.84	8.09	9.28	7.98	9.85	8.50	10.14	8.45	10.47	8.41	11.12	8.91		
35	8.60	7.97	9.14	7.92	9.71	8.45	10.00	8.40	10.32	8.36	10.97	8.86		
37	8.37	7.84	8.91	7.81	9.52	8.38	9.84	8.34	10.17	8.31	10.82	8.81		
39	8.14	7.74	8.68	7.69	9.32	8.29	9.69	8.27	10.01	8.26	10.66	8.77		
41	7.90	7.64	8.44	7.59	9.13	8.22	9.53	8.22	9.86	8.18	10.51	8.66		
43	7.67	7.54	8.21	7.50	8.93	8.12	9.37	8.16	9.70	8.13	10.36	8.61		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃DB				
℃DB	℃WB	16	18	20	22	24
-19.8	-20	5.40	5.30	5.20	5.09	4.99
-17.7	-18	5.82	5.71	5.59	5.48	5.37
-15.7	-16	6.25	6.12	5.99	5.88	5.76
-13.5	-14	6.68	6.53	6.39	6.27	6.15
-11.5	-12	7.07	6.93	6.80	6.67	6.54
-9.5	-10	7.47	7.34	7.20	7.07	6.94
-7.5	-8	7.68	7.57	7.45	7.31	7.16
-5.5	-6	7.90	7.80	7.70	7.55	7.39
-3.0	-4	8.11	8.03	7.95	7.78	7.62
-1.0	-2	8.33	8.26	8.20	8.02	7.85
1.0	0	8.54	8.49	8.45	8.26	8.07
2.0	1	8.65	8.61	8.57	8.38	8.19
3.0	2	9.18	9.14	9.10	8.91	8.71
5.0	4	10.23	10.19	10.15	9.96	9.76
7.0	6	11.29	11.25	11.20	11.01	10.81
9.0	8	11.83	11.78	11.73	11.55	11.38
11.5	10	12.36	12.31	12.26	12.10	11.95
13.5	12	13.00	12.90	12.80	12.66	12.51
15.5	14	13.63	13.49	13.35	13.21	13.08
16.5	16	14.26	14.11	13.95	13.80	13.64

形式 FDTZ1406H6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA, 室外ユニット：FDCZP1406H ）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度													
	21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
℃DB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					10.76	8.87	11.04	8.81	11.37	8.76	12.04	9.23	12.71	9.10
13					11.12	9.01	11.43	8.95	11.78	8.90	12.49	9.38	13.19	9.25
15					11.47	9.16	11.81	9.11	12.19	9.06	12.93	9.54	13.68	9.41
17					11.78	9.28	12.13	9.22	12.51	9.17	13.28	9.67	14.05	9.54
19					12.09	9.39	12.45	9.34	12.84	9.29	13.63	9.81	14.42	9.67
21					12.39	9.55	12.76	9.49	13.17	9.46	13.98	9.93	14.79	9.80
23					12.70	9.68	13.08	9.62	13.50	9.59	14.33	10.05	15.17	9.92
25			12.25	9.31	13.01	9.82	13.39	9.76	13.82	9.70	14.68	10.18	15.54	10.03
27			12.09	9.22	12.83	9.73	13.21	9.69	13.64	9.64	14.49	10.12		
29			11.92	9.15	12.66	9.67	13.04	9.61	13.45	9.56	14.29	10.03		
31			11.76	9.07	12.49	9.58	12.86	9.54	13.27	9.49	14.10	9.97		
33	11.05	9.13	11.59	9.00	12.31	9.48	12.68	9.42	13.09	9.41	13.90	9.89		
35	10.75	9.00	11.43	8.92	12.14	9.41	12.50	9.36	12.90	9.31	13.71	9.83		
37	10.46	8.85	11.14	8.80	11.90	9.32	12.30	9.29	12.71	9.24	13.52	9.75		
39	10.17	8.71	10.85	8.66	11.65	9.23	12.11	9.21	12.51	9.17	13.33	9.69		
41	9.88	8.56	10.56	8.53	11.41	9.14	11.91	9.14	12.32	9.11	13.14	9.61		
43	9.58	8.43	10.26	8.39	11.16	9.03	11.71	9.07	12.13	9.04	12.96	9.55		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃DB				
℃DB	℃WB	16	18	20	22	24
-19.8	-20	6.75	6.62	6.49	6.36	6.23
-17.7	-18	7.28	7.14	6.99	6.86	6.72
-15.7	-16	7.81	7.65	7.49	7.35	7.20
-13.5	-14	8.34	8.17	7.99	7.84	7.69
-11.5	-12	8.84	8.67	8.50	8.34	8.18
-9.5	-10	9.34	9.17	9.00	8.84	8.67
-7.5	-8	9.60	9.46	9.32	9.13	8.95
-5.5	-6	9.87	9.75	9.63	9.43	9.24
-3.0	-4	10.14	10.04	9.94	9.73	9.52
-1.0	-2	10.41	10.33	10.25	10.03	9.81
1.0	0	10.67	10.62	10.56	10.33	10.09
2.0	1	10.81	10.76	10.72	10.48	10.23
3.0	2	11.47	11.42	11.37	11.13	10.89
5.0	4	12.79	12.74	12.69	12.44	12.20
7.0	6	14.11	14.06	14.00	13.76	13.51
9.0	8	14.78	14.72	14.66	14.44	14.22
11.5	10	15.46	15.39	15.32	15.13	14.93
13.5	12	16.25	16.13	16.01	15.82	15.64
15.5	14	17.04	16.86	16.69	16.52	16.34
16.5	16	17.83	17.63	17.44	17.25	17.05

記事(1) 冷房および暖房能力は，定格能力時の圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
ただし，制御により圧縮機回転数が変化する場合は，その能力変化を考慮しています。
(2) 運転条件
配管長：7.5m　　室内外ユニット高低差：0m
(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTZ1606H6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA, 室外ユニット：FDCZP1606H ）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度													
	21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	14℃CWB		16℃CWB		18℃CWB		19℃CWB		20℃CWB		22℃CWB		24℃CWB	
℃CDB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					12.05	9.31	12.36	9.24	12.74	9.18	13.48	9.65	14.23	9.50
13					12.45	9.49	12.80	9.43	13.19	9.40	13.98	9.85	14.78	9.70
15					12.85	9.66	13.23	9.62	13.65	9.57	14.49	10.02	15.32	9.90
17					13.19	9.83	13.59	9.77	14.02	9.72	14.88	10.18	15.74	10.04
19					13.54	9.98	13.94	9.92	14.38	9.88	15.27	10.33	16.15	10.18
21					13.88	10.13	14.29	10.07	14.75	10.03	15.66	10.46	16.57	10.30
23					14.22	10.28	14.65	10.23	15.11	10.18	16.05	10.64	16.99	10.48
25			13.72	9.95	14.57	10.45	15.00	10.38	15.48	10.33	16.44	10.78	17.40	10.62
27			13.54	9.86	14.37	10.35	14.80	10.29	15.27	10.25	16.22	10.70		
29			13.35	9.76	14.18	10.26	14.60	10.21	15.07	10.16	16.01	10.62		
31			13.17	9.69	13.99	10.18	14.40	10.12	14.86	10.07	15.79	10.50		
33	12.37	9.73	12.99	9.59	13.79	10.09	14.20	10.03	14.66	9.98	15.57	10.43		
35	12.04	9.55	12.80	9.50	13.60	10.00	14.00	9.94	14.45	9.91	15.35	10.36		
37	11.72	9.40	12.48	9.33	13.32	9.88	13.78	9.86	14.23	9.81	15.14	10.29		
39	11.39	9.24	12.15	9.20	13.05	9.76	13.56	9.76	14.02	9.72	14.93	10.20		
41	11.06	9.08	11.82	9.04	12.78	9.64	13.34	9.66	13.80	9.64	14.72	10.12		
43	10.73	8.92	11.50	8.89	12.50	9.51	13.12	9.57	13.58	9.55	14.51	10.05		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃CDB				
℃CDB	℃CWB	16	18	20	22	24
-19.8	-20	7.71	7.57	7.42	7.27	7.12
-17.7	-18	8.32	8.16	7.99	7.83	7.68
-15.7	-16	8.93	8.74	8.56	8.40	8.23
-13.5	-14	9.54	9.33	9.13	8.96	8.78
-11.5	-12	10.10	9.91	9.71	9.53	9.35
-9.5	-10	10.67	10.48	10.29	10.10	9.91
-7.5	-8	10.98	10.81	10.65	10.44	10.23
-5.5	-6	11.28	11.14	11.00	10.78	10.56
-3.0	-4	11.59	11.47	11.36	11.12	10.88
-1.0	-2	11.89	11.80	11.71	11.46	11.21
1.0	0	12.20	12.14	12.07	11.80	11.53
2.0	1	12.35	12.30	12.25	11.97	11.69
3.0	2	13.11	13.05	13.00	12.72	12.44
5.0	4	14.62	14.56	14.50	14.22	13.94
7.0	6	16.13	16.06	16.00	15.72	15.44
9.0	8	16.90	16.83	16.75	16.50	16.26
11.5	10	17.66	17.59	17.51	17.29	17.07
13.5	12	18.57	18.43	18.29	18.08	17.87
15.5	14	19.47	19.27	19.08	18.88	18.68
16.5	16	20.38	20.15	19.93	19.71	19.49

形式 FDTZ2246HP6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA×2 台，室外ユニット：FDCZP2246H）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度															
	18℃CDB		21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	12℃CWB		14℃CWB		16℃CWB		18℃CWB		19℃CWB		20℃CWB		22℃CWB		24℃CWB	
℃CDB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					15.65	14.25	16.54	15.22	16.99	15.13	17.48	15.04	18.47	15.97	19.55	15.78
13					16.87	14.73	17.68	15.68	18.09	15.55	18.80	15.52	20.23	16.51	21.38	16.29
15					18.10	15.29	18.82	16.13	19.18	15.97	20.12	16.00	21.99	17.17	23.21	16.93
17					19.32	15.84	19.96	16.58	20.28	16.39	21.44	16.52	23.74	17.79	25.03	17.52
19					19.50	15.92	20.39	16.78	20.84	16.62	21.71	16.62	23.46	17.71	24.74	17.40
21					19.71	16.00	20.82	16.94	21.39	16.82	21.98	16.71	23.18	17.58	24.44	17.32
23					19.49	15.91	20.56	16.84	21.12	16.73	21.75	16.62	22.99	17.52	24.28	17.27
25			18.34	16.05	19.27	15.83	20.30	16.74	20.85	16.63	21.51	16.54	22.81	17.46	24.11	17.22
27			18.20	15.96	19.05	15.74	20.03	16.61	20.59	16.50	21.27	16.46	22.62	17.41		
29			17.93	15.84	18.87	15.63	19.89	16.56	20.44	16.45	21.09	16.37	22.39	17.29		
31			17.66	15.72	18.68	15.55	19.74	16.50	20.29	16.39	20.91	16.30	22.16	17.22		
33	16.41	14.55	17.56	15.68	18.50	15.48	19.60	16.45	20.15	16.34	20.74	16.24	21.92	17.15		
35	16.09	14.39	17.17	15.48	18.31	15.40	19.45	16.39	20.00	16.29	20.56	16.19	21.69	16.96		
37	15.41	14.05	16.46	15.11	17.58	15.01	18.69	16.08	19.21	15.98	19.69	15.85	20.64	16.64		
39	14.73	13.70	15.74	14.80	16.85	14.72	17.94	15.77	18.42	15.66	18.81	15.52	19.60	16.31		
41	14.04	13.39	15.02	14.50	16.11	14.43	17.18	15.46	17.63	15.35	17.94	15.19	18.55	16.00		
43	9.31	9.12	10.13	9.93	10.84	10.62	11.57	11.34	12.01	11.77	12.37	12.12	13.08	12.82		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃CDB				
℃CDB	℃CWB	16	18	20	22	24
-19.8	-20	10.70	10.47	10.24	10.04	9.85
-17.7	-18	11.55	11.31	11.08	10.87	10.67
-15.7	-16	12.39	12.15	11.91	11.71	11.50
-13.5	-14	13.27	13.04	12.82	12.61	12.41
-11.5	-12	14.15	13.94	13.73	13.52	13.32
-9.5	-10	15.02	14.83	14.64	14.43	14.23
-7.5	-8	15.90	15.72	15.54	15.34	15.13
-5.5	-6	16.84	16.69	16.53	16.35	16.17
-3.0	-4	17.77	17.65	17.52	17.36	17.20
-1.0	-2	18.70	18.61	18.51	18.38	18.24
1.0	0	19.63	19.57	19.50	19.39	19.27
2.0	1	20.10	20.05	20.00	19.90	19.79
3.0	2	21.03	21.00	20.96	20.87	20.78
5.0	4	20.65	20.66	20.66	20.60	20.53
7.0	6	22.33	22.36	22.40	22.36	22.31
9.0	8	23.63	23.57	23.50	23.47	23.44
11.5	10	24.93	24.77	24.61	24.59	24.57
13.5	12	24.76	24.64	24.52	24.50	24.47
15.5	14	24.59	24.51	24.43	24.40	24.38
16.5	16	24.42	24.38	24.34	24.31	24.28

記事(1) 冷房および暖房能力は，定格能力時の圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
ただし，制御により圧縮機回転数が変化する場合は，その能力変化を考慮しています。
(2) 運転条件
配管長：7.5m　　室内外ユニット高低差：0m
(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTZ2806HP6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA×2 台，室外ユニット：FDCZ2806H）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度															
	18℃DB		21℃DB		23℃DB		26℃DB		27℃DB		28℃DB		31℃DB		33℃DB	
	12℃WB		14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
℃DB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					19.56	15.94	20.68	16.88	21.24	16.77	21.85	16.66	23.09	17.55	24.44	17.32
13					21.09	16.63	22.10	17.45	22.61	17.30	23.50	17.27	25.29	18.36	26.73	18.09
15					22.62	17.32	23.53	18.09	23.98	17.90	25.15	17.98	27.48	19.17	29.01	18.87
17					24.15	18.03	24.95	18.71	25.35	18.47	26.79	18.63	29.68	19.99	31.29	19.66
19					24.38	18.13	25.49	18.95	26.05	18.76	27.14	18.79	29.32	19.87	30.92	19.43
21					24.63	18.23	26.03	19.19	26.74	19.05	27.48	18.91	28.97	19.65	30.55	19.32
23					24.36	18.12	25.70	19.03	26.40	18.92	27.18	18.80	28.74	19.57	30.35	19.26
25			22.92	18.28	24.09	18.00	25.37	18.90	26.07	18.77	26.88	18.66	28.51	19.50	30.14	19.20
27			22.75	18.20	23.82	17.89	25.04	18.74	25.73	18.64	26.58	18.56	28.28	19.42		
29			22.41	18.05	23.59	17.79	24.86	18.67	25.55	18.54	26.36	18.48	27.99	19.33		
31			22.08	17.87	23.35	17.69	24.68	18.60	25.37	18.47	26.14	18.37	27.70	19.24		
33	20.51	16.67	21.95	17.81	23.12	17.56	24.50	18.53	25.18	18.40	25.92	18.29	27.40	19.14		
35	20.12	16.45	21.47	17.56	22.89	17.47	24.31	18.43	25.00	18.30	25.70	18.21	27.11	19.01		
37	19.26	15.98	20.57	17.13	21.97	17.02	23.37	18.03	24.01	17.91	24.61	17.76	25.80	18.52		
39	18.41	15.57	19.67	16.67	21.06	16.62	22.42	17.57	23.03	17.45	23.52	17.27	24.50	18.07		
41	17.56	15.14	18.77	16.24	20.14	16.21	21.47	17.21	22.04	17.09	22.43	16.89	23.19	17.58		
43	11.63	11.40	12.66	12.41	13.55	13.36	14.46	14.41	15.02	14.37	15.46	14.30	16.35	15.25		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃DB				
℃DB	℃WB	16	18	20	22	24
-19.8	-20	11.35	11.10	10.85	10.65	10.44
-17.7	-18	12.24	11.99	11.74	11.53	11.31
-15.7	-16	13.13	12.88	12.63	12.41	12.19
-13.5	-14	14.06	13.83	13.59	13.37	13.15
-11.5	-12	14.99	14.77	14.55	14.33	14.12
-9.5	-10	15.93	15.72	15.51	15.30	15.08
-7.5	-8	16.86	16.67	16.48	16.26	16.04
-5.5	-6	17.85	17.69	17.53	17.33	17.14
-3.0	-4	18.83	18.71	18.58	18.41	18.24
-1.0	-2	19.82	19.72	19.63	19.48	19.33
1.0	0	20.81	20.74	20.68	20.55	20.43
2.0	1	21.31	21.25	21.20	21.09	20.98
3.0	2	22.29	22.26	22.22	22.12	22.02
5.0	4	25.82	25.82	25.83	25.75	25.67
7.0	6	27.91	27.96	28.00	27.95	27.89
9.0	8	29.54	29.46	29.38	29.34	29.30
11.5	10	31.16	30.96	30.76	30.74	30.71
13.5	12	30.95	30.80	30.65	30.62	30.59
15.5	14	30.74	30.64	30.54	30.50	30.47
16.5	16	30.53	30.48	30.43	30.39	30.35

記事(1) 冷房の全ておよび暖房の外気温度 7℃DB 以上は，定格能力時の圧縮機回転数で固定した各温度条件での計算値です。
ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は，その能力変化を考慮しています。

(2) 運転条件
配管長：7.5m
室内外ユニット高低差：0m

(3) 記号説明
TC ：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

(f) 配管距離・室内・外ユニット高低差による能力補正

冷媒配管長（室内･室外ユニット間の片道長）および室内･室外ユニット高低差により，冷房･暖房能力の補正が必要です。

(i) 配管相当長による能力補正係数

室内･外ユニット間の高低差0mの場合の配管相当長対応の補正係数は下表のとおりです。

1) P406～P636

項目＼相当長(m)(1)		7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55
暖房（全形式共通）		1	0.995	0.992	0.990	0.987	0.984	0.981	0.978	0.975	0.972	0.970
冷房	P406	1	0.997	0.991	0.985	0.980	0.974	0.968	0.962	0.956	0.949	0.943
	P456	1	0.997	0.990	0.983	0.976	0.970	0.963	0.956	0.950	0.945	0.939
	P506	1	0.996	0.989	0.981	0.973	0.966	0.958	0.951	0.943	0.936	0.929
	P566	1	0.996	0.987	0.979	0.970	0.962	0.953	0.945	0.936	0.928	0.919
	P636	1	0.995	0.986	0.977	0.967	0.958	0.948	0.939	0.930	0.919	0.910

注(1) 相当長は下記の式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）＋５ｍ以内となるよう設置してください。

2) P806

項目＼相当長(m)(1)	7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55
暖房	1	1	1	1	1	0.998	0.998	0.993	0.993	0.988	0.988
冷房	1	0.998	0.994	0.991	0.987	0.983	0.981	0.976	0.973	0.969	0.966

項目＼相当長(m)(1)	60	65	70	75
暖房	0.983	0.983	0.978	0.978
冷房	0.963	0.960	0.957	0.954

注(1) 相当長は下記の式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）＋5m以内となるよう設置してください。

3) P1126～P1606

項目＼相当長(m)(1)		7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55
暖房（全形式共通）		1	1	1	1	1	0.998	0.998	0.993	0.993	0.988	0.988
冷房	P1126	1	0.996	0.989	0.982	0.975	0.967	0.962	0.954	0.947	0.941	0.935
	P1406	1	0.994	0.983	0.972	0.961	0.950	0.942	0.931	0.921	0.911	0.903
	P1606	1	0.993	0.980	0.967	0.954	0.941	0.932	0.918	0.907	0.896	0.885

項目＼相当長(m)(1)		60	65	70	75	80	85	90	95	100	105
暖房（全形式共通）		0.983	0.983	0.978	0.978	0.973	0.973	0.968	0.968	0.963	0.963
冷房	P1126	0.928	0.922	0.916	0.910	0.905	0.899	0.894	0.888	0.882	0.877
	P1406	0.894	0.886	0.877	0.870	0.862	0.855	0.847	0.839	0.832	0.824
	P1606	0.874	0.864	0.853	0.844	0.835	0.826	0.817	0.808	0.799	0.790

注(1) 相当長は下記の式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）＋5m以内となるよう設置してください。

4) P2246，P2806

項目＼相当長(m)(1)	7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55
暖房（全形式共通）	1	0.993	0.979	0.965	0.950	0.936	0.922	0.908	0.894	0.880	0.865
冷房（全形式共通）	1	0.996	0.988	0.980	0.972	0.965	0.957	0.949	0.941	0.933	0.925

項目＼相当長(m)(1)	60	65	70	75	80	85	90	95	100
暖房（全形式共通）	0.851	0.837	0.823	0.809	0.795	0.780	0.766	0.752	0.738
冷房（全形式共通）	0.917	0.910	0.902	0.894	0.886	0.878	0.870	0.862	0.854

注(1) 相当長は下記の式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）＋5m以内となるよう設置してください。

●相当長＝実長＋（ベンドの相当長×途中配管のベンド数）
ベンド1個当りの相当長

ガス配管径(mm)	φ9.52	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ25.4	φ25.88
ベンドの相当長	0.15	0.20	0.25	0.30	0.40	0.45

(ii) 室内･外ユニット高低差による能力補正係数

冷房時室外ユニットが下，暖房時室外ユニットが上，の場合のみ補正してください。

室内・室外ユニットの高さ方向の差（m）	5	10	15	20	25	30
補正係数	0.99	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94

■配管距離の制限値

項目＼形式	P406～P636	P806	P1126～P1606	P2246, P2806
最大片道長さ（実長）(1)（m）	50	70〔50〕(3)	100	
高さ方向 (2)（m）	30(15)			

注(1) 表中の数値は室内，室外ユニット間の配管片道長さを示します。
(2) ( )は室外ユニットが室内ユニットよりも下にある場合を示します。
(3) 〔 〕は室内ユニットがFDTP40×2台(ツイン機)の場合のみ。

(g) 風量変更時の能力補正係数

風量	P急または急	強	弱
能力補正係数	1.00	0.97	0.95

冷暖房能力算出方法

●例1…暖房
形式：FDTZ1406H6SA，風量：P急，
室外湿球温度：1℃WB，室内乾球温度：23℃DB
配管距離相当長：30m
室内，室外ユニットの高さ方向の差：10m
（室外ユニットが上）

この場合の暖房能力：

14.0 × 0.74 × 0.998 × 0.98 × 1.0 ≒ 10.1kW

FDTZ1406H6SA 定格暖房能力	温度条件による補正	相当長 30m	高低差 10m	風量 P急

●例2…冷房
形式：FDTZ1406H6SA，風量：P急，
室外乾球温度：32℃DB，室内湿球温度：19℃WB
配管距離相当長：30m
室内，室外ユニットの高さ方向の差：5m
（室外ユニットが下）

この場合の冷房能力：

12.5 × 1.02 × 0.950 × 0.99 × 1.0 ≒ 12.0kW

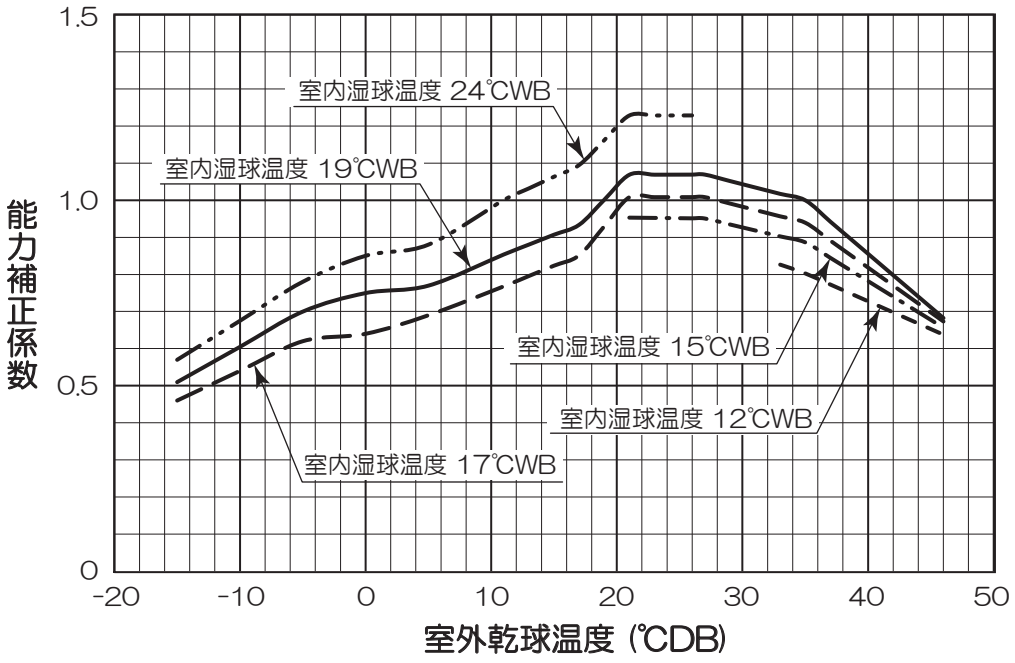
FDTZ1406H6SA 定格冷房能力	温度条件による補正	相当長 30m	高低差 5m	風量 P急

⑵ ハイパーインバータシリーズ

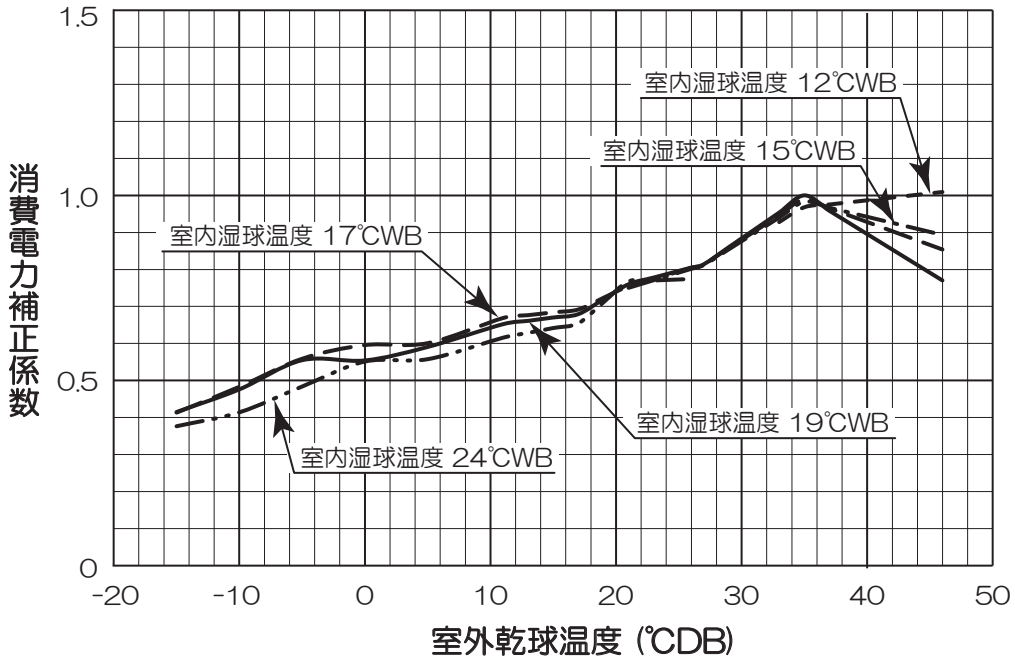
ⓐ P406 ～ P566

ⓘ 冷房

a) 室内・外温度条件による能力補正



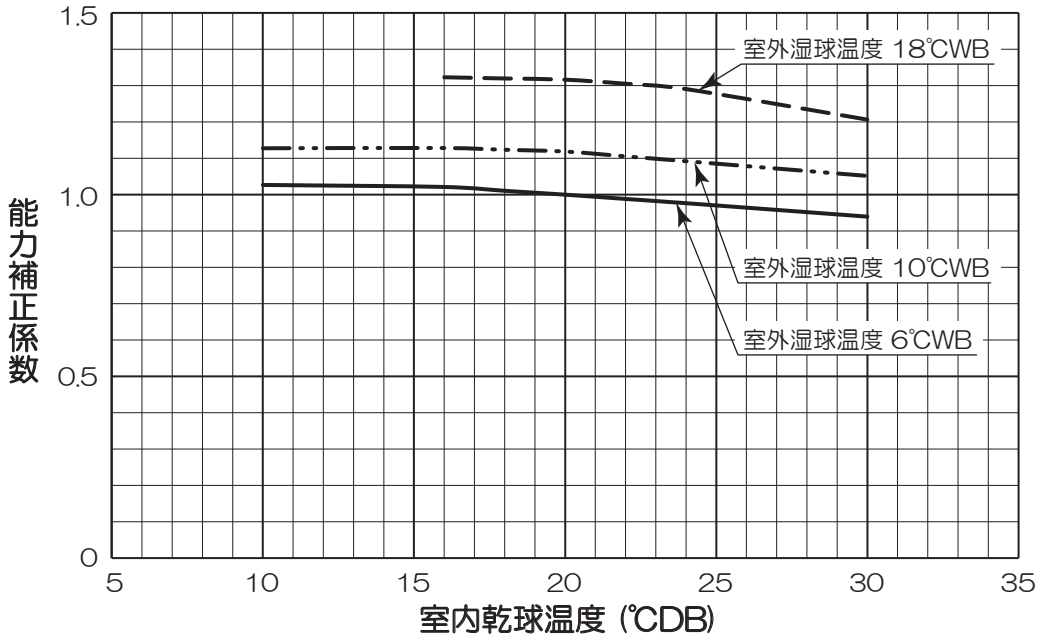
b) 室内・外温度条件による消費電力補正



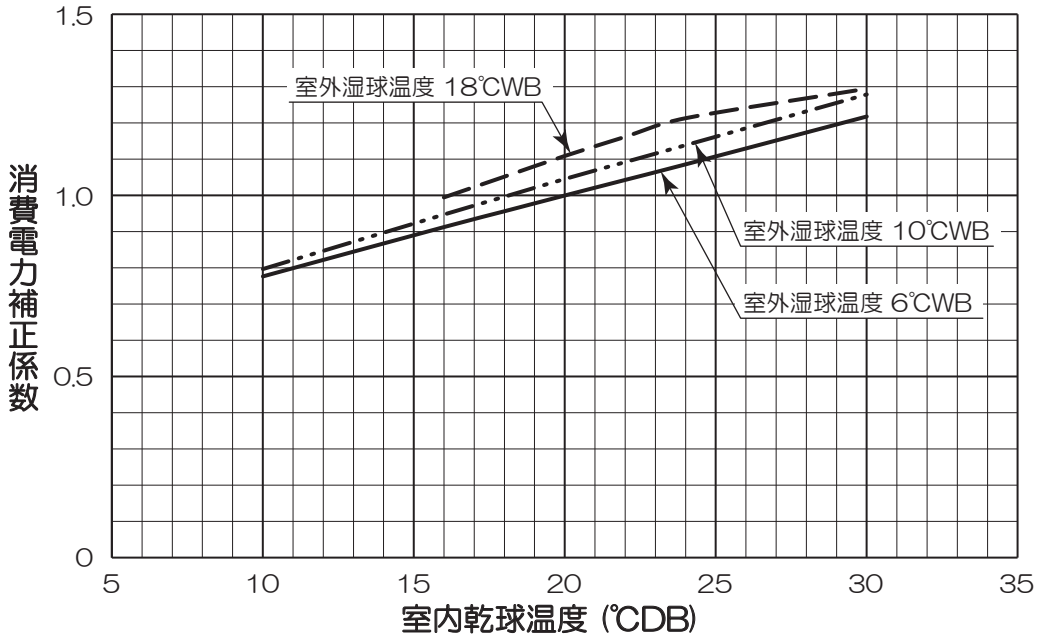
(ii) 暖房

1) 定格暖房標準条件の定格暖房能力を基準

a) 室内・外温度条件による能力補正

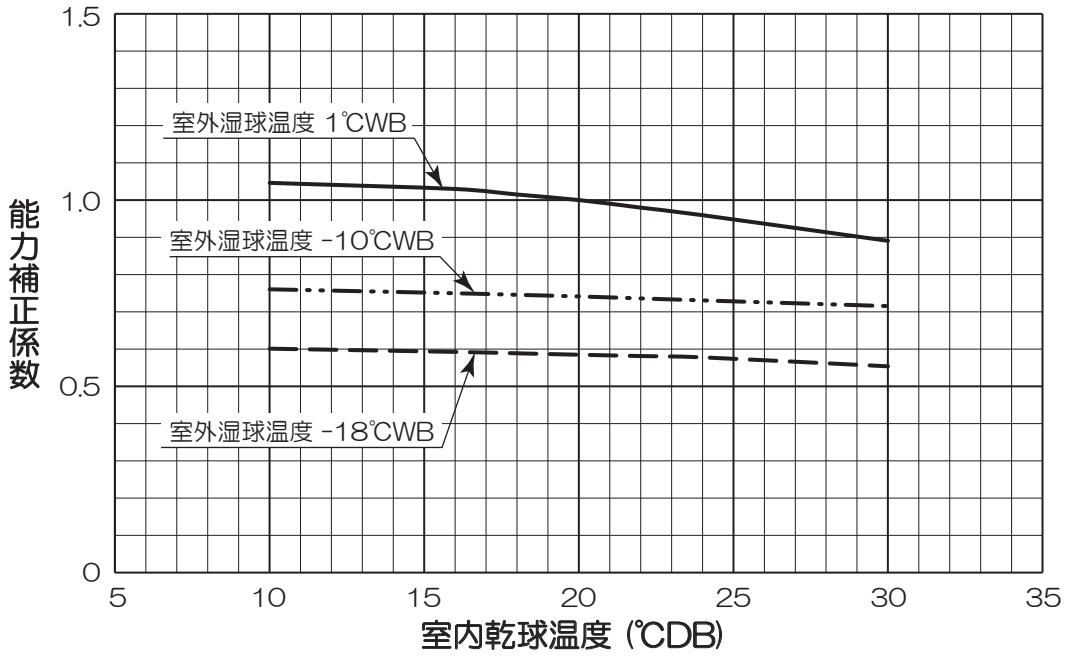


b) 室内・外温度条件による消費電力補正

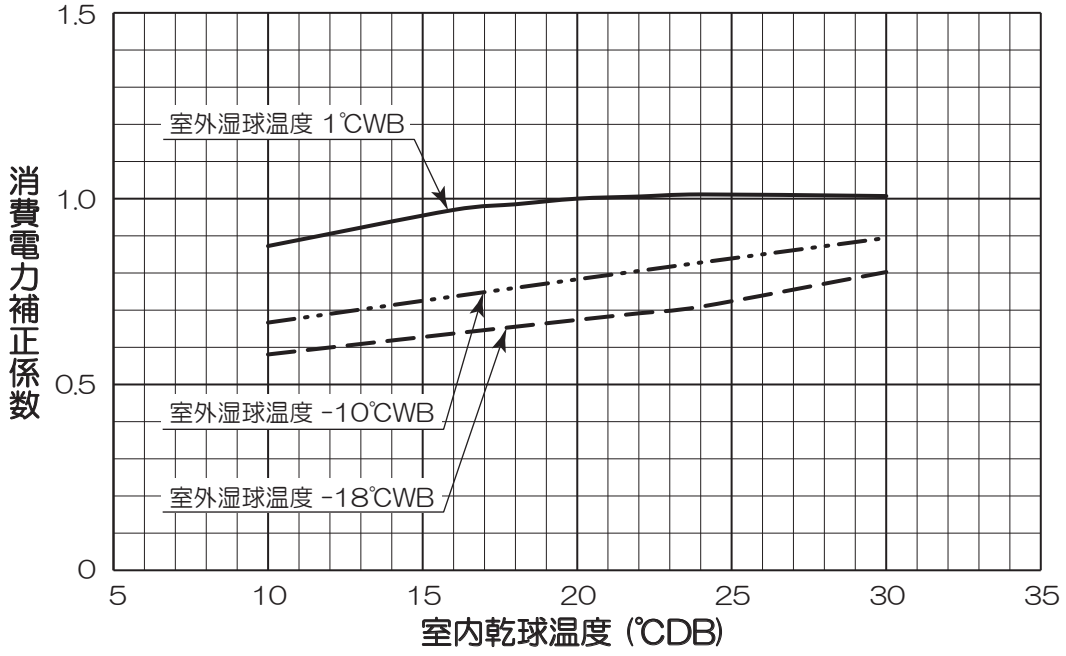


2） 最大暖房低温条件の最大暖房低温能力を基準

a） 室内・外温度条件による能力補正



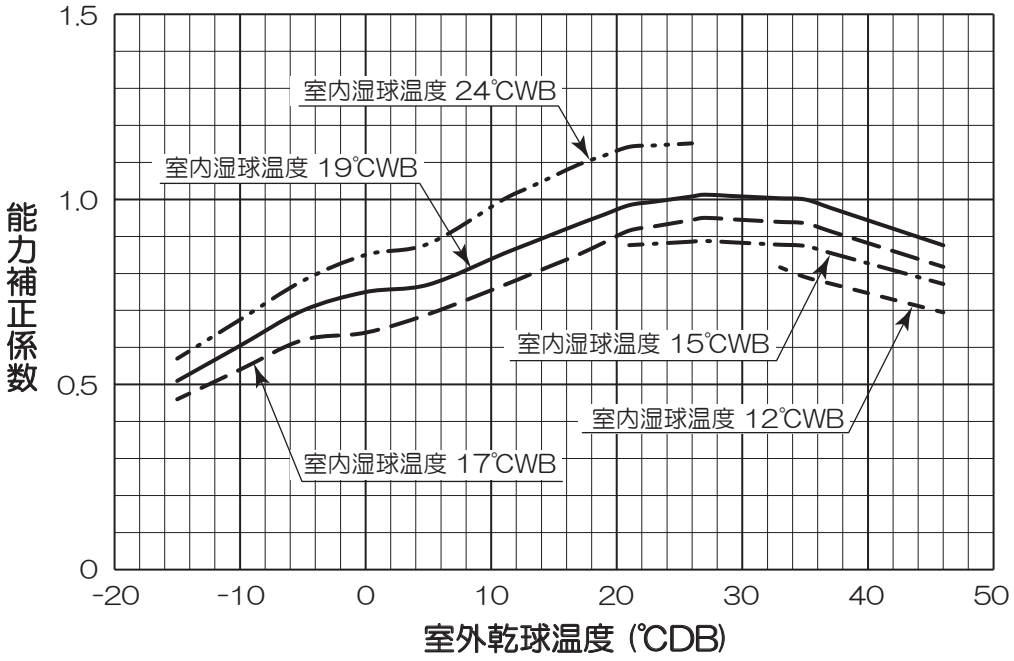
b） 室内・外温度条件による消費電力補正



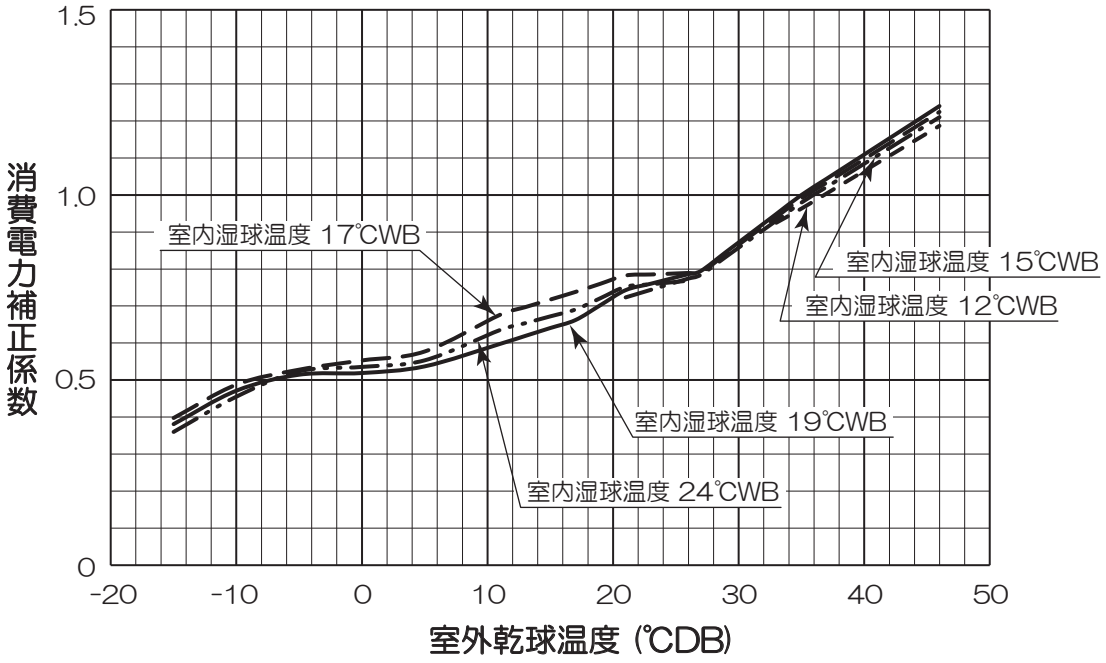
(b) P636

(i) 冷房

a) 室内・外温度条件による能力補正



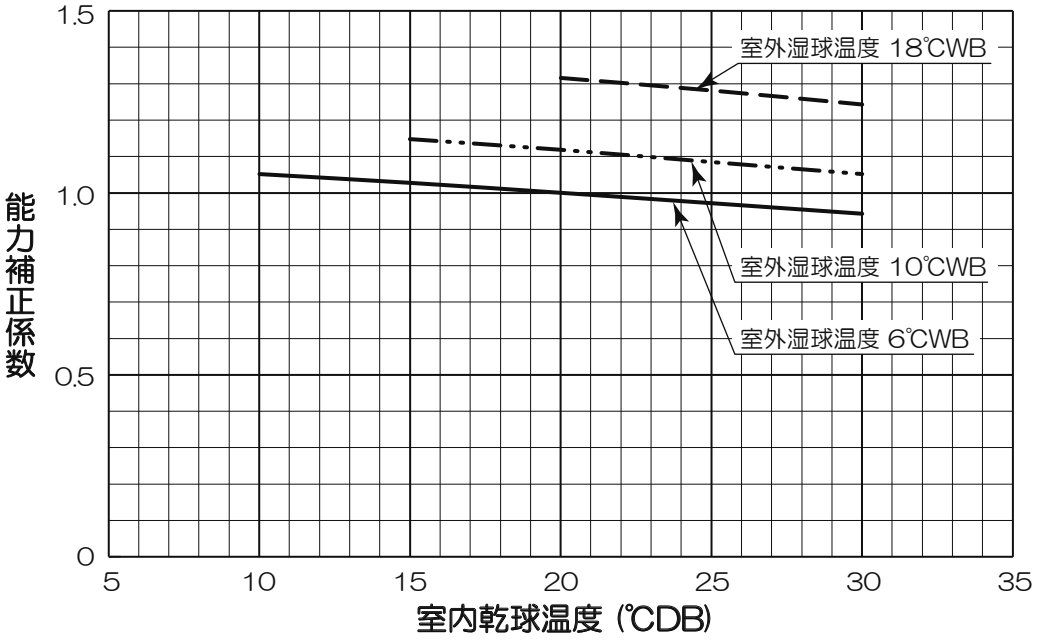
b) 室内・外温度条件による消費電力補正



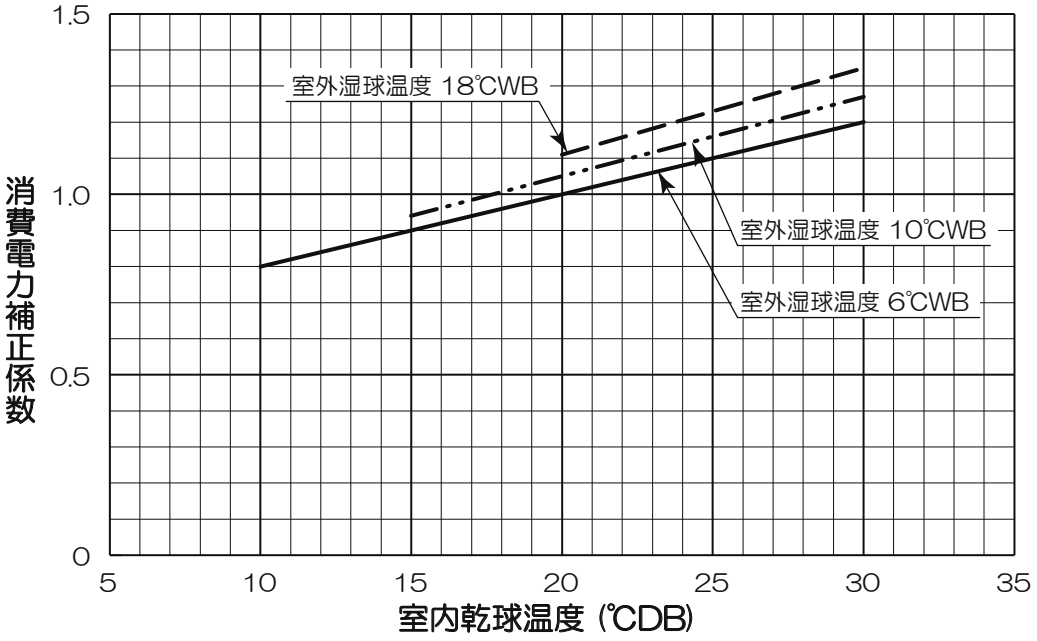
(ii) 暖房

1) 定格暖房標準条件の定格暖房能力を基準

a) 室内・外温度条件による能力補正

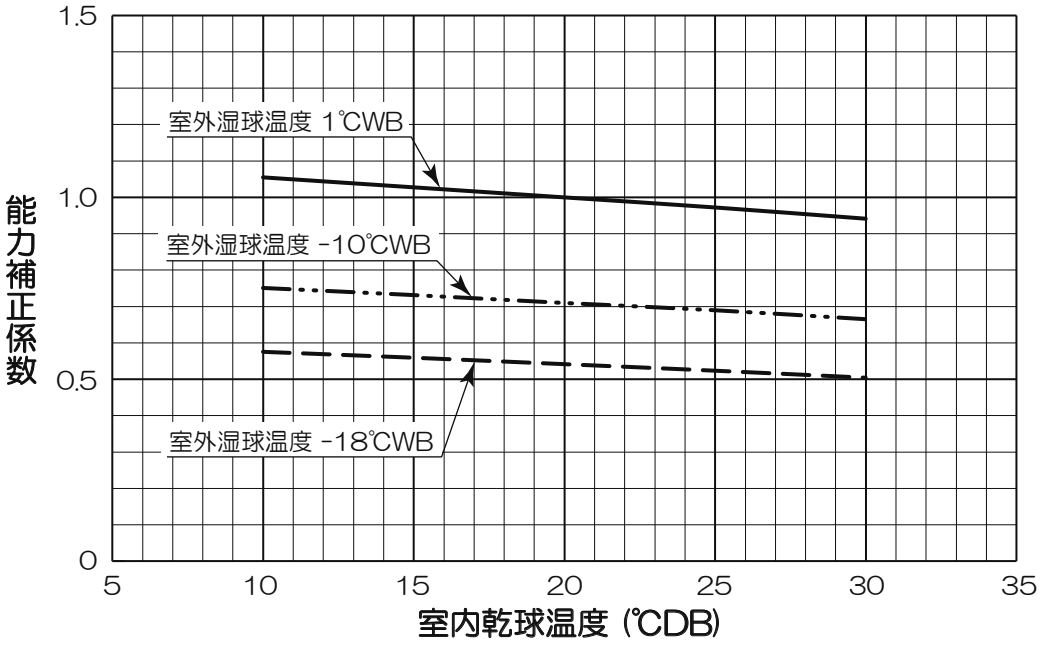


b) 室内・外温度条件による消費電力補正

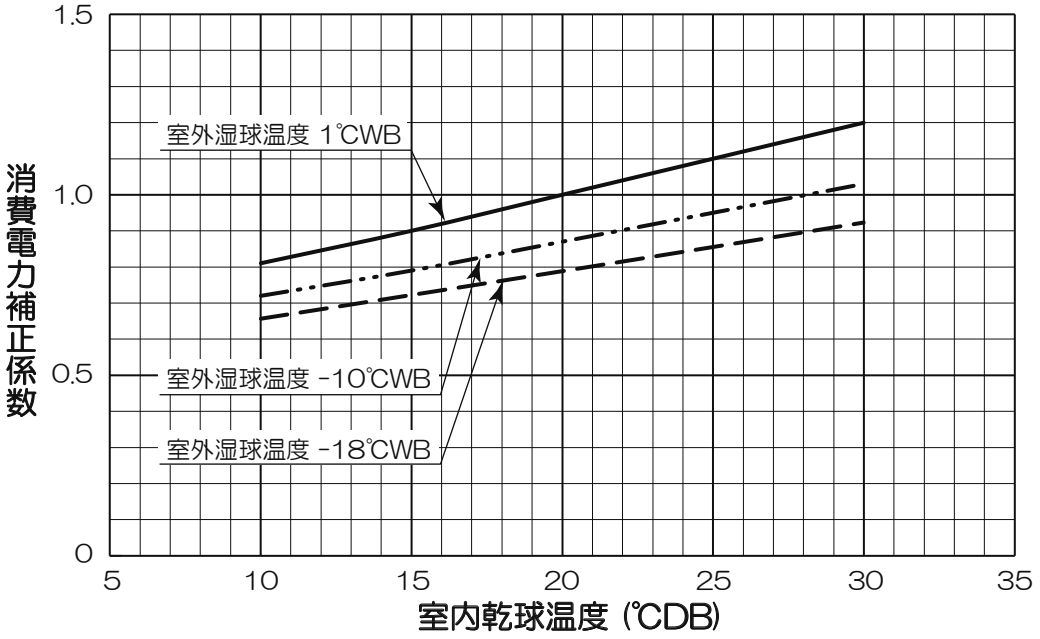


2）最大暖房低温条件の最大暖房低温能力を基準

a） 室内・外温度条件による能力補正



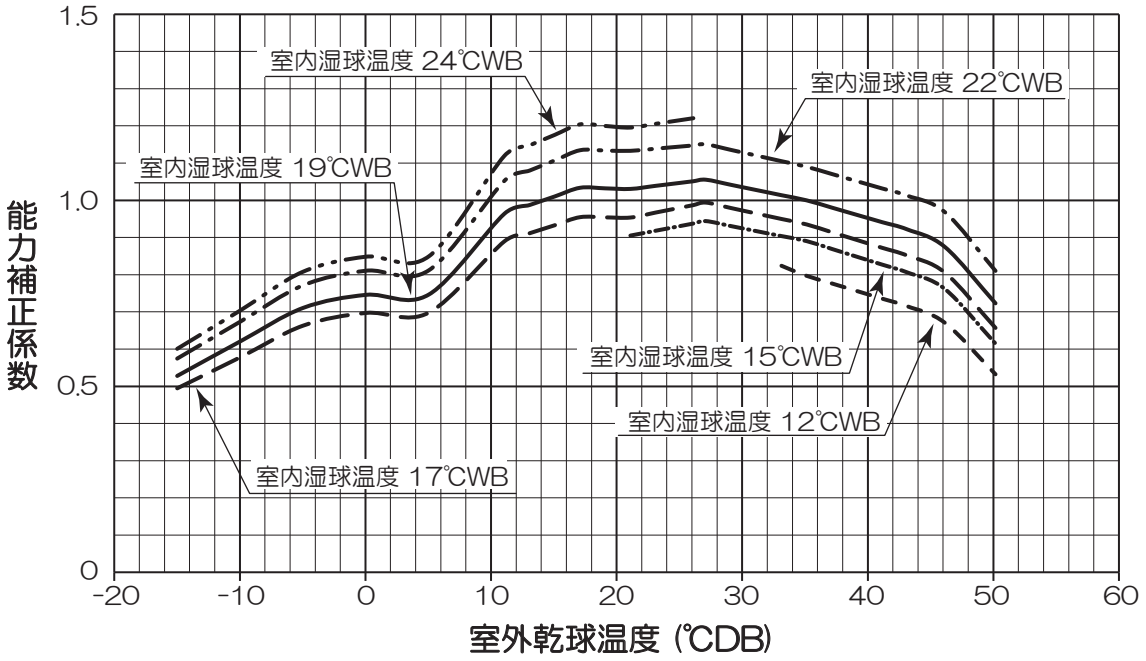
b） 室内・外温度条件による消費電力補正



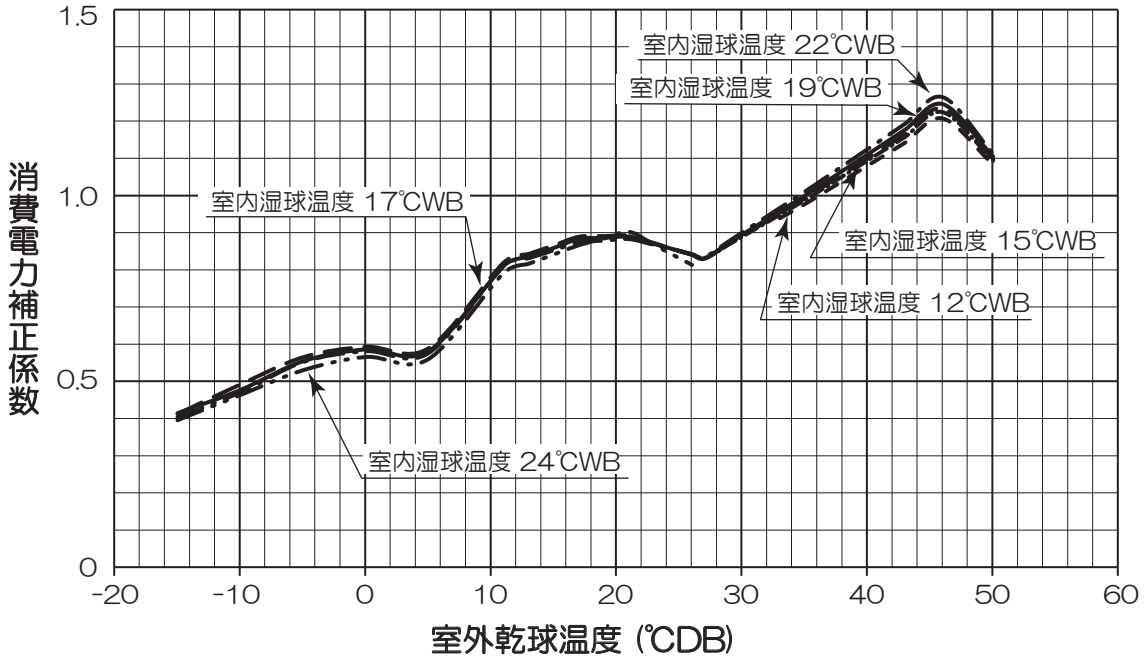
(c) P806

(i) 冷房

a) 室内・外温度条件による能力補正



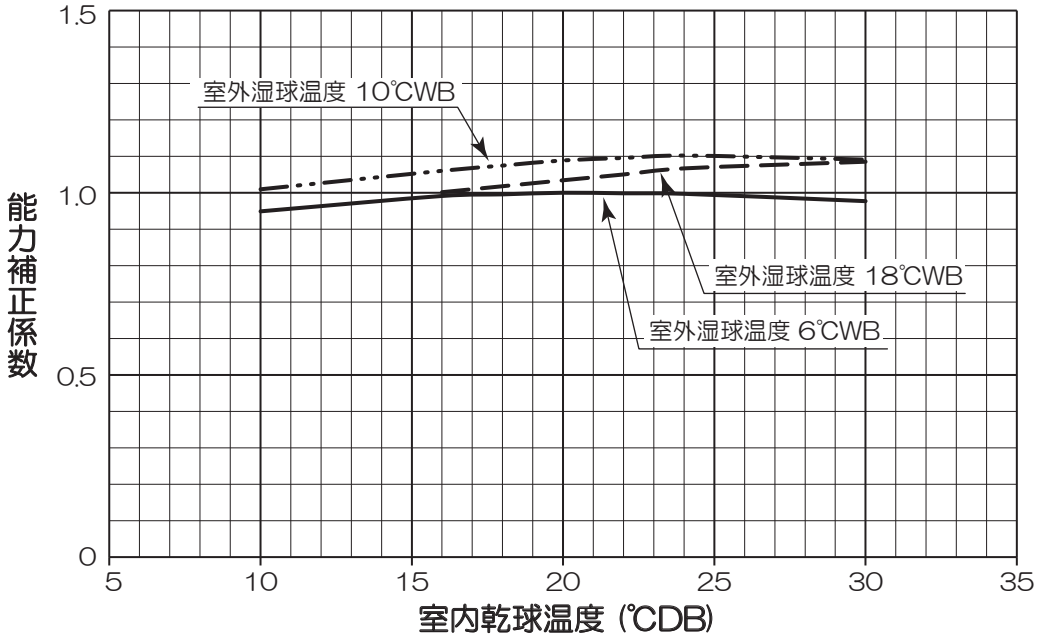
b) 室内・外温度条件による消費電力補正



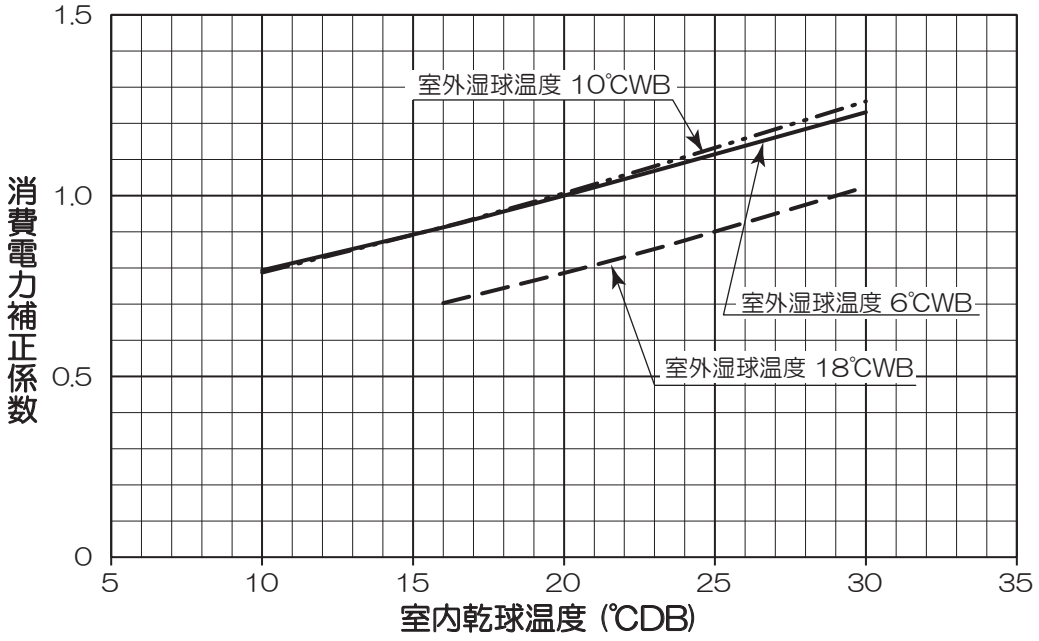
(ii) 暖房

1) 定格暖房標準条件の定格暖房能力を基準

a) 室内・外温度条件による能力補正

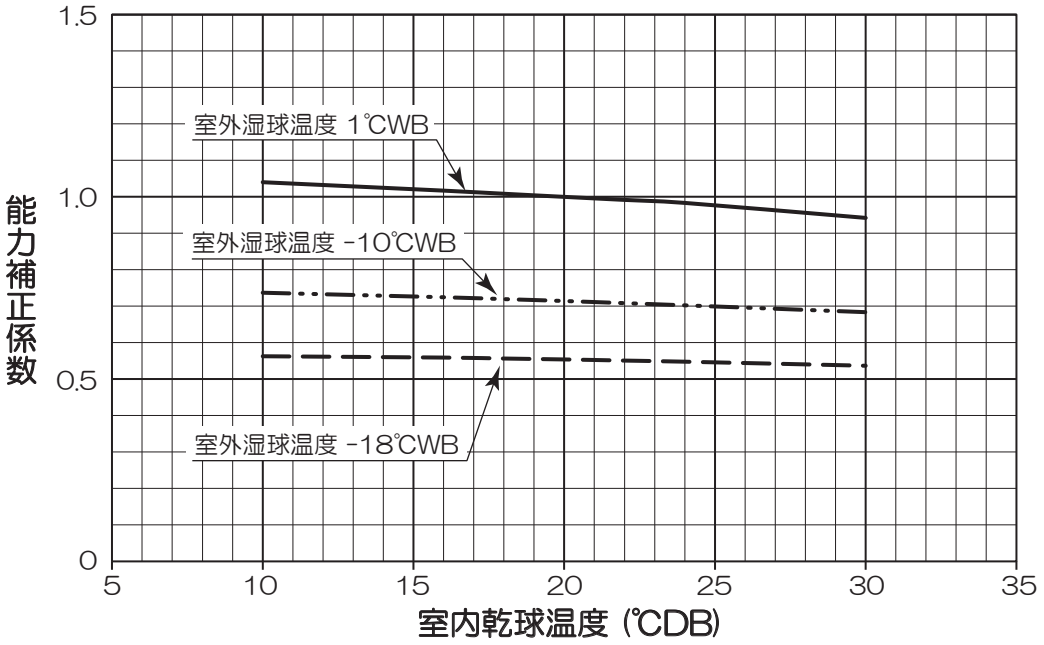


b) 室内・外温度条件による消費電力補正

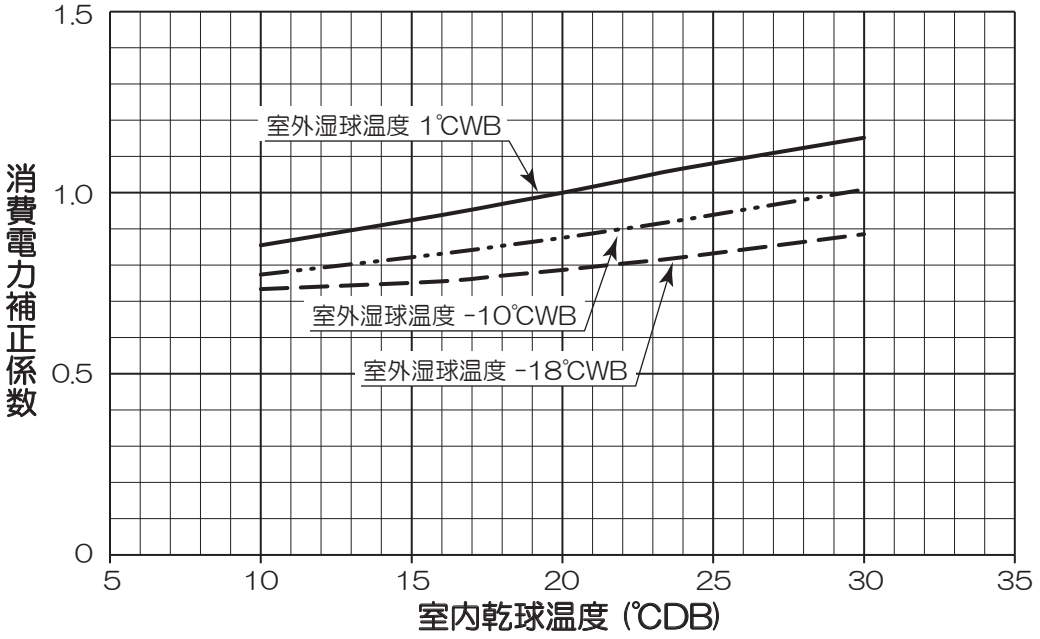


2）最大暖房低温条件の最大暖房低温能力を基準

a） 室内・外温度条件による能力補正



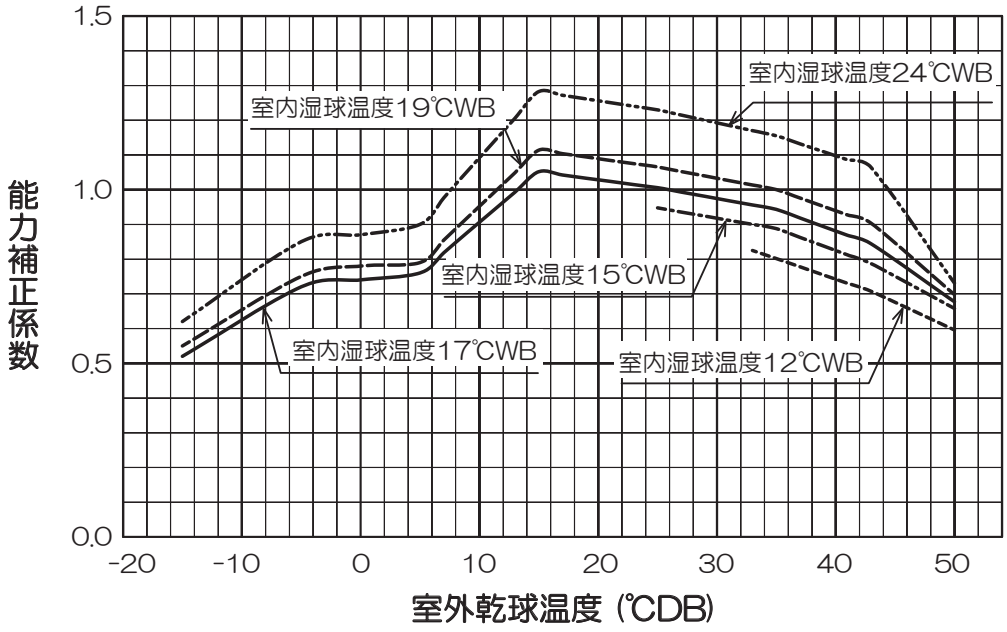
b） 室内・外温度条件による消費電力補正



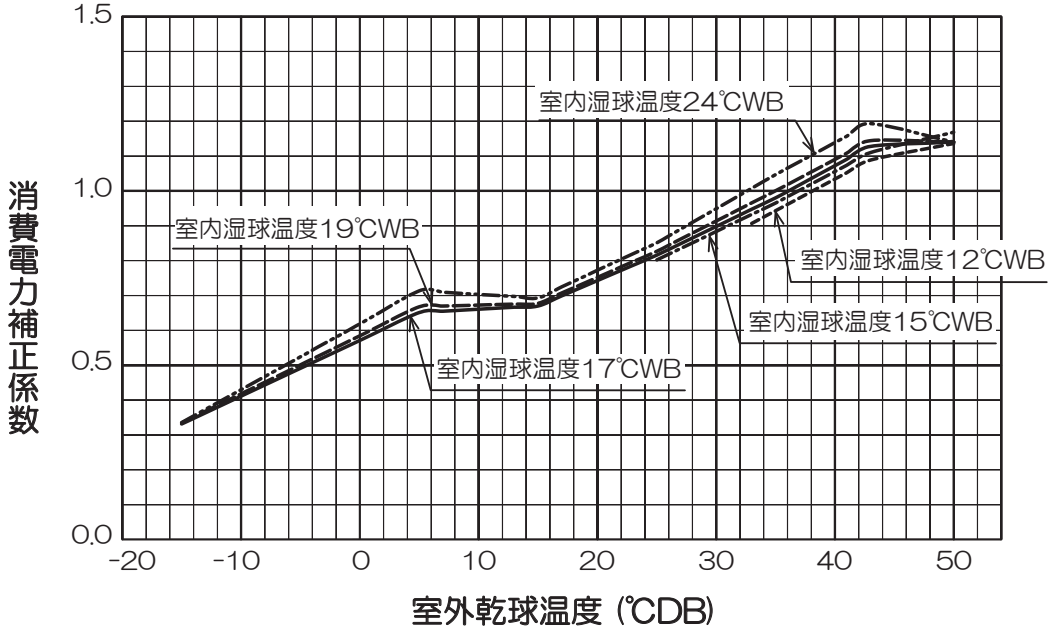
⑷ P1126 ～ P1606H

(i) 冷房

1) 室内・外温度条件による能力補正



2) 室内・外温度条件による消費電力補正

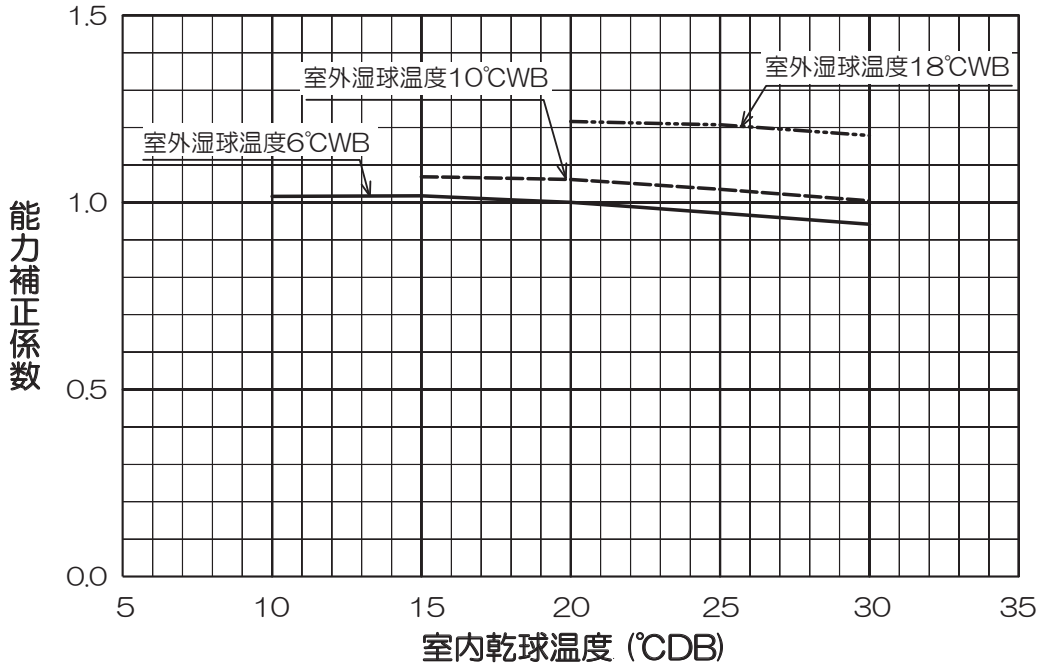


(ii) 暖房

1) 定格暖房標準条件の定格暖房能力を基準

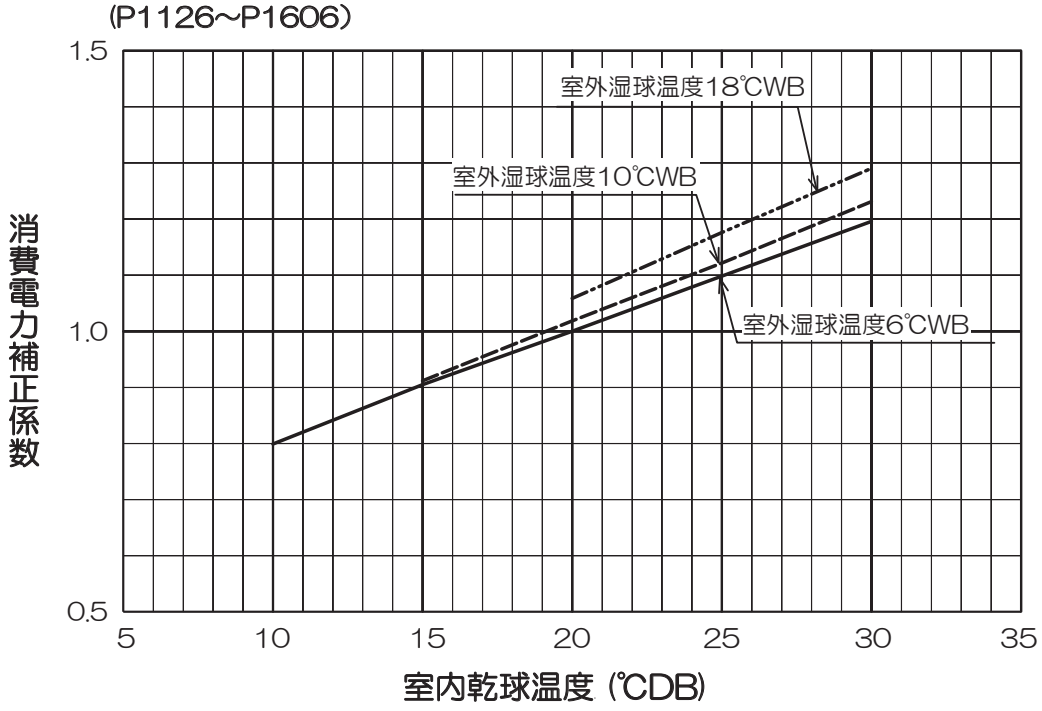
a) 室内・外温度条件による能力補正

(P1126～P1606)



b) 室内・外温度条件による消費電力補正

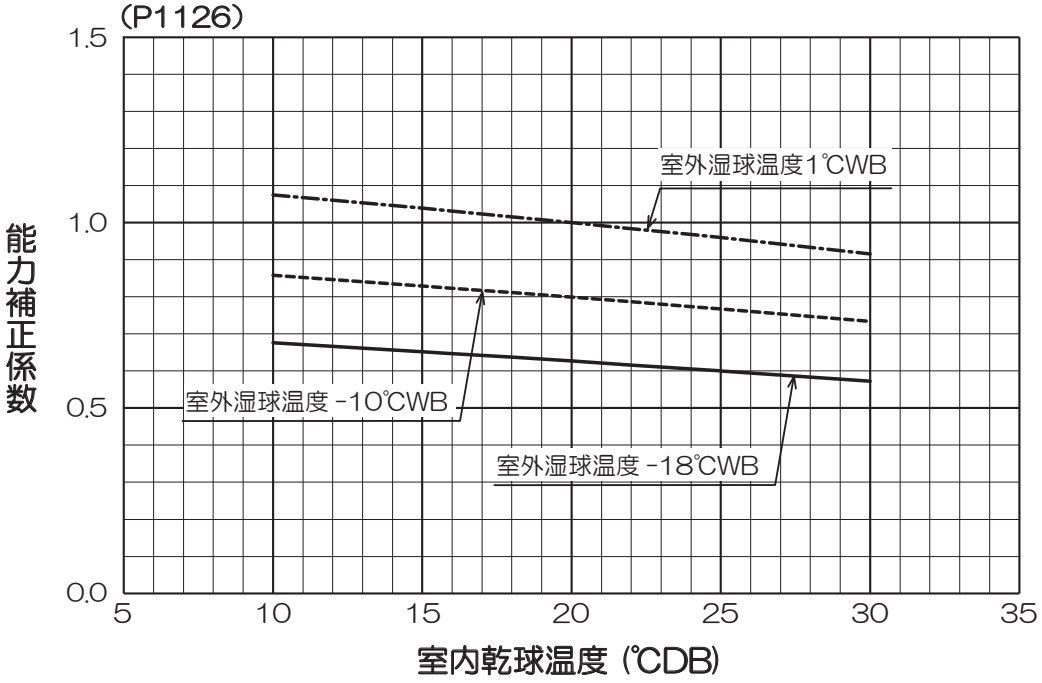
(P1126～P1606)



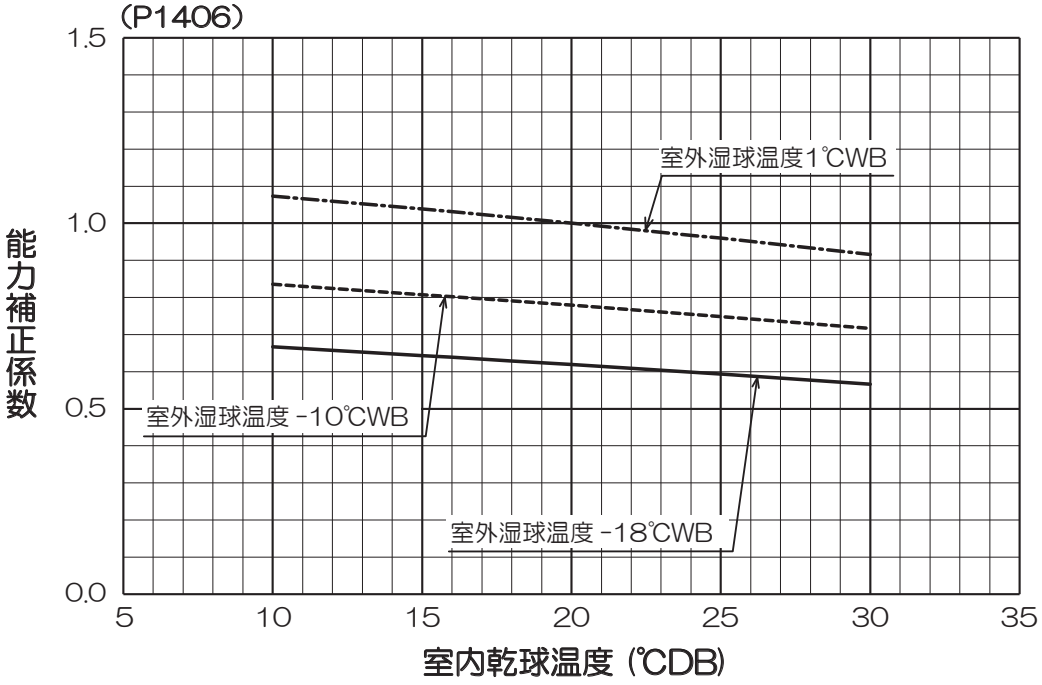
2) 最大暖房低温条件の最大暖房低温能力を基準

a) 室内・外温度条件による能力補正

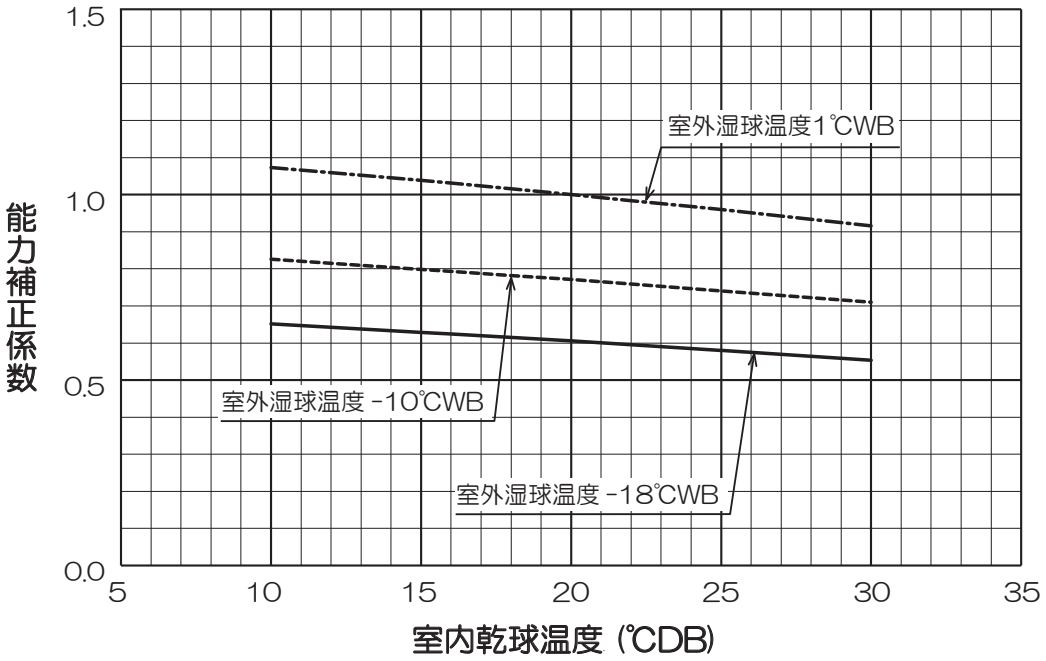
(P1126)



(P1406)

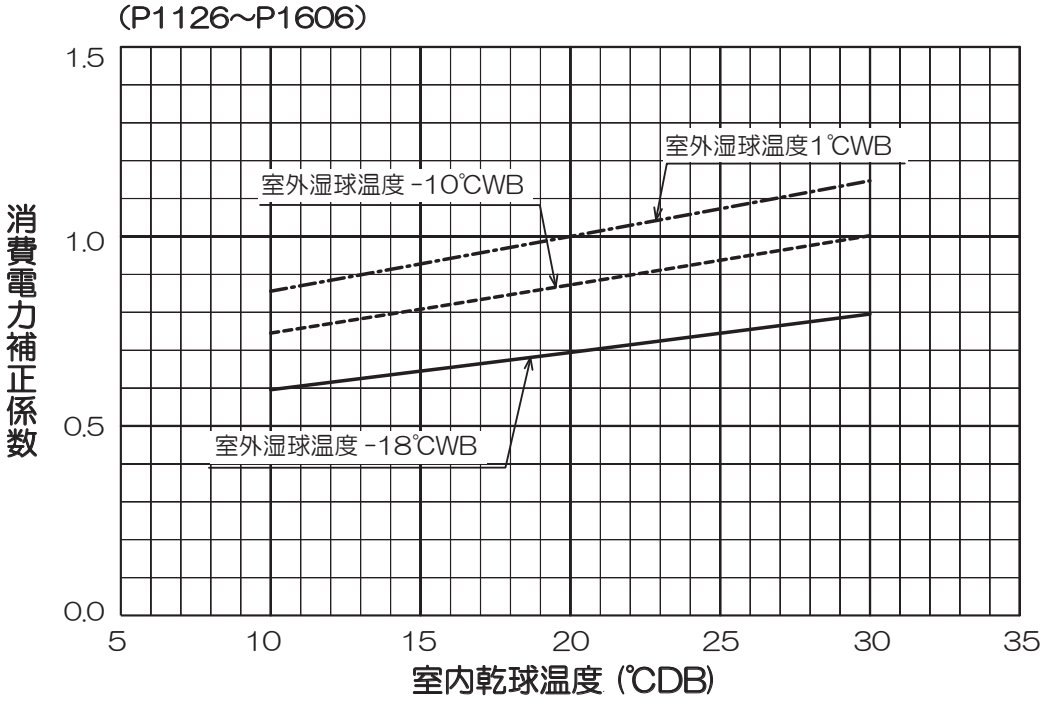


(P1606)



b) 室内・外温度条件による消費電力補正

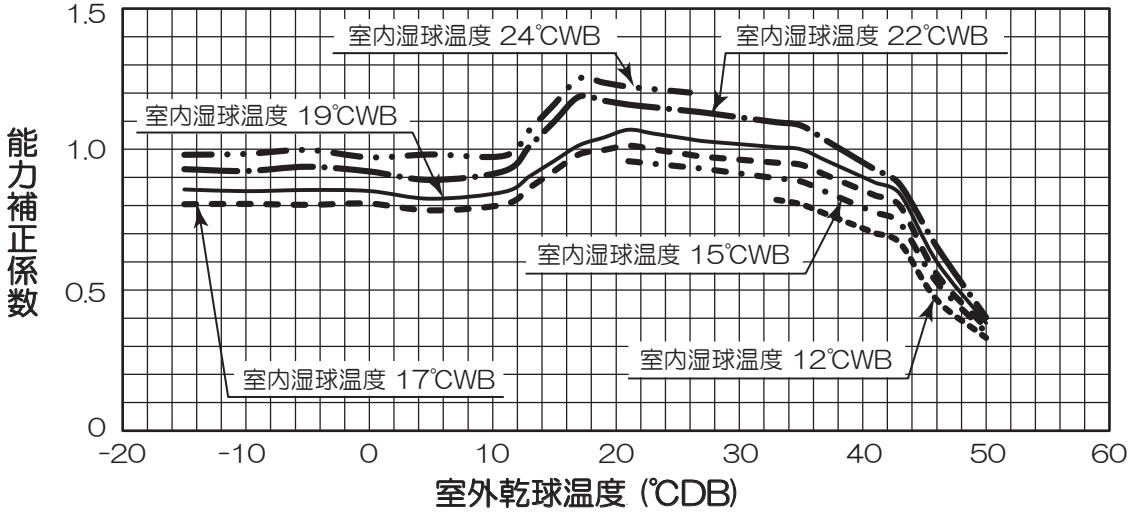
(P1126~P1606)



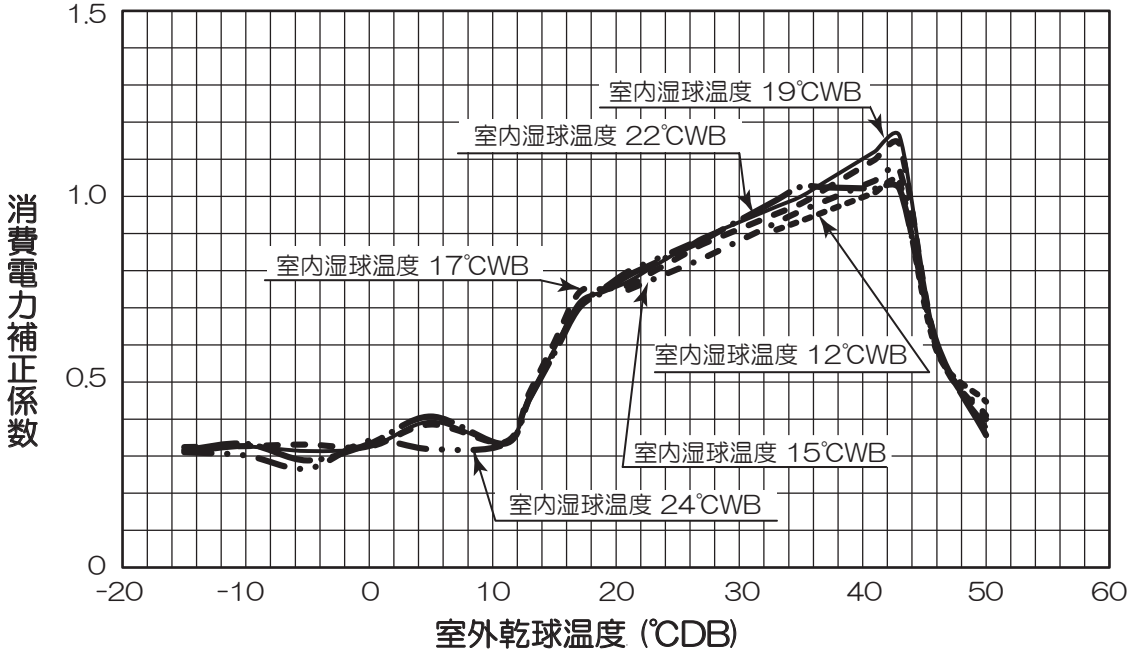
(e) P2246, P2806

(i) 冷房

1) 室内・外温度条件による能力補正

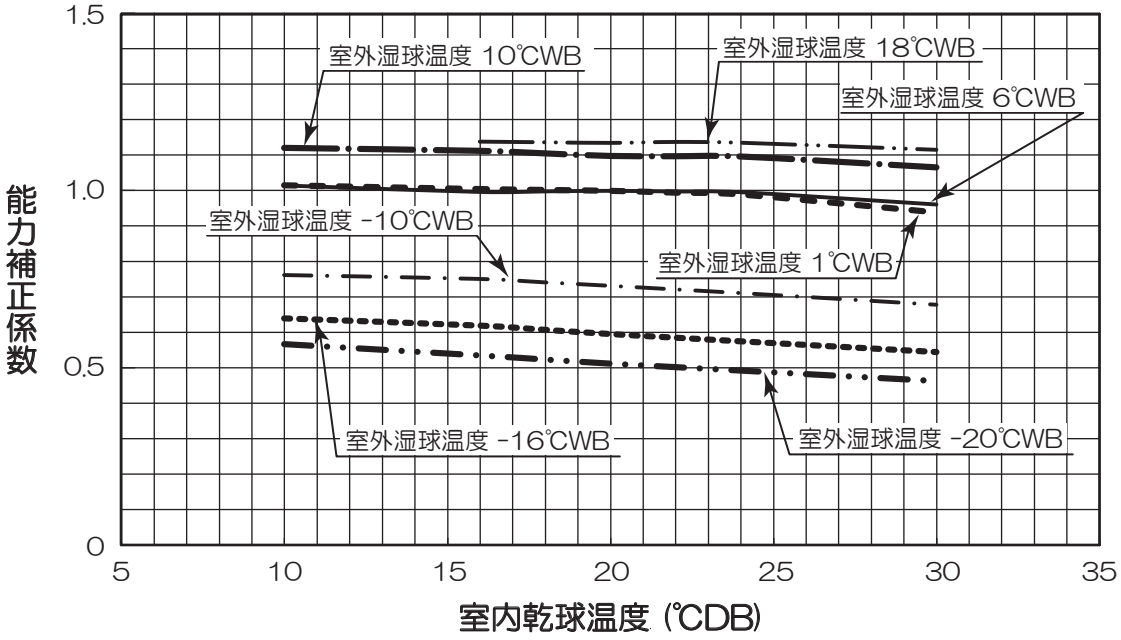


2) 室内・外温度条件による消費電力補正

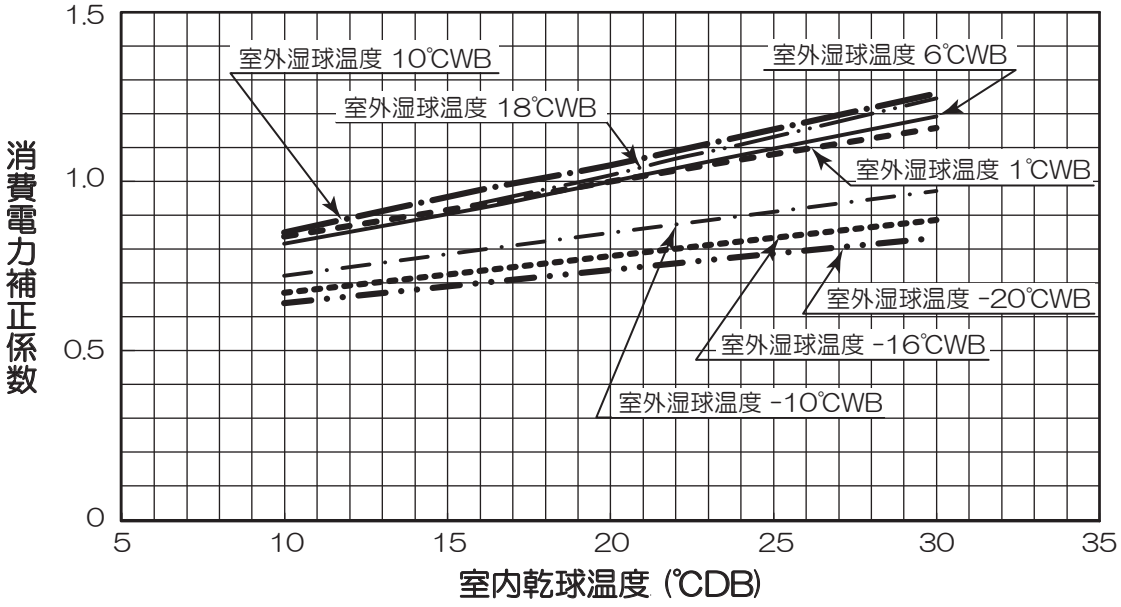


(ii) 暖房

1) 室内・外温度条件による能力補正



2) 室内・外温度条件による消費電力補正



参考　能力特性表

形式 FDTV406H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCVP406H）

冷房　(kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度 18℃CDB 12℃CWB		21℃CDB 14℃CWB		23℃CDB 16℃CWB		26℃CDB 18℃CWB		27℃CDB 19℃CWB		28℃CDB 20℃CWB		31℃CDB 22℃CWB		33℃CDB 24℃CWB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					2.61	2.56	2.92	2.86	3.07	3.01	3.18	3.12	3.39	3.32	3.60	3.46
13					2.71	2.66	3.02	2.96	3.17	3.11	3.28	3.21	3.50	3.43	3.71	3.49
15					2.81	2.76	3.12	3.05	3.27	3.20	3.38	3.32	3.60	3.57	3.83	3.53
17					2.92	2.86	3.21	3.15	3.36	3.30	3.48	3.36	3.71	3.60	3.94	3.56
19					3.22	3.20	3.48	3.47	3.61	3.46	3.72	3.44	3.95	3.67	4.18	3.62
21					3.53	3.33	3.74	3.57	3.85	3.55	3.96	3.53	4.19	3.74	4.42	3.69
23					3.53	3.33	3.74	3.57	3.85	3.55	3.96	3.53	4.19	3.74	4.42	3.69
25			3.32	3.26	3.53	3.33	3.74	3.57	3.85	3.55	3.96	3.53	4.19	3.74	4.42	3.69
27			3.32	3.25	3.53	3.33	3.74	3.57	3.85	3.55	3.96	3.53	4.18	3.73		
29			3.26	3.20	3.47	3.30	3.68	3.55	3.79	3.53	3.90	3.51	4.11	3.72		
31			3.21	3.14	3.41	3.28	3.62	3.52	3.72	3.51	3.83	3.49	4.05	3.70		
33	2.98	2.92	3.18	3.12	3.35	3.25	3.55	3.50	3.66	3.48	3.77	3.46	3.99	3.68		
35	2.89	2.83	3.09	3.03	3.29	3.23	3.49	3.47	3.60	3.46	3.71	3.44	3.93	3.66		
37	2.78	2.73	2.95	2.90	3.12	3.06	3.30	3.23	3.39	3.38	3.48	3.36	3.67	3.59		
39	2.67	2.62	2.82	2.76	2.96	2.90	3.11	3.05	3.18	3.12	3.26	3.19	3.41	3.34		
41	2.57	2.51	2.68	2.63	2.80	2.74	2.92	2.86	2.98	2.92	3.04	2.97	3.15	3.09		
43	2.46	2.41	2.55	2.49	2.64	2.58	2.73	2.67	2.77	2.71	2.81	2.75	2.90	2.84		

暖房　(kW)

	外気温度 ℃CDB	℃WB	室内吸込温度 ℃CDB 16℃CDB	18℃CDB	20℃CDB	22℃CDB	24℃CDB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	2.79	2.77	2.75	2.73	2.72
	-17.7	-18	2.96	2.94	2.92	2.91	2.89
	-15.7	-16	3.14	3.12	3.10	3.08	3.06
	-13.5	-14	3.34	3.32	3.30	3.28	3.26
	-11.5	-12	3.55	3.53	3.50	3.48	3.46
	-9.5	-10	3.75	3.73	3.71	3.68	3.65
	-7.5	-8	3.95	3.93	3.91	3.88	3.85
	-5.5	-6	4.22	4.19	4.15	4.11	4.06
	-3.0	-4	4.48	4.44	4.39	4.33	4.27
	-1.0	-2	4.75	4.69	4.64	4.56	4.48
	1.0	0	5.02	4.95	4.88	4.79	4.69
	2.0	1	5.15	5.07	5.00	4.90	4.80
	3.0	2	5.09	5.02	4.95	4.86	4.77
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	4.18	4.13	4.08	4.02	3.95
	7.0	6	4.09	4.04	4.00	3.95	3.91
	9.0	8	4.30	4.27	4.24	4.19	4.14
	11.5	10	4.51	4.50	4.48	4.42	4.37
	13.5	12	4.69	4.67	4.65	4.60	4.54
	15.5	14	4.87	4.85	4.83	4.77	4.71
	16.5	16	5.05	5.03	5.01	4.95	4.89

形式 FDTV456H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCVP456H）

冷房　(kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度 18℃CDB 12℃CWB		21℃CDB 14℃CWB		23℃CDB 16℃CWB		26℃CDB 18℃CWB		27℃CDB 19℃CWB		28℃CDB 20℃CWB		31℃CDB 22℃CWB		33℃CDB 24℃CWB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					2.90	2.84	3.24	3.18	3.42	3.35	3.53	3.46	3.77	3.69	4.00	3.76
13					3.01	2.95	3.35	3.29	3.52	3.45	3.64	3.58	3.88	3.83	4.13	3.79
15					3.13	3.07	3.46	3.39	3.63	3.63	3.75	3.61	4.00	3.87	4.25	3.83
17					3.24	3.18	3.57	3.50	3.74	3.67	3.86	3.66	4.12	3.92	4.38	3.88
19					3.58	3.49	3.86	3.78	4.01	3.77	4.13	3.75	4.39	4.00	4.64	3.95
21					3.92	3.64	4.15	3.89	4.28	3.87	4.40	3.85	4.66	4.09	4.91	4.04
23					3.92	3.63	4.15	3.89	4.28	3.87	4.40	3.85	4.66	4.09	4.91	4.04
25			3.69	3.67	3.92	3.63	4.16	3.89	4.28	3.87	4.40	3.85	4.66	4.09	4.91	4.04
27			3.69	3.66	3.92	3.63	4.16	3.89	4.28	3.87	4.40	3.85	4.64	4.09		
29			3.63	3.55	3.85	3.61	4.09	3.87	4.21	3.84	4.33	3.82	4.57	4.06		
31			3.56	3.49	3.79	3.58	4.02	3.84	4.14	3.82	4.26	3.80	4.50	4.03		
33	3.31	3.30	3.53	3.46	3.72	3.55	3.95	3.81	4.07	3.79	4.19	3.78	4.43	4.01		
35	3.21	3.15	3.43	3.37	3.65	3.52	3.88	3.78	4.00	3.76	4.12	3.74	4.36	3.99		
37	3.09	3.03	3.28	3.22	3.47	3.45	3.67	3.59	3.77	3.68	3.87	3.66	4.08	3.90		
39	2.97	2.91	3.13	3.07	3.29	3.23	3.45	3.39	3.54	3.47	3.62	3.57	3.79	3.71		
41	2.85	2.79	2.98	2.92	3.11	3.05	3.24	3.18	3.31	3.24	3.37	3.31	3.50	3.43		
43	2.73	2.68	2.83	2.77	2.93	2.87	3.03	2.97	3.08	3.02	3.12	3.06	3.22	3.15		

暖房　(kW)

	外気温度 ℃CDB	℃WB	室内吸込温度 ℃CDB 16℃CDB	18℃CDB	20℃CDB	22℃CDB	24℃CDB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	2.79	2.77	2.75	2.73	2.72
	-17.7	-18	2.96	2.94	2.92	2.91	2.89
	-15.7	-16	3.14	3.12	3.10	3.08	3.06
	-13.5	-14	3.34	3.32	3.30	3.28	3.26
	-11.5	-12	3.55	3.53	3.50	3.48	3.46
	-9.5	-10	3.75	3.73	3.71	3.68	3.65
	-7.5	-8	3.95	3.93	3.91	3.88	3.85
	-5.5	-6	4.22	4.19	4.15	4.11	4.06
	-3.0	-4	4.48	4.44	4.39	4.33	4.27
	-1.0	-2	4.75	4.69	4.64	4.56	4.48
	1.0	0	5.02	4.95	4.88	4.79	4.69
	2.0	1	5.15	5.07	5.00	4.90	4.80
	3.0	2	5.09	5.02	4.95	4.86	4.77
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	4.70	4.65	4.59	4.52	4.45
	7.0	6	4.60	4.55	4.50	4.45	4.39
	9.0	8	4.84	4.80	4.77	4.71	4.65
	11.5	10	5.08	5.06	5.04	4.98	4.92
	13.5	12	5.28	5.26	5.23	5.17	5.11
	15.5	14	5.48	5.46	5.43	5.37	5.30
	16.5	16	5.68	5.66	5.63	5.56	5.50

記事(1) 能力は下記条件での計算値です。ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は、その能力変化を考慮しています。
(a) 冷房能力：定格冷房標準条件（室内側：27℃CDB/19℃CWB、室外側：35℃CDB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(b) 暖房能力
(i) 定格暖房標準条件を基準：定格暖房標準条件（室内側：20℃CDB、室外側：7℃CDB/6℃CWB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(ii) 最大暖房低温条件を基準：最大暖房低温条件（室内側：20℃CDB、室外側：2℃CDB/1℃CWB）の最大能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(2) 運転条件
配管長：5m　室内外ユニット高低差：0m
(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTV506H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCVP506H）

冷房 (kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度															
	18℃CDB		21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	12℃CWB		14℃CWB		16℃CWB		18℃CWB		19℃CWB		20℃CWB		22℃CWB		24℃CWB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					3.26	3.20	3.65	3.58	3.84	3.81	3.97	3.79	4.24	4.06	4.50	4.02
13					3.39	3.32	3.77	3.70	3.96	3.85	4.10	3.84	4.37	4.10	4.64	4.06
15					3.52	3.45	3.89	3.82	4.08	3.90	4.22	3.89	4.50	4.16	4.78	4.11
17					3.65	3.60	4.02	3.94	4.20	3.94	4.35	3.93	4.64	4.20	4.92	4.15
19					4.02	3.75	4.35	4.07	4.51	4.06	4.65	4.04	4.94	4.30	5.22	4.24
21					4.41	3.93	4.67	4.20	4.81	4.17	4.95	4.15	5.24	4.40	5.52	4.34
23					4.41	3.93	4.67	4.20	4.81	4.17	4.95	4.15	5.24	4.40	5.53	4.34
25			4.15	3.96	4.41	3.93	4.67	4.20	4.81	4.17	4.95	4.15	5.24	4.40	5.53	4.34
27			4.15	3.96	4.41	3.93	4.68	4.20	4.81	4.17	4.95	4.15	5.22	4.40		
29			4.08	3.92	4.33	3.90	4.60	4.17	4.73	4.15	4.87	4.12	5.14	4.36		
31			4.01	3.89	4.26	3.87	4.52	4.13	4.66	4.11	4.79	4.09	5.06	4.34		
33	3.72	3.58	3.98	3.88	4.18	3.83	4.44	4.10	4.58	4.08	4.71	4.06	4.99	4.31		
35	3.61	3.53	3.86	3.82	4.11	3.78	4.36	4.07	4.50	4.06	4.64	4.03	4.91	4.29		
37	3.48	3.46	3.69	3.62	3.91	3.70	4.13	3.98	4.24	3.96	4.36	3.93	4.59	4.18		
39	3.34	3.28	3.52	3.45	3.70	3.62	3.89	3.81	3.98	3.86	4.07	3.84	4.26	4.07		
41	3.21	3.14	3.35	3.29	3.50	3.43	3.65	3.57	3.72	3.65	3.79	3.73	3.94	3.86		
43	3.07	3.01	3.18	3.12	3.30	3.23	3.41	3.34	3.46	3.39	3.51	3.44	3.62	3.55		

暖房 (kW)

	外気温度		室内吸込温度 ℃CDB				
	℃DB	℃WB	16℃DB	18℃DB	20℃DB	22℃DB	24℃DB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	3.18	3.15	3.13	3.11	3.10
	-17.7	-18	3.38	3.36	3.33	3.31	3.29
	-15.7	-16	3.58	3.56	3.53	3.51	3.49
	-13.5	-14	3.81	3.79	3.77	3.74	3.72
	-11.5	-12	4.04	4.02	4.00	3.97	3.94
	-9.5	-10	4.28	4.25	4.23	4.20	4.17
	-7.5	-8	4.51	4.48	4.46	4.42	4.39
	-5.5	-6	4.81	4.77	4.73	4.68	4.63
	-3.0	-4	5.11	5.06	5.01	4.94	4.87
	-1.0	-2	5.41	5.35	5.29	5.20	5.11
	1.0	0	5.72	5.64	5.56	5.46	5.35
	2.0	1	5.87	5.78	5.70	5.58	5.47
	3.0	2	5.81	5.73	5.65	5.54	5.44
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	5.22	5.16	5.10	5.02	4.94
	7.0	6	5.11	5.05	5.00	4.94	4.88
	9.0	8	5.37	5.34	5.30	5.23	5.17
	11.5	10	5.64	5.62	5.59	5.53	5.46
	13.5	12	5.87	5.84	5.82	5.75	5.68
	15.5	14	6.09	6.06	6.04	5.96	5.89
	16.5	16	6.31	6.28	6.26	6.18	6.11

形式 FDTV566H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCVP566H）

冷房 (kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度															
	18℃CDB		21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	12℃CWB		14℃CWB		16℃CWB		18℃CWB		19℃CWB		20℃CWB		22℃CWB		24℃CWB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					3.63	3.61	4.06	3.95	4.27	3.97	4.42	3.95	4.71	4.24	5.00	4.19
13					3.77	3.67	4.19	4.00	4.40	4.01	4.55	4.00	4.86	4.28	5.16	4.24
15					3.91	3.73	4.33	4.05	4.54	4.06	4.69	4.04	5.00	4.33	5.31	4.28
17					4.05	3.78	4.46	4.10	4.67	4.11	4.83	4.12	5.15	4.38	5.47	4.33
19					4.47	3.97	4.83	4.27	5.01	4.25	5.17	4.24	5.49	4.49	5.81	4.43
21					4.90	4.15	5.19	4.41	5.34	4.39	5.50	4.37	5.82	4.59	6.14	4.52
23					4.90	4.15	5.19	4.41	5.34	4.39	5.50	4.37	5.82	4.59	6.14	4.52
25			4.62	4.19	4.90	4.15	5.19	4.41	5.35	4.39	5.50	4.37	5.82	4.59	6.14	4.53
27			4.61	4.18	4.90	4.15	5.19	4.41	5.35	4.39	5.50	4.37	5.80	4.59		
29			4.53	4.15	4.82	4.11	5.11	4.38	5.26	4.35	5.41	4.33	5.71	4.56		
31			4.46	4.11	4.73	4.08	5.02	4.35	5.17	4.32	5.32	4.30	5.63	4.53		
33	4.13	3.80	4.42	4.09	4.65	4.04	4.94	4.31	5.09	4.29	5.24	4.27	5.54	4.50		
35	4.01	3.73	4.29	4.04	4.57	4.00	4.85	4.27	5.00	4.25	5.15	4.24	5.45	4.48		
37	3.86	3.66	4.10	3.95	4.34	3.91	4.58	4.17	4.71	4.15	4.84	4.12	5.10	4.37		
39	3.71	3.58	3.91	3.86	4.11	3.82	4.32	4.05	4.42	4.02	4.53	3.99	4.74	4.25		
41	3.56	3.52	3.72	3.65	3.89	3.72	4.05	3.95	4.13	3.92	4.22	3.88	4.38	4.13		
43	3.41	3.35	3.54	3.46	3.66	3.62	3.79	3.71	3.85	3.82	3.90	3.78	4.02	4.01		

暖房 (kW)

	外気温度		室内吸込温度 ℃CDB				
	℃DB	℃WB	16℃DB	18℃DB	20℃DB	22℃DB	24℃DB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	3.29	3.27	3.24	3.22	3.20
	-17.7	-18	3.50	3.47	3.45	3.43	3.41
	-15.7	-16	3.71	3.68	3.66	3.64	3.61
	-13.5	-14	3.95	3.92	3.90	3.87	3.85
	-11.5	-12	4.19	4.16	4.14	4.11	4.08
	-9.5	-10	4.43	4.40	4.37	4.34	4.31
	-7.5	-8	4.66	4.64	4.61	4.58	4.54
	-5.5	-6	4.98	4.94	4.90	4.85	4.79
	-3.0	-4	5.29	5.24	5.19	5.11	5.04
	-1.0	-2	5.60	5.54	5.47	5.38	5.29
	1.0	0	5.92	5.84	5.76	5.65	5.54
	2.0	1	6.07	5.99	5.90	5.78	5.66
	3.0	2	6.01	5.93	5.84	5.74	5.63
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	5.85	5.78	5.71	5.62	5.54
	7.0	6	5.72	5.66	5.60	5.53	5.47
	9.0	8	6.02	5.98	5.93	5.86	5.79
	11.5	10	6.32	6.29	6.27	6.19	6.12
	13.5	12	6.57	6.54	6.51	6.44	6.36
	15.5	14	6.82	6.79	6.76	6.68	6.60
	16.5	16	7.07	7.04	7.01	6.92	6.84

記事(1) 能力は下記条件での計算値です。ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は、その能力変化を考慮しています。
(a) 冷房能力：定格冷房標準条件（室内側：27℃CDB/19℃CWB、室外側：35℃CDB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(b) 暖房能力
(i) 定格暖房標準条件を基準：定格暖房標準条件（室内側：20℃CDB、室外側：7℃CDB/6℃CWB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(ii) 最大暖房低温条件を基準：最大暖房低温条件（室内側：20℃CDB、室外側：2℃CDB/1℃CWB）の最大能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。

(2) 運転条件
配管長：5m　室内外ユニット高低差：0m

(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTV636H6SA（室内ユニット：FDTZP636SA, 室外ユニット：FDCVP636H）

冷房 (kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度															
	18℃CDB		21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	12℃WB		14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					4.06	3.62	4.54	3.96	4.78	3.97	4.95	3.96	5.27	4.20	5.60	4.15
13					4.22	3.69	4.69	4.02	4.93	4.03	5.10	4.01	5.44	4.24	5.78	4.19
15					4.38	3.75	4.85	4.07	5.08	4.11	5.26	4.09	5.60	4.33	5.95	4.28
17					4.54	3.82	5.00	4.15	5.23	4.17	5.41	4.15	5.77	4.38	6.13	4.34
19					4.74	3.92	5.16	4.22	5.37	4.22	5.55	4.20	5.91	4.44	6.26	4.38
21					5.02	4.05	5.32	4.29	5.51	4.27	5.69	4.26	6.04	4.49	6.39	4.42
23					5.06	4.07	5.38	4.31	5.57	4.30	5.74	4.28	6.08	4.50	6.41	4.43
25			4.80	4.11	5.10	4.08	5.44	4.34	5.62	4.32	5.78	4.29	6.11	4.51	6.44	4.44
27			4.80	4.11	5.15	4.10	5.50	4.36	5.67	4.34	5.85	4.32	6.20	4.54		
29			4.78	4.10	5.13	4.09	5.48	4.35	5.65	4.33	5.83	4.32	6.19	4.54		
31			4.76	4.09	5.11	4.08	5.46	4.34	5.64	4.33	5.81	4.30	6.17	4.54		
33	4.57	3.88	4.83	4.13	5.09	4.08	5.44	4.34	5.62	4.32	5.80	4.30	6.16	4.53		
35	4.42	3.80	4.74	4.08	5.07	4.07	5.42	4.33	5.60	4.31	5.78	4.29	6.14	4.53		
37	4.33	3.75	4.64	4.03	4.95	4.01	5.30	4.28	5.47	4.26	5.65	4.24	6.01	4.48		
39	4.23	3.70	4.53	3.99	4.84	3.96	5.17	4.22	5.35	4.21	5.52	4.20	5.87	4.43		
41	4.13	3.64	4.43	3.94	4.73	3.92	5.05	4.17	5.22	4.16	5.39	4.14	5.74	4.37		
43	4.03	3.60	4.33	3.88	4.62	3.87	4.93	4.13	5.10	4.11	5.26	4.09	5.60	4.32		

暖房 (kW)

	外気温度		室内吸込温度 ℃CDB				
	℃CDB	℃WB	16℃CDB	18℃CDB	20℃CDB	22℃CDB	24℃CDB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	3.73	3.68	3.63	3.58	3.53
	-17.7	-18	4.02	3.97	3.91	3.86	3.81
	-15.7	-16	4.30	4.25	4.20	4.14	4.09
	-13.5	-14	4.59	4.53	4.48	4.42	4.37
	-11.5	-12	4.90	4.84	4.78	4.72	4.67
	-9.5	-10	5.21	5.15	5.08	5.02	4.97
	-7.5	-8	5.39	5.33	5.27	5.21	5.15
	-5.5	-6	5.58	5.51	5.45	5.39	5.33
	-3.0	-4	5.76	5.70	5.63	5.57	5.51
	-1.0	-2	5.95	5.88	5.82	5.75	5.68
	1.0	0	6.13	6.07	6.00	5.93	5.86
	2.0	1	6.22	6.16	6.00	5.93	5.86
	3.0	2	6.13	6.07	6.07	5.93	5.86
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	5.77	5.71	5.65	5.59	5.53
	7.0	6	6.44	6.37	6.30	6.23	6.16
	9.0	8	6.82	6.75	6.67	6.60	6.52
	11.5	10	7.20	7.12	7.05	6.96	6.88
	13.5	12	7.43	7.37	7.32	7.25	7.19
	15.5	14	7.67	7.63	7.58	7.54	7.50
	16.5	16	7.90	7.88	7.86	7.83	7.81

形式 FDTV806HK6SA（室内ユニット：FDTZP806SA, 室外ユニット：FDCVP806HK）

冷房 (kW)

外気温度 ℃CDB	室内吸込温度															
	18℃CDB		21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	12℃WB		14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					6.06	5.92	6.58	6.46	6.85	6.45	7.06	6.42	7.47	6.84	7.95	6.78
13					6.20	6.01	6.74	6.52	7.01	6.51	7.23	6.48	7.67	6.91	8.15	6.84
15					6.35	6.08	6.90	6.58	7.18	6.58	7.40	6.55	7.86	6.97	8.35	6.89
17					6.50	6.14	7.06	6.65	7.34	6.64	7.58	6.61	8.06	7.03	8.55	6.97
19					6.50	6.14	7.05	6.65	7.33	6.64	7.57	6.61	8.05	7.03	8.52	6.94
21					6.60	6.18	7.04	6.64	7.32	6.63	7.56	6.60	8.04	7.03	8.49	6.93
23					6.69	6.21	7.12	6.67	7.38	6.65	7.61	6.62	8.09	7.04	8.56	6.97
25			6.44	6.33	6.79	6.25	7.20	6.70	7.44	6.67	7.67	6.64	8.13	7.07	8.63	6.99
27			6.53	6.36	6.88	6.30	7.28	6.73	7.49	6.69	7.72	6.66	8.17	7.08		
29			6.44	6.33	6.78	6.25	7.17	6.69	7.40	6.66	7.62	6.62	8.06	7.03		
31			6.35	6.29	6.68	6.21	7.07	6.66	7.30	6.62	7.52	6.59	7.95	7.00		
33	5.85	5.75	6.28	6.26	6.58	6.17	6.97	6.62	7.20	6.59	7.41	6.56	7.85	6.97		
35	5.66	5.49	6.10	5.92	6.48	6.13	6.87	6.57	7.10	6.54	7.31	6.52	7.74	6.93		
37	5.51	5.35	5.95	5.77	6.33	6.07	6.73	6.51	6.96	6.49	7.17	6.46	7.60	6.89		
39	5.37	5.21	5.81	5.63	6.18	6.00	6.58	6.46	6.82	6.44	7.04	6.42	7.46	6.83		
41	5.22	5.07	5.66	5.49	6.03	5.91	6.44	6.41	6.68	6.40	6.90	6.37	7.33	6.79		
43	5.08	4.93	5.51	5.34	5.88	5.86	6.30	6.11	6.54	6.35	6.76	6.32	7.19	6.75		

暖房 (kW)

	外気温度		室内吸込温度 ℃CDB				
	℃CDB	℃WB	16℃CDB	18℃CDB	20℃CDB	22℃CDB	24℃CDB
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	3.65	3.64	3.63	3.61	3.60
	-17.7	-18	3.91	3.90	3.88	3.86	3.83
	-15.7	-16	4.17	4.15	4.13	4.10	4.07
	-13.5	-14	4.47	4.45	4.42	4.39	4.35
	-11.5	-12	4.77	4.74	4.71	4.67	4.64
	-9.5	-10	5.07	5.04	5.00	4.96	4.92
	-7.5	-8	5.37	5.33	5.29	5.24	5.20
	-5.5	-6	5.76	5.72	5.67	5.62	5.57
	-3.0	-4	6.15	6.10	6.05	6.00	5.95
	-1.0	-2	6.54	6.48	6.43	6.38	6.32
	1.0	0	6.93	6.87	6.81	6.75	6.70
	2.0	1	7.12	7.06	7.00	6.94	6.88
	3.0	2	7.21	7.17	7.13	7.08	7.03
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	7.74	7.74	7.74	7.70	7.67
	7.0	6	7.93	7.96	8.00	7.99	7.98
	9.0	8	8.21	8.28	8.36	8.38	8.40
	11.5	10	8.48	8.60	8.71	8.76	8.82
	13.5	12	8.26	8.37	8.49	8.55	8.62
	15.5	14	8.03	8.15	8.26	8.34	8.42
	16.5	16	7.81	7.92	8.04	8.13	8.22

記事(1) 能力は下記条件での計算値です。ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は、その能力変化を考慮しています。
(a) 冷房能力：定格冷房標準条件（室内側：27℃CDB/19℃CWB、室外側：35℃CDB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
(b) 暖房能力
（i）定格暖房標準条件を基準：定格暖房標準条件（室内側：20℃CDB、室外側：7℃CDB/6℃CWB）の定格能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
（ii）最大暖房低温条件を基準：最大暖房低温条件（室内側：20℃CDB、室外側：2℃CDB/1℃CWB）の最大能力時における圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。

(2) 運転条件
配管長：63形：5m、80形：7.5m　室内外ユニット高低差：0m

(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTV1126H6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA, 室外ユニット：FDCVP1126H ）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度													
	21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	14℃CDB		16℃CDB		18℃CDB		19℃CDB		20℃CDB		22℃CDB		24℃CDB	
℃CDB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					5.35	5.35	5.50	5.50	5.64	5.64	5.92	5.92	6.20	6.20
13					10.21	8.65	10.49	8.59	10.80	8.54	11.43	9.02	12.06	8.89
15					10.82	8.89	11.13	8.84	11.47	8.79	12.15	9.29	12.82	9.15
17					10.73	8.86	11.04	8.81	11.37	8.76	12.04	9.23	12.72	9.10
19					10.63	8.82	10.94	8.77	11.27	8.72	11.94	9.20	12.61	9.07
21					10.54	8.79	10.84	8.74	11.18	8.69	11.84	9.17	12.51	9.04
23					10.45	8.74	10.75	8.70	11.08	8.65	11.74	9.14	12.40	9.01
25			9.76	8.19	10.05	8.59	10.35	8.54	10.65	8.49	10.98	8.86	11.64	8.75
27			9.64	8.14	10.22	8.66	10.52	8.60	10.85	8.56	11.50	9.04		
29			9.52	8.09	10.10	8.61	10.39	8.56	10.71	8.51	11.35	9.00		
31			9.40	8.03	9.97	8.54	10.26	8.51	10.58	8.47	11.21	8.95		
33	8.84	8.09	9.28	7.98	9.84	8.50	10.13	8.45	10.44	8.40	11.07	8.89		
35	8.59	7.97	9.15	7.93	9.72	8.45	10.00	8.40	10.31	8.36	10.93	8.85		
37	8.34	7.83	8.90	7.81	9.47	8.34	9.76	8.32	10.07	8.28	10.69	8.78		
39	8.09	7.72	8.65	7.68	9.22	8.25	9.51	8.21	9.83	8.17	10.46	8.64		
41	7.85	7.62	8.40	7.58	8.98	8.16	9.27	8.13	9.59	8.09	10.22	8.57		
43	7.60	7.51	8.15	7.48	8.73	8.05	9.02	8.02	9.35	7.99	9.99	8.50		

暖房 (kW)

外気温度			室内吸込温度				
			℃CDB				
	℃CDB	℃WB	16	18	20	22	24
最大暖房低温条件を直連	-19.8	-20	8.18	8.04	7.91	7.77	7.63
	-17.7	-18	8.74	8.60	8.47	8.32	8.17
	-15.7	-16	9.30	9.16	9.02	8.87	8.71
	-13.5	-14	9.86	9.72	9.58	9.41	9.25
	-11.5	-12	10.49	10.34	10.19	10.02	9.85
	-9.5	-10	11.12	10.95	10.79	10.62	10.44
	-7.5	-8	11.78	11.61	11.44	11.25	11.06
	-5.5	-6	12.44	12.26	12.08	11.88	11.68
	-3.0	-4	12.86	12.67	12.49	12.28	12.08
	-1.0	-2	13.29	13.09	12.89	12.68	12.47
	1.0	0	13.71	13.50	13.30	13.08	12.87
	2.0	1	13.92	13.71	13.50	13.28	13.07
	3.0	2	14.14	13.92	13.70	13.49	13.27
定格暖房標準条件を直連	5.0	4	12.34	12.23	12.12	11.97	11.82
	7.0	6	12.67	12.59	12.50	12.36	12.21
	9.0	8	13.01	12.94	12.88	12.74	12.61
	11.5	10	13.34	13.30	13.27	13.13	13.00
	13.5	12	13.87	13.81	13.75	13.64	13.53
	15.5	14	14.41	14.32	14.23	14.14	14.06
	16.5	16	14.94	14.85	14.72	14.65	14.58

形式 FDTV1406H6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA, 室外ユニット：FDCVP1406H ）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度													
	21℃CDB		23℃CDB		26℃CDB		27℃CDB		28℃CDB		31℃CDB		33℃CDB	
	14℃CDB		16℃CDB		18℃CDB		19℃CDB		20℃CDB		22℃CDB		24℃CDB	
℃CDB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					6.69	6.69	6.88	6.88	7.05	7.05	7.40	7.40	7.75	7.54
13					12.76	9.70	13.11	9.63	13.50	9.59	14.29	10.03	15.07	9.88
15					13.53	10.05	13.92	9.98	14.34	9.93	15.18	10.36	16.03	10.20
17					13.41	9.99	13.79	9.92	14.22	9.88	15.06	10.32	15.90	10.16
19					13.29	9.94	13.67	9.88	14.09	9.82	14.93	10.28	15.77	10.12
21					13.18	9.88	13.55	9.83	13.97	9.78	14.80	10.24	15.63	10.08
23					13.06	9.83	13.43	9.77	13.85	9.73	14.68	10.18	15.50	10.02
25			12.20	9.29	12.57	9.63	12.94	9.57	13.31	9.51	13.72	9.83	14.55	9.70
27			12.05	9.21	12.78	9.71	13.15	9.65	13.56	9.61	14.37	10.08		
29			11.90	9.15	12.62	9.65	12.99	9.59	13.39	9.54	14.19	10.00		
31			11.75	9.07	12.46	9.57	12.83	9.53	13.22	9.48	14.02	9.95		
33	11.04	9.13	11.60	9.00	12.30	9.48	12.66	9.42	13.05	9.36	13.84	9.87		
35	10.74	8.99	11.44	8.92	12.14	9.42	12.50	9.36	12.89	9.30	13.66	9.81		
37	10.43	8.83	11.13	8.79	11.84	9.30	12.20	9.25	12.59	9.20	13.37	9.70		
39	10.12	8.68	10.82	8.65	11.53	9.18	11.89	9.14	12.28	9.09	13.07	9.59		
41	9.81	8.53	10.50	8.50	11.22	9.05	11.59	9.01	11.98	8.99	12.78	9.50		
43	9.50	8.38	10.19	8.36	10.91	8.91	11.28	8.90	11.68	8.87	12.48	9.38		

暖房 (kW)

外気温度			室内吸込温度				
			℃CDB				
	℃CDB	℃WB	16	18	20	22	24
最大暖房低温条件を直連	-19.8	-20	8.70	8.57	8.43	8.29	8.15
	-17.7	-18	9.26	9.12	8.98	8.83	8.68
	-15.7	-16	9.82	9.68	9.54	9.38	9.21
	-13.5	-14	10.38	10.24	10.09	9.92	9.75
	-11.5	-12	11.01	10.85	10.69	10.52	10.34
	-9.5	-10	11.63	11.46	11.30	11.12	10.94
	-7.5	-8	12.31	12.19	12.06	11.82	11.58
	-5.5	-6	13.00	12.91	12.82	12.52	12.21
	-3.0	-4	13.56	13.43	13.30	13.02	12.73
	-1.0	-2	14.11	13.95	13.78	13.52	13.25
	1.0	0	14.67	14.47	14.26	14.02	13.77
	2.0	1	14.95	14.72	14.50	14.27	14.03
	3.0	2	15.23	14.98	14.74	14.52	14.29
定格暖房標準条件を直連	5.0	4	13.82	13.70	13.57	13.40	13.23
	7.0	6	14.19	14.10	14.00	13.84	13.68
	9.0	8	14.57	14.50	14.43	14.27	14.12
	11.5	10	14.94	14.90	14.86	14.71	14.56
	13.5	12	15.54	15.47	15.40	15.28	15.15
	15.5	14	16.14	16.04	15.94	15.84	15.74
	16.5	16	16.74	16.64	16.48	16.41	16.33

記事(1) 冷房および暖房能力は，定格能力時の圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
ただし，制御により圧縮機回転数が変化する場合は，その能力変化を考慮しています。

(2) 運転条件
配管長：7.5m　　室内外ユニット高低差：0m

(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTV1606H6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA, 室外ユニット：FDCVP1606H ）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度													
	21℃DB		23℃DB		26℃DB		27℃DB		28℃DB		31℃DB		33℃DB	
	14℃DB		16℃DB		18℃DB		19℃DB		20℃DB		22℃DB		24℃DB	
℃DB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					7.49	7.46	7.70	7.42	7.90	7.37	8.29	7.86	8.68	7.75
13					14.29	10.32	14.68	10.24	15.12	10.18	16.00	10.62	16.88	10.39
15					15.15	10.71	15.58	10.65	16.06	10.59	17.01	11.03	17.95	10.83
17					15.02	10.62	15.45	10.55	15.92	10.52	16.86	10.96	17.80	10.78
19					14.89	10.57	15.32	10.50	15.78	10.43	16.72	10.89	17.66	10.72
21					14.76	10.52	15.18	10.45	15.65	10.38	16.58	10.85	17.51	10.67
23					14.62	10.47	15.05	10.40	15.51	10.34	16.44	10.78	17.36	10.61
25			13.67	9.92	14.07	10.22	14.49	10.16	14.91	10.09	15.37	10.36	16.29	10.22
27			13.50	9.84	14.31	10.33	14.73	10.26	15.18	10.20	16.09	10.65		
29			13.33	9.75	14.14	10.24	14.55	10.18	15.00	10.13	15.90	10.53		
31			13.16	9.67	13.96	10.16	14.36	10.11	14.81	10.05	15.70	10.47		
33	12.37	9.73	12.99	9.59	13.78	10.09	14.18	10.03	14.62	9.97	15.50	10.40		
35	12.02	9.54	12.82	9.51	13.60	10.00	14.00	9.94	14.43	9.90	15.30	10.34		
37	11.68	9.39	12.46	9.33	13.26	9.85	13.66	9.80	14.10	9.76	14.97	10.22		
39	11.33	9.22	12.11	9.18	12.91	9.70	13.32	9.66	13.76	9.61	14.64	10.09		
41	10.99	9.03	11.76	9.02	12.57	9.56	12.98	9.51	13.42	9.47	14.31	9.97		
43	10.64	8.86	11.41	8.84	12.22	9.37	12.63	9.34	13.08	9.30	13.98	9.84		

暖房 (kW)

	外気温度		室内吸込温度				
			℃DB				
	℃DB	℃WB	16	18	20	22	24
最大暖房低温条件を基準	-19.8	-20	8.70	8.57	8.43	8.29	8.15
	-17.7	-18	9.30	9.16	9.02	8.87	8.72
	-15.7	-16	9.90	9.76	9.61	9.45	9.29
	-13.5	-14	10.50	10.35	10.20	10.03	9.86
	-11.5	-12	11.16	11.00	10.85	10.67	10.49
	-9.5	-10	11.82	11.65	11.49	11.31	11.13
	-7.5	-8	12.54	12.42	12.29	12.05	11.80
	-5.5	-6	13.27	13.18	13.09	12.78	12.48
	-3.0	-4	13.87	13.74	13.60	13.32	13.04
	-1.0	-2	14.46	14.29	14.12	13.86	13.59
	1.0	0	15.06	14.85	14.64	14.39	14.14
	2.0	1	15.36	15.13	14.90	14.66	14.42
	3.0	2	15.66	15.41	15.16	14.93	14.70
定格暖房標準条件を基準	5.0	4	15.80	15.65	15.51	15.32	15.12
	7.0	6	16.22	16.11	16.00	15.82	15.63
	9.0	8	16.65	16.57	16.49	16.31	16.14
	11.5	10	17.07	17.03	16.98	16.81	16.64
	13.5	12	17.76	17.68	17.60	17.46	17.32
	15.5	14	18.44	18.33	18.22	18.11	17.99
	16.5	16	19.13	19.01	18.84	18.75	18.67

記事(1) 冷房および暖房能力は，定格能力時の圧縮機回転数で固定した条件での計算値です。
ただし，制御により圧縮機回転数が変化する場合は，その能力変化を考慮しています。
(2) 運転条件
配管長：7.5m　　室内外ユニット高低差：0m
(3) 記号説明
TC　：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

形式 FDTV2246HP6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA×2 台，室外ユニット：FDCVP2246H）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度															
	18℃DB		21℃DB		23℃DB		26℃DB		27℃DB		28℃DB		31℃DB		33℃DB	
	12℃WB		14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
℃DB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					15.65	14.25	16.54	15.22	16.99	15.13	17.48	15.04	18.47	15.97	19.55	15.78
13					16.87	14.73	17.68	15.68	18.09	15.55	18.80	15.52	20.23	16.51	21.38	16.29
15					18.10	15.29	18.82	16.13	19.18	15.97	20.12	16.00	21.99	17.17	23.21	16.93
17					19.32	15.84	19.96	16.58	20.28	16.39	21.44	16.52	23.74	17.79	25.03	17.52
19					19.50	15.92	20.39	16.78	20.84	16.62	21.71	16.62	23.46	17.71	24.74	17.40
21					19.71	16.00	20.82	16.94	21.39	16.82	21.98	16.71	23.18	17.58	24.44	17.32
23					19.49	15.91	20.56	16.84	21.12	16.73	21.75	16.62	22.99	17.52	24.28	17.27
25			18.34	16.05	19.27	15.83	20.30	16.74	20.85	16.63	21.51	16.54	22.81	17.46	24.11	17.22
27			18.20	15.96	19.05	15.74	20.03	16.61	20.59	16.50	21.27	16.46	22.62	17.41		
29			17.93	15.84	18.87	15.63	19.89	16.56	20.44	16.45	21.09	16.37	22.39	17.29		
31			17.66	15.72	18.68	15.55	19.74	16.50	20.29	16.39	20.91	16.30	22.16	17.22		
33	16.41	14.55	17.56	15.68	18.50	15.48	19.60	16.45	20.15	16.34	20.74	16.24	21.92	17.15		
35	16.09	14.39	17.17	15.48	18.31	15.40	19.45	16.39	20.00	16.29	20.56	16.19	21.69	16.96		
37	15.41	14.05	16.46	15.11	17.58	15.01	18.69	16.08	19.21	15.98	19.69	15.85	20.64	16.64		
39	14.73	13.70	15.74	14.80	16.85	14.72	17.94	15.77	18.42	15.66	18.81	15.52	19.60	16.31		
41	14.04	13.39	15.02	14.50	16.11	14.43	17.18	15.46	17.63	15.35	17.94	15.19	18.55	16.00		
43	9.31	9.12	10.13	9.93	10.84	10.62	11.57	11.34	12.01	11.77	12.37	12.12	13.08	12.82		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃DB				
℃DB	℃WB	16	18	20	22	24
-19.8	-20	10.70	10.47	10.24	10.04	9.85
-17.7	-18	11.55	11.31	11.08	10.87	10.67
-15.7	-16	12.39	12.15	11.91	11.71	11.50
-13.5	-14	13.27	13.04	12.82	12.61	12.41
-11.5	-12	14.15	13.94	13.73	13.52	13.32
-9.5	-10	15.02	14.83	14.64	14.43	14.23
-7.5	-8	15.90	15.72	15.54	15.34	15.13
-5.5	-6	16.84	16.69	16.53	16.35	16.17
-3.0	-4	17.77	17.65	17.52	17.36	17.20
-1.0	-2	18.70	18.61	18.51	18.38	18.24
1.0	0	19.63	19.57	19.50	19.39	19.27
2.0	1	20.10	20.05	20.00	19.90	19.79
3.0	2	21.03	21.00	20.96	20.87	20.78
5.0	4	20.65	20.66	20.66	20.60	20.53
7.0	6	22.33	22.36	22.40	22.36	22.31
9.0	8	23.63	23.57	23.50	23.47	23.44
11.5	10	24.93	24.77	24.61	24.59	24.57
13.5	12	24.76	24.64	24.52	24.50	24.47
15.5	14	24.59	24.51	24.43	24.40	24.38
16.5	16	24.42	24.38	24.34	24.31	24.28

形式 FDTV2806HP6SA（室内ユニット：FDTZP1606SA×2 台，室外ユニット：FDCV2806H）

冷房 (kW)

外気温度	室内吸込温度															
	18℃DB		21℃DB		23℃DB		26℃DB		27℃DB		28℃DB		31℃DB		33℃DB	
	12℃WB		14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
℃DB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					19.56	15.94	20.68	16.88	21.24	16.77	21.85	16.66	23.09	17.55	24.44	17.32
13					21.09	16.63	22.10	17.45	22.61	17.30	23.50	17.27	25.29	18.36	26.73	18.09
15					22.62	17.32	23.53	18.09	23.98	17.90	25.15	17.98	27.48	19.17	29.01	18.87
17					24.15	18.03	24.95	18.71	25.35	18.47	26.79	18.63	29.68	19.99	31.29	19.66
19					24.38	18.13	25.49	18.95	26.05	18.76	27.14	18.79	29.32	19.87	30.92	19.43
21					24.63	18.23	26.03	19.19	26.74	19.05	27.48	18.91	28.97	19.65	30.55	19.32
23					24.36	18.12	25.70	19.03	26.40	18.92	27.18	18.80	28.74	19.57	30.35	19.26
25			22.92	18.28	24.09	18.00	25.37	18.90	26.07	18.77	26.88	18.66	28.51	19.50	30.14	19.20
27			22.75	18.20	23.82	17.89	25.04	18.74	25.73	18.64	26.58	18.56	28.28	19.42		
29			22.41	18.05	23.59	17.79	24.86	18.67	25.55	18.54	26.36	18.48	27.99	19.33		
31			22.08	17.87	23.35	17.69	24.68	18.60	25.37	18.47	26.14	18.37	27.70	19.24		
33	20.51	16.67	21.95	17.81	23.12	17.56	24.50	18.53	25.18	18.40	25.92	18.29	27.40	19.14		
35	20.12	16.45	21.47	17.56	22.89	17.47	24.31	18.43	25.00	18.30	25.70	18.21	27.11	19.01		
37	19.26	15.98	20.57	17.13	21.97	17.02	23.37	18.03	24.01	17.91	24.61	17.76	25.80	18.52		
39	18.41	15.57	19.67	16.67	21.06	16.62	22.42	17.57	23.03	17.45	23.52	17.27	24.50	18.07		
41	17.56	15.14	18.77	16.24	20.14	16.21	21.47	17.21	22.04	17.09	22.43	16.89	23.19	17.58		
43	11.63	11.40	12.66	12.41	13.55	13.36	14.46	14.41	15.02	14.37	15.46	14.30	16.35	15.25		

暖房 (kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃DB				
℃DB	℃WB	16	18	20	22	24
-19.8	-20	11.35	11.10	10.85	10.65	10.44
-17.7	-18	12.24	11.99	11.74	11.53	11.31
-15.7	-16	13.13	12.88	12.63	12.41	12.19
-13.5	-14	14.06	13.83	13.59	13.37	13.15
-11.5	-12	14.99	14.77	14.55	14.33	14.12
-9.5	-10	15.93	15.72	15.51	15.30	15.08
-7.5	-8	16.86	16.67	16.48	16.26	16.04
-5.5	-6	17.85	17.69	17.53	17.33	17.14
-3.0	-4	18.83	18.71	18.58	18.41	18.24
-1.0	-2	19.82	19.72	19.63	19.48	19.33
1.0	0	20.81	20.74	20.68	20.55	20.43
2.0	1	21.31	21.25	21.20	21.09	20.98
3.0	2	22.29	22.26	22.22	22.12	22.02
5.0	4	25.82	25.82	25.83	25.75	25.67
7.0	6	27.91	27.96	28.00	27.95	27.89
9.0	8	29.54	29.46	29.38	29.34	29.30
11.5	10	31.16	30.96	30.76	30.74	30.71
13.5	12	30.95	30.80	30.65	30.62	30.59
15.5	14	30.74	30.64	30.54	30.50	30.47
16.5	16	30.53	30.48	30.43	30.39	30.35

記事(1) 冷房の全ておよび暖房の外気温度 7℃DB 以上は，定格能力時の圧縮機回転数で固定した各温度条件での計算値です。
ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は，その能力変化を考慮しています。

(2) 運転条件
配管長：7.5m
室内外ユニット高低差：0m

(3) 記号説明
TC ：冷房能力 (kW)
SHC：顕熱能力 (kW)

(h) 配管距離・室内・外ユニット高低差による能力補正

冷媒配管長（室内･室外ユニット間の片道長）および室内･室外ユニット高低差により，冷房･暖房能力の補正が必要です。

(i) 配管相当長による能力補正係数

室内･外ユニット間の高低差0mの場合の配管相当長対応の補正係数は下表のとおりです。

1) P406～P636

項目 ＼ 相当長(m)(1)		7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55
暖房（全形式共通）		1	0.995	0.992	0.990	0.987	0.984	0.981	0.978	0.975	0.972	0.970
冷房	P406	1	0.997	0.991	0.985	0.980	0.974	0.968	0.962	0.956	0.949	0.943
	P456	1	0.997	0.990	0.983	0.976	0.970	0.963	0.956	0.950	0.945	0.939
	P506	1	0.996	0.989	0.981	0.973	0.966	0.958	0.951	0.943	0.936	0.929
	P566	1	0.996	0.987	0.979	0.970	0.962	0.953	0.945	0.936	0.928	0.919
	P636	1	0.995	0.986	0.977	0.967	0.958	0.948	0.939	0.930	0.919	0.910

注(1) 相当長は次ページの式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）＋５ｍ以内となるよう設置してください。

2) P806

項目 ＼ 相当長(m)(1)	7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
暖房	1	1.000	1.000	1.000	1.000	0.998	0.998	0.993	0.993	0.988
冷房	1	0.994	0.981	0.960	0.927	0.924	0.922	0.920	0.918	0.915

注(1) 相当長は次ページの式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）+5m以内となるよう設置してください。

3) P1126～P1606

項目 ＼ 相当長(m)(1)		7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55
暖房（全形式共通）		1	1	1	1	1	0.998	0.998	0.993	0.993	0.988	0.988
冷房	P1126	0.996	0.989	0.983	0.976	0.969	0.963	0.958	0.951	0.945	0.939	0.934
	P1406	0.995	0.985	0.975	0.965	0.956	0.947	0.938	0.929	0.921	0.913	0.905
	P1606	0.994	0.981	0.970	0.959	0.947	0.937	0.926	0.916	0.907	0.897	0.888

項目 ＼ 相当長(m)(1)		60	65	70	75	80	85
暖房（全形式共通）		0.983	0.983	0.978	0.978	0.973	0.973
冷房	P1126	0.928	0.922	0.917	0.912	0.906	0.000
	P1406	0.898	0.890	0.883	0.876	0.869	0.000
	P1606	0.879	0.871	0.861	0.852	0.843	0.000

注(1) 相当長は次ページの式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）+5m以内となるよう設置してください。

4) P2246, P2806

項目 ＼ 相当長(m)(1)	7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55
暖房（全形式共通）	1	0.993	0.979	0.965	0.950	0.936	0.922	0.908	0.894	0.880	0.865
冷房（全形式共通）	1	0.996	0.988	0.980	0.972	0.965	0.957	0.949	0.941	0.933	0.925

項目 ＼ 相当長(m)(1)	60	65	70	75	80	85	90	95	100
暖房（全形式共通）	0.851	0.837	0.823	0.809	0.795	0.780	0.766	0.752	0.738
冷房（全形式共通）	0.917	0.910	0.902	0.894	0.886	0.878	0.870	0.862	0.854

注(1) 相当長は次ページの式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）+5m以内となるよう設置してください。

●相当長＝実長＋（ベンドの相当長×途中配管のベンド数）
ベンド1個当りの相当長

ガス配管径(mm)	φ9.52	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ25.4	φ25.88
ベンドの相当長	0.15	0.20	0.25	0.30	0.40	0.45

(ii) 室内･外ユニット高低差による能力補正係数

冷房時室外ユニットが下，暖房時室外ユニットが上，の場合のみ補正してください。

室内・室外ユニットの高さ方向の差（m）	5	10	15	20	25	30
補正係数	0.99	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94

■配管距離の制限値

項目＼形式	P406～P636	P806	P1126～P1606	P2246, P2806
最大片道長さ(実長)(1)(m)	50	50	80	100
高さ方向(2)(m)	30(15)			

注(1) 表中の数値は室内，室外ユニット間の配管片道長さを示します。
(2) ( )は室外ユニットが室内ユニットよりも下にある場合を示します。

(i) 風量変更時の能力補正係数

風量	P急または急	強	弱
能力補正係数	1.00	0.97	0.95

冷暖房能力算出方法

●例1…暖房
形式：FDTV1406H6SA，風量：P急，
室外湿球温度：1℃WB，室内乾球温度：23℃DB
配管距離相当長：30m
室内，室外ユニットの高さ方向の差：10m
（室外ユニットが上）

この場合の暖房能力：

14.5 × 0.97 × 0.998 × 0.98 × 1.0 ≒ 13.8kW

FDTV1406H6SA 最大暖房低温能力	温度条件による補正	相当長 30m	高低差 10m	風量 P急

●例2…冷房
形式：FDTV1406H6SA，風量：P急，
室外乾球温度：32℃DB，室内湿球温度：19℃WB
配管距離相当長：30m
室内，室外ユニットの高さ方向の差：5m
（室外ユニットが下）

この場合の冷房能力：

12.5 × 1.02 × 0.947 × 0.99 × 1.0 ≒ 12.0kW

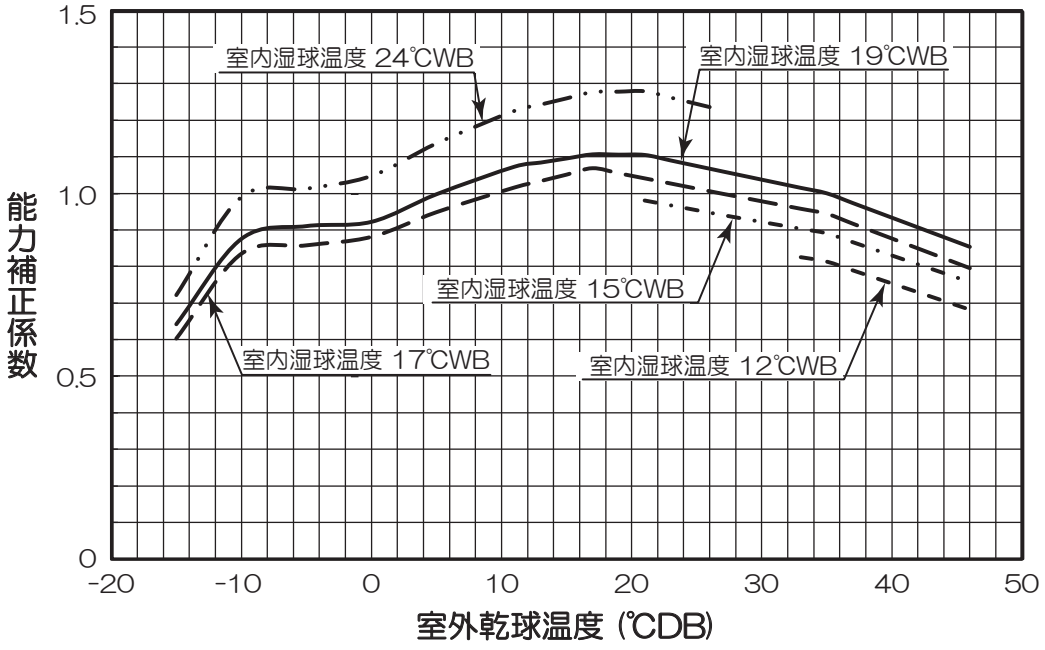
FDTV1406H6SA 定格冷房能力	温度条件による補正	相当長 30m	高低差 5m	風量 P急

⑶ 暖ガンハイパーインバータシリーズ

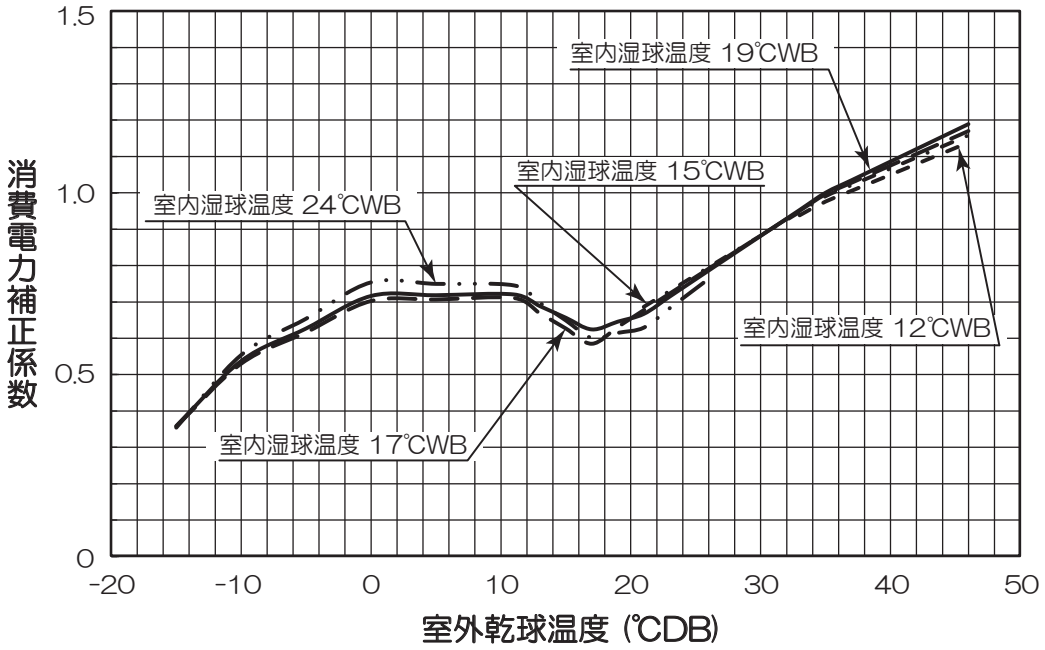
ⓐ KP806H

(ⅰ) 冷房

a) 室内・外温度条件による能力補正



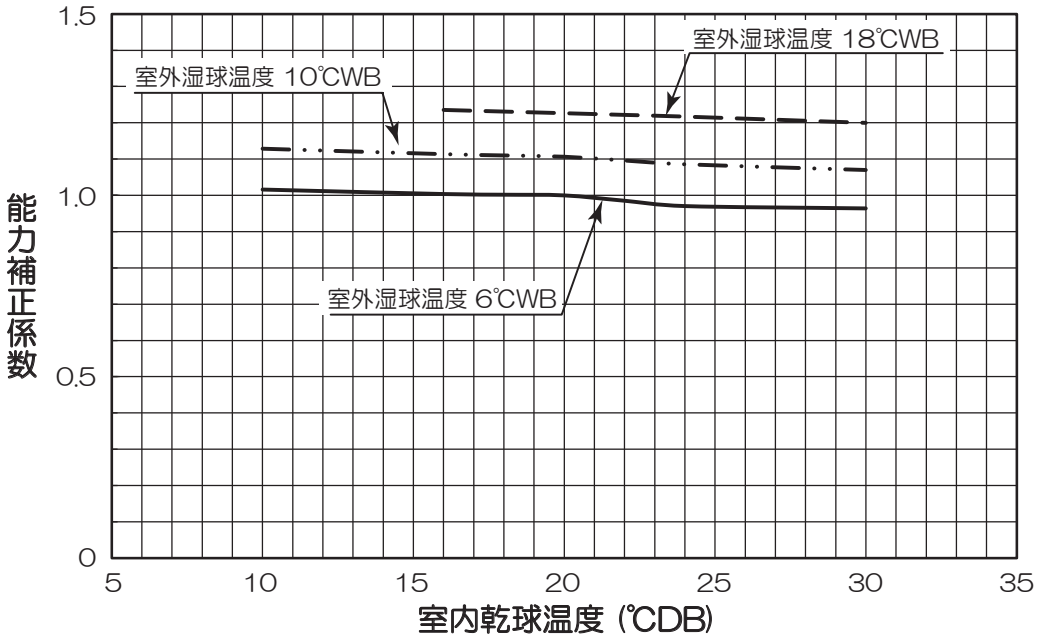
b) 室内・外温度条件による消費電力補正



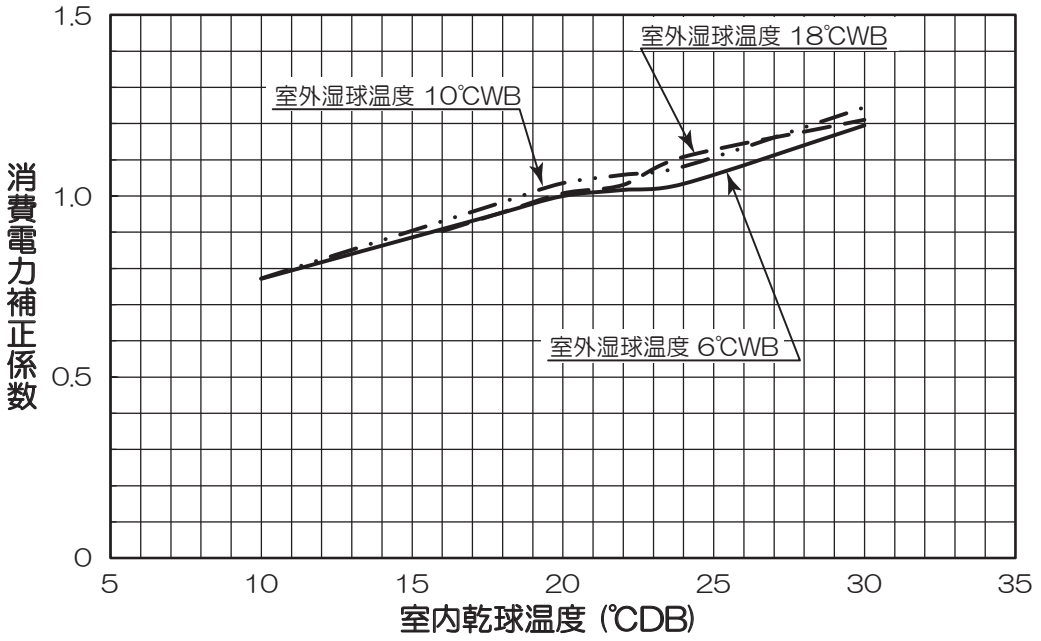
（ii） 暖房

1） 定格暖房標準条件の定格暖房能力を基準

a） 室内・外温度条件による能力補正

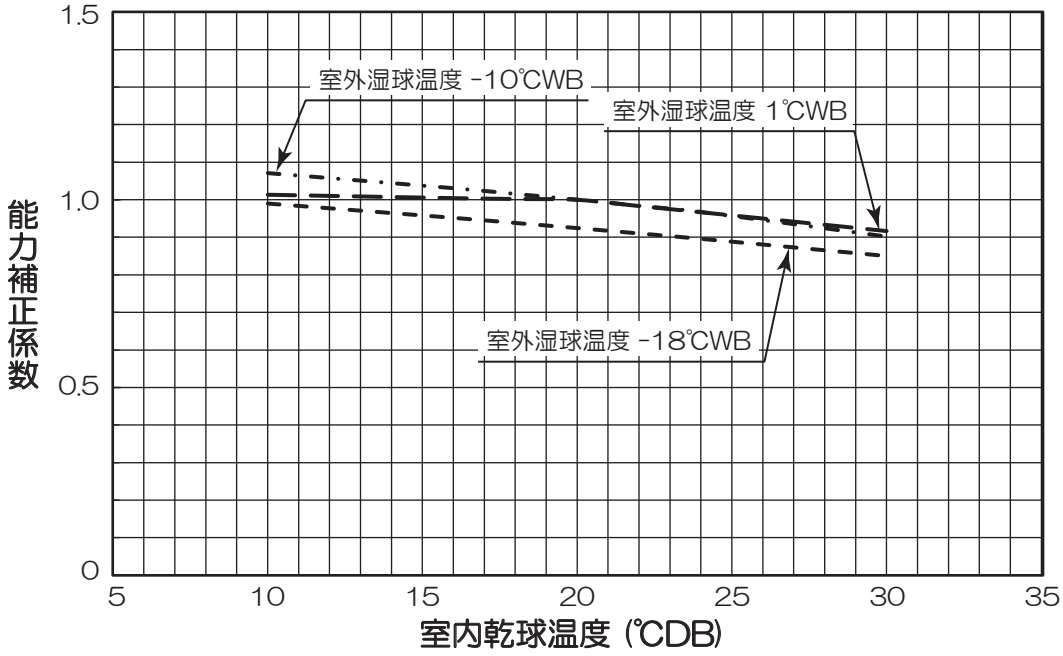


b） 室内・外温度条件による消費電力補正

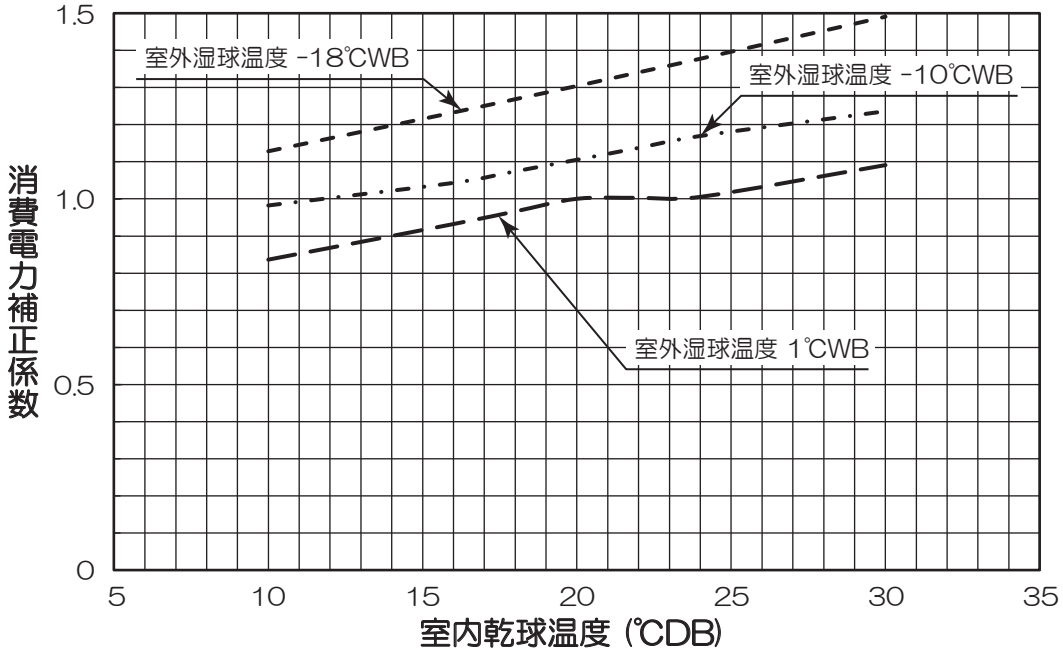


2) 最大暖房低温条件の最大暖房低温能力を基準

a) 室内・外温度条件による能力補正



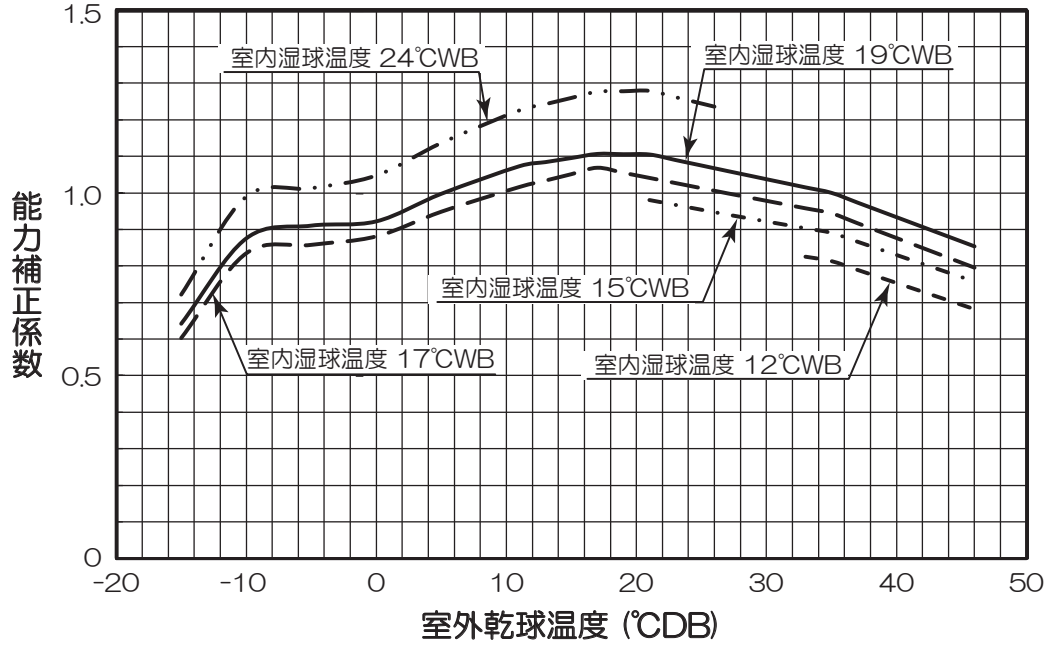
b) 室内・外温度条件による消費電力補正



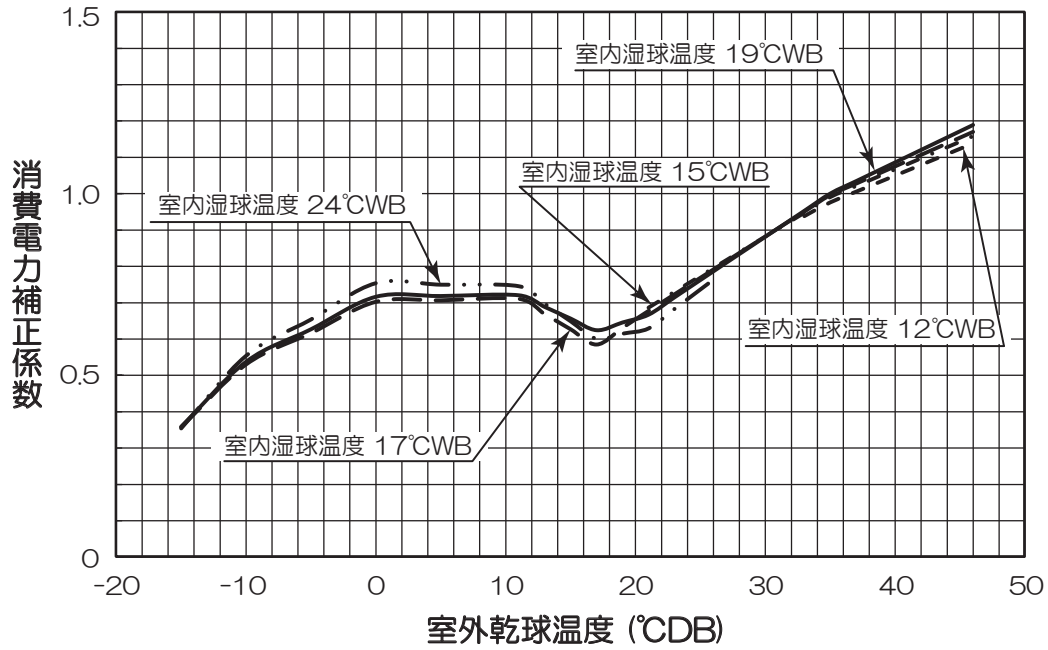
(b) KP1126H

(i) 冷房

a) 室内・外温度条件による能力補正



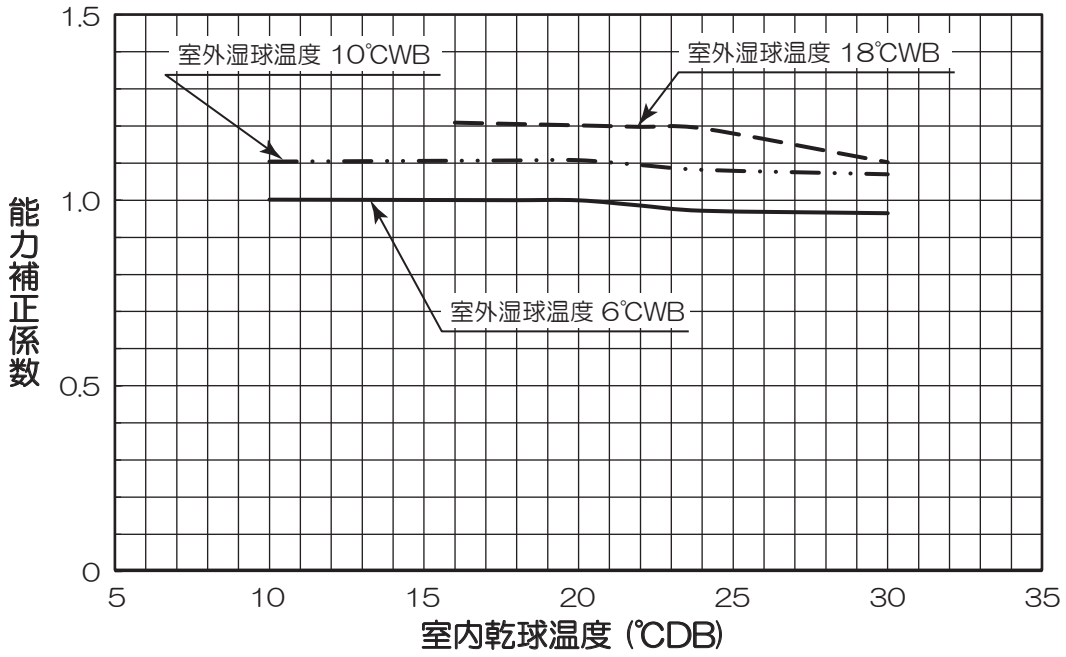
b) 室内・外温度条件による消費電力補正



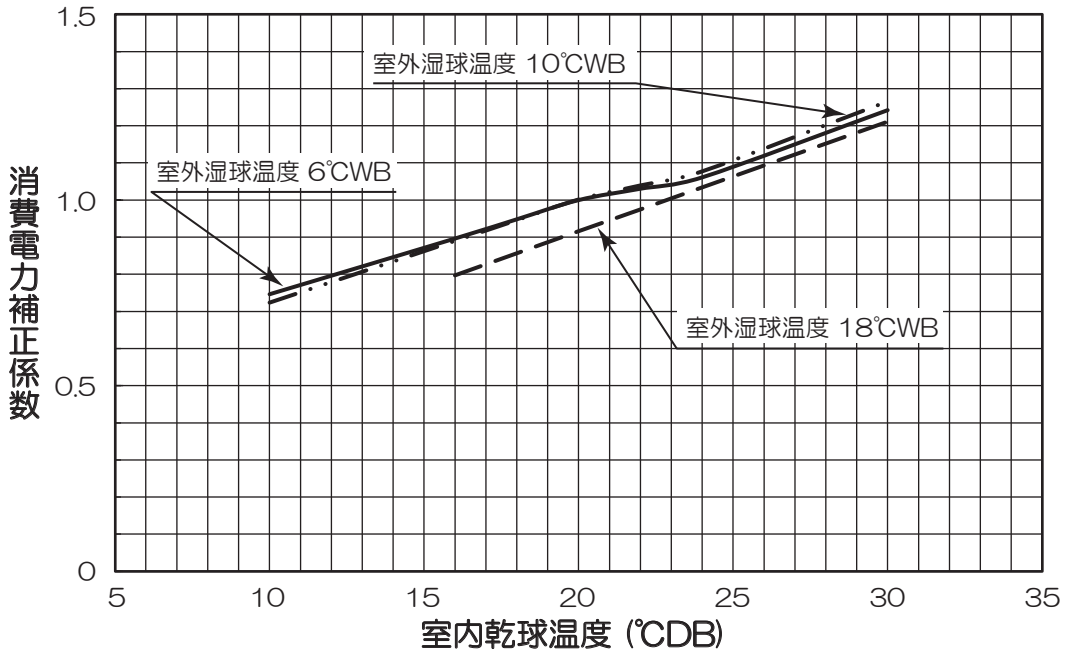
（ii） 暖房

1） 定格暖房標準条件の定格暖房能力を基準

a） 室内・外温度条件による能力補正

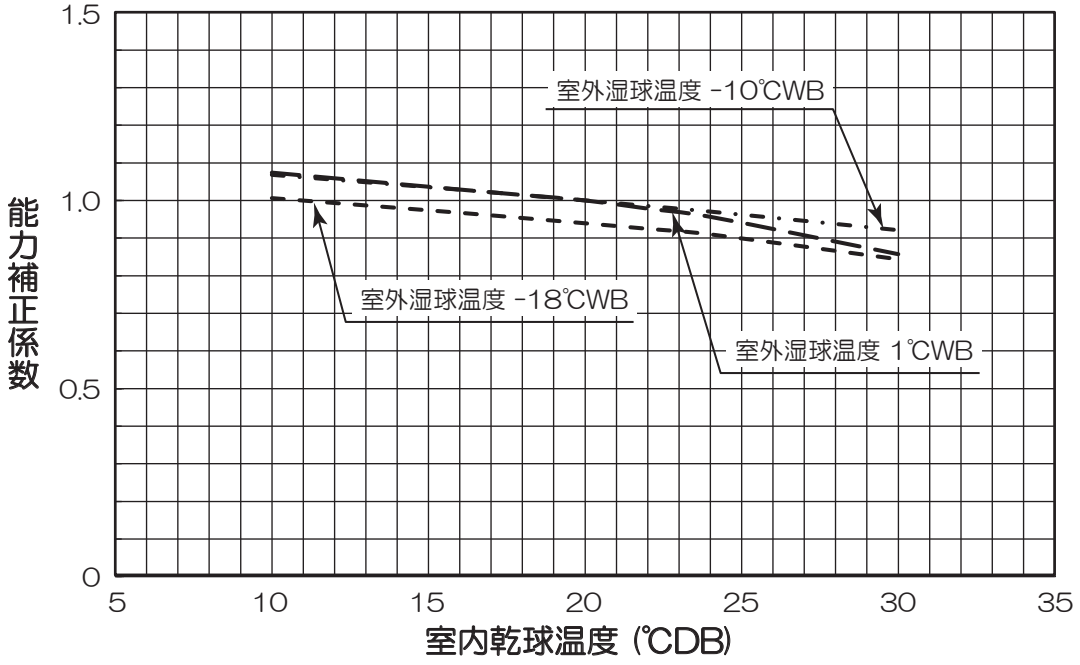


b） 室内・外温度条件による消費電力補正

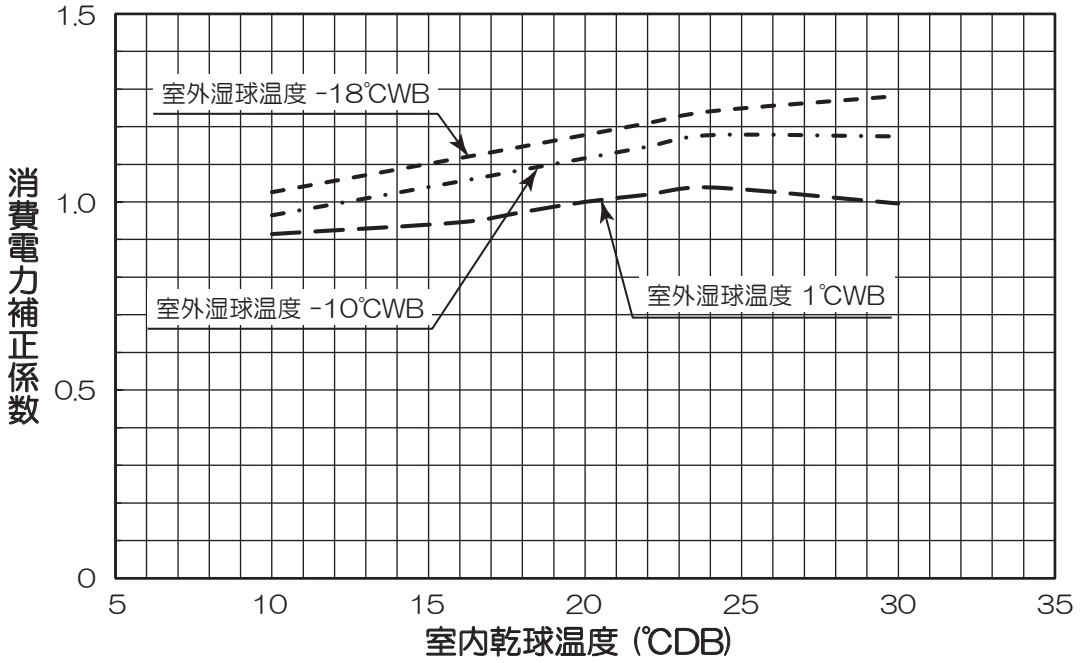


2)　最大暖房低温条件の最大暖房低温能力を基準

a)　室内・外温度条件による能力補正



b)　室内・外温度条件による消費電力補正



参考　能力特性表

形式　FDTK806H6SA　（室内ユニット：FDTZP1606SA, 室外ユニット：FDCKP806H)

冷房　(kW)

外気温度	室内吸込温度															
	18℃DB		21℃DB		23℃DB		26℃DB		27℃DB		28℃DB		31℃DB		33℃DB	
	12℃WB		14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
℃DB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					7.08	7.03	7.42	7.27	7.62	7.52	7.83	7.48	8.27	7.92	8.70	7.82
13					7.22	7.09	7.52	7.37	7.70	7.55	7.92	7.51	8.37	7.96	8.82	7.85
15					7.36	7.18	7.62	7.47	7.78	7.57	8.01	7.53	8.48	8.05	8.94	7.88
17					7.50	7.23	7.72	7.69	7.86	7.62	8.10	7.58	8.58	8.09	9.07	7.98
19					7.37	7.18	7.67	7.65	7.85	7.62	8.10	7.58	8.58	8.09	9.07	7.99
21					7.18	7.07	7.62	7.47	7.84	7.62	8.09	7.58	8.59	8.09	9.08	7.99
23					7.08	7.03	7.51	7.36	7.74	7.56	7.98	7.52	8.47	8.05	8.96	7.88
25			6.56	6.43	6.98	6.84	7.41	7.26	7.63	7.52	7.87	7.49	8.35	7.95	8.84	7.85
27			6.47	6.34	6.88	6.75	7.31	7.16	7.52	7.49	7.67	7.42	8.10	7.87		
29			6.39	6.26	6.79	6.66	7.21	7.06	7.42	7.27	7.56	7.39	7.98	7.84		
31			6.30	6.18	6.70	6.56	7.10	6.96	7.31	7.17	7.45	7.35	7.87	7.81		
33	5.86	5.74	6.27	6.15	6.61	6.47	7.00	6.86	7.21	7.06	7.34	7.32	7.75	7.59		
35	5.77	5.66	6.14	6.02	6.51	6.38	6.90	6.76	7.10	6.96	7.23	7.09	7.63	7.48		
37	5.60	5.49	5.97	5.85	6.33	6.20	6.71	6.58	6.91	6.77	7.04	6.90	7.45	7.30		
39	5.43	5.33	5.80	5.68	6.15	6.03	6.52	6.39	6.72	6.59	6.86	6.72	7.26	7.11		
41	5.26	5.16	5.63	5.51	5.97	5.85	6.33	6.20	6.53	6.40	6.67	6.54	7.07	6.93		
43	5.10	4.99	5.46	5.35	5.78	5.67	6.14	6.02	6.34	6.22	6.48	6.35	6.89	6.75		

暖房　(kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃DB				
℃DB	℃WB	16	18	20	22	24
-19.0	-20	11.03	10.87	10.70	10.53	10.36
-17.0	-18	11.99	11.82	11.65	11.47	11.29
-14.0	-15	12.95	12.78	12.60	12.41	12.23
-13.0	-14	12.96	12.78	12.60	12.41	12.22
-11.0	-12	12.97	12.79	12.60	12.40	12.20
-9.0	-10	12.99	12.79	12.60	12.39	12.19
-7.0	-8	13.00	12.80	12.60	12.39	12.17
-5.0	-6	12.92	12.76	12.60	12.39	12.18
-3.0	-4	12.85	12.72	12.60	12.39	12.18
-1.0	-2	12.77	12.69	12.60	12.39	12.18
1.0	0	12.69	12.65	12.60	12.39	12.18
2.0	1	12.66	12.63	12.60	12.39	12.18
3.0	2	12.62	12.61	12.60	12.39	12.18
5.0	4	7.59	7.58	7.57	7.44	7.31
7.0	6	8.03	8.01	8.00	7.88	7.77
9.0	8	8.47	8.45	8.43	8.33	8.23
11.5	10	8.91	8.88	8.85	8.77	8.69
13.5	12	9.07	9.04	9.01	8.94	8.87
15.5	14	9.23	9.20	9.17	9.11	9.06
16.5	16	9.39	9.36	9.32	9.29	9.25

形式　FDTK1126H6SA(室内ユニット：FDTZP1606SA, 室外ユニット：FDCKP1126H)

冷房　(kW)

外気温度	室内吸込温度															
	18℃DB		21℃DB		23℃DB		26℃DB		27℃DB		28℃DB		31℃DB		33℃DB	
	12℃WB		14℃WB		16℃WB		18℃WB		19℃WB		20℃WB		22℃WB		24℃WB	
℃DB	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC	TC	SHC
11					9.97	8.30	10.44	8.76	10.73	8.70	11.03	8.65	11.64	9.13	12.26	8.99
13					10.17	8.38	10.59	8.83	10.84	8.76	11.16	8.71	11.79	9.17	12.43	9.04
15					10.36	8.48	10.73	8.88	10.95	8.80	11.28	8.75	11.94	9.22	12.60	9.08
17					10.56	8.56	10.88	8.94	11.06	8.84	11.41	8.79	12.09	9.29	12.77	9.15
19					10.38	8.48	10.80	8.91	11.06	8.84	11.40	8.79	12.09	9.29	12.78	9.16
21					10.11	8.35	10.73	8.88	11.05	8.83	11.40	8.79	12.09	9.29	12.79	9.16
23					9.97	8.30	10.58	8.83	10.90	8.78	11.24	8.73	11.93	9.22	12.62	9.09
25			9.24	8.29	9.83	8.24	10.44	8.76	10.75	8.71	11.09	8.68	11.77	9.17	12.44	9.04
27			9.11	8.24	9.70	8.17	10.29	8.67	10.60	8.62	10.80	8.53	11.41	9.03		
29			8.99	8.19	9.57	8.12	10.15	8.61	10.45	8.56	10.65	8.47	11.25	8.98		
31			8.88	8.12	9.43	8.07	10.01	8.56	10.30	8.51	10.49	8.42	11.08	8.93		
33	8.25	7.50	8.84	8.10	9.30	8.01	9.86	8.51	10.15	8.46	10.34	8.37	10.91	8.86		
35	8.13	7.45	8.65	8.02	9.17	7.94	9.72	8.45	10.00	8.40	10.19	8.32	10.75	8.81		
37	7.89	7.34	8.41	7.90	8.92	7.84	9.45	8.36	9.73	8.31	9.92	8.23	10.49	8.73		
39	7.65	7.21	8.17	7.80	8.66	7.72	9.18	8.26	9.47	8.22	9.66	8.14	10.23	8.63		
41	7.42	7.10	7.92	7.69	8.40	7.62	8.91	8.14	9.20	8.12	9.39	8.05	9.96	8.55		
43	7.18	6.98	7.68	7.57	8.15	7.50	8.65	8.04	8.93	8.01	9.13	7.94	9.70	8.45		

暖房　(kW)

外気温度		室内吸込温度				
		℃DB				
℃DB	℃WB	16	18	20	22	24
-19.0	-20	13.41	13.21	13.00	12.79	12.57
-17.0	-18	14.31	14.11	13.90	13.68	13.47
-14.0	-15	15.21	15.01	14.80	14.58	14.36
-13.0	-14	15.22	15.01	14.80	14.58	14.36
-11.0	-12	15.22	15.01	14.80	14.58	14.36
-9.0	-10	15.22	15.01	14.80	14.58	14.36
-7.0	-8	15.23	15.01	14.80	14.58	14.36
-5.0	-6	15.23	15.01	14.80	14.56	14.31
-3.0	-4	15.23	15.01	14.80	14.53	14.27
-1.0	-2	15.23	15.01	14.80	14.51	14.22
1.0	0	15.23	15.01	14.80	14.49	14.18
2.0	1	15.23	15.01	14.80	14.48	14.15
3.0	2	15.23	15.01	14.80	14.47	14.13
5.0	4	10.62	10.61	10.60	10.43	10.27
7.0	6	11.21	11.20	11.20	11.04	10.88
9.0	8	11.80	11.80	11.80	11.65	11.50
11.5	10	12.39	12.40	12.41	12.26	12.12
13.5	12	12.55	12.54	12.53	12.42	12.31
15.5	14	12.71	12.69	12.66	12.58	12.50
16.5	16	12.87	12.83	12.79	12.74	12.70

記事(1) 冷房および暖房外気温度5℃DB以上は、定格能力時の圧縮機回転数で固定した各温度条件での計算値です。
ただし、制御により圧縮機回転数が変化する場合は、その能力変化を考慮しています。

(2) 運転条件
配管長：7.5m
室内外ユニット高低差：0m

(3) 記号説明
TC　：冷房能力
SHC：顕熱能力(kW)

(c) 配管距離・室内・外ユニット高低差による能力補正

冷媒配管長（室内・室外ユニット間の片道長）および室内・室外ユニット高低差により，冷房・暖房能力の補正が必要です。

(i) 配管相当長による能力補正係数

室内・外ユニット間の高低差0mの場合の配管相当長対応の補正係数は下表のとおりです。

項目	相当長(m)	7.5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80
暖房（全型式共通）		1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	0.998	0.998	0.993	0.993	0.988	0.988	0.983	0.983	0.978	0.978	0.973
冷房	KP80	1.000	0.997	0.986	0.986	0.973	0.973	0.962	0.962	0.951	0.951	0.939	0.939	0.930	0.930	0.922	0.922
	KP112	1.000	0.999	0.994	0.994	0.988	0.988	0.983	0.983	0.978	0.978	0.973	0.973	0.968	0.968	0.963	0.963

注　相当長は下記の式により計算してください。
ただし相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ（実長）＋5m以内となるよう設置してください。

●相当長＝実長＋（ベンドの相当長×途中配管のベンド数）
ベンド1個当りの相当長

ガス配管径(mm)	φ9.52	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ25.4	φ25.88
ベンドの相当長	0.15	0.20	0.25	0.30	0.40	0.45

(ii) 室内・外ユニット高低差による能力補正係数

冷房時室外ユニットが下，暖房時室外ユニットが上，の場合のみ補正してください。

室内・室外ユニットの高さ方向の差（m）	5	10	15	20	25	30
補正係数	0.99	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94

■配管距離の制限値

項目＼形式	P806，P1126
最大片道長さ（実長）(1)(m)	80
高さ方向 (2) (m)	30(15)

注(1)　表中の数値は室内，室外ユニット間の配管片道長さを示します。
(2)　(　)は室外ユニットが室内ユニットよりも下にある場合を示します。

(d) 風量変更時の能力補正係数

風量	P急	強	弱
能力補正係数	1.00	0.97	0.95

冷暖房能力算出方法

●例1…暖房
形式：FDTK1126H6SA，風量：P急，
室外湿球温度：1℃WB，室内乾球温度：23℃DB
配管距離相当長：30m
室内，室外ユニットの高さ方向の差：10m
（室外ユニットが上）

この場合の暖房能力：

14.8 × 0.97 × 0.998 × 0.98 × 1.0 ≒ 14.0kW

FDTZ1126H6SA 定格暖房能力	温度条件による補正	相当長 30m	高低差 10m	風量 P急

●例2…冷房
形式：FDTK1126H6SA，風量：P急，
室外乾球温度：32℃DB，室内湿球温度：19℃WB
配管距離相当長：30m
室内，室外ユニットの高さ方向の差：5m
（室外ユニットが下）

この場合の冷房能力：

10.0 × 1.02 × 0.988 × 0.99 × 1.0 ≒ 10.0kW

FDTZ1126H6SA 定格冷房能力	温度条件による補正	相当長 30m	高低差 5m	風量 P急

1.6 送風機特性

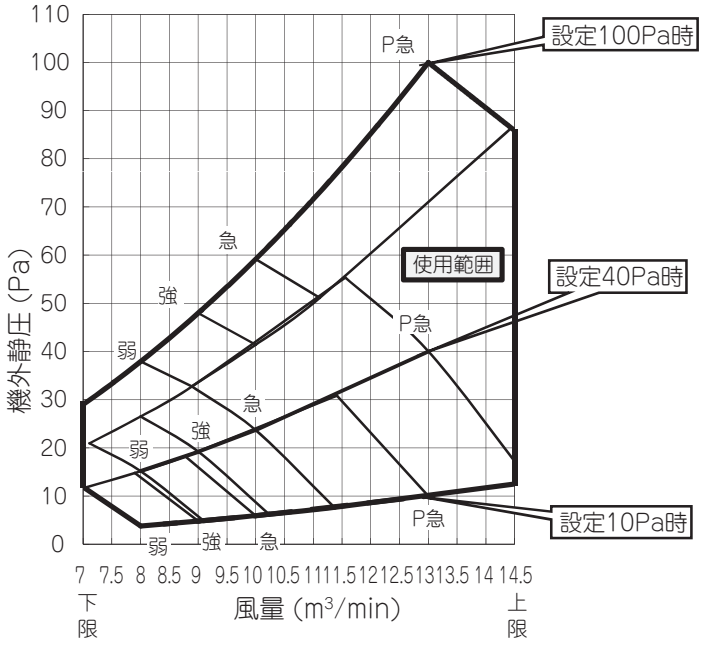
Ⓐ エクシードハイパー・ハイパーインバータシリーズ

(1) 天理カセテリア（FDR）

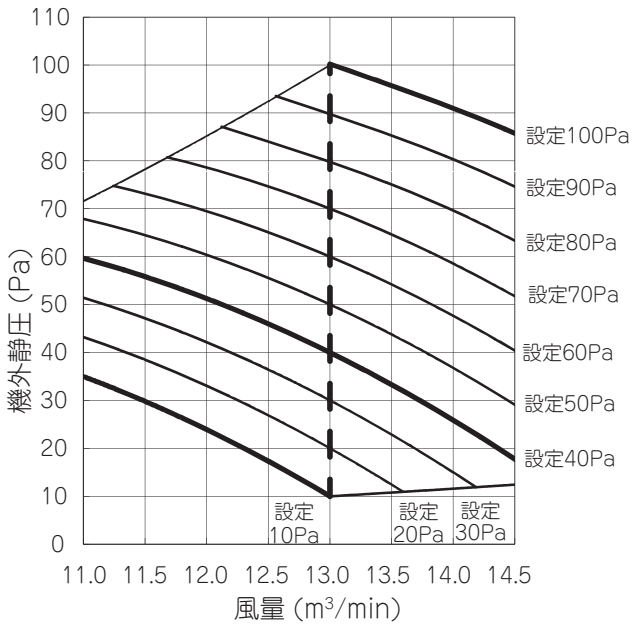
ⓐ サイレントパネル，キャンバスパネル仕様

FDRZP566S（P40, P45, P50, P56 設定）

①各タップの機外静圧特性



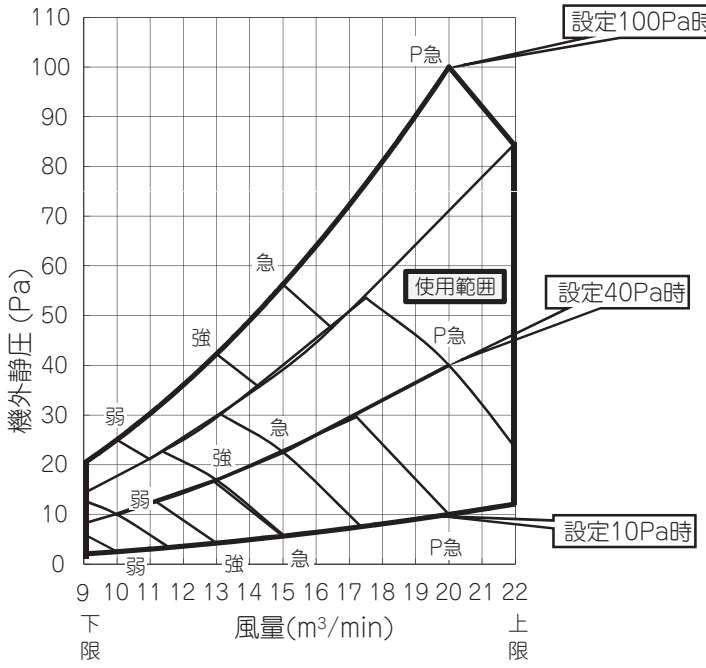
②P急タップの機外静圧特性



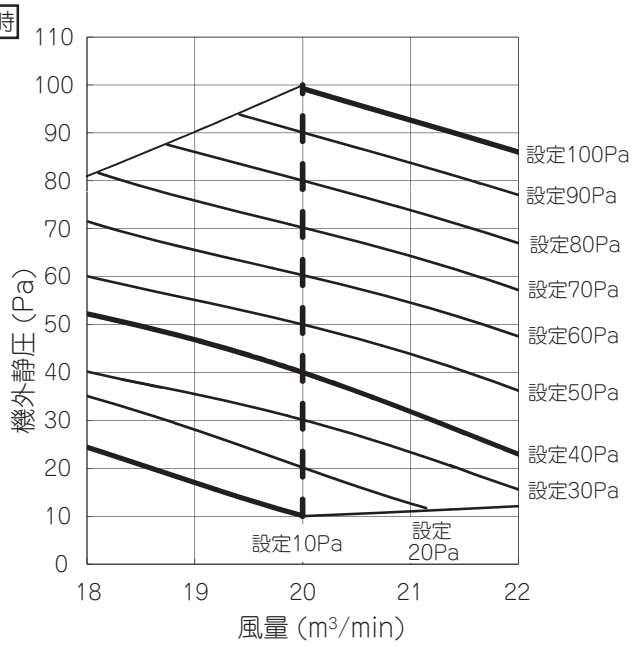
注　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

FDRZP636S

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

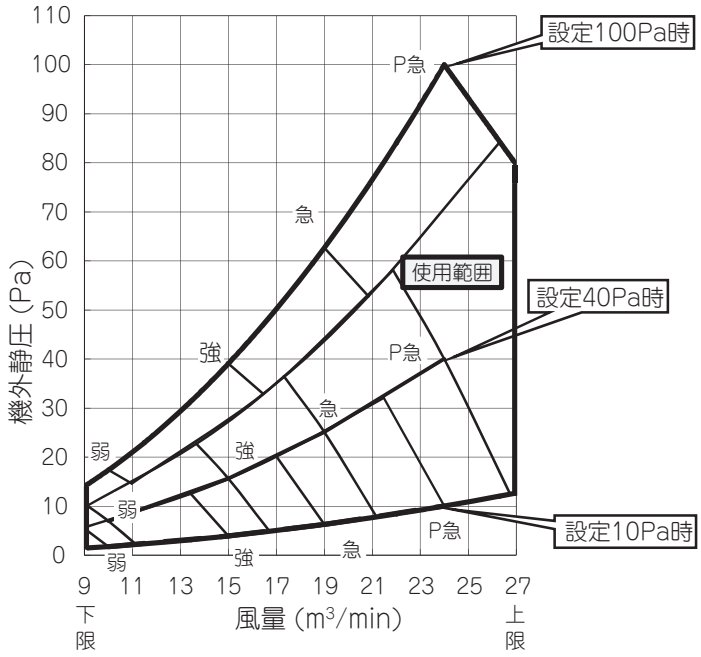


注　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

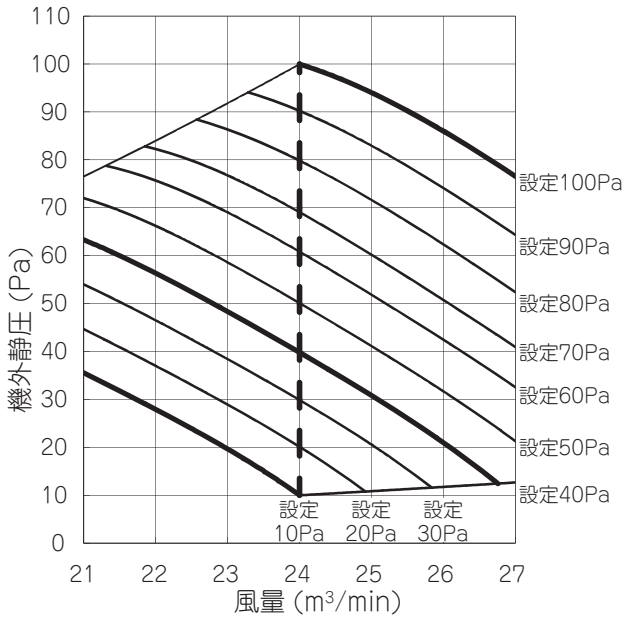
PJG000Z193

FDRZP806S（P71, P80 設定）

①各タップの機外静圧特性



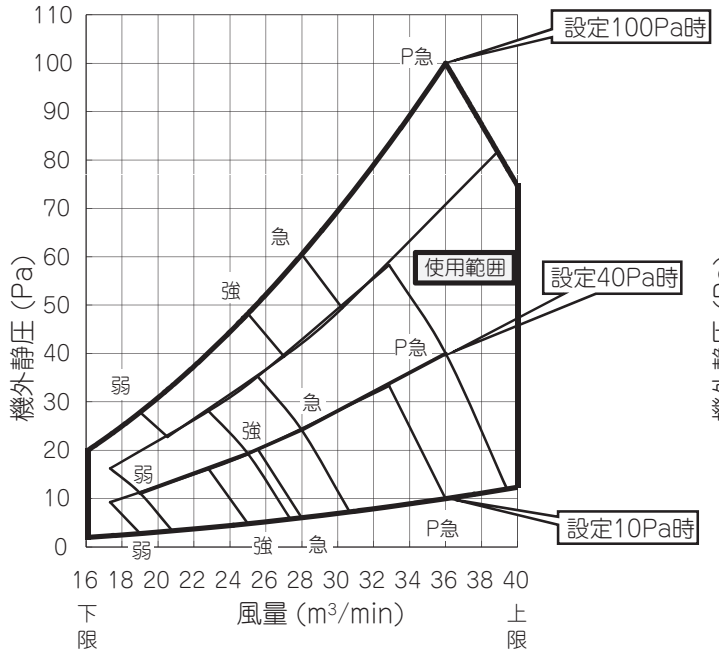
②P急タップの機外静圧特性



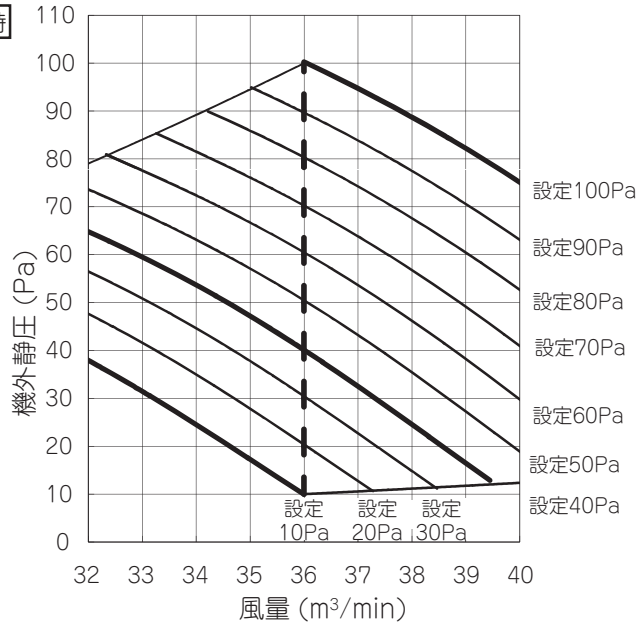
注　表中の〔設定 00Pa〕とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

FDRZP1126S

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

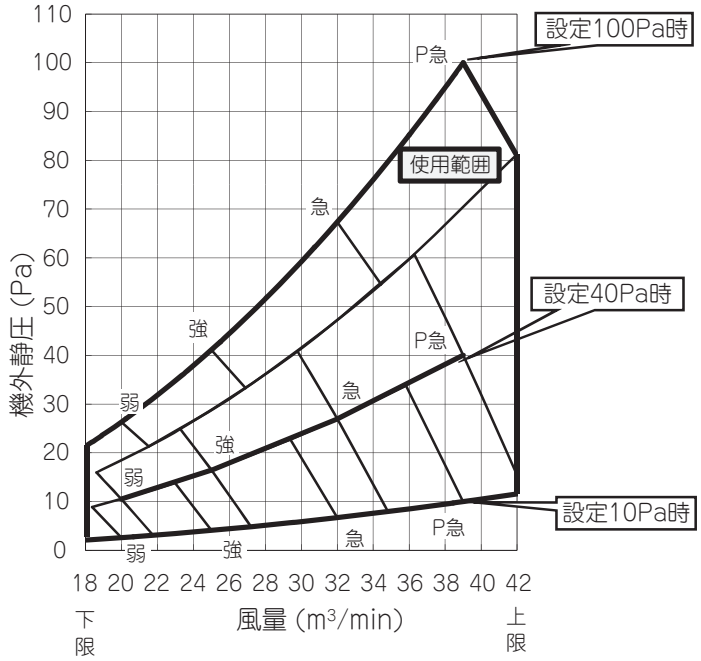


注　表中の〔設定 00Pa〕とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

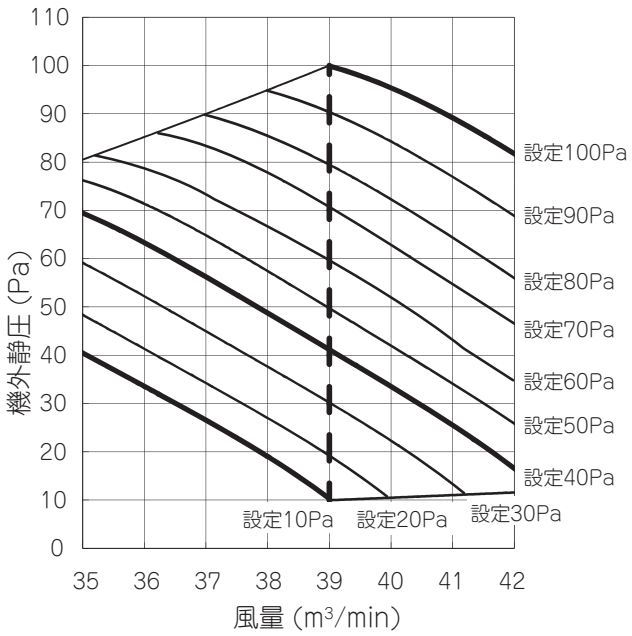
PJG000Z193

FDRZP1606S（P140 設定）

①各タップの機外静圧特性



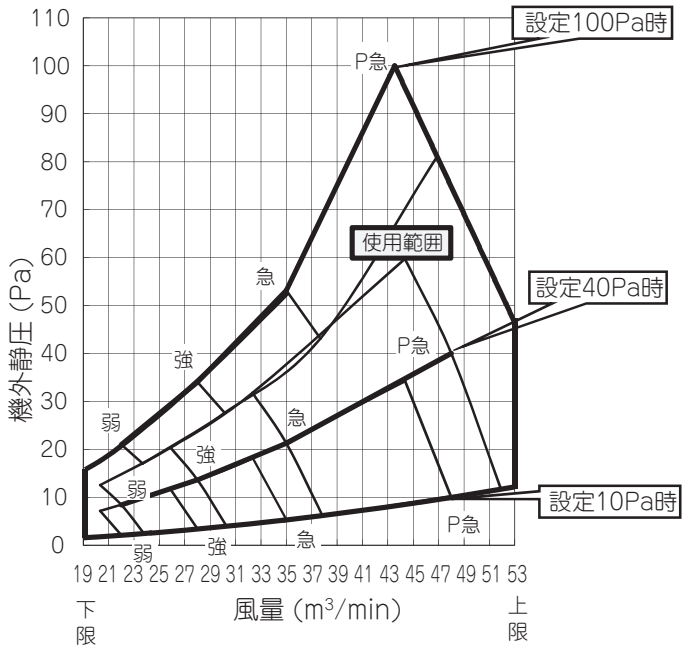
②P急タップの機外静圧特性



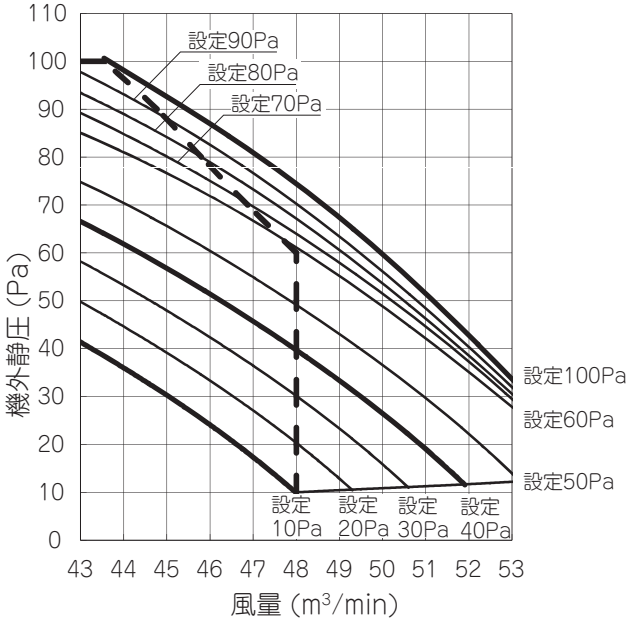
注　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

FDRZP1606S（P160 設定）

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



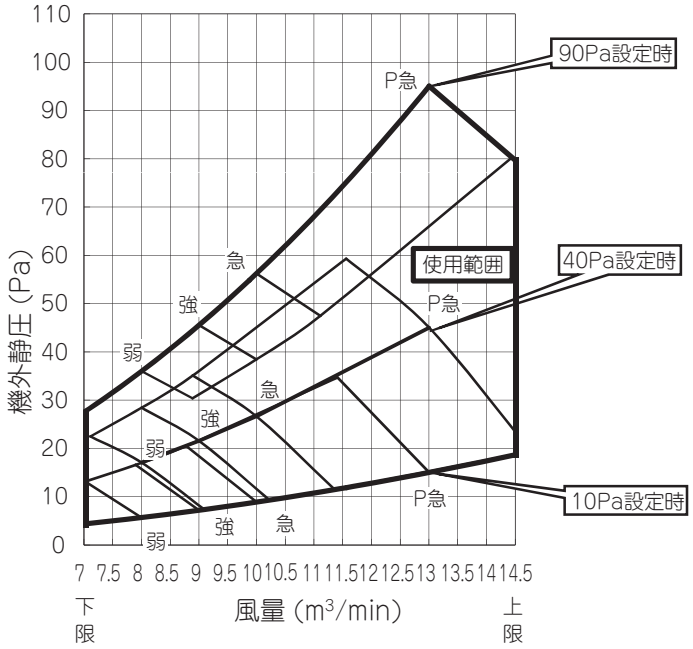
注　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

PJG000Z193

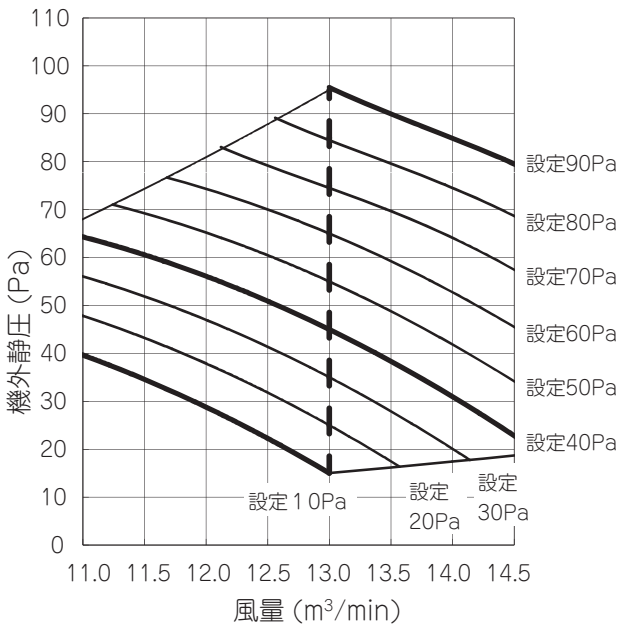
(b) 天井リターン仕様

FDRZP566S（P40, P45, P50, P56 設定）

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

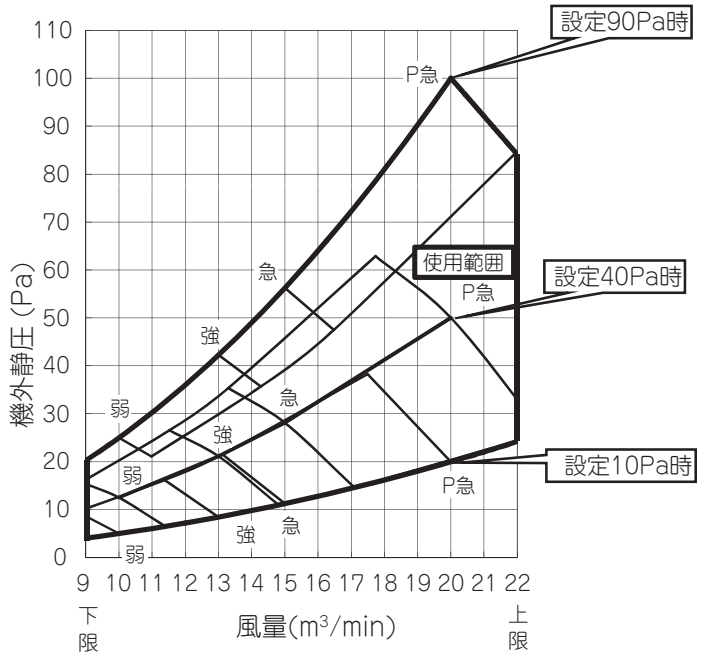


注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) 専用のフィルタキット(別売品)を必ず装着してください。
(3) 天井リターン仕様の場合は, 標準機に対して機内圧力損失が低減するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 770ページをご覧ください。

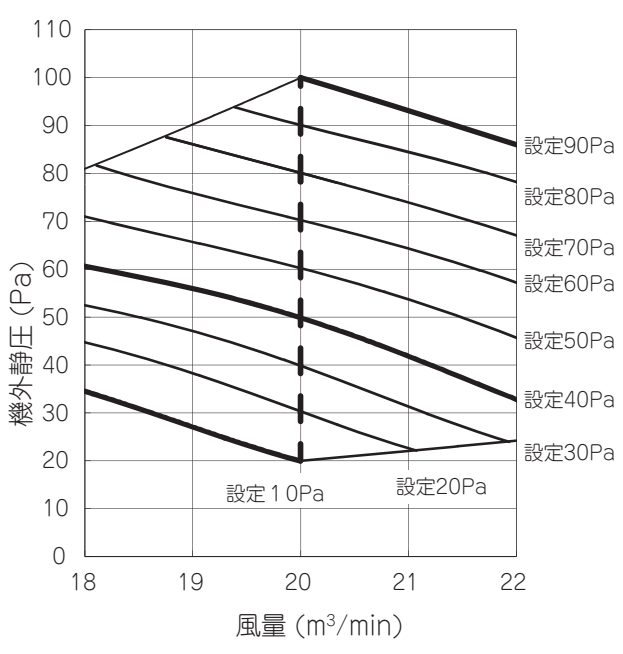
必要な機外静圧（Pa）	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

FDRZP636S

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



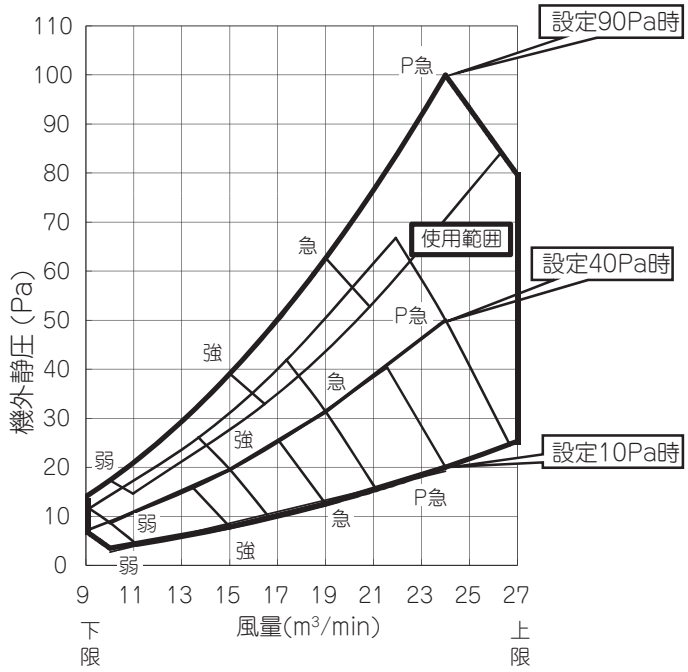
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) 専用のフィルタキット(別売品)を必ず装着してください。
(3) 天井リターン仕様の場合は, 標準機に対して機内圧力損失が低減するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 770ページをご覧ください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

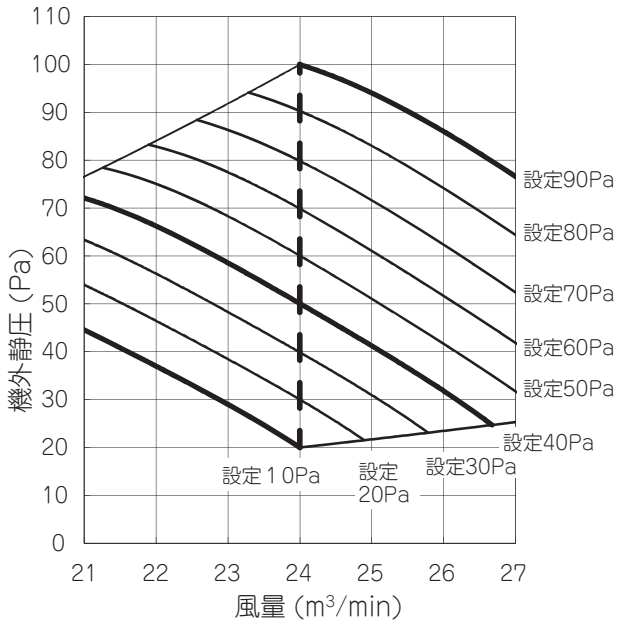
PJG000Z193

FDRZP806S（P71, P80 設定）

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

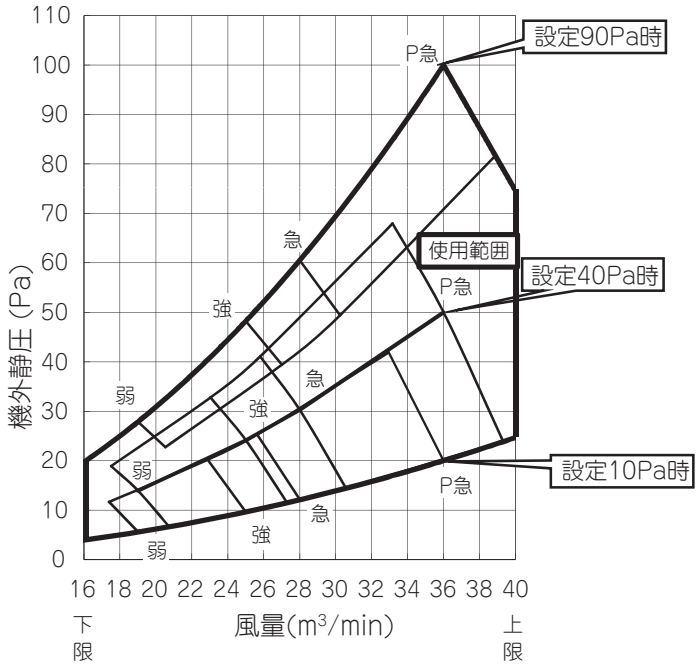


注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　専用のフィルタキット(別売品)を必ず装着してください。
(3)　天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は，770ページをご覧ください。

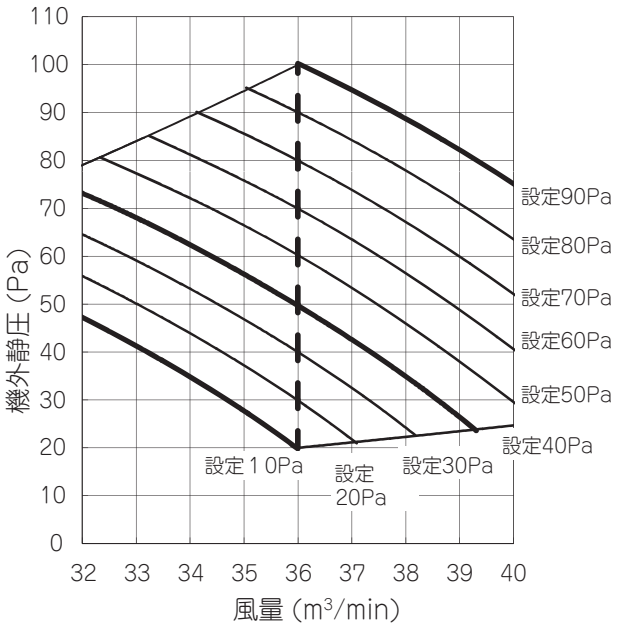
必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

FDRZP1126S

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



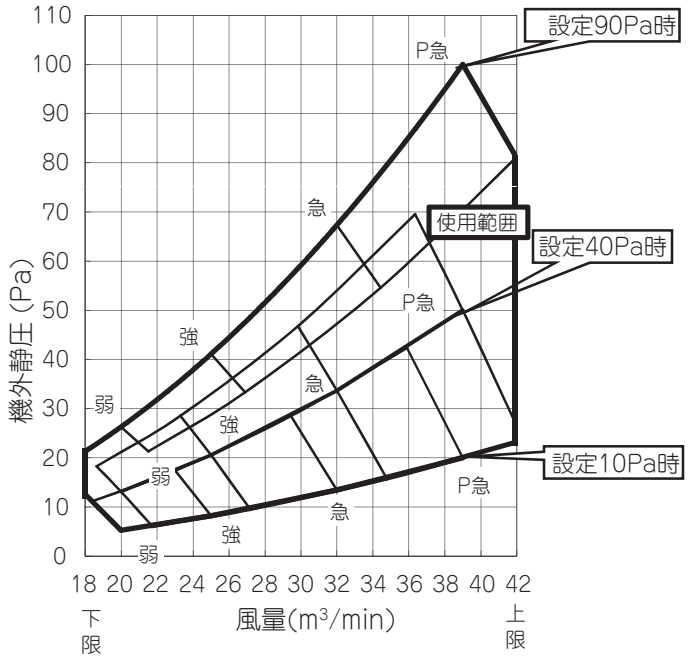
注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　専用のフィルタキット(別売品)を必ず装着してください。
(3)　天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は，770ページをご覧ください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

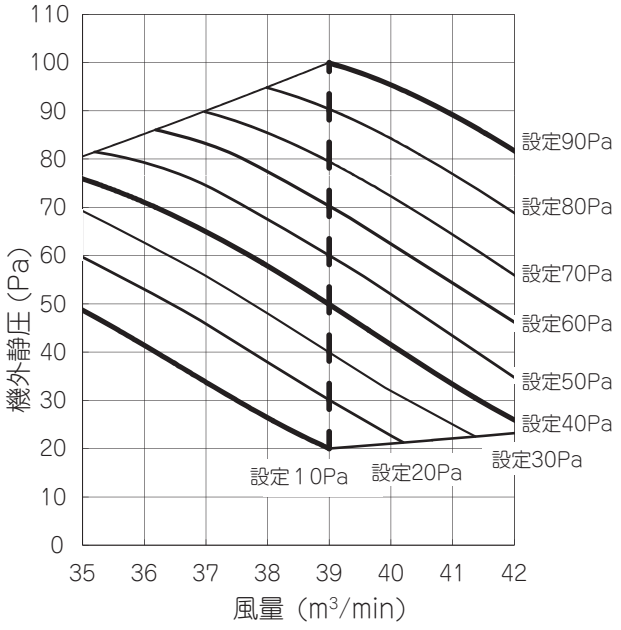
PJG000Z193

FDRZP1606S（P140 設定）

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

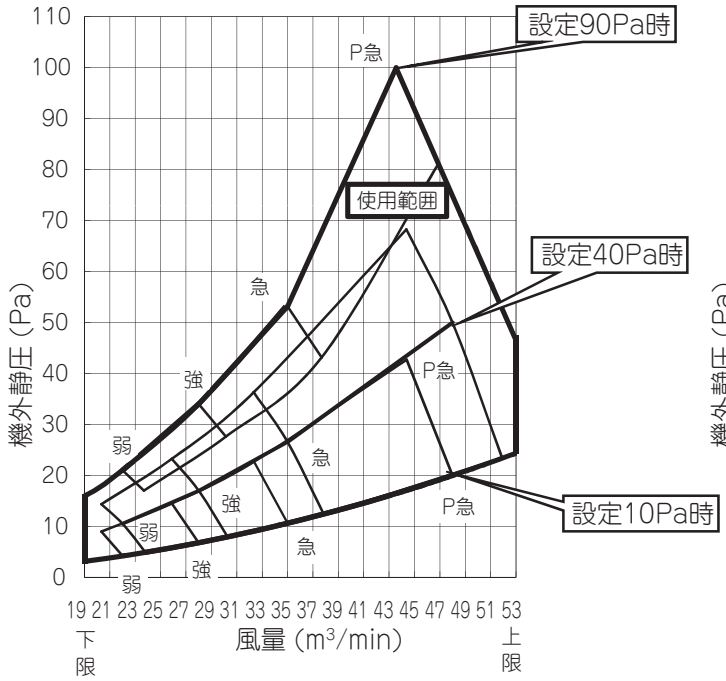


注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　専用のフィルタキット(別売品)を必ず装着してください。
(3)　天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は，770ページをご覧ください。

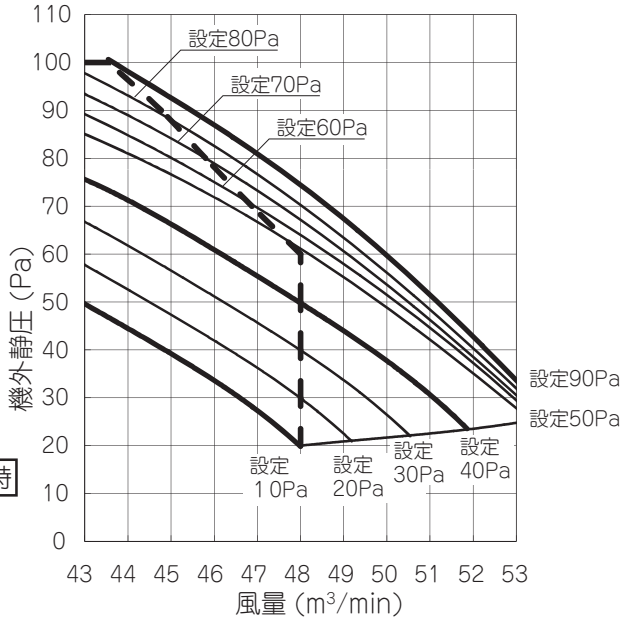
必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

FDRZP1606S（P160 設定）

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　専用のフィルタキット(別売品)を必ず装着してください。
(3)　天井リターン仕様の場合は，標準機に対して機内圧力損失が低減するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は，770ページをご覧ください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

PJG000Z193

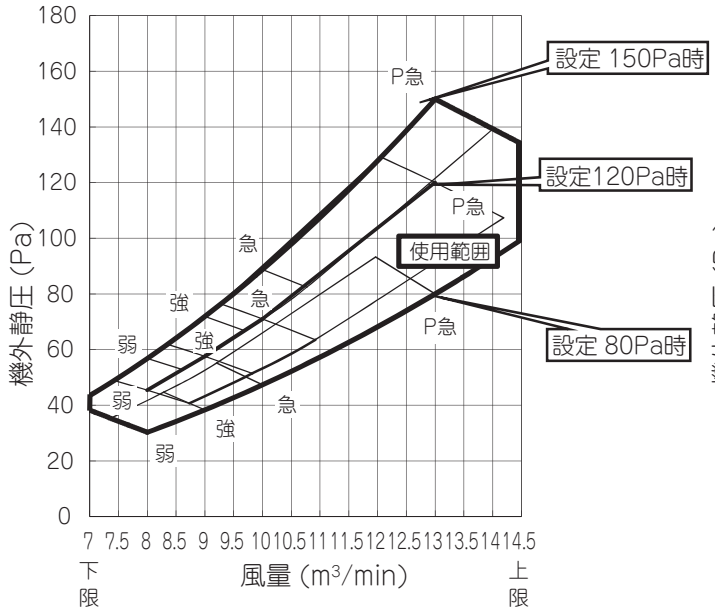
(2) 高静圧ダクト形（FDU）

(a) 標準仕様

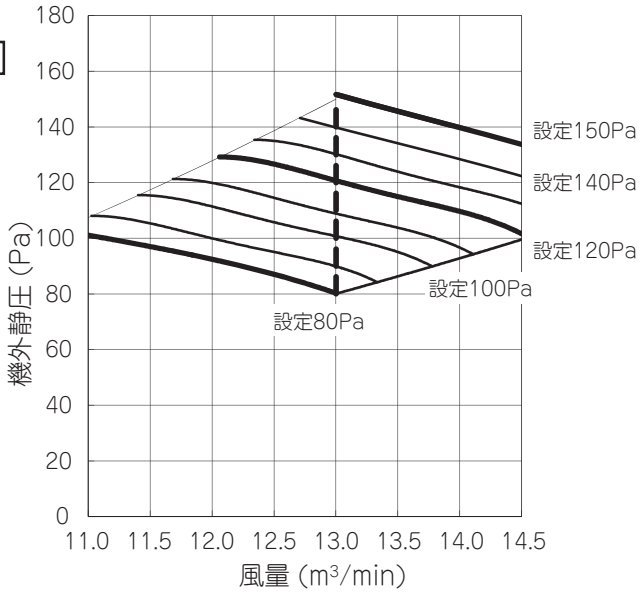
FDUZP566S（P50, P56 設定）

(i) SW8-4:OFF(出荷状態）の場合

①各タップの機外静圧特性



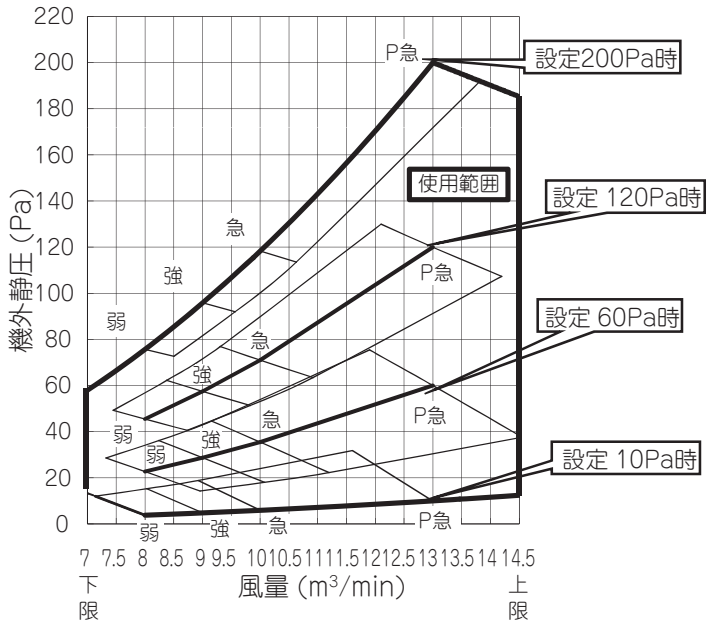
②P急タップの機外静圧特性



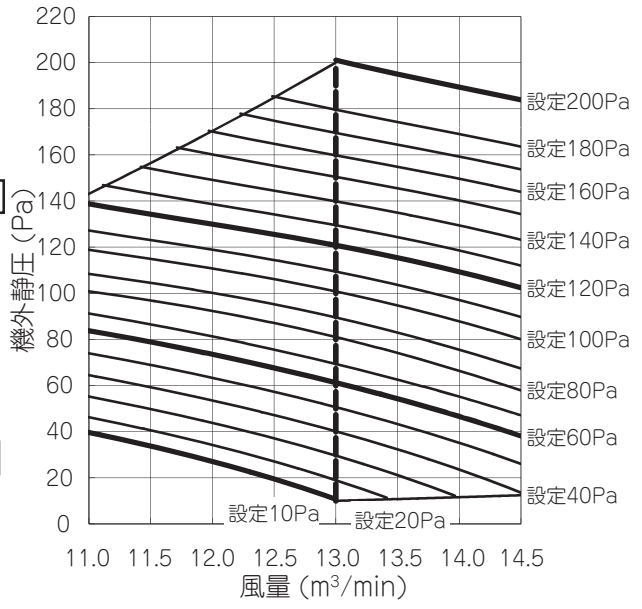
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を 80 ～ 150Pa としています。

(ii) SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



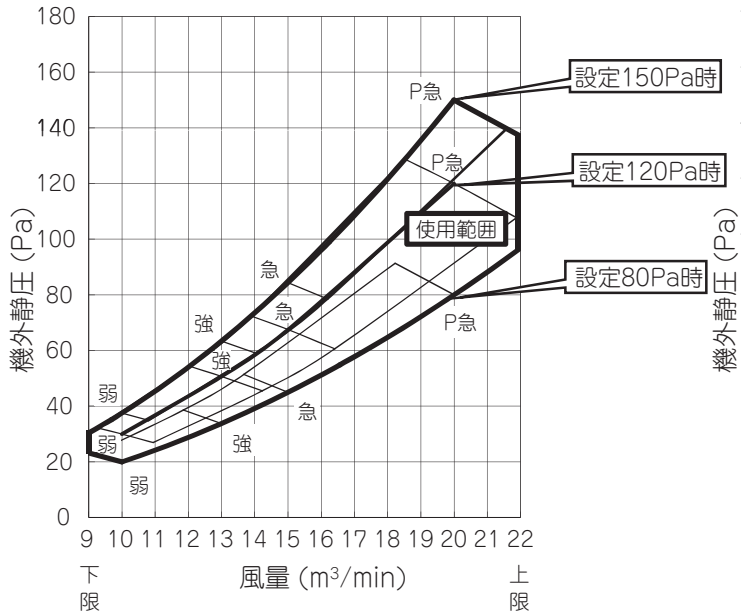
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
(3) 基板上の SW8-4 を ON にすることにより、機外静圧設定範囲を 10 ～ 200Pa にすることも可能です。
切換方法は 771 ページを参照ください。

PJG000Z194

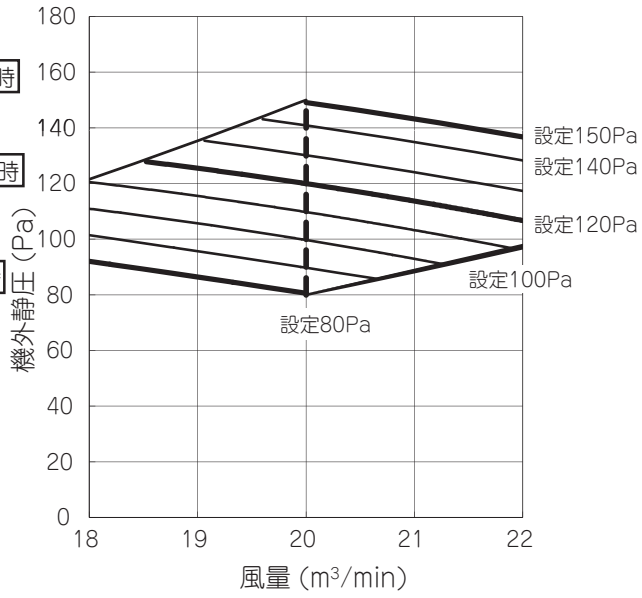
FDUZP636S

(ⅰ) SW8-4:OFF(出荷状態) の場合

①各タップの機外静圧特性



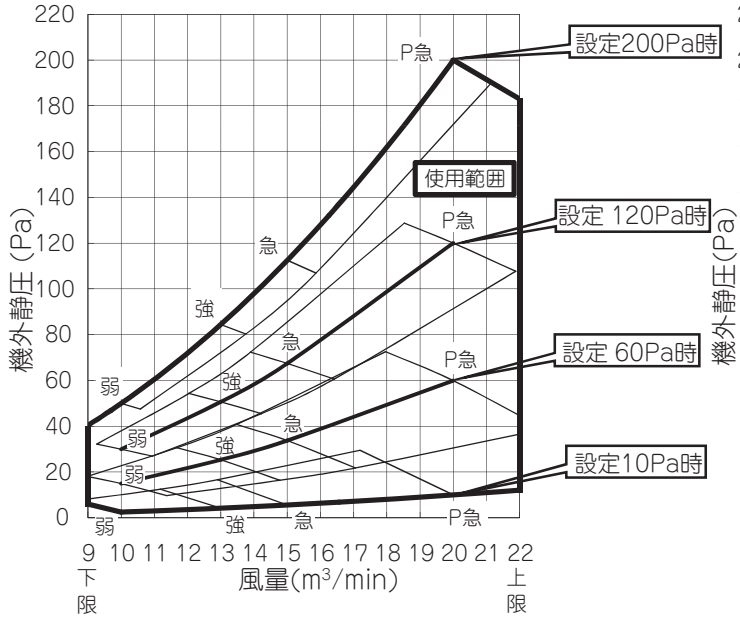
②P急タップの機外静圧特性



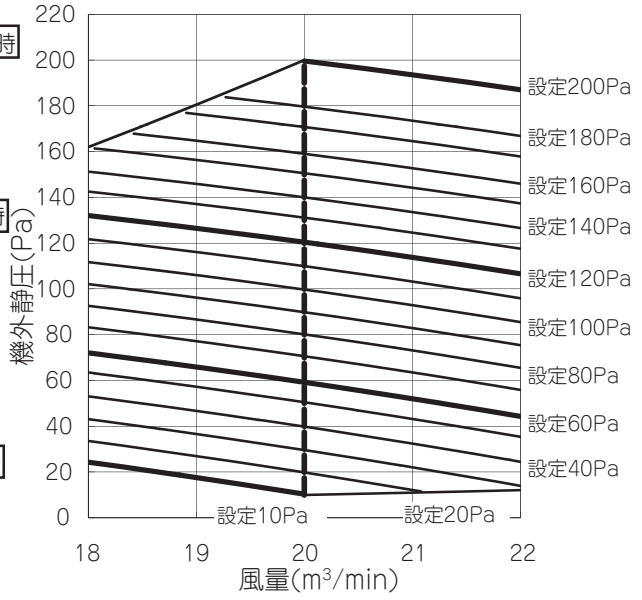
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を 80 ～ 150Pa としています。

(ⅱ) SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



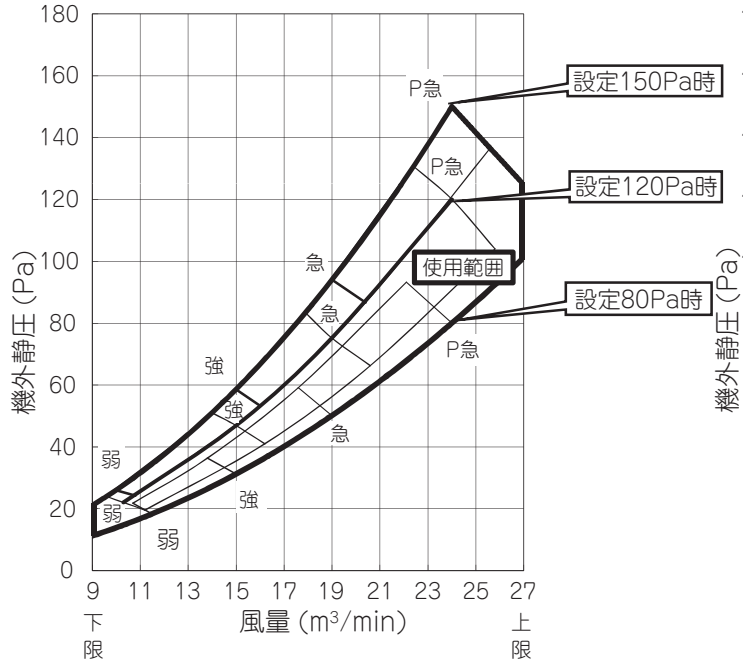
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
(3) 基板上の SW8-4 を ON にすることにより、機外静圧設定範囲を 10 ～ 200Pa にすることも可能です。
切換方法は 771 ページを参照ください。

PJG000Z194

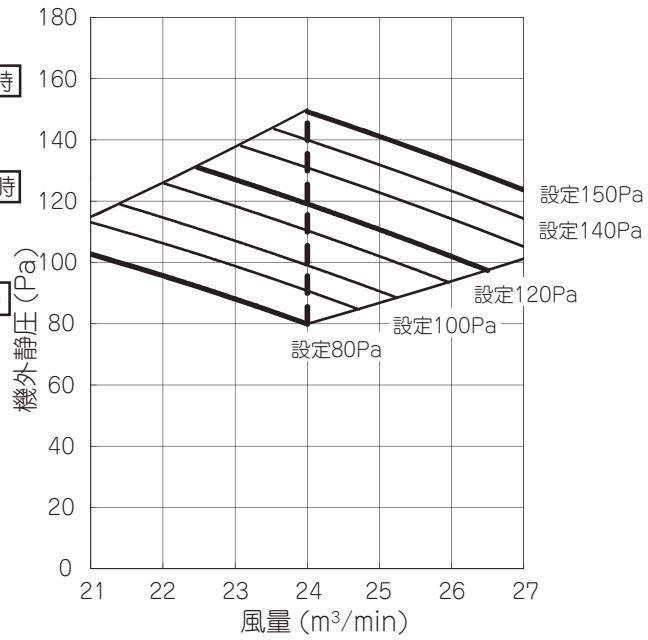
FDUZP806S（P71, P80 設定）

(i) SW8-4:OFF（出荷状態）の場合

①各タップの機外静圧特性



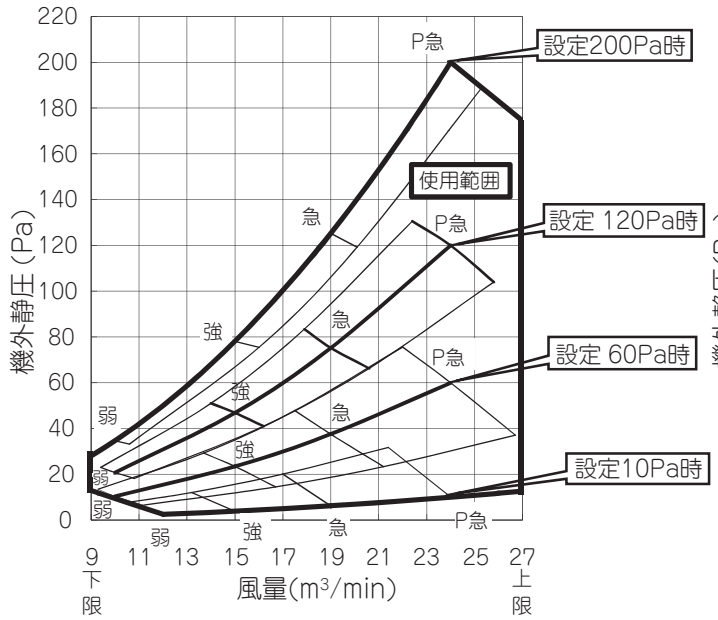
②P急タップの機外静圧特性



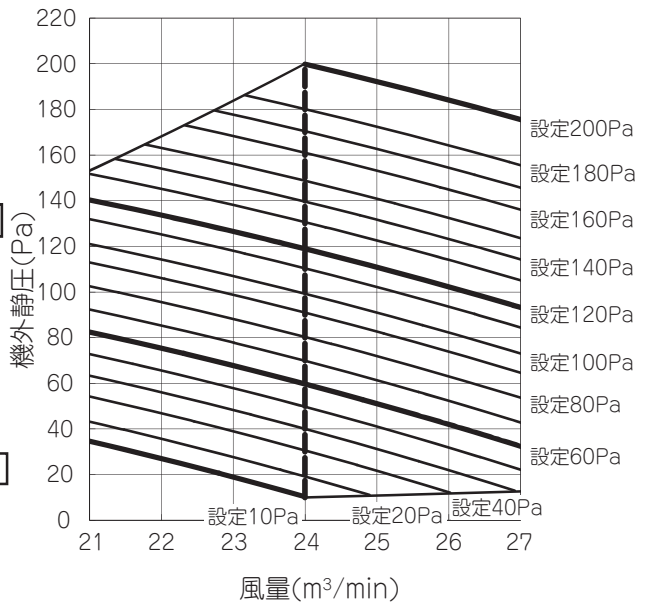
注(1)　表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80 ～ 150Paとしています。

(ii) SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

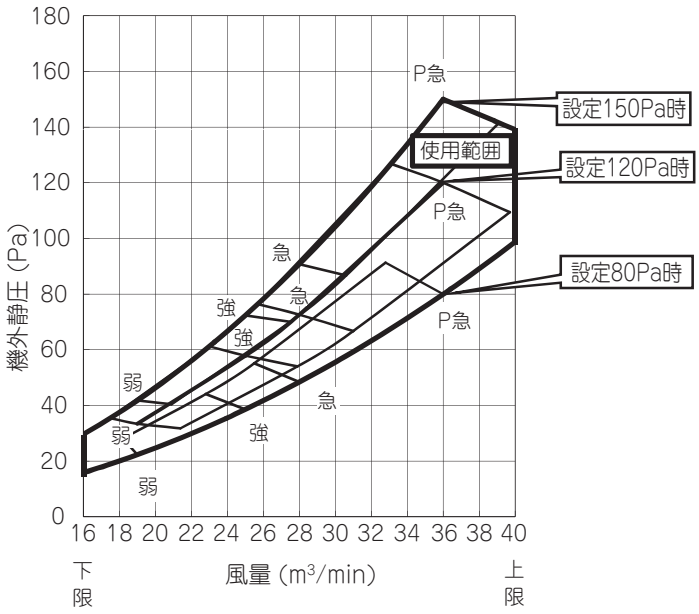


注(1)　表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
(3)　基板上の SW8-4をON にすることにより、機外静圧設定範囲を10～200Paにすることも可能です。
切換方法は 771 ページを参照ください。

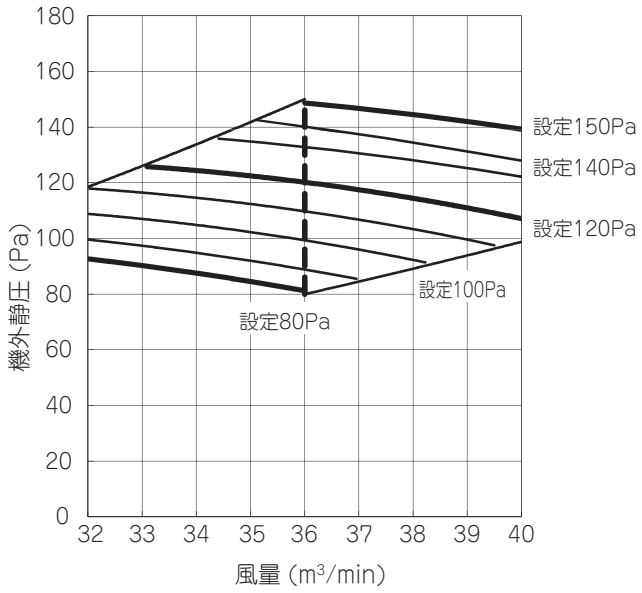
PJG000Z194

FDUZP1126S
(ⅰ) SW8-4:OFF(出荷状態)の場合

①各タップの機外静圧特性



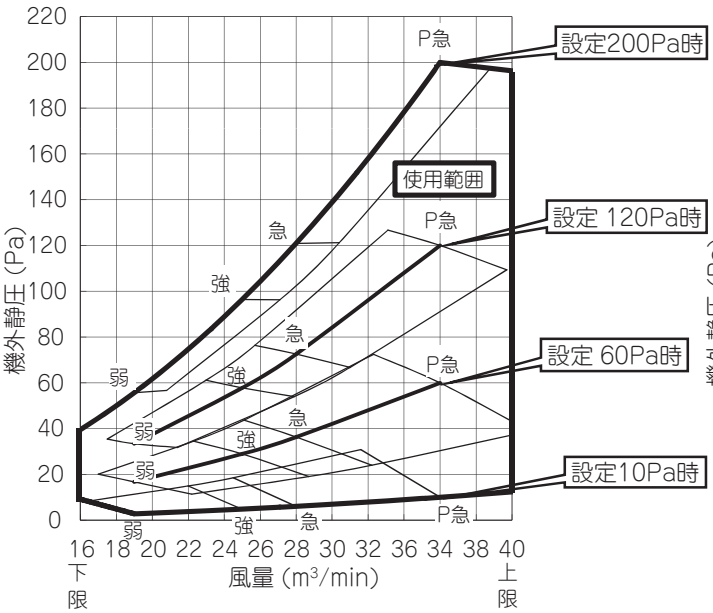
②P急タップの機外静圧特性



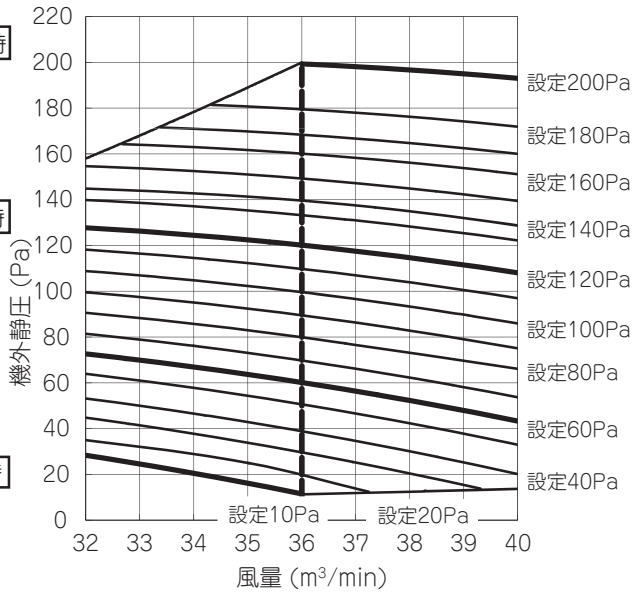
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80～150Paとしています。

(ⅱ) SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



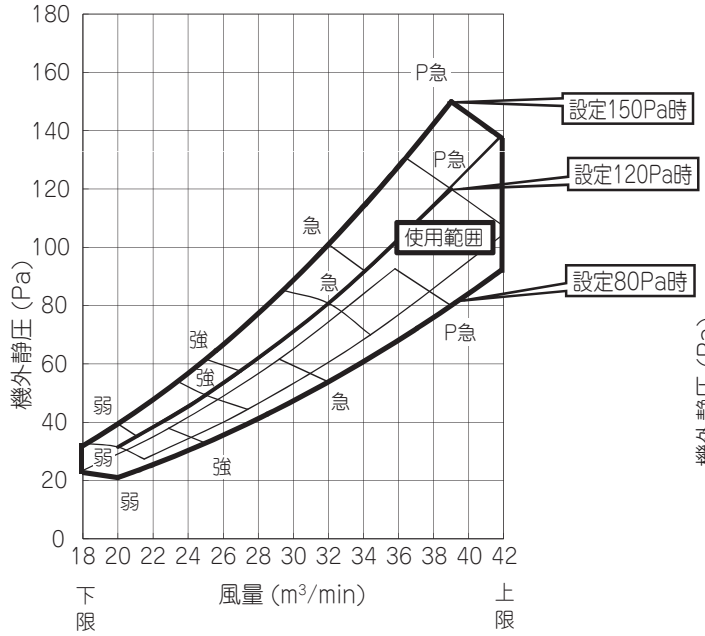
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
(3) 基板上の SW8-4をONにすることにより、機外静圧設定範囲を10～200Paにすることも可能です。
切換方法は 771ページを参照ください。

PJG000Z194

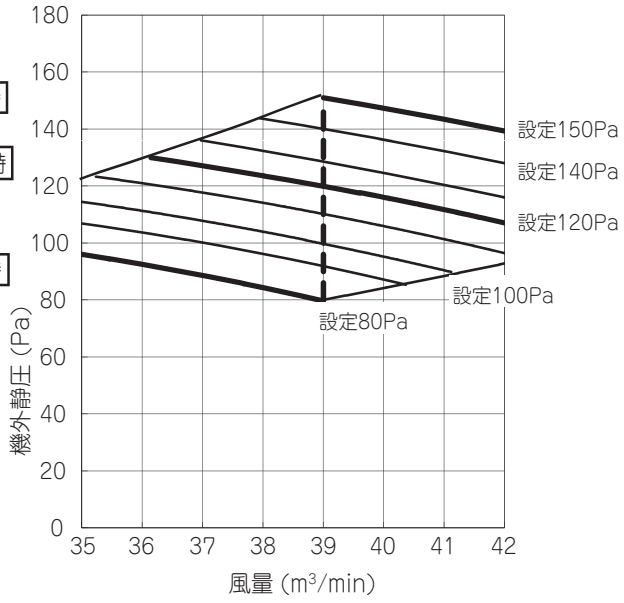
FDUZP1606S（P140 設定）

(i) SW8-4:OFF（出荷状態）の場合

①各タップの機外静圧特性



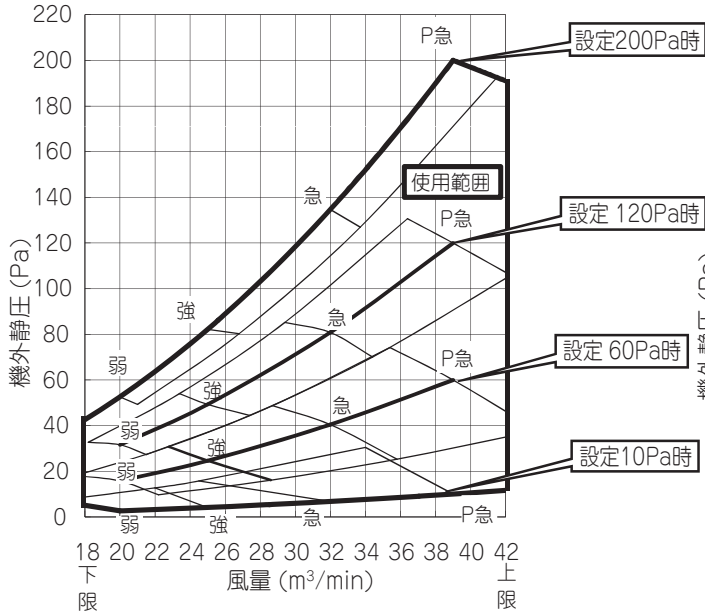
②P急タップの機外静圧特性



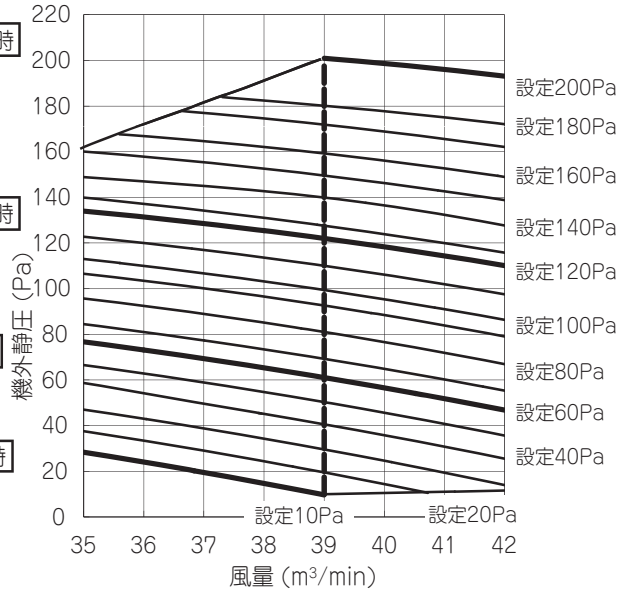
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80～150Paとしています。

(ii) SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

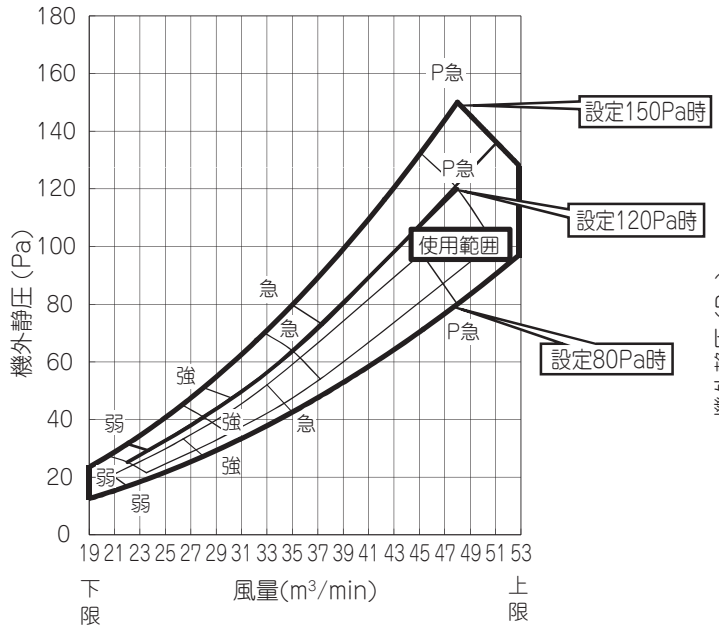


注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
(3) 基板上のSW8-4をONにすることにより、機外静圧設定範囲を10～200Paにすることも可能です。
切換方法は 771 ページを参照ください。

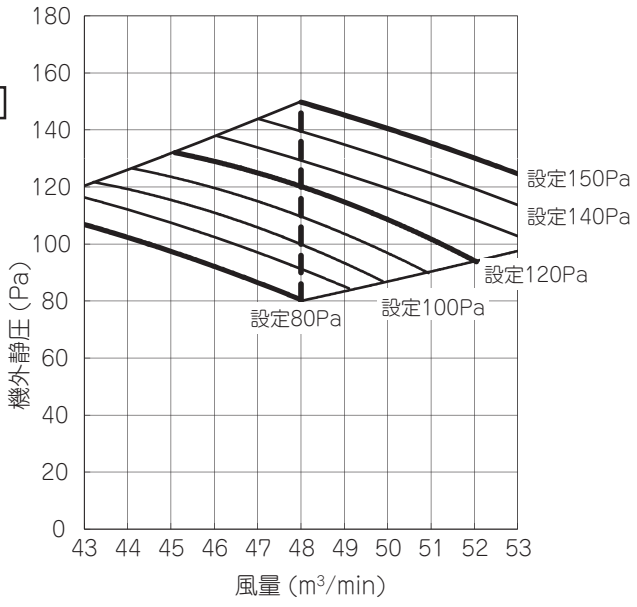
PJG000Z194

FDUZP1606S（P160 設定）
（ⅰ）SW8-4:OFF（出荷状態）の場合

①各タップの機外静圧特性



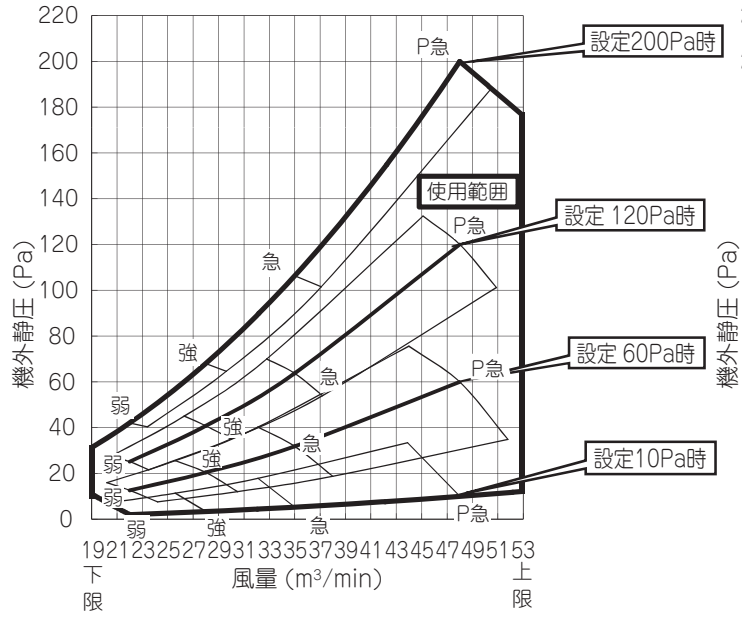
②P急タップの機外静圧特性



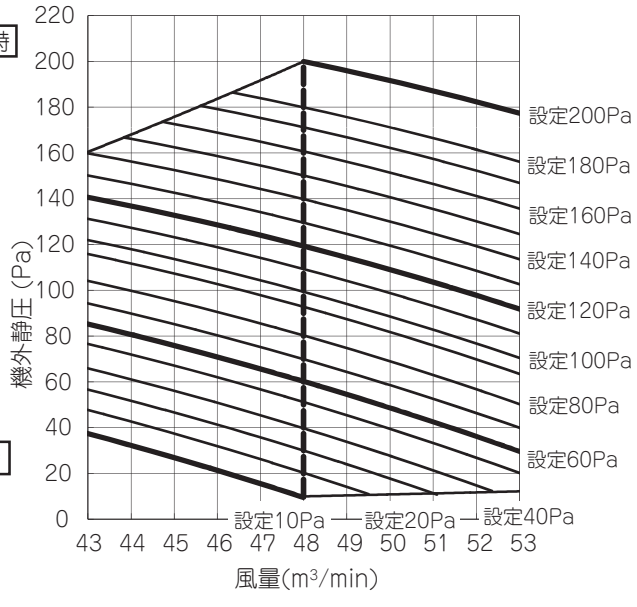
注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
（2）　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80～150Paとしています。

（ⅱ）SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



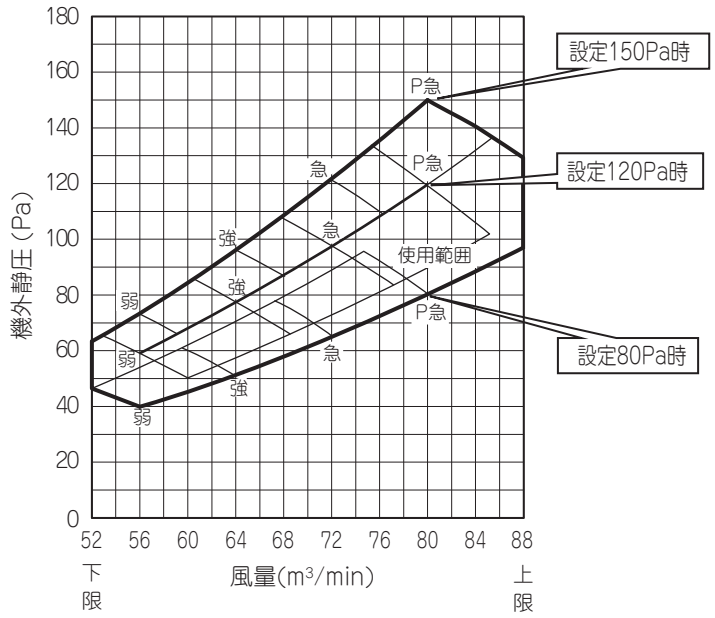
注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
（2）　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
（3）　基板上のSW8-4をONにすることにより、機外静圧設定範囲を10～200Paにすることも可能です。
切換方法は 771ページを参照ください。

PJG000Z194

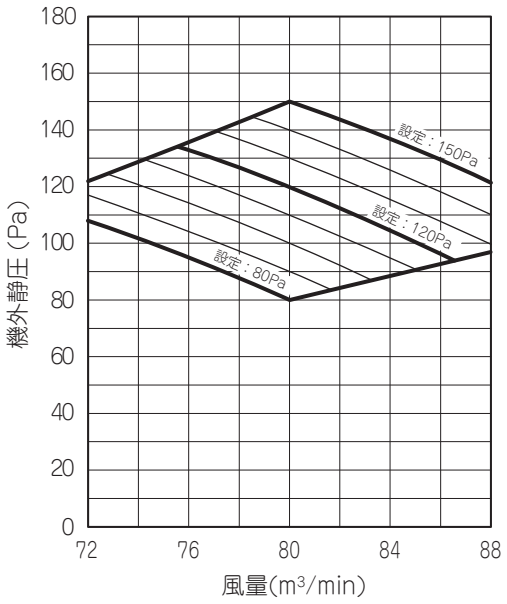
FDUZP2245A, 2805A

(ⅰ) SW8-4:OFF（出荷状態）の場合

①各タップの機外静圧特性



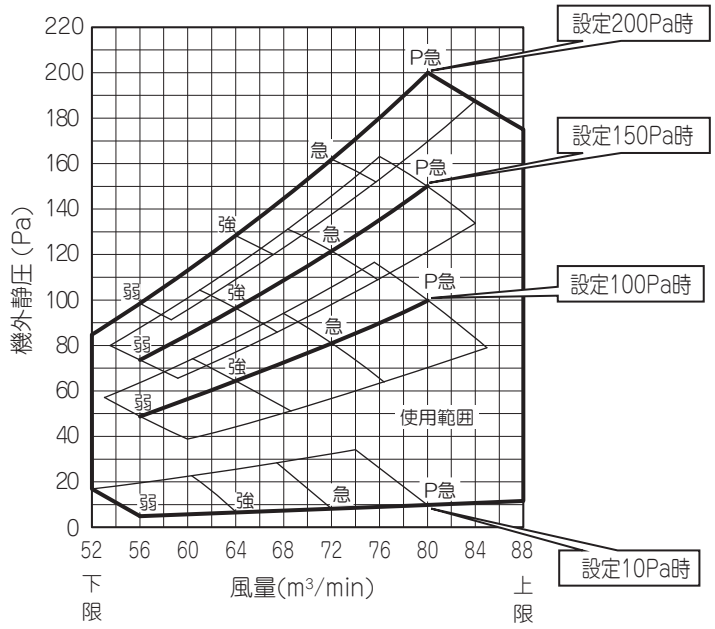
②P急タップの機外静圧特性



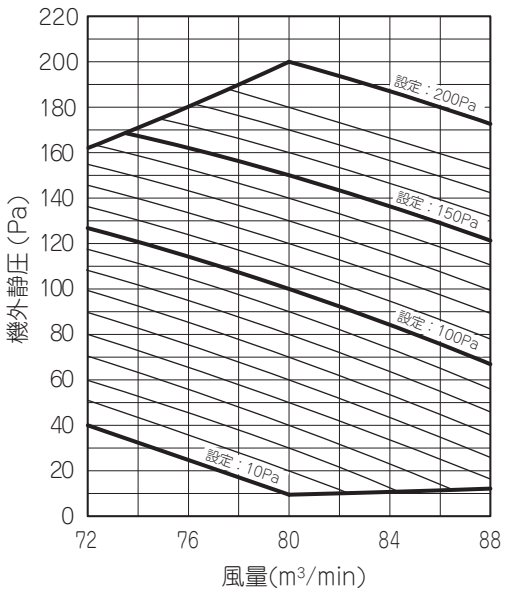
注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛･不冷･不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80～150Paとしています。

(ⅱ) SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



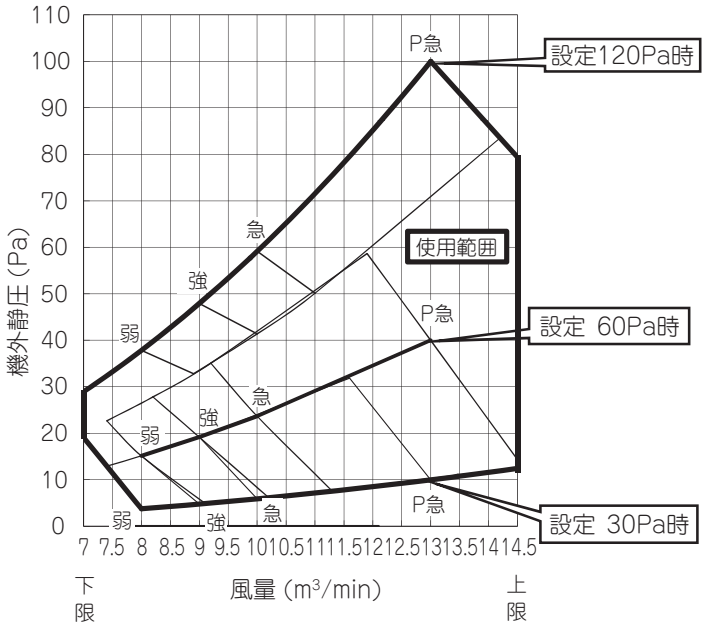
注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛･不冷･不暖の原因となります。
(3)　基板上のSW8-4をONにすることにより、機外静圧設定範囲を10～200Paにすることも可能です。
切換方法は 771ページを参照ください。

PJG000Z345

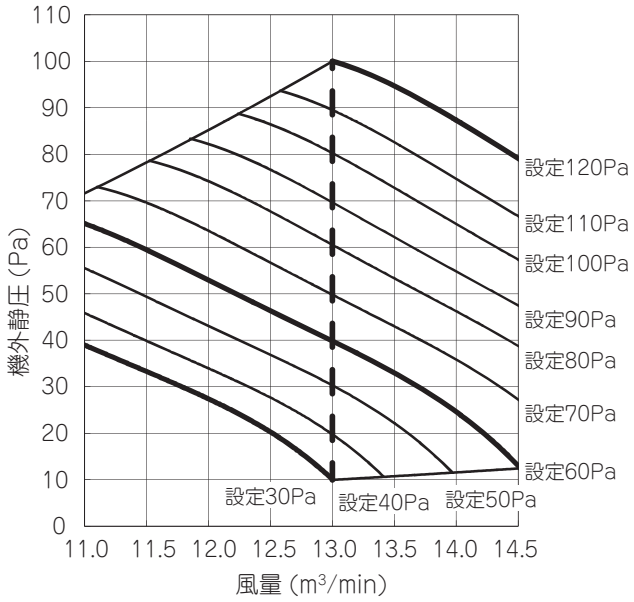
(b) 丸ダクト仕様

FDUZP566S（P50, P56 設定）
SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

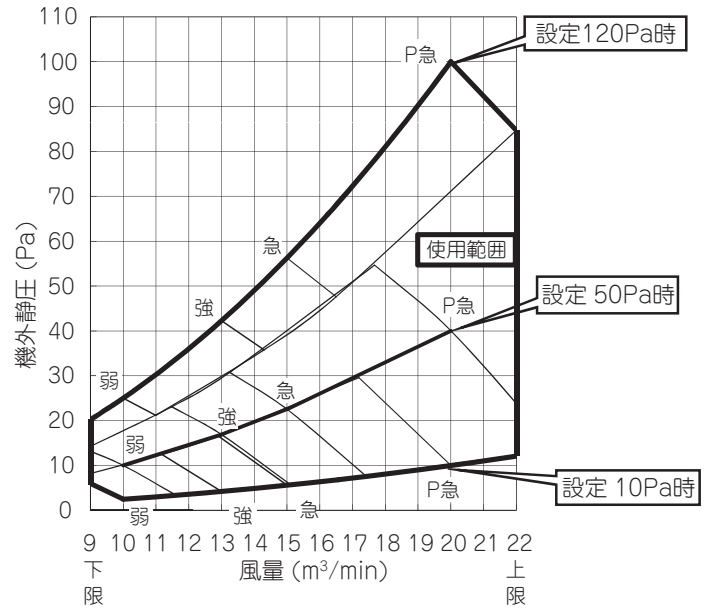


注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) 丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。
(3) 丸ダクト変換キットを使用する場合は, 標準機 (角ダクト) に対して機内圧力損失が増加するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 771 ページをご覧ください。

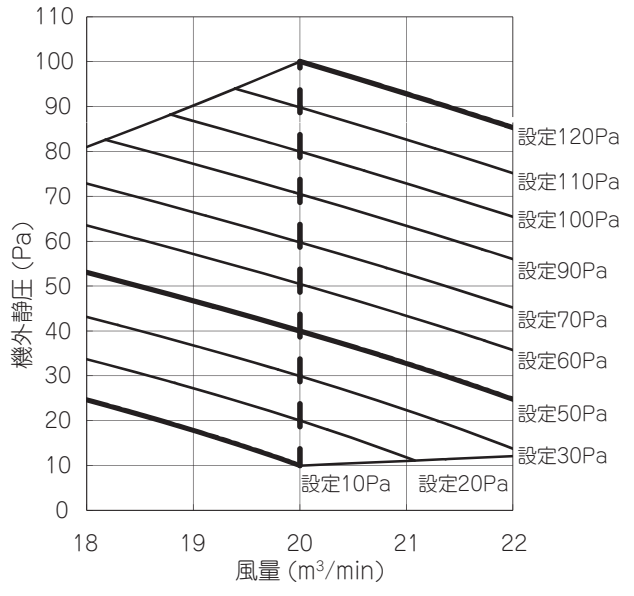
必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

FDUZP636S
SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



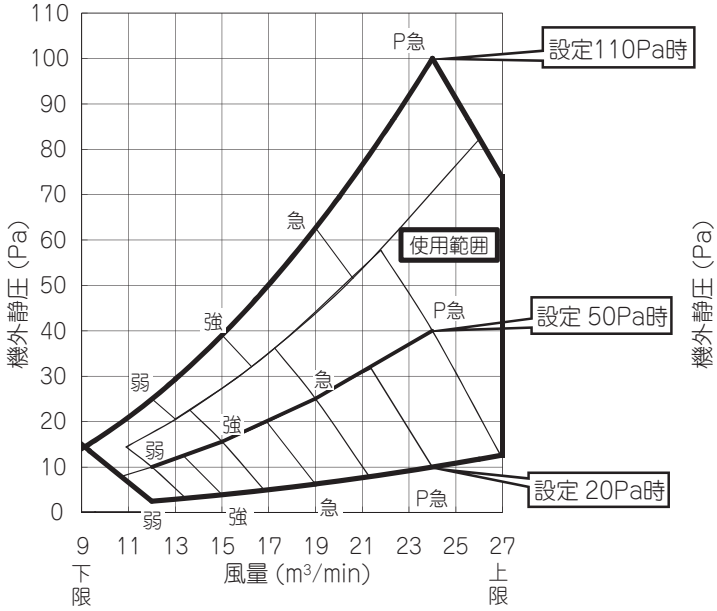
注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) 丸ダクトを使用する場合には基板上の SW8-4 を ON にしてください。
(3) 丸ダクト変換キットを使用する場合は, 標準機 (角ダクト) に対して機内圧力損失が増加するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 771 ページをご覧ください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	50	60	70	90	100	110	120

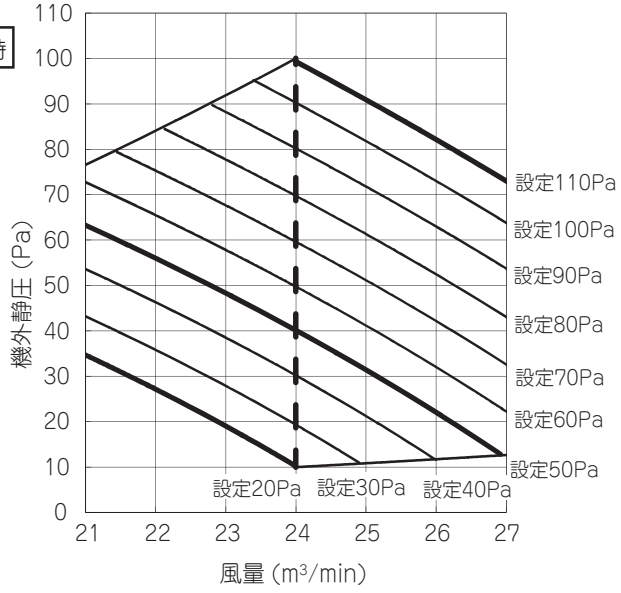
PJG000Z194

FDUZP806S（P71, P80 設定）
SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

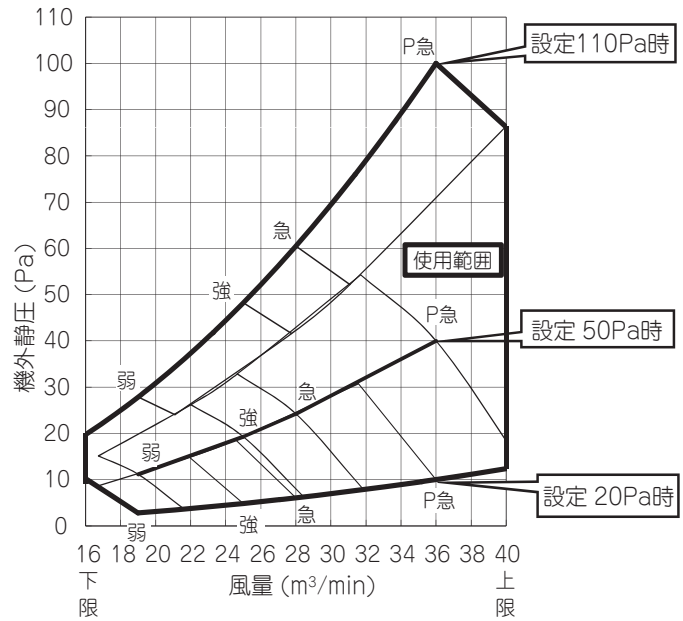


注(1)　表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。
(3)　丸ダクト変換キットを使用する場合は, 標準機 (角ダクト) に対して機内圧力損失が増加するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 771 ページをご覧ください。

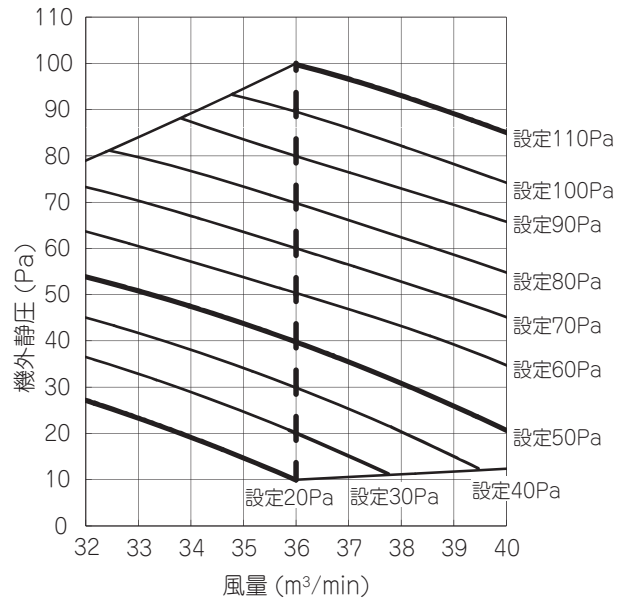
必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

FDUZP1126S
SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



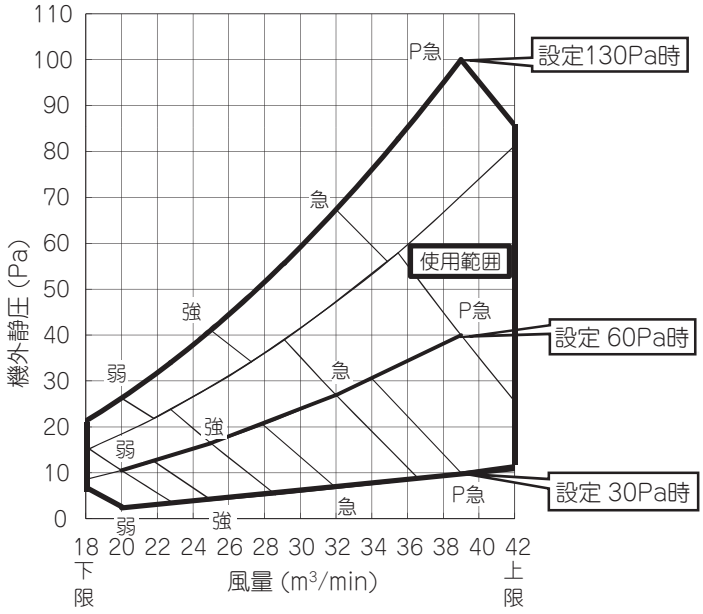
注(1)　表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。
(3)　丸ダクト変換キットを使用する場合は, 標準機(角ダクト)に対して機内圧力損失が増加するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 771 ページをご覧ください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

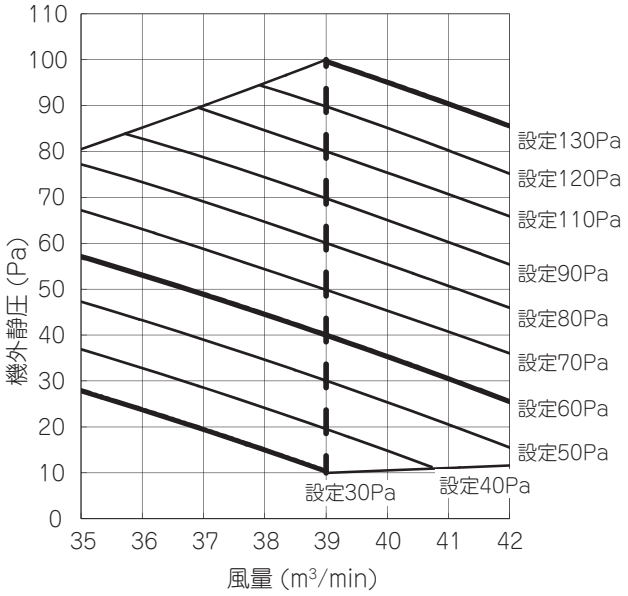
PJG000Z194

FDUZP1606S（P140 設定）
SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

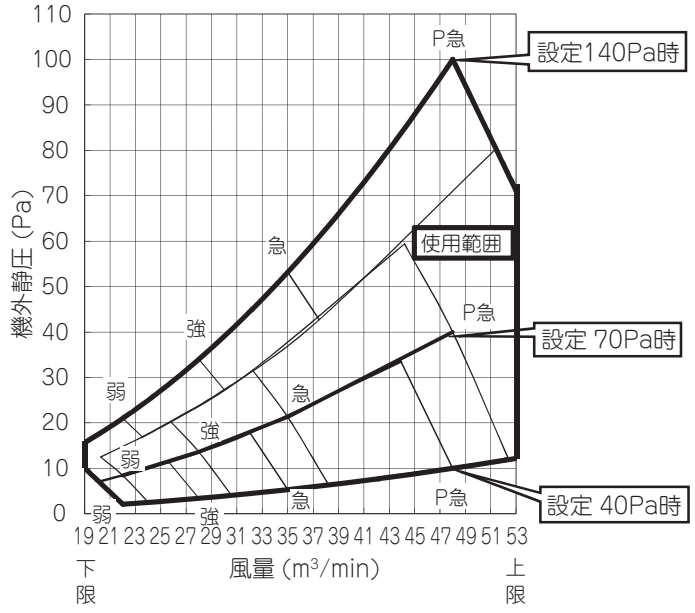


注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。
(3)　丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は，771 ページをご覧ください。

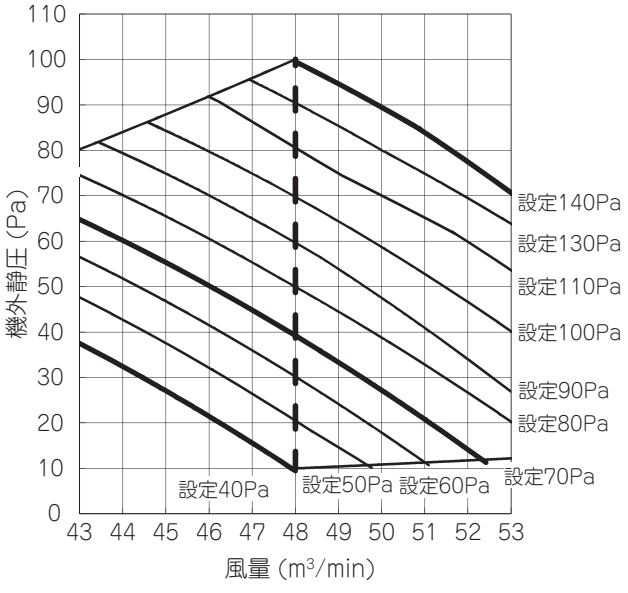
必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

FDUZP1606S（P160 設定）
SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2)　丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。
(3)　丸ダクト変換キットを使用する場合は，標準機（角ダクト）に対して機内圧力損失が増加するため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は，771 ページをご覧ください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	40	50	60	70	80	90	100	110	130	140

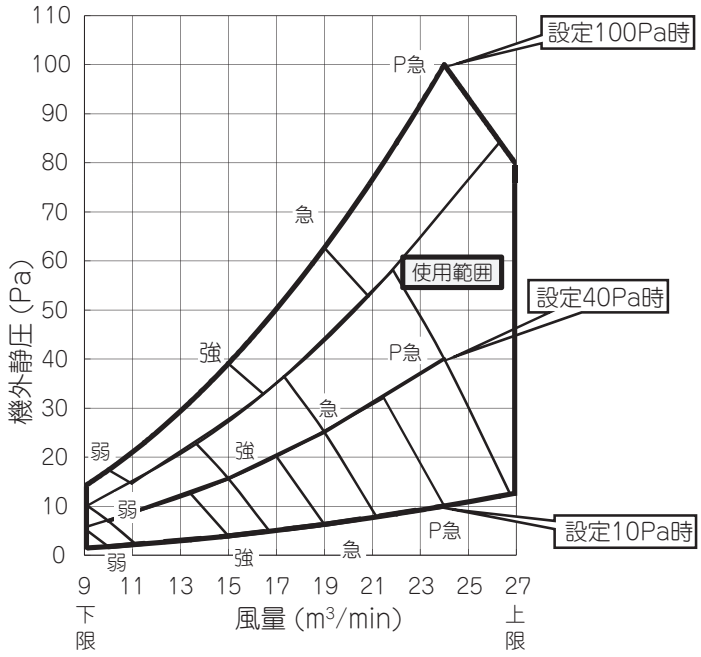
PJG000Z194

⒝ 暖ガンハイパーインバータシリーズ

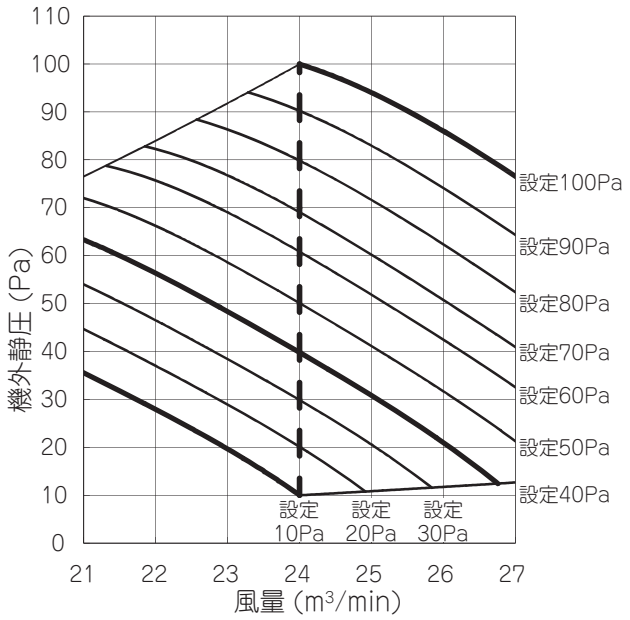
ⓐ サイレントパネル，キャンバスパネル仕様

FDRZP806S（P40, P63 設定）

①各タップの機外静圧特性



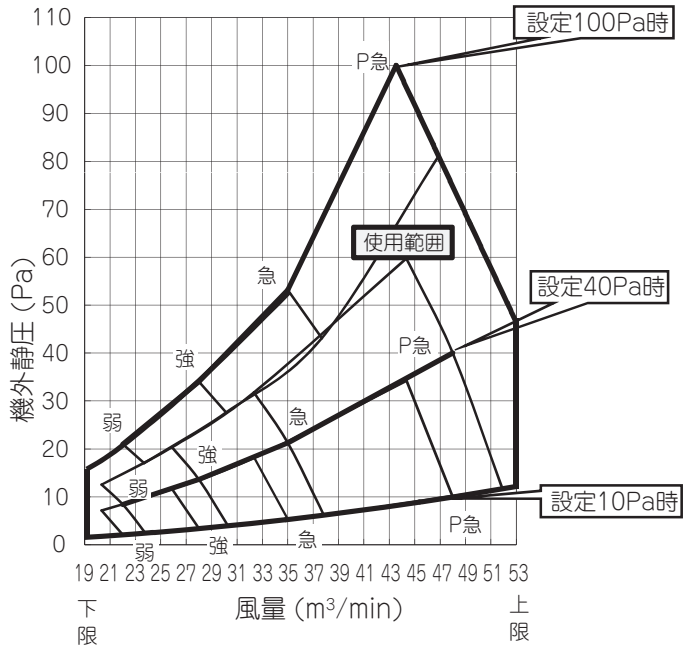
②P急タップの機外静圧特性



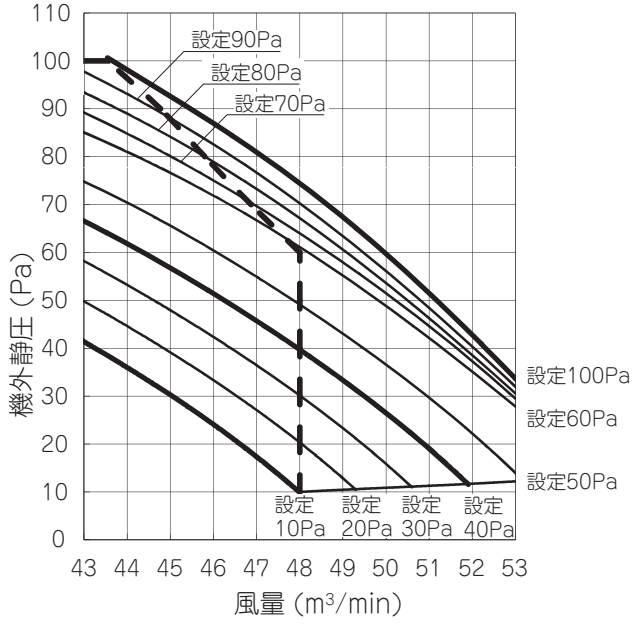
注　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

FDRZP1606S（P80, P112 設定）

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



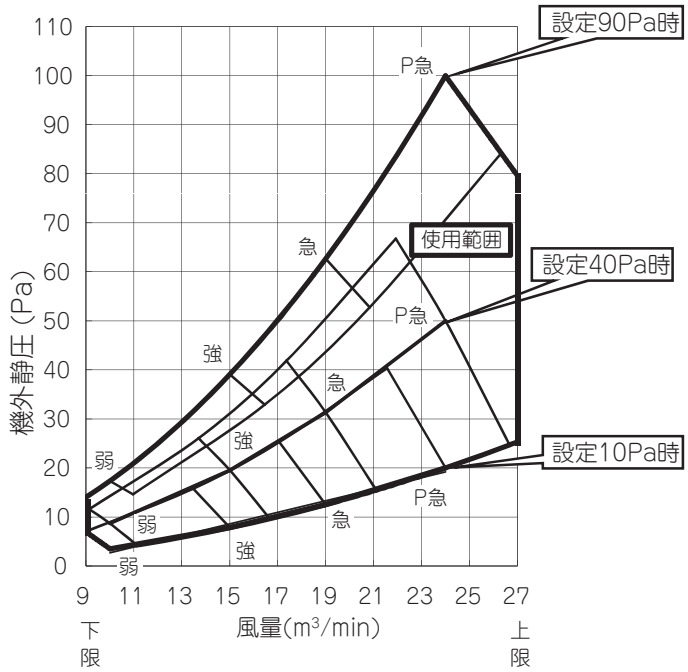
注　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

PJG000Z193

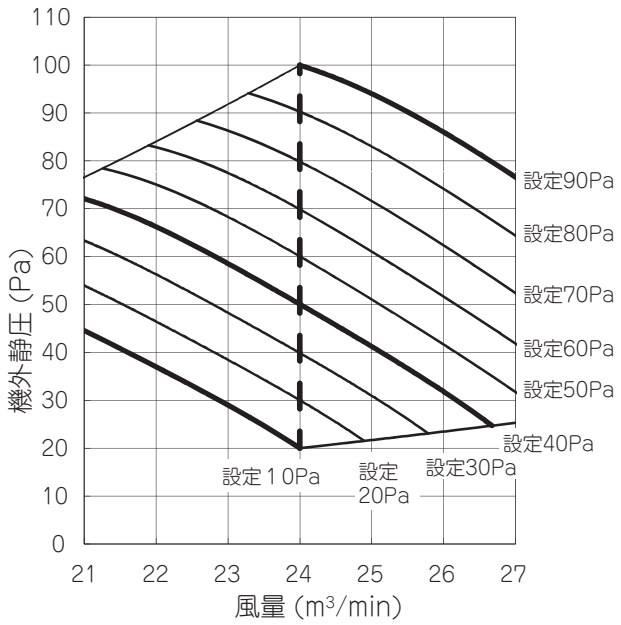
⑹ 天井リターン仕様

FDRZP806S（P40, P63 設定）

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

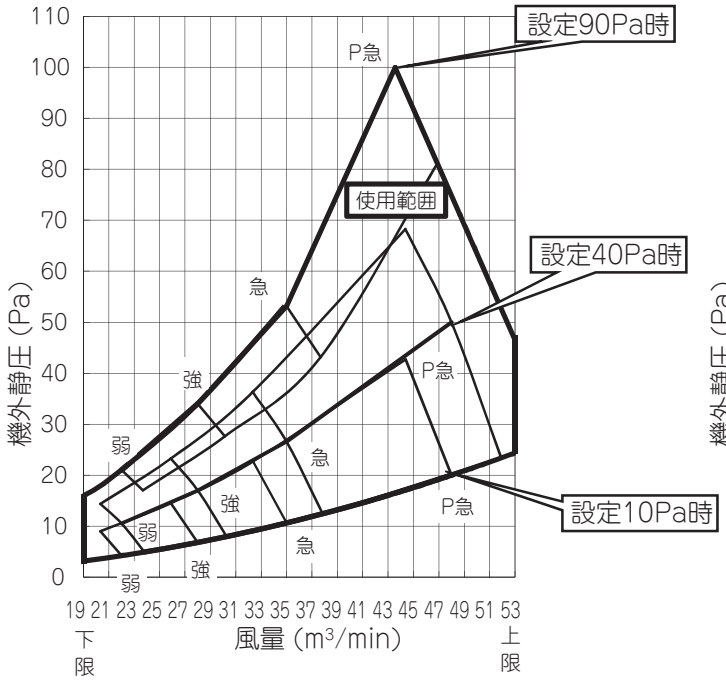


注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) 専用のフィルタキット(別売品)を必ず装着してください。
(3) 天井リターン仕様の場合は, 標準機に対して機内圧力損失が低減するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 770ページをご覧ください。

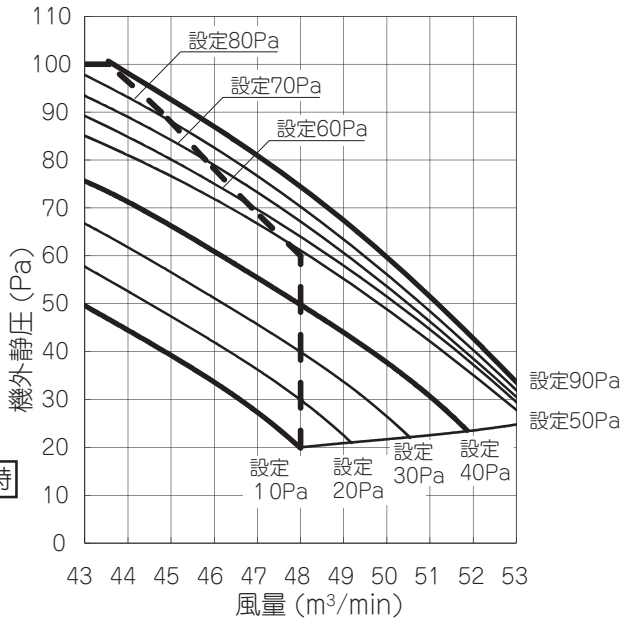
必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

FDRZP1606S（P80, P112 設定）

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) 専用のフィルタキット(別売品)を必ず装着してください。
(3) 天井リターン仕様の場合は, 標準機に対して機内圧力損失が低減するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 770ページをご覧ください。

必要な機外静圧（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90

PJG000Z193

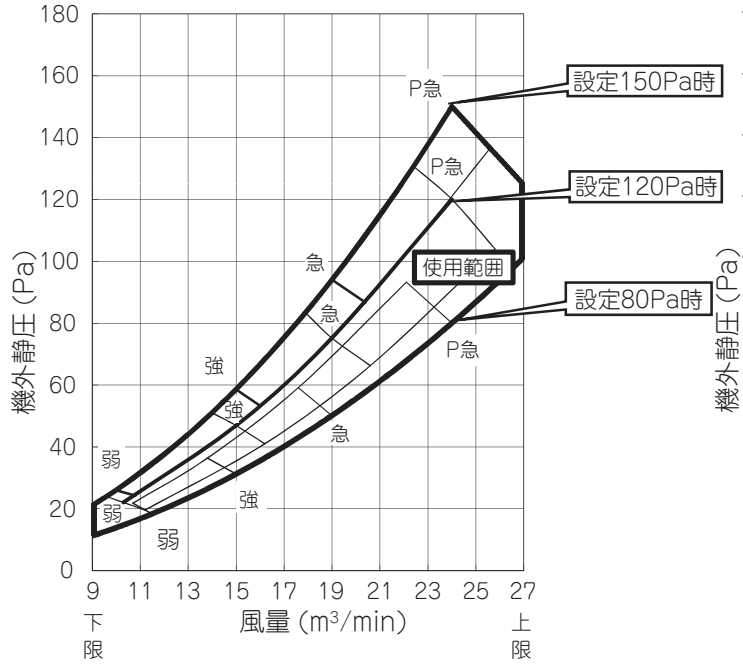
⑵ 高静圧ダクト形（FDU）

ⓐ 標準仕様

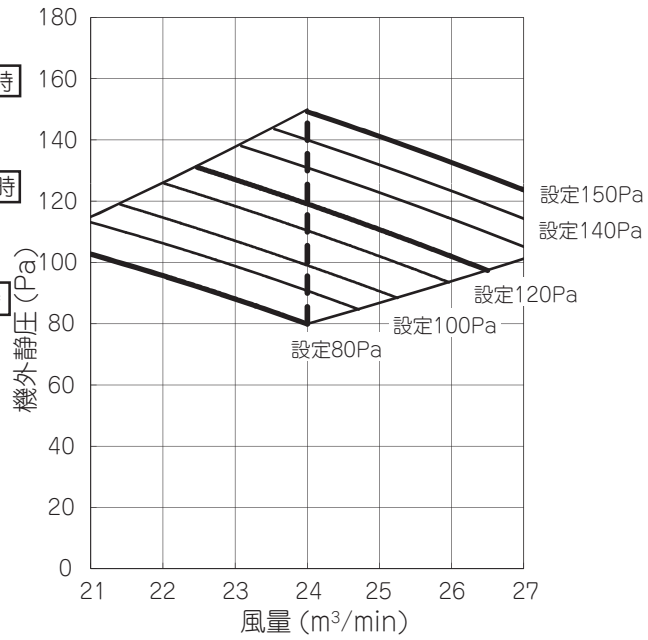
FDUZP806S（P40, P63 設定）

（ⅰ）SW8-4:OFF（出荷状態）の場合

①各タップの機外静圧特性



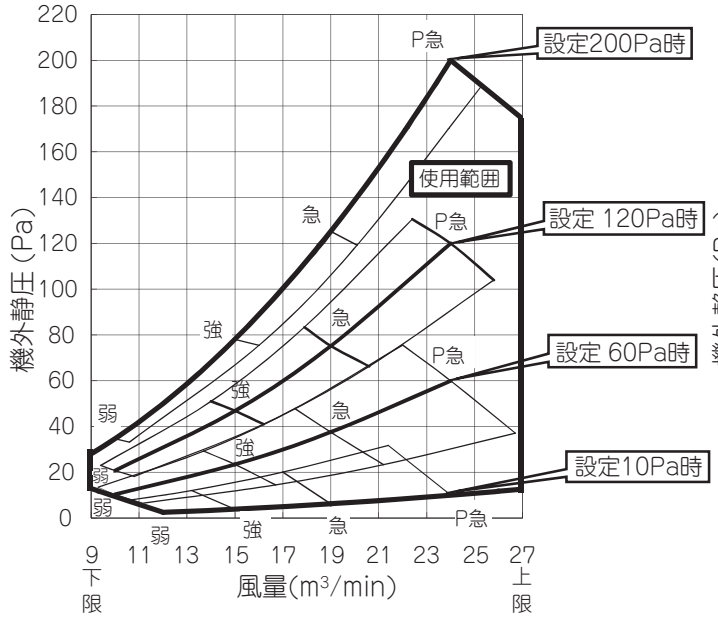
②P急タップの機外静圧特性



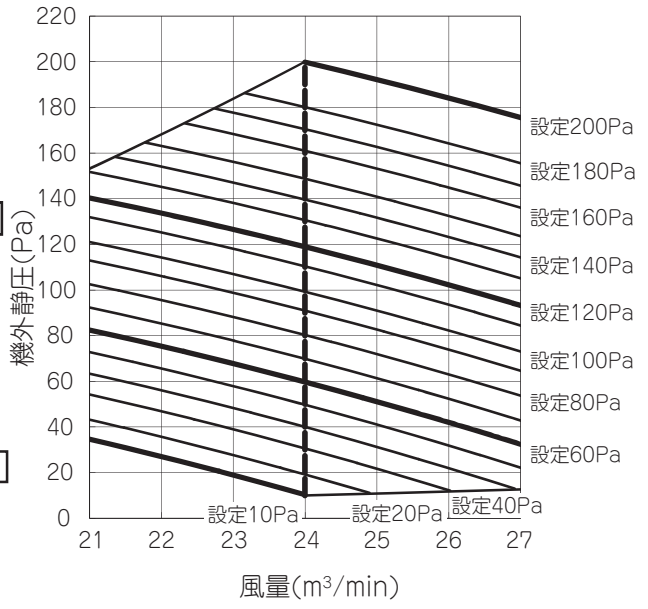
注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
（2）　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80 ～ 150Paとしています。

（ⅱ）SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

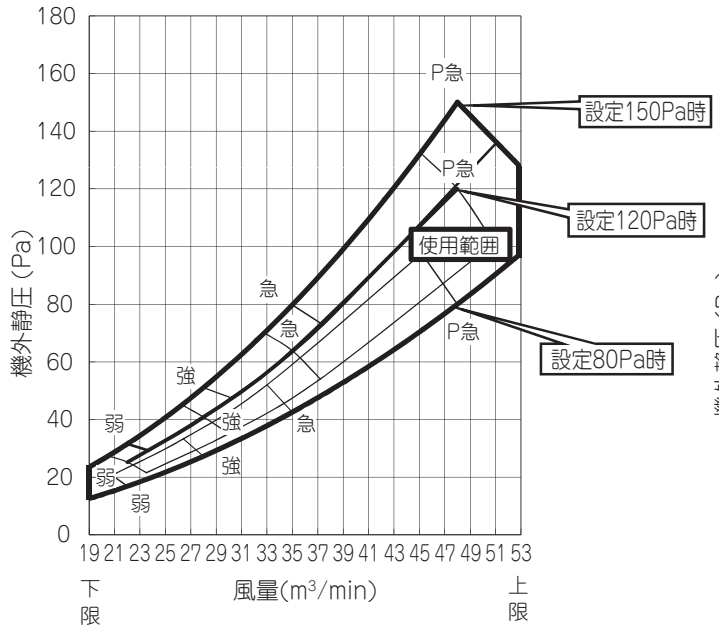


注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
（2）　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
（3）　基板上の SW8-4をON にすることにより、機外静圧設定範囲を10～200Paにすることも可能です。
切換方法は 771 ページを参照ください。

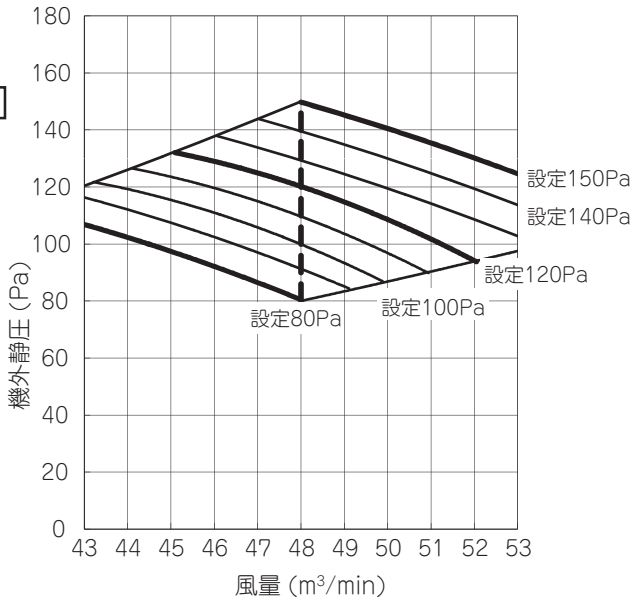
PJG000Z194

FDUZP1606S（P80, P112 設定）
（ⅰ）SW8-4:OFF（出荷状態）の場合

①各タップの機外静圧特性



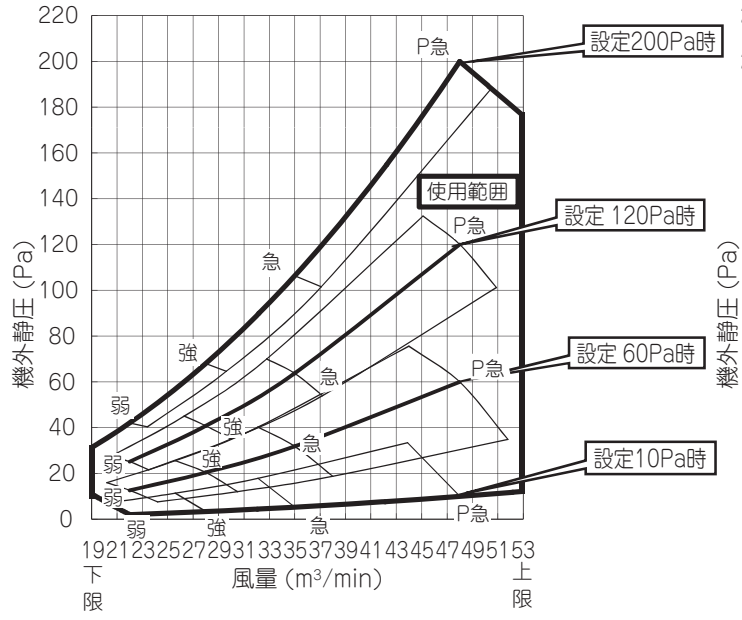
②P急タップの機外静圧特性



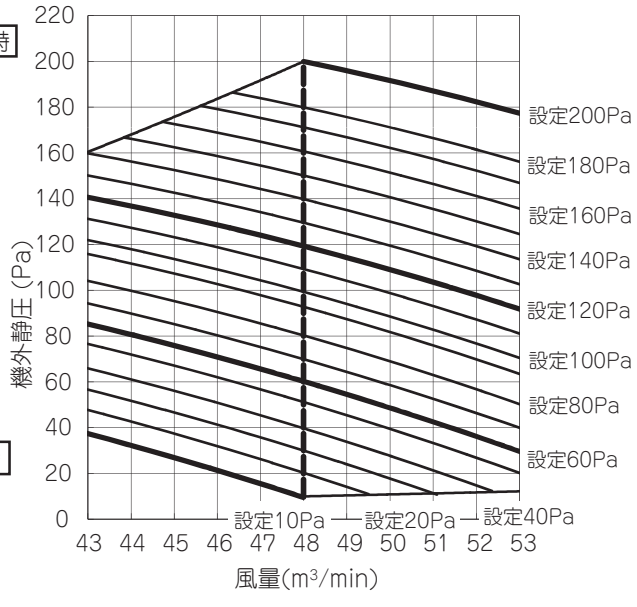
注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
（2）　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80～150Paとしています。

（ⅱ）SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

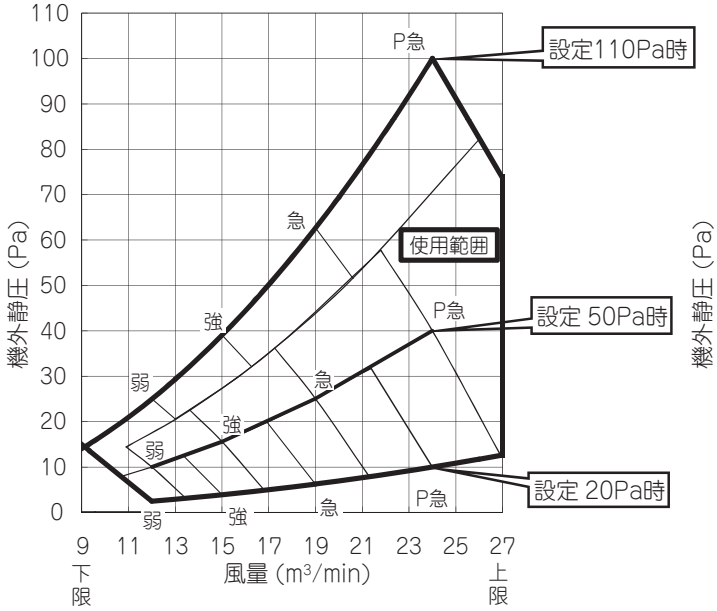


注(1)　表中の［設定 00Pa］とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
（2）　リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。
（3）　基板上のSW8-4をONにすることにより、機外静圧設定範囲を10～200Paにすることも可能です。
切換方法は 771ページを参照ください。

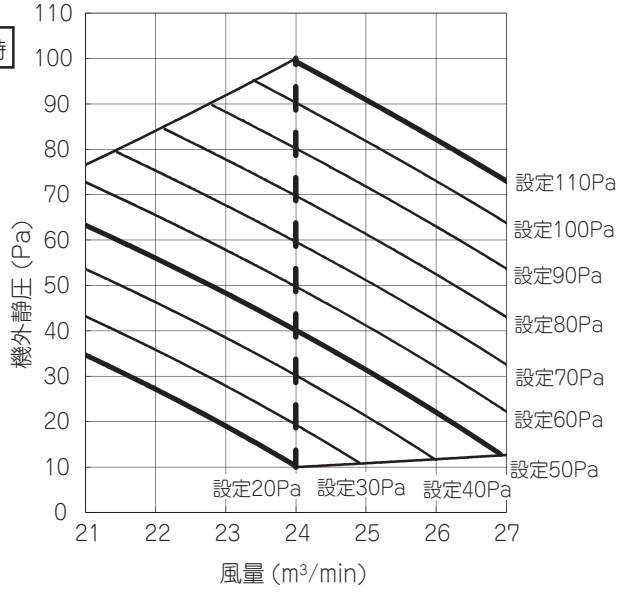
PJG000Z194

(b) 丸ダクト仕様
FDUZP806S（P40, P63 設定）
SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

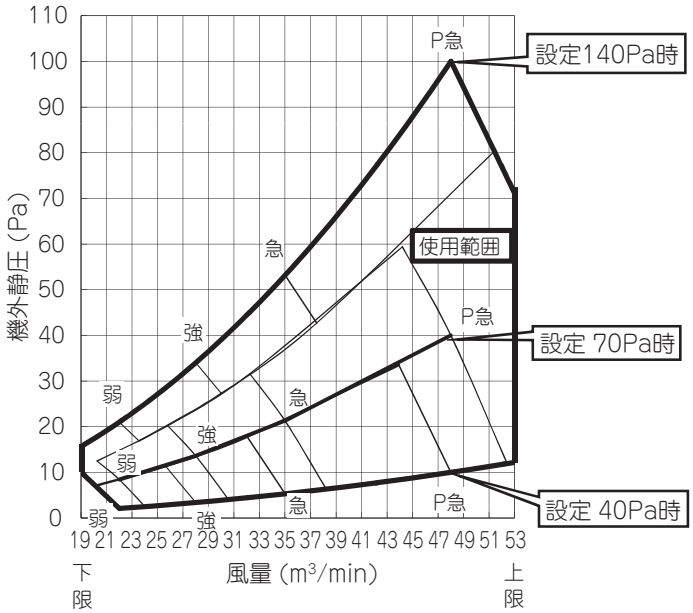


注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) 丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。
(3) 丸ダクト変換キットを使用する場合は, 標準機 (角ダクト) に対して機内圧力損失が増加するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 771 ページをご覧ください。

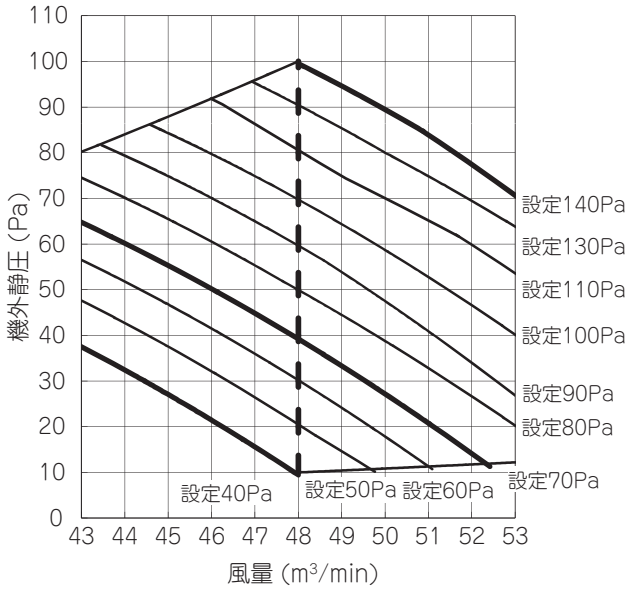
必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

FDUZP1606S（P80, P112 設定）
SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1) 表中の [設定 00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
(2) 丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。
(3) 丸ダクト変換キットを使用する場合は, 標準機 (角ダクト) に対して機内圧力損失が増加するため, リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。
実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は, 771 ページをご覧ください。

必要な機外静圧（Pa）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	40	50	60	70	80	90	100	110	130	140

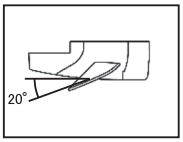
PJG000Z194

1.7 気流分布

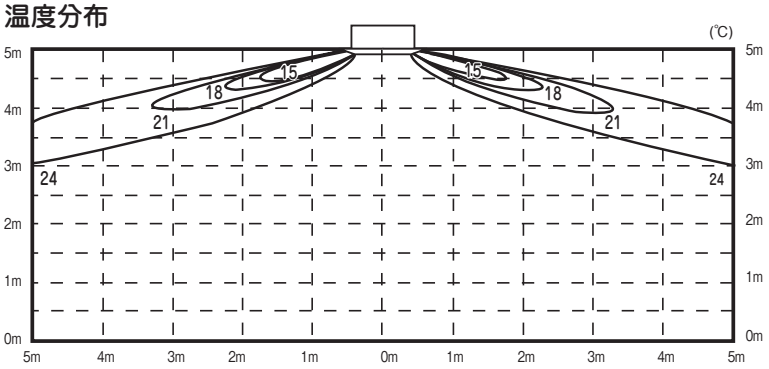
(A) エクシードハイパー・ハイパーインバータシリーズ

(1) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）
FDTZP636SA，716SA

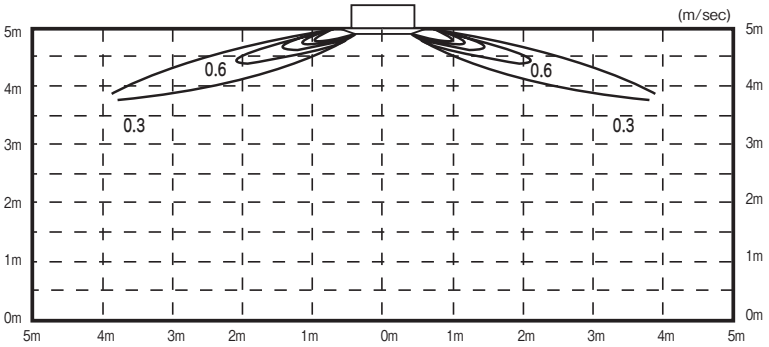
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



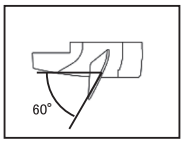
温度分布



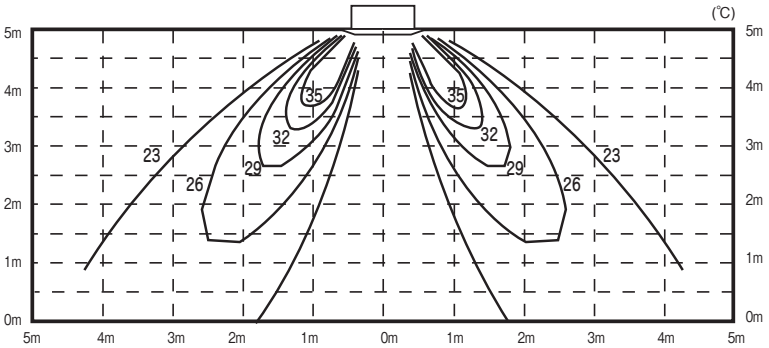
風速分布



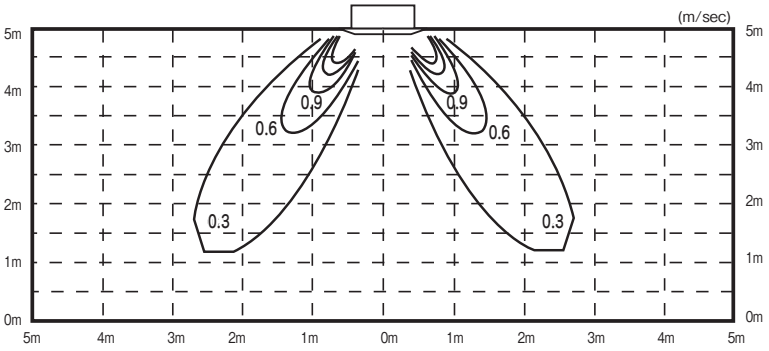
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



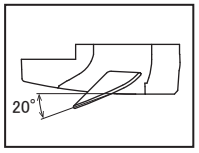
風速分布



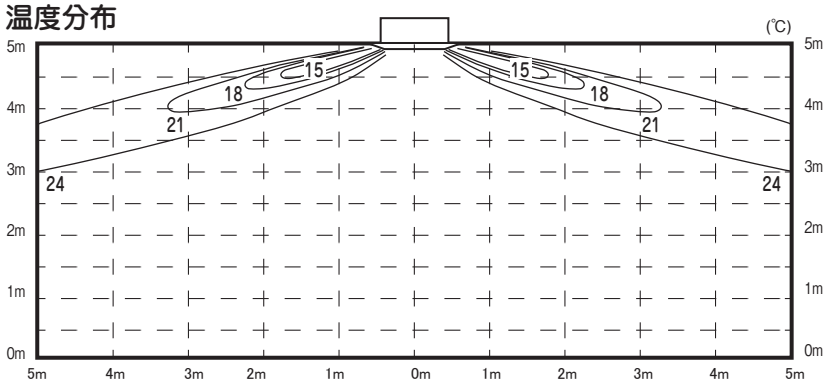
ISD16126△

FDTZP806SA

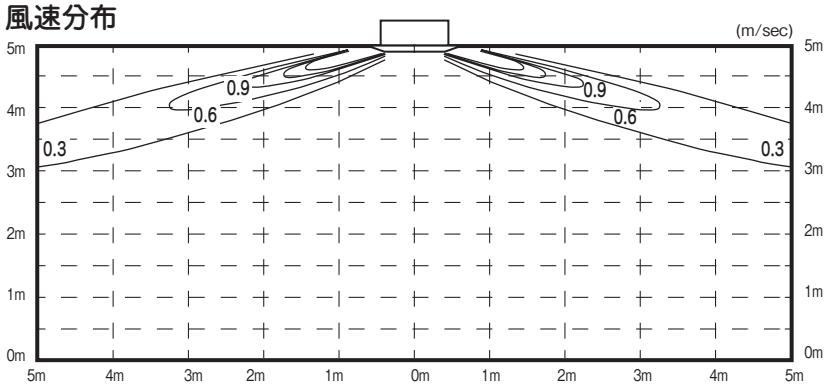
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



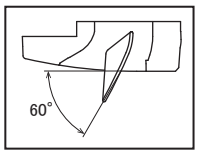
温度分布



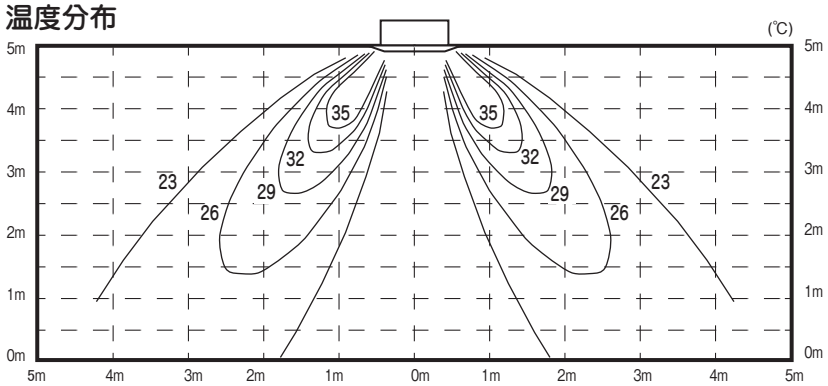
風速分布



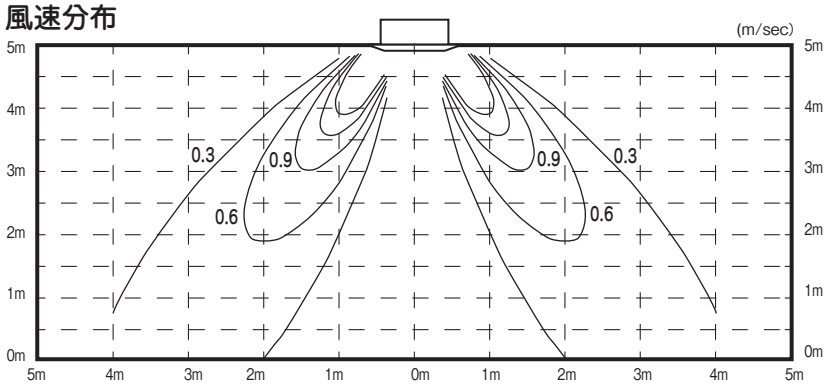
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布

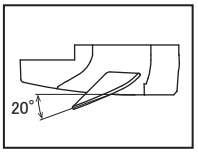


風速分布

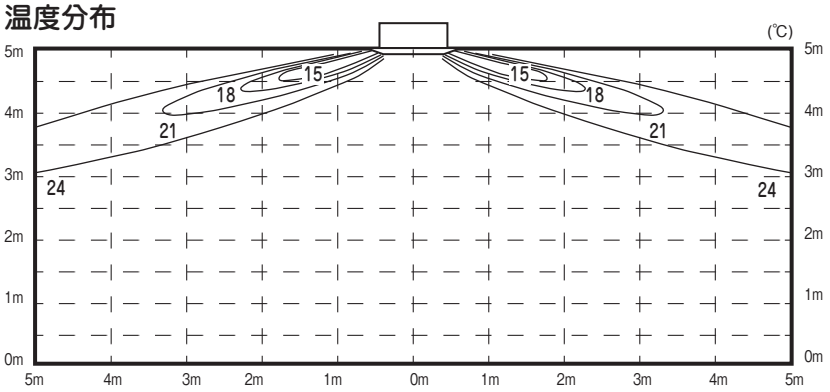


FDTZP1606SA

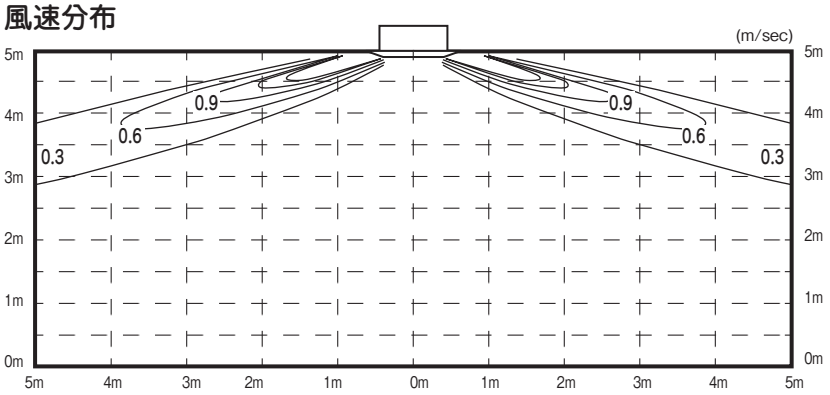
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



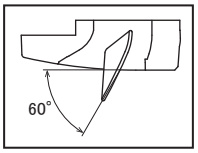
温度分布



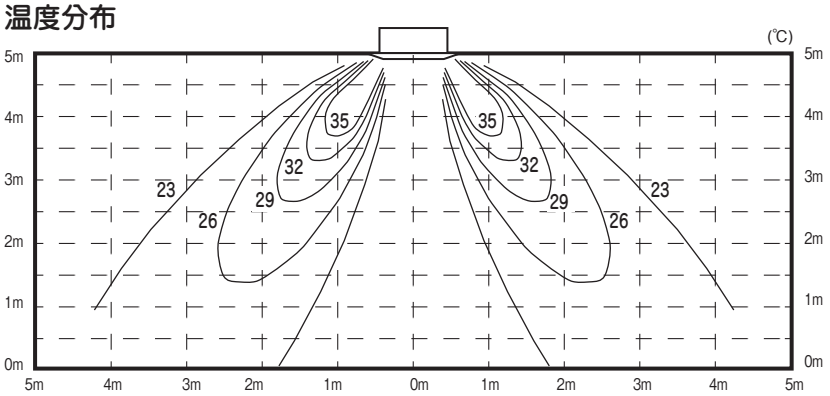
風速分布



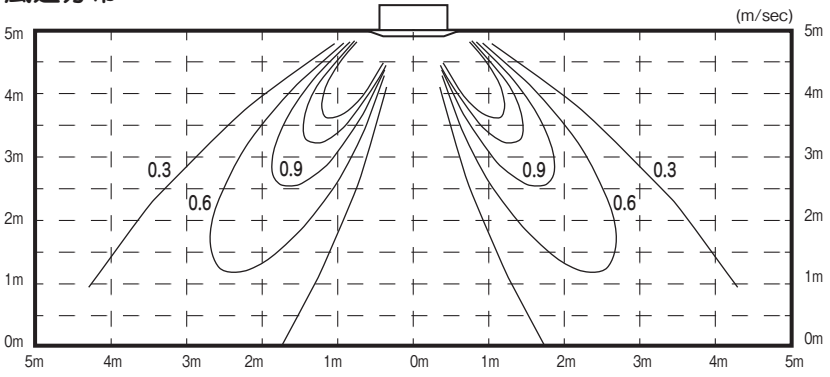
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布

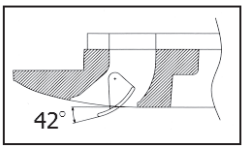


風速分布

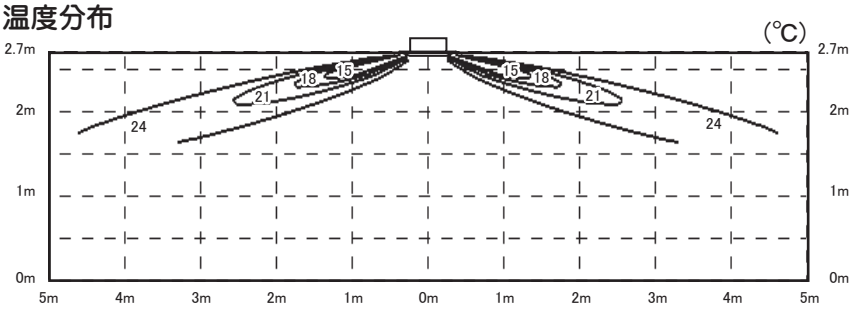


(2) 天井埋込形小容量 4 方向吹出し(FDTC)
FDTCZP566S

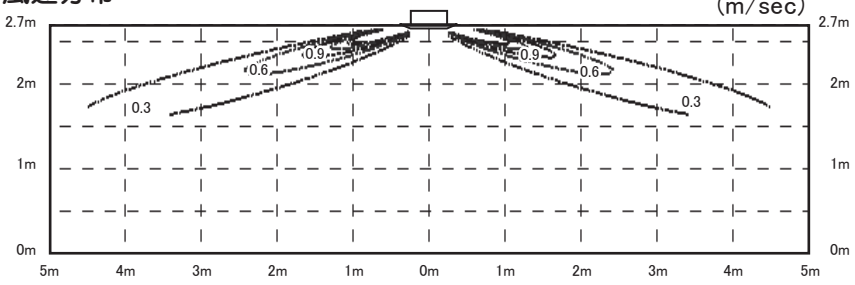
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



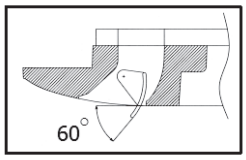
温度分布



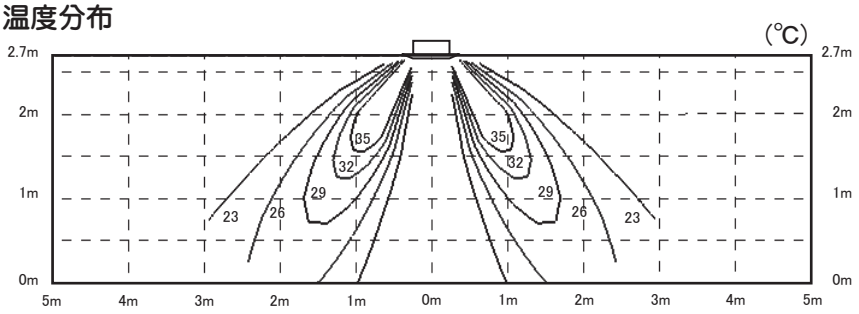
風速分布



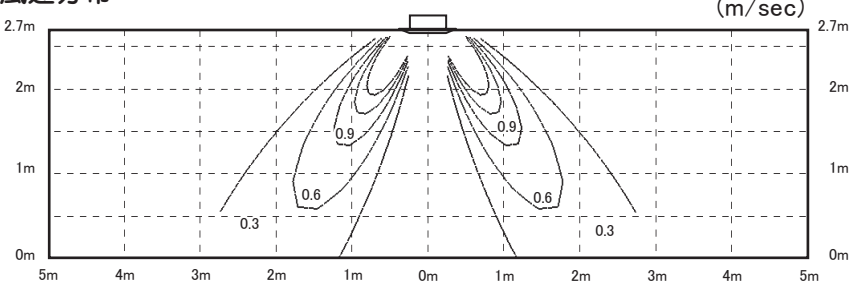
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



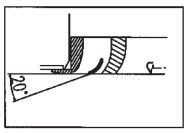
風速分布

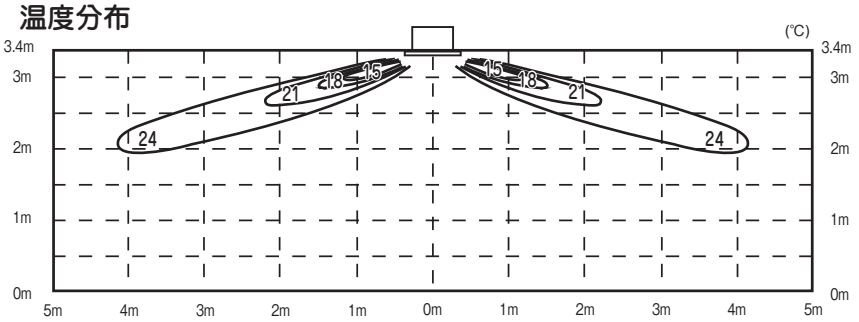


ISD18195△

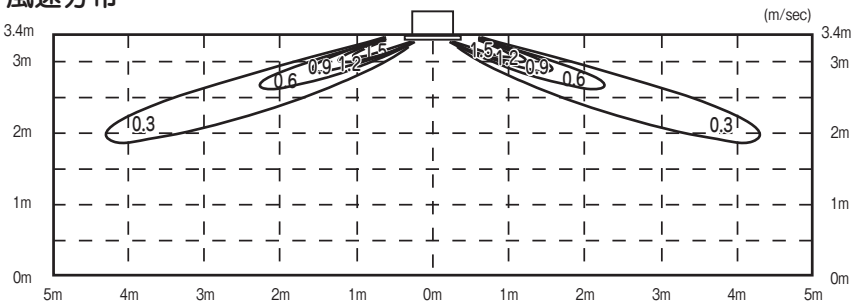
(3) 天井埋込形２方向吹出し(FDTW)
FDTWZP566S，636S，806S（P71 設定）

(a) 冷房　風量：P 急　温度分布
ルーバ位置

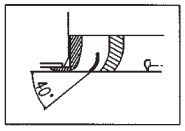


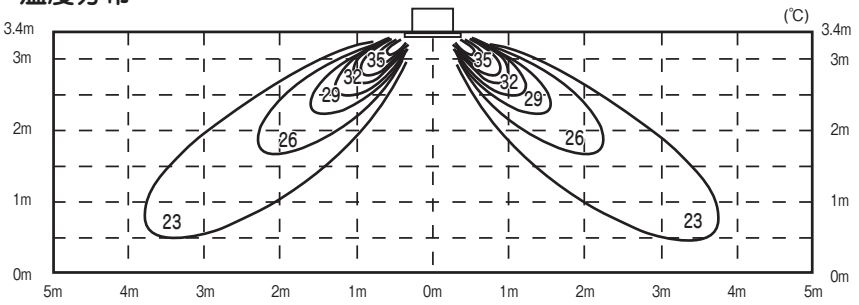


風速分布

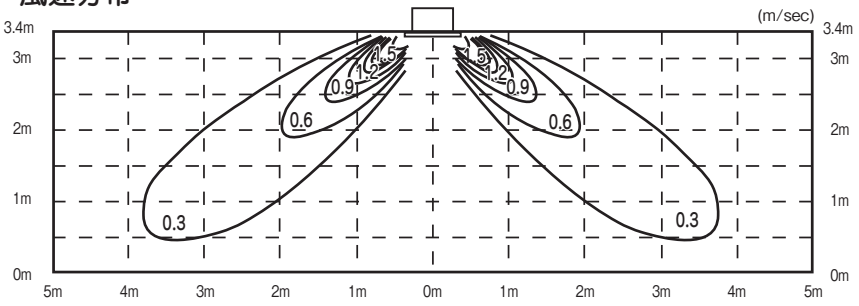


(b) 暖房　風量：P 急　温度分布
ルーバ位置



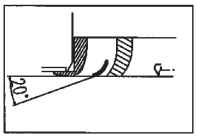


風速分布

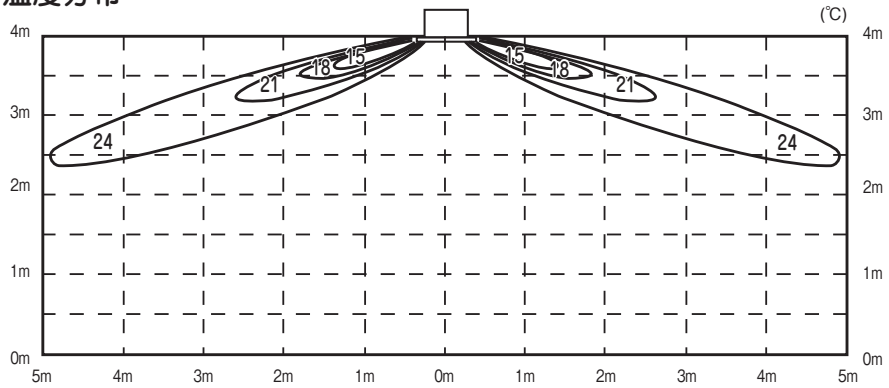


FDTWZP806S（P80 設定）

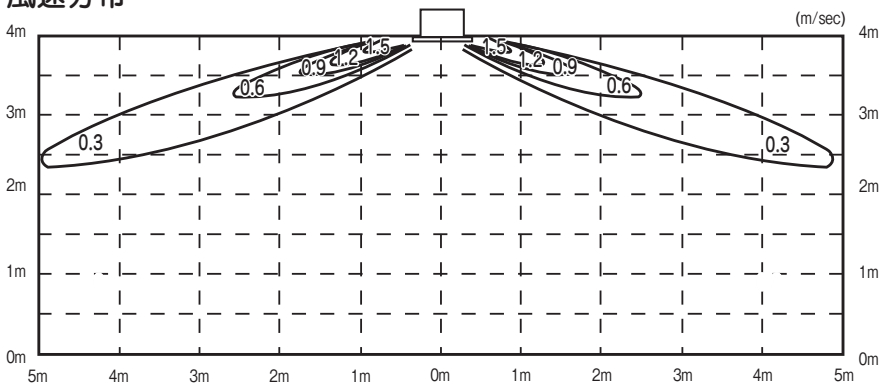
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



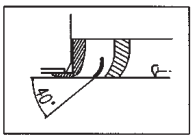
温度分布



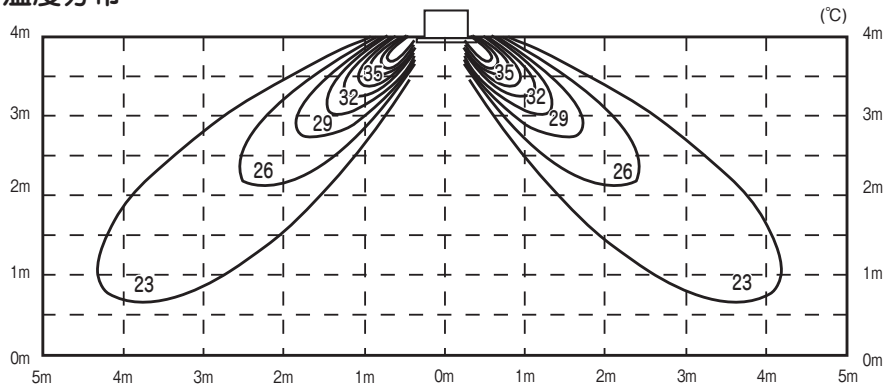
風速分布



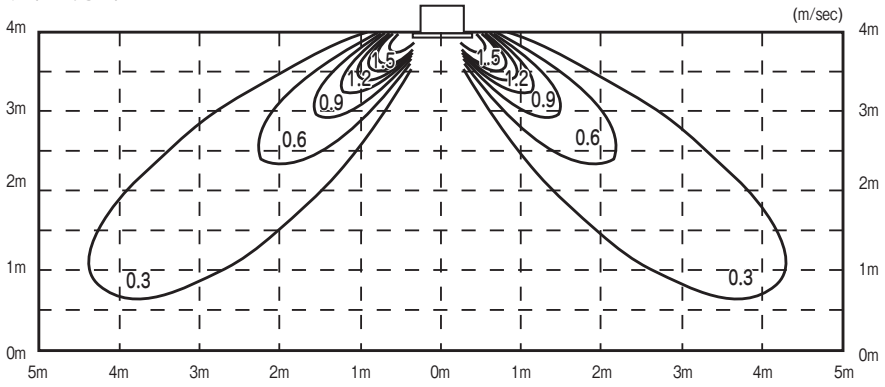
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布

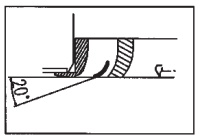


風速分布

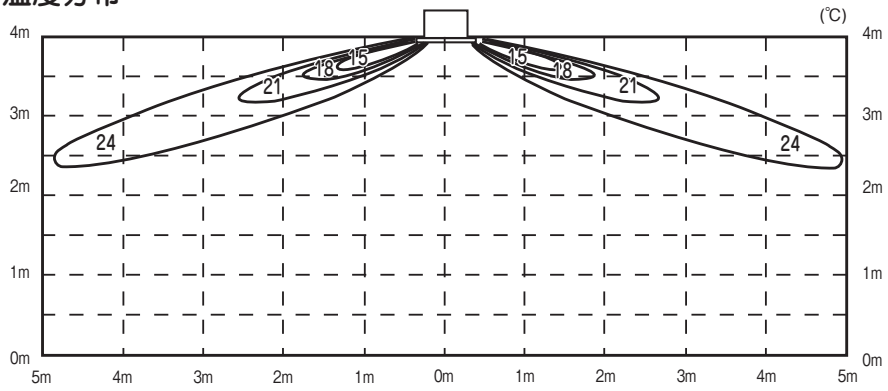


FDTWZP1406S，1606S

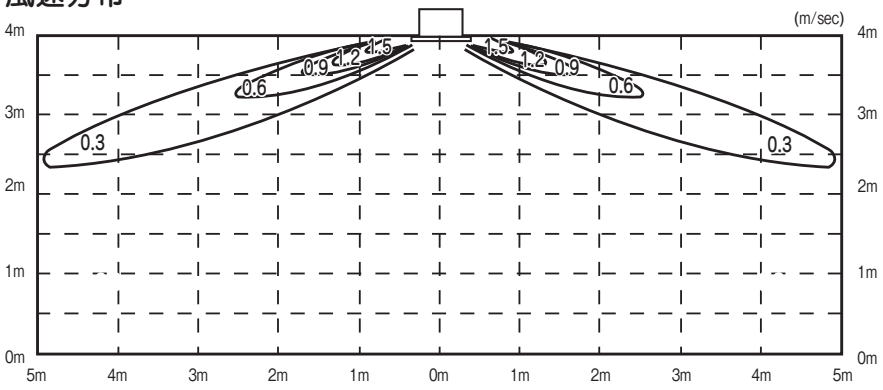
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



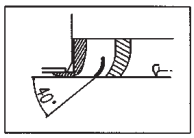
温度分布



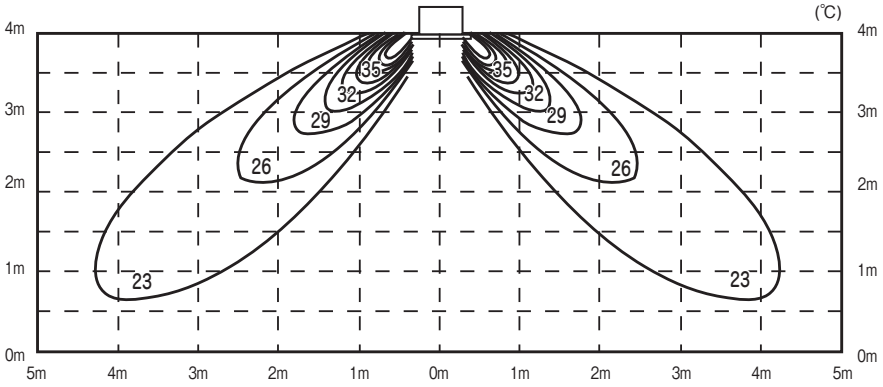
風速分布



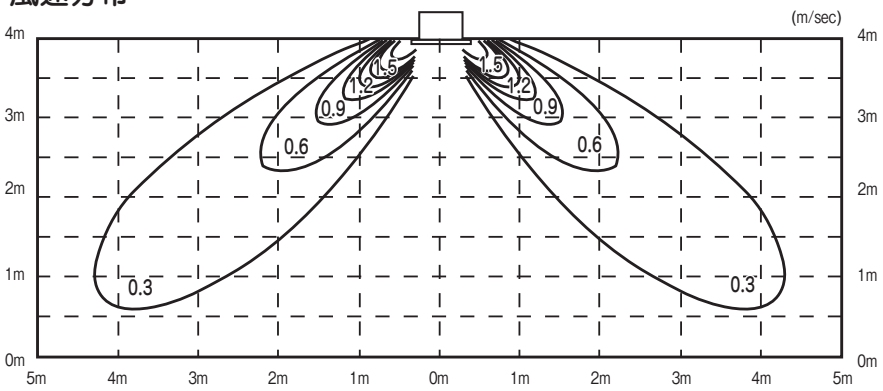
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布

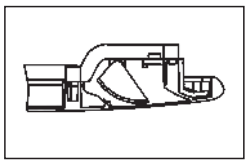


風速分布

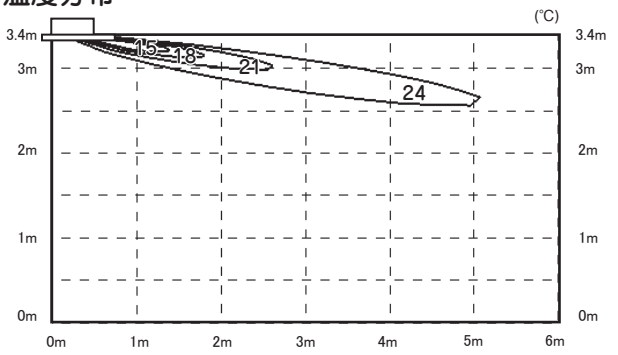


(4) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTS）
FDTSZP506S（P40, P45 設定）

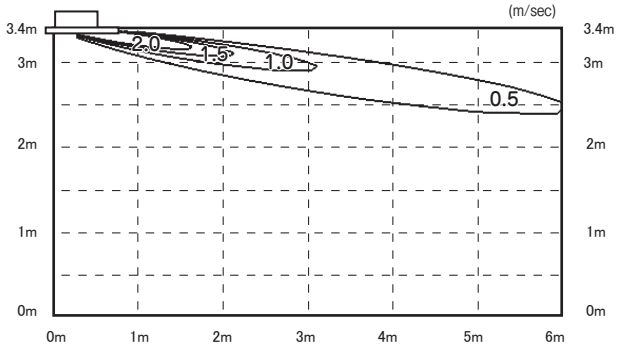
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



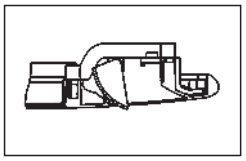
温度分布



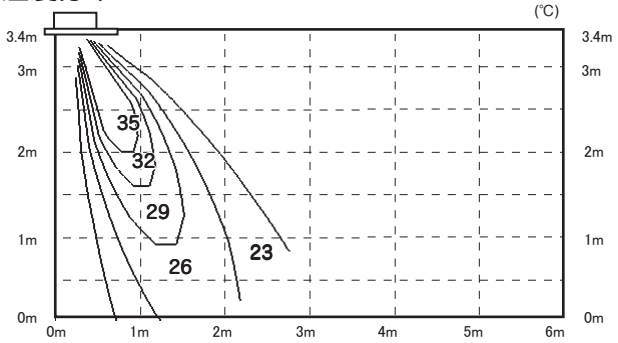
風速分布



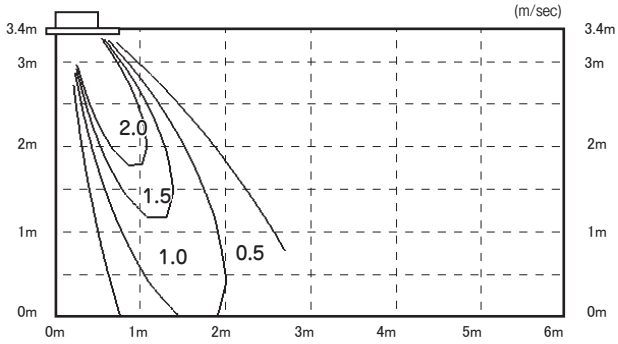
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



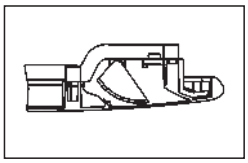
風速分布



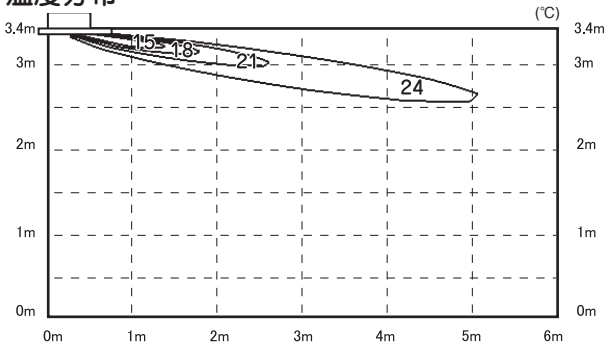
ISD12329

FDTSZP506S（P50 設定），FDTSZP636S（P56 設定）

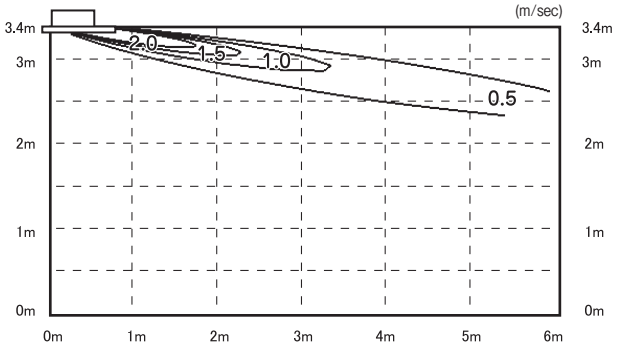
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



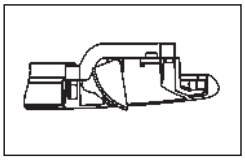
温度分布



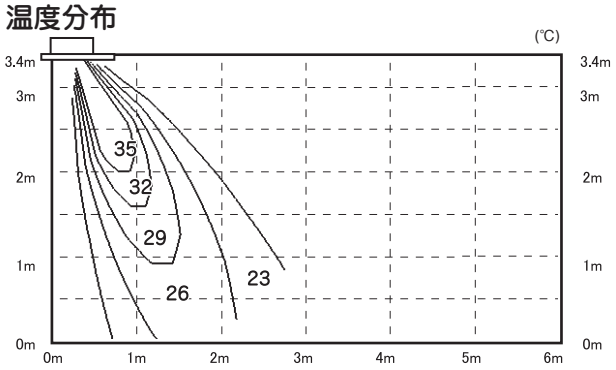
風速分布



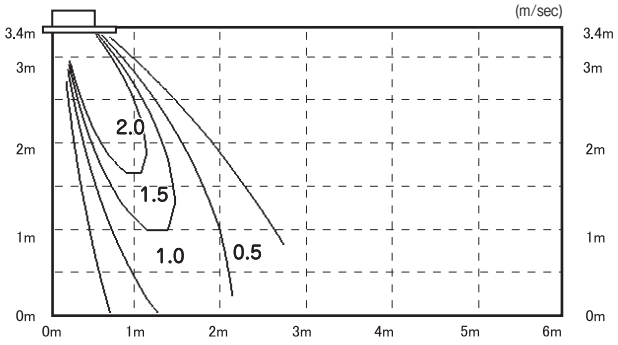
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



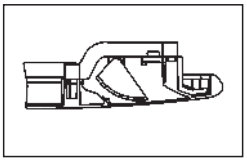
風速分布



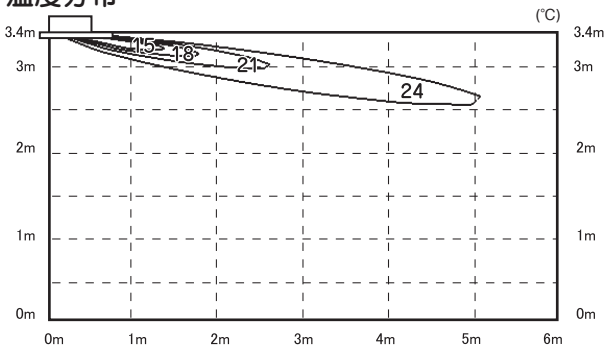
ISD12329

FDTSZP636S（P63 設定）

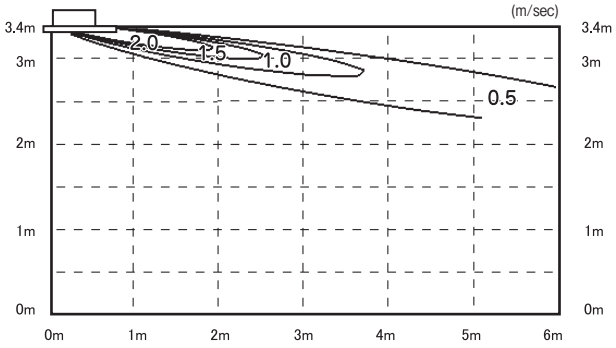
(a) 冷房　風量：P急
ルーバ位置



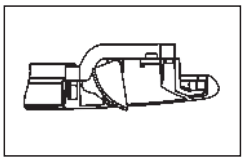
温度分布



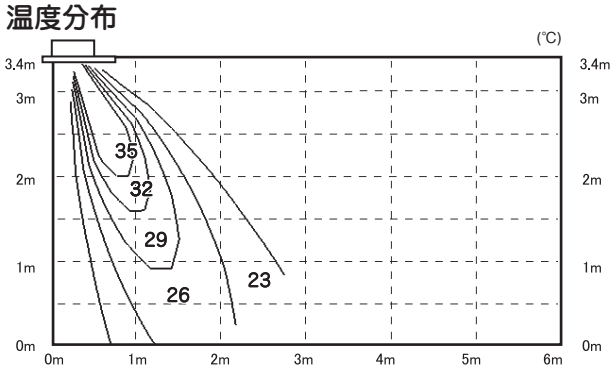
風速分布



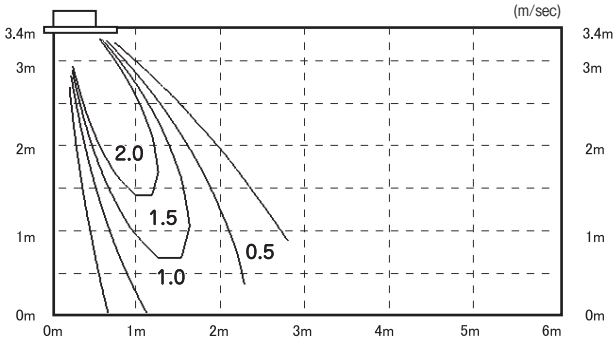
(b) 暖房　風量：P急
ルーバ位置



温度分布



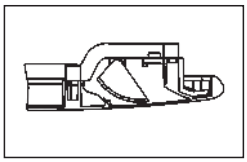
風速分布



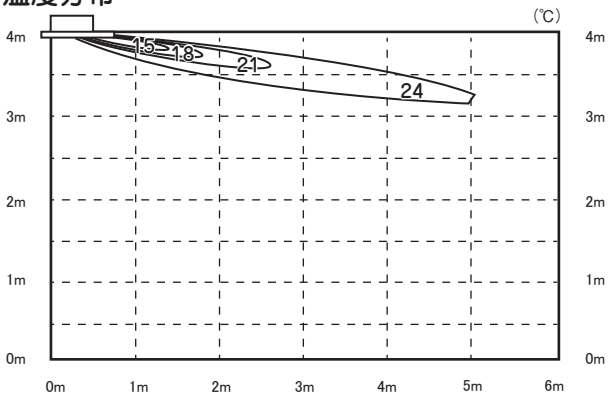
ISD12329

FDTSZP806S（P71 設定）

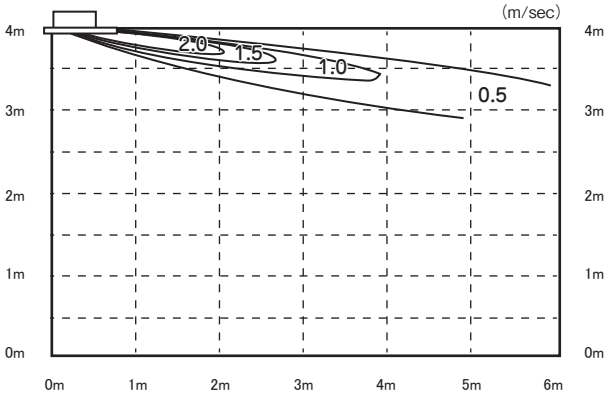
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



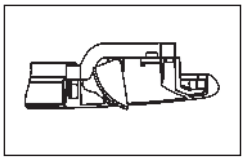
温度分布



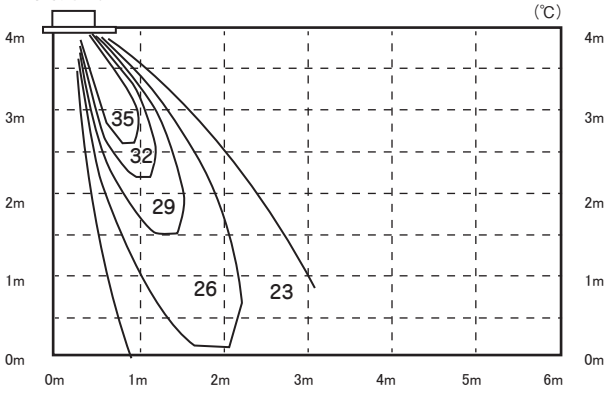
風速分布



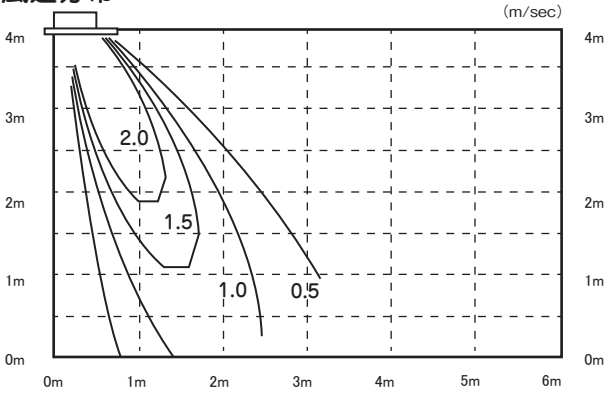
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



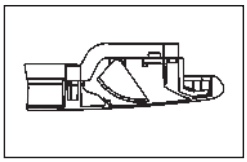
風速分布



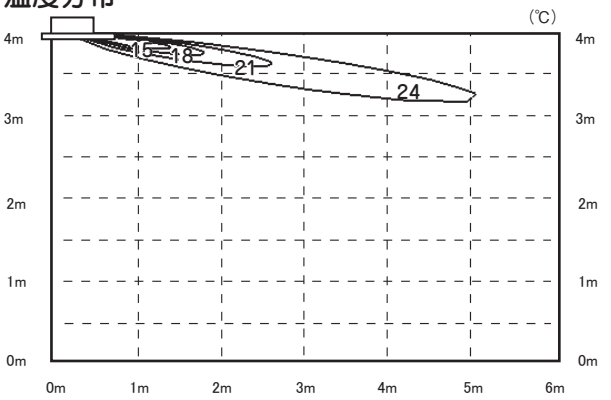
ISD12329

FDTSZP806S（P80 設定）

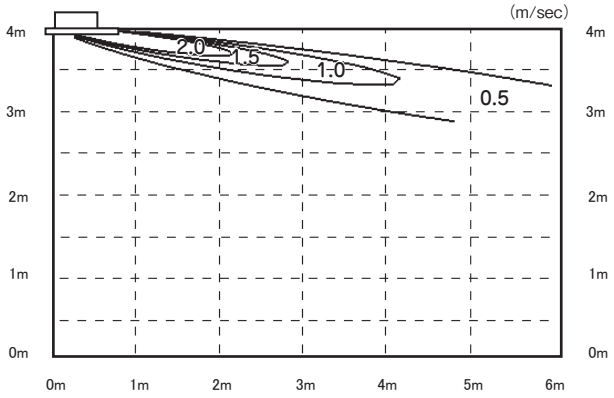
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



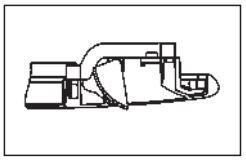
温度分布



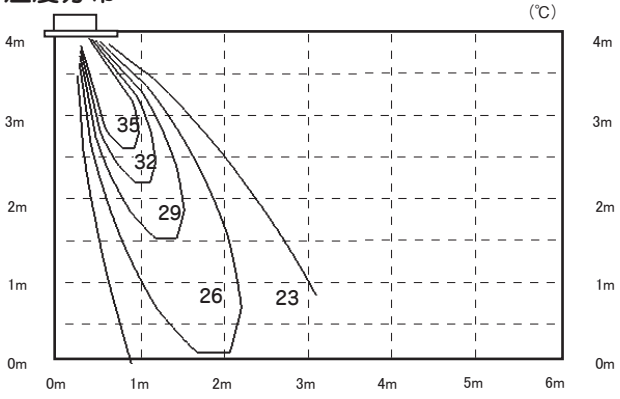
風速分布



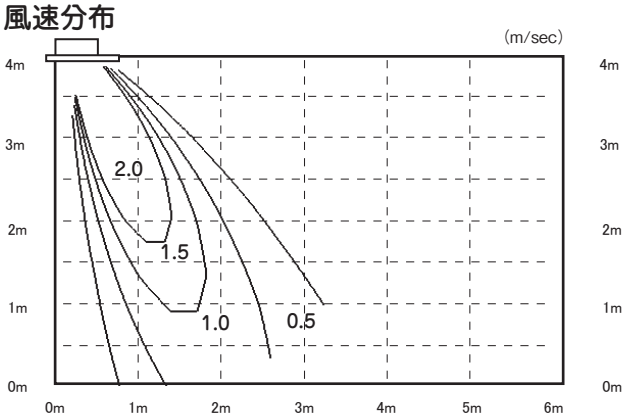
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



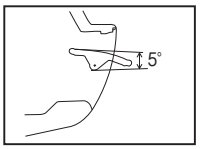
風速分布



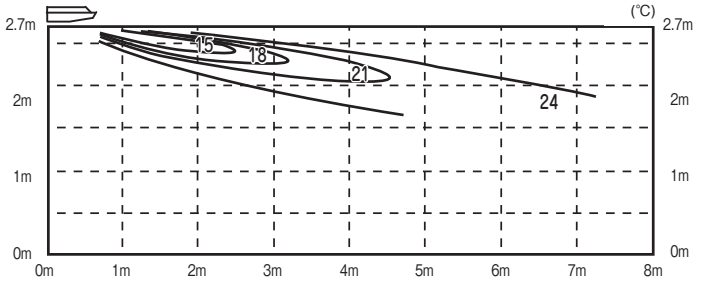
ISD12329

(5) 天吊形（FDE）
FDEZP566S

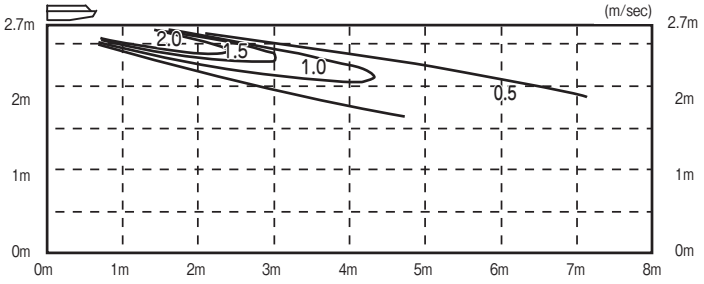
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



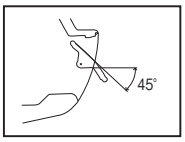
温度分布



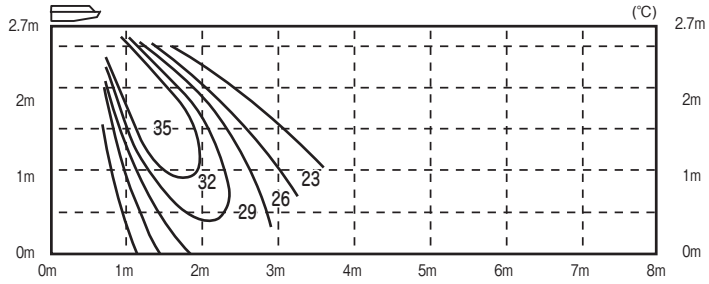
風速分布



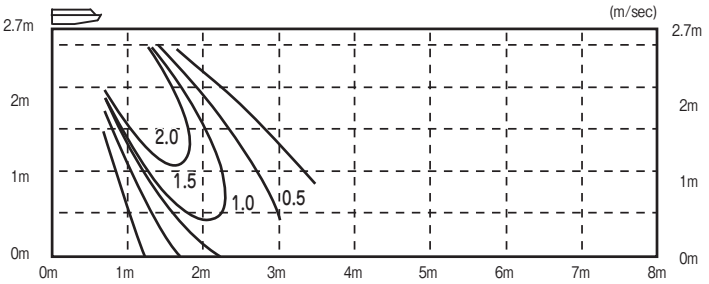
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布

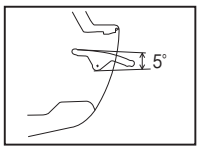


風速分布

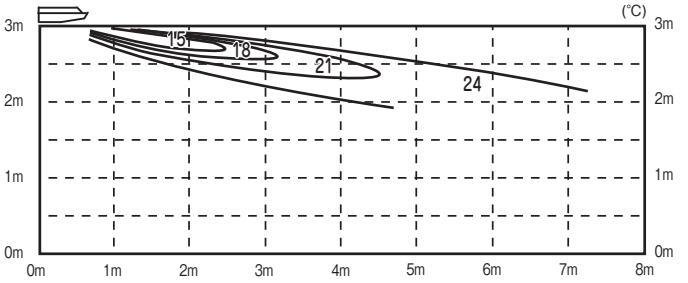


FDEZP636S

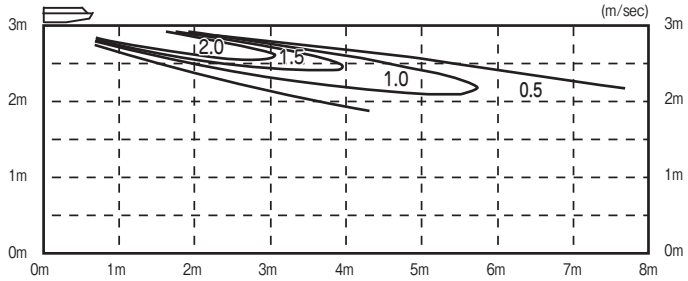
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



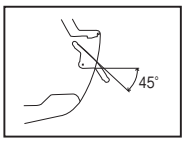
温度分布



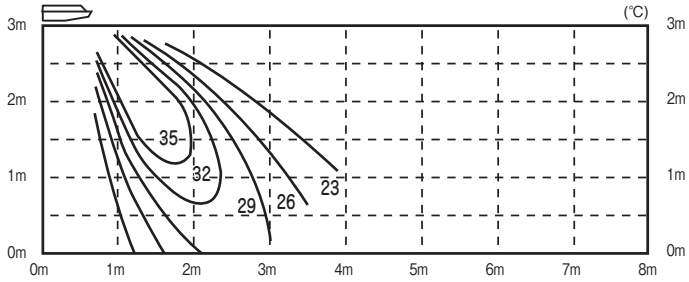
風速分布



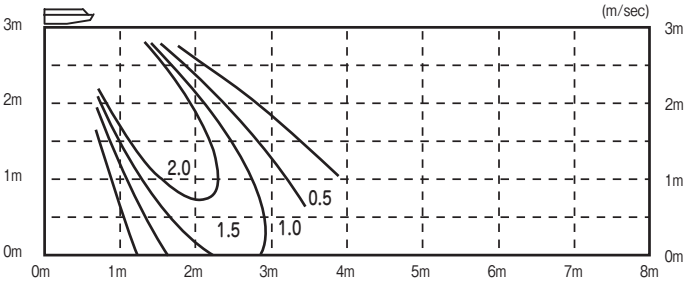
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



風速分布

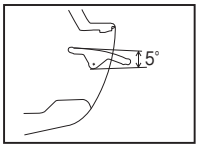


ISD14210 A

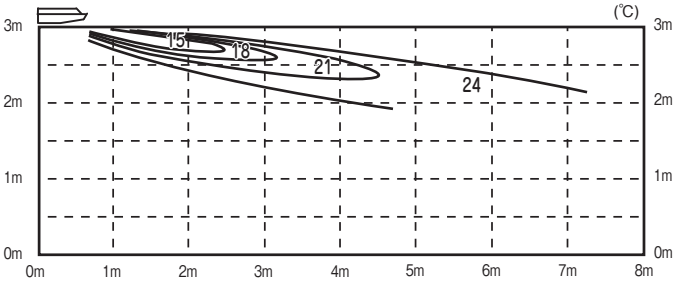
FDEZP806S

(a) 冷房　風量：P 急

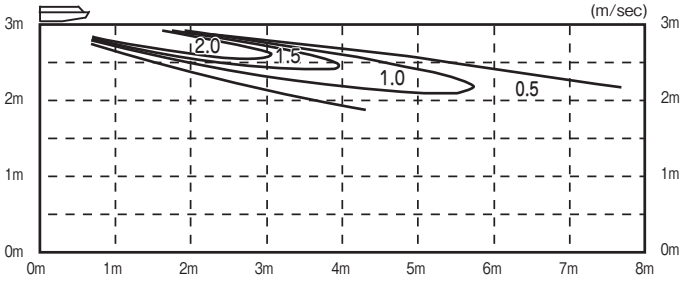
ルーバ位置



温度分布

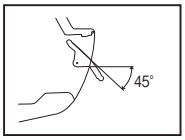


風速分布

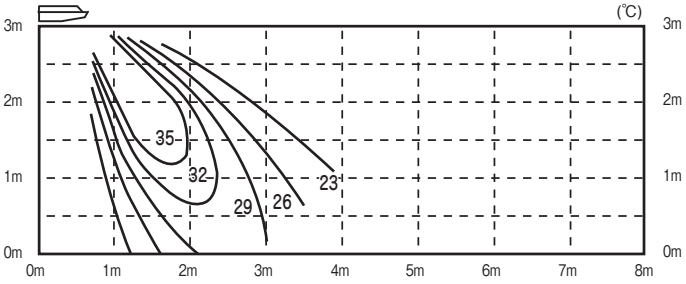


(b) 暖房　風量：P 急

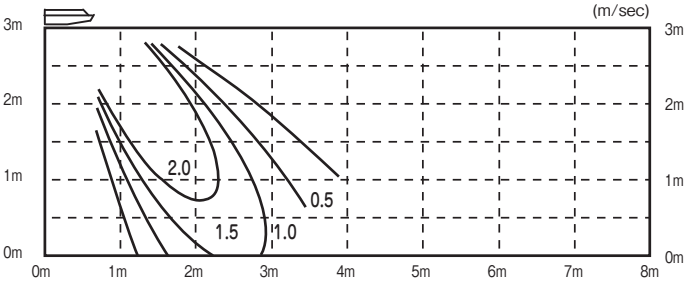
ルーバ位置



温度分布

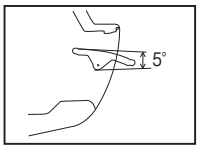


風速分布

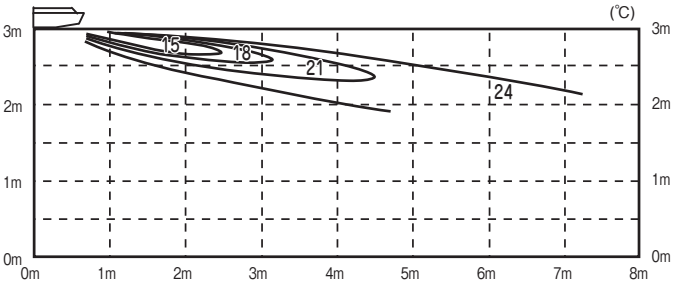


FDEZP1606S（P112 設定）

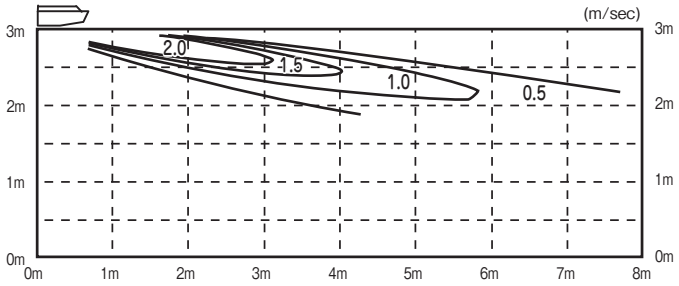
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



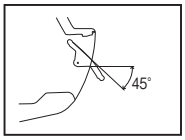
温度分布



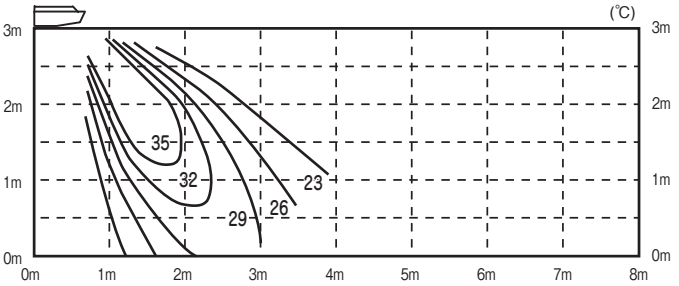
風速分布



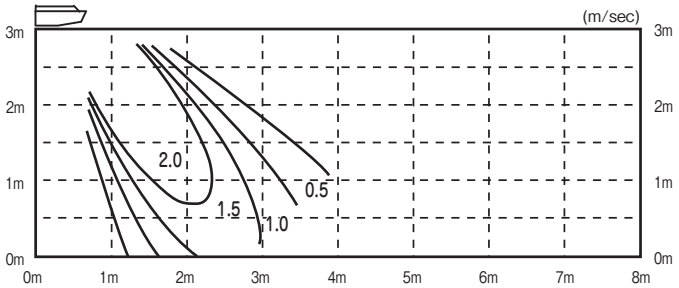
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



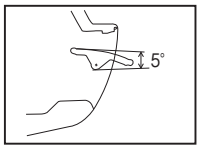
風速分布



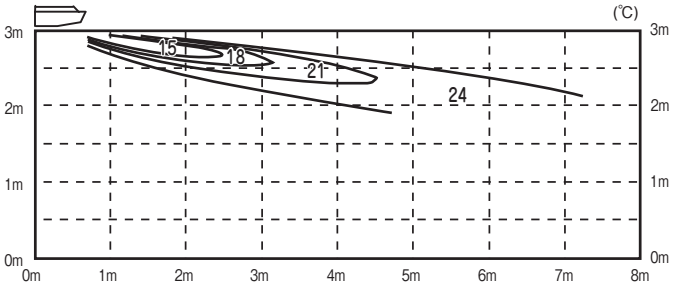
ISD14210 A

FDEZP1606S（P140 設定）

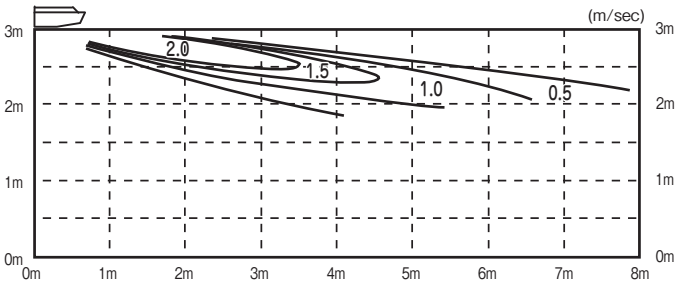
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



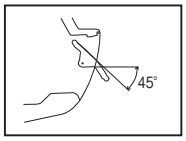
温度分布



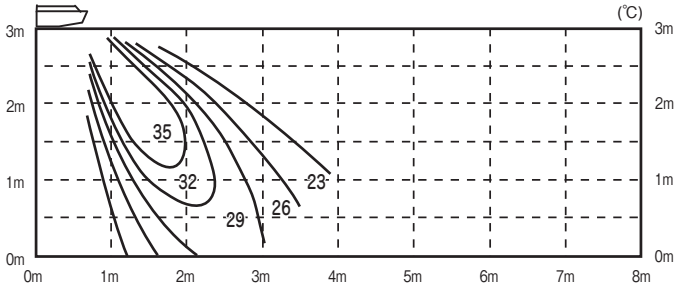
風速分布



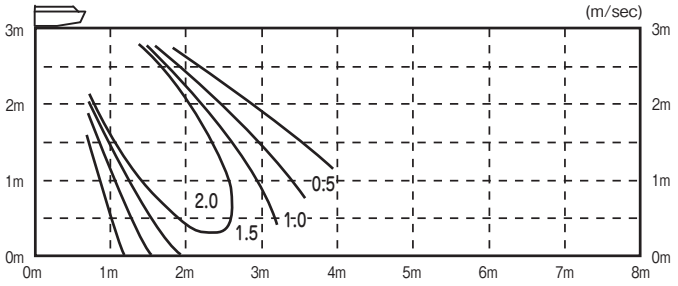
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布

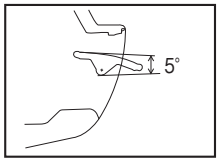


風速分布

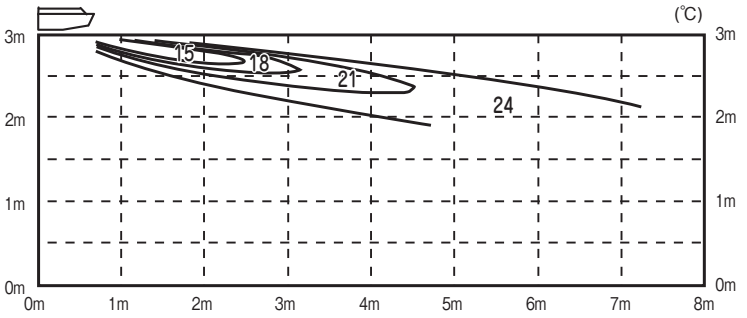


FDEZP1606S（P160 設定）

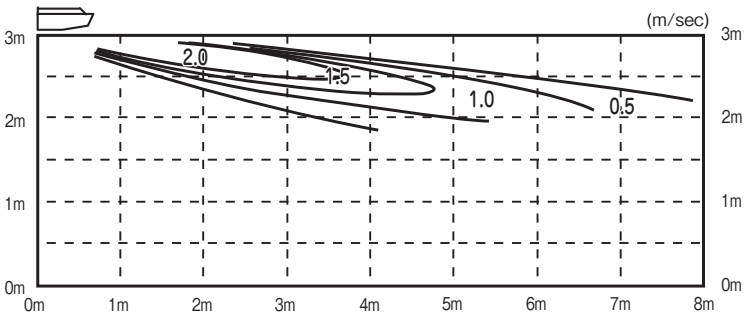
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



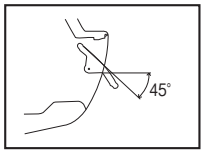
温度分布



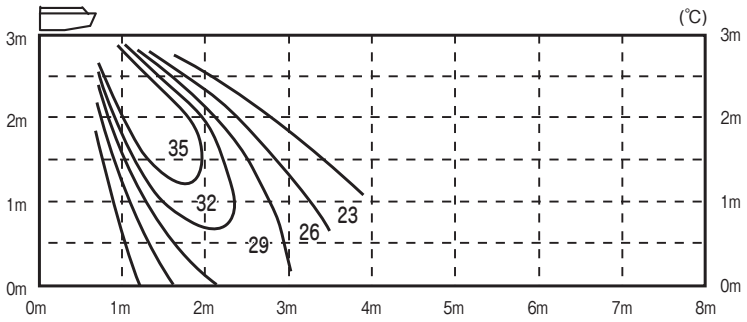
風速分布



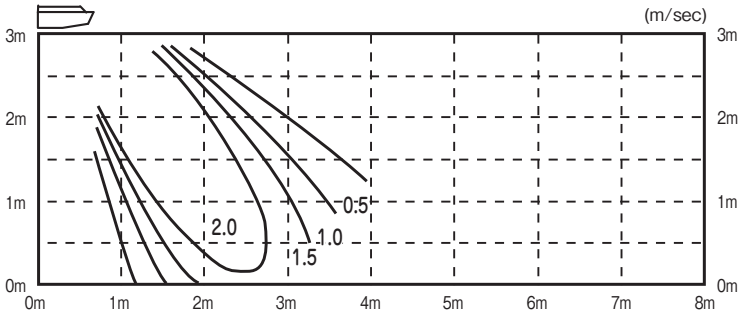
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



風速分布

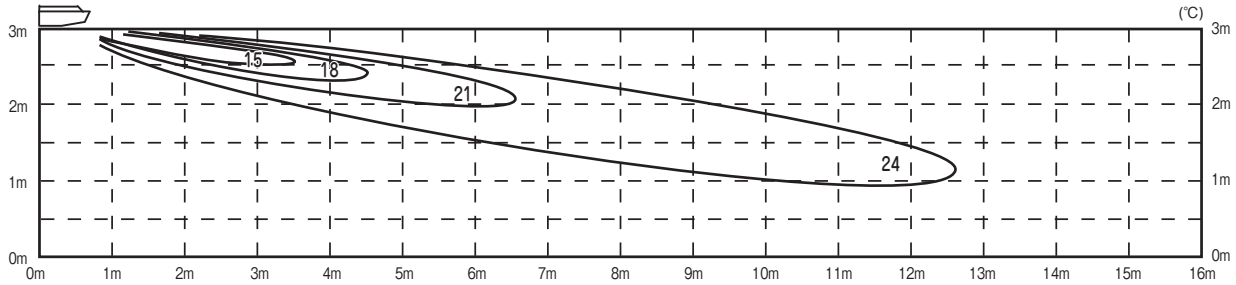


ISD14210 A

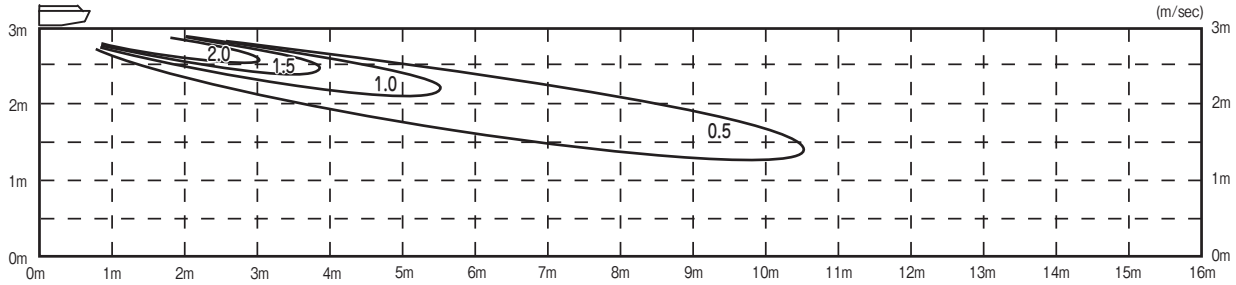
FDEZP2245A，FDEZP2805A

(a) 冷房　風量：急

温度分布

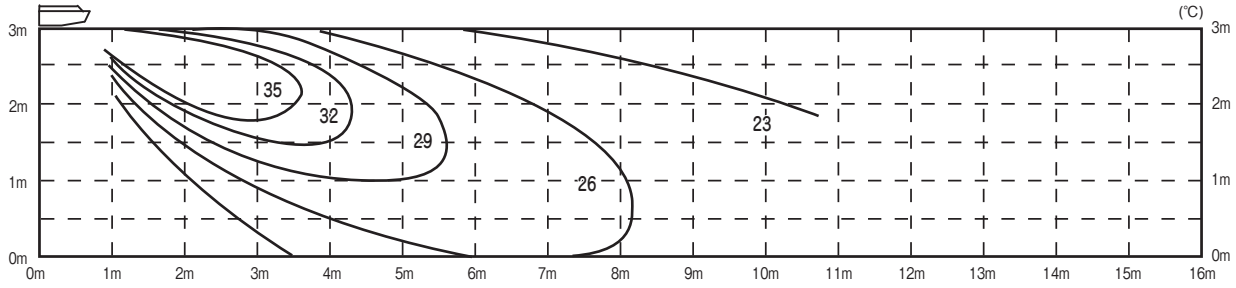


風速分布

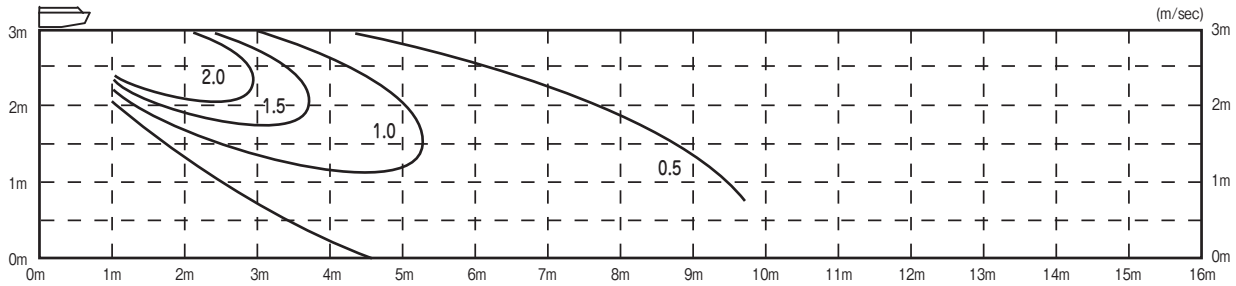


(b) 暖房　風量：急

温度分布

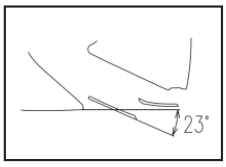


風速分布

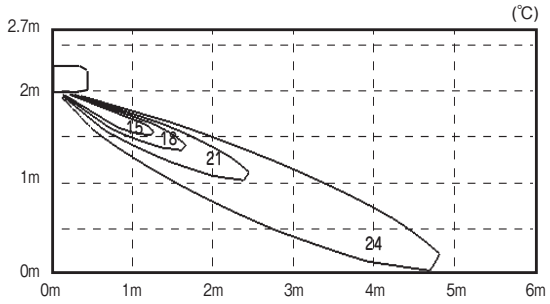


(6) 壁掛形（FDK）
FDKZP566S（P40, P45 設定）

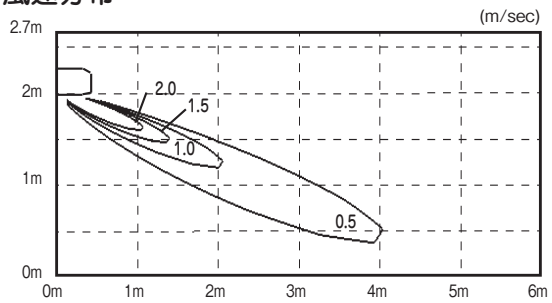
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



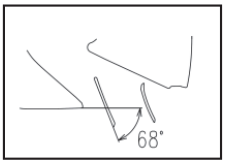
温度分布



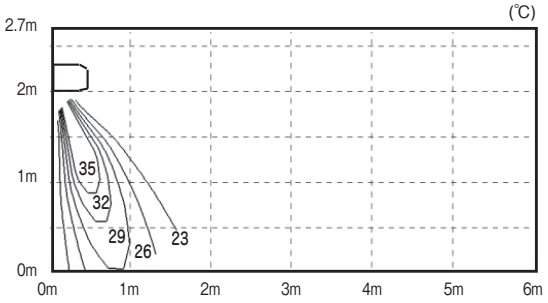
風速分布



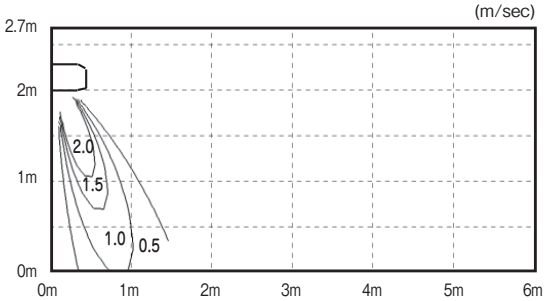
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



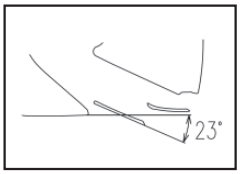
風速分布



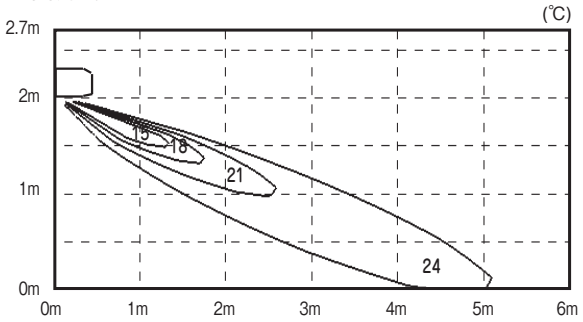
ISD17025

FDKZP566S（P50, P56 設定）

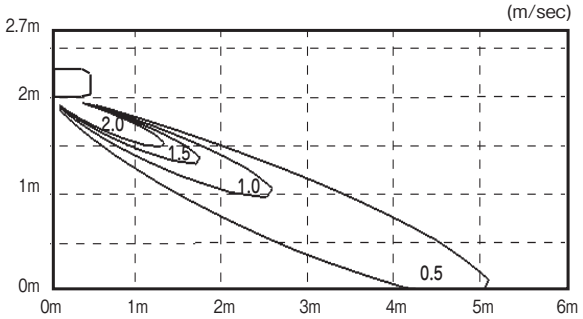
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



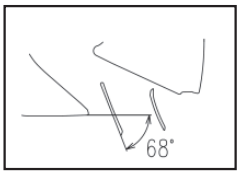
温度分布



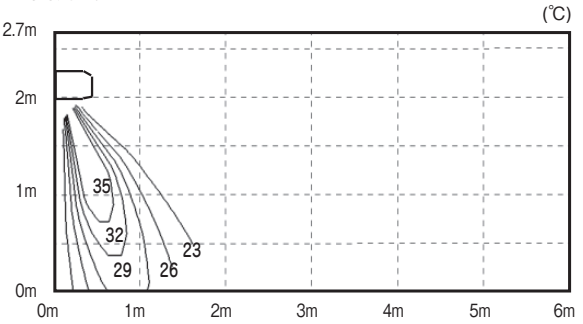
風速分布



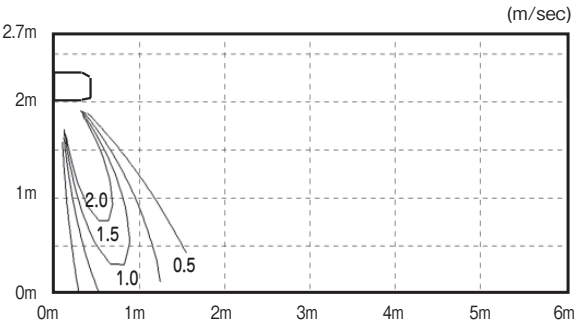
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



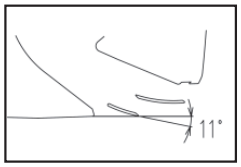
風速分布



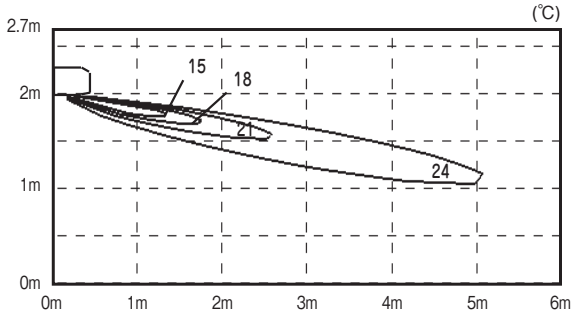
ISD17025

FDKZP636S

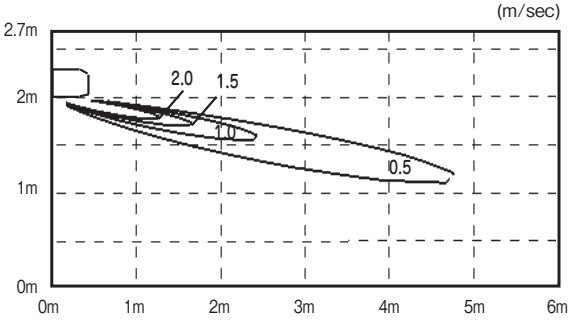
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



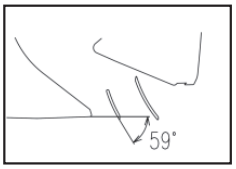
温度分布



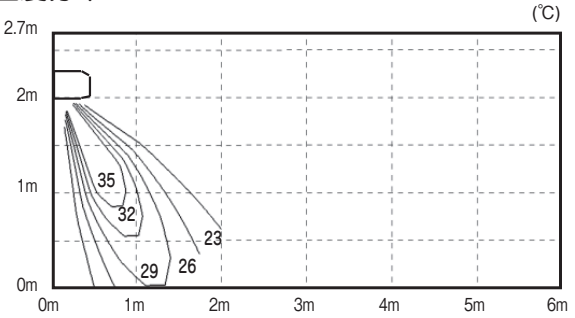
風速分布



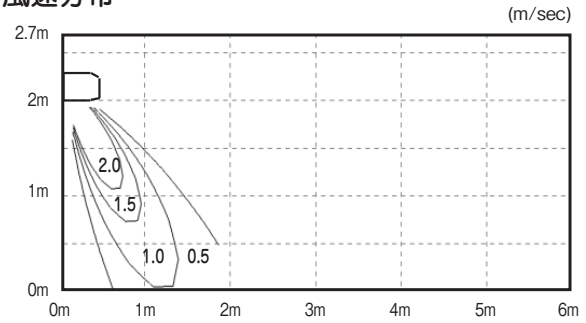
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



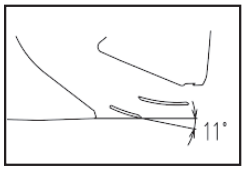
風速分布



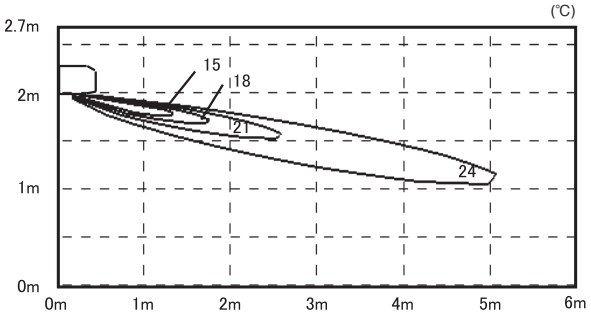
ISD17025

FDKZP1126S（P71, P80 設定）

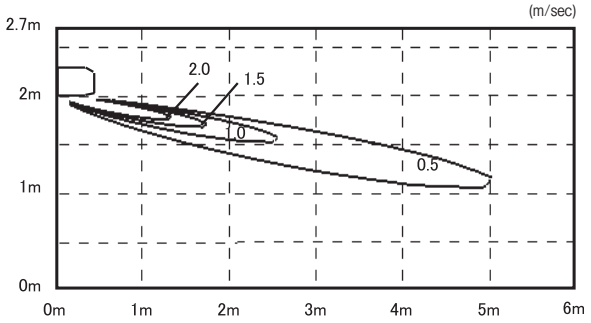
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



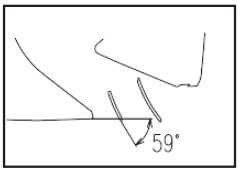
温度分布



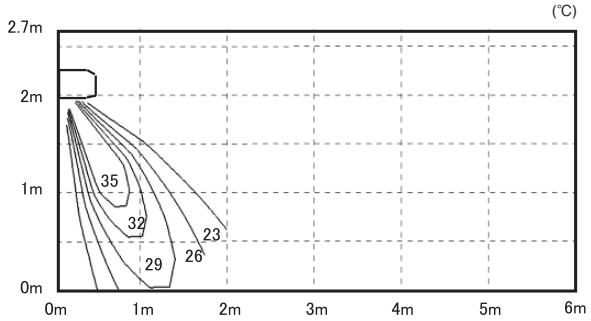
風速分布



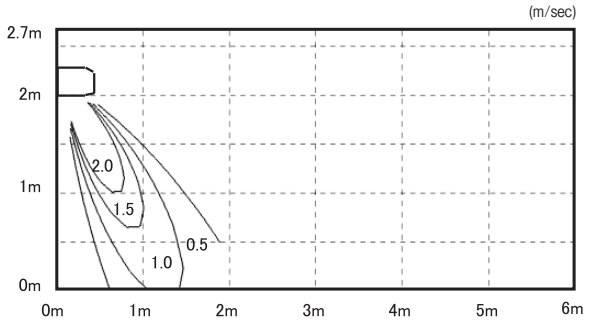
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



風速分布

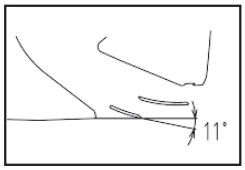


ISD17025

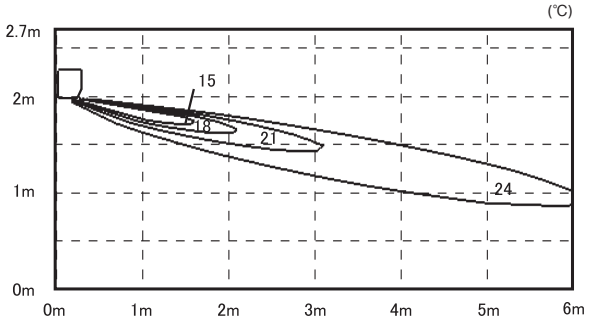
FDKZP1126S（P112 設定）

(a) 冷房　風量：P 急

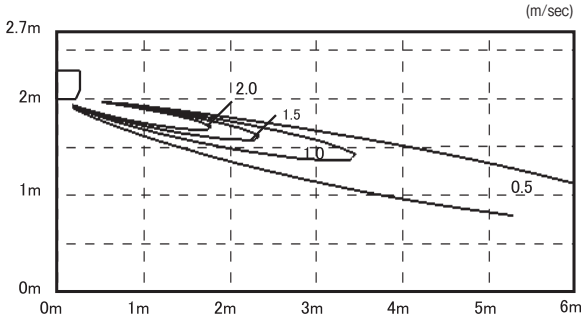
ルーバ位置



温度分布

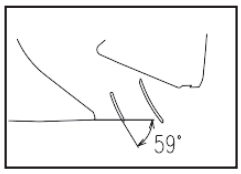


風速分布

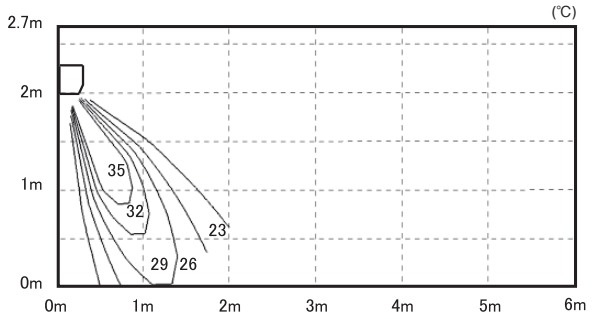


(b) 暖房　風量：P 急

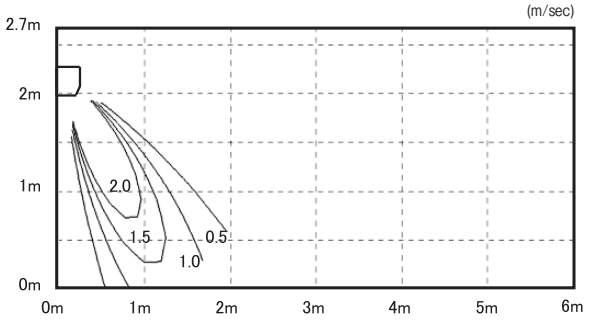
ルーバ位置



温度分布



風速分布

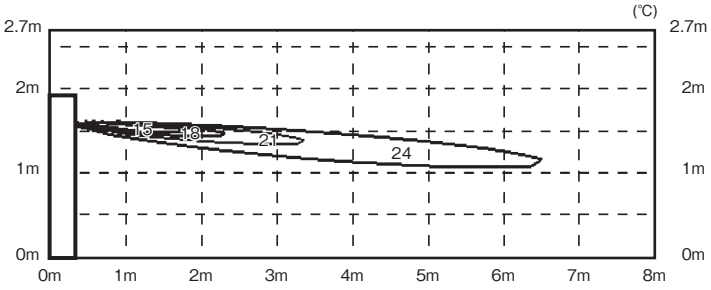


ISD17025

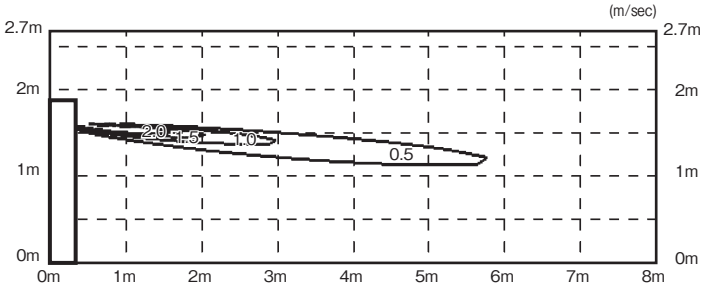
(7) 床置形（FDF）
FDFZP635SB，805SB

(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布

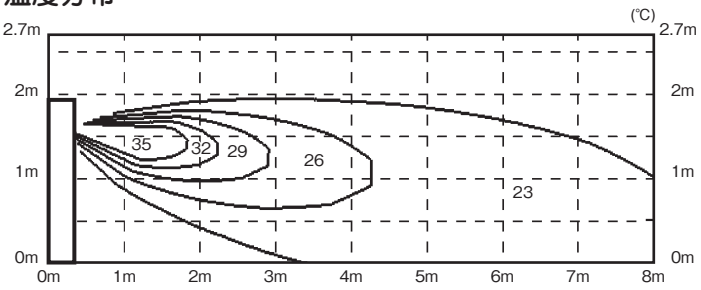


風速分布

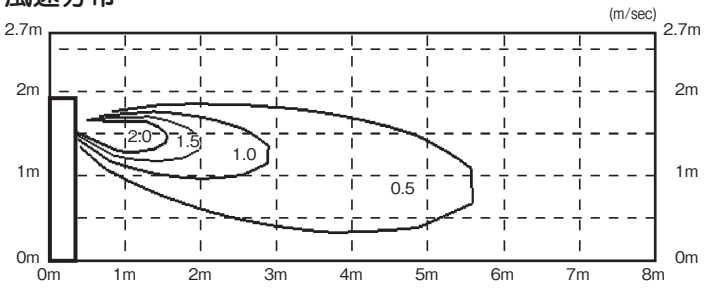


(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布



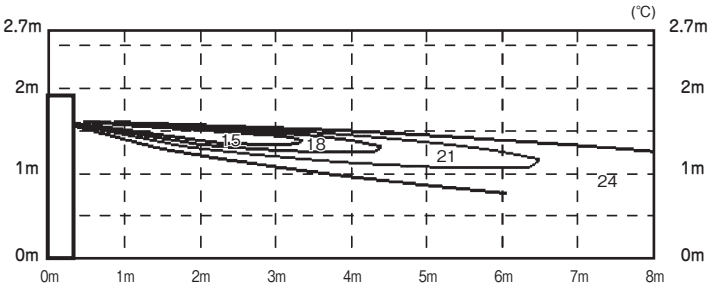
風速分布



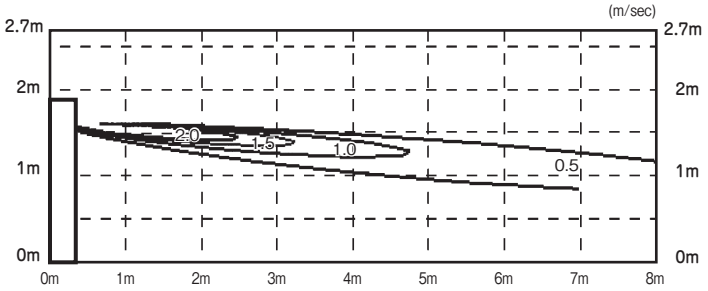
FDFZP1605SB

(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布

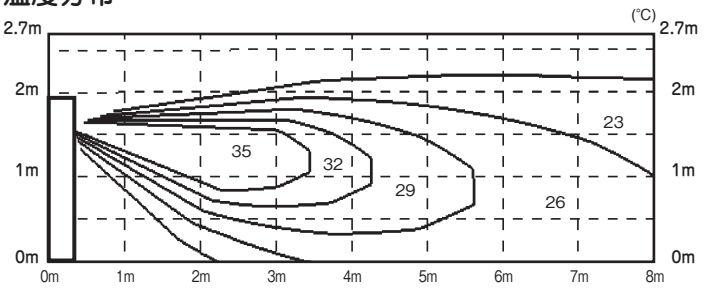


風速分布

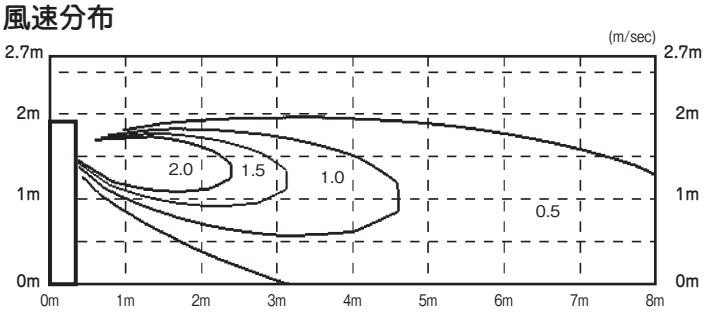


(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布



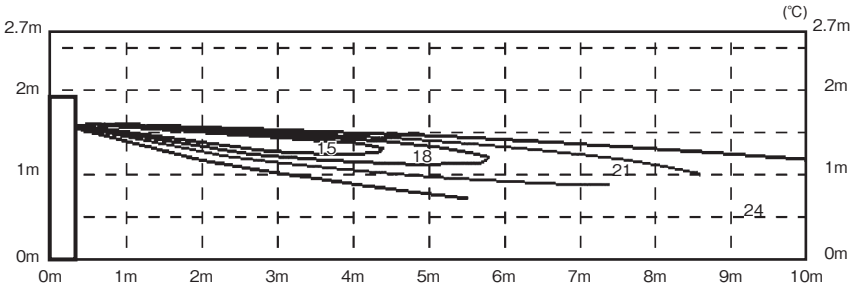
風速分布



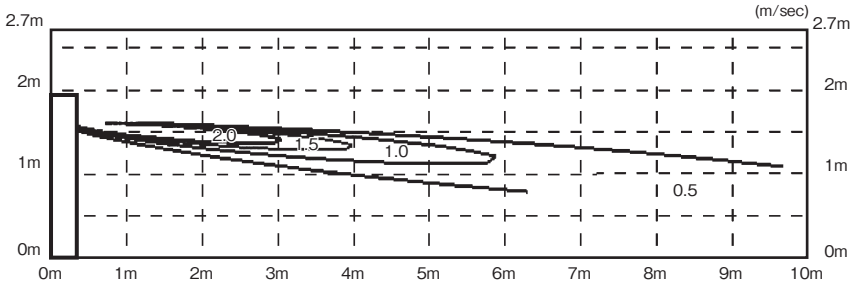
FDFZP2245，2805

(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布

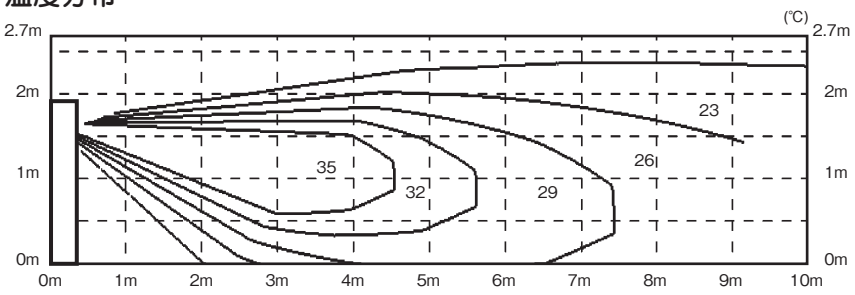


風速分布

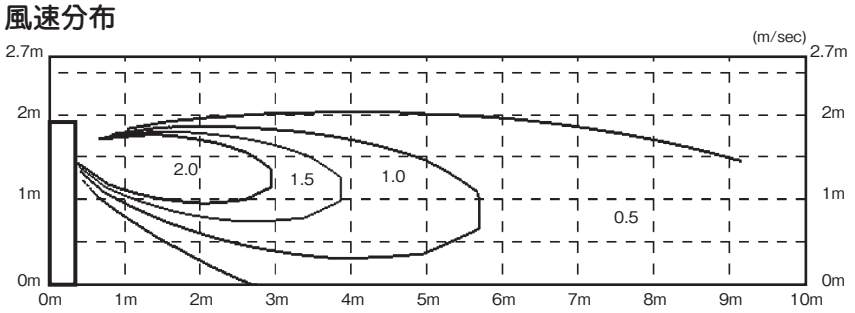


(b) 暖房　風量：急
ルーバ位置：水平

温度分布

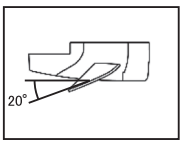


風速分布

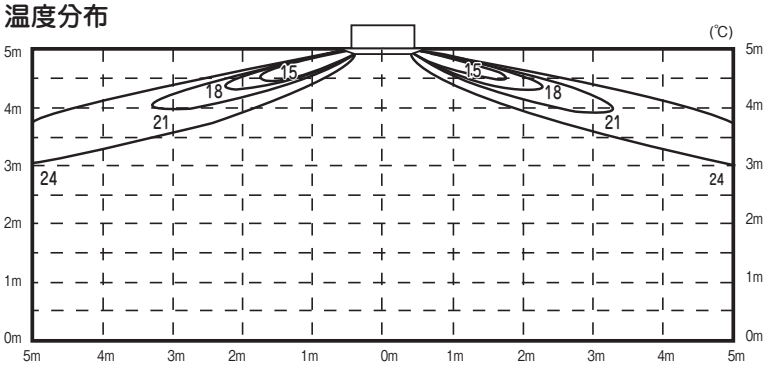


(B) 暖ガンハイパーインバータシリーズ
(1) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）
FDTZP716SA（P40, P56 設定）

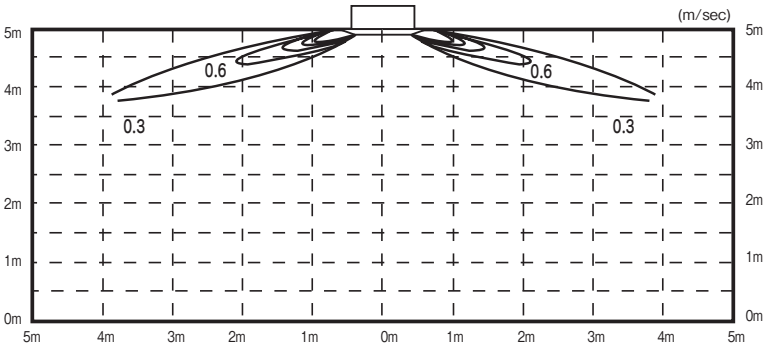
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



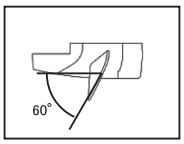
温度分布



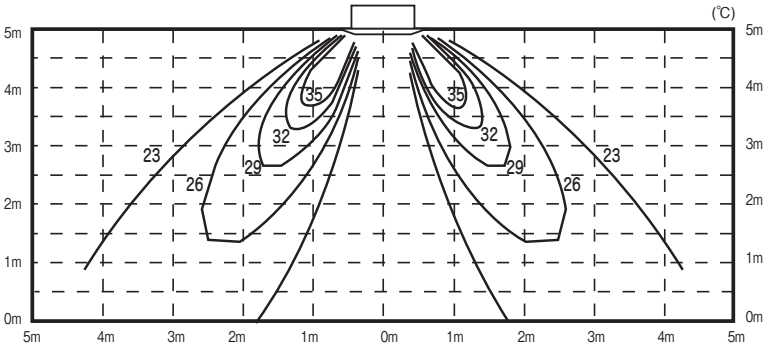
風速分布



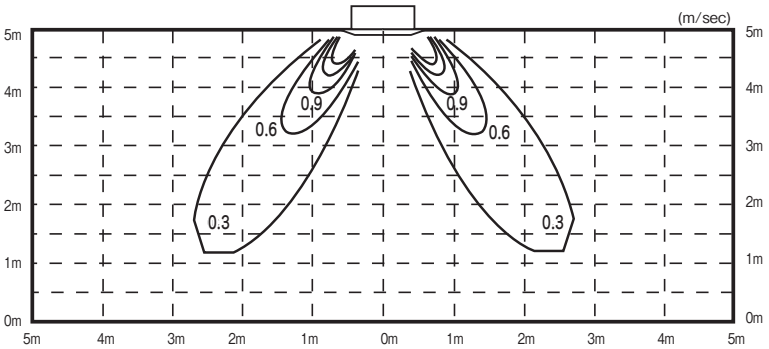
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



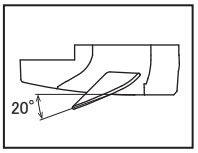
風速分布



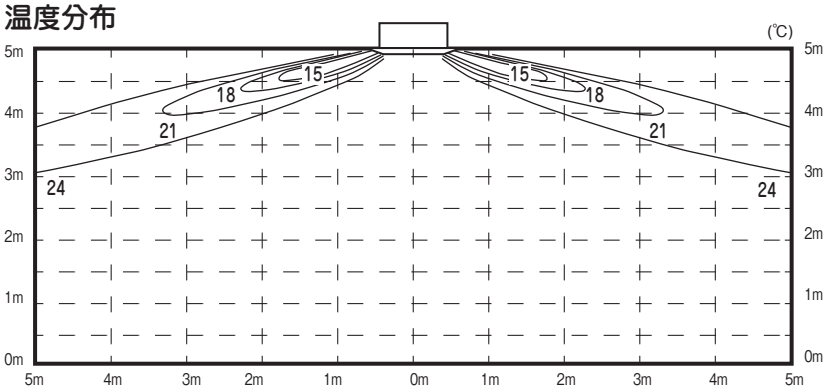
ISD16126△

FDTZP1606SA（P80, P112 設定）

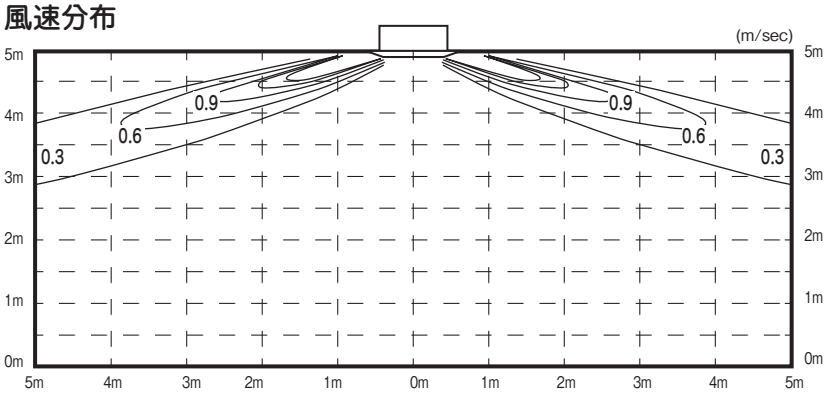
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



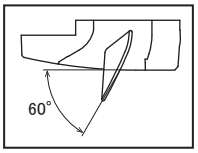
温度分布



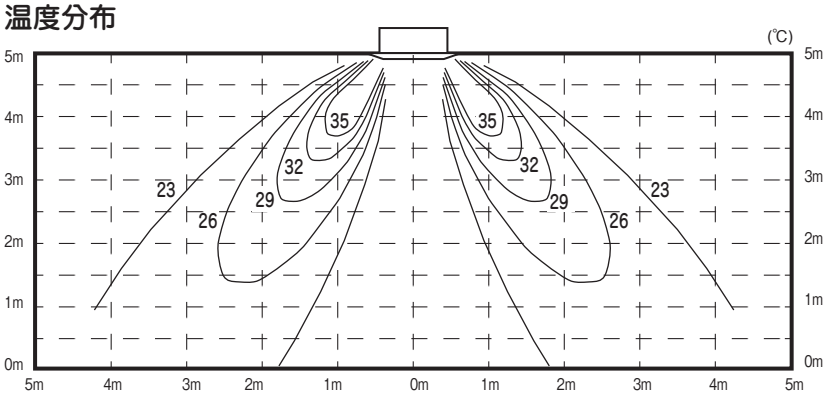
風速分布



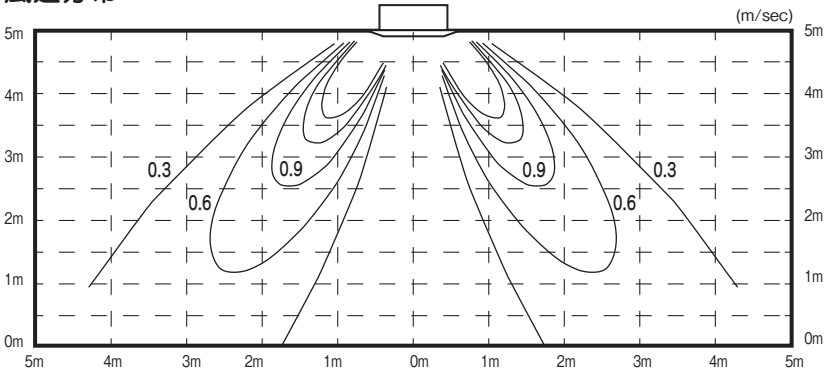
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布

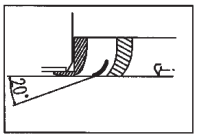


風速分布

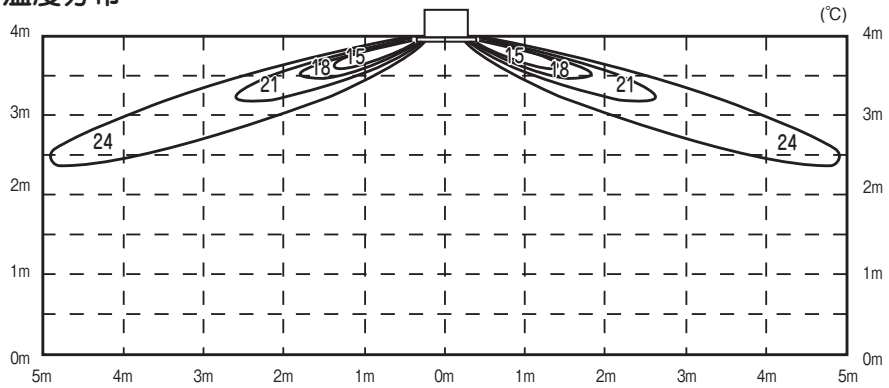


(2) 天井埋込形 2 方向吹出し（FDTW）
FDTWZP806S（P40, P56 設定）

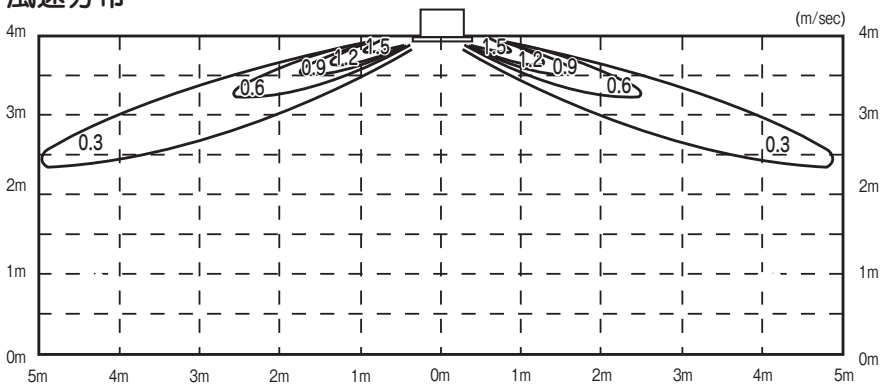
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



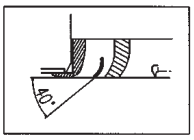
温度分布



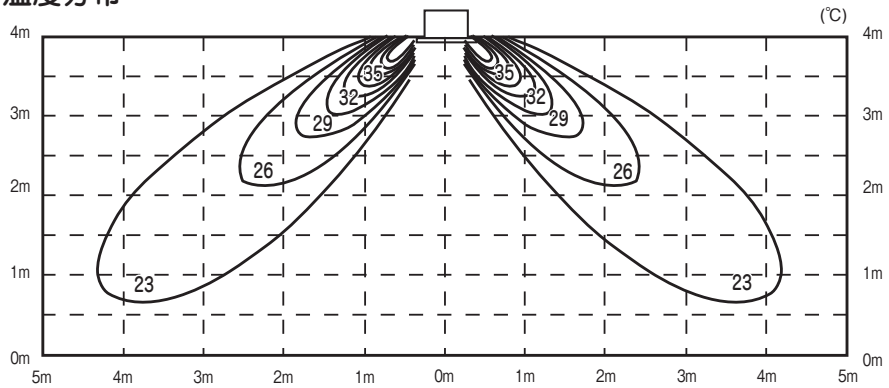
風速分布



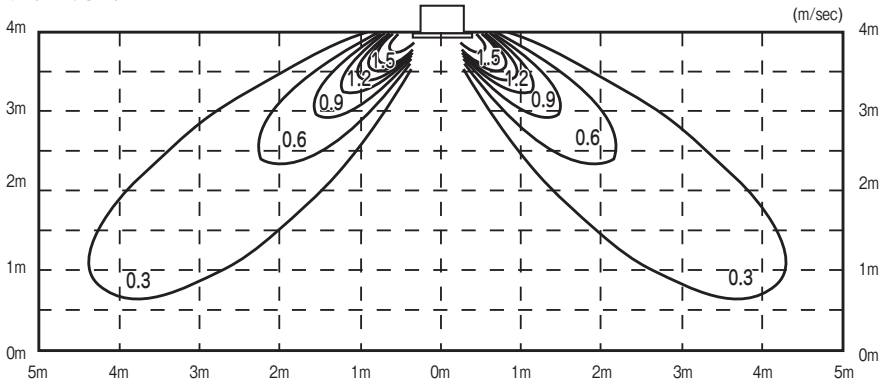
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布

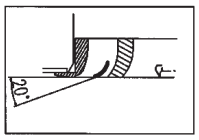


風速分布

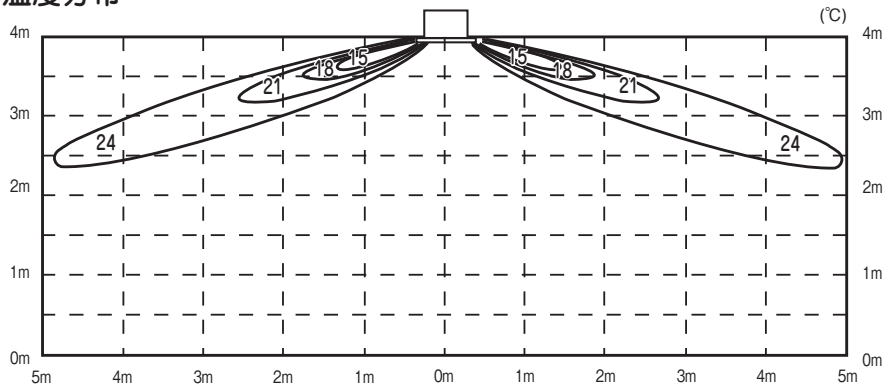


FDTWZP1406S（P80，P112 設定）

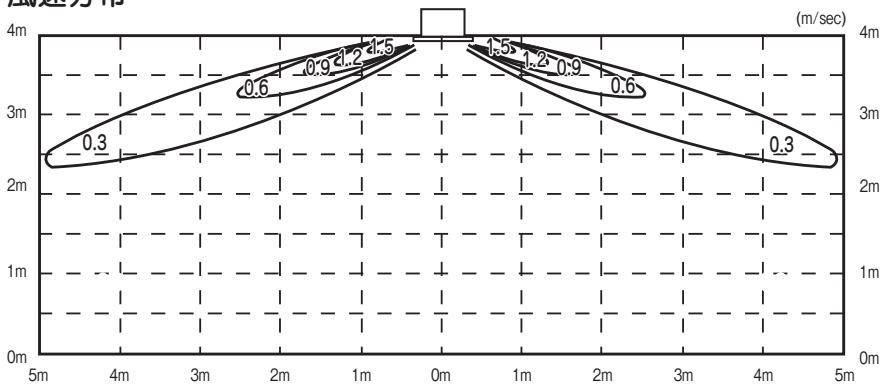
(a) 冷房　風量：P 急　ルーバ位置



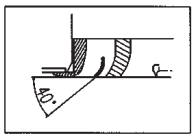
温度分布



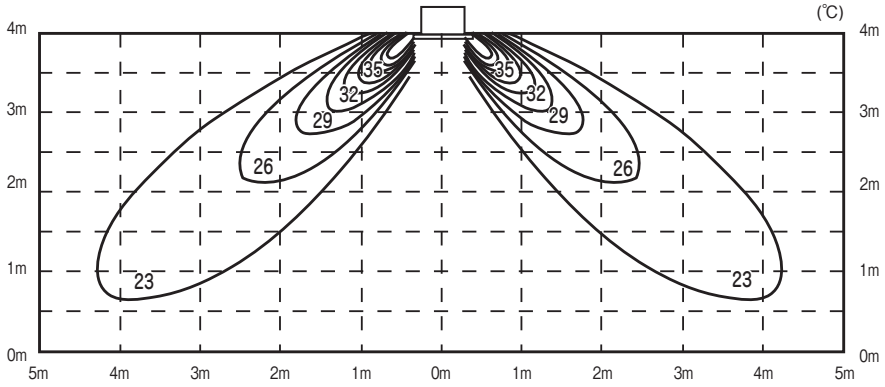
風速分布



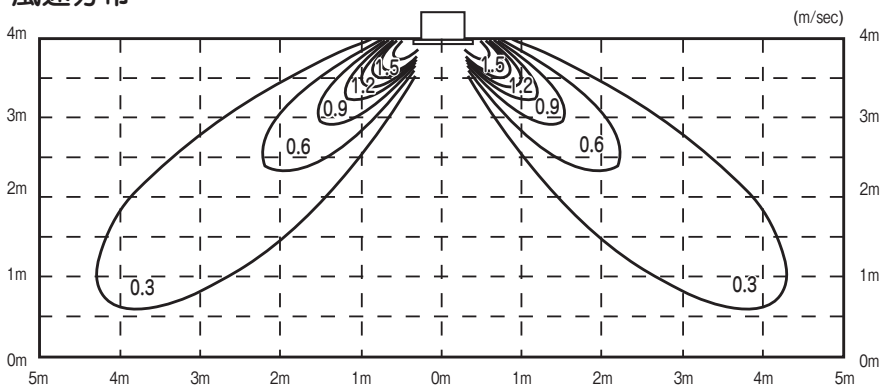
(b) 暖房　風量：P 急　ルーバ位置



温度分布



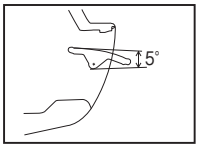
風速分布



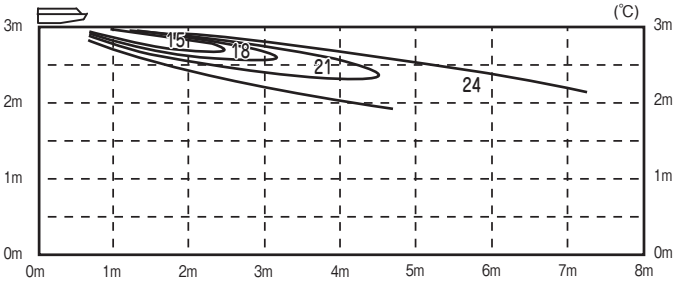
(3) 天吊形（FDE）
FDEZP806S（P40，P56 設定）

(a) 冷房　風量：P 急

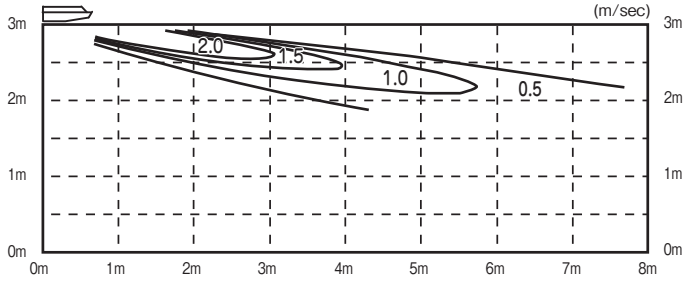
ルーバ位置



温度分布

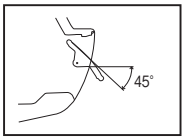


風速分布

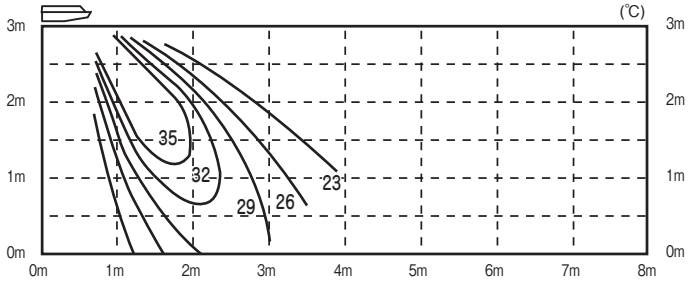


(b) 暖房　風量：P 急

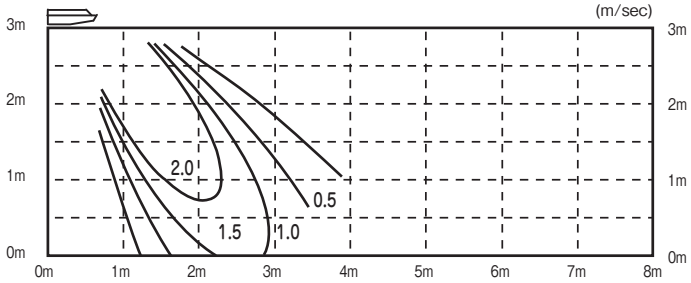
ルーバ位置



温度分布



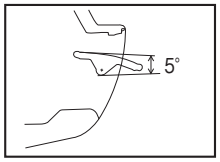
風速分布



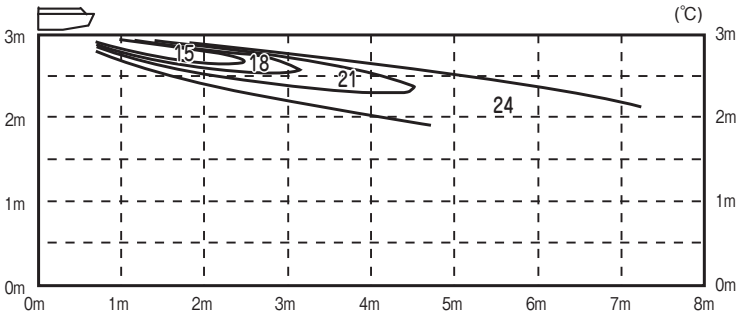
ISD14210 A

FDEZP1606S（P80, P112 設定）

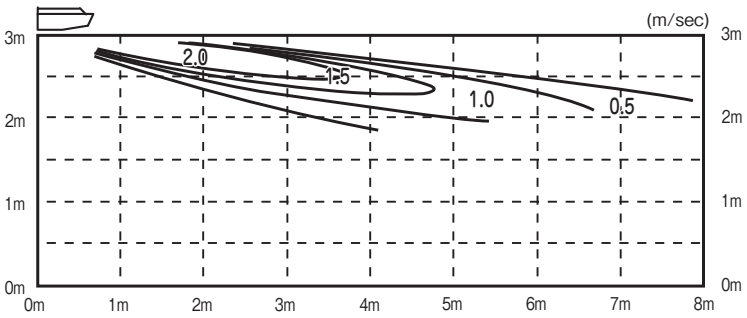
(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置



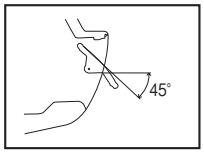
温度分布



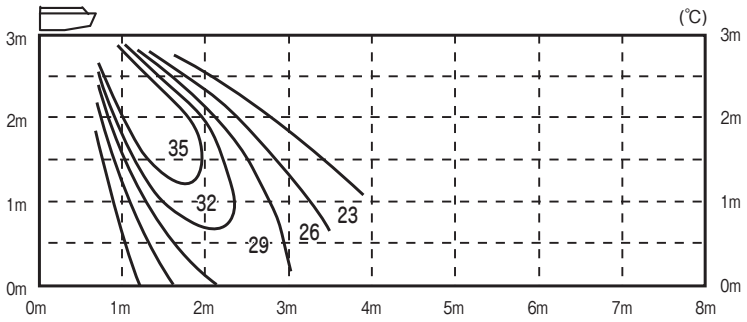
風速分布



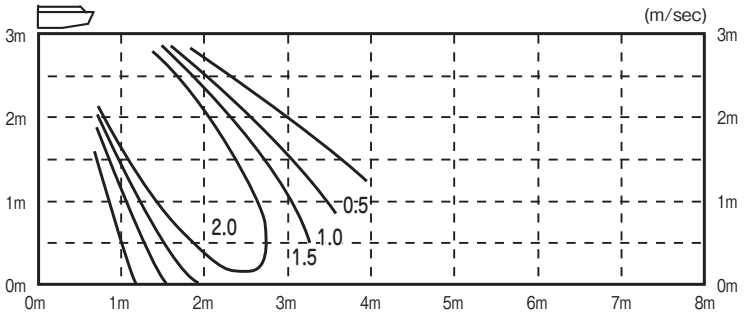
(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置



温度分布



風速分布

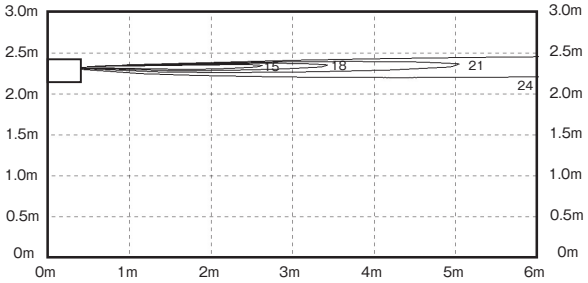


ISD14210 A

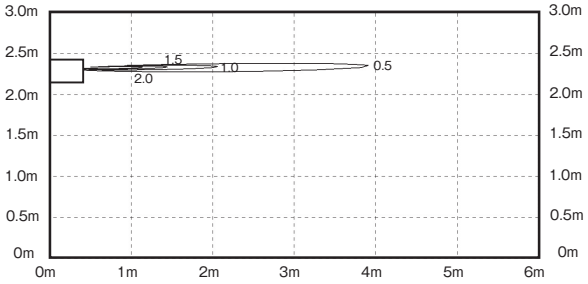
(4) 天吊耐油形（FDES）
FDESZP806

(a) 冷房　風量：急　周波数：50Hz

ルーバ位置：水平(0°)　温度分布　(°C)

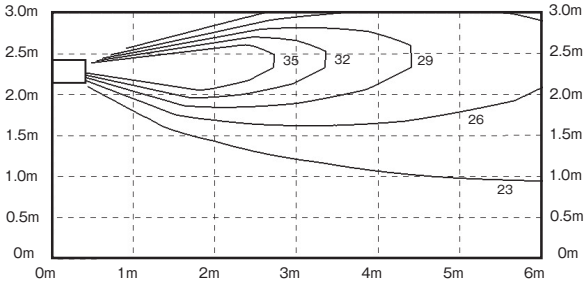


風速分布　(m/sec)

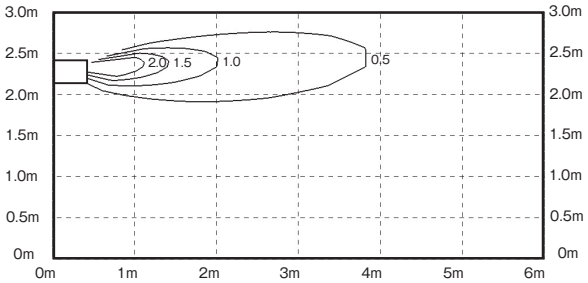


(b) 暖房　風量：急　周波数：50Hz

ルーバ位置：水平(0°)　温度分布　(°C)



風速分布　(m/sec)



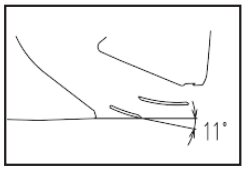
ISD24651

(5) 壁掛形 (FDK)

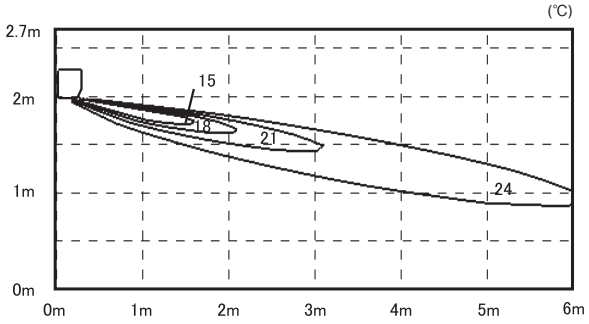
FDKZP1126S (P40, P56, P80, P112 設定)

(a) 冷房　風量：P 急

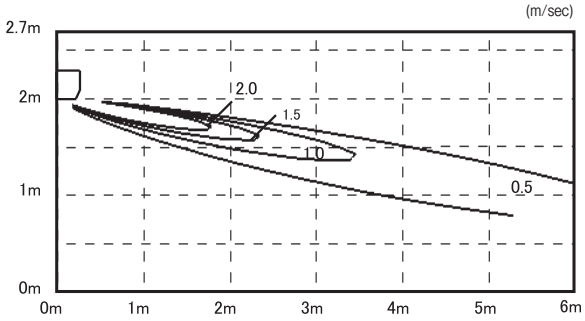
ルーバ位置



温度分布

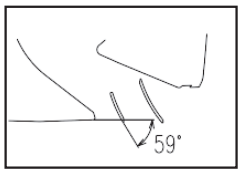


風速分布

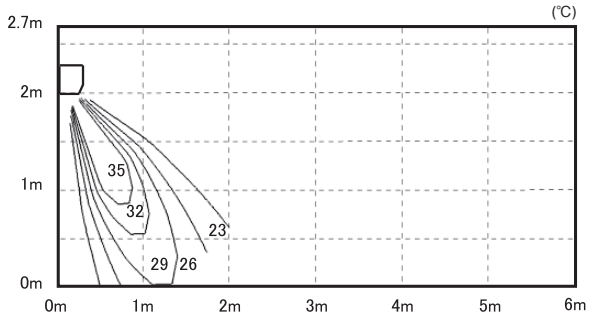


(b) 暖房　風量：P 急

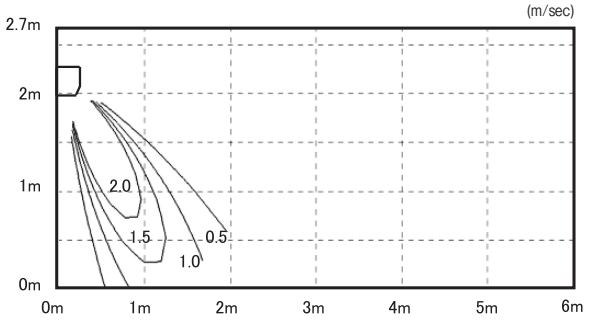
ルーバ位置



温度分布



風速分布

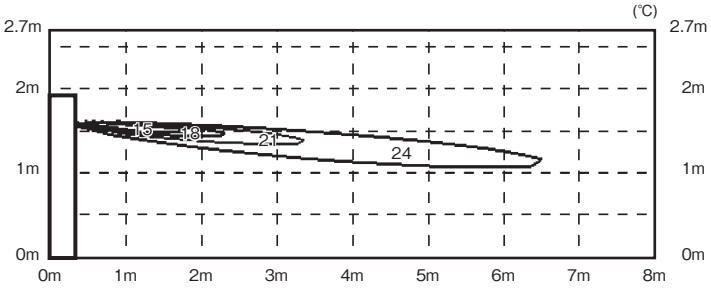


ISD17025

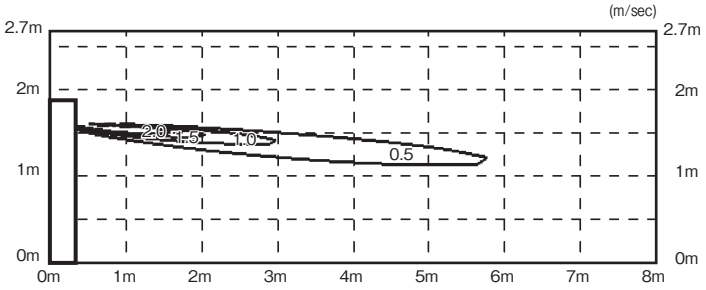
(6) 床置形（FDF）
FDFZP805SB（P40，P56 設定）

(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布

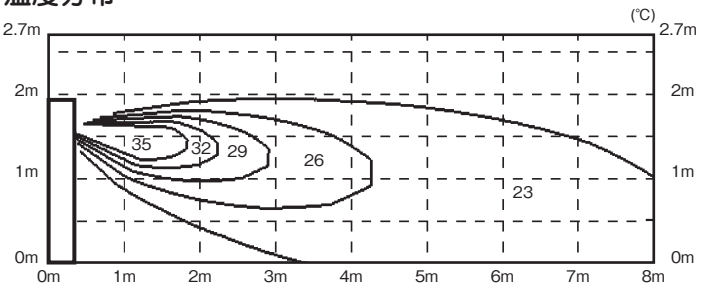


風速分布

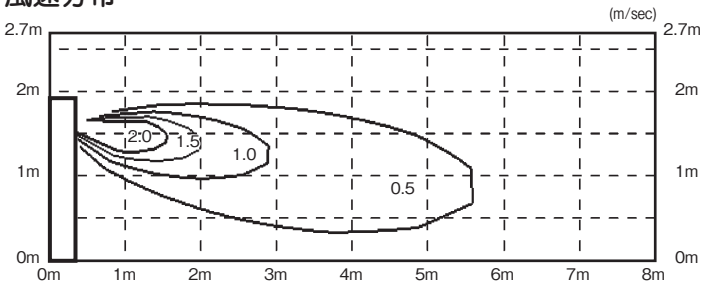


(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布



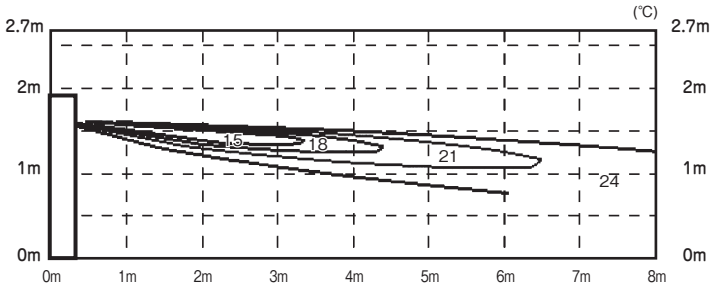
風速分布



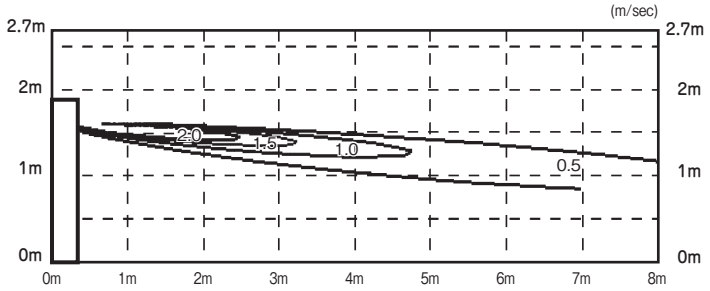
FDFZP1605SB（P80，P112 設定）

(a) 冷房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布

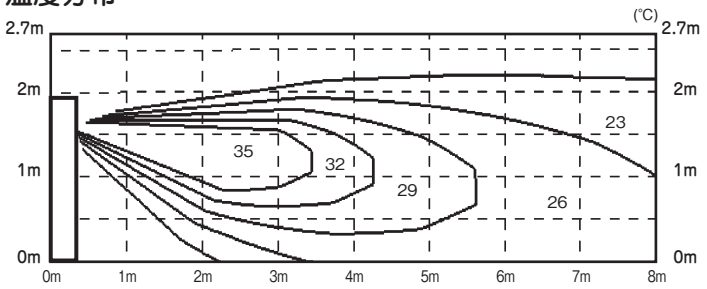


風速分布

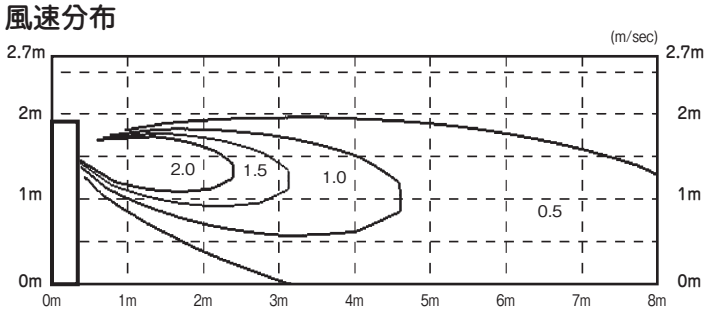


(b) 暖房　風量：P 急
ルーバ位置：水平

温度分布



風速分布



1.8 運 転 音

運転音は，JIS規格に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は，周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

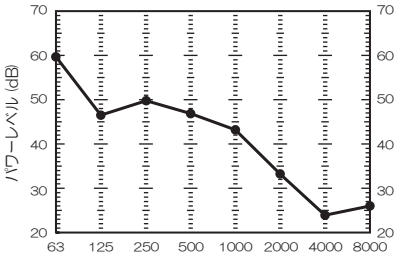
⒜ エクシードハイパー・ハイパーインバータシリーズ

(1) 室内ユニット

⒜ 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

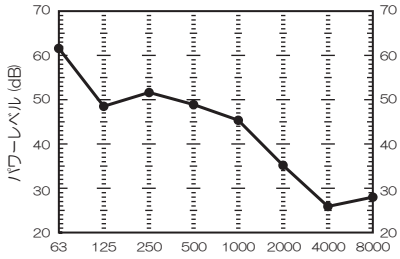
(i) パワーレベル

FDTZP636SA（P40,P45設定）



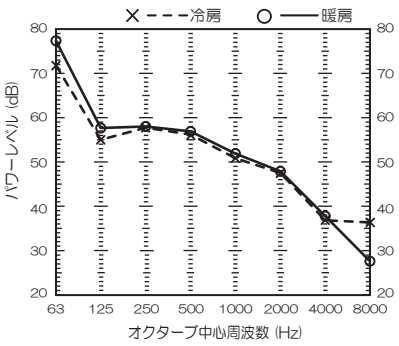
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP636SA（P50,P56,P63設定）

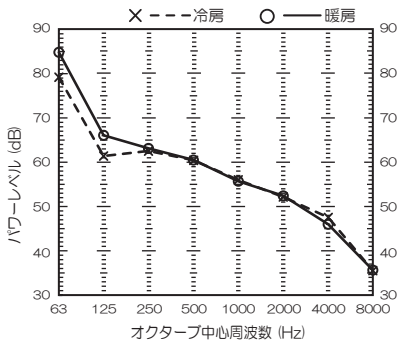


注 暖房時もほぼ同じです。

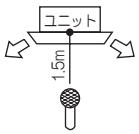
FDTZP806SA



FDTZP1606SA（P112,P140,P160設定）

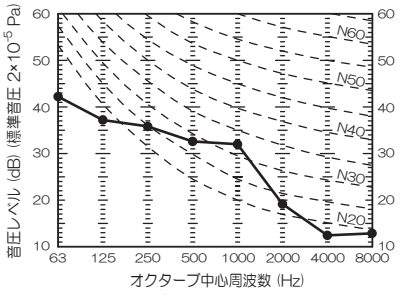


(測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方1.5m)



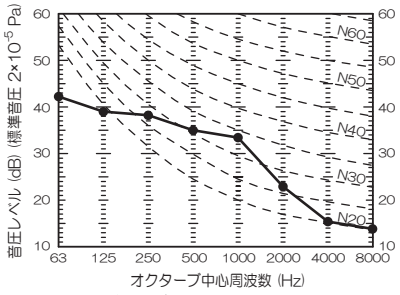
(ii) 音圧レベル

FDTZP636SA（P40,P45設定）



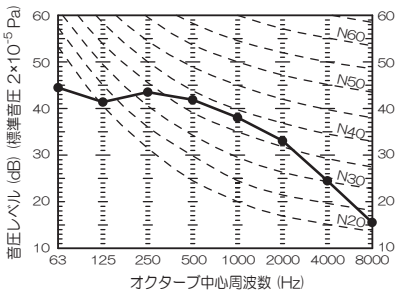
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP636SA（P50,P56,P63設定）



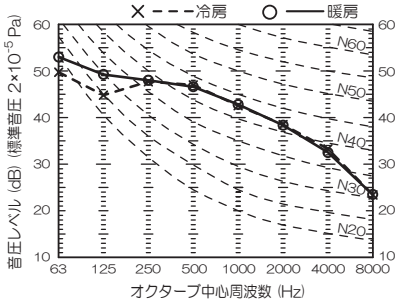
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP806SA



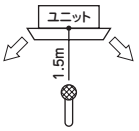
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP1606SA（P112,P140,P160設定）

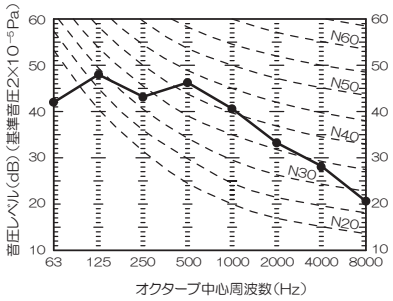


(b) 天井埋込形小容量 4 方向吹出し（FDTC）

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方 1.5m）



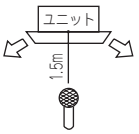
FDTCZP566S



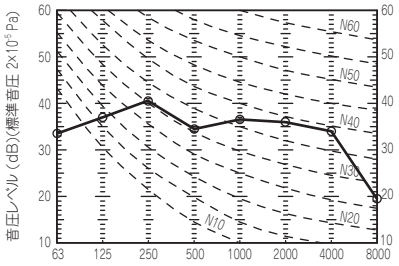
注 暖房時もほぼ同じです。

(c) 天井埋込形 2 方向吹出し（FDTW）

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方 1.5m）

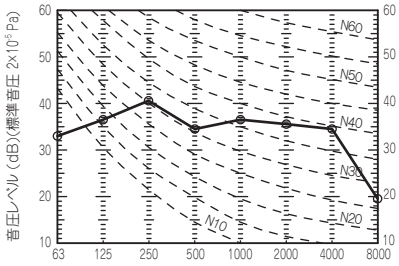


FDTWZP566S



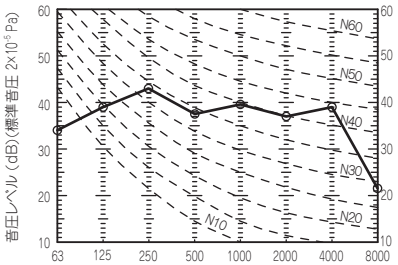
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTWZP636S



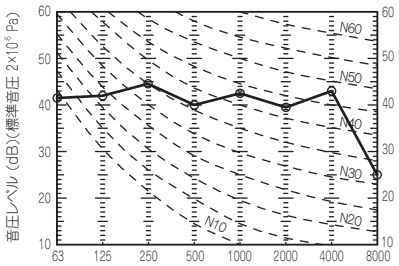
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTWZP806S（P80設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

FDTWZP1406S，1606S

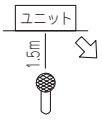


注 暖房時もほぼ同じです。

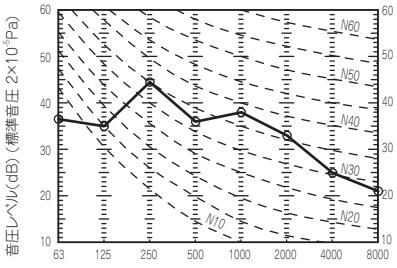
(d) 天井埋込形 1 方向吹出し (FDTS)

●標準仕様(直吹き)

(測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方1.5m)

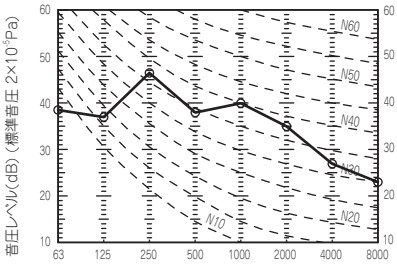


FDTSZP506S（P40, P45設定）



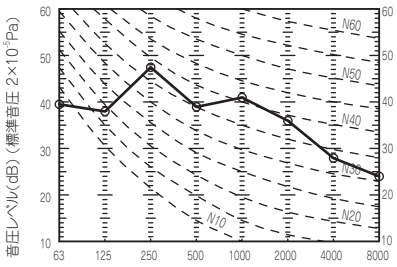
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTSZP506S（P50設定）



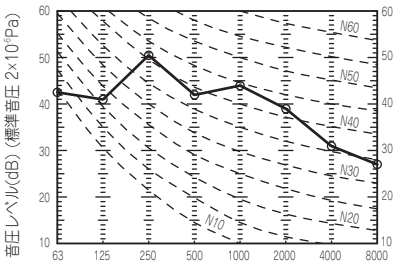
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTSZP636S（P56設定）



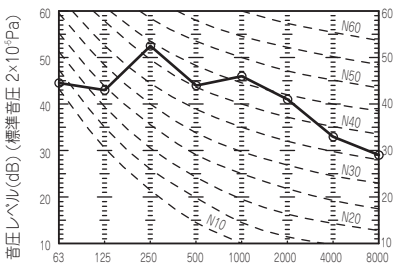
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTSZP636S（P63設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

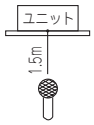
FDTSZP806S（P80設定）



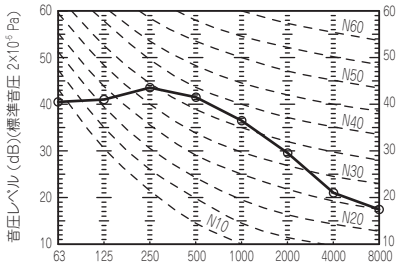
注 暖房時もほぼ同じです。

(e) 天井カセテリア (FDR)
(i) サイレントパネル仕様

(測定条件：冷房・暖房
マイク位置：吸込パネル中央下方1.5m)

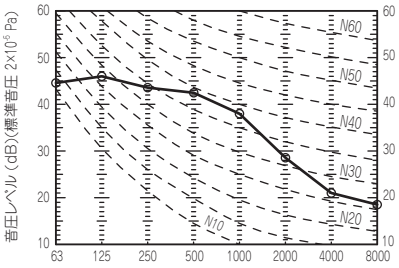


FDRZP566S



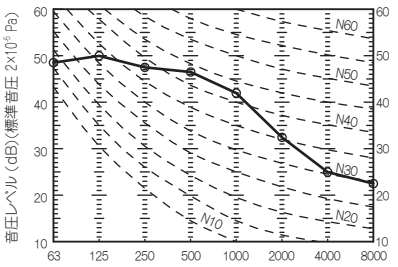
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP636S



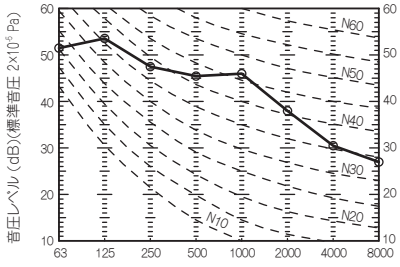
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP806S



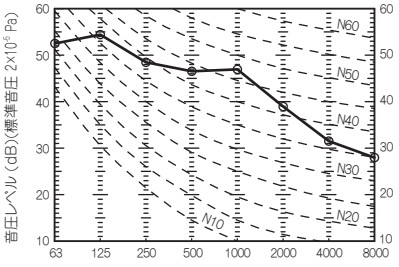
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP1126S



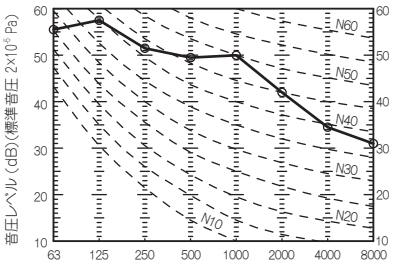
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP1606S（P140設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

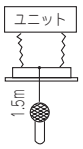
FDRZP1606S（P160設定）



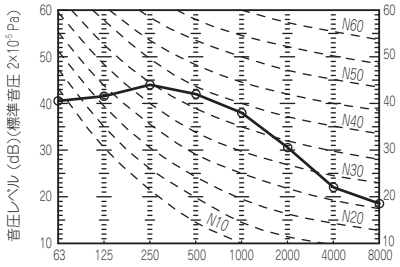
注 暖房時もほぼ同じです。

(ii) キャンバスパネル仕様

（測定条件：冷房・暖房
マイク位置：吸込パネル中央下方1.5m）

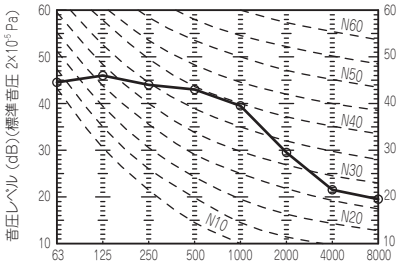


FDRZP566S



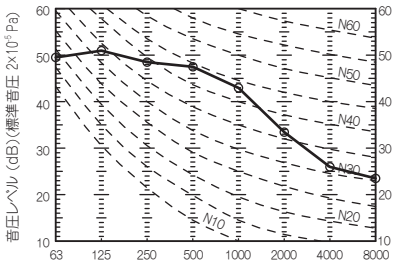
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP636S



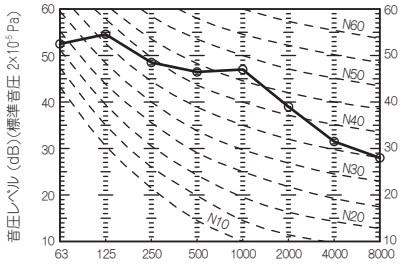
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP806S



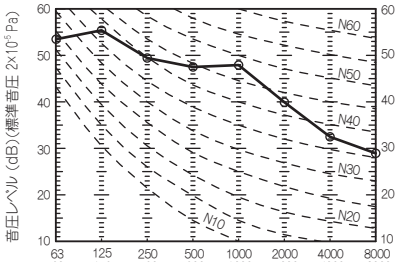
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP1126S



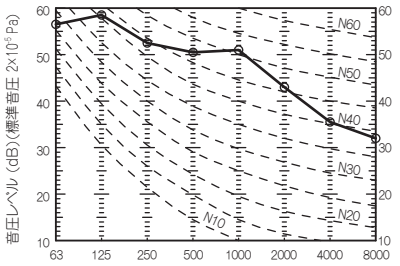
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP1606S（P140設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

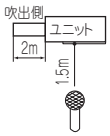
FDRZP1606S（P160設定）



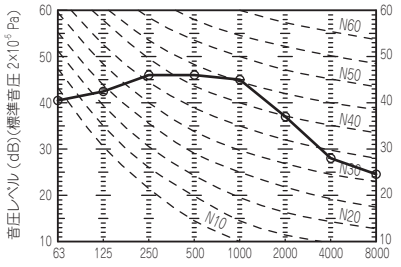
注 暖房時もほぼ同じです。

(iii) 天井リターン仕様

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方1.5m）

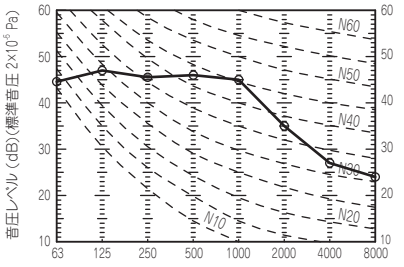


FDRZP566S



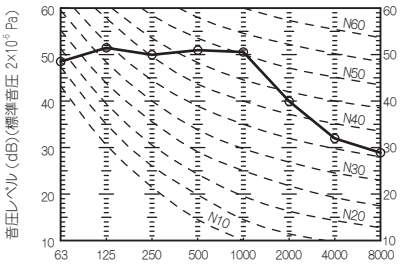
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP636S



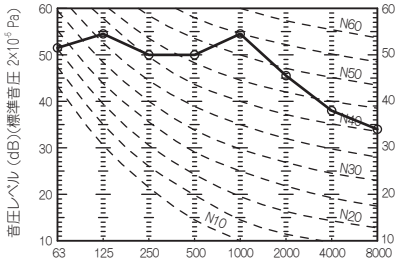
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP806S



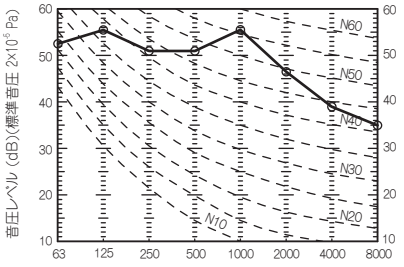
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP1126S



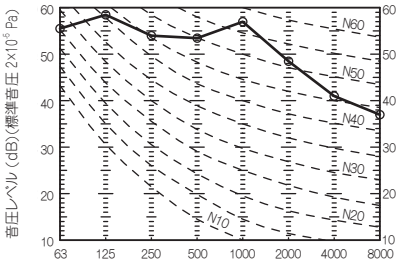
注 暖房時もほぼ同じです。

FDRZP1606S（P140設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

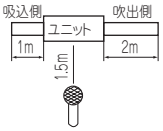
FDRZP1606S（P160設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

(f) 高静圧ダクト形 (FDU)

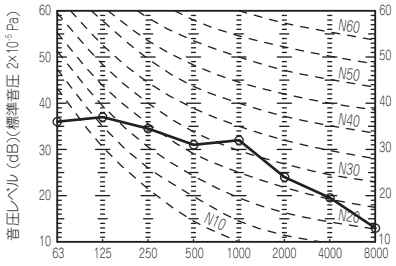
（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方1.5m）



(i) 標準仕様

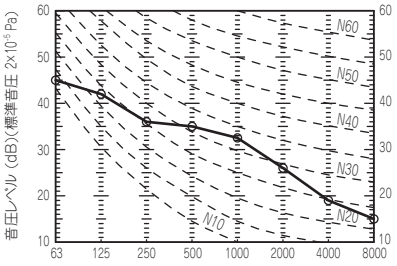
(ii) 丸ダクト仕様

FDUZP566S



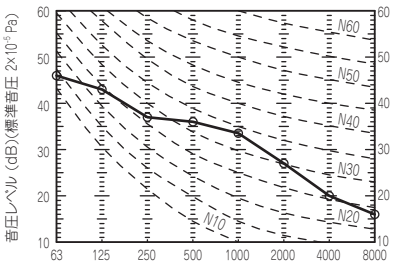
注 暖房時もほぼ同じです。

FDUZP636S



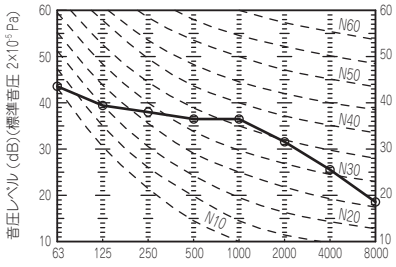
注 暖房時もほぼ同じです。

FDUZP806S



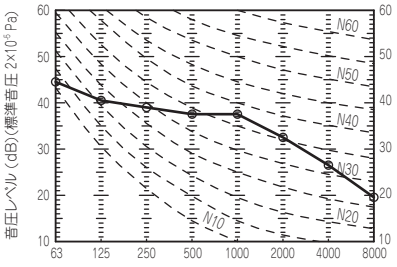
注 暖房時もほぼ同じです。

FDUZP1126S



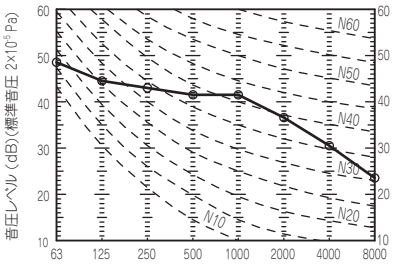
注 暖房時もほぼ同じです。

FDUZP1606S（P140設定）



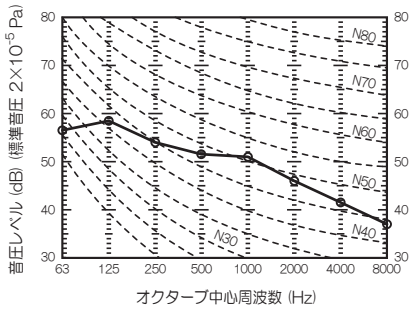
注 暖房時もほぼ同じです。

FDUZP1606S（P160設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

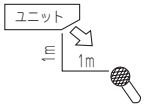
FDUZP2245A, 2805A



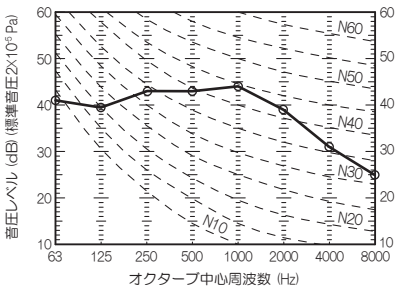
注 暖房時もほぼ同じです。

(g) 天吊形 (FDE)

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット前方 1m, 下方 1m）

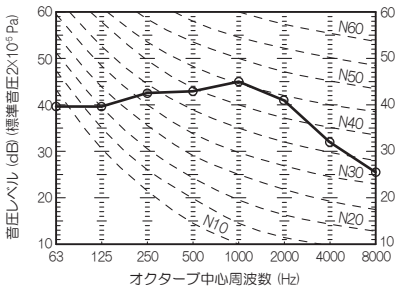


FDEZP566S



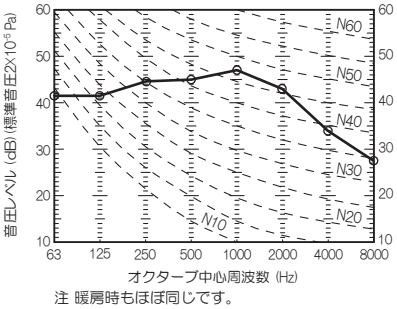
注 暖房時もほぼ同じです。

FDEZP636S



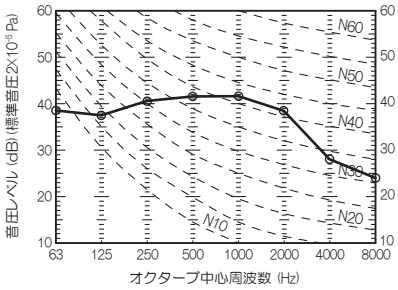
注 暖房時もほぼ同じです。

FDEZP806S



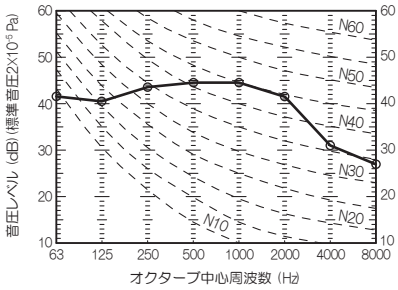
注 暖房時もほぼ同じです。

FDEZP1606S（P112 設定）



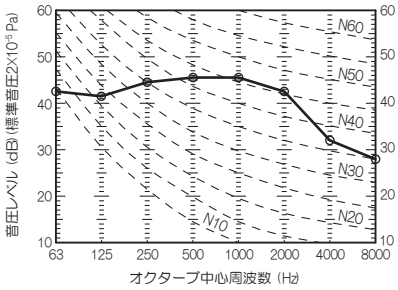
注 暖房時もほぼ同じです。

FDEZP1606S（P140 設定）



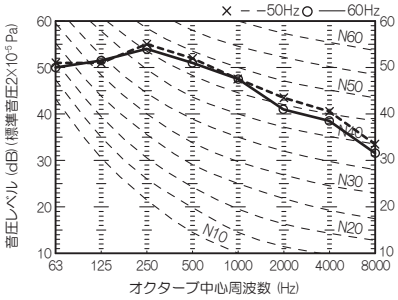
注 暖房時もほぼ同じです。

FDEZP1606S（P160 設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

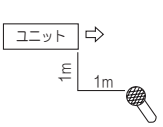
FDEZP2245A, FDEZP2805A



注 暖房時もほぼ同じです。

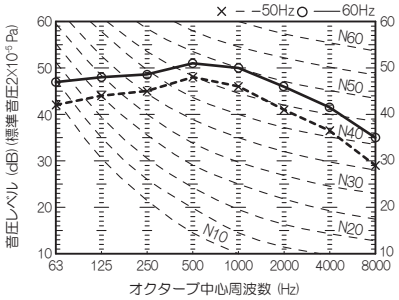
(h) 天吊耐油形（FDES）

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット前方 1m, 下方 1m）

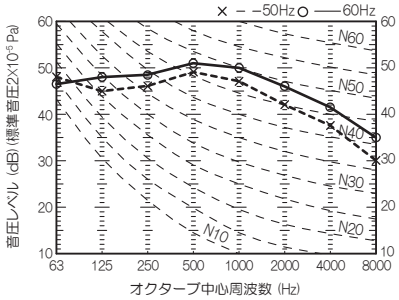


FDESZP806

冷房

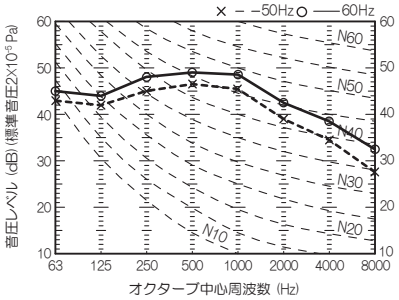


暖房

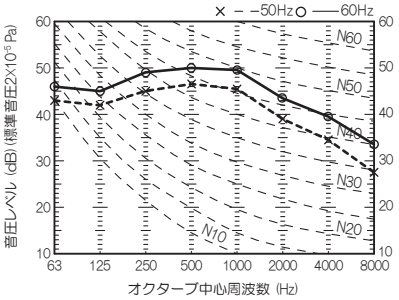


FDESZP1406

冷房

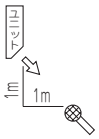


暖房

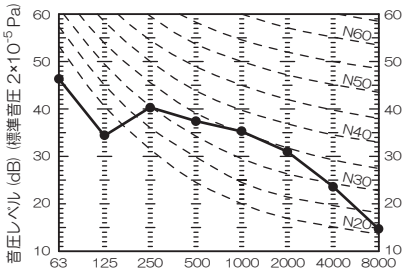


(i) 壁掛形 (FDK)

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット前方 1m, 下方 1m）

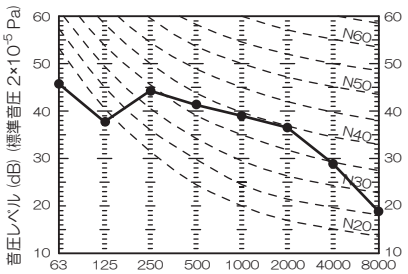


FDKZP566S（P40, P45 設定）



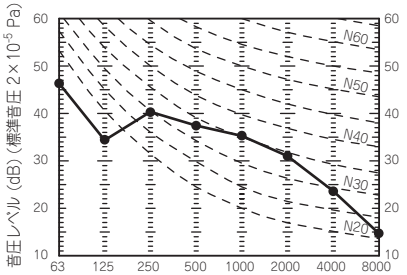
注 暖房時もほぼ同じです。

FDKZP566S（P50, P56 設定）



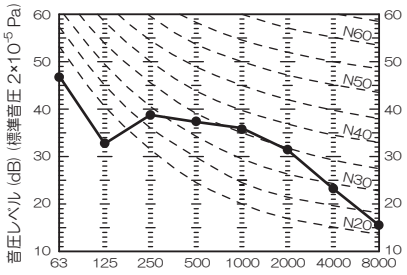
注 暖房時もほぼ同じです。

FDKZP636S



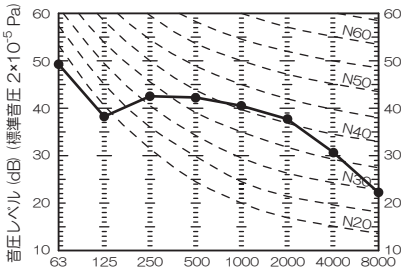
注 暖房時もほぼ同じです。

FDKZP1126S（P80 設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

FDKZP1126S（P112 設定）



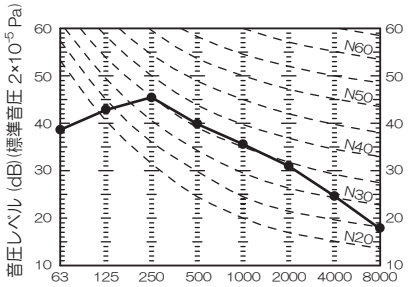
注 暖房時もほぼ同じです。

(j) 床置形 (FDF)

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：正面, 前方, 高さ各 1m）

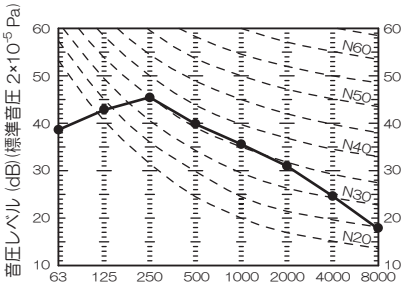


FDFZP635SB（P50 設定）



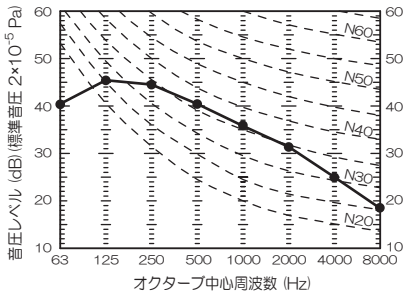
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDFZP635SB（P63 設定）



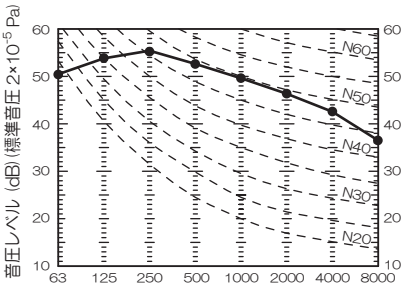
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDFZP805SB



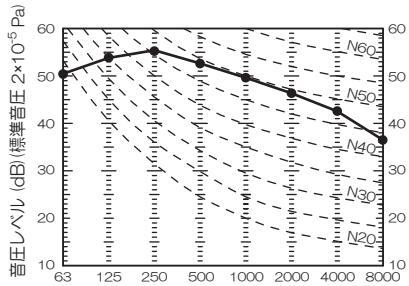
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDFZP1605SB（P112 設定）



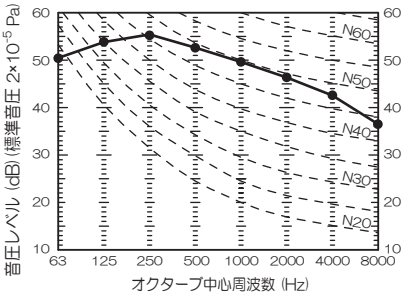
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDFZP1605SB（P140 設定）



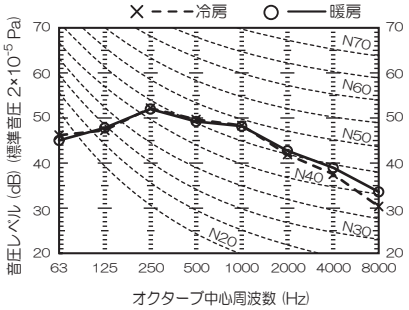
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDFZP1605SB（P160 設定）

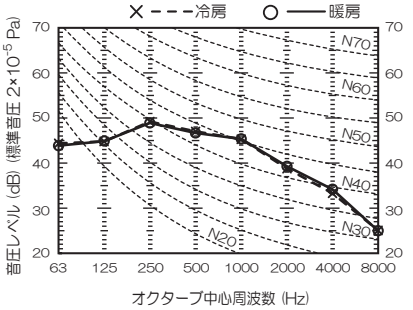


注(1) 暖房時もほぼ同じです。

FDFZP2245,2805(50Hz)



FDFZP2245,2805(60Hz)

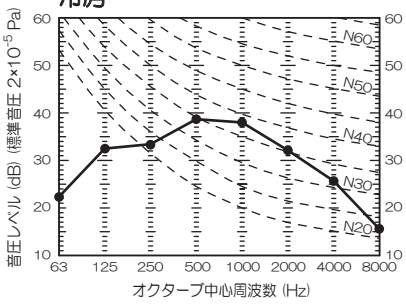


(2) 室外ユニット (FDC) (測定場所：無響室 マイク位置：本体前方 1m・高さ 1m)

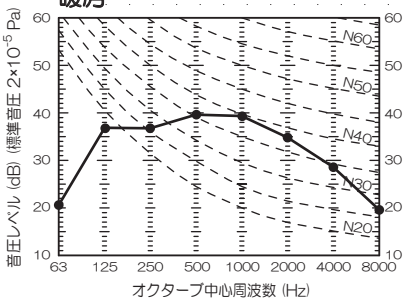
(a) エクシードハイパーシリーズ

FDCZP406HK,406H

冷房

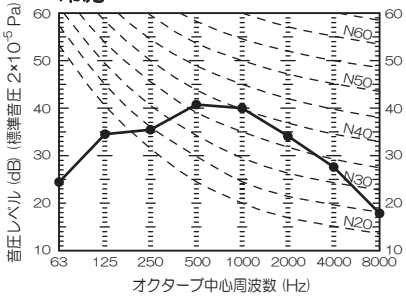


暖房

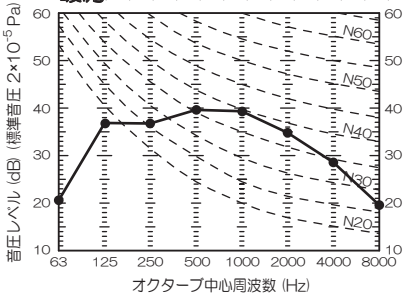


FDCZP456HK,456H

冷房

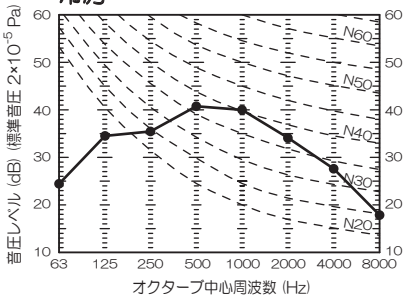


暖房

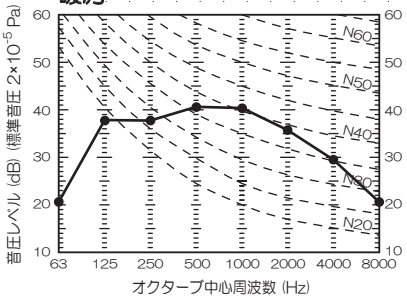


FDCZP506HK,506H

冷房

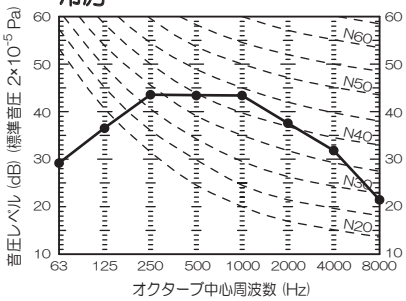


暖房

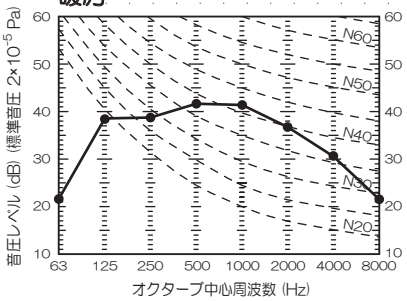


FDCZP566HK,566H

冷房

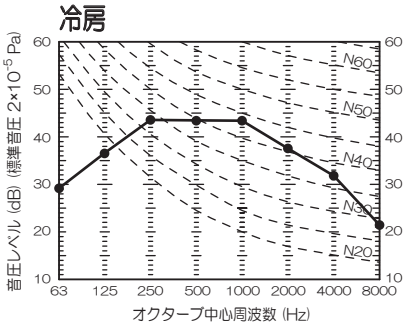


暖房

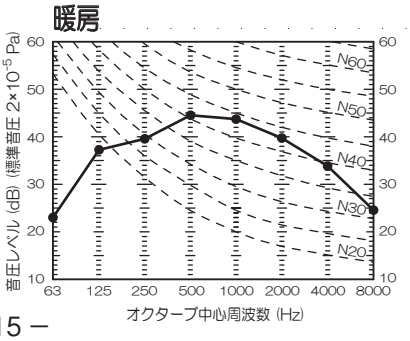


FDCZP636HK,636H

冷房

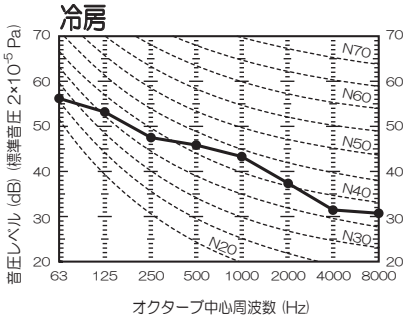


暖房

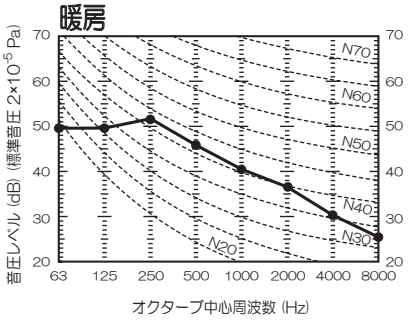


FDCZP806H, 806HK

冷房

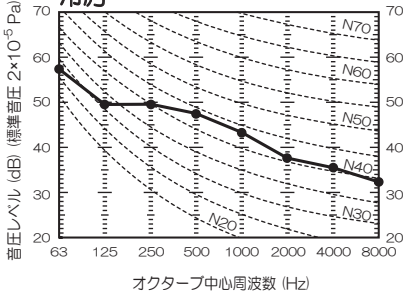


暖房

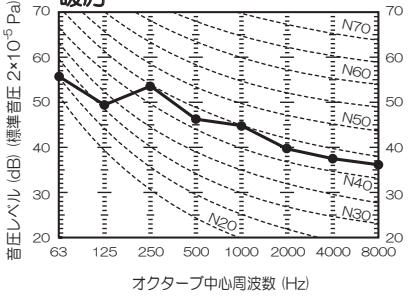


FDCZP1126H

冷房

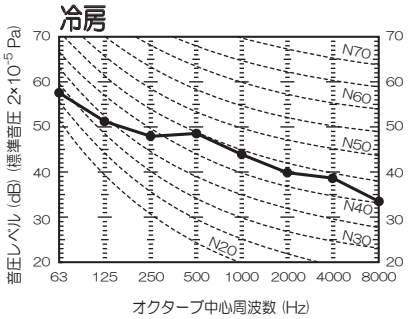


暖房

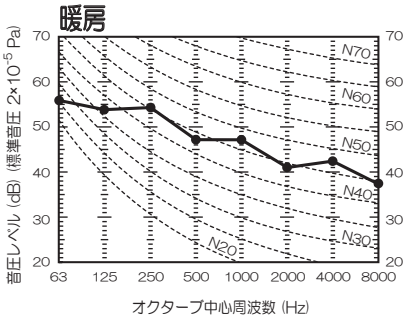


FDCZP1406H

冷房

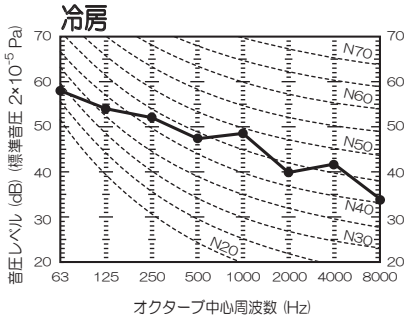


暖房

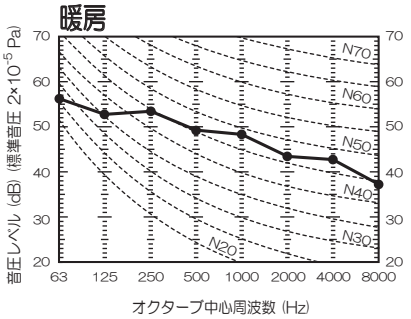


FDCZP1606H

冷房

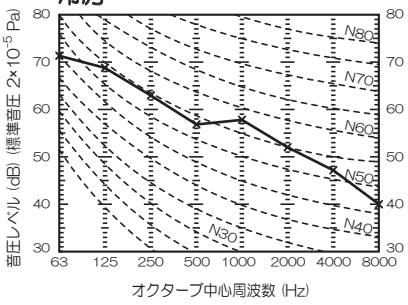


暖房

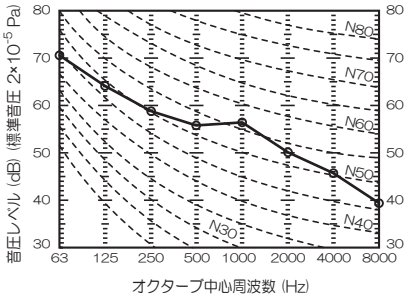


FDCZP2246H

冷房

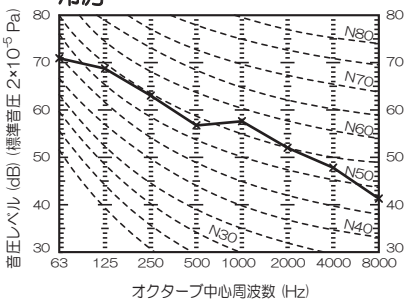


暖房

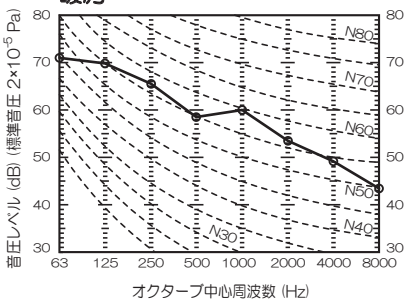


FDCZP2806H

冷房



暖房

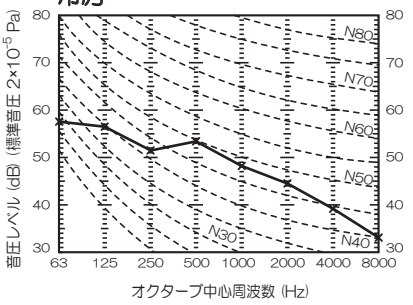


(b) ハイパーインバータシリーズ

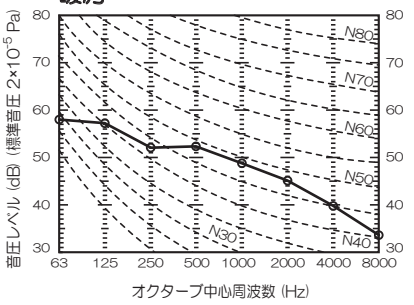
FDCVP406H, 406HK, 456H, 456HK, 506H, 506HK, 566H, 566HK, 636H, 636HK はエクシードハイパーシリーズと同値となります。

FDCVP806HK, 806H

冷房

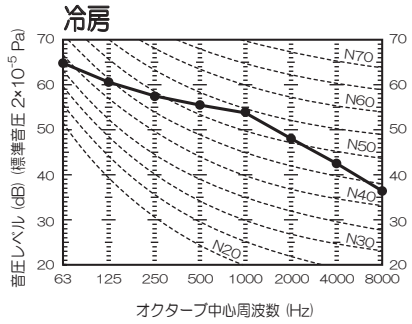


暖房

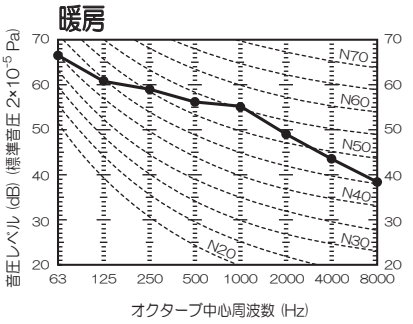


FDCVP1126H

冷房

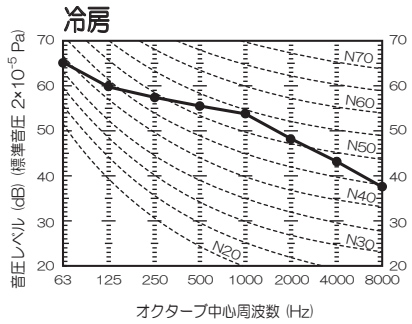


暖房

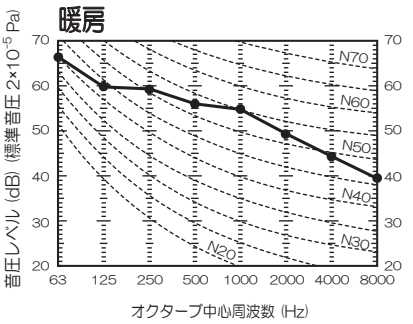


FDCVP1406H

冷房

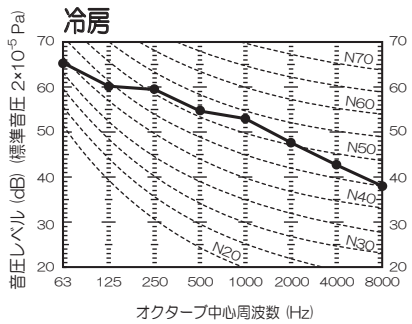


暖房

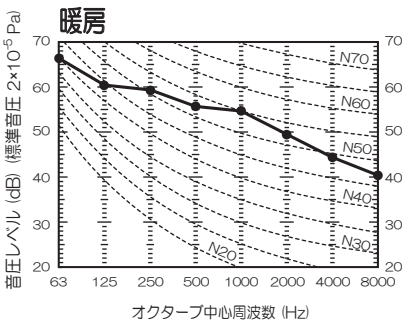


FDCVP1606H

冷房

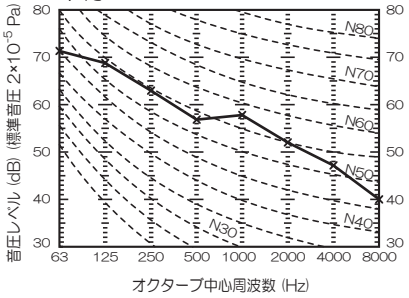


暖房

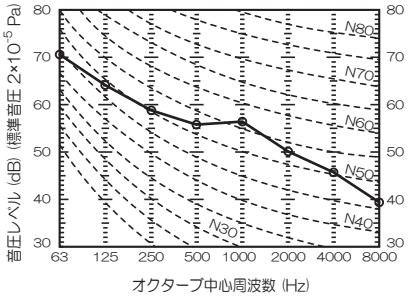


FDCVP2246H

冷房

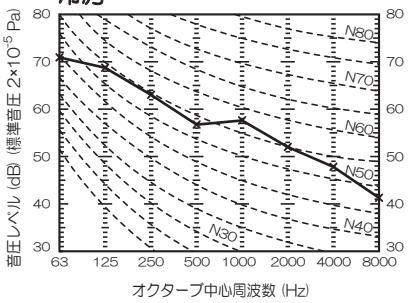


暖房

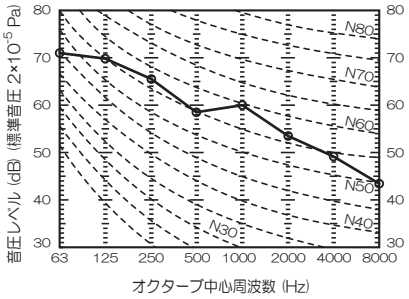


FDCVP2806H

冷房



暖房



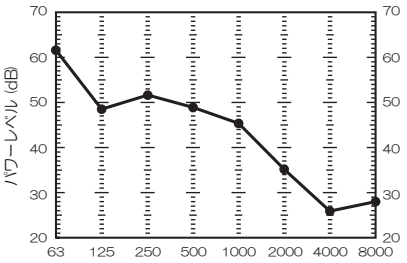
⑻ 暖ガンハイパーインバータシリーズ

(1) 室内ユニット

ⓐ 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

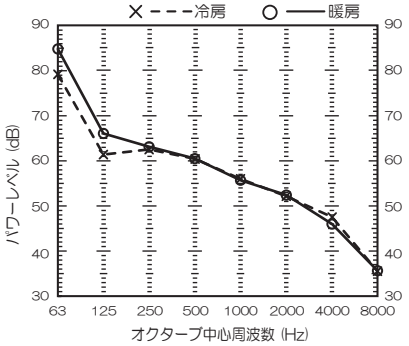
(i) パワーレベル

FDTZP716SA（P40, P56設定）

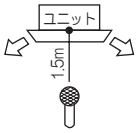


注 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP1606S（P80, P112設定）

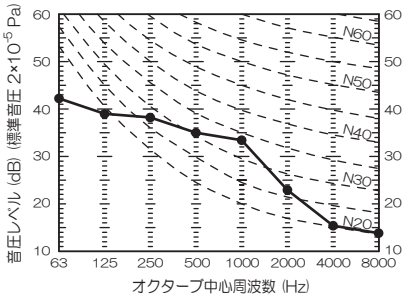


（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方 1.5m）



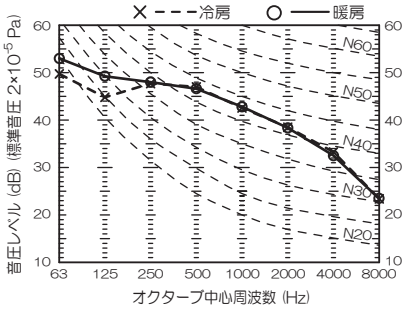
(ii) 音圧レベル

FDTZP716SA（P40, P56設定）



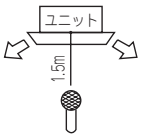
注 暖房時もほぼ同じです。

FDTZP1606S（P80, P112設定）

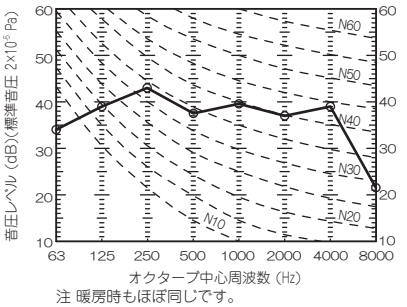


ⓑ 天井埋込形 2 方向吹出し（FDTW）

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方 1.5m）

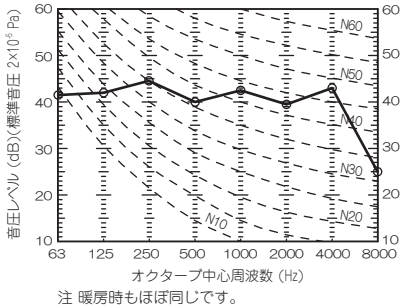


FDTWZP806S（P40, P56設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

FDTWZP1406S（P80, P112設定）

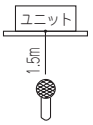


注 暖房時もほぼ同じです。

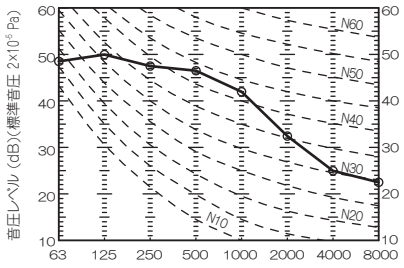
(c) 天井カセテリア (FDR)

(i) サイレントパネル仕様

(測定条件：冷房・暖房
マイク位置：吸込パネル中央下方 1.5m)

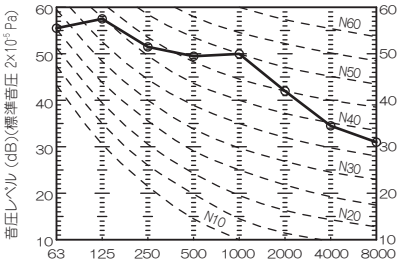


FDRZP806S（P40, P63設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

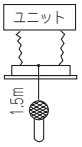
FDRZP1606S（P80, P112設定）



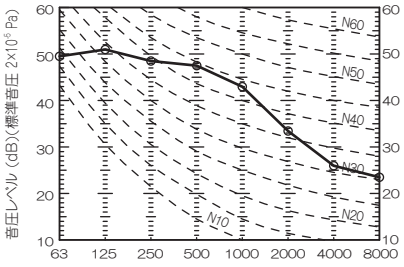
注 暖房時もほぼ同じです。

(ii) キャンバスパネル仕様

(測定条件：冷房・暖房
マイク位置：吸込パネル中央下方 1.5m)

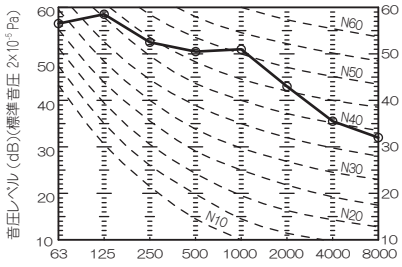


FDRZP806S（P40, P63設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

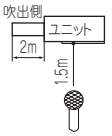
FDRZP1606S（P80, P112設定）



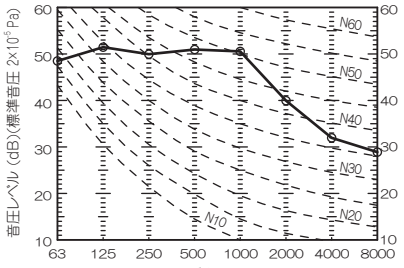
注 暖房時もほぼ同じです。

(iii) 天井リターン仕様

(測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方 1.5m)

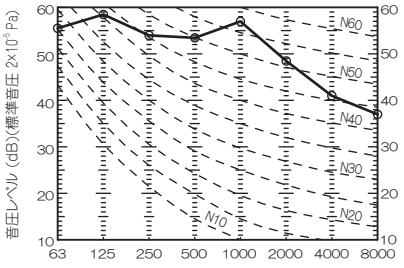


FDRZP806S（P40, P63設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

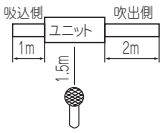
FDRZP1606S（P80, P112設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

(d) 高静圧ダクト形 (FDU)

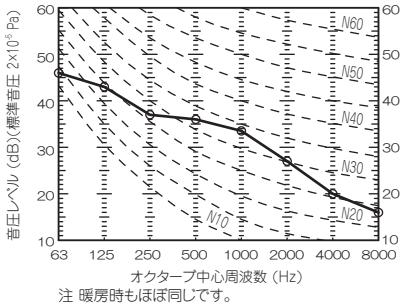
(測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット中央下方 1.5m)



(i) 標準仕様

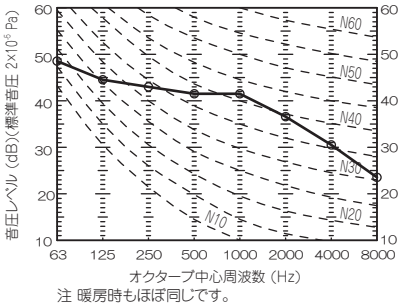
(ii) 丸ダクト仕様

FDUZP806S（P40, P63設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

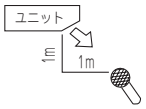
FDUZP1606S（P80, P112設定）



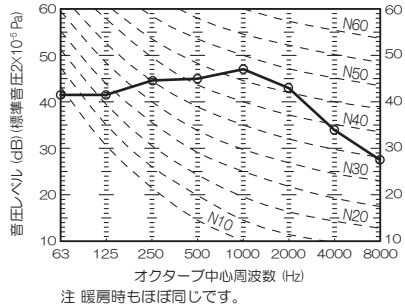
注 暖房時もほぼ同じです。

(e) 天吊形 (FDE)

(測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット前方 1m, 下方 1m)

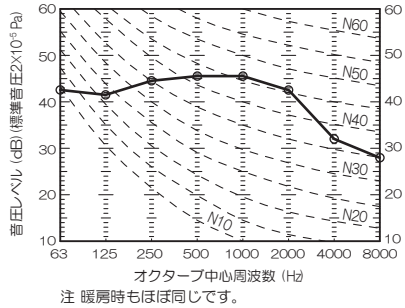


FDEZP806S（P40, P56 設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

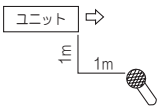
FDEZP1606S（P80, P112 設定）



注 暖房時もほぼ同じです。

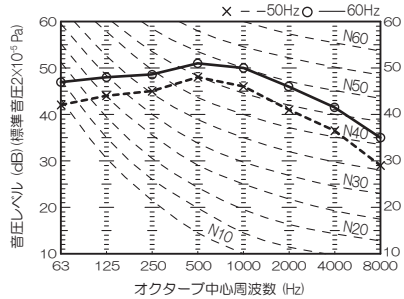
(f) 天吊耐油形（FDES）

(測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット前方 1m, 下方 1m)

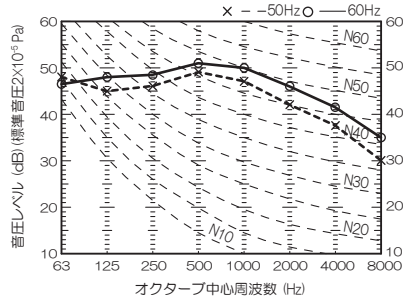


FDESZP806

冷房

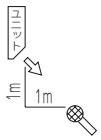


暖房

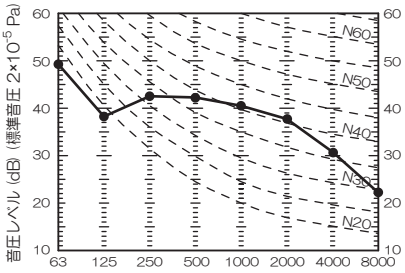


(g) 壁掛形 (FDK)

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：ユニット前方 1m, 下方 1m）



FDKZP1126S (P40, P56, P80, P112 設定)



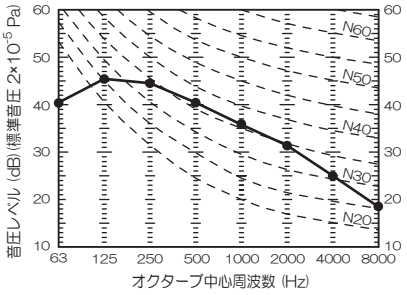
注 暖房時もほぼ同じです。

(h) 床置形 (FDF)

（測定条件：冷房・暖房　測定場所：無響室
マイク位置：正面, 前方, 高さ各 1m）

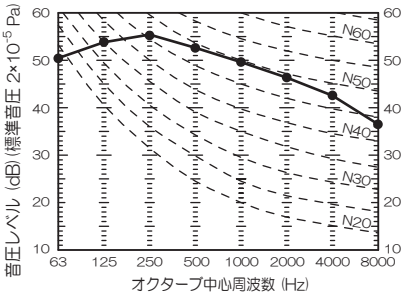


FDFZP805SB (P40, P56 設定)



注 暖房時もほぼ同じです。

FDFZP1605SB (P80, P112 設定)



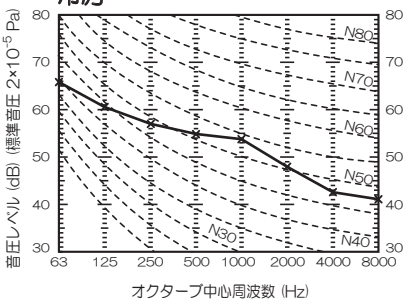
注 暖房時もほぼ同じです。

(2) 室外ユニット (FDC)

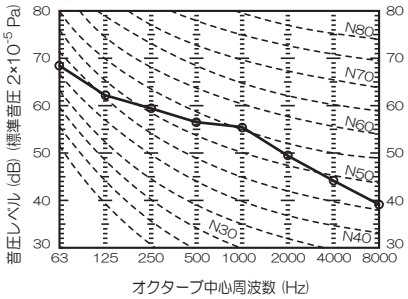
(測定場所：無響室
マイク位置：本体前方 1m・高さ 1m)

FDCKP806H

冷房

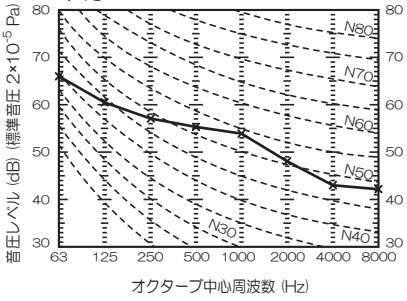


暖房

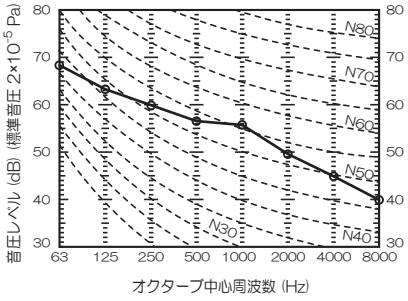


FDCKP1126H

冷房



暖房



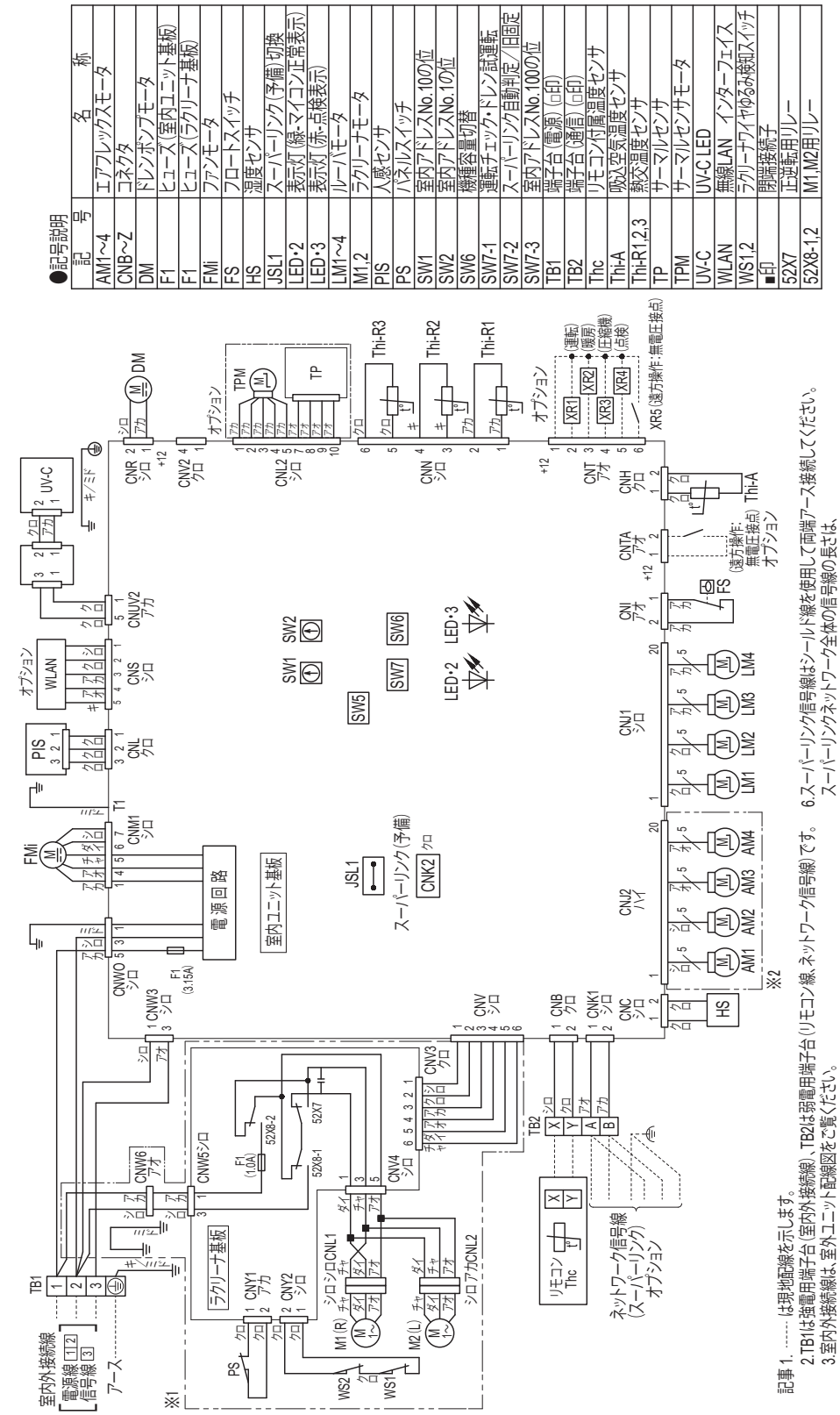
1.9 電気配線図

(1) 室内ユニット

(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

FDTZP636SA，716SA，806SA，1606SA

注 本図はエアコン本体側部分について示しています。お掃除パネル部については、次ページをご覧ください。

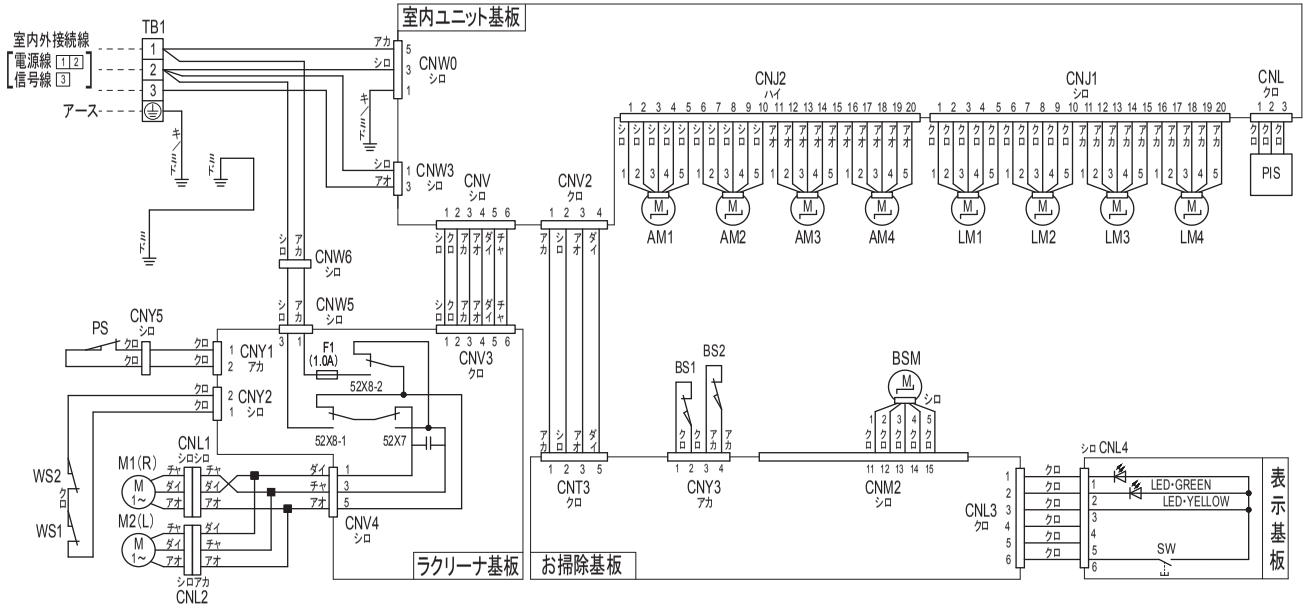


記事 1. ------ は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台（室内外接続線）、TB2は弱電用端子台（リモコン線、ネットワーク信号線）です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数（親・子）使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm² × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.標準パネルまたはエアフレックスパネルの場合は、※1のラクリーナ基板および配線等はありません。
9.標準パネルの場合は、※2の配線等はありません。

PJF000Z882
PJF000Z883
PJF000Z884

FDTZP636SA，716SA，806SA，1606SA

注　本図はお掃除パネル部分について示しています。エアコン本体側部分については、前ページをご覧ください。

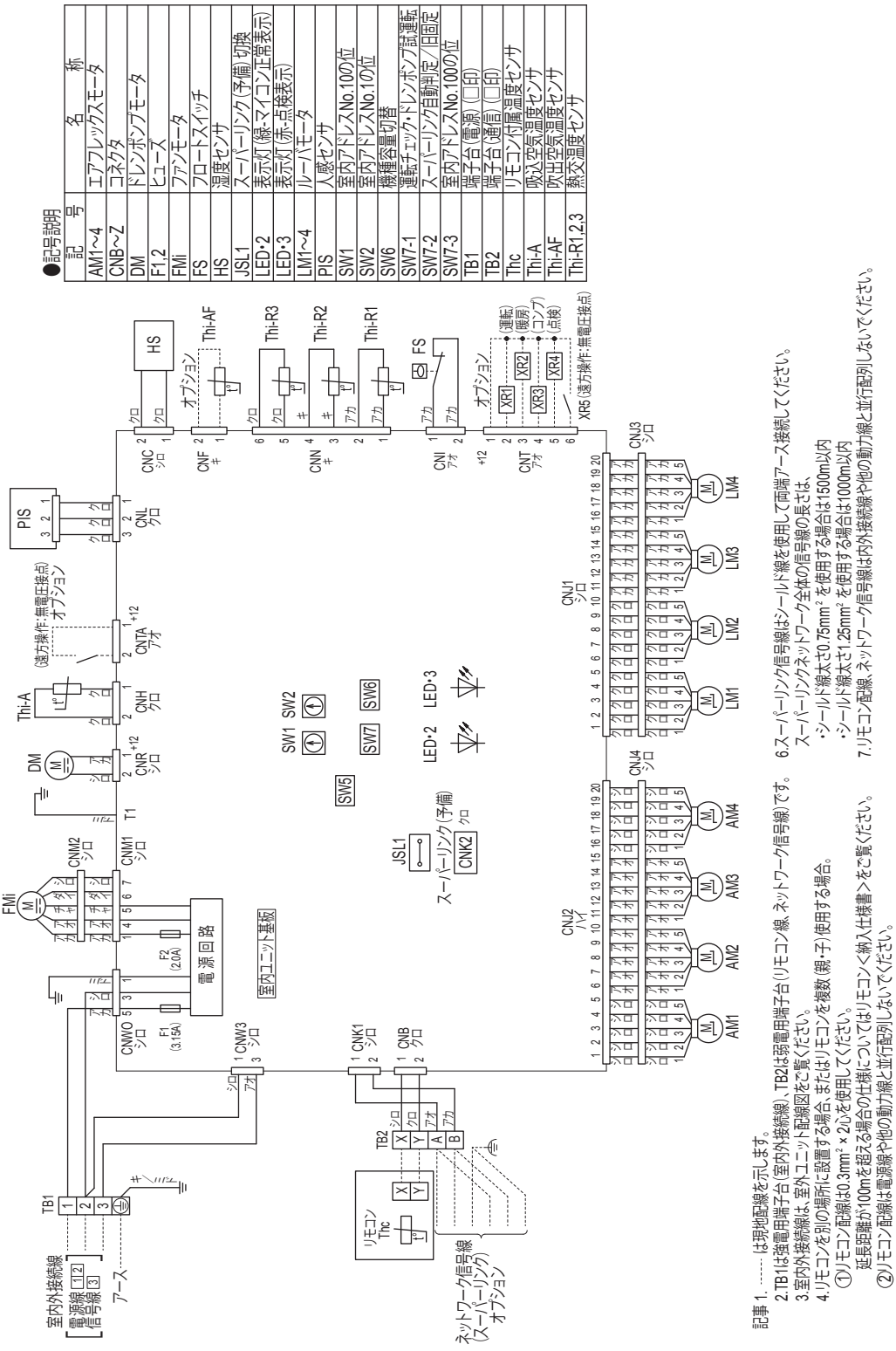


●記号説明

記号	名称
AM1~4	エアフレックスモータ
BS1,2	ブラシ位置検知スイッチ
BSM	シャフト駆動モータ
CNA~Z	コネクタ
F1	ヒューズ（ラクリーナ基板）
LED･GREEN	表示灯（緑）右表参照
LED･YELLOW	表示灯（黄）右表参照
LM1~4	ルーバモータ
M1,2	ラクリーナモータ
PIS	人感センサ
PS	パネルスイッチ
SW	バックアップスイッチ
TB1	端子台（電源）（口印）
WS1,2	ラクリーナワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉端接続子
52X7	正逆転用リレー
52X8-1,2	M1,M2用リレー

パネル表示部	内容
緑の点灯	お掃除運転中
黄の点灯	ダスト回収表示
緑の1回点滅	ブラシ移動不良
緑の2回点滅	ブラシ移動不良
緑の3回点滅	位置検知スイッチ異常
緑の4回点滅	位置検知スイッチ異常
緑の5回点滅	吸込グリル収納不良
緑の6回点滅	位置検知スイッチ同時ON異常

(b) 天井埋込形小容量 4 方向吹出し（FDTC）



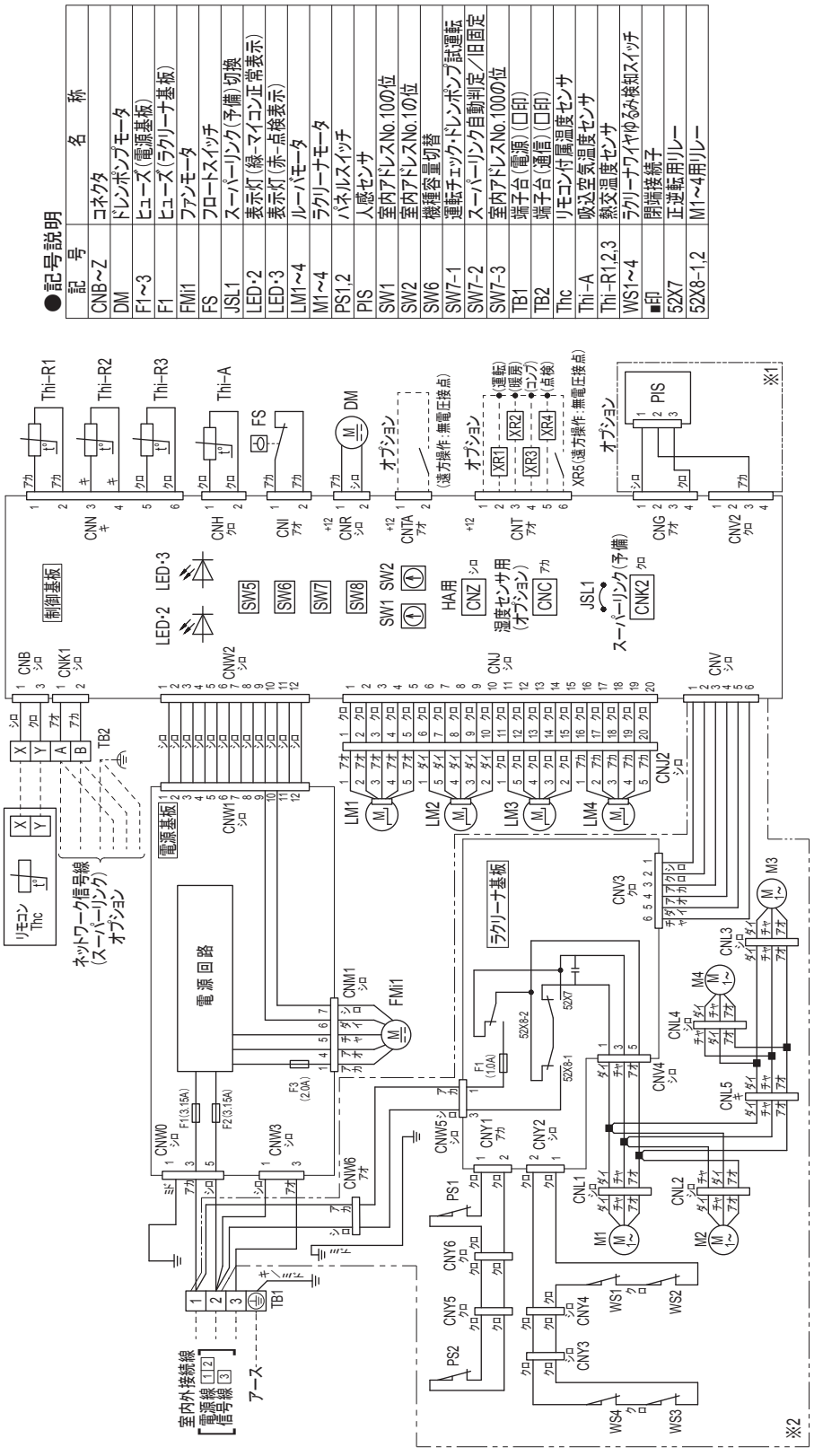
記事 1. ------ は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親･子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm² × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
･シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
･シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。

FDTCZP566S

PJF000Z867

(c) 天井埋込形 2 方向吹出し（FDTW）

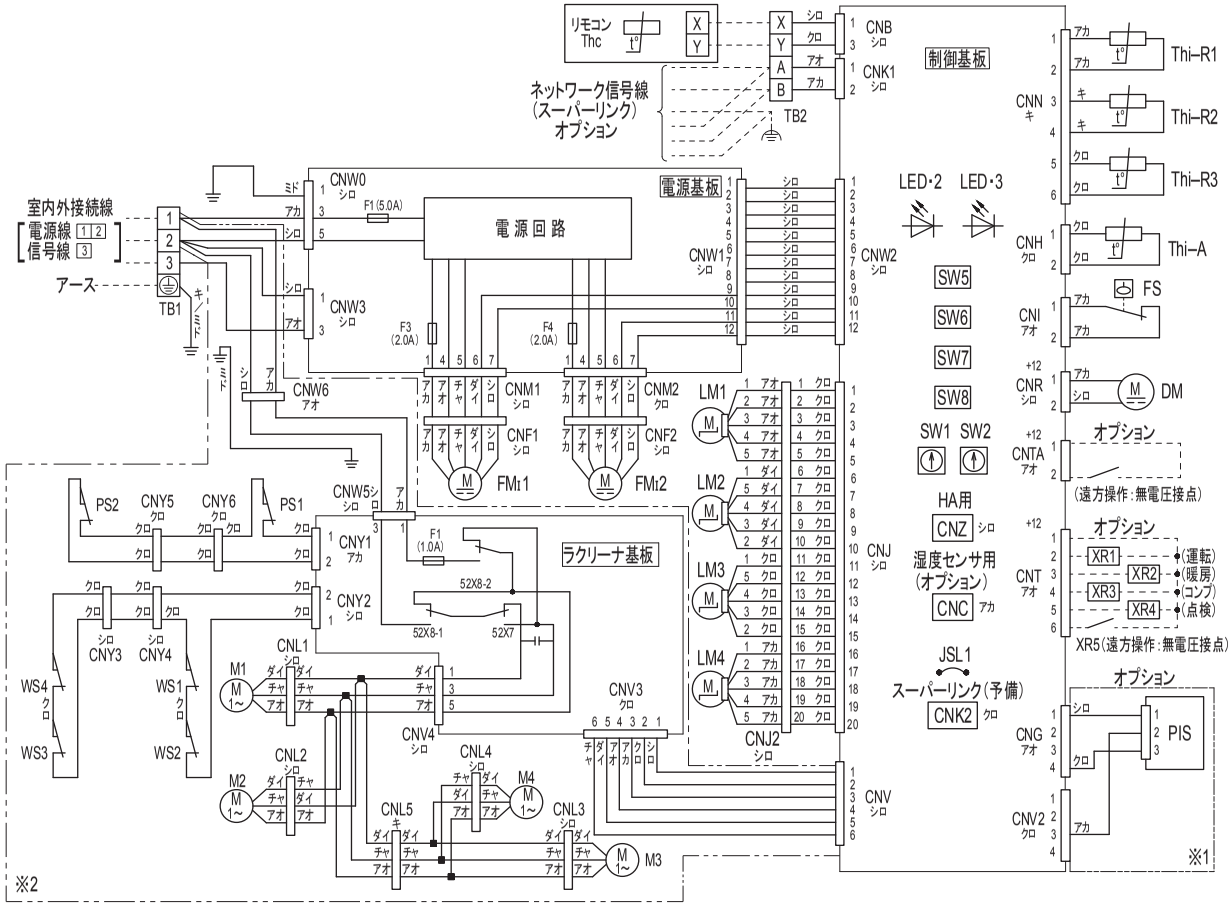
FDTWZP566S，636S，806S



記事 1. —— は現地配線を示します。
2. TB1は強電用端子台（室内外接続線）、TB2は弱電用端子台（リモコン線、ネットワーク信号線）です。
3. 室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4. リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数（親・子）使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン＜納入仕様書＞をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5. スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6. スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内
7. リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8. 2点鎖線内（※1印）の回路は人感センサ（オプション）無しの場合配線されていません。
9. ラクリーナパネルを使用しない場合は※2箇所のパネル基板および配線はありません。

PJB001Z917
PJB001Z919

FDTWZP1406S，1606S



●記号説明

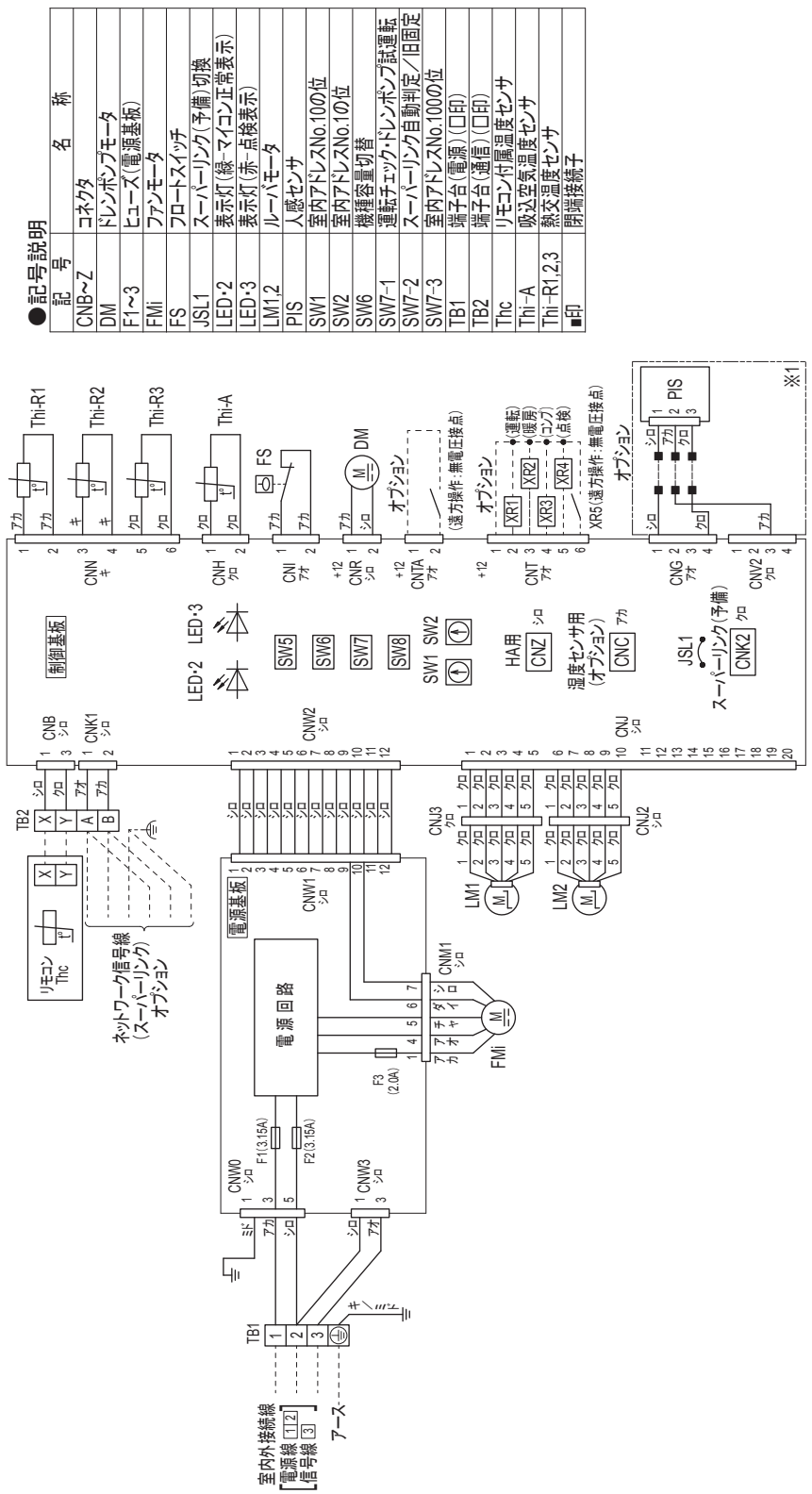
記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3,4	ヒューズ(電源基板)
F1	ヒューズ(ラクリーナ基板)
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑–マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤–点検表示)
LM1～4	ルーバモータ
M1～4	ラクリーナモータ
PS1,2	パネルスイッチ
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7–1	運転チェック・ドレンポンプ試運転
SW7–2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7–3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(口印)
TB2	端子台(通信)(口印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi–A	吸込空気温度センサ
Thi–R1,2,3	熱交温度センサ
WS1～4	ラクリーナワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉端接続子
52X7	正逆転用リレー
52X8–1,2	M1～4用リレー

記事 1. - - - は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm^2 × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm^2 を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm^2 を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。
9.ラクリーナパネルを使用しない場合は※2箇所のパネル基板および配線はありません。

PJB001Z918
PJB001Z920

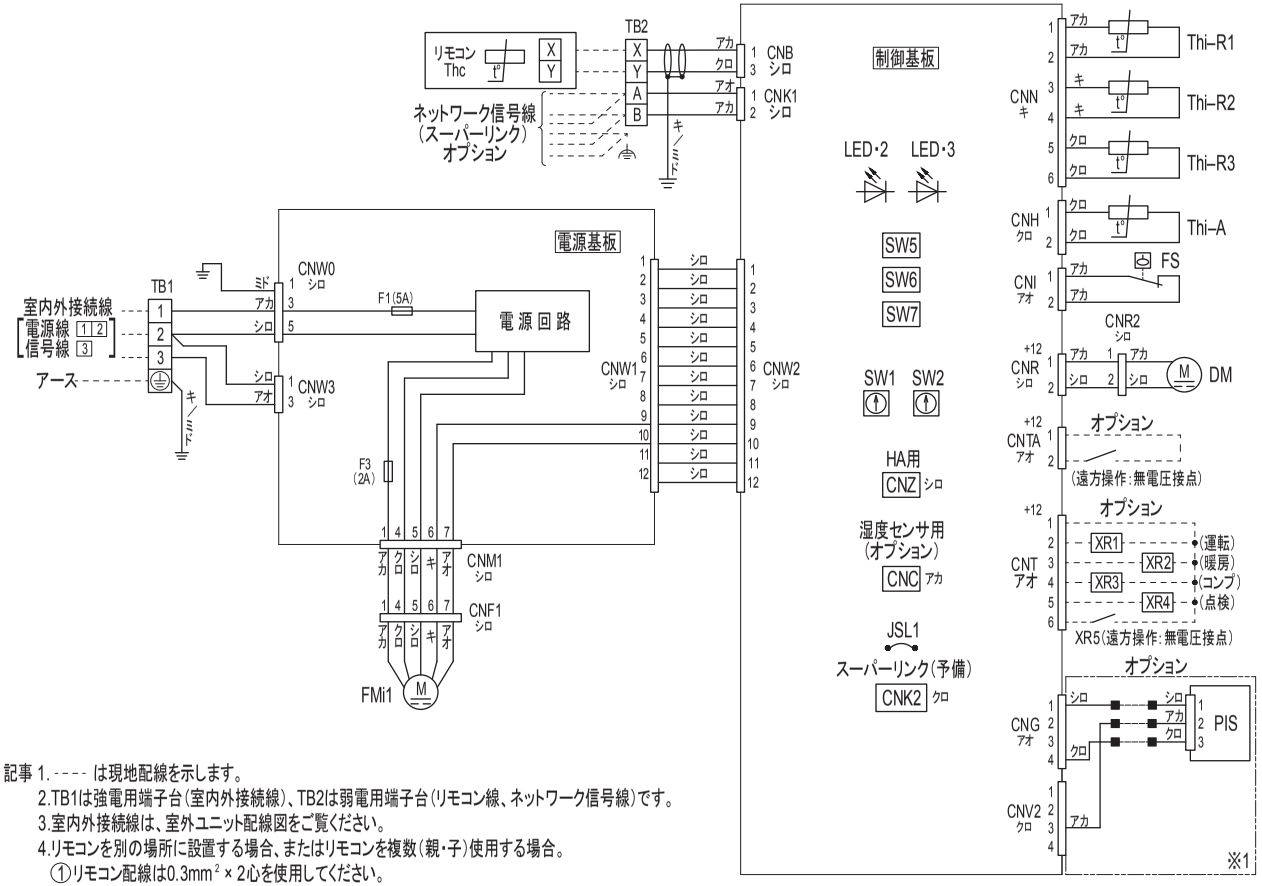
(d) 天井埋込形 1 方向吹出し(FDTS)

FDTSZP506S, 636S, 806S



記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm² × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

PJC001Z531

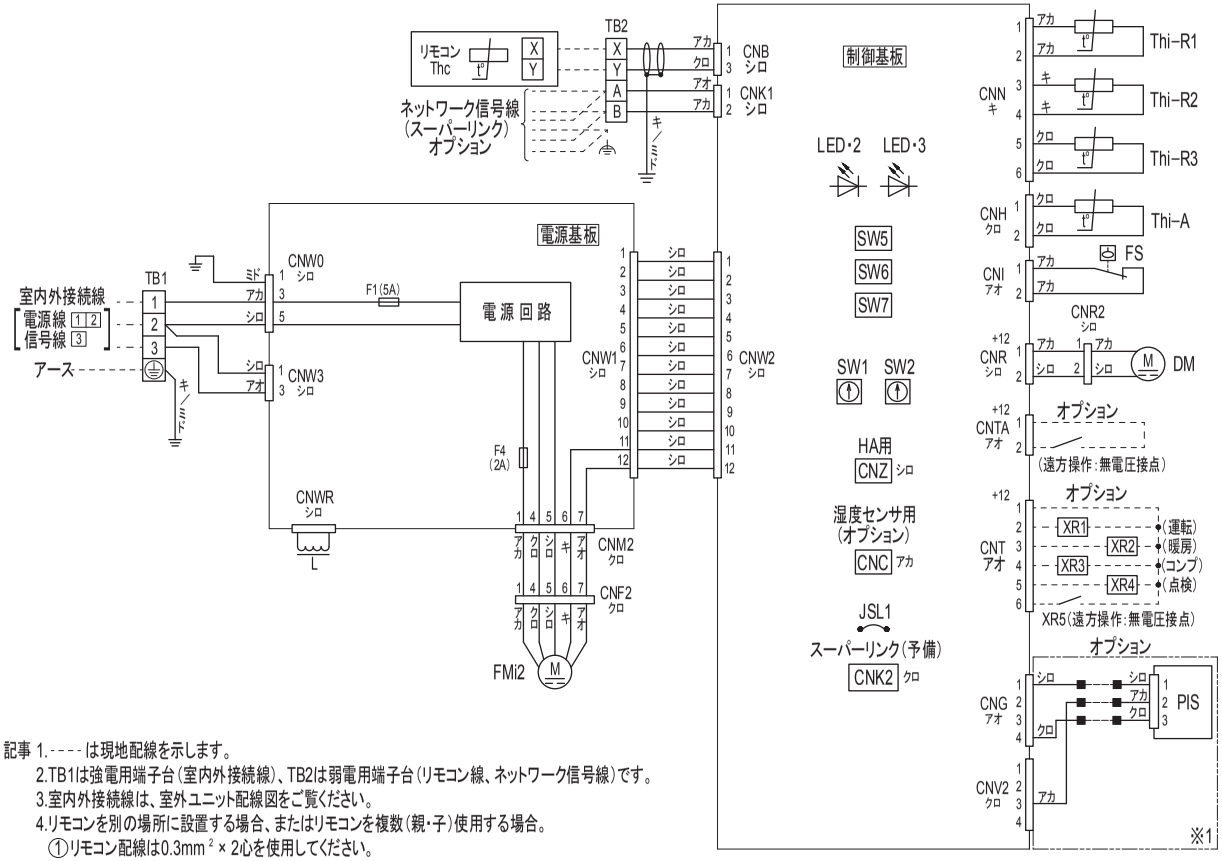


●記号説明

記　号	名　称
CNB~Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3	ヒューズ(電源基板)
FMi1	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(口印)
TB2	端子台(通信)(口印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

記事 1. ---- は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm^2 × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm^2 を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm^2 を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

FDRZP636S，806S



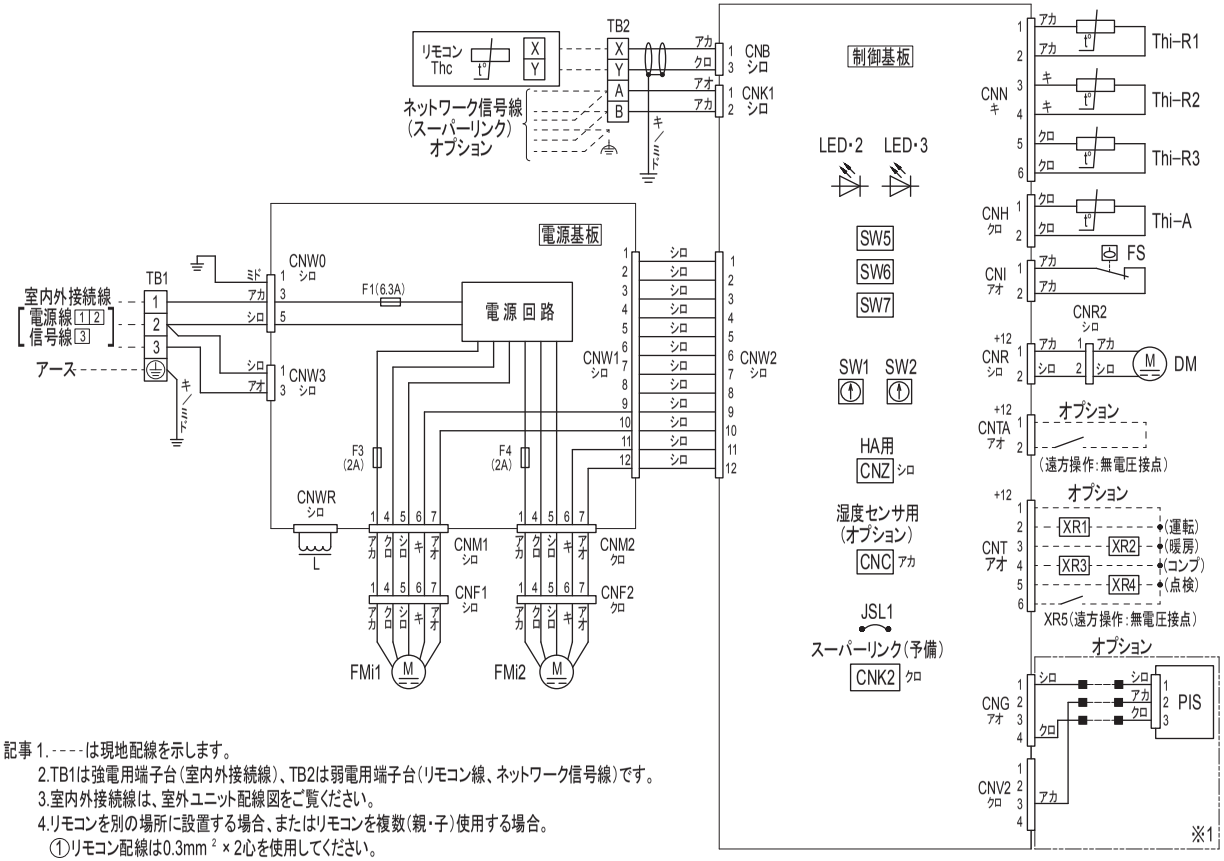
記事 1.- - - - は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台（室内外接続線）、TB2は弱電用端子台（リモコン線、ネットワーク信号線）です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数（親・子）使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm^2 × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
･シールド線太さ0.75mm^{2}を使用する場合は1500m以内
･シールド線太さ1.25mm^{2}を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内（※1印）の回路は人感センサ（オプション）無しの場合配線されていません。

●記号説明

記　号	名　称
CNB~Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,4	ヒューズ（電源基板）
FMi2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク（予備）切換
L	リアクタ
LED･2	表示灯（緑-マイコン正常表示）
LED･3	表示灯（赤-点検表示）
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック･ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台（電源）（口印）
TB2	端子台（通信）（口印）
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

PJG000Z864

FDRZP1126S，1606S



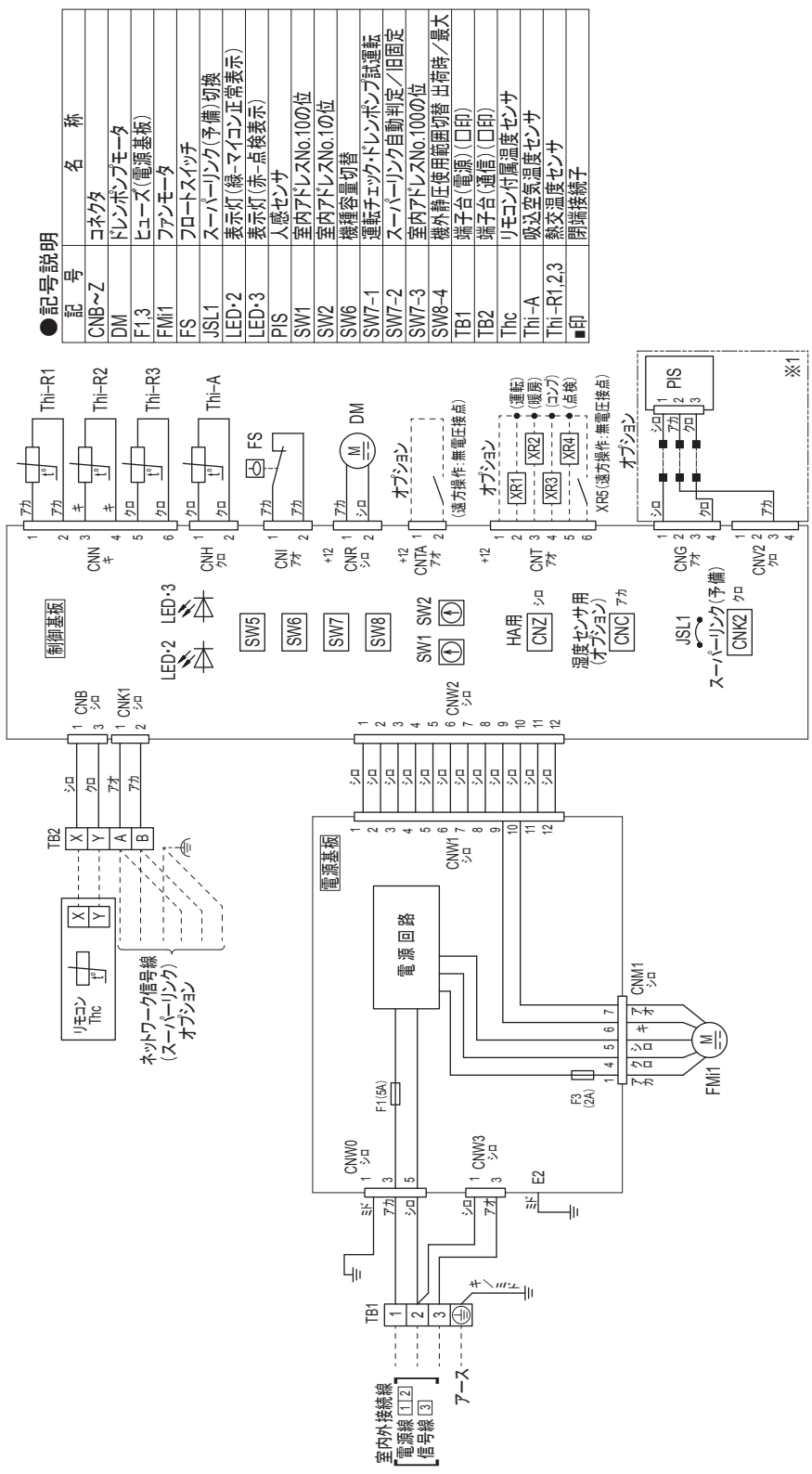
記事 1.----は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm^2×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm^2 を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm^2 を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

●記号説明

記　号	名　称
CNB~Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3,4	ヒューズ(電源基板)
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(口印)
TB2	端子台(通信)(口印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

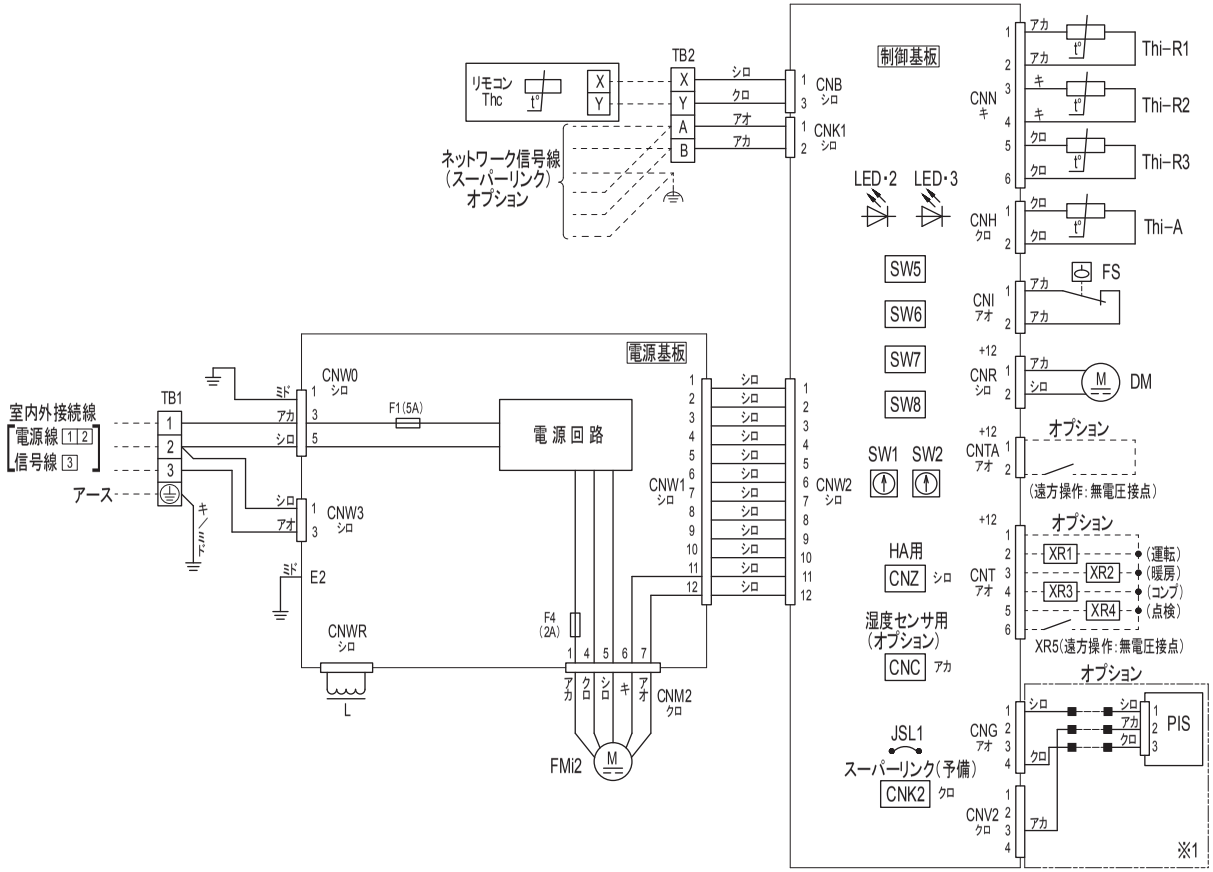
PJG000Z865

(f) 高静圧ダクト形(FDU)



記事 1. - - - - は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線・ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様については<リモコン・納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

PJG000Z867

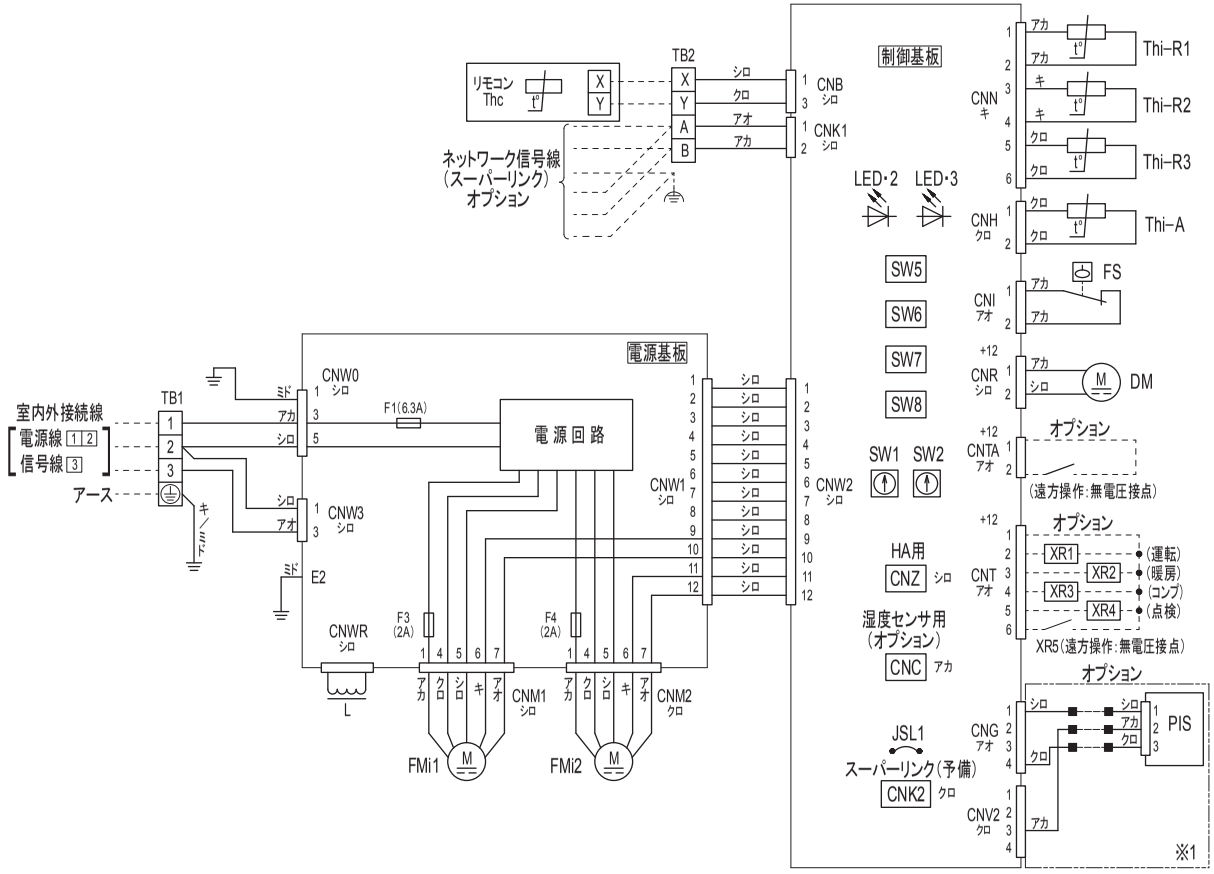


●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,4	ヒューズ（電源基板）
FMi2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク（予備）切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯（緑－マイコン正常表示）
LED・3	表示灯（赤－点検表示）
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
SW8-4	機外静圧使用範囲切替 出荷時／最大
TB1	端子台（電源）（口印）
TB2	端子台（通信）（口印）
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

記事 1. ----は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台（室内外接続線）、TB2は弱電用端子台（リモコン線、ネットワーク信号線）です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数（親・子）使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm² × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン＜納入仕様書＞をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内（※1印）の回路は人感センサ（オプション）無しの場合配線されていません。

FDUZP1126S，1606S

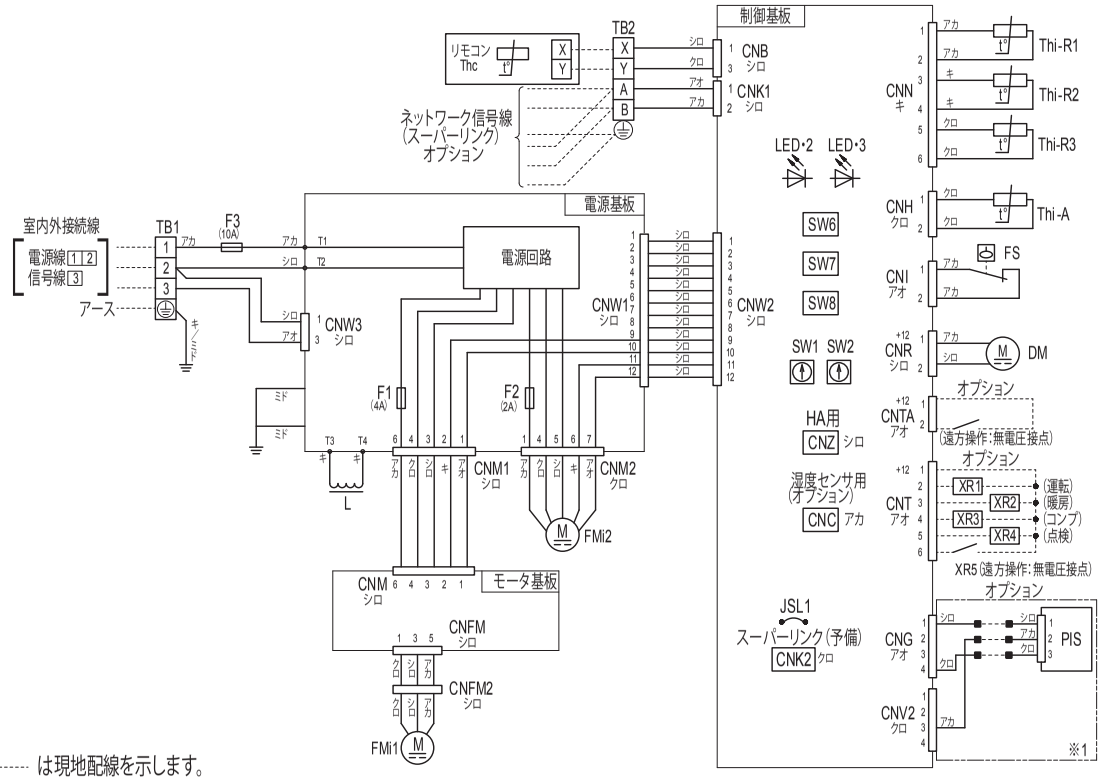


●記号説明

記　号	名　称
CNB~Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3,4	ヒューズ(電源基板)
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
SW8-4	機外静圧使用範囲切替 出荷時／最大
TB1	端子台(電源)(口印)
TB2	端子台(通信)(口印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

記事 1.- - - - は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm^2×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm^{2}を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm^{2}を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

FDUZP2245A，2805A



●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1～3	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
SW8-4	機外静圧使用範囲切替 出荷時／最大
TB1	端子台(電源) (□印)
TB2	端子台(通信) (□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

記事 1. ------ は現地配線を示します。

2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。

3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。

4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。

①リモコン配線は0.3mm² ×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。

②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。

6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内

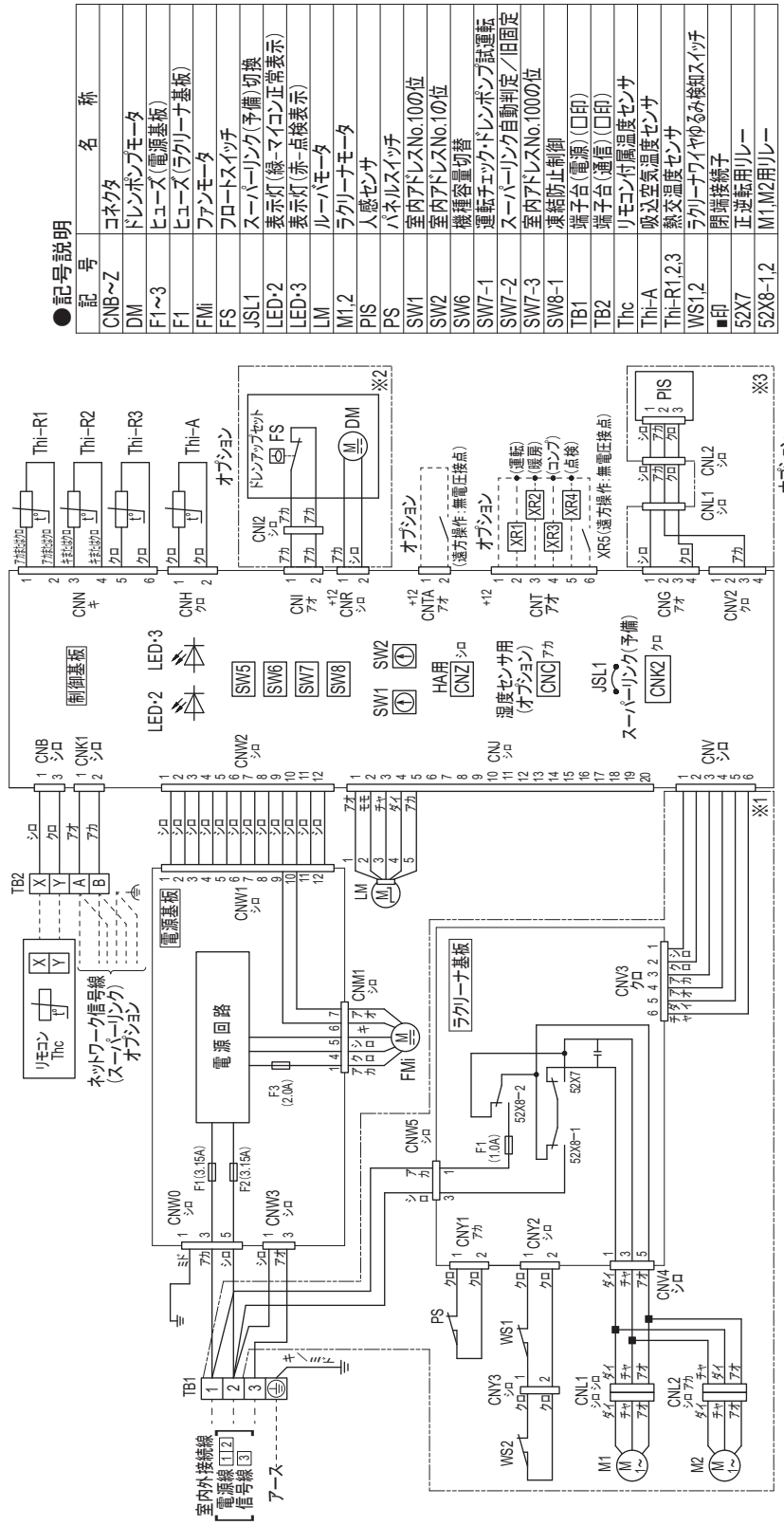
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。

8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

PJG000Z807

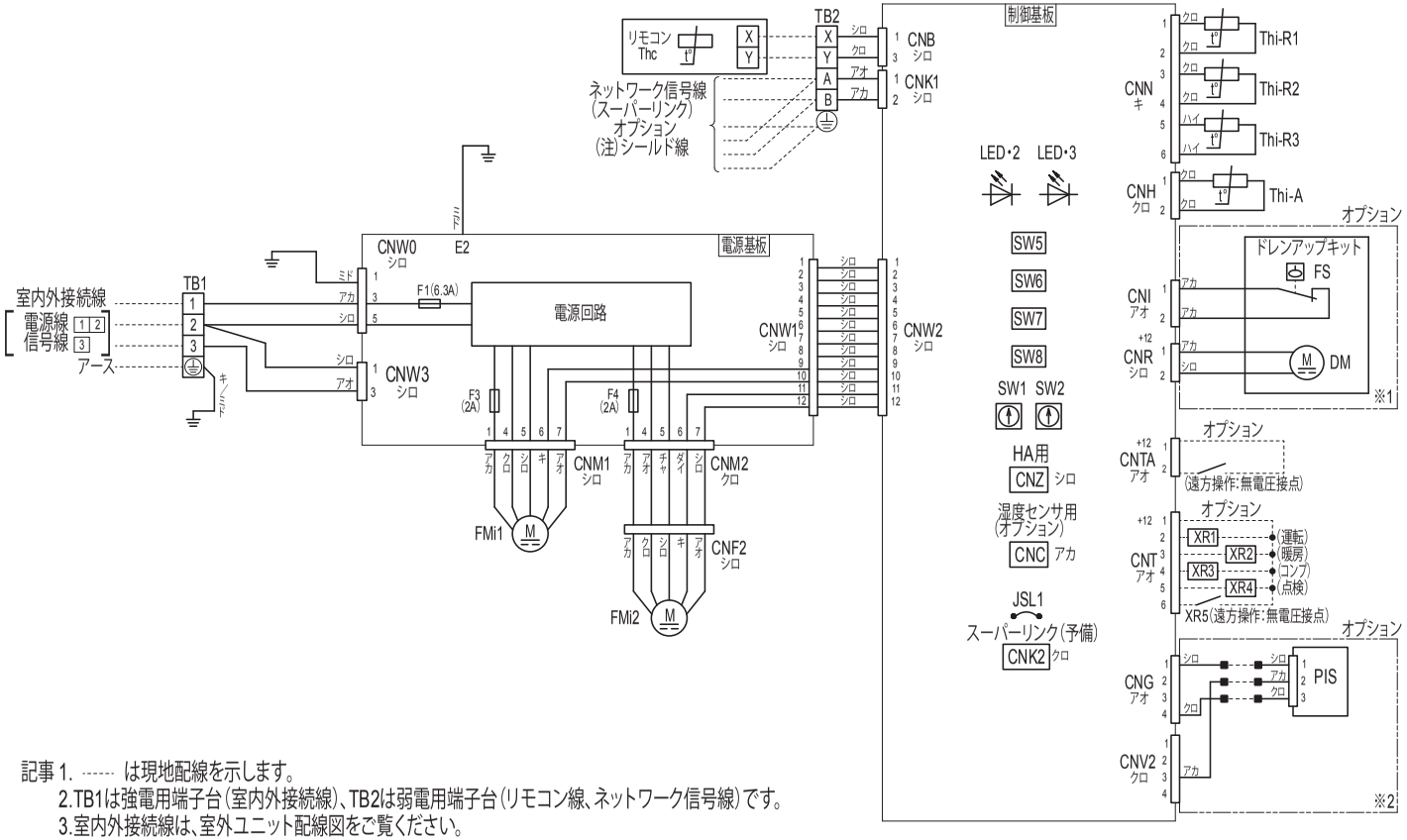
(g) 天吊形（FDE）

FDEZP566S，636S，806S，1606S



PFA004Z150 A

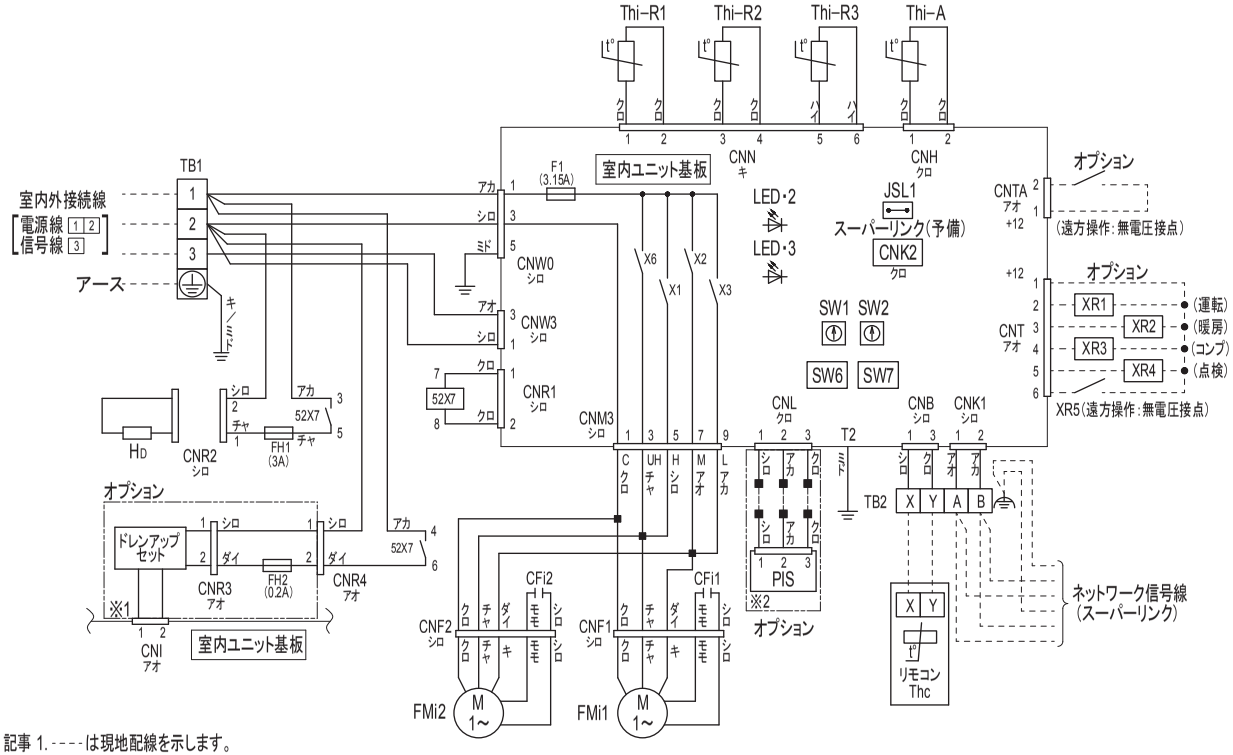
FDEZP2245A，2805A



●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1,3,4	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED･2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED･3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	プルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック･ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
SW8-1	凍結防止制御
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

記事 1. ------ は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親･子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm² ×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
･シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
･シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路はドレンアップキット(オプション)無しの場合配線されていません。
9.2点鎖線内(※2印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

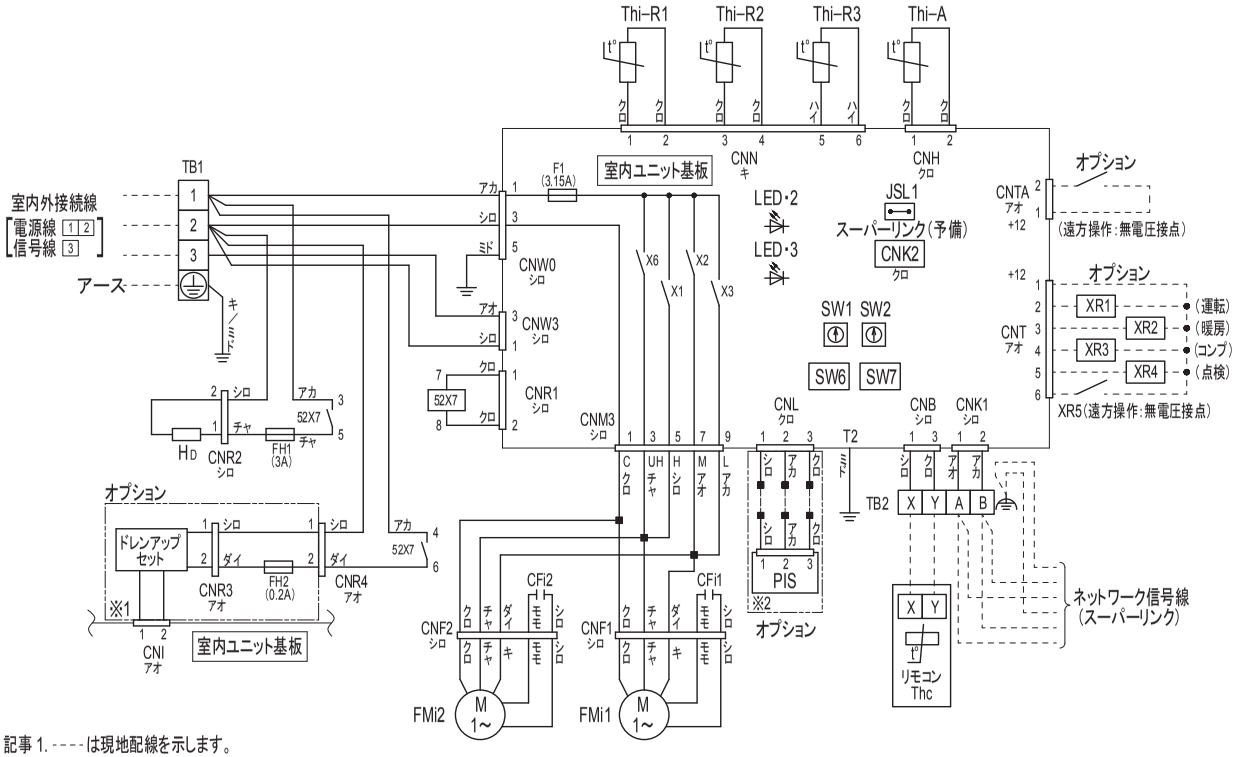


●記号説明

記　号	名　称
CFi1,2	FMi用コンデンサ
CNA~Z	コネクタ
F1・FH1,2	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ
HD	結露防止ヒータ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切換
SW7-1	運転チェック・ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(口印)
TB2	端子台(通信)(口印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
X1~3,6	FM用リレー
■印	閉端接続子
52X7	ヒータ・ドレンアップ用リレー

記事 1. - - - - は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm² × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路はドレンアップセット(オプション)無しの場合配線されていません。
9.2点鎖線内(※2印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

FDESZP1406



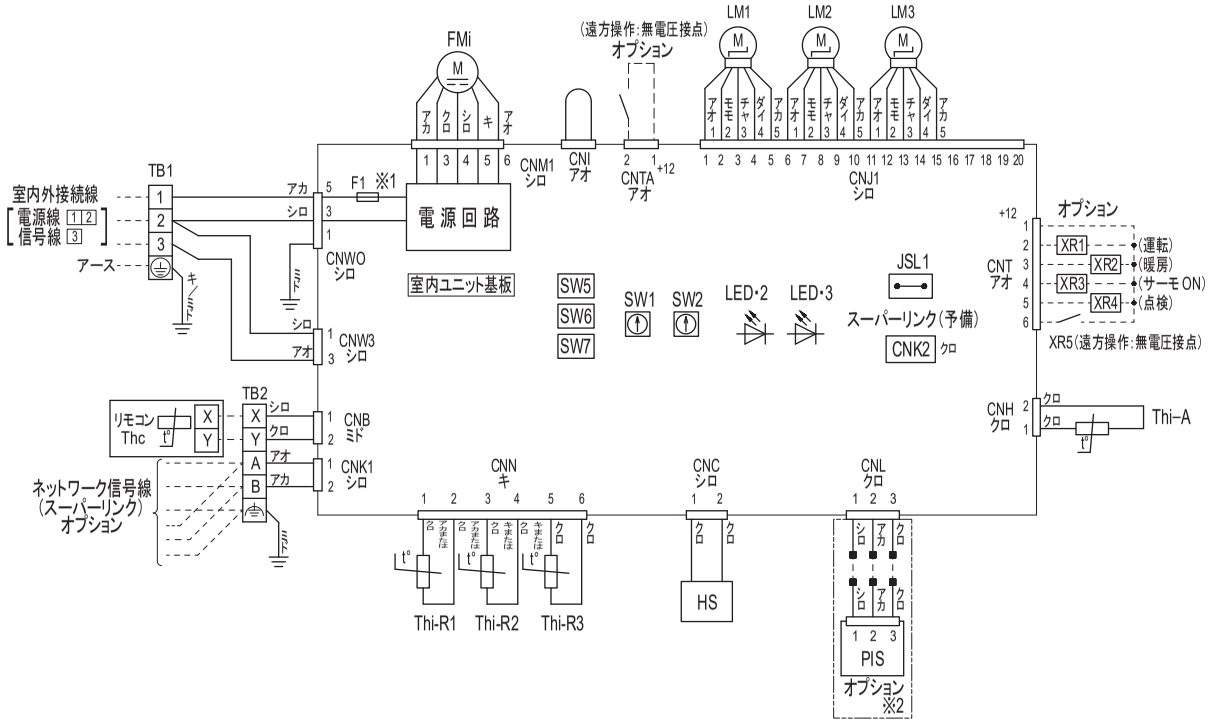
●記号説明

記　号	名　称
CFi1,2	FMi用コンデンサ
CNA～Z	コネクタ
F1・FH1,2	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ
HD	結露防止ヒータ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切換
SW7-1	運転チェック・ドレンポンプ試運転
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(口印)
TB2	端子台(通信)(口印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
X1～3,6	FM用リレー
■印	閉端接続子
52X7	ヒータ・ドレンアップ用リレー

記事 1. - - - - は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm^2 × 2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm^2 を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm^2 を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.2点鎖線内(※1印)の回路はドレンアップセット(オプション)無しの場合配線されていません。
9.2点鎖線内(※2印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

PFS000Z056

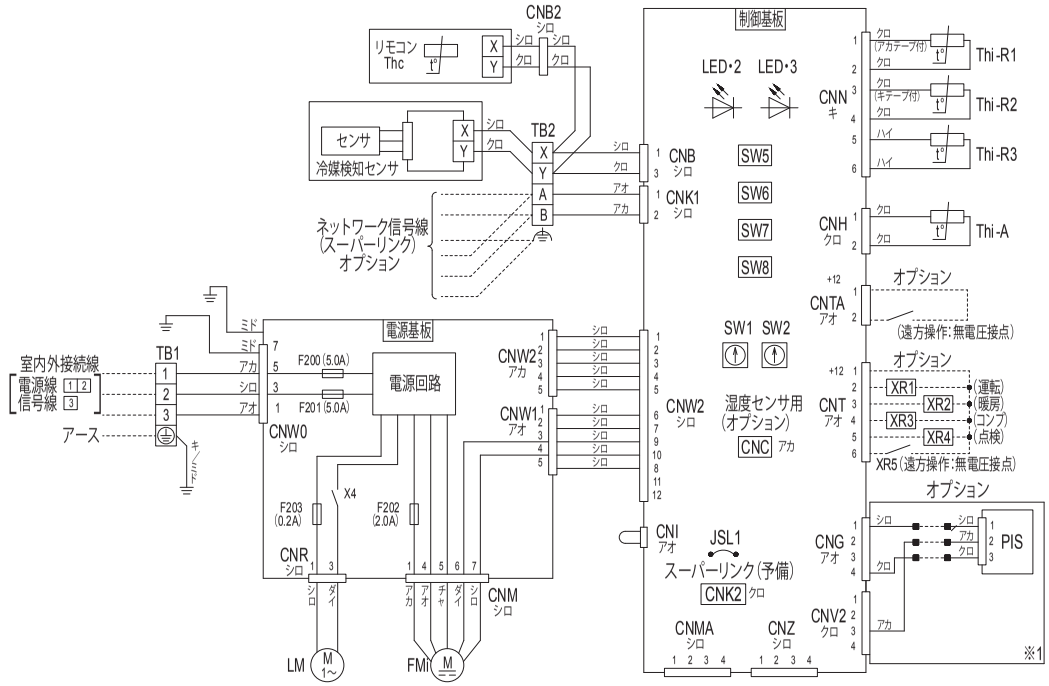
FDKZP566S，636S，1126S



●記号説明

記　号	名　称
CNB～Z	コネクタ
F1	ヒューズ
FMi	ファンモータ
HS	湿度センサ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
LM1	フラップモータ
LM2	ルーバモータ(左)
LM3	ルーバモータ(右)
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
TB1	端子台(電源)(口印)
TB2	端子台(通信)(口印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
■印	閉端接続子

記事 1. - - - - は現地配線を示します。
2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。
3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
①リモコン配線は0.3mm^2×2心を使用してください。
延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。
6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。
スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、
・シールド線太さ0.75mm^{2}を使用する場合は1500m以内
・シールド線太さ1.25mm^{2}を使用する場合は1000m以内
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。
8.ヒューズ(F1)(※1)は、FDKZP566の場合は3.15A、FDKZP636,1126の場合は5Aです。
9.2点鎖線内(※2印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。



記事 1. ┈┈ は現地配線を示します。

2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。

3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。

4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親･子)使用する場合。

①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。

延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。

②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。

6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。

スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、

･シールド線太さ0.75mm² を使用する場合は1500m以内

･シールド線太さ1.25mm² を使用する場合は1000m以内

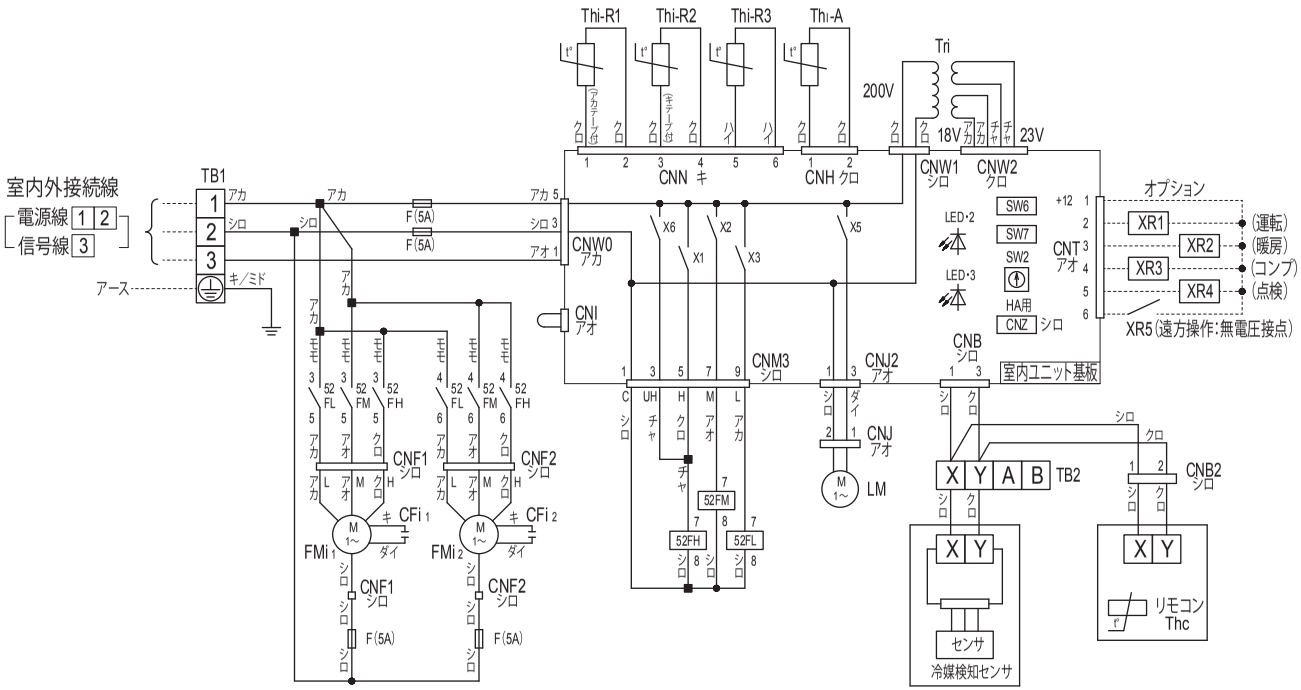
7.リモコン配線、ネットワーク信号線は室内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。

8.2点鎖線内(※1印)の回路は人感センサ(オプション)無しの場合配線されていません。

記号説明

記　号	名　称
CNB~Z	コネクタ
F200~203	ヒューズ
FMi	ファンモータ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED･2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED･3	表示灯(赤-点検表示)
LM	ルーバモータ
PIS	人感センサ
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW5	プルーラル機　親／子設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック
SW7-2	スーパーリンク自動判定／旧固定
SW7-3	室内アドレスNo.100の位
SW8-1	冷媒センサ接続
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
X4	LM用リレー
■印	閉端接続子

FDFZP2245，2805



記号説明

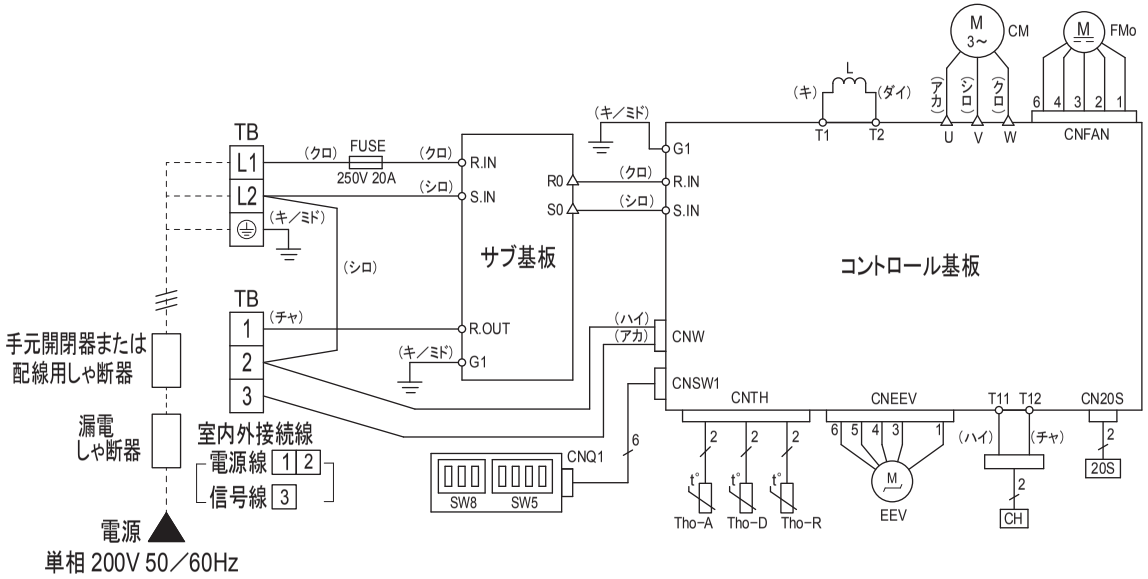
記号	名称
CFi1,2	FMi用コンデンサ
CNB～Z	コネクタ
F	ヒューズ
FMi1,2	ファンモータ(サーモ付)
LED・2	表示灯(緑ーマイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤ー点検表示)
LM	ルーバモータ
SW2	リモコン通信アドレス設定
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック
SW7-3	冷媒センサ接続
TB1	端子台(電源)(□印)
TB2	端子台(通信)(□印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
Tri	トランス
X1～3,6	FM用リレー
X5	LM用リレー
■印	閉端接続子
52FL,M,H	FM

記事

1. ---------- は現地配線を示します。
2. TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線)です。
3. 室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。
4. リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。
   ①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。
   延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。
   ②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

PGA000Z862

FDCZP406HK，456HK，506HK，566HK，636HK
FDCVP406HK，456HK，506HK，566HK，636HK



機種	漏電しゃ断器 定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース	
		開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
40～63	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	2.0mm²x2	14m	φ1.6mmx3	φ1.6mm	M5

※室内ユニットがFDU,FDR機の場合

機種	漏電しゃ断器 定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース	
		開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
40～63	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²x2	18m	φ1.6mmx3	φ1.6mm	M5

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付機の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

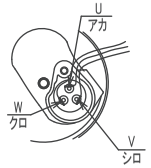
注(1)配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し、
管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
これ以外の条件は内線規程により実施してください。
(2)室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さはφ1.6mm以上（2mm²以上）です。
(3)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、
ヒータ用電源線（ヒータ付、ヒータ後付け時）
などの仕様については、＜客先納入仕様書＞中の
"配管配線" の項目をご覧ください。

●記号説明

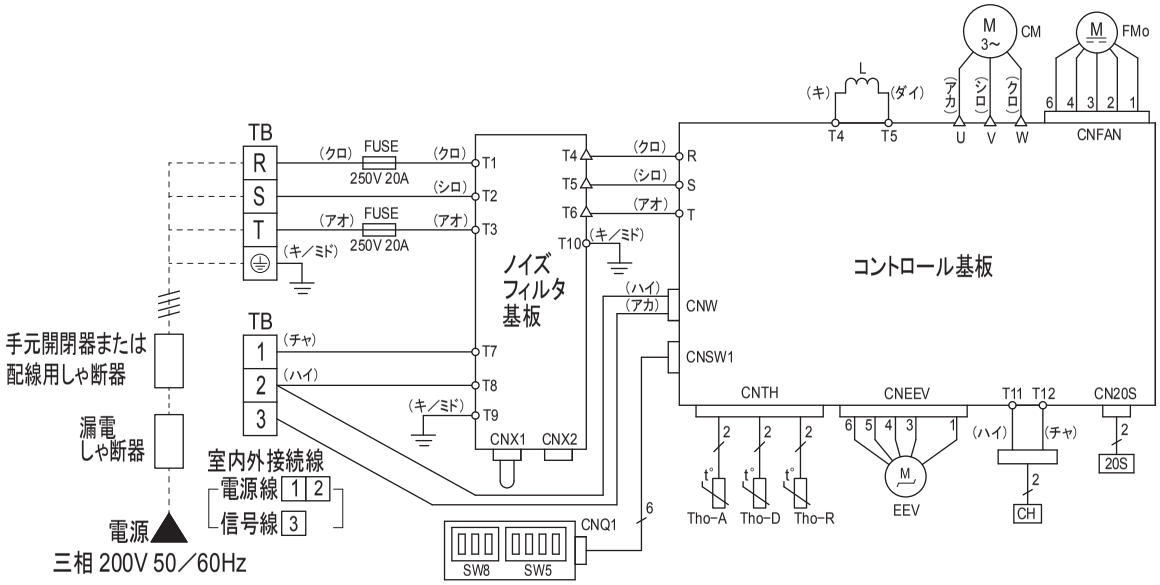
記 号	名 称
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA～Z	コネクタ
FMo	送風用電動機
L	リアクタ
SW5,8	現地設定スイッチ
TB	端子台
Tho-A	吸込空気温度センサ
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R	熱交温度センサ
20S	四方切換電磁弁
△印	ファストン端子

記 号	名 称	
SW5-1	ON	降雪地域デフロスト条件 強化
	OFF	降雪地域デフロスト条件 通常
SW5-3	ON	試運転ON／OFF ON
	OFF	試運転ON／OFF OFF
SW5-4	ON	試運転 冷／暖 暖房
	OFF	試運転 冷／暖 冷房

●圧縮機端子配置



FDCZP406H, 456H, 506H, 566H, 636H
FDCVP406H, 456H, 506H, 566H, 636H



機種	漏電しゃ断器 定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース	
		開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
40～63	15A,30mA,0.1sec以下	30A	15A	15A	2.0mm²x3	21m	φ1.6mmx3	φ1.6mm	M5

※室内ユニットがFDU,FDR機の場合

機種	漏電しゃ断器 定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース	
		開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
40～56	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	2.0mm²x3	11m	φ1.6mmx3	φ1.6mm	M5
63					3.5mm²x3	32m			

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付機の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

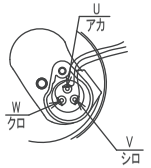
注(1)配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し、
管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
これ以外の条件は内線規程により実施してください。
(2)室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さはφ1.6mm以上(2mm²以上)です。
(3)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、
ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付け時)
などの仕様については、<客先納入仕様書>中の
"配管配線" の項目をご覧ください。

●記号説明

記 号	名 称
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA～Z	コネクタ
FMo	送風用電動機
L	リアクタ
SW5,8	現地設定スイッチ
TB	端子台
Tho-A	吸込空気温度センサ
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R	熱交温度センサ
20S	四方切換電磁弁
△印	ファストン端子

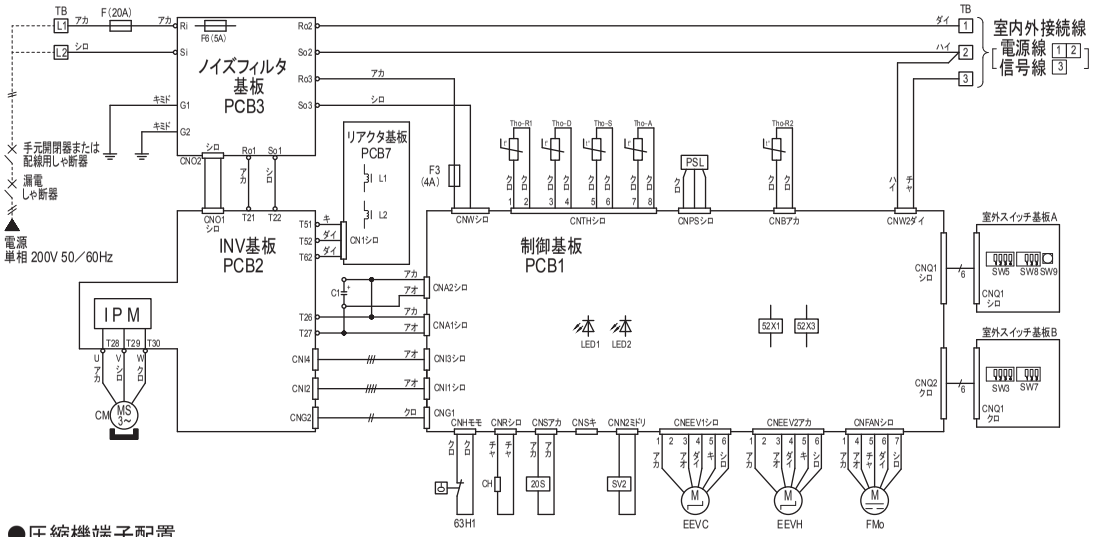
記 号	名 称	
SW5-1	ON	降雪地域デフロスト条件 強化
	OFF	降雪地域デフロスト条件 通常
SW5-3	ON	試運転ON/OFF ON
	OFF	試運転ON/OFF OFF
SW5-4	ON	試運転 冷/暖 暖房
	OFF	試運転 冷/暖 冷房

●圧縮機端子配置



PCA002Z091

FDCZP806HK



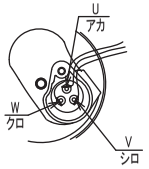
注(1)配線仕様は、CV線を金属管または合成樹脂管配線で、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(2)室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さは φ1.6mm以上(2.0mm^{2}以上)です。
(3)フリーアドレスブルーラル接続を行う場合の接続線長制限や、非対応時の設定方法については、据付説明書を参照してください。
(4)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付け時)などの仕様については、<客先納入仕様書>中の"配管配線"の項目をご覧ください。
(5)設定切換スイッチの使用方法については、据付説明書を参照してください。
SW3-1,SW3-2,SW5-3,SW5-4,
SW7-1,SW8-1,SW8-3,SW9以外の
設定切換スイッチは操作しないでください。

●記号説明

記号	名称
C	電解コンデンサ
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA～Z	コネクタ
EEVC	電子膨張弁(冷房用)
EEVH	電子膨張弁(暖房用)
FMo	送風用電動機
F	ヒューズ(250V 20A)
F3	ヒューズ(250V 4A)
F6	ヒューズ(250V 5A)
IPM	インテリジェントパワーモジュール
L1,2	リアクタ
LED1	表示灯(緑ーマイコン正常表示)
LED2	表示灯(赤ー点検表示)
PSL	低圧圧力センサ
SV2	電磁弁
SW3,5,7,8	現地設定スイッチ
TB	端子台
Tho-A	吸込空気温度センサ
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R1,2	熱交温度センサ
Tho-S	吸入管温度センサ
20S	四方切換電磁弁
52X1	補助継電器(CH用)
52X3	補助継電器(20S用)
63H1	高圧圧力開閉器(保護)

記号		名称
SW3-1	ON	降雪地域デフロスト条件 強化
	OFF	降雪地域デフロスト条件 通常
SW3-2	ON	防雪ファン制御 有
	OFF	防雪ファン制御 無
SW5-3	ON	試運転 試運転
	OFF	試運転 通常運転
SW5-4	ON	試運転 冷／暖 暖房
	OFF	試運転 冷／暖 冷房
SW7-1	ON	既設配管制御 有効
	OFF	既設配管制御 無効
SW8-1	ON	配管洗浄運転 有効
	OFF	配管洗浄運転 無効
SW8-3	ON	フリーアドレスブルーラル制御 無効
	OFF	フリーアドレスブルーラル制御 有効
SW9		ポンプダウン制御 ON／OFF

●圧縮機端子配置



漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm^{2}X2	20m	φ1.6X3	2.0mm^2	M5

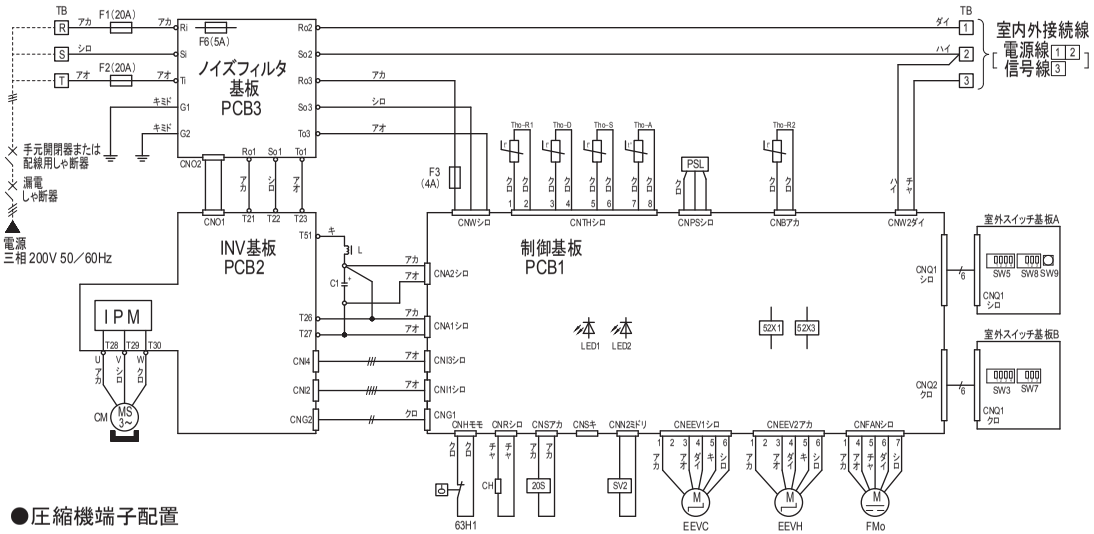
室内ユニットがFDU,FDRの場合

漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm^{2}X2	19m	φ1.6X3	2.0mm^2	M5

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

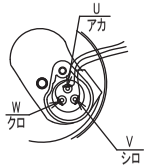
PCA002Z083

FDCZP806H



注(1)配線仕様は、CV線を金属管または合成樹脂管配線で、
管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(2)室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さは φ1.6mm以上(2.0mm^{2}以上)です。
(3)フリーアドレスブルーラル接続を行う場合の接続線長
制限や、非対応時の設定方法については、据付説明書
を参照してください。
(4)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、
ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付け時)
などの仕様については、<客先納入仕様書>中の
"配管配線" の項目をご覧ください。
(5)設定切換スイッチの使用方法については、
据付説明書を参照してください。
SW3-1,SW3-2,SW5-3,SW5-4,
SW7-1,SW8-1,SW8-3,SW9以外の
設定切換スイッチは操作しないでください。

●圧縮機端子配置



漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	3.5mm^{2}X3	34m	φ1.6X3	2.0mm^2	M5

室内ユニットがFDU,FDRの場合

漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	3.5mm^{2}X3	30m	φ1.6X3	2.0mm^2	M5

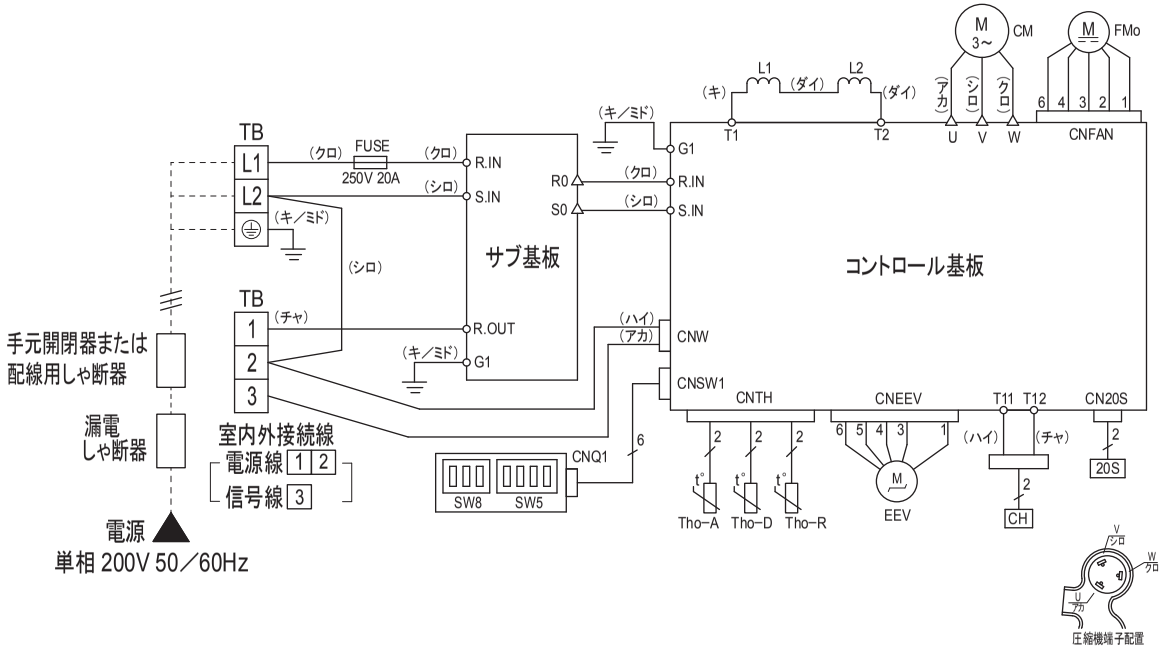
●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

記号	名称	
SW3-1	ON	降雪地域デフロスト条件 強化
	OFF	降雪地域デフロスト条件 通常
SW3-2	ON	防雪ファン制御 有
	OFF	防雪ファン制御 無
SW5-3	ON	試運転 試運転
	OFF	試運転 通常運転
SW5-4	ON	試運転 冷／暖 暖房
	OFF	試運転 冷／暖 冷房
SW7-1	ON	既設配管制御 有効
	OFF	既設配管制御 無効
SW8-1	ON	配管洗浄運転 有効
	OFF	配管洗浄運転 無効
SW8-3	ON	フリーアドレスブルーラル制御 無効
	OFF	フリーアドレスブルーラル制御 有効
SW9	ポンプダウン制御 ON／OFF	

●記号説明

記号	名称
C	電解コンデンサ
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA～Z	コネクタ
EEVC	電子膨張弁(冷房用)
EEVH	電子膨張弁(暖房用)
FMo	送風用電動機
F1,2	ヒューズ(250V 20A)
F3	ヒューズ(250V 4A)
F6	ヒューズ(250V 5A)
IPM	インテリジェントパワーモジュール
L	リアクタ
LED1	表示灯(緑ーマイコン正常表示)
LED2	表示灯(赤ー点検表示)
PSL	低圧圧力センサ
SV2	電磁弁
SW3,5,7,8	現地設定スイッチ
TB	端子台
Tho-A	吸込空気温度センサ
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R1,2	熱交温度センサ
Tho-S	吸入管温度センサ
20S	四方切換電磁弁
52X1	補助継電器(CH用)
52X3	補助継電器(20S用)
63H1	高圧圧力開閉器(保護)

FDCVP806HK



注(1)配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し、
管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
これ以外の条件は内線規程により実施してください。
(2)室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さはφ1.6mm以上(2mm^{2}以上)です。
(3)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、
ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付け時)
などの仕様については、<客先納入仕様書>中の
"配管配線" の項目をご覧ください。

●記号説明

記 号	名 称
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA~Z	コネクタ
FMo	送風用電動機
L1,2	リアクタ
SW5,8	現地設定スイッチ
TB	端子台
Tho-A	吸込空気温度センサ
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R	熱交温度センサ
20S	四方切換電磁弁
△印	ファストン端子

記 号	名 称	
SW5-1	ON	降雪地域デフロスト条件 強化
	OFF	降雪地域デフロスト条件 通常
SW5-3	ON	試運転ON／OFF ON
	OFF	試運転ON／OFF OFF
SW5-4	ON	試運転 冷／暖 暖房
	OFF	試運転 冷／暖 冷房

漏電しゃ断器	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース	
定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm^{2}x2	22m	φ1.6mmx3	2.0mm^2	M5

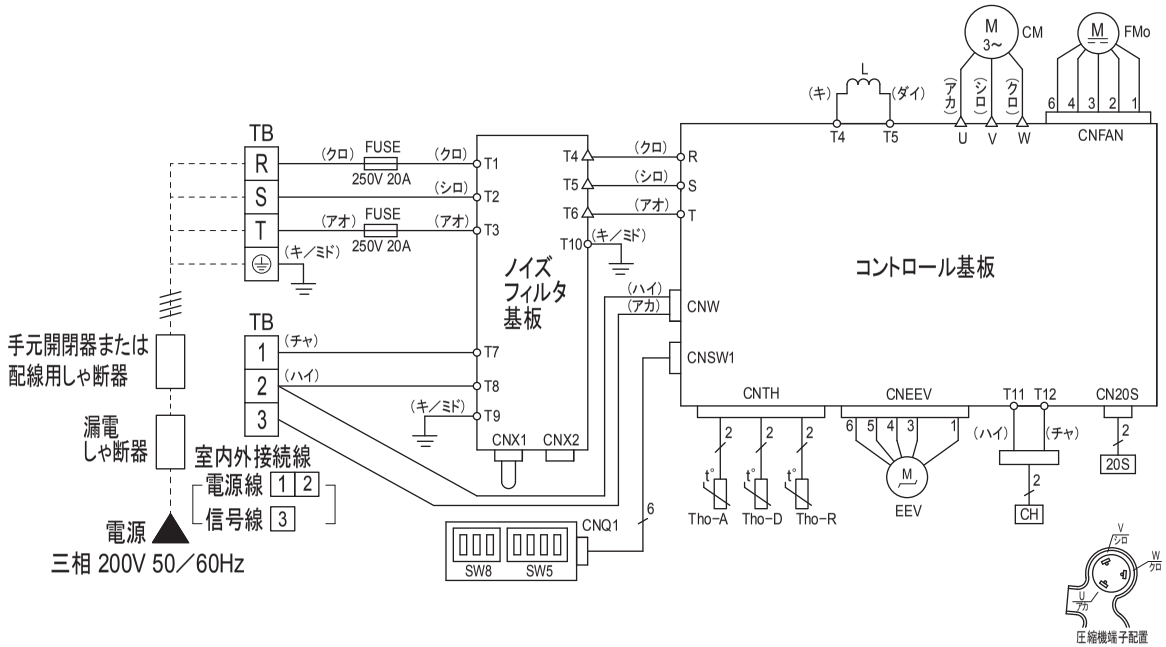
※室内ユニットがFDU,FDR機の場合

漏電しゃ断器	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース	
定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm^{2}x2	20m	φ1.6mmx3	2.0mm^2	M5

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付機の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

PCA002Z099

FDCVP806H



注(1)配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し、
管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
これ以外の条件は内線規程により実施してください。
(2)室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さはφ1.6mm以上(2mm^{2}以上)です。
(3)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、
ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付け時)
などの仕様については、<客先納入仕様書>中の
"配管配線" の項目をご覧ください。

●記号説明

記 号	名 称
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA〜Z	コネクタ
FMo	送風用電動機
L	リアクタ
SW5,8	現地設定スイッチ
TB	端子台
Tho-A	吸込空気温度センサ
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R	熱交温度センサ
20S	四方切換電磁弁
△印	ファストン端子

記 号		名 称
SW5-1	ON	降雪地域デフロスト条件 強化
	OFF	降雪地域デフロスト条件 通常
SW5-3	ON	試運転ON／OFF ON
	OFF	試運転ON／OFF OFF
SW5-4	ON	試運転 冷／暖 暖房
	OFF	試運転 冷／暖 冷房

漏電しゃ断器	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース	
定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
15A,30mA,0.1sec以下	30A	15A	15A	3.5mm^{2}x3	39m	φ1.6mmx3	2.0mm^2	M5

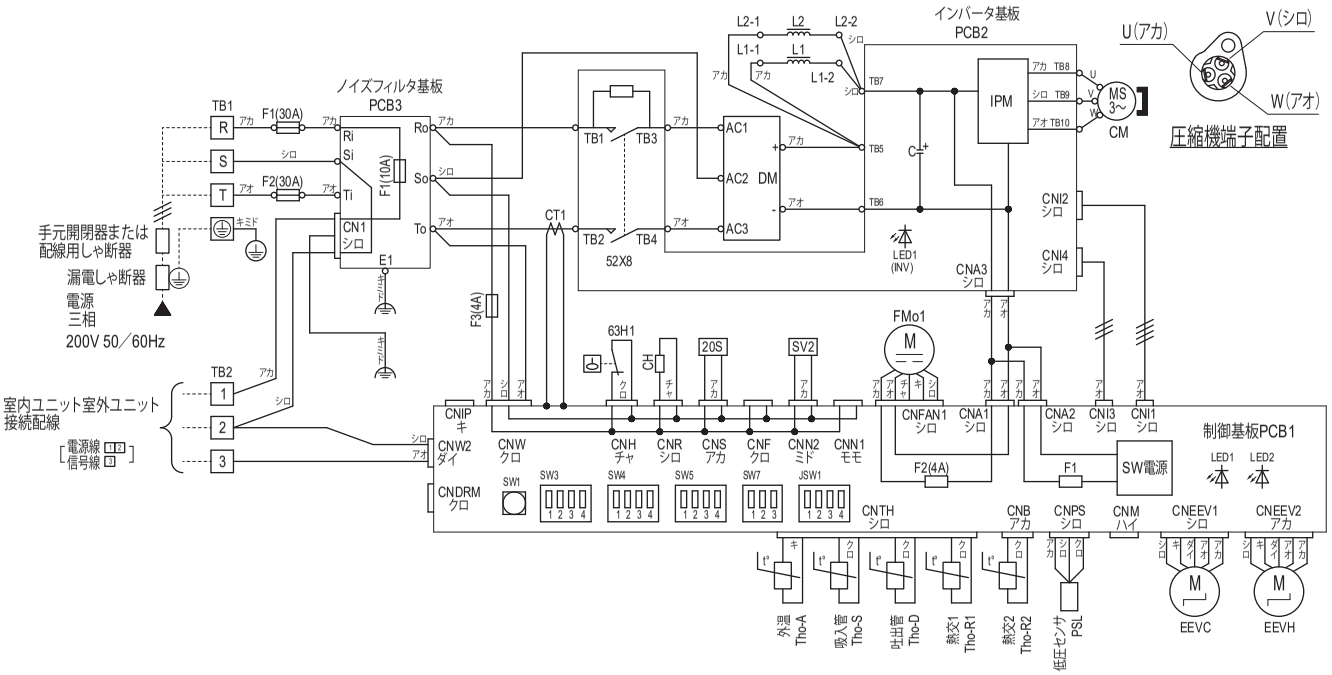
※室内ユニットがFDU,FDR機の場合

漏電しゃ断器	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース	
定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	3.5mm^{2}x3	36m	φ1.6mmx3	2.0mm^2	M5

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付機の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

PCA002Z096

FDCKP806H，1126H



注(1) 配線仕様は、CV線を金属管または合成樹脂管配線で、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(2) 室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。太さは φ1.6mm以上(2.0mm²以上)です。
(3) フリーアドレスプルーラル接続を行う場合の接続線長制限や、非対応時の設定方法については、据付説明書を参照してください。
(4) 開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付時)などの仕様については、<客先納入仕様書>中の"配管配線"の項目をご覧ください。
(5) 設定切換スイッチの使用方法については、据付説明書を参照してください。SW1,SW3-1,SW3-3,SW3-4,SW4-1,SW5-1,SW5-2,SW7-3以外の設定切換スイッチは操作しないでください。

●記号説明

記号	名称
C	電解コンデンサ
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA～Z	コネクタ
CT1	電流センサ
DM	ダイオードモジュール
EEVC	電子膨張弁(冷房用)
EEVH	電子膨張弁(暖房用)
FMo1	送風用電動機
F1,2,3	ヒューズ
IPM	インテリジェントパワーモジュール
L1,2	直流リアクトル
LED1	表示灯(緑ーマイコン正常表示)
LED2	表示灯(赤ー点検表示)
PSL	低圧圧力センサ
SV2	電磁弁(正サイクルデフロスト運転用)
SW1	ポンプダウン(ON／OFF)
SW3-1	デフロスト制御切換(ON／OFF)
SW3-3	試運転スイッチ(ON／OFF)
SW3-4	試運転冷暖切換スイッチ
SW4-1	フリーアドレスプルーラル切換スイッチ
SW5-1	既設配管対応スイッチ
SW5-2	正サイクルデフロスト運転禁止スイッチ
SW7-3	サイレントモード
TB1,2	端子台
Tho-A	吸込温度センサ(外温)
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R1,2	熱交温度センサ
Tho-S	吸入管温度センサ
20S	四方切換電磁弁
52X8	CM用電磁接触機
63H1	高圧圧力開閉器(保護)

機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線		内外接続線	アース線	
		開閉器容量	B種ヒューズ		太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ねじ
KP80,112	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²×3	19m	φ1.6×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5

室内ユニットがFDU,FDRの場合

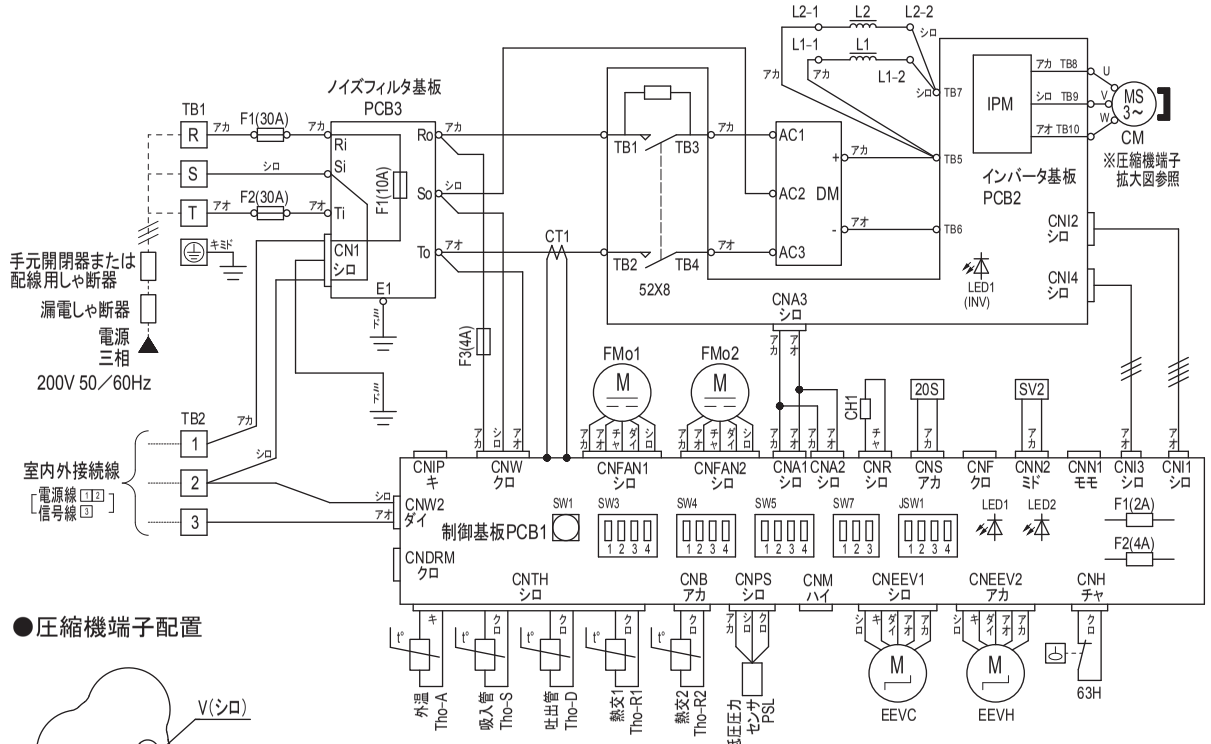
機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線		内外接続線	アース線	
		開閉器容量	B種ヒューズ		太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ねじ
KP80,112	40A,100mA,0.1sec以下	60A	40A	40A	5.5mm²×3	26m	φ1.6×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	3.5mm²	M5

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付機の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

記号		名称
SW1		ポンプダウン制御　ON／OFF
SW3-1	ON	デフロスト条件　強化
	OFF	デフロスト条件　通常
SW3-3	ON	試運転　試運転
	OFF	試運転　通常運転
SW3-4	ON	試運転　冷／暖　暖房
	OFF	試運転　冷／暖　冷房
SW4-1	ON	フリーアドレスプルーラル制御 無効
	OFF	フリーアドレスプルーラル制御 有効
SW5-1	ON	既設配管制御　有効
	OFF	既設配管制御　無効
SW5-2	ON	正サイクルデフロスト運転　無効
	OFF	正サイクルデフロスト運転　有効
SW7-3	ON	サイレントモード　有効
	OFF	サイレントモード　無効

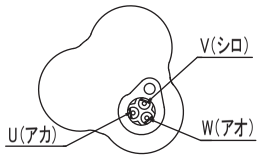
PCA002Z110

FDCZP1126H，1406H，1606H



注(1)配線仕様は、CV線を金属管または合成樹脂管配線で、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(2)室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。太さは φ1.6mm以上(2.0mm^{2}以上)です。
(3)フリーアドレスブルーラル接続を行う場合の接続線長制限や、非対応時の設定方法については、据付説明書を参照してください。
(4)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付け時)などの仕様については、<客先納入仕様書>中の"配管配線"の項目をご覧ください。
(5)設定切換スイッチの使用方法については、据付説明書を参照してください。SW1,SW3-1,SW3-2,SW3-3,SW3-4,SW4-1,SW5-1,SW5-2,SW7-1以外の設定切換スイッチは操作しないでください。

●圧縮機端子配置



機 種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線		内外接続線	アース線	
		開閉器容量	B種ヒューズ		太さ X 本数	こう長	太さ X 本数	太さ	ねじ
ZP112	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm^{2}X3	19m	φ1.6X3 (70mまで) 3.5 mm^{2}X3 (120mまで)	2.0mm^2	M5
ZP140									
ZP160									

室内ユニットがFDU,FDRの場合

機 種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線		内外接続線	アース線	
		開閉器容量	B種ヒューズ		太さ X 本数	こう長	太さ X 本数	太さ	ねじ
ZP112	40A,100mA,0.1sec以下	60A	40A	40A	5.5mm^{2}X3	26m	φ1.6X3 (70mまで) 3.5 mm^{2}X3 (120mまで)	3.5mm^2	M5
ZP140									
ZP160									

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付機の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

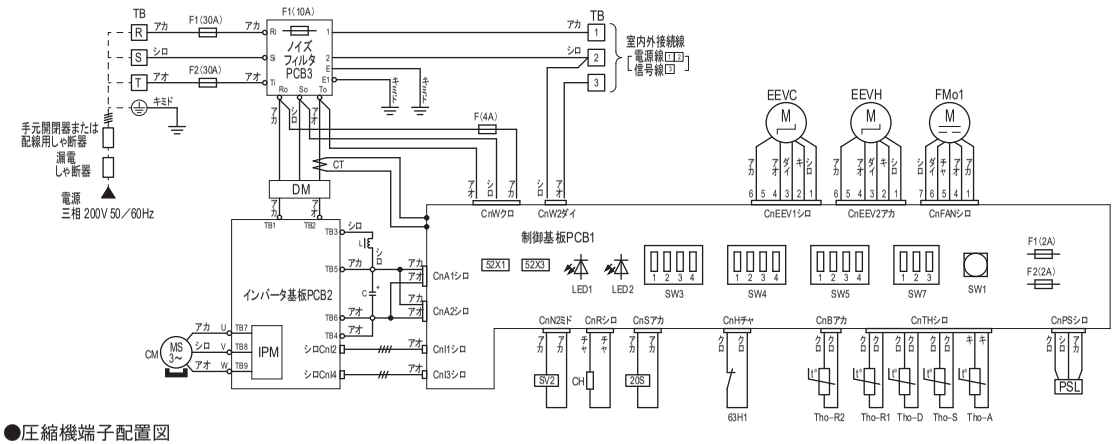
記 号	名 称	
SW1	ポンプダウン制御 ON／OFF	
SW3-1	ON	降雪地域デフロスト条件 強化
	OFF	降雪地域デフロスト条件 通常
SW3-2	ON	防雪ファン制御 有
	OFF	防雪ファン制御 無
SW3-3	ON	試運転 試運転
	OFF	試運転 通常運転
SW3-4	ON	試運転 冷／暖 暖房
	OFF	試運転 冷／暖 冷房
SW4-1	ON	フリーアドレスブルーラル制御 無効
	OFF	フリーアドレスブルーラル制御 有効
SW5-1	ON	既設配管制御 有効
	OFF	既設配管制御 無効
SW5-2	ON	配管洗浄運転 有効
	OFF	配管洗浄運転 無効
SW7-1	ON	長配管対応 有効
	OFF	長配管対応 無効

●記号説明

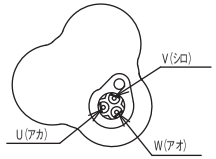
記 号	名 称
CH1	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA~Z	コネクタ
CT1	電流センサ
DM	ダイオードモジュール
EEVC	電子膨張弁(冷房用)
EEVH	電子膨張弁(暖房用)
F1,2,3	ヒューズ
FMo1,2	送風用電動機
IPM	インテリジェントパワーモジュール
L1,2	直流リアクトル
LED1	表示灯(赤-点検表示)
LED1(INV)	正常(黄)点滅
LED2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
PSL	低圧圧力センサ
SV2	電磁弁(配管洗浄用)
SW1	ポンプダウン(ON／OFF)
SW3-1	デフロスト開始温度(寒冷地／通常)
SW3-2	防雪ファン制御
SW3-3	試運転(ON／OFF)
SW3-4	試運転冷暖切換
SW4-1	フリーアドレスブルーラル切換
SW5-1	既設配管対応
SW5-2	既設配管洗浄運転
SW7-1	長配管対応
SW7-3	サイレントモード
TB1,2	端子台
Tho-A	吸込温度センサ(外温)
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R1,R2	熱交温度センサ
Tho-S	吸入管温度センサ
20S	四方切換電磁弁
52X8	CM用電磁接触機
63H	高圧圧力開閉器(保護)

PCA002Z089

FDCVP1126H，1406H，1606H



●圧縮機端子配置図



機 種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
		開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
VP112	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²X3	19m	φ1.6X3 (70mまで) 3.5mm²X3 (120mまで)	2.0mm²	M5
VP140									
VP160									

室内ユニットがFDU,FDRの場合

機 種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
		開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さX本数	こう長	太さX本数	太さ	ねじ
VP112	40A,100mA,0.1sec以下	60A	40A	40A	※ 5.5mm²X3	※ 26m	φ1.6X3 (70mまで) 3.5mm²X3 (120mまで)	3.5mm²	M5
VP140									
VP160									

※外気温が43℃を超える場所にユニットを据付ける場合、電気配線は太さ:8.0mm² 長さ:29mになります。
●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付機の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

記号	名称	
SW1	ポンプダウン制御 ON／OFF	
SW3-1	ON	降雪地域デフロスト条件 強化
	OFF	降雪地域デフロスト条件 通常
SW3-2	ON	防雪ファン制御 有
	OFF	防雪ファン制御 無
SW3-3	ON	試運転 試運転
	OFF	試運転 通常運転
SW3-4	ON	試運転 冷／暖 暖房
	OFF	試運転 冷／暖 冷房
SW4-1	ON	フリーアドレスブルーラル制御 無効
	OFF	フリーアドレスブルーラル制御 有効
SW5-1	ON	既設配管制御 有効
	OFF	既設配管制御 無効
SW5-2	ON	配管洗浄運転 有効
	OFF	配管洗浄運転 無効
SW7-1	ON	長配管対応 有効
	OFF	長配管対応 無効

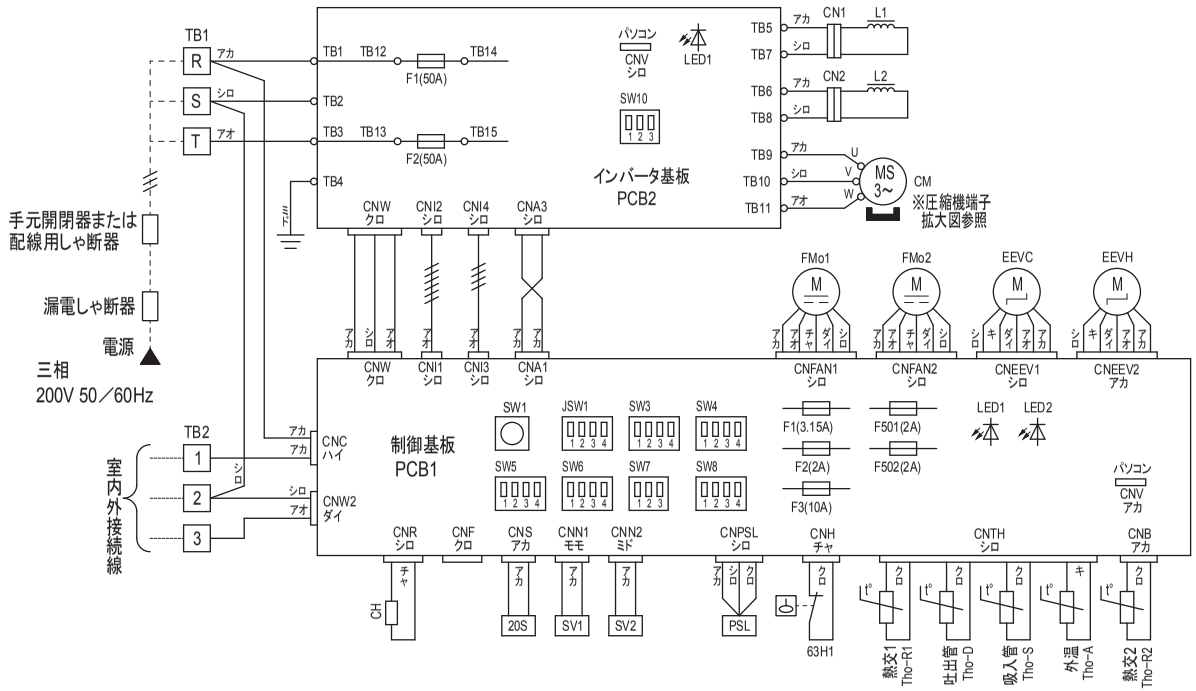
注(1)配線仕様は、CV線を金属管または合成樹脂管配線で、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(2)室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。太さは φ1.6mm以上(2.0mm²以上)です。
(3)フリーアドレスブルーラル接続を行う場合の接続線長制限や、非対応時の設定方法については、据付説明書を参照してください。
(4)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付け時)などの仕様については、<客先納入仕様書>中の"配管配線"の項目をご覧ください。
(5)設定切換スイッチの使用方法については、据付説明書を参照してください。
SW1,SW3-1,SW3-2,SW3-3,SW3-4,SW4-1,SW5-1,SW5-2,SW7-1,SW7-3以外の設定切換スイッチは操作しないでください。

●記号説明

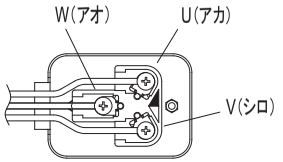
記号	名称
C	電解コンデンサ
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CnA～Z	コネクタ
CT	電流センサ
DM	ダイオードモジュール
EEVC	電子膨張弁(冷房用)
EEVH	電子膨張弁(暖房用)
FMo1	送風用電動機
F,F1,2	ヒューズ
IPM	インテリジェントパワーモジュール
L	直流リアクトル
LED1	表示灯(緑ーマイコン正常表示)
LED2	表示灯(赤ー点検表示)
PSL	低圧圧力センサ
SV2	電磁弁(配管洗浄用)
SW1	ポンプダウン(ON／OFF)
SW3-1	デフロスト開始温度(寒冷地／通常)
SW3-2	防雪ファン制御
SW3-3	試運転(ON／OFF)
SW3-4	試運転冷暖切換
SW4-1	フリーアドレスブルーラル切換
SW5-1	既設配管対応
SW5-2	既設配管洗浄運転
SW7-1	長配管対応
SW7-3	サイレントモード
TB	端子台
Tho-A	吸込温度センサ(外温)
Tho-D	吐出管温度センサ
Tho-R1,2	熱交温度センサ
Tho-S	吸入管温度センサ
20S	四方切換電磁弁
52X1	補助継電器(CH用)
52X3	補助継電器(20S用)(ヒーポンのみ)
63H1	高圧圧力開閉器(保護)

PCA002Z086 A

FDCZP2246H，2806H
FDCVP2246H，2806H



注(1)配線仕様は、CV線を金属管または合成樹脂管配線で、
管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
(2)室内外接続線は、総長70mまでとしてください。
室内外接続線は、3心ケーブルを使用してください。
太さは φ1.6mm以上(2.0mm^2 以上)です。
(3)フリーアドレスプルーラル接続を行う場合の接続線長
制限や、非対応時の設定方法については、据付説明書
を参照してください。
(4)開閉器、電源線、室内外接続線、アース線、
ヒータ用電源線(ヒータ付、ヒータ後付け時)
などの仕様については、<客先納入仕様書>中の
"配管配線" の項目をご覧ください。
(5)設定切換スイッチの使用方法については、
据付説明書を参照してください。
SW1,SW3−1,SW3−2,SW3−3,SW3−4,
SW4−1,SW5−1,SW5−2,SW7−3以外の
設定切換スイッチは操作しないでください。



※圧縮機端子拡大図

●記号説明

記号	名称
CH	クランクケースヒータ
CM	圧縮用電動機
CNA~Z	コネクタ
EEVC	電子膨張弁(過冷却用)
EEVH	電子膨張弁(暖房用)
F1~3,501,502	ヒューズ
FMo1,2	送風用電動機
L1,2	直流リアクトル
LED1	表示灯(赤-点検表示)
LED1(INV)	正常(黄)点滅

記号	名称
LED2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
PSL	低圧圧力センサ
SV1	電磁弁(油戻し)
SV2	電磁弁(リフレッシュ)
SW1	ポンプダウン(ON／OFF)
SW3−1	デフロスト開始温度(寒冷地／通常)
SW3−2	防雪ファン制御
SW3−3	試運転(ON／OFF)
SW3−4	試運転冷暖切換
SW4−1	フリーアドレスプルーラル切換

記号	名称
SW5−1	既設配管対応
SW5−2	既設配管洗浄運転
SW7−3	サイレントモード
TB1,2	端子台
Tho−A	吸込温度センサ(外温)
Tho−D	吐出管温度センサ
Tho−R1,R2	熱交温度センサ
Tho−S	吸入管温度センサ
20S	四方切換電磁弁
63H1	高圧圧力開閉器(保護)

PCB004Z892

1.10 電源・配線仕様

（電気特性についてはそれぞれの形式の仕様をご覧ください。）

(1) エクシードハイパーシリーズ

ヒータレス冷暖房機

■単相200V機

《標準仕様》

形式	項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
40シリーズ	FDTZ406HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP406HK	1.1	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCZ406HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP406HK	1.3									
	FDTWZ406HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP406HK	1.3									
	FDTSZ406HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP406HK	1.2									
	FDRZ406HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP406HK	1.4	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDEZ406HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP406HK	1.3	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	2.0mm²×2	14m			
	FDKZ406HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP406HK	1.4									
45シリーズ	FDTZ456HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP456HK	1.3	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCZ456HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP456HK	1.6									
	FDTWZ456HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP456HK	1.5									
	FDTSZ456HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP456HK	1.5									
	FDRZ456HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP456HK	1.6	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDEZ456HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP456HK	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	2.0mm²×2	14m			
	FDKZ456HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP456HK	1.7									
50シリーズ	FDTZ506HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP506HK	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCZ506HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP506HK	1.7									
	FDTWZ506HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP506HK	1.5									
	FDTSZ506HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP506HK	1.6									
	FDRZ506HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP506HK	1.9	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDUZ506HK6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCZP506HK	1.9									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■単相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
50シリーズ	FDEZ506HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP506HK	1.6	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDKZ506HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP506HK	1.8									
	FDFZ506HK5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCZP506HK	1.6									
56シリーズ	FDTZ566HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP566HK	1.6	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCZ566HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP566HK	2.0									
	FDTWZ566HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP566HK	1.8									
	FDTSZ566HK6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCZP566HK	1.8									
	FDRZ566HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP566HK	2.1	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDUZ566HK6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCZP566HK	2.1									
	FDEZ566HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP566HK	1.9	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	2.0mm²×2	14m			
	FDKZ566HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP566HK	2.2									
63シリーズ	FDTZ636HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP636HK	1.8	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTWZ636HK6S 室内：FDTWZP636S 室外：FDCZP636HK	2.2									
	FDTSZ636HK6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCZP636HK	2.1									
	FDRZ636HK6S 室内：FDRZP636S 室外：FDCZP636HK	2.4	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDUZ636HK6S 室内：FDUZP636S 室外：FDCZP636HK	2.3									
	FDEZ636HK6S 室内：FDEZP636S 室外：FDCZP636HK	2.0	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	2.0mm²×2	14m			
	FDKZ636HK6S 室内：FDKZP636S 室外：FDCZP636HK	2.3									
	FDFZ636HK5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCZP636HK	2.2									
80シリーズ	FDTZ806HK6SA 室内：FDTZP806SA 室外：FDCZP806HK	2.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	20m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ806HK6S 室内：FDTWZP806S 室外：FDCZP806HK	2.7									
	FDTSZ806HK6S 室内：FDTSZP806S 室外：FDCZP806HK	2.7									
	FDRZ806HK6S 室内：FDRZP806S 室外：FDCZP806HK	2.4						19m			
	FDUZ806HK6S 室内：FDUZP806S 室外：FDCZP806HK	2.5									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■単相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDEZ806HK6S 室内：FDEZP806S 室外：FDCZP806HK	2.3	30A,30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	20 m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDESZ806HK6 室内：FDESZ806 室外：FDCZP806HK	2.2									
	FDKZ806HK6S 室内：FDKZP1126S 室外：FDCZP806HK	2.8									
	FDFZ806HK5SB 室内：FDFZP805SB 室外：FDCZP806HK										

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
40シリーズ	FDTZ406H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP406H	1.1	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCZ406H6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP406H	1.4									
	FDTWZ406H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP406H	1.3									
	FDTSZ406H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP406H	1.3									
	FDRZ406H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP406H	1.4	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		11m			
	FDEZ406H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP406H	1.3	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15		21m			
	FDKZ406H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP406H	1.4									
45シリーズ	FDTZ456H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP456H	1.3	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCZ456H6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP456H	1.6									
	FDTWZ456H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP456H	1.6									
	FDTSZ456H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP456H	1.6									
	FDRZ456H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP456H	1.6	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		11m			
	FDEZ456H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP456H	1.6	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15		21m			
	FDKZ456H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP456H	1.7									

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
50シリーズ	FDTZ506H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP506H	1.5	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCZ506H6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP506H	1.8									
	FDTWZ506H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP506H	1.7									
	FDTSZ506H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCZP506H	1.7									
	FDRZ506H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP506H	1.9	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		11m			
	FDUZ506H6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCZP506H	1.9									
	FDEZ506H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP506H	1.7	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15		21m			
	FDKZ506H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP506H	1.8									
	FDFZ506H5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCZP506H	1.6									
56シリーズ	FDTZ566H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP566H	1.7	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCZ566H6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCZP566H	2.1									
	FDTWZ566H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCZP566H	1.9									
	FDTSZ566H6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCZP566H	1.9									
	FDRZ566H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCZP566H	2.2	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		11m			
	FDUZ566H6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCZP566H	2.2									
	FDEZ566H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCZP566H	2.0	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15		21m			
	FDKZ566H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCZP566H	2.2									
63シリーズ	FDTZ636H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCZP636H	1.9	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTWZ636H6S 室内：FDTWZP636S 室外：FDCZP636H	2.2									
	FDTSZ636H6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCZP636H	2.1									
	FDRZ636H6S 室内：FDRZP636S 室外：FDCZP636H	2.4	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	3.5mm²×3	32m			
	FDUZ636H6S 室内：FDUZP636S 室外：FDCZP636H	2.4									
	FDEZ636H6S 室内：FDEZP636S 室外：FDCZP636H	2.1	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15	2.0mm²×3	21m			
	FDKZ636H6S 室内：FDKZP636S 室外：FDCZP636H	2.2									
	FDFZ636H5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCZP636H	2.2									

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式	項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDTZ806H6SA 室内：FDTZP806SA 室外：FDCZP806H	2.2	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	3.5mm²×3	34m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ806H6S 室内：FDTWZP806S 室外：FDCZP806H	2.9									
	FDTSZ806H6S 室内：FDTSZP806S 室外：FDCZP806H										
	FDRZ806H6S 室内：FDRZP806S 室外：FDCZP806H	2.6						30m			
	FDUZ806H6S 室内：FDUZP806S 室外：FDCZP806H										
	FDEZ806H6S 室内：FDEZP806S 室外：FDCZP806H	2.5						34m			
	FDESZ806H6 室内：FDESZP806 室外：FDCZP806H	2.4									
	FDKZ806H6S 室内：FDKZP1126S 室外：FDCZP806H	3.1									
	FDFZ806H5SB 室内：FDFZP805SB 室外：FDCZP806H	3.0									
112シリーズ	FDTZ1126H6SA 室内:FDTZP1606SA 室外:FDCZP1126H	3.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWZ1126H6S 室内:FDTWZP1406S 室外:FDCZP1126H	3.4									
	FDRZ1126H6S 室内:FDRZP1126S 室外:FDCZP1126H	3.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUZ1126H6S 室内:FDUZP1126S 室外:FDCZP1126H										
	FDEZ1126H6S 室内:FDEZP1606S 室外:FDCZP1126H		30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKZ1126H6S 室内:FDKZP1126S 室外:FDCZP1126H	4.4									
	FDFZ1126H5SB 室内:FDFZP1605SB 室外:FDCZP1126H	3.4									
140シリーズ	FDTZ1406H6SA 室内:FDTZP1606SA 室外:FDCZP1406H	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWZ1406H6S 室内:FDTWZP1406S 室外:FDCZP1406H	4.9									
	FDRZ1406H6S 室内:FDRZP1606S 室外:FDCZP1406H	5.0	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUZ1406H6S 室内:FDUZP1606S 室外:FDCZP1406H										
	FDEZ1406H6S 室内:FDEZP1606S 室外:FDCZP1406H	4.8	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDESZ1406H6 室内:FDESZP1406 室外:FDCZP1406H	5.0									
	FDFZ1406H5SB 室内:FDFZP1605SB 室外:FDCZP1406H										

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
160シリーズ	FDTZ1606H6SA 室内:FDTZP1606SA 室外:FDCZP1606H	5.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWZ1606H6S 室内:FDTWZP1606S 室外:FDCZP1606H	5.9									
	FDRZ1606H6S 室内:FDRZP1606S 室外:FDCZP1606H	5.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUZ1606H6S 室内:FDUZP1606S 室外:FDCZP1606H	5.4									
	FDEZ1606H6S 室内:FDEZP1606S 室外:FDCZP1606H	5.9	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDFZ1606H5SB 室内:FDFZP1605SB 室外:FDCZP1606H	6.2									
224シリーズ	FDUZ2246H5A 室内:FDUZP2245A 室外:FDCZP2246H	7.4	60A, 100mA, 0.1sec以下	60	60	60	14.0mm²×3	42m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
	FDEZ2246H5A 室内:FDEZP2245A 室外:FDCZP2246H	7.3	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDFZ2246H5 室内:FDFZP2245 室外:FDCZP2246H	7.9	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	31m	2.0mm²×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	
280シリーズ	FDUZ2806H5A 室内:FDUZP2805A 室外:FDCZP2806H	11.4	60A, 100mA, 0.1sec以下	60	60	60	14.0mm²×3	42m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
	FDEZ2806H5A 室内:FDEZP2805A 室外:FDCZP2806H	11.0	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDFZ2806H5 室内:FDFZP2805 室外:FDCZP2806H	13.4	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	29m	2.0mm²×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■単相200V機

《ツイン仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDTZ806HKP6SA 室内:FDTZP636SA×2 室外:FDCZP806HK	2.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	20m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ806HKP6S 室内:FDTWZP566S×2 室外:FDCZP806HK	2.2									
	FDTSZ806HKP6S 室内:FDTSZP506S×2 室外:FDCZP806HK	2.3									
	FDRZ806HKP6S 室内:FDRZP566S×2 室外:FDCZP806HK							19m			
	FDEZ806HKP6S 室内:FDEZP566S×2 室外:FDCZP806HK	2.2						20m			
	FDKZ806HKP6S 室内:FDKZP566S×2 室外:FDCZP806HK	2.8									

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《ツイン仕様》

	形式	電源容量(kVA)	漏電しゃ断器定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
80シリーズ	FDTZ806HP6SA 室内:FDTZP636SA×2 室外:FDCZP806H	2.1	20A, 30mA, 0.1sec以下	30	20	20	3.5mm²×3	34m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWZ806HP6S 室内:FDTWZP566S×2 室外:FDCZP806H	2.4									
	FDTSZ806HP6S 室内:FDTSZP506S×2 室外:FDCZP806H	2.5									
	FDRZ806HP6S 室内:FDRZP566S×2 室外:FDCZP806H	2.5						30m			
	FDEZ806HP6S 室内:FDEZP566S×2 室外:FDCZP806H	2.4						34m			
	FDKZ806HP6S 室内:FDKZP566S×2 室外:FDCZP806H	3.2									
112シリーズ	FDTZ1126HP6SA 室内:FDTZP636SA×2 室外:FDCZP1126H	3.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWZ1126HP6S 室内:FDTWZP566S×2 室外:FDCZP1126H	3.5									
	FDTSZ1126HP6S 室内:FDTSZP636S×2 室外:FDCZP1126H	3.3									
	FDRZ1126HP6S 室内:FDRZP636S×2 室外:FDCZP1126H	3.2	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUZ1126HP6S 室内:FDUZP636S×2 室外:FDCZP1126H	3.3									
	FDEZ1126HP6S 室内:FDEZP566S×2 室外:FDCZP1126H	3.8	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKZ1126HP6S 室内:FDKZP566S×2 室外:FDCZP1126H	4.0									
	FDFZ1126HP5SB 室内:FDFZP635SB×2 室外:FDCZP1126H	3.2									
140シリーズ	FDTZ1406HP6SA 室内:FDTZP716SA×2 室外:FDCZP1406H	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWZ1406HP6S 室内:FDTWZP806S×2 室外:FDCZP1406H	5.0									
	FDTSZ1406HP6S 室内:FDTSZP806S×2 室外:FDCZP1406H	4.9									
	FDRZ1406HP6S 室内:FDRZP806S×2 室外:FDCZP1406H	4.3	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUZ1406HP6S 室内:FDUZP806S×2 室外:FDCZP1406H	4.4									

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《ツイン仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
140シリーズ	FDEZ1406HP6S 室内:FDEZP806S×2 室外:FDCZP1406H	4.3	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDKZ1406HP6S 室内:FDKZP1126S×2 室外:FDCZP1406H	4.5									
	FDFZ1406HP5SB 室内:FDFZP805SB×2 室外:FDCZP1406H	4.6									
160シリーズ	FDTZ1606HP6SA 室内:FDTZP806SA×2 室外:FDCZP1606H	4.6	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWZ1606HP6S 室内:FDTWZP806S×2 室外:FDCZP1606H	6.0									
	FDTSZ1606HP6S 室内:FDTSZP806S×2 室外:FDCZP1606H	6.0									
	FDRZ1606HP6S 室内:FDRZP806S×2 室外:FDCZP1606H	5.4	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUZ1606HP6S 室内:FDUZP806S×2 室外:FDCZP1606H										
	FDEZ1606HP6S 室内:FDEZP806S×2 室外:FDCZP1606H	5.3	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDESZ1606HP6 室内:FDESZP806×2 室外:FDCZP1606H	5.1									
	FDKZ1606HP6S 室内:FDKZP1126S×2 室外:FDCZP1606H	6.0									
	FDFZ1606HP5SB 室内:FDFZP805SB×2 室外:FDCZP1606H	6.0									
224シリーズ	FDTZ2246HP6SA 室内:FDTZP1606SA×2 室外:FDCZP2246H	7.6	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	3.5mm²	M5
	FDTWZ2246HP6S 室内:FDTWZP1406S×2 室外:FDCZP2246H	8.2									
	FDRZ2246HP6S 室内:FDRZP1126S ×2 室外:FDCZP2246H	8.4	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	14.0mm²×3	42m			
	FDUZ2246HP6S 室内:FDUZP1126S×2 室外:FDCZP2246H	8.4									
	FDEZ2246HP6S 室内:FDEZP1606S×2 室外:FDCZP2246H	8.0	50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50	8.0mm²×3	26m			
	FDKZ2246HP6S 室内:FDKZP1126S×2 室外:FDCZP2246H	8.6									
	FDFZ2246HP5SB 室内:FDFZP1605SB×2 室外:FDCZP2246H	7.6						31m	2.0mm²×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）		

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《ツイン仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
280シリーズ	FDTZ2806HP6SA 室内:FDTZP1606SA x 2 室外:FDCZP2806H	11.1	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
	FDTWZ2806HP6S 室内:FDTWZP1406S x 2 室外:FDCZP2806H	12.8									
	FDRZ2806HP6S 室内:FDRZP1606S x 2 室外:FDCZP2806H	12.7	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	14.0mm²×3	42m			
	FDUZ2806HP6S 室内:FDUZP1606S x 2 室外:FDCZP2806H	12.8									
	FDEZ2806HP6S 室内:FDEZP1606S x 2 室外:FDCZP2806H	11.9	50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50	8.0mm²×3	26m			
	FDESZ2806HP6 室内:FDESZP1406 x 2 室外:FDCZP2806H	12.4									
	FDFZ2806HP5SB 室内:FDFZP1605SB x 2 室外:FDCZP2806H	12.8						29m	2.0mm²×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)		

■三相200V機

《トリプル仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流 (A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
160シリーズ	FDTZ1606HT6SA 室内:FDTZ636SA×3 室外:FDCZP1606H	4.6	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWZ1606HT6S 室内:FDTWZP566S×3 室外:FDCZP1606H	5.5									
	FDTSZ1606HT6S 室内:FDTSZP506S×3 室外:FDCZP1606H	5.4									
	FDRZ1606HT6S 室内:FDRZP566S×3 室外:FDCZP1606H	5.6	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDEZ1606HT6S 室内:FDEZP566S×3 室外:FDCZP1606H	5.5	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKZ1606HT6S 室内:FDKZP566S×3 室外:FDCZP1606H	5.7									
224シリーズ	FDTZ2246HT6SA 室内:FDTZP716SA x 3 室外:FDCZP2246H	8.0	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
	FDTWZ2246HT6S 室内:FDTWZP806S x 3 室外:FDCZP2246H	9.1									
	FDTSZ2246HT6S 室内:FDTSZP806S x 3 室外:FDCZP2246H	8.9									
	FDRZ2246HT6S 室内:FDRZP806S x 3 室外:FDCZP2246H	8.4	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	14.0mm²×3	42m			
	FDEZ2246HT6S 室内:FDEZP806S x 3 室外:FDCZP2246H	7.9	50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50	8.0mm²×3	26m			

〔備考〕共通

(1) 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
(2) シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《ダブルツイン仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
224シリーズ	FDTZ2246HD6SA 室内:FDTZP636SA x 4 室外:FDCZP2246H	7.3	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	3.5mm²	M5
	FDTWZ2246HD6S 室内:FDTWZP566S x 4 室外:FDCZP2246H	8.3									
	FDRZ2246HD6S 室内:FDRZP566S x 4 室外:FDCZP2246H	8.9	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	14.0mm²×3	42m			
280シリーズ	FDTZ2806HD6SA 室内:FDTZP716SA x 4 室外:FDCZP2806H	12.8	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	3.5mm²	M5
	FDRZ2806HD6S 室内:FDRZP806S x 4 室外:FDCZP2806H	11.6	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	14.0mm²×3	42m			

〔備考〕共通

● 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
これ以外の条件は内線規程により実施してください。

(2) ハイパーインバータシリーズ

ヒータレス冷暖房機

■単相200V機

《標準仕様》

形式	項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
40シリーズ	FDTV406HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP406HK	1.2	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCV406HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP406HK	1.4									
	FDTWV406HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP406HK	1.3									
	FDTSV406HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP406HK	1.3									
	FDRV406HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP406HK	1.5	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDEV406HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP406HK	1.3	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	2.0mm²×2	14m			
	FDKV406HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP406HK	1.4									
45シリーズ	FDTV456HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP456HK	1.3	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCV456HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP456HK	1.6									
	FDTWV456HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP456HK	1.6									
	FDTSV456HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP456HK	1.5									
	FDRV456HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP456HK	1.6	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDEV456HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP456HK	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	2.0mm²×2	14m			
	FDKV456HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP456HK	1.7									
50シリーズ	FDTV506HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP506HK	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCV506HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP506HK	1.8									
	FDTWV506HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP506HK	1.6									
	FDTSV506HK6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP506HK	1.7									
	FDRV506HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP506HK	2.0	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDUV506HK6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCVP506HK	1.8									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■単相200V機

《標準仕様》

形式	項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
50シリーズ	FDEV506HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP506HK	1.7	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDKV506HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP506HK	1.9									
	FDFV506HK5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCVP506HK	1.7									
56シリーズ	FDTV566HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP566HK	1.7	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCV566HK6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP566HK	2.1									
	FDTWV566HK6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP566HK	1.9									
	FDTSV566HK6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCVP566HK	2.0									
	FDRV566HK6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP566HK	2.2	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDUV566HK6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCVP566HK	2.2									
	FDEV566HK6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP566HK	2.0	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	2.0mm²×2	14m			
	FDKV566HK6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP566HK	2.2									
63シリーズ	FDTV636HK6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP636HK	2.0	20A,30mA, 0.1sec以下	30	20	20	2.0mm²×2	14m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTWV636HK6S 室内：FDTWZP636S 室外：FDCVP636HK	2.3									
	FDTSV636HK6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCVP636HK	2.3									
	FDRV636HK6S 室内：FDRZP636S 室外：FDCVP636HK	2.4	30A,30mA, 0.1sec以下		30	30	3.5mm²×2	18m			
	FDUV636HK6S 室内：FDUZP636S 室外：FDCVP636HK	2.4									
	FDEV636HK6S 室内：FDEZP636S 室外：FDCVP636HK	2.1	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	2.0mm²×2	14m			
	FDKV636HK6S 室内：FDKZP636S 室外：FDCVP636HK	2.3									
	FDFV636HK5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCVP636HK	2.4									
80シリーズ	FDTV806HK6SA 室内：FDTZP806SA 室外：FDCVP806HK	2.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	22m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV806HK6S 室内：FDTWZP806S 室外：FDCVP806HK	2.7									
	FDTSV806HK6S 室内：FDTSZP806S 室外：FDCVP806HK	2.9									
	FDRV806HK6S 室内：FDRZP806S 室外：FDCVP806HK	2.8						20m			
	FDUV806HK6S 室内：FDUZP806S 室外：FDCVP806HK	3.0									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■単相200V機

《標準仕様》

形式	項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDEV806HK6S 室内：FDEZP806S 室外：FDCVP806HK	2.5	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×2	22m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDESV806HK6 室内：FDESZP806 室外：FDCVP806HK	2.5									
	FDKV806HK6S 室内：FDKZP1126S 室外：FDCVP806HK	2.9									
	FDFV806HK5SB 室内：FDFZP805SB 室外：FDCVP806HK	3.0									

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式	項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
40シリーズ	FDTV406H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP406H	1.2	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCV406H6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP406H	1.4									
	FDTWV406H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP406H	1.4									
	FDTSV406H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP406H	1.3									
	FDRV406H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP406H	1.5	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		11m			
	FDEV406H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP406H	1.4	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15		21m			
	FDKV406H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP406H	1.4									
45シリーズ	FDTV456H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP456H	1.3	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCV456H6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP456H	1.6									
	FDTWV456H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP456H	1.7									
	FDTSV456H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP456H	1.7									
	FDRV456H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP456H	1.6	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		11m			
	FDEV456H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP456H	1.6	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15		21m			
	FDKV456H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP456H	1.7									

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式＼項目(単位)		電源容量(kVA)	漏電しゃ断器定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器定格電流(A)	電源配線用		内外接続線太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
50シリーズ	FDTV506H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP506H	1.6	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCV506H6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP506H	1.8									
	FDTWV506H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP506H	1.8									
	FDTSV506H6S 室内：FDTSZP506S 室外：FDCVP506H	1.8									
	FDRV506H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP506H	1.9	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		11m			
	FDUV506H6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCVP506H	2.0									
	FDEV506H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP506H	1.8	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15		21m			
	FDKV506H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP506H	1.8									
	FDFV506H5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCVP506H	1.7									
56シリーズ	FDTV566H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP566H	1.8	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTCV566H6S 室内：FDTCZP566S 室外：FDCVP566H	2.1									
	FDTWV566H6S 室内：FDTWZP566S 室外：FDCVP566H	2.0									
	FDTSV566H6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCVP566H	2.1									
	FDRV566H6S 室内：FDRZP566S 室外：FDCVP566H	2.2	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20		11m			
	FDUV566H6S 室内：FDUZP566S 室外：FDCVP566H	2.2									
	FDEV566H6S 室内：FDEZP566S 室外：FDCVP566H	2.1	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15		21m			
	FDKV566H6S 室内：FDKZP566S 室外：FDCVP566H	2.2									
63シリーズ	FDTV636H6SA 室内：FDTZP636SA 室外：FDCVP636H	2.1	15A,30mA, 0.1sec以下	30	15	15	2.0mm²×3	21m	φ1.6mm×3	φ1.6mm	M5
	FDTWV636H6S 室内：FDTWZP636S 室外：FDCVP636H	2.3									
	FDTSV636H6S 室内：FDTSZP636S 室外：FDCVP636H	2.2									
	FDRV636H6S 室内：FDRZP636S 室外：FDCVP636H	2.5	20A,30mA, 0.1sec以下		20	20	3.5mm²×3	32m			
	FDUV636H6S 室内：FDUZP636S 室外：FDCVP636H	2.5									
	FDEV636H6S 室内：FDEZP636S 室外：FDCVP636H	2.1	15A,30mA, 0.1sec以下		15	15	2.0mm²×3	21m			
	FDKV636H6S 室内：FDKZP636S 室外：FDCVP636H	2.3									
	FDFVP636H5SB 室内：FDFZP635SB 室外：FDCVP636H	2.5									

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《標準仕様》

形式 ＼ 項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDTV806H6SA 室内：FDTZP806SA 室外：FDCVP806H	2.3	15A, 30mA, 0.1sec以下	30	15	15	3.5mm²×3	39m	φ1.6mm×3	2.0mm²	M5
	FDTWV806H6S 室内：FDTWZP806S 室外：FDCVP806H	2.9									
	FDTSV806H6S 室内：FDTSZP806S 室外：FDCVP806H	3.0									
	FDRV806H6S 室内：FDRZP806S 室外：FDCVP806H		20A, 30mA, 0.1sec以下		20	20		36m			
	FDUV806H6S 室内：FDUZP806S 室外：FDCVP806H	3.2									
	FDEV806H6S 室内：FDEZP806S 室外：FDCVP806H	2.6	15A, 30mA, 0.1sec以下		15	15		39m			
	FDESV806H6 室内：FDESZP806 室外：FDCVP806H	2.6									
	FDKV806H6S 室内：FDKZP1126S 室外：FDCVP806H	3.0									
	FDFV806H5SB 室内：FDFZP805SB 室外：FDCVP806H	3.2									
112シリーズ	FDTV1126H6SA 室内:FDTZP1606SA 室外:FDCVP1126H	3.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWV1126H6S 室内:FDTWZP1406S 室外:FDCVP1126H	3.5									
	FDRV1126H6S 室内:FDRZP1126S 室外:FDCVP1126H	3.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3(3)	26m(3)		3.5mm²	
	FDUV1126H6S 室内:FDUZP1126S 室外:FDCVP1126H	3.5									
	FDEV1126H6S 室内:FDEZP1606S 室外:FDCVP1126H	3.5	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKV1126H6S 室内:FDKZP1126S 室外:FDCVP1126H	4.4									
	FDFV1126H5SB 室内:FDFZP1605SB 室外:FDCVP1126H	3.5									
140シリーズ	FDTV1406H6SA 室内:FDTZP1606SA 室外:FDCVP1406H	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm2	M5
	FDTWV1406H6S 室内:FDTWZP1406S 室外:FDCVP1406H	5.0									
	FDRV1406H6S 室内:FDRZP1606S 室外:FDCVP1406H	4.7	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUV1406H6S 室内:FDUZP1606S 室外:FDCVP1406H	4.7									
	FDEV1406H6S 室内:FDEZP1606S 室外:FDCVP1406H	4.6	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDESV1406H6 室内:FDESZP1406 室外:FDCVP1406H	5.2									
	FDFV1406H5SB 室内:FDFZP1605SB 室外:FDCVP1406H	5.0									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

（3） 外気温が43℃を超える場所にユニットを据え付ける場合、電気配線は太さ:8.0mm²長さ:29mになります。

■三相200V機

《標準仕様》

形式＼項目(単位)		電源容量(kVA)	漏電しゃ断器定格容量	開閉器		配線用しゃ断器定格電流(A)	電源配線用		内外接続線太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
160シリーズ	FDTV1606H6SA 室内:FDTZP1606SA 室外:FDCVP1606H	5.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWV1606H6S 室内:FDTWZP1606S 室外:FDCVP1606H	6.7									
	FDRV1606H6S 室内:FDRZP1606S 室外:FDCVP1606H	6.1	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3(3)	26m(3)		3.5mm²	
	FDUV1606H6S 室内:FDUZP1606S 室外:FDCVP1606H	5.9									
	FDEV1606H6S 室内:FDEZP1606S 室外:FDCVP1606H	5.9	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDFV1606H5SB 室内:FDFZP1605SB 室外:FDCVP1606H	6.9									
224シリーズ	FDUV2246H5A 室内:FDUZP2245A 室外:FDCVP2246H	7.8	60A, 100mA, 0.1sec以下	60	60	60	14.0mm²×3	42m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
	FDEV2246H5A 室内:FDEZP2245A 室外:FDCVP2246H	7.6	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDFV2246H5 室内:FDFZP2245 室外:FDCVP2246H	7.9						31m	2.0mm²×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	
280シリーズ	FDUV2806H5A 室内:FDUZP2805A 室外:FDCVP2806H	11.7	60A, 100mA, 0.1sec以下	60	60	60	14.0mm²×3	42m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
	FDEV2806H5A 室内:FDEZP2805A 室外:FDCVP2806H	11.3	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDFV2806H5 室内:FDFZP2805 室外:FDCVP2806H	13.5						29m	2.0mm²×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。
（3） 外気温が43℃を超える場所にユニットを据え付ける場合、電気配線は太さ:8.0mm²長さ:29mになります。

■三相200V機

《ツイン仕様》

形式＼項目（単位）		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
112シリーズ	FDTV1126HP6SA 室内:FDTZP636SA x 2 室外:FDCVP1126H	3.1	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWV1126HP6S 室内:FDTWZP566S x 2 室外:FDCVP1126H	3.6									
	FDTSV1126HP6S 室内:FDTSZP636S x 2 室外:FDCVP1126H	3.5									
	FDRV1126HP6S 室内:FDRZP636S x 2 室外:FDCVP1126H	3.3	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3(3)	26m(3)		3.5mm²	
	FDUV1126HP6S 室内:FDUZP636S x 2 室外:FDCVP1126H	3.5									
	FDEV1126HP6S 室内:FDEZP566S x 2 室外:FDCVP1126H	3.8	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKV1126HP6S 室内:FDKZP566S x 2 室外:FDCVP1126H	4.0									
	FDFV1126HP5SB 室内:FDFZP635SB x 2 室外:FDCVP1126H	3.3									
140シリーズ	FDTV1406HP6SA 室内:FDTZP716SA x 2 室外:FDCVP1406H	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWV1406HP6S 室内:FDTWZP806S x 2 室外:FDCVP1406H	4.8									
	FDTSV1406HP6S 室内:FDTSZP806S x 2 室外:FDCVP1406H	4.7									
	FDRV1406HP6S 室内:FDRZP806S x 2 室外:FDCVP1406H	4.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3(3)	26m(3)		3.5mm²	
	FDUV1406HP6S 室内:FDUZP806S x 2 室外:FDCVP1406H	4.5									
	FDEV1406HP6S 室内:FDEZP806S x 2 室外:FDCVP1406H	4.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKV1406HP6S 室内:FDKZP1126S x 2 室外:FDCVP1406H	4.2									
	FDFV1406HP5SB 室内:FDFZP805SB x 2 室外:FDCVP1406H	4.8									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。
（3） 外気温が43℃を超える場所にユニットを据え付ける場合、電気配線は太さ:8.0mm²長さ:29mになります。

■三相200V機

《ツイン仕様》

	形式 ＼ 項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
160シリーズ	FDTV1606HP6SA 室内:FDTZP806SA x 2 室外:FDCVP1606H	4.7	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWV1606HP6S 室内:FDTWZP806S x 2 室外:FDCVP1606H	6.3									
	FDTSV1606HP6S 室内:FDTSZP806S x 2 室外:FDCVP1606H	6.2									
	FDRV1606HP6S 室内:FDRZP806S x 2 室外:FDCVP1606H	5.7	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3(3)	26m(3)		3.5mm²	
	FDUV1606HP6S 室内:FDUZP806S x 2 室外:FDCVP1606H	5.7									
	FDEV1606HP6S 室内:FDEZP806S x 2 室外:FDCVP1606H	5.4	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDESV1606HP6 室内:FDESZP806 x 2 室外:FDCVP1606H	5.2									
	FDKV1606HP6S 室内:FDKZP1126S x 2 室外:FDCVP1606H	5.5									
	FDFV1606HP5SB 室内:FDFZP805SB x 2 室外:FDCVP1606H	5.9									
224シリーズ	FDTV2246HP6SA 室内:FDTZP1606SA x 2 室外:FDCVP2246H	7.6	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
	FDTWV2246HP6S 室内:FDTWZP1406S x 2 室外:FDCVP2246H	8.2									
	FDRV2246HP6S 室内:FDRZP1126S x 2 室外:FDCVP2246H	8.4	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	14.0mm²×3	42m			
	FDUV2246HP6S 室内:FDUZP1126S x 2 室外:FDCVP2246H	8.4									
	FDEV2246HP6S 室内:FDEZP1606S x 2 室外:FDCVP2246H	8.0	50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50	8.0mm²×3	26m			
	FDKV2246HP6S 室内:FDKZP1126S x 2 室外:FDCVP2246H	8.6									
	FDFVP2246HP5SB 室内:FDFZP1605SB x 2 室外:FDCVP2246H	8.8						31m			

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。

（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

（3） 外気温が43℃を超える場所にユニットを据え付ける場合、電気配線は太さ:8.0mm²長さ:29mになります。

■三相200V機

《ツイン仕様》

	形式 ＼ 項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流 (A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
280シリーズ	FDTV2806HP6SA 室内:FDTZP1606SA x 2 室外:FDCVP2806H	11.1	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	3.5mm²	M5
	FDTWV2806HP6S 室内:FDTWZP1406S x 2 室外:FDCVP2806H	12.8									
	FDRV2806HP6S 室内:FDRZP1606S x 2 室外:FDCVP2806H	12.7	60A, 100mA, 0.1sec以下		60	60	14.0mm²×3	42m			
	FDUV2806HP6S 室内:FDUZP1606S x 2 室外:FDCVP2806H	12.8									
	FDEV2806HP6S 室内:FDEZP1606S x 2 室外:FDCVP2806H	11.9	50A, 100mA, 0.1sec以下		50	50	8.0mm²×3	26m			
	FDESV2806HP6 室内:FDESZP1406 x 2 室外:FDCVP2806H	12.4									
	FDFVP2806HP5SB 室内:FDFZP1605SB x 2 室外:FDCVP2806H	13.3						29m			

■三相200V機

《トリプル仕様》

	形式 ＼ 項目（単位）	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流 (A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
160シリーズ	FDTV1606HT6SA 室内:FDTZP636SA x 3 室外:FDCVP1606H	4.7	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3（70mまで） 3.5mm²×3（120mまで）	2.0mm²	M5
	FDTWV1606HT6S 室内:FDTWZP566S x 3 室外:FDCVP1606H	5.4									
	FDTSV1606HT6S 室内:FDTSZP506S x 3 室外:FDCVP1606H	5.7									
	FDRV1606HT6S 室内:FDRZP566S x 3 室外:FDCVP1606H	6.2	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3(3)	26m(3)		3.5mm²	
	FDEV1606HT6S 室内:FDEZP566S x 3 室外:FDCVP1606H	5.4	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKV1606HT6S 室内:FDKZP566S x 3 室外:FDCVP1606H	5.3									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。
（3） 外気温が43℃を超える場所にユニットを据え付ける場合、電気配線は太さ:8.0mm²長さ:29mになります。

■三相200V機

《トリプル仕様》

形式＼項目(単位)		電源容量(kVA)	漏電しゃ断器定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
224シリーズ	FDTV2246HT6SA 室内:FDTZP716SA x 3 室外:FDCVP2246H	8.0	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
224シリーズ	FDTWV2246HT6S 室内:FDTWZP806S x 3 室外:FDCVP2246H	9.1	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
224シリーズ	FDTSV2246HT6S 室内:FDTSZP806S x 3 室外:FDCVP2246H	8.9	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
224シリーズ	FDRV2246HT6S 室内:FDRZP806S x 3 室外:FDCVP2246H	8.4	60A, 100mA, 0.1sec以下	60	60	60	14.0mm²×3	42m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
224シリーズ	FDEV2246HT6S 室内:FDEZP806S x 3 室外:FDCVP2246H	7.9	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5

■三相200V機

《ダブルツイン仕様》

形式＼項目(単位)		電源容量(kVA)	漏電しゃ断器定格容量	手元開閉器 開閉器容量(A)	手元開閉器 B種ヒューズ(A)	配線用しゃ断器定格電流(A)	電源配線用 太さ×本数	電源配線用 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
224シリーズ	FDTV2246HD6SA 室内:FDTZP636SA x 4 室外:FDCVP2246H	7.3	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
224シリーズ	FDTWV2246HD6SA 室内:FDTWZP566S x 4 室外:FDCVP2246H	8.3	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
224シリーズ	FDRV2246HD6S 室内:FDRZP566S x 4 室外:FDCVP2246H	8.9	60A, 100mA, 0.1sec以下	60	60	60	14.0mm²×3	42m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
280シリーズ	FDTV2806HD6SA 室内:FDTZP716SA x 4 室外:FDCVP2806H	12.8	50A, 100mA, 0.1sec以下	60	50	50	8.0mm²×3	26m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
280シリーズ	FDRV2806HD6S 室内:FDRZP806S x 4 室外:FDCVP2806H	11.6	60A, 100mA, 0.1sec以下	60	60	60	14.0mm²×3	42m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5

〔備考〕共通

● 配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
これ以外の条件は内線規程により実施してください。

(3) 暖ガンハイパーインバータ

ヒータレス冷暖房機

■三相200V機

《標準仕様》

項目（単位） / 形式		電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDTK806H6SA 室内：FDTZP1606SA 室外：FDCKP806H	1.9	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWK806H6S 室内：FDTWZP1406S 室外：FDCKP806H	2.2									
	FDRK806H6S 室内：FDRZP1606S 室外：FDCKP806H	2.4	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUK806H6S 室内：FDUZP1606S 室外：FDCKP806H	2.2									
	FDEK806H6S 室内：FDEZP1606S 室外：FDCKP806H	2.1	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDESK806H6 室内：FDESZP806 室外：FDCKP806H	2.2									
	FDKK806H6S 室内：FDKZP1126S 室外：FDCKP806H	2.4									
	FDFK806H5SB 室内：FDFZP1605SB 室外：FDCKP806H	2.1									
112シリーズ	FDTK1126H6SA 室内:FDTZP1606SA 室外:FDCKP1126H	3.0	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWK1126H6S 室内:FDTWZP1406S 室外:FDCKP1126H	3.6									
	FDRK1126H6S 室内:FDRZP1606S 室外:FDCKP1126H	3.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUK1126H6S 室内:FDUZP1606S 室外:FDCKP1126H	3.5									
	FDEK1126H6S 室内:FDEZP1606S 室外:FDCKP1126H	3.4	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKK1126H6S 室内:FDKZP1126S 室外:FDCKP1126H	3.6									
	FDFK1126H5SB 室内:FDFZP1605SB 室外:FDCKP1126H	4.0									

〔備考〕共通
（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

■三相200V機

《ツイン仕様》

	形式	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	電源配線用		内外接続線 太さ×本数	アース線	
				開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		太さ×本数	こう長		太さ	ねじ
80シリーズ	FDTK806HP6SA 室内:FDTZP716SA x 2 室外:FDCKP806H	1.7	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWK806HP6S 室内:FDTWZP806S x 2 室外:FDCKP806H	2.1									
	FDRK806HP6S 室内:FDRZP806S x 2 室外:FDCKP806H	2.6	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUK806HP6S 室内:FDUZP806S x 2 室外:FDCKP806H	2.1									
	FDEK806HP6S 室内:FDEZP806S x 2 室外:FDCKP806H	2.1	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKK806HP6S 室内:FDKZP1126S x 2 室外:FDCKP806H	2.1									
	FDFK806HP5SB 室内:FDFZP805SB x 2 室外:FDCKP806H	2.2									
112シリーズ	FDTK1126HP6SA 室内:FDTZP1126SA x 2 室外:FDCKP1126H	2.9	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m	φ1.6mm×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (105mまで)	2.0mm²	M5
	FDTWK1126HP6S 室内:FDTWZP806S x 2 室外:FDCKP1126H	3.3									
	FDRK1126HP6S 室内:FDRZP806S x 2 室外:FDCKP1126H	3.5	40A, 100mA, 0.1sec以下	60	40	40	5.5mm²×3	26m		3.5mm²	
	FDUK1126HP6S 室内:FDUZP806S x 2 室外:FDCKP1126H	3.5									
	FDEK1126HP6S 室内:FDEZP806S x 2 室外:FDCKP1126H	3.2	30A, 30mA, 0.1sec以下	30	30	30	3.5mm²×3	19m		2.0mm²	
	FDKK1126HP6S 室内:FDKZP1126S x 2 室外:FDCKP1126H	3.1									
	FDFK1126HP5SB 室内:FDFZP805SB x 2 室外:FDCKP1126H	3.2									

〔備考〕共通

（1） 配線こう長は電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は，内線規程により配線太さを見直してください。
（2） シングル機を複数台制御する時は，電源容量は形式毎の容量の加算値としてください。

1.11 防振設計用参考資料

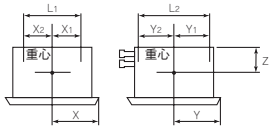
(1) エクシードハイパーシリーズ

(a) 耐震データ

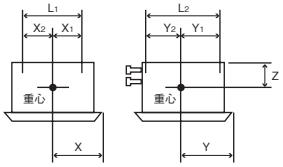
(i) 室内ユニット

形式 ＼ 項目		製品外形寸法 (1) 幅×奥行×高さ (mm)	(1) 製品質量 (kg)	重心位置 (mm) (2)								
				幅方向				奥行方向				高さ
				X	X_1	X_2	L_1	Y	Y_1	Y_2	L_2	Z
FDTシリーズ	FDTZP636SA	950×950×271	26	470	384	394	778	470	360	365	725	100
	FDTZP716SA											
	FDTZP806SA	950×950×333	29.5	465	378	400	778	490	348	377	725	135
	FDTZP1606SA		32									
FDTCシリーズ	FDTCZP566S	620×620×258	17	314	269	261	530	335	310	220	530	77
FDTWシリーズ	FDTWZP566S	1120×680×345	29.5	525	407.5	477.5	885	340	223	223	446	110
	FDTWZP636S		31.5									
	FDTWZP806S											
	FDTWZP1406S	1835×680×345	48	867.5	750	850	1600	340	223	223	446	105
	FDTWZP1606S		50									
FDTSシリーズ	FDTSZP506S	1460×650×255	33	655	520	670	1190	274.5	214	304	518	110
	FDTSZP636S		34									
	FDTSZP806S											
FDRシリーズ	FDRZP566S	1040×750×368	39	494	327	459	786	343	257.5	214.5	472	167
	FDRZP636S	1240×750×368	45.4	616	449	537	986	343	257.5	214.5	472	173
	FDRZP806S											
	FDRZP1126S	1658×850×368	71	798	631	773	1404	405	319.5	210.5	530	167
	FDRZP1606S											
FDUシリーズ	FDUZP566S	750×635×280	29	300	318	468	786	275	247	225	472	115
	FDUZP636S	950×635×280	34	430	448	538	986	275	247	225	472	125
	FDUZP806S											
	FDUZP1126S	1368×738×280	54	603	621	783	1404	343	315	215	530	120
	FDUZP1606S											
	FDUZP2245A	1600×893×379	89	675	692	942	1634	382	357	474	831	183
	FDUZP2805A											

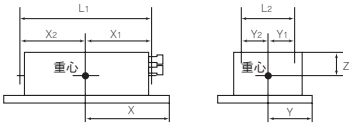
FDT形



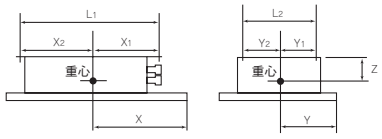
FDTC形



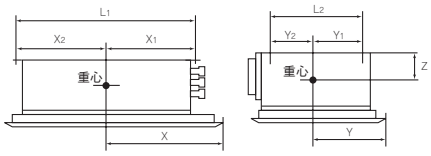
FDTW形



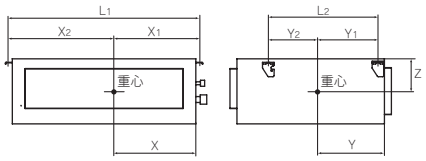
FDTS形



FDR形



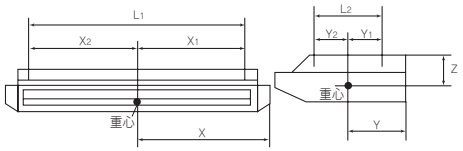
FDU形



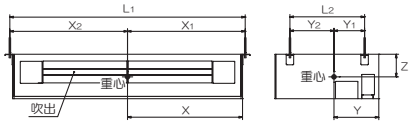
形式＼項目		製品外形寸法(1) 幅×奥行×高さ (mm)	(1) 製品質量 (kg)	重心位置（mm）(2) 幅方向 X	X1	X2	L1	奥行方向 Y	Y1	Y2	L2	高さ Z
FDEシリーズ	FDEZP566S	1070×690×210	28	530	506	516	1022	302	185	105	290	92
	FDEZP636S	1320×690×210	33	638	614	658	1272	302	185	105	290	93
	FDEZP806S											
	FDEZP1606S	1620×690×250	43	814	790	782	1572	334	153	137	290	110
	FDEZP2245A	2000×830×350	114	1000	995	995	1990	380	180	220	400	175
	FDEZP2805A											
FDESシリーズ	FDESZP806	1540×695×295	66	770	788	788	1576	300	250	295	500	150
	FDESZP1406		69									
FDFシリーズ	FDFZP635SB	600×329×1850	46	330	341	281	622	159	-	-	-	920
	FDFZP805SB		47									
	FDFZP1605SB		49									
	FDFZP2245	1200×320×1850	110	600	682	541	1223	159	-	-	-	920
	FDFZP2805											

注（1）FDT ・ FDTWシリーズは標準パネル装着時を示しています。
（2）L1（X1, X2）, L2（Y1, Y2）寸法は据付ボルトの位置を示します。
（3）FDRシリーズはサイレント仕様を示します。

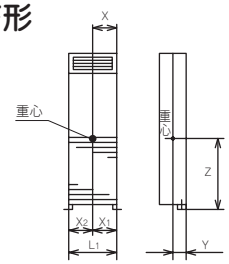
FDE形



FDES形



FDF形

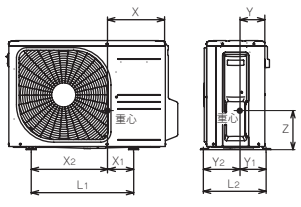


(ii) **室外ユニット**

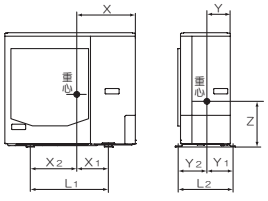
形式＼項目	製品外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 (kg)	重心位置（mm）(1) 幅方向 X	X1	X2	L1	奥行方向 Y	Y1	Y2	L2	高さ Z
FDCZP406HK	800（+71）×290×640	47	292	91	419	510	152	158	154.5	312.5	292
FDCZP456HK											
FDCZP506HK											
FDCZP566HK											
FDCZP636HK											
FDCZP406H		46									
FDCZP456H											
FDCZP506H											
FDCZP566H											
FDCZP636H											
FDCZP806HK, 806H	970×370×845	70	382	181	399	580	187	207	203	410	382
FDCZP1126H	970×370×1505	115	385	184	396	580	191	211	199	410	668
FDCZP1406H											
FDCZP1606H											
FDCZP2246H	970×370×1505	130	399	199	381	580	187	203	207	410	692
FDCZP2806H											

注（1）L1（X1, X2）, L2（Y1, Y2）寸法は据付ボルトの位置を示します。

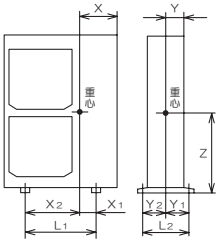
・P406～P636形



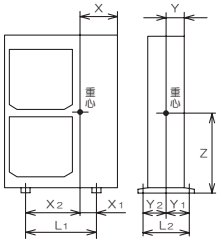
・P806形



・P1126 ～ P1606形



・P2246,P2806形



(b) 防振データ

(i) 室内ユニット

(50/60Hz)

形式 ＼ 項目	送風機回転数 (1) (min^{-1})
FDTZP636SA, 716SA	630
FDTZP806SA	
FDTZP1606SA	770
FDTCZP566S	935
FDTWZP566S	950
FDTWZP636S	995
FDTWZP806S	1120
FDTWZP1406S	1050
FDTWZP1606S	1080
FDTSZP506S(P40, P45 設定)	995
FDTSZP506S(P50 設定)	1140
FDTSZP636S(P56 設定)	1170
FDTSZP636S(P63 設定)	1278
FDTSZP806S	1412
FDEZP566S	1170
FDEZP636S	1230
FDEZP806S	1330
FDEZP1606S(P112 設定)	1075
FDEZP1606S(P140 設定)	1200
FDEZP1606S(P160 設定)	1250
FDEZP2245A	840/880
FDEZP2805A	
FDESZP806	1355/1560
FDESZP1406	

形式 ＼ 項目	送風機回転数 (1)(2) (min^{-1})
FDRZP566S(P40, P45, P50 設定)	1040
FDRZP566S(P56 設定)	1046
FDRZP636S	1080
FDRZP806S	1230
FDRZP1126S	1260
FDRZP1606S(P140 設定)	1350
FDRZP1606S(P160 設定)	1570
FDUZP566S	1070
FDUZP636S	980
FDUZP806S	1120
FDUZP1126S	980
FDUZP1606S(P140 設定)	1020
FDUZP1606S(P160 設定)	1200
FDUZP2245A	1370
FDUZP2805A	
FDKZP566S(P40, P45 設定)	1065
FDKZP566S(P50, P56 設定)	1200
FDKZP636S	850
FDKZP1126S	1400
FDFZP635SB(P50 設定)	355
FDFZP635SB(P63 設定)	
FDFZP805SB	
FDFZP1605SB(P112 設定)	580
FDFZP1605SB(P140 設定)	
FDFZP1605SB(P160 設定)	
FDFZP2245	570/565
FDFZP2805	

注（1）P急運転時の数値を示します。
（2）FDR，FDUシリーズは機外静圧10Paでの数値を示します。

(ii) 室外ユニット

(冷房/暖房)

形式 ＼ 項目	圧縮機回転数 (min^{-1})	送風機回転数 (min^{-1})
FDCZP406HK, 406H	3600/5520	685/685
FDCZP456HK, 456H	3900/5520	
FDCZP506HK, 506H	4200/7200	800/685
FDCZP566HK, 566H	4500/7440	
FDCZP636HK, 636H	4800/7440	800/800

注　急運転時の数値を示します。

形式 ＼ 項目	圧縮機回転数 (min^{-1})	送風機回転数 (min^{-1})
FDCZP806HK, 806H	6600	750
FDCZP1126H	7200	800
FDCZP1406H	7800	800
FDCZP1606H		
FDCZP2246H	7200/7800	950/950
FDCZP2806H	7200/7800	950/950

注　急運転時の数値を示します。

(2) ハイパーインバータシリーズ

(a) 耐震データ

(i) 室内ユニット

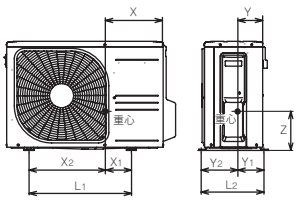
エクシードハイパーシリーズと同値となります。

(ii) 室外ユニット

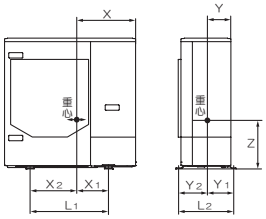
項目 / 形式	製品外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 (kg)	重心位置 (mm) (1)								
			幅方向				奥行方向				高さ
			X	X_1	X_2	L_1	Y	Y_1	Y_2	L_2	Z
FDCVP406HK	800（+71）×290×640	47	292	91	419	510	152	158	154.5	312.5	292
FDCVP456HK											
FDCVP506HK											
FDCVP566HK											
FDCVP636HK											
FDCVP406H		46									
FDCVP456H											
FDCVP506H											
FDCVP566H											
FDCVP636H											
FDCVP806HK	800（+71）×290×640	47	295	94	416	510	146	153	160	313	298
FDCVP806H		43	307	106	404	510	145	152	161	313	281
FDCVP1126H	970×370×1050	86	387	196	384	580	180	200	210	410	415
FDCVP1406H											
FDCVP1606H											
FDCVP2246H	970×370×1505	130	399	199	381	580	187	203	207	410	692
FDCVP2806H											

注（1）L_1（X_1, X_2）, L_2（Y_1, Y_2）寸法は据付ボルトの位置を示します。

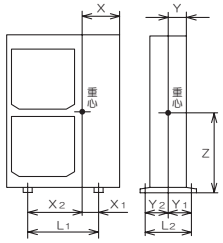
・P406～P806形



・P1126～P1606形



・P2246,P2806形



⑹ 防振データ

(i) 室内ユニット

エクシードハイパーシリーズと同値となります。

(ii) 室外ユニット

（冷房/暖房）

形式 ＼ 項目	圧縮機回転数 (min^{-1})	送風機回転数 (min^{-1})
FDCVP406HK, 406H	3600/5520	685/685
FDCVP456HK, 456H	3900/5520	
FDCVP506HK, 506H	4200/7200	800/685
FDCVP566HK, 566H	5280/7200	
FDCVP636HK, 636H	6600/7200	800/800
FDCVP806HK, 806H	5700/7800	960/960

（冷房/暖房）

形式 ＼ 項目	圧縮機回転数 (min^{-1})	送風機回転数 (min^{-1})
FDCVP1126H	6600	970
FDCVP1406H	7200	970
FDCVP1606H		
FDCVP2246H	7200/7800	950/950
FDCVP2806H	7200/7800	950/950

注　急運転時の数値を示します。

(3) 暖ガンハイパーインバータシリーズ

(a) 耐震データ

(i) 室内ユニット

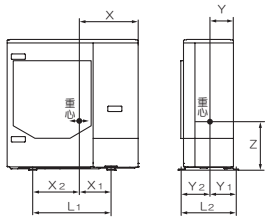
エクシードハイパーシリーズと同値となります。

(ii) 室外ユニット

項目 / 形式	製品外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 (kg)	重心位置 (mm) (1)								
			幅方向				奥行方向				高さ
			X	X_1	X_2	L_1	Y	Y_1	Y_2	L_2	Z
FDCKP806H FDCKP1126H	970×370×1050	92	361	170	410	580	210	230	180	410	491

注（1）L_1（X_1, X_2）, L_2（Y_1, Y_2）寸法は据付ボルトの位置を示します。

・P806，P1126形



(b) 防振データ

(i) 室内ユニット

エクシードハイパーシリーズと同値となります。

(ii) 室外ユニット

（冷房/暖房）

項目 / 形式	圧縮機回転数 (min^{-1})	送風機回転数 (min^{-1})
FDCKP806H	3000/7800	970
FDCKP1126H	3300/7800	

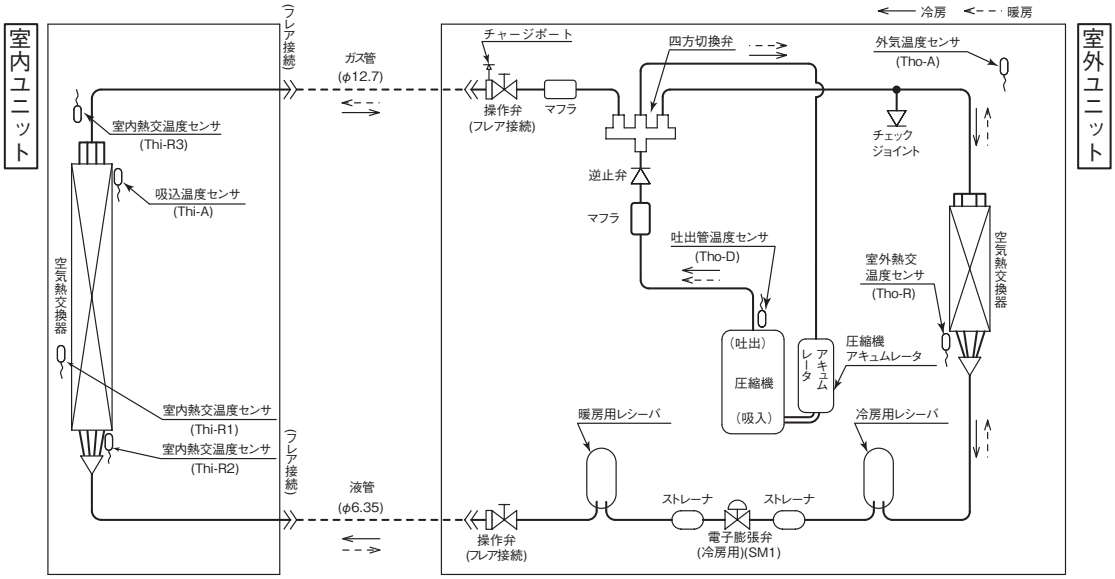
注　急運転時の数値を示します。

1.12 冷媒配管系統図

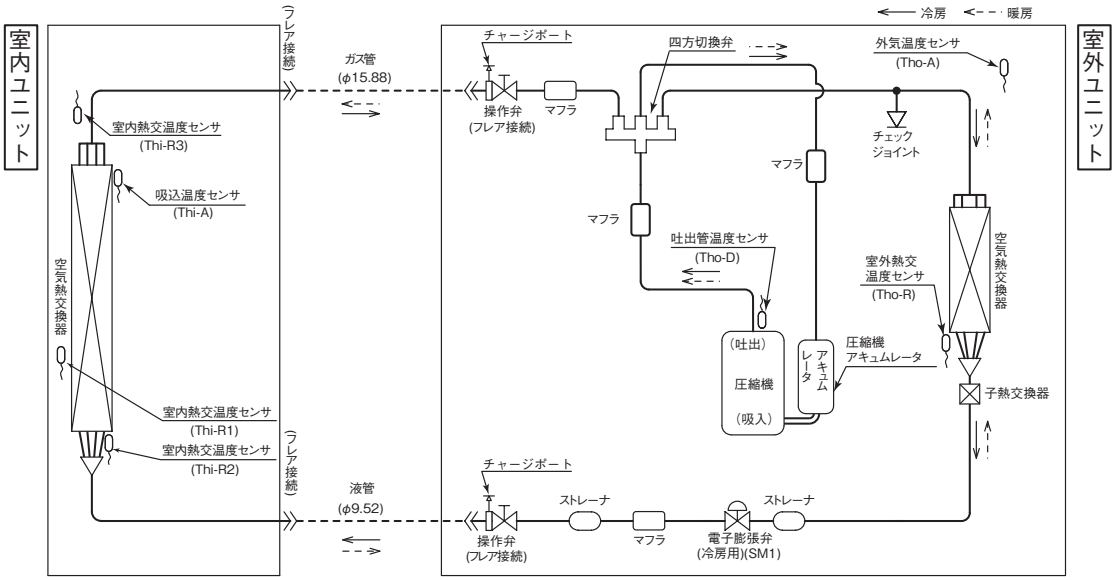
(1) エクシードハイパーシリーズ , ハイパーインバータシリーズ

(a) シングル形

P406～P636形



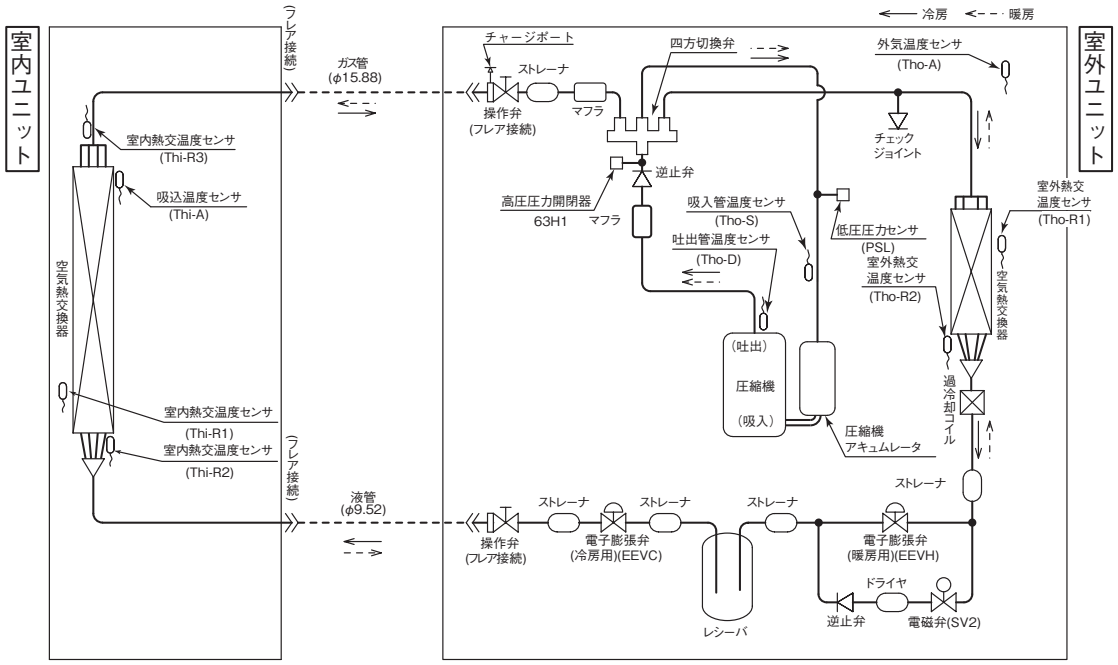
VP806形



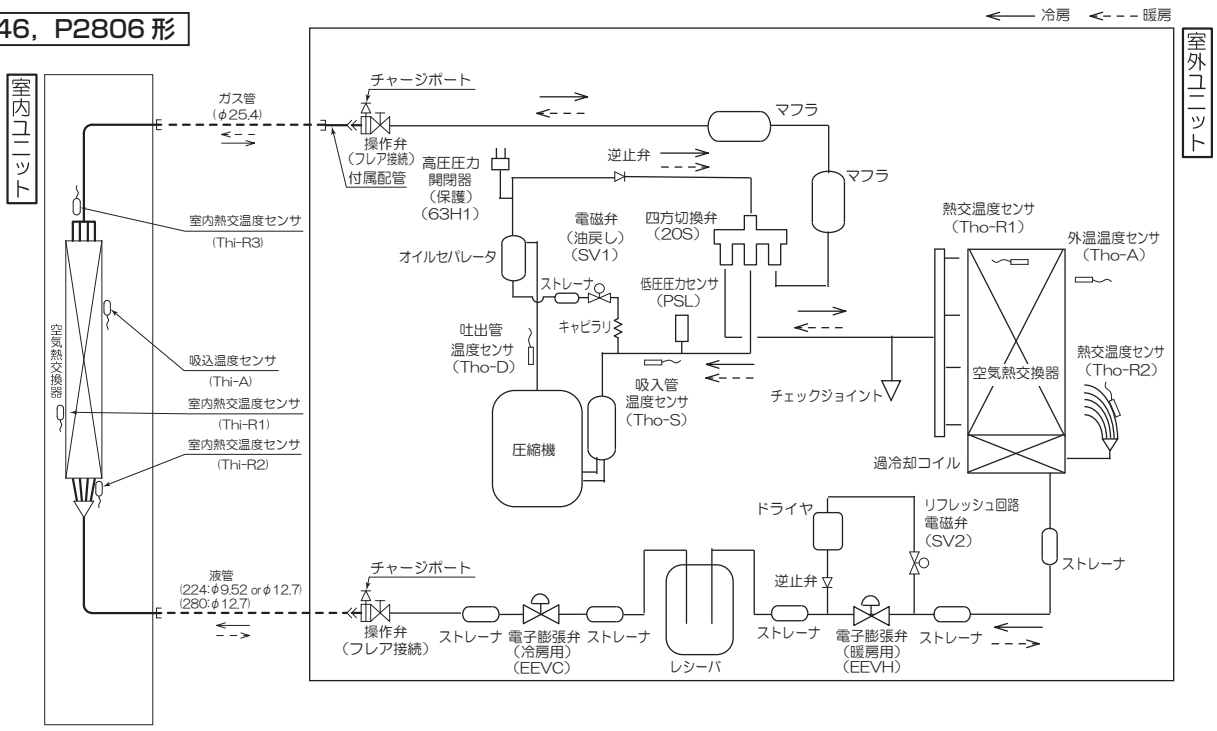
設定値一覧表 (運転停止に至る代表的な設定値を示します。詳細は室内，室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。)

名称 ＼ 形式	設定値
	ZP406～ZP636, VP406～VP806形
室内熱交温度センサ(Thi-R1,2)	1.0 OFF/10 ON (℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/56 ON (℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交温度センサ(Tho-R)	62 OFF/50 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/95 ON (℃)…吐出管温度異常上昇保護

ZP806形
P1126～P1606形



P2246，P2806形

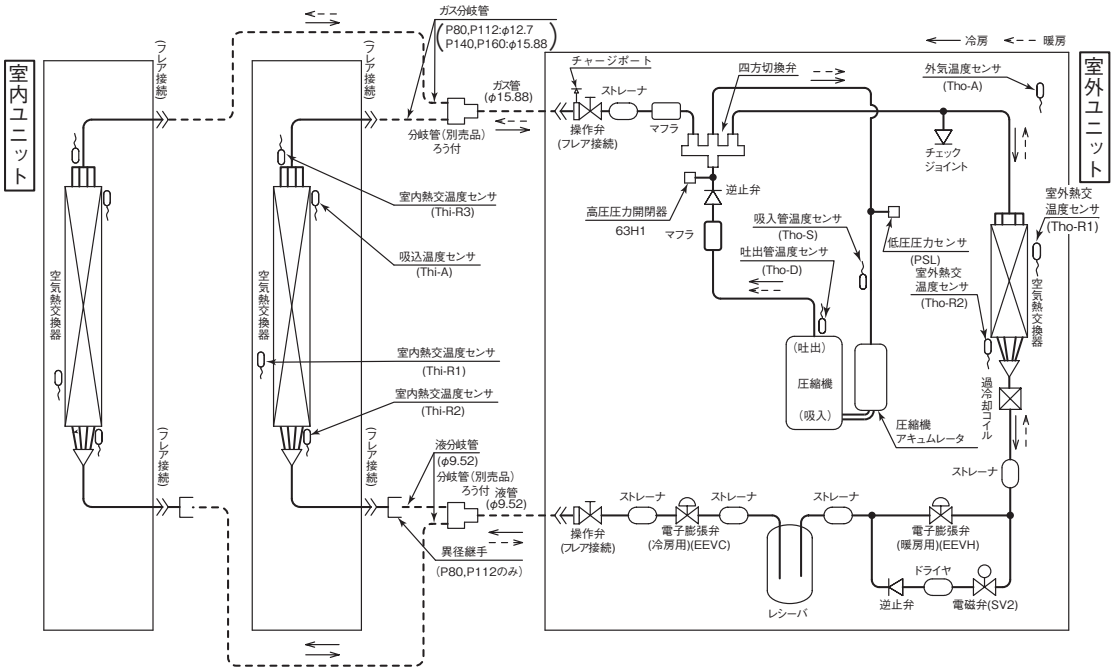


設定値一覧表(運転停止に至る代表的な設定値を示します。詳細は室内，室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。)

形式 / 名称	設定値
	ZP806，P1126～P2806形
室内熱交温度センサ(Thi-R1，2)	1.0 OFF/10 ON (℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/56 ON (℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交温度センサ(Tho-R1，2)	63 OFF/51 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/85 ON (℃)…吐出管温度異常上昇保護
高圧圧力開閉器(63H1)	4.15開/3.15閉(MPa)…高圧保護
低圧圧力センサ(PSL)	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)…低圧保護

(b) ツイン形

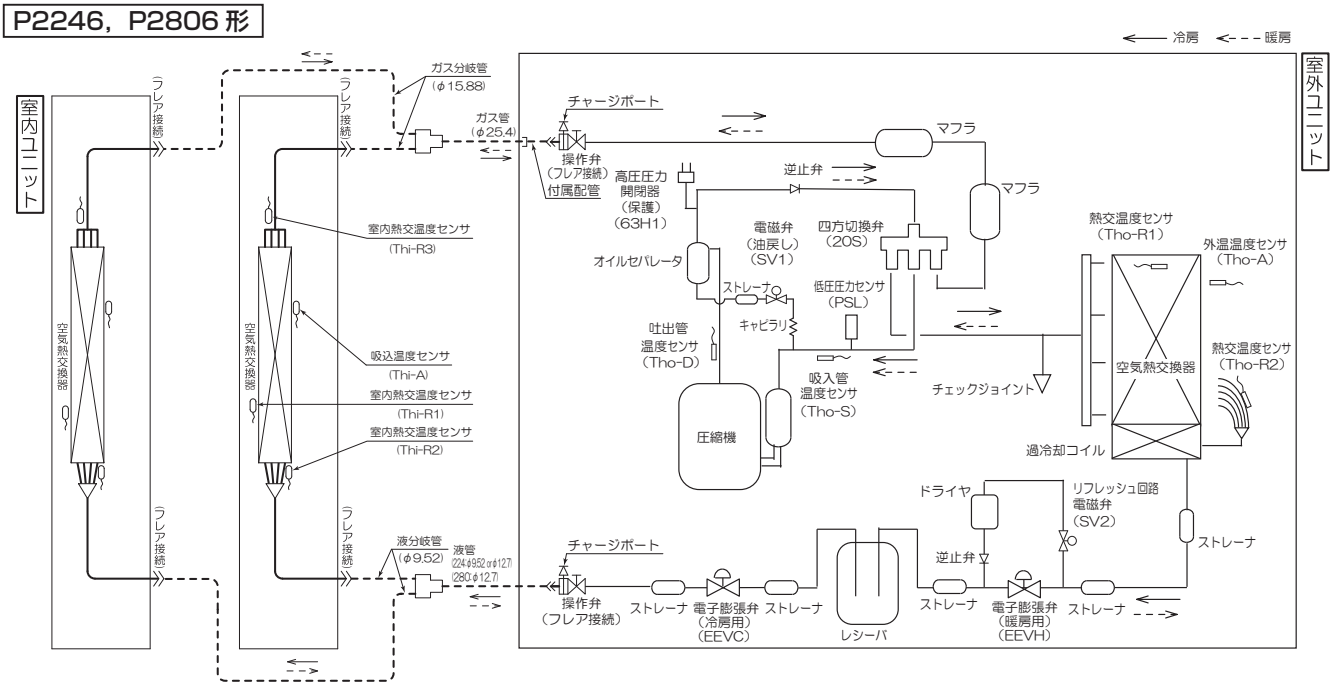
ZP806形
P1126～P1606形



設定値一覧表（運転停止に至る代表的な設定値を示します。 詳細は室内, 室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。）

形式 / 名称	設定値
	ZP806, P1126～P1606形
室内熱交センサ(Thi-R1,2)	1.0 OFF/10 ON(℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/56 ON(℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交センサ(Tho-R1,2)	63 OFF/51 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/85 ON(℃)…吐出管温度異常上昇保護
高圧圧力開閉器(63H1)	4.15 開/3.15 閉(MPa)…高圧保護
低圧圧力センサ(PSL)	0.079 OFF/0.227 ON(MPa)…低圧保護

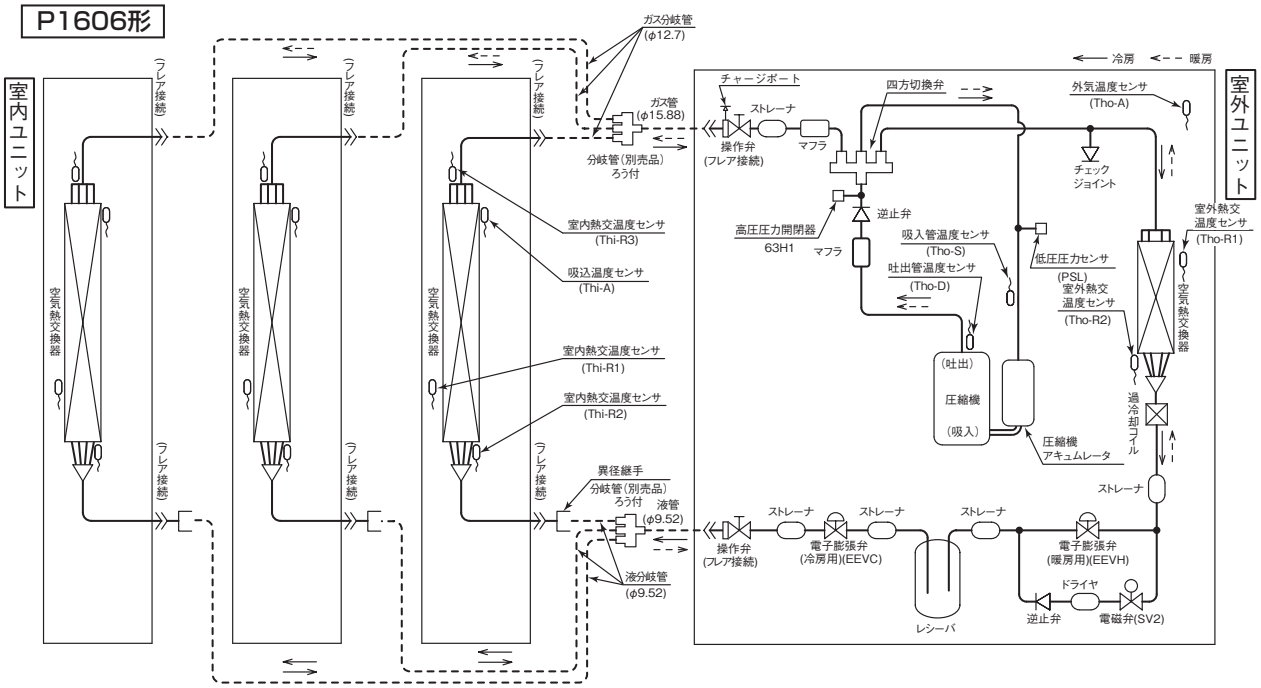
P2246，P2806 形



設定値一覧表(運転停止に至る代表的な設定値を示します。詳細は室内，室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。)

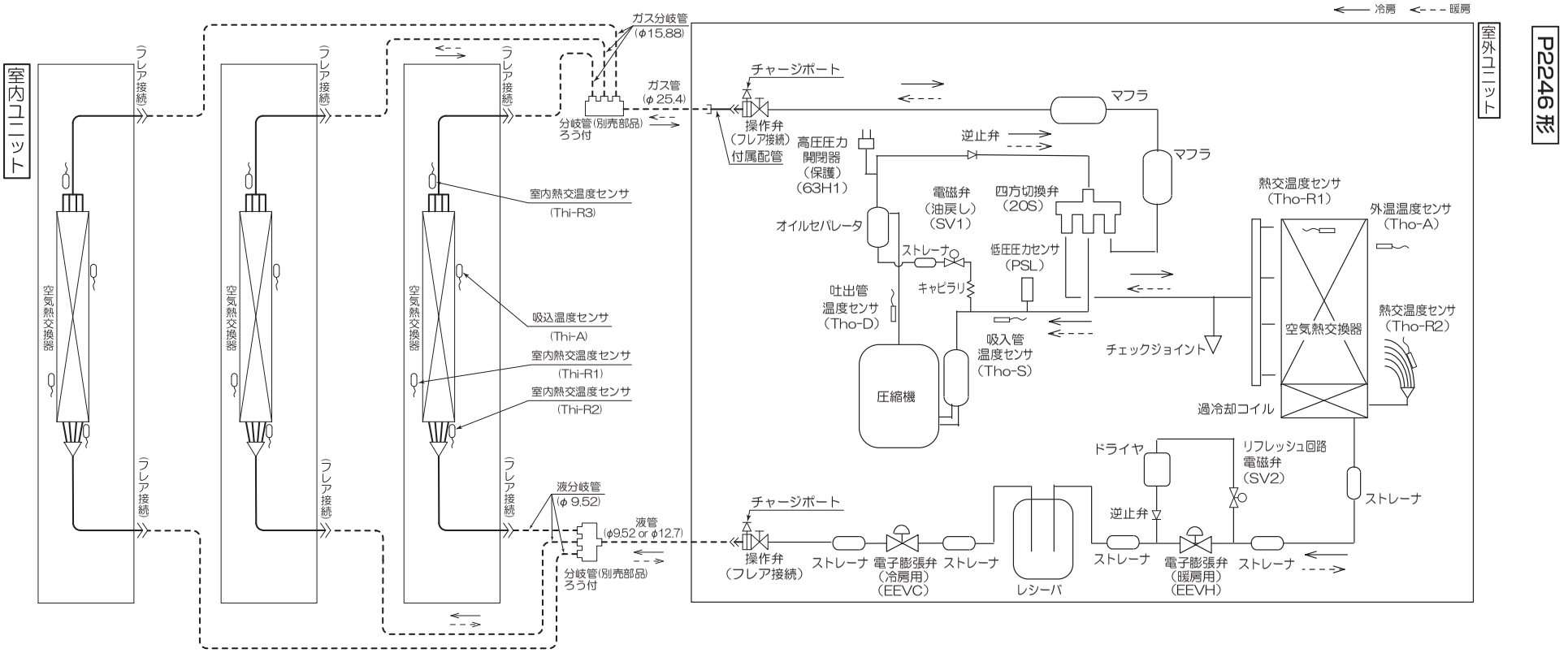
形式 / 名称	設定値
	P2246，P2806形
室内熱交温度センサ(Thi-R1, 2)	1.0 OFF/10 ON (℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/56 ON (℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交温度センサ(Tho-R1, 2)	63 OFF/51 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/85 ON (℃)…吐出管温度異常上昇保護
高圧圧力開閉器(63H1)	4.15開/3.15閉(MPa)…高圧保護
低圧圧力センサ(PSL)	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)…低圧保護

(c) トリプル形



設定値一覧表 (運転停止に至る代表的な設定値を示します。詳細は室内，室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。)

形式 / 名称	設定値
	P1606形
室内熱交温度センサ(Thi-R1,2)	1.0 OFF/10 ON (℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/56 ON (℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交温度センサ(Tho-R1,2)	63 OFF/51 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/85 ON (℃)…吐出管温度異常上昇保護
高圧圧力開閉器(63H1)	4.15開/3.15閉(MPa)…高圧保護
低圧圧力センサ(PSL)	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)…低圧保護

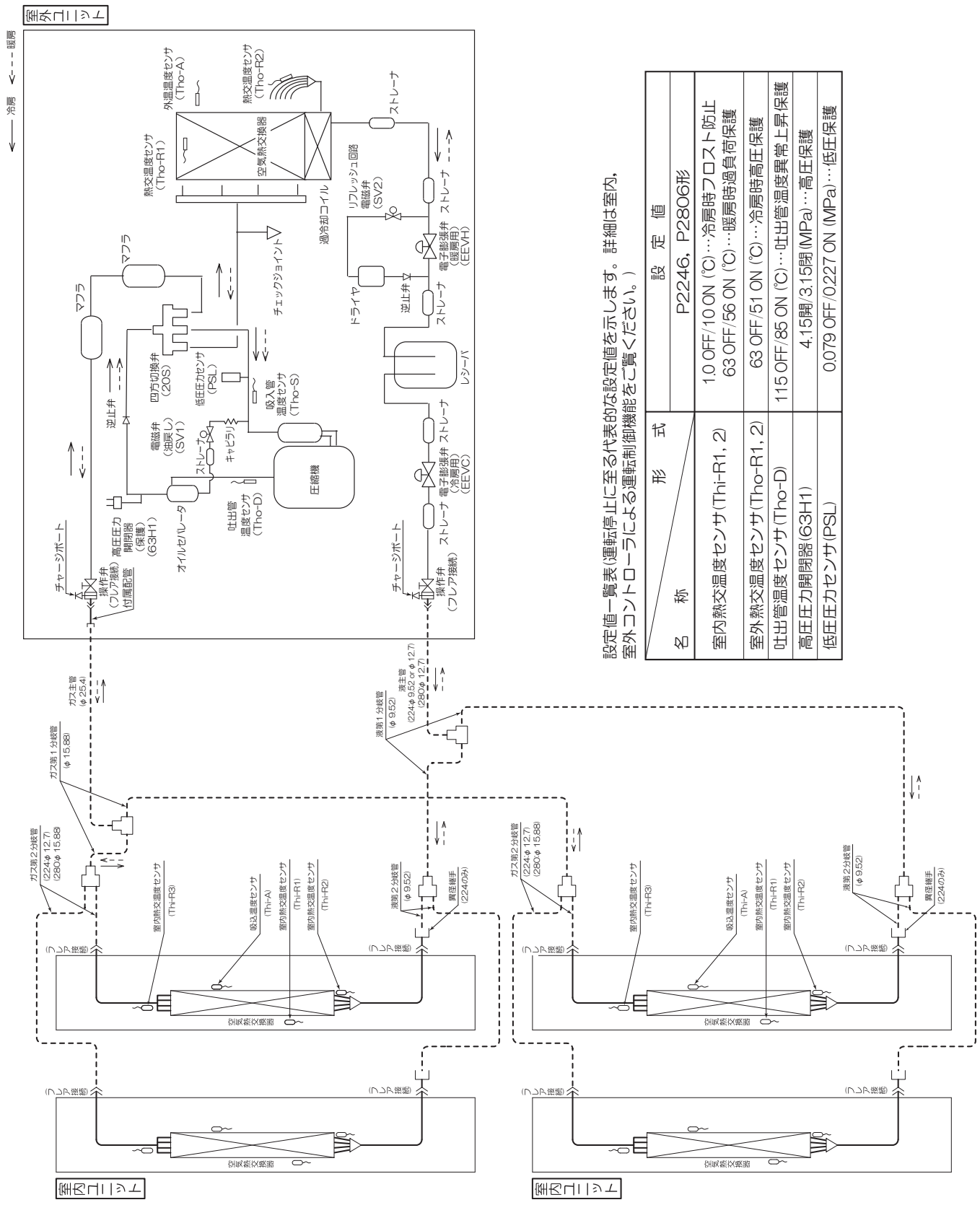


設定値一覧表(運転停止に至る代表的な設定値を示します。詳細は室内，室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。)

形式 / 名称	設定値
	P2246形
室内熱交温度センサ(Thi-R1, 2)	1.0 OFF/10 ON (℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/56 ON (℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交温度センサ(Tho-R1, 2)	63 OFF/51 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/85 ON (℃)…吐出管温度異常上昇保護
高圧圧力開閉器(63H1)	4.15開/3.15閉(MPa)…高圧保護
低圧圧力センサ(PSL)	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)…低圧保護

(d) **ダブルツイン形**

P2246，P2806 形



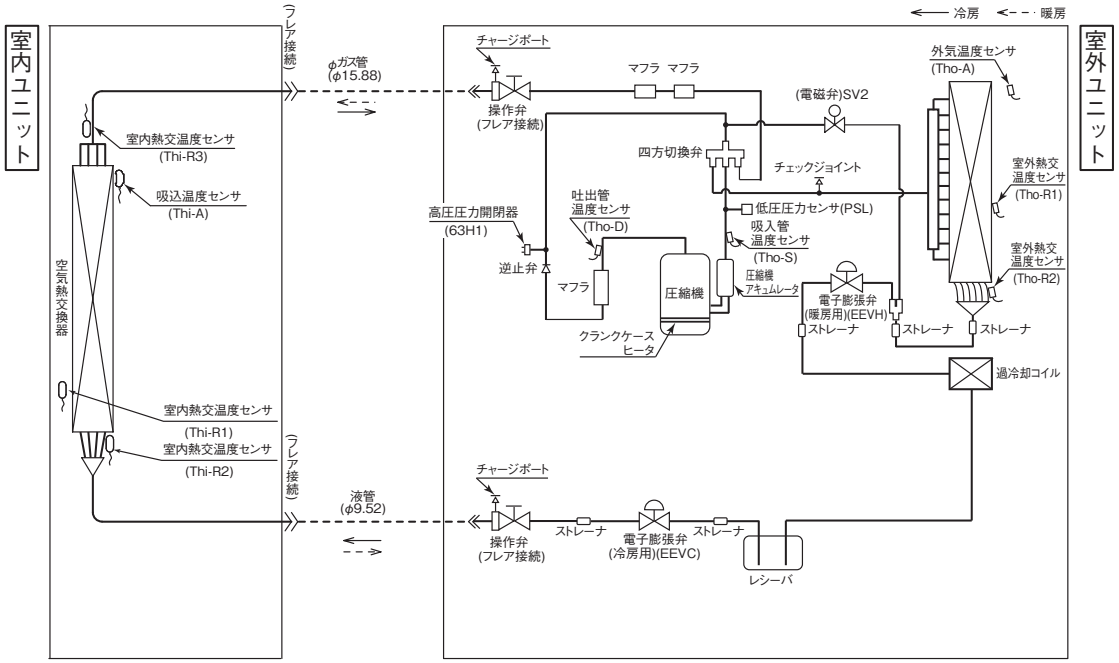
設定値一覧表(運転停止に至る代表的な設定値を示します。詳細は室内，室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。)

名称 ＼ 形式	設定値
	P2246，P2806形
室内熱交温度センサ(Thi-R1，2)	1.0 OFF/10 ON (℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/56 ON (℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交温度センサ(Tho-R1，2)	63 OFF/51 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/85 ON (℃)…吐出管温度異常上昇保護
高圧圧力開閉器(63H1)	4.15開/3.15閉(MPa)…高圧保護
低圧圧力センサ(PSL)	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)…低圧保護

(2) 暖ガンハイパーインバータシリーズ

(a) シングル形

KP806，1126形

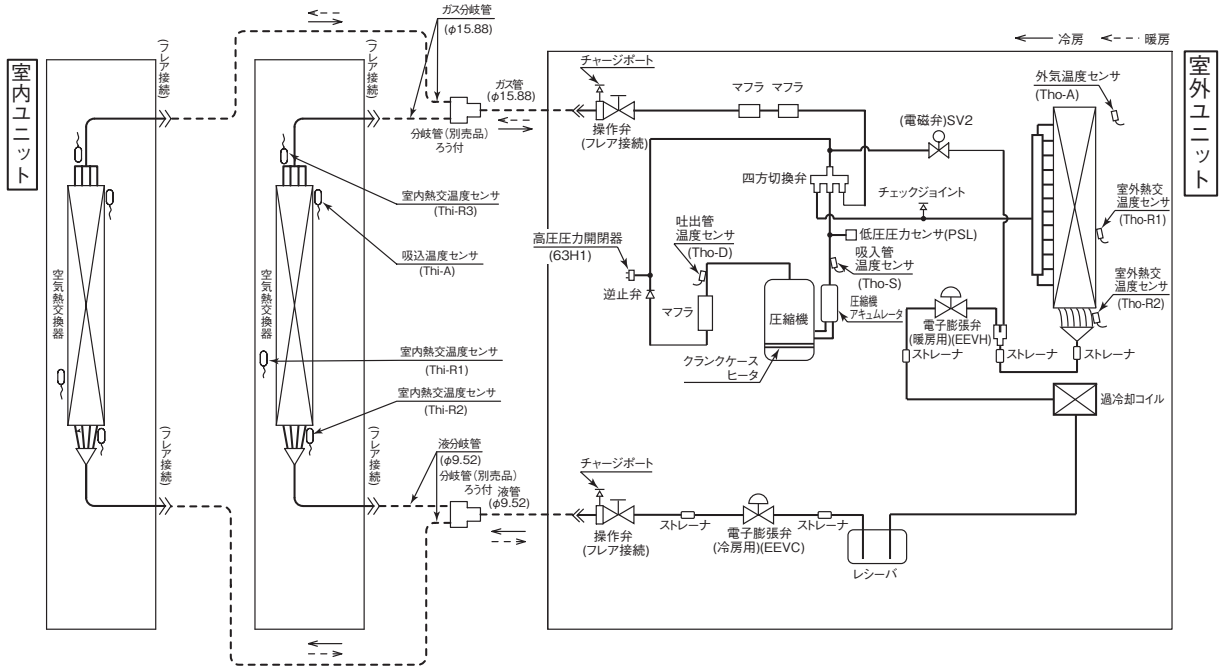


設定値一覧表(運転停止に至る代表的な設定値を示します。詳細は室内，室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。)

形式 / 名称	設定値
	KP806，1126形
室内熱交温度センサ(Thi-R1，2)	1.0 OFF/10 ON (℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/47 ON (℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交温度センサ(Tho-R1，2)	63 OFF/51 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/85 ON (℃)…吐出管温度異常上昇保護
高圧圧力開閉器(63H1)	4.15開/3.15閉(MPa)…高圧保護
低圧圧力センサ(PSL)	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)…低圧保護

(b) ツイン形

KP806，1126 形



設定値一覧表(運転停止に至る代表的な設定値を示します。詳細は室内，室外コントローラによる運転制御機能をご覧ください。)

形式 / 名称	設定値
	KP806, 1126形
室内熱交センサ(Thi-R1,2)	1.0 OFF/10 ON(℃)…冷房時フロスト防止 63 OFF/47 ON(℃)…暖房時過負荷保護
室外熱交センサ(Tho-R1,2)	63 OFF/51 ON (℃)…冷房時高圧保護
吐出管温度センサ(Tho-D)	115 OFF/85 ON(℃)…吐出管温度異常上昇保護
高圧圧力開閉器(63H1)	4.15 開/3.15 閉(MPa)…高圧保護
低圧圧力センサ(PSL)	0.079 OFF/0.227 ON(MPa)…低圧保護

1.13 据付関連事項

(1) 室内ユニット

PSC012D219

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | ❗⏚ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用を使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●エアコンの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。	⏚
●漏電しゃ断器は必ず取付ける。 漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。	❗
●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。 不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。	❗

⚠注意のつづき

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、スプレー類がかかる所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じる恐れがあります。
（天吊耐油形の場合）湿度 70% で長時間運転した場合も同様に室内ユニットから露が滴下し損害が生じる恐れがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか､覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井･床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。また、除菌剤等のスプレー類をエアコンに直接吹きかけない。
感電や部品が腐食したりする原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

●（天吊耐油形の場合）耐油用エアコンは厨房や工場の油を吸い取る機器ではありません。
油煙などの排出にはレンジフードなどの専用の排気装置を設けてください。

●（天吊耐油形の場合）食品の熱さましなど室内ユニットから吹出した風を直接当てる使用は止めてください。
露が滴下する恐れがあります。

●（天吊耐油形の場合）ドレンポンプを使用の場合は定期的に内部洗浄を実施する。
一年以上清掃を行わないと故障して排水できなくなる場合があります。

(a) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDT）

(i) 室内ユニットの据付

PJF012D078AA Ⓐ

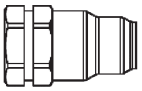
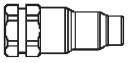
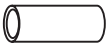
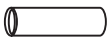
本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。「室内ユニット据付工事安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。
●この製品には UV-C LED ランプが搭載されています。
●点検時に、紫外線の危険記号で示されている部品は、なるべく取外さないようにお願い致します。
●電気配線（室内ユニット）は、693ページをご覧ください。
●ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
●ワイヤレスキットの取付方法は、1221ページをご覧ください。
●安全遮断弁の取付方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
●冷媒検知警報器の取付方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
●室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
また、故障診断は、858，997ページまたは1108ページをご覧ください。本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

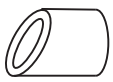
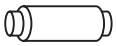
①据付前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
○機種・電源仕様　○配管・配線・小物部品　○付属品

室内ユニットを移動させるときは吊金具(４か所)を持ち、他の部分(特に冷媒配管、ドレン配管および樹脂部品)には、力を加えないでください。

付属品

室内ユニット吊り込み用		冷媒配管用				
平座金(M10)	レベルゲージおよび平座金仮固定	ねじ接合継手(大)※	ねじ接合継手(小)※	パイプカバー(大)	パイプカバー(小)	バンド
						
8個	1個	1個	1個	1個	1個	4本
吊りボルト用	室内ユニットの位置調整および吊り込み時の補助用	ガス管接続用	液管接続用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用

ドレン配管用					コントロール用
パイプカバー(大)	パイプカバー(小)	ドレンホース	ホースクランプ	抗菌材	解除ピン※
					
1個	1個	1個	1個	1個	1本
ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付け用	ドレンパン防汚用	インターロック解除用

※R32ビル用マルチ機のみ付属しています。

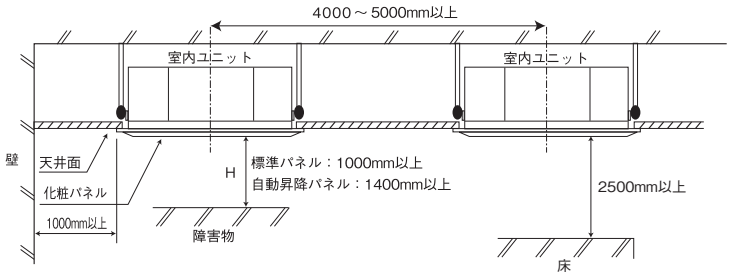
②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
人感センサを使用する場合、据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。
〔室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付け作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４～５ｍ以上離して設置してください。

②室内ユニットの据付場所の選定のつづき

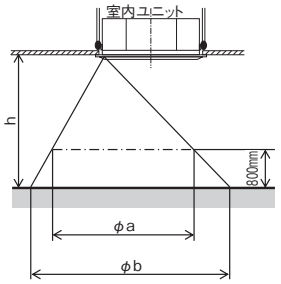
室内ユニット据付スペース

●室内ユニットー壁、室内ユニットー室内ユニット間など、間隔がとれない場合は、
そちら側の吹出口をしゃ風しショートサーキットしないことを確認してください。
●**据付高さは２．５m以上としてください。**2.5m 未満となる場合はファンガード（別売）
を取付てください。



埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続箇所の
点検が可能なように点検口などを設けてください。

人感センサ検知範囲の目安



天井高さ　h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①　φa [m]	約 4.5	約 6.4	約 7.6
検知範囲②　φb [m]	約 6.4	約 8.3	約 9.5

吹出パターンの設定

●部屋の形や据付位置に最適な吹出方向を４方向・３方向・２方向から選定してください。(１方向はできません。)
●吹出口数を変更する場合は、別売のしゃ風材を手配してください。
●２方向・３方向吹出の場合は風量「弱」での使用は避けてください。
●高温・多湿環境での２方向吹出は行わないでください。(結露・水漏れの原因になります。)
●吹出ルーバの上下位置の設定などによりさまざまな吹出パターンが設定できます。設定方法は取扱説明書をご覧ください。

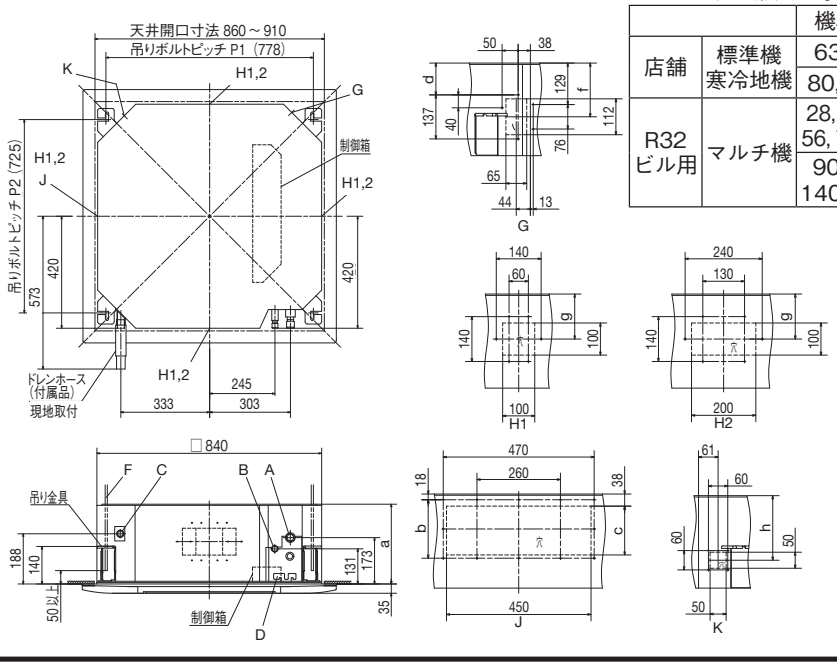
③据付準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０ or Ｍ８）を４組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置

※:ユニット形式を示す。 例　63形:FDTZP63を表す。（mm）

		機種　※	a	b	c	d	f	g	h
店舗	標準機 寒冷地機	63, 71形	236	130	100	37	105	88	139
		80, 160形	298	182	152	99	167	140	201
R32 ビル用	マルチ機	28, 36, 45, 56, 71, 80形	236	130	100	37	105	88	139
		90, 112, 140, 160形	298	182	152	99	167	140	201



記号	内容	記号	内容
A	冷媒ガス側配管	G	ＯＡ取入口
B	冷媒液側配管	H1	吹出分岐ダクト接続口
C	ドレン配管	H2	
D	電源取入口	J	加湿器接続口
F	吊りボルト	K	加湿器余剰水接続口

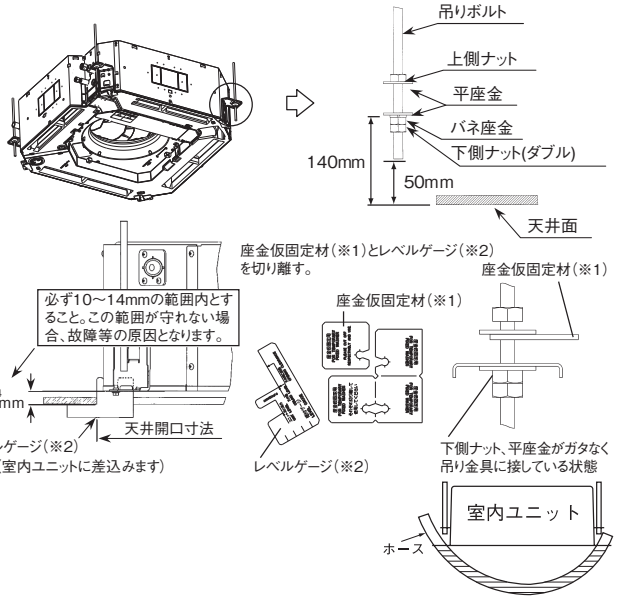
※吊りボルトピッチ P1、P2 は下表の
パターンで調整可能です。

記号 / パターン	P1	P2
1	770	725～770
2	770～800	725

④室内ユニットの据付

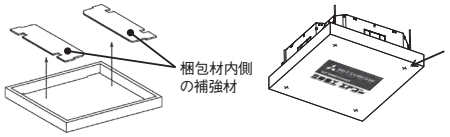
作業手順

1. 梱包材（天面ダンボール）の吊りボルトピッチを目安に吊りボルト位置を選定してください。
2. 吊りボルト長さは、天井面より 50mm 程度としてください。
3. 吊りボルトの下側ナット(4か所)は、天井面から 140mm 程度に仮止めしてください。
4. 吊りボルトの上側ナット(4か所)は、室内ユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障のないよう、下側ナットから十分距離を取った位置に仮止めしてください。
5. 吊りボルトの上側ナットと上側座金(各4か所)を下側ナットから十分な距離をとった状態で、座金仮固定材(※1)を吊りボルトに挿しこんでください。上側座金が落下してきません。
6. 室内ユニットを吊り込んでください。
7. 室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージ(※ 2)を室内ユニットの吹出口に取付け、室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。高さ調整は上側ナット(4か所)を緩めた状態で、下側ナット(4か所)で調整してください。室内ユニット吊り金具(4か所)が下側ナット，平座金にガタなく接していることを確認してください。
8. 座金仮固定材(4か所全て)を取外してください。
9. 室内ユニットの水平度を確認してください。水平度は水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。
   (室内ユニットの両端での高さ許容差は 3mm 以内)
10. 吊りボルトの上側ナット(4か所)を締付けてください。



室内ユニットの養生

●パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付後に天井材を貼る場合は、梱包材(天面ダンボール) を使用して、室内ユニットを養生してください。



室内ユニット据付時のお願い

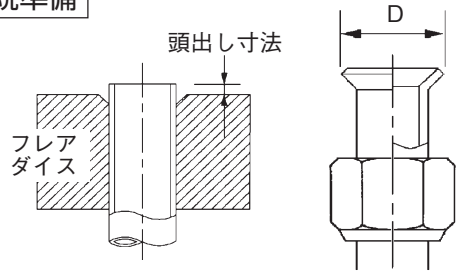
●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニットに無理な力がかかり変形し、パネルが組付けできなかったり、ファン干渉音が発生することがあります。
●室内ユニットは必ず水平に据付、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
●パネルを据付後、室内ユニット高さの微調整ができます。詳細はパネルの据付説明書をご覧ください。
●パネルと天井面、およびパネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
●冷媒配管の接続方式は、「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」に従い選定してください。
ねじ接合継手により接続する場合は、ねじ接合継手に付属の説明書に従い作業してください。
●フレア接続する場合、フレアナットは製品付属ものをご使用ください。他のフレアナット (1 種) を使用すると冷媒漏れの原因となります。
●既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットやねじ接合継手は流用せず必ず未使用品を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管を室内ユニットに接続してください。

フレア接続準備



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアーナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、ＪＩＳＨ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

⑤冷媒配管のつづき

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

フレア接続手順

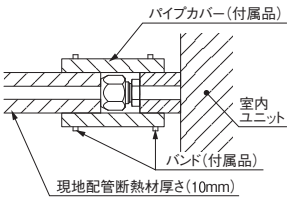
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

2．液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。

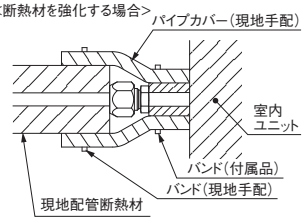
3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

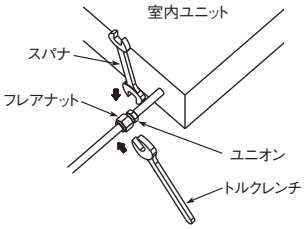
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>





注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

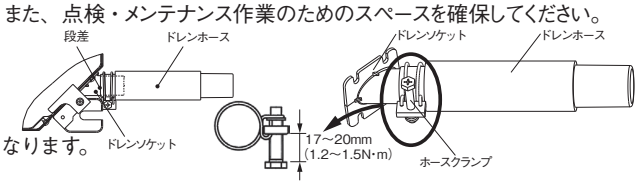
⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
●ドレン工事は付属のドレンホースを必ず使用してください。使用しないとドレンソケットに力がかかり破損し、水が漏れることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

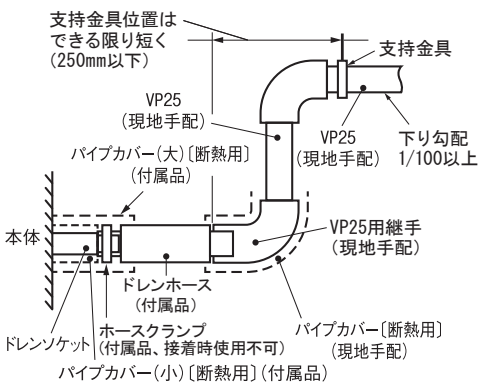
ドレンソケットとドレンホースの接続

●ドレンソケットの周囲温度が50℃以上となる場合は、ドレンソケットとドレンホースを接着してください。
●接着剤とホースクランプは併用しないでください。水漏れの原因となります。



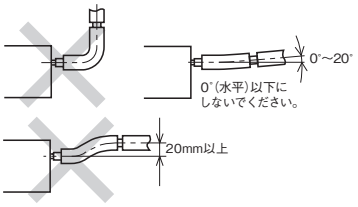
〈ホースクランプを使用する場合〉
1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3. ねじを数回回転させて締付が固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。
ねじの締め代の目安は17～20mm（参考:1.2～1.5N・m）です。

〈接着する場合〉
1. 塩ビ系接着剤を使用して、ドレンホースの軟質側とドレンソケットを接着してください。その際、ドレンホースをドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。
2. 接着方法は接着剤の使用方法に従ってください。
接着剤推奨品：積水化学工業製エスロン No73S，クボタケミックス製タフダイン青
※フタル酸エステル類が含有している接着剤は使用しないでください。水漏れの原因となります。
●ドレンホースやドレンソケットの内部に接着剤が流れ込まないようにしてください。

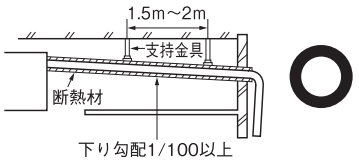


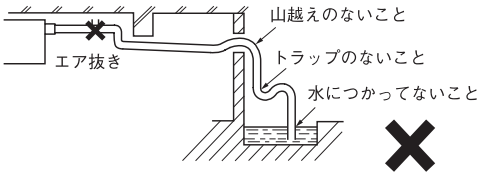
⑥ドレン配管のつづき

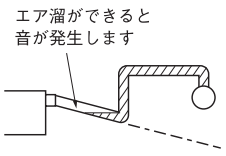
ドレンホースと配管の接続



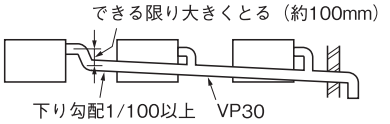
1. VP25用継手やエルボー、配管（いずれも現地手配）を接続してください。
   ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。
   ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
   乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
   ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付け時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
2. ドレン配管を接続する場合、ドレンソケットやドレン配管に力が加わらないようにしてください。
   できる限り室内ユニット近傍 (現地手配の継手先端から 250mm 以内) でドレン配管を支持してください。
3. ドレン配管は下り勾配（1/100以上）としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
   ●エア抜きは絶対に設けないでください。







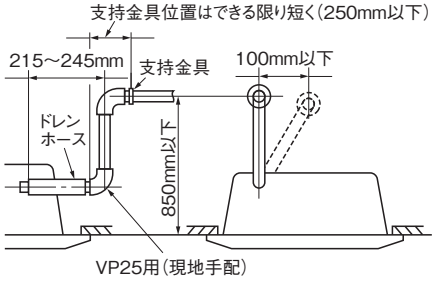
●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。
また集合配管はVP30以上を使用してください。



4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
   ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
   ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、ホースクランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より850mmまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

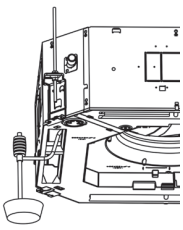


ドレン排水テスト

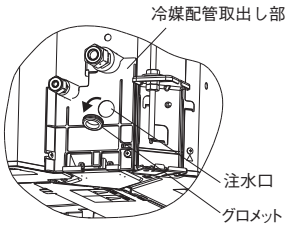
●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1. 室内ユニットドレンパンの中へ水を約1000cc 注水してください。注水時は、ドレンポンプなどの電機部品に水をかけないようにしてください。
   注水は、吹出口から給水ポンプなどを使用するか、冷媒配管取出部の注水口から行ってください。
2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
   ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。
3. 排水テスト後は、ゴム栓を外して水抜きを行ってください。
   水抜き確認後は、ゴム栓を元通りにはめ込んでください。
   ドレン配管の断熱を室内ユニット部まで完全に行ってください。
   リッドを外して注水した場合は、リッドを装着しなおしてください。

●吹出口から注水する場合



●冷媒配管取出部の注水口から注水する場合



ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合

ドレンポンプの運転がリモコン（ワイヤード）操作により可能です。運転操作方法は、電気配線工事説明書の「ドレンポンプ運転操作」をご覧ください。

○電源が供給されている場合

室内ユニット基板上のSW7－1をONにし、かつ、基板上のコネクタCNBを抜いた後、電源ON（端子台①、②へAC200V）すると、ドレンポンプのみ連続運転します。ドレン排水確認後は、必ずSW7－1を元の状態（OFF）に戻し、かつ、基板上のコネクタCNBを差込んでください。

○電源が供給されていない場合

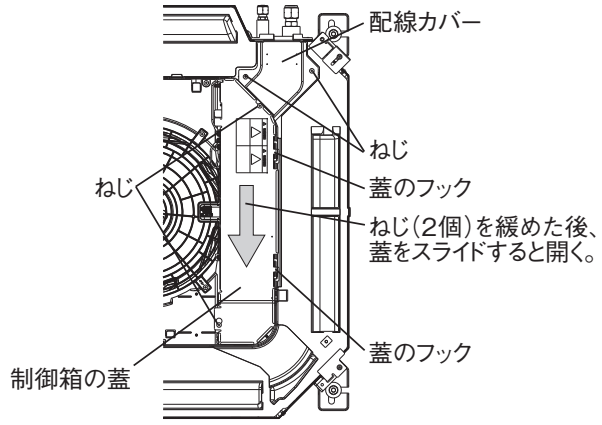
ドレンポンプ試運転用チェッカ（別売）でドレンポンプを運転することが可能です。操作方法はドレンポンプ試運転チェッカに付属の取扱説明書をご覧ください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

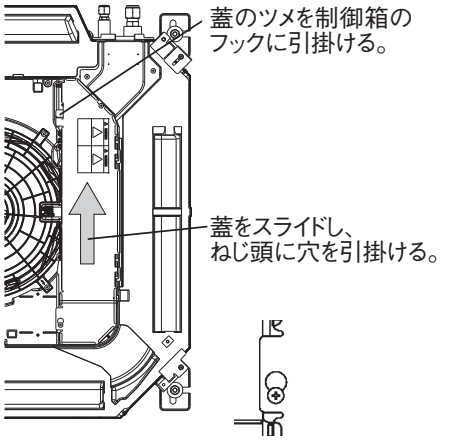
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」 および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。 誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1. 制御箱の蓋のねじ(2個)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドしてください。 蓋を開くことができます。
2. 蓋のフックを制御箱の穴から外して、蓋を取外してください。
3. 配線カバーのねじ(2個)を取外して、配線カバーを取外してください。
4. 各配線を制御箱内に入れ、端子台に確実に接続してください。
5. 各配線をバンドで固定してください。
6. 配線カバー , 制御箱の蓋を取付けてください。

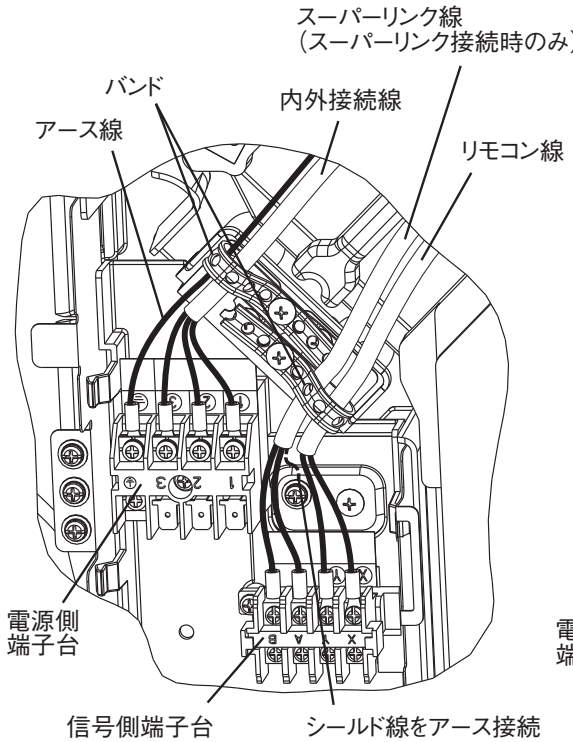
制御箱の蓋を開ける場合



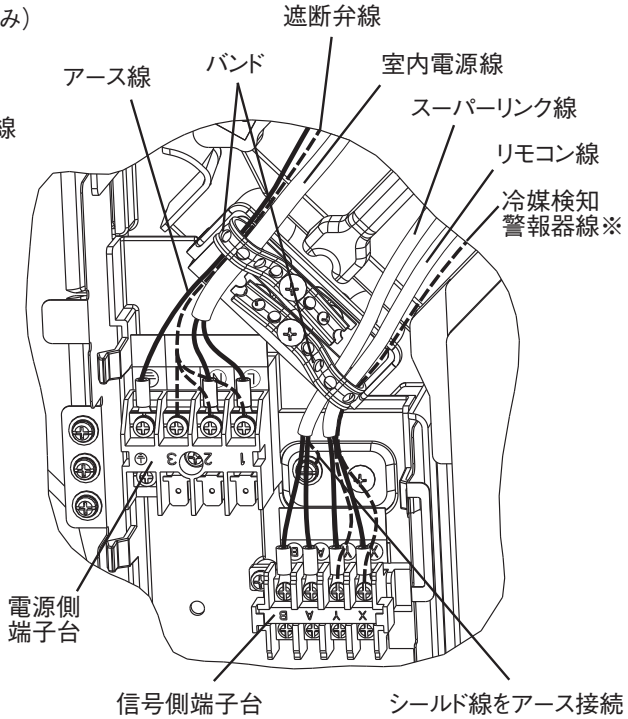
制御箱の蓋を閉める場合



店舗シリーズ
中温PACシリーズ



R32 ビル用マルチ機シリーズ



メインヒューズ仕様

仕様	部品番号
T3.15A L250V	SSA564A149AF

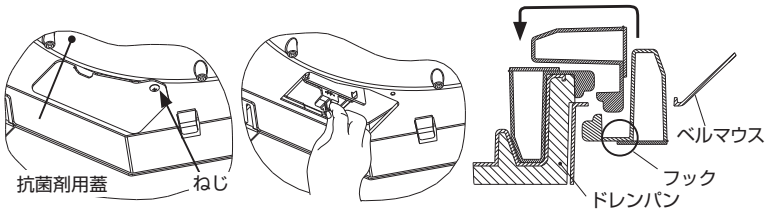
※ 他社製の安全対策機器を接続する場合は、電気配線工事説明書をご覧ください。

⑧抗菌剤の取付

●付属の抗菌剤ケースをドレンパン内に取付けてください。抗菌剤ケースの中に抗菌剤が入っています。
●抗菌剤ケースの取付は室内ユニットを吊った後に実施してください。室内ユニットが天地逆では取付けられません。

作業手順（付属抗菌剤の交換目安：冷房１シーズン）

1. 抗菌剤用蓋のねじ（１個）を取外し、抗菌剤用蓋を取外してください。
2. 取出口から抗菌剤を取付けてください。抗菌剤ケースのフックの奥まで、ドレンパンが達するように取付けてください。
3. 抗菌剤用蓋を取付けてください。風漏れや異常音の原因となります。



⑨パネルの取付

●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニットに取付けてください。
●パネルの取付方法は、503ページの据付説明書をご覧ください。

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。
R32 ビル用マルチ機の場合、付属の「据付工事施工チェックリスト（R32 ビル用マルチ）」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑪店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニットが自動認識されます。機種銘板の機種容量に○印を付けてください。

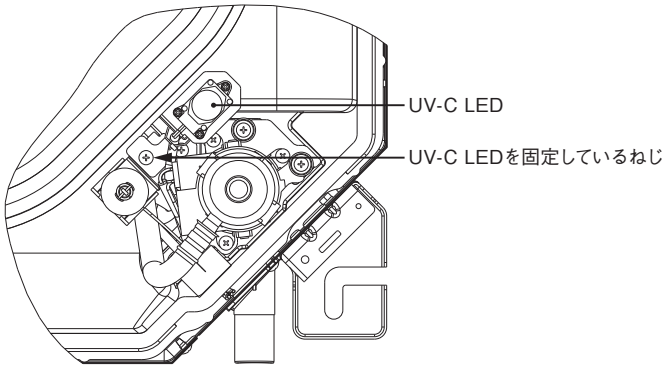
	室内ユニット	室内ユニット１台										２台接続						３台接続		４台接続	
	室外ユニット	40	45	50	56	63	71	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280	160	224	224	280
標準機	FDTZP63	P40	P45	P50	P56	P63						P40	P56					P50		P56	
	FDTZP71													P71					P71		P71
	FDTZP80							P80							P80						
	FDTZP160								P112	P140	P160					P112	P140				
寒冷地	FDTZP71											P40	P56								
	FDTZP160							P80	P112												
中温PAC	FDTP140							P80	P112	P140						P112	P140				

⑫UV-C LEDの交換（メンテナンス）

UV-C LED が寿命時間に到達すると、リモコンにメンテナンスコード “M53” が表示されます。
UV-C LED の交換を行う際には必ず以下のことを守ってください。（UV-C LED の部品番号：PJF543C001）

●必ず電源をお切りください。

●機器の清掃および点検時は取扱説明書と据付説明書を読んでください。
●「⑬ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃（メンテナンス）」のドレンパン取外し時の注意事項を読み、ドレンパンを外してください。
● UV-C LED を固定しているねじを外して UV-C LED を交換してください。



⚠ 注意：UV-C LED の交換作業を実施する前に、必ず電源を切ってください。

⚠ 注意：UV-C LED を室内ユニット外で通電させないでください。必ず室内ユニット内に据付けた状態で使用してください。

⚠ 注意：UV-C 光は少量であっても目や皮膚に害を及ぼすおそれがあります。

⑬インターロック機能（R32 ビル用マルチ機のみ）

● R32 ビル用マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。

●インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。

※インターロックが有効状態だとリモコンにメンテナンスコード（M28）が表示され、ユニットは運転できません。

インターロック機能の解除方法

○すべての安全対策機器が必要な場合

下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。

・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・eco タッチリモコン（RC-DX3D 以降）

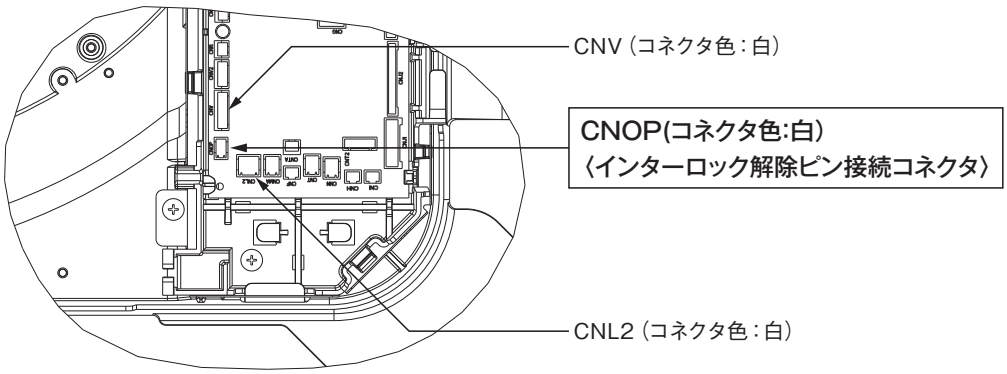
○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要ない場合

室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。（下図参照）

※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。
※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。
※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

＜インターロック解除ピンの接続コネクタ＞

インターロック解除ピンは室内ユニットの制御箱付近に付属しています。
使用しない場合は取外して廃棄してください。



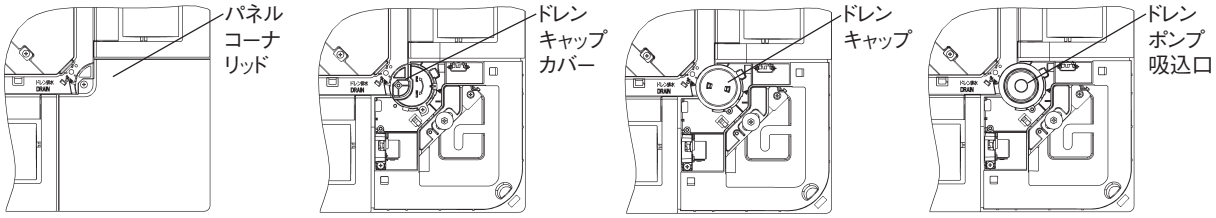
⑭ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃（メンテナンス）

ドレンパン汚れ確認方法

●ドレンキャップカバーを取外す際は、本体の電源を切ってください。

●パネルを取外さずに、ドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口の状況を確認できます。
（高性能フィルタなどのオプションスペーサやお掃除パネルの取付時は確認できません。）

1. パネル吸込グリルを開け、ドレンポンプ側のパネルコーナリッドを取外してください。
2. パネルコーナにあるドレンキャップカバー（ねじ１個）を取外してください。
3. ドレンキャップからドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口を確認してください。汚れが多い場合はドレンパンを取外し、清掃してください。
4. 取外したドレンキャップカバーは確実に装着してください。
装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



ドレンポンプ吸込口の清掃

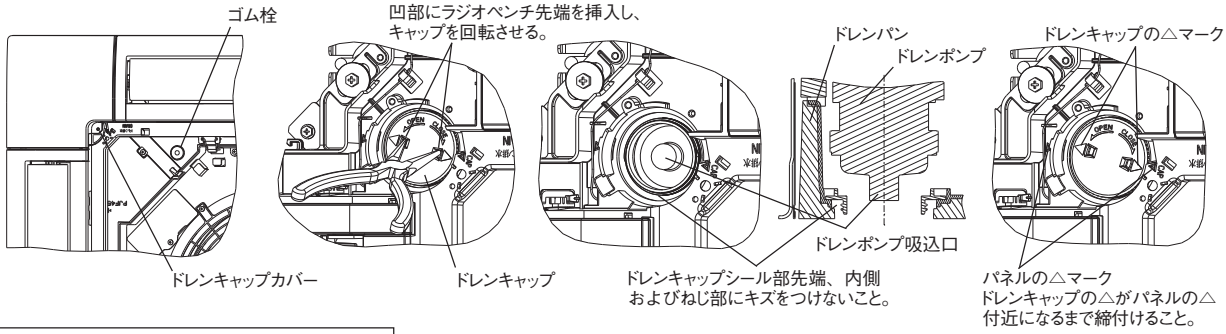
●ドレンキャップカバーを取外す際は、本体の電源を切ってください。

●UV-C LED の清掃は必要ありません。

●パネルやドレンパンを取外さず、ドレンキャップを取外すことでドレンポンプ吸込口およびその付近の清掃ができます。
（高性能フィルタなどのオプションスペーサやお掃除パネルの取付時は確認できません。）

●ドレンキャップを取外す前に、ゴム栓を取外してドレンパン内のドレンを排水してください。

1. 前述のようにドレンキャップカバーを取外してください。
2. ドレンキャップの凹部（２か所）にラジオペンチの先を挿入し、反時計回りに約１回転するとドレンキャップを取外せます。
3. ドレンポンプ吸込口を清掃する場合はプラスチック製の道具を使用してください。金属製の道具を使用するとドレンキャップ取付部をキズつけ、水漏れの原因になります。
4. ドレンキャップを取付ける前に、流水で水洗いし、**ドレンキャップ内側の異物を取除いてください。**異物が付着したままドレンキャップを取付けると水漏れの原因になります。
5. ドレンキャップの取付は、ラジオペンチでドレンキャップの凹部を使用して取付けてください。時計回りに約１回転させ、**キャップが回転しなくなるまで締付けてください。**キャップが１回転以上回転しない場合は正しく取付けられていません。一度、ドレンキャップを取外し、改めて取付け直してください。
6. ドレンキャップ締付後、ドレンキャップの△マークがパネルの△マーク付近にあることを確認してください。ドレンキャップの△マークがパネルの△マーク付近にない場合は、増し締めしてください。
7. 取外したドレンキャップカバー , ゴム栓は確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。

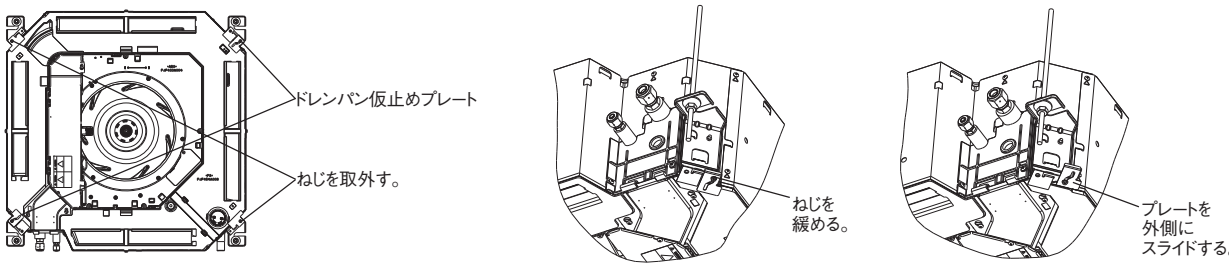


ドレンパン取外し時の注意事項

●ドレンパンを取外す前に、ドレンパン内のドレンを排水してください。ゴム栓を取外して排水してください。

●ドレンパンは仮止めプレートで仮止めされています。ドレンパン取付ねじ（2個）を取外し、仮止めプレートのねじ（2個）を緩めてください。
仮止めプレートをドレンパンの外側にスライドしてください。ドレンパンを取外せます。

●ドレンパン取付け時は、仮止めプレートを内側にスライドし、ドレンパンを仮止めしてください。その後、ドレンパン取付ねじ（2個）と仮止めプレートのねじ（2個）を締付けてください。また、取外したゴム栓は確実に取付けてください。



(ii) **パネルの据付**

標準パネル,エアフレックスパネル,ラクリーナパネル

パネル形式：標準パネル；T-PSA-6AW, T-PSA-6AB, T-PSA-6AC
エアフレックスパネル；T-PSAE-6AW, T-PSAE-6AB
ラクリーナパネル；T-PSCL-6AW, T-PSCL-6AB

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

PJF012D032 B

⚠ 警　告

●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

エアフレックス ： ドラフト防止機能
ラクリーナ　　： エアフィルタ自動昇降機能

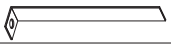
お願い <ラクリーナパネルの場合>

・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
・電源投入前にパネルを取付た場合は吸込グリルの昇降動作はできません。
・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。
・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
・吸込グリル取付後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。
（マイコンが収納位置を記憶します。）
・ワイヤーは、折曲げ、ねじり、噛込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

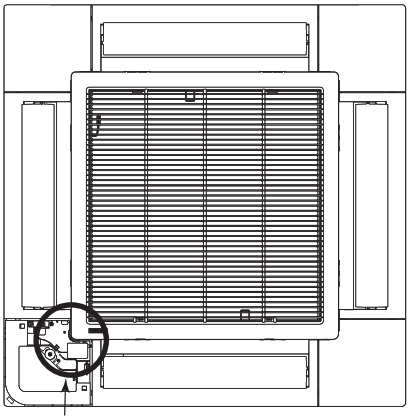
① 据付の前に

・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・次の項目を確認してください。
○パネル・リモコンのタイプ
○付属品

付属品

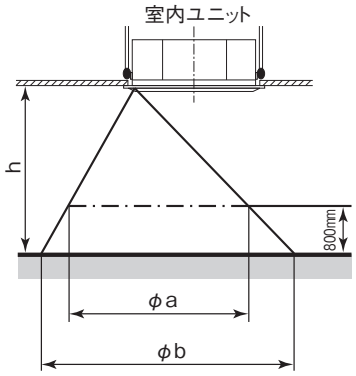
ボルト		4本	パネル取付用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
クランプ		4本	吸込グリル仮止用（ラクリーナパネル）
ねじ		4本	コーナリッド固定用＊1

注1：＊1 ラクリーナパネルの場合、吸込グリル仮止クランプ固定用にも使用します。
注2：付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



付属品収納位置

人感センサ検知範囲の目安 ＜エアフレックスパネル、ラクリーナパネル＞



天井高さ　h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①　φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②　φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

② 室内ユニットの取付レベルの確認

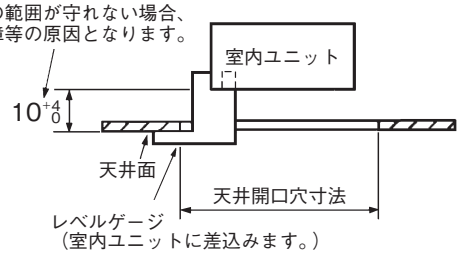
・室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
・室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。
・室内ユニットと天井材との取付レベルを確認してください。
・室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、
室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。
・レベルゲージはパネル取付前に取外してください。

ご注意
室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付の際、
パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

・室内ユニットの取付高さはパネル取付後、コーナ開口部より微調整ができます。

（詳細は **⑥パネルの取付** をご参照ください。）

必ず10～14の範囲内とすること。
この範囲が守れない場合、
故障等の原因となります。

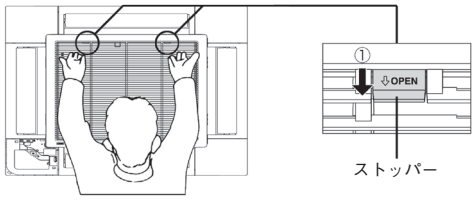


③ 吸込グリルの取外し

＜標準パネル、エアフレックスパネルの場合＞

1．吸込グリルのストッパー（２か所）に指をかけて
「OPEN」の方向（矢印①）に押したまま吸込グリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
2．吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネルから外します。

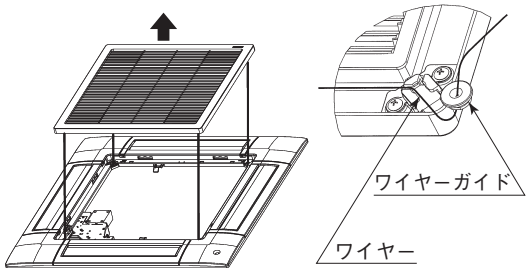
〈取外し〉



＜ラクリーナパネルの場合＞

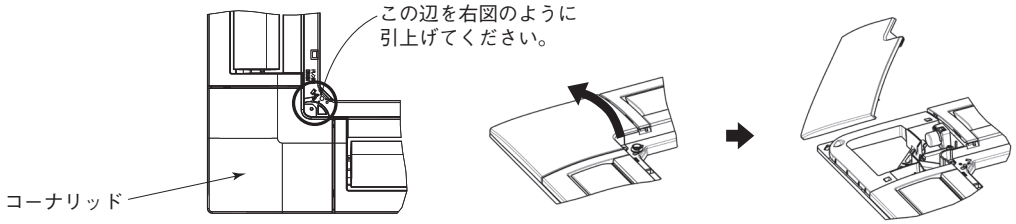
1．吸込グリルを少し持上げて、吸込グリルを開けます。
2．吸込グリルの４コーナに取付てあるワイヤーガイドを外側にスライドさせて外してください。

ご注意
吸込グリルはゆっくり持上げてください。
ワイヤーおよびワイヤーガイドが破損する恐れがあります。



④ コーナリッドの取外し

・コーナリッドを矢印の方向へ引上げて取外してください。(4コーナとも)

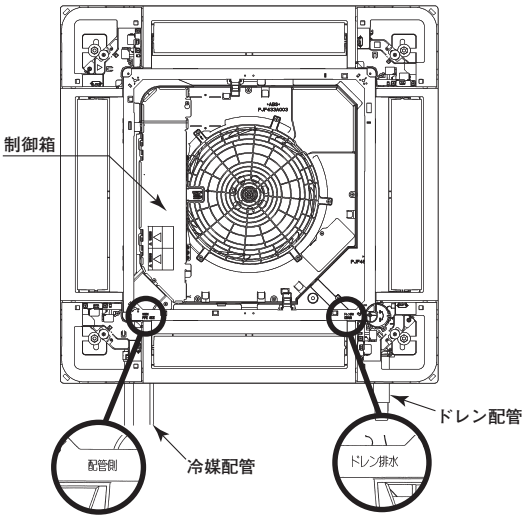


⑤ パネルの取付方向

・パネルの取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。
・パネルは、右図に示す方向で取付てください。
・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管の位置を合わせてください。

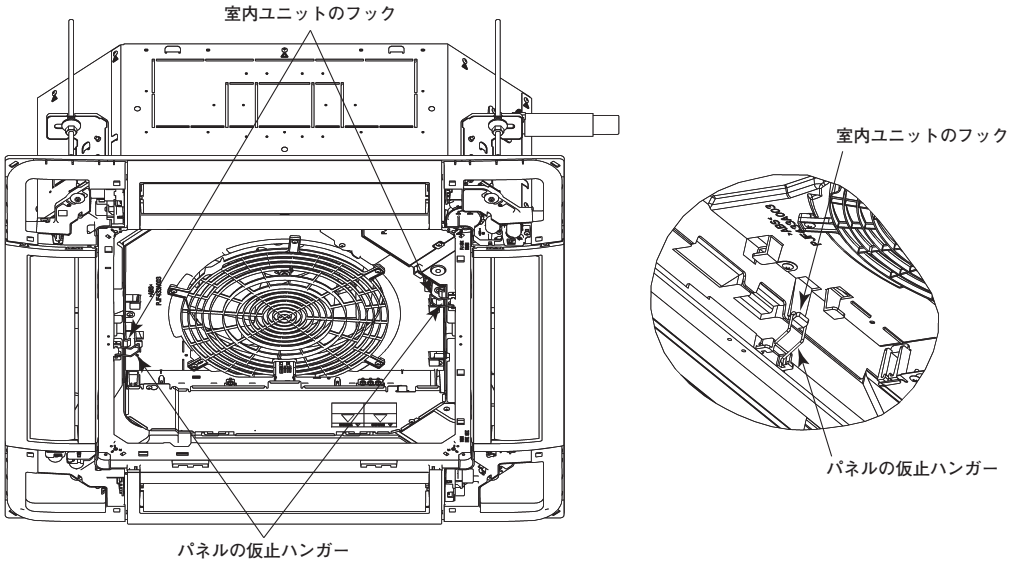
ご注意

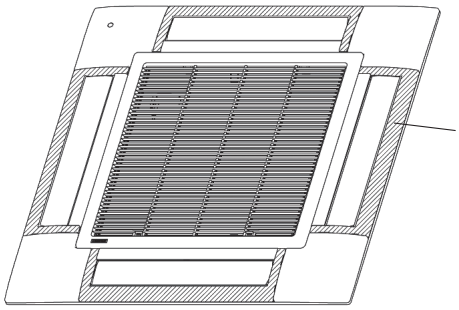
・右図以外の方向で取付ると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。



⑥ パネルの取付

1．パネルの仮止
・パネルの仮止用ハンガーを起こします。（２か所）
・パネルの仮止用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊るします。





標準パネル以外の場合、斜線部(４か所)は可動します。
手で無理に動かすと破損します。
標準パネルの場合もパネル本体とは別部品ですが、
取外すことはできません。

ご注意

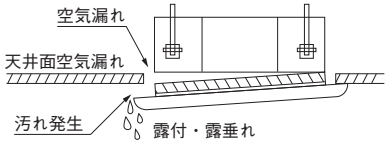
・パネルの吹出口周囲のエアフレックス(斜線部)は別部品です。パネルを持つ際は取扱いに注意してください。
特に、エアフレックスパネル、ラクリーナパネルの斜線部は可動します。手で無理に動かすと破損します。

2．パネルの室内ユニットへの固定

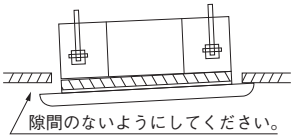
・付属のパネル取付用ボルト４本を用いて、室内ユニットに締付てください。

ご注意

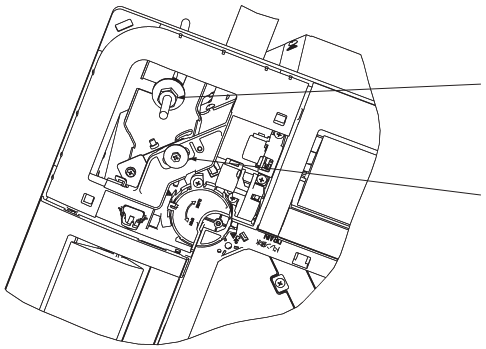
・吊りボルトの締込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。



・室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であればパネルを取付たまま、室内ユニットの据付高さを微調整できます。



コーナ開口部よりスパナ等の一般工具にて
室内ユニットのナットを微調整してください。

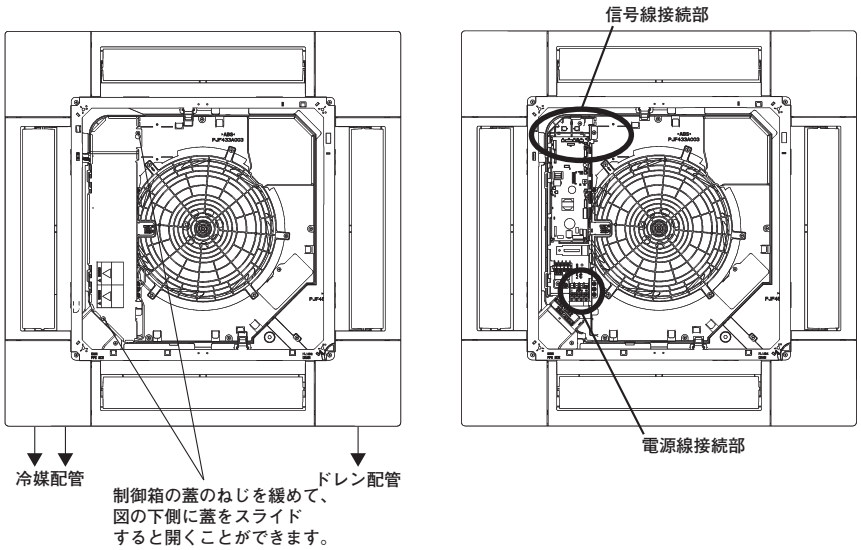
パネル取付用ボルト

ご注意

パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付高さを調整してください。
パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が収まらないおそれがあります。

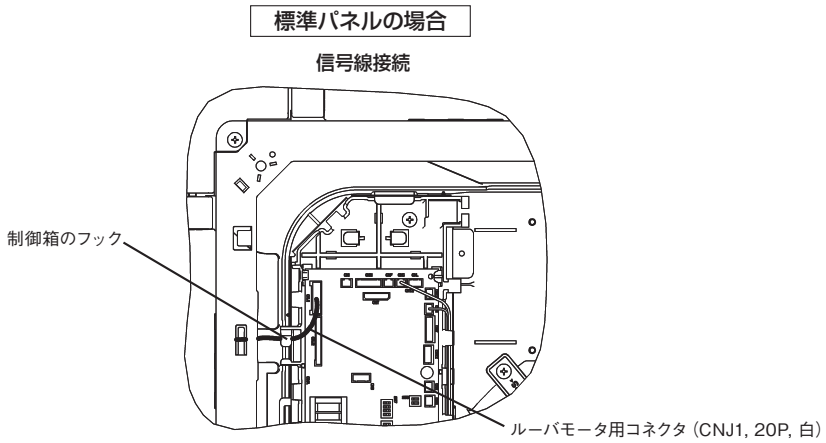
⑦ 電気配線

パネルの種類により、配線処理が異なります。パネルの種類にあわせて配線処理を行ってください。
室内ユニットの接続位置はパネルの種類によらず下図のとおり同じです。



＜標準パネルの場合＞

1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ1（20P,白）を接続してください。
3. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付、ねじ（2本）を締付てください。

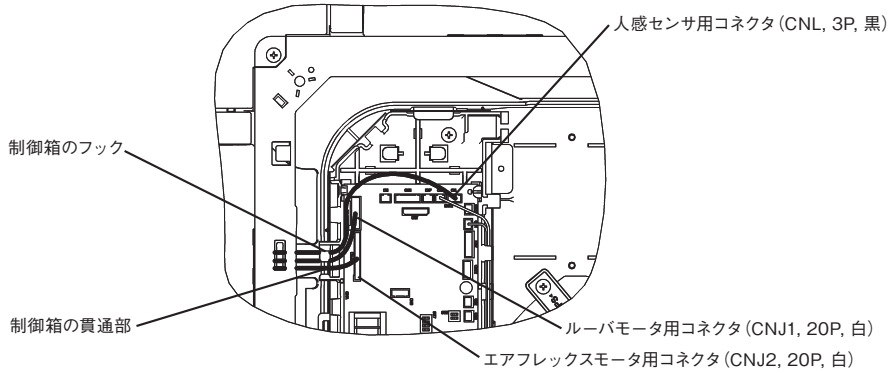


＜エアフレックスパネルの場合＞

1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ1（20P,白）を接続してください。
3. エアフレックスモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ2（20P,白）を接続してください。
4. 人感センサ線（3線）を制御箱の貫通部に通し、コネクタCNL（3P,黒）を接続してください。
5. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付、ねじ（2本）を締付てください。

エアフレックスパネルの場合

信号線接続

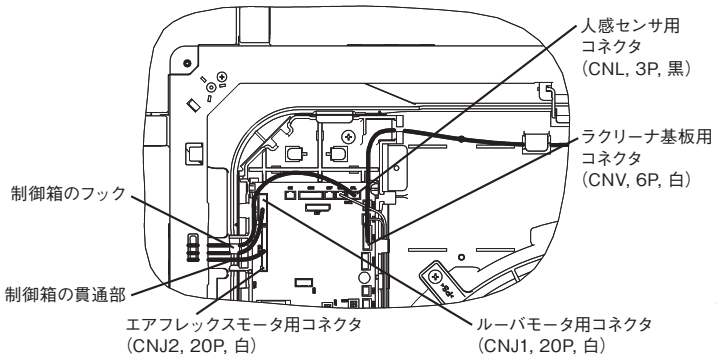


<ラクリーナパネルの場合>

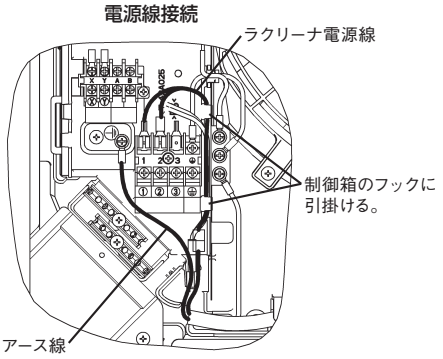
1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ1（20P,白）を接続してください。
3. エアフレックスモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCNJ2（20P,白）を接続してください。
4. 人感センサ線（3線）を制御箱の貫通部に通し、コネクタCNL（3P,黒）を接続してください。
5. 電源線のファストン端子を室内ユニットの電源端子台の1番,2番に挿入してください。
   電源線の赤を端子台の1番に、白を2番に挿入してください。
6. アース線[緑]を室内ユニット制御箱の⏚に接続してください。
7. ラクリーナ基板用信号線（6線）を室内ユニット制御箱内の基板のコネクタCNV（6P,白）に接続してください。
   コネクタCNVにショートコネクタが接続されている場合は取外しの上、信号線を接続してください。
8. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付、ねじ（2本）を締付てください。

ラクリーナパネルの場合

信号線接続

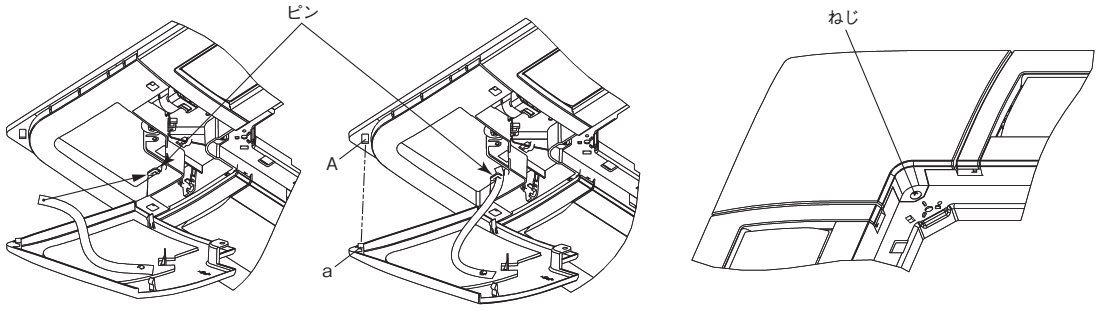


電源線接続



⑧ コーナリッドの取付

1．付属のコーナリッド落下防止用ストラップをコーナリッドのピンに折返して引掛けてください。
2．コーナリッドに取付たストラップの反対側をパネルのピンに引掛けてください。
3．コーナリッドのａ部をパネルのA部に挿入してから、コーナリッドのつめ2か所をはめてください。
4．付属のねじで固定してください。



⑨ 吸込グリルの取付

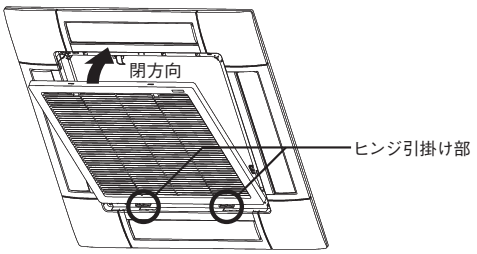
パネルと吸込グリルには方向性がありません。

＜標準パネル、エアフレックスパネルの場合＞

吸込グリルの取付方法は ③ 吸込グリルの取外し の手順を逆に作業してください。

1．吸込グリルのヒンジをパネルのヒンジ挿入穴に取付てください。(吸込グリルのヒンジは４辺どこでも取付可能です。)
2．吸込グリルのヒンジを取付後、ストッパー(２か所)を「OPEN」の方向へ押したまま、閉じてください。
　両方のストッパーから「カチッ」と音がしたことを確認してください。

〈取付〉



ご注意

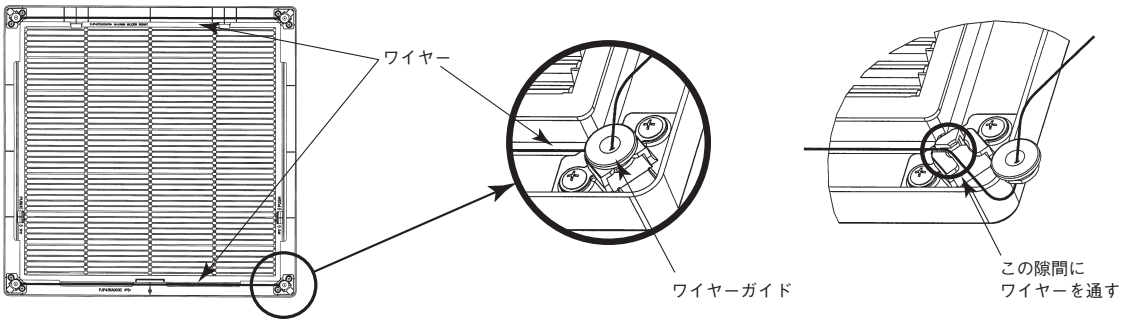
・吸込グリルの取付は、必ずヒンジ側から行ってください。
・吸込グリルは確実に取付てください。取付が不十分です と落下する恐れがあります。
・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依 頼し、交換してください。吸込グリルが落下する恐れ があります。

＜ラクリーナパネルの場合＞

1．吸込グリルの方向を決定してください。
2．ワイヤーを通してあるワイヤーガイドを吸込グリルの４コーナの取付部に固定して装着します。
3．ワイヤーガイドを吸込グリルに外側から内側にスライドさせながら装着してください。
　装着の際、取付部の隙間をワイヤーが通過するようにワイヤーの向きに注意して確実に取付てください。
4．ワイヤーガイド装着後、ワイヤーの曲がり、ねじり、噛込みがないことを確認してください。

ご注意

ワイヤーガイドは確実に装着してください。確実に装着されていないと、吸込グリルを昇降できなくなったり、吸込グリルが落下する恐れがあります。



⑩ パネルの設定

＜ルーバの動作範囲設定(フリーフロー設定)＞

ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

＜エアフレックスの設定(ドラフト防止設定)＞

エアフレックスパネル, ラクリーナパネルを取付、配線接続をするだけではエアフレックスは作動しません。
エアフレックスを作動させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、ドラフト防止設定を有効にしてください。(ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。)
本モードで有効に設定すると運転開始時にエアフレックスが作動し、運転中は常時エアフレックスが開いています。また、停止時にエアフレックスは閉じます。各吹出口毎に有効/無効の設定が可能です。
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜人感センサの設定＞

エアフレックスパネル, ラクリーナパネルを取付、配線接続をするだけでは人感センサは機能しません。
人感センサを機能させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、人感センサ設定を有効にしてください。（ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。）
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜吸込グリル昇降の設定（グリル昇降操作）＞

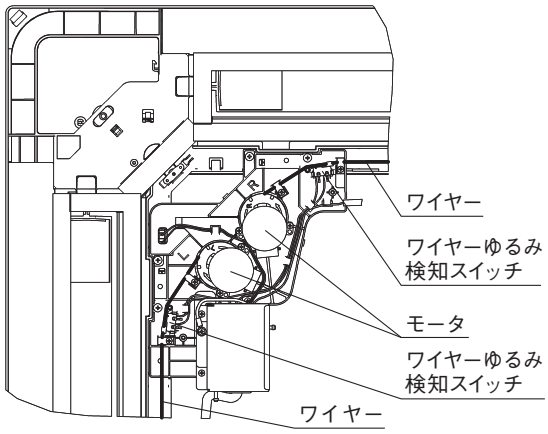
ラクリーナパネルを取付、配線接続をするだけでは吸込グリルの昇降はできません。
吸込グリルの昇降を可能にするために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリル昇降を有効にしてください。
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜吸込グリル下降長さの設定（降下長設定）＞

吸込グリルの下降長さをお好みの下降長さに設定することができます。工場出荷時は２mに設定されています。
お好みの下降長さにしたい場合は、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリルの下降長さを設定してください。
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

ご注意

＜ワイヤーゆるみ検知機構について＞
ラクリーナパネルには、ワイヤーの絡まり防止のため、「ワイヤーゆるみ検知機構」を装備しています。吸込グリルを吊ったワイヤーがゆるんだ場合、ワイヤーゆるみ検知スイッチが働き、自動昇降用モータが自動停止します。
パネル据付後、 グリルが動かない場合、「ワイヤーゆるみ検知機構」が作動している可能性がありますので、据付時にワイヤーの噛込み、絡まり等が無いか、ワイヤー経路をご確認ください。

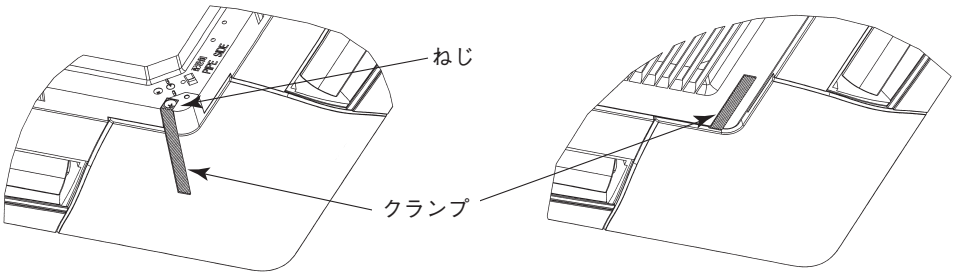


⑪ 電源投入前の吸込グリルの仮固定 ＜ラクリーナパネル＞

電源投入前は吸込グリルの自動昇降はできません。
1．電源投入前に吸込グリルを収納したい場合は、付属のクランプで吸込グリルを仮止めすることができます。
2．パネルの４コーナに付属のクランプを図のようにねじ止めしてください。（４コーナとも）
3．ワイヤーを折曲げたり、かみ込んだりしないように注意しながら、持ち上げパネルに収納してください。
4．取付たクランプを図のように吸込グリル側に折曲げ、吸込グリルを固定してください。

ご注意

クランプを装着したまま昇降動作を行った場合、吸込グリルの昇降装置が故障する恐れがあります。



5．仮固定が終わったら、クランプを取外した上で、コーナリッドをねじ止めしてください。

(b) 天井埋込形小容量 4 方向吹出し（FDTC）

(i) 室内ユニットの据付

PJF012D521A

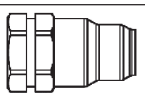
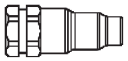
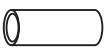
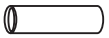
本説明書は、室内ユニットの据付け方法を記載してあります。「室内ユニット据付工事安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。
●電気配線（室内ユニット）は、693ページをご覧ください。
●ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
●ワイヤレスキットの取付方法は、1231ページをご覧ください。
●安全遮断弁の取付け方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
●冷媒検知警報器の取付方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
●室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
また、故障診断は、858ページまたは997ページをご覧ください。本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

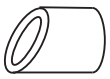
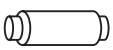
①据付前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
○機種・電源仕様　○配管・配線・小物部品　○付属品

室内ユニットを移動させるときは吊り金具(４か所)を持ち、他の部分(特に冷媒配管、ドレン配管および樹脂部品)には、力を加えないでください。

付属品

室内ユニット吊り込み用		冷媒配管用				
平座金(M10)	レベルゲージおよび平座金仮固定	ねじ接合継手(大)※	ねじ接合継手(小)※	パイプカバー(大)	パイプカバー(小)	バンド
						
8個	1個	1個	1個	1個	1個	4本
吊りボルト用	室内ユニットの位置調整および吊り込み時の補助用	ガス管接続用	液管接続用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用

ドレン配管用				コントロール用
パイプカバー(大)	パイプカバー(小)	ドレンホース	ホースクランプ	解除ピン※
				
1個	1個	1個	1個	1本
ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	インターロック解除用

※R32ビル用マルチ機のみ付属しています。

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
　据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
　据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付け・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。
　本室内ユニットは JIS 露付条件(室内：27℃ /78% RH)にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４ｍ以上離して設置してください。

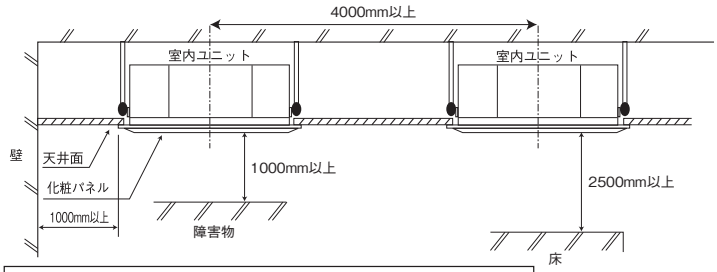
②室内ユニットの据付場所の選定のつづき

室内ユニット据付スペース

●室内ユニット－壁、室内ユニット－室内ユニット間など、間隔がとれない場合は、そちら側の吹出口を遮風しショートサーキットしないことを確認してください。

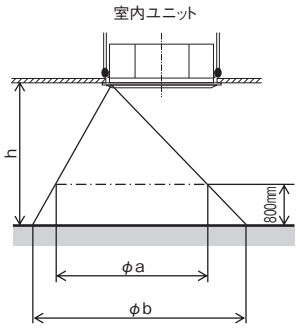
●**据付高さは２．５m以上としてください。**

＊この室内ユニットは「一般大衆が近づかない機器」に分類されます。



埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続箇所の点検が可能なように点検口などを設けてください。

人感センサ検知範囲の目安



天井高さ　h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①　φa [m]	約 4.5	約 6.4	約 7.6
検知範囲②　φb [m]	約 6.4	約 8.3	約 9.5

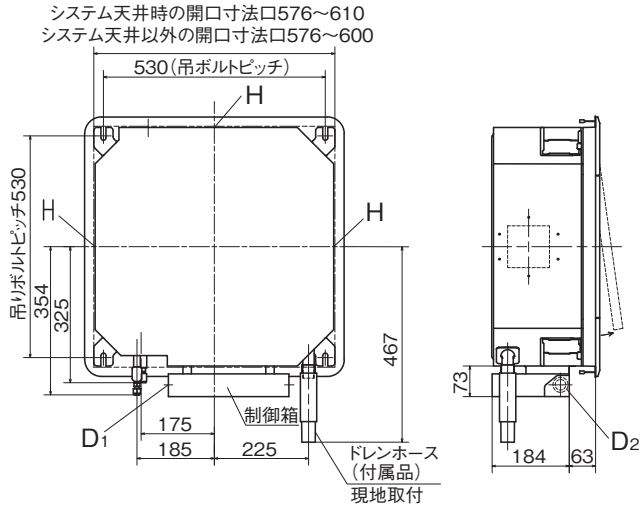
吹出パターンの設定

●部屋の形や据付位置に最適な吹出方向を４方向・３方向・２方向から選定してください。(１方向はできません。)
●吹出口数を変更する場合は、別売のしゃ風材を手配してください。
●２方向・３方向吹出の場合は風量「弱」での使用は避けてください。
●高温・多湿環境での２方向吹出は行わないでください。(結露・水漏れの原因になります。)
●吹出ルーバの上下位置の設定などによりさまざまな吹出パターンが設定できます。設定方法は取扱説明書をご覧ください。

③据付準備

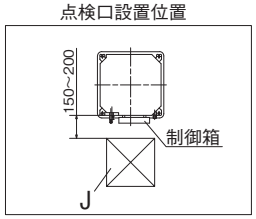
●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（M１０ または M８）を４組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置

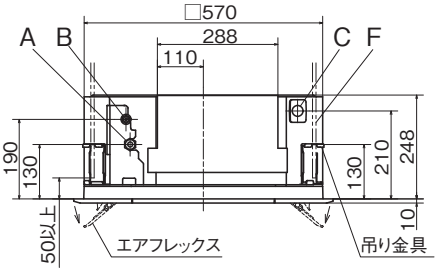


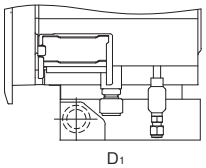
記号	内容
A	冷媒ガス側配管
B	冷媒液側配管
C	ドレン配管
D_1	電源線取入口
D_2	リモコン線・通信線取入口
F	吊りボルト
H	吹出分岐ダクト接続口
J	点検口

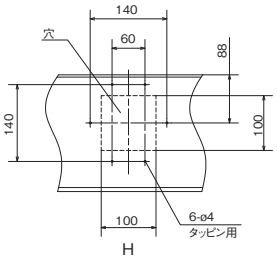
点検口設置位置



※システム天井以外の場合は制御箱側に点検口を設置してください。





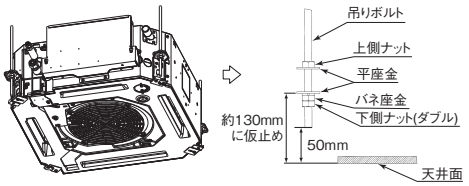


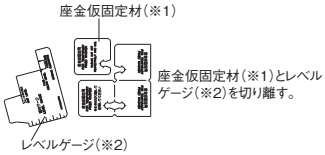
[mm]

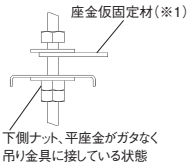
④室内ユニットの据付

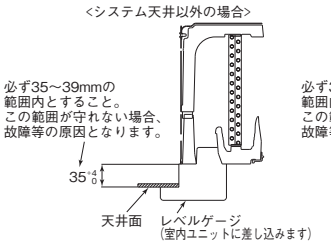
作業手順

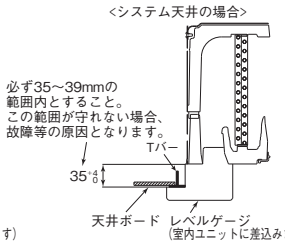
1. このユニットは、システム天井用に設計されています。
   必要ならば、一時的にＴバーを取り外して、ユニットを据付けてください。
   もし、システム天井以外に据付ける場合は、制御箱側に点検口を設置してください。
2. 吊りボルト位置（530mm×530mm）を決めてください。
3. 吊りボルトは 4 本使用してください。
4. 吊りボルト長さは、天井面より 50mm 程度としてください。
5. 吊りボルトの下側ナット(4か所)は、天井面から 130mm 程度に仮止めしてください。
6. 吊りボルトの上側ナット(4か所)は、室内ユニット吊り込み及び高さ調整時に支障のないよう、下側ナットから十分距離を取った位置に仮止めしてください。
7. 吊りボルトの上側ナットと上側座金(各4か所)を下側ナットから十分な距離をとった状態で、座金仮固定材(※1)を吊りボルトに挿しこんでください。上側座金が落下してきません。
8. 室内ユニットを吊り込んでください。
9. 室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージ(※ 2)を室内ユニットの吹出口に取付け、室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。高さ調整は上側ナット(4か所)を緩めた状態で、下側ナット(4か所)で調整してください。室内ユニット吊り金具(4か所)が下側ナット，平座金にガタなく接していることを確認してください。
10. 座金仮固定材(4か所全て)を取外してください。
11. 室内ユニットの水平度を確認してください。水平度は水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。
    (室内ユニットの両端での高さ許容差は 3mm 以内)
12. 吊りボルトの上側ナット(4か所)を締付けてください。

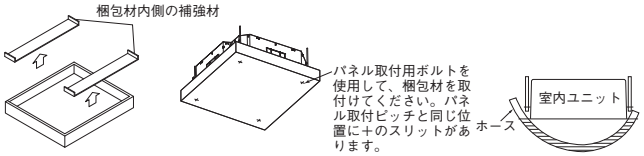












室内ユニットの養生

●パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付後に天井材を貼る場合は、梱包材 (天面ダンボール) を使用して、室内ユニットを養生してください。

室内ユニット据付時のお願い

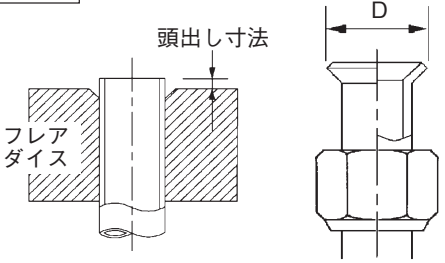
●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニットに無理な力がかかり変形し、パネルが組付できなかったり、ファン干渉音が発生することがあります。
●室内ユニットは必ず水平に据付、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
●パネルと天井面、およびパネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
●冷媒配管の接続方式は、「微燃性取扱時の安全上のご注意」に従い選定してください。
ねじ接合継手により接続する場合は、ねじ接合継手に付属の説明書に従い作業してください。
●フレア接続する場合、フレアナットは製品付属ものをご使用ください。他のフレアナット (1 種) を使用すると冷媒漏れの原因となります。
●既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットやねじ接合継手は流用せず必ず未使用品を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管を室内ユニットに接続してください。

フレア接続準備



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアーナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、ＪＩＳＨ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

⑤冷媒配管のつづき

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

フレア接続手順

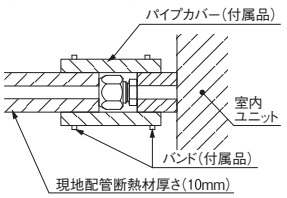
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

2．液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。

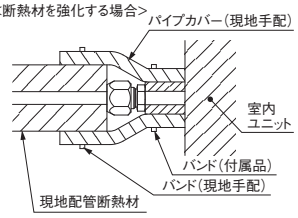
3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

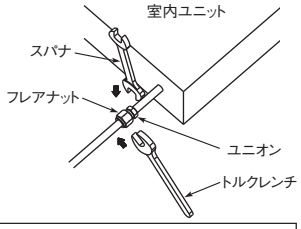
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>





注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ドレン工事は付属のドレンホースを必ず使用してください。使用しないとドレンソケットに力がかかり破損し、水が漏れることがあります。

●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。

●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。

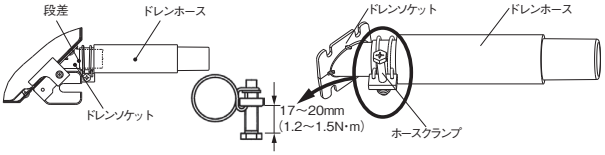
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。

●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

ドレンソケットとドレンホースの接続

●ドレンソケットの周囲温度が50℃以上となる場合は、ドレンソケットとドレンホースを接着してください。
●接着剤とホースクランプは併用しないでください。水漏れの原因と

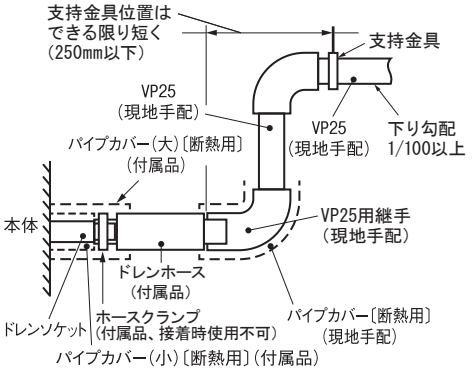


〈ホースクランプを使用する場合〉

1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3. ねじを数回回転させて締付が固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。
ねじの締め代の目安は17～20mm（参考:1.2～1.5N・m）です。

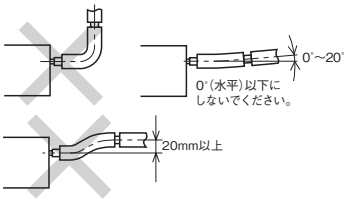
〈接着する場合〉

1. 塩ビ系接着剤を使用して、ドレンホースの軟質側とドレンソケットを接着してください。その際、ドレンホースをドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。
2. 接着方法は接着剤の使用方法に従ってください。
接着剤推奨品：積水化学工業製エスロン No73S，クボタケミックス製タフダイン青
※フタル酸エステル類が含有している接着剤は使用しないでください。水漏れの原因となります。
●ドレンホースやドレンソケットの内部に接着剤が流れ込まないようにしてください。

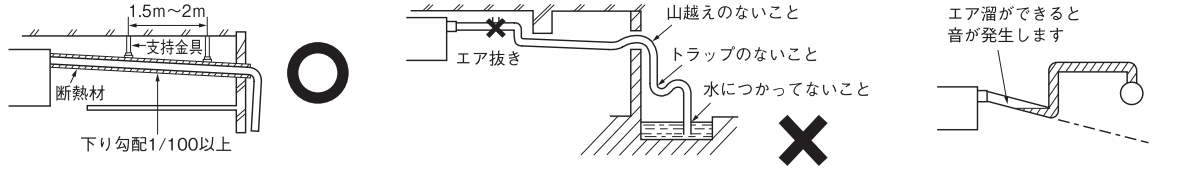


⑥ドレン配管のつづき

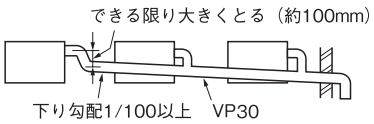
ドレンホースと配管の接続



1. VP25用継手やエルボー、配管(いずれも現地手配)を接続してください。
   ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。
   ●**接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。**
   乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
   ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
2. ドレン配管を接続する場合、ドレンソケットやドレン配管に力が加わらないようにしてください。
   できる限り室内ユニット近傍 (現地手配の継手先端から 250mm 以内) でドレン配管を支持してください。
3. ドレン配管は下り勾配(1/100以上)としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
   ●エア抜きは絶対に設けないでください。



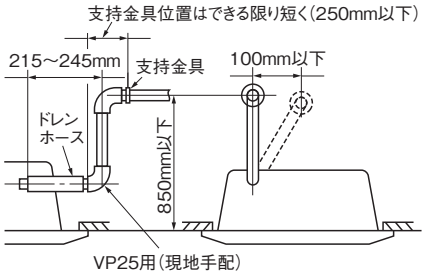
●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。
また集合配管はVP30以上を使用してください。



4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
   ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
   ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー(小)をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー(大)にてパイプカバー(小)、ホースクランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より850mmまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

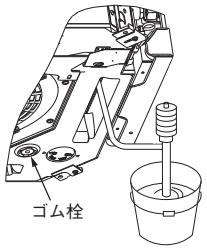


ドレン排水テスト

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

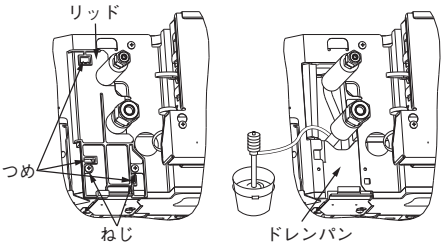
1. 室内ユニットドレンパンの中へ水を約1000cc 注水してください。注水時は、ドレンポンプなどの電機部品に水をかけないようにしてください。
   注水は、吹出口から給水ポンプなどを使用するか、冷媒配管取出し部の注水口から行ってください。
2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
   ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。
3. 排水テスト後は、ゴム栓を外して水抜きを行ってください。
   水抜き確認後は、ゴム栓を元通りにはめ込んでください。
   ドレン配管の断熱を室内ユニット部まで完全に行ってください。
   リッドを外して注水した場合は、リッドを装着しなおしてください。

●吹出口から注水する場合



●冷媒配管取出し部から注水する場合

(1) ねじ２か所を外します
(2) つめ部の引っかかりを外して、リッドを外します。



ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合

ドレンポンプの運転がリモコン(ワイヤード)操作により可能です。運転操作方法は、電気配線工事説明書の ドレンポンプ運転操作 をご覧ください。

○電源が供給されている場合

室内ユニット基板上のSW7−1をONにし、かつ、基板上のコネクタCNBを抜いた後、電源ON(端子台①、②へAC200V)すると、ドレンポンプのみ連続運転します。ドレン排水確認後は、必ずSW7−1を元の状態(OFF)に戻し、かつ、基板上のコネクタCNBを差込んでください。

○電源が供給されていない場合

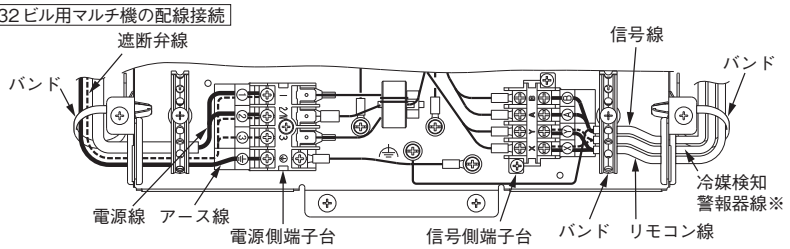
ドレンポンプ試運転用チェッカ(別売)でドレンポンプを運転することが可能です。操作方法はドレンポンプ試運転チェッカに付属の取扱説明書をご覧ください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」 および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。 誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

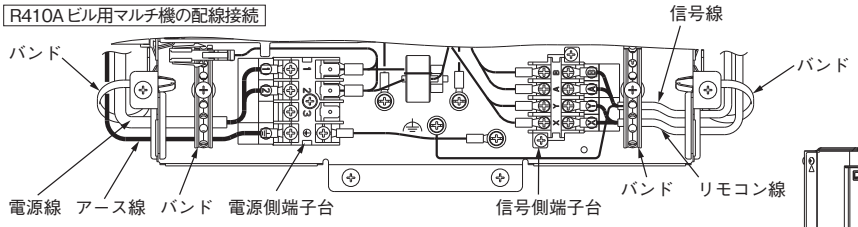
1. 室内ユニット本体の制御箱の蓋のねじ（2本）を緩めてください。
2. 制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて、取外してください。
3. 配線を制御箱内に入れ、端子台に確実に接続してください。
4. 下図のように配線をバンドで固定してください。
5. 配線を噛み込まないように制御箱の蓋を取り付け、ねじ（2本）で締付けてください。

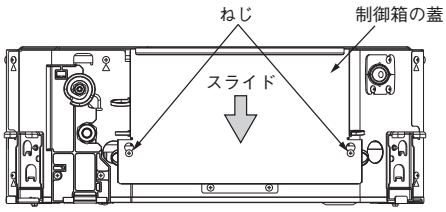
R32ビル用マルチ機の配線接続



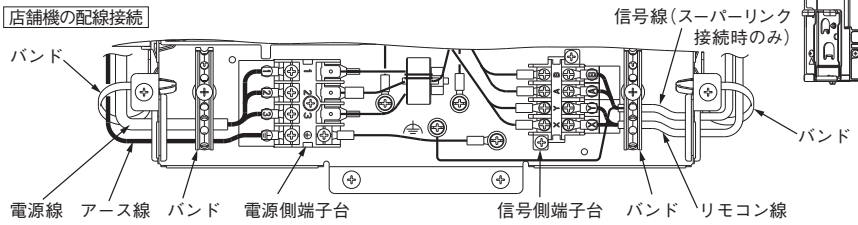
※他社製の安全対策機器を接続する場合は電気配線工事説明書をご覧ください。

R410Aビル用マルチ機の配線接続





店舗機の配線接続



メインヒューズ仕様

仕様	部品番号
T3.15A L250V	SSA564A149AF

⑧インターロック機能（R32 ビル用マルチ機のみ）

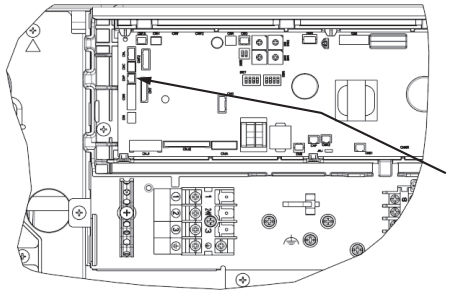
● R32 ビル用マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。
●**インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。**
※インターロックが有効状態だとリモコンにメンテナンスコード（M28）が表示され、ユニットは運転できません。

インターロック機能の解除方法

○すべての安全対策機器が必要な場合
下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。
・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・eco タッチリモコン（RC-DX3D 以降）

○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要ない場合
室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。（下図参照）
※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。
※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。
※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

＜インターロック解除ピンの接続コネクタ＞



インターロック解除ピンは室内ユニットの制御箱付近に付属しています。
使用しない場合は取外して廃棄してください。

⑨パネルの取付

●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニットに取付けてください。
●パネルの取付方法は、519ページの据付説明書をご覧ください。

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

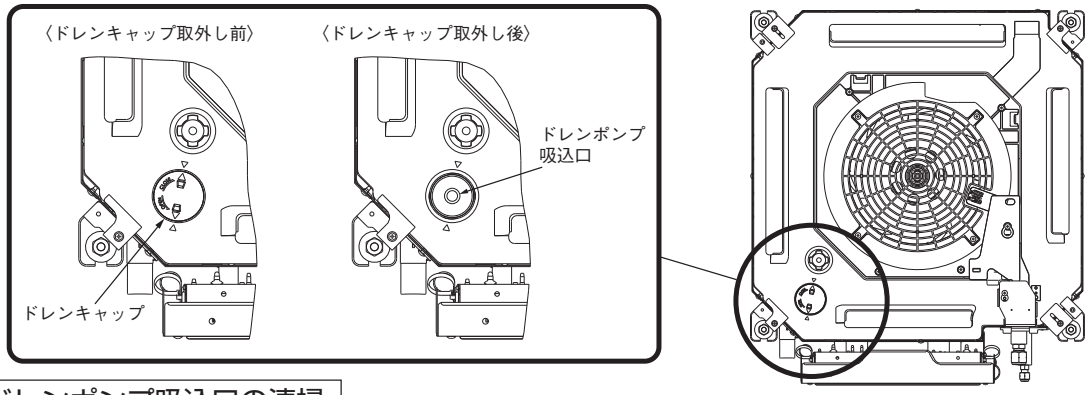
●室内ユニット・パネル据付け工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。
R32 ビル用マルチ機の場合、付属の「据付工事施工チェックリスト（R32 ビル用マルチ）」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑪ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃（メンテナンス）

ドレンパン汚れ確認方法

1. パネル据付説明書に従ってパネルを取外してください。
2. ドレンキャップからドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口を確認してください。汚れが多い場合はドレンパンを取外し、清掃してください。

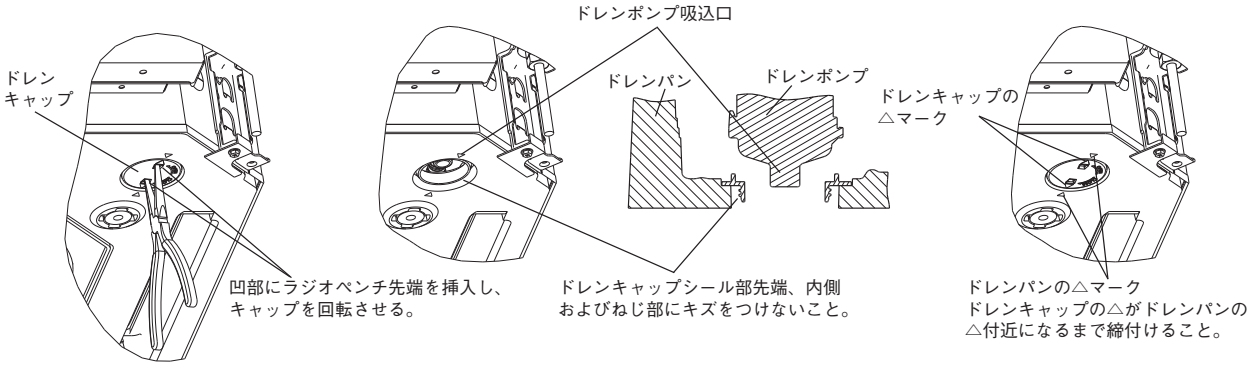


ドレンポンプ吸込口の清掃

●ドレンパンを取外さず、ドレンキャップを取外すことでドレンポンプ吸込口およびその付近の清掃ができます。
●ドレンキャップを取外す前に、ゴム栓を取外してドレンパン内のドレンを排水してください。

1. ドレンキャップの凹部（2 か所）にラジオペンチの先を挿入し、反時計回りに約 1 回転するとドレンキャップを取外せます。
2. ドレンポンプ吸込口を清掃する場合はプラスチック製の道具を使用してください。金属製の道具を使用するとドレンキャップ取付部をキズつけ、水漏れの原因になります。
3. ドレンキャップを取付ける前に、流水で水洗いし、**ドレンキャップ内側の異物を取除いてください。**異物が付着したままドレンキャップを取付けると水漏れの原因になります。
4. ドレンキャップの取付は、ラジオペンチでドレンキャップの凹部を使用して取付けてください。時計回りに約 1 回転させ、**キャップが回転しなくなるまで締付てください。**キャップが 1 回転以上回転しない場合は正しく取付けられていません。一度、ドレンキャップを取外し、改めて取付け直してください。
5. ドレンキャップ締付後、ドレンキャップの△マークがドレンパンの△マーク付近にあることを確認してください。ドレンキャップの△マークがドレンパンの△マーク付近にない場合は、増し締めしてください。
6. 取外したゴム栓は確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。

⑪ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃（メンテナンス）のつづき

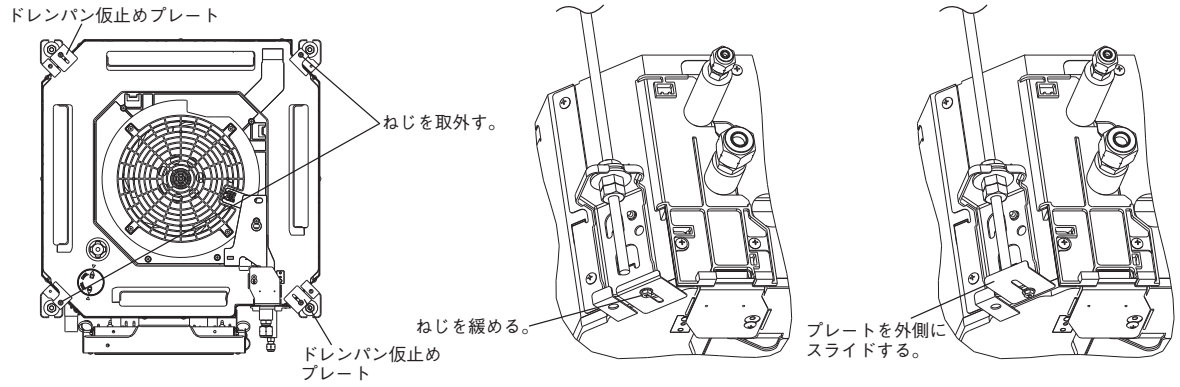


ドレンパン取外し時の注意事項

●ドレンパンを取外す前に、ドレンパン内のドレンを排水してください。ゴム栓を取外して排水してください。

●ドレンパンは仮止めプレートで仮止めされています。ドレンパン取付ねじ(2個)を取外し、仮止めプレートのねじ(2個)を緩めてください。
仮止めプレートをドレンパンの外側にスライドしてください。ドレンパンを取外せます。

●ドレンパン取付時は、仮止めプレートを内側にスライドし、ドレンパンを仮止めしてください。その後、ドレンパン取付ねじ(2個)と仮止めプレートのねじ(2個)を締付けてください。また、取外したゴム栓は確実に取付けてください。



(ii) パネルの据付

パネル形式：TC-PSAE-5BW

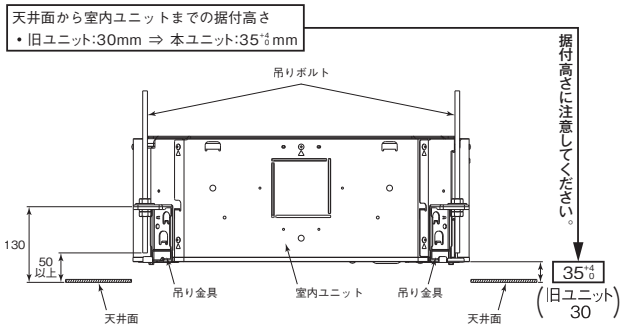
PJF012D510

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

※ご使用前の注意点

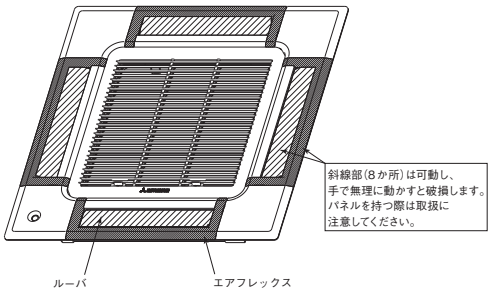
①室内ユニットの据付高さに注意してください。
また、本室内ユニットは旧ユニット（従来機）と据付高さが異なるため、注意してください。

天井面から室内ユニットまでの据付高さ
・旧ユニット:30mm ⇒ 本ユニット:35$^{+4}_{0}$mm



※室内ユニットが上記の高さに据付けられていない場合、風漏れによる露付・露垂れや天井面の汚れ発生の原因となります。

②ルーバおよびエアフレックスは無理に動かさないでください。



⚠ 警　告

●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

エアフレックス ： ドラフト防止機能

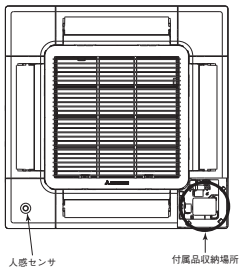
① 据付の前に

・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・次の項目を確認してください。
○パネル・リモコンのタイプ
○付属品

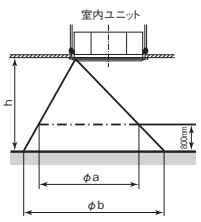
付属品

ボルト		4本	パネル取付用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
グリルフック		1個	グリル落下防止用
ねじ		4本	コーナリッド固定用

注：付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



人感センサ検知範囲の目安



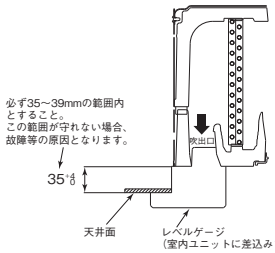
天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②	φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

② 室内ユニットの据付高さの確認

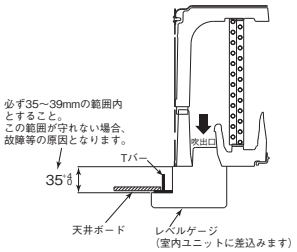
・室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
・室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。
・室内ユニットと天井材との取付レベルを確認してください。
・室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。
・レベルゲージはパネル取付前に取外してください。

ご注意
室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

<システム天井以外の場合>

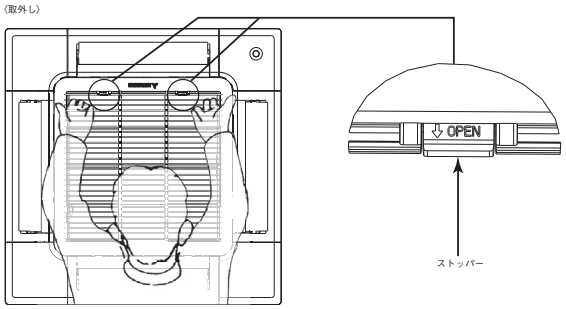


<システム天井の場合>



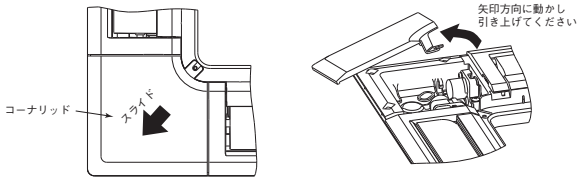
③ 吸込グリルの取外し

1．吸込グリルのストッパー（2か所）に指をかけて「OPEN」の方向に押したまま吸込グリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
2．吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネルから外します。



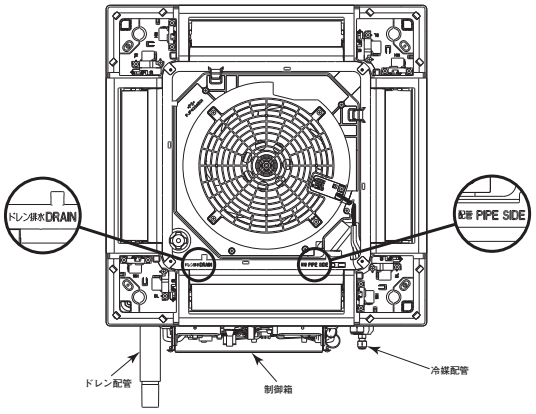
④ コーナリッドの取外し

・コーナリッドを矢印の方向へ移動させ取外してください。(4コーナとも)



⑤ パネルの取付方向

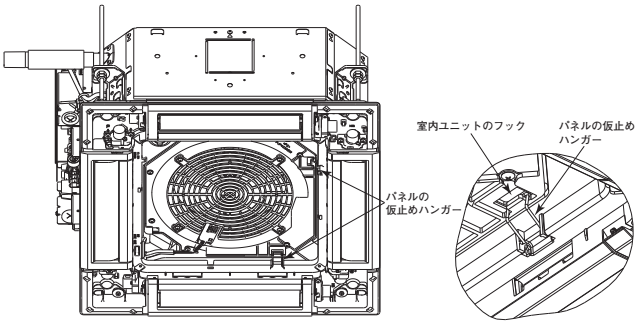
・パネルの取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。
・パネルは、下図に示す方向で取付けてください。
・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管の位置を合わせてください。



ご注意
・上図以外の方向で取付けると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。

⑥ パネルの取付

1．パネルの仮止め
・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。（2か所）
・パネルの仮止め用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊るします。



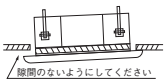
2．パネルの室内ユニットへの固定
・付属のパネル取付用ボルト４本を用いて、室内ユニットに締付けてください。

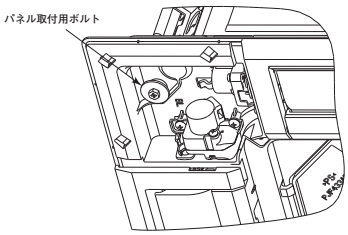
ご注意
人感センサ配線が噛込まないように注意してください。

ご注意
・吊りボルトの締込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。

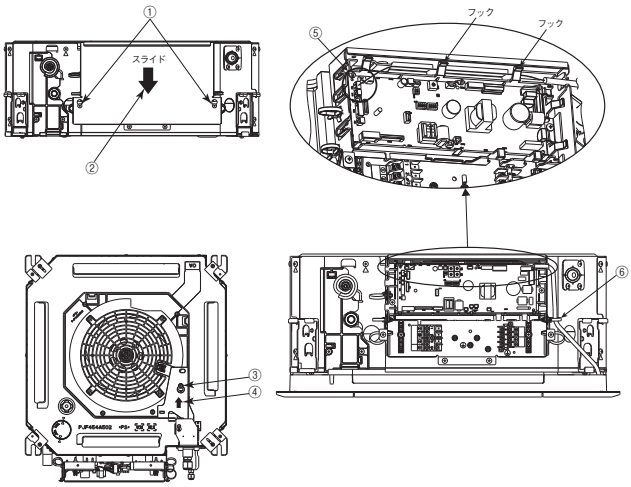




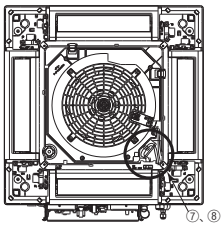
ご注意
パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付高さを調整してください。
パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が収まらないおそれがあります。

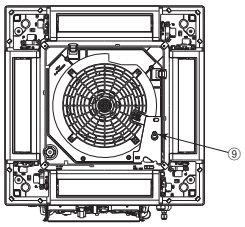
⑦ 電気配線

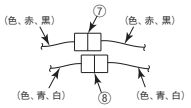
①ユニット本体の制御箱のねじ（2本）を緩めてください。
②制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて取外してください。
③配線カバーのねじを緩めてください。
④図の矢印方向に蓋をスライドさせて、配線カバーを取外してください。
⑤人感センサ配線のコネクタを制御箱内の基板のCNL（3P, 黒）に接続してください。
⑥図のように人感センサ配線をバンドで固定してください。
⑦パネル側のルーバモータ配線（配線色：赤, 黒）のコネクタを、ユニット側のルーバモータ配線（配線色：赤, 黒）のコネクタCNJ3（20P, 白）に接続してください。
⑧パネル側のエアフレックスモータ配線（配線色：青, 白）のコネクタを、ユニット側のエアフレックスモータ配線（配線色：青, 白）のコネクタCNJ4（20P, 白）に接続してください。
⑨配線が噛込まないように配線カバーを取付け、ねじで締付けてください。
⑩配線を噛込まないように制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)で締付けてください。



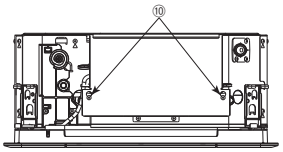
⑦ 電気配線のつづき

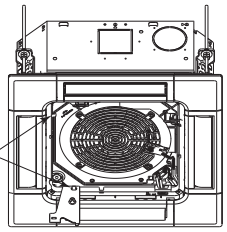






モータ配線接続詳細図

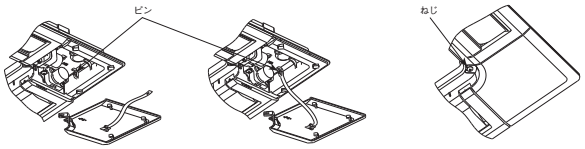




※フックに配線カバーを引掛けることで作業がしやすくなります。

⑧ コーナリッドの取付

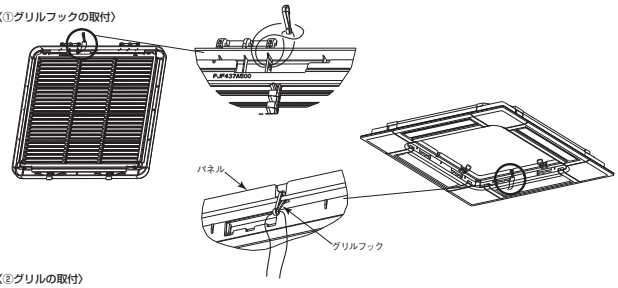
1．付属のコーナリッド落下防止用ストラップをコーナリッドのビンに折返して引掛けてください。
2．コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネルのビンに引掛けてください。
3．コーナリッドのつめ3か所をはめ、付属のねじで固定してください。



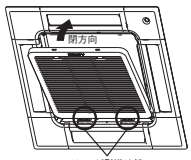
⑨ 吸込グリルの取付

パネルと吸込グリルには方向性がありません。（吸込グリルのヒンジは４辺どこでも取付け可能です。）
吸込グリルの取付け方法は ③吸込グリルの取外し の手順を逆に作業してください。
①グリルフックをパネルに取付けてください。
②吸込グリルのヒンジをパネルのヒンジ挿入穴に取付けてください。
吸込グリルのヒンジを取付け後、ストッパー（2か所）を押したまま、閉じてください。
両方のストッパーが確実にパネルに差込まれていることを確認してください。

〈①グリルフックの取付〉



〈②グリルの取付〉



ご注意
・グリルフックは確実にパネル本体側に取付けてください。
・吸込グリルの取付は、必ずヒンジ側から行ってください。
・吸込グリルは確実に取付けてください。取付が不十分ですと落下する恐れがあります。
・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してください。吸込グリルが落下する恐れがあります。

⑩ パネルの設定

＜ルーバの動作範囲設定（フリーフロー設定）＞
ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

＜エアフレックスの設定＞
エアフレックスパネルを取付け、配線接続をするだけではエアフレックスは作動しません。
エアフレックスを作動させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、エレックスの設定を有効にしてください。（ワイヤードリモコンRC-DX3A、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。）
本モードで有効に設定すると運転開始時にエアフレックスが作動し、運転中は常時エアフレックスが開いています。また、停止時にエアフレックスは閉じます。各吹出口毎に有効/無効の設定が可能です。
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

＜人感センサの設定＞
エアフレックスパネルを取付、配線接続をするだけでは人感センサは機能しません。
人感センサを機能させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、人感センサの設定を有効にしてください。（ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。）
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

(c) 天井埋込形 4 方向吹出し（FDTW）

PJB012D322AA B

(i) 室内ユニットの据付

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
「室内ユニット据付工事 安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。

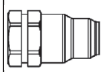
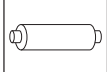
- 電気配線（室内ユニット）は、693ページをご覧ください。
- ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
- ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。
- 安全遮断弁の取付け方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
- 冷媒検知警報器の取付け方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
- 室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。

また、故障診断は、858, 997ページまたは1108ページをご覧ください。
本室内ユニットは、必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは､日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。

①据付の前に

●据付はこの据付け説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
○機種・電源仕様　○配管・配線・小物部品　○付属品

付属品

本体吊り込み用		冷媒配管用					ドレン配管用				コントロール用
平座金 (M10)	レベルゲージ	ねじ接合継手 (大)※	ねじ接合継手 (小)※	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	バンド	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	ドレンホース	ホース クランプ	解除ピン ※
											
8個	1個	1個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個	1本
室内ユニット吊り下げ用	室内ユニット吊り込み調整用	ガス管接続用	液管接続用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	インターロック解除用

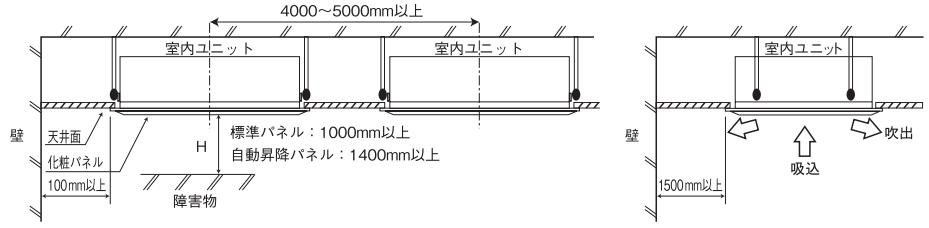
※ R32 ビル用マルチ機のみ付属しています。

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・人感センサを取付ける場合、据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。
〔ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、ユニット本体の全ておよび配管、ドレン配管にさらに１０～２０mmの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁などで補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下により、ケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４～５ｍ以上離して設置してください。

室内ユニット据付スペース

●据付高さは２.５m以上としてください。※ この室内ユニットは「一般大衆が近づかいない機器」に分類されます。



③据付前の準備

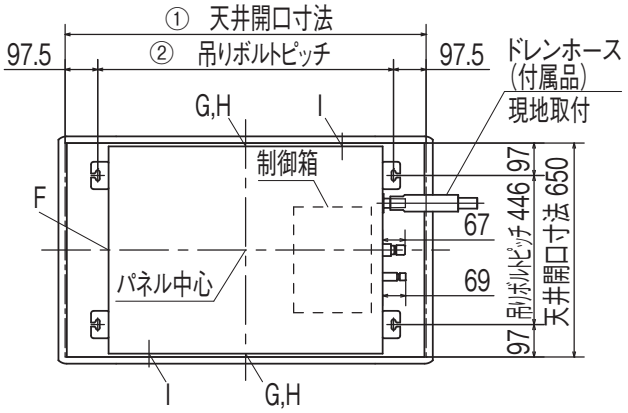
●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０）を４組現地にて手配してください。

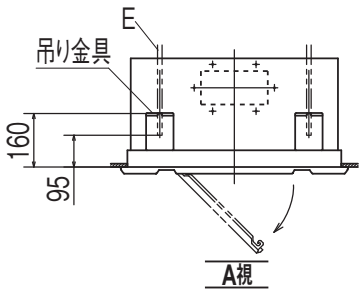
天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置

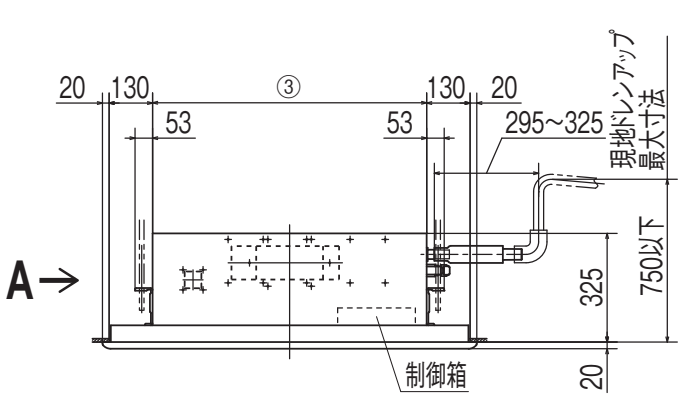
記号	内容	記号	内容
A	冷媒ガス側接続口	F	OA 取入口
B	冷媒液側接続口	G	吹出分岐ダクト接続口
C	ドレン配管側接続口	H	加湿器接続口
D	電源取入口	I	加湿器余剰水接続口
E	吊りボルト		

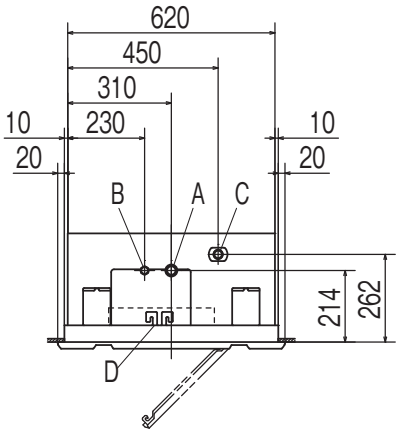
※:ユニット形式を示す。 例　56形:FDTWZP56を表す。　（mm）

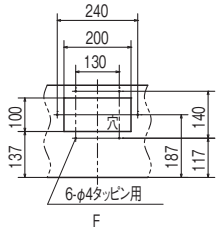
		機種　※	①	②	③	④	⑤
店舗	標準機 寒冷地機	56, 63, 80形	1080	885	820	200	240
		140, 160形	1795	1600	1535	440	480
R32 ビル用	マルチ機	22, 28, 36, 45, 56, 71, 80形	1080	885	820	200	240
		90, 112, 140, 160形	1795	1600	1535	440	480

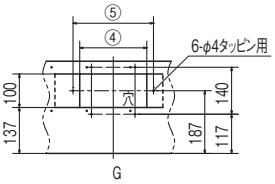


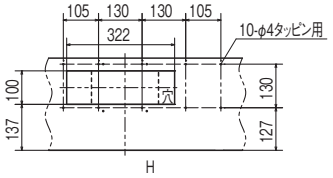


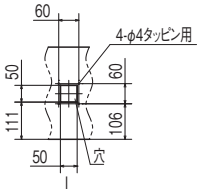








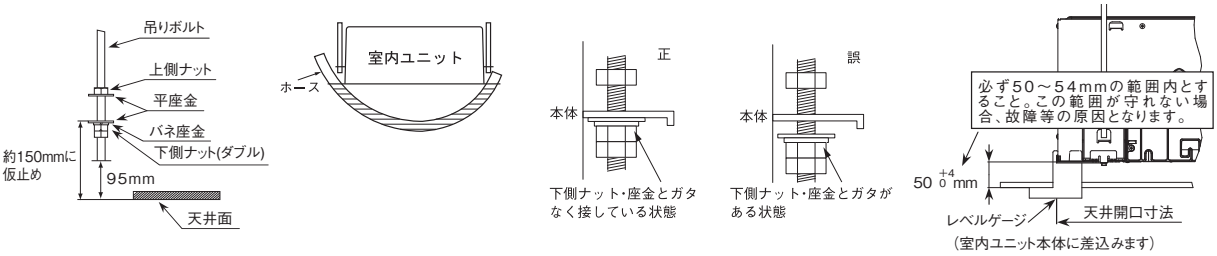




④室内ユニットの据付

作業手順

1．据付場所に天井開口寸法をあけてください。
2．所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3．吊りボルトは４本使用してください。
4．吊りボルト長さは、天井面より９５mm程度上としてください。吊りボルトの下側ナット４箇所は天井面から１５０mm程度に仮止めし、上側ナット４箇所は室内ユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障ないよう、下側ナットから十分距離をとった位置に仮止めし、室内ユニット本体を吊り込んでください。
5．室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニット吊り込み高さを調整してください。高さ調整は、上側ナット４箇所を緩めた状態で、下側ナット４箇所で調整してください。室内ユニット吊り金具４箇所が下側ナット・座金にガタなく接していることを確認してください。
6．室内ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。
（室内ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
7．高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締め付けて室内ユニットを固定してください。



室内ユニット据付時のお願い

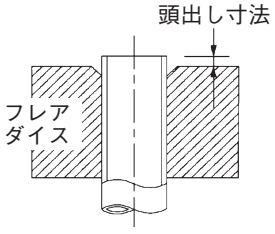
●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニット本体に無理な力がかかり変形し、パネルが組付できなかったり、ファン干渉音が発生することがあります。
●室内ユニットは必ず水平に据付、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
●化粧パネルと天井面、および化粧パネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。

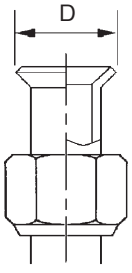
⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
●冷媒配管の接続方式は、「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」に従い選定してください。
ねじ接合継手により接続する場合は、ねじ接合継手に付属の説明書に従い作業してください。
●フレア接続する場合、フレアナットは製品付属ものをご使用ください。他のフレアナット（1 種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
●既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットやねじ接合継手は流用せず必ず未使用品を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管を室内ユニットに接続してください。

フレア接続準備





配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付けトルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1	14～18
9.52	0.8			12.8～13.2	34～42
12.7	0.8			16.2～16.6	49～61
15.88	1			19.3～19.7	68～82
19.05	1.2			23.6～24.0	100～120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

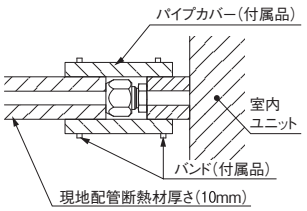
⑤冷媒配管のつづき

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●R３２用またはR４１０A用の工具を使用してください。

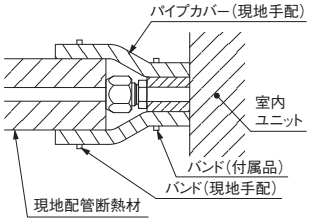
フレア接続手順

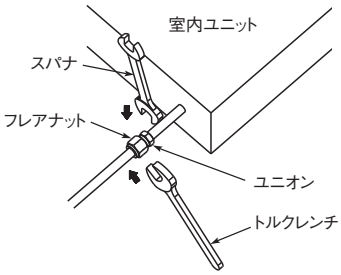
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）
2．液管・ガス管をフレア加工し、右図の示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
3．室内ユニットのフレア部はガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>





注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

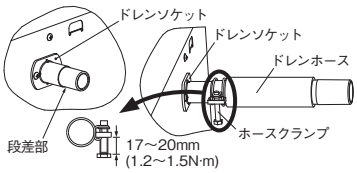
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
●ドレン工事は付属のドレンホースを必ず使用してください。使用しないとドレンソケットに力がかかり破損し、水が漏れることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

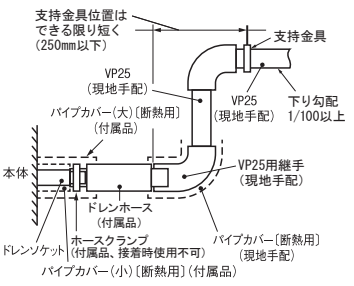
ドレンソケットとドレンホースの接続

●ドレンソケットの周囲温度が50℃以上となる場合は、ドレンソケットとドレンホースを接着してください。
●接着剤とホースクランプは併用しないでください。水漏れの原因となります。

〈ホースクランプを使用する場合〉
1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3. ねじを数回回転させて締付が固くなる位置まで締め付け、それ以上に締付けないでください。
ねじの締め代の目安は17～20mm（参考:1.2～1.5N・m）です。

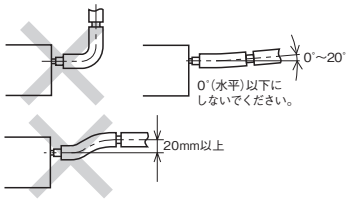
〈接着する場合〉
1. 塩ビ系接着剤を使用して、ドレンホースの軟質側とドレンソケットを接着してください。
その際、ドレンホースをドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。
2. 接着方法は接着剤の使用方法に従ってください。
接着剤推奨品：積水化学工業製エスロン No73S，クボタケミックス製タフダイン青
※フタル酸エステル類を含有している接着剤は使用しないでください。水漏れの原因となります。
●ドレンホースやドレンソケットの内部に接着剤が流れ込まないようにしてください。



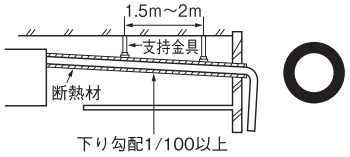


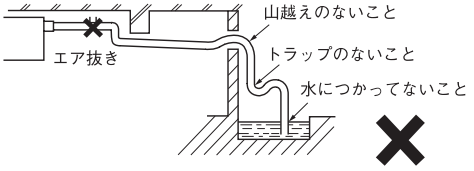
⑥ドレン配管のつづき

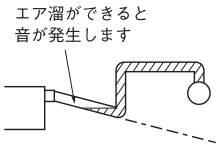
ドレンホースと配管の接続



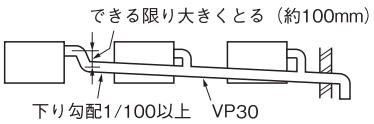
1. VP25用継手やエルボ、配管（いずれも現地手配）を接続してください。
   ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。
   ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
   乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
   ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
2. ドレン配管を接続する場合、ドレンソケットやドレン配管に力が加わらないようにしてください。
   できる限り室内ユニット近傍 (現地手配の継手先端から 250mm 以内) でドレン配管を支持してください。
3. ドレン配管は下り勾配（1/100以上）としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
   ●エア抜きは絶対に設けないでください。







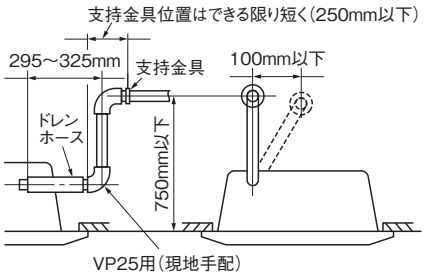
   ●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。
   また集合配管はVP30以上を使用してください。



4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
   ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
   ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、ホースクランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より７５０ｍｍまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

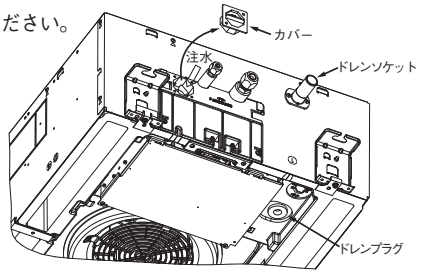


ドレン排水テスト

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

作業手順

1．配管リッド部のカバー（ねじ２個）を取外し、下図の位置より給水ポンプなどを使用して、電気部品に水をかけないように、本体ドレンパンの中へ約１０００ｃｃ注水してください。
2．ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
   ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。
   ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。
3．排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。
   水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでください。



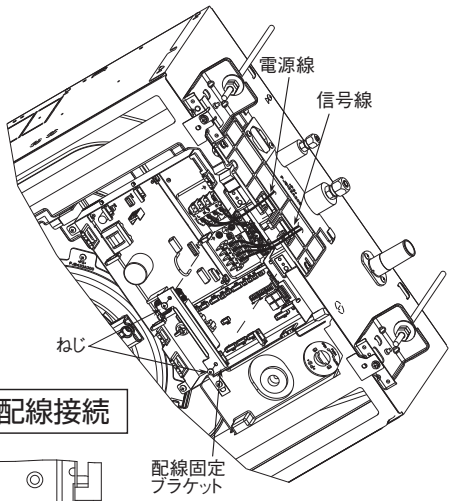
ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合
ドレンポンプの運転がリモコン（ワイヤード）操作により可能です。
運転操作方法は、電気配線工事説明書の ドレンポンプ運転操作 をご覧ください。
○電気配線工事が完了していない場合
室内ユニット基板上のＳＷ７－１をＯＮにし、かつ、基板上のコネクタＣＮＢを抜いた後、電源ＯＮ（端子台①、②へＡＣ２００Ｖ）すると、ドレンポンプのみ連続運転します。
排水確認後は、必ずＳＷ７－１を元の状態（ＯＦＦ）に戻し、かつ、基板上のコネクタＣＮＢを差込んでください。

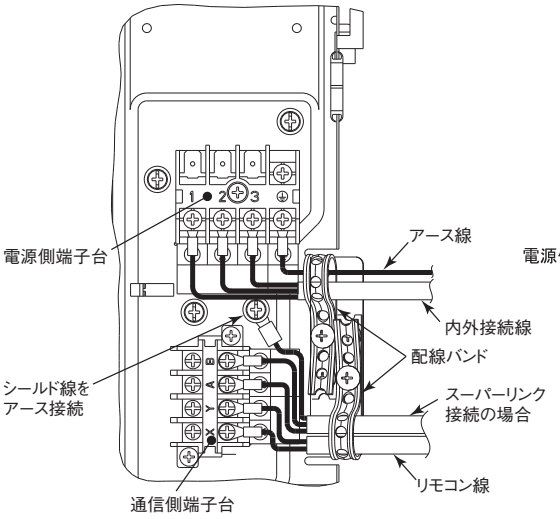
⑦電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は、同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種設置工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

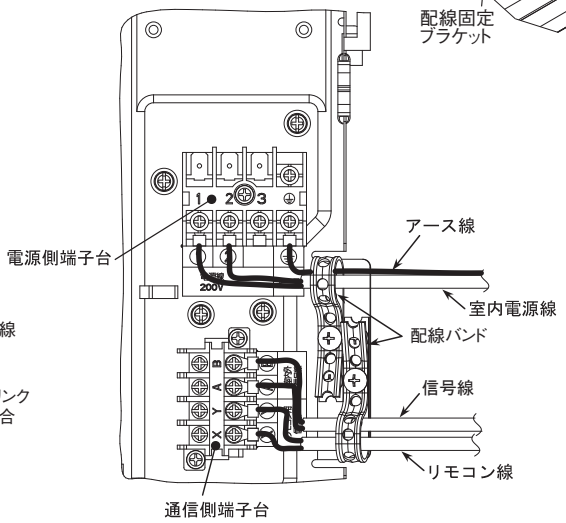
1．制御箱の蓋(ねじ2個)と配線固定ブラケット(ねじ2個)を取外してください。
2．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
3．各配線を配線バンドで固定してください。
4．取外した部品を元通りに取付けてください。



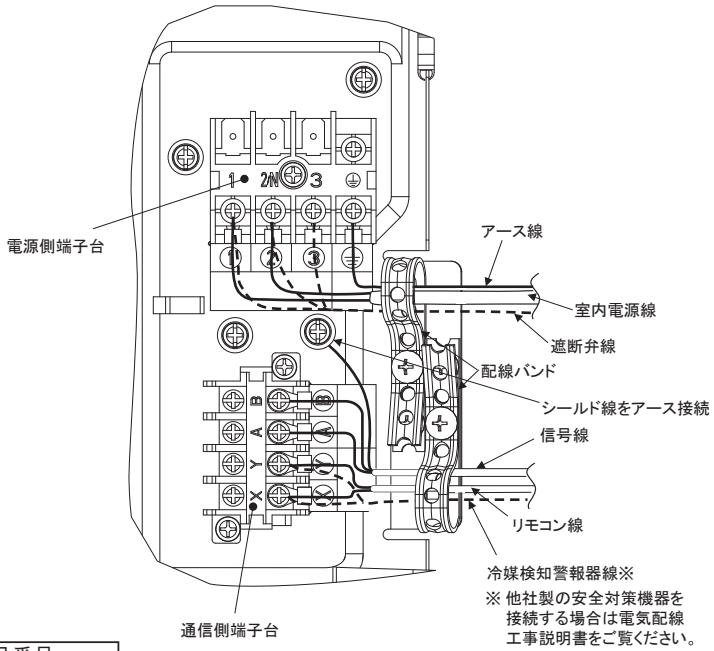
店舗機の配線接続



R410Aビル用マルチ機の配線接続



R32ビル用マルチ機の配線接続



メインヒューズ仕様

仕様	部品番号
T5A L250V	SSA564A149AH

⑧インターロック機能（R32 ビル用マルチ機のみ）

● R32 マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。
●**インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。**
※インターロックが有効状態だとリモコンにメンテナンスコード (M28) が表示され、ユニットは運転できません。

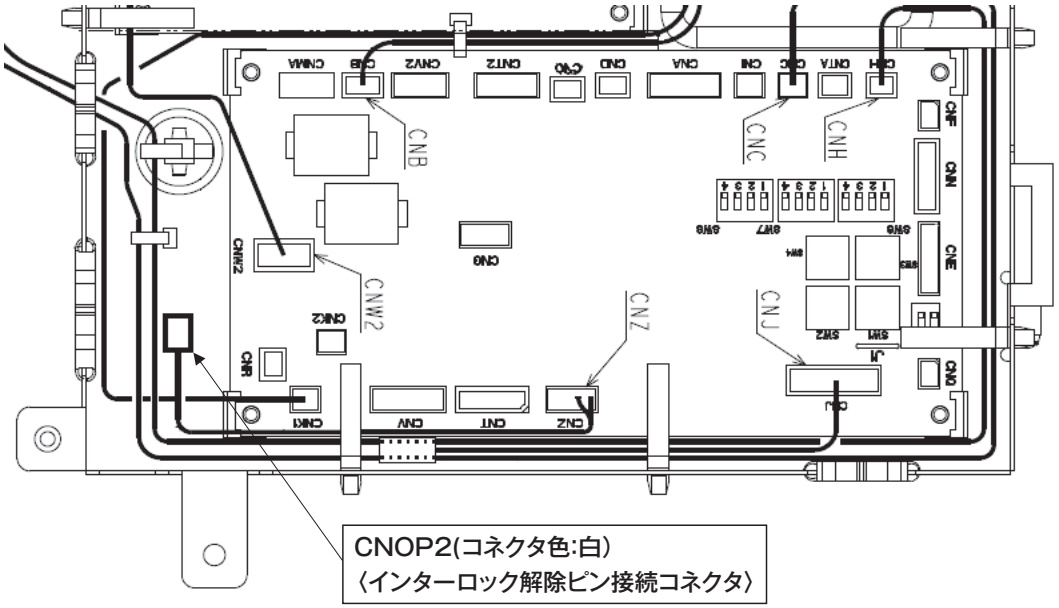
インターロック機能の解除方法

○すべての安全対策機器が必要な場合
下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。
・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・eco タッチリモコン (RC-DX3D 以降)

○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要ない場合
室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。(下図参照)
※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。
※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。
※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

＜インターロック解除ピンの接続コネクタ＞

インターロック解除ピンは室内ユニットの制御箱付近に付属しています。
使用しない場合は取外して廃棄してください。



⑨パネルの取付

●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニット本体に取付けてください。
●パネルの取付方法は、530ページの説明書をご覧ください。

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。
● R32 ビル用マルチ機の場合、付属の「据付工事施工チェックリスト（R32 ビル用マルチ）」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良だと…	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑪店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニットが自動認識されます。機種銘板の機種容量に○印を付けてください。

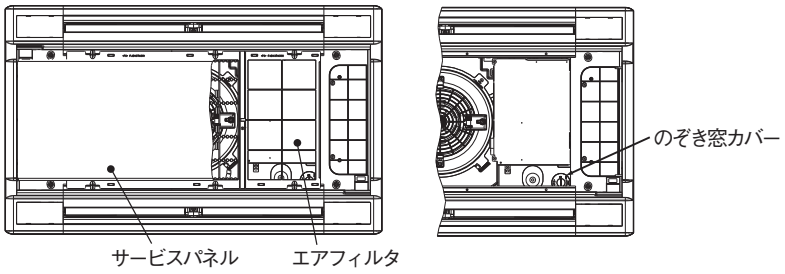
	室内ユニット	室内ユニット1台									2台接続						3台接続		4台接続	
	室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280	160	224	224	280
標準機	FDTWZP56	P40	P45	P50	P56						P40	P56					P50		P56	
	FDTWZP63					P63														
	FDTWZP80						P80						P71	P80				P80		
	FDTWZP140							P112	P140						P112	P140				
	FDTWZP160									P160										
寒冷地	FDTWZP80										P40	P56								
	FDTWZP140						P80	P112												

⑫ドレンパン汚れ確認（メンテナンス）

ドレンパン汚れ確認方法

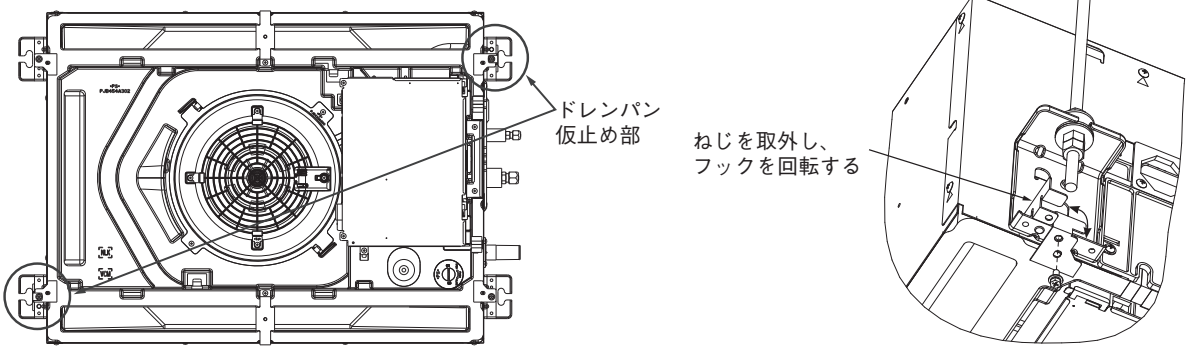
●パネル本体を取外さずに、ドレンポンプ吸込口部のドレンパンの汚れが確認できます。
（高性能フィルタなどオプションスペーサ取付時は確認できません。）

1．サービスパネルとエアフィルタを取外してください。
2．ドレンパンコーナーにあるのぞき窓カバーを取外してください。
3．のぞき窓からドレンパンの汚れを確認してください。
　汚れが多い場合は、ドレンパンを取外し、ドレンパンを清掃してください。
4．汚れ確認後、のぞき窓カバーを確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



ドレンパン取外し時の注意事項

●ドレンパンには仮止め機構がついています。ドレンパン取外し時、および取付時には注意願います。
ドレンパン取付ねじ（４個）取外し後、仮止めフックを外してください。
ドレンパン取付時は、仮止めフックを取付後、確実にねじで固定してください。

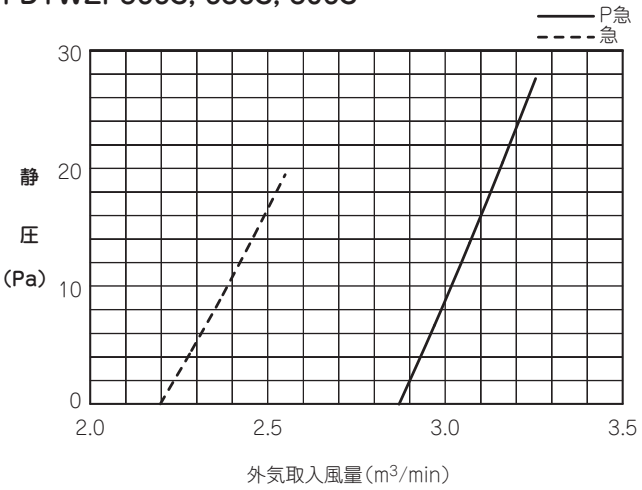


(ii) 新鮮空気 (OA) の取入れ

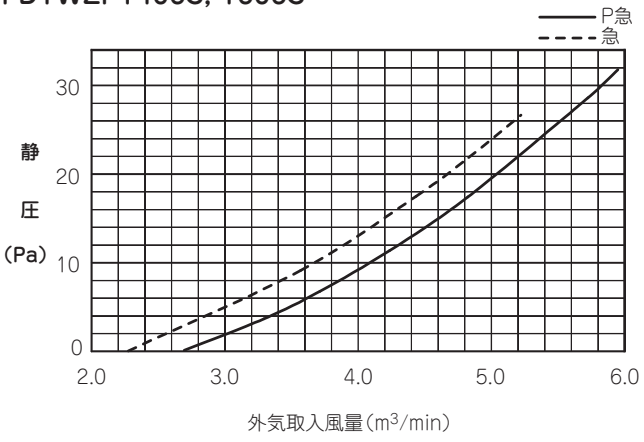
本ユニットは側板に新鮮空気取入ダクト接続口を持っています。(外形図をご覧ください。)

新鮮空気取入量は下図により求めてください。

FDTWZP566S, 636S, 806S

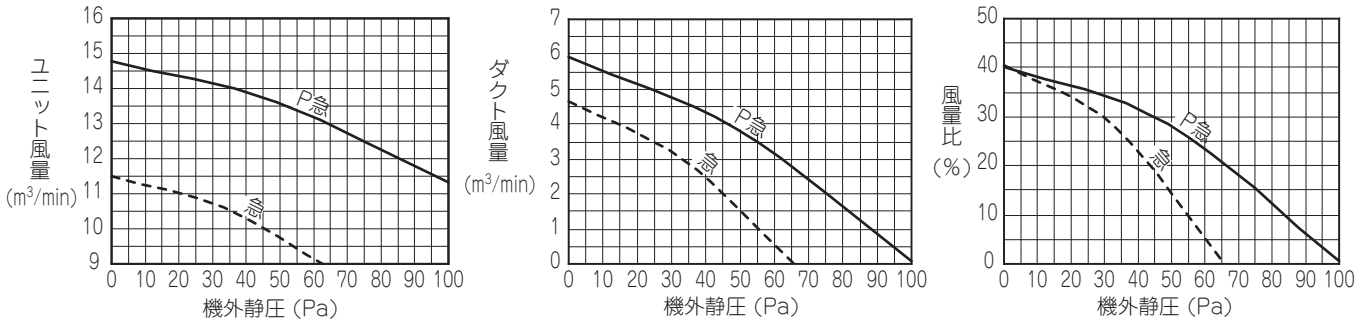


FDTWZP1406S, 1606S



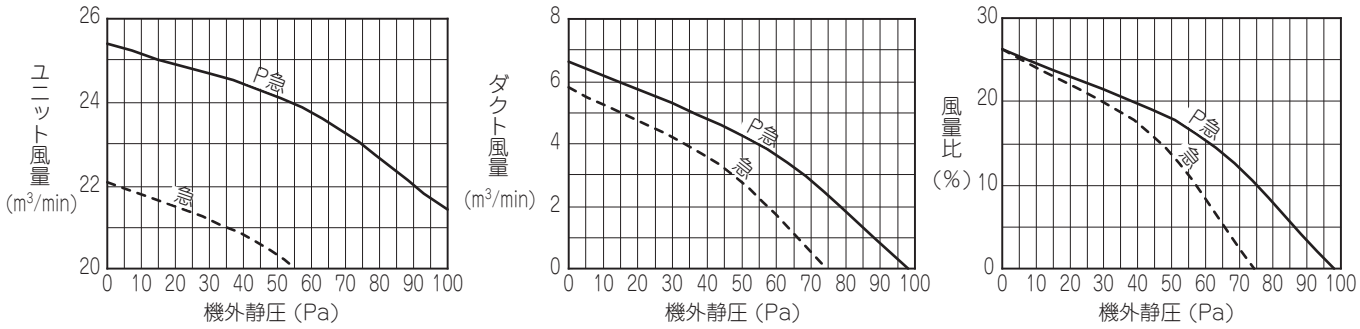
(iii) 分岐ダクト特性

FDTWZP566S, 636S, 806S

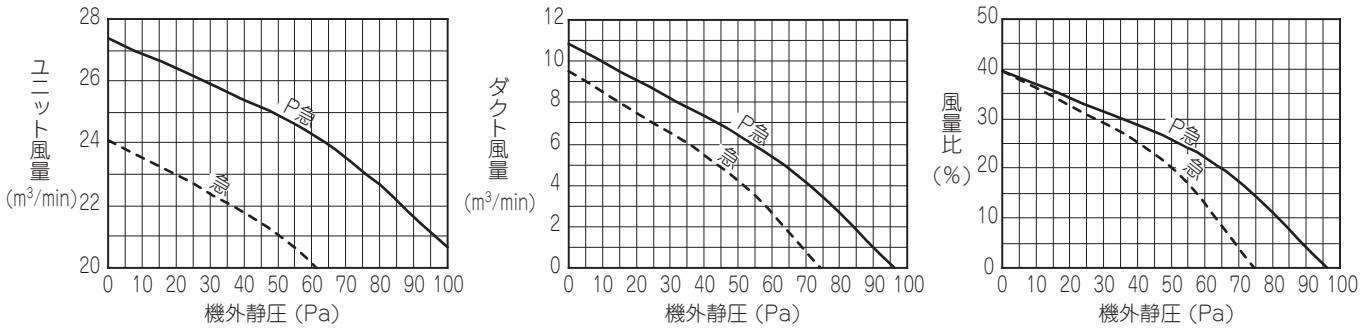


FDTWZP1406S, 1606S

■ダクト1個使用



■ダクト2個使用



⑷ パネルの据付

PJB012D300 A

室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付る。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

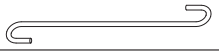
お願い <ラクリーナパネル>

・サービスパネルの動作範囲の周辺および下方には、障害物を置かないでください。
・電源投入前にパネルを取付けた場合は、サービスパネルの昇降動作はできません。
・電源投入前にサービスパネルを収納する場合は、付属のサポートで仮固定する事ができます。
・電源投入後は、付属のサポートが外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
・サービスパネル取付後の初回は、リモコンで「上げる」の操作を行い、サービスパネルを正規位置に収納してください。
（マイコンが収納位置を記憶します。）
・ワイヤーは、折曲げ、ねじり、噛込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

① 据付のまえに

・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・右図の付属品を確認してください。

付属品

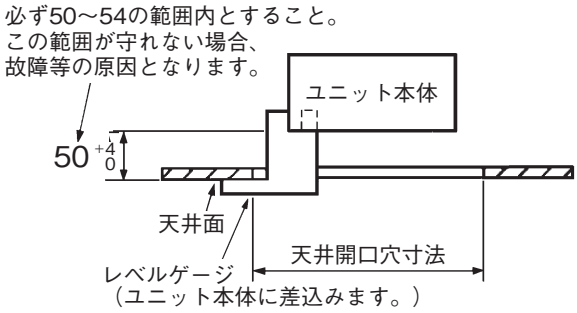
ボルト		6本	パネル取付用
サポート		4本	サービスパネル仮止め用（ラクリーナパネルのみ）

② 本体の取付レベルの確認

・ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
・ユニット本体に同梱されているレベルゲージで本体高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。
・ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
・ユニット本体付属のレベルゲージを吹出口にセットし、
本体の吊り込み高さを調整してください。
・レベルゲージはパネル取付前に取外してください。

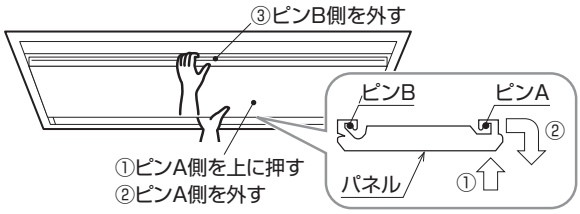
ご注意

ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、
パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。



③ サービスパネルの取外し

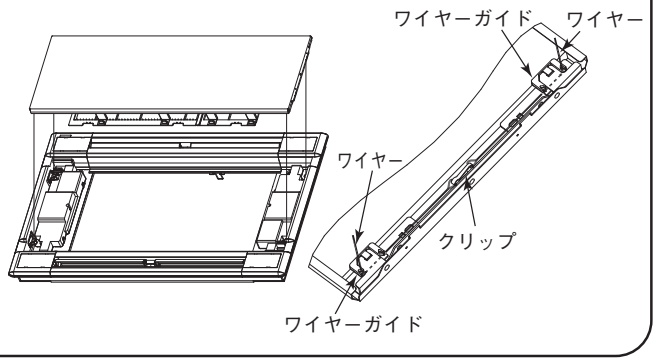
＜標準パネルの場合＞
1．サービスパネルの片側（ピンA側）を上に押し上げてください。
2．ピンAからパネルを外してください。
3．ピンB側を外し、パネルを取外してください。



<ラクリーナパネルの場合>
1．サービスパネルを少し持ち上げて、サービスパネルを開けます。
2．サービスパネルの4コーナに引掛けてあるワイヤーをワイヤーガイドから取外してください。

ご注意

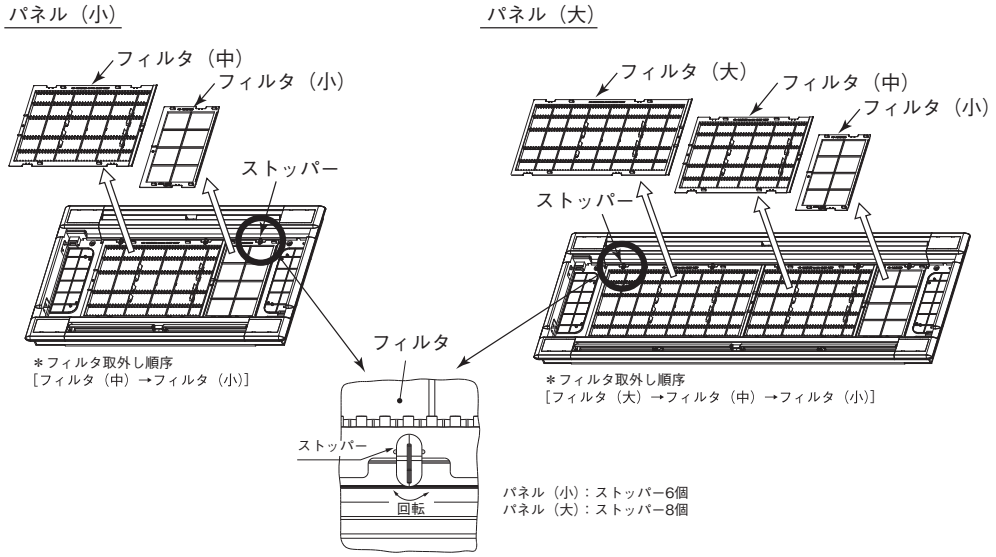
サービスパネルはゆっくり持ち上げてください。
ワイヤーおよびワイヤーガイドが破損する恐れがあります。



④ フィルタの取外し

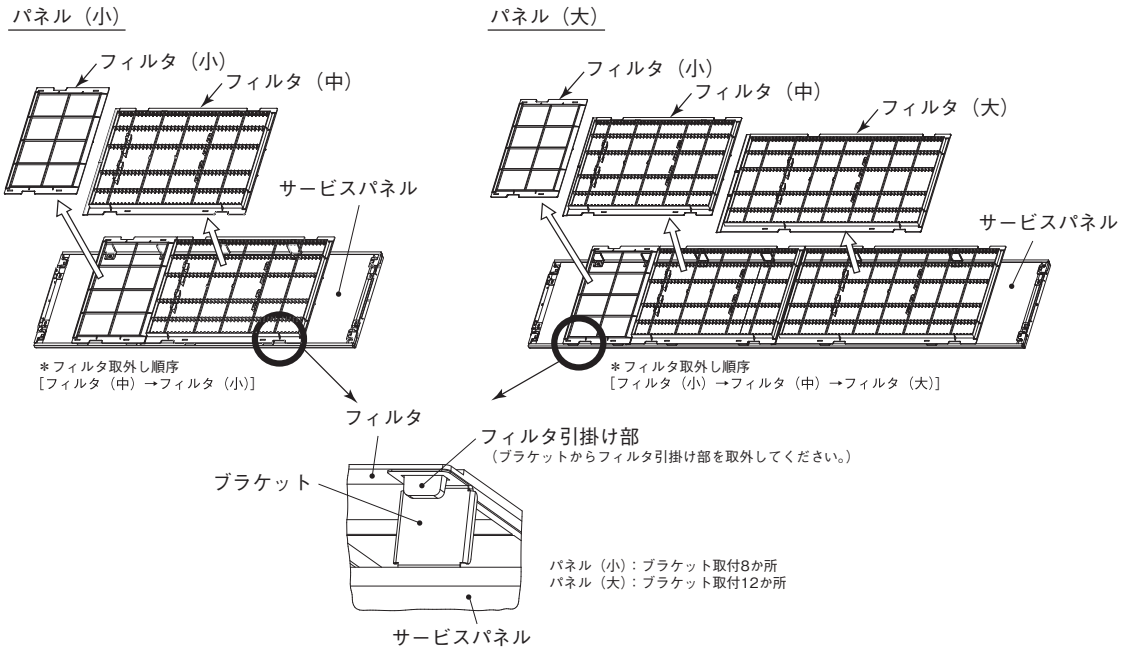
＜標準パネルの場合＞

・フィルタを押さえ、ストッパーを回転させてフィルタを取外してください。



＜ラクリーナパネルの場合＞

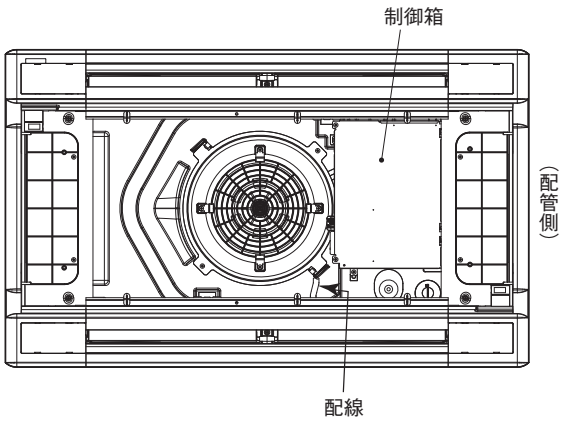
・フィルタをブラケットから取外してください。



⑤ パネルの取付方向

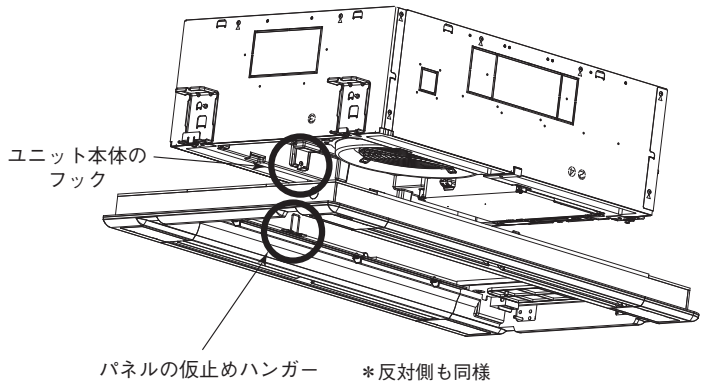
1．パネルの取付方向はユニット本体に対し方向性があります。
・パネルは、右図の様に電気配線が制御箱に近くなる方向で取付てください。

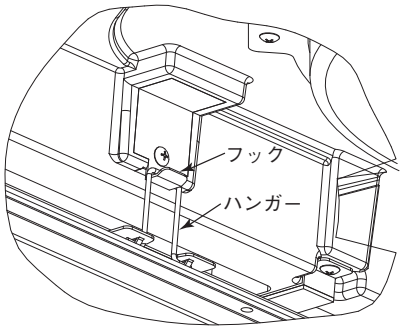
ご注意
・右図以外の方向で取付ると、エアフィルタと制御箱が干渉し風漏れの原因となります。
また電気配線の接続ができません。



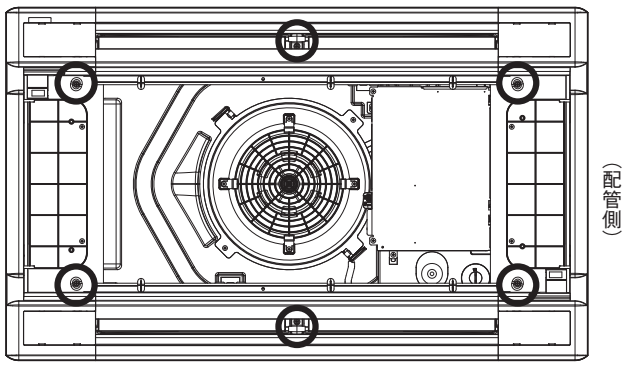
⑥ パネルの取付

1．パネルの仮止め
・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。（２か所）
・パネルの仮止め用ハンガーをユニット本体のフックにかけて、パネルを本体に吊るします。



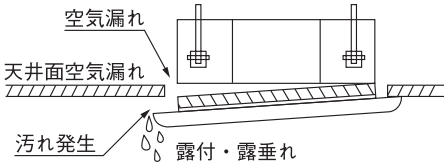


2．パネルのユニット本体への固定
・パネル付属のボルト６本を用いて、ユニット本体に締付てください。

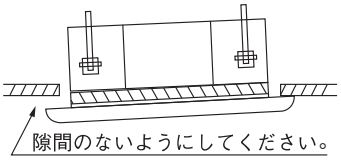


○：パネルのユニット本体への固定部

ご注意
・吊りボルトの締込みが不十分な場合、 下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



・吊りボルトを締込んでも 天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は､室内ユニット本体の高さを再調整してください。



(d) 天井埋込形 1 方向吹出し（FDTS）

PJC012D322A

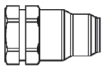
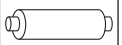
(i) 室内ユニットの据付

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
「室内ユニット据付工事 安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。
● 電気配線（室内ユニット）は、693ページをご覧ください。
● ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
● ワイヤレスキットの取付方法は1251ページをご覧ください。
● 安全遮断弁の取付方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
● 冷媒検知警報器の取付方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
● 室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
また、故障診断は、858ページまたは997ページをご覧ください。
本ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。

①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
○機種・電源仕様　○配管・配線・小物部品　○付属品

付属品

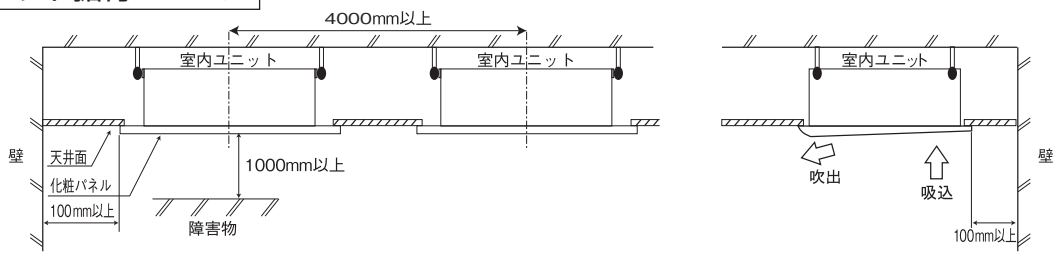
本体吊り込み用	冷媒配管用					ドレン配管用				コントロール用
平座金 (M10)	ねじ接合継手 (大)※	ねじ接合継手 (小)※	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	バンド	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	ドレンホース	ホース クランプ	解除ピン ※
										
8個	1個	1個	1個	1個	4個	1個	1個	1個	1個	1本
室内ユニット吊り下げ用	ガス管接続用	液管接続用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	インターロック解除用

※ R32 ビル用マルチ機のみ付属しています。

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・人感センサを取付ける場合、据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２８℃以下、相対湿度８０％以下の所。
〔ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、ユニット本体の全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４ｍ以上離して設置してください。

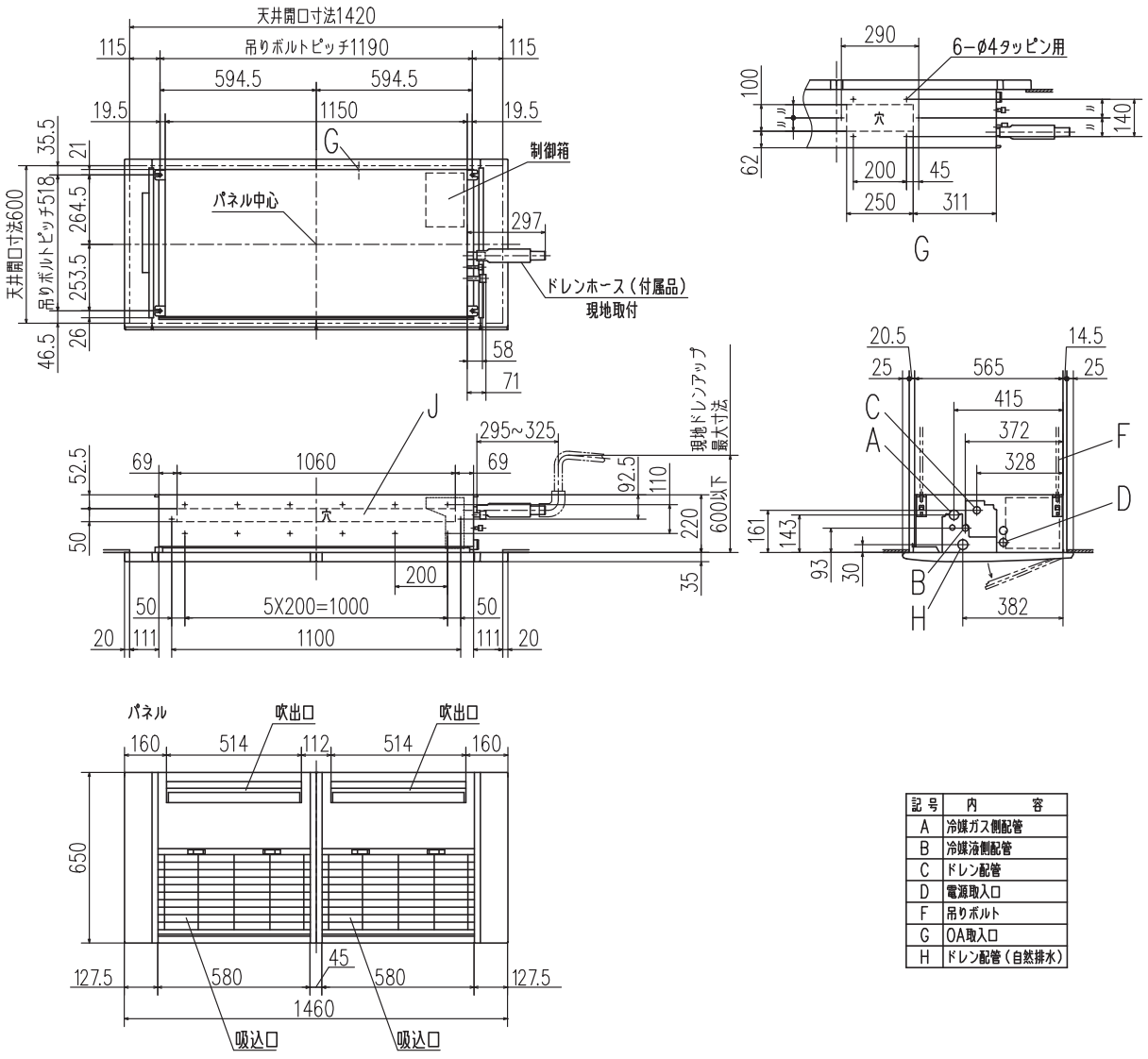
室内ユニット据付スペース



③据付前の準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０）を４組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置

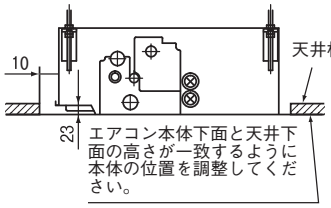


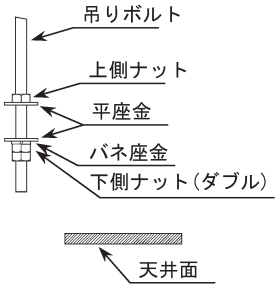
記号	内　　容
A	冷媒ガス側配管
B	冷媒液側配管
C	ドレン配管
D	電源取入口
F	吊りボルト
G	OA取入口
H	ドレン配管（自然排水）

④室内ユニットの据付

作業手順

1．天井に１４２０×６００の穴をあけてください。
2．吊りボルト位置（１１９０×５１８）を決めてください。
3．吊りボルトは、４本使用してください。
4．吊りボルト長さは、天井面より１６５mm程度上としてください。吊りボルトの下側ナット４箇所は天井面から２１７mm程度に仮止めし、上側ナット４箇所は室内ユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障ないよう、下側よナットから十分距離をとった位置に仮止めし、室内ユニット本体を吊り込んでください。

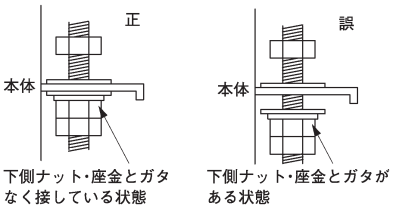




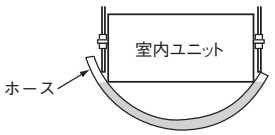
5．室内ユニット下面と天井面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。（吹出口部分は、天井裏に入ります。）天井下面とエアコン本体下面との高さ許容差は、天井下面に対し、エアコン本体下面が上方に５mm以下です。

注意 エアコン本体が天井下面より下方にならないよう設置してください。

高さ調整は、上側ナット４箇所を緩めた状態で、下側ナット４箇所で調整してください。室内ユニット吊り金具４箇所が下側ナット・座金にガタなく接していることを確認してください。



6．室内ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。（室内ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
7．高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締付けて室内ユニットを固定してください。



室内ユニット据付時のお願い

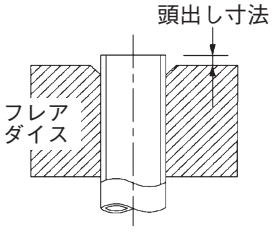
●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニット本体に無理な力がかかり変形し、パネルが組付できなかったり、ファン干渉音が発生するおそれがあります。
●室内ユニットは必ず水平に据付、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
●化粧パネルと天井面、および化粧パネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。
●化粧パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付後に天井材を貼る場合は、室内ユニット内へほこりを入れない様注意してください。

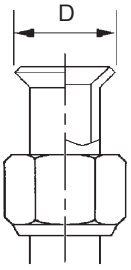
⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
●冷媒配管の接続方式は、「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」に従い選定してください。
ねじ接合継手により接続する場合は、ねじ接合継手に付属の説明書に従い作業してください。
●フレア接続する場合、フレアナットは製品付属ものをご使用ください。他のフレアナット(1種)を使用すると冷媒漏れの原因となります。
●既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。
1)再利用する場合、フレアナットやねじ接合継手は流用せず必ず未使用品を使用してください。
2)再利用する場合、部分的に交換した新しい配管を室内ユニットに接続してください。

フレア接続準備





配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

⑤冷媒配管のつづき

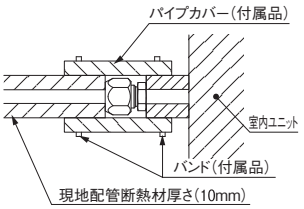
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C１２２０T、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。

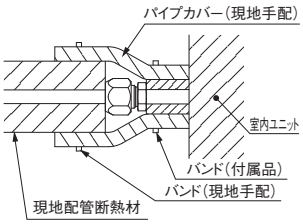
●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はR32用またはR410A用の工具を使用してください。

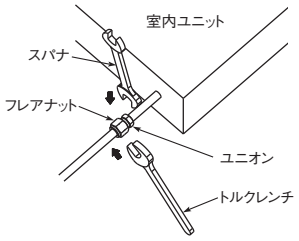
<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>



フレア接続手順



1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

2．液管・ガス管をフレア加工し、右図の示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。

3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

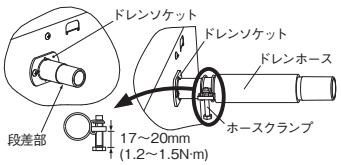
注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

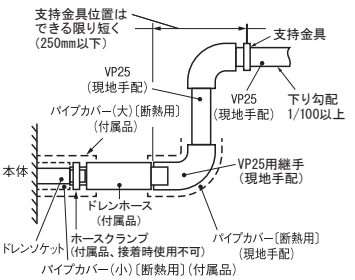
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
●ドレン工事は付属のドレンホースを必ず使用してください。使用しないとドレンソケットに力がかかり破損し、水が漏れることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

ドレンソケットとドレンホースの接続



●ドレンソケットの周囲温度が50℃以上となる場合は、ドレンソケットとドレンホースを接着してください。
●接着剤とホースクランプは併用しないでください。水漏れの原因となります。

〈ホースクランプを使用する場合〉
1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3. ねじを数回回転させて締付が固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。
ねじの締め代の目安は17～20mm（参考:1.2～1.5N・m）です。

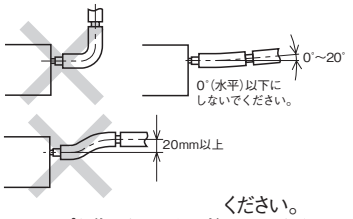


〈接着する場合〉
1. 塩ビ系接着剤を使用して、ドレンホースの軟質側とドレンソケットを接着してください。
その際、ドレンホースをドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。
2. 接着方法は接着剤の使用方法に従ってください。
接着剤推奨品：積水化学工業製エスロン No73S，クボタケミックス製タフダイン青
※フタル酸エステル類を含有している接着剤は使用しないでください。水漏れの原因となります。
●ドレンホースやドレンソケットの内部に接着剤が流れ込まないようにしてください。

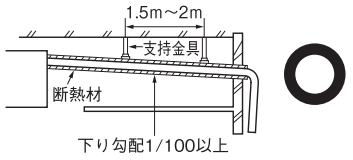
⑥ドレン配管のつづき

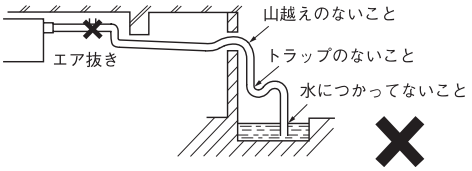
ドレンホースと配管の接続

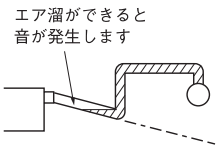
1. VP25用継手やエルボー、配管(いずれも現地手配)を接続してください。
   ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。
   ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
   乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
   ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付け時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



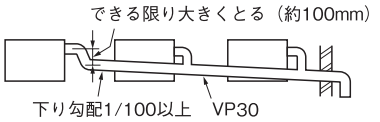
2. ドレン配管を接続する場合、ドレンソケットやドレン配管に力が加わらないようにしてください。
   できる限り室内ユニット近傍 (現地手配の継手先端から 250mm 以内) でドレン配管を支持してください。
3. ドレン配管は下り勾配(1/100以上)としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
   ●エア抜きは絶対に設けないでください。







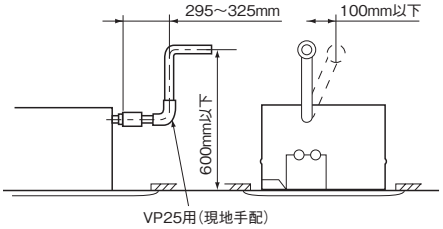
   ●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。
   また集合配管はVP30以上を使用してください。



4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
   ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
   ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー(小)をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー(大)にてパイプカバー(小)、ホースクランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より６００ｍｍまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボ等を用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローのおそれがありますので、右図寸法内で処理願います。

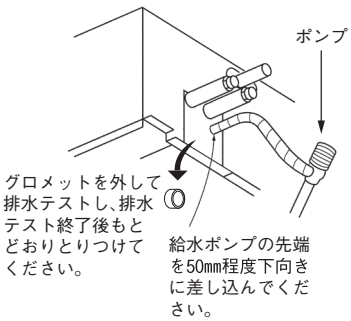


ドレン排水テスト

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

作業手順

1. 配管貫通部カバーのグロメットを外し、給水ポンプなどを使用してドレンポンプなどの電気部品に水をかけないように、本体ドレンパンの中へ約１０００cc 注入してください。



2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
   ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。
   ドレン排水の確認は、ドレンソケット部（透明）より確認できます。
3. 排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。
   水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでください。
4. 排水テスト後は、必ずグロメットを元通りはめこんでください。
5. 排水テスト後は、ドレン配管の断熱を本体部まで完全に行ってください。

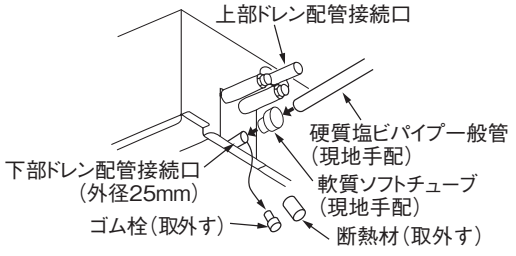
ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合
ドレンポンプの運転がリモコン（ワイヤード）操作により可能です。
運転操作方法は､電気配線工事説明書の ドレンポンプ運転操作 をご覧ください。

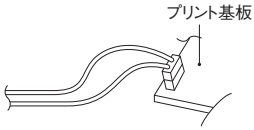
○電気配線工事が完了していない場合
室内ユニット基板上のＳＷ7-1をＯＮにし、かつ、基板上のコネクタＣＮＢを抜いた後、電源ＯＮ（端子台①、②へＡＣ２００Ｖ）すると、ドレンポンプのみ連続運転します。
ドレン排水確認後は、必ずＳＷ7-1を元の状態（ＯＦＦ）に戻し、かつ､基板上のコネクタＣＮＢを差し込んでください。

下部ドレン配管工事要領

ドレン配管に下り勾配（１／５０～１／１００）が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。

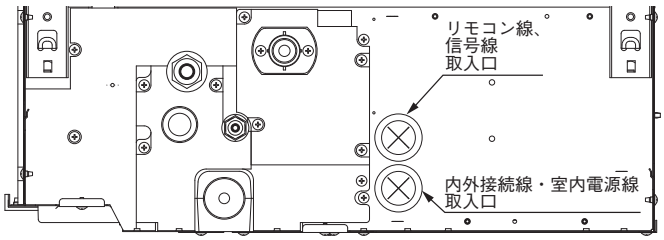


下部ドレン配管を使用する場合に必ず必要です。
〈ドレンモータ用のコネクタの取外し〉
下図に示すようにコントロールボックス内のドレンモータ用コネクタ CNR を取外してください。
注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。



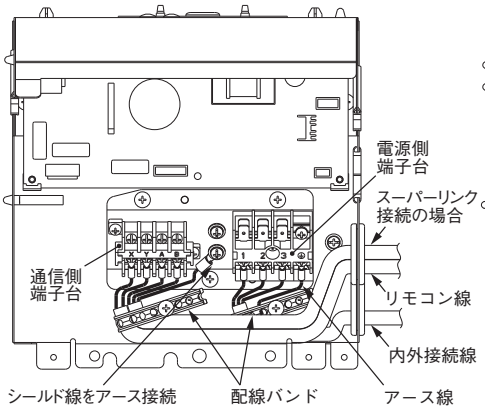
⑦電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

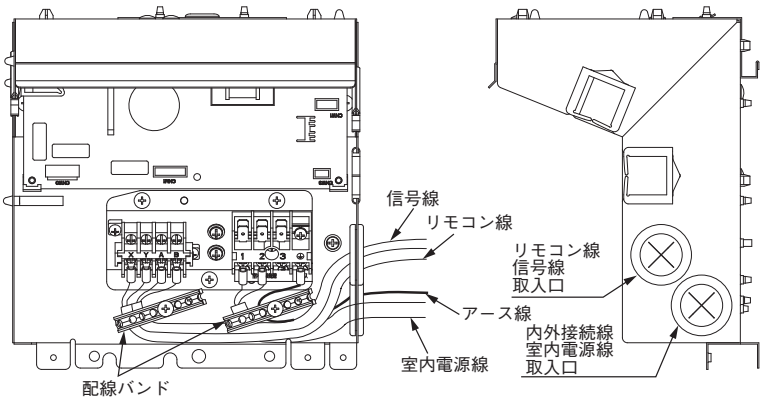


1．電装箱の蓋（ねじ２本）を取外してください。
2．各配線を室内ユニットに入れてください。
3．配線を端子台に確実に接続してください。
4．各配線を配線バンドで固定してください。
5．電装箱の蓋を元通りねじ２本で取付けてください。

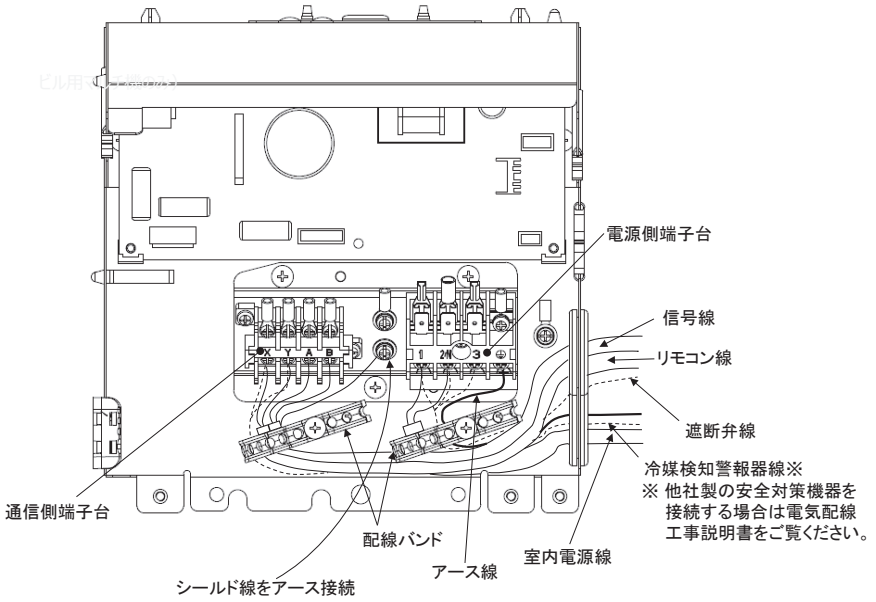
店舗機の配線接続



R410A ビル用マルチ機の配線接続



R32 ビル用マルチ機の配線接続



メインヒューズ仕様

仕様	部品番号
T3.15A L250V	SSA564A149AF

⑧インターロック機能（R32 ビル用マルチ機のみ）

● R32 マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。
●**インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。**
※インターロックが有効状態だとリモコンにメンテナンスコード (M28) が表示され、ユニット運転できません。

インターロック機能の解除方法

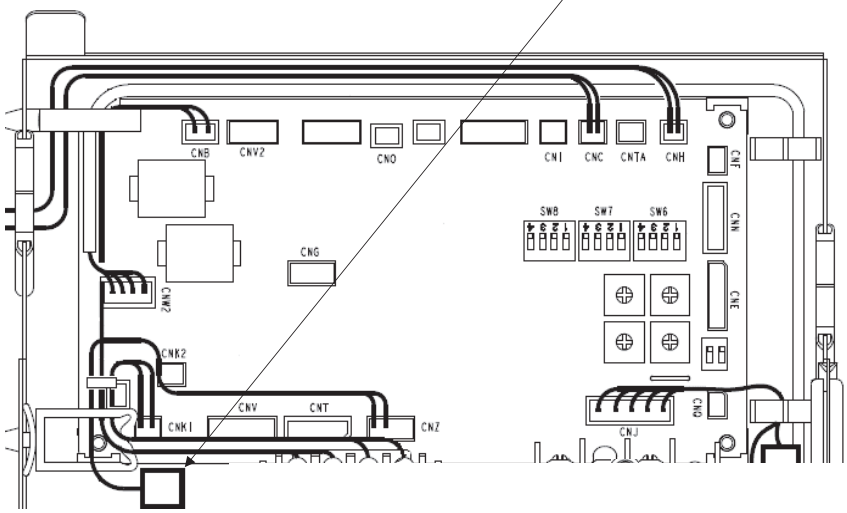
○すべての安全対策機器が必要な場合
下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。
・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・eco タッチリモコン (RC-DX3D 以降)

○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要ない場合
室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。(下図参照)
※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。
※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。
※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

＜インターロック解除ピンの接続コネクタ＞

インターロック解除ピンは室内ユニットの制御箱付近に付属しています。
使用しない場合は取外して廃棄してください。

CNOP2(コネクタ色:白)
〈インターロック解除ピン接続コネクタ〉



⑨パネルの取付

●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニット本体に取付けてください。
●パネルの取付方法は、542ページの説明書をご覧ください。

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。
● R32 ビル用マルチ機の場合、付属の「据付工事施工チェックリスト（R32 ビル用マルチ)」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑪店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

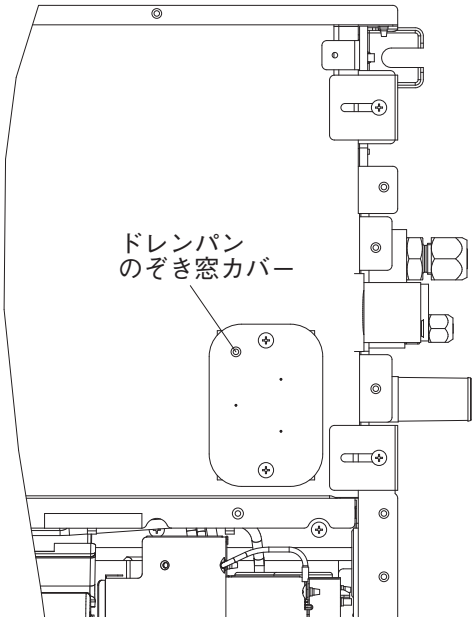
室内ユニット	室内ユニット１台接続						２台接続				３台接続	
室外ユニット	40	45	50	56	63	80	80	112	140	160	160	224
FDTSZP50	P40	P45	P50				P40				P50	
FDTSZP63				P56	P63			P56				
FDTSZP80						P80			P71	P80		P80

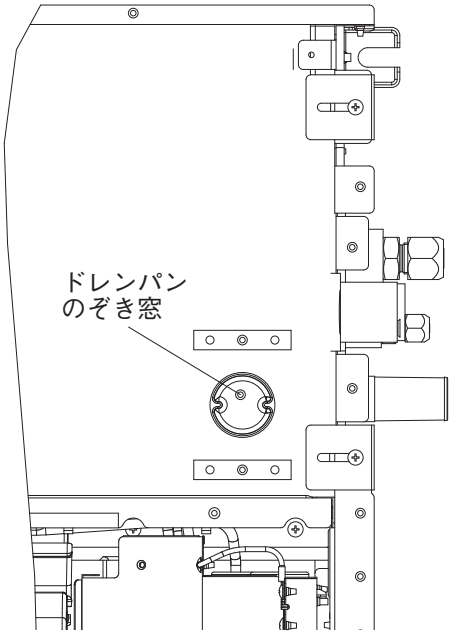
⑫ドレンパン汚れ確認（メンテナンス）

ドレンパン汚れ確認方法

●ドレンパンを取外さずに、ドレンポンプ吸込口部のドレンパン汚れが確認できます。

1．パネルを取外してください。
2．ドレンパンののぞき窓カバーを取外してください。
3．のぞき窓からドレンパンの汚れを確認してください。
　汚れが多い場合は、ドレンパンを取外しドレンパンを清掃してください。
4．汚れ確認後、のぞき窓カバーを確実に装着してください。装着が不完全な場合結露・水漏れの原因となります。





(ii) **パネルの据付**

PJC012D300 A

1) 天井埋込仕様（直吹き）

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | ❗ 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付る。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

① 据付前に

・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・右図の付属品を確認してください。

付属品

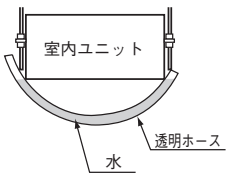
ボルト		右パネル４本，左パネル４本	パネル取付用
ねじ（M4　L=8mm）		右パネル２本，左パネル２本	チェーン取付用

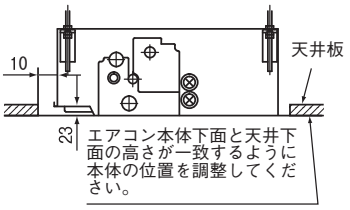
② 本体の取付レベルの確認

・室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
・室内ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
　室内ユニット下面と天井下面が一致するように室内ユニット高さを調整してください。
　（吹出し口部分は天井裏に入ります。）
・天井下面と室内ユニット下面との高さの差は5㎜以下としてください。

ご注意

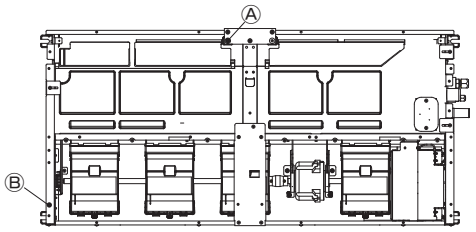
室内ユニット本体が天井下面より下方に
ならないように設置してください。



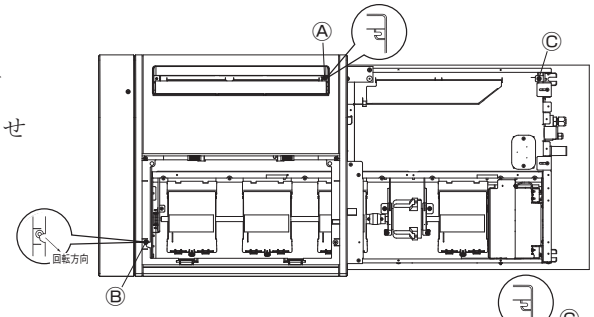


③ パネル取付

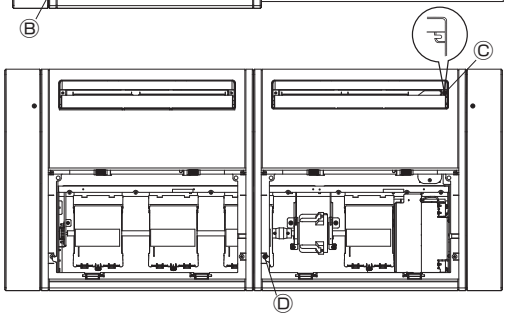
1．左パネル付属のボルト４本のうち、２本を室内ユニットの中央吹出し側とその対角に5㎜弱ねじこみます。（ⒶⒷ●印）



2．吸込グリルを開け左パネルを２本のボルトにひっかけ、仮止めしてください。
　仮止めは、先にⒶ●印のボルトにパネルをひっかけ、回転させながらⒷ●印をひっかけます。



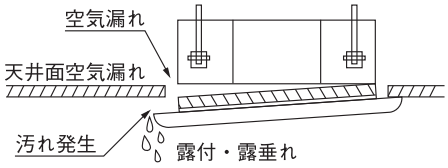
3．右パネル付属のボルト４本のうち、１本を室内ユニットの配管側に５㎜弱ねじこみます。（Ⓒ●印）
4．Ⓒ●印のボルトにパネルをひっかけ、その対角（Ⓓ●印）を仮締めします。



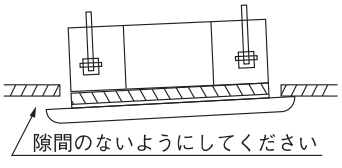
5．右パネルと左パネルの隙間を調整しながら、
　仮締めしたボルト及び残りのボルト２本を締付てください。

ご注意

・吊りボルトの締込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



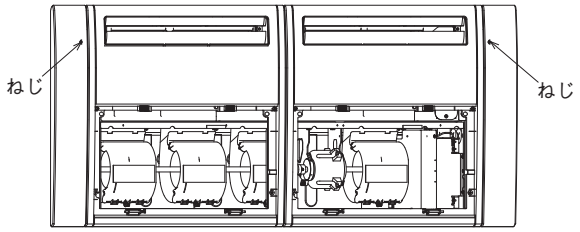
・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



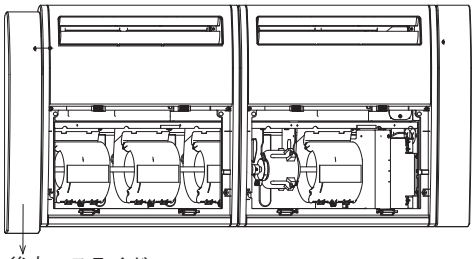
④ ユニット高さ調整方法

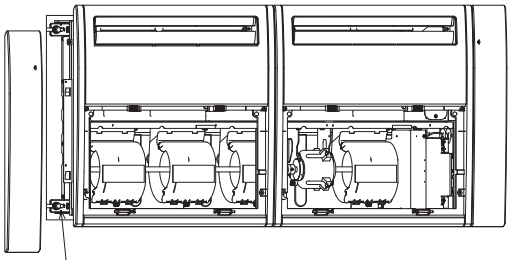
室内ユニット本体の水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であればパネルを取付たまま室内ユニット本体の据付高さを微調整できます。

1．サイドパネルのねじを取外してください。



2．サイドパネルを後方にスライドさせ、取外してください。（左右共同様）





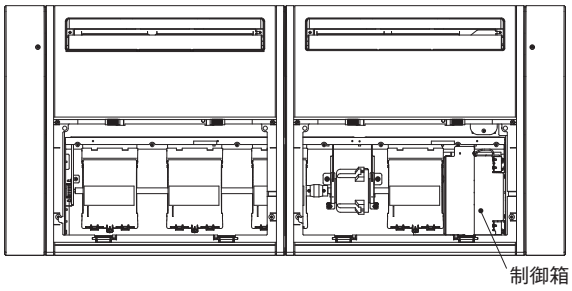
3．据付高さ調整後は、サイドパネルを元通りに戻してください。

ご注意

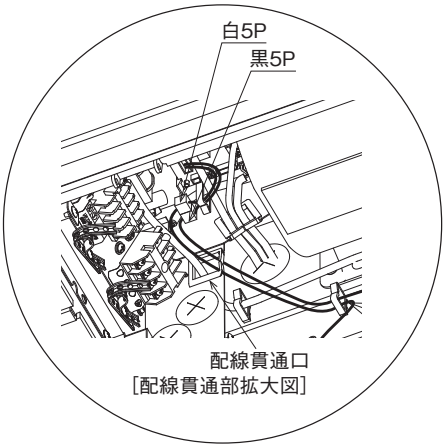
ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、
パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

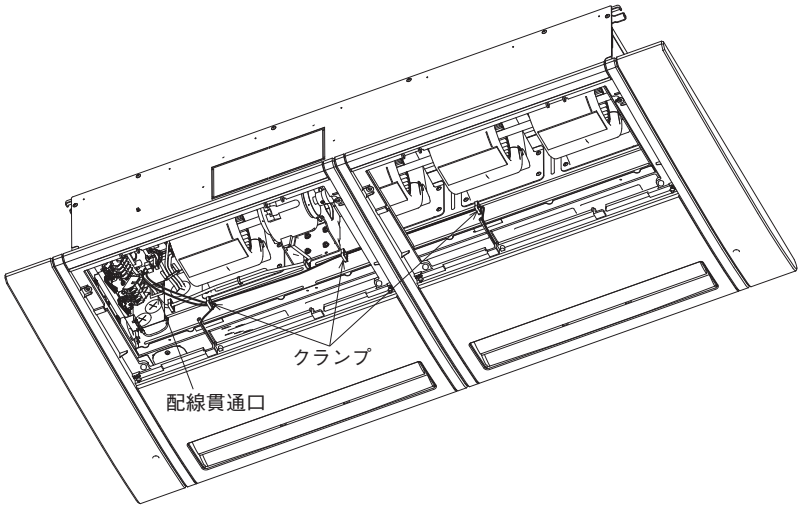
⑤ 電気配線

1．ねじ（２本）を外して、ユニット本体の制御箱の蓋を取外してください。



2．ルーバモータ配線を室内ユニットのクランプに通してください。



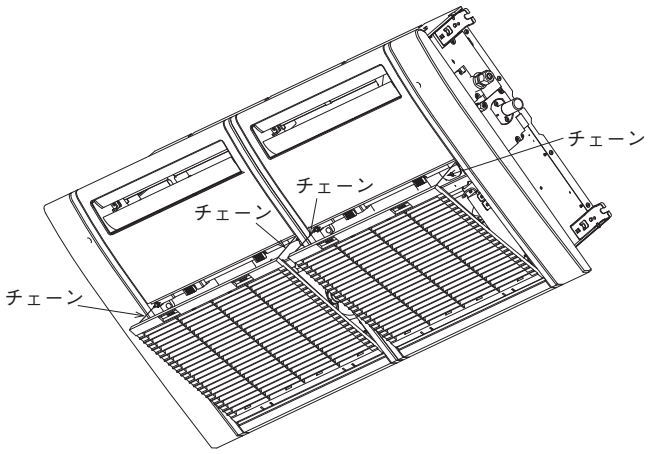


3．左パネルのルーバモータのコネクタ（黒５P）と右パネルのルーバモータコネクタ（白５P）を、
それぞれ接続してください。
室内ユニット側のコネクタは、制御箱の中にあります。
コネクタは、色を合わせて接続してください。

4．コネクタ接続後、制御箱の配線の貫通口に、パネル側の配線を通してください。
コネクタは、制御箱内に入れてください。

5．制御箱の蓋を閉めて、 ねじ（２本）を締付てください。

6．吸込グリルについているチェーンを、 パネル側にねじ（２本）で取付てください。
チェーンを取付るためのねじは、ボルトと同じ袋に入っています。



7．吸込グリルを閉めて完了です。

PJG012D056AA

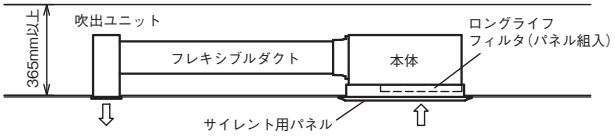
(e) 天埋カセテリア（FDR）

(i) 室内ユニットの据付

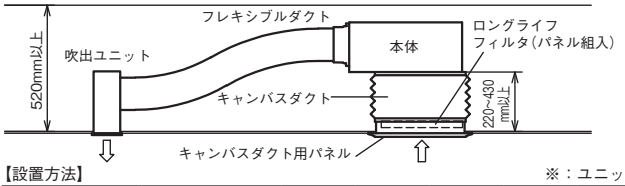
本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
「安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。
●電気配線（室内ユニット）は、693ページをご覧ください。
●ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
●ワイヤレスキットの取付方法は1261ページをご覧ください。
●安全遮断弁の取付方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
●冷媒検知警報器の取付方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
●室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
また、故障診断は、858，997ページまたは1108ページをご覧ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。 また海外においてはアフターサービスもできません。

設置方法

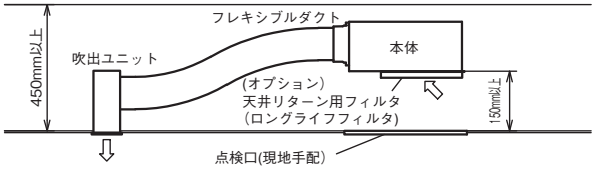
サイレント仕様



キャンバス仕様



天井リターン方式



本体の大きさ・設置方法とオプションを確認してください。
吹出ダクト他のオプションを含めカタログにて確認してください。

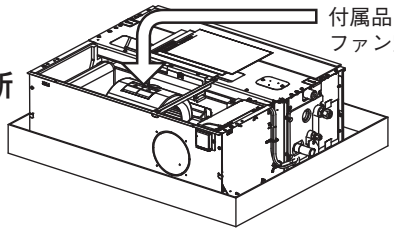
【設置方法】　※：ユニット形式を示す。　例　56 形：FDRZP56 を表す。

シリーズ展開　組合せオプション ※		小型						中型				大型		
		22形	28 形	36 形	40 形	45 形	56 形	63 形	71 形	80 形	90 形	112 形	140 形	160 形
シリーズ展開	店舗・標準						●	●		●		●		●
	店舗・寒冷地									●				●
	ビル空調	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	
	GHP	●	●	●		●	●		●		●	●	●	
吹出口数	丸ダクト	2 口						3 口				4 口		
キャンバスダクト	パネル	R-PNC-2AW						R-PNC-3AW				R-PNC-4AW		
	キャンバス	HAO1503						HAO1490				HAO1484		
サイレント	パネル	R-PNS-2AW						R-PNS-3AW				R-PNS-4AW		
天井リターン	フィルタ	R-FL-2A						R-FL-3A				R-FL-4A		
	点検口	現地手配												

①据付の前に

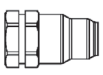
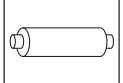
●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様
　○配管・配線・小物部品
　○付属品

付属品収納場所
（梱包時）



付属品は室内ユニット内のファン室に入っています。

付属品

本体吊り込み用	冷媒配管用					ドレン配管用				コントロール用
平座金（M10）	ねじ接合継手（大）※	ねじ接合継手（小）※	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	バンド	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	ドレンホース	ホースクランプ	解除ピン ※
										
8個	1 個	1 個	1 個	1 個	4 個	1 個	1 個	1 個	1 個	1 本
室内ユニット吊り下げ用	ガス管接続用	液管接続用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	インターロック解除用

※ R32 ビル用マルチ機のみ付属しています。

②室内ユニットの据付場所の選定

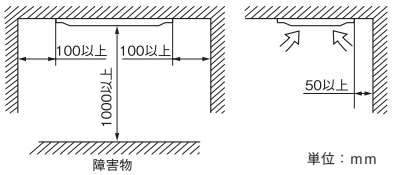
①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・人感センサを取付ける場合、据付高さは4m以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。

②室内ユニットの据付場所の選定のつづき

・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。　・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が28℃以下、かつ、相対湿度80%以下の所。
〔室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより１m以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。　・フライヤの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を6m以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４m以上離して設置してください。

室内ユニット据付スペース

●据付高さは2.5m以上としてください。
この室内ユニットは「一般大衆が近づかない機器」に分類されます。
・2.5mとなる場合は別途販売店へご相談ください。
固定BK（PJG116A036）を用いてフィルタ固定する場合は、フィルタ固定クリップ横のねじ穴にボルト（H071D04X008K）にて固定してください。

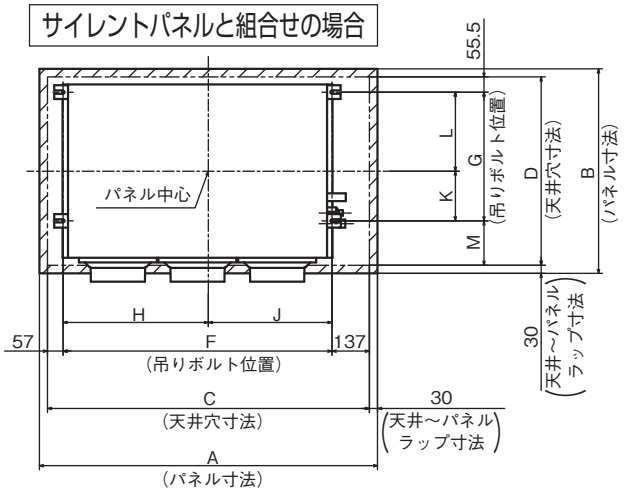


③据付前の準備

本内容を参照に最新設置基準に合わせ設置してください。

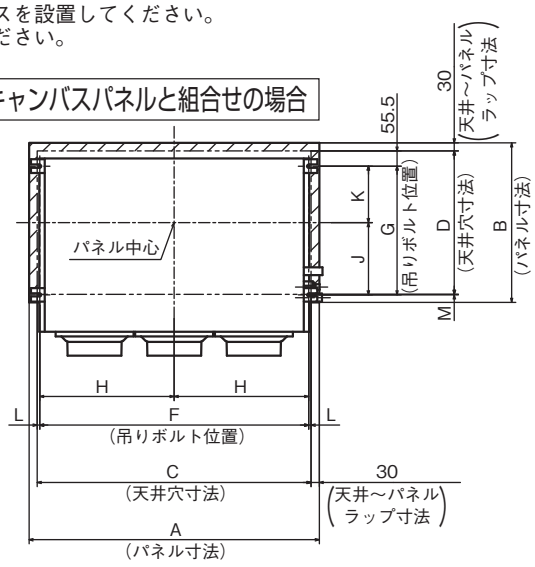
●吊りボルトの長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（M１０）を４組現地にて手配してください。

サイレントパネルと組合せの場合



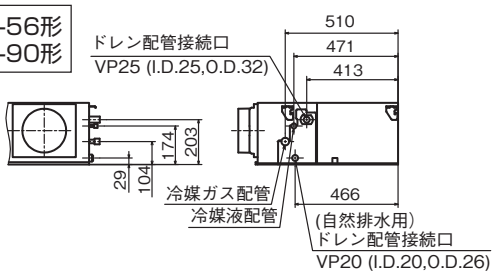
機種	A	B	C	D	F	G	H	J	K	L	M
小型 22-56 形	1040	750	980	690	786	472	433	353	182.5	289.5	162.5
中型 63-90 形	1240	750	1180	690	986	472	533	453	182.5	289.5	162.5
大型 112-160 形	1658	850	1598	790	1404	530	742	662	190.5	339.5	204.5

キャンバスパネルと組合せの場合

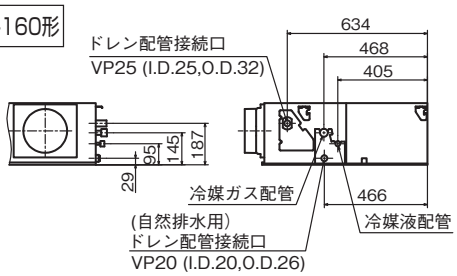


機種	A	B	C	D	F	G	H	J	K	L	M
小型 22-56 形	864	585	804	525	786	472	393	265	207	9	2.5
中型 63-90 形	1064	585	1004	525	986	472	493	265	207	9	2.5
大型 112-160 形	1484	585	1424	525	1404	530	702	323	207	10	60.5

小型：22-56形
中型：63-90形



大型：112-160形



④室内ユニットの据付

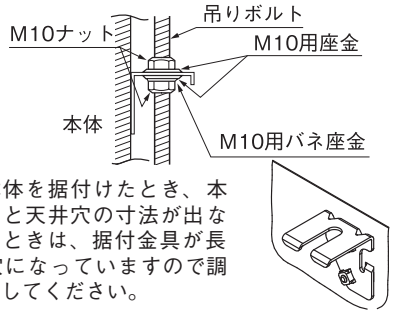
作業手順

1. 据付場所に天井開口寸法をあけてください。
2. 所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3. 吊りボルトは４本使用してください。
4. ご使用のパネルに合うように、室内ユニット吊り込み高さを調節してください。
5. 室内ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。（室内ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
6. 高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締め付けて室内ユニットを固定してください。

据　付

〈吊り込み〉

○室内ユニットを吊り込んでください。



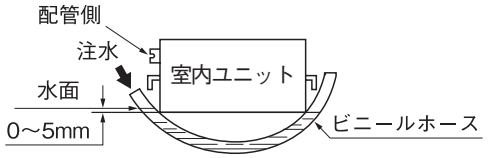
○本体を据付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。

水平度の調整

お願い

○水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。

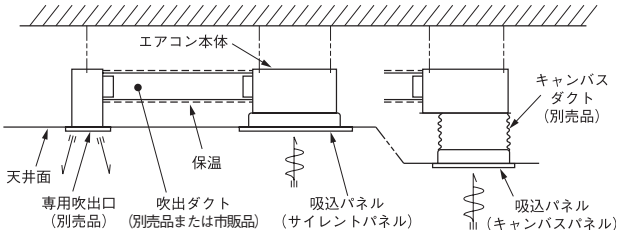
●本体下面と水面高さが下図になるように調整してください。



配管側をさがりぎみにしてください。

○水平度がでていないと**フロートスイッチの誤作動あるいは不作動**の原因となります。

⑤ダクト工事



お願い

○風量、機外静圧の計算を実施しダクトの長さ、形状、吹出口を選定してください。

①吹出ダクト

●φ200円ダクトを接続してください。
●各スポット間のダクト長さは、2対1以内としてください。
●ダクトは、最短長さとなるよう施工してください。
●4スポットを3スポット、3スポットを2スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板を別売品として用意しています。中央いずれを塞いでください。
●2スポットから1スポットへの改修は、行わないでください。

お願い

●曲りは極力少なくしてください。(曲げRは極力大きくしてください。)

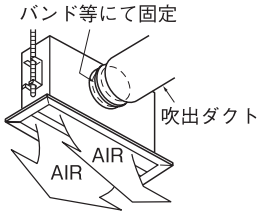


●本体・吹出口のダクトフランジとの接続は、バンドを締め固定してください。さらに固定部分に断熱材を貼り結露防止を行ってください。

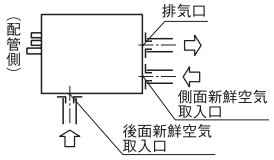
●露付防止・吸音のため、吸音断熱付フレキシブルダクト使用を推奨いたします。(別売品１m、２m、４mがあります。)
●天井貼付前にダクト工事を実施してください。

②専用吹出口

●専用吹出口は、室内全般に空気が流れるような所に据付けてください。
●ダクト接続は、φ２００円形ダクト専用です。
●専用吹出口の取付およびダクトとの接続は天井貼付前に行ってください。
●ダクト固定バンド部を断熱し、結露防止を行ってください。



③給・排気ダクトの接続



ⓐ新鮮空気取入

●後面または、側面のどちらか工事の容易な方の取入口を使用してください。
●同時給排気を行う場合は、後面新鮮空気取入口を使用してください。(側面は使用不可)

ⓑ排気（必ず給気を併用してください。）

●側面排気口を使用してください。

ⓒダクト接続

●別売品の給排気用ダクトフランジ（φ１２５丸形ダクト接続用）を利用し、φ１２５丸形ダクトを接続してください(バンド締め)。
●ダクトは結露防止のため、保温してください。

⑥冷媒配管

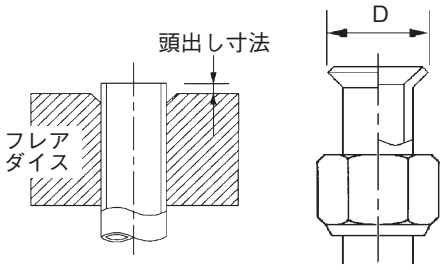
冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。

●冷媒配管の接続方式は、「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」に従い選定してください。
ねじ接合継手により接続する場合は、ねじ接合継手に付属の説明書に従い作業してください。

●フレア接続する場合、フレアナットは製品付属ものをご使用ください。他のフレアナット(1種)を使用すると冷媒漏れの原因となります。

●既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットやねじ接合継手は流用せず必ず未使用品を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管を室内ユニットに接続してください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

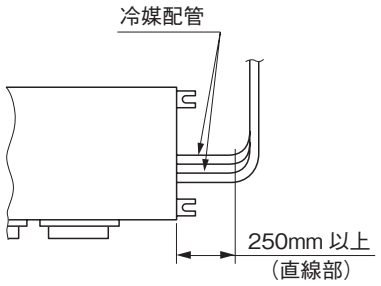
フレア接続準備

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。

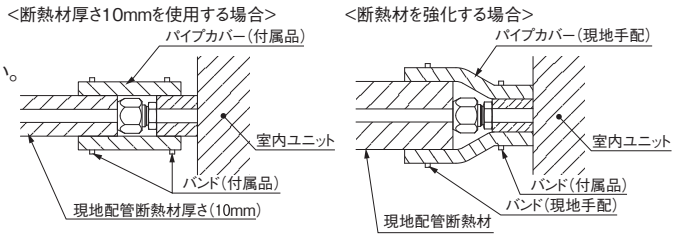
●据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はR32用またはR410A用の工具を使用してください。



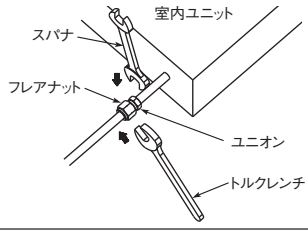
お願い
冷媒配管工事は、上図のように直線部を２５０mm以上とって行ってください。
（ドレンポンプのサービスに必要です。）

フレア接続手順



1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
(このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。)
●フレアナット飛びに注意してください。(内部に圧力がかかっている場合があります。)

2．液管・ガス管をフレア加工し、右図の示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。



3．室内ユニットのフレア部はガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

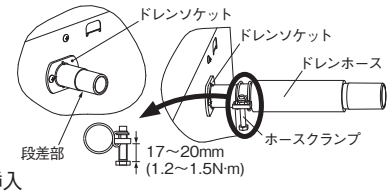
注意
同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

⑦ドレン配管

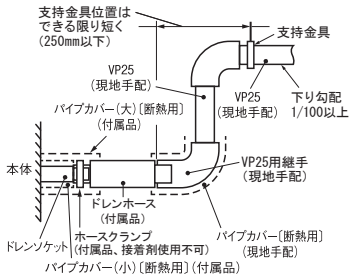
ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
●ドレン工事は付属のドレンホースを必ず使用してください。使用しないとドレンソケットに力がかかり破損し、水が漏れることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

ドレンソケットとドレンホースの接続

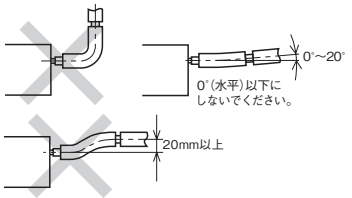


●ドレンソケットの周囲温度が50℃以上となる場合は、ドレンソケットとドレンホースを接着してください。
●接着剤とホースクランプは併用しないでください。
水漏れの原因となります。
〈ホースクランプを使用する場合〉
1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3. ねじを数回回転させて締付が固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。
ねじの締め代の目安は17～20mm（参考:1.2～1.5N・m）です。

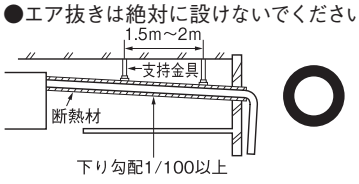


〈接着する場合〉
1. 塩ビ系接着剤を使用して、ドレンホースの軟質側とドレンソケットを接着してください。
その際、ドレンホースをドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。
2. 接着方法は接着剤の使用方法に従ってください。
接着剤推奨品：積水化学工業製エスロンNo73S，クボタケミックス製タフダイン青
※フタル酸エステル類が含有している接着剤は使用しないでください。水漏れの原因となります。
●ドレンホースやドレンソケットの内部に接着剤が流れ込まないようにしてください。

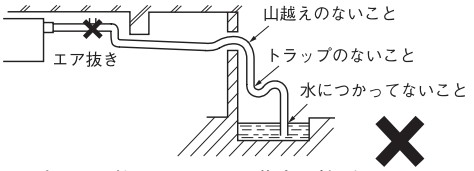
ドレンホースと配管の接続



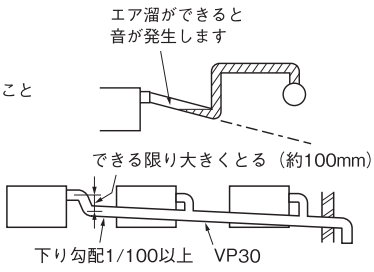
1. VP25用継手やエルボー、配管（いずれも現地手配）を接続してください。
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
2. ドレン配管を接続する場合、ドレンソケットやドレン配管に力が加わらないようにしてください。
できる限り室内ユニット近傍(現地手配の継手先端から250mm以内)でドレン配管を支持してください。
3. ドレン配管は下り勾配（1/100以上）としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。



○



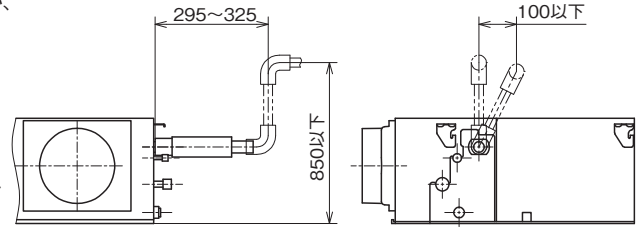
×



●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はVP30以上を使用してください。
4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、ホースクランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、室内ユニット下面より850mm まで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

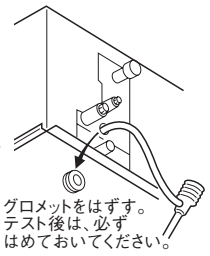


⑦ドレン配管のつづき

ドレン排水テスト

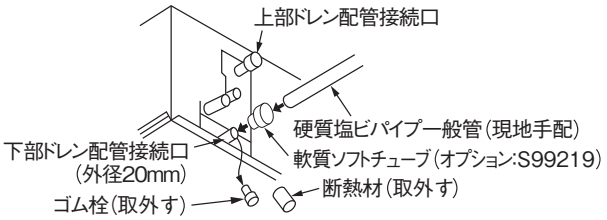
●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部および室内ユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
●暖房期の据え付けの際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1．右図要領にて給水ポンプなどを使用して、本体ドレンパンの中へ約1000ccほどの水を注入してください。注水ホースを50mm位差し込んで注水してください。（注水ホースは必ず下向きに差し込んでください。）
2．ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。
※ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。
3．排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。



下部ドレン配管工事要領〔配管接続〕

ドレン配管に下り勾配（1／50～1／100）が可能な場合
下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



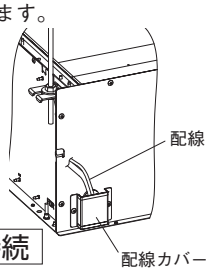
下部ドレン配管を使用する場合は必ず必要です
〈ドレンモータ用のコネクタの取外し〉
コントロールボックス内のドレンモータ用コネクタCNRを取外してください。
注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。

⑧電気配線取出位置および電気配線接続

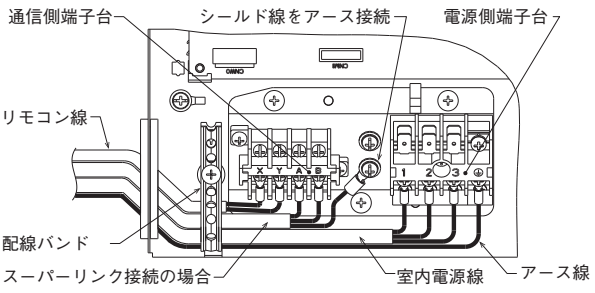
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1．電装箱の蓋（ねじ２本）を取外してください。
2．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
コントロールボックスの蓋に貼付の結線銘板を参照ください。
3．各配線をクランプで固定してください。
4．取外した部品を元通りに取付けてください。

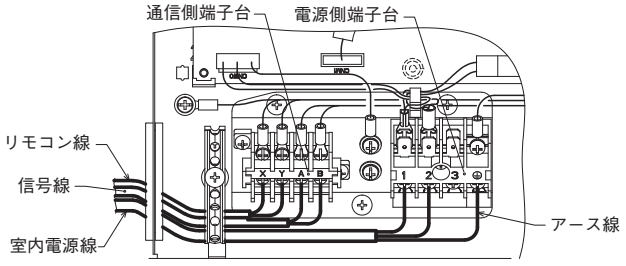
●天井裏空気の吸込防止で配線カバーを取付けください。



店舗機の配線接続

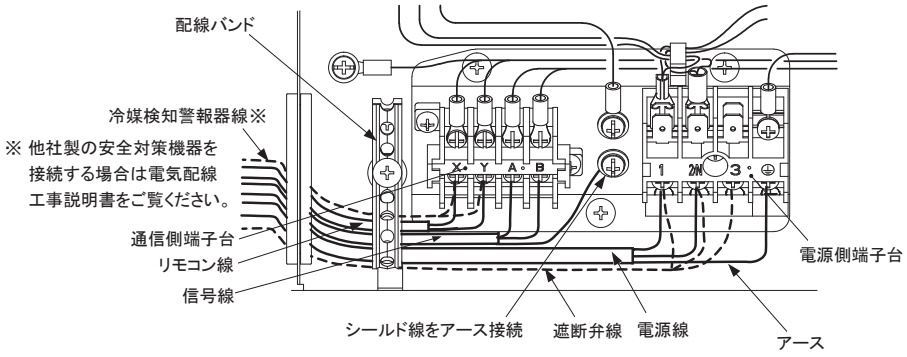


R410Aビル用マルチ機の配線接続



＊配線を引張っても動かないようにバンドで固定してください。

R32ビル用マルチ機の配線接続



メインヒューズ仕様

機種	仕様	部品番号
小型 22-56 形，中型 63-90 形	T5A L250V	SSA564A149AH
大型 112-160 形	T6.3A L250V	SSA564A149AJ

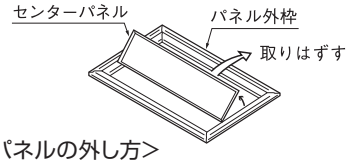
⑨パネルの取付

サイレントパネルの場合

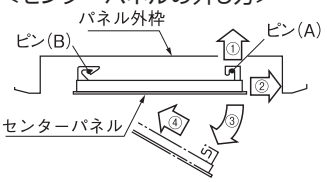
〈付属品〉

丸小ねじ（M5×35）		4個	パネル取付用

①パネル内枠を外してください。

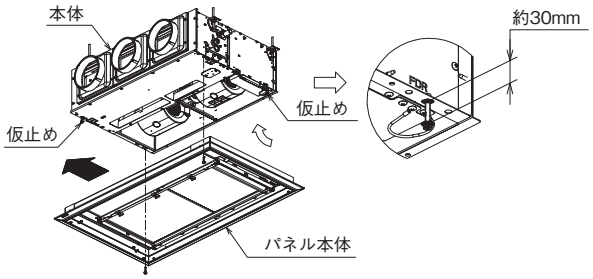


<センターパネルの外し方>



ⓐ矢印①→②順でピン（A）より外してください。
ⓑ矢印③のようにすこし開き矢印④の方向へ移動させてピン（B）より外してください。

②フィルタをパネルから外してください。
③パネル外枠を本体に取付けてください。



ⓐパネル取付けねじ（パネル付属品）４本のうち２本を図のように仮止めしてください。
ⓑパネル外枠を仮止めしたねじに引っかけ、図の矢印の方向へスライドさせ仮止めしてください。
（注：<u>パネル外枠の装着には方向性があります。</u>）
ⓒ仮止めしたねじおよび残りのねじ（２本）を締付けてください。
ⓓセンターパネルを①項で外す逆の要領で取付けてください。

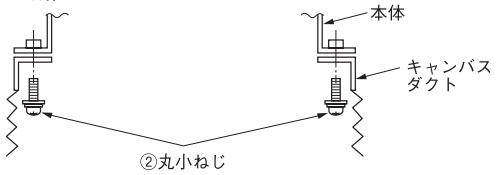
キャンバスパネルの場合

注）キャンバスパネルの取付には
キャンバスダクト（別売品）が必要です。

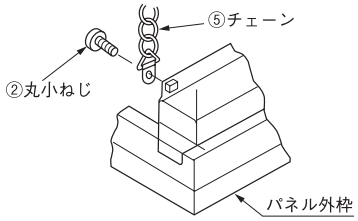
〈付属品〉

①	丸小ねじ（M4×16）		4個	パネル固定
②	丸小ねじ（M5×16）		8個	キャンバスダクト固定 チェーン固定
③	丸小ねじ（M5×25）		4個	チェーン固定
④	ホルダー		4個	
⑤	チェーン		4個	

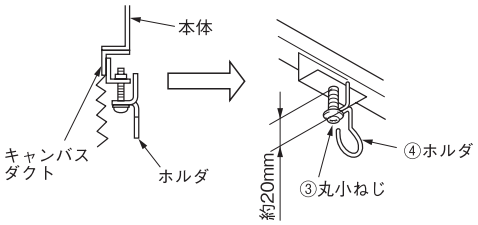
①キャンバスダクト（別売品）を本体に取付けてください。（４か所）



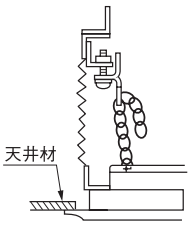
②センターパネルを上項に示す、サイレントパネルの場合と同じ要領で取外してください。
③パネル外枠にチェーンを取付けてください。（４か所）



④パネル外枠を取付けてください。
ⓐホルダを下図に示すように仮止めしてください。

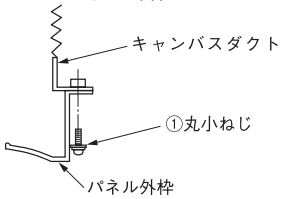


ⓑパネル外枠のチェーンをホルダに引っかけてください。



注）チェーンを引っかける際は、パネル外枠を天井材にできるだけ密着させた状態でチェーンにたるみのないように行ってください。

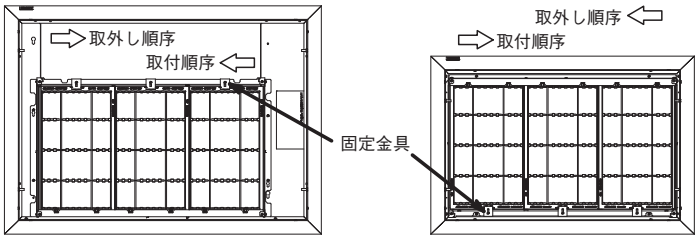
ⓒパネル外枠を天井材と密着するまでⓐ項の③丸小ねじにより吊り上げてください。
ⓓキャンバスダクトとパネル外枠をねじ止めしてください。

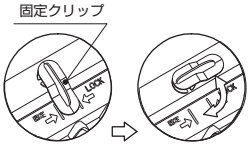


⑤センターパネルを上項に示すサイレントパネルの場合と同じ要領で取付けてください。

フィルタの取付方法

○ パネルに貼付のラベルを参照に取外し、取付の順番を確認してください。
○ フィルタの取外し・取付は、固定クリップを回転させ行ってください。





⑩インターロック機能（R32ビル用マルチ機のみ）

● R32 マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。
●**インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。**
※インターロックが有効状態だとリモコンにメンテナンスコード (M28) が表示され、ユニットは運転できません。

インターロック機能の解除方法

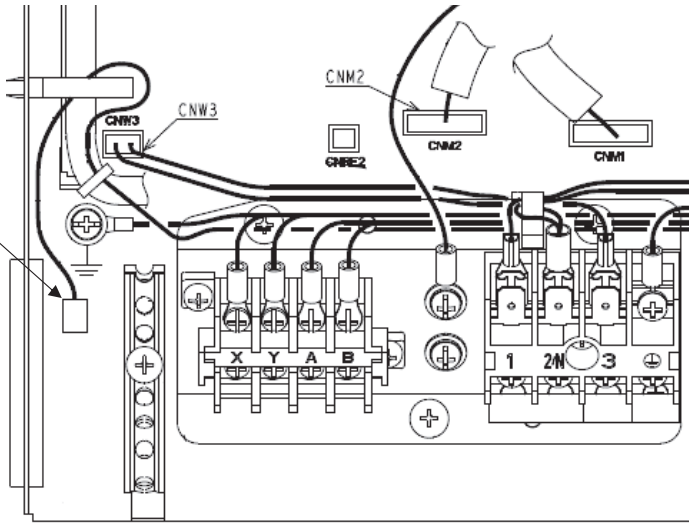
○すべての安全対策機器が必要な場合
下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。
・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・eco タッチリモコン (RC-DX3D 以降)

○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要ない場合
室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。(下図参照)
※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。
※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。
※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

＜インターロック解除ピンの接続コネクタ＞

インターロック解除ピンは室内ユニットの制御箱付近に付属しています。
使用しない場合は取外して廃棄してください。

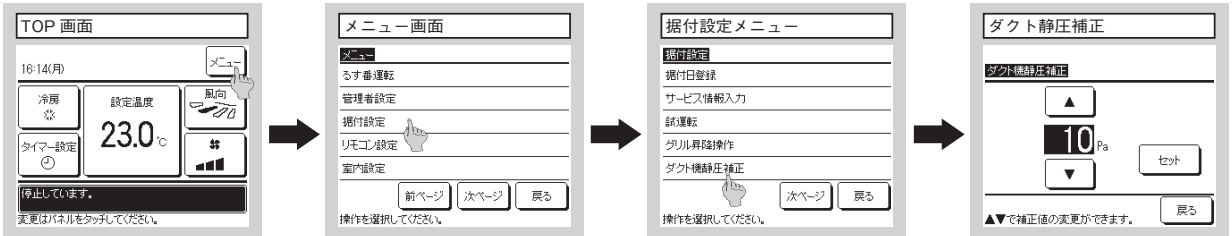
CNOP2（コネクタ色：白）
〈インターロック解除ピン接続コネクタ〉



⑪機外静圧設定

ECOタッチリモコン（RC-DX2 以降）を使用し、機外静圧を設定することができます。
定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。
店舗シリーズをツイン機として設定する場合は、室内ユニット同士が同一風量になるように個々に設定してください。

● **ECOタッチリモコンからの設定方法**
①メニュー画面より据付設定を選択し、サービスパスワードを入力します。
②据付設定メニューより、ダクト機静圧補正を選択します。
③“▲”、“▼”で機外静圧を設定し、“セット”をタッチしてください。
詳細な設定方法については、ECOタッチリモコン付属の据付説明書を参照ください。
風量特性については、349ページを参照ください。



［メニュー］ボタンをタッチしてください。

［据付設定］ボタンをタッチしてください。

選択した画面に移ります。

機外静圧を選択し、［セット］をタッチしてください。

⑪機外静圧設定のつづき

注意
・RC-DX2 以降の ECOタッチリモコン以外からは設定できません。

静圧設定上の注意

実際の機外静圧を計算し、設定してください。
実際の機外静圧よりも機外静圧設定が高い場合には風量が過大となり、水漏れが発生する恐れがあります。また、実際の機外静圧よりも機外静圧設定が低い場合には風量が過小となり、不冷・不暖の原因になります。

リモコン設定時の有効機外静圧（Pa）　　／部の設定は使用範囲外になります。

リモコン設定		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
標準パネル		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
天井リターン	小型：22-56 形	15	25	35	45	55	65	75	85	95	/
	中型：63-90 形	20	30	40	50	60	70	80	90	100	/
	大型 112-160 形										
1 スポット塞ぎ※	中型：63-90 形	/	/	10	20	30	40	50	60	70	80
	大型 112-160 形	/	10	20	30	40	50	60	70	80	90

※63～90（3スポット）を2スポット、112～160（4スポット）を3スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板（HA06916）を用意しています。
両端のスポットはふさがないでください。また22～56（2スポット、1スポット）に塞ぎ板を使用しないでください。

⑫室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。
R32ビル用マルチ機の場合、付属の「据付工事施工チェックリスト（R32ビル用マルチ）」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	
機外静圧設定は完了していますか。	水漏れ、冷えない	

⑬店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニットが自動認識されます。機種銘板の機種容量に○印を付けてください。

	室内ユニット	室内ユニット1台									2台接続						3台接続		4台接続	
	室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280	160	224	224	280
標準機	FDRZP56	P40	P45	P50	P56						P40						P50		P56	
	FDRZP63					P63						P63								
	FDRZP80						P80						P71	P80				P80		P71
	FDRZP112							P112							P112					
	FDRZP160								P140	P160						P140				
寒冷地	FDRZP80										P40	P63								
	FDRZP160						P80	P112												

(ii) **パネルの据付**

PJG012D016

1) サイレントパネル

室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。
安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があるとケガの原因となり、また水漏れや感電･火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠

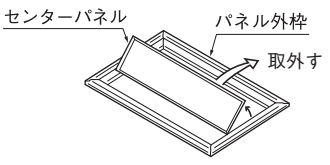
① 据付前に

・据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
・下記の付属品を確認してください。

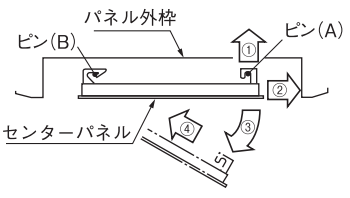
名称		個数	備考
丸小ねじ M5×35		4個	パネル固定用

② センターパネルの取外し

パネル外枠からセンターパネルを外してください。

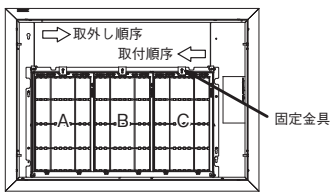


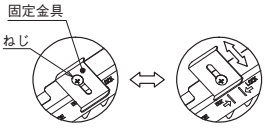
〈センターパネルの外し方〉
1.矢印①→②の順でピン（A）より外してください。
2.矢印③のように少し開き矢印④の方向へ移動させてピン（B）より外してください。



③ フィルタの取外し

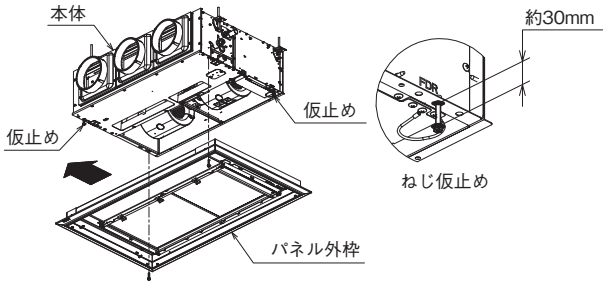
1.固定金具のねじを緩めスライドさせてください。
2.図の取外し順序に従って取外してください。
（A⇒B⇒Cの順）





④ パネルの取付

1.パネル取付ねじ（パネル付属品）4本のうち2本を図のように仮止めしてください。
2.パネル外枠を仮止めしたねじに引っかけ、図の矢印（⬅）の方向へスライドさせ仮止めしてください。
注）パネル外枠の装着には方向性があります。図の方向で取付てください。
3.仮止めしたねじおよび残りのねじ(2本)を締付てください。



⑤ フィルタの取付

1.③項に示す取付順序に従って取付てください。
（C⇒B⇒Aの順）
2.固定金具をスライドさせて、ねじを締めてください。

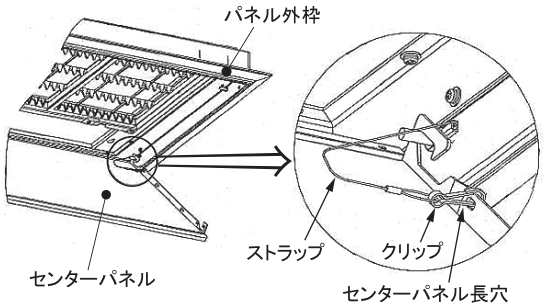
⑥ センターパネルの取付

②項に示す逆の順序で取付てください。

⑦ ストラップのはめ込み

センターパネルの落下防止のため、パネル外枠に取付られているストラップのクリップをセンターパネル長穴にはめてください。

注）クリップが外枠に当たり、傷つく恐れがあるため、センターパネルを閉じる際、ストラップやクリップは図のようにパネル内側を向くようにしてください。



2） キャンバスパネル

PJG012D015

室内ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

安全上のご注意

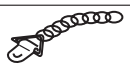
●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。
安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があるとケガの原因となり、また水漏れや感電･火災などの原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠

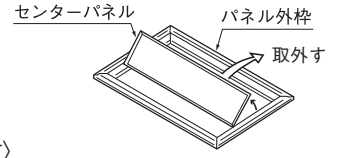
① 据付前に

・据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
・下記の付属品を確認してください。

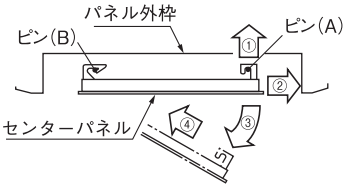
No.	名称		個数	備考
Ⅰ	丸小ねじ (M4×16)		4個	パネル固定用
Ⅱ	丸小ねじ (M5×16)		8個	キャンバスダクト固定用 チェーン固定用
Ⅲ	丸小ねじ (M4×25)		4個	ホルダ固定用
Ⅳ	ホルダ		4個	
Ⅴ	チェーン		4個	
Ⅵ	断熱材		2個	

② センターパネルの取外し

パネル外枠からセンターパネルを外してください。

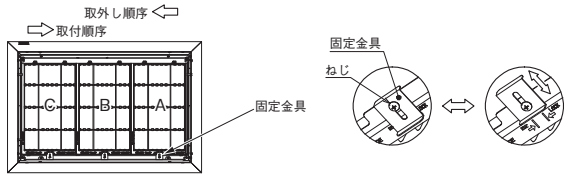


〈センターパネルの外し方〉
1.矢印①→②の順でピン（A）より外してください。
2.矢印③のように少し開き矢印④の方向へ移動させてピン（B）より外してください。



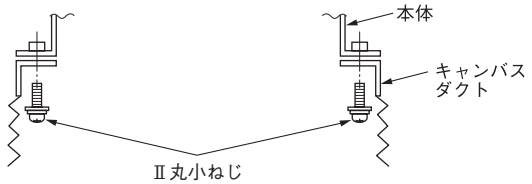
③ フィルタの取外し

1.固定金具のねじを緩めスライドさせてください。
2.図の取外し順序に従って取外してください。
（A⇒B⇒Cの順）

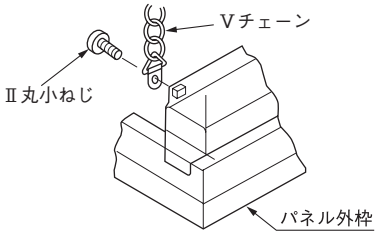


④ パネルの取付

1.キャンバスダクト（オプション品）を本体に取付てください。（4か所）



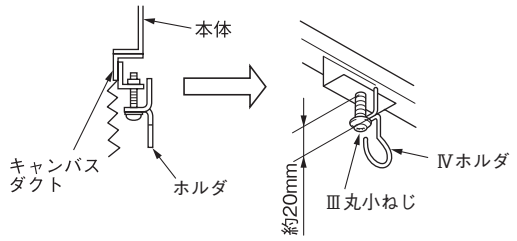
2.パネル外枠にチェーンを取付てください。（4か所）



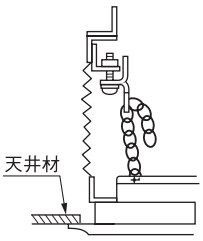
④ パネルの取付のつづき

3.パネル外枠を取付てください。

ⅰ.ホルダを下図に示すように仮止めしてください。（4か所）



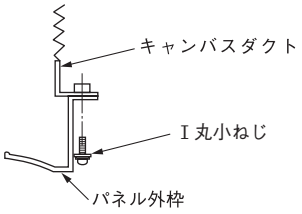
ⅱ.パネル外枠のチェーンをホルダに引掛けてください。



注）チェーンを引掛ける際は、パネル外枠を天井材にできるだけ密着させた状態でチェーンにたるみのないように行ってください。

ⅲ.パネル外枠を天井材と密着するまでⅰ項のⅢ丸小ねじにより吊り上げてください。

ⅳ.キャンバスダクトとパネル外枠をねじ止めしてください。（4か所）



⑤ フィルタの取付

1.③項に示す取付順序に従って取付てください。（C⇒B⇒Aの順）

2.固定金具をスライドさせて、ねじを締めてください。

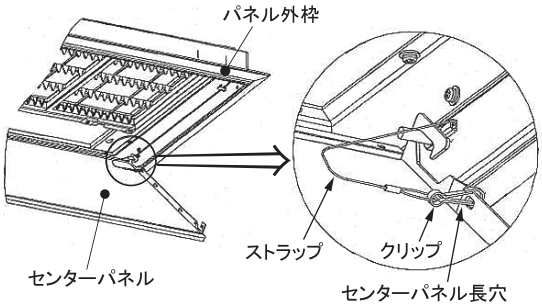
⑥ センターパネルの取付

②項に示す逆の順序で取付てください。

⑦ ストラップのはめ込み

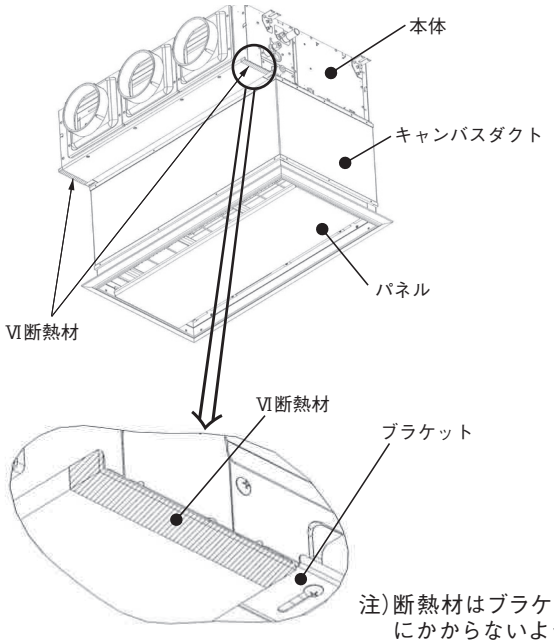
センターパネルの落下防止のため、パネル外枠に取付られているストラップのクリップをセンターパネル長穴にはめてください。

注）クリップが外枠に当たり、傷つく恐れがあるため、センターパネルを閉じる際、ストラップやクリップは図のようにパネル内側を向くようにしてください。



⑧ 断熱材の貼付

本体の下記箇所に断熱材を貼付てください。（2か所）



注）断熱材はブラケットにかからないように貼付てください。

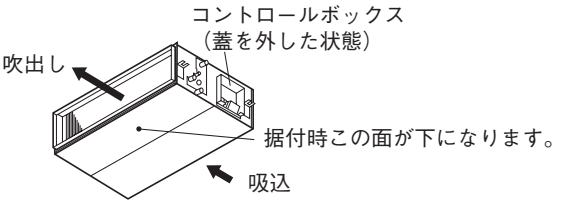
(f) 高静圧ダクト形（FDU）

PJG012D059AA Ⓐ

(i) P566S ～ P160S の場合

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
「安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。
●電気配線（室内ユニット）は、693ページをご覧ください。
●ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
●ワイヤレスキットの取付方法は、1261ページをご覧ください。
●安全遮断弁の取付け方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
●冷媒検知警報器の取付方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
●室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
給気処理ユニットの場合
●他のエアコンユニットとの全接続容量は、50 ～ 100%（全給気処理ユニットの容量）にしてください。
●単独で給気処理ユニットを接続することができます。給気処理ユニットの接続容量は 50 ～ 100%にしてください。
室外ユニットに接続できる給気処理ユニットは最大２台です。
また、故障診断は、858，997ページまたは1108ページをご覧ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。 また海外においてはアフターサービスもできません。

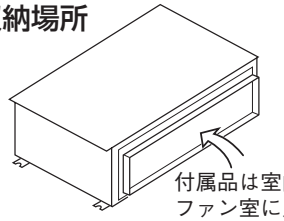
○本機は高静圧ダクト機です。
直吹きでは使用しないでください。



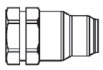
①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
○機種・電源仕様　○配管・配線・小物部品　○付属品

付属品収納場所
（梱包時）



付属品

本体吊り込み用	冷媒配管用					ドレン配管用				コントロール用
平座金（M10）	ねじ接合継手（大）※	ねじ接合継手（小）※	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	バンド	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	ドレンホース	ホースクランプ	解除ピン※
										
8個	1個	1個	1個	1個	4個	1個	1個	1個	1個	1本
室内ユニット吊り下げ用	ガス管接続用	液管接続用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	インターロック解除用

※ R32 ビル用マルチ機のみ付属しています。

②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が 28℃以下、相対湿度 80%以下の所。
〔ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、ユニット本体の全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより１m以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。

②室内ユニットの据付場所の選定のつづき

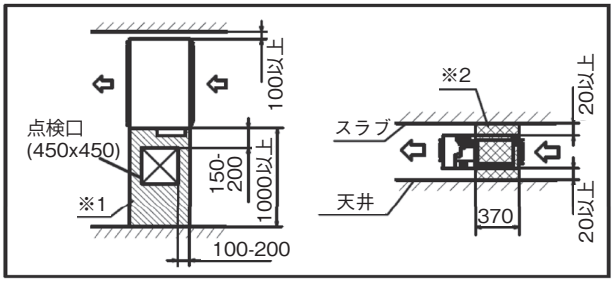
室内ユニット据付スペース

●据付高さは２.５m以上としてください。

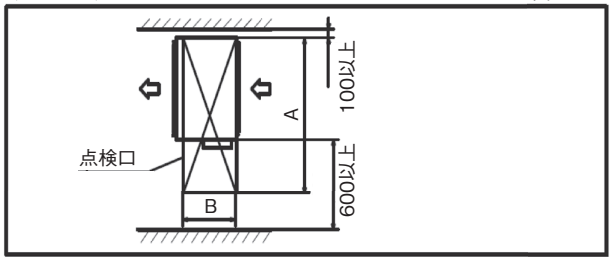
※この室内ユニットは「一般大衆が近づかない機器」に分類されます。

据付時、サービス時のために下記２ケースのどちらかを選んでください。

(ケース1)室内ユニット側面からメンテナンスする場合 単位: mm



(ケース2)室内ユニット下面からメンテナンスする場合 単位: mm



※１　ファンモータを側面へ引き出す構造となっております。障害になるものを設置しないでください。(▨ 印箇所)

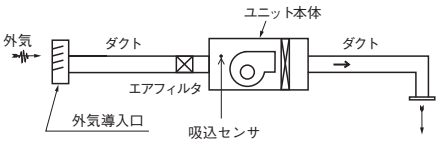
※２　▩ 印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、電気配線を設定してください。

(点検口サイズ)※:ユニット形式を示す。 例　56形:FDUZP56を表す。　単位:mm

店舗シリーズ		56形 ※	63-80形	112-160 形
	寒冷地	-	80形	160 形
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		22-56形	71-90形	112-160 形
給気処理ユニット		-	90形	140 形
中温 PAC		-	-	140 形
A		1100	1300	1720
B		620		725

③給気処理ユニットの据付時の注意

①給気処理ユニットは吸込センサの検知温度とリモコン設定温度に基づき、発停を制御しております。
リモコン設定温度は発停を制御する外温を示しています。冷房モードでは、サーモ OFF となると、外気を直接室内に吹出す送風モードに変わります。



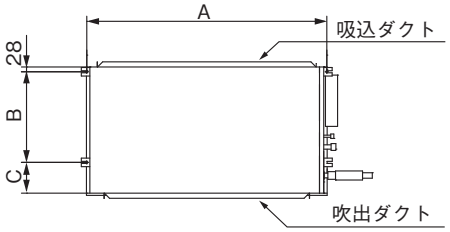
②給気処理ユニットは外気を直接吹出す場合がありますので、直接室内の人に風を当てないように配慮ください。
③ユニットは外温を検知して発停を制御しますので、リモコン設定温度の変更で室温を調整しないでください。冷房運転時にリモコン設定温度を下げ過ぎた場合、結露水が滴下する可能性があります。
④ 一般の人がリモコン操作することを避けるため、給気処理ユニットのリモコンは管理者だけが操作できる場所に設置してください。

お客様に製品をお渡しする際には、上記の注意事項、給気処理ユニットを操作するリモコンの設置場所、吹出口に位置をお知らせください。

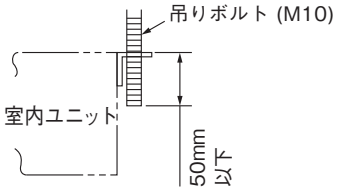
④据付前の準備

●吊りボルトの長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０）を４組現地にて手配してください。

吊りボルト位置、配管位置、ダクト寸法



吊りボルト締付時には下記長さになるように調整してください。

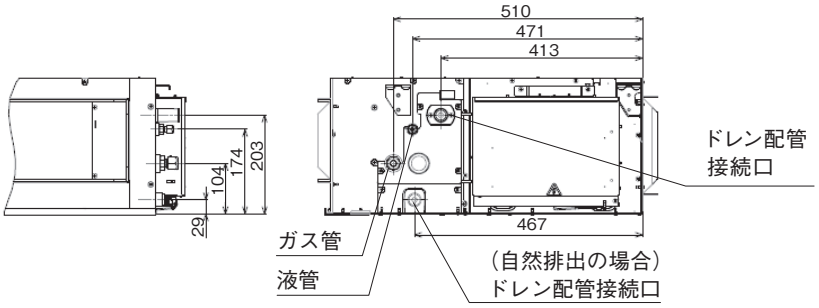


単位:mm

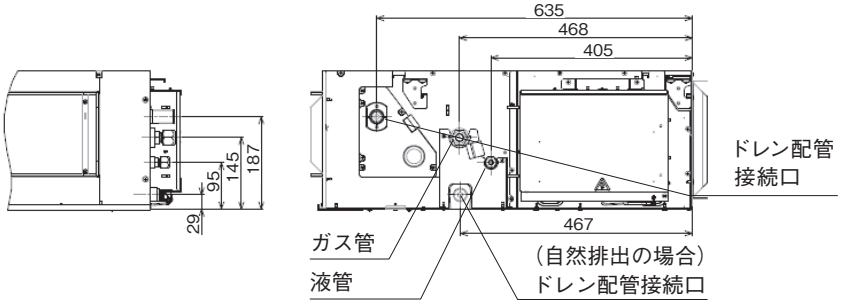
店舗シリーズ		56形	63-80 形	112-160 形
	寒冷地	-	80 形	160 形
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		22-56形	71-90 形	112-160 形
給気処理ユニット		-	90 形	140 形
中温 PAC		-	-	140 形
A		786	986	1404
B		472	472	530
C		135	135	180

④据付前の準備のつづき

店舗シリーズ	標準	56-80 形
	寒冷地	80 形
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		22-90 形
給気処理ユニット		90 形



店舗シリーズ	標準	112-160 形
	寒冷地	160 形
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		112-160 形
給気処理ユニット		140 形
中温PAC		140 形



⑤室内ユニットの据付

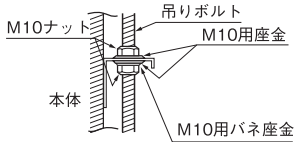
作業手順

1. 据付場所に天井開口寸法をあけてください。
2. 所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3. 吊りボルトは４本使用してください。
4. ご使用のパネルに合うように、室内ユニット吊り込み高さを調節して下さい。
5. 室内ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は､水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。
（室内ユニット両端での高さ許容差は３mm以内）
6. 高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締付けて室内ユニットを固定してください。

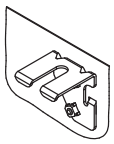
据　付

〈吊り込み〉

○室内ユニットを吊り込んでください。



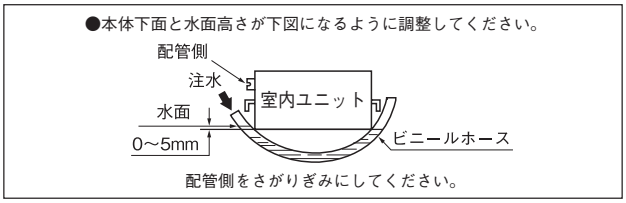
○本体を据付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。



水平度の調整

お願い

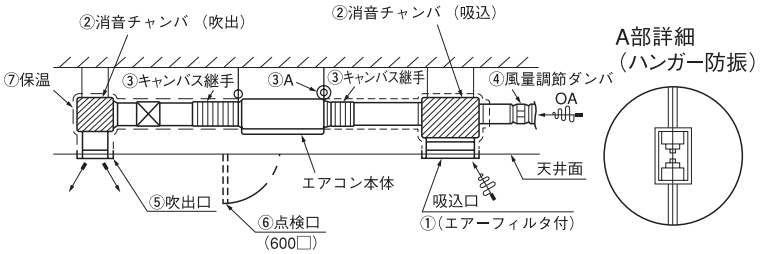
○水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。



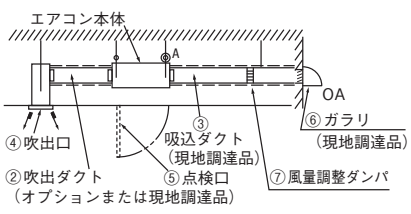
○水平度がでていないと**フロートスイッチの誤作動あるいは不作動**の原因となります。

⑥ダクト工事

高静圧ダクト・中温 PAC(FDU)



給気処理ユニット（FDU-F）



⑥ダクト工事のつづき

①エアコン本体にはエアフィルタが付属されていません。掃除の容易な吸込グリルにエアフィルタを組込んでください。
②消音チャンバーは据付ける室内の許容される騒音値によって取付けてください。
特に低騒音とする必要がある場合は、さらに消音装置が必要です。（事務所、会議室などでは必ず取付けること）
③エアコン本体の振動が天井およびスラブに伝わらないようにダクトはキャンバス継手、エアコン本体は防振ゴムにより防振してください。
④ OA ダクトの接続口には、据付後の風量調節ができるよう、風量調節ダンパを取付けてください。
⑤吹出口は室内全般に空気が流れるように位置、形状を選びさらに風量が調節出来る構造のものを使用してください。
⑥天井面に点検口を必ず設けてください。電装品、モータ、機能品のサービス、熱交換器洗浄のために必要です。
⑦ダクトの保温施工は必ず実施し、ダクトへの結露を防止してください。保温材の厚さは６５mm（ＪＩＳ Ａ ９５０１）です。
⑧送風機（ファンモータ）に手が触れないようにダクトを接続してください。または吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。
⑨下表の風量限界を考慮してダクトの寸法を決めてください。

＜風量限界＞

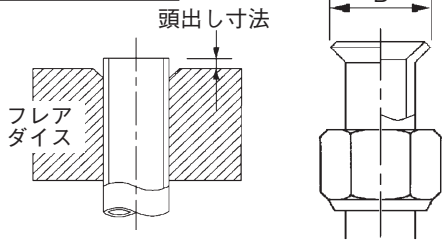
店舗シリーズ	標準	56 形	63-80 形	112-160 形
	寒冷地	–	80 形	160 形
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		22-56 形	71-90 形	112-160 形
中温PAC		–	–	140 形
最大風量 (m^3/min)	高静圧ダクト形ユニット	14.5	27	53
	給気処理ユニット	–	15	25

⑦冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

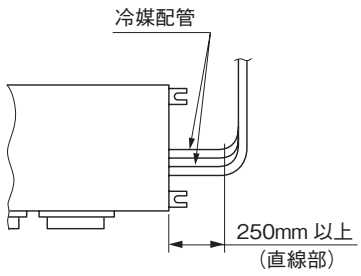
●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
●冷媒配管の接続方式は、「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」に従い選定してください。
ねじ接合継手により接続する場合は、ねじ接合継手に付属の説明書に従い作業してください。
●フレア接続する場合、フレアナットは製品付属ものをご使用ください。他のフレアナット（1 種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
●既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットやねじ接合継手は流用せず必ず未使用品を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管を室内ユニットに接続してください。

フレア接続準備



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32用 R410A用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
●Ｒ３２またはＲ４１０Ａ以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。
また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。



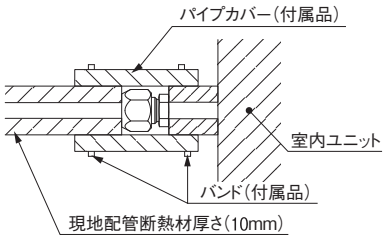
お願い
冷媒配管工事は、上図のように直線部を２５０mm以上とって行ってください。
（ドレンポンプのサービスに必要です。）

⑦冷媒配管のつづき

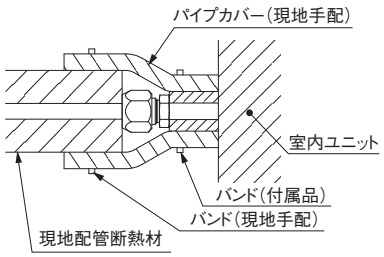
作業手順

1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。
（内部に圧力がかかっている場合があります。）

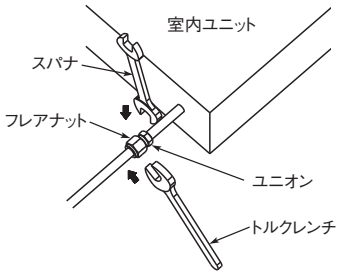
<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>



2．液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで上表の締付力で締めてください。



3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

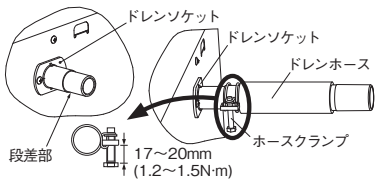
⑧ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

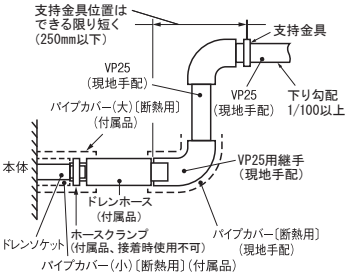
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
●ドレン工事は付属のドレンホースを必ず使用してください。使用しないとドレンソケットに力がかかり破損し、水が漏れることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

ドレンソケットとドレンホースの接続

●ドレンソケットの周囲温度が50℃以上となる場合は、ドレンソケットとドレンホースを接着してください。
●接着剤とホースクランプは併用しないでください。
水漏れの原因となります。



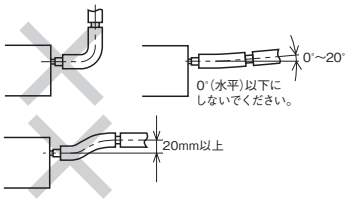
〈ホースクランプを使用する場合〉
1．付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
2．ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3．ねじを数回回転させて締付が固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。
ねじの締め代の目安は17～20mm（参考:1.2～1.5N・m）です。



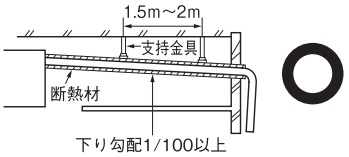
〈接着する場合〉
1．塩ビ系接着剤を使用して、ドレンホースの軟質側とドレンソケットを接着してください。
その際、ドレンホースをドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。
2．接着方法は接着剤の使用方法に従ってください。
接着剤推奨品：積水化学工業製エスロン No73S，クボタケミックス製タフダイン青
※フタル酸エステル類を含有している接着剤は使用しないでください。水漏れの原因となります。
●ドレンホースやドレンソケットの内部に接着剤が流れ込まないようにしてください。

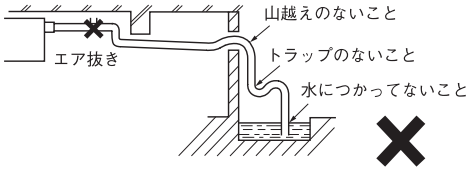
⑧ドレン配管のつづき

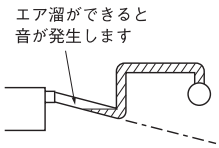
ドレンホースと配管の接続



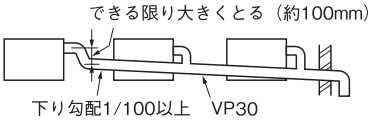
1. VP25用継手やエルボ、配管(いずれも現地手配)を接続してください。
   ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。
   ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
   乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
   ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
2. ドレン配管を接続する場合、ドレンソケットやドレン配管に力が加わらないようにしてください。
   できる限り室内ユニット近傍 (現地手配の継手先端から 250mm 以内) でドレン配管を支持してください。
3. ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
   ●エア抜きは絶対に設けないでください。







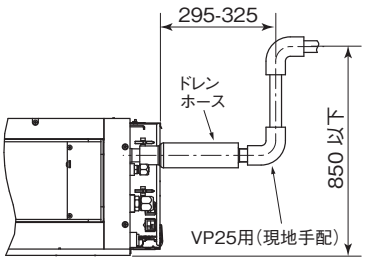
   ●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。
   また集合配管はVP30以上を使用してください。

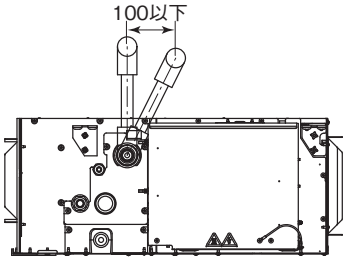


4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
   ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
   ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー(小)をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー(大)にてパイプカバー(小)、ホースクランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、本体下面より８５０mmまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

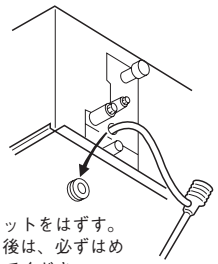




ドレン排水テスト

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部および室内ユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

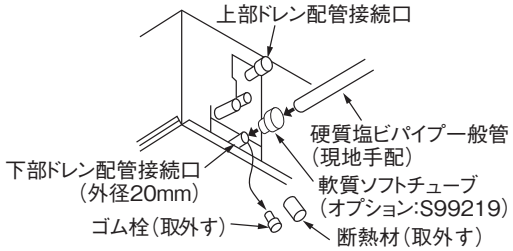
1．右図要領にて給水ポンプなどを使用して、本体ドレンパンの中へ約１０００ｃｃほどの水を注入してください。注水ホースを 50 ｍｍ位差し込んで注水してください。(注水ホースは必ず下向きに差し込んでください。)
2．ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。
※ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。



3．排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。

下部ドレン配管工事要領〔配管接続〕

ドレン配管に下り勾配（１／５０～１／１００）が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



ドレンモータ用のコネクタ CNR の取外し
下部ドレン配管を使用する場合に必ず必要です
コントロールボックス内のドレンモータ用コネクタ CNR を取外してください。

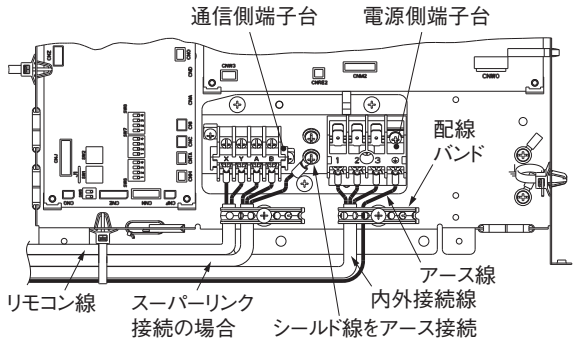
注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。

⑨電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
●電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1．電装箱の蓋（ねじ２本）を取外してください。
2．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
　コントロールボックスの蓋に貼付の結線銘板を参照ください。
3．各配線をクランプで固定してください。
4．取外した部品を元通りに取付けてください。

店舗機・中温PACの配線接続

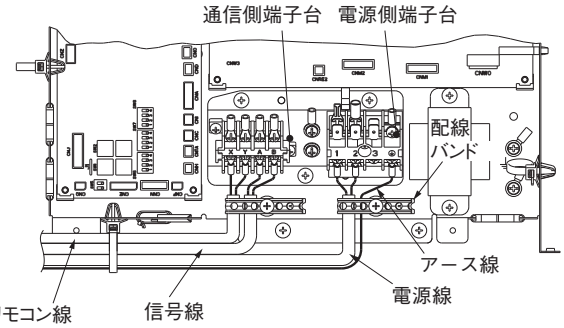


＜メインヒューズ仕様＞

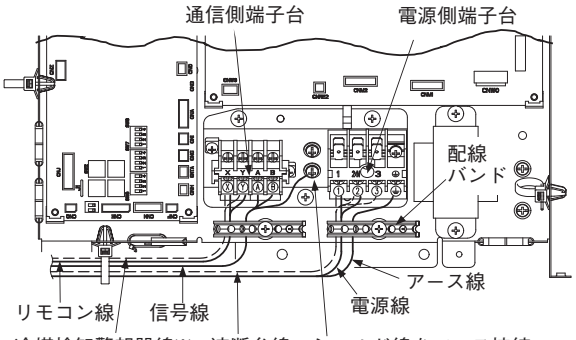
機種	仕様	部品番号
45 － 90 形	T5A L250V	SSA564A149AH
112-160 形	T6.3A L250V	SSA564A149AJ

ビル用マルチ機の配線接続

(R410A マルチ機の場合)



（R32 マルチ機の場合）



※ 他社製の安全対策機器を接続する場合は電気工事説明書をご覧ください。

＊配線を引張っても動かないようにバンドで固定してください。

⑩インターロック機能（R32 ビル用マルチ機のみ）

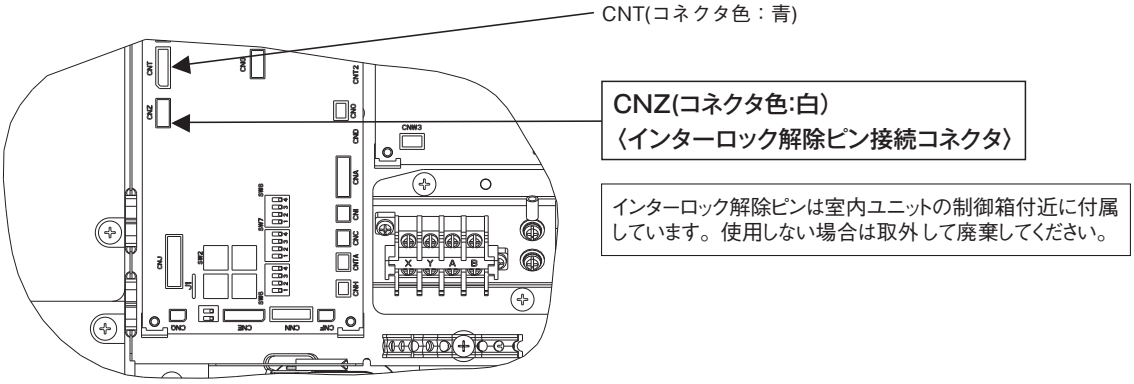
●ビル用マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。
●**インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。**
※インターロックが有効状態で運転しようとするとリモコンにメンテナンスコード (M28) が表示されます。

インターロック機能の解除方法

○すべての安全対策機器が必要な場合
下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。
・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・eco タッチリモコン (RC-DX3D 以降)

○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要ない場合
室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。(下図参照)
※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。
※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。
※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

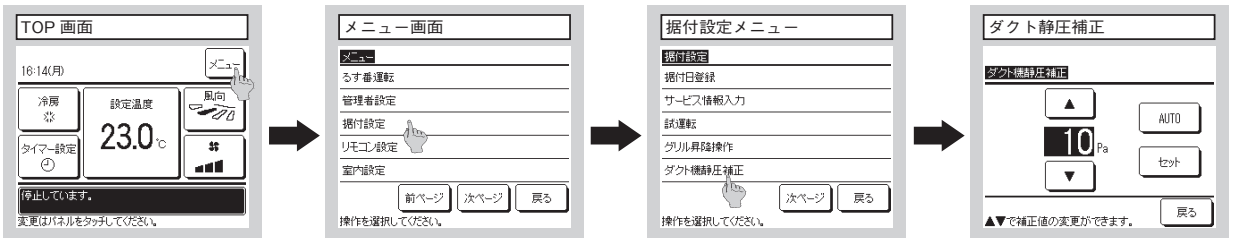
＜インターロック解除ピンの接続コネクタ＞



⑪機外静圧設定

ECOタッチリモコン（RC-DX2 以降）を使用し、機外静圧を設定することができます。
定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。
店舗シリーズをツイン機として設定する場合は、室内ユニット同士が同一風量になるように個々に設定してください。

● ECOタッチリモコンからの設定方法
①メニュー画面より据付設定を選択し、サービスパスワードを入力します。
②据付設定メニューより、ダクト機静圧補正を選択します。
③“▲”、“▼”で機外静圧を設定し、“セット”をタッチしてください。
（“AUTO”を選択した場合には、150Pa で設定されます。）
詳細な設定方法については、ECOタッチリモコン付属の据付説明書を参照ください。
風量特性については、355ページを参照ください。



［メニュー］ボタンをタッチしてください。

［据付設定］ボタンをタッチしてください。

選択した画面に移ります。

機外静圧を選択し、［セット］をタッチしてください。

注意
・RC-DX2 以降の ECOタッチリモコン以外からは設定できません。

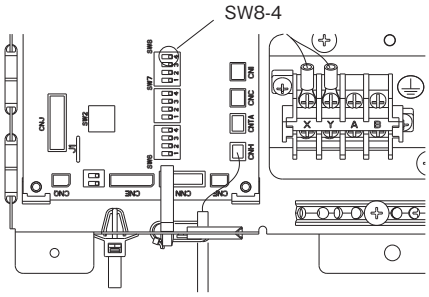
⑪機外静圧設定のつづき

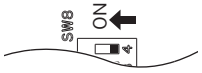
静圧設定上の注意

実際の機外静圧を計算し、設定してください。
実際の機外静圧よりも機外静圧設定が高い場合には風量が過大となり、水漏れが発生する恐れがあります。また、実際の機外静圧よりも機外静圧設定が低い場合には風量が過小となり、不冷・不暖の原因になります。

工場出荷状態では上記のリスクを減らすため､機外静圧設定範囲を 80～150Pa(給気処理ユニットは 10～120Pa)としております。実際の機外静圧は 80～150Pa（給気処理ユニットは 10～120Pa）の範囲で使用してください。実際の機外静圧が 80Pa（給気処理ユニットは 10Pa）より低い場合には水漏れとなる恐れがあります。
(機外静圧設定を10～70Paで設定した場合、機外静圧設定は 80Pa となります。
機外静圧設定を 160～200Paで設定した場合、機外静圧設定は 150Pa となります。また給気処理ユニットは 130 ～ 200Pa で設定された場合、機外静圧設定は 120Pa になります。)

また、コントローラの SW8-4 を ON にすることにより、機外静圧設定範囲を 10～200Pa に変更することが可能です。ただし、上記リスクが高くなるため、実際の機外静圧を把握してない場合には使用しないでください。





SW8-4:OFF（機外静圧設定範囲：80～150Pa）



SW8-4:ON（機外静圧設定範囲：10～200Pa）

⑫丸ダクト変換キット使用時の静圧設定について

丸ダクト変換キット(オプション)を使用する場合、工場出荷時の機内圧損に対して増加します。その為、機外静圧設定時には下表に従って設定してください。
例えば、80形の場合、機外静圧を100Paにする場合には、下表に従ってリモコンの機外静圧設定を110Paにしてください。

注意
- 機外静圧範囲は10～100Paとなります。この範囲内になるよう、下表に従いリモコン機外静圧設定を行ってください。
- ⑨機外静圧設定に示すSW8-4をONにして使用ください。
- 実際の機外静圧と設定する機外静圧が一致することを確認してください。
  異なっていると水漏れや不冷・不暖の原因になります。

丸ダクト変換キット使用時のリモコン機外静圧設定　対応表

店舗シリーズ	標準		56形	63形	80 形	112 形		160 形
	寒冷地				80 形			160 形
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		22形	28-56形		71-90 形	112 形	140 形	160 形
中温PAC							140 形	
オプション型式		U-UM-1A	U-UM-2A	U-UM-3A		U-UM-4A		
実際の機外制圧 (Pa)	10	20	30	10	20	20	30	40
	20	30	40	20	30	30	40	50
	30	40	50	30	40	40	50	60
	40	50	60	50	50	50	60	70
	50	70	70	60	60	60	70	80
	60	80	80	70	70	70	80	90
	70	90	90	90	80	80	90	100
	80	100	100	100	90	90	110	110
	90	120	110	110	100	100	120	120
	100	130	120	120	110	110	130	140

⑬室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。
R32 ビル用マルチ機の場合、付属の「据付工事施工チェックリスト（R32 ビル用マルチ）」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	
機外静圧設定は完了していますか。	水漏れ、冷えない	

⑭店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニットが自動認識されます。機種銘板の機種容量に○印を付けてください。

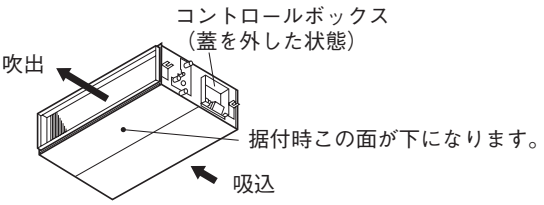
	室内ユニット	室内ユニット１台接続							２台接続					
	室外ユニット	50	56	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280
標準機	FDUZP56	P50	P56											
	FDUZP63			P63						P63				
	FDUZP80				P80						P71	P80		
	FDUZP112					P112							P112	
	FDUZP160						P140	P160						P140
寒冷地	FDUZP80								P40	P63				
	FDUZP160				P80	P112								
中温 PAC	FDUP140						P140							

(ii) P2245A, P2805A の場合

●電気配線（室内ユニット）は、703 ページをご覧ください。

PJG012D043 A

○本機は高静圧ダクト機です。
直吹では使用しないでください。



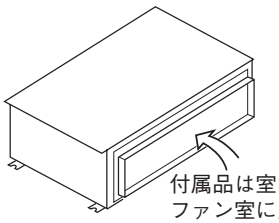
①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
○機種・電源仕様　○配管・配線・小物部品　○付属品

付属品

本体吊り込み用	ドレン配管用			
平座金(M10)	パイプカバー(大)	パイプカバー(小)	ドレンホース	ホースクランプ
				
8 個	1 個	1 個	1 個	1 個
ユニット吊り下げ用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用

付属品収納場所（梱包時）



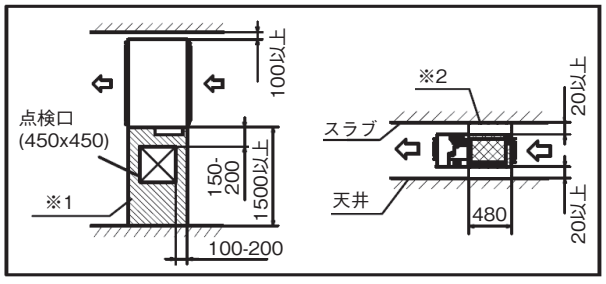
②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２８℃以下、かつ、相対湿度８０％以下の所。
〔室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに１０～２０ｍｍの断熱材を取付けてください。〕
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付 作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を４ｍ以上離して設置してください。

室内ユニット据付スペース

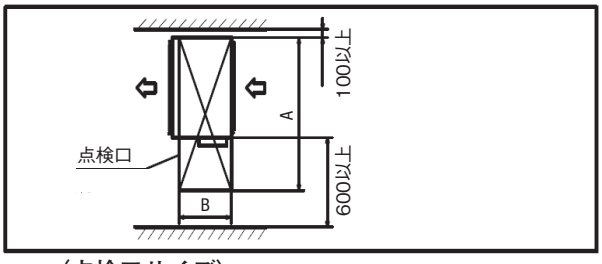
●据付高さは2．5m以上としてください。据付時、サービス時のために下記２ケースのどちらかを選んでください。

（ケース1）ユニット側面からメンテナンスする場合 単位: mm



※１　ファンモータを側面へ引き出す構造となっております。障害になるものを設置しないでください。（▨ 印箇所）
※２　▩ 印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、電気配線を設定してください。

（ケース2）ユニット下面からメンテナンスする場合 単位: mm



（点検口サイズ）　単位: mm

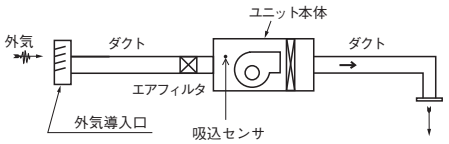
店舗VXPシリーズ	224-280
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	224-280
給気処理ユニット	224-280
A	1900
B	880

③給気処理ユニットの据付時の注意

①給気処理ユニットは吸込センサの検知温度とリモコン設定温度に基づき、発停を制御しております。
リモコン設定温度は発停を制御する外温を示しています。冷房モードでは、サーモ OFF となると、外気を直接室内に吹出す送風モードに変わります。

③給気処理ユニットの据付時の注意のつづき

②給気処理ユニットは外気を直接吹出す場合がありますので、直接室内の人に風を当てないように配慮ください。
③室内ユニットは外温を検知して発停を制御しますので、リモコン設定温度の変更で室温を調整しないでください。冷房運転時にリモコン設定温度を下げ過ぎた場合、結露水が滴下する可能性があります。
④ 一般の人がリモコン操作することを避けるため、給気処理ユニットのリモコンは管理者だけが操作できる場所に設置してください。



お客様に製品をお渡しする際には、上記の注意事項、給気処理ユニットを操作するリモコンの設置場所、吹出口に位置をお知らせください。

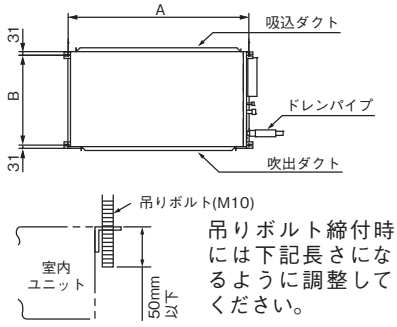
④据付前の準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
吊り長さ(吊りボルト長さ)１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（M１０）を４組現地にて手配してください。

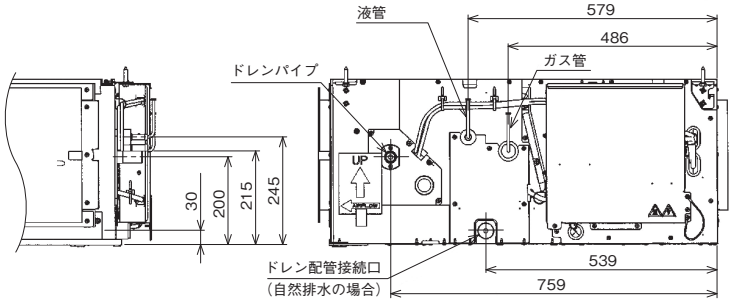
単位: mm

店舗VXPシリーズ	224-280
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	224-280
給気処理ユニット	224-280
A	1634
B	831

吊りボルト位置、配管位置、ダクト寸法



吊りボルト締付時には下記長さになるように調整してください。



⑤室内ユニットの据付

作業手順

1. 据付場所に天井開口寸法をあけてください。
2. 所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3. 吊りボルトは４本使用してください。
4. 室内ユニット吊り込み高さを調節してください。
5. ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。(ユニット両端での高さ許容差は３mm以内)
6. 高さ調整・水平度調整後、上側ナット４箇所を締め付けてユニットを固定してください。

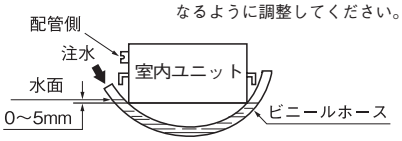
水平度の調整

お願い

○水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。

○水平度がでていないと**フロートスイッチの誤作動あるいは不作動**の原因となります。

●本体下面と水面高さが下図になるように調整してください。

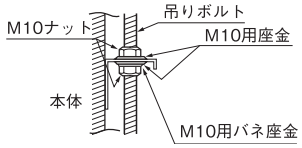


配管側をさがりぎみにしてください。

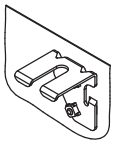
据　付

〈吊り込み〉

○室内ユニットを吊り込んでください。

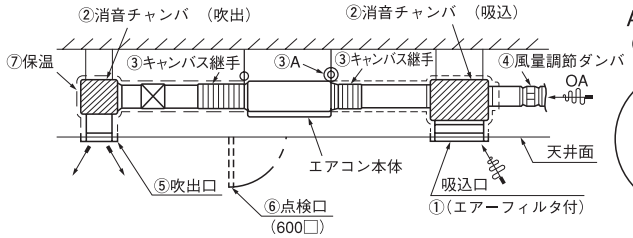


○本体を据え付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。

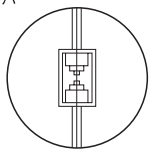


⑥ダクト工事

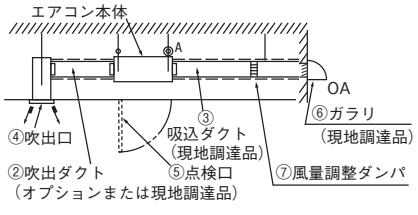
高静圧ダクト（FDU）



A部詳細
（ハンガー防振）



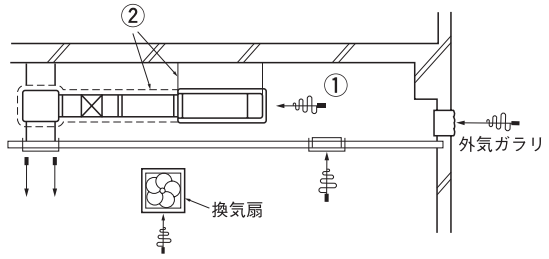
給気処理ユニット（FDU-F）



⑥ダクト工事のつづき

①エアコン本体にはエアフィルタが付属されていません。掃除の容易な吸込グリルにエアフィルタを組込んでください。
②消音チャンバは据付ける室内の許容される騒音値によって取付てください。
　特に低騒音とする必要がある場合は、さらに消音装置が必要です。（事務所、会議室などでは必ず取付ること）
③エアコン本体の振動が天井およびスラブに伝わらないようにダクトはキャンバス継手、エアコン本体は防振ゴムにより防振してください。
④ OA ダクトの接続口には、据付後の風量調節ができるよう、風量調節ダンパを取付てください。
⑤吹出口は室内全般に空気が流れるように位置、形状を選びさらに風量が調節出来る構造のものを使用してください。
⑥天井面に点検口を必ず設けてください。電装品、モータ、機能品のサービス、熱交換器洗浄のために必要です。
⑦ダクトの保温施工は必ず実施し、ダクトへの結露を防止してください。保温材の厚さは６５ｍｍ（ＪＩＳ Ａ９５０１）です。
⑧送風機（ファンモータ）に手が触れないようにダクトを接続してください。または吸込側を直吸込で使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付てください。

〈ダクト施工の悪い例〉



〈空気条件、風量限界〉

店舗VXPシリーズ		224, 280
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		224, 280
最大風量（m³/min）		88
室内側空気温度	乾球温度（℃）	32
	湿球温度（℃）	29

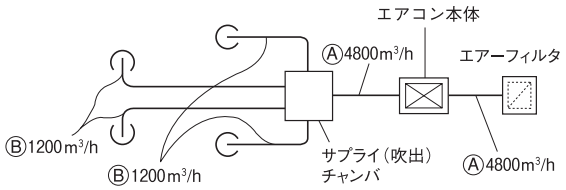
給気処理ユニット		224, 280
最大風量（m³/min）		50
ユニット吸込空気温度	乾球温度（℃）	32
	湿球温度（℃）	29

①吸込側ダクトを使用せず、天井内を吸込ダクトにすると換気扇の能力や外気ガラリに吹きつける風の強さ、天候（雨の日など）等により天井内が高湿度となります。
　㈠室内ユニットの外板に結露し天井に滴下するおそれがあります。
　　室内ユニットは上表の空気条件および風量限界内で使用してください。コンクリート建築などで新築の場合も天井内ダクトにしなくても湿度が高くなることがあります。この場合は室内ユニット全体をグラスウール（２５mm）で保温してください。（金あみなどでグラスウールをおさえてください。）
　㈡室内ユニットの運転限界（例：外温３５℃ DB のとき吸込空気温度２４℃ WB）をこえる場合も考えられ、圧縮機のオーバーロードなどのトラブルの原因となります。
　㈢換気扇の能力、外気ガラリに吹きつける風の強さによって室内ユニットの送風量が多くなり使用制限をこえてしまうため熱交換器のドレンがドレンパンへ流れず、外部に流れだすこともあり、（天井にドレンが滴下する）水漏れの原因となります。
②室内ユニットとダクト、室内ユニットとスラブの防振をしないとダクトに振動が伝わり、天井と吹出口の間で振動音が出たり、スラブに室内ユニットの振動が伝わることがあります。必ず防振してください。

〈簡易ダクト寸法選定図〉 1Pa/m

風量 ＼ ダクトの形 ＼ 項目	□ 角ダクト 寸法
m³/h（m³/min）	（mm×mm）
100	250× 60
200	250× 90
300	250× 120
400	250× 140
450（7.5）	250× 160
500	250× 170
600（10）	250× 190
800	250× 230
1,000	250× 270
Ⓑ部 1,200（20）	250× 310
1,400	250× 350
1,600	250× 390
1,800（30）	250× 430
2,000	250× 470
2,400（40）	250× 560
3,000（50）	250× 650
3,500	250× 740
4,000	250× 830
4,500	250× 920
Ⓐ部 4,800（80）	250× 950
5,000	250×1000
5,500	250×1090
6,000（100）	250×1180

〈簡易的なダクト寸法の決め方〉
ダクトの単位長さ当り摩擦抵抗を１Pa/m として、ダクトは一辺が２５０ｍｍのものを使用する場合の方法を示します。
２８０形定格風量の場合を例とします。



	風　量	ダクト（mm×mm）
Ⓐ 部	4800m³/h（80m³/min）	250×950
Ⓑ 部	1200m³/h（20m³/min）	250×310

○ダクト抵抗の計算（簡便的に下表の如く計算する）

直　管　部	長さ1m当り1Paで計算する1Pa/m
曲　り　部	曲り部1個当り直管に直して3～4mとする
吹　出　部	25Paで計算する
チ　ャ　ン　バ	1個で50Paで計算する
吸込グリル（フィルター付）	1個で40Paで計算する

⑦冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
冷媒Ｒ２２で使用していた既設配管を使用する場合は、下記点を注意してください。
・薄肉配管の使用は避けてください。
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化等の原因になります。
●Ｒ32 またはＲ４１０Ａ以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化等の原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂等の原因になります。

⑦冷媒配管のつづき

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●工具は R32 またはＲ４１０Ａ専用ツールを使用してください。
●室内機配管はサービスパネルを取り外し可能とするため配管方向がどのような方向でも必ず室内ユニットから４００mm以上のストレート部分を設けてください。

作業手順

1．ろう付作業時は、ろう付部周囲を過熱しないように濡れタオル等で冷やしながら実施してください。
2．室内ユニットのろう付部は、ガス漏れチェック後、断熱材（現地手配）をかぶせてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。現地にて断熱材を手配し断熱してください。
●ガス側配管の断熱は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化させてください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
3．冷媒は室外ユニットに充填されています。室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

機種		液配管/ガス配管	サイズ
店舗VXPシリーズ	224形	液配管	φ9.52
		ガス配管	φ25.4
	280形	液配管	φ12.7
		ガス配管	φ25.4
ビル空調シリーズ ガスヒートポンプシリーズ 給気処理ユニット	224形	液配管	φ9.52
		ガス配管	φ19.05
	280形	液配管	φ9.52
		ガス配管	φ22.22

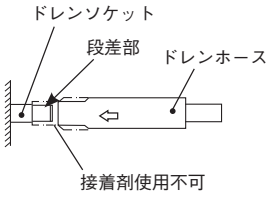
⑧ドレン配管

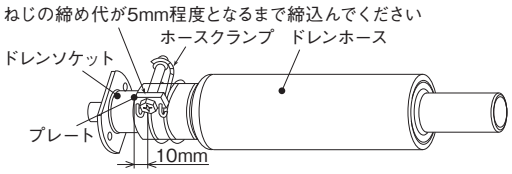
ドレン配管時の注意事項

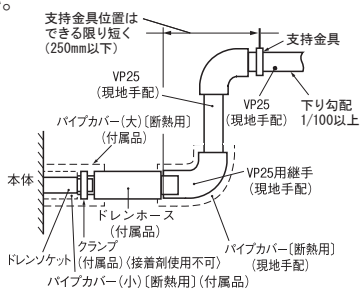
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

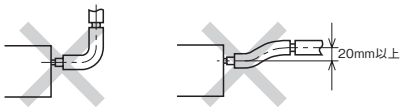
1．付属のドレンホース（軟質塩ビ端）はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から 10mm 程度のところに取付け、ねじの締め代が 5mm 程度となるまで締込んでください。
●接着剤使用不可



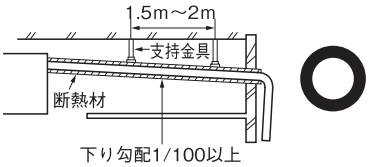


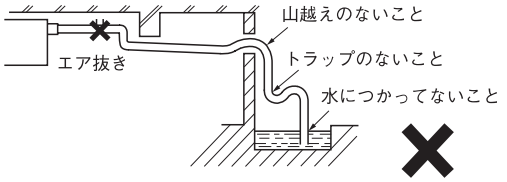


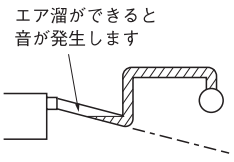
2．ドレンホース（硬質塩ビ端）に、ＶＰ２５用継手（現地手配）を接着・接続し、この継手に、ＶＰ２５（現地手配）を接着・接続してください。
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２５を使用してください。
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



3．ドレン配管は下り勾配（1／１００以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。

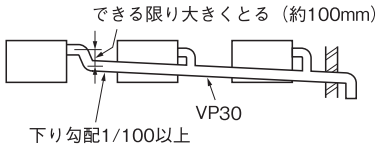






⑧ドレン配管のつづき

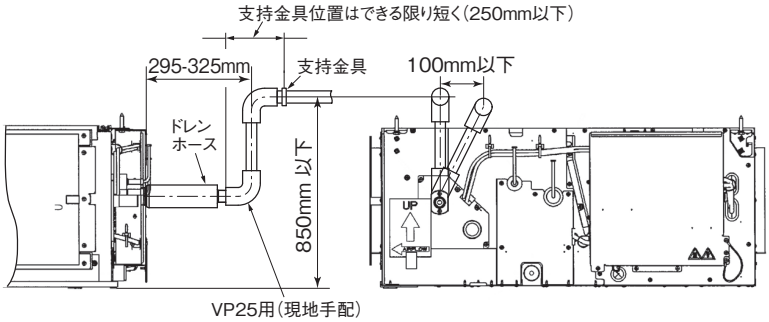
●複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約１００ｍｍ下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はＶＰ３０以上を使用してください。



4．ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー（小）をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー（大）にてパイプカバー（小）、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

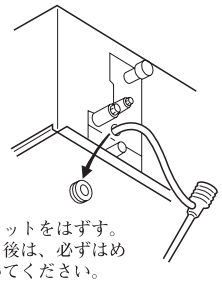
●ドレン配管の出口高さは、本体下面より８５０ｍｍまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。



ドレン排水テスト

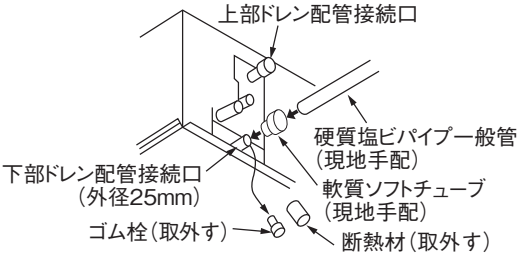
●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部および室内ユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
●暖房期の据え付けの際にも必ず実施してください。
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1．右図要領にて給水ポンプなどを使用して、本体ドレンパンの中へ約１０００ｃｃほどの水を注入してください。注水ホースを 50 ｍｍ位差し込んで注水してください。（注水ホースは必ず下向きに差込んでください。）
2．ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。
※ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。
3．排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。



下部ドレン配管工事要領〔配管接続〕

ドレン配管に下り勾配（１／５０～１／１００）が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



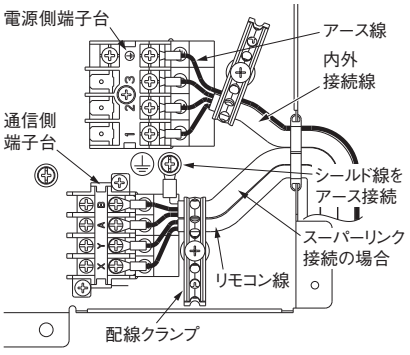
ドレンモータ用のコネクタ CNR の取外し
下部ドレン配管を使用する場合に必ず必要です
コントロールボックス内のドレンモータ用コネクタ CNR を取外してください。

注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。

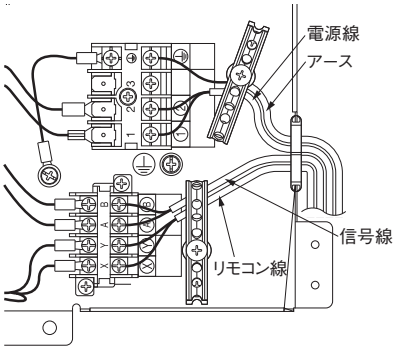
⑨電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
●電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●Ｄ種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1．電装箱の蓋 (ねじ２本) を取外し、上部の引掛けを外してください。
2．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
コントロールボックスの蓋に貼付の結線銘板参照ください。
3．各配線をクランプで固定してください。
4．取外した部品を元通りに取付てください。



シングル機の配線接続



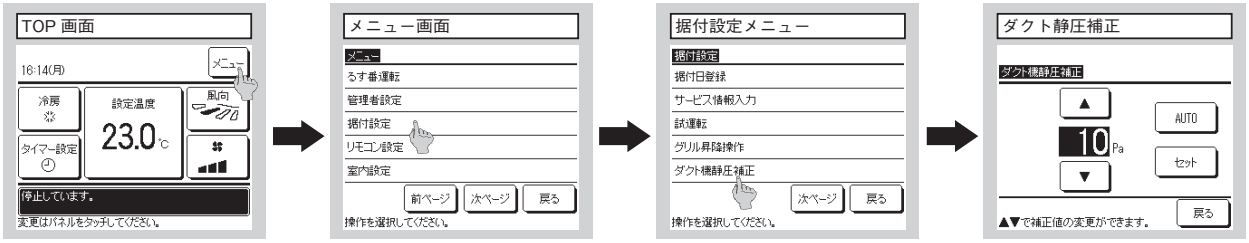
マルチ機の配線接続

⑩機外静圧設定

ECOタッチリモコン（RC-DX2 以降）を使用し、機外静圧を設定することができます。
定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。
店舗シリーズをツイン機として設定する場合は、室内ユニット同士が同一風量になるように個々に設定してください。

● ECOタッチリモコンからの設定方法

①メニュー画面より据付設定を選択し、サービスパスワードを入力します。
②据付設定メニューより、ダクト機静圧補正を選択します。
③ “▲”、“▼”で機外静圧を設定し、“セット”をタッチしてください。
（“AUTO”を選択した場合には、150Pa で設定されます。）
詳細な設定方法については、ECOタッチリモコン付属の据付説明書を参照ください。
風量特性については、361ページを参照ください。



［メニュー］ボタンをタッチしてください。

［据付設定］ボタンをタッチしてください。

選択した画面に移ります。

機外静圧を選択し、［セット］をタッチしてください。

注意

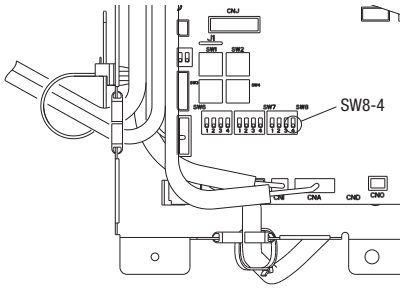
・RC-DX2 以降の ECOタッチリモコン以外からは設定できません。

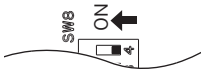
静圧設定上の注意

実際の機外静圧を計算し、設定してください。
実際の機外静圧よりも機外静圧設定が高い場合には風量が過大となり、水漏れが発生する恐れがあります。また、実際の機外静圧よりも機外静圧設定が低い場合には風量が過小となり、不冷・不暖の原因になります。

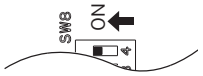
工場出荷状態では上記のリスクを減らすため､機外静圧設定範囲を 80～150Pa(給気処理ユニットは10～120Pa)としております。実際の機外静圧は 80～150Pa（給気処理ユニットは 10～120Pa）の範囲で使用してください。実際の機外静圧が 80Pa（給気処理ユニットは 10Pa）より低い場合には水漏れとなる恐れがあります。
(機外静圧設定を10～70Paで設定した場合、機外静圧設定は 80Pa となります。
機外静圧設定を 160～200Paで設定した場合、機外静圧設定は 150Pa となります。また給気処理ユニットは 130 ～ 200Pa で設定された場合、機外静圧設定は 120Pa になります。)

また、コントローラの SW8-4 を ON にすることにより、機外静圧設定範囲を 10～200Pa に変更することが可能です。ただし、上記リスクが高くなるため、実際の機外静圧を把握してない場合には使用しないでください。





SW8-4:OFF（機外静圧設定範囲：80～150Pa）



SW8-4:ON（機外静圧設定範囲：10～200Pa）

⑪室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	
機外静圧設定は完了していますか。	水漏れ、冷えない	

(g) 天吊形（FDE）

(i) P566S～P1606Sの場合

PFA012D706AA B

本説明書は、室内ユニットの据付け方法を記載してあります。「室内ユニット据付工事安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。
●電気配線（室内ユニット）は、693ページをご覧ください。
●ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
●ワイヤレスキットの取付方法は、1271ページをご覧ください。
●安全遮断弁の取付方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
●冷媒検知警報器の取付方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
●室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
また、故障診断は、858，997ページまたは1108ページをご覧ください。本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

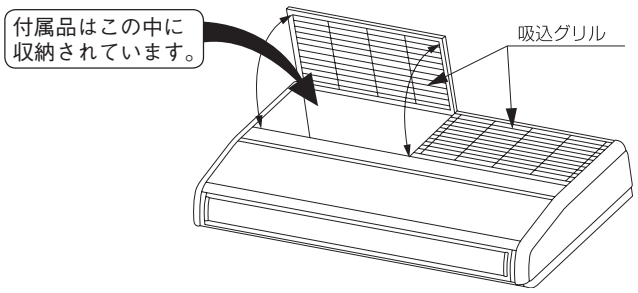
①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品　　○付属品

付属品

本体吊り込み用		冷媒配管用			ドレン配管用					吸込グリル用	コントロール用
平座金（M10）	型紙	パイプカバー（大）	パイプカバー（小）	バンド	ドレンホース（クランプつき）	ホースクランプ	固定金具	ねじ	断熱材	ねじ	解除ピン※
											
8個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	2個	1個	4個	1本
室内ユニット吊り下げ用	室内ユニット吊り込み調整用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	ドレンホース固定用	固定金具取付用	ドレンホース断熱用	グリル固定用	インターロック解除用

※R32ビル用マルチ機のみ付属しています。

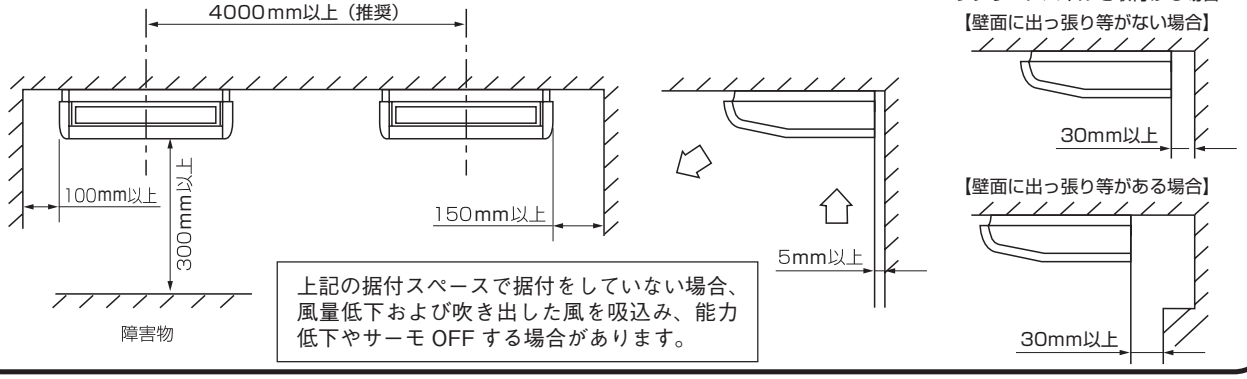


②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・人感センサ搭載の場合据付高さは4m以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。　・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が 23℃以下、相対湿度 80% 以下の所。
［本室内ユニットはJIS露付条件（室内：27℃/78%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。］
・テレビ、ラジオより 1m 以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気等を直接、吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下により、ケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を6m以上離してください。
④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離は４ｍ以上を推奨します。
⑤ラクリーナパネルを取付ける場合は、壁面に接触しないようユニットと壁面の距離を確保してください。また吸込グリルの動作範囲の周辺に障害物を置かないでください。

②室内ユニットの据付場所の選定のつづき

室内ユニット据付スペース



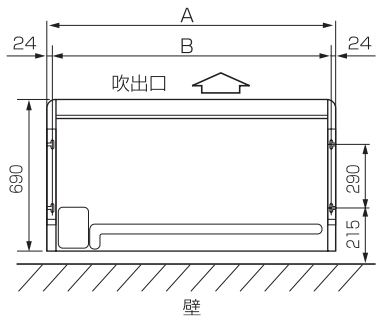
上記の据付スペースで据付をしていない場合、風量低下および吹き出した風を吸込み、能力低下やサーモ OFF する場合があります。

③据付前の準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（M１０）を４組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置

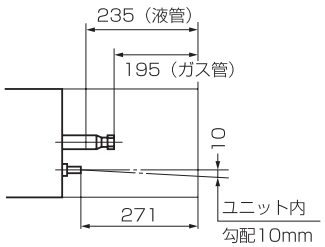
天井開口穴・吊りボルトピッチ

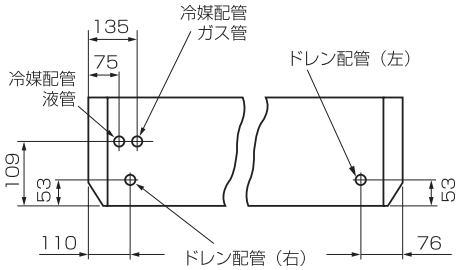


※:ユニット形式を示す。 例　56形:FDEZP56を表す。　（mm）

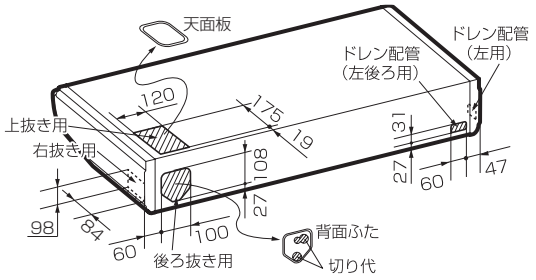
店舗シリーズ	標準	56形	63-80 形	112-160 形
	寒冷地	-	80 形	160 形
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ		36-56形	71-90 形	112-160 形
中温PAC		-	-	140 形
A		1070	1320	1620
B		1022	1272	1572

冷媒配管位置





配管取出し位置



※配管取出しは 3方向（後ろ・右・上）より行えます。
・穴はニッパ等により切り落としてください。
・背面ふたは切り代にしたがって配管取出し穴を切り抜いてください。
・上取出しの場合は、天面板を取外してください。
・右取出しの場合は、サイドパネル内側の溝に沿って切り抜いてください。
・配管・配線の据付後、埃などが浸入しないよう、隙間をパテなどで塞いでください。
室内ユニット内への埃の侵入およびエッジ部での配線損傷防止のため、背面・天面ふたは、必ず取付けてください。右取出しの場合、切り抜き部は、バリ等取除いてください。

③据付前の準備のつづき

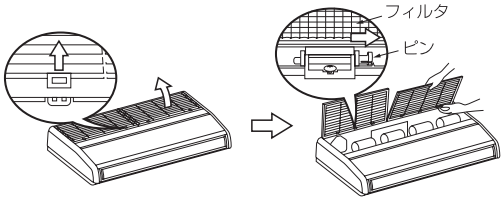
室内ユニットの搬入、据付



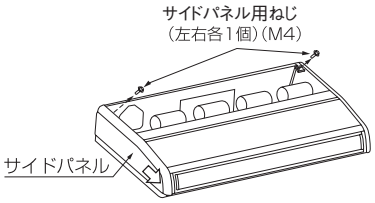
●搬入時はできるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
●開梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包み、室内ユニットを傷つけないよう注意してください。
※サイドパネル、吹出ルーバ等、プラスチック部分を持たないでください。
●開梱後室内ユニットをおく場合は、必ず吸込グリル側を上にして置いてください。

吊り込み前の準備

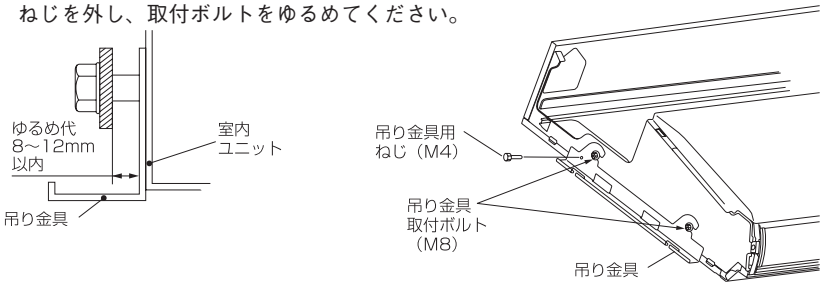
1．吸込グリルの取外し
ストッパをスライドさせ、ピンを抜いてください。



2．サイドパネルの取外し
ねじを外し、矢印方向にスライドさせてください。



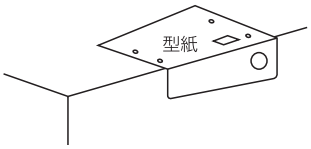
3．吊り金具の取外し
ねじを外し、取付ボルトをゆるめてください。



④室内ユニットの据付

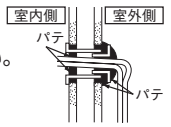
作業手順

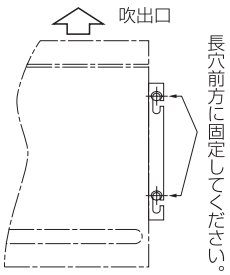
1．吊りボルト位置、配管位置を選定してください。
⑴ 付属の型紙を目安にして、吊りボルト位置、配管穴位置を選定し、吊りボルトと配管用の穴あけを行ってください。
※注意：位置決定は、実測により行ってください。
⑵ 位置決定後、型紙は取外してください。
2．所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3．吊りボルトは４本使用してください。
4．吊りボルト長さは下図の寸法を厳守ください。
5．吊り金具を吊りボルトに固定してください。



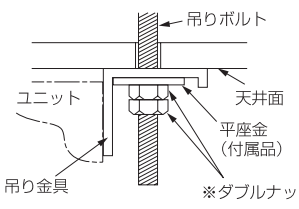
⚠警告
壁穴をパテで完全にシールしてください。
（ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内ユニット内に流入し、火災の原因になることがあります。）

⚠注意
壁穴をパテで完全にシールしてください。
（水漏れ・露たれし、家財等を濡らす原因になることがあります。）

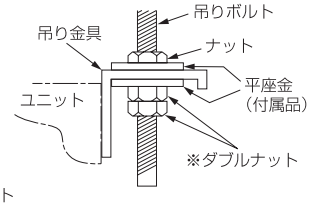


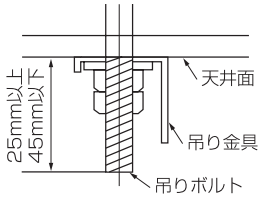


＜天井材が有る場合＞



＜天井材が無い場合＞





※ダブルナットで確実に固定してください。

④室内ユニットの据付のつづき

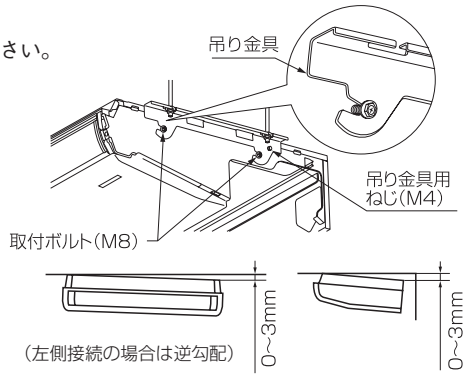
6．室内ユニットを金具に据付けてください。(右図参照)

⑴ 吊り金具前方より、室内ユニットをスライドさせ、ボルトを引っかけてください。

⑵ 取付ボルト（M8）を左右４箇所確実に締付けてください。

⑶ ねじ（M4）を左右２箇所締付けてください。

⚠警告：サイドパネルは前から後方へ向け引っかけた後、本体に確実にねじ止めしてください。
ねじ止めされない場合、本体が落下し、ケガの原因になります。



※ドレン水を流れやすくするために室内ユニットを排水側に下り勾配を設け、据付けてください。

⚠注意：逆勾配にすると水が漏れる恐れがあります。

⑤冷媒配管

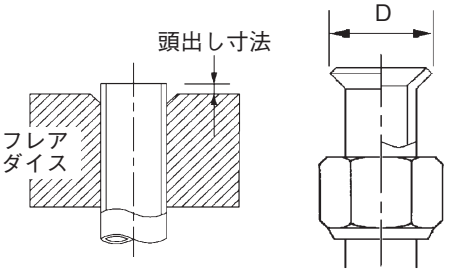
冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のものをご使用ください。
他のフレアナットを使用すると冷媒漏れの原因となります。

既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。

1) 再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）を使用してください。

2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32用またはR410A用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1	14～18
9.52	0.8			12.8～13.2	34～42
12.7	0.8			16.2～16.6	49～61
15.88	1			19.3～19.7	68～82
19.05	1.2			23.6～24.0	100～120

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●Ｒ３２またはＲ４１０Ａ以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。
また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。

●据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

作業手順

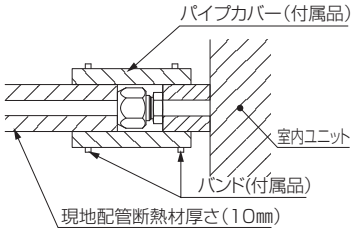
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）

●フレアナット飛びに注意してください。
（内部に圧力がかかっている場合があります。）

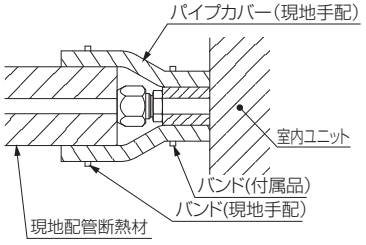
2．液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。
・後ろ・上取出しの場合は、配管は⑦の電気配線と一緒にして、付属のふたを通して取付けてください。
・埃などが侵入しないよう、隙間をパテなどで塞いでください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで左表の締付力で締めてください。

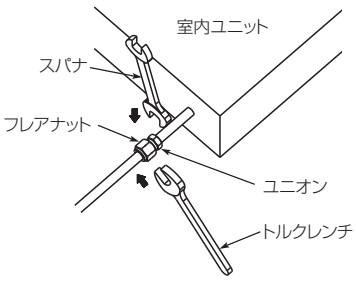
3．室内ユニットのフレア部はガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。

〈断熱材厚さ10㎜を使用する場合〉



〈断熱材を強化する場合〉

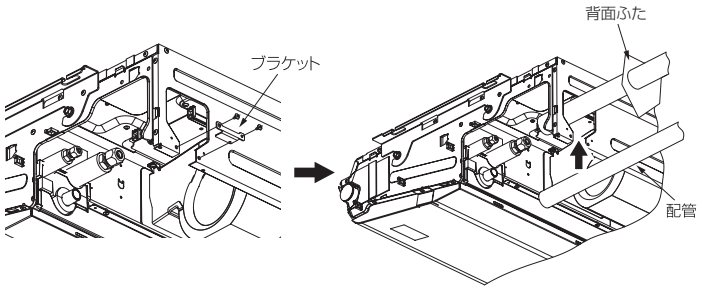




⑤冷媒配管のつづき

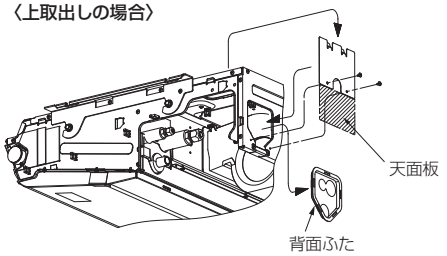
●ガス側配管・液側配管ともに断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。
強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。



配管取出しは、後、右、上の3方向より行えます。
後ろ配管の場合、ブラケットを取外すと作業が容易になります。
※配管作業終了後、ブラケットを元通り取付けてください。

〈上取出しの場合〉



1．天面板を取外してください。
2．天面板の斜線部をカットしてください。
3．天面板を背面ふたとして取付けてください。

⑥ドレン配管

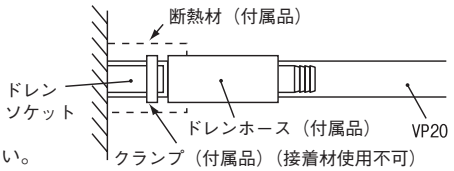
●ドレン配管の取出方向は、後向き、右向き、左向きがあります。

ドレン配管時の注意事項

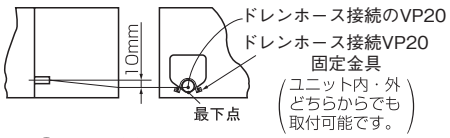
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。試運転時に排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

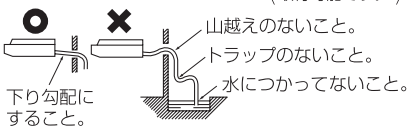
1．付属のドレンホースを本体ドレンソケットの根元まで差し込み、付属のクランプで確実に締付けてください。（接着剤使用不可）
※ドレン配管を左側にて行う場合、本体の左側配管接続口に付いているゴム栓と断熱材（筒状）を右側接続口に付け替えてください。
⚠注意：ドレンプラグを外す時には、水の飛び出しに注意してください。



2．ドレンホースに接続するＶＰ２０は付属の金具で最下点に固定してください。
※ドレンホースはたるまないように固定し、右図のように１０mmの勾配をつけてください。
●電気配線がドレンホースの下に入り込まないようにしてください。
⚠注意：ドレンホース接続のVP20は必ず金具で固定してください。
ドレン水がオーバーフローする恐れがあります。



3．ドレンホースにＶＰ２０（現地手配）を接続してください。
（接着剤使用不可）
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２０を使用してください。
4．ドレン配管は下り勾配（１／１００以上）とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。



5．ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●ドレンホースクランプは付属の断熱材を使用して断熱してください。
●高湿度の環境で使用する等、ドレン配管に結露する恐れがある場合は、ドレン配管に断熱材を追加する等結露に対する配慮をしてください。

ドレン排水テスト

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることと、水漏れのないことを確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

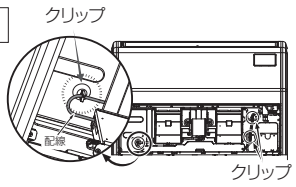
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種設置工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1．配線をクリップから外してください。
2．制御箱 (ねじ① 2本) を取外してください。
3．制御箱をブラケットの溝に沿ってスライドさせ引き出してください。(Ⓐ→Ⓑの方向)
4．制御箱のふた (ねじ② 2本) を取外してください。
5．各配線を室内ユニット内に入れ、端子台に接続してください。
6．各配線を電源線クランプで固定してください。
7．制御箱のふた (ねじ② 2本) を取付けてください。
8．制御箱をブラケットの溝に沿ってスライドさせ (Ⓑ→Ⓐの方向)、制御箱を元の位置へ戻してください。
9．取外した部品を元通りに取付けてください。

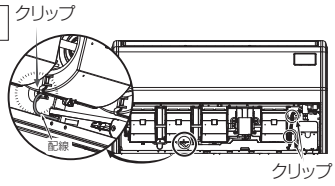
※1 工場出荷時、ワイヤレスキット（オプション）・人感センサキット（オプション）の受信部用配線が接続されています。
ワイヤレスキット、人感センサキットの取付方法は、キット付属の据付説明書を確認してください。
ワイヤードリモコン接続時は外す必要はありません。
ワイヤード／ワイヤレスを併用する場合はリモコンの親子設定が必要となります。

1.

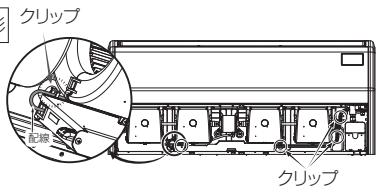
36-56形



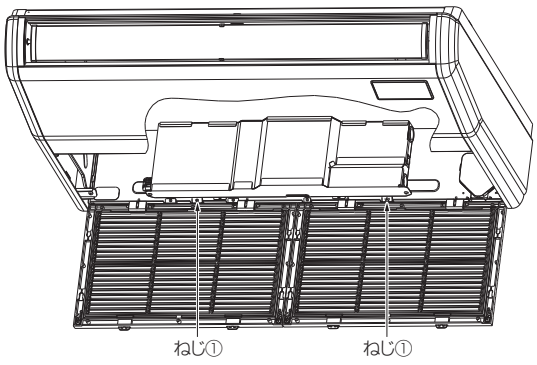
63-90形



112-160形

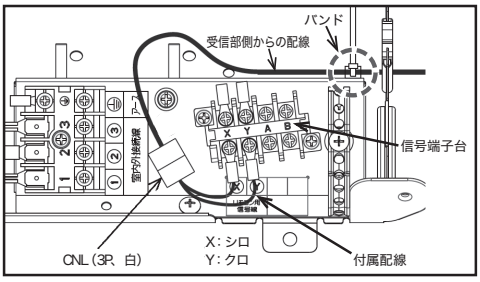


2.

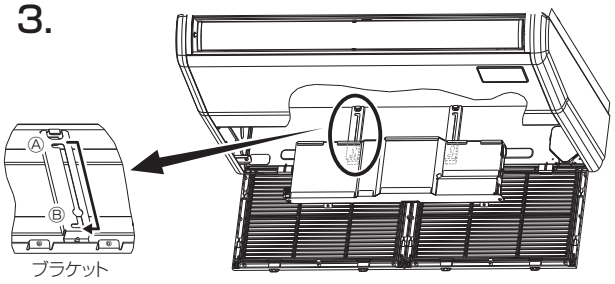


お願い

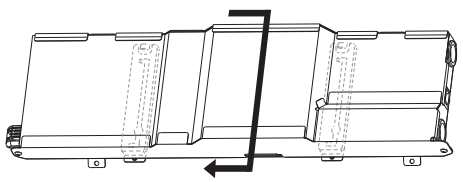
スーパーリンクアダプタ取付の際は、受診部側からの配線を固定しているバンドを取外してください。



3.



制御箱のスライド方法



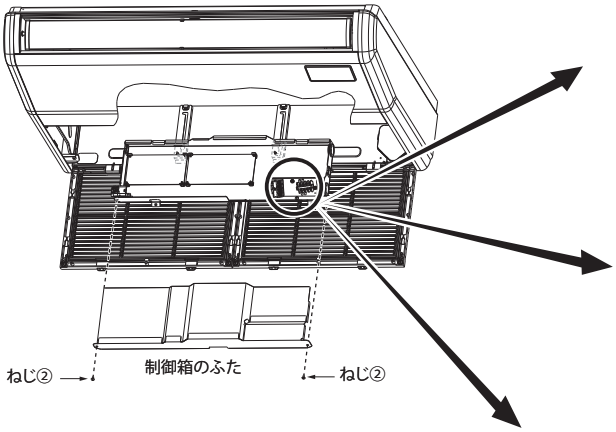
※制御箱を引出す前に配線をクリップから外してください。

〈メインヒューズ仕様〉

仕様	部品番号
T 3.15A L 250V	SSA564A149AF

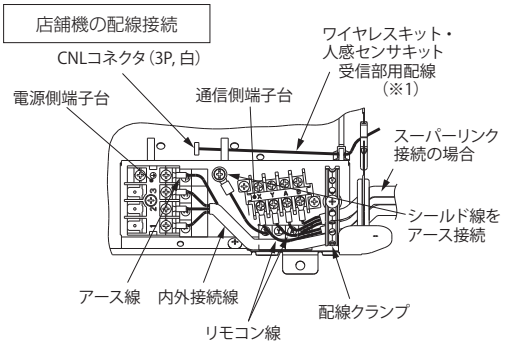
⑦電気配線取出位置および電気配線接続のつづき

4.

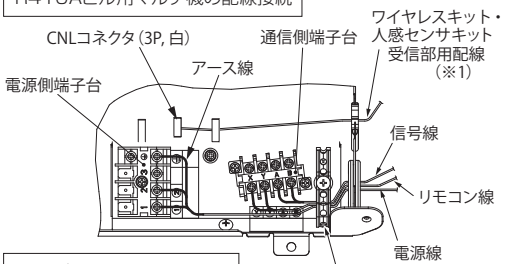


5・6.

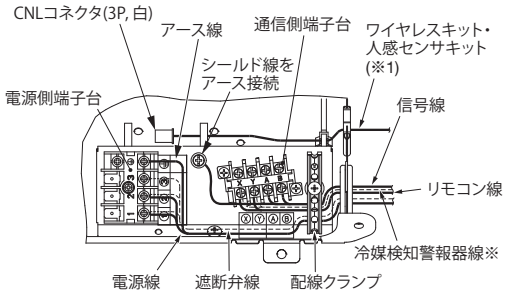
店舗機の配線接続



R410Aビル用マルチ機の配線接続

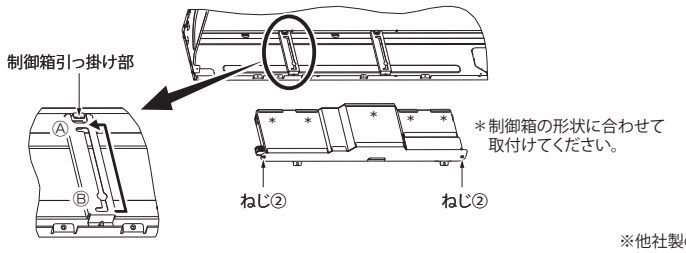


R32ビル用マルチ機の場合



※他社製の安全対策機器を接続する場合は電気配線工事説明書をご覧ください。

7・8.



⑧インターロック機能（R32ビル用マルチ機のみ）

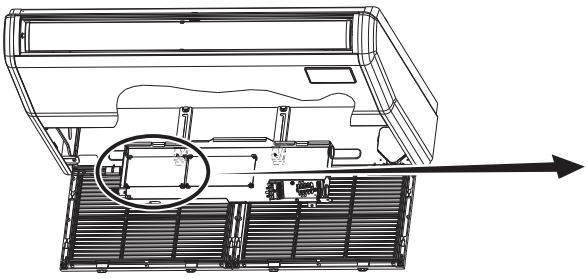
●ビル用マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。
●**インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。**
※インターロックが有効状態で運転しようとするとリモコンにメンテナンスコード(M28)が表示されます。

インターロック機能の解除方法

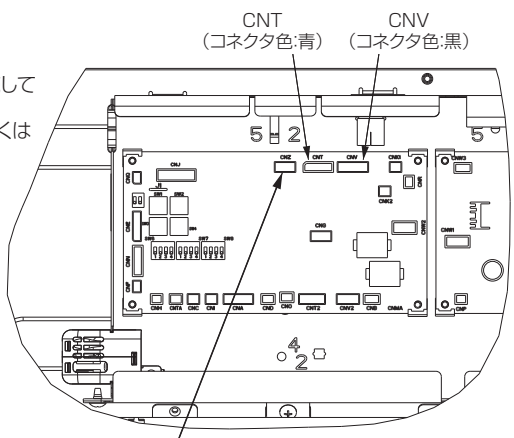
○すべての安全対策機器が必要な場合
下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。
・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・ecoタッチリモコン(RC-DX3D以降)

○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要ない場合
室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。(下図参照)
※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。
※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。
※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

<インターロック解除ピンの接続コネクタ>



インターロック解除ピンは室内ユニットの制御箱付近に付属しています。
使用しない場合は取外して廃棄してください。

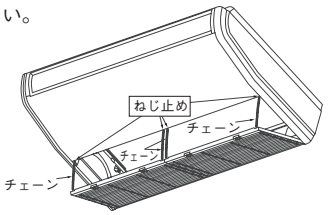


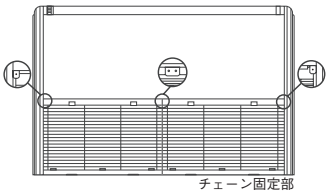
CNZ(コネクタ色:白)
〈インターロック解除ピン接続コネクタ〉

⑨吸込グリルの固定

●電気配線工事完了後、吸込グリルを固定してください。

1．吸込グリルに固定されているチェーンを、付属のねじで室内ユニット本体に取付け、吸込グリルを閉じてください。





チェーン固定部

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。
●R32ビル用マルチの場合、付属の「安全対策機器チェックシート(R32ビル用マルチ)」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑪店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニットが自動認識されます。機種銘板の機種容量に○印を付けてください。

	室内ユニット	室内ユニット1台接続									2台接続						3台接続	
	室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280	160	224
標準機	FDEZP56	P40	P45	P50	P56						P40	P56					P50	
	FDEZP63					P63												
	FDEZP80						P80						P71	P80				P80
	FDEZP160							P112	P140	P160					P112	P140		
寒冷地	FDEZP80										P40	P56						
	FDEZP160						P80	P112										
中温 PAC	FDEP140						P80	P112	P140						P112	P140		

①据付のまえに

●据付はこの据付け説明書に従って正しく行ってください。
●電気配線（室内ユニット）は、711ページをご覧ください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品

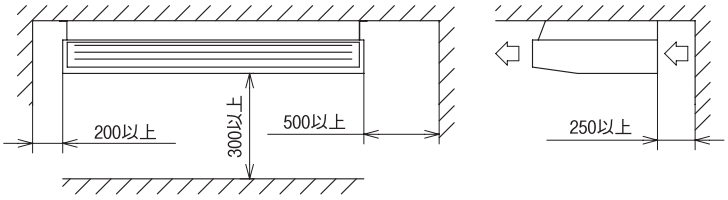
②室内ユニットの据付場所の選定

⚠ユニット本体の重量は約１１４kg です。搬入・据付の際は十分に注意してください。

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・人感センサを使用する場合、据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２３℃以下、かつ、相対湿度８０％以下の所。
　［ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、ユニット本体の全ておよび配管、ドレン配管にさらに１０～２０ｍｍの断熱材を取付てください。］
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
②据付ようとする場所がユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、ユニット落下によるケガの原因になります。

室内ユニット据付スペース

●ユニットー壁、ユニットーユニット間等、間隔がとれない場合は、そちら側の吹出口を遮風しショートサーキットしないことを確認してください。
●据付高さは２．５m以上としてください。

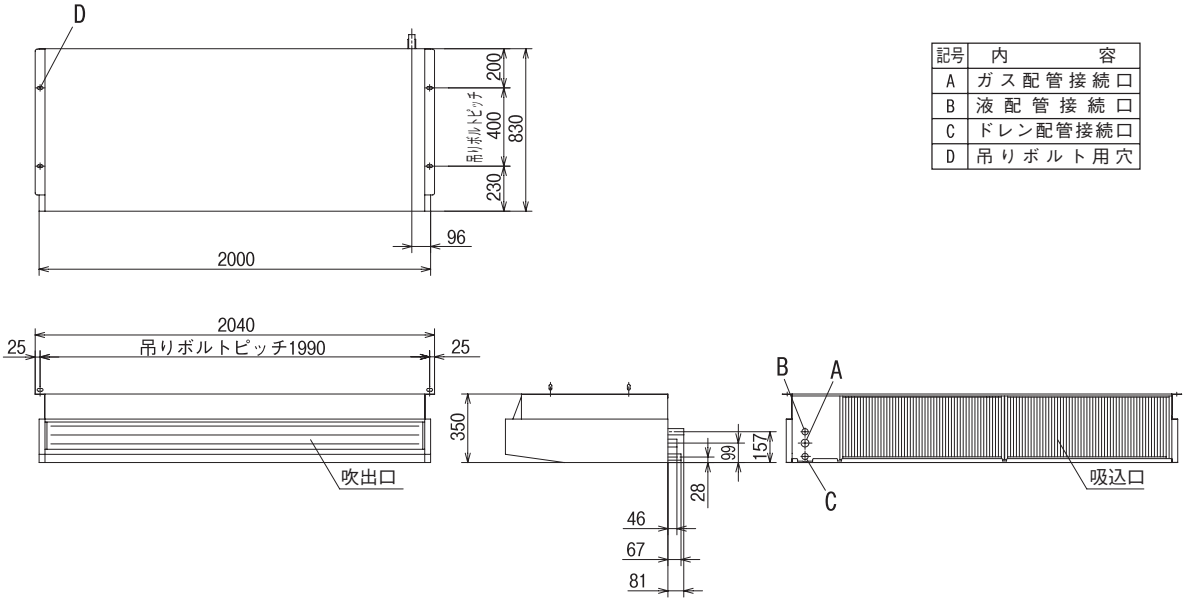


隣接設置の場合は、ユニット間を 6000 以上離してください。

③据付前の準備

⚠ユニット本体の重量は約１１４kg あります。重量に十分耐える所に確実に行ってください。

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
　○システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）５００mm以上または天井ふところ高さ７００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
　○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
　　吊り長さ（吊りボルト長さ）１０００mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
●吊りボルト・ナット・バネ座金（Ｍ１０）を４組現地にて手配してください。

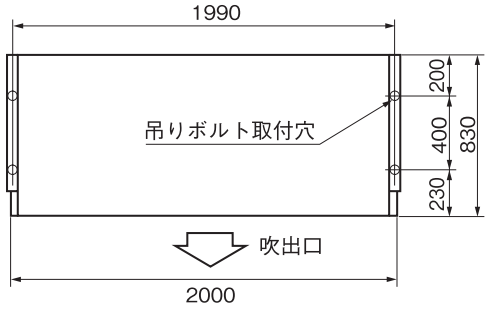


記号	内　　容
A	ガス配管接続口
B	液配管接続口
C	ドレン配管接続口
D	吊りボルト用穴

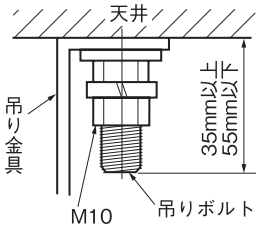
④室内ユニットの据付

１．吊りボルトの設置

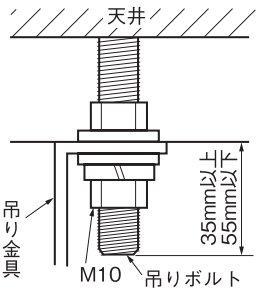
単位：mm



・上記寸法により、吊りボルトの設置を行ってください。
・吊りボルトの長さは下記寸法を厳守してください。

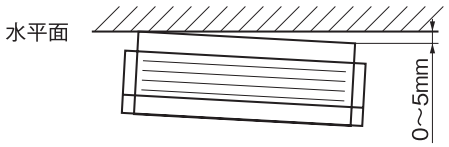


ユニットと天井をつける場合

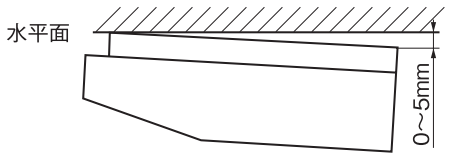


ユニットと天井を離す場合

２．本体の据付
・本体を持ち上げ、吊り金具に吊りボルトを固定します。
・この際、ドレン水の流水をよくするために、本体は吹出口前方から見て右下がり後方下がりに取付てください。



左右方向



前後方向

⚠ 吊りボルトの設置方法は、天井の処理や建物の構造により異なりますので詳しくは建築・内装業者とご相談ください。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
冷媒Ｒ２２で使用していた既設配管を使用する場合は、下記点を注意してください。
・薄肉配管の使用は避けてください。

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化等の原因になります。

●Ｒ３２以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外（Ｒ２２等）の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化等の原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂等の原因になります。

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用の工具を使用してください。

※配管の曲げはできるだけ大きな半径で行い、曲げなおしを何回も行わないでください。また、配管をねじったり、つぶしたりしないでください。

●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。

●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。

●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

●冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

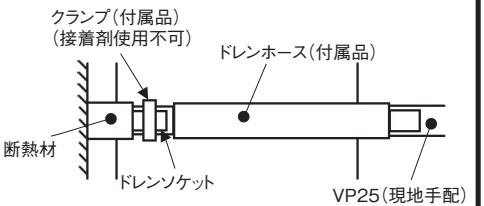
●ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。

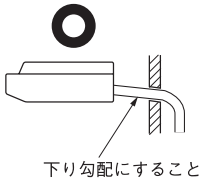
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。

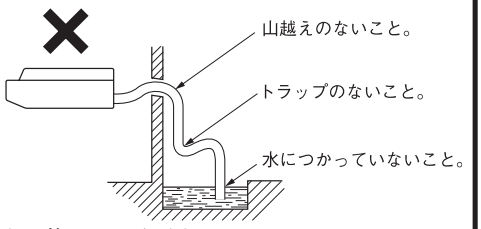
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。

●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。

●ドレン配管は下り勾配 (1/100 以上) とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。試運転時に排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。







付属のドレンホースの軟質側にクランプを通し、断熱材と接触する位置まで確実に挿入し固定してください。(接着剤使用不可)

1. VP25 用継手やエルボ、配管 (いずれも現地手配) を接続してください。
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管 VP25 を使用してください。
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。

2.ドレン配管は下り勾配 (1/100 以上) とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。

3.ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●ドレンホースクランプは付属の断熱材を使用して断熱してください。
● 高湿度の環境で使用する等、ドレン配管に結露する恐れがある場合は、ドレン配管に断熱材を追加する等結露に対する配慮をしてください。

○配管施工後、排水が良好に行なわれることと、水漏れのないことをご確認ください。

ドレン排水テスト

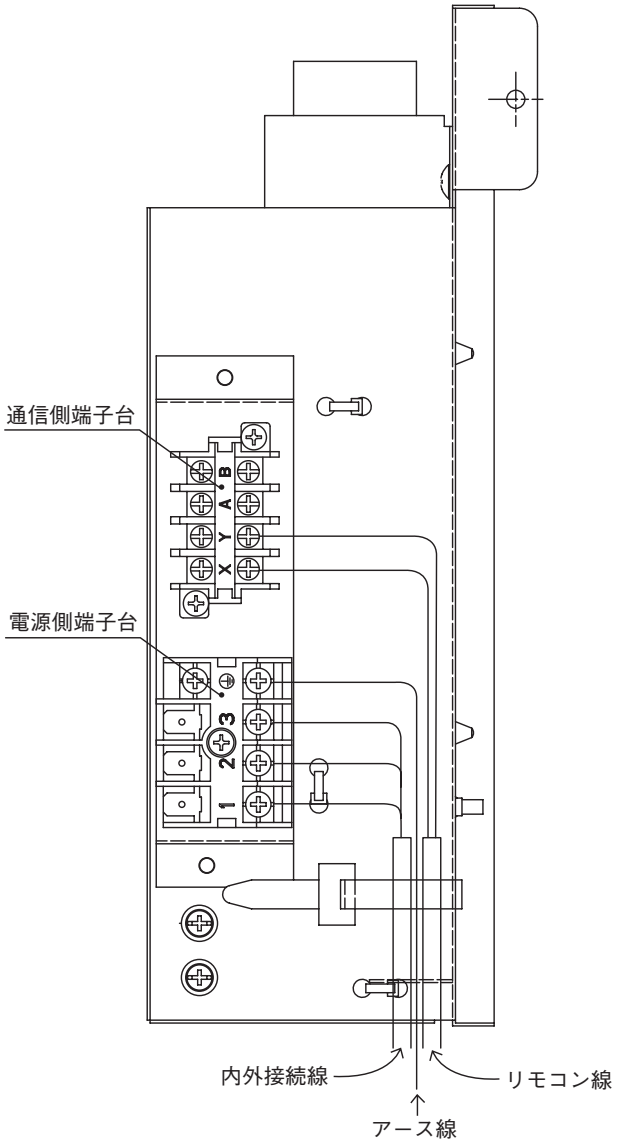
●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることと、水漏れのないことを確認してください。
●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
●電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1．各配線をユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
2．各配線をクランプで固定してください。
3．取外した部品を元通りに取付てください。

シングル機の配線接続



⑧ユニット据付工事完了後のチェック項目

●ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

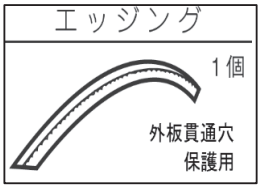
⑹ 天吊耐油形（FDES）

PFS012D005AA △A

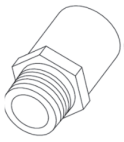
本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
「室内ユニット据付工事 安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。
●電気配線（室内ユニット）は、719ページをご覧ください。
●ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
●ワイヤレスキットの取付方法は、1261ページをご覧ください。
●安全遮断弁の取付方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
●冷媒検知警報器の取付方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
●室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
また、故障診断は、858, 997ページまたは1108ページをご覧ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

① 据付のまえに

●据付けはこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
〇機種・電源仕様　〇配管・配線・小物部品　〇付属品



付属品

本体吊り込み	冷媒配管用			ドレン配管用				コントロール用
平座金	パイプカバー		バンド	塩ビソケット	ホース	クランプ	断熱材	解除ピン※
 M10	 太	 細		 VP25				
8個	1個	1個	4本	1個	1個	2個	3枚	1本
吊りボルト用	ガス管断熱	液管断熱	パイプカバー	本体側接続	ドレン配管とホース接続		接続部断熱	インターロック解除用

※R32ビル用マルチ機のみ付属しています。

② 室内ユニットの据付場所の選定

① 据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設を検討してください。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２３℃以下、相対湿度８０％以下の所。

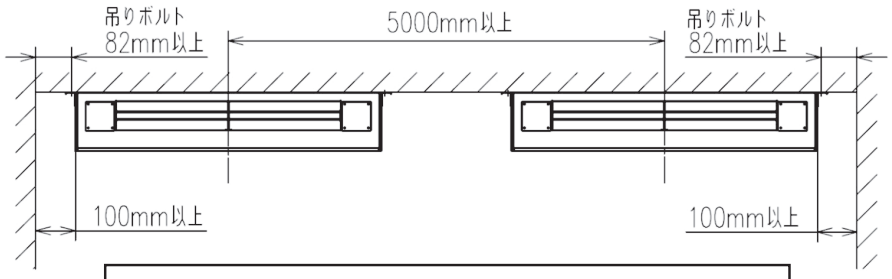
本ユニットは JIS 露付条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。天井埋込で据付ける際は、ユニット天面に断熱材を貼付ける等、必要に応じて結露対策をお願いします。

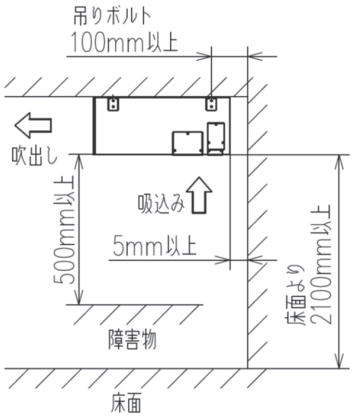
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
・ 蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。（ ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。）

② 据付けようとする場所がユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、ユニット落下によるケガの原因になります。

③ 複数の室内ユニットを隣接して設置する場合は、ユニット間距離を５ｍ以上離して設置してください。

室内ユニット据付スペース





吸込み側に十分な空間が無いと部分的に気圧が下がり、この影響を受けて 吹き出した風が引き込まれショートサーキットの原因になることがあります。

③ 据付前の準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。

〇システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合

吊り長さ（吊りボルト長さ）500mm以上または天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。

〇強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合

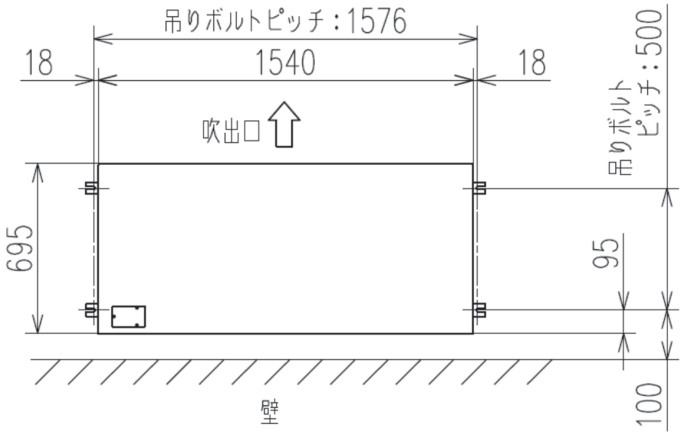
吊り長さ（吊りボルト長さ）1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。

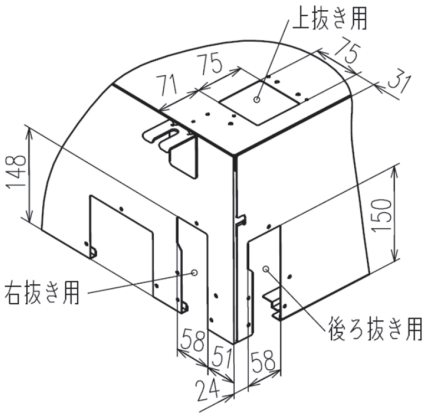
●吊りボルト・ナット・バネ座金（M10 または M8）を4組現地にて手配してください。

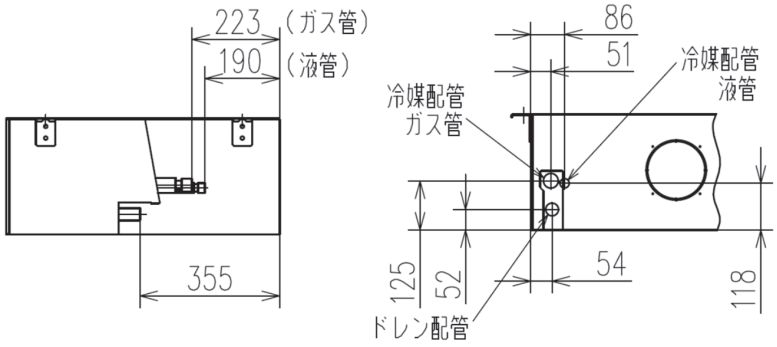
1本当たりの引抜強度は、1.25kN 以上になる方法で建物に固定してください。（吊ボルト長さ 1m以内の場合）

また、吊ボルト長さが1mを超える場合は、耐震計算等により強度確認を行ってください。

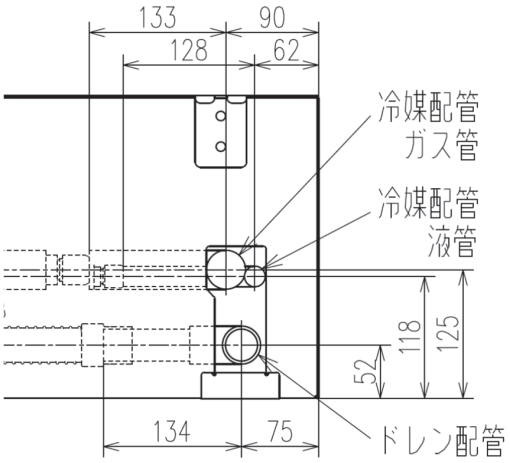
吊ボルトピッチ・各配管の位置



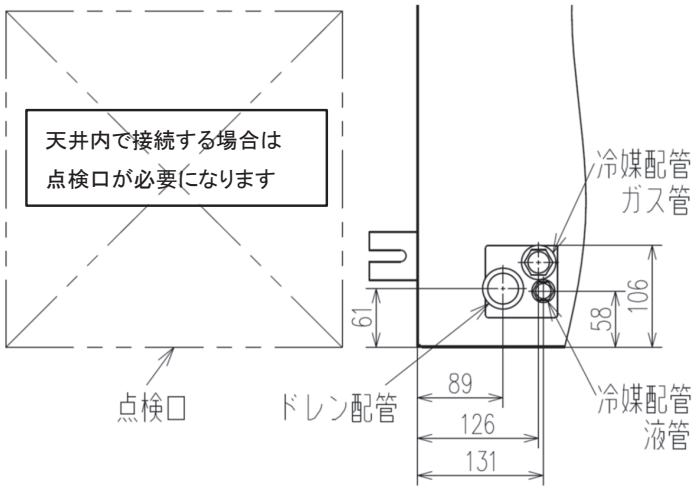




右側面へ配管を抜く場合の位置



天面へ配管を抜く場合の位置

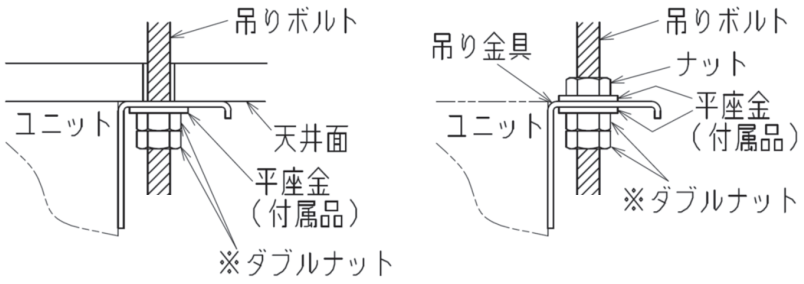


④ 室内ユニットの据付

作業手順

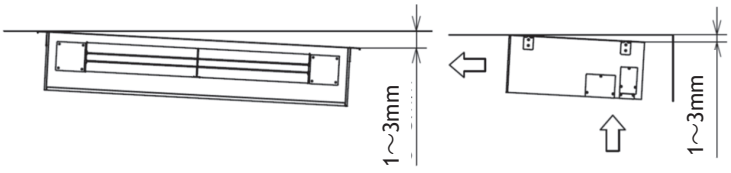
1. 吊りボルト位置、配管穴位置を選定し、吊りボルトの設置と配管用の穴あけを行ってください。
2. 天井が無い場合・天井面が丈夫で無い場合は、吊金具の上側にもナットを入れてユニットが持ち上がらない様に上下から固定してください。

＜丈夫な天井面が有る場合＞　＜天井が薄い場合・天井が無い場合＞

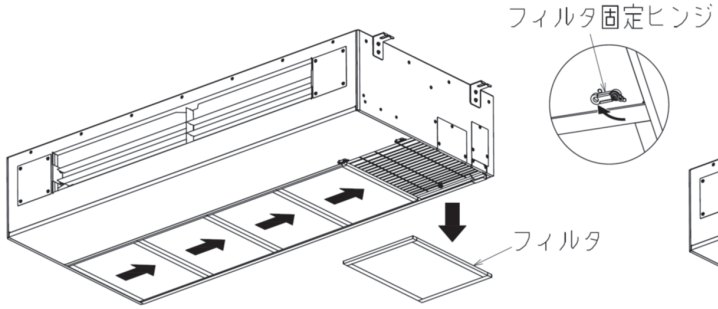


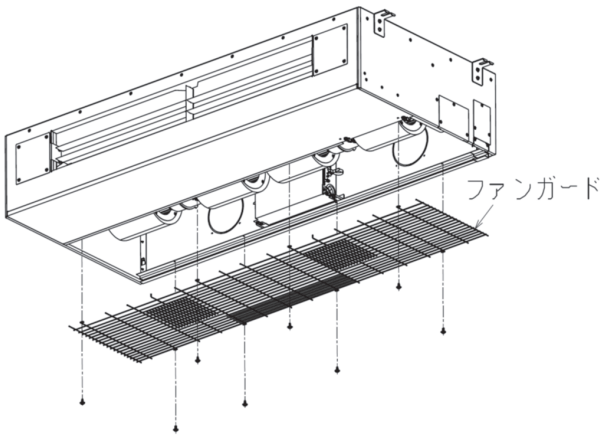
※ダブルナットで確実に固定してください。

3. ドレン水の流れをよくするためユニットを排水側に下り勾配を設け据付けてください。逆勾配にすると水が漏れる恐れがあります。
   ドレンポンプを装着される場合は基準を超えてユニット傾斜を設けると、配管詰り等の万一の場合にドレン水があふれ出る原因になりますので厳守してください。



4. エアフィルタの取外しは、配管側の一枚を固定のヒンジを回転させて外した後 、残りを横にスライドしてください。





5. ファンガードを取外してください（ねじ8本）

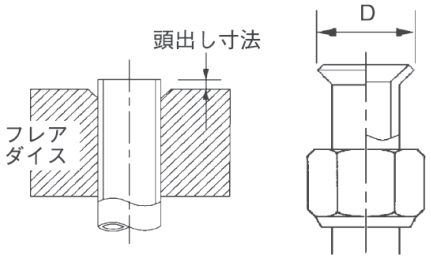
⑤ 冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●**冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは製品に付属されているものを使用してください。**既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの説明書またはカタログで確認すること。

1)再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属されているものを使用すること。

2)再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。
加工後 D寸法を確認してください。フレア面にバリ・傷が無いことを確認してください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアーナット締付トルク N・m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
9.52	0.8	0～0.5	0.7～1.3	12.8～13.2	34～42
15.88	1			19.3～19.7	68～82

●**冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管**
（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化等の原因になります。

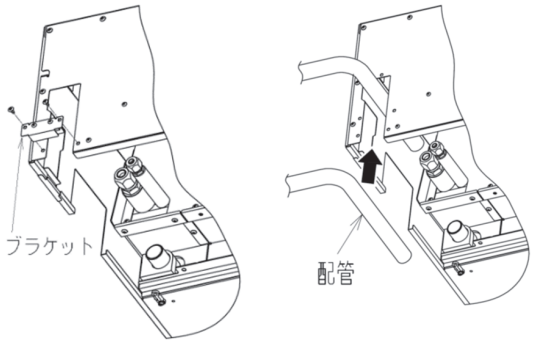
●**指定冷媒以外の冷媒は使用しないでください。**
指定冷媒以外の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化等の原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂等の原因になります。

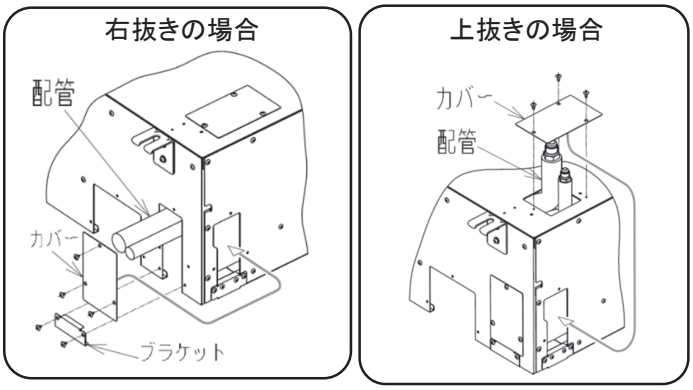
●**据付に使用する配管は屋内に保管し、両端とも ろう付する直前までシールしてください。**冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具は R32 用または R410A 用ツールを使用してください。

注意 **同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、 軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、フレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。**
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

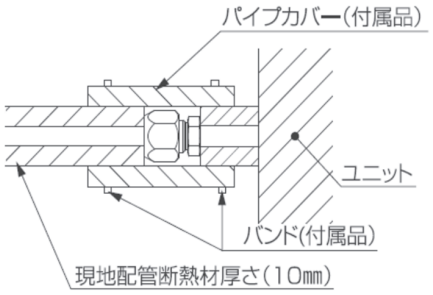
作業手順



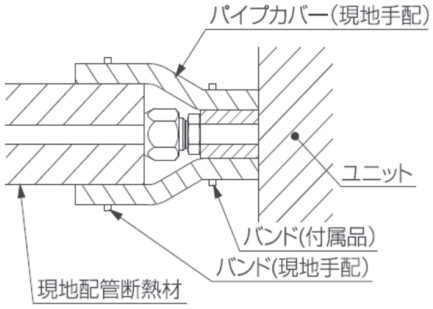


1. 右抜きまたは上抜きの場合、外した板金カバーを背面穴に取付けてください。
2. 外板貫通穴にエッジング（付属品）をはめ込み保護してください。
3. 室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外す。
   ※ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
   ●フレアナット飛びに注意してください。
   （内部に圧力がかかっている場合があります。）
4. 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続する。
   ※ 配管の曲げは 4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。また、配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
   ※フレア接続は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3～4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで前頁表の締付力で締めてください。
5. 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締付ける。
   ●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
   ※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
   ●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
   ●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。
   天井内・壁内を通す場合、現地配管断熱材厚さ 20mm 以上を推奨します。
6. 冷媒は室外ユニットに充填されています。
   室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

〈断熱材厚さ10㎜を使用する場合〉



〈断熱材を強化する場合〉



⑥ ドレン配管

●ドレン配管の取出方向は、後向き、右向きがあります。
●ドレンポンプ（別売）を組込み上向きにすることができます。

注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。
また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、ユニットドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。

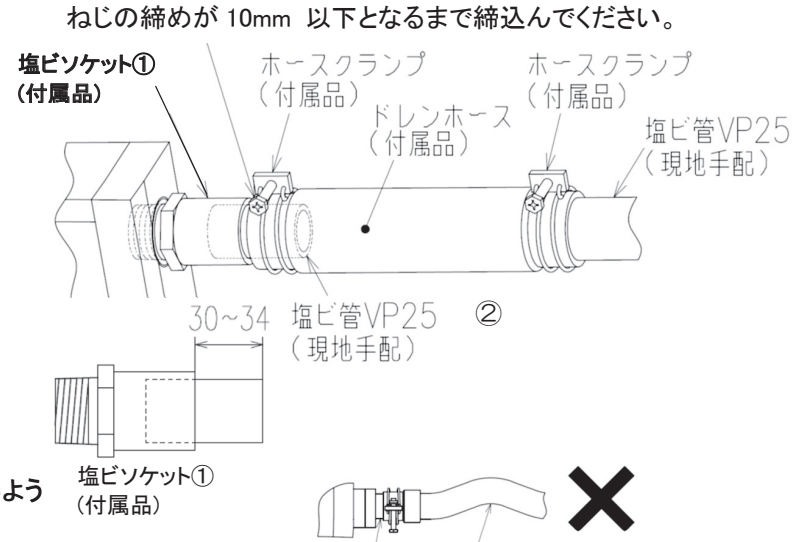
●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上) とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。

●試運転時に排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

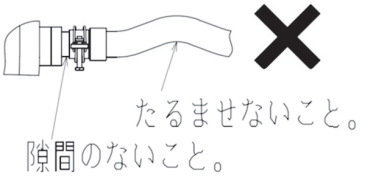
作業手順

1. 付属の塩ビソケット①に塩ビ管 VP25 長さ 50～55mm②を接着。(出代 30mm 以上)
2. 本体ドレンパンへ塩ビソケット①②をねじ込む(シールテープ等使用)。
3. 付属のドレンホースを塩ビ管②出代部分に指し込み、付属のクランプで確実に締付けてください。(接着剤使用不可)

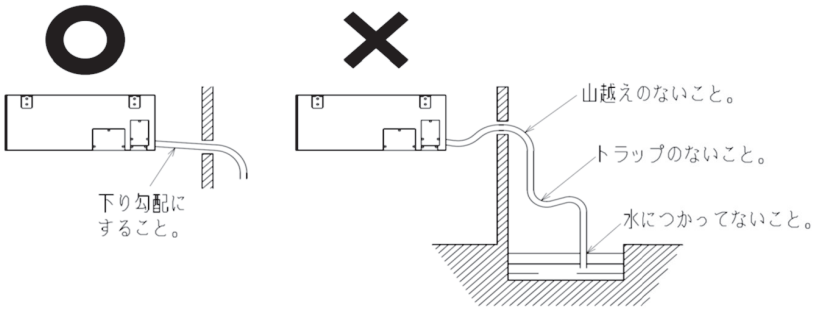
注意 クランプはホース先端部より 5mm 程度のところに取付け、ねじの締めが 10mm 以下となるまで締込んでください。



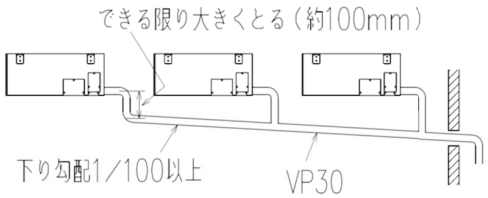
4. ドレンホースは、ユニット内でたるませないよう注意して勾配をとってください。



5. ドレンホースに市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25 (現地手配)を接続してください。(接着剤**使用不可**)
6. ドレン配管は下り勾配 (1／100以上)とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。



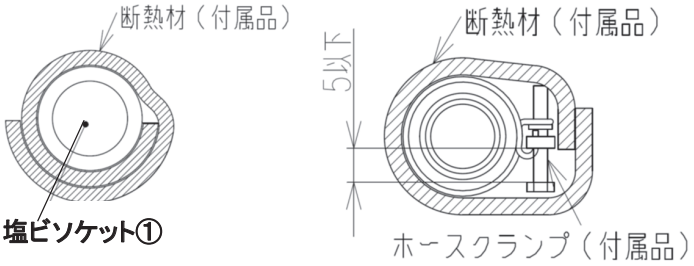
●複数台のドレン配管の場合、
本体ドレン出口より約 100mm 下に集合管がくるようにようにしてください。
また集合管はVP30以上を使用してください。



7. ドレン配管の断熱施工を行ってください。

●塩ビソケット①およびドレンホースクランプは付属の断熱材を使用して断熱してください。

●高湿度の環境で使用する等、ドレン配管に結露する恐れがある場合は、ドレン配管に断熱材を追加する等結露に対する配慮をしてください。



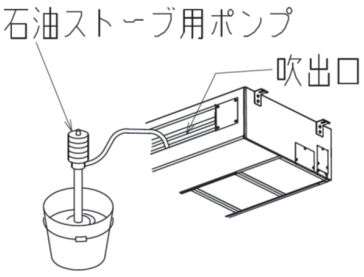
ドレン排水確認

●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることと、水漏れのないことを確認してください。

●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。

●内蔵ドレンポンプ(別売)使用時は、約 2000cc のドレン水が溜ります。確認は約 4000cc の水を徐々に入れてください。

ドレンポンプ試運転は、リモコンからまたは室内コントロール SW7-1 の切替えで強制運転ができます。
(確認後はスイッチの戻し忘れにご注意ください)



⑦ 電気配線取出し位置および電気配線接続

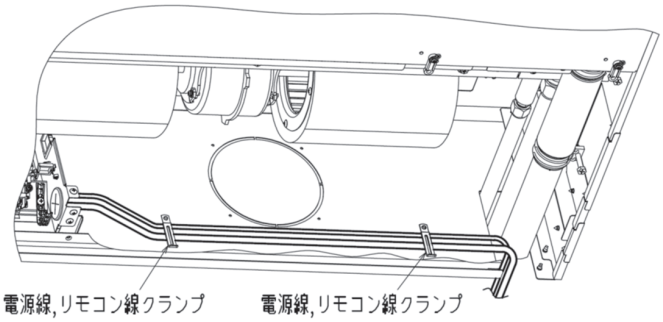
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。

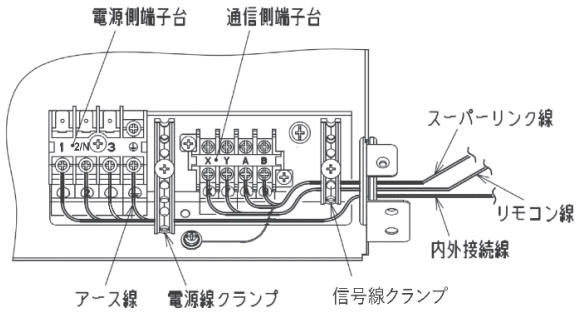
●電源線と通信線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。

●D種接地工事を必ず行ってください。

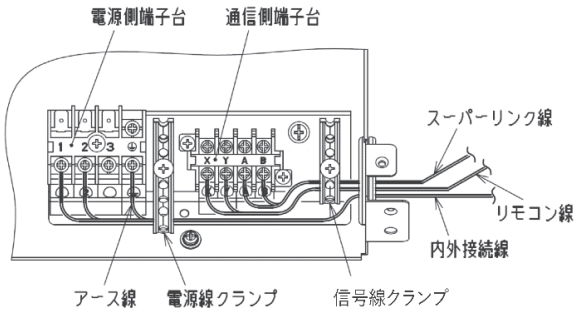
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。



店舗機の配線接続



R410Aビル用マルチ機の配線接続

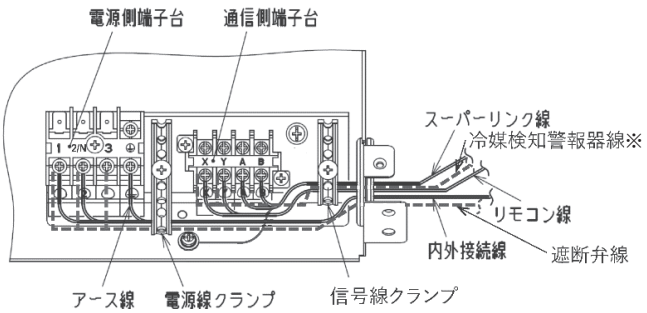


1. 冷媒配管穴から電源線をユニットに入れ板クランプを曲げて配線がたるみファンガードに接触しない様に固定してください。
2. 各配線を端子台に確実に接続してください。
3. 電源線と信号線を別々にクランプで固定してください。
4. コントロールボックスのカバーは、上側をボックス側に差し込み下面からねじ2本で固定してください。

ヒューズ仕様

仕様	部番	採用機種		
		店舗機	ビル用マルチ機	
			R410A	R32
5A, 250V	SSA564A112		○	
3A, 250V	E200Y03C	○	○	○
3.15A, 250V	SSA564A149AF	○		○

R32ビル用マルチ機の配線接続



※ 他社製の安全対策機器を接続する場合は
電気配線工事説明書をご覧ください

⑧ インターロック機能（R32 ビル用マルチ機のみ）

●R32 ビル用マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。

●インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。

※インターロックが有効状態だとリモコンにメンテナンスコード(M28)が表示され、ユニットは運転できません。

インターロック機能の解除方法

○すべての安全対策機器が必要な場合

下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。

・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・eco タッチリモコン(RC-DX3D 以降)

○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要ない場合

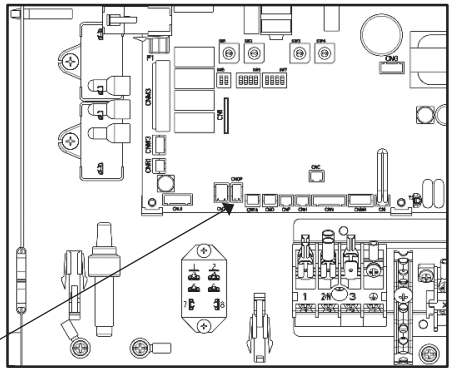
室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。(下図参照)

※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。

※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。

※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

<インターロック解除ピンの接続コネクタ>

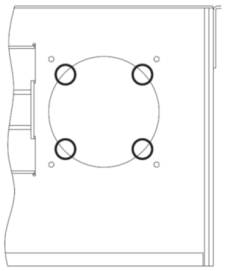


インターロック解除ピンは室内ユニットの制御箱付近に付属しています。
使用しない場合は取外して廃棄してください。

CNOP(コネクタ色:白)

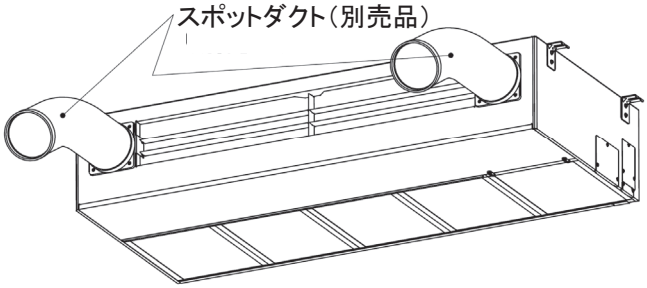
⑨ スポットダクト取付要領

●専用のスポットダクト(別売):1mを2本まで取付けることができます。



1. 前面両側の四角いカバーを取り外した後、断熱材を丸く取除いてください。
   断熱材は、円状に切込みがあり右図○印4箇所でつながっています。
   ○印部内側をゆっくり押して打抜くことができます。
   打ち抜いた断熱材は、ユニット内に忘れることなく確実に捨ててください。
2. 1本当たりねじ4本(カバーを取付けていたねじ)で固定してください。
3. ダクトを曲げる時は、本体側パネルが変形しない様に支えながらゆっくり作業をしてください。
4. ダクトを前方に伸ばす場合など適宜ダクトの荷重を天井から支える様にして、本体側パネルの変形を防止してください。

スポットダクト(別売品)



(別売品)
品名:吹出しダクト
品番:SAD-10B
仕様:φ125　1m
(伸長時約 1.4m)
1 本

●ダクトの周辺・下部には、濡れて困るものは置かないこと。使用する環境によってはダクト表面が結露して露が滴下する場合があります。

⑩ 据付のあとに

1. 配管貫通穴のすき間を埋めて、小動物の侵入を防止してください。
2. 取外したファンガード(ねじ8本)を元通りに取付けてください。
3. 取外したエアフィルタを元通りに取付けてください。

⑪ ユニット据付工事完了後のチェック項目

●ユニット据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。R32 ビル用マルチ機の場合、付属の「据付工事施工チェックリスト(R32 ビル用マルチ)」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑫ 店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニットが自動認識されます。
機種銘板の機種容量に〇印を付けてください。

	室内ユニット	室内ユニット1台接続		2 台接続	
	室外ユニット	80	140	160	280
標準機	FDESZP80	P80		P80	
	FDESZP140		P140		P140
寒冷地	FDESZP80	P80			

（i） 壁掛形（FDK）

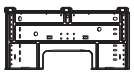
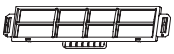
PHA012D414AA △A

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。「室内ユニット据付工事安全上のご注意」および「微燃性冷媒取扱時の安全上のご注意」をご覧になった後、室内ユニットの据付を行ってください。
●電気配線（室内ユニット）は、693ページをご覧ください。
●ワイヤードリモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
●ワイヤレスキットの取付方法は、1281ページをご覧ください。
●安全遮断弁の取付方法は、安全遮断弁付属の説明書をご覧ください。
●冷媒検知警報器の取付方法は、冷媒検知警報器付属の説明書をご覧ください。
●室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
また、故障診断は、858, 997ページまたは1108ページをご覧ください。本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

①据付の前に

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
●次の項目を確認してください。
　○機種・電源仕様　　○配管・配線・小物部品　　○付属品

据付関係

1	据付板		1個	室内ユニット裏面に付属
2	タッピンねじ		10個	据付板用　径 4mm ×長さ 25mm
3	インシュレーション		1個	断熱用　50mm × 100mm
4	空気清浄フィルタ		2個	付属品
5	フィルターホルダ		2個	付属品
6	解除ピン※		1個	インターロック解除用

※R32ビル用マルチ機のみ付属しています。

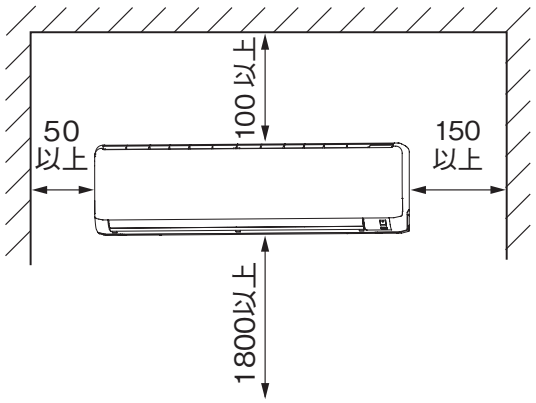
②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが３ｍを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
・人感センサを取付ける場合据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が２３℃以下、相対湿度８０％以下の所。
（本室内ユニットはJIS露付条件（室内：27℃/78%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに１０～２０mmの断熱材を取付けてください。）
・テレビ、ラジオより１ｍ以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
　ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付業作を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６ｍ以上離してください。

②室内ユニットの据付場所の選定のつづき

室内ユニット据付スペース

単位：〔mm〕



お願い

●点検、メンテナンス作業のため
スペースを確保してください。

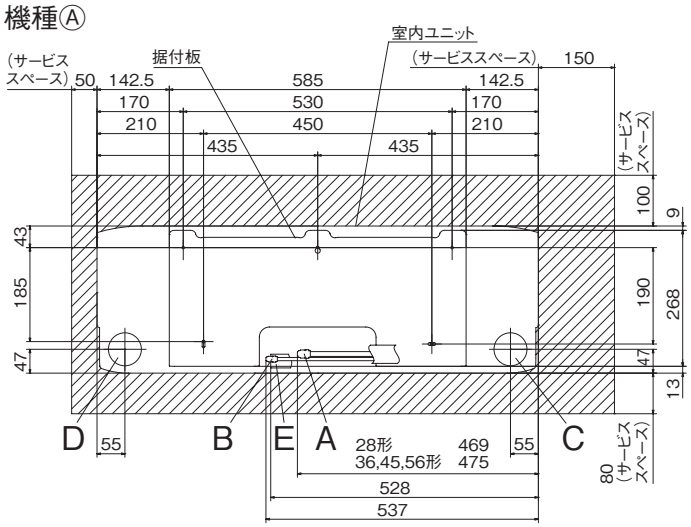
③据付前の準備

機種Ⓐ：店舗機シリーズ 56 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 28 ～ 56 形
機種Ⓑ：店舗機シリーズ　標準 63，112 形　寒冷 112 形
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 71 形

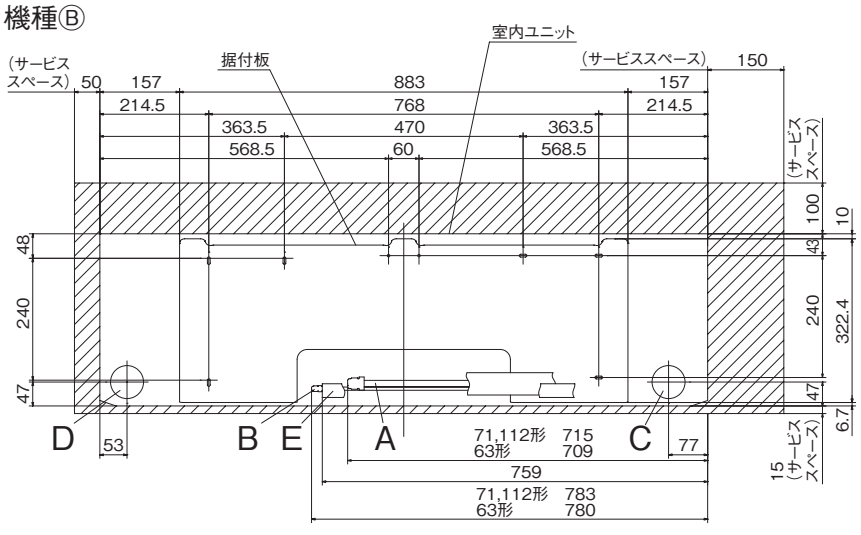
記号		記号	
A	ガス側配管	D	左配管後方抜壁穴
B	液側配管	E	ドレンホース
C	右配管後方抜壁穴		

正面から見た据付け位置図および据付けスペース　単位：〔mm〕

機種Ⓐ



機種Ⓑ



④室内ユニットの据付

搬　入



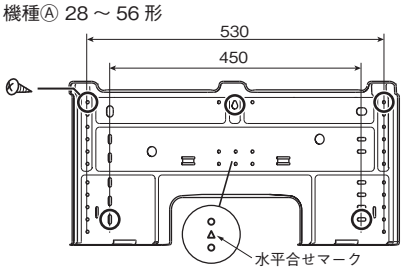
お願い
●搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
●やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包み室内ユニットを傷つけないように注意してください。
注）吹出ルーバ部分を持たないでください。
●解梱後室内ユニットを置く場合は、必ず室内ユニットの前面側を上にしておいてください。

据付板の取付

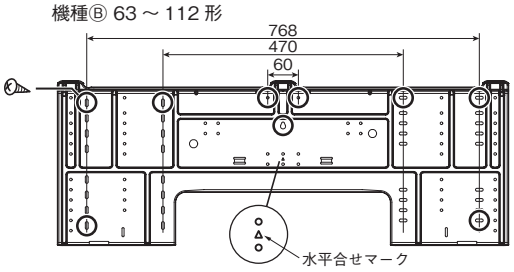
お願い
●この室内ユニットを直接壁面等に据付けることはできません。
いずれの場所に据付ける場合にも**必ず付属の据付板を使って据付けてください。**

○据付板の水平調節は５～９本のねじを仮締めした状態で行います。

機種Ⓐ 28～56形

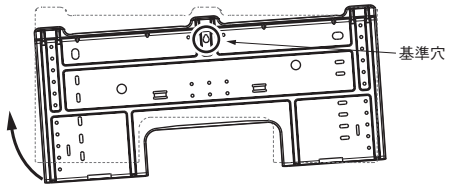


機種Ⓑ 63～112形

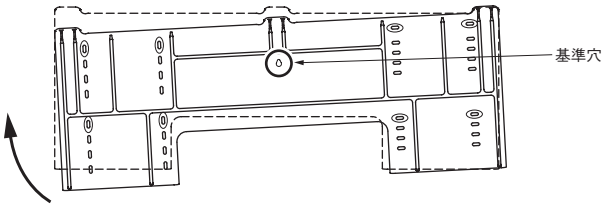


○壁内の構造物（間柱など）をさがして水平を確認してから強固に取付けてください。

機種Ⓐ 28～56形



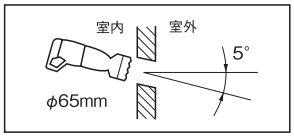
機種Ⓑ 63～112形

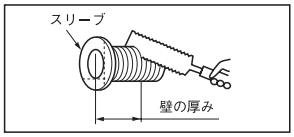


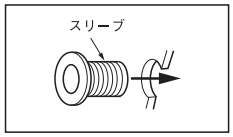
○基準穴を中心に回転し水平になるよう調節します。

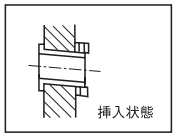
壁の穴孔け要領

●接続配線が壁の中のラスメタルなどに接触して危険が生じる場合がありますのでスリーブは必ず使用してください。
●左後抜き配管の場合、スリーブのツバが本体よりはみ出る場合がありますので、その場合はツバを切断してください。







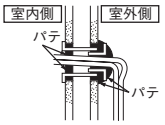


●φ65のホールコアドリルで穴あけをします。

●右後抜き配管の場合はスリーブのツバの下部および右側薄肉部を切りとります。（破線指示箇所）

⚠警告
壁穴をパテで完全にシールしてください。（ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内ユニット内に流入し、火災の原因になることがあります。）

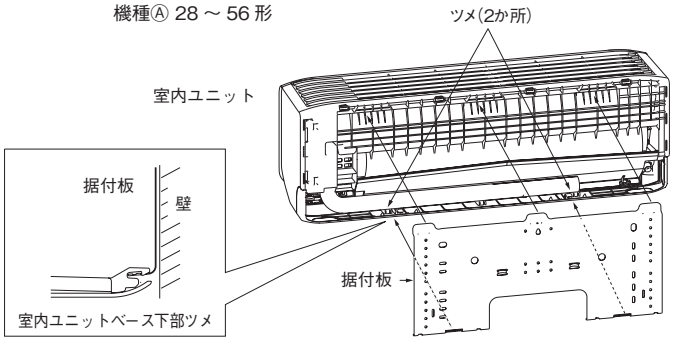
⚠注意
壁穴をパテで完全にシールしてください。（水漏れ・露たれし、家具等を濡らす原因になることがあります。）



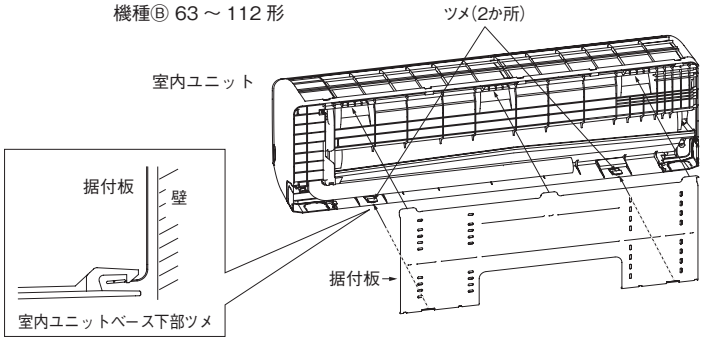
④室内ユニット据付のつづき

室内ユニットの据付

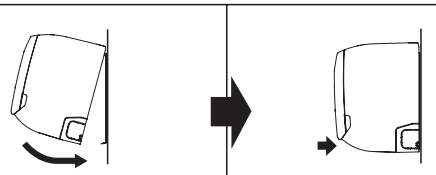
機種Ⓐ 28 ～ 56 形



機種Ⓑ 63 ～ 112 形



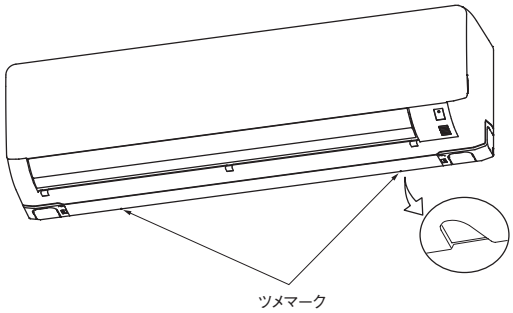
据付作業手順



①据付板に室内ユニット上部を引っ掛ける。

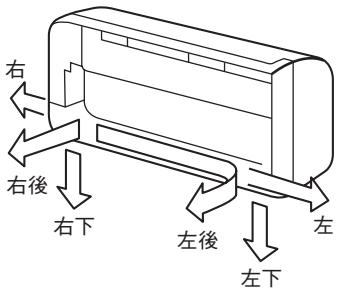
②室内ユニット下部を軽く押せばワンタッチで固定できます。

●室内ユニットを据付板から取外す場合
室内ユニットベース下部ツメ位置マーク部を指で上方向に押しながら、室内ユニット下部両端を引き上げてください。
室内ユニットベース下部ツメが据付板から外れます。

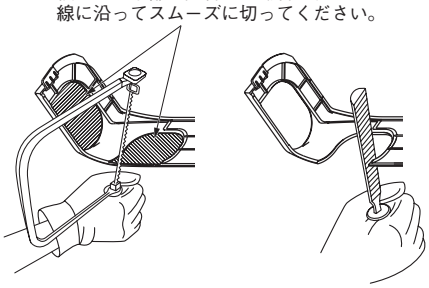


⑤配管・ドレンホースの整形

配管は、後、左、左後、右、下から取出せます。

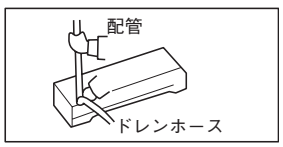


横または下部に配管する場合は、パネルを線に沿ってスムーズに切ってください。



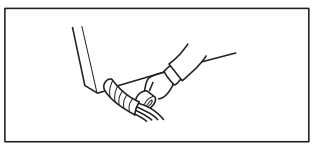
〈後取り出しの場合〉

○配管の整形



●配管の根元を押さえ向きを変えてから延ばし整形する

○テープ巻き

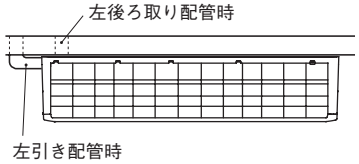
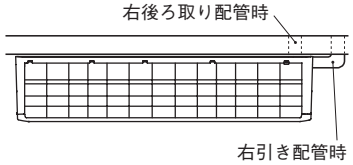


●壁穴を通す長さ分だけテープ巻きしてください。
●塗り配線は必ず配管とテーピングしてください。
●テープ巻きの際，ドレンホースが引っ張られないように注意してください。

配管の整形後テープ巻きを行う前に接続電線が端子台にしっかり固定されていることを確認してください。

〈左取出し・後取出し時の注意事項〉

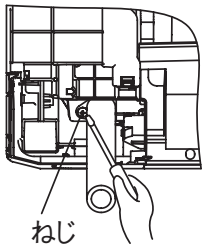
〈上から見たところ〉

左引き配管時	右引き配管時
	

⑤配管・ドレンホースの整形のつづき

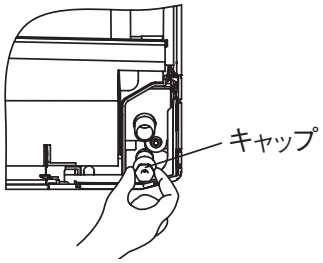
〈ドレンホース付替え作業手順〉

1．ドレンホースを外します。



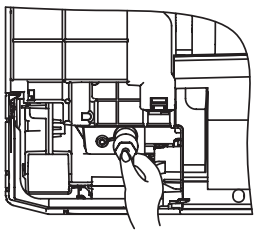
●ドレンホース固定用ねじを外しドレンホースを回転させながら外してください。

2．ドレンキャップを外します。



●手または、ペンチ等で外してください。

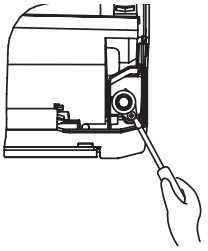
3．ドレンキャップを差込みます。



●2. で外したドレンキャップを六角レンチ等をもちいて確実に差込んでください。

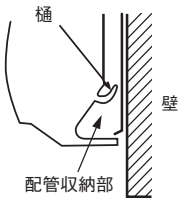
注：確実に差込まれていないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。

4．ドレンホースを接続します。



●ドレンホースを回転させながら確実に差込んだあと、固定用ねじを取りつけてください。

注：確実に差込まれていないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。



このエアコンは背面についた露をドレンパンに集めて排水する構造になっていますので、樋より上方に電源コード等を収納しないでください。

⑥冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

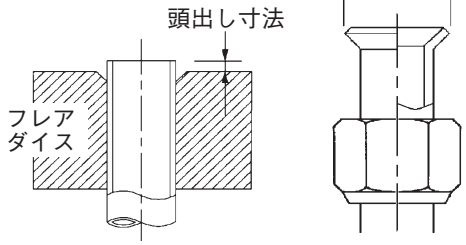
●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。

既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。

1）再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの**または** JIS B 8607 2種適合品を使用してください。

2）再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。

フレア接続準備



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアーナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

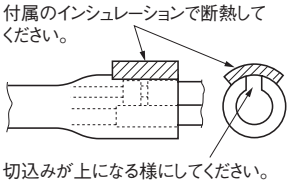
⑥冷媒配管のつづき

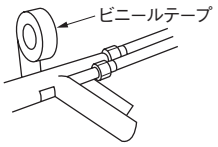
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。
●据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

フレア接続手順

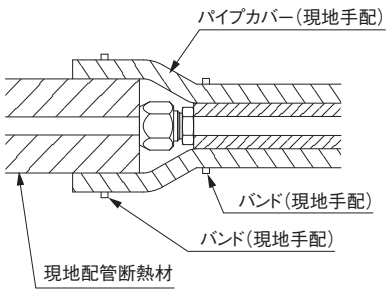
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで２丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）
2．液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４Ｄ以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで前ページの締付力で締めてください。
3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、下図に示すように室内ユニットの断熱材で覆い、付属のインシュレーションで切込み部を断熱してからテーピングしてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

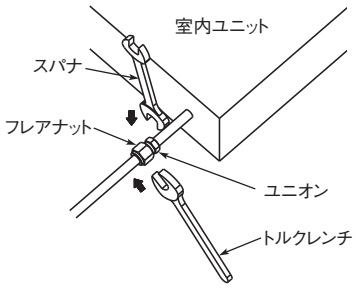




<室内ユニットの外部で配管接続し、断熱を強化する場合>



<2丁スパナ掛け>



⑦ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時に排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

1．ドレン配管は、ドレンホース先端に硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ１６が接続可能です。
2．ドレン配管は**ドレン水が流れやすいように下り勾配にし、**配管途中に**トラップをつくったり山越え配管をしないように**してください。
（左、右、後、下方向に取出し可能）
室内に施工の硬質塩ビパイプ（VP16）は確実に断熱してください。
3．熱交換器の下のドレンパンに水を注ぎ室外へ排水されることを確認してください。（前面パネルの取付取外しについては本説明書 ⑨電気配線取出し位置および電気配線接続 をご覧ください。）

⑦ドレン配管のつづき

ドレン排水について
●ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。
●次のようなドレン排水は行わないでください。
●延長ドレンホースが室内にある場合は必ず、シールドパイプ（現地手配）を使用して確実に断熱してください。

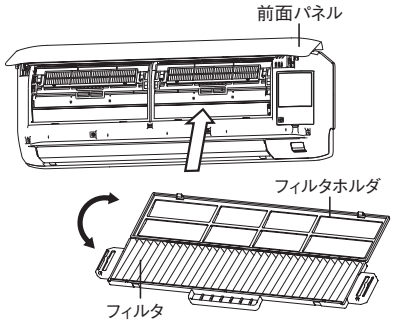


高くなっている　ドレンホースの先が水につかっている　波打っている　地面とのすきまが5cm以下　ドレンホースの先が排水溝の中にある　室内に露出している場合

●高気密住宅や高層マンション等に据付ける場合、または強風の影響で部屋が負圧になる場合は別売部品“エアーカットバルブ（EA455A)”をご使用ください。

⑧空気清浄フィルタの取付

下記の手順に従って室内ユニットに取付けてください。



1　前面パネルを開け、エアフィルタを取外します。
2　付属品に同梱されている水洗いサンフィルタ（オレンジ）と酵素強力除菌フィルタ（グリーン）をフィルタホルダに取付けます。
　空気清浄フィルタ交換時は室内ユニット本体からフィルタホルダを取外し、新しい空気清浄フィルタと取替えてください。
　※酵素強力除菌フィルタはプリーツ（ひだ形状）が手前側になるように取付けてください。水洗いサンフィルタはどちらをおもてにしていただいても結構です。
3　空気清浄フィルタを取付けたフィルタホルダをエアコン本体に取付けてください。
　※水洗いサンフィルタ、酵素強力除菌フィルタは左右どちらへ装着いただいても結構です。
4　エアフィルタを取付け、前面パネルを閉じます。

⑨店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニットが自動認識されます。機種銘板の機種容量に○印を付けてください。

	室内ユニット	室内ユニット1台接続							2台接続					3台接続
	室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	80	112	140	160	224	160
標準機	FDKZP56	P40	P45	P50	P56				P40	P56				P50
	FDKZP63					P63								
	FDKZP112						P80	P112			P71	P80	P112	
寒冷地	FDKZP112						P80	P112	P40	P56				

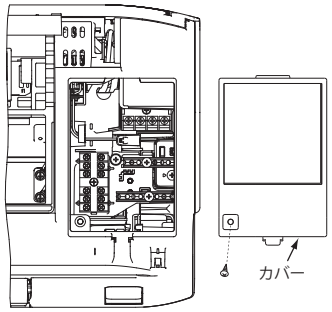
⑩電気配線取出位置および電気配線接続

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

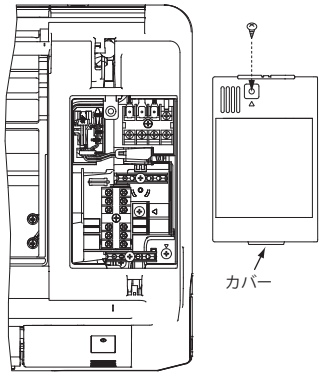
機種　Ⓐ：店舗機シリーズ56形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ28～56形
　　Ⓑ：店舗機シリーズ63、112形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ71形

①前面パネルを手前に引き上げてください。
　左右側面の凹部に手をかけ手前に引き上げますと約60～70°開いた状態で静止します。
②カバーのねじを外して、カバーを外してください。
③各配線を端子台に確実に接続してください。
④各配線をバンドで確実に固定し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないようにしてください。
⑤カバーを取付、ねじを締めます。
⑥前面パネルを締めます。
（注意）・配線を端子台に取付けるときは、端子番号を確認してから取付けてください。

機種Ⓐ 28～56形



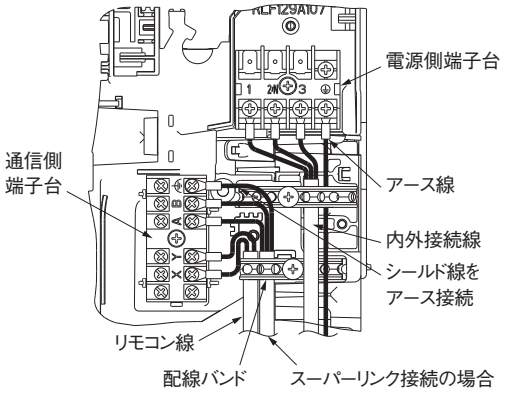
機種Ⓑ 63～112形



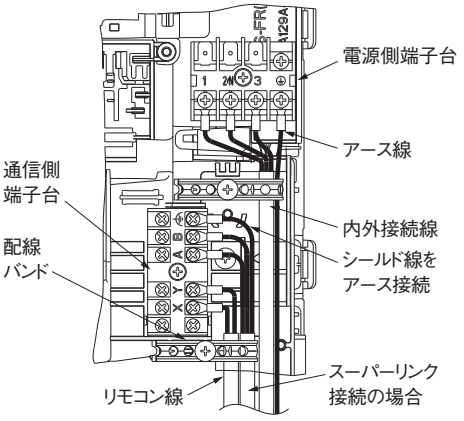
⑩電気配線取出位置および電気配線接続のつづき

店舗機の配線接続

機種Ⓐ 56形

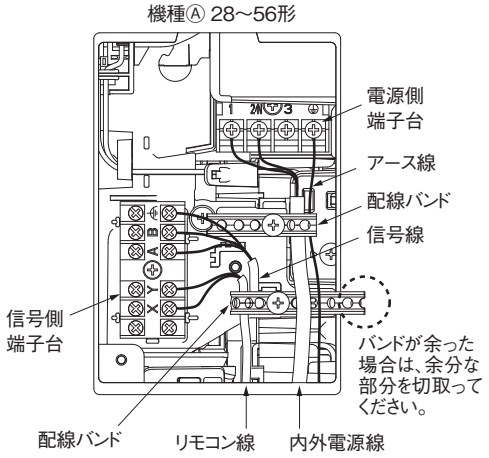


機種Ⓑ 63、112形

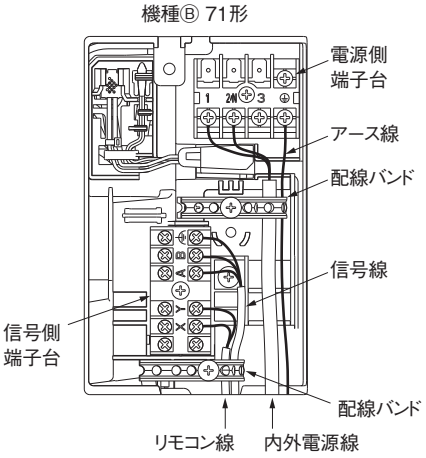


R410Aビル空調･ガスヒートポンプの配線接続

機種Ⓐ 28～56形

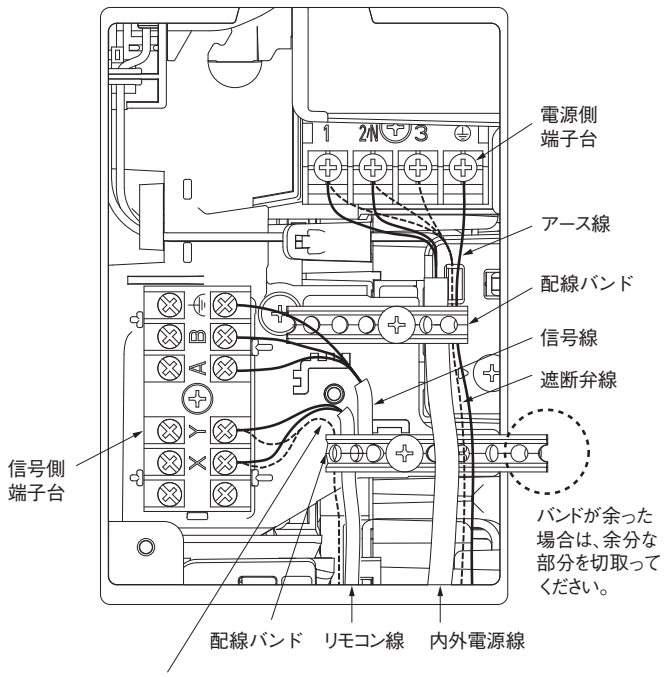


機種Ⓑ 71形

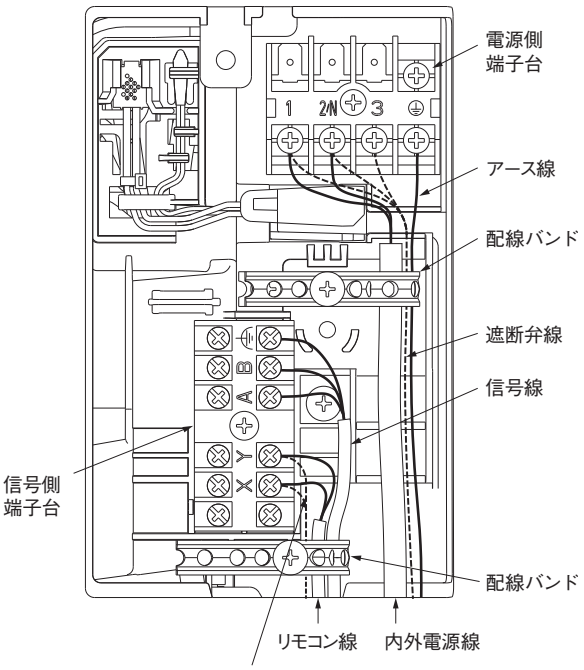


R32ビル用マルチ機の配線接続

機種Ⓐ 28～56形



機種Ⓑ 71形



冷媒検知警報器線※

※他社製の安全対策機器を接続する場合は
電気配線工事説明書をご覧ください。

メインヒューズ仕様

仕様	部品番号
T3.15A　L250V	SSA564A149AF

冷媒検知警報器線※

※他社製の安全対策機器を接続する場合は
電気配線工事説明書をご覧ください。

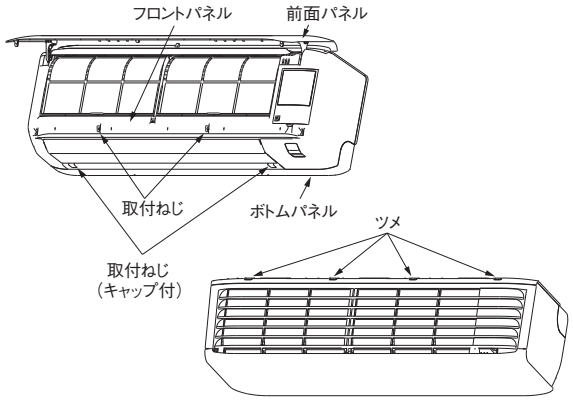
⑩電気配線取出し位置および電気配線接続のつづき

●アドレス設定

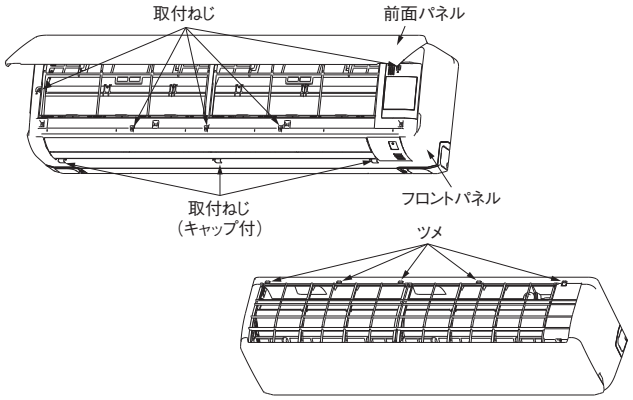
室内ユニット本体のフロントパネルと、コントロールボックスのふたを取外すことでアドレススイッチの設定が可能です。

1. フロントパネルの取外し順序
   ①前面パネルを取外してください。
   ②ボトムパネルの取付ねじを外してください。(機種Ⓐのみ、キャップ付き)
   ③ボトムパネルの両側にあるツメ(2か所)を取外し、ボトムパネルのを取外してください。(機種Ⓐのみ)
   ④取付ねじを取外してください。(機種Ⓐ2か所、機種Ⓑ5か所・キャップ付3か所)
   ⑤上部のツメ(機種Ⓐ4か所、機種Ⓑ5か所)を外し、フロントパネルを取外してください。
2. フロントパネルの取付順序
   ①フロントパネルを室内ユニットにかぶせ、上部のツメ(機種Ⓐ4か所、機種Ⓑ5か所)を引っ掛けてください。
   ②取付ねじを締めます。(機種Ⓐ2か所、機種Ⓑ5か所・キャップ付3か所)
   ③ボトムパネルの両側にあるツメ(2か所)を引っ掛け、ボトムパネルを取付けてください。(機種Ⓐのみ)
   ④ボトムパネルの取付ねじを締めてください。(機種Ⓐのみ、キャップ付き)
   ⑤前面パネルを取付けてください。

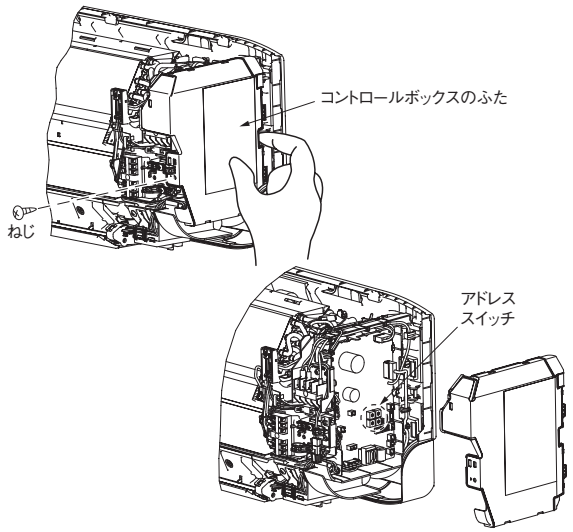
機種Ⓐ 28 ～ 56 形



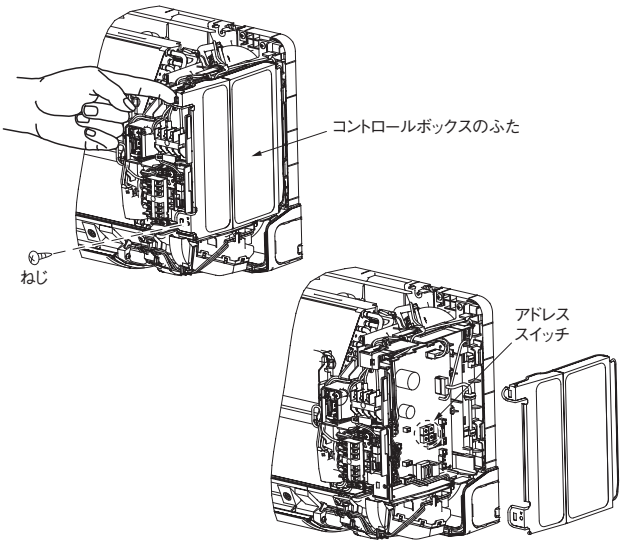
機種Ⓑ 63 ～ 112 形



機種Ⓐ 28 ～ 56 形



機種Ⓑ 63 ～ 112 形



⑪インターロック機能（R32 ビル用マルチ機のみ）

● R32 マルチ機の室内ユニットは、冷媒漏えいの安全対策のためにインターロック機能が有効になっています。
●インターロック機能が有効になっている場合、空調システムは運転できません。
※インターロックが有効状態だとリモコンにメンテナンスコード（M28）が表示され、ユニットは運転できません。

インターロック機能の解除方法

○すべての安全対策機器が必要な場合
下記のすべての安全対策機器を室内ユニットに接続してください。
・安全遮断弁
・冷媒検知警報器
・eco タッチリモコン（RC-DX3D 以降）

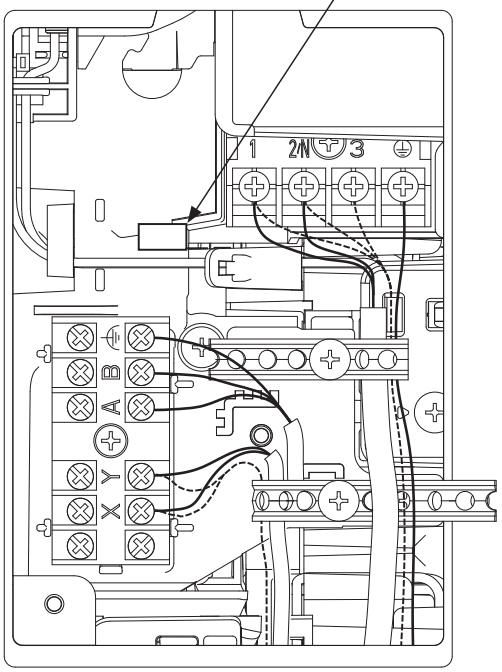
○接続する安全対策機器が一部のみ・安全対策機器が必要な場合
室内ユニットに付属のインターロック解除ピンを室内制御基板上のコネクタに接続してください。（下図参照）
※解除ピンの接続の前には、**冷媒漏えいに対する安全対策が十分であること**、もしくは**安全対策が必要ないこと**を必ず確認してください。
※冷媒検知警報器に子機として接続している室内ユニットのインターロック機能を解除するためには、解除ピンの接続が必要です。
※安全対策機器の要否、およびインターロック機能についての詳細は、「安全対策マニュアル」をご覧ください。

<インターロック解除ピンの接続コネクタ>

インターロック解除ピンは室内ユニットの制御箱付近に付属しています。
使用しない場合は取外して廃棄してください。

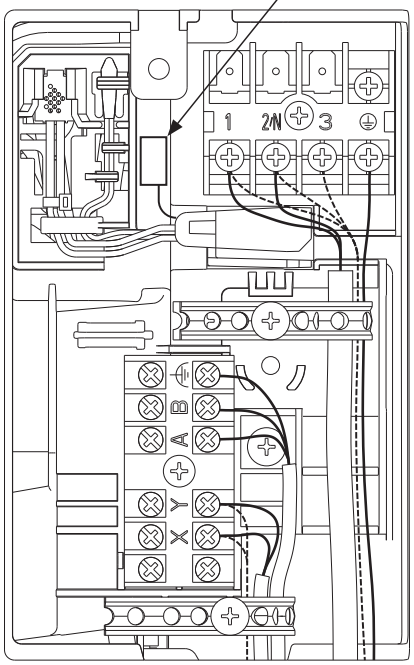
CNF2（コネクタ色：白）
〈インターロック解除ピン接続コネクタ〉

機種Ⓐ 28～56形



CNF2（コネクタ色：白）
〈インターロック解除ピン接続コネクタ〉

機種Ⓑ 71形



⑫室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。
R32ビル用マルチ機の場合、付属の「据付工事施工チェックリスト（R32ビル用マルチ）」を用いて安全対策機器の確認をしてください。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

(j) 床置形（FDF）

PGA012D413B B

(i) FDFZP635SB,805SB,1605SB

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内ユニット）は、729ページをご覧ください。
リモコンの取付方法は、623ページをご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、1261ページをご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、644ページをご覧ください。
また、故障診断は、858, 997ページまたは1108ページをご覧ください。
本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない | 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	❗
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	❗
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	❗
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	❗
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下・転倒などにより、ケガの原因になります。	❗
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。	❗
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	⃠
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。	❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	❗
●据付け工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	❗
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 専用のものを使用する。 既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	❗
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	❗
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。	⃠
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	❗
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	⃠
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	❗
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。	❗
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	⃠
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
人感センサ搭載の場合は次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
・長時間振動が加わる状態
・静電気や強い電磁波のある場所
・長時間高温、多湿になる場所
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として 2 人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないで下さい。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

●電源ブレーカが入っている時は、ファンの回転に注意する。
冷媒センサが冷媒の漏えいを検知すると、ファンが自動で回転し、ケガの原因になることがあります。

●可燃性ガスを使用する環境には設置しない。
冷媒センサの誤検知により異常停止し、運転できなくなる場合があります。

●冷媒センサに水滴が付着しないよう冷媒配管、ドレン配管を接続する。
冷媒センサに水が掛かると、冷媒センサの故障や感電・火災の原因になることがあります。

①据付前に

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

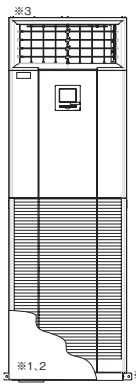
付属品

(1) フレアナット部断熱用 ※1

1	パイプカバー		1個	ガス側用
2	パイプカバー		1個	液側用
3	バンド		4個	

(2) 据付関係

1	転倒防止用金具		1個	※3
2	木ねじ		2個	記号1用
3	座金		2個	記号2木ねじ用
4	ゴムブッシュ		1個	冷媒・ドレン配管用
5	L 金具		2個	※4

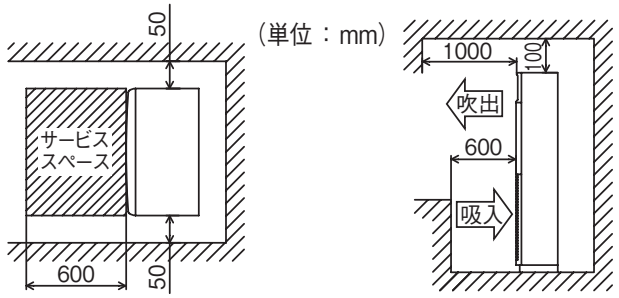


付属品収納場所（梱包時）

※1. 吸込グリルを開けると(1)フレアナット部断熱用の１～３の部品が袋詰めされ後面板の上に置かれています。
※2. 吸込グリルを開けると(2)据付関係の２～４の部品が袋詰めされ、後面板の上に置かれています。
※3. 転倒防止金具はユニット上部へ取りつけられています。
※4. L 金具はユニット下部へ取りつけられています。

②室内ユニットの据付場所の選定

室内ユニット据付スペース

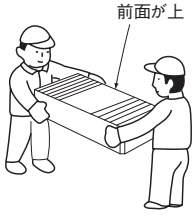


お願い
●点検、メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

①据付け場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
・据付け・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が 23℃以下、相対湿度 80%以下の所。
（本室内ユニットは JIS 露付条件（室内：27℃ /78% RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに 10 ～ 20mm の断熱材を取付けてください。）
・テレビ、ラジオより１m以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニットの直近に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤの近辺など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
・室外への配管、配線のしやすい所。
・据付部の床が強固である所。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付け作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット転倒によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を２台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を６m以上離してください。

③室内ユニットの据付

搬　入



お願い
●搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
●やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包みユニットを傷つけないよう注意してください。
注）吸込グリル、吹出ルーバ等プラスチック部分を持たないでください。
●解梱後、ユニットを置く場合は、必ずユニット前面側を上にして置いてください。

⚠ 警告　●冷媒R32はわずかながら燃焼性があります。そのため，下記事項を必ず守ってください。
床置形室内ユニットを設置・修理・移設する際の室内作業時は，冷媒センサを携行しながら作業を実施してください。冷媒漏えいが発生した場合，窒息や引火の原因となる恐れがあります。

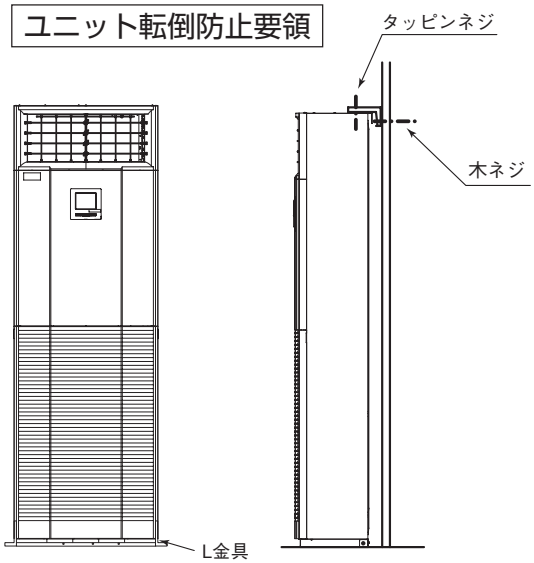
③室内ユニットの据付のつづき

お願い

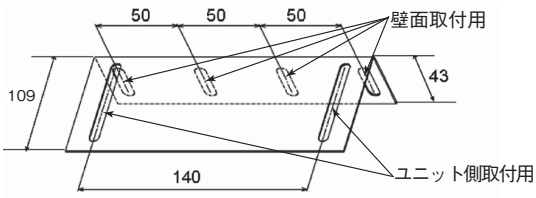
●必ず転倒防止金具、L 金具を取付けて固定してください。

・このユニットは縦長形状のため、ユニットを所定の位置にセットしたら直ちに転倒防止処置をしてください。

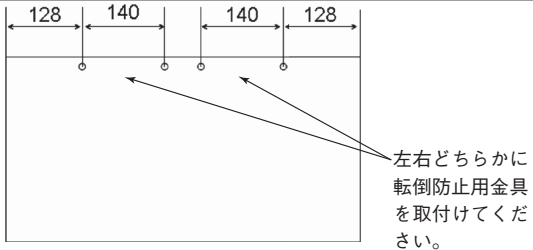
ユニット転倒防止要領



転倒防止用金具

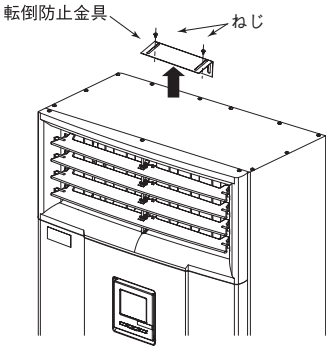


天板



◆作業手順

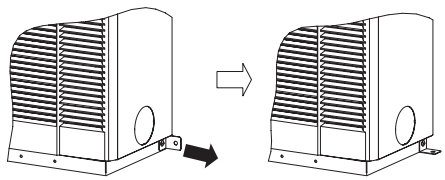
(1) 転倒防止金具の取付



① ねじ（2 本）を緩めて転倒防止金具を取外す。

② 右図のように転倒防止金具の固定位置を決定し、ユニット上部・壁面へ取付けてください。

(2) L 金具の取付



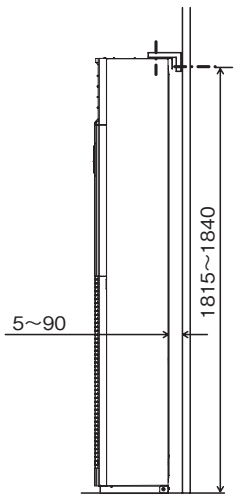
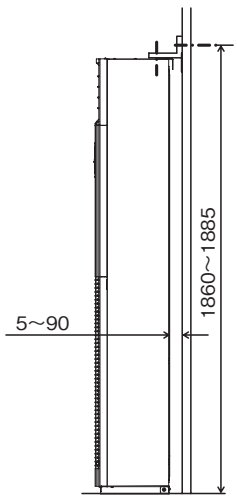
① ユニットにねじ止めされているＬ金具を取外してください。

② Ｌ金具の向きをかえ、ユニットと床面をねじで固定してください。
・Ｌ金具の取付寸法は右図の通りです。

お願い

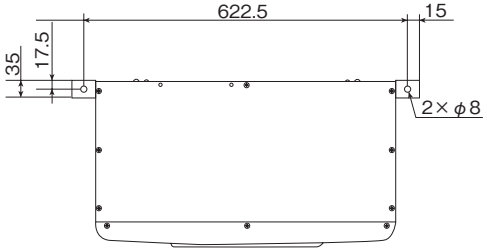
●ユニットは水平に据付てください。
前後、左右共勾配は 1° 以内としてください。

据付寸法（転倒防止用金具）

金具下向きの場合	金具上向きの場合
	

●寸法値はユニットと壁面、床面の調節可能寸法を示します。
●金具の長辺側をユニットに取付けてください。
●金具下向きの場合は、先に金具を壁へ取付けてください。

据付寸法（L 金具）

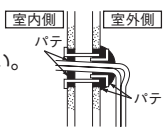


⚠警告

壁穴をパテで完全にシールしてください。
（ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内ユニット内に流入し、火災の原因になることがあります。）

⚠注意

壁穴をパテで完全にシールしてください。
（水漏れ・露たれし、家財等を濡らす原因になることがあります。）



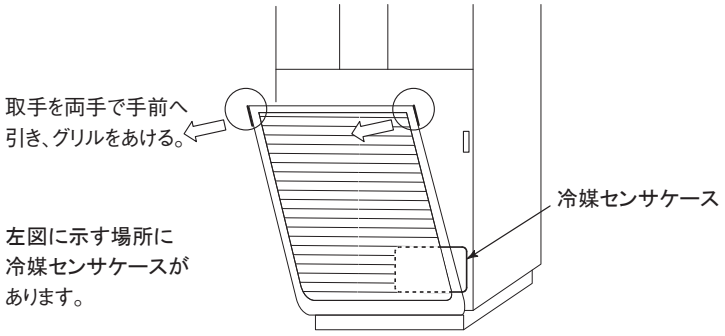
④冷媒センサ設定（ツイン接続の場合のみ）

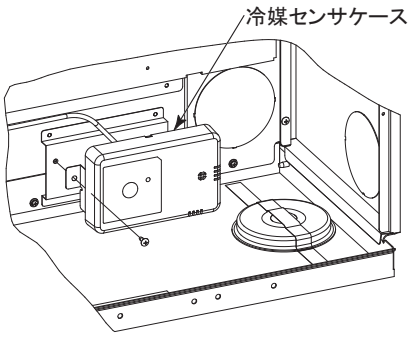
ツイン接続時の注意事項

●ツイン接続の場合はどちらか 1 つの冷媒センサの設定を変更してください。
冷媒センサが正しく設定されていない場合、冷媒漏えいを検知できません。
●冷媒センサの設定を変更する際は、電源ブレーカをOFF してください。
●冷媒センサの設定変更後、リモコンの「安全システム接続状態」画面で「冷媒漏えい検知器Ｂ」と「冷媒漏えい検知器Ｃ」が「接続中」と表示されていることを確認してください。
リモコンの操作方法は付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

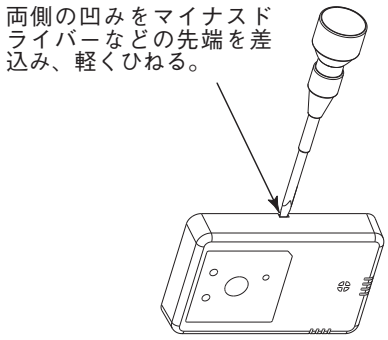
作業手順

1．冷媒センサケースを固定しているねじ（1個）を外して、室内ユニットから冷媒センサケースを取外してください。

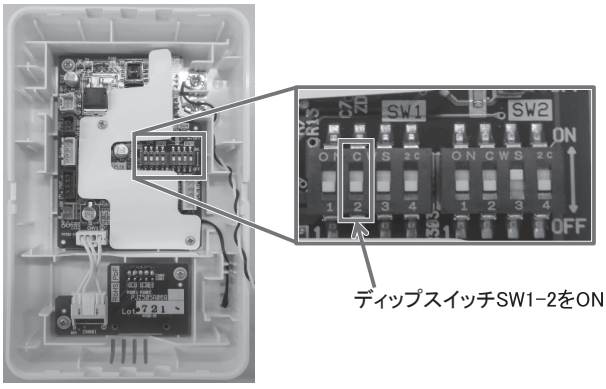




2．冷媒センサケースに貼付けているテープ（3か所）を剥がしてください。（剥がしたテープは処分してください）
3．冷媒センサケースを開けてください。
※ケースを開ける際は両側の凹みにマイナスドライバーなどの先端を差込み、軽くひねってください。
※ケースの損傷を防ぐため、マイナスドライバーなどの先端にテープを巻くことをお勧めします。



4．冷媒センサのディップスイッチSW1-2をONにしてください。（工場出荷時はディップスイッチSW1-2はOFFに設定されています）

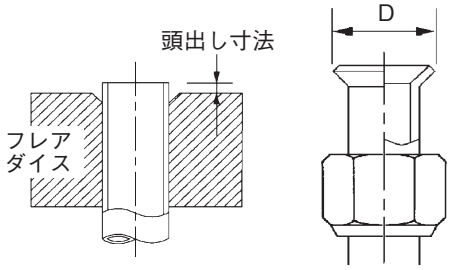


5．冷媒センサケースを組立てから、元通りにユニットに取付けてください。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの（JIS B 8607 2種適合品）をご使用ください。他のフレアナット（1 種）を使用すると冷媒漏れの原因となります。
既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログで確認してください。
1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のものまたは JIS B 8607 2種適合品を使用してください。
2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアーナット締付トルク N·m
		リジッド（クラッチ式）			
		R32 用 R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

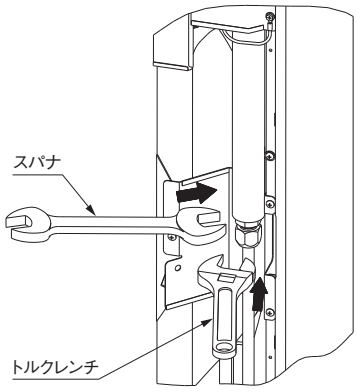
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。

●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はＲ３２用またはＲ４１０Ａ用の工具を使用してください。

●冷媒センサに水滴が付着しないように冷媒配管を接続してください。



作業手順

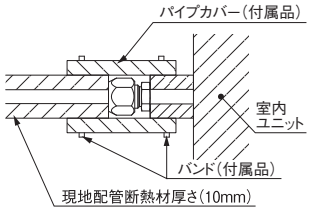
1．室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）

2．液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続してください。
※配管の曲げは４D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は､以下のように行ってください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで３～４回転ねじ込み、２丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。

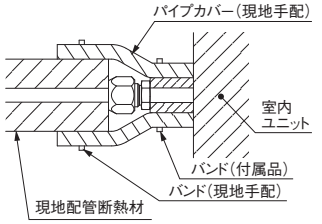
3．室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。

4．冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>



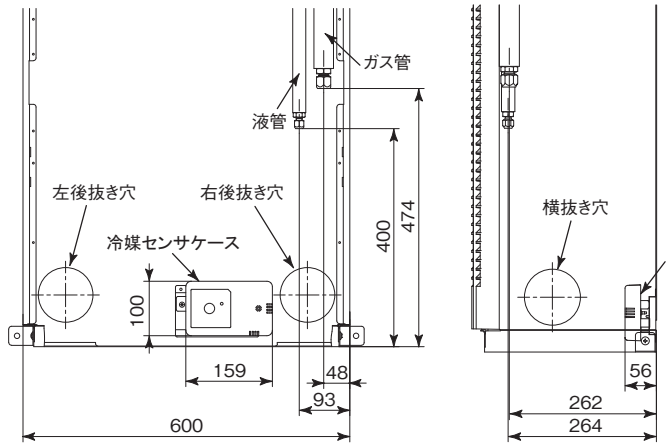
お願い

●配管の施工前に冷媒センサに貼付けているテープ（３か所）を剥がしてください。

注意
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

⑤冷媒配管のつづき

◆配管・配線取出し位置



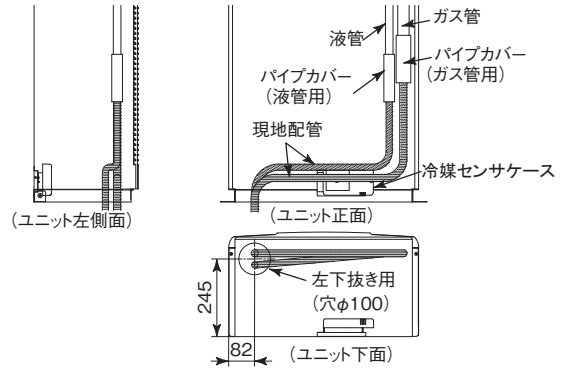
⚠ お願い

●底板下抜き用穴の
フランジ部は切欠かないでください。

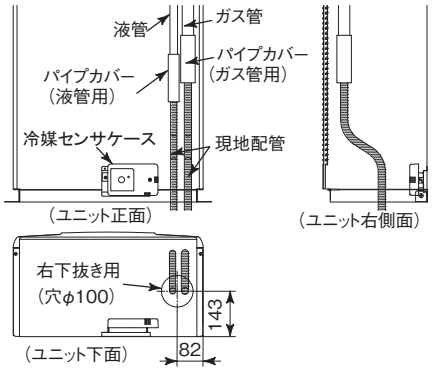
⚠ 注意

●冷媒センサケースの上方に冷媒配管を通さない。
水が掛かると、故障の原因になります。

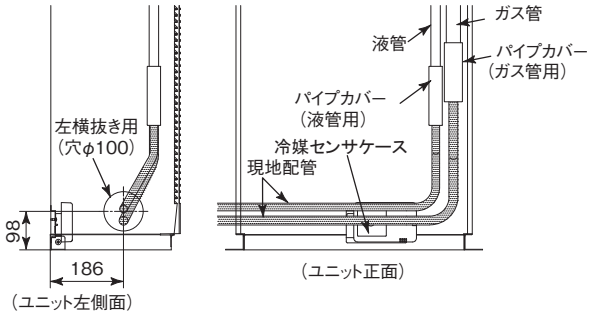
左下抜きの場合



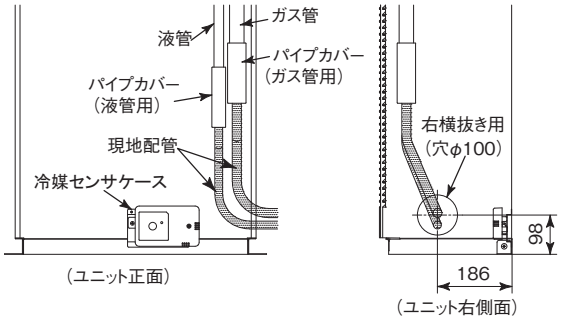
右下抜きの場合



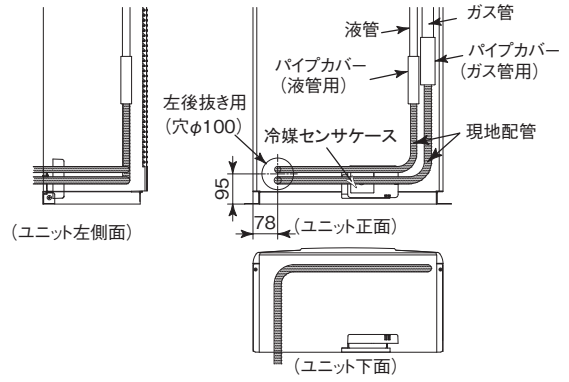
左横抜きの場合



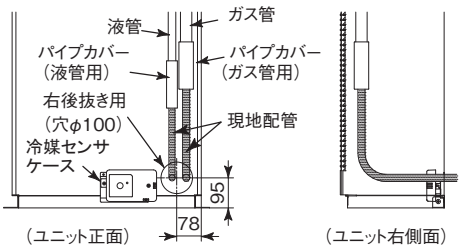
右横抜きの場合



左後抜きの場合



右後抜きの場合



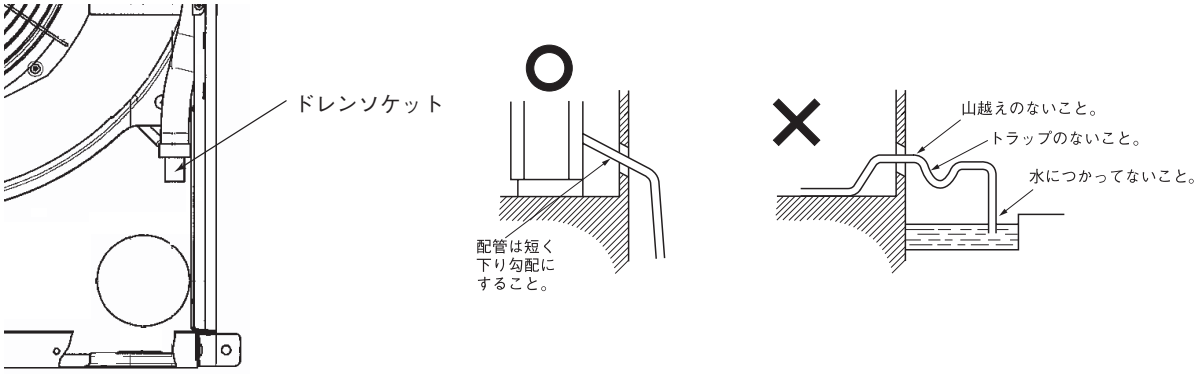
⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

1. ドレンソケットに現地側ドレン配管（VP20）をつなぎ、粘着テープなどで固定してください。(接着剤使用不可)
2. 現地側ドレン配管が屋内を通る場合は必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重 0.03、肉厚 15mm 以上）を巻き、結露を防止してください。



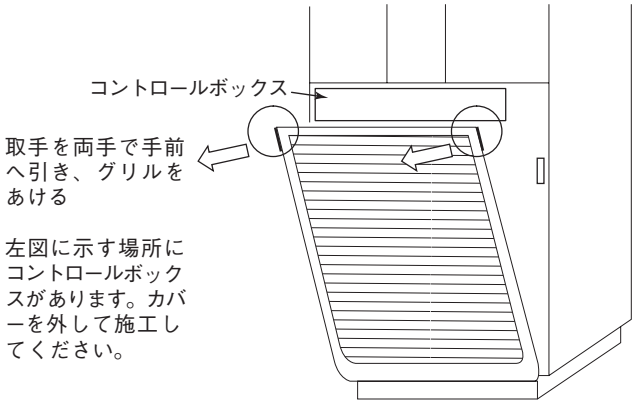
⚠注意

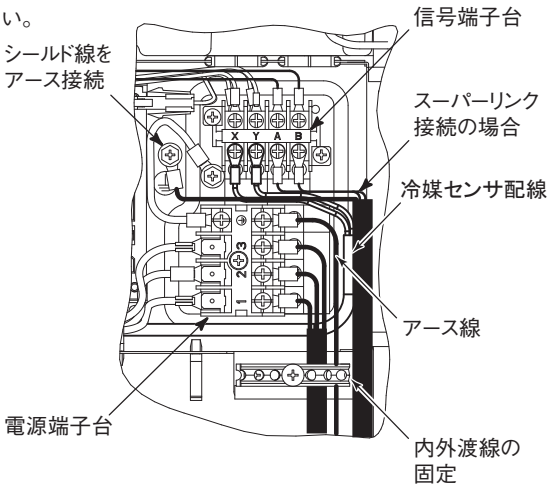
●冷媒センサケースの上方にドレン配管を通さない。水が掛かると故障の原因になります。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

コントロールボックス位置および電源コード経路

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。



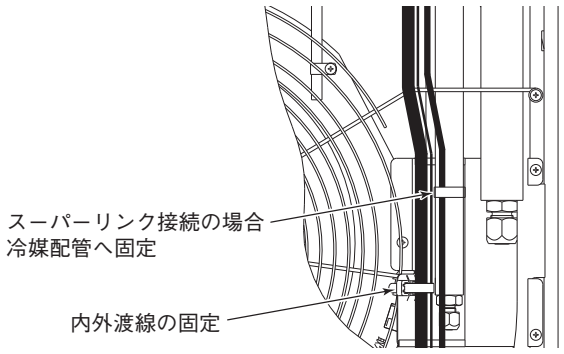


◆作業手順

① コントロールボックスの蓋のねじ（1 個）を取外してください。
② 各配線をコントロールボックス内に入れ、端子台に確実に接続してください。
③ 各配線をクランプ（固定用）で固定してください。
④ コントロールボックスの蓋を元通りに取付けてください。

〈メインヒューズ仕様〉

仕様	部品番号
5A 250V	SSA564A134J
2A 250V	SSA564A134F
0.2A 250V	SSA564A140



⑧室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑨店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組合せにより下表の通り室内ユニットが自動認識されます。機種銘板の機種容量に○印を付けてください。

	室内ユニット	室内ユニット1台接続						2台接続					
	室外ユニット	50	63	80	112	140	160	80	112	140	160	224	280
標準機	FDFZP63	P50	P63						P56				
	FDFZP80			P80						P71	P80		
	FDFZP160				P112	P140	P160					P112	P140
寒冷地	FDFZP80							P40	P56				
	FDFZP160			P80	P112								

(ii) FDFZP2245, 2805

PGA012D313B B

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
電気配線（室内ユニット）は、729ページをご覧ください。
ワイヤレスキットの取付方法は、1261ページをご覧ください。
室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、669ページをご覧ください。
また、故障診断は、858ページまたは997ページをご覧ください。
本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13)
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。
●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。
空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●配管、フレアナット、工具は R32 用のものを使用する。
既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。
フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。
室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内機を腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。
冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
●パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
●元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
・高周波を発生する機械を使用する所
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
・車両・船舶等移動するものへの設置
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・積雪の多い所
・標高１０００m以上の所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。

●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強度が不十分で振動が発生する所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・ドレンの排水がとれない所
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。

●室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。

●ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

●ＧＨＰ〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として２人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないで下さい。
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。

●フィルタをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

●電源ブレーカが入っている時は、ファンの回転に注意する。
冷媒センサが冷媒の漏えいを検知すると、ファンが自動で回転し、ケガの原因になることがあります。

●可燃性ガスを使用する環境には設置しない。
冷媒センサの誤検知により異常停止し、運転できなくなる場合があります。

●冷媒センサに水滴が付着しないよう冷媒配管、ドレン配管を接続する。
冷媒センサに水が掛かると、冷媒センサの故障や感電・火災の原因になることがあります。

1. 据付前に

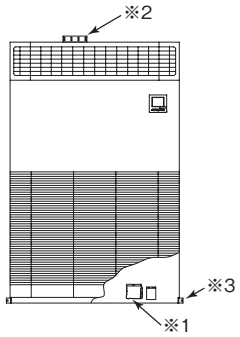
○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

付属品

据付関係　注）記号 1、6 は梱包金具兼用です。

①	転倒防止金具		1個	
②	タッピンねじ		5個	記号1用 （内3個予備）
③	木ねじ		2個	記号1用
④	座金		2個	記号③木ねじ用
⑤	ゴムブッシュ		1個	冷媒･ドレン配管用
⑥	L 金具		2個	本体（下部）固定用
⑦	付属配管セット		1ｾｯﾄ	右、後、（下）抜き用

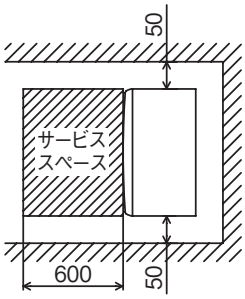


付属品収納場所（梱包時）

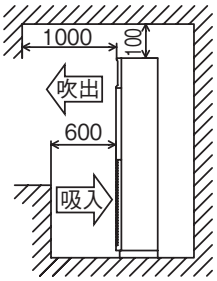
※1. 吸込グリルを開けると据付関係の②～⑤、⑦の部品が袋詰めされ、後面板にテープ止めされています。
※2. 梱包金具と兼用になっていてユニットを木台に固定しています（据付関係①、固定ねじ 1 か所）
※3. 梱包金具と兼用になっていてユニットを木台に固定しています。（据付関係⑥、固定ねじ左右 1 か所）

2. 室内ユニットの据付場所の選定

室内ユニット据付スペース



（単位：mm）



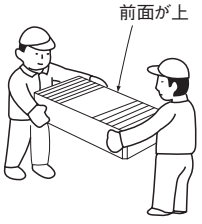
お願い

●点検、メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

①据付け場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風または温風が十分に行きわたる所。
・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
・侵入外気の影響のない所。
・直射日光の当たらない所。
・周囲の露点温度が 23℃以下、相対湿度 80%以下の所。
（本室内ユニットは JIS 露付条件（室内：27℃ /78% RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに 10 ～ 20mm の断熱材を取付けてください。）
・テレビ、ラジオより 1 m以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
・室内ユニットの直近に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
・フライヤーの近辺など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
・室外への配管、配線のしやすい所。
・据付部の床が強固である所。
②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付け作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット転倒によるケガの原因になります。
③ワイヤレス機種を 2 台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を 6 m以上離してください。

3. ユニットの搬入・据付

搬　入



図は小形ユニット搬入の場合

お願い

●本体重量約 110kg です。
現場情況に合せ搬入人数を選人してください。
●搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
●やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包みユニットを傷つけないよう注意してください。
注）吸込グリル、吹出ルーバ等プラスチック部分を持たないでください。
●解梱後、ユニットを置く場合は、必ずユニット前面側を上にして置いてください。

⚠警告　**●冷媒 R32 はわずかながら燃焼性があります。そのため，下記事項を必ず守ってください。床置き形室内ユニットを設置・修理・移設する際の室内作業時は，冷媒センサを携行しながら作業を実施してください。冷媒漏えいが発生した場合，窒息や引火の原因となる恐れがあります。**

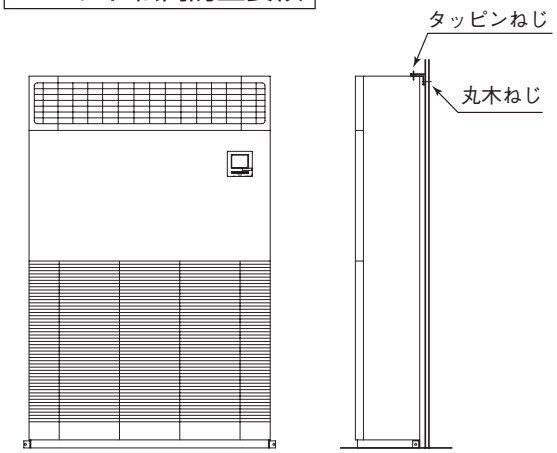
3. ユニットの搬入・据付のつづき

お願い

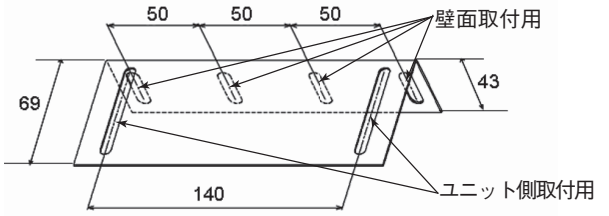
●必ず転倒防止金具、L 金具を取付けて固定してください。

・このユニットは縦長形状のため、ユニットを所定の位置にセットしたら直ちに転倒防止処置をしてください。

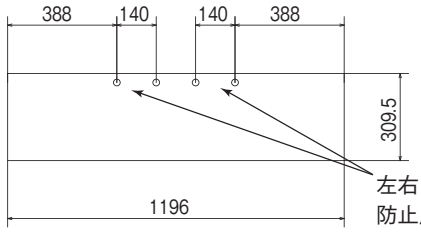
ユニット転倒防止要領



転倒防止用金具



天板

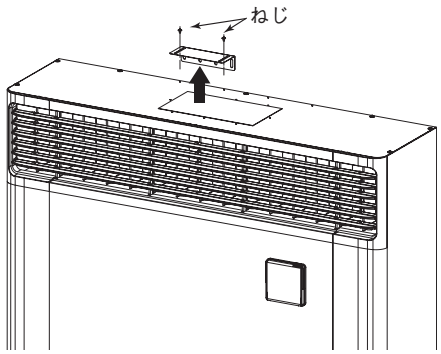


左右どちらかに転倒防止用金具を取付けてください。

（ユニット正面側）

◆作業手順

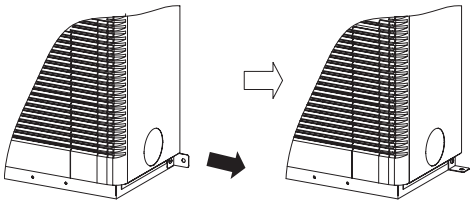
⑴ 転倒防止金具の取付



① ねじ（2 本）を緩めて転倒防止金具を取外す。

② 右図のように転倒防止金具の固定位置を決定し、ユニット上部・壁面へ取付けてください。

⑵ L 金具の取付



① ユニットにねじ止めされているL金具を取外してください。

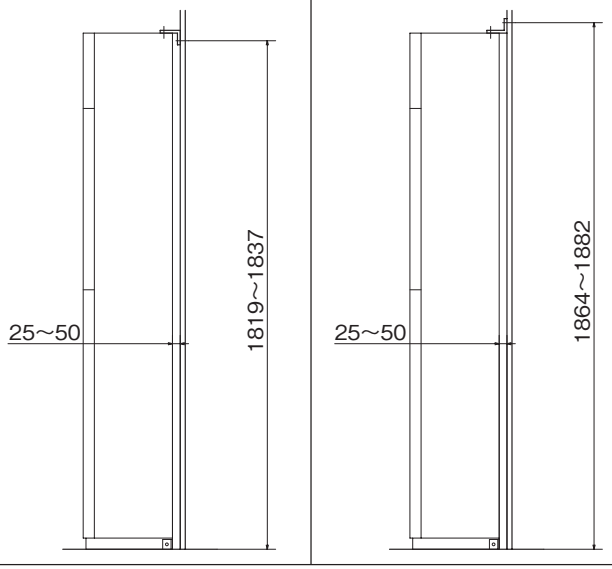
② L 金具の向きをかえ、ユニットと床面をねじで固定してください。
・L 金具の取付寸法は右図の通りです。

お願い

●ユニットは水平に据付てください。
前後、左右共勾配は 1° 以内としてください。

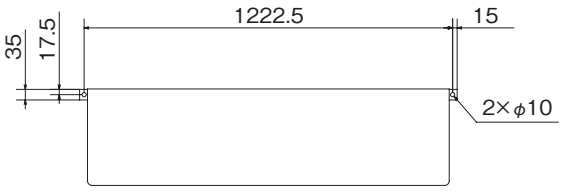
据付寸法（転倒防止用金具）

金具下向きの場合	金具上向きの場合



●寸法値はユニットと壁面、床面の調節可能寸法を示します。
●金具の長辺側をユニットに取付けてください。
●金具下向きの場合は、先に金具を壁へ取付けてください。

据付寸法（L 金具）

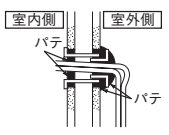


⚠警告

壁穴をパテで完全にシールしてください。
（ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内ユニット内に流入し、火災の原因になることがあります。）

⚠注意

壁穴をパテで完全にシールしてください。
（水漏れ・露たれし、家財等を濡らす原因になることがあります。）



4. 冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。
冷媒Ｒ２２で使用していた既設配管を使用する場合は、下記点を注意してください。
・薄肉配管の使用は避けてください。
●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（Ｃ１２２０Ｔ、ＪＩＳ Ｈ ３３００）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化等の原因になります。
●Ｒ３２以外の冷媒は使用しないでください。
室外ユニット表示以外（Ｒ２２等）の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化等の原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂等の原因になります。
●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
●工具はＲ３２用の工具を使用してください。
※配管の曲げはできるだけ大きな半径で行い、曲げなおしを何回も行わないでください。また、配管をねじったり、つぶしたりしないでください。
●冷媒センサに水滴が付着しないように冷媒配管を接続してください。

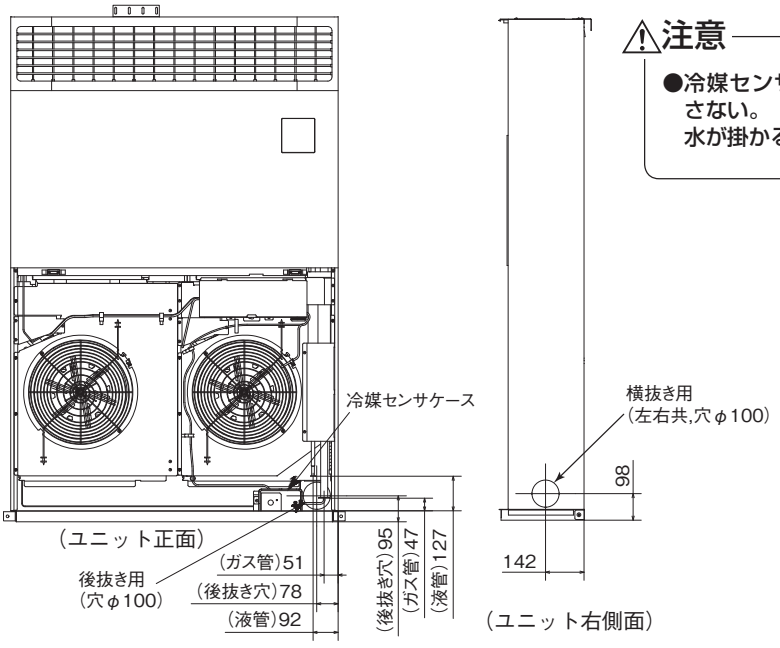
作業手順

(1) 作業手順は付属品⑦付属配管セットに付属の説明書に従ってください。
(2) 配管接続後, ろう付部は, ガス漏れチェックをしてください。
(3) ガス側配管、液側配管とも付属品⑦付属配管セットに付属のインシュレーションにて断熱してください。
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
(4) 冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

お願い

●配管部に取付けてある配管カバー（タッピンねじ２か所固定）を必ず外して施工してください。
●右抜きの場合の付属品⑦の付属配管セットを使用してください。左、下、後抜きの場合は、付属配管セットの配管を流用して配管セットに付属の説明書に従って、施工してください。
●配管施工後、配管カバーは必ず取付けてください。取付けないと配管のふくらみにより吸込グリルが付かないことがあります。
●ろう付時にドレンホースおよび冷媒センサケースを焼かないようご注意ください。
●ユニット外部現地配管の断熱材厚さは 20mm 以上としてください。
●配管の施工前に冷媒センサケースに貼付けているテープ（３か所）を剥がしてください。

◆配管・配線取出位置



⚠注意

●冷媒センサケースの上方に冷媒配管を通さない。
水が掛かると、故障の原因になります。

お願い
底板下抜き用穴の
フランジ部は切欠かないでください。

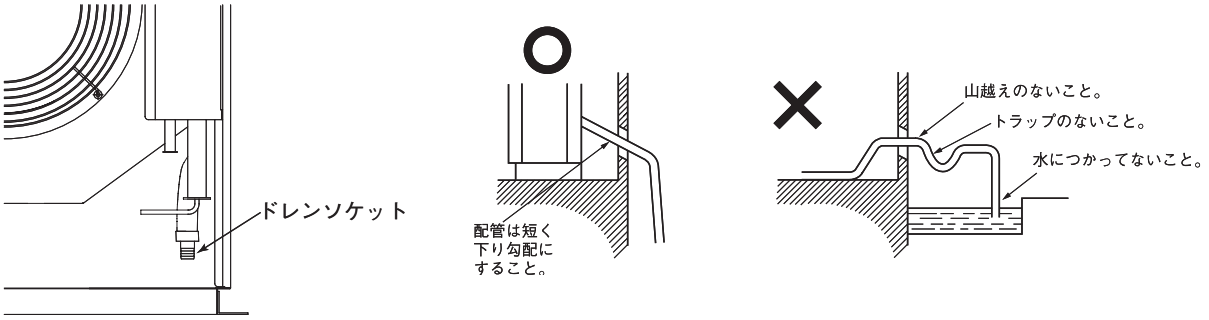
5. ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

作業手順

1. ドレンソケットに現地側ドレン配管（VP20）をつなぎ、粘着テープなどで固定してください。(接着剤使用不可)
2. 現地側ドレン配管が屋内を通る場合は必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重 0.03、肉厚 15mm 以上）を巻き、結露を防止してください。



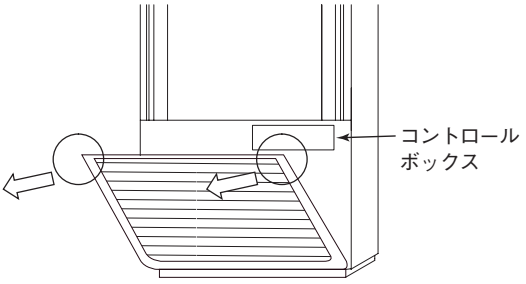
⚠注意

●冷媒センサケースの上方にドレン配管を通さない。水が掛かると故障の原因になります。

6. 電気配線取出位置および電気配線接続

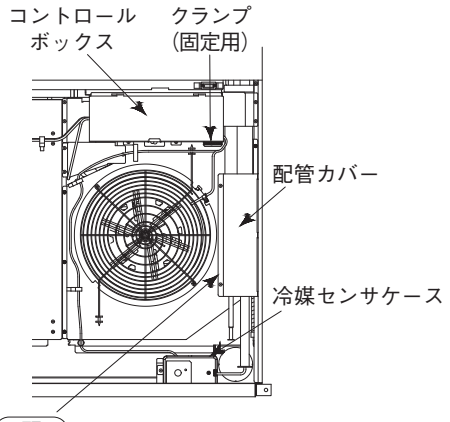
コントロールボックス位置および電源コード経路

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。



両端を両手で手前へ引き、グリルをあける

左図に示す場所にコントロールボックスがあります。カバーを外して施工してください。

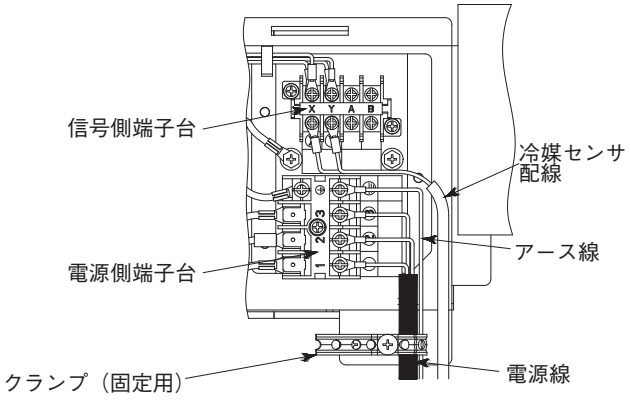


お願い
電源コードは必ず配管カバーの横を通してください。
配管カバーの内にはいれないでください。

●電源コードは必ずクランプ（ガイド用）内を通してください。

◆作業手順

① 制御箱の蓋 (ねじ 1 個) を取外してください。
② 各配線をユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
③ 各配線をクランプ（固定用）で固定してください。
④ 取外した部品を元通りに取付けてください。



7. ユニット据付工事完了後のチェック項目

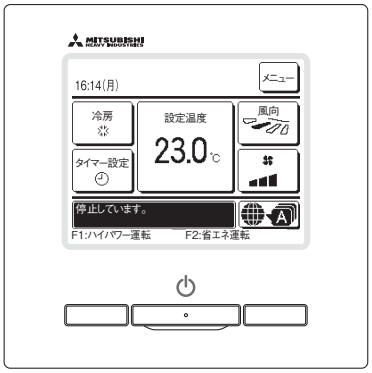
●ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良だと…	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

(2) ワイヤードリモコン
RC-DX3D

PJZ012D160 A

この据付説明書は、リモコン関連の据付方法・注意事項を記載しております。
室内ユニット・室外ユニット・他に付属の説明書と合わせてご覧ください。
正しく工事していただくために、工事前に、必ずこの説明書をよくお読みください。



1．安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告	
❗	**●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。** ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
❗	**●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。** 据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
❗	**●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。** 当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
❗	**●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。** 強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
❗	**●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。** 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
❗	**●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。** 感電、故障や動作不良の原因になります。
⃠	**●改造は絶対にしない。** 感電、火災、故障の原因になります。
❗	**●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。** 修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
⃠	**●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。** 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液･特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下･腐食による感電、火災、故障の原因になります。
⃠	**●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。** 感電、火災、故障の原因になります。
⃠	**●洗濯室など水のかかる所では使用しない。** 感電、火災、故障の原因になります。
⃠	**●ぬれた手で操作しない。** 感電の原因になることがあります。

⚠警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●リモコンケーブル引込口をパテでシールする。
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。
また、水分が浸入すると画面表示不良の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●リモコンの上ケースおよび USB 端子カバーを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠注意

●リモコンを下記場所に設置しない。
(1) リモコンの変形・誤動作・故障の原因になる場合があります。
・直射日光のあたる場所。
・周囲温度が 0℃以下、40℃以上になる場所。
・取付面に凹凸のある場所。
・取付部が強度を有しない場所。
(2) リモコン内部部品へ水分が付着し、画面表示不良の原因になります。
・リモコンが結露する湿度の高い場所。
・水がかかる場所。
(3) リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合、正確な室温を検知できない場合があります。
・部屋の平均的な温度を検知できない場所。
・熱源の影響を受ける場所。
・ドアの開閉による室外空気の影響を受ける場所。
・直射日光やエアコンから吹出た風が直接当たる場所。
・壁面温度と室内温度の差が大きい場所。
(4) 室内ユニットにラクリーナパネルを使用する場合、昇降動作を確認できない場合があります。
・室内ユニットが見えない場所。

●パソコンに USB で接続する場合、専用のソフトウェアを使用する。
パソコンに他の USB 機器とリモコンを同時に接続しない。
リモコン・パソコンの誤動作・故障の原因になります。

2．部品確認

下記が付属されています。

付属品	リモコン本体、取扱説明書・据付工事説明書

現地手配部品は、以下です。各々の据付方法に従い準備してください。

品　名	所要量	記　事
ねじ	2	取付場所に応じて選定してください。
スイッチボックス 1個用　または　2個用(JIS C 8340)	1	壁面に直接据付ける場合は不要です。
薄鋼電線管（JIS C 8305）	必要量	
ロックナット･ブッシング（JIS C 8330）	必要量	
モール(JIS C 8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です。
パテ	適量	隙間シール用
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル(0.3mm^2×2線)	必要量	100mを超える場合は右表

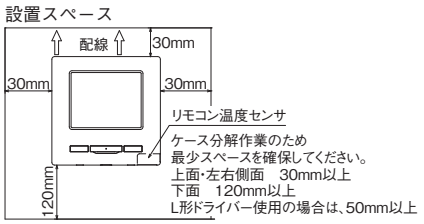
延長距離が100mを超える場合リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm^{2}以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線する際は水分等が浸入しないような処置を行ってください。

200m 以内	0.5mm^2 × 2 心
300m 以内	0.75mm^2 × 2 心
400m 以内	1.25mm^2 × 2 心
600m 以内	2.0mm^2 × 2 心

3．据付場所

図の設置スペースを確保してください。
また、据付方式は「スイッチボックスを使用」の場合、「壁面に直接据付」の場合の選択が可能です。
配線取出方向は「背面」、「上面中央」または「上面左」の場合の選択が可能です。
据付方式と配線取出場所を考慮のうえ、据付場所を決めてください。

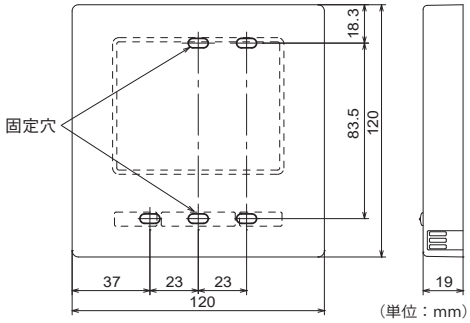
室内ユニットにラクリーナパネルを採用される場合は、グリルの昇降が確認しやすい場所としてください。



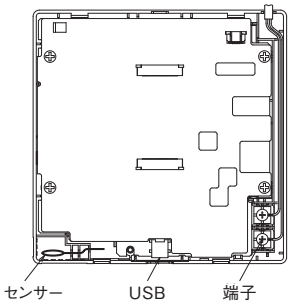
4．据付・配線工事

リモコンの据付・配線工事は下記に従って実施ください。

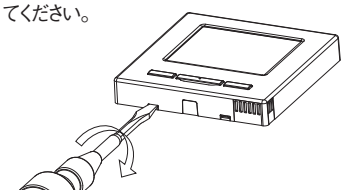
正面から見た取付寸法図



裏面から見た基板面



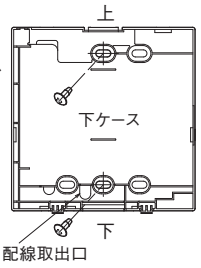
リモコンの上下ケースを組立て後、再度取外す場合
・リモコン下面の凹部にマイナスドライバー等を挿込んで軽くねじって外してください。
ケースを傷つけないよう、ドライバー先端にテープなどを貼ることをおすすめします。
取外した上ケースは、水分・ゴミが付かないようにしてください。



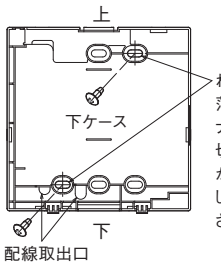
スイッチボックスを使用する場合（配線方向「背面」の場合）

①スイッチボックスとリモコン配線をあらかじめ埋込んでおきます。
　リモコン配線引込口はパテでシールしてください。
②下ケースに配線を通した後、スイッチボックスに２箇所固定してください。

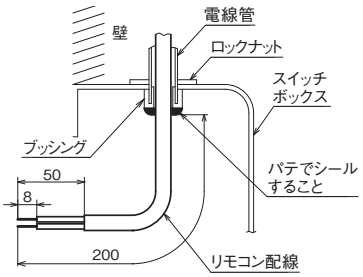
1 個用
スイッチボックス
の場合



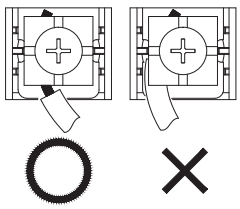
２個用
スイッチボックス
の場合

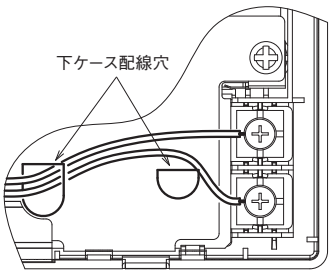


ねじ取付部の薄肉部分をナイフ等で、切りとってからねじをしめてください。



③リモコン端子X，Yと室内ユニットの端子X，Yを接続してください。配線X、Yの極性はありません。
　リモコン上ケース端子ねじで配線を固定してください。
④リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。





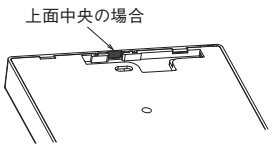
配線接続時のご注意

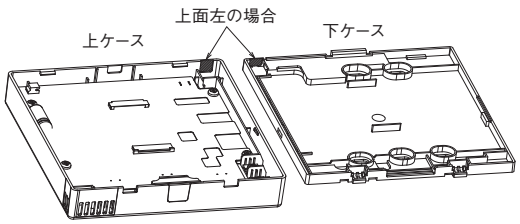
リモコンケース内を通る配線は0.5㎟以下とし、シースをかみこまないように接続してください。
配線接続は、手締め（0.7N･m以下）で行ってください。
電動ドライバーを使用すると、故障や変形の原因になることがあります。

スイッチボックスを使用しない場合（配線取出「上面中央」「上面左」の場合）

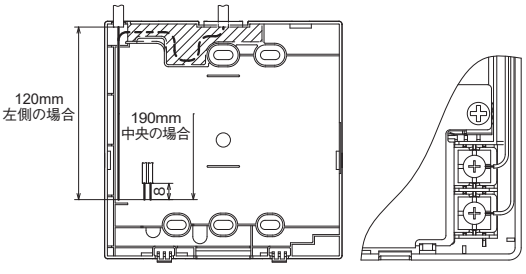
①ケース薄肉部を配線太さに合わせ切取ってください。

上面中央の場合は、上下ケース分解前に切取ってください。基板内部への影響が少なく作業がやり易くなります。
上面左の場合は、基板内部への影響を与えないように切取ってください。破片が内部に残らないように注意してください。



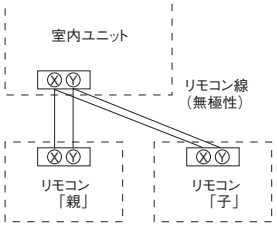


②リモコン下ケースを2本のねじ等で平らな面に固定してください。
③上面中央の場合はケース背面に配線を通してください。(斜線部分)
④リモコン端子X，Yと室内ユニットの端子X，Yを接続してください。配線X、Yの極性はありません。リモコン上ケース端子ねじで配線を固定してください。
⑤リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。
⑥①で切取った部分をパテでシールしてください。



5．複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台または1グループに対して最大2個までのリモコンを接続できます。
片側が親リモコン、反対側が子リモコンになります。
右表のように子リモコンは操作できる機能に制限があります。



6項の操作で「親」「子」の設定をしてください。

○：操作可能、×：操作不可

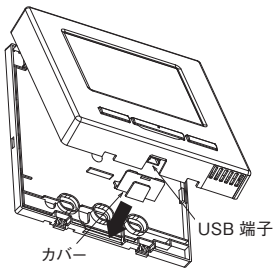
リモコン操作			親	子
運転 / 停止、設定温度切換、風向切換・オートスイング、風量切換　操作			○	○
エアフレックス ON/OFF			○	×
ハイパワー運転、省エネ運転			○	○
室外静音制御			○	×
便利機能	フリーフロー設定		○	×
	エアフレックス（風よけ）設定		○	×
	タイマー設定		○	○
	ウィークリータイマー		○	×
	おこのみ設定		○	○
	るす番運転		○	×
	換気		○	○
	言語切換設定		○	○
	室外静音制御		○	×
	省エネモード設定		○	×
	見てみて		○	×
	消費電力量表示		○	×
省エネ設定			○	×
お手入れ	フィルタサインリセット		○	○
	グリル昇降		○	○※
	お掃除パネル操作		○	×
ユーザー設定	初期設定		○	○
	管理者設定	操作制限設定	○	×
		室外静音タイマー	○	×
		設定温度範囲	○	×
		温度設定刻み切換	○	×
		設定温度表示切換	○	○
		リモコン表示設定	○	○
		管理者パスワード変更	○	○
		スイッチ機能変更	○	○
		冷媒漏洩検知器設定	○	×
		リモコンアラーム音確認	○	○
		遮断弁チェック運転	○	×
		遮断弁チェック運転結果	○	×

※リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、子リモコンから室内ユニットの選択はできません。全台同時に昇降します。

リモコン操作				親	子
サービス設定	据付設定	据付日登録		○	×
		サービス情報入力		○	○
		試運転		○	×
		ダクト機静圧補正		○	×
		自動アドレス変更		○	×
		親室内機アドレス設定		○	×
		バックアップ制御		○	×
		人感センサ設定		○	×
		リモコンアラーム音設定		○	×
		サーマルセンサ設定		○	×
		ドレンクリーン (UV-C) 設定		○	×
		グリル昇降操作		○	○
	リモコン設定	リモコン親子設定		○	○
		吸込センサ制御		○	×
		リモコンセンサ		○	×
		リモコンセンサ補正		○	×
		運転モード選択		○	×
		温度設定単位		○	×
		ファン速度		○	×
		外部入力設定		○	×
		上下ルーバ制御		○	×
		左右ルーバ制御		○	×
		換気設定		○	×
		停電補償		○	×
		設定温度自動設定		○	×
		風量自動設定		○	×
	室内設定			○	×
	サービス・メンテナンス	エアコン No. 表示		○	○
		次回点検日		○	×
		運転データ表示		○	×
		点検表示	異常履歴表示	○	○
			異常時運転データ表示・消去	○	×
			定期点検リセット	○	○
		室内設定保存		○	×
		特殊操作	室内機アドレス消去	○	×
			CPU リセット	○	○
			初期化設定	○	×
			タッチパネル調整	○	○
		室内機容量表示		○	×
		安全システムメンテナンス		○	×
		UV-C メンテナンス		○	×
		お掃除パネル点検		○	×

お知らせ　パソコン接続について

USBコネクタ（mini-B）を介してパソコンからの設定が可能です。
上ケース下面カバーを外して接続してください。
使用後はカバーを元の位置にはめてください。
接続には、専用のソフトが必要です。
詳細は、ホームページを参照してください。



お知らせ　パスワード初期化

管理者パスワード（日常使用する項目設定用）とサービスパスワード（据付・試運転・メンテナンス用）があります。
○管理者パスワード初期値は、0000 です。設定変更ができます（取扱説明書参照）。
　管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で［F1］［F2］スイッチを同時に5秒長押しするとパスワードは初期化されます。
○サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。
　管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受付られます。



[F1] [F2] スイッチ

おねがい

1つのリモコンに複数台のFDT, FDTCを接続する場合、パネルの種類をエアフレックス機能のあるパネルか、標準パネルのどちらかに統一してください。

※以下、FDFシリーズについては734ページをご覧ください。

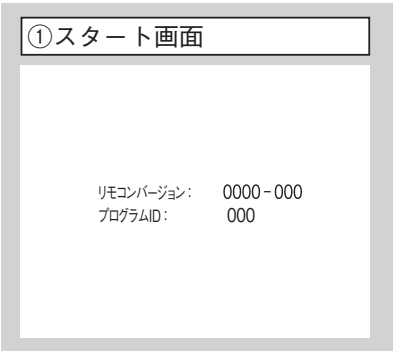
6．電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。
・親子が設定されていない場合⇒(1)　・親子が設定されている場合⇒(2)

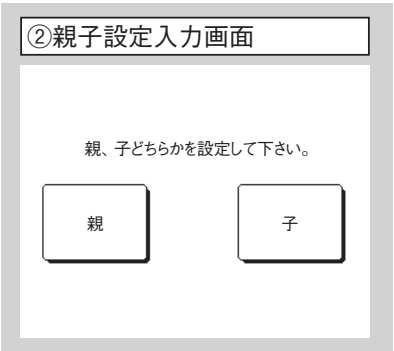
(1) **親子が設定されていない場合**

①⇒②親子入力画面を表示します。
枠で囲まれた 親 子 どちらかをタッチしてください。初期設定作業を開始します。
誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。(8．リモコン機能設定②)
室内ユニット1台または、1グループに、2個の eco タッチリモコンが接続されている場合、1個目を 親 で設定開始すると 2個目は自動で 子 になります。

①スタート画面



②親子設定入力画面

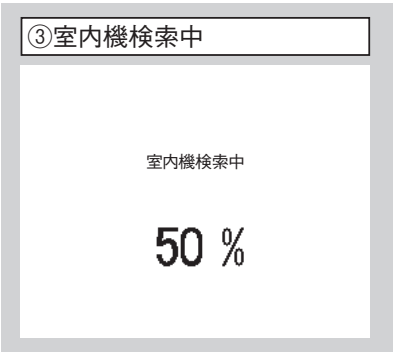


ご注意

リモコン1台の場合は、親 をタッチしてください。
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。

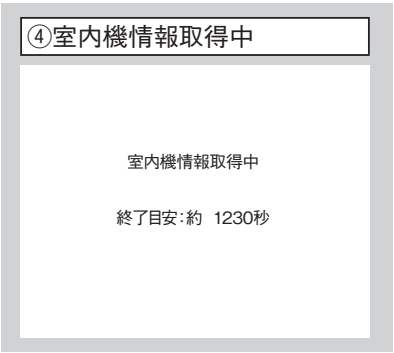
親 を選択した場合　③⇒④⇒⑤で画面が遷移します。
子 を選択した場合　①⇒⑧⇒⑤で画面が遷移します。

③室内機検索中

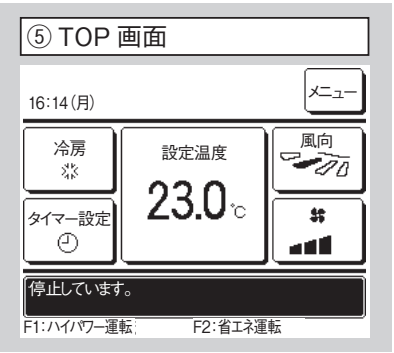


通信が 10 分間確定しない場合、赤 LED が点滅します。

④室内機情報取得中

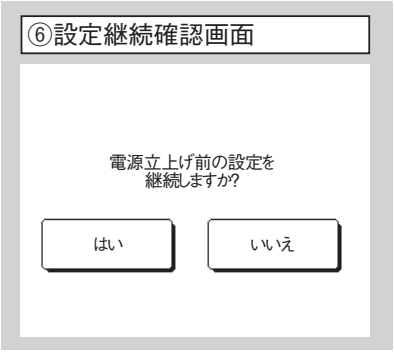


⑤ TOP 画面



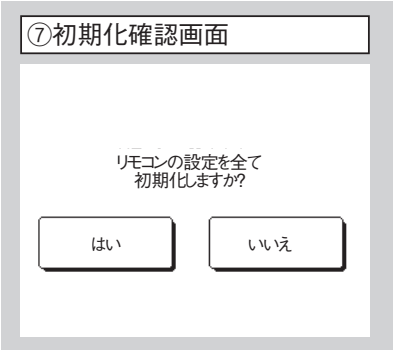
(2) **リモコンの親子設定がされている場合**

⑥設定継続確認画面



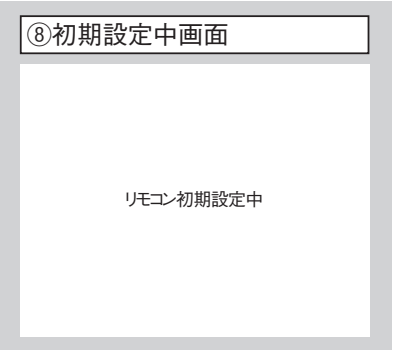
はい ⑧⇒⑤で画面が遷移します。
いいえ ⑦に画面が遷移します。
表示が15秒間タッチされない場合は はい 継続を認識して⑤画面に変わります。

⑦初期化確認画面



はい ①⇒②で画面が遷移します。
いいえ ⑥に画面が遷移します。
初期化すると出荷状態に戻ります。

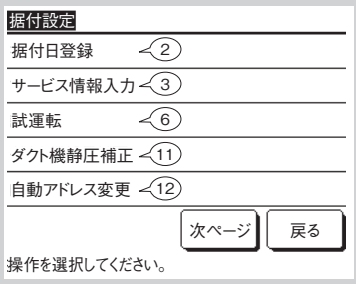
⑧初期設定中画面

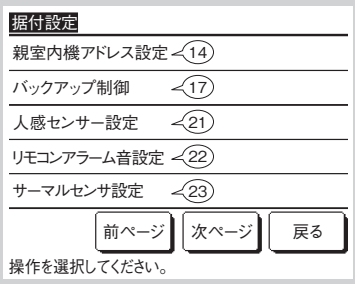


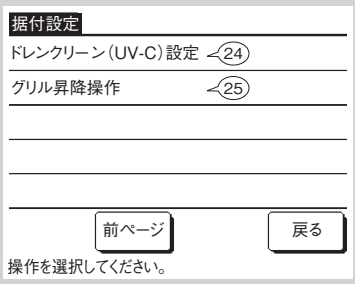
7．据付設定　試運転

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード]

①据付設定メニュー







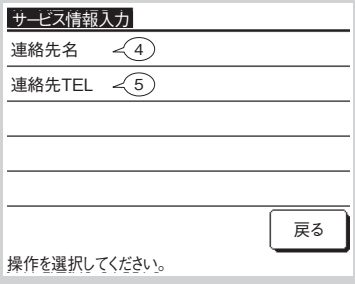
選択した画面に移ります。

②据付日登録



▲▼で設定してください。
セットで登録されます。

③サービス情報入力



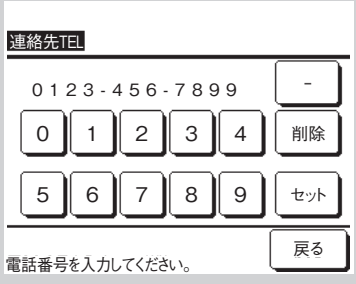
お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。

④連絡先名登録



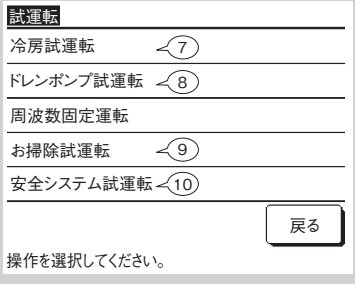
連絡先名を半角26文字相当以内で入力し、セットボタンをタッチしてください。

⑤連絡先 TEL 登録



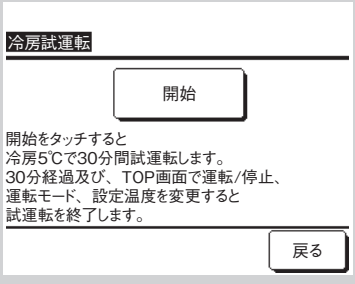
連絡先電話番号を13文字以内で入力し、セットボタンをタッチしてください。

⑥試運転



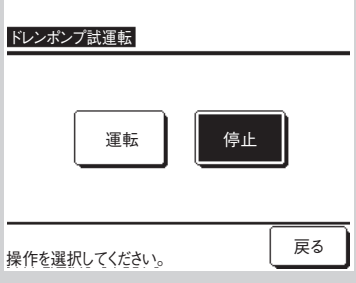
選択した画面に移ります。

⑦冷房試運転



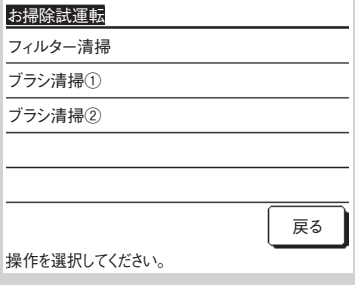
停止中に操作可能です。室温が低く冷房試運転ができない場合、設定を 30 分間 5℃にして運転します。

⑧ドレンポンプ試運転



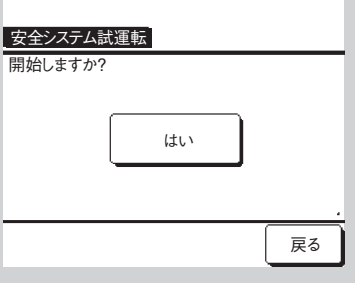
ドレンポンプのみで運転が可能です。

⑨お掃除試運転



FDT お掃除ラクリーナパネルを組合せる場合に操作できます。詳細は、お掃除ラクリーナパネルの説明書をご覧ください。

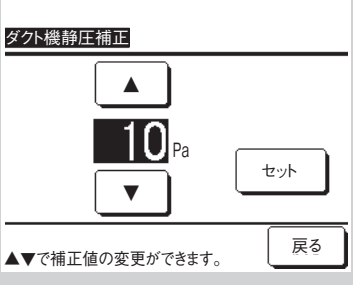
⑩安全システム試運転



安全システムの試運転を開始します。
冷媒検知警報器が接続されていない場合はリモコンから本操作を行い、安全対策機器の動作確認を実施してください。

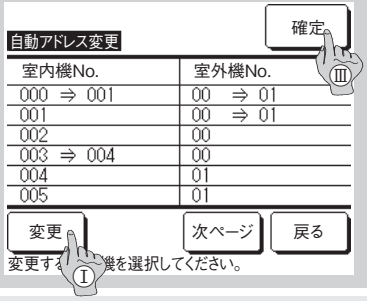
7．据付設定　試運転のつづき

⑪ダクト機静圧補正

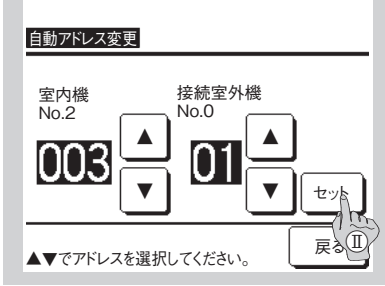


機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニットを組合せる場合に操作できます。機外静圧を選択し、セットボタンをタッチしてください。

⑫自動アドレス変更

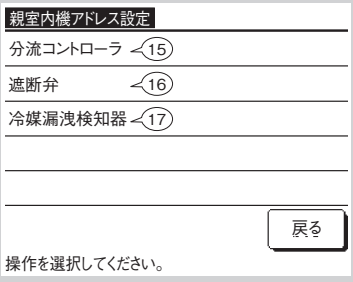


⑬自動アドレス変更



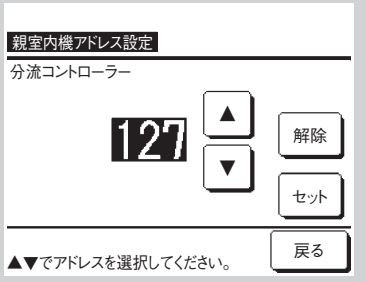
個別発停マルチシリーズで使用の際に自動アドレス設定で登録されている場合に操作できます。
室内ユニット毎の室内外アドレスを変更するための機能です。室内ユニットを選択して
① 変更 をタッチすると⑬に画面が遷移します。
Ⅱ セット をタッチすると⑫に画面が遷移し、新アドレスが表示されます。
Ⅲ 確定 をタッチすると登録されます。

⑭親室内機アドレス設定



設定する機器を選択します。

⑮分流コントローラ



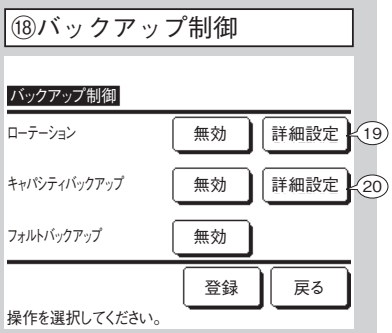
個別発停マルチシリーズで親室内ユニットのみ、冷房 - 暖房運転モードの選択を許可します。子とする室内ユニットに対し、親室内機アドレスを設定します。親室内機アドレスが設定された子室内ユニットは、親室内ユニットの設定に追従します。

⑯⑰遮断弁 / 冷媒漏洩検知器



（図は遮断弁の場合）
設定が必要となる据付条件は各機器の据付説明書または安全対策マニュアルを参照ください。

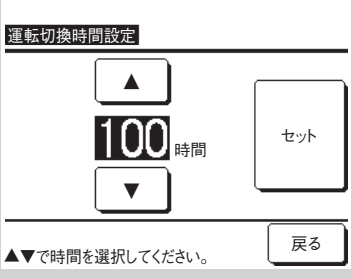
⑱バックアップ制御



1台のリモコンに室内ユニット2台（2グループ）が接続されている時に、以下の制御が可能です。
1. ローテーション：2台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
2. キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を1台⇔2台へ切り換えます。
3. フォルトバックアップ：室内ユニット2台中1台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう1台の室内ユニットが運転を開始します。冷媒漏洩検知時(E23表示中)は全ての室内ユニットが運転を停止するため、フォルトバックアップ制御は無効になります。

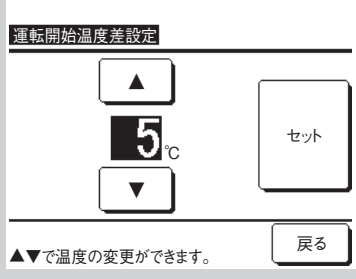
有効/を無効選択し（無効をタッチすると有効に変わります。）、登録ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。

⑲ローテーション詳細設定



ローテーションの運転を切換える時間を設定します。
1～999時間の間で1時間刻みで設定可能です。
時間切換後、セットで仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って登録をタッチしてください。

⑳キャパシティバックアップ詳細設定



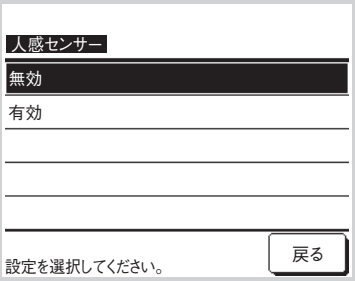
キャパシティバックアップの1台⇔2台を切換える設定温度と室温の温度差を設定します。
2～5℃の間で1℃刻みで設定可能です。温度切換後、セットで仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って登録をタッチしてください。

7. 据付設定　試運転のつづき

バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切換わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバック制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバック制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内ユニット2台（2グループ）の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内ユニットが先に運転開始します。

㉑人感センサー設定

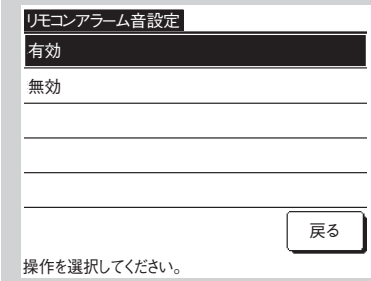


リモコンに接続されている室内ユニットの人感センサーの有効 / 無効かを選択します。

ご注意

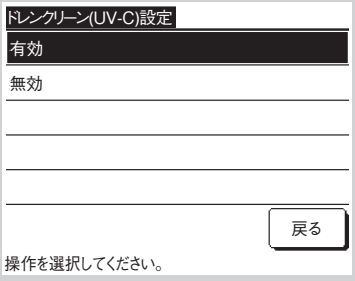
- 人感センサーを採用のお客様は上記の設定を行ってください。
  人の活動量を検知させたい室内ユニットを有効にしてください。
  人感センサー設定が無効の場合には、人の活動量を検知しないため人感センサー制御（パワーセーブ、オートオフ）を行いません。
- 4 形以前の室内ユニットは、人感センサー設定を有効にできません。
  人感センサー設定をタッチとすると、「操作無効です」と表示されます。

㉒リモコンアラーム音設定



リモコンの警報機能の有効 / 無効かを選択します。
有効冷媒漏洩検知時または冷媒検知警報器の故障時に警報音を鳴らします。警報音量はリモコンから１ｍ離れた所で約 60dB です。
無効冷媒漏洩検知時または冷媒検知警報器の故障時に警報音を鳴らしません。

㉓ドレンクリーン (UV-C) 設定



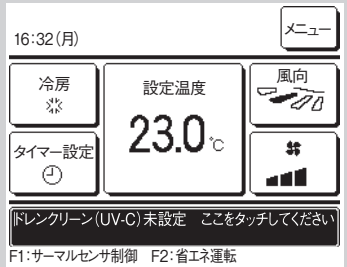
リモコンに接続されている室内ユニットのドレンクリーン(UV-C)の 有効 / 無効 かを選択します。

ご注意

- ドレンクリーン (UV-C) を採用のお客様は上記の設定を行ってください。
  有効を選択しないとドレンクリーン (UV-C) は動作しません。
- ドレンクリーン (UV-C) に対応している室内ユニットが接続されていない場合は、ドレンクリーン (UV-C) 設定をタッチすると、「操作無効です」と表示されます。

お知らせ
ドレンクリーン (UV-C) 設定について

ドレンクリーン(UV-C)に対応している室内ユニットで設定が有効になっていない場合に、TOP 画面に未設定をお知らせする表示が出る場合があります。
この表示は設定を選択することで消すことができます。



7．据付設定　試運転のつづき

㉔グリル昇降操作設定



ラクリーナパネルを組合せる場合は 、据付場所の電源周波数をタッチしてください。

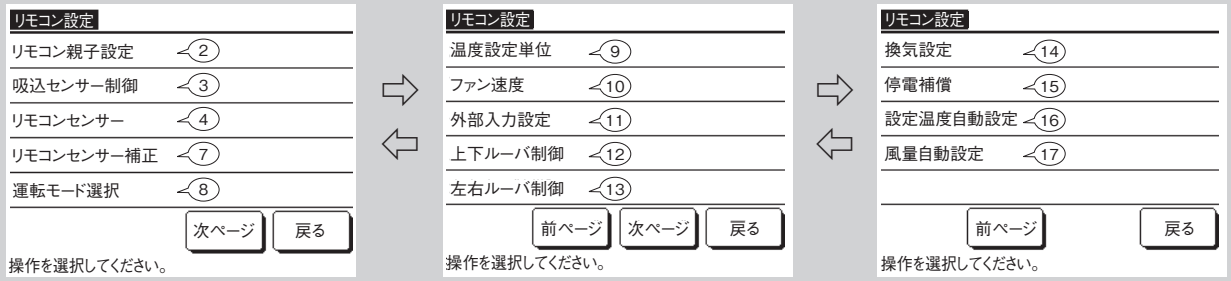
ご注意

ラクリーナパネルを採用のお客様は、上記の設定を行ってください。

8．リモコン機能設定　お知らせ：停止中のみ操作可能

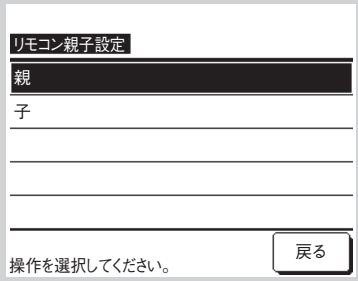
TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード]

①リモコン設定メニュー



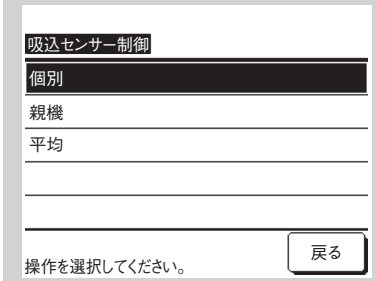
選択した画面に移ります。

②リモコン親子設定



リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

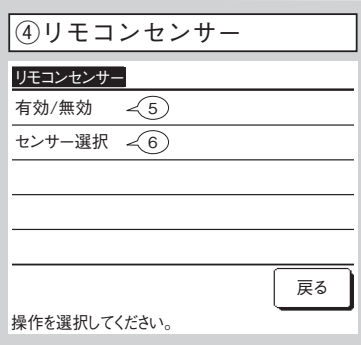
③吸込センサー制御



室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。

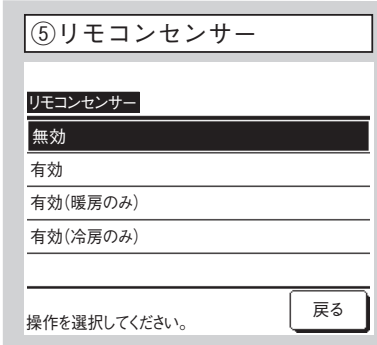
1. [個別]：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルーラル接続されている場合はプルーラル親機の吸込温度を基準とします。
2. [親機]：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。1 台のリモコンに、プルーラル接続が複数接続されている場合は、プルーラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
3. [平均]：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

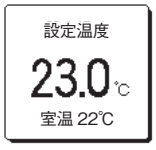
④リモコンセンサー



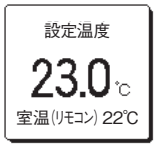
選択した画面に移ります。

⑤リモコンセンサー





本体側センサー温度を表示した場合



リモコン側センサー温度を表示した場合

室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。

[無効]　室温表示は、本体側センサーになります。

[有効]　室温表示は、リモコン側センサーになります。

[有効(暖房のみ)]　室温表示は、暖房中のみリモコン側センサーになります。

[有効(冷房のみ)]　室温表示は、暖房以外で運転中にリモコン側センサーになります。

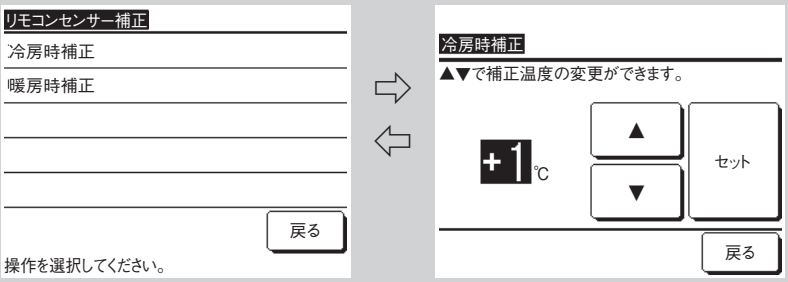
8．リモコン機能設定のつづき

⑥センサー選択



使用するリモコンセンサーを選択します。
接続されているリモコンを表示します。

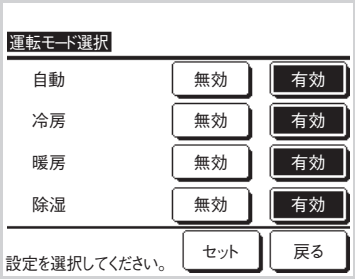
⑦リモコンセンサー補正



リモコンセンサー検知温度の補正ができます。

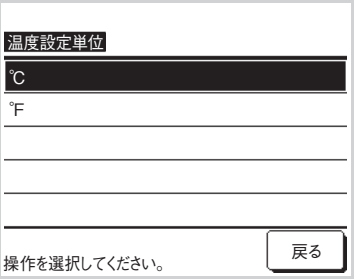
冷房、暖房共に－３～＋３の範囲で設定します。（図は冷房時の場合）

⑧運転モード選択



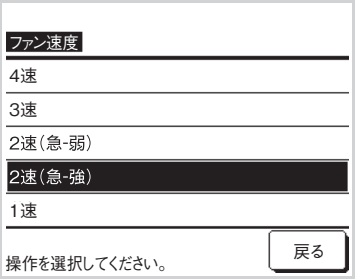
各運転モード毎に有効・無効を設定可能です。冷房または暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

⑨温度設定単位



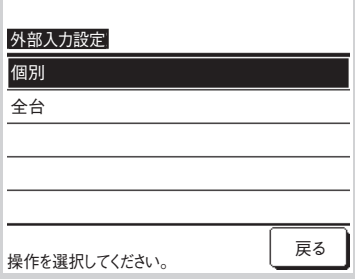
設定温度の単位を設定します。

⑩ファン速度



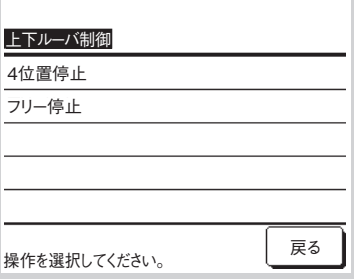
ファン速度選択の変更が可能です。室内ユニットにより対応できない場合があります。

⑪外部入力方式



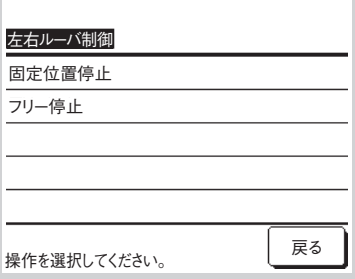
１つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、運転／停止に対して CNT 入力の範囲を設定できます。
個別 CNT 入力された室内ユニットのみに適用されます。
全台 リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

⑫上下ルーバ制御



4位置停止 上下吹出ルーバを４段階で設定可能。
フリー停止 リモコンスイッチ操作直後の位置に停止します。

⑬ 左右ルーバ制御



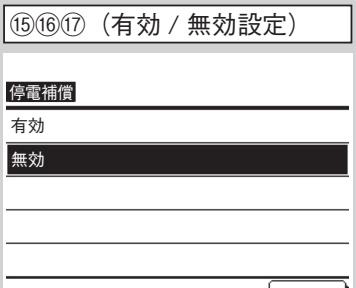
固定位置停止 左右吹出ルーバを８パターンで設定可能。
フリー停止 リモコンスイッチ操作直後の位置に停止します。

⑭換気設定



換気機器組合せの設定ができます。
無効 接続無し。
連動 エアコン運転／停止に連動し、換気出力 (CNT) に出力します。
単独操作 メニューから換気を選択により換気単独で運転 / 停止出力を行います。

⑮⑯⑰（有効 / 無効設定）



（図は停電保障の場合）

⑮停電保障
運転中に停電した場合、
有効 停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。
無効 停電復旧後、停止します。

⑯定温度自動設定
有効 室温設定画面から自動の選択が可能になります。
無効 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

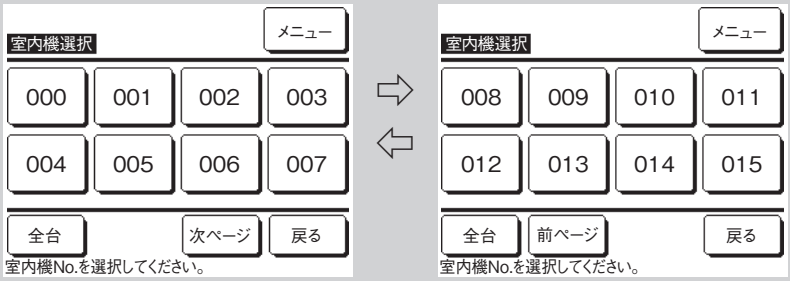
⑰風量自動設定
有効 風量設定画面から自動の選択が可能になります。
無効 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

9．室内機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

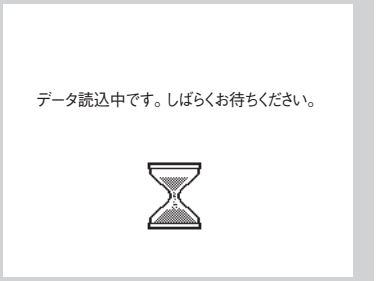
ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [室内設定] ⇒ [サービスパスワード]

①室内機選択



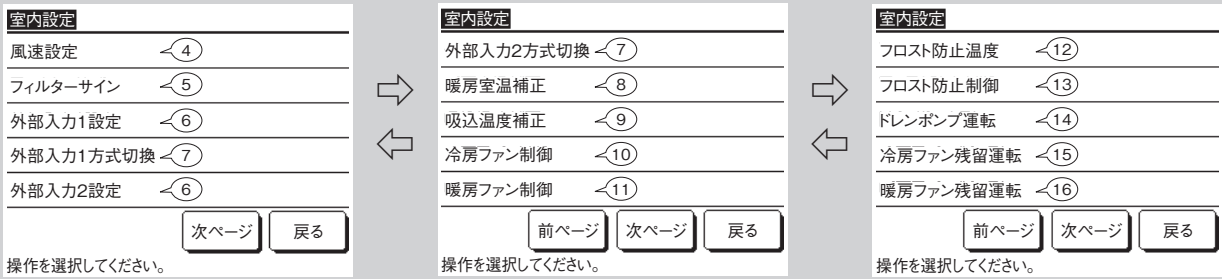
複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。
[000]～[015] 各室内ユニット毎に個別設定されます。
[全台]全台同一設定されます。

②データ読込中

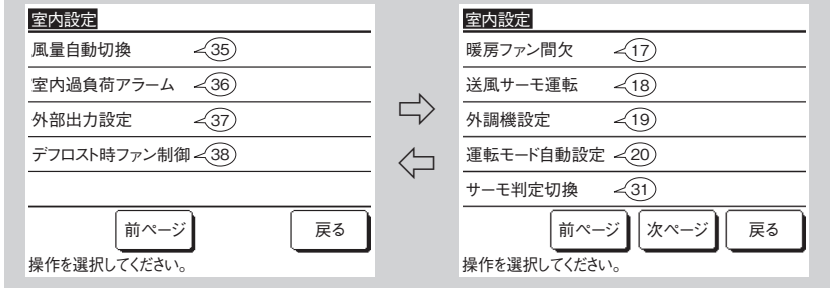


室内ユニットからデータ受信後に④に画面が切換わります

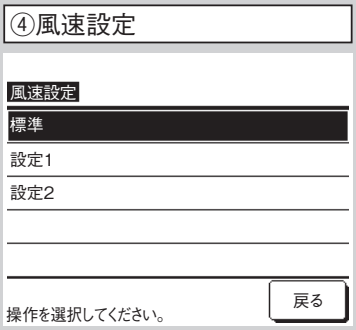
③室内設定メニュー



選択した画面に移ります。

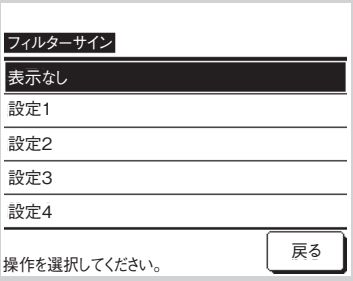


④風速設定



室内ユニットの風速設定を設定します。詳細は、782ページを参照ください。

⑤フィルターサイン

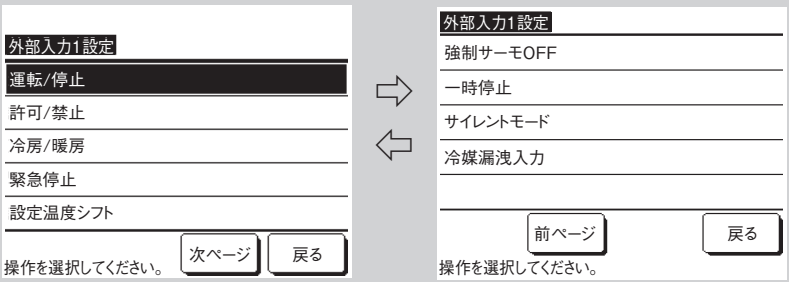


フィルターサイン点灯時間を設定します。

	標準	FDTお掃除
表示なし	無し	無し
設定１	180Hr	1,000Hr
設定２	600Hr	2,000Hr
設定３	1,000Hr	2,500Hr
設定４	1,000Hr後 運転停止	2,500Hr後 運転停止

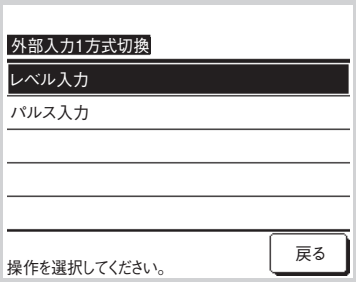
9．室内機能設定のつづき

⑥外部入力 1 設定



室内ユニット CNT 入力時の制御を設定します。
詳細は 、783ページを参照ください。

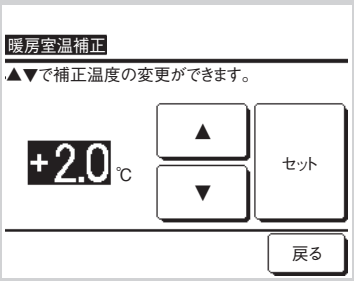
⑦外部入力 1 方式切換



室内ユニットCNTへの入力信号方式 を設定します。
詳細は 、783ページを参照ください。

外部入力２を装備している室内ユニットと組合わせた場合に操作できます。詳細は 、783ページを参照ください。

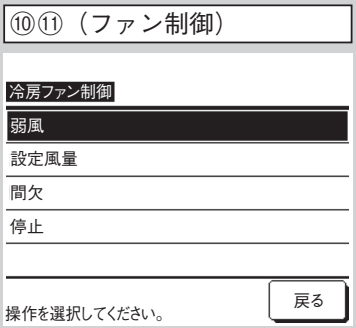
⑧⑨（温度補正）



⑧暖房室温補正
暖房サーモ判定温度を補正します。
0℃／ +1℃／ +2℃／ +3℃
⑨吸込温度補正
本体吸込温度センサーの検知温度を補正します。
－2.0℃／－1.5℃／－1.0℃／ 0.0℃／ +1.0℃／ +1.5℃／ +2.0℃

（図は暖房室温補正の場合）

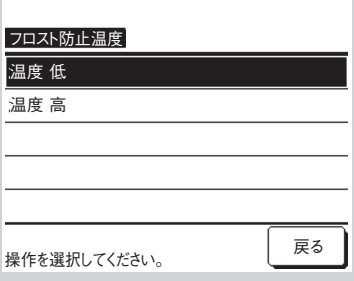
⑩⑪（ファン制御）



⑩冷房ファン制御／⑪暖房ファン制御
冷房／暖房のサーモ OFF 中のファン速度を設定します。
弱風 弱風運転
設定風量 サーモ ON 中と同風量
間欠 2 分Lo（ULo）運転／5 分停止
停止 停止

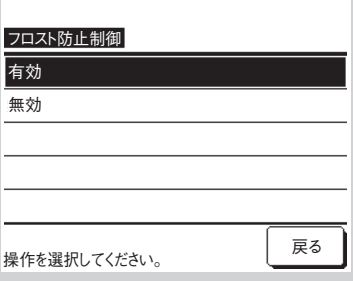
（図は冷房ファン制御の場合）

⑫フロスト防止温度



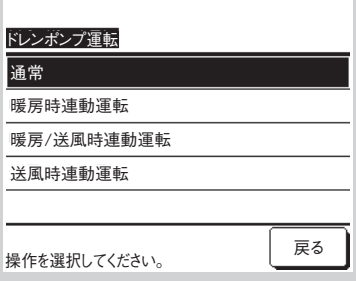
フロスト防止制御温度の切換ができます。

⑬フロスト防止制御



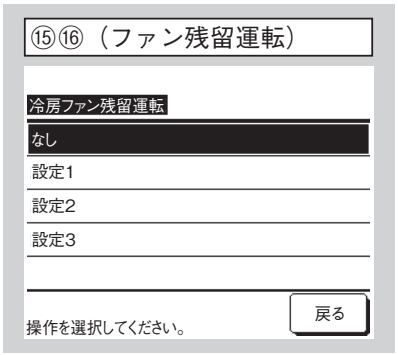
フロスト防止制御後 、ファン速度が
有効 アップします。
無効 変化しません。

⑭ドレンポンプ運転



通常 冷房・除湿時に運転
暖房時連動 通常＋暖房
暖房 / 送風時連動 全運転中
送風時連動 通常＋送風

9．室内機能設定のつづき



⑮冷房ファン残留運転／⑯暖房ファン残留運転

冷房／暖房の停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。

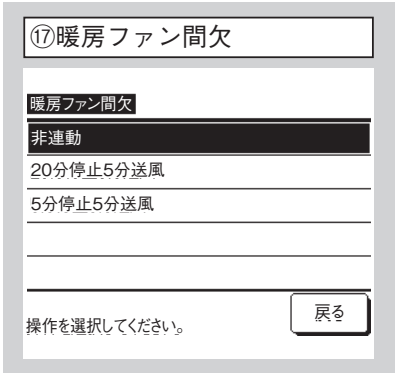
なし　ファン残留運転なし

設定１　0.5 時間

設定２　２時間

設定３　６時間

※残留時間が異なる場合があります。

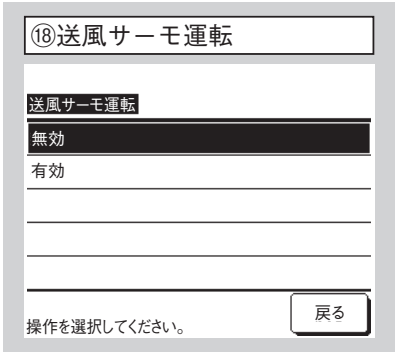


暖房運転、停止またはサーモOFF後のファン制御を設定します。

非連動　停止

20分停止 5分送風　25分毎に条件チェックして５分送風

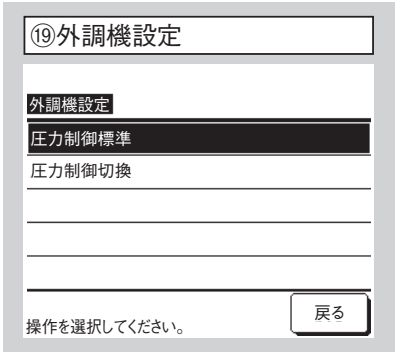
5分停止 5分送風　10分毎に条件チェックして５分送風



サーキュレーター運転として使用する場合

無効　送風時連続運転

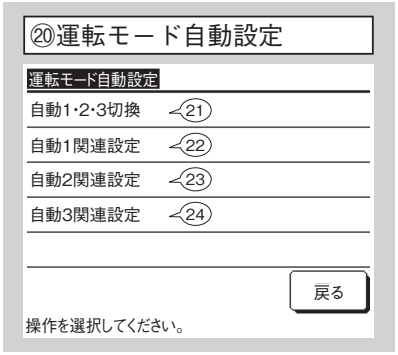
有効　送風時リモコンと本体の温度差を見て送風運転／停止します。

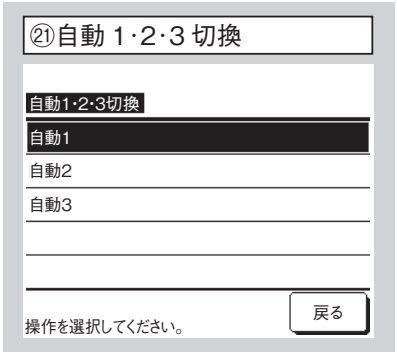


マルチシステムにて、外調機の場合に設定します。

圧力制御標準　通常

圧力制御切換　運転中の室内ユニットが全て、この設定の場合、圧力制御値が変わります。





自動１　設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切換わります。

自動２　設定温度と室温の温度差および外気温度で冷房／暖房が切換わります。

自動３　室温および外気温度で、冷房／暖房が切換わります。

運転モード自動での冷房／暖房切換方式を３方式から選択できます。

9．室内機能設定のつづき

㉒自動１関連設定

自動1関連設定

冷房切換温度	㉕
暖房切換温度	㉖

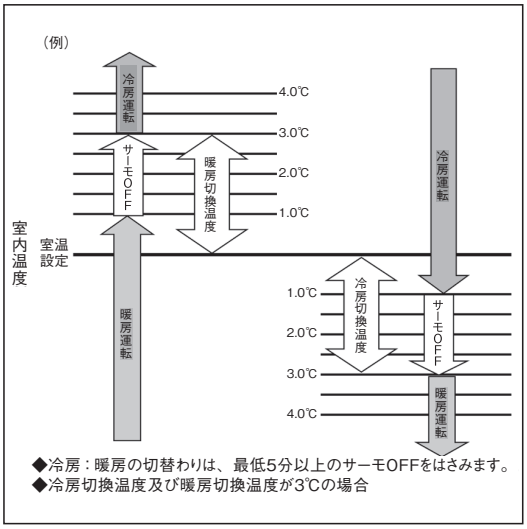
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度を設定します。
切換温度は１～４℃の範囲で設定できます。

設定温度－冷房切換温度
＜室内吸込温度の場合
⇒運転モード：冷房

設定温度＋暖房切換温度
＞室内吸込温度の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房：暖房の切替わりは、最低5分以上のサーモOFFをはさみます。
◆冷房切換温度及び暖房切換温度が3℃の場合

㉓自動２関連設定

自動2関連設定

冷房切換温度	㉕
暖房切換温度	㉖
冷房室外温度	㉗
暖房室外温度	㉘

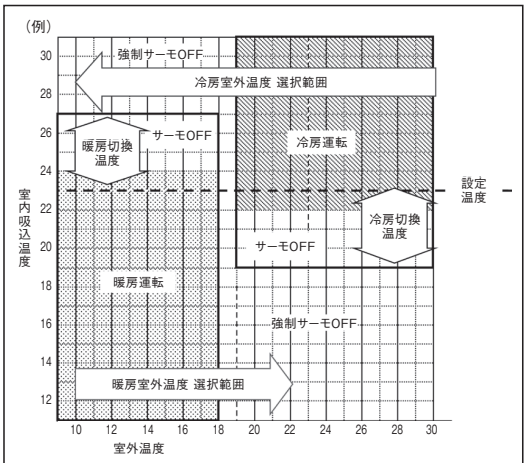
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

「設定温度－冷房切換温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

「設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房切換温度及び暖房切換温度が4℃で、
冷房室外温度が19℃、暖房室外温度が18℃の場合。

㉔自動３関連設定

自動3関連設定

冷房室外温度	㉗
暖房室外温度	㉘
冷房室内温度	㉙
暖房室内温度	㉚

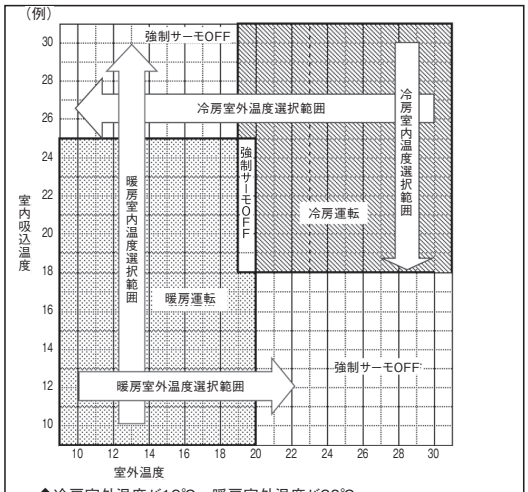
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。

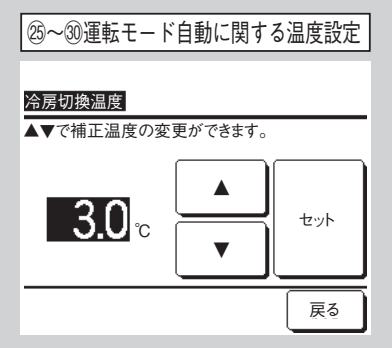
「設定した冷房室内温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

「設定した暖房室内温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房



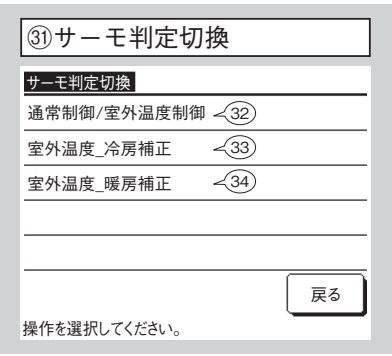
◆冷房室外温度が19℃、暖房室外温度が20℃、
冷房室内温度が18℃、 冷房室内温度が25℃の場合

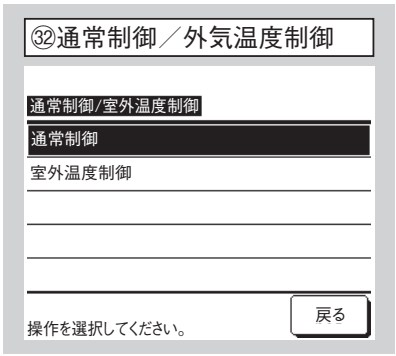
9．室内機能設定のつづき



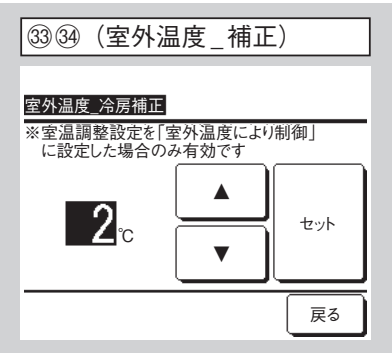
（図は冷房切換温度の場合）

㉕冷房切換温度／㉖暖房切換温度
自動 1、自動 2 で冷房／暖房の切換温度を下記の範囲で設定します。
冷房：1 ～ 4℃
暖房：1 ～ 4℃
㉗冷房室外温度／㉘暖房室外温度
自動 2、自動 3 で冷房／暖房の室外温度を下記の範囲で設定します。
冷房：10 ～ 30℃
暖房：10 ～ 22℃
㉙冷房室内温度／㉚暖房室内温度
自動 3 で冷房／暖房の室内温度を下記の範囲で設定します。
冷房：18 ～ 30℃
暖房：10 ～ 30℃

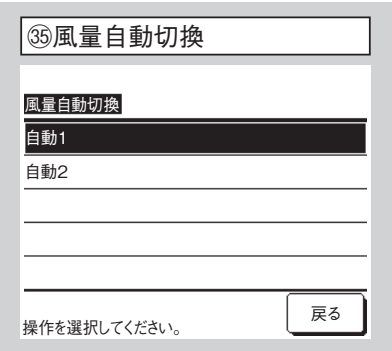




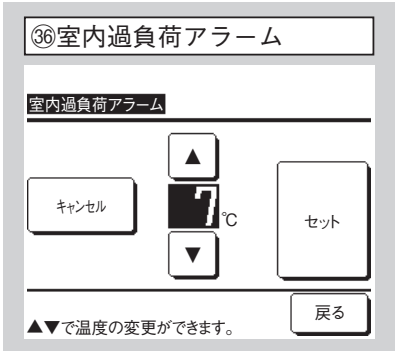
室温制御、サーモ ON ／ OFF 切換方式・条件を設定します。
通常制御 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。
室外温度制御 室外温度±補正値と室内温度でサーモ判定します。
室温設定は無効となります。



㉝室外温度_冷房補正／㉞室外温度_暖房補正
冷房／暖房のサーモ判定する補正値を下記の範囲で設定します。
冷房：0 ～ 10℃ 室内温度＞（室外温度－冷房補正値）
暖房：0 ～ 5℃ 室内温度＜（室外温度 + 暖房補正値）



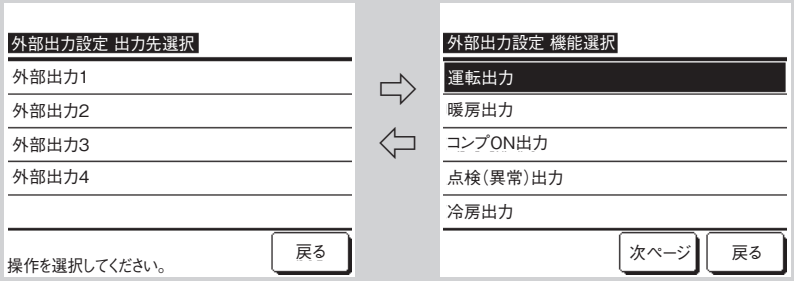
風量自動の切換範囲を設定
自動 1 急⇔強⇔弱
自動 2 P 急⇔急⇔強⇔弱



運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5）から過負荷アラーム信号を送信します。

9．室内機能設定のつづき

㊲外部出力設定



変更する出力先を選択後、選択した出力に割当てる機能を選択します。
各出力のコネクタと初期設定は下記です。

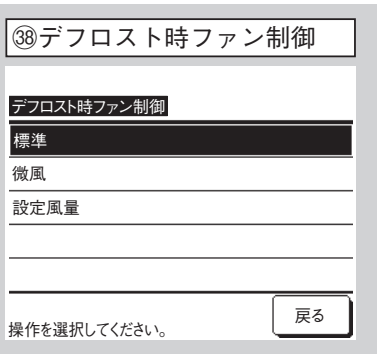
外部出力１	CNT-2	運転出力
外部出力２	CNT-3	暖房出力
外部出力３	CNT-4	コンプ ON 出力
外部出力４	CNT-5	点検（異常）出力

詳細は783ページを参照願います。

設定できる機能

運転出力
暖房出力
コンプ ON 出力
点検（異常）出力
冷房出力
ファン運転出力１
ファン運転出力２
ファン運転出力３
デフロスト、油戻し
換気出力
ヒータ出力
フリークーリング
室内過負荷アラーム
冷媒漏洩出力
遮断弁出力

㊳デフロスト時ファン制御



デフロスト運転時のファン回転数を設定します。

標準：ファンの回転を停止します。

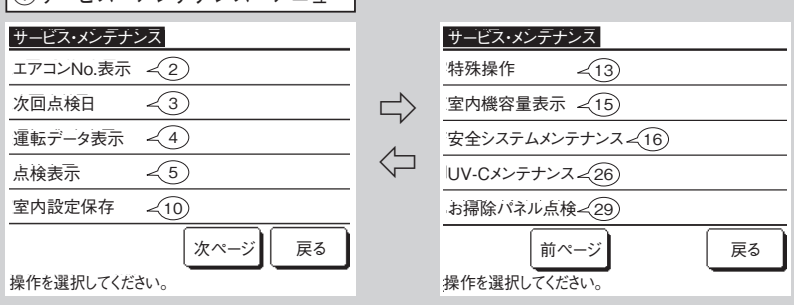
微風：最小風量で回転します。

設定風量：運転時の設定風量で回転します。

10．サービス・メンテナンス方法

ＴＯＰ画面 メニュー ⇒ サービス設定 ⇒ サービス・メンテナンス ⇒ サービスパスワード

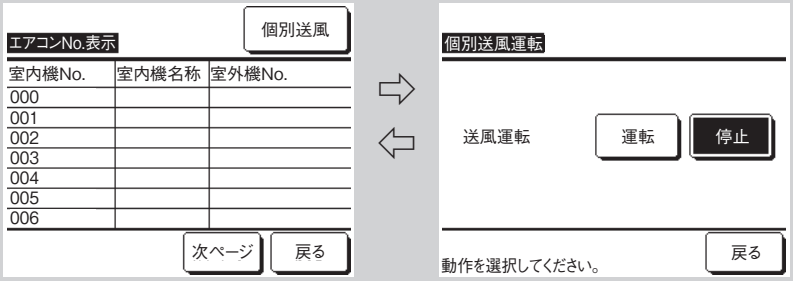
①サービス・メンテナンス　メニュー



選択した画面に移ります。

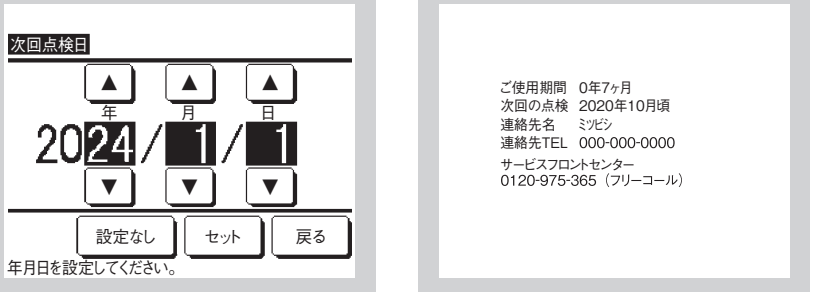
10. サービス・メンテナンス方法のつづき

②エアコン No. 表示



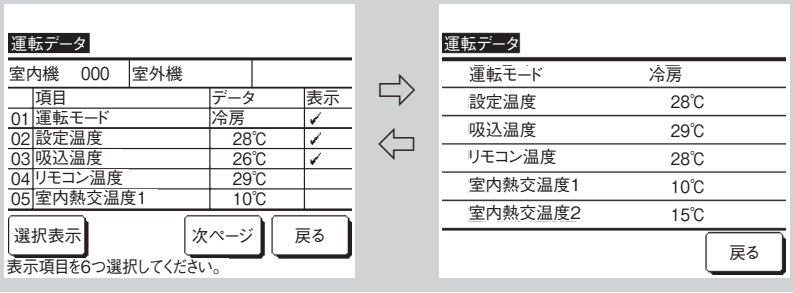
8台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。
室内ユニット選択後 個別送風 ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。

③次回点検日



次回点検日を入力すると、点検月の運転開始／停止時にメッセージが表示されます。
表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。
設定なし をタッチするとメッセージは表示されません。

④運転データ表示



運転データが表示されます。画面に表示しているデータは自動更新されます。
更新頻度を短くしたい場合、6項目まで選択できます。
6項目選択後、 選択表示 ボタンをタッチすると画面が変わります。
表示する運転データの項目は下表のとおりです。

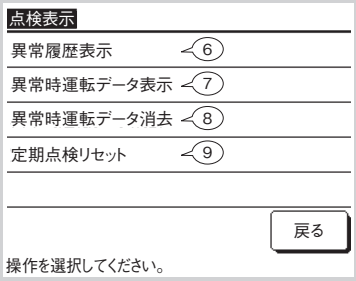
表示する運転データ

番号	項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
04	リモコン温度
05	室内熱交温度 1
06	室内熱交温度 2
07	室内熱交温度 3
08	室内ファン速度
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内 EEV 開度
12	吹出
13	相対湿度
14	室内機運転時間
15	冷房運転積算時間
16	暖房運転積算時間
21	外気温度
22	室外熱交温度1
23	室外熱交温度2

番号	項目
24	室外熱交温度3
25	室外熱交温度4
26	圧縮機回転数
27	圧縮機回転数2
28	高圧圧力
29	低圧圧力
30	吐出管温度
31	吐出管温度2
32	ドーム下温度
33	ドーム下温度2
34	THO-SC
35	THO-S
36	THO-H
37	電流
38	電流 2
39	SH 制御
40	SH
41	TDSH
42	TDSH 2

番号	項目
43	外 EEVH1
44	外 EEVH2
45	外 EEVSC
46	外 EEVL1
47	外 EEVL2
48	保護制御
49	室外ファン速度
50	63H1
51	デフロスト
52	室外機運転時間
53	圧縮機運転時間
54	圧縮機運転時間2
55	外ファン運転積算時間1
56	外ファン運転積算時間2
57	52C ON/OFF 回数
58	室外機省エネモード
59	室外機エコレベル

⑤点検表示



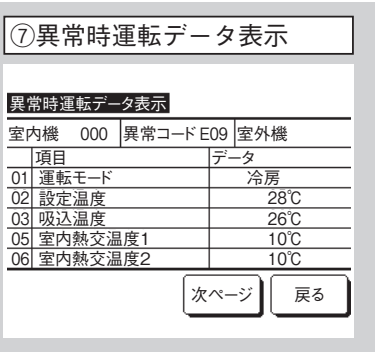
⑥異常履歴表示（例）



異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。

消去 ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

⑦異常時運転データ表示



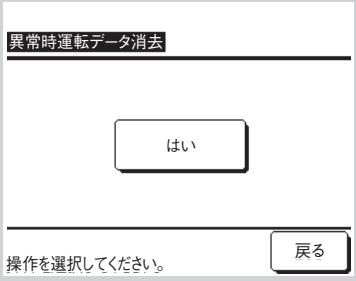
異常発生直前の運転データが表示されます。
表示する運転データの項目は右表のとおりです。

表示する運転データ

番号	項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
05	室内熱交温度 1
06	室内熱交温度 2
07	室内熱交温度 3
08	室内ファン速度
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内 EEV 開度
12	室内運転時間
13	吹出

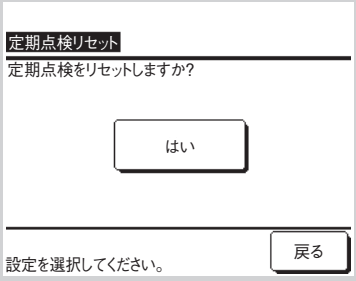
番号	項目
21	外気温度
22	室外熱交温度1
23	室外熱交温度2
24	コンプ回転数
25	高圧圧力
26	低圧圧力
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	電流
30	SH 制御
31	SH
32	TDSH
33	保護制御
34	室外ファン速度
35	63H1
36	デフロスト
37	コンプ運転時間
38	室外 EEV1 開度
39	室外 EEV2 開度

⑧異常時運転データ消去



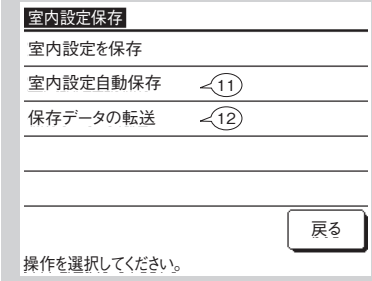
異常時運転データが消去されます。

⑨定期点検リセット



定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

⑩室内設定保存



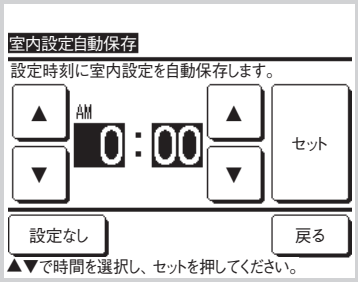
室内設定を保存 リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。

室内設定自動保存 毎日の自動保存時刻を設定します。

保存データの転送 リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

10. サービス・メンテナンス方法のつづき

⑪室内設定自動保存



毎日の自動保存時刻を設定します。
設定なし を選択すると、自動保存は行いません。

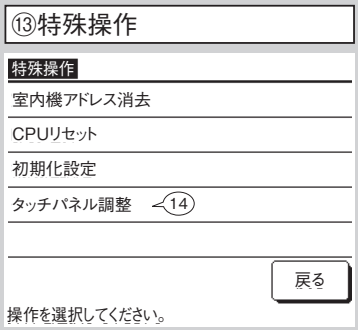
⑫保存データの転送



転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

お知らせ
室内ユニット基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？
リモコンに室内機設定を保存しておくと、［保存データの転送］により、保存されたデータが室内ユニットに書込まれます。

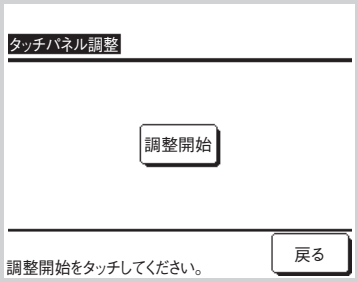
⑬特殊操作



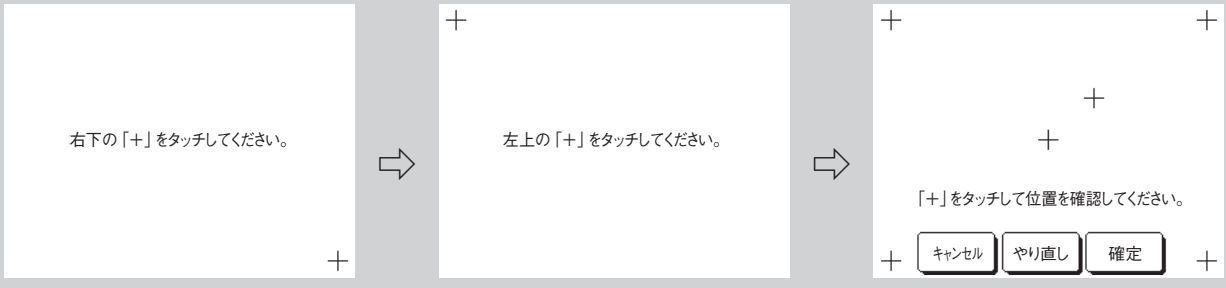
選択した画面に移ります。

室内機アドレス消去 マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。
CPU リセット 接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコン、遮断弁、冷媒検知警報器がリセット（停電復帰状態）されます。
初期化設定 接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。
タッチパネル調整 表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

⑭タッチパネル調整



表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。
画面の指示にそって、［＋］マーク中心をタッチしてください。
確定 で終了します。



10. サービス・メンテナンス方法のつづき

⑮室内機容量表示

室内機容量表示

室内機No.		容量
000	FDT	40
001	FDK	71
002	FDTC	80
003	FDF	112
004	FDU	224
005	FDT	280

次ページ　戻る

リモコンに接続されている室内機の形式と容量を表示します。
室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

⑯安全システムメンテナンス

安全システムメンテナンス

遮断弁メンテナンス ⑰
安全システム接続状態確認 ㉑
冷媒センサ積算時間保存 ㉒
冷媒センサ積算時間リセット ㉕

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑰遮断弁メンテナンス

遮断弁メンテナンス

遮断弁状態 ⑱
コイル交換表示リセット ⑲
遮断弁交換表示リセット ⑳

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑱遮断弁状態

遮断弁状態

項目	データ
液遮断弁	オープン
ガス遮断弁	クローズ
コイル通電時間	20000時間
遮断弁開閉回数	2回
コイル効果時期	交換時期です
遮断弁交換時期	

戻る

表示する項目

液遮断弁
ガス遮断弁
コイル通電時間
遮断弁開閉回数
コイル交換時期
遮断弁交換時期

画面移行時の安全遮断弁の状態を表示します。表示する項目は右表のとおりです。
表示を更新するには再度、画面に移行してください。

⑲コイル交換表示リセット

コイル交換表示リセット

交換表示をリセットしますか?

はい

戻る

コイル交換表示をリセットします。

⑳遮断弁交換表示リセット

遮断弁交換表示リセット

交換表示をリセットしますか?

はい

戻る

遮断弁交換表示をリセットします。

㉑安全システム接続状態確認

安全システム接続状態確認

項目	データ
遮断弁	接続中
冷媒漏洩検知器A	接続中
冷媒漏洩検知器B	未接続
冷媒漏洩検知器C	未接続

戻る

画面移行時の室内ユニットと安全対策機器の接続状態を表示します。
表示を更新するには再度、画面に移行してください。

㉒冷媒センサ積算時間保存

冷媒センサ積算時間保存

積算時間保存 ㉓
保存データの転送 ㉔

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

㉓積算時間保存

積算時間保存

保存しますか?

はい

戻る

冷媒センサの積算時間をリモコンに保存します。

㉔保存データの転送

保存データの転送

転送しますか?

はい

戻る

リモコンに保存した積算時間を冷媒センサに転送します。

㉕冷媒センサ積算時間リセット

冷媒センサ積算時間リセット

リセットしますか?

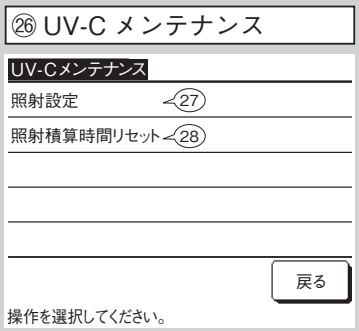
はい

戻る

冷媒センサの積算時間をリセットします。

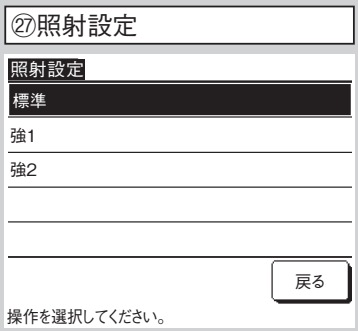
10. サービス・メンテナンス方法のつづき

㉖ UV-C メンテナンス



選択した画面に移ります。

㉗照射設定



ドレンクリーン(UV-C)の照射時間を設定します。

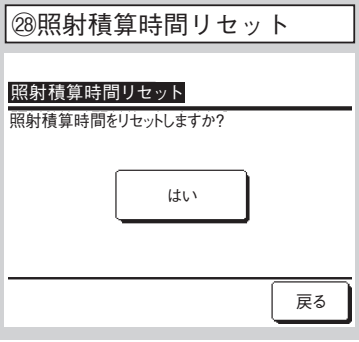
標準
15分照射/60分停止の繰り返し

強1
30分照射/60分停止の繰り返し

強2
30分照射/60分停止の繰り返し+運転停止後、ドレンポンプを1分間運転（1時間に1回程度）

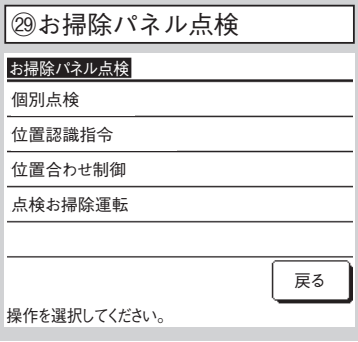
ドレンクリーン(UV-C)は以下の場合に動作します。
・冷房または除湿運転中
・冷房または除湿運転から運転停止した場合

㉘照射積算時間リセット



ドレンクリーン(UV-C)の積算時間をリセットします。

㉙お掃除パネル点検



FDTお掃除パネルを組合せる場合に操作できます。詳細は、お掃除パネル説明書を参照ください。

PSC012D153

(3) 室外ユニット

(a) FDCZP406H, 456H, 506H, 566H, 636H, 406HK, 456HK, 506HK, 566HK, 636HK
FDCVP406H, 456H, 506H, 566H, 636H, 406HK, 456HK, 506HK, 566HK, 636HK

ZP・VPシリーズ
ZP40～63, VP40～63
冷媒R32対応機

◎ 本説明書は "室外ユニットと総合工事仕様" について示したものです。"室内ユニット" については492ページをご覧ください。
◎ 据付時には据付場所の選定、電源仕様、使用可能範囲(配管距離・室内外高低差・電源電圧等)・据付スペース等などが適正であることを確認してください。

据付工事前に確認してください

●機種・電源仕様　●冷媒配管長
●配管・配線・小物部品　●室内ユニット据付説明書

安全上のご注意

● 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
● ここに示した注意事項は、「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、誤った据付をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。　いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
● ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない　❶⏚ 必ず指示に従い行う
● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの仕方をご指導下さい。
● 据付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管戴くように依頼してください。またお使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡しくださるよう依頼してください。

⚠ 警　告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

●据付工事は、据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると破裂、ケガの原因となり、また水漏れや感電、火災の原因になります。

●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良、ケガなどの原因になります。

●小部屋に据付ける場合は日本冷凍工業会のガイドラインJRA GL-13に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

●作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●ユニットを搬入する際、重量に適合したロープをユニットの所定位置に掛けて行う。また横ズレしないよう固定し、確実に４点支持で実施する。
３点支持など搬入方法に不備があるとユニットが落下し、死亡や重傷の原因になります。

●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。

●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路優用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事を行う
感電、故障や動作不良の原因になることがあります。

●電源配線は、電流容量、規格に適合した配線により工事をする。
適合品以外の配線を使用した場合は、漏電、発熱、火災等の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、サービスパネルを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。

●密閉された部屋で配管ろう付作業をしない。
酸欠事故の原因になります。

●配管、フレアナット、工具はR32またはR410A専用のものを使用する。
既存(R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。

●フレアナットの締付けはダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付ける。締付過ぎによるフレア部の破損に注意してくださ　い。
フレア部のゆるみ、締付過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏えいして酸欠事故の原因になることがあります。

●冷媒配管工事、気密試験および真空引きが完了するまでは、サービスバルブ（液、ガス共）を開けないでください。
冷媒配管が確実に取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

●保護装置の改造や設定変更をしない。
圧力開閉器や温度調節器などの保護装置を短絡して強制運転を行ったり、当社指定の部品を使用しないと、火災や爆発の原因になります。

●据付時や点検・サービス時など、ユニット内の作業を行う場合は、電源を切ってから行ってください。
据付・点検・修理にあたって、ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電や故障およびユニットファン回転によるケガの原因になります。

●エアコンを移動、再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

●ポンプダウン作業では、操作弁を閉じた後、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止する。
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。

⃠

●エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒（R32)以外の空気等を入れない。
空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。

●パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

●サービスパネルは確実に取付ける。
サービスパネルの取付に不備があると、ホコリ、水などにより、火災、感電の原因になります。

●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

⚠ 注　意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないで下さい。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。またガス管にアースすると、ガス漏れの時に爆発、引火の可能性があります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切なブレーカを使用すると故障や火災の原因になります。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。　PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないで下さい。　また素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。また梱包用のポリプクロで子供が遊ぶと窒息事故の原因となりますので、必ず破いてから廃棄してください。

●室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままにしておくとか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して、露たれ等を発生し、天井、床その他、大切なものを濡らす原因となることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。

●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると、以上振動・騒音増大の原因になります。

⃠

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に滞ると、発火の原因となることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガス等）、可燃性ガス（シンナー、ガソリン等）、の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付け、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは火災の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●室外ユニットを屋上あるいは高所に設置する場合は、転落防止のため、通路には恒久ハシゴ、手すり等を、また室外ユニット周辺にはフェンス、手すり等を設けてください。
フェンス、手すり等がない場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から　医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかとなるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気配線に触れると、故障や発煙、発火の原因になることがあります。またお客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだまま放置するとユニットの落下につながり。ケガの原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・カーボン繊維や金属粉、パウダー等が浮遊する所
・車両、船舶等移動するものへの設置
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場等）
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・アンモニアの雰囲気にさらされる所
・通風の悪い所
・複数台設置の場合に、ショートサーキットがおきるような所
・硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ等の機器に影響する物質の発生する所
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・高周波を発生する機械を使用する所
・積雪の多い所（設置する場合、所定の架台、防雪フードを取付けることが必要です）
・標高1000m以上の所
・他の熱源から熱放射を受ける所
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強風の影響をうけやすい所（室外ユニットに直接強風が吹込む所）
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したり火災発生の原因になることがあります。

●次の場所への室外ユニットの据付は避ける。
・騒音や熱風が隣家に迷惑をかけるような所
・吹出しの風が動植物に直接植木にあたる場所
　吹出し風による植木などへの被害の原因になります
・ドレンの排水がとれない所
・強度が不十分で振動が増幅、伝達しやすい所
・機器から発生する騒音、振動の影響を受けやすい所（寝室の壁やその近傍）
・高周波に影響される機器のある所（TVおよびラジオ等の近傍）
周辺の環境に影響をおよぼしクレームの原因になることがあります。

●食品、動植物、精密機器、美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状況により低温と高温になります。　素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

●室内ユニットを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●室外ユニットの上に物を置いて運転を行わない。
落下物により物が破損したり、ケガの原因となります。

●室外ユニットの上に乗らない。
落下、転倒などによりケガの原因となります。

冷媒R32対応機としての注意点

●R32以外の冷媒は使用しないでください。R32は従来の冷媒（R22など）に比べ圧力が1.6倍高くなります。
●R32機は、他冷媒の誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。また、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法およびフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工・サービス時には、右表に示すR32またはR410A専用ツールを準備してください。
●チャージシリンダは使用しないでください。
●室内ユニットはR32専用またはR32/R410A併用機となります。接続可能な室内ユニットはカタログ等で確認してください。（他の室内ユニットを接続すると正常運転できません。）
●異種油の混入をさけるために、冷媒の種類により工具を使い分けしてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C）と共用しないでください。
●冷媒R32にはわずかながら燃焼性があります。そのため、半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は冷媒漏えいセンサを携行してください。冷媒が漏えいした場合、窒息や着火の原因となる恐れがあります。

	R32またはR410A専用ツール
a)	ゲージマニホールド
b)	チャージホース
c)	冷媒充填用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツール
f)	出し代調整用銅管ゲージ
g)	真空ポンプアダプタ
h)	ガス漏れ検知器



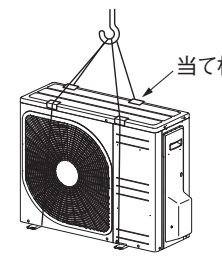
地球温暖化防止のため、この製品の移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。本機には地球温暖化係数(GWP)が675のフロン類を使用しています。(冷媒R32)

1．ユニットの搬入・据付（ユニットの搬入・移動には十分に注意し、必ず2人以上で行ってください。）

⚠ 注意　ユニットにロープ掛けを行い搬入する場合は、必ずユニット重心のずれを考慮してください。ユニットが安定を失って落下する恐れがあります。

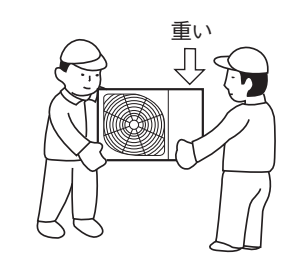
1）搬入

●据付場所付近までできるだけ梱包のままで搬入してください。
●やむを得ず解梱して搬入する場合は、ユニットを傷付けないようにナイロンスリングで吊り下げるか、または当て板をしてロープで吊り下げてください。



2）移動

●ユニット正面（吹出側）から見て右側が重くなっています。右側を持つ作業者は十分に注意してください。左側を持つ作業者は、右手でユニット正面の把手を持ち、左手はコーナー支柱部に添えてください。

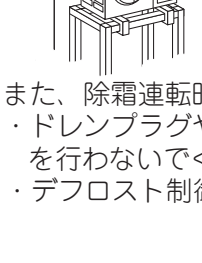


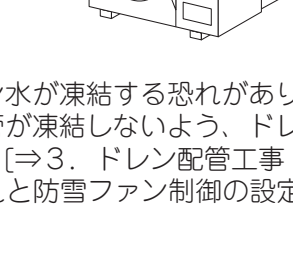
3）据付場所の選定

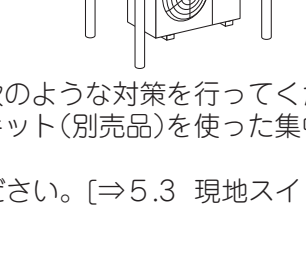
下記条件に注意し、据付場所を選んでください。
○ 室外ユニットの重量・振動に耐え、水平に据付けられる安全な所
○ 運転音や温風で隣家に迷惑のかからない所　○ 油煙が発生しない所
○ 可燃性ガスの漏れる恐れのない所　○ ドレン水が流れてもよい所
○ 他の熱源から熱輻射を受けない所　○ 積雪で埋まらない所
○ テレビやラジオの周囲から５ｍ以上離れた所（電波障害を受ける場合はさらに離してください。）
○ 通風が充分に確保でき、保守点検を安全に行えるサービススペースを確保できる所
○ 電磁波、高調波を発生する機械がない所
○ 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ(アンモニアを含む)など機器に影響する物質の発生・滞留しない所
○ 吹出口に強風が当たらない所

4）据付場所に関する注意

（1）積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
①積雪面より底板が高くなるよう室外ユニットを架台の上に設置してください。
②吹出口に防雪フード(別売品)を取付ける。
③軒下に設置するか、雪除け屋根(現地手配)を取付けてください。

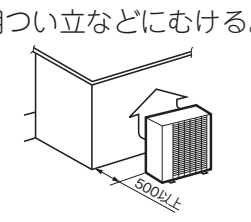


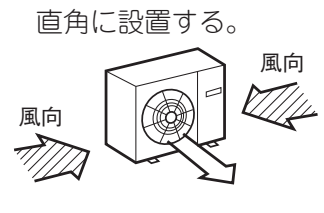


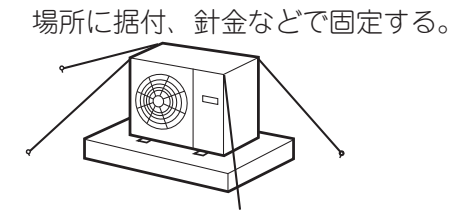


また、除霜運転時のドレン水が凍結する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
・ドレンプラグやドレン管が凍結しないよう、ドレン集中排水キット(別売品)を使った集中排水工事を行わないでください。[⇒3．ドレン配管工事 参照]
・デフロスト制御の切換えと防雪ファン制御の設定を行ってください。[⇒5.3 現地スイッチの設定参照]

（2）強風の影響を受けやすい場所では、下記の内容に従って防風対策を行ってください。
能力の低下、高圧上昇による異常停止、ファンの破損などの原因となります。
①吹出側を建物の壁、塀および防風用つい立などにむける。
②吹出方向を風向きに対して直角に設置する。
③強風等の影響がある場合は安定した場所に据付、針金などで固定する。







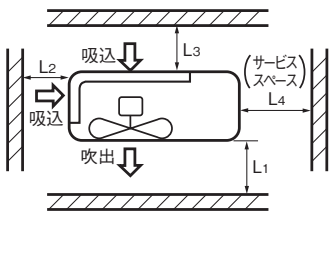
（3）維持管理に関する注意（耐重塩害仕様の場合）
耐重塩害仕様機は耐食性に優れた部品を使用していますが、適切な据付場所選定および維持管理を行わないと破損・故障の原因となります。
以下の内容を守ってください。
●海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また、波しぶき等が直接かかる場所への設置はさけてください。
●外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。
●室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
●海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
●据付、メンテナンス等で付いた傷は、補修してください。
●機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。
●基礎部分の排水性を確保してください。

5）据付スペース

●四方障壁は不可です。
●ユニット上方のスペースは1m以上確保してください。
●横連続設置するときは、ユニット間に250mm以上のサービススペースを確保してください。また、コントロールのサービス性を考慮しユニットの天板が外せるようにユニット間のスペースを確保してください。
●ショートサーキットの恐れのある場所はガイドルーバを取付けてください。
●複数台設置する場合は、特にショートサーキットが生じないように吸込スペースを十分に確保してください。

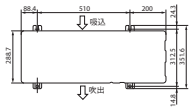
(mm)

寸法＼据付例	ZP40～63、VP40～63 I	II	III	IV
L1	開放	280	280	180
L2	100	75	開放	開放
L3	100	80	80	80
L4	250	開放	250	開放

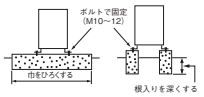


6）据付

①アンカーボルト固定位置



②据付時の注意



●ユニットを据付ける場合、左記ボルトでユニットの足を必ず固定してください。
●前面側アンカーボルト飛び出し長さは15ｍｍ以下としてください。
●地震や突風などで倒れないように強固に据付けてください。
●コンクリート基礎は左図を参照してください。
●ユニットは水平に設置してください。（ベース面で左右の差は５ｍｍ以下）
圧縮機の故障、ユニット内配管の破損、異常音の原因になります。

7）外気温－5℃以下で冷房運転を行う場合

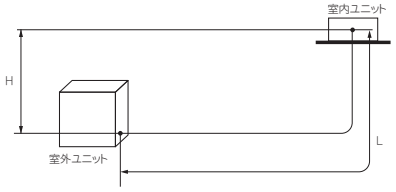
●フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

2. 冷媒配管工事 詳細は、冷媒配管工事説明書をご覧ください。

1） ユニット据付使用制限

●室内ユニットの仕様と据付場所に合わせて以下の内容を確認してください。
●以下の据付使用制限は必ず守ってください。据付に不備があると圧縮機の故障や能力低下の原因となります。

制 限 項 目		制限寸法	右図での記号
片道配管長		50m以下	L
主管長		50m以下	L
室内外ユニット間の高さの差	室外ユニットが上の場合	30m以下	H
	室外ユニットが下の場合	15m以下	H



⚠ 注意 ●上表の使用制限は下表に示す標準配管サイズの場合を示します。既設配管を使用する場合は配管サイズにより片道配管長の制限が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

2） 冷媒配管サイズ選定

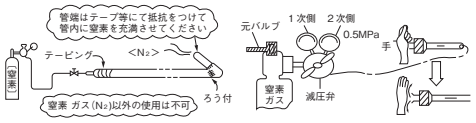
●室内ユニットの仕様に合わせて以下の内容で冷媒配管サイズを選定してください。

	ZP40～63、VP40～63	
	ガス管	液管
室外ユニット接続	φ12.7	φ6.35
	フレア	フレア
冷媒配管(主管L)	φ12.7	φ6.35
室内ユニット接続	φ12.7	φ6.35

配管をろう付する場合

ろう付について

ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。
窒素ガスを流さないと多量の異物（酸化皮膜）が生成され、キャピラリチューブや膨張弁詰りによる致命的故障の原因となります。



3） 冷媒配管の肉厚および材質

●冷媒配管のサイズに対して以下の肉厚および材質のものを選定してください。

配管外径［mm］	6.35	9.52	12.7	15.88
最小配管肉厚［mm］	0.8	0.8	0.8	1.0
配管材質※	O材 OL材			

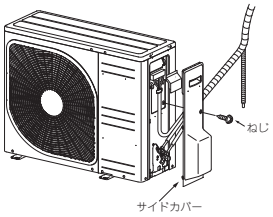
お願い ●配管の選定・施工については、必ず「冷凍保安規則関係例示基準」を厳守してください。
●配管肉厚は、最小配管肉厚以上のものを選定してください。

※リン脱酸銅継目無管 C1220T、JIS H 3300

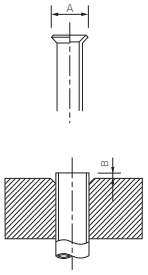
4） 現地配管施工

⚠ 重要 施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意してください。内部部品に接触すると、異常音・振動が発生します。

サイドカバーの外し方 サイドカバーのねじを外し、下方にスライドさせ、手前に外してください。



●現地配管施工は、操作弁を全閉にして行ってください。
●配管内部に水分、異物が入らないように、管端の養生（潰してろう付または粘着テープによる）を十分に行ってください。
●配管の曲げはできるだけ大きな半径（R100～R150）で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
●ユニットと冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付後、フレア加工を施してください。R32のフレア加工寸法は、従来のR407Cとは異なります。
R32またはR410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整用ゲージにて出し代Ｂ寸法を調節すれば、従来ツールを使用できます。
●フレア接続はダブルスパナで締付けてください。



フレア管端部：A（mm）

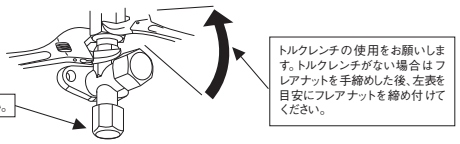
銅管外径	A
φ6.35	8.9～ 9.1
φ9.52	12.8～13.2
φ12.7	16.2～16.6
φ15.88	19.3～19.7

フレア加工の銅管出し代：B（mm）

銅管外径	リジッド（クラッチ式）の場合	
	R32またはR410A	従来ツール使用時
φ6.35	0～0.5	0.7～1.3
φ9.52		
φ12.7		
φ15.88		

⚠ 注意 **フレアナットを適正トルクを超えて締めないでください。** 液側、ガス側操作弁ともに右の絵のように操作弁本体を固定し、適正な締付トルクにて締付をお願いします。

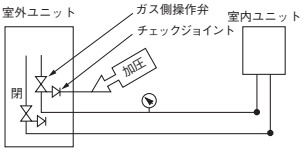
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が低下することにより、軸方向分力が増加してフレアの応腐食割れの原因となることがあります。ユニオンねじ部、またはフレア外面には冷凍機油塗布しないでください。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面のみとしてください。



操作弁サイズ (mm)	締 付トルク (N·m)	締付角度（° ）	工具の推奨腕長さ (mm)
φ6.35 (1/4")	14～17	45～60	150
φ9.52 (3/8")	34～42	30～45	200
φ12.7 (1/2")	49～61	30～45	250
φ15.88(5/8")	68～82	15～20	300

5） 気密試験

①室外ユニットおよび室内ユニット本体の気密試験は弊社にて実施済ですが、配管接続後、接続配管の気密試験を室外ユニット側の操作弁のチェックジョイントより行ってください。尚､操作弁は必ず閉のままにして実施してください。
（ア）0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて５分間以上放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
（イ）次に1.5MPaまで加圧し、再び５分間以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
（ウ）その後、規定圧力（4.15MPa）まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモしてください。
（エ）約１日放置し、圧力が低下していなければ合格です。この際周囲温度が１℃低下すると圧力が約0.01MPa低下しますので補正を行ってください。
（オ）（ア）～（エ）の確認で圧力低下の認められたものには漏れがあります。溶接箇所、フレア部等に発泡試験液等を用いて漏れ箇所を発見し補修してください。補修後は再度気密試験を実施してください。
②気密試験には窒素ガスを使用し、窒素ガスによる加圧はガス側から行ってください。また窒素以外のガスは絶対使用しないでください。



6） 真空引き

＜作業フロー＞

気密試験完了 → 真空引き開始 → －101kPa以下（－755mmHg以下）になってから1時間以上真空ポンプの運転を続けてください。 → 真空引き完了 → 1時間以上放置し真空ゲージの針の上昇なきこと → 真空度チェック → 冷媒封入

真空ゲージの針が上昇した場合は系統内に水分が残っているか、漏れ箇所があります。
漏れ箇所をチェックし、修正後再度真空引きをしてください。

本機はR32のため下記の点にご注意ください。

●異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具等を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C等）と共用しないでください。
●真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用ください。

7）冷媒追加封入

（1）下表に従い、冷媒封入量を計算してください。

	工場出荷時チャージ量(kg)	追加チャージ不要の現地配管長さ(m)	冷媒配管(液管φ6.35)1m あたりの追加チャージ量(kg)	基準チャージ量(kg)	基準チャージ配管長(m)
ZP40～56、VP40～56	1.30	20	0.02	-	-
ZP63、VP63	1.50	30	0.02	1.30	20

●室外ユニットは工場出荷時に上表の追加チャージ不要の現地配管長さ分相当の冷媒が封入されています。その配管長さ以内であれば現地での追加チャージが不要です。それを超えた分については、配管長と上表より追加チャージ量を計算し追加封入してください。

●既設配管を使用する場合は、液管サイズにより必要封入量が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

追加冷媒量計算式

ZP40～56、VP40～56	追加封入量(kg)＝{主管長(m)－チャージレス分20(m)}×0.02(kg/m)
ZP63、VP63	追加封入量(kg)＝{主管長(m)－チャージレス分30(m)}×0.02(kg/m)

※追加冷媒量の計算結果が負の値になる場合は、追加チャージ不要です。

●サービスなどで再チャージする場合は配管長20m以下では以下の冷媒量を再封入して下さい。

40～56クラス　工場出荷時チャージ量を封入して下さい。

63クラス　基準チャージ量を封入して下さい。配管長20～30mの場合は、下記の例のごとく冷媒を封入して下さい。

例）10mで再チャージする場合は1.30kg封入してください。

25mで再チャージする場合は1.30+(25-200)×0.02＝1.40kgを封入してください。

（2）冷媒封入

●操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。この際も、ボンベからの冷媒取出しは必ず液相で行ってください。ただし圧縮機保護のため、ボンベのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。

●冷媒の封入は必ずはかりを使用して計算封入してください。

●運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。

⚠ 注意

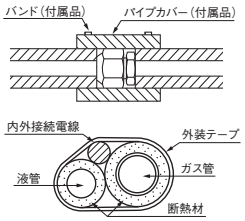
この製品はフロン排出抑制法の第1種特定製品です。

●フロン類をみだりに大気に放出することは禁じられています。

●この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。冷媒回収するときは、フロン排出抑制法の基準に従ってください。

●**冷媒の追加・回収量および出荷時との合計量をサイドカバー裏面の冷媒量記入銘板に必ず記載してください。**また、そのCO₂換算値も記入ください。

●機器の修理、運転、調整などにより、冷媒の回収や充填を行い表示内容が生じたときは、冷媒量を再記載してください。



8）断熱・防露

（1）冷媒配管（ガス管、液管共）の防露断熱工事を行ってください。

・防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。

（2）断熱材は120℃以上の耐熱性があるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。

・ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。

・室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）

・断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。

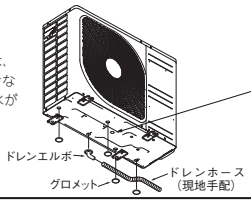
・本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、**相対湿度70％を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。**

3. ドレン配管工事

●室外ユニットからのドレンが問題になる場所では、同梱のドレンエルボ、ドレングロメットを利用してドレン配管を施工してください。

0℃以下の気温が数日続く地域では、ドレンエルボ・グロメットは取付けないでください。(凍結によりドレン水が排水できなくなる恐れがあります。)

※三菱重工冷熱(株)ドレン集中排水キット HA05700を推奨します。



⚠ 注意

この穴部分には、グロメットを取付けない。この穴は､ドレン水が多量にたまった場合の予備の排水穴です。

●凝縮水を排水口などに導くときは平置き台（別売品）やブロックなどに載せて据付けてください。

4. 電気配線 電気工事の詳細は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

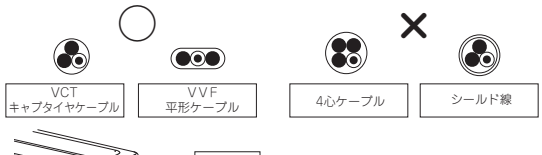
●漏電しゃ断器の取付を必ず行ってください。漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

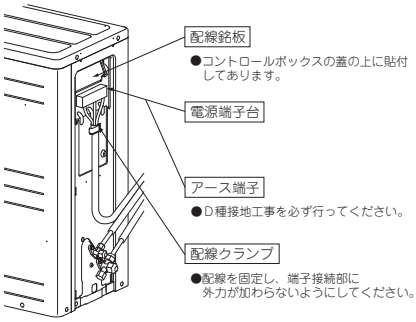
●室内外配線は同一端子番号を接続してください。

●配線は、配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようにしてください。

●制御箱にアース端子があります。D種(第3種)接地工事を必ず行ってください。

●内外渡り線は必ず3心ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。

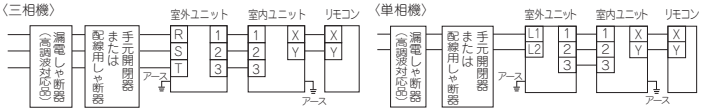




電源・内外接続線

●アース工事を行う際には、電源を切った状態で実施してください。

⚠ 注意 漏電しゃ断器の誤動作を防ぐため、必ずインバータ回路用しゃ断器を使用してください。



機種		漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
			開閉器容量	Bヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ねじ
単相	ZP40～63 VP40～63	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	2.0mm²×2	14m	φ1.6×3	2.0mm²	M5
三相	ZP40～63 VP40～63	15A,30mA,0.1sec以下	30A	15A	15A	2.0mm²×3	21m	φ1.6×3	2.0mm²	M5

※室内ユニットがFDU、FDR機の場合

機種		漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
			開閉器容量	Bヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ねじ
単相	ZP40～63 VP40～63	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²×2	18m	φ1.6×3	2.0mm²	M5
三相	ZP40～56 VP40～56	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	2.0mm²×3	11m	φ1.6×3	2.0mm²	M5
三相	ZP63 VP63	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	3.5mm²×3	32m	φ1.6×3	2.0mm²	M5

●配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2％とした場合を示します。これ以外の条件は内線規程により実施してください。

●上図は室外電源取りの場合を示します。既設配線流用接続（室内電源取り、室内、室外電源取り）はカタログを参考ください。

5. 試運転

⚠ 警告

●試運転の前に操作弁が全開になっていることを必ず確認してください。

●試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。

左記の項目に不備がありますと、圧縮機が故障することがあります。

●停止から運転までは、必ず3分以上待ってください。

●サービスパネルを外すと、高圧充電部・高温部が露出して危険です。感電や火傷に十分注意してください。また、サービスパネルを開けたまま放置しないでください。

⚠ 注意

●現地設定スイッチを操作する場合は、充電部に触れぬよう十分注意してください。

●液操作弁のチャージポートから吐出圧力の検圧はできません。

●四方弁(20S)は暖房運転時に通電されます。

●電源しゃ断によりリセットする場合は、電源しゃ断より3分経過後に電源を再投入してください。3分経過後でなければ「E-5」(通信異常）が発生する場合があります。

絶縁抵抗について

●据付直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合、圧縮機に冷媒が溜まることにより、絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく、漏電ブレーカーが作動する場合は、以下の事項を確認ください。
①電源を投入し、6時間程度経過後、絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより、圧縮機に通電加熱を行い、圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており、漏電ブレーカの誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。

1）試運転方法

サイドカバーを外してください。

（1）現地設定スイッチSW5−3,4により室外ユニット側から試運転が可能です。
（2）SW5−3をONすることで圧縮機が運転します。
（3）SW5−4がOFF状態で冷房試運転を行い、ON状態では暖房運転を行います。
（4）**試運転終了後は、必ずSW5−3をOFFに戻してください。**

SW-5-3	SW-5-4	
ON	OFF	冷房試運転
	ON	暖房試運転
OFF	−	通常、および試運転終了

2）運転状態のチェック

サイドカバーを外してください。

吐出圧力、吸込圧力の検圧は、室外ユニット内部の四方弁後に取付けられたチェックジョイントおよび、ガス操作弁のチャージポートから行ってください。冷房運転・暖房運転によって右表のように検出圧力は異なります。

	配管の チェックジョイント	ガス操作弁の チャージポート
冷房運転	吐出圧力（高圧）	吸込圧力（低圧）
暖房運転	吸込圧力（低圧）	吐出圧力（高圧）

3）現地設定スイッチSW5-1の設定

サイドカバーを外してください。

デフロスト制御切換え（SW5-1）
・ONすることでデフロスト制御に入り易くなります。
・暖房シーズン時、外気温が氷点下以下となる地域は、設定をONにしてください。

4）試運転時の故障診断

リモコン表示	室外基板LED表示(周期5秒) 赤LED	故障内容	対策
E34	1回点滅	欠相	電源線のゆるみ、外れのないことを確認
E57	1回点滅	操作弁閉運転	1. 操作弁が開いているか確認 2. 圧縮機停止から3分経過後、異常が解消されていればリモコンからの点検リセットにより再起動可能

●上記以外の異常が表示される場合は、室外ユニットと室内ユニットの配線銘板をご覧ください。

5）停止時の電子膨張弁の状態

電源投入時の通常停止時、および異常停止時の電子膨張弁の状態は右表の通りです。

電源投入時	通常停止時	異常停止時
微開	全閉	全開

試運転前の確認事項

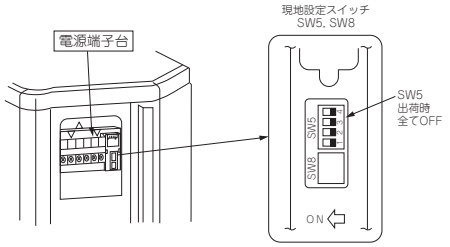
●電源を入れた状態で室外ユニットから離れる場合は、パネルを必ず閉めてください。

据説の項目No	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付しましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付けられていますか。	
		操作弁は液管側、ガス管側の両方とも確実に開いていますか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		しゃ断器、配線など電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線が入れ替わっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		室内外配線は同一端子番号間で接続していますか。	
		室内外配線はVCTキャブタイヤケーブルまたはVVF平形ケーブルですか。	
		アース工事はD種接地（第3種接地）工事が行われていますか。	
		他の機器のアース線と接続せず、単独でアースを取っていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようになっていますか。	
−	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合は、化粧パネルの取付が完了していますか。	

試運転手順

●必ず試運転を行い、下記の順に従ってチェックを行ってください。

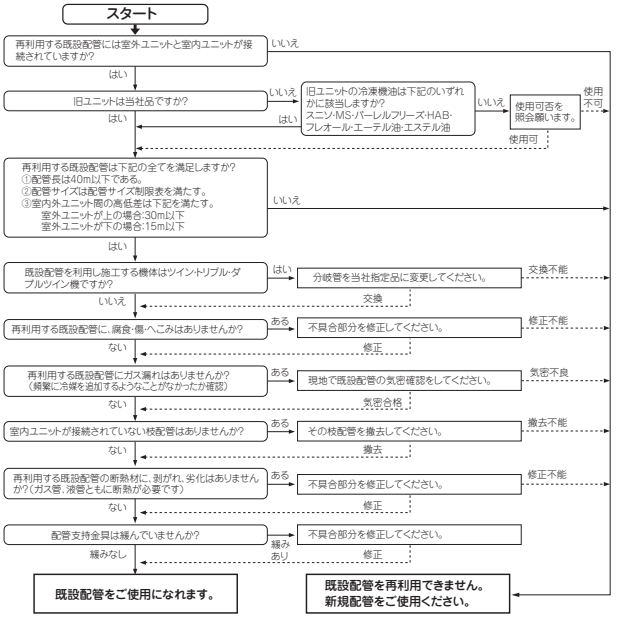
順番	操作内容	チェック
①	ガス側操作弁を全開にしてください。	
②	液側操作弁を全開にしてください。	
③	パネルを閉めてください。	
④	リモコンによる現地設定を行う場合は、リモコンによる現地設定の説明に従って行ってください。	
⑤	SW5-3 ON ／ SW5-4 OFF:冷房試運転を開始します。 SW5-3 ON ／ SW5-4 ON:暖房試運転を開始します。	
⑥	運転が開始したら、リモコンの風向き調節ボタンを押して作動を確認してください。	
⑦	室内ユニットの吹出口に手を当て、冷房は冷風、暖房は暖風が出ていることを確認してください。	
⑧	赤LEDが点滅していないことを確認してください。	
⑨	試運転終了後、必ずSW5-3をOFFしてください。	
⑩	オプション品を使用している場合は、各々の取扱説明書に従って機能の確認をしてください。	



※1　SW8は操作しないでください

6. 既設配管対応

既設配管が再利用できるかどうかを下記フローチャートを使用して判断してください。
リニューアルキット（オプション）をご使用の場合は、キット内に付属の説明書をご覧ください。



〈配管サイズ制限表〉

◎:標準配管サイズ　○:使用可能　△:配管長制限短縮

配管1m当たりの追加チャージ量		0.02kg/m		0.054kg/m	
配管サイズ	液管	φ6.35	φ6.35	φ9.52	φ9.52
	ガス管	φ12.7	φ15.88	φ12.7	φ15.88
ZP40 VP40	適用可否	◎	○	△	△
	最大片道配管長	50	50	20	20
	チャージレス長	20	20	10	10
ZP45 VP45	適用可否	◎	○	△	△
	最大片道配管長	50	50	20	20
	チャージレス長	20	20	10	10
ZP50 VP50	適用可否	◎	○	△	△
	最大片道配管長	50	50	20	20
	チャージレス長	20	20	10	10
ZP56 VP56	適用可否	◎	○	△	△
	最大片道配管長	50	50	20	20
	チャージレス長	20	20	10	10
ZP63 VP63	適用可否	◎	○	△	△
	最大片道配管長	50	50	20	20
	チャージレス長	30	30	15	15

追加チャージ量計算式

追加チャージ量(kg)=(主配管長(m)−表のチャージレス長(m))×表の配管1m当たりの追加チャージ量(kg/m)

※計算の結果が負の値になる場合は追加チャージ不要です。
例）既設配管20m（液管φ9.52、ガス管φ15.88）を使用して、ZP63を設置する場合。
(20m−15m)×0.054kg/m=0.27kgを追加チャージする。

⚠ 注意

〈既設ユニットが冷房運転可能な場合〉

既設ユニットで下記作業 を実施してください。（①→②→③→④の順番）

①30分間冷房運転
②ビニールシートなどで室内ユニット吸込口を完全に閉塞し3分間冷房運転（液パック運転）
③室外ユニットの液操作弁を締めポンプダウン（冷媒回収）
④窒素ガスによるブロー　※ブローにより変色した冷凍機油や油以外の残留物が排出された場合は「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。

〈既設ユニットが冷房運転できない場合〉

「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。

●フレアナットは流用せず室外ユニット付属のものを使用してください。
またフレアはR32用に再加工してください。
●「配管洗浄」を行う場合は、最寄の代理店にお問い合わせください。

PSC012D056D

(b) FDCZP806H, 806HK

ZPシリーズ, VPシリーズ
ZP80, VP80
冷媒R32対応機

◎ 本説明書は“室外ユニットと総合工事仕様”について示したものです。“室内ユニット”については492ページをご覧ください。
◎ 据付時には据付場所の選定、電源仕様、使用可能範囲（配管距離・室内外高低差・電源電圧等）・据付スペース等などが適正であることを確認してください。
◎ この室外ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

● 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
● ここに示した注意事項は、「⚠**警告**」「⚠**注意**」に区分していますが、誤った据付をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「⚠**警告**」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠**注意**」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。　いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
● ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。⃠ 絶対に行わない ❶⏚ 必ず指示に従い行う
● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの仕方をご指導下さい。
● 据付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管戴くように依頼してください。またお使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡しくださるよう依頼してください。

据付工事前に確認してください

●機種・電源仕様　●冷媒配管長
●配管・配線・小物部品　●室内ユニット据付説明書

⚠ 警　告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

●据付工事は、据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると破裂、ケガの原因となり、また水漏れや感電、火災の原因になります。

●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良、ケガなどの原因になります。

●小部屋に据付ける場合は日本冷凍工業会のガイドラインJRA GL-13に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

●作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●ユニットを搬入する際、重量に適合したロープをユニットの所定位置に掛けて行う。また横ズレしないよう固定し、確実に4点支持で実施する。
3点支持など搬入方法に不備があるとユニットが落下し、死亡や重傷の原因になります。

●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。

●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事を行う
感電、故障や動作不良の原因になることがあります。

●電源配線は、電流容量、規格に適合した配線により工事をする。
適合品以外の配線を使用した場合は、漏電、発熱、火災等の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●電源コードの加工、途中接続、タコ足配線はしない。
接触不良・絶縁不良・許容電流オーバー等により、発熱・火災・感電の原因になります。

●電源コードを束ねたり、巻いたり、電源プラグを踏む等して変形させない。
発熱・火災・感電の原因になります。

●密閉された部屋で配管ろう付作業をしない。
酸欠事故の原因になります。

●配管、フレアナット、工具はR32またはR410A専用のものを使用する。
既存（R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。

●フレアナットの締付けはダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付ける。締付過ぎによるフレア部の破損に注意してください。
フレア部のゆるみ、締付過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏えいして酸欠事故の原因になることがあります。

●冷媒配管工事、気密試験および真空引きが完了するまでは、操作弁（液、ガス共）を開けないでください。
冷媒配管が確実に取付けておらず、操作弁開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。
また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

●保護装置の改造や設定変更をしない。
圧力開閉器や温度調節器などの保護装置を短絡して強制運転を行ったり、当社指定の部品を使用しないと、火災や爆発の原因になります。

●据付時や点検・サービス時など、ユニット内の作業を行う場合は、電源を切ってから行ってください。
据付・点検・修理にあたって、ユニット電源しゃ断器がONのままだと、感電や故障およびユニットファン回転によるケガの原因になります。

●エアコンを移動、再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

●ポンプダウン作業では、操作弁を閉じた後、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止する。
圧縮機を運転したまま操作弁開放状態で冷媒配管をはずすと急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。
また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。

⃠

●エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒（R32)以外の空気等を入れない。
空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。

●パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

●サービスパネルは確実に取付ける。
サービスパネルの取付けに不備があると、ホコリ、水などにより、火災、感電の原因になります。

●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

●メンテナンス後にすべての配線およびタイラップ等を元の位置に戻してください。
金属部品との距離を確保する必要があります。

⚠ 注　意

⏚

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。またガス管にアースすると、ガス漏れの時に爆発、引火の可能性があります。

❶

●正しい容量の全極しゃ断するしゃ断器（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切なしゃ断器を使用すると故障や火災の原因になります。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。
また素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。また梱包用のポリプクロで子供が遊ぶと窒息事故の原因となりますので、必ず破いてから廃棄してください。

●室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままにしておくとか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して、露たれ等を発生し、天井、床その他、大切なものを濡らす原因となることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。

●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると、異常振動・騒音増大の原因になります。

⃠

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に滞ると、発火の原因となることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガス等）、可燃性ガス（シンナー、ガソリン等）、の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付け、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは火災の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●室外ユニットを屋上あるいは高所に設置する場合は、転落防止のため、通路には恒久ハシゴ、手すり等を、また室外ユニット周辺にはフェンス、手すり等を設けてください。
フェンス、手すり等がない場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかとなるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気配線に触れると、故障や発煙、発火の原因になることがあります。またお客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだまま放置するとユニットの落下につながり、ケガの原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・カーボン繊維や金属粉、パウダー等が浮遊する所
・車両、船舶等移動するものへの設置
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場等）
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・アンモニアの雰囲気にさらされる所
・通風の悪い所
・複数台設置の場合に、ショートサーキットがおきるような所
・ユニットの上方に置かれたものが落ちる可能性がある場所
・硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ等の機器に影響する物質の発生する所
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・高周波を発生する機械を使用する所
・積雪の多い所（設置する場合、所定の架台、防雪フードを取付けることが必要です）
・標高1000m以上の所
・他の熱源から熱放射を受ける所
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強風の影響をうけやすい所（室外ユニットに直接強風が吹込む所）
・塩化カルシウムを使用する所（融雪剤）
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したり火災発生の原因になることがあります。

●次の場所への室外ユニットの据付は避ける。
・騒音や熱風が隣家に迷惑をかけるような所
・吹出しの風が動植物に直接植木にあたる場所
　吹出し風による植木などへの被害の原因になります
・ドレンの排水がとれない所
・強度が不十分で振動が増幅、伝達しやすい所
・機器から発生する騒音、振動の影響を受けやすい所（寝室の壁やその近傍）
・高周波に影響される機器のある所（TVおよびラジオ等の近傍）
周辺の環境に影響をおよぼしクレームの原因になることがあります。

●食品、動植物、精密機器、美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状況により低温と高温になります。　素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

●室内ユニットを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●室外ユニットの上に物を置いて運転を行わない。
落下物により物が破損したり、ケガの原因になります。

●室外ユニットの上に乗らない。
落下、転倒などによりケガの原因になります。

●素手で室外ユニットのフィンや吸入管に触らないこと。
ケガの原因になります。

冷媒R32対応機としての注意点

●R32以外の冷媒は使用しないでください。R32は従来の冷媒（R22など）に比べ圧力が1.6倍高くなります。
●R32機は、他冷媒の誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。また、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法およびフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工・サービス時には、右表に示すR32またはR410A専用ツールを準備してください。
●チャージシリンダは使用しないでください。
●室内ユニットはR32またはR410A専用機となります。接続可能な室内ユニットはカタログ等で確認してください。（他の室内ユニットを接続すると正常運転できません。）
●異種油の混入をさけるために、冷媒の種類により工具を使い分けしてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒(R22,R407C) と共用しないでください。
●冷媒R32にはわずかながら燃焼性があります。そのため、半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は冷媒漏えいセンサを携行してください。
冷媒が漏えいした場合、窒息や着火の原因となる恐れがあります。

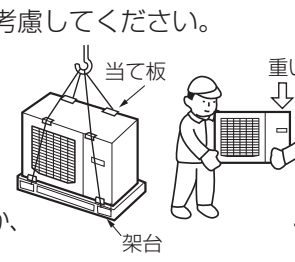
	R32またはR410A専用ツール
a)	ゲージマニホールド
b)	チャージホース
c)	冷媒充填用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツール
f)	出し代調整用銅管ゲージ
g)	真空ポンプアダプタ
h)	ガス漏れ検知器

フロンの見える化

地球温暖化防止のため、この製品の移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。本機には地球温暖化係数(GWP)が675のフロン類を使用しています。(冷媒R32)

1. ユニットの搬入・据付（ユニットの搬入・移動には十分に注意し、必ず2人以上で行ってください。）

⚠注意 ユニットにロープ掛けを行い搬入する場合は、必ずユニット重心のずれを考慮してください。
ユニットが安定を失って落下する恐れがあります。



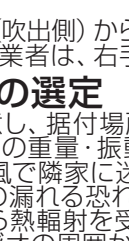
1) 搬入
●据付場所付近までできるだけ梱包のままで搬入してください。
●ロープ掛けを行い搬入する場合は玉掛けの資格のある方が行い、ユニットに過度な衝撃等を与えないように作業してください。
●ロープ掛けを行い搬入する場合は、ユニットにロープ掛けを行ってください。
●ロープ掛けする場合は、ユニットを傷付けないようにナイロンスリングで吊り下げるか、または当て板をしてロープで吊り下げてください。

2) 移動
●ユニット正面（吹出側）から見て右側が重くなっています。右側を持つ作業者は十分に注意してください。
左側を持つ作業者は、右手でユニット正面の把手を持ち、左手はコーナー支柱部に添えてください。

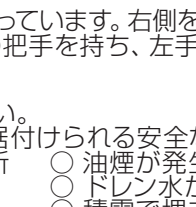
3) 据付場所の選定
下記条件に注意し、据付場所を選んでください。
○ 室外ユニットの重量・振動に耐え、水平に据付けられる安全な所
○ 運転音や温風で隣家に迷惑のかからない所
○ 可燃性ガスの漏れる恐れのない所
○ 他の熱源から熱輻射を受けない所
○ 油煙が発生しない所
○ ドレン水が流れてもよい所
○ 積雪で埋まらない所
○ テレビやラジオの周囲から5m以上離れた所（電波障害を受ける場合はさらに離してください。）
○ 通風が充分に確保でき、保守点検を安全に行えるサービススペースを確保できる所
○ 電磁波、高調波を発生する機械がない所
○ 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ（アンモニアを含む）など機器に影響する物質の発生・滞留しない所
○ 吹出口に強風が当たらない所

4) 据付場所に関する注意
(1) 積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。

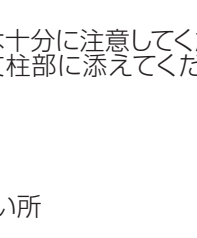
①積雪面より底板が高くなるよう室外ユニットを架台の上に設置してください。



②吹出口に防雪フード（別売品）を取付ける。



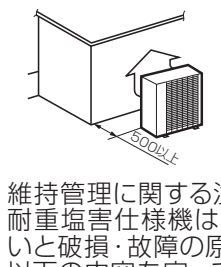
③軒下に設置するか、雪除け屋根（現地手配）を取付けてください。



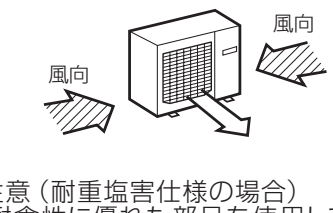
また、除霜運転時のドレン水が凍結する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
・ドレンプラグやドレン管が凍結しないよう、ドレン集中排水キット（別売品）を使った集中排水工事を行わないでください。
[⇒3. ドレン配管工事 参照]
・デフロスト制御の切換えと防雪ファン制御の設定を行ってください。
[⇒5. 試運転 参照]
・ドレン排水が凍結する恐れがある場所に設置する場合は凍結防止用ヒータを設置してください。
※ヒータを設置する場合は熱の影響により排水路にある材料を溶融しない様な、容量、配置、システムにて施工してください。

(2) 強風の影響を受けやすい場所では、下記の内容に従って防風対策を行ってください。
能力の低下、高圧上昇による異常停止、ファンの破損などの原因となります。

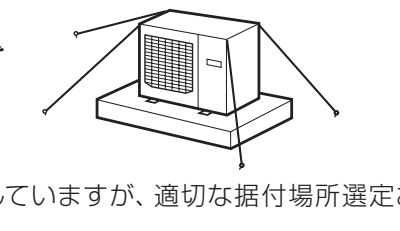
①吹出側を建物の壁、塀および防風用つい立などにむける。



②吹出方向を風向きに対して直角に設置する。



③強風等の影響がある場合は安定した場所に据付、耐風金具（別売品）やワイヤーロープなどでユニットを直接固定する。



④台風等の強風が吹出し口に吹付ける場合は防風キット（別売品）を取付ける。



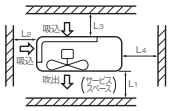
(3) 維持管理に関する注意（耐重塩害仕様の場合）
耐重塩害仕様機は耐食性に優れた部品を使用していますが、適切な据付場所選定および維持管理を行わないと破損・故障の原因となります。
以下の内容を守ってください。
●海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。
また、波しぶき等が直接かかる場所への設置はさけてください。
●外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。
室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。
●室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
●海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
●据付、メンテナンス等で付いた傷は、補修してください。
●機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。
●基礎部分の排水性を確保してください。

5) 据付スペース

●四方障壁は不可です。
●ユニット上方のスペースは1m以上確保してください。
●横連続設置するときは、ユニット間に250mm以上のサービススペースを確保してください。
●ショートサーキットの恐れのある場所はフレックスフローアダプタを取付けてください。
●複数台設置する場合は、特にショートサーキットが生じないように吸込スペースを十分に確保してください。
●吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。

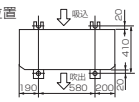
(mm)

寸法 ＼ 据付例	ZP80, VP80		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
L1	開放	開放	500
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	250	250	250

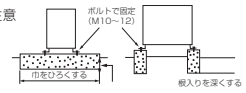


6) 据付

①アンカーボルト固定位置



②据付時の注意



●ユニットを据付ける場合、上記ボルトでユニットの足を必ず固定してください。
●前面側アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
●地震や突風などで倒れないように強固に据付けてください。
●コンクリート基礎は上図を参照してください。
●ユニットは水平に設置してください。(ベース面で左右の差は5mm以下)
圧縮機の故障、ユニット内配管の破損、異常音の原因になります。

7) 外気温−5℃以下で冷房運転を行う場合

●フレックスフローアダプタおよび防雪フード (別売品) を取付けてください。

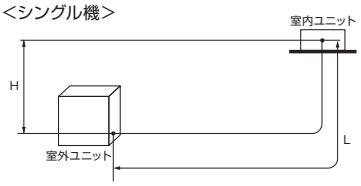
2. 冷媒配管工事

1) ユニット据付使用制限

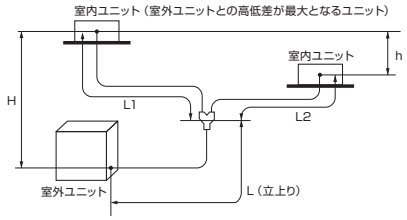
●室内ユニットの仕様と据付場所に合わせて以下の内容を確認してください。
●以下の据付使用制限は必ず守ってください。据付に不備があると圧縮機の故障や能力低下の原因となります。

制限項目		制限寸法	右図での記号	
			シングル機	ツイン機
配管総長	ZP80, VP80	70m以下	L	L+L1+L2
主管長	ZP80, VP80	70m以下	L	L
第一分岐後の片道配管長		20m以下	−	L1, L2
第一分岐後配管長の差		10m以下	−	|L1−L2|
室内外ユニット間の高さの差	室外ユニットが上の場合	30m以下	H	H
	室外ユニットが下の場合	15m以下	H	H
室内ユニット間の高さの差		0.5m以下	−	h

<シングル機>



<ツイン機>



⚠注意 ●上表の使用制限は下表に示す標準配管サイズの場合を示します。既設配管を使用する場合は配管サイズにより配管総長の制限が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

2) 冷媒配管サイズ選定

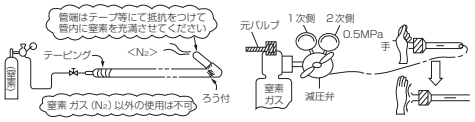
●室内ユニットの仕様に合わせて以下の内容で冷媒配管サイズを選定してください。

		ZP80, VP80	
		ガス管	液管
室外ユニット接続		φ15.88フレア	φ9.52フレア
冷媒配管 (主管L)		φ15.88	φ9.52
シングル機の場合	室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	P80	
ツイン機の場合	分岐管セット	DIS-WA1G	
	冷媒配管 (分岐管L1,L2)	φ12.7	φ9.52
	室内ユニット接続	φ12.7	φ9.52
	室内ユニット容量	P40 X2	

⚠注意 ●接続する室内ユニットがP40の場合、分岐配管部 (分岐管〜室内ユニット) の液配管サイズは必ずφ9.52とし、室内ユニット (液配管側φ6.35) への接続は分岐管セットに付属の異径継手を使用してください。
φ6.35のまま接続されますと、分配不良の原因となり、片方の室内ユニットが能力不足となります。
●立ち上がり配管は主管としてください。また、分岐管セットはできるだけ室内ユニットに近いところに水平に分岐するように取付けてください。また、分岐部には付属の断熱材を取付けてください。
●分岐部の施工詳細は、分岐管セットに付属の説明書を参照してください。

ろう付について

ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。
窒素ガスを流さないと多量の異物 (酸化皮膜) が生成され、キャピラリチューブや膨張弁詰りによる致命的故障の原因となります。



3) 冷媒配管の肉厚および材質

●冷媒配管のサイズに対して以下の肉厚および材質のものを選定してください。

配管外径 [mm]	6.35	9.52	12.7	15.88
最小配管肉厚 [mm]	0.8	0.8	0.8	1.0
配管材質※	O材	O材	O材	O材

お願い ●配管の選定・施工については、必ず「冷凍保安規則関係例示基準」を厳守してください。
●配管肉厚は、最小配管肉厚以上のものを選定してください。

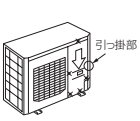
※リン脱酸銅継目無管 C1220T、JIS H 3300

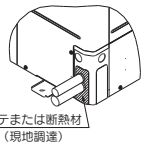
4) 現地配管施工

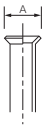
⚠重要 施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意してください。
内部部品に接触すると、異常音・振動が発生します。

サービスパネルの外し方

サービスパネルのねじ5本 (×印) を外し、パネルを矢印方向へ引き下げてから、手前に外してください。



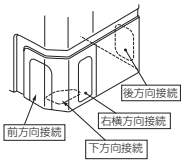


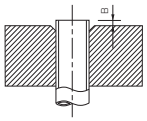


フレア管端部 : A (mm)

銅管外径	A
φ6.35	8.9〜9.1
φ9.52	12.8〜13.2
φ12.7	16.2〜16.6
φ15.88	19.3〜19.7

●配管施工方向は、右横、前、後、下の4方向に可能です。
●配管貫通部のノックアウト穴の板を必要最小限の寸法で取外し、配管を接続してください。
●配管接続後に配管接続部のすき間をパテや断熱材 (現地調達) でふさいでください。
室外ユニット内に昆虫などの小動物が侵入した場合、ショートするおそれがあります。
●現地配管施工は、操作弁を全閉にして行ってください。
●配管内部に水分、異物が入らないように、管端の養生 (潰してろう付または粘着テープによる) を十分に行ってください。
●配管の曲げはできるだけ大きな半径 (R100〜R150) で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
●ユニットと冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付後、フレア加工を施してください。R32のフレア加工寸法は、従来のR407Cとは異なります。R32またはR410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整用ゲージにて出し代B寸法を調節すれば、従来ツールを使用できます。
●フレア接続はダブルスパナで締付けてください。
●配管は1.5m毎に固定してください。



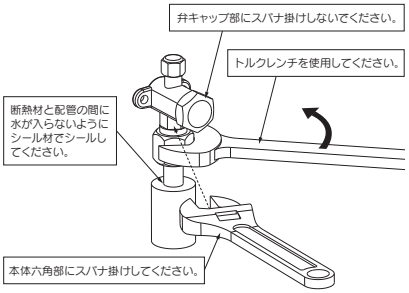


フレア加工の銅管出し代 : B (mm)

銅管外径	リジッド (クラッチ式) の場合	
	R32またはR410A用ツール使用時	従来ツール使用時
φ6.35	0〜0.5	0.7〜1.3
φ9.52		
φ12.7		
φ15.88		

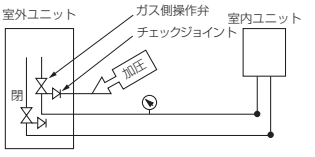
⚠注意 **フレアナットを適正トルクを超えて締めないでください。**
液側、ガス側操作弁ともに右の絵のように操作弁本体を固定し、適正な締付トルクにて締付をお願いします。
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が低下することにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあります。ユニオンねじ部、またはフレア外面には冷凍機油を塗布しないでください。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面のみとしてください。

操作弁サイズ(mm)	締付トルク(N·m)
φ6.35 (1/4")	14〜18
φ9.52 (3/8")	34〜42
φ12.7 (1/2")	49〜61
φ15.88 (5/8")	68〜82



5) 気密試験

①室外ユニットおよび室内ユニット本体の気密試験は弊社にて実施済ですが、配管接続後、接続配管の気密試験を室外ユニット側の操作弁のチェックジョイントより行ってください。なお、操作弁は必ず閉のままにして実施してください。
(ア) 0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて5分間以上放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(イ) 次に1.5MPaまで加圧し、再び5分間以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(ウ) その後、規定圧力 (4.15MPa) まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモしてください。
(エ) 約1日放置し、圧力が低下していなければ合格です。この際周囲温度が1℃低下すると圧力が約0.01MPa低下しますので補正を行ってください。
(オ) (ア) 〜 (エ) の確認で圧力低下の認められたものには漏れがあります。溶接箇所、フレア部等に発泡試験液等を用いて漏れ箇所を発見し補修してください。
補修後は再度気密試験を実施してください。
②気密試験には窒素ガスを使用し、窒素ガスによる加圧はガス側から行ってください。また窒素以外のガスは絶対使用しないでください。



6）真空引き

<作業フロー>

気密試験完了 → 真空引き開始 → −101kPa以下（−755mmHg以下）になってから1時間以上真空ポンプの運転を続けてください。 → 真空引き完了 → 1時間以上放置し真空ゲージの針の上昇なきこと → 真空度チェック → 冷媒封入

真空ゲージの針が上昇した場合は系統内に水分が残っているか、漏れ箇所があります。漏れ箇所をチェックし、修正後再度真空引きをしてください。

本機はR32のため下記の点にご注意ください。

○ 異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具等を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C等）と共用しないでください。

○ 真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用ください。

7）冷媒追加封入

（1）下表に従い、冷媒封入量を計算してください。

	基準チャージ量（kg）	基準チャージ配管長（m）	冷媒配管（液管φ9.52）1mあたりの追加チャージ量（kg）	工場出荷時チャージ量（kg）	追加チャージ不要の現地配管長さ（m）
ZP80, VP80	3.06	20	0.054	3.6	30

●室外ユニットは配管長30m相当分の冷媒量が工場出荷時に封入されており、30mまでは現地での追加チャージが不要です。それを超えた分については、配管長と上表より追加封入量を計算し追加封入してください。

●既設配管を使用する場合は、液管サイズにより必要封入量が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

●追加冷媒量計算式

追加封入量（kg）＝｛主管長（m）−チャージレス分30（m）｝×0.054（kg/m）＋分岐管総長（m）×0.054（kg/m）　※追加冷媒量の計算結果が負の値になる場合は、追加チャージ不要です。

●サービスなどで再チャージする場合は配管長20m以下では基準チャージ量を再封入してください。

（例）10mで再チャージする場合は3.06kg封入してください。

25mで再チャージする場合は3.06＋（25-20）×0.054＝3.33kgを封入してください。

●配管長が3mより短い場合は工場出荷チャージ量より、0.54kg減らしてください。

●再チャージを行う場合は冷媒回収後、上表の基準チャージ＋基準チャージ配管長に対し追加した配管長分を再チャージしてください。

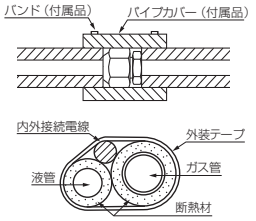
（2）冷媒封入

●操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。圧縮機保護のため、ボンベのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。

●冷媒の封入は必ずはかりを使用して計算封入してください。

●運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。

お願い 配管長から算出した冷媒量をサービスパネル裏面の注意ラベルに記入してください。



8）断熱・防露

（1）冷媒配管（ガス管、液管共）の防露断熱工事を行ってください。

・防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。

（2）断熱材は120℃以上の耐熱性があるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。

・ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。

・室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）

・断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。

・本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、**相対湿度70%を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。**

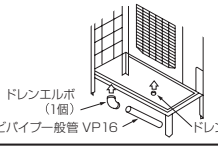
3. ドレン配管工事

●室外ユニットからのドレン水が問題になる場所では、別売品のドレンエルボ、ドレングロメットを利用してドレン配管を施工してください。

●室外ユニットの底板にはドレン水を排出する穴が3か所有ります。

●ドレン水を排水口などに導くときは平置き台（別売品）やブロックなどに載せて据付けてください。

●図の様にドレンエルボを接続し、他の穴はグロメットでふさいでください。



●ドレン集中排水の際には配線・配管の取出口は下抜き以外でご利用ください。下抜きをご利用の場合は、ドレンホの流出がないよう十分シールして下さい。

●ドレン水の量が多いと水が滴下する恐れがあります。ドレンエルボやドレングロメットのすき間をパテ等でふさいでください。

●操作弁や接続配管付近からドレン水が流れ出る可能性があります。

●外気温が0℃以下になる場所で使用する場合は、ドレンエルボとドレングロメットを使用しないで下さい。ドレン水が内部で凍結して排水を妨げる可能性があります。

4. 電気配線　電気工事の詳細は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

●漏電しゃ断器の取付を必ず行ってください。漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●内外接続線は同一端子番号を接続してください。

●配線は、端子接続部に外力が伝わらないようにしてください。

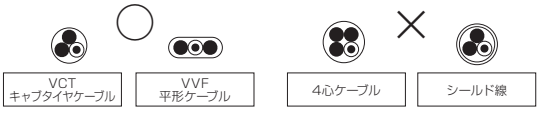
●制御箱にアース端子があります。D種（第3種）接地工事を必ず行ってください。

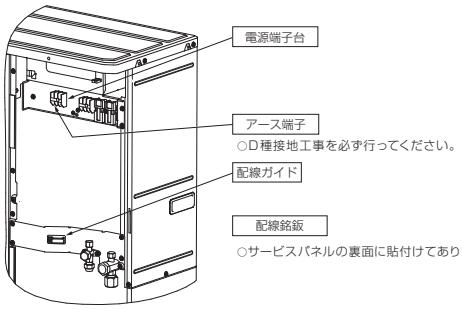
●力率改善用のコンデンサを使用しない。発熱や火災の原因になります。

●配線は配管に触れないように固定してください。

●配線接続時にコネクタや端子が緩んでいないことを確認してからカバー、パネルを取付けてください。
カバー、パネルの取付に不備があると制御箱に水が入り、感電の原因になります。

●内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。

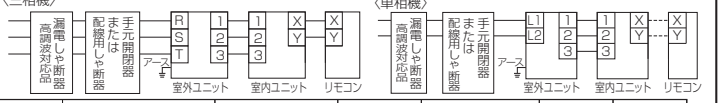




電源・内外接続線

●アース工事を行う際には、電源プラグを抜いた状態で実施してください。

⚠ 注意　漏電しゃ断器の誤動作を防ぐため、必ずインバータ回路用しゃ断器を使用してください。



機種		漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
			開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ねじ
単相	ZP80, VP80	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²×2	20m	φ1.6×3	2.0mm²	M5
三相	ZP80, VP80	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	3.5mm²×3	34m	φ1.6×3	2.0mm²	M5

室内ユニットがFDU、FDRの場合

機種		漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
			開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ねじ
単相	ZP80, VP80	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²×2	19m	φ1.6×3	2.0mm²	M5
三相	ZP80, VP80	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	3.5mm²×3	30m	φ1.6×3	2.0mm²	M5

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

●上表はシングル機の場合を示します。プルーラル接続の場合はカタログをご参考ください。

●配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。これ以外の条件は内線規程により実施してください。

●上図は室外電源取りの場合を示します。既設配線流用接続（室内電源取り、室内,室外電源取り）はカタログをご参照ください。

フリーアドレスプルーラル接続非対応

フリーアドレスプルーラル接続は次の場合対応できません。

	接続配線太さ3.5mm²	接続配線太さφ1.6mm
内外接続線＋室内ユニット間接続線の総長	80m超過	70m超過
室内ユニット間の接続線長	55m超過	25m超過
接続される室内ユニットタイプ	フリーアドレスプルーラル非対応機(FDFタイプ、5型以前の室内ユニット)を含む場合	

この場合、室内ユニット間の通信には信号配線を使用し、室内ユニットの親機−子機設定スイッチ（SW5-1、SW5-2）を右表のように設定してください。

室内基板スイッチ	親機	子機1
SW5-1	OFF	OFF
SW5-2	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチ（SW8-3）を電源投入前にONにしてください。（SW8-3位置は5. 試運転を参照ください。）ONにすることでフリーアドレスプルーラル制御を無効にします。

5. 試運転

⚠ 警告
●試運転の前に操作弁が全開になっていることを必ず確認してください。
●試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。
●停止から運転までは、必ず3分以上待ってください。
｝左記の項目に不備がありますと、圧縮機が故障することがあります。
●サービスパネルを外すと、高圧充電部・高温部が露出して危険です。感電や火傷に十分注意してください。また、サービスパネルを開けたまま放置しないでください。

⚠ 注意
●ディップSWを操作する場合は、充電部に触れぬよう十分注意してください。
●液操作弁のチャージポートから吐出圧力の検圧はできません。
●四方弁（20S）は暖房運転時に通電されます。
●電源しゃ断によりリセットする場合は、電源しゃ断より3分経過後に電源を再投入してください。3分経過後でなければ「E-5」（通信異常）が発生する場合があります。

絶縁抵抗について

●据付直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合、圧縮機に冷媒が溜まることにより、絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく、漏電しゃ断器が作動する場合は、以下の事項を確認ください。
①電源を投入し、6時間程度経過後、絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより、圧縮機に通電加熱を行い、圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電しゃ断器が高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており、漏電しゃ断器の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。

1）試運転方法

サイドカバーを外してください。

(1) ディップSW5-3、4により室外ユニット側から試運転が可能です。
(2) SW5-3をONすることで圧縮機が運転します。
(3) SW5-4がOFF状態で冷房試運転を行い、ON状態では暖房運転を行います。
(4) **試運転終了後は、必ずSW5-3をOFFに戻してください。**

SW-5-3	SW-5-4	
ON	OFF	冷房試運転
	ON	暖房試運転
OFF	–	通常、および試運転終了

2）運転状態のチェック

サービスパネルを外してください。
吐出圧力、吸込圧力の検圧は、室外ユニット内部の四方弁後に取付けられたチェックジョイントおよび、ガス操作弁のチャージポートから行ってください。冷房運転・暖房運転によって右表のように検出圧力は異なります。
電源投入1回目の起動時は、圧縮機保護のため圧縮機回転数をゆるやかに上昇させます。
試運転時は1時間ほど連続運転させてから運転状態をチェックしてください。

	配管のチェックジョイント	ガス操作弁のチャージポート
冷房運転	吐出圧力（高圧）	吸込圧力（低圧）
暖房運転	吸込圧力（低圧）	吐出圧力（高圧）

3）ディップSW3-1、SW3-2の設定

サービスパネルを外してください。
(1) デフロスト制御切換え（SW3-1）
・ONすることでデフロスト制御に入り易くなります。
・暖房シーズン時、外気温が氷点下以下となる地域は、設定をONにしてください。
(2) 防雪ファン制御（SW3-2）
・ONすることで、外気温度が3℃以下で圧縮機停止中、室外ファンが10分毎に30秒間運転します。
・豪雪地帯で使用される場合は、設定をONにしてください。

4）試運転時の故障診断

リモコン表示	室外基板LED表示(周期5秒) 赤LED	緑LED	故障内容	対策
E34	1回点滅	連続点滅	欠相	電源線のゆるみ、外れのないことを確認
E40	1回点滅	連続点滅	63H1作動、または操作弁閉運転(主に暖房時に発生)	1. 操作弁が開いているか確認 2. 圧縮機停止から3分経過後、異常が解消されていればリモコンからの点検リセットにより再起動可能
E49	1回点滅	連続点滅	低圧異常、または操作弁閉運転(主に冷房時に発生)	

●上記以外の異常が表示される場合は、室外ユニットと室内ユニットの配線銘板をご覧ください。

5）停止時の電子膨張弁の状態

電源投入時の通常停止時、および異常停止時の電子膨張弁の状態は右表の通りです。

	電源投入時	通常停止時		異常停止時	
		冷房時	暖房時	冷房時	暖房時
冷房用	全閉	全閉	開	全閉	全開
暖房用	全閉	開	全閉	全閉	全開

6）電源ブレーカ投入後1回目の運転について

電源ブレーカ投入後1回目の起動において、圧縮機の油上がりを防止するため、リモコンに「運転準備中」が最大で30分間表示される場合があります。
故障ではありませんので、「運転準備中」の表示が消えるまでお待ちください。

試運転前の確認事項

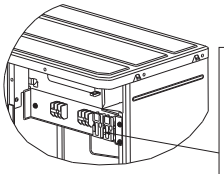
●電源を入れた状態で室外ユニットから離れる場合は、パネルを必ず閉めてください。

据説の項目No	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付けしましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付けられていますか。	
		操作弁は液管側・ガス管側の両方とも確実に開いていますか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		しゃ断器、配線など電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線が入れ替わっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		内外接続線は同一端子番号間で接続していますか。	
		内外接続線はVCTキャブタイヤケーブルまたはVVF平形ケーブルですか。	
		アース工事はD種接地（第3種接地）工事が行われていますか。	
		他の機器のアース線と接続せず、単独でアースを取っていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようになっていますか。	
–	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合は、化粧パネルの取付が完了していますか。	

試運転手順

●必ず試運転を行い、下記の順に従ってチェックを行ってください。

順番	操作内容	チェック
①	ガス側操作弁を全開にしてください。	
②	液側操作弁を全開にしてください。	
③	パネルを閉めてください。	
④	リモコンによる現地設定を行う場合は、リモコンによる現地設定の説明に従って行ってください。	
⑤	SW5-3 ON ／ SW5-4 OFF：冷房試運転を開始します。 SW5-3 ON ／ SW5-4 ON：暖房試運転を開始します。	
⑥	運転が開始したら、リモコンの風向き調節ボタンを押して作動を確認してください。	
⑦	室内ユニットの吹出口に手を当て、冷房は冷風、暖房は暖風が出ていることを確認してください。	
⑧	赤LEDが点滅していないことを確認してください。	
⑨	試運転終了後、必ずSW5-3をOFFにしてください。	
⑩	オプション品を使用している場合は、各々の取扱説明書に従って機能の確認をしてください。	

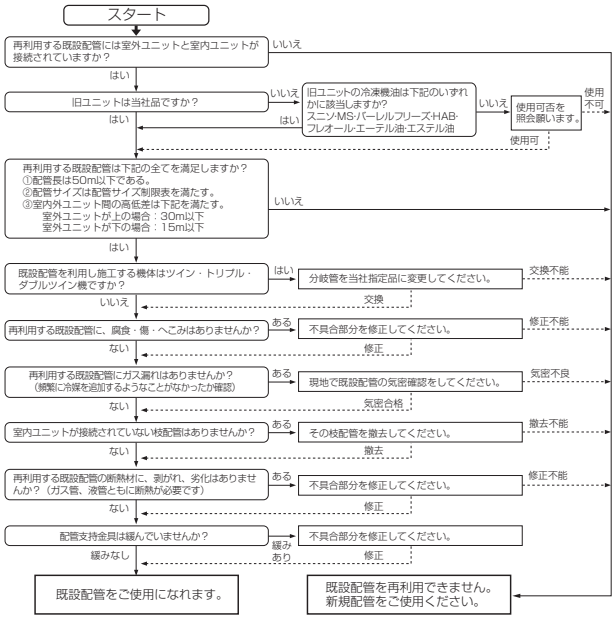


※1 SW3-1、SW3-2、SW5-3、SW5-4、SW7-1、SW8-1、SW8-3、SW9以外のディップSWは操作しないでください。

SW7、SW8出荷時全てOFF

6. 既設配管対応

既設配管が再利用できるかどうかを下記フローチャートを使用して判断してください。



ZP80、VP80は、既設配管の洗浄運転が可能です。
詳細はエクシードハイパー/ハイパーインバータ既設配管洗浄運転手順を確認ください。
エクシードハイパーでの配管洗浄機能をご使用になれない場合は以下の⚠注意をご参照ください。

〈配管サイズ制限表〉

◎：標準配管サイズ　○：使用可能　△：配管長制限短縮
冷↓：冷房能力低下　×：使用不可

配管1m当りの追加チャージ量		0.02 kg/m		0.054 kg/m			0.11 kg/m
配管サイズ	液管	φ6.35	φ6.35	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ12.7
	ガス管	φ12.7	φ15.88	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ15.88
ZP80, VP80	適用可否	冷↓	△	冷↓	◎	○※	△
	最大配管総長	20	20	70	70	70	35
	チャージレス長	10	10	30	30	30	15

※：φ19.05を使用する場合、曲げRに関わらず室外ユニット基板上のディップSW7-1をONにしてください。
油戻し運転時間の設定を切り換えます。
●配管長の下限は3mとしてください。
3m以下の場合、冷媒充填量を減らす必要があります。
冷媒回収、再充填を行う場合は最寄の代理店にお問い合わせください。
●表に記載のない配管サイズの組合せおよび表の×の配管サイズの組合せは使用できません。

〈分岐管後配管〉

◎：標準配管サイズ　○：使用可能ー：対象外

配管1m当たりの追加チャージ量		0.06kg/m (0.07kg/m)			
配管サイズ	液管	φ9.52			
	ガス管	φ12.7		φ15.88	
形式	組合せ	組合せ能力			
ZP80, VP80	ツイン	40+40		◎	○

●表に記載のない配管サイズの組合せは使用できません。

〈分岐管を流用可能な既存ユニット機種〉

既存ユニットの分岐管は流用できません。当社製R32またはR410A用の分岐管を使用してください。

追加チャージ量計算式

追加チャージ量(kg)＝{主配管長(m)ー表のチャージレス長(m)}× 表の配管 1m 当たりの追加チャージ量(kg/m)
＋分岐管総長(m)× 表の配管 1m 当たりの追加チャージ量(kg/m)

※計算の結果が負の値になる場合は追加チャージ不要です。
例) 既設配管30m（液管φ12.7、ガス管φ15.88）を使用して、ZP80（シングル機）を設置する場合。
(30mー15m) ×0.11kg/m=1.65kgを追加チャージする。
例) 既設配管30m（主配管長20m、液管φ12.7、ガス管φ15.88／分岐後配管長5m×2、液管φ9.52、ガス管φ12.7）を使用して、ZP80（ツイン機）を設置する場合。
(20mー15m) ×0.11kg/m+5m×2×0.054kg/m=1.09kgを追加チャージする。

⚠注意

<既設ユニットが冷房運転可能な場合>

既設ユニットで下記作業 を実施してください。（①→②→③→④の順番）

①30分間冷房運転
②ビニールシートなどで室内ユニット吸込口を完全に閉塞し3分間冷房運転（液バック運転）
③室外ユニットの液操作弁を締めポンプダウン（冷媒回収）
④窒素ガスによるブロー　※ブローにより変色した冷凍機油や油以外の残留物が排出された場合は「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。
●フレアナットは流用せず室外ユニット付属のものを使用してください。
またフレアはR32用に再加工してください。
●右表の既設配管ディップスイッチをONにしてください。（ガス配管サイズがφ19.05の場合）

<既設ユニットが冷房運転できない場合>

本機種は内蔵リニューアルキットによる洗浄運転により、既設配管をご使用になれます。
詳細はハイパーインバータ既設配管洗浄運転手順をご確認ください。
また、別売のリニューアルキットを使用しても既設配管をご使用になれます。
別売のリニューアルキットを使用する場合は**下記作業を実施してください。**
①冷媒回収機で冷媒を回収ください。
②既設配管内の冷凍機油の汚れを確認ください。
色標6.0以上の黒色、褐色(＊)、多量の残渣、異臭がある場合「配管洗浄」または「新規配管」をご使用おねがいします。
＊冷凍機油の色標はカタログの末頁を参考ください。
③リニューアルキットを取付し、右表の既設配管ディップスイッチをONによりご使用可能です。
●「配管洗浄」を行う場合は、最寄の代理店にお問合せください。

機種	既設配管ディップSW
ZP, VP	SW7-1

PSC012D189

(c) FDCVP806H, 806HK

VPシリーズ
VP80
冷媒R32対応機

◎ 本説明書は"室外ユニットと総合工事仕様"について示したものです。"室内ユニット"については492ページをご覧ください。
◎ 据付時には据付場所の選定、電源仕様、使用可能範囲(配管距離・室内外高低差・電源電圧等)・据付スペース等などが適正であることを確認してください。

安全上のご注意

● 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
● ここに示した注意事項は、「⚠**警告**」「⚠**注意**」に区分していますが、誤った据付をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「⚠**警告**」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠**注意**」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
● ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。⃠ 絶対に行わない ❶⏚ 必ず指示に従い行う
● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの仕方をご指導下さい。
● 据付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管戴くように依頼してください。またお使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡しくださるよう依頼してください。

据付工事前に確認してください

●機種・電源仕様 ●冷媒配管長
●配管・配線・小物部品 ●室内ユニット据付説明書

⚠ 警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。
●据付工事は、据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると破裂、ケガの原因となり、また水漏れや感電、火災の原因になります。
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良、ケガなどの原因になります。
●小部屋に据付ける場合は日本冷凍工業会のガイドラインJRA GL-13に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●ユニットを搬入する際、重量に適合したロープを用いて安定した状態で搬入を行う。また横ズレしないよう固定し、確実に４点支持で実施する。
３点支持など搬入方法に不備があるとユニットが落下し、死亡や重傷の原因になります。
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
●元電源を切った後に電気工事を行う
感電、故障や動作不良の原因になることがあります。
●電源配線は、電流容量、規格に適合した配線により工事をする。
適合品以外の配線を使用した場合は、漏電、発熱、火災等の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、サービスパネルを確実に取付ける。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
●密閉された部屋で配管ろう付作業をしない。
酸欠事故の原因になります。
●配管、フレアナット、工具はR32またはR410A専用のものを使用する。
既存(R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。
●フレアナットの締付はダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付ける。締付過ぎによるフレア部の破損に注意してください。
フレア部のゆるみ、締付過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏えいして酸欠事故の原因になることがあります。
●冷媒配管工事、気密試験および真空引きが完了するまでは、サービスバルブ(液、ガス共)を開けないでください。
冷媒配管が確実に取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
●保護装置の改造や設定変更をしない。
圧力開閉器や温度調節器などの保護装置を短絡して強制運転を行ったり、当社指定の部品を使用しないと、火災や爆発の原因になります。
●据付時や点検・サービス時など、ユニット内の作業を行う場合は、電源を切ってから行ってください。
据付・点検・修理にあたって、ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電や故障およびユニットファン回転によるケガの原因になります。
●エアコンを移動、再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。
●ポンプダウン作業では、操作弁を閉じた後、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止する。
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。

⃠
●エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒(R32)以外の空気等を入れない。
空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。
●パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
●サービスパネルは確実に取付ける。
サービスパネルの取付に不備があると、ホコリ、水などにより、火災、感電の原因になります。
●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

⚠ 注意

●アース(接地)を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないで下さい。アース(接地)が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。またガス管にアースすると、ガス漏れの時に爆発、引火の可能性があります。
●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器＋B種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する。
不適切なブレーカを使用すると故障や火災の原因になります。
●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。 PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないで下さい。 また素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。
●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。また梱包用のポリプクロで子供が遊ぶと窒息事故の原因となりますので、必ず破いてから廃棄してください。
●室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷(ピンホール)をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままにしておくとか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。
●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して、露たれ等を発生し、天井、床その他、大切なものを濡らす原因となることがあります。
●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると、以上振動・騒音増大の原因になります。

⃠
●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に滞ると、発火の原因となることがあります。
●腐食性ガス(亜硫酸ガス等)、可燃性ガス(シンナー、ガソリン等)、の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは火災の原因になることがあります。
●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
●室外ユニットを屋上あるいは高所に設置する場合は、転落防止のため、通路には恒久ハシゴ、手すり等を、また室外ユニット周辺にはフェンス、手すり等を設けてください。
フェンス、手すり等がない場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。
●室外ユニットは、小動物のすみかとなるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気配線に触れると、故障や発煙、発火の原因になることがあります。またお客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。
●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだまま放置するとユニットの落下につながり。ケガの原因になることがあります。
●次の場所への据付は避ける。
・カーボン繊維や金属粉、パウダー等が浮遊する所
・車両、船舶等移動するものへの設置
・油の飛沫や蒸気が多い所(調理場、機械工場等)
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・アンモニアの雰囲気にさらされる所
・通風の悪い所
・複数台設置の場合に、ショートサーキットがおきるような所
・硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ等の機器に影響する物質の発生する所
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・高周波を発生する機械を使用する所
・積雪の多い所(設置する場合、所定の架台、防雪フードを取付けることが必要です)
・標高1000m以上の所
・他の熱源から熱放射を受ける所
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
・強風の影響をうけやすい所(室外ユニットに直接強風が吹込む所)
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したり火災発生の原因になることがあります。
●次の場所への室外ユニットの据付は避ける。
・騒音や熱風が隣家に迷惑をかけるような所
・吹出しの風が動植物に直接植木にあたる場所
　吹出し風による植木などへの被害の原因になります
・ドレンの排水がとれない所
・強度が不十分で振動が増幅、伝達しやすい所
・機器から発生する騒音、振動の影響を受けやすい所(寝室の壁やその近傍)
・高周波に影響される機器のある所(TVおよびラジオ等の近傍)
周辺の環境に影響をおよぼしクレームの原因になることがあります。
●食品、動植物、精密機器、美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下の原因になることがあります。
●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。
●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状況により低温と高温になります。 素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。
●室内ユニットを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。
●室外ユニットの上に物を置いて運転を行わない。
落下物により物が破損したり、ケガの原因となります。
●室外ユニットの上に乗らない。
落下、転倒などによりケガの原因となります。

冷媒R32対応機としての注意点

●R32以外の冷媒は使用しないでください。R32は従来の冷媒(R22など)に比べ圧力が1.6倍高くなります。
●R32機は、他冷媒の誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。また、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法およびフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工・サービス時には、右表に示すR32またはR410A専用ツールを準備してください。
●チャージシリンダは使用しないでください。
●室内ユニットはR32専用またはR32/R410A併用機となります。接続可能な室内ユニットはカタログ等で確認してください。(他の室内ユニットを接続すると正常運転できません。)
●異種油の混入をさけるために、冷媒の種類により工具を使い分けしてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒(R22、R407C)と共用しないでください。
●冷媒R32にはわずかながら燃焼性があります。そのため、半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は冷媒漏えいセンサを携行してください。冷媒が漏えいした場合、窒息や着火の原因となる恐れがあります。

	R32またはR410A専用ツール
a)	ゲージマニホールド
b)	チャージホース
c)	冷媒充填用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツール
f)	出し代調整用銅管ゲージ
g)	真空ポンプアダプタ
h)	ガス漏れ検知器

フロンの見える化

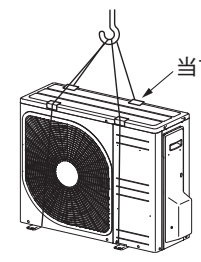
地球温暖化防止のため、この製品の移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。本機には地球温暖化係数(GWP)が675のフロン類を使用しています。(冷媒R32)

1. ユニットの搬入・据付（ユニットの搬入・移動には十分に注意し、必ず2人以上で行ってください。）

⚠ 注意 ユニットにロープ掛けを行い搬入する場合は、必ずユニット重心のずれを考慮してください。ユニットが安定を失って落下する恐れがあります。

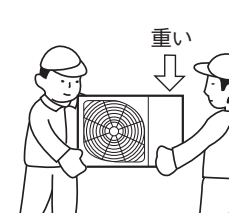
1）搬入

●据付場所付近までできるだけ梱包のままで搬入してください。
●やむを得ず解梱して搬入する場合は、ユニットを傷付けないようにナイロンスリングで吊り下げるか、または当て板をしてロープで吊り下げてください。



2）移動

●ユニット正面(吹出側)から見て右側が重くなっています。右側を持つ作業者は十分に注意してください。作業者はベースを持ち、安定した状態で運搬してください。

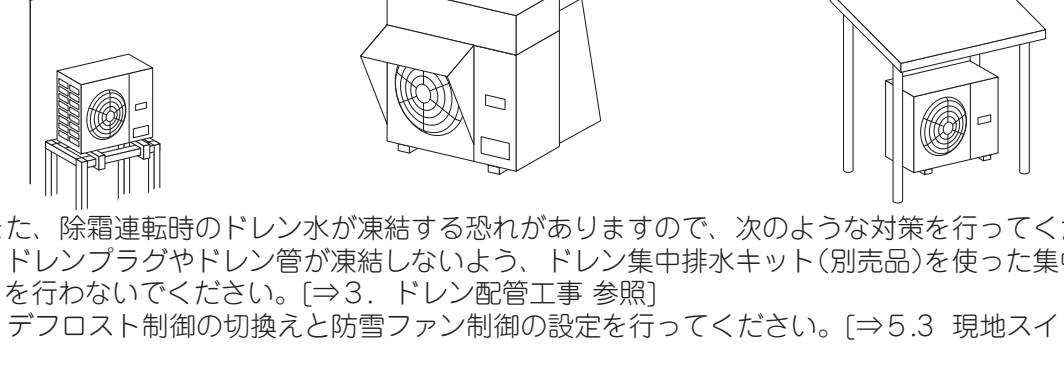


3）据付場所の選定

下記条件に注意し、据付場所を選んでください。
○ 室外ユニットの重量・振動に耐え、水平に据付けられる安全な所
○ 運転音や温風で隣家に迷惑のかからない所
○ 油煙が発生しない所
○ 可燃性ガスの漏れる恐れのない所
○ ドレン水が流れてもよい所
○ 他の熱源から熱輻射を受けない所
○ 積雪で埋まらない所
○ テレビやラジオの周囲から５ｍ以上離れた所(電波障害を受ける場合はさらに離してください。)
○ 通風が充分に確保でき、保守点検を安全に行えるサービススペースを確保できる所
○ 電磁波、高調波を発生する機械がない所
○ 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ(アンモニアを含む)など機器に影響する物質の発生・滞留しない所
○ 吹出口に強風が当たらない所

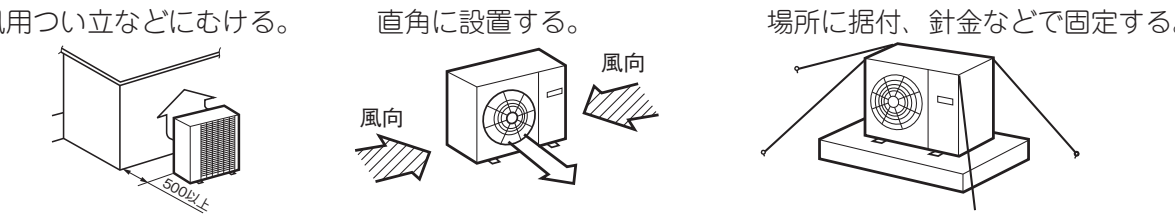
4）据付場所に関する注意

(1) 積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
①積雪面より底板が高くなるよう室外ユニットを架台の上に設置してください。
②吹出口に防雪フード(別売品)を取付ける。
③軒下に設置するか、雪除け屋根(現地手配)を取付けてください。



また、除霜運転時のドレン水が凍結する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
・ドレンプラグやドレン管が凍結しないよう、ドレン集中排水キット(別売品)を使った集中排水工事を行わないでください。[⇒3．ドレン配管工事 参照]
・デフロスト制御の切換えと防雪ファン制御の設定を行ってください。[⇒5.3 現地スイッチの設定参照]

(2) 強風の影響を受けやすい場所では、下記の内容に従って防風対策を行ってください。
能力の低下、高圧上昇による異常停止、ファンの破損などの原因となります。
①吹出側を建物の壁、塀および防風用つい立などにむける。
②吹出方向を風向きに対して直角に設置する。
③強風等の影響がある場合は安定した場所に据付、針金などで固定する。



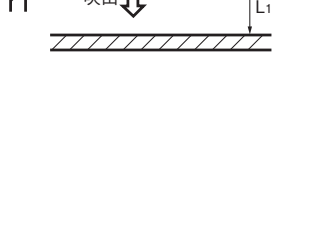
(3) 維持管理に関する注意(耐重塩害仕様の場合)
耐重塩害仕様機は耐食性に優れた部品を使用していますが、適切な据付場所選定および維持管理を行わないと破損・故障の原因となります。
以下の内容を守ってください。
●海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また、波しぶき等が直接かかる場所への設置はさけてください。
●外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。
●室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
●海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
●据付、メンテナンス等で付いた傷は、補修してください。
●機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。
●基礎部分の排水性を確保してください。

5）据付スペース

●四方障壁は不可です。
●ユニット上方のスペースは1m以上確保してください。
●横連続設置するときは、ユニット間に250mm以上のサービススペースを確保してください。また、コントロールのサービス性を考慮しユニットの天板が外せるようにユニット間のスペースを確保してください。
●ショートサーキットの恐れのある場所はガイドルーバを取付けてください。
●複数台設置する場合は、特にショートサーキットが生じないように吸込スペースを十分に確保してください。

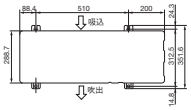
(mm)

寸法＼据付例	VP80 I	VP80 II	VP80 III	VP80 IV
L1	開放	280	280	180
L2	100	75	開放	開放
L3	100	80	80	80
L4	250	開放	250	開放

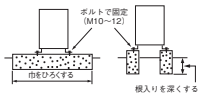


6）据付

①アンカーボルト固定位置



②据付時の注意



●ユニットを据付ける場合、左記ボルトでユニットの足を必ず固定してください。
●前面側アンカーボルト飛び出し長さは15ｍｍ以下としてください。
●地震や突風などで倒れないように強固に据付けてください。
●コンクリート基礎は左図を参照してください。
●ユニットは水平に設置してください。（ベース面で左右の差は５ｍｍ以下）
コンプの故障、ユニット内配管の破損、異常音の原因になります。

7）外気温－5℃以下で冷房運転を行う場合

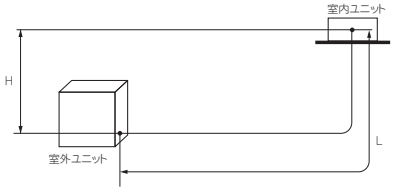
●フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

2. 冷媒配管工事 詳細は、冷媒配管工事説明書をご覧ください。

1） ユニット据付使用制限

●室内ユニットの仕様と据付場所に合わせて以下の内容を確認してください。
●以下の据付使用制限は必ず守ってください。据付に不備があると圧縮機の故障や能力低下の原因となります。

制 限 項 目		制限寸法	右図での記号
片道配管長		50m以下	L
主管長		50m以下	L
室内外ユニット間の高さの差	室外ユニットが上の場合	30m以下	H
	室外ユニットが下の場合	15m以下	H



⚠ 注意 ●上表の使用制限は下表に示す標準配管サイズの場合を示します。既設配管を使用する場合は配管サイズにより片道配管長の制限が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

2） 冷媒配管サイズ選定

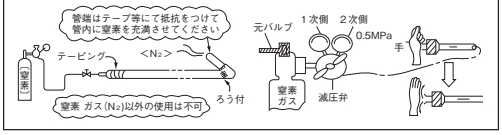
●室内ユニットの仕様に合わせて以下の内容で冷媒配管サイズを選定してください。

	VP80	
	ガス管	液管
室外ユニット接続	φ15.88	φ9.52
	フレア	フレア
冷媒配管(主管L)	φ15.88	φ9.52
室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52

配管をろう付する場合

ろう付について

ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。
窒素ガスを流さないと多量の異物（酸化皮膜）が生成され、キャピラリチューブや膨張弁詰りによる致命的故障の原因となります。



3） 冷媒配管の肉厚および材質

●冷媒配管のサイズに対して以下の肉厚および材質のものを選定してください。

配管外径［mm］	6.35	9.52	12.7	15.88
最小配管肉厚［mm］	0.8	0.8	0.8	1.0
配管材質※	O材 OL材			

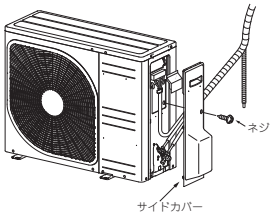
お願い ●配管の選定・施工については、必ず「冷凍保安規則関係例示基準」を厳守してください。
●配管肉厚は、最小配管肉厚以上のものを選定してください。

※リン脱酸銅継目無管 C1220T、JIS H 3300

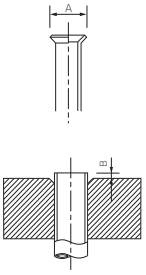
4） 現地配管施工

⚠ 重要 施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意してください。内部部品に接触すると、異常音・振動が発生します。

サイドカバーの外し方 サイドカバーのねじを外し、下方にスライドさせ、手前に外してください。



●現地配管施工は、操作弁を全開にして行ってください。
●配管内部に水分、異物が入らないように、管端の養生（潰してろう付または粘着テープによる）を十分に行ってください。
●配管の曲げはできるだけ大きな半径（R100～R150）で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
●ユニットと冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付後、フレア加工を施してください。R32のフレア加工寸法は、従来のR407Cとは異なります。R32またはR410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整用ゲージにて出し代B寸法を調節すれば、従来ツールを使用できます。
●フレア接続はダブルスパナで締付けてください。



フレア管端部：A（mm）

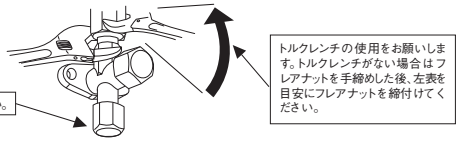
銅管外径	A
φ6.35	8.9～ 9.1
φ9.52	12.8～13.2
φ12.7	16.2～16.6
φ15.88	19.3～19.7

フレア加工の銅管出し代：B（mm）

銅管外径	リジッド（クラッチ式）の場合	
	R32またはR410A	従来ツール使用時
φ6.35	0～0.5	0.7～1.3
φ9.52		
φ12.7		
φ15.88		

⚠ 注意 **フレアナットを適正トルクを超えて締めないでください。** 液側、ガス側操作弁ともに右の絵のように操作弁本体を固定し、適正な締付トルクにて締付をお願いします。

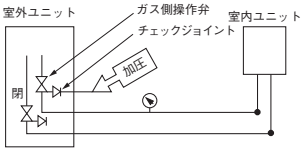
同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が低下することにより、軸方向分力が増加してフレアの応腐食割れの原因となることがあります。ユニオンねじ部、またはフレア外面には冷凍機油塗布しないでください。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面のみとしてください。



操作弁サイズ (mm)	締 付トルク (N･m)	締付角度（° ）	工具の推奨腕長さ (mm)
φ6.35 (1/4")	14～17	45～60	150
φ9.52 (3/8")	34～42	30～45	200
φ12.7 (1/2")	49～61	30～45	250
φ15.88(5/8")	68～82	15～20	300

5） 気密試験

①室外ユニットおよび室内ユニット本体の気密試験は弊社にて実施済ですが、配管接続後、接続配管の気密試験を室外ユニット側の操作弁のチェックジョイントより行ってください。尚､操作弁は必ず閉のままにして実施してください。
(ア) 0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて５分間以上放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(イ) 次に1.5MPaまで加圧し、再び５分間以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(ウ) その後、規定圧力（4.15MPa）まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモしてください。
(エ) 約１日放置し、圧力が低下していなければ合格です。この際周囲温度が１℃低下すると圧力が約0.01MPa低下しますので補正を行ってください。
(オ)（ア)～(エ)の確認で圧力低下の認められたものには漏れがあります。溶接箇所、フレア部等に発泡試験液等を用いて漏れ箇所を発見し補修してください。補修後は再度気密試験を実施してください。
②気密試験には窒素ガスを使用し、窒素ガスによる加圧はガス側から行ってください。また窒素以外のガスは絶対使用しないでください。



6） 真空引き

＜作業フロー＞

気密試験完了 → 真空引き開始 → －101kPa以下（－755mmHg以下）になってから1時間以上真空ポンプの運転を続けてください。 → 真空引き完了 → 1時間以上放置し真空ゲージの針の上昇なきこと → 真空度チェック → 冷媒封入

真空ゲージの針が上昇した場合は系統内に水分が残っているか、漏れ箇所があります。
漏れ箇所をチェックし、修正後再度真空引きをしてください。

本機はR32のため下記の点にご注意ください。

●異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具等を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C等）と共用しないでください。
●真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用ください。

7）冷媒追加封入

（1）下表に従い、冷媒封入量を計算してください。

	工場出荷時チャージ量(kg)	追加チャージ不要の現地配管長さ(m)	冷媒配管(液管φ9.52)1m あたりの追加チャージ量(kg)
VP80	1.7	30	0.04

●室外ユニットは配管長30m相当分の冷媒量が工場出荷時に封入されており、30mまでは現地での追加チャージが不要です。それを超えた分については、配管長と上表より追加封入量を計算してください。
●既設配管を使用する場合は、液管サイズにより必要封入量が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

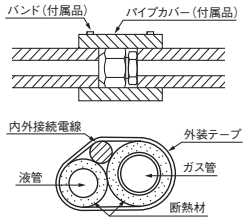
追加冷媒量計算式 | VP80 | 追加封入量(kg)＝(主管長(m)－チャージレス分30(m))×0.04(kg/m) | ※追加冷媒量の計算結果が負の値になる場合は、追加チャージ不要です。

（2）冷媒封入

●操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。この際も、ボンベからの冷媒取出しは必ず液相で行ってください。ただし圧縮機保護のため、ボンベのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。
●冷媒の封入は必ずはかりを使用して計算封入してください。
●運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。

⚠ 注意

この製品はフロン排出抑制法の第1種特定製品です。
●フロン類をみだりに大気に放出することは禁じられています。
●この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。冷媒回収するときは、フロン排出抑制法の基準に従ってください。
●**冷媒の追加・回収量および出荷時との合計量をサイドカバー裏面の冷媒量記入銘板に必ず記載してください。**また、そのCO₂換算値も記入ください。
●機器の修理、運転、調整などにより、冷媒の回収や充填を行い表示内容が生じたときは、冷媒量を再記載してください。



8）断熱・防露

（1）冷媒配管（ガス管、液管共）の防露断熱工事を行ってください。
・防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。

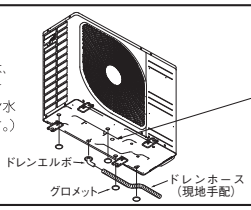
（2）断熱材は120℃以上の耐熱性があるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。
・ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。
・室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）
・断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。
・本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、**相対湿度70％を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。**

3. ドレン配管工事

●室外ユニットからのドレンが問題になる場所では、同梱のドレンエルボ、ドレングロメットを利用してドレン配管を施工してください。

0℃以下の気温が数日続く地域では、ドレンエルボ・グロメットは取付けないでください。(凍結によりドレン水が排水できなくなる恐れがあります。)

※三菱重工冷熱(株)ドレン集中排水キット HA05700Aを推奨します。



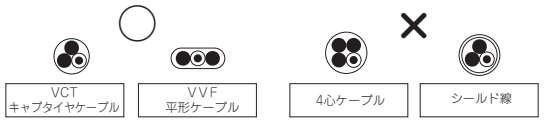
⚠ 注意

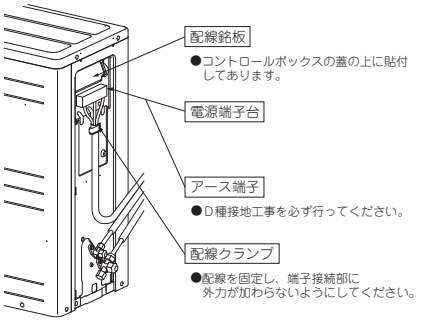
この穴部分には、グロメットを取付けない。
この穴は,ドレン水が多量にたまった場合の予備の排水穴です。

●凝縮水を排水口などに導くときは平置き台（別売品）やブロックなどに載せて据付けてください。

4. 電気配線 電気工事の詳細は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

●漏電しゃ断器の取付を必ず行ってください。漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
●室内外配線は同一端子番号を接続してください。
●配線は、配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようにしてください。
●制御箱にアース端子があります。D種(第3種)接地工事を必ず行ってください。
●内外渡り線は必ず3心ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。

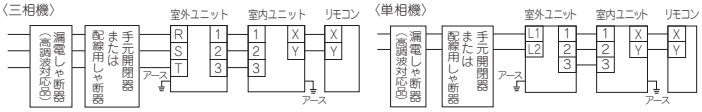




電源・内外接続線

●アース工事を行う際には、電源を切った状態で実施してください。

⚠ 注意 漏電しゃ断器の誤動作を防ぐため、必ずインバータ回路用しゃ断器を使用してください。



機種		漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
			開閉器容量	B 種ヒューズ	定格電流	太さ x 本数	こう長	太さ x 本数	太さ	ねじ
単相	VP80	30A, 30mA, 0.1sec	30A	30A	30A	3.5mm² × 2	22m	φ 1.6 × 3	2.0mm²	M5
三相	VP80	15A, 30mA, 0.1sec	30A	15A	15A	3.5mm² × 3	39m	φ 1.6 × 3	2.0mm²	M5

※室内ユニットが FDU、FDR 機の場合

機種		漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器	電源配線		内外接続線	アース線	
			開閉器容量	B 種ヒューズ	定格電流	太さ x 本数	こう長	太さ x 本数	太さ	ねじ
単相	VP80	30A, 30mA, 0.1sec	30A	30A	30A	3.5mm² × 2	20m	φ 1.6 × 3	2.0mm²	M5
三相	VP80	20A, 30mA, 0.1sec	30A	20A	20A	3.5mm² × 3	36m	φ 1.6 × 3	2.0mm²	M5

●配線仕様はVCT線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2％とした場合を示します。これ以外の条件は内線規程により実施してください。
●上図は室外電源取りの場合を示します。既設配線流用接続（室内電源取り、室内、室外電源取り）はカタログを参考ください。

5. 試運転

⚠ 警告

●試運転の前に操作弁が全開になっていることを必ず確認してください。
●試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。
左記の項目に不備がありますと、圧縮機が故障することがあります。
●停止から運転までは、必ず3分以上待ってください。
●サービスパネルを外すと、高圧充電部・高温部が露出して危険です。感電や火傷に十分注意してください。また、サービスパネルを開けたまま放置しないでください。

⚠ 注意

●現地設定スイッチを操作する場合は、充電部に触れぬよう十分注意してください。
●液操作弁のチャージポートから吐出圧力の検圧はできません。
●四方弁(20S)は暖房運転時に通電されます。
●電源しゃ断によりリセットする場合は、電源しゃ断より3分経過後に電源を再投入してください。3分経過後でなければ「E-5」(通信異常）が発生する場合があります。

絶縁抵抗について

●据付直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合、圧縮機に冷媒が溜まることにより、絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく、漏電ブレーカーが作動する場合は、以下の事項を確認ください。
①電源を投入し、6時間程度経過後、絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより、圧縮機に通電加熱を行い、圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており、漏電ブレーカの誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。

1）試運転方法

サイドカバーを外してください。

（1）現地設定スイッチSW5−3,4により室外ユニット側から試運転が可能です。
（2）SW5−3をONすることで圧縮機が運転します。
（3）SW5−4がOFF状態で冷房試運転を行い、ON状態では暖房運転を行います。
（4）**試運転終了後は、必ずSW5−3をOFFに戻してください。**

SW-5-3	SW-5-4	
ON	OFF	冷房試運転
	ON	暖房試運転
OFF	−	通常、および試運転終了

2）運転状態のチェック

サイドカバーを外してください。

吐出圧力、吸込圧力の検圧は、室外ユニット内部の四方弁後に取付けられたチェックジョイントおよび、ガス操作弁のチャージポートから行ってください。冷房運転・暖房運転によって右表のように検出圧力は異なります。

	配管のチェックジョイント	ガス操作弁のチャージポート
冷房運転	吐出圧力（高圧）	吸込圧力（低圧）
暖房運転	吸込圧力（低圧）	吐出圧力（高圧）

3）現地設定スイッチSW5-1の設定

サイドカバーを外してください。

デフロスト制御切換え（SW5-1）
・ONすることでデフロスト制御に入り易くなります。
・暖房シーズン時、外気温が氷点下以下となる地域は、設定をONにしてください。

4）試運転時の故障診断

リモコン表示	室外基板LED表示(周期5秒) 赤LED	故障内容	対策
E34	1回点滅	欠相	電源線のゆるみ、外れのないことを確認
E57	1回点滅	操作弁閉運転	1. 操作弁が開いているか確認 2. 圧縮機停止から3分経過後、異常が解消されていればリモコンからの点検リセットにより再起動可能

●上記以外の異常が表示される場合は、室外ユニットと室内ユニットの配線銘板をご覧ください。

5）停止時の電子膨張弁の状態

電源投入時の通常停止時、および異常停止時の電子膨張弁の状態は右表の通りです。

電源投入時	通常停止時	異常停止時
微開	全閉	全開

試運転前の確認事項

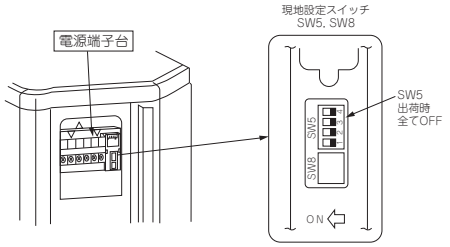
●電源を入れた状態で室外ユニットから離れる場合は、パネルを必ず閉めてください。

据説の項目No	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付しましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付られていますか。	
		操作弁は液管側、ガス管側の両方とも確実に開いていますか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		しゃ断器、配線など電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線が入れ替わっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		室内外配線は同一端子番号間で接続していますか。	
		室内外配線はVCTキャブタイヤケーブルまたはVVF平形ケーブルですか。	
		アース工事はD種接地（第3種接地）工事が行われていますか。	
		他の機器のアース線と接続せず、単独でアースを取っていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようになっていますか。	
−	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合は、化粧パネルの取付が完了していますか。	

試運転手順

●必ず試運転を行い、下記の順に従ってチェックを行ってください。

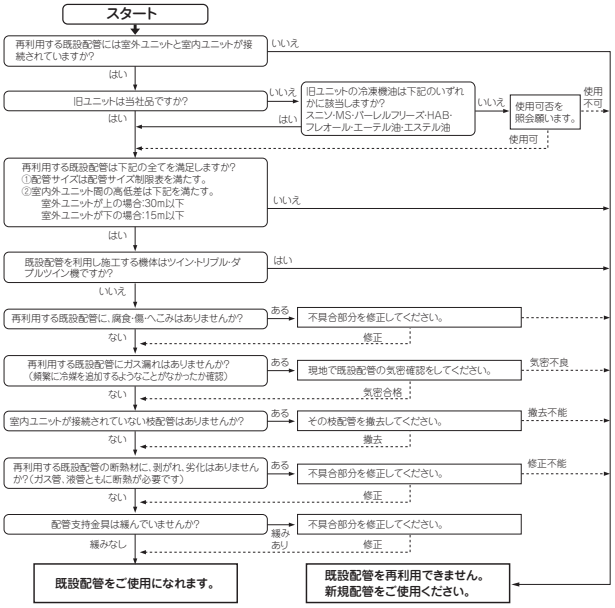
順番	操作内容	チェック
①	ガス側操作弁を全開にしてください。	
②	液側操作弁を全開にしてください。	
③	パネルを閉めてください。	
④	リモコンによる現地設定を行う場合は、リモコンによる現地設定の説明に従って行ってください。	
⑤	SW5-3 ON ／ SW5-4 OFF:冷房試運転を開始します。 SW5-3 ON ／ SW5-4 ON:暖房試運転を開始します。	
⑥	運転が開始したら、リモコンの風向き調節ボタンを押して作動を確認してください。	
⑦	室内ユニットの吹出口に手を当て、冷房は冷風、暖房は暖風が出ていることを確認してください。	
⑧	赤LEDが点滅していないことを確認してください。	
⑨	試運転終了後、必ずSW5-3をOFFしてください。	
⑩	オプション品を使用している場合は、各々の取扱説明書に従って機能の確認をしてください。	



※1　SW8は操作しないでください

6. 既設配管対応

既設配管が再利用できるかどうかを下記フローチャートを使用して判断してください。
リニューアルキット（オプション）をご使用の場合は、キット内に付属の説明書をご覧ください。



〈配管サイズ制限表〉

◎:標準配管サイズ　○:使用可能　△:配管長制限短縮

配管1m当たりの追加チャージ量		0.02kg/m		0.04kg/m		0.11kg/m	
配管サイズ	液管	φ6.35	φ6.35	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ12.7
	ガス管	φ12.7	φ15.88	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ15.88
VP80	適用可否	冷↓	△	冷↓	◎	○	△
	最大配管総長	20	20	50	50	50	35
	チャージレス長	10	10	30	30	30	15

追加チャージ量計算式

追加チャージ量(kg)=(主配管長(m)−表のチャージレス長(m))×表の配管1m当たりの追加チャージ量(kg/m)

※計算の結果が負の値になる場合は追加チャージ不要です。
例）既設配管30m（液管φ12.7、ガス管φ15.88）を使用して、VP80を設置する場合。
(30m-15m)×0.11kg/m=1.65kgを追加チャージする。

⚠ 注意

〈既設ユニットが冷房運転可能な場合〉

既設ユニットで下記作業 を実施してください。（①→②→③→④の順番）

①30分間冷房運転
②ビニールシートなどで室内ユニット吸込口を完全に閉塞し3分間冷房運転（液パック運転）
③室外ユニットの液操作弁を締めポンプダウン（冷媒回収）
④窒素ガスによるブロー　※ブローにより変色した冷凍機油や油以外の残留物が排出された場合は「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。

〈既設ユニットが冷房運転できない場合〉

「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。

●フレアナットは流用せず室外ユニット付属のものを使用してください。
またフレアはR32用に再加工してください。
●「配管洗浄」を行う場合は、最寄の代理店にお問い合わせください。

PSC012D245

(d) FDCKP806H, 1126H

◎ 本説明書は“室外機と総合工事仕様”について示したものです。“室内機”については492ページをご覧ください。
◎ 据付時には据付場所の選定、電源仕様、使用可能範囲(配管距離・室内外高低差・電源電圧等)・据付スペース等などが適正であることを確認してください。
◎ この室外ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

KPシリーズ
KP80･KP112
冷媒R32対応機

安全上のご注意

● 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
● ここに示した注意事項は、「⚠**警告**」「⚠**注意**」に区分していますが、誤った据付をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「⚠**警告**」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠**注意**」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
● ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。⃠ 絶対に行わない ❶⏚ 必ず指示に従い行う
● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの仕方をご指導下さい。
● 据付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管戴くように依頼してください。またお使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡しくださるよう依頼してください。

据付工事前に確認してください

●機種・電源仕様　●冷媒配管長
●配管・配線・小物部品　●室内ユニット据付説明書

⚠ 警　告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

●据付工事は、据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると破裂、ケガの原因となり、また水漏れや感電、火災の原因になります。

●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良、ケガなどの原因になります。

●小部屋に据付ける場合は日本冷凍工業会のガイドラインJRA GL-13に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

●作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●ユニットを搬入する際、重量に適合したロープをユニットの所定位置に掛けて行う。また横ズレしないよう固定し、確実に4点支持で実施する。
3点支持など搬入方法に不備があるとユニットが落下し、死亡や重傷の原因になります。

●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。

●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事を行う
感電、故障や動作不良の原因になることがあります。

●電源配線は、電流容量、規格に適合した配線により工事をする。
適合品以外の配線を使用した場合は、漏電、発熱、火災等の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、サービスパネルを確実に取付ける。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。

●密閉された部屋で配管ろう付作業をしない。
酸欠事故の原因になります。

●配管、フレアナット、工具はR32またはR410A専用のものを使用する。
既存（R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。

●フレアナットの締付はダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付ける。締付過ぎによるフレア部の破損に注意してください。
フレア部のゆるみ、締付過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏えいして酸欠事故の原因になることがあります。

●冷媒配管工事、気密試験および真空引きが完了するまでは、サービスバルブ（液、ガス共）を開けないでください。
冷媒配管が確実に取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。
また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

●保護装置の改造や設定変更をしない。
圧力開閉器や温度調節器などの保護装置を短絡して強制運転を行ったり、当社指定の部品を使用しないと、火災や爆発の原因になります。

●据付時や点検・サービス時など、ユニット内の作業を行う場合は、電源を切ってから行ってください。
据付･点検･修理にあたって、ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電や故障およびユニットファン回転によるケガの原因になります。

●エアコンを移動、再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

●ポンプダウン作業では、操作弁を閉じた後、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止する。
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。

●エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒（R32)以外の空気等を入れない。
空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。

●パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

●サービスパネルは確実に取付ける。
サービスパネルの取付に不備があると、ホコリ、水などにより、火災、感電の原因になります。

●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

⚠ 注　意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。またガス管にアースすると、ガス漏れの時に爆発、引火の可能性があります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器･手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）･配線しゃ断器）を使用する。
不適切なブレーカを使用すると故障や火災の原因になります。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。また素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。また梱包用のポリブクロで子供が遊ぶと窒息事故の原因となりますので、必ず破いてから廃棄してください。

●室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままにしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して、露たれ等を発生し、天井、床その他、大切なものを濡らす原因となることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。

●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると、異常振動･騒音増大の原因になります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に滞ると、発火の原因となることがあります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガス等）、可燃性ガス（シンナー、ガソリン等）、の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは火災の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●室外ユニットを屋上あるいは高所に設置する場合は、転落防止のため、通路には恒久ハシゴ、手すり等を、また室外ユニット周辺にはフェンス、手すり等を設けてください。
フェンス、手すり等がない場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかとなるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気配線に触れると、故障や発煙、発火の原因になることがあります。またお客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだまま放置するとユニットの落下につながり。ケガの原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
･カーボン繊維や金属粉、パウダー等が浮遊する所
･車両、船舶等移動するものへの設置
･油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場等）
･海浜地区等塩分の多い所
･煙突の煙がかかる所
･アンモニアの雰囲気にさらされる所
･通風の悪い所
･複数台設置の場合に、ショートサーキットがおきるような所
･ユニットに屋根からの落雪が直接当たるおそれのある所
･硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ等の機器に影響する物質の発生する所
･化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
･高周波を発生する機械を使用する所
･積雪の多い所（設置する場合、所定の架台、防雪フードを取付けることが必要です）
･標高1000m以上の所
･他の熱源から熱放射を受ける所
･吸込口、吹出口に風の障害物がある所
･強風の影響をうけやすい所（室外ユニットに直接強風が吹込む所）
･塩化カルシウム（融雪剤）が飛散し，ユニット本体に付着する所
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したり火災発生の原因になることがあります。

●次の場所への室外ユニットの据付は避ける。
･騒音や熱風が隣家に迷惑をかけるような所
･吹出しの風が動植物に直接植木にあたる場所
　吹出し風による植木などへの被害の原因になります
･ドレンの排水がとれない所
･強度が不十分で振動が増幅、伝達しやすい所
･機器から発生する騒音、振動の影響を受けやすい所（寝室の壁やその近傍）
･高周波に影響される機器のある所（TVおよびラジオ等の近傍）
周辺の環境に影響をおよぼしクレームの原因になることがあります。

●食品、動植物、精密機器、美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状況により低温と高温になります。　素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

●室外ユニットを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●室外ユニットの上に物を置いて運転を行わない。
落下物により物が破損したり、ケガの原因となります。

●室外ユニットの上に乗らない。
落下、転倒などによりケガの原因となります。

冷媒R32対応機としての注意点

●R32以外の冷媒は使用しないでください。R32は従来の冷媒（R22など）に比べ圧力が1.6倍高くなります。
●R32機は、他冷媒の誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。また、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法およびフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工･サービス時には、右表に示すR32またはR410A専用ツールを準備してください。
●チャージシリンダは使用しないでください。
●冷媒封入は必ずボンベから液相で取出して行ってください。
●室内ユニットはR32またはR410A専用機となります。接続可能な室内ユニットはカタログ等で確認してください。（他の室内ユニットを接続すると正常運転できません。）
●異種油の混入をさけるために、冷媒の種類により工具を使い分けしてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C）と共用しないでください。
●冷媒R32にはわずかながら燃焼性があります。そのため、半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置･修理･移設する際の作業時は冷媒漏えいセンサを携行してください。
冷媒が漏えいした場合、窒息や着火の原因となる恐れがあります。

	R32またはR410A専用ツール
a)	ゲージマニホールド
b)	チャージホース
c)	冷媒充填用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツール
f)	出し代調整用銅管ゲージ
g)	真空ポンプアダプタ
h)	ガス漏れ検知器

フロンの見える化

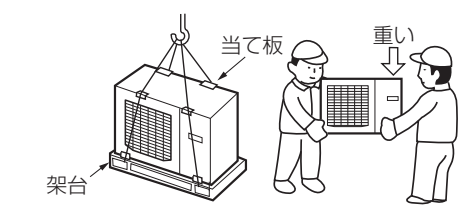
地球温暖化防止のため、この製品の移設･修理･廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。本機には地球温暖化係数(GWP)が675のフロン類を使用しています。(冷媒R32)

1．ユニットの搬入・据付（ユニットの搬入・移動には十分に注意し、必ず2人以上で行ってください。）

⚠注意　●ユニットにロープ掛けを行い搬入する場合は、必ずユニット重心のずれを考慮してください。ユニットが安定を失って落下する恐れがあります。

1）搬入

●据付場所付近までできるだけ梱包のままで搬入してください。
●やむを得ず解梱して搬入する場合は、ユニットを傷付けないようにナイロンスリングで吊り下げるか、または当て板をしてロープで吊り下げてください。



2）移動

●ユニット正面（吹出側）から見て右側が重くなっています。
右側を持つ作業者は十分に注意してください。

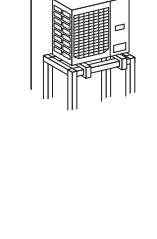
3）据付場所の選定

下記条件に注意し、据付場所を選んでください。
○ 室外ユニットの重量・振動に耐え、水平に据付けられる安全な所
○ 運転音や温風で隣家に迷惑のかからない所
○ 油煙が発生しない所
○ 可燃性ガスの漏れる恐れのない所
○ ドレン水が流れてもよい所
○ 他の熱源から熱輻射を受けない所
○ 積雪で埋まらない所
○ テレビやラジオの周囲から５m以上離れた所（電波障害を受ける場合はさらに離してください。）
○ 通風が充分に確保でき、保守点検を安全に行えるサービススペースを確保できる所
○ 電磁波、高調波を発生する機械がない所
○ 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ(アンモニアを含む)など機器に影響する物質の発生・滞留しない所
○ 吹出口に強風が当たらない所

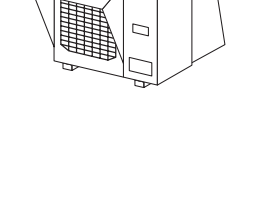
4）据付場所に関する注意

（1）積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。

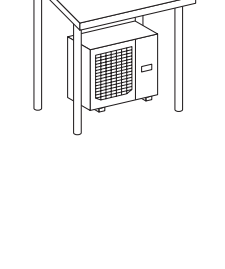
①積雪面より底板が高くなるよう室外ユニットを架台の上に設置してください。



②吹出口に防雪フード(別売品)を取付ける。



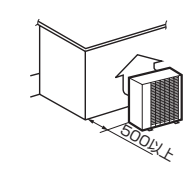
③軒下に設置するか、雪除け屋根(現地手配)を取付けてください。



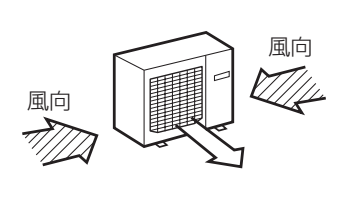
ユニットの吹出口から雪が侵入する恐れがあるところでは、防雪フード(別売品)とベースヒータ(別売品)を取付けてください。
外気温度が長期間氷点下となる地域では、ベース内部の氷が成長し部品損傷のリスクがあるため、ベースヒータ(別売品)を取付けてください。
降雪量の多い地域では、ユニットの吸込側の室外熱交換器に雪が付着し性能低下の原因となる恐れがあるため、防雪フード(別売品)の取付を推奨します。
また、除霜運転時のドレン水が凍結する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
・ドレンプラグやドレン管が凍結しないよう、ドレン集中排水キット(別売品)を使った集中排水工事を行わないでください。
　[⇒3．ドレン配管工事 参照]
・室外ユニットから排出したドレン水が凍結する恐れがある場合は室外ユニットの下に凍結防止用ヒータ(現地調達)を設置してください。
　※ヒータを設置する場合は熱の影響により排水路にある材料を溶融しないような、容量、配置、システムにて施工してください。

（2）強風の影響を受けやすい場所では、下記の内容に従って防風対策を行ってください。
能力の低下、高圧上昇による異常停止、ファンの破損などの原因となります。

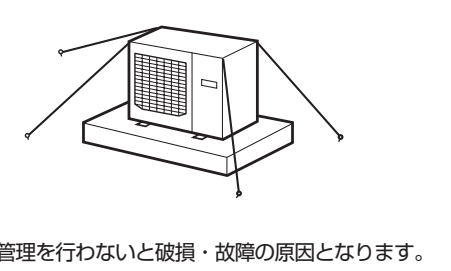
①吹出側を建物の壁、塀および防風用つい立などにむける。



②吹出方向を風向きに対して直角に設置する。



③強風等の影響がある場合は安定した場所に据付、針金などで固定する。



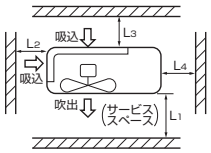
（3）維持管理に関する注意（耐重塩害仕様の場合）
耐重塩害仕様機は耐食性に優れた部品を使用していますが、適切な据付場所選定および維持管理を行わないと破損・故障の原因となります。
以下の内容を守ってください。
●海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また、波しぶき等が直接かかる場所への設置はさけてください。
●外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。
●室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
●海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
●据付、メンテナンス等で付いた傷は、補修してください。
●機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。
●基礎部分の排水性を確保してください。

5）据付スペース

●四方障壁は不可です。
●ユニット上方のスペースは1m以上確保してください。
●ショートサーキットの恐れのある場所はフレックスフローアダプタを取付けてください。
●複数台設置する場合は、特にショートサーキットが生じないように吸込スペースを十分に確保してください。
●吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。

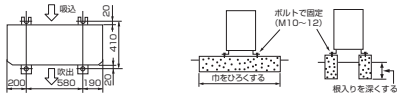
(mm)

寸法 ＼ 据付例	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
L1	開放	開放	500
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	250	250	250



6）据付

①アンカーボルト固定位置　②据付時の注意



●ユニットを据付ける場合、上記ボルトでユニットの足を必ず固定してください。
●前面側アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
●地震や突風などで倒れないように強固に据付けてください。
●コンクリート基礎は上図を参照してください。
●ユニットは水平に設置してください。（ベース面で左右の差は5mm以下）
圧縮機の故障、ユニット内配管の破損、異常音の原因になります。

7）外気温−5℃以下で冷房運転を行う場合

●フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

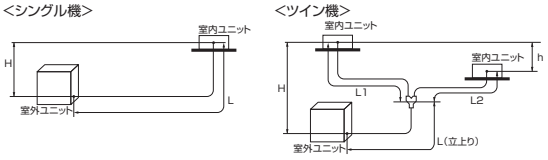
2. 冷媒配管工事

1） ユニット据付使用制限

●室内ユニットの仕様と据付場所にあわせて以下の内容を確認して下さい。
●以下の据付使用制限は必ず守ってください。据付に不備があると圧縮機の故障や能力低下の原因となります。

制限項目			右図での記号	
	第1分岐管～各室内ユニットまでの配管長差			
	室外ユニット容量	制限長さ	シングル機	ツイン機
配管総長	KP80, 112	80m以下	L	L+L1+L2
主管長		80m以下	L	L
第1分岐～室内ユニット間の片道長さ		30m以下	−	L1, L2
第1分岐～室内ユニット間の片道長さの差		10m以下	−	L1−L2, L2−L1
室内・室外ユニット間の高さの差	室外ユニットが上の場合	30m以下	H	H
	室外ユニットが下の場合	15m以下		
室内ユニット間の高さの差		0.5m以下	−	h

<シングル機>　<ツイン機>



⚠注意　●上表の使用制限は下表に示す標準配管サイズの場合を示します。既設配管を使用する場合は配管サイズにより配管総長の制限が変わります。詳しくは「6．既設配管対応」をご確認ください。

2） 冷媒配管サイズ選定

●室内ユニットの仕様に合わせて以下の内容で冷媒配管サイズを選定してください。

		KP80		KP112	
		ガス管	液管	ガス管	液管
室外ユニット接続		φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
		フレア	フレア	フレア	フレア
冷媒配管(主管L)		φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
シングル機の場合	室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	P80		P112	
ツイン機の場合	分岐管セット	DIS-WA1G			
	冷媒配管(分岐管L1,L2)	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	P40×2		P56×2	

⚠注意　●立ち上がり配管は主管としてください。また、分岐管セットはできるだけ室内ユニットに近いところに水平に分岐するように取り付けてください。また、分岐部には付属の断熱材を取り付けてください。
●分岐部の施工詳細は、分岐管セットに付属の説明書を参照してください。

3） 冷媒配管の肉厚および材質

●冷媒配管のサイズに対して以下の肉厚および材質のものを選定してください。
●本機はR32を使用します。外径19.05[mm]以上の配管については0材では耐圧が不足しますので、必ず1／2H材、肉厚1.0[mm] 以上の配管をご使用ください。

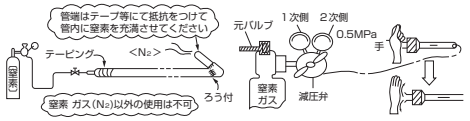
配管外径 [mm]	6.35	9.52	12.7	15.88
最小配管肉厚 [mm]	0.8	0.8	0.8	1.0
配管材質※	O材	O材	O材	O材

※リン脱酸銅継目無管
C1220T、JIS H 3300

お願い　●配管の選定･施工については、必ず「冷凍保安規則関係例示基準」を厳守してください。
●配管肉厚は、最小配管肉厚以上のものを選定してください。

ろう付について

ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。
窒素ガスを流さないと多量の異物（酸化皮膜）が生成され、キャピラリーチューブや膨張弁詰りによる致命的故障の原因となります。

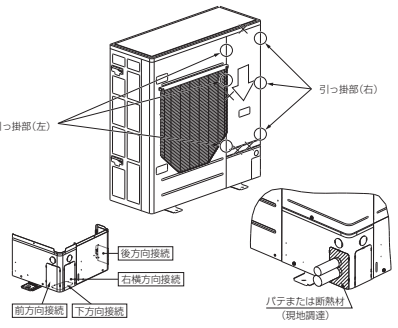


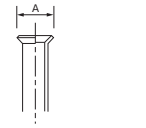
4） 現地配管施工

⚠重要　施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意してください。
内部部品に接触すると、異常音・振動が発生します。

サービスパネルの外し方

●サービスパネルは固定しているねじ4本（×印）を外し、パネルを矢印方向へ引き下げてから手前に外してください。
●配管の取出しは前・右・下・後が可能です。
●配管貫通部のノックアウトの板を必要最小限の寸法で取外し、配管を接続してください。
※配管接続後に配管接続部のすき間をパテや断熱材（現地調達）でふさいでください。室外ユニット内に昆虫などの小動物が侵入した場合、ショートするおそれがあります。
●現地配管施工は、操作弁を全閉にして行ってください。
●配管内部に水分、異物が入らないように、管端の養生(潰してろう付または粘着テープによる)を十分に行ってください。
●配管の曲げはできるだけ大きな半径（R100～R150）で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
●ユニットと冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付後、フレア加工を施してください。R32のフレア加工寸法は、従来のR407Cとは異なります。R32またはR410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整用ゲージにて出し代B寸法を調節すれば、従来ツールを使用できます。取付方法の詳細は付属配管の取付説明書をご覧ください。
●フレア接続はダブルスパナで締付てください。



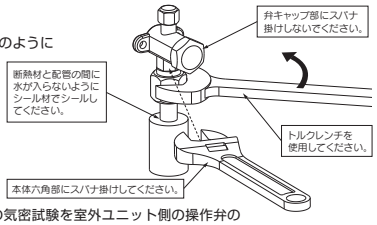


フレア管端部：A (mm)

銅管外径	A 0 −0.4
φ6.35	9.1
φ9.52	13.2
φ12.7	16.6
φ15.88	19.7

⚠注意　フレアナットを適正トルクを超えて締めないでください。液側、ガス側操作弁ともに右の絵のように操作弁本体を固定し、適正な締付トルクにて締付をお願いします。

操作弁サイズ(mm)	締付トルク (N・m)
φ6.35 （1/4"）	14～18
φ9.52 （3/8"）	34～42
φ12.7 （1/2"）	49～61
φ15.88(5/8")	68～82

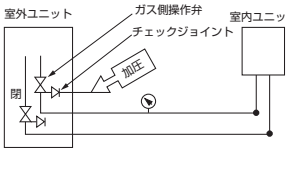


フレア加工の銅管出し代：B (mm)

銅管外径	リジッド（クラッチ式）の場合	
	R32またはR410A用ツール使用時	従来ツール使用時
φ6.35	0～0.5	0.7～1.3
φ9.52		
φ12.7		
φ15.88		

5） 気密試験

①室外ユニットおよび室内ユニット本体の気密試験は弊社にて実施済ですが、配管接続後、接続配管の気密試験を室外ユニット側の操作弁のチェックジョイントより行ってください。なお、操作弁は必ず閉のままにして実施してください。
(ア) 0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて5分間以上放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(イ) 次に1.5MPaまで加圧し、再び5分間以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(ウ) その後、規定圧力（4.15MPa）まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモしてください。
(エ) 約1日放置し、圧力が低下していなければ合格です。この際周囲温度が1℃低下すると圧力が約0.01MPa低下しますので補正を行ってください。
(オ)（ア)～(エ)の確認で圧力低下の認められたものには漏れがあります。溶接箇所、フレア部等に発泡試験液等を用いて漏れ箇所を発見し補修してください。補修後は再度気密試験を実施してください。
②気密試験には窒素ガスを使用し、窒素ガスによる加圧はガス側から行ってください。また窒素以外のガスは絶対使用しないでください。



6）真空引き

<作業フロー>

気密試験完了 → 真空引き開始 → −101kPa以下（−758mmHg以下）になってから1時間以上真空ポンプの運転を続けてください。 → 真空引き完了 → 1時間以上放置し真空ゲージの針の上昇なきこと → 真空度チェック → 冷媒封入

真空ゲージの針が上昇した場合は系統内に水分が残っているか、漏れ箇所があります。
漏れ箇所をチェックし、修正後再度真空引きをしてください。

本機はR32のため下記の点にご注意ください。

○ 異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具等を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C等）と共用しないでください。

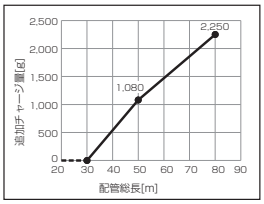
○ 真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用ください。

7）冷媒追加封入

（1）下表に従い、冷媒封入量を計算してください。

<シングル，ツイン機>

容量 ＼ 項目	冷媒配管（液管）1mあたりの追加チャージ量（kg）	工場出荷時チャージ量（kg）	追加チャージ不要の現地配管長さ（m）
KP80, KP112	30〜50m分：0.054 50〜80m分：0.039	3.0	30



●室外ユニットは配管長30m相当分の冷媒量が工場出荷時に封入されており、30mまでは現地での追加チャージが不要です。
それを超えた分については、配管長と上表より追加封入量を計算し追加封入してください。詳しくは5. 試運転の項を参照してください。

●既設配管を使用する場合は、液管サイズにより必要封入量が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

追加冷媒量計算式

KP80, KP112	配管総長が30(m)以上50(m)以下の場合：追加チャージ量(kg) = {配管総長(m)- チャージレス分30(m)} × 0.054(kg/m) 配管総長が50(m)超　80(m)以下の場合：追加チャージ量(kg) = {配管総長(m) - 50(m)} × 0.039(kg/m) + 1.08(kg)

（2）冷媒封入

●操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。圧縮機保護のため、ボンベのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。

●冷媒の封入は必ずはかりを使用して計算封入してください。

●運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。

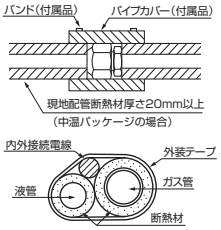
お願い　配管長から算出した冷媒量をサービスパネル裏面の注意ラベルに記入してください。

8）断熱・防露

（1）冷媒配管（ガス管、液管共）の防露断熱工事を行ってください。

（2）断熱材は120℃以上の耐熱性があるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。

・防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。
・ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。
・室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）
・断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。
・本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、**相対湿度70%(※)を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。**



3. ドレン配管工事

●ドレン集中キット（別売品）を使った集中排水工事は行わないでください。
氷点下では除霜運転時のドレン水がドレンプラグドレン管内で凍結する恐れがあります。
●室外ユニットの底面にはドレン水を排水する穴が6か所あります。
●操作弁や接続配管付近からドレン水が流れ出る可能性があります。

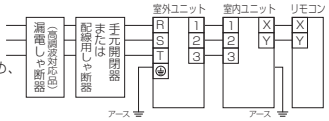
4. 電気配線　電気工事の詳細は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

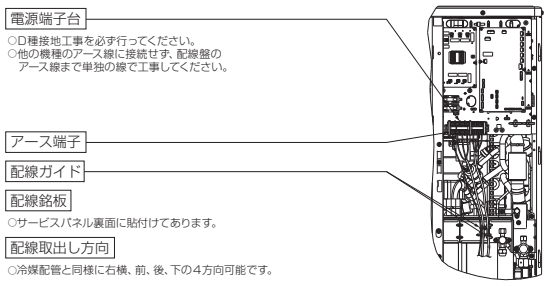
●漏電しゃ断器の取り付けを必ず行ってください。漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
●室内外配線は同一端子番号を接続してください。
●配線は端子接続部に外力が伝わらないように固定してください。
●制御箱にアース端子があります。D種接地工事を必ず行ってください。

電源・内外接続線　●アース工事を行う際には、電源プラグを抜いた状態で実施してください。

⚠ 注意

漏電しゃ断器の誤動作を防ぐため、必ずインバータ回路用しゃ断器を使用してください。





●内外渡り線は必ず3心ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。



VCTキャブタイヤケーブル　VVF平形ケーブル　4心ケーブル　シールド線

機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用しゃ断器 定格電流	電源配線 太さ×本数	電源配線 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
KP80, 112	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²×3	19m	φ1.6×3（70mまで） 3.5mm²×3（105mまで）	2.0mm²	M5

室内機がFDU、FDRの場合

機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用しゃ断器 定格電流	電源配線 太さ×本数	電源配線 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
KP80, 112	40A,100mA,0.1sec以下	60A	40A	40A	5.5mm²×3	26m	φ1.6×3（70mまで） 3.5mm²×3（105mまで）	3.5mm²	M5

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。
●上表はシングル機の場合を示します。プルーラル接続の場合はカタログをご参照ください。
●配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
これ以外の条件は内線規程により実施してください。

フリーアドレスプルーラル接続非対応

フリーアドレスプルーラル接続は次の場合対応できません。

	接続配線太さ3.5mm²	接続配線太さφ1.6mm
内外接続線＋室内ユニット間接続線の総長	80m超過	70m超過
室内ユニット間の接続線長	55m超過	25m超過
接続される室内ユニットタイプ	フリーアドレスプルーラル非対応機(FDFタイプ、5型以前の室内ユニット)を含む場合	

この場合、室内ユニット間の通信には信号配線を使用し、室内ユニットの親機−子機設定スイッチ（SW5-1、SW5-2）を右表のように設定してください。

室内基板スイッチ	親機	子機1
SW5-1	OFF	OFF
SW5-2	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチ（SW4-1）を電源投入前にONにしてください。
（SW4-1位置は5. 試運転を参照ください。）ONにすることでフリーアドレスプルーラル制御を無効にします。

5. 試運転

⚠ 警告
●試運転の前に操作弁が全開になっていることを必ず確認してください。
●試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。
●停止から運転までは、必ず3分以上待ってください。
} 左記の項目に不備がありますと、圧縮機が故障することがあります。
●サービスパネルを外すと、高圧充電部・高温部が露出して危険です。感電や火傷に十分注意してください。また、サービスパネルを開けたまま放置しないでください。

⚠ 注意
●現地設定スイッチ（SW3、SW5、SW7）を操作する場合は、充電部に触れぬよう十分注意してください。
●液操作弁のチャージポートから吐出圧力の検圧はできません。
●四方弁（20S）は暖房運転時に通電されます。
●電源しゃ断によりリセットする場合は、電源しゃ断より3分経過後に電源を再投入してください。3分経過後でなければ「室内外通信異常」が発生する場合があります。

絶縁抵抗について

●据付直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合、圧縮機に冷媒が溜まることにより、絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。
絶縁抵抗が小さく、漏電ブレーカが作動する場合は、以下の事項を確認ください。
①電源を投入し、6時間程度経過後、絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより、圧縮機に通電加熱を行い、圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており、漏電ブレーカの誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。

1）試運転方法

（1）現地接定スイッチSW3-3, 4により室外ユニット側から試運転が可能です。
（2）SW3-3をONすることで圧縮機が運転します。
（3）SW3-4がOFF状態で冷房試運転を行い、ON状態では暖房運転を行います。
（4）**試運転終了後は、必ずSW3-3をOFFに戻してください。**

SW-3-3	SW-3-4	
ON	OFF	冷房試運転
	ON	暖房試運転
OFF	–	通常、および試運転終了

2）運転状態のチェック

吐出圧力、吸込圧力の検圧は、室外ユニット内部の四方弁前後に取付けられたチェックジョイントおよび、ガス操作弁のチャージポートから行ってください。冷房運転・暖房運転によって右表のように検出圧力は異なります。

	配管の チェックジョイント	ガス操作弁の チャージポート
冷房運転	吐出圧力（高圧）	吸込圧力（低圧）
暖房運転	吸込圧力（低圧）	吐出圧力（高圧）

電源投入1回目の起動時は、圧縮機保護のため圧縮機回転数をゆるやかに上昇させます。
試運転時は1時間ほど連続運転させてから運転状態をチェックしてください。

3）現地設定スイッチSW3-1、SW7-3の設定

（1）デフロスト制御切換え（SW3-1）
・ONすることでデフロスト制御に入り易くなります。
・暖房シーズン時、除霜能力が不足する場合は、設定をONにしてください。
（2）サイレントモード（SW7-3）
・ON状態でリモコンからサイレントモードを選択することで運転音を抑えることができます。運転音を抑える必要がある場所に据付ける場合は設定をONにしてください。ただし、サイレントモードをONすると外気温条件等によっては、能力が不足する場合があります。

4）試運転時の故障診断

リモコン表示	室外基板LED表示(周期5秒)		故障内容	対策
	赤LED	緑LED		
E34	1回点滅	連続点滅	欠相	電源線のゆるみ、外れのないことを確認
E40	1回点滅	連続点滅	63H1作動、または操作弁閉運転(主に暖房時に発生)	1. 操作弁が開いているか確認 2. 圧縮機停止から3分経過後、異常が解消されていればリモコンからの点検リセットにより再起動可能
E49	1回点滅	連続点滅	低圧異常、または操作弁閉運転(主に冷房時に発生)	

●上記以外の異常が表示される場合は、室外ユニットと室内ユニットの配線銘板をご覧ください。

5）停止時の電子膨張弁の状態

電源投入時の通常停止時、および異常停止時の電子膨張弁の状態は右表の通りです。

	電源投入時	通常停止時		異常停止時	
		冷房時	暖房時	冷房時	暖房時
冷房用	全閉	全閉	開	全閉	全閉
暖房用	全閉	開	全閉	全閉	全閉

6）電源ブレーカ投入後1回目の運転について

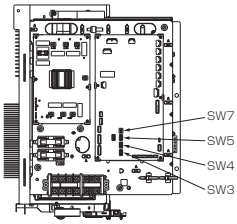
電源ブレーカ投入後1回目の起動において、圧縮機の油上がりを防止するため、リモコンに「運転準備中」が最大で30分間表示される場合があります。
故障ではありませんので、「運転準備中」の表示が消えるまでお待ちください。

試運転前の確認事項　●電源を入れた状態で室外ユニットから離れる場合は、パネルを必ず閉めてください。

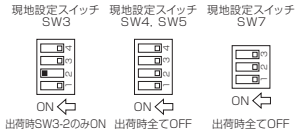
据設の項目No.	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付しましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付けられていますか。	
		操作弁は液管側・ガス管側の両方とも確実に開いていますか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		しゃ断器、配線など電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線が入替わっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		室内外配線は同一端子番号間で接続していますか。	
		室内外配線はVCTキャブタイヤケーブルまたはVVF平形ケーブルですか。	
		アース工事はD種接地(第3種接地)工事が行われていますか。	
		他の機器のアース線と接続せず、単独でアースを取っていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようになっていますか。	
—	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合は、化粧パネルの取付が完了していますか。	

試運転手順　●必ず試運転を行い、下記の順に従ってチェックを行ってください。

順番	操作内容	チェック
①	ガス側操作弁を全開にしてください。	
②	液側操作弁を全開にしてください。	
③	パネルを閉めてください。	
④	リモコンによる現地設定を行う場合は、リモコンによる現地設定の説明に従って行ってください。	
⑤	SW3-3 ON ／ SW3-4 OFF:冷房試運転を開始します。 SW3-3 ON ／ SW3-4 ON:暖房試運転を開始します。	
⑥	運転が開始したら、リモコンの風向き調節ボタンを押して作動を確認してください。	
⑦	室内ユニットの吹出口に手を当て、冷房は冷風、暖房は暖風が出ていることを確認してください。	
⑧	赤LEDが点滅していないことを確認してください。	
⑨	試運転終了後、必ずSW3-3をOFFにしてください。	
⑩	オプション品を使用している場合は、各々の取扱説明書に従って機能の確認をしてください。	

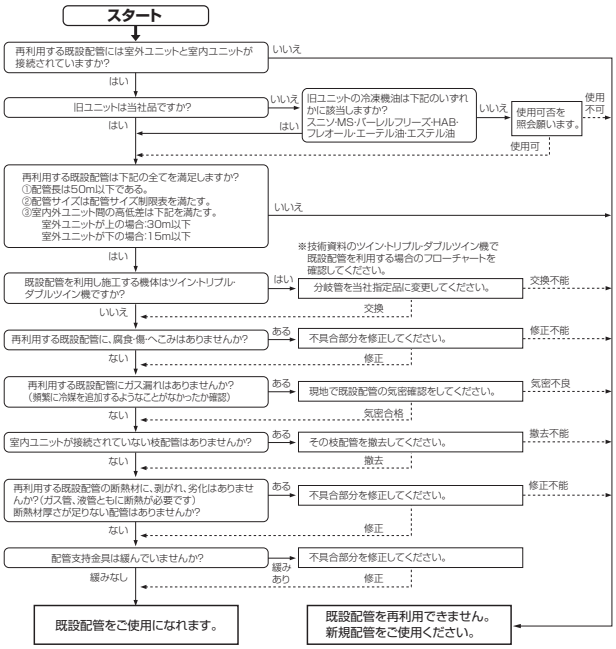


※1 SW1、SW3-1、SW3-3、SW3-4、SW4-1、SW5-1、SW5-2、SW7-3以外のディップスイッチは操作しないでください。



6. 既設配管対応

既設配管が再利用出来るかどうかを下記フローチャートを利用して判断してください。



本機種にはリニューアルキットが内蔵されておりません。別売りのリニューアルキットによる洗浄運転により、既設配管をご使用になれます。

〈配管サイズ制限表〉◎:標準配管サイズ　○:使用可能　△:配管長制限短縮

配管1m当たりの追加チャージ量		0.02kg/m	0.054kg/m ※2		0.11kg/m	
配管サイズ	液管	φ6.35	φ9.52		φ12.7	
	ガス管	φ15.88	φ15.88	φ19.05	φ15.88	φ19.05
KP80, 112	適用可否	△	◎	○※1	△	△※1
	最大配管総長	17	80	80	40	40
	チャージレス長	10	30	30	15	15

〈分岐管後配管〉◎:標準配管サイズ ○:使用可能 ×:使用不可

配管1m当たりの追加チャージ量			0.054kg/m ※2		
配管サイズ	液管		φ9.52		
	ガス管		φ12.7	φ15.88	φ19.05
形式	組合せ	組合せ能力			
KP80	ツイン	40+40	×	◎	○
KP112		56+56	×	◎	○

※1：φ19.05×t1.0は耐圧強度不足のため、室外ユニット基板上の**ディップスイッチSW5-1をON**にしてください。
（ツイン機の場合、第1分岐以降の配管にφ19.05×t1.0が存在する場合を含む）
ただし、1/2H材または肉厚1.2以上の配管を使用する場合はディップスイッチSW5-1をONにする必要はありません。

●分岐後の配管サイズは、主管と同じ径もしくは小さい径であること。
●表に記載のない配管サイズの組合せおよび表の×の配管サイズの組合せは使用できません。

追加チャージ量計算式

追加チャージ量(kg)=[配管総長(m)−表のチャージレス長(m)]×表の配管1m当たりの追加チャージ量(kg/m)
※2：配管総長が50(m)超80(m)以下の場合は下記の計算式を使用してください。
追加チャージ量(kg)=[配管総長(m)−50(m)]×0.039(kg/m)+1.08(kg)

例）既設配管20m（液管φ12.7、ガス管φ19.05）を使用して、KP112（シングル機）を設置する場合。
（20m−15m）×0.11kg/m=0.55kgを追加チャージする。

〈分岐管を流用可能な既存ユニット機種〉

●FDCJ＊＊＊H、HA、HD、HD1、HD2、HD3(A)　●FDCP＊＊＊HD3
●FDCVJ＊＊＊HD3　●FDCVP＊＊＊HD3以降の機種

● 上記以外の機種（FDCの後に“J”または“P”が付かない機種、当社製以外の機種）および中温パッケージ既存ユニットの分岐管は耐圧強度不足のため使用できません。当社製R32用の分岐管を使用してください。

●＊＊＊には能力を示す数字が入ります。

⚠ 注意

<既設ユニットが冷房運転可能な場合>

既設ユニットで下記作業を実施してください。（①→②→③→④の順番）
①30分間冷房運転
②ビニールシートなどで室内ユニット吸込口を完全に閉塞し3分間冷房運転（液バック運転）
③室外ユニットの液操作弁を締めポンプダウン（冷媒回収）
④窒素ガスによるブロー　※ブローにより変色した冷凍機油や油以外の残留物が排出された場合は「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。
●フレアナットは流用せず室外ユニット付属のものを使用してください。
またフレアはR32用に再加工してください。
●現地設定スイッチSW5−1をONにしてください。（ガス配管サイズがφ19.05の場合）

<既設ユニットが冷房運転できない場合>

本機種にはリニューアルキットが内蔵されておりません。
別売りのリニューアルキットによる洗浄運転により、既設配管をご使用になれます。
別売のリニューアルキットを使用する場合は**下記作業を実施してください。**
①冷媒回収機で冷媒を回収ください。
②既設配管内の冷凍機油の汚れを確認ください。
色標5.0以上の黒色、褐色（＊）、多量の残渣、異臭がある場合「配管洗浄」または「新規配管」をご使用おねがいします。
＊冷凍機油の色標はカタログの末頁を参考ください。
③リニューアルキットを取付しSW5−1をONによりご使用可能です。
●「配管洗浄」を行う場合は、最寄の代理店にお問い合わせください。

PSC012D057D F

(e) FDCZP1126H, 1406H, 1606H

◎ 本説明書は “室外ユニットと総合工事仕様”について示したものです。“室内ユニット”については492ページをご覧ください。
◎ 据付時には据付場所の選定、電源仕様、使用可能範囲(配管距離・室内外高低差・電源電圧等)・据付スペース等などが適正であることを確認してください。
◎ この室外ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

ZPシリーズ, VPシリーズ
ZP112-ZP140-ZP160, VP112-VP140-VP160
冷媒R32対応機

安全上のご注意

● 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
● ここに示した注意事項は、「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、誤った据付をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。　いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
● ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗ 必ず指示に従い行う
● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの仕方をご指導下さい。
● 据付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管戴くように依頼してください。またお使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡しくださるよう依頼してください。

据付工事前に確認してください

●機種・電源仕様　●冷媒配管長
●配管・配線・小物部品　●室内ユニット据付説明書

⚠ 警　告

❗
- ●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
  ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。
- ●据付工事は、据付説明書に従って確実に行う。
  据付に不備があると破裂、ケガの原因となり、また水漏れや感電、火災の原因になります。
- ●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
  当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良、ケガなどの原因になります。
- ●小部屋に据付ける場合は日本冷凍工業会のガイドラインJRA GL-13に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
  限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。
- ●作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
  冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
  冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●ユニットを搬入する際、重量に適合したロープをユニットの所定位置に掛けて行う。また横ズレしないよう固定し、確実に4点支持で実施する。
  3点支持など搬入方法に不備があるとユニットが落下し、死亡や重傷の原因になります。
- ●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
  強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。
- ●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
  据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。
- ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
  電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- ●元電源を切った後に電気工事を行う
  感電、故障や動作不良の原因になることがあります。
- ●電源配線は、電流容量、規格に適合した配線により工事をする。
  適合品以外の配線を使用した場合は、漏電、発熱、火災等の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
  接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- ●電源コードの加工、途中接続、タコ足配線はしない。
  接触不良・絶縁不良・許容電流オーバー等により、発熱・火災・感電の原因になります。
- ●電源コードを束ねたり、巻いたり、電源プラグを踏む等して変形させない。
  発熱・火災・感電の原因になります。
- ●密閉された部屋で配管ろう付作業をしない。
  酸欠事故の原因になります。
- ●配管、フレアナット、工具はR32またはR410A専用のものを使用する。
  既存 (R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。
- ●フレアナットの締付はダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付ける。締付過ぎによるフレア部の破損に注意してください。
  フレア部のゆるみ、締付過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏えいして酸欠事故の原因になることがあります。
- ●冷媒配管工事、気密試験および真空引きが完了するまでは、サービスバルブ (液、ガス共) を開けないでください。
  冷媒配管が確実に取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。
  また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。
- ●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
  ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
- ●保護装置の改造や設定変更をしない。
  圧力開閉器や温度調節器などの保護装置を短絡して強制運転を行ったり、当社指定の部品を使用しないと、火災や爆発の原因になります。
- ●据付時や点検・サービス時など、ユニット内の作業を行う場合は、電源を切ってから行ってください。
  据付・点検・修理にあたって、ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電や故障およびユニットファン回転によるケガの原因になります。
- ●エアコンを移動、再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
  据付に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。
- ●ポンプダウン作業では、操作弁を閉じた後、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止する。
  圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。
  また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

⃠
- ●エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒 (R32)以外の空気等を入れない。
  空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。
- ●パネルやガードを外した状態で運転しない。
  機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- ●サービスパネルは確実に取付ける。
  サービスパネルの取付に不備があると、ホコリ、水などにより、火災、感電の原因になります。
- ●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
  修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。
- ●メンテナンス後にすべての配線およびタイラップ等を元の位置に戻してください。
  金属部品との距離を確保する必要があります。

⚠ 注　意

⏚
- ●アース (接地) を確実に行う。
  アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース (接地) が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。またガス管にアースすると、ガス漏れの時に爆発、引火の可能性があります。

❗
- ●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ (漏電しゃ断器・手元開閉器 (開閉器+B種ヒューズ)・配線しゃ断器) を使用する。
  不適切なブレーカを使用すると故障や火災の原因になります。
- ●製品の運搬は十分注意して行う。
  20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。
  また素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。
- ●梱包材の処理は確実に行う。
  梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。また梱包用のポリプクロで子供が遊ぶと窒息事故の原因となりますので、必ず破いてから廃棄してください。
- ●室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
  溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷 (ピンホール) をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままにしておくとか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。
- ●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
  不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して、露たれ等を発生し、天井、床その他、大切なものを濡らす原因となることがあります。
- ●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
  万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。
- ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
  据付に不備があると、以上振動・騒音増大の原因になります。

⃠
- ●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
  漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
- ●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
  針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
  万一ガスがユニットの周囲に滞ると、発火の原因となることがあります。
- ●腐食性ガス (亜硫酸ガス等)、可燃性ガス (シンナー、ガソリン等)、の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
  熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは火災の原因になることがあります。
- ●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
  スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
- ●室外ユニットを屋上あるいは高所に設置する場合は、転落防止のため、通路には恒久パラゴ、手すり等を、また室外ユニット周辺にはフェンス、手すり等を設けてください。
  フェンス、手すり等がない場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
- ●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近くでは据付、使用しない。
  インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等障害の原因になることがあります。
- ●室外ユニットは、小動物のすみかとなるような場所に設置しない。
  小動物が侵入して、内部の電気配線に触れると、故障や発煙、発火の原因になることがあります。またお客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。
- ●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
  傷んだまま放置するとユニットの落下につながり、ケガの原因になることがあります。
- ●次の場所への据付は避ける。
  - ・カーボン繊維や金属粉、ウダー等が浮遊する所
  - ・硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ等の機器に影響する物質の発生する所
  - ・車両、船舶等移動するものへの設置
  - ・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
  - ・油の飛沫や蒸気が多い所 (調理場、機械工場等)
  - ・高周波を発生する機械を使用する所
  - ・海浜地区等塩分の多い所
  - ・積雪の多い所 (設置する場合、所定の架台、防雪フードを取付けることが必要です)
  - ・煙突の煙がかかる所
  - ・標高1000m以上の所
  - ・アンモニアの雰囲気にさらされる所
  - ・他の熱源から熱放射を受ける所
  - ・通風の悪い所
  - ・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
  - ・複数台設置の場合に、ショートサーキットがおきるような所
  - ・強風の影響をうけやすい所 (室外ユニットに直接強風が吹込む所)
  - ・ユニットの上方に置かれたものが落ちる可能性がある場所
  - ・塩化カルシウムを使用する所 (融雪剤)

  性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したり火災発生の原因になることがあります。
- ●次の場所への室外ユニットの据付は避ける。
  - ・騒音や熱風が隣家に迷惑をかけるような所
  - ・強度が不十分で振動が増幅、伝達しやすい所
  - ・吹出しの風が動植物に直接植木にあたる場所
  - ・機器から発生する騒音、振動の影響を受けやすい所 (寝室の壁やその近傍)
  - 吹出し風による植木などへの被害の原因になります
  - ・高周波に影響される機器のある所 (TVおよびラジオ等の近傍)
  - ・ドレンの排水がとれない所

  周辺の環境に影響をおよぼしクレームの原因になることがあります。
- ●食品、動植物、精密機器、美術品の保存など特殊用途には使用しない。
  保存物の品質低下の原因になることがあります。
- ●濡れた手でスイッチを操作しない。
  感電の原因になることがあります。
- ●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
  運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状況により低温と高温になります。　素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。
- ●室内ユニットを水洗いしない。
  感電の原因になることがあります。
- ●室外ユニットの上に物を置いて運転を行わない。
  落下物により物が破損したり、ケガの原因になります。
- ●室外ユニットの上に乗らない。
  落下、転倒などによりケガの原因になります。
- ●素手で室外ユニットのフィンや吸入管に触らないこと。
  ケガの原因になります。

冷媒R32対応機としての注意点

●R32以外の冷媒は使用しないでください。R32は従来の冷媒 (R22など) に比べ圧力が1.6倍高くなります。
●R32機は、他冷媒の誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。また、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法およびフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工・サービス時には、右表に示すR32またはR410A専用ツールを準備してください。
●チャージシリンダは使用しないでください。
●室内ユニットはR32またはR410A専用機となります。接続可能な室内ユニットはカタログ等で確認してください。(他の室内ユニットを接続すると正常運転できません。)
●異種油の混入をさけるために、冷媒の種類により工具を使い分けしてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒 (R22、R407C) と共用しないでください。
●冷媒R32にはわずかながら燃焼性があります。そのため、半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は冷媒漏えいセンサを携行してください。
冷媒が漏えいした場合、窒息や着火の原因となる恐れがあります。

	R32またはR410A専用ツール
a)	ゲージマニホールド
b)	チャージホース
c)	冷媒充填用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツール
f)	出し代調整用銅管ゲージ
g)	真空ポンプアダプタ
h)	ガス漏れ検知器

フロンの見える化

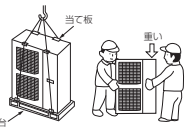
地球温暖化防止のため、この製品の移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。本機には地球温暖化係数(GWP)が675のフロン類を使用しています。(冷媒R32)

1. ユニットの搬入・据付 (ユニットの搬入・移動には十分に注意し、必ず2人以上で行ってください。)

⚠注意　●ユニットにロープ掛けを行い搬入する場合は、必ずユニット重心のずれを考慮してください。ユニットが安定を失って落下する恐れがあります。

1) 搬入

●据付場所付近までできるだけ梱包のまま搬入してください。
●ロープ掛けを行い搬入する場合は玉掛けの資格のある方が行い、ユニットに過度な衝撃等を与えないように作業してください。
●ロープ掛けを行い搬入する場合は、ユニットにロープ掛けを行ってください。
●ロープ掛けする場合は、ユニットを傷付けないようにナイロンスリングで吊り下げるか、または当て板をしてロープで吊り下げてください。



2) 移動

●ユニット正面 (吹出側) から見て右側が重くなっています。
右側を持つ作業者は十分に注意してください。

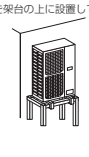
3) 据付場所の選定

下記条件に注意し、据付場所を選んでください。
○ 室外ユニットの重量・振動に耐え、水平に据付けられる安全な所
○ 運転音や温風で隣家に迷惑のかからない所　○ 油煙が発生しない所
○ 可燃性ガスの漏れる恐れのない所　○ ドレン水が流れてもよい所
○ 他の熱源から熱輻射を受けない所　○ 積雪で埋まらない所
○ テレビやラジオの周囲から5m以上離れた所 (電波障害を受ける場合はさらに離してください。)
○ 通風が充分に確保でき、保守点検を安全に行えるサービススペースを確保できる所
○ 電磁波、高調波を発生する機械がない所
○ 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ (アンモニアを含む) など機器に影響する物質の発生・滞留しない所
○ 吹出口に強風が当たらない所

4) 据付場所に関する注意

(1) 積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。

①積雪面より底板が高くなるよう室外ユニットを架台の上に設置してください。



②吹出口に防雪フード(別売品)を取付ける。



③軒下に設置するか、雪除け屋根(現地手配)を取付けてください。



また、除霜運転時のドレン水が凍結する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
・ドレンプラグやドレン管が凍結しないよう、ドレン集中排水キット(別売品)を使った集中排水工事を行わないでください。
[⇒3. ドレン配管工事 参照]
・デフロスト制御の切換えと防雪ファン制御の設定を行ってください。
[⇒5. 現地スイッチの設定参照]
・ドレン排水が凍結する恐れがある場所に設置する場合は凍結防止用ヒータを設置してください。
※ヒータを設置する場合は熱の影響により排水路にある材料を溶融しない様な、容量、配置、システムにて施工してください。

(2) 強風の影響を受けやすい場所では、下記の内容に従って防風対策を行ってください。
能力の低下、高圧上昇による異常停止、ファンの破損などの原因となります。

①吹出側を建物の壁、塀および防風用つい立などにむける。

②吹出方向を風向きに対して直角に設置する。

③強風等の影響がある場合は安定した場所に据付、耐風金具 (別売品) やワイヤロープなどでユニットを直接固定する。

④台風等の強風が吹出し口に吹付ける場合は防風キット (別売品) を取付ける。

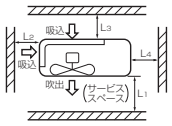
(3) 維持管理に関する注意 (耐重塩害仕様の場合)
耐重塩害仕様機は耐食性に優れた部品を使用していますが、適切な据付場所選定および維持管理を行わないと破損・故障の原因となります。以下の内容を守ってください。
●海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また、波しぶき等が直接かかる場所への設置はさけてください。
●外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。
●室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
●海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
●据付、メンテナンス等で付いた傷は、補修してください。
●機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。
●基礎部分の排水性を確保してください。

5）据付スペース

●四方障壁は不可です。
●ユニット上方のスペースは1m以上確保してください。
●ショートサーキットの恐れのある場所はフレックスフローアダプタを取付けてください。
●複数台設置する場合は、特にショートサーキットが生じないように吸込スペースを十分に確保してください。
●吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
●横連続設置するときは、ユニット間に250mm以上のサービススペースを確保してください。

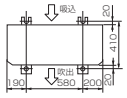
(mm)

寸法 ＼ 据付例	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
L1	開放	開放	500
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	250	250	250

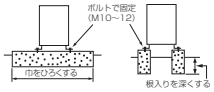


6）据付

①アンカーボルト固定位置



②据付時の注意



●ユニットを据付ける場合、上記ボルトでユニットの足を必ず固定してください。
●前面側アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
●地震や突風などで倒れないように強固に据付けてください。
●コンクリート基礎は上図を参照してください。
●ユニットは水平に設置してください。（ベース面で左右の差は5mm以下）
圧縮機の故障、ユニット内配管の破損、異常音の原因になります。

7）外気温−5℃以下で冷房運転を行う場合

●フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

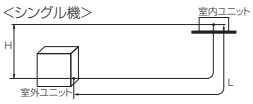
2. 冷媒配管工事

1） ユニット据付使用制限

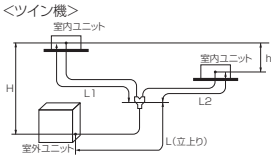
●室内ユニットの仕様と据付場所にあわせて以下の内容を確認して下さい。
●以下の据付使用制限は必ず守ってください。据付に不備があると圧縮機の故障や能力低下の原因となります。

制限項目		右図での記号				
	第1分岐管～各室内ユニットまでの配管長差				3m未満	3m以上10m以下
	室外ユニット容量	制限長さ	シングル機	ツイン機	トリプル機　図A	トリプル機　図B
配管総長	ZP112, ZP140, VP112, VP140	100m以下	L	L+L1+L2	−	−
	ZP160, VP160				L+L1+L2+L3	L+La+L1+L2+L3
主管長	ZP112, ZP140, VP112, VP140	100m以下	L	L	−	−
	ZP160, VP160				L	L
第1分岐～第2分岐間の片道長さ	ZP160, VP160	5m以下	−	−	−	La
第1分岐～室内機間の片道長さ	ZP112, ZP140, VP112, VP140	30m以下	−	L1, L2	−	−
	ZP160, VP160				L1, L2, L3	L1　※1
第1分岐～第2分岐以降に接続する室内機間の片道長さの差	ZP112, ZP140, VP112, VP140	30m以下	−	−	−	La+L2, La+L3
第1分岐～室内機間の片道長さの差	ZP112, ZP140, VP112, VP140	10m以下	−	¦L1−L2¦	−	−
	ZP160, VP160	3m未満			¦L1-L2¦, ¦L2-L3¦, ¦L3-L1¦	−
		3m以上10m以下			(使用不可)	L1−(La+L2), L1−(La+L3)
第2分岐～室内機間の片道長さの差	ZP160, VP160	10m以下	−	−	−	¦L2-L3¦
室内・室外ユニット間の高さの差	室外ユニットが上の場合	30m以下	H	H	H	H
	室外ユニットが下の場合	15m以下				
室内ユニット間の高さの差		0.5m以下	−	h	h1, h2, h3	h1, h2, h3

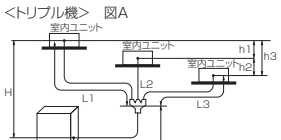
<シングル機>



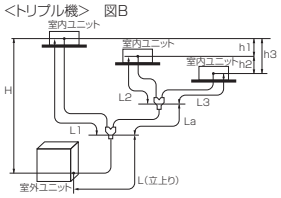
<ツイン機>



<トリプル機>　図A



<トリプル機>　図B



⚠注意
●上表の使用制限は下表に示す標準配管サイズの場合を示します。既設配管を使用する場合は配管サイズにより配管総長の制限が変わります。詳しくは「6．既設配管対応」をご確認ください。
●トリプル機は、第1分岐後の片道配管長差により使用方法が異なります。上表ならびに右図をご確認ください。
※1　L1には、片道長さが最大となる室内ユニットを接続してください。（La＋L2)と(La＋L3)は、L1に対し片道長さの差が3m以上10m以下の制限長さ内にしてください。

2） 冷媒配管サイズ選定

●室内ユニットの仕様に合わせて以下の内容で冷媒配管サイズを選定してください。

		ZP112, VP112		ZP140, VP140		ZP160, VP160	
		ガス管	液管	ガス管	液管	ガス管	液管
室外ユニット接続		φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
		フレア	フレア	フレア	フレア	フレア	フレア
冷媒配管（主管L）		φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
シングル機の場合	室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	P112		P140		P160	
ツイン機の場合	分岐管セット	DIS-WA1G					
	冷媒配管(分岐管L1,L2)	φ12.7	φ9.52	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット接続	φ12.7	φ6.35	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	P56×2		P71×2		P80×2	

		ZP112, VP112		ZP140, VP140		ZP160, VP160	
		ガス管	液管	ガス管	液管	ガス管	液管
トリプル機　図A	分岐管セット	−		−		DIS-TA1G	
	冷媒配管(分岐管L1,L2,L3)					φ12.7	φ9.52
	室内ユニット接続					φ12.7	φ6.35
	室内ユニット容量					P50×3	
トリプル機　図B	分岐管セット	−		−		DIS-WA1G	
	冷媒配管(分岐管La)					φ15.88	φ9.52
	冷媒配管(分岐管L1)					φ12.7	φ9.52
	分岐管セット					DIS-WA1G	
	冷媒配管(分岐管L2,L3)					φ12.7	φ9.52
	室内ユニット接続					φ12.7	φ6.35
	室内ユニット容量					P50×3	

⚠注意
●接続する室内ユニットがP50,P56形の場合、分岐配管部(分岐管～室内ユニット)の液配管サイズは必ずφ9.52とし、室内ユニット(液配管側φ6.35)への接続は分岐管セットに付属の異径継手を使用してください。
φ6.35のまま接続されますと、分配不良の原因となり、片方の室内ユニットが能力不足となります。
●立ち上がり配管は主管としてください。また、分岐管セットはできるだけ室内ユニットに近いところに水平に分岐するように取り付けてください。また、分岐部には付属の断熱材を取り付けてください。
●分岐部の施工詳細は、分岐管セットに付属の説明書を参照してください。
●トリプル機の場合、本表に示す分岐管セットは第1分岐後の片道配管長差により異なります。上表をご確認ください。

3） 冷媒配管の肉厚および材質

●冷媒配管のサイズに対して以下の肉厚及び材質のものを選定してください。
●本機はR32を使用します。外径19.05[mm]以上の配管については0材では耐圧が不足しますので、必ず1／2H材、肉厚1.0[mm] 以上の配管をご使用ください。

配管外径［mm］	6.35	9.52	12.7	15.88
最小配管肉厚［mm］	0.8	0.8	0.8	1.0
配管材質※	0材	0材	0材	0材

※リン脱酸銅継目無管
C1220T、JIS H 3300

お願い
●配管の選定·施工については、必ず「冷凍保安規則関係例示基準」を厳守してください。
●配管肉厚は、最小配管肉厚以上のものを選定してください。

4） 現地配管施工

⚠重要　施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意してください。
内部部品に接触すると、異常音・振動が発生します。

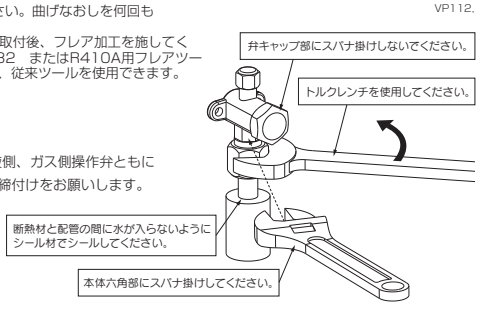
サービスパネルの外し方

サービスパネルは固定しているねじ（ ×印[ZP：2本、VP：5本]）を外し、パネルを矢印方向へ引下げてから手前に外してください。
※引っ掛部（右）には倒込み防止の返しがついています。引下げ後、少し持ち上げ手前に外してください。

●配管の取出しは前・右・下・後が可能です。
●配管貫通部のノックアウトの板を必要最小限の寸法で取外し、配管を接続してください。
●配管接続後に配管接続部のすき間をパテや断熱材（現地調達）でふさいでください。
室外ユニット内に昆虫などの小動物が侵入した場合、ショートするおそれがあります。
●現地配管施工は、操作弁を全閉にして行ってください。
●配管内部に水分、異物が入らないように、管端の養生(潰してろう付または粘着テープによるを十分に行ってください。
●配管の曲げはできるだけ大きな半径（R100～R150）で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
●ユニットと冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付後、フレア加工を施してください。R32のフレア加工寸法は、従来のR407Cとは異なります。R32　またはR410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整用ゲージにて出し代B寸法を調節すれば、従来ツールを使用できます。
取付方法の詳細は付属配管の取付説明書をご覧ください。
●フレア接続はダブルスパナで締付けてください。
●配管は1.5m毎に固定してください。

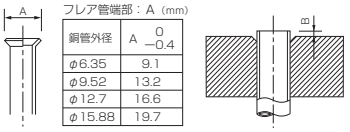
⚠注意　**フレアナットを適正トルクを超えて締めないでください。**液側、ガス側操作弁ともに右の絵のように操作弁本体を固定し、適正な締付トルクにて締付けをお願いします。

操作弁サイズ(mm)	締付トルク (N·m)
φ6.35（1/4"）	14～18
φ9.52（3/8"）	34～42
φ12.7（1/2"）	49～61
φ15.88(5/8")	68～82



フレア管端部：A（mm）

銅管外径	A　0 −0.4
φ6.35	9.1
φ9.52	13.2
φ12.7	16.6
φ15.88	19.7

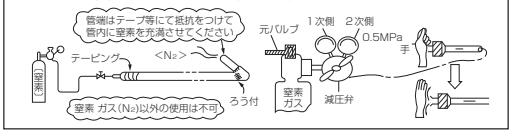


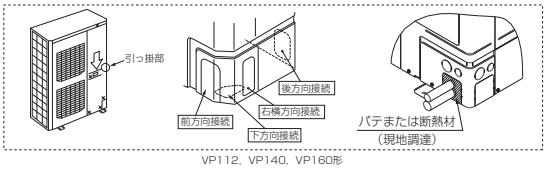
フレア加工の銅管出し代：B（mm）

銅管外径	リジッド（クラッチ式）の場合	
	R32またはR410A用ツール使用時	従来ツール使用時
φ6.35	0～0.5	0.7～1.3
φ9.52		
φ12.7		
φ15.88		

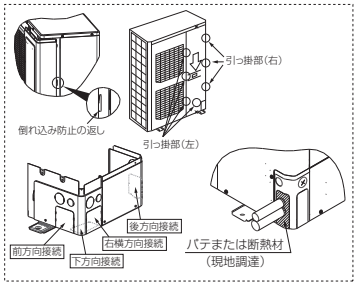
ろう付について

ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。
窒素ガスを流さないと多量の異物（酸化皮膜）が生成され、キャピラリチューブや膨張弁詰りによる致命的故障の原因となります。





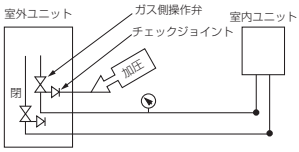
VP112, VP140, VP160形



ZP112, ZP140, ZP160形

5） 気密試験

①室外ユニットおよび室内ユニット本体の気密試験は弊社にて実施済ですが、配管接続後、接続配管の気密試験を室外ユニット側の操作弁のチェックジョイントより行ってください。なお、操作弁は必ず閉のままにして実施してください。
(ア) 0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて5分間以上放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(イ) 次に1.5MPaまで加圧し、再び5分間以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(ウ) その後、規定圧力（4.15MPa）まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモしてください。
(エ) 約1日放置し、圧力が低下していなければ合格です。この際周囲温度が1℃低下すると圧力が約0.01MPa低下しますので補正を行ってください。
(オ)（ア)～(エ)の確認で圧力低下の認められたものには漏れがあります。溶接箇所、フレア部等に発泡試験液等を用いて漏れ箇所を発見し補修してください。補修後は再度気密試験を実施してください。
②気密試験には窒素ガスを使用し、窒素ガスによる加圧はガス側から行ってください。また窒素以外のガスは絶対使用しないでください。



6）真空引き

<作業フロー>

気密試験完了 → 真空引き開始 → −101kPa以下（−755mmHg以下）になってから1時間以上真空ポンプの運転を続けてください。 → 真空引き完了 → 1時間以上放置し真空ゲージの針の上昇なきこと → 真空度チェック → 冷媒封入

真空ゲージの針が上昇した場合は系統内に水分が残っているか、漏れ箇所があります。
漏れ箇所をチェックし、修正後再度真空引きをしてください。

本機はR32のため下記の点にご注意ください。

○ 異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具等を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C等）と共用しないでください。
○ 真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用ください。

7）冷媒追加封入

（1）下表に従い、冷媒封入量を計算してください。

<シングル機>

容量＼項目	冷媒配管（液管）1mあたりの追加チャージ量 (kg)	工場出荷時チャージ量 (kg)	追加チャージ不要の現地配管長さ (m)
ZP112, ZP140, ZP160	0.054	4.2	30
VP112, VP140, VP160		3.8	

<ツイン機、トリプル機>

容量＼項目	冷媒配管（液管）1mあたりの追加チャージ量 (kg) 主管	冷媒配管（液管）1mあたりの追加チャージ量 (kg) 分岐管	工場出荷時チャージ量 (kg)	追加チャージ不要の現地配管長さ (m)
ZP112, ZP140, ZP160	0.054		4.2	30
VP112, VP140, VP160			3.8	

●室外ユニットは配管長30m相当分の冷媒量が工場出荷時に封入されており、30mまでは現地での追加チャージが不要です。それを超えた分については、配管長と上表より追加封入量を計算し追加封入してください。現地での追加チャージが必要となった場合、長配管設定として**現地設定スイッチSW7-1をON**にしてください。詳しくは5. 試運転の項を参照してください。
●既設配管を使用する場合は、液管サイズにより必要封入量が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

追加冷媒量計算式

ZP112~ZP160 VP112~VP160	追加チャージ量 (kg) ＝ [主管長 (m) −チャージレス分30 (m)] ×0.054 (kg/m) ＋分岐管総長 (m) ×0.054 (kg/m)

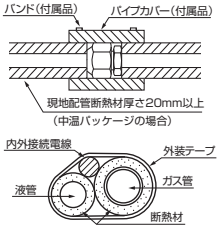
※追加冷媒量の計算結果が負の値になる場合は、追加チャージ不要です

（2）冷媒封入

●操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。圧縮機保護のため、ボンベのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。
●冷媒の封入は必ずはかりを使用して計算封入してください。
●運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。
お願い 配管長から算出した冷媒量をサービスパネル裏面の注意ラベルに記入してください。

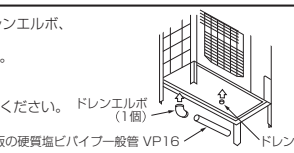
8）断熱・防露

（1）冷媒配管（ガス管、液管共）の防露断熱工事を行ってください。
（2）断熱材は120℃以上の耐熱性があるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。
・防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。
・ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。
・室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）
・断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。
・本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、**相対湿度70%(※)を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。**



3. ドレン配管工事

●室外ユニットからのドレンが問題になる場所では、別売品のドレンエルボ、ドレングロメットを利用してドレン配管を施工してください。
●室外ユニットの底板にはドレン水を排出する穴が3ヶ所有ります。
●ドレン水を排水口などに導くときは平置き台（別売品）やブロックなどに載せて据え付けてください。
●図の様にドレンエルボを接続し、他の穴はグロメットでふさいでください。



●ドレン集中排水の際には配線・配管の取出し口は下抜き以外でご利用ください。下抜きをご利用の場合は、ドレン水の流出がないよう十分シールして下さい。
●ドレン水の量が多いと水が滴下する恐れがあります。ドレンエルボやドレングロメットのすき間をパテ等でふさいでください。
●操作弁や接続配管付近からドレン水が流れ出る可能性があります。
●外気温が0℃以下になる場所で使用する場合は、ドレンエルボとドレングロメットを使用しないで下さい。ドレン水が内部で凍結して排水を妨げる可能性があります。

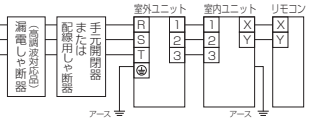
4. 電気配線 電気工事の詳細は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

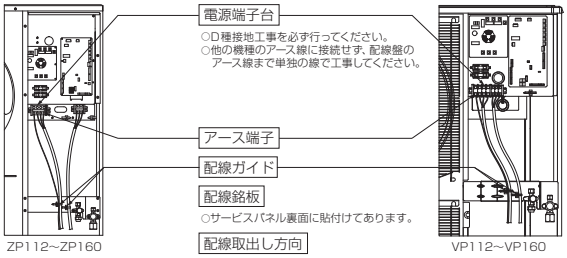
●漏電しゃ断器の取付を必ず行ってください。漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
●室内外配線は同一端子番号を接続してください。
●配線は端子接続部に外力が伝わらないように固定してください。
●制御箱にアース端子があります。D種接地工事を必ず行ってください。
●力率改善用のコンデンサを使用しない。発熱や火災の原因になります。
●配線は配管に触れないように固定してください。
●配線接続時にコネクタや端子が緩んでいないことを確認してからカバー、パネルを取付けてください。カバー、パネルの取付に不備があると制御箱に水が入り、感電の原因になります。

電源・内外接続線 ●アース工事を行う際には、電源プラグを抜いた状態で実施してください。

⚠ 注意

漏電しゃ断器の誤動作を防ぐため、必ずインバータ回路用しゃ断器を使用してください。





●内外渡り線は必ず3心ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。



機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用しゃ断器 定格電流	電源配線 太さ×本数	電源配線 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
ZP112	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²×3	19m	φ1.6×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
ZP140									
ZP160									
VP112									
VP140									
VP160									

室内ユニットがFDU、FDRの場合

機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用しゃ断器 定格電流	電源配線 太さ×本数	電源配線 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
ZP112	40A,100mA,0.1sec以下	60A	40A	40A	5.5mm²×3	26m	φ1.6×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
ZP140									
ZP160									
VP112									
VP140									
VP160									

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。
●上表はシングル機の場合を示します。プルーラル接続の場合はカタログをご参照ください。
●配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。これ以外の条件は内線規程により実施してください。

フリーアドレスプルーラル接続非対応

フリーアドレスプルーラル接続は次の場合対応できません。

	接続配線太さ3.5mm²	接続配線太さφ1.6mm
内外接続線＋室内ユニット間接続線の総長	80m超過	70m超過
室内ユニット間の接続線長	55m超過	25m超過
接続される室内ユニットタイプ	フリーアドレスプルーラル非対応機(FDFタイプ、5型以前の室内ユニット)を含む場合	

この場合、室内ユニット間の通信には信号配線を使用し、室内ユニットの親機－子機設定スイッチ(SW5-1、SW5-2)を右表のように設定してください。

室内基板スイッチ	親機	子機1	子機2
SW5-1	OFF	OFF	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチ(SW4-1)を電源投入前にONにしてください。
(SW4-1位置は5. 試運転を参照ください。) ONにすることでフリーアドレスプルーラル制御を無効にします。

5. 試運転

⚠ 警告

●試運転の前に操作弁が全開になっていることを必ず確認してください。
●試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。
} 左記の項目に不備がありますと、圧縮機が故障することがあります。
●停止から運転までは、必ず3分以上待ってください。
●サービスパネルを外すと、高圧充電部・高温部が露出して危険です。感電や火傷に十分注意してください。また、サービスパネルを開けたまま放置しないでください。

⚠ 注意

●現地設定スイッチ（SW3、SW5、SW7）を操作する場合は、充電部に触れぬよう十分注意してください。
●液操作弁のチャージポートから吐出圧力の検圧はできません。
●四方弁（20S）は暖房運転時に通電されます。
●電源しゃ断によりリセットする場合は、電源しゃ断より3分経過後に電源を再投入してください。3分経過後でなければ「室内外通信異常」が発生する場合があります。

絶縁抵抗について

●据付直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合、圧縮機に冷媒が溜まることにより、絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく、漏電ブレーカが作動する場合は、以下の事項を確認ください。
①電源を投入し、6時間程度経過後、絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより、圧縮機に通電加熱を行い、圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており、漏電ブレーカの誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。

1）試運転方法

（1）現地接定スイッチSW3-3, 4により室外ユニット側から試運転が可能です。
（2）SW3-3をONすることで圧縮機が運転します。
（3）SW3-4がOFF状態で冷房試運転を行い、ON状態では暖房運転を行います。
（4）**試運転終了後は、必ずSW3-3をOFFに戻してください。**

SW-3-3	SW-3-4	
ON	OFF	冷房試運転
	ON	暖房試運転
OFF	–	通常、および試運転終了

2）運転状態のチェック

吐出圧力、吸込圧力の検圧は、室外ユニット内部の四方弁前後に取付けられたチェックジョイントおよび、ガス操作弁のチャージポートから行ってください。冷房運転・暖房運転によって右表のように検出圧力は異なります。
電源投入1回目の起動時は、圧縮機保護のため圧縮機回転数をゆるやかに上昇させます。
試運転時は1時間ほど連続運転させてから運転状態をチェックしてください。

	配管の チェックジョイント	ガス操作弁の チャージポート
冷房運転	吐出圧力（高圧）	吸込圧力（低圧）
暖房運転	吸込圧力（低圧）	吐出圧力（高圧）

3）現地設定スイッチSW3-1、SW3-2、SW7-1の設定

（1）デフロスト制御切換え（SW3-1）
・ONすることでデフロスト制御に入り易くなります。
・暖房シーズン時、外気温が氷点下以下となる地域は、設定をONにしてください。
（2）防雪ファン制御（SW3-2）
・ONすることで、外気温度が3℃以下で圧縮機停止中、室外ファンが10分毎に30秒間運転します。
・豪雪地帯で使用される場合は、設定をONにしてください。
（3）長配管設定（SW7-1）
・現地での冷媒追加チャージが必要な場合は、設定をONにしてください。

4）試運転時の故障診断

リモコン表示	室外基板LED表示（周期5秒）		故障内容	対策
	赤LED	緑LED		
E34	1回点滅	連続点滅	欠相	電源線のゆるみ、外れのないことを確認
E40	1回点滅	連続点滅	63H1作動、または操作弁閉運転（主に暖房時に発生）	1. 操作弁が開いているか確認 2. 圧縮機停止から3分経過後、異常が解消されていればリモコンからの点検リセットにより再起動可能
E49	1回点滅	連続点滅	低圧異常、または操作弁閉運転（主に冷房時に発生）	

●上記以外の異常が表示される場合は、室外ユニットと室内ユニットの配線銘板をご覧ください。

5）停止時の電子膨張弁の状態

電源ブレーカ投入後1回目の起動において、圧縮機の油上がりを防止するため、リモコンに「運転準備中」が最大で30分間表示される場合があります。
故障ではありませんので、「運転準備中」の表示が消えるまでお待ちください。

電源プレーカ投入後、および異常停止時の電子膨張弁の状態は右表の通りです。

	電源投入時	通常停止時		異常停止時	
		冷房時	暖房時	冷房時	暖房時
冷房用	全閉	全閉	開	全閉	全閉
暖房用	全閉	開	全閉	全閉	全閉

6）電源ブレーカ投入後1回目の運転について

電源ブレーカ投入後1回目の起動において、圧縮機の油上がりを防止するため、リモコンに「運転準備中」が最大で30分間表示される場合があります。
故障ではありませんので、「運転準備中」の表示が消えるまでお待ちください。

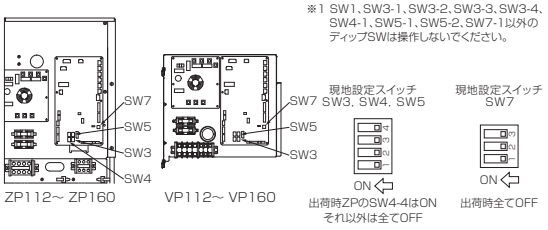
試運転前の確認事項　●電源を入れた状態で室外ユニットから離れる場合は、パネルを必ず閉めてください。

据説の項目No.	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付けしましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付けられていますか。	
		操作弁は液管側/ガス管側の両方とも確実に開いていますか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		しゃ断器、配線など電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線が入れ替わっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		室内外配線は同一端子番号間で接続していますか。	
		室内外配線はVCTキャブタイヤケーブルまたはVVF平形ケーブルですか。	
		アース工事はD種接地（第3種接地）工事が行われていますか。	
		他の機器のアース線と接続せず、単独でアースを取っていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようになっていますか。	
—	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合は、化粧パネルの取付が完了していますか。	

試運転手順　●必ず試運転を行い、下記の順に従ってチェックを行ってください。

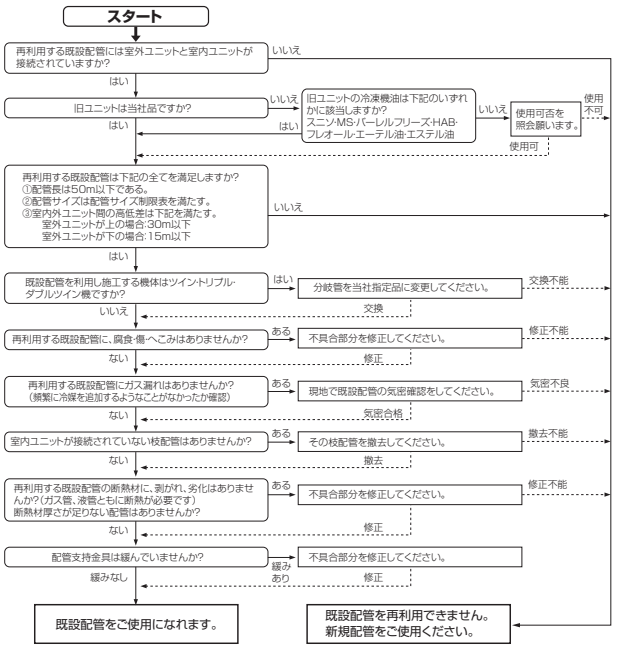
順番	操作内容	チェック
①	ガス側操作弁を全開にしてください。	
②	液側操作弁を全開にしてください。	
③	パネルを開めてください。	
④	リモコンによる現地設定を行う場合は、リモコンによる現地設定の説明に従って行ってください。	
⑤	SW3-3 ON ／ SW3-4 OFF:冷房試運転を開始します。 SW3-3 ON ／ SW3-4 ON:暖房試運転を開始します。	
⑥	運転が開始したら、リモコンの風向き調節ボタンを押して作動を確認してください。	
⑦	室内ユニットの吹出口に手を当て、冷房は冷風、暖房は暖風が出ていることを確認してください。	
⑧	赤LEDが点滅していないことを確認してください。	
⑨	試運転終了後、必ずSW3-3をOFFにしてください。	
⑩	オプション品を使用している場合は、各々の取扱説明書に従って機能の確認をしてください。	

※1 SW1、SW3-1、SW3-2、SW3-3、SW3-4、SW4-1、SW5-1、SW5-2、SW7-1以外のディップSWは操作しないでください。



6. 既設配管対応

既設配管が再利用出来るかどうかを下記フローチャートを利用して判断してください。



ZP112～ZP160、VP112～VP160は、既設配管の洗浄運転が可能です。詳細はエクシードハイパー/ハイパーインバータ既設配管洗浄運転手順を確認ください。
配管洗浄機能をご使用になれない場合は以下の ⚠ 注意 をご参照ください。

〈配管サイズ制限表〉◎:標準配管サイズ　○:使用可能　△:配管長制限短縮　×:使用不可

配管1m当たりの追加チャージ量		0.02kg/m	0.054kg/m		0.11kg/m	
配管サイズ	液管	φ6.35	φ9.52	φ9.52	φ12.7	φ12.7
	ガス管	φ15.88	φ15.88	φ19.05	φ15.88	φ19.05
ZP112 VP112	適用可否	△	◎	○※1	△	△※1
	最大許容管長	20	100	100	50	50
	チャージレス長	10	30	30	15	15
ZP140 VP140	適用可否	△	◎	○※1	△	△※1
	最大許容管長	20	100	100	50	50
	チャージレス長	10	30	30	15	15
ZP160 VP160	適用可否	△	◎	○※1	△	△※1
	最大許容管長	20	100	100	50	50
	チャージレス長	10	30	30	15	15

〈分岐管後配管〉◎:標準配管サイズ　○:使用可能　×:使用不可　—:対象外

			第一分岐※2			第二分岐		
配管1m当たりの追加チャージ量			0.054kg/m			0.054kg/m		
配管サイズ	液管		φ9.52			φ9.52		
	ガス管		φ12.7	φ15.88	φ19.05※1	φ12.7	φ15.88	φ19.05※1
形式	組合せ	組合せ能力						
ZP112, VP112	ツイン	56+56	◎	○	×	—	—	—
ZP140, VP140	ツイン	71+71	×	◎	○	—	—	—
ZP160, VP160	ツイン	80+80	×	◎	○	—	—	—
	トリプルA	50+50+50	◎	○	×	—	—	—
	トリプルB	50+50+50	×	◎※3	◎※3	◎	×	×

※1：φ19.05×t1.0は耐圧強度不足のため、室外ユニット基板上の**ディップスイッチSW5-1をON**にしてください。
（ツイン・トリプル機の場合、第1分岐以降の配管にφ19.05×t1.0が存在する場合を含む）
ただし、1/2H材または肉厚1.2以上の配管を使用する場合はディップスイッチSW5-1をONにする必要はありません。
※2：分岐後の配管サイズは、主管と同じ径もしくは小さい径であること。
※3：第1分岐～第2分岐間の配管サイズの制限を示しています。
第1分岐から室内機までの配管サイズはφ9.52（液管）/φ12.7（ガス管）とすること。
●表に記載のない配管サイズの組合せおよび表の×の配管サイズの組合せは使用できません。

追加チャージ量計算式

追加チャージ量(kg)=(主配管長(m)ー表のチャージレス長(m))×表の配管1m当たりの追加チャージ量(kg/m)
+分岐管総長(m)×表の配管1m当たりの追加チャージ量(kg/m)

※計算の結果が負の値になる場合は追加チャージ不要です。
例）既設配管20m(液管φ12.7、ガス管φ19.05)を使用して、ZP160(シングル機)を設置する場合。
(20mー15m)×0.11kg/m=0.55kgを追加チャージする。

〈分岐管を流用可能な既存ユニット機種〉

ZP112～ZP160	●FDCJ＊＊＊H、HA、HD、HD1、HD2、HD3(A)　●FDCP＊＊＊HD3
VP112～VP160の場合	●FDCVJ＊＊＊HD3　●FDCVP＊＊＊HD3以降の機種

●上記以外の機種（FDCの後に“J”または“P”が付かない機種、当社製以外の機種）および中温パッケージ既存ユニットの分岐管は耐圧強度不足のため使用できません。当社製R32用の分岐管を使用してください。

●＊＊＊には能力を示す数字が入ります。

⚠ 注意

<既設ユニットが冷房運転可能な場合>

<u>既設ユニットで下記作業を実施してください。</u>（①→②→③→④の順番）
①30分間冷房運転
②ビニールシートなどで室内ユニット吸込口を完全に閉塞し3分間冷房運転（液バック運転）
③室外ユニットの液操作弁を締めボンプダウン（冷媒回収）
④窒素ガスによるブロー　※ブローにより変色した冷凍機油や油以外の残留物が排出された場合は「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。
●フレアナットは流用せず室外ユニット付属のものを使用してください。
またフレアはR32用に再加工してください。
●現地設定スイッチSW5－1をONにしてください。（ガス配管サイズがφ19.05の場合）

<既設ユニットが冷房運転できない場合>

本機種は内蔵リニューアルキットによる洗浄運転により、既設配管をご使用になれます。
詳細はハイパーインバータ既設配管洗浄運転手順をご確認ください。
また、別売のリニューアルキットを使用しても既設配管をご使用になれます。
別売のリニューアルキットを使用する場合は**<u>下記作業を実施してください。</u>**
①冷媒回収機で冷媒を回収ください。
②既設配管内の冷凍機油の汚れを確認ください。
色標5.0以上の黒色、褐色（＊）、多量の残渣、異臭がある場合「配管洗浄」または「新規配管」をご使用おねがいします。
＊冷凍機油の色標はカタログの末頁を参考ください。
③リニューアルキットを取付しSW5－1をONによりご使用可能です。
●「配管洗浄」を行う場合は、最寄の代理店にお問い合わせください。

PSC012D113H Ⓖ

（f） FDCVP1126H, 1406H, 1606H

VPシリーズ
VP112·VP140·VP160
冷媒R32対応機

◎ 本説明書は “室外ユニットと総合工事仕様” について示したものです。“室内ユニット” については492ページをご覧ください。
◎ 据付時には据付場所の選定、電源仕様、使用可能範囲(配管距離・室内外高低差・電源電圧等)・据付スペース等などが適正であることを確認してください。
◎ この室外ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

- ● 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ● ここに示した注意事項は、「⚠**警告**」「⚠**注意**」に区分していますが、誤った据付をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「⚠**警告**」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠**注意**」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。　いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ● ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。⃠ 絶対に行わない ❶⏚ 必ず指示に従い行う
- ● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの仕方をご指導下さい。
- ● 据付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管戴くように依頼してください。またお使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡しくださるよう依頼してください。

据付工事前に確認してください

●機種・電源仕様　●冷媒配管長
●配管・配線・小物部品　●室内ユニット据付説明書

⚠ 警　告

❶
- ●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
  ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。
- ●据付工事は、据付説明書に従って確実に行う。
  据付に不備があると破裂、ケガの原因となり、また水漏れや感電、火災の原因になります。
- ●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
  当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良、ケガなどの原因になります。
- ●小部屋に据付ける場合は日本冷凍工業会のガイドラインJRA GL-13に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
  限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。
- ●作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
  冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
  冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●ユニットを搬入する際、重量に適合したロープをユニットの所定位置に掛けて行う。また横ズレしないよう固定し、確実に4点支持で実施する。
  3点支持など搬入方法に不備があるとユニットが落下し、死亡や重傷の原因になります。
- ●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
  強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。
- ●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
  据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。
- ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
  電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- ●元電源を切った後に電気工事を行う
  感電、故障や動作不良の原因になることがあります。
- ●電源配線は、電流容量、規格に適合した配線により工事をする。
  適合品以外の配線を使用した場合は、漏電、発熱、火災等の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
  接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、サービスパネルを確実に取付ける。
  カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- ●密閉された部屋で配管ろう付作業をしない。
  酸欠事故の原因になります。
- ●配管、フレアナット、工具はR32またはR410A専用のものを使用する。
  既存（R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。
- ●フレアナットの締付はダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付ける。締付過ぎによるフレア部の破損に注意してください。
  フレア部のゆるみ、締付過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏えいして酸欠事故の原因になることがあります。
- ●冷媒配管工事、気密試験および真空引きが完了するまでは、サービスバルブ（液、ガス共）を開けないでください。
  冷媒配管が確実に取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。
  また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。
- ●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
  ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
- ●保護装置の改造や設定変更をしない。
  圧力開閉器や温度調節器などの保護装置を短絡して強制運転を行ったり、当社指定の部品を使用しないと、火災や爆発の原因になります。
- ●据付時や点検・サービス時など、ユニット内の作業を行う場合は、電源を切ってから行ってください。
  据付・点検・修理にあたって、ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電や故障およびユニットファン回転によるケガの原因になります。
- ●エアコンを移動、再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
  据付に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。
- ●ポンプダウン作業では、操作弁を閉じた後、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止する。
  圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。

⃠
- ●エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒（R32)以外の空気等を入れない。
  空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。
- ●パネルやガードを外した状態で運転しない。
  機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- ●サービスパネルは確実に取付ける。
  サービスパネルの取付に不備があると、ホコリ、水などにより、火災、感電の原因になります。
- ●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
  修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

⚠ 注　意

⏚
- ●アース（接地）を確実に行う。
  アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。またガス管にアースすると、ガス漏れの時に爆発、引火の可能性があります。

❶
- ●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
  不適切なブレーカを使用すると故障や火災の原因になります。
- ●製品の運搬は十分注意して行う。
  20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。また素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。
- ●梱包材の処理は確実に行う。
  梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。また梱包用のポリブクロで子供が遊ぶと窒息事故の原因となりますので、必ず破いてから廃棄してください。
- ●室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
  溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままにしておくとか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。
- ●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
  不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して、露たれ等を発生し、天井、床その他、大切なものを濡らす原因となることがあります。
- ●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
  万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。
- ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
  据付に不備があると、以上振動・騒音増大の原因になります。

⃠
- ●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
  漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
- ●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
  針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
  万一ガスがユニットの周囲に滞ると、発火の原因となることがあります。
- ●腐食性ガス（亜硫酸ガス等）、可燃性ガス（シンナー、ガソリン等）、の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
  熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは火災の原因になることがあります。
- ●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
  スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
- ●室外機を屋上あるいは高所に設置する場合は、転落防止のため、通路には恒久ハシゴ、手すり等を、また室外ユニット周辺にはフェンス、手すり等を設けてください。
  フェンス、手すり等がない場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
- ●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
  インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。
- ●室外ユニットは、小動物のすみかとなるような場所に設置しない。
  小動物が侵入して、内部の電気配線に触れると、故障や発煙、発火の原因になることがあります。またお客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。
- ●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
  傷んだまま放置するとユニットの落下につながり。ケガの原因になることがあります。
- ●次の場所への据付は避ける。
  ・カーボン繊維や金属粉、パウダー等が浮遊する所
  ・車両、船舶等移動するものへの設置
  ・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場等）
  ・海浜地区等塩分の多い所
  ・煙突の煙がかかる所
  ・アンモニアの雰囲気にさらされる所
  ・通風の悪い所
  ・複数台設置の場合に、ショートサーキットがおきるような所
  ・硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ等の機器に影響する物質の発生する所
  ・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
  ・高周波を発生する機械を使用する所
  ・積雪の多い所（設置する場合、所定の架台、防雪フードを取付けることが必要です）
  ・標高1000m以上の所
  ・他の熱源から熱放射を受ける所
  ・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
  ・強風の影響をうけやすい所（室外ユニットに直接強風が吹込む所）
  性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したり火災発生の原因になることがあります。
- ●次の場所への室外ユニットの据付は避ける。
  ・騒音や熱風が隣家に迷惑をかけるような所
  ・吹出しの風が動植物に直接植木にあたる場所
  　吹出し風による植木などへの被害の原因になります
  ・ドレンの排水がとれない所
  ・強度が不十分で振動が増幅、伝達しやすい所
  ・機器から発生する騒音、振動の影響を受けやすい所（寝室の壁やその近傍）
  ・高周波に影響される機器のある所（TVおよびラジオ等の近傍）
  周辺の環境に影響をおよぼしクレームの原因になることがあります。
- ●食品、動植物、精密機器、美術品の保存など特殊用途には使用しない。
  保存物の品質低下の原因になることがあります。
- ●濡れた手でスイッチを操作しない。
  感電の原因になることがあります。
- ●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
  運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状況により低温と高温になります。　素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。
- ●室内ユニットを水洗いしない。
  感電の原因になることがあります。
- ●室外ユニットの上に物を置いて運転を行わない。
  落下物により物が破損したり、ケガの原因となります。
- ●室外ユニットの上に乗らない。
  落下、転倒などによりケガの原因となります。

冷媒R32対応機としての注意点

- ●R32以外の冷媒は使用しないでください。R32は従来の冷媒（R22など）に比べ圧力が1.6倍高くなります。
- ●R32機は、他冷媒の誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。また、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法およびフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工・サービス時には、右表に示すR32またはR410A専用ツールを準備してください。
- ●チャージシリンダは使用しないでください。
- ●冷媒封入は必ずボンベから液相で取出して行ってください。
- ●室内ユニットはR32またはR410A専用機となります。接続可能な室内機はカタログ等で確認してください。（他の室内ユニットを接続すると正常運転できません。）
- ●異種油の混入をさけるために、冷媒の種類により工具を使い分けしてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C）と共用しないでください。
- ●冷媒R32にはわずかながら燃焼性があります。そのため、半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は冷媒漏えいセンサを携行してください。冷媒が漏えいした場合、窒息や着火の原因となる恐れがあります。

	R32またはR410A専用ツール
a)	ゲージマニホールド
b)	チャージホース
c)	冷媒充填用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツール
f)	出し代調整用銅管ゲージ
g)	真空ポンプアダプタ
h)	ガス漏れ検知器

フロンの見える化

地球温暖化防止のため、この製品の移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。本機には地球温暖化係数(GWP)が675のフロン類を使用しています。(冷媒R32)

1．ユニットの搬入・据付（ユニットの搬入・移動には十分に注意し、必ず2人以上で行ってください。）

⚠注意　●ユニットにロープ掛けを行い搬入する場合は、必ずユニット重心のずれを考慮してください。ユニットが安定を失って落下する恐れがあります。

1）搬入

●据付場所付近までできるだけ梱包のままで搬入してください。
●やむを得ず解梱して搬入する場合は、ユニットを傷付けないようにナイロンスリングで吊り下げるか、または当て板をしてロープで吊り下げてください。

2）移動

●ユニット正面（吹出側）から見て右側が重くなっています。
右側を持つ作業者は十分に注意してください。

3）据付場所の選定

下記条件に注意し、据付場所を選んでください。
○ 室外ユニットの重量・振動に耐え、水平に据付けられる安全な所
○ 運転音や温風で隣家に迷惑のかからない所　○ 油煙が発生しない所
○ 可燃性ガスの漏れる恐れのない所　○ ドレン水が流れてもよい所
○ 他の熱源から熱輻射を受けない所　○ 積雪で埋まらない所
○ テレビやラジオの周囲から５m以上離れた所（電波障害を受ける場合はさらに離してください。）
○ 通風が充分に確保でき、保守点検を安全に行えるサービススペースを確保できる所
○ 電磁波、高調波を発生する機械がない所
○ 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ(アンモニアを含む)など機器に影響する物質の発生・滞留しない所
○ 吹出口に強風が当たらない所

4）据付場所に関する注意

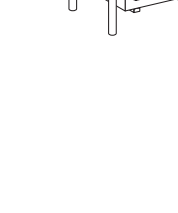
（1）積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。

①積雪面より底板が高くなるよう室外ユニットを架台の上に設置してください。



②吹出口に防雪フード(別売品)を取付ける。

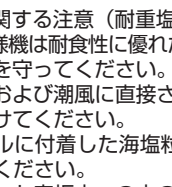
③軒下に設置するか、雪除け屋根(現地手配)を取付けてください。



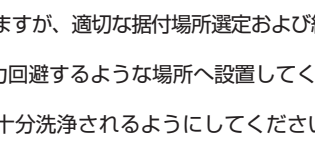
また、除霜運転時のドレン水が凍結する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
・ドレンプラグやドレン管が凍結しないよう、ドレン集中排水キット(別売品)を使った集中排水工事を行わないでください。
　[⇒3．ドレン配管工事 参照]
・デフロスト制御の切換えと防雪ファン制御の設定を行ってください。
　[⇒5．現地スイッチの設定参照]

（2）強風の影響を受けやすい場所では、下記の内容に従って防風対策を行ってください。
能力の低下、高圧上昇による異常停止、ファンの破損などの原因となります。

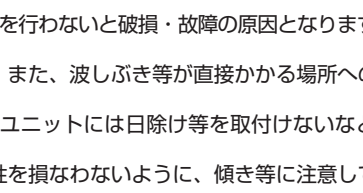
①吹出側を建物の壁、塀および防風用つい立などにむける。



②吹出方向を風向きに対して直角に設置する。



③強風等の影響がある場合は安定した場所に据付、針金などで固定する。



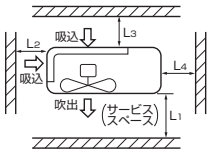
（3）維持管理に関する注意（耐重塩害仕様の場合）
耐重塩害仕様機は耐食性に優れた部品を使用していますが、適切な据付場所選定および維持管理を行わないと破損・故障の原因となります。以下の内容を守ってください。
●海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また、波しぶき等が直接かかる場所への設置はさけてください。
●外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。
●室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
●海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
●据付、メンテナンス等で付いた傷は、補修してください。
●機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。
●基礎部分の排水性を確保してください。

5）据付スペース

●四方障壁は不可です。
●ユニット上方のスペースは1m以上確保してください。
●ショートサーキットの恐れのある場所はフレックスフローアダプタを取付けてください。
●複数台設置する場合は、特にショートサーキットが生じないように吸込スペースを十分に確保してください。
●吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。

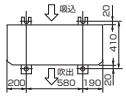
(mm)

寸法 ＼ 据付例	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
L1	開放	開放	500
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	250	250	250

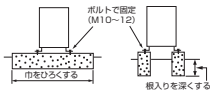


6）据付

①アンカーボルト固定位置



②据付時の注意



●ユニットを据付ける場合、上記ボルトでユニットの足を必ず固定してください。
●前面側アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
●地震や突風などで倒れないように強固に据付けてください。
●コンクリート基礎は上図を参照してください。
●ユニットは水平に設置してください。（ベース面で左右の差は5mm以下）
コンプの故障、ユニット内配管の破損、異常音の原因になります。

7）外気温−5℃以下で冷房運転を行う場合

●フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

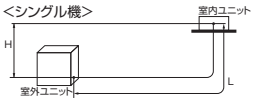
2. 冷媒配管工事

1） ユニット据付使用制限

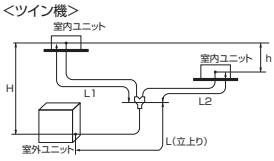
●室内ユニットの仕様と据付場所にあわせて以下の内容を確認して下さい。
●以下の据付使用制限は必ず守ってください。据付に不備があると圧縮機の故障や能力低下の原因となります。

制限項目			右図での記号			
	第1分岐管～各室内ユニットまでの配管長差				3m未満	3m以上10m以下
	室外ユニット容量	制限長さ	シングル機	ツイン機	トリプル機　図A	トリプル機　図B
配管総長	VP112, VP140	80m以下	L	L+L1+L2	−	−
	VP160				L+L1+L2+L3	L+La+L1+L2+L3
主管長	VP112, VP140	80m以下	L	L	−	−
	VP160				L	L
第1分岐～第2分岐間の片道長さ	VP160	5m以下	−	−	−	La
第1分岐～室内機間の片道長さ	VP112, VP140	30m以下	−	L1, L2	−	−
	VP160				L1, L2, L3	L1　※1
第1分岐～第2分岐以降に接続する室内機間の片道長さの差	VP112, VP140	30m以下	−	−	−	La+L2, La+L3
第1分岐～室内機間の片道長さの差	VP112, VP140	10m以下	−	−	−	−
	VP160	3m未満		L1-L2, L2-L3, L3-L1	L1-L2, L2-L3, L3-L1	−
		3m以上10m以下			〈使用不可〉	L1−(La+L2), L1−(La+L3)
第2分岐～室内機間の片道長さの差	VP160	10m以下	−	−	−	L2-L3, L3-L2
室内・室外ユニット間の高さの差	室外ユニットが上の場合	30m以下	H	H	H	H
	室外ユニットが下の場合	15m以下				
室内ユニット間の高さの差		0.5m以下	−	h	h1, h2, h3	h1, h2, h3

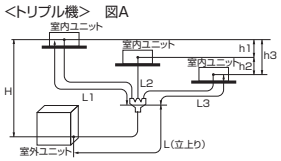
<シングル機>



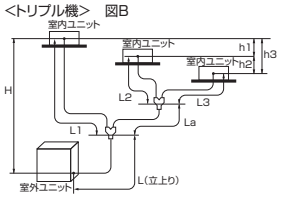
<ツイン機>



<トリプル機>　図A



<トリプル機>　図B



⚠注意
●上表の使用制限は下表に示す標準配管サイズの場合を示します。既設配管を使用する場合は配管サイズにより配管総長の制限が変わります。詳しくは「6．既設配管対応」をご確認ください。
●トリプル機は、第1分岐後の片道配管長差により使用方法が異なります。上表ならびに右図をご確認ください。
※1　L1には、片道長さが最大となる室内ユニットを接続してください。（La＋L2)と(La＋L3)は、L1に対し片道長さの差が3m以上10m以下の制限長さ内にしてください。

2） 冷媒配管サイズ選定

●室内ユニットの仕様に合わせて以下の内容で冷媒配管サイズを選定してください。

		VP112		VP140		VP160	
		ガス管	液管	ガス管	液管	ガス管	液管
室外ユニット接続		φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
		フレア	フレア	フレア	フレア	フレア	フレア
冷媒配管（主管L）		φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
シングル機の場合	室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	P112		P140		P160	
ツイン機の場合	分岐管セット	DIS-WA1G					
	冷媒配管(分岐管L1,L2)	φ12.7	φ9.52	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット接続	φ12.7	φ6.35	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	P56×2		P71×2		P80×2	

		VP112		VP140		VP160	
		ガス管	液管	ガス管	液管	ガス管	液管
トリプル機　図A	分岐管セット	−		−		DIS-TA1G	
	冷媒配管(分岐管L1,L2,L3)					φ12.7	φ9.52
	室内ユニット接続					φ12.7	φ6.35
	室内ユニット容量					P50×3	
トリプル機　図B	分岐管セット	−		−		DIS-WA1G	
	冷媒配管(分岐管La)					φ15.88	φ9.52
	冷媒配管(分岐管L1)					φ12.7	φ9.52
	分岐管セット					DIS-WA1G	
	冷媒配管(分岐管L2,L3)					φ12.7	φ9.52
	室内ユニット接続					φ12.7	φ6.35
	室内ユニット容量					P50×3	

⚠注意
●接続する室内ユニットがP50,P56形の場合、分岐配管部(分岐管～室内ユニット)の液配管サイズは必ずφ9.52とし、室内ユニット(液配管側φ6.35)への接続は分岐管セットに付属の異径継手を使用してください。
φ6.35のまま接続されますと、分配不良の原因となり、片方の室内ユニットが能力不足となります。
●立ち上がり配管は主管としてください。また、分岐管セットはできるだけ室内ユニットに近いところに水平に分岐するように取付けてください。また、分岐部には付属の断熱材を取付けてください。
●分岐部の施工詳細は、分岐管セットに付属の説明書を参照してください。
●トリプル機の場合、本表に示す分岐管セットは第1分岐後の片道配管長差により異なります。上表をご確認ください。

3） 冷媒配管の肉厚および材質

●冷媒配管のサイズに対して以下の肉厚および材質のものを選定してください。
●本機はR32を使用します。外径19.05[mm]以上の配管については0材では耐圧が不足しますので、必ず1／2H材、肉厚1.0[mm] 以上の配管をご使用ください。

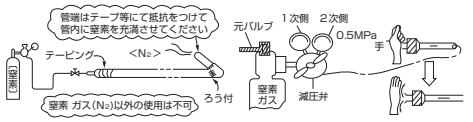
配管外径 [mm]	6.35	9.52	12.7	15.88
最小配管肉厚 [mm]	0.8	0.8	0.8	1.0
配管材質※	0材	0材	0材	0材

※リン脱酸銅継目無管
C1220T、JIS H 3300

お願い
●配管の選定･施工については、必ず「冷凍保安規則関係例示基準」を厳守してください。
●配管肉厚は、最小配管肉厚以上のものを選定してください。

ろう付について

ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。
窒素ガスを流さないと多量の異物（酸化皮膜）が生成され、キャピラリチューブや膨張弁詰りによる致命的故障の原因となります。

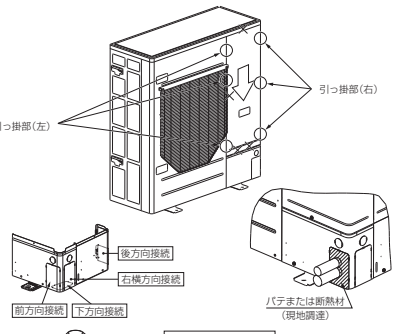


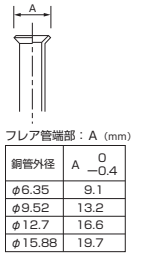
4） 現地配管施工

⚠重要　施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意してください。
内部部品に接触すると、異常音・振動が発生します。

サービスパネルの外し方

●サービスパネルは固定しているねじ4本（×印）を外し、パネルを矢印方向へ引下げてから手前に外してください。
●配管の取出しは前・右・下・後が可能です。
●配管貫通部のノックアウトの板を必要最小限の寸法で取外し、配管を接続してください。
※配管接続後に配管接続部のすき間をパテや断熱材（現地調達）でふさいでください。室外ユニット内に昆虫などの小動物が侵入した場合、ショートするおそれがあります。
●現地配管施工は、操作弁を全閉にして行ってください。
●配管内部に水分、異物が入らないように、管端の養生(潰してろう付または粘着テープによる)を十分に行ってください。
●配管の曲げはできるだけ大きな半径（R100～R150）で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
●ユニットと冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付後、フレア加工を施してください。R32のフレア加工寸法は、従来のR407Cとは異なります。R32またはR410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整用ゲージにて出し代Ｂ寸法を調節すれば、従来ツールを使用できます。
取付方法の詳細は付属配管の取付説明書をご覧ください。
●フレア接続はダブルスパナで締付けてください。



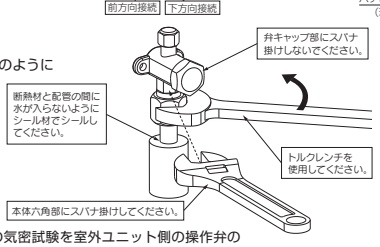


フレア管端部：A (mm)

銅管外径	A $^{0}_{-0.4}$
φ6.35	9.1
φ9.52	13.2
φ12.7	16.6
φ15.88	19.7

⚠注意　フレアナットを適正トルクを超えて締めないでください。液側、ガス側操作弁ともに右の絵のように操作弁本体を固定し、適正な締付トルクにて締付をお願いします。

操作弁サイズ(mm)	締付トルク (N・m)
φ6.35 （1/4"）	14～18
φ9.52 （3/8"）	34～42
φ12.7 （1/2"）	49～61
φ15.88(5/8")	68～82

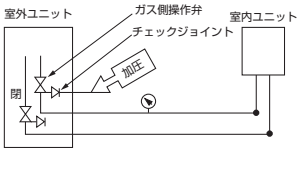


フレア加工の銅管出し代：B (mm)

銅管外径	リジッド（クラッチ式）の場合	
	R32またはR410A用ツール使用時	従来ツール使用時
φ6.35	0～0.5	0.7～1.3
φ9.52		
φ12.7		
φ15.88		

5） 気密試験

①室外ユニットおよび室内ユニット本体の気密試験は弊社にて実施済ですが、配管接続後、接続配管の気密試験を室外ユニット側の操作弁のチェックジョイントより行ってください。なお、操作弁は必ず閉のままにして実施してください。
(ア) 0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて5分間以上放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(イ) 次に1.5MPaまで加圧し、再び5分間以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認ください。
(ウ) その後、規定圧力（4.15MPa）まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモしてください。
(エ) 約1日放置し、圧力が低下していなければ合格です。この際周囲温度が1℃低下すると圧力が約0.01MPa低下しますので補正を行ってください。
(オ)（ア)～(エ)の確認で圧力低下の認められたものには漏れがあります。溶接箇所、フレア部等に発泡試験液等を用いて漏れ箇所を発見し補修してください。補修後は再度気密試験を実施してください。
②気密試験には窒素ガスを使用し、窒素ガスによる加圧はガス側から行ってください。また窒素以外のガスは絶対使用しないでください。



6） 真空引き

<作業フロー>

気密試験完了 → 真空引き開始 → −101kPa以下（−755mmHg以下）になってから1時間以上真空ポンプの運転を続けてください。 → 真空引き完了 → 1時間以上放置し真空ゲージの針の上昇なきこと → 真空度チェック → 冷媒封入

真空ゲージの針が上昇した場合は系統内に水分が残っているか、漏れ箇所があります。
漏れ箇所をチェックし、修正後再度真空引きをしてください。

本機はR32のため下記の点にご注意ください。

○ 異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具等を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C等）と共用しないでください。
○ 真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用ください。

7）冷媒追加封入

（1）下表に従い、冷媒封入量を計算してください。

<シングル機>

容量＼項目	冷媒配管（液管）1mあたりの追加チャージ量 (kg)	工場出荷時チャージ量 (kg)	追加チャージ不要の現地配管長さ (m)
VP112, VP140, VP160	0.054	3.3	30

<ツイン機、トリプル機>

容量＼項目	冷媒配管（液管）1mあたりの追加チャージ量 (kg)		工場出荷時チャージ量 (kg)	追加チャージ不要の現地配管長さ (m)
	主管	分岐管		
VP112, VP140, VP160	0.054		3.3	30

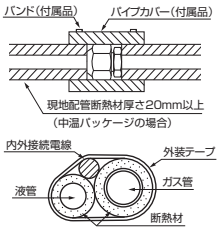
●室外ユニットは配管長30m相当分の冷媒量が工場出荷時に封入されており、30mまでは現地での追加チャージが不要です。それを超えた分については、配管長と上表より追加封入量を計算し追加封入してください。詳しくは5. 試運転の項を参照してください。
●既設配管を使用する場合は、液管サイズにより必要封入量が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

追加冷媒量計算式：VP112, VP140, VP160 ｜ 追加チャージ量 (kg) = {主管長 (m) −チャージレス分30 (m)} ×0.054 (kg/m) +分岐管総長 (m) ×0.054 (kg/m)

※追加冷媒量の計算結果が負の値になる場合は、追加チャージ不要です

（2）冷媒封入

●操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。圧縮機保護のため、ボンベのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。
●冷媒の封入は必ずはかりを使用して計算封入してください。
●運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。
お願い 配管長から算出した冷媒量をサービスパネル裏面の注意ラベルに記入してください。



8）断熱・防露

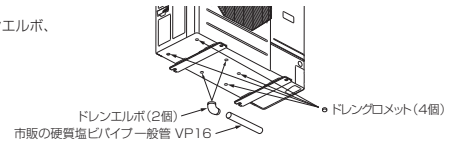
（1）冷媒配管（ガス管、液管共）の防露断熱工事を行ってください。

（2）断熱材は120℃以上の耐熱性があるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。

・防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。
・ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。
・室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）
・断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。
・本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、**相対湿度70%(※)を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。**

3. ドレン配管工事

●室外ユニットからのドレンが問題になる場所では、別売品のドレンエルボ、ドレングロメットを利用してドレン配管を施工してください。



○室外ユニットの底板には凝縮水を排出する穴が6か所有ります。
○凝縮水を排水口などに導くときは平置き台（別売品）やブロックなどに載せて据付けてください。
○図の様にドレンエルボを接続し、他の穴はグロメットでふさいでください。

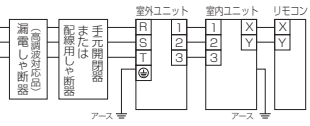
4. 電気配線 電気工事の詳細は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

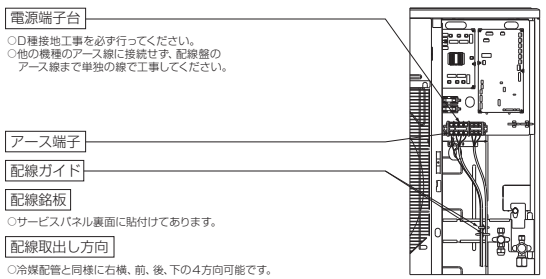
●漏電しゃ断器の取付を必ず行ってください。漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
●室内外配線は同一端子番号を接続してください。
●配線は端子接続部に外力が伝わらないように固定してください。
●制御箱にアース端子があります。D種接地工事を必ず行ってください。

電源・内外接続線 ●アース工事を行う際には、電源プラグを抜いた状態で実施してください。

⚠ 注意

漏電しゃ断器の誤動作を防ぐため、必ずインバータ回路用しゃ断器を使用してください。





●内外渡り線は必ず3心ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。



VCTキャプタイヤケーブル ／ VVF平形ケーブル ／ 4心ケーブル ／ シールド線

機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用しゃ断器 定格電流	電源配線 太さ×本数	電源配線 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
VP112	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm²×3	19m	φ1.6×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	2.0mm²	M5
VP140									
VP160									

室内ユニットがFDU、FDRの場合

機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用しゃ断器 定格電流	電源配線 太さ×本数	電源配線 こう長	内外接続線 太さ×本数	アース線 太さ	アース線 ねじ
VP112	40A,100mA,0.1sec以下	60A	40A	40A	5.5mm²×3	26m	φ1.6×3 (70mまで) 3.5mm²×3 (120mまで)	3.5mm²	M5
VP140									
VP160									

●上表はヒータレス機の場合を示します。ヒータ付の場合は室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。
●上表はシングル機の場合を示します。プルーラル接続の場合はカタログをご参照ください。
●配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。これ以外の条件は内線規程により実施してください。

フリーアドレスプルーラル接続非対応

フリーアドレスプルーラル接続は次の場合対応できません。

	接続配線太さ3.5mm²	接続配線太さφ1.6mm
内外接続線＋室内ユニット間接続線の総長	80m超過	70m超過
室内ユニット間の接続線長	55m超過	25m超過
接続される室内ユニットタイプ	フリーアドレスプルーラル非対応機(FDFタイプ、5型以前の室内ユニット)を含む場合	

この場合、室内ユニット間の通信には信号配線を使用し、室内ユニットの親機－子機設定スイッチ(SW5-1、SW5-2)を右表のように設定してください。

室内基板スイッチ	親機	子機1	子機2
SW5-1	OFF	OFF	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチ(SW4-1)を電源投入前にONにしてください。(SW4-1位置は5. 試運転を参照ください。) ONにすることでフリーアドレスプルーラル制御を無効にします。

5. 試運転

⚠ 警告

●試運転の前に操作弁が全開になっていることを必ず確認してください。
●試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。
} 左記の項目に不備がありますと、圧縮機が故障することがあります。
●停止から運転までは、必ず3分以上待ってください。
●サービスパネルを外すと、高圧充電部・高温部が露出して危険です。感電や火傷に十分注意してください。また、サービスパネルを開けたまま放置しないでください。

⚠ 注意

●現地設定スイッチ（SW3、SW5、SW7）を操作する場合は、充電部に触れぬよう十分注意してください。
●液操作弁のチャージポートから吐出圧力の検圧はできません。
●四方弁（20S）は暖房運転時に通電されます。
●電源しゃ断によりリセットする場合は、電源しゃ断より3分経過後に電源を再投入してください。3分経過後でなければ「室内外通信異常」が発生する場合があります。

絶縁抵抗について

●据付直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合、圧縮機に冷媒が溜まることにより、絶縁抵抗が数MΩまで低下することが　あります。絶縁抵抗が小さく、漏電ブレーカが作動する場合は、以下の事項を確認ください。
①電源を投入し、6時間程度経過後、絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより、圧縮機に通電加熱を行い、圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており、漏電ブレーカの誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。

1）試運転方法

（1）現地接定スイッチSW3-3, 4により室外ユニット側から試運転が可能です。
（2）SW3-3をONすることで圧縮機が運転します。
（3）SW3-4がOFF状態で冷房試運転を行い、ON状態では暖房運転を行います。
（4）**試運転終了後は、必ずSW3-3をOFFに戻してください。**

SW-3-3	SW-3-4	
ON	OFF	冷房試運転
	ON	暖房試運転
OFF	–	通常、および試運転終了

2）運転状態のチェック

吐出圧力、吸込圧力の検圧は、室外ユニット内部の四方弁前後に取付けられたチェックジョイントおよび、ガス操作弁のチャージポートから行ってください。冷房運転・暖房運転によって右表のように検出圧力は異なります。
電源投入1回目の起動時は、圧縮機保護のため圧縮機回転数をゆるやかに上昇させます。
試運転時は1時間ほど連続運転させてから運転状態をチェックしてください。

	配管の チェックジョイント	ガス操作弁の チャージポート
冷房運転	吐出圧力（高圧）	吸込圧力（低圧）
暖房運転	吸込圧力（低圧）	吐出圧力（高圧）

3）現地設定スイッチSW3-1、SW3-2、SW7-3の設定

（1）デフロスト制御切換え（SW3-1）
・ONすることでデフロスト制御に入り易くなります。
・暖房シーズン時、外気温が氷点下以下となる地域は、設定をONにしてください。
（2）防雪ファン制御（SW3-2）
・ONすることで、外気温度が3℃以下で圧縮機停止中、室外ファンが10分毎に30秒間運転します。
・豪雪地帯で使用される場合は、設定をONにしてください。
（3）サイレントモード（SW7-3）
・ON状態でリモコンからサイレントモードを選択することで運転音を抑えることができます。運転音を抑える必要がある場所に据付ける場合は設定をONにしてください。ただし、サイレントモードをONすると外気温条件等によっては、能力が不足する場合があります。

4）試運転時の故障診断

リモコン表示	室外基板LED表示（周期5秒）		故障内容	対策
	赤LED	緑LED		
E34	1回点滅	連続点滅	欠相	電源線のゆるみ、外れのないことを確認
E40	1回点滅	連続点滅	63H1作動、または操作弁閉運転（主に暖房時に発生）	1. 操作弁が開いているか確認 2. 圧縮機停止から3分経過後、異常が解消されていればリモコンからの点検リセットにより再起動可能
E49	1回点滅	連続点滅	低圧異常、または操作弁閉運転（主に冷房時に発生）	

●上記以外の異常が表示される場合は、室外ユニットと室内ユニットの配線銘板をご覧ください。

5）停止時の電子膨張弁の状態

電源投入時の通常停止時、および異常停止時の電子膨張弁の状態は右表の通りです。

	電源投入時	通常停止時		異常停止時	
		冷房時	暖房時	冷房時	暖房時
冷房用	全閉	全閉	開	全閉	全閉
暖房用	全閉	開	全閉	全閉	全閉

6）電源ブレーカ投入後1回目の運転について

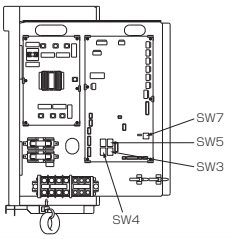
電源ブレーカ投入後1回目の起動において、圧縮機の油上がりを防止するため、リモコンに「運転準備中」が最大で30分間表示される場合があります。
故障ではありませんので、「運転準備中」の表示が消えるまでお待ちください。

試運転前の確認事項　●電源を入れた状態で室外ユニットから離れる場合は、パネルを必ず閉めてください。

据設の項目No.	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付けしましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付けられていますか。	
		操作弁は液管側・ガス管側の両方とも確実に開いていますか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		しゃ断器、配線など電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線が入れ替わっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		室内外配線は同一端子番号間で接続していますか。	
		室内外配線はVCTキャブタイヤケーブルまたはVVF平形ケーブルですか。	
		アース工事はD種接地（第3種接地）工事が行われていますか。	
		他の機器のアース線と接続せず、単独でアースを取っていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようになっていますか。	
—	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合は、化粧パネルの取付が完了していますか。	

試運転手順　●必ず試運転を行い、下記の順に従ってチェックを行ってください。

順番	操作内容	チェック
①	ガス側操作弁を全開にしてください。	
②	液側操作弁を全開にしてください。	
③	パネルを閉めてください。	
④	リモコンによる現地設定を行う場合は、リモコンによる現地設定の説明に従って行ってください。	
⑤	SW3-3 ON ／ SW3-4 OFF:冷房試運転を開始します。 SW3-3 ON ／ SW3-4 ON:暖房試運転を開始します。	
⑥	運転が開始したら、リモコンの風向き調節ボタンを押して作動を確認してください。	
⑦	室内ユニットの吹出口に手を当て、冷房は冷風、暖房は暖風が出ていることを確認してください。	
⑧	赤LEDが点滅していないことを確認してください。	
⑨	試運転終了後、必ずSW3-3をOFFにしてください。	
⑩	オプション品を使用している場合は、各々の取扱説明書に従って機能の確認をしてください。	

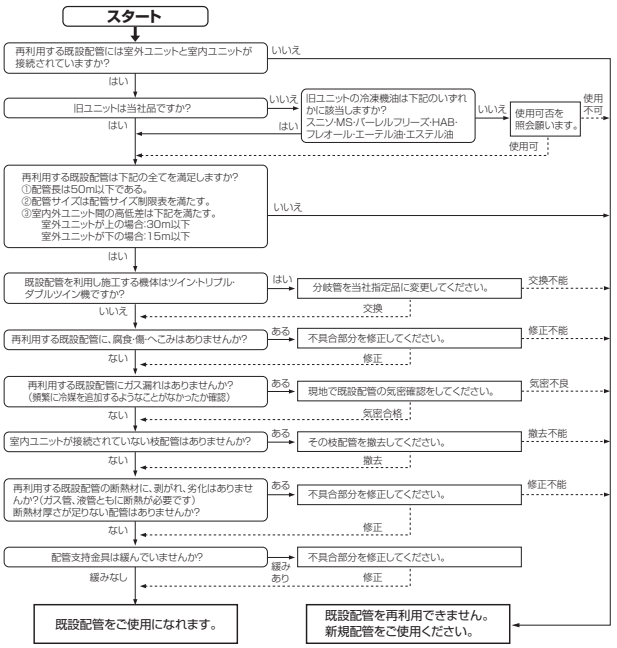


※1 SW1、SW3-1、SW3-2、SW3-3、SW3-4、SW4-1、SW5-1、SW5-2、SW7-3以外のディップSWは操作しないでください。



6. 既設配管対応

既設配管が再利用出来るかどうかを下記フローチャートを利用して判断してください。



VP112～VP160は、既設配管の洗浄運転が可能です。詳細はハイパーインバータ既設配管洗浄運転手順を確認ください。配管洗浄機能をご使用になれない場合は以下の ⚠注意 をご参照ください。

〈配管サイズ制限表〉◎:標準配管サイズ　○:使用可能　△:配管長制限短縮　×:使用不可

配管1m当たりの追加チャージ量		0.02kg/m	0.054kg/m		0.11kg/m	
配管サイズ	液管	φ6.35	φ9.52	φ9.52	φ12.7	φ12.7
	ガス管	φ15.88	φ15.88	φ19.05	φ15.88	φ19.05
VP112	適用可否	△	◎	○※1	△	△※1
	最大配管総長	17	80	80	40	40
	チャージレス長	10	30	30	15	15
VP140	適用可否	△	◎	○※1	△	△※1
	最大配管総長	17	80	80	40	40
	チャージレス長	10	30	30	15	15
VP160	適用可否	△	◎	○※1	△	△※1
	最大配管総長	17	80	80	40	40
	チャージレス長	10	30	30	15	15

〈分岐管後配管〉◎:標準配管サイズ ○:使用可能 ×:使用不可 —:対象外

			第一分岐※2			第二分岐		
配管1m当たりの追加チャージ量			0.054kg/m			0.054kg/m		
配管サイズ	液管		φ9.52			φ9.52		
	ガス管		φ12.7	φ15.88	φ19.05※1	φ12.7	φ15.88	φ19.05※1
形式	組合せ	組合せ能力						
VP112	ツイン	56+56	◎	○	×	—	—	—
VP140	ツイン	71+71	×	◎	○	—	—	—
VP160	ツイン	80+80	×	◎	○	—	—	—
	トリプルA	50+50+50	◎	○	×	—	—	—
	トリプルB	50+50+50	×	◎※3	○※3	◎	×	×

※1：φ19.05×t1.0は耐圧強度不足のため、室外ユニット基板上の**ディップスイッチSW5-1をON**にしてください。
（ツイン・トリプル機の場合、第1分岐以降の配管にφ19.05×t1.0が存在する場合を含む）
ただし、1/2H材または肉厚1.2以上の配管を使用する場合はディップスイッチSW5-1をONにする必要はありません。
※2：分岐後の配管サイズは、主管と同じ径もしくは小さい径であること。
※3：第1分岐～第2分岐間の配管サイズの制限を示しています。
第1分岐から室内機までの配管サイズはφ9.52（液管）／φ12.7（ガス管）とすること。
●表に記載のない配管サイズの組合せおよび表の×の配管サイズの組合せは使用できません。

追加チャージ量計算式

追加チャージ量(kg)=(主配管長(m)ー表のチャージレス長(m))×表の配管1m当たりの追加チャージ量(kg/m)
＋分岐管総長(m)×表の配管1m当たりの追加チャージ量(kg/m)

※計算の結果が負の値になる場合は追加チャージ不要です。
例）既設配管20m（液管φ12.7、ガス管φ19.05）を使用して、VP160（シングル機）を設置する場合。
（20mー15m）×0.11kg/m=0.55kgを追加チャージする。

〈分岐管を流用可能な既存ユニット機種〉

●FDCJ＊＊＊H、HA、HD、HD1、HD2、HD3(A)　●FDCP＊＊＊HD3
●FDCVJ＊＊＊HD3　●FDCVP＊＊＊HD3以降の機種

●上記以外の機種（FDCの後に“J”または“P”が付かない機種、当社製以外の機種）および中温パッケージ既存ユニットの分岐管は耐圧強度不足のため使用できません。当社製R32用の分岐管を使用してください。

●＊＊＊には能力を示す数字が入ります。

⚠注意

<既設ユニットが冷房運転可能な場合>

既設ユニットで下記作業を実施してください。（①→②→③→④の順番）
①30分間冷房運転
②ビニールシートなどで室内ユニット吸込口を完全に閉塞し3分間冷房運転（液バック運転）
③室外ユニットの液操作弁を締めポンプダウン（冷媒回収）
④窒素ガスによるブロー　※ブローにより変色した冷凍機油や油以外の残留物が排出された場合は「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。
●フレアナットは流用せず室外ユニット付属のものを使用してください。
またフレアはR32用に再加工してください。
●現地設定スイッチSW5－1をONにしてください。（ガス配管サイズがφ19.05の場合）

<既設ユニットが冷房運転できない場合>

本機種は内蔵リニューアルキットによる洗浄運転により、既設配管をご使用になれます。
詳細はハイパーインバータ既設配管洗浄運転手順をご確認ください。
また、別売のリニューアルキットを使用しても既設配管をご使用になれます。
別売のリニューアルキットを使用する場合は**下記作業を実施してください。**
①冷媒回収機で冷媒を回収ください。
②既設配管内の冷凍機油の汚れを確認ください。
色標5.0以上の黒色、褐色（＊）、多量の残渣、異臭がある場合「配管洗浄」または「新規配管」をご使用おねがいします。
＊冷凍機油の色標はカタログの末頁を参考ください。
③リニューアルキットを取付しSW5－1をONによりご使用可能です。
●「配管洗浄」を行う場合は、最寄の代理店にお問い合わせください。

● FDCVP1126 ～ 1606H　リアパネルの外し方

1）天板（ねじ9本）とサービスパネル（ねじ2本）を外します。





2）サイドカバー（ねじ5本）を外します。

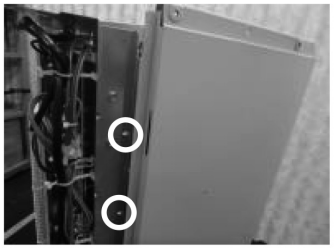


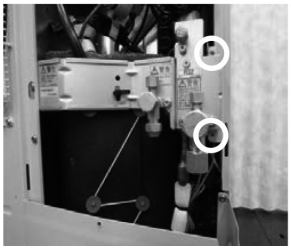


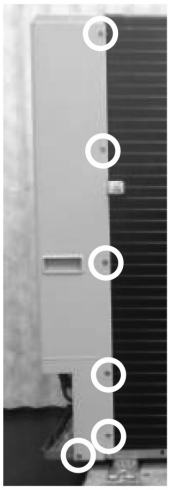


3）コントロールボックス側（2本）と操作弁補強板（2本）およびリアパネル（6本）のねじを外し，次のようにパネルを外します。

①；リアパネル下部を後ろに引き，②；上に持ち上げ，フック2か所を外します。











PSC012D188F D

ZPシリーズ・VPシリーズ
ZP224・ZP280・VP224・VP280
冷媒R32対応機

(g) FDCZP2246H, 2806H
FDCVP2246H, 2806H

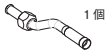
◎ 本説明書は“室外ユニットと総合工事仕様”について示したものです。“室内ユニット”については492ページをご覧ください。
◎ 据付時には据付場所の選定、電源仕様、使用可能範囲（配管距離・室内外高低差・電源電圧等）・据付スペース等などが適正であることを確認してください。
◎ この室外ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

据付工事前に確認してください

安全上のご注意

● 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
● ここに示した注意事項は、「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、誤った据付をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。　いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
● ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない / 必ず指示に従い行う
● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって「安全上のご注意」や正しい使用方法、お手入れの仕方をご指導下さい。
● 据付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。またお使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方に、取扱説明書をお渡しくださるよう依頼してください。

付属品

付属配管
 1個
ZP224,ZP280,VP224,VP280用付属配管

●機種・電源仕様　●冷媒配管長
●配管・配線・小物部品　●室内ユニット据付説明書

⚠ 警　告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

●据付工事は、据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると破裂、ケガの原因となり、また水漏れや感電、火災の原因になります。

●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電、冷媒漏れ、能力不足、制御不良、ケガなどの原因になります。

●日本冷凍工業会のガイドライン JRA GL-16 に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

●部屋のレイアウト、間仕切りを変更するときは、お買い上げの販売店に相談してください。
冷媒漏えい時に必要な安全対策の再検討が必要になります。必要な安全対策を怠ると燃焼濃度に至る可能性があります。

●作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●ユニットを搬入する際、重量に適合したロープをユニットの所定位置に掛けて行う。また横ズレしないよう固定し、確実に 4 点支持で実施する。
3 点支持など搬入方法に不備があるとユニットが落下し、死亡や重傷の原因になります。

●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。

●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事を行う
感電、故障や動作不良の原因になることがあります。

●電源配線は、電流容量、規格に適合した配線により工事をする。
適合品以外の配線を使用した場合は、漏電、発熱、火災等の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●電源コードの加工、途中接続、タコ足配線はしない。
接触不良・絶縁不良・許容電流オーバー等により、発熱・火災・感電の原因になります。

●電源コードを束ねたり、巻いたり、電源プラグを踏む等して変形させない。
発熱・火災・感電の原因になります。

●電源接続部にはホコリの付着、詰まり、がたつきがないことを確認し、確実に接続する。
ホコリの付着、詰まり、がたつきがあると、感電、火災の原因になります。

●密閉された部屋で配管ろう付作業をしない。
酸欠事故の原因になります。

●配管、フレアナット、工具は R32 または R410A 専用のものを使用する。
既存(R22) の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。

●フレアナットの締付はダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付ける。締付過ぎによるフレア部の破損に注意してください。
フレア部のゆるみ、締付過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏えいして酸欠事故の原因になることがあります。

●冷媒配管工事、気密試験および真空引きが完了するまでは、サービスバルブ(液、ガス共)を開けないでください。
冷媒配管が確実に取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

●保護装置の改造や設定変更をしない。
圧力開閉器や温度調節器などの保護装置を短絡して強制運転を行ったり、当社指定の部品を使用しないと、火災や爆発の原因になります。

●据付時や点検・サービス時など、ユニット内の作業を行う場合は、電源を切ってから行ってください。
据付・点検・修理にあたって、ユニット電源ブレーカが ON のままだと、感電や故障およびユニットファン回転によるケガの原因になります。

●エアコンを移動、再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

●ポンプダウン作業では、操作弁を閉じた後、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止する。
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと急激な冷媒漏れによる凍傷、けがの原因になります。
また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

●エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒(R32) 以外の空気等を入れない。
空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガ等の原因になります。

●パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

●サービスパネルは確実に取り付ける。
サービスパネルの取付に不備があると、ホコリ、水などにより、火災、感電の原因になります。

●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

●メンテナンス後にすべての配線およびタイラップ等を元の位置に戻してください。
金属部品との距離を確保する必要があります。

⚠ 注　意

●アース(接地)を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないで下さい。アース(接地)が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。またガス管にアースすると、ガス漏れの時に爆発, 引火の可能性があります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器＋B 種ヒユズ)・配線しゃ断器)を使用する。
不適切なブレーカを使用すると故障や火災の原因になります。

●製品の運搬は十分注意して行う。
20kg 以上の製品は原則として 2 人以上で行ってください。 PP バンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないで下さい。
また素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

●梱包材の処理は確実に行う。
梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。
また梱包用のポリ袋で子供が遊ぶと窒息事故の原因となりますので、必ず破いてから廃棄してください。

●室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷(ピンホール)をあたえ, 水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままにしておくとか, 覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して, 露たれ等を発生し, 天井, 床その他, 大切なものを濡らす原因となることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏えいして限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。

●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると、異常振動・騒音増大の原因になります。

●漏電しゃ断器は必ず取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に滞ると, 発火の原因となることがあります。

●腐食性ガス(亜硫酸ガス等)、可燃性ガス(シンナー、ガソリン等)、の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。
熱交の腐食, プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは火災の原因になることがあります。

●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●室外ユニットを屋上あるいは高所に設置する場合は、転落防止のため、通路には恒久ハシゴ、手すり等を、また室外ユニット周辺にはフェンス、手すり等を設けてください。
フェンス、手すり等がない場合は, 設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。

●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。
インバータ機器, 自家発電機, 高周波医療機器, 無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり, エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え, 人体の医療行為を妨げたり, 映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。

●室外ユニットは、小動物のすみかとなるような場所に設置しない。
小動物が侵入して, 内部の電気配線に触れると, 故障や発煙, 発火の原因になることがあります。またお客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだまま放置するとユニットの落下につながり, ケガの原因になることがあります。

●次の場所への据付は避ける。
・カーボン繊維や金属粉, パウダー等が浮遊する所
・車両, 船舶等移動するものへの設置
・油の飛沫や蒸気が多い所(調理場, 機械工場等)
・海浜地区等塩分の多い所
・煙突の煙がかかる所
・アンモニアの雰囲気にさらされる所
・通風の悪い所
・複数台設置の場合に、ショートサーキットがおきるような所
・ユニットの上方に置かれたものが落ちる可能性がある場所
・硫黄系ガス, 塩素系ガス, 酸, アルカリ等の機器に影響する物質の発生する所
・化粧品, 特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・高周波を発生する機械を使用する所
・積雪の多い所(設置する場合, 所定の架台, 防雪フードを取付けることが必要です)
・標高 1000m以上の所
・他の熱源から熱放射を受ける所
・吸込口, 吹出口に風の障害物がある所
・強風の影響をうけやすい所(室外ユニットに直接強風が吹込む所)
・塩化カルシウムを使用する所(融雪剤)
性能を著しく低下させたり, 部品が腐食, 破損したり火災発生の原因になることがあります。

●次の場所への室外ユニットの据付は避ける。
・騒音や熱風が隣家に迷惑をかけるような所
・吹出しの風が動植物に直接植木にあたる場所
・吹出し風による植木などへの被害の原因になります
・ドレンの排水がとれない所
・強度が不十分で振動が増幅, 伝達しやすい所
・機器から発生する騒音, 振動の影響を受けやすい所(寝室の壁やその近傍)
・高周波に影響される機器のある所(TV およびラジオ等の近傍)
周辺の環境に影響をおよぼしクレームの原因になることがあります。

●食品、動植物、精密機器、美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下の原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●運転中の冷媒配管を素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状況により低温と高温になります。 素手で触れると凍傷や, やけどになる恐れがあります。

●エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

●室外ユニットの上に物を置いて運転を行わない。
落下物により物が破損したり, ケガの原因になります。

●室外ユニットの上に乗らない。
落下、転倒などによりケガの原因になります。

●素手で室外ユニットのフィンや吸入管に触らないこと。
ケガの原因となります。

冷媒R32対応機としての注意点

●R32以外の冷媒は使用しないでください。R32は従来の冷媒 (R22など) に比べ圧力が1.6倍高くなります。
●R32機は、他冷媒の誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。また、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法およびフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工・サービス時には、右表に示すR32またはR410A専用ツールを準備してください。
●チャージシリンダは使用しないでください。
●室内ユニットはR32またはR410A専用機となります。接続可能な室内ユニットはカタログ等で確認してください。(他の室内ユニットを接続すると正常運転できません。)
●異種油の混入をさけるために、冷媒の種類により工具を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒 (R22、R407C) と共用しないでください。
●冷媒R32にはわずかながら燃焼性があります。そのため、半地下や狭小部など換気の悪い場所で室外ユニットを設置・修理・移設する際の作業時は冷媒漏えいセンサを携行してください。
冷媒が漏えいした場合、窒息や着火の原因となる恐れがあります。

	R32またはR410A専用ツール
a)	ゲージマニホールド
b)	チャージホース
c)	冷媒充てん用電子はかり
d)	トルクレンチ
e)	フレアツール
f)	出し代調整用銅管ゲージ
g)	真空ポンプアダプタ
h)	ガス漏れ検知器

フロンの見える化

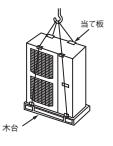
地球温暖化防止のため、この製品の移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。本機には地球温暖化係数(GWP)が675のフロン類を使用しています。(冷媒R32)

1. ユニットの搬入・据付 (ユニットの搬入・移動には十分に注意し、必ず2人以上で行ってください。)

⚠ 注意
●ユニットにロープ掛けを行い搬入する場合は, 必ずユニット重心のずれを考慮してください。ユニットが安定を失って落下する恐れがあります。
●ZP224, ZP280, VP224, VP280 は非常に重いため, 作業者一人で搬入および移動はしないでください。ケガの原因になります。

1）搬入

●据付場所付近までできるだけ梱包のまま搬入してください。
●ロープ掛けを行い搬入する場合は玉掛けの資格のある方が行い、ユニットに過度な衝撃等を与えないように作業してください。
●ロープ掛けを行い搬入する場合は、ユニットにロープ掛けを行ってください。
●ロープ掛けする場合は、ユニットを傷付けないようにナイロンスリングで吊り下げるか、または当て板をしてロープで吊り下げてください。



2）移動

●ユニット正面（吹出側）から見て右側が重くなっています。右側を持つ作業者は十分に注意してください。ユニットを持つ際は、ハンドルを使用してください。



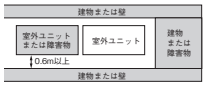
3）据付場所の選定

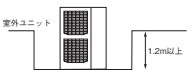
（1）R32冷媒は、微燃性の冷媒です。万一冷媒が漏れた場合、その濃度が燃焼濃度を超えるような空間には室内・室外ユニットを設置しないでください。
（据付場所の選定は「R32冷媒施工時チェックシート」（製品に付属）およびサービスパネル裏面に貼付けの注意銘板に必要事項を記入の上、チェックシートは本書および取扱説明書と共にお客様に保管していただくように依頼してください。）

○ 室内ユニット
総冷媒量と室内ユニットの設置高さ・部屋の面積から、設置空間の冷媒濃度が燃焼濃度以下であることを確認してください。
○ 室外ユニット
冷媒が滞留するおそれのある場所に設置する場合は、設置空間の冷媒濃度が燃焼濃度以下となるよう、下記の対応を実施してください。

①狭小地
開放空間までの通路の幅を 0.6m 以上確保する。

②半地下
屋外において、ドライエリアなどの周囲より 1.2m 以上くぼんだ場所（周囲が 1.2m 以上の高さの壁で囲まれた空間も含む）では、設置空間の冷媒濃度が燃焼濃度以下であることを確認する。





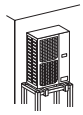
③機械室
室外ユニットを設置するためのほかから独立した場所では、連続的に機械換気を行う。

（2）下記条件に注意し、据付場所を選んでください。
○ 室外ユニットの重量・振動に耐え、水平に据付けられる安全な所
○ 運転音や温風で隣家に迷惑のかからない所　○ 油煙が発生しない所
○ 可燃性ガスの漏れる恐れのない所　○ ドレン水が流れてもよい所
○ 他の熱源から熱輻射を受けない所　○ 積雪で埋まらない所
○ テレビやラジオの周囲から 5 m 以上離れた所（電波障害を受ける場合はさらに離してください。）
○ 通風が充分に確保でき、保守点検を安全に行えるサービススペースを確保できる所
○ 電磁波、高調波を発生する機械がない所
○ 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ（アンモニアを含む）など機器に影響する物質の発生・滞留しない所
○ 吹出口に強風が当たらない所

4）据付場所に関する注意

（1）積雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込口・吹出口や底板下部が雪で閉塞する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。

①積雪面より底板が高くなるよう室外ユニットを架台の上に設置してください。



②吹出口に防雪フード（別売品）を取付ける。



③軒下に設置するか、雪除け屋根（現地手配）を取付けてください。



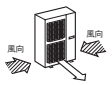
また、除霜運転時のドレン水が凍結する恐れがありますので、次のような対策を行ってください。
・ドレンプラグやドレン管が凍結しないよう、ドレン集中排水キット（別売品）を使った集中排水工事を行わないでください。
[⇒3．ドレン配管工事 参照]
・デフロスト制御の切換えと防雪ファン制御の設定を行ってください。
[⇒5．現地スイッチの設定参照]
・ドレン排水が凍結する恐れのある場所に設置する場合は凍結防止用ヒータを設置してください。
※ヒータを設置する場合は熱の影響により排水路にある材料を溶融しない様な容量、配置、システムにて施工してください。

（2）強風の影響を受けやすい場所では、下記の内容に従って防風対策を行ってください。
能力の低下、高圧上昇による異常停止、ファンの破損などの原因となります。

①吹出側を建物の壁、塀および防風用つい立などにむける。



②吹出方向を風向きに対して直角に設置する。



③強風等の影響がある場合は安定した場所に据付、耐風金具（別売品）やワイヤロープなどでユニットを直接固定する。



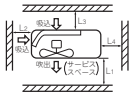
④台風等の強風が吹出口に吹付ける場合は防風キット（別売品）を取付ける。



（3）維持管理に関する注意（耐重塩害仕様の場合）
耐重塩害仕様機は耐食性に優れた部品を使用していますが、適切な据付場所選定および維持管理を行わないと破損・故障の原因となります。
以下の内容を守ってください。
●海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また、波しぶき等が直接かかる場所への設置はさけてください。
●外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。
●室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
●海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
●据付、メンテナンス等で付いた傷は、補修してください。
●機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。
●基礎部分の排水性を確保してください。

5）据付スペース（サービススペース）例

（ア）サービススペース（メンテナンス、人の通路、風路、現地配管スペース）を十分確保してください。
（本図の施工条件にあてはまらない場合は、代理店または弊社にご相談ください。）
（イ）横連続設置するときは、ユニット間に250mm以上のサービススペースを確保してください。
（ウ）四面障壁のある場所には設置しないでください。
四面障壁ではなく、本図の施工条件にあてはまる場合であっても、ショートサーキットの恐れがある場合はフレックスフローアダプタを取付けてショートサーキットを防止してください。
（エ）ユニット上方のスペースは1m以上確保してください。
※フレックスフローアダプタ、防雪フード、集中排水キット等の別売部品については販売店へお問合せください。
（オ）吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。

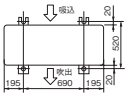


（単位：mm）

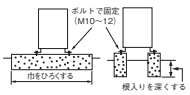
据付例 / 寸法	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
L1	開放	開放	600
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	250	250	250

6）据付

①アンカーボルト固定位置



②据付時の注意



●ユニットを据付ける場合、上記ボルトでユニットの足を必ず固定してください。
●前面側アンカーボルト飛び出し長さは15mm以下としてください。
●地震や突風などで倒れないように強固に据付けてください。
●コンクリート基礎は上図を参照してください。
●ユニットは水平に設置してください（ベース面で左右の差は5mm以下）。圧縮機の故障、ユニット内配管の破損、異常音の原因になります。

7）外気温－5℃以下で冷房運転を行う場合

●フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

2. 冷媒配管工事

1） ユニット据付使用制限

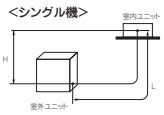
●室内ユニットの仕様と据付場所にあわせて以下の内容を確認して下さい。
●以下の据付使用制限は必ず守ってください。据付に不備があると圧縮機の故障や能力低下の原因となります。

制限項目	下図での記号								
	第1分岐管～各室内ユニットまでの配管長差					3m未満	3m以上10m以下	Wツイン機	
	室外ユニット容量			制限長さ	シングル機	ツイン機	トリプルA機　図A	トリプルB機　図B	
配管総長	ZP224,VP224	液配管	φ9.52	40m以下	—	L+L1+L2	L+L1+L2+L3	L+La+L1+L2+L3	L+La+Lb+L1+L2+L3+L4
			φ12.7	105m以下					
	ZP280,VP280			105m以下			使用不可	使用不可	
片道配管長	ZP224,VP224	液配管	φ9.52	40m以下	L	L+L1 L+L2	L+L1 L+L2 L+L3	L+L1　※1	L+La+L1 L+La+L2 L+Lb+L3 L+Lb+L4
			φ12.7	100m以下					
	ZP280,VP280			100m以下			使用不可	使用不可	
主管長	ZP224,VP224	液配管	φ9.52	40m以下	—	L	L	L	L
			φ12.7	80m以下					
	ZP280,VP280			80m以下			使用不可	使用不可	
第1～第2分岐間の片道長さ	ZP224,VP224			5m以下	—	—	—	La	—
第1分岐～室内ユニット間の片道長さ	ZP224,VP224			40m以下	—	L1，L2	L1，L2，L3	L1　※1	La+L1，La+L2 Lb+L3，Lb+L4，
	ZP280,VP280			40m以下			使用不可	使用不可	
第1～第2分岐以降に接続する室内ユニット間の片道長さ	ZP224,VP224			37m以下	—	—	—	La+L2，La+L3　※1	—
第1分岐～室内ユニット間の片道長さの差	ツイン	全機種		10m以下	—	|L1-L2|	—	—	—
	トリプル	ZP224,VP224		3m以上10m以下			—	L1-(La+L2)，L1-(La+L3)　※1	
	Wツイン	ZP224,VP224 ZP280,VP280		10m以下			—	—	|(L1+La)-(L3+Lb)|，|(L1+La)-(L4+Lb)| |(L2+La)-(L3+Lb)|，|(L2+La)-(L4+Lb)|
第2分岐～室内ユニット間の片道長さの差	トリプル	ZP224,VP224		10m以下	—	—	—	|L2-L3|	—
	Wツイン	ZP224,VP224 ZP280,VP280						—	|L1-L2|，|L3-L4|
第2分岐～室内ユニット間の総配管長				15m以下	—	—	—	L2+L3	L1+L2，L3+L4
室内・室外ユニット間の高さの差	室外ユニットが下の場合			30m以下	H	H	H	H	H
	室外ユニットが下の場合			15m以下					
室内ユニット間の高さの差				0.5m以下	—	h	h1，h2，h3	h1，h2，h3	h1，h2，h3，h4，h5，h6

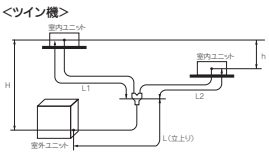
⚠ 注意

●ZP224、VP224形の場合、主管長Ｌが40ｍを超える場合は、必ず液配管をφ12.7mmとしてください。
φ9.52mmの液配管にて40ｍを超える接続をされますと、能力不足、室内ユニットの水漏れの原因となります。
●上表の使用制限は「3）冷媒配管の肉厚および材質」に示す標準配管サイズの場合を示します。既設配管を使用する場合は配管サイズより片道配管長の制限が変わります。詳しくは「6．既設配管対応」をご確認ください。
●分岐後の配管長は極力同じ長さになるように施工をお願いいたします。分岐管後の配管長差があると不冷不暖等が生じる恐れがあります。
●トリプル機は、第１分岐後の片道配管長差により使用方法が異なります。上表ならびに下図をご確認ください。
●トリプル接続時、ZP224、VP224は同機種同容量の場合のみご使用いただけます。異機種同容量の場合は使用できません。
※１ L1には、片道長さが最大となる室内ユニットを接続してください。
（La＋L2）と（La＋L3）は、L1に対し片道長さの差が3m以上10m以下の制限長さ内にしてください。
※２ L1には、機種容量が最大となる室内ユニットを接続してください。

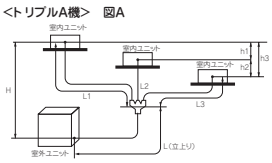
<シングル機>



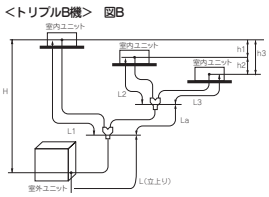
<ツイン機>



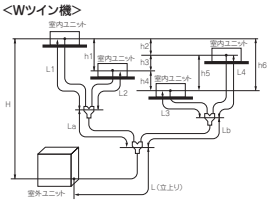
<トリプルA機>　図A



<トリプルB機>　図B



<Wツイン機>



2） 冷媒配管サイズ選定

●室内ユニットの仕様に合わせて以下の内容で冷媒配管サイズを選定してください。

⚠ 注意

●接続する室内ユニットがVP56形の場合、分岐配管部(分岐管～室内ユニット)の液配管サイズは必ずφ9.52とし、室内ユニット(液配管側φ6.35)への接続は分岐管セットに付属の異径継手を使用してください。
φ6.35のまま接続されますと、分配不良の原因となり、片方の室内ユニットが能力不足となります。
●立ち上がり配管は主管としてください。また、分岐管セットはできるだけ室内ユニットに近いところに水平に分岐するように取付けてください。また、分岐部には付属の断熱材を取付けてください。
●分岐部の施工詳細は、分岐管セットに付属の説明書を参照してください。
●トリプル機の場合、本表に示す分岐管セットは第1分岐後の片道配管長差により異なります。「(1)ユニット据付使用制限」をご確認ください。
●トリプル接続時、ZP224、VP224は同機種同容量の場合のみご使用いただけます。異機種同容量の場合は使用できません。
●ZP280、VP280はトリプル機として使用できません。

		ZP224,VP224		ZP280,VP280	
		ガス管	液管	ガス管	液管
室外ユニット接続		φ25.4	φ9.52	φ25.4	φ12.7
		ろう付け	フレア	ろう付け	フレア
冷媒配管(主管L)		φ25.4	φ9.52またはφ12.7	φ25.4	φ12.7
シングル機の場合	室内ユニット接続	φ25.4	φ9.52	φ25.4	φ12.7
	室内ユニット容量	ZP224		ZP280	
ツイン機の場合	分岐管セット	DIS-WC1G		DIS-WC1G	
	冷媒配管(分岐管L1,L2)	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	ZP112×2		ZP140×2	
トリプルA機 図A	分岐管セット	DIS-TB1G		–	
	冷媒配管(分岐管L1,L2,L3)	φ15.88	φ9.52		
	室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52		
	室内ユニット容量	ZP71×3			
トリプルB機 図B	分岐管セット	DIS-WC1G		–	
	冷媒配管(分岐管La)	φ15.88	φ9.52		
	冷媒配管(分岐管L1)	φ15.88	φ9.52		
	分岐管セット	DIS-WA1G			
	冷媒配管(分岐管L2,L3)	φ15.88	φ9.52		
	室内ユニット接続	φ15.88	φ9.52		
	室内ユニット容量	ZP71×3			
Wツイン機の場合	分岐管セット	DIS-WC1G		DIS-WC1G	
	冷媒配管(分岐管La,Lb)	φ15.88	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	分岐管セット	DIS-WA1G×2		DIS-WA1G×2	
	冷媒配管(分岐管L1,L2,L3,L4)	φ12.7	φ9.52	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット接続	φ12.7	φ6.35	φ15.88	φ9.52
	室内ユニット容量	ZP56×4		ZP71×4	

3） 冷媒配管の肉厚および材質

●冷媒配管のサイズに対して右記の肉厚および材質のものを選定してください。
●本機はR32を使用します。外径19.05［mm］以上の配管については O 材では耐圧が不足しますので、必ず 1 ／ 2H材、肉厚1.0[mm]以上の配管をご使用ください。

配管外径［mm］	6.35	9.52	12.7	15.88	25.4
最小配管肉厚［mm］	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0
配管材質※	O材	O材	O材	O材	1／2H材

※リン脱酸銅継目無管C1220T、JIS H 3300

お願い
●配管の選定・施工については、必ず「冷凍保安規則関係例示基準」を厳守してください。
●配管肉厚は、最小配管肉厚以上のものを選定してください。

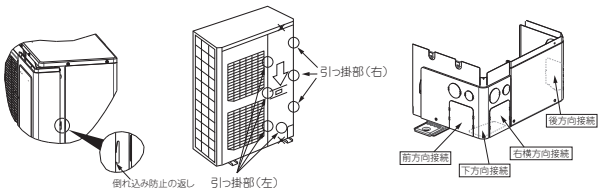
4） 現地配管施工 ※詳しくは別紙の「冷媒配管工事説明書」に従い施工してください。

⚠ 注意

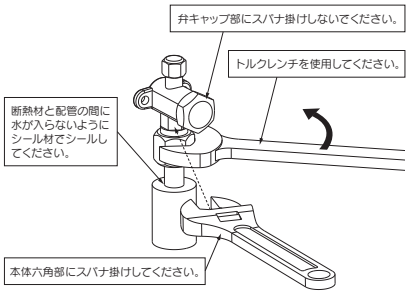
施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意してください。
内部部品に接触すると、異常音・振動が発生します。

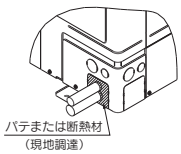
サービスパネルの外し方

サービスパネルは固定しているねじ2本（×印）を外し、パネルを矢印方向へ引き下げてから手前に外してください。
※引っ掛部（右）には倒れ込み防止の返しがついています。引き下げ後、少し持ち上げ手前に外して下さい。



●配管の取出しは前・右・下・後が可能です。
●配管貫通部のノックアウトの板を必要最小限の寸法で取外し、配管を接続してください。
●配管接続後に配管接続部のすき間をパテや断熱材（現地調達）でふさいでください。
室外ユニット内に昆虫などの小動物が侵入した場合、ショートするおそれがあります。
●現地配管接続時、外板の貫通穴のハーフブランクをニッパにて切断し切り落とし ご使用ください。
●ドレン集中排水の際には、配線・配管の取出口は下抜き以外をご利用ください。下抜きをご利用の場合は、ドレン水の流出がないよう十分シールしてください。
●現地配管は、エルボ(現地手配品)を利用して操作弁と接続してください。
●配管は1.5m毎に固定してください。
●フレアナットは必ず本体付属のものを使用してください。ほかのフレアナット（1種）を使用すると冷媒漏れの原因になります。
●作業中は通気の良い状態にし、周囲に火気がないことを確認してください。
●ろう付作業時にろう付バーナーを使用する場合、冷媒漏えい検知器で冷媒漏れがないことを確認してください。
●ろう付け作業時に冷媒漏えいした場合、直ちにバーナーなどの火気を消してください。
●配管内部に水分、異物が入らないように、管端の養生(潰してろう付または粘着テープによる)を十分に行ってください。
●配管の曲げはできるだけ大きな半径（R100～R150）で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
●ユニットと冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付後、フレア加工を施してください。R32のフレア加工寸法は、従来のR407Cとは異なります。R32またはR410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整用ゲージにて出し代を調節すれば、従来ツールを使用できます。取付方法の詳細は付属配管の取付説明書をご覧ください。
●フレア接続はダブルスパナで締付けてください。





5）冷媒追加封入

（1）下表に従い、冷媒封入量を計算してください。

●追加充てんする冷媒はR32を使用してください。
●室外ユニットは配管長30m相当分の冷媒量が工場出荷時に封入されており、30mまでは現地での追加チャージが不要です。
それを超えた分については、配管長と下表より追加チャージ量を計算し追加チャージしてください。
●既設配管を使用する場合は、液管サイズにより必要封入量が変わります。詳しくは「6. 既設配管対応」をご確認ください。

追加冷媒量計算式

容量＼項目			追加冷媒量 計算式(※)	冷媒配管(液管)1m あたりの追加チャージ量(kg)	工場出荷時チャージ量(kg)	追加チャージ不要の現地配管長さ(m)
ZP224 VP224	主管の液管 サイズ	φ9.52	0.054×(主管長－30)＋分岐配管総長×0.054	0.054	6.0	30
		φ12.7	0.07×(主管長－30)＋分岐配管総長×0.054	0.07		
ZP280,VP280						

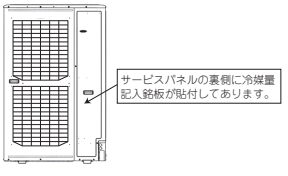
※追加冷媒量の計算結果が負の値になる場合は、追加チャージ不要です。
●再チャージを行う場合は冷媒回収後、上表の工場出荷時チャージ量を再チャージしてください。

（2）冷媒封入

●R32冷媒は液相で充てんする必要がありますので、ボンベを倒立させて充てんするか、サイフォン管付の冷媒ボンベから充てんしてください。
●操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。この際も、ボンベからの冷媒取出しは必ず液相で行ってください。ただし圧縮機保護のため、ボンベのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引されれた時にはガス化しているように調整してください。
●冷媒の封入は必ずはかりを使用して計算封入してください。
●運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。
冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。

お願い

「R32冷媒施工時チェックシート」(別紙)およびサービスパネル裏面の注意ラベルに配管長から算出した冷媒量を記入してください。



⚠ 注意

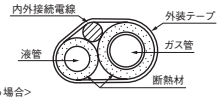
この製品はフロン排出抑制法の第1種特定製品です。
●フロン類をみだりに大気に放出することは禁じられています。
●この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。冷媒回収するときは、フロン排出抑制法の基準に従ってください。
●冷媒回収する際、継手からの冷媒漏えいを防ぐため、冷媒ホースの接続を確実にしてください。
また，回収運転終了後に残圧が再び上昇しないかをチェックし，上昇する場合には，再度回収運転をしてください。
●冷媒の追加・回収量および出荷時との合計量をサービスパネル裏面の冷媒量記入銘板に必ず記載してください。また、そのCO_2換算値も記入ください。
●機器の修理、運転、調整などにより、冷媒の回収や充てんを行い表示内容が生じたときは、冷媒量を再記載してください。

6）断熱・防露

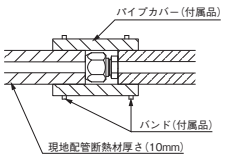
（1）冷媒配管（ガス管、液管共）の防露断熱工事を行ってください。

（2）断熱材は120℃以上の耐熱性があるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。

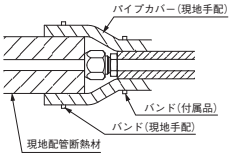
・防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。
・ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。
また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。
・室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）
・断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。
・本工アコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、**相対湿度70％を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。**



<断熱材厚さ10mmを使用する場合>

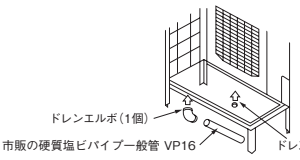


<断熱材を強化する場合>



3. ドレン配管工事

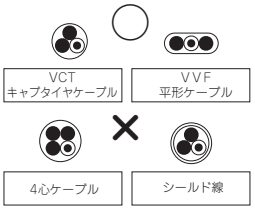
●室外ユニットからのドレンが問題になる場所では別売品のドレンエルボ、ドレングロメットを利用してドレン配管を施工してください。
※ドレンパンヒータをご使用の場合は、ドレンエルボ、ドレングロメットは使用出来ません。（弊社オプション品でも、樹脂製のものはご使用いただけません。）
●室外ユニットの底板にはドレン水を排出する穴が３か所有ります。
●ドレン水を排水口などに導くときは平置き台（別売品）やブロックなどに載せて据付けてください。
●図の様にドレンエルボを接続し、他の穴はグロメットでふさいでください。

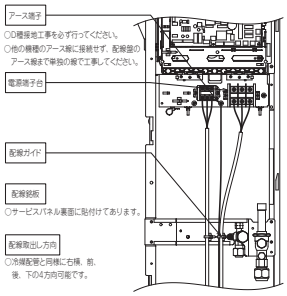


●ドレン集中排水の際には配線・配管の取出口は下抜き以外でご利用ください。
下抜きをご利用の場合は、ドレン水の流出がないよう十分シールして下さい。
●ドレン水の量が多いと水が滴下する恐れがあります。
ドレンエルボやドレングロメットのすき間をパテ等でふさいでください。
●操作弁や接続配管付近からドレン水が流れ出る可能性があります。
●外気温が0℃以下になる場所で使用する場合は、ドレンエルボとドレングロメットを使用しないで下さい。ドレン水が内部で凍結して排水を妨げる可能性があります。

4. 電気配線 電気工事の詳細は、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

●漏電しゃ断器の取付を必ず行ってください。漏電しゃ断器が取付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
●室内外配線は同一端子番号を接続してください。
●配線は端子接続部に外力が伝わらないように固定してください。
●制御箱にアース端子があります。
D種接地工事を必ず行ってください。
●力率改善用のコンデンサを使用しない。発熱や火災の原因になります。
●配線は配管に触れないように固定してください。
●配線接続時にコネクタや端子が緩んでいないことを確認してから
カバー、パネルを取付けてください。
カバー、パネルの取付に不備があると
制御箱に水が入り、感電の原因になります。
●内外渡り線は必ず3心ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。

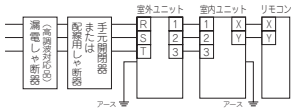




ZP224, ZP280, VP224, VP280

電源・内外接続線

●アース工事を行う際には、電源を切った状態で実施してください。



⚠ 注意

漏電しゃ断器の誤動作を防ぐため必ずインバータ回路用しゃ断器を使用してください。

※FDR/FDU以外の場合

機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線		内外接続線	アース線	
		容量	ヒューズ		太さ	長さ	太さ×本数	太さ	ねじ
ZP224, VP224 ZP280, VP280	50A, 100mA, 0.1sec	60A	50A	50A	8㎟×3	26m	φ1.6×3≦70m, 3.5㎟×3≦120m	3.5㎟	M5

※FDR/FDUの場合

機種	漏電しゃ断器定格電流	手元開閉器		配線用しゃ断器定格電流	電源配線		内外接続線	アース線	
		容量	ヒューズ		太さ	長さ	太さ×本数	太さ	ねじ
ZP224, VP224 ZP280, VP280	60A, 100mA, 0.1sec	60A	60A	60A	14㎟×3	42m	φ1.6×3≦70m, 3.5㎟×3≦120m	3.5㎟	M5

●配線仕様はCV線を金属管または合成樹脂管配線し、管内に3本以下で電圧降下2%とした場合を示します。
これ以外の条件は内線規程により実施してください。

フリーアドレスブルーラル接続非対応

フリーアドレスブルーラル接続は次の場合対応できません。

	接続配線太さ3.5ｍｍ²	接続配線太さφ1.6ｍｍ
内外接続線＋室内ユニット間接続線の総長	80m超過	70m超過
室内ユニット間の接続線長	55m超過	25m超過
接続される室内ユニットタイプ	フリーアドレスブルーラル非対応機(FDFタイプ、5型以前の室内ユニット)を含む場合	

この場合、室内ユニット間の通信には信号配線を使用し、室内ユニットの親機－子機設定スイッチ(SW5-1、SW5-2)を右表のように設定してください。

室内基板スイッチ	親機	子機1	子機2	子機3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスブルーラル設定スイッチ(SW4-1)を電源投入前にONにしてください。
(SW4-1位置は5. 試運転を参照ください。) ONにすることでフリーアドレスブルーラル制御を無効にします。

5. 試運転

⚠ 警告

●試運転の前に操作弁が全開になっていることを必ず確認してください。
●試運転の6時間前に電源を入れ、クランクケースヒータに通電してください。
●停止から運転までは、必ず３分以上待ってください。
●サービスパネルを外すと、高圧充電部・高温部が露出して危険です。感電や火傷に十分注意してください。
また、サービスパネルを開けたまま放置しないでください。

左記の項目に不備がありますと、圧縮機が故障することがあります。

⚠ 注意

●現地設定スイッチ(ＳW3、SW5、SW7)を操作する場合は、充電部に触れぬよう十分注意してください。
●液操作弁のチャージポートから吐出圧力の検圧はできません。
●四方弁(20Ｓ)は暖房運転時に通電されます。
●電源しゃ断によりリセットする場合は、電源しゃ断より３分経過後に電源を再投入してください。3分経過後でなければ「室内外通信異常」が発生する場合があります。

絶縁抵抗について

●据付直後、もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合、圧縮機に冷媒が溜まることにより、絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく、漏電ブレーカーが作動する場合は、以下の事項を確認ください。
①電源を投入し、6時間程度経過後、絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより、圧縮機に通電加熱を行い、圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており、漏電ブレーカの誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。

1）試運転方法

（1）現地設定スイッチSW3-3, 4により室外ユニット側から試運転が可能です。
（2）SW3-3をONすることで圧縮機が運転します。
（3）SW3-4がOFF状態で冷房試運転を行い、ON状態では暖房運転を行います。
（4）**試運転終了後は、必ずＳW3-3をOFFに戻してください。**

SW-3-3	SW-3-4	
ON	OFF	冷房試運転
	ON	暖房試運転
OFF	－	通常、および試運転終了

2）運転状態のチェック

吐出圧力、吸込圧力の検圧は、室外ユニット内部の四方弁前後に取付けられたチェックジョイントおよび、ガス操作弁のチャージポートから行ってください。冷房運転・暖房運転によって右表のように検出圧力は異なります。
電源投入1回目の起動時は、圧縮機保護のため圧縮機回転数をゆるやかに上昇させます。**試運転時は1時間ほど連続運転させてから運転状態をチェックしてください。**

	配管のチェックジョイント	ガス操作弁のチャージポート
冷房運転	吐出圧力（高圧）	吸込圧力（低圧）
暖房運転	吸込圧力（低圧）	吐出圧力（高圧）

3）現地設定スイッチＳW3-1、SW3-2の設定

（1）デフロスト制御切換え（SW3-1）
・ＯＮすることでデフロスト制御に入り易くなります。
・暖房シーズン時、外気温が氷点下以下となる地域は、設定をＯＮにしてください。
（2）防雪ファン制御（SW3-2）
・ＯＮすることで、外気温度が３℃以下で圧縮機停止中、室外ファンが10分毎に30秒間運転します。
・豪雪地帯で使用される場合は、設定をＯＮにしてください。

4）試運転時の故障診断

リモコン表示	室外基板LED表示(周期5秒)		故障内容	対策
	赤LED	緑LED		
E34	1回点滅	連続点滅	欠相	電源線のゆるみ、外れのないことを確認
E40	1回点滅	連続点滅	63H1作動、または操作弁閉運転(主に暖房時に発生)	1. 操作弁が開いているか確認 2. 圧縮機停止から3分経過後、異常が解消されていればリモコンからの点検リセットにより再起動可能
E49	1回点滅	連続点滅	低圧異常、または操作弁閉運転(主に冷房時に発生)	

●上記以外の異常が表示される場合は、室外ユニットと室内ユニットの配線銘板をご覧ください。

5）停止時の電子膨張弁の状態

電源投入時の通常停止時、および異常停止時の電子膨張弁の状態は右表の通りです。

	電源投入時	通常停止時		異常停止時	
		冷房時	暖房時	冷房時	暖房時
冷房用	全閉	全閉	全開	全開	全開
暖房用	全閉	全閉	全閉	全開	全閉

6）電源ブレーカ投入後1回目の運転について

電源ブレーカ投入後1回目の起動において、圧縮機の油上がりを防止するため、リモコンに「運転準備中」が最大で30分間表示される場合があります。故障ではありませんので、「運転準備中」の表示が消えるまでお待ちください。

試運転前の確認事項

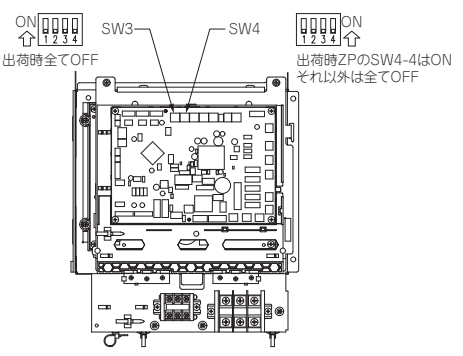
●電源を入れた状態で室外ユニットから離れる場合は、パネルを必ず閉めてください。

据説の項目No.	項目	確認項目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付しましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付けられていますか。	
		操作弁は液管側・ガス管側の両方とも確実に開いていますか。	
		冷媒追加充てん量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
		「R32冷媒施工時チェックシート」(別紙)に必要事項を記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		しゃ断器、配線など電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線が入れ替わっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		室内外配線は同一端子番号間で接続していますか。	
		室内外配線はVCTキャブタイヤケーブルまたはVVF平形ケーブルですか。	
		アース工事はD種接地(第3種接地)工事が行われていますか。	
		他の機器のアース線と接続せず、単独でアースを取っていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が伝わらないようになっていますか。	
－	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合は、化粧パネルの取付が完了していますか。	

試運転手順

●必ず試運転を行い、下記の順に従ってチェックを行ってください。

順番	操作内容	チェック
①	ガス側操作弁を全開にしてください。	
②	液側操作弁を全開にしてください。	
③	パネルを閉めてください。	
④	リモコンによる現地設定を行う場合は、リモコンによる現地設定の説明に従って行ってください。	
⑤	SW3-3 ON ／ SW3-4 OFF:冷房試運転を開始します。	
	SW3-3 ON ／ SW3-4 ON:暖房試運転を開始します。	
⑥	運転が開始したら、リモコンの風向き調節ボタンを押して作動を確認してください。	
⑦	室内ユニットの吹出口に手を当て、冷房は冷風、暖房は暖風が出ていることを確認してください。	
⑧	赤LEDが点滅していないことを確認してください。	
⑨	試運転終了後、必ずSW3-3をOFFにしてください。	
⑩	オプション品を使用している場合は、各々の取扱説明書に従って機能の確認をしてください。	



ZP224, ZP280, VP224, VP280

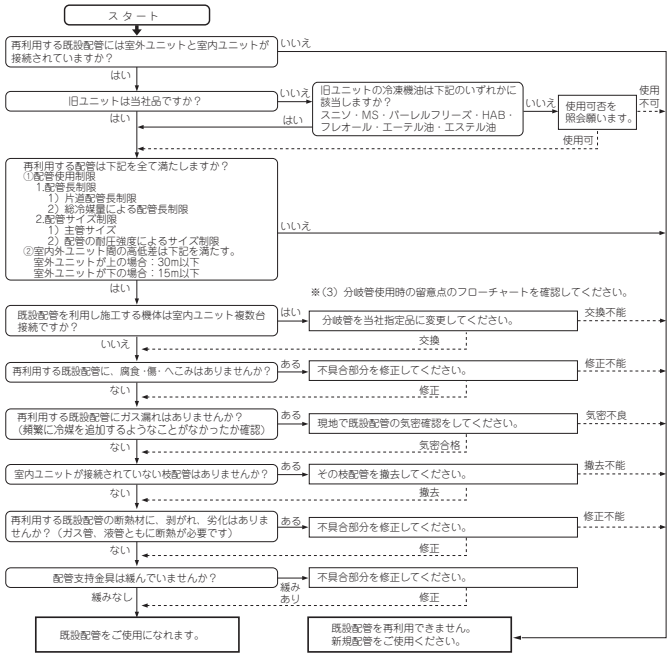
6. 既設配管対応

1．ご使用の前に確認いただきたい事項

(1) 既設配管流用時の条件

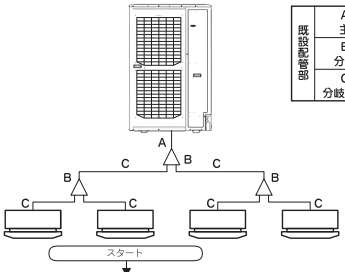
注意　ポイント	配管	この手順書での記載項
クリーン（CLEAN） ・配管内にゴミがないこと	(a) 既設配管は既設機ユニットに接続された状態であること。 外れた状態では、既設配管内に雨水、空気が浸入し配管内が錆びている可能性があります。） (b) フロン排出抑制法に従い。確実に冷媒回収を行うこと 冷媒をみだりに大気中に放出すると、罰則が適用される場合があります。 (c) 既設配管内の劣化油・異物を除去すること。 内蔵の洗浄回路により、指定の時間洗浄運転ください。 変色した冷凍機油(*)や油以外の残留物が排出された場合は 『配管洗浄』または『新規配管』をお願いします。 *冷凍機油の色評はカタログの末頁を参考ください。	⇒1．(2)既設配管流用可否判断フローチャート ⇒2．既設配管流用時の現地施工手順 ⇒3．洗浄運転
ドライ（DRY） ・配管内に水分がないこと	(d) 確実な真空引きの実施 -101kPa(-755mmHg) 以下になってから 1 時間以上真空ポンプの運転を実施。	⇒2．既設配管流用時の現地施工手順
タイト（TIGHT） ・冷媒もれがないこと	(e) 既設配管に腐食・傷・へこみがないこと。更に断熱材の剥れ・劣化がないこと。 (f) R32または、R410A用のフレアナットの使用かつフレア加工の実施。 (g) 設計圧力を確認し、気密試験を確実に行うこと。 〈設計圧力4.15MPa以上（SW5-1 "OFF"）の場合〉 規定圧力4.15MPaにて気密試験を行ってください。 〈設計圧力3.6MPa以上（SW5-1 "ON"）の場合〉 規定圧力3.6MPaにて気密試験を行ってください。	⇒「冷媒配管工事説明書」(別紙)をご確認ください。 ⇒2．既設配管流用時の現地施工手順

(2) 既設配管流用可否判断フローチャート



(3) 分岐管流用可否判断フローチャート

ツイン・トリプル・ダブルツイン機にて既設配管を使用する場合は、下記の該当項目を確認してください。



既設配管部	A部 主管	(配管使用制限)による。
	B部 分岐管	当社製ユニット分岐管の場合,一部使用可。
	C部 分岐後配管	配管サイズにより,一部使用可。

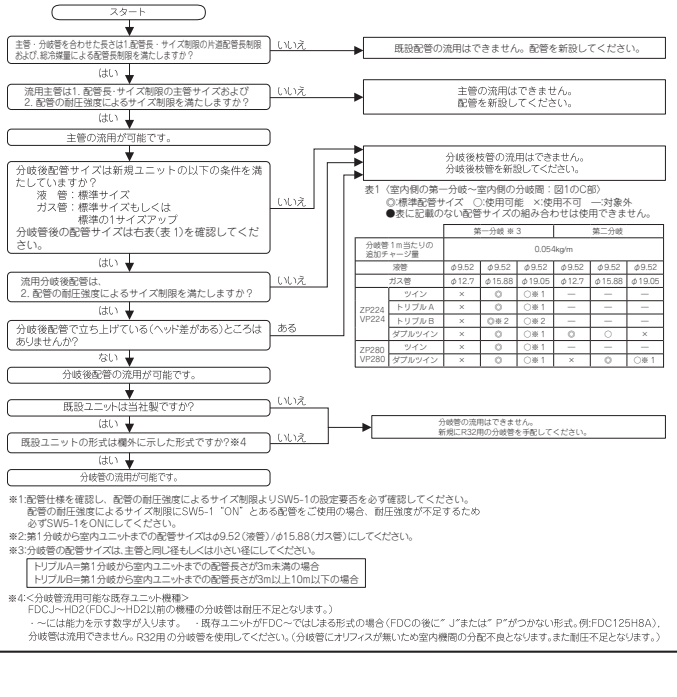


表1（室内側の第一分岐～室内側の分岐間：図1のC部）
◎:標準配管サイズ　○:使用可能　×:使用不可　—:対象外
●表に記載のない配管サイズの組み合わせは使用できません。

分岐管1m当たりの追加チャージ量		第一分岐 ※3			第二分岐		
		0.054kg/m					
液管		φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ9.52
ガス管		φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ12.7	φ15.88	φ19.05
ZP224 VP224	ツイン	×	◎	○※1	—	—	—
	トリプルA	×	◎	○※1	—	—	—
	トリプルB	×	◎※2	○※2	—	—	—
	ダブルツイン	×	◎	○※1	◎	○	×
ZP280 VP280	ツイン	×	◎	○※1	—	—	—
	ダブルツイン	×	◎	○※1	×	◎	○※1

※1:配管仕様を確認し、配管の耐圧強度によるサイズ制限よりSW5-1の設定要否を必ず確認してください。
配管の耐圧強度によるサイズ制限にSW5-1 "ON" とある配管をご使用の場合、耐圧強度が不足するため必ずSW5-1をONにしてください。
※2:第1分岐から室内ユニットまでの配管サイズはφ9.52（液管）/φ15.88（ガス管）にしてください。
※3:分岐管の配管サイズは、主管と同じ径もしくは小さい径にしてください。

トリプルA=第1分岐から室内ユニットまでの配管長さが3m未満の場合
トリプルB=第1分岐から室内ユニットまでの配管長さが3m以上10m以下の場合

※4:<分岐管流用可能な既存ユニット機種>
FDCJ～HD2(FDCJ～HD2)以前の機種の分岐管は耐圧不足となります。)
・～には能力を示す数字が入ります。　・既存ユニットがFDC～ではじまる形式の場合（FDCの後に" J"または" P"がつかない形式。例:FDC125H8A)、分岐管は流用できません。R32用の分岐管を使用してください。(分岐管にオリフィスが無いため室内機間の分配不良となります。また耐圧不足となります。)

<配管使用制限>

1．配管長・サイズ制限　◎：標準配管サイズ　○使用可能　△：配管長制限短縮　冷↓: 冷房能力低下
・既設配管流用には片道最大配管長と総冷媒量による配管長制限があります。
下記の制限を満たすことを確認してください。

ZP224,VP224 主管1mあたりの追加チャージ量		0.054kg/m			0.07kg/m				0.12kg/m			
主管	液管	φ9.52			φ12.7				φ15.8			
サイズ	ガス管	φ19.05	φ22.22	φ25.4	φ19.05	φ22.22	φ25.4	φ28.6	φ22.22	φ25.4	φ28.6	
可否		冷↓※1※2	冷↓※1※2	◎(冷↓※1※2)	冷↓※1	冷↓※1	○※1	○※1	冷↓※1	△※1	△※1	
最大片道配管長		40m※4			60m※4		100m※4		50m※4※5			
チャージレス配管長		30m			23m				13m			

ZP280,VP280 主管1mあたりの追加チャージ量		0.07kg/m			0.12kg/m		
主管	液管	φ12.7			φ15.8		
サイズ	ガス管	φ22.22	φ25.4	φ28.6	φ22.22	φ25.4	φ28.6
可否		冷↓※1※2	◎※1	○※1	冷↓※1	△※1	△※1
最大片道配管長		60m※4	100m※4		55m※4※5		
チャージレス配管長		30m			17m		

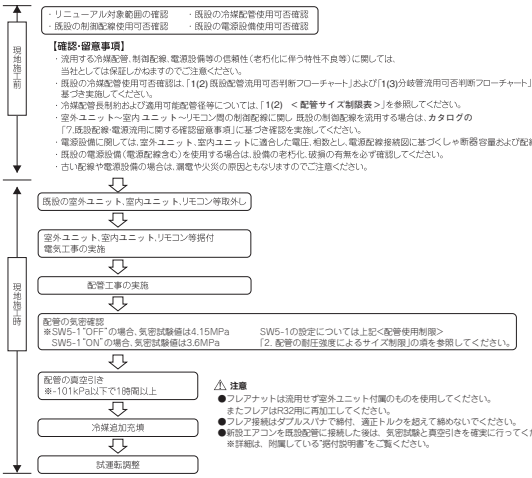
※1　配管使用制限を満たさない場合は、既設配管をご使用になれません。
※2　主配管長が40mを超える場合、既設配管をご使用になれません。
※3　既設配管の曲げRが70mm未満の場合は、既設配管をご使用になれません。
（最寄の代理店にお問い合わせください）
※4　ユニット内蔵リニューアルキットを使用した場合、最大片道配管長は下表の通りとなります。
配管長制限を超える場合は、内蔵リニューアルキット以外での配管洗浄が必要です。
（最寄の代理店にお問い合わせください）

主管ガス管径	φ19.05	φ22.22	φ25.4	φ28.58
最大片道配管長	50m			30m

※5　追加できる最大冷媒量は4.9kgまでです。追加冷媒量が4.9kgを超える場合は液管サイズを下げて新設してください。
※6　分岐管サイズおよび1mあたりの追加チャージ量はフローチャート内の表1を参照してください。

2．配管の耐圧強度によるサイズ制限
・一部の配管仕様ではSW5-1を"ON"（既設配管に応じた圧力制御）とすることでご使用になれます。
・配管使用制限を満たさない場合は、既設配管をご使用になれません。
・φ22.22以上のO材・OL材の場合、SW5-1をONにしてもご使用になれません。
・φ19.05×1.0の場合：O材・OL材の場合、SW5-1を"ON"にした場合にのみご使用になれます。

2．既設配管流用時の現地施工手順



3．洗浄運転

①洗浄運転前の確認事項

○同封の据付説明書を参考に、以下の内容を確認ください。

据付の項目	項目	確　認　項　目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付しましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付されていますか。	
		冷媒追加充てん量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
		「R32 冷媒施工時チェックシート」(別紙) に必要事項を記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		冷媒追加充てん量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
		しゃ断器、配線などの電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線がいれかわっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		室内外配線は同一端子番号で接続していますか。	
		室内外配線はVCT キャブタイヤケーブルまたはVVF 平形ケーブルですか。	
		アース工事は D 種接地（第 3 種接地）工事が行われていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が加わらないようになっていますか。	
–	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合には、化粧パネルの取付が完了していますか。	

②洗浄運転手順

○下記の順番に従ってチェックしながら行ってください。

順番	操　作　内　容	チェック
①	冷媒配管工事、電気配線、室内工事が正しく完了しているか　①の表にそって確認してください。	
②	ガス側操作弁を全開にしてください。	
③	液側操作弁を全開にしてください。	
④	既設配管にφ19.05×t1.0　をご使用の場合、SW5-1 を ON してください。	
⑤	SW5-2　を OFF⇒ON で既設配管洗浄を開始します。	
⑥	⑤のディップスイッチ　ON で　緑 LED が高速点滅します。(0.5 秒 ON/0.5 秒 OFF) リモコン (RC-E4 等) のディスプレイ上には「冷房試運転」が表示されます。 （洗浄運転は冷房運転で行います。リモコンディスプレイ上は「冷房試運転」と表示します。）	
⑦	赤 LED が点滅していないことを確認してください。	
⑧	室内ユニットから冷風が吹いていることを確認ください。(洗浄運転は冷房運転で行います。)	
⑨	洗浄運転は2時間必要です。⑤ディップスイッチ　ON後、圧縮機の積算運転時間2時間で自動終了(緑 LED が通常点滅（1 秒 ON/1 秒 OFF）になります。手動にて終了する場合、ディップスイッチを ON⇒OFF にしてください。再始動は OFF⇒ON で可能です。)	

○洗浄運転自動終了後、ディップ スイッチ SW5-2 は ON 位置のままでも通常のエアコン制御になります。
停電後の復電時、ON 位置のままでも、エアコン制御を行います。
（洗浄運転開始は スイッチ 位置の OFF　⇒　ON 一連の動作から開始します。）
○複数台数の室外ユニットを同一リモコンに接続する場合については、洗浄運転の実施後に、各室外ユニット毎のリモコン配線を接続してください。
○室内吸込温度が 15℃以下の場合、洗浄運転が断続運転になる場合がありますが、故障ではありません。
この圧縮機が停止している時間は洗浄運転の累積時間に含まれません。

● 付属配管の接続

PSC012D028B

付属配管の接続方法

●ガス側操作弁と冷媒配管の接続には必ず付属配管を使用してください。
●直管(現地手配)は室外ユニット能力に応じて、表1に示す配管仕様のものを必ず使用してください。
●フレア締付に際しては、配管のフレア面を操作弁に密着させ確実に接続してください。
●現地配管と付属配管をろう付する時、フレア接続部に無理な力が掛からないことを確認してください。
無理な力が掛かっていると、フレア接続部からガス漏れすることがあります。
●付属配管の接続は、以下の①～⑤の手順に従い施工してください。
①表2、表3を参考にして、接続方向に応じた施工例Ⓐ～Ⓓに使用する直管およびエルボを現地にて準備してください。
②まず、室外ユニットの外で、付属配管を用いて組立し、ろう付します。
（冷媒配管施工例Ⓐ～Ⓓ（二点鎖線）に組立例を示します。）
③ろう付した接続用配管を室外ユニット内のガス側操作弁と接続します。
フレアナットは適正トルクにて締付けてください。

適正トルク	
φ19.05	100～120N·m

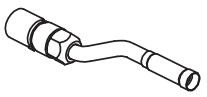
④室外ユニット内のガス側操作弁へ接続後、ろう付した接続用配管と渡り配管をろう付してください。
⑤接続用配管が配線に接続する恐れのある場合は、断熱材等で保護してください。
（配線が配管に擦れ被膜が剥がれると、短絡、漏電の恐れがあります。）

【接続方向に応じた施行例Ⓐ～Ⓓ】

●付属配管取付角度（図中□部）は、断熱材厚15mmの場合の例です。
現地で使用する断熱仕様に応じて、取付角度を調整し、渡り配管を抜き穴に通してください。
その際に配管に無理な力が掛からないよう、ご注意ください。

ろう付について

●ろう付は必ず窒素ガスを流しながら行ってください。
窒素ガスを流さないと多量の異物(酸化皮膜)が生成され、キャピラリチューブや膨張弁詰まりによる致命的故障の原因となります。



付属配管×1個

付属配管に断熱材をバンド止めしてありますので施工の際はバンドを切り、インシュレーションを取外してから、ご使用ください。

表1　室外能力別配管仕様

配管仕様
φ25.4×t1.0

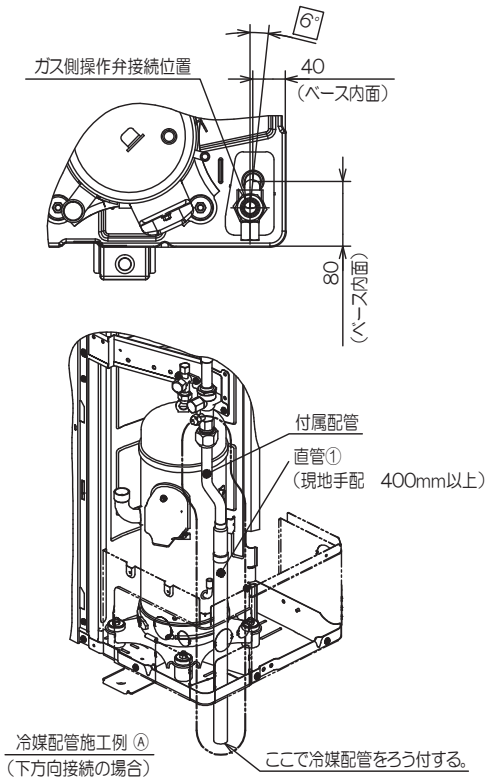
●必ず1/2H材、肉厚1mm以上の配管をご使用ください。
（O材では耐圧が不足します。）

表2　接続用配管使用部品

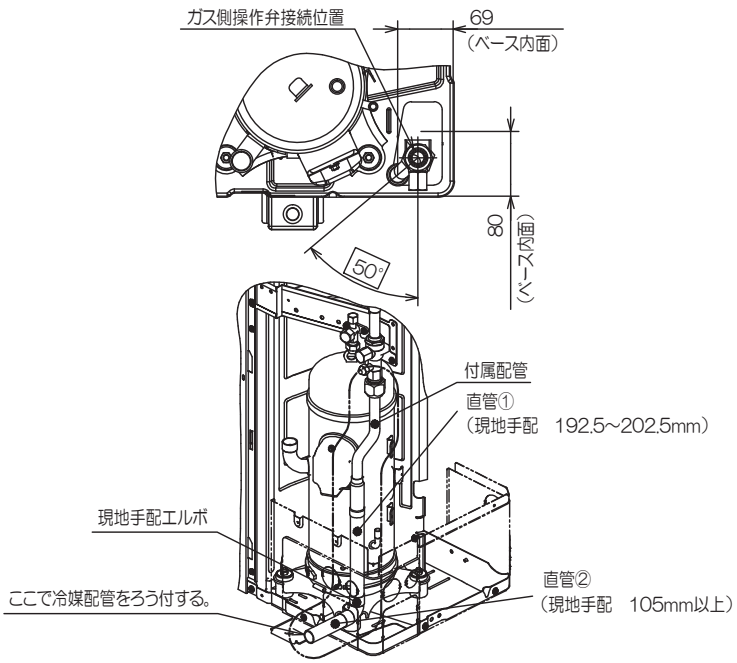
No.	名称	個数	備考
1	付属配管	1	付属品
2	直管①	1	現地手配
3	直管②	1または0	現地手配(下方向時不要)
4	エルボ	1または0	現地手配(下方向時不要)

表3　直管（現地手配）の長さおよび仕様

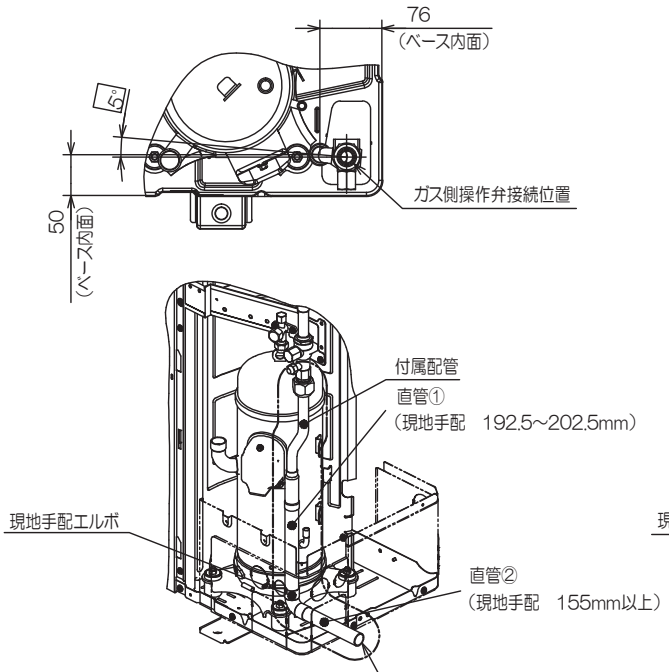
	Ⓐ下方向	Ⓑ前方向	Ⓒ右横方向	Ⓓ後方向
直管①	400mm以上	192.5～202.5mm	192.5～202.5mm	210mm
直管②	－	105mm以上	155mm以上	370mm以上



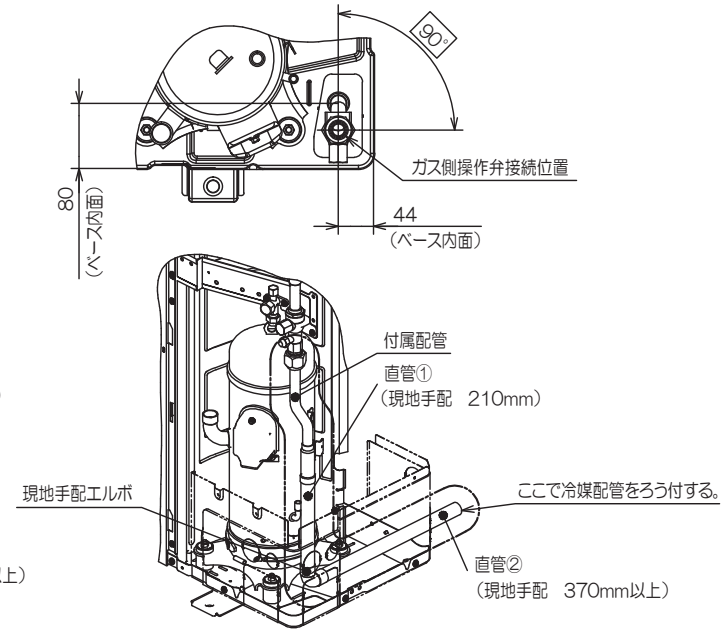
冷媒配管施工例 Ⓐ
（下方向接続の場合）



冷媒配管施工例 Ⓑ
（前方向接続の場合）



冷媒配管施工例 Ⓒ
（右横方向接続の場合）



冷媒配管施工例 Ⓓ
（後方向接続の場合）

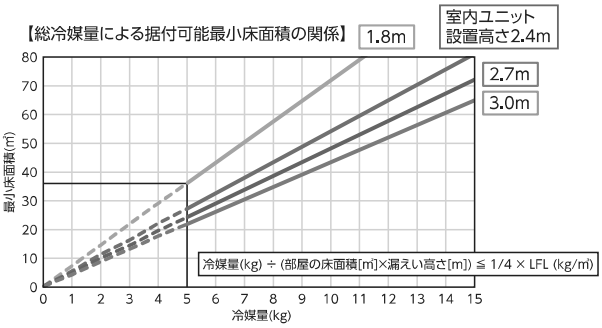
● FDCZP2246H, FDCZP2806H
FDCVP2246H, FDCVP2806H

R32 冷媒の P224・P280 形の据付

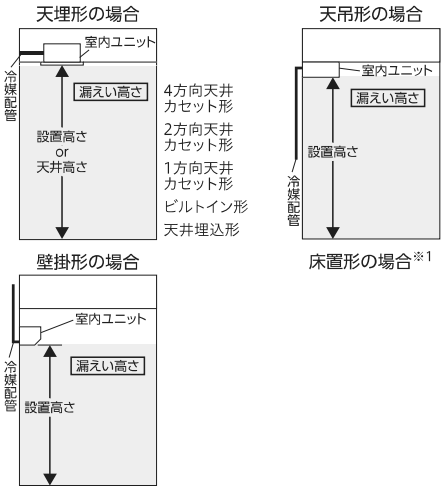
■ R32 冷媒を使用した P224・P280 形の場合、冷媒漏えい最大濃度がある一定の値を超えるような空間には室内・室外ユニットを設置できません。
日本冷凍空調工業会が発行する JRAGL-16※に基づいて、冷媒漏えい時最大濃度と据付可能最小床面積を算出してご使用ください。
※ JRAGL-16：微燃性（A2L）冷媒を使用した業務用エアコンの冷媒漏えい時の安全確保のための施設ガイドライン

■ 総冷媒量は冷媒漏えい時最大濃度が LFL※の 1/4 の値となる冷媒量を超えないようにしてください。
※ LFL：燃焼下限界を示します。R32 冷媒の LFL は 0.307kg/m³ です。

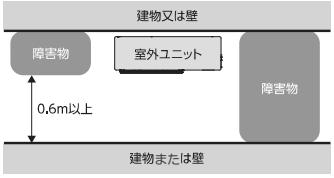
冷媒漏えい時最大濃度[kg/m³]
＝総冷媒量[kg]÷（部屋の床面積[m²]×漏えい高さ[m]）



■ 漏えい高さは、床面から冷媒漏えいが想定箇所までの高さで、室内ユニットの設置高さと室内の配管の接合部（うろ付部を除く）のうち最も低い高さです。詳細は下図にてご確認ください。室内ユニットの設置高さは、床面から室内ユニットの吹出口の下端までの高さです。
＊室内ユニットの据付高さが、床面から 1.8m 以上であることを確認の上、据付作業を実施してください（据付高さの制約は、機種により異なります。詳細は据付工事説明書をご覧ください）。



■ 右図のような狭小地に設置する場合、漏えいした冷媒が滞留しないように、開放空間までの通路の幅を 0.6 m 以上確保してください。



■ 屋外において、ドライエリアのような周囲の地面より 1.2 m 以上くぼんだ半地下空間（地上であっても、1.2 m 以上の高さの壁で囲まれた空間を含む）の場合、漏えいした冷媒が滞留するおそれがあるため、以下の式に当てはまる場所へ室外ユニットを設置しないでください。

総冷媒量[kg] > 0.5 × LFL[kg/m³] ×
窪地の面積（建物の面積は除く）[m²] × 室外ユニット高さ[m]

■ 配管工事作業場の注意事項
冷媒を漏えいさせた場合の冷媒への着火を防止するため、配管工事作業時には室外ユニット据付工事説明書および下記の注意事項に従って作業してください。
a）配管工事完了後には、据付工事説明書の要領によって、気密試験を実施し冷媒漏えい無き事を確認してください。気密試験は窒素ガスをご使用ください。
b）作業中に冷媒が漏れた際には、速やかに換気してください。地下室、機械室、狭い居室など、冷媒が滞留し易い場所で作業する場合には、携帯式漏えい検知器を携行し作動させ、ドアおよび窓を開ける、または、ドアおよび窓が無い場合には機械換気装置を運転するなど、冷媒の滞留が起きないようにしてください。
c）ろう付作業時に冷媒漏えいした場合には、直ちにバーナー等火気を消してください。
d）ろう付作業のための配管内ガス置換には、冷媒ガスを用いないでください。
e）冷媒回収する際には、冷媒ホースの接続を確実にし、継手からの冷媒漏えいを防止してください。
f）作業は、施工技術、施工品質、保安の確保に習熟した技量のある作業者が行い、機器設置場所ごとに次の 1）～2）の項目が必要となる旨を教育してください。
1）裸火、燃焼機器に関する教育
1.1）喫煙時のリスク教育および注意喚起
1.2）ボイラー等の燃焼機器使用時のリスク教育および注意喚起。狭小空間（半地下および機械室）への設置に関するリスク教育
1.3）バーナー使用時に冷媒が噴出した場合、即座にバーナーを消すように教育する
2）消火剤の携行
狭小空間（半地下および機械室）で作業する場合は、作業場所に冷媒漏えい検知器を携行することを義務付け、冷媒濃度が高い場合は、冷媒濃度が低くなるまで作業しないように教育する。また、即座に消火をするため水の入ったバケツおよび水に浸したウエスなどを携行する。

■ 維持メンテナンスの遵守事項
機器の管理者は、設置した安全対策などの設置環境の状態を維持されていることを確認してください。
維持メンテナンスの作業時は上述【配管工事作業上の注意事項】を遵守してください。

■ 撤去時および廃棄時の遵守事項
設置状況によって、通常の屋外設置時以外の狭小地設置時および半地下設置時および機械室設置時で漏えい冷媒の滞留を考慮する必要があるため、次の a）～ d）を遵守してください。
a）エアコンの撤去時には配管の取外し前に冷媒回収またはポンプダウンを確実に実施し、室内ユニットおよび連絡配管の冷媒回路内に冷媒残存なきことを確認してください。
エアコンの撤去時には火気厳禁を原則とし、火気使用の際には冷媒回路内に冷媒残存なきことを確認してください。
b）室外ユニットの撤去時には、冷媒配管の取外し前に冷媒回収を確実に実施し、冷媒回路内に冷媒残存なきようにしてください。
c）室外ユニットの廃棄時には火気厳禁を原則とし、火気使用の際には、冷媒回路内に冷媒残存無きことを確認してください。
d）作業時には上述【配管工事作業上の注意事項】を遵守してください。

■ 施工の際は、「R32 冷媒　施工時チェックシート」（室外ユニットに付属）に必要事項を記入の上、据付可能な空間であることをお確かめください。

(h) フロン排出抑制法に基づく管理のお願い

PSA012B794 Ⓓ

（圧縮機の電動機定格出力が 7.5kW 未満のユニットの場合）

●本製品を管理（所有）されているお客様へ

本製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。
本製品を使用するにあたり、フロン類の漏えいを防止するため、フロン排出抑制法に基づき本製品の管理者（所有者、または使用等を管理する者）は、次のことを守る必要があります。

①機器を設置する時
適切な設置、適正な使用環境を確保すること。

②機器を使用している時
適切な設置、適正な使用環境を維持し、確保すること。
機器の簡易（日常）点検を実施すること。
◇簡易点検：定期的な温度および目視による外観の点検です。（3か月に1回以上）
異音・異常振動、外観の損傷、腐食、錆び、油のにじみ、霜つき等の漏えいの徴候を確認します。
◇定期点検：機器の専門点検の方法について十分な知見を有する有資格者が行う点検です。（3年に1回以上）
定期点検の委託先および圧縮機の電動機出力については、お買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せください。

③フロンの漏えいを発見した時
速やかに漏えい箇所を特定し、修理すること。
機器の修理をせずに充填することは原則禁止。

④点検や修理をした後
点検・整備記録簿に点検・修理・充填・回収に関する履歴を記録し、その記録簿を保存すること。

もし、機器の異常を発見した場合、専門的な点検・整備が必要なため、お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
点検・整備記録簿（様式例を裏面に添付）には、機器を設置したときから廃棄するまでの機器の点検や修理、冷媒の充填・回収等のすべての履歴を記録・保存する必要があります。
冷媒の充填・回収には都道府県に登録された「第一種フロン類充填回収業者」への依頼が必要なため、お買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せください。

●本製品を設置する工事業者様へ

本製品の据付後、「（冷媒漏えい）点検・整備記録簿：裏面に添付」を作成していただき、フロン排出抑制法に基づいて「（冷媒漏えい）点検・整備記録簿」を保管いただくようお客様にご説明ください。

詳細はお買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せ、または下記サイトをご覧ください。
フロン排出抑制法の手引き： http://www.jraia.or.jp/index.html
冷媒漏えい 点検・整備記録簿（含む 簡易点検チェックシート）のエクセルシート： http://www.jarac.or.jp/

冷媒漏えい点検・整備記録簿	年　月　日 ～　年　月　日	管理番号		補足事項

機器の管理者	氏名・名称					TEL		設備製造者									
	住　所					TEL		設置年月日	西暦　年　月　日								
機器の所在	施設名称					系統名		使用機器	分類				型式				
	住　所					TEL			製番				用途				
運転管理責任者						TEL			圧縮機の電動機定格出力（kW）								
点検者名等						TEL		冷媒量(kg)	合計充填量		合計回収量		合計排出量		CO_2 トン		
						TEL											
所業						TEL		使用冷媒			初期総充填量（kg）						

主要冷媒のGWP値	R11	R12	R32	R134a	R22	R123	R245fa	R502	R404A	R407A	R407C	R410A	R410B	R152a	R142b	R507A	
	4660	10200	677	1300	1760	79	858	4790	3940	1920	1620	1920	2050	138	1980	3990	

作業年月日	点検・整備区分	充填量(kg)	回収戻し充填量(kg)	回収量（kg）	点検内容	点検結果	漏えい・故障の原因	漏えい・故障箇所	修理の内容	点検・修理・回収・充填業者名	技術者氏名	技術者No.	修理困難理由	修理予定日
	出荷時初期充填量													
	設置時追加充填量													
計														

(4) 冷媒配管工事

PSC012D007A G

本説明書は冷媒配管工事に関する一般事項について示したものです。
室外ユニット据付説明書・室内ユニット据付説明書・他の説明書を合わせてご覧ください。

安全上のご注意

●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、⚠警告、⚠注意、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に⚠警告の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない | 必ず指示に従い行う
●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。
この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

●小部屋に据付る場合は日本冷凍工業会のガイドライン JRA GL-13 に従い、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付てください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度超えると酸欠事故の原因になります。

●作業中に冷媒が漏れた場合は換気する。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●据付工事完了後冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

●配管、フレアナット、工具は R32 または R410A 専用のものを使用する。
既存（R22）部材を使用すると、機器の故障と同時に冷媒サイクルの破損などの重大な事故の原因になります。

●フレアナットの締付はダブルスパナで行い、トルクレンチで指定の方法で締付る。締付過ぎによるフレア部の破損に注意してください。
フレア部のゆるみ、締付過ぎによる破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏洩して酸欠事故の原因になることがあります。

●冷媒配管工事、機密試験および真空引きが完了するまでは、サービスバルブ（液、ガス共）を開けないでください。
冷媒配管が確実に取付ておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、急激な冷媒漏れによる凍傷、ケガの原因になります。また空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧となり、破損、ケガ等の原因になります。

●エアコンの設置や移設の場合、冷媒サイクル内に指定冷媒（R32 または R410A）以外の空気等を入れない。
空気が混入すると冷媒サイクル内が異常高圧になり、破損、ケガ等の原因になります。

●室内ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニット内に侵入した場合、ドレンパン等に損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。
ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態にしておくとか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
不完全な断熱施工を行うと配管等の表面が結露して、露たれ等を発生し、天井、床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる機密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になることがあります。

冷媒R32またはR410A対応機としての注意点

●R32またはR410A以外の冷媒は使用しないでください。R32およびR410Aは従来の冷媒（R22など）に比べ圧力が1.6倍高くなります。
●R32またはR410A機は、他冷媒誤封入防止のため室外ユニット操作弁のチャージポート径とユニット内のチェックジョイント径を変更しています。また、耐圧強度を上げるため冷媒配管のフレア加工寸法およびフレアナットの対辺寸法を変更しています。従って、施工、サービス時には、右表に示すR32またはR410A専用ツールを準備してください。
●異種油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具を使い分けてください。特にゲージマニホールド、チャージホースは絶対に他冷媒（R22、R407C等）と共用しないでください。
●チャージシリンダは使用しないでください。チャージシリンダを使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。
●冷媒封入は必ずボンベから液相で取出して行ってください。
●室内ユニットはR32またはR410A専用機となります。接続可能な室外ユニットはカタログ等で確認してください。（他の室内ユニットを接続すると正常に運転できません。）

	R32またはR410A専用ツール
a）	ゲージマニホールド
b）	チャージホース
c）	冷媒充填用電子はかり
d）	トルクレンチ
e）	フレアツール
f）	出し代調整用配管ゲージ
g）	真空ポンプアダプタ
h）	ガス漏れ検知器

表1

①現地配管と配管継ぎ手の準備

配管径　mm	最小肉厚　mm	質　　別	フレアナット 締付トルク　N·m
φ6.35	0.8	O材　OL材	14 ～ 18
φ9.52	0.8		34 ～ 42
φ12.7	0.8		49 ～ 61
φ15.88	1.0		68 ～ 82
φ19.05	1.2		100 ～ 120
	1.0	1/2H材 H材	
φ22.22	1.0		
φ25.4	1.0		
φ28.58	1.0		
φ31.75	1.1		
φ38.1	1.35		

表2　JIS H 3300 C1220T　リン脱酸銅継目無管

⑴配管および配管継手は、その配管に傷がないこと、および経時硬化していないものを用い、フレアおよびろう付管継手にあっては、JIS B 8607に規定したものを使用すること。

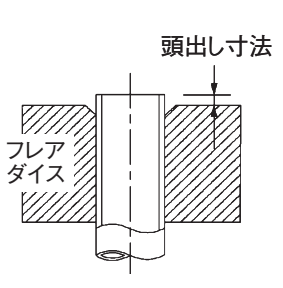
⑵フレア加工する銅管はO材、OL材を使用する。また、R32またはR410A冷媒で外径19.05mmはO材では肉厚1.2mmを使用しなければならない。

⑶ろう付接続する銅管は、外径19.05 mm 以上は1/2H、またはH 材の使用を推奨する。

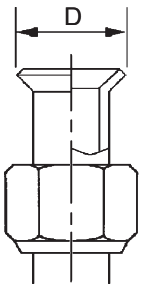
⑷フレアナットは製品付属のもの、またはJIS B 8607適合品を使用すること。

②既設配管再利用時の確認・点検事項

既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの説明書またはカタログ・技術資料で確認すること。



図A



図B

配管径 d mm	フレア加工 頭出し寸法　mm		フレア外径 D mm
	リジッド（クラッチ式）		
	R32	従来ツール	
6.35	0～0.5	0.7～1.3	8.9～9.1
9.52			12.8～13.2
12.7			16.2～16.6
15.88			19.3～19.7

表3

⑴フレアナットは流用せずユニットに付属のものを使用し、部分的に交換した新しい配管に、R32またはR410A用のフレア加工（図A、図B、表3）をしてください。

⑵配管肉厚、設置年数、過去に配管腐食による漏えいの有無確認を行ってください。
⇒再利用する既設配管に、ガス漏れはありませんか？

⑶既設配管の気密確認をしてください。
気密不良の場合。既設配管を再利用できません。新規配管をご使用ください。

⑷配管に腐食、亀裂、傷、変形、劣化などが無いかを可能な限り点検してください。
⇒再利用する既設配管に、腐食・傷・へこみはありませんか？

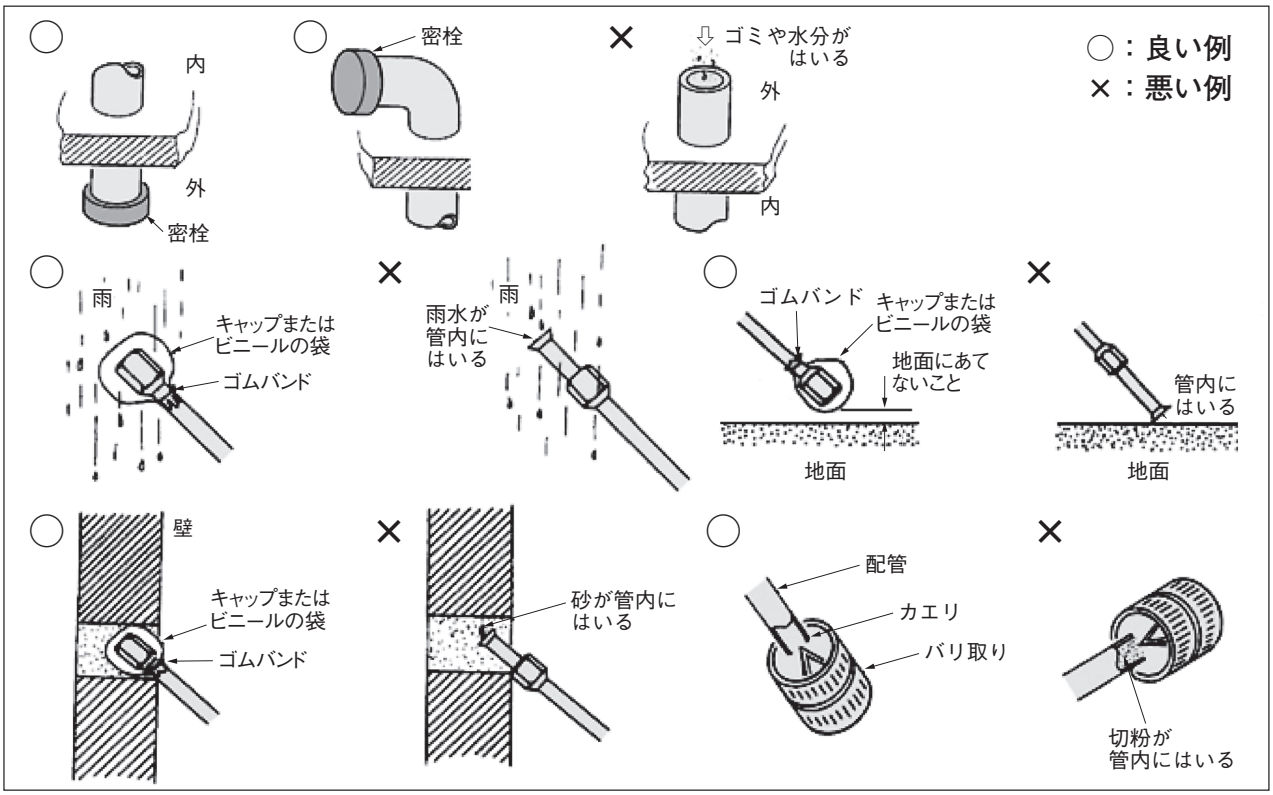
⑸不具合部分を修正してください。
⇒修正不能の場合。既設配管を再利用できません。新規配管をご使用ください。

⑹再利用する既設配管の断熱材に、剥がれ、劣化はありませんか？
配管支持金具は緩んでいませんか？

⑺不具合部分を修正してください。
修正不能の場合。既設配管を再利用できません。新規配管をご使用ください。

③冷媒配管施工上の注意点

⑴配管は、接続の直前まで密栓・キャップ等でカバーして水分、ゴミ、ほこり、切粉、壁材などが入らないようにすること。



図C

⑵冷媒配管はできるだけ短く、直線になるように配管する。やむを得ず曲がりを取る場合は、曲げ半径を配管外径の4倍以上にすること。

⑶冷媒配管を曲げる場合はベンダを使用し、パイプが2/3D以下につぶれないようにすること。

⑷作業手順

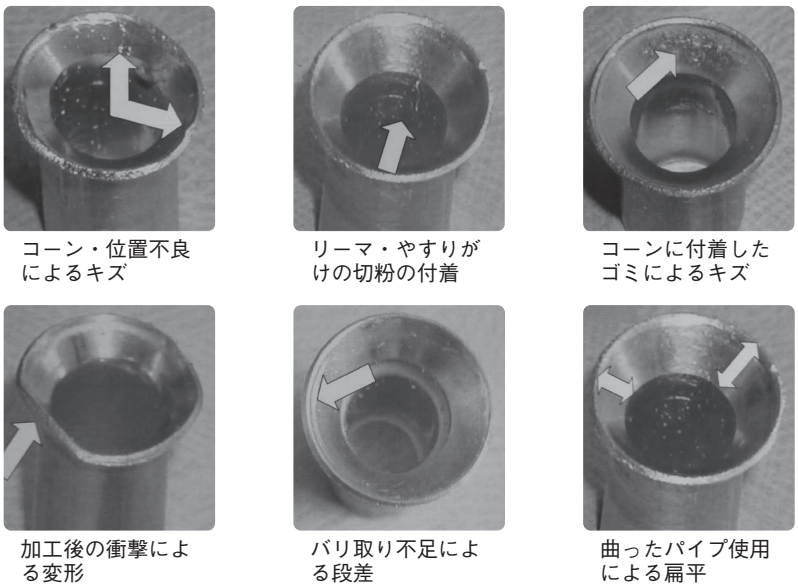
①パ イ プ 切 断：パイプの長さに余裕（30～50mm）をもって、パイプカッタを使用し、切断面を直角にする。

②バ リ 取 り：切り粉が配管内に入らないように、配管を下向きにして、リーマを使用する。

③バリの銅くず除去：配管内部の銅くずを、ドライバーの柄などで軽くたたくか、ガーゼ棒を使用して除去する。

④フ レ ア 加 工：フレアナットを挿入し、フレアダイス面から配管先端までは適正な寸法でセットし（図A,表3）、フレア内面はキズがないように真円で均一に加工する。

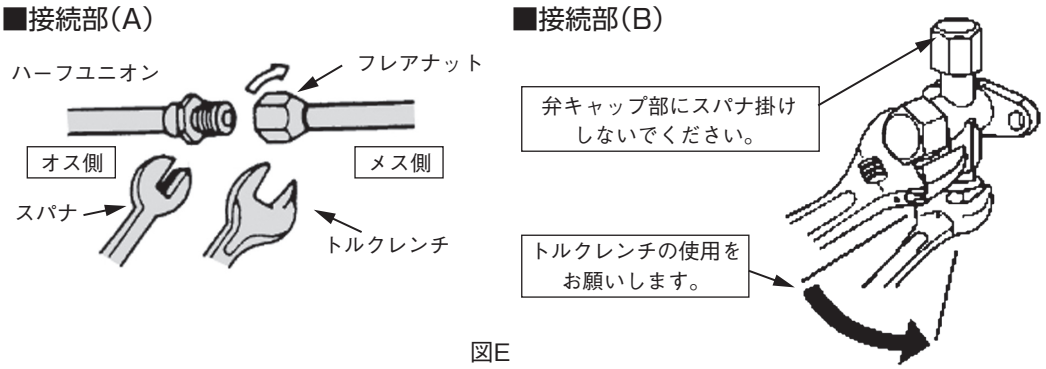
⑤フレア部の確認：（図B、表3）にて寸法を確認し、図Dのような形状となっていないか確認する



図D　フレア加工の不具合例

③冷媒配管施工上の注意点のつづき

⑸フレアーナットは、トルクレンチを使用して、表２のトルクで締付けること。
図の様にユニオン側又は操作弁側を固定して適性なトルクで締付ける。

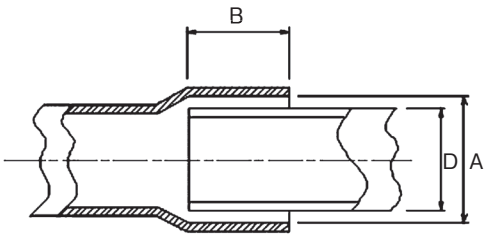


図E

注記	同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。 冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

④ろう付接続に関する注意点

⑴ろう付作業は高度な技術と経験を要するため、労働安全衛生法で定めた溶接技能士または、ガス溶接技術講習を終了した者が作業すること
⑵ろう付接合面を重ね、そのすき間にろう材を溶着させるため、接合面積を十分に取り、適切なすき間を取る。
⑶銅管継手の最少はまり込み深さと、管外径と継手内径のすき間は、表４のとおり。
⑷銀ろうの場合のすき間は0.05mm～0.1mm 程度が、接続強度を最も高くすることができる。



配管径 D	最小はまり込み深さ B	すき間 A－D
φ5 以上 φ8 未満	6	0.05～0.35
φ8 以上φ12 未満	7	
φ12 以上φ16 未満	8	0.05～0.45
φ16 以上φ25 未満	10	
φ25 以上φ35 未満	12	0.05～0.55
φ35 以上φ45 未満	14	

表4

⑸ろう材については、次の注意事項を遵守する。
⑻亜硫酸ガス濃度が高いなど、腐食性雰囲気では、りん銅ろうBCuP　はイオウと反応しやすく、水溶性のもろい化合物を作り、冷媒漏えいの原因となるので、他のろう材（例えば銀ろう）にする。また、ろう付部を塗装するなどの対策が必要。
⑹低温ろう（溶融温度が450℃未満のもの、いわゆる“はんだ”）は、強度が弱く冷媒漏えいを起こすおそれがあるため、使用しない。
⑽修理などで再ろう付する場合は、同一ろう材を使用する。ろう材の名称が同じでも号数が異なれば、再ろう付できない場合がある。

④ろう付接続に関する注意点のつづき

⑹フラックスを使用する場合は、母材の種類、形状及びろう材の種類およびろう付の方法などによって、適切なフラックスの選定が必要となる。表5にフラックスの分類を示す。注意事項を次に示す。

⑻酸化皮膜が発生すると、はがれてキャピラリチューブ・膨張弁の詰まりおよび圧縮機の故障の原因になる。

⑼作業手順は、次による。

①窒素容器に減圧弁と流量計を付ける。

②配管材に導く配管は細い銅管を使用し、容器側に流量計を取付る。

③配管材と挿入する窒素用導管のすき間は、図Fのように外から空気が混入するのを防ぐためにシールする。

④窒素ガスを流すときは、配管側の端部は行き止まりにせず、抵抗を付けて開放する。

⑤窒素ガスの流量は0.05㎥/h、または減圧弁で0.02MPa (0.2 kgf/㎠) 以下が適当。

⑥ろう材に適した温度でろう付する。

⑦操作弁と配管とのろう付は、弁本体を濡れタオル等で冷やしながら実施してください。

⑧作業後、配管がある程度冷えるまで (手でさわれる程度、やけど注意) 窒素ガスを流したままにする。

⑨ろう付作業後フラックスは完全に除去する。

⑽ろう付時の注意事項は、次による。

⑻過　熱　防　止　ろう付加熱により母材の内外面は酸化するが、特に配管内部の加熱酸化によるスケールの生成は冷媒系統のゴミとなり、致命的な悪影響を及ぼすので、ろう付適正温度でしかも必要最小限の加熱面積でろう付する。

⑼過　熱　保　護　バーナーの火炎によるろう付部に近い部品の火災による過熱損傷および変質を防ぐため、金属板によるしゃ蔽保護並びにウエスを水に浸して保護する、または熱吸収材を使い過熱保護する。

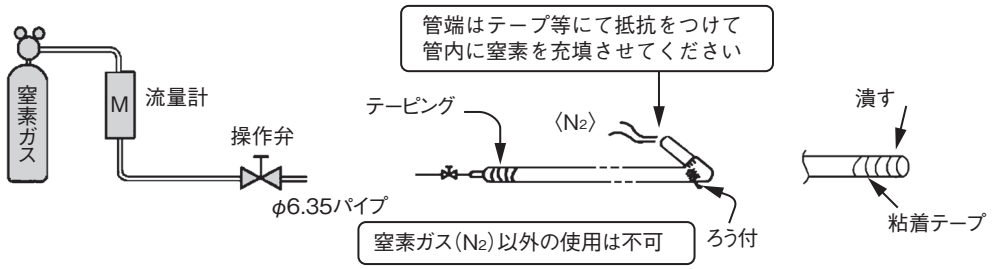
⑽ろ う 付 後 の 冷 却　加熱後すぐに水をかけると、配管が劣化する場合もあるため、水をかけないことを推奨する。

⑾ろ う 付 時 の 固 定　溶融したろう材が凝固する時、動いたり振動が伝わったりすると、ろう付部に割れが入り漏えいの原因となる。

⑿酸化防止剤について　ろう付作業の効率化のため、各種酸化防止剤が出回っている。しかし、その成分は多種多様であり、中には配管を腐食し、HFC冷媒および冷凍機油などに悪影響を及ぼすことが予想されるものもあるので、注意を要する。

AW5 No.	使用形状	ろうのタイプ	活性温度範囲 単位 ℃	フラックスの組成	母材の種類
FB3-A	ペースト	BAg, BCuP	565～870	ほう酸塩 フッ化物	すべてのろう付できる 鉄, 非鉄金属合金
FB3-C	ペースト	BAg, BCuP	565～925	ほう酸塩, ボロン, フッ化物	すべてのろう付できる 鉄, 非鉄金属合金
FB3-D	ペースト	BAg, BCuP, BNi	760～1205	ほう酸塩, フッ化物	すべてのろう付できる 鉄, 非鉄金属合金
FB3-K	液　状	BAu, BCuZn, BAg, BCuP	760～1205	ほう酸塩, フッ化物	すべてのろう付できる 鉄, 非鉄金属合金
FB4-A	ペースト	BCuZn, BAg, BCuP	595～870	塩化物, ほう酸塩, フッ化物	Al 青銅, Al 黄銅, Ti 及び他の金属が少量添加されたもの

表5　フラックスの分類

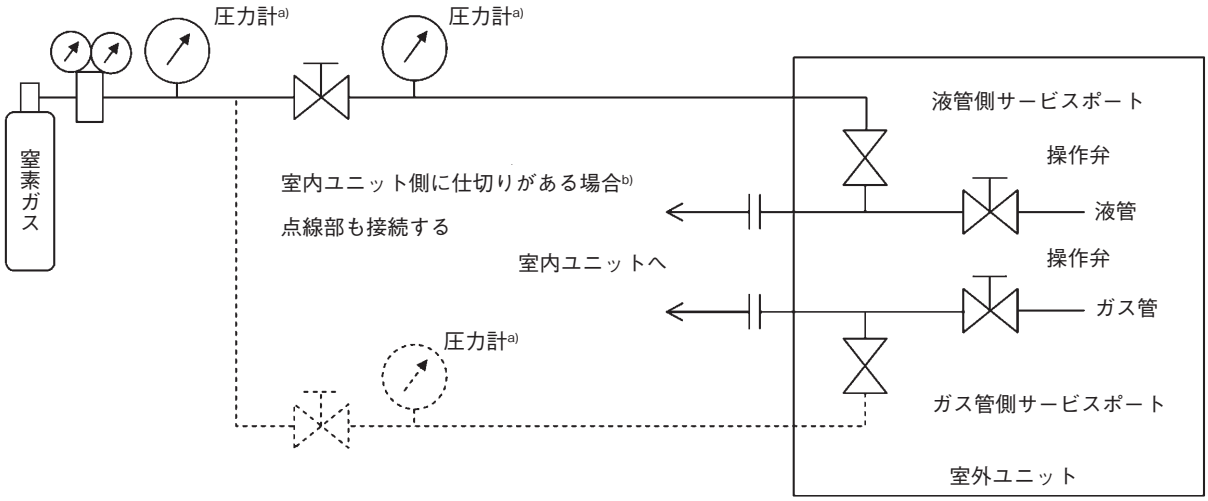


図F

⑤気密試験

配管施工が終了した後、漏えいの有無を検査するため、配管に窒素ガスを加圧封入し圧力計の針の動きによって漏えいがないことを確認する。

図Gに示す装置を用いて窒素ガスにより加圧し、漏えいが予想される箇所に発泡液を塗布して泡の発生がないことを確認する。



図G

注a）文字板の大きさは、75mm以上のものを使用する。最高目盛は、試験圧力の1.25倍以上2倍以下のものを使用する。
精度1.6級以上のものを使用する。

注b）店舗用：室内ユニット側に仕切りがない場合は、ガス管/液管どちらか片方からの加圧のみでも可。
マルチ：室内ユニット側に膨張弁等による仕切りがある場合は、ガス管/液管両方に加圧すること。
（新品出荷時点は膨張弁は開で出荷。通電後に停止した場合は膨張弁は閉となっています。）

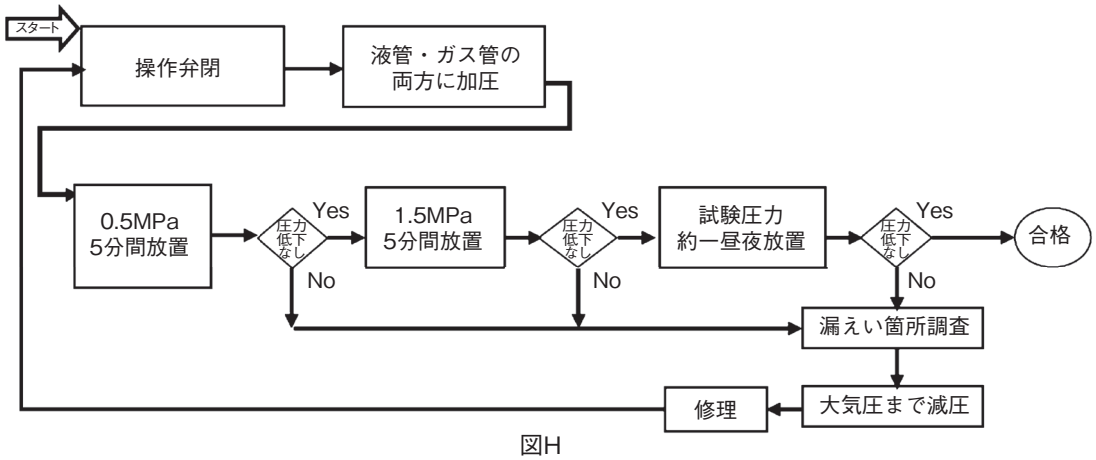
⑴気密試験方法

①気密試験は、窒素ガスで機器の気密試験圧力まで、冷媒配管内を加圧して行うため、図Gを参考に器具類を接続する。
注記1 気密試験時に機器を運転してはならない。
注記2 加圧ガスにはフロン類、酸素および可燃性ガスなどは絶対に使用しない。
注記3 機器側の操作弁は閉じたままとし、配管施工部以外に加圧しないように注意する。
注記4 室内ユニット側に膨張弁等による仕切りがある場合は、必ず液管、ガス管の両方に加圧し気密試験を実施する。
注記5 ろう付後、配管温度が下がらないうちに加圧すると、冷却後に減圧するので注意する。

②加圧は一度に試験圧力値まで昇圧せず、徐々に加圧する。
注記1 0.5MPaまで加圧したところで、加圧を止めて5分間以上放置し、圧力の低下のないことを確認する。
注記2 1.5MPaまで加圧し、再び5分間以上そのまま放置し、圧力の低下のないことを確認する。
注記3 その後に試験圧力値まで昇圧し、周囲温度と圧力をメモする。

③規定値で約一昼夜放置し、圧力が低下していなければ合格とする。
容器内の気体の圧力は絶対温度に比例するため、外気温度による圧力変動に注意する。
例 （測定時絶対圧力）＝（加圧時絶対圧力）×｛（273十測定時温度（℃））/（273十加圧時温度（℃））｝

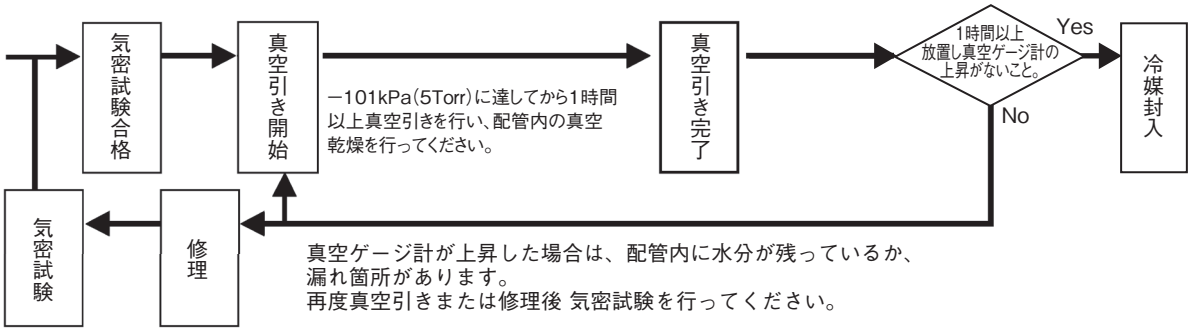
④上記②,③の確認で、圧力低下が認められた場合は漏えいがあるので、必ず補修し再度漏えいのないことを確認する。



図H

⑥真空引き

⑴気密試験合格後に冷媒配管内部の空気、または窒素ガスを排除するため、真空ポンプで真空引きを行ってください。
⑵冷媒によるエアパージは、冷媒の放出を伴うため、禁止されています。
⑶真空ポンプ油が冷凍システム内に混入しないように、逆流防止アダプタを使用ください。



図J

⑦冷媒の封入と記録　操作弁を開く

⑴冷媒の封入は必ずはかりを使用して計量しながら行ってください。チャージシリンダは絶対使用しないでください。
⑵操作弁を閉じたまま、必ず液側のサービスポートから液冷媒で封入してください。規定量が封入できない場合は、室外ユニットのバルブを液側、ガス側ともに全開にした後、冷房運転を行いガス側（吸入側）サービスポートから封入します。ただし圧縮機保護のため、ボンベのバルブを絞り気味にするか、液冷媒を霧状に変換する専用ツールを使用して、ユニットに吸引された時にはガス化しているように調整してください。
⑶運転しながら冷媒封入する場合は必ず30分以内に完了してください。冷媒不足の状態で長時間運転されますと圧縮機の故障の原因となります。
⑷室外ユニット説明書に従って配管長から算出した冷媒量を決定し、その追加した冷媒量を室外ユニットサービスパネル裏面の冷媒量記入欄に記入してください。
⑸冷媒封入作業完了後、冷媒液側およびガス側操作弁を全開にしてください。
⑹バルブはキャップを被せ、所定のトルクで締付てください。
チャージポート・チェックジョイントのキャップの締付トルク：11～13N·m
操作弁のキャップの締付トルク：30～33N·m

⑧配管の断熱工事

⑴断熱工事は、気密試験の時に漏えいを検出可能なように、気密試験実施後に行う。
⑵埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続箇所の点検が可能なように点検口などを設けてください。
⑶配管接続部が天井内にある場合にも必ず点検口を設けてください。
⑷断熱材は120℃以上の耐熱性のあるものをご使用ください。耐熱性が低いと断熱不良や電線劣化の原因となります。
⑸防露断熱工事に不備があると、水漏れまたは露たれが発生し、家財等を濡らす原因となることがあります。
⑹ガス管は冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることがあります。また、暖房時には吐出ガスが流れ、管表面温度が高温となるため、人に接触すると火傷などの危険があります。
⑺室内ユニットのフレア接続部分は断熱材（パイプカバー）で断熱してください。（ガス管・液管共に断熱してください。）
⑻断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させて隙間ができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。
⑼本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、相対湿度70%※を超える天井内等では、ガス側、液側配管共厚さ20mm以上の断熱が必要となります。
※中温パッケージの場合は相対湿度60%

(5) 分岐管セットの据付

PSC012D191

PSB012D865 H

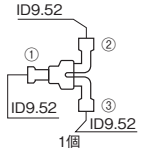
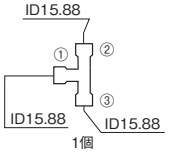
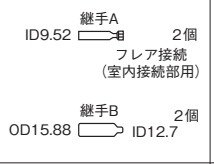
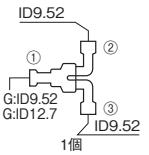
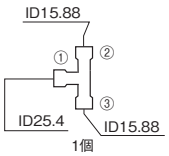
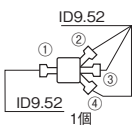
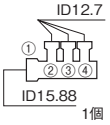
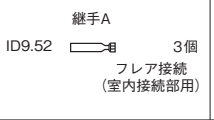
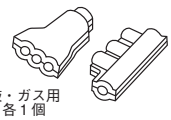
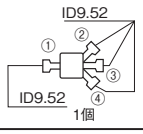
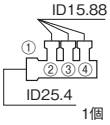
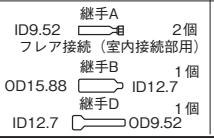
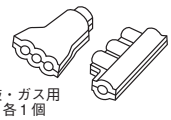
⚠ 警 告・注 意

●分岐管セットは、接続される室内ユニットの合計容量に応じて正しく選定し、本書に従って配管を接続してください。
誤まって接続した場合は、能力の低下やユニットの異常停止の原因になります。
●配管部の断熱は、本書に従って確実に実施してください。
不確実な場合は、能力の低下や配管への結露水により、水漏れの原因になります。
●冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故につながる恐れがありますので、設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品をご使用ください。

本書は、ツイン・トリプル・Wツイン（システム）の配管接続に必要な分岐管セットの使い方について説明するものです。配管工事の詳細、ユニットの据付および電気配線工事については、室外・室内ユニットの据付説明書、工事説明書をご覧ください。

(i) 分岐管セット仕様

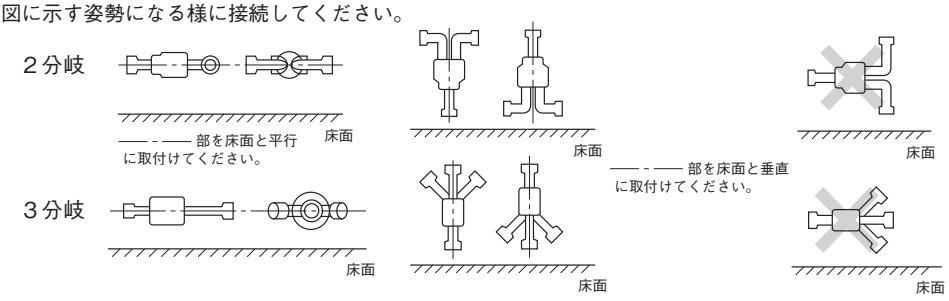
1）下表にて、分岐管セットが正しく選定されていることと、セット内の部品仕様を確認してください。
2）配管の接続は下表に従って行い、室外ユニットからの配管は必ず①の接続部に、室内ユニットからの配管は必ず②、③、④の接続部にろう付してください。

分岐管セット形式	対応可能室外・室内組合せ		部品一覧			
	室外容量	室内容量	液配管用分岐管	ガス配管用分岐管	異径継手	断熱材
DIS-WA1G（2分岐用セット）	80	40+40				
	112	56+56				
		50+71				
	140	71+71				
		63+80				
	160	80+80				
		50+112				
DIS-WC1G DIS-WB1G（2分岐用セット）	224	112+112				
		80+140				
	280	140+140				
DIS-TA1G（3分岐用セット）	160	50+50+50				
DIS-TB1G（3分岐用セット）	224	80+80+80				

IDは内径寸法、ODは外径寸法を示します。

（3）Wツイン（室内ユニット4台）の配管接続を行う場合は、「(ii)7. Wツインの接続」を参照ください。
（4）分岐管は、必ず下図に示す姿勢になる様に接続してください。

＜取付姿勢＞

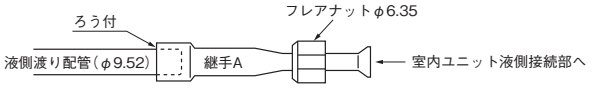


(ii) 配管接続要領

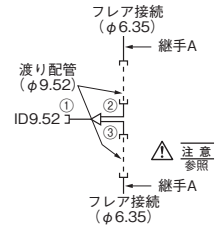
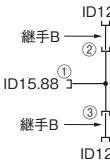
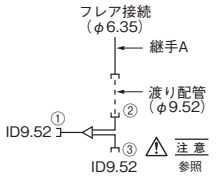
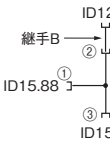
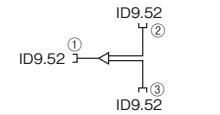
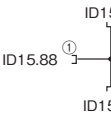
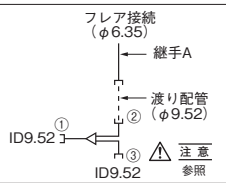
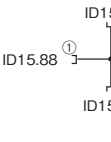
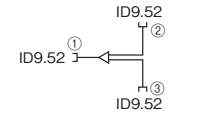
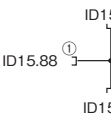
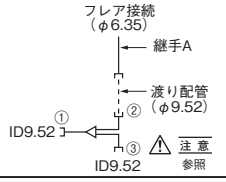
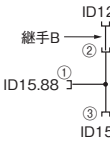
接続する室外・室内ユニットの容量に応じ、以下の内容に従って各分岐管セット内の異径継手をろう付してください。

⚠ 注 意

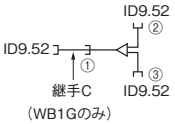
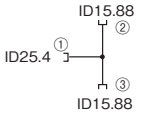
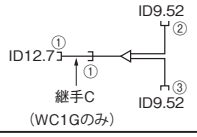
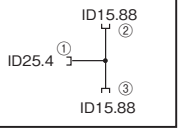
接続する室内ユニットの容量が40, 50, 56, 63の場合、分岐管（分岐管～室内ユニット）の液管サイズは、φ9.52を必ず使用してください。
室内ユニット（液管側φ6.35）への接続は、付属の異径継手Aを使用し、以下の要領に従ってください。



1） DIS-WA1G

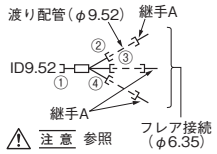
対応可能組合せ 室外容量	対応可能組合せ 室内容量	液側分岐管	ガス側分岐管
80	40+40		
112	56+56		
	50+71		
140	71+71		
	63+80		
160	80+80		
	50+112		

2） DIS-WC1G、WB1G

対応可能組合せ 室外容量	対応可能組合せ 室内容量	液側分岐管	ガス側分岐管
224	80+140		
	112+112		
280	140+140		

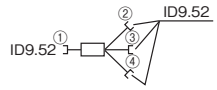
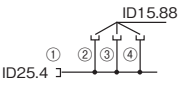
3） DIS-TA1G　分岐以降の配管長差が3m未満に適用

※配管長差が3m以上の接続は不可

対応可能組合せ 室外容量	対応可能組合せ 室内容量	液側分岐管	ガス側分岐管
160	50+50+50		

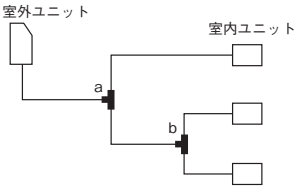
4） DIS-TB1G　分岐以降の配管長差が3m未満に適用

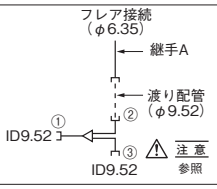
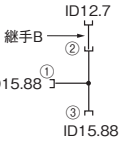
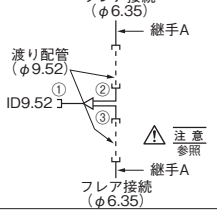
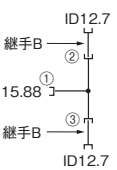
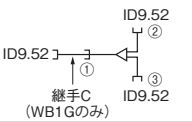
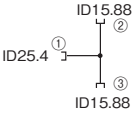
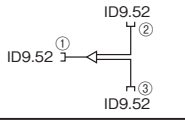
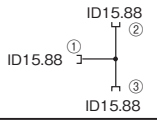
※配管長差が3m以上の接続は不可

対応可能組合せ 室外容量	対応可能組合せ 室内容量	液側分岐管	ガス側分岐管
224	80+80+80		

5） 同機種同容量、異機種同容量のトリプルの接続

分岐以降の配管長差が3m以上10m以下の場合

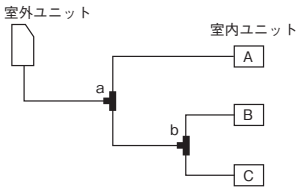


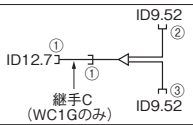
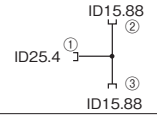
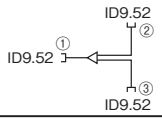
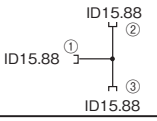
室外容量	室内容量	分岐管	分岐管セット形式	液側分岐管	ガス側分岐管
160	50+50+50	a	DIS-WA1G		
		b			
224	80+80+80	a	DIS-WC1G DIS-WB1G		
		b	DIS-WA1G		

6） 同機種異容量、異機種異容量のトリプルの接続

分岐以降の配管長差が3m未満に適用

※配管長差が3m以上の接続は不可



室外容量	室内容量	分岐管	分岐管セット形式	液側分岐管	ガス側分岐管
280	71＋71＋140 または 80＋80＋112	a	DIS-WC1G DIS-WB1G		
		b	DIS-WA1G		

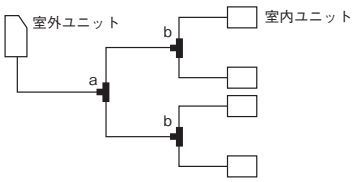
接続位置

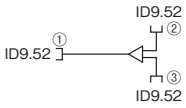
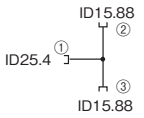
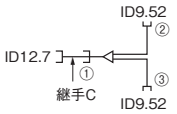
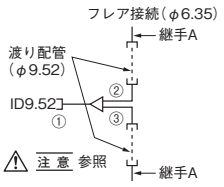
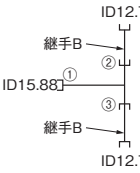
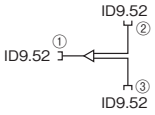
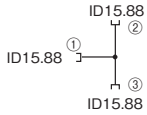
室外容量	室内容量	A	B	C
280	71＋71＋140	140	71	71
	80＋80＋112	112	80	80

7） Wツインの接続

Wツイン（室内ユニット4台接続。ただし室外容量は、224・280のみ）の配管接続は以下のようになります。

室外容量	室内容量
224	56×4台
280	71×4台

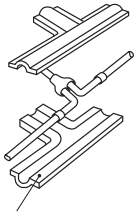


分岐管	分岐管セット形式	室外容量	液側分岐管	ガス側分岐管
a	DIS-WC1G	224		
		280		
b	DIS-WA1G	224		
		280		

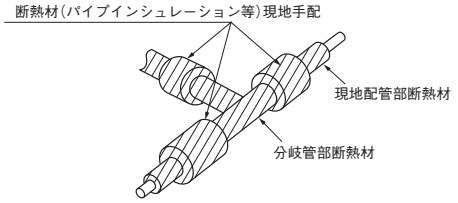
⑶ 断 熱 工 事

1）本ユニットは、液配管にも結露水が発生します。液側配管・ガス側配管共、確実に断熱してください。

2）分岐管部は、各分岐管セット内の断熱材を必ず使用し、以下の要領に従って断熱してください。



① 内側には全面に接着剤がついています。
セパレータを剥がして、分岐管に貼付けてください。



② 分岐管部の断熱材と現地配管側の断熱材との継ぎ目を上記の様に断熱材(現地手配)を用い、///部の隙間はテーピングにて仕上げてください。

(6) R32 冷媒施工時チェックシート

PSC012D190△

記入必須

■据付業者様へ
【R32 冷媒　施工時チェックシート】

●本機器の据付けでは、総冷媒量に対し、据付ける室内・室外ユニットの空間条件を制限しております。
●下記チェックシートの太枠内に必要事項をご記入の上、据付け可能な空間であることをお確かめください。
●下記チェック項目を満足しない場合、据付けを行わないでください。
●室内ユニットは同一の部屋に据付けを実施してください。部屋のレイアウト、間仕切りを変更するときは、お買い上げの販売店に相談してください。冷媒漏えい時に必要な安全対策の再検討が必要になります。
●本紙は取扱説明書及び据付説明書とともにお客様で保管していただくように依頼してください。

R32冷媒 施工時チェックシート					
設置日	年　月　日	施工者	(会社)　/(担当)		
設置場所		使用者	(会社)　/(担当)		
① 総冷媒量（初期冷媒量+追加冷媒量）		kg	冷媒名	R	
② 室内ユニット側 空間容積		A:床面積	B:設置高さ (注1)	容積 (AxB)	
		m^2	m	m^3	
③ 室内ユニット側 冷媒漏えい時最大濃度　⇒　①/②				kg/m^3	
④ 室内ユニット側 判定結果　⇒　③≦0.076kg/m^3=1/4×LFL (燃焼下限界濃度) (注2)				OK ⇒ □	
⑤ 冷媒漏えいなきこと確認実施したか? (特にフレア接続部)				OK ⇒ □	
⑥ 室外ユニット周囲:最低1面の開口寸法は0.6 m以上か?				OK ⇒ □	
⑦ 室外ユニット半地下設置の場合，深さは1.2 m未満か?				OK ⇒ □ 終了 NG ⇒ □ ⑧へ	
※半地下深さ1.2m以上ある場合は、下記⑧⑨⑩より室外ユニット側の判定も確認してください。					
⑧ 半地下室外ユニット側 空間容積 (注3)		A′:窪地面積	B′:高さ (注4)	容積(A′×B′)	
		m^2	1.505 m (固定)	m^3	
⑨ 室外ユニット側 冷媒漏えい時最大濃度 (注3)　⇒　①/⑧				kg/m^3	
⑩ 室外ユニット側 判定結果 (注3)　⇒　⑨≦0.153kg/m^3 = 1/2×LFL (燃焼下限界濃度) (注2)				OK ⇒ □ 終了	

(注 1) 床面から冷媒漏えい想定箇所までの高さで、 室内ユニットの設置高さと室内の配管の接合部 (ろう付部を除く)のうち、最も低い高さを選定してください。
(注 2) LFLとは燃焼下限界を示します (R32 冷媒の LFL:0.307kg/m^3)。
(注 3) 半地下深さが 1.2m 未満の場合は、⑧⑨⑩の確認は不要です。
(注 4) 横吹き形室外ユニットの場合、製品高さとなります。

(7) 既設配管洗浄手順
適用機種：ZP80 ～ 160 形，VP112 ～ 160 形

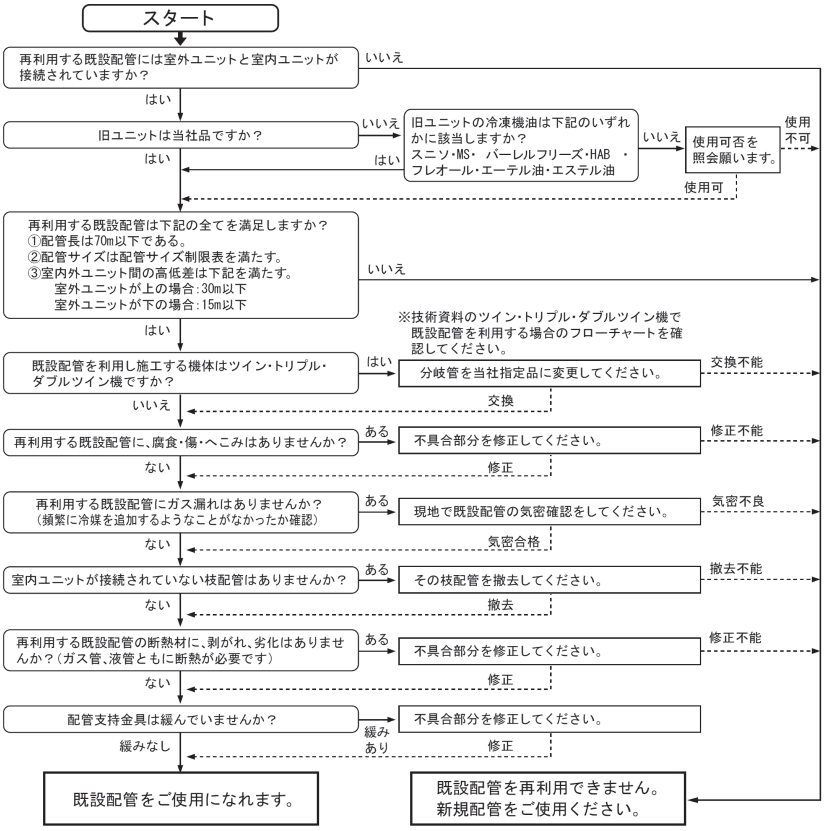
PSC012D013C D

(i) ご使用の前に確認いただきたい事項

1) 既設配管流用時の条件

注意ポイント	配管	この手順書での記載項
クリーン（CLEAN） ・配管内にゴミがないこと	(a) 既設配管は既設機ユニットに接続された状態であること。 外れた状態では、既設配管内に雨水、空気が浸入し配管内が錆びている可能性があります。） (b) フロン回収破壊法に従い。確実に冷媒回収を行うこと 冷媒をみだり大気中に放出すると、罰則が適用される場合があります。 (c) 内蔵の洗浄回路により、指定の時間洗浄運転ください。	⇒ (i)2) 既設配管流用可否判断フローチャート ⇒ (ii) 既設配管流用時の現地施工手順 ⇒ (iii) 洗浄運転
ドライ（DRY） ・配管内に水分がないこと	(d) 確実な真空引きの実施 -101kPa(-755mmHg) 以下になってから 1 時間以上真空ポンプの運転を実施。	⇒ (ii) 既設配管流用時の現地施工手順
タイト（TIGHT） ・冷媒もれがないこと	(e) 既設配管に腐食・傷・へこみがないこと。更に断熱材の剥れ・劣化がないこと。 (f)R32 用のフレアナットの使用かつフレア加工の実施。 (g) 気密試験（規定圧力 :4.15MPa）を確実に行うこと。	⇒同封の据付説明書の 2 冷媒配管工事 を参考ください ⇒ (ii) 既設配管流用時の現地施工手順

2) 既設配管流用可否判断フローチャート



〈配管サイズ制限表〉

◎:標準配管サイズ　○:使用可能　△:配管長制限短縮　冷↓.冷房能力低下　×:使用不可

●表に記載のない配管サイズの組み合わせは使用できません。

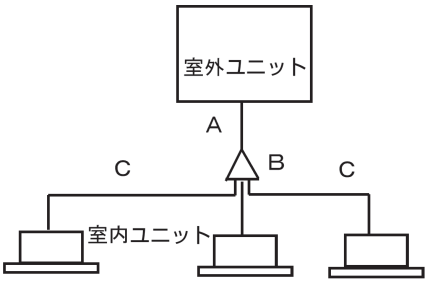
配管1m当たりの追加チャージ量		0.02 kg/m		0.054 kg/m			0.11 kg/m	
配管サイズ	液管	φ6.35	φ6.35	φ9.52	φ9.52	φ9.52	φ12.7	φ12.7
	ガス管	φ12.7	φ15.88	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ15.88	φ19.05
ZP80	適用範囲	冷↓	△	冷↓	◎	○※1	△	×
	最大片道配管長	20	20	70	70	70	35	×
	チャージレス長	10	10	30	30	30	15	×
ZP112 VP112	適用範囲	×	△	×	◎	○※1	△	△※1
	最大片道配管長	×	20	×	70	70	50	50
	チャージレス長	×	10	×	30	30	15	15
ZP140 VP140	適用範囲	×	△	×	◎	○※1	△	△※1
	最大片道配管長	×	20	×	70	70	50	50
	チャージレス長	×	10	×	30	30	15	15
ZP160 VP160	適用範囲	×	△	×	◎	○※1	△	△※1
	最大片道配管長	×	20	×	70	70	50	50
	チャージレス長	×	10	×	30	30	15	15

※1:φ19.05 × t1.0は耐圧強度が不足のため、ZP112,140,160、VP112,140,160の場合は、室外ユニット基板上のディップスイッチSW5-1をONにしてください。ZP80の場合は、ディップスイッチSW7-1をONにしてください。（ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合、第1分岐以降の配管にφ19.05 × t1.0が存在する場合を含む）ただし、1/2H材または肉厚1.2以上の配管を使用の場合は必要ありません。

※2:ZP80は配管長の下限は3mとしてください。3m以下の場合、冷媒充填量を減らす必要があります。
冷媒回収、再充填を行う場合は最寄の代理店にお問合せください。

3) 分岐管使用時の留意点

ツイン･トリプル機にて既設配管を使用する場合は、下記の該当項目を確認してください。



室外容量	ZP80	ZP112 VP112	ZP140 VP140	ZP160 VP160
A部 主管	2) 項既存配管使用可能範囲を参照			
B部 分岐管	当社製ユニット分岐管の場合一部使用可。 3) 項参照			
C部 分岐後配管	配管サイズにより、一部使用可。			

■ツイン,トリプル機で既設配管を使用する場合,下記フローチャートで主管･分岐管･分岐後配管の流用可否を確認してください。

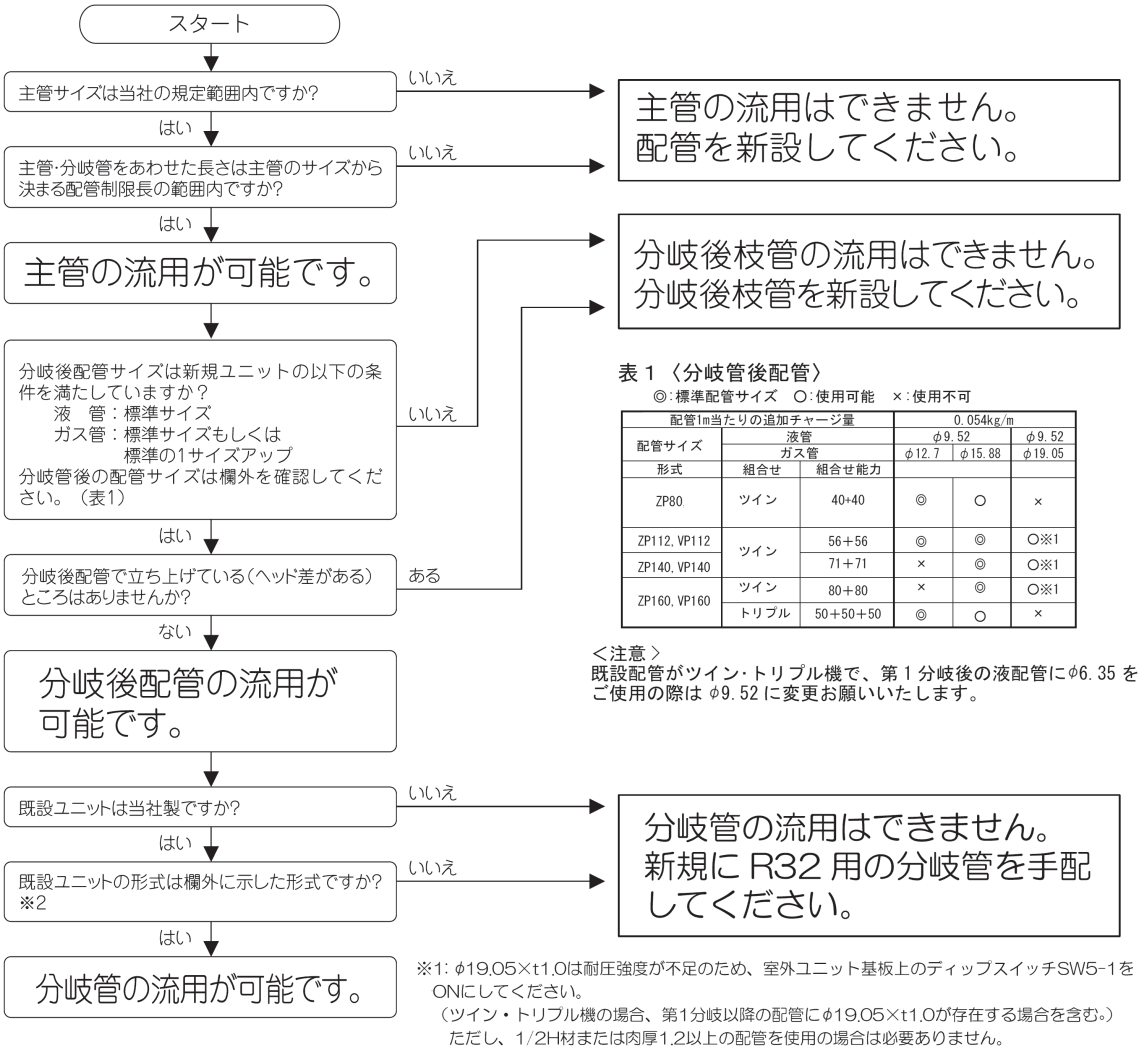


表 1 〈分岐管後配管〉

◎:標準配管サイズ　○:使用可能　×:使用不可

配管1m当たりの追加チャージ量			0.054kg/m		
配管サイズ	液管		φ9.52		φ9.52
	ガス管		φ12.7	φ15.88	φ19.05
形式	組合せ	組合せ能力			
ZP80	ツイン	40+40	◎	○	×
ZP112, VP112	ツイン	56＋56	◎	◎	○※1
ZP140, VP140		71＋71	×	◎	○※1
ZP160, VP160	ツイン	80＋80	×	◎	○※1
	トリプル	50＋50＋50	◎	○	×

＜注意＞

既設配管がツイン･トリプル機で、第 1 分岐後の液配管にφ6.35 をご使用の際は φ9.52 に変更お願いいたします。

※1: φ19.05×t1.0は耐圧強度が不足のため、室外ユニット基板上のディップスイッチSW5-1をONにしてください。

（ツイン・トリプル機の場合、第1分岐以降の配管にφ19.05×t1.0が存在する場合を含む。）

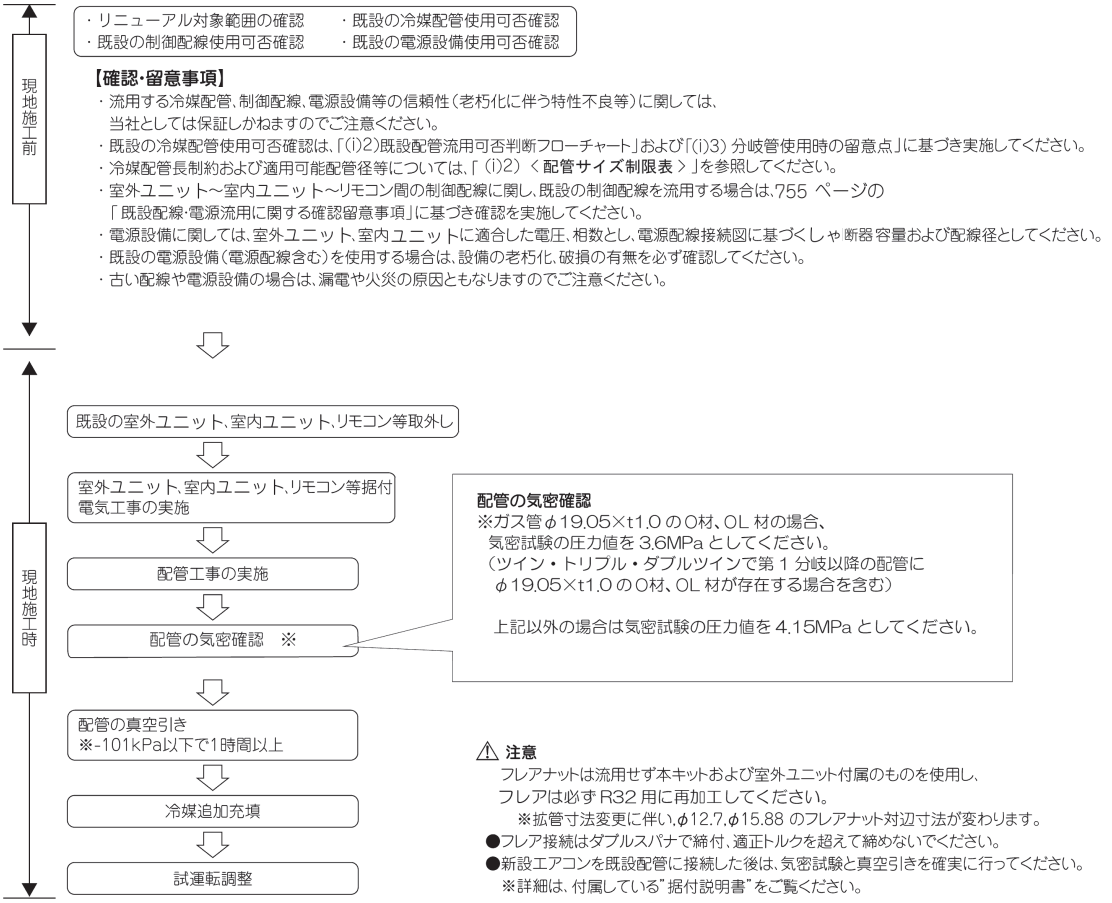
ただし、1/2H材または肉厚1.2以上の配管を使用の場合は必要ありません。

※2:<分岐管流用可能な既存ユニット機種>

112～160:FDCJ～H,FDCJ～HA,FDCJ～HD,FDCJ～HD1,FDCJ～HD2,FDCJ～HD3(A),FDCP～HD3以降のFDCの後に″ P″がつく形式

※～には能力を示す数字が入ります。※既存ユニットがFDC～ではじまる形式の場合（FDCの後に″ J″ または″ P″ がつかない形式。例：FDC125H8A），分岐管は流用できません。R32用の分岐管を使用してください。（分岐管にオリフィスが無いため室内ユニット間の分配不良となります。また耐圧不足となります。）

(ii) 既設配管流用時の現地施工手順



(iii) 洗浄運転

①洗浄運転前の確認事項

〇同封の据付説明書を参考に、以下の内容を確認ください。

据付説明書の項目	項目	確　認　項　目	チェック
2	冷媒配管工事	ろう付した場合は、配管に窒素ガスを流してろう付しましたか。	
		気密試験、真空引きは確実に行いましたか。	
		配管の断熱材は液管とガス管の両方に取付られていますか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
4	電気配線	配線の接続忘れ、欠相、逆相はないですか。	
		冷媒追加充填量、冷媒配管長さをパネルのラベルに記入しましたか。	
		しゃ断器、配線などの電気機器は適正容量の機器を使用していますか。	
		複数設置の場合は、ユニット間の配線が入替わっていませんか。	
		リモコン線に室内外通信線を接続していませんか。	
		内外接続線は同一端子番号で接続していますか。	
		内外接続線は VCT キャブタイヤケーブルまたは VVF 平形ケーブルですか。	
		アース工事は D 種接地工事が行われていますか。	
		配線の取付部のねじが緩んでいませんか。	
		配線は配線クランプで固定し、端子接続部に外力が加わらないようになっていますか。	
ー	室内ユニット	室内ユニットの据付作業は完了していますか。	
		室内ユニットに化粧パネルを取付ける場合には、化粧パネルの取付が完了していますか。	

②洗浄運転手順

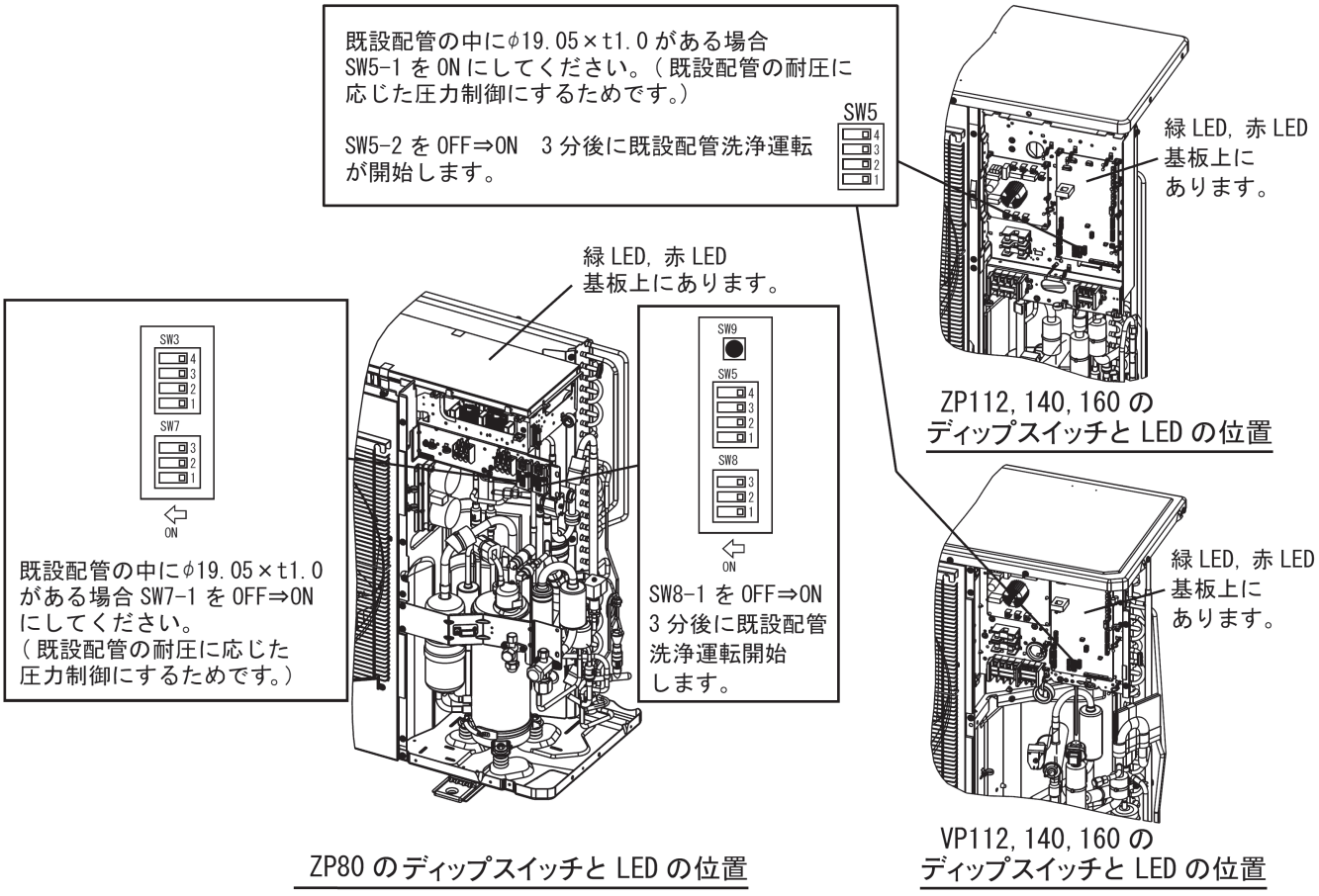
〇下記の順番に従ってチェックしながら行ってください。

順番	操 作 内 容	チェック
①	冷媒配管工事、電気配線、室内工事が正しく完了しているか ①の表にそって確認してください。	
②	ガス側操作弁を全開にしてください。	
③	液側操作弁を全開にしてください。	
④	既設配管に φ19.05×t1.0 をご使用の場合、ZP80 は SW7-1 を ON に、 ZP112,140,160、VP112,140,160 は SW5-1 を ON してください。	
⑤	ZP80、VP80 は SW8-1 を OFF⇒ON、ZP112,140,160、VP112,140,160 は SW5-2 を OFF⇒ON で既設配管洗浄を開始します。	
⑥	⑤のディップスイッチ ON で 緑 LED が高速点滅します。(0.5 秒 ON/0.5 秒 OFF) リモコン(RC-D4G)のディスプレイ上には「冷房試運転」が表示されます。 (洗浄運転は冷房運転で行います。リモコンディスプレイ上は「冷房試運転」と表示します。)	
⑦	赤 LED が点滅していないことを確認してください。	
⑧	室内ユニットから冷風が吹いていることを確認ください。(洗浄運転は冷房運転で行います。)	
⑨	洗浄運転は 2 時間必要です。⑤ディップスイッチ ON 後、圧縮機の積算運転時間 2 時間で自動終了(緑 LED が通常点滅(1 秒 ON/1 秒 OFF)) になります。手動にて終了する場合、ディップスイッチを ON⇒OFF にしてください。再始動は OFF⇒ON で可能です。)	

〇洗浄運転自動終了後、ディップスイッチSW8-1(ZP80),SW5-2(ZP112,140,160、VP112,140,160) は ON 位置のままでも通常のエアコン制御になります。停電後の復電時、ON 位置のままでも、エアコン制御を行います。
(洗浄運転開始は SW 位置の OFF ⇒ON 一連の動作から開始します。)

〇複数台数の室外ユニットを同一リモコンに接続する場合については、洗浄運転の実施後に、各室外ユニット毎のリモコン配線を接続してください。

〇室内吸込温度が 15℃以下の場合、洗浄運転が断続運転になる場合がありますが、故障ではありません。
この圧縮機が停止している時間は洗浄運転の累積時間に含まれません。



(8) 電気電線工事

(a) FDT, FDTC, FDTW, FDTS, FDR, FDU(P56～P160), FDE(P56～P160), FDKシリーズ

PSC012D204BA C

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。
安全のため必ずお守りください。

●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。

●「⚠**警告**」「⚠**注意**」の意味

⚠警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	⚠注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない　必ず指示に従い行う

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。

●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。

●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付る。
漏電しゃ断器が取付られていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。

●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換え

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換え可能です。（[ ]は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容	
SW1	室内アドレス(10位)	
SW2	室内アドレス(1位)	
SW6－1～4	機種容量	
SW7－1	ON	運転チェック･ドレンポンプ試運転
	[OFF]	通常運転
SW7－2（注1）	ON	旧SL通信仕様固定
	[OFF]	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7－3	ON	室内アドレス(100の位) ON:1
	[OFF]	室内アドレス(100の位) OFF:0

※注１：集中制御機器接続時の場合
通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。
旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
SW7-2 が OFF（工場出荷設定）の場合は，通信仕様（新 SL/ 旧 SL）を自動判別します。
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は，SW7-2 を ON にしてください。
各通信仕様の特徴，制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

機種容量の設定

●本室内ユニットは、マルチV接続の場合のみ、それぞれの室内ユニット毎に機種容量設定が必要です。
機種容量設定は室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で設定してください。

シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合

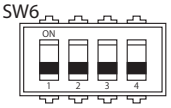
[i] 同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

マルチ V 接続の場合

[i] 異機種 / 異容量、同機種 / 異容量の室内ユニットを接続する場合
①電源投入前に室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で機種容量を設定してください。形式により設定できる機種容量は下表の通りです。これ以外に設定しないでください。正常に運転できません。また破損の原因となります。

[ii] 異機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
①自動で機種容量を認識するため、設定不要です。

形式	FDT	ZP636S			ZP716S	ZP806S	ZP1606S	
	FDR	ZP566S		ZP636S	ZP806S		ZP1126S	ZP1606S
容量		P50	P56	P63	P71	P80	P112	P140
SW6-1		ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
SW6-2		OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF
SW6-3		ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON
SW6-4		OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON



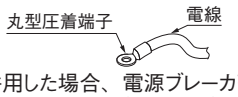
[工場出荷時設定]

注1: 工場出荷時の設定は自動認識(全てOFF)になっています。
注2: シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合でもスイッチを自動認識以外の状態にすると、設定した機種容量として認識してしまいます。

②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

①電源・室内外配線の接続

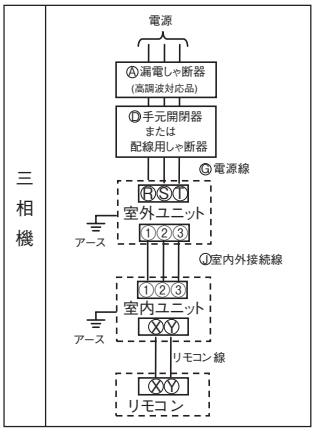
●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
②電源は、室外ユニットへ接続してください。
③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
●電源は工事が完了するまで入れないでください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。

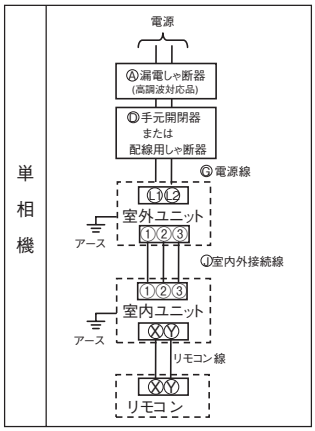


●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
●信号側端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製NV−Cシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用しゃ断器が必要となります。
④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。

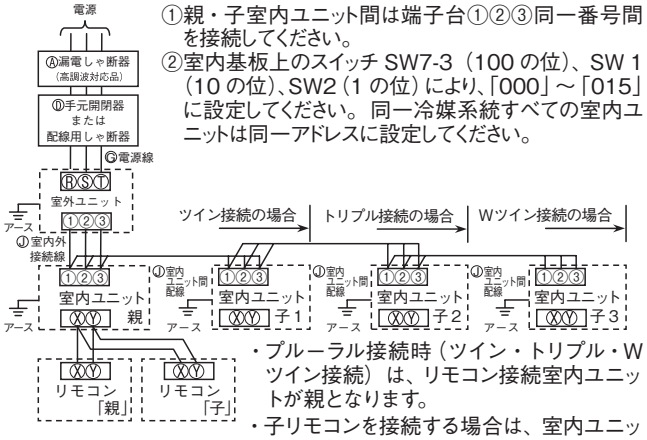
シングル接続の結線

①室内電源取りおよび室内外別電源取りは原則できません。
※例外的な接続方法の場合は所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。





ツイン・トリプル・Wツイン接続の結線



①親・子室内ユニット間は端子台①②③同一番号間を接続してください。
②室内基板上のスイッチ SW7-3 (100 の位)、SW 1 (10 の位)、SW2 (1 の位) により、「000」～「015」に設定してください。同一冷媒系統すべての室内ユニットは同一アドレスに設定してください。

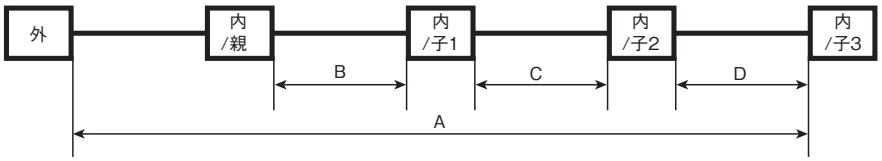
・プルーラル接続時 (ツイン・トリプル・Wツイン接続) は、リモコン接続室内ユニットが親となります。
・子リモコンを接続する場合は、室内ユニットの親機に接続してください。
(室内ユニットの子機に、子リモコンを接続しても子リモコンは操作できません。)

①電源・室内外配線の接続のつづき

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		

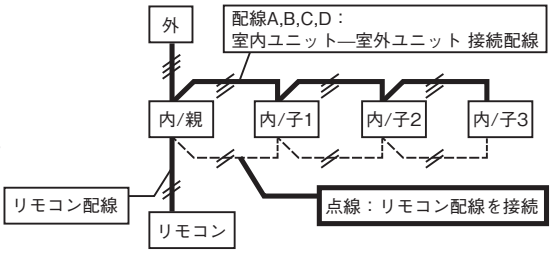


①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON



②リモコンの取付（別売部品）

●取付けの詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。
●次の位置へ取付けないでください。

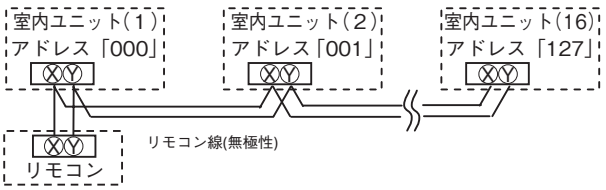
○直射日光の当たる所　○湿気の多い所、水が飛散する所　○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
○発熱器具に近い所　○取付面が発熱・結露する所　○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
②リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は 1mm 以上のものを使用してください。（現地手配）
③リモコン線の総延長は600mです。
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。
100～200m以内・・・・・0.5mm²×2心
300m以内・・・・・0.75mm²×2心
400m以内・・・・・1.25mm²×2心
600m以内・・・・・2.0mm²×2心
④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。
⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

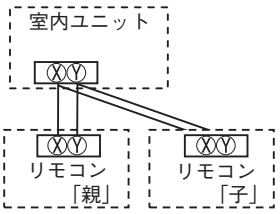
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台の室内ユニット（最大16台）をグループ制御できます。同一モード、同一室温設定で運転します。
②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
③室内ユニットの基板上のスイッチ SW7-3（100 の位）、SW1（10 の位）、SW2（1 の位）により、室内アドレスを重複しないよう「000」～「127」から設定してください。



複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台（または1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。
ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン + ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。
1 個を「親」に、残りを「子」に設定してください。
○ 注意　リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

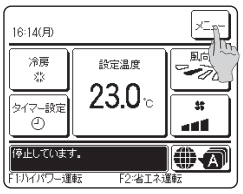


③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

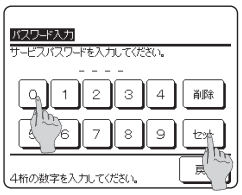
●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。（アドレス確認はシングル接続を除く）

●寒冷地向けの室外ユニット（KP シリーズ）と接続時は、室内ユニットの機種容量の確認はできません。（リモコンに機種容量は表示されますが、実際に接続されている機種容量と異なる場合があります。）

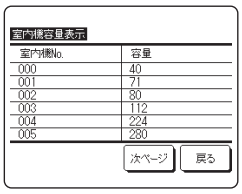
eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



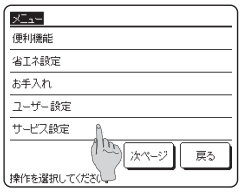
1.メニューをタッチする。
メニュー画面に切換わります。



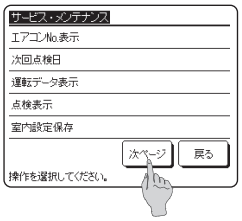
4.サービスパスワードを入力する。
5.セットをタッチする。
サービス・メンテナンスの画面に切換わります。



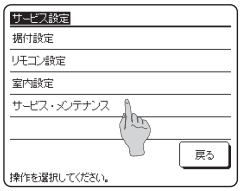
8.接続されている室内ユニットのアドレスNo.（室内機No.）と機種容量（容量）が表示されます。



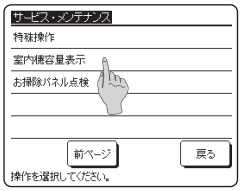
2.サービス設定をタッチする。
サービス設定画面に切換わります。



6.次ページをタッチする。

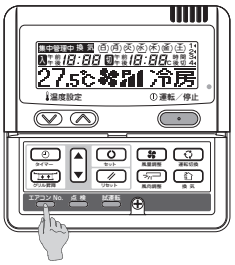


3.サービス・メンテナンスをタッチする。
パスワード入力画面に切換わります。



7.室内機容量表示をタッチする。

標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合 機種容量は確認できません。



1.エアコンNo.ボタンを押す。
室内ユニットアドレスが表示されます。

2.▲▼ボタンを押す。
接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

④リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作（RC-DX シリーズ）	標準リモコンから操作（RC-D シリーズ）
1	リモコン系統内の接続ユニットの接続台数確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを 1 台ずつ確認してください。
2	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換] を押してください。送風運転します。
3	親子リモコン設定	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ（SW1）を「子」に設定してください。
4	運転データの確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒▲▼データ選択
5	点検表示の確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒ エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒データ表示
6	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [冷房試運転] ⇒ [開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を３秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
7	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [ドレンポンプ試運転] ⇒ [運転]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼] を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット] を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。 表示：「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

⑤リモコンからの操作・設定

〈ecoタッチリモコンの凡例〉
A：eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。
B：eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。
C：インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

〈標準リモコンの設定操作可否〉
○：eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
△：eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。
空欄：標準リモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
1. リモコンネットワーク					
1	複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内ユニットを接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。		○
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン（含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作					
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4	風向		風向を設定します。おまかせ気流の有効 / 無効を設定します（FDK の場合）。	A	△
5	風量		風量を設定します。	A	○
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A	○
7	運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A	○
8	F1 スイッチ		F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9	F2スイッチ		F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
10	言語切換		リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A	
3. 便利機能					
1	フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲（上限位置―下限位置）を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。	A	△
2	エアフレックス（風よけ）設定 エアフレックスパネル組合せの場合		・詳細設定：各運転モード、各吹出口のエアフレックス（風よけ）機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換：詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF（作動中 / 停止中）を切換えます。	A	
3	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換えが可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換えが可能です。	A	△
		ウィークリータイマー	1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	
4	おこのみ設定 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	
5	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
6	換気 換気機器組合せの場合		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A	○

⑤リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
7	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A	
8	室外静音設定		室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	△
9	省エネモード設定		室内ユニットの省エネモードを設定します。	A	
10	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
11	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定			管理者パスワード		
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分（10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ～ 80%（20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4	人感センサ制御		人感センサを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
	人感センサがある場合		パワーコントロールの冷房時 / 暖房時設定温度を設定します。	A	
5. お手入れ					
1	フィルターサインリセット	フィルターサインの解除	フィルタサインの解除を行います。	A	○
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	△
2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル　グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作] の設定が必要です。	A	○
		降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
		ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	
3	お掃除パネル設定 管理者パスワード	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	A	
		清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
		清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
		ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
		ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
		ブラシ移動速さ	ブラシ移動速さを設定します。	A	
		ブラシ往復数	ブラシ往復数を設定します。	A	
6. ユーザ設定					
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋ 1 時間の補正を行います。	A	
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
		運転ランプ輝度	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	

⑤リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定]　[言語切換設定] [エアフレックス（風よけ）設定]	A	△
		室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
		温度設定刻み切換	設定温度の刻み（0.5℃ /1.0℃）を設定します。	A	
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	A	
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり / なしを設定します。	A	△
		管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	A	
			管理者パスワードのリセットを行います。	B	
		スイッチ機能変更	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	A	
7. サービス設定					
1	据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
		サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B	△
		冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。		
		ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
		お掃除試運転	フィルタ清掃　ブラシ清掃運転します。　お掃除パネル組合せの場合	B	
		ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
		自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
		親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ　設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B	
		人感センサー設定 人感センサー付パネルの組合せの場合	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサ検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサ制御を行うことができません。	B	
		リモコンアラーム音設定	リモコンの警報機能の有効 / 無効を設定します。	B	
		ドレンクリーン（UV-C）設定	ドレンクリーン（UV-C）の有効 / 無効を設定します。	B	
		グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○

⑤リモコンからの操作・設定のつづき

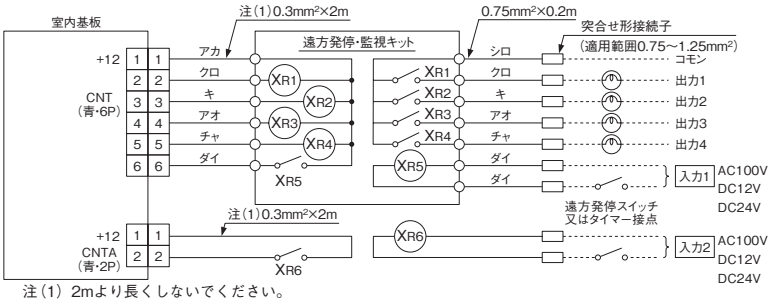
設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
		吸込センサ制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B	
		リモコンセンサ	リモコンセンサに切換えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切換可能です。	B	△
		リモコンセンサ補正	リモコンセンサ検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。	B	△
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B	
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○
		外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CNT入力の適用範囲が設定されます。	B	○
		上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B	○
		左右ルーバ制御	左右ルーバの [固定位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B	
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
		停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B	
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B	
3	室内設定 サービスパスワード	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
		フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
		外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を切換えられます。	B	○
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を切換えられます。	B	○
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を切換えられます。	B	
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を切換えられます。	B	
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B	○
		吸込温度補正	吸込センサ検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B	○
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
		フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
		ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
		外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B	
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5）から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
		外部出力設定	外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を切換えられます。	B	
		デフロスト時ファン制御	デフロスト運転時のファン回転数を設定します。	B	

⑤リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
4	サービス・メンテナンス サービスパスワード	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。 個別送風運転で確認できます。	B	○
		次回点検日	次回の点検日を登録することができます。 点検日に連絡先の表示をします。	A B	
		運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
		点検表示		B	△
		異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。		
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。		
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。		
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
		特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	B	△
		室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその形式、容量を表示します。	B	
		UV-C メンテナンス	ドレンクリーン（UV-C）のメンテナンスを行います。	B	
		照射設定	ドレンクリーン（UV-C）の照射時間を設定します。		
		照射積算時間リセット	ドレンクリーン（UV-C）の積算時間をリセットします。		
		お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、 サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2	サービスを依頼される前に Q & A		Q &Aが表示されます。	A	
9. 点検表示					
	点検表示確認		異常発生時の表示	A	△
10. パソコン接続					
	USB 接続		ウィークリータイマー設定他、 パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

⑥室内基板ＣＮＴコネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

●$X_{R1～4}$はＤＣ１２Ｖリレー（オムロン製ＬＹ２Ｆ相当品）

●X_{R5}は、ＤＣ１２，２４Ｖまたは１００Ｖリレー（オムロン製ＭＹ２Ｆ相当品）

●CNTコネクタ（現地側）メーカ、形式

コネクタ：モレックス製 ５２６４－０６

端　　子：モレックス製 ５２６３Ｔ

別売品を準備しておりますのでご利用ください。

※FDTの場合

コネクタ：日本圧着端子JST製　ＺＮＤＰ－０６Ｖ－Ｂ－Ｅ

端　　子：日本圧着端子JST製　ＳＺＮＤ－００２Ｔ－Ｐ０.５

別売品を準備しておりますのでご利用ください。

●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。

●CNT Aコネクタは、ＦＤＴ他に搭載<仕様書で確認願います>（現地側）メーカ、形式

コネクタ：日本圧着端子JST製　ＸＡＰ０２Ｖ－１－Ｅ

端　　子：日本圧着端子JST製　ＳＸＡ－０１Ｔ－Ｐ０.６

別売品を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

①	運転出力	⑧	ファン運転出力3
②	暖房出力	⑨	デフロスト , 油戻し出力
③	圧縮機 ON 出力	⑩	換気出力
④	点検 (異常) 出力	⑪	ヒータ出力
⑤	冷房出力	⑫	フリークーリング出力
⑥	ファン運転出力1	⑬	室内過負荷異常出力
⑦	ファン運転出力2		

入力

①	運転 / 停止	⑤	設定温度シフト
②	運転許可禁止	⑥	強制サーモ OFF
③	緊急停止	⑦	一時停止
④	冷房 / 暖房	⑧	静音モード

工場出荷時の設定

CNT-2	出力 1	運転出力	CNT-5	出力 4	点検 (異常) 出力
CNT-3	出力 2	暖房出力	CNT-6	入力 1	運転 / 停止
CNT-4	出力 3	圧縮機 ON 出力	CNTA	入力 2	運転 / 停止

(b) FDU(P224, P280) シリーズ

PSC012D148

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。

●「⚠**警告**」「⚠**注意**」の意味

⚠警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	⚠注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない　必ず指示に従い行う

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。

●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付る。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。

●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付る。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。

●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（ ［　］ は工場出荷時の設定）

スイッチNo.		制御内容
SW1		室内アドレス(10位)
SW2		室内アドレス(1位)
SW5−1		親/子切換(プルーラル/子機設定)
SW5−2		
SW6−1〜4		機種容量
SW7−1	ON	運転チェック･ドレンポンプ試運転
	OFF	通常運転
SW7−2（注1）	ON	旧SL通信仕様固定
	OFF	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7−3	ON	室内アドレス(100の位)　ON:1
	OFF	室内アドレス(100の位)　OFF:0

※注１：集中制御機器接続時の場合
通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。
　旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
　新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
SW7-2 が OFF(工場出荷設定)の場合は，通信仕様(新 SL/ 旧 SL)を自動判別します。
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は，SW7-2 を ON にしてください。
各通信仕様の特徴，制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

機種容量の設定

●本室内ユニットは、マルチV接続の場合のみ、それぞれの室内ユニット毎に機種容量設定が必要です。
機種容量設定は室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で設定してください。

シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合

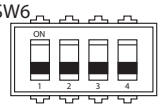
[i] 同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

マルチ V 接続の場合

[i] 異機種 / 異容量、同機種 / 異容量の室内ユニットを接続する場合
①電源投入前に室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で機種容量を設定してください。形式により設定できる機種容量は下表の通りです。これ以外に設定しないでください。正常に運転できません。また破損の原因となります。

[ii] 異機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
①自動で機種容量を認識するため、設定不要です。

形式	FDT	ZP635S			ZP715S	ZP805S	ZP1605S	
	FDR	ZP565S		ZP635S	ZP805S		ZP1125S	ZP1605S
容量		P50	P56	P63	P71	P80	P112	P140
SW6-1		ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
SW6-2		OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF
SW6-3		ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON
SW6-4		OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON



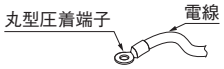
［工場出荷時設定］

注1: 工場出荷時の設定は自動認識(全てOFF)になっています。
注2: シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合でもスイッチを自動認識以外の状態にすると、設定した機種容量として認識してしまいます。

②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

①電源・室内外配線の接続

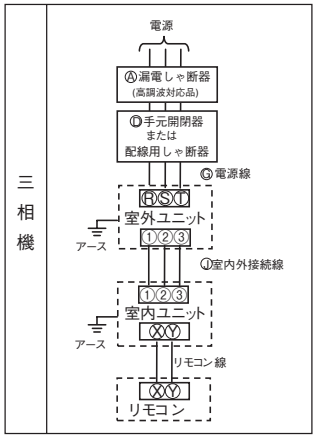
●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
②電源は、室外ユニットへ接続してください。
③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
●電源は工事が完了するまで入れないでください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。

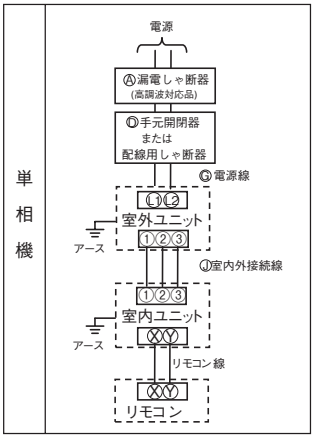


●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
●信号側端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製NV−Cシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用しゃ断器が必要となります。
④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。

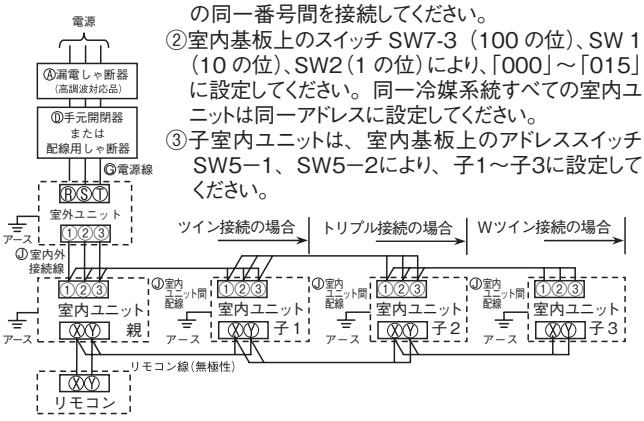
シングル接続の結線

①室内電源取りおよび室内外別電源取りは原則できません。
※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、
所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。





ツイン・トリプル・Wツイン接続の結線



①親・子室内ユニット間は端子台①②③およびⓍⓎの同一番号間を接続してください。
②室内基板上のスイッチ SW7-3 (100 の位)、SW 1 (10 の位)、SW2 (1 の位) により、「000」～「015」に設定してください。同一冷媒系統すべての室内ユニットは同一アドレスに設定してください。
③子室内ユニットは、室内基板上のアドレススイッチ SW5−1、SW5−2により、子1～子3に設定してください。

室内ユニットの親・子設定方法 (工場出荷時「親」設定)

室内ユニット		親	子1	子2	子3
室内基板 SW	SW5−1	OFF	OFF	ON	ON
	SW5−2	OFF	ON	OFF	ON

②リモコンの取付（別売部品）

●取付の詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。
●次の位置へ取付ないでください。

○直射日光の当たる所　○湿気の多い所、水が飛散する所　○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
○発熱器具に近い所　○取付面が発熱・結露する所　○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

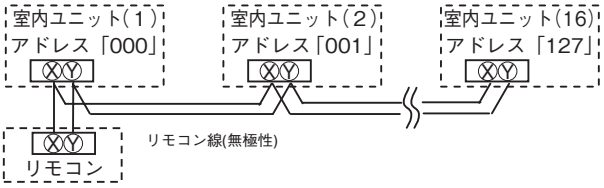
①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
②リモコン線は、0.3mm^2×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は 1mm 以上のものを使用してください。（現地手配）
③リモコン線の総延長は600mです。
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm^{2}以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100～200m以内・・・・・0.5mm^2× 2心
300m以内・・・・・0.75mm^2×2心
400m以内・・・・・1.25mm^2×2心
600m以内・・・・・2.0mm^2×2心

④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。
⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

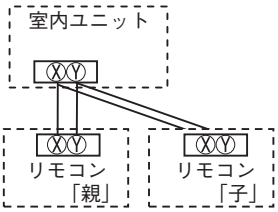
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台の室内ユニット（最大16台）をグループ制御できます。同一モード、同一室温設定で運転します。
②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
③室内ユニットの基板上のスイッチ SW7-3（100 の位）、SW1（10 の位）、SW2（1 の位）により、室内アドレスを重複しないよう「000」～「127」から設定してください。



複数リモコン使用時の親子設定

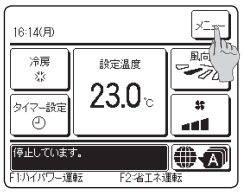
室内ユニット1台（または1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。
ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン + ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。
1 個を「親」に、残りを「子」に設定してください。
○ 注意　リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付てください。



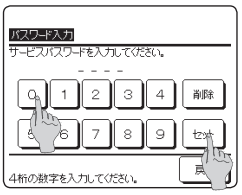
③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。
（アドレス確認はシングル接続を除く）

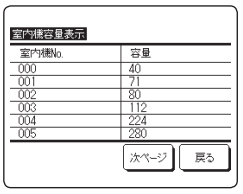
eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



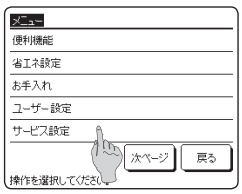
1. メニューをタッチする。
メニュー画面に切換わります。



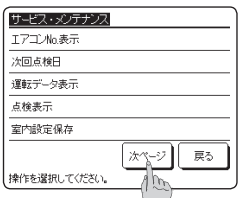
4. サービスパスワードを入力する。
5. セットをタッチする。
サービス・メンテナンスの画面に切換わります。



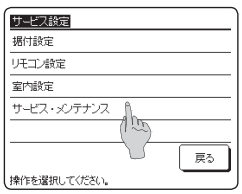
8. 接続されている室内ユニットのアドレスNo.（室内機No.）と機種容量（容量）が表示されます。



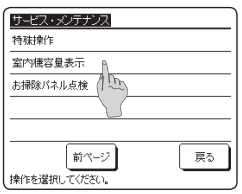
2. サービス設定をタッチする。
サービス設定画面に切換わります。



6. 次ページをタッチする。



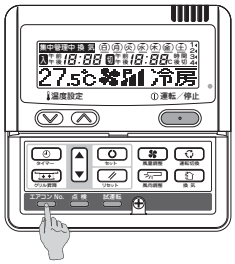
3. サービス・メンテナンスをタッチする。
パスワード入力画面に切換わります。



7. 室内機容量表示をタッチする。

③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法のつづき

標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合 機種容量は確認できません。



1 エアコンNo.ボタンを押す。
室内ユニットアドレスが表示されます。

2 ▲▼ボタンを押す。
接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

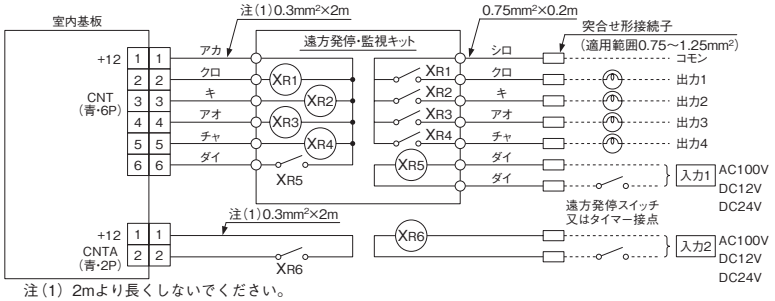
カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

④リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作 (RC-D シリーズ)
1	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換] を押してください。送風運転します。
2	親子リモコン設定	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ（SW1）を「子」に設定してください。
3	運転データの確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを１台選択⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
4	点検表示の確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒データ表示
5	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [冷房試運転] ⇒ [開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を３秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
6	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [ドレンポンプ試運転] ⇒ [運転]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼] を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット] を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。 表示：「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

⑤室内基板ＣＮＴコネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

●$X_{R1\sim4}$はＤＣ１２Ｖリレー（オムロン製ＬＹ２Ｆ相当品）
●X_{R5}は、ＤＣ１２，２４Ｖまたは１００Ｖリレー（オムロン製ＭＹ２Ｆ相当品）
●ＣＮＴコネクタ（現地側）メーカ、形式
コネクタ：モレックス製 ５２６４－０６
端　　子：モレックス製 ５２６３Ｔ
別売品（PCZ006A043）を準備しておりますのでご利用ください。
●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
●ＣＮＴＡコネクタは、ＦＤＴ他に搭載＜仕様書で確認願います＞（現地側）メーカ、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製　ＸＡＰ０２Ｖ－１－Ｅ
端　　子：日本圧着端子JST製　ＳＸＡ－０１Ｔ－Ｐ０.６
別売品（PCZ006A053）を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

①	運転出力	⑧	ファン運転出力3
②	暖房出力	⑨	デフロスト , 油戻し出力
③	圧縮機ON出力	⑩	換気出力
④	点検 (異常) 出力	⑪	ヒータ出力
⑤	冷房出力	⑫	フリークーリング出力
⑥	ファン運転出力1	⑬	室内過負荷異常出力
⑦	ファン運転出力2		

入力

①	運転 / 停止	⑤	設定温度シフト
②	運転許可禁止	⑥	強制サーモ OFF
③	緊急停止	⑦	一時停止
④	冷房 / 暖房	⑧	静音モード

工場出荷時の設定

CNT-2	出力１	運転出力	CNT-5	出力４	点検 (異常) 出力
CNT-3	出力２	暖房出力	CNT-6	入力１	運転 / 停止
CNT-4	出力３	圧縮機ON出力	CNTA	入力２	運転 / 停止

⑥リモコンからの操作・設定

A：eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。
B：eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。
C：インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。
○：eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
△：eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
1. リモコンネットワーク					
1	複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内機を接続制御できます。室内機側にアドレスを設定します。		○
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作					
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4	風向		風向を設定します。おまかせ気流の有効 / 無効を設定します（FDK の場合）。	A	△
5	風量		風量を設定します。	A	○
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A	○
7	運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A	○
8	F1 スイッチ		F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9	F2スイッチ		F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
10	言語切換		リモコンに表示する言語を選択します。選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A	
3. 便利機能					
1	フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲（上限位置―下限位置）を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。	A	△
2	エアフレックス（風よけ）設定 エアフレックスパネル組合せの場合		・詳細設定：各運転モード、各吹出口のエアフレックス（風よけ）機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換：詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF（作動中 / 停止中）を切換えます。	A	
3	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換えが可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A	△
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	
4	おこのみ設定 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	
5	ウィークリータイマー		1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
6	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
7	換気 換気機器組合せの場合		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A	○
8	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A	

⑥リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
9	室外静音設計		室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	
10	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
11	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定			管理者パスワード		
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分 (10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ～ 80% (20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4	人感センサー制御 人感センサーがある場合		人感センサを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
			パワーコントロールの冷房時 / 暖房時設定温度を設定します。	A	
5. お手入れ					
1	フィルターサインリセット	フィルターサインの解除	フィルタサインの解除を行います。	A	
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル　グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作] の設定が必要です。	A	○
		降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
		ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	
3	お掃除パネル設定 管理者パスワード	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	A	
		清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
		清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
		ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
		ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
		ブラシ移動速さ	ブラシ移動速さを設定します。	A	
		ブラシ往復数	ブラシ往復数を設定します。	A	
6. ユーザ設定					
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋ 1 時間の補正を行います。	A	
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
		運転ランプ輝度	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示]　※ 1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定][ウィークリータイマー設定] [言語切換設定][ドラフト防止設定]　※ 1	A	△

⑥リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
2	管理者設定 管理者パスワード	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
		温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃) を設定します。	A	
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	A	
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり / なしを設定します。	A	△
		管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	A	
			管理者パスワードのリセットを行います。	B	
		スイッチ機能変更	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	A	
7. サービス設定					
1	据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
		サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B	△
		冷房試	設定 5℃ 30 分間運転します。		
		ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
		お掃除試運転	フィルタ清掃　ブラシ清掃運転します。　お掃除パネル組合せの場合	B	
		ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
		自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
		親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ　設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B	
		人感センサー設定 人感センサーがある場合	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサ検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサ制御を行うことができません。	B	
		グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
		吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B	
		リモコンセンサー	リモコンセンサに切換えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B	△
		リモコンセンサー補正	リモコンセンサ検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。	B	△
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B	
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○
		外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CNT 入力の適用範囲が設定されます。	B	○
		上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] ／ [フリー停止] の切換えができます。	B	○

⑥リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
2	リモコン設定	左右ルーバ制御	左右ルーバの [固定位置停止] ／ [フリー停止] の切換えができます。	B	
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
	サービスパスワード	停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B	
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B	
3	室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
		フィルターサイン	フィルタサイン点灯タイマーの設定が切換えられます。	B	○
	サービスパスワード	外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を切換えられます。	B	○
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を切換えられます。	B	○
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を切換えられます。	B	
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を切換えられます。	B	
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B	△
		吸込温度補正	吸込センサ検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B	△
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
		フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
		ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン間欠	暖房停止･暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
		外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B	
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
		外部出力設定	外部出力 1 ～ 4 に割当てる機能を切換えられます。	B	
4	サービス・メンテナンス	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。 個別送風運転で確認できます。	B	○
	サービスパスワード	次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	○
		運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
		点検表示			
		異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。	B	△
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。		
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。		
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
		特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	B	△
		室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B	
		お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	○
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2	サービスを依頼される前に Q & A		Q &Aが表示されます。	A	
9. 点検表示					
	点検表示確認		異常発生時の表示	A	△
10. パソコン接続					
	USB 接続		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

(c) FDE(P224, P280) シリーズ

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

PSC012D177△

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。

●「⚠**警告**」「⚠**注意**」の意味

⚠警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	⚠注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗⏚ 必ず指示に従い行う

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。 ❗

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 ❗

●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 ❗

●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 ❗

●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ⃠

●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ❗

●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 ❗

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。 ❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。 ⏚

●電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。 ❗

●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ❗

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ⃠

●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。 ❗

●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。 ⃠

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 ⃠

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 ⃠

制御の切換え

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換え可能です。（[ ]は工場出荷時の設定）

スイッチNo.		制御内容
SW1		室内アドレス(10位)
SW2		室内アドレス(1位)
SW5−1		親/子切換(ブルーラル/子機設定)
SW5−2		
SW6−1～4		機種容量
SW7−1	ON	運転チェック･ドレンポンプ試運転
	[OFF]	通常運転
SW7−2（注1）	ON	旧SL通信仕様固定
	[OFF]	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7−3	ON	室内アドレス(100の位) ON:1
	[OFF]	室内アドレス(100の位) OFF:0

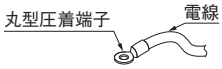
※注１：集中制御機器接続時の場合
通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。
旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
SW7-2 が OFF(工場出荷設定)の場合は，通信仕様(新 SL/ 旧 SL)を自動判別します。
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は，SW7-2 を ON にしてください。
各通信仕様の特徴，制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

機種容量の設定

●本室内ユニットは、室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
機種容量設定をする場合は室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で設定してください。
エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は室内ユニットのアドレス機種容量確認方法を参照してください。

①電源・室内外配線の接続

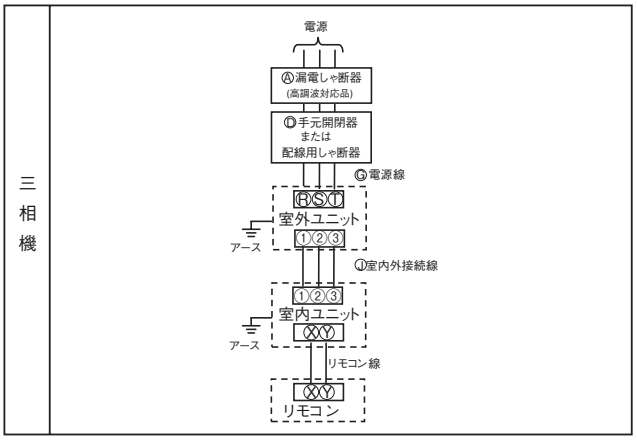
●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
②電源は、室外ユニットへ接続してください。
③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込は不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
●電源は工事が完了するまで入れないでください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。



●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
●信号側端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製NV−Cシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用しゃ断器が必要となります。
④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書で確認してください。

シングル接続の結線

①室内電源取りおよび室内外別電源取りは原則できません。



②リモコンの取付（別売部品）

●取付の詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。
●次の位置へ取付けないでください。

○直射日光の当たる所　○湿気の多い所、水が飛散する所　○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
○発熱器具に近い所　○取付面が発熱・結露する所　○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

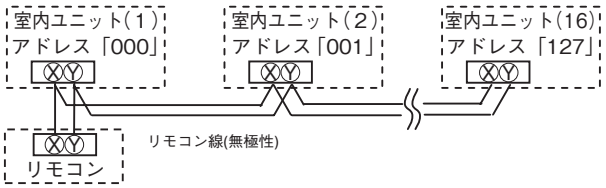
①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
②リモコン線は、0.3mm^2×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は 1mm 以上のものを使用してください。（現地手配）
③リモコン線の総延長は600mです。
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm^{2}以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100～200m以内・・・・・0.5mm^2×2心
300m以内・・・・・0.75mm^2×2心
400m以内・・・・・1.25mm^2×2心
600m以内・・・・・2.0mm^2×2心

④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。
⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

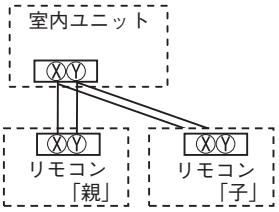
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台の室内ユニット（最大16台）をグループ制御できます。同一モード、同一室温設定で運転します。
②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
③室内ユニットの基板上のスイッチ SW7-3（100 の位）、SW1（10 の位）、SW2（1 の位）により、室内アドレスを重複しないよう「000」～「127」から設定してください。



複数リモコン使用時の親子設定

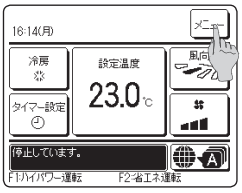
室内ユニット1台（または1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。
ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン + ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。
1 個を「親」に、残りを「子」に設定してください。
○ 注意　リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



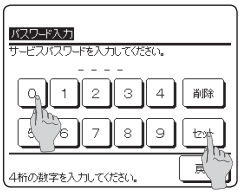
③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。
（アドレス確認はシングル接続を除く）

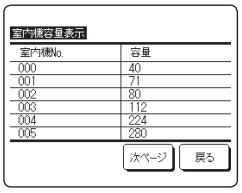
eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



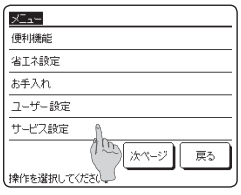
1.メニューをタッチする。
メニュー画面に切換わります。



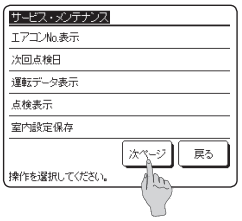
4.サービスパスワードを入力する。
5.セットをタッチする。
サービス・メンテナンスの画面に切換わります。



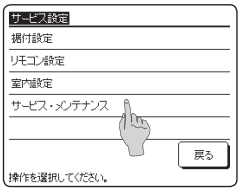
8.接続されている室内ユニットのアドレスNo.（室内機No.）と機種容量（容量）が表示されます。



2.サービス設定をタッチする。
サービス設定画面に切換わります。



6.次ページをタッチする。



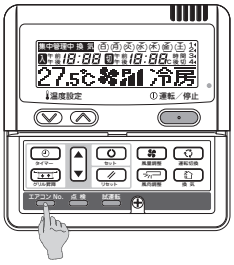
3.サービス・メンテナンスをタッチする。
パスワード入力画面に切換わります。



7.室内機容量表示をタッチする。

③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法のつづき

標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合　機種容量は確認できません。



1 エアコンNo.ボタンを押す。
室内ユニットアドレスが表示されます。

2 ▲▼ボタンを押す。
接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

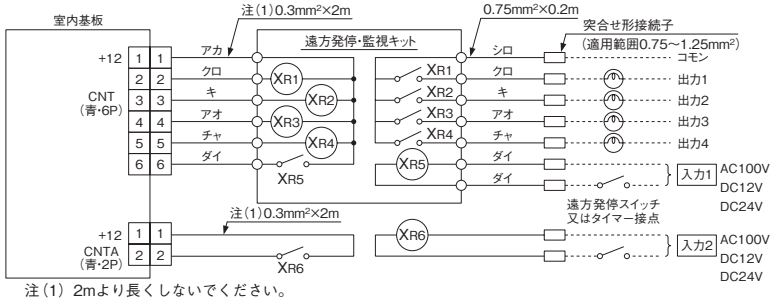
カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

④リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作 (RC-D シリーズ)
1	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換] を押してください。送風運転します。
2	親子リモコン設定	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ（SW1）を「子」に設定してください。
3	運転データの確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを１台選択⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
4	点検表示の確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒データ表示
5	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [冷房試運転] ⇒ [開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を３秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
6	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [ドレンポンプ試運転] ⇒ [運転]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼] を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット] を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。 表示：「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

⑤室内基板ＣＮＴコネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

●XR1～4はＤＣ１２Ｖリレー（オムロン製ＬＹ２Ｆ相当品）
●XR5は、ＤＣ12，２４Ｖまたは１００Ｖリレー（オムロン製ＭＹ２Ｆ相当品）
●ＣＮＴコネクタ（現地側）メーカ、形式
コネクタ：モレックス製 ５２６４－０６
端　　子：モレックス製 ５２６３Ｔ
別売品（PCZ006A043）を準備しておりますのでご利用ください。
●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
●ＣＮＴＡコネクタは、ＦＤＴ他に搭載＜仕様書で確認願います＞（現地側）メーカ、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製　ＸＡＰ０２Ｖ－１－Ｅ
端　　子：日本圧着端子JST製　ＳＸＡ－０１Ｔ－Ｐ０.６
別売品（PCZ006A053）を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

①	運転出力	⑧	ファン運転出力3
②	暖房出力	⑨	デフロスト , 油戻し出力
③	コンプ ON 出力	⑩	換気出力
④	点検 (異常) 出力	⑪	ヒータ出力
⑤	冷房出力	⑫	フリークーリング出力
⑥	ファン運転出力1	⑬	室内過負荷異常出力
⑦	ファン運転出力2		

入力

①	運転 / 停止	⑤	設定温度シフト
②	運転許可禁止	⑥	強制サーモ OFF
③	緊急停止	⑦	一時停止
④	冷房 / 暖房	⑧	静音モード

工場出荷時の設定

CNT-2	出力１	運転出力	CNT-5	出力４	点検 (異常) 出力
CNT-3	出力２	暖房出力	CNT-6	入力１	運転 / 停止
CNT-4	出力３	コンプ ON 出力	CNTA	入力２	運転 / 停止

⑥リモコンからの操作・設定

A：eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。
B：eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。
C：インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。
○：eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
△：eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
1. リモコンネットワーク					
1	複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内機を接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。		○
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作					
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4	風向		風向を設定します。おまかせ気流の有効 / 無効を設定します（FDK の場合）。	A	△
5	風量		風量を設定します。	A	○
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A	○
7	運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A	○
8	F1 スイッチ		F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9	F2スイッチ		F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
10	言語切換		リモコンに表示する言語を選択します。選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A	
3. 便利機能					
1	フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲（上限位置―下限位置）を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。	A	△
2	エアフレックス（風よけ）設定 1 エアフレックスパネル組合せの場合		・詳細設定：各運転モード、各吹出口のエアフレックス（風よけ）機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換：詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF（作動中 / 停止中）を切換えます。	A	
3	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A	△
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	
4	おこのみ設定 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	
5	ウィークリータイマー		1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
6	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
7	換気 換気機器組合せの場合		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A	○
8	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A	

⑥リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
9	室外静音設計		室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	
10	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
11	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定			管理者パスワード		
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分 (10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ～ 80% (20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4	人感センサー制御 人感センサーがある場合		人感センサを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
			パワーコントロールの冷房時 / 暖房時設定温度を設定します。	A	
5. お手入れ					
1	フィルターサインリセット	フィルターサインの解除	フィルタサインの解除を行います。	A	
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル　グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作] の設定が必要です。	A	○
		降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
		ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	
3	お掃除パネル設定 管理者パスワード	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	A	
		清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
		清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
		ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
		ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
		ブラシ移動速さ	ブラシ移動速さを設定します。	A	
		ブラシ往復数	ブラシ往復数を設定します。	A	
6. ユーザ設定					
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋1 時間の補正を行います。	A	
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
		運転ランプ輝度	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示]　※ 1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定][ウィークリータイマー設定] [言語切換設定][ドラフト防止設定]　※ 1	A	△

⑥リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
2	管理者設定 管理者パスワード	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
		温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃) を設定します。	A	
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	A	
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり / なしを設定します。	A	△
		管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	A	
			管理者パスワードのリセットを行います。	B	
		スイッチ機能変更	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	A	
7. サービス設定					
1	据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
		サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B	△
		冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。		
		ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
		お掃除試運転	フィルタ清掃　ブラシ清掃運転します。　お掃除パネル組合せの場合	B	
		ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
		自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
		親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ　設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台 (2 グループ) は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B	
		人感センサー設定 人感センサーがある場合	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサ検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサ制御を行うことができません。	B	
		グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
		吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B	
		リモコンセンサー	リモコンセンサに切換えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B	△
		リモコンセンサー補正	リモコンセンサ検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。	B	△
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B	
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○
		外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CNT 入力の適用範囲が設定されます。	B	○
		上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] ／ [フリー停止] の切換えができます。	B	○

⑥リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
2	リモコン設定	左右ルーバ制御 ※2	左右ルーバの [固定位置停止] ／ [フリー停止] の切換えができます。	B	
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
	サービスパスワード	停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B	
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B	
3	室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
		フィルターサイン	フィルタサイン点灯タイマーの設定が切換えられます。	B	○
	サービスパスワード	外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を切換えられます。	B	○
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を切換えられます。	B	○
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を切換えられます。	B	
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を切換えられます。	B	
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B	△
		吸込温度補正	吸込センサー検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B	△
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
		フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
		ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン間欠	暖房停止･暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
		外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B	
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
		外部出力設定	外部出力 1 ～ 4 に割当てる機能を切換えられます。	B	
4	サービス・メンテナンス	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。 個別送風運転で確認できます。	B	○
		次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	○
	サービスパスワード	運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
		点検表示			
		異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。	B	△
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。		
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。		
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
		特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	B	△
		室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B	
		お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	○
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2	サービスを依頼される前に Q & A		Q &Aが表示されます。	A	
9. 点検表示					
	点検表示確認		異常発生時の表示	A	△
10. パソコン接続					
	USB 接続		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

(d) FDESシリーズ

PSC012D207BA D

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。

●「⚠**警告**」「⚠**注意**」の意味

⚠警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	⚠注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗ 必ず指示に従い行う

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。 ❗

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 ❗

●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 ❗

●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 ❗

●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ⃠

●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ❗

●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 ❗

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。 ❗

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。 ⏚

●電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。 ❗

●正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ❗

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ⃠

●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。 ❗

●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。 ⃠

●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 ⃠

●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 ⃠

制御の切換え

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換え可能です。（ ■ は工場出荷時の設定）

スイッチNo.		制御内容
SW1		室内アドレス(10位)
SW2		室内アドレス(1位)
SW6−1～4		機種容量
SW7−1	ON	運転チェック･ドレンポンプ試運転
	■OFF	通常運転
SW7−2（注1）	ON	旧SL通信仕様固定
	■OFF	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7−3	ON	室内アドレス(100の位) ON:1
	■OFF	室内アドレス(100の位) OFF:0

※注１：集中制御機器接続時の場合
通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。
旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
SW7-2 が OFF（工場出荷設定）の場合は，通信仕様（新 SL/ 旧 SL）を自動判別します。
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は，SW7-2 を ON にしてください。
各通信仕様の特徴，制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

機種容量の設定

シングル・ツイン接続の場合

同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合

①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。

②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

①電源・室内外配線の接続

●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。

①配線は銅線以外のものを使用しないでください。

②電源は、室外ユニットへ接続してください。

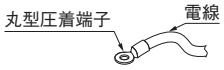
③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。

●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。

●電源は工事が完了するまで入れないでください。

●D種接地工事を必ず行ってください。

●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。



●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。

●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。

●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)

●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。

●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。

●信号側端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続

①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。

②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製NV−Cシリーズまたは、その同等品)を選定してください。

③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用しゃ断器が必要となります。

④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。

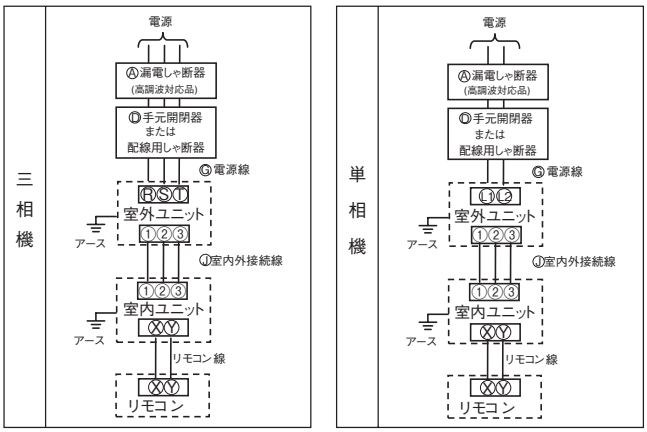
●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。

●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書で確認してください。

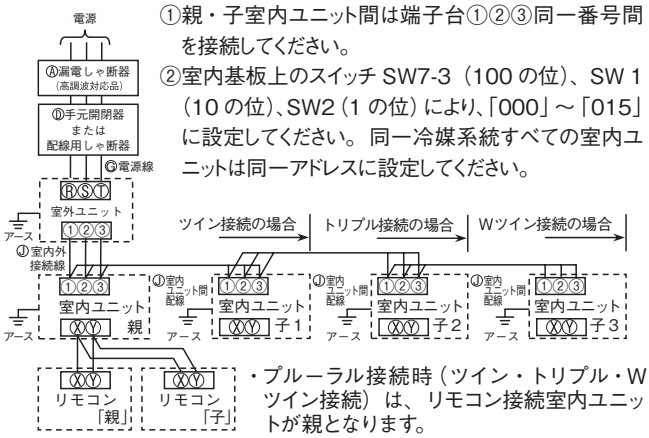
シングル接続の結線

①室内電源取りおよび室内外別電源取りは原則できません。

※例外的な接続方法の場合は所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。



ツイン・トリプル・Wツイン接続の結線



①親・子室内ユニット間は端子台①②③同一番号間を接続してください。

②室内基板上のスイッチ SW7-3(100 の位)、SW 1(10 の位)、SW2 (1 の位) により、「000」〜「015」に設定してください。同一冷媒系統すべての室内ユニットは同一アドレスに設定してください。

・プルーラル接続時(ツイン・トリプル・Wツイン接続)は、リモコン接続室内ユニットが親となります。

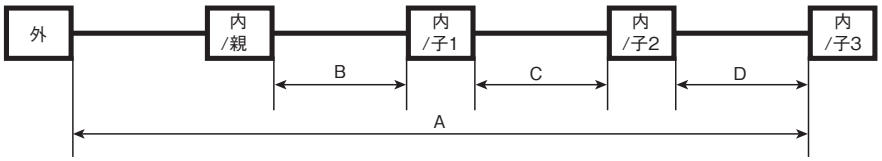
・子リモコンを接続する場合は、室内ユニットの親機に接続してください。
(室内ユニットの子機に、子リモコンを接続しても子リモコンは操作できません。)

①電源・室内外配線の接続のつづき

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		

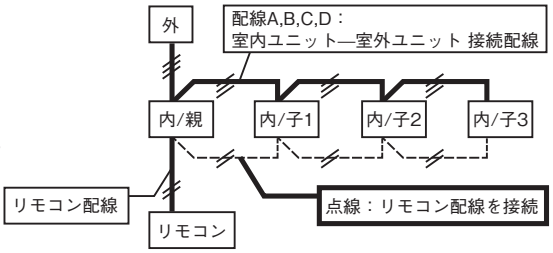


①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2）を、下記のとおり設定ください。

アドレスSW	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON



②リモコンの取付（別売部品）

●取付の詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。
●次の位置へ取付けないでください。

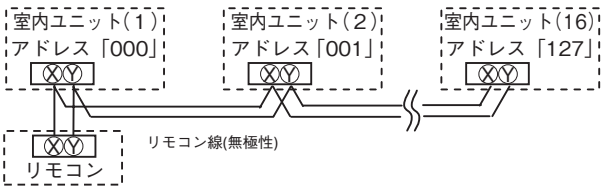
○直射日光の当たる所　○湿気の多い所、水が飛散する所　○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
○発熱器具に近い所　○取付面が発熱・結露する所　○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
②リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は 1mm 以上のものを使用してください。（現地手配）
③リモコン線の総延長は600mです。
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。
100～200m以内・・・・・0.5mm²×2心
300m以内・・・・・0.75mm²×2心
400m以内・・・・・1.25mm²×2心
600m以内・・・・・2.0mm²×2心
④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。
⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

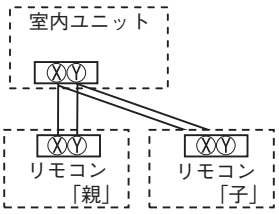
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台の室内ユニット（最大16台）をグループ制御できます。同一モード、同一室温設定で運転します。
②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
③室内ユニットの基板上のスイッチ SW7-3（100 の位）、SW1（10 の位）、SW2（1 の位）により、室内アドレスを重複しないよう「000」～「127」から設定してください。



複数リモコン使用時の親子設定

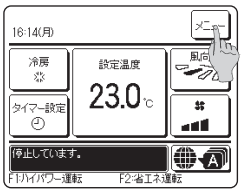
室内ユニット1台（または1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。
ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン + ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。
1 個を「親」に、残りを「子」に設定してください。
○ 注意　リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



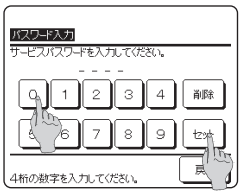
③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。
（アドレス確認はシングル接続を除く）
●寒冷地向けの室外ユニット（KP シリーズ）と接続時は、室内ユニットの機種容量の確認はできません。
（リモコンに機種容量は表示されますが、実際に接続されている機種容量と異なる場合があります。）

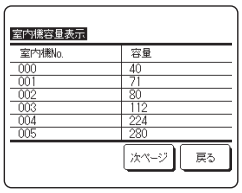
eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



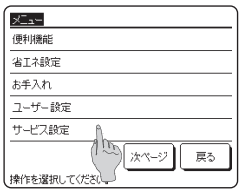
1.メニューをタッチする。
メニュー画面に切換わります。



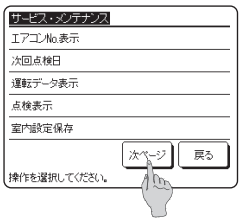
4.サービスパスワードを入力する。
5.セットをタッチする。
サービス・メンテナンスの画面に切換わります。



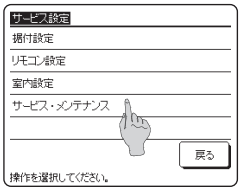
8.接続されている室内ユニットのアドレスNo.（室内機No.）と機種容量（容量）が表示されます。



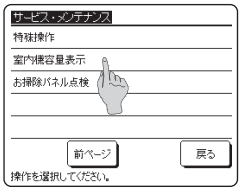
2.サービス設定をタッチする。
サービス設定画面に切換わります。



6.次ページをタッチする。

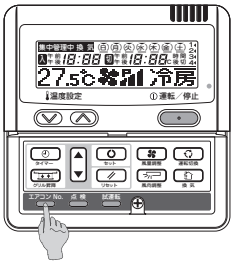


3.サービス・メンテナンスをタッチする。
パスワード入力画面に切換わります。



7.室内機容量表示をタッチする。

標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合 機種容量は確認できません。



1.エアコンNo.ボタンを押す。
室内ユニットアドレスが表示されます。
2.▲▼ボタンを押す。
接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

④リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作（RC-DX シリーズ）	標準リモコンから操作（RC-D シリーズ）
1	リモコン系統内の接続ユニットの接続台数確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを 1 台ずつ確認してください。
2	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換] を押してください。送風運転します。
3	親子リモコン設定	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ（SW1）を「子」に設定してください。
4	運転データの確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒▲▼データ選択
5	点検表示の確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒ エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒データ表示
6	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [冷房試運転] ⇒ [開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を３秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
7	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [ドレンポンプ試運転] ⇒ [運転]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼] を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット] を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。 表示 :「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

⑤リモコンからの操作・設定

〈ecoタッチリモコンの凡例〉
A：eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。
B：eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。
C：インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

〈標準リモコンの設定操作可否〉
○：eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
△：eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。
空欄：標準リモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
1. リモコンネットワーク					
1	複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内機を接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。		○
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン（含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作					
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4	風向		風向を設定します。 おまかせ気流の有効 / 無効を設定します（FDK の場合）。	A	△
5	風量		風量を設定します。	A	○
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A	○
7	運転／停止 SW		運転を開始します。 ／停止します。	A	○
8	F1 スイッチ		F1 スイッチの割付られた機能で運転、 操作を行います。	A	
9	F2スイッチ		F2 スイッチの割付られた機能で運転、 操作を行います。	A	
10	言語切換		リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A	
3. 便利機能					
1	フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲（上限位置―下限位置）を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。	A	△
2	エアフレックス（風よけ）設定 エアフレックスパネル組合せの場合		・詳細設定：各運転モード、各吹出口のエアフレックス（風よけ）機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換：詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF（作動中 / 停止中）を切換えます。	A	
3	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換えが可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A	△
		ウィークリータイマー	1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	
4	おこのみ設定 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。 おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	
5	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
6	換気 換気機器組合せの場合		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A	○

⑤リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
7	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A	
8	室外静音設定		室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	△
9	省エネモード設定		室内ユニットの省エネモードを設定します。	A	
10	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
11	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定			管理者パスワード		
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分（10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ～ 80%（20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4	人感センサ制御		人感センサを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
	人感センサがある場合		パワーコントロールの冷房時 / 暖房時設定温度を設定します。	A	
5. お手入れ					
1	フィルターサインリセット	フィルターサインの解除	フィルタサインの解除を行います。	A	○
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	△
2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル　グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作] の設定が必要です。	A	○
		降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
		ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	
3	お掃除パネル設定 管理者パスワード	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	A	
		清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
		清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
		ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
		ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
		ブラシ移動速さ	ブラシ移動速さを設定します。	A	
		ブラシ往復数	ブラシ往復数を設定します。	A	
6. ユーザ設定					
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋ 1 時間の補正を行います。	A	
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
		運転ランプ輝度	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	

⑤リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定]　[言語切換設定] [エアフレックス（風よけ）設定]	A	△
		室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
		温度設定刻み切換	設定温度の刻み（0.5℃ /1.0℃）を設定します。	A	
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	A	
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり / なしを設定します。	A	△
		管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	A	
			管理者パスワードのリセットを行います。	B	
		スイッチ機能変更	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	A	
7. サービス設定					
1	据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
		サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B	△
		冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。		
		ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
		お掃除試運転	フィルタ清掃　ブラシ清掃運転します。　お掃除パネル組合せの場合	B	
		ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
		自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
		親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ　設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B	
		人感センサー設定 人感センサー付パネルの組合せの場合	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサ検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサ制御を行うことができません。	B	
		リモコンアラーム音設定	リモコンの警報機能の有効 / 無効を設定します。	B	
		ドレンクリーン（UV-C）設定	ドレンクリーン（UV-C）の有効 / 無効を設定します。	B	
		グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○

⑤リモコンからの操作・設定のつづき

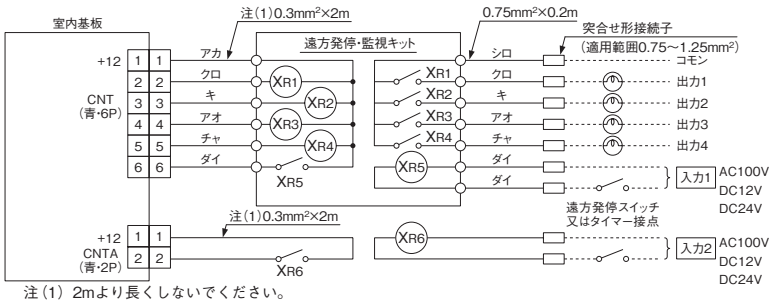
設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
		吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B	
		リモコンセンサー	リモコンセンサに切換えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B	△
		リモコンセンサー補正	リモコンセンサ検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。	B	△
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B	
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○
		外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CNT 入力の適用範囲が設定されます。	B	○
		上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] ／ [フリー停止] の切換えができます。	B	○
		左右ルーバ制御	左右ルーバの [固定位置停止] ／ [フリー停止] の切換えができます。	B	
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
		停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B	
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B	
3	室内設定 サービスパスワード	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
		フィルターサイン	フィルタサイン点灯タイマーの設定が切換えられます。	B	○
		外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を切換えられます。	B	○
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を切換えられます。	B	○
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を切換えられます。	B	
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を切換えられます。	B	
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B	○
		吸込温度補正	吸込センサ検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B	○
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
		フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
		ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○
		暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
		外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B	
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5）から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
		外部出力設定	外部出力 1 ～ 4 に割当てる機能を切換えられます。	B	
		デフロスト時ファン制御	デフロスト運転時のファン回転数を設定します。	B	

⑤リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	RC-DX3D	RC-D4G
4	サービス・メンテナンス サービスパスワード	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。 個別送風運転で確認できます。	B	○
		次回点検日	次回の点検日を登録することができます。 点検日に連絡先の表示をします。	A B	
		運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニタすることができます。	B	○
		点検表示		B	△
		異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。		
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。		
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。		
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
		特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	B	△
		室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその形式、 容量を表示します。	B	
		UV-C メンテナンス	ドレンクリーン（UV-C）のメンテナンスを行います。	B	
		照射設定	ドレンクリーン（UV-C）の照射時間を設定します。		
		照射積算時間リセット	ドレンクリーン（UV-C）の積算時間をリセットします。		
		お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、 サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2	サービスを依頼される前に Q & A		Q &Aが表示されます。	A	
9. 点検表示					
	点検表示確認		異常発生時の表示	A	△
10. パソコン接続					
	USB 接続		ウィークリータイマー設定他、 パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

⑥室内基板ＣＮＴコネクタの機能



注（1）2mより長くしないでください。

●XR1～4はＤＣ12Ｖリレー（オムロン製ＬＹ２Ｆ相当品）
●XR5は、ＤＣ12，24Ｖまたは100Ｖリレー（オムロン製ＭＹ２Ｆ相当品）
●ＣＮＴコネクタ（現地側）メーカ、形式
コネクタ：モレックス製 5264－06
端　　子：モレックス製 5263T
別売品（PCZ006A043）を準備しておりますのでご利用ください。
●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
●ＣＮＴＡコネクタは、ＦＤＴ他に搭載＜仕様書で確認願います＞（現地側）メーカ、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製　ＸＡＰ02Ｖ－1－Ｅ
端　　子：日本圧着端子JST製　ＳＸＡ－01Ｔ－Ｐ0.6
別売品（PCZ006A053）を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

①	運転出力	⑧	ファン運転出力3
②	暖房出力	⑨	デフロスト , 油戻し出力
③	圧縮機ON出力	⑩	換気出力
④	点検 (異常) 出力	⑪	ヒータ出力
⑤	冷房出力	⑫	フリークーリング出力
⑥	ファン運転出力1	⑬	室内過負荷異常出力
⑦	ファン運転出力2		

入力

①	運転 / 停止	⑤	設定温度シフト
②	運転許可禁止	⑥	強制サーモ OFF
③	緊急停止	⑦	一時停止
④	冷房 / 暖房	⑧	静音モード

工場出荷時の設定

CNT-2	出力 1	運転出力	CNT-5	出力 4	点検 (異常) 出力
CNT-3	出力 2	暖房出力	CNT-6	入力 1	運転 / 停止
CNT-4	出力 3	圧縮機ON出力	CNTA	入力 2	運転 / 停止

(e) FDF シリーズ

PGA012D414B△C

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。
集中制御（スーパーリンク）接続の場合は、セゾンエアコンスーパーリンク配線工事説明書を参照してください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。
安全のため必ずお守りください。
●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
●「⚠**警告**」「⚠**注意**」の意味

⚠警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	⚠注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

●ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 ⃠ 絶対に行わない ❗⏚ 必ず指示に従い行う
●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。 ❗
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 ❗
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付る。
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 ❗
●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 ❗
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ⃠
●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ❗
●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカがＯＮのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 ❗
●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。 ❗

⚠注意

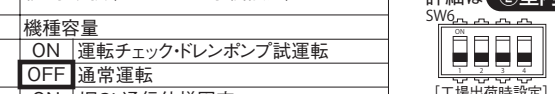
●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。 ⏚
●電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付る。
漏電しゃ断器が取付られていないと感電や火災の原因になることがあります。 ❗
●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋Ｂ種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ❗
●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ⃠
●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。 ❗
●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。 ⃠
●運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 ⃠
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 ⃠
●電源ブレーカが入っているときは、ファンの回転に注意する。
冷媒センサが冷媒の漏えいを検知すると、ファンが自動で回転し、ケガの原因になることがあります。 ❗

制御の切換えと機種容量の設定

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換え可能です。（ ［ ］ は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容	
SW1	室内アドレス（10位）	
SW2	室内アドレス（1位）	
SW5−1	親/子切換（プルーラル/子機設定）	
SW5−2		
SW6−1〜4	機種容量	
SW7−1	ON	運転チェック･ドレンポンプ試運転
	［OFF］	通常運転
SW7−2	ON	旧SL通信仕様固定
	［OFF］	新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7−3	室内アドレス（100位）　OFF:0　ON:100	

シングル・ツイン接続の場合　※同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。
詳細は **②室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。



注１：工場出荷時の設定は自動認識（全て OFF）になっています。
注２：シングル・ツイン接続の場合でもスイッチを自動認識以外の状態にすると、設定した機種容量として認識してしまいます。

集中制御（スーパーリンク）接続の場合
SW7-2 を設定してください。
セゾンエアコンスーパーリンク配線工事説明書を参照

①電源・室内外配線の接続

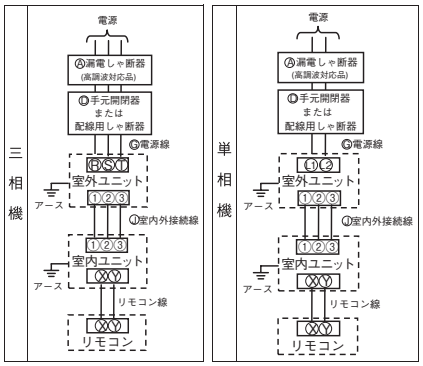
●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
②電源は、室外ユニットへ接続してください。
③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
●電源は工事が完了するまで入れないでください。
●D種接地工事を必ず行ってください。
●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。



●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。（万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。）
●天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線など）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
●リモコン用端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、リモコン側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
②電源には必ず漏電しゃ断器を取付てください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器（三菱電機製NV−Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）または、配線用しゃ断器が必要となります。
④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書で確認してください。

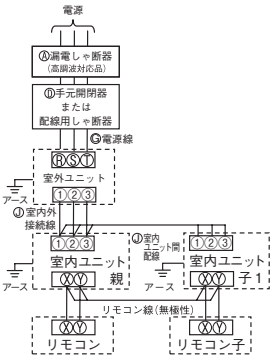
シングル接続の結線

室内電源とりおよび室内外別電源とりは原則できません。
※例外的な接続方法の場合は所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。



ツイン接続の結線

①親・子室内ユニット間は端子台①②③およびXY の同一番号間を接続してください。
②室内基板上のロータリースイッチ SW1, SW2 により、“00”～“15”から設定してください。同一冷媒系統子機は親機とアドレス No. を合わせてください。
③子室内ユニットは基板上のディップスイッチ SW5 により子 1 に設定してください。



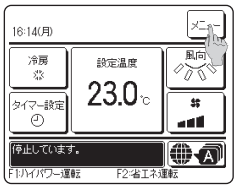
室内ユニットの親・子設定方法（工場出荷時「親」設定）

室内ユニット		親	子1
室内基板 SW	SW5−1	OFF	OFF
	SW5−2	OFF	ON

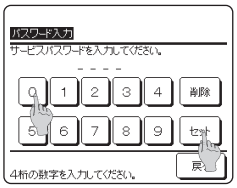
②室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。（アドレス確認はシングル接続を除く）
●寒冷地向けの室外ユニット（KP シリーズ）と接続時は、室内ユニットの機種容量の確認はできません。（リモコンに機種容量は表示されますが、実際に接続されている機種容量と異なる場合があります。）

eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



1.メニューをタッチする。
メニュー画面に切換わります。

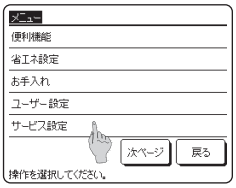


4.サービスパスワードを入力する。
5.セットをタッチする。
サービス・メンテナンスの画面に切換わります。

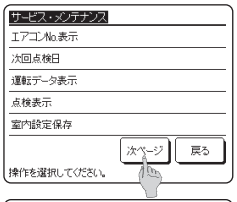


8.接続されている室内ユニットのアドレス No. (室内機 No.)、機種名称（形式）と機種容量（容量）が表示されます。

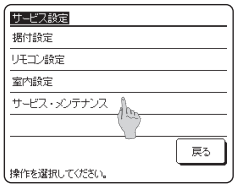
※ 室外ユニット FDCVP2245H 室内ユニット FDFZP1605SB　2 台接続の場合の例



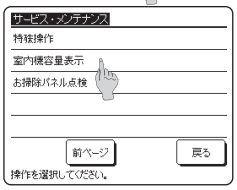
2.サービス設定をタッチする。
サービス設定画面に切換わります。



6.次ページをタッチする。



3.サービス・メンテナンスをタッチする。
パスワード入力画面に切換わります。



7.室内機容量表示をタッチする。

③リモコンからの操作・設定

A：取扱説明書を参照ください。
B：本書を参照ください。
C：インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

設定および表示項目			詳細内容	専用リモコン
1. リモコンネットワーク				
1	複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内ユニットを接続制御できます。 室内ユニット側にアドレスを設定します。	
2	親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B
2.TOP 画面・SW 操作				
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A
2	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A
3	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A
4	風向		風向を設定します。	A
5	風量		風量を設定します。	A
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A
7	運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A
8	F1 スイッチ		F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A
9	F2スイッチ		F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A
10	言語切換		リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語／日本語 ドイツ語／フランス語／スペイン語／ポルトガル語／中国語	A
3. 便利機能				
1	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A
		ウィークリータイマー	1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A
2	おこのみ設定 管理者パスワード		おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A
3	るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A
4	換気 換気機器組合せの場合		換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	A
5	言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語	A
6	室外静音設定		室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A
7	見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A
8	消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A
4. 省エネ設定			管理者パスワード	
1	切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分 (10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A

③リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	専用リモコン
2	ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ～ 80% (20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A
3	設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A
4	人感センサ制御		人感センサを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A
5. お手入れ				
1	フィルタサインリセット	フィルタサインの解除	フィルタサインの解除を行います。	A
		次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A
6. ユーザ設定				
1	初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A
		時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A
		サマータイム補正	現在時刻に対し、＋ 1 時間の補正を行います。	A
		コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A
		バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A
		ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A
		運転ランプ輝度	運転ランプの輝度の調整を行います。	A
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [ウィークリータイマー設定]　[言語切換設定]	A
		室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A
		設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A
		温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃）を設定します。	A
		設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	A
		リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり / なしを設定します。	A
		管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	A
			管理者パスワードのリセットを行います。	B
		スイッチ機能変更	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [消費電力量表示]	A
7. サービス設定				
1	据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B
		サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B
		試運転	試運転の開始／停止を制御できます。	B
		冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。	
		バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B
		人感センサ設定	リモコンに接続された室内機の人感センサ検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサ制御を行うことができません。	B
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B
		吸込センサ制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B

③リモコンからの操作・設定のつづき

設定および表示項目			詳細内容	専用リモコン
2	リモコン設定 サービスパスワード	リモコンセンサ	リモコンセンサに切り替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B
		リモコンセンサ補正	リモコンセンサ検知温度を補正できます。 冷房／暖房　別々に補正可能です。	B
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／℉の選択が可能です。	B
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B
		外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CNT 入力の適用範囲が設定されます。	B
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B
		停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B
3	室内設定 サービスパスワード	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B
		フィルターサイン	フィルタサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B
		外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を換えられます。	B
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を換えられます。	B
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を換えられます。	B
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を換えられます。	B
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B
		吸込温度補正	吸込センサ検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	B
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B
		フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B
		暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	B
		外部出力設定	外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を換えられます。	B
4	サービス・メンテナンス サービスパスワード	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B
		次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B
		運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B
		点検表示		
		異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。	B
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。	
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。	
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。	
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B
		特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	B
		室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B
		安全システムメンテナンス	室内ユニットと冷媒センサの接続状態を表示します。	B
8. 困ったときは・・・				
1	連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A
2	サービスを依頼される前に Q & A		Q &Aが表示されます。	A
9. 点検表示				
	点検表示確認		異常発生時の表示	A
10. パソコン接続				
	USB 接続		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

④電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

・親子が設定されていない場合⇒(1)

・親子が設定されている場合　⇒(2)

(1) **親子が設定されていない場合**

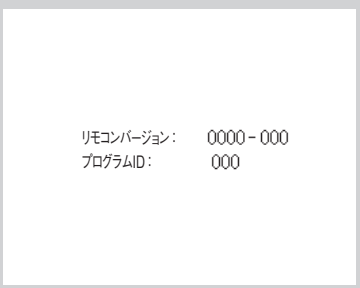
①⇒②親子入力画面を表示します。

枠で囲まれた 親 子 どちらかをタッチしてください。初期設定作業を開始します。

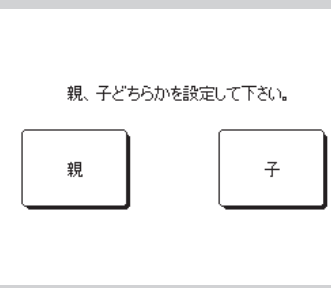
誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。(⑥リモコン機能設定④)

室内ユニット1台または、1グループに、2個の eco タッチリモコンが接続されている場合、1個目を 親 で設定開始すると 2個目は自動で 子 になります。

①スタート画面



②親子設定入力画面



ご注意

リモコン1台の場合は、親 をタッチしてください。
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。

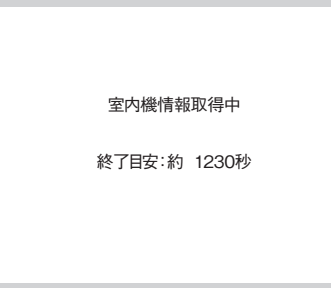
親を選択した場合　③⇒④⇒⑤の順で画面が遷移します。

子を選択した場合　①⇒⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

③室内機検索中



④室内機情報取得中



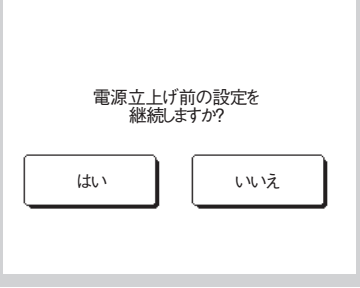
⑤ TOP 画面



通信が 10 分間確定しない場合、赤 LED が点滅します。

(2) **リモコンの親子設定がされている場合**

⑥設定継続確認画面

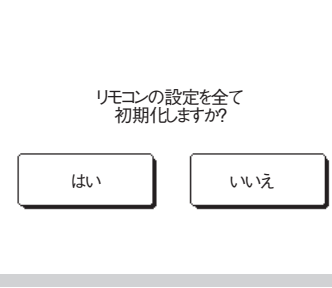


はい　⑧⇒⑤の順で画面が遷移します。

いいえ　⑦に画面が遷移します。

表示が 15 秒間タッチされない場合は はい 継続を認識して⑤画面に変わります。

⑦初期化確認画面



はい　①⇒②の順で画面が遷移します。

いいえ　⑥に画面が遷移します。

初期化すると出荷状態に戻ります。

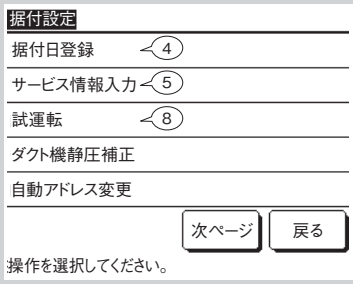
⑧初期設定中画面



⑤据付設定　試運転

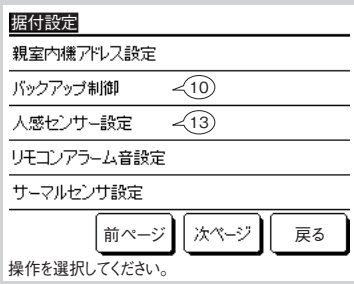
ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード]

①据付設定メニュー＃１



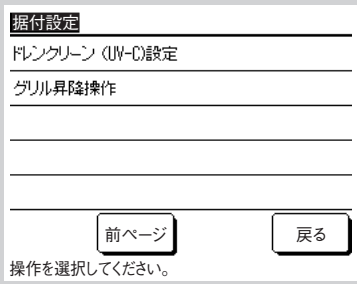
選択した画面に移ります。

②据付設定メニュー＃２



選択した画面に移ります。

③据付設定メニュー＃３



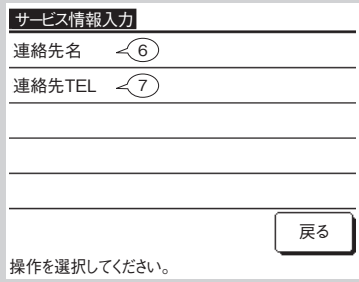
選択した画面に移ります。

④据付日登録



[▲][▼]で設定してください。
[セット]で登録されます。

⑤サービス情報入力



お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。

⑥連絡先名登録



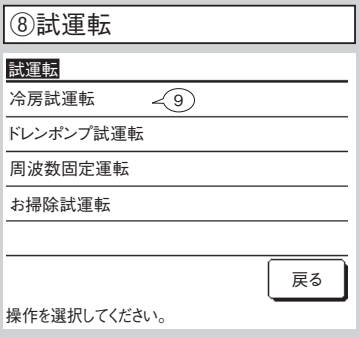
連絡先名を半角 26 文字相当以内で入力し、[セット]ボタンをタッチしてください。数字、英字、カナ、漢字、キリル文字、中国文字での入力ができます。

⑦連絡先 TEL 登録



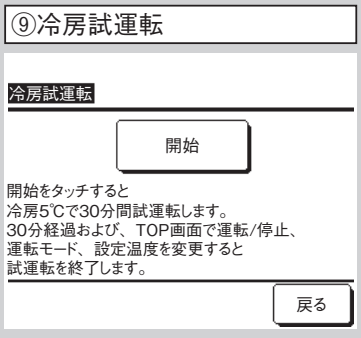
連絡先電話番号を 13 文字以内で入力し、[セット]ボタンをタッチしてください。

⑧試運転



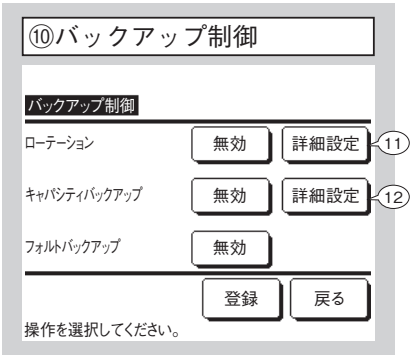
選択した画面に移ります。

⑨冷房試運転



冷房の停止中に操作可能です。室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を 30 分間 5℃に下げて運転します。

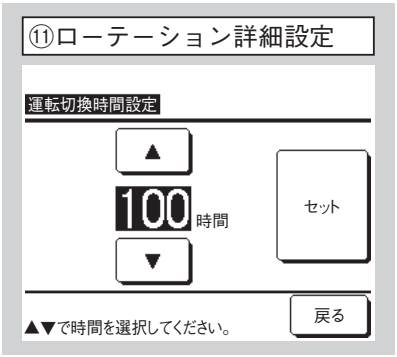
⑤据付設定　試運転のつづき



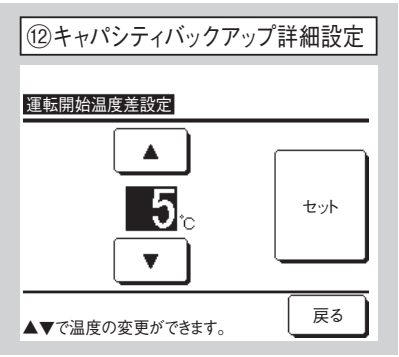
1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2グループ）が接続されている時に、以下の制御が可能です。

1. ローテーション：2 台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
2. キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を 1 台⇔ 2 台へ切換えます。
3. フォルトバックアップ：室内ユニット 2 台中 1 台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう 1 台の室内ユニットが運転を開始します。ただし冷媒漏えい検知（ディスプレイ上では、E23 表示）し、全停止すると、フォルトバックアップは無効となります。

有効 / 無効を選択し（無効をタッチすると有効に変わります。）、登録ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。



ローテーションの運転を切換える時間を設定します。
1 ～ 999 時間の間で 1 時間刻みで設定可能です。
時間切換後、セットで仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って登録をタッチしてください。

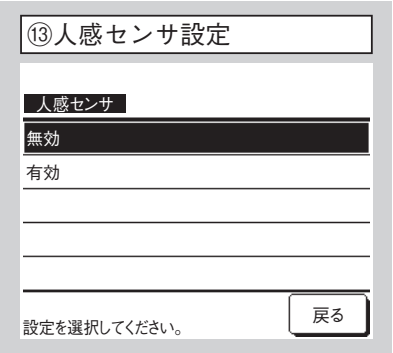


キャパシティバックアップの 1 台⇔ 2 台を切換える設定温度と室温の温度差を設定します。
2 ～ 5℃の間で 1℃刻みで設定可能です。温度切換後、セットで仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って登録をタッチしてください。

バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切換わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバック制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバック制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内ユニット 2 台（2 グループ）の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内ユニットが先に運転開始します。

⑤据付設定　試運転のつづき



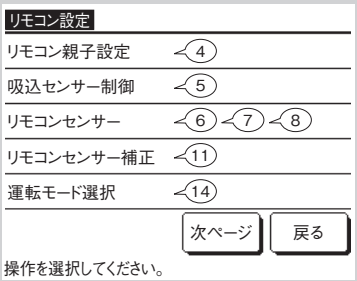
リモコンに接続されている室内ユニットの人感センサの有効/無効かを選択します。

・人感センサを採用のお客様は上記の設定を行ってください。
　人の活動量を検知させたい室内ユニットを有効にしてください。
　人感センサ設定が無効の場合には、人の活動量を検知しないため人感センサ制御（パワーコントロール、オートオフ）を行いません。
・4形以前の室内機は、人感センサ設定を有効にできません。
　人感センサ設定をタッチすると、「操作無効です」と表示されます。

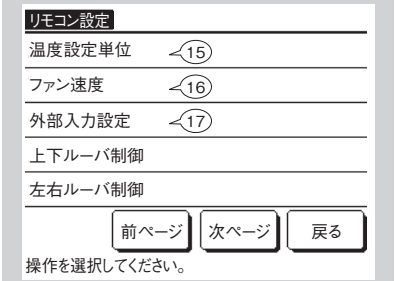
⑥リモコン機能設定　　お知らせ：停止中のみ操作可能

ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード]

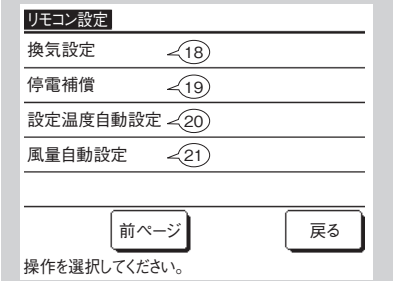
①リモコン設定メニュー＃１



②リモコン設定メニュー＃２

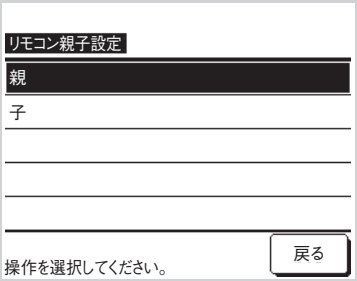


③リモコン設定メニュー＃３



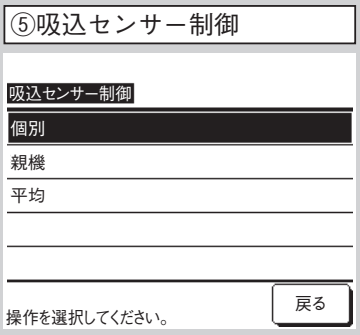
選択した画面に移ります。

④リモコン親子設定



リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

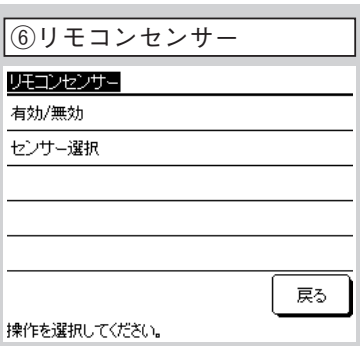
⑤吸込センサー制御



室内ユニットの吸込センサの検知温度によりサーモ判定を行います。
1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサを選択できます。

1. [個別]：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルーラル接続されている場合はプルーラル親機の吸込温度を基準とします。
2. [親機]：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。
   1 台のリモコンに、プルーラル接続が複数接続されている場合は、プルーラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
3. [平均]：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

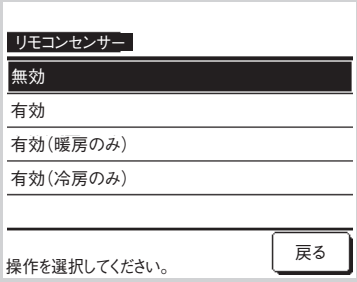
⑥リモコンセンサー



選択した画面に移ります。

⑥リモコン機能設定のつづき

⑦リモコンセンサー



室内ユニット本体吸込センサをリモコン側に変更できます。

無効　室温表示は、本体側センサになります。⇒ ⑨

有効　室温表示は、リモコン側センサになります。⇒ ⑩

有効(暖房のみ)　室温表示は、暖房中のみリモコン側センサになります。

有効(冷房のみ)　室温表示は、暖房以外で運転中にリモコン側センサになります。

⑧リモコンセンサー



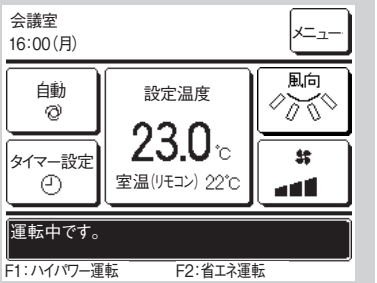
使用するリモコンセンサを選択します。
接続されているリモコンを表示します。

⑨ TOP 画面 (本体側センサーの場合)



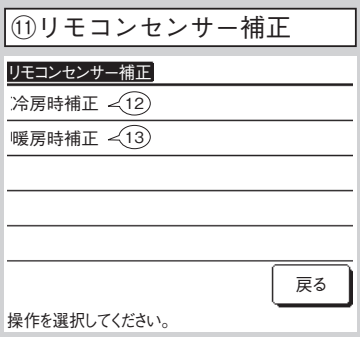
リモコンセンサ無効時は、TOP 画面で“室温○℃”と表示されます。

⑩ TOP 画面 (リモコン側センサーの場合)



リモコンセンサ有効時は、TOP 画面で“室温 (リモコン) ○℃”と表示されます。

⑪リモコンセンサー補正

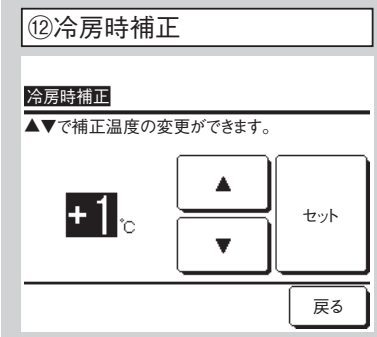


リモコンセンサ検知温度の補正ができます。

冷房時補正　⇒ ⑫

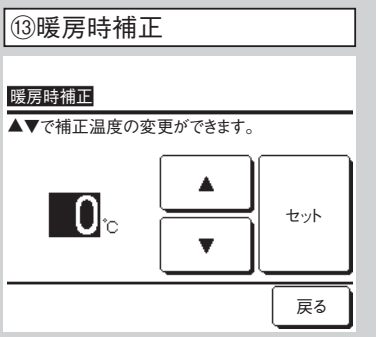
暖房時補正　⇒ ⑬

⑫冷房時補正



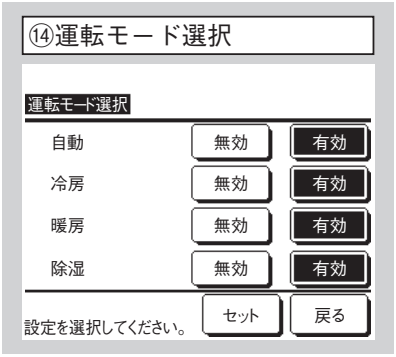
冷房運転中のリモコンセンサ検知温度補正ができます。
－３～＋３の範囲で設定します。

⑬暖房時補正

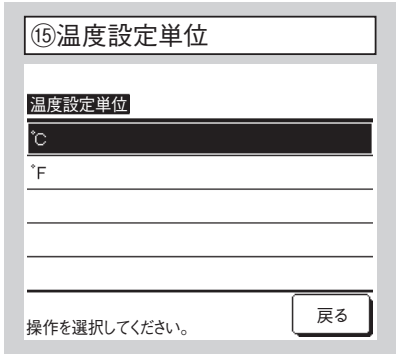


暖房運転中のリモコンセンサ検知温度補正ができます。
－３～＋３の範囲で設定します。

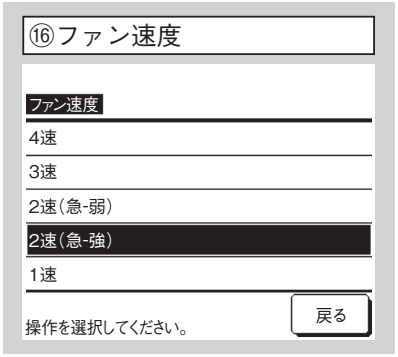
⑥リモコン機能設定のつづき



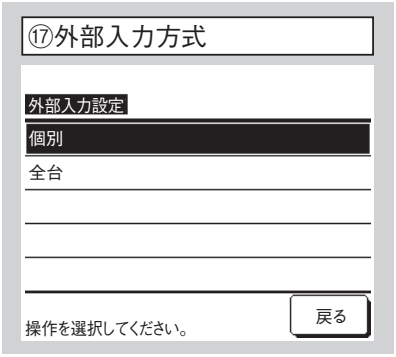
各運転モード毎に有効・無効を設定可能です。
冷房または暖房を無効にした場合、自動も無効になります。



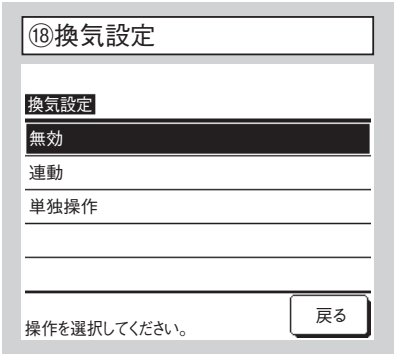
設定温度の単位を設定します。



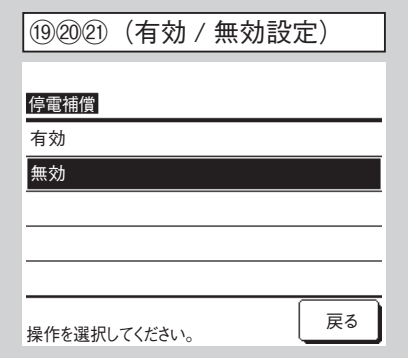
ファン速度選択の変更が可能です。
室内ユニットにより対応できない場合があります。



1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、運転／停止に対して CNT の入力の適用範囲を設定できます。
個別 CNT入力された室内ユニットのみに適用されます。
全台 リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。



換気機器組合せの設定ができます。
無効 接続無し。
連動 エアコン運転／停止に連動し、換気出力（CNT）に出力します。
単独操作 メニューから換気を選択により換気単独で運転 / 停止出力を行います。



（図は停電保障の場合）

⑲停電保障
運転中に停電した場合、
有効 停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。
無効 停電復旧後、停止します。

⑳設定温度自動設定
有効 室温設定画面から自動の選択が可能になります。
無効 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

㉑風量自動設定
有効 風量設定画面から自動の選択が可能になります。
無効 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

⑦室内機能設定　　お知らせ：停止中のみ操作可能

ＴＯＰ画面　メニュー　⇒　サービス設定　⇒　室内設定　⇒　サービスパスワード

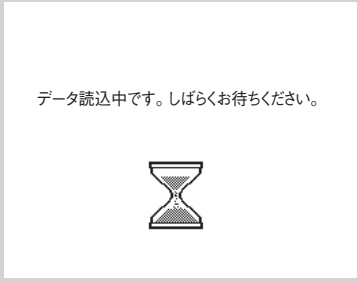
①室内機選択



②室内機選択 2



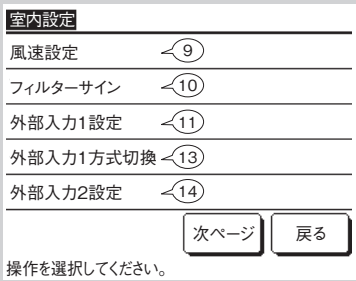
③データ読込中



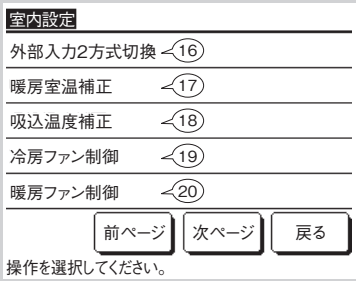
室内ユニットからデータ受信後に④に画面が切換わります

複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。
000 ～ 015 各室内ユニット毎に個別設定されます。
全台 全台同一設定されます。

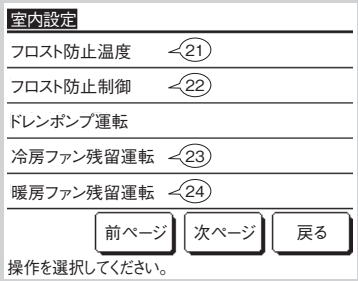
④室内設定メニュー＃１



⑤室内設定メニュー＃２

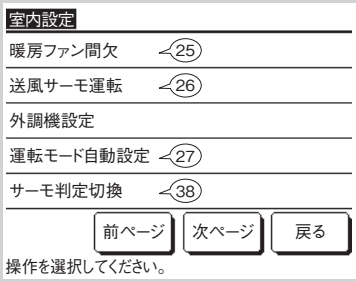


⑥室内設定メニュー＃３

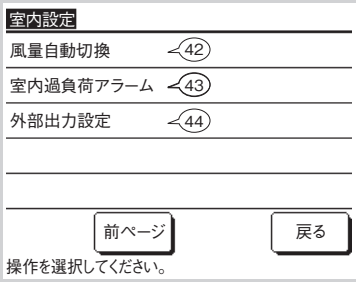


選択した画面に移ります。

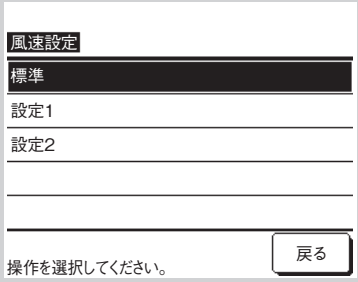
⑦室内設定メニュー＃４



⑧室内設定メニュー＃５

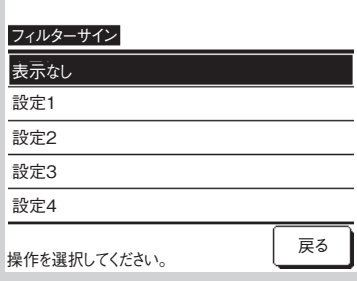


⑨風速設定



室内ユニットの風速設定を設定します。詳細は、782ページを参照ください。

⑩フィルターサイン

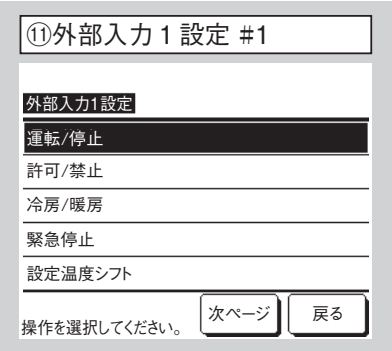


フィルタサイン点灯時間を設定します。

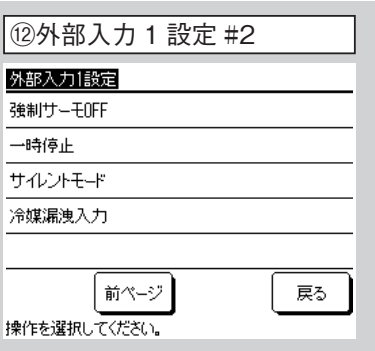
	フィルタサイン設定時間
表示なし	無し
設定１	180Hr
設定２	600Hr
設定３	1,000Hr
設定４	1,000Hr後運転停止

⑦室内機能設定のつづき

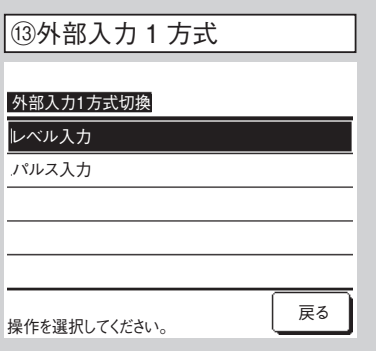
⑪外部入力 1 設定 #1



⑫外部入力 1 設定 #2



⑬外部入力 1 方式

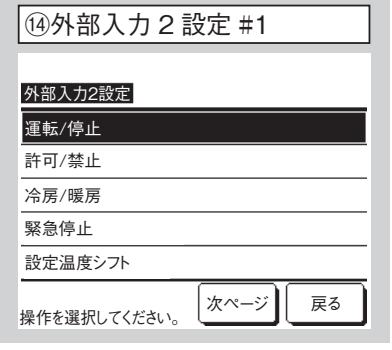


室内ユニット CNT 入力時の制御を設定します。
詳細は、783ページを参照ください。

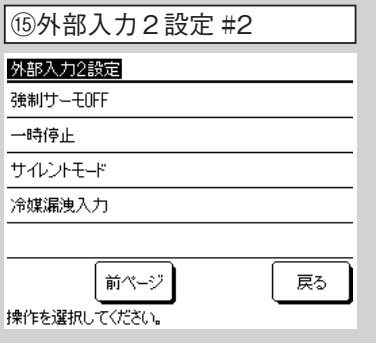
室内ユニットCNTへの入力信号方式を設定します。
詳細は、783ページを参照ください。

外部入力 2 を装備している室内ユニットと組合わせた場合に操作できます。詳細は、783ページを参照ください。

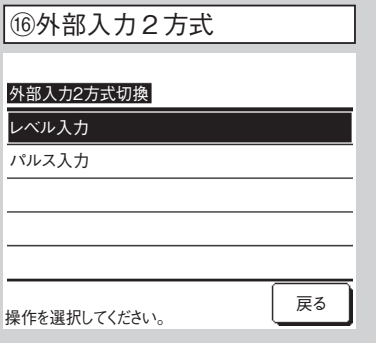
⑭外部入力 2 設定 #1



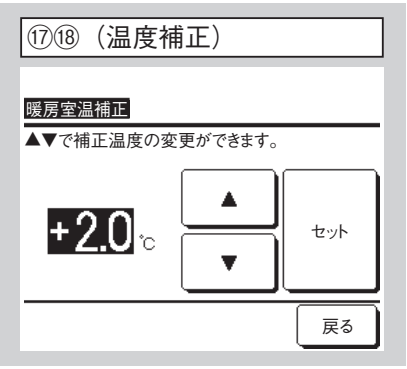
⑮外部入力 2 設定 #2



⑯外部入力 2 方式



⑰⑱（温度補正）

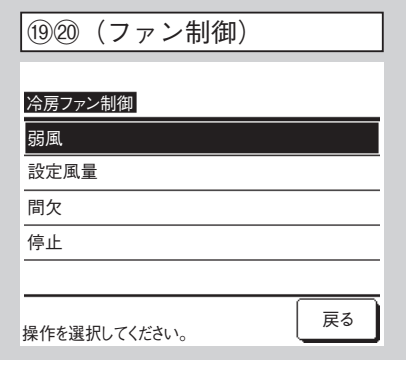


⑰暖房室温補正
暖房サーモ判定温度を補正します。
0℃／ +1℃／ +2℃／ +3℃

⑱吸込温度補正
本体吸込温度センサの検知温度を補正します。
－2.0℃／－1.5℃／－1.0℃／ 0.0℃／ +1.0℃／ +1.5℃／ +2.0℃

（図は暖房室温補正の場合）

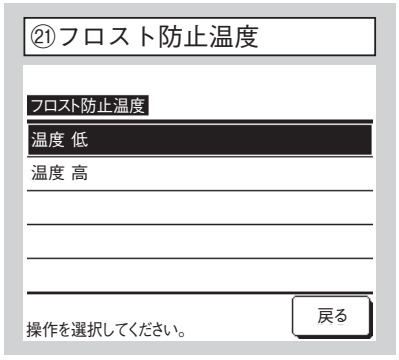
⑲⑳（ファン制御）



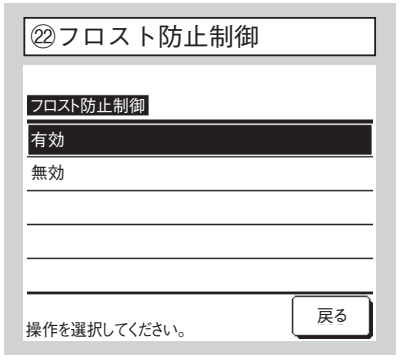
⑲冷房ファン制御／⑳暖房ファン制御
冷房／暖房のサーモ OFF 中のファン速度を設定します。
弱風 弱風運転
設定風量 サーモ ON 中と同風量
間欠 2 分Lo (ULo)運転／5 分停止
停止 停止

（図は冷房ファン制御の場合）

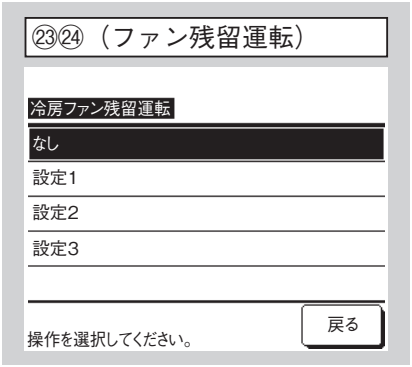
⑦室内機能設定のつづき



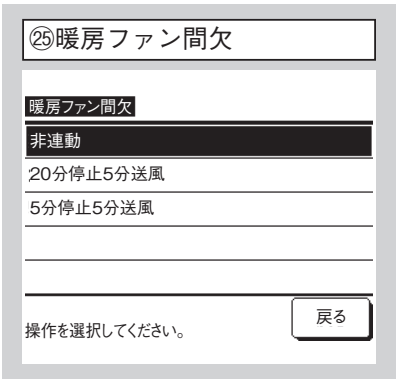
フロスト防止制御温度の切換ができます。



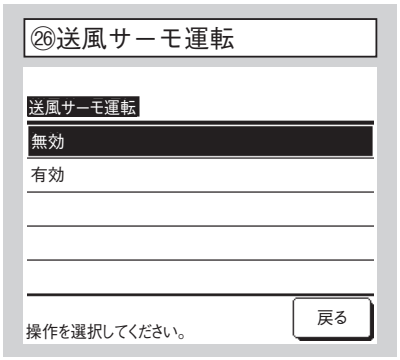
フロスト防止制御後、ファン速度が
有効 アップします。
無効 変化しません。



㉓冷房ファン残留運転／㉔暖房ファン残留運転
冷房／暖房の停止またはサーモ OFF 後のファン残留運転時間を設定します。
なし ファン残留運転なし
設定１ 0.5 時間
設定２ ２時間
設定３ ６時間
※残留時間が異なる場合があります。



暖房運転、停止またはサーモOFF後のファン制御を設定します。
非連動 停止
20分停止 5分送風 25分毎に条件チェックして５分送風
5分停止 5分送風 10分毎に条件チェックして５分送風



サーキュレータ運転として使用する場合
無効 送風時連続運転
有効 送風時リモコンと本体の温度差を見て送風運転／停止します。

⑦室内機能設定のつづき

㉗運転モード自動設定

運転モード自動設定
- 自動1･2･3切換 ㉘
- 自動1関連設定 ㉙
- 自動2関連設定 ㉚
- 自動3関連設定 ㉛

戻る

操作を選択してください。

㉘自動 1･2･3 切換

自動1･2･3切換
- 自動1
- 自動2
- 自動3

戻る

操作を選択してください。

自動 1　設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切換わります。

自動 2　設定温度と室温の温度差および外気温度で冷房／暖房が切換わります。

自動 3　室温および外気温度で、冷房／暖房が切換わります。

運転モード自動での冷房／暖房切換方式を３方式から選択できます。
各方式の条件を設定をします。

㉙自動 1 関連設定

自動1関連設定
- 冷房切換温度 ㉜
- 暖房切換温度 ㉝

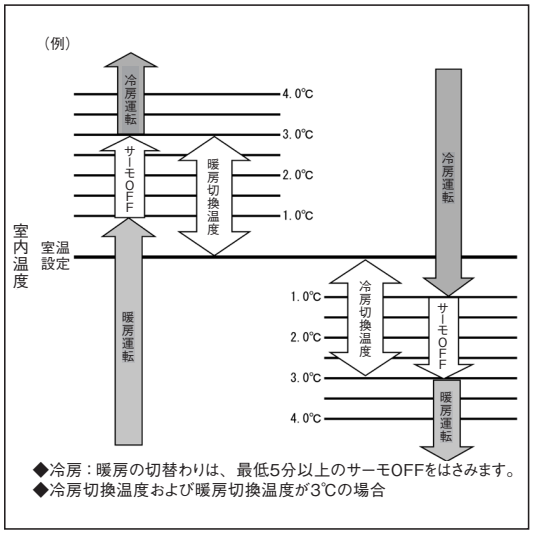
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度を設定します。
切換温度は１～４℃の範囲で設定できます。

設定温度－冷房切換温度＜室内吸込温度の場合
⇒運転モード：冷房

設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房：暖房の切替わりは、最低5分以上のサーモOFFをはさみます。
◆冷房切換温度および暖房切換温度が3℃の場合

㉚自動 2 関連設定

自動2関連設定
- 冷房切換温度 ㉜
- 暖房切換温度 ㉝
- 冷房室外温度 ㉞
- 暖房室外温度 ㉟

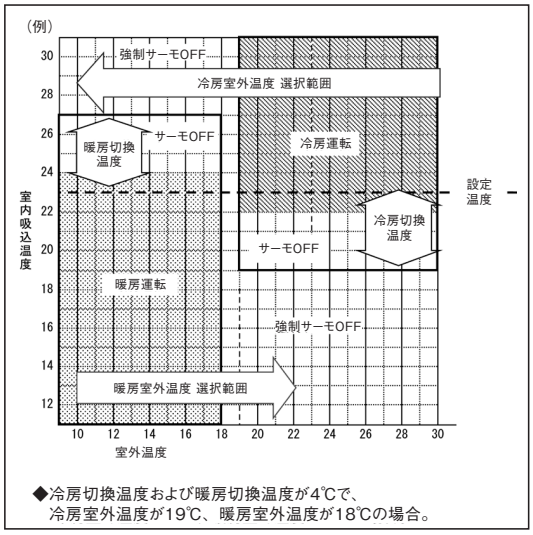
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

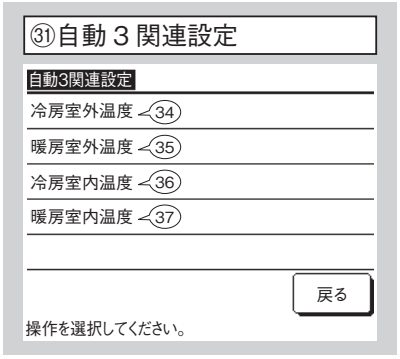
「設定温度－冷房切換温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

「設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房切換温度および暖房切換温度が4℃で、
冷房室外温度が19℃、暖房室外温度が18℃の場合。

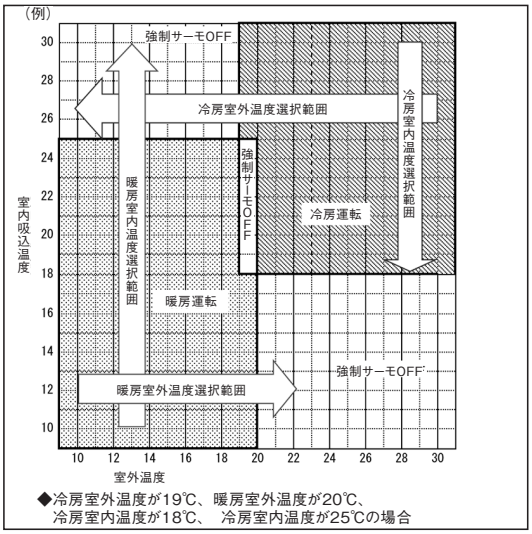
⑦室内機能設定のつづき



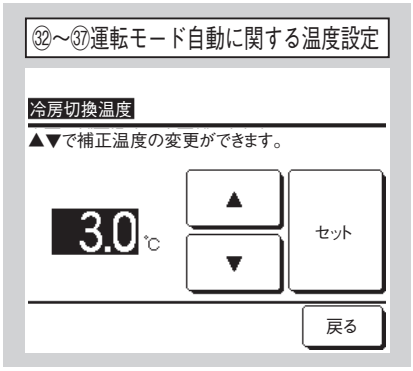
冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。

「設定した冷房室内温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

「設定した暖房室内温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房



◆冷房室外温度が19℃、暖房室外温度が20℃、
冷房室内温度が18℃、 冷房室内温度が25℃の場合

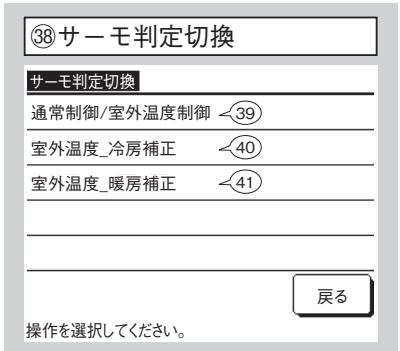


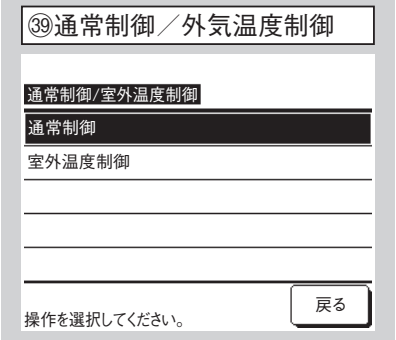
（図は冷房切換温度の場合）

㉜冷房切換温度／㉝暖房切換温度
自動１、自動２で冷房／暖房の切換温度を下記の範囲で設定します。
冷房：1 ～ 4℃
暖房：1 ～ 4℃

㉞冷房室外温度／㉟暖房室外温度
自動２、自動３で冷房／暖房の室外温度を下記の範囲で設定します。
冷房：10 ～ 30℃
暖房：10 ～ 22℃

㊱冷房室内温度／㊲暖房室内温度
自動３で冷房／暖房の室内温度を下記の範囲で設定します。
冷房：18 ～ 30℃
暖房：10 ～ 30℃

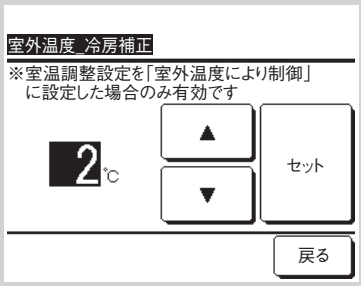




室温制御、サーモ ON ／ OFF 切換方式・条件を設定します。
通常制御 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。
室外温度制御 室外温度±補正値と室内温度でサーモ判定します。
室温設定は無効となります。

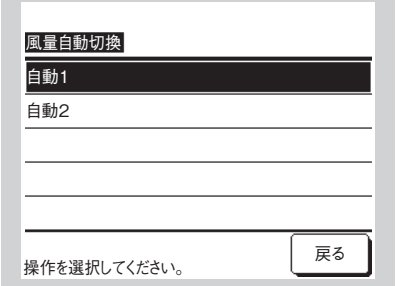
⑦室内機能設定のつづき

⑩⑪（室外温度＿補正）



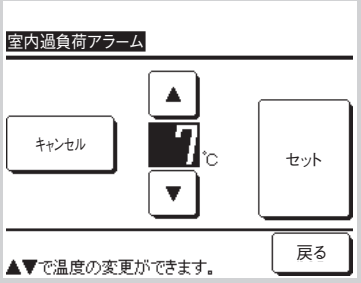
⑩室外温度＿冷房補正／⑪室外温度＿暖房補正
冷房／暖房のサーモ判定する補正値を下記の範囲で設定します。
冷房：0 ～ 10℃　室内温度＞（室外温度－冷房補正値）
暖房：0 ～ 5℃　室内温度＜（室外温度＋暖房補正値）

⑫風量自動切換



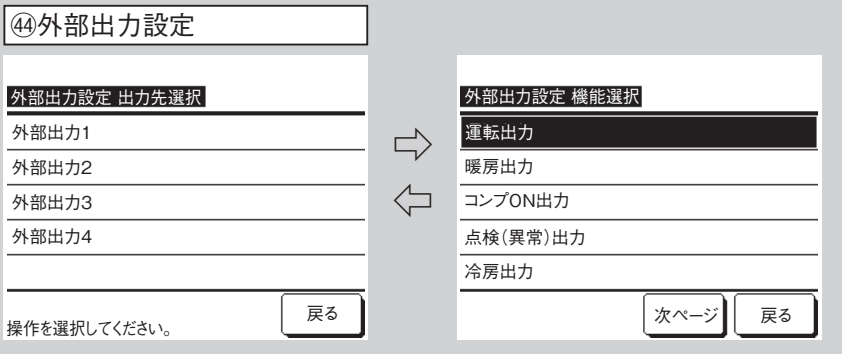
風量自動の切換範囲を設定
自動１　急⇔強⇔弱
自動２　P急⇔急⇔強⇔弱

⑬室内過負荷アラーム設定



運転開始 30分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT-5）から過負荷アラーム信号を送信します。

⑭外部出力設定



変更する出力先を選択後、選択した出力に割り当てる機能を選択します。
各出力のコネクターと初期設定は下記です。
外部出力１　CNT-2　運転出力
外部出力２　CNT-3　暖房出力
外部出力３　CNT-4　圧縮機 ON 出力
外部出力４　CNT-5　点検（異常）出力
詳細は 751ページを参照願います。

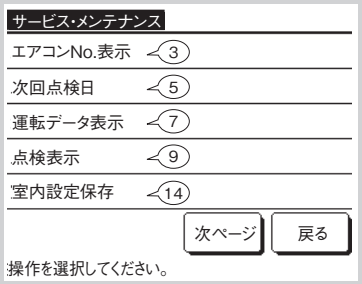
設定できる機能

運転出力
暖房出力
圧縮機 ON 出力
点検（異常）出力
冷房出力
ファン運転出力１
ファン運転出力２
ファン運転出力３
デフロスト、油戻し
換気出力
ヒータ出力
フリークーリング
室内過負荷アラーム
冷媒漏洩出力

⑧サービス・メンテナンス方法

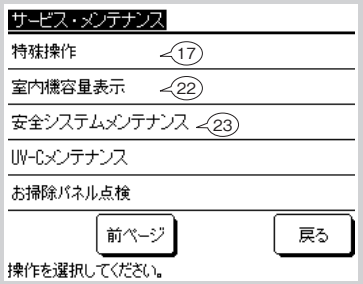
ＴＯＰ画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード]

①サービス・メンテナンス　メニュー



選択した画面に移ります。

②サービス・メンテナンス　メニュー



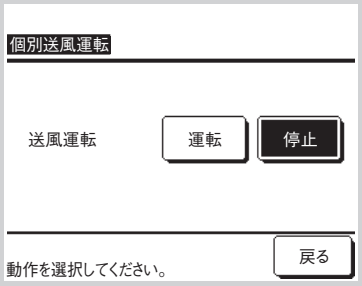
選択した画面に移ります。

③エアコン No. 表示



８台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。室内ユニット選択後[個別送風]ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。⇒④

④個別送風運転

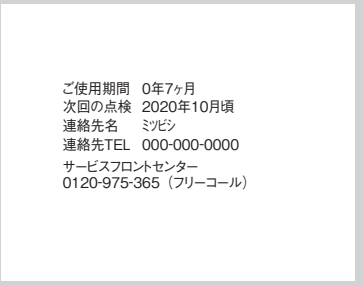


[運転] 送風運転開始。
[停止] 送風運転停止。

⑤次回点検日



⑥点検メッセージ



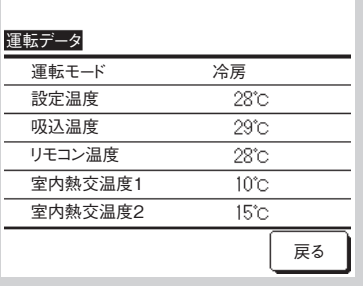
次回点検日を入力すると､点検月の運転開始／停止時にメッセージが表示されます。
表示は､次回点検日を更新するとリセットされます。
[設定なし]をタッチするとメッセージは表示されません。

⑦運転データ画面



運転データが表示されます。[全更新]タッチで全データが更新されます。
データを自動更新させて表示したい場合、６項目まで選択できます。
６項目選択後、[選択表示]ボタンをタッチする画面に変わります。
表示する運転データの項目は次ページのとおりです。

⑧運転データ個別表示画面



選択した６つの項目を自動更新して表示します。

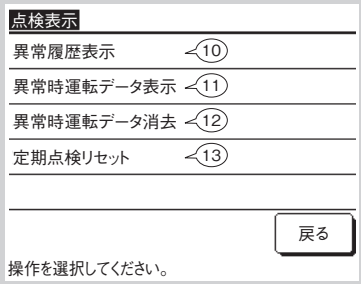
⑧サービス・メンテナンス方法のつづき

表示する運転データ

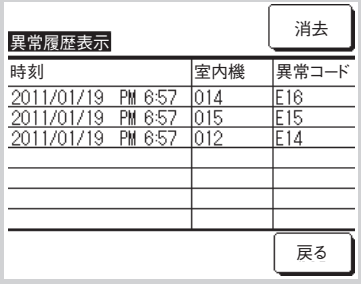
番号	項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
04	リモコン温度
05	室内熱交温度 1
06	室内熱交温度 2
07	室内熱交温度 3
08	室内ファン速度
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内 EEV 開度
12	吹出
13	相対湿度
14	室内機運転時間
15	冷房運転積算時間
16	暖房運転積算時間
21	外気温度
22	室外熱交温度1
23	室外熱交温度2
24	室外熱交温度3
25	室外熱交温度4
26	コンプ回転数
27	コンプ回転数2
28	高圧圧力
29	低圧圧力
30	吐出管温度
31	吐出管温度2
32	ドーム下温度

番号	項目
33	ドーム下温度2
34	THO-SC
35	THO-S
36	THO-H
37	電流
38	電流 2
39	SH 制御
40	SH
41	TDSH
42	TDSH 2
43	外 EEVH1
44	外 EEVH2
45	外 EEVSC
46	外 EEVL1
47	外 EEVL2
48	保護制御
49	室外ファン速度
50	63H1
51	デフロスト
52	室外機運転時間
53	コンプ運転時間
54	コンプ運転時間2
55	外ファン運転積算時間1
56	外ファン運転積算時間2
57	52C　ON/OFF 回数
58	室外機省エネモード
59	室外機エコレベル

⑨点検表示

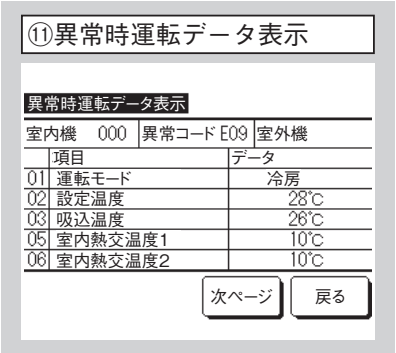


⑩異常履歴表示（例）



異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。
消去 ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

⑪異常時運転データ表示



表示する運転データの項目は右表のとおりです。

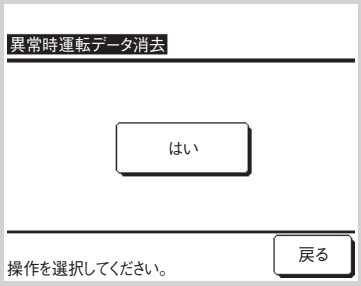
表示する運転データ

番号	項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
05	室内熱交温度 1
06	室内熱交温度 2
07	室内熱交温度 3
08	室内ファン速度
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内 EEV 開度
12	室内運転時間
13	吹出

番号	項目
21	外気温度
22	室外熱交温度1
23	室外熱交温度2
24	コンプ回転数
25	高圧圧力
26	低圧圧力
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	電流
30	SH 制御
31	SH
32	TDSH
33	保護制御
34	室外ファン速度
35	63H1
36	デフロスト
37	コンプ運転時間
38	室外 EEV1 開度
39	室外 EEV2 開度

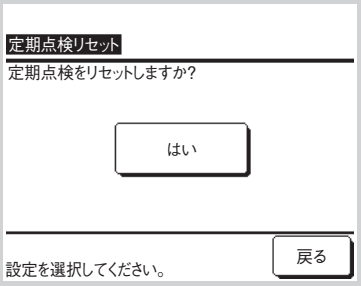
⑧サービス・メンテナンス方法のつづき

⑫異常時運転データ消去



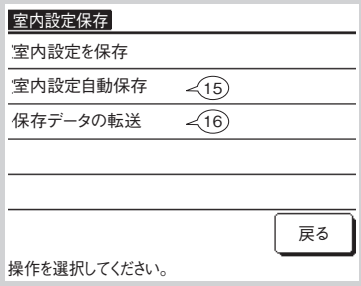
異常時運転データが消去されます。

⑬定期点検リセット



定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

⑭室内設定保存

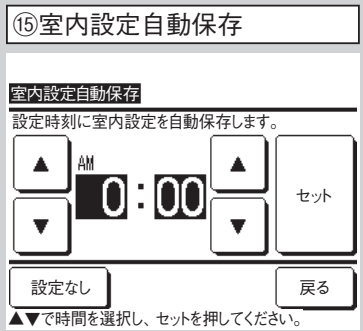


室内設定を保存 リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。

室内設定自動保存 毎日の自動保存時刻を設定します。

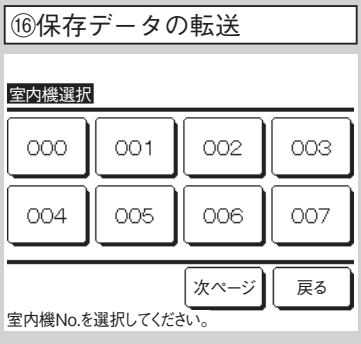
保存データの転送 リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

⑮室内設定自動保存



毎日の自動保存時刻を設定します。
設定なし を選択すると、自動保存は行いません。

⑯保存データの転送



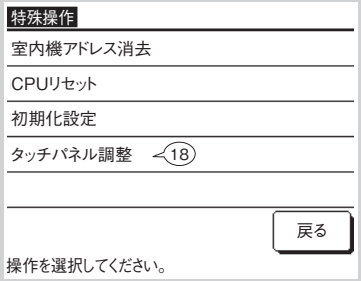
転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

お知らせ

室内ユニット基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？
リモコンに室内ユニット設定を保存しておくと、[保存データの転送] により、保存されたデータが室内ユニットに書込まれます。

⑧サービス・メンテナンス方法のつづき

⑰特殊操作



選択した画面に移ります。

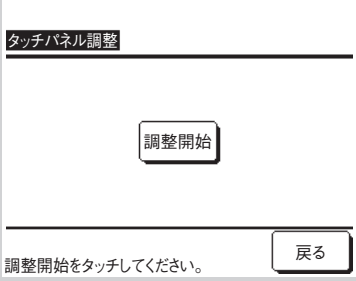
室内機アドレス消去　マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。

CPU リセット　接続されている、室内ユニット・室外ユニット・しゃ断弁・冷媒漏えいセンサのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。

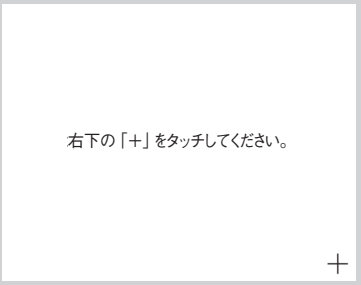
初期化設定　接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。

タッチパネル調整　表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

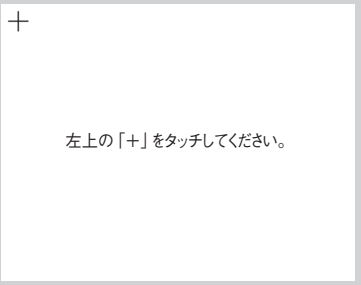
⑱タッチパネル調整



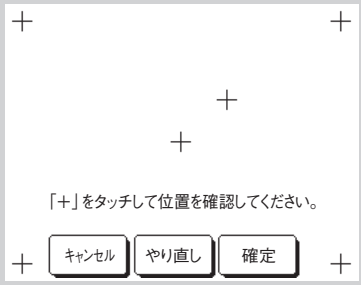
⑲タッチパネル調整画面＃1



⑳タッチパネル調整画面＃2

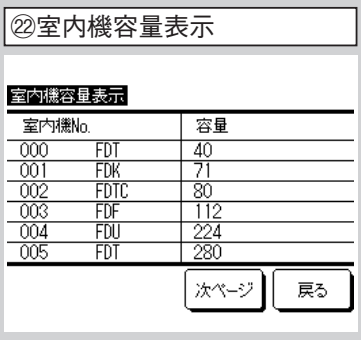


㉑タッチパネル調整画面＃3



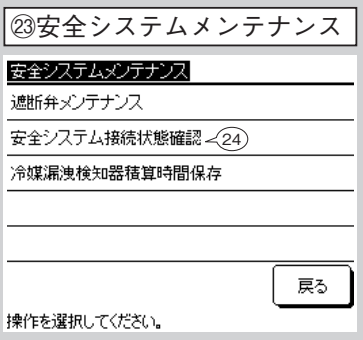
表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。
画面の指示にそって、[+] マーク中心をタッチしてください。
確定で終了します。

㉒室内機容量表示

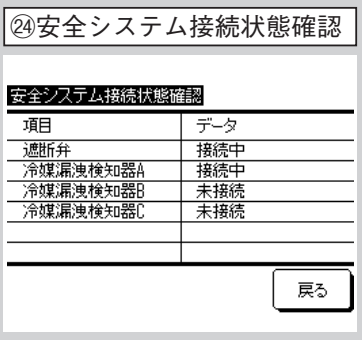


リモコンに接続されている室内ユニットの容量を表示します。
7 台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。
室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

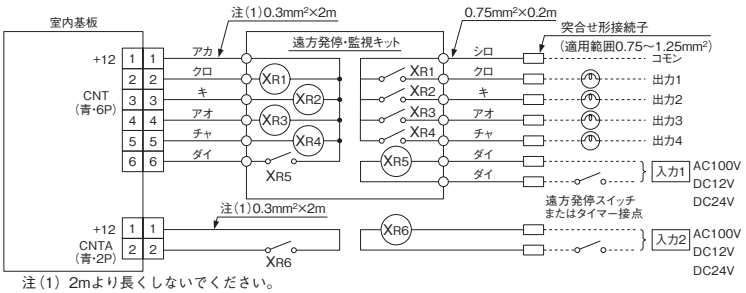
㉓安全システムメンテナンス



㉔安全システム接続状態確認



⑨室内基板ＣＮＴコネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

●$X_{R1\sim4}$はDC12Vリレー(オムロン製LY2F相当品)
●X_{R5}は、DC12,24Vまたは100Vリレー(オムロン製MY2F相当品)
●CNTコネクタ(現地側)メーカ、形式
コネクタ:モレックス製 5264−06
端　　子:モレックス製 5263T
別売品(PCZ006A043)を準備しておりますのでご利用ください。
●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
●CNTAコネクタは、FDT他に搭載<仕様書で確認願います>(現地側)メーカ、形式
コネクタ:日本圧着端子JST製　XAP02V−1−E
端　　子:日本圧着端子JST製　SXA−01T−P0.6
別売品(PCZ006A053)を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1～4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

①	運転出力	⑧	ファン運転出力3
②	暖房出力	⑨	デフロスト , 油戻し出力
③	圧縮機 ON 出力	⑩	換気出力
④	点検(異常)出力	⑪	ヒータ出力
⑤	冷房出力	⑫	フリークーリング出力
⑥	ファン運転出力1	⑬	室内過負荷異常出力
⑦	ファン運転出力2	⑭	冷媒漏洩出力

入力

①	運転 / 停止	⑤	設定温度シフト
②	運転許可禁止	⑥	強制サーモ OFF
③	緊急停止	⑦	一時停止
④	冷房 / 暖房	⑧	静音モード

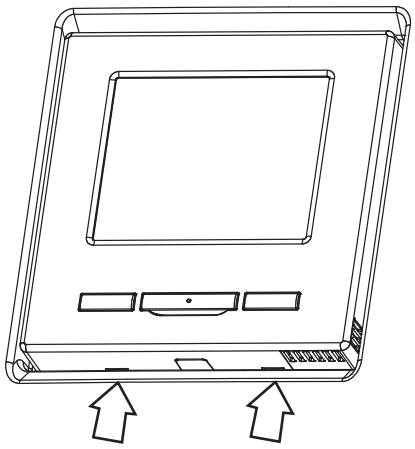
工場出荷時の設定

CNT-2	出力 1	運転出力	CNT-5	出力 4	点検(異常)出力
CNT-3	出力 2	暖房出力	CNT-6	入力 1	運転 / 停止
CNT-4	出力 3	圧縮機 ON 出力	CNTA	入力 2	運転 / 停止

●設定の方法は783ページをご覧ください。

⑩リモコンの外しかた

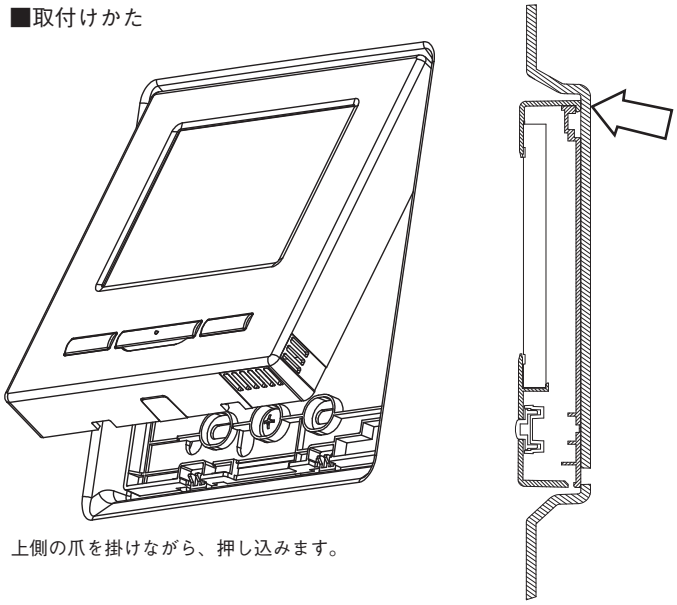
■取外しかた



リモコン下面の凹（矢印部）にマイナスドライバーをいれて手前に引いてください。パネルを傷つけない様に注意してください。

取外した上ケースは、水分・ゴミが付かないようにしてください。

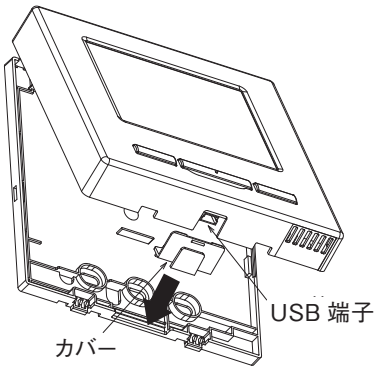
■取付けかた



上側の爪を掛けながら、押し込みます。

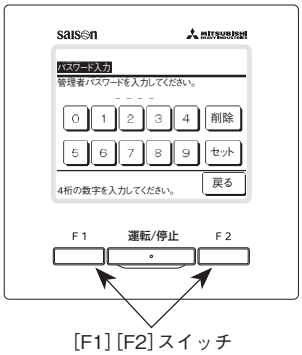
お知らせ　パソコン接続について

USB コネクター（mini-B）を介してパソコンからの設定が可能です。
上ケース下面カバーを外して接続してください。
使用後はカバーを元の位置にはめてください。
接続には、専用のソフトが必要です。
詳細は、ホームページを参照してください。



お知らせ　パスワード初期化

管理者パスワード（日常使用する項目設定用）と
サービスパスワード（据付・試運転・メンテナンス用）があります。
○管理者パスワード初期値は、0000 です。設定変更ができます（取扱説明書参照）。
　管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で［F1］［F2］スイッチを同時に５秒長押しするとパスワードは初期化されます。
○サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。
　管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受付られます。

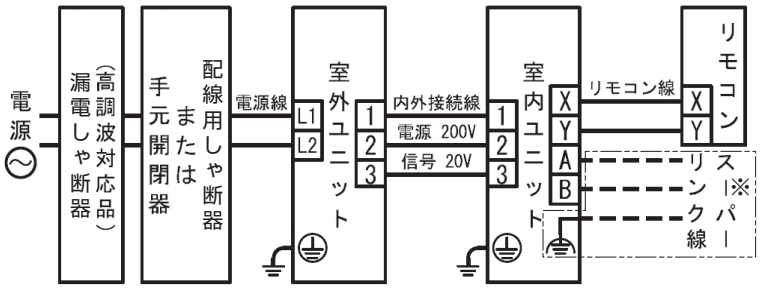


［F1］［F2］スイッチ

(f) 電気配線接続図

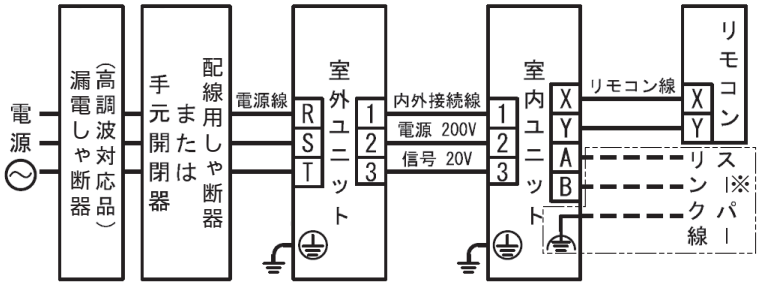
電源は室外ユニットに接続してください。

① 単相電源形冷暖房兼用機



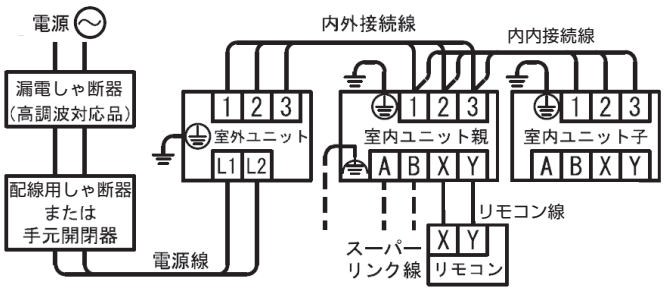
注　FDESZP806 の場合，※印部はありません。

② 冷暖房兼用機

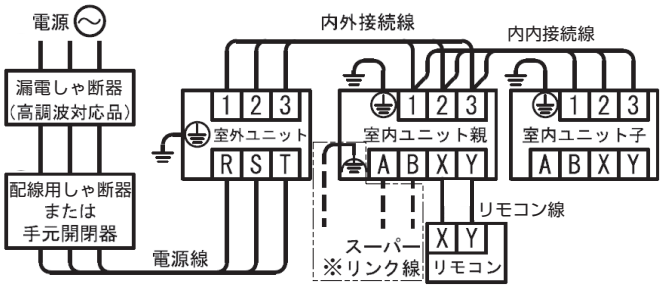


注　FDESZP806，1406 の場合，※印部はありません。

③ 単相電源ツイン形冷暖房兼用機

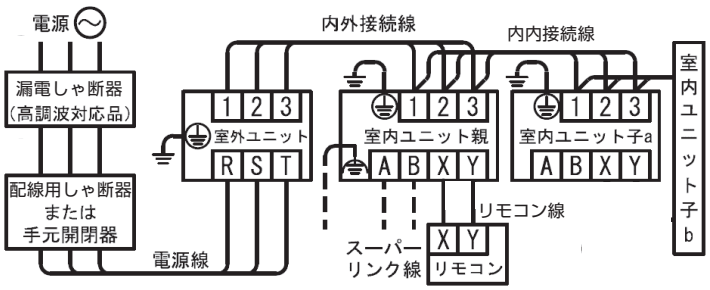


④ ツイン形冷暖房兼用機

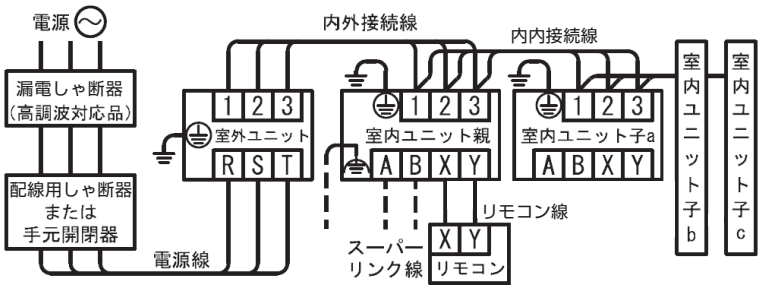


注　FDESZP806，1406 の場合，※印部はありません。

⑤ トリプル形冷暖房兼用機



⑥　ダブルツイン形冷暖房兼用機



(9) スーパーリンク配線工事

PSC012D205

(a) FDT, FDTC, FDTW, FDTS, FDR, FDU(P56～P160), FDE(P56～P160), FDK シリーズ

・本説明書は、集中制御オプション等を使用するためのスーパーリンクネットワーク信号線（DC5V）接続方法を記載してあります。
他の説明書と合わせてご覧ください。

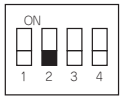
① 据付の前に

● ネットワークに接続される全ての機器が新スーパーリンク対応の場合にのみ新スーパーリンク仕様になります。
ネットワーク内に旧スーパーリンク対応機器が存在する場合は、旧スーパーリンク仕様になります。
旧スーパーリンクの場合にはディップスイッチ SW7-2（ON）に切換えてください。

通信方式		新スーパーリンク（※1）	旧スーパーリンク（※2）
ネットワーク内の接続台数	室内ユニットの台数	最大 128 台　000 ～ 127	最大 48 台　00 ～ 47
	プルーラル機の台数	最大 16 台　000 ～ 015	最大 16 台　00 ～ 15
スーパーリンク集中制御からの距離		1000m 以内	1000m 以内
使用する配線の仕様		MVVS（シールド線）（※3）	
ネットワーク全体の信号線合計長さ	0.75mm^2	1500m 以内	1000m 以内
	1.25mm^2（※4）	1000m 以内	1000m 以内

（※1）ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
（※2）ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
（※3）電線工業会 規格番号：JCS 4271：2003
（※4）線径 2.0mm^2 は使用しないでください。誤作動となる場合があります。

SW7-2
スーパーリンク
新旧



ON ：旧固定
OFF：自動判定

② 室内アドレスの設定

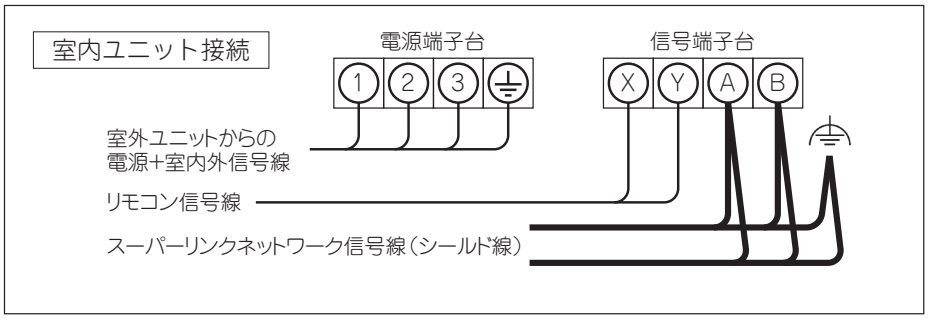
● 室内ユニットコントローラ基板のスイッチにて室内アドレス設定をしてください。
オートアドレス設定には対応していません。リモコンからのアドレス設定には対応していません。

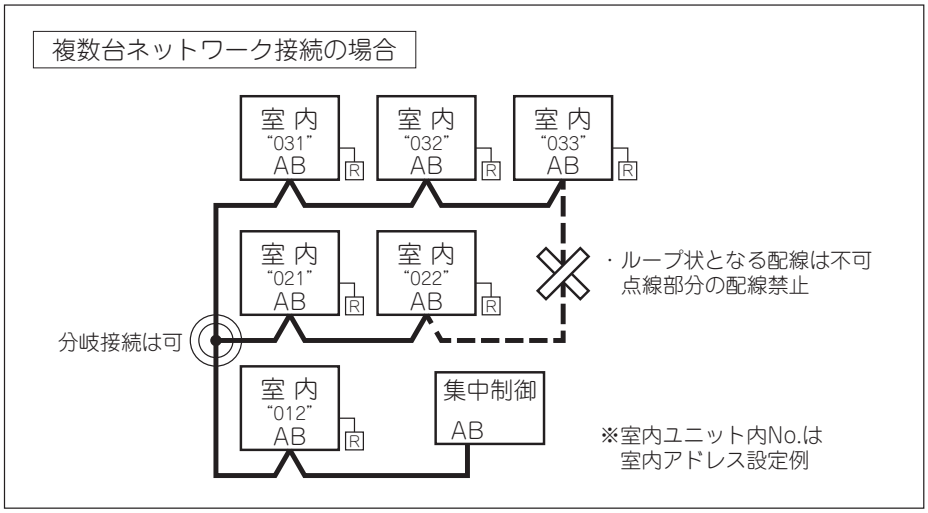
スイッチ						
SW7-3 100の位		ON ： 1 OFF： 0	SW1 10の位		SW2 1の位	

出荷時設定
"000"

・プルーラルの親子設定は　ディップスイッチ SW5 にて設定してください<電気配線工事説明書参照>。
・プルーラル機の室内アドレスは、"000" から "015" に設定してください。
・プルーラル子機は親機の室内アドレスに合わせて設定してください。

③ スーパーリンクネットワーク接続要領 <信号端子台 A B>





・信号端子台への接続は、M 3.5 用の圧着端子を使用してください。

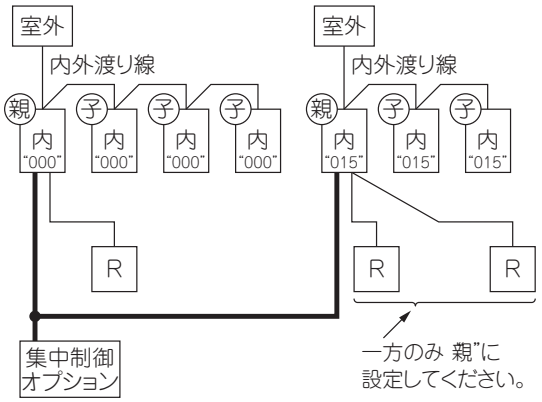


・配線はシールド線を使用して両端をアースへ接続してください。
・AB 信号線には極性はありません。
AB 接続が反転しても通信します。



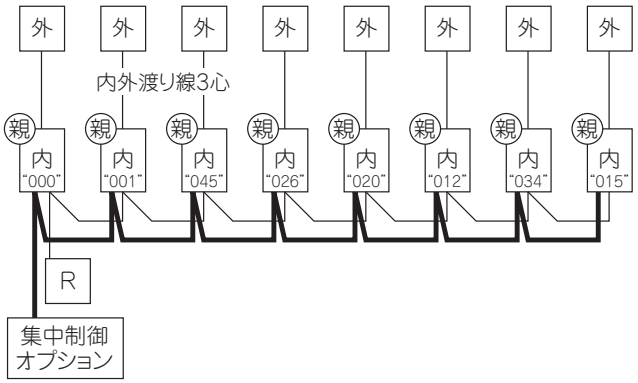
・電源＋室内外信号線とリモコン線の並走は避けてください。
・電源＋室内外信号線とスーパーリンク線の並走は避けてください。

プルーラル制御 複数台の混在



・ スーパーリンクは親機にのみ接続してください。
・ プルーラル接続の場合室内アドレスは、“000”～“015”から設定してください。
・ 子機の室内アドレスは親機に合わせてください。
・ リモコン 2 個接続の場合はどちらか一方のみ“親”に設定してください。<リモコン据付工事説明書参照>
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例
・ プルーラル接続時は、リモコン接続室内ユニットが親となります。

リモコンに複数室内ユニット接続＆スーパーリンク



・ 集中制御する全室内ユニットに信号線をつないでください。
集中制御から個別に室温設定・風量設定等が行えます。
リモコンには優先室内ユニットの情報が表示されます。
リモコンから操作した場合同一設定になります。
・ 室内アドレスは、“000”～“127”から設定してください。
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

④接続の確認要領

● A B信号線回路は DC5V ですので絶対に AC200V の配線を接続しないでください。

・ 電源投入前に信号線端子台 A-B 間の抵抗をご確認ください。
A-B 間の抵抗が 100 Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台へ接続している可能性があります。
新スーパーリンク対応機だけが接続されている場合　**抵抗値の目安＝ 5100 ／接続台数**
旧スーパーリンク機が混在している場合　**抵抗値の目安＝ 46000 ／（(旧の接続台数 × 5）＋（新の接続台数 × 9））**
台数が多い場合は、一時的に信号線を外し、分割後の回路毎に確認してください。

⑤予備回路の接続

● A B信号線回路（DC5V）と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
1. A-B 信号線に誤って 200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
2. 電源投入 15 分経過後集中制御側から室内アドレス No. が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
3. 焼損（基板上の CNK1(白コネクタ) 付近にあるヒューズ※ 1 が切れている）基板のジャンパー※ 2 -JSL1- のジャンパ線を切るもしくは、ジャンパコネクタを外し、コネクタ CNK（白）を CNK1（白）から CNK2（黒）に差替えてください。
※ 1 FDTW, FDTS, FDR, FDU, FDE の場合 F1, F2　※ 1 FDT, FDTC, FDK の場合 F3, F4
※ 2 FDTW, FDTS, FDR, FDU, FDE の場合 ジャンパ線　※ 2　FDT, FDTC, FDK の場合 ジャンパコネクタ
4. 端子台 AB から基板までの配線に異常があれば交換してください。

⑥ 点検表示

・ 室内ユニット 基板 LED・リモコン・集中制御オプション等を確認してください。

室内ユニット 基板 LED		点検モード	エラー表示
赤	緑		
消灯	連続点滅	正常	消灯
消灯	消灯	電源不良 室内①②に電圧が無い	消灯
1 回点滅	連続点滅	室内アドレス No. 重複 室内ユニット接続台数オーバー	E 2

⑦注意事項

1. ①リモコン無（ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコン無）では使用できません。
②プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”以外では使用できません。
●①②の仕様が必要な場合は、スーパーリンクアダプタ SC-ADNA の使用を検討してください。
スーパーリンクアダプタ（リモコン線接続）を使用の場合は、室内基板 CNK の接続を外してください。
2. 集中制御機器からプルーラル子機の機能設定はできません。親機のみ有効です。
子機は設定可能なワイヤードリモコンより操作してください。
3. 集中制御へのフィルターサイン出力は、親機の出力のみ有効です。
子機の情報はワイヤードリモコンより確認してください。

(b) FDU(P224, P280), FDE(P224, P280) シリーズ

PSC012D136

・本説明書は、集中制御オプション等を使用するためのスーパーリンクネットワーク信号線（DC5V）接続方法を記載してあります。
他の説明書と合わせてご覧ください。

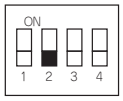
① 据付けの前に

● ネットワークに接続される全ての機器が新スーパーリンク対応の場合にのみ新スーパーリンク仕様になります。
ネットワーク内に旧スーパーリンク対応機器が存在する場合は、旧スーパーリンク仕様になります。
旧スーパーリンクの場合にはディップスイッチ SW7-2（ON）に切換えてください。

通信方式		新スーパーリンク（※1）	旧スーパーリンク（※2）
ネットワーク内の接続台数	室内ユニットの台数	最大 128 台　000 ～ 127	最大 48 台　00 ～ 47
	ブルーラル機の台数	最大 16 台　000 ～ 015	最大 16 台　00 ～ 15
スーパーリンク集中制御からの距離		1000m 以内	1000m 以内
使用する配線の仕様		MVVS（シールド線）（※3）	
ネットワーク全体の信号線合計長さ	0.75mm²	1500m 以内	1000m 以内
	1.25mm²（※4）	1000m 以内	1000m 以内

（※1）ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
（※2）ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
（※3）電線工業会 規格番号：JCS 4271：2003
（※4）線径 2.0mm² は使用しないでください。誤作動となる場合があります。

SW7-2
スーパーリンク
新旧



ON ：旧固定
OFF：自動判定

② 室内アドレスの設定

● 室内ユニットコントローラ基板のスイッチにて室内アドレス設定をしてください。
オートアドレス設定には対応していません。リモコンからのアドレス設定には対応していません。

スイッチ	SW7-3		SW1	SW2	出荷時設定
	100の位	ON ： 1 OFF： 0	10の位	1の位	"000"



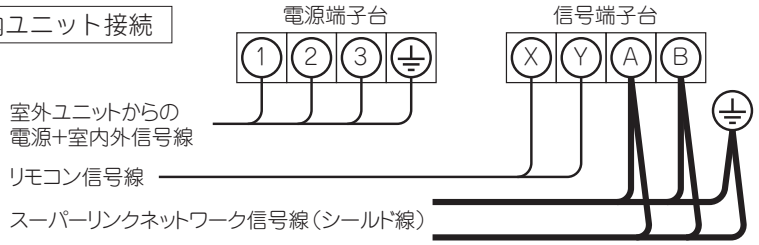




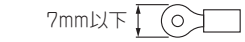
・プルーラルの親子設定は　ディップスイッチ SW5 にて設定してください<電気配線工事説明書参照>。
・プルーラル機の室内アドレスは、"000" から "015" に設定してください。
・プルーラル子機は親機の室内アドレスに合わせて設定してください。

③ スーパーリンクネットワーク接続要領 <信号端子台 A B>

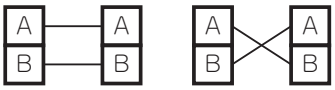
室内ユニット接続



・信号端子台への接続は、M 3.5 用の圧着端子を使用してください。

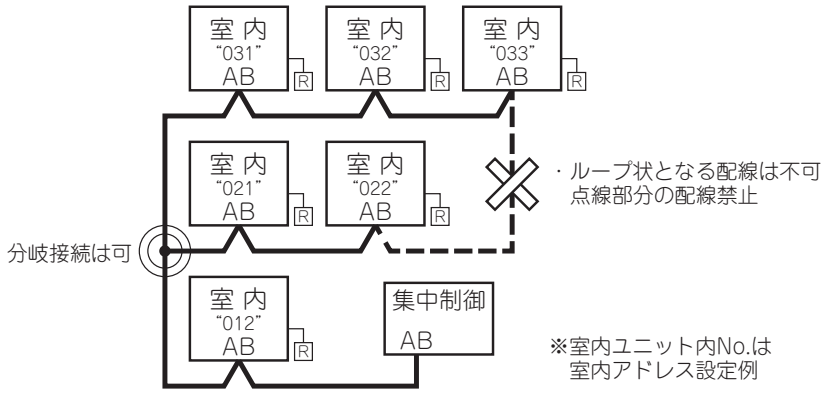


・配線はシールド線を使用して両端をアースへ接続してください。
・AB 信号線には極性はありません。
AB 接続が反転しても通信します。

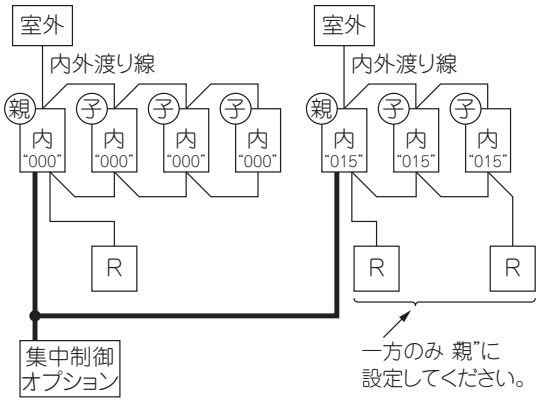


・電源 + 室内外信号線とリモコン線の並走は避けてください。
・電源 + 室内外信号線とスーパーリンク線の並走は避けてください。

複数台ネットワーク接続の場合

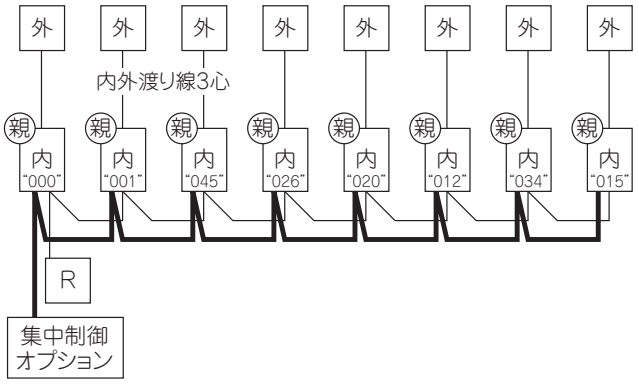


プルーラル制御 複数台の混在



・ スーパーリンクは親機にのみ接続してください。
・ プルーラル接続の場合室内アドレスは、“000”～“015”から設定してください。
・ 子機の室内アドレスは親機に合わせてください。
・ リモコン 2 個接続の場合はどちらか一方のみ“親”に設定してください。<リモコン据付工事説明書参照>
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

リモコンに複数室内ユニット接続＆スーパーリンク



・ 集中制御する全室内ユニットに信号線をつないでください。
集中制御から個別に室温設定・風量設定等が行えます。
リモコンには優先室内ユニットの情報が表示されます。
リモコンから操作した場合同一設定になります。
・ 室内アドレスは、“000”～“127”から設定してください。
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

④接続の確認要領

● A B信号線回路は DC5V ですので絶対に AC200V の配線を接続しないでください。

・電源投入前に信号線端子台 A-B 間の抵抗をご確認ください。
A-B 間の抵抗が 100 Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台へ接続している可能性があります。
新スーパーリンク対応機だけが接続されている場合　**抵抗値の目安＝ 5100 ／接続台数**
旧スーパーリンク機が混在している場合　**抵抗値の目安＝ 46000 ／（(旧の接続台数 ×5）＋（新の接続台数 ×9））**
台数が多い場合は、一時的に信号線を外し、分割後の回路毎に確認してください。

⑤予備回路の接続

● A B信号線回路（DC5V）と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
1. A-B 信号線に誤って 200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
2. 電源投入 15 分経過後集中制御側から室内アドレス No. が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
3. 焼損（基板上の CNK1(白コネクタ) 付近にあるヒューズ※が切れている）基板のジャンパ線 -JSL1- を切り、コネクタ CNK（白）を CNK1（白）から CNK2（黒）に差替えてください。
※ FDTW, FDTS, FDR, FDU, FDE の場合 F1, F2　※FDT, FDTC, FDK の場合 F3, F4
4. 端子台 AB から基板までの配線に異常があれば交換してください。

⑥ 点検表示

・ 室内ユニット 基板 LED・リモコン・集中制御オプション等を確認してください。

室内ユニット 基板 LED		点検モード	エラー表示
赤	緑		
消灯	連続点滅	正常	消灯
消灯	消灯	電源不良 室内①②に電圧が無い	消灯
1 回点滅	連続点滅	室内アドレス No. 重複 室内ユニット接続台数オーバー	E 2

⑦注意事項

1. ①リモコン無（ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコン無）では使用できません。
②プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”以外では使用できません。
●①②の仕様が必要な場合は、スーパーリンクアダプタ SC-ADNA の使用を検討してください。
スーパーリンクアダプタ（リモコン線接続）を使用の場合は、室内基板 CNK の接続を外してください。
2. 集中制御機器からプルーラル子機の機能設定はできません。親機のみ有効です。
子機は設定可能なワイヤードリモコンより操作してください。
3. 集中制御へのフィルターサイン出力は、親機の出力のみ有効です。
子機の情報はワイヤードリモコンより確認してください。

(c) FDES シリーズ

PSC012D208

・本説明書は、集中制御オプション等を使用するためのスーパーリンクネットワーク信号線（DC5V）接続方法を記載してあります。
他の説明書と合わせてご覧ください。

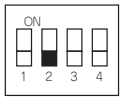
① 据付の前に

● ネットワークに接続される全ての機器が新スーパーリンク対応の場合にのみ新スーパーリンク仕様になります。
ネットワーク内に旧スーパーリンク対応機器が存在する場合は、旧スーパーリンク仕様になります。
旧スーパーリンクの場合にはディップスイッチ SW7-2（ON）に切換えてください。

通信方式		新スーパーリンク（※1）	旧スーパーリンク（※2）
ネットワーク内の接続台数	室内ユニットの台数	最大 128 台　000 ～ 127	最大 48 台　00 ～ 47
	ブルーラル機の台数	最大 16 台　000 ～ 015	最大 16 台　00 ～ 15
スーパーリンク集中制御からの距離		1000m 以内	1000m 以内
使用する配線の仕様		MVVS（シールド線）（※3）	
ネットワーク全体の信号線合計長さ	0.75mm^2	1500m 以内	1000m 以内
	1.25mm^2（※4）	1000m 以内	1000m 以内

（※1）ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
（※2）ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
（※3）電線工業会 規格番号：JCS 4271：2003
（※4）線径 2.0mm^2 は使用しないでください。誤作動となる場合があります。

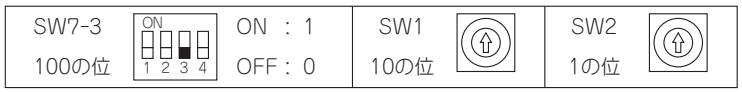
SW7-2
スーパーリンク
新旧



ON ：旧固定
OFF：自動判定

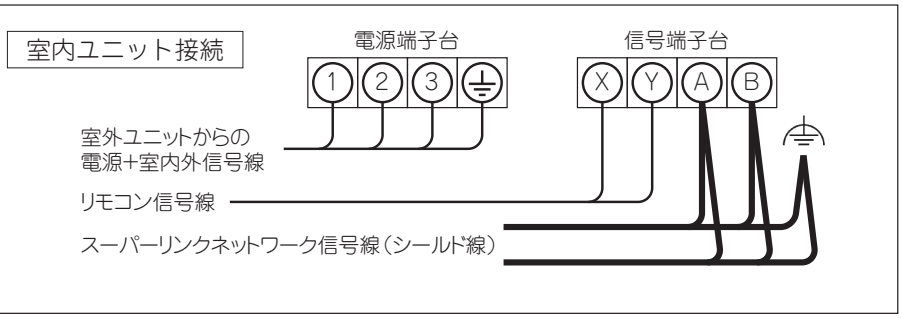
② 室内アドレスの設定

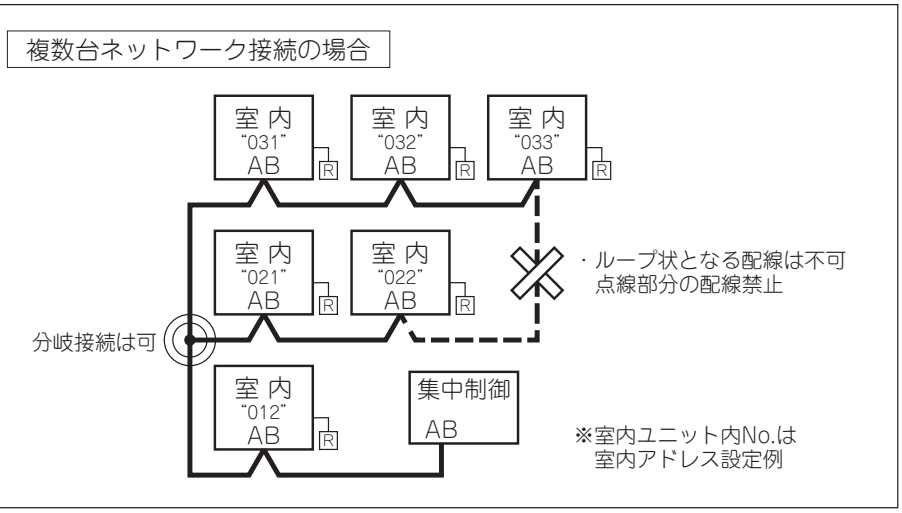
● 室内ユニットコントローラ基板のスイッチにて室内アドレス設定をしてください。
オートアドレス設定には対応していません。リモコンからのアドレス設定には対応していません。



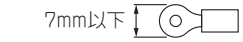
・プルーラルの親子設定は　ディップスイッチ SW5 にて設定してください<電気配線工事説明書参照>。
・プルーラル機の室内アドレスは、"000" から "015" に設定してください。
・プルーラル子機は親機の室内アドレスに合わせて設定してください。

③ スーパーリンクネットワーク接続要領 <信号端子台 A B>

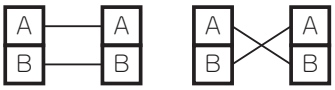




・信号端子台への接続は、M 3.5 用の圧着端子を使用してください。

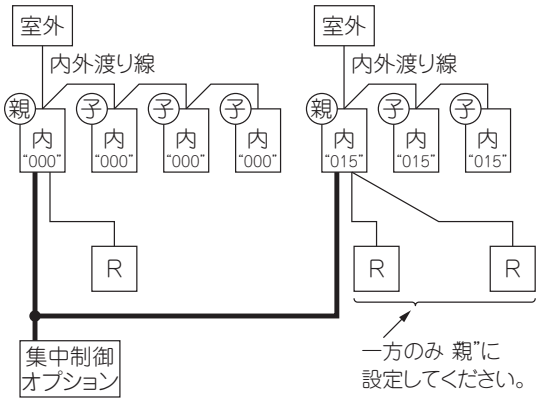


・配線はシールド線を使用して両端をアースへ接続してください。
・AB 信号線には極性はありません。
AB 接続が反転しても通信します。



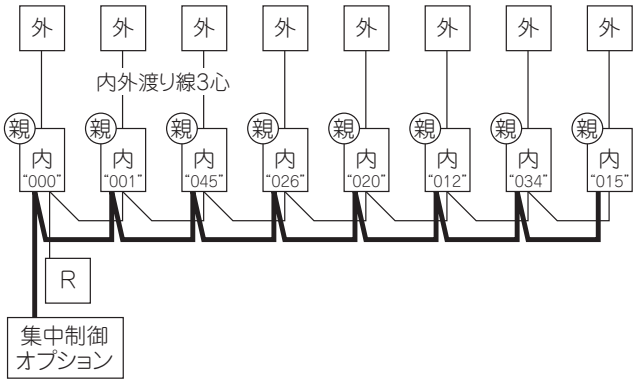
・電源 + 室内外信号線とリモコン線の並走は避けてください。
・電源 + 室内外信号線とスーパーリンク線の並走は避けてください。

プルーラル制御 複数台の混在



・ スーパーリンクは親機にのみ接続してください。
・ プルーラル接続の場合室内アドレスは、“000”～“015”から設定してください。
・ 子機の室内アドレスは親機に合わせてください。
・ リモコン 2 個接続の場合はどちらか一方のみ“親”に設定してください。<リモコン据付工事説明書参照>
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例
・ プルーラル接続時は、リモコン接続室内ユニットが親となります。

リモコンに複数室内ユニット接続＆スーパーリンク



・ 集中制御する全室内ユニットに信号線をつないでください。
集中制御から個別に室温設定・風量設定等が行えます。
リモコンには優先室内ユニットの情報が表示されます。
リモコンから操作した場合同一設定になります。
・ 室内アドレスは、“000”～“127”から設定してください。
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

④接続の確認要領

● A B信号線回路は DC5V ですので絶対に AC200V の配線を接続しないでください。

・ 電源投入前に信号線端子台 A-B 間の抵抗をご確認ください。
A-B 間の抵抗が 100 Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台へ接続している可能性があります。
新スーパーリンク対応機だけが接続されている場合　**抵抗値の目安＝ 5100 ／接続台数**
旧スーパーリンク機が混在している場合　**抵抗値の目安＝ 46000 ／（(旧の接続台数 × 5）＋（新の接続台数 × 9））**
台数が多い場合は、一時的に信号線を外し、分割後の回路毎に確認してください。

⑤予備回路の接続

● A B信号線回路（DC5V）と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
1. A-B 信号線に誤って 200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
2. 電源投入 15 分経過後集中制御側から室内アドレス No. が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
3. 焼損（基板上の CNK1(白コネクタ) 付近にあるヒューズ(F3, F4) が切れている）基板のジャンパ -JSL1- のジャンパコネクタを外し、コネクタ CNK（白）を CNK1（白）から CNK2（黒）に差替えてください。
4. 端子台 AB から基板までの配線に異常があれば交換してください。

⑥ 点検表示

・ 室内ユニット 基板 LED・リモコン・集中制御オプション等を確認してください。

室内ユニット 基板 LED		点検モード	エラー表示
赤	緑		
消灯	連続点滅	正常	消灯
消灯	消灯	電源不良 室内①②に電圧が無い	消灯
1 回点滅	連続点滅	室内アドレス No. 重複 室内ユニット接続台数オーバー	E 2

⑦注意事項

1. ①リモコン無（ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコン無）では使用できません。
②プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”以外では使用できません。
●①②の仕様が必要な場合は、スーパーリンクアダプタ SC-ADNA の使用を検討してください。
スーパーリンクアダプタ（リモコン線接続）を使用の場合は、室内基板 CNK の接続を外してください。
2. 集中制御機器からプルーラル子機の機能設定はできません。親機のみ有効です。
子機は設定可能なワイヤードリモコンより操作してください。
3. 集中制御へのフィルターサイン出力は、親機の出力のみ有効です。
子機の情報はワイヤードリモコンより確認してください。

(d) FDFZP635SB,805SB,1605SB

PGA012D415A△A

・本説明書は、集中制御オプション等を使用するためのスーパーリンクネットワーク信号線（DC5V）接続方法を記載してあります。
他の説明書と合わせてご覧ください。

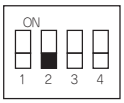
① 据付の前に

● ネットワークに接続される全ての機器が新スーパーリンク対応の場合にのみ新スーパーリンク仕様になります。
ネットワーク内に旧スーパーリンク対応機器が存在する場合は、旧スーパーリンク仕様になります。
旧スーパーリンクの場合にはディップスイッチ SW7-2（ON）に切換えてください。

通信方式		新スーパーリンク（※1）	旧スーパーリンク（※2）
ネットワーク内の接続台数	室内ユニットの台数	最大 128 台　000 ～ 127	最大 48 台　00 ～ 47
	プルーラル機の台数	最大　16 台　000 ～ 015	最大 16 台　00 ～ 15
スーパーリンク集中制御からの距離		1000m 以内	1000m 以内
使用する配線の仕様		MVVS（シールド線）（※3）	
ネットワーク全体の信号線合計長さ	0.75mm^2	1500m 以内	1000m 以内
	1.25mm^2（※4）	1000m 以内	1000m 以内

（※1）ピル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
（※2）ピル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
（※3）電線工業会 規格番号：JCS 4271：2003
（※4）線径 2.0mm^2 は使用しないでください。誤作動となる場合があります。

SW7-2
スーパーリンク
新旧



ON ：旧固定
OFF：自動判定

② 室内アドレスの設定

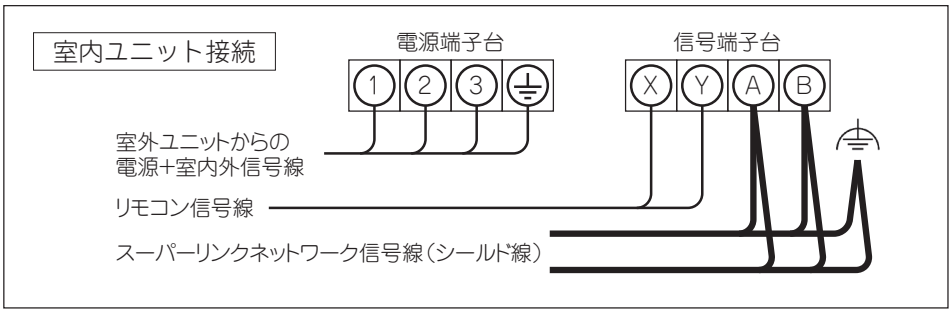
● 室内ユニットコントローラ基板のスイッチにて室内アドレス設定をしてください。
オートアドレス設定には対応していません。リモコンからのアドレス設定には対応していません。

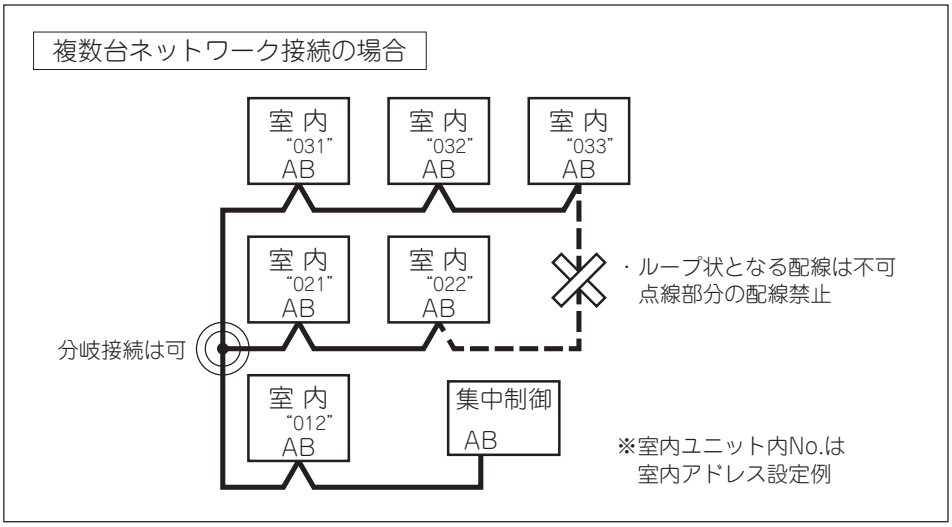
スイッチ	SW7-3		SW1	SW2	出荷時設定
	100の位	ON ： 1 OFF： 0	10の位	1の位	“000”



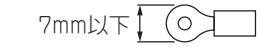
・プルーラルの親子設定は　ディップスイッチ SW5 にて設定してください<電気配線工事説明書参照>。
・プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”に設定してください。
・プルーラル子機は親機の室内アドレスに合わせて設定してください。

③ スーパーリンクネットワーク接続要領 <信号端子台 A B>

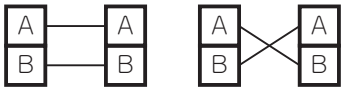




・信号端子台への接続は、M 3.5 用の圧着端子を使用してください。

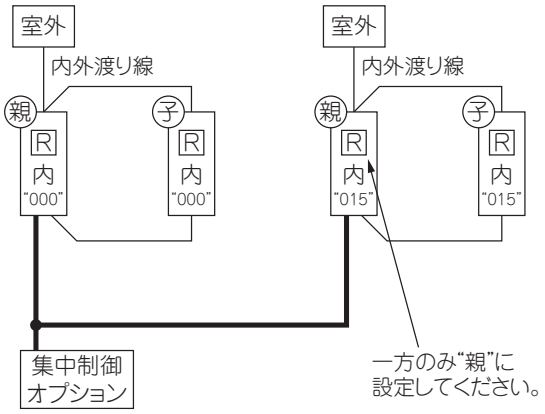


・配線はシールド線を使用して両端をアースへ接続してください。
・AB 信号線には極性はありません。
AB 接続が反転しても通信します。



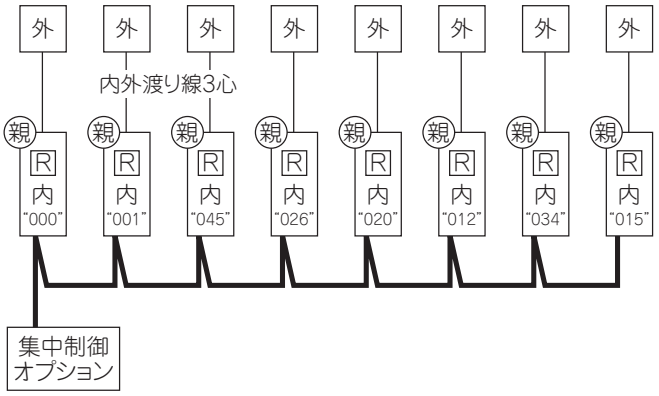
・電源 + 室内外信号線とリモコン線の並走は避けてください。
・電源 + 室内外信号線とスーパーリンク線の並走は避けてください。

プルーラル制御 複数台の混在



・ スーパーリンクは親機にのみ接続してください。
・ プルーラル接続の場合室内アドレスは、“000”～“015”から設定してください。
・ 子機の室内アドレスは親機に合わせてください。
・ リモコン 2 個接続の場合はどちらか一方のみ“親”に設定してください。<電気配線工事説明書参照>
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

スーパーリンク複数室内機接続



・ 集中制御する全室内ユニットに信号線をつないでください。
集中制御から個別に室温設定・風量設定等が行えます。
リモコンには優先室内ユニットの情報が表示されます。
リモコンから操作した場合同一設定になります。
・ 室内アドレスは、“000”～“127”から設定してください。
※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

④接続の確認要領

● A B信号線回路は DC5V ですので絶対に AC200V の配線を接続しないでください。

・ 電源投入前に信号線端子台 A-B 間の抵抗をご確認ください。
A-B 間の抵抗が 100 Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台へ接続している可能性があります。
新スーパーリンク対応機だけが接続されている場合　**抵抗値の目安＝ 5100 ／接続台数**
旧スーパーリンク機が混在している場合　**抵抗値の目安＝ 46000 ／（(旧の接続台数 ×5）＋（新の接続台数 ×9））**
台数が多い場合は、一時的に信号線を外し、分割後の回路毎に確認してください。

⑤予備回路の接続

● A B信号線回路（DC5V）と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
1. A-B 信号線に誤って 200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
2. 電源投入 15 分経過後集中制御側から室内アドレス No. が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
3. 焼損（基板上 CNK1（白）付近にある ヒューズ F1,F2 が切れている）基板のジャンパ線 -JSL1- を切り、コネクタ CNK（白）を CNK1（白）から CNK2（黒）に差し替えてください。
4. 端子台 AB から基板までの配線に異常があれば交換してください。

⑥ 点検表示

・ 室内ユニット 基板 LED・リモコン・集中制御オプション等を確認してください。

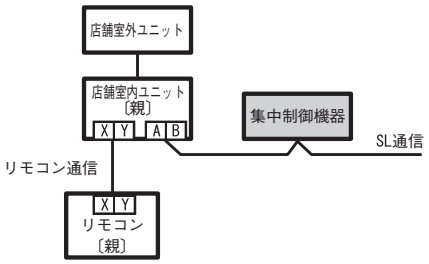
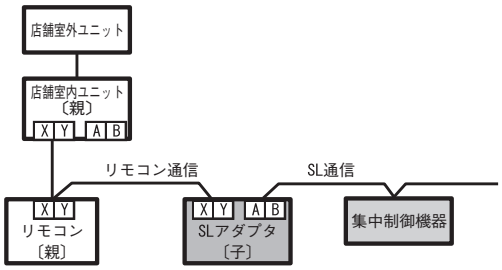
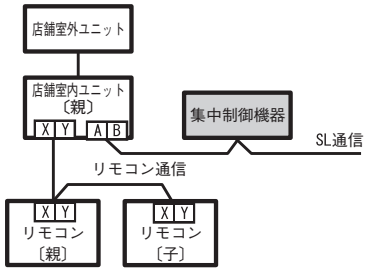
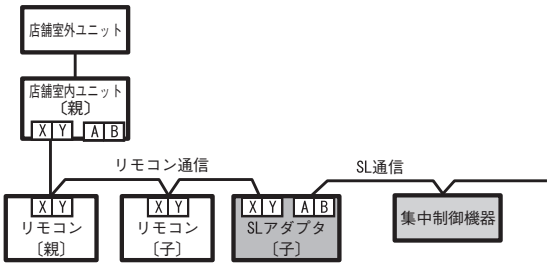
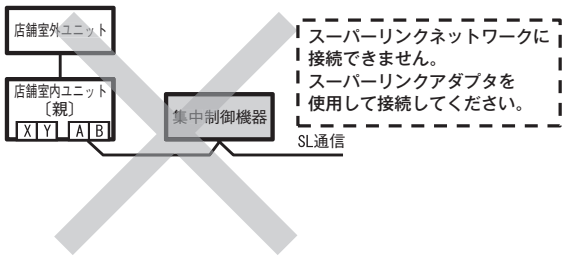
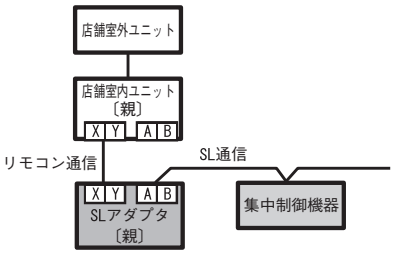
室内ユニット 基板 LED		点検モード	エラー表示
赤	緑		
消灯	連続点滅	正常	消灯
消灯	消灯	電源不良 室内①②に電圧が無い	消灯
1 回点滅	連続点滅	室内アドレス No. 重複 室内ユニット接続台数オーバー	E 2

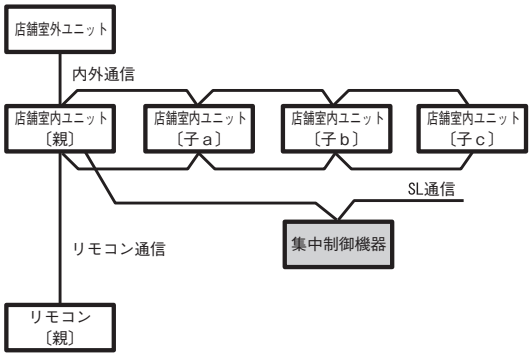
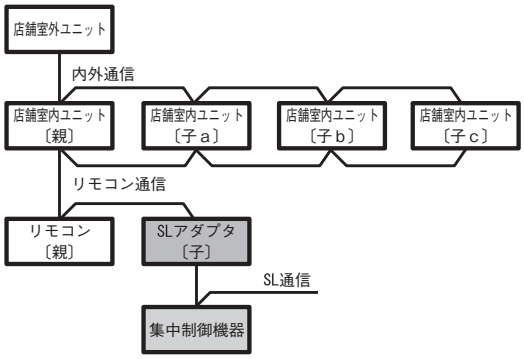
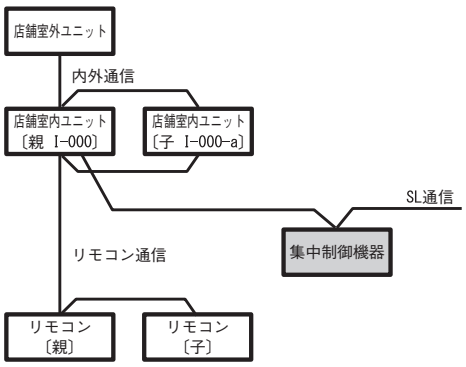
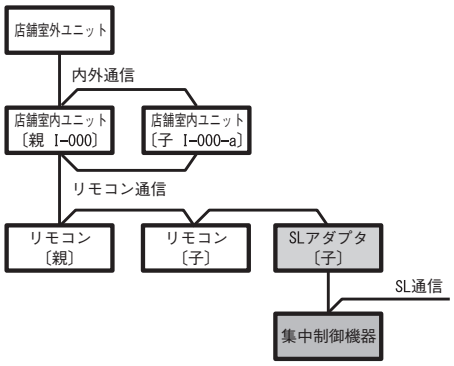
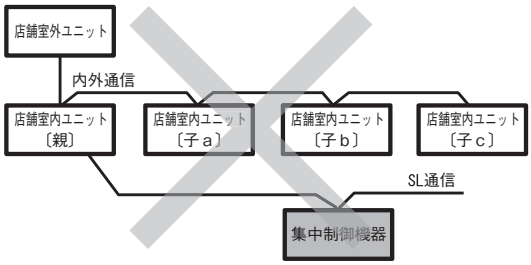
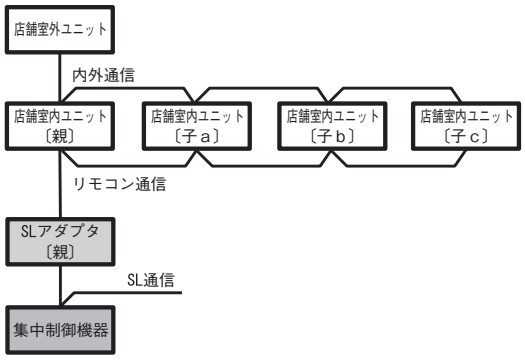
⑦注意事項

1. ①リモコン無（ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコン無）では使用できません。
②プルーラル機の室内アドレスは、“000”から“015”以外では使用できません。
●①②の仕様が必要な場合は、スーパーリンクアダプタ SC-ADNA の使用を検討してください。
スーパーリンクアダプタ（リモコン線接続）を使用の場合は、室内基板 CNK の接続を外してください。
2. 集中制御機器からプルーラル子機の機能設定はできません。親機のみ有効です。
子機は設定可能なワイヤードリモコンより操作してください。
3. 集中制御へのフィルターサイン出力は、親機の出力のみ有効です。
子機の情報はワイヤードリモコンより確認してください。

店舗機系統が１台の場合のスーパーリンクネットワーク接続例

複数台系統の場合は、据付説明書の接続要領を確認して接続してください。
リモコンを使わない場合は、下図の通りスーパーリンクアダプタ（ＳＬアダプタ）を使用してスーパーリンクネットワークに接続することができます。

		スーパーリンクアダプタを使わない場合	スーパーリンクアダプタを使う場合 ※従来の接続方法
シングル接続	１リモコン		
	複数リモコン		
	リモコン無し		

		スーパーリンクアダプタを使わない場合	スーパーリンクアダプタを使う場合 ※従来の接続方法
ブルーラル接続	1リモコン		
	複数リモコン		
	リモコン無し	 スーパーリンクネットワークに接続できません。 スーパーリンクアダプタを使用して接続してください。	

⑽ 主な設定操作

(a) ドレンポンプ強制運転

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。
リモコンを次の手順で操作してください。

(i) RC-DX3D リモコンの場合

1) ドレンポンプ試運転の開始

① TOP画面の「メニュー」→「サービス設定」→「据付設定」を選択し，「サービスパスワード」を入力します。

② 「据付設定メニュー#1」より「試運転」を選択し，「ドレンポンプ試運転」と順に選択すると 運転 ／ 停止 画面が表示されます。

③ 運転 を選択するとドレンポンプ試運転を開始します。

2) ドレンポンプ運転の解除

画面の 停止 を選択または，リモコンの 運転／停止 ボタンを押すとドレンポンプ試運転を解除し，エアコンは停止状態となります。

注　リモコンの設定画面については，628ページの7項据付設定試運転をご覧ください。

(b) ポンプダウン運転

運転停止中に，ポンプダウンスイッチ(SW1)によりポンプダウン運転が可能です。
ポンプダウン運転を行う場合，下記の手順で行ってください。

1）運転が停止していることを確認し，液側操作弁を閉めてください。この時，ガス側操作弁が開いていることを確認してください。

2）ポンプダウンスイッチを ON に設定することでポンプダウン運転をはじめます。室外基板上の赤・緑 LED が連続点滅します。

3）約 5 分後運転が停止しますので，その後ガス側操作弁を閉めてください。ポンプダウン運転が終了すると，赤 LED は消灯，緑 LED は点滅に変わります。
再度ポンプダウン運転を行う場合は，上記 1）～ 3）の手順で行ってください。

ご注意：ポンプダウンスイッチを押すと，室内ユニットとの通信をキャンセルするため，室内ユニットおよびリモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが，異常ではありません。

(c) ラクリーナパネルの設定〔ラクリーナパネルのみ〕

(i) グリル自動昇降の設定

1) RC-DX3Dリモコンの場合

ご注意

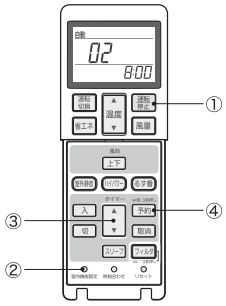
ワイヤードリモコンでラクリーナパネル使用時は，取付時に必ず「グリル昇降操作」で有効を行ってください。工場出荷時はグリル昇降の設定が未設定となっていますので，グリル昇降ができません。据付地域の電源周波数に合わせ，50Hz地区または60Hz地区のどちらかを選ことにより有効設定となります。

TOP画面の「メニュー」より→「サービス設定」より →「据付設定」を選択し，「サービスパスワード」入力 →「据付設定メニュー#2」より「グリル昇降操作」を選択し，「有効50Hz」または「有効60Hz」を選択してください。これでグリル昇降の有効設定は完了です。

2）ワイヤレスキットの場合

ご注意

ワイヤレスキットでラクリーナパネル使用時は，電源周波数の設定をワイヤレスリモコンを用いて必ず行ってください。（初期設定は 60Hz）



室内機能設定

a) 室内機能設定のしかた

① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。

② 室内機能設定スイッチを押しながら、b）項に示すボタンを押す。

③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。

④ 予約ボタンを押す。

リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、

LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。

b) 設定内容

ボタン	番号表示部	機能設定
運転 / 停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

(ii) グリル降下長さの設定

1）RC-DX3Dリモコンの場合

ワイヤードリモコンを用いて0.1m刻みに4mまで昇降長を設定することができまさす。ラクリーナパネル取付時昇降長さを下記方法で設定してください。

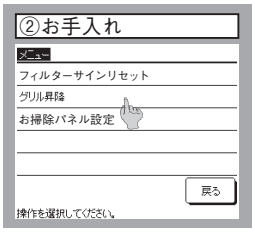
〔操作方法〕

① TOP画面の「メニュー」より →「お手入れ」→「グリル昇降」を選択します。

運転中のエアコンは自動的に停止します。

リモコンに接続している室内ユニットが 1 台の場合は，③項へお進みください。

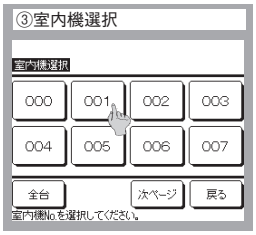




② リモコンに接続している室内ユニットが複数台の場合，「室内機選択」画面が表示されますので，グリル昇降させる室内ユニットNo.をタッチしてください。

接続している室内ユニット全台を同じ設定にする場合は，全台 ボタンをタッチしてください。

注　室内ユニット選択画面には，8台まで表示します。9台以上接続している場合は，次ページ ボタンをタッチしてください。9台目以降の室内ユニットが表示されます。

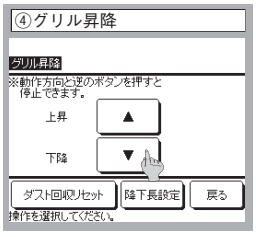


③ ▼ ボタンをタッチしてください。

▼ ボタンをタッチすると，吸込グリルが降下します。降下を途中で止めるときは，▲ ボタンをタッチしてください。

吸込グリルの降下長を設定するときは，降下長設定 ボタンをタッチしてください。

吸込グリル収納時は，▲ ボタンをタッチしてください。収納後，自動的に停止します。上昇を途中で止めるときは，▼ ボタンをタッチしてください。



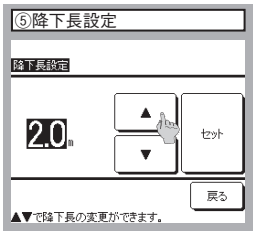
④ 吸込グリルの降下長を設定します。

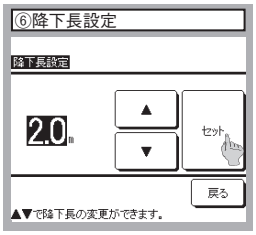
▲ ▼ ボタンにより，降下長を0.1m単位で設定できます。

降下長設定範囲：0.1m～4.0m

注　管理者パスワード入力画面が表示された場合は，管理者パスワードを入力してください。

⑤ 降下長設定後，セット ボタンをタッチしてください。設定が完了します。





(d) 風向設定のしかた

・ワイヤードリモコンを使用することで,吹出口のルーバの動作範囲を,変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると,ルーバは,設定された上限位置と下限位置の間で動作します。

・FDTシリーズを使用の場合,各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

(i) RC-DX3Dリモコンの場合

各吹出口のルーバの動作範囲（上限位置・下限位置）を，ご希望の範囲に設定します。

- リモコンが子リモコンに設定されている場合，フリーフロー設定はできません。
- フリーフロー設定の内容を変更する場合は，エアコンを停止させてください。

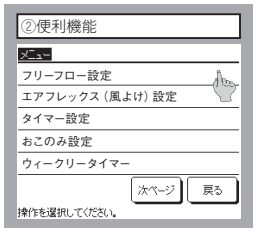
〔操作方法〕

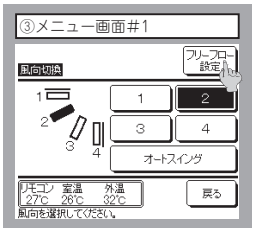
1) TOP画面の「メニュー」→「便利機能」または「風向」より「フリーフロー設定」を選択し「風向切換」画面を表示させます。「風向切換」画面で「フリーフロー設定」ボタンをタッチしてください。
リモコンに接続している室内ユニットが1台の場合は，3) 項へお進みください。

注　管理者パスワード入力画面が表示された場合は，管理者パスワードを入力してください。









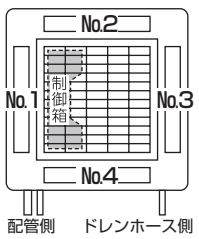
2) リモコンに接続している室内ユニットが複数台の場合，「室内機選択」画面が表示されますので，グリル昇降させる室内ユニットNo.をタッチしてください。
接続している室内ユニット全台を同じ設定にする場合は，全台 ボタンをタッチしてください。

注　室内機選択画面には，8台まで表示します。9台以上接続している場合は，次ページ ボタンをタッチしてください。9台目以降の室内ユニットが表示されます。



3) ルーバの動作範囲を変更する吹出口No.を選択してください。

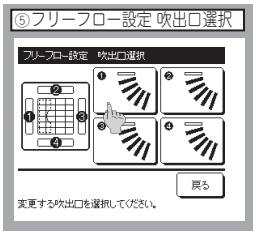
i) FDTシリーズのように吹出口のルーバが複数あり，設定したい吹出口No.がわからない場合は，仮に，任意の吹出口のルーバの上下限位置を設定してください。
設定完了後，設定した吹出口のルーバが停止位置から下限位置まで1度動きますので，吹出口位置が確認できます。吹出口位置確認後，再度，設定したい吹出口No.を選択してください。

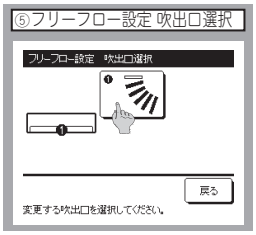


吹出口No.
〔FDTシリーズの場合〕

ii) FDE，FDKシリーズのように吹出口のルーバが１つ場合，設定
み表示されます。

FDTシリーズ　　FDE, FDKシリーズ





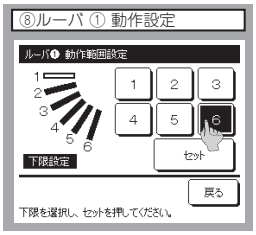
4) エアコンが運転中の場合，運転停止の確認画面が表示されます。
はい をタッチしてユニットを停止させてください。
注　エアコン運転中に「フリーフロー設定」を変更することができません。エアコンを停止できない場合は，運転/停止 スイッチを押すか，戻る ボタンでフリーフロー設定を解除してください。



5) ルーバ動作範囲の上限位置 1 ～ 6 を選択してください。
画面上には，選択した上限位置を表示します。選択後，セット ボタンをタッチしてください。



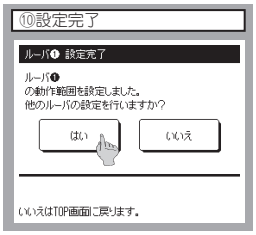
6) ルーバ動作範囲の下限位置 1 ～ 6 を選択してください。
画面上には，選択した上限位置と下限位置から動作範囲を表示します。選択後，セット ボタンをタッチしてください。



7) ルーバ動作範囲の確認画面が表示されます。
設定内容に変更がない場合は，はい ボタンをタッチしてください。変更がある場合は，戻る ボタンをタッチしてください。



8) 設定完了の確認画面を表示します。
i) 他の吹出口ルーバの動作範囲を変更する場合は，はい ボタンをタッチして(c)項より再度，他の吹出口ルーバの動作範囲を変更してください。
ii) 設定を終了する場合は，いいえ ボタンをタッチしてください。
TOP画面へ戻ります。



お知らせ

・上限位置と下限位置を同じ位置に設定すると，ルーバはその位置で固定され，オートスイングをしても動きません。
・設定の途中で，戻る ボタンをタッチすると，1回前の表示に戻ります。また，設定の途中で，運転／停止 スイッチを押すと，本モードを終了し元の表示に戻ります。ただし，設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。

注(1) 親・子リモコンを接続時，風向の設定は親リモコン側から設定してください。子リモコン側からの風向設定はできません。
(2) ワイヤレスリモコンを使用する場合は，風向設定の変更ができませんので，ワイヤードリモコンを接続して行なってください。

(e) 試運転

(i) 室外ユニットからの試運転

1) 現地設定スイッチ SW3-3, 4 により試運転が可能です。

① SW3-3 を ON することで圧縮機が運転します。

② SW3-4 が OFF：冷房運転，SW3-4 が ON：暖房運転

注　必ず試運転終了後は，SW3-3 を OFF にしてください。

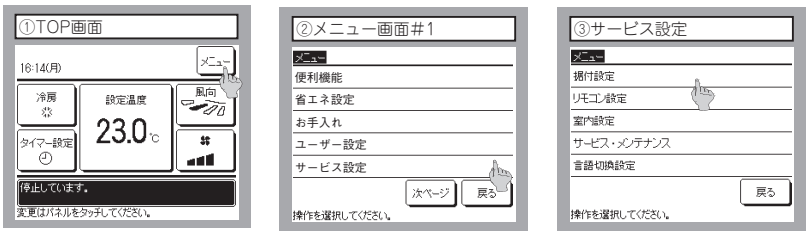
(ii) リモコンからの試運転

1) 冷房試運転操作

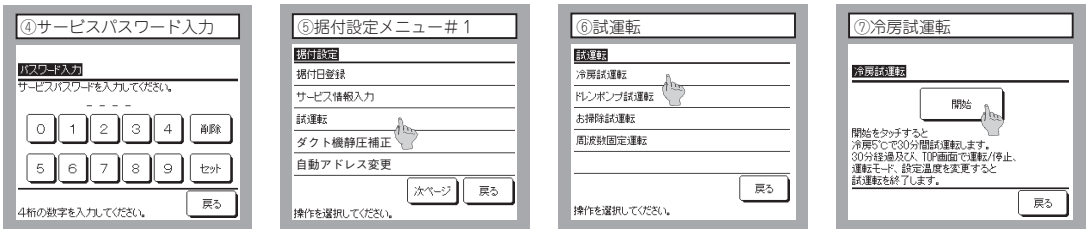
a) RC-DX3D リモコンの場合

i) 冷房試運転の開始

① TOP画面の「メニュー」より→「サービス設定」より「据付設定」を選択します。



② サービスパスワードを入力し，「据付設定メニュー#1」画面から「試運転」を選択します。
「試運転」画面から「冷房試運転」を選択します。
「冷房試運転」画面から 開始 ボタンをタッチしてください。冷房試運転を開始します。



ii) 冷房試運転の解除

下記のいづれかの操作が行われたとき，冷房試運転は解除され「冷房試運転中」の表示は消灯します。

① 運転／停止 スイッチが押されたとき。

② 温度設定が変更されたとき。

③ 冷房以外のモードに変えたとき。

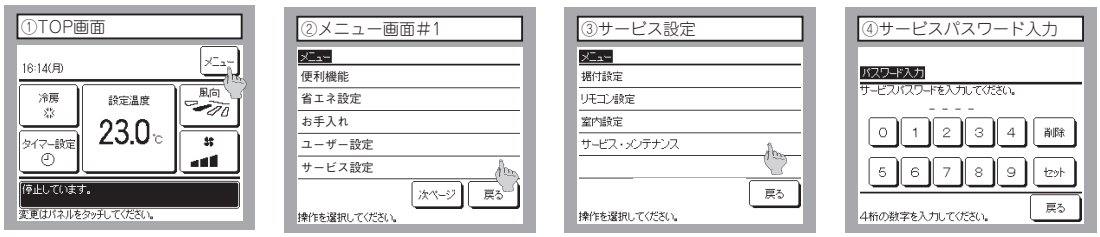
④ 冷房試運転開始より，30分経過したとき。

2) 運転データの確認方法

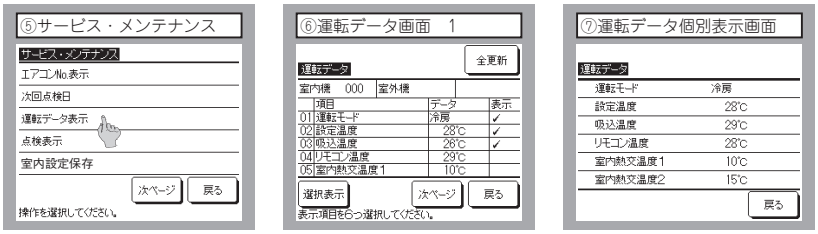
リモコン操作により，運転データの確認ができます。

RC-DX3D リモコンの場合

① TOP画面の「メニュー」より→「サービス設定」より「サービス・メンテナンス」を選択し，サービスパスワードを入力します。



② 「サービス・メンテナンス」画面より「運転データ表示」を選択すると，運転データが表示されます。
・運転データ画面の切換は，「次ページ」または「前ページ」のボタンをタッチしてください。
運転データの内容については，下表の運転データ一覧表をご覧ください。
・運転データを更新したい場合は，「全更新」 のボタンをタッチしてください。
・運転データを6項目選択して表示可能です。「選択表示」のボタンをタッチ後，運転データを6項目を選択してから「全更新」→「選択表示」の順にボタンをタッチしてください。「運転データ個別表示画面」が表示されます。



(f) 機外静圧の設定(FDR, FDU シリーズのみ)

● ecoタッチリモコン（RC-DX3D）を使用して，機外静圧を設定することができます。
● 定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。

(i) FDRシリーズの場合

1) 設定方法
① TOP画面より「メニュー」→「サービス設定」より「据付設定」を選択し，サービスパスワードを入力します。
② 「据付設定メニュー#1」より，「ダクト機静圧補正」を選択します。
③ ▲，▼で機外静圧を設定し，セットをタッチします。
④ 送風機特性については，349ページをご覧ください。

● リモコンからの設定手順



2) 静圧設定上の注意
① 実際の機外静圧を計算し，設定してください。
② 実際の機外静圧よりも機外静圧の設定が高い場合には風量が過大となり，水漏れが発生する恐れがあります。また，実際の機外静圧よりも機外静圧の設定が低い場合には風量が過小となり，不冷・不暖の原因になります。

3) リモコン設定時の有効機外静圧
● ／部の設定は使用範囲外になります。

単位：Pa

リモコン設定		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
標準パネル		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
天井リターン	中型・大型	20	30	40	50	60	70	80	90	100	/
1スポット塞ぎ※	中型	/	/	10	20	30	40	50	60	70	80
	大型	/	10	20	30	40	50	60	70	80	90

※中型(3スポット)を2スポット、大型(4スポット)を3スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板(HA06916)を用意しています。
両端のスポットはふさがないでください。

(ii) FDUシリーズの場合

1) 設定方法

① TOP画面より「メニュー」→「サービス設定」より「据付設定」を選択し，サービスパスワードを入力します。

② 「据付設定メニュー#1」より，「ダクト機静圧補正」を選択します。

③ ▲，▼で機外静圧を設定し，セットをタッチします。

④ 送風機特性については，355ページをご覧ください。

⑤ リモコンからの設定手順については，(i)項をご覧ください。

2) 静圧設定上の注意

① 実際の機外静圧を計算し，設定してください。

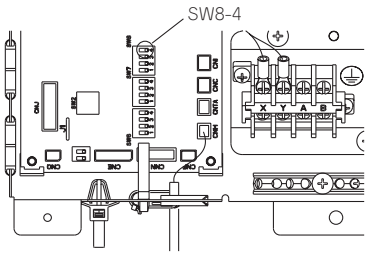
② 実際の機外静圧よりも機外静圧の設定が高い場合には風量が過大となり，水漏れが発生する恐れがあります。また，実際の機外静圧よりも機外静圧の設定が低い場合には風量が過小となり，不冷・不暖の原因になります。

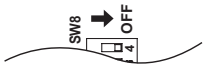
③ 工場出荷時状態では上記のリスクを減らすため，機外静圧の設定範囲を80～150Paとしています。実際の機外静圧は80～150Paの範囲で使用してください。機外静圧が80Paより低い場合には水漏れとなる恐れがあります。

・機外静圧の設定を10～70Paの範囲で設定した場合には，機外静圧は80Paで設定されます。

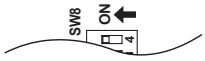
・機外静圧の設定を160～200Paの範囲で設定した場合には，機外静圧は150Paで設定されます。

④ 機外静圧の設定が10～200Paの範囲で変更できます。室内制御基板上のディップスイッチSW8をONにしてください。ただし，リスクが高くなるために実際の機外静圧を把握していない場合には使用しないでください。





SW8-4OFF（機外静圧設定範囲：80～150Pa）



SW8-4ON（機外静圧設定範囲：10～200Pa）

3) 丸ダクト変換キット（オプション）使用時の静圧設定について

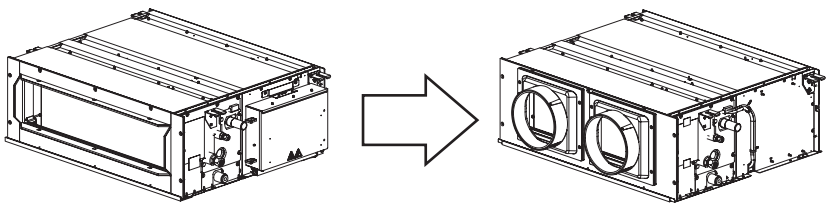
① 丸ダクト変換キットを使用する場合，工場出荷時の機内圧力損失に対して機外静圧が増加します。そのため，機外静圧の設定時には下表に従って設定してください。

例：P80形の場合，機外静圧を100Paにする場合には，機外静圧の設定を110Paにしてください。

注(1) 機外静圧の設定範囲は10～100Paとなります。10～100Paの範囲内で設定してください。

(2) 丸ダクト変換キットを使用する場合は，必ず室内制御基板上のディップスイッチSW8-4をONにしてください。

(3) 実際の機外静圧と設定する機外静圧の設定が一致することを確認してください。異なっていると水漏れや不冷・不暖の原因となります。



工場出荷時　　丸ダクト変換キット装着時

●丸ダクト変換キット使用時の機外静圧設定対応表

セゾンエアコン		―	50, 56	63	71, 80	112	140	160
ビル空調		22	20 ～ 56	―	71 ～ 90	112	140	160
オプション形式		U-UM-1A	U-UM-2A	U-UM-3A		U-UM-4A		
設定する機外静圧（Pa）	10	20	30	10	20	20	30	40
	20	30	40	20	30	30	40	50
	30	40	50	30	40	40	50	60
	40	50	60	50	50	50	60	70
	50	70	70	60	60	60	70	80
	60	80	80	70	70	70	80	90
	70	90	90	90	80	80	90	100
	80	100	100	100	90	90	110	110
	90	120	110	110	100	100	120	130
	100	130	120	120	110	110	130	140

1.14 マイコン運転制御機能

ESP-FP-2554V
ESP-FP-2002DP
ESP-FP-2298BZ
ESP-FP-1986AP

1.14.1 室内コントローラによる運転制御機能

(1) 室温制御

吸込温度センサ（Thi-A）にて検知をします。

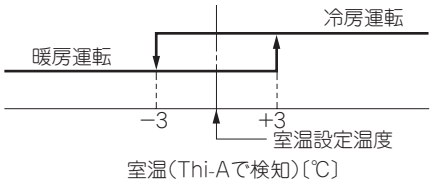


注　リモコンセンサ有効時はリモコンセンサ（Thc）にて検知。

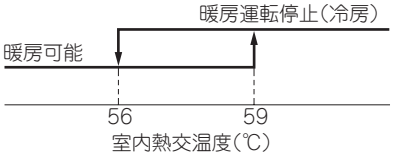
(2) 自動運転

リモコンで「自動」モードを選択すると，外気温度と設定温度または設定温度と吸込温度の差温に応じ自動的に冷房・暖房に切換えます。（冷房⇔暖房切換えが3分以内に行われる場合は3分タイマーにより3分間圧縮機は運転しません。）中間期等に於ける冷/暖切換え操作を簡便にできると共に，店舗等（銀行のATMコーナー）の無人運転に対応できます。
RC-DX3Dリモコンを使用する場合，設定により(a)〜(c)の自動運転が選択できます。（初期設定は(a)）。

(a) 自動運転1：設定温度と吸込温度の差により，冷暖運転モードを判定します。
運転モード切換温度差はリモコン設定により変更可能です。

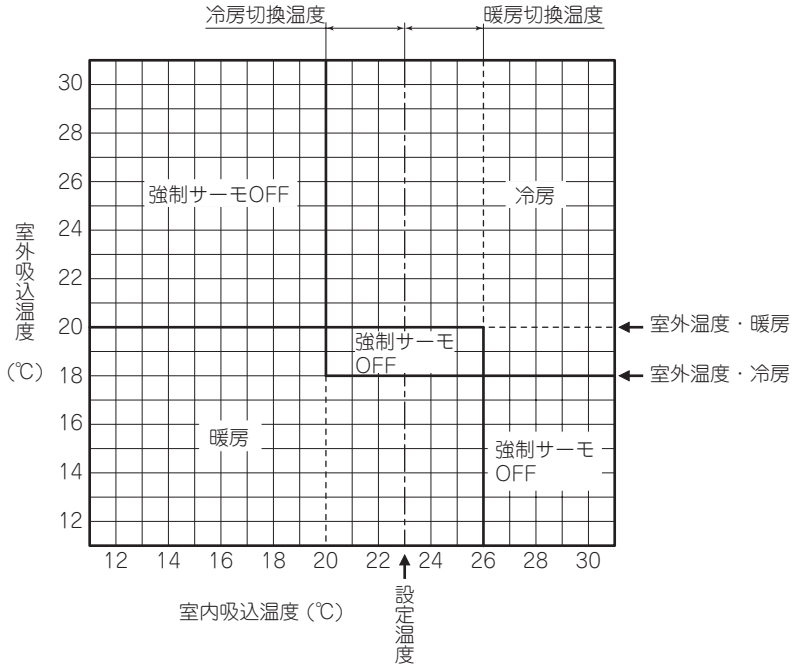


注(1) 自動冷房／暖房時の室温制御は，室温設定温度により行います（DIFF：±1deg）
(2) 暖房時室内熱交温度が59℃以上になると自動的に冷房に切換えます。またこの切換え後1時間以内は右記の温度にかかわらず暖房運転を行いません。



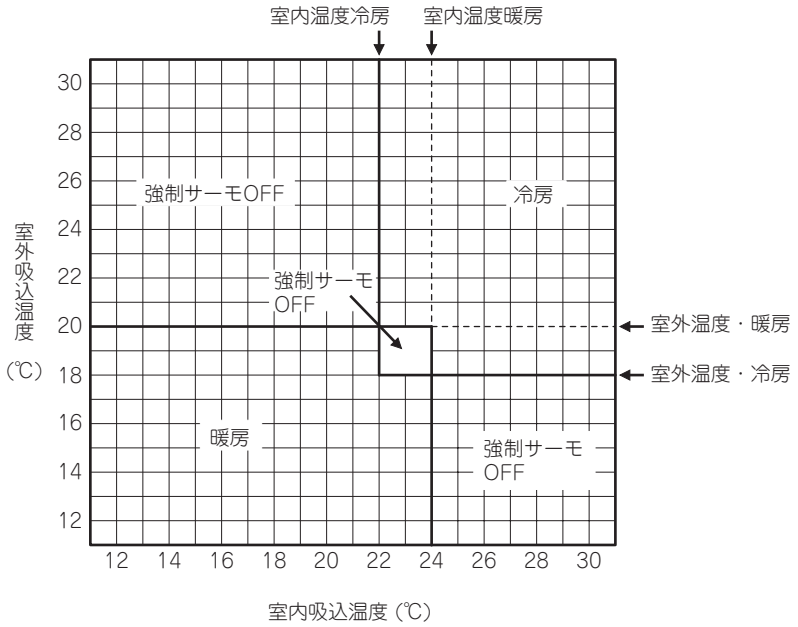
(b) 自動運転2：「設定温度＋冷房切換温度と室内吸込温度による判定」と「室外温度による判定」との条件により，冷暖運転モードを判定します。冷房切換温度，暖房切換温度，室外温度・冷房，室外温度・暖房はリモコン設定により変更可能です。（FDESシリーズは除く）

1) 「設定温度−冷房切換温度＜室内吸込温度」かつ「室外温度・冷房＜室外吸込温度」⇒ 運転モード：冷房
2) 「設定温度＋暖房切換温度＞室内吸込温度」かつ「室外温度・暖房＞室外吸込温度」⇒ 運転モード：暖房
3) 上記判定条件の室外吸込温度は，10分毎にサンプリングをします。
4) 上記の冷房・暖房領域が重なる範囲の場合 ⇒ 強制サーモOFF



(c) 自動運転3：設定温度によらず,「室内温度･冷房または暖房と室外温度･冷房または暖房による判定により，冷暖運転モードを判定します。室内温度冷房，室内温度暖房，室外温度冷房，室外温度暖房はリモコン設定により変更可能です。

1) 「室内温度・冷房＜室内吸込温度」かつ「室外温度・冷房＜室外吸込温度」の場合 ⇒ 運転モード：冷房
2) 「室内温度・暖房＞室内吸込温度」かつ「室外温度・暖房＞室外吸込温度」の場合 ⇒ 運転モード：暖房
3) 上記判定条件の室外吸込温度は，10分毎にサンプリングをします。
4) 上記の冷房・暖房領域が重なる範囲の場合 ⇒ 強制サーモOFF



(3) 冷房・暖房運転時の機能品動作

動作 / 機能品	冷房		送風	暖房			除湿
	サーモON	サーモOFF		サーモON	サーモOFF	ホットスタート（デフロスト）	
圧縮機	○	×	×	○	×	○	○／×
四方切換弁	×	×	×	○	○	○（×）	×
室外送風機	○	×	×	○	×	○（×）	○／×
室内送風機	○	○	○	○／×	○／×	○／×	○／×
ルーバモータ	○／×			○／×	○／×	○／×	○／×
ドレンポンプ(3)	○	×(2)	×(2)	○／×(2)			サーモON：○ サーモOFF：×(2)
加湿機	×			○／×(4)			×

注(1) ○：運転　×：停止　○／×：室温制御以外の制御により運転／停止します。
(2) ドレンポンプモータ遅延制御中はON。
(3) ワイヤードリモコンの室内機能設定によりドレンポンプON設定の選択が可能です。
(4) 加湿器ドレン連動制御中はON。

(4) 除湿運転

(a) FDT，FDTC，FDK シリーズ

吸込口に設置された相対湿度センサ［HS］および吸込空気温度センサ〔Thi-A（リモコンセンサ有効時はリモコンセンサによる）〕により，室内の温湿度環境を同時に制御します。

(i) 冷房運転で運転を開始し，吸込空気温度と設定温度の差が2℃以内の場合は，室内ファンタップを1タップダウンします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。

(ii) 上記成立後，吸込温度と設定温度の差が３℃以下，かつ，相対湿度が目標相対湿度より高い場合は，室内ファンタップを１タップダウンします。吸込温度と設定温度との差が３℃より大きい場合，室内ファンタップを１タップアップします。室内ファンタップ切換え後３分間はタップを保持します。

(iii) 相対湿度センサの検知湿度が目標相対湿度以下になった場合，室内ファンタップを保持します。

(iv) 上記制御中にサーモOFFが成立した場合，サーモON時の室内ファンタップを保持します。

(b) その他のシリーズ

吸込温度センサ〔Thi-A（リモコンセンサ有効時はリモコンによる）〕により，室内の温度環境を同時に制御します。

(i) 冷房運転で運転を開始し，吸込温度と設定温度の差が2℃以内の場合は，室内ファンタップを1タップダウンします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。

(ii) 除湿運転中に吸込温度が設定温度より3℃より大きくなった場合，室内ファンタップを1タップアップします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。

(iii) 上記制御中にサーモOFFが成立した場合，サーモOFF中はサーモON時の室内ファンタップを保持します。

(5) タイマー運転

● RC-DX3Dリモコンの場合

(i) 切忘れタイマー

運転開始してから停止するまでの時間を設定します。設定時間は30～240分の範囲（10分単位）まで選択可能です。

注　リモコンより「切忘れタイマー」設定を有効にしてください。有効の場合，毎回タイマーが作動します。

(ii) 時間切タイマー

運転後，停止させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。

(iii) 時間入タイマー

停止後，運転させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。また，同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効／無効の設定が可能です。

(iv) 時刻入タイマー

運転開始時刻を設定します。設定時刻は5分単位での設定が可能で，1回のみ／毎日の切換えが可能です。また，同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効／無効の設定が可能です。

注　時刻入タイマーを使用するには，時刻設定が必要です。

(v) 時刻切タイマー

運転停止時刻を設定します。設定時刻は5分単位での設定が可能で，1回のみ／毎日の切換えが可能です。

注　時刻切タイマーを使用するには，時刻設定が必要です。

(vi) ウィークリータイマー

1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。１日最大８パターンまでの設定が可能で，祭日および臨時休業など休日設定が可能です。

注　ウィークリータイマーを使用するには，時刻設定が必要です。

(vii) タイマー運転の併用設定可能な組合せ

	切忘れタイマー	時間切タイマー	時間入タイマー	時刻切タイマー	時刻入タイマー	ｳｨｰｸﾘｰﾀｲﾏｰ
切忘れタイマー		×	×	○		
時間切タイマー	×		×	×	×	×
時間入タイマー	×	×		×	×	×
時刻切タイマー	○	×	×		○	×
時刻入タイマー	○	×	×	○		×
ｳｨｰｸﾘｰﾀｲﾏｰ	○	×	×	×	×	

注　○：可，×：不可

(6) ホットスタート（暖房時コールドドラフト防止）

(a) 開始条件

下記のいずれかの条件が成立時，ホットスタート制御を行います。

(i) 停止から暖房運転へ
(ii) 冷房運転から暖房運転へ
(iii) 暖房サーモOFFからサーモONへ
(iv) デフロスト制御終了後（サーモONユニットのみ）

(b) 制御内容

(i) ホットスタート時の室内ファン制御

1) 暖房運転開始後7分以内にサーモ状態（暖房サーモOFF時のファン制御）によりファンモードを決定します。

a) サーモOFFの場合

ⅰ) 暖房サーモOFF時の室内ファン制御設定により運転します。
ⅱ) サーモOFFからサーモONに変化しても室内ファンは室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が35℃以上になるまでサーモOFF時のファン制御で運転を続けます。
ⅲ) 室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が35℃以上になった時は，設定風量で運転します。

b) サーモONの場合

ⅰ) 室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が25℃以下の時は，室内ファンはOFFで運転しません。
ⅱ) 室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が25℃以上になった時は，暖房サーモOFF時のファン制御で運転します。
ⅲ) 室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が35℃以上になった時は，設定風量で運転します。

c) ワイヤードリモコン室内機能設定から「暖房ファン制御」を「設定風量」に設定している場合は，サーモON/OFFに関わらず室内ファンは設定風量で運転します。

2) サーモON中に1度室内ファンがOFFからONとなると，室内熱交温度センサが25℃以下となっても室内ファンをOFFしません。

注　デフロスト制御受信時はデフロスト時のファン制御に従います。

3) 一旦ホットスタートを終了すると室内熱交温度センサの温度が低下してもホットスタートを再開しません。

(ii) ホットスタート作動時は，ルーバは水平位置となります。
(iii) デフロスト終了後，連続7分間室内ファンがOFFの場合は，室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2）の検知温度に係わらずONします。

(c) 終了条件

(i) ホットスタート制御中に下記の何れかの条件が成立した時，本制御を終了し室内ファンは設定風量で運転します。

1) 室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか高い方）が35℃以上の時。
2) ホットスタート制御開始7分経過した時。

(7) ホットキープ

デフロスト制御開始時にホットキープ制御を行います。

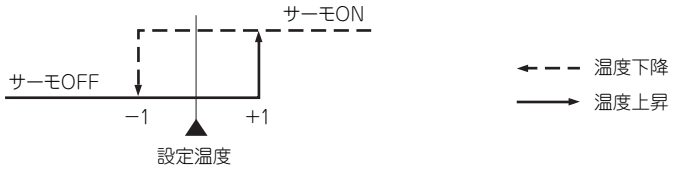
(a) 制御内容

(i) 室内熱交温度(Thi-R1またはR2で検知)が35℃未満となった場合，室内ファンはサーモOFF時のファン設定に従います。
(ii) ホットキープ時は，ルーバは水平位置となります。

(8) サーモ動作

(a) 冷房

(i) 室温制御によりサーモを動作させます。
(ii) 設定温度に対し，サーモONとOFFは次の通りです。

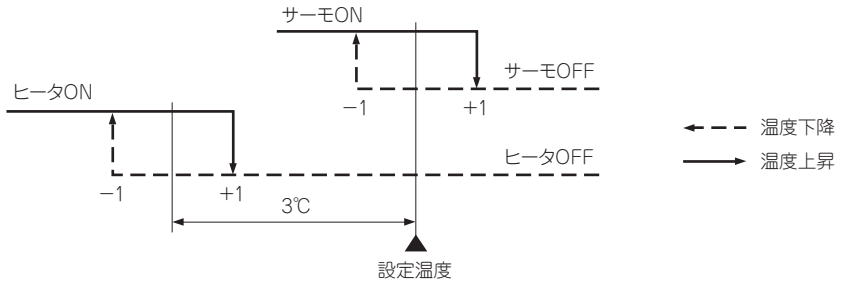


(iii) 冷房運転開始時（暖房から冷房も含む）室温が−1＜設定温度＜＋1の間はサーモONとします。

(b) 暖房

(i) 室温制御によりサーモを動作させます。

(ii) 設定温度に対し，サーモONとOFFは次の通りです。



(iii) 暖房運転開始時（冷房から暖房も含む）室温が−1＜設定温度＜＋1の間はサーモONとします。

(c) 暖房サーモOFF中のファン制御

(i) 暖房サーモOFF中のファン制御は下記に示す内容が，ワイヤードリモコンの室内機能設定から選択が可能です。
①弱風（工場出荷時） ②設定風量 ③間欠 ④停止

(ii) 「弱風（工場出荷時)」を選択した場合の室内ファンタップはULo（Lo）で運転します。

(iii) 「設定風量」を選択した場合は，サーモOFF時も設定風量で運転します。

(iv) 「間欠」を選択した場合は，下記の制御を行います。

1) 暖房運転中にサーモOFFした室内ユニットは，室内ファンをOFFします。
2) 室内ファンOFFを5分間固定とし，5分後に室内ファンをULo（Lo）で運転を2分間行います。この間ルーバは水平制御となります。
3) 室内ファンをULo（Lo）で運転2分後に1）項に移行します。
4) サーモONであれば，ホットスタート制御へ移行します。
5) 暖房サーモOFFとなった場合，リモコンに表示する温度は室内ファンが停止となった時点とし，以降室内ファンがULo（Lo）から停止のタイミングで更新します。
リモコンでは運転データ表示操作により温度表示を行い，室内ファンがOFF中も値を更新します。
6) 暖房サーモOFF中にデフロストに入った場合，またはデフロスト中にサーモOFFした場合の室内ファンはOFFとします。（ホットキープ，ホットスタート制御を優先）ただし，吸込温度の更新は7分毎に行います。
7) 暖房サーモONとなった場合，または他の運転モード（含む停止）に切換えた場合は，その時点で本制御を中止し，その後通常運転に復帰します。

(v) 「停止」を選択した場合は，暖房運転中にサーモOFFすると室内ファンをOFFします。

注 （ ）内の室内ファンタップはFDESシリーズおよびFDFZP2245，2805の場合を示します。

(d) 冷房サーモOFF中のファン制御

(i) 冷房サーモOFF中のファン制御は下記に示す内容が，ワイヤードリモコンの室内機能設定から選択が可能です。
①弱風 ②設定風量（工場出荷時） ③間欠 ④停止

(ii) 「弱風」を選択した場合の室内ファンタップはULo（Lo）で運転します。

(iii) 「設定風量（工場出荷時)」を選択した場合は，サーモOFF時も設定風量で運転します。

(iv) 「間欠」を選択した場合は，下記の制御を行います。

1) 冷房運転中にサーモOFFした室内ユニットは，室内ファンをOFFします。
2) 室内ファンOFFを5分間固定とし，5分後に室内ファンをULo（Lo）で運転を2分間行います。
3) 室内ファンをULo（Lo）で運転2分後に1）項に移行します。
4) サーモONであれば，室内ファンは設定風量で，冷房運転を行います。
5) 冷房サーモOFFとなった場合，リモコンに表示する温度は室内ファンが停止となった時点とし，以降室内ファンがULo（Lo）から停止のタイミングで更新します。
リモコンでは運転データ表示操作により温度表示を行い，室内ファンがOFF中も値を更新します。
6) 冷房サーモONとなった場合，または他の運転モード（含む停止）に切換えた場合は，その時点で本制御を中止し，その後通常運転に復帰します。

(v) 「停止」を選択した場合は，冷房運転中にサーモOFFした室内ファンをOFFします。

注 （ ）内の室内ファンタップはFDESシリーズおよびFDFZP2245，2805の場合を示します。

(9) フィルターサイン（お掃除パネル対応機は789ページ参照）

運転時間（運転／停止スイッチがONとなっている時間）が180時間(1)になるとリモコン上の「フィルター清掃」を表示します。（運転／停止に関係なく，故障時，集中制御時も表示します。）

注(1) フィルターサインの時間設定はワイヤードリモコンの室内機能「フィルターサイン設定」により下表の様に設定が可能です。（工場出荷時は，設定1に設定されています。）

フィルターサイン設定	機　　能
設定1	設定時間：180時間（工場出荷時）
設定2	設定時間：600時間
設定3	設定時間：1,000時間
設定4	設定時間：1,000時間（ユニット停止）(2)

(2) 設定4では，設定時間経過後フィルター清掃を表示させ更に24時間（停止中もカウント）経過後ユニットを停止します。

(10) オートスイング制御（オートスイング機能付機種のみ）

注意 **FDT，FDTCシリーズはRC-DX3Dリモコンの機能設定で「ドラフト防止設定」が有効の時，オートスイングを選択してもドラフト防止設定が有効なルーバはスイングせず水平位置となります。オートスイングさせる場合は「ドラフト防止設定」を解除してください。**

● **RC-DX3Dリモコンの場合**

(i) ルーバ制御

1) エアコンが運転している時に，ルーバを動かすときは，リモコンのTOP画面で「風向」ボタンをタッチすると風向切換画面が表示されます。
2) ルーバをスイングさせる場合は「オートスイング」ボタンをタッチしてください。ルーバが上下（FDF：左右）に連動して動きます。
ルーバ位置を固定する場合は 1 ～ 4 ボタンをタッチしてください。ルーバが指定の位置でとまります。
3) ルーバ4位置制御機の電源投入時のルーバ動作
電源投入時，ルーバは自動的に（リモコン操作なし）1回スイングします。
これは，ルーバ位置をマイコンが確認するため，ルーバモータ（LM）の位置をマイコンに入力させるための動作です。

(ii) 暖房時のルーバ自動水平セット
ホットスタートおよび暖房サーモOFF時は，（コールドドラフトを防ぐため）オートスイング操作(オートスイングまたはルーバ停止)に関わらずルーバは水平位置（FDF：垂直位置）となります。またルーバ位置の表示は本制御に入る前の表示を継続します。

(iii) ルーバフリー停止制御
リモコンのTOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「リモコン設定」→「サービスパスワード」→「上下ルーバ制御」の順に選択してください。
この画面にてフリー停止を選択するとリモコンより停止信号があった場合ルーバを停止します。
さらにリモコンよりオートスイング信号があった場合，停止位置よりルーバが動き始めます。

(11) 圧縮機インチング防止制御

(a) 3分タイマー

圧縮機がサーモスタット，リモコンの運転スイッチ，異常により停止した場合は3分間圧縮機を再始動させません。ただし電源投入時，3分タイマーは無効となります。

(b) 3分強制運転タイマー

(i) 圧縮機ON後3分間圧縮機は停止しません。ただし運転／停止による停止，運転モード変更によりサーモOFFとなった時は即停止します。

(ii) 強制運転制御中に，保護制御に入った場合は，保護制御を優先して圧縮機をOFFします。

⑿ ドレンポンプ制御

(a) 冷房運転，自動の冷房および除湿運転にて圧縮機運転中に作動します。

(b) ドレンポンプがONし(a)項によりOFFの領域となってから，5分間（FDUZP2245，2805：20分間）ドレンポンプONを継続し，その後停止します。また異常停止の場合も5分間遅延を継続します。

(c) 圧縮機ONからOFF時にドレンポンプを5分間（FDUZP2245，2805：20分間）遅延運転させます。

(d) 上記以外の状態（暖房，送風，停止，冷房サーモOFF）でもドレン検知によりドレンポンプ制御を行います。

(e) ワイヤードリモコン室内機能設定の「ドレンポンプ連動制御」により下記設定が可能です。

(i) 標準：冷房時ドレンポンプ ON（出荷時）

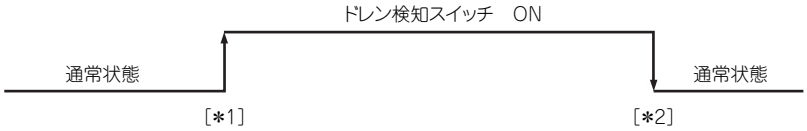
(ii) 暖房：(i)＋暖房時ドレンポンプ ON

(iii) 暖房　送風：(i)＋暖房時，送風時ドレンポンプ ON

(iv) 送風：(i)＋送風時ドレンポンプ ON

⒀ ドレン異常検知

(a) **フロートスイッチ（FS）とタイマーによりドレン検知スイッチをON-OFFします。**



［＊1］ドレン検知可能区間においてフロートスイッチ「開」を3秒間連続検知した時，ドレン検知スイッチを「ON」にします。

［＊2］フロートスイッチ「閉」を10秒間連続検知した時，ドレン検知スイッチを「OFF」にします。

(i) 電源 ON 後 30 秒以降は常時検知します。

(ii) ドレンポンプ OFF 後 10 秒間はドレン異常検知を行ないません。

(iii) ドレン検知スイッチ「ON」により，ドレンポンプを強制 ON にします。

(iv) ドレン検知スイッチ「OFF」により，ドレンポンプ強制 ON を解除します。

(b) **室内ユニットは，各運転状態によりA制御またはB制御を行ないます。**

	室内ユニットの運転モード				
	停止(1)	冷房	除湿	送風(2)	暖房
圧縮機ON中		A　制　御			
圧縮機OFF中	B　制　御				

注(1) 冷房，除湿，送風，暖房からの停止，異常停止を含む
(2) 運転モード不一致による「送風」運転を含む

(i) A制御

1) フロートスイッチがドレン異常を検知すると異常停止（E9 表示）します。異常検知後，ドレンポンプは ON を継続します。

2) フロートスイッチがドレン異常を検知している間は運転します。

(ii) B制御

フロートスイッチがドレン異常を検知するとドレンポンプを5分間ONし，ドレンポンプOFF後10秒の時点でフロートスイッチをチェックし正常ならば通常の停止，異常ならばE9を表示しドレンポンプをONします。（ドレン検知中はONのまま）

⒁ 運転チェック／ドレンポンプ試運転モード

(a) 室内基板上のディップスイッチ（SW7-1）をONの状態で電源を投入することにより運転チェック／ドレンポンプ試運転モードに入ります。なお，電源投入後の切換えは無効（禁止）です。

(b) ディップスイッチ（SW7-1）がONで電源投入後60秒以内にリモコン通信が確定した場合は，運転チェックモードに入ります。また，リモコン通信が確定しない場合は，ドレンポンプ試運転モードに入ります。

注　ドレンポンプ試運転モードを選択する場合は，室内基板上のリモコン用コネクタ（CNB）を抜きリモコン通信を断ってください。

(c) 運転チェックモード

室外ユニットとの通信は行われず，リモコン操作により各運転モードを行います。

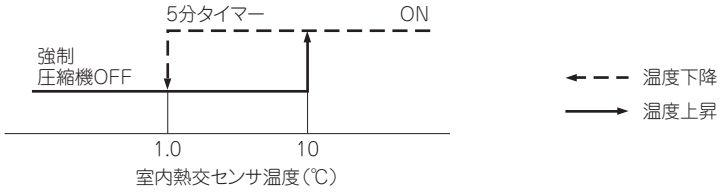
(d) ドレンポンプ試運転モード

ドレンポンプ試運転確定後ドレンポンプのみ運転を行い，運転中は，室内ユニットのマイコンによる保護機能は無効となります。

⑮ 室内熱交アンチフロスト（凍結防止制御）

ⓐ 強制圧縮機OFF制御

（ⅰ）「冷房」「除湿」運転中，熱交温度センサ（Thi-R1，R2）の検知により圧縮機をOFFします。



（ⅱ） 圧縮機ON後4分間は，凍結防止制御の強制圧縮機OFF制御を作動させません。圧縮機ONから4分経過時点で，室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2）の検知温度が強制圧縮機OFF温度（1.0℃）以上の場合は，圧縮機ON可の状態から検知を開始します。

（ⅲ） 圧縮機ONから4分経過後，室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2の何れか）が5分連続して強制圧縮機OFF温度（1.0℃）以下となると圧縮機をOFFさせます。また，室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2）の温度が10℃以上になると圧縮機をONさせます。

（ⅳ） ワイヤードリモコン室内機能設定の「フロスト防止温度」により強制圧縮機OFF温度の切換えができます。

- 温度　低：1.0℃（工場出荷時）
- 温度　高：2.5℃

ここで、湿度センサ有り（FDT, FDTC, FDKシリーズ）の場合は下記となります。
相対湿度が50% RH以下を連続３分間検知した場合、強制圧縮機OFF温度は下記となります。

- 温度　低：−0.5℃（工場出荷時）
- 温度　高：　1.0℃

ⓑ 凍結防止制御時の室内ファン制御

冷房・除湿運転中に凍結防止制御に入った場合は，室内ファンを切換えます。

（ⅰ） DCモータの場合

1） 室内ユニットの吸込空気温度（Thi-Aで検知）が23（FDF：18）℃以上かつ，室内熱交温度（Thi-R1，2で検知）が周波数低下開始温度A℃＋1.0℃を検知した場合は，室内ファン回転数を20min^{-1}増加させます。
- 周波数低下開始温度（A）　低：1.0℃（工場出荷時）
- 周波数低下開始温度（A）　高：2.5℃

2） 室内ユニットの吸込空気温度（Thi-Aで検知）が23（FDF：18）℃以上かつ，凍結防止制御による強制圧縮機OFF制御実施時，室内ファンを1タップ上げます。

3） 凍結防止制御による室内ファンアップ後，吸込空気温度が23（FDF：18）℃以上かつ室内熱交温度が周波数低下開始温度A℃＋1.0℃を検知した場合は，室内ファン回転数を20min^{-1}増加させます。

4） 凍結防止制御による室内ファンアップ後，2）項を再度検知した場合は，室内ファンを1タップ上げます。

5） ワイヤードリモコン室内機能「フロスト防止制御」によりファン制御の有効／無効が切換えられます。

（ⅱ） ACモータの場合

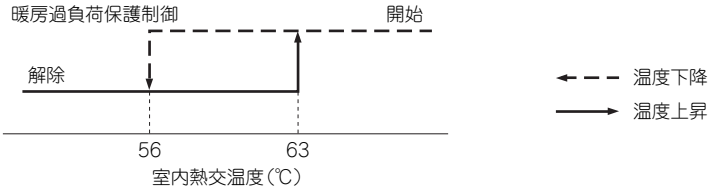
1） 室内ユニット吸込空気温度（Thi-Aで検知）が23（FDF：18）℃以下の場合は，本制御を無効とし，凍結防止制御作動から2時間経過で終了します。

2） 凍結防止による強制圧縮機停止から15分以内に再度検知した場合は，室内ファン速度を1タップ上げます。室内ファンアップ後，15分以内に再度検知した場合は，さらに室内ファンを1タップ上げます。（室内ファン速度アップは，2ステップまでとします。）

3） ワイヤードリモコン室内機能フロスト防止制御によりファン制御の有効／無効が切換えられます。

⑯ 暖房過負荷保護制御

(a) 室内熱交温度（Thi-R1，R2で検知）が63℃以上を2秒間検知した場合は，暖房過負荷保護制御を開始し，検知温度が56℃以下を検知すると解除します。



(b) **1回目の暖房過負荷検出**

(i) 圧縮機OFF信号を送信し停止制御を行います。

(ii) サーモONにより圧縮機をONし，吸込温度（Thi-Aで検知）が31℃以上を2秒間検知すると圧縮機を強制OFFします。

(c) **暖房過負荷検出後，60分以内に2回目，3回目，4回目の検出**

(i) 圧縮機OFF信号を送信し停止制御を行います。

(ii) サーモONにより圧縮機をONし，室内ファン速度が強以下であれば1速アップさせます。

(d) **1回目の検知から60分以内に5回および連続6分間検出すると異常停止（E8）します。**

⑰ 室内ファンモータ異常［FDES シリーズおよび FDFZP2245，P2805 は除く］

(a) ファンモータ運転後，30秒間連続して回転数が200min^{-1}未満を60分以内に4回検知した時は異常停止（E16）します。

(b) ファンモータが回転指令出力後，2分間連続して要求回転数−50min^{-1}（FDU：−500min^{-1}）に達しないときは，ファンモータ異常として異常停止（E20）します。

⑱ 複数台制御ー 1 リモコンによる 16 台グループ制御

(a) **機　　能**

1個のリモコンで複数台のユニット（室内ユニット・最大16台）をグループ制御できます。リモコンでセットした「運転モード」でグループの全ユニットは号機No.(1)順に順次運転・停止させることができます。

各ユニットのサーモ，保護機能は独立して機能します。

注(1) 号機No.は室内制御基板上のSW2で設定します。SW2の号機設定は室内のみ必要です。

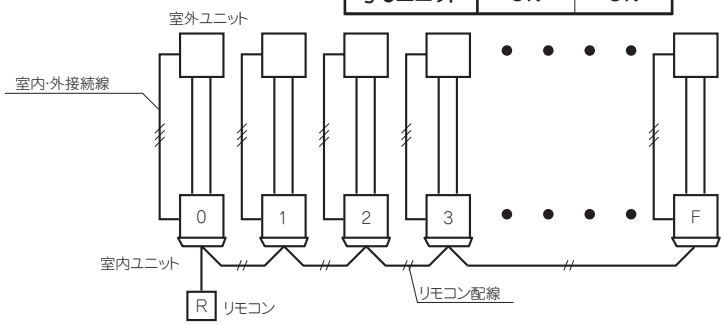
SW2：0 ～ 9,A ～ Fを設定します。

SW5：親・子ユニットを設定します。

（右表を参照）

SW5の設定

スイッチ / ユニット	SW5-1	SW5-2
親ユニット	OFF	OFF
子aユニット	OFF	ON
子bユニット	ON	OFF
子cユニット	ON	ON



(2) 号機は重複しなければランダムでも構いませんが，0，1，2…，F と順番に設定していった方が間違いなく設定できます。

(b) **リモコンへの表示**

(i) **センターまたはリモート別，暖房準備：** 運転中のユニットでリモートモードの（リモートモードが無い時は，センターモード）最若号機ユニットの表示

(ii) **点検表示，フィルターサイン：** いずれか初発のユニット対応で表示

(c) **接続ユニットの確認**

リモコンのTOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス·メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→「エアコンNo.表示」の順に選択すると接続室内ユニットが表示されます。

(d) 異常時

(i) グループの一部ユニットに異常が発生した場合（保護装置作動）当該ユニットは異常停止しますが，他の正常なユニットはそのまま運転を継続します。

(ii) 配線要領

各ユニットの室内・外接続線は各ユニット毎に通常と同じ配線をしてください。グループ制御用にリモコンの端子台（X，Y）を使用し各室間に渡り配線をしてください。

リモコン線と電源線または他の電気機械器具電線（AC100V以上）とは分離して配線してください。

(19) グリル昇降制御

- 子リモコンでは操作できません。親リモコンで操作してください。
- 上昇・下降制御に入っていない限り、エアコンは運転可能です。

(a) オートリフトモード

リモコンの「グリル昇降」を押すことにより、室内ユニットは停止し、オートリフトモードになります。

(b) グリル下降制御

リモコンの下降信号により、設定された長さに相当する時間分、グリルが下降します。

設定された長さに相当する時間以上になるとそれ以上グリルは下降しません。

(c) グリル上昇制御

リモコンの上昇信号により、グリルが上昇します。パネルスイッチが ON になるまでか，または設定された長さに相当する時間分、グリルが上昇し、グリル収納制御を行います。

(d) グリル収納制御

グリル上昇制御でパネルスイッチが ON になるか、設定された長さに相当する時間になるとグリル収納制御を行います。収納位置を補正するため、下降・上昇制御を 2 回繰り返します。

(e) ワイヤーゆるみ検知機構

(i) グリル停止中に、ワイヤーゆるみ検知スイッチが OFF の場合は、グリル上昇制御・下降制御を行いません。

(ii) グリル上昇制御・下降制御・グリル収納制御中に、ワイヤーゆるみ検知スイッチが OFF した場合は、1 秒後にグリル昇降モータを OFF します。

(iii) (ii)項でモータ停止後、ワイヤーゆるみ検知スイッチが ON になると、再度リモコンにより上昇制御･下降制御を行います。

(f) グリル開時のエラー表示（FDT シリーズラクリーナパネル付のみ）

エアコン運転中に 1 秒以上パネルスイッチ（PS）が開を検知した場合はエアコンを停止し，リモコンに M21 を表示します。

注　リモコンによる自動下降制御で，自動昇降モードに入っている場合は除きます。

(20) 風速設定制御

高天井に設置された室内ユニットで風量が不足する場合にファンタップを変更することにより風量のアップが可能です。

ワイヤードリモコン室内機能の「風速設定」によりファンタップが変更できます。

		室内風量設定				適用機種
		P急 - 急 - 強 - 弱	急 - 強 - 弱	急 - 弱	急 - 強	
風速設定	標準	UHi1 - Hi - Me - Lo	Hi - Me - Lo	Hi - Lo	Hi - Me	その他（RC-DX3D）
		UHi2 - Hi - Me - Lo	Hi - Me - Lo	Hi - Lo	Hi - Me	FDEシリーズ（RC-DX3D）
		UHi2 - Hi - Me - ULo	Hi - Me - ULo	Hi - ULo	Hi - Me	FDTシリーズ（RC-DX3D）
	設定１	UHi1 - UHi1 - Hi - Me	UHi1 - Hi - Me	UHi1 - Me	UHi1 - Hi	その他（RC-DX3D）
		UHi1 - Hi - Me - Lo	Hi - Me - Lo	Hi - Lo	Hi - Me	FDEシリーズ（RC-DX3D）
		UHi2 - UHi1 - Hi - Me	UHi1 - Hi - Me	UHi1 - Me	UHi1 - Hi	FDT, FDTC, FDTW, FDTS, FDKシリーズ（RC-DX3D）
	設定２	UHi2 - Hi - Me - Lo	Hi - Me - Lo	Hi - Lo	Hi - Me	FDT, FDTC, FDTW, FDTS, FDE, FDKシリーズ（RC-DX3D）

注(1) 出荷時標準に設定されています。

(2) ホットスタートおよび暖房サーモOFF時等は室内ファンを各設定の低速タップで運転します。

(21) 温度センサ（吸込・室内熱交）断線・短絡検知

(a) 断線検知

吸込温度センサの検知温度が−50℃以下，室内熱交温度センサの検知温度が−50℃以下を連続5秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ1回目の検知から60分以内に再検知および連続6分間検知した場合は，停止（吸込温度センサ：E7，室内熱交温度センサ：E6）します。

(b) 短絡検知

室内熱交温度センサにおいて冷房運転で圧縮機ON2分後から20秒間に短絡を連続5秒間検知した場合は異常停止（E6）します。

㉒ 外部入力（遠方表示）／遠方操作［FDES シリーズおよび FDFZP2245，P2805 は CNTA を除く］

外部入出力端子CNTおよび入力端子CNTAにより，運転状態の出力およびエアコンの発停入力をすることができます。

ⓐ 外部制御（遠方表示）用出力（オプションの遠方発停監視キットが利用できます。）

(i) 出荷状態の出力

1) 室内制御基板上に下記の出力用コネクタ（CNT）を持っています。遠方発停監視キットを接続して各々の無電圧接点を取出してください。

2) 出荷状態では，以下の４つの出力が割り当てられています。

・運転出力（CNT1-2）：運転中，リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
・暖房出力（CNT1-3）：暖房運転中，リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
・圧縮機 ON 出力（CNT1-4）：圧縮機が運転中，リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
・異常出力（CNT1-5）：異常発生時，リレー駆動用出力DC12Vを出力します。

(ii) 出力コネクタの変更

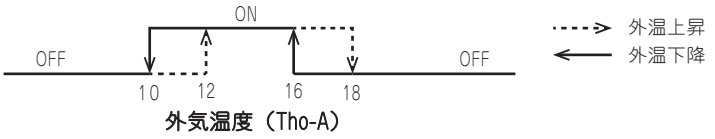
1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，出力コネクタの変更および(iii)項の出荷状態以外の出力に変更することができます。

2) 設定は，ワイヤードリモコンの室内機能「外部出力設定 」で出力先の選択してください。ワイヤードリモコンでの設定名とコネクタは以下のようになります。

①外部出力１：CNT1-2 ②外部出力2：CNT1-3 ③外部出力3：CNT1-4 ④外部出力4：CNT1-5

(iii) 出荷状態以外の出力

1) 冷房出力：冷房モード中（自動の冷房運転，デフロスト，暖房油戻しを含む）に出力します。
2) ファン運転出力1：室内ファンの速度によらず，ファン運転中に出力します。
3) ファン運転出力2：室内ファンが，Hiタップ以上で運転中に出力します。
4) ファン運転出力3：室内ファンが，Hiタップ未満で運転中に出力します。
5) デフロスト，油戻し出力：室外ユニットからのデフロスト信号または暖房油戻し信号を受信中に出力します。
6) 換気出力：ワイヤードリモコンからの換気指令により出力します。
7) ヒータ出力：（8），(b)項の条件により出力します。
8) フリークーリング出力
運転モードが冷房または送風の場合，外気温度により出力します。（外気導入による温度調整用）



9) 室内過負荷アラーム出力
運転開始30分以降で，設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上となった場合，出力します。

ⓑ 遠方操作用入力（CNT1-6 または CNTA1-2）

(i) リモコンによる設定方法

1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，運転/停止モードおよび入力方式を設定します。出荷状態で，外部入出力1，2の設定は運転/停止，外部入力1，2の方式はレベル入力となっています。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Dワイヤードリモコン）
モード設定	CNT	外部入力１設定：運転/停止
	CNTA	外部入力２設定：運転/停止
入力方式	CNT	外部入力１方式：“レベル入力“または”パルス入力“
	CNTA	外部入力２方式：“レベル入力“または”パルス入力“

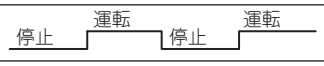
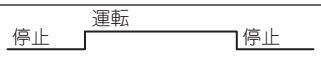
(ii) 外部入力による動作

1) 運転・停止の切換え

a) レベル入力の場合
外部入力ON（CNT1-6：閉またはCNTA1-2は閉）の場合は運転となります。
外部入力OFF（CNT1-6：開またはCNTA1-2は開）の場合は停止となります。

b） パルス入力の場合

外部入力（CNT1-6またはCNTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで運転と運転停止を反転します。

外部入力機能切換	外部入力方式	動　　作	
運転/停止	①レベル	外部端子入力（CNT または CNTA）	
		運転/停止	
		運転/停止（競合）	
	②パルス	外部端子入力（CNT または CNTA）	
		運転/停止	
		運転/停止（競合）	

(iii) 注意事項

1） ワイヤードリモコンは必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

2） エアコンの操作が「センターモード」となっている時は，CNT または CNTA による遠方操作は無効となります。

3） コネクタの部品番号（別売品，配線長さ 500mm）

コネクタ	部品番号
CNT	PCZ006A043
CNTA	PCZ006A053
CNZ（HA用）	PCZ006A054

注 CNZは、FDT, FDTC, FDKにはありません。

㉓ 運転許可・禁止（コインタイマー用制御）[FDES シリーズおよび FDFZP2245，P2805 は CNTA を除く]

リモコンで設定を変更することで，(22)項の遠方制御/遠方操作用端子CNT，CNTAの機能切換えを行い，外部信号の入力によりエアコンの操作可能・操作不可を制御することができます。

市販のコインタイマーの信号等によりエアコン使用可能・使用不可を制御することが出来ます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，運転許可・禁止モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Dワイヤードリモコン）
モード設定	CNT	外部入力１設定：許可/禁止
	CNTA	外部入力２設定：許可/禁止
入力方式	CNT	外部入力１方式：“レベル入力“または”パルス入力“
	CNTA	外部入力２方式：“レベル入力“または”パルス入力“

(b) 外部入力による動作

(i) 運転許可・禁止の切換え

1） レベル入力の場合

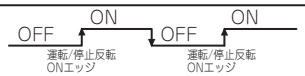
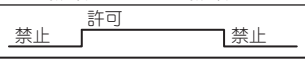
外部入力ON（CNT1-6：閉またはCNTA1-2:閉）の場合は，運転許可となります。

外部入力OFF（CNT1-6：開またはCNTA1-2:開）の場合は，運転禁止となります。

外部端子入力（CNT または CNTA）	
運転許可/禁止	

2） パルス入力の場合

外部入力（CNT1-6またはCNTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで運転許可と運転禁止を反転します。

外部端子入力（CNT または CNTA）	
運転許可/禁止	

(ii) 運転許可の場合の動作
1) エアコンは，リモコンからの操作が可能です。
2) 「センター」モード設定時は，センターからのみ操作可能がとなります。
(iii) 運転禁止時の場合の動作
1) エアコンは，リモコンからの操作ができません。
2) エアコン運転中に運転禁止となった場合は，エアコンは停止します。

(c) 注意事項

(i) ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。
(ii) プルーラル制御中は，親機のみ本制御を受け付けます。子機は本制御を受け付けません。子機は，親機の入力に連動します。

(24) 冷房・暖房外部入力機能切換え［FDESシリーズおよびFDFZP2245，P2805はCNTAを除く］

リモコンで設定変更することで，(22)項の遠方制御/遠方操作用端子CNT，CNTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを冷房/暖房に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

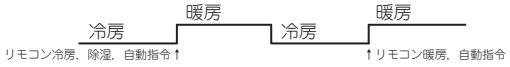
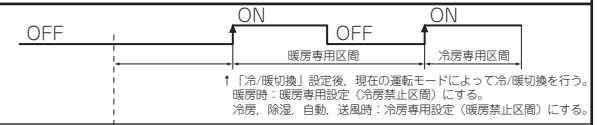
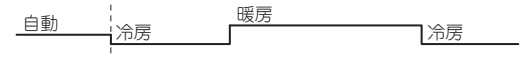
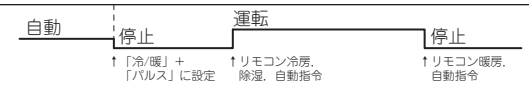
(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，冷房/暖房モードおよび入力方式を設定します。
RC-DX3Dのリモコンで設定可能です。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Dワイヤードリモコン）
モード設定	CNT	外部入力１設定：冷房/暖房
	CNTA	外部入力２設定：冷房/暖房
入力方式	CNT	外部入力１方式："レベル入力"または"パルス入力"
	CNTA	外部入力２方式："レベル入力"または"パルス入力"

(b) 外部入力による動作

(i) 冷房/暖房の切換え
1) レベル入力の場合
外部入力ON（CNT1-6：閉またはCNTA1-2:閉）の場合は暖房となります。
外部入力OFF（CNT1-6：開またはCNTA1-2:開）の場合は冷房となります。
2) パルス入力の場合
外部入力（CNT1-6またはCNTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで冷房と暖房を反転します。

(c) 外部入力により冷房 / 暖房の切換えを受けた場合は，リモコンに運転モードを送信します。

外部入力機能切換	外部入力方式	動作	
冷房/暖房切換	⑤レベル	外部端子入力(CNT または CNTA)	
		冷房/暖房	
		冷房/暖房（競合）	
	⑥パルス	外部端子入力(CNT または CNTA)	
		冷房/暖房	
		冷房/暖房（競合）	

(d) 注意事項

ワイヤードリモコンは必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと本制御は行えません。

(25) 緊急停止信号処理［FDESシリーズおよびFDFZP2245，P2805はCNTAを除く］

室内機能設定を変更することで，(22)項の遠方制御/遠方操作用端子CNT，CNTA の機能切替えを行い，外部信号の入力により，同一室外ユニットに接続された全室内ユニットを緊急停止させます。

(a) リモコンによる設定方法

室内機能設定により，緊急停止モードを設定します。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Dワイヤードリモコン）
モード設定	CNT	外部入力１設定：緊急停止
	CNTA	外部入力２設定：緊急停止

(b) 緊急停止信号による動作

外部入力OFF（CNT1-6またはCNTA1-2：開）の場合、緊急停止します。

(26) 設定温度シフト入力［FDES シリーズは CNTA を除く］［FDFZP2245，P2805 は除く］

リモコンで設定変更することで，(22)項の遠方制御/遠方操作用端子CNT，CNTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを設定温度シフト入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，設定温度シフト入力モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Dワイヤードリモコン）
モード設定	CNT	外部入力１設定：制御が有効
	CNTA	外部入力２設定：制御が有効
入力方式	CNT	外部入力１方式：“レベル入力“または”パルス入力“
	CNTA	外部入力２方式：“レベル入力“または”パルス入力“

(b) 外部入力による動作

(i) 設定温度シフト入力の切換え

1) レベル入力の場合

外部入力ON（CNT1-6：閉またはCNTA1-2:閉）の場合は設定温度シフトが有効となります。

外部入力OFF（CNT1-6：開またはCNTA1-2:開）の場合は設定温度シフトが無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力（CNT1-6またはCNTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで制御の有効／無効を反転します。

(ii) 注意事項（FDFZP635SB，805SB，1605SBは除く）

ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

(27) 強制サーモ OFF 入力［FDES シリーズは CNTA を除く］［FDFZP2245，P2805 は除く］

リモコンで設定変更することで，(22)項の遠方制御/遠方操作用端子CNT，CNTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを強制サーモOFF入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，強制サーモOFF入力モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Dワイヤードリモコン）
モード設定	CNT	外部入力１設定：制御が有効
	CNTA	外部入力２設定：制御が有効
入力方式	CNT	外部入力１方式：“レベル入力“または”パルス入力“
	CNTA	外部入力２方式：“レベル入力“または”パルス入力“

(b) 外部入力による動作

(i) 強制サーモOFF入力の切換え

1) レベル入力の場合

外部入力ON（CNT1-6：閉またはCNTA1-2:閉）の場合は強制サーモOFFが有効となります。

外部入力OFF（CNT1-6：開またはCNTA1-2:開）の場合は強制サーモOFFが無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力（CNT1-6またはCNTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで制御の有効／無効を反転します。

(ii) 注意事項（FDFZP635SB，805SB，1605SBは除く）

ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

(28) 一時停止入力［FDES シリーズは CNTA を除く］［FDFZP2245，P2805 は除く］

リモコンで設定変更することで，(22)項の遠方制御/遠方操作用端子CNT，CNTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードを一時停止入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，一時停止入力モードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Dワイヤードリモコン）
モード設定	CNT	外部入力１設定：制御が有効
	CNTA	外部入力２設定：制御が有効
入力方式	CNT	外部入力１方式：“レベル入力“または”パルス入力“
	CNTA	外部入力２方式：“レベル入力“または”パルス入力“

(b) 外部入力による動作

(i) 一時停止入力の切換え

1) レベル入力の場合

外部入力ON（CNT1-6：閉またはCNTA1-2:閉）の場合は一時停止が有効となります。

外部入力OFF（CNT1-6：開またはCNTA1-2:開）の場合は一時停止が無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力（CNT1-6またはCNTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで制御の有効／無効を反転します。

(ii) 注意事項（FDFZP635SB，805SB，1605SBは除く）

ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

(29) サイレントモード入力［FDES シリーズは CNTA を除く］［FDFZP2245，P2805 は除く］

リモコンで設定変更することで，(22)項の遠方制御/遠方操作用端子CNT，CNTA の機能切換えを行い，外部信号の入力により運転モードをサイレントモード入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により，サイレントモードおよび入力方式を設定します。

	入力端子	室内機能設定（RC-DX3Dワイヤードリモコン）
モード設定	CNT	外部入力１設定：制御が有効
	CNTA	外部入力２設定：制御が有効
入力方式	CNT	外部入力１方式：“レベル入力“または”パルス入力“
	CNTA	外部入力２方式：“レベル入力“または”パルス入力“

(b) 外部入力による動作

(i) サイレントモード入力の切換え

1) レベル入力の場合

外部入力ON（CNT1-6：閉またはCNTA1-2:閉）の場合はサイレントモードが有効となります。

外部入力OFF（CNT1-6：開またはCNTA1-2:開）の場合はサイレントモードが無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力（CNT1-6またはCNTA1-2）がOFF（開）からＯＮ（閉）のタイミングで制御の有効／無効を反転します。

(ii) 注意事項（FDFZP635SB，805SB，1605SBは除く）

ワイヤードリモコンは，必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと，本制御は行えません。

(30) 外部入力機能と優先順位［FDES シリーズは CNTA を除く］［FDFZP2245，P2805 は除く］

(a) CNTとCNTAの組合せ優先順位

■CNTとCNTAの組合せ優先順位

		CNTA					
		①運転停止レベル	②運転停止パルス	③運転許可/禁止レベル	④運転許可/禁止パルス	⑤冷暖切換レベル	⑥冷暖切換パルス
CNT	①運転停止レベル	CNT①	CNT①	CNT①+CNTA③	CNT①	CNT①／CNTA⑤	CNT①／CNTA⑥
	②運転停止パルス	CNT②	CNT②	CNT②+CNTA③	CNT②	CNT②／CNTA⑤	CNT②／CNTA⑥
	③運転許可/禁止レベル	CNT③>CNTA①	CNT③>CNTA②	CNT③+CNTA③	CNT③	CNT③／CNTA⑤	CNT③／CNTA⑥
	④運転許可/禁止パルス	CNT④	CNT④	CNT④+CNTA③※	CNT④	CNT④／CNTA⑤	CNT④／CNTA⑥
	⑤冷暖切換レベル	CNT⑤／CNTA①	CNT⑤／CNTA②	CNT⑤／CNTA③	CNT⑤／CNTA④	CNT⑤	CNT⑤
	⑥冷暖切換パルス	CNT⑥／CNTA①	CNT⑥／CNTA②	CNT⑥／CNTA③	CNT⑥／CNTA④	CNT⑥	CNT⑥

注 ※部のCNTAによる運転禁止設定中は，以下の運転指令を受付けます。
・リモコンからの個別運転指令,室外からの試運転指令およびオプションからの運転指令

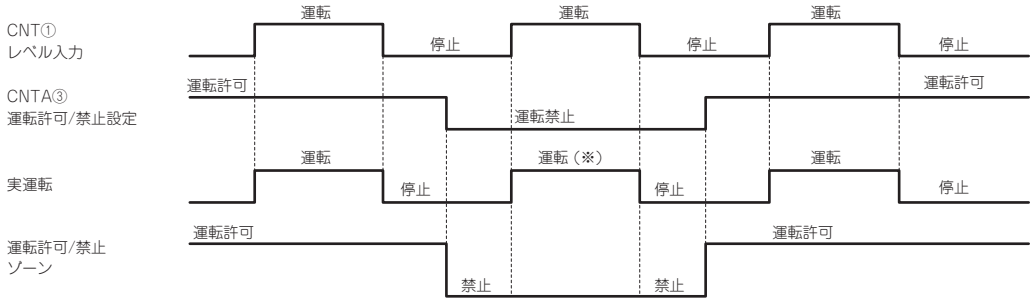
参考:上記記号および組合せ記号の説明

1. CNT"番号"の場合，CNT"番号"採用しCNTAを無効とする。
2. CNTA"番号"の場合，CNTA"番号"採用しCNTを無効とする。
3. CNT"番号"／CNTA"番号"の場合，CNT"番号"とCNTA"番号"は共に独立した機能とする。
4. CNT"番号"+CNTA"番号"の場合，CNT"番号"とCNTA"番号"は競合機能
5. CNT"番号">CNTA"番号"の場合，CNT"番号"はCNTA"番号"より機能の優先順位が高い。
6. CNT"番号"<CNTA"番号"の場合，CNTA"番号"はCNT"番号"より機能の優先順位が高い。

（上記"番号"の部分には,①～⑥の番号が入ります）

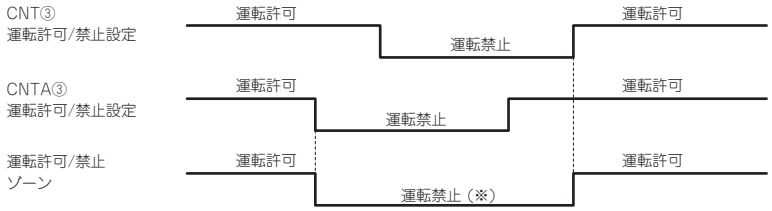
(b) CNTとCNTAでの優先順位例

(i) CNT①運転停止レベル>CNTA③運転許可／禁止レベルの場合



（※）CNTレベル入力をCNTA運転禁止よりも優先する。

(ii) CNT③運転許可／禁止レベル + CNTA③運転許可／禁止レベルの場合



（※）運転禁止ゾーンはCNT運転禁止ゾーンとCNTA運転禁止ゾーンのOR判定とする。

(31) 暖房立上がり時のファン制御［DC モータの場合のみ］

(a) 開始条件

暖房運転開始時とホットスタート制御終了後に，設定温度と吸込温度との温度差が5℃以上の時，本制御を行います。

(b) 制御内容

(i) サンプリング時間は1分毎とし，室内熱交温度(Thi-R1, R2で検知)が37℃以上の場合，現在の室内ファン回転数を10min^{-1}上げます。

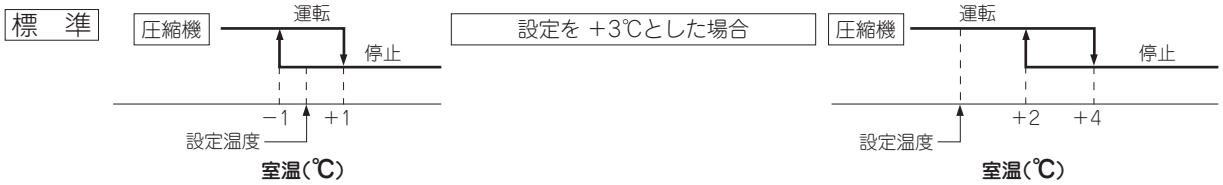
(ii) 次のサンプリング時に室内熱交温度が37℃未満となった場合，現在の室内ファン回転数を10min^{-1}下げます。

(c) 終了条件

圧縮機OFFが成立した場合および暖房運転開始時から30分経過後，－10min^{-1}/分で設定風量まで室内ファン回転数を下げます。

(32) 暖房時室温検知温度補正

サーモの設定温度で圧縮機を ON/OFF していますが，天井に暖気がこもり易い据付状況で早目にサーモ OFF してしまう場合，ワイヤードリモコン室内機能「暖房室温補正」により設定温度の変更が可能です。設定温度＋ 3，＋ 2，＋ 1℃のいずれかの温度で圧縮機を ON/OFF させ，暖房フィーリング向上させることができます。ただし設定温度の上限を 30℃とします。



(33) 吸込温度補正

吸込温度センサの検知温度とユニット据付後の計測温度との誤差が生じて，補正が必要となった場合に補正する機能です。

(a) ワイヤードリモコン室内機能「吸込温度補正」により0.5℃単位で変更が可能です。

●＋1.0℃, ＋1.5℃, ＋2.0℃,　　●－1.0℃, －1.5℃, －2.0℃,

(b) 補正後の温度をリモコンや室外ユニットに送信し，補正後の温度で制御を行います。

注　検知温度補正は室内ユニットセンサのみ有効です。

㉞ お掃除パネル対応機能制御（FDTシリーズのみ）

ⓐ フィルターサイン

（ⅰ） 運転時間（「運転／停止」スイッチがONとなっている時間）が下記設定時間になると，リモコンの液晶に「フィルター清掃」を表示します。（運転・停止に関係なく，故障時，集中制御時も表示します。）

注(1) フィルターサインの時間設定は，ワイヤードリモコン室内機能「フィルターサイン設定」により下表のように設定可能です。

フィルターサイン設定	機　　能
設定１	設定時間： 1,000時間
設定２	設定時間： 2,000時間
設定３	設定時間： 2,500時間
設定４	設定時間： 2,500時間（ユニット停止）

注(1) 設定4では，設定時間経過後フィルター清掃を表示させ，更に24時間（停止中も含む）経過後ユニットを停止します。
(2) RC-DX3Dリモコンの工場出荷時の設定はされていません。

（ⅱ） フィルターサインが点灯すると，お掃除パネルは，表示部に黄色を点灯します。RC-DX3Dリモコンは，「ホコリを回収してください」を表示します。

㉟ ハイパワー運転（RC-DX3Dリモコンのみ）

最大能力で，最長15分間運転します。

㊱ 省エネ運転（RC-DX3Dリモコンのみ）

設定温度を冷房28℃，暖房22℃，自動25℃で固定して運転します。（最大能力を80％に制限します。）

㊲ ピークカットタイマー（RC-DX3Dリモコンのみ）

最大能力を制限することで消費電力を削減します。

㊳ ウォームアップ制御（RC-DX3Dリモコンのみ）

運転開始設定時間にお部屋が設定温度近くになるように，マイコンが運転開始時間を予測して，5～60分前から運転を開始します。

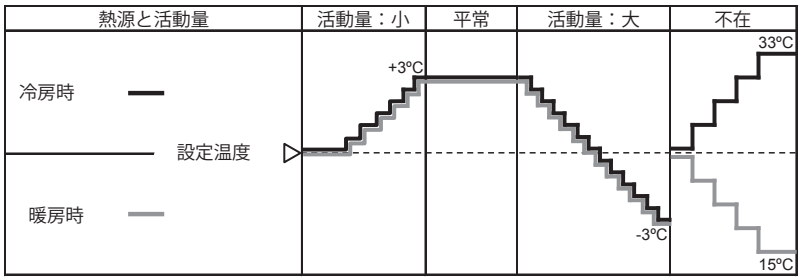
㊴ 人感センサ制御（オプション）（FDFZP2245，P2805は除く）

人感センサにより人の有無および活動量をセンサで判定し，下記制御を行います。

① パワーコントロール制御（省エネ制御/快適制御）

人感センサにより人の活動量および人の有無を検知し，設定温度を補正します。

運転モード（自動／冷房／暖房）と制御

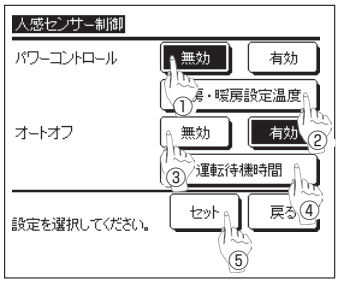


② オートオフ制御

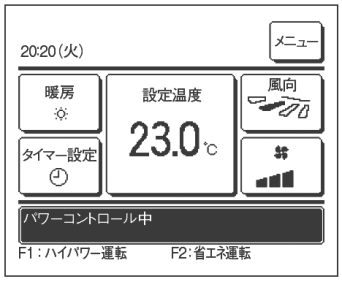
1時間不在の場合は，運転を停止して運転待機状態となります。待機状態が12時間（初期設定）継続した場合は，運転を停止します。

(a) RC-DX3Dから設定する場合

設定は、TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「据付設定」→「サービスパスワード」→「据付設定メニュー」→「人感センサー設定」の順に選択し、有効・無効の設定をしてください。
次に「メニュー画面」→「省エネ設定」→「人感センサー制御」を選択します。



①パワーコントロールの有効/無効を設定します。
②冷房･暖房設定温度をタッチしてください。▲▼ボタンで設定温度を設定し、セットボタンをタッチしてください。設定温度が仮決定します。
③オートオフの有効/無効を設定します。
④運転待機時間をタッチしてください。▲▼ボタンで待機時間を設定し、セットボタンをタッチしてください。
運転待機時間が仮決定します。
⑤各項目設定後、セットボタンをタッチしてください。人感センサー制御が決定し、省エネ設定メニュー画面に戻ります。
※②、④はRC-DX3C以降のみ設定できます。
※⑤を実施しないと本制御は実行されません。



・パワーコントロール有効の場合

人感センサにより人の活動量を検知し、設定温度を補正します。(リモコンの設定温度は補正された温度で表示されます。)

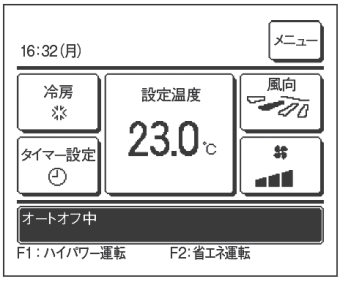
冷房時33℃、暖房時15℃まで設定温度を段階的に補正します。設定温度を補正中はメッセージ表示部に「パワーコントロール中」を表示します。

・冷房暖房設定温度

上記設定温度を1℃きざみで設定することができます。

冷房：25℃～35℃（初期設定は33℃）

暖房：10℃～20℃（初期設定は15℃）



・オートオフ有効の場合

人が不在となって、1時間経過すると「運転待機」状態となります。運転待機時間が1～50時間経過すると「完全停止」します。

『運転待機』･･･エアコンを停止しますが、人が戻ると運転を再開します。
メッセージ表示部に「オートオフ中」を表示します。

『完全停止』･･･エアコンを停止します。人が戻っても運転を再開しません。
メッセージ表示部の「オートオフ中」表示が消え、運転ランプが消灯します。

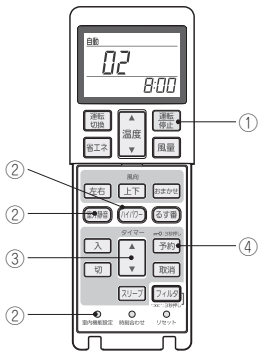
・運転待機時間

冷房時、暖房時の運転待機時間（初期設定は12時間）は1～50時間（1時間きざみ）で設定することができます。

(b) ワイヤレスリモコンから設定する場合

(i) 室内機能設定のしかた

① 運転/停止を押し、停止状態にします。
② 室内機能設定スイッチを押しながら、(ii)項に示すボタンを押します。
③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更します。
④ 予約ボタンを押します。
リモコン信号受信部より、ピッピッと２回ブザーが鳴り、
LEDは２秒毎に４回点滅します。



(ii) 設定内容

ボタン	番号表示部	機能設定
室外静音	00	人感センサ設定：無効
	01	人感センサ設定：有効
ハイパワー	00	人感センサ制御：無効
	01	人感センサ制御：パワーコントロールのみ
	02	人感センサ制御：オートオフのみ
	03	人感センサ制御：パワーコントロール＋オートオフ

⑷⓪ 疑似異常発報制御（FDFZP2245，P2805 は除く）

試運転などの異常時の信号確認を簡単に行います。

ⓐ 開始条件

（ⅰ） 冷房試運転を行います。

（ⅱ） 冷房試運転開始30分以内に「フィルターサインリセット」を操作します。

ⓑ 制御内容

異常停止“E-80”を発信して運転停止します。

ⓒ 終了条件

異常表示は、運転/停止スイッチで復帰します。

注　エコタッチリモコンに異常履歴が記憶されます。確認終了後は異常履歴表示画面から消去してください。

⑷① 冷媒漏えい検知制御（FDF シリーズのみ）

室内ユニット下部の冷媒センサで，通電中常に冷媒漏えいを検知します。

ⓐ 開始条件

（ⅰ） 冷媒センサが冷媒漏えいを検知した場合。

ⓑ 制御内容

（ⅰ） リモコンに「E23 冷媒が漏れています。換気してください。」というメッセージと登録されている連絡先が表示されます。

（ⅱ） 接続されているリモコンのブザーが5秒間鳴ります。

（ⅲ） 室内ユニットは異常停止した後，漏えいした冷媒が滞留することを防ぐために送風運転を行います。

（ⅳ） 室内機能設定によりCNTの出力として「冷媒漏えい」が選択されている場合は，CNTからも出力されます。

⑷② 冷媒センサ制御（FDF シリーズのみ）

冷媒センサ不良を監視します。本制御中，エアコンの運転は可能です。

ⓐ 冷媒センサ故障

（ⅰ） 開始条件

① 冷媒センサが故障した場合。

（ⅱ） 制御内容

① リモコンに「冷媒センサーが故障しています。」というメッセージと，登録されている連絡先が表示されます。

ⓑ 冷媒センサ交換（5 年経過）

（ⅰ） 開始条件

① 冷媒センサの連続通電時間が5年を超える。

（ⅱ） 制御内容

① エアコンの運転開始・停止後1分間，リモコンに「冷媒センサーの交換時期が過ぎています。」というメッセージと，登録されている連絡先が表示されます。

② メッセージ表示部をタッチすると画面が切替わり，「はい」を選択すると，そのリモコンに接続されている全てのリモコンに，そのメッセージと連絡先が720時間表示されなくなります。

ⓒ 冷媒センサ外れ

（ⅰ） 開始条件

① 5秒間連続して冷媒センサからのいずれかの入力を制御基板が検知できない。

（ⅱ） 制御内容

① リモコンに「冷媒センサーが外れています。」というメッセージと，登録されている連絡先が表示されます。

1.14.2 リモートコントローラ

● RC-DX3D

(a) リモコンの運転モード選択

(i) TOP画面上より「運転モード」ボタンをタッチしてください。

(ii) 「運転モード」選択画面が表示されますので，ご希望の運転モードをタッチしてください。

(iii) 運転モード選択後，TOP画面に戻ります。







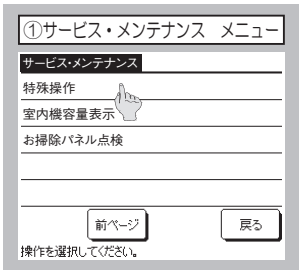
注(1) 室内ユニット-室外ユニットの組合せにより，選択できない運転モードは表示されません。
(2) 自動を選択すると，室温と外温に応じて，冷房・暖房自動切換運転を行います。

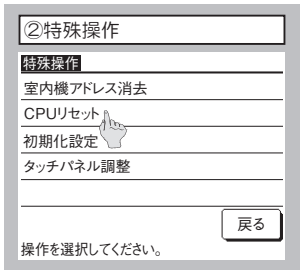
(b) CPUリセット

下記手順にてリモコンよりCPUをリセットしてください。

(i) TOP画面の「メニュー」より「サービス設定」→「サービス･メンテナンス」を選択し，サービスパスワードを入力します。

(ii) 「サービス･メンテナンス メニュー」より「特殊操作」→「CPUリセット」の順に選択すると接続している室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット(停電復帰状態)されます。



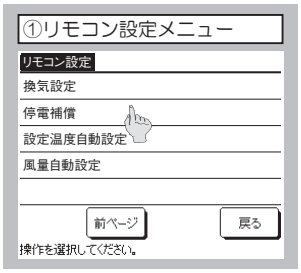


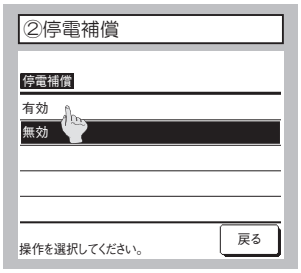
(c) 停電補償機能

下記手順にてリモコンより停電補償機能を有効設定してください。

(i) TOP画面上の「メニュー」より「サービス設定」→「リモコン設定」を選択し，サービスパスワードを入力します。

(ii) 「リモコン設定 メニュー」より「停電補償」を選択し「有効」に設定してください。運転中に停電した場合は，停電復旧(電源投入後の制御終了)後に，停電前の状態に戻ります。





●常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後，記憶内容により運転を再開します。ただしタイマーモードはキャンセルされますが，ウィークリータイマー，ピークカットタイマーおよび室外静音タイマーについては下記内容となります。

・時計機能が有効の場合：設定された内容により機能します。

・時計機能が無効の場合：時計機能を再設定し，リモコンの機能設定によりウィークリータイマー，ピークカットタイマーおよび室外静音タイマーの設定を「有効」にすると記憶された内容で機能します。

●停電補償で記憶される内容は以下のとおりです。

注 ⑥，⑦項は停電補償有効・無効にかかわらず記憶されます。

① 停電時　運転中／停止中
時刻切タイマーモード，時間タイマーモードで運転中は，停止中を記憶します。

② 運転モード

③ 風量モード

④ 室温設定

⑤ ルーバのオートスイング／停止
ただし停止位置(4位置)はキャンセルされます。

⑥ 「お掃除パネル設定」「管理者設定」「据付設定」「室内設定」により設定された内容は，室内ユニットが記憶します。

⑦ ウィークリータイマー，ピークカットタイマー，室外静音タイマー

⑧ リモコン設定

(d) 注意喚起表示

下記(i)～(iii)が表示される場合，以下のとおり確認，処置してください。

(i) 室内機確認注意



●リモコンと室内ユニット間の通信が確立できない場合に表示します。
システム（室内ユニット，室外ユニット，リモコン）として正しく接続されているか，室外ユニットの電源が接続されているかを確認してください。

(ii) タイマー時刻設定警告



●時刻未設定でタイマー設定をしたときに表示します。
時刻設定を行ってください。時刻設定を行わないとタイマー設定が出来ません。

(iii) 誤接続



●リモコンに空調機以外のものが接続されたとき本表示を行います。
リモコンの接続先を確認してください。

(e) 設定および表示項目

698～702ページをご覧ください。

1.14.3 室外コントローラによる運転制御機能

(A) エクシードハイパーシリーズ

ESP-FP-2479△C

(I) FDCZP406 ～ 636形

(1) 圧縮機目標回転数

(a) **冷房運転**　　単位：rps

	P40形	P45形	P50形	P56形	P63形
最高目標回転数	120	120	120	120	120
最低目標回転数	12	12	12	12	12

(b) **暖房運転**　　単位：rps

	P40形	P45形	P50形	P56形	P63形
最高目標回転数	120	120	120	120※	120※
最低目標回転数	12	12	12	12	12

※外気温および室温に応じ124rps

(2) 圧縮機保護始動

(a) **圧縮機保護始動Ⅰ**

(i) 制御条件

前回の圧縮機停止（サーモOFF，リモコン停止など）から6時間未満で，電源ブレーカ投入後の圧縮機始動回数が積算2回目以降の始動。

(ii) 制御内容

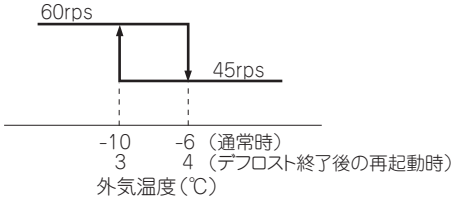
圧縮機始動から4分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで
冷房運転	40	40
暖房運転	40 ※1	※2

※1　デフロスト終了後の再起動は60rps

※2　4分までの圧縮機回転数



(b) **圧縮機保護始動Ⅱ**

(i) 制御条件

1) 圧縮機始動回数が積算1回目の始動で、電源ブレーカ投入後6時間以上経過した場合。

2) 圧縮機始動回数が積算2回目以降の始動で、前回の圧縮機停止（サーモOFF，リモコン停止など）から6時間以上が経過した場合。

3) 下記内容が成立した場合

a) 電源投入後の圧縮機始動回数が積算1回目のとき。

b) 電源投入後から6時間未満のとき。

c) 圧縮機ON後，吐出管温度（Tho-D）が外気温度（Tho-A）より15℃以上のとき。

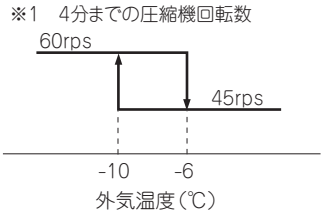
(ii) 制御内容

圧縮機始動から4分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで
冷房運転	40	40
暖房運転	40	※1

※1　4分までの圧縮機回転数



(c) **圧縮機保護始動Ⅲ**

(i) 制御条件

下記の条件がすべて成立し，圧縮機がOFFからONになったとき。

a) 電源投入後の圧縮機始動回数が積算1回目のとき。

b) 電源投入から6時間未満の場合。

c) 圧縮機ON後，吐出管温度（Tho-D）が外気温度（Tho-A）より15℃未満のとき。

(ii) 制御内容

圧縮機始動から12（20）分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで	7分まで	12(20)分まで
冷房運転	40	40	55	75
暖房運転	40	45	120	120

注　（　）内数値は暖房運転時を示します。

(3) 室外ファン制御

(a) 室外ファンタップとファンモータ回転数

単位：min^{-1}

室外ファンタップ	1速	2速	3速	4速	5速	6速	7速	8速
P40, P45 形	150	225	485	520	570	685	740	850
P50, P56, P63 形	150	225	485	520	570	685	800	850

(b) 始動時の室外ファン制御

圧縮機始動時，外気温度（Tho-A）が22℃未満のとき室外ファンタップを固定します。

(i) 外気温度が11℃以上のとき，圧縮機ON後30秒間2速とします。

(ii) 外気温度が11℃未満のとき，圧縮機ON後30秒間1速とします。

(c) 圧縮機回転数とファンタップの関係

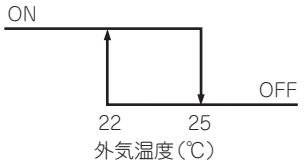
運転モード（冷房・暖房）と圧縮機回転数によりファンタップを決定します。

冷房	圧縮機回転数（rps）	22 未満	22 ～ 30未満	30～66※未満	66※～80 未満	80 以上
	室外ファンタップ	4 速	5 速	6 速	7 速	8 速
暖房	圧縮機回転数（rps）	30 未満	30 ～ 38 未満	38 ～ 78 未満	78 ～ 90 未満	90 以上
	室外ファンタップ	4 速	5 速	6 速	7 速	8 速

注(1) ※P56，P63形は58rps
(2) サイレントモード制御中は，6～8速は5速に変更します。

(d) 冷房低外気時の室外ファン制御

室外熱交温度（Tho-R）と外気温度（Tho-A）により室外ファンを制御します。



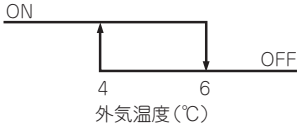
(i) 外気温度が22℃未満で，室外ファンがONのとき室外ファンタップを以下の通り切換えます。
1) 外気温度が11℃以上のとき，2速とします。
2) 外気温度が11℃未満のとき，1速とします。

(ii) さらに室外熱交温度により室外ファン回転数を制御します。
室外ファン回転数を増減させた場合は，10秒間回転数を保持します。

(iii) 本制御中の室外ファン回転数の下限値は100min^{-1}とし，上限値は500min^{-1}とします。

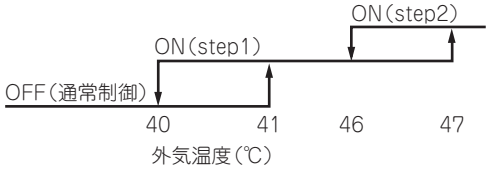
(e) 暖房低外気時の室外ファン制御

外気温度（Tho-A）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを2速アップします。
20秒間保持した後，さらにこれを繰り返しますが，室外ファンタップの上限は8速とします。



(f) 冷房過負荷時の室外ファン制御

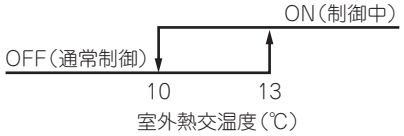
外気温度（Tho-A）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを下図の通りアップします。（室外ファンタップの上限値は8速）



ON 時の状態	ファン速
step1	+3 速
step2	+4 速

(g) 暖房過負荷時の室外ファン制御

室外熱交温度（Tho-R）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを3速下げます。
（室外ファンタップの下限値は2速）



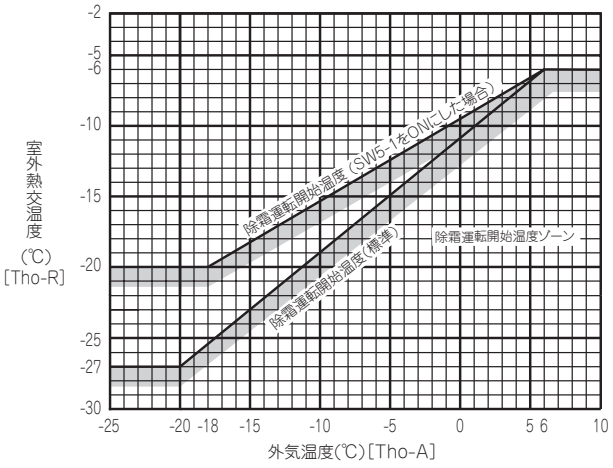
(4) 除霜

(a) 除霜開始条件

(i) 通常時の除霜運転

以下の条件をすべて満したとき除霜運転を開始します。

1) 暖房運転開始および除霜終了後，圧縮機運転累積時間が35分経過。
2) 室外熱交温度（Tho-R）が3分間継続して下記温度になったとき。
   - 圧縮機運転累積時間150分未満のとき：−5℃
   - 圧縮機運転累積時間150分以上のとき：−3.5℃
3) 外気温度（Tho-A)および室外熱交温度（Tho-R）が右図に示す除霜領域内に30秒間連続して存在したとき。
4) 圧縮機ON後7分経過。



(ii) 低負荷時の除霜運転

以下の条件をすべて満したとき除霜運転を開始します。

1) 暖房運転開始および除霜終了後，圧縮機運転累積時間が35分経過。
2) 室外熱交温度（Tho-R）が3分間継続して下記温度になったとき。
   - 圧縮機回転数が62rps以上のとき：−5℃
   - 圧縮機回転数が62rps未満のとき：−4℃
3) 外気温度（Tho-A）が3℃未満のとき。
4) 圧縮機ON後7分経過。

(iii) SW5-1による除霜制御の切換え

室外ユニット制御基板上のSW5-1をONすることで，除霜運転に入りやすくなります。

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満すと除霜運転を終了します。

(i) 除霜開始から15分が経過したとき。

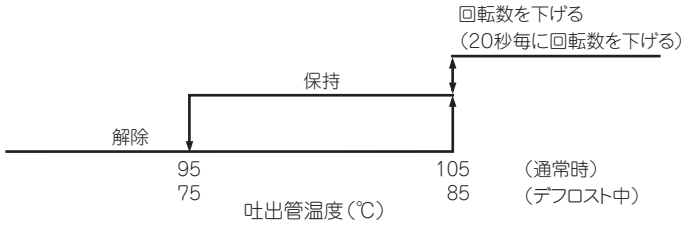
(ii) 室外熱交温度（Tho-R）が10℃以上となったとき。

(5) 圧縮機回転数による保護制御／異常停止制御

(a) 圧縮機過熱保護

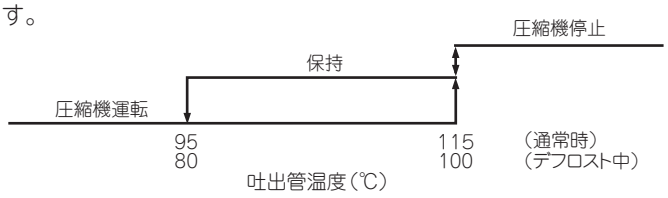
(i) 保護制御

吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し吐出管温度の上昇を抑えます。



(ii) 異常停止制御

1) 吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。
2) 60分以内に2回，吐出管温度が設定値を超え，圧縮機が停止した時点で，リモコンにE36を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

45分間継続して，解除値95℃（デフロスト中の作動の場合80℃）未満となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(b) 冷房高圧保護制御

(i) 目的：冷房時の異常高圧運転を防止します。

(ii) 検知：室外熱交温度（Tho-R）

(iii) 動作内容

室外熱交温度(Tho-R)	Tho-R＜P1	P1≦Tho-R＜P2	P2≦Tho-R	P3≦Tho-R
圧縮機回転数	通常（解除）	圧縮機回転数保持	圧縮機回転数を下げる	圧縮機停止

• サンプリング開始時の外気温度（Tho-A）条件

外気温度条件	P1	P2	P3
Tho-A≧32℃	45～50℃	50～54℃	62℃
Tho-A<32℃	51℃	53℃	56℃

(iv) 異常停止

異常検知（P3≦Tho-R）が，60分以内に5回または，圧縮機停止中も含め10分間継続したとき，リモコンにE35を表示し異常停止モードとなります。

(c) 暖房高圧保護制御

(i) 目的：暖房時の異常高圧運転を防止します。

(ii) 検知：室内熱交温度(Thi-R)

(iii) 動作内容

室内熱交温度(Thi-R)	Thi-R＜P1	P1≦Thi-R＜P2	P2≦Thi-R＜P3	P3≦Thi-R
圧縮機回転数	通常（解除）	圧縮機回転数保持	圧縮機回転数を下げる(step1)	圧縮機回転数を下げる(step2)

• 室内熱交温度領域（℃）

圧縮機回転数（rps）	P1	P2	P3
10 ～ 50	45	52	54.5
50 ～ 115	45	52	57
115 ～ 120	45 ～ 43	52 ～ 50	57 ～ 55

(d) 冷凍サイクルシステム保護制御

(i) 異常検知条件：運転開始5分(暖房9分)以降に次の条件を共に5分以上継続したとき。

1) 圧縮機回転数が 40rps 以上

2) 冷房運転時：室内熱交温度 (Thi-R)―室温 (Thi-A) ＞ － 4℃

暖房運転時：室内熱交温度 (Thi-R)―室温 (Thi-A) <+4℃

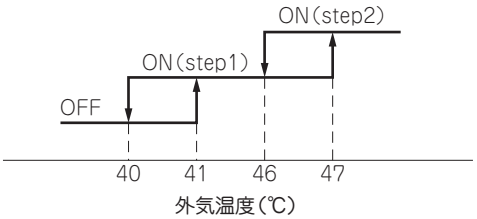
注　本制御は室温が冷房時：10～40℃，暖房時：0～40℃の範囲にある場合に有効です。

(ii) 異常停止

(i)項の異常停止で，60分間に2回本制御により圧縮機が停止した場合，リモコンにE57を表示し異常停止モードとなります。

(e) 冷房過負荷保護

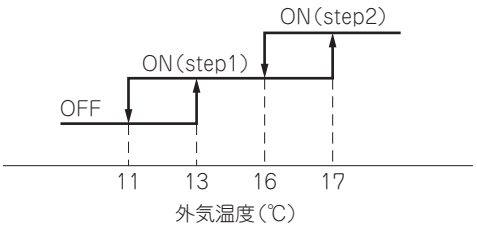
圧縮機運転中に外気温度(Tho-A)が30秒間継続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を変更します。



ON時の状態	圧縮機回転数(rps)	
	下限値	上限値
step1	30	85
step2	30	60

(f) 暖房過負荷保護制御

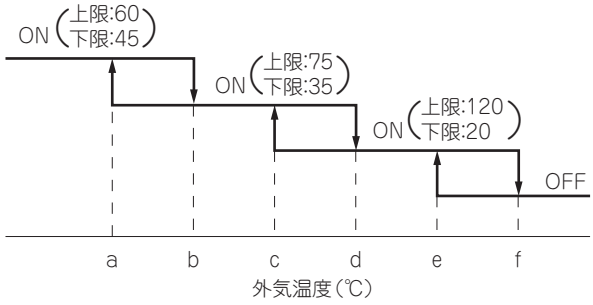
圧縮機運転中に外気温度(Tho-A)が30秒間継続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を制限します。



ON時の状態	圧縮機回転数(rps)	
	下限値	上限値
step1	30	90
step2	35	75

(g) 冷房低外気保護制御

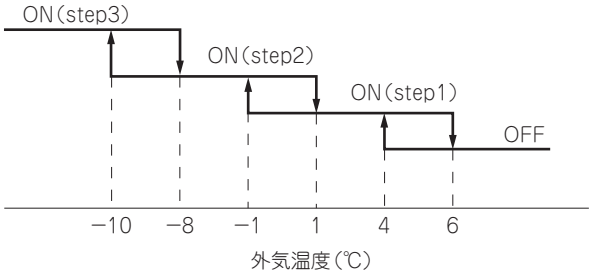
圧縮機運転中に外気温度（Tho-A）が，開始条件判定温度に基づき20秒間連続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を制限します。以降，1時間に1回，領域判定温度に基づき，圧縮機回転数の上下限値を再判定します。



	a	b	c	d	e	f
開始条件判定温度	9	11	22	25	26	28
領域判定温度	16	19	25	28	26	28

(h) 暖房低外気保護制御

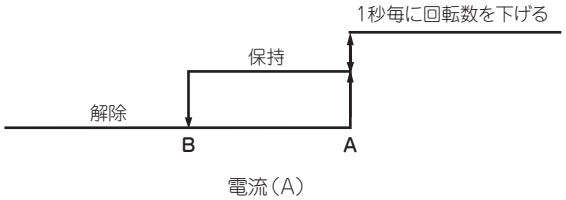
圧縮機運転中に外気温度（Tho-A）が，30秒間連続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の下限値を制限します。



ON時の状態	圧縮機下限値
step1	45
step2	50
step3	60

(i) カレントセーフ制御

室外インバータ入力電流を検知し，電流値が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御しインバータを保護します。外気温が高い場合，下表より低い電流値で制御が開始することもあります。



単位：A

	冷房		暖房	
	制御値**A**	制御値**B**	制御値**A**	制御値**B**
単相	15.0	14.5	15.0	14.5
三相	11.5	11.0	11.5	11.0

(j) カレントカット

(i) 室外インバータに過電流が流れるのを防止するため電流を検知し，設定値を超えると圧縮機を停止させます。3分遅延後に再始動します。
　設定値：19.5～25.3A

(ii) 40分以内に3回，電流値が設定値を超えると圧縮機停止させ，リモコンにE42を表示し異常停止モードとなります。

(k) シリアル信号伝送エラー保護

室内・外通信が35秒間連続して信号を受信出来ないとき，圧縮機停止させ，リモコンにE5を表示し異常停止モードとなります。

(l) **ファンモータ異常**

室外ファンモータの回転数が75min^{-1}以下を30秒以上継続したとき，圧縮機および室外ファンモータを停止させます。異常停止が3回発生した場合は，リモコンにE48を表示し異常停止モードとなります。

(m) **圧縮機ロータロック異常**

圧縮機起動後，脱調を検知すると圧縮機を停止し，リモコンにE60を表示し異常停止モードとなります。

(n) **温度センサ断線検知**

(i) 室外熱交温度センサ，外気温度センサ

圧縮機ON後,2分～2分20秒間または電源投入後20秒間に5秒間連続して検知温度が，－55℃以下を検知したとき圧縮機を停止させます。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが，40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

(ii) 吐出管温度センサ

圧縮機ON後，10分～10分20秒間に5秒間連続して検知温度が－25℃以下を検知したとき圧縮機を停止させます。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが，40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

(6) サイレントモード

リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合

(i) 室外ファンタップを下げて運転します。詳しくは，前述の(3)項の室外ファン制御をご覧ください。

(ii) 圧縮機最高目標回転数60rpsにします。(冷房・暖房共)

(7) 試運転

(a) **室外制御基板上のスイッチにより室外ユニットより運転が可能です。**

SW5-3	ON	**SW5-4**	OFF	冷房試運転
			ON	暖房試運転
	OFF	通常および試運転終了		

(b) **試運転制御**

(i) 機種毎に決まる最高回転数にて運転をします。

(ii) 各保護制御，異常検知制御は有効とします。

(iii) 試運転中にSW5-4を切換えた場合は停止制御を行い冷・暖房運転を切換えます。

(iv) 試運転中リモコンの設定および表示。

リモコン / モード	リモコンの設定・表示内容
冷房試運転	冷房，初期設定温度は5℃。
暖房試運転	暖房（準備）初期設定温度は30℃。

(Ⅱ) FDCZP806 ～ 1606形

ESP-FP-2289 AA

(1) 圧縮機回転数の決定

ユニットの要求回転数

(a) 冷房・除湿運転

単位：rps

		P80形	P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	室内風量「P 急」	80	75	105	110
	室内風量「急」	70	70	80	90
	室内風量「強」	55	50	55	60
	室内風量「弱」	45	40	45	50
最低要求回転数		11	11	11	11

(b) 暖房運転

単位：rps

		P80形	P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	室内風量「P 急」	110	120	130	130
	室内風量「急」	80	100	110	110
	室内風量「強」	65	55	60	65
	室内風量「弱」	55	45	50	55
最低要求回転数		18	15	15	15

(c) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合，最高要求回転数を切換えます。

単位：rps

		P80形	P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	冷房・除湿	48	52	61	65
	暖房	60	53	80	80

(d) 冷房高外気条件下での最高要求回転数。

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　単位：rps

		P80形	P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	外気温度が37℃以上	80	75	105	108
	外気温度が40℃以上	62	75	91	91
	外気温度が46℃以上	50	75	84	84

(e) 暖房高外気条件下での最高要求回転数

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　単位：rps

		P80形	P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	外気温度が18℃以上	76	60	87	92
	外気温度が10℃以上	100	100	100	100

(f) 熱交温度による最高要求回転数の切換え

(i) 冷房･除湿時は，室外熱交温度（Tho-R），暖房時は室内熱交温度（Thi-R）により，最高要求回転数を切換えます。

(ii) 室内熱交温度（Thi-R）が2つある場合は，大きい方の値を使用します。　単位：rps

			P80形	P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	冷房・除湿	室外熱交温度が 55（61）℃以上	60	70	100	100
	暖房	室外熱交温度が 47℃以上	110	－	－	－
		室外熱交温度が 54℃以上	100			
		室外熱交温度が 55℃以上	－	100	100	100
		室外熱交温度が 60℃以上	90	－	－	－

注　（　）内数値はP80形を示します。

(g) 前述の(a)から(f)項の制御が重複する場合は，重複した制御の中で，最も小さい値を最高要求回転数として運転します。

(h) 暖房運転時，要求回転数が上昇傾向の場合，室内熱交温度が40℃以上になるまで1分ごとに回転数を+5rpsします。

(2) 圧縮機始動制御

(a) 圧縮機始動は室内ユニットからのサーモＯＮ信号を受信した時点で圧縮機を始動します。

(b) ただし，電源ブレーカを投入後１回目の起動時においては，圧縮機の油上がりを防止するため，最大30分間の待機状態（リモコンに「運転待機中」の表示）に入る場合があります。
室外ユニットが待機状態時に，リモコンで冷房/除湿/暖房の運転を選択した場合は，リモコンに３秒間「運転待機中」の表示を行います。

(3) 圧縮機ソフト始動制御

(a) 圧縮機保護始動Ⅰ

［制御条件］　通常は，本始動パターンにて圧縮機の運転回転数を上昇させます。

［制御内容］　(i) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。
ただし，冷房・除湿時に外気温度（Tho-A）が35℃以上，暖房時に吸込温度（Thi-A）が25℃以上では，**C**rpsで始動します。

(ii) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，２～４分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。

	運転モード	A rps	B rps	C rps
P80形	冷房・除湿	45	45	30
	暖房	45	45	30
P112～P160形	冷房・除湿	45	45	25
	暖房	45	45	25

(b) 圧縮機保護始動Ⅲ

［制御条件］　電源ブレーカ投入後の圧縮機始動回数が積算１回目の始動時。

［制御内容］　運転モード，外気温度(Tho-A)に応じて以下の始動パターン を選択し運転を行います。

(i) 冷房・除湿時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立した時点で，冷房・除湿時の低回転数運転制御を行います。

［制御内容］　1) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，外気温度（Tho-A）が35℃以上では**C**rpsで始動します。

2) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。

3) その後，30分間は圧縮機回転数の上昇レートを6rps/2分に制限します。

	運転モード	A rps	B rps	C rps
P80形	冷房・除湿	45	45	30
P112～P160形	冷房・除湿	45	45	25

(ii) 暖房時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立し，下記条件を満たす場合に，暖房時の低回転数運転制御を行います。

・電源ブレーカ投入後から30分以上が経過している場合。

［制御内容］　1) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，吸込温度（Thi-A）が25℃以上では**C**rpsで始動します。

2) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。

3) その後，30分間は圧縮機回転数の上昇レートを6rps/2分に制限します。

	運転モード	A rps	B rps	C rps
P80形	暖房	45	45	30
P112～P160形	暖房	45	45	25

(4) 室外ファン制御

(a) ファンタップとファン回転数

単位：min^{-1}

		ファン回転数						
P80形	ファンタップ	1速	2速	3速	4速	5速	6速	7速
	冷房・除湿	200	390	550	660	750	800	850
	暖房	200	390	500	620	750	800	850
P112～P160形	ファンタップ	1速	2速	3速	4速	5速	6速	7速
	冷房・除湿	200	390	540	600	630	750	800
	暖房	200	390	540	600	630	750	800

(b) 冷房・除湿運転時のファンタップ制御

室外熱交温度（Tho-R1, R2）と外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

注　Tho-R1, R2はどちらか高い方で検知

• 通常モード時

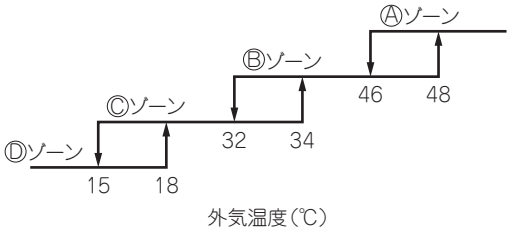
	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	6(5)速	6(5)速	6(5)速	5(4)速
ⓑゾーン	6(5)速	4 速	4 速	3 速
ⓒゾーン	5(4) 速	4(3) 速	3 速	2 速
ⓓゾーン	4(3)速	2(3)速	2 速	1 速

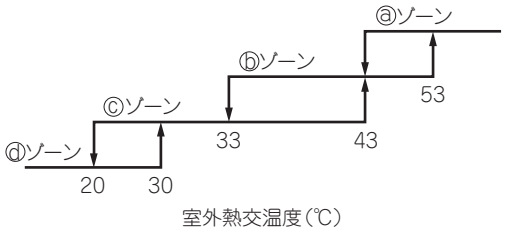
注 （ ）内数値はP80形を示します。

• サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	6(4) 速	5(4) 速	5(4) 速	5(4) 速
ⓑゾーン	6(4) 速	3 速	3 速	3 速
ⓒゾーン	5(4) 速	3 速	3 速	2 速
ⓓゾーン	4(3) 速	2(3) 速	2 速	1 速

注 （ ）内数値はP80形を示します。





(c) 暖房運転時のファンタップ制御

室外熱交温度（Tho-R1, R2）と外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

注　Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

• 通常モード時

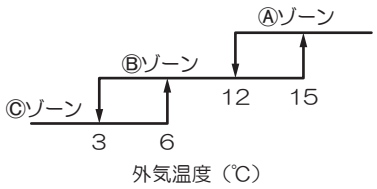
	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	2/3※1(3) 速	5(4) 速
ⓒゾーン	4(3) 速	4 [5] 速	7(5) 速
ⓓゾーン	4 [5] 速	7(5) 速	7(5)速

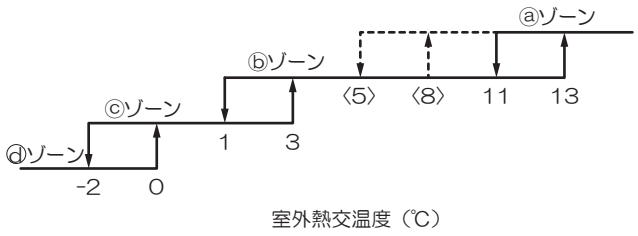
注(1) （ ）内数値はP80形を示します。
(2) [ ] 内数値はP160形を示します。
(3)※1圧縮機回転数によりファンタップ変更します。
目標回転数＜46rpsの場合：3速
目標回転数≧46rpsの場合：2速

• サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	2(3) 速	5(4) 速
ⓒゾーン	3 速	3 速	5(4) 速
ⓓゾーン	4 [5] 速	5(4) 速	7(5) 速

注(1) （ ）内数値はP80形を示します。
(2) [ ] 内数値はP160形を示します。





注〈 〉内数値は圧縮機回転数が目標回転数100rps以上の場合を示します。

(d) 冷房低外気時の室外ファン制御

(i) 開始条件

圧縮機始動より下記条件が全て成立した場合に開始します。

1) 冷房･除湿モード運転時。
2) 外気温度（Tho-A）が20℃未満のとき。
3) 室外ファン起動から20秒経過後。
4) 室外ファンタップが1速のとき。

(ii) 制御内容

1) 室外熱交温度（Tho-R1, R2）を30秒ごとにサンプリングし，室外ファンの回転数を制御します。
2) 本制御中の室外ファン回転数は，上限を390min^{-1}，下限を130min^{-1}とします。

注　Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

(iii) 終了条件

下記条件の何れかが成立した場合は，本制御を終了します。

1）外気温度（Tho-A）が20℃以上かつ室外熱交温度（Tho-R1, R2）が30℃以上を連続40秒以上を検知。

2）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が40℃以上を連続40秒以上を検知。

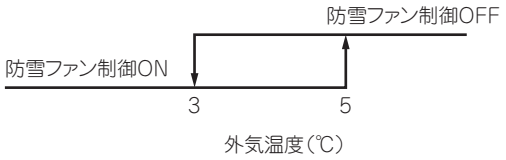
3）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が50℃以上を検知。

(e) 室外ファン起動制御における注意点

圧縮機運転前に，室外ファンが400min^{-1}以上で回転している場合は，室外ファンを起動させずに圧縮機のみで運転する場合がありますが、故障ではありません。

(f) 防雪ファン制御

室外制御基板上のディップスイッチ（SW3-2）をONすると停止モード，異常停止モード中において，外気温度（Tho-Aで検知）により室外ファンを10分毎に1回30秒間4速で運転します。



(5) 除霜

(a) 除霜開始条件

次の除霜条件Aまたは条件Bを全て満たせば除霜運転を開始します。

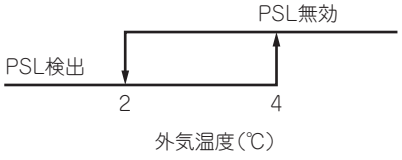
(i) 除霜条件A

1）除霜終了後の圧縮機運転累計時間が37分経過および暖房運転開始（リモコンON）後の圧縮機運転累計時間が30分経過。

2）圧縮機がON後5分経過。

3）室外ファン運転後5分経過。

4）上記の全ての条件を満たした後，室外熱交温度センサ（Tho-R1, R2）と外気温度センサ（Tho-A）の温度が15秒継続して右図の除霜開始温度以下になったときまたは，低圧圧力センサ（PSL）の検出値より求められる吸入ガス飽和温度（SST）と外気温度（Tho-A）が右図に示す除霜運転開始温度以下の領域に3分間存在。ただし，圧縮機始動後10分間および外気温度が下図のときは除きます。



5）吐出管温度と室内熱交温度の差が30℃以上。

(ii) 除霜条件B

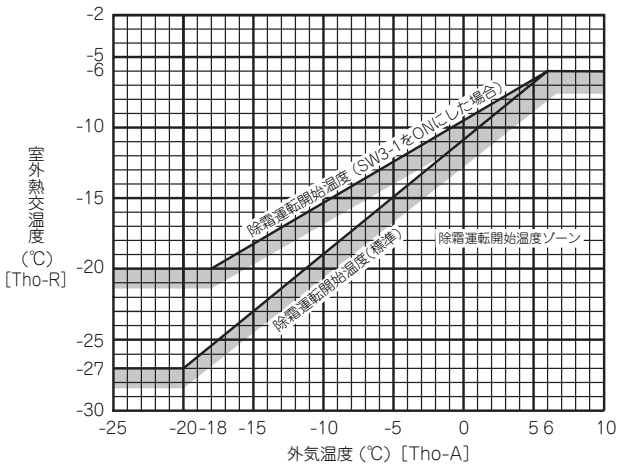
1）前回の除霜終了条件が，除霜運転時間タイムアップかつ除霜終了後の圧縮機運転累計時間が30分経過後の暖房運転。

2）圧縮機始動より5分経過。

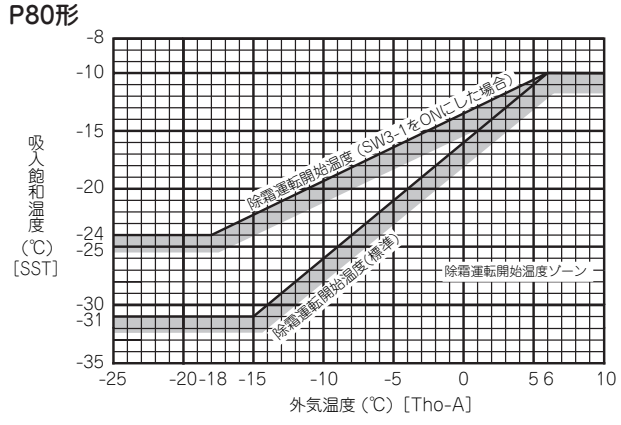
3）室外ファン運転後5分経過。

4）吐出管温度と室内熱交温度の差が30℃以上。

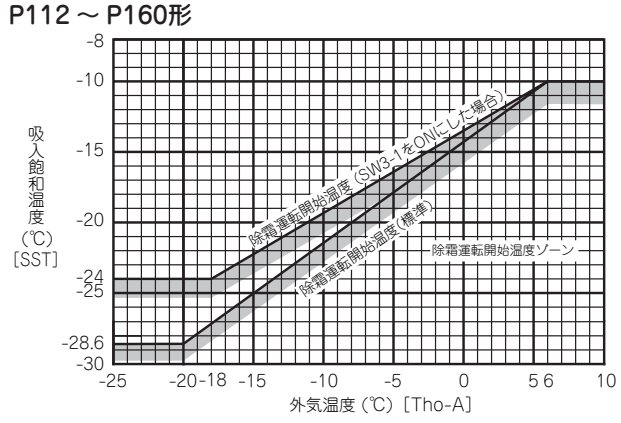
P80 ～ P160形



P80形



P112 ～ P160形



(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満たせば除霜運転を終了します。

(i) 除霜開始から10分20秒（P112 ～ P160形：13分20秒）経過したとき。

(ii) 室外熱交温度（Tho-R1, R2）のどちらか低い方が10秒連続して12℃以上となったとき。

(c) SW3-1 による除霜制御の切換え

(i) 室外制御基板上のディップスイッチ（SW3-1）をONにすることで，除霜運転に入りやすくなります。降雪地域にユニットを設置する場合に使用します。

(ii) 制御内容

1) 除霜条件Aにて，暖房運転時間の累積30分で除霜運転に入ることを許可します。出荷時は37分。

2) 除霜条件Bにて，暖房運転時間の累積25分で除霜運転に入ることを許可します。出荷時は30分。

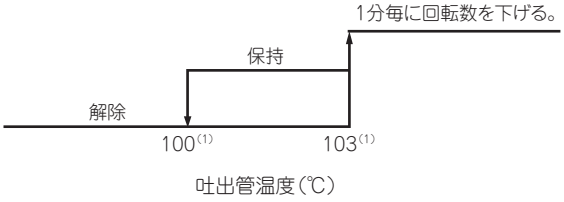
3) 室外熱交温度(Tho-R)と吸入圧力飽和温度(SST)が，通常よりも高い温度で除霜運転を許可します。

(6) 圧縮機回転数による保護制御／異常停止制御

(a) 圧縮機吐出管温度保護

(i) 保護制御

吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し吐出管温度の上昇を抑えます。

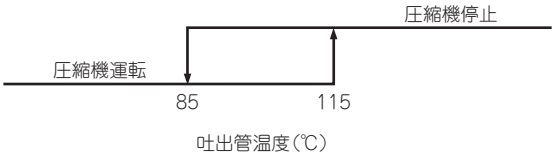


注(1)圧縮機が起動してから10分間は制御値，解除値を−5℃下げます。また外気温度に応じて−5 ～ −10℃下げます。

(ii) 異常停止制御

1) 吐出管温度(Tho-Dで検知)が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。

2) 60分以内に2回または圧縮機停止中を含め連続60分間で，リモコンにE36を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

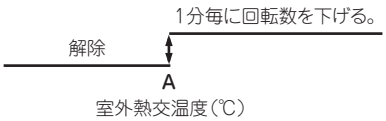
45分間継続して，解除値85℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(b) 冷房高圧保護

(i) 保護制御

1) 外気温度（Tho-A）が40℃以上で，室外熱交温度（Tho-R）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を抑えます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。

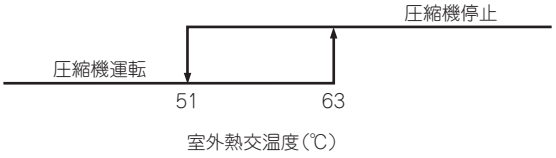


機種	制御値 A℃
P80形	59～53
P112～P160形	

(ii) 異常停止制御

1) 室外熱交温度（Tho-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。

2) 60分以内に5回，または63℃以上が圧縮機停止中を含め連続30分間で，リモコンにE35を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

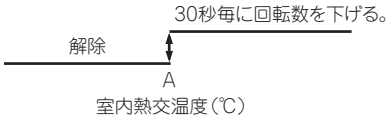
解除値51℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(c) 暖房高圧保護

(i) 保護制御

1) 室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を抑えます。

2) 制御値Aは，使用条件により自動的に最適値に更新されます。



機種	既設配管対応スイッチ SW5-1(SW7-1:P80形)	
	OFF(出荷)	ON
	制御値 A℃	
P80形	48～54	45～51
P112～P160形		

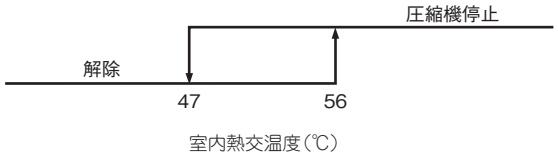
注　ON時が既設配管対応です。

(ii) 異常停止制御

室内コントローラによる運転制御機能781ページの暖房過負荷保護をご覧ください。

(iii) 既設配管対応，停止制御

既設配管対応スイッチSW5-1（SW7-1：P80形）をONすることで，室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止し既設配管を保護します。



(d) 高圧圧力開閉器(63H1)による異常検知制御

(i) 圧力が上昇し高圧圧力開閉器（4.15MPa開／3.15MPa閉）が作動した時点で圧縮機を停止します。

(ii) 以下のいずれかの条件でE40を表示し，異常停止モードとなります。

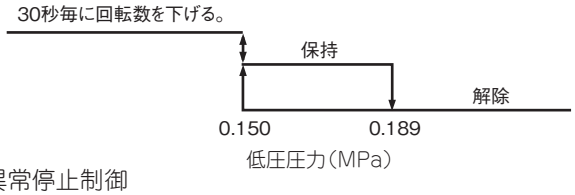
1) 60分以内に5回，圧力が上昇し63H1により圧縮機が停止した時点。

2) 圧縮機停止中も含め63H1が連続30分開状態となった時点。

(e) 低圧制御

(i) 保護制御

低圧圧力センサ（PSL）の検出値が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し圧力の低下を抑えます。



(ii) 異常停止制御

1) 低圧圧力（PSL）が，以下のいずれかの条件を満たすと，圧縮機を停止させます。

a) 低圧圧力が0.079MPa以下を連続15秒間

b) 圧縮機始動10分後で，吸入過熱度が30℃，かつ低圧圧力が0.15MPa以下を連続60秒。

2) 以下のいずれかの条件でE49を表示し，異常停止モードとなります。

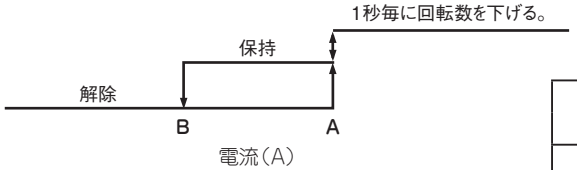
a) 60分以内に5回，低圧圧力が低下し上記のいずれかの条件で圧縮機が停止した時点。

b) 圧縮機停止中も含め低圧圧力センサの検出値が連続で5分間0.079MPa以下となった時点。

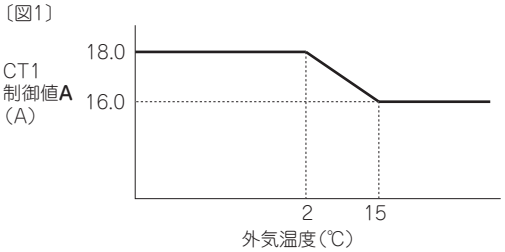
c) 圧縮機保護始動Ⅲ中に1）の制御条件が成立した場合。

(f) 過電流保護カレントセーフ制御

室外インバータ入力（1次）電流と出力（2次）電流を検出し，電流値が設定を超えると，圧縮機回転数を制御しインバータを保護します。



〔図1〕



	機種	冷房		暖房	
		制御値A	解除値B	制御値A	解除値B
1次電流側	P80形(三相機)	11.5	10.5	13.0	12.0
	P80形(単相機)	15.0	14.0	図1	注(1)
	P112～P160形	20.0	19.0	23.0	22.0
2次電流側	P80形(三相機)	13.0	12.0	13.0	12.0
	P80形(単相機)	13.0	12.0	13.0	12.0
	P112～P160形	17.0	16.0	17.0	16.0

注　解除値Bは，図1の値より1引いた値となります。

(g) パワートランジスタ電流異常

(i) インバータ部の過電流を防止するため，パワートランジスタ内の電流値が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

(ii) 30分以内に4回，パワートランジスタ内の電流値が規定値を超え圧縮機が停止した時点で，リモコンにE42を表示し異常停止モードとなります。

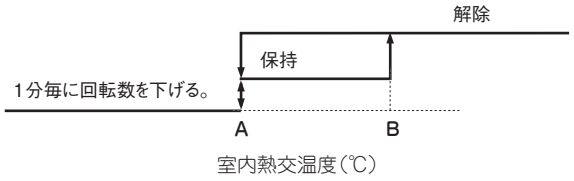
(h) インバータ通信異常

圧縮機停止中も含め15分間に4回インバータ通信異常を検知すると，リモコンにE45を表示し異常停止モードとなります。

(i) 圧縮機回転数制御による凍結防止制御

(i) 圧縮機始動より4分後に，室内熱交温度（Thi-Rにより検出）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し室内熱交の凍結防止制御を行います。

(ii) 室内熱交温度（Thi-R1，R2）が2つある場合は，温度の低い方を検出します。



(℃)

		A	B
室内湿度センサあり	相対湿度 50%以下	−0.5	1.0
	相対湿度 50%以上	1.0	2.5
室内湿度センサなし			

(iii) 運転停止による凍結防止制御については，室内コントローラによる運転制御機能780ページの室内熱交換器アンチフロスト（凍結防止制御）をご覧ください。

(j) 温度センサおよび低圧圧力センサ断線検知

(i) 室外熱交温度センサ，外気温度センサ，低圧圧力センサ

圧縮機ON後，2分から2分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注　除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- ●室外熱交温度センサ　　：− 50℃以下
- ●外気温度センサ　　：− 45℃以下
- ●低圧圧力センサ　　：0V以下または4V以上

(ii) 吐出管温度センサ，吸入管温度センサ

圧縮機ON後，10分から10分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注(1)　除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- ●吐出管温度センサ　：− 10℃以下
- ●吸入管温度センサ　：− 50℃以下

(k) 欠相保護（三相機のみ）

電源ON後5秒間連続してR, S, T相の何れかの電圧が0Vのとき，電源欠相状態と判断し1秒後に異常停止（E34）します。

(l) 室外ファンモータ異常

(i) 室外ファン制御時（ファンタップが1速以上の運転指令中）に，室外ファン回転数が100min^{-1}以下を30秒連続で検出した場合は，圧縮機を停止します。

(ii) 60分以内に5回，室外ファン回転数が100min^{-1}以下となり圧縮機が停止した時点で，リモコンにE48を表示し異常停止します。

(m) 圧縮機起動停止による異常停止

(i) 圧縮機始動中にインバータより起動不良異常を検知した場合は，一旦停止状態とし，3分後に再度，圧縮機を始動させます。

(ii) 5回異常検知をカウントした場合は，圧縮機起動異常とし異常停止（E59）します。

(7) サイレントモード

(a) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合に，ファンタップと，圧縮機回転数を下げて運転します。

(b) 詳しくは，前述の(1)項の圧縮機回転数の決定および(4)項の室外ファン制御をご覧ください。

(8) 試運転

(a) 室外制御基板上のディップスイッチにより室外ユニットより運転が可能です。

SW3-3 (SW5-3)	ON	SW3-4 (SW5-4)	OFF	冷房試運転
			ON	暖房試運転
	OFF	通常および試運転終了		

必ず運転終了時は SW3-3（SW5-3）を OFF にしてください。

注 （ ）内はP80形を示します。

(b) 試運転制御

(i) 吸込温度（Thi-A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて運転をします。

(ii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。

(iii) 試運転中に SW3-4（SW5-4）を切換えた場合は停止制御を行い一旦圧縮機を停止させ，冷・暖房運転を切換えます。

注 （ ）内はP80形を示します。

(iv) 試運転中リモコンの設定および表示

モード	リモコンの設定・表示内容
冷房試運転	冷房，設定温度は5℃
暖房試運転	暖房（準備），設定温度は30℃

(9) ポンプダウン制御

運転停止，異常停止中（サーモOFFは含まず）にフリーアドレス切換スイッチ（P80形：SW8-3，P112・P140・P160形：SW4-1）がONの時，ポンプダウンスイッチSW1（SW9）を2秒間ONするとポンプダウン運転をします。（室内ユニット運転中は無効。室内ユニットが異常停止中または電源OFFでも有効）

なお，フリーアドレス切換スイッチがOFFの時は，一旦室外ユニットの電源をOFFにしてからフリーアドレス切換スイッチをONにしてください。

(a) 制御内容

(i) 液側の操作弁を閉めてください。（ガス側は全開のまま）

(ii) 冷房モードで目標回転数をArpsとして圧縮機を始動します。

目標回転数＼形式	P80形	P112形	P140,P160形
A	45	45	45

(iii) 室外ユニット制御基板上の赤，緑（LED）を連続点滅させます。

(iv) 低圧制御，アンチフロスト制御および露付き保護制御を除き各保護，異常検知制御は有効です。

(v) 室外ファンは通常通り制御します。

(vi) 電子膨張弁（冷・暖）は全開にします。

(b) 制御終了条件

下記の何れかの条件により停止制御を行います。

(i) 低圧圧力が0.087MPa以下を連続5秒検知

1) 赤LED：点灯，緑LED：点滅，リモコン：停止を表示します。
2) 低圧圧力が0.087MPaを超えると再起動可能です。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

(ii) 異常検知制御により停止

1) 赤LED：連続点滅，緑LED：点滅します。
2) 再起動は不可です。通常運転への復帰は電源リセット。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

(iii) ポンプダウン制御による圧縮機の運転積算時間が5分になった時。

1) 赤LED：消灯，緑LED：点滅，リモコン：停止を表示します。
2) 再ポンプダウンは可能です。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

注(1) 圧縮機停止後は，ガス側の操作弁を閉めてください。

注意：ポンプダウンスイッチを押すと，室内ユニットとの通信をキャンセルするため，室内ユニットおよびリモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが，異常ではありません。

⑽ 既設配管洗浄運転制御

ⓐ 開始条件

運転停止中に室外制御基板のディップスイッチ SW5-2（P80 形：SW8-1）を OFF から ON に切換えたとき。

ⓑ 制御内容

(i) 電磁弁（SV2）をONし暖房用電子膨張弁（EEVH）を全閉します。
(ii) 吸込温度（Thi-A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて冷房運転を行います。
(iii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。
(iv) 制御中は，室外制御基板の LED1（緑）を高速点滅させます。

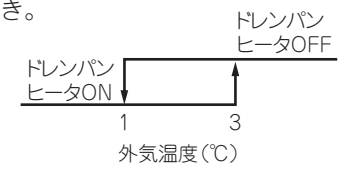
ⓒ 終了条件

下記の何れかが成立した場合。
(i) 圧縮機運転時間が120分を経過したとき。
(ii) 室外制御基板のディップスイッチSW5-2（P80形：SW8-1）をOFFしたとき。
(iii) 冷房運転以外を選択または異常停止のとき。

⑾ ドレンパンヒータ ON/OFF 出力制御（現地手配）

ⓐ ドレンパンヒータON条件

暖房モード時で外気温度が1℃以下で圧縮機が運転中のとき。



ⓑ ドレンパンヒータOFF条件

下記の何れかが成立した場合。
(i) 外気温度が3℃以上。
(ii) 圧縮機停止を30分連続検知したとき。
(iii) 冷房・除湿モードを選択したとき。

(Ⅲ) FDCZP2246, 2806形

ESP-FP-2572△1

(1) 圧縮機回転数の決定

ユニットの要求回転数

(a) 冷房・除湿運転

単位：rps

		P224形	P280形
最高要求回転数	室内風量「P 急」「急」	120	120
	室内風量「強」「弱」	97	97
最低要求回転数		11	11

(b) 暖房運転

単位：rps

		P224形	P280形
最高要求回転数	室内風量「急」	130	130
	室内風量「強」「弱」	97	97
最低要求回転数		11	11

(c) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合の最高要求回転数

室外制御基板上のディップスイッチ（SW7-3）により，最高要求回転数を切換えます。　単位：rps

			P224形	P280形
最高要求回転数	冷房・除湿	SW7-3 OFF	70	70
		SW7-3 ON	50	50
	暖房	SW7-3 OFF	76	88
		SW7-3 ON	50	50

(d) 冷房高外気温度条件下での最高要求回転数。

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　単位：rps

		P224形	P280形
最高要求回転数	外気温度が40℃以上	120	120
	外気温度が46℃以上	58	58

(e) 暖房高外気温度条件下での最高要求回転数

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　単位：rps

		P224形	P280形
最高要求回転数	外気温度が18℃以上	105	105
	外気温度が10℃以上	130	130

(f) 熱交温度による最高要求回転数の切換え

(i) 冷房･除湿時は，室外熱交温度（Tho-R），暖房時は室内熱交温度（Thi-R）により，最高要求回転数を切換えます。

(ii) 室外熱交温度（Tho-R）および室内熱交温度（Thi-R）が2つある場合は，高い方の値を使用します。

単位：rps

			P224形	P280形
最高要求回転数	冷房 除湿	室外熱交温度が 56℃以上	110	110
	暖房	室内熱交温度が 56℃以上	120	120

(g) 前述の(a)から(f)項の制御が重複する場合は，重複した制御の中で，最も小さい値を最高要求回転数として運転します。

(h) 暖房運転時，要求回転数が上昇傾向の場合，室内熱交温度が40℃以上になるまで最高要求回転数で運転します。

(2) 圧縮機始動制御

(a) **圧縮機始動は室内ユニットからのサーモＯＮ信号を受信した時点で圧縮機を始動します。**

(b) **ただし，電源ブレーカを投入後１回目の起動時においては，圧縮機の油上がりを防止するため，最大３０分間の待機状態（リモコンに「運転待機中」の表示）に入る場合があります。**

室外ユニットが待機状態時に，リモコンで冷房/除湿/暖房の運転を選択した場合は，リモコンに３秒間「運転待機中」の表示を行います。

(3) 圧縮機ソフト始動制御

(a) **圧縮機保護始動Ⅰ**

［制御条件］　通常は，本始動パターンにて圧縮機の運転周波数を上昇させます。

［制御内容］　(i) 暖房運転の場合，運転停止後6時間経過かつ起動時の外気温が11℃以下の時は1～3分間冷房運転を行なったのち一度停止制御を行います。

(ii) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。
ただし，冷房・除湿時に外気温度（Tho-A）が35℃以上，暖房時に室内吸込温度（Thi-A）が25℃以上では，**C**rpsで始動します。

(iii) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，2 ～ 4分間圧縮機の運転周波数を固定し運転します。

機種	運転モード		A rps	B rps	C rps
	停止制御前モード	起動時モード			
P224, 280H形	冷房・除湿	冷房・除湿	30	30	25
	暖房・停止		50	50	25
	暖房	暖房	37	37	25
	冷房・除湿・停止		50	50	25

(b) **圧縮機保護始動Ⅲ**

［制御条件］　電源ブレーカ投入後の圧縮機始動回数が積算１回目の始動時。

［制御内容］　運転モード，外気温度(Tho-A)に応じて以下の始動パターン を選択し運転を行います。

(i) 冷房・除湿時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立した時点で，冷房・除湿時の低回転数運転制御を行います。

［制御内容］　1）圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，外気温度（Tho-A）が35℃以上では**C**rpsで始動します。

2）圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転周波数を固定し運転します。

機種	運転モード	A rps	B rps	C rps
P224, P280形	冷房・除湿	30	30	25

(ii) 暖房時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立し，以下の1），2）いずれかの条件を満たす場合に，暖房時の低回転数運転制御を行います。

1） 電源ブレーカ投入後から30分以上が経過している場合。

2） 圧縮機ドーム下温度（Tho-C）が4℃以上かつ外気温度（Tho-A）との温度差が4℃以上となった場合。

［制御内容］　1） 1～3分間冷房運転を行なったのち，停止制御後に暖房モードで圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，室内吸込温度（Thi-A）が25℃以上では**C**rpsで始動します。

2） 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転周波数を固定し運転します。

機種	運転モード	A rps	B rps	C rps
P224, P280形	暖房	37	37	25

(4) 室外ファン制御

(a) **室外ファンタップとファンモータ回転数**

単位：min^{-1}

機種	運転モード	ファンモータ回転数						
	ファンタップ	1 速	2 速	3 速	4 速	5 速	6 速	7 速
P224, P280 形	冷房・除湿	200	370	560	650	750	850	950
	暖房	200	370	500	600	850	910	950

注　P224, P280 形のファン回転数は上，下共に同じ値です。

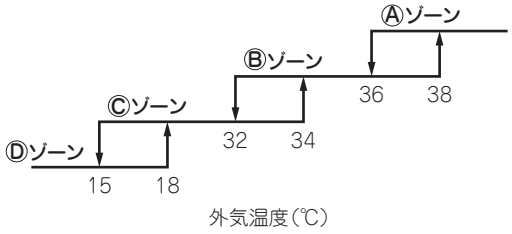
(b) 冷房・除湿運転時のファンタップ制御

室外熱交温度（Tho-R1, R2）と外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

注　Tho-R1, R2はどちらか高い方で検知

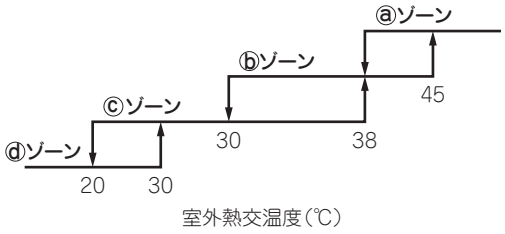
●通常時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	6 速	7 速	6 速	5 速
ⓑゾーン	6 速	5 速	5 速	3 速
ⓒゾーン	6 速	5 速	4 速	2 速
ⓓゾーン	3 速	3 速	2 速	1 速



●サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	4 速	3 速	3 速	3 速
ⓑゾーン	4 速	3 速	3 速	3 速
ⓒゾーン	3 速	3 速	3 速	2 速
ⓓゾーン	3 速	3 速	2 速	1 速



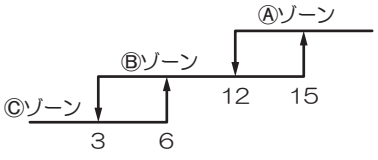
(c) 暖房運転時のファンタップ制御

(i) 圧縮機回転数と室外熱交温度（Tho-R1, R2）および外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

注　Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

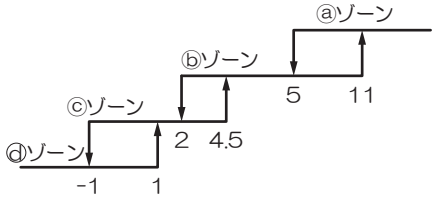
●通常モード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	3 速	4 速
ⓒゾーン	3 速	5 速	7 速
ⓓゾーン	4 速	7 速	7 速



●サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	2 速	5 速
ⓒゾーン	3 速	3 速	5 速
ⓓゾーン	4 速	4 速	7 速



(d) 冷房低外気時の室外ファン制御

室外ファン回転数制御

1）開始条件

圧縮機始動より下記条件が全て成立した場合に開始します。

a）冷房･除湿モード運転時。

b）外気温度（Tho-A）が20℃未満のとき。

c）室外ファン起動から20秒経過後。

d）室外ファンタップが1速のとき。

2）制御内容

a）室外熱交温度（Tho-R1, R2）を30秒ごとにサンプリングし，室外ファンの回転数を制御します。

b）本制御中の室外ファン回転数は，上限を370min^{-1}，下限を130min^{-1}とします。

注(1) Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

(2) 外気温度（Tho-A）が−5℃未満で下限130min^{-1}を30秒以上継続した場合，室外ファンは停止します。
室外熱交温度（Tho-R1，R2）が35℃以上を検知した場合，室外ファンが再始動します。

3) 終了条件

下記条件の何れかが成立した場合は，本制御を終了します。

a）外気温度（Tho-A）が20℃以上かつ室外熱交温度（Tho-R1, R2）が30℃以上を連続40秒以上を検知。

b）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が40℃以上を連続40秒以上を検知。

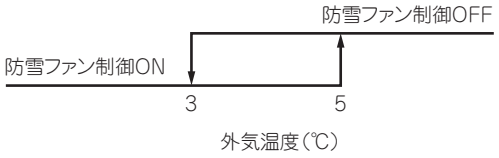
c）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が50℃以上を検知。

(e) 室外ファン起動制御における注意点

圧縮機運転前に，室外ファンが400min^{-1}以上で回転している場合は，室外ファンを起動させずに圧縮機のみで運転する場合があります。故障ではありません。

(f) 防雪ファン制御

室外ユニット制御基板上のディップスイッチ（SW3-2）をONすると停止モード，異常停止モード中において，外気温度（Tho-Aで検知）により室外ファンを10分毎に1回30秒間4速で運転します。



(5) 除霜

(a) 除霜開始条件

次の除霜条件Aまたは条件Bまたは条件Cを全て満たせば除霜運転を開始します。

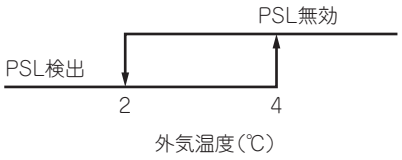
(i) 除霜条件A

1) 除霜終了後の圧縮機運転累計時間が37分経過および暖房運転開始（リモコンON）後の圧縮機運転累計時間が30分経過。

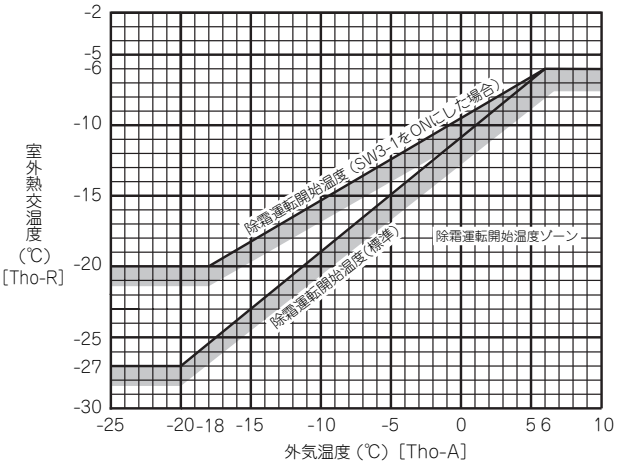
2) 圧縮機がON後5分経過。

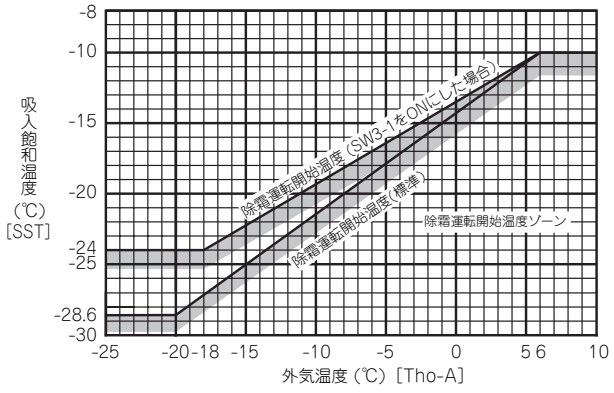
3) 室外ファン運転後5分経過。

4) 上記の全ての条件を満たした後，室外熱交温度センサ（Tho-R1, R2）と外気温度センサ（Tho-A）の温度が15秒継続して右図の除霜開始温度以下になったときまたは，低圧圧力センサ（PSL）の検出値より求められる吸入ガス飽和温度（SST）と外気温度（Tho-A）が右図に示す除霜運転開始温度以下の領域に3分間存在。ただし，圧縮機始動後10分間および外気温度が下図のPSL無効領域のときは除きます。



5) 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上





(ii) 除霜条件B

1) 前回の除霜終了条件が，除霜運転時間タイムアップかつ除霜終了後の圧縮機運転累計時間が30分経過後の暖房運転。

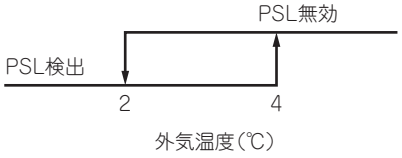
2) 圧縮機始動より5分経過。

3) 室外ファン運転後5分経過。

4) 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上

(iii) 除霜条件C

1) 除霜終了後の圧縮機運転累計時間が30分経過および暖房運転開始（リモコンON）後の圧縮機運転累計時間が30分経過。
2) 圧縮機がON後5分経過。
3) 室外ファン運転後5分経過し，室外ファンが規定回転数より下がった時
4) 上記の全ての条件を満たした後，室外熱交温度センサ（Tho-R1，R2）と外気温度センサ（Tho-A）の温度が15秒継続して右上図の除霜開始温度以下になったときまたは，低圧圧力センサ（PSL）の検出値より求められる吸入ガス飽和温度（SST）と外気温度（Tho-A）が右下図に示す除霜運転開始温度以下の領域に3分間存在。ただし，圧縮機始動後10分間および外気温度が下図のPSL無効領域のときは除きます。



5) 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上。

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満たせば除霜運転を終了します。

(i) 除霜開始から13分20秒経過したとき。
(ii) 室外熱交温度（Tho-R1, R2）のどちらか低い方が10秒連続して10℃以上となったとき。

(c) SW3-1 による除霜制御の切換

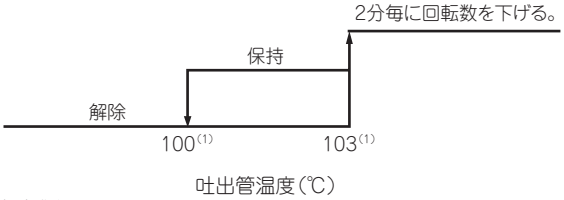
(i) 室外ユニット制御基板上のSW3-1をONにすることで，除霜運転に入りやすくなります。降雪地域にユニットを設置する場合に使用します。
(ii) 制御内容
1) 除霜条件Aは出荷時と同じで，暖房運転時間の累積30分で除霜運転に入ることを許可します。
2) 除霜条件B，Cは，暖房運転時間の累積25分で除霜運転に入ることを許可します。SW3-1 OFF時（出荷時）は30分。
3) 室外熱交温度（Tho-R）と吸入圧力飽和温度（SST）が，通常よりも高い温度で除霜運転を許可します。

(6) 圧縮機回転数による保護制御／異常停止制御

(a) 圧縮機吐出管温度保護

(i) 保護制御

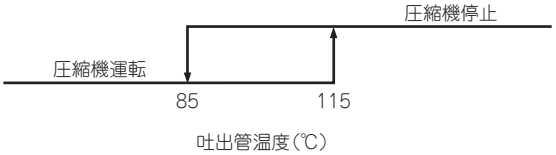
吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し吐出管温度の上昇を押さえます。



注(1)圧縮機が起動してから10分間は制御値，解除値を5℃下げます。除霜運転中は制御値，解除値を13℃下げます。また外気温度に応じて3 ～ 10℃下げます。

(ii) 異常停止制御

1) 吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。
2) 60分以内に2回または圧縮機停止中を含め連続30分間で，リモコンにE36を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

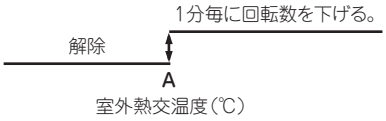
45分間継続して，解除値85℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(b) 冷房高圧保護

(i) 保護制御

1) 外気温度（Tho-A） が40℃以上で，室外熱交温度（Tho-R） が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を押さえます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。

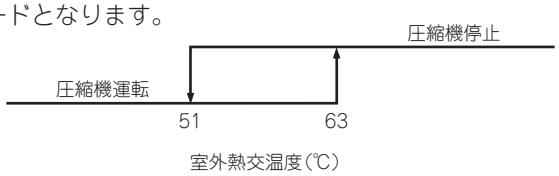


制御値 **A**℃
59～53

(ii) 異常停止制御

1) 室外熱交温度（Tho-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。

2) 60分以内に5回，または63℃以上が圧縮機停止中を含め連続30分間で，リモコンにE35を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

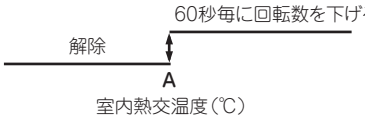
解除値51℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(c) 暖房高圧保護

(i) 保護制御

1) 室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を押さえます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。



機種	**既設配管対応スイッチ SW5-1**	
	OFF(出荷時)	**ON**
	制御値 A℃	
P224，280形	54～48	51～45

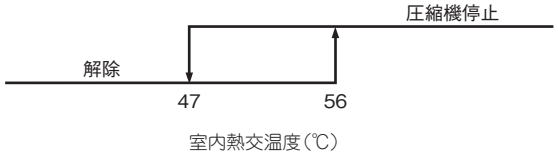
注　ON時が既設配管対応です。

(ii) 異常停止制御

室内コントローラによる運転制御機能の暖房過負荷保護をご覧ください。(781ページ参照)

(iii) 既設配管対応，停止制御

既設配管対応スイッチSW5-1をONすることで，室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止し既設配管を保護します。



(d) 高圧圧力開閉器(63H1)による異常検知制御

(i) 圧力が上昇し高圧圧力開閉器（4.15MPa開／ 3.15MPa閉）が作動した時点で圧縮機を停止します。

(ii) 以下のいずれかの条件でE40を表示し，異常停止モードとなります。

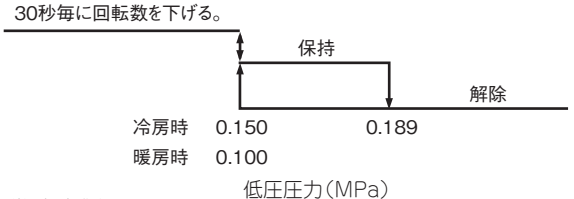
1) 60分以内に5回，圧力が上昇し63H1により圧縮機が停止した時点

2) 圧縮機停止中も含め63H1が連続30分開状態となった時点

(e) 低圧制御

(i) 保護制御

低圧圧力センサ（PSL）の検出値が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し圧力の低下を押さえます。



(ii) 異常停止制御

1) 低圧圧力（PSL）が,以下のいずれかの条件を満たすと，圧縮機を停止させます。

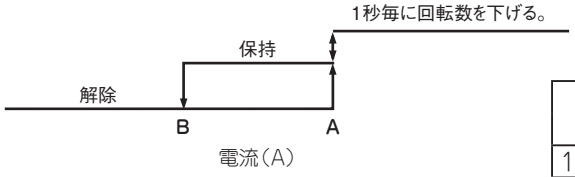
a) 低圧圧力が0.079MPa以下を連続15秒間

b) 圧縮機始動10分後で，吸入過熱度が30℃以上を連続60秒間，かつ低圧圧力が0.15MPa以下。

2） 以下のいずれかの条件でE49を表示し，異常停止モードとなります。
a） 60分以内に5回，低圧圧力が低下し上記のいずれかの条件で圧縮機が停止した時点
b） 圧縮機停止中も含め低圧圧力センサの検出値が連続で5分間0.079MPa以下となった時点
c） 圧縮機保護始動Ⅲ中に1）の制御条件が成立した場合。

(f) 過電流保護カレントセーフ制御

室外インバータ入力（1次）電流と出力（2次）電流を検出し，電流値が設定を超えると，圧縮機回転数を制御しインバータを保護します。

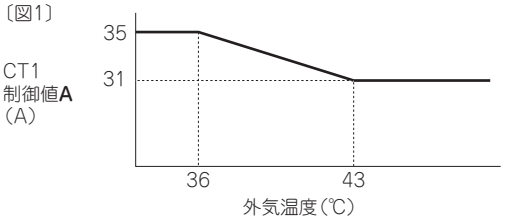


単位：A

	冷房		暖房	
	制御値A	解除値B	制御値A	解除値B
1次電流側	図1	注(1)	35	34
2次電流側	24	23	24	23

注(1) 解除値Bは，図1の値より1引いた値となります。

〔図1〕



(g) カレントカット

(i) インバータ部の過電流を防止するため，パワートランジスタ内の電流値が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

(ii) 30分以内に4回，パワートランジスタ内の電流値が規定値を超え圧縮機が停止した時点で，リモコンにE42を表示し異常停止モードとなります。

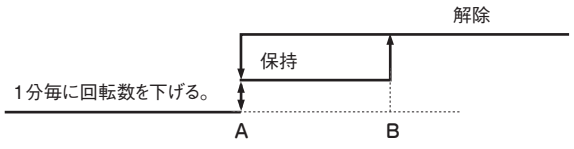
(h) インバータ通信異常

圧縮機停止中も含め15分間に4回インバータ通信異常を検知すると，リモコンにE45を表示し異常停止モードとなります。

(i) 圧縮機回転数制御による凍結防止制御

(i) 圧縮機始動より4分後に，室内熱交温度（Thi-Rにより検出）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し室内熱交の凍結防止制御を行います。

(ii) 室内熱交温度（Thi-R1，R2）が2つある場合は，温度の低い方を検出します。



単位：℃

		A	B
室内湿度センサあり	相対湿度 50%以下	−0.5	1.0
	相対湿度 50%以上	1.0	2.5
室内湿度センサなし			

(iii) 運転停止による凍結防止制御については，室内コントローラによる運転制御機能の室内熱交アンチフロスト（凍結防止制御）をご覧ください。（780ページ参照）

(j) 温度センサおよび低圧圧力センサ断線検知

(i) 室外熱交温度センサ，外気温度センサ，低圧圧力センサ

圧縮機ON後，2分から2分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注 除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- 室外熱交温度センサ　：− 50℃以下
- 外気温度センサ　：− 45℃以下
- 低圧圧力センサ　：0V以下または4V以上

(ii) 吐出管温度センサ，吸入管温度センサ

圧縮機ON後，10分から10分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注 除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- 吐出管温度センサ　：− 10℃以下
- 吸入管温度センサ　：− 50℃以下

(k) 欠相保護

電源ON後5秒間連続してR, S, T相の何れかの電圧が0Vのとき，電源欠相状態と判断し1秒後に異常停止（E34）します。

(l) 室外ファンモータ異常

(i) 室外ファン制御時（ファンタップが1速以上の運転指令中）に，室外ファン回転数が100min^{-1}以下を30秒連続で検出した場合は，圧縮機を停止します。

(ii) 60分以内に5回，室外ファン回転数が100min^{-1}以下となり圧縮機が停止した時点で，リモコンにE48を表示し異常停止します。

(m) 圧縮機起動停止による異常停止

(i) 圧縮機始動中にインバータより起動不良異常を検知した場合は，一旦停止状態とし，3分後に再度，圧縮機を始動させます。

(ii) 5回異常検知をカウントした場合は，圧縮機起動異常とし異常停止（E59）します。

(7) サイレントモード（室外静音制御）

(a) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合に，室外制御基板上のディップスイッチ（SW7-3）の設定に応じた運転をします。

- SW7-3　OFF：定格運転時の運転音が−3〔dB〕ダウンとなるように，ファンタップと圧縮機回転数を下げて運転します。
- SW7-3　ON：運転音の上限が50〔dB〕以下となるように、ファンタップと圧縮機回転数を下げて運転します。

(b) 詳しくは，前述の(1)項の圧縮機回転数の決定および(4)項の室外ファン制御をご覧ください。

(8) 試運転

(a) 室外ユニット制御基板上のディップスイッチにより室外ユニットより運転が可能です。

SW3-3	ON	SW3-4	OFF	冷房試運転
			ON	暖房試運転
	OFF	通常および試運転終了		

必ず運転終了時は SW3-3 を OFF にしてください。

(b) 試運転制御

(i) 室内吸込温度（Thi-A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて運転をします。

(ii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。

(iii) 試運転中に SW3-4 を切換えた場合は停止制御を行い一旦圧縮機を停止させ，冷・暖房運転を切換えます。

(iv) 試運転中リモコンの設定および表示

モード ＼ 容量	リモコンの設定・表示内容
冷房試運転	冷房，設定温度は5℃
暖房試運転	暖房（準備），設定温度は30℃

(9) ポンプダウン制御

(a) 開始条件

(i) 運転停止，異常停止中（サーモOFFは含まず）にフリーアドレス切換スイッチSW4-1がON時ポンプダウンスイッチSW1を2秒間ONするとポンプダウン運転をします。（室内ユニット運転中は無効。室内ユニットが異常停止中または電源OFFでも有効）
なお，フリーアドレス切換スイッチSW4-1がOFFの時は，一旦室外ユニットの電源をOFFにしてからフリーアドレス切換スイッチSW4-1をONにしてください。

(ii) 液側の操作弁を閉めてください。（ガス側は全開のまま）

(b) 制御内容

(i) 冷房モードで目標回転数を30rpsとして圧縮機を始動します。

(ii) 室外制御基板上の赤，緑（LED）が連続点滅します。

(iii) 低圧制御，アンチフロスト制御および露付き保護制御を除き各保護，異常検知制御は有効です。

(iv) 室外ファンは通常通り制御します。

(v) 電子膨張弁（冷・暖）は全開にします。

(c) 制御終了条件

下記の何れかの条件により停止制御を行います。

(i) 低圧圧力が0.087MPa以下を連続5秒検知

1) 赤LED：点灯，緑LED：点滅，リモコン：停止を表示します。
2) 低圧圧力が0.087MPaを超えると再起動可能です。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

(ii) 異常検知制御により停止

1) 赤LED：連続点滅，緑LED：点滅します。
2) 再起動は不可です。通常運転への復帰は電源リセット。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

(iii) ポンプダウン制御による圧縮機の運転積算時間が5分になった時。

1) 赤LED：消灯，緑LED：点滅，リモコン：停止。
2) 再ポンプダウンは可能です。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

注　圧縮機停止後は，ガス側の操作弁を閉めてください。

(10) 既設配管洗浄運転制御

(a) 開始条件

運転停止中に室外制御基板のディップスイッチ SW5-2 を OFF から ON に切換えたとき。

(b) 制御内容

(i) 電磁弁（SV2）をONし暖房用電子膨張弁（EEVH）を全閉します。
(ii) 吸込温度（Thi−A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて冷房運転を行います。
(iii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。
(iv) 制御中は，室外制御基板の LED1（緑）を高速点滅させます。

(c) 終了条件

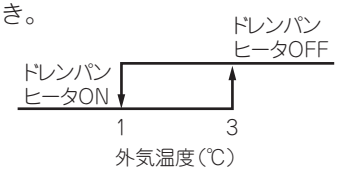
下記の何れかが成立した場合。

(i) 圧縮機運転時間が120分を経過したとき。
(ii) 室外制御基板のディップスイッチSW5-2をOFFしたとき。
(iii) 冷房運転以外を選択または異常停止のとき。

(11) ドレンパンヒータ ON/OFF 出力制御（現地手配）

(a) ドレンパンヒータON条件

暖房モード時で外気温度が1℃以下で圧縮機が運転中のとき。



(b) ドレンパンヒータOFF条件

下記の何れかが成立した場合。

(i) 外気温度が3℃以上
(ii) 圧縮機停止を30分連続検知したとき。
(iii) 冷房・除湿モードを選択したとき。

(B) ハイパーインバータシリーズ
(I) FDCVP406 ～ 636形

(1) 圧縮機目標回転数

(a) **冷房運転** 単位：rps

	P40形	P45形	P50形	P56形	P63形
最高目標回転数	120	120	120	120	120
最低目標回転数	12	12	12	12	12

(b) **暖房運転** 単位：rps

	P40形	P45形	P50形	P56形	P63形
最高目標回転数	120	120	120	120※	120※
最低目標回転数	12	12	12	12	12

※外気温および室温に応じ124rps

(2) 圧縮機保護始動

(a) **圧縮機保護始動Ⅰ**

(i) 制御条件

前回の圧縮機停止（サーモOFF，リモコン停止など）から6時間未満で，電源ブレーカ投入後の圧縮機始動回数が積算2回目以降の始動。

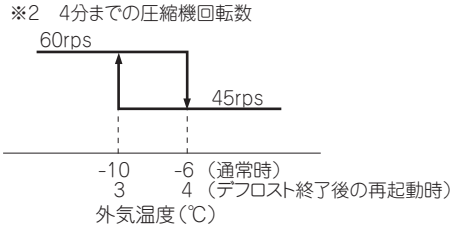
(ii) 制御内容

圧縮機始動から4分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで
冷房運転	40	40
暖房運転	40 ※1	※2

※1 デフロスト終了後の再起動は60rps



(b) **圧縮機保護始動Ⅱ**

(i) 制御条件

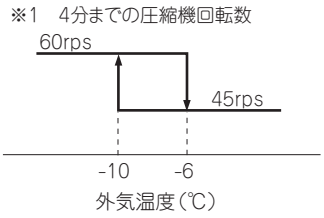
1) 圧縮機始動回数が積算1回目の始動で、電源ブレーカ投入後6時間以上経過した場合。
2) 圧縮機始動回数が積算2回目以降の始動で、前回の圧縮機停止（サーモOFF，リモコン停止など）から6時間以上が経過した場合。
3) 下記内容が成立した場合
   a) 電源投入後の圧縮機始動回数が積算1回目のとき。
   b) 電源投入後から6時間未満のとき。
   c) 圧縮機ON後，吐出管温度（Tho-D）が外気温度（Tho-A）より15℃以上のとき。

(ii) 制御内容

圧縮機始動から4分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで
冷房運転	40	40
暖房運転	40	※1



(c) **圧縮機保護始動Ⅲ**

(i) 制御条件

下記の条件がすべて成立し，圧縮機がOFFからONになったとき。

a) 電源投入後の圧縮機始動回数が積算1回目のとき。
b) 電源投入から6時間未満の場合。
c) 圧縮機ON後，吐出管温度（Tho-D）が外気温度（Tho-A）より15℃未満のとき。

(ii) 制御内容

圧縮機始動から12（20）分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで	7分まで	12(20)分まで
冷房運転	40	40	55	75
暖房運転	40	45	120	120

注 （ ）内数値は暖房運転時を示します。

(3) 室外ファン制御

(a) 室外ファンタップとファンモータ回転数

単位：min^{-1}

室外ファンタップ	1速	2速	3速	4速	5速	6速	7速	8速
P40, P45 形	150	225	485	520	570	685	740	850
P50, P56, P63 形	150	225	485	520	570	685	800	850

(b) 始動時の室外ファン制御

圧縮機始動時，外気温度（Tho-A）が22℃未満のとき室外ファンタップを固定します。

(i) 外気温度が11℃以上のとき，圧縮機ON後30秒間2速とします。

(ii) 外気温度が11℃未満のとき，圧縮機ON後30秒間1速とします。

(c) 圧縮機回転数とファンタップの関係

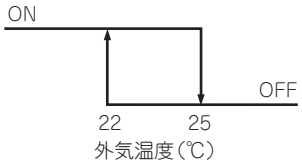
運転モード（冷房・暖房）と圧縮機回転数によりファンタップを決定します。

冷房	圧縮機回転数（rps）	22 未満	22 ～ 30未満	30～66※未満	66※～80 未満	80 以上
	室外ファンタップ	4 速	5 速	6 速	7 速	8 速
暖房	圧縮機回転数（rps）	30 未満	30 ～ 38 未満	38 ～ 78 未満	78 ～ 90 未満	90 以上
	室外ファンタップ	4 速	5 速	6 速	7 速	8 速

注(1) ※P56，P63形は58rps
(2) サイレントモード制御中は，6～8速は5速に変更します。

(d) 冷房低外気時の室外ファン制御

室外熱交温度（Tho-R）と外気温度（Tho-A）により室外ファンを制御します。



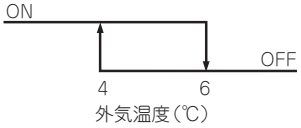
(i) 外気温度が22℃未満で，室外ファンがONのとき室外ファンタップを以下の通り切換えます。
1) 外気温度が11℃以上のとき，2速とします。
2) 外気温度が11℃未満のとき，1速とします。

(ii) さらに室外熱交温度により室外ファン回転数を制御します。
室外ファン回転数を増減させた場合は，10秒間回転数を保持します。

(iii) 本制御中の室外ファン回転数の下限値は100min^{-1}とし，上限値は500min^{-1}とします。

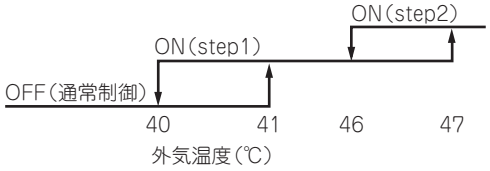
(e) 暖房低外気時の室外ファン制御

外気温度（Tho-A）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを2速アップします。
20秒間保持した後，さらにこれを繰り返しますが，室外ファンタップの上限は8速とします。



(f) 冷房過負荷時の室外ファン制御

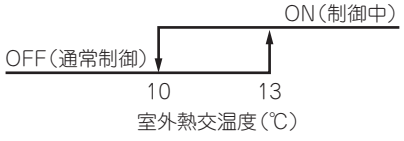
外気温度（Tho-A）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを下図の通りアップします。（室外ファンタップの上限値は8速）



ON 時の状態	ファン速
step1	+3 速
step2	+4 速

(g) 暖房過負荷時の室外ファン制御

室外熱交温度（Tho-R）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを3速下げます。
（室外ファンタップの下限値は2速）



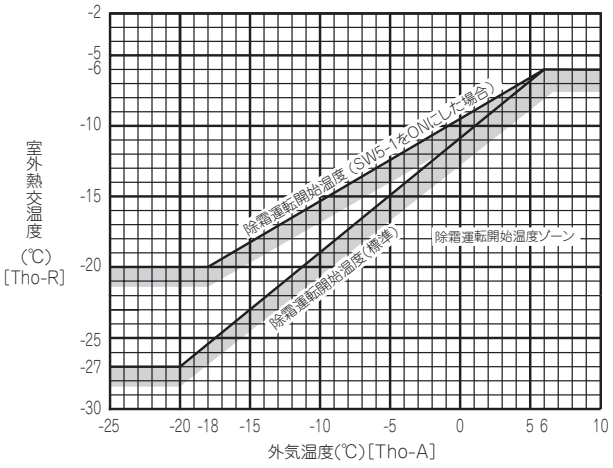
(4) 除霜

(a) 除霜開始条件

(i) 通常時の除霜運転

以下の条件をすべて満したとき除霜運転を開始します。

1) 暖房運転開始および除霜終了後，圧縮機運転累積時間が35分経過。
2) 室外熱交温度（Tho-R）が3分間継続して下記温度になったとき。
   - 圧縮機運転累積時間150分未満のとき：−5℃
   - 圧縮機運転累積時間150分以上のとき：−3.5℃
3) 外気温度（Tho-A)および室外熱交温度（Tho-R）が右図に示す除霜領域内に30秒間連続して存在したとき。
4) 圧縮機ON後7分経過。



(ii) 低負荷時の除霜運転

以下の条件をすべて満したとき除霜運転を開始します。

1) 暖房運転開始および除霜終了後，圧縮機運転累積時間が35分経過。
2) 室外熱交温度（Tho-R）が3分間継続して下記温度になったとき。
   - 圧縮機回転数が62rps以上のとき：−5℃
   - 圧縮機回転数が62rps未満のとき：−4℃
3) 外気温度（Tho-A）が3℃未満のとき。
4) 圧縮機ON後7分経過。

(iii) SW5-1による除霜制御の切換え

室外ユニット制御基板上のSW5-1をONすることで，除霜運転に入りやすくなります。

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満すと除霜運転を終了します。

(i) 除霜開始から15分が経過したとき。

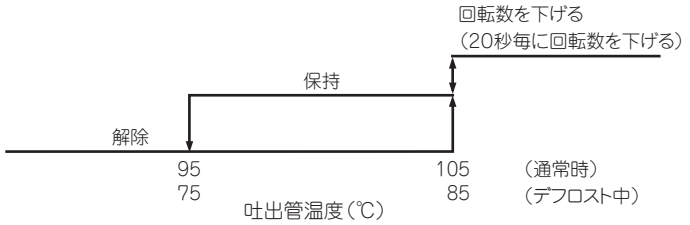
(ii) 室外熱交温度（Tho-R）が10℃以上となったとき。

(5) 圧縮機回転数による保護制御／異常停止制御

(a) 圧縮機過熱保護

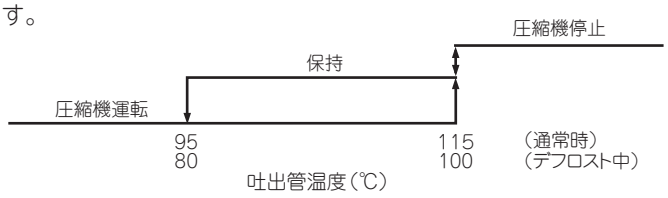
(i) 保護制御

吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し吐出管温度の上昇を抑えます。



(ii) 異常停止制御

1) 吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。
2) 60分以内に2回，吐出管温度が設定値を超え，圧縮機が停止した時点で，リモコンにE36を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

45分間継続して，解除値95℃（デフロスト中の作動の場合80℃）未満となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(b) 冷房高圧保護制御

(i) 目的：冷房時の異常高圧運転を防止します。

(ii) 検知：室外熱交温度（Tho-R）

(iii) 動作内容

室外熱交温度(Tho-R)	Tho-R＜P1	P1≦Tho-R＜P2	P2≦Tho-R	P3≦Tho-R
圧縮機回転数	通常（解除）	圧縮機回転数保持	圧縮機回転数を下げる	圧縮機停止

• サンプリング開始時の外気温度（Tho-A）条件

外気温度条件	P1	P2	P3
Tho-A≧32℃	45～50℃	50～54℃	62℃
Tho-A<32℃	51℃	53℃	56℃

(iv) 異常停止

異常検知（P3≦Tho-R）が，60分以内に5回または，圧縮機停止中も含め10分間継続したとき，リモコンにE35を表示し異常停止モードとなります。

(c) 暖房高圧保護制御

(i) 目的：暖房時の異常高圧運転を防止します。

(ii) 検知：室内熱交温度(Thi-R)

(iii) 動作内容

室内熱交温度(Thi-R)	Thi-R＜P1	P1≦Thi-R＜P2	P2≦Thi-R＜P3	P3≦Thi-R
圧縮機回転数	通常（解除）	圧縮機回転数保持	圧縮機回転数を下げる(step1)	圧縮機回転数を下げる(step2)

• 室内熱交温度領域（℃）

圧縮機回転数（rps）	P1	P2	P3
10 ～ 50	45	52	54.5
50 ～ 115	45	52	57
115 ～ 120	45 ～ 43	52 ～ 50	57 ～ 55

(d) 冷凍サイクルシステム保護制御

(i) 異常検知条件：運転開始5分(暖房9分)以降に次の条件を共に5分以上継続したとき。

1) 圧縮機回転数が 40rps 以上

2) 冷房運転時：室内熱交温度 (Thi-R)―室温 (Thi-A) ＞ － 4℃

暖房運転時：室内熱交温度 (Thi-R)―室温 (Thi-A) <+4℃

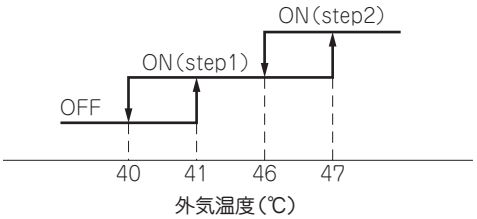
注　本制御は室温が冷房時：10～40℃，暖房時：0～40℃の範囲にある場合に有効です。

(ii) 異常停止

(i)項の異常停止で，60分間に2回本制御により圧縮機が停止した場合，リモコンにE57を表示し異常停止モードとなります。

(e) 冷房過負荷保護

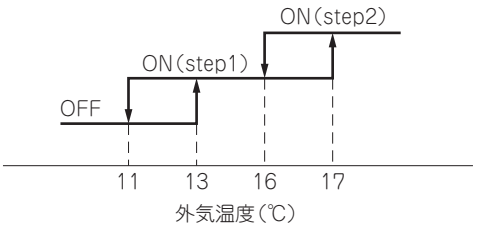
圧縮機運転中に外気温度(Tho-A)が30秒間継続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を変更します。



ON時の状態	圧縮機回転数(rps)	
	下限値	上限値
step1	30	85
step2	30	60

(f) 暖房過負荷保護制御

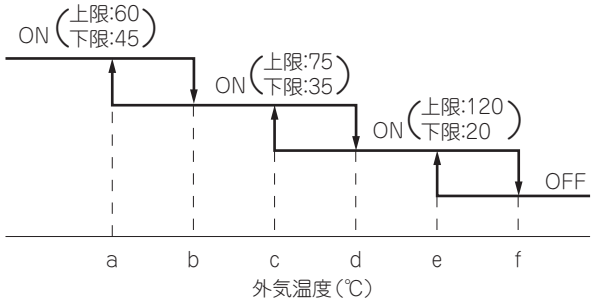
圧縮機運転中に外気温度(Tho-A)が30秒間継続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を制限します。



ON時の状態	圧縮機回転数(rps)	
	下限値	上限値
step1	30	90
step2	35	75

(g) 冷房低外気保護制御

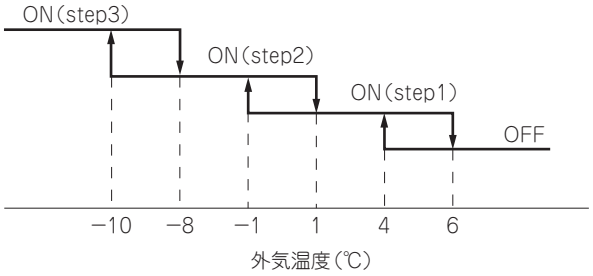
圧縮機運転中に外気温度（Tho-A）が，開始条件判定温度に基づき20秒間連続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を制限します。以降，1時間に1回，領域判定温度に基づき，圧縮機回転数の上下限値を再判定します。



	a	b	c	d	e	f
開始条件判定温度	9	11	22	25	26	28
領域判定温度	16	19	25	28	26	28

(h) 暖房低外気保護制御

圧縮機運転中に外気温度（Tho-A）が，30秒間連続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の下限値を制限します。

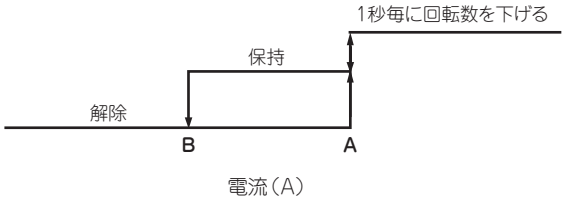


単位：rps

ON時の状態	圧縮機下限値
step1	45
step2	50
step3	60

(i) カレントセーフ制御

室外インバータ入力電流を検知し，電流値が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御しインバータを保護します。外気温が高い場合，下表より低い電流値で制御が開始することもあります。



単位：A

	冷房		暖房	
	制御値**A**	制御値**B**	制御値**A**	制御値**B**
単相	15.0	14.5	15.0	14.5
三相	11.5	11.0	11.5	11.0

(j) カレントカット

(i) 室外インバータに過電流が流れるのを防止するため電流を検知し，設定値を超えると圧縮機を停止させます。3分遅延後に再始動します。
　設定値：19.5～25.3A

(ii) 40分以内に3回，電流値が設定値を超えると圧縮機停止させ，リモコンにE42を表示し異常停止モードとなります。

(k) シリアル信号伝送エラー保護

室内・外通信が35秒間連続して信号を受信出来ないとき，圧縮機停止させ，リモコンにE5を表示し異常停止モードとなります。

(l) **ファンモータ異常**

室外ファンモータの回転数が75min^{-1}以下を30秒以上継続したとき，圧縮機および室外ファンモータを停止させます。異常停止が3回発生した場合は，リモコンにE48を表示し異常停止モードとなります。

(m) **圧縮機ロータロック異常**

圧縮機起動後，脱調を検知すると圧縮機を停止し，リモコンにE60を表示し異常停止モードとなります。

(n) **温度センサ断線検知**

(i) 室外熱交温度センサ，外気温度センサ

圧縮機ON後,2分～2分20秒間または電源投入後20秒間に5秒間連続して検知温度が，－55℃以下を検知したとき圧縮機を停止させます。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが，40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

(ii) 吐出管温度センサ

圧縮機ON後，10分～10分20秒間に5秒間連続して検知温度が－25℃以下を検知したとき圧縮機を停止させます。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが，40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

(6) サイレントモード

リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合

(i) 室外ファンタップを下げて運転します。詳しくは，前述の(3)項の室外ファン制御をご覧ください。

(ii) 圧縮機最高目標回転数60rpsにします。(冷房・暖房共)

(7) 試運転

(a) **室外制御基板上のスイッチにより室外ユニットより運転が可能です。**

SW5-3	ON	**SW5-4**	OFF	冷房試運転
			ON	暖房試運転
	OFF	通常および試運転終了		

(b) **試運転制御**

(i) 機種毎に決まる最高回転数にて運転をします。

(ii) 各保護制御，異常検知制御は有効とします。

(iii) 試運転中にSW5-4を切換えた場合は停止制御を行い冷・暖房運転を切換えます。

(iv) 試運転中リモコンの設定および表示。

リモコン / モード	リモコンの設定・表示内容
冷房試運転	冷房，初期設定温度は5℃。
暖房試運転	暖房（準備）初期設定温度は30℃。

(Ⅱ) FDCVP806形

(1) 圧縮機目標回転数

(a) **冷房運転**　単位：rps

	P80形
最高目標回転数	120
最低目標回転数	12

(b) **暖房運転**　単位：rps

	P80形
最高目標回転数	130
最低目標回転数	12

(2) 圧縮機保護始動

(a) 圧縮機保護始動Ⅰ

(i) 制御条件

前回の圧縮機停止（サーモOFF，リモコン停止など）から6時間未満で，電源ブレーカ投入後の圧縮機始動回数が積算2回目以降の始動。

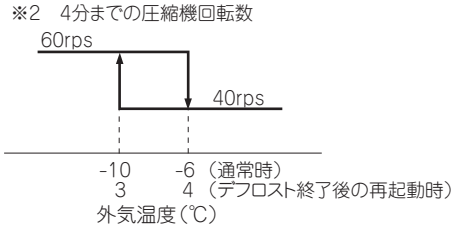
(ii) 制御内容

圧縮機始動から4分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで
冷房運転	40	40
暖房運転	40 ※1	※2

※1　デフロスト終了後の再起動は60rps



(b) 圧縮機保護始動Ⅱ

(i) 制御条件

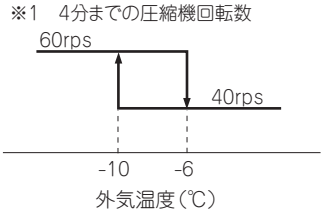
1) 圧縮機始動回数が積算1回目の始動で、電源ブレーカ投入後6時間以上経過した場合。
2) 圧縮機始動回数が積算2回目以降の始動で、前回の圧縮機停止（サーモOFF，リモコン停止など）から6時間以上が経過した場合。
3) 下記内容が成立した場合
   a) 電源投入後の圧縮機始動回数が積算1回目のとき。
   b) 電源投入後から6時間未満のとき。
   c) 圧縮機ON後，吐出管温度（Tho-D）が外気温度（Tho-A）より15℃以上のとき。

(ii) 制御内容

圧縮機始動から4分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで
冷房運転	40	40
暖房運転	40	※1



(c) 圧縮機保護始動Ⅲ

(i) 制御条件

下記の条件がすべて成立し，圧縮機がOFFからONになったとき。

a) 電源投入後の圧縮機始動回数が積算1回目のとき。
b) 電源投入から6時間未満の場合。
c) 圧縮機ON後，吐出管温度（Tho-D）が外気温度（Tho-A）より15℃未満のとき。

(ii) 制御内容

圧縮機始動から12（20）分間圧縮機設定回転数の上限値を制御します。

単位：rps

	30秒まで	4分まで	7分まで	12(20)分まで
冷房運転	40	40	55	75
暖房運転	40	40	130	130

注（ ）内数値は暖房運転時を示します。

(3) 室外ファン制御

(a) 室外ファンタップとファンモータ回転数

単位：min^{-1}

室外ファンタップ	1速	2速	3速	4速	5速	6速	7速	8速	9速
P80形	150	225	485	520	570	685	840	960	1000

(b) 始動時の室外ファン制御

圧縮機始動時，外気温度（Tho-A）が22℃未満のとき室外ファンタップを固定します。

(i) 外気温度が11℃以上のとき，圧縮機ON後30秒間2速とします。

(ii) 外気温度が11℃未満のとき，圧縮機ON後30秒間1速とします。

(c) 圧縮機回転数とファンタップの関係

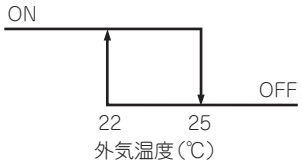
運転モード（冷房・暖房）と圧縮機回転数によりファンタップを決定します。

冷房	圧縮機回転数（rps）	22 未満	22 ～ 40未満	40 ～ 55 未満	55 ～70 未満	70～90未満	90 以上
	室外ファンタップ	4 速	5 速	6 速	7 速	8 速	9 速
暖房	圧縮機回転数（rps）	30 未満	30 ～ 50未満	50 ～ 70 未満	70 ～ 85 未満	85～105未満	105以上
	室外ファンタップ	4 速	5 速	6 速	7 速	8 速	9 速

注　サイレントモード制御中は，7～9速は6速に変更します。

(d) 冷房低外気時の室外ファン制御

室外熱交温度（Tho-R）と外気温度（Tho-A）により室外ファンを制御します。



(i) 外気温度が22℃未満で，室外ファンがONのとき室外ファンタップを以下の通り切換えます。

1) 外気温度が11℃より高いとき，圧縮機回転数によって3速または4速とします。

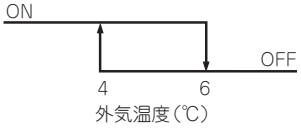
2) 外気温度が11℃以下のとき，圧縮機回転数によって2速または3速とします。

(ii) さらに室外熱交温度により室外ファン回転数を制御します。
室外ファン回転数を増減させた場合は，10秒間回転数を保持します。

(iii) 本制御中の室外ファン回転数の下限値は100min^{-1}とし，上限値は600min^{-1}とします。

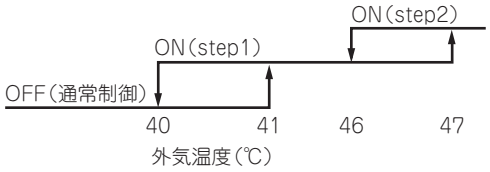
(e) 暖房低外気時の室外ファン制御

外気温度（Tho-A）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを3速アップします。
20秒間保持した後，さらにこれを繰り返しますが，室外ファンタップの上限は9速とします。



(f) 冷房過負荷時の室外ファン制御

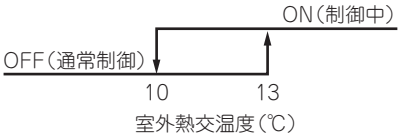
外気温度（Tho-A）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを下図の通りアップします。（室外ファンタップの上限値は9速）



ON 時の状態	ファン速
step1	+4 速
step2	+5 速

(g) 暖房過負荷時の室外ファン制御

室外熱交温度（Tho-R）が，下図に示すON領域を30秒間連続して検知したとき，室外ファンタップを3速下げます。
（室外ファンタップの下限値は2速）



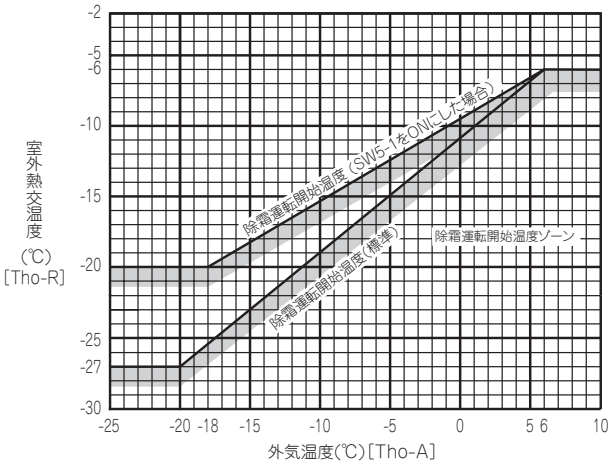
(4) 除霜

(a) 除霜開始条件

(i) 通常時の除霜運転

以下の条件をすべて満したとき除霜運転を開始します。

1) 暖房運転開始および除霜終了後，圧縮機運転累積時間が35分経過。
2) 室外熱交温度（Tho-R）が3分間継続して下記温度になったとき。
   - 圧縮機運転累積時間150分未満のとき：−5℃
   - 圧縮機運転累積時間150分以上のとき：−3.5℃
3) 外気温度（Tho-A)および室外熱交温度（Tho-R）が右図に示す除霜領域内に30秒間連続して存在したとき。
4) 圧縮機ON後7分経過。



(ii) 低負荷時の除霜運転

以下の条件をすべて満したとき除霜運転を開始します。

1) 暖房運転開始および除霜終了後，圧縮機運転累積時間が35分経過。
2) 室外熱交温度（Tho-R）が3分間継続して下記温度になったとき。
   - 圧縮機回転数が62rps以上のとき：−5℃
   - 圧縮機回転数が62rps未満のとき：−4℃
3) 外気温度（Tho-A）が3℃以下のとき。
4) 圧縮機ON後7分経過。

(iii) SW5-1による除霜制御の切換え

室外ユニット制御基板上のSW5-1をONすることで，除霜運転に入りやすくなります。

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満すと除霜運転を終了します。

(i) 除霜開始から15分が経過したとき。

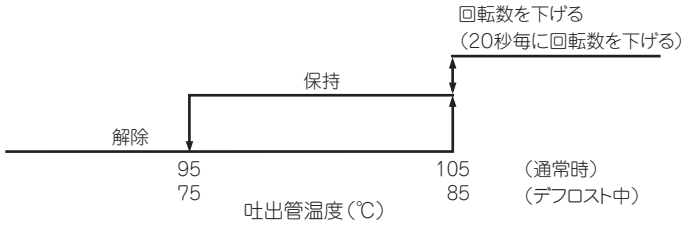
(ii) 室外熱交温度（Tho-R）が10℃以上となったとき。

(5) 圧縮機回転数による保護制御／異常停止制御

(a) 圧縮機過熱保護

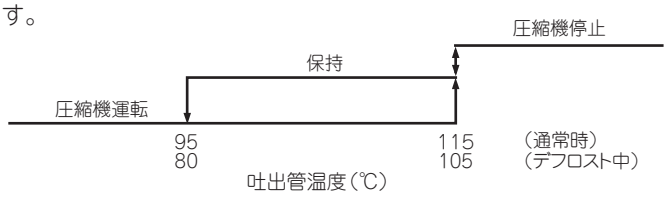
(i) 保護制御

吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し吐出管温度の上昇を抑えます。



(ii) 異常停止制御

1) 吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。
2) 60分以内に2回，吐出管温度が設定値を超え，圧縮機が停止した時点で，リモコンにE36を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

45分間継続して，解除値95℃（デフロスト中の作動の場合80℃）未満となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(b) 冷房高圧保護制御

(i) 目的：冷房時の異常高圧運転を防止します。

(ii) 検知：室外熱交温度（Tho-R）

(iii) 動作内容

室外熱交温度(Tho-R)	Tho-R＜P1	P1≦Tho-R＜P2	P2≦Tho-R	P3≦Tho-R
圧縮機回転数	通常（解除）	圧縮機回転数保持	圧縮機回転数を下げる	圧縮機停止

• サンプリング開始時の外気温度（Tho-A）条件

外気温度条件	P1	P2	P3
Tho-A≧32℃	45～50℃	50～56℃	62℃
Tho-A<32℃	51℃	53℃	56℃

(iv) 異常停止

異常検知（P3≦Tho-R）が，60分以内に5回または，圧縮機停止中も含め10分間継続したとき，リモコンにE35を表示し異常停止モードとなります。

(c) 暖房高圧保護制御

(i) 目的：暖房時の異常高圧運転を防止します。

(ii) 検知：室内熱交温度(Thi-R)

(iii) 動作内容

室内熱交温度(Thi-R)	Thi-R＜P1	P1≦Thi-R＜P2	P2≦Thi-R＜P3	P3≦Thi-R
圧縮機回転数	通常（解除）	圧縮機回転数保持	圧縮機回転数を下げる(step1)	圧縮機回転数を下げる(step2)

• 室内熱交温度領域（℃）

圧縮機回転数（rps）	P1	P2	P3
10 ～ 50	45	52	54.5
50 ～ 130	45	53	57

(d) 冷凍サイクルシステム保護制御

(i) 異常検知条件：運転開始5分(暖房9分)以降に次の条件を共に5分以上継続したとき。

1) 圧縮機回転数が 40rps 以上

2) 冷房運転時：室内熱交温度 (Thi-R)―室温 (Thi-A) ＞ － 4℃

暖房運転時：室内熱交温度 (Thi-R)―室温 (Thi-A) <+4℃

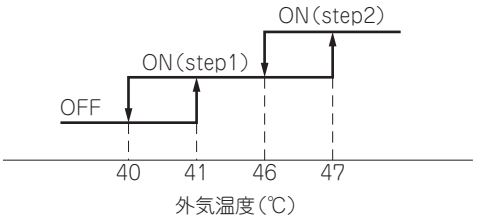
注（1）本制御は室温が冷房時：10～40℃，暖房時：0～40℃の範囲にある場合に有効です。

(ii) 異常停止

(i)項の異常停止で，60分間に2回本制御により圧縮機が停止した場合，リモコンにE57を表示し異常停止モードとなります。

(e) 冷房過負荷保護

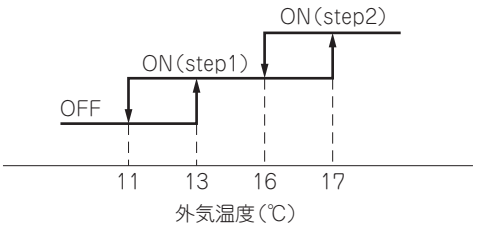
圧縮機運転中に外気温度(Tho-A)が30秒間継続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を変更します。



ON時の状態	圧縮機回転数(rps)	
	下限値	上限値
step1	30	85
step2	30	60

(f) 暖房過負荷保護制御

圧縮機運転中に外気温度(Tho-A)が30秒間継続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を制限します。



FDU/FDR/FDTS接続以外

ON時の状態	圧縮機回転数(rps)	
	下限値	上限値
step1	30	90
step2	35	75

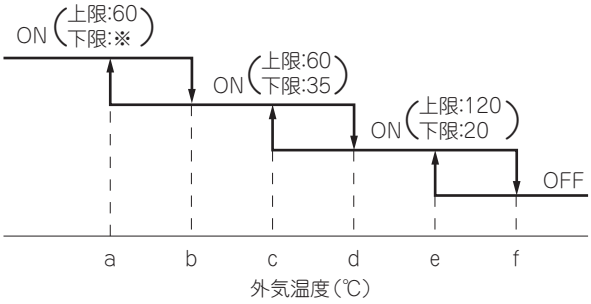
FDU/FDR/FDTS接続

ON時の状態	圧縮機回転数(rps)		
	下限値	室内風速	上限値
step1	30	Phi1/Phi2	90
		Hi	90
		Me	80
		Lo/ULo/OFF	55
step2	35	Phi1/Phi2	75
		Hi	65
		Me	55
		Lo/ULo/OFF	45

(g) 冷房低外気保護制御

圧縮機運転中に外気温度（Tho-A）が，開始条件判定温度に基づき20秒間連続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の上下限値を制限します。以降，1時間に1回，領域判定温度に基づき，圧縮機回転数の上下限値を再判定します。

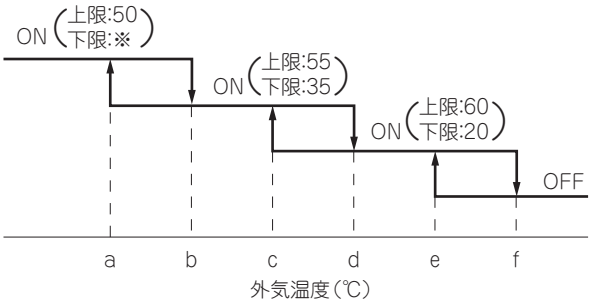
FDTW接続以外



※：圧縮機起動後4分未満は40rps，4分以降は45rpsとする。

	a	b	c	d	e	f
開始条件判定温度	9	11	22	25	26	28
領域判定温度	16	19	25	28	26	28

FDTW接続

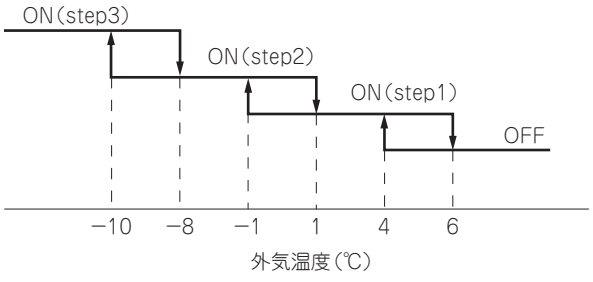


※：圧縮機起動後4分未満は40rps，4分以降は45rpsとする。

	a	b	c	d	e	f
開始条件判定温度	9	11	22	25	28	30
領域判定温度	16	19	25	30	28	30

(h) 暖房低外気保護制御

圧縮機運転中に外気温度（Tho-A）が，30秒間連続して下図のON領域になったとき，圧縮機回転数の下限値を制限します。

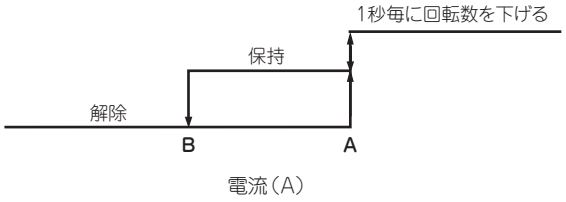


ON時の状態	圧縮機下限値
step1	※1
step2	※1
step3	※2

※1：圧縮機起動後4分未満は40rps，4分以降は45rpsとする。
※2：圧縮機起動後4分未満は40rps，4分以降は80rpsとする。

(i) **カレントセーフ制御**

室外インバータ入力電流を検知し，電流値が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御しインバータを保護します。外気温が高い場合，下表より低い電流値で制御が開始することもあります。



単位：A

	冷房		暖房	
	制御値**A**	制御値**B**	制御値**A**	制御値**B**
単相	15.3	14.8	16.3	15.8
三相	10.0	9.5	10.0	9.5

(j) **カレントカット**

(i) 室外インバータに過電流が流れるのを防止するため電流を検知し，設定値を超えると圧縮機を停止させます。3分遅延後に再始動します。

設定値：19.5～25.4A

(ii) 40分以内に3回，電流値が設定値を超えると圧縮機停止させ，リモコンにE42を表示し異常停止モードとなります。

(k) **シリアル信号伝送エラー保護**

室内・外通信が35秒間連続して信号を受信出来ないとき，圧縮機停止させ，リモコンにE5を表示し異常停止モードとなります。

(l) **ファンモータ異常**

室外ファンモータの回転数が75min^{-1}以下を30秒以上継続したとき，圧縮機および室外ファンモータを停止させます。異常停止が3回発生した場合は，リモコンにE48を表示し異常停止モードとなります。

(m) **圧縮機ロータロック異常**

圧縮機起動後，脱調を検知すると圧縮機を停止し，リモコンにE60を表示し異常停止モードとなります。

(n) **温度センサ断線検知**

(i) 室外熱交温度センサ，外気温度センサ

圧縮機ON後,2分～2分20秒間または電源投入後20秒間に5秒間連続して検知温度が，－55℃以下を検知したとき圧縮機を停止させます。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが，40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

(ii) 吐出管温度センサ

圧縮機ON後，10分～10分20秒間に5秒間連続して検知温度が－25℃以下を検知したとき圧縮機を停止させます。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが，40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

(6) サイレントモード

リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合

(i) 室外ファンタップを下げて運転します。詳しくは，前述の(3)項の室外ファン制御をご覧ください。

(ii) 圧縮機最高目標回転数60rpsにします。（冷房・暖房共）

(7) 試運転

(a) **室外制御基板上のスイッチにより室外ユニットより運転が可能です。**

SW5-3	ON	**SW5-4**	OFF	冷房試運転
			ON	暖房試運転
	OFF	通常および試運転終了		

(b) **試運転制御**

(i) 機種毎に決まる最高回転数にて運転をします。

(ii) 各保護制御，異常検知制御は有効とします。

(iii) 試運転中にSW5-4を切換えた場合は停止制御を行い冷・暖房運転を切換えます。

(iv) 試運転中リモコンの設定および表示。

リモコン / モード	**リモコンの設定・表示内容**
冷房試運転	冷房，初期設定温度は5℃。
暖房試運転	暖房（準備）初期設定温度は30℃。

(Ⅲ) FDCVP1126 ～ 1606H形

ESP-FP-2370△L

(1) 圧縮機回転数の決定

ユニットの要求回転数

(a) 冷房・除湿運転

単位：rps

		P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	室内風量「P 急」	66	80	85
	室内風量「急」	55	60	70
	室内風量「強」	45	45	45
	室内風量「弱」	35	35	40
最低要求回転数		11	11	11

(b) 暖房運転

単位：rps

		P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	室内風量「P 急」	110	120	120
	室内風量「急」	76	84	90
	室内風量「強」	42	46	50
	室内風量「弱」	34	34	50
最低要求回転数		11	11	11

(c) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合の最高要求回転数

室外制御基板上のディップスイッチ（SW7-3）により，最高要求回転数を切換えます。

単位：rps

			P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	冷房・除湿	SW7-3 OFF	65	73	82
		SW7-3 ON	58	58	58
	暖房	SW7-3 OFF	73	82	92
		SW7-3 ON	59	59	59

(d) 冷房高外気温度条件下での最高要求回転数

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　　単位：rps

		P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	外気温度が37℃以上	58	80	83
	外気温度が40℃以上	58	75	75
	外気温度が46℃以上	58	70	70

(e) 暖房高外気温度条件下での最高要求回転数

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　　単位：rps

		P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	外気温度が18℃以上	46	72	78
	外気温度が10℃以上	77	85	85

(f) 熱交温度による最高要求回転数の切換え

(i) 冷房･除湿時は，室外熱交温度（Tho-R），暖房時は室内熱交温度（Thi-R）により，最高要求回転数を切換えます。

(ii) 室内熱交温度（Thi-R）が2つある場合は，大きい方の値を使用します。

単位：rps

			P112形	P140形	P160形
最高要求回転数	冷房・除湿	室外熱交温度が 55℃以上	70	100	100
	暖房	室外熱交温度が 55℃以上	100	100	100

(g) 前述の(a)から(f)項の制御が重複する場合は，重複した制御の中で，最も小さい値を最高要求回転数として運転します。

(h) 暖房運転時，要求回転数が上昇傾向にある場合，室内熱交温度が40℃以上になるまで１分ごとに回転数を+5rpsします。

(2) 圧縮機始動制御

(a) 圧縮機始動は室内ユニットからのサーモＯＮ信号を受信した時点で圧縮機を始動します。

(b) ただし，電源ブレーカを投入後１回目の起動時においては，圧縮機の油上がりを防止するため，最大30分間の待機状態（リモコンに「運転待機中」の表示）に入る場合があります。
室外ユニットが待機状態時に，リモコンで冷房/除湿/暖房の運転を選択した場合は，リモコンに３秒間「運転待機中」の表示を行います。

(3) 圧縮機ソフト始動制御

(a) 圧縮機保護始動Ⅰ

［制御条件］　通常は，本始動パターンにて圧縮機の運転回転数を上昇させます。

［制御内容］　(i) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。
ただし，冷房・除湿時に外気温度（Tho-A）が35℃以上，暖房時に吸込温度（Thi-A）が25℃以上では，**C**rpsで始動します。

(ii) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，２～４分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。

運転モード	**A** rps	**B** rps	**C** rps
冷房・除湿	35	35	25
暖房	35	35	25

(b) 圧縮機保護始動Ⅲ

［制御条件］　電源ブレーカ投入後の圧縮機始動回数が積算１回目の始動時。

［制御内容］　運転モード，外気温度(Tho-A)に応じて以下の始動パターン を選択し運転を行います。

(i) 冷房・除湿時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立した時点で，冷房・除湿時の低回転数運転制御を行います。

［制御内容］　1) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，外気温度（Tho-A）が35℃以上では**C**rpsで始動します。

2) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。

3) その後，30分間は圧縮機回転数の上昇レートを6rps/2分に制限します。

運転モード	**A** rps	**B** rps	**C** rps
冷房・除湿	35	35	25

(ii) 暖房時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立し，下記条件を満たす場合に，暖房時の低回転数運転制御を行います。

・電源ブレーカ投入後から30分以上が経過している場合。

［制御内容］　1) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，吸込温度（Thi-A）が25℃以上かつ外気温度8℃以上では**C**rpsで始動します。

2) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。

3) その後，30分間は圧縮機回転数の上昇レートを6rps/2分に制限します。

運転モード	**A** rps	**B** rps	**C** rps
暖房	35	35	25

(4) 室外ファン制御

(a) ファンタップとファン回転数　　単位：min^{-1}

	ファン回転数						
ファンタップ	1 速	2 速	3 速	4 速	5 速	6 速	7 速
冷房・除湿	250	400	620	770	890	900	970
暖房	300	400	560	700	890	900	970

(b) 冷房・除湿運転時のファンタップ制御

室外熱交温度（Tho-R1, R2）と外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

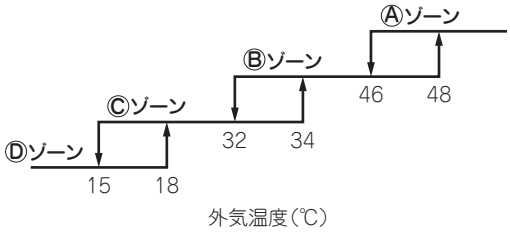
注　Tho-R1, R2はどちらか高い方で検知

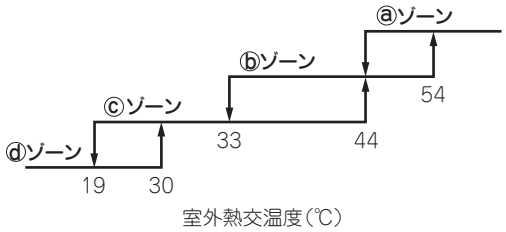
• 通常モード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	7 速	7 速	7 速	5 速
ⓑゾーン	7 速	5 速	5 速	3 速
ⓒゾーン	5 速	4 速	3 速	2 速
ⓓゾーン	4 速	2 速	2 速	1 速

• サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	7 速	7 速	6 速	5 速
ⓑゾーン	6 速	3 速	3 速	3 速
ⓒゾーン	5 速	3 速	3 速	2 速
ⓓゾーン	4 速	2 速	2 速	1 速





(c) 暖房運転時のファンタップ制御

室外熱交温度（Tho-R1, R2）と外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

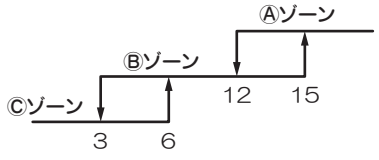
注　Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

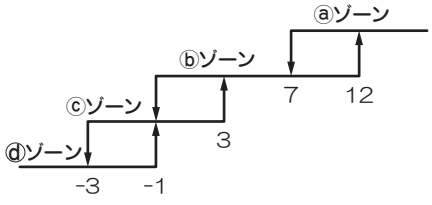
• 通常モード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	5 速	4 速
ⓒゾーン	3 速	5 速	5 速
ⓓゾーン	4 速	7 速	7 速

• サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	3 速	4 速
ⓒゾーン	3 速	3 速	5 速
ⓓゾーン	4 速	5 速	7 速





(d) 冷房低外気時の室外ファン制御

（i） 室外ファン回転数制御

1） 開始条件

圧縮機始動より下記条件が全て成立した場合に開始します。

a）冷房･除湿モード運転時。

b）外気温度（Tho-A）が20℃未満のとき。

c）室外ファン起動から20秒経過後。

d）室外ファンタップが1速のとき。

2） 制御内容

a）室外熱交温度（Tho-R1, R2）を10秒ごとにサンプリングし，室外ファンの回転数を制御します。

b）本制御中の室外ファン回転数は，上限を500min^{-1}，下限を200min^{-1}とします。

注　Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

3） 終了条件

下記条件の何れかが成立した場合は，本制御を終了します。

a）外気温度（Tho-A）が20℃以上かつ室外熱交温度（Tho-R1, R2）が30℃以上を連続40秒以上を検知。

b）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が40℃以上を連続40秒以上を検知。

c）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が50℃以上を検知。

(ii) 室外ファン停止制御

圧縮機始動より下記条件が全て成立した場合に開始します。

1） 開始条件

a）(i)室外ファン回転数制御を実施中かつ室外ファン回転数が200min^{-1}以下を30秒以上継続したとき。

b）外気温度（Tho-A）が−5℃未満のとき。

c）室外熱交温度（Tho-R）が28℃以下のとき。

2） 制御内容

室外ファンを停止させます。

3） 終了条件

a）外気温度（Tho-A）が0℃以上のとき。

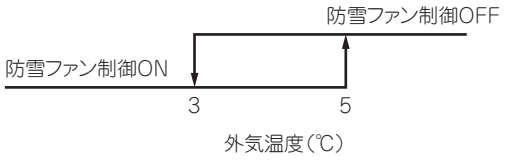
b）室外熱交温度（Tho-R）が33℃以上のとき。

(e) 室外ファン起動制御における注意点

圧縮機運転前に，室外ファンが400min^{-1}以上で回転している場合は，室外ファンを起動させずに圧縮機のみで運転する場合がありますが，故障ではありません。

(f) 防雪ファン制御

室外制御基板上のディップスイッチ（SW3-2）をONすると停止モード，異常停止モード中において，外気温度（Tho-Aで検知）により室外ファンを10分毎に1回30秒間4速で運転します。



(5) 除霜

(a) 除霜開始条件

次の除霜条件Aまたは条件Bまたは条件Cを全て満たせば除霜運転を開始します。

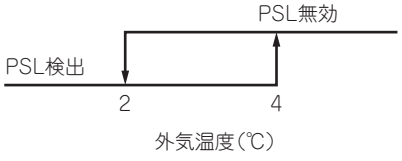
(i) 除霜条件A

1） 除霜終了後の圧縮機運転累計時間が37分経過および暖房運転開始（リモコンON）後の圧縮機運転累計時間が30分経過。

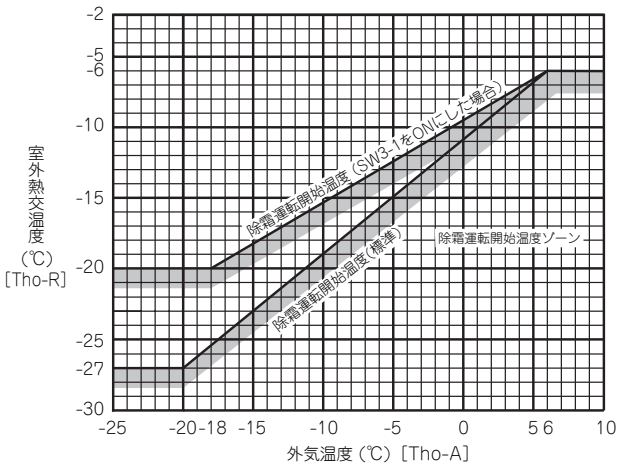
2） 圧縮機がON後5分経過。

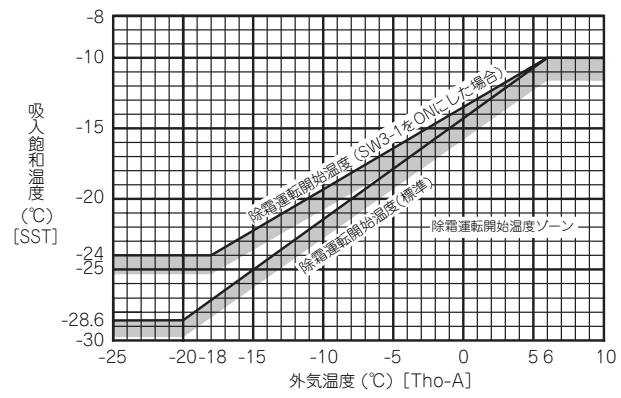
3） 室外ファン運転後5分経過。

4） 上記の全ての条件を満たした後，室外熱交温度センサ（Tho-R1, R2）と外気温度センサ（Tho-A）の温度が15秒継続して右上図の除霜開始温度以下になったときまたは，低圧圧力センサ（PSL）の検出値より求められる吸入ガス飽和温度（SST）と外気温度（Tho-A）が右下図に示す除霜運転開始温度以下の領域に3分間存在。ただし，圧縮機始動後10分間および外気温度が下図のPSL無効領域のときは除きます。



5） 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上。





(ii) 除霜条件B

1) 前回の除霜終了条件が，除霜運転時間のタイムアップかつ除霜終了後の圧縮機運転累計時間が30分経過後の暖房運転。
2) 圧縮機始動より5分経過。
3) 室外ファン運転後5分経過。
4) 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上。

(iii) 除霜条件C

1) 圧縮機回転数が60分以上変化なく運転。
2) 外気温度（Tho-A）が5℃以下。
3) 圧縮機吐出過熱温度（“Tho-D”－“Tho-R※”）が20℃より高い場合
※室外熱交温度（Tho-R1，R2）どちらか高い方

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満たせば除霜終了運転を開始します。

(i) 除霜開始から13分20秒経過したとき。
(ii) 室外熱交温度（Tho-R1, R2）のどちらか低い方が10秒連続して12℃以上となったとき。

(c) SW3-1 による除霜制御の切換え

(i) 室外制御基板上のディップスイッチ（SW3-1）をONにすることで，除霜運転に入りやすくなります。降雪地域にユニットを設置する場合に使用します。
(ii) 制御内容

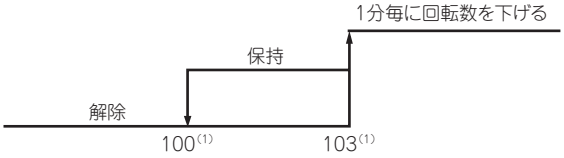
1) 除霜条件Aにて，暖房運転時間の累積30分で除霜運転に入ることを許可します。出荷時は37分。
2) 除霜条件Bにて，暖房運転時間の累積25分で除霜運転に入ることを許可します。出荷時は30分。
3) 室外熱交温度(Tho-R)と吸入圧力飽和温度(SST)が，通常よりも高い温度で除霜運転を許可します。

(6) 圧縮機回転数による保護制御／異常停止制御

(a) 圧縮機吐出管温度保護

(i) 保護制御

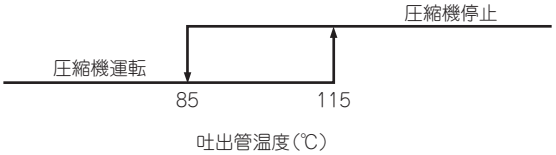
吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し吐出管温度の上昇を抑えます。



注(1)圧縮機が起動してから10分間は制御値，解除値を－5℃下げます。除霜運転中は制御値，解除値を－33℃下げます。また外気温度に応じて－3～－10℃下げます。

(ii) 異常停止制御

1) 吐出管温度(Tho-Dで検知)が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。
2) 60分以内に2回または圧縮機停止中を含め連続60分間で，リモコンにE36を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

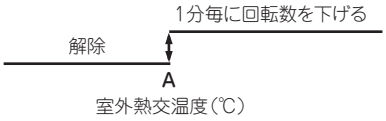
45分間継続して，解除値85℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(b) 冷房高圧保護

(i) 保護制御

1) 外気温度（Tho-A）が40℃以上で，室外熱交温度（Tho-R）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を抑えます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。

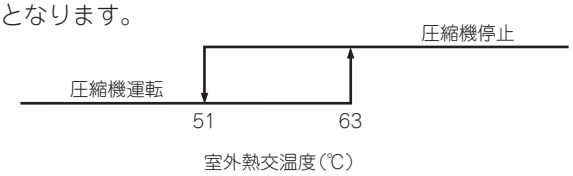


制御値 A℃
59～53

(ii) 異常停止制御

1) 室外熱交温度（Tho-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。

2) 60分以内に5回，または63℃以上が圧縮機停止中を含め連続30分間で，リモコンにE35を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

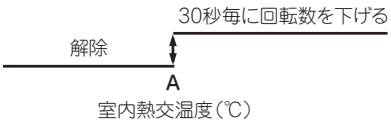
解除値51℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(c) 暖房高圧保護

(i) 保護制御

1) 室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を抑えます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。



既設配管対応スイッチ SW5-1	
OFF(出荷時)	ON
制御値 A℃	
48～54	45～51

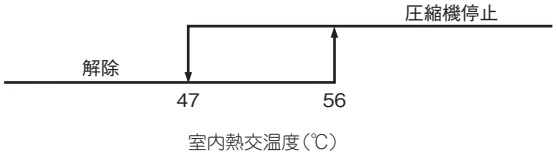
注　ON時が既設配管対応です。

(ii) 異常停止制御

室内コントローラによる運転制御機能781ページの暖房過負荷保護をご覧ください。

(iii) 既設配管対応，停止制御

既設配管対応スイッチSW5-1をONすることで，室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止し既設配管を保護します。



(d) 高圧圧力開閉器(63H1)による異常検知制御

(i) 圧力が上昇し高圧圧力開閉器（4.15MPa開／3.15MPa閉）が作動した時点で圧縮機を停止します。

(ii) 以下のいずれかの条件でE40を表示し，異常停止モードとなります。

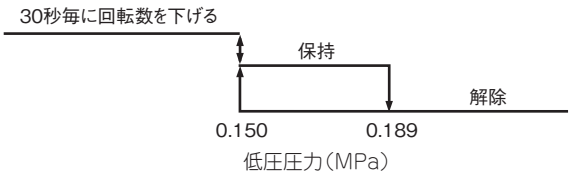
1) 60分以内に5回，圧力が上昇し63H1により圧縮機が停止した時点。

2) 圧縮機停止中も含め63H1が連続30分開状態となった時点。

(e) 低圧制御

(i) 保護制御

低圧圧力センサ（PSL）の検出値が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し圧力の低下を抑えます。



(ii) 異常停止制御

1) 低圧圧力（PSL）が,以下のいずれかの条件を満たすと，圧縮機を停止させます。

a) 低圧圧力が0.079MPa以下を連続15秒間。

b) 圧縮機始動10分後で，吸入過熱度が30℃，かつ低圧圧力が0.15MPa以下を連続60秒。

2) 以下のいずれかの条件でE49を表示し，異常停止モードとなります。

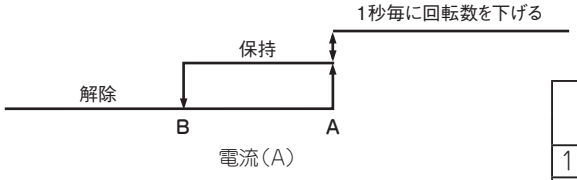
a) 60分以内に5回，低圧圧力が低下し上記のいずれかの条件で圧縮機が停止した時点。

b) 圧縮機停止中も含め低圧圧力センサの検出値が連続で5分間0.079MPa以下となった時点。

c) 圧縮機保護始動Ⅲ中に1）の制御条件が成立した場合。

(f) 過電流保護カレントセーフ制御

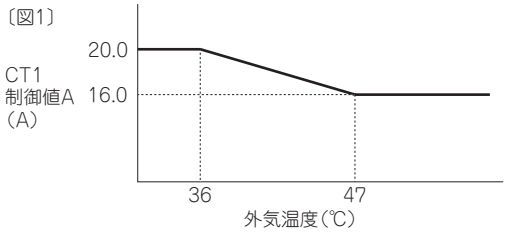
室外インバータ入力（1次）電流と出力（2次）電流を検出し，電流値が設定を超えると，圧縮機回転数を制御しインバータを保護します。

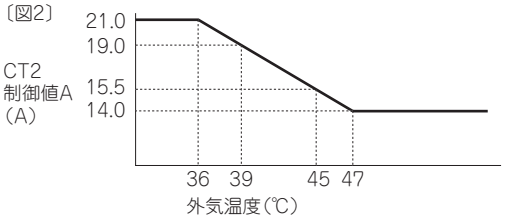


単位：A

	冷房		暖房	
	制御値**A**	解除値**B**	制御値**A**	解除値**B**
1 次電流側	図1	注(1)	23.0	22.0
2 次電流側	図2	注(1)	23.0	22.0

注(1) 解除値**B**は，図1，2の値より1引いた値となります。





(g) カレントカット

(i) インバータ部の過電流を防止するため，パワートランジスタ内の電流値が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

(ii) 30分以内に4回，パワートランジスタ内の電流値が規定値を超え圧縮機が停止した時点で，リモコンにE42を表示し異常停止モードとなります。

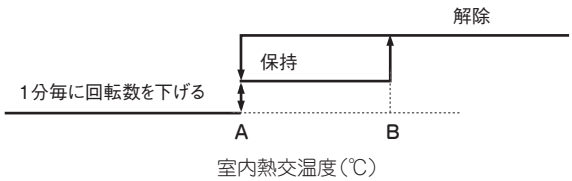
(h) インバータ通信異常

圧縮機停止中も含め15分間に4回インバータ通信異常を検知すると，リモコンにE45を表示し異常停止モードとなります。

(i) 圧縮機回転数制御による凍結防止制御

(i) 圧縮機始動より4分後に，室内熱交温度（Thi-Rにより検出）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し室内熱交の凍結防止制御を行います。

(ii) 室内熱交温度（Thi-R1，R2）が2つある場合は，温度の低い方を検出します。



単位：℃

		A	B
室内湿度センサあり	相対湿度 50%以下	−0.5	1.0
	相対湿度 50%以上	1.0	2.5
室内湿度センサなし			

(iii) 運転停止による凍結防止制御については，室内コントローラによる運転制御機能780ページの室内熱交換器アンチフロスト（凍結防止制御）をご覧ください。

(j) 温度センサおよび低圧圧力センサ断線検知

(i) 室外熱交温度センサ，外気温度センサ，低圧圧力センサ

圧縮機ON後，2分から2分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注(1) 除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- ●室外熱交温度センサ　　：－ 50℃以下
- ●外気温度センサ　　：－ 45℃以下
- ●低圧圧力センサ　　：0V以下または4V以上

(ii) 吐出管温度センサ，吸入管温度センサ

圧縮機ON後，10分から10分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注(1) 除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- ●吐出管温度センサ　：－ 10℃以下
- ●吸入管温度センサ　：－ 50℃以下

(k) 欠相保護（三相機のみ）

電源ON後5秒間連続してR, S, T相の何れかの電圧が0Vのとき，電源欠相状態と判断し1秒後に異常停止（E34）します。

(l) 室外ファンモータ異常

(i) 室外ファン制御時（ファンタップが1速以上の運転指令中）に，室外ファン回転数が100min^{-1}以下を30秒連続で検出した場合は，圧縮機を停止します。

(ii) 60分以内に5回，室外ファン回転数が100min^{-1}以下となり圧縮機が停止した時点で，リモコンにE48を表示し異常停止します。

(m) 圧縮機起動停止による異常停止

(i) 圧縮機始動中にインバータより起動不良異常を検知した場合は，一旦停止状態とし，3分後に再度，圧縮機を始動させます。

(ii) 5回異常検知をカウントした場合は，圧縮機起動異常とし異常停止（E59）します。

(7) サイレントモード

(a) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合に，室外制御基板上のディップスイッチ（SW7-3）の設定に応じた運転をします。

- ●SW7-3　OFF：定格運転時の運転音が－3〔dB〕ダウンとなるように，ファンタップと圧縮機回転数を下げて運転します。
- ●SW7-3　ON　：運転音の上限が50〔dB〕以下となるように、ファンタップと圧縮機回転数を下げて運転します。

(b) 詳しくは，前述の(1)項の圧縮機回転数の決定および(4)項の室外ファン制御をご覧ください。

(8) 試運転

(a) 室外制御基板上のディップスイッチにより室外ユニットより運転が可能です。

SW3-3	ON	SW3-4	OFF	冷房試運転
			ON	暖房試運転
	OFF	通常および試運転終了		

必ず運転終了時は SW3-3 を OFF にしてください。

(b) 試運転制御

(i) 吸込温度（Thi-A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて運転をします。

(ii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。

(iii) 試運転中に SW3-4 を切換えた場合は停止制御を行い一旦圧縮機を停止させ，冷・暖房運転を切換えます。

(iv) 試運転中リモコンの設定および表示

モード	リモコンの設定・表示内容
冷房試運転	冷房，設定温度は5℃
暖房試運転	暖房（準備），設定温度は30℃

(9) ポンプダウン制御

運転停止，異常停止中（サーモOFFは含まず）にフリーアドレス切換スイッチSW4-1がON時，ポンプダウンスイッチSW1（SW9）を2秒間ONするとポンプダウン運転をします。（室内ユニット運転中は無効。室内ユニットが異常停止中または電源OFFでも有効）

なお，フリーアドレス切換スイッチSW4-1がOFFの時は，一旦室外ユニットの電源をOFFにしてからフリーアドレス切換スイッチSW4-1をONにしてください。

(a) 制御内容

(i) 液側の操作弁を閉めてください。（ガス側は全開のまま）
(ii) 冷房モードで目標回転数を**45**rpsとして圧縮機を始動します。
(iii) 室外ユニット制御基板上の赤，緑（LED）を連続点滅させます。
(iv) 低圧制御，アンチフロスト制御および露付き保護制御を除き各保護，異常検知制御は有効です。
(v) 室外ファンは通常通り制御します。
(vi) 電子膨張弁（冷・暖）は全開にします。

(b) 制御終了条件

下記の何れかの条件により停止制御を行います。

(i) 低圧圧力が0.087MPa以下を連続5秒検知
  1) 赤LED：点灯，緑LED：点滅，リモコン：停止を表示します。
  2) 低圧圧力が0.087MPaを超えると再起動可能です。
  3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。
(ii) 異常検知制御により停止
  1) 赤LED：連続点滅，緑LED：点滅します。
  2) 再起動は不可です。通常運転への復帰は電源リセット。
  3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。
(iii) ポンプダウン制御による圧縮機の運転積算時間が5分になった時。
  1) 赤LED：消灯，緑LED：点滅，リモコン：停止を表示します。
  2) 再ポンプダウンは可能です。
  3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

注　圧縮機停止後は，ガス側の操作弁を閉めてください。

注意：ポンプダウンスイッチを押すと，室内ユニットとの通信をキャンセルするため，室内ユニットおよびリモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが，異常ではありません。

(10) 既設配管洗浄運転制御

(a) 開始条件

運転停止中に室外制御基板のディップスイッチ SW5-2 を OFF から ON に切換えたとき。

(b) 制御内容

(i) 電磁弁（SV2）をONし暖房用電子膨張弁（EEVH）を全閉します。
(ii) 吸込温度（Thi-A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて冷房運転を行います。
(iii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。
(iv) 制御中は，室外制御基板の LED1（緑）を高速点滅させます。

(c) 終了条件

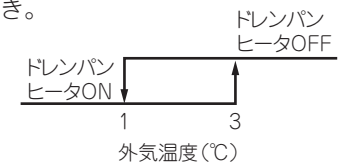
下記の何れかが成立した場合。

(i) 圧縮機運転時間が120分を経過したとき。
(ii) 室外制御基板のディップスイッチSW5-2をOFFしたとき。
(iii) 冷房運転以外を選択または異常停止のとき。

(11) ドレンパンヒータ ON/OFF 出力制御（現地手配）

(a) ドレンパンヒータON条件

暖房モード時で外気温度が1℃以下で圧縮機が運転中のとき。



(b) ドレンパンヒータOFF条件

下記の何れかが成立した場合。

(i) 外気温度が3℃以上。
(ii) 圧縮機停止を30分連続検知したとき。
(iii) 冷房・除湿モードを選択したとき。

ⅣFDCVP2246, 2806形

ESP-FP-2572△1

(1) 圧縮機回転数の決定

ユニットの要求回転数

(a) 冷房・除湿運転

単位：rps

		P224形	P280形
最高要求回転数	室内風量「P 急」「急」	120	120
	室内風量「強」「弱」	97	97
最低要求回転数		11	11

(b) 暖房運転

単位：rps

		P224形	P280形
最高要求回転数	室内風量「急」	130	130
	室内風量「強」「弱」	97	97
最低要求回転数		11	11

(c) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合の最高要求回転数

室外制御基板上のディップスイッチ（SW7-3）により，最高要求回転数を切換えます。　単位：rps

			P224形	P280形
最高要求回転数	冷房・除湿	SW7-3 OFF	70	70
		SW7-3 ON	50	50
	暖房	SW7-3 OFF	76	88
		SW7-3 ON	50	50

(d) 冷房高外気温度条件下での最高要求回転数。

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　単位：rps

		P224形	P280形
最高要求回転数	外気温度が40℃以上	120	120
	外気温度が46℃以上	58	58

(e) 暖房高外気温度条件下での最高要求回転数

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　単位：rps

		P224形	P280形
最高要求回転数	外気温度が18℃以上	105	105
	外気温度が10℃以上	130	130

(f) 熱交温度による最高要求回転数の切換え

(i) 冷房･除湿時は，室外熱交温度（Tho-R），暖房時は室内熱交温度（Thi-R）により，最高要求回転数を切換えます。

(ii) 室外熱交温度（Tho-R）および室内熱交温度（Thi-R）が2つある場合は，高い方の値を使用します。

単位：rps

			P224形	P280形
最高要求回転数	冷房 除湿	室外熱交温度が 56℃以上	110	110
	暖房	室内熱交温度が 56℃以上	120	120

(g) 前述の(a)から(f)項の制御が重複する場合は，重複した制御の中で，最も小さい値を最高要求回転数として運転します。

(h) 暖房運転時，要求回転数が上昇傾向にある場合，室内熱交温度が40℃以上になるまで最高要求回転数で運転します。

(2) 圧縮機始動制御

(a) **圧縮機始動は室内ユニットからのサーモＯＮ信号を受信した時点で圧縮機を始動します。**

(b) **ただし，電源ブレーカを投入後１回目の起動時においては，圧縮機の油上がりを防止するため，最大３０分間の待機状態（リモコンに「運転待機中」の表示）に入る場合があります。**

室外ユニットが待機状態時に，リモコンで冷房/除湿/暖房の運転を選択した場合は，リモコンに３秒間「運転待機中」の表示を行います。

(3) 圧縮機ソフト始動制御

(a) **圧縮機保護始動Ⅰ**

［制御条件］　通常は，本始動パターンにて圧縮機の運転周波数を上昇させます。

［制御内容］　(i) 暖房運転の場合，運転停止後6時間経過かつ起動時の外気温が11℃以下の時は1～3分間冷房運転を行なったのち一度停止制御を行います。

(ii) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。
ただし，冷房・除湿時に外気温度（Tho-A）が35℃以上，暖房時に室内吸込温度（Thi-A）が25℃以上では，**C**rpsで始動します。

(iii) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，2 ～ 4分間圧縮機の運転周波数を固定し運転します。

機種	運転モード		A rps	B rps	C rps
	停止制御前モード	起動時モード			
P224, 280H形	冷房・除湿	冷房・除湿	30	30	25
	暖房・停止		50	50	25
	暖房	暖房	37	37	25
	冷房・除湿・停止		50	50	25

(b) **圧縮機保護始動Ⅲ**

［制御条件］　電源ブレーカ投入後の圧縮機始動回数が積算１回目の始動時。

［制御内容］　運転モード，外気温度(Tho-A)に応じて以下の始動パターン を選択し運転を行います。

(i) 冷房・除湿時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立した時点で，冷房・除湿時の低回転数運転制御を行います。

［制御内容］　1）圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，外気温度（Tho-A）が35℃以上では**C**rpsで始動します。

2）圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転周波数を固定し運転します。

機種	運転モード	A rps	B rps	C rps
P224, P280形	冷房・除湿	30	30	25

(ii) 暖房時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立し，以下の1），2）いずれかの条件を満たす場合に，暖房時の低回転数運転制御を行います。

1） 電源ブレーカ投入後から30分以上が経過している場合。

2） 圧縮機ドーム下温度（Tho-C）が4℃以上かつ外気温度（Tho-A）との温度差が4℃以上となった場合。

［制御内容］　1） 1～3分間冷房運転を行なったのち，停止制御後に暖房モードで圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，室内吸込温度（Thi-A）が25℃以上では**C**rpsで始動します。

2） 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転周波数を固定し運転します。

機種	運転モード	A rps	B rps	C rps
P224, P280形	暖房	37	37	25

(4) 室外ファン制御

(a) **室外ファンタップとファンモータ回転数**

単位：min^{-1}

機種	運転モード	ファンモータ回転数						
	ファンタップ	1 速	2 速	3 速	4 速	5 速	6 速	7 速
P224, P280 形	冷房・除湿	200	370	560	650	750	850	950
	暖房	200	370	500	600	850	910	950

注　P224, P280 形のファン回転数は上，下共に同じ値です。

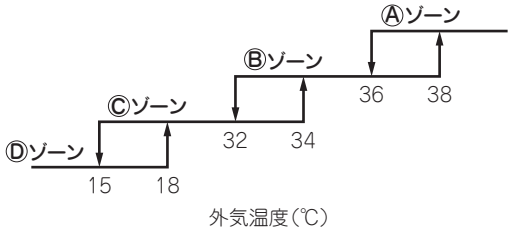
(b) 冷房・除湿運転時のファンタップ制御

室外熱交温度（Tho-R1, R2）と外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

注　Tho-R1, R2はどちらか高い方で検知

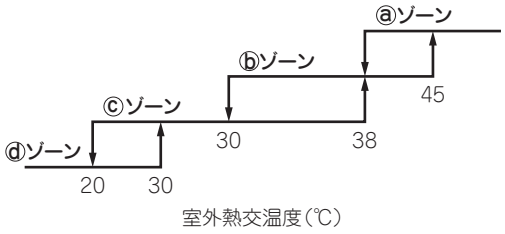
●通常時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	6 速	7 速	6 速	5 速
ⓑゾーン	6 速	5 速	5 速	3 速
ⓒゾーン	6 速	5 速	4 速	2 速
ⓓゾーン	3 速	3 速	2 速	1 速



●サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	4 速	3 速	3 速	3 速
ⓑゾーン	4 速	3 速	3 速	3 速
ⓒゾーン	3 速	3 速	3 速	2 速
ⓓゾーン	3 速	3 速	2 速	1 速



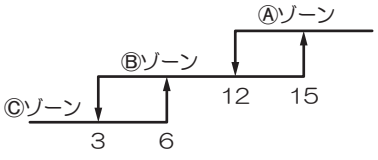
(c) 暖房運転時のファンタップ制御

(i) 圧縮機回転数と室外熱交温度（Tho-R1, R2）および外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

注　Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

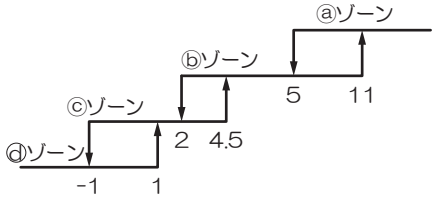
●通常モード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	3 速	4 速
ⓒゾーン	3 速	5 速	7 速
ⓓゾーン	4 速	7 速	7 速



●サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	2 速	5 速
ⓒゾーン	3 速	3 速	5 速
ⓓゾーン	4 速	4 速	7 速



(d) 冷房低外気時の室外ファン制御

室外ファン回転数制御

1）開始条件

圧縮機始動より下記条件が全て成立した場合に開始します。

a）冷房･除湿モード運転時。

b）外気温度（Tho-A）が20℃未満のとき。

c）室外ファン起動から20秒経過後。

d）室外ファンタップが1速のとき。

2）制御内容

a）室外熱交温度（Tho-R1, R2）を30秒ごとにサンプリングし，室外ファンの回転数を制御します。

b）本制御中の室外ファン回転数は，上限を370min^{-1}，下限を130min^{-1}とします。

注(1) Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

(2) 外気温度（Tho-A）が−5℃未満で下限130min^{-1}を30秒以上継続した場合，室外ファンは停止します。
室外熱交温度（Tho-R1，R2）が35℃以上を検知した場合，室外ファンが再始動します。

3) 終了条件

下記条件の何れかが成立した場合は，本制御を終了します。

a）外気温度（Tho-A）が20℃以上かつ室外熱交温度（Tho-R1, R2）が30℃以上を連続40秒以上を検知。

b）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が40℃以上を連続40秒以上を検知。

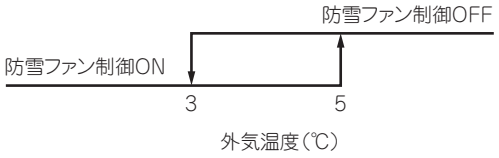
c）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が50℃以上を検知。

(e) 室外ファン起動制御における注意点

圧縮機運転前に，室外ファンが400min^{-1}以上で回転している場合は，室外ファンを起動させずに圧縮機のみで運転する場合があります。故障ではありません。

(f) 防雪ファン制御

室外ユニット制御基板上のディップスイッチ（SW3-2）をONすると停止モード，異常停止モード中において，外気温度（Tho-Aで検知）により室外ファンを10分毎に1回30秒間4速で運転します。



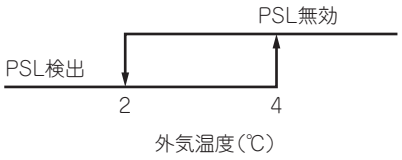
(5) 除霜

(a) 除霜開始条件

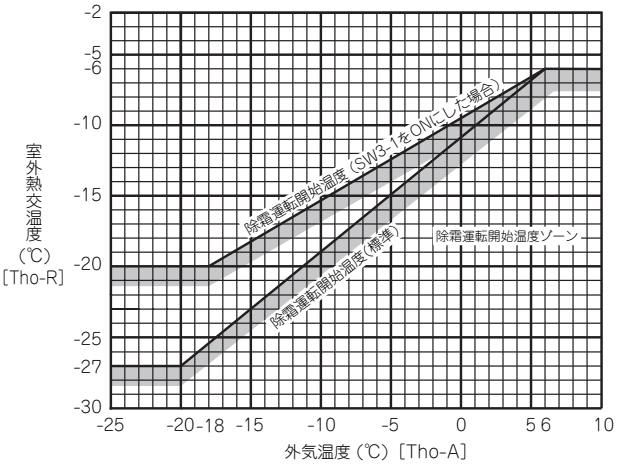
次の除霜条件Aまたは条件Bまたは条件Cを全て満たせば除霜運転を開始します。

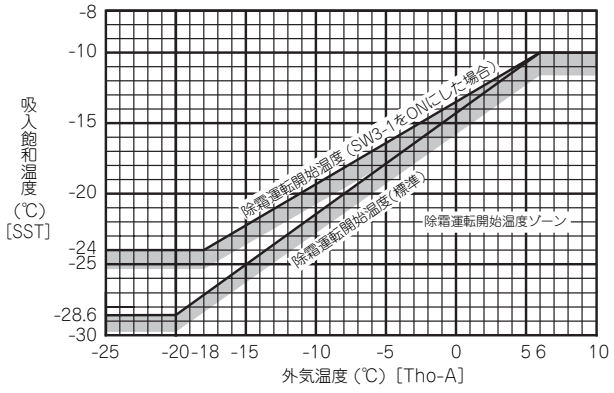
(i) 除霜条件A

1) 除霜終了後の圧縮機運転累計時間が37分経過および暖房運転開始（リモコンON）後の圧縮機運転累計時間が30分経過。
2) 圧縮機がON後5分経過。
3) 室外ファン運転後5分経過。
4) 上記の全ての条件を満たした後，室外熱交温度センサ（Tho-R1, R2）と外気温度センサ（Tho-A）の温度が15秒継続して右図の除霜開始温度以下になったときまたは，低圧圧力センサ（PSL）の検出値より求められる吸入ガス飽和温度（SST）と外気温度（Tho-A）が右図に示す除霜運転開始温度以下の領域に3分間存在。ただし，圧縮機始動後10分間および外気温度が下図のPSL無効領域のときは除きます。



5) 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上



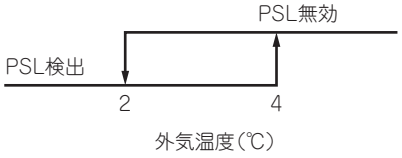


(ii) 除霜条件B

1) 前回の除霜終了条件が，除霜運転時間タイムアップかつ除霜終了後の圧縮機運転累計時間が30分経過後の暖房運転。
2) 圧縮機始動より5分経過。
3) 室外ファン運転後5分経過。
4) 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上

(iii) 除霜条件C

1) 除霜終了後の圧縮機運転累計時間が30分経過および暖房運転開始（リモコンON）後の圧縮機運転累計時間が30分経過。
2) 圧縮機がON後5分経過。
3) 室外ファン運転後5分経過し，室外ファンが規定回転数より下がった時
4) 上記の全ての条件を満たした後，室外熱交温度センサ（Tho-R1，R2）と外気温度センサ（Tho-A）の温度が15秒継続して右上図の除霜開始温度以下になったときまたは，低圧圧力センサ（PSL）の検出値より求められる吸入ガス飽和温度（SST）と外気温度（Tho-A）が右下図に示す除霜運転開始温度以下の領域に3分間存在。ただし，圧縮機始動後10分間および外気温度が下図のPSL無効領域のときは除きます。



5) 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上。

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満たせば除霜運転を終了します。

(i) 除霜開始から13分20秒経過したとき。
(ii) 室外熱交温度（Tho-R1, R2）のどちらか低い方が10秒連続して10℃以上となったとき。

(c) SW3-1 による除霜制御の切換

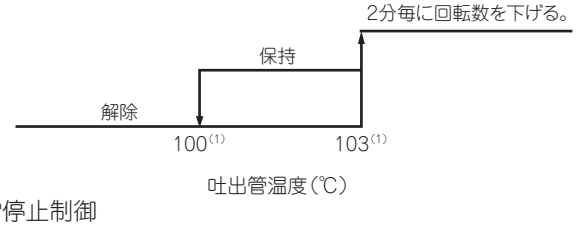
(i) 室外ユニット制御基板上のSW3-1をONにすることで，除霜運転に入りやすくなります。降雪地域にユニットを設置する場合に使用します。
(ii) 制御内容
1) 除霜条件Aは出荷時と同じで，暖房運転時間の累積30分で除霜運転に入ることを許可します。
2) 除霜条件B，Cは，暖房運転時間の累積25分で除霜運転に入ることを許可します。SW3-1 OFF時（出荷時）は30分。
3) 室外熱交温度（Tho-R）と吸入圧力飽和温度（SST）が，通常よりも高い温度で除霜運転を許可します。

(6) 圧縮機回転数による保護制御／異常停止制御

(a) 圧縮機吐出管温度保護

(i) 保護制御

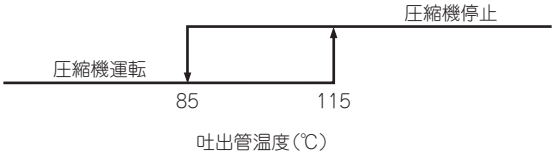
吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し吐出管温度の上昇を押さえます。



注(1)圧縮機が起動してから10分間は制御値，解除値を5℃下げます。除霜運転中は制御値，解除値を13℃下げます。また外気温度に応じて3 ～ 10℃下げます。

(ii) 異常停止制御

1) 吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。
2) 60分以内に2回または圧縮機停止中を含め連続30分間で，リモコンにE36を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

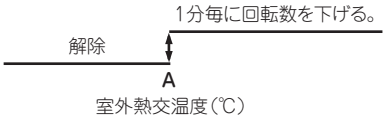
45分間継続して，解除値85℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(b) 冷房高圧保護

(i) 保護制御

1) 外気温度（Tho-A） が40℃以上で，室外熱交温度（Tho-R） が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を押さえます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。

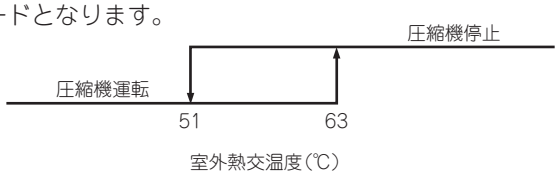


制御値 **A**℃
59～53

(ii) 異常停止制御

1) 室外熱交温度（Tho-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。

2) 60分以内に5回，または63℃以上が圧縮機停止中を含め連続30分間で，リモコンにE35を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

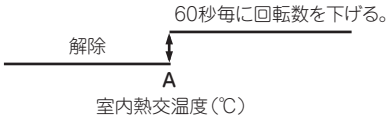
解除値51℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(c) 暖房高圧保護

(i) 保護制御

1) 室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を押さえます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。



機種	**既設配管対応スイッチ SW5-1**	
	OFF(出荷時)	**ON**
	制御値 A℃	
P224，280形	54～48	51～45

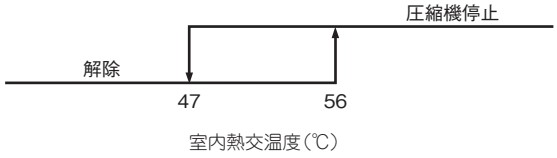
注　ON時が既設配管対応です。

(ii) 異常停止制御

室内コントローラによる運転制御機能の暖房過負荷保護をご覧ください。(781ページ参照)

(iii) 既設配管対応，停止制御

既設配管対応スイッチSW5-1をONすることで，室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止し既設配管を保護します。



(d) 高圧圧力開閉器(63H1)による異常検知制御

(i) 圧力が上昇し高圧圧力開閉器（4.15MPa開／ 3.15MPa閉）が作動した時点で圧縮機を停止します。

(ii) 以下のいずれかの条件でE40を表示し，異常停止モードとなります。

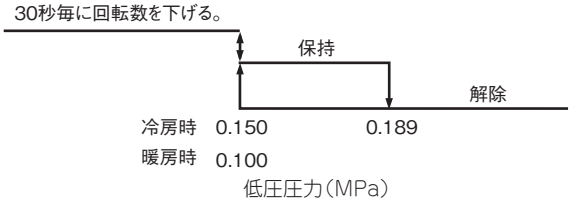
1) 60分以内に5回，圧力が上昇し63H1により圧縮機が停止した時点

2) 圧縮機停止中も含め63H1が連続30分開状態となった時点

(e) 低圧制御

(i) 保護制御

低圧圧力センサ（PSL）の検出値が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し圧力の低下を押さえます。



(ii) 異常停止制御

1) 低圧圧力（PSL）が,以下のいずれかの条件を満たすと，圧縮機を停止させます。

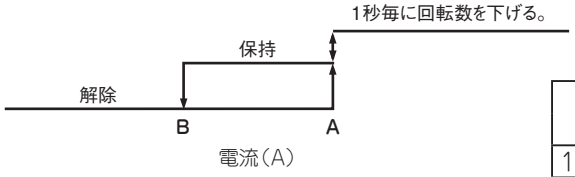
a) 低圧圧力が0.079MPa以下を連続15秒間

b) 圧縮機始動10分後で，吸入過熱度が30℃以上を連続60秒間，かつ低圧圧力が0.15MPa以下。

2） 以下のいずれかの条件でE49を表示し，異常停止モードとなります。
a） 60分以内に5回，低圧圧力が低下し上記のいずれかの条件で圧縮機が停止した時点
b） 圧縮機停止中も含め低圧圧力センサの検出値が連続で5分間0.079MPa以下となった時点
c） 圧縮機保護始動Ⅲ中に1）の制御条件が成立した場合。

(f) 過電流保護カレントセーフ制御

室外インバータ入力（1次）電流と出力（2次）電流を検出し，電流値が設定を超えると，圧縮機回転数を制御しインバータを保護します。

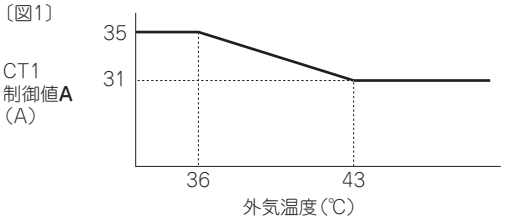


単位：A

	冷房		暖房	
	制御値**A**	解除値**B**	制御値**A**	解除値**B**
1次電流側	図1	注(1)	35	34
2次電流側	24	23	24	23

注(1) 解除値**B**は，図1の値より1引いた値となります。

〔図1〕



(g) カレントカット

(i) インバータ部の過電流を防止するため，パワートランジスタ内の電流値が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

(ii) 30分以内に4回，パワートランジスタ内の電流値が規定値を超え圧縮機が停止した時点で，リモコンにE42を表示し異常停止モードとなります。

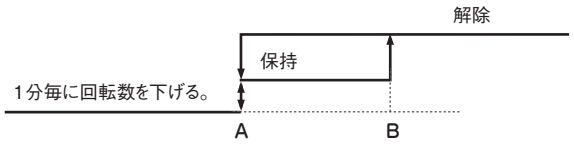
(h) インバータ通信異常

圧縮機停止中も含め15分間に4回インバータ通信異常を検知すると，リモコンにE45を表示し異常停止モードとなります。

(i) 圧縮機回転数制御による凍結防止制御

(i) 圧縮機始動より4分後に，室内熱交温度（Thi-Rにより検出）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し室内熱交の凍結防止制御を行います。

(ii) 室内熱交温度（Thi-R1，R2）が2つある場合は，温度の低い方を検出します。



単位：℃

		A	B
室内湿度センサあり	相対湿度 50%以下	−0.5	1.0
	相対湿度 50%以上	1.0	2.5
室内湿度センサなし			

(iii) 運転停止による凍結防止制御については，室内コントローラによる運転制御機能の室内熱交アンチフロスト（凍結防止制御）をご覧ください。（780ページ参照）

(j) 温度センサおよび低圧圧力センサ断線検知

(i) 室外熱交温度センサ，外気温度センサ，低圧圧力センサ

圧縮機ON後，2分から2分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注 除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- 室外熱交温度センサ　：− 50℃以下
- 外気温度センサ　：− 45℃以下
- 低圧圧力センサ　：0V以下または4V以上

(ii) 吐出管温度センサ，吸入管温度センサ

圧縮機ON後，10分から10分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注 除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- 吐出管温度センサ　：− 10℃以下
- 吸入管温度センサ　：− 50℃以下

(k) 欠相保護

電源ON後5秒間連続してR, S, T相の何れかの電圧が0Vのとき，電源欠相状態と判断し1秒後に異常停止（E34）します。

(l) 室外ファンモータ異常

(i) 室外ファン制御時（ファンタップが1速以上の運転指令中）に，室外ファン回転数が100min^{-1}以下を30秒連続で検出した場合は，圧縮機を停止します。

(ii) 60分以内に5回，室外ファン回転数が100min^{-1}以下となり圧縮機が停止した時点で，リモコンにE48を表示し異常停止します。

(m) 圧縮機起動停止による異常停止

(i) 圧縮機始動中にインバータより起動不良異常を検知した場合は，一旦停止状態とし，3分後に再度，圧縮機を始動させます。

(ii) 5回異常検知をカウントした場合は，圧縮機起動異常とし異常停止（E59）します。

(7) サイレントモード（室外静音制御）

(a) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合に，室外制御基板上のディップスイッチ（SW7-3）の設定に応じた運転をします。

- SW7-3　OFF：定格運転時の運転音が−3〔dB〕ダウンとなるように，ファンタップと圧縮機回転数を下げて運転します。
- SW7-3　ON：運転音の上限が50〔dB〕以下となるように、ファンタップと圧縮機回転数を下げて運転します。

(b) 詳しくは，前述の(1)項の圧縮機回転数の決定および(4)項の室外ファン制御をご覧ください。

(8) 試運転

(a) 室外ユニット制御基板上のディップスイッチにより室外ユニットより運転が可能です。

SW3-3	ON	SW3-4	OFF	冷房試運転
			ON	暖房試運転
	OFF	通常および試運転終了		

必ず運転終了時は SW3-3 を OFF にしてください。

(b) 試運転制御

(i) 室内吸込温度（Thi-A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて運転をします。

(ii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。

(iii) 試運転中に SW3-4 を切換えた場合は停止制御を行い一旦圧縮機を停止させ，冷・暖房運転を切換えます。

(iv) 試運転中リモコンの設定および表示

モード ＼ 容量	リモコンの設定・表示内容
冷房試運転	冷房，設定温度は5℃
暖房試運転	暖房（準備），設定温度は30℃

(9) ポンプダウン制御

(a) 開始条件

(i) 運転停止，異常停止中（サーモOFFは含まず）にフリーアドレス切換スイッチSW4-1がONの時、ポンプダウンスイッチSW1を2秒間ONするとポンプダウン運転をします。（室内ユニット運転中は無効。室内ユニットが異常停止中または電源OFFでも有効）
なお，フリーアドレス切換スイッチSW4-1がOFFの時は，一旦室外ユニットの電源をOFFにしてからフリーアドレス切換スイッチSW4-1をONにしてください。

(ii) 液側の操作弁を閉めてください。（ガス側は全開のまま）

(b) 制御内容

(i) 冷房モードで目標回転数を30rpsとして圧縮機を始動します。

(ii) 室外制御基板上の赤，緑（LED）が連続点滅します。

(iii) 低圧制御，アンチフロスト制御および露付き保護制御を除き各保護，異常検知制御は有効です。

(iv) 室外ファンは通常通り制御します。

(v) 電子膨張弁（冷・暖）は全開にします。

(c) 制御終了条件

下記の何れかの条件により停止制御を行います。

(i) 低圧圧力が0.087MPa以下を連続5秒検知

1) 赤LED：点灯，緑LED：点滅，リモコン：停止を表示します。
2) 低圧圧力が0.087MPaを超えると再起動可能です。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

(ii) 異常検知制御により停止

1) 赤LED：連続点滅，緑LED：点滅します。
2) 再起動は不可です。通常運転への復帰は電源リセット。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

(iii) ポンプダウン制御による圧縮機の運転積算時間が5分になった時。

1) 赤LED：消灯，緑LED：点滅，リモコン：停止。
2) 再ポンプダウンは可能です。
3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

注　圧縮機停止後は，ガス側の操作弁を閉めてください。

(10) 既設配管洗浄運転制御

(a) 開始条件

運転停止中に室外制御基板のディップスイッチ SW5-2 を OFF から ON に切換えたとき。

(b) 制御内容

(i) 電磁弁（SV2）をONし暖房用電子膨張弁（EEVH）を全閉します。
(ii) 吸込温度（Thi−A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて冷房運転を行います。
(iii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。
(iv) 制御中は，室外制御基板の LED1（緑）を高速点滅させます。

(c) 終了条件

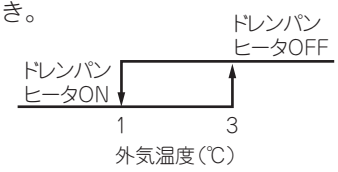
下記の何れかが成立した場合。

(i) 圧縮機運転時間が120分を経過したとき。
(ii) 室外制御基板のディップスイッチSW5-2をOFFしたとき。
(iii) 冷房運転以外を選択または異常停止のとき。

(11) ドレンパンヒータ ON/OFF 出力制御（現地手配）

(a) ドレンパンヒータON条件

暖房モード時で外気温度が1℃以下で圧縮機が運転中のとき。



(b) ドレンパンヒータOFF条件

下記の何れかが成立した場合。

(i) 外気温度が3℃以上
(ii) 圧縮機停止を30分連続検知したとき。
(iii) 冷房・除湿モードを選択したとき。

⑹ 暖ガンハイパーインバータシリーズ

（I） FDCKP806H, 1126H

（1） 圧縮機回転数の決定

ユニットの要求回転数

⒜ 冷房・除湿運転

単位：rps

		P80形	P112形
最高要求回転数	室内風量「P 急」	50	55
	室内風量「急」	45	45
	室内風量「強」	40	40
	室内風量「弱」	35	35
最低要求回転数		11	11

⒝ 暖房運転

単位：rps

		P80形	P112形
最高要求回転数	室内風量「P 急」	130	130
	室内風量「急」	126	126
	室内風量「強」	50	50
	室内風量「弱」	45	45
最低要求回転数		11	11

⒞ リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合の最高要求回転数

室外制御基板上のディップスイッチ（SW7-3）により，最高要求回転数を切換えます。

単位：rps

			P80形	P112形
最高要求回転数	冷房・除湿	SW7-3 OFF	40	40
		SW7-3 ON	27	27
	暖房	SW7-3 OFF	53	53
		SW7-3 ON	42	42

⒟ 暖房高外気温度条件下での最高要求回転数

外気温度（Tho-A）により，最高要求回転数を切換えます。　　単位：rps

		P80形	P112形
最高要求回転数	外気温度が18℃以上	60	60
	外気温度が10℃以上	90	90

⒠ 前述の⒜から⒟項の制御が重複する場合は，重複した制御の中で，最も小さい値を最高要求回転数として運転します。

⒡ 暖房運転時，要求回転数が上昇傾向にある場合，室内熱交温度が40℃以上になるまで1分ごとに回転数を+5rpsします。

(2) 圧縮機始動制御

(a) 圧縮機始動は室内ユニットからのサーモＯＮ信号を受信した時点で圧縮機を始動します。

(b) ただし，電源ブレーカを投入後１回目の起動時においては，圧縮機の油上がりを防止するため，最大30分間の待機状態（リモコンに「運転待機中」の表示）に入る場合があります。
室外ユニットが待機状態時に，リモコンで冷房/除湿/暖房の運転を選択した場合は，リモコンに３秒間「運転待機中」の表示を行います。

(3) 圧縮機ソフト始動制御

(a) 圧縮機保護始動Ⅰ

［制御条件］　通常は，本始動パターンにて圧縮機の運転回転数を上昇させます。

［制御内容］　(i) 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。
ただし，冷房・除湿時に外気温度（Tho-A）が37℃以上，暖房時に吸込温度（Thi-A）が25℃以上かつ外気温10℃以上では，**C**rpsで始動します。

(ii) 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，２～４分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。

運転モード	**A** rps	**B** rps	**C** rps
冷房・除湿	40	40	25
暖房	40	40	25

(b) 圧縮機保護始動Ⅲ

［制御条件］　1）電源ブレーカ投入後の圧縮機始動回数が積算１回目の始動時。
2）下記の条件が全て成立したとき。
• 暖房運転　• 圧縮機始動回数が積算２回目以降
• 運転停止後６時間経過　• 起動時の外気温５℃以下

［制御内容］　運転モード，外気温度(Tho-A)に応じて以下の始動パターン を選択し運転を行います。

(i) 冷房・除湿時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立した時点で，冷房・除湿時の低回転数運転制御を行います。

［制御内容］　1） 圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，外気温度（Tho-A）が37℃以上では**C**rpsで始動します。
2） 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。
3） 制御条件1）で起動した場合は，その後，30分間は圧縮機回転数の上昇レートを6rps/2分に制限します。

運転モード	**A** rps	**B** rps	**C** rps
冷房・除湿	40	40	25

(ii) 暖房時の低回転数運転制御

［制御条件］　圧縮機保護始動Ⅲの条件が成立し，下記条件を満たす場合に，暖房時の低回転数運転制御を行います。
• 電源ブレーカ投入後から30分以上が経過している場合。

［制御内容］　1） １～９分間冷房運転を行った後，停止制御後に圧縮機の目標回転数を**A**rpsとして始動させます。ただし，吸込温度（Thi-A）が25℃以上かつ外気温度10℃以上では**C**rpsで始動します。
2） 圧縮機始動から30秒後に，圧縮機の目標回転数を**B**rpsとし，10分間圧縮機の運転回転数を固定し運転します。
3） 制御条件1）で起動した場合は，その後，30分間は圧縮機回転数の上昇レートを6rps/2分に制限します。

運転モード	**A** rps	**B** rps	**C** rps
暖房	40	40	25

(4) 室外ファン制御

(a) ファンタップとファン回転数

単位：min^{-1}

	ファン回転数						
ファンタップ	１速	２速	３速	４速	５速	６速	７速
冷房・除湿	250	400	620	770	890	900	970
暖房	300	400	560	700	890	900	970

(b) 冷房・除湿運転時のファンタップ制御

室外熱交温度（Tho-R1, R2）と外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

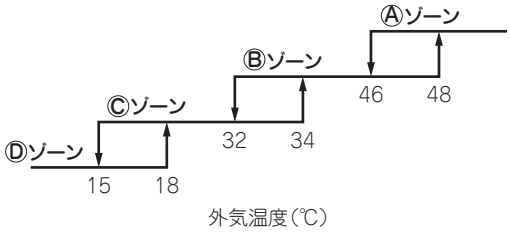
注　Tho-R1, R2はどちらか高い方で検知

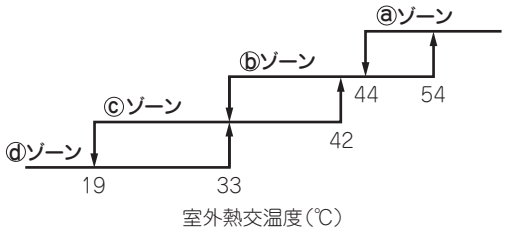
• 通常モード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	7 速	7 速	7 速	5 速
ⓑゾーン	7 速	5 速	5 速	3 速
ⓒゾーン	5 速	4 速	3 速	2 速
ⓓゾーン	4 速	2 速	2 速	1 速

• サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン	Ⓓゾーン
ⓐゾーン	7 速	7 速	6 速	5 速
ⓑゾーン	6 速	3 速	3 速	3 速
ⓒゾーン	5 速	3 速	3 速	2 速
ⓓゾーン	4 速	2 速	2 速	1 速





(c) 暖房運転時のファンタップ制御

室外熱交温度（Tho-R1, R2）と外気温度（Tho-A）によりファンタップを切換えます。

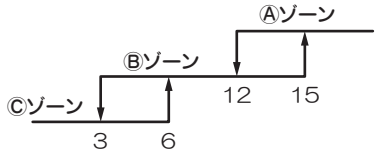
注　Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

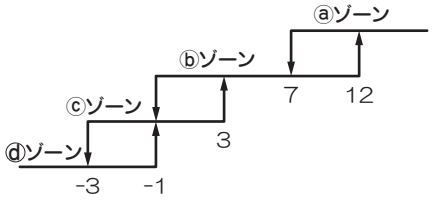
• 通常モード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	5 速	4 速
ⓒゾーン	3 速	5 速	5 速
ⓓゾーン	4 速	7 速	7 速

• サイレントモード時

	Ⓐゾーン	Ⓑゾーン	Ⓒゾーン
ⓐゾーン	1 速	1 速	2 速
ⓑゾーン	2 速	3 速	4 速
ⓒゾーン	3 速	3 速	5 速
ⓓゾーン	4 速	5 速	7 速





(d) 冷房低外気時の室外ファン制御

（i） 室外ファン回転数制御

1） 開始条件

圧縮機始動より下記条件が全て成立した場合に開始します。

a）冷房･除湿モード運転時。

b）外気温度（Tho-A）が20℃未満のとき。

c）室外ファン起動から20秒経過後。

d）室外ファンタップが1速のとき。

2） 制御内容

a）室外熱交温度（Tho-R1, R2）を10秒ごとにサンプリングし，室外ファンの回転数を制御します。

b）本制御中の室外ファン回転数は，上限を500min^{-1}，下限を200min^{-1}とします。

注　Tho-R1, R2はどちらか低い方で検知

3） 終了条件

下記条件の何れかが成立した場合は，本制御を終了します。

a）外気温度（Tho-A）が20℃以上かつ室外熱交温度（Tho-R1, R2）が30℃以上を連続40秒以上を検知。

b）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が40℃以上を連続40秒以上を検知。

c）室外熱交温度（Tho-R1, R2）が50℃以上を検知。

(ii) 室外ファン停止制御

圧縮機始動より下記条件が全て成立した場合に開始します。

1） 開始条件

a）(i)室外ファン回転数制御を実施中かつ室外ファン回転数が200min^{-1}以下を30秒以上継続したとき。

b）外気温度（Tho-A）が−5℃未満のとき。

c）室外熱交温度（Tho-R）が28℃以下のとき。

2） 制御内容

室外ファンを停止させます。

3） 終了条件

a）外気温度（Tho-A）が0℃以上のとき。

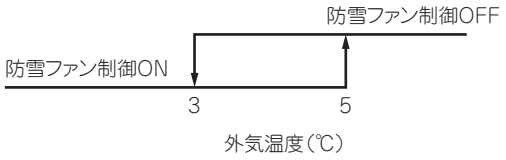
b）室外熱交温度（Tho-R）が33℃以上のとき。

(e) 室外ファン起動制御における注意点

圧縮機運転前に，室外ファンが400min^{-1}以上で回転している場合は，室外ファンを起動させずに圧縮機のみで運転する場合がありますが，故障ではありません。

(f) 防雪ファン制御

室外制御基板上のディップスイッチ（SW3-2）をONすると停止モード，異常停止モード中において，外気温度（Tho-Aで検知）により室外ファンを10分毎に1回30秒間4速で運転します。



(5) 除霜

(5-1) 逆サイクルデフロスト

(a) 除霜開始条件

次の除霜条件Aまたは条件Bまたは条件Cを全て満たせば除霜運転を開始します。

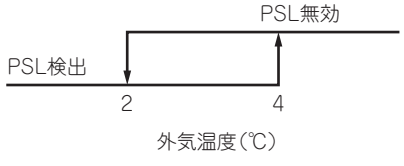
(i) 除霜条件A

1） 除霜終了後の圧縮機運転累計時間が37分経過および暖房運転開始（リモコンON）後の圧縮機運転累計時間が30分経過。

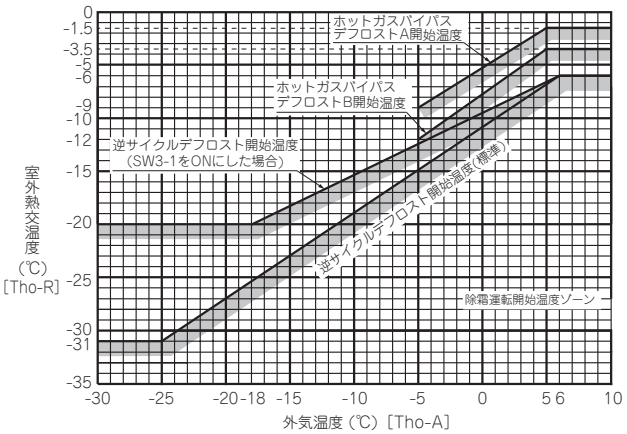
2） 圧縮機がON後5分経過。

3） 室外ファン運転後5分経過。

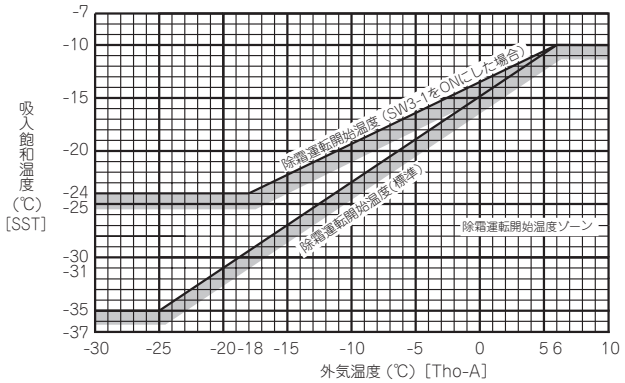
4） 上記の全ての条件を満たした後，室外熱交温度センサ（Tho-R1, R2）と外気温度センサ（Tho-A）の温度が15秒継続して右上図の除霜運転開始温度以下になったときまたは，低圧圧力センサ（PSL）の検出値より求められる吸入ガス飽和温度（SST）と外気温度（Tho-A）が右下図に示す除霜運転開始温度以下の領域に3分間存在。ただし，圧縮機始動後10分間および外気温度が下図のPSL無効領域のときは除きます。



5） 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上。



※外気温度が-5℃以下ではホットガスバイパスデフロストは作動しません。



(ii) 除霜条件B

1) 前回の除霜終了条件が，除霜運転時間のタイムアップかつ除霜終了後の圧縮機運転累計時間が30分経過後の暖房運転。
2) 圧縮機始動より5分経過。
3) 室外ファン運転後5分経過。
4) 吐出管温度と室内熱交温度の差が20℃以上。

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満たせば除霜終了運転を開始します。

(i) 除霜開始から13分20秒経過したとき。
(ii) 室外熱交温度(Tho-R1, R2)のどちらか低い方が10秒連続して12℃以上となったとき。

(c) SW3-1 による除霜制御の切換え

(i) 室外制御基板上のディップスイッチ(SW3-1)をONにすることで，除霜運転に入りやすくなります。降雪地域にユニットを設置する場合に使用します。
(ii) 制御内容

1) 除霜条件Aにて，暖房運転時間の累積30分で除霜運転に入ることを許可します。出荷時は37分。
2) 除霜条件Bにて，暖房運転時間の累積25分で除霜運転に入ることを許可します。出荷時は30分。
3) 室外熱交温度(Tho-R)と吸入圧力飽和温度(SST)が，通常よりも高い温度で除霜運転を許可します。

(5-2) ホットガスバイパスデフロストA（FDESを除く）

(a) 除霜開始条件

次の除霜条件をすべて満たせば、室内ファンを運転させたまま除霜運転を開始します。

(i) 除霜条件

1）除霜終了後の圧縮機運転累計時間および暖房運転開始(リモコンON)後の圧縮機運転累計時間が60分経過。
2）圧縮機がON後5分経過。
3）室外ファン運転後5分経過。
4）外気温度センサ（Tho-A）が−5℃より高い。
5）吐出管温度と室内熱交温度の差が25℃以上。
6）上記の全ての条件を満たした後、室外熱交温度センサ(Tho-R1, R2)と外気温度センサ(Tho-A)の温度が15秒継続して前ページのホットガスバイパスデフロストA開始温度以下になったとき。

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満たせば除霜終了運転を開始します。

(i) 除霜開始から15分経過したとき。
(ii) 室外熱交温度(Tho-R1, R2)のどちらか低い方が15秒連続して1℃以上となったとき。

(5-3) ホットガスバイパスデフロストB（FDESを除く）

(a) 除霜開始条件

次の除霜条件をすべて満たせば、室内ファンを停止させ除霜運転を開始します。

(i) 除霜条件

1）除霜終了後の圧縮機運転累計時間および暖房運転開始(リモコンON)後の圧縮機運転累計時間が50分経過。
2）圧縮機がON後5分経過。
3）室外ファン運転後5分経過。
4）外気温度センサ（Tho-A）が−5℃より高い。
5）吐出管温度と室内熱交温度の差が25℃以上。
6）上記の全ての条件を満たした後、室外熱交温度センサ(Tho-R1，R2)と外気温度センサ(Tho-A)の温度が15秒継続して前々ページのホットガスバイパスデフロストB開始温度以下になったとき。

(b) 除霜終了条件

次の何れかの条件を満たせば除霜終了運転を開始します。

(i) 除霜開始から11分経過したとき。
(ii) 室外熱交温度(Tho-R1，R2)のどちらか低い方が15秒連続して9℃以上となったとき。

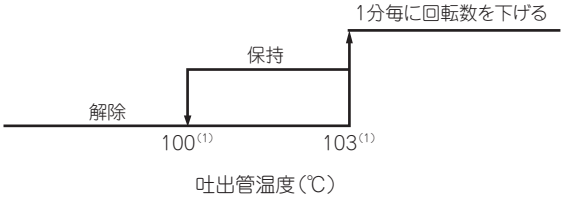
※除霜運転が時間経過条件により終了した場合、一定時間後に、開始条件を満たすことなく除霜運転に入ることがあります。

(6) 圧縮機回転数による保護制御／異常停止制御

(a) 圧縮機吐出管温度保護

(i) 保護制御

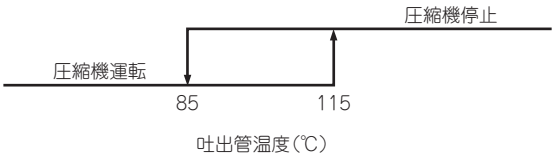
吐出管温度（Tho-Dで検知）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し吐出管温度の上昇を抑えます。



注(1)圧縮機が起動してから7分間は制御値，解除値を15℃下げます。除霜運転中は制御値，解除値を28℃下げます。また外気温度に応じて5℃下げます。

(ii) 異常停止制御

1） 吐出管温度(Tho-Dで検知)が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。
2） 60分以内に2回または圧縮機停止中を含め連続30分間で，リモコンにE36を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

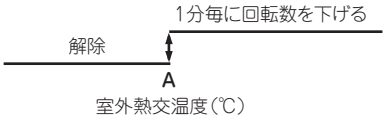
45分間継続して，解除値85℃以下となった時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(b) 冷房高圧保護

(i) 保護制御

1) 外気温度（Tho-A）が40℃以上で，室外熱交温度（Tho-R）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を抑えます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。

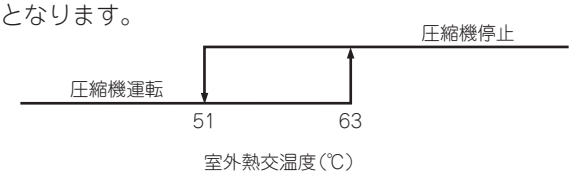


制御値 A℃
59～53

(ii) 異常停止制御

1) 室外熱交温度（Tho-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止させます。

2) 60分以内に5回，または63℃以上が圧縮機停止中を含め連続30分間で，リモコンにE35を表示し異常停止モードとなります。



(iii) 異常停止モードの解除

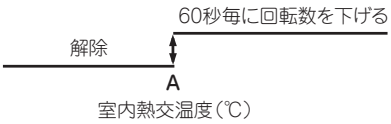
解除値51℃以下を3分間継続した時点で，リモコンにより再運転が可能になります。

(c) 暖房高圧保護

(i) 保護制御

1) 室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し高圧の上昇を抑えます。

2) 制御値**A**は，使用条件により自動的に最適値に更新されます。



既設配管対応スイッチ SW5-1	
OFF(出荷時)	ON
制御値 A℃	
54～48	51～45

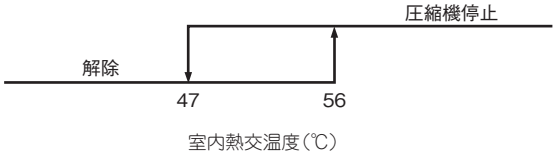
注　ON時が既設配管対応です。

(ii) 異常停止制御

室内コントローラによる運転制御機能781ページの暖房過負荷保護をご覧ください。

(iii) 既設配管対応，停止制御

既設配管対応スイッチSW5-1をONすることで，室内熱交温度（Thi-R）が設定値を超えると，圧縮機を停止し既設配管を保護します。



(d) 高圧圧力開閉器(63H1)による異常検知制御

(i) 圧力が上昇し高圧圧力開閉器（4.15MPa開／3.15MPa閉）が作動した時点で圧縮機を停止します。

(ii) 以下のいずれかの条件でE40を表示し，異常停止モードとなります。

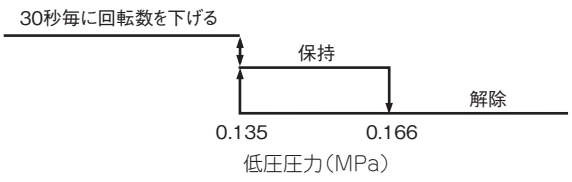
1) 60分以内に5回，圧力が上昇し63H1により圧縮機が停止した時点。

2) 圧縮機停止中も含め63H1が連続30分開状態となった時点。

(e) 低圧制御

(i) 保護制御

低圧圧力センサ（PSL）の検出値が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し圧力の低下を抑えます。



(ii) 異常停止制御

1) 低圧圧力（PSL）が，以下のいずれかの条件を満たすと，圧縮機を停止させます。

a) 低圧圧力が0.079MPa以下を連続15秒間。

b) 圧縮機始動10分後で，吸入過熱度が30℃，かつ低圧圧力が0.15MPa以下を連続60秒。

2) 以下のいずれかの条件でE49を表示し，異常停止モードとなります。

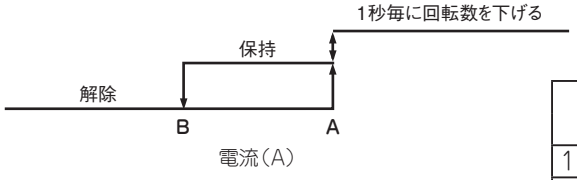
a) 60分以内に5回，低圧圧力が低下し上記のいずれかの条件で圧縮機が停止した時点。

b) 圧縮機停止中も含め低圧圧力センサの検出値が連続で5分間0.079MPa以下となった時点。

c) 圧縮機保護始動Ⅲ中に1）の制御条件が成立した場合。

(f) 過電流保護カレントセーフ制御

室外インバータ入力（1次）電流と出力（2次）電流を検出し，電流値が設定を超えると，圧縮機回転数を制御しインバータを保護します。

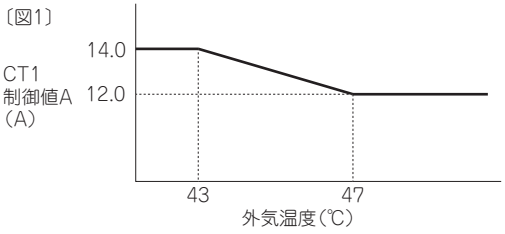


単位：A

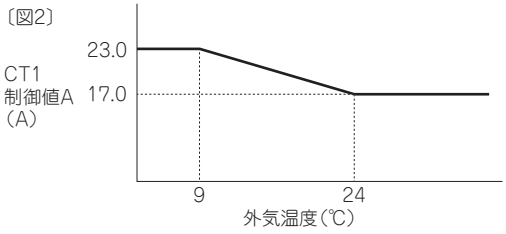
	冷房		暖房	
	制御値**A**	解除値**B**	制御値**A**	解除値**B**
1次電流側	図1	注(1)	図2	注(1)
2次電流側	図3	注(1)	図4	注(1)

注(1) 解除値**B**は，図1, 2, 3, 4の値より1引いた値となります。

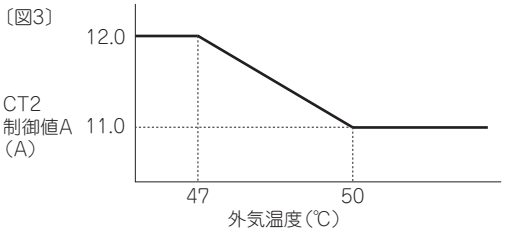
〔図1〕



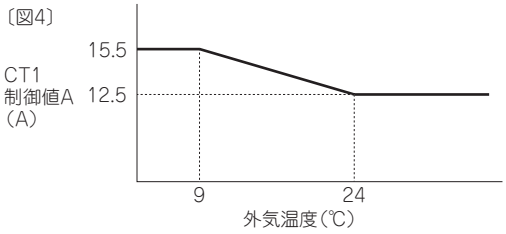
〔図2〕



〔図3〕



〔図4〕



(g) カレントカット

(i) インバータ部の過電流を防止するため，パワートランジスタ内の電流値が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

(ii) 30分以内に4回，パワートランジスタ内の電流値が規定値を超え圧縮機が停止した時点で，リモコンにE42を表示し異常停止モードとなります。

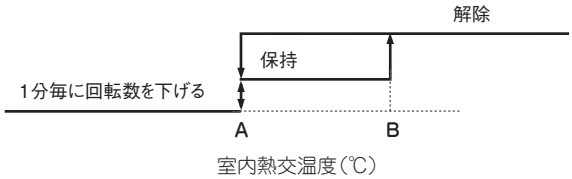
(h) インバータ通信異常

圧縮機停止中も含め15分間に4回インバータ通信異常を検知すると，リモコンにE45を表示し異常停止モードとなります。

(i) 圧縮機回転数制御による凍結防止制御

(i) 圧縮機始動より4分後に，室内熱交温度（Thi-Rにより検出）が設定値を超えると，圧縮機回転数を制御し室内熱交の凍結防止制御を行います。

(ii) 室内熱交温度（Thi-R1，R2）が2つある場合は，温度の低い方を検出します。



単位：℃

		A	B
室内湿度センサあり	相対湿度 50%以下	−0.5	1.0
	相対湿度 50%以上	1.0	2.5
室内湿度センサなし			

(iii) 運転停止による凍結防止制御については，室内コントローラによる運転制御機能780ページの室内熱交換器アンチフロスト（凍結防止制御）をご覧ください。

(j) 温度センサおよび低圧圧力センサ断線検知

(i) 室外熱交温度センサ，外気温度センサ，低圧圧力センサ

圧縮機ON後，2分から2分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注(1) 除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- ●室外熱交温度センサ　　：－ 50℃以下
- ●外気温度センサ　　：－ 45℃以下
- ●低圧圧力センサ　　：0V以下または4V以上

(ii) 吐出管温度センサ，吸入管温度センサ

圧縮機ON後，10分から10分20秒間に5秒間連続して下記を検知したとき圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させますが40分間に3回再検知した場合は異常停止します。

注(1) 除霜および除霜終了後3分間は検知しません。

- ●吐出管温度センサ　：－ 10℃以下
- ●吸入管温度センサ　：－ 50℃以下

(k) 欠相保護

電源ON後5秒間連続してR, S, T相の何れかの電圧が0Vのとき，電源欠相状態と判断し1秒後に異常停止（E34）します。

(l) 室外ファンモータ異常

(i) 室外ファン制御時（ファンタップが1速以上の運転指令中）に，室外ファン回転数が100min^{-1}以下を30秒連続で検出した場合は，圧縮機を停止します。

(ii) 60分以内に5回，室外ファン回転数が100min^{-1}以下となり圧縮機が停止した時点で，リモコンにE48を表示し異常停止します。

(m) 圧縮機起動停止による異常停止

(i) 圧縮機始動中にインバータより起動不良異常を検知した場合は，一旦停止状態とし，3分後に再度，圧縮機を始動させます。

(ii) 5回異常検知をカウントした場合は，圧縮機起動異常とし異常停止（E59）します。

(7) サイレントモード

(a) リモコンより「サイレントモード開始」信号を受信した場合に，室外制御基板上のディップスイッチ（SW7-3）の設定に応じた運転をします。

- ●SW7-3　OFF：定格運転時の運転音が－3〔dB〕ダウンとなるように，ファンタップと圧縮機回転数を下げて運転します。
- ●SW7-3　ON　：運転音の上限が50〔dB〕以下となるように、ファンタップと圧縮機回転数を下げて運転します。

(b) 詳しくは，前述の(1)項の圧縮機回転数の決定および(4)項の室外ファン制御をご覧ください。

(8) 試運転

(a) 室外制御基板上のディップスイッチにより室外ユニットより運転が可能です。

SW3-3	ON	SW3-4	OFF	冷房試運転
			ON	暖房試運転
	OFF	通常および試運転終了		

必ず運転終了時は SW3-3 を OFF にしてください。

(b) 試運転制御

(i) 吸込温度（Thi-A）とリモコンの設定温度をファジー演算して決まる回転数にて運転をします。

(ii) 各保護制御，異常検知制御は有効です。

(iii) 試運転中に SW3-4 を切換えた場合は停止制御を行い一旦圧縮機を停止させ，冷・暖房運転を切換えます。

(iv) 試運転中リモコンの設定および表示

モード	リモコンの設定・表示内容
冷房試運転	冷房，設定温度は5℃
暖房試運転	暖房（準備），設定温度は30℃

⑼ ポンプダウン制御

運転停止，異常停止中（サーモOFFは含まず）にフリーアドレス切換スイッチSW4-1がON時，ポンプダウンスイッチSW1（SW9）を2秒間ONするとポンプダウン運転をします。（室内ユニット運転中は無効。室内ユニットが異常停止中または電源OFFでも有効）

なお，フリーアドレス切換スイッチSW4-1がOFFの時は，一旦室外ユニットの電源をOFFにしてからフリーアドレス切換スイッチSW4-1をONにしてください。

ⓐ 制御内容

(i) 液側の操作弁を閉めてください。（ガス側は全開のまま）
(ii) 冷房モードで目標回転数を**45**rpsとして圧縮機を始動します。
(iii) 室外ユニット制御基板上の赤，緑（LED）を連続点滅させます。
(iv) 低圧制御，アンチフロスト制御および露付き保護制御を除き各保護，異常検知制御は有効です。
(v) 室外ファンは通常通り制御します。
(vi) 電子膨張弁（冷・暖）は全開にします。

ⓑ 制御終了条件

下記の何れかの条件により停止制御を行います。

(i) 低圧圧力が0.087MPa以下を連続5秒検知
  1) 赤LED：点灯，緑LED：点滅，リモコン：停止を表示します。
  2) 低圧圧力が0.087MPaを超えると再起動可能です。
  3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。
(ii) 異常検知制御により停止
  1) 赤LED：連続点滅，緑LED：点滅します。
  2) 再起動は不可です。通常運転への復帰は電源リセット。
  3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。
(iii) ポンプダウン制御による圧縮機の運転積算時間が5分になった時。
  1) 赤LED：消灯，緑LED：点滅，リモコン：停止を表示します。
  2) 再ポンプダウンは可能です。
  3) 電子膨張弁（冷・暖）は全開のまま。

注　圧縮機停止後は，ガス側の操作弁を閉めてください。

注意：ポンプダウンスイッチを押すと，室内ユニットとの通信をキャンセルするため，室内ユニットおよびリモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが，異常ではありません。

⑽ ドレンパンヒータ ON/OFF 出力制御（現地手配）

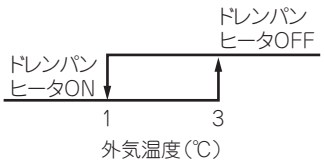
ⓐ ドレンパンヒータON条件

暖房モード時で外気温度が1℃以下で圧縮機が運転中のとき。

ⓑ ドレンパンヒータOFF条件

下記の何れかが成立した場合。

(i) 外気温度が3℃以上。
(ii) 圧縮機停止を30分連続検知したとき。
(iii) 冷房・除湿モードを選択したとき。



1.15 電装品故障診断要領

(A) エクシードハイパーシリーズ

1.15.1 点検表示一覧

(1) リモコンの故障記号一覧（室内・外制御基板の正常［緑］，点検［赤］表示灯との組合せによる故障表示）

(a) 室内ユニット側故障時に於けるリモコン，制御基板の点検表示一覧

点検表示						故障箇所	故障内容(2)	修理方法	記載ページ
リモコン		室内制御基板		室外制御基板					
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表(1)示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表(1)(3)示灯（緑）				
無表示	消灯	消灯	連続点滅	連続点滅	連続点滅	―――	●**正常運転**	―――	－
		消灯	消灯	2回点滅	連続点滅	室内電源	●電源OFF，断線・ヒューズ切れ	修　理	930～932
		3回点滅	連続点滅	2回点滅	連続点滅	リモコン配線	●リモコン線の接続不良・断線（クロ,シロ）	修　理	933・934
						リモコン	●リモコン基板不良	リモコン交換	
内機確認中または消灯		消灯	連続点滅	2回点滅	連続点滅	室内外接続線	●室内外接続線の接続不良または断線	修　理	936～943
						リモコン	●リモコン親子設定不良		
E1	連続点滅	消灯	☆連続点滅	消灯	連続点滅	リモコン配線（ノイズ）	●**リモコン信号線（シロ）**の接続不良 ●**リモコン線にノイズ**侵入 ☆電源ON時断線時消灯	修　理	945・946
						リモコン室内制御基板	※●リモコンまたは室内制御基板不良（通信回路不良）?	リモコンまたは基板交換	
E5		2回点滅	連続点滅	2回点滅	連続点滅	室内外接続線	●**運転中に室内外接続線接続不良発生（外れ・緩み）** ●**ノイズ**等による室内外通信異常	修　理	947・948
		2回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	（ノイズ）	●**通電中に室外制御基板CPUが暴走**	修　理	
						室外制御基板	※●通電中に室外制御基板不良発生（通信回路不良）?	基板交換	
		2回点滅	連続点滅	消灯	消灯	室外制御基板	●**通電中に室外制御基板不良**	交　換	
						ヒューズ	●**通電中にヒューズ切れ**		
E6		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内熱交温度センサ	●**室内熱交温度センサ不良**(素子不良,断線,短絡)　●温度センサ用コネクタ接触不良	温度センサ交換・修理	949
						室内基板	※●**室内制御基板不良**（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E7		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	吸込温度センサ	●**吸込温度センサ不良**(素子不良,断線,短絡)　●温度センサ用コネクタ接触不良	温度センサ交換・修理	950
						室内制御基板	※●**室内制御基板不良**(温度センサ入力回路不良)？	基板交換	
E8		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	据付・運転状況	●**暖房過負荷**(室内熱交温度が異常に高い)	修　理	951
						室内熱交温度センサ	●**室内熱交温度センサ不良（短絡）**	温度センサ交　換	
						室内制御基板	※●**室内制御基板不良**（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E9		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	排水不良	●**ドレンポンプ(DM)不良,** ドレンポンプ用配線断線・コネクタ外れ	DM交換･修理	952
						フロートスイッチ	●**フロートスイッチの作動不良**(誤作動)	修　理	
						室内制御基板	※●**室内制御基板不良**(フロートスイッチ入力回路不良) ※●**室内制御基板不良**(DM駆動用出力回路不良)	基板交換	
						オプション	●**オプション部品不良**(オプション異常入力設定時)	修　理	
E10		消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	室内接続台数	●1リモコン複数台制御時⇒**室内ユニット接続台数オーバー**	修　理	953
E11		消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	アドレス設定	●**リモコン通信アドレス設定不良**	修　理	954
E14		3回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内号機設定	●子機に対応する親機がない	修　理	955
						リモコン配線	●親機子機間のリモコン配線接続不良,断線		
E16		1(2)回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内ファンモータ	●**室内ファンモータ不良**	交換・修理	956･957
						室内制御基板	●**室内制御基板不良**	交　換	
E19		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内制御基板	●**運転モード設定不良**	修　理	958
E20		1(2)回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内ファンモータ	●**室内ファンモータ回転不良**	交換・修理	959･960
						室内制御基板	●**室内制御基板不良**	交　換	
E23		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	冷媒漏えい	●室内ユニット冷媒漏えい ----------（FDF シリーズのみ）	修　理	961
							●冷媒センサ不良	交　換	
E28		消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	リモコン温度センサ	●リモコン温度センサ不良	修　理	962

注(1) **正常表示灯（室内・外：緑）はCPU異常時のみ消灯（または連続点灯）します。CPU異常以外の故障の場合は点滅を続けます。**
(2) 故障内容の※印は通常の診断では，明確にそれと原因を特定できない場合で，部品交換して故障が直れば，結果的に交換した部品が悪かったことを判断できるケースを示します。
(3) FDCZP406～636形の場合，室外制御基板上の正常表示灯（緑）はありません。

(b) 室外ユニット側故障時に於けるリモコン，制御基板の点検表示一覧

点検表示						故障箇所	故障内容	修理方法	記載ページ
リモコン		室内制御基板		室外制御基板					
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）				
E34	連続点滅	消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	電源配線	**●室外電源R, S, T相欠相，ノイズフィルタ不良** ----三相機のみ	修理	963·964
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（電源入力回路不良）?	基板交換	
E35		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況	**●室外熱交温度が高い**	修理	965·966
						室外熱交温度センサ	**●室外熱交温度センサ不良**	温度センサ交換修理	
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E36		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況	**●吐出温度が高い**	修理	967
						吐出管温度センサ	**●吐出管温度センサ不良**	温度センサ交換修理	
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E37		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外熱交温度センサ	**●室外熱交温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	温度センサ交換修理	968
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E38		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	外気温度センサ	**●外気温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	温度センサ交換修理	969
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E39		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	吐出管温度センサ	**●吐出管温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	温度センサ交換修理	970
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E40		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況	**●高圧が上昇**（63H1作動） **●操作弁閉運転**	修理	971
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（63H1入力回路不良）?	基板交換	
E41		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板・放熱フィン	**●パワートランジスタ電源電圧低下**	修理 基板交換	972
E42		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外制御基板 圧縮機	**●カレントカット**（圧縮機過電流異常）	修理	973·974
						据付・運転状況	**●操作弁閉運転**	操作弁開確認	
E45		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外制御基板	**●室外制御基板通信異常**	基板交換	975·976
						インバータ基板	**●インバータ基板通信異常**		
E47		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	リアクタ基板	**●インバータ過電圧異常**	基板交換	977
						インバータ基板	**●アクティブフィルタ異常**		978·979
E48		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外ファンモータ	**●室外ファンモータ不良**	交換修理	980·981
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（ファンモータ入力回路不良）?	基板交換	
E49		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況	**●低圧が低い** **●操作弁閉運転**	修理	982·983
						低圧圧力センサ	●低圧異常または低圧圧力センサ断線またはコネクタ接触不良	センサ交換修理	
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	制御基板交換	
E51		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板	**●インバータ・室外ファンモータ異常**	基板交換	984·985
E53		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	吸入管温度センサ	●吸入管温度センサ不良または断線またはコネクタ接触不良	温度センサ交換修理	986
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	制御基板交換	
E54		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	低圧圧力センサ	●低圧圧力センサ不良	センサ交換	987
						室外制御基板	●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	制御基板交換	
E57		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	運転状況	**●冷媒量不足**	修理	988
						据付状況	●操作弁閉運転	操作弁開確認	
E58		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	圧縮機 インバータ基板	**●カレントセーフ** **●圧縮機脱調異常**	交換	989·990
E59		消灯	連続点滅	5回点滅	連続点滅	圧縮機 インバータ基板	**●圧縮機起動異常**	交換	991~993
E60		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	圧縮機	**●圧縮機ロータロック異常**	交換	994

注　故障内容の※印は通常の診断では，明確にそれと原因を特定できない場合で，部品交換して故障が直れば，結果的に交換した部品が悪かったことを判断できるケースを示します。

(c) オプションコントローラ使用時の点検表示一覧

点検表示						故障箇所	故障内容	修理方法
SL1N SL2NA SL4A		室内制御基板		室外制御基板				
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）			
E75	連続点滅	消灯	点滅	消灯	点滅	SL1N SL2NA SL4A	●通信異常（SL1N，SL2NA，SL4A 本体の通信回路不良）	交換

⑷ 故障記号・点検表示灯の表示順序

■1種類の故障が発生

故障に応じた表示をそれぞれ行います。

■複数の故障が発生

区　　分	表　　示　　区　　分
リモコンの故障記号 室内制御基板の点検LED（赤） 室外制御基板の点検LED（赤）	●優先度の高い故障を表示（複数の故障が現に継続している場合） E23>E1>E5>……>E10>E32>……>E60 ●現在発生している故障を表示（先発の故障が自動復帰後，新たに故障が発生した場合）

■故障検知時期

区分	故　障　内　容	故障記号	故　障　検　知　時　期
室内	ドレン異常（フロートスイッチ作動）	E9	電源ON30秒後常時
	室内一室外誤接続	内機確認中	室外ユニットと一度も通信していない状態
	リモコン・室内伝送不良	E1	電源投入後リモコンと室内が1度以上通信した後，伝送不良が2分間継続した時
	室内・外伝送不良	E5	室外と1度以上通信した後2分間連続して通信異常
	室内ユニット接続台数オーバー（1リモコン複数台制御時）	E10	電源投入後（通電中）常時
	吸込温度センサ断線	E7	1回目の検知から60分以内に温度センサ入力温度が-50℃以下を5秒間以上計測した時
	室内熱交温度センサ断線，短絡	E6	1回目の検知から60分以内に温度センサ温度が-50℃以下を5秒間以上計測した時および70℃以上を連続5秒間検知した時
	冷媒漏えい（FDF シリーズのみ）	E23	電源ON後3分経過後以降常時
室外	外気温度センサ断線	E38	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-45〔-55〕℃以下を5秒間以上計測した時および電源投入時，20秒間に-45〔-55〕℃以下を連続5秒間検知した時
	室外熱交温度センサ断線	E37	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-50〔-55〕℃以下を5秒間以上計測した時および電源投入時，20秒間に-50〔-55〕℃以下を連続5秒間検知した時
	吐出管温度センサ断線	E39	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-10℃以下を5秒間以上計測した時
	吸入管温度センサ断線（FDCZP806～2806形）	E53	1回目の検知から40分以内に3回吸入管温度センサ入力温度が-50℃を5秒間以上計測した時
	低圧圧力センサ断線（FDCZP806～2806形）	E54	1回目の検知から40分以内に3回低圧圧力センサの検出値がDC0V以下もしくは，DC4.0V以上

注　〔　〕内数値はFDCZP406～636形の場合を示します。

■故障の記憶とリセット

故　障　表　示	記　　憶	リ　セ　ッ　ト
リモコンの故障記号	●優先度の高いモードを記憶	●リモコンの運転／停止スイッチを押してユニットを停止する ●異常が復旧していれば再運転可能
室内・点検表示灯（赤）	●記憶は不可	
室外・点検表示灯（赤）	●優先度の高いモードを記憶	

■故障モード記憶の解除（故障が復帰している場合）

① **RC-DX3Dリモコンの場合**

- リモコン故障モード記憶の解除
  TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→「点検表示」→「異常履歴表示」の順に選択します。
  画面上の「消去」→消去確認画面で「はい」の順に選択すると，リモコンが記憶している異常履歴・異常発生時のデータの記憶をすべて消去します。
- 室内ユニット故障モード記憶の解除
  TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→「点検表示」→「異常時運転データ消去」の順に選択します。
  異常時運転データ消去画面で「はい」を選択すると，リモコンは室内ユニットに異常履歴クリアを送信します。送信された室内ユニットは，リモコンに対し異常なしを送信します。

1.15.2 故障診断の手順

故障が発生したら，次の手順で点検を進めてください。それぞれの点検方法の詳細は後述してあります。



1.15.3 室内ユニット基板の交換手順

故障診断は，点検表示またはユニットの運転状況（圧縮機が回らない，ファンが回らない，四方切換弁が切換わらない等）に応じて室内ユニットの基板周辺の各コネクタ部で電圧（AC，DC）抵抗等を測定する等して不良部品を見つけ，下記の部品単位で交換修理します。

(1) 室内基板関係の交換部品単位

制御基板，電源基板，温度センサ（吸込，室内熱交），リモコンスイッチ，リミットスイッチ，ヒューズ

注　強電回路・冷凍サイクルの部品は，通常の点検方法により判定してください。

(2) 基板交換要領

お願い　**ワイヤードリモコン使用機種は基板交換後，電源を投入した後に「リモコンによる機能設定」を参照し室内ユニットの機能や用途に合せて設定を行ってください。**

安全上のご注意

- 交換工事は，この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は，安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。
  表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った作業を行った時に，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った作業を行った時に，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 基板交換完了後，試運転を行い異常がないことを確認してください。

⚠ 警　告

- 交換作業は，販売店または専門業者に依頼する。
  ご自分で作業をされ不備があると，感電や火災の原因になります。
- 作業は，この交換要領書に従って確実に行う。
  作業に不備があると，感電や火災の原因になります。
- 元電源を切った後，交換工事をする。（電源を切って1分以上経過後に実施してください。）
  通電状態での基板交換は，感電・故障・動作不良の原因になります。ファンモータ他の接続機器破壊の原因になります。
- 配線は確実に接続し，端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
  接続や固定が不完全な場合は，発熱・火災の原因になります。
- 基板交換の作業終了後，電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認する。
  交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。

⚠ 注　意

- 基板にコネクタを接続する際は，基板が変形しないように接続する。破損・故障の原因になります。
- コネクタは，確実に挿入しストッパを掛ける。火災・動作不良の原因になります。
- 配線は，かみ込んだり，つっぱらないように結束する。断線・変形して故障・感電の原因になることがあります。

(a) FDT，FDTC シリーズ

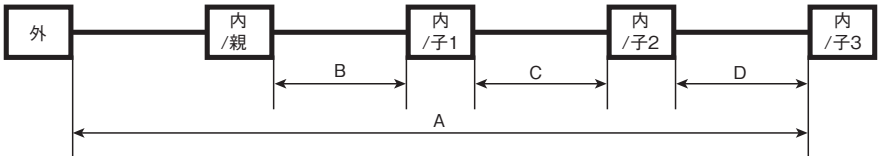
(i) フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

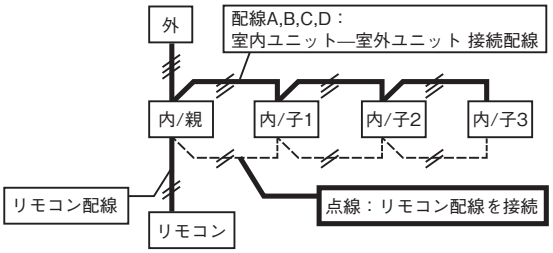
下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合 （FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON



また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

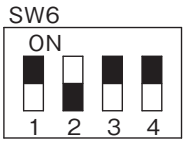
Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON

項目	スイッチ	制御内容	
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック/ドレンポンプ試運転

(ii) 容量切換えスイッチ(SW6)により容量を設定してください。
交換する基板と同一になります。

機種設定	SW6 -1	-2	-3	-4
自動認識	OFF	OFF	OFF	OFF
P40	ON	ON	OFF	OFF
P45	OFF	OFF	ON	OFF
P50	ON	OFF	ON	OFF
P56	OFF	ON	ON	OFF
P63	ON	ON	ON	OFF

機種設定	SW6 -1	-2	-3	-4
P71	OFF	OFF	OFF	ON
P80	ON	OFF	OFF	ON
P112	ON	ON	OFF	ON
P140	OFF	OFF	ON	ON
P160	ON	OFF	ON	ON



(P160の場合)

注　機種設定の自動認識（SW6が全てOFF）を選択した場合は，接続する室外ユニットにより機種容量を自動認識しますので設定は不要です。

(iii) 基板を交換してください。

① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。

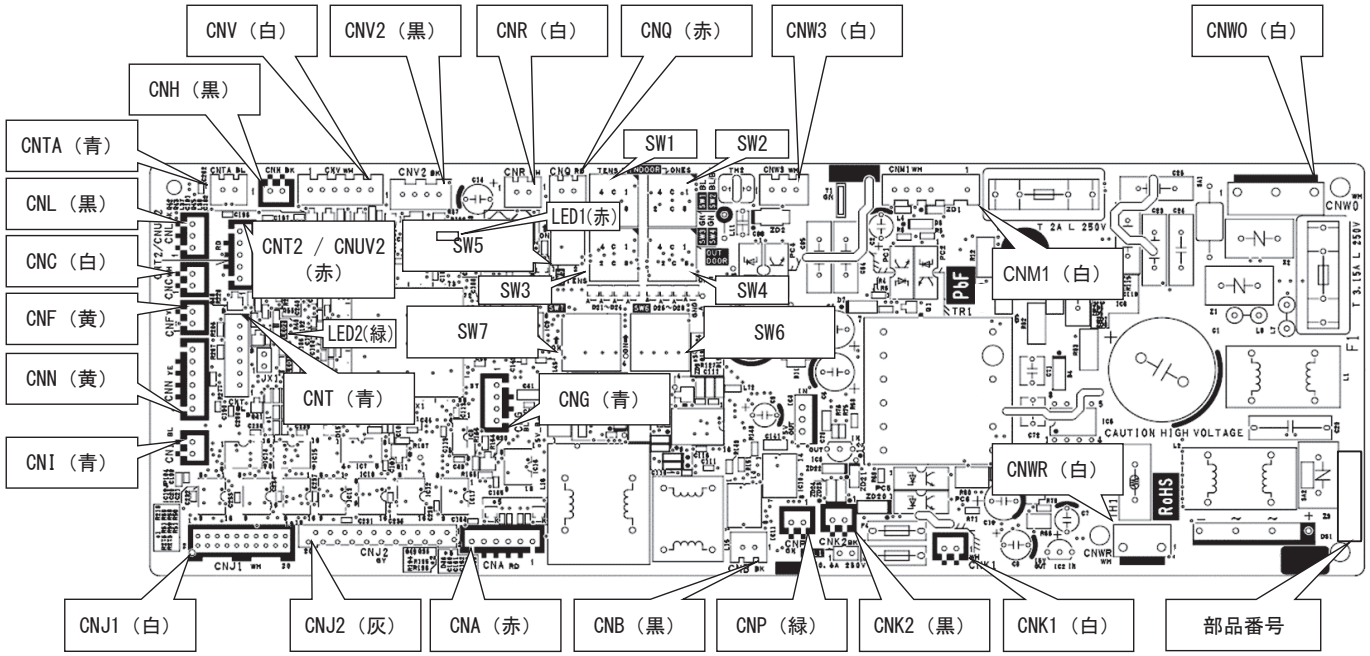
② 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。

③ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。

④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

(iv) 制御基板部品配置図

基板の種類により部品実装が異なります。



PSC012D232

(b) FDTW，FDTS，FDR，FDU，FDE シリーズ

(i) 制御基板

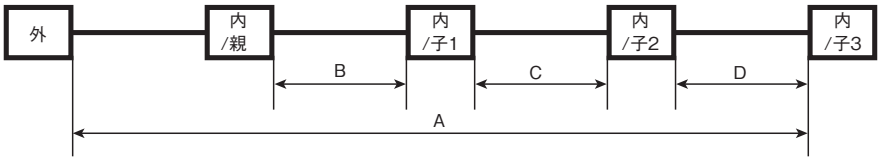
1)フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

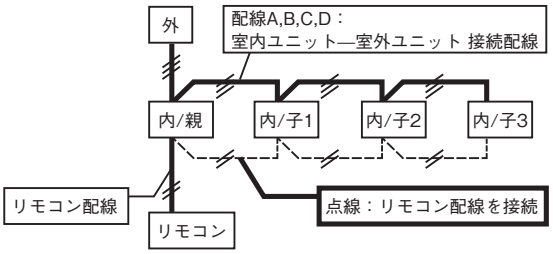
下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON



また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

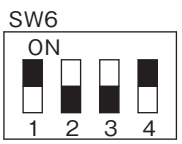
Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON

項目	スイッチ	制御内容	
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック/ドレンポンプ試運転

2) 容量切換えスイッチ(SW6)により容量を設定してください。
交換する基板と同一になります。

機種設定	SW6 -1	-2	-3	-4
自動認識	OFF	OFF	OFF	OFF
P40	ON	ON	OFF	OFF
P45	OFF	OFF	ON	OFF
P50	ON	OFF	ON	OFF
P56	OFF	ON	ON	OFF
P63	ON	ON	ON	OFF
P71	OFF	OFF	OFF	ON
P80	ON	OFF	OFF	ON

機種設定	SW6 -1	-2	-3	-4
P112	ON	ON	OFF	ON
P140	OFF	OFF	ON	ON
P160	ON	OFF	ON	ON
P224	OFF	ON	ON	ON
P280	ON	ON	ON	ON



(P80の場合)

注　機種設定の自動認識（SW6が全てOFF）を選択した場合は，接続する室外ユニットにより機種容量を自動認識しますので設定は不要です。

3) 基板を交換してください。

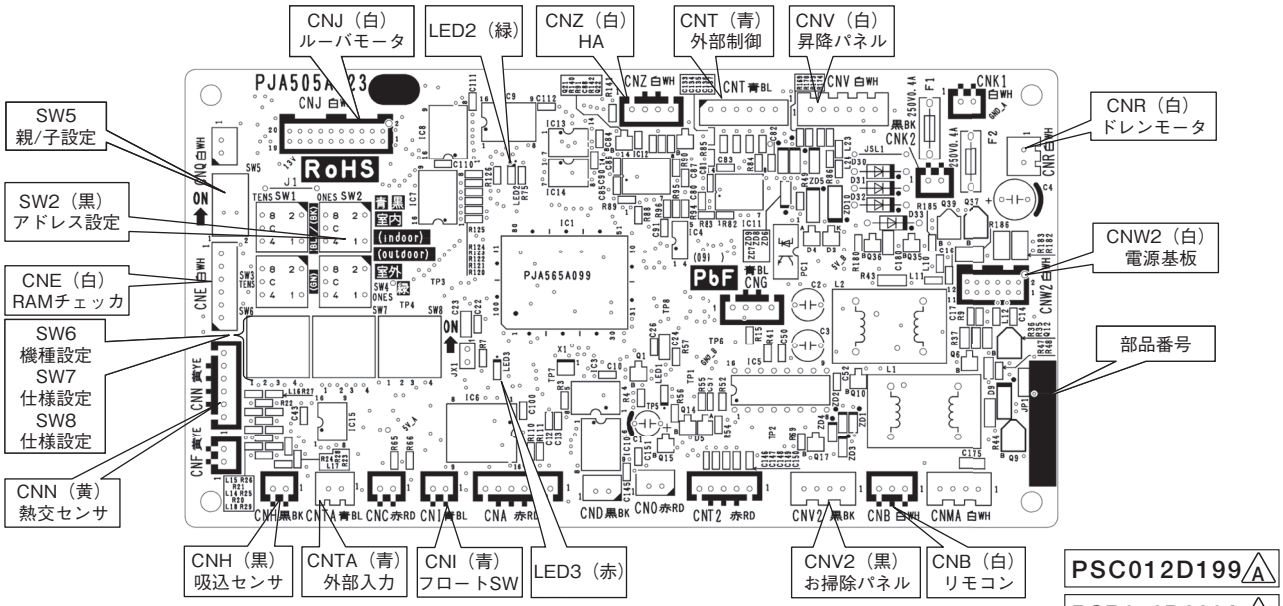
① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。

② 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。

③ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

4) 制御基板部品配置図

基板の種類により部品の実装が異なります。



(ii) 電源基板

1) FDTWZP566S，636S，806S・FDTS・FDE（P2245，P2805を除く）

a) 基板を交換してください。

① 端子台（CNW0）に接続されている配線(黄／緑)のボックスねじ止め部のねじを外してください。

② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。

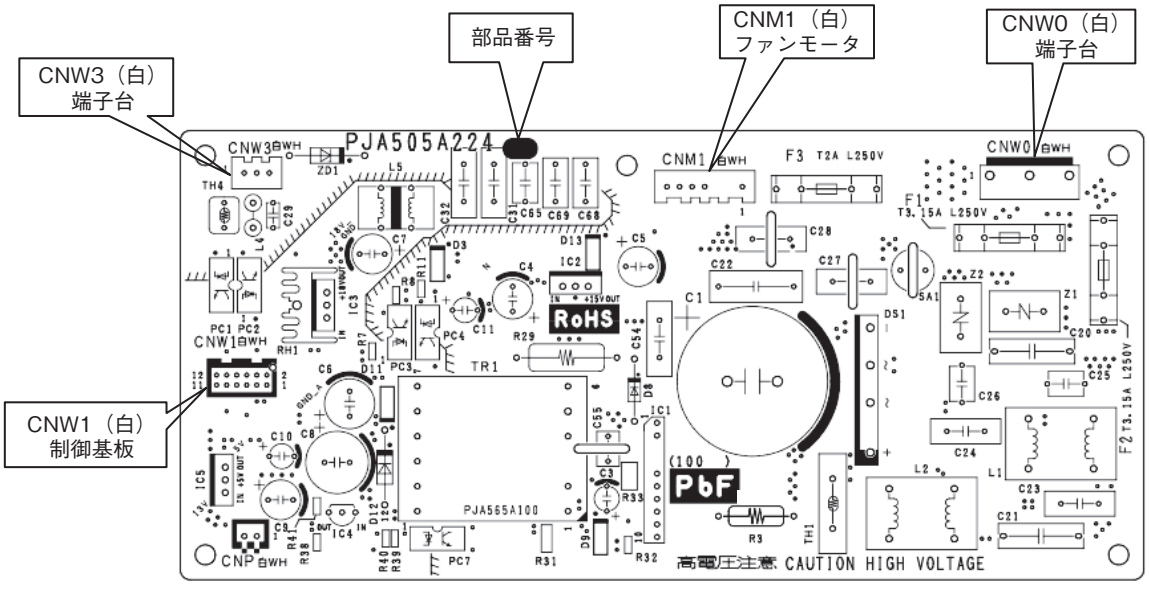
③ 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。

④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

⑤ ①で外した配線を元の場所にねじ止めしてください。

b) 電源基板部品配置図

基板の種類により部品の実装が異なります。



2）FDTWZP1406S，1606S，FDRZP566S

a） 基板を交換してください。

① 端子台（CNWO）に接続されている配線（黄／緑）のボックスねじ止め部のねじを外してください。

② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後、基板を交換してください。

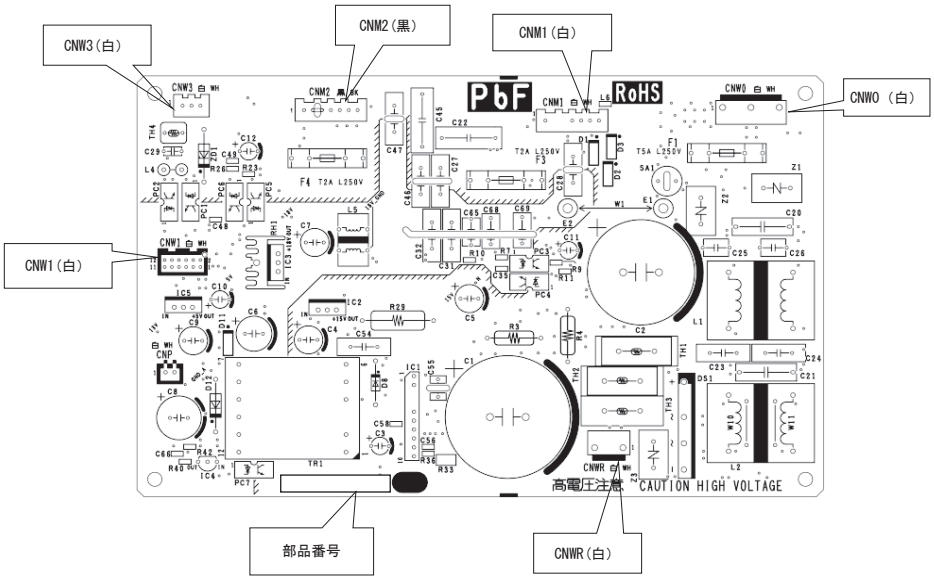
③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。

④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

⑤ ①項で外した配線を元の場所にねじ止めしてください。

b） 電源基板部品配置図

基板の種類により部品実装が異なります。



PSC012D231

3）FDRZP636S，806S，1126S，1606S，FDU（2245，2805形除く），FDE（2245，2805形）

a） 基板を交換してください。

① 基板に接続されているE2配線（黄／緑）のねじ止め部のねじ（矢視A）を外してください。

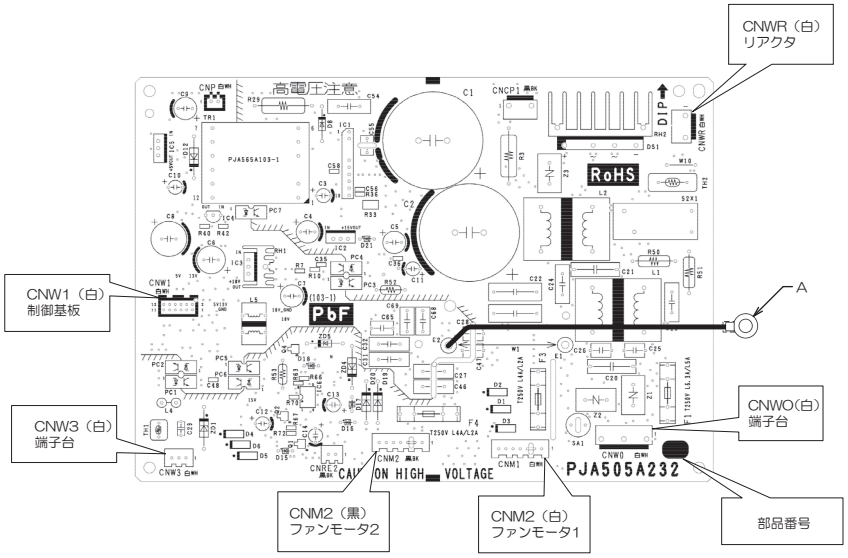
② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後、基板を交換してください。

③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。

④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

⑤ ①項で外した配線を元の場所にねじ止めしてください（矢視A）。

b） 電源基板部品配置図



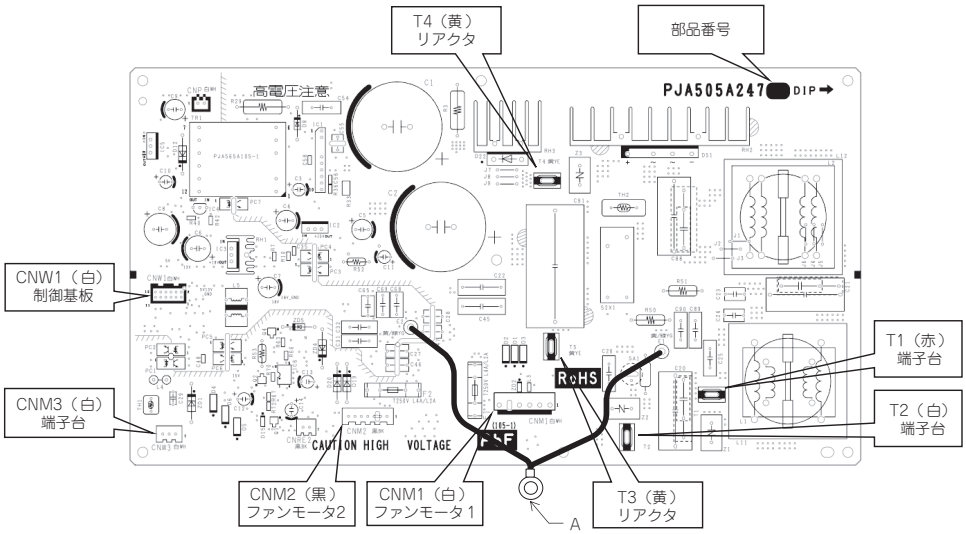
PSC012D021 B

4）FDUZP2245A, 2805A

a） 基板を交換してください。

① 基板に接続されているE1, E2配線（黄／緑）のねじ止め部のねじ（矢視Ａ）を外してください。
② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後、基板を交換してください 。
③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください 。
④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください 。
⑤ ①で外した配線を元の場所にねじ止めしてください（矢視Ａ）。

b） 電源基板部品配置図



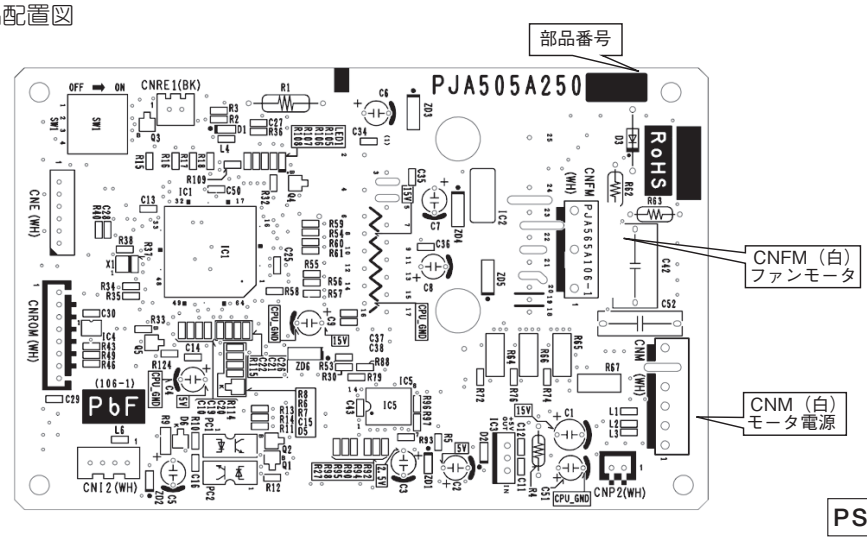
PSC012D035

◆モータ基板

a） 基板を交換してください。

① 基板のコネクタおよびパワートランジスタ取付用のねじを外し、基板を取外してください。外した時、既に塗布されているシリコングリスはコントローラの放熱フィンよりきれいに拭き取ってください。
② 新しい基板のパワートランジスタ表面に、同梱の**シリコングリスを均一に塗布**し、配線類をかみ込まないように基板を取付けてください。
塗布しないと**パワートランジスタが破損することがあります。**その時、シリコングリスは使い切ってください。
③ 基板のパワートランジスタ取付用のねじを締め、コネクタを接続してください。
接続後に締め忘れ、半挿しがない様確認してください。**特にパワートランジスタは緩みない様に取付ねじで締付けてください。**締付けないと**パワートランジスタが破損することがあります。**
（推奨パワートランジスタ締付トルク：0.59～0.78N·m）

b） モータ基板部品配置図



PSC012D036A

(c) FDES シリーズ

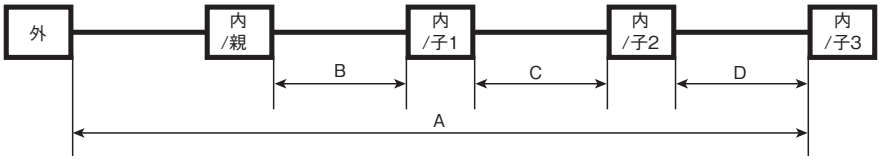
(i) フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合 （FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		

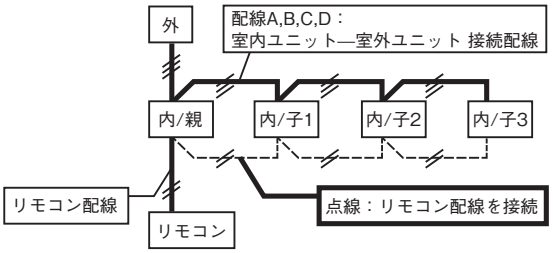


①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子１	子２	子３
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON



(ii) 容量切換えスイッチ
（SW6）により容量を設定してください。交換する基板と同一設定になります。

SW6	-1	-2	-3	-4
P80	ON	OFF	OFF	ON
P140	OFF	OFF	ON	ON

SW6(P140の場合)

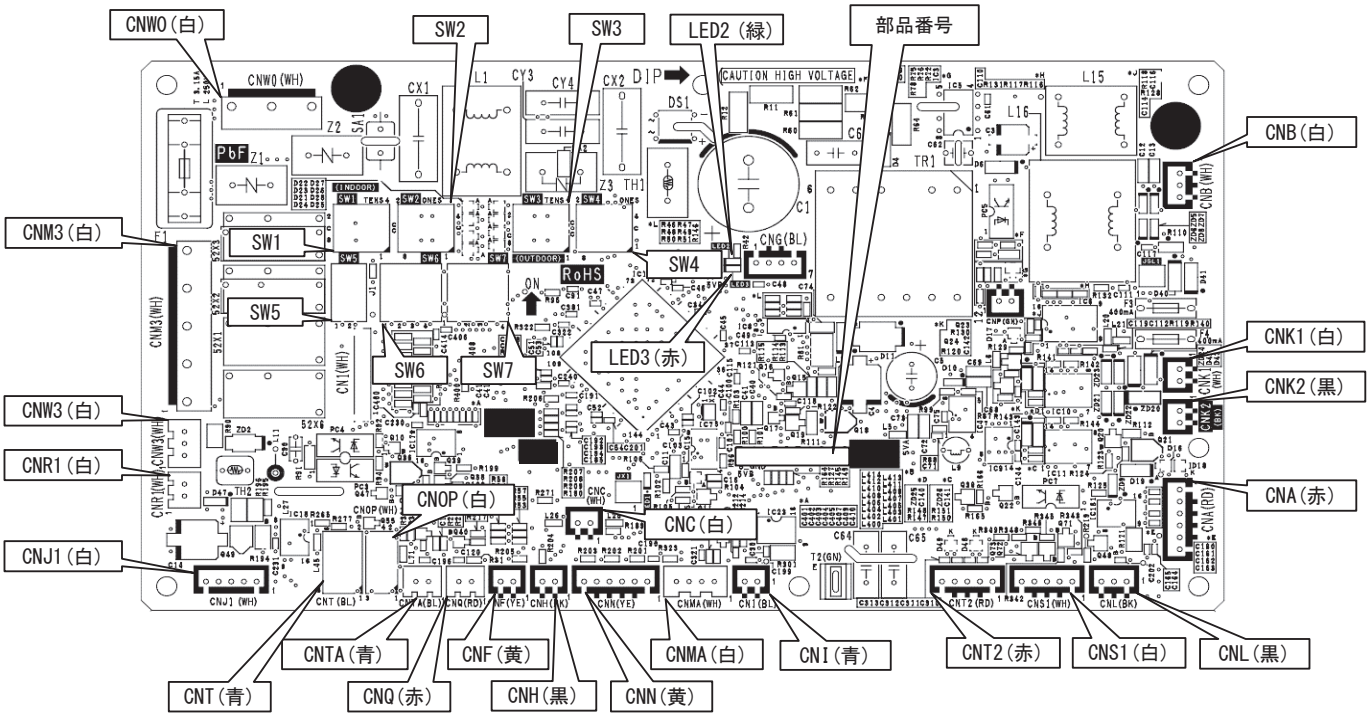


(iii) 基板を交換してください。

① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。
② 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。
③ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。
④ CNOPのジャンパコネクタが接続されている場合は，新しい基板に付替えてください。
⑤ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

(iv) 制御基板部品配置図

基板の種類により部品実装が異なります。



PSC012D230A A

(d) FDK シリーズ

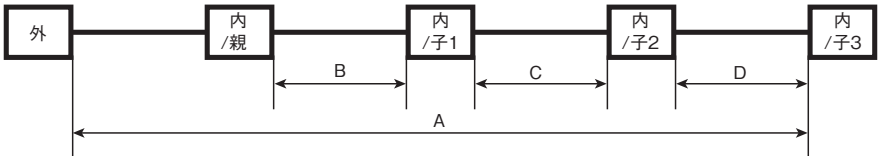
(i) フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合 （FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		

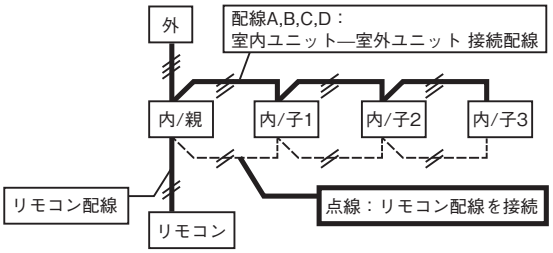


①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子１	子２	子３
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON



(ii) 容量切換えスイッチ

- ＳＷ６により容量を設定してください。
- 交換する基板と設定を同一にしてください。

SW6	-1	-2	-3	-4
自動認識	OFF	OFF	OFF	OFF
P40	ON	ON	OFF	OFF
P45	OFF	OFF	ON	OFF
P50	ON	OFF	ON	OFF
P56	OFF	ON	ON	OFF
P63	ON	ON	ON	OFF
P71	OFF	OFF	OFF	ON
P80	ON	OFF	OFF	ON
P112	ON	ON	OFF	ON

SW6(P56の場合)

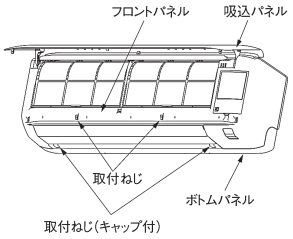


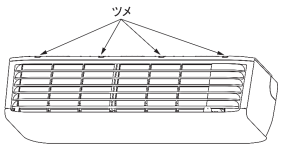
注　機種設定の自動認識（SW6が全てOFF）を選択した場合は，接続する室外ユニットにより機種容量を自動認識しますので設定は不要です。

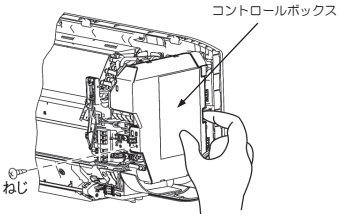
(iii) 基板の交換

1) ZP566S

① 吸込パネルを取外してください
② ボトムパネルの取付けねじ（キャップ付）を外してください。
③ ボトムパネルの両側にあるツメ（2か所）を外し、ボトムパネルを取外してください。
④ 取付けねじを外してください。（2か所）
⑤ 上部のツメ（4か所）を外し、フロントパネルを取外してください。
⑥ ねじを外し、コントロールボックスのふたを取外してください。



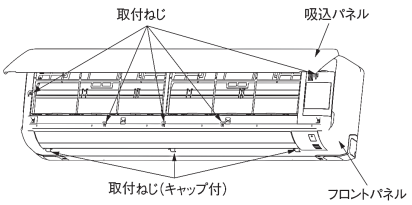


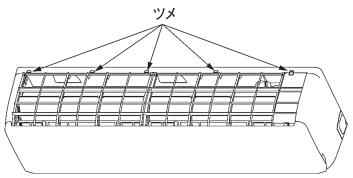


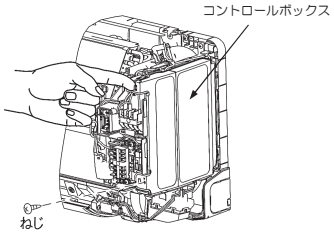
⑦ 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。
⑧ 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。
⑨ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。
⑩ CNFのジャンパコネクタが接続されている場合は，新しい基板に付替えてください。
⑪ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

2) ZP636S, 1126S

① 吸込パネルを取外してください。
② 取付けねじを外してください。（5か所）
③ 上部のツメ（5か所）を外し、フロントパネルを取外してください。
④ ねじを外し、コントロールボックスのふたを取外してください。





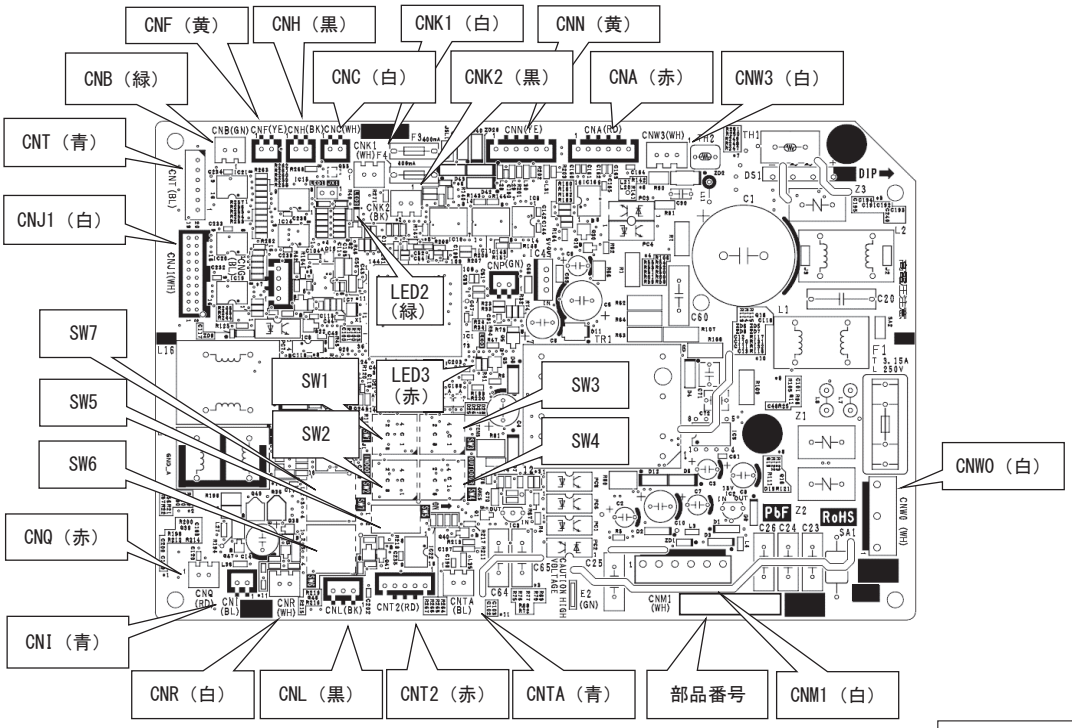


⑤ 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。
⑥ 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。
⑦ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。
⑧ CNFのジャンパコネクタが接続されている場合は，新しい基板に付替えてください。
⑨ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

(iv) 制御基板部品配置図

1) ZP566S

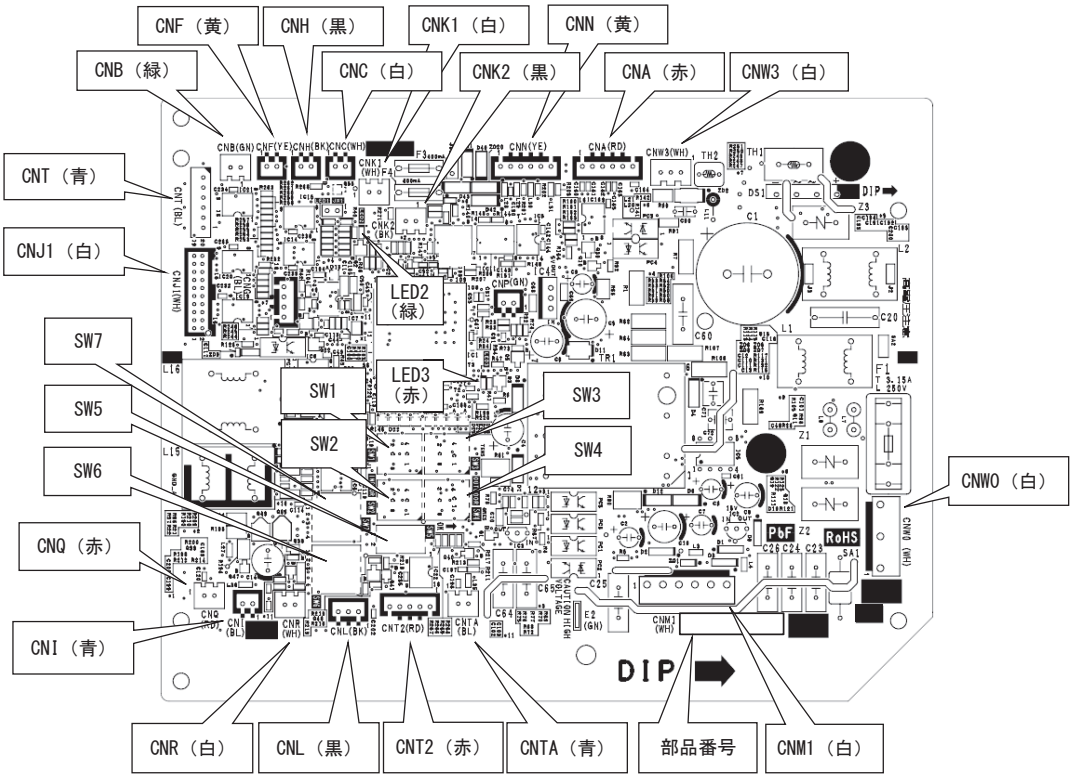
※基板の種類により部品実装が異なります。



PHA012D054A

2) ZP636S, 1126S

※基板の種類により部品実装が異なります。



PHA012D055A

(e) FDFZP635SB，805SB，1605SB

(i) 制御基板

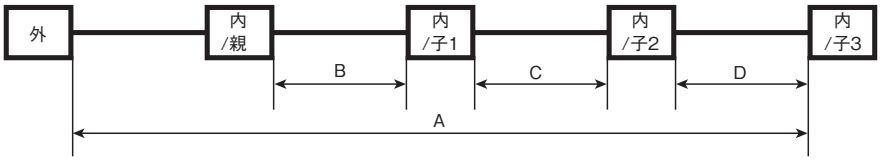
1)フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

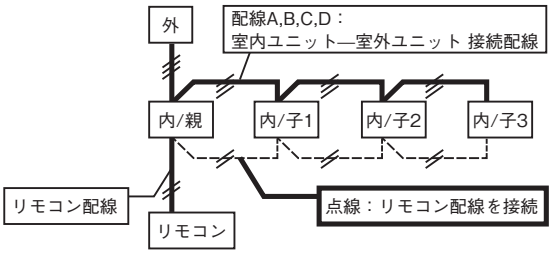
下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ(SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON



また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
(室外ユニットの据付説明書を参照ください。)

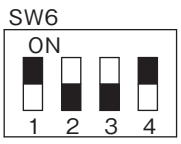
Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON

項目	スイッチ	制御内容	
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック

2) 容量切換スイッチ(SW6)により容量を設定してください。
交換する基板と同一になります。

機種設定	SW6 -1	-2	-3	-4
自動認識	OFF	OFF	OFF	OFF
P50	ON	OFF	ON	OFF
P63	ON	ON	ON	OFF
P80	ON	OFF	OFF	ON

機種設定	SW6 -1	-2	-3	-4
P112	ON	ON	OFF	ON
P140	OFF	OFF	ON	ON
P160	ON	OFF	ON	ON



(P80の場合)

注　機種設定の自動認識（SW6が全てOFF）を選択した場合は，接続する室外ユニットにより機種容量を自動認識しますので設定は不要です。

3) 基板を交換してください。

① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。

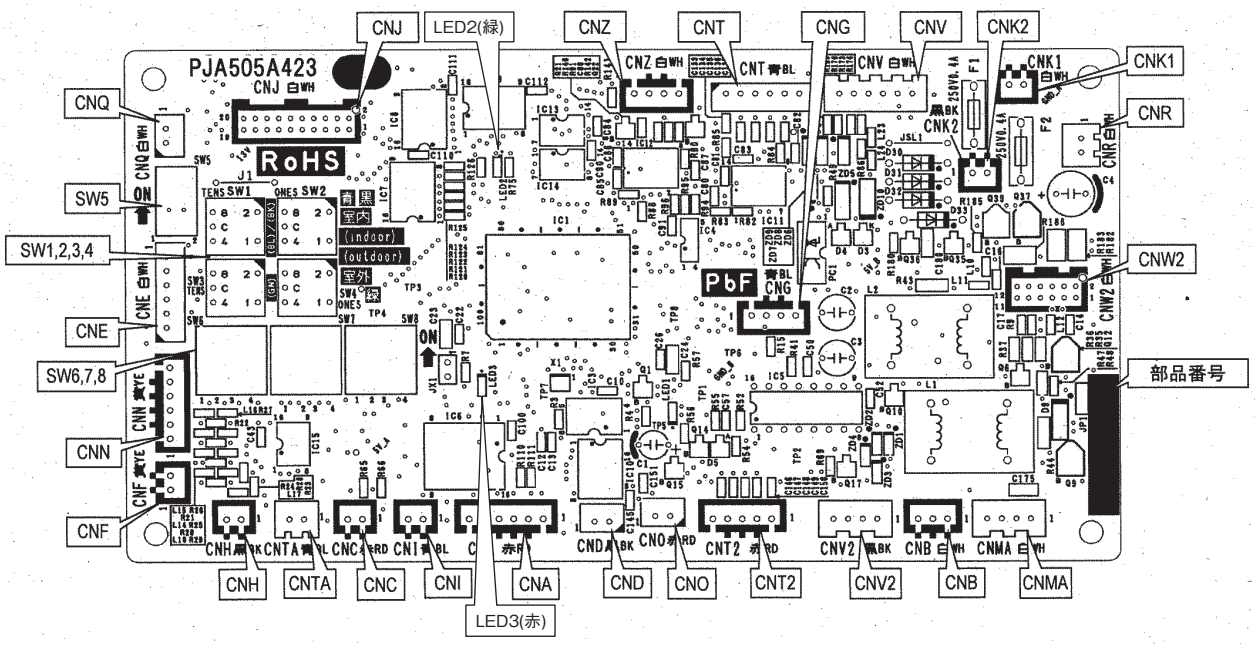
② 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。

③ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。

④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

4) 制御基板部品配置図

基板の種類により部品の実装が異なります。



PSC012D182A

(ii) 電源基板

1) 基板を交換してください。

① 基板にはんだ付けされている配線(黄／緑)のボックスねじ止め部のねじを外してください。

② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。

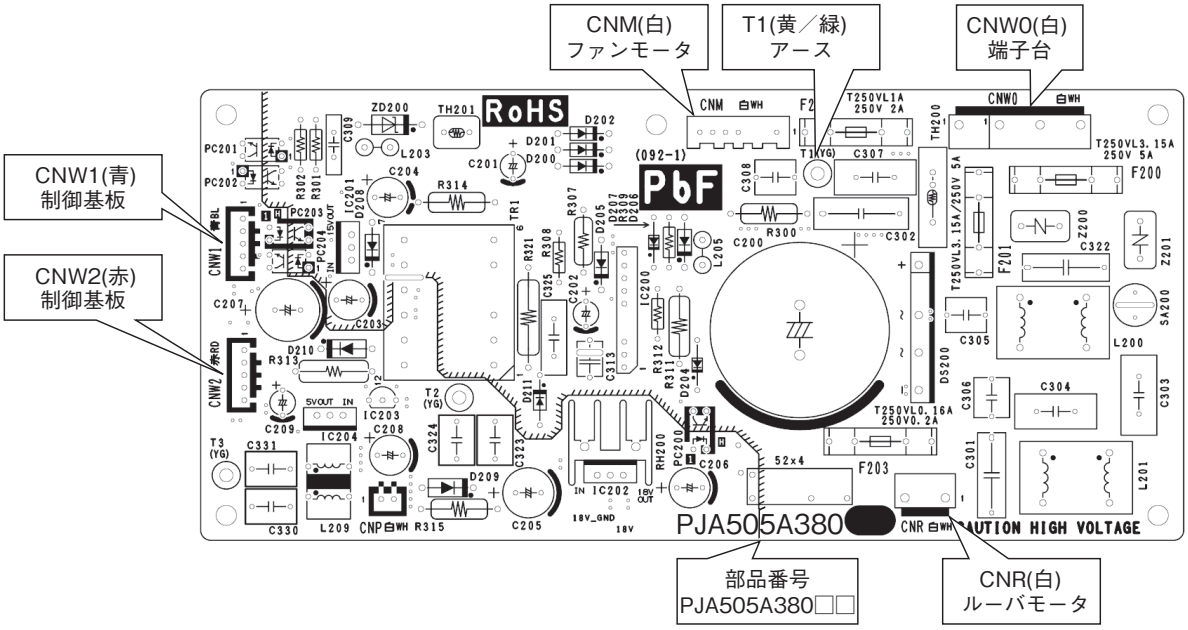
③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。

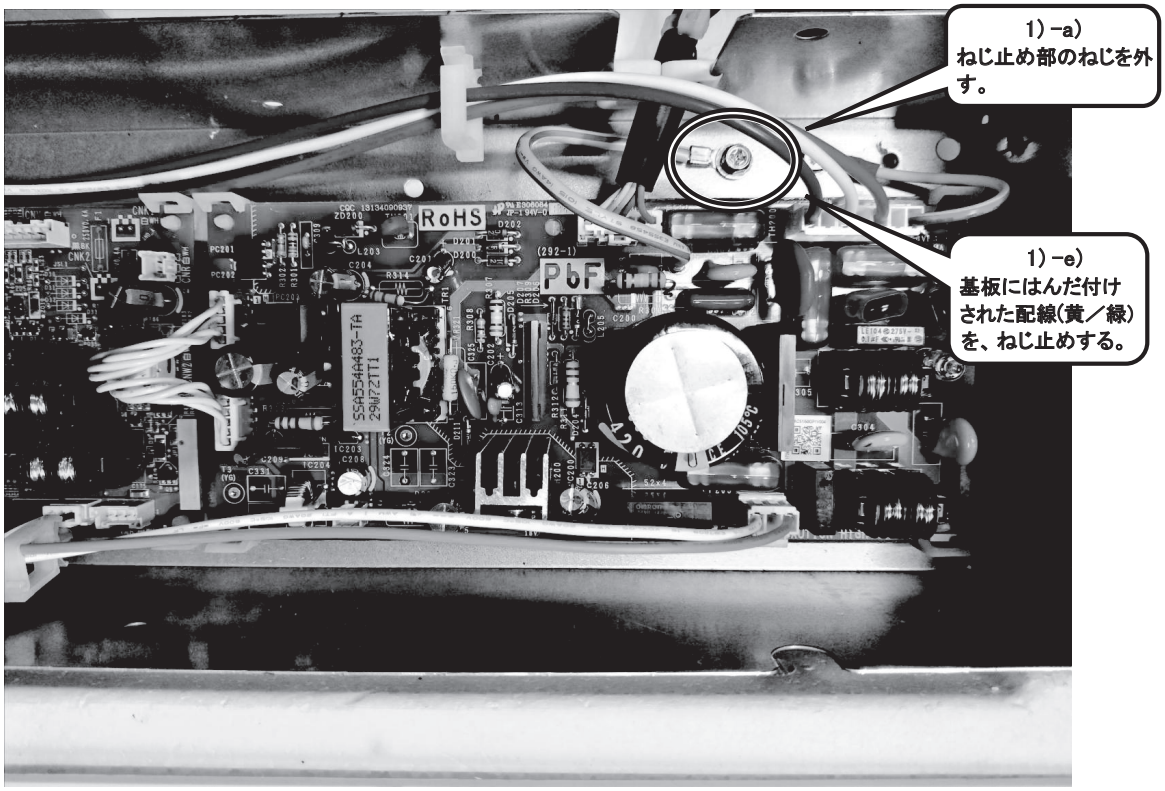
④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

⑤ ①で外した配線を元の場所にねじ止めしてください。（下図参照）

2) 電源基板部品配置図

基板の種類により部品の実装が異なります。





PSB012D953H D

(f) FDFZP2245，2805

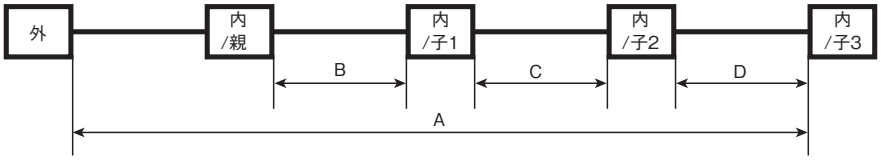
1)フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

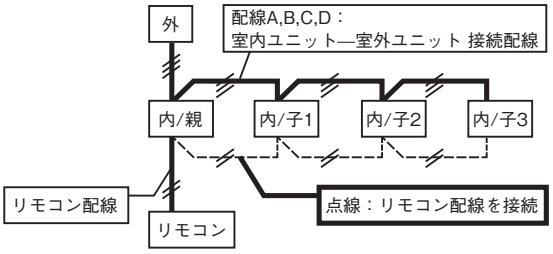
下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合 （FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON



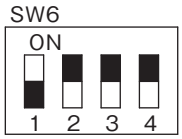
また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON

項目	スイッチ	制御内容	
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック

2) 容量切換スイッチ(SW6)により容量を設定してください。
交換する基板と同一になります。

機種設定	SW6			
	-1	-2	-3	-4
P224	OFF	ON	ON	ON
P280	ON	ON	ON	ON

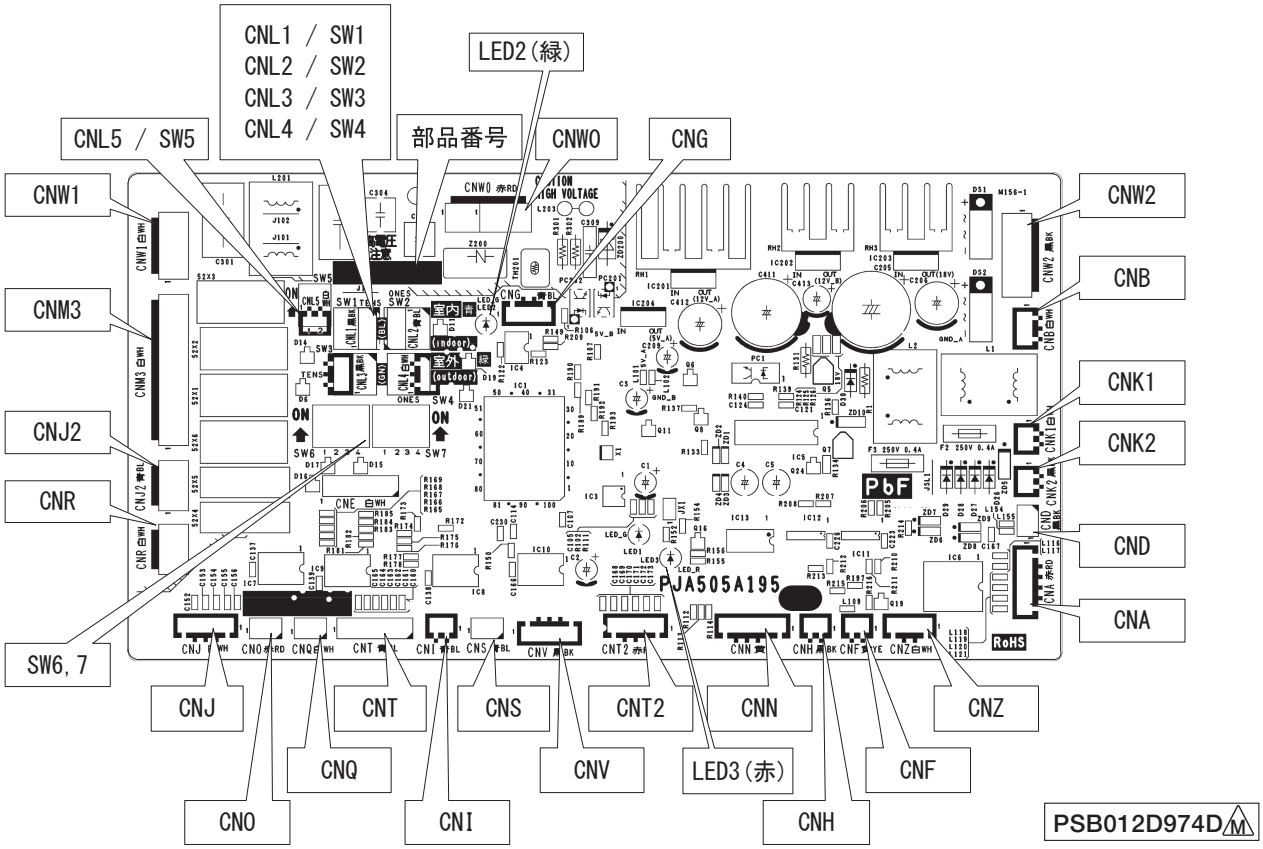


(P224の場合)

3) 基板を交換してください。
① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。
② 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。
③ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。
④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

4) 制御基板

基板の種類により部品の実装が異なります。

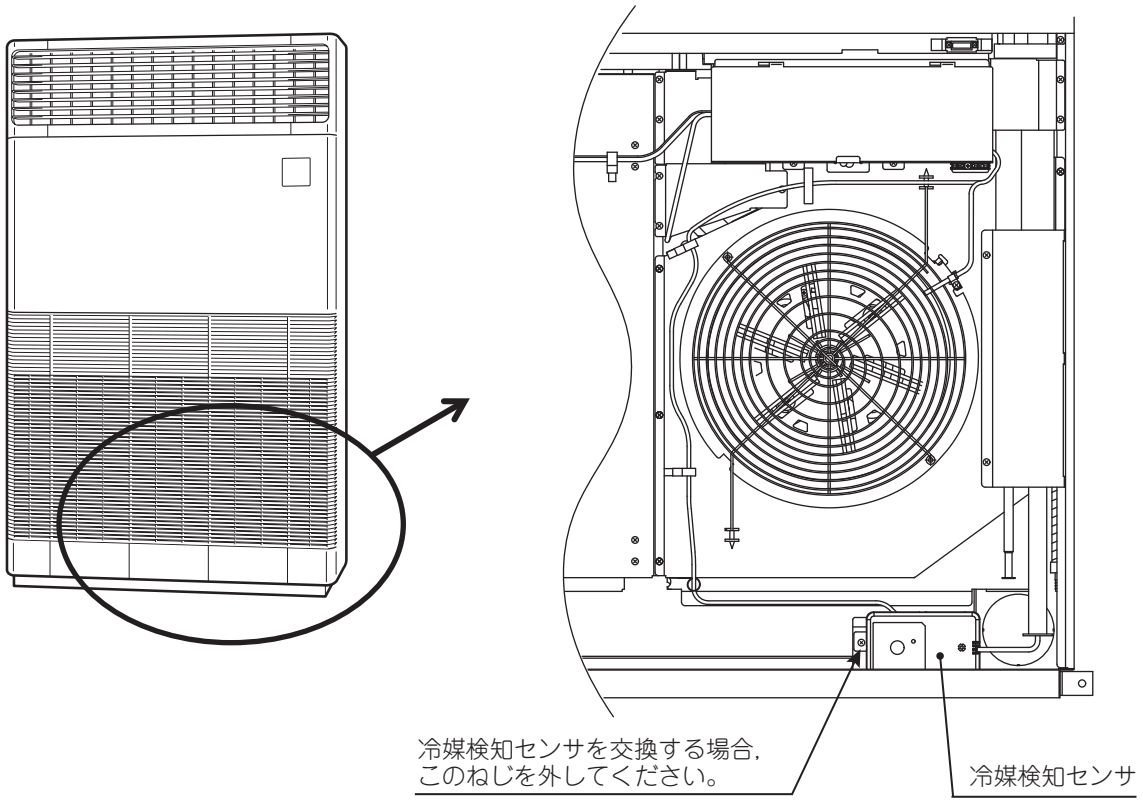


●冷媒センサの交換手順

冷媒センサは室内ユニット下部にありますので，グリルを外してから下図中に示される一か所のねじを外し，ケースに固定されている冷媒センサを交換してください。

下図はFDFZP2245，2805の場合を示します。

FDFZP635SB，805SB，1605SBの場合も同様です。



(3) ディップスイッチ設定表

(a) FDT，FDTC，FDTW，FDTS，FDR，FDU，FDE，FDES，FDKシリーズ

スイッチ	項　　目		通常の設定		備　考
SW2	リモコン通信アドレス設定		0		0-F
SW5-1	プルーラル機	親／子設定	OFF		下表２参照
SW5-2			OFF		
SW6-1	室内ユニット機種容量切換え		機種容量により切換え		下表１参照
SW6-2					
SW6-3					
SW6-4					
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転	通常／運転チェック・ドレン試運転	OFF	通常	
SW7-2	ー		OFF		
SW7-3	ー		OFF		
SW7-4	ー		OFF		
SW8-1	凍結防止製御	有効／無効（FDEのみ）	OFF	無効	
SW8-2	ー		OFF		
SW8-3	ー		OFF		
SW8-4	機外静圧使用範囲切換	有効／無効（FDEのみ）	OFF	無効	
JSL1	スーパーリンク端子予備	有／無	有		

表1：室内ユニット機種容量切換え (SW6-1～SW6-4)

0：OFF　1：ON

	P40	P45	P50	P56	P63	P71	P80	P112	P140	P160	P224	P280	自動認識
SW6-1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0
SW6-2	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0
SW6-3	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0
SW6-4	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0

表2：室内ユニット親/子切換え (SW5-1,SW5-2)

フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

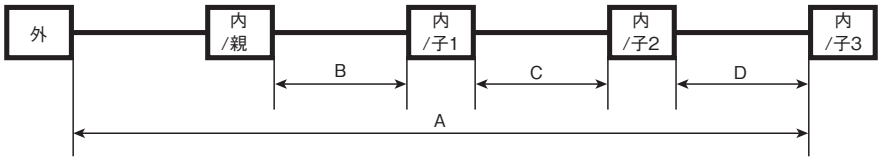
0：OFF　1：ON

	SW5-1	SW5-2
親	0	0
子1	0	1
子2	1	0
子3	1	1

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		

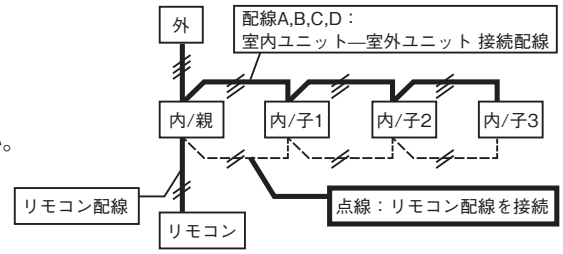


①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2）を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON



(b) FDF シリーズ

FDFZP635SB, 805SB, 1605SB

スイッチ	項目		通常の設定	備考
SW1	室内アドレス No.10 の位		0	
SW2	室内アドレス No.1 の位		0	
SW5-1	プルーラル機	親 / 子設定	OFF	次ページ表 2 参照
SW5-2			OFF	
SW6-1	室内ユニット機種容量切換え (本機は機種容量自動認識)		0	下表 1 参照
SW6-2			0	
SW6-3			0	
SW6-4			0	
SW7-1	運転チェック	ON：有効 /OFF：無効	OFF	
SW7-2	新旧 SL 自動判定	OFF：有効 /ON 旧仕様固定	OFF	
SW7-3	室内アドレス No.100 の位	OFF：0 /ON：1	OFF	
SW7-4	室外 EEV 制御	ON：固定制御 /OFF：SC 制御	OFF	
SW8-1	冷媒センサ接続	ON：有効 /OFF：無効	ON	
SW8-2	-		OFF	
SW8-3	ドレンポンプ制御切換	ON：対策制御 /OFF：通常	OFF	
SW8-4	-		OFF	
JSL1	スーパーリンク予備回路	OFF：予備回路使用時 /ON：通常時	ON	

FDFZP2245, 2805

スイッチ	項目		通常の設定	備考
SW2	リモコン通信アドレス設定		0	0-Fh
SW5-1	プルーラル機	親 / 子設定	OFF	次ページ表 2 参照
SW5-2			OFF	
SW6-1	室内ユニット機種容量切換え		機種容量 により切換え	下表 1 参照
SW6-2				
SW6-3				
SW6-4				
SW7-1	運転チェック	ON：有効 /OFF：無効	OFF	
SW7-2	能力最適制御	OFF：有効 /ON 旧仕様固定	OFF	
SW7-3	冷媒センサ接続	OFF：無効 /ON：有効	ON	
SW7-4	室外 EEV 制御	ON：固定制御 /OFF：SC 制御	OFF	

表 1 ：室内ユニット機種容量切換え（SW6-1 ～ SW6-4） 0：OFF 1：ON

	自動認識 (P50 ～ P160)	P224	P280
SW6-1	0	0	1
SW6-2	0	1	1
SW6-3	0	1	1
SW6-4	0	1	1

表２：室内ユニット親/子切換え(SW5-1,SW5-2)

フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

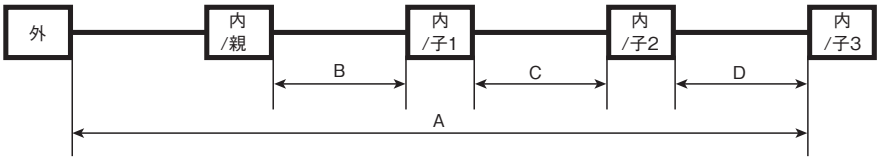
0：OFF　1：ON

	SW5-1	SW5-2
親	0	0
子1	0	1
子2	1	0
子3	1	1

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		

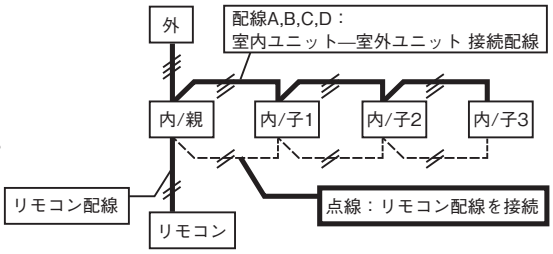


①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2）を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子１	子２	子３
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON



1.15.4 室外ユニット基板の交換手順

室外ユニットの故障診断は，リモコンの故障記号，室外制御基板上の点検表示灯(赤・LED)の点滅パターンを確認して故障の概要とその原因，部位を推定した上で点検・修理を進めてください。
室内・外マイコンによる自己診断はマイコン異常の他，電源系統の異常，据付スペース，冷媒量不適等に起因するオーバーロード等を診断できるので，故障発見が円滑に行えます。
また，室外の点検表示灯は電源しゃ断する以外，故障が自動復帰した後も記憶され点滅を続けます。
故障復帰後，記憶されている故障より優先度の高いモードが発生すると，そのモードに切換えて記憶します。

[電源のリセットについて]

室外制御基板交換をする場合および点検をする場合，室外ユニットへの供給電源をしゃ断してもコントローラ内部の電解コンデンサに電圧が残っていますので，作業をされる場合は感電にご注意ください。
電源しゃ断後，3分以上経過し，コントローラ内部赤（FDCZP806～2806形は緑）LEDが10秒以上，消灯していることを確認してから作業を実施ください。電解コンデンサ（C58）の両端の電圧（DC）を測定して十分に放電した事を確認してください。
(防湿コーティングしてあるため測定できないことがありますので，感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。)

(1) 室外コントローラ関係の交換部品単位

室外制御基板，インバータ基板，温度センサ(室外熱交，吐出管，外気，パワートランジスタ，吸入管，ドーム下)，ヒューズ(電源，制御基板)，ノイズフィルタ，コンデンサ，リアクタ

(2) 基板交換要領

安全上のご注意
・ ここに示した注意事項は，安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。 表示と意味は次のようになっています。 ⚠ 警告　誤った作業を行った時に，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。 ⚠ 注意　誤った作業を行った時に，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
⚠ 警告
・ 基板交換はこの交換要領書に従って確実に行ってください。 交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。 ・ 基板交換時は，必ず室外ユニットの電源が切れていることを確認してから行ってください。 通電状態での基板交換は，感電の原因になります。 ・ 基板交換の作業終了後，電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認してください。 交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。
⚠ 注意
・ 配線はつっぱらないように結束してください。感電の原因になることがあります。

(a) FDCZP406 ～ P636H，HK

(i) 制御基板

下記の要領でコントロール基板の交換を行ってください。

① 基板交換作業は電源を切って３分以上放置し、図３で示すコントロール基板部品面上のLED1（赤）が10秒以上消灯していることを確認してから実施してください。
② 図４で示すC58端子間のDC電圧を測定し、10Ｖ以下であることを確認してください。(防湿剤によりコーティングしてあるため測定できないことがあります。感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください)
③ コントローラ基板から接続されているハーネスおよび基板上のコネクタを外してください。
④ 新しいコントローラ基板上のSW6，7の設定を交換前の基板に合わせてください。
（SW6の実装は機種によって異なります。）
⑤ コントローラ基板を交換してください。
⑥ ハーネスおよびコネクタを元通りに接続してください。接続後、半挿しが無いことを確認してください。

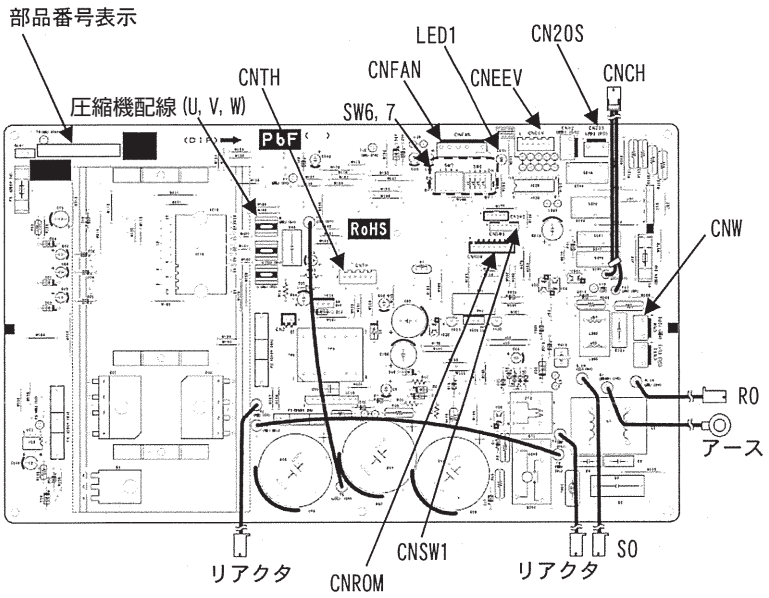


図1. 単相機部品配置図（部品面）

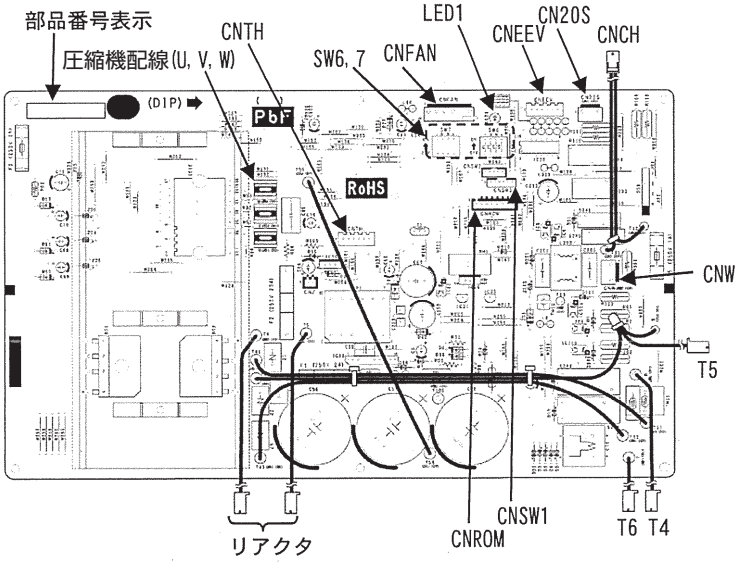


図2. 三相機部品配置図（部品面）

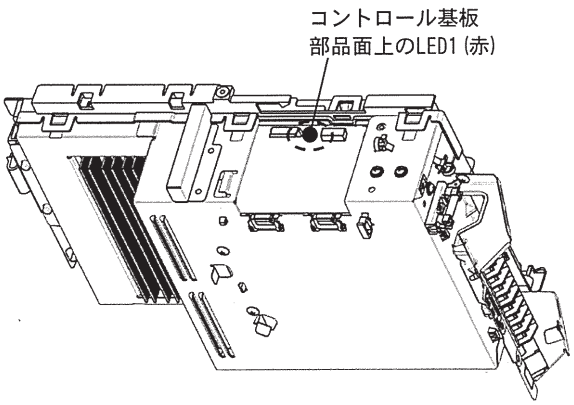


図3. LED位置

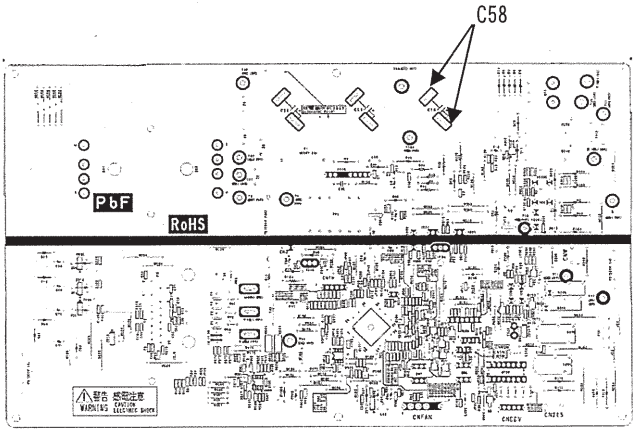


図4. 電圧測定箇所（はんだ面）

PCA012D079

PCA012D080

(ii) **ノイズフィルタ基板（三相機のみ）**

下記の要領でノイズフィルタ基板（図1）の交換を行ってください。

① 基板交換作業は電源を切って3分以上放置し、図2に示すコントロール基板部品面上のLED1（赤)が10秒以上消灯していることを確認してから実施してください。

② 図3で示すC58端子間のDC電圧を測定し、10V以下であることを確認してください。
(防湿剤によりコーティングしてあるため測定できないことがあります。感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。)

③ ノイズフィルタ基板から端子台および板金等へ接続されているハーネスを外してください。

④ 新しいノイズフィルタ基板上のCNX1のジャンパコネクタを交換前の基板に合わせてください。
ジャンパコネクタ接続先は下記の通りです。
┌室外電源取りの場合　　：CNX1
└室内室外別電源取りの場合：CNX2

⑤ ノイズフィルタ基板を交換してください。

⑥ ハーネスを元通りに接続してください。接続後、半挿しが無いことを確認してください。

⑦ 付属のタイラップバンドを元の位置に取付け（2か所)、ハーネスをバンドで元通りに固定してください。
（図2参照）

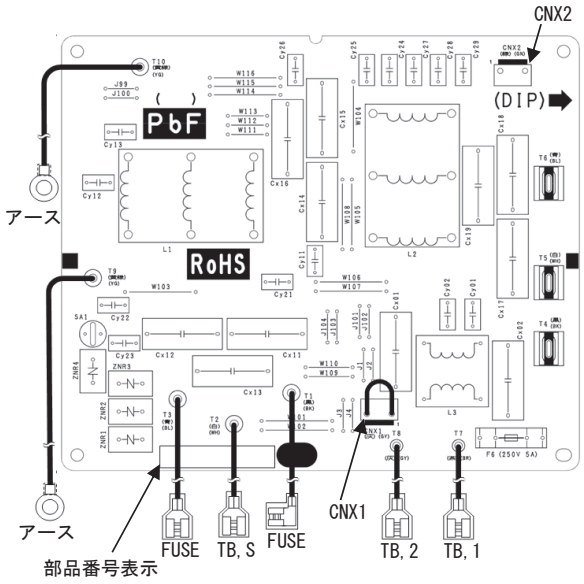


図1．部品配置図（対象基板）

※ハーネスは、機種によって
形状が異なる場合があります。

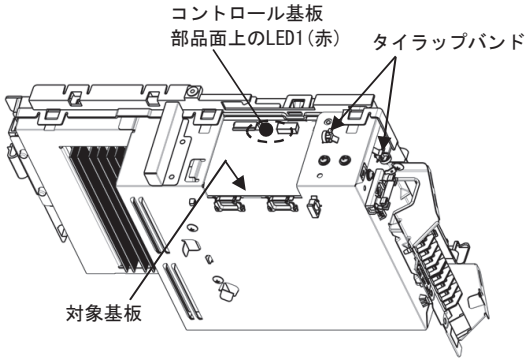


図2．LEDおよびタイラップバンド位置

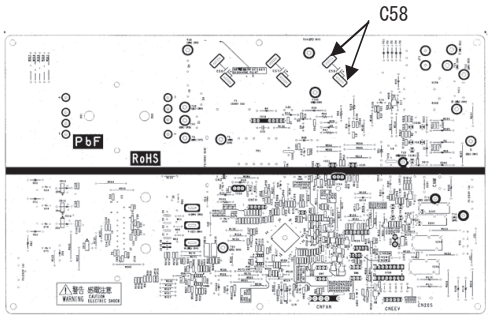


図3．電圧測定箇所
（コントロール基板（はんだ面））

PCA012D081

(b) FDCZP806H，806HK

(i) 制御基板

下記の要領で制御基板の交換を行ってください。

① 交換作業は**電源を切って3分後**に実施してください。
（図2．インバータ基板のファストンタブの位置を参照し**T26，T27の電圧（DC）を測定し十分に放電（10V以下まで）した**ことを確認してください。）

② 制御基板のコネクタを外してください。

③ 新しい基板の設定スイッチ（SW4）の設定を交換前の基板に合わせてください。

④ 制御基板へコネクタを接続してください。（接続後，**半挿しが無い様**確認してください。）

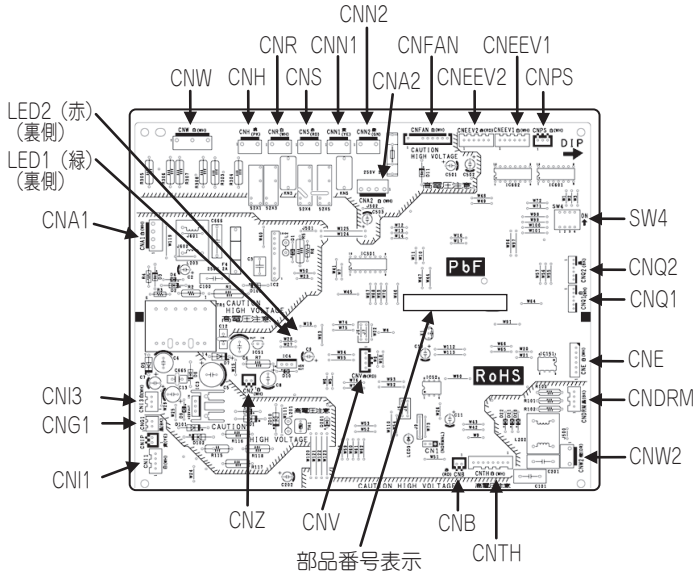


図1．部品配置図

電源を切って3分後に実施

電圧測定箇所(T26(アカ)，T27(アオ))

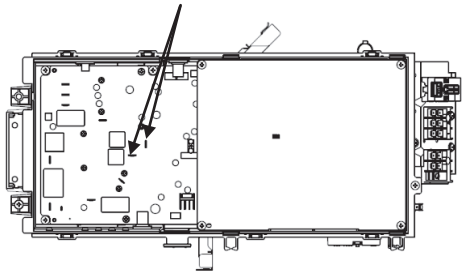


図2．ファストンタブの位置

※電装部品の有無，形状および位置は，
機種によって異なる場合があります。

半挿しが無い様注意

PCA012D111

(ii) インバータ基板

下記の要領でインバータ基板（図1）の交換を行ってください。

① 交換作業は，**電源を切って3分後**に実施してください。
（電源OFF直後はコンデンサが放電されておらず，高電圧状態で危険なため，コントローラに触らないでください。）
ハーネスが接続されている状態で，図2に示すＴ２６，Ｔ２７間の**ＤＣ電源電圧を測定し，１０Ｖ以下（コンデンサ放電後の電圧）である**ことを確認してください。

② 図1で示すインバータ基板上のコネクタおよびファストン端子を外してください。

③ 新しいインバータ基板のＪＳＷ１０，１１のＯＮ／ＯＦＦ設定を交換前の状態に設定してください。

④ コントローラのハーネスバンド3か所を取外し，放熱フィンの固定ねじ4か所を外してください。
（図3参照）

⑤ インバータ基板を放熱フィンごとコントローラから取外し，新しいインバータ基板と交換してください。交換の際に，ハーネスが放熱フィンなどに噛み込まない様注意してください。

⑥ 放熱フィンをねじで締めてコントローラと固定してください。その後，コネクタおよびファストン端子を元通り接続してください。（コネクタ接続後に**半挿しが無い様**確認してください。）

⑦ 付属のハーネスバンドを元の位置に取付け（3か所），ハーネスをバンドで元通り固定してください。

⑧ 付属のハーネスクリップを図4に従ってインバータ基板に取付け，ハーネスを固定してください。

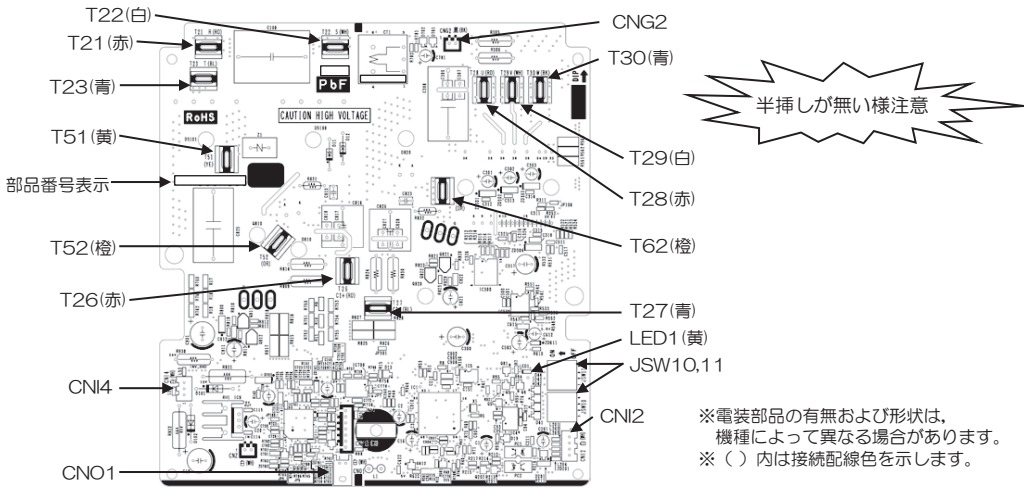


図1．部品配置図

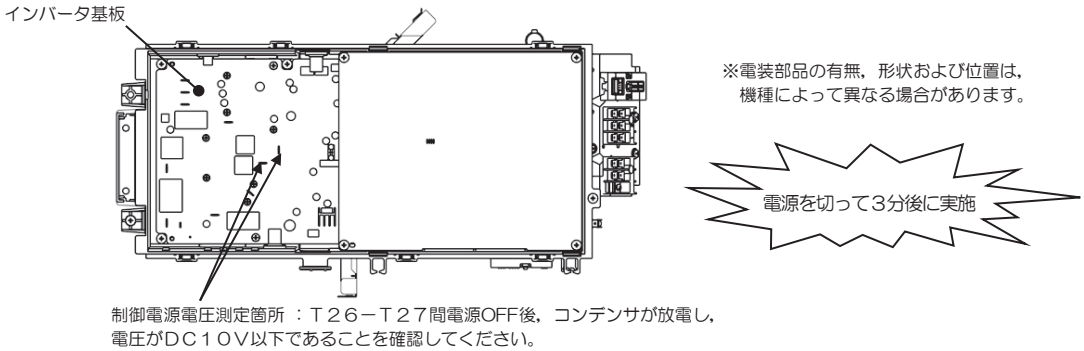


図2．電圧測定箇所

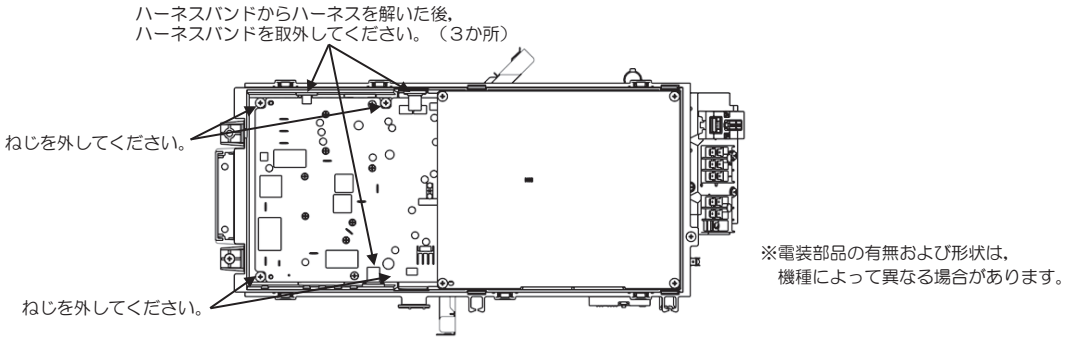


図3．取外し箇所

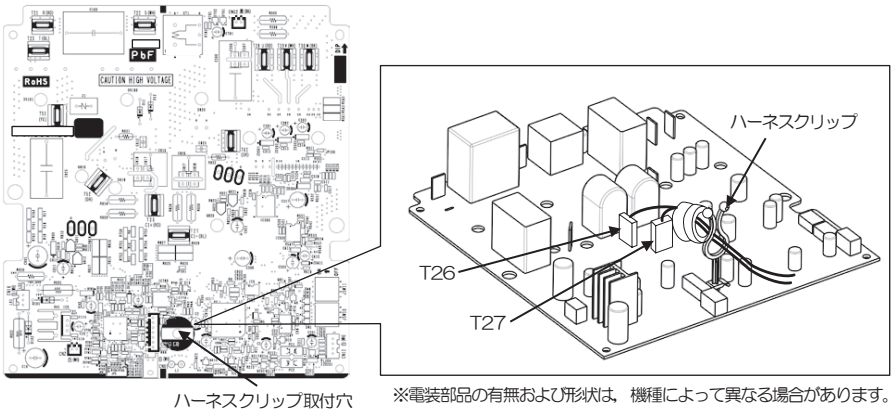


図4．ハーネス固定図

PCA012D067B

(c) FDCZP1126H～1606H

(i) 制御基板

下記の要領で制御基板の交換を行ってください。

① 交換作業は，**電源を切って３分後**に実施してください。

② コネクタ（ＣＮＡ１）の両極を測定し，**電解コンデンサに充電されたＤＣ電圧が十分に放電（10V以下）した**事を確認してください。（図２参照）

③ 制御基板のコネクタを外してください。（図１．部品配置図を参照してください。）

④ 基板上のＣＴ１に通している白色または青色の配線を外して，制御基板を交換してください。

⑤ 新しい基板の設定スイッチ（ＳＷ3-５，７、ＪＳＷ１）の設定を交換前の基板に合わせてください。

⑥ 白色または青色の配線を，交換した基板上のＣＴ１に通してねじを締めてください。

⑦ コネクタを交換前と同じ場所に接続してください。（接続後，**半挿しが無い様**確認してください。）

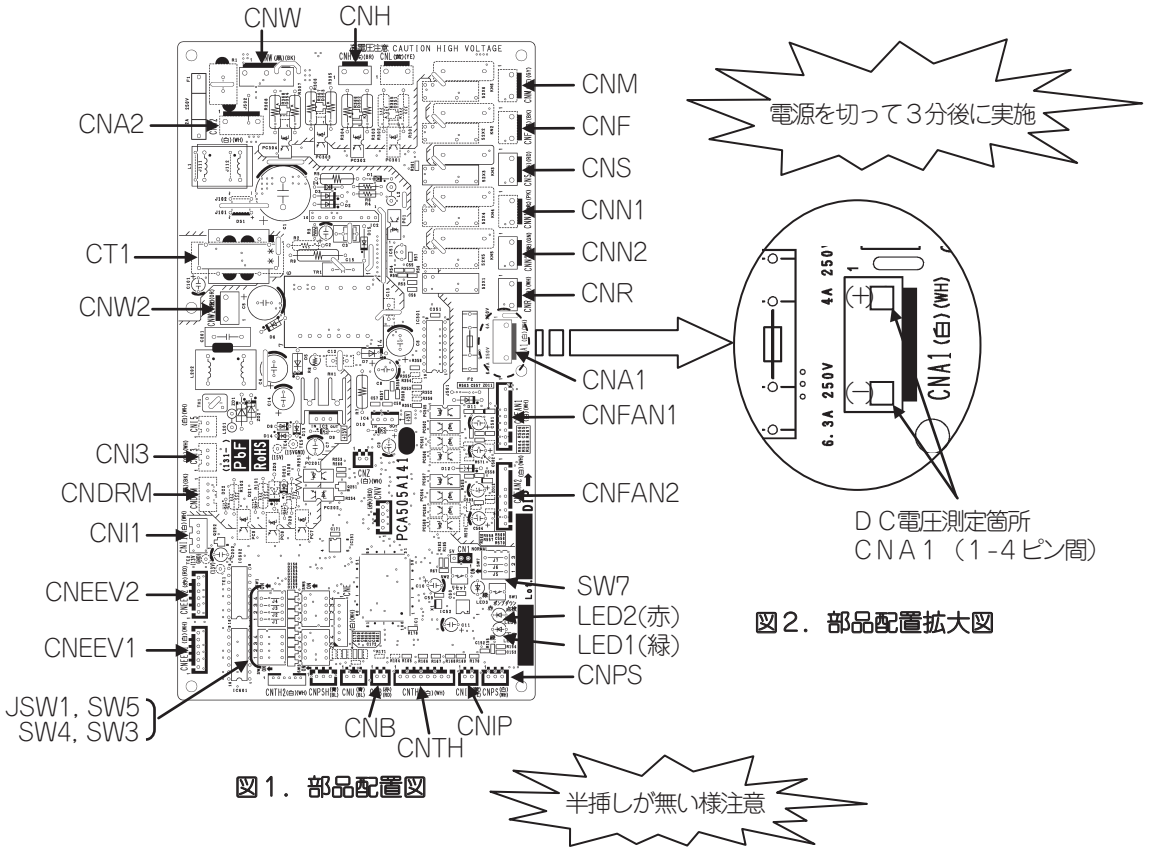


図１．部品配置図

図２．部品配置拡大図

PCA012D110

(ii) インバータ基板

下記の要領でインバータ基板（図１）の交換を行ってください。インバータ基板の搭載箇所は図３を参照してください。

① 交換作業は，**電源を切って３分後**に実施してください。（ 電源OFF直後はコンデンサが放電されておらず，高電圧状態で危険なため，コントローラを触らないでください。また，リアクタが高温になっていますので，リアクタには触らないでください。）

② ハーネスが接続されている状態で，図２に示す制御基板のコネクタＣＮＡ１（１－４ピン間）の**ＤＣ電源電圧を測定し，２０Ｖ以下（コンデンサ放電後の電圧）である事**を確認してください。

③ 図２に示す様にバンドに束ねられているハーネスをクリップと制御基板上のコネクタから外し，ねじ（４か所）を外してください。

④ 図３の様に制御面を開き，図１で示すインバータ基板のＣＮＡ３（１－４ピン間）の**ＤＣ電源電圧を測定し，２０Ｖ以下 （コンデンサ放電後の電圧）である事**を確認してください。（※）

・インバータ基板に接続されたコネクタ，端子およびダイオード（Ｄ８０１），トランジスタ（Ｑ８０２），パワートランジスタ（ＩＣ２）の取付け用ねじを外してインバータ基板を取外してください。

・取外した後，放熱フィンに付着しているシリコングリスをきれいに拭き取ってください。

・ダイオード（Ｄ８０１）およびトランジスタ（Ｑ８０２）用の**絶縁シートを放熱フィンより剥がし， 新しい絶縁シートを放熱フィンに貼付けてください。**（図４参照）

・制御面を開けている際は，上から力を加えないでください。製品の変形やけがの原因になります。

⑤ 新しい基板のダイオード（Ｄ８０１），トランジスタ（Ｑ８０２）に装着されているスペーサ（図５参照）を取外してください。

⑥ 新しい基板のスイッチ（ＪＳＷ１０，１１）のＯＮ／ＯＦＦ設定を交換前の基板に合わせてください。

⑦ 新しい基板のパワートランジスタ（ＩＣ２）表面に，同梱の**シリコングリスを均一に塗布**して基板を取付けてください。塗布しないと**部品が破損することがあります**。（シリコングリスは使い切ってください。）

⑧ 新しい基板のパワートランジスタ（ＩＣ２），ダイオード（Ｄ８０１），トランジスタ（Ｑ８０２）の取付用ねじを締付け（各推奨締付トルクは図６参照），端子およびコネクタを元の状態に接続してください。
コネクタ接続後，**半挿しが無い事を**確認してください。
制御面を閉じる際に配線の噛み込みがない様に注意してください。配線が損傷し，ショートや火災の原因になります。

（※）インバータ基板（ＣＮＡ３）のコネクタが**未接続の状態**で電源を投入した場合や，故障の内容によって電荷が数時間放電されない可能性があります。
感電，基板破損の恐れがありますので確実にＣＮＡ３の電圧測定を行ってください。

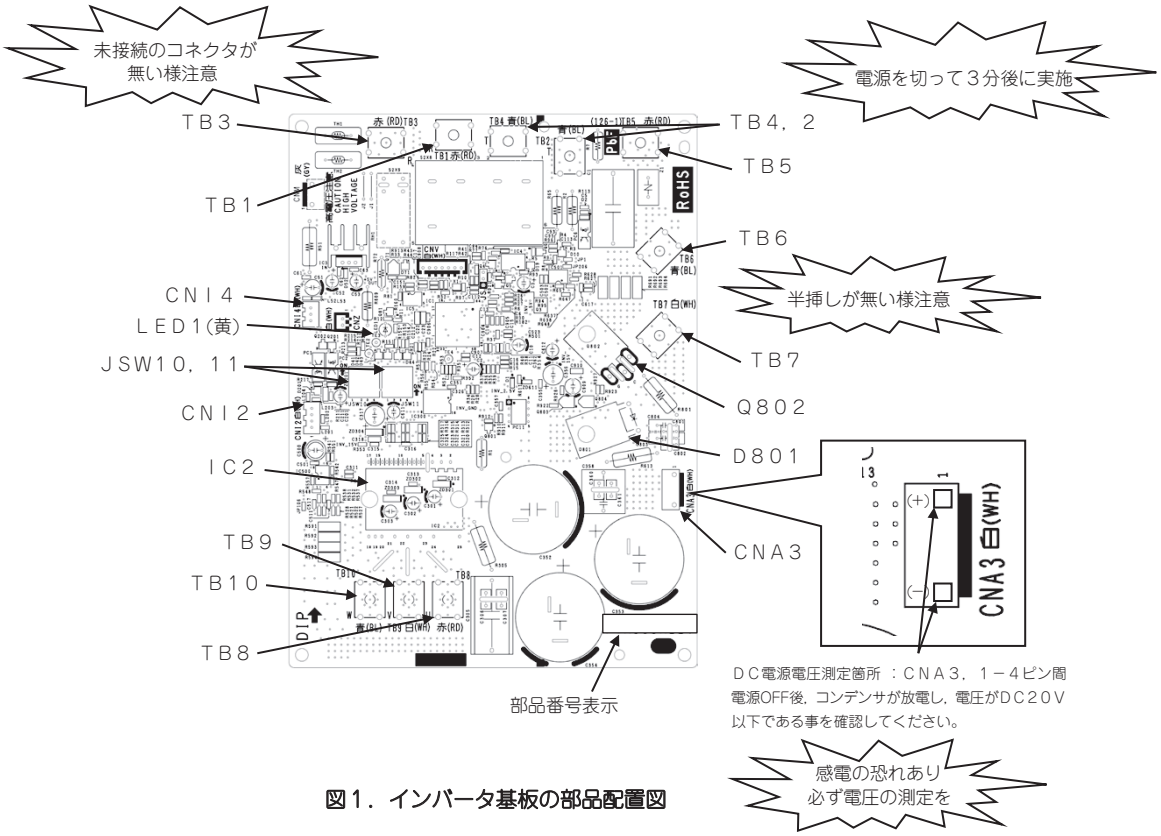


図１．インバータ基板の部品配置図

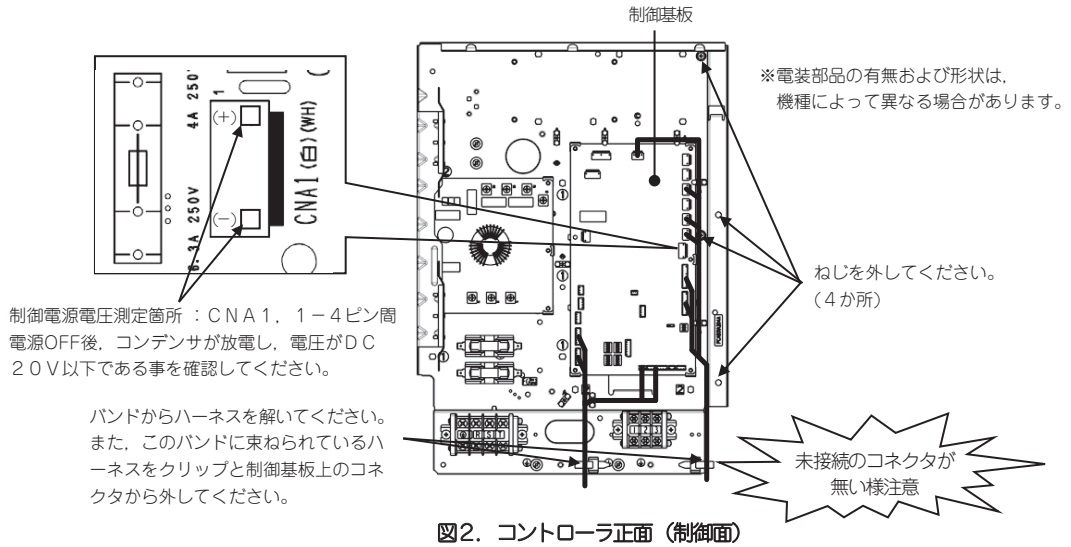


図2．コントローラ正面（制御面）

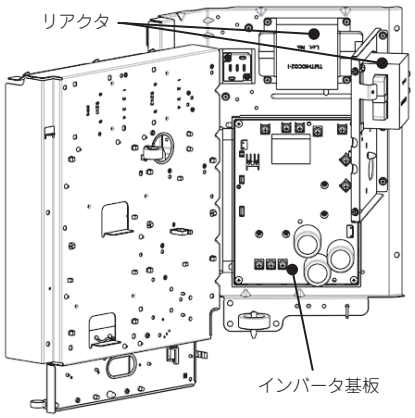


図3．制御面を開き，インバータ基板が見える状態

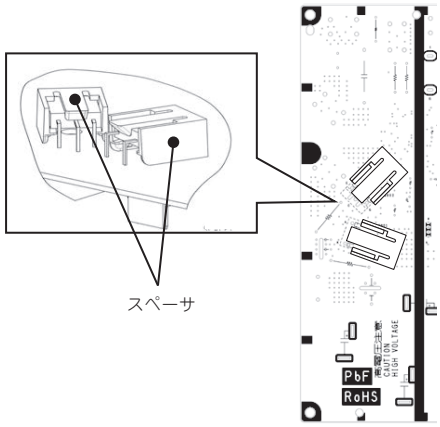


図5．インバータ基板裏側（はんだ面側）

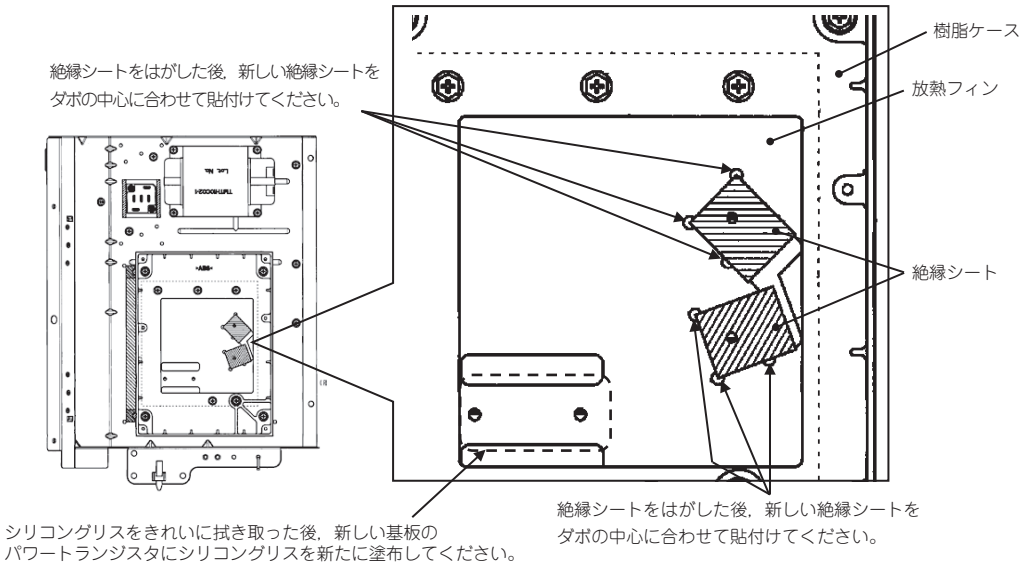


図4．インバータ基板を取外した状態

名称	記号	締付順序	締付位置	締付トルク	備考
パワートランジスタ	IC2	1	Ⓐ	0.16~0.23 N・m	仮締め
		2	Ⓑ		
		3	Ⓐ	0.59~0.78 N・m	本締め
		4	Ⓑ		
トランジスタ	Q802	-	-	0.6~0.8 N・m	-
ダイオード	D801	-	-	0.39~0.59 N・m	-

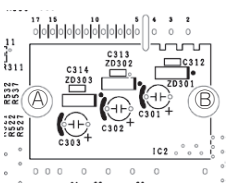


図6．推奨締付トルクおよびパワートランジスタ（ＩＣ２）締付位置

PCA012D065

(d) FDCZP2246H，FDCZP2806H

(i) 制御基板

下記の要領でコントロール基板の交換を行ってください。

① 交換作業は，電源を切って3分後に実施してください。(電源OFF直後はコンデンサが放電されておらず，高電圧状態で危険なため，コントローラを触らないでください。)

② フロントパネルを外し，ハーネスが接続されている状態で，図2に示す制御基板のCNA1の1-4ピン間のDC電源電圧を測定し，20V以下（コンデンサ放電後の電圧）であることを確認してください。

③ 制御基板上のコネクタを外してください。(図2参照)
図2の※で示すコネクタは，無理矢理外すと破損する恐れがあります。ロックを外し，取外してください。

④ 図1で示すねじ4箇所を外し，樹脂枠から基板を外してください。

⑤ 新しい基板のスイッチ（SW3～SW8，JSW1）設定を交換前の基板に合わせてください。

⑥ 新しい基板と樹脂枠を取付用ねじで締め，コネクタを元の状態に接続してください。
コネクタ接続後，半挿しが無いことを確認してください。

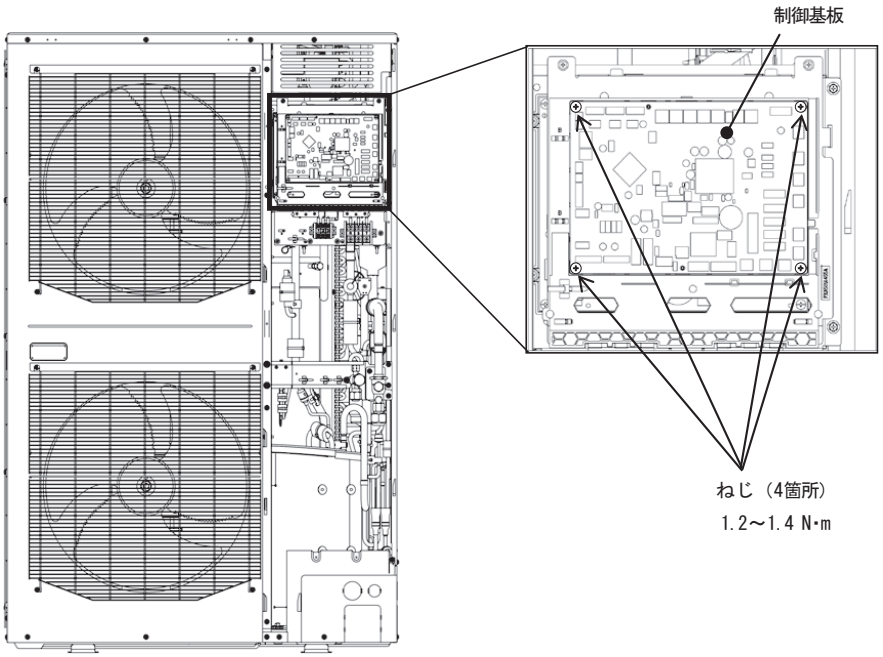


図1. 制御基板配置図

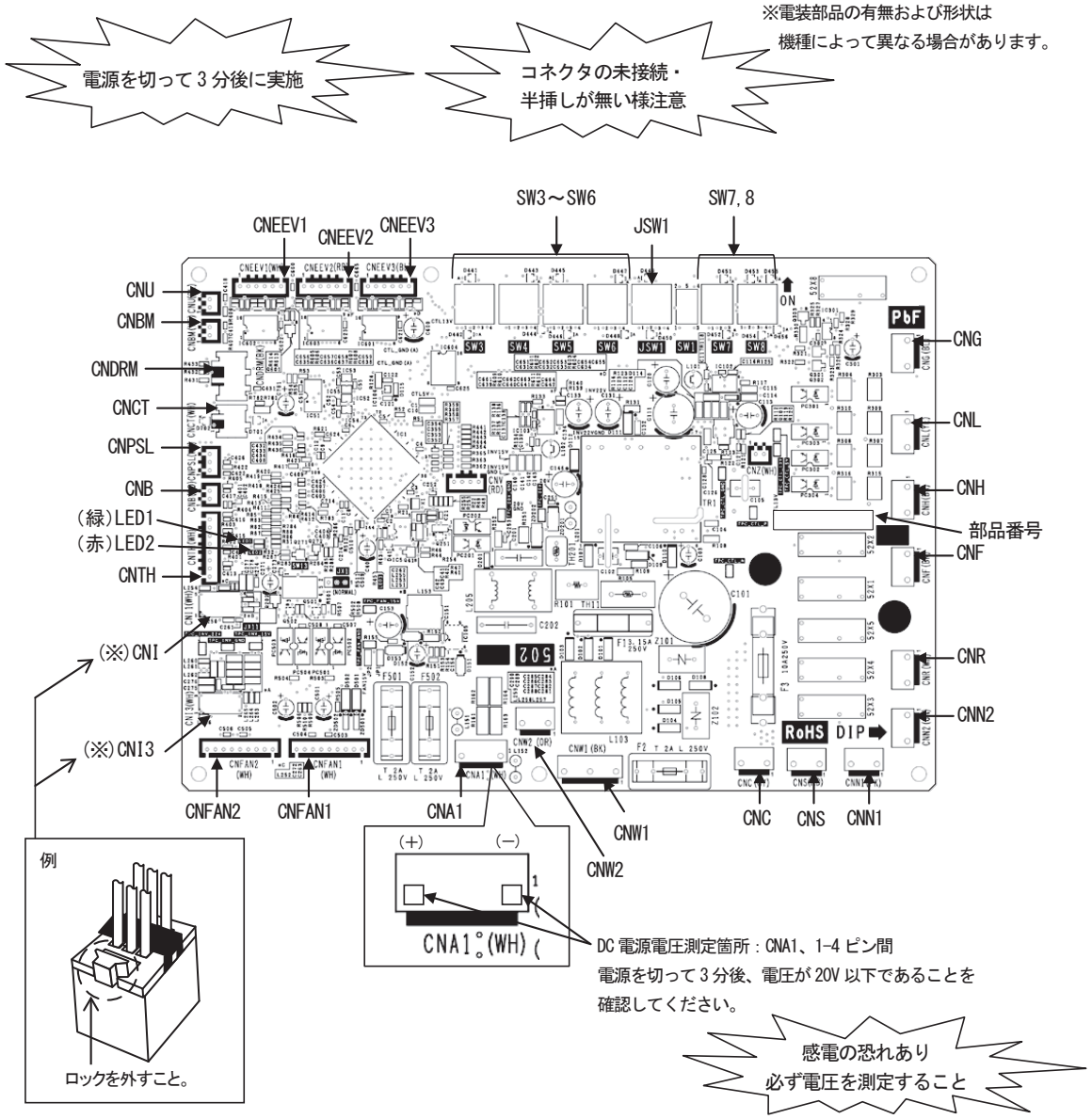


図 2. 制御基板の部品配置図および電圧測定箇所

PCA012D120

(ii) インバータ基板

下記の要領でインバータ基板（図2）の交換を行ってください。制御基板搭載箇所は図1を参照してください。

① 交換作業は，電源を切って3分後に実施してください。（電源OFF直後はコンデンサが放電されておらず，高電圧状態で危険なため，コントローラを触らないでください。）

② ハーネスが接続されている状態で，図1に示す制御基板のCAN1の1-4ピン間のDC電源電圧を測定し，20V以下（コンデンサ放電後の電圧）であることを確認してください。

③ 図1に示すねじ2箇所を外し，制御面を開いてください。
制御面を開いている間は，上から力を加えないでください。製品の変形やけがの原因になります。

④ インバータ基板上のねじ端子およびコネクタを外してください。（図3参照）
図3の※で示すコネクタは，無理矢理外すと破損する恐れがあります。ロックを外し，取外してください。

⑤ 図2で示すように板金へ固定されている樹脂枠付き基板のねじ4箇所(樹脂枠－板金間)を外し，樹脂枠付き基板を板金から外してください。

⑥ 新しい基板のスイッチ（SW10）の設定を交換前の基板に合わせてください。

⑦ 新しい樹脂枠付き基板と板金を取付用ねじで締め，ねじ端子およびコネクタを元の状態に接続してください。
コネクタ接続後，半挿しが無いことを確認してください。
制御面を閉じる際は，配線の噛込みがないように注意してください。配線が破損し，ショートや火災の原因になります。

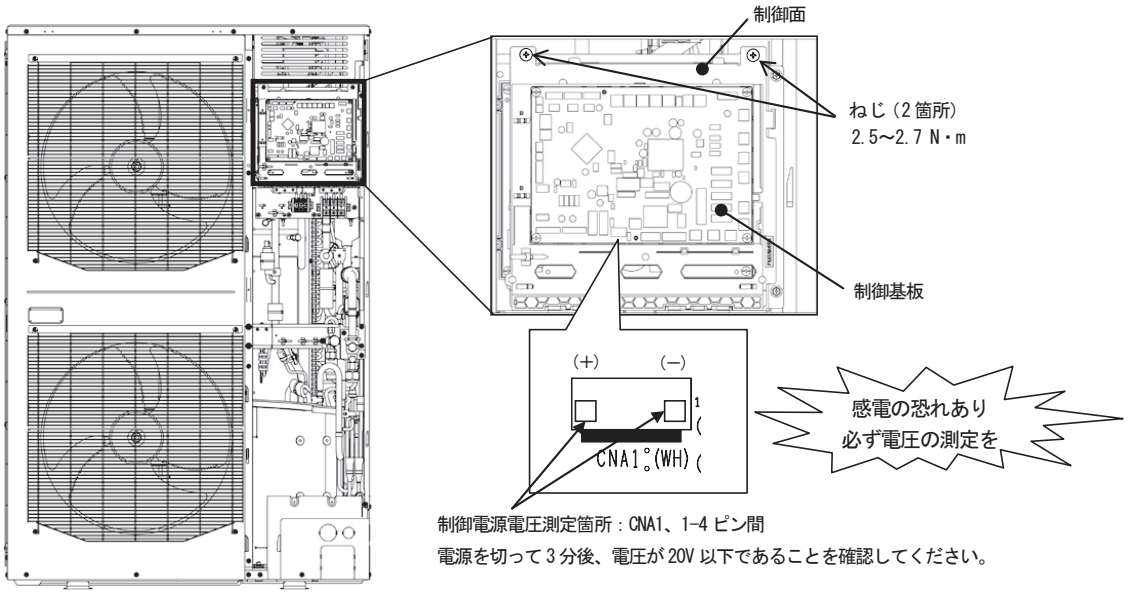


図 1. 制御基板の電圧測定箇所

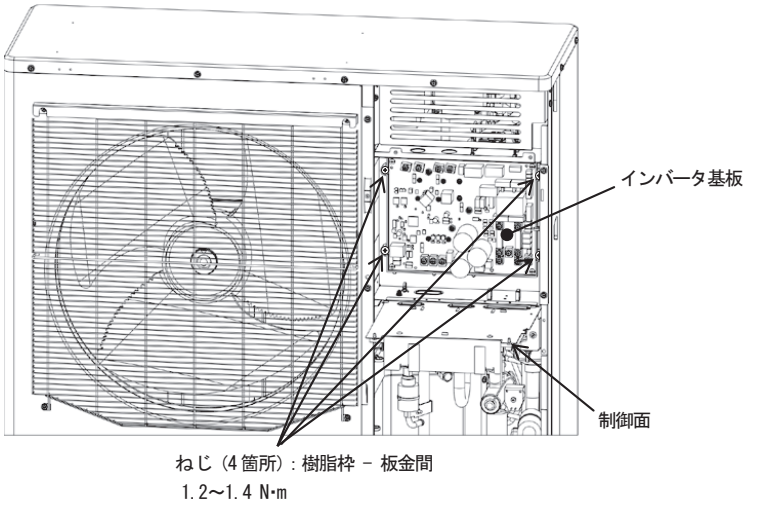


図 2. インバータ基板配置図（制御面を開いた状態）

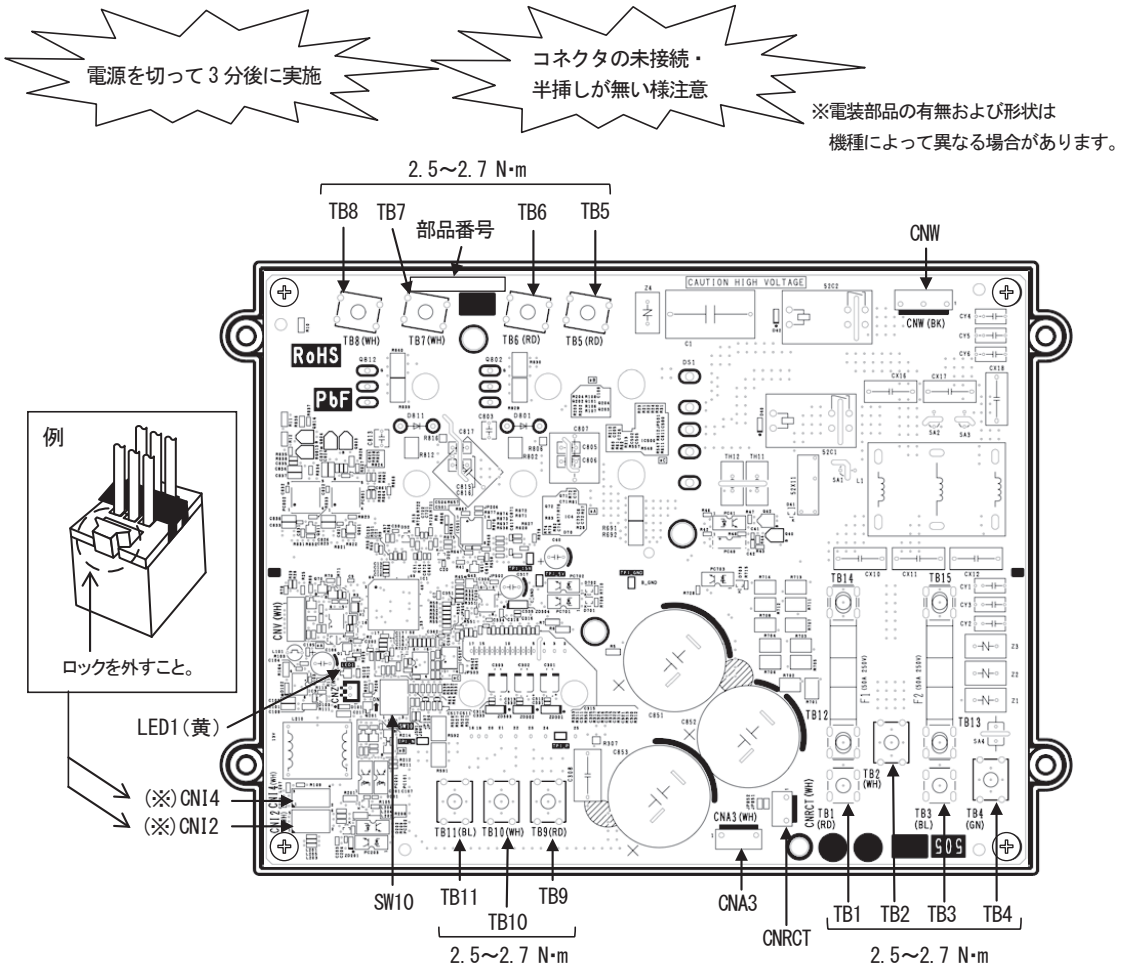


図 3. インバータ基板の部品配置図

PCB012D118

●ディップスイッチ設定表

(1) FDCZP406 ～ 636H, HK

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW5-1	デフロスト設定切換え	通常/寒冷地	OFF	通常	寒冷地
SW5-2	—	—	OFF	—	—
SW5-3	試運転モード	通常/試運転	OFF	通常	試運転
SW5-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房	OFF	冷房試運転	暖房試運転
SW6-1	機種切換え	機種容量	表1参照		
SW6-2	機種切換え				
SW6-3	機種切換え				
SW6-4	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW7-1	機種切換え	ヒーポン/冷専		ヒーポン	冷専
SW7-2	機種切換え	ハイパー/エクシード		ハイパー	エクシード
SW7-3	—	—	OFF	—	—
SW7-4	—	—	OFF	—	—
SW8-1	—	—	OFF	—	—
SW8-2	—	—	OFF	—	—
SW8-3	インバータチェックモード切換え	通常/有効	OFF	通常	チェックモード

表1：室外ユニット機種切換え

スイッチ	P406H	P406HK	P456H	P456HK	P506H	P506HK	P566H	P566HK	P636H	P636HK
SW6-1	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
SW6-2	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF
SW6-3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
SW6-4	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
SW7-1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
SW7-2	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

(2) FDCZP806H, HK

(a) 制御基板

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW3-1	デフロスト設定切換え	通常/寒冷地	OFF	通常	寒冷地
SW3-2	防雪ファン制御	無効/有効	OFF	無効	有効
SW3-3	機種切換え	ヒーポン/冷専	表1参照	ヒーポン	冷専
SW3-4	—	—	OFF	—	—
SW4-1	機種切換え	国内/輸出	表1参照	国内	輸出
SW4-2	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW4-3	—	—	OFF	—	—
SW4-4	—	—	OFF	—	—
SW5-1	—	—	OFF	—	—
SW5-2	機種切換え	ハイパー/エクシード	表1参照	ハイパー	エクシード
SW5-3	試運転	通常/試運転	OFF	通常	試運転
SW5-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房	OFF	冷房	暖房
SW7-1	既設配管流用	通常/既設配管	OFF	通常	既設配管
SW7-2	—	—	OFF	—	—
SW7-3	—	—	OFF	—	—
SW8-1	既設配管洗浄運転	通常/洗浄運転	OFF	通常	洗浄運転
SW8-2	—	—	OFF	—	—
SW8-3	フリーアドレスプルーラル制御	有効/無効	OFF	有効	無効
SW9	ポンプダウン制御	通常/ポンプダウン	OFF	通常	ポンプダウン

表1：室外ユニット機種切換え

スイッチ	P806H	P806HK
SW3-3	OFF	OFF
SW4-1	OFF	OFF
SW4-2	OFF	ON
SW5-2	ON	ON

(b) インバータ基板

スイッチ	P806H	P806HK
JSW10-1	OFF	OFF
JSW10-2	OFF	OFF
JSW10-3	OFF	OFF
JSW10-4	OFF	OFF
JSW11-1	OFF	ON
JSW11-2	OFF	OFF
JSW11-3	ON	ON
JSW11-4	OFF	OFF

(3) FDCZP1126 ～ 1606H

(a) 制御基板

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW1	ポンプダウン制御	通常/ポンプダウン	OFF	通常	ポンプダウン
JSW1-1(J1)	機種切換え	機種容量	表1参照		
JSW1-2(J2)	機種切換え				
JSW1-3(J3)	機種切換え				
JSW1-4(J4)	機種切換え	ヒーポン/冷専		ヒーポン	冷専
SW3-1	デフロスト制御切換え	通常/寒冷地	OFF	通常	寒冷地
SW3-2	防雪ファン制御	無効/有効	OFF	無効	有効
SW3-3	試運転	無効/有効	OFF	無効	試運転
SW3-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房	OFF	冷房試運転	暖房試運転
SW4-1	フリーアドレスプルーラル切換え	無効/有効	表1参照	無効	有効
SW4-2	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW4-3	—	—	OFF	—	—
SW4-4	機種切換え	ハイパー/エクシード	表1参照	ハイパー	エクシード
SW5-1	既設配管流用	通常/既設配管	OFF	通常	既設配管
SW5-2	既設配管洗浄運転	通常/洗浄運転	OFF	通常	洗浄運転
SW5-3	—	—	OFF	—	—
SW5-4	—	—	OFF	—	—
SW7-1(J5)	長配管対応	通常/長配管	OFF	通常	長配管
SW7-2(J6)	—	—	OFF	—	—
SW7-3(J7)	サイレントモード切換え	通常/騒音規制対応	OFF	通常	騒音規制対応

表１：室外ユニット機種切換え

スイッチ	P1126H	P1406H	P1606H
JSW1-1	OFF	ON	OFF
JSW1-2	OFF	OFF	ON
JSW1-3	OFF	OFF	OFF
JSW1-4	OFF	OFF	OFF
SW4-1	OFF	OFF	OFF
SW4-2	OFF	OFF	OFF
SW4-4	ON	ON	ON

(b) インバータ基板

スイッチ	P1126H	P1406H	P1606H
JSW10-1	OFF	OFF	OFF
JSW10-2	OFF	OFF	OFF
JSW10-3	OFF	OFF	OFF
JSW10-4	OFF	OFF	OFF
JSW11-1	ON	ON	ON
JSW11-2	OFF	OFF	OFF
JSW11-3	OFF	OFF	OFF
JSW11-4	OFF	OFF	OFF

(4) FDCZP2246H，2806H

(a) 制御基板

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW1	ポンプダウン制御	通常/ポンプダウン	OFF	通常	ポンプダウン
JSW1-1(J1)	機種切換え	機種容量	表1参照		
JSW1-2(J2)	機種切換え				
JSW1-3(J3)	機種切換え				
JSW1-4(J4)	機種切換え	ヒーポン/冷専		ヒーポン	冷専
SW3-1	デフロスト制御切換え	通常/寒冷地	OFF	通常	寒冷地
SW3-2	防雪ファン制御	無効/有効	OFF	無効	有効
SW3-3	試運転	無効/有効	OFF	無効	試運転
SW3-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房	OFF	冷房試運転	暖房試運転
SW4-1	フリーアドレスブルーラル切換え	無効/有効	表1参照	無効	有効
SW4-2	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW4-3	—	—	OFF	—	—
SW4-4	機種切換え	ハイパー/エクシード	表1参照	ハイパー	エクシード
SW5-1	既設配管流用	通常/既設配管	OFF	通常	既設配管
SW5-2	既設配管洗浄運転	通常/洗浄運転	OFF	通常	洗浄運転
SW5-3	—	—	OFF	—	—
SW5-4	—	—	OFF	—	—
SW6-1	メンテPC異常履歴データ記録間隔_1	無効/有効	OFF	表2参照	
SW6-2	メンテPC異常履歴データ記録間隔_2	無効/有効	OFF		
SW6-3	—	—	OFF	—	—
SW6-4	インバータチェッカモード用	無効/有効	OFF	無効	有効
SW7-1(J5)	—	—	OFF	—	—
SW7-2(J6)	—	—	OFF	—	—
SW7-3(J7)	サイレントモード切換え	通常/騒音規制対応	OFF	通常	騒音規制対応

表1：室外ユニット機種切換え

スイッチ	ZP2246H	ZP2806H
JSW1-1	ON	OFF
JSW1-2	ON	OFF
JSW1-3	OFF	ON
JSW1-4	OFF	OFF
SW4-1	OFF	OFF
SW4-2	OFF	OFF
SW4-4	ON	ON

表2：メンテPC異常履歴データ記録間隔切換え

スイッチ	10s	20s	30s	60s
SW6-1	OFF	ON	OFF	ON
SW6-2	OFF	OFF	ON	ON

(b) インバータ基板

スイッチ	ZP2246H	ZP2806H
SW10-1	OFF	OFF
SW10-2	OFF	OFF
SW10-3	OFF	OFF

●ヒューズ一覧

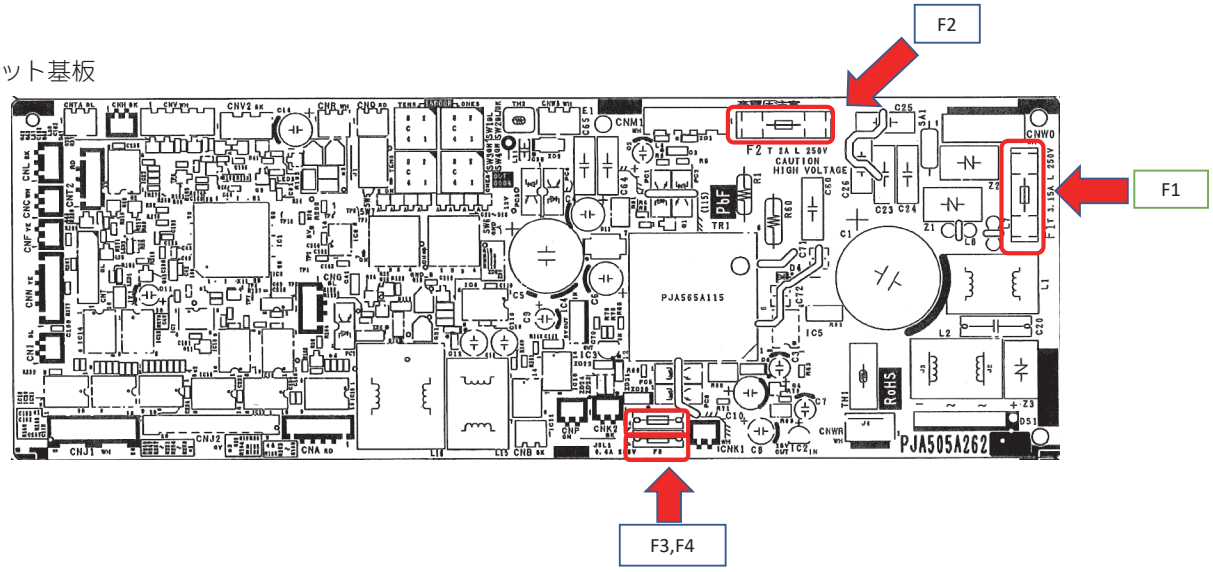
(1) 室内ユニット

(a) FDT，FDTC シリーズ

ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所（※1）	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
ユニット基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（930ページ）
	ファンモータ	F2	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（956ページ）
	スーパーリンク通信	F3	不可 （基板交換）	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
	スーパーリンク通信	F4	不可 （基板交換）	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

ユニット基板

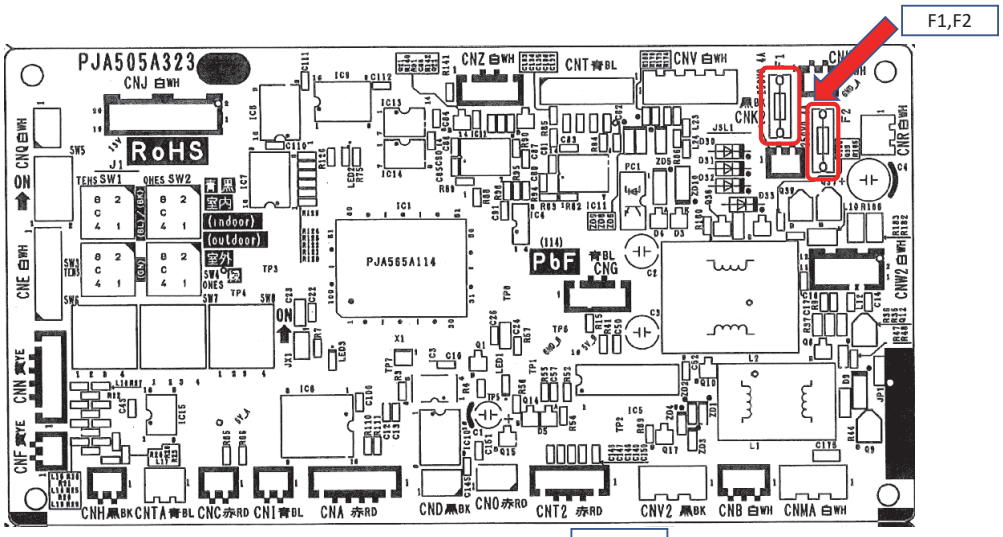


(b) FDTWP56～80，FDTS シリーズ，FDEP56～160

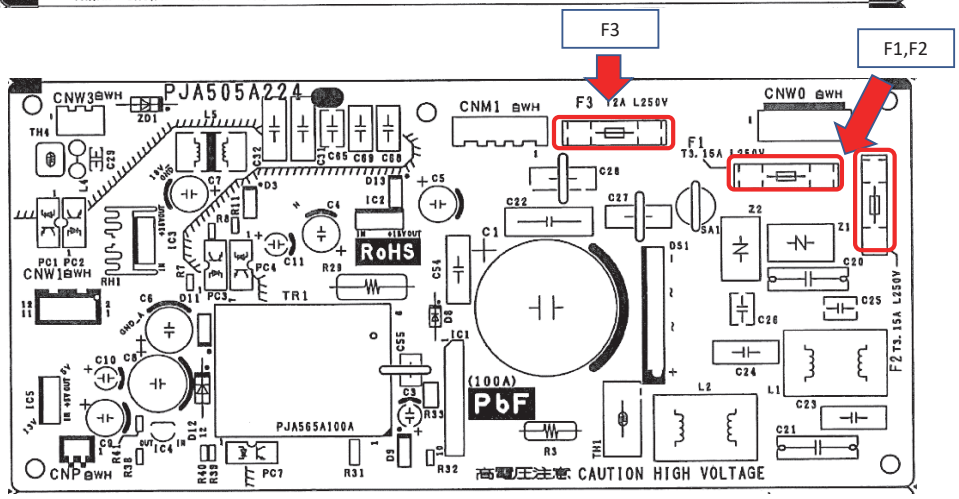
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
制御基板	スーパーリンク通信	F1	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
	スーパーリンク通信	F2	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
電源基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（931ページ）
	電源	F2	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（931ページ）
	ファンモータ	F3	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（957ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

制御基板



電源基板

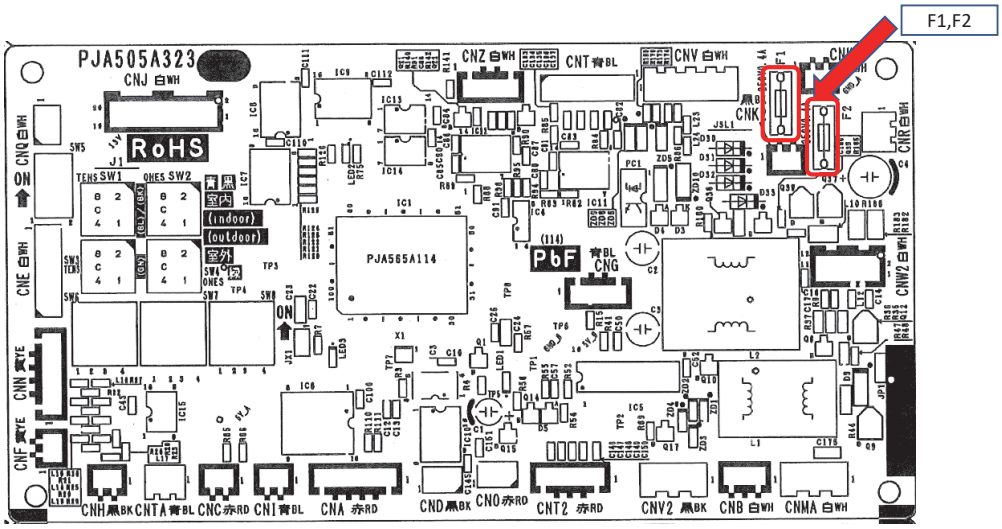


(c) FDTWP140, 160, FDRP56

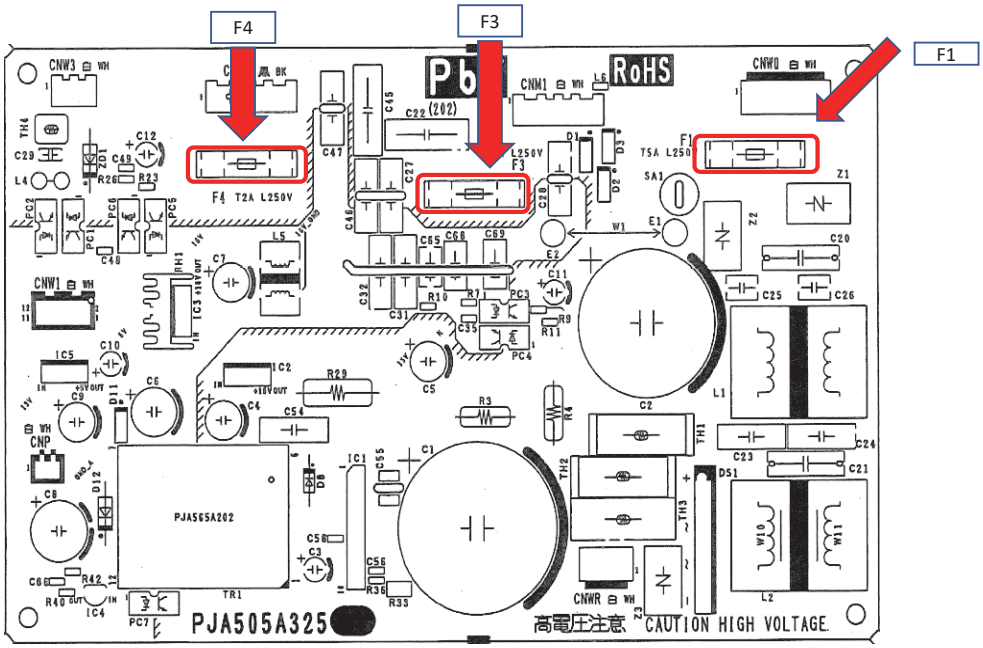
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
制御基板	スーパーリンク通信	F1	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
	スーパーリンク通信	F2	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
電源基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（931ページ）
	ファンモータ	F3	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（957ページ）
	ファンモータ	F4	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（957ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

制御基板



電源基板

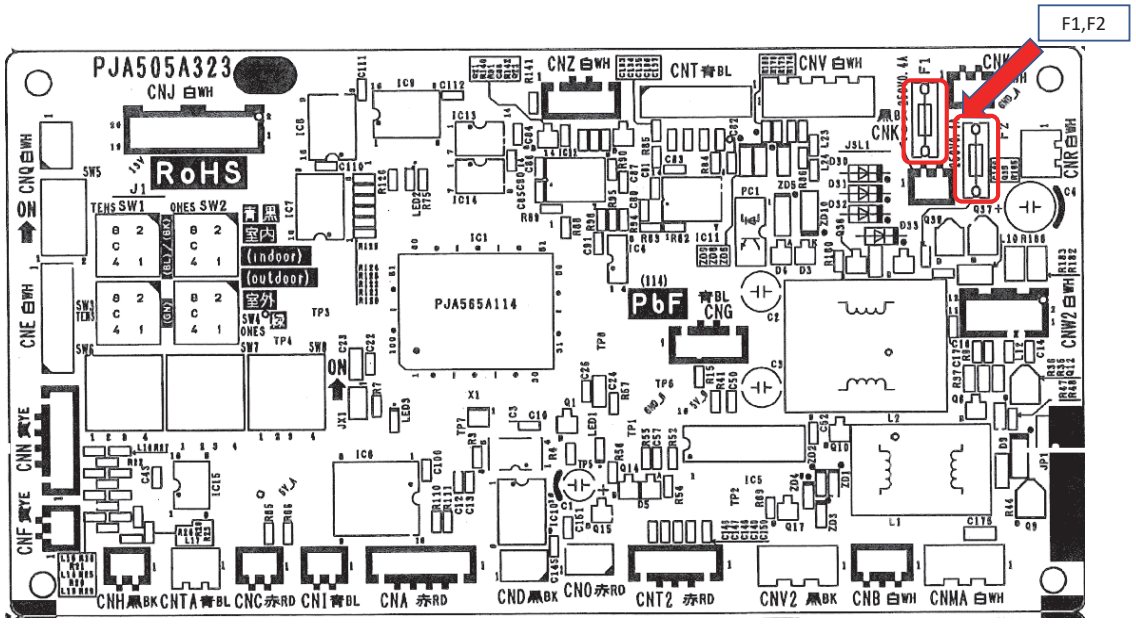


(d) FDRP63～160，FDUP56～160；FDEP224, 280

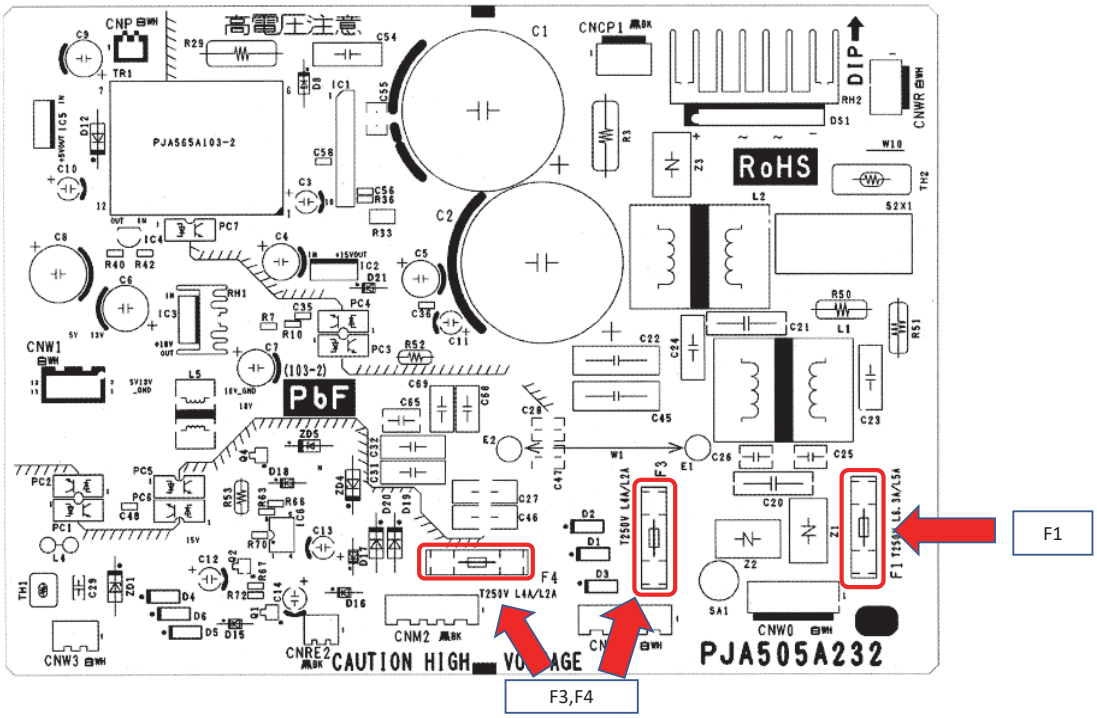
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
制御基板	スーパーリンク通信	F1	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
	スーパーリンク通信	F2	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
電源基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（931ページ）
	ファンモータ	F3	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（957ページ）
	ファンモータ	F4	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（957ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

制御基板



電源基板

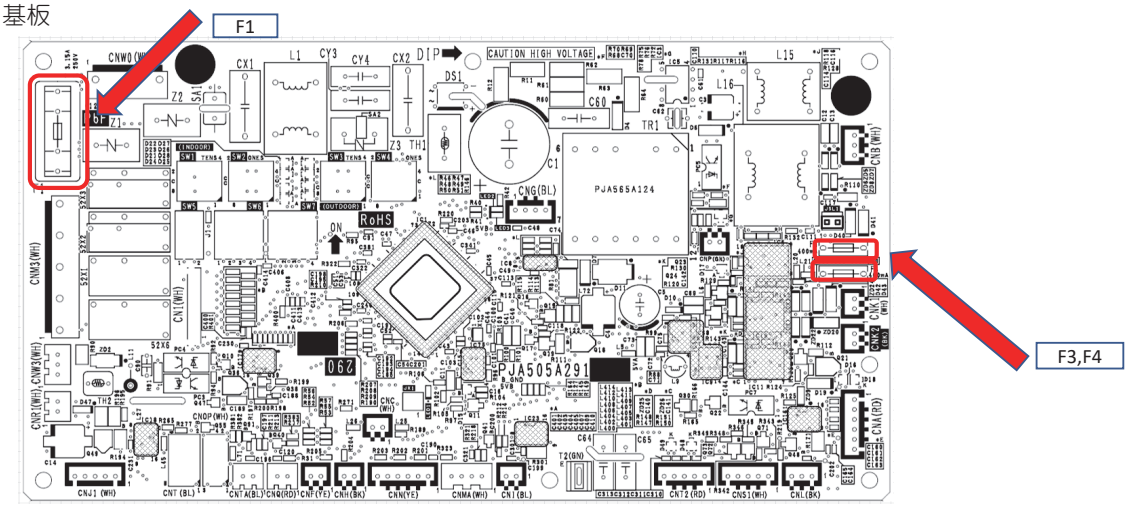


(e) FDESP80, 140

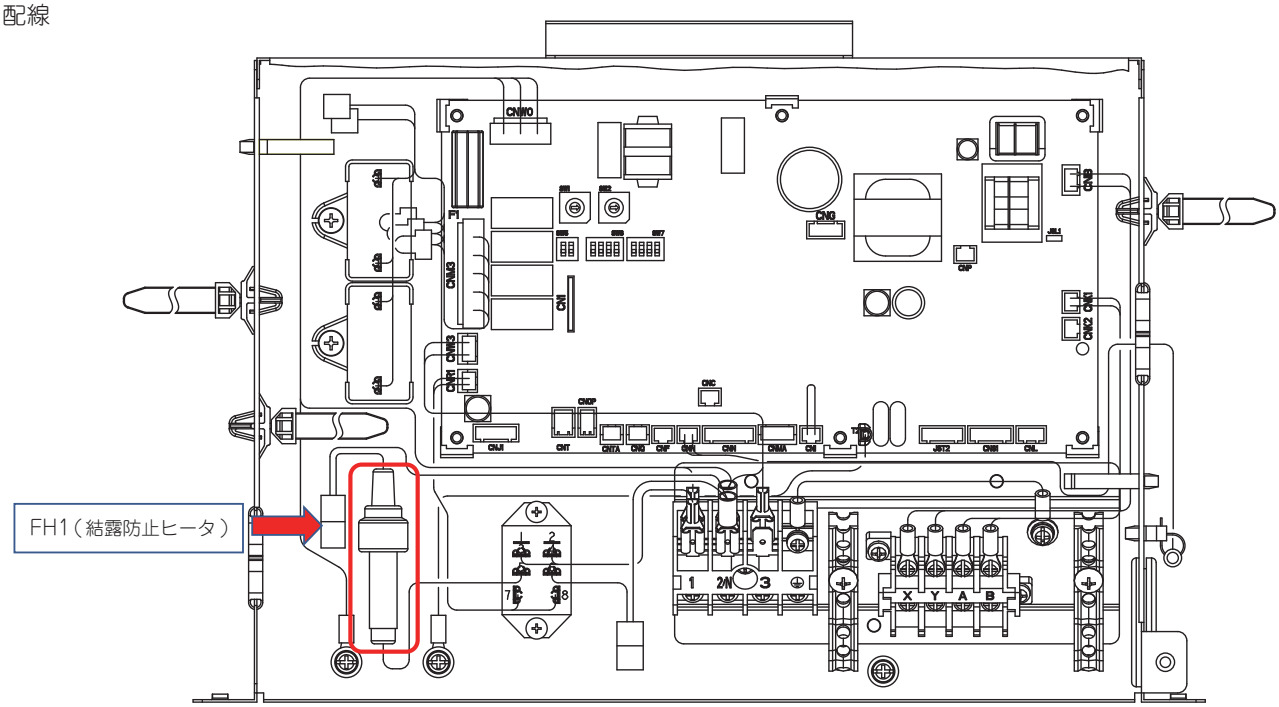
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所（※1）	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
ユニット基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（932ページ）
	スーパーリンク通信	F3	不可 （基板交換）	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（946ページ）
	スーパーリンク通信	F4	不可 （基板交換）	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（946ページ）
配線	結露防止ヒータ	FH1	可	・結露防止ヒータ ・室内基板	-

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

ユニット基板



配線

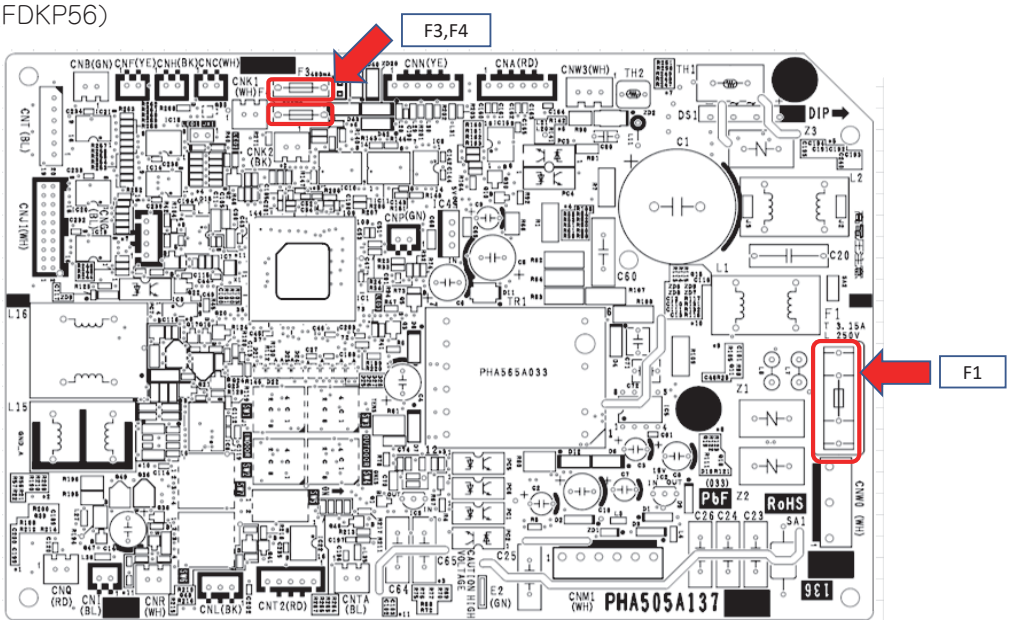


(f) FDK シリーズ

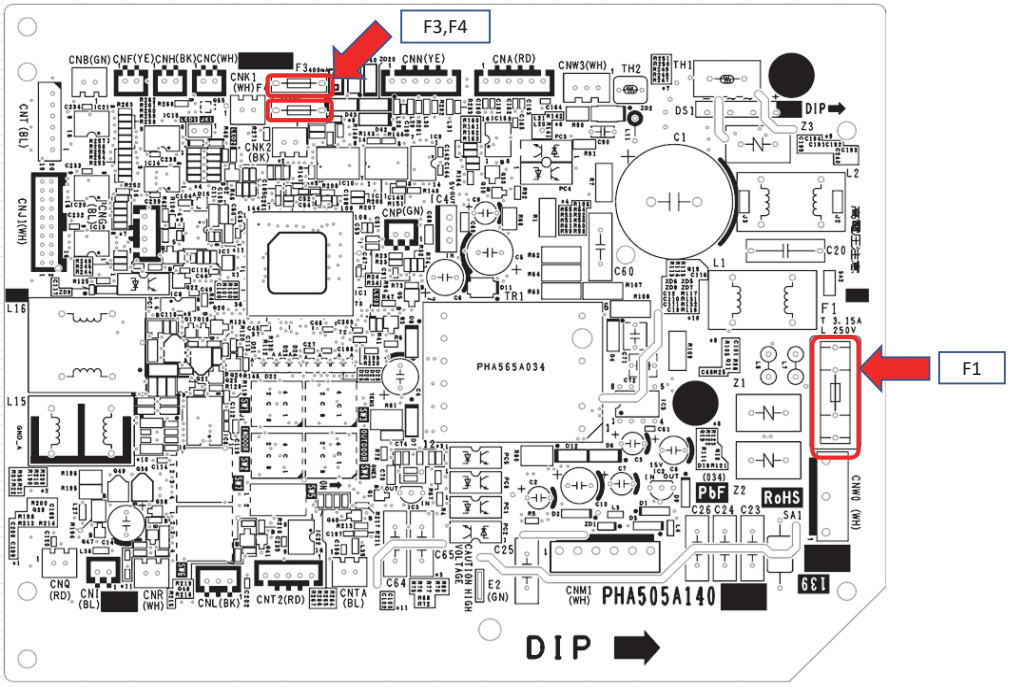
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
ユニット基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	・室内電源異常（930ページ） ・E16:室内ファンモータ異常（956ページ）
	スーパーリンク通信	F3	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（946ページ）
	スーパーリンク通信	F4	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（946ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

ユニット基板 (FDKP56)



ユニット基板 (FDKP63，112)

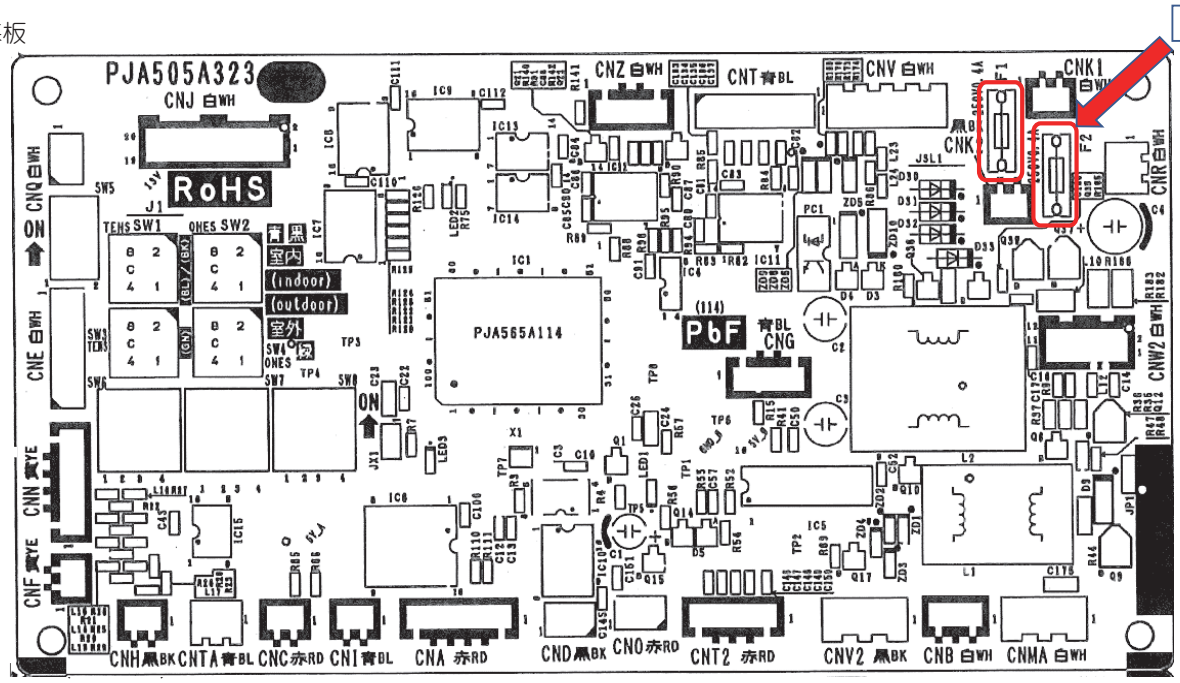


(g) FDUP224, 280

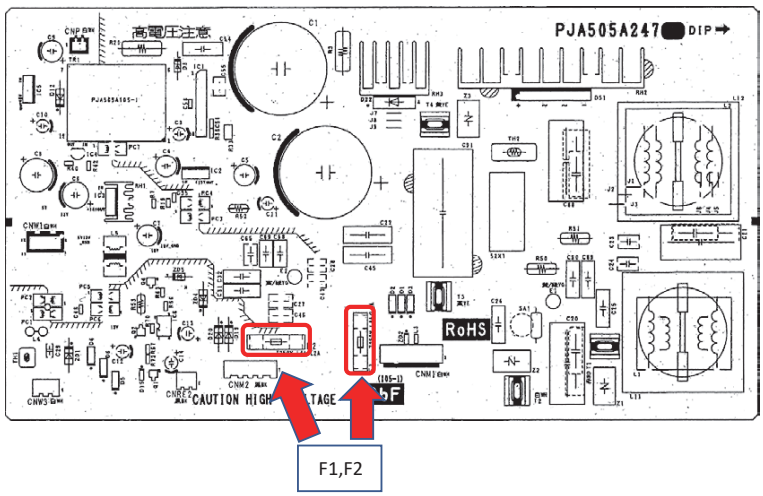
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
制御基板	スーパーリンク通信	F1	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
	スーパーリンク通信	F2	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（945ページ）
コントロールボックス	電源	F3	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（931ページ）
電源基板	ファンモータ	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（957ページ）
	ファンモータ	F2	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（957ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

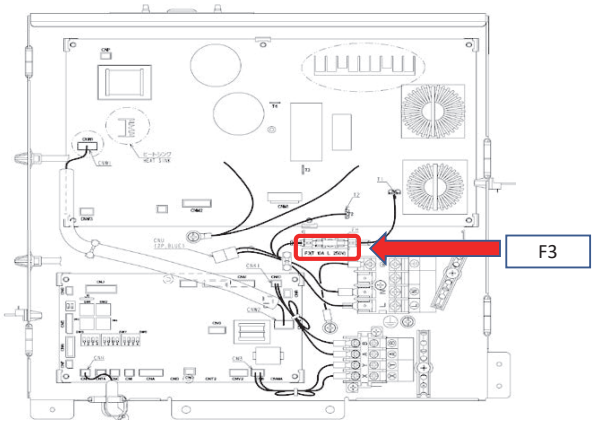
制御基板



電源基板



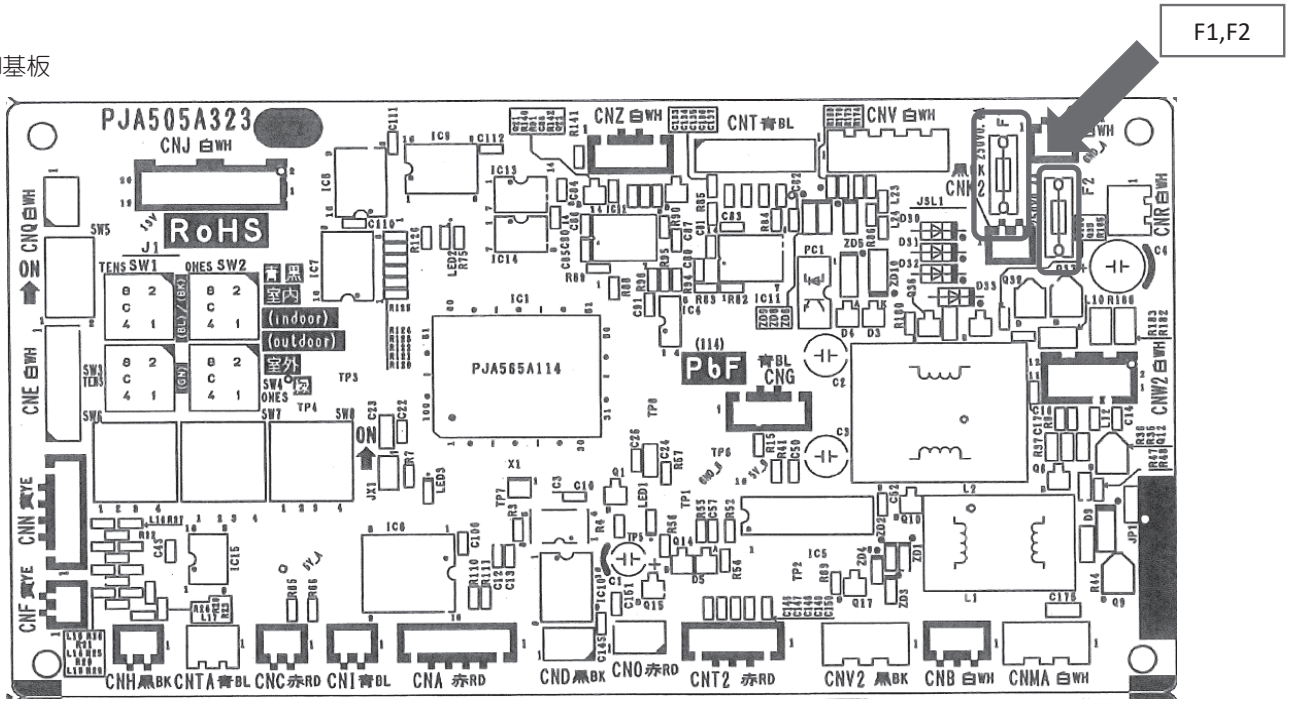
コントロールボックス



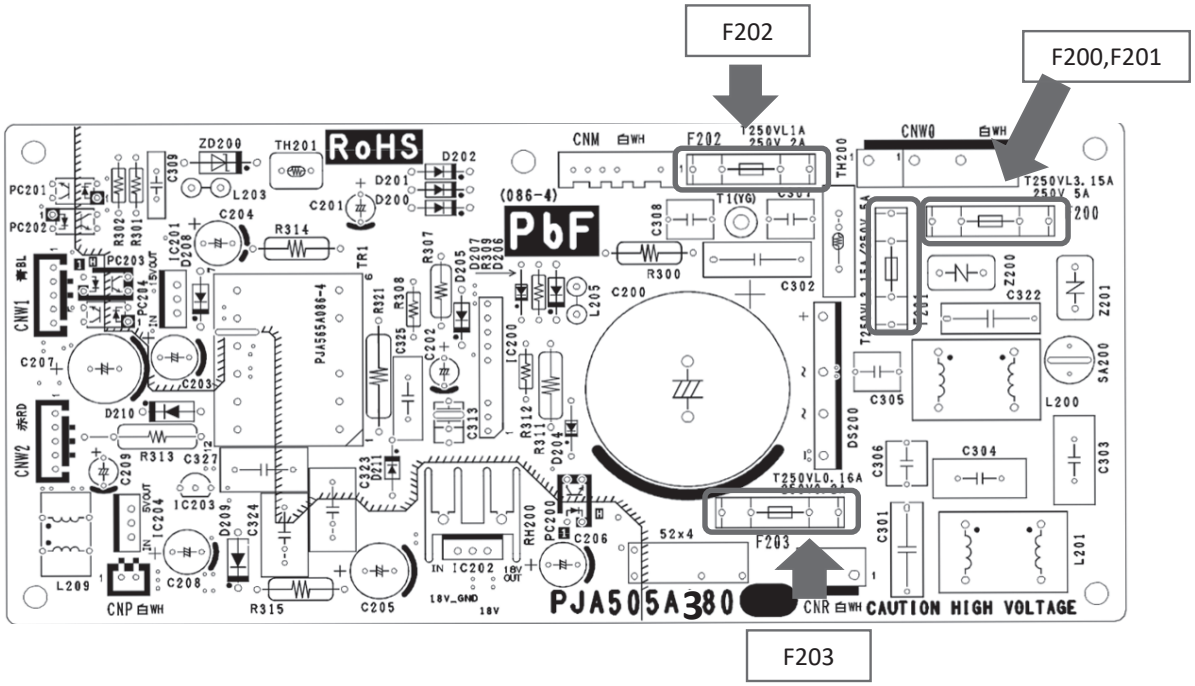
(h) FDFZP635SB,805SB,1605SB

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所
分類	詳細	No.		
制御基板	スーパーリンク通信用	F1	不可	室内および室外制御基板
	スーパーリンク通信用	F2	不可	室内および室外制御基板
電源基板	電源用	F200	可	ファンモータ、室内基板
	電源用	F201	可	ファンモータ、室内基板
	ファンモータ用	F202	可	ファンモータ
	ルーバ用	F203	可	ルーバモータ、室内基板

制御基板



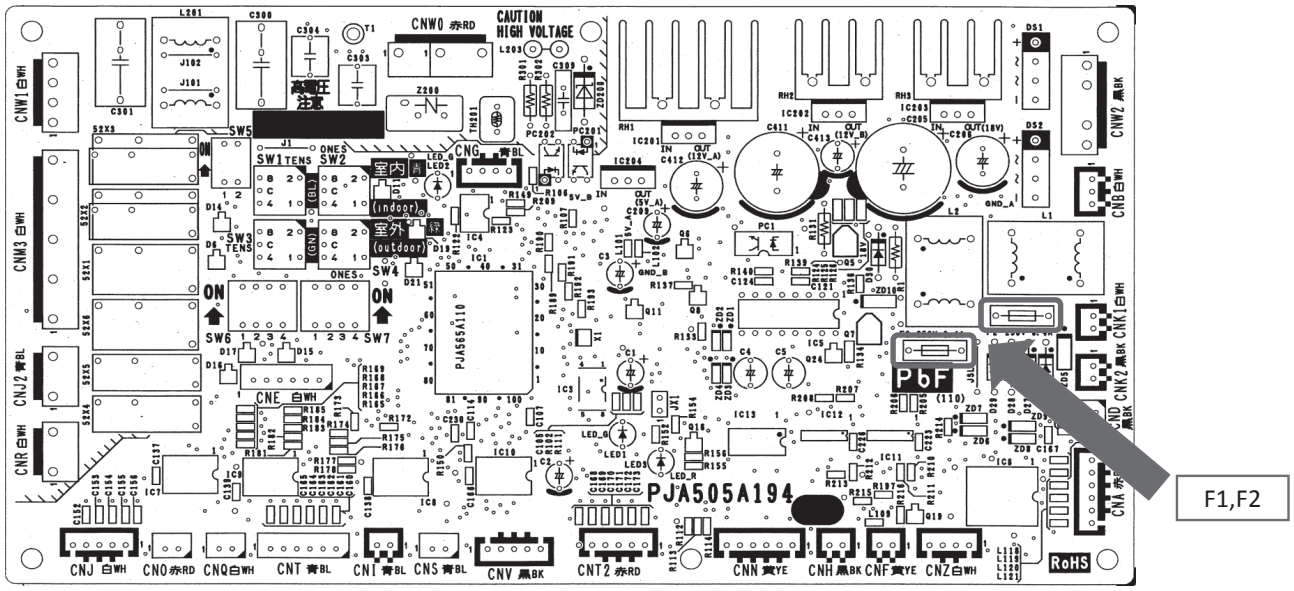
電源基板



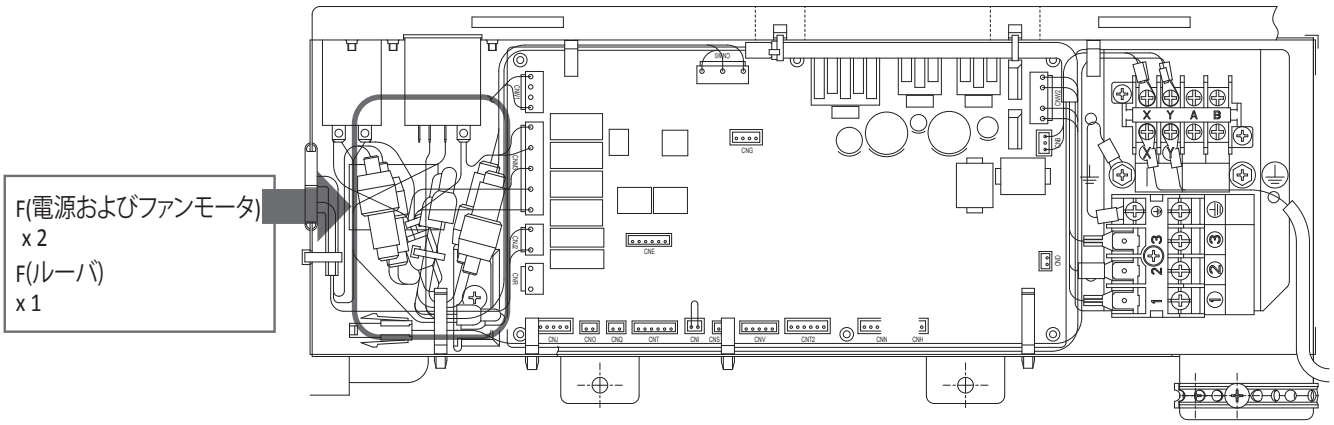
（i） **FDFZP2245,2805**

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所
分類	詳細	No.		
基板	スーパーリンク通信用	F1	不可	室内および室外制御基板
	スーパーリンク通信用	F2	不可	室内および室外制御基板
配線	電源およびファンモータ用	F	可	・ファンモータ ・室内基板
	電源およびファンモータ用	F	可	・ファンモータ ・室内基板
	ルーバ用	F	可	ドレンモータ

PCB（制御用）



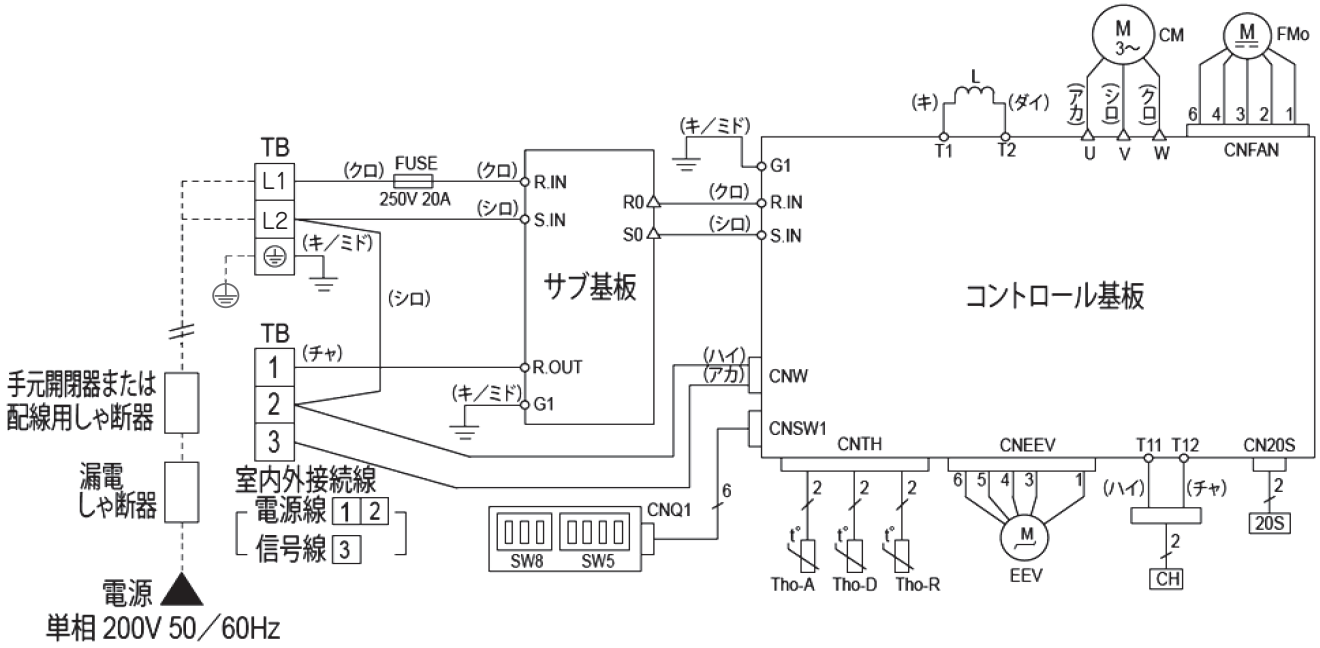
コントロールボックス



(2) 室外ユニット

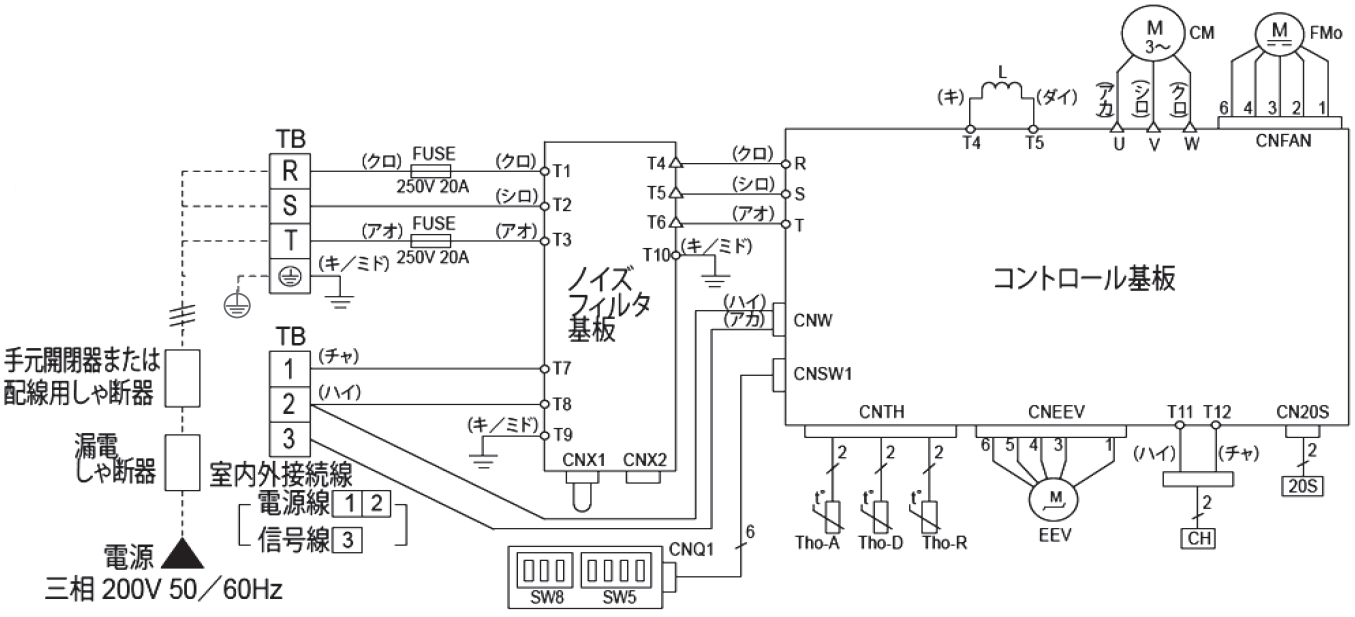
FDCZP406HK, 456HK, 506HK, 566HK

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所	故障診断の参照先（記載ページ）
分類	詳細	No.			
FUSE（電源ヒューズ）	室外端子台ー室外サブ基板間の電源ヒューズ	FUSE 250V 20A	可	・サブ基板 ・コントロール基板 ・リアクタ（L）	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ）
PCB1（コントロール基板）	スイッチング電源回路	F1 250V 2A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	・E5 運転中に室内外通信異常（947 ページ） ・内機確認中（938 ～ 940 ページ参照）
	パワートランジスタ（IPM）電源回路	F2 250V 20A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	・E51 パワートランジスタ異常（984 ページ）
	ファンモータ回路	F3 250V 1A	可	・コントロール基板 ・室外ファンモータ	・E48 室外ファンモータ不良（980 ページ） ・インバータ過電圧異常（977 ページ）
	PAM 駆動回路	F4 250V 10A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	―
	リレー（機能品）出力回路	F5 250V 1A	可	・コントロール基板 ・20S、CH	―
PCB2（サブ基板）	内機渡り線接続回路	F10 250V 10A	可	・サブ基板 ・室内接続端子台ー サブ基板間のハーネス ・室内接続配線	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ）



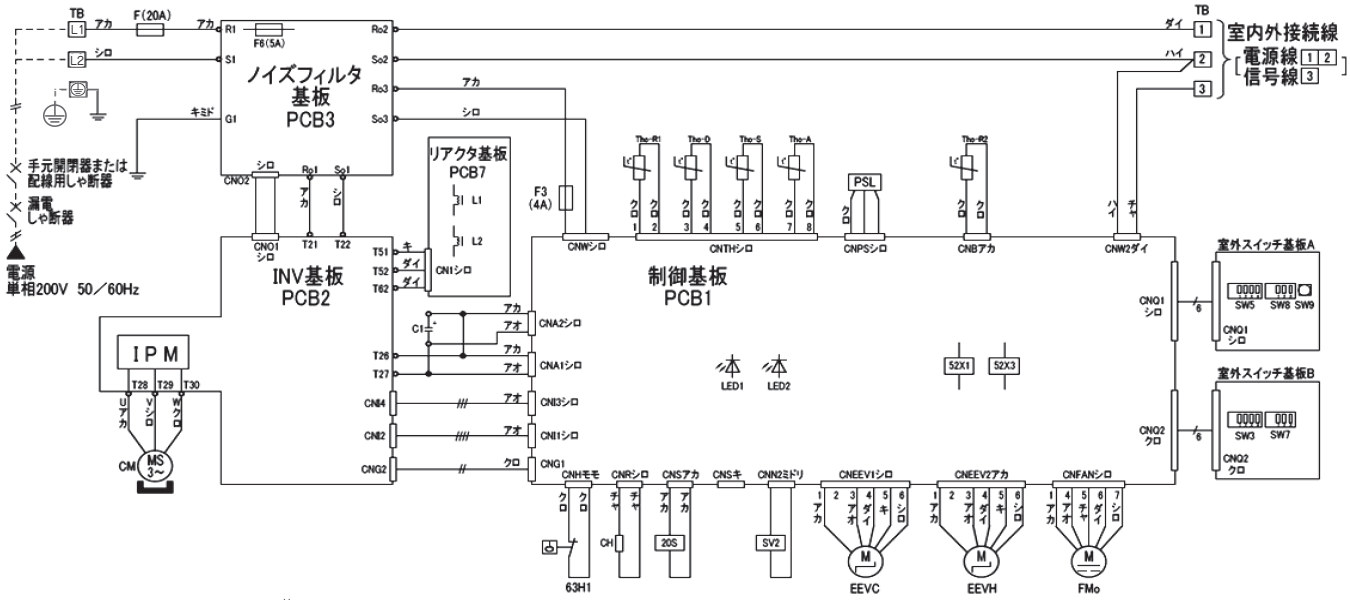
FDCZP406H, 456H, 506H, 566H, 636H

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所	故障診断の参照先（記載ページ）
分類	詳細	No.			
FUSE（電源ヒューズ）	室外端子台ー室外サブ基板間の電源ヒューズ	FUSE 250V 20A	可	・サブ基板 ・コントロール基板 ・リアクタ（L）	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ） ・電源欠相（963・964 ページ）
PCB1（コントロール基板）	スイッチング電源回路	F1 250V 2A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	・E5 運転中に室内外通信異常（947 ページ） ・内機確認中（938 ～ 940 ページ参照）
	パワートランジスタ（IPM）電源回路	F2 250V 20A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	・E51 パワートランジスタ異常（984 ページ）
	ファンモータ回路	F3 250V 1A	可	・コントロール基板 ・室外ファンモータ	・E48 室外ファンモータ不良（980 ページ）
	PAM 駆動回路	F4 250V 10A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	―
	リレー（機能品）出力回路	F5 250V 1A	可	・コントロール基板 ・20S、CH	―
PCB2（ノイズフィルタ基板）	内機渡り線接続回路	F6 250V 5A	可	・サブ基板 ・室内接続端子台ー サブ基板間のハーネス ・室内接続配線	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ）



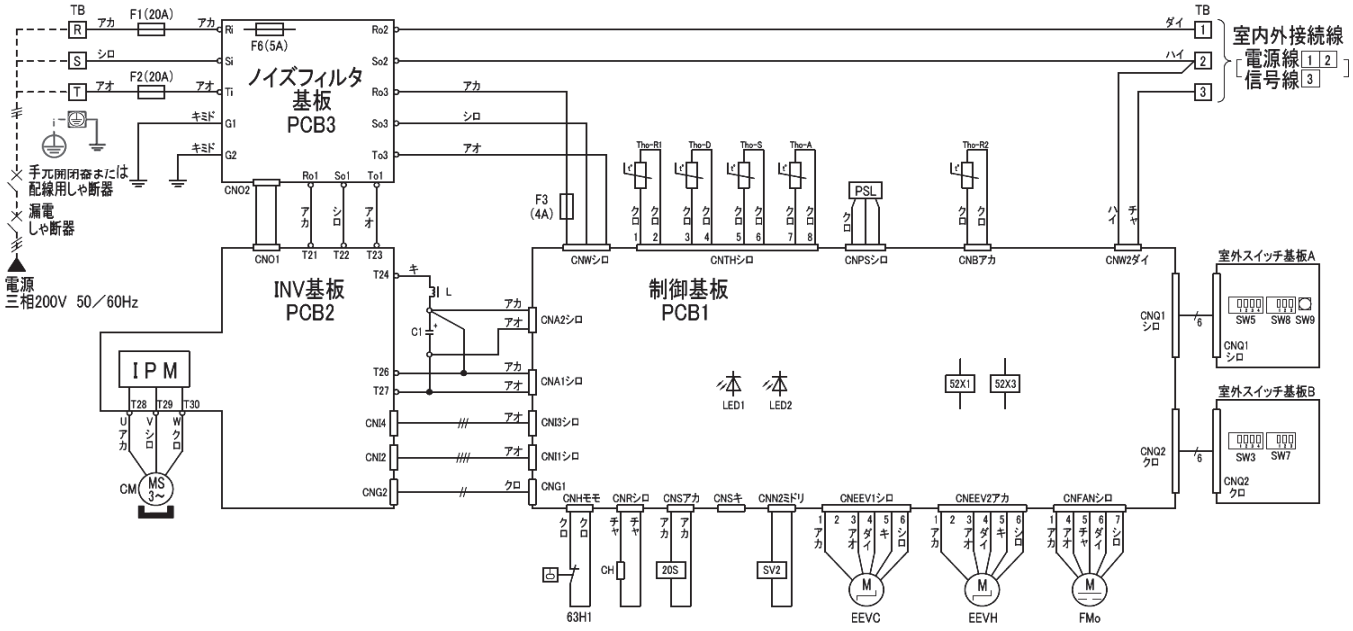
FDCZP806HK

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所	故障診断の参照先（記載ページ）
分類	詳細	No.			
FUSE（電源ヒューズ）	室外端子台ー室外サブ基板間の電源ヒューズ	FUSE 250V 20A	可	・制御基板（PCB1） ・インバータ基板（PCB2） ・ノイズフィルタ基板（PCB3） ・リアクタ基板（PCB7）	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ）
FUSE（電源ヒューズ）	ノイズフィルタ基板ー制御基板間のヒューズ（リレー（機能品）出力回路）	F3 250V 4A	可	・制御基板（PCB1） ・63H1、CH、20S、SV2	・E40 63H1 作業（971 ページ）
PCB1（制御基板）	ファンモータ回路	F3 250V 2A	可	・制御基板 ・インバータ基板	・E48 室外ファンモータ不良（981 ページ）
	スイッチング電源回路	F4 250V 2A	不可（はんだ実装）	・制御基板	・E5 運転中に室内外通信異常（947 ページ） ・内機確認中（941 ～ 943 ページ参照）
PCB3（ノイズフィルタ基板）	内機渡り線接続回路	F6 250V 5A	可	・ノイズフィルタ基板 ・室内接続端子台ー室外サブ基板間のハーネス ・室内接続配線	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ）



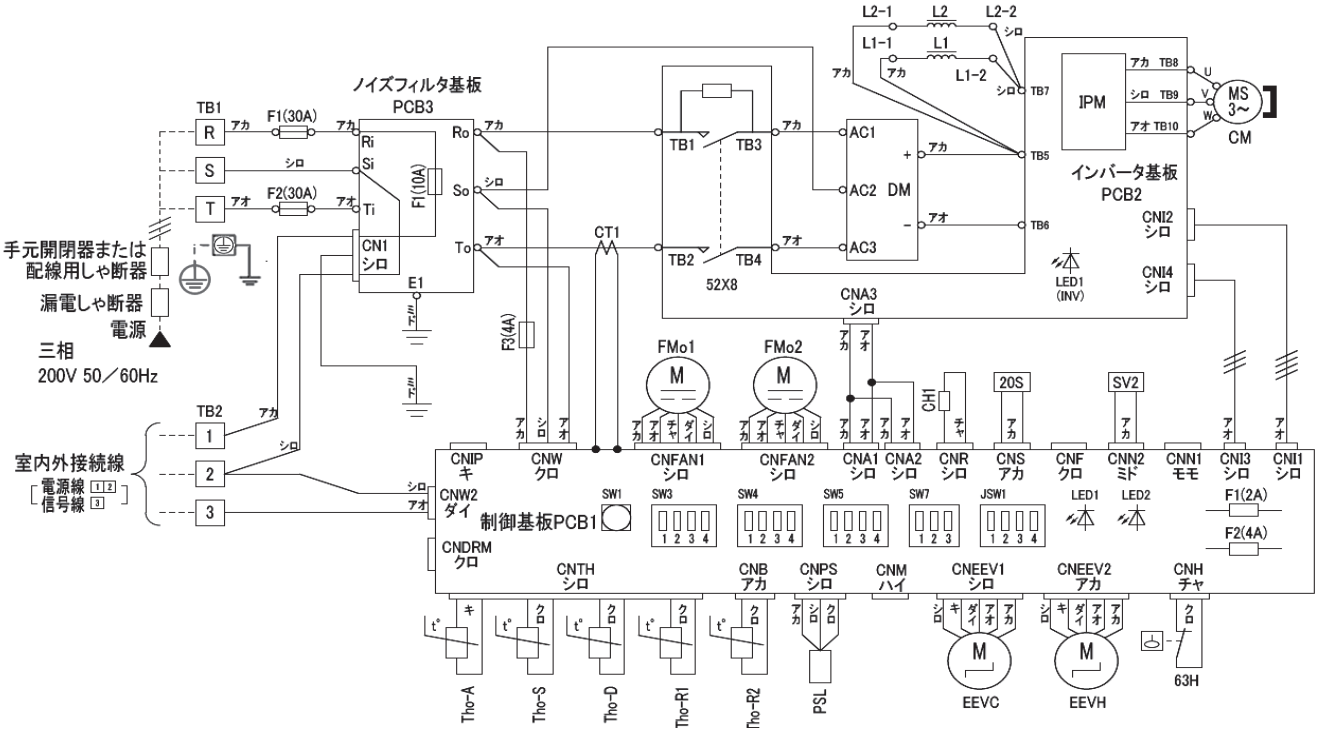
FDCZP806H

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所	故障診断の参照先（記載ページ）
分類	詳細	No.			
FUSE（電源ヒューズ）	室外端子台ー室外サブ基板間の電源ヒューズ	F1 250V 20A	可	・制御基板（PCB1） ・インバータ基板（PCB2） ・ノイズフィルタ基板（PCB3）	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ） ・電源欠相（963・964 ページ）
		F2 250V 20A	可		
FUSE（電源ヒューズ）	ノイズフィルタ基板ー制御基板間のヒューズ（リレー（機能品）出力回路）	F3 250V 4A	可	・制御基板（PCB1） ・63H1、CH、20S、SV2	・E40 63H1 作業（971 ページ）
PCB1（制御基板）	ファンモータ回路	F3 250V 2A	可	・制御基板 ・インバータ基板	・E48 室外ファンモータ不良（981 ページ）
	スイッチング電源回路	F4 250V 2A	不可（はんだ実装）	・制御基板	・E5 運転中に室内外通信異常（947 ページ） ・内機確認中（941 ～ 943 ページ参照）
PCB3（ノイズフィルタ基板）	内機渡り線接続回路	F6 250V 5A	可	・ノイズフィルタ基板 ・室内接続端子台ー サブ基板間のハーネス ・室内接続配線	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ）



FDCZP1126H, 1406H, 1606H

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所	故障診断の参照先（記載ページ）
分類	詳細	No.			
FUSE（電源ヒューズ）	室外端子台ー室外サブ基板間の電源ヒューズ	F1 250V 30A	可	・制御基板（PCB1） ・インバータ基板（PCB2） ・ノイズフィルタ基板（PCB3）	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ） ・電源欠相（963・964 ページ）
		F2 250V 30A	可		
FUSE（電源ヒューズ）	ノイズフィルタ基板ー制御基板間のヒューズ（リレー（機能品）出力回路）	F3 250V 4A	可	・制御基板（PCB1） ・63H1、CH、20S、SV2	・E40 63H1 作業（971 ページ）
PCB1（制御基板）	スイッチング電源回路	F1 250V 2A	不可（はんだ実装）	・制御基板	・E5 運転中に室内外通信異常（947・948 ページ） ・内機確認中（941 ～ 943 ページ参照）
	ファンモータ回路	F2 250V 4A	可	・制御基板 ・インバータ基板	・E48 室外ファンモータ不良（981 ページ）
PCB3（ノイズフィルタ基板）	内機渡り線接続回路	F1 250V 10A	可	・ノイズフィルタ基板 ・室内接続端子台ーサブ基板間のハーネス ・室内接続配線	・電源系統異常（930 ～ 932 ページ）

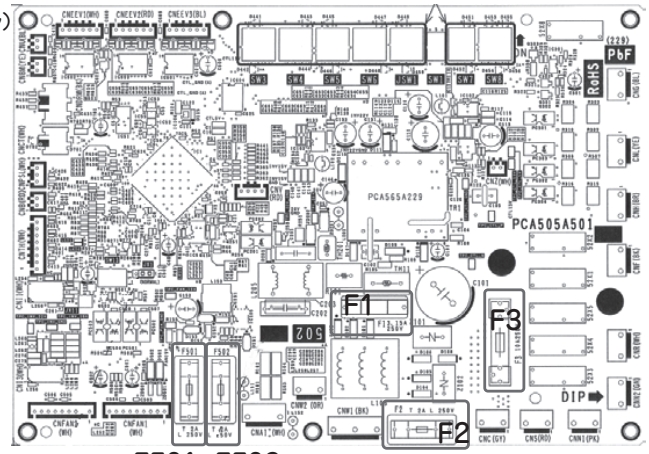


FDCZP2246H, FDCZP2806H

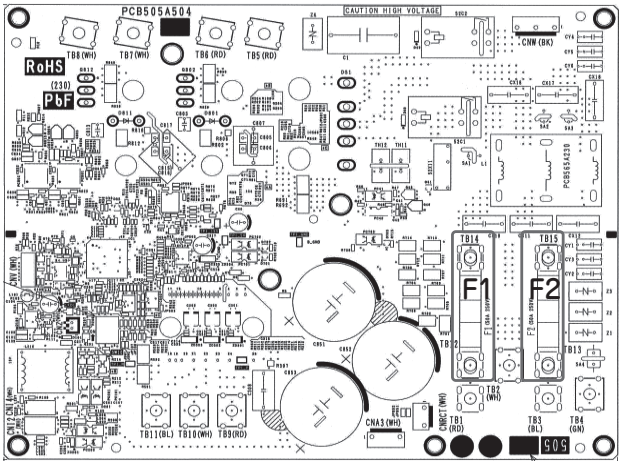
ヒューズ搭載個所			ヒューズ単体交換可否	ヒューズ溶断時故障可能性部品(※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
分類	詳細	参照No.			
PCB1（コントロール基板）	スイッチング電源 1次側回路	F1	不可（はんだ実装）	・PCB1（コントロール基板）	・内機確認中（941～943ページ）
	リレー(機能品)出力回路	F2	可	・PCB1（コントロール基板） ・20S, CH, DPH, SV1,SV2	—
	内外渡り線接続回路	F3	可	・PCB1（コントロール基板） ・TB2 ・室内ユニット	・電源系統異常（930～932ページ）
	ファンモータ回路	F501 F502	可	・PCB1（コントロール基板） ・ファンモータ	・E48 室外ファンモータ不良（981ページ）
PCB2（インバータ基板）	主回路1次側	F1	可	・PCB1（コントロール基板） ・PCB2（インバータ基板） ・リアクタ	・電源系統異常（930～932ページ） ・内機確認中（941～943ページ） ・E34 電源欠相（963・964ページ）
		F2	可		

（※1）ヒューズを経由して電源供給されている部品を示しています。

PCB1（コントロール）
PCA505A502AB



PCB2（インバータ）
PCB505A505



1.15.5 リモコンによる異常運転データの確認

異常発生時の運転データを記憶し，リモコンから異常運転データの確認ができます。

● RC-DX3Dリモコンの場合

［操作手順］

①TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス･メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→「点検表示」→「異常時運転データ表示」の順に選択します。

②リモコンに接続されている室内ユニットが１台の場合は，以下の表示となります。

1). 異常がある場合：「データ読込み中」の後，異常時の運転データが表示されます。

表示内容

・異常コード

・番号およびデータ項目

2). 異常がない場合：「異常なし」を表示し，本モードを終了します。

③リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は，以下の表示となります。

1). 異常がある場合：「室内機選択」画面で対象室内ユニットを選択→「データ読込み中」の後，異常時の運転データが表示されます。

表示内容

・室内機 No.

・異常コード

・番号およびデータ項目

2). 異常がない場合：「異常なし」を表示し，本モードを終了します。

注「室内機選択」画面で接続台数が１ページを超える場合は，「次ページ」を選択してください。

④ 運転／停止 ボタンを押すと，TOP画面に戻ります。

◎設定の途中で，「戻る」をタッチすると，一回前の設定画面に戻ります。

注 異常運転データの確認は，リモコン2台で室内ユニットを運転する場合，親リモコンのみ操作可能です。（子リモコンからの操作はできません。）

■異常運転データ(機種により該当するデータがないものは，その項目は表示されません。)

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
05	室内熱交温度(Thi-R1)
06	室内熱交温度(Thi-R2)
07	室内熱交温度(Thi-R3)
08	室内ファン速調
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内膨張弁開度
12	室内運転積算時間
13	吹出温度
21	外気温度
22	室外熱交温度(Tho-R1)
23	室外熱交温度(Tho-R2)
24	圧縮機周波数
25	高圧
26	低圧
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	CT電流
30	SH制御値
31	実SH
32	実TDSH
33	圧縮機保護ステータスNo.
34	室外ファン速調
35	63H1ON／OFF
36	デフロスト ON／OFF
37	圧縮機運転積算時間
38	室外膨張弁開度(EEVC)
39	室外膨張弁開度(EEVH)

番号33 圧縮機保護ステータスNo.（左記異常運転データ）詳細

圧縮機回転数保護制御内容
異常検知制御内容

【リモコン運転データ表示】
・解除時まで表示
・重複時は，表示データの一番若い番号を表示する。

【共通事項】
暖房時：室内回転数ダウン信号による保護制御中の場合は“4”を表示する。
冷房･除湿時：室内回転数ダウン信号による保護制御中の場合は“8”を表示する。

表示内容	No.
正常	“0”
ＴＤ保護	“1”
ＴＤ異常	“2”
カレントセーフ	“3”
高圧保護	“4”
高圧異常	“5”
低圧保護	“6”
低圧異常	“7”
アンチフロストまたは露付き保護	“8”
カレントカット	“9”
パワートランジスタ保護	“10”
パワートランジスタ異常（過熱）	“11”
圧力比制御	“12”
出力カットオフ（ノイズ停止）	“13”
露付き保護	“14”
２次カレントセーフ	“15”
圧縮機ロック停止または脱調停止	“16”
起動不良停止	“17”
アクティブフィルタ異常	“18”

■メンテナンスコード

コード	内容
M1	お掃除パネル異常
M9	ドレンポンプ過電流検知

1.15.6 ワイヤレス仕様機の点検表示

(1) 点検表示，フィルタサインについて

(a) タイマー/点検表示灯（黄色）が短点滅（0.5秒点灯，0.5秒消灯）したとき。

エアコンに異常が起きています。

タイマー／点検表示灯の点滅（0.5秒点灯，0.5秒消灯）と同時にエアコンは停止します。

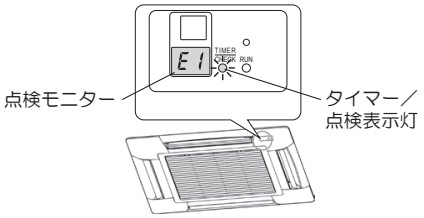
(i) FDT，FDTC，FDTS，FDR，FDU，FDE，FDES，FDFシリーズの場合

1) 本体の点検モニター部にアドレスNo.および点検コードが表示されます。

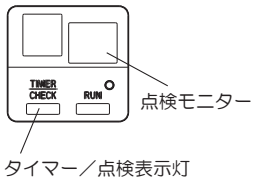
2) モニター表示は，表示時間が経過すると消灯します。

3) モニター部に表示がでていない場合は，リモコン操作またはバックアップスイッチを押してください。

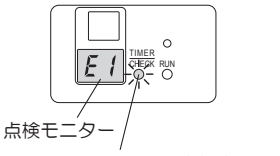
・FDTシリーズ



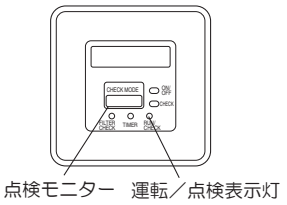
・FDTCシリーズ



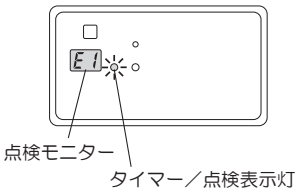
・FDTSシリーズ



・FDR，FDU，FDE（P224，280），FDES，FDFシリーズ（壁取付タイプ）



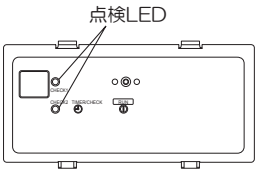
・FDEシリーズ（P56，63，80，160）



FDR，FDU，FDE（P224，280），FDES，FDFの場合は運転／
点検表示灯が赤色に点滅（0.5 秒点灯，0.5 秒消灯）します。

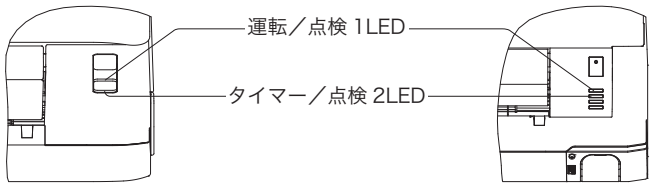
(ii) FDTWシリーズの場合

点検LED表示“CHECK1”／“CHECK２”LEDがエラーコードの“10の位”／“1の位”の数だけ点滅（10秒あたり）します。



(iii) FDKシリーズの場合

運転／点検1LED，タイマー／点検2LEDがエラーコードの“10の位”／“1の位”の数だけ点滅（10秒あたり）します。

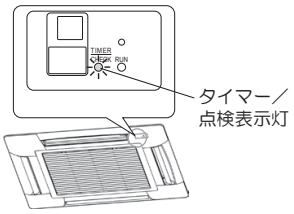


(b) タイマー/点検表示灯（黄色）が長点滅（2秒点灯，1秒消灯）したとき。
フィルタの掃除をしてください。

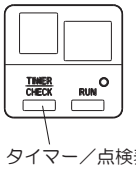
(i) 延べ運転時間が180時間になるとタイマー／点検表示灯が長点滅（2秒点灯，1秒消灯）します。

(ii) フィルタの掃除完了後，リモコンのフィルタボタンを押してリセットしてください。
（フィルタボタンは1秒以上押し続けてください）

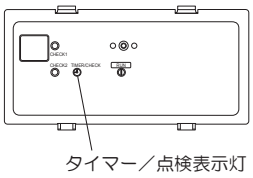
• FDTシリーズ



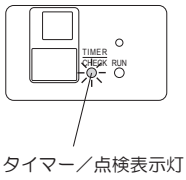
• FDTCシリーズ



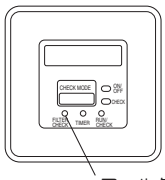
• FDTWシリーズ



• FDTSシリーズ

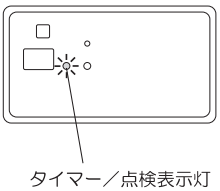


• FDR，FDU，FDE（P224, 280），FDES，FDFシリーズ（壁取付タイプ）

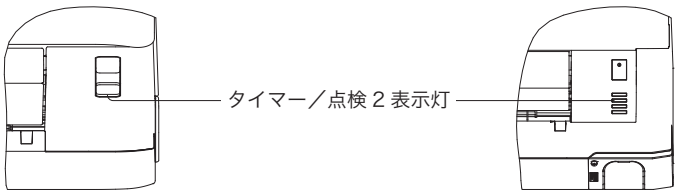


FDR，FDU，FDE（P224, 280），FDES，FDFの場合はフィルタサイン表示灯（赤色）が長点滅（2 秒点灯，1 秒消灯）します。

• FDEシリーズ（P56, 63, 80, 160）



• FDKシリーズ



(2) バックアップスイッチの使い方

リモコンの電池切れ，紛失および故障時に本体表示部のバックアップスイッチで応急的にエアコンの運転／停止ができます。

■設定内容
運転モード……自動　　風量切換……急
タイマー……連続　　設定温度……23℃
オートスイング…停止（水平）

運転／停止

■バックアップスイッチを押してから2秒以内にスイッチから手を離してください。
運転を開始します。

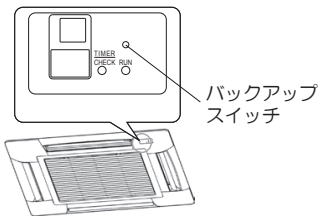
■もう一度押すと停止します。

吸込グリルの収納

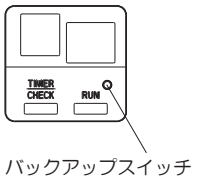
（グリル自動昇降付を使用の場合）

■バックアップスイッチを押してから2秒以降にスイッチから手を離してください。
吸込グリルが上昇し，エアコン本体に収納されます。

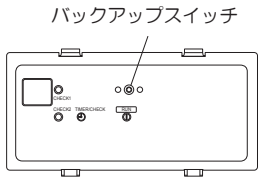
・FDTシリーズ



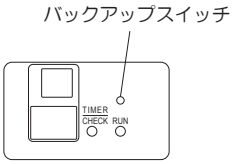
・FDTCシリーズ



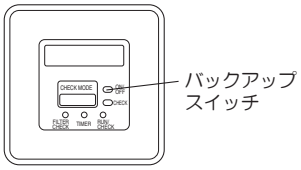
・FDTWシリーズ



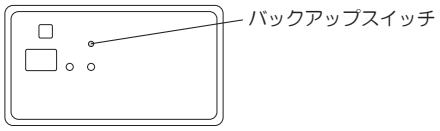
・FDTSシリーズ



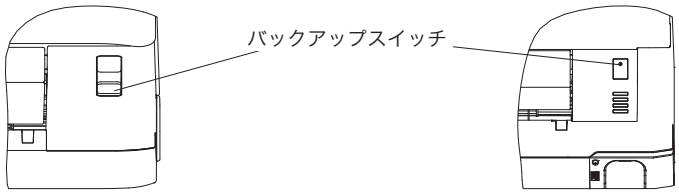
・FDR，FDU，FDE（P224, 280），FDES，FDFシリーズ（壁取付タイプ）



・FDEシリーズ（P56, 63, 80, 160）

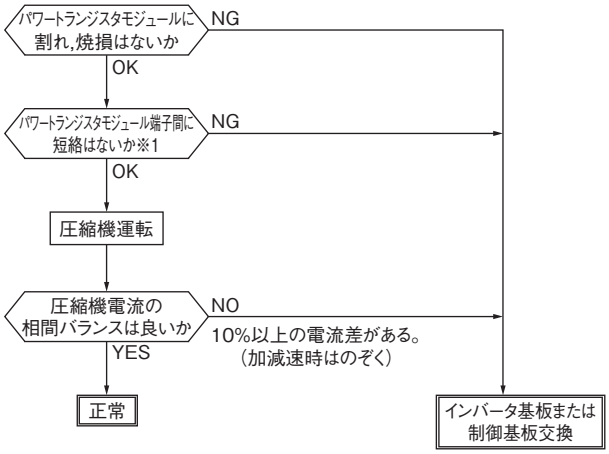


・FDKシリーズ



P56　　P63, P112

1.15.7 パワートランジスタモジュール（含むドライブ回路）点検方法



※1　パワートランジスタモジュール端子短絡点検要領

圧縮機の配線を外し，テスタで短絡チェックをしてください。
P-U, P-V, P-W
N-U, N-V, N-W
P-N 端子間を点検
各端子は下記の場所がテスタを当てやすいです。
P　：パワートランジスタ P 端子
N　：パワートランジスタ N 端子
U　：圧縮機への赤ハーネス先端
V　：圧縮機への白ハーネス先端
W　：圧縮機への黒または青ハーネス先端

パワートランジスタ短絡確認

インバータ不良判定用診断チェッカを持っていないとき，パワートランジスタ部品の端子間を測定しパワートランジスタ不良かどうか診断する。

テスタ		正常な値(Ω)			
端子(+)	端子(−)	FDCZP406〜636	FDCZP806	FDCZP1126〜1606	FDCZP2246, 2806
P	N	0〜（数値の上昇）	0〜（数値の上昇）	数百k〜数M	約1M
N	P			数百k	約300〜400
P	U	数M（数値の上昇）	数M（数値の上昇）	数M	0
P	V				
P	W				
N	U	約180k	約650k	数M	約1.2M
N	V				
N	W				
U	P	約160k	約670k	数M	約1.3M
V	P		約4.4M		
W	P		約4.4M		
U	N	約240k	約650k	数M	0
V	N		約4.8M		
W	N		約4.9M		

測定値が0〜数kΩの場合は，素子が破損している可能性があるのでパワートランジスタ部品を交換してください。

※2 インバータ不良判定用診断チェッカ

◆チェック要領

⑴ チェッカのセット手順

(a) 電源をOFFにします。（ブレーカOFF）

(b) 圧縮機のターミナルカバーを外して接続線(U，V，W)を外します。

(c) チェッカの配線(U：赤, V：白, W：黒)を外した接続配線端子部に接続します。

⑵ 判定運転方法

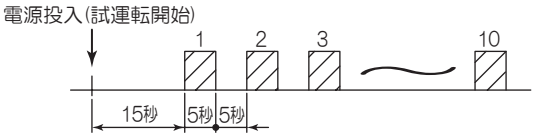
(a) 室外制御基板のスイッチSW８-３をONし電源を投入します。（FDCZP406～636形）
室外インバータ基板のスイッチJSW10-4をONし電源を投入します。（FDCZP806～1606形）
室外制御基板のスイッチSW6-4をONし電源を投入します。（FDCZP2246，2806形）

(b) 電源投入15秒後，LEDが5秒間点滅/消灯を10回繰り返します。

(c) 6個のLEDの点滅状態を確認します。

(d) LEDの点滅状態により判定

LEDの点滅状態	6個のLEDが同じ点滅をした場合	6個のLEDが消灯または数個のLED点滅の場合
インバータ	正常	不良

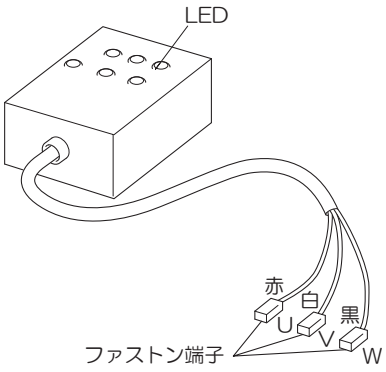


注 ▨ 部の動作区間は下図のLED点滅パターンを繰り返します。

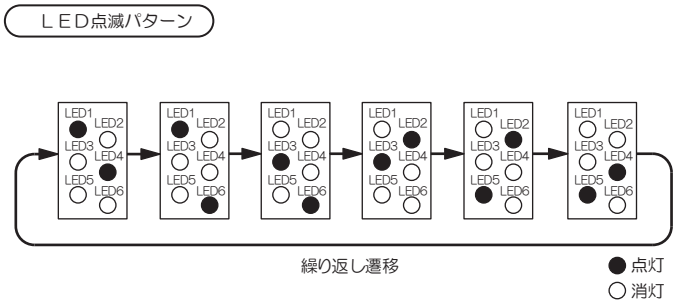
(e) 作業終了後は，
室外制御基板のスイッチSW８-３をかならずOFFしてください。（FDCZP406～636形）
室外インバータ基板のスイッチJSW10-4をかならずOFFしてください。（FDCZP806～1606形）
室外制御基板のスイッチSW6-4をかならずOFFしてください。（FDCZP2246，2806形）

■インバータ不良判定用診断チェッカ

品番	SA01927A	重工冷熱扱



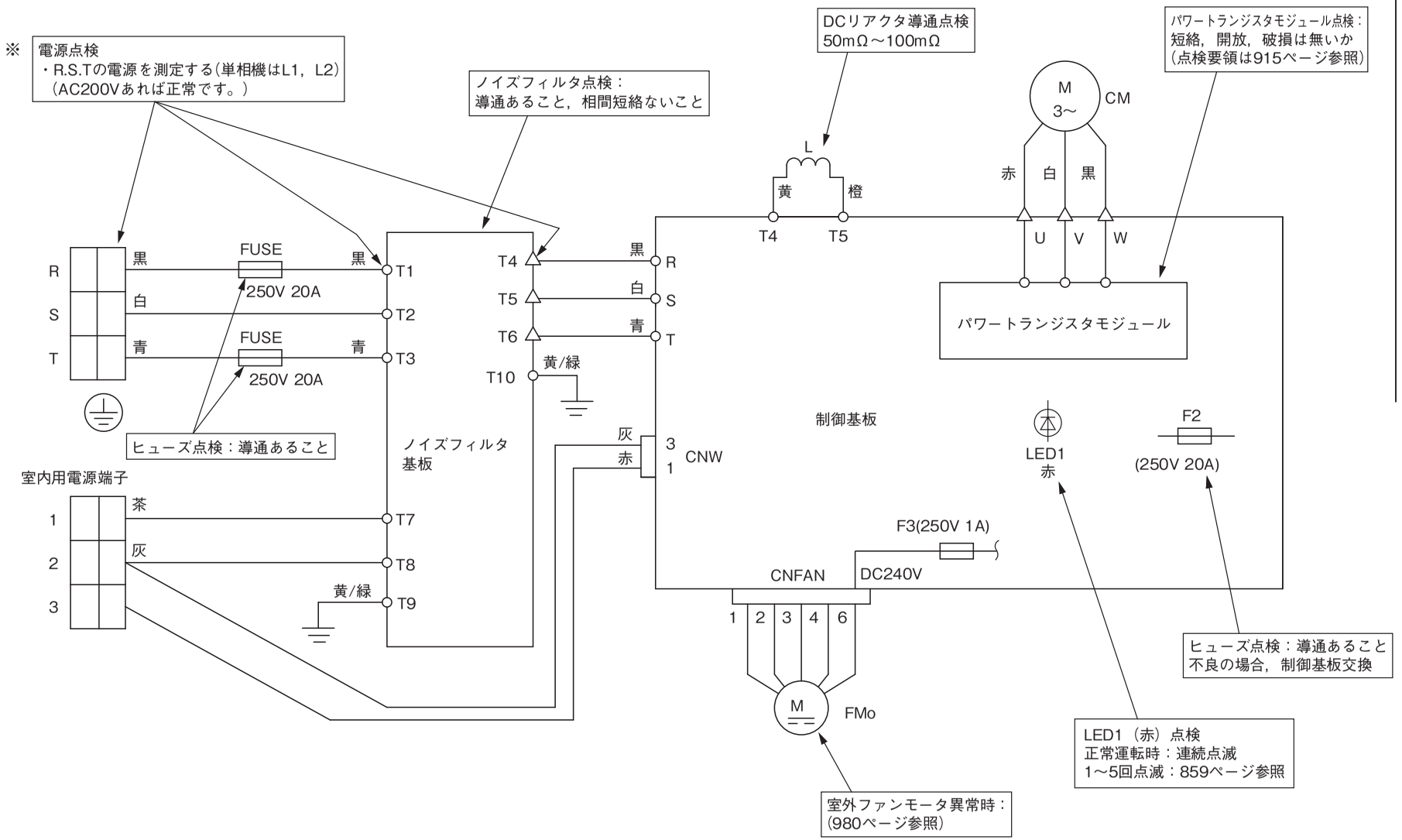
圧縮機接続配線端子と接続する。



◆FDCZP406～636形（本図は三相機を示します。単相機は電源部分が変わります。）

★室外ユニット点検ポイント

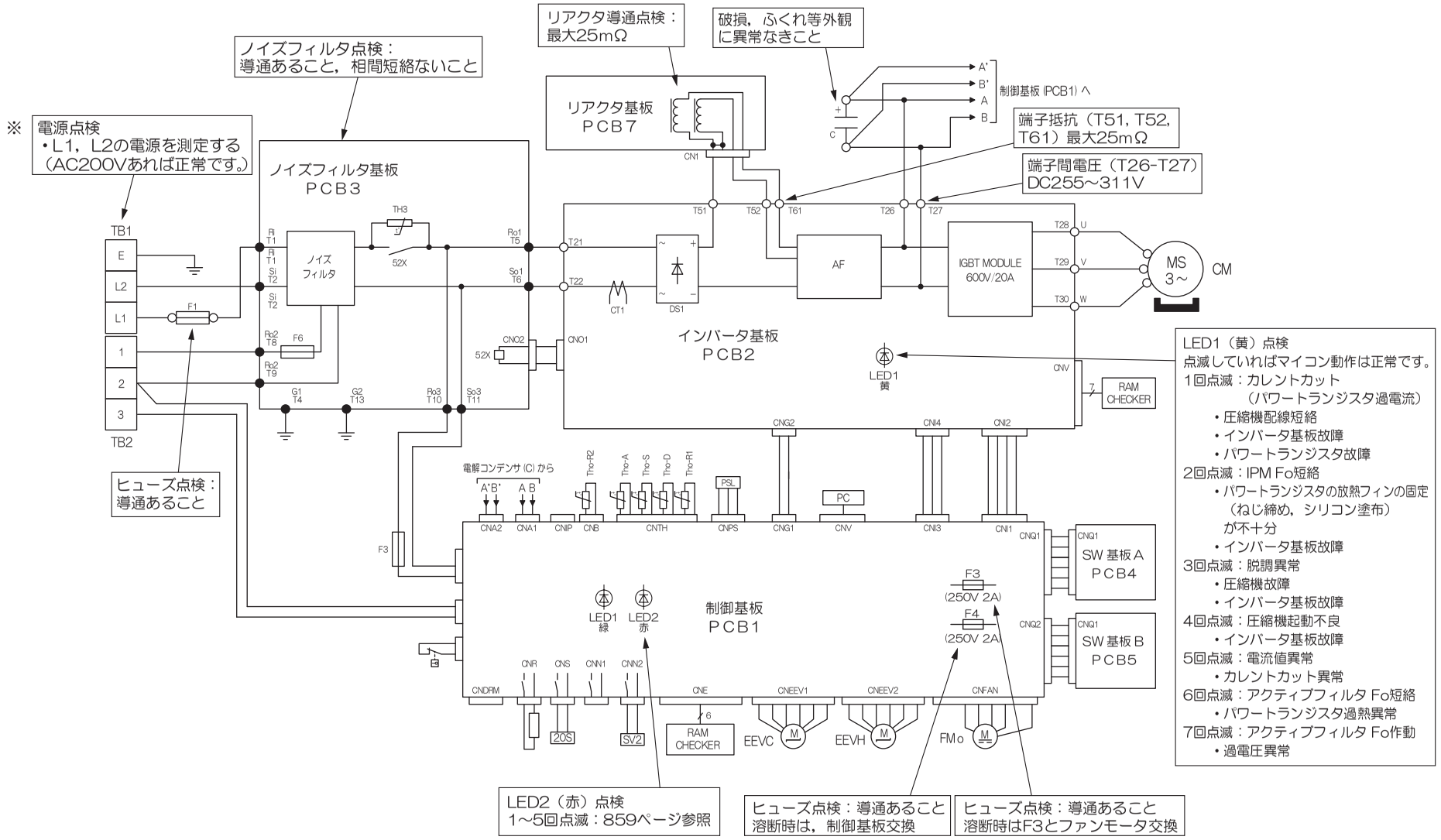
▷※印は電源ONにてチェックしてください。



◆FDCZP806HK

★室外ユニット点検ポイント

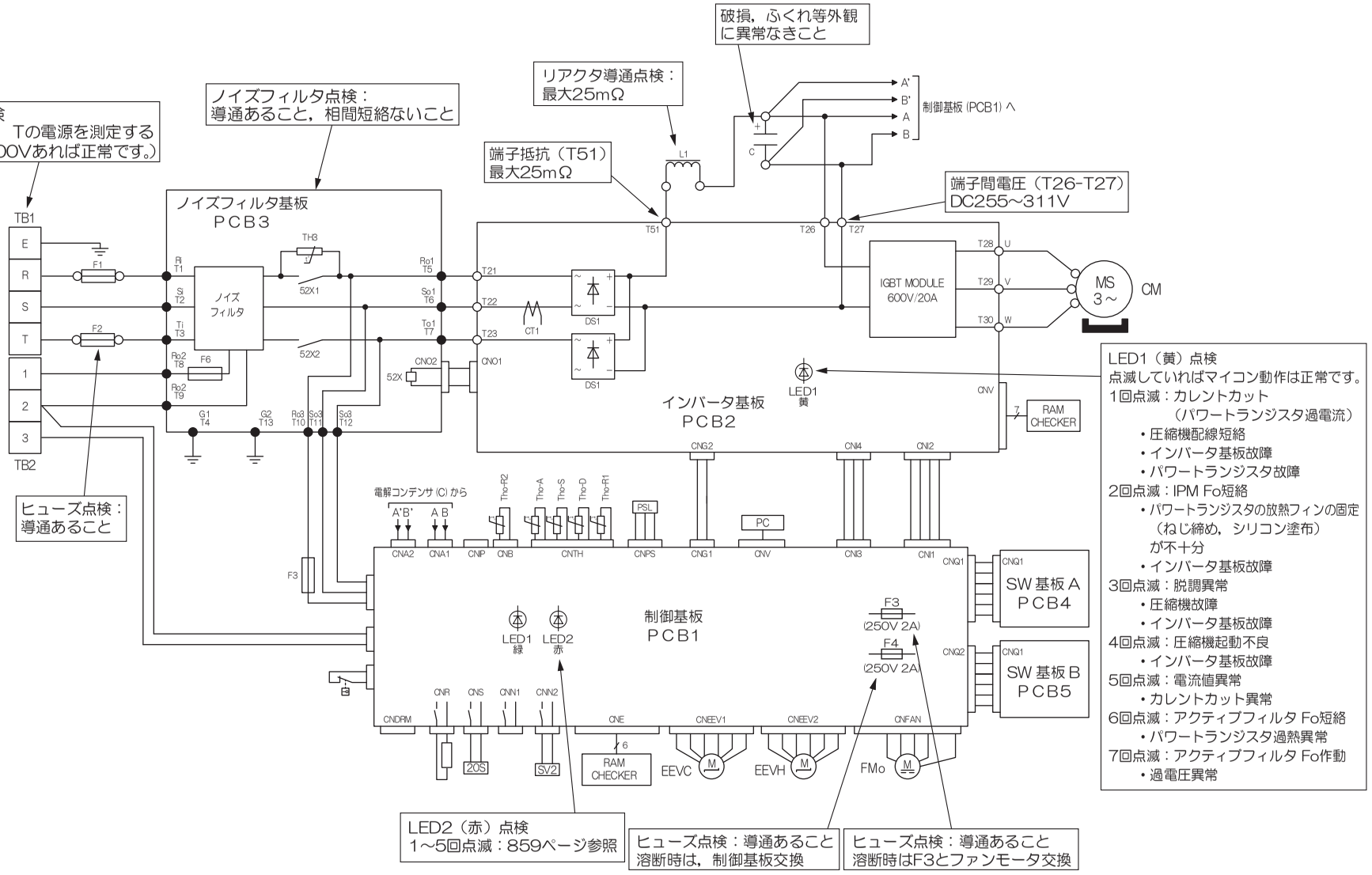
▷※印は電源ONにてチェックしてください。



◆FDCZP806H

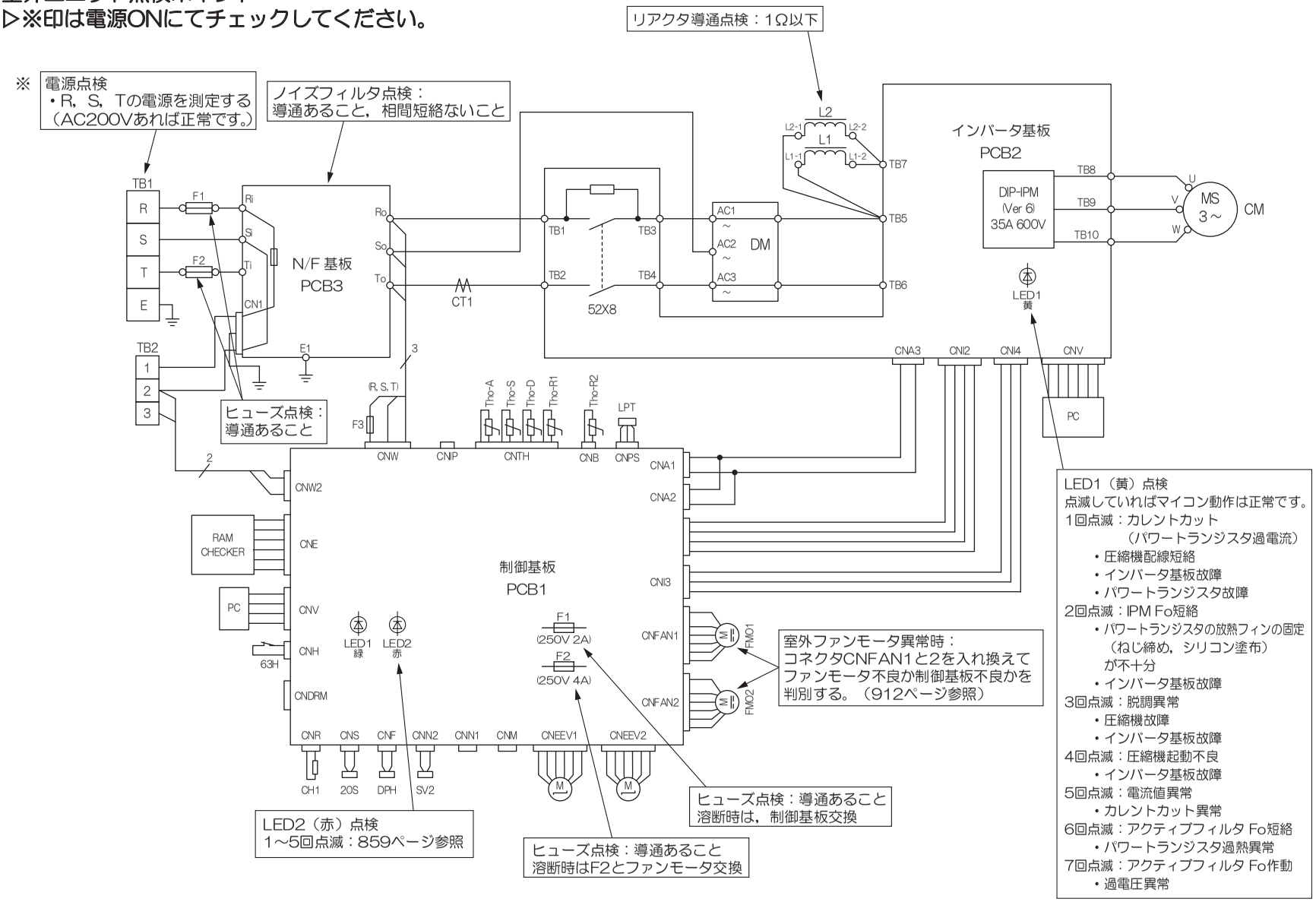
★室外ユニット点検ポイント

▷※印は電源ONにてチェックしてください。



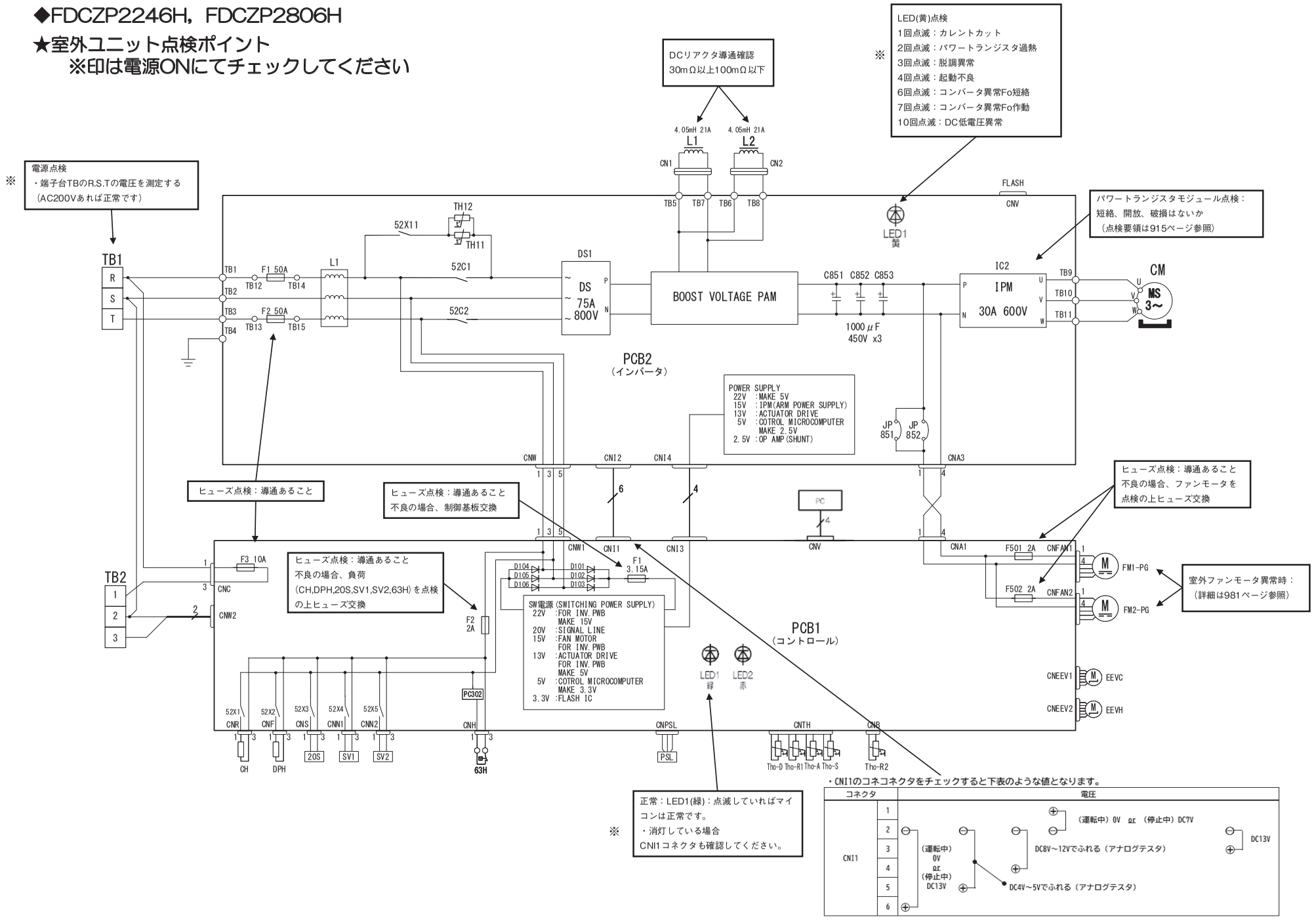
◆FDCZP1126H, 1406H, 1606H

★室外ユニット点検ポイント
▷※印は電源ONにてチェックしてください。



◆FDCZP2246H，FDCZP2806H

★室外ユニット点検ポイント
※印は電源ONにてチェックしてください



1.15.9 故障診断フロー

(1) 故障内容一覧

リモコン表示	故障内容	記載ページ
なし	運転するが,冷えない	923
なし	運転するが,暖まらない	924
なし	漏電ブレーカ作動	925
なし	音･振動が非常に大きい(その 1)	926
なし	音･振動が非常に大きい(その 2)	927
なし	音･振動が非常に大きい(その 3)	928
なし	ルーバモータが回らない	929
なし	電源系統異常(室内･外基板への電源供給)	930 ～ 932
なし	電源系統異常(リモコンへの電源供給)	933 ･ 934
なし	ラクリーナパネルが動かない	935
内機確認中	室内機点検表示(リモコン1台接続または2台接続時)	936
内機確認中	室内機点検表示(リモコン3台以上接続)	937
内機確認中	内機確認中(FDCZP406～636形)	938 ～ 940
内機確認中	内機確認中(FDCZP806～2806形)	941 ～ 943
無表示	無表示	944
E1	リモコン通信回路不良	945 ･ 946
E5	運転中に室内外通信異常	947 ･ 948
E6	室内熱交温度センサ不良	949
E7	吸込温度センサ不良	950
E8	暖房過負荷運転	951
E9	ドレン不良	952
E10	1リモコン複数台制御時接続台数オーバー(17台以上)	953
E11	リモコン通信アドレス設定不良	954
E14	親子室内ユニット間通信異常	955
E16	室内ファンモータ不良	956 ･ 957
E19	運転モード設定不良	958
E20	室内ファンモータ回転不良	959 ･ 960
E23	冷媒漏えい検知 (FDF シリーズ)	961
E28	リモコン温度センサ不良	962
E34	電源欠相(三相機のみ)	963 ･ 964
E35	冷房過負荷運転(FDCZP406～636形)	965
E35	冷房過負荷運転(FDCZP806～2806形)	966
E36	吐出管温度異常	967
E37	室外熱交温度センサ不良	968
E38	外気温度センサ不良	969
E39	吐出管温度センサ不良	970
E40	63H1作動(FDCZP806～2806形)	971
E41	パワートランジスタ電源電圧低下(FDCZP806～2806形)	972
E42	カレントカット	973 ･ 974
E45	インバータ通信異常(FDCZP806～2806形)	975 ･ 976
E47	インバータ過電圧異常(FDCZP406～636形 単相機)	977
E47	アクティブフィルタ異常(FDCZP806HK形のみ)	978
E47	アクティブフィルタ異常(FDCZP806～2806形)	979
E48	室外ファンモータ不良(FDCZP406～636形)	980
E48	室外ファンモータ不良(FDCZP806～2806形)	981
E49	低圧圧力異常または低圧圧力センサ不良(FDCZP806～2806形)	982 ･ 983
E51	パワートランジスタ異常(FDCZP406～636形)	984
E51	インバータ･室外ファンモータ異常(FDCZP806～2806形)	985
E53	吸入管温度センサ不良(FDCZP806～2806形)	986
E54	低圧圧力センサ不良(FDCZP806～2806形)	987
E57	冷媒量不足または操作弁閉検出(FDCZP406～636, 1126～2806形)	988
E58	カレントセーフ(FDCZP406～636形), 圧縮機脱調異常 (FDCZP806 ～ 2806 形)	989 ･ 990
E59	圧縮機起動異常(FDCZP406～636形)	991 ･ 993
E59	圧縮機起動異常(FDCZP806～2806形)	992 ･ 993
E60	圧縮機ロータロック異常(FDCZP406～ 636形)	994
冷媒センサーが故障しています	冷媒センサ故障 (FDF シリーズ)	995
冷媒センサーが外れています	冷媒センサ外れ (FDF シリーズ)	996

(2) 故障診断

表示 リモコン：なし	LED	緑	赤	内容 運転するが，冷えない
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

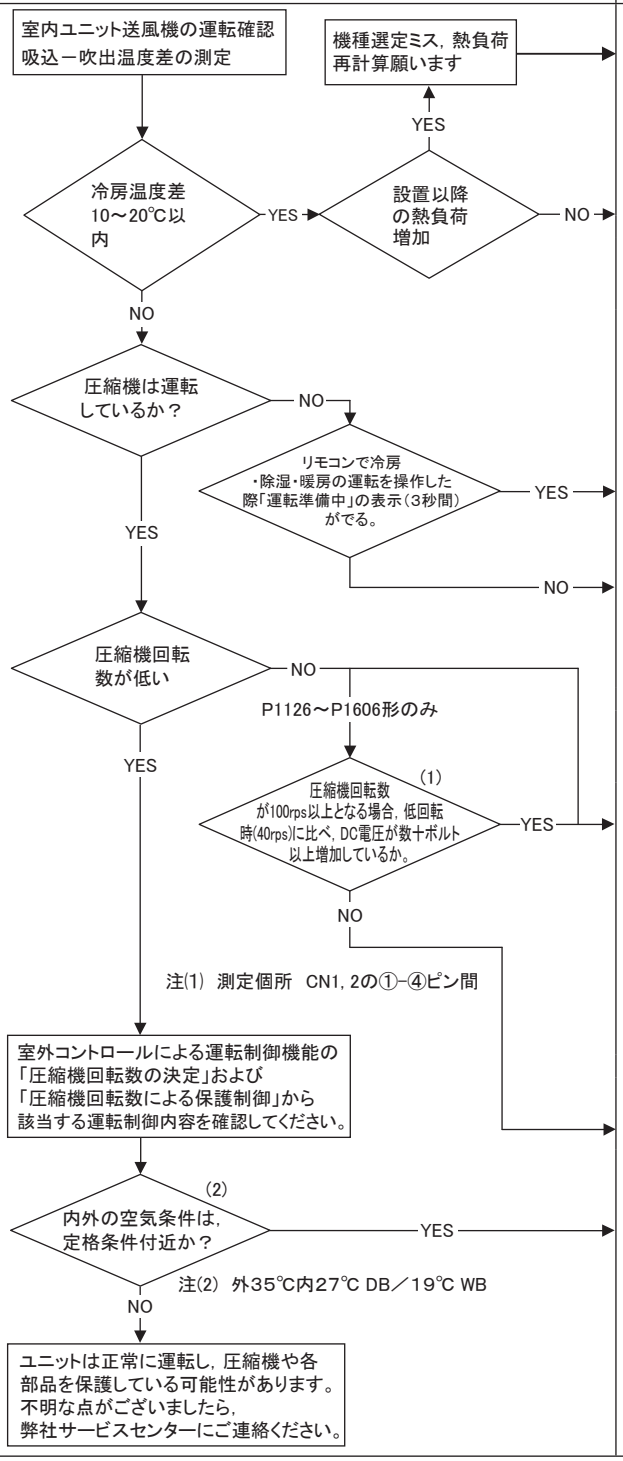
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・圧縮機の圧縮不良
・膨張弁動作不良
・インバータ不良

5. 故障診断と処置



注記：

表示
リモコン：なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

運転するが，暖まらない

1. 対象機種

全機種

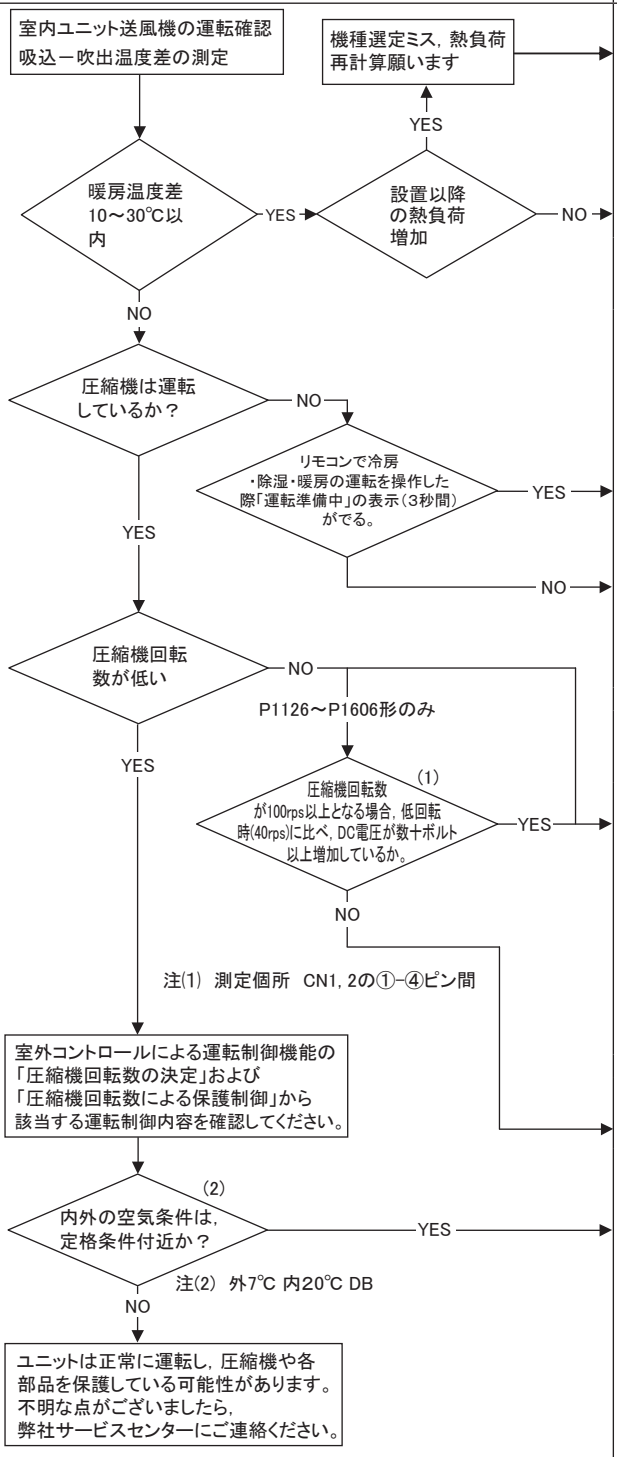
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・四方切換弁動作不良
・圧縮機の圧縮不良
・膨張弁動作不良
・インバータ不良

5. 故障診断と処置

診 断	処 置
	

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	消灯

内容

漏電ブレーカ作動

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・圧縮機不良
・ノイズ

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
圧縮機の絶縁抵抗,端子間抵抗(1)はOK? → NO	圧縮機交換※
注(1) P406～636形：1.452Ω（20℃） P806形：0.722Ω（20℃） P1126～1606形：0.652Ω（20℃） P2246, P2806形：0.303Ω（20℃）	
YES → 各ハーネス類は絶縁が確保されているか? 板金などの噛み込みはないか? → NO	絶縁抵抗確保
YES → 室外アース線／漏電しゃ断器チェック	

室外アース線／漏電しゃ断器チェック

①アース線は,室外ユニットのアースねじ部から配電盤のアース端子まで, 単独の線で工事してください。(他のアース線との接続はしないでください。)
②漏電しゃ断器自体の誤作動を防止するため,高調波対応品であるか確認してください。

※圧縮機の絶縁抵抗について
●据付直後,もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合,圧縮機に冷媒が溜まることにより,絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく,漏電ブレーカが作動する場合は,以下の事項を確認ください。
①電源を投入し,6時間程度経過後,絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより,圧縮機に通電加熱を行い,圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており,漏電ブレーカの誤動作を防止するため,高調波対応品を使用してください。

注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤
	室内	―	―
	室外	―	―

内容

音・振動が非常に大きい（その1）

1．対象機種

全機種

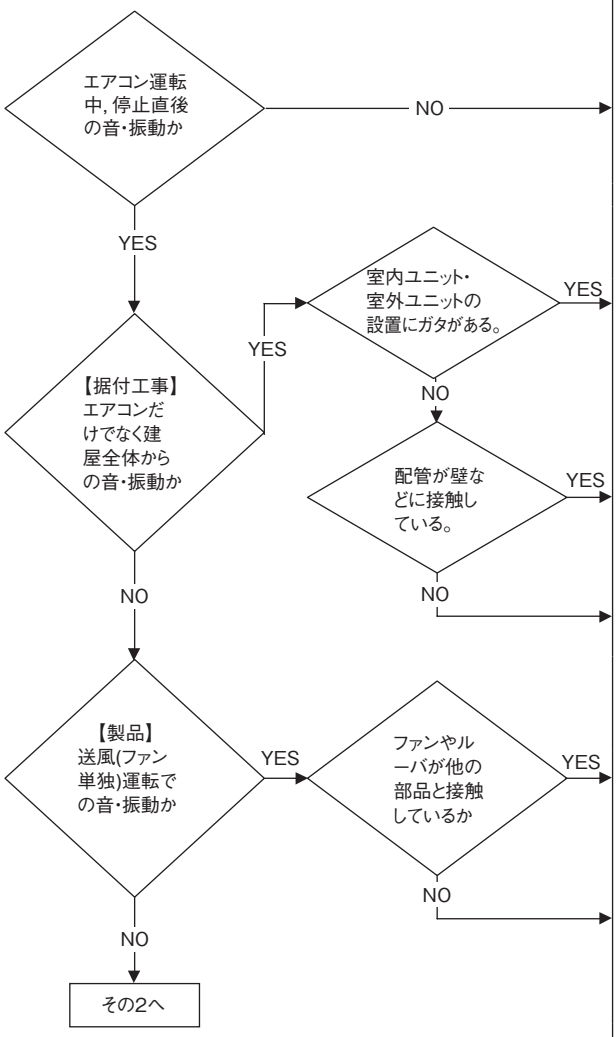
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置



診　断	処　置

注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤
	室内	―	―
	室外	―	―

内容

音・振動が非常に大きい（その2）

1．対象機種

全機種

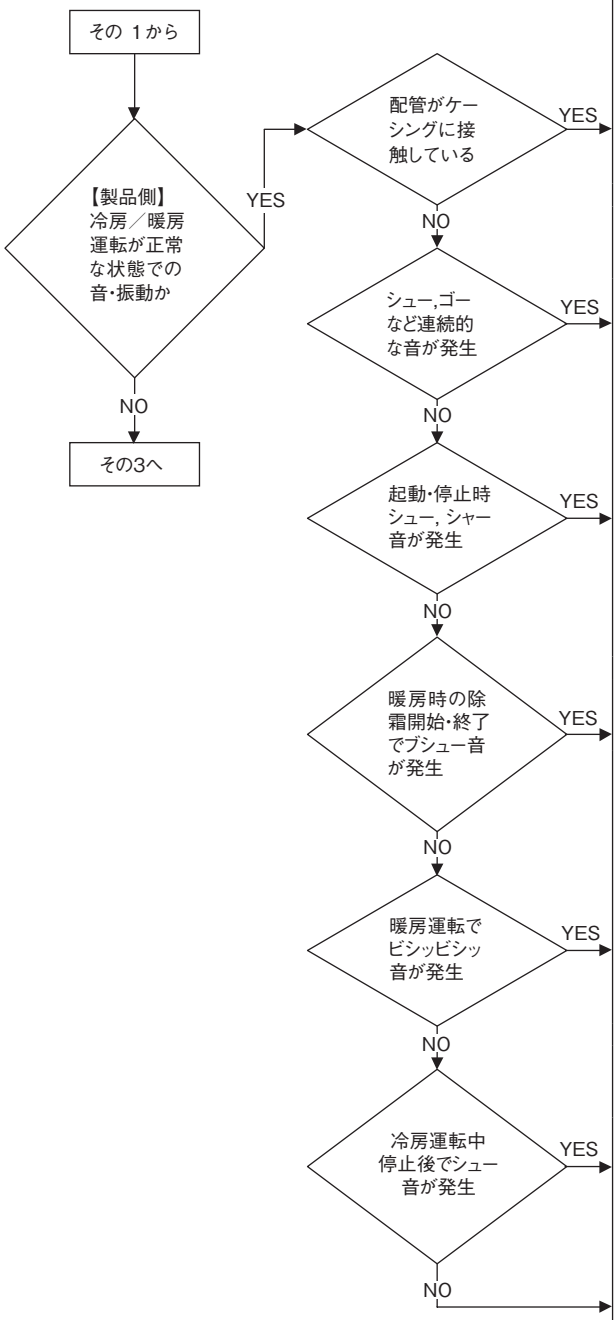
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置



診　断	処　置
配管がケーシングに接触している YES	ケーシングに接触しないように配管引き回しを修正します。
シュー,ゴーなど連続的な音が発生 YES	エアコン内部の配管中をガス冷媒や液冷媒が流れることで発生する音・振動です。特に冷房中や暖房時の除霜中は発生しやすく異常ではありません。
起動･停止時シュー, シャー音が発生 YES	冷媒が流れ始めたり流れが止まることで発生する音・振動です。異常ではありません。
暖房時の除霜開始･終了でブシュー音が発生 YES	暖房時の除霜開始・終了では四方切換弁の切換えによって冷媒の流れ方向を反転させています。この際，配管内に大きな圧力変化が起きるためブシューといった音色の音が発生します。また，上記のシャー，シュー音も発生します。異常ではありません。
暖房運転でビシッビシッ音が発生 YES	暖房運転開始・停止後や除霜中において，急激な温度変化により樹脂部品が収縮・膨張することで発生する音です。異常ではありません。
冷房運転中停止後でシュー音が発生 YES	室内ユニットドレン水を排出するドレンポンプの運転音です。冷房運転停止後も 5(FDU8, 10HP は 20) 分間運転します。異常ではありません。
NO	減圧 (膨張弁)，キャピラリ部など発生源と考えられる部位に防音用ダンパーシーラントを貼付けてください。

注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい（その3）
	室内	－	－	
	室外	－	－	

1．対象機種

全機種

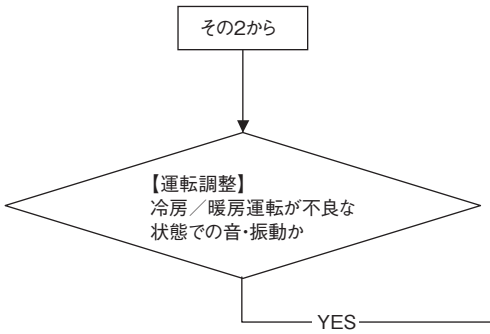
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	冷房／暖房運転で温度が適正でない不良な状態の場合，以下の懸念があります。 ・冷媒の過多充填 ・冷媒の不足充填 ・空気，窒素などの混入 このため，冷媒回収，真空乾燥，冷媒再充填を実施してください。 ※音・振動はさまざまなことが原因となって発生するため，上記の内容に当てはまらない場合があると思われます。 その場合，以下の点を確認・メモした後弊社にご相談願います。 ・室内／室外ユニット ・冷房／暖房／送風 ・起動／停止／運転中 ・運転状態 （室内外温度，圧力） ・発生時間 ・圧縮機回転数，熱交温度，電子膨張弁開度等のリモコンによる運転データ ・音色 ・その他気付き事項

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

ルーバモータが回らない

1. 対象機種

オートスイング機能付機種のみ

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ルーバモータ不良
・ルーバモータ配線断線
・室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
▲室内ユニット側で点検してください。 1分以上経過してから操作してください。 電源投入時ルーバが動作するか NO ルーバモータの配線は断線しているか NO YES ルーバモータはロックしているか NO YES YES リモコンでルーバモータは動作するか YES NO	配線修理 室内制御基板不良→交換 ルーバモータ交換 正常 ルーバモータ交換（ルーバモータを交換しても異常が出る場合には，室内制御基板を交換してください。）

注記：

表示
リモコン： なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内・外基板への電源供給）

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK
シリーズのみ

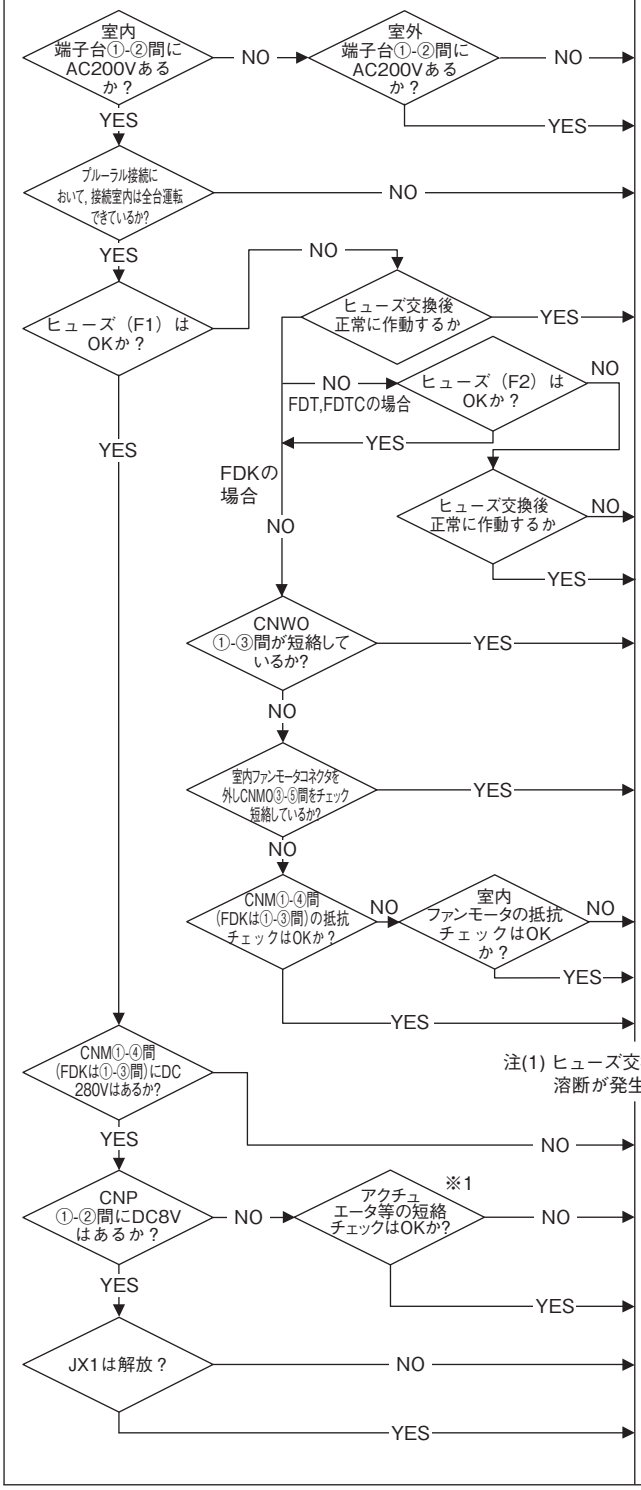
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・渡り配線の誤接続または断線
・ヒューズの断線
・室内ファンモータ不良
・室外制御基板不良
・室内ユニット基板不良
・アクチュエータ等不良

5．故障診断と処置



注記：※1 CNWO, CNW3を除くコネクタを，一個ずつ外していき電源投入後にCNP①-②間にDC8Vがあるか確認。
・YES：コネクタを外しても，CNP①-④間にDC8Vがない。
・NO ：コネクタを外しても，CNP①-④間にDC8Vがある。

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容	電源系統異常 （室内・外基板への電源供給）
	室内	消灯	消灯		
	室外	連続点滅	2回点滅		

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK，
FDES シリーズ以外の機種

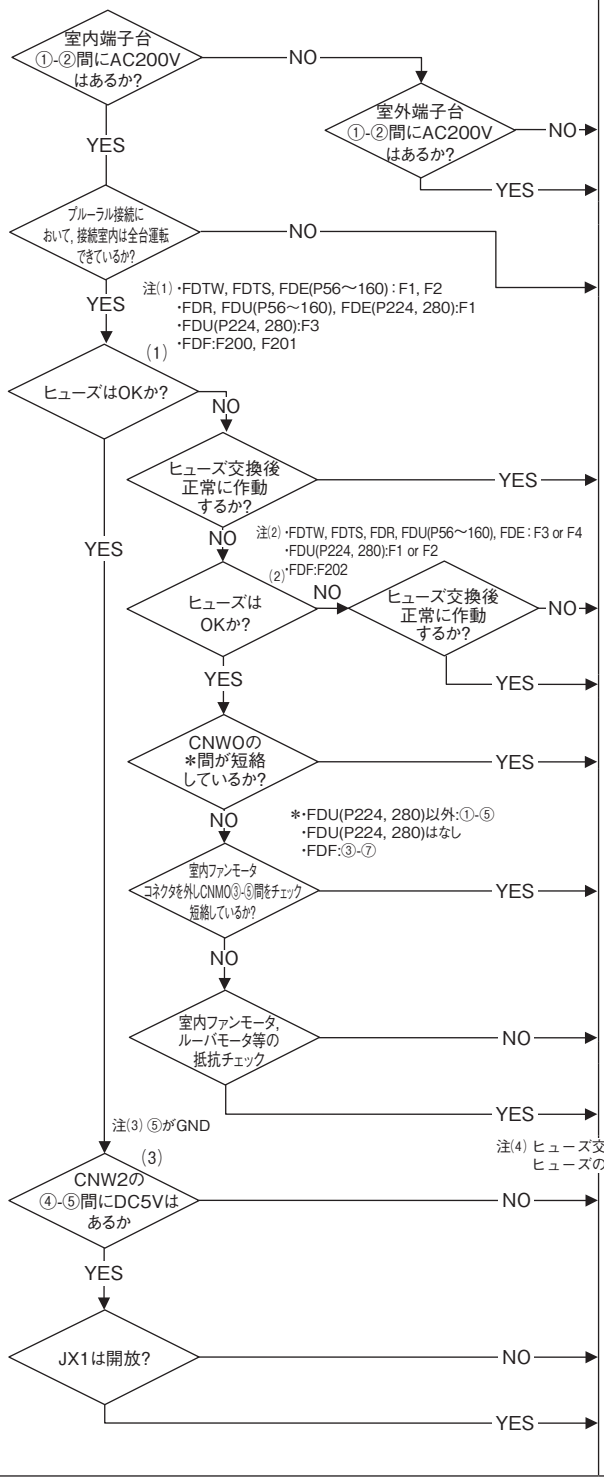
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

- 渡り配線の誤接続または断線
- ヒューズの断線
- 室内ファンモータ，ルーバモータ不良
- 室内電源基板不良
- ハーネス断線
- 室内制御基板不良
- 室外制御基板（ノイズフィルタ）不良

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤
	室内	消灯	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内・外基板への電源供給）

1. 対象機種

FDES シリーズのみ

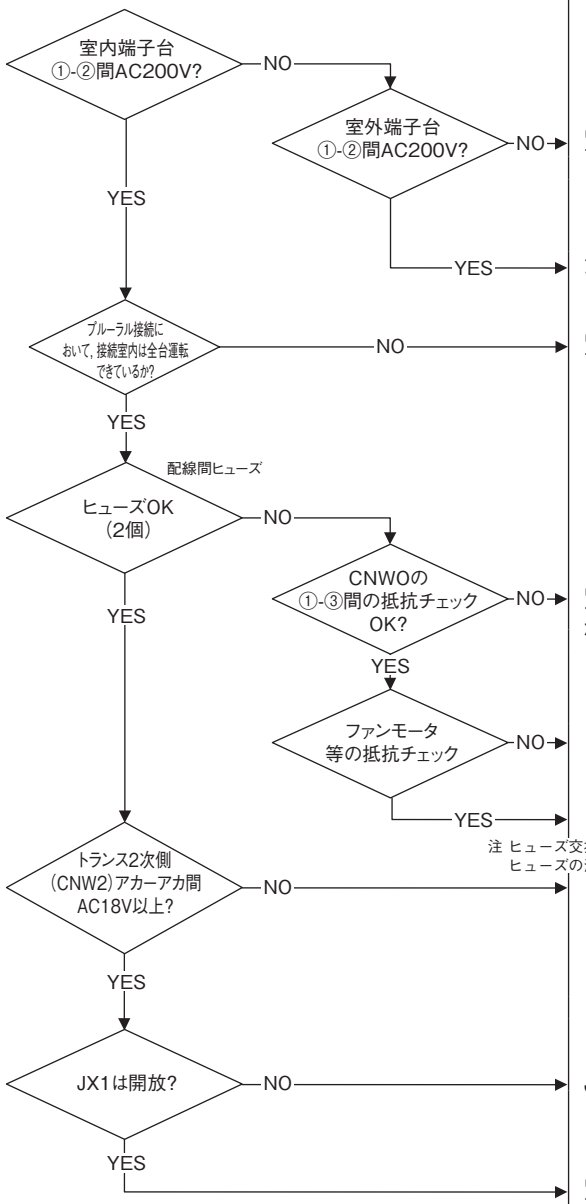
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

- 渡り配線，誤接続または断線
- ヒューズの断線
- トランスの故障
- 室内電源基板不良
- ハーネス断線
- 室内制御基板不良
- 室外制御基板（ノイズフィルタ）不良

5. 故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（リモコンへの電源供給）

1．対象機種

FDES シリーズ以外の機種

2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・リモコン線断線／短絡
・リモコン不良
・ノイズ誤動作
・ハーネス断線
・室内制御基板不良
・室内制御基板の親子アドレス設定不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
リモコン配線 接続チェックOK? X（シロ），Y（クロ） NO	リモコン配線接続修正
YES → 室内端子台 X-Y間に電圧DC15V 以上はあるか? NO	
YES → 電源リセット → 電源リセットで 正常に戻るか? NO	リモコン線断線？ リモコン不良→交換
YES	ノイズによる誤作動 （周辺環境確認）
室内ユニットの 親子設定は正しいか? NO	室内ユニットの親子設定修正→親設定にしてください。
YES → リモコン線を はずす → 室内端子台 X-Y間の電圧を再計測しDC15V 以上はあるか? NO	室内制御基板不良→交換
YES	リモコン線断線？ リモコン不良→交換

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（リモコンへの電源供給）

1．対象機種

FDES シリーズのみ

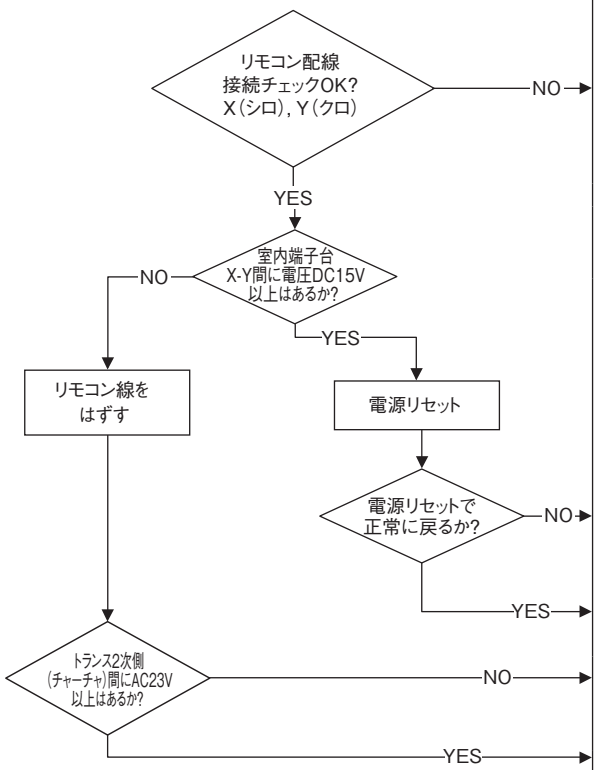
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・リモコン線断線／短絡
・リモコン不良
・ノイズ誤動作
・ハーネス断線
・室内制御基板不良
・トランス不良

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 **ラクリーナパネルが動かない**
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

1. 対象機種

ラクリーナパネル搭載機種のみ
(FDT，FDTW，FDE シリーズ)

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ワイヤゆるみ検知機構が働いている(FDT シリーズのみ)
・誤配線
・誤接続
・ラクリーナモータ不良
・ワイヤの絡まり
・ヒューズの断線
・ラクリーナ基板不良
・室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
リモコンでラクリーナ昇降スイッチを押してもラクリーナモータが動かない? → NO → リモコンでラクリーナ昇降スイッチを押すとラクリーナモータは動くが,グリルが降りてこない → YES	ワイヤが絡んでいる可能性があります。ワイヤの巻かれたスプールごと交換してください。
(1) ワイヤが緩んでいる? → YES 注(1) FDTシリーズのみ	正常です。ワイヤが緩んでいるとワイヤの絡まり防止のため，動きません。障害物等を取除き，ワイヤが張った状態で，再度操作してください。
降下長さが0mになっている? → YES	ワイヤードリモコンを用いて，降下長さを所望の長さに設定してください。
配線は接続されているか? → NO	電源・信号線を接続してください。信号線を接続する場合は，コネクタの色を合わせ，誤接続しないように注意してください。
ラクリーナ基板のヒューズが断線しているか? → YES	ヒューズを交換してください。
ラクリーナモータが断線しているか? → YES	モータ不良→交換
NO	ラクリーナ基板または室内制御基板不良→交換

注記:Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）の子機の場合，最大 4.5 秒の動作遅れがあります。

表示	LED	緑	赤
リモコン:内機確認中	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

室内機点検表示

（リモコン 1 台接続または 2 台接続時）

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

電源投入後 ,30 分以上室内ユニットと通信できない。（リモコン側）

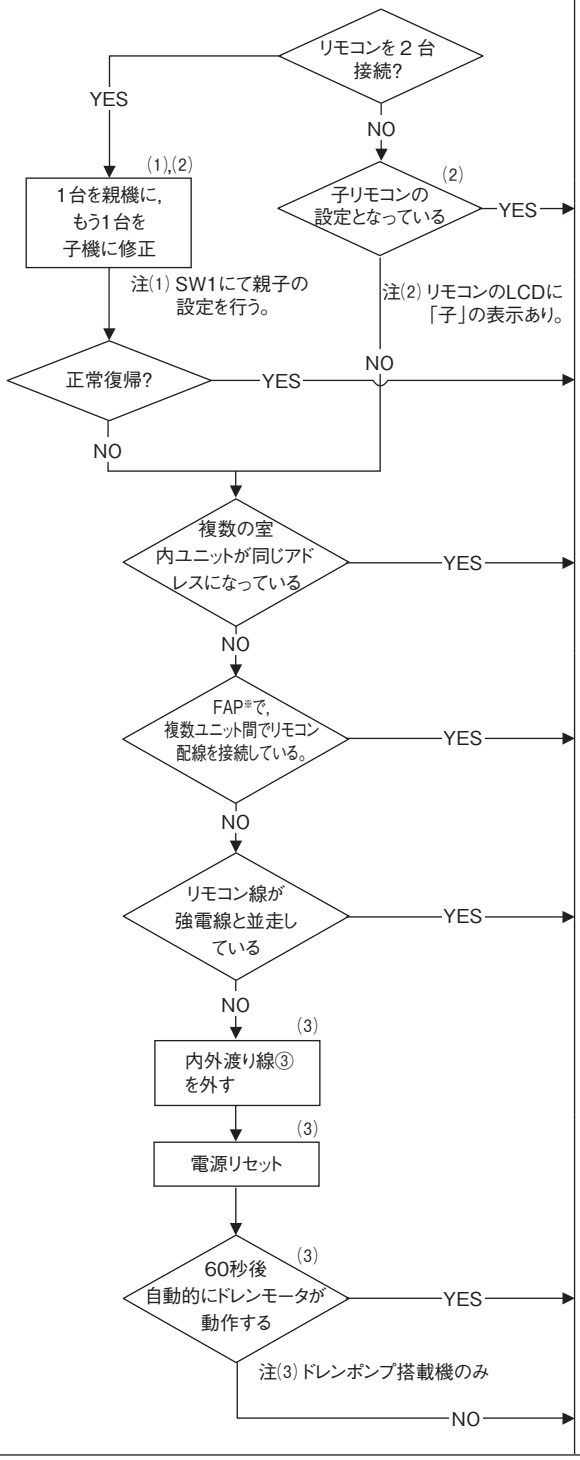
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・設定不良
・周囲環境
・リモコン通信回路不良
・室内制御基板不良
・誤接続

5．故障診断と処置



注記：リモコン表示は「内機確認中」から 30 分後，異常検出すると「室内機点検」に表示が変わります。
※ FAP…Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

室内機点検表示
（リモコン３台以上接続）

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

電源投入後，30 分以上室内ユニット通信できない（リモコン側）

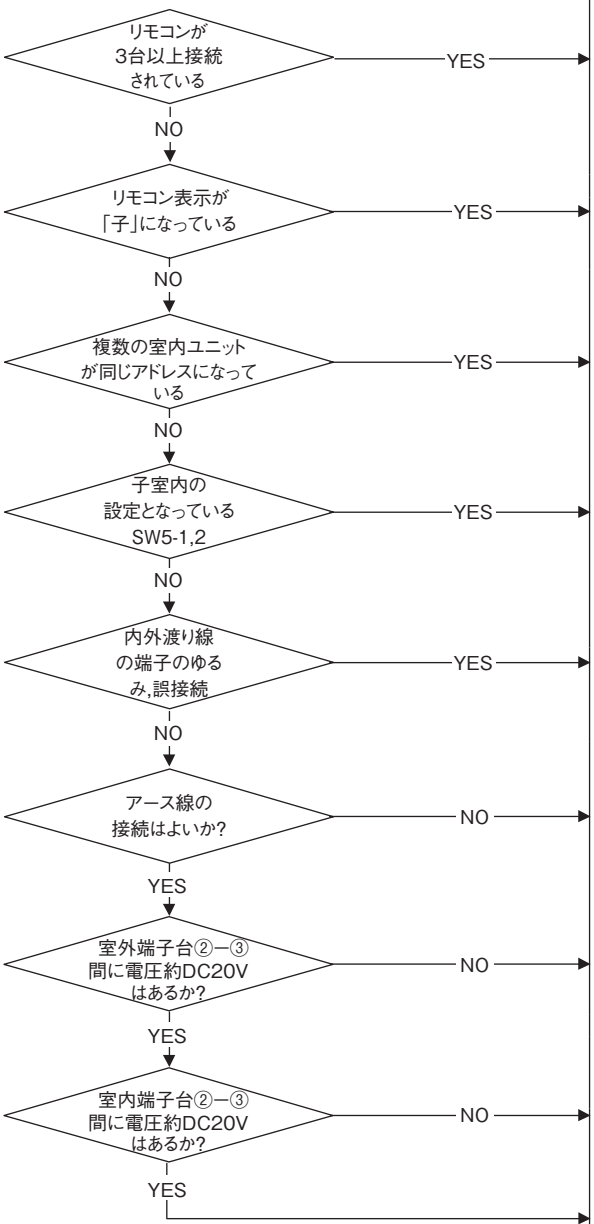
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・設定不良
・周囲環境
・リモコン通信回路不良
・室外制御基板不良
・室内制御基板不良

5．故障診断と処置



注記：リモコン表示は「内機確認中」から 30 分後，異常検出すると「室内機点検」に表示が変わります。
※ FAP…Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）

表示	LED	緑	赤	内容	内機確認中（1/3）
リモコン:内機確認中	室内	連続点滅	消灯		（FDCZP406 ～ 636形のみ）
	室外	―	2回点滅		

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636形

（電源投入後５分待っても リコモンLCD「内機確認中」表示のままの場合

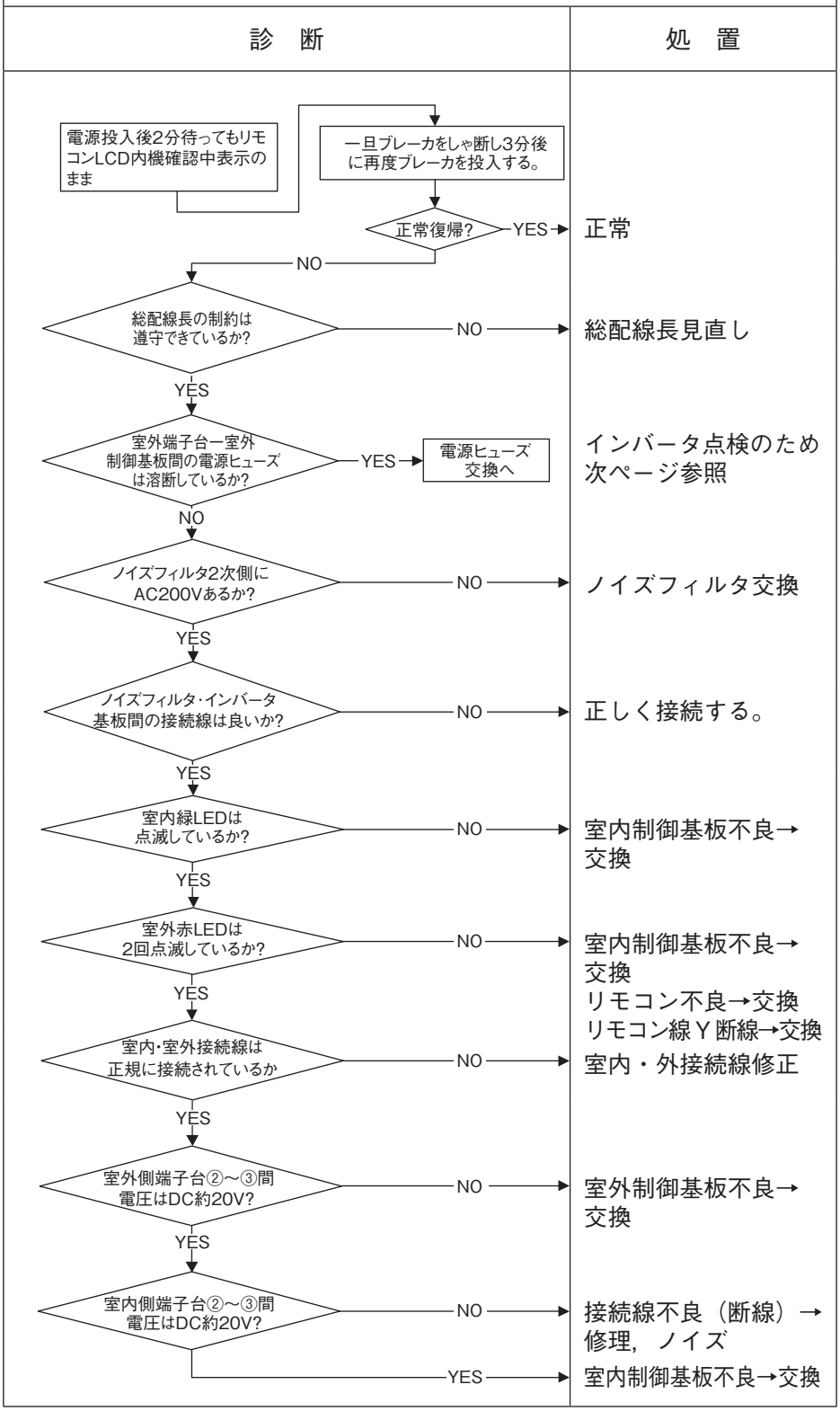
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外制御基板不良
・総配線長超過

5．故障診断と処置



注記：通信中に異常が発生した場合は故障記号 E5 を表示します。（室外赤 LED2 回点滅）点検要領は上記と同一です。（ただし，接続関連は除く。）
また，E5 発生後電源リセットした場合，異常が継続していればLCD「内機確認中」表示になります。短時間（1 分以内）にブレーカ電源投入を繰り返すと「内機確認中」表示することがあります。この場合，ブレーカを OFF して 3 分お待ちください。

表示	LED	緑	赤	内容	内機確認中（2/3）
リモコン:内機確認中	室内	連続点滅	消灯		（FDCZP406 ～ 636形のみ）
	室外	－	2回点滅		

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636形

（ヒューズ溶断の場合，電源ヒューズ交換前のインバータ点検方法）

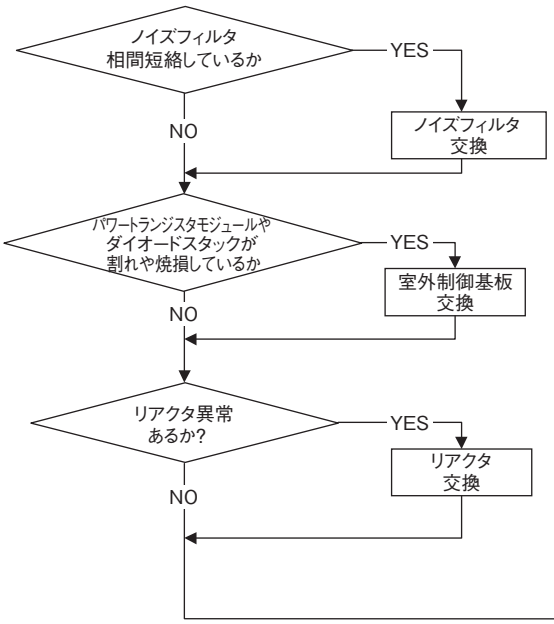
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・室外制御基板不良
・リアクタ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	ヒューズ交換

注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	ー	2回点滅

内容

内機確認中（3/3）

（FDCZP406 ～ 636形のみ）

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636形

（電源投入後リモコン無表示の場合）

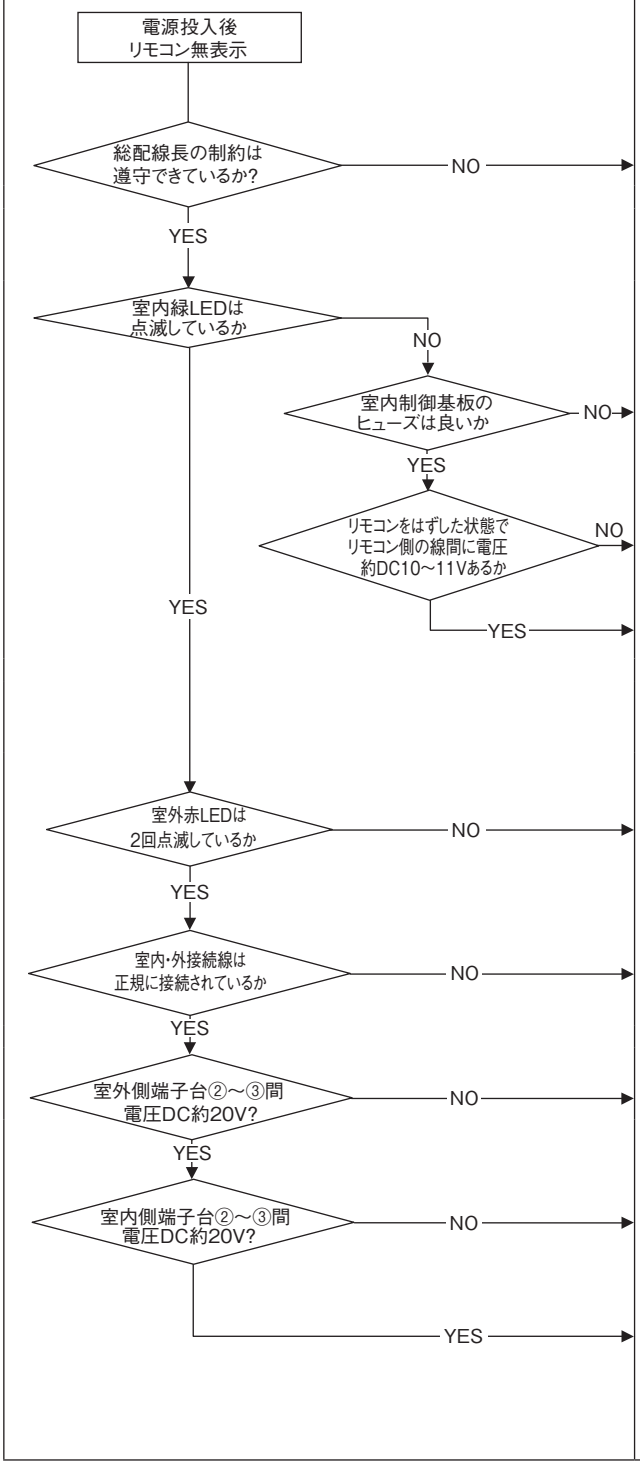
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線・短絡
・室外制御基板不良
・総配線長超過

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:内機確認中

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	2回点滅

内容

内機確認中（1/3）
（FDCZP806 ～ 2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

（電源投入後２分待っても リモコン LCD「内機確認中」表示のままの場合）

2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・基板間の接続
・室内ユニット制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板不良
・総配線長超過

5．故障診断と処置

診　断	処　置
電源投入後2分待ってもリモコンLCD「内機確認中」表示のまま	
YES	
総配線長の制約は遵守できているか? NO	総配線長見直し
YES	次ページ参照
室外制御基板緑LEDは点滅しているか NO → A	
YES	
室内制御基板緑LEDは点滅しているか NO	室内ユニット制御基板不良→交換
YES	
室外制御基板赤LEDは2回点滅しているか NO	室内ユニット制御基板不良→交換 リモコン不良→交換 リモコン線 Y 断線
YES	
室内・外接続線は正規に接続されているか NO	接続線修正
YES	
室外側端子台②～③間電圧DC約20V? NO	室外ユニット制御基板不良→交換
YES	
室内側端子台②～③間電圧DC約20V? NO	接続線不良（断線） ノイズ
YES	室内ユニット制御基板不良→交換

注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	消灯	消灯

内容

内機確認中（2/3）

（FDCZP806 ～ 2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

室外ユニット制御基板LEDが消灯している場合の診断

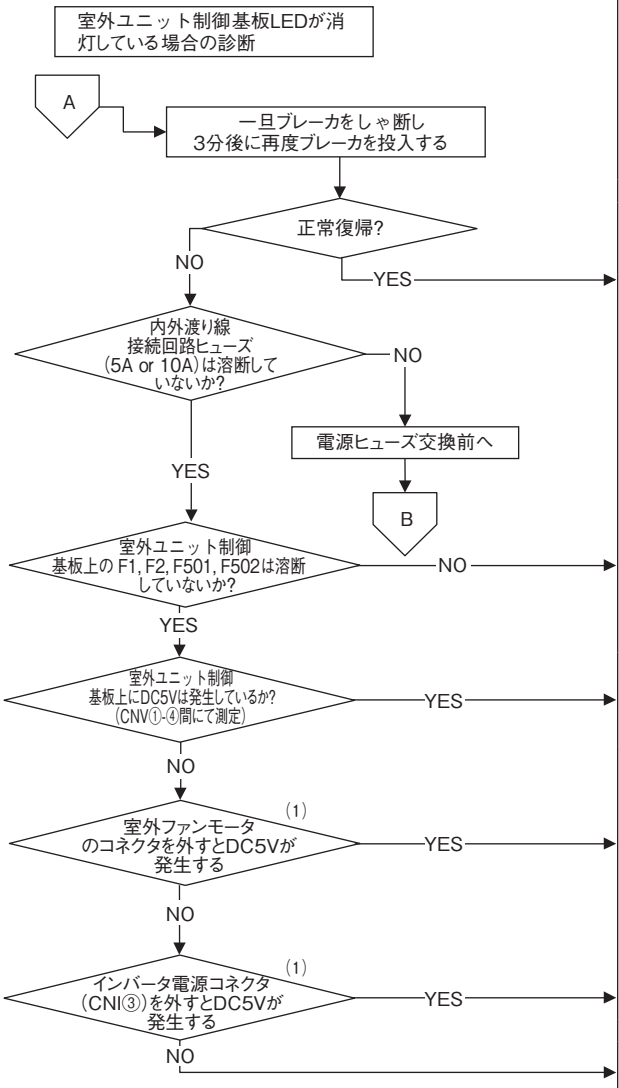
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板不良
・インバータ基板不良

5．故障診断と処置



注(1)室外ファンモータのDC15V負荷が短絡して電源自体がない場合を想定。
室外ファンモータを外して確認します。

注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	消灯	消灯
	室外	消灯	消灯

内容

内機確認中（3/3）

（FDCZP806 ～ 2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

（ヒューズ溶断の場合，電源ヒューズ交換前のインバータ点検方法）

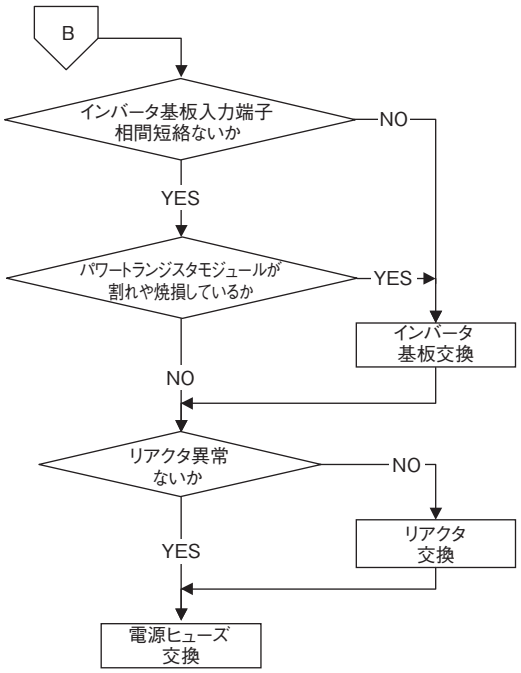
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・リアクタ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示 リモコン:無表示	LED	緑	赤	内容	無表示
	室内	消灯	消灯		
	室外	消灯	消灯		

1. 対象機種

全機種
(電源投入後リモコン無表示の場合)

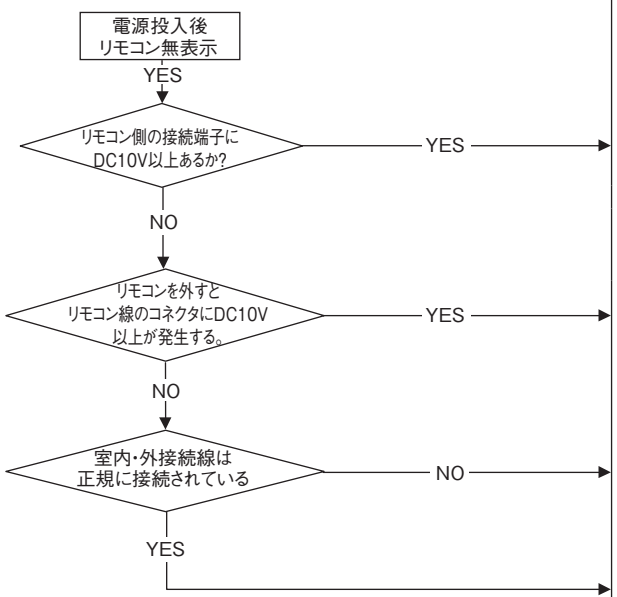
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・基板間の接続不良
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線・短絡

5. 故障診断と処置



注記：

表示	LED	緑	赤	内容
リモコン：E1	室内	連続点滅	消灯	リモコン通信回路不良
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

ドレンポンプ搭載機のみ

2. 異常検出方法

リモコンー室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合
（リモコンでのみ検出）

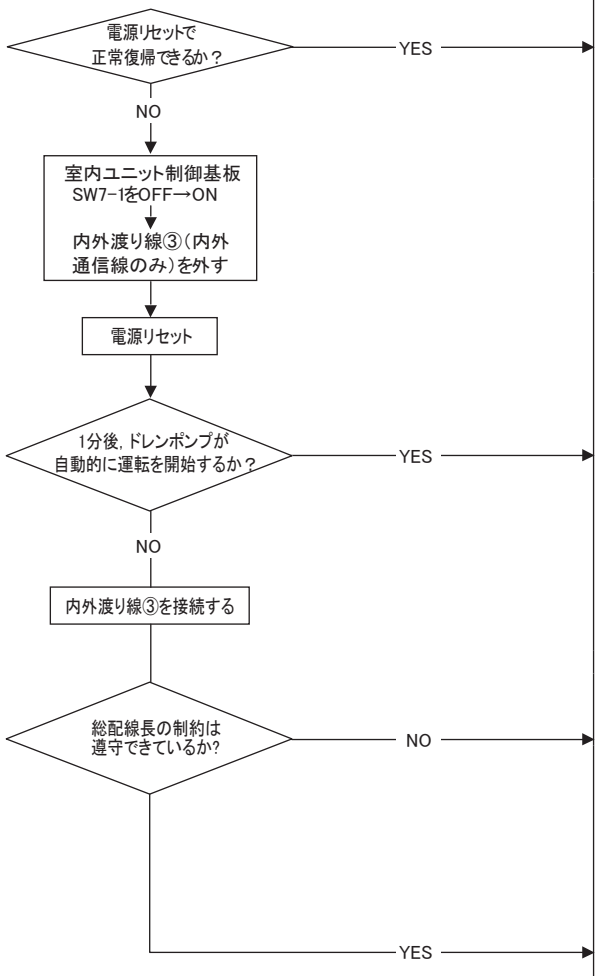
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・リモコンー室内ユニット間通信回路不良
・ノイズ
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注記：室内側ではリモコンと180秒間正常に通信できない場合，室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

表示	LED	緑	赤	内容
リモコン：E1	室内	連続点滅	消灯	リモコン通信回路不良
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

ドレンポンプ未搭載機種

2. 異常検出方法

リモコンー室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合
（リモコンでのみ検出）

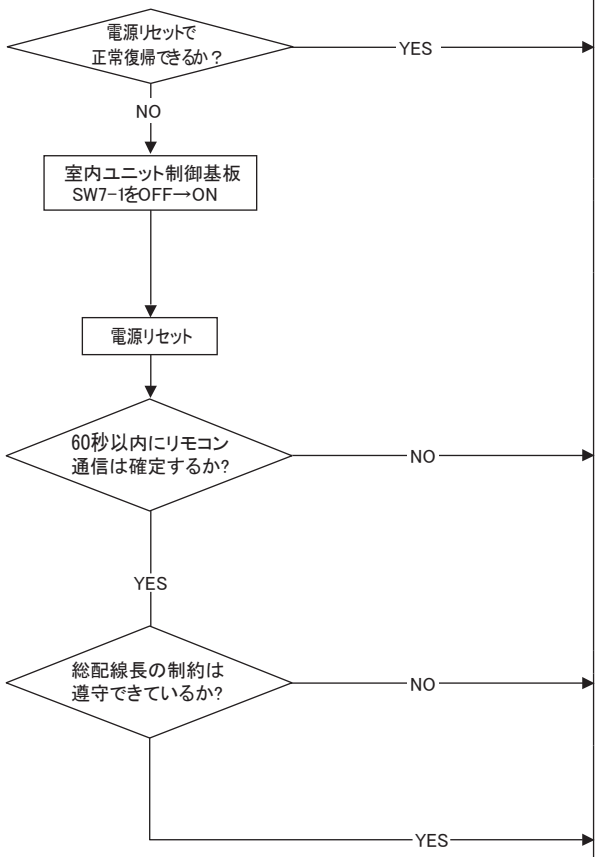
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・リモコンー室内ユニット間通信回路不良
・ノイズ
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注記：室内側ではリモコンと180秒間正常に通信できない場合，室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

表示
リモコン:E5

LED	緑	赤
室内	連続点滅	2回点滅
室外	連続点滅	下記参照

内容
運転中に室内外通信異常

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内－室外ユニット間が2分以上正常に通信できない場合

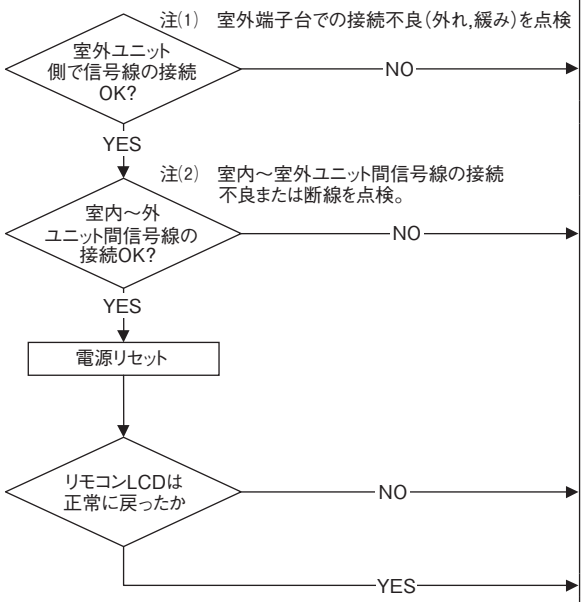
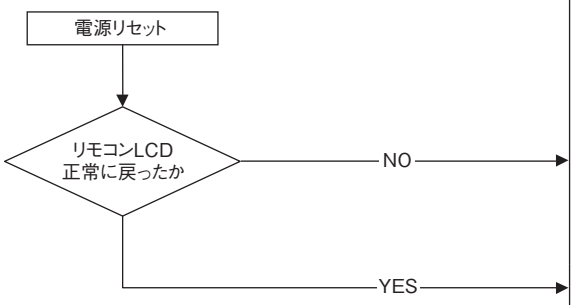
3. 異常発生条件

運転中，同上を検知

4. 予想原因

・号機設定ミス
・リモコン配線断線
・リモコン配線接続不良
・室外制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
・室外赤LEDが2回点滅の場合	
	信号線修理 信号線修理 「内機確認中」表示の診断へ ユニットは正常です。(一過性ノイズ等による誤作動)
・室外赤LEDが消灯	
	室外制御基板不良→交換 (ネットワーク通信回路不良) ユニットは正常です。(一過性ノイズ等による誤作動)
・室外LED赤および緑とも消灯は,次ページをご覧ください。(P1126～P2806形のみ)	

注記：ポンプダウンスイッチを押すと，室内ユニットとの通信をキャンセルするため，室内ユニットおよびリモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが異常ではありません。

表示 リモコン:E5	LED	緑	赤	内容 運転中に内外通信異常
	室内	連続点滅	2回点滅	
	室外	消灯	消灯	

1. 対象機種

FDCZP1126～2806形のみ

2. 異常検出方法

室内－室外ユニット間が2分以上正常に通信できない場合

3. 異常発生条件

運転中，同上を検知

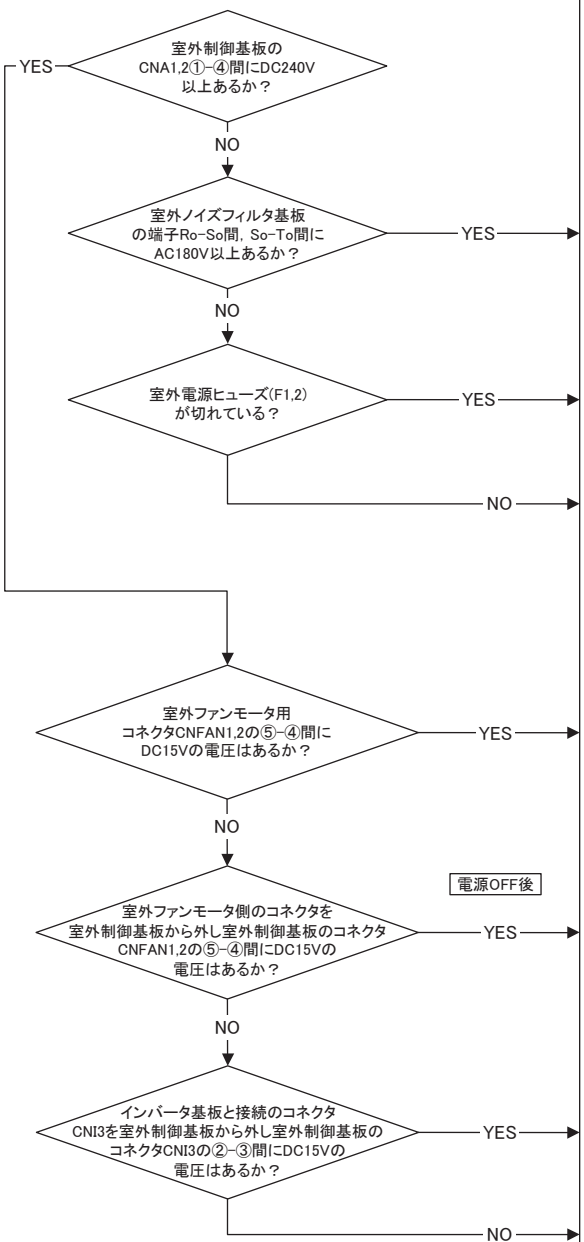
4. 予想原因

・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・室外ノイズフィルタ基板不良
・ヒューズ不良
・室外ファンモータ不良

5. 故障診断と処置

診 断 / 処 置

・室外LED赤および緑とも消灯



注記:

表示
リモコン:E6

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内熱交温度センサ不良

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2，R3,）の異常低温および異常高温（抵抗）を検知

3．異常発生条件

・温度センサが−50℃以下を連続5秒間検知（断線）した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ，1回目の検知から60分以内に再検知した場合。
・70℃以上を連続5秒間検知（短絡）

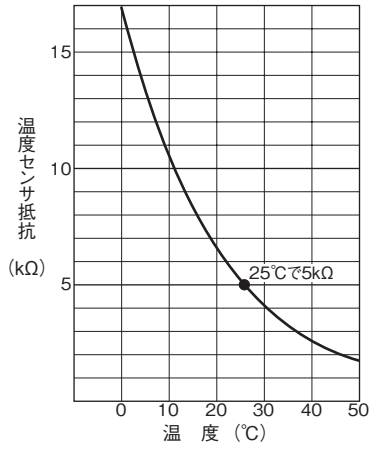
4．予想原因

・室内熱交温度センサコネクタ不良
・室内熱交温度センサ不良
・室内制御基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室内熱交温度センサコネクタの接続はOKか? → NO	コネクタを確実に接合する
YES → 室内熱交温度センサ特性は下図参照	
室内熱交温度センサの特性はOKか? → NO	室内熱交温度センサ不良→交換
YES	室内制御基板不良→交換（室内熱交温度センサ入力回路不良）

室内熱交温度センサ
温度−抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E7	LED	緑	赤	内容 吸込温度センサ不良
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

吸込温度センサ（Thi-A）の異常低温および異常高温（抵抗）を検知

3. 異常発生条件

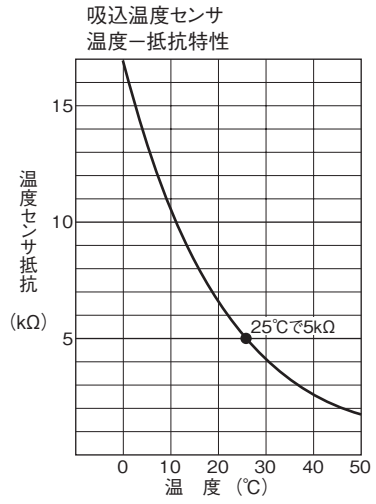
・温度センサが−50℃以下を連続5秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ，1回目の検知から60分以内に再検知した場合。

4. 予想原因

・吸込温度センサコネクタ不良
・吸込温度センサ不良
・室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
吸込温度センサコネクタの接続はOKか?	NO → コネクタを確実に接合する
YES	
吸込温度センサ特性は下図参照 吸込温度センサの特性はOKか?	NO → 吸込温度センサ不良→交換
YES	室内制御基板不良→交換 （吸込温度センサ入力回路不良）



注記：

表示 リモコン:E8	LED	緑	赤	内容 暖房過負荷運転
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2，R3）

3．異常発生条件

1回目の検知から60分以内に5回検知した時，または過負荷状態を連続6分間感知した場合。

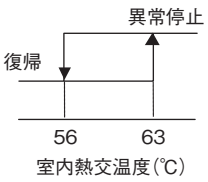
4．予想原因

・エアフィルタ目詰まり
・室内熱交温度センサコネクタ不良
・室内熱交温度センサ不良
・冷媒系統異常

5．故障診断と処置

診　断	処　置
エアフィルタが目詰まりしているか → YES	洗浄
NO → 室内熱交温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接合する
YES → 室内熱交温度センサの特性はOKか（室内熱交温度センサ特性は949ページ参照） → NO	室内熱交温度センサ不良→交換
YES → リモコンで異常データ点検 → 暖房過負荷状態か(1) → NO	冷媒系統点検
YES	調整

注(1)　過負荷状態か否かの点検は下記内容を確認する。
▲ショートサーキットは無いか
▲室内熱交換器の汚れ,つまりは無いか
▲室外ファンコントロールは正常か
▲室内・外気温が高すぎないか
注(2)　室内熱交温度センサの特性は,故障表示E6をご覧ください。



注記：暖房；圧縮機始動後，室内熱交温度（Thi-R）により圧縮機の回転数を下げ高圧制御します。

表示	LED	緑	赤	内容
リモコン:E9	室内	連続点滅	1回点滅	ドレン不良
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

ドレンポンプ搭載機種のみ

2. 異常検出方法

フロートスイッチ作動

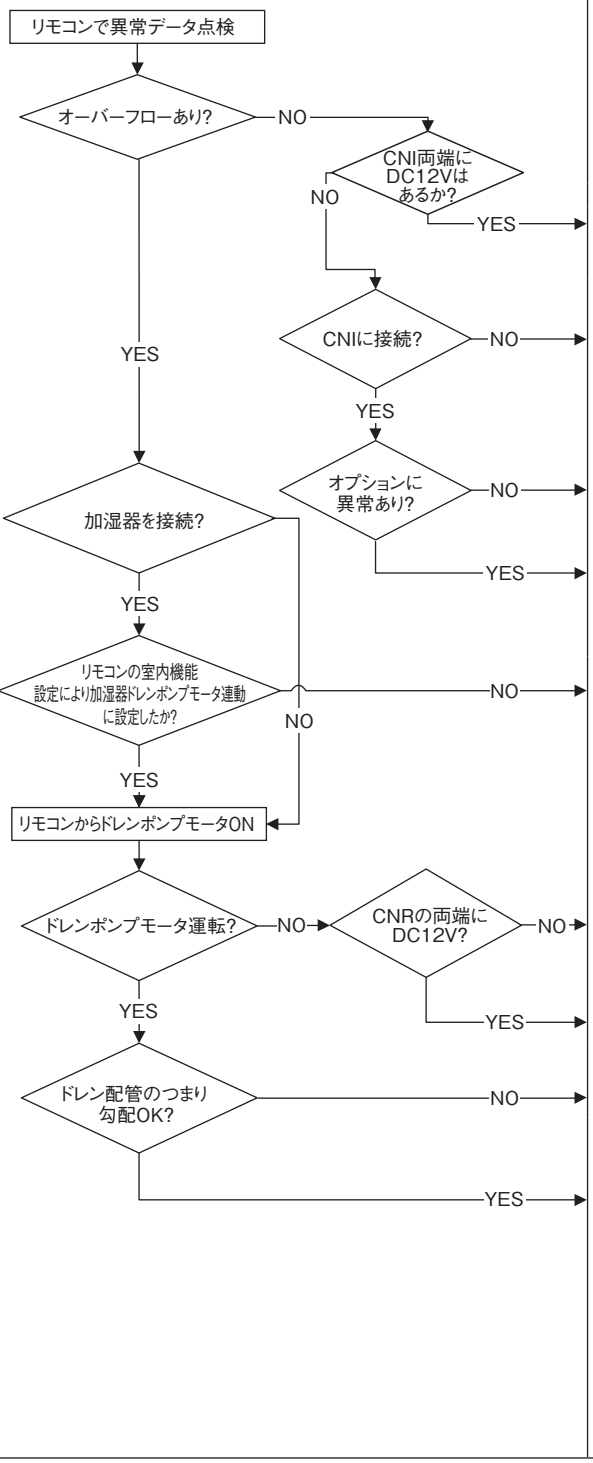
3. 異常発生条件

フロートスイッチ開を3秒間連続検知したとき，またはフロートスイッチの未接続時・断線時。

4. 予想原因

- 室内制御基板不良
- フロートスイッチ設定ミス
- 加湿器ドレンポンプモータ連動設定ミス
- オプション設定ミス
- ドレン配管ミス
- ドレンポンプモータ不良
- ドレンポンプモータ配線不良
- フロートスイッチ不良

5. 故障診断と処置



注記：電源投入時に発生した場合は，フロートスイッチの断線･接点不良が考えられます。点検修正（交換）してください。

表示
リモコン:E10

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容 1 リモコン複数台制御時
接続台数オーバー（17 台以上）

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

1 リモコンで室内ユニット
17 台以上を検知した時

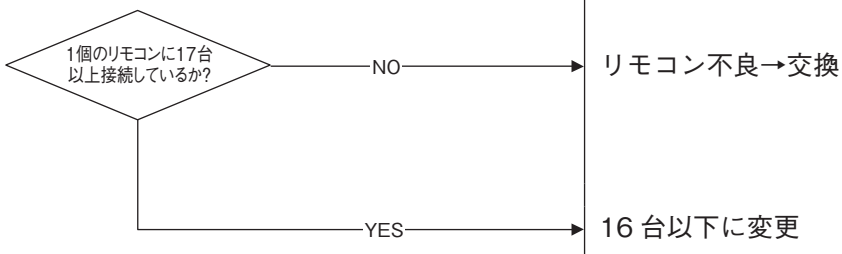
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・接続台数オーバー
・リモコン不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示 リモコン:E11	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	消灯

内容

リモコン通信アドレス設定不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

複数の室内ユニットを１リモコンで結線し，リモコンアドレスで設定をした場合

3. 異常発生条件

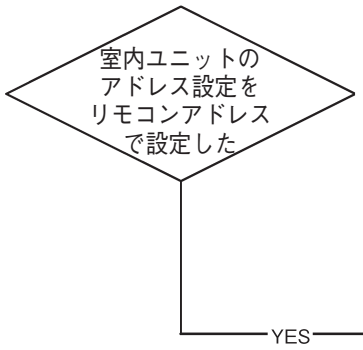
同上

4. 予想原因

アドレス設定方法のまちがい。
（リモコンからのアドレス設定はできない。）

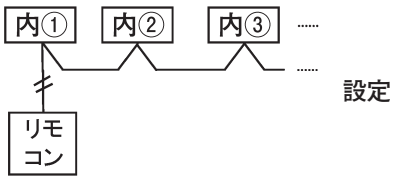
5. 故障診断と処置

診　断	処　置



アドレス設定方法変更
室内ユニット制御基板上のディップスイッチSW2およびSW5-1, 2（親子設定）でアドレス設定を行う。

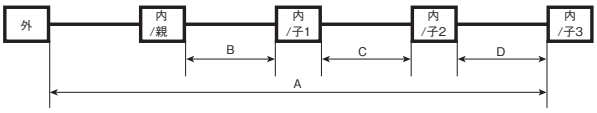
下図のリモコン結線で、リモコンによりアドレス設定をすると E11 発生。



フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		

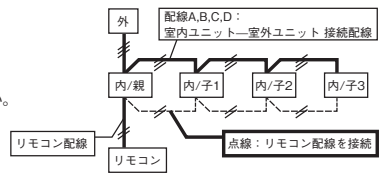


①・②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON



注記：フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。ただし，上記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

表示
リモコン:E14

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容
親子室内ユニット間通信異常

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

親子室内ユニット間に通信異常が発生

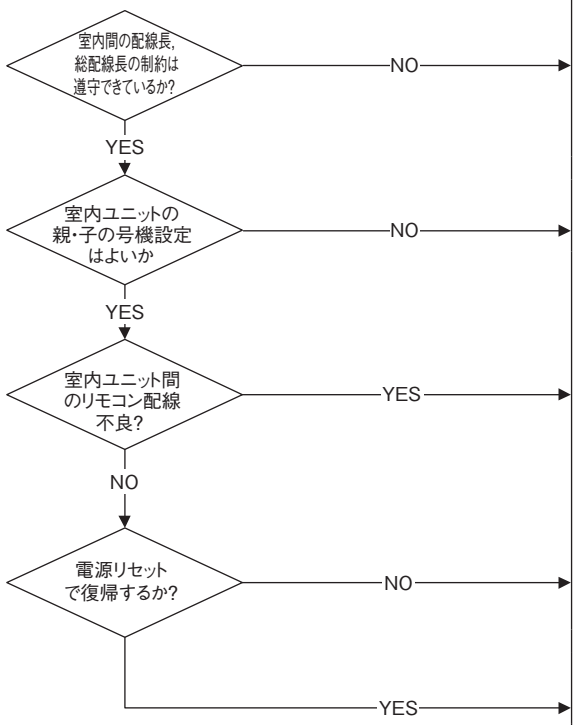
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・号機設定ミス
・リモコン配線断線
・リモコン配線接続不良
・室内制御基板不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注　室内制御基板上のディップスイッチSW5-1,
SW5-2を下表のように設定してください。
(工場出荷時[親]設定)

		室内ユニット			
		親	子a	子b	子c
ディップスイッチ	SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
	SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

注記：

表示
リモコン： E16

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ不良

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK
シリーズのみ

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

3．異常発生条件

室内ファンモータの実回転が30秒連続して200min^{-1}以下になると圧縮機，室内ファンモータを停止します。2秒遅延後自動復帰しますが60分以内に4回作動した場合。

4．予想原因

・室内ユニット基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置

診　断	処　置
ファンモータの回転部に異物が挟まっているか？ YES	異物を取除く。
手でファンを空回ししたら，なめらかに回転するか？ NO	ファンモータを交換
ファンモータコネクタCNM1①-④間（FDKは①-③間）にDC280Vの電圧はあるか？ 注(1) ④（FDKは③）がGNDです。 NO	
ヒューズが溶断しているか？ 注(2) FDT，FDTC:F2 FDK:F1 NO	電源電圧を点検してください。
ヒューズ交換後正常に作動するか？ NO	故障したファンモータと室内ユニット基板を交換
ファンモータ運転指令時にコネクタCNM1⑤-④間（FDKは④-③間）にDC15Vの電圧はあるか？ YES	一過性の過電流によるヒューズ溶断
ファンモータ側のコネクタを外し運転指令時にCNM1⑤-④間（FDKは④-③間）にDC15Vの電圧はあるか？ NO	室内ユニット基板を交換
電源リセット	
正常になったか？ NO	ファンモータを交換（ファンモータを交換しても異常が出る場合には，室内ユニット基板を交換してください。）
YES	一過性 ノイズが乗ったことによる。

注記：

表示 リモコン： E16	LED	緑	赤	内容
	室内	連続点滅	1(2)回点滅	室内ファンモータ不良
	室外	連続点滅	消灯	

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK，FDES シリーズおよびFDFZP2245, 2805以外の機種

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

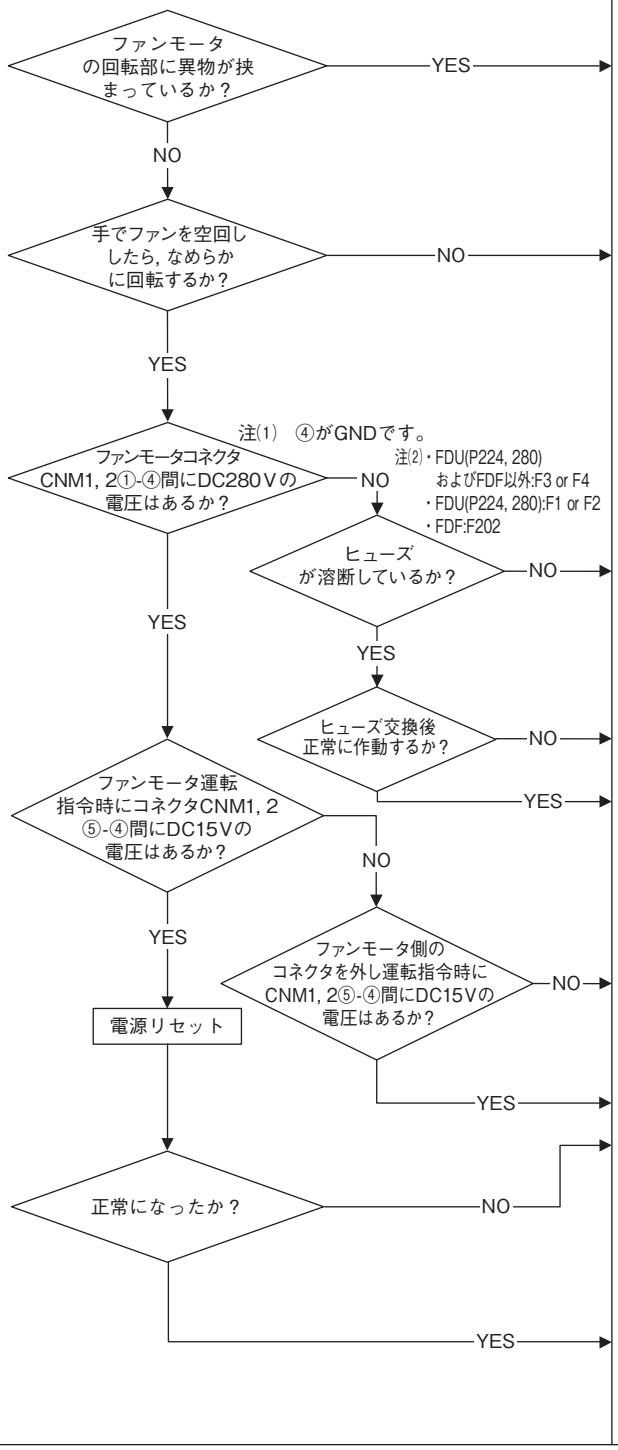
3．異常発生条件

室内ファンモータの実回転が30秒連続して200min^{-1}以下になると圧縮機，室内ファンモータを停止します。2秒遅延後自動復帰しますが60分以内に4回作動した場合。

4．予想原因

・室内制御（電源）基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E19	LED	緑	赤	内容	運転モード設定不良
	室内	連続点滅	1 回点滅		
	室外	連続点滅	消灯		

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

E19 発生

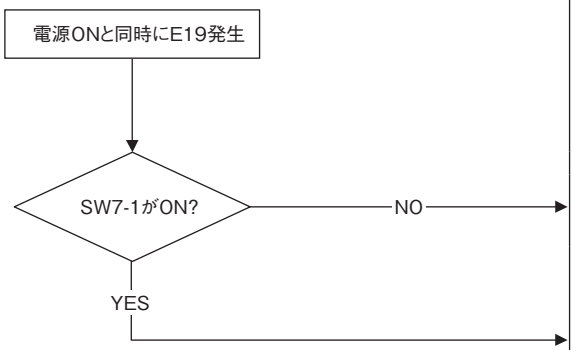
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・スイッチ設定ミス
（スイッチの戻し忘れ）
・室内制御基板不良
（スイッチ不良）

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	室内制御基板不良→交換（スイッチ不良） SW7-1 を OFF し電源をリセット

注記：

表示
リモコン： E20

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ回転不良

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK
シリーズのみ

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

3．異常発生条件

室内ファンモータ回転指令が出力された後2分経過しても実回転数が要求回転数−50min^{-1}に達しないときは，ファンモータ回転異常を検出し停止します。

4．予想原因

・室内ユニット基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置

診　断	処　置
ファンモータの回転部に異物が挟まっているか？ YES	異物を取除く。
手でファンを空回ししたら,なめらかに回転するか? NO	ファンモータを交換
ファンモータコネクタ CNM1①-④間（FDKは①-③間）にDC280Vの電圧はあるか？ 注(1) ④（FDKは③）がGNDです。 NO	
ヒューズが溶断しているか？ 注(2) FDT，FDTC:F2 FDK:F1 NO	電源電圧を点検してください。
ヒューズ交換後正常に作動するか？ NO	故障したファンモータと室内ユニット基板を交換
YES	一過性の過電流によるヒューズ溶断
ファンモータ運転指令時にコネクタCNM1⑤-④間（FDKは④-③間）にDC15Vの電圧はあるか？ NO	
ファンモータ側のコネクタを外し運転指令時にCNM1⑤-④間（FDKは④-③間）にDC15Vの電圧はあるか？ NO	室内ユニット基板を交換
YES	ファンモータ交換
電源リセット	
正常になったか？ NO	ファンモータを交換（ファンモータを交換しても異常が出る場合には,室内ユニット基板を交換してください。）
YES	一過性（ノイズが乗ったことによる。）

注記：

表示
リモコン： E20

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1(2)回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ回転不良

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK，FDES シリーズおよびFDFZP2245, 2805以外の機種

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

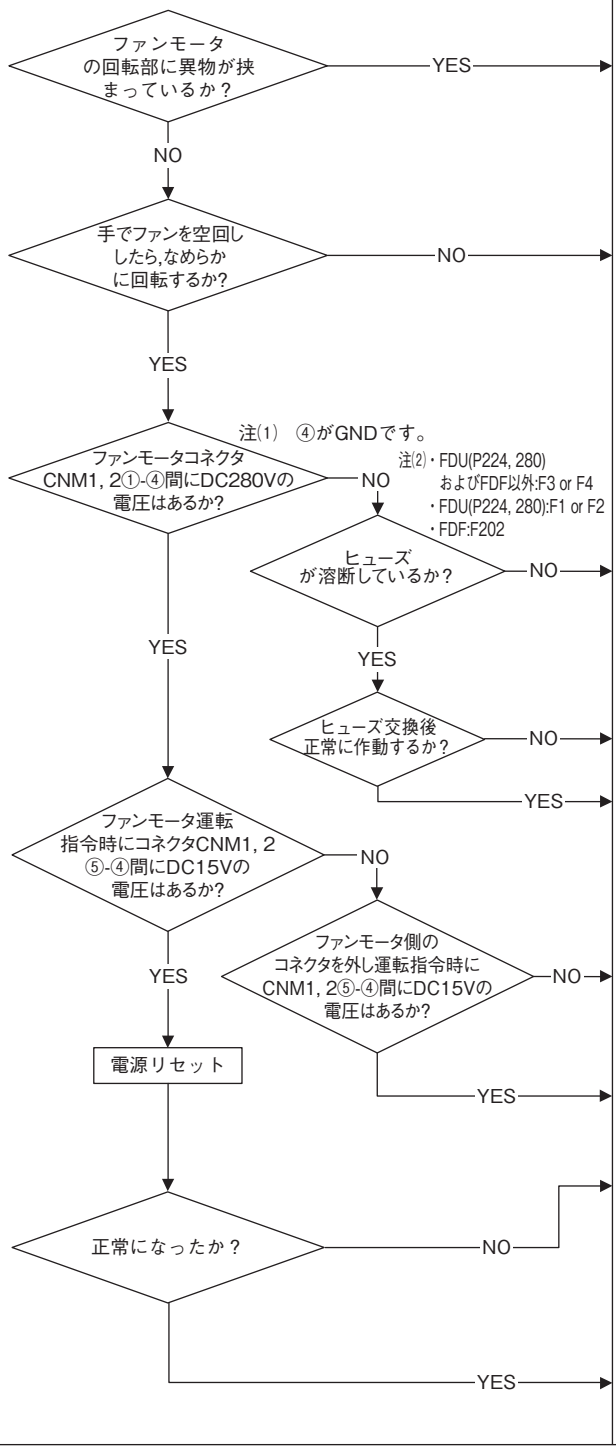
3．異常発生条件

室内ファンモータ回転指令が出力された後2分経過しても実回転数が要求回転数−50（FDU:-500）min^{-1}に達しないときは，ファンモータ回転異常を検出し停止します。

4．予想原因

・室内制御（電源）基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E23	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	1 回点滅
	室外	連続点滅	消灯

内容

冷媒漏えい検知
（FDF シリーズ）

1．対象機種

FDF シリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサから警報信号を受信した場合

3．異常発生条件

・冷媒センサが冷媒を検知した場合
・冷媒センサが冷媒以外のガスを検知した場合
・冷媒センサが劣化し，誤検知した場合

4．予想原因

・熱交換器からの冷媒漏れ
・配管接続部からの冷媒漏れ
・室内ユニット付近で以下のガスを使用。
＜冷媒センサが反応する冷媒以外のガスの例＞
①ドレン配管や壁紙の接着剤などから揮発する可燃性ガス
②塗料から揮発するガス・ヘアスプレー，殺虫剤などの可燃性ガス
③消毒用などのアルコール類シロキサンを含むシーリング材など
・冷媒センサ劣化
・配線不良（故障出力を誤検知）

5．故障診断と処置

診　断	処　置
実際に冷媒が漏れているか?	
YES	冷媒漏えい箇所を修復 →リモコンから定期点検リセットにて E23 をリセット
NO	
冷媒以外のガスを誤検知しているか?	
YES	冷媒センサ付近のガスを取除く。 →リモコンから定期点検リセットにて E23 をリセット
NO	冷媒センサの劣化か不良，もしくは配線不良が考えられる。 →冷媒検知機器を交換。

注記：リモコンに「E23」と表示された場合，修理を開始するまでに下記①②項を実施してください。
① 実際に冷媒が漏れていた場合，燃焼器具などの火気を消して，部屋の換気をしてください。
② 修理を開始するまでは電源ブレーカをしゃ断しないでください。
室内ユニットは異常停止しますが，漏えいした冷媒の滞留を防ぐためファンの送風運転をします。

表示 リモコン:E28	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	消灯

内容

リモコン温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

リモコン温度センサ（Thc）の異常低温（抵抗）を検知

3. 異常発生条件

温度センサが -50℃以下を連続 5 秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3 分間延長後に圧縮機を再起動させ，1 回目の検知から 60 分間以内に再検知した場合。

4. 予想原因

・リモコン温度センサ接続不良
・リモコン温度センサ不良
・リモコン基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
リモコン温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接合する
リモコン温度センサの特性は良いか断線は無いか? → NO	リモコン温度センサ不良→交換
YES	リモコン基板不良→交換 （リモコン温度センサ入力回路不良）

リモコン温度センサ温度－抵抗特性（Thc）

温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)
0	65	14	33	30	16	46	8.5
1	62	16	30	32	15	48	7.8
2	59	18	27	34	14	50	7.3
4	53	20	25	36	13	52	6.7
6	48	22	23	38	12	54	6.3
8	44	24	21	40	11	56	5.8
10	40	26	19	42	9.9	58	5.4
12	36	28	18	44	9.2	60	5.0

注記：リモコンセンサ無効→有効切換えの 10 秒間以降は，断線しても E28 は表示しません。同時に使用するセンサをリモコン→吸込温度センサに変更します。リモコンセンサを有効にしても点検表示の吸込温度表示は吸込温度センサの値となります。

表示 リモコン:E34	LED	緑	赤	内容	電源欠相 （三相機のみ）
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	連続点滅	1 回点滅		

1．対象機種

三相機のみ

2．異常検出方法

電源 ON 後，５秒間連続してＲ・Ｓ・Ｔ相何れかの電圧が 0V の場合

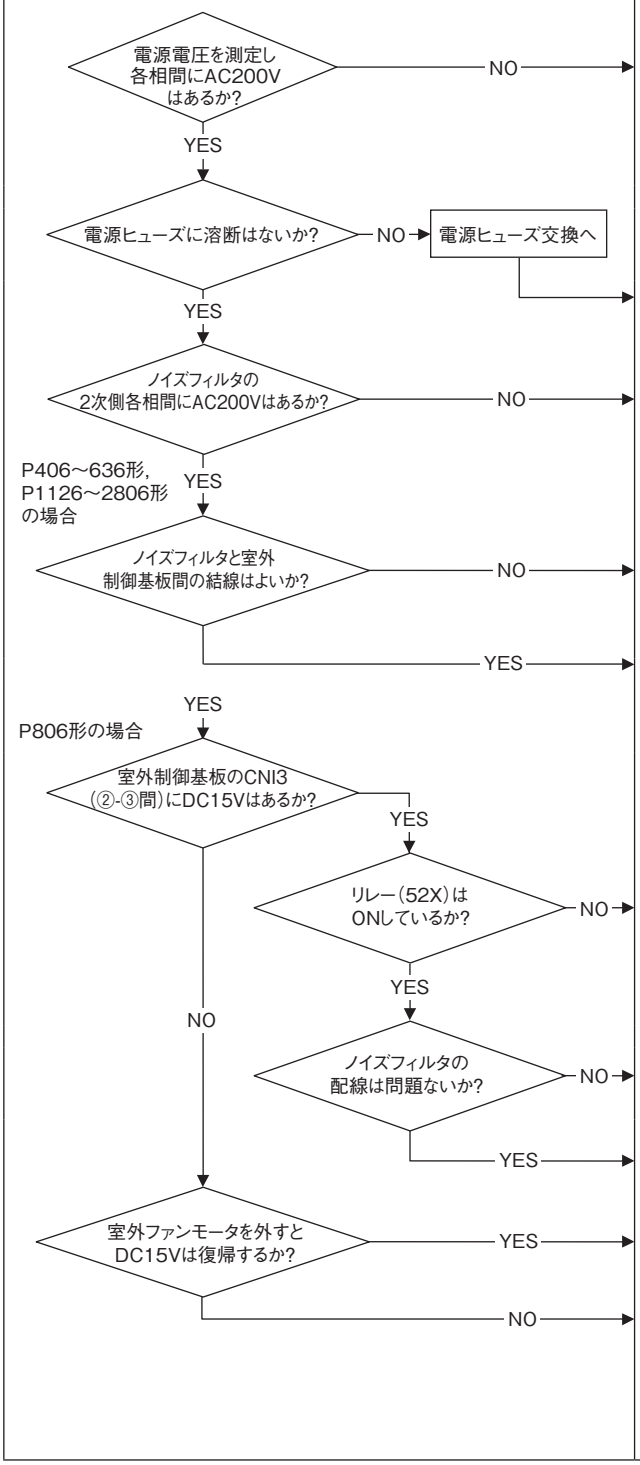
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・電源異常
・電源ヒューズ溶断
・ノイズフィルタ不良
・ノイズフィルタ制御基板結線不良
・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・室外ファンモータ不良
・ノイズフィルタ配線不良

5．故障診断と処置



注記：電源電圧が逆相となっている場合はE34が表示されます。その場合は，電源の相を入換えてください。

表示 リモコン:E34	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

電源欠相(続き)
(三相機のみ)

1. 対象機種

三相機のみ
(ヒューズ溶断の場合,電源ヒューズ交換前にインバータを点検する。)

2. 異常検出方法

電源 ON 後, 5 秒間連続して R・S・T 相何れかの電圧が 0V の場合

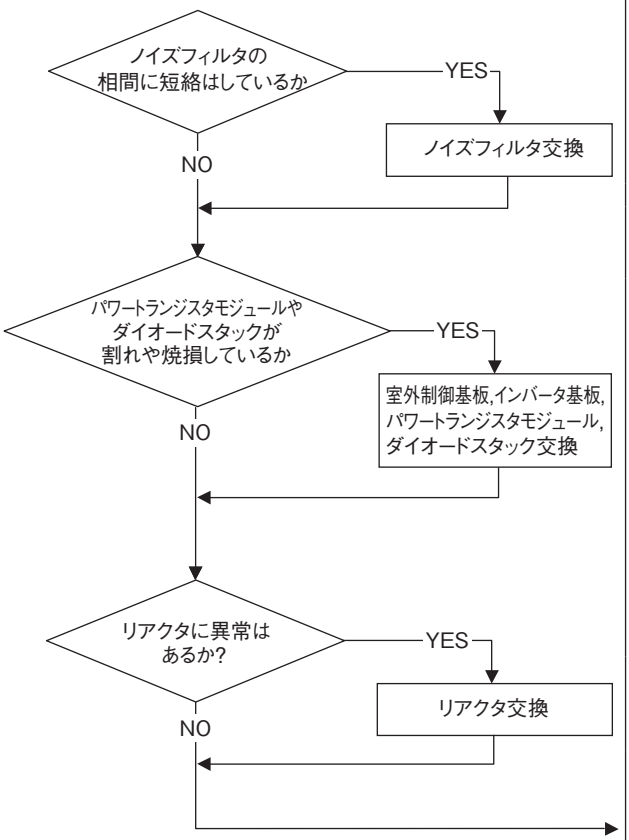
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・電源異常
・電源ヒューズ溶断
・ノイズフィルタ不良
・ノイズフィルタ結線不良
・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・リアクタ不良

5. 故障診断と処置

診 断	処 置
	電源ヒューズ交換

注記:

表示 リモコン:E35	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	1回点滅

内容

冷房過負荷運転
（FDCZP406 ～ 636 形）

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636 形

2．異常検出方法

室外熱交温度が 62℃（外気温度が 32℃未満：56℃）以上を検知した場合。

3．異常発生条件

室外熱交温度異常が 60 分以内に 5 回，あるいは圧縮機停止中も含め異常検出状態が 10 分間連続した場合。

4．予想原因

・室外熱交温度センサ不良
・室外制御基板不良
・室内外の据付スペース
・室内外ショートサーキット
・熱交換器の汚れ，詰り
・冷媒量過多

5．故障診断と処置

診　断	処　置
注　室外熱交温度センサ特性は968ページ参照 室外熱交温度センサ特性は正常か? NO	室外熱交温度センサ不良→交換
YES 冷房過負荷運転? YES	ユニット側を点検してください。 ・室外ユニットはショートサーキットしていないか ・据付スペースは適正か ・熱交換器の汚れ，詰りはないか
NO 高圧制御は正常か? NO	制御動作チェック ※
YES 異常検知温度（実測）は正しいか? NO	室外制御基板不良→交換
YES	冷媒量過多：冷媒計量再チャージ

※
制御内容は対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御,冷房高圧保護をご覧ください。

注記：

表示 リモコン:E35	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

冷房過負荷運転
（FDCZP806 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

2．異常検出方法

異常検出方法については対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御，冷房高圧保護をご覧ください。

3．異常発生条件

室外熱交温度異常が 60 分以内に 5 回，あるいは圧縮機停止中も含め異常検出状態が 30 分間連続した場合。

4．予想原因

・室外熱交温度センサ不良
・室外制御基板不良
・室内外の据付スペース
・室内外ショートサーキット
・熱交換器の汚れ，詰り
・冷媒量過多

5．故障診断と処置

診　断	処　置
注　室外熱交温度センサ特性は968ページ参照 室外熱交温度センサ特性は正常か? — NO	室外熱交温度センサ不良→交換
YES 冷房過負荷運転? — YES	ユニット側を点検してください。 ・室外ユニットはショートサーキットしていないか ・据付スペースは適正か ・熱交換器の汚れ，詰りはないか
NO 高圧制御は正常か? — NO	制御動作チェック ※
YES 異常検知温度（実測）は正しいか? — NO	室外制御基板不良→交換
YES	冷媒量過多 : 冷媒計量再チャージ

※
制御内容は対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御,冷房高圧保護をご覧ください。

注記：

表示 リモコン:E36	LED	緑	赤	内容 吐出管温度異常
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

異常検出方法については対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御，圧縮機吐出管温度保護をご覧ください。

3. 異常発生条件

吐出管温度異常が60分以内に2回，または圧縮機停止中を含め連続30分間。

4. 予想原因

・室外制御基板不良
・吐出管温度センサ不良
・フィルタ詰り
・室内外の据付スペース
・室内外ショートサーキット
・熱交換器の汚れ，詰り

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
注　吐出管温度センサ特性は970ページ参照 吐出管温度センサ特性は正常か? NO	吐出管温度センサ交換
YES 冷暖運転時に吐出管温度異常? YES	冷媒量不足：冷媒計量再チャージ
NO 吐出管温度制御は正常か? NO	制御動作チェック ※
YES 停止時の室外機側圧力飽和温度と外気温はほぼ同じか? NO	空気混入：真空引き再チャージ
YES 異常検知温度（実測）は正しいか? NO	室外制御基板不良→交換
YES	ユニット側を点検してください。 ・フィルタは詰まっていないか ・室内／外の据付スペースは適正か ・ショートサーキットしていないか ・室内熱交換器の汚れ，詰りはないか

※
制御内容は対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御，圧縮機吐出管温度保護をご覧ください。

注記：

表示 リモコン:E37	LED	緑	赤	内容 室外熱交温度センサ不良
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室外熱交温度センサの異常低温(抵抗)を検知

3. 異常発生条件

・圧縮機ON後2分～2分20秒の間に温度センサが-50℃(1)以下を連続5秒検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。
・電源投入時，20秒の間に連続5秒間-50℃(1)以下を検知した場合。

注(1)FDCZP406～636形の場合：－55℃

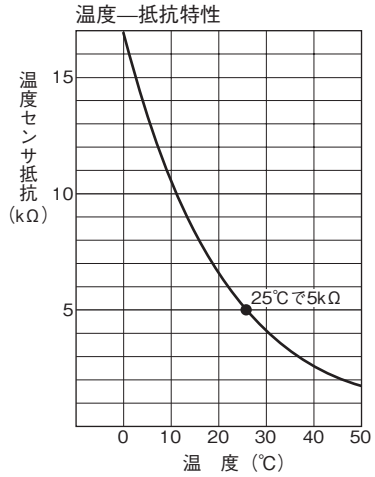
4. 予想原因

・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線(モールド部を確認)
・配線接合部(コネクタ)のはずれ

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
室外熱交温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接合する
YES → 室外熱交温度センサ特性は下図グラフ参照 室外熱交温度センサ特性はOKか → NO	室外熱交温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 (室外熱交温度センサ入力回路不良)

室外熱交温度センサ
温度―抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E38	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

外気温度センサ不良

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

外気温度センサの異常低温(抵抗)を検知

3．異常発生条件

・圧縮機ON後2分～2分20秒の間に温度センサが－45℃(1)以下を連続5秒検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。
・電源投入時，20秒の間に連続5秒間－45℃(1)以下を検知した場合。

注(1)FDCZP406～636形の場合：－55℃

4．予想原因

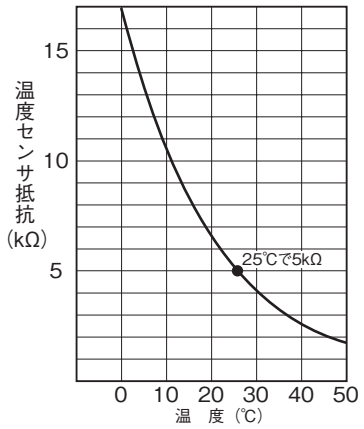
・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線(モールド部を確認)
・配線接合部（コネクタ）のはずれ

5．故障診断と処置

診　断	処　置
外気温度センサコネクタの接続はＯＫか → NO	コネクタを確実に接合する。
YES → 外気温度センサ特性は下図参照 外気温度センサ特性はOKか → NO	外気温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 (外気温度センサ入力回路不良)

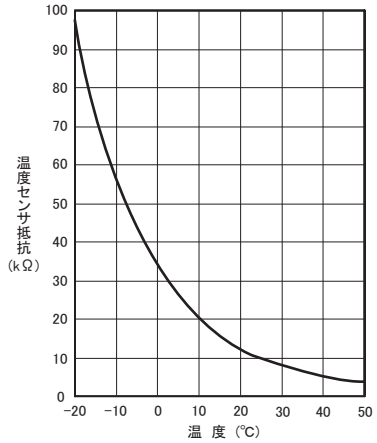
●P406～P806形

外気温度センサ
温度－抵抗特性



●P1126～P2806形

外気温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E39	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

吐出管温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

吐出管温度センサの異常低温(抵抗)を検知

3. 異常発生条件

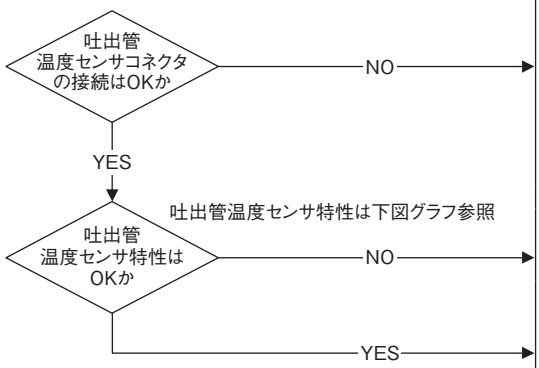
圧縮機ON後10分～10分20秒の間に温度センサが−10℃(1)以下を連続5秒検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。

注(1)FDCZP406～636形の場合：
−25℃

4. 予想原因

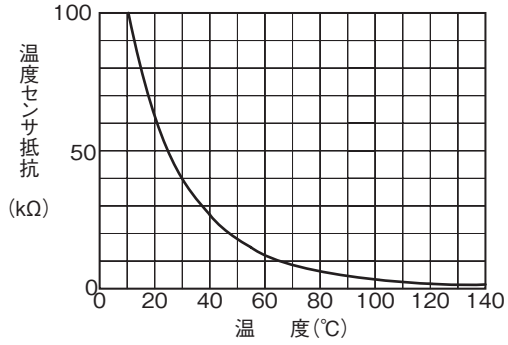
・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線(モールド部を確認)
・配線接合部(コネクタ)のはずれ

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	コネクタを確実に接合する。 吐出管温度センサ不良→交換 室外制御基板不良→交換 (吐出管温度センサ入力回路不良)

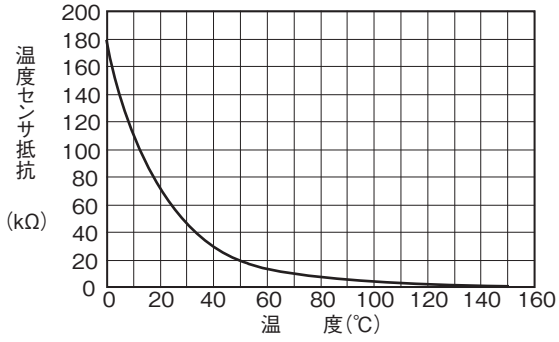
●P406～806形

吐出管温度センサ
温度－抵抗特性



●P1126～P2806形

吐出管温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E40	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

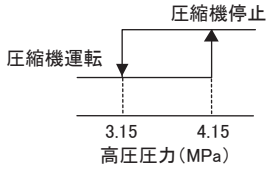
63H1 作動
（FDCZP806 ～ 2806 形のみ）

1.対象機種

FDCZP806～2806形

2.異常検出方法

高圧圧力スイッチ 63H1 が作動。



3.異常発生条件

63H1がOFF（開）すると圧縮機を停止します。3 分遅延後，再始動しますが 60 分以内に 5 回作動した時，またはOFF（開）の状態が連続 60 分間継続したとき。

4.予想原因

- ・凝縮器側熱交のショートサーキット／通風妨害／フィルタ詰り／ファンモータダウン
- ・室外制御基板不良
- ・63H1コネクタ不良
- ・電子膨張弁コネクタ不良
- ・操作弁閉
- ・ 不凝縮ガス（窒素等）の混合
- ・ F3ヒューズ切れ

5.故障診断と処置

診 断	処 置
早いタイミングで電源ブレーカのOFFからONを行うとE40 が表れることがあります。（異常ではありません。）	
操作弁は全開か	NO → 操作弁を開ける。
YES	
63H1が作動したか	NO（63H1導通あり）
YES（63H1導通なし）	
63H1 のコネクタ接続はOKか?	NO → コネクタを確実に接合する。
YES	
ノイズ基板～CNW間のヒューズ(F3)はOKか?	NO → ヒューズを交換する。※1
YES	室外制御基板不良（63H1入力回路不良）→基板交換
電子膨張弁のコネクタ接続はOKか？	NO → コネクタを確実に接合する。→電子膨張弁のコネクタ接続に異常があった場合は、必ず電源リセットしてください。
YES	
1.冷房時 ・室外ファンモータは回っているか ・室外にショートサーキットはないか ・吸込・吹出スペースは充分か 2.暖房時 ・室内熱交温度センサが検知ケースから外れていないか ・フィルタが目詰まりしていないか ※冷媒のオーバーチャージにより過冷却が増大し熱交温度センサ値での圧縮機回転数制御が遅れる可能性があります。	

注記：圧縮機保護始動域（電源ON1回目の起動）では，63H1がOFFした場合一回目の作動で異常表示とします。
※1 ノイズ基板～制御基板CNW間のF3ヒューズが切れると、AC200Vの供給がしゃ断されたことで63H1が作動したと判断しE40の発生に至ります。ヒューズ溶断に関する機能品（電磁弁（SV1, SV2）、ドレンパンヒータ（オプション）、四方弁、クランクケースヒータ）、およびその配線に異常が無いかご確認ください。

表示 リモコン:E41	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容 パワートランジスタ電源電圧低下
（FDCZP806 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCZP806～2806形

2．異常検出方法

パワートランジスタの電圧低下（DC15V 以下）。

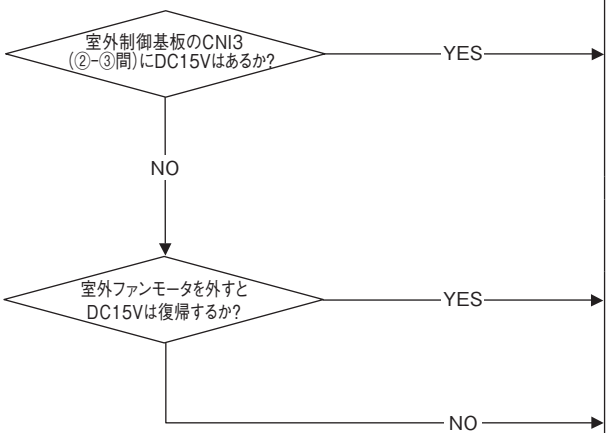
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・ノイズフィルタ基板不良
・室外ファンモータ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	インバータ基板不良→交換（それでも直らなければノイズフィルタ基板交換） 室外ファンモータ交換 室外制御基板不良→交換（それでも直らなければインバータ基板交換）

注記：

表示 リモコン:E42	LED	緑	赤	内容 カレントカット(1/2)
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

インバータ部の過電流を防止，電流が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

3. 異常発生条件

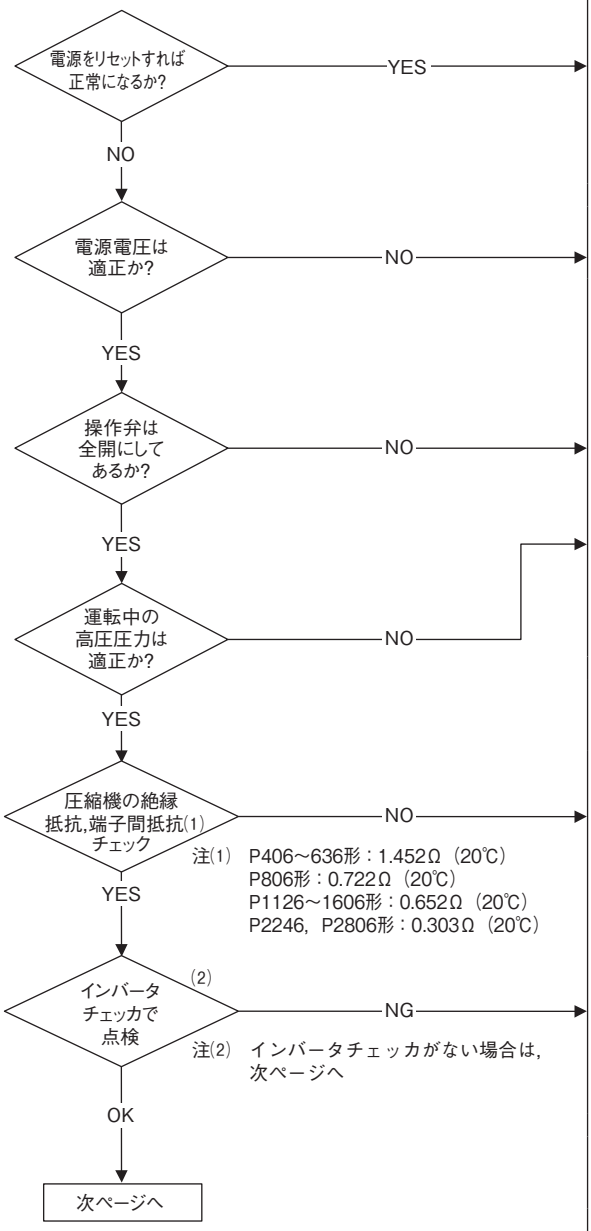
インバータ出力電流が設定値を超えると圧縮機を停止します。3分遅延後，再始動しますが30〔40〕分間に4〔3〕回作動した時。

注 〔 〕内数値はFDCZP406～636形の場合を示します。

4. 予想原因

・インバータ基板不良
・電源不良
・冷媒量不良
・圧縮機不良
・パワートランジスタモジュール不良

5. 故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E42	LED	緑	赤	内容 カレントカット(2/2)
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

インバータ部の過電流を防止，電流が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

3. 異常発生条件

インバータ出力電流が設定値を超えると圧縮機を停止します。3分遅延後，再始動しますが30〔40〕分間に4〔3〕回作動した時。

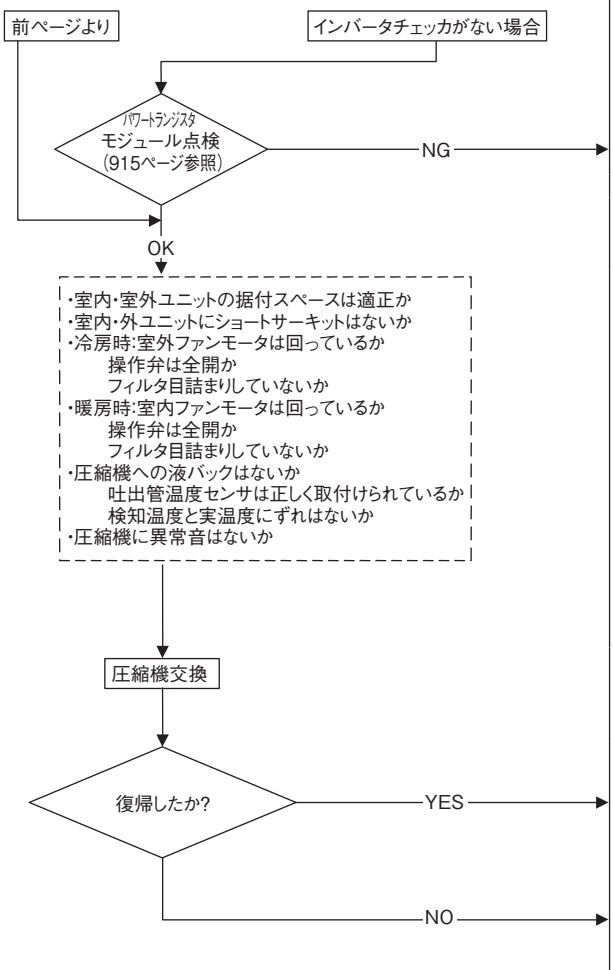
注 〔 〕内数値はFDCZP406～636形の場合を示します。

4. 予想原因

・インバータ基板不良
・電源不良
・冷媒量不良
・圧縮機不良
・パワートランジスタモジュール不良

5. 故障診断と処置

診 断	処 置



注記：

表示 リモコン:E45	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 **インバータ通信異常**
（FDCZP806，2246，2806形のみ）

1. 対象機種

FDCZP806，2246，2806形

2. 異常検出方法

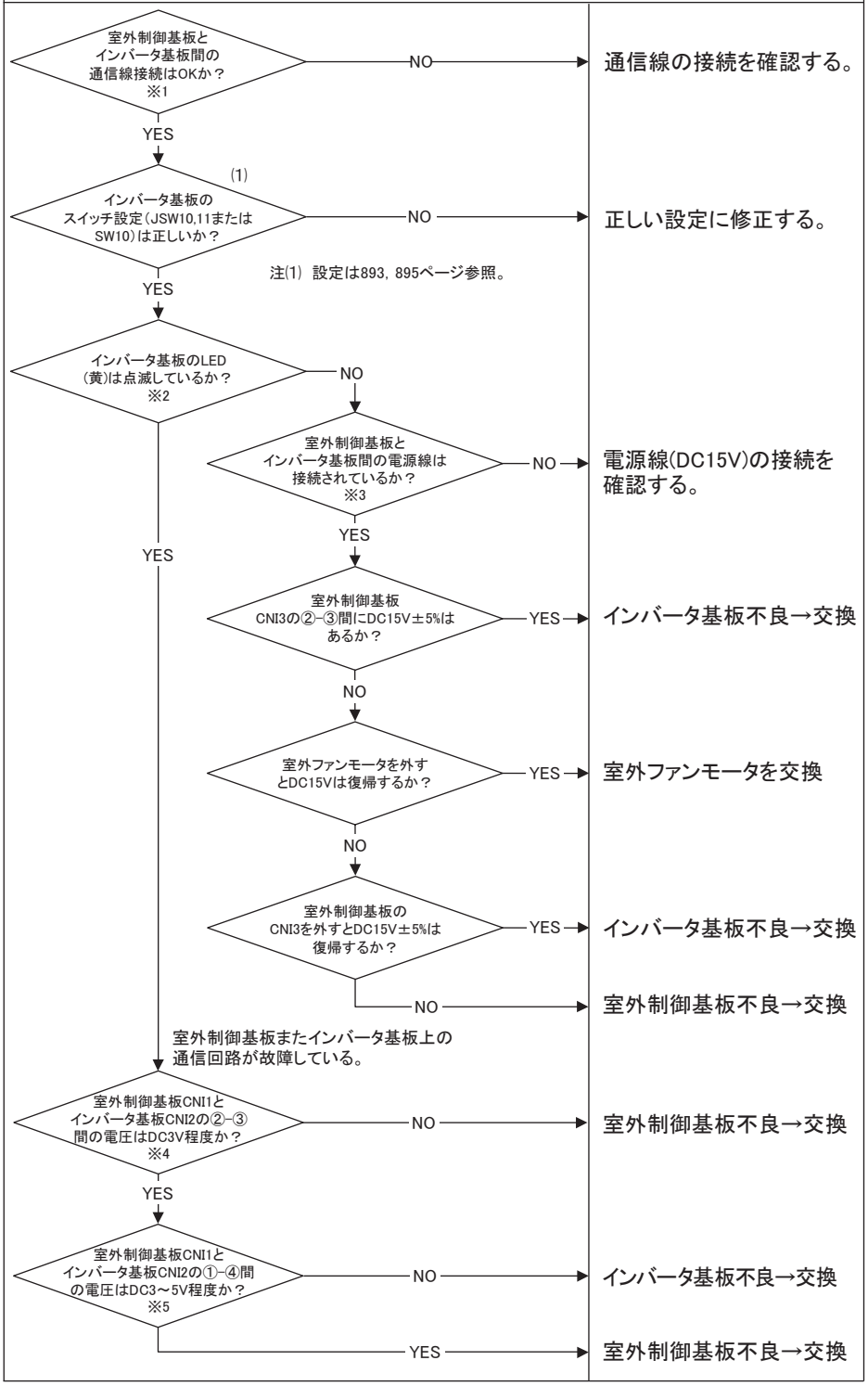
3. 異常発生条件

インバータ基板と室外制御基板間の通信が成立しないとき

4. 予想原因

・インバータ基板不良
・室外制御基板ーインバータ基板間の配線接続不良
・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良

5. 故障診断と処置



注記：※1 室外制御基板CnI1～インバータ基板CnI2の各ピン間の導通を確認する。
※2 リセット後，運転状態を確認する。
※3 室外制御基板CnI3～インバータ基板CnI4の各ピン間の導通を確認する。
※4 テスタの測定レンジをACレンジにして測定する。
※5 テスタの測定レンジをDCレンジにして測定する。

表示 リモコン: E45	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

インバータ通信異常
（FDCZP1126 ～ 1606 形のみ）

1. 対象機種

FDCZP1126～1606形

2. 異常検出方法

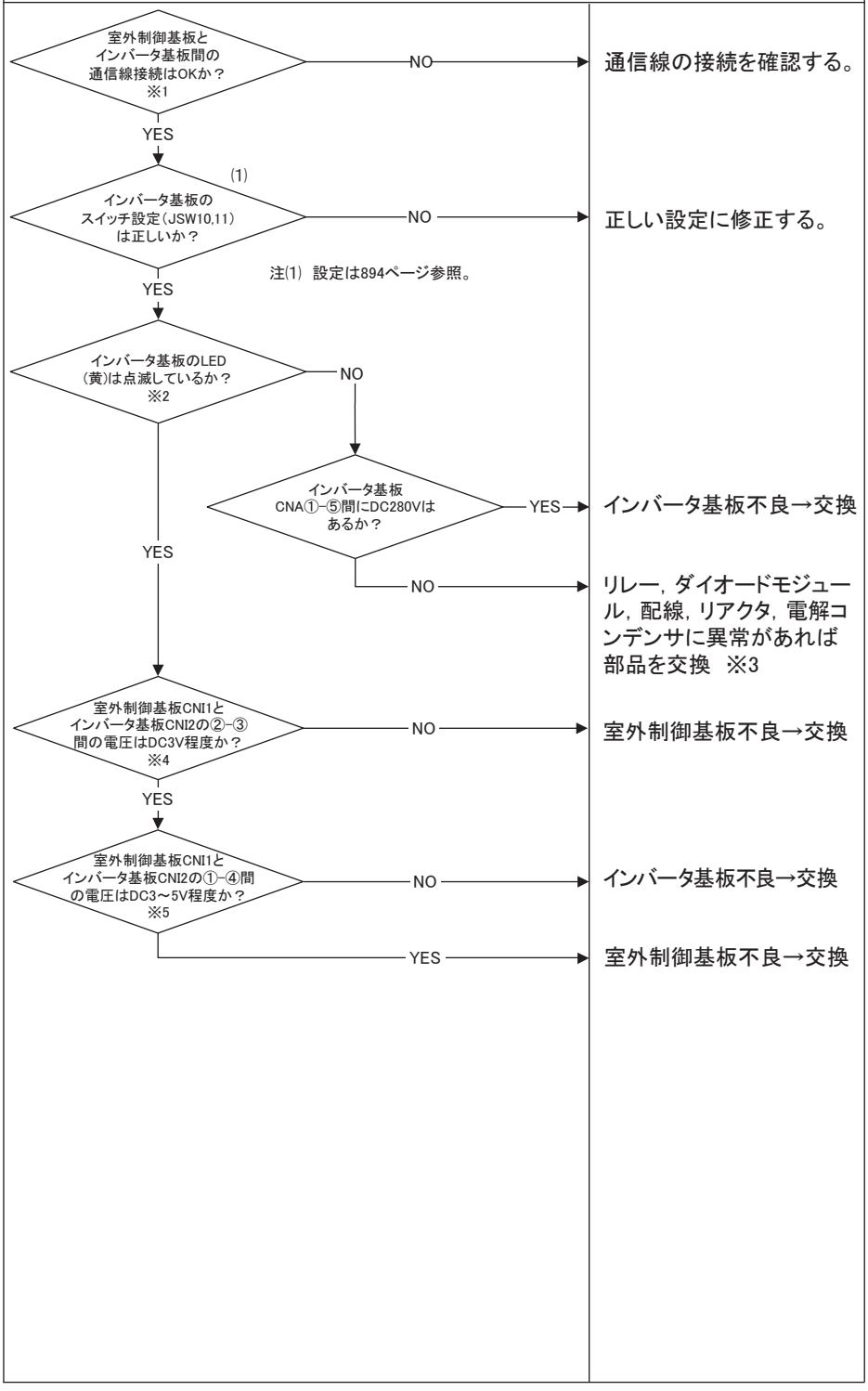
3. 異常発生条件

インバータ基板と室外制御基板間の通信が成立しないとき

4. 予想原因

・室外制御基板ーインバータ基板間の配線接続不良
・インバータ基板不良
・室外制御基板不良
・リレー，ダイオードモジュール，配線，リアクタ，電解コデンサ等の不良

5. 故障診断と処置



注記：※1 室外制御基板CnI1～インバータ基板CnI2の各ピン間の導通を確認する。　※2 リセット後，運転状態を確認する。
※3 下記部品の状態を確認する。リレーの溶着，ダイオードモジュールの短絡，電解コンデンサの短絡，配線の誤接続・損傷等。
※4 テスタの測定レンジをACレンジにして測定する。　※5 テスタの測定レンジをDCレンジにして測定する。

表示 リモコン:E47	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	1 回点滅

内容 インバータ過電圧異常
（FDCZP406 ～ 636 形の単相機のみ）

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636 形の単相機のみ

2．異常検出方法

コンバータ電圧が DC390V を超えた場合（20 分間に 3 回）異常表示。3 分経過後にリモコンからのリセット可能。

3．異常発生条件

同上。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・制御基板の塵埃
・ヒューズ溶断

5．故障診断と処置

診　断	処　置
制御基板のはんだ面に塵埃･汚れ等の異物はないか? → NO	塵埃・汚れ等の異物を取除く。
YES → ヒューズF3（250V,1A）は溶断していないか? → NO	ヒューズ交換
YES	室外制御基板不良→交換

注記：

表示 リモコン： E47	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 アクティブフィルタ異常
（FDCZP806HK形のみ）

1．対象機種

FDCZP806HK形

2．異常検出方法

インバータ基板よりアクティブフィルタ異常を60分間に４回検知,または15分継続した場合

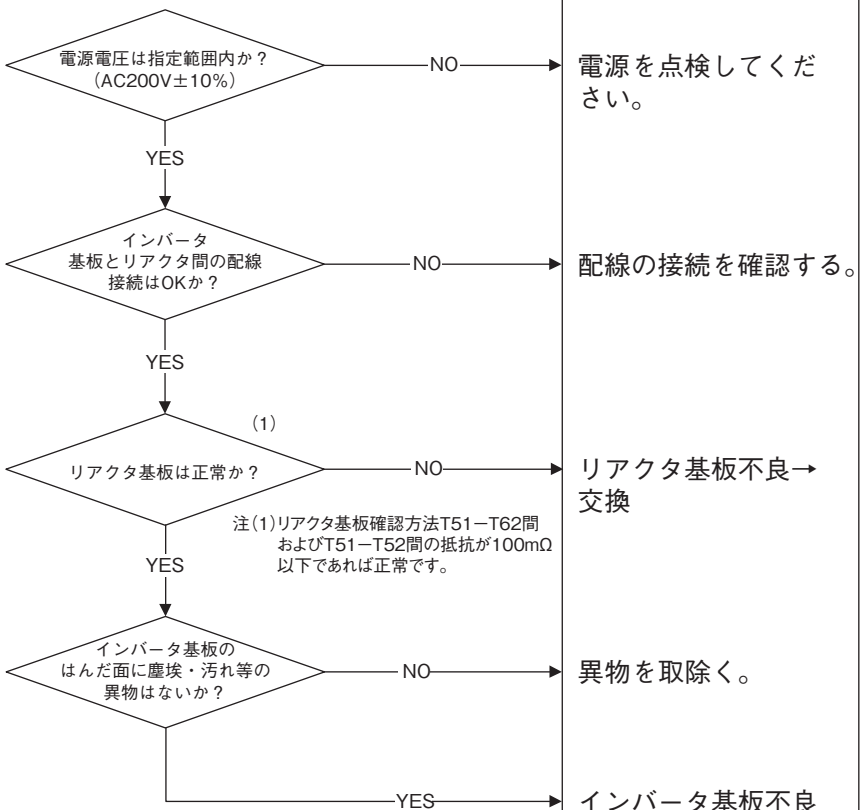
3．異常発生条件

同上。

4．予想原因

・インバータ基板不良
・接続配線不良
・リアクタ基板不良
・インバータ基板の塵埃

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E47	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容 アクティブフィルタ異常
（FDCZP806H～2806H形のみ）

1．対象機種

FDCZP806H～2806H形

2．異常検出方法

インバータ基板よりアクティブフィルタ異常を 60 分間に 4 回検知，または 15 分継続した場合

3．異常発生条件

同上。

4．予想原因

・インバータ基板不良
・インバータ基板の塵埃
・電源電圧異常

5．故障診断と処置

診　断	処　置
電源電圧は指定範囲内か?（AC200V±10%）→ NO	電圧を点検してください。
YES → インバータ基板のはんだ面に塵埃・汚れ等の異物はないか? → NO	異物を取除く。
YES	インバータ基板不良→交換

注記：

表示 リモコン:E48	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	1回点滅

内容 **室外ファンモータ不良**
（FDCZP406～636形のみ）

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636 形

2．異常検出方法

室外ファンモータ回転数

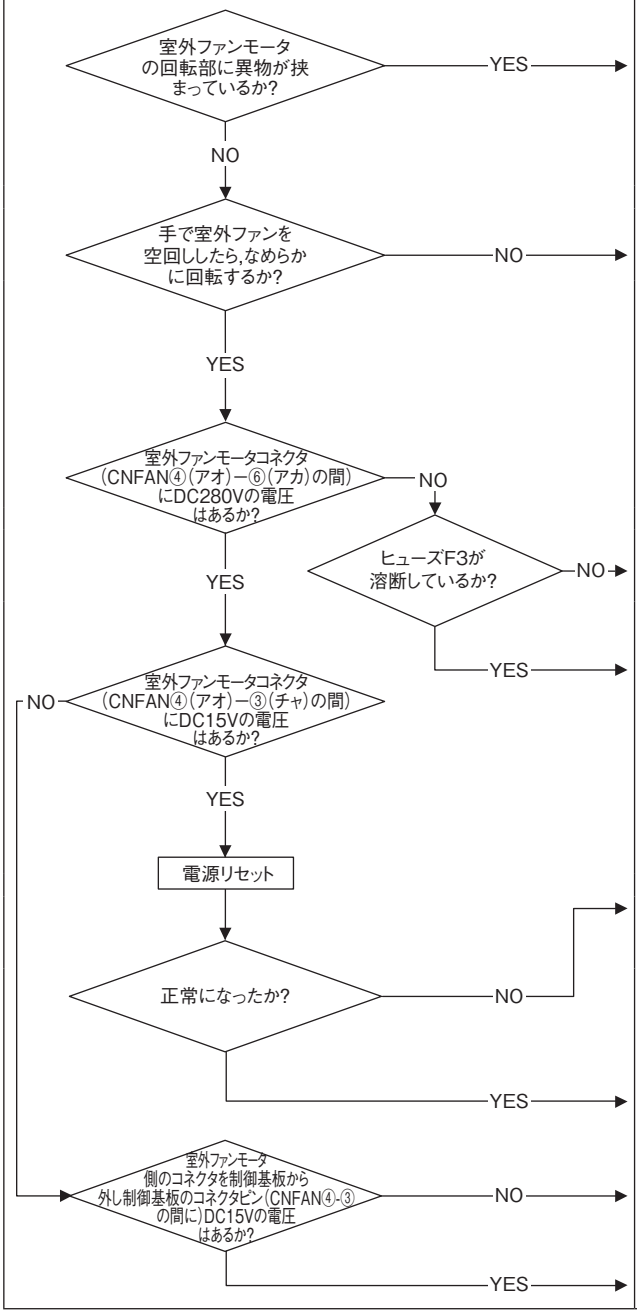
3．異常発生条件

室外ファンモータ出力 ON 時，室外ファンモータ回転数が 75min^{-1} 以下を 30 秒以上継続する現象が３回連続発生した場合。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・室外ファンモータの回転部の異物
・室外ファンモータ不良
・制御基板の塵埃
・ヒューズ F3 溶断

5．故障診断と処置



注記：E48 発生時は，ほとんどの場合制御基板上の F3 ヒューズ(1A)が断線しています。室外ファンモータ破損により，ヒューズが断線して E48 に至るケースが多く，制御基板(ヒューズ)交換のみを実施した場合には他のトラブル(※ 1)を発生するケースがありますので F3 ヒューズ断線時には，必ず室外ファンモータの故障有無をチェックし，室外ファンモータ交換後に通電確認を実施してください。室外ファンモータの故障有無未確認のまま電源投入しないでください。(※ 1：内機確認中表示／室外制御基板 LED 消灯，インバータ通信異常(E45)といった，一見室外ファンモータ異常と関係の無い異常が発生します。)

表示 リモコン:E48	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 **室外ファンモータ不良**
（FDCZP806～2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

2．異常検出方法

室外ファンモータ回転数

3．異常発生条件

室外ファンモータ（FMo1，2）の実回転が30秒連続して100min^{-1}以下になると圧縮機，室外ファンモータを停止します。3分遅延後自動復帰しますが60分以内に5回作動した場合。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・室外ファンモータの回転部の異物
・室外ファンモータ不良
・制御基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室外ファンモータの回転部に異物が挟まっているか?	YES → 異物を取除く。
手で室外ファンを空回しすると,なめらかに回転するか?	NO → 室外ファンモータを交換 ①(Vm)；赤と④(GND)：青の間に抵抗値が，1kΩ以下であれば故障
室外ファンモータコネクタ(CNFAN①(アカ)－④(アオ)の間)にDC280Vの電圧はあるか?	NO → ヒューズF2が溶断しているか?(1)
ヒューズF2が溶断しているか?(1)	NO → 電源電圧を点検してください。 YES → 故障した室外ファンモータと室外制御基板を交換
室外ファンモータコネクタ(CNFAN⑤(チャ)－④(アオ)の間)にDC15Vの電圧はあるか?	NO → 室外ファンモータ交換
電源リセット	
正常になったか?	NO → 室外ファンモータを交換(室外ファンモータを交換しても異常が出る場合には，室外制御基板を交換してください。) YES → 一過性（ノイズが乗ったことによる。）
室外ファンモータ側のコネクタを制御基板から外し制御基板のコネクタピン(CNFAN⑤-④の間に)DC15Vの電圧はあるか?	YES → 室外ファンモータ交換
制御基板のCNI3コネクタを外した状態でCNI3コネクタにDC15Vの電圧はあるか?	YES → インバータ基板不良→交換 NO → 室外制御基板不良→交換

注(1) FDCZP806形のヒューズはF3です。FDCZP2246, 2806のヒューズはF501, F502です。

注記：E48発生時は，ほとんどの場合制御基板上のF2ヒューズ（4A）〔P806形：F3ヒューズ（2A），P2246, P2806形:F501, F502ヒューズ（2A）〕が断線しています。室外ファンモータ破損により，ヒューズが断線してE48に至るケースが多く，制御基板（ヒューズ）交換のみを実施した場合には他のトラブル（※1）を発生するケースがありますのでヒューズ断線時には，必ず室外ファンモータ故障の有無をチェックし，室外ファンモータ交換後に通電確認を実施してください。室外ファンモータ故障の有無未確認のまま電源投入しないでください。
（※1:内機確認中表示／室外制御基板LED消灯，インバータ通信異常（E45）といった，一見室外ファンモータ異常と関係の無い異常が発生します。）

表示 リモコン:E49	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 **低圧圧力異常 または 低圧圧力センサ不良（1/2）**
（FDCZP806～2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

2．異常検出方法

低圧圧力の低下，吸入過熱度の検知

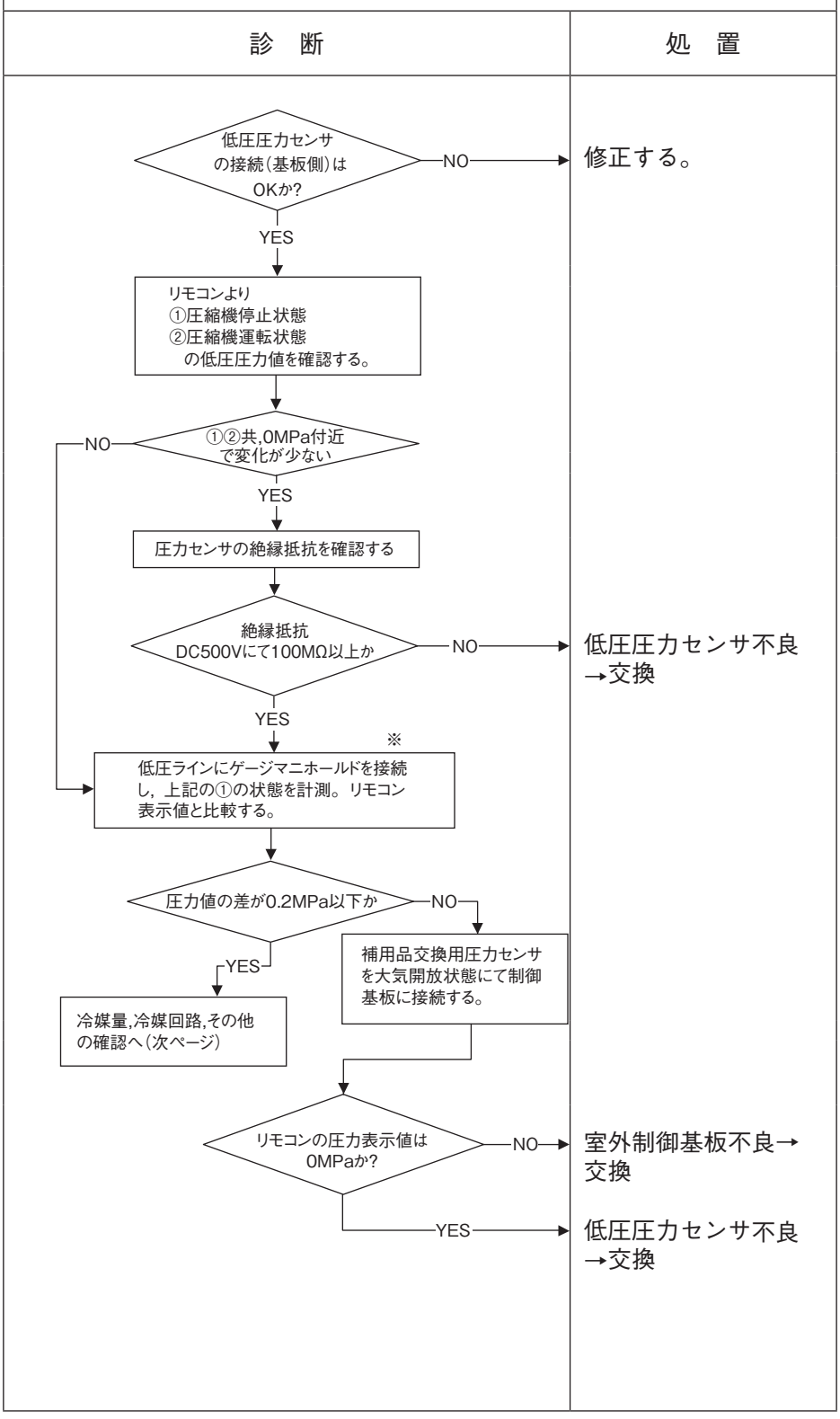
3．異常発生条件

①低圧センサが 0.079MPa 以下を連続 15 秒間検知（3 分遅延後自動復帰）が 60 分以内に 5 回成立した場合に表示。
②圧縮機始動 10 分経過以降かつ低圧センサが 0.15MPa 以下を連続 60 秒間検知かつ圧縮機吸入過熱度が 30℃以上を連続 60 秒間が，60 分以内に 5 回発生した場合に表示。
③低圧センサが 0.079MPa 以下を連続 5 分間検知（圧縮機停止中含む）が成立した場合即表示。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・低圧圧力センサコネクタ不良
・低圧圧力センサ不良
・吸入管温度センサコネクタ不良
・吸入管温度センサ不良

5．故障診断と処置



注記：※ゲージマニホールドは，冷房時は操作弁チェックジョイント，暖房時は室外ユニット機械室内より取出しているチェックジョイントに接続。

表示 リモコン:E49	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 **低圧圧力異常 または 低圧圧力センサ不良 (2/2)**
(FDCZP806～2806形のみ)

1. 対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

2. 異常検出方法

低圧圧力の低下，吸入過熱度の検知

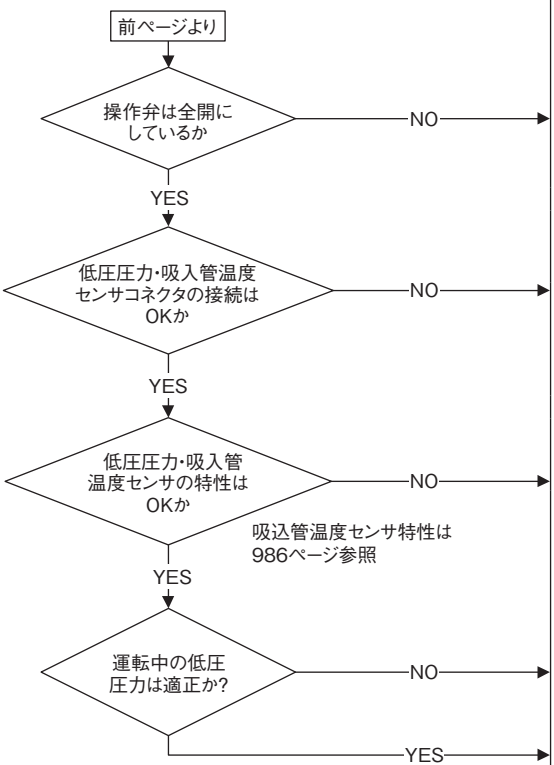
3. 異常発生条件

① 低圧圧力センサが0.079MPa以下を連続15秒間検知(3分遅延後自動復帰)が60分以内に5回成立した場合に表示。
②圧縮機始動10分経過以降かつ低圧圧力センサが0.15MPa以下を連続60秒間検知かつ圧縮機吸入過熱度が30℃以上を連続60秒間が，60分以内に5回発生した場合に表示。
③ 低圧圧力センサが0.079MPa以下を連続5分間検知（圧縮機停止中含む）が成立した場合即表示。

4. 予想原因

・室外制御基板不良
・低圧圧力センサコネクタ不良
・低圧圧力センサ不良
・吸入管温度センサコネクタ不良
・吸入管温度センサ不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示 リモコン:E51	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	1回点滅

内容 パワートランジスタ異常
（FDCZP406～636形のみ）

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636 形

2．異常検出方法

パワートランジスタの一次側の電流値が設定値を超えた場合

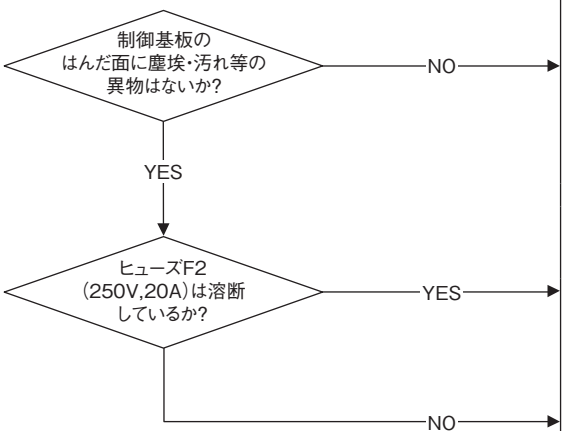
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外制御基板不良
・制御基板の塵埃
・ヒューズ溶断

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:E51

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	1 回点滅

内容 インバータ・室外ファンモータ異常
（FDCZP806～2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

2．異常検出方法

パワートランジスタ異常が 15 分継続した場合

3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・インバータ基板不良
・室外制御基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室外制御基板のCNI3(②-③間)にDC15Vはあるか? → YES	インバータ基板不良→交換（それでも直らなければノイズフィルタ基板交換）
NO → 室外ファンモータのコネクタを外すとDC15Vは復帰するか? → YES	室外ファンモータ交換
NO	室外制御基板不良→交換（それでも直らなければインバータ基板交換）

注記：

表示 リモコン:E53	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 **吸入管温度センサ不良**
（FDCZP806～2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

2．異常検出方法

吸入管温度センサの異常低温（抵抗）の検知

3．異常発生条件

圧縮機 ON 後 10 分から 10 分 20 秒の間に温度センサが－ 50℃以下を連続 5 秒間検知すると圧縮機を停止，3 分遅延後に圧縮機を再起動させ 40 分に 3 回検知した場合。

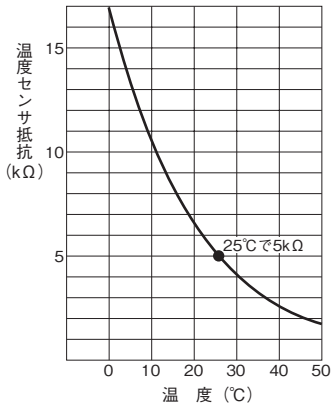
4．予想原因

・吸入管温度センサ接続不良
・吸入管温度センサ不良
・室外制御基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
吸入管温度センサ コネクタの接続は OKか → NO	コネクタを確実に接続する
YES 吸入管温度センサ特性は下図参照 吸入管温度センサ の特性はOKか → NO	吸入管温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 （吸入管温度センサ入力回路不良）

吸入管温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E54	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

低圧圧力センサ不良
（FDCZP806～2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

2．異常検出方法

異常電圧（圧力）の検出

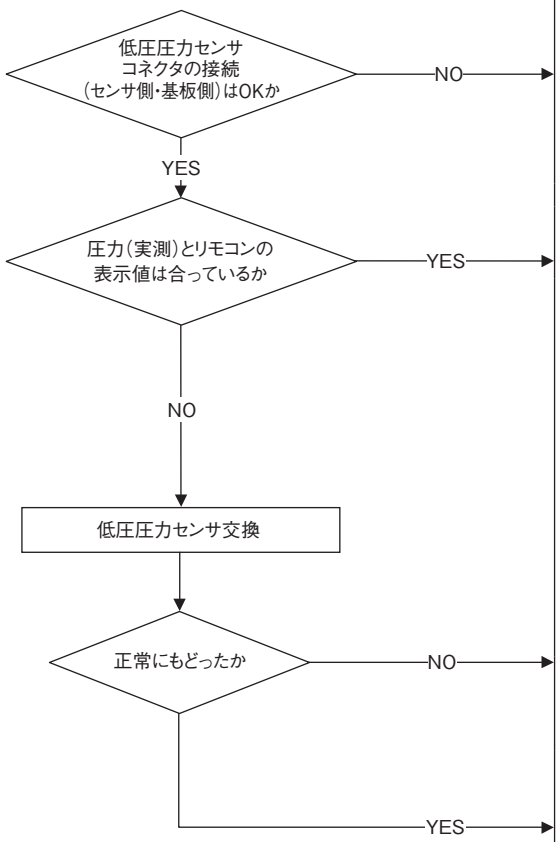
3．異常発生条件

圧縮機 ON 後 2 分～ 2 分 20 秒の間に圧力センサが DC0V 以下および 4.0V 以上を連続 5 秒検知すると圧縮機を停止，3 分遅延後に圧縮機を再起動させ 40 分に 3 回検知した場合。

4．予想原因

・低圧圧力センサ接続不良
・低圧圧力センサ不良
・室外制御基板不良
・冷媒量不適格
・冷媒回路異常

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:E57

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	1 回点滅

内容 冷媒量不足または操作弁閉検出
（FDCZP406～636，1126～2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636,
1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

・室内熱交温度（Thi-R）と吸込温度（Thi-A）の差を検知しガスロー状態を判断します。
・FDCZP1126～2806形は，ブレーカ電源投入より1回目の冷房・除湿起動時のみ検出します。

3．異常発生条件

冷媒量不足異常を 60 分以内に 2 回検知した場合。
注　FDCZP1126 ～ 2806 形は 1 回で異常発生します。

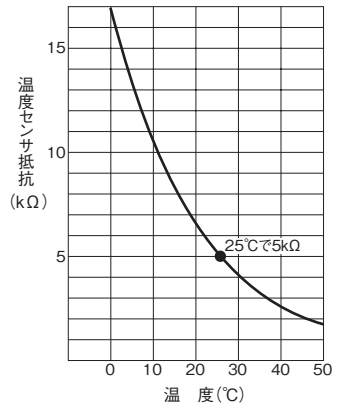
4．予想原因

・室内熱交温度センサ不良
・吸込温度センサ不良
・室内制御基板不良
・冷媒不足
・操作弁閉

5．故障診断と処置

診　断	処　置
操作弁は全開にしているか → NO	全開にする。
室内熱交・吸込温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接続する
室内熱交・吸込温度センサの特性はOKか（室内熱交・吸込温度センサ特性は下図参照） → NO	室内熱交・吸入温度センサ不良→交換
運転中の低圧圧力は適正か? → NO	冷媒チャージ
→ YES	室内制御基板不良→交換（室内熱交・吸入温度センサ入力回路不良）

室内熱交・吸込温度センサ
温度一抵抗特性



注記：冷媒量不足の保護制御は圧縮機始動から冷房・除湿：5 分，暖房 9 分経過後に室内熱交温度（Thi-R）と吸込温度（Thi-A）の 差を検知しガスロー状態を判断し圧縮機を停止します。（冷房：吸込温度（Thi-A）- 室内熱交温度（Thi-R）＜ 4deg，暖房：室内熱交温度（Thi-R）- 吸込温度（Thi-A）＜ 4deg）

表示 リモコン:E58	LED	緑	赤	内容	カレントセーフ （FDCZP406～636形のみ）
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	－	1回点滅		

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636 形

2．異常検出方法

圧縮機回転数が設定回転数以下のとき，入力電流が設定値を超えた場合

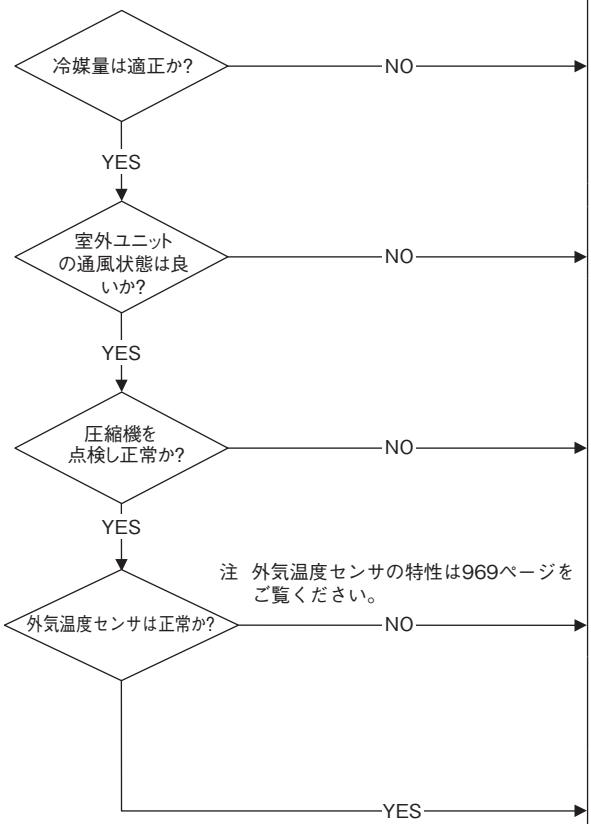
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・過負荷運転
・圧縮機ロック
・オーバチャージ
・外気温度センサ不良
・室外制御基板不良

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン： E58	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

圧縮機脱調異常
（FDCZP806～2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806～2806形

2．異常検出方法

E58発生

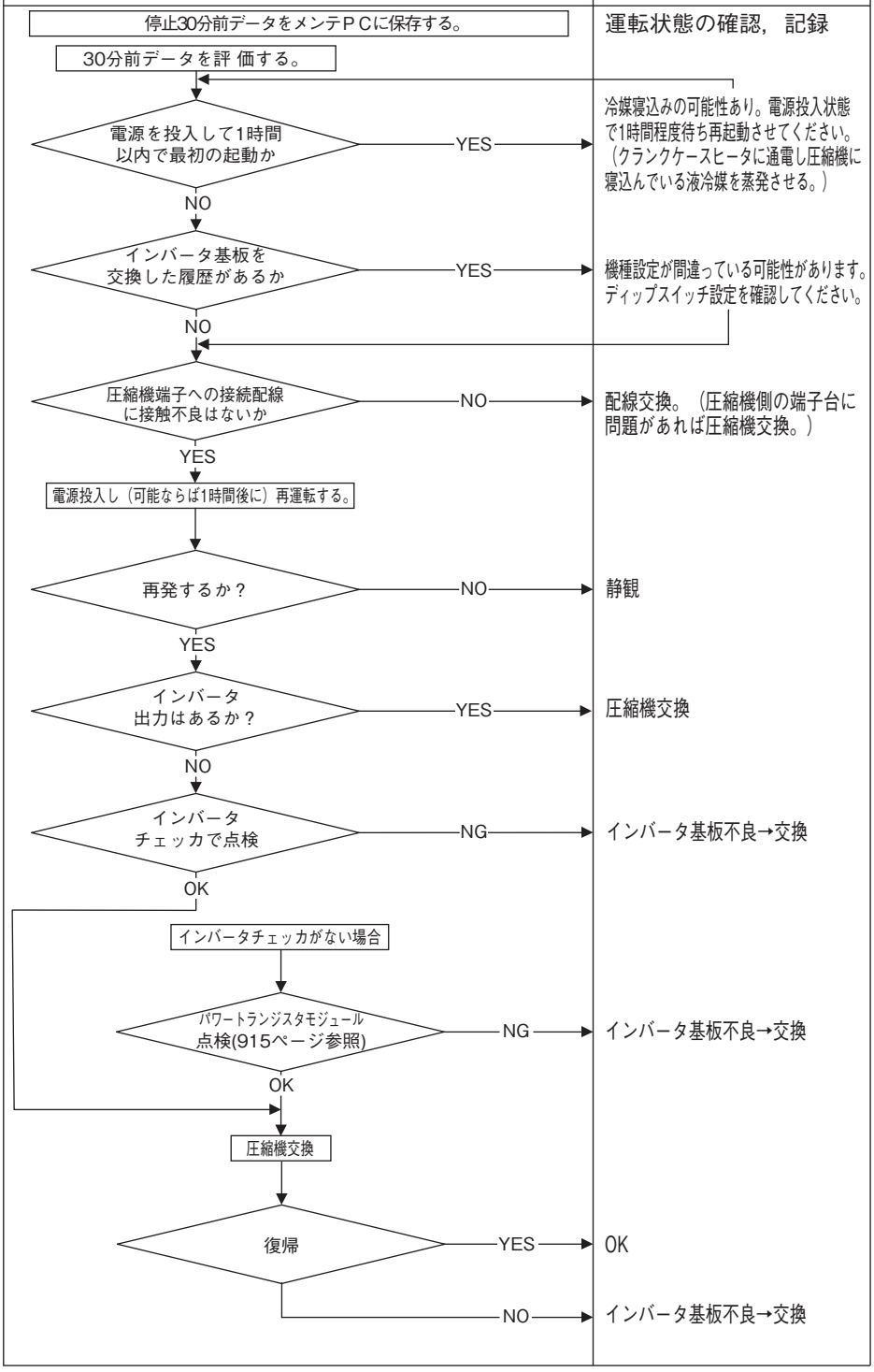
3．異常発生条件

15分以内に4回成立した場合

4．予想原因

・起動前の通電時間不足
（クランクケースヒータ未通電による起動）
・圧縮機不良
・インバータ基板不良
・パワートランジスタ不良

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E59	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	5回点滅

内容

圧縮機起動異常
（FDCZP406～636形のみ）

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636 形

2．異常検出方法

圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

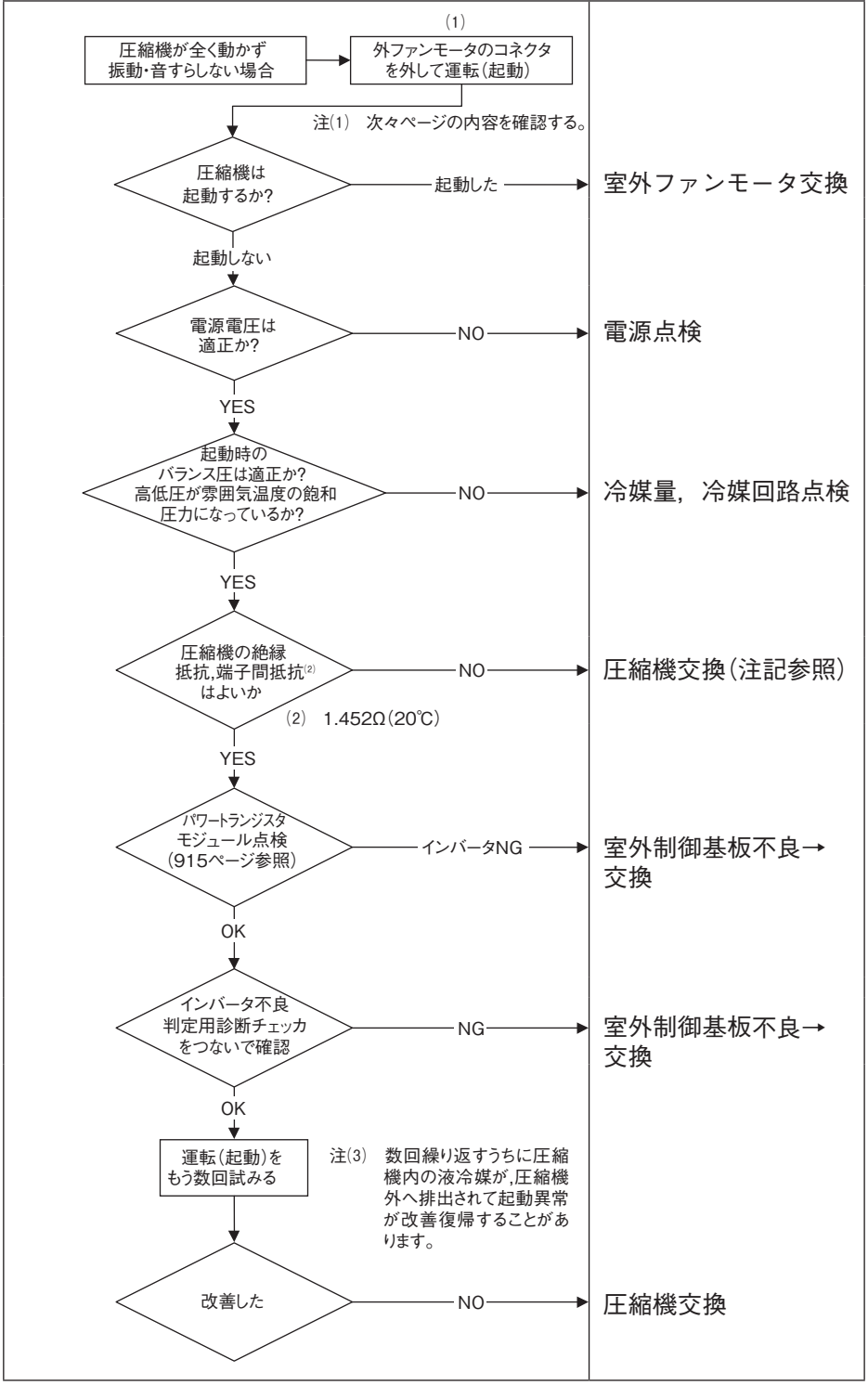
3．異常発生条件

起動７回トライを２セットで起動できない場合。
３分経過後にリモコンリセット可能。

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良
・電源電圧異常
・冷媒量，冷媒回路不適合
・圧縮機不良（モータ，軸受）

5．故障診断と処置



注記：絶縁抵抗について
●据付直後，もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合，圧縮機に冷媒が溜まることにより，絶縁抵抗が数ＭΩまで抵下することがあります。絶縁抵抗が小さく，漏電ブレーカが作動する場合は，以下の事項を確認ください。
①電源を投入し，６時間程度経過後，絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより，圧縮機に通電加熱を行い，圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており，漏電ブレーカの誤動作を防止するため，高調波対応品を使用してください。

表示 リモコン:E59	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	5回点滅

内容

圧縮機起動異常
（FDCZP806～2806形のみ）

1．対象機種

FDCZP806 ～ 2806 形

2．異常検出方法

圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

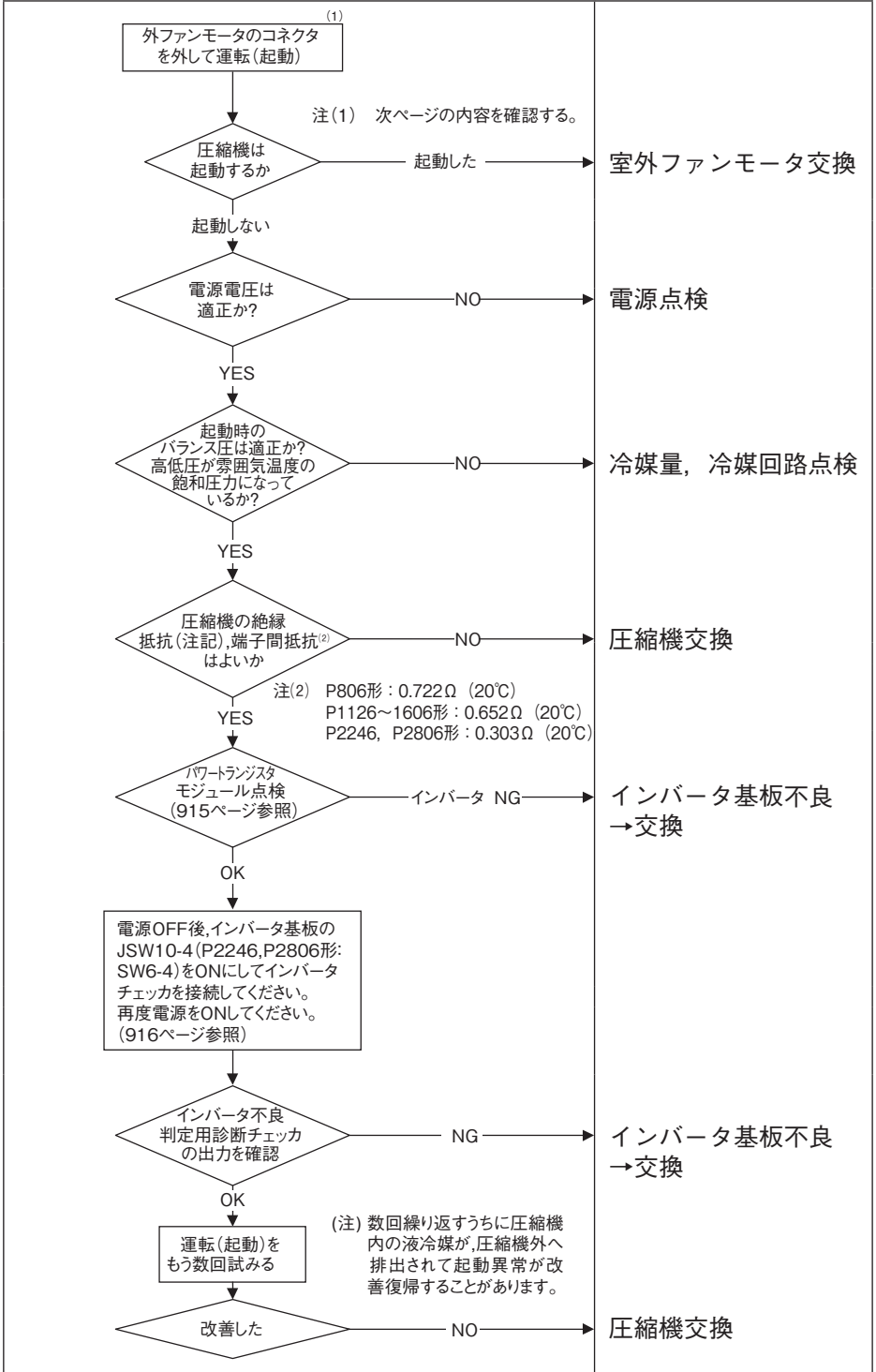
3．異常発生条件

起動5回トライを実施しても起動できない場合。3分経過後にリモコンリセット可能。

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・インバータ基板不良
・電源電圧異常
・冷媒量・冷媒回路不適合
・圧縮機不良（モータ，軸受）

5．故障診断と処置



注記：絶縁抵抗について
●据付直後，もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合，圧縮機に冷媒が溜まることにより，絶縁抵抗が数ＭΩまで抵下することがあります。絶縁抵抗が小さく，漏電ブレーカが作動する場合は，以下の事項を確認ください。
①電源を投入し，6時間程度経過後，絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより，圧縮機に通電加熱を行い，圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており，漏電ブレーカの誤作動を防止するため，高調波対応品を使用してください。

表示 リモコン:E59	LED	緑	赤	内容	圧縮機起動異常
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	-または連続点滅	5回点滅		

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

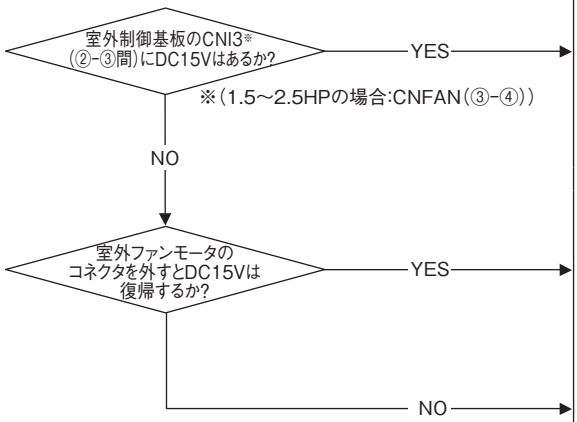
圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	前々ページまたは前ページのフローにもどる。 室外ファンモータ交換 室外制御基板不良→交換

注記：

表示 リモコン:E60	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	1回点滅

内容 **圧縮機ロータロック異常**
（FDCZP406～636形のみ）

1．対象機種

FDCZP406 ～ 636 形

2．異常検出方法

圧縮機ロータ位置

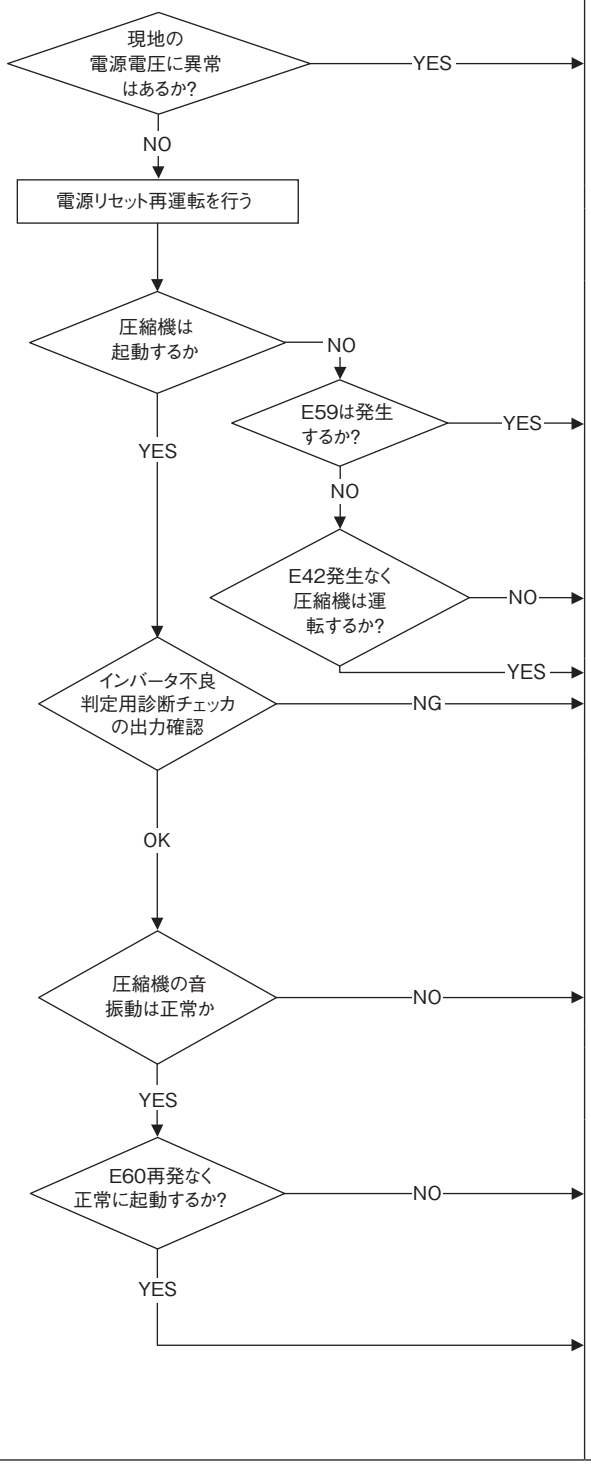
3．異常発生条件

圧縮機ロータの位置検出運転への移行後に，再度ロータ位置を検出できなかった場合に圧縮機を停止させます。3分後に自動復帰させますが15分に4回作動した場合。

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良
・室外インバータ基板不良
・電源電圧異常
・冷媒量・冷媒回路不適合
・圧縮機不良（モータ，軸受）

5．故障診断と処置



注記：絶縁抵抗について
●据付直後，もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合，圧縮機に冷媒が溜まることにより，絶縁抵抗が数ＭΩまで抵下することがあります。絶縁抵抗が小さく，漏電ブレーカが作動する場合は，以下の事項を確認ください。
①電源を投入し，6時間程度経過後，絶縁抵抗が復帰するが確認する。
電源を投入することにより，圧縮機に通電加熱を行い，圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており，漏電ブレーカの誤動作を防止するため，高調波対応品を使用してください。

表示	LED	緑	赤	内容	冷媒センサ故障
リモコン:冷媒センサーが故障しています	室内	連続点滅	消灯		（FDF シリーズ）
	室外	ー	消灯		

1．対象機種

FDFシリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサから故障信号を検知

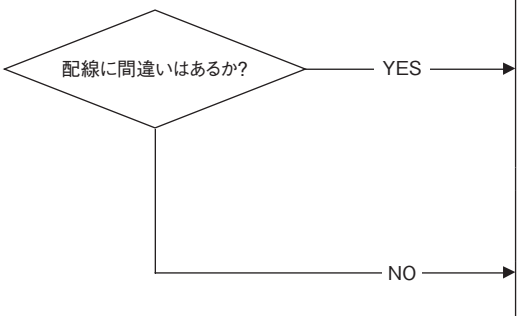
3．異常発生条件

・冷媒センサが故障した場合

4．予想原因

・冷媒センサ不良
・配線不良（警報出力を誤検知）

5．故障診断と処置



注記：

表示	LED	緑	赤	内容	冷媒センサ外れ （FDF シリーズ）
リモコン:冷媒センサーが外れています	室内	連続点滅	消灯		
	室外	ー	消灯		

1．対象機種

FDFシリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサからの出力により検知

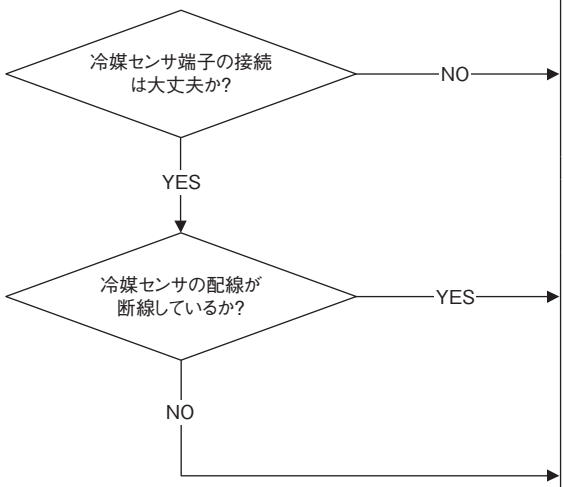
3．異常発生条件

・冷媒センサから「冷媒センサ外れ」信号を受信した場合

4．予想原因

・冷媒センサ接続不良
・冷媒センサ不良
・冷媒センサ配線不良

5．故障診断と処置



注記：

(B) ハイパーインバータシリーズ

1.15.1 点検表示一覧

(1) リモコンの故障記号一覧（室内・外制御基板の正常［緑］，点検［赤］表示灯との組合せによる故障表示）

(a) 室内ユニット側故障時に於けるリモコン，制御基板の点検表示一覧

点検表示						故障箇所	故障内容(2)	修理方法	記載ページ
リモコン		室内制御基板		室外制御基板					
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表(1)示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表(1)(3)示灯（緑）				
無表示	消灯	消灯	連続点滅	連続点滅	連続点滅	―――	●**正常運転**	―――	–
		消灯	消灯	2回点滅	連続点滅	室内電源	●電源OFF，断線・ヒューズ切れ・トランス断線	修　理	1044~1046
		☆3回点滅	連続点滅	2回点滅	連続点滅	リモコン配線	●リモコン線の接続不良・断線(クロ,シロ)☆電源ON時断線時消灯	修　理	1047・1048
						リモコン	●リモコン基板不良	リモコン交換	
内機確認中または消灯		消灯	連続点滅	2回点滅	連続点滅	室内外接続線	●室内外接続線の接続不良または断線	修　理	1052~1057
						リモコン	●リモコン親子設定不良		
E 1	連続点滅	消灯	☆連続点滅	消灯	連続点滅	リモコン配線（ノイズ）	●**リモコン信号線（シロ）**の接続不良 ●**リモコン線にノイズ**侵入　☆電源ON時断線時消灯	修　理	1059・1060
						リモコン室内制御基板	※●リモコンまたは室内制御基板不良（通信回路不良）？	リモコンまたは基板交換	
E 5		2回点滅	連続点滅	2回点滅	連続点滅	室内外接続線	●**運転中に室内外接続線接続不良発生（外れ・緩み）** ●**ノイズ**等による室内外通信不良	修　理	1061
		2回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	（ノイズ）	●**通電中に室外制御基板CPUが暴走**	修　理	
						室外制御基板	※●通電中に室外制御基板不良発生（通信回路不良）?	基板交換	
		2回点滅	連続点滅	消灯	消灯	室外制御基板	●**通電中に室外制御基板不良**	交　換	
						ヒューズ	●**通電中にヒューズ切れ**		
E 6		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内熱交温度センサ	●**室内熱交温度センサ不良**(素子不良,断線,短絡)　●温度センサ用コネクタ接触不良	温度センサ交換・修理	1062
						室内基板	※●**室内制御基板不良**（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E 7		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内吸込温度センサ	●**室内吸込温度センサ不良**(素子不良,断線,短絡)　●温度センサ用コネクタ接触不良	温度センサ交換・修理	1063
						室内制御基板	※●**室内制御基板不良**（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E 8		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	据付・運転状況	●**暖房過負荷**（室内熱交温度が異常に高い）	修　理	1064
						室内熱交温度センサ	●**室内熱交温度センサ不良（短絡）**	温度センサ交　換	
						室内制御基板	※●**室内制御基板不良**（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E 9		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	排水不良	●**ドレンポンプ(DM)不良，**ドレンポンプ用配線断線・コネクタ外れ	DM交換・修理	1065
						フロートスイッチ	●**フロートスイッチの作動不良**(誤作動)	修　理	
						室内制御基板	※●**室内制御基板不良**（フロートスイッチ入力回路不良） ※●**室内制御基板不良**（DM駆動用出力回路不良）	基板交換	
						オプション	●**オプション部品不良**（オプション異常入力設定時）	修　理	
E 10		消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	室内接続台数	●1リモコン複数台制御時⇒**室内ユニット接続台数オーバー**	修　理	1066
E 11		消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	アドレス設定	●**リモコン通信アドレス設定不良**	修　理	1067
E 14		3回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内号機設定	●子機に対応する親機がない	修　理	1068
						リモコン配線	●親機子機間のリモコン配線接続不良，断線		
E 16		1(2)回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	ファンモータ	●**室内ファンモータ不良**	交換・修理	1069・1070
						室内制御基板	●**室内制御基板不良**	交　換	
E 19		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内制御基板	●**運転モード設定不良**	修　理	1071
E20		1(2)回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	ファンモータ	●**室内ファンモータ回転不良**	交換・修理	1072・1073
						室内制御基板	●**室内制御基板不良**	交　換	
E23		1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	冷媒漏えい	●室内ユニットの冷媒漏えい ---------- (FDFシリーズのみ)	修　理	1074
							●冷媒センサ不良	交　換	
E28		消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	リモコン温度センサ	●リモコン温度センサ不良	修　理	1075

注(1)　**正常表示灯（室内・外：緑）はCPU異常時のみ消灯（または連続点灯）します。CPU異常以外の故障の場合は点滅を続けます。**
(2)　故障内容の※印は通常の診断では，明確にそれと原因を特定できない場合で，部品交換して故障が直れば，結果的に交換した部品が悪かったことを判断できるケースを示します。
(3)　FDCVP406～636形の場合，室外制御基板上の正常表示灯（緑）はありません。

(b) 室外ユニット側故障時に於けるリモコン，制御基板の点検表示一覧

(i) FDCVP406～806形

点検表示					故障箇所	故障内容	修理方法	記載ページ
リモコン		室内制御基板		室外制御基板				
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）	点検表示灯（赤）				
E34	連続点滅	消灯	連続点滅	1回点滅	電源配線	**●室外電源T相欠相，ノイズフィルタ不良**（三相機のみ）	修理	1076・1077
					室外制御基板	※●室外制御基板不良（電源入力回路不良）?	基板交換	
E35		消灯	連続点滅	1回点滅	据付・運転状況	**●室外熱交温度が高い**	修理	1078
					室外熱交温度センサ	**●室外熱交温度センサ不良**	湿度センサ交換修理	
					室外制御基板	※●室外制御基板不良（湿度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E36		消灯	連続点滅	1回点滅	据付・運転状況	**●吐出温度が高い**	修理	1080
					吐出管温度センサ	**●吐出管温度センサ不良**	湿度センサ交換修理	
					室外制御基板	※●室外制御基板不良（湿度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E37		消灯	連続点滅	1回点滅	室外熱交温度センサ	**●室外熱交温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	湿度センサ交換修理	1081
					室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E38		消灯	連続点滅	1回点滅	外気温度センサ	**●外気温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	湿度センサ交換修理	1082
					室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E39		消灯	連続点滅	1回点滅	吐出管温度センサ	**●吐出管温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	湿度センサ交換修理	1083
					室外制御基板	※●室外制御基板不良（湿度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E42		消灯	連続点滅	1回点滅	室外制御基板圧縮機	**●カレントカット**（圧縮機過電流異常）	修理	1086・1087
					据付状況	●操作弁閉運転	操作弁開確認	
E47		消灯	連続点滅	1回点滅	室外制御基板パワートランジスタ	**●インバータ過電圧異常**（単相機のみ）	修理 基板交換	1089
E48		消灯	連続点滅	1回点滅	室外ファンモータ	**●室外ファンモータ不良**	交換	1091
					室外制御基板	●室外制御基板不良		
E51		消灯	連続点滅	1回点滅	室外制御基板	**●パワートランジスタ異常**	修理 基板交換	1095
E57		消灯	連続点滅	1回点滅	運転状況	**●冷媒量不足**	修理	1099
					据付状況	●操作弁閉運転	操作弁開確認	
E58		消灯	連続点滅	1回点滅	室外制御基板	**●カレントセーフ**	基板交換	1100
E59		消灯	連続点滅	5回点滅	圧縮機 室外制御基板	**●圧縮機起動異常**	交換	1102・1104
E60		消灯	連続点滅	1回点滅	圧縮機	**●圧縮機ロータロック異常**	交換	1105

注　故障内容の※印は通常の診断では，明確にそれと原因を特定できない場合で，部品交換して故障が直れば，結果的に交換した部品が悪かったことを判断できるケースを示します。

(ii) FDCVP1126～1606形

点検表示						故障箇所	故障内容	修理方法	記載ページ
リモコン		室内制御基板		室外制御基板					
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）				
E34	連続点滅	消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	電源配線 室外制御基板	**●室外電源T相欠相，ノイズフィルタ不良**　三相機のみ ※●室外制御基板不良（電源入力回路不良）？	修理 基板交換	1076・1077
E35		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況 室外熱交温度センサ 室外制御基板	**●室外熱交温度が高い** **●室外熱交温度センサ不良** ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	修理 温度センサ交換修理 基板交換	1079
E36		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況 吐出管温度センサ 室外制御基板	**●吐出温度が高い** **●吐出管温度センサ不良** ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	修理 温度センサ交換修理 基板交換	1080
E37		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外熱交温度センサ 室外制御基板	**●室外熱交温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	温度センサ交換修理 基板交換	1081
E38		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	外気温度センサ 室外制御基板	**●外気温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	温度センサ交換修理 基板交換	1082
E39		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	吐出管温度センサ 室外制御基板	**●吐出管温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	温度センサ交換修理 基板交換	1083
E40		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況 室外制御基板	**●高圧が上昇**（63H1作動）　**●操作弁閉運転** ※●室外制御基板不良（63H1入力回路不良）？	修理 基板交換	1084
E41		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板・放熱フィン	**●パワートランジスタ電流低下**	修理 基板交換	1085
E42		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外制御基板 圧縮機 据付・運転状況	**●カレントカット**（圧縮機過電流異常） **●操作弁閉運転**	修理 操作弁開確認	1086・1087
E45		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	**室外制御基板** **インバータ基板**	**●室外制御基板通信異常** **●インバータ基板通信異常**	基板交換	1088
E47		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	リアクタ基板 インバータ基板	**●アクティブフィルタ異常**	基板交換	1090
E48		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外ファンモータ 室外制御基板	**●室外ファンモータ異常** ※●室外制御基板不良（DCモータ入力回路不良）?	交換修理 基板交換	1092
E49		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況 低圧圧力センサ 室外制御基板	**●低圧が低い　●操作弁閉運転** ●低圧異常または低圧圧力センサ断線またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	修理 センサ交換修理 制御基板交換	1093・1094
E51		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板	**●インバータ基板異常**	基板交換	1096
E53		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	吸入管温度センサ 室外制御基板	●吸入管温度センサ不良または断線またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	温度センサ交換修理 制御基板交換	1097
E54		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	低圧圧力センサ 室外制御基板	●低圧圧力センサ不良 ●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	センサ交換 制御基板交換	1098
E57		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	運転状況 据付状況	**●冷媒量不足** ●操作弁閉運転	修理 操作弁開確認	1099
E58		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	圧縮機 インバータ基板	**●圧縮機脱調異常**	交換	1101
E59		消灯	連続点滅	5回点滅	連続点滅	圧縮機 インバータ基板	**●圧縮機起動異常**	交換	1103・1104

注　故障内容の※印は通常の診断では，明確にそれと原因を特定できない場合で，部品交換して故障が直れば，結果的に交換した部品が悪かったことを判断できるケースを示します。

(iii) FDCVP2246H，FDCVP2806H

点検表示						故障箇所	故障内容	修理方法	記載ページ
リモコン		室内制御基板		室外制御基板					
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）				
E34	連続点滅	消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	電源配線 室外制御基板	**●室外電源T相欠相，ノイズフィルタ不良**（三相機のみ） ※●室外制御基板不良（電源入力回路不良）？	修理 基板交換	1076・1077
E35		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況 室外熱交温度センサ 室外制御基板	**●室外熱交温度が高い** **●室外熱交温度センサ不良** ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	修理 温度センサ交換修理 基板交換	1079
E36		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況 吐出管温度センサ 室外制御基板	**●吐出温度が高い** **●吐出管温度センサ不良** ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	修理 温度センサ交換修理 基板交換	1080
E37		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外熱交温度センサ 室外制御基板	**●室外熱交温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	温度センサ交換修理 基板交換	1081
E38		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	外気温度センサ 室外制御基板	**●外気温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	温度センサ交換修理 基板交換	1082
E39		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	吐出管温度センサ 室外制御基板	**●吐出管温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）？	温度センサ交換修理 基板交換	1083
E40		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況 室外制御基板	**●高圧が上昇**（63H1作動）　**●操作弁閉運転** ※●室外制御基板不良（63H1入力回路不良）?	修理 基板交換	1084
E41		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板・放熱フィン	**●パワートランジスタ電流低下**	修理 基板交換	1085
E42		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外制御基板圧縮機 据付・運転状況	**●カレントカット**（圧縮機過電流異常） **●操作弁閉運転**	修理 操作弁開確認	1086・1087
E45		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外制御基板 インバータ基板	**●室外制御基板通信異常** **●インバータ基板通信異常**	基板交換	1088
E47		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板	**●アクティブフィルタ異常**	基板交換	1090
E48		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外ファンモータ 室外制御基板	**●室外ファンモータ異常** ※●室外制御基板不良（DCモータ入力回路不良)?	交換修理 基板交換	1092
E49		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況 低圧圧力センサ 室外制御基板	**●低圧が低い　●操作弁閉運転** ●低圧異常または低圧圧力センサ断線またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（センサ入力回路不良)?	修理 センサ交換修理 制御基板交換	1093・1094
E51		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板	**●インバータ基板異常**	基板交換	1096
E53		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	吸入管温度センサ 室外制御基板	●吸入管温度センサ不良または断線またはコネクタ接触不良 ※●室外制御基板不良（センサ入力回路不良)?	温度センサ交換修理 制御基板交換	1097
E54		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	低圧圧力センサ 室外制御基板	●低圧圧力センサ不良 ●室外制御基板不良（センサ入力回路不良)?	センサ交換 制御基板交換	1098
E57		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	運転状況 据付状況	**●冷媒量不足** ●操作弁閉運転	修理 操作弁開確認	1099
E58		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	圧縮機インバータ基板	**●圧縮機脱調異常**	交換	1101
E59		消灯	連続点滅	5回点滅	連続点滅	圧縮機インバータ基板	**●圧縮機起動異常**	交換	1103・1104

注　故障内容の※印は通常の診断では，明確にそれと原因を特定できない場合で，部品交換して故障が直れば，結果的に交換した部品が悪かったことを判断できるケースを示します。

(c) オプションコントローラ使用時の点検表示一覧

点検表示						故障箇所	故障内容	修理方法
SL1N SL2NA SL4A		室内制御基板		室外制御基板				
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）			
E75	連続点滅	消灯	点滅	消灯	点滅	SL1N SL2NA SL4A	●通信異常（SL1N，SL2NA，SL4A 本体の通信回路不良）	交換

⑷ **故障記号・点検表示灯の表示順序**

■1種類の故障が発生

故障に応じた表示をそれぞれ行います。

■複数の故障が発生

区　　分	表　　示　　区　　分
リモコンの故障記号 室内制御基板の点検LED（赤） 室外制御基板の点検LED（赤）	●優先度の高い故障を表示（複数の故障が現に継続している場合） E23>E1>E5>……>E10>E32>……>E60 ●現在発生している故障を表示（先発の故障が自動復帰後，新たに故障が発生した場合）

■故障検知時期

区分	故　障　内　容	故障記号	故　障　検　知　時　期
室内	ドレン異常（フロートスイッチ作動）	E9	電源ON30秒後常時
	室内一室外誤接続	内機確認中	室外ユニットと一度も通信していない状態
	リモコン・室内伝送不良	E1	電源投入後リモコンと室内が1度以上通信した後，伝送不良が2分間継続した時
	室内・外伝送不良	E5	室外と1度以上通信した後2分間連続して通信異常
	室内ユニット接続台数オーバー（1リモコン複数台制御時）	E10	電源投入後（通電中）常時
	室内吸込温度センサ断線	E7	1回目の検知から60分以内に温度センサ入力温度が-50℃以下を5秒間以上計測した時
	室内熱交温度センサ断線，短絡	E6	1回目の検知から60分以内に温度センサ温度が-50℃以下を5秒間以上計測した時および70℃以上を連続5秒間検知した時
	冷媒漏えい（FDFシリーズのみ）	E23	電源ON後3分経過後以降常時
室外	外気温度センサ断線	E38	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-45〔-55〕℃以下を5秒間以上計測した時および電源投入時，20秒間に-45〔-55〕℃以下を連続5秒間検知した時
	室外熱交温度センサ断線	E37	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-50〔-55〕℃以下を5秒間以上計測した時および電源投入時，20秒間に-50〔-55〕℃以下を連続5秒間検知した時
	吐出管温度センサ断線	E39	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-10〔－25〕℃以下を5秒間以上計測した時
	吸入管温度センサ断線（FDCVP806～2806形）	E53	1回目の検知から40分以内に3回吸入管温度センサ入力温度が-50℃を5秒間以上計測した時
	低圧圧力センサ断線（FDCVP806～2806形）	E54	1回目の検知から40分以内に3回低圧圧力センサの検出値がDC0V以下もしくは，DC4.0V以上

注　〔　〕内数値はFDCVP406～806形の場合を示します。

■故障の記憶とリセット

故　障　表　示	記　　憶	リ　セ　ッ　ト
リモコンの故障記号	●優先度の高いモードを記憶	●リモコンの運転／停止スイッチを押してユニットを停止する ●異常が復旧していれば再運転可能
室内・点検表示灯（赤）	●記憶は不可	
室外・点検表示灯（赤）	●優先度の高いモードを記憶	

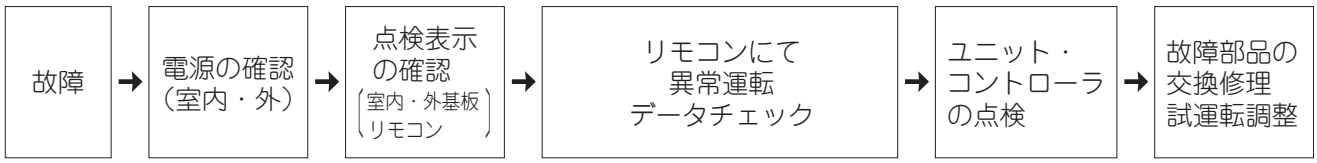
■故障モード記憶の解除（故障が復帰している場合）

① RC-DX3Dリモコンの場合

- リモコン故障モード記憶の解除
  TOP画面より「メニュー」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード」入力
  →「セット」→「点検表示」→「異常履歴表示」の順でタッチする。
  画面上の「消去」→消去確認画面で「はい」の順でタッチすると，リモコンが記憶している異常履歴・異常発生時のデータの記憶をすべて消去します。
- 室内ユニット故障モード記憶の解除
  TOP画面より「メニュー」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード」入力
  →「セット」→「点検表示」→「異常時運転データ消去」の順でタッチする。
  異常時運転データ消去画面で「はい」をタッチすると，リモコンは室内ユニットに異常履歴クリアを送信します。送信された室内ユニットは，リモコンに対し異常なしを送信します。

1.15.2 故障診断の手順

故障が発生したら，次の手順で点検を進めてください。それぞれの点検方法の詳細は後述してあります。



1.15.3 室内ユニット基板の交換手順

エクシードハイパーシリーズをご覧ください。

1.15.4 室外ユニット基板の交換手順

室外ユニットの故障診断は，リモコンの故障記号，室外制御基板上の点検表示灯(赤・LED)の点滅パターンを確認して故障の概要とその原因，部位を推定した上で点検・修理を進めてください。
室内・外マイコンによる自己診断はマイコン異常の他，電源系統の異常，据付スペース，冷媒量不適等に起因するオーバーロード等を診断できるので，故障発見が円滑に行えます。
また，室外の点検表示灯は電源しゃ断する以外，故障が自動復帰した後も記憶され点滅を続けます。
故障復帰後，記憶されている故障より優先度の高いモードが発生すると，そのモードに切換えて記憶します。

[電源のリセットについて]

室外制御基板交換をする場合および点検をする場合，室外ユニットへの供給電源をしゃ断してもコントローラ内部の電解コンデンサに電圧が残っていますので，作業をされる場合は感電にご注意ください。
電源しゃ断後，3分以上経過し，コントローラ内部赤（FDCVP1126～2806形は緑）LEDが10秒以上，消灯していることを確認してから作業を実施ください。電解コンデンサ(C58)の両端の電圧(DC)を測定して十分に放電した事を確認してください。
(防湿コーティングしてあるため測定できないことがありますので，感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。)

(1) 室外コントローラ関係の交換部品単位

室外制御基板，インバータ基板，温度センサ(室外熱交，吐出管，外気，パワートランジスタ，吸入管，ドーム下)，ヒューズ(電源，制御基板)，ノイズフィルタ，コンデンサ，リアクタ

(2) 基板交換要領

安全上のご注意
・ ここに示した注意事項は，安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。 表示と意味は次のようになっています。 ⚠ 警告　誤った作業を行った時に，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。 ⚠ 注意　誤った作業を行った時に，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
⚠ 警告
・ 基板交換はこの交換要領書に従って確実に行ってください。 交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。 ・ 基板交換時は，必ず室外ユニットの電源が切れていることを確認してから行ってください。 通電状態での基板交換は，感電の原因になります。 ・ 基板交換の作業終了後，電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認してください。 交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。
⚠ 注意
・ 配線はつっぱらないように結束してください。感電の原因になることがあります。

(a) FDCVP406 ～ P636H，HK

(i) 制御基板

下記の要領でコントロール基板の交換を行ってください。

① 基板交換作業は電源を切って３分以上放置し、図３で示すコントロール基板部品面上のLED1（赤）が10秒以上消灯していることを確認してから実施してください。
② 図４で示すC58端子間のDC電圧を測定し、10Ｖ以下であることを確認してください。(防湿剤によりコーティングしてあるため測定できないことがあります。感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。)
③ コントローラ基板から接続されているハーネスおよび基板上のコネクタを外してください。
④ 新しいコントローラ基板上のSW6，7の設定を交換前の基板に合わせてください。
（SW6の実装は機種によって異なります。）
⑤ コントローラ基板を交換してください。
⑥ ハーネスおよびコネクタを元通りに接続してください。接続後、半挿しが無いことを確認してください。

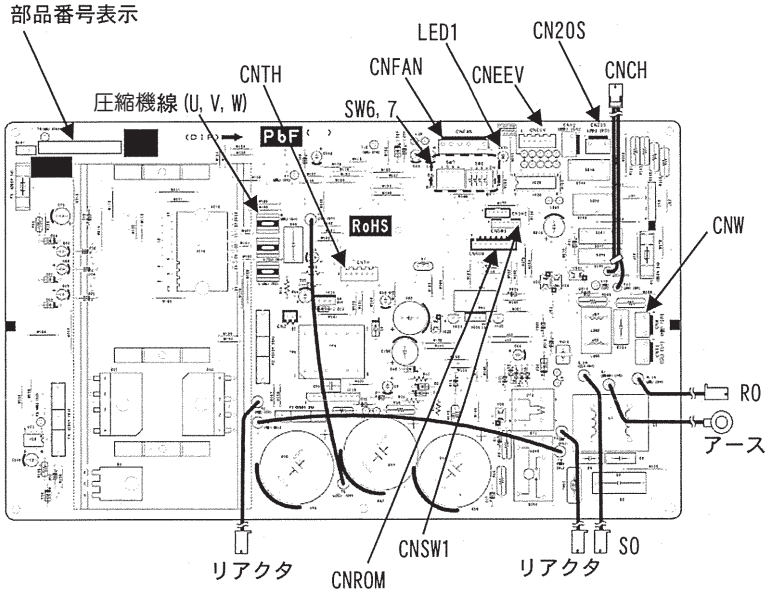


図1. 単相機部品配置図（部品面）

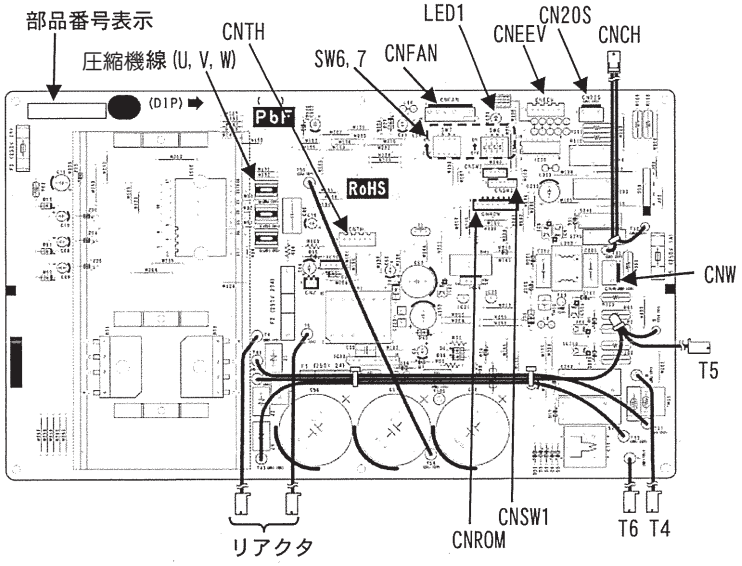


図2. 三相機部品配置図（部品面）

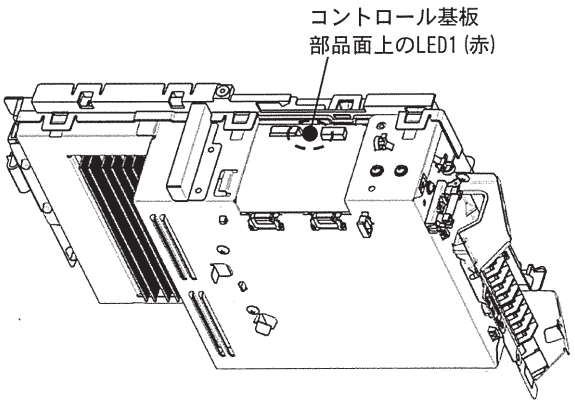


図3. LED位置

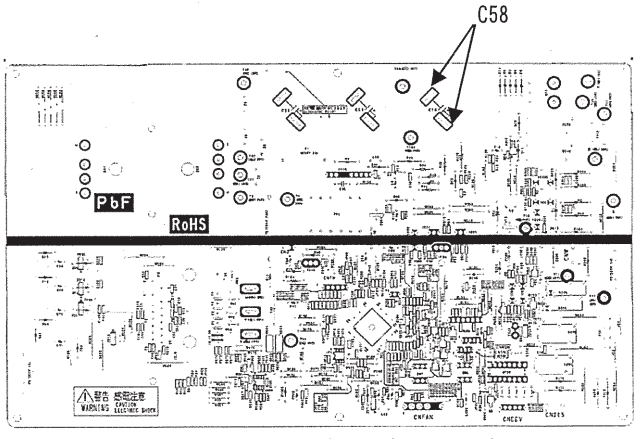


図4. 電圧測定箇所（はんだ面）

PCA012D079

PCA012D080

(ii) **ノイズフィルタ基板（三相機のみ）**

下記の要領でノイズフィルタ基板（図1）の交換を行ってください。

① 基板交換作業は電源を切って3分以上放置し、図2に示すコントロール基板部品面上のLED1（赤)が10秒以上消灯していることを確認してから実施してください。

② 図3で示すC58端子間のDC電圧を測定し、10V以下であることを確認してください。
(防湿剤によりコーティングしてあるため測定できないことがあります。感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。)

③ ノイズフィルタ基板から端子台および板金等へ接続されているハーネスを外してください。

④ 新しいノイズフィルタ基板上のCNX1のジャンパコネクタを交換前の基板に合わせてください。
ジャンパコネクタ接続先は下記の通りです。
┌室外電源取りの場合　　：CNX1
└室内室外別電源取りの場合：CNX2

⑤ ノイズフィルタ基板を交換してください。

⑥ ハーネスを元通りに接続してください。接続後、半挿しが無いことを確認してください。

⑦ 付属のタイラップバンドを元の位置に取付け（2か所)、ハーネスをバンドで元通りに固定してください。
（図2参照）

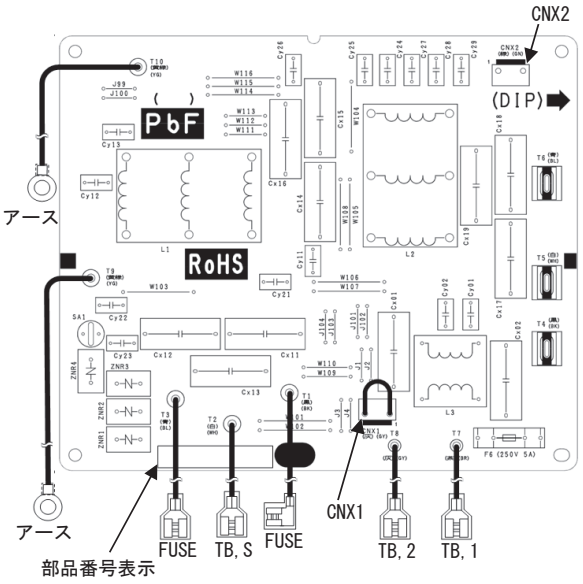


図１．部品配置図（対象基板）

※ハーネスは、機種によって
形状が異なる場合があります。

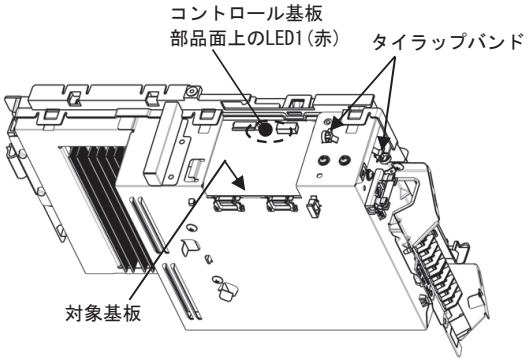


図２．LEDおよびタイラップバンド位置

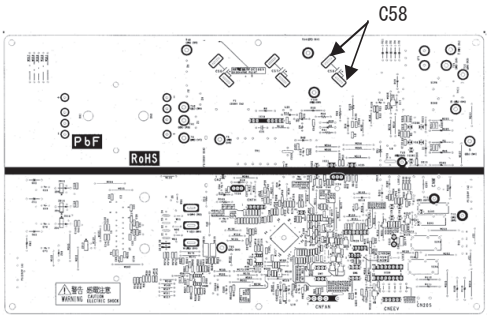


図３．電圧測定箇所
（コントロール基板（はんだ面))

PCA012D081

(b) FDCVP806H, 806HK

(i) 制御基板

下記の要領でコントロール基板の交換を行ってください。

① 基板交換作業は電源を切って３分以上放置し、図３で示すコントロール基板部品面上のLED1（赤）が10秒以上消灯していることを確認してから実施してください。

② 図４で示すC58端子間のDC電圧を測定し、10V以下であることを確認してください。(防湿剤によりコーティングしてあるため測定できないことがあります。感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。)

③ コントロール基板から接続されているハーネスおよび基板上のコネクタを外してください。

④ 新しいコントロール基板上のSW6，7の設定を交換前の基板に合わせてください。
（SW6の実装は機種によって異なります。）

⑤ コントロール基板を交換してください。

⑥ ハーネスおよびコネクタを元通りに接続してください。接続後、半挿しが無いことを確認してください。

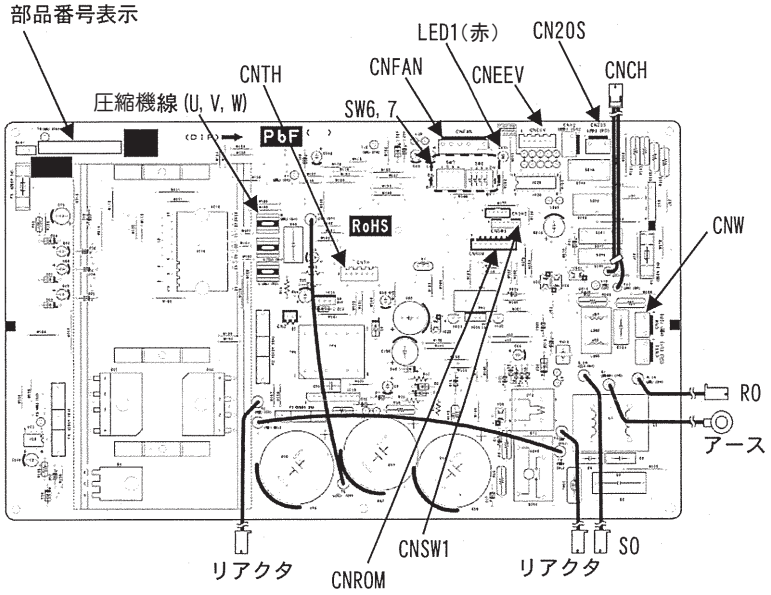


図1. 単相機部品配置図（部品面）

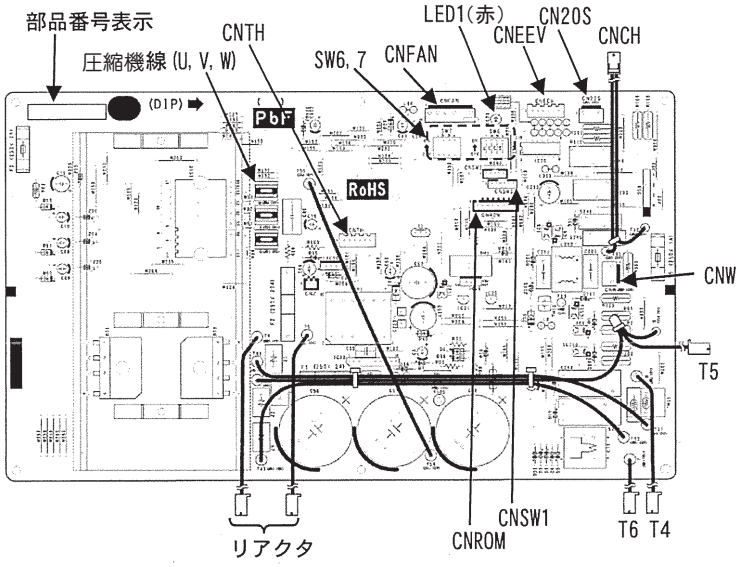


図2. 三相機部品配置図（部品面）

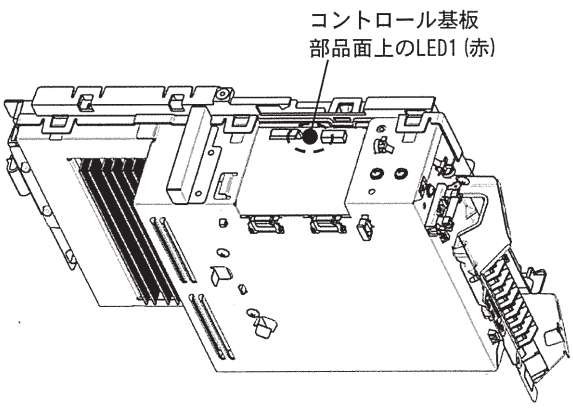


図3. LED位置

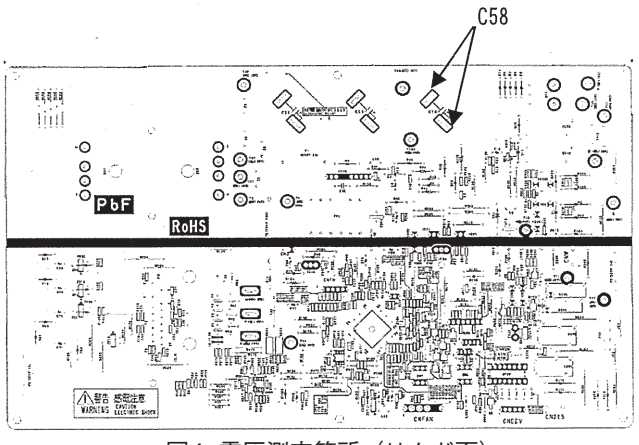


図4. 電圧測定箇所（はんだ面）

PCA012D079

PCA012D080

(ii) ノイズフィルタ基板（三相機のみ）

下記の要領でノイズフィルタ基板（図1）の交換を行ってください。

① 基板交換作業は電源を切って3分以上放置し、図2に示すコントロール基板部品面上のLED1（赤)が10秒以上消灯していることを確認してから実施してください。

② 図3で示すC58端子間のDC電圧を測定し、10V以下であることを確認してください。
(防湿剤によりコーティングしてあるため測定できないことがあります。感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。)

③ ノイズフィルタ基板から端子台および板金等へ接続されているハーネスを外してください。

④ 新しいノイズフィルタ基板上のCNX1のジャンパコネクタを交換前の基板に合わせてください。
ジャンパコネクタ接続先は下記の通りです。
┌室外電源取りの場合　　：CNX1
└室内室外別電源取りの場合：CNX2

⑤ ノイズフィルタ基板を交換してください。

⑥ ハーネスを元通りに接続してください。接続後、半挿しが無いことを確認してください。

⑦ 付属のタイラップバンドを元の位置に取付け（2か所)、ハーネスをバンドで元通りに固定してください。
（図2参照）

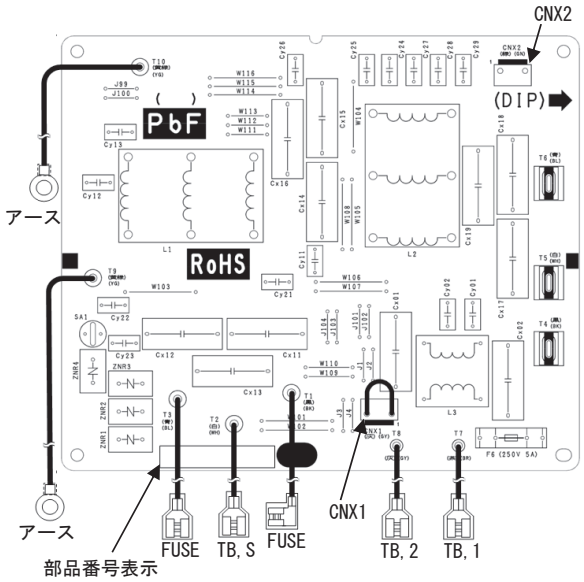


図1. 部品配置図（対象基板）

※ハーネスは、機種によって
形状が異なる場合があります。

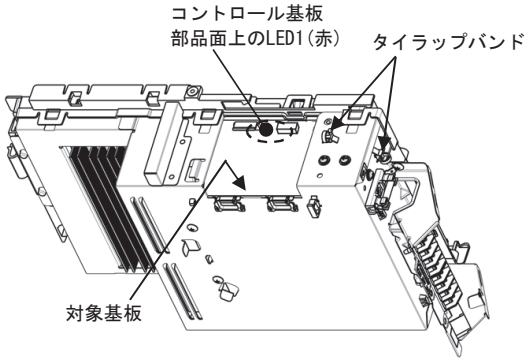


図2．LEDおよびタイラップバンド位置

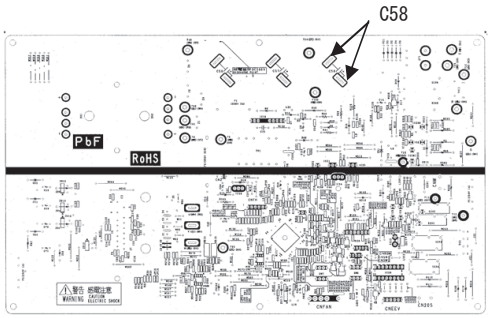


図3．電圧測定箇所
（コントロール基板（はんだ面))

PCA012D081

(c) FDCVP1126 ～ P1606H形

(i) 制御基板

下記の要領でコントロール基板の交換を行ってください。

① 交換作業は，**電源を切って３分後**に実施してください。

② コネクタ(CNA1)の両極を測定し，**電解コンデンサに充電されたDC電圧が十分に放電（10V以下）した**事を確認してください。（図２参照）

③ コントロール基板のコネクタを外してください。（図１．部品配置図を参照してください。）

④ 基板上のCT1に通している白色または青色の配線を外して，コントロール基板を交換してください。

⑤ 新しい基板の設定スイッチ(SW3，5，7，JSW1）の設定を交換前の基板に合わせてください。

⑥ 白色または青色の配線を，交換した基板上のCT1に通してねじを締めてください。

⑦ コネクタを交換前と同じ場所に接続してください。（接続後，**半挿しが無い様**確認してください。）

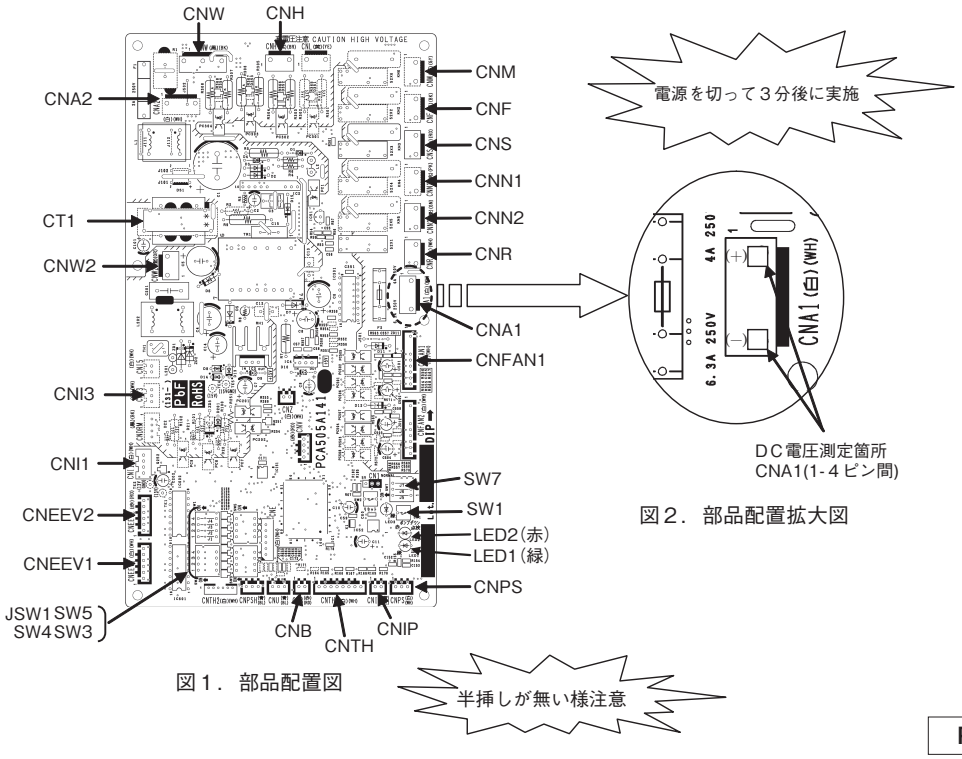


図１．部品配置図

図２．部品配置拡大図

PCA012D110

(ii) **インバータ基板**

下記の要領でインバータ基板(図1)の交換を行ってください。インバータ基板搭載箇所は図3を参照してください。

① 交換作業は**電源を切って3分後**に実施してください。(電源OFF直後はコンデンサが放電されておらず，高電圧状態で危険なためコントローラに触らないでください。また，リアクタが高温になっていますのでリアクタにも触らないでください。)

② ハーネスが接続されている状態で，図2に示す制御基板のCNA1の1-4ピン間の**DC電圧を測定し20V以下(コンデンサ放電後の電圧)である事**を確認してください。

③ 図2に示すように，ハーネスをバンド，クリップ，制御基板のコネクタから外し，指定のねじ(4箇所)を外してください。

④ 図3のように，制御面を開きハーネスをインバータ基板の端子台，コネクタから外し，更にパワートランジスタ取付用のねじを外してください。その後サポート(9箇所, 図1参照)を外し，インバータ基板を取外してください。
インバータ基板を外した際，コントローラの放熱フィンに塗布されているシリコングリスはきれいに拭き取ってください。(図4参照)

⑤ 交換後のインバータ基板のスイッチ (JSW10，11)設定は交換前のインバータ基板に合わせてください。

⑥ 交換後のインバータ基板のパワートランジスタ表面に，同梱の**シリコングリスを均一に塗布**してインバータ基板を取付けてください。
塗布しないと**パワートランジスタが破損することがあります。**その際，シリコングリスは使い切ってください。

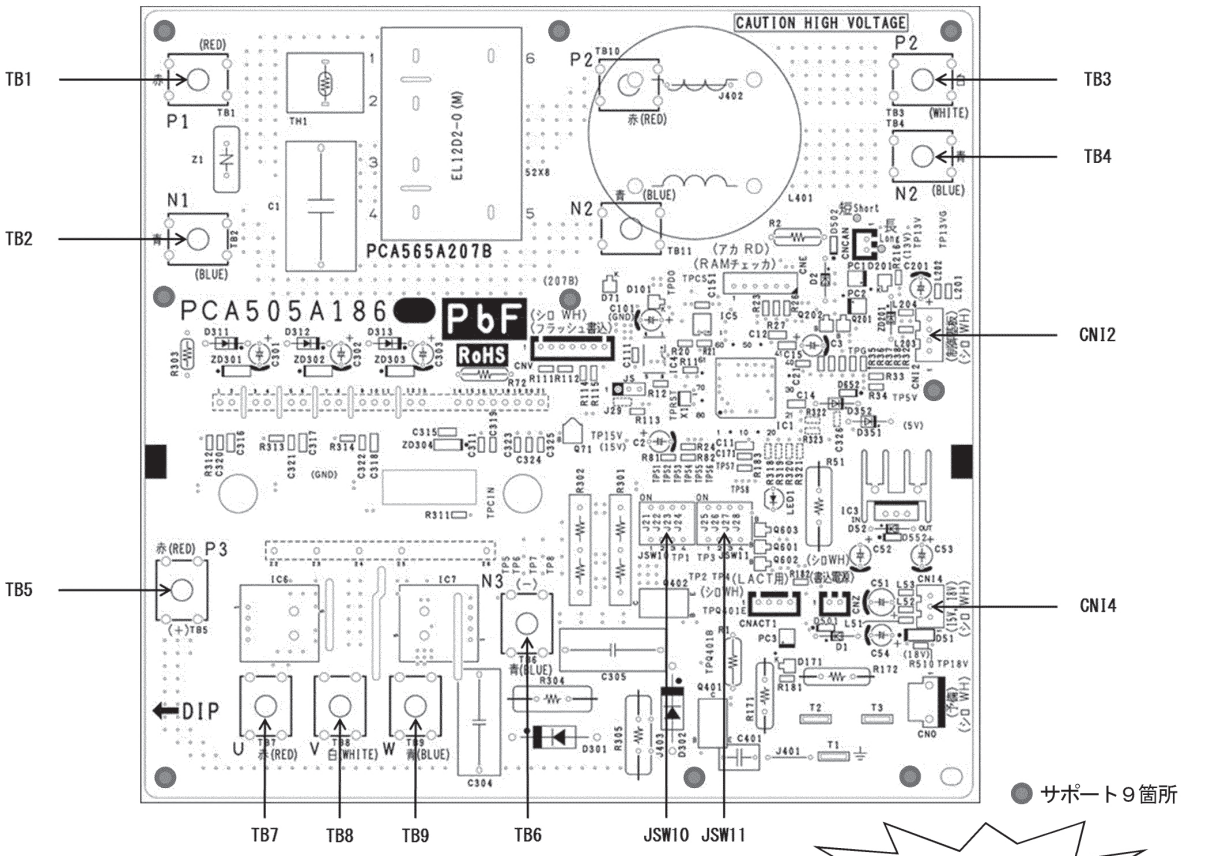
⑦ インバータ基板のパワートランジスタ取付用のねじを締め，ハーネス(コネクタ，端子台)を元の状態に接続してください。
ねじの締め忘れ，コネクタの**半挿しが無い事を**確認してください。
特にパワートランジスタは緩みがないように取付ねじで2回締め(仮締め／本締め)を実施してください。
締付が不足すると**パワートランジスタが破損することがあります。**(各推奨締付トルクは図5参照)
制御面を閉じる際に配線の噛み込みがない様に注意してください。配線が損傷し，ショートや火災の原因になります。

⑧ 制御基板から外したコネクタを元の状態に接続し，バンド，クリップで元の状態に束ねて，3)で外した指定のねじ(4箇所)を締付けてください。

(※) 制御基板(CNA1)のコネクタが**未接続の状態**で電源を投入した場合や、
故障の内容によって電荷が数時間放電されない可能性があります。
感電、基板破損の恐れがありますので確実にCNA1の電圧測定を行ってください。

基板交換後
未接続のコネクタが
無い様注意

電源を切って３分後に実施



基板交換後
半挿しが無い様注意

図１．対象基板（インバータ基板）の部品配置図

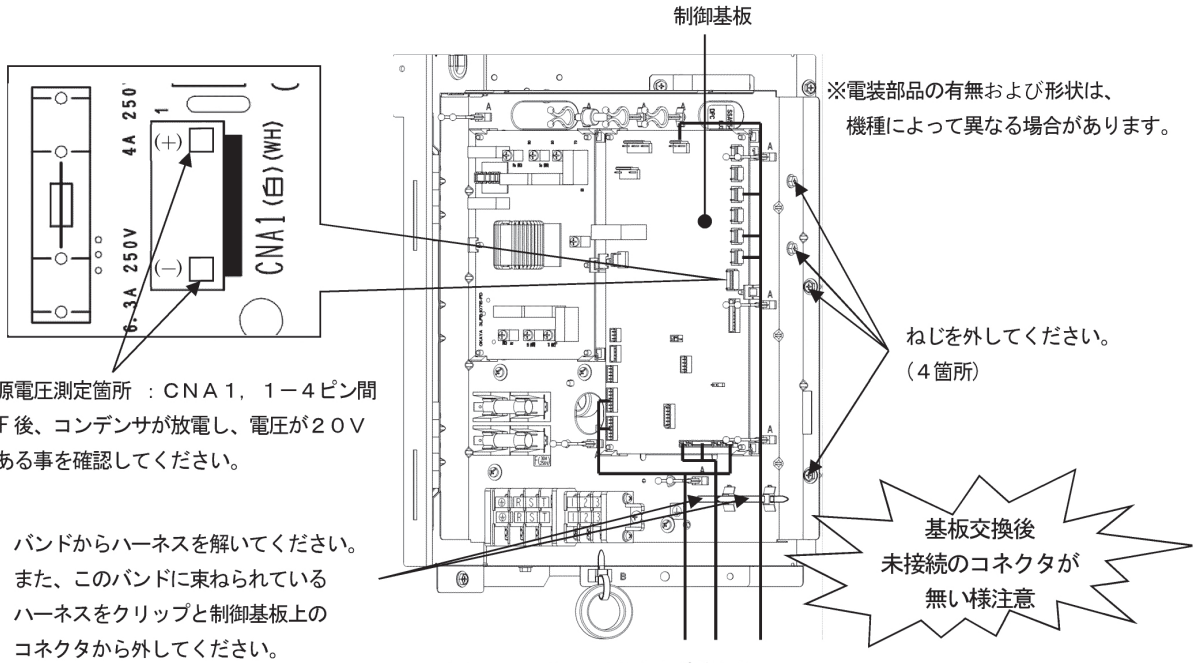


図２．コントローラ正面（制御面）

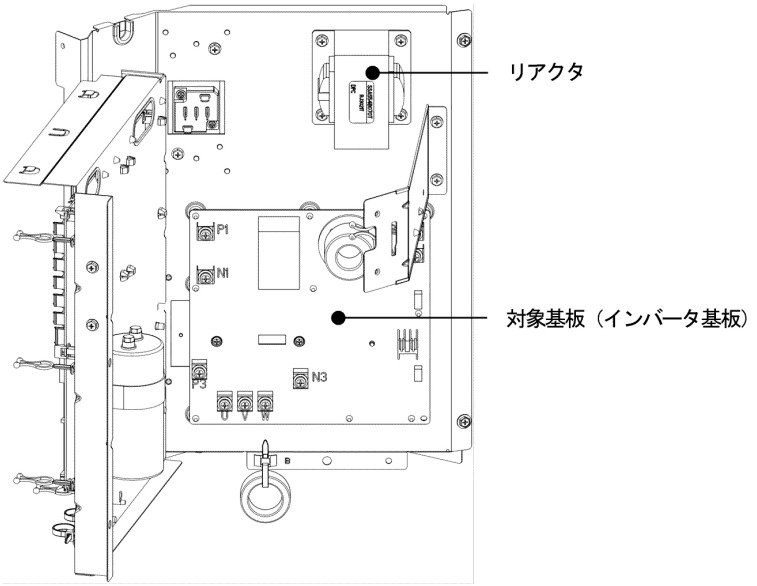


図３．制御面を開き，インバータ基板が見える状態

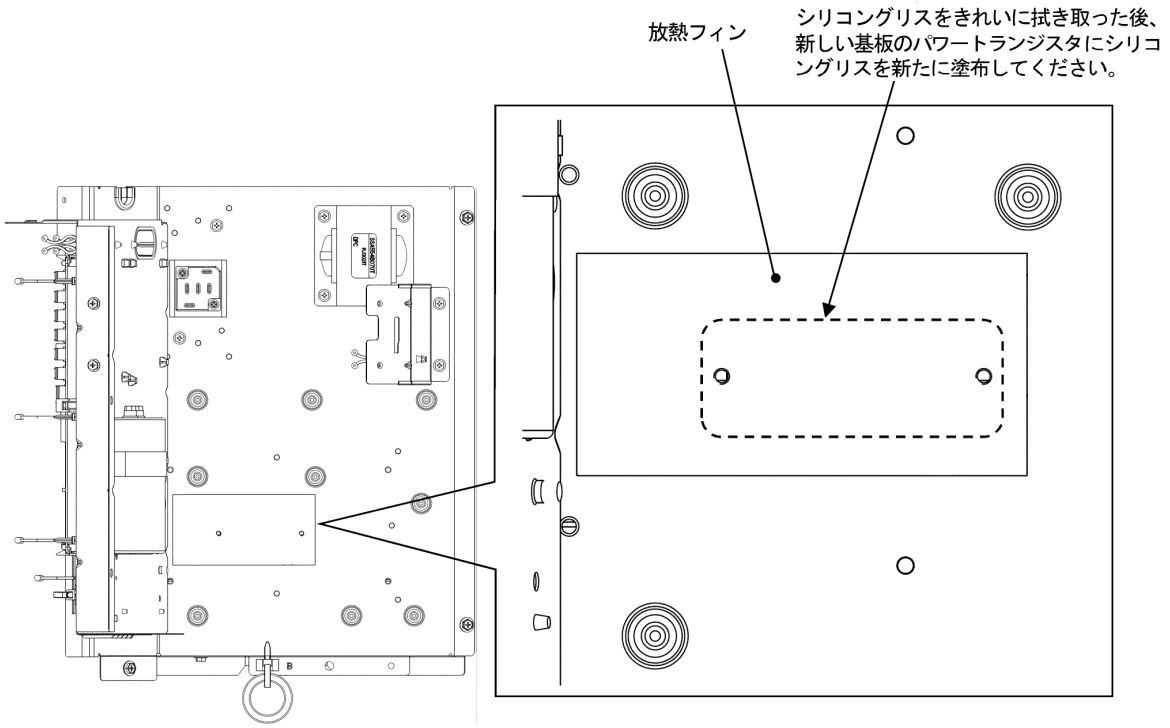
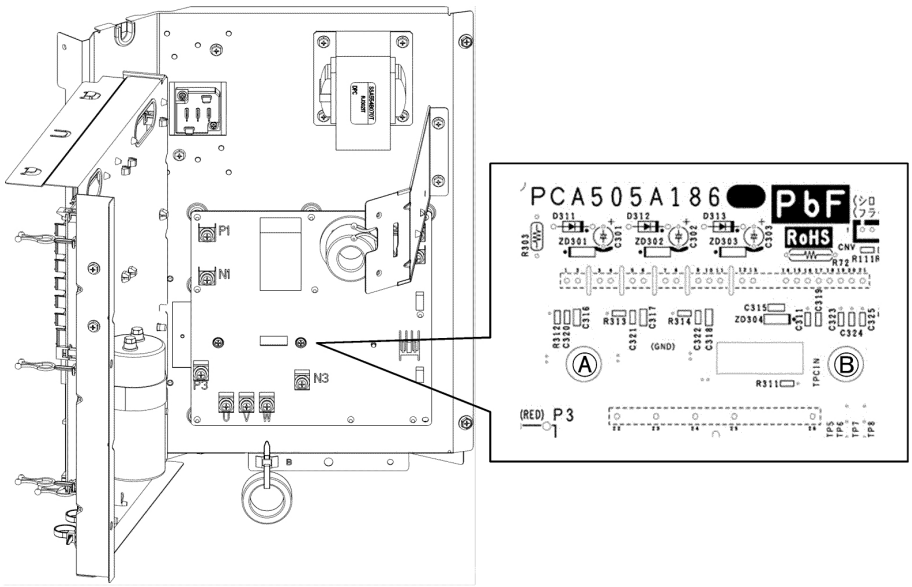


図４．インバータ基板を取外した状態

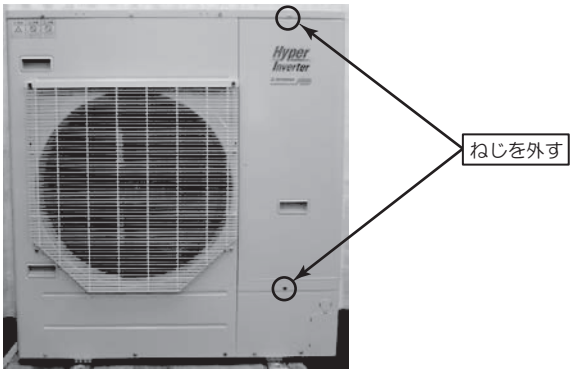


名称	記号	締付順序	締付位置	締付トルク	備考
パワー トランジスタ	IC2	1	Ⓐ	0.20～0.44 N・m	仮締め
		2	Ⓑ		
		3	Ⓐ	1.20～1.40 N・m	本締め
		4	Ⓑ		

図５．推奨締付トルクおよびパワートランジスタ（ＩＣ２）取付用ねじ締付位置

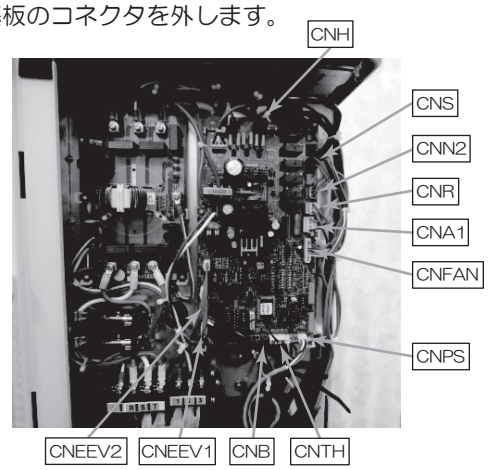
●FDCVP1126～1606Hインバータ基板交換要領

1）サービスパネルを外します。（ねじ2本）

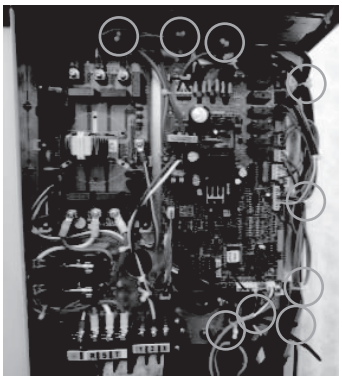




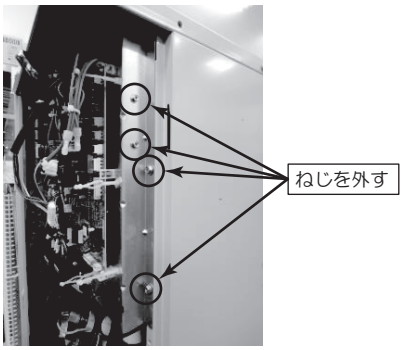
2）制御基板のコネクタを外します。



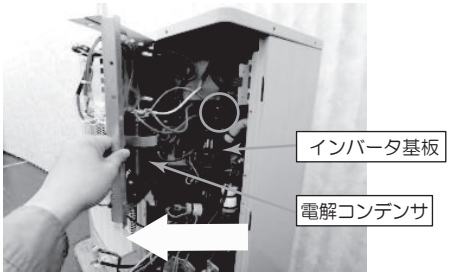
3）クランプとバンドの配線を外します。



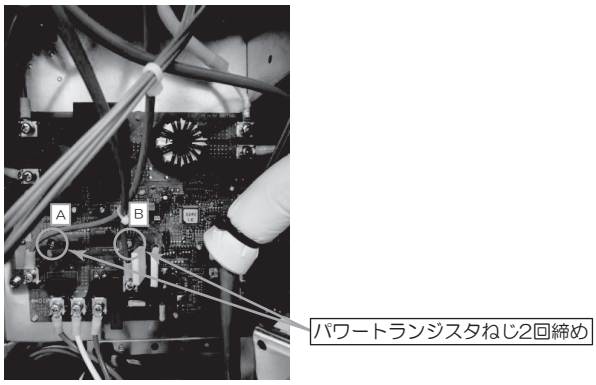
4）ねじを外します。（4本）



5）手前に引きながら電解コンデンサ配線をクランプ（白）から外します。観音開きがより広く使えます。
交換後に戻すときは配線が外板に干渉しないように最後にクランプ（白）で固定してください。



6）インバータ基板交換後，パワートランジスタを外力ストレスがないように必ず2回締め（仮締め／本締め）してください。



(d) FDCVP2246, P2806形

(i) 制御基板

下記の要領でコントロール基板の交換を行ってください。

① 交換作業は，電源を切って3分後に実施してください。（電源OFF直後はコンデンサが放電されておらず，高電圧状態で危険なため，コントローラを触らないでください。）

② フロントパネルを外し，ハーネスが接続されている状態で，図2に示す制御基板のCNA1の1-4ピン間のDC電源電圧を測定し，20V以下（コンデンサ放電後の電圧）であることを確認してください。

③ 制御基板上のコネクタを外してください。（図2参照）
図2の※で示すコネクタは，無理矢理外すと破損する恐れがあります。ロックを外し，取外してください。

④ 図1で示すねじ4箇所を外し，樹脂枠から基板を外してください。

⑤ 新しい基板のスイッチ（SW3～SW8，JSW1）設定を交換前の基板に合わせてください。

⑥ 新しい基板と樹脂枠を取付用ねじで締め，コネクタを元の状態に接続してください。
コネクタ接続後，半挿しが無いことを確認してください。

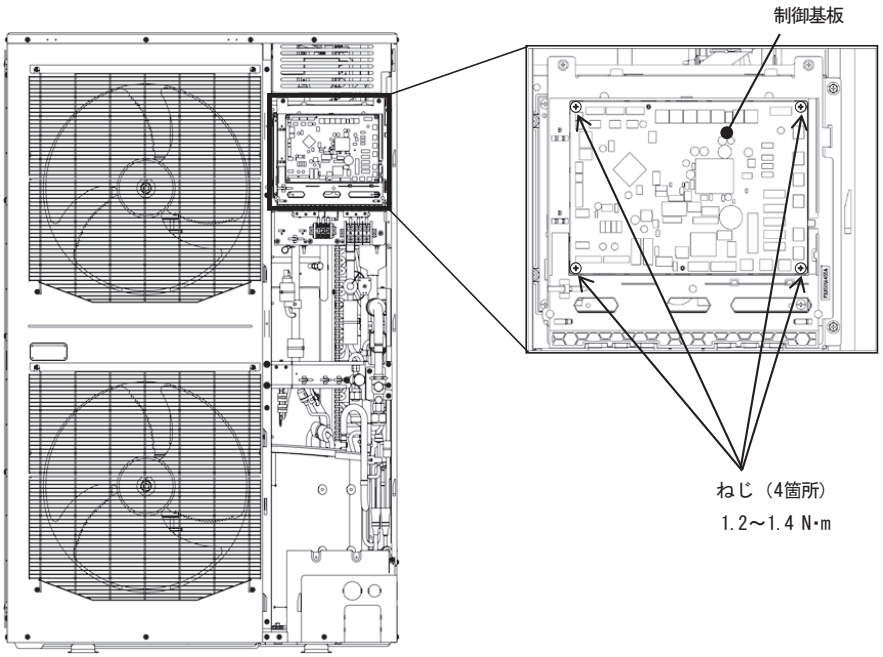


図1. 制御基板配置図

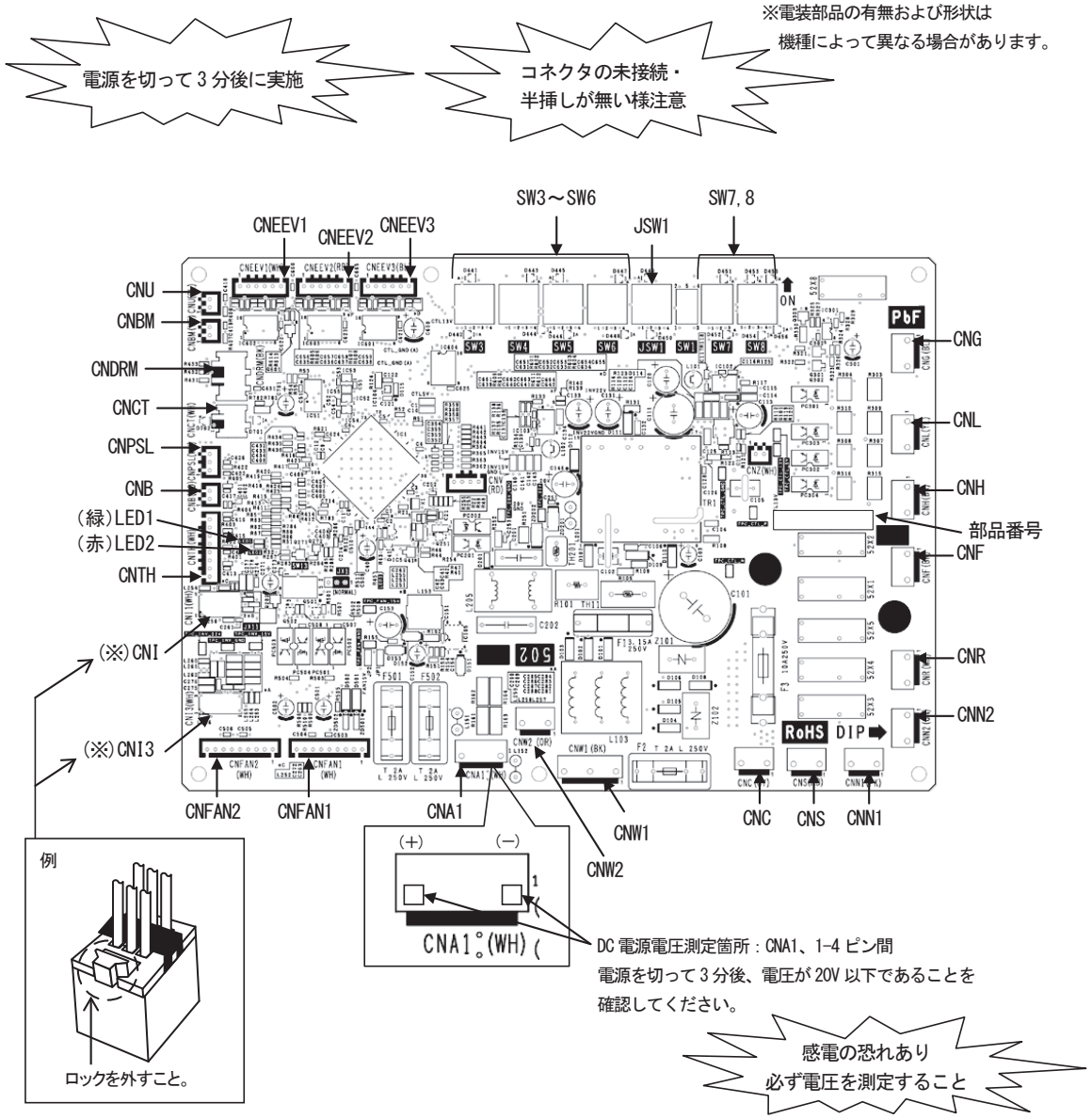


図 2. 制御基板の部品配置図および電圧測定箇所

PCA012D120

(ii) インバータ基板

下記の要領でインバータ基板（図2）の交換を行ってください。制御基板搭載箇所は図1を参照してください。

① 交換作業は，電源を切って3分後に実施してください。（電源OFF直後はコンデンサが放電されておらず，高電圧状態で危険なため，コントローラを触らないでください。）

② ハーネスが接続されている状態で，図1に示す制御基板のCAN1の1-4ピン間のDC電源電圧を測定し，20V以下（コンデンサ放電後の電圧）であることを確認してください。

③ 図1に示すねじ2箇所を外し，制御面を開いてください。
制御面を開いている間は，上から力を加えないでください。製品の変形やけがの原因になります。

④ インバータ基板上のねじ端子およびコネクタを外してください。（図3参照）
図3の※で示すコネクタは，無理矢理外すと破損する恐れがあります。ロックを外し，取外してください。

⑤ 図2で示すように板金へ固定されている樹脂枠付き基板のねじ4箇所(樹脂枠－板金間)を外し，樹脂枠付き基板を板金から外してください。

⑥ 新しい基板のスイッチ（SW10）の設定を交換前の基板に合わせてください。

⑦ 新しい樹脂枠付き基板と板金を取付用ねじで締め，ねじ端子およびコネクタを元の状態に接続してください。
コネクタ接続後，半挿しが無いことを確認してください。
制御面を閉じる際は，配線の噛込みがないように注意してください。配線が破損し，ショートや火災の原因になります。

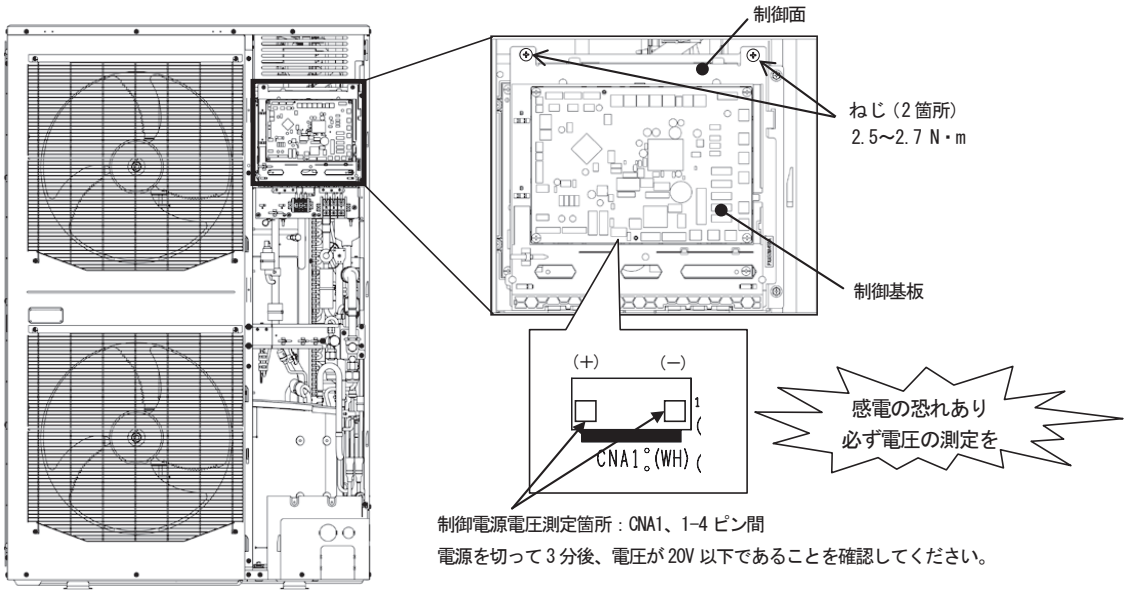


図 1. 制御基板の電圧測定箇所

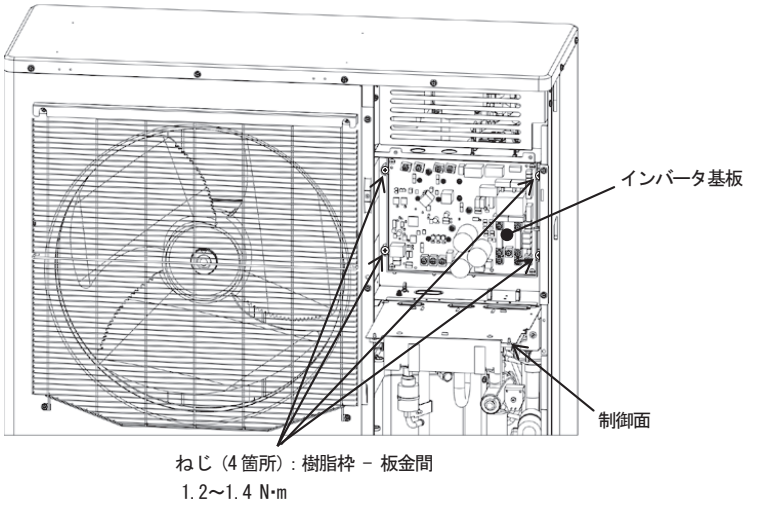


図 2. インバータ基板配置図（制御面を開いた状態）

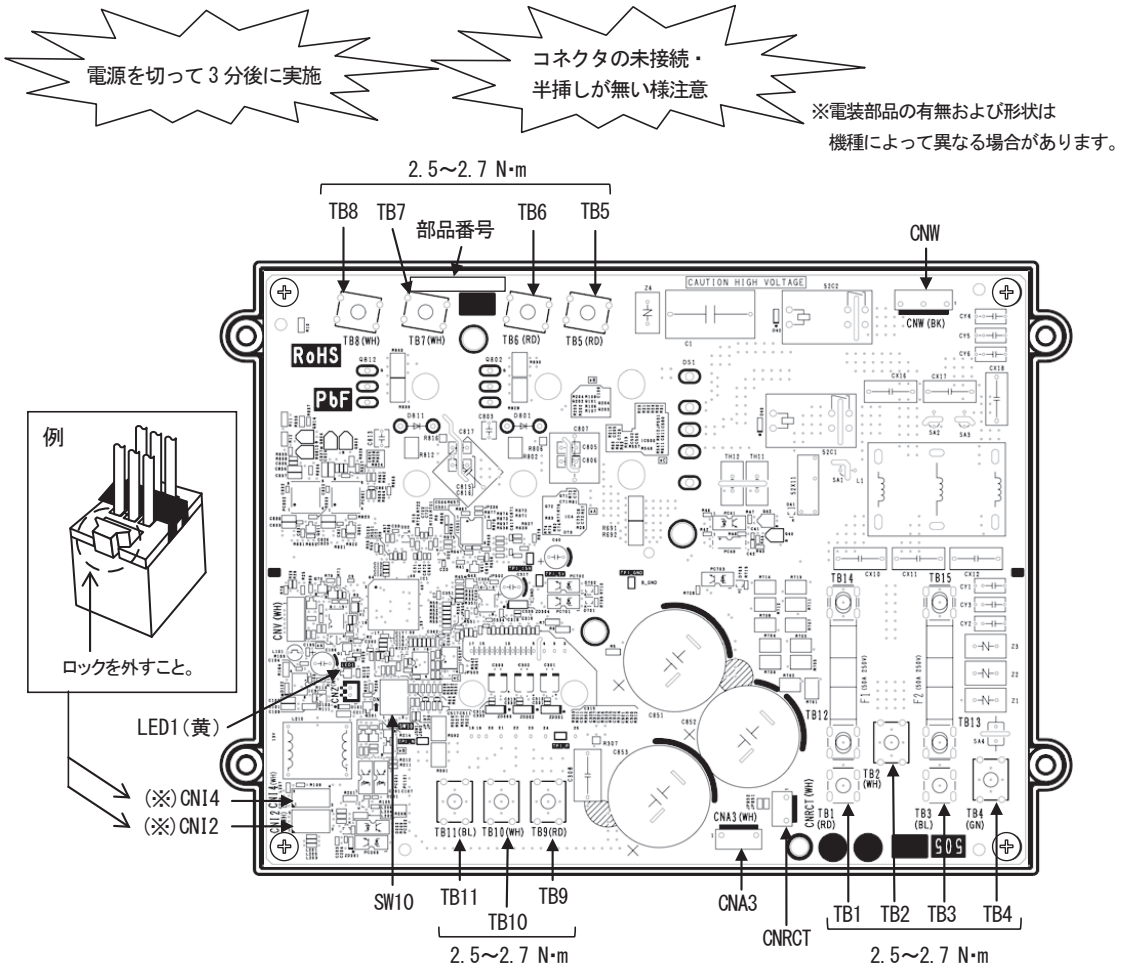


図 3. インバータ基板の部品配置図

PCB012D118

●ディップスイッチ設定表

(1) FDCVP406 ～ 636H，HK

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW5-1	デフロスト設定切換え	通常/寒冷地	OFF	通常	寒冷地
SW5-2	—	—	OFF	—	—
SW5-3	試運転モード	通常/試運転	OFF	通常	試運転
SW5-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房	OFF	冷房試運転	暖房試運転
SW6-1	機種切換え	機種容量	表1参照		
SW6-2	機種切換え				
SW6-3	機種切換え				
SW6-4	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW7-1	機種切換え	ヒーポン/冷専		ヒーポン	冷専
SW7-2	機種切換え	ハイパー/エクシード		ハイパー	エクシード
SW7-3	—	—	OFF	—	—
SW7-4	—	—	OFF	—	—
SW8-1	—	—	OFF	—	—
SW8-2	—	—	OFF	—	—
SW8-3	インバータチェックモード切換え	通常/チェックモード	OFF	通常	チェックモード

表1：室外ユニット機種切換え

スイッチ	P406H	P406HK	P456H	P456HK	P506H	P506HK	P566H	P566HK	P636H	P636HK
SW6-1	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
SW6-2	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF
SW6-3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
SW6-4	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
SW7-1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
SW7-2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

(2) FDCVP806H，HK

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW5-1	デフロスト設定切換え	通常/寒冷地	OFF	通常	寒冷地
SW5-2	防雪ファン制御切換	無効/有効	OFF	無効	有効
SW5-3	試運転モード	通常/試運転	OFF	通常	試運転
SW5-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房	OFF	冷房試運転	暖房試運転
SW6-1	機種切換え	機種容量	表1参照		
SW6-2	機種切換え				
SW6-3	機種切換え				
SW6-4	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW7-1	機種切換え	ヒーポン/冷専		ヒーポン	冷専
SW7-2	—	—	OFF	—	—
SW7-3	—	—	OFF	—	—
SW7-4	—	—	OFF	—	—
SW8-1	既設配管流用	無効/有効	OFF	無効	有効
SW8-2	冷凍サイクルシステム保護	通常/無効	OFF	通常	無効
SW8-3	インバータチェックモード切換え	通常/チェックモード	OFF	通常	チェックモード

表1：室外ユニット機種切換え

スイッチ	P806HK	P806H
SW6-1	ON	ON
SW6-2	OFF	OFF
SW6-3	ON	ON
SW6-4	ON	OFF
SW7-1	OFF	OFF

(3) FDCVP1126～1606H

(a) 制御基板

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW1	ボンプダウン制御	通常/ボンプダウン	OFF	通常	ボンプダウン
JSW1-1(J1)	機種切換え	機種容量	表1参照		
JSW1-2(J2)	機種切換え				
JSW1-3(J3)	機種切換え				
JSW1-4(J4)	機種切換え	ヒーボン/冷専		ヒーボン	冷専
SW3-1	デフロスト制御切換え	通常/寒冷地	OFF	通常	寒冷地
SW3-2	防雪ファン制御	無効/有効	OFF	無効	有効
SW3-3	試運転	無効/有効	OFF	無効	試運転
SW3-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房	OFF	冷房試運転	暖房試運転
SW4-1	フリーアドレスプルーラル切換え	無効/有効	表1参照	無効	有効
SW4-2	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW4-3	—	—	OFF	—	—
SW4-4	機種切換え	ハイパー/エクシード	表1参照	ハイパー	エクシード
SW5-1	既設配管流用	通常/既設配管	OFF	通常	既設配管
SW5-2	既設配管洗浄運転	通常/洗浄運転	OFF	通常	洗浄運転
SW5-3	—	—	OFF	—	—
SW5-4	—	—	OFF	—	—
SW7-1(J5)	長配管対応	通常/長配管	OFF	通常	長配管
SW7-2(J6)	—	—	OFF	—	—
SW7-3(J7)	サイレントモード切換え	通常/騒音規制対応	OFF	通常	騒音規制対応

表1：室外ユニット機種切換え

スイッチ	P1126H	P1406H	P1606H
JSW1-1	OFF	ON	OFF
JSW1-2	OFF	OFF	ON
JSW1-3	OFF	OFF	OFF
JSW1-4	OFF	OFF	OFF
SW4-1	OFF	OFF	OFF
SW4-2	OFF	OFF	OFF
SW4-4	OFF	OFF	OFF

(b) インバータ基板

スイッチ	P1126H	P1406H	P1606H
JSW10-1	OFF	OFF	OFF
JSW10-2	ON	ON	ON
JSW10-3	OFF	OFF	OFF
JSW10-4	OFF	OFF	OFF
JSW11-1	ON	ON	ON
JSW11-2	OFF	OFF	OFF
JSW11-3	OFF	OFF	OFF
JSW11-4	OFF	OFF	OFF

(4) FDCVP2246H，2806H

(a) 制御基板

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW1	ボンプダウン制御	通常/ボンプダウン	OFF	通常	ボンプダウン
JSW1-1(J1)	機種切換え	機種容量	表1参照		
JSW1-2(J2)	機種切換え				
JSW1-3(J3)	機種切換え				
JSW1-4(J4)	機種切換え	ヒーボン/冷専		ヒーボン	冷専
SW3-1	デフロスト制御切換え	通常/寒冷地	OFF	通常	寒冷地
SW3-2	防雪ファン制御	無効/有効	OFF	無効	有効
SW3-3	試運転	無効/有効	OFF	無効	試運転
SW3-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房	OFF	冷房試運転	暖房試運転
SW4-1	フリーアドレスブルーラル切換え	無効/有効	表1参照	無効	有効
SW4-2	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW4-3	—	—	OFF	—	—
SW4-4	機種切換え	ハイパー/エクシード	表1参照	ハイパー	エクシード
SW5-1	既設配管流用	通常/既設配管	OFF	通常	既設配管
SW5-2	既設配管洗浄運転	通常/洗浄運転	OFF	通常	洗浄運転
SW5-3	—	—	OFF	—	—
SW5-4	—	—	OFF	—	—
SW6-1	メンテPC異常履歴データ記録間隔_1	無効/有効	OFF	表2参照	
SW6-2	メンテPC異常履歴データ記録間隔_2	無効/有効	OFF		
SW6-3	—	—	OFF	—	—
SW6-4	インバータチェッカモード用	無効/有効	OFF	無効	有効
SW7-1(J5)	—	—	OFF	—	—
SW7-2(J6)	—	—	OFF	—	—
SW7-3(J7)	サイレントモード切換え	通常/騒音規制対応	OFF	通常	騒音規制対応

表1：室外ユニット機種切換え

スイッチ	VP2246H	VP2806H
JSW1-1	ON	OFF
JSW1-2	ON	OFF
JSW1-3	OFF	ON
JSW1-4	OFF	OFF
SW4-1	OFF	OFF
SW4-2	OFF	OFF
SW4-4	OFF	OFF

表2：メンテPC異常履歴データ記録間隔切換え

スイッチ	10s	20s	30s	60s
SW6-1	OFF	ON	OFF	ON
SW6-2	OFF	OFF	ON	ON

(b) インバータ基板

スイッチ	VP2246H	VP2806H
SW10-1	OFF	OFF
SW10-2	OFF	OFF
SW10-3	OFF	OFF

●ヒューズ一覧

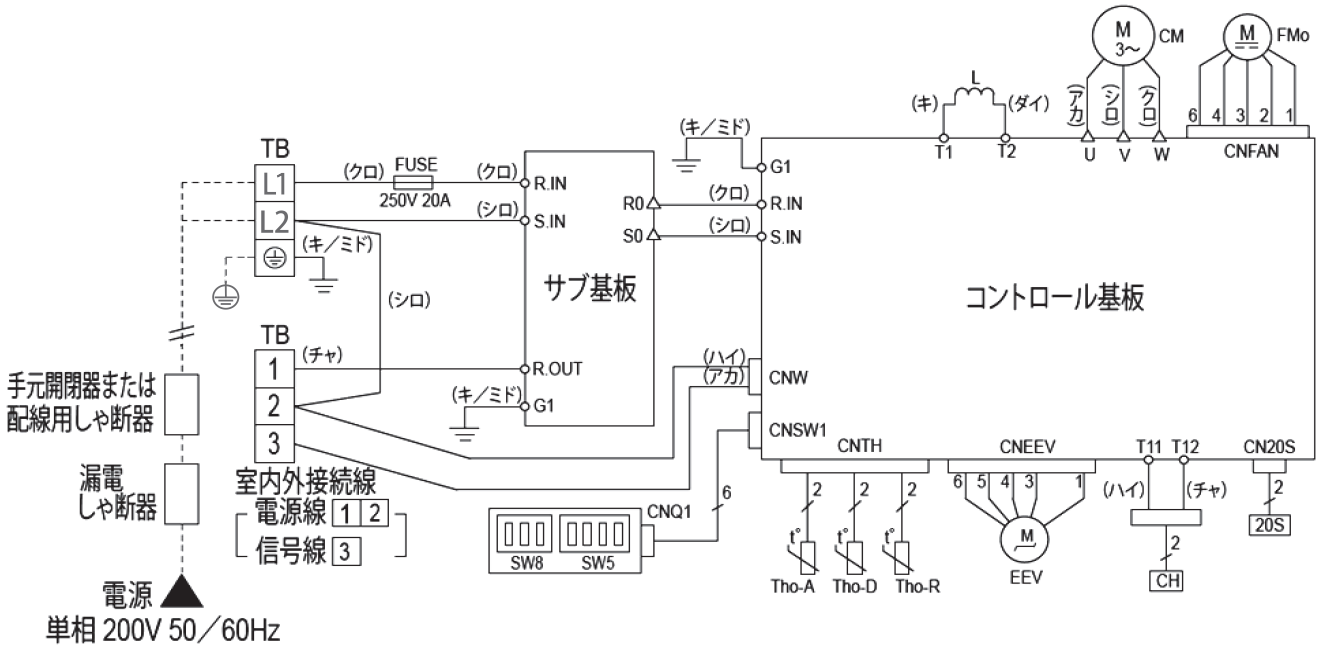
(1) 室内ユニット

エクシードハイパーシリーズをご覧ください。

(2) 室外ユニット

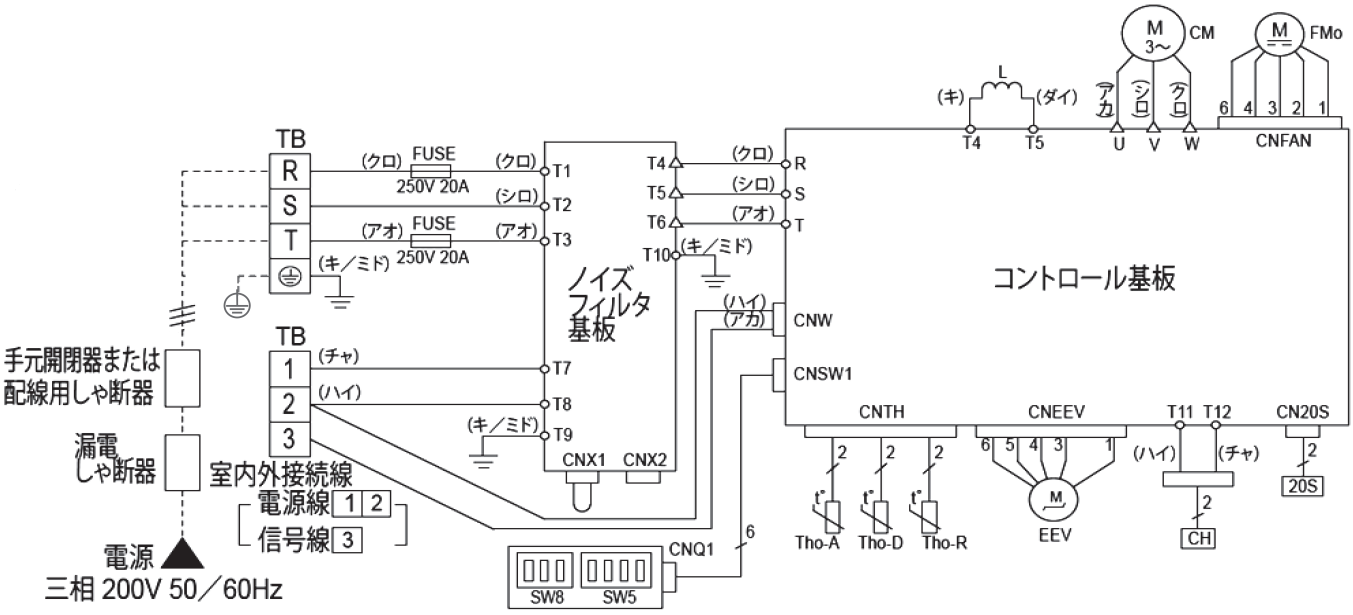
FDCVP406HK, 456HK, 506HK, 566HK, 636HK

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所	故障診断の参照先（記載ページ）
分類	詳細	No.			
FUSE（電源ヒューズ）	室外端子台ー室外サブ基板間の電源ヒューズ	FUSE 250V 20A	可	・サブ基板 ・コントロール基板 ・リアクタ（L）	・電源系統異常（1044 ～ 1046 ページ）
PCB1（コントロール基板）	スイッチング電源回路	F1 250V 2A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	・E5 運転中に室内外通信異常（1061 ページ） ・内機確認中（1052 ～ 1054 ページ参照）
	パワートランジスタ（IPM）電源回路	F2 250V 20A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	・E51 パワートランジスタ異常（1095 ページ）
	ファンモータ回路	F3 250V 1A	可	・コントロール基板 ・室外ファンモータ	・E48 室外ファンモータ不良（1091 ページ） ・インバータ過電圧異常（1089 ページ）
	PAM 駆動回路	F4 250V 10A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	―
	リレー（機能品）出力回路	F5 250V 1A	可	・コントロール基板 ・20S、CH	―
PCB2（サブ基板）	内機渡り線接続回路	F10 250V 10A	可	・サブ基板 ・室内接続端子台ー サブ基板間のハーネス ・室内接続配線	・電源系統異常（1044 ～ 1046 ページ）



FDCVP406H, 456H, 506H, 566H, 636H

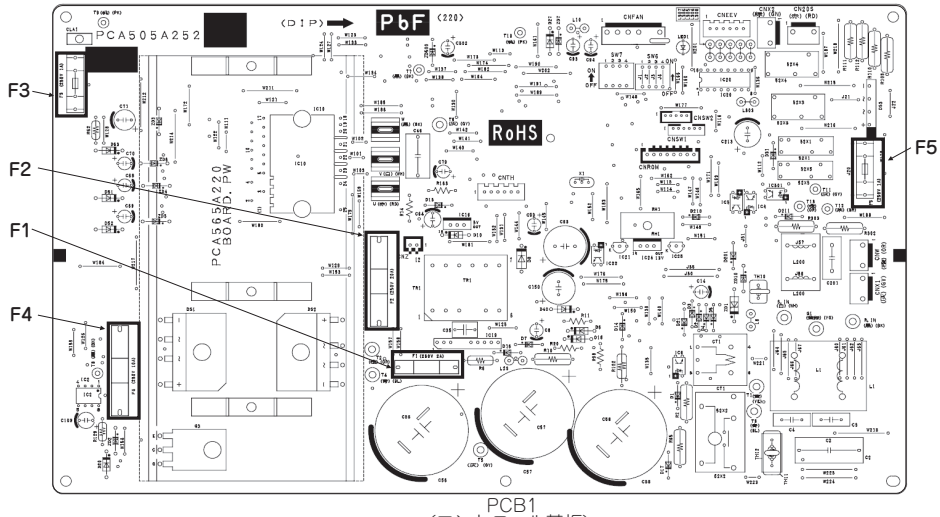
ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所	故障診断の参照先（記載ページ）
分類	詳細	No.			
FUSE（電源ヒューズ）	室外端子台ー室外サブ基板間の電源ヒューズ	FUSE 250V 20A	可	・ノイズフィルタ基板 ・コントロール基板 ・リアクタ（L）	・電源系統異常（1044 ～ 1046 ページ） ・電源欠相（1076・1077 ページ）
PCB1（コントロール基板）	スイッチング電源回路	F1 250V 2A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	・E5 運転中に室内外通信異常（1061 ページ） ・内機確認中（1052 ～ 1054 ページ参照）
	パワートランジスタ（IPM）電源回路	F2 250V 20A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	・E51 パワートランジスタ異常（1095 ページ）
	ファンモータ回路	F3 250V 1A	可	・コントロール基板 ・室外ファンモータ	・E48 室外ファンモータ不良（1091 ページ）
	PAM 駆動回路	F4 250V 10A	不可（はんだ実装）	・コントロール基板	―
	リレー（機能品）出力回路	F5 250V 1A	可	・コントロール基板 ・20S、CH	―
PCB2（ノイズフィルタ基板）	内機渡り線接続回路	F6 250V 5A	可	・ノイズフィルタ基板 ・室内接続端子台ー サブ基板間のハーネス ・室内接続配線	・電源系統異常（1044 ～ 1046 ページ）



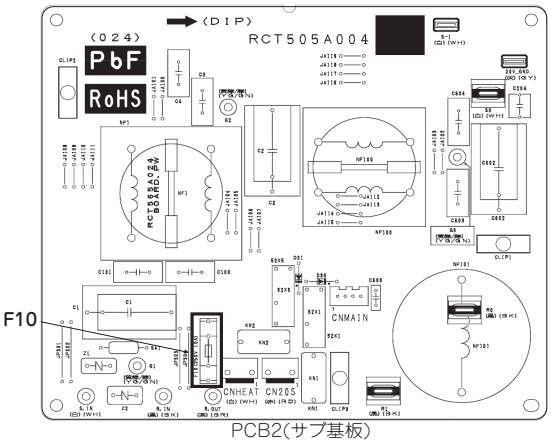
FDCVP806HK

ヒューズ搭載個所			ヒューズ単体	ヒューズ溶断時	故障診断の参照先(記載ページ)
分類	詳細	Ref No.	交換可否	故障可能性部品(※1)	
電装ボックス板金	主回路1次側	F	可	・室外ユニット PCB1 (コントロール基板) PCB2 (サブ基板) リアクタ	・電源系統異常 (1044～1046ページ) ・内機確認中 (1052～1054ページ)
PCB1 (コントロール基板)	スイッチング電源 1次側	F1	不可 (はんだ実装)	・室外ユニット PCB1 (コントロール基板)	・内機確認中 (1052～1054ページ)
	コンバータ回路	F2	不可 (はんだ実装)	・室外ユニット PCB1 (コントロール基板)	・E51 パワートランジスタ異常 (1095ページ) ・E59 圧縮機起動異常 (1102ページ)
	ファンモータ	F3	可	・室外ユニット PCB1 (コントロール基板) ファンモータ	・E47 インバータ過電圧異常 (1089ページ) ・E48 室外ファンモータ不良 (1091ページ)
	PAM制御	F4	不可 (はんだ実装)	・室外ユニット PCB1 (コントロール基板)	・—
	機能品	F5	可	・室外ユニット PCB1 (コントロール基板) 20S または クランクケースヒータ または それら接続ハーネス	・—
PCB2 (サブ基板)	室内ユニット－室外ユニット 電源供給	F10	可	・室外ユニット PCB2 とTB2の接続ハーネス TB2と室内ユニットの接続ハーネス	・電源系統異常 (1044～1046ページ)

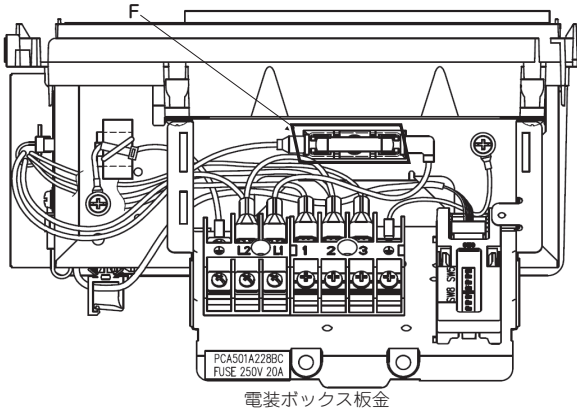
(※1) ヒューズを経由して電源供給されている部品示しています。



PCB1
(コントロール基板)



PCB2(サブ基板)

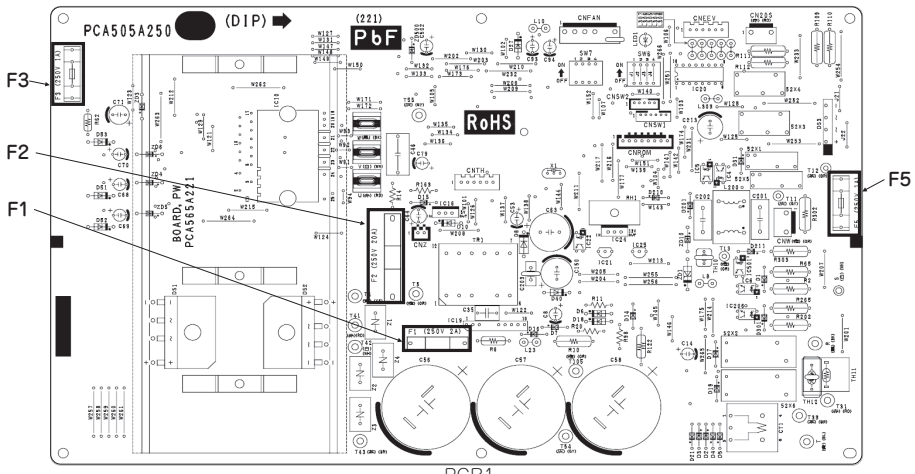


電装ボックス板金

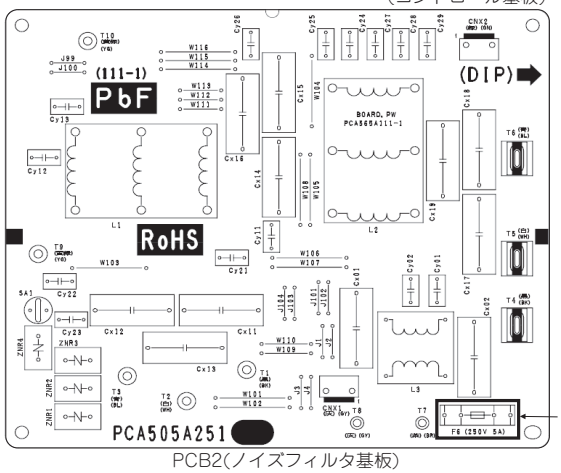
FDCVP806H

ヒューズ搭載個所			ヒューズ単体交換可否	ヒューズ溶断時故障可能性部品(※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
分類	詳細	Ref No.			
電装ボックス板金	主回路1次側	F1	可	・室外ユニット PCB1（コントロール基板） PCB2（ノイズフィルタ基板） リアクタ	・電源系統異常（1044～1046ページ） ・内機確認中（1052～1054ページ） ・E34 電源欠相（1076・1077ページ）
		F2	可		
PCB1 （コントロール基板）	スイッチング電源 1次側	F1	不可 （はんだ実装）	・室外ユニット PCB1（コントロール基板）	・内機確認中（1052～1054ページ）
	コンバータ回路	F2	不可 （はんだ実装）	・室外ユニット PCB1（コントロール基板）	・E51 パワートランジスタ異常（1095ページ） ・E59 圧縮機起動異常（1102ページ）
	ファンモータ	F3	可	・室外ユニット PCB1（コントロール基板） ファンモータ	・E48 室外ファンモータ不良（1091ページ）
	機能品	F5	可	・室外ユニット PCB1（コントロール基板） 20S または クランクケースヒータ または それら接続ハーネス	・—
PCB2 （ノイズフィルタ基板）	室内ユニット－室外ユニット 電源供給	F6	可	・室外ユニット PCB2 とTB2の接続ハーネス TB2と室内ユニットの接続ハーネス	・電源系統異常（1044～1046ページ）

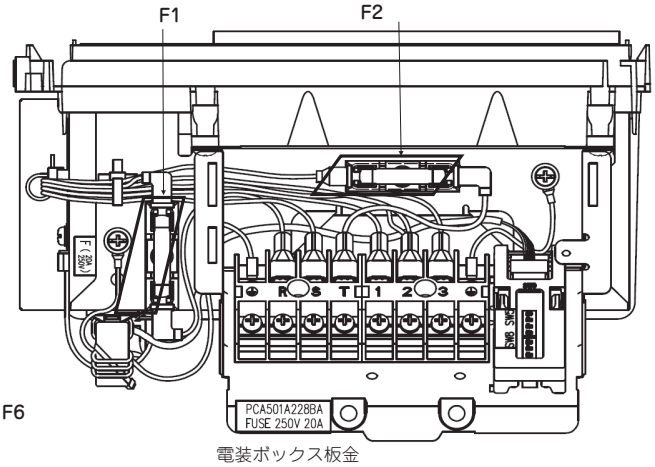
(※1) ヒューズを経由して電源供給されている部品示しています。



PCB1
（コントロール基板）



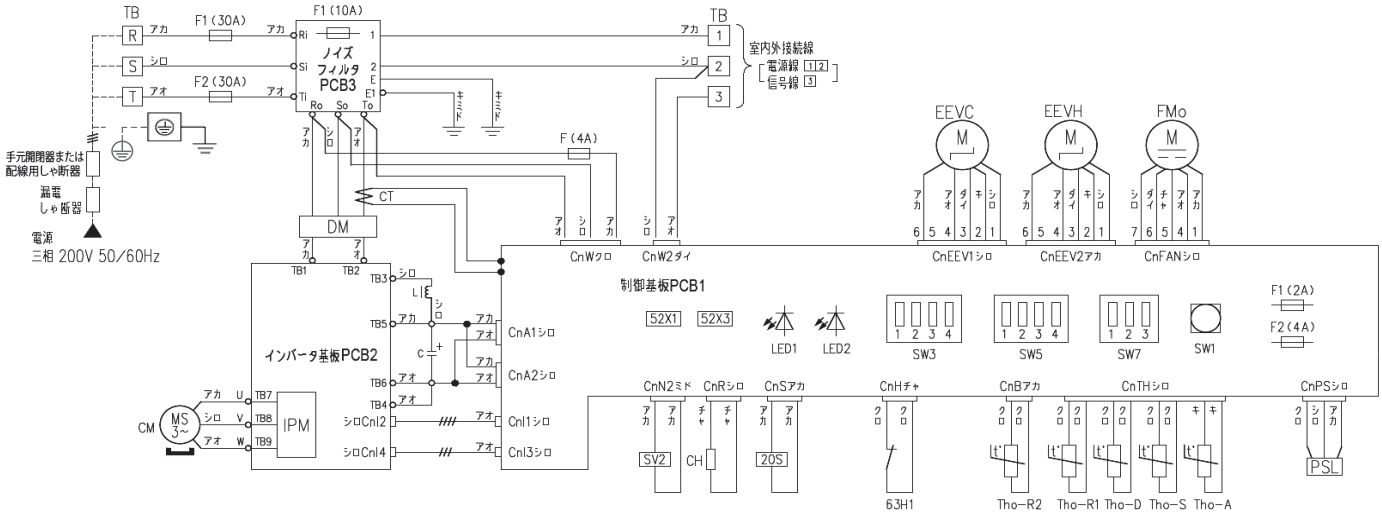
PCB2(ノイズフィルタ基板)



電装ボックス板金

FDCVP1126H, 1406H, 1606H

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所	故障診断の参照先（記載ページ）
分類	詳細	No.			
FUSE（電源ヒューズ）	室外端子台ー室外サブ基板間の電源ヒューズ	F1 250V 30A F2 250V 30A	可	・制御基板（PCB1） ・インバータ基板（PCB2） ・ノイズフィルタ基板（PCB3）	・電源系統異常（1044 ～ 1046 ページ） ・電源欠相（1076・1077 ページ）
FUSE（電源ヒューズ）	ノイズフィルタ基板ー制御基板間のヒューズ（リレー（機能品）出力回路）	F3 250V 4A	可	・制御基板（PCB1） ・63H1、CH、20S、SV2	・E40 63H1 作業（1084 ページ）
PCB1（制御基板）	スイッチング電源回路	F1 250V 2A	不可（はんだ実装）	・制御基板（PCB1）	・E5 運転中に室内外通信異常（1061 ページ） ・内機確認中（1055 ～ 1057 ページ参照）
	ファンモータ回路	F2 250V 4A	可	・制御基板（PCB1） ・インバータ基板（PCB2）	・E48 室外ファンモータ不良（1092 ページ）
PCB3（ノイズフィルタ基板）	内機渡り線接続回路	F1 250V 10A	可	・ノイズフィルタ基板（PCB3） ・室内接続端子台ーサブ基板間のハーネス ・室内接続配線	・電源系統異常（1044 ～ 1046 ページ）

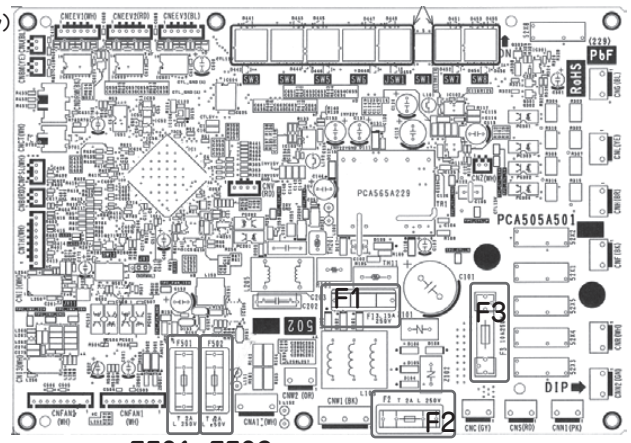


FDCVP2246H, FDCVP2806H

ヒューズ搭載個所			ヒューズ単体交換可否	ヒューズ溶断時故障可能性部品(※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
分類	詳細	参照No.			
PCB1（コントロール基板）	スイッチング電源 1次側回路	F1	不可（はんだ実装）	・PCB1（コントロール基板）	・内機確認中（1055～1057ページ）
	リレー(機能品)出力回路	F2	可	・PCB1（コントロール基板） ・20S, CH, DPH, SV1,SV2	—
	内外渡り線接続回路	F3	可	・PCB1（コントロール基板） ・TB2 ・室内ユニット	・電源系統異常（1044～1046ページ）
	ファンモータ回路	F501 F502	可	・PCB1（コントロール基板） ・ファンモータ	・E48 室外ファンモータ不良（1092ページ）
PCB2（インバータ基板）	主回路1次側	F1	可	・PCB1（コントロール基板） ・PCB2（インバータ基板） ・リアクタ	・電源系統異常（1044～1046ページ） ・内機確認中（1055～1057ページ） ・E34 電源欠相（1076・1077ページ）
		F2	可		

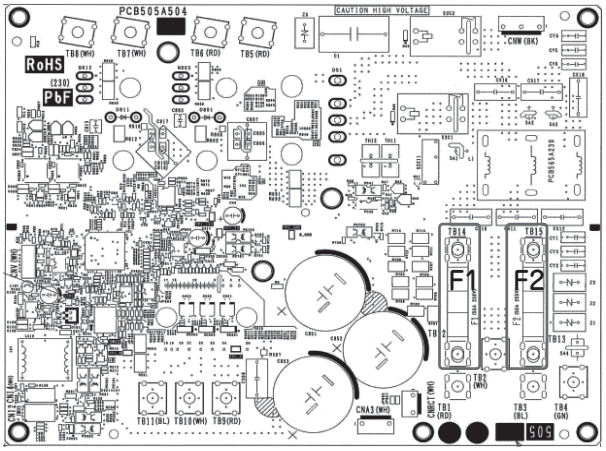
（※1）ヒューズを経由して電源供給されている部品を示しています。

PCB1（コントロール）
PCA505A502AB



F501 F502

PCB2（インバータ）
PCB505A505



1.15.5 リモコンによる異常運転データの確認

異常発生時の運転データを記憶し，リモコンから異常運転データの確認ができます。

(1) RC-DX3Dリモコンの場合

［操作手順］

①TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス･メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→ 「点検表示」→「異常時運転データ表示」の順に選択します。

②リモコンに接続されている室内ユニットが 1 台の場合は，以下の表示となります。

1). 異常がある場合：「データ読込み中」の後，異常時の運転データが表示されます。

表示内容

・異常コード

・番号およびデータ項目

2). 異常がない場合：「異常なし」を表示し，本モードを終了します。

③リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は，以下の表示となります。

1). 異常がある場合：「室内機選択」画面で対象室内ユニットを選択→「データ読込み中」の後，異常時の運転データが表示されます。

表示内容

・室内機 No.

・異常コード

・番号およびデータ項目

2). 異常がない場合：「異常なし」を表示し，本モードを終了します。

注「室内機選択」画面で接続台数が 1 ページを超える場合は，「次ページ」を選択してください。

④ 運転／停止 ボタンを押すと，TOP画面に戻ります。

◎設定の途中で，「戻る」をタッチすると，一回前の設定画面に戻ります。

注 異常運転データの確認は，リモコン2台で室内ユニットを運転する場合，親リモコンのみ操作可能です。（子リモコンからの操作はできません。）

■異常運転データ(機種により該当するデータがないものは，その項目は表示されません。)

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
05	室内熱交温度(Thi-R1)
06	室内熱交温度(Thi-R2)
07	室内熱交温度(Thi-R3)
08	室内ファン速調
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内膨張弁開度
12	室内運転積算時間
13	吹出温度
21	外気温度
22	室外熱交温度(Tho-R1)
23	室外熱交温度(Tho-R2)
24	圧縮機周波数
25	高圧
26	低圧
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	CT電流
30	SH制御値
31	実SH
32	実TDSH
33	圧縮機保護ステータスNo.
34	室外ファン速調
35	63H1 ON／OFF
36	デフロスト ON／OFF
37	圧縮機運転積算時間
38	室外膨張弁開度(EEVC)
39	室外膨張弁開度(EEVH)

番号33 圧縮機保護ステータスNo.（左記異常運転データ）詳細

圧縮機回転数保護制御内容
異常検知制御内容

【リモコン運転データ表示】
・解除時まで表示
・重複時は，表示データの一番若い番号を表示する。

【共通事項】
暖房時：室内回転数ダウン信号による保護制御中の場合は“4”を表示する。
冷房･除湿時：室内回転数ダウン信号による保護制御中の場合は“8”を表示する。

表示内容	No.
正常	“0”
ＴＤ保護	“1”
ＴＤ異常	“2”
カレントセーフ	“3”
高圧保護	“4”
高圧異常	“5”
低圧保護	“6”
低圧異常	“7”
アンチフロストまたは露付き保護	“8”
カレントカット	“9”
パワートランジスタ保護	“10”
パワートランジスタ異常（過熱）	“11”
圧力比制御	“12”
出力カットオフ（ノイズ停止）	“13”
露付き保護	“14”
２次カレントセーフ	“15”
圧縮機ロック停止または脱調停止	“16”
起動不良停止	“17”
アクティブフィルタ異常	“18”

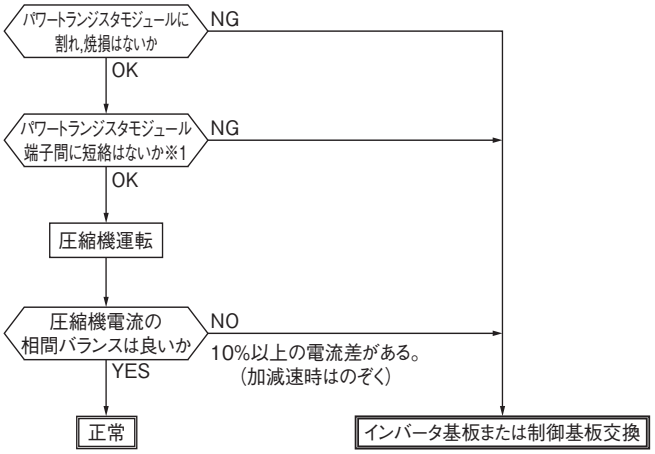
■メンテナンスコード

コード	内容
M1	お掃除パネル異常
M9	ドレンポンプ過電流検知

1.15.6 ワイヤレス仕様機の点検表示

エクシードハイパーシリーズをご覧ください。

1.15.7 パワートランジスタモジュール（含むドライブ回路）点検方法



※1　パワートランジスタモジュール端子短絡点検要領

圧縮機の配線を外し，テスタで短絡チェックをしてください。
P-U, P-V, P-W
N-U, N-V, N-W
P-N 端子間を点検
各端子は下記の場所がテスタを当てやすいです。
P　：パワートランジスタ P 端子
N　：パワートランジスタ N 端子
U　：圧縮機への赤ハーネス先端
V　：圧縮機への白ハーネス先端
W　：圧縮機への黒または青ハーネス先端

パワートランジスタ短絡確認
インバータ不良判定用診断チェッカを持っていないとき，パワートランジスタ部品の端子間を測定しパワートランジスタ不良かどうか診断する。

<table>
<tr><th colspan="2">テスタ</th><th colspan="4">正常な値(Ω)</th></tr>
<tr><th>端子(+)</th><th>端子(−)</th><th>FDCVP406〜636</th><th>FDCVP806</th><th>FDCVP1126〜1606</th><th>FDCVP2246, 2806</th></tr>
<tr><td>P</td><td>N</td><td rowspan="2">0〜
（数値の上昇）</td><td rowspan="2">0〜
（数値の上昇）</td><td rowspan="2">約1M
約300〜400</td><td>約1M</td></tr>
<tr><td>N</td><td>P</td><td>約300〜400</td></tr>
<tr><td>P</td><td>U</td><td rowspan="3">数M
（数値の上昇）</td><td rowspan="3">数M
（数値の上昇）</td><td rowspan="3">0</td><td rowspan="3">0</td></tr>
<tr><td>P</td><td>V</td></tr>
<tr><td>P</td><td>W</td></tr>
<tr><td>N</td><td>U</td><td rowspan="3">約180k</td><td rowspan="3">約180k</td><td rowspan="3">約1.2M</td><td rowspan="3">約1.2M</td></tr>
<tr><td>N</td><td>V</td></tr>
<tr><td>N</td><td>W</td></tr>
<tr><td>U</td><td>P</td><td rowspan="3">約160k</td><td rowspan="3">約160k</td><td rowspan="3">約1.3M</td><td rowspan="3">約1.3M</td></tr>
<tr><td>V</td><td>P</td></tr>
<tr><td>W</td><td>P</td></tr>
<tr><td>U</td><td>N</td><td rowspan="3">約240k</td><td rowspan="3">約240k</td><td rowspan="3">0</td><td rowspan="3">0</td></tr>
<tr><td>V</td><td>N</td></tr>
<tr><td>W</td><td>N</td></tr>
</table>

測定値が0〜数kΩの場合は，素子が破損している可能性があるのでパワートランジスタ部品を交換してください。

※2 インバータ不良判定用診断チェッカ

◆チェック要領

(1) チェッカのセット手順

(a) 電源をOFFにします。(ブレーカOFF)

(b) 圧縮機のターミナルカバーを外して接続線(U, V, W)を外します。

(c) チェッカの配線(U：赤, V：白, W：黒)を外した接続配線端子部に接続します。

(2) 判定運転方法

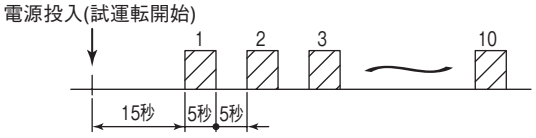
(a) 室外制御基板のスイッチSW8-3をONし電源を投入します。(FDCVP406～806形)
室外インバータ基板のスイッチJSW10-4をONし電源を投入します。(FDCVP1126～1606形)
室外制御基板のスイッチSW6-4をONし電源を投入します。(FDCVP2246, 2806形)

(b) 電源投入15秒後，LEDが5秒間点滅/消灯を10回繰り返します。

(c) 6個のLEDの点滅状態を確認します。

(d) LEDの点滅状態により判定

LEDの点滅状態	6個のLEDが同じ点滅をした場合	6個のLEDが消灯または数個のLED点滅の場合
インバータ	正常	不良

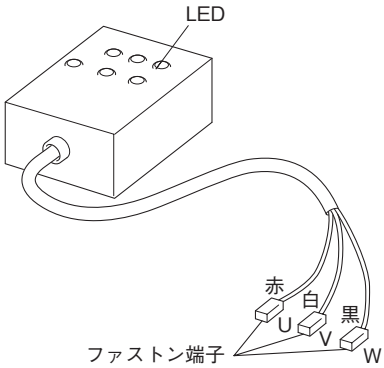


注 ▨ 部の動作区間は下図のLED点滅パターンを繰り返します。

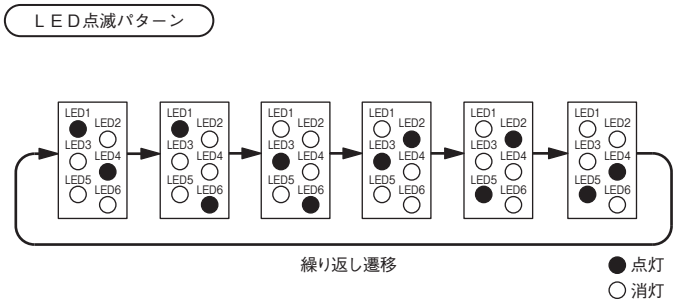
(e) 作業終了後は，
室外制御基板のスイッチSW8-3をかならず OFFしてください。(FDCVP406～806形)
室外インバータ基板のスイッチJSW10-4をかならず OFFしてください。(FDCVP1126～1606形)
室外制御基板のスイッチSW6-4をかならず OFFしてください。(FDCVP2246, 2806形)

■インバータ不良判定用診断チェッカ

品番	SA01927A	重工冷熱扱



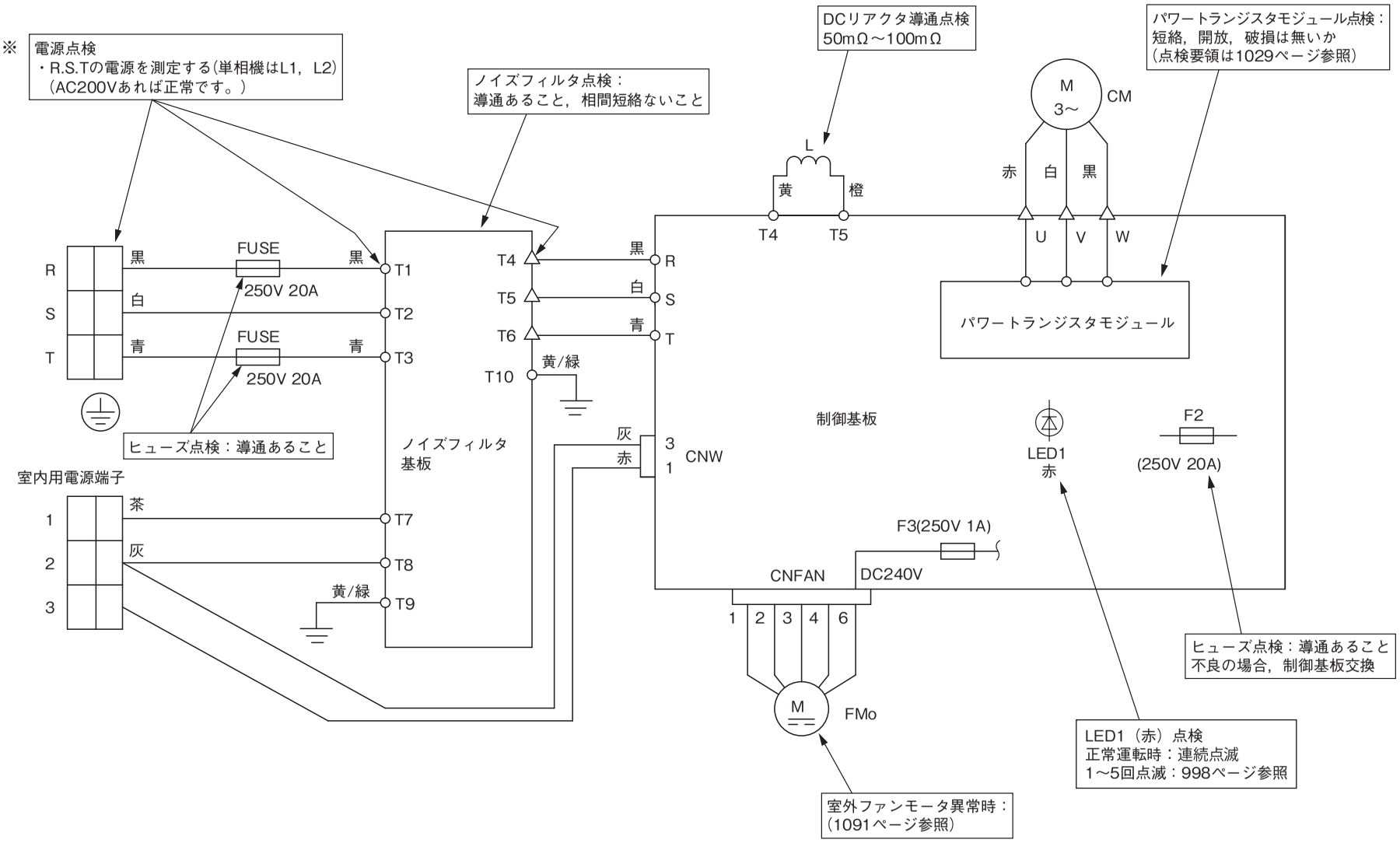
圧縮機接続配線端子と接続する。



◆FDCVP406～636形（本図は三相機を示します。単相機は電源部分が変わります。）

★室外ユニット点検ポイント

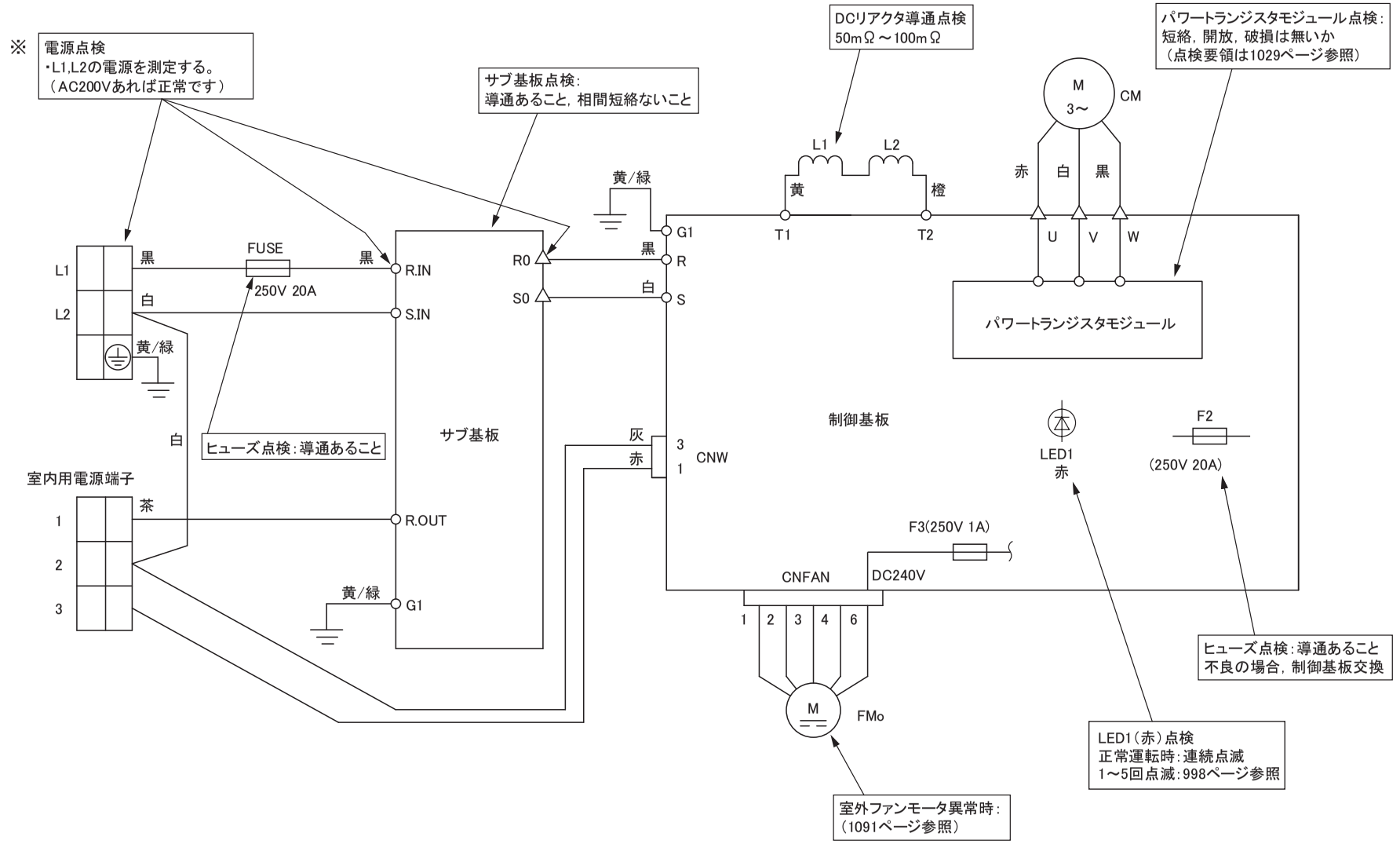
▷※印は電源ONにてチェックしてください。



◆FDCVP806HK

★室外ユニット点検ポイント

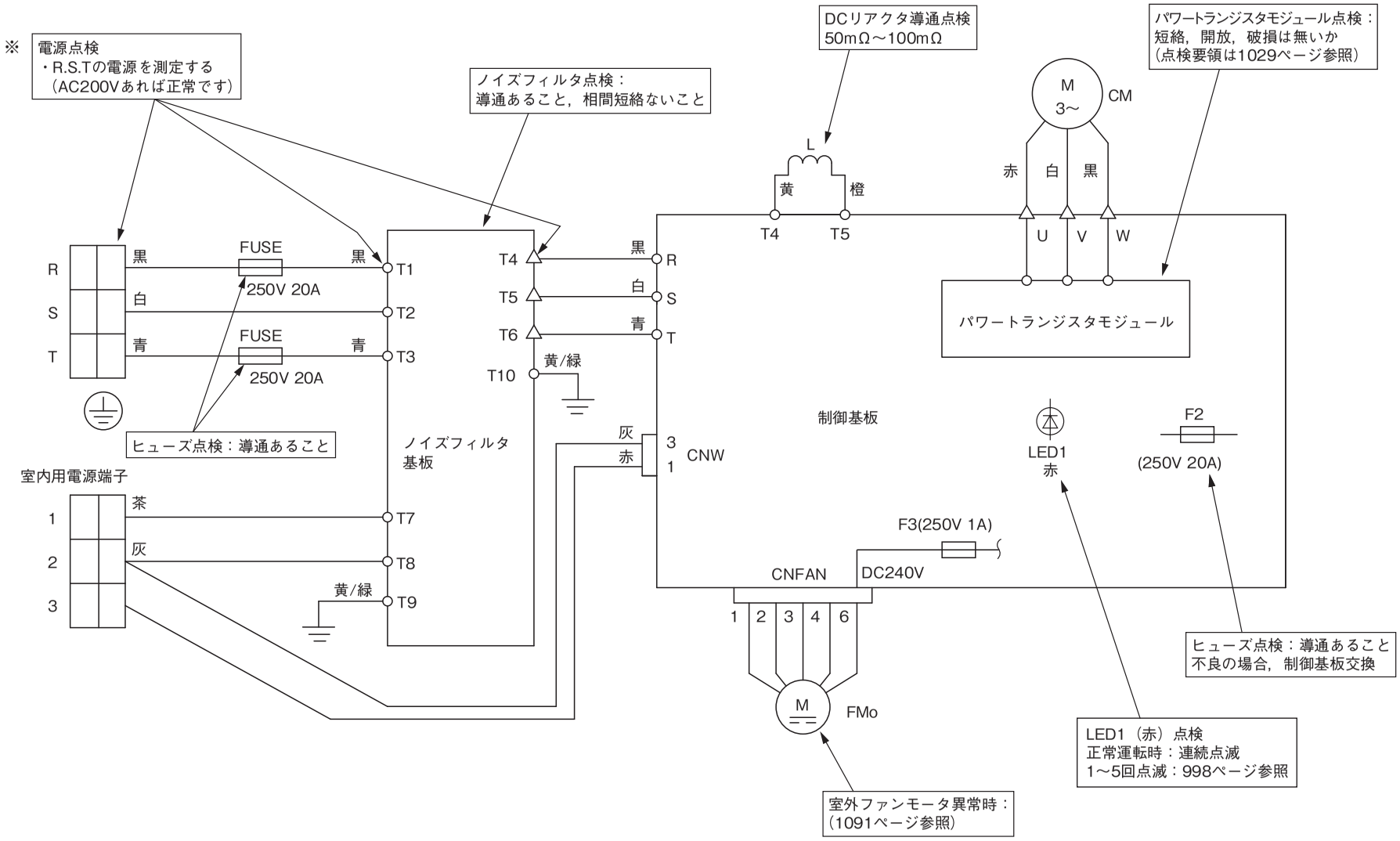
▷※印は電源ONにてチェックしてください。



◆FDCVP806H

★室外ユニット点検ポイント

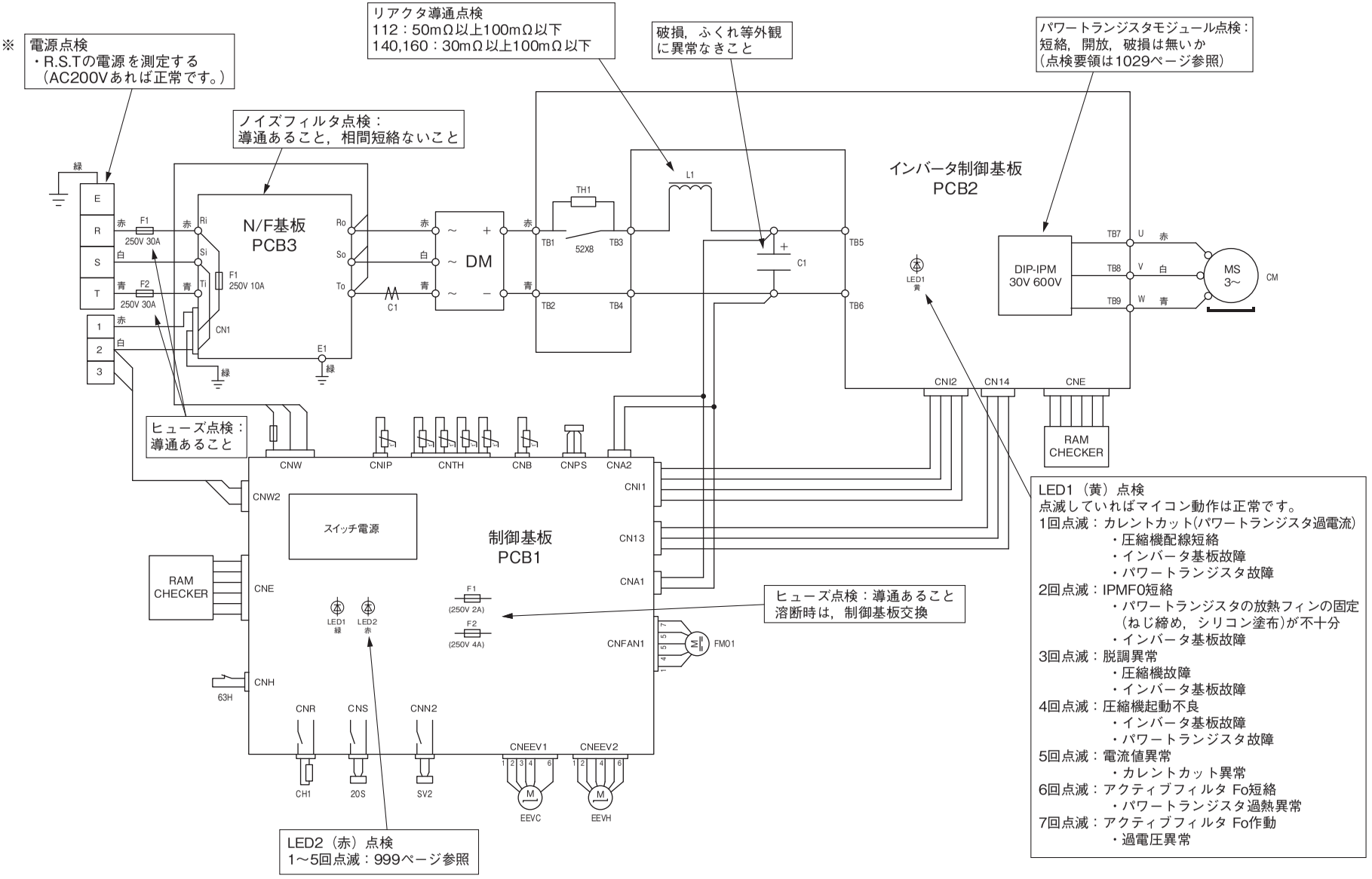
▷※印は電源ONにてチェックしてください。



◆FDCVP1126, 1406, 1606H形

★室外ユニット点検ポイント

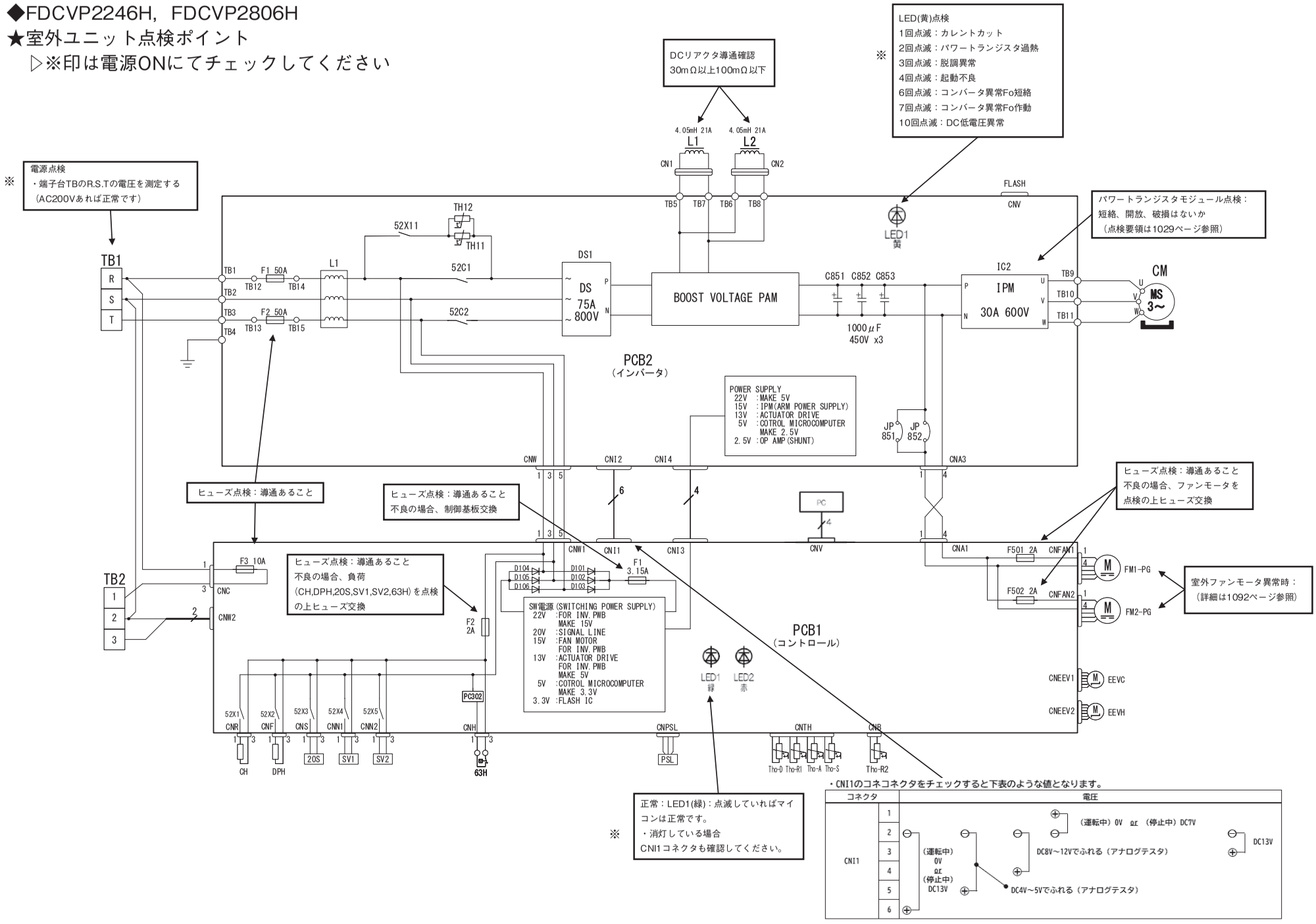
▷※印は電源ONにてチェックしてください。



◆FDCVP2246H，FDCVP2806H

★室外ユニット点検ポイント

▷※印は電源ONにてチェックしてください



1.15.9 故障診断フロー

(1) 故障内容一覧

リモコン表示	故障内容	記載ページ
なし	運転するが,冷えない	1037
なし	運転するが,暖まらない	1038
なし	漏電ブレーカ作動	1039
なし	音･振動が非常に大きい(その 1)	1040
なし	音･振動が非常に大きい(その 2)	1041
なし	音･振動が非常に大きい(その 3)	1042
なし	ルーバモータが回らない	1043
なし	電源系統異常(室内･外基板への電源供給)	1044 ～ 1046
なし	電源系統異常(リモコンへの電源供給)	1047・1048
なし	ラクリーナパネルが動かない	1049
内機確認中	室内機点検表示(リモコン1台接続または2台接続時)	1050
内機確認中	室内機点検表示(リモコン3台以上接続)	1051
内機確認中	内機確認中(FDCVP406～806形)	1052 ～ 1054
内機確認中	内機確認中(FDCVP1126～2806形)	1055 ～ 1057
無表示	無表示	1058
E1	リモコン通信回路不良	1059・1060
E5	運転中に室内外通信異常	1061
E6	室内熱交温度センサ不良	1062
E7	吸込温度センサ不良	1063
E8	暖房過負荷運転	1064
E9	ドレン不良	1065
E10	1リモコン複数台制御時接続台数オーバー(17台以上)	1066
E11	リモコン通信アドレス設定不良	1067
E14	親子室内ユニット間通信異常	1068
E16	室内ファンモータ不良(FDESシリーズは除く)	1069・1070
E19	運転モード設定不良	1071
E20	室内ファンモータ回転不良(FDESシリーズは除く)	1072・1073
E23	冷媒漏えい検知(FDFシリーズ)	1074
E28	リモコン温度センサ不良	1075
E34	電源欠相(三相機のみ)	1076・1077
E35	冷房過負荷運転(FDCVP406～806形)	1078
E35	冷房過負荷運転(FDCVP1126～2806形)	1079
E36	吐出管温度異常	1080
E37	室外熱交温度センサ不良	1081
E38	外気温度センサ不良	1082
E39	吐出管温度センサ不良	1083
E40	63H1作動(FDCVP1126～2806形)	1084
E41	パワートランジスタ電源電圧低下(FDCVP1126～2806形)	1085
E42	カレントカット	1086・1087
E45	インバータ通信異常(FDCVP1126～2806形)	1088
E47	インバータ過電圧異常(FDCVP406～806形の単相機のみ)	1089
E47	アクティブフィルタ異常(FDCVP1126～2806形)	1090
E48	室外ファンモータ不良(FDCVP406～806形)	1091
E48	室外ファンモータ不良(FDCVP1126～2806形)	1092
E49	低圧圧力異常または低圧圧力センサ不良(FDCVP1126～2806形)	1093・1094
E51	パワートランジスタ異常(FDCVP406～806形)	1095
E51	インバータ･ファンモータ異常(FDCVP1126～2806形)	1096
E53	吸入管温度センサ不良(FDCVP1126～2806形)	1097
E54	低圧圧力センサ不良(FDCVP1126～2806形)	1098
E57	冷媒量不足または操作弁閉検出	1099
E58	カレントセーフ(FDCVP406～806形)	1100
E58	圧縮機脱調異常(FDCVP1126～2806形)	1101
E59	圧縮機起動異常(FDCVP406～806形)	1102・1104
E59	圧縮機起動異常(FDCVP1126～2806形)	1103・1104
E60	圧縮機ロータロック異常(FDCVP406～ 806形)	1105
冷媒センサーが故障しています	冷媒センサ故障(FDFシリーズ)	1106
冷媒センサーが外れています	冷媒センサ外れ(FDFシリーズ)	1107

(2) 故障診断

表示
リモコン：なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容
運転するが，冷えない

1. 対象機種

全機種

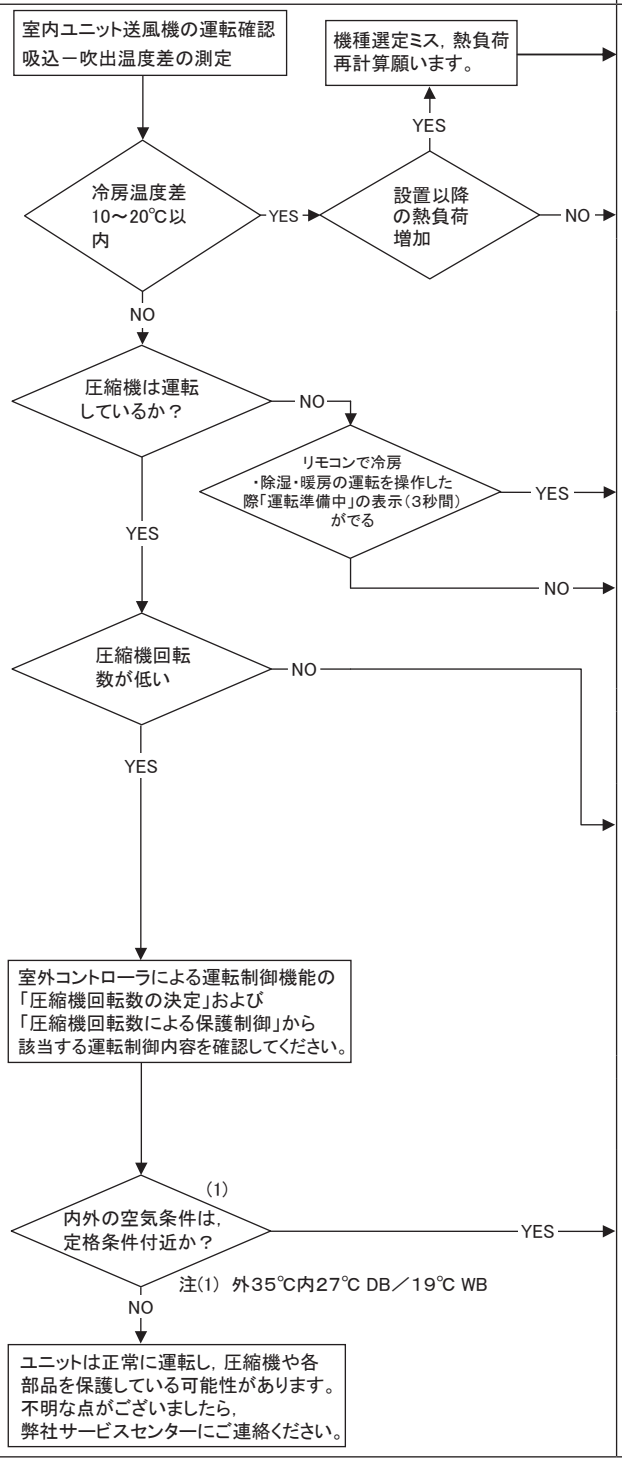
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・圧縮機の圧縮不良
・膨張弁動作不良
・インバータ不良

5. 故障診断と処置



注記：

表示
リモコン：なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

運転するが，暖まらない

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・四方切換弁動作不良
・圧縮機の圧縮不良
・膨張弁動作不良
・インバータ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室内ユニット送風機の運転確認 吸込－吹出温度差の測定	
機種選定ミス，熱負荷再計算願います。	増設の検討が必要です。
暖房温度差 10～30℃以内	
YES	
設置以降の熱負荷増加	
NO	正常です。 （本機は，電源リセット後再スタートする場合圧縮機ドーム下温度検知によりソフトスタートします。）
圧縮機は運転しているか？	
NO	
リモコンで冷房・除湿・暖房の運転を操作した際「運転準備中」の表示（3秒間）がでる	圧縮機の冷凍機油保護制御が作動しています。制御内容は，マイコン制御機能の圧縮機始動制御をご覧ください。
YES	
NO	異常検出制御により圧縮機を停止させている可能性があります。 マイコン制御機能の圧縮機回転数による異常停止制御の内容をご確認ください。
圧縮機回転数が低い	
NO	下記点検を行う ・軽度フィルタの詰り ・軽度熱交換器の汚れ ・軽度ショートサーキット ・軽度冷媒量過不足 ・圧縮機圧縮不良 該当する運転制御より原因と思われる箇所の点検を行う。
YES	
室外コントローラによる運転制御機能の「圧縮機回転数の決定」および「圧縮機回転数による保護制御」から該当する運転制御内容を確認してください。	
(1) 内外の空気条件は，定格条件付近か？	
YES	下記は参考にしてください。 ・重度のフィルタ詰り ・重度の熱交換器の汚れ ・重度のショートサーキット ・重度の冷媒量過不足 ・圧縮機保護始動中 ・室内ユニットファンタップ ・サイレントモードの有効設定
注(1)　外7℃ 内20℃ DB	
NO	
ユニットは正常に運転し，圧縮機や各部品を保護している可能性があります。 不明な点がございましたら， 弊社サービスセンターにご連絡ください。	

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	消灯

内容

漏電ブレーカ作動

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

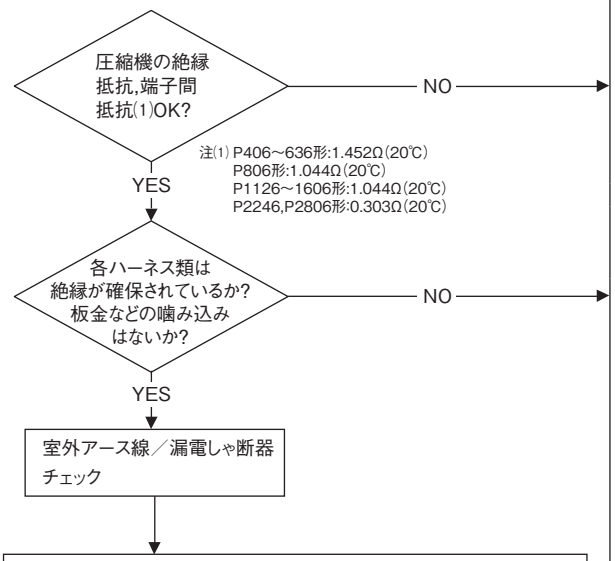
3. 異常発生条件

4. 予想原因

・圧縮機不良
・ノイズ

5. 故障診断と処置

診　断	処　置



室外アース線／漏電しゃ断器チェック

①アース線は,室外ユニットのアースねじ部から配電盤のアース端子まで, 単独の線で工事してください。(他のアース線との接続はしないでください)
②漏電しゃ断器自体の誤作動を防止するため,高調波対応品であるか確認してください。

※圧縮機の絶縁抵抗について
●据付直後, もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合, 圧縮機に冷媒が溜まることにより,絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく,漏電ブレーカが作動する場合は,以下の事項を確認ください。
①電源を投入し,6時間程度経過後,絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより,圧縮機に通電加熱を行い,圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており,漏電ブレーカの誤動作を防止するため,高調波対応品を使用してください。

注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい（その1）
	室内	―	―	
	室外	―	―	

1．対象機種

全機種

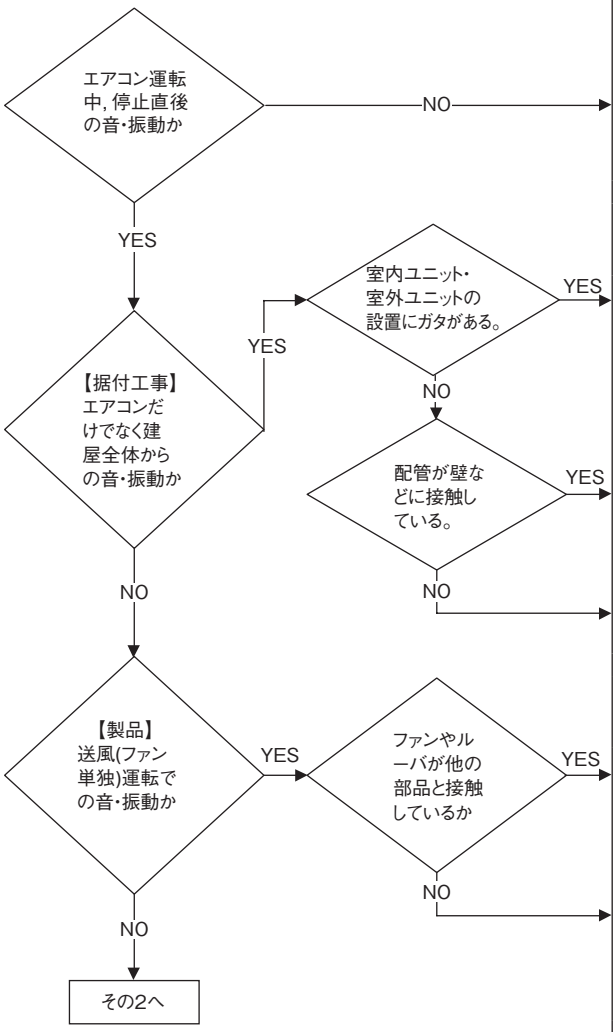
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤
	室内	―	―
	室外	―	―

内容

音・振動が非常に大きい（その2）

1．対象機種

全機種

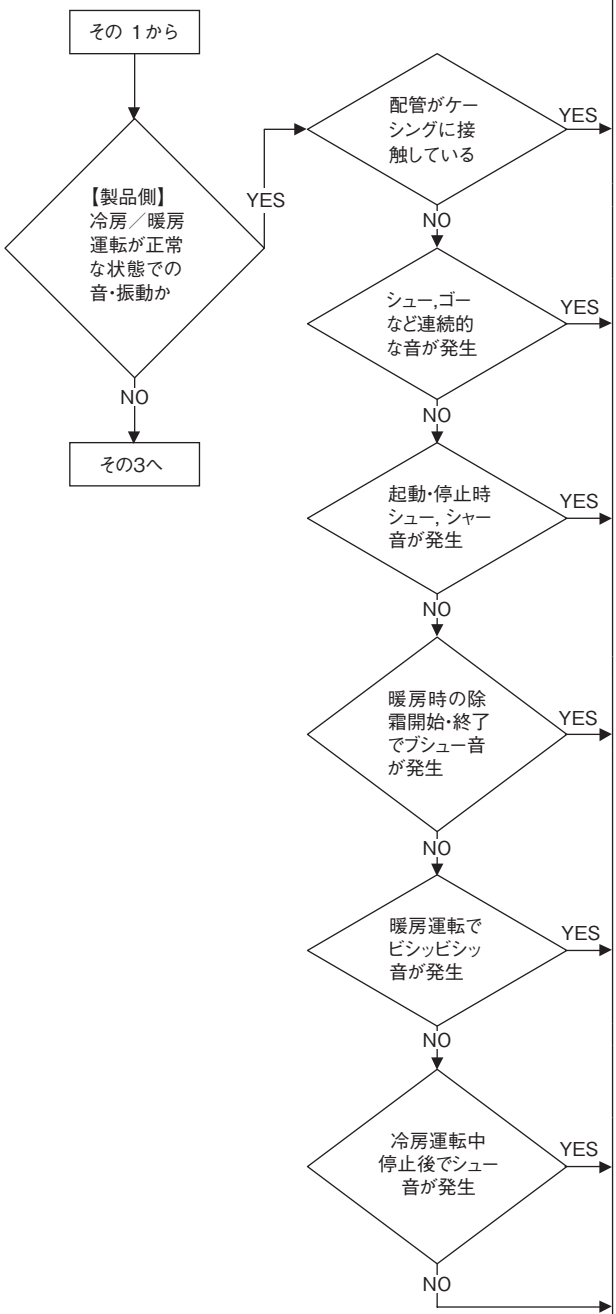
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	－	－
室外	－	－

内容

音・振動が非常に大きい（その3）

1．対象機種

全機種

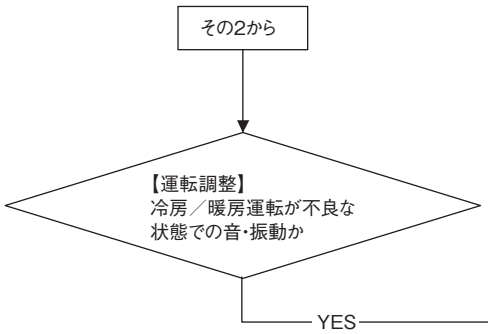
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	冷房／暖房運転で温度が適正でない不良な状態の場合，以下の懸念があります。 ・冷媒の過多充填 ・冷媒の不足充填 ・空気，窒素などの混入 このため，冷媒回収、真空乾燥，冷媒再充填を実施してください。 ※音・振動はさまざまなことが原因となって発生するため，上記の内容に当てはまらない場合があると思われます。 その場合，以下の点を確認・メモした後弊社にご相談願います。 ・室内／室外ユニット ・冷房／暖房／送風 ・起動／停止／運転中 ・運転状態 （室内外温度，圧力） ・発生時間 ・圧縮機回転数，熱交温度，電子膨張弁開度等のリモコンによる運転データ ・音色 ・その他気付き事項

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

ルーバモータが回らない

1. 対象機種

オートスイング機能付機種のみ

2. 異常検出方法

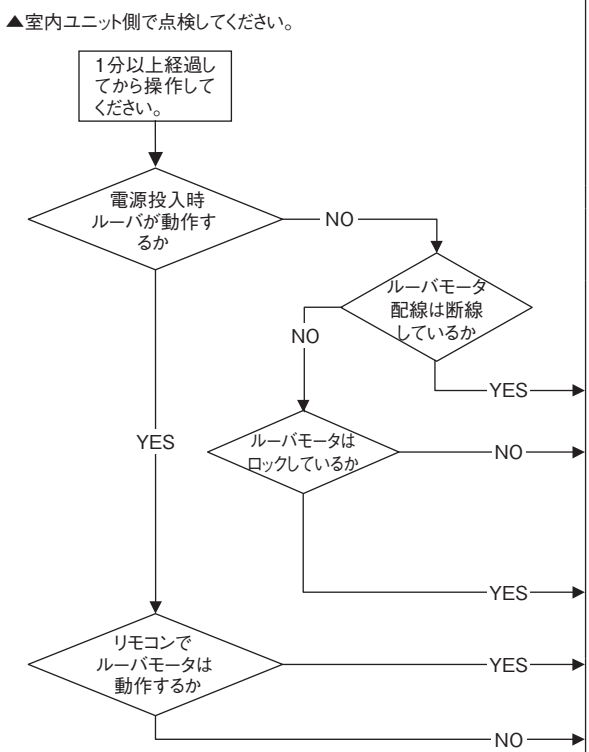
3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ルーバモータ
・ルーバモータ配線断線
・室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置



注記：

表示 リモコン： なし	LED	緑	赤
	室内	消灯	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内・外基板への電源供給）

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK
シリーズのみ

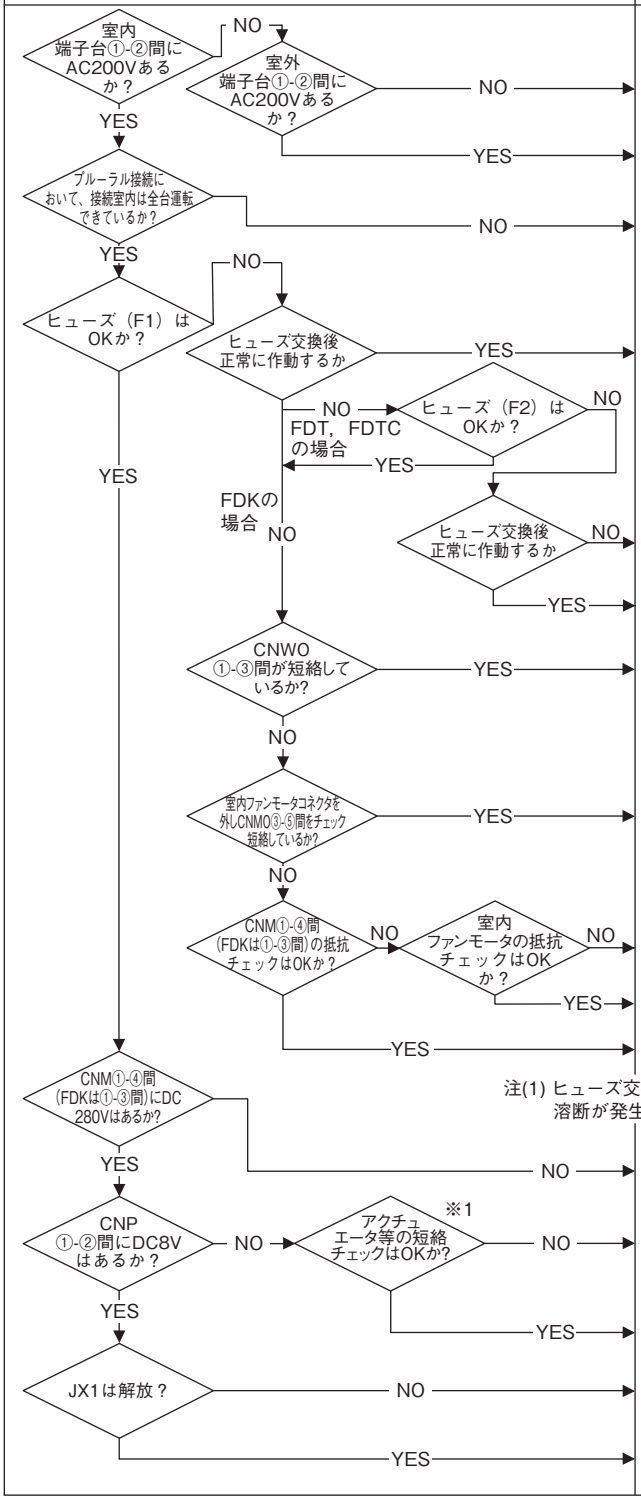
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・渡り配線の誤接続または断線
・ヒューズの断線
・室内ファンモータ不良
・室外制御基板不良
・室内ユニット基板不良
・アクチュエータ等不良

5．故障診断と処置



注記：※1 CNWO, CNW3を除くコネクタを，一個ずつ外していき電源投入後にCNP①-②間にDC8Vがあるか確認。
・YES：コネクタを外しても，CNP①-④間にDC8Vがない。
・NO ：コネクタを外しても，CNP①-④間にDC8Vがある。

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤
	室内	消灯	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内・外基板への電源供給）

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK，FDES シリーズ以外の機種

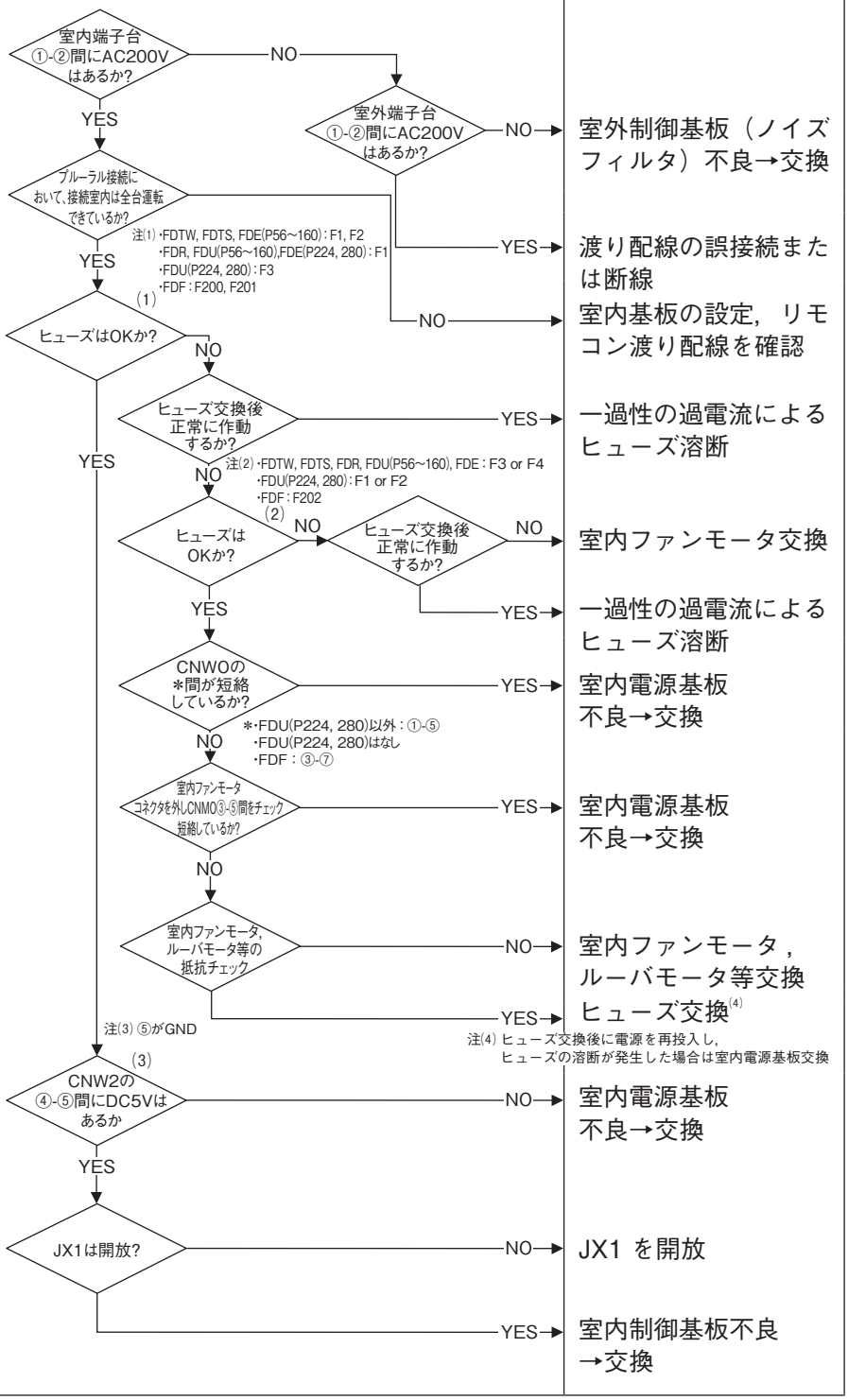
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

- 渡り配線の誤接続または断線
- ヒューズの断線
- 室内ファンモータ，ルーバモータ不良
- 室内電源基板不良
- ハーネス断線
- 室内制御基板不良
- 室外制御基板（ノイズフィルタ）不良

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内・外基板への電源供給）

1. 対象機種

FDES シリーズのみ

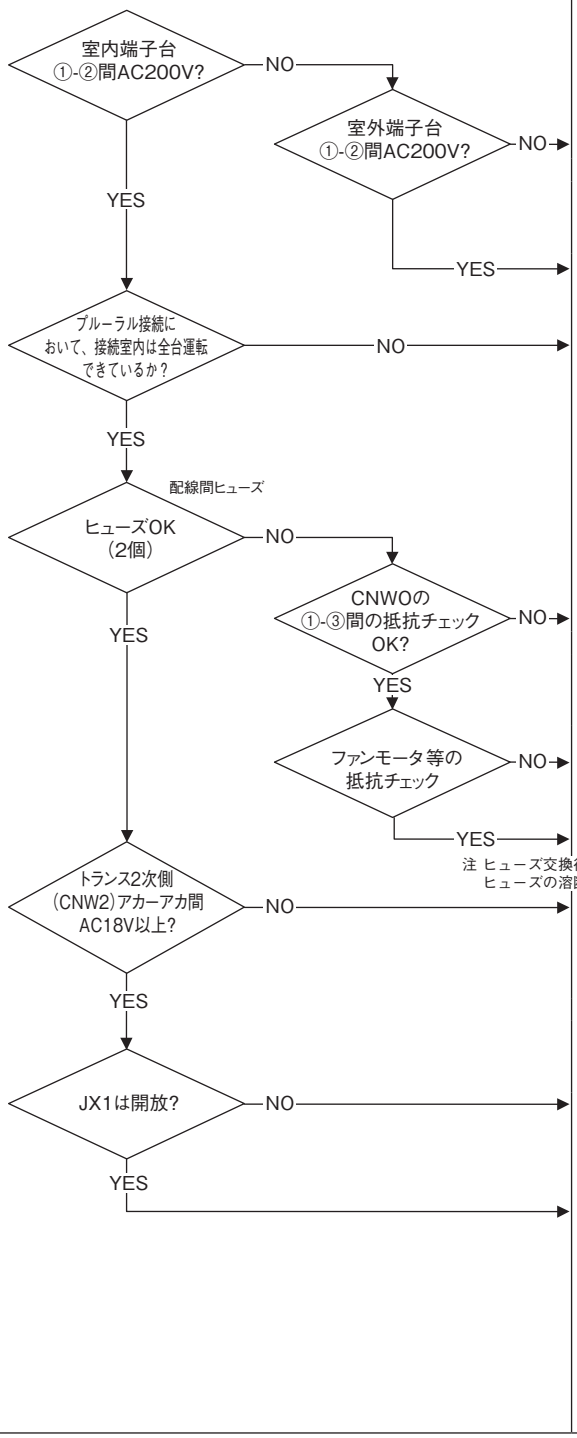
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

- 渡り配線，誤接続または断線
- ヒューズの断線
- トランスの故障
- 室内電源基板不良
- ハーネス断線
- 室内制御基板不良
- 室外制御基板(ノイズフィルタ）不良

5. 故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（リモコンへの電源供給）

1．対象機種

全機種
（FDES シリーズは除く）

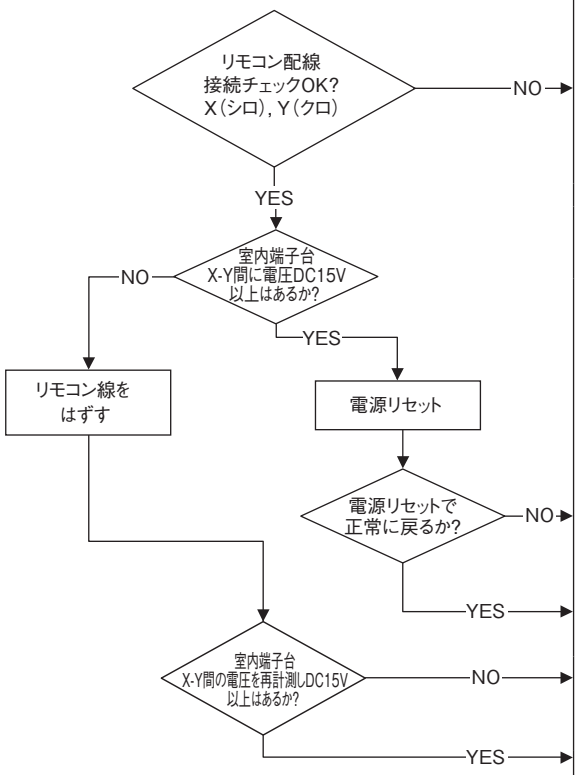
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・リモコン線断線／短絡
・リモコン不良
・ノイズ誤動作
・ハーネス断線
・室内制御基板不良

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（リモコンへの電源供給）

1．対象機種

FDES シリーズのみ

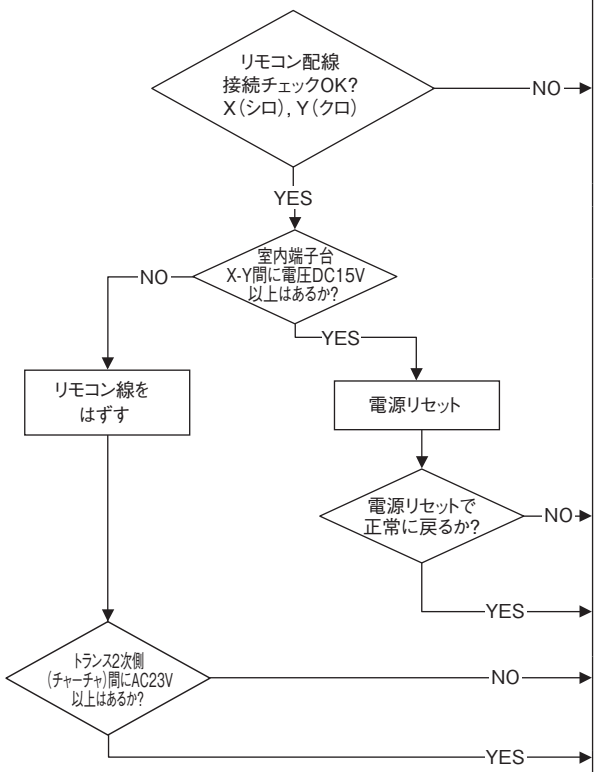
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・リモコン線断線／短絡
・リモコン不良
・ノイズ誤動作
・ハーネス断線
・室内制御基板不良
・トランス不良

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	消灯

内容

ラクリーナパネルが動かない

1. 対象機種

FDT, FDTW, FDE シリーズのみ

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

- ワイヤゆるみ検知機構が働いている(FDT シリーズのみ)
- 誤配線
- 誤接続
- ラクリーナモータ不良
- ワイヤの絡まり
- ヒューズ切れ(FDTW, FDE のみ)
- ラクリーナ基板不良
- 室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
リモコンでラクリーナ昇降スイッチを押してもラクリーナモータが動かない? → NO → リモコンでラクリーナ昇降スイッチを押すとラクリーナモータは動くが,グリルが降りてこない → YES	ワイヤが絡んでいる可能性があります。ワイヤの巻かれたスプールごと交換してください。
(YES) ワイヤが緩んでいる?(1) → YES	正常です。ワイヤが緩んでいるとワイヤの絡まり防止のため，動きません。障害物等を取除き，ワイヤが張った状態で，再度操作してください。
(NO) 降下長さが0mになっている? → YES	ワイヤードリモコンを用いて，降下長さを所望の長さに設定してください。
(NO) 配線は接続されているか? → NO	電源・信号線を接続してください。信号線を接続する場合は，コネクタの色を合わせ，誤接続しないように注意してください。
(YES) ラクリーナ基板のヒューズが断線しているか? → YES	ヒューズを交換してください。
(NO) ラクリーナモータが断線しているか? → YES	モータ不良→交換
→ NO	ラクリーナ基板または室内制御基板不良→交換

注(1)　FDTシリーズの場合のみ

注記:Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）の子機の場合, 最大 4.5 秒の動作遅れがあります。

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

室内機点検表示

（リモコン 1 台接続または 2 台接続時）

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

電源投入後 ,30 分以上室内ユニットと通信できない。（リモコン側）

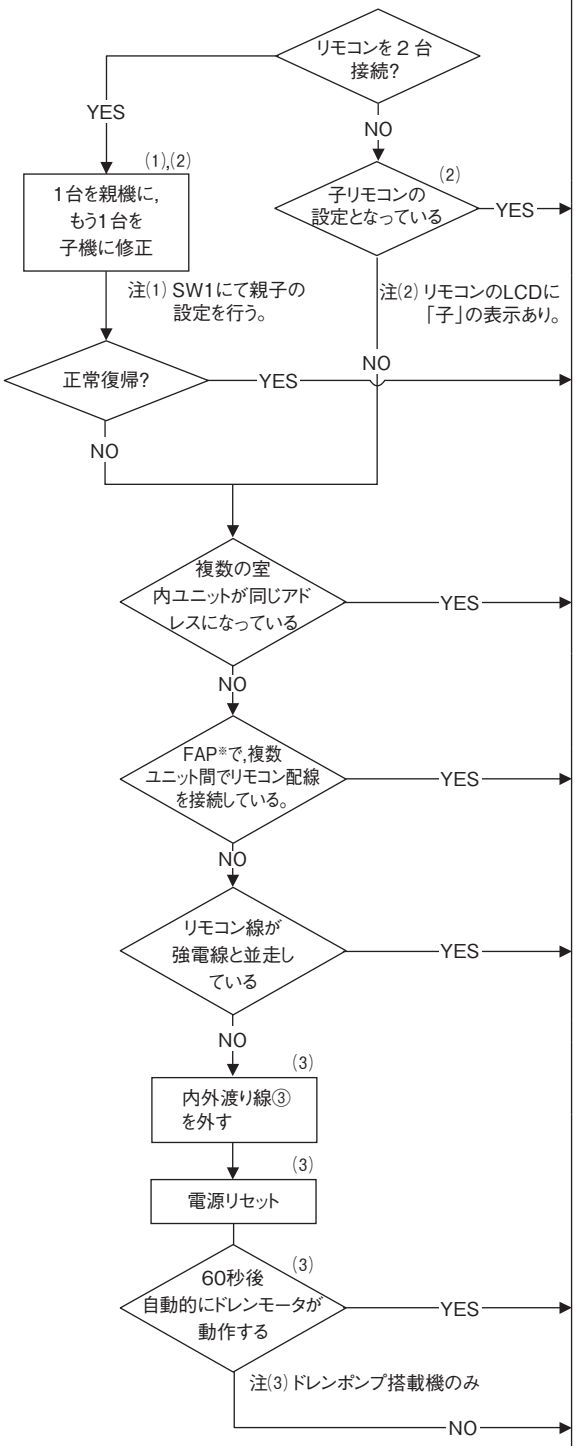
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・設定不良
・周囲環境
・リモコン通信回路不良
・室内制御基板不良
・誤接続

5．故障診断と処置



注記：リモコン表示は「内機確認中」から 30 分後，異常検出すると「室内機点検」に表示が変わります。
※ FAP … Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

室内機点検表示
（リモコン３台以上接続）

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

電源投入後，30 分以上室内ユニット通信できない（リモコン側）

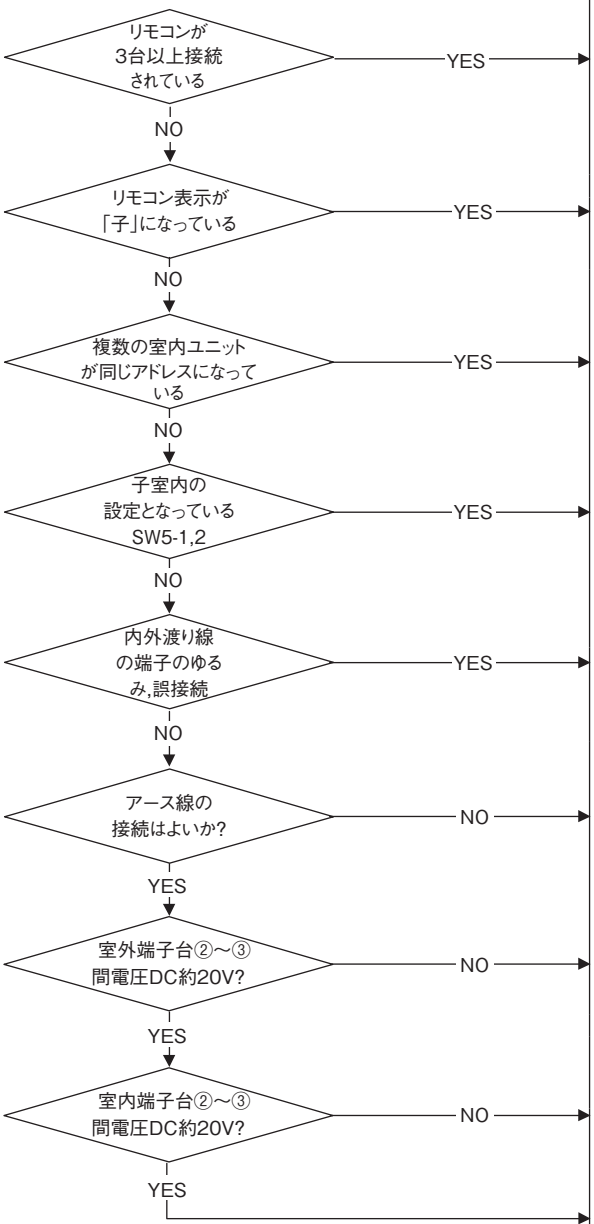
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・設定不良
・周囲環境
・リモコン通信回路不良
・室外制御基板不良
・室内制御基板不良

5．故障診断と処置



注記：リモコン表示は「内機確認中」から 30 分後，異常検出すると「室内機点検」に表示が変わります。
※ FAP … Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）

表示	LED	緑	赤	内容	内機確認中(1/3)
リモコン:内機確認中	室内	連続点滅	消灯		(FDCVP406 ～ 806形のみ)
	室外	―	2回点滅		

1. 対象機種

FDCVP406 ～ 806形

(電源投入後5分待ってもリコモンLCD「内機確認中」表示のままの場合)

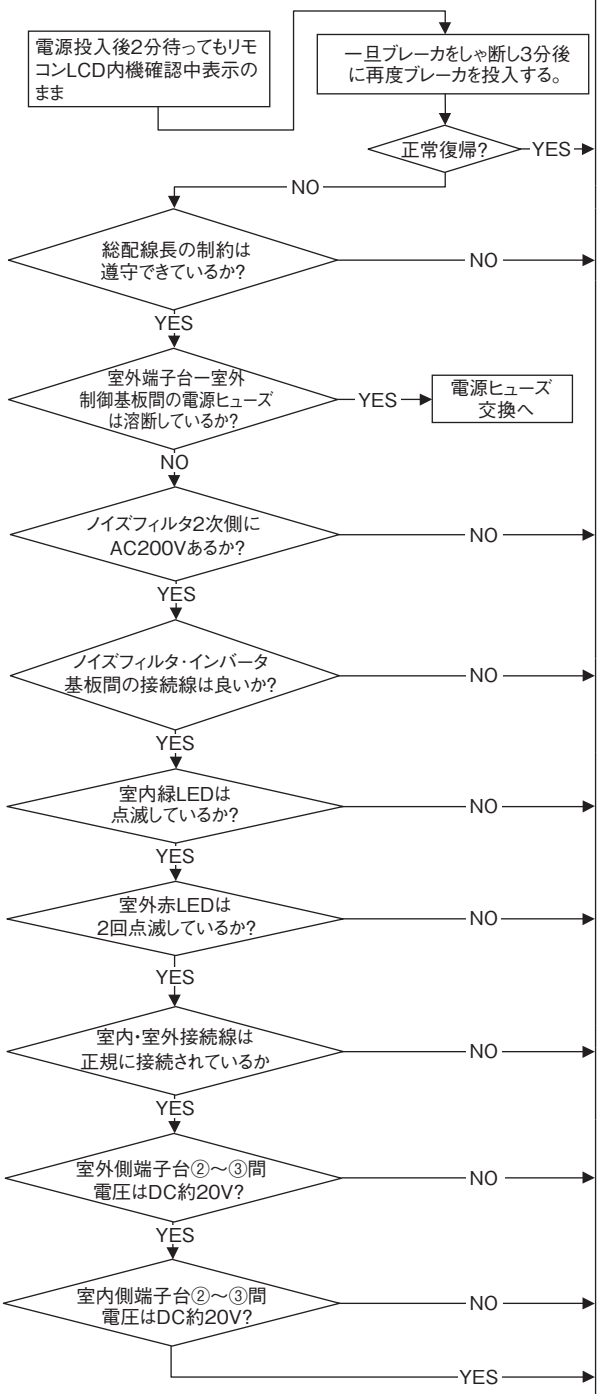
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外制御基板不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注記：通信中に異常が発生した場合は故障記号 E5 を表示します。(室外赤 LED2 回点滅) 点検要領は上記と同一です。(ただし, 接続関連は除く)
また，E5 発生後電源リセットした場合，異常が継続していればLCD「内機確認中」表示になります。短時間（1 分以内）にブレーカ電源投入を繰り返すと「内機確認中」表示することがあります。この場合，ブレーカを OFF して 3 分お待ちください。

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容	内機確認中(2/3) (FDCVP406 ～ 806形のみ)
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	―	2回点滅		

1. 対象機種

FDCVP406 ～ 806形

(ヒューズ溶断の場合，電源ヒューズ交換前のインバータ点検方法)

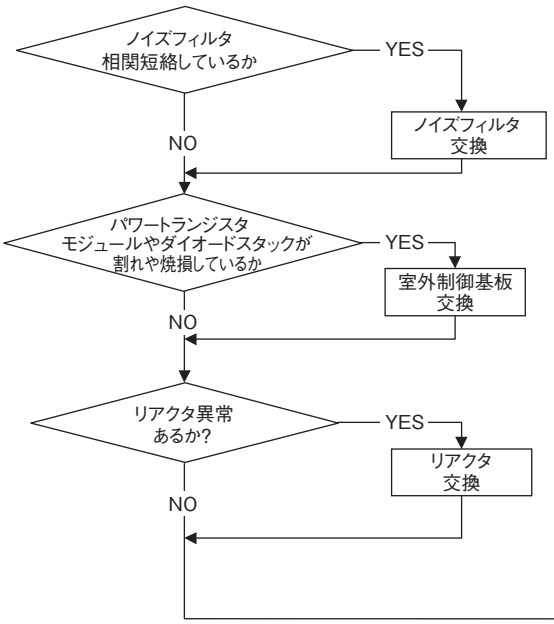
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・室外制御基板不良
・リアクタ不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	ヒューズ交換

注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	2回点滅

内容

内機確認中(3/3)

(FDCVP406 ～ 806形のみ)

1. 対象機種

FDCVP406 ～ 806形

(電源投入後リモコン無表示の場合)

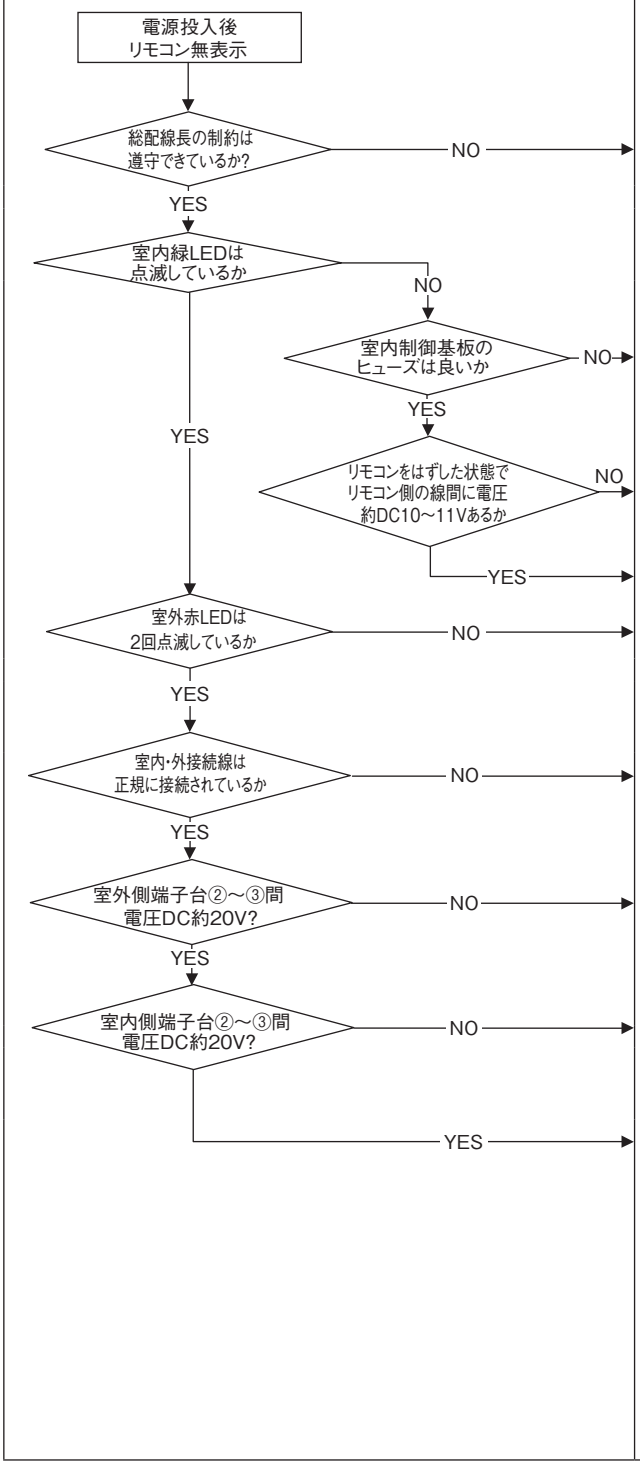
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外制御基板不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注記:

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

内機確認中(1/3)

(FDCVP1126 ～ 2806形のみ)

1. 対象機種

FDCVP1126 ～ 2806形

(電源投入後2分待っても リモコンLCD「内機確認中」表示のままの場合)

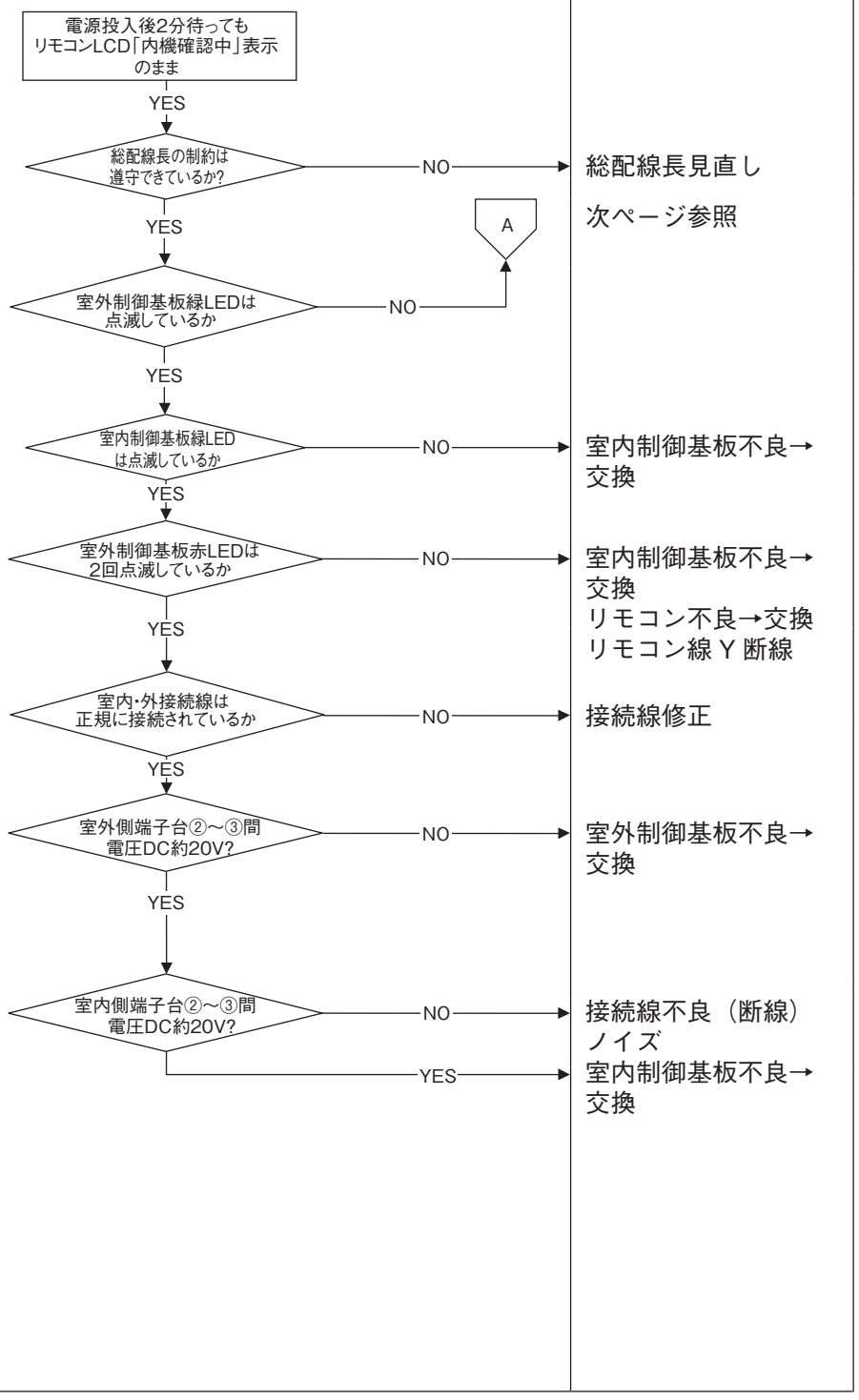
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・単相機ヒューズ溶断
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外制御基板不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注記:

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容	内機確認中(2/3) (FDCVP1126 ～ 2806形のみ)
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	消灯	消灯		

1. 対象機種

FDCVP1126 ～ 2806形

(室外制御基板 LED が消灯している場合の診断)

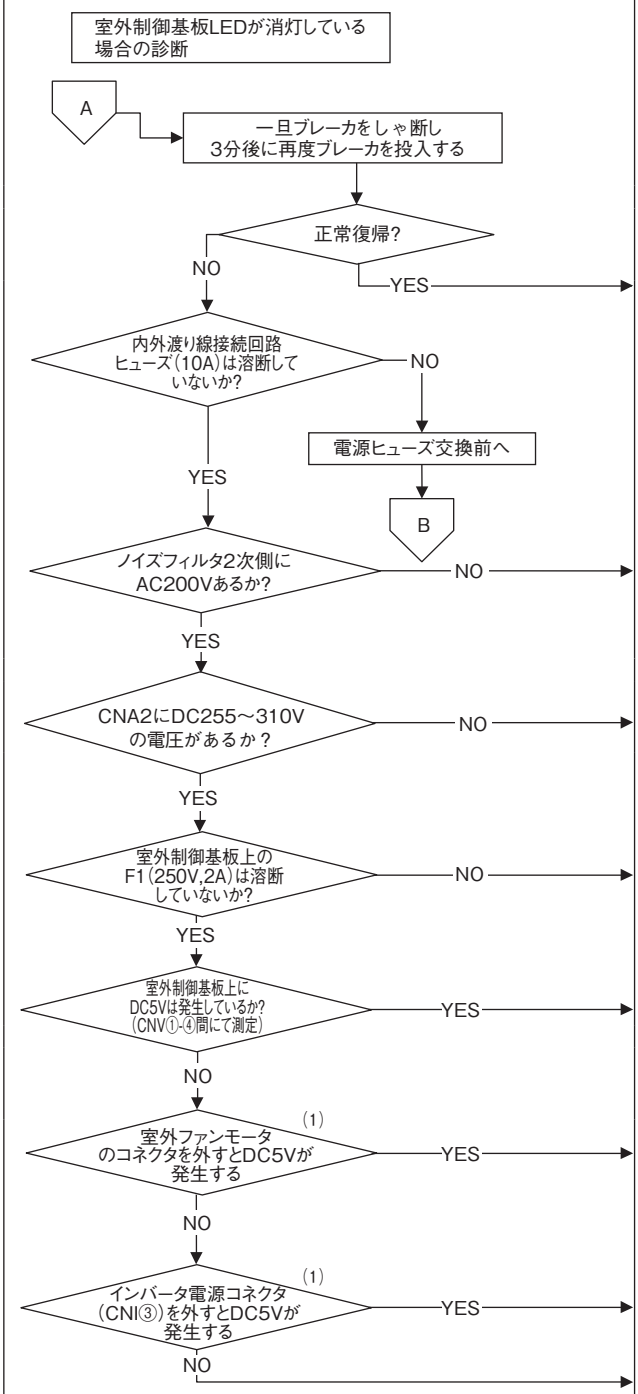
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外制御基板不良
・インバータ基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	正常（ノイズによる誤作動） インバータ点検のため次ページ参照 ノイズフィルタ交換 主回路図を基にダイオードスタック，電解コンデンサの接続を確認 室外制御基板不良→交換 室外制御基板不良→交換 室外ファンモータ不良 インバータ基板不良→交換 室外制御基板不良→交換

注(1)室外ファンモータのDC15V負荷が短絡して電源自体がない場合を想定。
室外ファンモータを外して確認します。

注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤	内容	内機確認中(3/3) (FDCVP1126 ～ 2806形のみ)
	室内	消灯	消灯		
	室外	消灯	消灯		

1. 対象機種

FDCVP1126 ～ 2806形

(ヒューズ溶断の場合，電源ヒューズ交換前のインバータ点検方法)

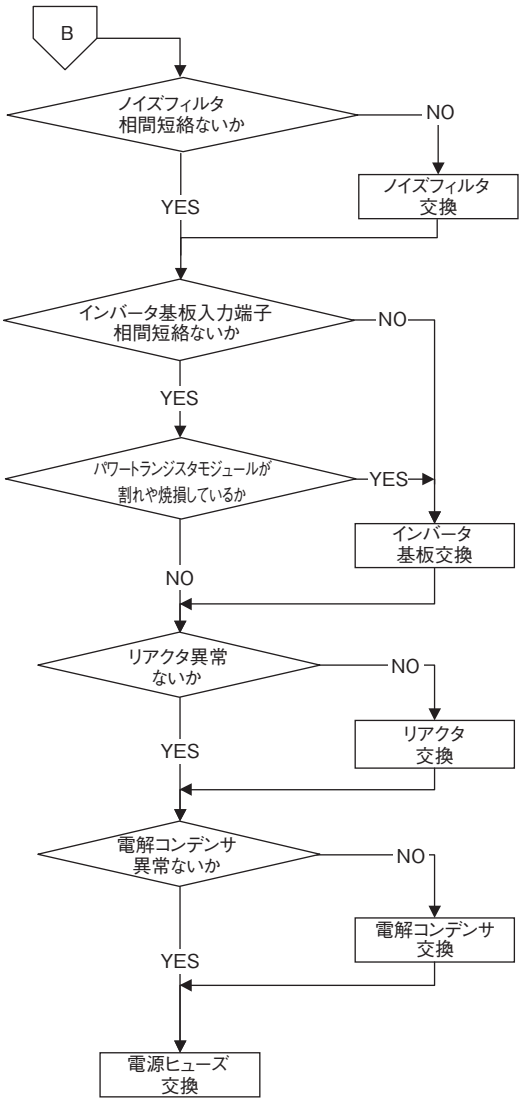
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ヒューズの断線
・ノイズフィルタの故障
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・リアクタ不良
・電解コンデンサ不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示 リモコン:無表示	LED	緑	赤	内容	無表示
	室内	消灯	消灯		
	室外	消灯	消灯		

1. 対象機種

全機種

（電源投入後リモコン無表示の場合）

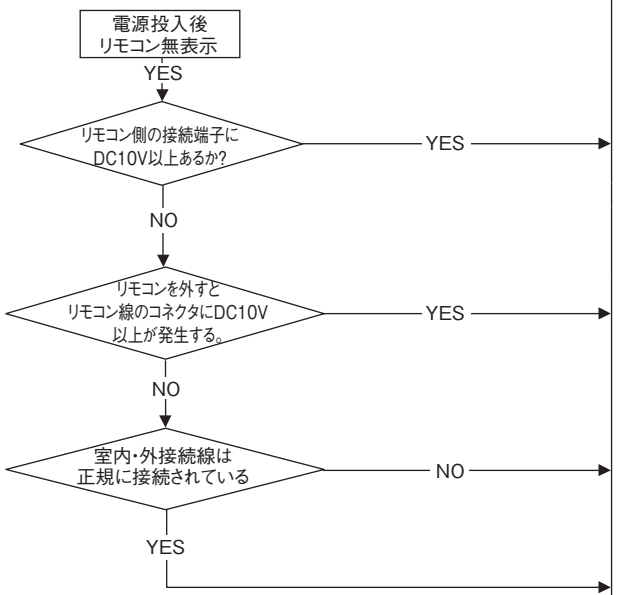
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・基板間の接続
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	リモコン不良 リモコン不良 接続線不良 リモコン線不良 （ショートなど） 室内制御基板不良→ 交換

注記：

表示
リモコン：E1

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

リモコン通信回路不良

1. 対象機種

ドレンポンプ搭載機のみ

2. 異常検出方法

リモコンー室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合
（リモコンでのみ検出）

3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・リモコンー室内ユニット間通信回路不良
・ノイズ
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置

診 断	処 置
電源リセットで正常復帰できるか？ YES	ノイズによる誤作動（周辺環境確認）
NO → 室内ユニット制御基板 SW7-1をOFF→ON → 内外渡り線③（内外通信線のみ）を外す → 電源リセット → 1分後，ドレンポンプが自動的に運転を開始するか？ YES	リモコン不良または室内制御基板不良→交換
NO → 内外渡り線③を接続する → 総配線長の制約は遵守できているか？ NO	E5（運転中に通信異常）診断へ移動
YES	総配線長見直し

注記：室内側ではリモコンと180秒間正常に通信できない場合，室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

表示
リモコン：E1

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

リモコン通信回路不良

1. 対象機種

ドレンポンプ未搭載機種

2. 異常検出方法

リモコンー室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合
（リモコンでのみ検出）

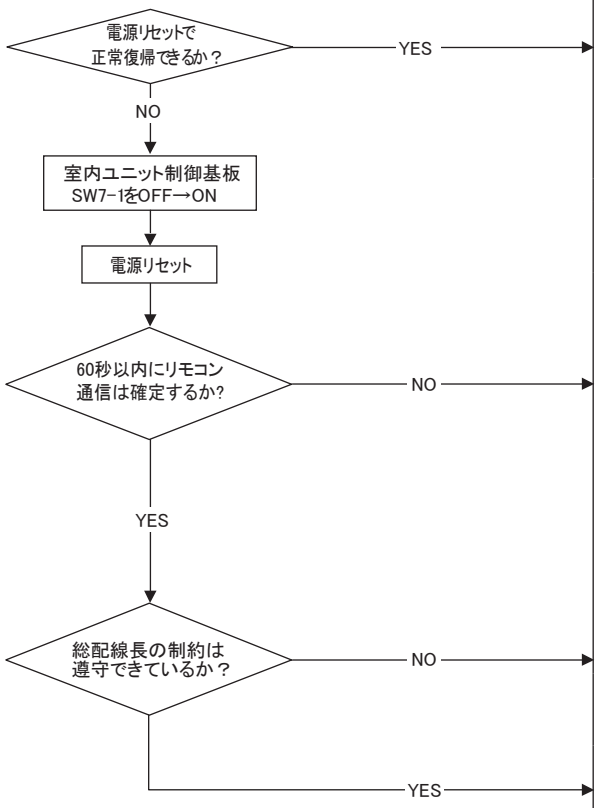
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・リモコンー室内ユニット間通信回路不良
・ノイズ
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注記：室内側ではリモコンと180秒間正常に通信できない場合，室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

表示
リモコン:E5

LED	緑	赤
室内	連続点滅	2回点滅
室外	連続点滅	下記参照

内容
運転中に室内外通信異常

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内－室外が２分以上正常に通信できない場合

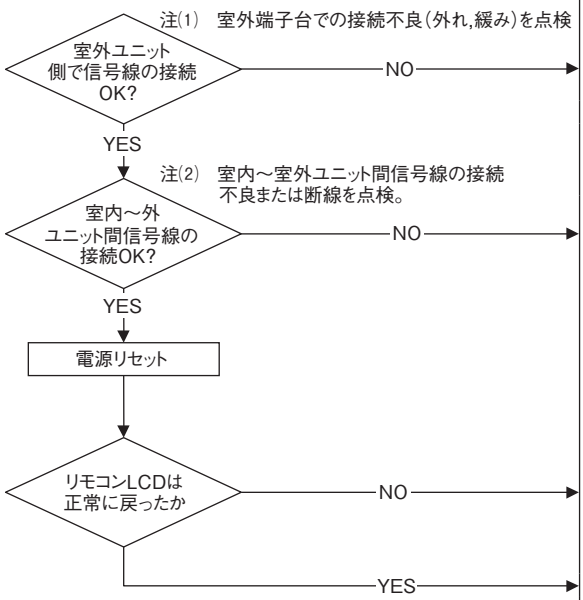
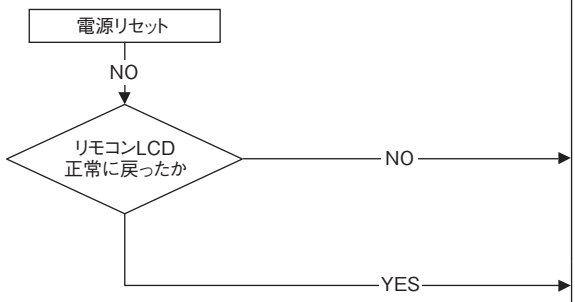
3. 異常発生条件

運転中，同上を検知

4. 予想原因

・号機設定ミス
・リモコン配線断線
・リモコン配線接続不良
・室外制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
・室外赤LEDが2回点滅の場合  ・室外赤LEDが消灯  ・室外LED赤および緑とも消灯は、 「内機確認中」表示の診断をご覧ください。	

注記：ポンプダウンスイッチを押すと，室内ユニットとの通信をキャンセルするため，室内ユニットおよびリモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが異常ではありません。

表示 リモコン:E6	LED	緑	赤	内容 室内熱交温度センサ不良
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2，R3,）の異常低温および異常高温（抵抗）を検知

3. 異常発生条件

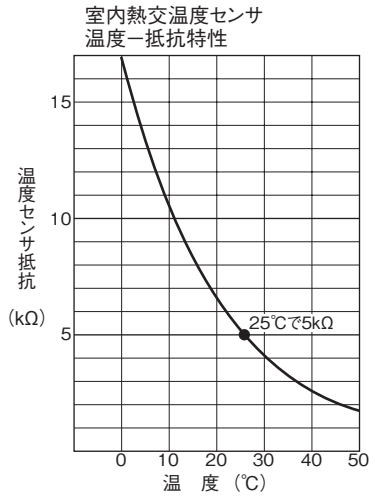
・温度センサが−50℃以下を連続5秒間検知（断線）した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ，1回目の検知から60分以内に再検知した場合。
・70℃以上を連続5秒間検知（短絡）

4. 予想原因

・室内熱交温度センサコネクタ不良
・室内熱交温度センサ不良
・室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
室内熱交温度センサコネクタの接続はOKか? → NO	コネクタを確実に接合する
YES 室内熱交温度センサ特性は下図参照 室内熱交温度センサの特性はOKか? → NO	室内熱交温度センサ不良→交換
YES	室内制御基板不良→交換 （室内熱交温度センサ入力回路不良）



注記：

表示 リモコン:E7	LED	緑	赤	内容 吸込温度センサ不良
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内吸込温度センサ（Thi-A）の異常低温および異常高温（抵抗）を検知

3. 異常発生条件

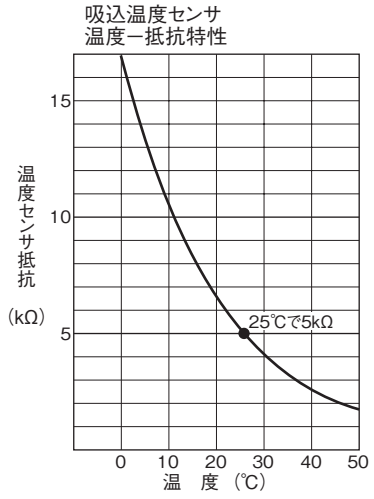
・温度センサが−50℃以下を連続5秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ，1回目の検知から60分以内に再検知した場合。

4. 予想原因

・吸込温度センサコネクタ不良
・吸込温度センサ不良
・室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
吸込温度センサコネクタの接続はOKか?	NO → 修正→コネクタ接続
YES	
吸込温度センサ特性は下図参照 吸込温度センサの特性はOKか?	NO → 吸込温度センサ不良→交換
YES	室内制御基板不良→交換 （吸込温度センサ入力回路不良）



注記：

表示 リモコン:E8	LED	緑	赤	内容 暖房過負荷運転
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2，R3）

3. 異常発生条件

1回目の検知から60分以内に5回検知した時，または過負荷状態を連続6分間感知した場合。

4. 予想原因

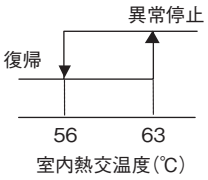
・エアフィルタ目詰まり
・室内熱交温度センサコネクタ不良
・室内熱交温度センサ不良
・冷媒系統異常

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
エアフィルタが目詰まりしているか NO	
エアフィルタが目詰まりしているか YES	洗浄
室内熱交温度センサの接続はOKか NO	室内熱交温度センサコネクタ不良→修正
室内熱交温度センサの接続はOKか YES	
室内熱交温度センサの特性はOKか NO	室内熱交温度センサ不良→交換
室内熱交温度センサの特性はOKか YES	
リモコンで異常データ点検	
暖房過負荷状態か(1) NO	冷媒系統点検
暖房過負荷状態か(1) YES	調整

室内熱交温度センサ特性は1062ページ参照

注(1)　過負荷状態か否かの点検は次によってください。
▲ショートサーキットは無いか
▲室内熱交換器の汚れ,つまりは無いか
▲室外ファンコントロールは正常か
▲室内・外気温が高すぎないか
注(2)　室内熱交温度センサの特性は,故障表示E6をご覧ください。



注記：暖房；圧縮機始動後，室内熱交温度（Thi-R）により圧縮機の回転数を下げ高圧制御します。

表示	LED	緑	赤	内容
リモコン:E9	室内	連続点滅	1回点滅	ドレン不良
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

ドレンポンプ搭載機種のみ

2. 異常検出方法

フロートスイッチ作動

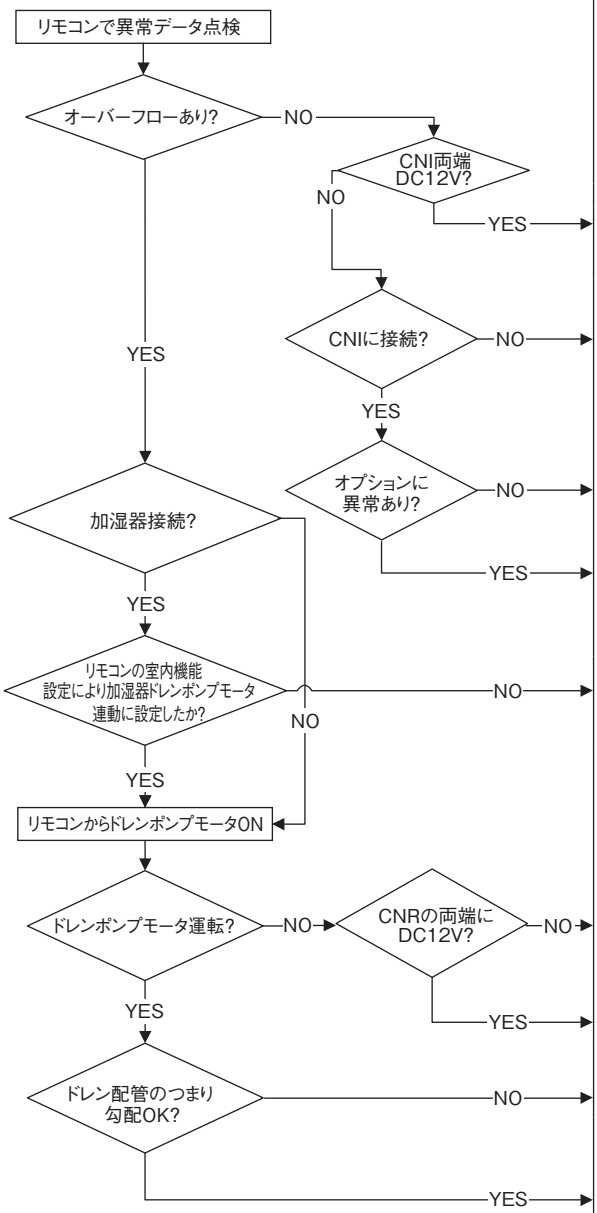
3. 異常発生条件

フロートスイッチ開を3秒間連続検知したとき，またはフロートスイッチの未接続時・断線時。

4. 予想原因

- 室内制御(電源)基板不良
- フロートスイッチ設定ミス
- 加湿器ドレンポンプモータ連動設定ミス
- オプション設定ミス
- ドレン配管ミス
- ドレンポンプモータ不良
- ドレンポンプモータ配線不良
- フロートスイッチ不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：電源投入時に発生した場合は，フロートスイッチの断線･接点不良が考えられます。点検修正（交換）してください。

表示
リモコン:E10

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容 1 リモコン複数台制御時
接続台数オーバー（17 台以上）

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

1 リモコンで室内ユニット
17 台以上を検知した時

3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・接続台数オーバー
・リモコン不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
1個のリモコンに17台以上接続しているか? → NO	リモコン不良→交換
1個のリモコンに17台以上接続しているか? → YES	16 台以下に変更

注記：

表示 リモコン:E11	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	消灯

内容

リモコン通信アドレス設定不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

複数室内ユニットを1リモコンで結線し，リモコンアドレス設定した場合

3. 異常発生条件

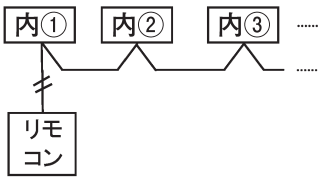
同上

4. 予想原因

アドレス設定方法のまちがい
1リモコン複数室内の場合，リモコンアドレス設定はできない。

5. 故障診断と処置

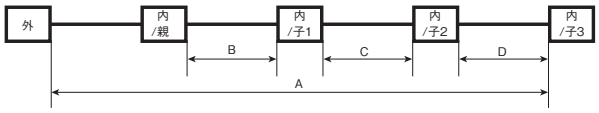
診 断	処 置
室内ユニットアドレス設定をリモコンアドレスで設定した YES	アドレス設定方法変更 室内ユニット制御基板上のディップスイッチSW2およびSW5-1, 2（親・子設定）でアドレス設定を行う。
下図リモコンの結線で、リモコンアドレス設定するとE11 発生。	



フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		

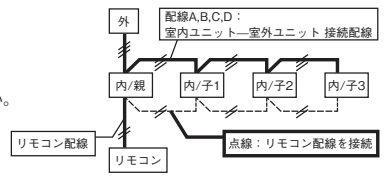


①・②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ(SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを、下記のとおり設定ください。
（室外ユニットの据付説明書を参照ください。）

Exceed 3HP…FDCZ(S)P806H,HK	SW8-3：OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1：OFF→ON



注記：フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。ただし，上記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

表示
リモコン:E14

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容
親子室内ユニット間通信異常

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

親子室内ユニット通信異常発生時

3. 異常発生条件

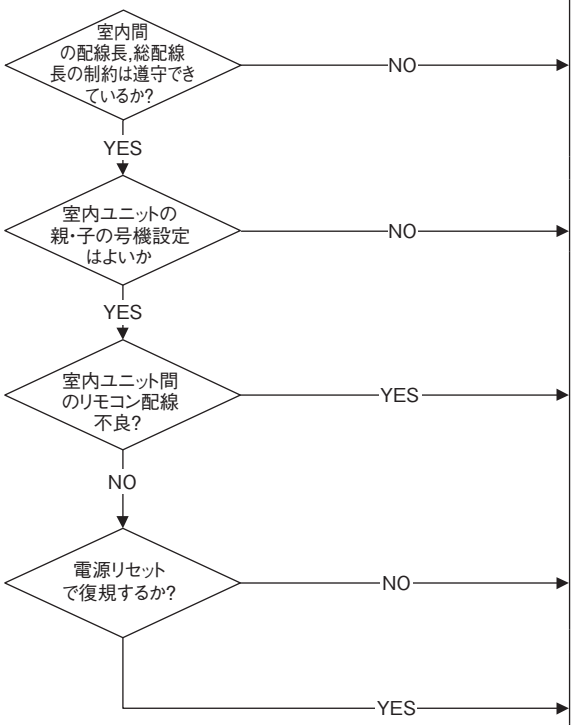
同上

4. 予想原因

・号機設定ミス
・リモコン配線断線
・リモコン配線接続不良
・室内制御基板不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置

診　断	処　置



注　室内制御基板上のディップスイッチSW5-1, SW5-2を下表のように設定してください。
（工場出荷時[親]設定）

		室内ユニット			
		親	子a	子b	子c
ディップスイッチ	SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
	SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

注記：

表示
リモコン： E16

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ不良

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK
シリーズのみ

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

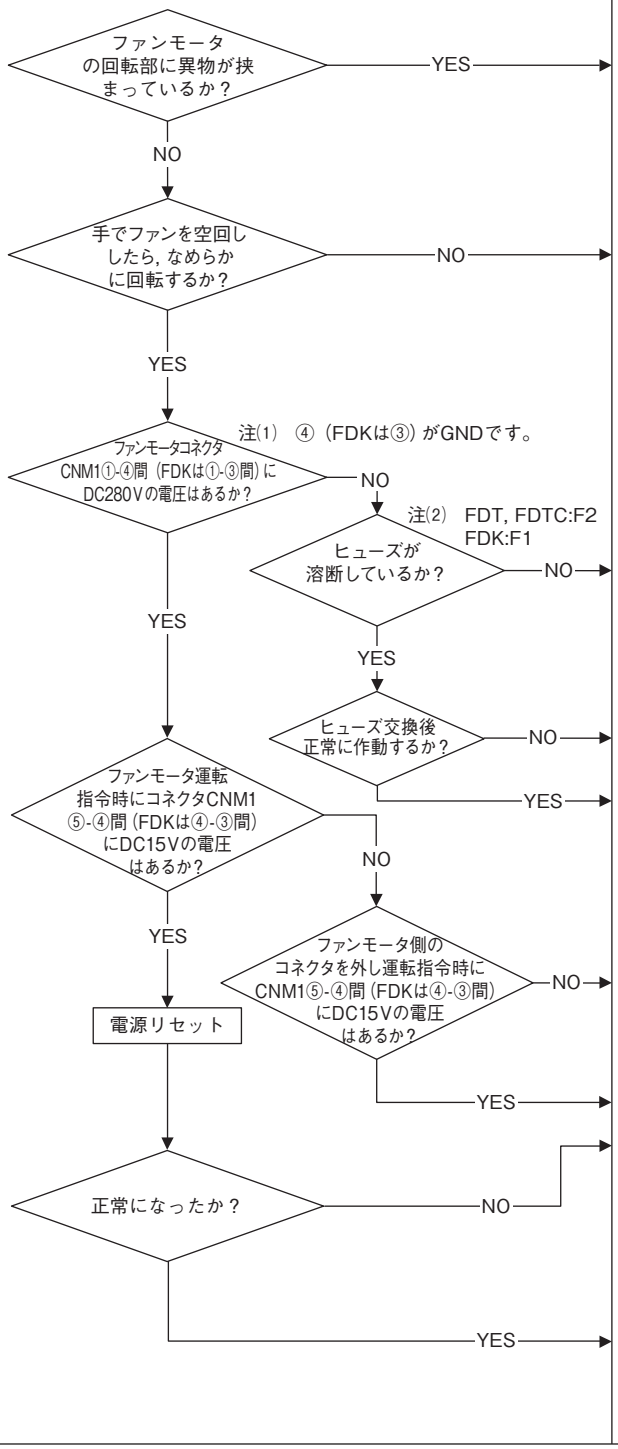
3．異常発生条件

室内ファンモータの実回転が30秒連続して200min^{-1}以下になると圧縮機，室内ファンモータを停止します。2秒遅延後自動復帰しますが60分以内に4回作動した場合。

4．予想原因

・室内ユニット基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン： E16	LED	緑	赤	内容 室内ファンモータ不良
	室内	連続点滅	1(2)回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK，FDESシリーズおよびFDFZP2245，2805以外の機種

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

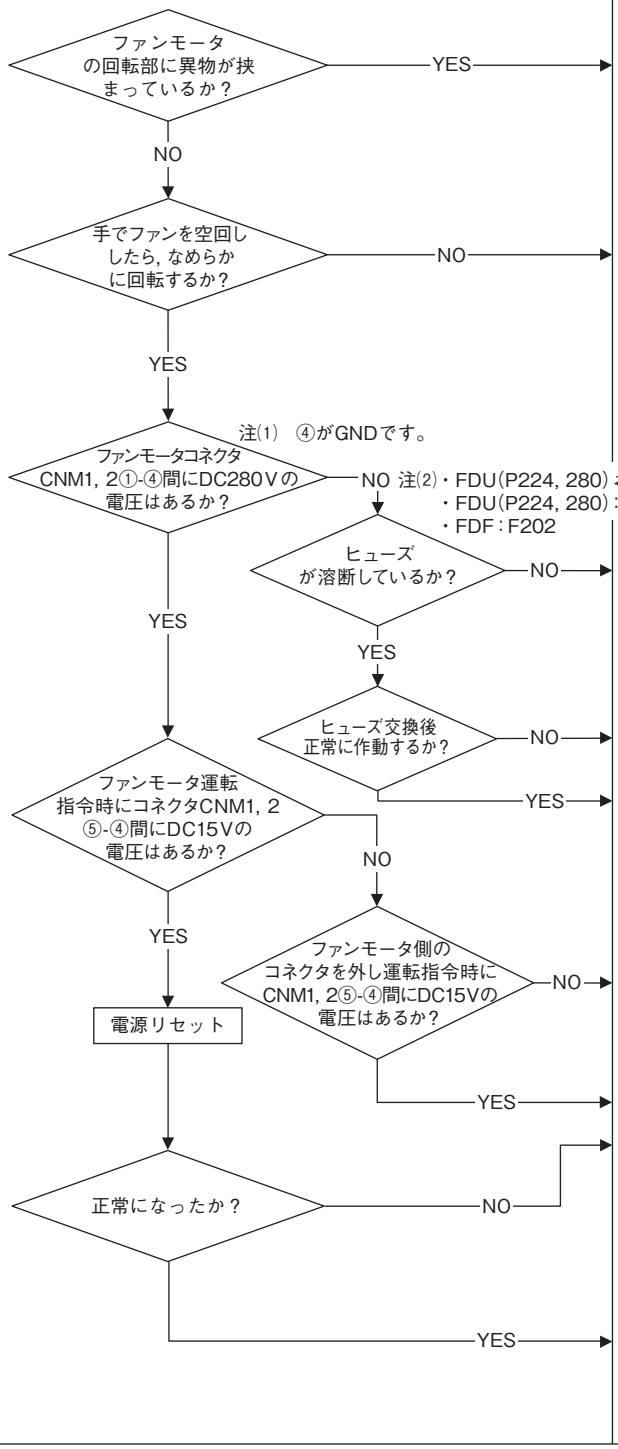
3．異常発生条件

室内ファンモータの実回転が30秒連続して200min^{-1}以下になると圧縮機，室内ファンモータを停止します。2秒遅延後自動復帰しますが60分以内に4回作動した場合。

4．予想原因

・室内制御（電源）基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:E19

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1 回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

運転モード設定不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

E19 発生

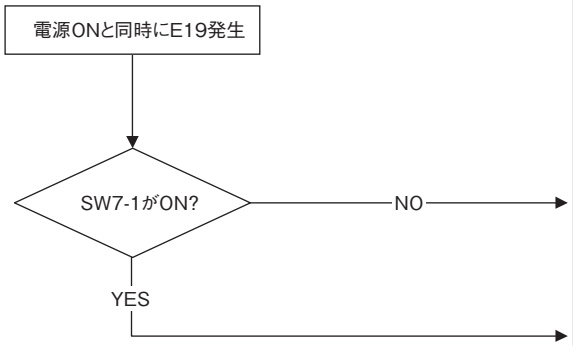
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・スイッチ設定ミス
（スイッチの戻し忘れ）
・室内制御基板不良
（スイッチ不良）

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	室内制御基板不良→交換（スイッチ不良） SW7-1 を OFF し電源をリセット

注記：

表示 リモコン： E20	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	1回点滅
	室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ回転不良

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK
シリーズのみ

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

3．異常発生条件

室内ファンモータ回転指令が出力された後2分経過しても実回転数が要求回転数−50min^{-1}に達しないときは，ファンモータ回転異常を検出し停止します。

4．予想原因

・室内ユニット基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置

診　断	処　置
ファンモータの回転部に異物が挟まっているか？ YES	異物を取除く。
手でファンを空回ししたら,なめらかに回転するか? NO	ファンモータを交換
注(1)　④（FDKは③）がGNDです。 ファンモータコネクタCNM1①-④間（FDKは①-③間）にDC280Vの電圧はあるか？ NO	
注(2)　FDT, FDTC:F2 FDK:F1 ヒューズが溶断しているか？ NO	電源電圧を点検してください。
ヒューズ交換後正常に作動するか？ NO	故障したファンモータと室内ユニット基板を交換
YES	一過性の過電流によるヒューズ溶断
ファンモータ運転指令時にコネクタCNM1⑤-④間（FDKは④-③間）にDC15Vの電圧はあるか？ NO	
ファンモータ側のコネクタを外し運転指令時にCNM1⑤-④間（FDKは④-③間）にDC15Vの電圧はあるか？ NO	室内ユニット基板を交換
電源リセット YES	ファンモータ交換
正常になったか？ NO	ファンモータを交換（ファンモータを交換しても異常が出る場合には,室内ユニット基板を交換してください。）
YES	一過性（ノイズが乗ったことによる。）

注記：

表示
リモコン： E20

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1(2)回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ回転不良

1．対象機種

FDT，FDTC，FDK，FDES シリーズおよびFDFZP2245, 2805以外の機種

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

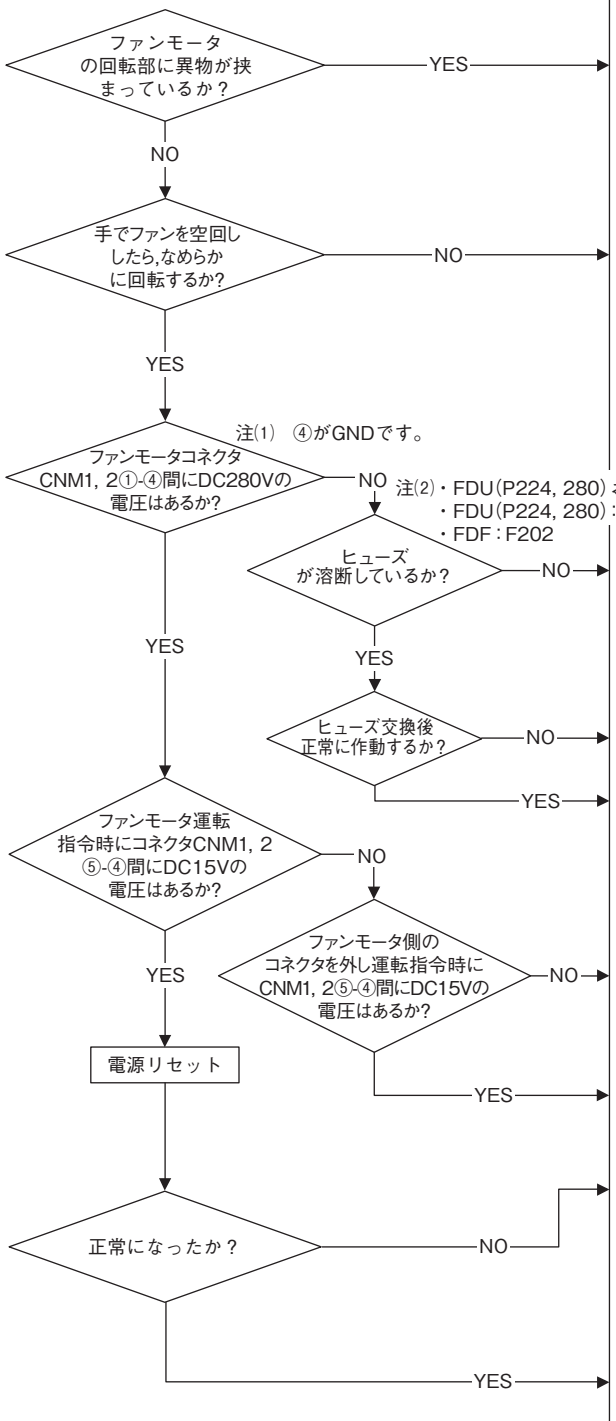
3．異常発生条件

室内ファンモータ回転指令が出力された後2分経過しても実回転数が要求回転数−50（FDU：−500）min^{-1}に達しないときは，ファンモータ回転異常を検出し停止します。

4．予想原因

・室内制御（電源）基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E23	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	1 回点滅
	室外	連続点滅	消灯

内容

冷媒漏えい検知
（FDF シリーズ）

1．対象機種

FDF シリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサから警報信号を受信した場合

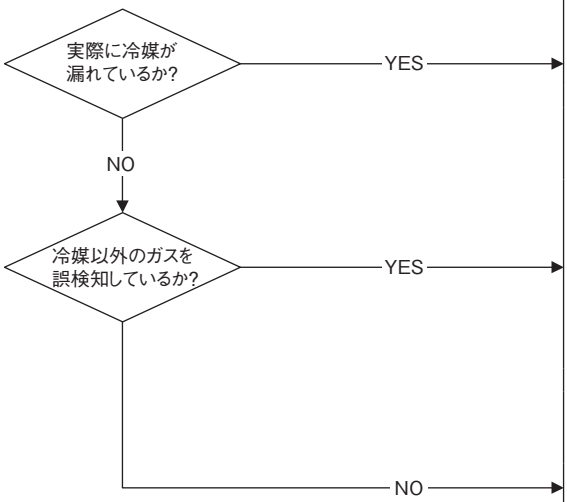
3．異常発生条件

・冷媒センサが冷媒を検知した場合
・冷媒センサが冷媒以外のガスを検知した場合
・冷媒センサが劣化し，誤検知した場合

4．予想原因

・熱交換器からの冷媒漏れ
・配管接続部からの冷媒漏れ
・室内ユニット付近で以下のガスを使用。
＜冷媒センサが反応する冷媒以外のガスの例＞
①ドレン配管や壁紙の接着剤などから揮発する可燃性ガス
②塗料から揮発するガス・ヘアスプレー，殺虫剤などの可燃性ガス
③消毒用などのアルコール類シロキサンを含むシーリング材など
・冷媒センサ劣化
・配線不良（故障出力を誤検知）

5．故障診断と処置



注記：リモコンに「E23」と表示された場合，修理を開始するまでに下記①②項を実施してください。
① 実際に冷媒が漏れていた場合，燃焼器具などの火気を消して，部屋の換気をしてください。
② 修理を開始するまでは電源ブレーカをしゃ断しないでください。
室内ユニットは異常停止しますが，漏えいした冷媒の滞留を防ぐためファンの送風運転をします。

表示 リモコン:E28	LED	緑	赤	内容 リモコン温度センサ不良
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

リモコン温度センサ（Thc）の異常低温（抵抗）を検知

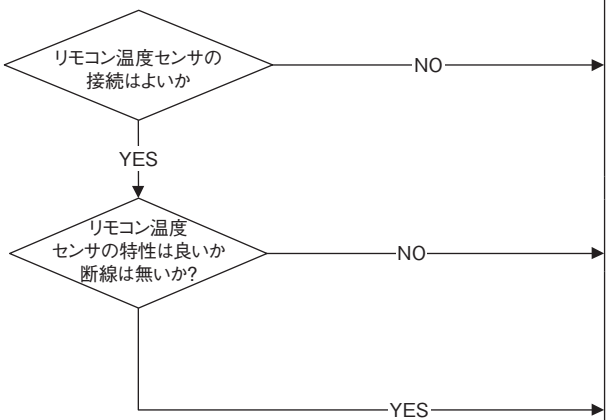
3. 異常発生条件

温度センサが−50℃以下を連続5秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3分間延長後に圧縮機を再起動させ，1回目の検知から60分間以内に再検知した場合。

4. 予想原因

・リモコン温度センサ接続不良
・リモコン温度センサ不良
・リモコン基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	コネクタを確実に接合する リモコン温度センサ不良→交換 リモコン基板不良→交換 （リモコン温度センサ入力回路不良）

リモコン温度センサ温度ー抵抗特性（Thc）

温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)
0	65	14	33	30	16	46	8.5
1	62	16	30	32	15	48	7.8
2	59	18	27	34	14	50	7.3
4	53	20	25	36	13	52	6.7
6	48	22	23	38	12	54	6.3
8	44	24	21	40	11	56	5.8
10	40	26	19	42	9.9	58	5.4
12	36	28	18	44	9.2	60	5.0

注記：リモコンセンサ無効→有効切替えの10秒間以降は，断線してもE28は表示しません。同時に使用するセンサをリモコン→室内吸込温度センサに変更します。リモコンセンサを有効にしても点検表示の吸込温度表示は室内吸込温度センサの値となります。

表示 リモコン:E34	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

電源欠相
（三相機のみ）

1．対象機種

全機種三相機のみ

2．異常検出方法

電源 ON 後，５秒間連続してＲ・Ｓ・Ｔ相何れかの電圧が 0V の場合

3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・電源異常
・電源ヒューズ溶断
・ノイズフィルタ不良
・ノイズフィルタ制御基板結線不良
・室外制御基板不良
・室外インバータ基板不良
・室外ファンモータ不良
・ノイズフィルタ配線不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
電源電圧測定 各相間AC200V はあるか?	
NO	電源点検
YES	
電源ヒューズ溶断ないか?	
NO → 電源ヒューズ交換へ	電源ヒューズ交換前にインバータを点検する（次ページ参照）
YES	
ノイズフィルタ 2次側各相間にAC200Vあるか?	
NO	ノイズフィルタ不良→交換
YES	
ノイズフィルタと室外ユニット制御基板間の結線はよいか?	
NO	正しく接続する
YES	室外制御基板不良→交換

注記:電源電圧が逆相となっている場合は E34 が表示されます。その場合は，電源の相を入替えてください。

表示 リモコン:E34	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

電源欠相(続き)
(三相機のみ)

1. 対象機種

全機種三相機のみ
電源ヒューズ交換前のインバータ点検方法

2. 異常検出方法

電源 ON 後，5 秒間連続して R・S・T 相何れかの電圧が 0V の場合

3. 異常発生条件

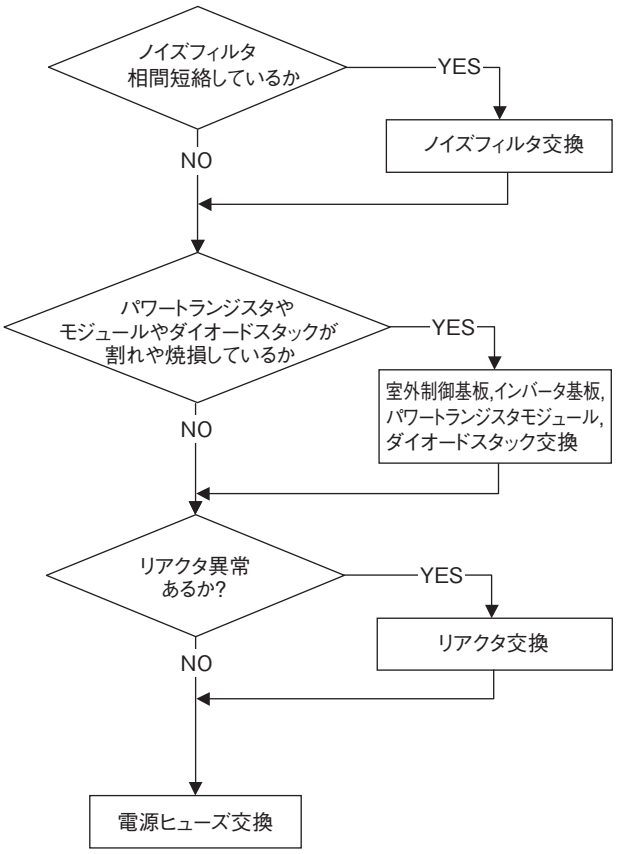
同上

4. 予想原因

・電源異常
・電源ヒューズ溶断
・ノイズフィルタ不良
・ノイズフィルタ結線不良
・室外制御基板不良
・室外インバータ基板不良
・リアクタ不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置



注記：

表示 リモコン:E35	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	ー	1回点滅

内容

冷房過負荷運転
（FDCVP406 ～ 806形）

1．対象機種

FDCVP406 ～ 806形

2．異常検出方法

室外熱交温度が 62℃（外気温度が 32℃未満：56℃）以上を検知した場合。

3．異常発生条件

室外熱交温度異常が 60 分以内に 5 回，あるいは圧縮機停止中も含め異常検出状態が 10 分間連続した場合。

4．予想原因

・室外熱交温度センサ不良
・室外制御基板不良
・室内外の据付スペース
・室内外ショートサーキット
・熱交換器の汚れ，詰り
・冷媒量過多

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室外熱交温度センサ特性は正常か?	注 室外熱交温度センサ特性は1081ページ参照
NO	室外熱交温度センサ不良→交換
YES	
冷房過負荷運転?	
YES	ユニット側を点検してください。 ・室外ユニットはショートサーキットしていないか ・据付スペースは適正か ・熱交換器の汚れ，詰りはないか
NO	
高圧制御は正常か?	
NO	制御動作チェック ※
YES	
異常検知温度（実測）は正しいか?	
NO	室外制御基板不良→交換
YES	冷媒量過多：冷媒計量再チャージ

※
制御内容は対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御,冷房高圧保護をご覧ください。

注記：

表示 リモコン:E35	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

冷房過負荷運転
（FDCVP1126 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

異常検出方法については対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御，冷房高圧保護をご覧ください。

3．異常発生条件

室外熱交温度異常が 60 分以内に 5 回，あるいは圧縮機停止中も含め異常検出状態が 30 分間連続した場合。

4．予想原因

・室外熱交温度センサ不良
・室外制御基板不良
・室内外の据付スペース
・室内外ショートサーキット
・熱交換器の汚れ，詰り
・冷媒量過多

5．故障診断と処置

診　断	処　置
注 室外熱交温度センサ特性は1081ページ参照 室外熱交温度センサ特性は正常か? — NO	室外熱交温度センサ交換
YES 冷房過負荷運転? — YES	ユニット側を点検してください。 ・室外ユニットはショートサーキットしていないか ・据付スペースは適正か ・熱交換器の汚れ，詰りはないか
NO 高圧制御は正常か? — NO	制御動作チェック ※
YES 異常検知温度（実測）は正しいか? — NO	室外制御基板不良→交換
YES	冷媒量過多 : 冷媒計量再チャージ

※
制御内容は対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御,冷房高圧保護をご覧ください。

注記：

表示 リモコン:E36	LED	緑	赤	内容
	室内	連続点滅	消灯	吐出管温度異常
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

異常検出方法については対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御，圧縮機吐出管温度保護をご覧ください。

3. 異常発生条件

吐出管温度異常が60分以内に2回，または圧縮機停止中を含め連続30分間。

4. 予想原因

・室外制御基板不良
・吐出管温度センサ不良
・フィルタ詰り
・室内外の据付スペース
・室内外ショートサーキット
・熱交換器の汚れ，詰り

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
注 吐出管温度センサ特性は1083ページ参照 吐出管温度センサ特性は正常か? NO	吐出管温度センサ交換
YES 冷暖運転時に吐出管温度異常? YES	冷媒量不足：冷媒計量再チャージ
NO 吐出管温度制御は正常か? NO	制御動作チェック ※
YES 停止時の室外ユニット側圧力飽和温度と外気温はほぼ同じか? NO	空気混入：真空引き再チャージ
YES 異常検知温度（実測）は正しいか? NO	室外制御基板不良→交換
YES	ユニット側を点検してください。 ・フィルタは詰まっていないか ・室内／外の据付スペースは適正か ・ショートサーキットしていないか ・室内熱交換器の汚れ，詰りはないか

※
制御内容は対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御,圧縮機吐出管温度保護をご覧ください。

注記：

表示 リモコン:E37	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

室外熱交温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室外熱交温度センサの異常低温(抵抗)を検知

3. 異常発生条件

・圧縮機ON後2分～2分20秒の間に温度センサが−50℃(1)以下を連続5秒検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。
・電源投入時，20秒の間に連続5秒間−50℃(1)以下を検知した場合。

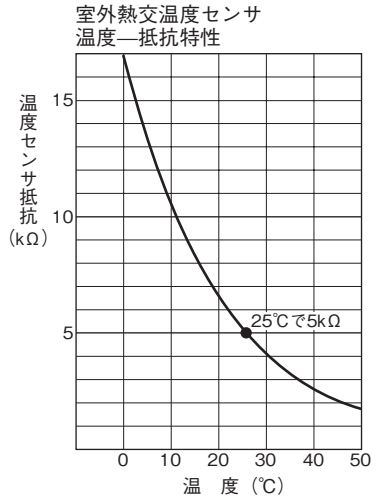
注(1)FDCVP406～806形の場合：
−55℃

4. 予想原因

・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線(モールド部を確認)
・配線接合部(コネクタ)の接続不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
室外熱交温度センサコネクタの接続はOK → NO	コネクタを確実に接合する
YES → 室外熱交温度センサ特性は下図グラフ参照 室外熱交温度センサ特性はOKか → NO	室外熱交温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 (室外熱交温度センサ入力回路不良)



注記：

表示 リモコン:E38	LED	緑	赤	内容
	室内	連続点滅	消灯	外気温度センサ不良
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

外気温度センサの異常低温(抵抗)を検知

3. 異常発生条件

・圧縮機ON後2分～2分20秒の間に温度センサが－45℃(1)以下を連続5秒検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。
・電源投入時，20秒の間に連続5秒間－45℃(1)以下を検知した場合。

注(1) FDCVP406～806形の場合：－55℃

4. 予想原因

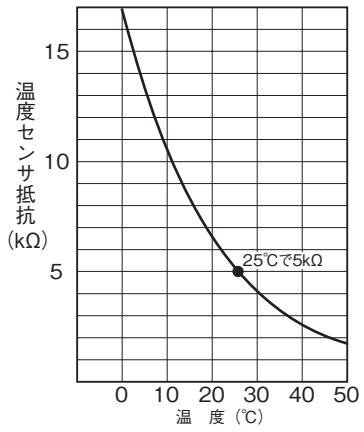
・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線(モールド部を確認)
・配線接合部(コネクタ)の接続不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
外気温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接合する。
YES → 外気温度センサ特性は下図参照 外気温度センサ特性はOKか → NO	外気温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 (外気温度センサ入力回路不良)

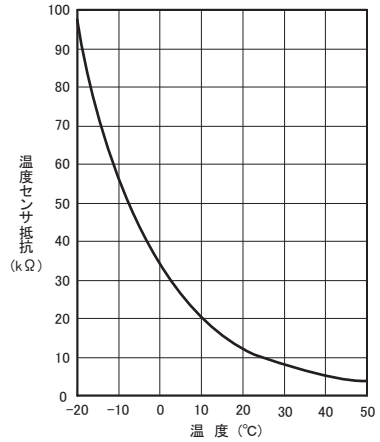
●40～80形

外気温度センサ
温度－抵抗特性



●112～280形

外気温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E39	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

吐出管温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

吐出管温度センサの異常低温(抵抗)を検知

3. 異常発生条件

圧縮機ON後10分～10分20秒の間に温度センサが－10℃[(1)]以下を連続5秒検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。

注(1)FDCVP406～806形の場合：
－25℃

4. 予想原因

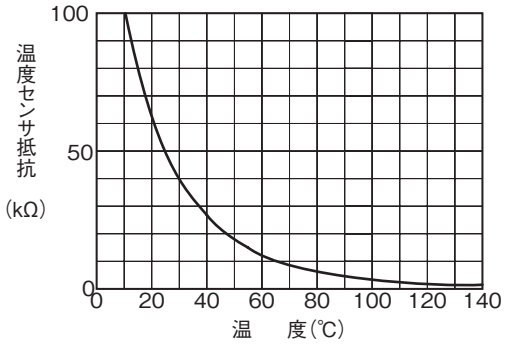
・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線(モールド部を確認)
・配線接合部(コネクタ)の接続不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
吐出管温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接合する。
YES → 吐出管温度センサ特性は下図グラフ参照 吐出管温度センサ特性はOKか → NO	吐出管温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 (吐出管温度センサ入力回路不良)

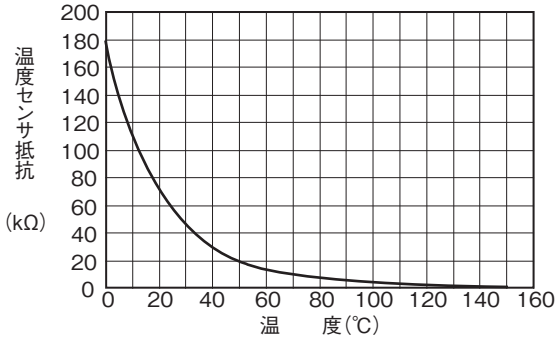
●40～80形

吐出管温度センサ
温度－抵抗特性



●112～280形

吐出管温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E40	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

63H1 作動

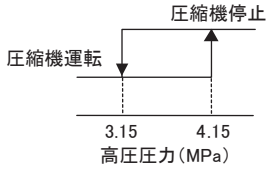
（FDCVP1126～2806形のみ）

1.対象機種

FDCVP1126～2806形

2.異常検出方法

高圧圧力スイッチ 63H1 が作動。



3.異常発生条件

63H1がOFF（開）すると圧縮機を停止します。3 分遅延後，再始動しますが 60 分以内に 5 回作動した時，またはOFF（開）の状態が連続 30（P224, 280：60）分間継続したとき。

4.予想原因

- 凝縮器側熱交のショートサーキット／通風妨害／フィルタ詰り／ファンモータダウン
- 室外制御基板不良
- 63H1 コネクタ不良
- 電子膨張弁コネクタ不良
- 操作弁閉
- 不凝縮ガス（窒素等）の混合
- ヒューズ切れ

5.故障診断と処置

診 断	処 置
早いタイミングで電源ブレーカのOFF→ON を行うとE40 が表れることがあります。（異常 ではありません。）	
操作弁は全開か	NO → 操作弁を開ける。
YES	
63H1 が作動したか	NO（63H1導通あり）
YES（63H1導通なし）	
63H1 のコネクタ 接続はOKか?	NO → コネクタを確実に接合する。
YES	
ノイズ基板～CNW間のヒューズ（※1）はOKか?	NO → ヒューズを交換する。※2
※ 1 P112 ～ 160 形 : F3 ヒューズ P224, 280 形 : F1 ヒューズ	
YES	室外制御基板不良（63H1入力回路不良）→基板交換
電子膨張弁のコネクタ接続はOKか？	NO → コネクタを確実に接合する。→電子膨張弁のコネクタ接続に異常があった場合は、必ず電源リセットしてください。
YES	
1.冷房時 ・室外ファンモータは回っているか ・室外にショートサーキットはないか ・吸込・吹出スペースは充分か 2.暖房時 ・室内熱交温度センサが検知ケースから外れていないか ・フィルタが目詰まりしていないか ※冷媒のオーバーチャージにより過冷却が増大し熱交温度センサ値での圧縮機回転数制御が遅れる可能性があります。	

注記：圧縮機保護始動域（電源ON1回目の起動）では，63H1 OFFした場合一回目の作動で異常表示とします。

※2 ノイズ基板～制御基板CNW間のヒューズが切れると、AC200Vの供給がしゃ断されたことで63H1が作動したと判断しE40の発生に至ります。
ヒューズ溶断に関する機能品（電磁弁（SV1, SV2）、ドレンパンヒータ（オプション）、四方弁、クランクケースヒータ）、およびその配線に異常が無いかご確認ください。
なお、ドレンパンヒータの確認は112～160形の場合に実施ください。（224,280形の場合、端子台から電源供給されるため当該ヒューズ溶断との関連はありません。）

表示 リモコン:E41	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容 パワートランジスタ電源電圧低下
（FDCVP1126～2806 形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

パワートランジスタ DC 15V 以下の電圧低下。

3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外制御基板不良
・室外インバータ基板不良
・ノイズフィルタ基板不良
・室外ファンモータ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室外制御基板のCNI3（②-③間）にDC15Vがあるか? YES	室外インバータ基板不良→交換（それでも直らなければノイズフィルタ基板交換）
室外制御基板のCNI3（②-③間）にDC15Vがあるか? NO → 室外ファンモータを外すとDC15Vは復帰するか? YES	室外ファンモータ交換
室外ファンモータを外すとDC15Vは復帰するか? NO	室外制御基板不良→交換（それでも直らなければ室外インバータ基板交換）

注記：

表示 リモコン:E42	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

カレントカット(1/2)

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

インバータ部の過電流を防止，電流が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

3. 異常発生条件

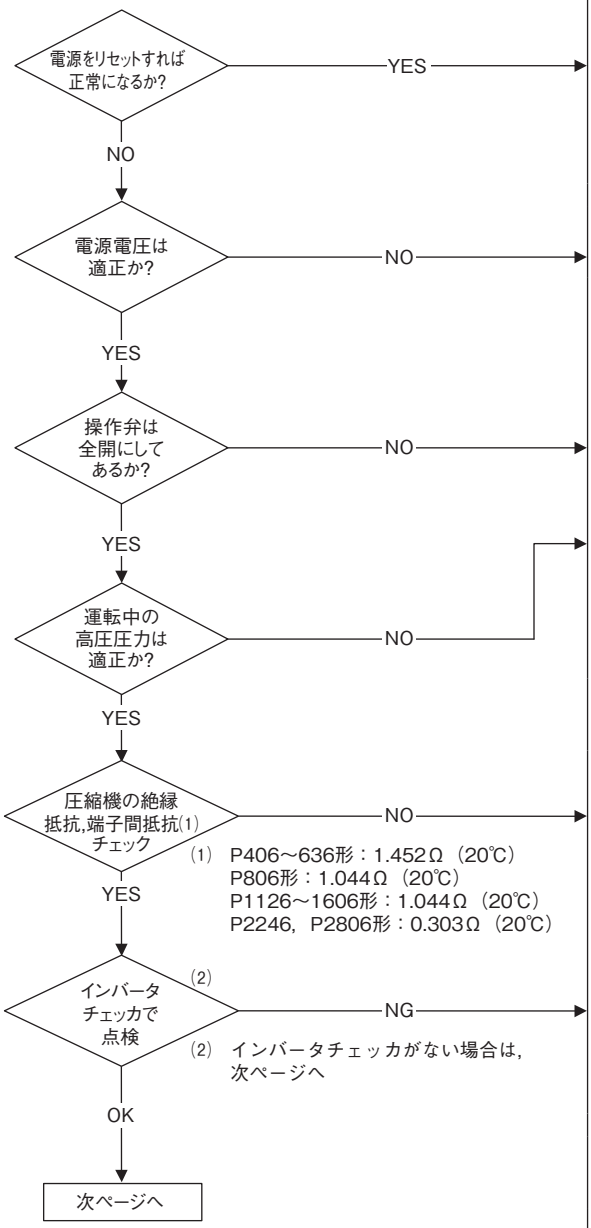
インバータ出力電流が設定値を超えると圧縮機を停止します。3分遅延後，再始動しますが30〔40〕分間に4〔3〕回作動した時。

注〔 〕内数値はFDCVP406～806形の場合を示します。

4. 予想原因

・室外インバータ基板不良
・電源不良
・冷媒量不良
・圧縮機不良
・パワートランジスタモジュール不良

5. 故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E42	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

カレントカット(2/2)

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

インバータ部の過電流を防止，電流が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

3. 異常発生条件

インバータ出力電流が設定値を超えると圧縮機を停止します。3 分遅延後，再始動しますが 30〔40〕分間に4〔3〕回作動した時。

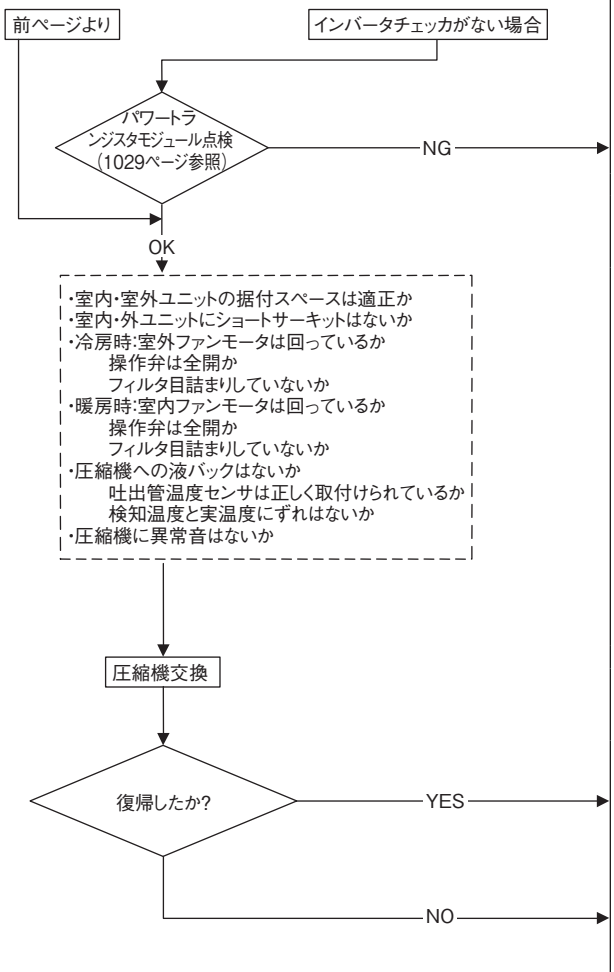
注〔 〕内数値は FDCVP406 ～ 806 形の場合を示します。

4. 予想原因

・室外インバータ基板不良
・電源不良
・冷媒量不良
・圧縮機不良
・パワートランジスタモジュール不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置



注記：

表示
リモコン：E45

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	1回点滅

内容

インバータ通信異常
（FDCVP1126～2806形のみ）

1. 対象機種

FDCVP1126～2806形

2. 異常検出方法

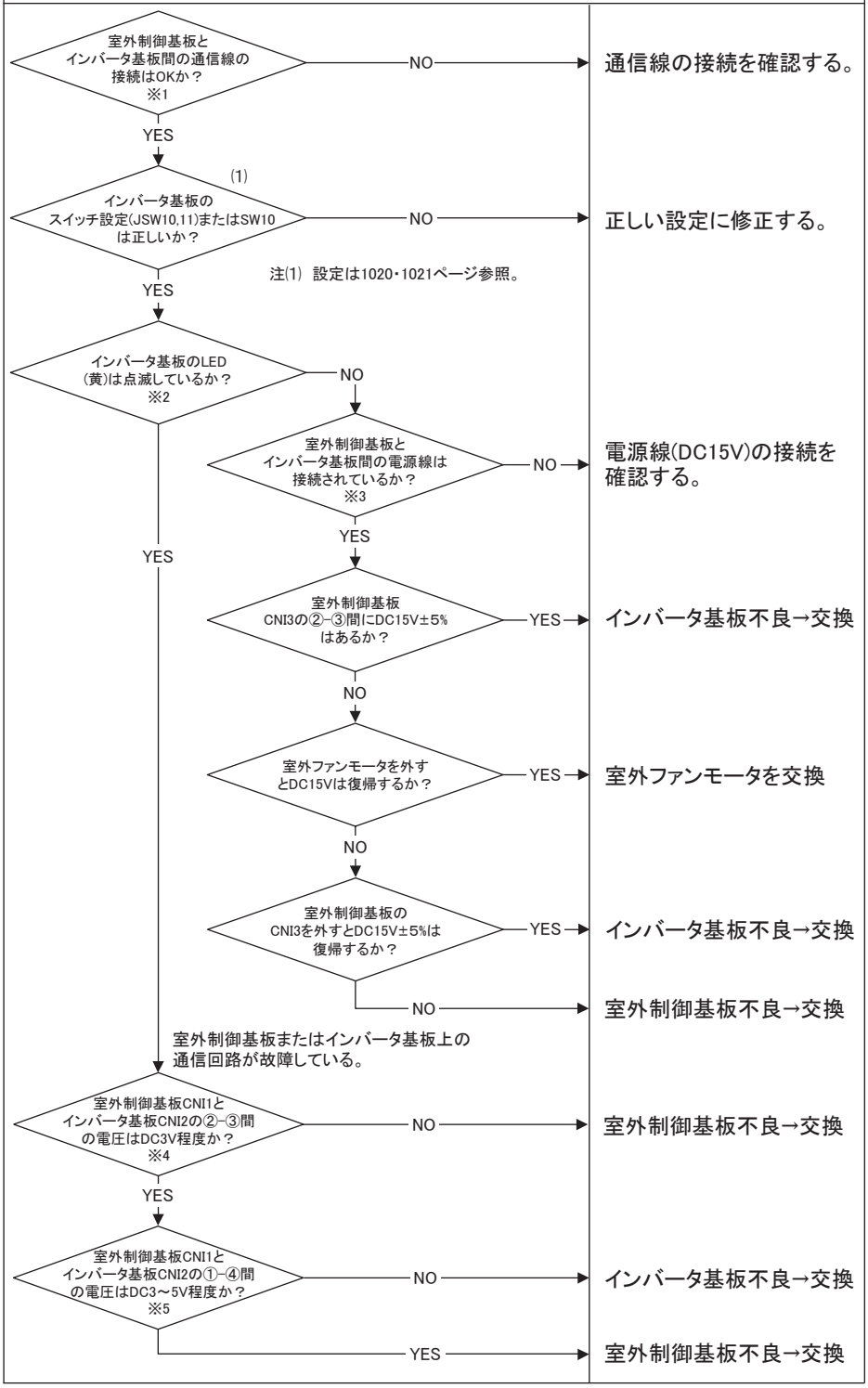
3. 異常発生条件

インバータ基板と室外制御基板間の通信が成立しないとき

4. 予想原因

・インバータ基板不良
・室外制御基板ーインバータ基板間の配線接続不良
・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良

5. 故障診断と処置



注記：※1 室外制御基板CNI1～インバータ基板CNI2の各ピン間の導通を確認する。
※2 リセット後，運転状態を確認する。
※3 室外制御基板CNI3～インバータ基板CNI4の各ピン間の導通を確認する。
※4 テスタの測定レンジをACレンジにして測定する。
※5 テスタの測定レンジをDCレンジにして測定する。

表示 リモコン:E47	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	1回点滅

内容 インバータ過電圧異常
（FDCVP406 ～ 806形の単相機のみ）

1．対象機種

FDCVP406 ～ 806形の単相機のみ

2．異常検出方法

コンバータ電圧がDC390Vを超えた場合（20分間に3回）異常表示。3分経過後にリモコンからのリセット可能。

3．異常発生条件

同上。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・制御基板の塵埃
・ヒューズ溶断

5．故障診断と処置

診　断	処　置
制御基板のはんだ面に塵埃・汚れ等の異物はないか? → NO	塵埃・汚れ等の異物を取除く。
YES → ヒューズF3（250V,1A）は溶断していないか? → NO	ヒューズ交換
YES	室外制御基板不良→交換

注記：

表示 リモコン:E47	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容 アクティブフィルタ異常
（FDCVP1126H～2806H形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126H～2806H形

2．異常検出方法

インバータ基板よりアクティブフィルタ異常を 60 分間に 4 回検知，または 15 分継続した場合

3．異常発生条件

同上。

4．予想原因

・インバータ基板不良
・インバータ基板の塵埃
・電源電圧異常

5．故障診断と処置

診　断	処　置
電源電圧は指定範囲内か?（AC200V±10%）→ NO	電圧を点検してください。
YES → インバータ基板のはんだ面に塵埃・汚れ等の異物はないか? → NO	異物を取除く。
YES	インバータ基板不良→交換

注記：

表示 リモコン:E48	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	1回点滅

内容 **室外ファンモータ不良**
（FDCVP406 ～ 806形のみ）

1．対象機種

FDCVP406 ～ 806形

2．異常検出方法

室外ファンモータ回転数

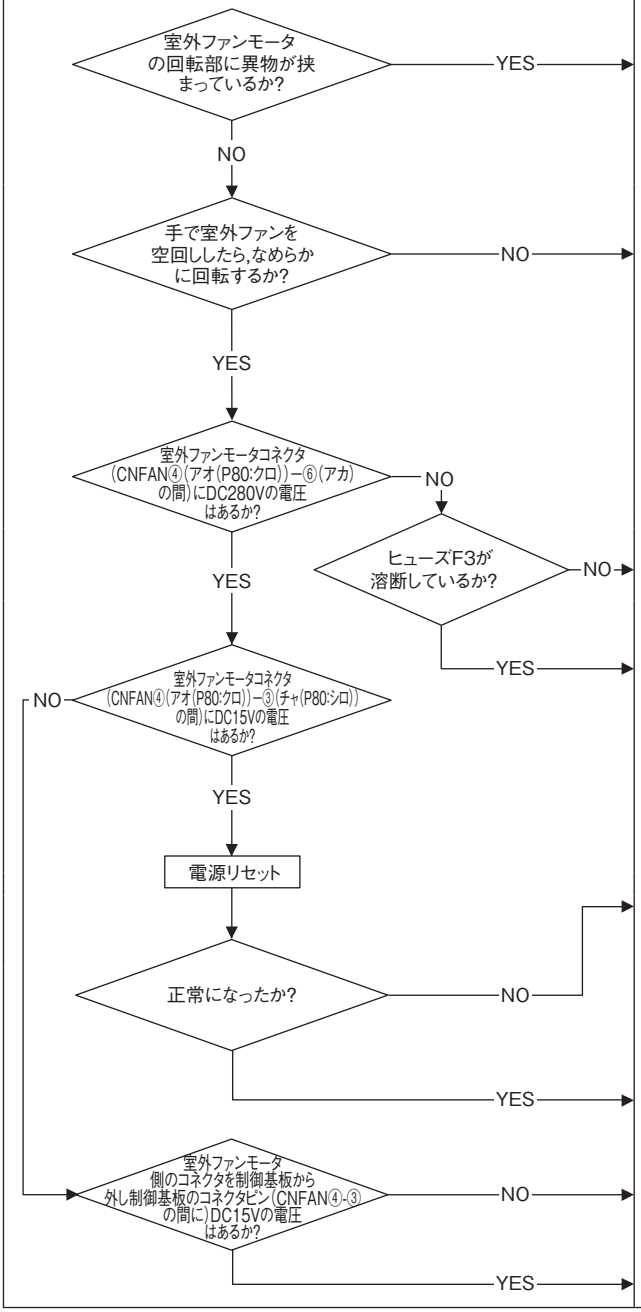
3．異常発生条件

室外ファンモータ出力 ON 時，室外ファンモータ回転数が $75min^{-1}$ 以下を 30 秒以上継続する現象が 3 回連続発生した場合。

4．予想原因

- 室外制御基板不良
- 室外ファンモータの回転部の異物
- 室外ファンモータ不良
- 制御基板の塵埃
- ヒューズ F3 溶断

5．故障診断と処置



注記：E48 発生時は，ほとんどの場合制御基板上の F3 ヒューズ(1A)が断線しています。室外ファンモータ破損により，ヒューズが断線して E48 に至るケースが多く，制御基板(ヒューズ)交換のみを実施した場合には他のトラブル(※ 1)を発生するケースがありますので F3 ヒューズ断線時には，必ず室外ファンモータの故障有無をチェックし，室外ファンモータ交換後に通電確認を実施してください。室外ファンモータの故障有無未確認のまま電源投入しないでください。(※ 1：内機確認中表示／室外制御基板 LED 消灯，インバータ通信異常(E45)といった，一見室外ファンモータ異常と関係の無い異常が発生します。)

表示 リモコン:E48	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 **室外ファンモータ不良**
（FDCVP1126 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

室外ファンモータ回転数

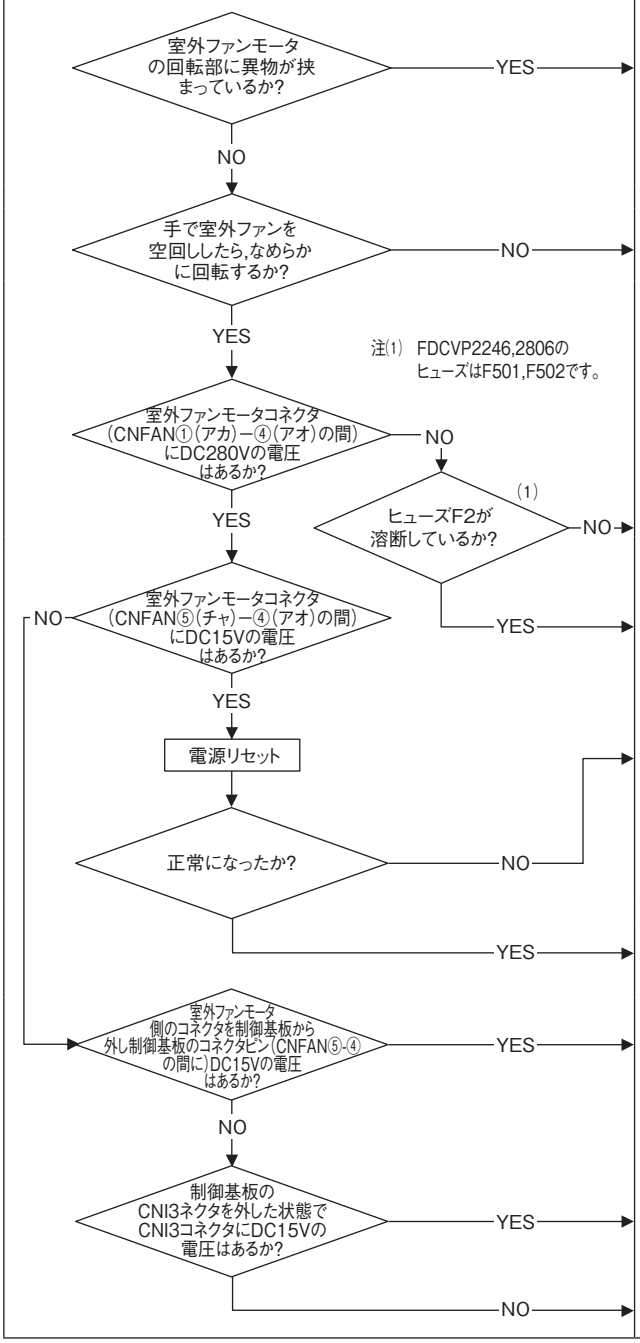
3．異常発生条件

室外ファンモータ（FMo1，2）の実回転が30秒連続して100min^{-1}以下になると圧縮機，室外ファンモータを停止します。3分遅延後自動復帰しますが60分以内に5回作動した場合。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・室外ファンモータの回転部の異物
・室外ファンモータ不良
・制御基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：E48発生時は，ほとんどの場合制御基板上のF2ヒューズ（4A）〔P2246，P2806形：F501，F502ヒューズ（2A）〕が断線しています。室外ファンモータ破損により，ヒューズが断線してE48に至るケースが多く，制御基板（ヒューズ）交換のみを実施した場合には他のトラブル（※1）を発生するケースがありますのでF2ヒューズ断線時には，必ず室外ファンモータの故障有無をチェックし，室外ファンモータ交換後に通電確認を実施してください。室外ファンモータの故障有無未確認のまま電源投入しないでください。（※1：内機確認中表示／室外制御基板LED消灯，インバータ通信異常（E45）といった，一見室外ファンモータ異常と関係の無い異常が発生します。）

表示 リモコン:E49	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

低圧圧力異常または低圧圧力センサ不良（1/2）

（FDCVP1126 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

低圧圧力低下，吸入過熱度の検知

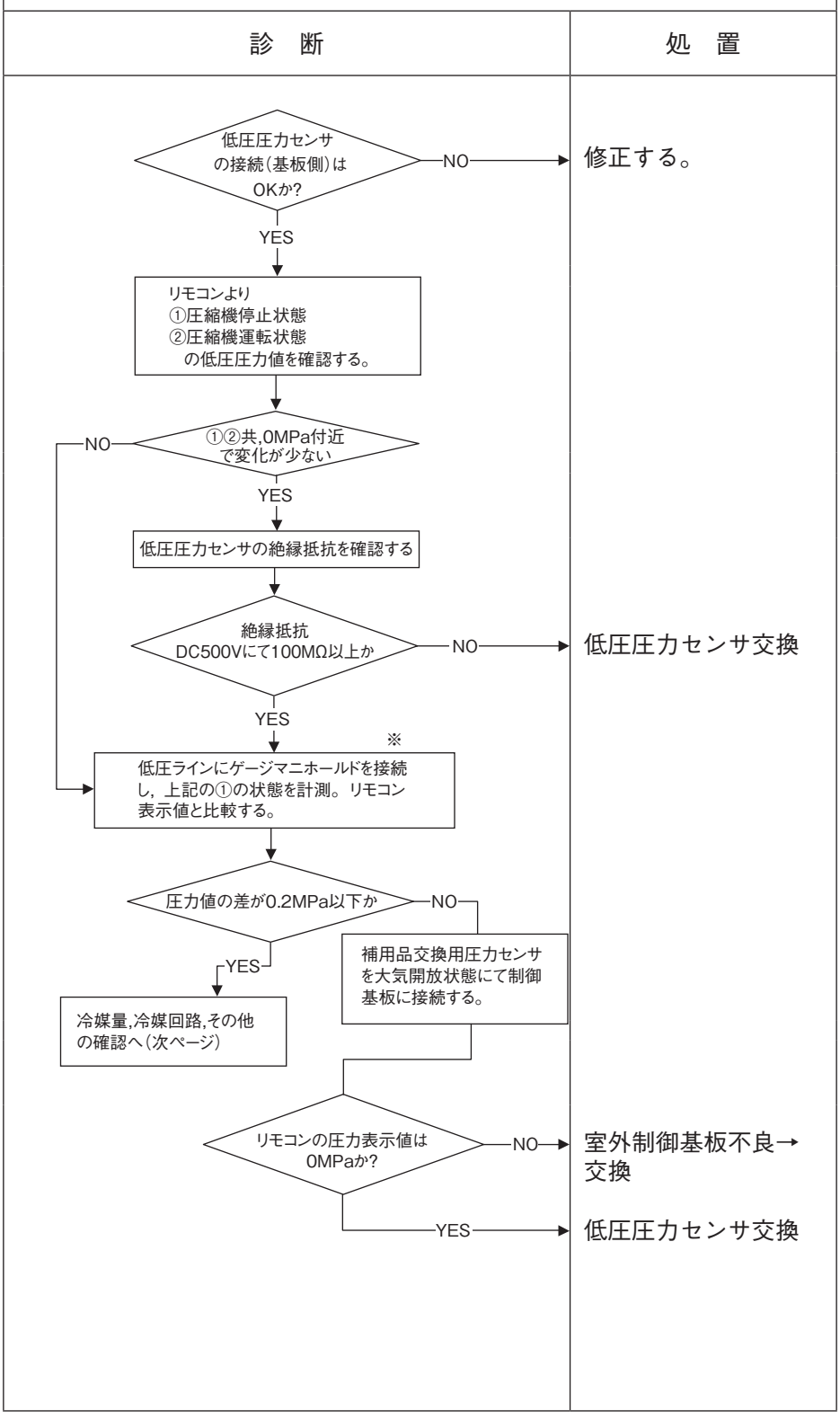
3．異常発生条件

①低圧圧力センサが 0.079MPa 以下を連続 15 秒間検知（3 分遅延後自動復帰）が 60 分以内に 5 回成立した場合に表示。
②圧縮機始動 10 分経過以降かつ低圧圧力センサが 0.15MPa 以下を連続 60 秒間検知かつ圧縮機吸入過熱度が 30℃以上を連続 60 秒間が，60 分以内に 5 回発生した場合に表示。
③低圧圧力センサが 0.079MPa 以下を連続 5 分間検知（圧縮機停止中含む）が成立した場合即表示。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・低圧圧力センサコネクタ不良
・低圧圧力センサ不良
・吸入管温度センサコネクタ不良
・吸入管温度センサ不良

5．故障診断と処置



注記：※ゲージマニホールドは，冷房時は操作弁チェックジョイント，暖房時は室外ユニット機械室内より取出しているチェックジョイントに接続。

表示 リモコン:E49	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

低圧圧力異常または低圧圧力センサ不良（2/2）

（FDCVP1126 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

低圧圧力低下，吸入過熱度の検知

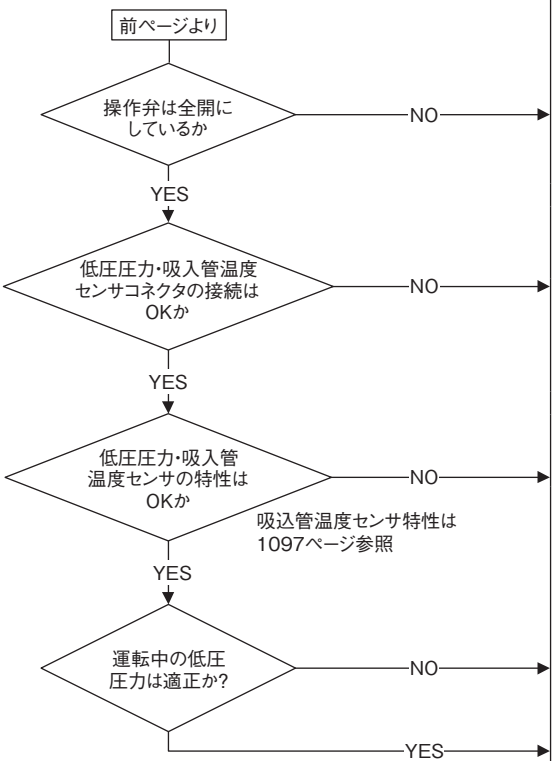
3．異常発生条件

①低圧圧力センサが0.079MPa以下を連続 15 秒間検知（3分遅延後自動復帰）が 60 分以内に 5 回成立した場合に表示。
②圧縮機始動 10 分経過以降かつ低圧圧力センサが0.15MPa以下を連続 60 秒間検知かつ圧縮機吸入過熱度が 30℃以上を連続 60 秒間が，60 分以内に 5 回発生した場合に表示。
③低圧圧力センサが 0.079MPa 以下を連続 5 分間検知（圧縮機停止中含む）が成立した場合即表示。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・低圧圧力センサコネクタ不良
・低圧圧力センサ不良
・吸入管温度センサコネクタ不良
・吸入管温度センサ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示 リモコン:E51	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	―	1回点滅

内容 パワートランジスタ異常
（FDCVP406～806形のみ）

1．対象機種

FDCVP406～806形

2．異常検出方法

パワートランジスタの一次側の電流値が設定値を超えた場合

3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外制御基板不良
・制御基板の塵埃
・ヒューズ溶断

5．故障診断と処置

診　断	処　置
制御基板のはんだ面に塵埃･汚れ等の異物はないか?	
NO	塵埃・汚れ等の異物を取除く。
YES	
ヒューズF2（250V,20A）は溶断しているか?	
YES	ヒューズ交換
NO	室外制御基板不良→交換

注記：

表示
リモコン:E51

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	1 回点滅

内容 インバータ・ファンモータ異常
（FDCVP1126 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

パワートランジスタ異常が 15 分継続した場合

3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外インバータ基板不良
・室外制御基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室外制御基板のCNI3（②-③間）にDC15Vはあるか? YES	室外インバータ基板不良→交換（それでも直らなければノイズフィルタ基板交換）
室外ファンモータのコネクタを外すとDC15Vは復帰するか? YES	ファンモータ交換
NO	室外制御基板不良→交換（それでも直らなければ室外インバータ基板交換）

注記：

表示 リモコン:E53	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 **吸入管温度センサ不良**
（FDCVP1126 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

吸入管温度センサの異常低温（抵抗）の検知

3．異常発生条件

圧縮機 ON 後 10 分から 10 分 20 秒の間に温度センサが－ 50℃以下を連続 5 秒間検知すると圧縮機を停止，3 分遅延後に圧縮機を再起動させ 40 分に 3 回検知した場合。

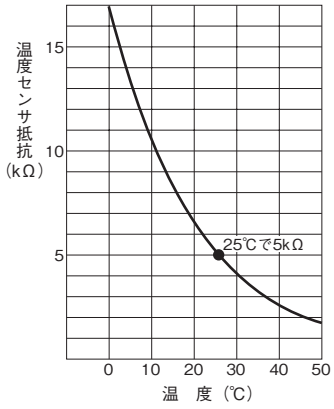
4．予想原因

・吸入管温度センサ接続不良
・吸入管温度センサ不良
・室外制御基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
吸入管温度センサコネクタの接続はOKか → NO	吸入管温度センサコネクタ接続修正
YES 吸入管温度センサ特性は下図参照 吸入管温度センサの特性はOKか → NO	吸入管温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 （吸入管温度センサ入力回路不良）

吸入管温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E54	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

低圧圧力センサ不良
（FDCVP1126 ～ 2806 形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

異常電圧（圧力）の検出

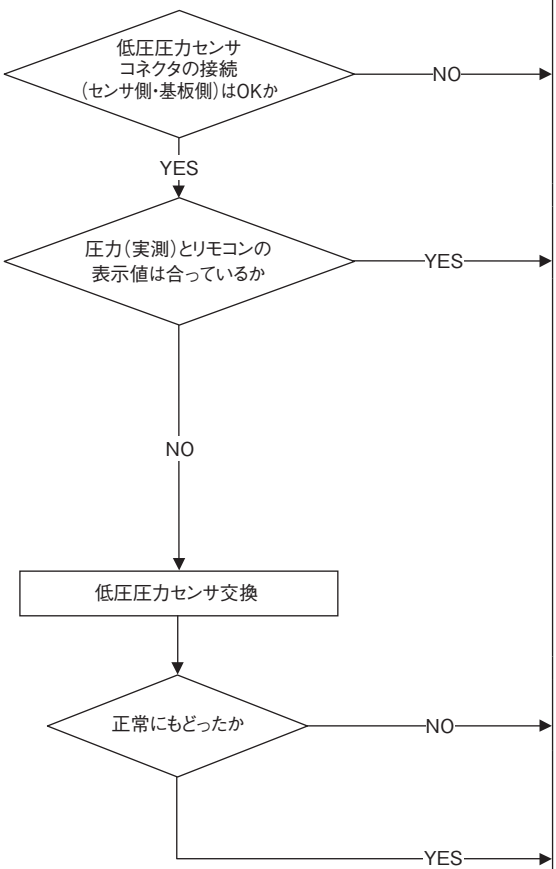
3．異常発生条件

圧縮機 ON 後 2 分～ 2 分 20 秒の間に圧力センサが 0V 以下および 4.0V 以上を連続 5 秒検知すると圧縮機を停止，3 分遅延後に圧縮機を再起動させ 40 分に 3 回検知した場合。

4．予想原因

・低圧圧力センサ接続不良
・低圧圧力センサ不良
・室外制御基板不良
・冷媒量不適格
・冷媒回路異常

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E57	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容 冷媒量不足または操作弁閉検出

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

・室内熱交温度（Thi-R）と室内吸込温度（Thi-A）差を検知しガスロー状態を判断します。
FDCVP1126～2806形は，ブレーカ電源投入より1回目の冷房・除湿起動時のみ検出します。

3. 異常発生条件

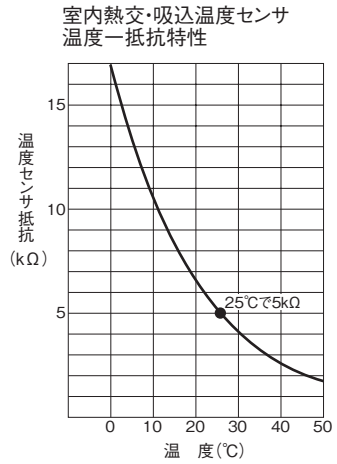
冷媒量不足異常を 60 分以内に 2 回検知した場合。
注 FDCVP1126 ～ 2806 形は 1 回で異常発生します。

4. 予想原因

・室内熱交温度センサ不良
・室内吸込温度センサ不良
・室内制御基板不良
・冷媒不足
・操作弁閉

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
操作弁は全開にしているか → NO	全開にする。
室内熱交・吸込温度センサコネクタの接続はOKか → NO	室内熱交・吸込温度センサコネクタ接続修正
室内熱交・吸込温度センサの特性はOKか（室内熱交・吸込温度センサ特性は下図参照） → NO	室内熱交・吸込温度センサコネクタ不良→交換
運転中の低圧圧力は適正か? → NO	冷媒チャージ
→ YES	室内制御基板不良→交換 （室内熱交・吸込温度センサ入力回路不良）



注記：冷媒量不足保護制御は圧縮機始動から冷房・除湿：5 分，暖房 9 分経過後に室内熱交温度（Thi-R）と室内吸込温度（Thi-A）差を検知しガスロー状態を判断し圧縮機を停止します。（冷房：室内吸込温度（Thi-A）- 室内熱交温度（Thi-R）＜ 4deg，暖房：室内熱交温度（Thi-R）- 室内吸込温度（Thi-A）＜ 4deg）

表示 リモコン:E58	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	−	1回点滅

内容

カレントセーフ
（FDCVP406 ～ 806形のみ）

1．対象機種

FDCVP406 ～ 806形

2．異常検出方法

圧縮機回転数が設定回転数以下のとき，入力電流が設定値を超えた場合

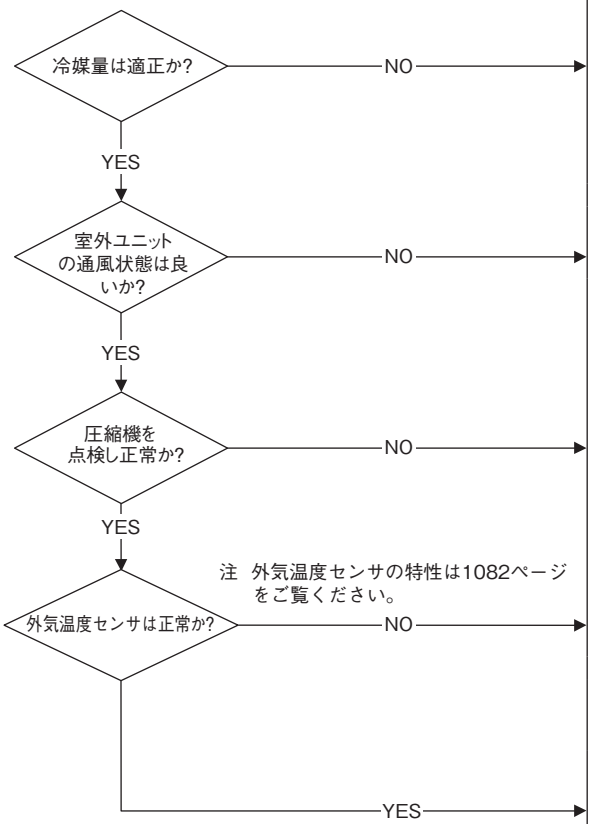
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・過負荷運転
・圧縮機ロック
・オーバチャージ
・外気温度センサ不良
・室外制御基板不良

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン： E58	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

圧縮機脱調異常
（FDCVP1126～2806形のみ）

1．対象機種

FDCVP1126～2806形

2．異常検出方法

E58発生

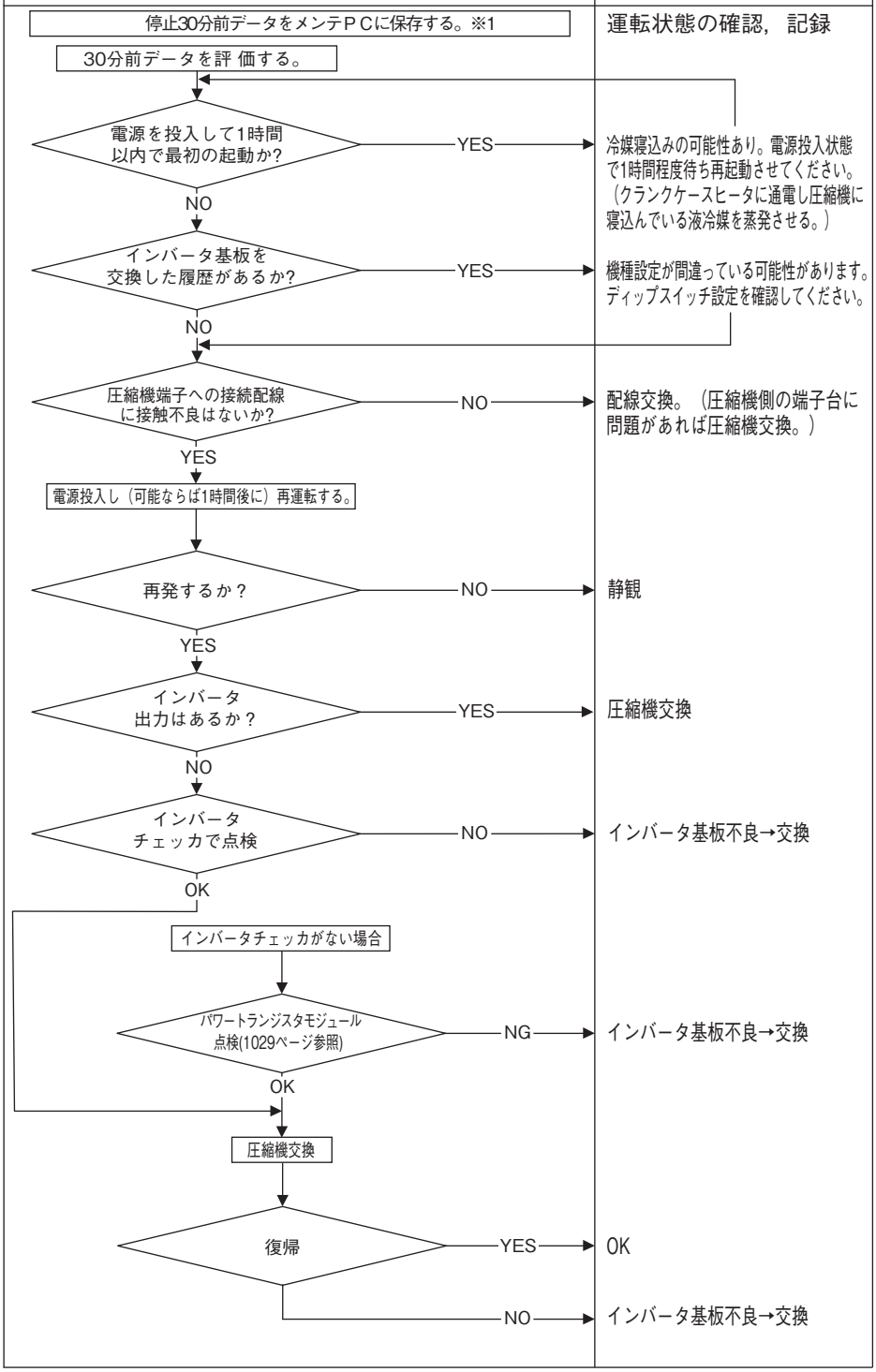
3．異常発生条件

15分以内に4回成立した場合

4．予想原因

・起動前の通電時間不足（クランクケースヒータ未通電による起動）
・圧縮機不良
・インバータ基板不良
・パワートランジスタ不良

5．故障診断と処置



注記： ※1 再現しない場合は、メンテPCを接続しデータ取得を継続する。（各地区の技術課が管理する。）

表示 リモコン:E59	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	ー	5回点滅

内容

圧縮機起動異常
（FDCVP406 ～ 806形のみ）

1．対象機種

FDCVP406 ～ 806形

2．異常検出方法

圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

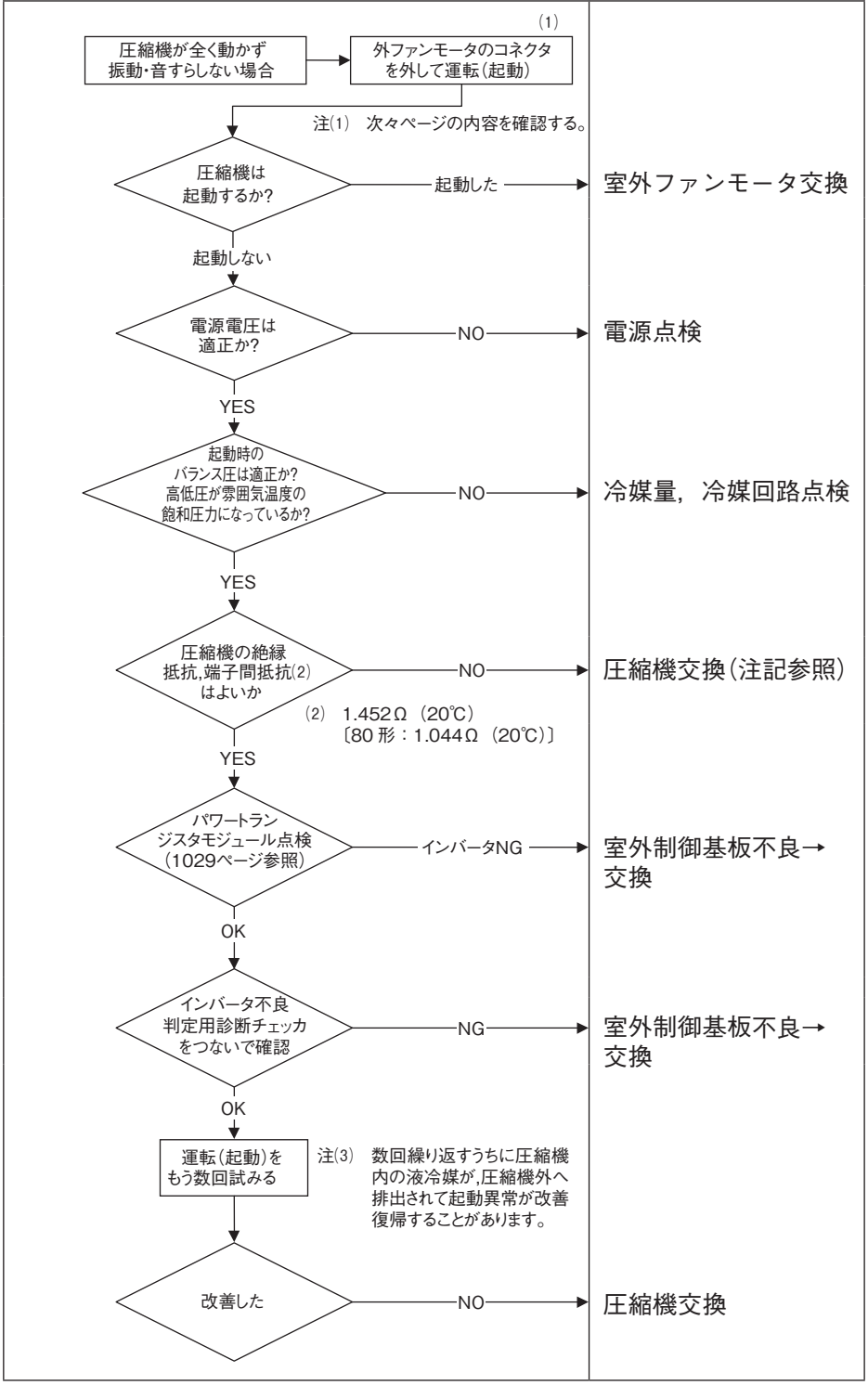
3．異常発生条件

起動7回トライを2セットで起動できない場合。
3分経過後にリモコンリセット可能。

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良
・電源電圧異常
・冷媒量，冷媒回路不適合
・圧縮機不良（モータ，軸受け）

5．故障診断と処置



注記：絶縁抵抗について
●据付直後，もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合，圧縮機に冷媒が溜まることにより，絶縁抵抗が数ＭΩまで抵下することがあります。絶縁抵抗が小さく，漏電ブレーカが作動する場合は，以下の事項を確認ください。
①電源を投入し，6時間程度経過後，絶縁抵抗が復帰するが確認する。
電源を投入することにより，圧縮機に通電加熱を行い，圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており，漏電ブレーカの誤動作を防止するため，高調波対応品を使用してください。

表示 リモコン:E59	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	5回点滅

内容

圧縮機起動異常
（FDCVP1126 ～ 2806 形）

1．対象機種

FDCVP1126 ～ 2806 形

2．異常検出方法

圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

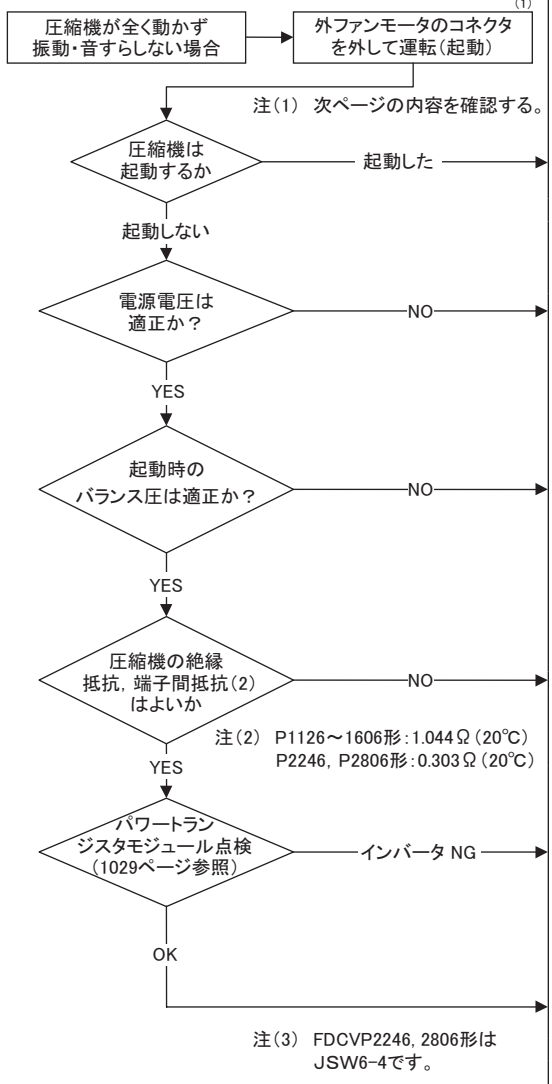
3．異常発生条件

起動5回トライを実施しても起動できない場合。3分経過後にリモコンリセット可能。

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外インバータ基板不良
・電源電圧異常
・冷媒量・冷媒回路不適合
・圧縮機不良（モータ，軸受け）

5．故障診断と処置



注記：絶縁抵抗について
●据付直後，もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合，圧縮機に冷媒が溜まることにより，絶縁抵抗が数ＭΩまで抵下することがあります。絶縁抵抗が小さく，漏電ブレーカが作動する場合は，以下の事項を確認ください。
①電源を投入し，6時間程度経過後，絶縁抵抗が復帰するが確認する。
電源を投入することにより，圧縮機に通電加熱を行い，圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており，漏電ブレーカの誤動作を防止するため，高調波対応品を使用してください。

表示 リモコン:E59	LED	緑	赤	内容	圧縮機起動異常
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	-または連続点滅	5回点滅		

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

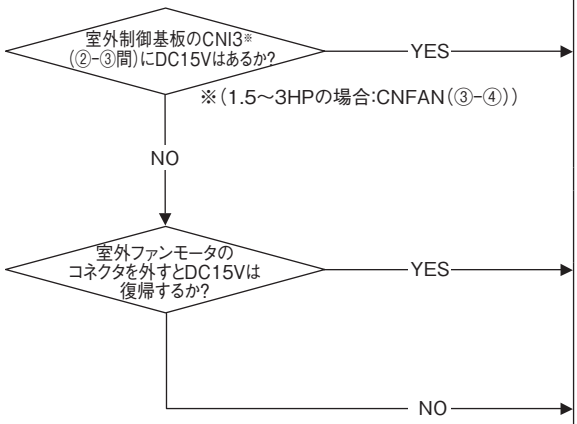
圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	前々ページまたは前ページのフローにもどる。 室外ファンモータ交換 室外制御基板不良→交換

注記：

表示 リモコン:E60	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	ー	1回点滅

内容 **圧縮機ロータロック異常**
（FDCVP406 ～806形）

1．対象機種

FDCVP406 ～ 806形

2．異常検出方法

圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

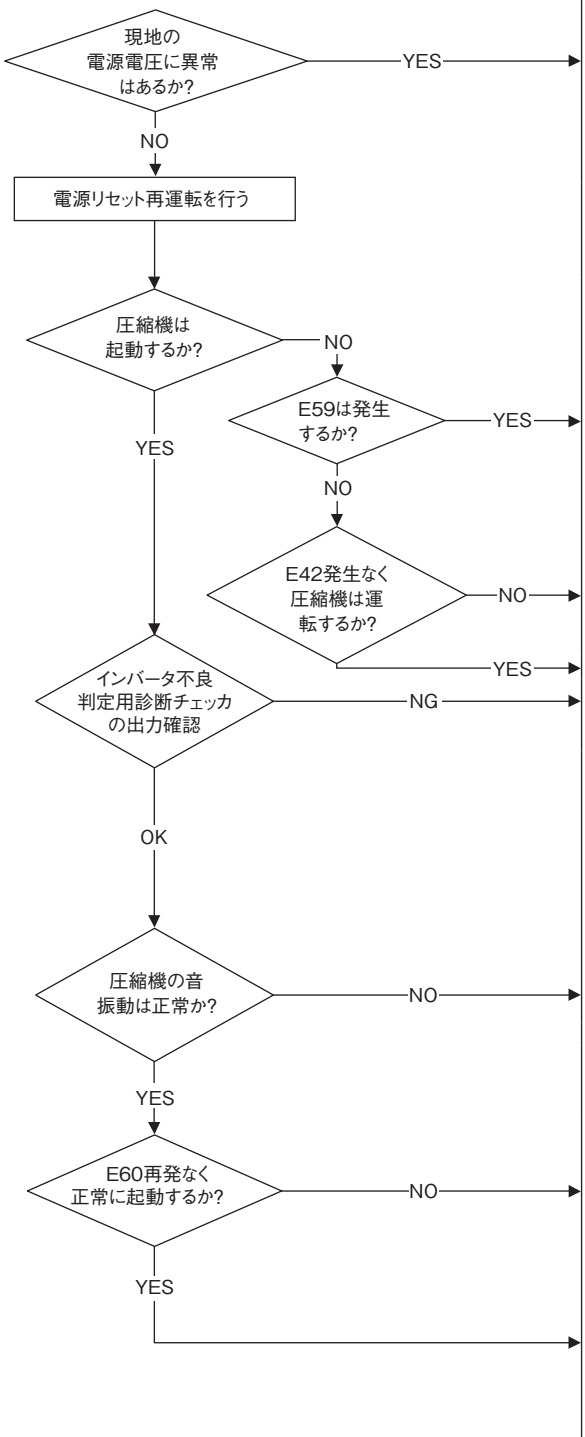
3．異常発生条件

圧縮機ロータの位置検出運転への移行後に，再度ロータ位置を検出できなかった場合に圧縮機を停止させます。3分後に自動復帰させますが15分に4回作動した場合。

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良
・室外インバータ基板不良
・電源電圧異常
・冷媒量・冷媒回路不適合
・圧縮機不良（モータ，軸受）

5．故障診断と処置



注記：絶縁抵抗について
●据付直後，もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合，圧縮機に冷媒が溜まることにより，絶縁抵抗が数ＭΩまで抵下することがあります。絶縁抵抗が小さく，漏電ブレーカが作動する場合は，以下の事項を確認ください。
①電源を投入し，6時間程度経過後，絶縁抵抗が復帰するが確認する。
電源を投入することにより，圧縮機に通電加熱を行い，圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており，漏電ブレーカの誤動作を防止するため，高調波対応品を使用してください。

表示	LED	緑	赤	内容	冷媒センサ故障
リモコン:冷媒センサーが故障しています	室内	連続点滅	消灯		（FDF シリーズ）
	室外	―	消灯		

1．対象機種

FDF シリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサから故障信号を検知

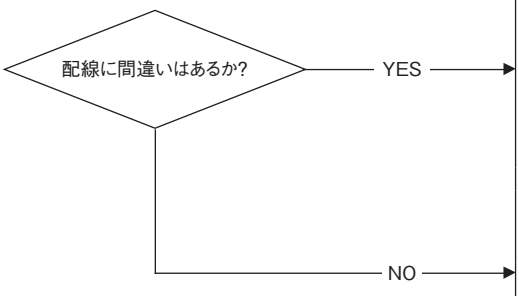
3．異常発生条件

・冷媒センサが故障した場合

4．予想原因

・冷媒センサ不良
・配線不良（警報出力を誤検知）

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	配線修正 冷媒センサ不良 →冷媒センサを交換

注記：

表示	LED	緑	赤	内容	冷媒センサ外れ （FDF シリーズ）
リモコン:冷媒センサーが外れています	室内	連続点滅	消灯		
	室外	―	消灯		

1．対象機種

FDF シリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサからの出力により検知

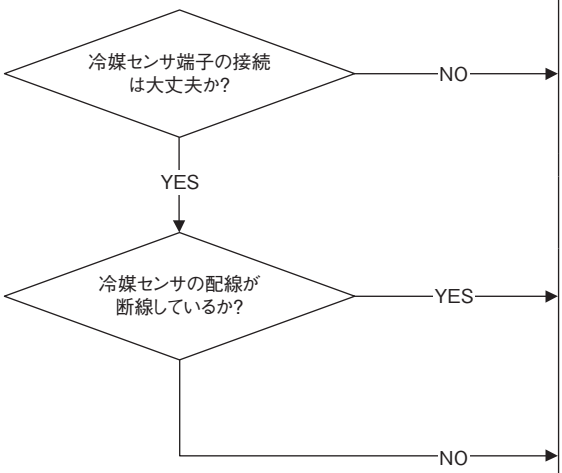
3．異常発生条件

・冷媒センサから「冷媒センサ外れ」信号を受信した場合

4．予想原因

・冷媒センサ接続不良
・冷媒センサ不良
・冷媒センサ配線不良

5．故障診断と処置



注記：

ⓒ 暖ガンハイパーインバータシリーズ

1.15.1 点検表示一覧

(1) リモコンの故障記号一覧（室内・外制御基板の正常［緑］，点検［赤］表示灯との組合せによる故障表示）

(a) 室内ユニット側故障時に於けるリモコン，制御基板の点検表示一覧

点検表示						故障箇所	故障内容(2)	修理方法	記載ページ
リモコン		室内制御基板		室外制御基板					
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表(1)示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表(1)(3)示灯（緑）				
無表示	消灯	消灯	連続点滅	連続点滅	連続点滅	―――	●**正常運転**	―――	－
無表示	消灯	消灯	消灯	2回点滅	連続点滅	室内電源	●電源OFF，断線・ヒューズ切れ	修　理	1154~1156
無表示	消灯	3回点滅	連続点滅	2回点滅	連続点滅	リモコン配線	●リモコン線の接続不良・断線（クロ,シロ）	修　理	1157・1158
無表示	消灯	3回点滅	連続点滅	2回点滅	連続点滅	リモコン	●リモコン基板不良	リモコン交換	1157・1158
内機確認中または消灯		消灯	連続点滅	2回点滅	連続点滅	室内外接続線	●室内外接続線の接続不良または断線	修　理	1160~1164
内機確認中または消灯		消灯	連続点滅	2回点滅	連続点滅	リモコン	●リモコン親子設定不良	修　理	1160~1164
E 1	連続点滅	消灯	☆連続点滅	消灯	連続点滅	リモコン配線（ノイズ）	●**リモコン信号線（シロ）**の接続不良 ●**リモコン線にノイズ**侵入 ☆電源ON時断線時消灯	修　理	1166・1167
E 1	連続点滅	消灯	☆連続点滅	消灯	連続点滅	リモコン室内制御基板	※●リモコンまたは室内制御基板不良（通信回路不良）?	リモコンまたは基板交換	1166・1167
E 5	連続点滅	2回点滅	連続点滅	2回点滅	連続点滅	室内外接続線	●**運転中に室内外接続線接続不良発生（外れ・緩み）** ●**ノイズ**等による室内外通信異常	修　理	1168・1169
E 5	連続点滅	2回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	（ノイズ）	●**通電中に室外制御基板CPUが暴走**	修　理	1168・1169
E 5	連続点滅	2回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室外制御基板	※●通電中に室外制御基板不良発生（通信回路不良）?	基板交換	1168・1169
E 5	連続点滅	2回点滅	連続点滅	消灯	消灯	室外制御基板	●**通電中に室外制御基板不良**	交　換	1168・1169
E 5	連続点滅	2回点滅	連続点滅	消灯	消灯	ヒューズ	●**通電中にヒューズ切れ**	交　換	1168・1169
E 6	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内熱交温度センサ	●**室内熱交温度センサ不良**(素子不良,断線,短絡)　●温度センサ用コネクタ接触不良	温度センサ交換・修理	1170
E 6	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内基板	※●**室内制御基板不良**（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	1170
E 7	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	吸込温度センサ	●**吸込温度センサ不良**(素子不良,断線,短絡)　●温度センサ用コネクタ接触不良	温度センサ交換・修理	1171
E 7	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内制御基板	※●**室内制御基板不良**(温度センサ入力回路不良)?	基板交換	1171
E 8	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	据付・運転状況	●**暖房過負荷**(室内熱交温度が異常に高い)	修　理	1172
E 8	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内熱交温度センサ	●**室内熱交温度センサ不良（短絡）**	温度センサ交　換	1172
E 8	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内制御基板	※●**室内制御基板不良**（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	1172
E 9	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	排水不良	●**ドレンポンプ(DM)不良，**ドレンポンプ用配線断線・コネクタ外れ	DM交換・修理	1173
E 9	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	フロートスイッチ	●**フロートスイッチの作動不良**(誤作動)	修　理	1173
E 9	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内制御基板	※●**室内制御基板不良**(フロートスイッチ入力回路不良) ※●**室内制御基板不良**(DM駆動用出力回路不良)	基板交換	1173
E 9	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	オプション	●**オプション部品不良**(オプション異常入力設定時)	修　理	1173
E 10	連続点滅	消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	室内接続台数	●1リモコン複数台制御時⇒**室内ユニット接続台数オーバー**	修　理	1174
E 11	連続点滅	消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	アドレス設定	●**リモコン通信アドレス設定不良**	修　理	1175
E 14	連続点滅	3回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内号機設定	●子機に対応する親機がない	修　理	1176
E 14	連続点滅	3回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	リモコン配線	●親機子機間のリモコン配線接続不良,断線	修　理	1176
E 16	連続点滅	1(2)回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内ファンモータ	●**室内ファンモータ不良**	交換・修理	1177・1178
E 16	連続点滅	1(2)回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内制御基板	●**室内制御基板不良**	交　換	1177・1178
E 19	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内制御基板	●**運転モード設定不良**	修　理	1179
E20	連続点滅	1(2)回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内ファンモータ	●**室内ファンモータ回転不良**	交換・修理	1180・1181
E20	連続点滅	1(2)回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	室内制御基板	●**室内制御基板不良**	交　換	1180・1181
E23	連続点滅	1回点滅	連続点滅	消灯	連続点滅	冷媒漏えい	●室内ユニット冷媒漏えい ●冷媒センサ不良 （FDF シリーズのみ）	修　理 交　換	1182
E28	連続点滅	消灯	連続点滅	消灯	連続点滅	リモコン温度センサ	●リモコン温度センサ不良	修　理	1183

注(1)　**正常表示灯（室内・外：緑）はCPU異常時のみ消灯（または連続点灯）します。CPU異常以外の故障の場合は点滅を続けます。**
(2)　故障内容の※印は通常の診断では，明確にそれと原因を特定できない場合で，部品交換して故障が直れば，結果的に交換した部品が悪かったことを判断できるケースを示します。
(3)　FDCZP406~636形の場合，室外制御基板上の正常表示灯（緑）はありません。

(b) 室外ユニット側故障時に於けるリモコン，制御基板の点検表示一覧

点検表示						故障箇所	故障内容	修理方法	記載ページ
リモコン		室内制御基板		室外制御基板					
故障記号	点検表示灯（赤）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）	点検表示灯（赤）	正常表示灯（緑）				
E34	連続点滅	消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	電源配線	**●室外電源R, S, T相欠相，ノイズフィルタ不良**	修理	1184･1185
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（電源入力回路不良）?	基板交換	
E35		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況	**●室外熱交温度が高い**	修理	1186
						室外熱交温度センサ	**●室外熱交温度センサ不良**	温度センサ交換修理	
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E36		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況	**●吐出温度が高い**	修理	1187
						吐出管温度センサ	**●吐出管温度センサ不良**	温度センサ交換修理	
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E37		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外熱交温度センサ	**●室外熱交温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	温度センサ交換修理	1188
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E38		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	外気温度センサ	**●外気温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	温度センサ交換修理	1189
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E39		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	吐出管温度センサ	**●吐出管温度センサ不良または断線**またはコネクタ接触不良	温度センサ交換修理	1190
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（温度センサ入力回路不良）?	基板交換	
E40		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況	**●高圧が上昇**（63H1作動） **●操作弁閉運転**	修理	1191
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（63H1入力回路不良）?	基板交換	
E41		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板・放熱フィン	**●パワートランジスタ電源電圧低下**	修理 基板交換	1192
E42		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外制御基板 圧縮機	**●カレントカット**（圧縮機過電流異常）	修理	1193･1194
						据付・運転状況	**●操作弁閉運転**	操作弁開確認	
E45		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外制御基板	**●室外制御基板通信異常**	基板交換	1195
						インバータ基板	**●インバータ基板通信異常**		
E47		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板	**●アクティブフィルタ異常**	基板交換	1196
E48		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	室外ファンモータ	**●室外ファンモータ不良**	交換修理	1197
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（ファンモータ入力回路不良）?	基板交換	
E49		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	据付・運転状況	**●低圧が低い ●操作弁閉運転**	修理	1198･1199
						低圧圧力センサ	●低圧異常または低圧圧力センサ断線またはコネクタ接触不良	センサ交換修理	
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	制御基板交換	
E51		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	インバータ基板	**●インバータ・室外ファンモータ異常**	基板交換	1200
E53		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	吸入管温度センサ	●吸入管温度センサ不良または断線またはコネクタ接触不良	温度センサ交換修理	1201
						室外制御基板	※●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	制御基板交換	
E54		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	低圧圧力センサ	●低圧圧力センサ不良	センサ交換	1202
						室外制御基板	●室外制御基板不良（センサ入力回路不良）?	制御基板交換	
E57		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	運転状況	**●冷媒量不足**	修理	1203
						据付状況	●操作弁閉運転	操作弁開確認	
E58		消灯	連続点滅	1回点滅	連続点滅	圧縮機インバータ基板	**●カレントセーフ** **●圧縮機脱調異常**	交換	1204
E59		消灯	連続点滅	5回点滅	連続点滅	圧縮機インバータ基板	**●圧縮機起動異常**	交換	1205･1206

注 故障内容の※印は通常の診断では，明確にそれと原因を特定できない場合で，部品交換して故障が直れば，結果的に交換した部品が悪かったことを判断できるケースを示します。

(d) 故障記号・点検表示灯の表示順序

■1種類の故障が発生

故障に応じた表示をそれぞれ行います。

■複数の故障が発生

区　　分	表　　示　　区　　分
リモコンの故障記号 室内制御基板の点検LED（赤） 室外制御基板の点検LED（赤）	●優先度の高い故障を表示（複数の故障が現に継続している場合） E23>E 1>E5>……>E 10>E32 >……>E60 ●現在発生している故障を表示（先発の故障が自動復帰後，新たに故障が発生した場合）

■故障検知時期

区分	故　障　内　容	故障記号	故　障　検　知　時　期
室内	ドレン異常（フロートスイッチ作動）	E9	電源ON30秒後常時
	室内一室外誤接続	内機確認中	室外ユニットと一度も通信していない状態
	リモコン・室内伝送不良	E 1	電源投入後リモコンと室内が1度以上通信した後，伝送不良が2分間継続した時
	室内・外伝送不良	E5	室外と1度以上通信した後2分間連続して通信異常
	室内ユニット接続台数オーバー（1リモコン複数台制御時）	E 10	電源投入後（通電中）常時
	吸込温度センサ断線	E7	1回目の検知から60分以内に温度センサ入力温度が-50℃以下を5秒間以上計測した時
	室内熱交温度センサ断線，短絡	E6	1回目の検知から60分以内に温度センサ温度が-50℃以下を5秒間以上計測した時および70℃以上を連続5秒間検知した時
	冷媒漏えい（FDF シリーズのみ）	E23	電源ON後3分経過後以降常時
室外	外気温度センサ断線	E38	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-45℃以下を5秒間以上計測した時および電源投入時，20秒間に-45℃以下を連続5秒間検知した時
	室外熱交温度センサ断線	E37	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-50℃以下を5秒間以上計測した時および電源投入時，20秒間に-50℃以下を連続5秒間検知した時
	吐出管温度センサ断線	E39	1回目の検知から40分以内に3回温度センサ入力温度が-10℃以下を5秒間以上計測した時
	吸入管温度センサ断線（FDCZP806～2806形）	E53	1回目の検知から40分以内に3回吸入管温度センサ入力温度が-50℃を5秒間以上計測した時
	低圧圧力センサ断線	E54	1回目の検知から40分以内に3回低圧圧力センサの検出値がDC0V以下もしくは，DC4.0V以上

■故障の記憶とリセット

故　障　表　示	記　　憶	リ　セ　ッ　ト
リモコンの故障記号	●優先度の高いモードを記憶	●リモコンの運転／停止スイッチを押してユニットを停止する ●異常が復旧していれば再運転可能
室内・点検表示灯（赤）	●記憶は不可	
室外・点検表示灯（赤）	●優先度の高いモードを記憶	

■故障モード記憶の解除（故障が復帰している場合）

① **RC-DX3Dリモコンの場合**

- リモコン故障モード記憶の解除
  TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→「点検表示」→「異常履歴表示」の順に選択します。
  画面上の「消去」→消去確認画面で「はい」の順に選択すると，リモコンが記憶している異常履歴・異常発生時のデータの記憶をすべて消去します。
- 室内ユニット故障モード記憶の解除
  TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→「点検表示」→「異常時運転データ消去」の順に選択します。
  異常時運転データ消去画面で「はい」を選択すると，リモコンは室内ユニットに異常履歴クリアを送信します。送信された室内ユニットは，リモコンに対し異常なしを送信します。

1.15.2 故障診断の手順

故障が発生したら，次の手順で点検を進めてください。それぞれの点検方法の詳細は後述してあります。



1.15.3 室内ユニット基板の交換手順

故障診断は，点検表示またはユニットの運転状況（圧縮機が回らない，ファンが回らない，四方切換弁が切換わらない等）に応じて室内ユニットの基板周辺の各コネクタ部で電圧（AC，DC）抵抗等を測定する等して不良部品を見つけ，下記の部品単位で交換修理します。

(1) 室内基板関係の交換部品単位

制御基板，電源基板，温度センサ（吸込，室内熱交），リモコンスイッチ，リミットスイッチ，ヒューズ

注　強電回路・冷凍サイクルの部品は，通常の点検方法により判定してください。

(2) 基板交換要領

お願い　**ワイヤードリモコン使用機種は基板交換後，電源を投入した後に「リモコンによる機能設定」を参照し室内ユニットの機能や用途に合せて設定を行ってください。**

安全上のご注意

- 交換工事は，この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は，安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。
  表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った作業を行った時に，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った作業を行った時に，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 基板交換完了後，試運転を行い異常がないことを確認してください。

⚠ 警　告

- 交換作業は，販売店または専門業者に依頼する。
  ご自分で作業をされ不備があると，感電や火災の原因になります。
- 作業は，この交換要領書に従って確実に行う。
  作業に不備があると，感電や火災の原因になります。
- 元電源を切った後，交換工事をする。（電源を切って1分以上経過後に実施してください。）
  通電状態での基板交換は，感電・故障・動作不良の原因になります。ファンモータ他の接続機器破壊の原因になります。
- 配線は確実に接続し，端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
  接続や固定が不完全な場合は，発熱・火災の原因になります。
- 基板交換の作業終了後，電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認する。
  交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。

⚠ 注　意

- 基板にコネクタを接続する際は，基板が変形しないように接続する。破損・故障の原因になります。
- コネクタは，確実に挿入しストッパを掛ける。火災・動作不良の原因になります。
- 配線は，かみ込んだり，つっぱらないように結束する。断線・変形して故障・感電の原因になることがあります。

(a) FDT シリーズ

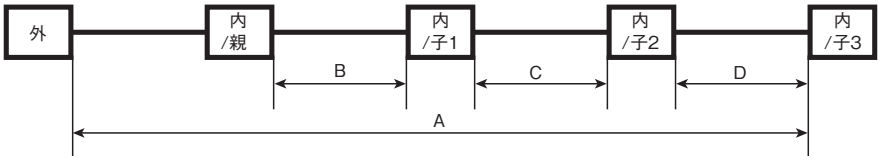
(i) フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

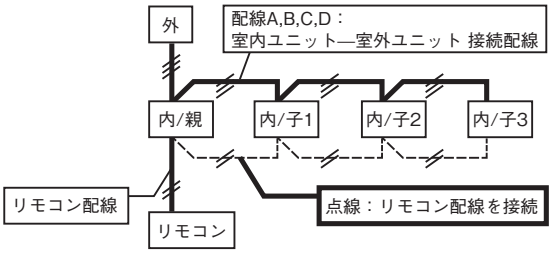
下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合 （FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON



また，室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを，下記のとおり設定ください。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

暖ガンハイパーインバータシリーズ *	SW4-1：OFF→ON

* KP80，KP112のみ

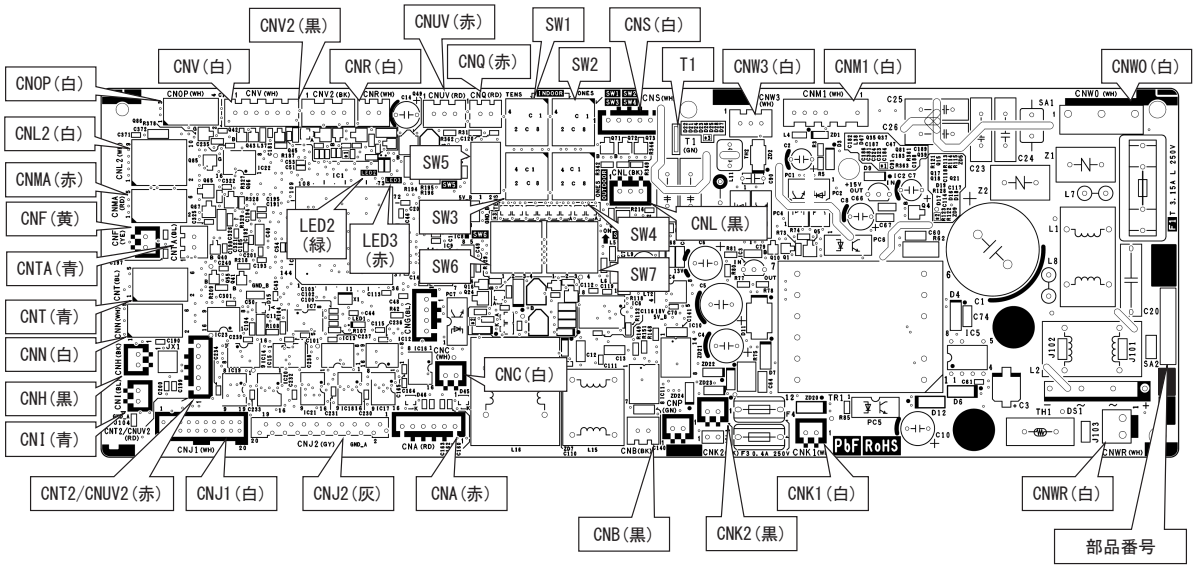
項目	スイッチ	制御内容	
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック/ドレンポンプ試運転

(ii) 基板を交換してください。

① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後、基板を交換してください。
② 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
③ スイッチ設定は、交換する基板と同一設定としてください。
④ CNOPのジャンパーコネクタが接続されている場合は、新しい基板に付替えてください。
⑤ 基板へコネクタを接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

(iii) 制御基板部品配置図

基板の種類により部品実装が異なります。



(b) FDTW，FDR，FDU，FDE シリーズ

(i) 制御基板

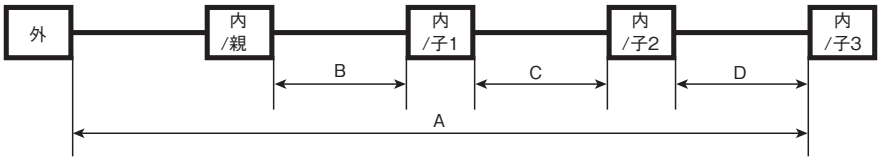
1)フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

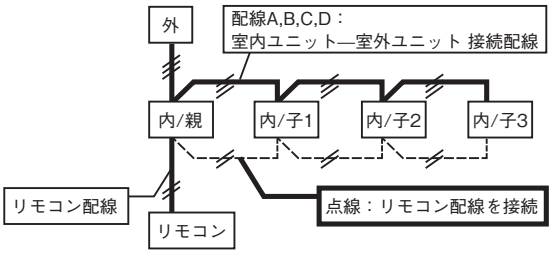
下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ(SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON



また，室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを，下記のとおり設定ください。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

暖ガンハイパーインバータシリーズ *	SW4-1：OFF→ON

* KP80，KP112のみ

項目	スイッチ	制御内容	
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック/ドレンポンプ試運転

2) 基板を交換してください。

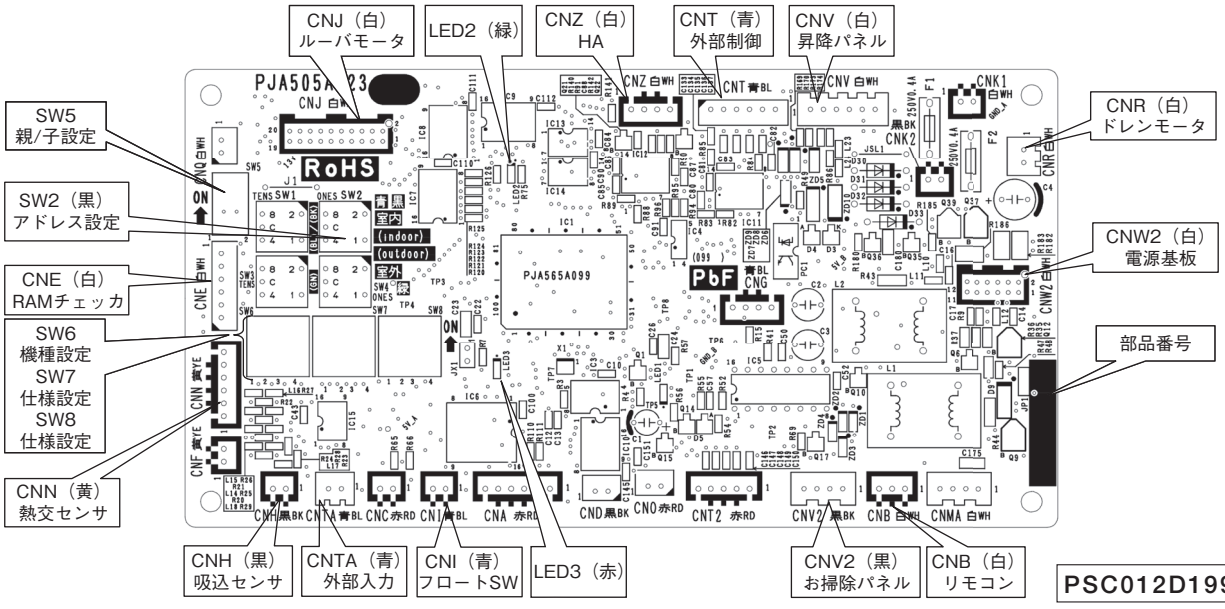
① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。

② 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。

③ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

3) 制御基板部品配置図

基板の種類により部品の実装が異なります。



PSC012D199△A

PSB012D990A△D

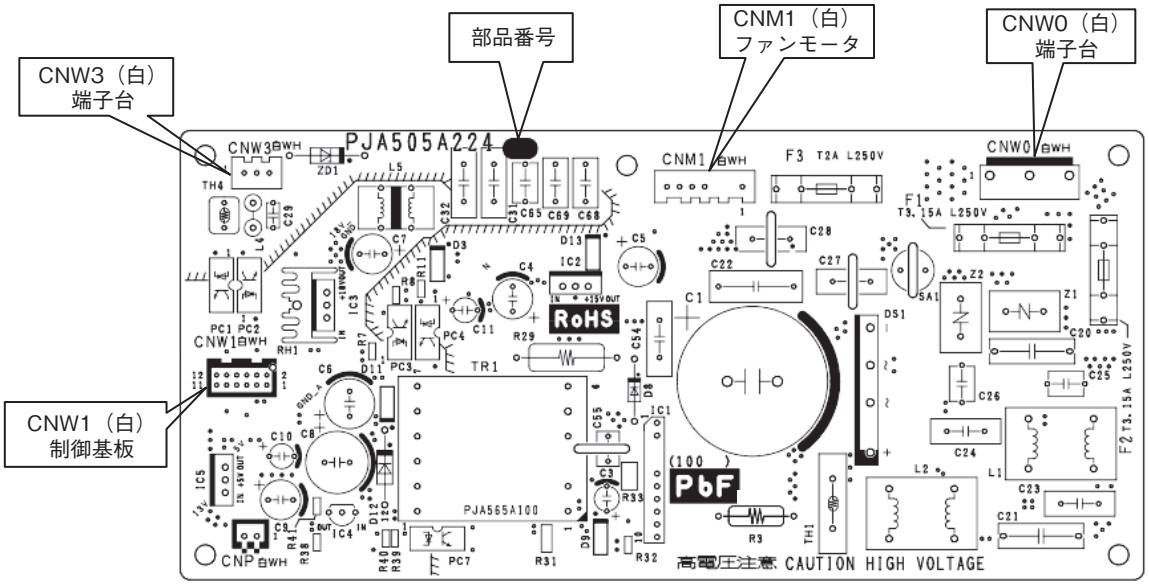
(ii) 電源基板

1) FDTWZP806S・FDE

a) 基板を交換してください。

① 端子台（CNW0）に接続されている配線(黄／緑)のボックスねじ止め部のねじを外してください。
② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。
③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。
⑤ ①で外した配線を元の場所にねじ止めしてください。

b) 電源基板部品配置図
基板の種類により部品の実装が異なります。



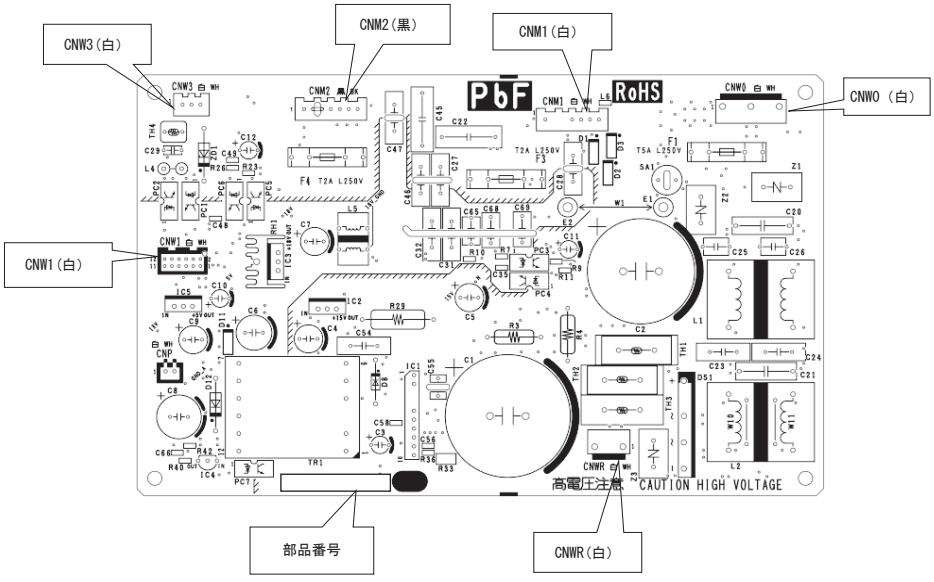
PSB012D992

2) FDTWZP1406S

a) 基板を交換してください。

① 端子台（CNW0）に接続されている配線（黄／緑）のボックスねじ止め部のねじを外してください。
② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後、基板を交換してください。
③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。
⑤ ①項で外した配線を元の場所にねじ止めしてください。

b) 電源基板部品配置図
基板の種類により部品実装が異なります。



PSC012D231

3）FDRZP806S，1606S，FDU

a） 基板を交換してください。

① 基板に接続されているE2配線（黄／緑）のねじ止め部のねじ（矢視A）を外してください。

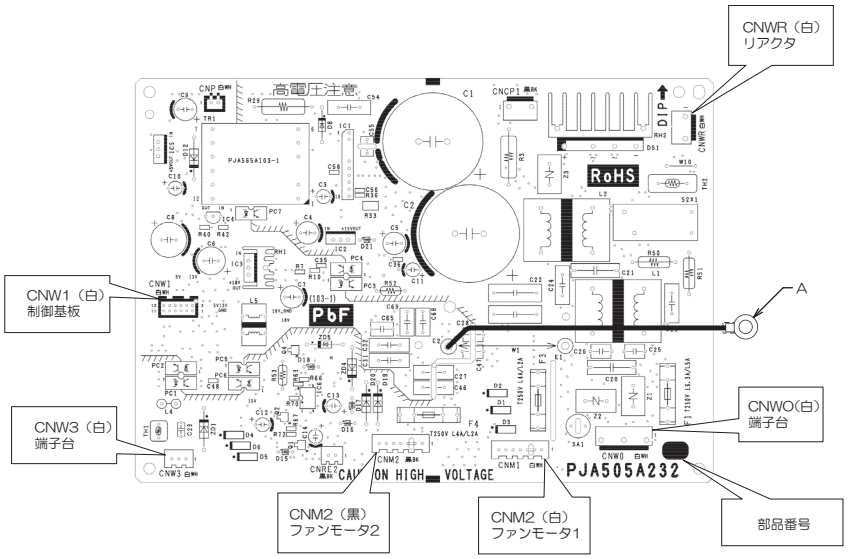
② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後、基板を交換してください。

③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。

④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

⑤ ①項で外した配線を元の場所にねじ止めしてください（矢視A）。

b） 電源基板部品配置図



PSC012D021 B

(c) FDES シリーズ

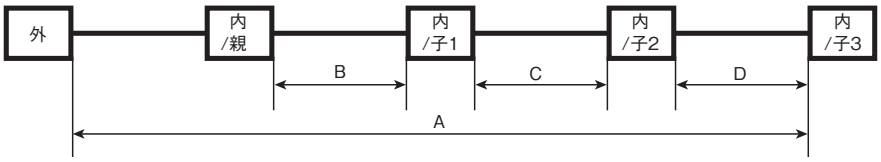
(i) フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合 （FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



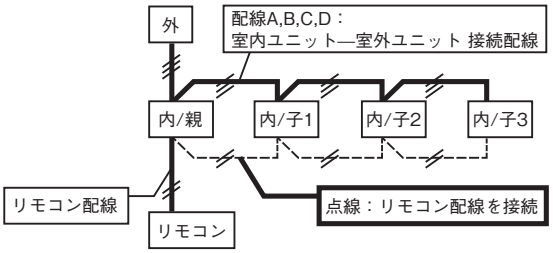
①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ(SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また，室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを，下記のとおり設定ください。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

暖ガンハイパーインバータシリーズ *	SW4-1：OFF→ON

* KP80，KP112のみ

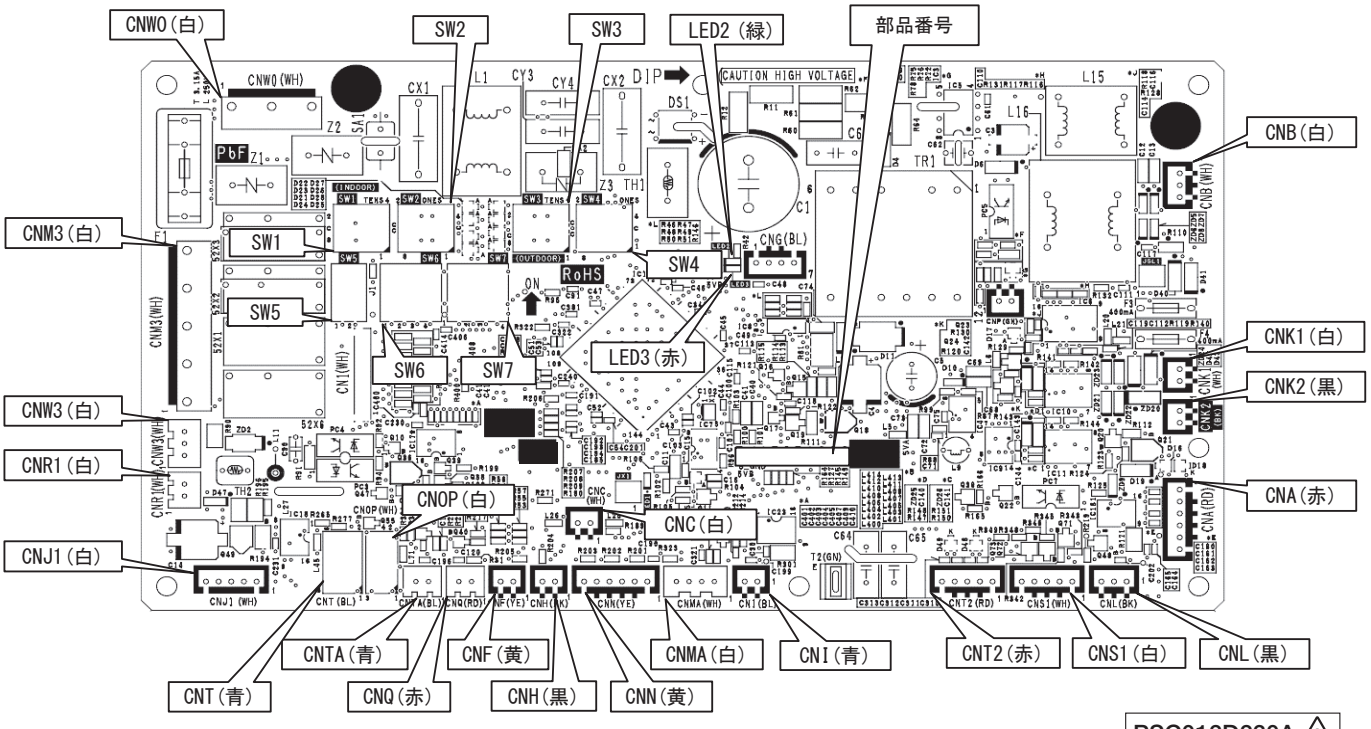


(ii) 基板を交換してください。

① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。
② 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。
③ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。
④ CNOPのジャンパコネクタが接続されている場合は，新しい基板に付替えてください。
⑤ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

(iii) 制御基板部品配置図

基板の種類により部品実装が異なります。



(d) FDK シリーズ

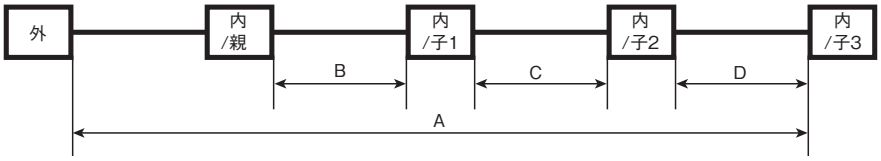
(i) フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合 （FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



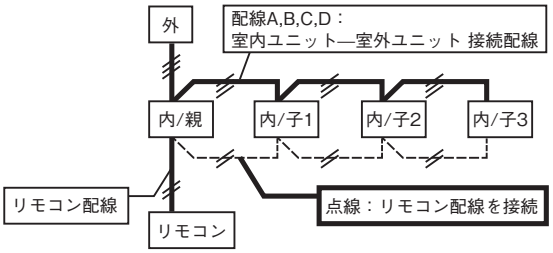
①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子１	子２	子３
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また，室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを，下記のとおり設定ください。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

暖ガンハイパーインバータシリーズ *	SW4-1：OFF→ON

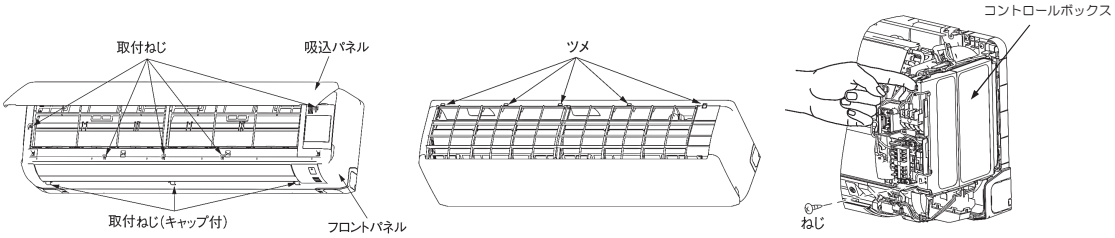
* KP80，KP112のみ



(ii) 基板の交換

1) ZP1126S

① 吸込パネルを取外してください。
② 取付けねじを外してください。（５か所）
③ 上部のツメ（５か所）を外し、フロントパネルを取外してください。
④ ねじを外し、コントロールボックスのふたを取外してください。

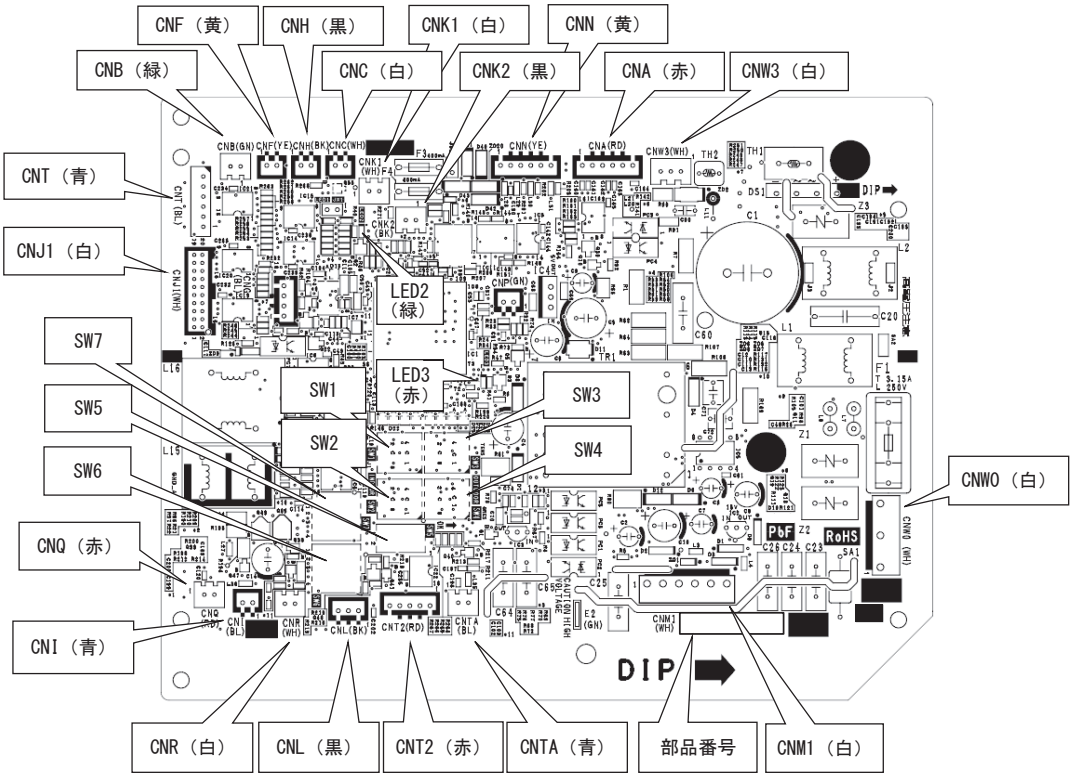


⑤ 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。
⑥ 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。
⑦ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。
⑧ CNFのジャンパコネクタが接続されている場合は，新しい基板に付替えてください。
⑨ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

(iii) 制御基板部品配置図

1) ZP1126S

※基板の種類により部品実装が異なります。



(e) FDFZP805SB，1605SB

(i) 制御基板

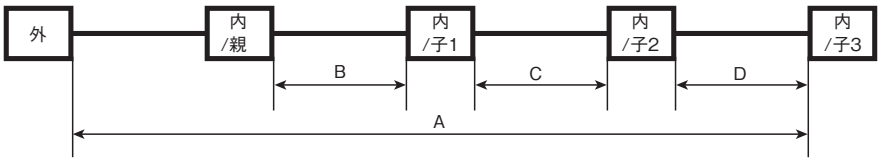
1)フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

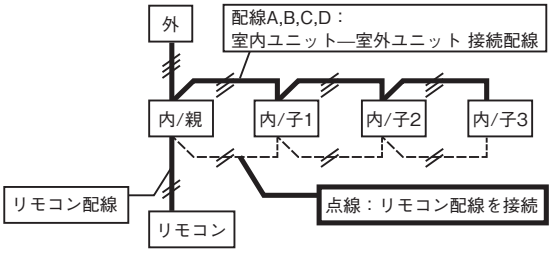
下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ(SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON



また，室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを，下記のとおり設定ください。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

暖ガンハイパーインバータシリーズ *	SW4-1：OFF→ON

* KP80，KP112のみ

項目	スイッチ	制御内容	
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック

2) 基板を交換してください。

① 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。

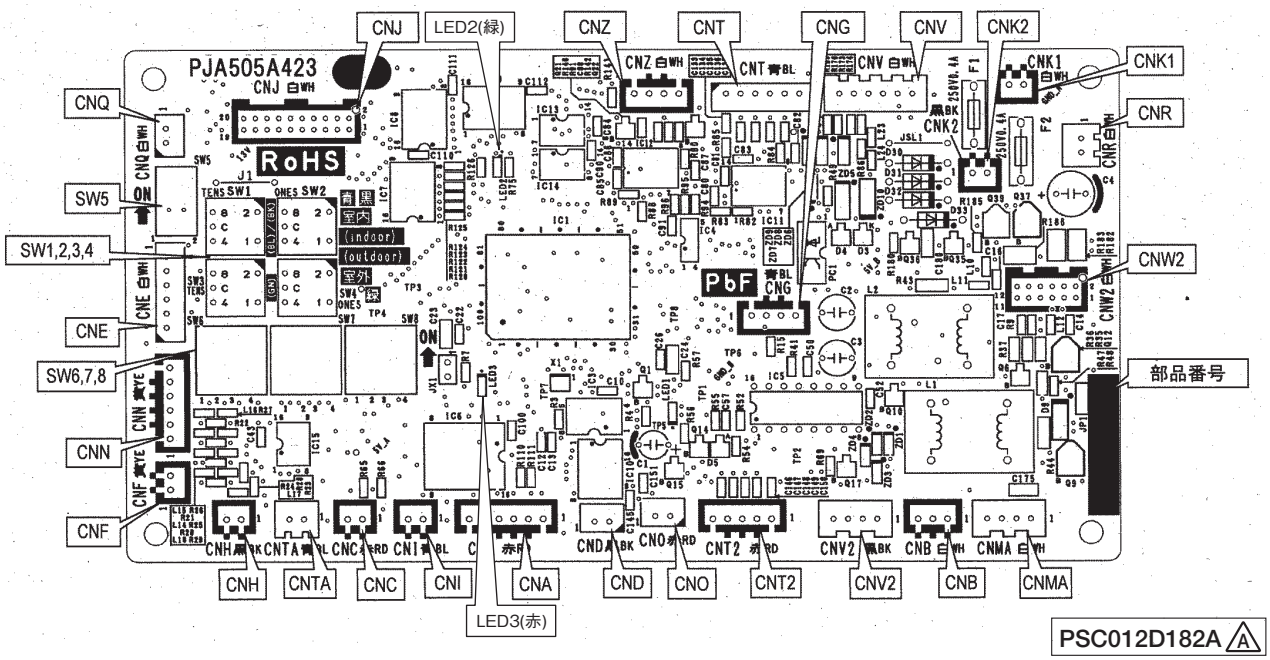
② 基板は，配線類をかみ込まないように固定してください。

③ スイッチ設定は，交換する基板と同一設定としてください。

④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

3) 制御基板部品配置図

基板の種類により部品の実装が異なります。



(ii) 電源基板

1) 基板を交換してください。

① 基板にはんだ付けされている配線(黄／緑)のボックスねじ止め部のねじを外してください。

② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後，基板を交換してください。

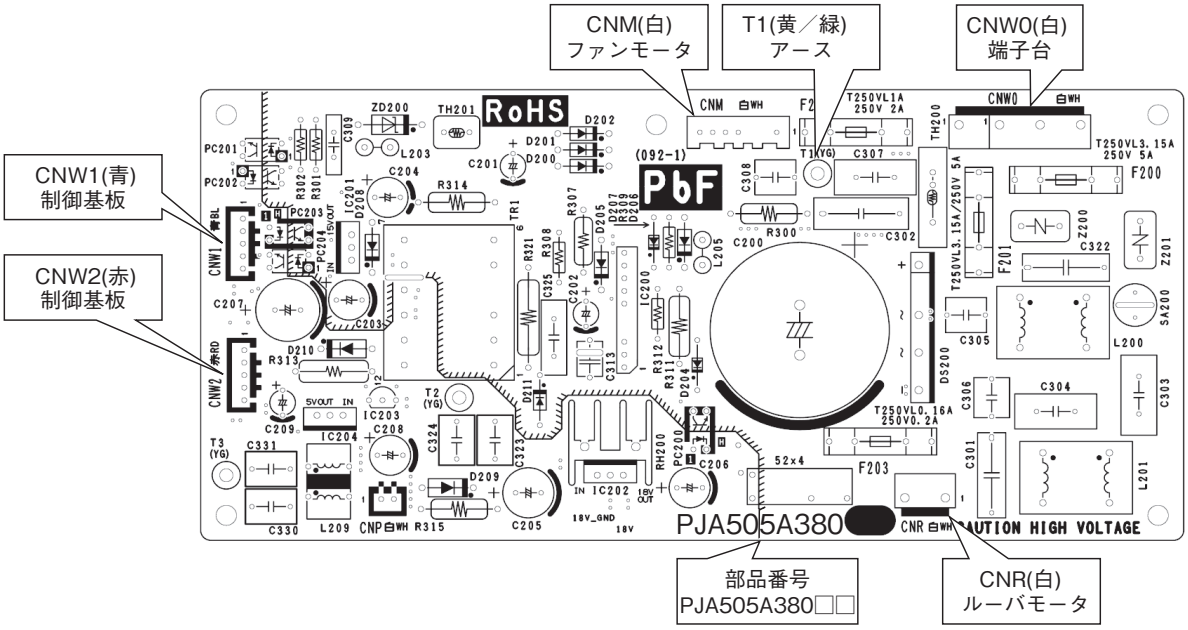
③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。

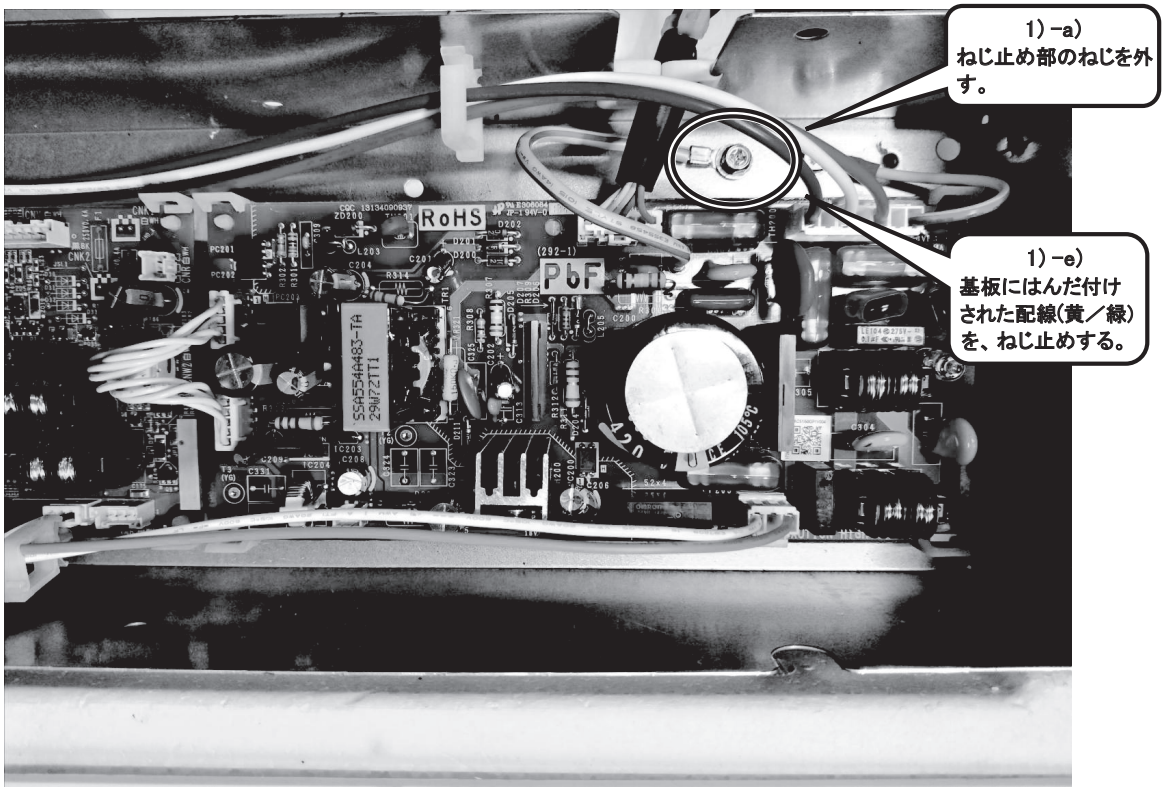
④ 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

⑤ ①で外した配線を元の場所にねじ止めしてください。（下図参照）

2) 電源基板部品配置図

基板の種類により部品の実装が異なります。





PSB012D953H D

(3) ディップスイッチ設定表

(a) FDT，FDTW，FDR，FDU，FDE，FDES，FDKシリーズ

スイッチ	項　　目		通常の設定		備　考
SW2	リモコン通信アドレス設定		0		0-F
SW5-1	プルーラル機	親／子設定	OFF		下表２参照
SW5-2			OFF		
SW6-1	室内ユニット機種容量切換え		機種容量により切換え		下表１参照
SW6-2					
SW6-3					
SW6-4					
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転	通常／運転チェック・ドレン試運転	OFF	通常	
SW7-2	ー		OFF		
SW7-3	ー		OFF		
SW7-4	ー		OFF		
SW8-1	凍結防止製御	有効／無効（FDEのみ）	OFF	無効	
SW8-2	ー		OFF		
SW8-3	ー		OFF		
SW8-4	機外静圧使用範囲切換	有効／無効（FDEのみ）	OFF	無効	
JSL1	スーパーリンク端子予備	有／無	有		

表1：室内ユニット機種容量切換え (SW6-1～SW6-4)

0：OFF　1：ON

	P71	P80	P112	P140	P160	自動認識
SW6-1	0	1	1	0	1	0
SW6-2	0	0	1	0	0	0
SW6-3	0	0	0	1	1	0
SW6-4	1	1	1	1	1	0

表2：室内ユニット親/子切換え (SW5-1,SW5-2)

フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

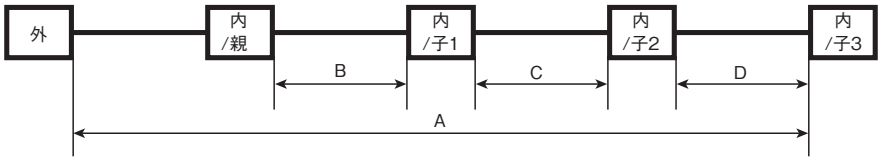
0：OFF　1：ON

	SW5-1	SW5-2
親	0	0
子1	0	1
子2	1	0
子3	1	1

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



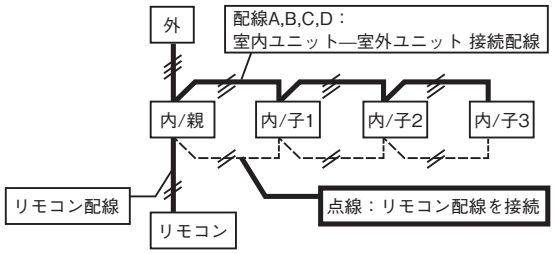
①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2）を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また，室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを，下記のとおり設定ください。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

暖ガンハイパーインバータシリーズ *	SW4-1：OFF→ON

* KP80，KP112のみ



(b) FDF シリーズ

FDFZP805SB, 1605SB

スイッチ	項目		通常の設定	備考
SW1	室内アドレス No.10 の位		0	
SW2	室内アドレス No.1 の位		0	
SW5-1	プルーラル機	親 / 子設定	OFF	次ページ表 2 参照
SW5-2			OFF	
SW6-1	室内ユニット機種容量切換え (本機は機種容量自動認識)		0	下表 1 参照
SW6-2			0	
SW6-3			0	
SW6-4			0	
SW7-1	運転チェック	ON：有効 /OFF：無効	OFF	
SW7-2	新旧 SL 自動判定	OFF：有効 /ON 旧仕様固定	OFF	
SW7-3	室内アドレス No.100 の位	OFF：0 /ON：1	OFF	
SW7-4	室外 EEV 制御	ON：固定制御 /OFF：SC 制御	OFF	
SW8-1	冷媒センサ接続	ON：有効 /OFF：無効	ON	
SW8-2	-		OFF	
SW8-3	ドレンポンプ制御切換	ON：対策制御 /OFF：通常	OFF	
SW8-4	-		OFF	
JSL1	スーパーリンク予備回路	OFF：予備回路使用時 /ON：通常時	ON	

表 1 ：室内ユニット機種容量切換え（SW6-1 ～ SW6-4） 0：OFF 1：ON

	自動認識（P80, P160）
SW6-1	0
SW6-2	0
SW6-3	0
SW6-4	0

表２：室内ユニット親/子切換え(SW5-1,SW5-2)

フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。
ただし，下記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

交換する基板と同一設定としてください。

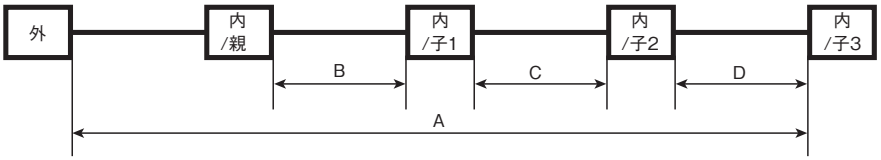
0：OFF　1：ON

	SW5-1	SW5-2
親	0	0
子1	0	1
子2	1	0
子3	1	1

フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm^{2}使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合 （FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



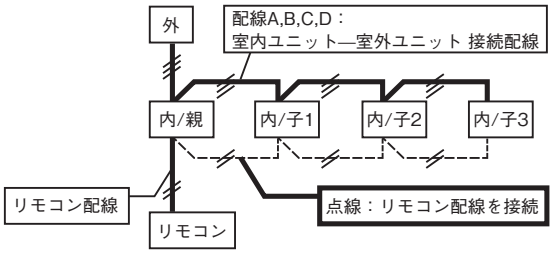
①･②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、
室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ（SW5-1,5-2）を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子１	子２	子３
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また，室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを，下記のとおり設定ください。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

暖ガンハイパーインバータシリーズ *	SW4-1：OFF→ON

* KP80，KP112のみ



1.15.4 室外ユニット基板の交換手順

室外ユニットの故障診断は，リモコンの故障記号，室外制御基板上の点検表示灯(赤・LED)の点滅パターンを確認して故障の概要とその原因，部位を推定した上で点検・修理を進めてください。
室内・外マイコンによる自己診断はマイコン異常の他，電源系統の異常，据付スペース，冷媒量不適等に起因するオーバーロード等を診断できるので，故障発見が円滑に行えます。
また，室外の点検表示灯は電源しゃ断する以外，故障が自動復帰した後も記憶され点滅を続けます。
故障復帰後，記憶されている故障より優先度の高いモードが発生すると，そのモードに切換えて記憶します。

[電源のリセットについて]

室外制御基板交換をする場合および点検をする場合，室外ユニットへの供給電源をしゃ断してもコントローラ内部の電解コンデンサに電圧が残っていますので，作業をされる場合は感電にご注意ください。
電源しゃ断後，3分以上経過し，コントローラ内部緑LEDが10秒以上，消灯していることを確認してから作業を実施ください。
電解コンデンサの両端の電圧（DC）を測定して十分に放電した事を確認してください。
(防湿コーティングしてあるため測定できないことがありますので，感電に注意して防湿剤を剥がして測定してください。)

(1) 室外コントローラ関係の交換部品単位

室外制御基板，インバータ基板，温度センサ(室外熱交，吐出管，外気，パワートランジスタ，吸入管)，ヒューズ(電源，制御基板，ノイズフィルタ基板)，ノイズフィルタ，リアクタ

(2) 基板交換要領

安全上のご注意
・ ここに示した注意事項は，安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。 表示と意味は次のようになっています。 ⚠ 警告　誤った作業を行った時に，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。 ⚠ 注意　誤った作業を行った時に，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
⚠ 警告
・ 基板交換はこの交換要領書に従って確実に行ってください。 交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。 ・ 基板交換時は，必ず室外ユニットの電源が切れていることを確認してから行ってください。 通電状態での基板交換は，感電の原因になります。 ・ 基板交換の作業終了後，電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認してください。 交換作業に不備があると，感電や火災の原因になります。
⚠ 注意
・ 配線はつっぱらないように結束してください。感電の原因になることがあります。

ⓐ FDCKP806H，1126H

（i） 制御基板

下記の要領で制御基板の交換を行ってください。

① 交換作業は、電源を切って 3 分後に実施してください。
② コネクタ（CNA1）の両極を測定し , 電解コンデンサに充電された DC 電圧が十分に放電 (10V 以下) した事を確認してください。(図 2 参照)
③ 制御基板のコネクタを外してください。(図 1 参照)
④ 基板上の CT1 に通している白色または青色の配線を外して、制御基板を交換してください。
(配線を固定しているバンドは切断してください。)
⑤ 新しい基板の設定スイッチ（SW3-5,7,JSW1）の設定を交換前の基板に合わせてください。
⑥ 白色または青色の配線を、交換した基板上の CT1 に通してねじを締めてください。
(バンドは交換前と同様に配線を固定してください。)
⑦ コネクタを交換前と同じ場所に接続してください。(接続後、半挿しが無い様確認してください。)

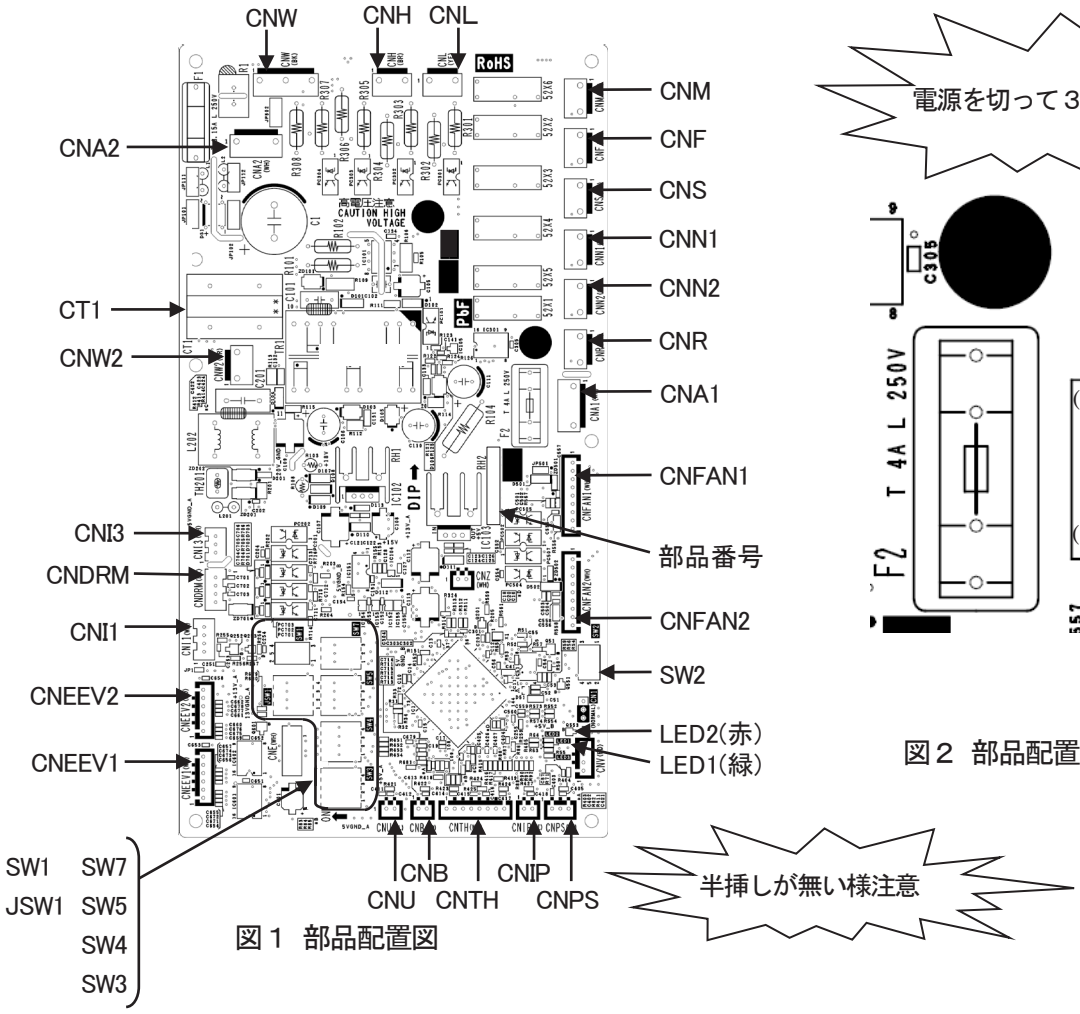


図 1 部品配置図

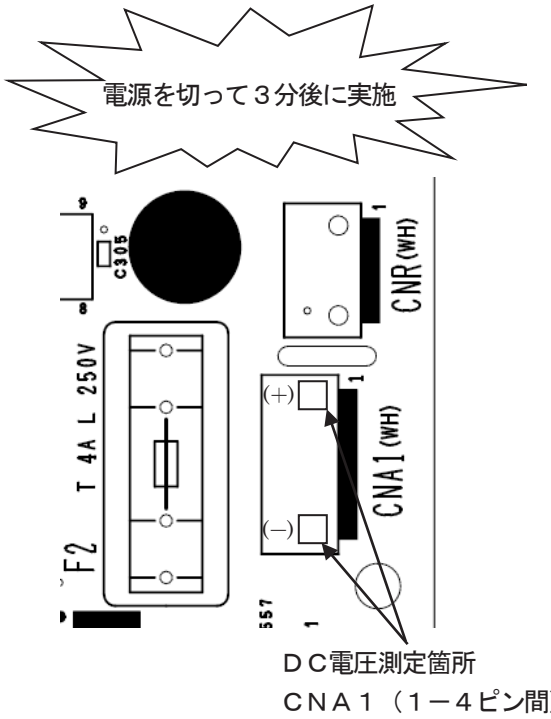


図 2 部品配置拡大図

PCA012D136

(ii) **インバータ基板**

下記の要領でインバータ基板 (図 3) の交換を行ってください。インバータ基板搭載箇所は図 2 を参照してください。

① 交換作業は，電源を切って 3 分後に実施してください。(電源 OFF 直後はコンデンサが放電されておらず，高電圧状態で危険なため，コントローラを触らないでください。また，リアクタが高温になっていますので，リアクタには触らないでください (図 2 参照))
② ハーネスが接続されている状態で，図 1 に示す制御基板の CNA1 の 1 － 4 ピン間の DC 電源電圧を測定し，20V 以下 (コンデンサ放電後の電圧) であることを確認してください。
③ 図 1 に示す様にハーネスをバンド，クリップ，制御基板上のコネクタから外し，指定のねじ (4 箇所) を外してください。
④ 図 2 の様に制御面を開き，図 3 で示すインバータ基板の CNA3 の 1 － 4 ピン間の DC 電源電圧を測定し，20V 以下 (コンデンサ放電後の電圧) であることを確認してください。(※)
対象基板 (インバータ基板) に接続されたコネクタ，端子台およびダイオード (D801)，トランジスタ (Q802)，パワートランジスタ (IC2) 取付用ねじを外し，対象基板を取外してください。
取外した後，放熱フィンに付着しているシリコングリスをきれいに拭き取ってください。
ダイオード (D801) およびトランジスタ (Q802) 用の絶縁シートを放熱フィンより剥がし，同梱の新しい絶縁シートを放熱フィンに貼付けてください。(図 4 参照)
制御面を開けている状態で，上から力を加えないでください。製品の変形やケガの原因になります。
⑤ 新しい基板のスイッチ (JSW10,11) の ON/OFF 設定を交換前の基板に合わせてください。
⑥ 新しい基板のパワートランジスタ (IC2) 表面に，同梱のシリコングリスを均一に塗布して基板を取付けてください。
塗布しないと部品が破損することがあります。(シリコングリスは使い切ってください)
⑦ 新しい基板のパワートランジスタ (IC2)，ダイオード (D801)，トランジスタ (Q802) の取付用ねじを締め，端子台およびコネクタを元の状態に接続してください。(各推奨締付トルクは図 5 参照)
コネクタ接続後，半挿しが無いことを確認してください。
制御面を閉じる際に配線の噛み込みがない様に注意してください。配線が損傷し，ショートや火災の原因になります。

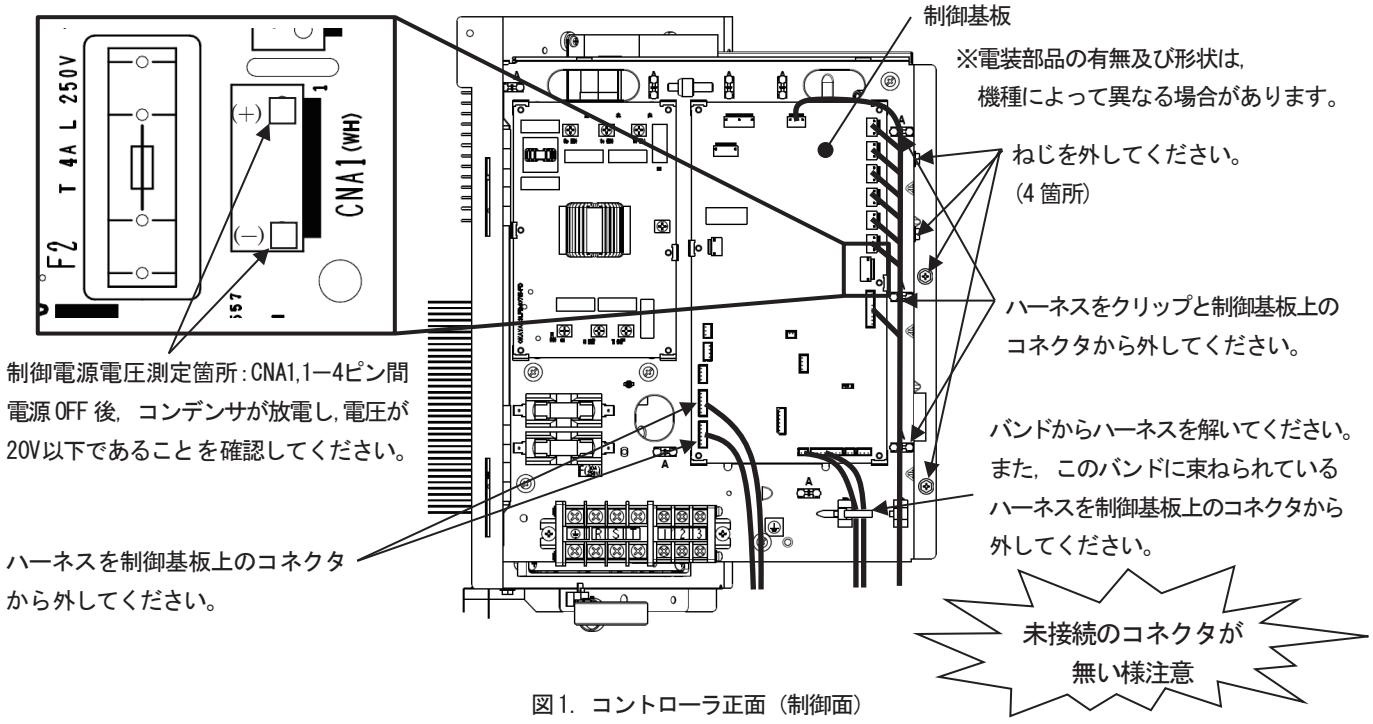


図1. コントローラ正面（制御面）

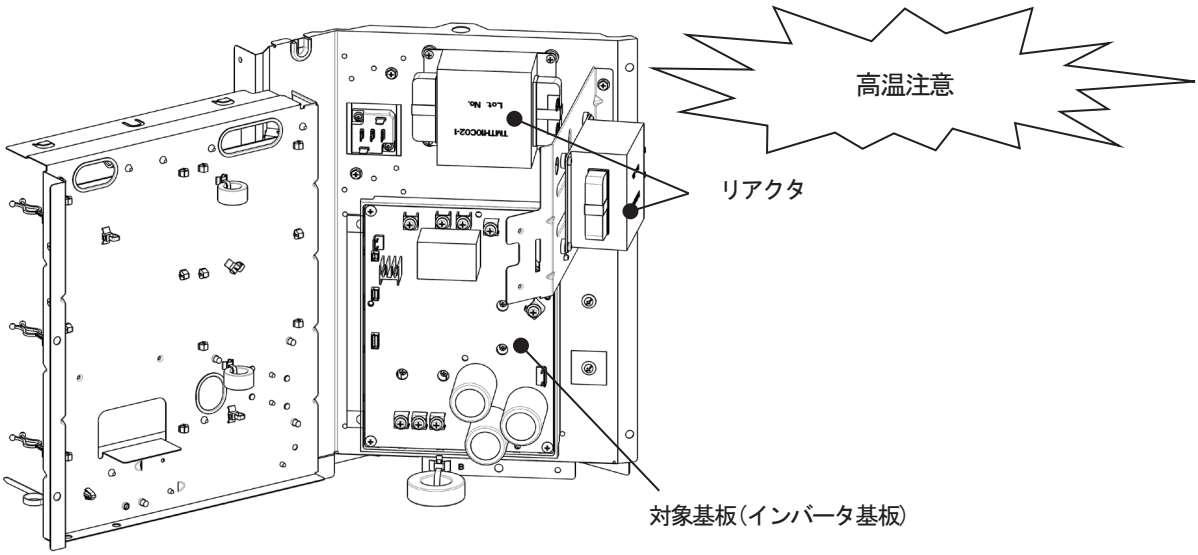


図2. 制御面を開き,インバータ基板が見える状態

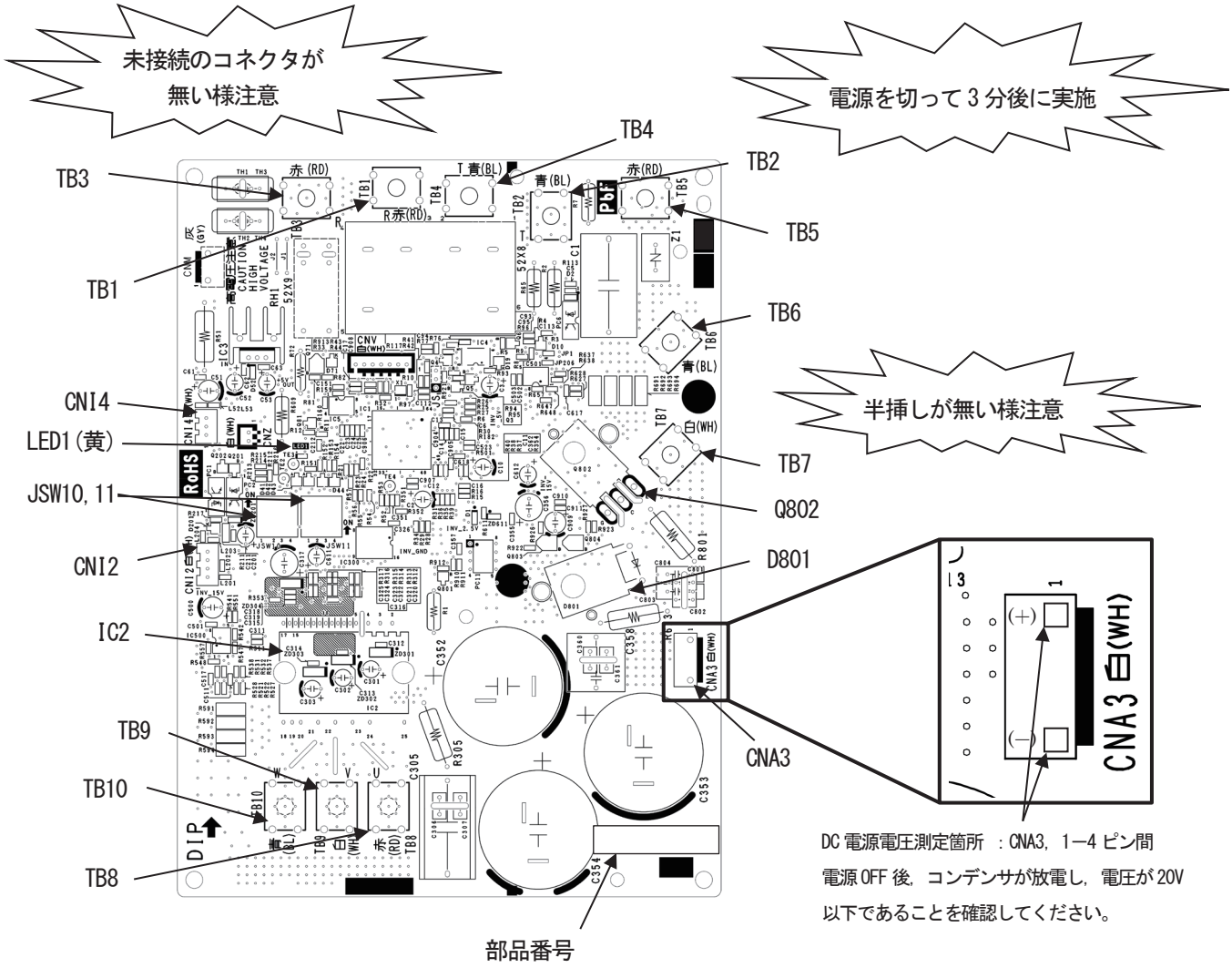


図3. 対象基板（インバータ基板）の部品配置図

（※）インバータ基板(CNA3)のコネクタが**未接続の状態**で電源を投入した場合や,
故障の内容によって電荷が数時間放電されない可能性があります。
感電, 基板破損の恐れがありますので確実にCNA3の電圧測定を行ってください。

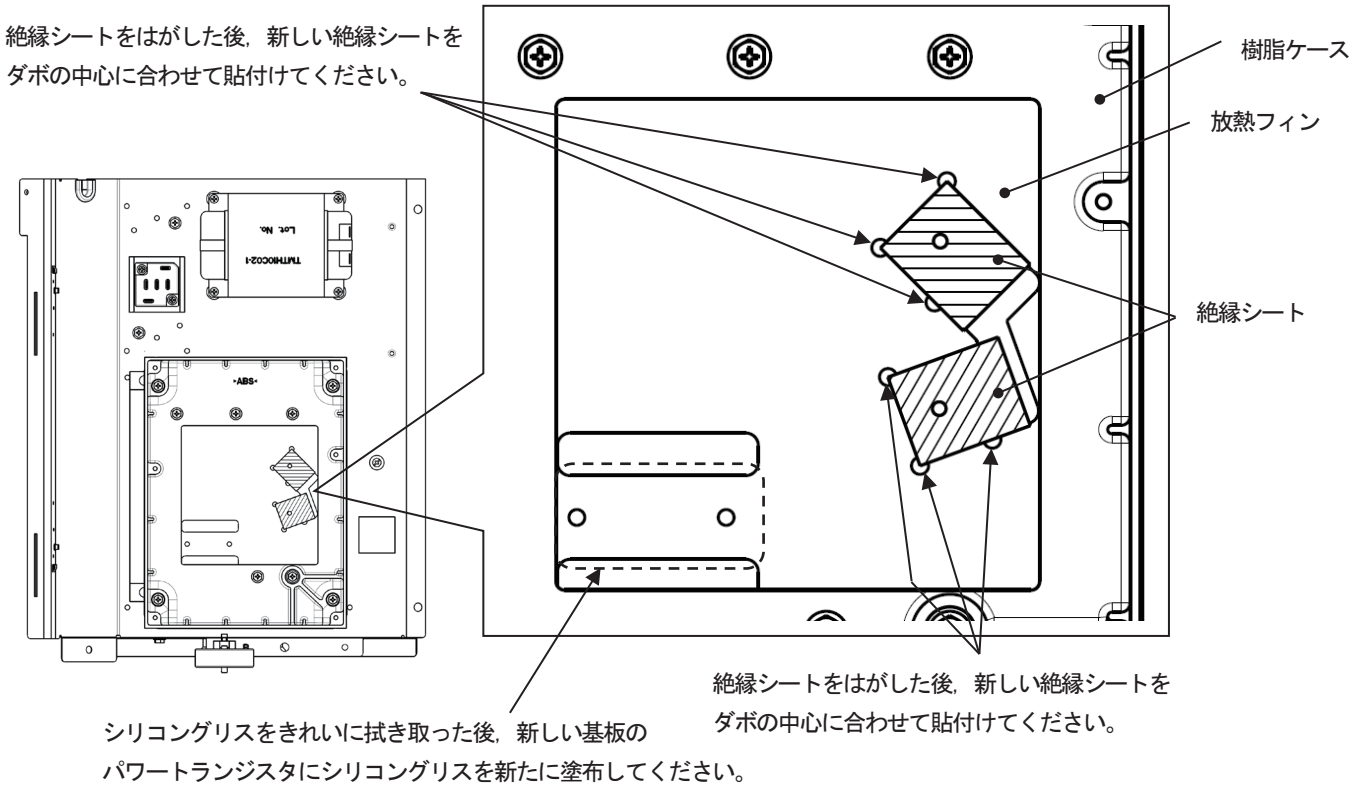
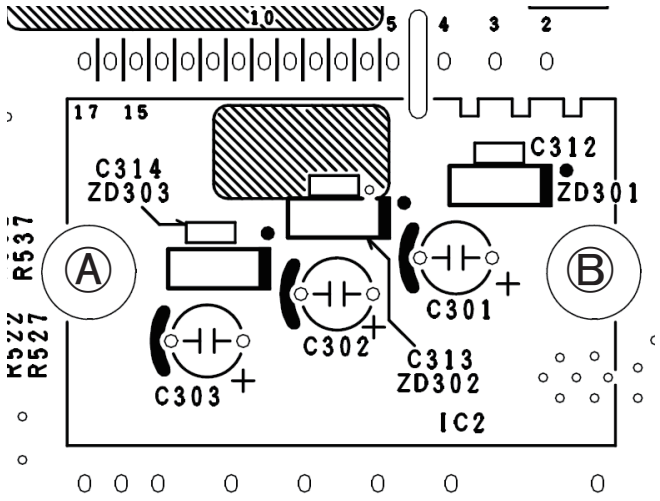


図4. インバータ基板を取外した状態



名称	記号	締付順序	締付位置	締付トルク	備考
パワートランジスタ	IC2	1	Ⓐ	0.16～0.23 N･m	仮締め
		2	Ⓑ		
		3	Ⓐ	0.6～0.8 N･m	本締め
		4	Ⓑ		
トランジスタ	Q802	－	－	0.6～0.8 N･m	－
ダイオード	D801	－	－	0.6～0.8 N･m	－
端子台	TB1-10	－	－	2.0～2.4 N･m	－

図5. 推奨締付トルクおよびパワートランジスタ(IC2)締付位置

PCA012D149

●ディップスイッチ設定表

(1) FDCKP806H，1126H

(a) 制御基板

スイッチ	項目		出荷時	内容	
				OFF	ON
SW1	ポンプダウン制御	通常/ポンプダウン	OFF	通常	ポンプダウン
JSW1-1(J1)	機種切換え	機種容量	表1参照		
JSW1-2(J2)	機種切換え				
JSW1-3(J3)	機種切換え				
JSW1-4(J4)	機種切換え	ヒーポン/冷専		ヒーポン	冷専
SW3-1	デフロスト制御切換え	通常/寒冷地		通常	寒冷地
SW3-2	防雪ファン制御	無効/有効		無効	有効
SW3-3	試運転	無効/有効		無効	試運転
SW3-4	冷房/暖房試運転切換え	冷房/暖房		冷房試運転	暖房試運転
SW4-1	フリーアドレスプルーラル切換え	無効/有効		無効	有効
SW4-2	機種切換え	三相/単相		三相	単相
SW4-3	—	—	OFF	—	—
SW4-4	機種切換え	ハイパー/エクシード	表1参照	ハイパー	エクシード
SW5-1	既設配管流用	通常/既設配管	OFF	通常	既設配管
SW5-2	正サイクルデフロスト運転禁止	通常/洗浄運転	OFF	通常	洗浄運転
SW5-3	—	—	OFF	—	—
SW5-4	—	—	OFF	—	—
SW7-1(J5)	短配管圧縮機保護始動	通常/短配管	OFF	通常	短配管
SW7-2(J6)	—	—	OFF	—	—
SW7-3(J7)	サイレントモード切換え	通常/騒音規制対応	OFF	通常	騒音規制対応

表1：室外ユニット機種切換え

スイッチ	P806H	P1126H
JSW1-1	OFF	OFF
JSW1-2	ON	OFF
JSW1-3	ON	OFF
JSW1-4	OFF	OFF
SW3-1	OFF	OFF
SW3-2	ON	ON
SW3-3	OFF	OFF
SW3-4	OFF	OFF
SW4-1	OFF	OFF
SW4-2	OFF	OFF
SW4-4	OFF	OFF

(b) インバータ基板

スイッチ	P806H	P1126H
JSW10-1	OFF	OFF
JSW10-2	OFF	OFF
JSW10-3	OFF	OFF
JSW10-4	OFF	OFF
JSW11-1	OFF	OFF
JSW11-2	ON	ON
JSW11-3	OFF	OFF
JSW11-4	OFF	OFF

●ヒューズ一覧

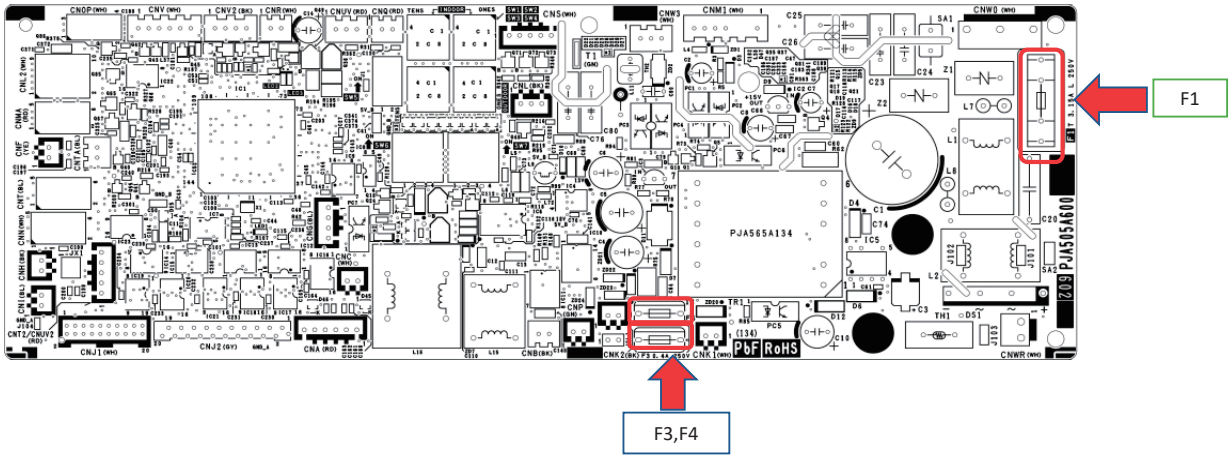
(1) 室内ユニット

(a) FDT シリーズ

ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
ユニット基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（1154ページ） E16:室内ファンモータ異常（1177ページ）
	スーパーリンク通信	F3	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1166ページ）
	スーパーリンク通信	F4	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1166ページ）

(※1) ヒューズによって電源が供給されている箇所

ユニット基板

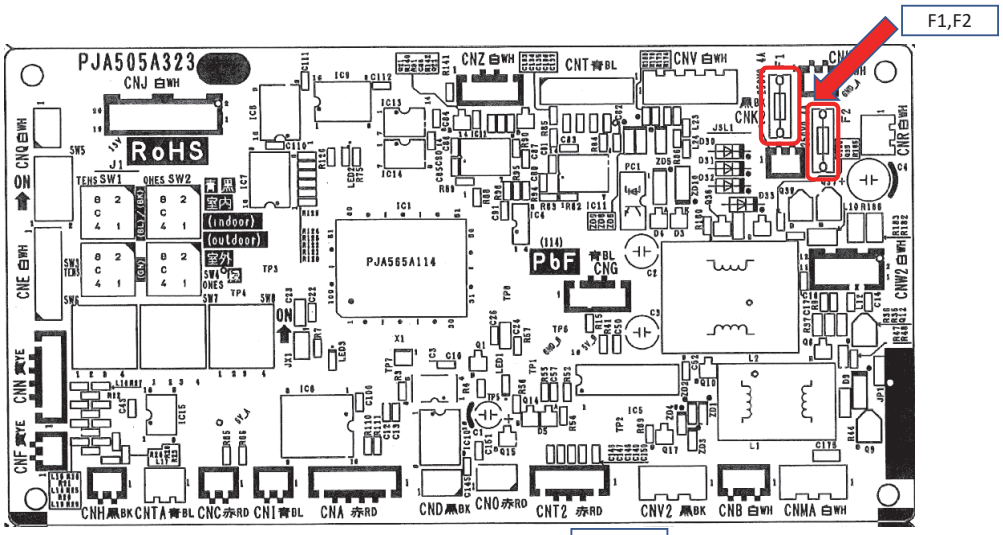


(b) FDTWZP80，FDEZP80，160

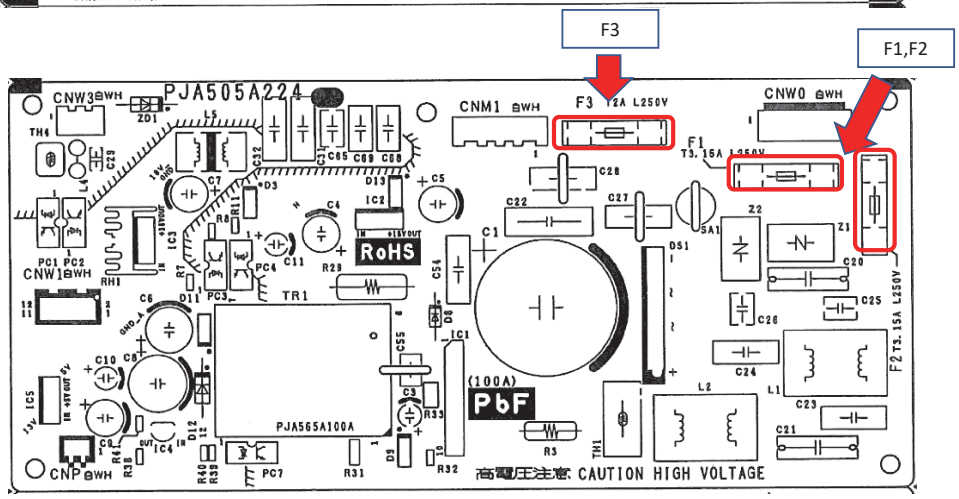
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
制御基板	スーパーリンク通信	F1	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1166ページ）
	スーパーリンク通信	F2	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1166ページ）
電源基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（1155ページ）
	電源	F2	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（1155ページ）
	ファンモータ	F3	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（1178ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

制御基板



電源基板

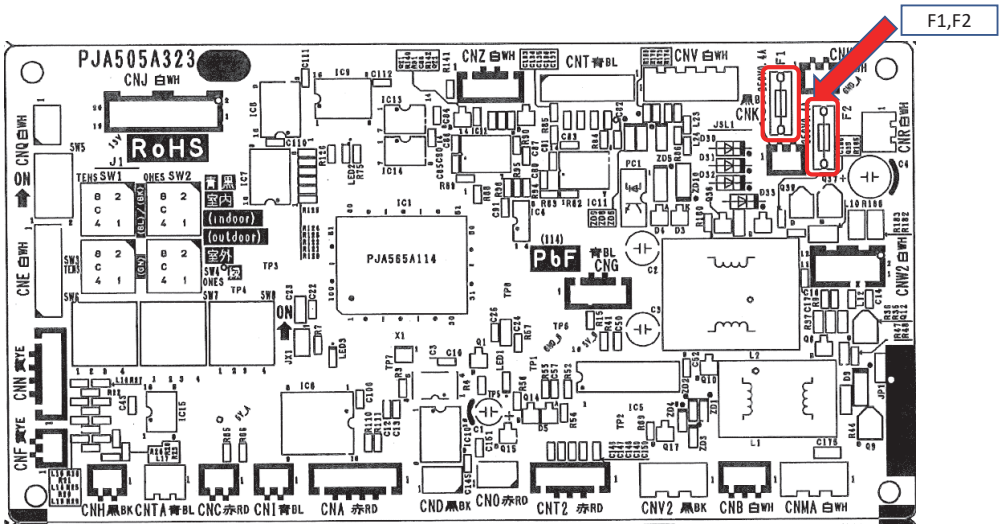


(c) FDTWZP140

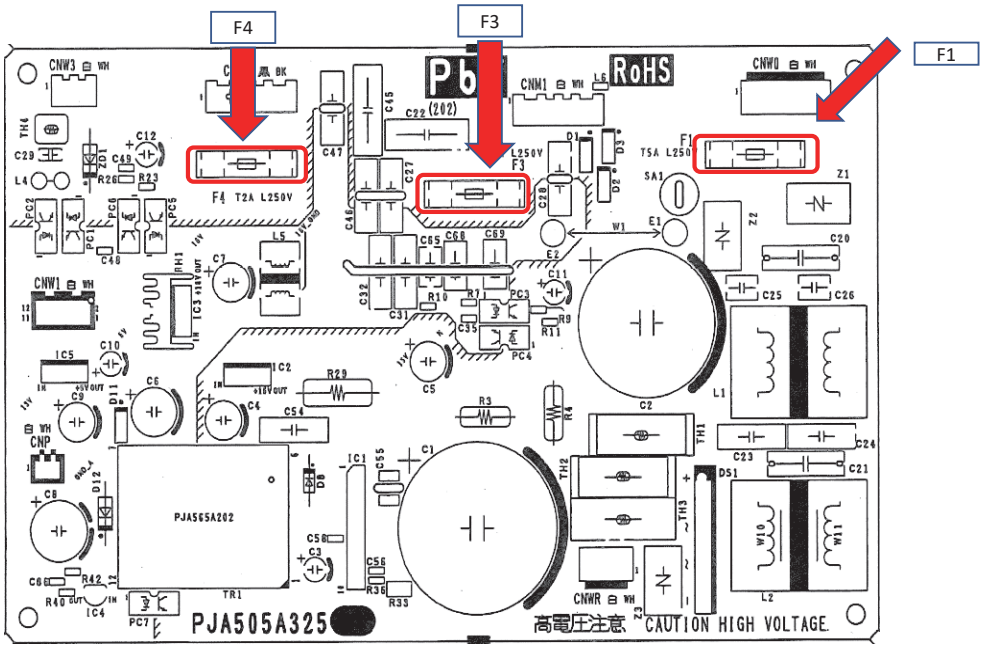
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
制御基板	スーパーリンク通信	F1	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1166ページ）
	スーパーリンク通信	F2	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1166ページ）
電源基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（1155ページ）
	ファンモータ	F3	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（1178ページ）
	ファンモータ	F4	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（1178ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

制御基板



電源基板

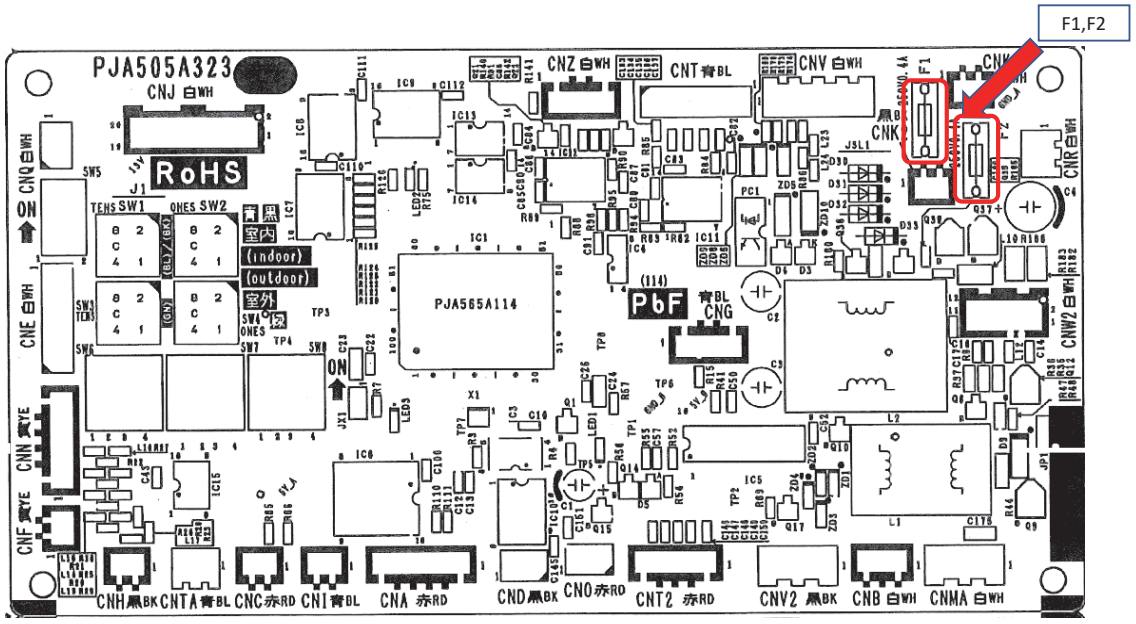


(d) FDRZP80，160，FDUZP80，160

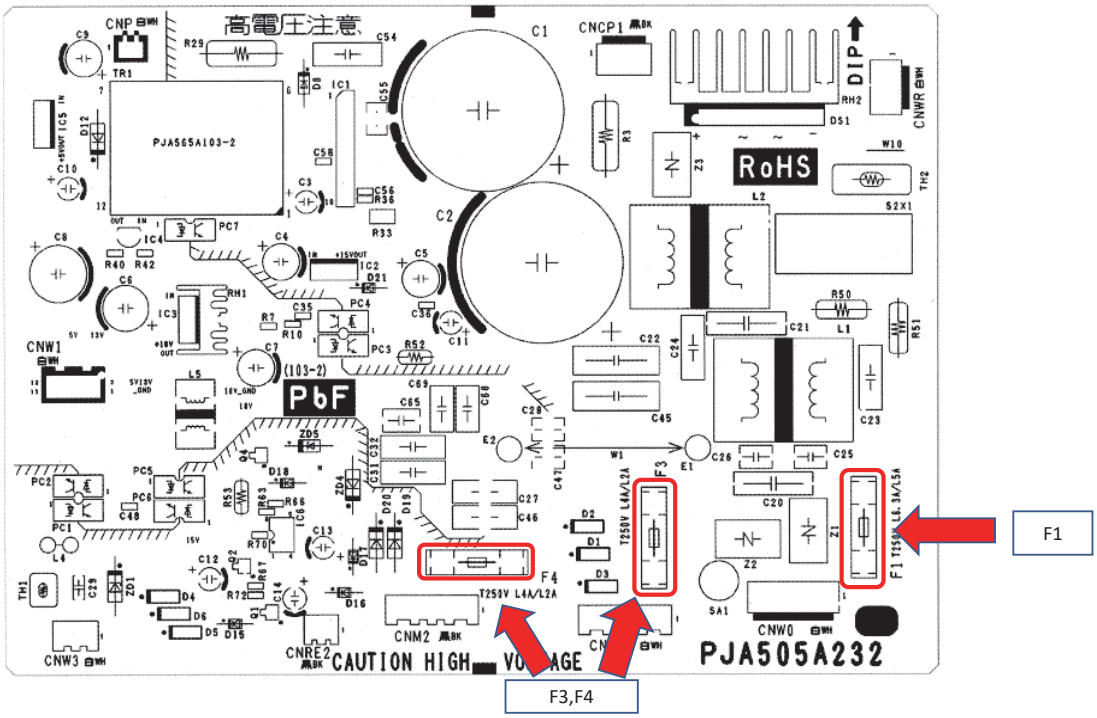
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
制御基板	スーパーリンク通信	F1	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1166ページ）
	スーパーリンク通信	F2	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1166ページ）
電源基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（1155ページ）
	ファンモータ	F3	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（1178ページ）
	ファンモータ	F4	可	・ファンモータ ・室内基板	E16:室内ファンモータ異常（1178ページ）

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

制御基板



電源基板

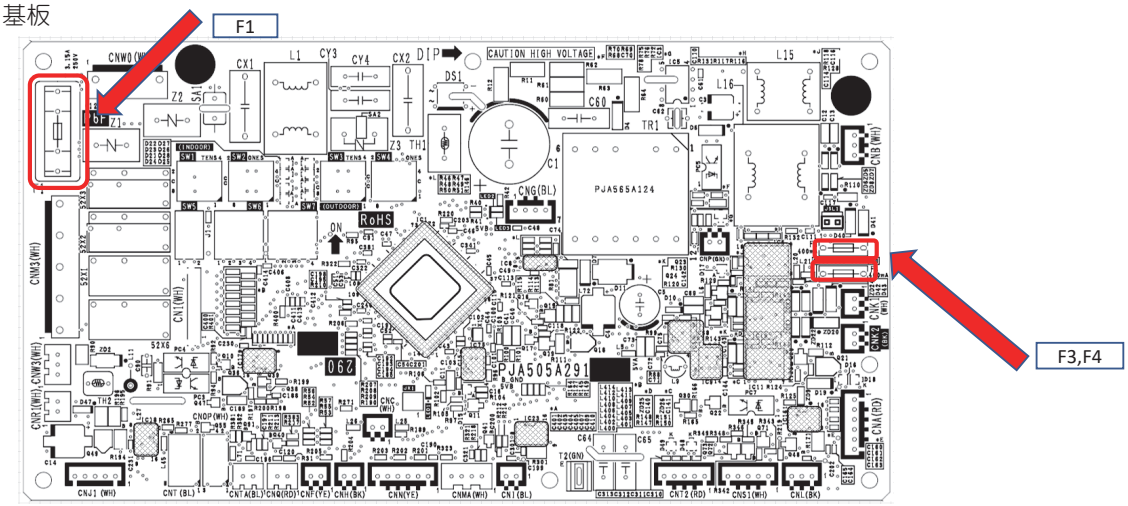


(e) FDESZP80

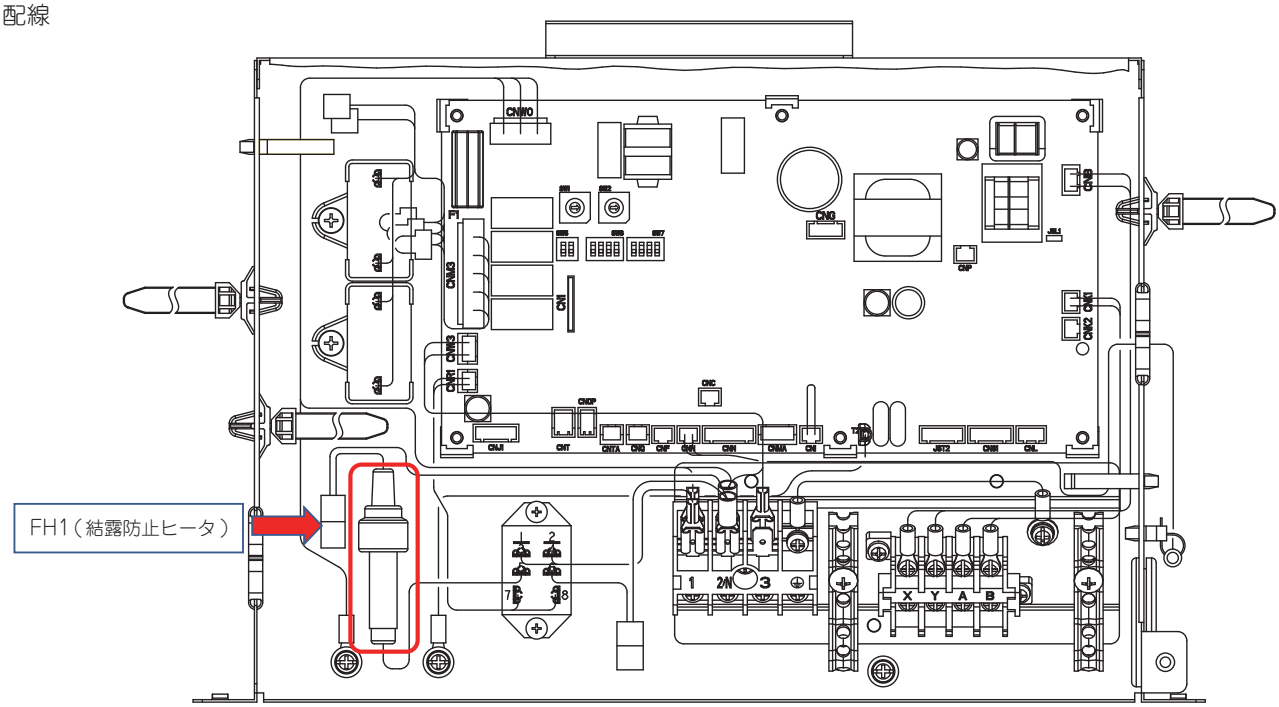
ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
ユニット基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	室内電源異常（1156ページ）
	スーパーリンク通信	F3	不可 （基板交換）	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1167ページ）
	スーパーリンク通信	F4	不可 （基板交換）	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1167ページ）
配線	結露防止ヒータ	FH1	可	・結露防止ヒータ ・室内基板	-

（※1）ヒューズによって電源が供給されている箇所

ユニット基板



配線

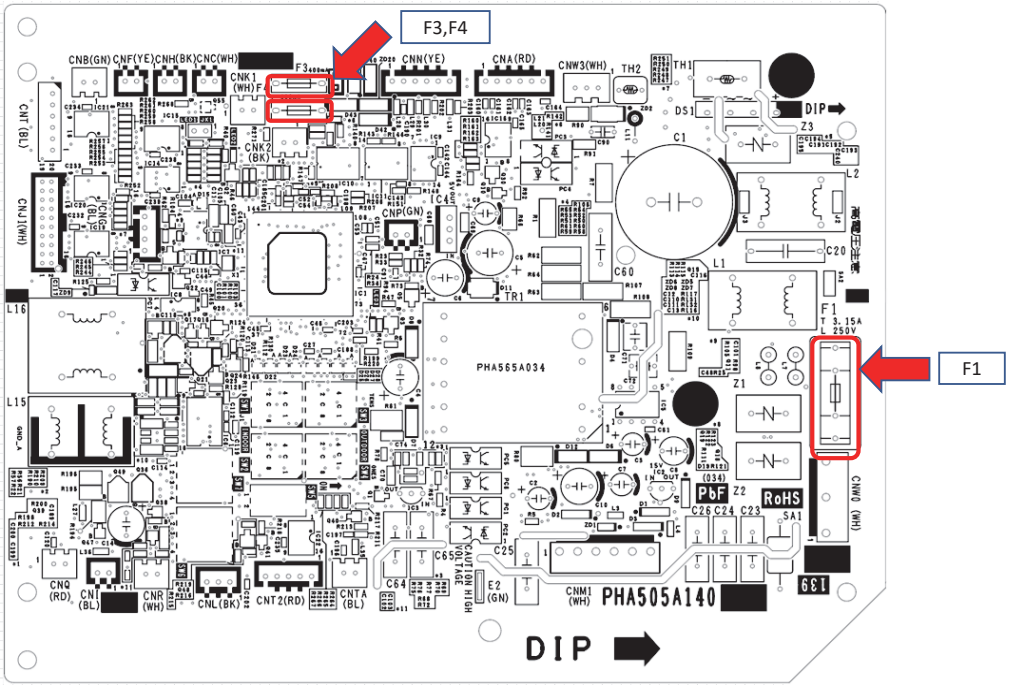


(f) FDK シリーズ

ヒューズ位置			ヒューズ交換可否	ヒューズ破損時の故障個所 (※1)	故障診断の参照先(記載ページ)
設置箇所	詳細	No.			
ユニット基板	電源	F1	可	・ファンモータ ・室内基板	・室内電源異常（1154ページ） ・E16:室内ファンモータ異常（1177ページ）
	スーパーリンク通信	F3	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1167ページ）
	スーパーリンク通信	F4	不可 (基板交換)	・室内基板 ・集中制御機器	E1:通信異常（1167ページ）

(※1) ヒューズによって電源が供給されている箇所

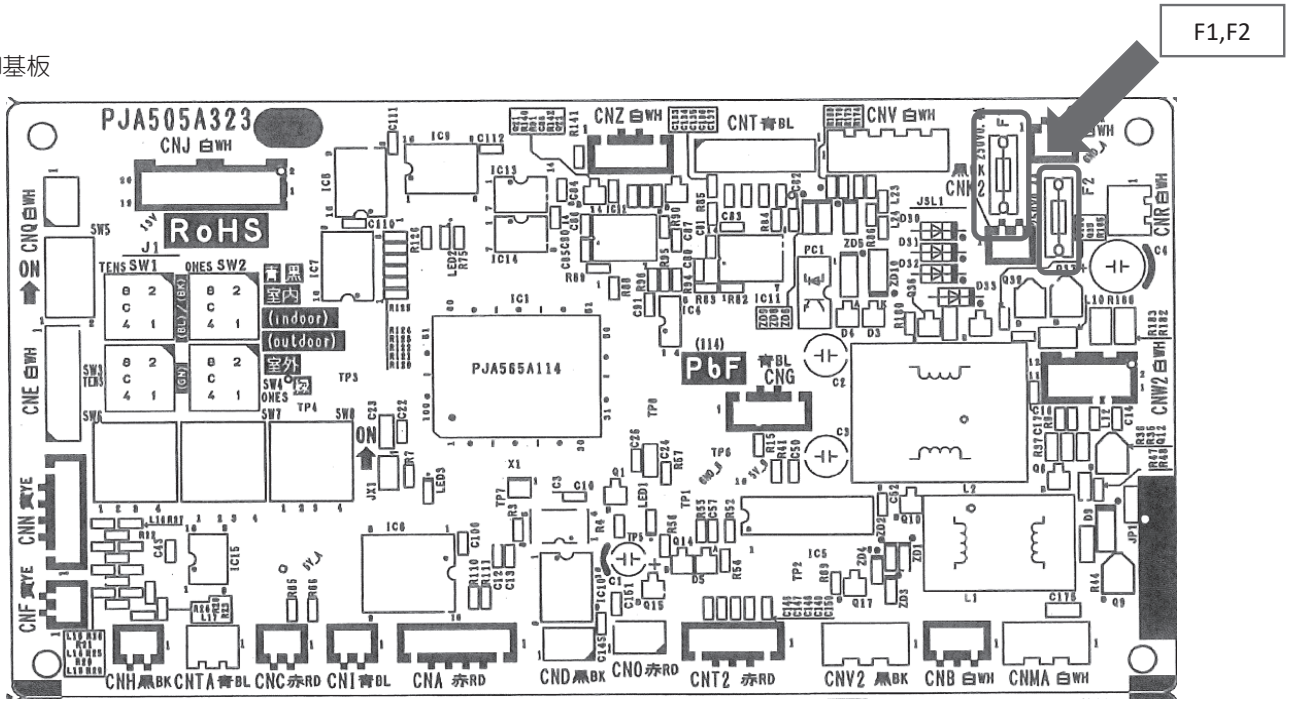
ユニット基板 (FDKP112)



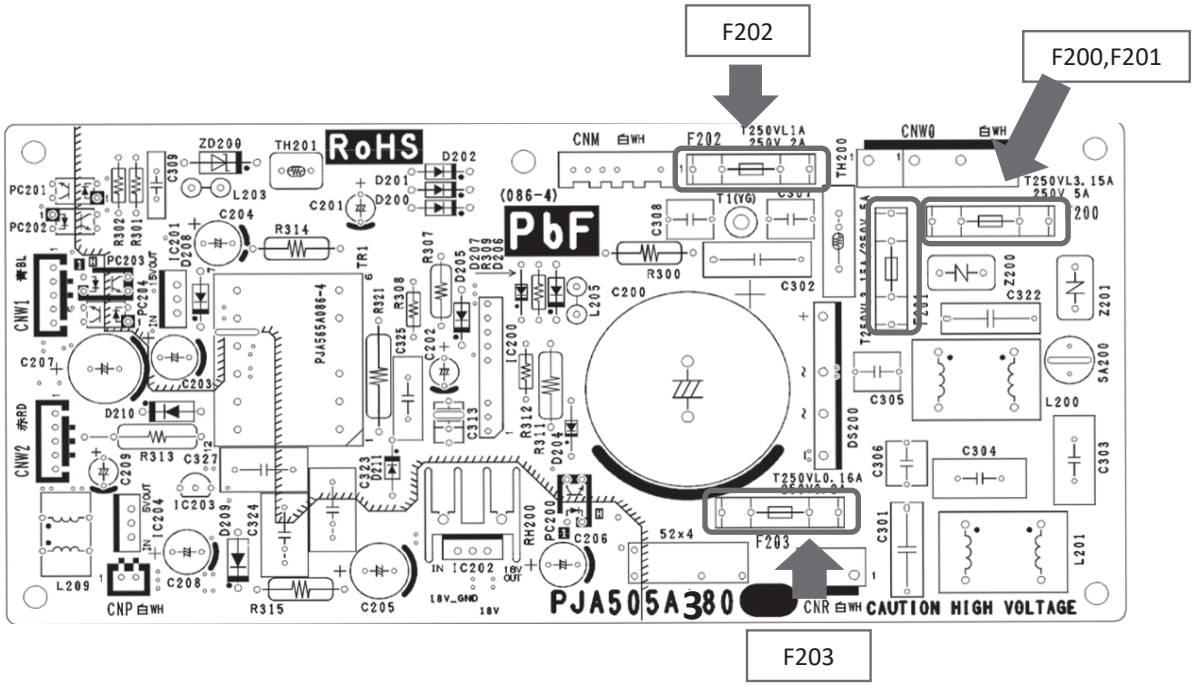
(h) FDFZP805SB,1605SB

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換	ヒューズ溶断時の故障推定箇所
分類	詳細	No.		
制御基板	スーパーリンク通信用	F1	不可	室内および室外制御基板
	スーパーリンク通信用	F2	不可	室内および室外制御基板
電源基板	電源用	F200	可	ファンモータ、室内基板
	電源用	F201	可	ファンモータ、室内基板
	ファンモータ用	F202	可	ファンモータ
	ルーバ用	F203	可	ルーバモータ、室内基板

制御基板



電源基板

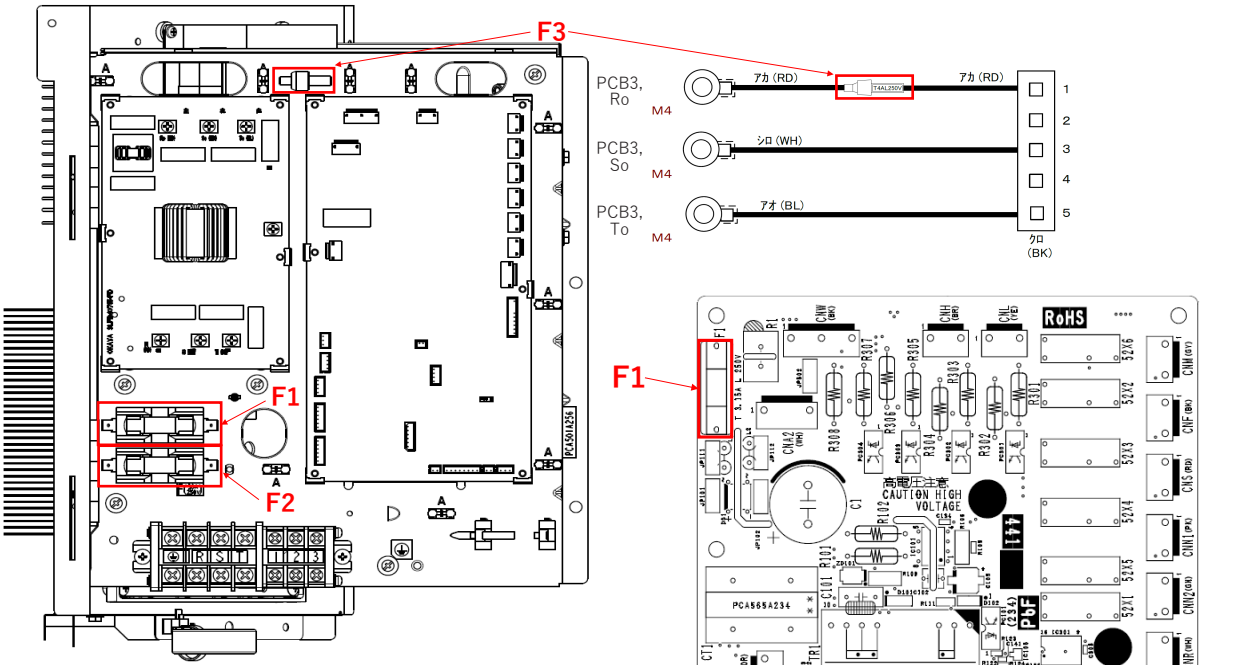


(2) 室外ユニット

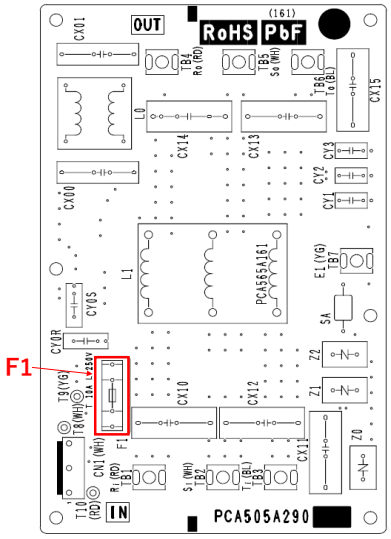
FDCKP806H, 1126H

ヒューズ設置箇所			ヒューズ単体交換可否	ヒューズ溶断時故障可能性部品 (※ 1)	故障診断の参照先 (記載ページ)
分類	詳細	Ref No.			
電装ボックス板金	・室外ユニット端子台ー ノイズフィルタ基板 (PCB3)	F1	可	制御基板 (PCB1) インバータ基板 (PCB2) ノイズフィルタ基板 (PCB3)	・電源系統異常 (1154 ～ 1156 ページ) ・電源欠相 (1184・1185 ページ) ・内機確認中 (1160 ～ 1164 ページ)
		F2	可		
	ノイズフィルタ基板ー 制御基板間配線ヒューズ (リレー (機能品) 出力回路)	F3	可	63H1、20S 、CH1、SV2 それら接続ハーネス	・E40 63H1 作動 (1191 ページ)
制御基板 (PCB1)	・スイッチング電源 1 次側	F1	不可 (半田実装)	制御基板 (PCB1)	・内機確認中 (1160 ～ 1164 ページ) ・E5 運転中に室内外通信異常 (1168・1169 ページ)
	・ファンモータ	F2	可	制御基板 (PCB1) ファンモータ	・E48 室外ファンモータ不良 (1197 ページ)
ノイズフィルタ基板 (PCB3)	・室内ユニットー室外ユニット 電源供給	F1	可	ノイズフィルタ基板 (PCB3) PCB3–TB(1,2,3) の接続ハーネス TB(1,2,3) と室内ユニットの接続ハーネス	・電源系統異常 (1154 ～ 1156 ページ)

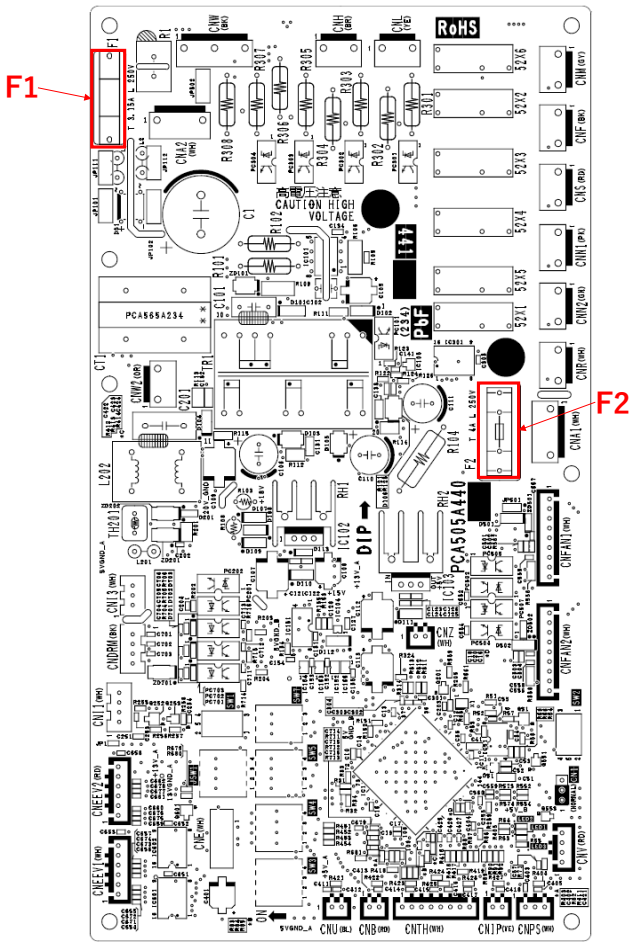
(※ 1) ヒューズを経由して電源供給されている部品示しています。



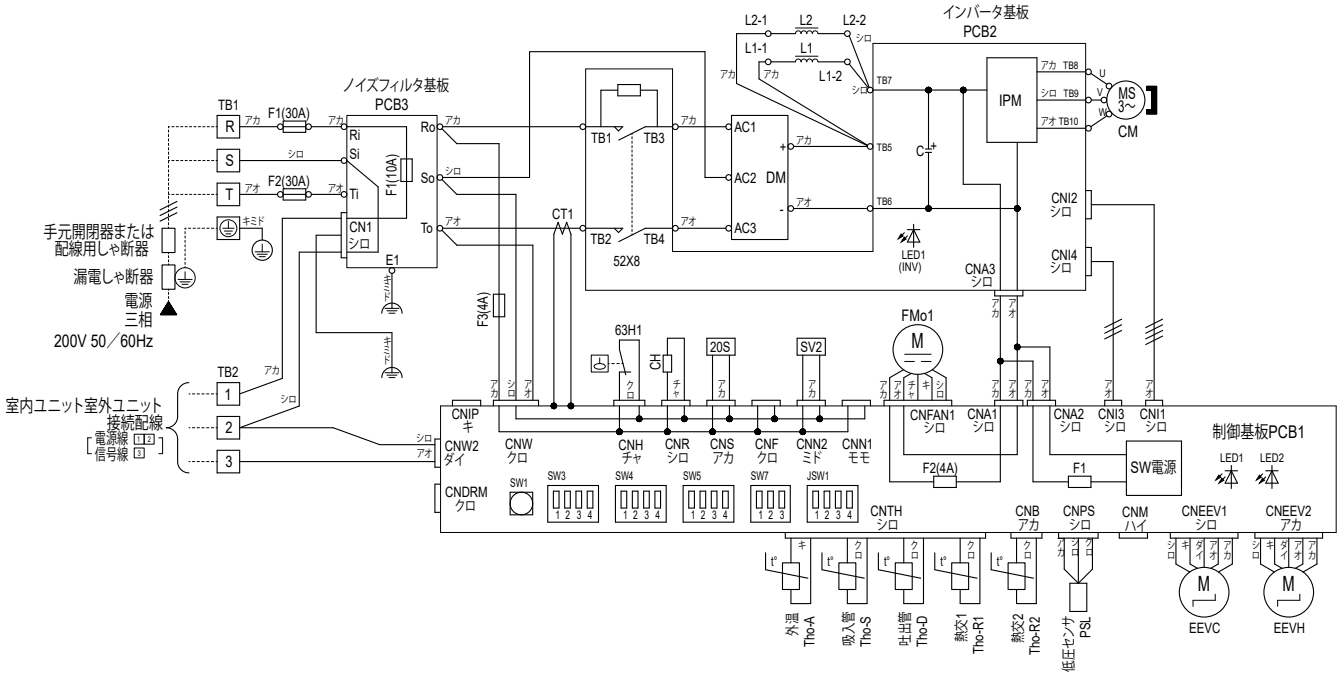
電装ボックス板金



ノイズフィルタ基板(PCB3)



制御基板 (PCB1)


インバータ基板
PCB2
ノイズフィルタ基板
PCB3
制御基板PCB1
TB1
R
S
T
F1(30A)
F2(30A)
Ri
Si
Ti
Ro
So
To
F1(10A)
CN1
E1
手元開閉器または
配線用しゃ断器
漏電しゃ断器
電源
三相
200V 50／60Hz
TB2
室内ユニット室外ユニット
接続配線
電源線
信号線
CT1
F3(4A)
TB1
TB3
TB2
TB4
52X8
AC1
AC2
AC3
DM
L2-1
L2
L2-2
L1-1
L1
L1-2
TB7
TB5
TB6
IPM
TB8
TB9
TB10
MS
CM
C
LED1
(INV)
CNA3
CNI2
CNI4
63H1
20S
SV2
FMo1
CNIP
CNW
CNH
CNR
CNS
CNF
CNN2
CNN1
CNW2
CNDRM
SW1
SW3
SW4
SW5
SW7
JSW1
CNFAN1
CNA1
CNA2
CNI3
CNI1
F2(4A)
F1
SW電源
LED1
LED2
CNTH
CNB
CNPS
CNM
CNEEV1
CNEEV2
外温
Tho-A
吸入管
Tho-S
吐出管
Tho-D
熱交1
Tho-R1
熱交2
Tho-R2
低圧センサ
PSL
EEVC
EEVH

1.15.5 リモコンによる異常運転データの確認

異常発生時の運転データを記憶し，リモコンから異常運転データの確認ができます。

● RC-DX3Dリモコンの場合

［操作手順］

①TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス･メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→「点検表示」→「異常時運転データ表示」の順に選択します。

②リモコンに接続されている室内ユニットが１台の場合は，以下の表示となります。

1). 異常がある場合：「データ読込み中」の後，異常時の運転データが表示されます。

表示内容

・異常コード

・番号およびデータ項目

2). 異常がない場合：「異常なし」を表示し，本モードを終了します。

③リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は，以下の表示となります。

1). 異常がある場合：「室内機選択」画面で対象室内ユニットを選択→「データ読込み中」の後，異常時の運転データが表示されます。

表示内容

・室内機 No.

・異常コード

・番号およびデータ項目

2). 異常がない場合：「異常なし」を表示し，本モードを終了します。

注「室内機選択」画面で接続台数が１ページを超える場合は，「次ページ」を選択してください。

④ 運転／停止 ボタンを押すと，TOP画面に戻ります。

◎設定の途中で，「戻る」をタッチすると，一回前の設定画面に戻ります。

注 異常運転データの確認は，リモコン2台で室内ユニットを運転する場合，親リモコンのみ操作可能です。（子リモコンからの操作はできません。）

■異常運転データ(機種により該当するデータがないものは，その項目は表示されません。)

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
05	室内熱交温度(Thi-R1)
06	室内熱交温度(Thi-R2)
07	室内熱交温度(Thi-R3)
08	室内ファン速調
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内膨張弁開度
12	室内運転積算時間
13	吹出温度
21	外気温度
22	室外熱交温度(Tho-R1)
23	室外熱交温度(Tho-R2)
24	圧縮機周波数
25	高圧
26	低圧
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	CT電流
30	SH制御値
31	実SH
32	実TDSH
33	圧縮機保護ステータスNo.
34	室外ファン速調
35	63H1ON／OFF
36	デフロスト ON／OFF
37	圧縮機運転積算時間
38	室外膨張弁開度(EEVC)
39	室外膨張弁開度(EEVH)

番号33 圧縮機保護ステータスNo.（左記異常運転データ）詳細

圧縮機回転数保護制御内容
異常検知制御内容

【リモコン運転データ表示】
・解除時まで表示
・重複時は，表示データの一番若い番号を表示する。

【共通事項】
暖房時：室内回転数ダウン信号による保護制御中の場合は“4”を表示する。
冷房･除湿時：室内回転数ダウン信号による保護制御中の場合は“8”を表示する。

表示内容	No.
正常	“0”
ＴＤ保護	“1”
ＴＤ異常	“2”
カレントセーフ	“3”
高圧保護	“4”
高圧異常	“5”
低圧保護	“6”
低圧異常	“7”
アンチフロストまたは露付き保護	“8”
カレントカット	“9”
パワートランジスタ保護	“10”
パワートランジスタ異常（過熱）	“11”
圧力比制御	“12”
出力カットオフ（ノイズ停止）	“13”
露付き保護	“14”
２次カレントセーフ	“15”
圧縮機ロック停止または脱調停止	“16”
起動不良停止	“17”
アクティブフィルタ異常	“18”

■メンテナンスコード

コード	内容
M1	お掃除パネル異常
M9	ドレンポンプ過電流検知

1.15.6 ワイヤレス仕様機の点検表示

(1) 点検表示，フィルタサインについて

(a) タイマー/点検表示灯（黄色）が短点滅（0.5秒点灯，0.5秒消灯）したとき。

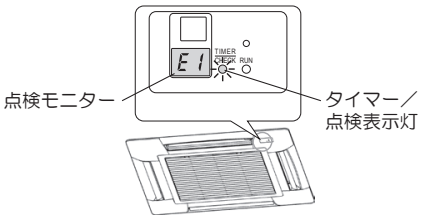
エアコンに異常が起きています。

タイマー／点検表示灯の点滅（0.5秒点灯，0.5秒消灯）と同時にエアコンは停止します。

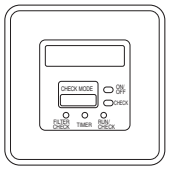
(i) FDT，FDR，FDU，FDE，FDES，FDFシリーズの場合

1) 本体の点検モニター部にアドレスNo.および点検コードが表示されます。
2) モニター表示は，表示時間が経過すると消灯します。
3) モニター部に表示がでていない場合は，リモコン操作またはバックアップスイッチを押してください。

・FDTシリーズ



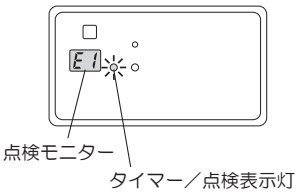
・FDR，FDU，FDES，FDFシリーズ（壁取付タイプ）



点検モニター　運転／点検表示灯

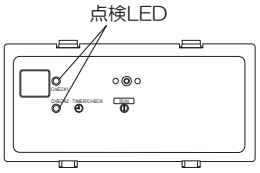
FDR，FDU，FDES，FDFの場合は運転 / 点検表示灯が
赤色に点滅（0.5 秒点灯，0.5 秒消灯）します。

・FDEシリーズ（P80, 160）



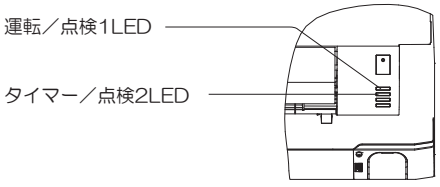
(ii) FDTW シリーズの場合

点検LED表示“CHECK1”／“CHECK2”LEDがエラーコードの“10の位”／“1の位”の数だけ点滅（10秒あたり）します。



(iii) FDK シリーズの場合

運転／点検1LED，タイマー／点検2LEDがエラーコードの“10の位”／“1の位”の数だけ点滅（10秒あたり）します。



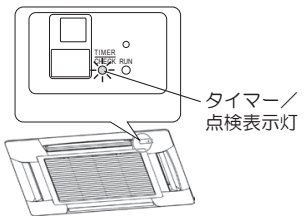
P112

(b) タイマー/点検表示灯（黄色）が長点滅（2秒点灯，1秒消灯）したとき。
フィルタの掃除をしてください。

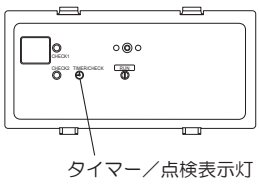
(i) 延べ運転時間が180時間になるとタイマー／点検表示灯が長点滅（2秒点灯，1秒消灯）します。

(ii) フィルタの掃除完了後，リモコンのフィルタボタンを押してリセットしてください。
（フィルタボタンは1秒以上押し続けてください）

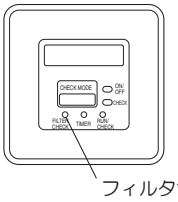
・FDTシリーズ



・FDTWシリーズ

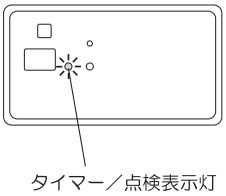


・FDR，FDU，FDES，FDFシリーズ（壁取付タイプ）

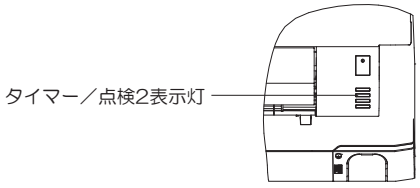


FDR，FDU，FDES，FDFの場合はフィルタサイン表示灯（赤色）が
長点滅（2 秒点灯，1 秒消灯）します。

・FDEシリーズ（P80, 160）



・FDKシリーズ



P112

(2) バックアップスイッチの使い方

リモコンの電池切れ，紛失および故障時に本体表示部のバックアップスイッチで応急的にエアコンの運転／停止ができます。

■設定内容
運転モード……自動　　風量切換……急
タイマー……連続　　設定温度……23℃
オートスイング…停止（水平）

運転／停止

■バックアップスイッチを押してから2秒以内にスイッチから手を離してください。
運転を開始します。

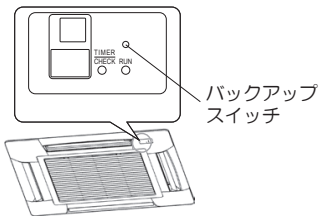
■もう一度押すと停止します。

吸込グリルの収納

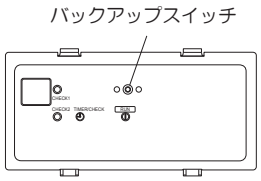
（グリル自動昇降付を使用の場合）

■バックアップスイッチを押してから2秒以降にスイッチから手を離してください。
吸込グリルが上昇し，エアコン本体に収納されます。

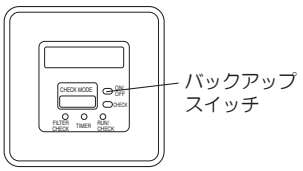
・FDTシリーズ



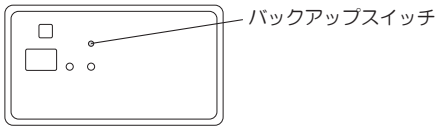
・FDTWシリーズ



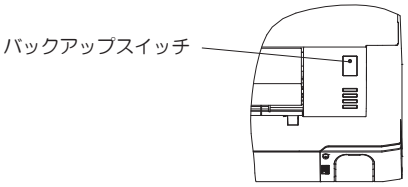
・FDR，FDU，FDES，FDFシリーズ（壁取付タイプ）



・FDEシリーズ（P80, 160）

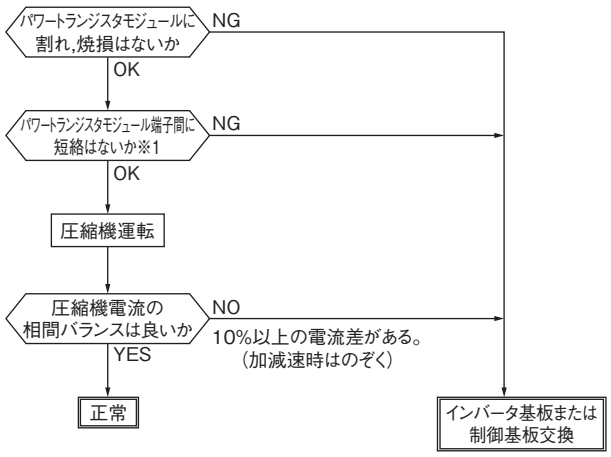


・FDKシリーズ



P112

1.15.7 パワートランジスタモジュール（含むドライブ回路）点検方法



※1　パワートランジスタモジュール端子短絡点検要領

圧縮機の配線を外し，テスタで短絡チェックをしてください。
P-U, P-V, P-W
N-U, N-V, N-W
P-N 端子間を点検
各端子は下記の場所がテスタを当てやすいです。
P　：パワートランジスタ P 端子
N　：パワートランジスタ N 端子
U　：圧縮機への赤ハーネス先端
V　：圧縮機への白ハーネス先端
W　：圧縮機への黒または青ハーネス先端

パワートランジスタ短絡確認

インバータ不良判定用診断チェッカを持っていないとき，パワートランジスタ部品の端子間を測定しパワートランジスタ不良かどうか診断する。

テスタ		正常な値(Ω)
端子(＋)	端子(－)	FDCKP806,1126
P	N	数百k～数M
N	P	数百k
P	U	数M
P	V	
P	W	
N	U	数M
N	V	
N	W	
U	P	数M
V	P	
W	P	
U	N	数M
V	N	
W	N	

測定値が0～数kΩの場合は，素子が破損している可能性があるのでパワートランジスタ部品を交換してください。

※2 インバータ不良判定用診断チェッカ

◆チェック要領

⑴ チェッカのセット手順

(a) 電源をOFFにします。（ブレーカOFF）

(b) 圧縮機のターミナルカバーを外して接続線(U，V，W)を外します。

(c) チェッカの配線(U：赤, V：白, W：黒)を外した接続配線端子部に接続します。

⑵ 判定運転方法

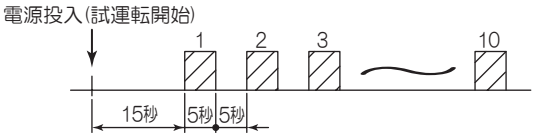
(a) 室外インバータ基板のスイッチJSW10-4をONし電源を投入します。（FDCKP806，1126形）

(b) 電源投入15秒後，LEDが5秒間点滅/消灯を10回繰り返します。

(c) 6個のLEDの点滅状態を確認します。

(d) LEDの点滅状態により判定

LEDの点滅状態	6個のLEDが同じ点滅をした場合	6個のLEDが消灯または数個のLED点滅の場合
インバータ	正常	不良

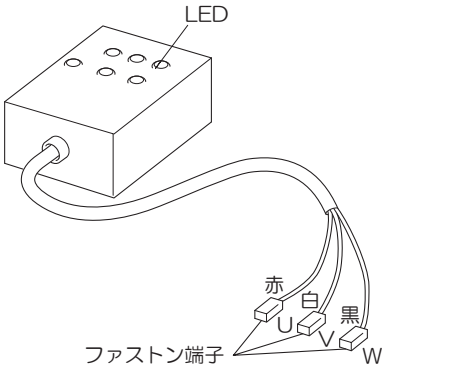


注 ▨ 部の動作区間は下図のLED点滅パターンを繰り返します。

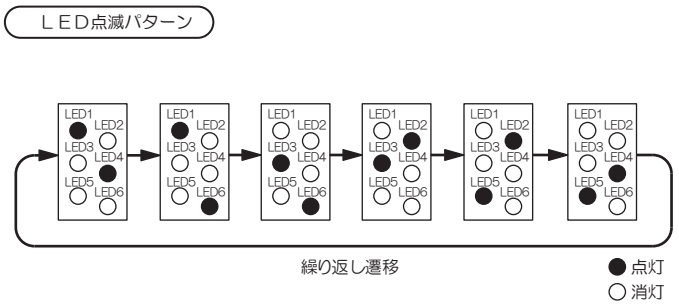
(e) 作業終了後は，
室外インバータ基板のスイッチJSW10-4をかならずOFFしてください。（FDCKP806，1126形）

■インバータ不良判定用診断チェッカ

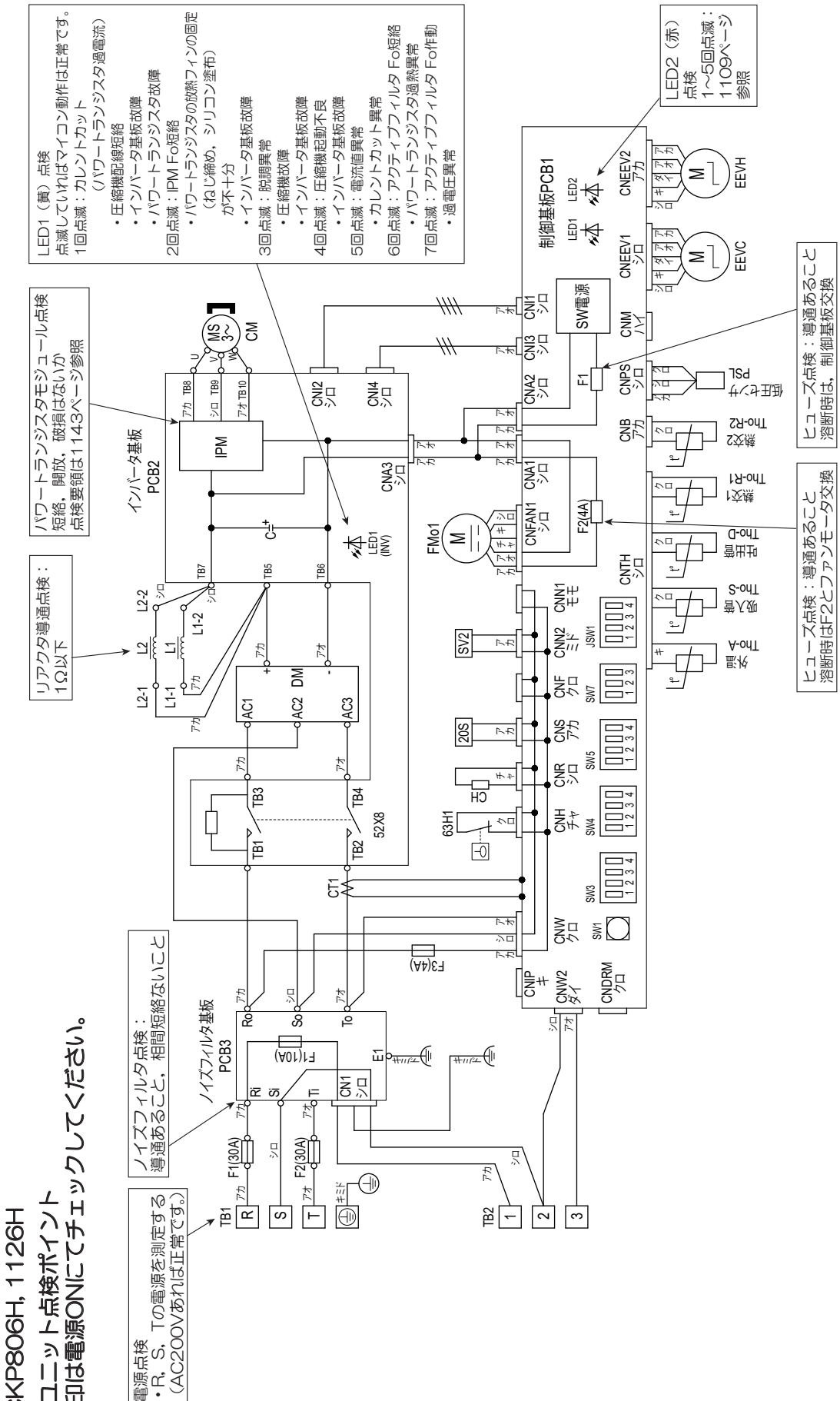
品番	SA01927A	重工冷熱扱



圧縮機接続配線端子と接続する。



1.15.8 室外コントローラ故障診断回路図



1.15.9 故障診断フロー

(1) 故障内容一覧

リモコン表示	故障内容	記載ページ
なし	運転するが,冷えない	1147
なし	運転するが,暖まらない	1148
なし	漏電ブレーカ作動	1149
なし	音･振動が非常に大きい(その 1)	1150
なし	音･振動が非常に大きい(その 2)	1151
なし	音･振動が非常に大きい(その 3)	1152
なし	ルーバモータが回らない	1153
なし	電源系統異常(室内･外基板への電源供給)	1154 ～ 1156
なし	電源系統異常(リモコンへの電源供給)	1157・1158
なし	ラクリーナパネルが動かない	1159
内機確認中	室内機点検表示(リモコン1台接続または2台接続時)	1160
内機確認中	室内機点検表示(リモコン3台以上接続)	1161
内機確認中	内機確認中(FDCKP806, 1126形)	1162 ～ 1164
無表示	無表示	1165
E1	リモコン通信回路不良	1166・1167
E5	運転中に室内外通信異常	1168・1169
E6	室内熱交温度センサ不良	1170
E7	吸込温度センサ不良	1171
E8	暖房過負荷運転	1172
E9	ドレン不良	1173
E10	1リモコン複数台制御時接続台数オーバー(17台以上)	1174
E11	リモコン通信アドレス設定不良	1175
E14	親子室内ユニット間通信異常	1176
E16	室内ファンモータ不良	1177・1178
E19	運転モード設定不良	1179
E20	室内ファンモータ回転不良	1180・1181
E23	冷媒漏えい検知（FDF シリーズ）	1182
E28	リモコン温度センサ不良	1183
E34	電源欠相	1184・1185
E35	冷房過負荷運転(FDCKP806, 1126形)	1186
E36	吐出管温度異常	1187
E37	室外熱交温度センサ不良	1188
E38	外気温度センサ不良	1189
E39	吐出管温度センサ不良	1190
E40	63H1作動(FDCKP806, 1126形)	1191
E41	パワートランジスタ電源電圧低下(FDCKP806, 1126形)	1192
E42	カレントカット	1193・1194
E45	インバータ通信異常(FDCKP806, 1126形)	1195
E47	アクティブフィルタ異常(FDCKP806, 1126形)	1196
E48	室外ファンモータ不良(FDCKP806, 1126形)	1197
E49	低圧圧力異常または低圧圧力センサ不良(FDCKP806, 1126形)	1198・1199
E51	インバータ･室外ファンモータ異常(FDCKP806, 1126形)	1200
E53	吸入管温度センサ不良(FDCKP806, 1126形)	1201
E54	低圧圧力センサ不良(FDCKP806, 1126形)	1202
E57	冷媒量不足または操作弁閉検出(FDCKP806, 1126形)	1203
E58	カレントセーフ(FDCZP406～636形)，圧縮機脱調異常(FDCKP806, 1126形)	1204
E59	圧縮機起動異常(FDCKP806, 1126形)	1205・1206
冷媒センサーが故障しています	冷媒センサ故障（FDF シリーズ）	1207
冷媒センサーが外れています	冷媒センサ外れ（FDF シリーズ）	1208

(2) 故障診断

表示 リモコン：なし	LED	緑	赤	内容 運転するが，冷えない
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

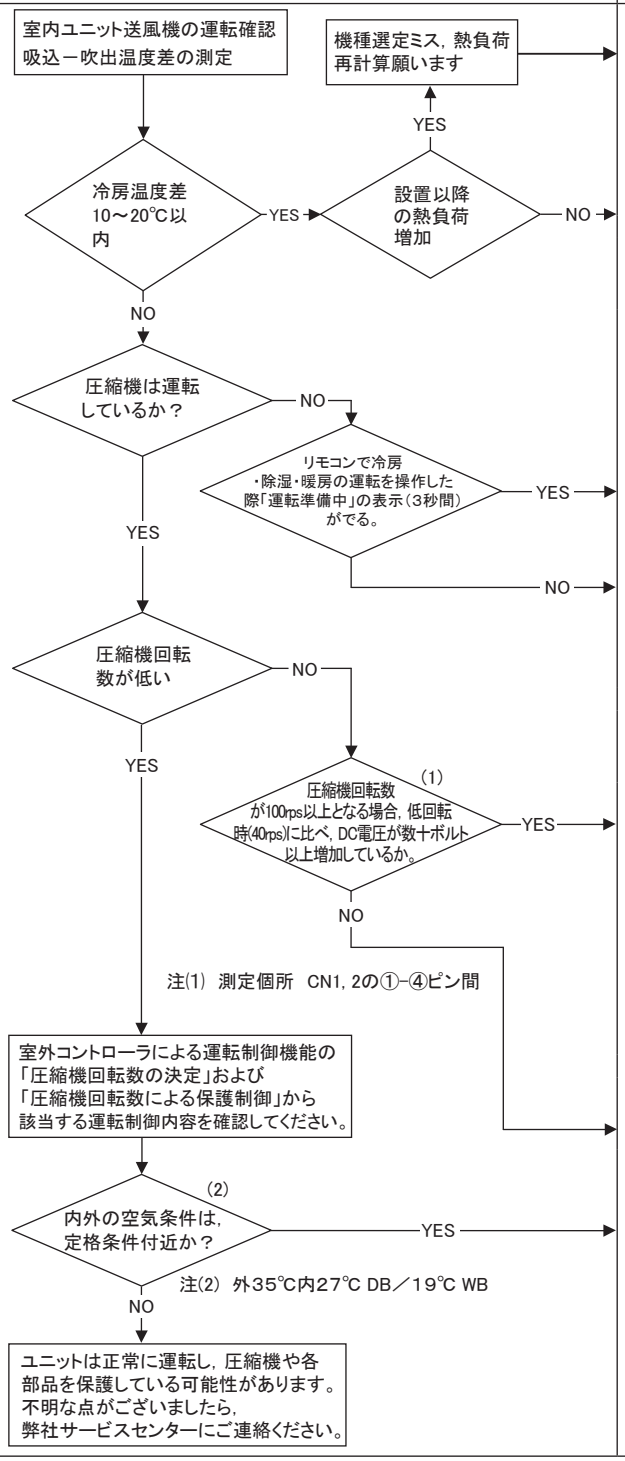
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・圧縮機の圧縮不良
・膨張弁動作不良
・インバータ不良

5. 故障診断と処置



注記：

表示
リモコン：なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

運転するが，暖まらない

1．対象機種

全機種

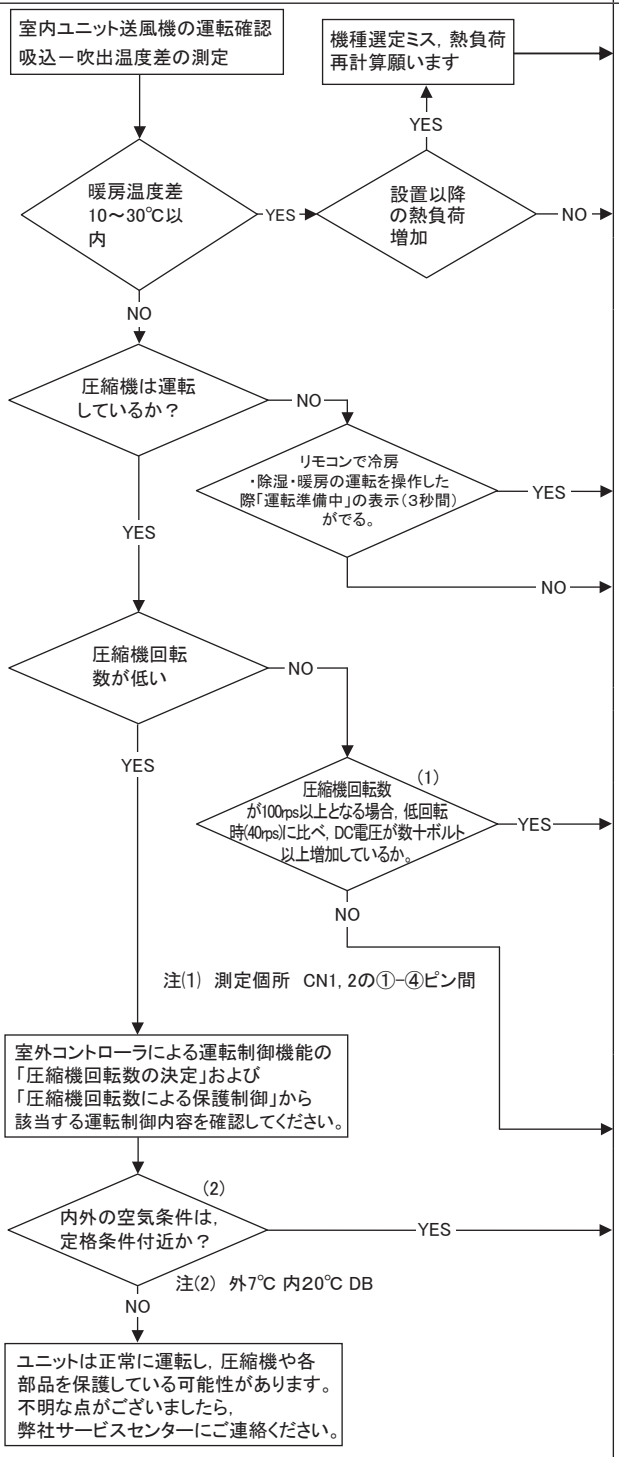
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・四方切換弁動作不良
・圧縮機の圧縮不良
・膨張弁動作不良
・インバータ不良

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	消灯

内容

漏電ブレーカ作動

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・圧縮機不良
・ノイズ

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
圧縮機の絶縁抵抗,端子間抵抗[1]はOK? → NO	圧縮機交換※
注(1)　P806～1126形：0.652Ω（20℃）	
YES → 各ハーネス類は絶縁が確保されているか? 板金などの噛み込みはないか? → NO	絶縁抵抗確保
YES → 室外アース線／漏電しゃ断器チェック	

室外アース線／漏電しゃ断器チェック

①アース線は,室外ユニットのアースねじ部から配電盤のアース端子まで, 単独の線で工事してください。(他のアース線との接続はしないでください。)
②漏電しゃ断器自体の誤作動を防止するため,高調波対応品であるか確認してください。

※圧縮機の絶縁抵抗について
●据付直後,もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合,圧縮機に冷媒が溜まることにより,絶縁抵抗が数MΩまで低下することがあります。絶縁抵抗が小さく,漏電ブレーカが作動する場合は,以下の事項を確認ください。
①電源を投入し,6時間程度経過後,絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより,圧縮機に通電加熱を行い,圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており,漏電ブレーカの誤動作を防止するため,高調波対応品を使用してください。

注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい（その1）
	室内	―	―	
	室外	―	―	

1．対象機種

全機種

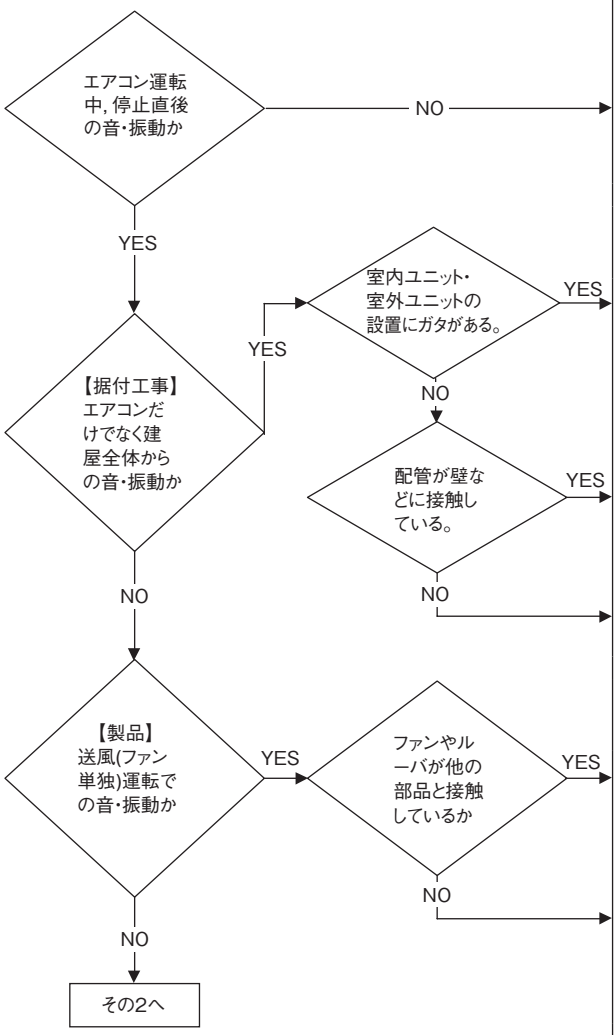
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤
	室内	―	―
	室外	―	―

内容

音・振動が非常に大きい（その2）

1．対象機種

全機種

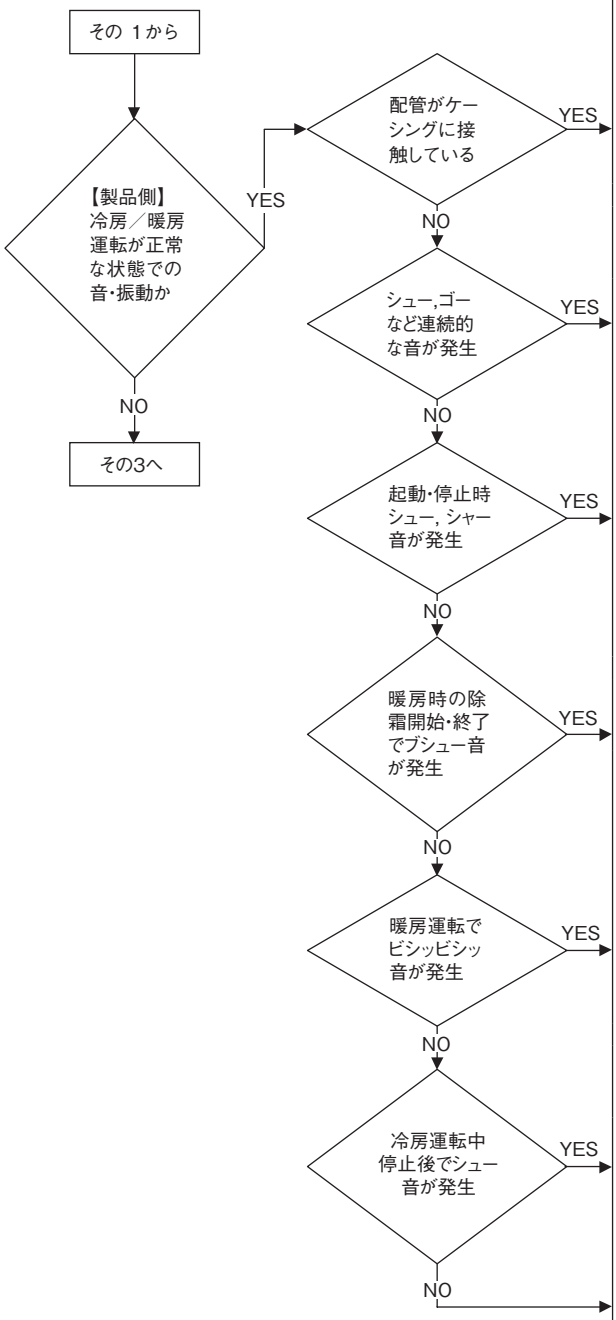
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい（その3）
	室内	－	－	
	室外	－	－	

1．対象機種

全機種

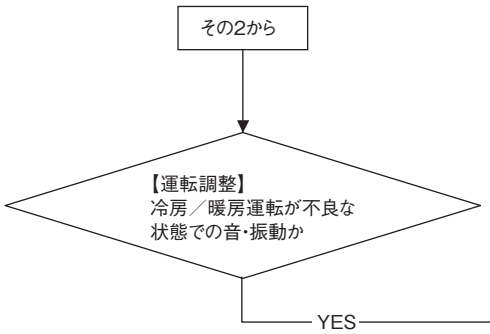
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

①据付工事不良
・設置時の防振対策不良
・取付面の強度不足
②製品不良
・工場出荷前／後不良
③運転調整不良
・冷媒の過多／不足など

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	冷房／暖房運転で温度が適正でない不良な状態の場合，以下の懸念があります。 ・冷媒の過多充填 ・冷媒の不足充填 ・空気，窒素などの混入 このため，冷媒回収，真空乾燥，冷媒再充填を実施してください。 ※音・振動はさまざまなことが原因となって発生するため，上記の内容に当てはまらない場合があると思われます。 その場合，以下の点を確認・メモした後弊社にご相談願います。 ・室内／室外ユニット ・冷房／暖房／送風 ・起動／停止／運転中 ・運転状態 （室内外温度，圧力） ・発生時間 ・圧縮機回転数，熱交温度，電子膨張弁開度等のリモコンによる運転データ ・音色 ・その他気付き事項

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	消灯

内容

ルーバモータが回らない

1. 対象機種

オートスイング機能付機種のみ

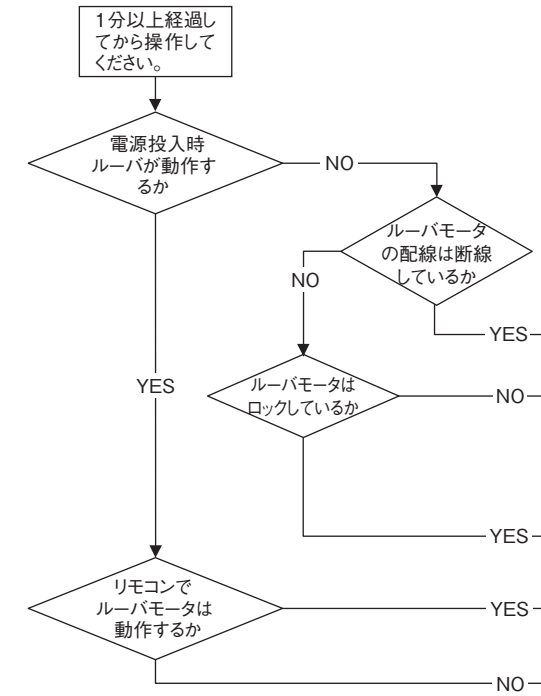
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・ルーバモータ不良
・ルーバモータ配線断線
・室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
▲室内ユニット側で点検してください。  	

注記：

表示
リモコン： なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内・外基板への電源供給）

1．対象機種

FDT，FDKシリーズのみ

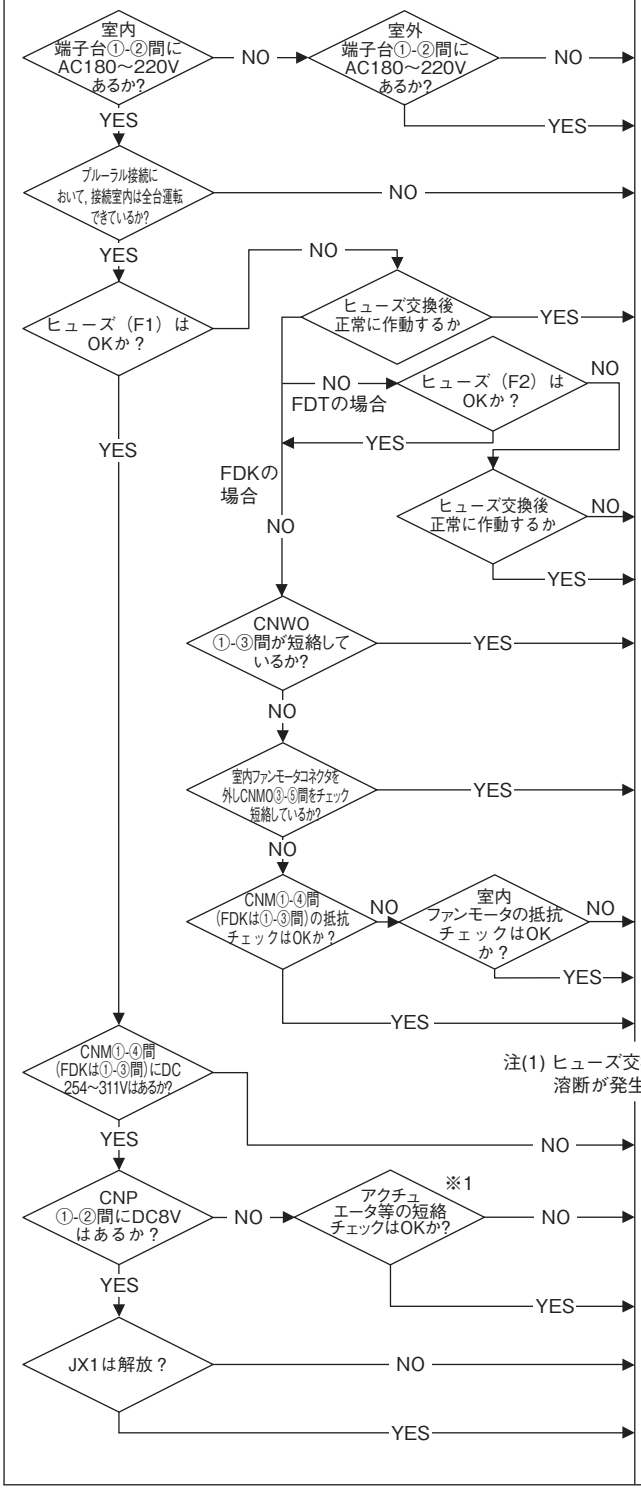
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・渡り配線の誤接続または断線
・ヒューズの断線
・室内ファンモータ不良
・室外制御基板不良
・室内ユニット基板不良
・アクチュエータ等不良

5．故障診断と処置



注記：※1 CNW0, CNW3を除くコネクタを，一個ずつ外していき電源投入後にCNP①-②間にDC8Vがあるか確認。
・YES：コネクタを外しても，CNP①-④間にDC8Vがない。
・NO ：コネクタを外しても，CNP①-④間にDC8Vがある。

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤
	室内	消灯	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内・外基板への電源供給）

1．対象機種

FDT，FDK，FDES シリーズ以外の機種

2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

- 渡り配線の誤接続または断線
- ヒューズの断線
- 室内ファンモータ，ルーバモータ不良
- 室内電源基板不良
- ハーネス断線
- 室内制御基板不良
- 室外制御基板（ノイズフィルタ）不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室内端子台 ①-②間にAC180～220V はあるか? NO → 室外端子台 ①-②間にAC180～220V はあるか? NO	室外制御基板（ノイズフィルタ）不良→交換
室外端子台 ①-②間にAC180～220V はあるか? YES	渡り配線の誤接続または断線
室内端子台 ①-②間にAC180～220V はあるか? YES → ブルーラル接続において，接続室内は全台運転できているか? NO	室内基板の設定、リモコン渡り配線を確認
ブルーラル接続において，接続室内は全台運転できているか? YES 注(1) ・FDTW, FDE : F1, F2 ・FDR, FDU:F1 ・FDF:F200, F201	
(1) ヒューズはOKか? NO → ヒューズ交換後正常に作動するか? YES	一過性の過電流によるヒューズ溶断
(1) ヒューズはOKか? YES	
ヒューズ交換後正常に作動するか? NO 注(2) ・FDTW, FDR, FDU, FDE : F3 or F4 ・FDF:F202	
(2) ヒューズはOKか? NO → ヒューズ交換後正常に作動するか? NO	室内ファンモータ交換
(2) ヒューズはOKか? YES	
ヒューズ交換後正常に作動するか? YES	一過性の過電流によるヒューズ溶断
CNWOの＊間が短絡しているか? YES	室内電源基板不良→交換
CNWOの＊間が短絡しているか? NO ＊・FDTW, FDR, FDU, FDE : ①-⑤ ・FDF:③-⑦	
室内ファンモータコネクタを外しCNMO③-⑤間をチェック短絡しているか? YES	室内電源基板不良→交換
室内ファンモータコネクタを外しCNMO③-⑤間をチェック短絡しているか? NO	
室内ファンモータ，ルーバモータ等の抵抗チェック NO	室内ファンモータ，ルーバモータ等交換
室内ファンモータ，ルーバモータ等の抵抗チェック YES	ヒューズ交換(4)
注(3) ⑤がGND (3) CNW2の④-⑤間にDC5Vはあるか NO	室内電源基板不良→交換
注(4) ヒューズ交換後に電源を再投入し，ヒューズの溶断が発生した場合は室内電源基板交換	
(3) CNW2の④-⑤間にDC5Vはあるか YES → JX1は開放? NO	JX1 を開放
JX1は開放? YES	室内制御基板不良→交換

注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤
	室内	消灯	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（室内・外基板への電源供給）

1．対象機種

FDES シリーズのみ

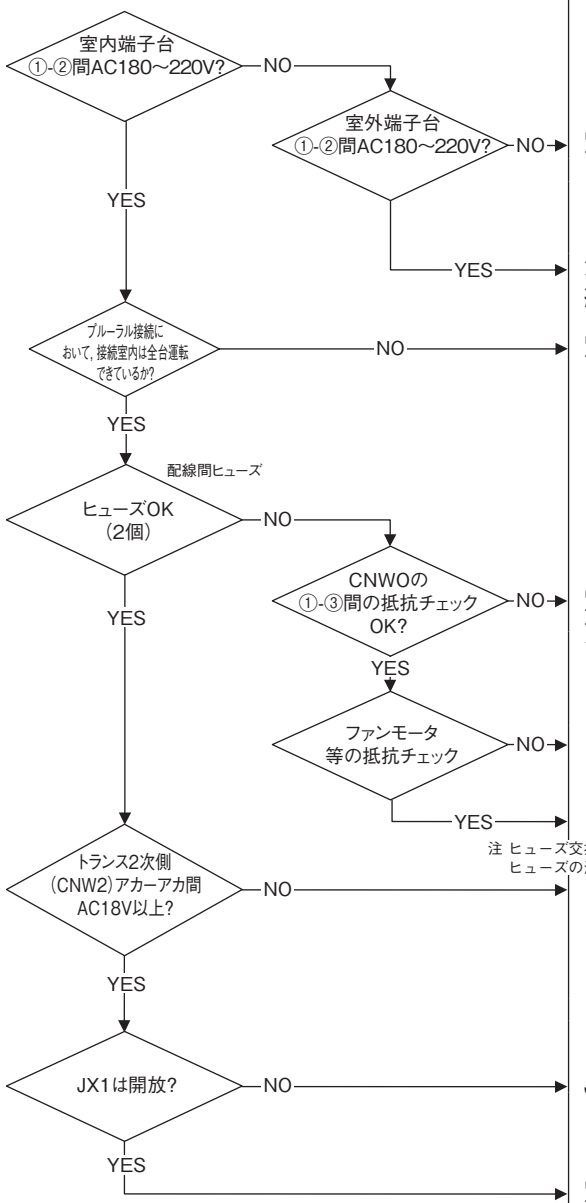
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・渡り配線，誤接続または断線
・ヒューズの断線
・トランスの故障
・室内電源基板不良
・ハーネス断線
・室内制御基板不良
・室外制御基板（ノイズフィルタ）不良

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（リモコンへの電源供給）

1．対象機種

FDES シリーズ以外の機種

2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・リモコン線断線／短絡
・リモコン不良
・ノイズ誤動作
・ハーネス断線
・室内制御基板不良
・室内制御基板の親子アドレス設定不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
リモコン配線 接続チェックOK? X（シロ），Y（クロ） NO	リモコン配線接続修正
YES → 室内端子台 X-Y間に電圧DC15V 以上はあるか? NO	
YES → 電源リセット → 電源リセットで 正常に戻るか? NO	リモコン線断線？ リモコン不良→交換
YES	ノイズによる誤作動 （周辺環境確認）
室内ユニットの 親子設定は正しいか? NO	室内ユニットの親子設定修正→親設定にしてください。
YES → リモコン線を はずす → 室内端子台 X-Y間の電圧を再計測しDC15V 以上はあるか? NO	室内制御基板不良→交換
YES	リモコン線断線？ リモコン不良→交換

注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	2回点滅

内容

電源系統異常
（リモコンへの電源供給）

1．対象機種

FDES シリーズのみ

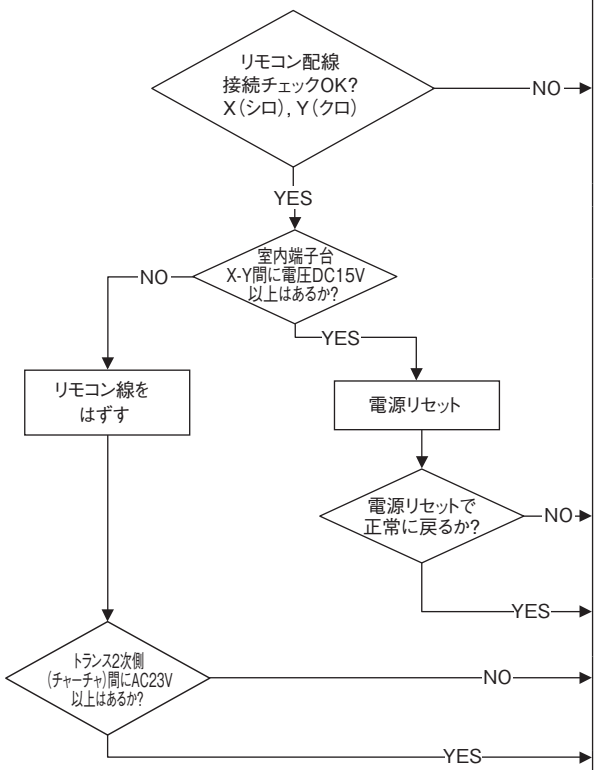
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・リモコン線断線／短絡
・リモコン不良
・ノイズ誤動作
・ハーネス断線
・室内制御基板不良
・トランス不良

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:なし

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	消灯

内容

ラクリーナパネルが動かない

1. 対象機種

ラクリーナパネル搭載機種のみ
(FDT, FDTW, FDE シリーズ)

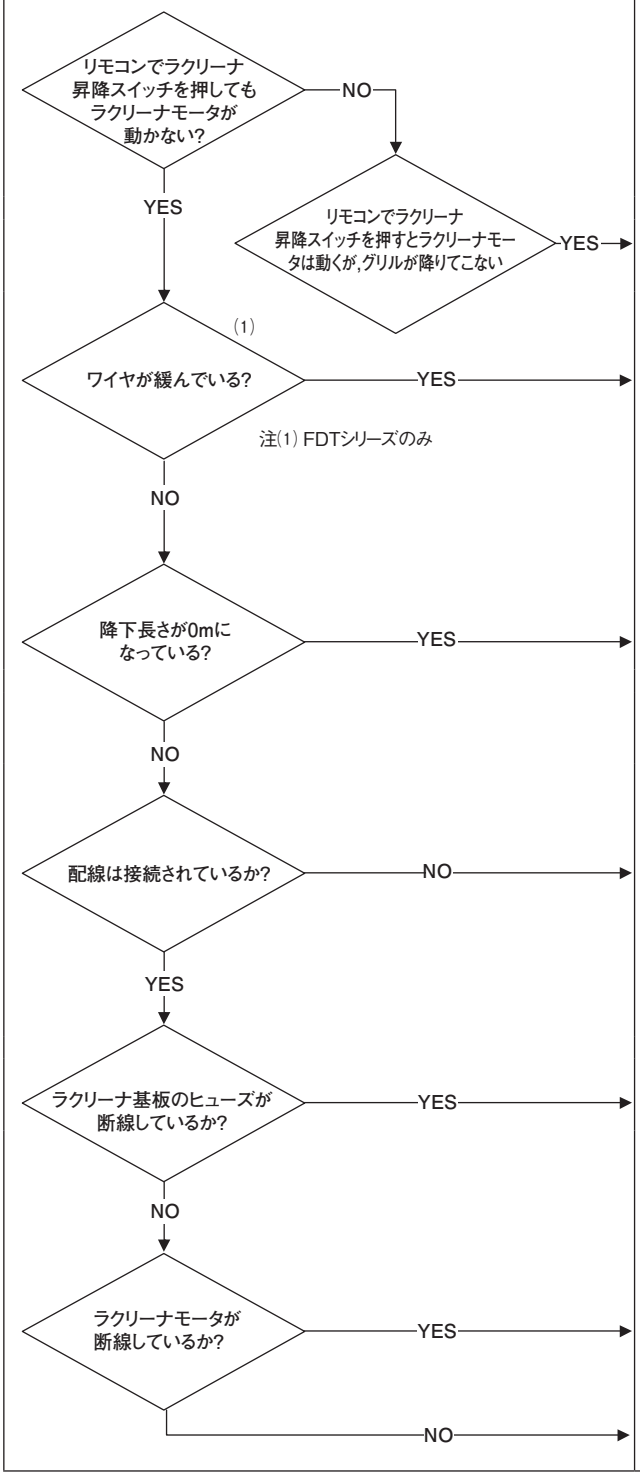
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

- ワイヤゆるみ検知機構が働いている(FDT シリーズのみ)
- 誤配線
- 誤接続
- ラクリーナモータ不良
- ワイヤの絡まり
- ヒューズの断線
- ラクリーナ基板不良
- 室内制御基板不良

5. 故障診断と処置



注記:Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）の子機の場合, 最大 4.5 秒の動作遅れがあります。

表示	LED	緑	赤
リモコン:内機確認中	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

室内機点検表示

（リモコン 1 台接続または 2 台接続時）

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

電源投入後 ,30 分以上室内ユニットと通信できない。（リモコン側）

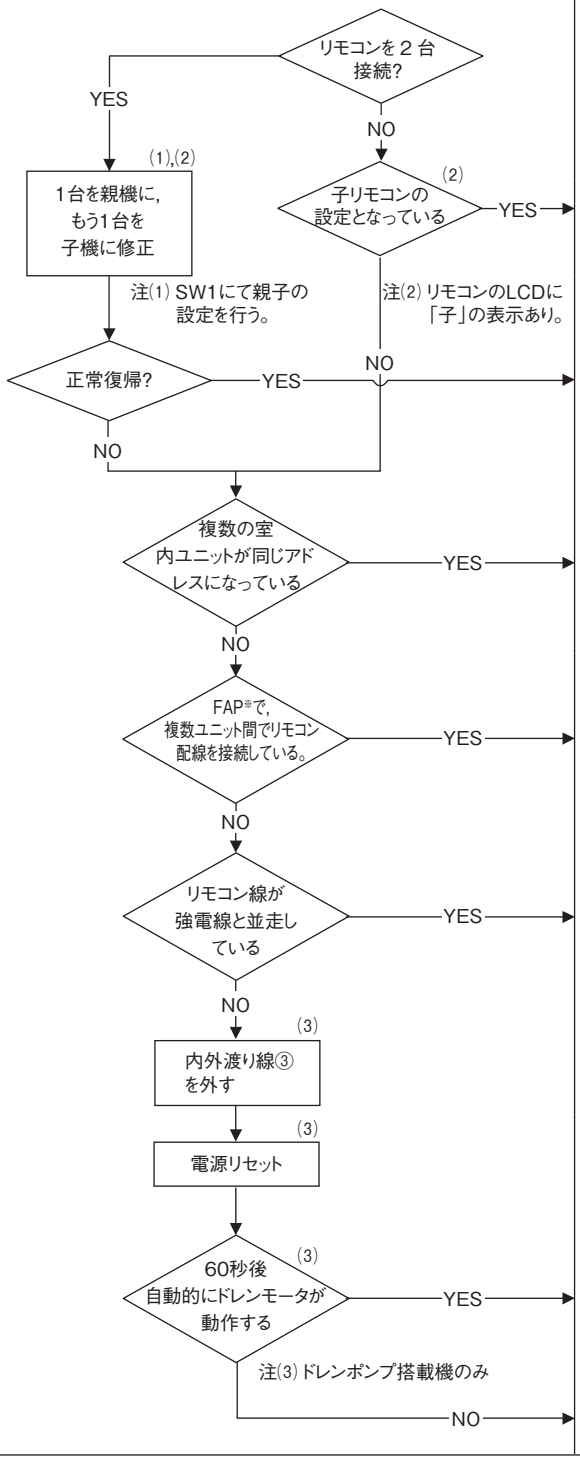
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・設定不良
・周囲環境
・リモコン通信回路不良
・室内制御基板不良
・誤接続

5．故障診断と処置



注記：リモコン表示は「内機確認中」から 30 分後，異常検出すると「室内機点検」に表示が変わります。
※ FAP…Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	2回点滅

内容

室内機点検表示
（リモコン３台以上接続）

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

電源投入後，30 分以上室内ユニット通信できない（リモコン側）

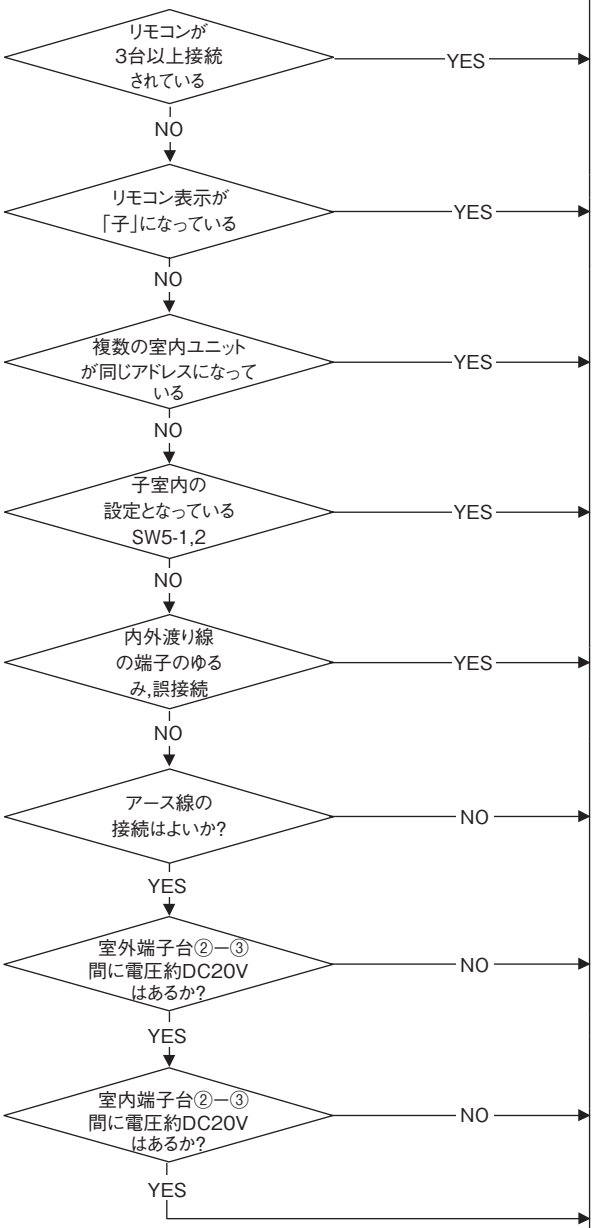
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・設定不良
・周囲環境
・リモコン通信回路不良
・室外制御基板不良
・室内制御基板不良

5．故障診断と処置



注記：リモコン表示は「内機確認中」から 30 分後，異常検出すると「室内機点検」に表示が変わります。
※ FAP…Free Address Prural（フリーアドレスプルーラル）

表示
リモコン:内機確認中

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	2回点滅

内容

内機確認中（1/3）

（FDCKP806，1126形のみ）

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

（電源投入後２分待ってもリモコン LCD「内機確認中」表示のままの場合）

2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・基板間の接続
・室内ユニット制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板不良
・総配線長超過

5．故障診断と処置

診　断	処　置
電源投入後2分待ってもリモコンLCD「内機確認中」表示のまま	
YES	
総配線長の制約は遵守できているか? NO	総配線長見直し
YES	次ページ参照
室外制御基板緑LEDは点滅しているか NO → A	
YES	
室内制御基板緑LEDは点滅しているか NO	室内ユニット制御基板不良→交換
YES	
室外制御基板赤LEDは2回点滅しているか NO	室内ユニット制御基板不良→交換 リモコン不良→交換 リモコン線 Y 断線
YES	
室内・外接続線は正規に接続されているか NO	接続線修正
YES	
室外側端子台②～③間電圧DC約20V? NO	室外ユニット制御基板不良→交換
YES	
室内側端子台②～③間電圧DC約20V? NO	接続線不良（断線）→修理，ノイズ
YES	室内ユニット制御基板不良→交換

注記：

表示 リモコン:内機確認中	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	消灯	消灯

内容

内機確認中（2/3）

（FDCKP806，1126形のみ）

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

（室外ユニット制御基板LED が消灯している場合の診断）

2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・リモコン不良
・リモコン線断線
・室外ユニット制御基板不良
・インバータ基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室外ユニット制御基板LEDが消灯している場合の診断	
A → 一旦ブレーカをしゃ断し 3分後に再度ブレーカを投入する	
正常復帰?	
NO → YES	正常（ノイズによる誤作動）
ノイズフィルタ 基板ヒューズF1（10A）は 溶断していないか?	
NO → 電源ヒューズ交換前へ → B	インバータ点検のため次ページ参照
YES	
室外ユニット制御 基板上の F1, F2は溶断 していないか?	
NO	室外ユニット制御基板不良→交換
YES	
室外ユニット制御 基板上にDC5Vは発生しているか? (CNV①-④間にて測定)	
YES	室外ユニット制御基板不良→交換
NO	
室外ファンモータ (1) のコネクタを外すとDC5Vが 発生する	
YES	室外ファンモータ不良
NO	
インバータ電源コネクタ (1) (CNI③)を外すとDC5Vが 発生する	
YES	インバータ基板不良→交換
NO	室外ユニット制御基板不良→交換

注(1)室外ファンモータのDC15V負荷が短絡して電源自体がない場合を想定。
室外ファンモータを外して確認します。

注記：

表示
リモコン:内機確認中

LED	緑	赤
室内	消灯	消灯
室外	消灯	消灯

内容

内機確認中（3/3）

（FDCKP806，1126形のみ）

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

（ヒューズ溶断の場合，電源ヒューズ交換前のインバータ点検方法）

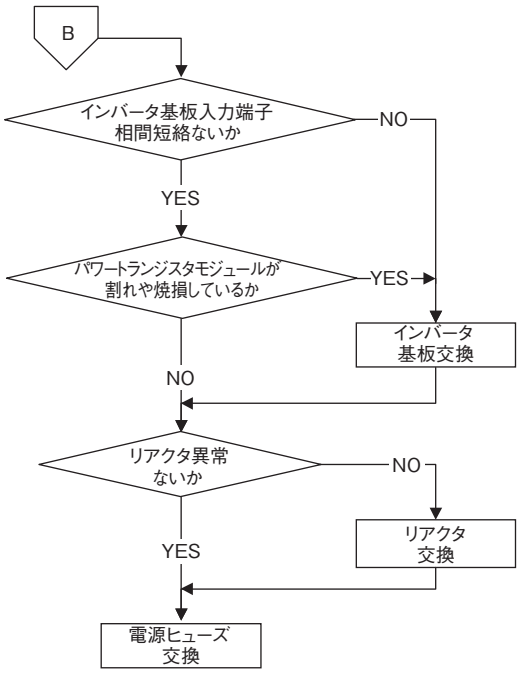
2．異常検出方法

3．異常発生条件

4．予想原因

・ヒューズの断線
・基板間の接続
・ヒューズ溶断
・リアクタ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示 リモコン:無表示	LED	緑	赤	内容	無表示
	室内	消灯	消灯		
	室外	消灯	消灯		

1. 対象機種

全機種
(電源投入後リモコン無表示の場合)

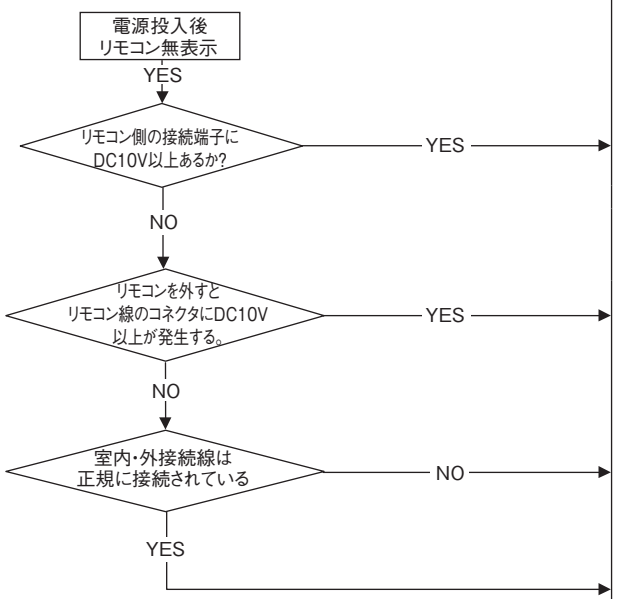
2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・基板間の接続不良
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・リモコン線断線

5. 故障診断と処置



注記：

表示	LED	緑	赤	内容
リモコン：E1	室内	連続点滅	消灯	リモコン通信回路不良
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

ドレンポンプ搭載機のみ

2. 異常検出方法

リモコン－室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合
（リモコンでのみ検出）

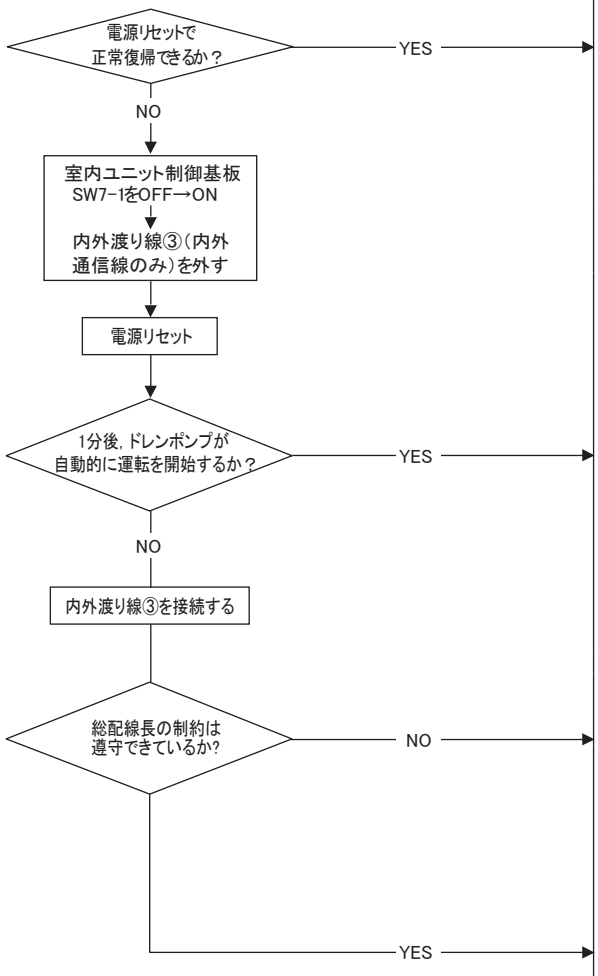
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・リモコン－室内ユニット間 通信回路不良
・ノイズ
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注記：室内側ではリモコンと180秒間正常に通信できない場合，室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

表示 リモコン：E1	LED	緑	赤	内容 リモコン通信回路不良
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

ドレンポンプ未搭載機種

2. 異常検出方法

リモコンー室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合
（リモコンでのみ検出）

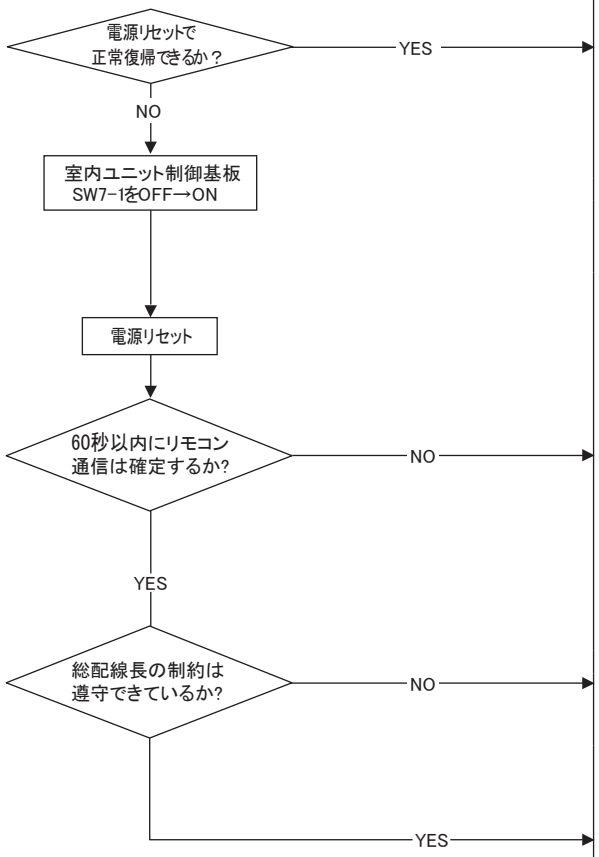
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・リモコンー室内ユニット間通信回路不良
・ノイズ
・室内制御基板不良
・リモコン不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置



注記：室内側ではリモコンと180秒間正常に通信できない場合，室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

表示
リモコン:E5

LED	緑	赤
室内	連続点滅	2回点滅
室外	連続点滅	下記参照

内容
運転中に室内外通信異常

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室内－室外ユニット間が2分以上正常に通信できない場合

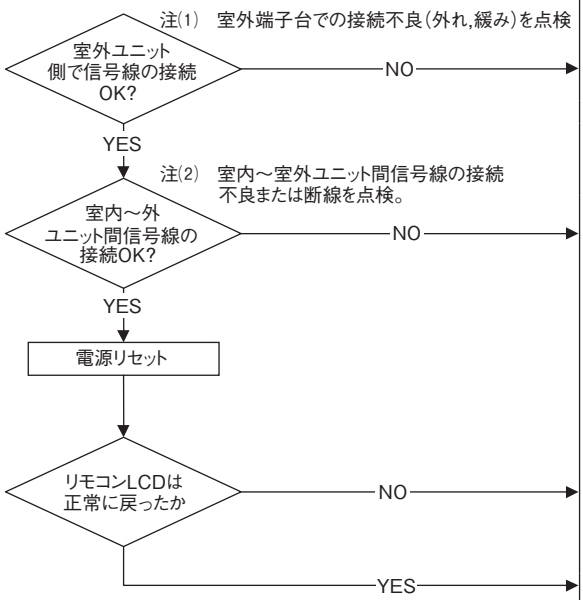
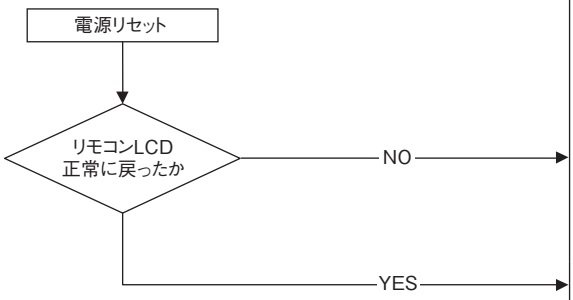
3. 異常発生条件

運転中，同上を検知

4. 予想原因

・号機設定ミス
・リモコン配線断線
・リモコン配線接続不良
・室外制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
・室外赤LEDが2回点滅の場合	
	信号線修理 信号線修理 「内機確認中」表示の診断へ ユニットは正常です。(一過性ノイズ等による誤作動)
・室外赤LEDが消灯	
	室外制御基板不良→交換 (ネットワーク通信回路不良) ユニットは正常です。(一過性ノイズ等による誤作動)
・室外LED赤および緑とも消灯は,次ページをご覧ください。	

注記：ポンプダウンスイッチを押すと，室内ユニットとの通信をキャンセルするため，室内ユニットおよびリモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが異常ではありません。

表示 リモコン:E5	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	2回点滅
	室外	消灯	消灯

内容

運転中に内外通信異常

1. 対象機種

FDCKP806, 1126形

2. 異常検出方法

室内－室外ユニット間が2分以上正常に通信できない場合

3. 異常発生条件

運転中，同上を検知

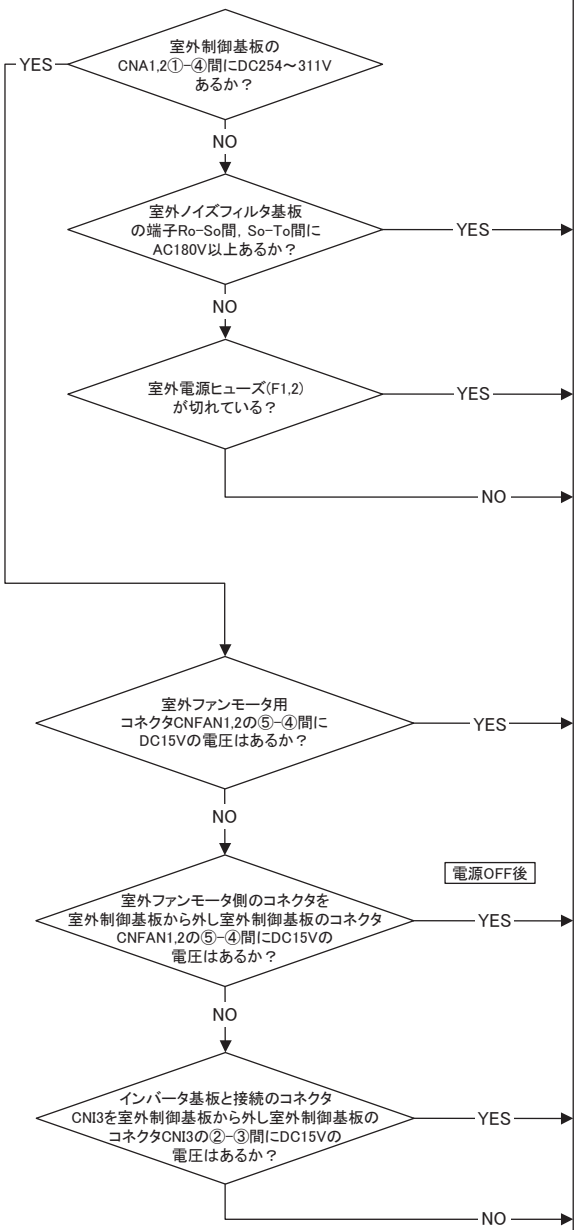
4. 予想原因

・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・室外ノイズフィルタ基板不良
・ヒューズ不良
・室外ファンモータ不良

5. 故障診断と処置

診 断 ／ 処 置

・室外LED赤および緑とも消灯



注記：

表示
リモコン:E6

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内熱交温度センサ不良

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2，R3,）の異常低温および異常高温（抵抗）を検知

3．異常発生条件

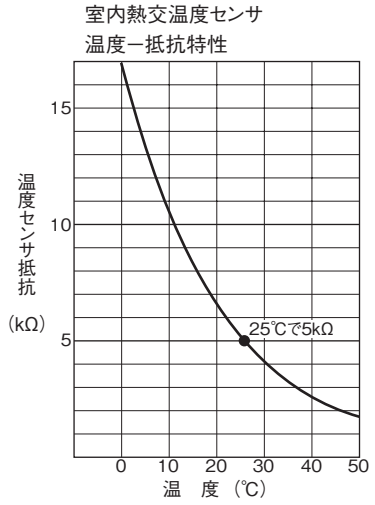
・温度センサが−50℃以下を連続5秒間検知（断線）した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ，1回目の検知から60分以内に再検知した場合。
・70℃以上を連続5秒間検知（短絡）

4．予想原因

・室内熱交温度センサコネクタ不良
・室内熱交温度センサ不良
・室内制御基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室内熱交温度センサコネクタの接続はOKか? → NO	コネクタを確実に接合する
YES → 室内熱交温度センサ特性は下図参照	
室内熱交温度センサの特性はOKか? → NO	室内熱交温度センサ不良→交換
YES	室内制御基板不良→交換（室内熱交温度センサ入力回路不良）



注記：

表示 リモコン:E7	LED	緑	赤	内容 吸込温度センサ不良
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

吸込温度センサ（Thi-A）の異常低温および異常高温（抵抗）を検知

3. 異常発生条件

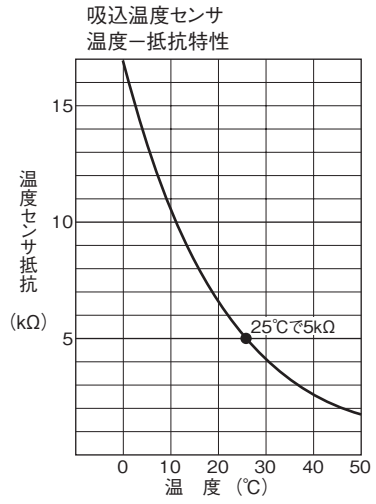
・温度センサが−50℃以下を連続5秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3分遅延後に圧縮機を再起動させ，1回目の検知から60分以内に再検知した場合。

4. 予想原因

・吸込温度センサコネクタ不良
・吸込温度センサ不良
・室内制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
吸込温度センサコネクタの接続はOKか?	
NO	コネクタを確実に接合する
YES	
吸込温度センサ特性は下図参照 吸込温度センサの特性はOKか?	
NO	吸込温度センサ不良→交換
YES	室内制御基板不良→交換 （吸込温度センサ入力回路不良）



注記：

表示 リモコン:E8	LED	緑	赤	内容 暖房過負荷運転
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

室内熱交温度センサ（Thi-R1，R2，R3）

3．異常発生条件

1回目の検知から60分以内に5回検知した時，または過負荷状態を連続6分間感知した場合。

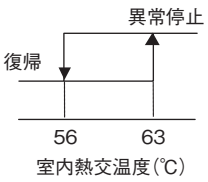
4．予想原因

・エアフィルタ目詰まり
・室内熱交温度センサコネクタ不良
・室内熱交温度センサ不良
・冷媒系統異常

5．故障診断と処置

診　断	処　置
エアフィルタが目詰まりしているか → YES	洗浄
NO → 室内熱交温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接合する
YES → 室内熱交温度センサの特性はOKか（室内熱交温度センサ特性は1170ページ参照） → NO	室内熱交温度センサ不良→交換
YES → リモコンで異常データ点検 → 暖房過負荷状態か(1) → NO	冷媒系統点検
YES	調整

注(1)　過負荷状態か否かの点検は下記内容を確認する。
▲ショートサーキットは無いか
▲室内熱交換器の汚れ,つまりは無いか
▲室外ファンコントロールは正常か
▲室内・外気温が高すぎないか
注(2)　室内熱交温度センサの特性は,故障表示E6をご覧ください。



注記：暖房；圧縮機始動後，室内熱交温度（Thi-R）により圧縮機の回転数を下げ高圧制御します。

表示	LED	緑	赤	内容
リモコン:E9	室内	連続点滅	1回点滅	ドレン不良
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

ドレンポンプ搭載機種のみ

2. 異常検出方法

フロートスイッチ作動

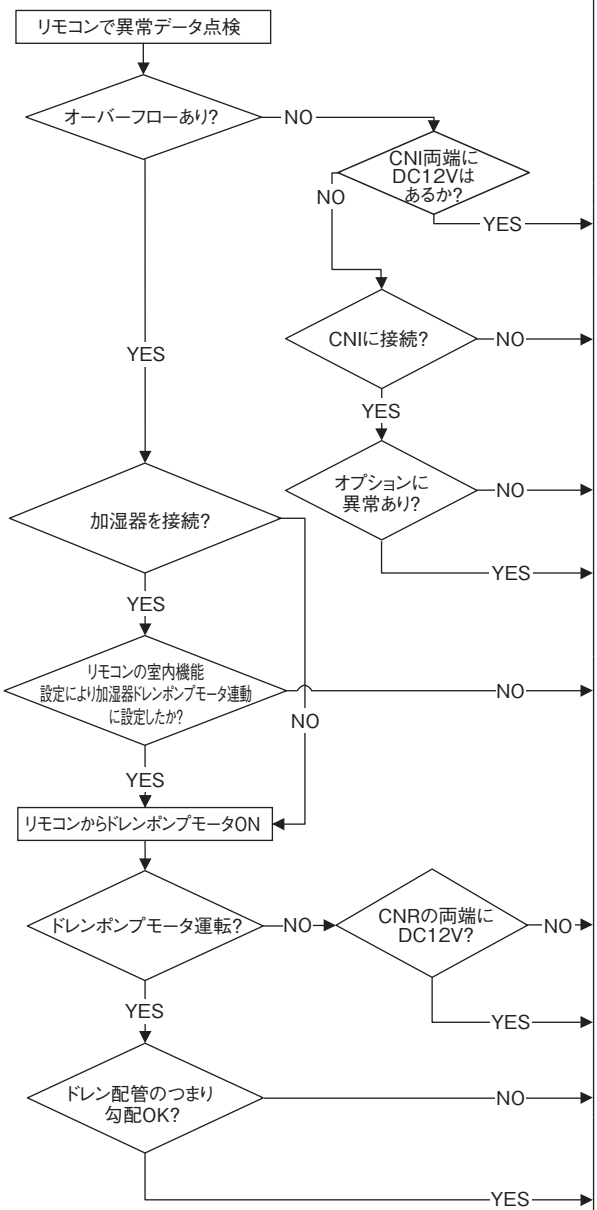
3. 異常発生条件

フロートスイッチ開を3秒間連続検知したとき，またはフロートスイッチの未接続時・断線時。

4. 予想原因

- 室内制御基板不良
- フロートスイッチ設定ミス
- 加湿器ドレンポンプモータ連動設定ミス
- オプション設定ミス
- ドレン配管ミス
- ドレンポンプモータ不良
- ドレンポンプモータ配線不良
- フロートスイッチ不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：電源投入時に発生した場合は，フロートスイッチの断線･接点不良が考えられます。点検修正（交換）してください。

表示 リモコン:E10	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	消灯

内容 1 リモコン複数台制御時
接続台数オーバー（17 台以上）

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

1 リモコンで室内ユニット
17 台以上を検知した時

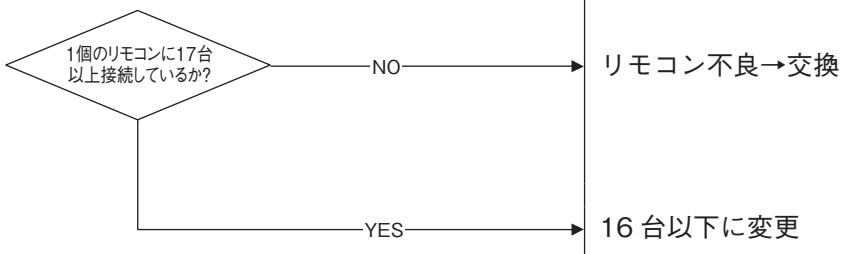
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・接続台数オーバー
・リモコン不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示	LED	緑	赤	内容
リモコン:E11	室内	連続点滅	消灯	リモコン通信アドレス設定不良
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

複数の室内ユニットを１リモコンで結線し，リモコンアドレスで設定をした場合

3. 異常発生条件

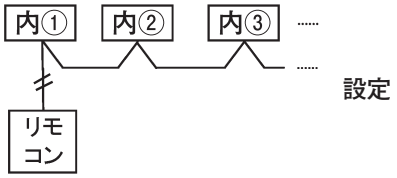
同上

4. 予想原因

アドレス設定方法のまちがい。
（リモコンからのアドレス設定はできない。）

5. 故障診断と処置

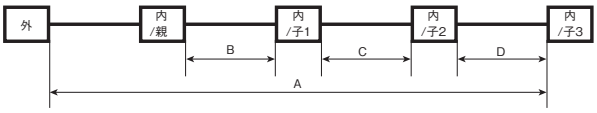
診　断	処　置
室内ユニットのアドレス設定をリモコンアドレスで設定した → YES	アドレス設定方法変更 室内ユニット制御基板上のディップスイッチSW2およびSW5-1, 2（親子設定）でアドレス設定を行う。
下図のリモコン結線で、リモコンによりアドレス設定をすると E11 発生。	



フリーアドレスプルーラル接続時の総配線長制限

下記の条件①,②のどれかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルーラル接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm²使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルーラル制御非対応機がある場合（FDFタイプ，5型以前の室内ユニットが含まれる場合）		



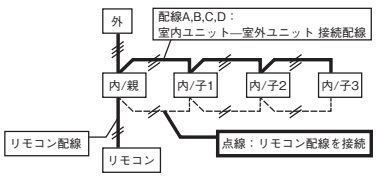
①・②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、室内ユニットの親機ー子機設定スイッチ(SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレススイッチ	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また，室外ユニットのフリーアドレスプルーラル設定スイッチを，下記のとおり設定ください。詳細は室外ユニットの据付説明書を参照ください。

暖ガンハイパーインバータシリーズ *	SW4-1：OFF→ON

* KP80，KP112のみ



注記：フリーアドレスプルーラル接続時の場合は，室内ユニットの親機・子機のアドレス設定は不要です。ただし，上記の総配線長制限やフリーアドレスプルーラル制限非対応機が含まれる場合は室内ユニットの親機・子機のアドレス設定が必要です。

表示
リモコン:E14

LED	緑	赤
室内	連続点滅	3回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容
親子室内ユニット間通信異常

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

親子室内ユニット間に通信異常が発生

3. 異常発生条件

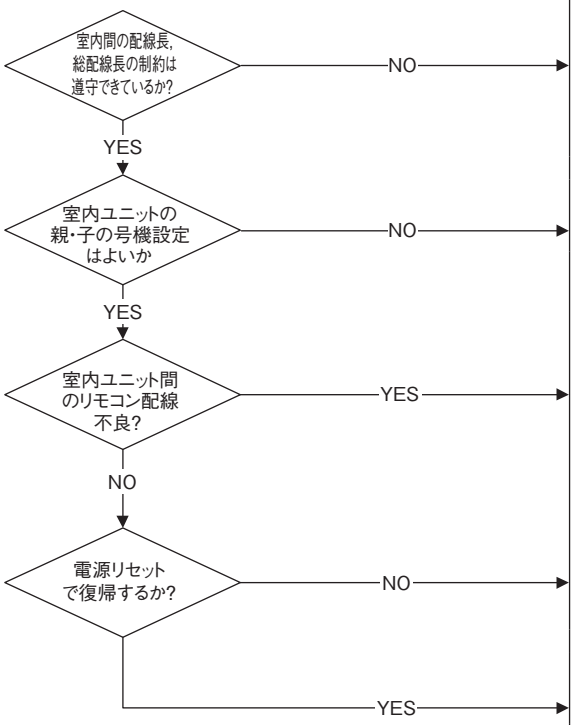
同上

4. 予想原因

・号機設定ミス
・リモコン配線断線
・リモコン配線接続不良
・室内制御基板不良
・総配線長超過

5. 故障診断と処置

診　断	処　置



注　室内制御基板上のディップスイッチSW5-1,
SW5-2を下表のように設定してください。
（工場出荷時[親]設定）

		室内ユニット			
		親	子a	子b	子c
ディップスイッチ	SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
	SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

注記：

表示
リモコン： E16

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ不良

1．対象機種

FDT，FDKシリーズのみ

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

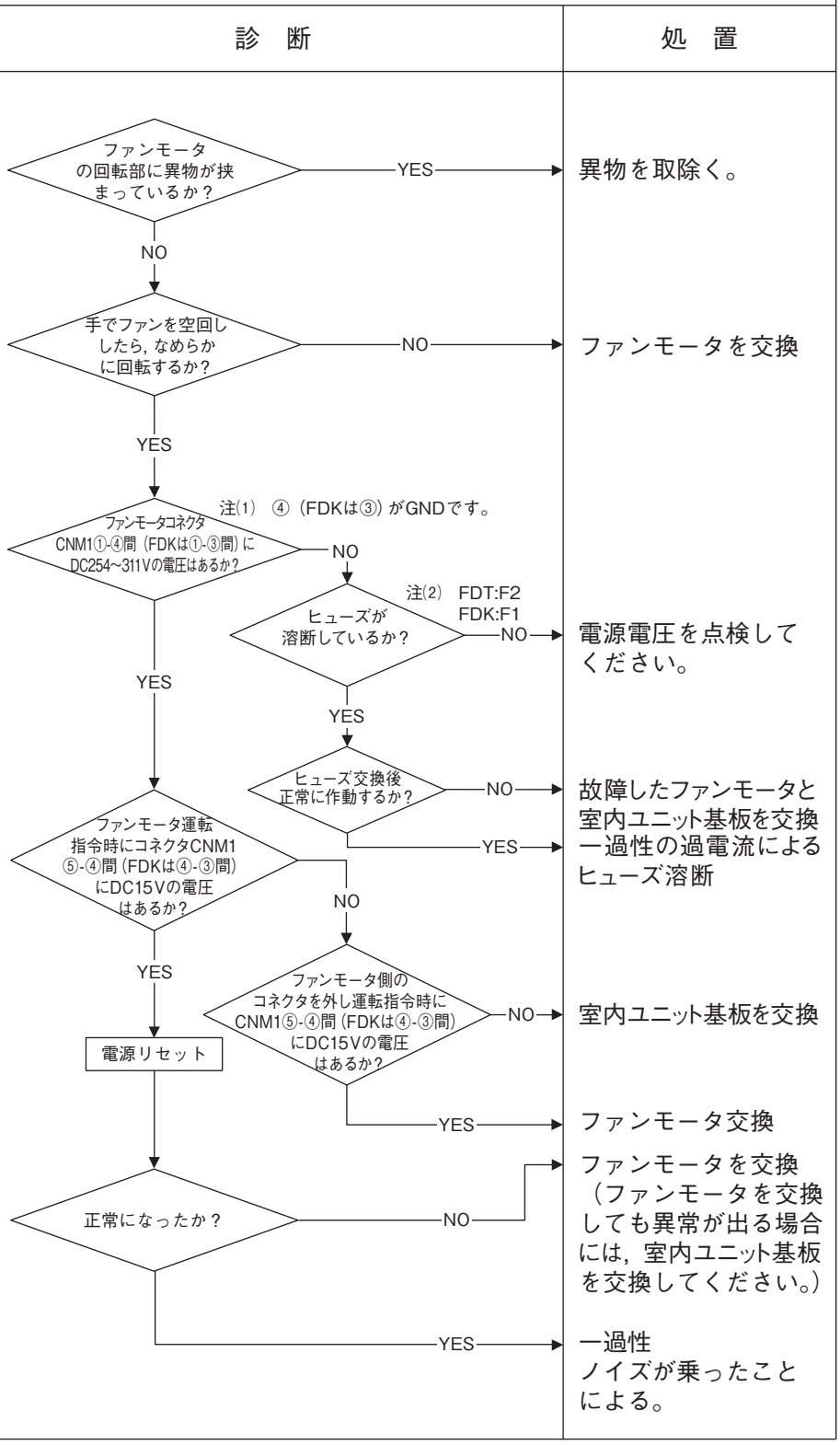
3．異常発生条件

室内ファンモータの実回転が30秒連続して200min^{-1}以下になると圧縮機，室内ファンモータを停止します。2秒遅延後自動復帰しますが60分以内に4回作動した場合。

4．予想原因

・室内ユニット基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン： E16

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1(2)回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ不良

1．対象機種

FDT，FDK，FDESシリーズ以外の機種

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

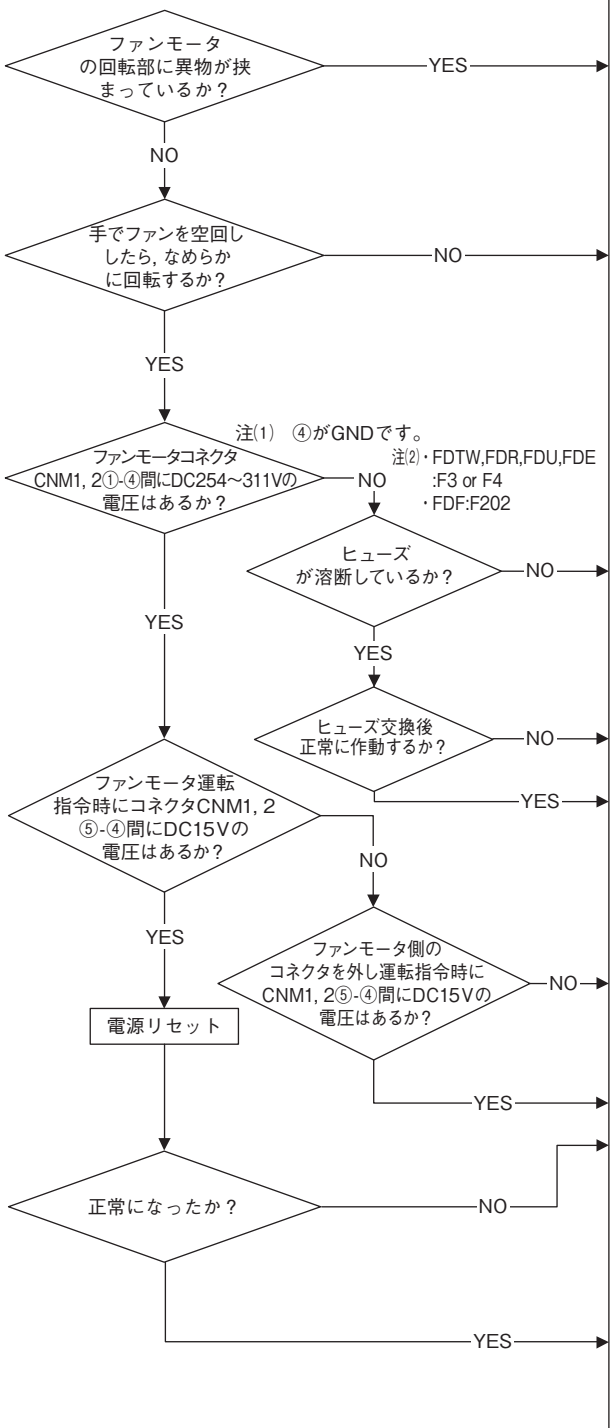
3．異常発生条件

室内ファンモータの実回転が30秒連続して200min^{-1}以下になると圧縮機，室内ファンモータを停止します。2秒遅延後自動復帰しますが60分以内に4回作動した場合。

4．予想原因

・室内制御（電源）基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：

表示
リモコン:E19

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1 回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

運転モード設定不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

E19 発生

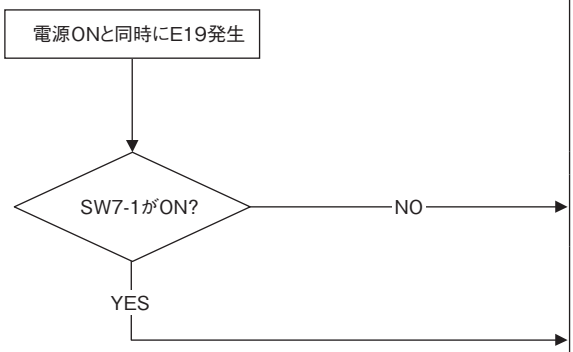
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・スイッチ設定ミス
（スイッチの戻し忘れ）
・室内制御基板不良
（スイッチ不良）

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	室内制御基板不良→交換（スイッチ不良） SW7-1 を OFF し電源をリセット

注記：

表示
リモコン： E20

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ回転不良

1．対象機種

FDT，FDKシリーズのみ

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

3．異常発生条件

室内ファンモータ回転指令が出力された後2分経過しても実回転数が要求回転数-50min^{-1}に達しないときは，ファンモータ回転異常を検出し停止します。

4．予想原因

・室内ユニット基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置

診　断	処　置
ファンモータの回転部に異物が挟まっているか？ YES	異物を取除く。
手でファンを空回ししたら,なめらかに回転するか? NO	ファンモータを交換
ファンモータコネクタCNM1①-④間（FDKは①-③間）にDC254~311Vの電圧はあるか? 注(1) ④（FDKは③）がGNDです。 NO	
ヒューズが溶断しているか？ 注(2) FDT:F2 FDK:F1 NO	電源電圧を点検してください。
ヒューズ交換後正常に作動するか？ NO	故障したファンモータと室内ユニット基板を交換
YES	一過性の過電流によるヒューズ溶断
ファンモータ運転指令時にコネクタCNM1⑤-④間（FDKは④-③間）にDC15Vの電圧はあるか？ NO	
ファンモータ側のコネクタを外し運転指令時にCNM1⑤-④間（FDKは④-③間）にDC15Vの電圧はあるか？ NO	室内ユニット基板を交換
YES	ファンモータ交換
電源リセット	
正常になったか？ NO	ファンモータを交換（ファンモータを交換しても異常が出る場合には,室内ユニット基板を交換してください。）
YES	一過性（ノイズが乗ったことによる。）

注記：

表示
リモコン： E20

LED	緑	赤
室内	連続点滅	1(2)回点滅
室外	連続点滅	消灯

内容

室内ファンモータ回転不良

1．対象機種

FDT，FDK，FDESシリーズ以外の機種

2．異常検出方法

室内ファンモータ回転数

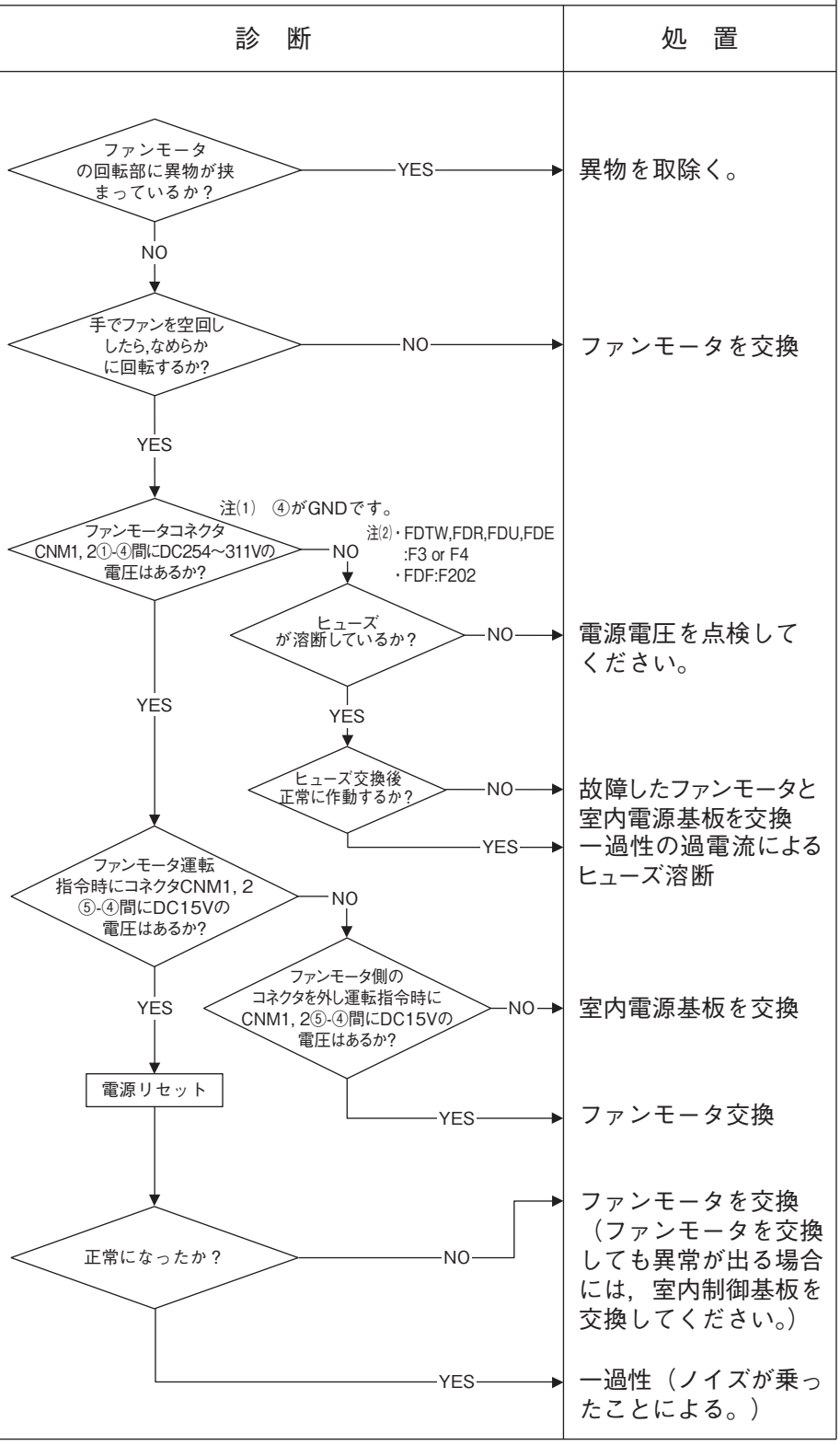
3．異常発生条件

室内ファンモータ回転指令が出力された後2分経過しても実回転数が要求回転数−50（FDU:-500）min^{-1}に達しないときは，ファンモータ回転異常を検出し停止します。

4．予想原因

・室内制御（電源）基板不良
・ファンモータの回転部の異物
・ファンモータ不良
・基板の塵埃
・ヒューズ溶断
・外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E23	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	1 回点滅
	室外	連続点滅	消灯

内容

冷媒漏えい検知
（FDF シリーズ）

1．対象機種

FDF シリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサから警報信号を受信した場合

3．異常発生条件

・冷媒センサが冷媒を検知した場合
・冷媒センサが冷媒以外のガスを検知した場合
・冷媒センサが劣化し，誤検知した場合

4．予想原因

・熱交換器からの冷媒漏れ
・配管接続部からの冷媒漏れ
・室内ユニット付近で以下のガスを使用。
＜冷媒センサが反応する冷媒以外のガスの例＞
①ドレン配管や壁紙の接着剤などから揮発する可燃性ガス
②塗料から揮発するガス・ヘアスプレー，殺虫剤などの可燃性ガス
③消毒用などのアルコール類シロキサンを含むシーリング材など
・冷媒センサ劣化
・配線不良（故障出力を誤検知）

5．故障診断と処置

診　断	処　置
実際に冷媒が漏れているか? → YES	冷媒漏えい箇所を修復 →リモコンから定期点検リセットにて E23 をリセット
実際に冷媒が漏れているか? → NO → 冷媒以外のガスを誤検知しているか? → YES	冷媒センサ付近のガスを取除く。 →リモコンから定期点検リセットにて E23 をリセット
実際に冷媒が漏れているか? → NO → 冷媒以外のガスを誤検知しているか? → NO	冷媒センサの劣化か不良，もしくは配線不良が考えられる。 →冷媒検知機器を交換。

注記：リモコンに「E23」と表示された場合，修理を開始するまでに下記①②項を実施してください。
① 実際に冷媒が漏れていた場合，燃焼器具などの火気を消して，部屋の換気をしてください。
② 修理を開始するまでは電源ブレーカをしゃ断しないでください。
室内ユニットは異常停止しますが，漏えいした冷媒の滞留を防ぐためファンの送風運転をします。

表示 リモコン:E28	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	消灯

内容

リモコン温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

リモコン温度センサ（Thc）の異常低温（抵抗）を検知

3. 異常発生条件

温度センサが -50℃以下を連続 5 秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3 分間延長後に圧縮機を再起動させ，1 回目の検知から 60 分間以内に再検知した場合。

4. 予想原因

・リモコン温度センサ接続不良
・リモコン温度センサ不良
・リモコン基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
リモコン温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接合する
YES → リモコン温度センサの特性は良いか 断線は無いか? → NO	リモコン温度センサ不良→交換
YES	リモコン基板不良→交換 （リモコン温度センサ入力回路不良）

リモコン温度センサ温度－抵抗特性（Thc）

温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)	温度(℃)	抵抗値(kΩ)
0	65	14	33	30	16	46	8.5
1	62	16	30	32	15	48	7.8
2	59	18	27	34	14	50	7.3
4	53	20	25	36	13	52	6.7
6	48	22	23	38	12	54	6.3
8	44	24	21	40	11	56	5.8
10	40	26	19	42	9.9	58	5.4
12	36	28	18	44	9.2	60	5.0

注記：リモコンセンサ無効→有効切換えの 10 秒間以降は，断線しても E28 は表示しません。同時に使用するセンサをリモコン→吸込温度センサに変更します。リモコンセンサを有効にしても点検表示の吸込温度表示は吸込温度センサの値となります。

表示 リモコン:E34	LED	緑	赤	内容	電源欠相
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	連続点滅	1回点滅		

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

電源 ON 後，5秒間連続してR・S・T相何れかの電圧が 0V の場合

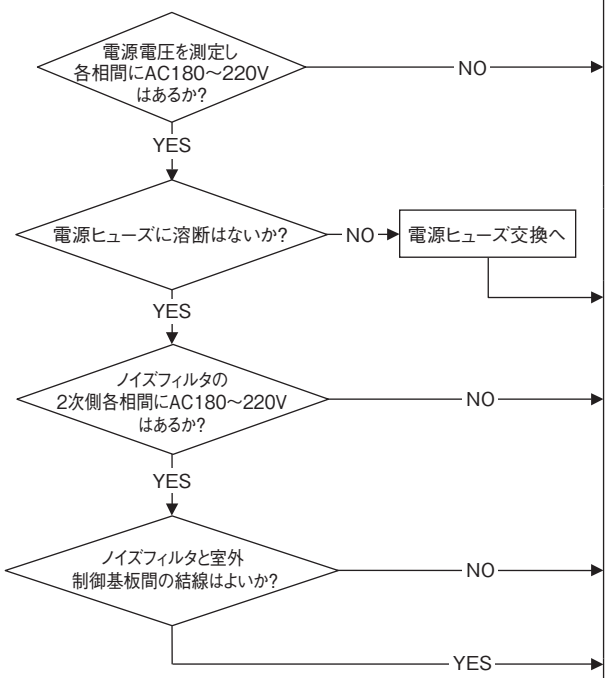
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・電源異常
・電源ヒューズ溶断
・ノイズフィルタ不良
・ノイズフィルタ制御基板結線不良
・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・室外ファンモータ不良
・ノイズフィルタ配線不良

5. 故障診断と処置



注記：電源電圧が逆相となっている場合はE34が表示されます。その場合は，電源の相を入換えてください。

表示 リモコン:E34	LED	緑	赤	内容	電源欠相(続き)
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	連続点滅	1 回点滅		

1. 対象機種

全機種
(ヒューズ溶断の場合,電源ヒューズ交換前にインバータを点検する。)

2. 異常検出方法

電源 ON 後, 5 秒間連続してR・S・T 相何れかの電圧が 0V の場合

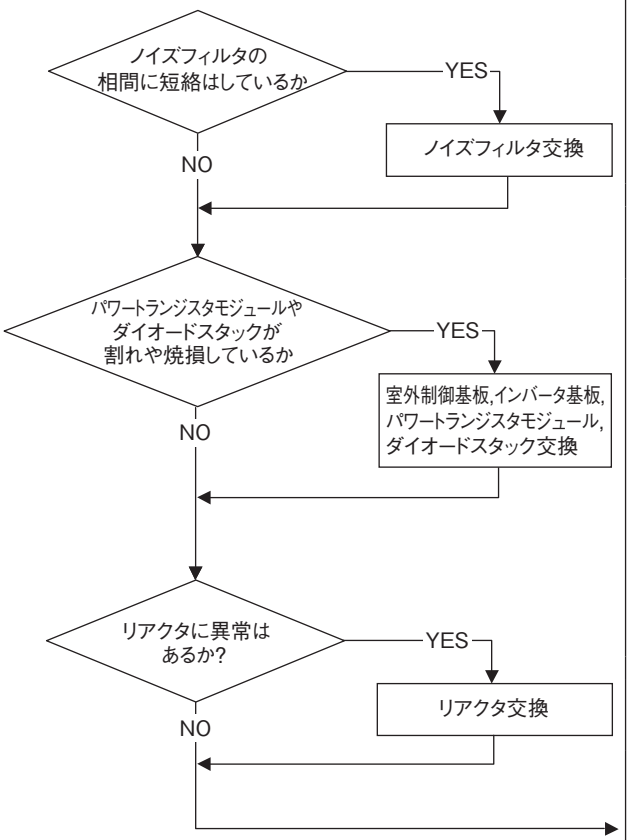
3. 異常発生条件

同上

4. 予想原因

・電源異常
・電源ヒューズ溶断
・ノイズフィルタ不良
・ノイズフィルタ結線不良
・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・リアクタ不良

5. 故障診断と処置

診 断	処 置
	電源ヒューズ交換

注記：

表示 リモコン:E35	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

冷房過負荷運転
（FDCKP806，1126 形）

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

2．異常検出方法

異常検出方法については対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御，冷房高圧保護をご覧ください。

3．異常発生条件

室外熱交温度異常が 60 分以内に 5 回，あるいは圧縮機停止中も含め異常検出状態が 30 分間連続した場合。

4．予想原因

・室外熱交温度センサ不良
・室外制御基板不良
・室内外の据付スペース
・室内外ショートサーキット
・熱交換器の汚れ，詰り
・冷媒量過多

5．故障診断と処置

診　断	処　置
注　室外熱交温度センサ特性は1188ページ参照 室外熱交温度センサ特性は正常か? — NO	室外熱交温度センサ不良→交換
YES 冷房過負荷運転? — YES	ユニット側を点検してください。 ・室外ユニットはショートサーキットしていないか ・据付スペースは適正か ・熱交換器の汚れ，詰りはないか
NO 高圧制御は正常か? — NO	制御動作チェック ※
YES 異常検知温度（実測）は正しいか? — NO	室外制御基板不良→交換
YES	冷媒量過多 : 冷媒計量再チャージ

※
制御内容は対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御,冷房高圧保護をご覧ください。

注記：

表示 リモコン:E36	LED	緑	赤	内容 吐出管温度異常
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	1回点滅	

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

異常検出方法については対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御，圧縮機吐出管温度保護をご覧ください。

3. 異常発生条件

吐出管温度異常が60分以内に2回，または圧縮機停止中を含め連続30分間。

4. 予想原因

・室外制御基板不良
・吐出管温度センサ不良
・フィルタ詰り
・室内外の据付スペース
・室内外ショートサーキット
・熱交換器の汚れ，詰り

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
注　吐出管温度センサ特性は1190ページ参照 吐出管温度センサ特性は正常か? NO	吐出管温度センサ交換
YES 冷暖運転時に吐出管温度異常? YES	冷媒量不足：冷媒計量再チャージ
NO 吐出管温度制御は正常か? NO	制御動作チェック ※
YES 停止時の室外機側圧力飽和温度と外気温はほぼ同じか? NO	空気混入：真空引き再チャージ
YES 異常検知温度（実測）は正しいか? NO	室外制御基板不良→交換
YES	ユニット側を点検してください。 ・フィルタは詰まっていないか ・室内／外の据付スペースは適正か ・ショートサーキットしていないか ・室内熱交換器の汚れ，詰りはないか

※
制御内容は対応する機種のマイコン制御機能の圧縮機回転数による保護制御，圧縮機吐出管温度保護をご覧ください。

注記：

表示 リモコン:E37	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

室外熱交温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

室外熱交温度センサの異常低温(抵抗)を検知

3. 異常発生条件

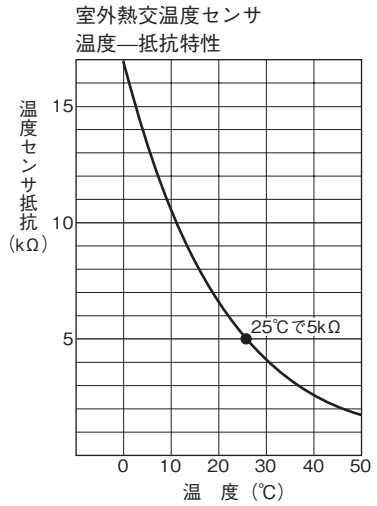
・圧縮機 ON 後 2 分～2 分 20 秒の間に温度センサが -50℃[(1)]以下を連続 5 秒検知すると圧縮機を停止，3 分遅延後に圧縮機を再起動させ 40 分に 3 回検知した場合。
・電源投入時，20 秒の間に連続 5 秒間 -50℃以下を検知した場合。

4. 予想原因

・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線 (モールド部を確認)
・配線接合部 (コネクタ) のはずれ

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
室外熱交温度センサコネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接合する
YES → 室外熱交温度センサ特性は下図グラフ参照 室外熱交温度センサ特性はOKか → NO	室外熱交温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 (室外熱交温度センサ入力回路不良)



注記：

表示 リモコン:E38	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

外気温度センサ不良

1．対象機種

全機種

2．異常検出方法

外気温度センサの異常低温（抵抗）を検知

3．異常発生条件

・圧縮機ON後2分～2分20秒の間に温度センサが－45℃以下を連続5秒検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。
・電源投入時，20秒の間に連続5秒間－45℃以下を検知した場合。

4．予想原因

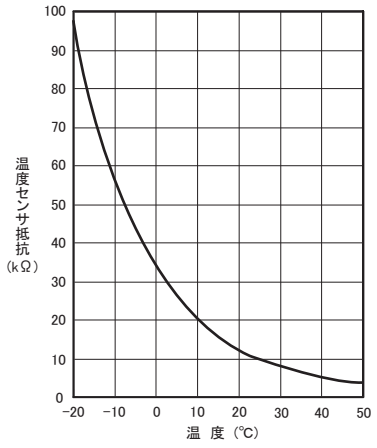
・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線（モールド部を確認）
・配線接合部（コネクタ）のはずれ

5．故障診断と処置

診　断	処　置
外気温度センサコネクタの接続はＯＫか → NO	コネクタを確実に接合する。
YES → 外気温度センサ特性は下図参照 外気温度センサ特性はOKか → NO	外気温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 （外気温度センサ入力回路不良）

●P806,1126形

外気温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示
リモコン:E39

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	1回点滅

内容

吐出管温度センサ不良

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

吐出管温度センサの異常低温(抵抗)を検知

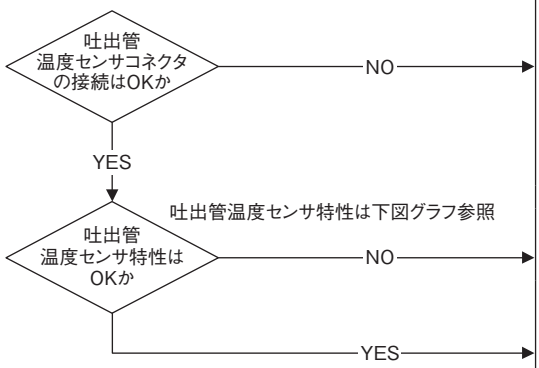
3. 異常発生条件

圧縮機ON後10分～10分20秒の間に温度センサが−10℃以下を連続5秒検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。

4. 予想原因

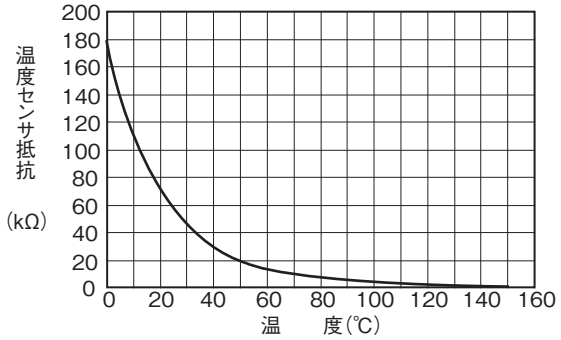
・室外制御基板不良
・センサ配線，感温部の断線(モールド部を確認)
・配線接合部(コネクタ)のはずれ

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	コネクタを確実に接合する。 吐出管温度センサ不良→交換 室外制御基板不良→交換 (吐出管温度センサ入力回路不良)

●P806，1126形

吐出管温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E40	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容

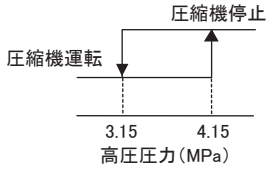
63H1 作動
（FDCKP806，1126 形）

1.対象機種

FDCKP806，1126形

2.異常検出方法

高圧圧力スイッチ 63H1 が作動。



3.異常発生条件

63H1がOFF（開）すると圧縮機を停止します。3 分遅延後，再始動しますが 60 分以内に 5 回作動した時，またはOFF（開）の状態が連続 60 分間継続したとき。

4.予想原因

- ・凝縮器側熱交のショートサーキット／通風妨害／フィルタ詰り／ファンモータダウン
- ・室外制御基板不良
- ・63H1コネクタ不良
- ・電子膨張弁コネクタ不良
- ・操作弁閉
- ・ 不凝縮ガス（窒素等）の混合
- ・ F3ヒューズ切れ

5.故障診断と処置

診 断	処 置
早いタイミングで電源ブレーカのOFFからONを行うとE40 が表れることがあります。（異常ではありません。）	
操作弁は全開か — NO	操作弁を開ける。
YES	
63H1が作動したか — NO（63H1導通あり）	
YES（63H1導通なし）	
63H1 のコネクタ接続はOKか? — NO	コネクタを確実に接合する。
YES	
ノイズ基板～CNW間のヒューズ(F3)はOKか? — NO	ヒューズを交換する。※1
YES	室外制御基板不良（63H1入力回路不良）→基板交換
電子膨張弁のコネクタ接続はOKか？ — NO	コネクタを確実に接合する。→電子膨張弁のコネクタ接続に異常があった場合は、必ず電源リセットしてください。
YES	
1.冷房時 ・室外ファンモータは回っているか ・室外にショートサーキットはないか ・吸込・吹出スペースは充分か 2.暖房時 ・室内熱交温度センサが検知ケースから外れていないか ・フィルタが目詰まりしていないか ※冷媒のオーバーチャージにより過冷却が増大し熱交温度センサ値での圧縮機回転数制御が遅れる可能性があります。	

注記：圧縮機保護始動域（電源ON1回目の起動）では，63H1がOFFした場合一回目の作動で異常表示とします。
※1 ノイズ基板～制御基板CNW間のF3ヒューズが切れると、AC200Vの供給がしゃ断されたことで63H1が作動したと判断しE40の発生に至ります。ヒューズ溶断に関する機能品（電磁弁（SV1, SV2）、ドレンパンヒータ（オプション）、四方弁、クランクケースヒータ）、およびその配線に異常が無いかご確認ください。

表示
リモコン:E41

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	1 回点滅

内容 パワートランジスタ電源電圧低下
（FDCKP806，1126 形）

1．対象機種

FDCKP806, 1126形

2．異常検出方法

パワートランジスタの電圧低下（DC15V 以下）。

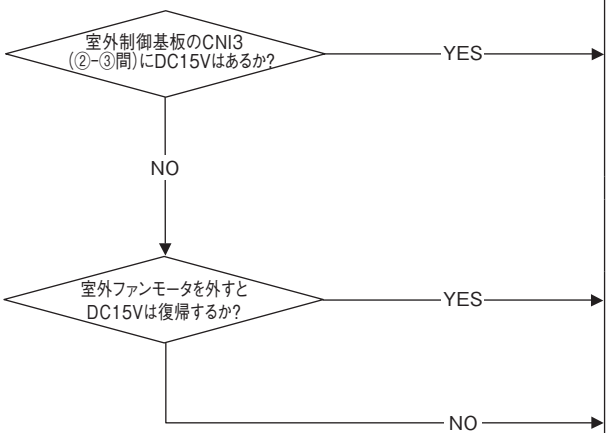
3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外制御基板不良
・インバータ基板不良
・ノイズフィルタ基板不良
・室外ファンモータ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示
リモコン:E42

LED	緑	赤
室内	連続点滅	消灯
室外	連続点滅	1回点滅

内容

カレントカット(1/2)

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

インバータ部の過電流を防止，電流が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

3. 異常発生条件

インバータ出力電流が設定値を超えると圧縮機を停止します。3分遅延後，再始動しますが30分間に4回作動した時。

4. 予想原因

・インバータ基板不良
・電源不良
・冷媒量不良
・圧縮機不良
・パワートランジスタモジュール不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
電源をリセットすれば正常になるか? YES	ノイズによる誤作動（周辺環境確認）
電源電圧は適正か? NO	電源点検
操作弁は全開にしてあるか? NO	全開にする。
運転中の高圧圧力は適正か? NO	冷媒量・冷媒回路点検。 ※過渡的な圧力上昇の場合，2・3回繰り返すうちに圧縮機内の液冷媒が圧縮機外へ排出されて改善復帰することがあります。
圧縮機の絶縁抵抗,端子間抵抗(1)チェック NO 注(1) P806，1126形：0.652Ω（20℃）	圧縮機交換
インバータチェッカで点検(2) NG 注(2) インバータチェッカがない場合は，次ページへ	インバータ基板不良→交換
OK → 次ページへ	

注記：

表示 リモコン:E42	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

カレントカット(2/2)

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

インバータ部の過電流を防止，電流が設定値を超えると圧縮機を停止させます。

3. 異常発生条件

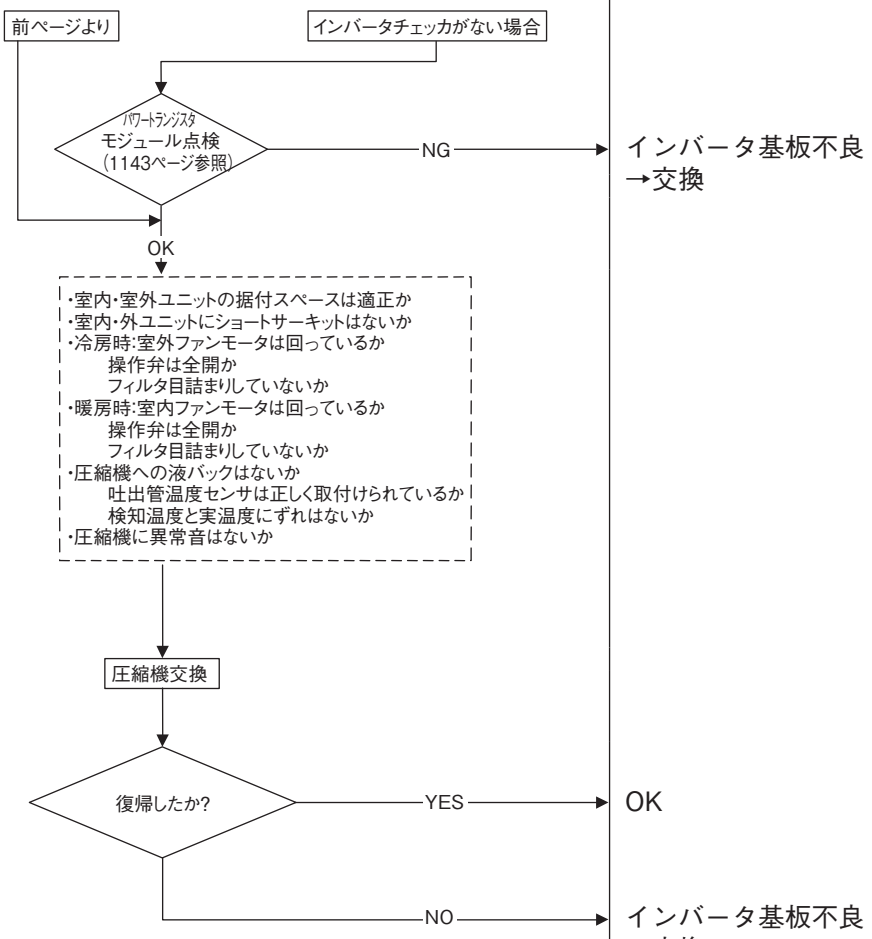
インバータ出力電流が設定値を超えると圧縮機を停止します。3分遅延後，再始動しますが30分間に4回作動した時。

4. 予想原因

・インバータ基板不良
・電源不良
・冷媒量不良
・圧縮機不良
・パワートランジスタモジュール不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置



注記：

表示 リモコン: E45	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

インバータ通信異常
（FDCKP806，1126形）

1. 対象機種

FDCKP806，1126形

2. 異常検出方法

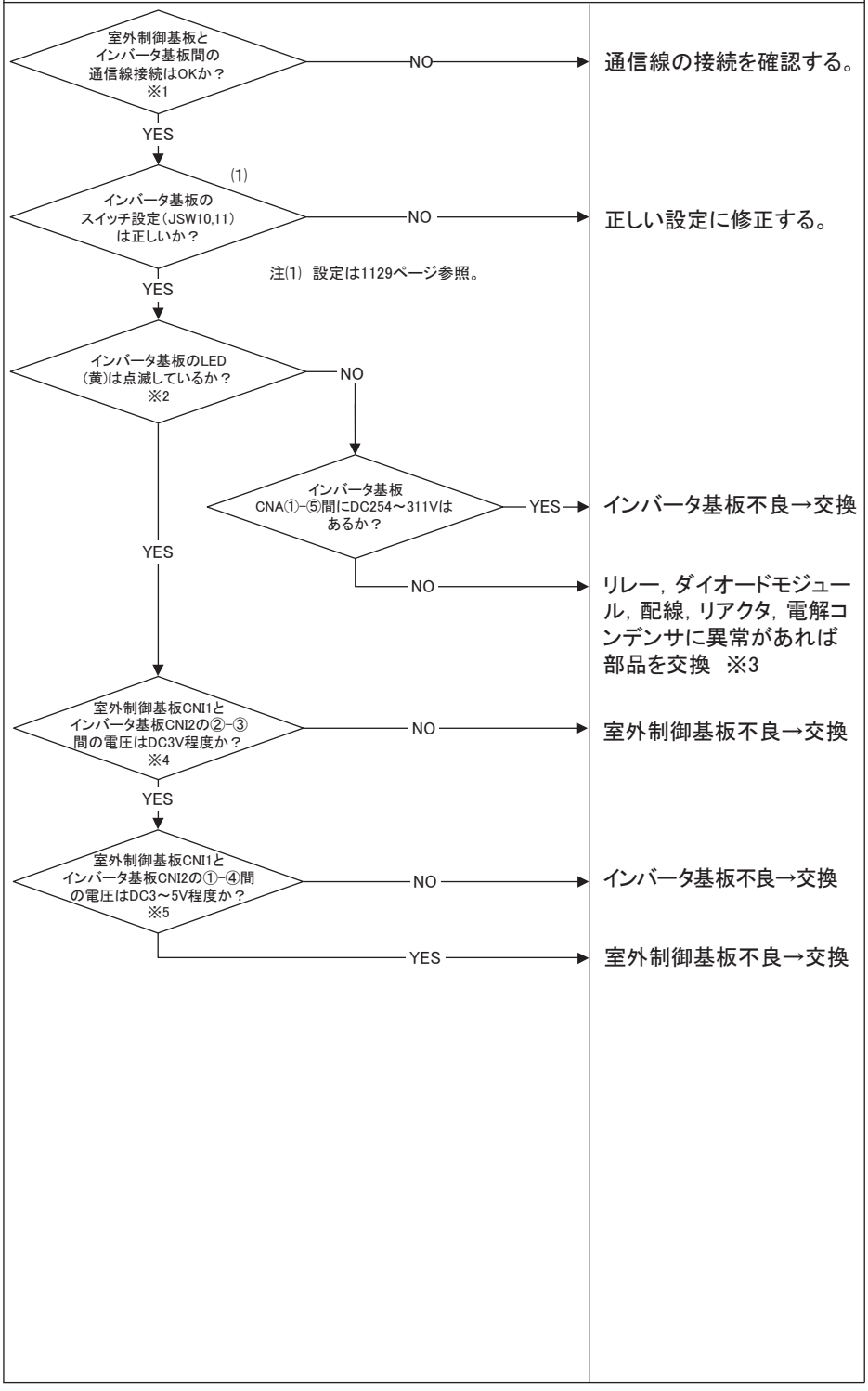
3. 異常発生条件

インバータ基板と室外制御基板間の通信が成立しないとき

4. 予想原因

・室外制御基板ーインバータ基板間の配線接続不良
・インバータ基板不良
・室外制御基板不良
・リレー，ダイオードモジュール，配線，リアクタ，電解コデンサ等の不良

5. 故障診断と処置



注記：※1 室外制御基板CNI1～インバータ基板CNI2の各ピン間の導通を確認する。 ※2 リセット後，運転状態を確認する。
※3 下記部品の状態を確認する。リレーの溶着，ダイオードモジュールの短絡，電解コンデンサの短絡，配線の誤接続・損傷等。
※4 テスタの測定レンジをACレンジにして測定する。 ※5 テスタの測定レンジをDCレンジにして測定する。

表示 リモコン:E47	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容 アクティブフィルタ異常
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806,1126形

2．異常検出方法

インバータ基板よりアクティブフィルタ異常を 60 分間に 4 回検知，または 15 分継続した場合

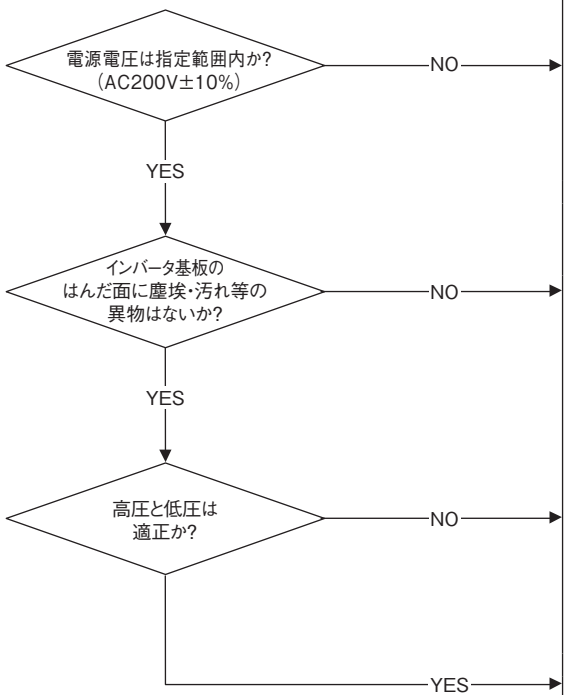
3．異常発生条件

同上。

4．予想原因

・インバータ基板不良
・インバータ基板の塵埃
・電源電圧異常

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E48	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容 **室外ファンモータ不良**
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

2．異常検出方法

室外ファンモータ回転数

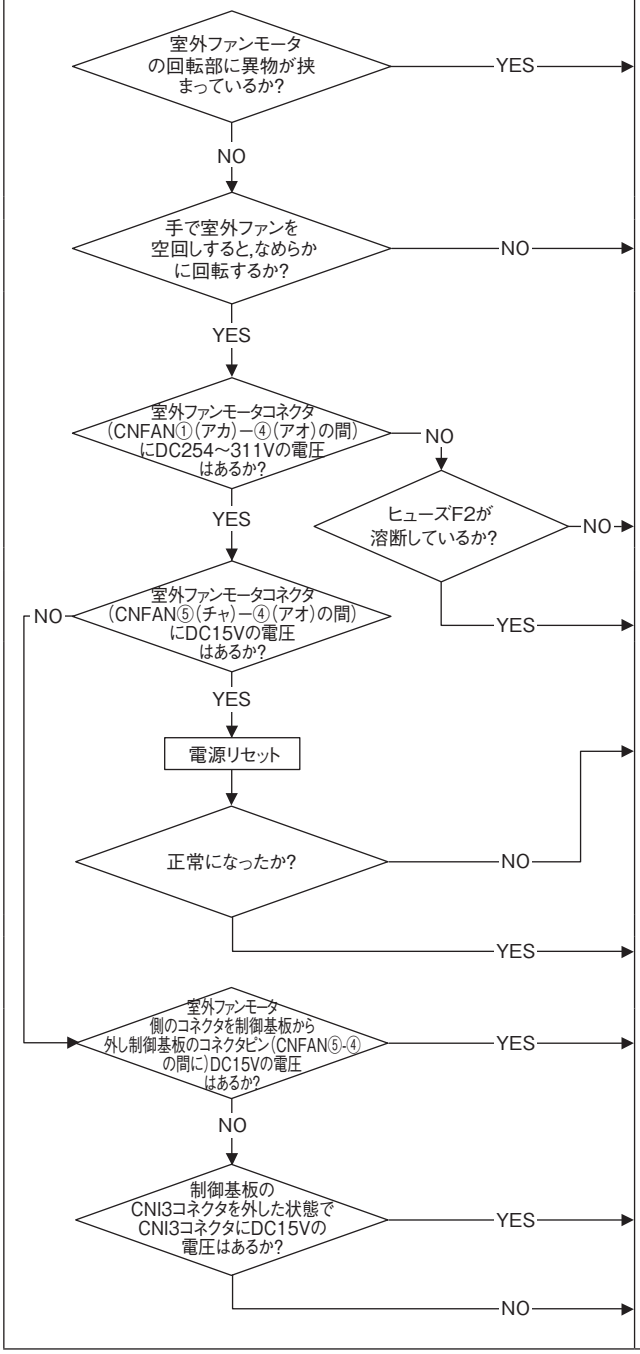
3．異常発生条件

室外ファンモータ（FMo1）の実回転が 30 秒連続して 100min^{-1} 以下になると圧縮機，室外ファンモータを停止します。3 分遅延後自動復帰しますが 60 分以内に 5 回作動した場合。

4．予想原因

- 室外制御基板不良
- インバータ基板不良
- 室外ファンモータの回転部の異物
- 室外ファンモータ不良
- 制御基板の塵埃
- ヒューズ溶断
- 外来ノイズ，サージ

5．故障診断と処置



注記：E48 発生時は，ほとんどの場合制御基板上の F2 ヒューズ（4A）が断線しています。室外ファンモータ破損により，ヒューズが断線して E48 に至るケースが多く，制御基板（ヒューズ）交換のみを実施した場合には他のトラブル（※ 1）を発生するケースがありますのでヒューズ断線時には，必ず室外ファンモータ故障の有無をチェックし，室外ファンモータ交換後に通電確認を実施してください。室外ファンモータ故障の有無未確認のまま電源投入しないでください。
（※ 1：内機確認中表示／室外制御基板 LED 消灯，インバータ通信異常（E45）といった，一見室外ファンモータ異常と関係の無い異常が発生します。）

表示 リモコン:E49	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 **低圧圧力異常 または 低圧圧力センサ不良（1/2）**
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

2．異常検出方法

低圧圧力の低下，吸入過熱度の検知

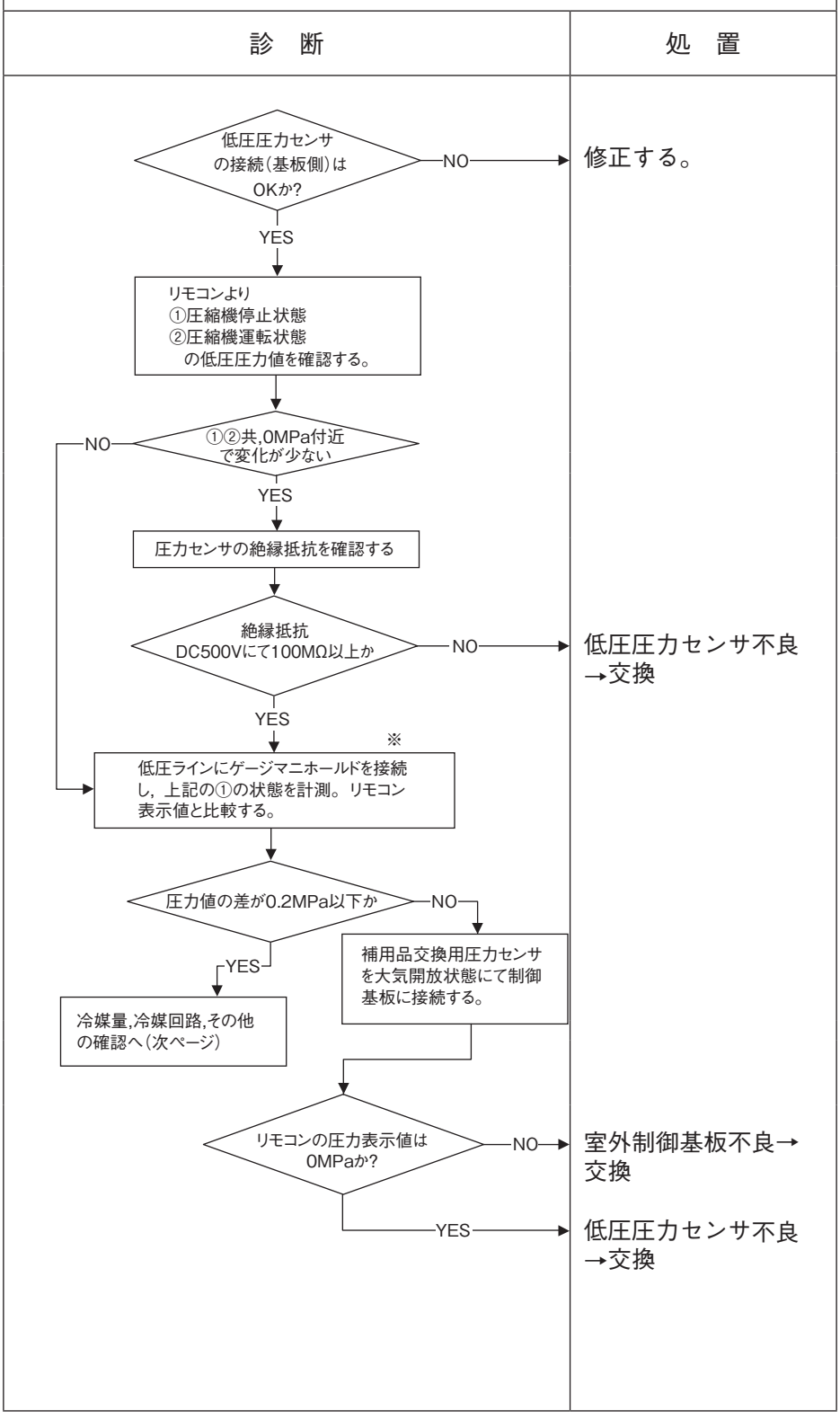
3．異常発生条件

①低圧センサが 0.079MPa 以下を連続 15 秒間検知（3 分遅延後自動復帰）が 60 分以内に 5 回成立した場合に表示。
②圧縮機始動 10 分経過以降かつ低圧センサが 0.15MPa 以下を連続 60 秒間検知かつ圧縮機吸入過熱度が 30℃以上を連続 60 秒間が，60 分以内に 5 回発生した場合に表示。
③低圧センサが 0.079MPa 以下を連続 5 分間検知（圧縮機停止中含む）が成立した場合即表示。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・低圧圧力センサコネクタ不良
・低圧圧力センサ不良
・吸入管温度センサコネクタ不良
・吸入管温度センサ不良

5．故障診断と処置



注記：※ゲージマニホールドは，冷房時は操作弁チェックジョイント，暖房時は室外ユニット機械室内より取出しているチェックジョイントに接続。

表示 リモコン:E49	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 低圧圧力異常 または 低圧圧力センサ不良 (2/2)
(FDCKP806，1126形)

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

2．異常検出方法

低圧圧力の低下，吸入過熱度の検知

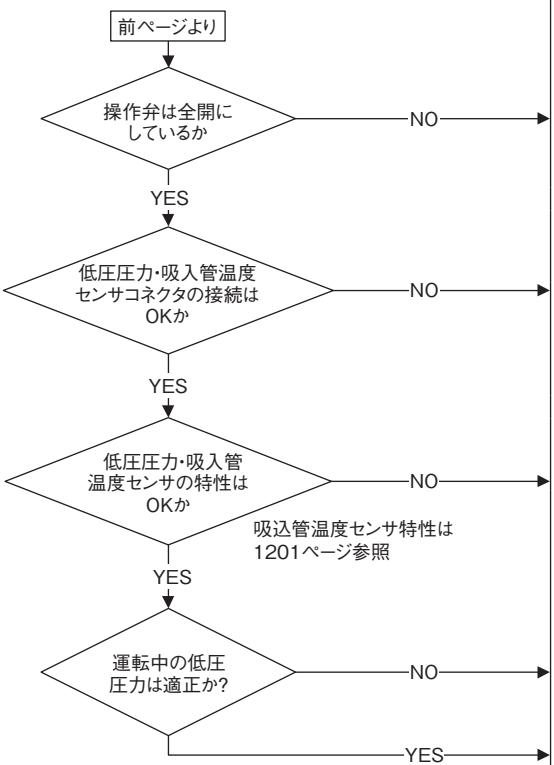
3．異常発生条件

① 低圧圧力センサが 0.079MPa 以下を連続 15 秒間検知(3 分遅延後自動復帰)が 60 分以内に 5 回成立した場合に表示。
②圧縮機始動 10 分経過以降かつ低圧圧力センサが 0.15MPa 以下を連続 60 秒間検知かつ圧縮機吸入過熱度が 30℃以上を連続 60 秒間が，60 分以内に 5 回発生した場合に表示。
③ 低圧圧力センサが 0.079MPa 以下を連続 5 分間検知（圧縮機停止中含む）が成立した場合即表示。

4．予想原因

・室外制御基板不良
・低圧圧力センサコネクタ不良
・低圧圧力センサ不良
・吸入管温度センサコネクタ不良
・吸入管温度センサ不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
	

注記：

表示 リモコン:E51	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 インバータ・室外ファンモータ異常
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806，1126形

2．異常検出方法

パワートランジスタ異常が15分継続した場合

3．異常発生条件

同上

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・インバータ基板不良
・室外制御基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
室外制御基板のCNI3(②-③間)にDC15Vはあるか? → YES	インバータ基板不良→交換 (それでも直らなければノイズフィルタ基板交換)
NO → 室外ファンモータのコネクタを外すとDC15Vは復帰するか? → YES	室外ファンモータ交換
NO	室外制御基板不良→交換 (それでも直らなければインバータ基板交換)

注記：

表示 リモコン:E53	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容 吸入管温度センサ不良
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806，1126形

2．異常検出方法

吸入管温度センサの異常低温（抵抗）の検知

3．異常発生条件

圧縮機ON後10分から10分20秒の間に温度センサが－50℃以下を連続5秒間検知すると圧縮機を停止，3分遅延後に圧縮機を再起動させ40分に3回検知した場合。

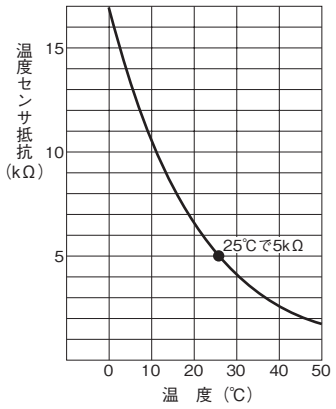
4．予想原因

・吸入管温度センサ接続不良
・吸入管温度センサ不良
・室外制御基板不良

5．故障診断と処置

診　断	処　置
吸入管温度センサ コネクタの接続はOKか → NO	コネクタを確実に接続する
YES 吸入管温度センサ特性は下図参照 吸入管温度センサの特性はOKか → NO	吸入管温度センサ不良→交換
YES	室外制御基板不良→交換 （吸入管温度センサ入力回路不良）

吸入管温度センサ
温度－抵抗特性



注記：

表示 リモコン:E54	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

低圧圧力センサ不良
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

2．異常検出方法

異常電圧（圧力）の検出

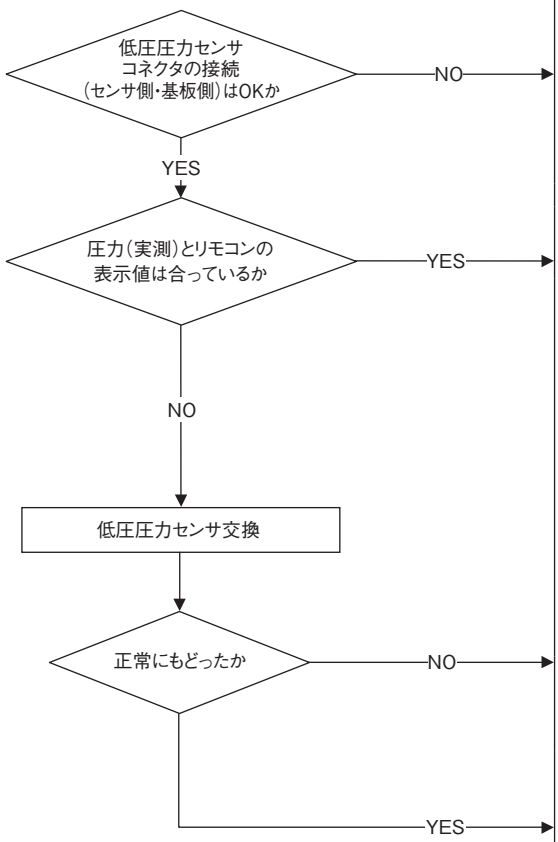
3．異常発生条件

圧縮機 ON 後 2 分～2 分 20 秒の間に圧力センサが DC0V 以下および 4.0V 以上を連続 5 秒検知すると圧縮機を停止，3 分遅延後に圧縮機を再起動させ 40 分に 3 回検知した場合。

4．予想原因

・低圧圧力センサ接続不良
・低圧圧力センサ不良
・室外制御基板不良
・冷媒量不適格
・冷媒回路異常

5．故障診断と処置



注記：

表示 リモコン:E57	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1 回点滅

内容 冷媒量不足または操作弁閉検出
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806，1126 形

2．異常検出方法

・室内熱交温度（Thi-R）と吸込温度（Thi-A）の差を検知しガスロー状態を判断します。
・FDCKP806，1126形は，ブレーカ電源投入より 1 回目の冷房・除湿起動時のみ検出します。

3．異常発生条件

冷媒量不足異常を 60 分以内に 2 回検知した場合。
注　FDCKP806，1126形は1回で異常発生します。

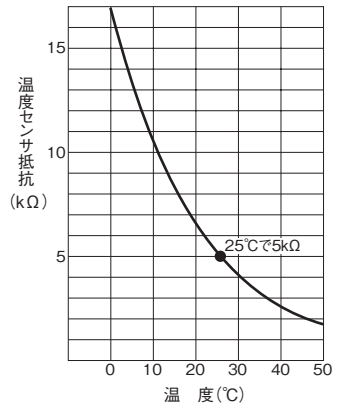
4．予想原因

・室内熱交温度センサ不良
・吸込温度センサ不良
・室内制御基板不良
・冷媒不足
・操作弁閉

5．故障診断と処置

診　断	処　置
操作弁は全開にしているか	
NO	全開にする。
YES	
室内熱交・吸込温度センサコネクタの接続はOKか	
NO	コネクタを確実に接続する
YES	
室内熱交・吸込温度センサ特性は下図参照 室内熱交・吸込温度センサの特性はOKか	
NO	室内熱交・吸入温度センサ不良→交換
YES	
運転中の低圧圧力は適正か?	
NO	冷媒チャージ
YES	室内制御基板不良→交換 （室内熱交・吸入温度センサ入力回路不良）

室内熱交・吸込温度センサ
温度ー抵抗特性



注記：冷媒量不足の保護制御は圧縮機始動から冷房・除湿：5 分，暖房 9 分経過後に室内熱交温度（Thi-R）と吸込温度（Thi-A）の 差を検知しガスロー状態を判断し圧縮機を停止します。（冷房：吸込温度（Thi-A）- 室内熱交温度（Thi-R）＜4deg，暖房：室内熱交温度（Thi-R）- 吸込温度（Thi-A）＜4deg）

表示 リモコン： E58	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	1回点滅

内容

圧縮機脱調異常
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806，1126形

2．異常検出方法

E58発生

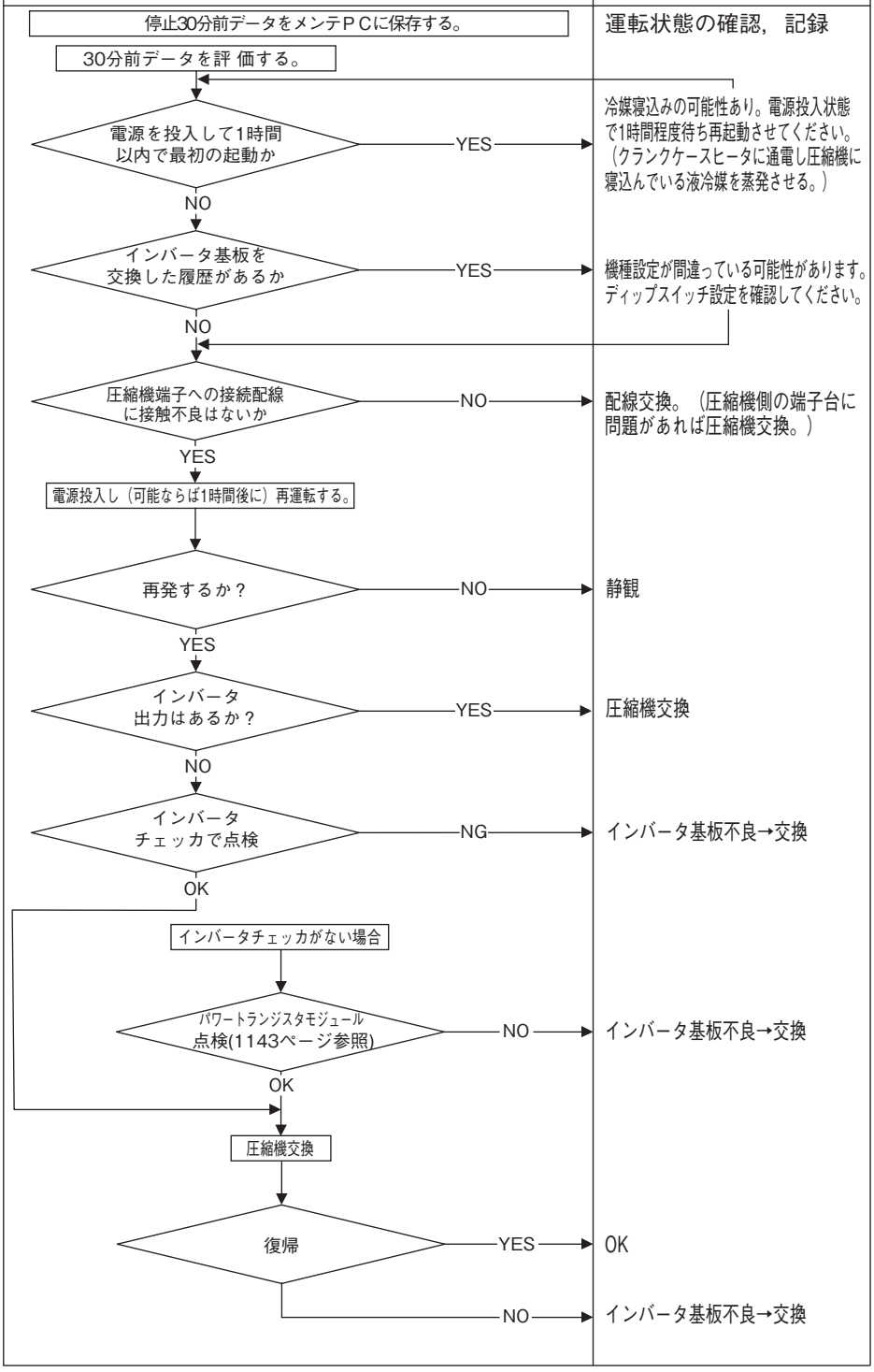
3．異常発生条件

15分以内に4回成立した場合

4．予想原因

・起動前の通電時間不足（クランクケースヒータ未通電による起動）
・圧縮機不良
・インバータ基板不良
・パワートランジスタ不良

5．故障診断と処置



表示 リモコン:E59	LED	緑	赤
	室内	連続点滅	消灯
	室外	連続点滅	5回点滅

内容

圧縮機起動異常
（FDCKP806，1126形）

1．対象機種

FDCKP806，1126形

2．異常検出方法

圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

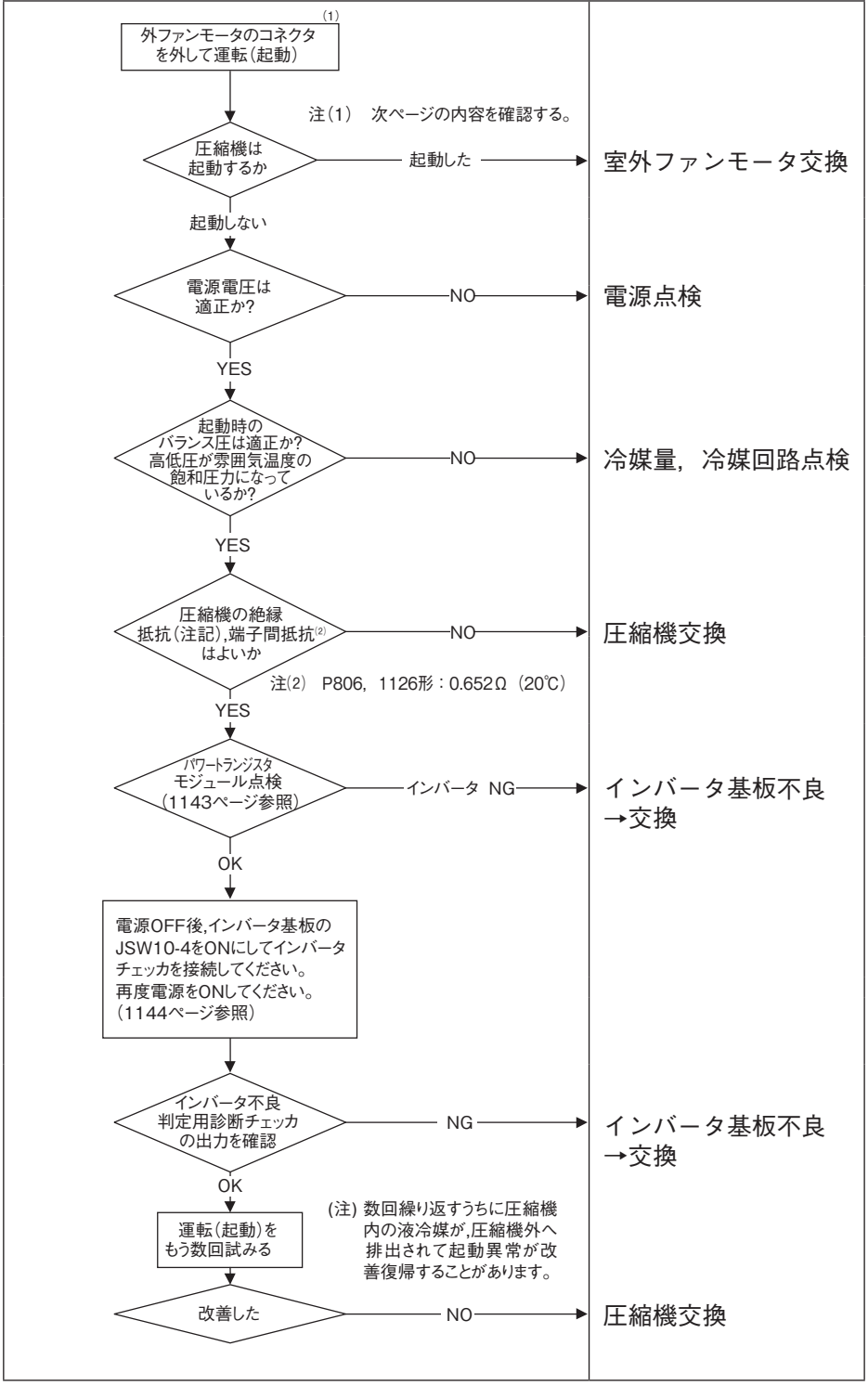
3．異常発生条件

起動5回トライを実施しても起動できない場合。3分経過後にリモコンリセット可能。

4．予想原因

・室外ファンモータ不良
・インバータ基板不良
・電源電圧異常
・冷媒量・冷媒回路不適合
・圧縮機不良（モータ，軸受）

5．故障診断と処置



注記：絶縁抵抗について
●据付直後，もしくは元電源を切った状態で長時間放置した場合，圧縮機に冷媒が溜まることにより，絶縁抵抗が数ＭΩまで抵下することがあります。絶縁抵抗が小さく，漏電ブレーカが作動する場合は，以下の事項を確認ください。
①電源を投入し，6時間程度経過後，絶縁抵抗が復帰するか確認する。
電源を投入することにより，圧縮機に通電加熱を行い，圧縮機に溜まった冷媒を蒸発させます。
②漏電ブレーカが高調波対応品であるか確認する。
本機はインバータを装備しており，漏電ブレーカの誤作動を防止するため，高調波対応品を使用してください。

表示 リモコン:E59	LED	緑	赤	内容	圧縮機起動異常
	室内	連続点滅	消灯		
	室外	-または連続点滅	5回点滅		

1. 対象機種

全機種

2. 異常検出方法

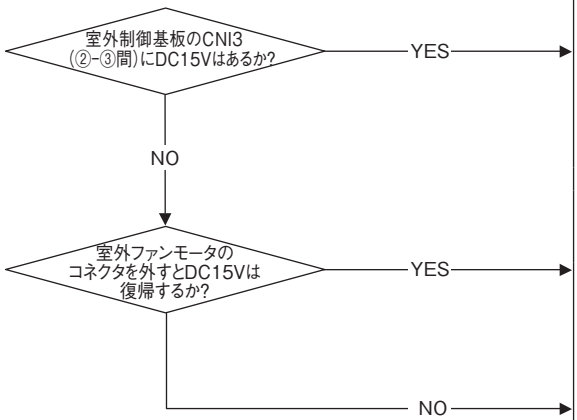
圧縮機モータのロータ位置検出運転に移行できない。

3. 異常発生条件

4. 予想原因

・室外ファンモータ不良
・室外制御基板不良

5. 故障診断と処置

診　断	処　置
	前々ページまたは前ページのフローにもどる。 室外ファンモータ交換 室外制御基板不良→交換

注記：

表示	LED	緑	赤
リモコン:冷媒センサーが故障しています	室内	連続点滅	消灯
	室外	ー	消灯

内容

冷媒センサ故障
（FDF シリーズ）

1．対象機種

FDFシリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサから故障信号を検知

3．異常発生条件

・冷媒センサが故障した場合

4．予想原因

・冷媒センサ不良
・配線不良（警報出力を誤検知）

5．故障診断と処置

診　断	処　置
配線に間違いはあるか? → YES	配線修正
→ NO	冷媒センサ不良 →冷媒センサを交換

注記：

表示	LED	緑	赤	内容	冷媒センサ外れ （FDF シリーズ）
リモコン:冷媒センサーが外れています	室内	連続点滅	消灯		
	室外	ー	消灯		

1．対象機種

FDFシリーズのみ

2．異常検出方法

・冷媒センサからの出力により検知

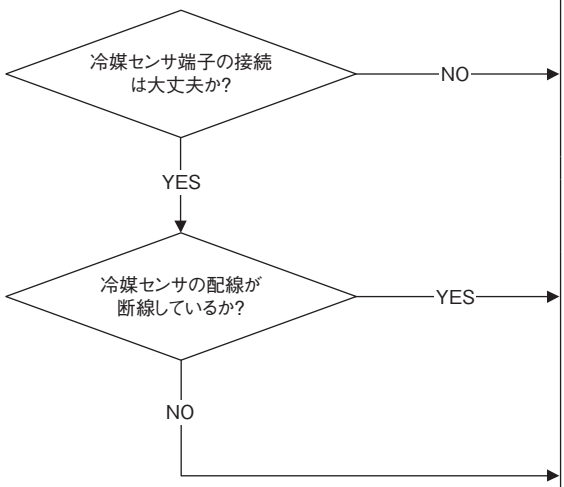
3．異常発生条件

・冷媒センサから「冷媒センサ外れ」信号を受信した場合

4．予想原因

・冷媒センサ接続不良
・冷媒センサ不良
・冷媒センサ配線不良

5．故障診断と処置



注記：

1.16 保護装置一覧

(1) エクシードハイパーシリーズ

名称		記号	機能	設定値	適用形式
室内ユニット	室内熱交温度センサ	Thi-R1 Thi-R2	暖房時過負荷保護	63 OFF/56 ON(℃)	全形式
			冷房時フロスト防止	1.0 OFF/10 ON(℃)	全形式
	フロートスイッチ	FS	オーバーフロー防止	(即時)	FDTZ, FDTCZ, FDTWZ, FDTSZ, FDRZ, FDUZ
室外ユニット	吐出管温度センサ	Tho-D	吐出管温度異常上昇保護	115 OFF/95 ON(℃)	P406～P636形
				115 OFF/85 ON(℃)	P806～P2806形
	室外熱交温度センサ	Tho-R	冷房時高圧異常上昇保護	62 OFF/50 ON(℃)	P406～P636形
		Tho-R1 Tho-R2		63 OFF/51 ON(℃)	P806～P2806形
	高圧圧力開閉器	63H1	高圧異常上昇保護	4.15開/3.15閉 (MPa)	P806～P2806形
	低圧圧力センサ	PSL	低圧保護	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)	P806～P2806形
	電流センサ	CT	電源欠相	———	P1126～P1606形
	クランクケースヒータ	CH	圧縮機への冷媒溜り込み防止	20W	全形式

(2) ハイパーインバータシリーズ

名称		記号	機能	設定値	適用形式
室内ユニット	室内熱交温度センサ	Thi-R1 Thi-R2	暖房時過負荷保護	63 OFF/56 ON(℃)	全形式
			冷房時フロスト防止	1.0 OFF/10 ON(℃)	全形式
	フロートスイッチ	FS	オーバーフロー防止	(即時)	FDTZ, FDTCZ, FDTWZ, FDTSZ, FDRZ, FDUZ
室外ユニット	吐出管温度センサ	Tho-D	吐出管温度異常上昇保護	115 OFF/95 ON(℃)	P406～P806形
				115 OFF/85 ON(℃)	P1126～P2806形
	室外熱交温度センサ	Tho-R	冷房時高圧異常上昇保護	62 OFF/50 ON(℃)	P406～P806形
		Tho-R1 Tho-R2		63 OFF/51 ON(℃)	P1126～P2806形
	高圧圧力開閉器	63H1	高圧上昇保護	4.15開/3.15閉 (MPa)	P1126～P2806形
	低圧圧力センサ	PSL	低圧保護	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)	P1126～P2806形
	電流センサ	CT	電源欠相	———	P1126～P1606形
	クランクケースヒータ	CH	圧縮機への冷媒溜り込み防止	20W	P406～P2806形

(3) 暖ガンハイパーインバータシリーズ

名称		記号	機能	設定値	適用形式
室内ユニット	室内熱交温度センサ	Thi-R1 Thi-R2	暖房時過負荷保護	63 OFF/47 ON(℃)	全形式
			冷房時フロスト防止	1.0 OFF/10 ON(℃)	全形式
	フロートスイッチ	FS	オーバーフロー防止	(即時)	FDTZ, FDTWZ, FDRZ, FDUZ
室外ユニット	吐出管温度センサ	Tho-D	吐出管温度異常上昇保護	115 OFF/85 ON(℃)	P806, P1126形
	室外熱交温度センサ	Tho-R Tho-R1 Tho-R2	冷房時高圧異常上昇保護	63 OFF/51 ON(℃)	P806, P1126形
	高圧圧力開閉器	63H1	高圧上昇保護	4.15開/3.15閉 (MPa)	P806, P1126形
	低圧圧力センサ	PSL	低圧保護	0.079 OFF/0.227 ON (MPa)	P806, P1126形
	電流センサ	CT	電源欠相	———	P806, P1126形
	クランクケースヒータ	CH	圧縮機への冷媒溜り込み防止	20W	P806, P1126形

1.17 標準運転データ

◆ エクシードハイパーシリーズ

(1) 冷房運転

(a) 冷房定格

JIS定格条件　　室内：27℃DB/19℃WB　　配管長：7.5m（P406～P636は5m）
室外：35℃DB/24℃WB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	41	2.58	1.15	71	17	68	17
P456	48	2.65	1.10	74	13	71	15
P506	55	2.79	1.10	77	13	73	14
P566	61.5	2.76	1.05	80	15	76	15
P636	67	2.95	1.05	83	14	80	14
P806	59	2.78	1.08	78	16	69	16
P1126	58	2.57	1.04	73	15	65	15
P1406	76	2.73	0.98	77	11	70	13
P1606	89	2.86	0.95	82	9	74	12
P2246	76	2.84	1.06	85	15	77	14
P2806	101	3.07	0.97	92	10	84	12

(b) 冷房過負荷

室内：32℃DB/23℃WB　　配管長：10m
室外：43℃DB/26℃WB　　電源電圧：180V

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	56.75	3.2	1.20	89	16	89	19
P456							
P506	56.75	3.3	1.25	89	18	89	19
P566							
P636	78	3.65	1.17	89	16	85	19
P806	63	3.23	1.17	87	19	80	22
P1126	100	3.41	1.01	94	12	85	18
P1406							
P1606							
P2246	91	3.70	1.15	93	15	85	18
P2806							

(c) 冷房低温

室内：21℃DB/15℃WB　　配管長：10m
室外：-15℃DB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	60	2.0	0.91	63	11	63	10
P456							
P506	60	1.7	0.87	63	15	63	9
P566							
P636	60	2.44	0.91	70	8	64	11
P806	55	1.96	0.88	59	10	50	10
P1126	55	0.68	0.38	40	8	31	18
P1406							
P1606							
P2246	39	1.92	0.91	60	8	51	10
P2806							

(2) 暖房運転

(a) 暖房定格

JIS定格条件　　室内：20℃DB　　配管長：7.5m
室外：7℃DB/6℃WB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	50.75	1.97	0.76	63	3	59	31
P456	57.25	2.06	0.75	67	1	63	34
P506	64	2.12	0.73	69	1	64	34
P566	71.75	2.23	0.72	73	1	68	35
P636	80	2.37	0.71	73	1	70	37
P806	71	2.13	0.72	72	2	62	33
P1126	65	2.22	0.75	66	2	55	35
P1406	82.5	2.39	0.72	74	1	63	39
P1606	95	2.57	0.71	81	1	70	42
P2246	85	2.24	0.73	68	0	57	36
P2806	106	2.52	0.70	82	0	71	40

(b) 暖房過負荷

室内：30℃DB　　配管長：10m
室外：24℃DB/18℃WB　　電源電圧：180V

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	58.5	2.97	1.10	79	13	79	48
P456							
P506	59	2.98	1.09	79	12	79	49.96
P566							
P636	73	3.31	1.07	85	13	80	51
P806	77	2.90	0.89	89	10	81	44
P1126	72	3.09	1.00	85	11	74	46
P1406							
P1606							
P2246	77	3.04	0.84	74	6	68	49
P2806							

◆ ハイパーインバーターシリーズ

(1) 冷房運転

(a) 冷房定格

JIS定格条件　　室内：27℃DB/19℃WB　　配管長：7.5m（P406～P806は5m）
室外：35℃DB/24℃WB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	41	2.58	1.15	71	17	68	17
P456	48	2.65	1.10	74	13	71	15
P506	55	2.79	1.10	77	13	73	14
P566	61.5	2.76	1.05	80	15	76	15
P636	67	2.95	1.05	83	14	80	14
P806	71	3.07	1.02	79	13	69	16
P1126	47	2.63	0.94	80	14	66	14
P1406	64	2.83	0.91	88	11	74	13
P1606	74	2.92	0.93	90	8	79	12
P2246	76	2.84	1.06	85	15	77	14
P2806	101	3.07	0.97	92	10	84	12

(b) 冷房過負荷

室内：32℃DB/23℃WB　　配管長：10m
室外：43℃DB/26℃WB　　電源電圧：180V

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	56.75	3.2	1.20	89	16	89	19
P456							
P506	56.75	3.3	1.25	89	18	89	19
P566							
P636	78	3.65	1.17	89	16	85	19
P806	76	3.8	1.23	88	16	76	19
P1126	58	3.32	1.11	92	14	78	19
P1406	75	3.47	1.04	92	12	83	19
P1606							
P2246	91	3.07	1.15	93	15	85	18
P2806							

(c) 冷房低温

室内：21℃DB/15℃WB　　配管長：10m
室外：-15℃DB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	60	2.0	0.91	63	11	63	10
P456							
P506	60	1.7	0.87	63	15	63	9
P566							
P636	60	2.44	0.91	70	8	64	11
P806	60	2.7	1.00	64	10	49	12
P1126	60	2.13	0.81	65	4	46	9
P1406							
P1606							
P2246	39	1.92	0.91	60	8	51	10
P2806							

(2) 暖房運転

(a) 暖房定格

JIS定格条件　　室内：20℃DB　　配管長：7.5m (P406～P805は5m)
室外：7℃DB/6℃WB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	50.75	1.97	0.76	63	3	59	31
P456	57.25	2.06	0.75	67	1	63	34
P506	64	2.12	0.73	69	1	64	34
P566	71.75	2.23	0.72	73	1	68	35
P636	80	2.37	0.71	73	1	70	37
P806	87	2.26	0.69	75	0	62	33
P1126	52	2.19	0.73	72	1	56	37
P1406	66	2.40	0.71	80	0	64	40
P1606	75	2.56	0.69	84	0	72	42
P2246	85	2.24	0.73	68	0	57	36
P2806	106	2.52	0.70	82	0	71	40

(b) 暖房過負荷

室内：30℃DB　　配管長：10m
室外：24℃DB/18℃WB　　電源電圧：180V

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P406	58.5	2.97	1.10	79	13	79	48
P456							
P506	59	2.98	1.09	79	12	79	49.96
P566							
P636	73	3.31	1.07	85	13	80	51
P806	75	3.01	0.99	87	14	77	45
P1126	46	2.92	1.00	79	10	66	49
P1406	65	3.29	0.92	92	10	85	55
P1606							
P2246	77	3.04	0.84	74	6	68	49
P2806							

◆ 暖ガンハイパーインバーターシリーズ

(1) 冷房運転

(a) 冷房定格

JIS定格条件　　室内：27℃DB/19℃WB　　配管長：7.5m
室外：35℃DB/24℃WB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P806	29.25	2.48	1.17	65	16	55	17
P1126	45.25	2.69	1.06	76	14	66	15

(b) 冷房過負荷

室内：32℃DB/23℃WB　　配管長：7.5m
室外：43℃DB/24℃WB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P806	45.25	3.23	1.21	85	17	77	19
P1126							

(c) 冷房低温

室内：21℃DB/15℃WB　　配管長：7.5m
室外：-15℃DB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P806	50	1.97	1.06	56	14	49	15
P1126							

(2) 暖房運転

(a) 暖房定格

JIS定格条件　　室内：20℃DB　　配管長：7.5m
室外：7℃DB/6℃WB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P806	35	1.96	0.78	59	3	44	32
P1126	49.5	2.19	0.75	69	2	52	36

(b) 暖房過負荷

室内：30℃DB　　配管長：7.5m
室外：24℃DB/18℃WB

項目 / 形式	圧縮機回転数 rps	高圧圧力 MPa	低圧圧力 MPa	吐出管温度 ℃	吸入管温度 ℃	ドーム温度 ℃	吹出温度 ℃
P806	49.5	2.6	0.92	80	11	70	43
P1126							

1.18 耐重塩害仕様室外ユニット

(1) エクシードハイパーシリーズ

耐重塩害仕様室外ユニットを受注生産品としてシリーズ化しています。商品ご注文時，耐重塩害仕様室外ユニットとしてご注文してください。

●形式記号 （例）ＦＤＣＺ**S**Ｐ１４０６Ｈ
　　└――耐重塩害仕様

(a) 形　式

FDCZSP406HK ～ 636HK, 806HK, 406H ～ 636H, 806H, 1126H, 1406H, 1606H, 2246H, 2806H

(b) 仕　様

耐重塩害仕様室外ユニットは離島・沖縄地区等の海岸線に近く直接潮風の当たらない場所に設置できる仕様ですが，設置に当っては(3)項以降に留意してください。

部品名		仕様
外板		塗装用亜鉛メッキ鋼板+塗装(総合塗膜厚さ70μ以上)　下塗:カチオン電着塗装 (P806～P2806の場合)　上塗:ポリエステル系塗料粉体塗装 (P406～P636の場合50μ以上)　※塗装色　スタッコホワイト(マンセル4.2Y7.5/1.1近似)
底板		Zn-Al-Mg合金メッキ鋼鈑+塗装(総合塗膜厚さ70μ以上)　下塗:カチオン電着塗装 (P806～P2806の場合)　上塗:ポリエステル系塗料粉体塗装 (P406～P636：50μ以上)　※塗装色　スタッコホワイト(マンセル4.2Y7.5/1.1近似)
フィンガード	P806～P2806	鉄線+樹脂コーティング
ファンガード	P506, P636	プラスチック
	P806～P2806	鉄線+樹脂コーティング
ファン		プラスチック
ファンモータ		亜鉛メッキ鋼鈑+プラスチック+防錆剤塗布
モータベース		外板と同じ
熱交換器	フィン	高耐食仕様プレコートアルミ(青色)
	配管	銅管+防錆剤塗布
	側板	亜鉛メッキ鋼板+防錆剤塗布
圧縮機		鋼管・銅管＋焼付塗装＋防錆剤塗布
アキュームレータ	P406～P636	銅管+防錆剤塗布
レシーバ	P806～P2806	鋼管･銅管+焼付塗装+防錆剤塗布
基板	P406～P636	全ての基板　紙フェノール銅張積層板+防湿材塗布
	P806～P1606	全ての基板　CEM3銅張積層板+防湿材塗布
	P2246, P2806	全ての基板　FR-4銅張積層板+防湿材塗布
電装品箱	P406～, P636	プラスチック, 板金部は外板と同じ
	P806～P2806	外板と同じ
仕切板		外板と同じ
操作弁ブラケット		外板と同じ
ねじ	P406～P636	外側：ステンレス+ニッケル処理+粉体塗装 鋼+ジオメット処理 内側：ステンレス+酸化皮膜化処理
	P806	外側：ステンレス＋亜鉛コーティング＋クロメート処理＋フッ素コーティング ステンレス＋亜鉛コーティング＋アルミコーティング 内側：鉄鋼＋亜鉛コーティング＋クロメート処理 ステンレス＋亜鉛コーティング＋クロメート処理＋フッ素コーティング ステンレス＋ニッケルコーティング
	P1126～P1606	外側：ステンレス＋亜鉛コーティング＋クロメート処理（＋フッ素コーティング） 鉄鋼＋ジオメット処理 内側：ステンレス＋亜鉛コーティング＋クロメート処理（＋フッ素コーティング）
	P2246, P2806	外側：ステンレス＋亜鉛コーティング＋クロメート処理＋フッ素コーティング 内側：ステンレス＋亜鉛コーティング＋クロメート処理＋フッ素コーティング 鉄鋼＋亜鉛コーティング＋クロメート処理 ステンレス＋ニッケルメッキ＋三価クロムメッキ
他（機能品，銘板など）		標準機と同じ

注(1)「耐重塩害仕様」は，日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002 に基づいています。
(2) 上表にて＿＿＿下線は，標準機仕様と異なる点を示します。

PCA002Z093
PCA002Z084
PCB004Z894

(2) ハイパーインバータシリーズ

耐重塩害仕様室外ユニットを受注生産品としてシリーズ化しています。商品ご注文時，耐重塩害仕様室外ユニットとしてご注文してください。

●形式記号 （例）ＦＤＣＶ**S**Ｐ１４０６Ｈ
　　└――― 耐重塩害仕様

(a) 形　式

FDCVSP406HK ～ 636HK, 806HK, 406H ～ 636H, 806H, 1126H, 1406H, 1606H, 2246H, 2806H

(b) 仕　様

耐重塩害仕様室外ユニットは離島・沖縄地区等の海岸線に近く直接潮風の当たらない場所に設置できる仕様ですが，設置に当っては(3)項以降に留意してください。

部品名		仕様
外板		塗装用亜鉛メッキ鋼板+塗装(総合塗膜厚さ70μ以上)　下塗：カチオン電着塗装 （P1126～P2806の場合）　上塗：ポリエステル系塗料粉体塗装 （P406～P806の場合50μ以上）　※塗装色　スタッコホワイト(マンセル4.2Y7.5/1.1近似)
底板		Zn-Al-Mg合金メッキ鋼鈑+塗装(総合塗膜厚さ70μ以上)　下塗：カチオン電着塗装 （P1126～P2806の場合）　上塗：ポリエステル系塗料粉体塗装 （P406～P806の場合50μ以上）　※塗装色　スタッコホワイト(マンセル4.2Y7.5/1.1近似)
フィンガード	P2246, P2806	鉄線+樹脂コーティング
ファンガード	P406～P806	プラスチック
	P1126～P2806	鉄線+樹脂コーティング
ファン		プラスチック
ファンモータ		亜鉛メッキ鋼鈑+プラスチック+防錆剤塗布
モータベース		外板と同じ
熱交換器	フィン	高耐食仕様プレコートアルミ(青色)
	配管	銅管+防錆剤塗布
	側板	亜鉛メッキ鋼板+防錆剤塗布
圧縮機		鋼管・銅管+焼付塗装+防錆剤塗布
アキュームレータ	P406～P806	銅管+防錆剤塗布
レシーバ	P1126～P2806	鋼管・銅管+焼付塗装+防錆剤塗布
基板	P406～P806	全ての基板　紙フェノール銅張積層板+防湿材塗布
	P1126～P1606	全ての基板　CEM3銅張積層板+防湿材塗布
	P2246, P2806	全ての基板　FR-4銅張積層板+防湿材塗布
電装品箱	P406～P806	プラスチック，板金部は外板と同じ
	P1126～P2806	外板と同じ
仕切板		外板と同じ
操作弁ブラケット		外板と同じ
ねじ	P406～P806	外側：ステンレス+ニッケル処理+粉体塗装 鋼+ジオメット処理 内側：ステンレス+酸化皮膜化処理
	P1126～P1606	外側：ステンレス+亜鉛コーティング+クロメート処理+フッ素コーティング 鉄鋼+ジオメット処理 内側：ステンレス+亜鉛コーティング+クロメート処理+フッ素コーティング
	P2246, P2806	外側：ステンレス+亜鉛コーティング+クロメート処理+フッ素コーティング 内側：ステンレス+亜鉛コーティング+クロメート処理+フッ素コーティング 鉄鋼+亜鉛コーティング+クロメート処理 ステンレス+ニッケルメッキ+三価クロムメッキ
他（機能品，銘板など）		標準機と同じ

注(1)「耐重塩害仕様」は，日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002 に基づいています。
(2) 上表にて＿＿＿下線は，標準機仕様と異なる点を示します。

PCA002Z093
PCA002Z098
PCA002Z087
PCB004Z894

⑶ 暖ガンハイパーインバータシリーズ

耐重塩害仕様室外ユニットを受注生産品としてシリーズ化しています。商品ご注文時，耐重塩害仕様室外ユニットとしてご注文してください。

●形式記号　（例）ＦＤＣＫ**Ｓ**Ｐ８０６Ｈ

└――― 耐重塩害仕様

ⓐ 形　式

FDCKSP806H, 1126H

ⓑ 仕　様

耐重塩害仕様室外ユニットは離島・沖縄地区等の海岸線に近く直接潮風の当たらない場所に設置できる仕様ですが，設置に当っては⑶項以降に留意してください。

部品名		仕様
外板		塗装用亜鉛メッキ鋼板+塗装(総合塗膜厚さ70μ以上)　下塗：カチオン電着塗装 上塗：ポリエステル系塗料紛体塗装 ※塗装色　スタッコホワイト(マンセル4.2Y7.5/1.1近似)
底板		Zn-Al-Mg合金メッキ鋼鈑+塗装(総合塗膜厚さ70μ以上)　下塗：カチオン電着塗装 上塗：ポリエステル系塗料紛体塗装 ※塗装色　スタッコホワイト(マンセル4.2Y7.5/1.1近似)
ファンガード		鉄線+樹脂コーティング
ファン		プラスチック
ファンモータ		亜鉛メッキ鋼鈑+プラスチック+防錆剤塗布
モータベース		外板と同じ
熱交換器	フィン	高耐食仕様プレコートアルミ(青色)
	配管	銅管+防錆剤塗布
	側板	亜鉛メッキ鋼板+防錆剤塗布
圧縮機		鋼管･銅管+焼付塗装+防錆剤塗布
レシーバ		鋼管･銅管+焼付塗装+防錆剤塗布
基板		全ての基板　CEM3銅張積層板+防湿材塗布
電装品箱		外板と同じ
仕切板		外板と同じ
操作弁ブラケット		外板と同じ
ねじ		外側：ステンレス+亜鉛コーティング+クロメート処理（+フッ素コーティング） 鉄鋼+ジオメット処理 内側：ステンレス+亜鉛コーティング+クロメート処理（+フッ素コーティング）
他（機能品，銘板など）		標準機と同じ

注⑴「耐重塩害仕様」は，日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002 に基づいています。
⑵ 上表にて＿＿＿下線は，標準機仕様と異なる点を示します。

(4) 据付時・メンテナンス時の注意

(a) 建物の風下や軒下等に設置してください。

(b) 海岸線に設置する場合直接潮風が当たらないように防風板等を設けてください。

(c) 水はけのよい場所に設置してください。

(d) 据付時についた傷は補修をしてください。

(e) 取外したサービスパネル取付のねじは，作業終了後に確実に締付けられていることを確認してください。

(f) シーズンオフなどで長時間ユニットを停止する場合はユニットにカバーを掛ける等の処置をしてください。

(5) 据付上の注意(維持管理)

(a) 海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また，波しぶき等が直接かかる場所への設置は避けてください。

(b) 外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外ユニットには日除け等を取付けないなど配慮してください。

(c) 室外ユニット底板内への水の滞留は，著しく腐食状態を促進するため，底板内の水抜け性を損なわないように，傾き等に注意してください。

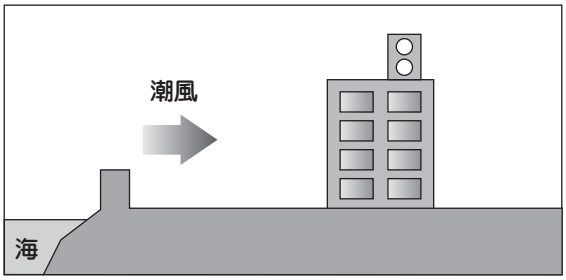
(d) 海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。

(e) 据付，メンテナンス等に付いた傷は，補修してください。

(f) 機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処理や部品交換等を実施してください。

(g) 基礎部分の排水性を確保してください。

(6) 据付場所について

	耐重塩害仕様
据付場所	**潮風の影響を受ける場所 ただし，塩分を含んだ水が 直接室外ユニットにか からない場所** 
設置場所条件	• 室外ユニットに雨があまりかからない場所 • 潮風が直接当たる場所 • 室外ユニットの設置場所から海までの距離が約300m以内にある場所 • 室外ユニットが建物の表（海岸面）になる場所 • 室外ユニット設置場所付近のトタン屋根，ベランダの鉄製部の塗り替え等が多い場所

(7) 設置距離目安

直接風が当たるところ（設置環境により条件が変わります）

設置する地域	設置距離目安		
	300m	500m	1km
内海に面する地域 ※1	H	L	–
外洋に面する地域	H		L
沖縄･離島	H		

H:耐重塩害仕様　L:耐塩害仕様　※1 瀬戸内海等

直接風が当たらないところ（設置環境により条件が変わります）

設置する地域	設置距離目安		
	300m	500m	1km
内海に面する地域 ※1	L	–	
外洋に面する地域	H		L
沖縄･離島	H		L

H:耐重塩害仕様　L:耐塩害仕様　※1 瀬戸内海等

1.19 別売品

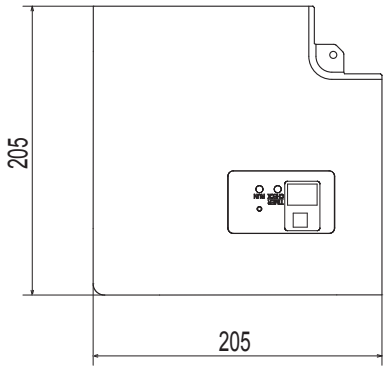
1.19.1 ワイヤレスキット

(1) FDT シリーズ
ワイヤレスリモコン（RCN-D5）・ワイヤレス受信部（LA-T-5BW1，LA-T-5SB1）

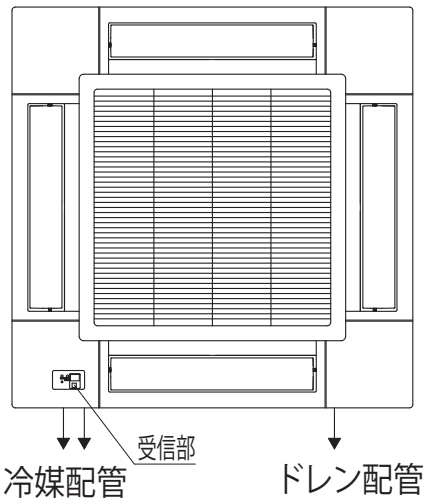
(a) 仕様

PJF000Z631

受信部



ワイヤレス受信部取付位置



注 図の位置にのみ受信部は取付可能です。

受信部基板上のスイッチ設定

SW1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON:通常]　OFF:切換
SW2	受信部の親子切換	[ON:親]　OFF:子
SW3	ブザー音	[ON:有り]　OFF:無し
SW4	停電補償	ON:有効　[OFF:無効]

出荷時設定：□ で囲まれた設定

お願い　○ワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて
操作してください。
○操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態に
より変化します。
○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、
操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

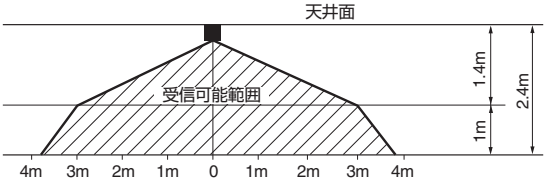
ワイヤレス受信部の据付

ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。
ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。

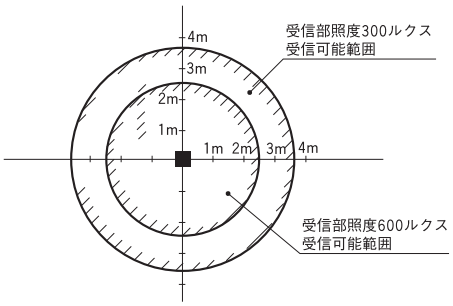
（1）直射日光の当たる場所
（2）発熱器具の近く
（3）湿気の多い所・水の掛る所
（4）取付面が発熱・結露する場所
（5）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（6）取付面に凹凸がある所
（7）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（8）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
　　あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
（9）他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
（10）ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に
　　隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

① 標準的な受信距離
　[条件] 受信部照明度300ルクス
　　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）



② 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
　[条件] 天井高さ2.4m、床面より1mの
　　高さより、ワイヤレスリモコン操作した
　　場合の受信部照度と受信距離
　　との関係を右図に示します。
　　照度が2倍になると受信距離は
　　2／3となります。



③ 複数台近接設置時の注意
　[条件] 受信部照明度300ルクス
　　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）
　[複数台近接設置]ワイヤレスリモコン使用時の同一動作を防止できる
　　最小距離は5mです。

(b) 据付説明書

PJF012D034B△A

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠ **警告**　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠ **注意**　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設･修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。

❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
感電、故障や動作不良の原因になります。

⃠ **●改造は絶対にしない。**
感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。

⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液･特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●基板のケースを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部

① 受信部		1
② 据付説明書 (本紙)		1

ワイヤレスリモコン (別売品)
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

現地設定

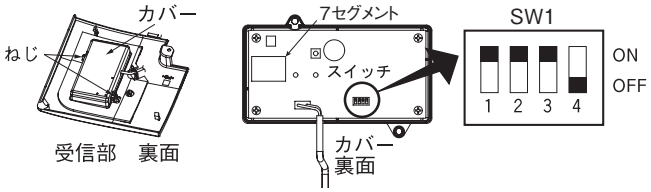
受信部基板上のスイッチの設定は右記の通りです。
なお、出荷時の設定は [ ] で囲まれた設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON : 通常]	OFF : 切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON : 親]	OFF : 子
SW1-3	ブザー音	[ON : 有効]	OFF : 無効
SW1-4	停電補償	ON : 有効	[OFF : 無効]

② 取付前の準備のつづき

現地設定の変更方法

1. 受信部裏面のねじ(2 本)を外し、カバーを取外してください。
2. カバー裏面の基板上のスイッチを変更してください。



3. SW1-1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。
   設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

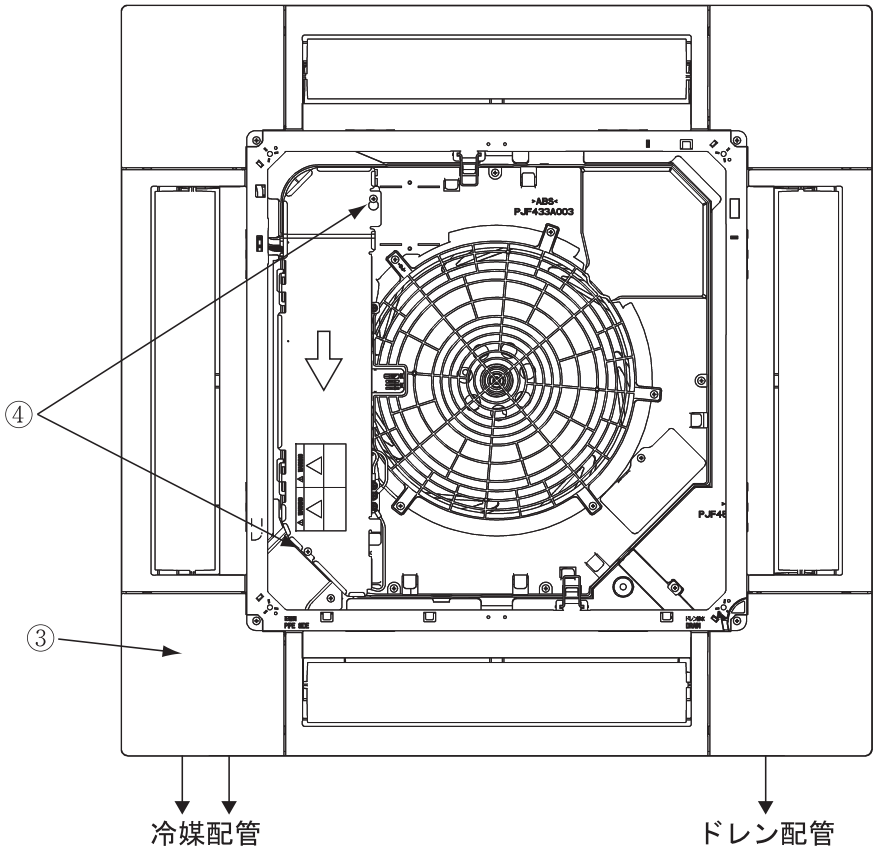
複数リモコン使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は 2 つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

③ 受信部の取付

取付前の準備

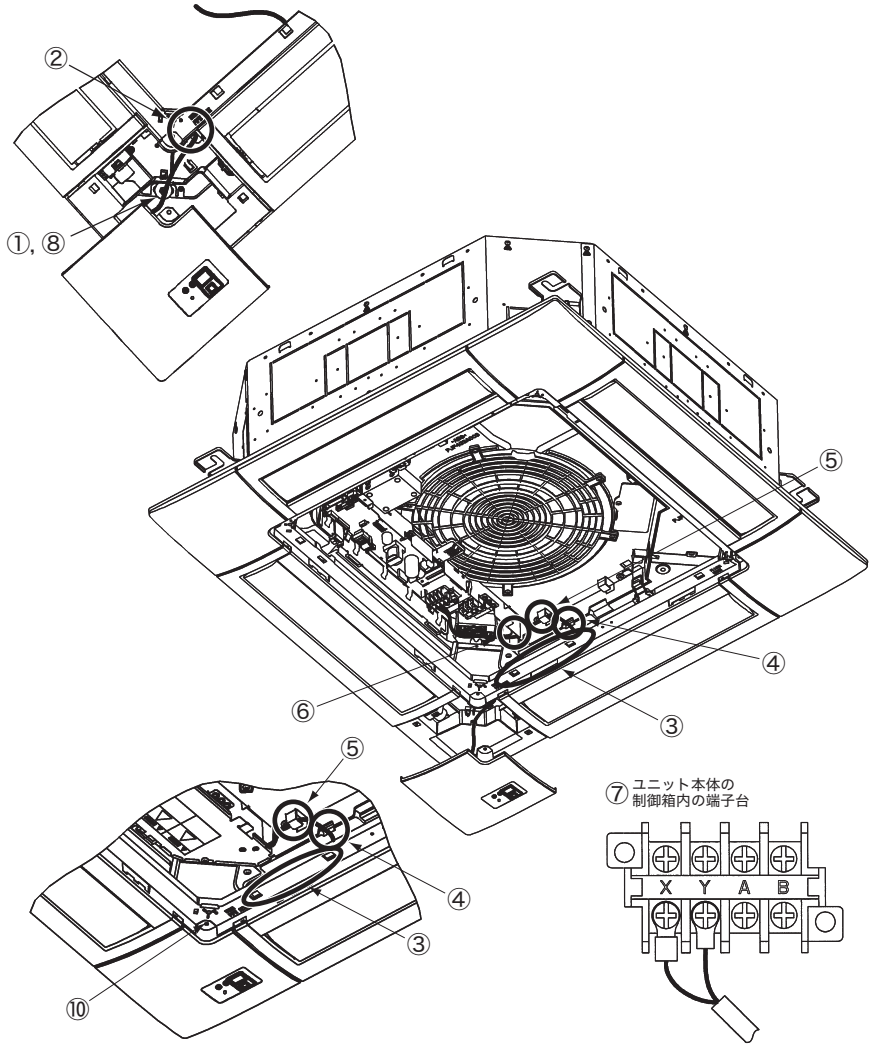
①パネルに付属の据付説明書に従って、パネルをユニット本体に取付けてください。
②吸込グリルを取外してください。
③冷媒配管部のコーナリッドを取外してください。
④ユニット本体の制御箱の蓋のねじ (2本) を緩め、図の矢印方向に蓋をスライドさせて取外してください。



③ 受信部の取付のつづき

受信部の取付

①パネル固定用ボルトを緩めて、パネルとユニット本体との隙間を開けてください。
②受信部の配線を開口部に通してください。
③パネルのユニット側にあるフックに配線を引掛けてください。
④図の位置より配線を引出してください。
⑤配線をユニット本体のフックに引掛けてください。
⑥図の位置より配線を制御箱の中に通してください。
⑦配線の丸端子を制御箱内の端子台（X、Y）に接続してください。配線に極性はありません。
⑧パネル固定用ボルトを締付けてください。
⑨受信部をパネルに取付けてください。
⑩パネルに付属のねじで受信部を固定してください。
⑪配線を噛込まないように、ユニット本体の制御箱の蓋を取付け、ねじ (2本) を締付けてください。

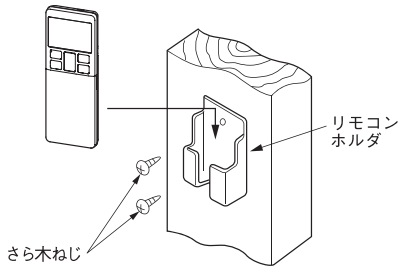


④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

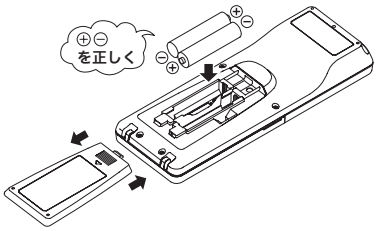
リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

※ホルダ取付時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取付けないでください。



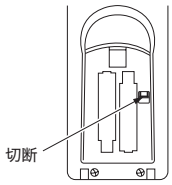
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

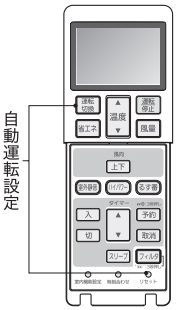
1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換え線をニッパ等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



リモコンの設定変更

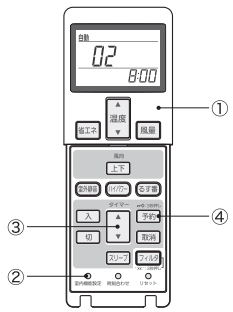
自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。



室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
   ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
   ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
   ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
   ④ 予約ボタンを押す。
   リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
   LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンのつづき

2. 設定内容
　機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定：標準
	01	風速設定：設定1　※
	02	風速設定：設定2　※
運転切換	00	暖房室温補正：無効
	01	暖房室温補正：+1℃
	02	暖房室温補正：+2℃
	03	暖房室温補正：+3℃
フィルタ	00	フィルタサイン表示：なし
	01	フィルタサイン表示：180時間
	02	フィルタサイン表示：600時間
	03	フィルタサイン表示：1000時間
	04	フィルタサイン表示：1000時間後運転停止
上/下	00	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：無効
	01	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：有効
室外静音	00	赤外線センサ設定人感センサ設定：無効
	01	赤外線センサ設定人感センサ設定：有効
ハイパワー	00	赤外線センサ制御人感センサ制御：無効
	01	赤外線センサ制御人感センサ制御：パワーコントロールのみ
	02	赤外線センサ制御人感センサ制御：オートオフのみ
	03	赤外線センサ制御人感センサ制御：パワーコントロール+オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転：無効
	01	冷房ファン残留運転：0.5時間
	02	冷房ファン残留運転：2時間
	03	冷房ファン残留運転：6時間
切	00	暖房ファン残留運転：無効
	01	暖房ファン残留運転：0.5時間
	02	暖房ファン残留運転：2時間
	03	暖房ファン残留運転：6時間
るす番	00	リモコン信号受信部LED：輝度明
	01	リモコン信号受信部LED：輝度暗
	02	リモコン信号受信部LED：消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長：0.1m
	0.2	グリル自動昇降降下長：0.2m
	・	・
	・	・
	2.0	グリル自動昇降降下長：2.0m
	・	・
	・	・
	3.9	グリル自動昇降降下長：3.9m
	4.0	グリル自動昇降降下長：4.0m
運転/停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

※　詳細は782ページを参照ください。

⑤ 受信部

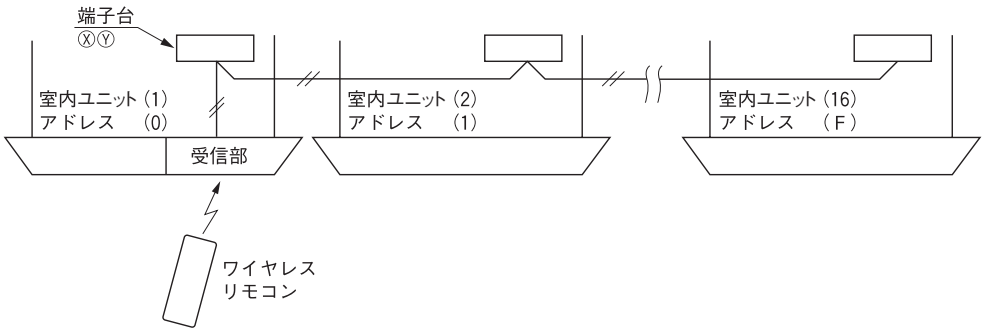
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

1. 1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。
   同一モード、同一室温設定で運転します。
2. グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大600m）	
標準	0.3 mm^2 × 100m 以内
	0.5 mm^2 × 200m 以内
	0.75mm^2 × 300m 以内
	1.25mm^2 × 400m 以内
	2.0 mm^2 × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

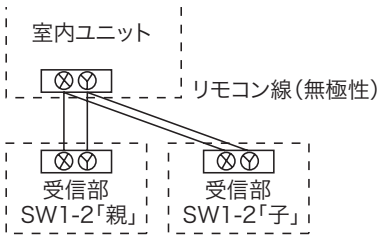


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No.を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

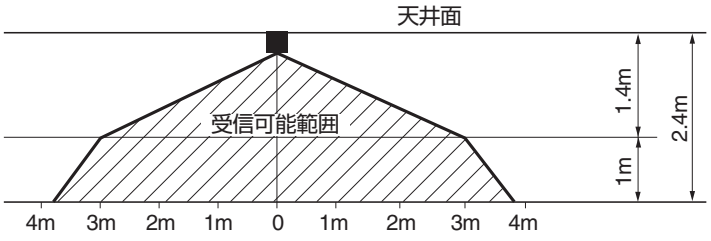
室内ユニット1台（または1グループ）に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

ワイヤレスリモコンの操作距離

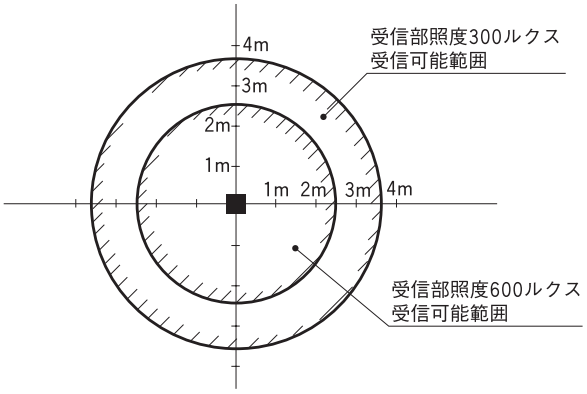
1. 標準的な受信距離
   ［条件］受信部照明度300ルクス
   （一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）



⑤ 受信部のつづき

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係

［条件］天井高さ 2.4m、床面より 1.0m の高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係。照度が 2 倍になると受信距離は 2 ／ 3 となる。



3. 複数台近接設置の注意

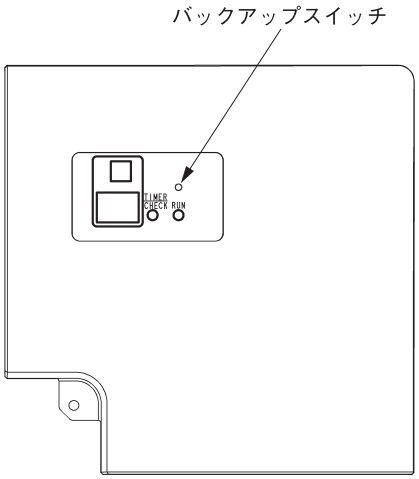
［条件］　受信部照明度300ルクス
（一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）

［複数台近接設置］リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5 mです。

バックアップスイッチ操作

受信部の表面にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコンで操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。
操作は手で直接してください。

1. 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
   風量「急」温度設定「23℃」ルーバ「水平」
2. 運転中に押すことにより「停止」します。
3. 2 秒以上押し続けてから離した場合、
   ラクリーナパネル上昇となります。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

2 桁表示の見方

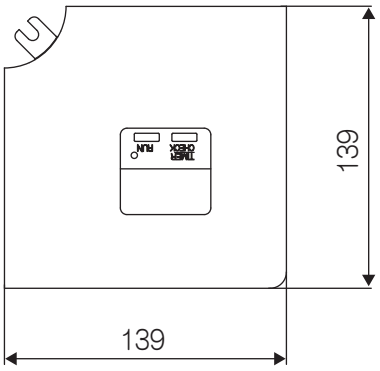
受信部は 2 桁表示（7 セグメント）を装備しています。

1. 表示は電源投入後 1 時間表示します。
2. リモコンから「停止」送信または、バックアップスイッチ「停止」操作後 3 分間表示します。
3. 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
4. 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。

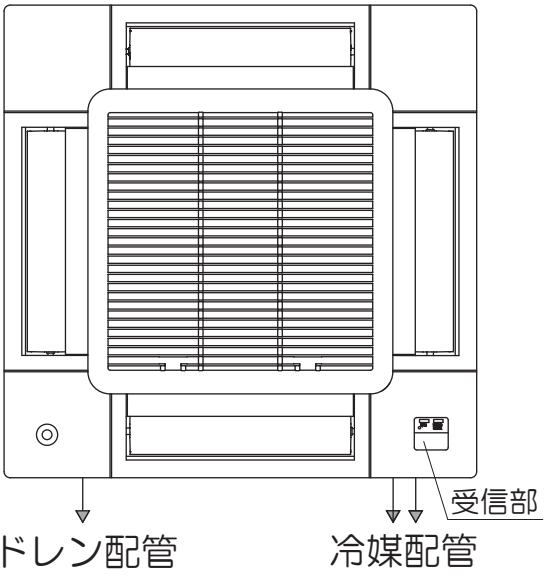
⑵ FDTC シリーズ
ワイヤレスリモコン（RCN-D5）・ワイヤレス受信部（LA-TC-5W1）
ⓐ 仕様

PJF000Z633

ワイヤレス受信部



ワイヤレス受信部取付位置



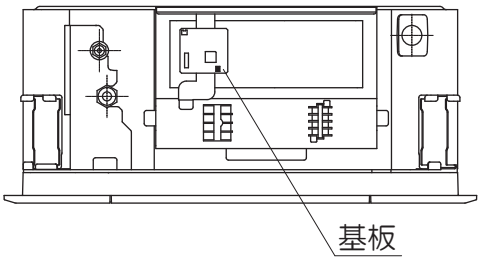
注 図の位置にのみ受信部は取付可能です。

基板上のスイッチ設定

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON：通常] OFF：切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON：親] OFF：子
SW1-3	ブザー音	[ON：有効] OFF：無効
SW1-4	停電補償	ON：有効 [OFF：無効]

出荷時設定： □ で囲まれた設定

基板取付位置



お願い ○ワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
○操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態により変化します。
○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

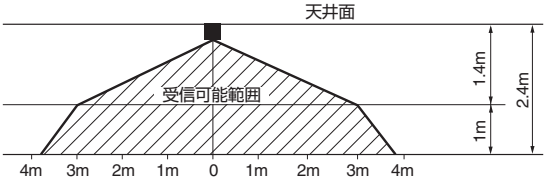
ワイヤレス受信部の据付

ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。
ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。

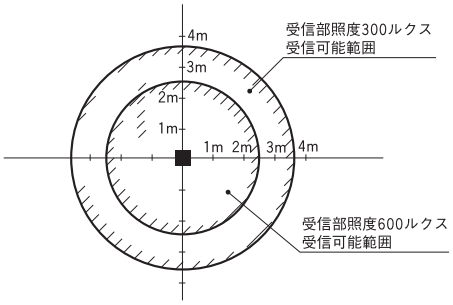
（1）直射日光の当たる場所
（2）発熱器具の近く
（3）湿気の多い所・水の掛る所
（4）取付面が発熱・結露する場所
（5）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（6）取付面に凹凸がある所
（7）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（8）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
　　あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
（9）他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
（10）ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に
　　隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

① 標準的な受信距離
　[条件] 受信部照明度300ルクス
　　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）



② 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
　[条件] 天井高さ2.4m、床面より1mの
　　高さより、ワイヤレスリモコンを操作した
　　場合の受信部照度と受信距離
　　との関係を右図に示します。
　　照度が2倍になると受信距離は
　　2／3となります。



③ 複数台近接設置時の注意
　[条件] 受信部照明度300ルクス
　　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）
　[複数台近接設置]ワイヤレスリモコン使用時の同一動作を防止できる
　　最小距離は5mです。

(b) 据付説明書

PJF012D505A△A

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠ **警告**　誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠ **注意**　誤った取扱をしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。

❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
感電、故障や動作不良の原因になります。

⃠ **●改造は絶対にしない。**
感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。

⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●基板のケースを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く あるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部
LA-TC-5W1

① 受信部		1	⑤ ブラケット取付用ねじ		1
② 基板		1	⑥ 配線（通信用）		1
③ 基板取付用サポート		2	⑦ 配線（受信用）		1
④ ブラケット（板金）		1	⑧ 据付説明書		1

ワイヤレスリモコン（別売品）
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

基板の設定

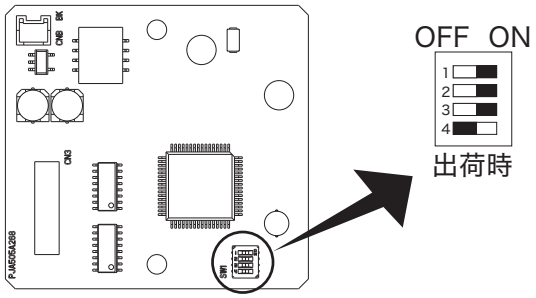
付属品の基板上のスイッチの設定は
右記の通りです。
なお、出荷時の設定は [ ] で囲まれた
設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON：通常] OFF：切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON：親] OFF：子
SW1-3	ブザー音	[ON：有効] OFF：無効
SW1-4	停電補償	ON：有効 [OFF：無効]

② 取付前の準備のつづき

現地設定の変更方法

1. 付属品の基板上のスイッチを変更してください。



複数リモコン使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個まで
ワイヤレスリモコン（受信部）・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は、いずれか一方を、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

2. SW1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更 してください。
設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

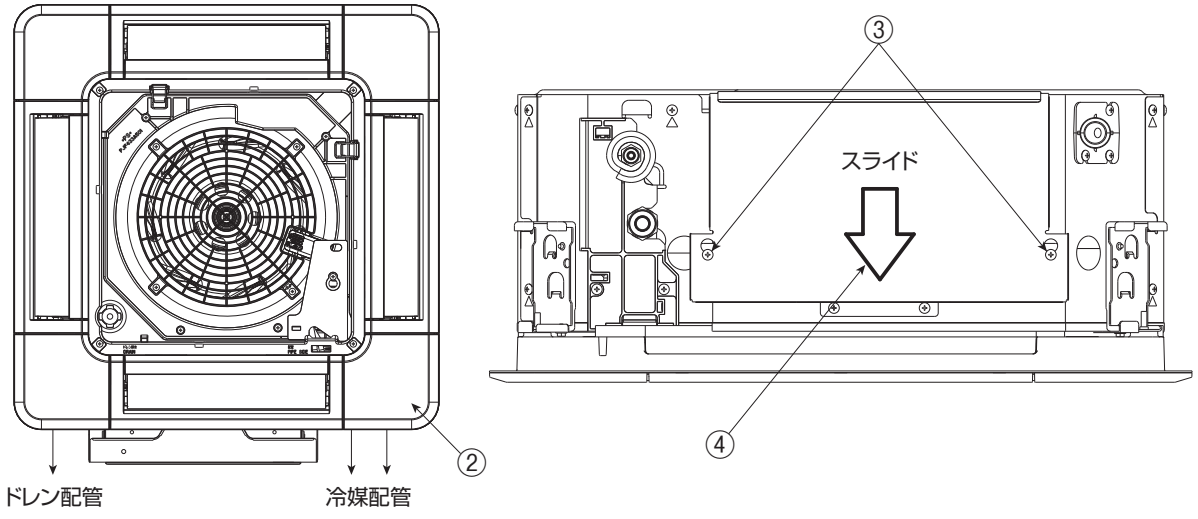
※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

③ 受信部の取付

本ワイヤレスキットの受信部は、対応パネルのコーナリッドと交換することにより取付可能です。

取付前の準備

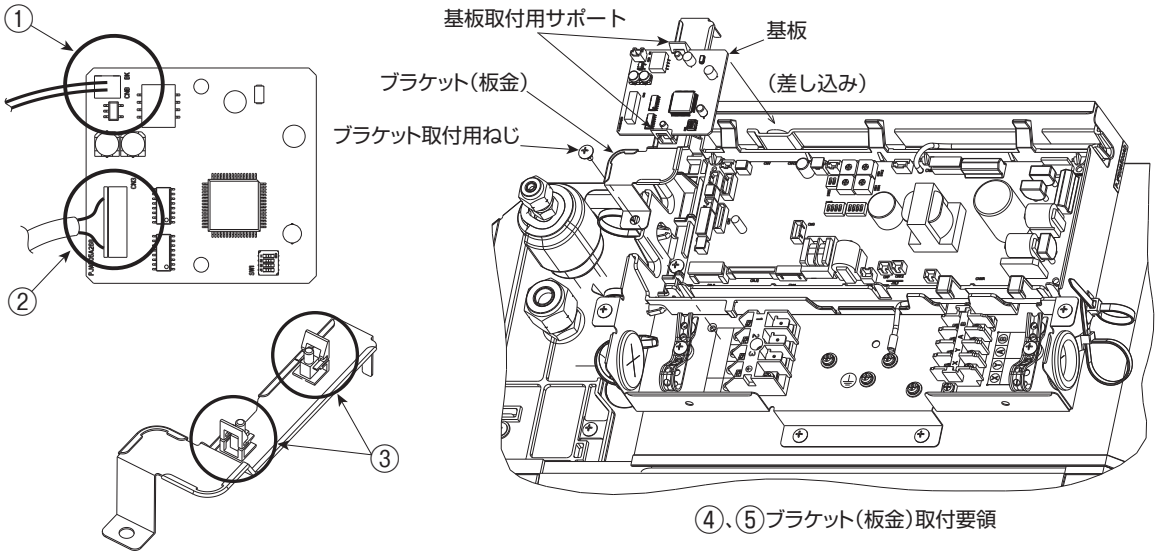
① パネル据付説明書に従って、吸込グリルを取外してください。
② 冷媒配管側のコーナリッドを取外してください。
③ ユニット本体の制御箱の蓋のねじ（2 本）を緩めてください。
④ 制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて、取外してください。



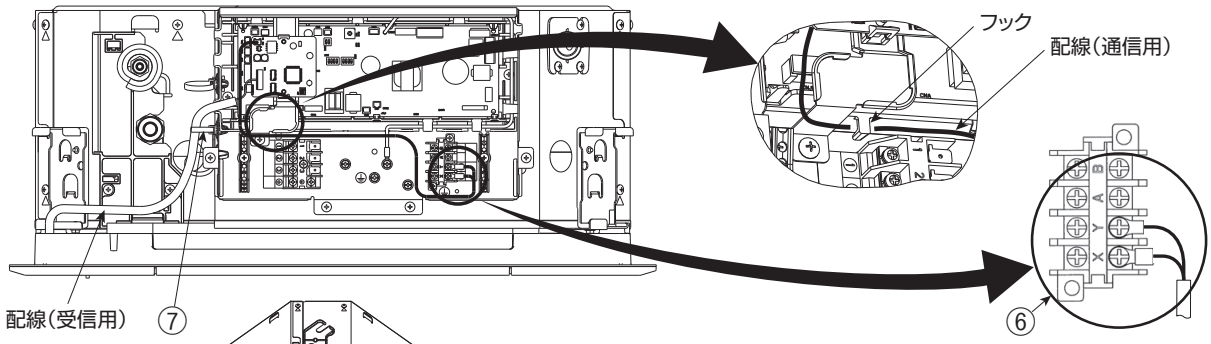
③ 受信部の取付のつづき

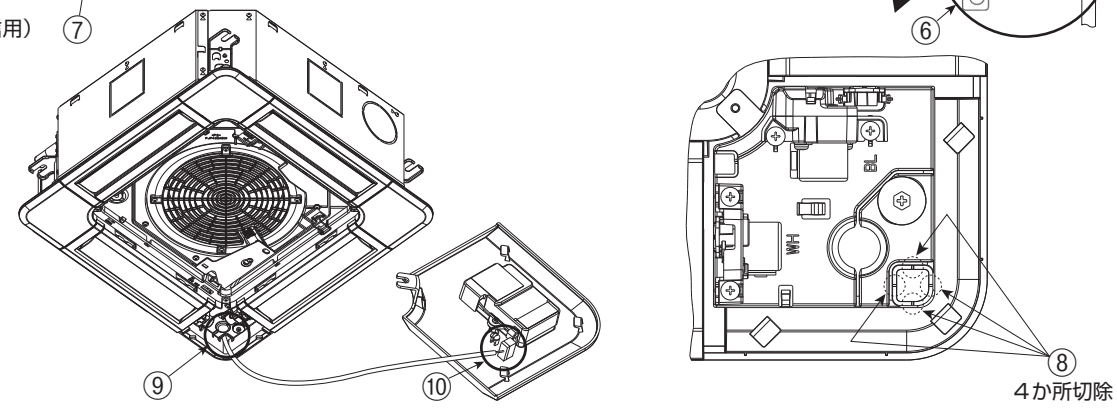
受信部の取付

① 配線（通信用）のコネクタを基板の CNB に接続してください。
② 配線（受信用）のコネクタを基板の CN3 に接続してください。
③ ブラケット（板金）に基板取付用サポートを取付けてください。
④ 基板取付用サポートに基板を取付けてください。
⑤ 図のようにブラケット（板金）を制御箱片側に差込み、もう片側をねじで締付けてください。
⑥ 配線（通信用）の丸端子を制御箱内の端子台（X、Y）に接続してください。配線に極性はありません。
⑦ 図のように配線をバンドで固定してください。
⑧ 図に示すパネルのハーフブランク（4か所）を切除してください。
⑨ 配線（受信用）をパネル開口部に通してください。
⑩ 配線（受信用）と受信部のコネクタを接続してください。
⑪ 受信部をパネル据付説明書に従って、パネルに取付けてください。
⑫ 配線を噛込まないように制御箱の蓋を取付け、ねじ（2 本）で締付けてください。



④、⑤ブラケット(板金)取付要領



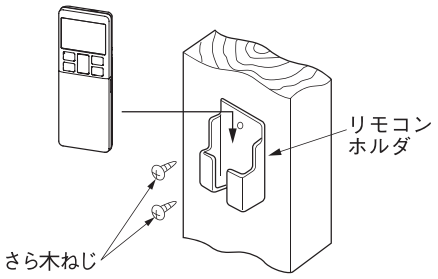


④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

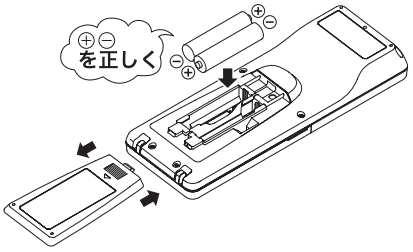
リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

※ホルダ取付時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取付けないでください。



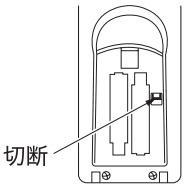
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

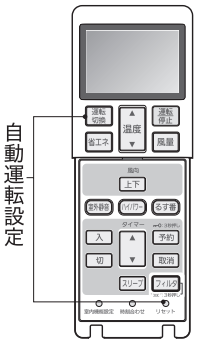
1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換え線をニッパ等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



リモコンの設定変更

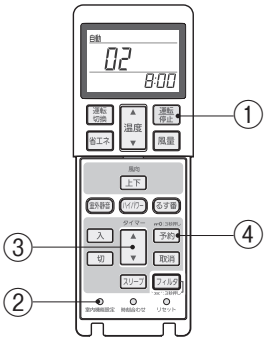
自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。



室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
   ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
   ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
   ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
   ④ 予約ボタンを押す。
   リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
   LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンのつづき

2. 設定内容

機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定：標準
	01	風速設定：設定 1　※
	02	風速設定：設定 2　※
運転切換	00	暖房室温補正：無効
	01	暖房室温補正：＋ 1℃
	02	暖房室温補正：＋ 2℃
	03	暖房室温補正：＋ 3℃
フィルタ	00	フィルタサイン表示：なし
	01	フィルタサイン表示：18　0 時間
	02	フィルタサイン表示：60　0 時間
	03	フィルタサイン表示：100　0 時間
	04	フィルタサイン表示：100　0 時間後運転停止
上 / 下	00	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：無効
	01	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：有効
室外静音	00	赤外線センサ設定（人感センサ設定）：無効
	01	赤外線センサ設定（人感センサ設定）：有効
ハイパワー	00	赤外線センサ制御（人感センサ制御）：無効
	01	赤外線センサ制御（人感センサ制御）：パワーコントロールのみ
	02	赤外線センサ制御（人感センサ制御）：オートオフのみ
	03	赤外線センサ制御（人感センサ制御）：パワーコントロール＋オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転：無効
	01	冷房ファン残留運転：0.5 時間
	02	冷房ファン残留運転：2 時間
	03	冷房ファン残留運転：6 時間
切	00	暖房ファン残留運転：無効
	01	暖房ファン残留運転：0.5 時間
	02	暖房ファン残留運転：2 時間
	03	暖房ファン残留運転：6 時間
るす番	00	リモコン信号受信部 LED：輝度明
	01	リモコン信号受信部 LED：輝度暗
	02	リモコン信号受信部 LED：消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長：0.1 m
	0.2	グリル自動昇降降下長：0.2 m
	・	・
	・	・
	2.0	グリル自動昇降降下長：2.0 m
	・	・
	・	・
	3.9	グリル自動昇降降下長：3.9 m
	4.0	グリル自動昇降降下長：4.0 m
運転 / 停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

※　詳細は782ページを参照ください。

⑤ 受信部

1リモコンによる複数台室内ユニット制御

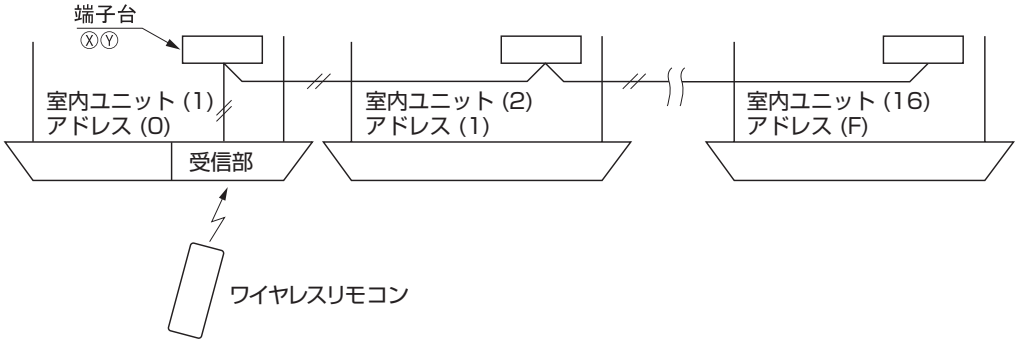
1. 1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）を
   グループ制御できます。
   同一モード、同一室温設定で運転します。
2. グループ制御用に各室内ユニット間を
   2心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大600m）

標準	0.3 mm^2 × 100m 以内
	0.5 mm^2 × 200m 以内
	0.75mm^2 × 300m 以内
	1.25mm^2 × 400m 以内
	2.0 mm^2 × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW 2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

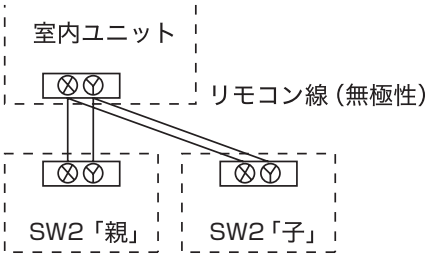


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

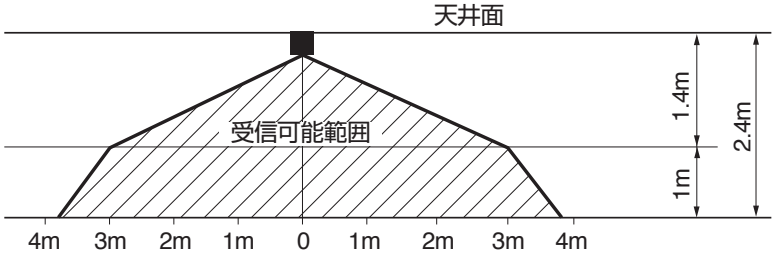
室内ユニット1台（または1グループ）に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



スイッチ	設定	機能内容
SW2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

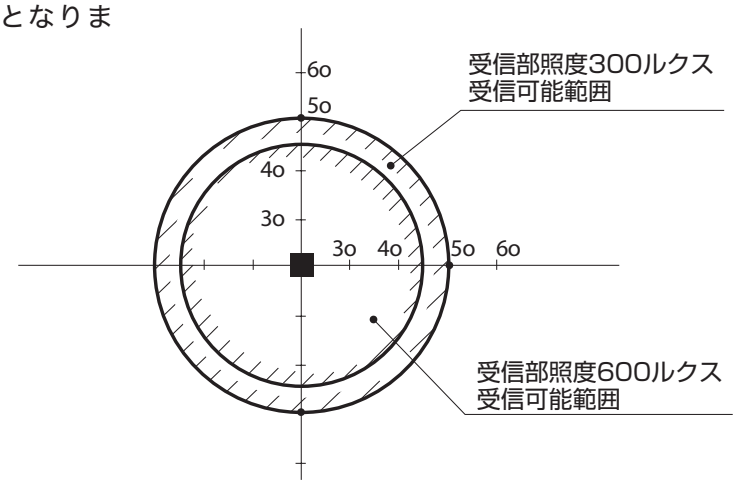
ワイヤレスリモコンの操作距離

1. 標準的な受信距離
   ［条件］受信部照明度 300 ルクス
   （一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）



⑤ 受信部のつづき

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
［条件］天井高さ 2.4m、床面より 1m の高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係を右図に示します。 照度が 2 倍になると受信距離は 2 ／ 3 となります。

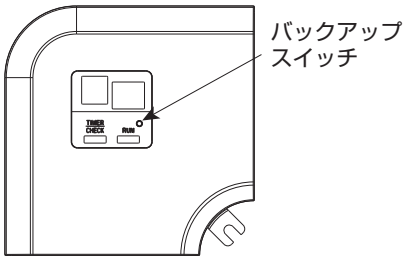


3. 複数台近接設置の注意
［条件］受信部照明度 300 ルクス
（一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）
［複数台近接設置］リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5m です。

バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。
操作は手で直接操作してください。

1. 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
2. 運転中にバックアップスイッチを押すことにより「停止」します。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

2 桁表示の見方

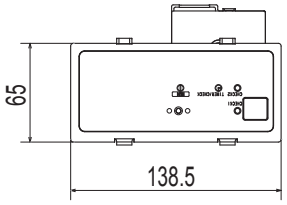
受信部は 2 桁表示（7 セグメント）を装備しています。

1. 表示は電源投入後 1 時間表示します。
2. リモコンから「停止」送信または、バックアップスイッチ「停止」操作後 3.5 秒間表示します。
3. 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
4. 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。

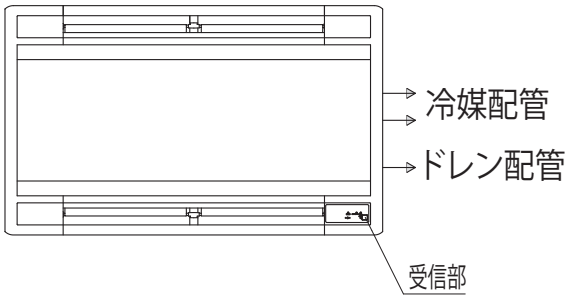
(3) FDTW シリーズ
ワイヤレスリモコン（RCN-D5）・ワイヤレス受信部（LA-TW/A）
(a) 仕様

PJB001Z797 B

受信部



ワイヤレス受信部取付位置



注 図の位置にのみ受信部は取付可能です。

受信部基板上のスイッチ設定

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON:通常]	OFF:切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON:親]	OFF:子
SW1-3	ブザー音	[ON:有り]	OFF:無し
SW1-4	停電補償	ON:有効	[OFF:無効]
SW1-5	点検表示	[ON:有効]	OFF:無効
SW1-6	機種	ON:FDK	[OFF:FDTW]

出荷時設定：□で囲まれた設定

お願い　○ワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
○操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態により変化します。
○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

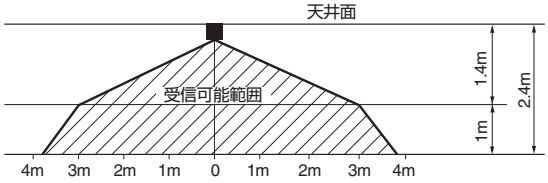
ワイヤレス受信部の据付

ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。
ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。

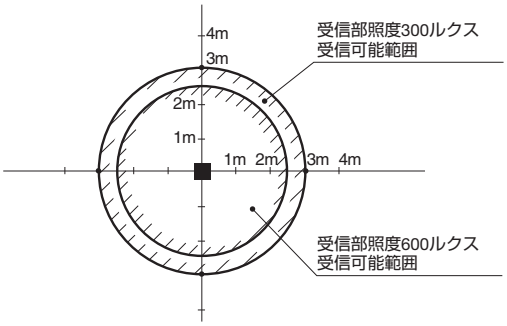
（1）直射日光の当たる場所
（2）発熱器具の近く
（3）湿気の多い所・水の掛る所
（4）取付面が発熱・結露する場所
（5）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（6）取付面に凹凸がある所
（7）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（8）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
　　あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
（9）他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
（10）ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に
　　隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

① 標準的な受信距離
　[条件] 受信部照明度300ルクス
　　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）



② 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
　[条件] 天井高さ2.4m、床面より1mの
　　高さより、ワイヤレスリモコン
　　操作した場合の受信部照度と
　　受信距離との関係を右図に示します。
　　照度が2倍になると受信距離は2／3
　　となります。



③ 複数台近接設置時の注意
　[条件] 受信部照明度300ルクス
　　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）
　[複数台近接設置]ワイヤレスリモコン使用時の同一動作を防止できる
　　最小距離は5mです。

(b) 据付説明書

PJB012D307

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠ **警告**　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠ **注意**　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設･修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。

❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
感電、故障や動作不良の原因になります。

⃠ **●改造は絶対にしない。**
感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。

⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液･特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●基板のケースを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部
LA-TW

① 受信部		1
② パーツセット		1
③据付説明書		1

① 配線クランプ		2
② 同上ねじ		2
③グロメット		1

ワイヤレスリモコン (別売品)
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

受信部の設定

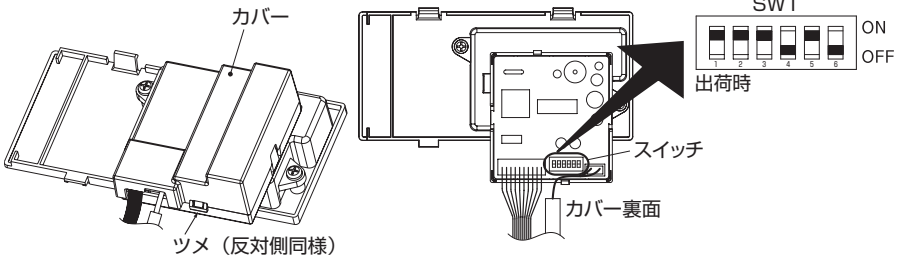
受信部基板上のスイッチの設定は右記の通りです。
なお、出荷時の設定は [ ] で囲まれた設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON : 通常] OFF : 切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON : 親] OFF : 子
SW1-3	ブザー音	[ON : 有り] OFF : 無し
SW1-4	停電補償	ON : 有効 [OFF : 無効]
SW1-5	点検表示	[ON : 有効] OFF : 無効
SW1-6	機種	ON : FDK [OFF : FDTW]

② 取付前の準備のつづき

現地設定の変更方法

1. 受信部裏面のカバーを取外してください。
2. カバー裏面の基板上のスイッチを変更してください。



3. SW1-1 を OFF にする場合はリモコン側も設定変更 してください。
   設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

複数リモコン使用時の親子設定

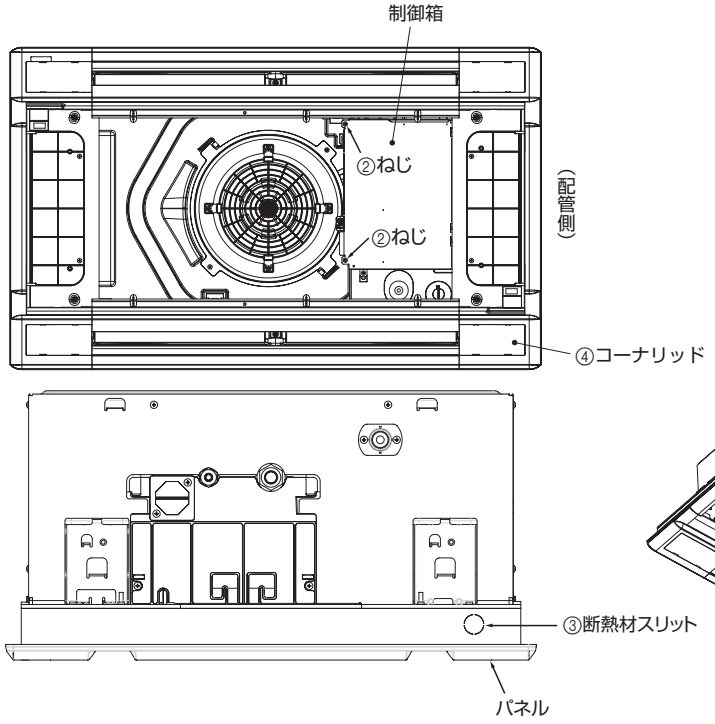
1つのグループに対して最大2個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は2つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

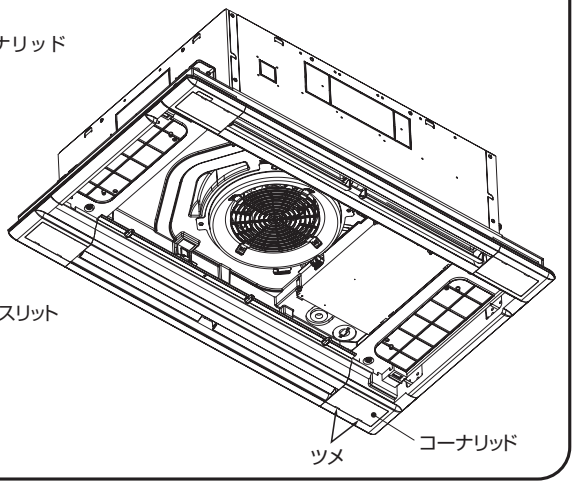
③ 受信部の取付

本ワイヤレスキットの受信部は、対応パネルのコーナリッドと交換することにより取付可能です。

取付前の準備

① サービスパネルとエアフィルタを取外してください。
② エアコン本体の制御箱の蓋（ねじ2個）を取外してください。
③ パネル側面に貼り付けられた断熱材のスリットを切取ってください。
④ コーナリッドのツメをマイナスドライバー等で取外してください。



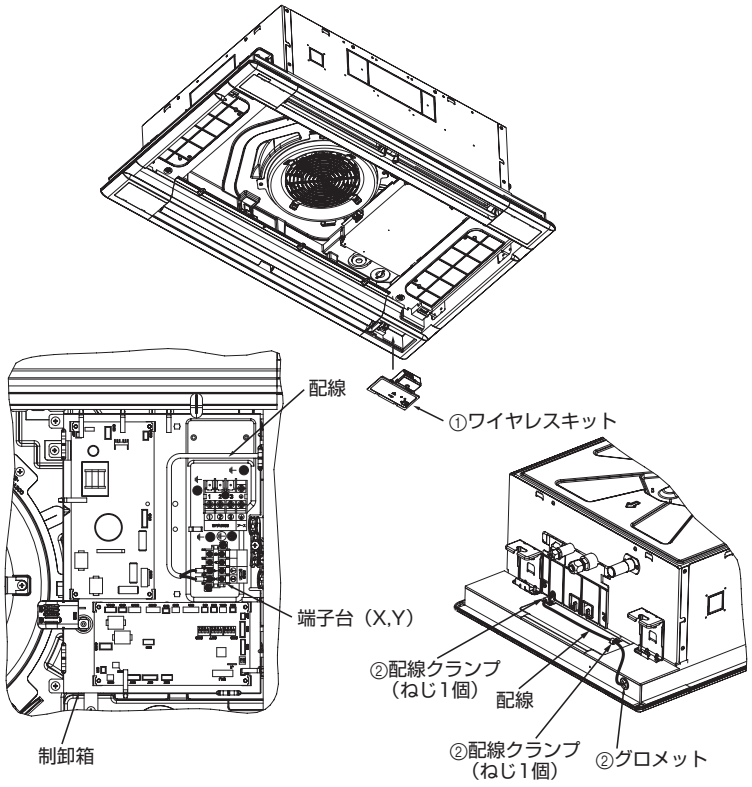


③ 受信部の取付のつづき

受信部の取付

① 下図に示すようにワイヤレスキットをパネルに取付けてください。
② グロメットおよび配線クランプを取付けてください。
③ ワイヤレスキットの配線を下図に示すように、コントロールボックスに入れてください。
④ 配線を制御箱内の端子台 (X、Y) に接続してください。(無極性)
⑤ 制御箱の蓋を外したねじ (2 本) を用いて取付けてください。

※ ご注意 : 取付の際、配線をはさまないようにしてください。

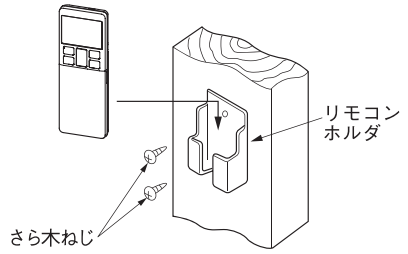


④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

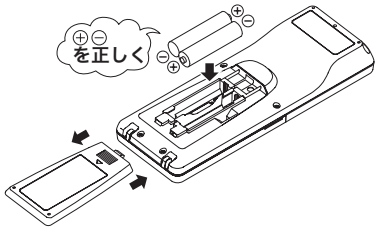
リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

※ホルダ取付時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取付けないでください。



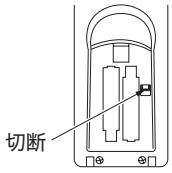
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

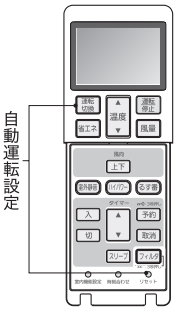
1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換え線をニッパ等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



リモコンの設定変更

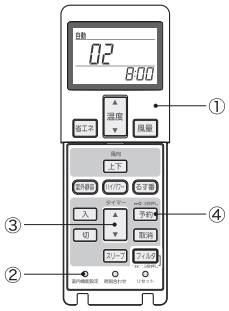
自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。



室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
   ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
   ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
   ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
   ④ 予約ボタンを押す。
   リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
   LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンのつづき

2. 設定内容
機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定：標準
	01	風速設定：設定1　※
	02	風速設定：設定2　※
運転切換	00	暖房室温補正：無効
	01	暖房室温補正：+1℃
	02	暖房室温補正：+2℃
	03	暖房室温補正：+3℃
フィルタ	00	フィルタサイン表示：なし
	01	フィルタサイン表示：180時間
	02	フィルタサイン表示：600時間
	03	フィルタサイン表示：1000時間
	04	フィルタサイン表示：1000時間後運転停止
上/下	00	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：無効
	01	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：有効
室外静音	00	人感センサ設定：無効
	01	人感センサ設定：有効
ハイパワー	00	人感センサ制御：無効
	01	人感センサ制御：パワーコントロールのみ
	02	人感センサ制御：オートオフのみ
	03	人感センサ制御：パワーコントロール+オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転：無効
	01	冷房ファン残留運転：0.5時間
	02	冷房ファン残留運転：2時間
	03	冷房ファン残留運転：6時間
切	00	暖房ファン残留運転：無効
	01	暖房ファン残留運転：0.5時間
	02	暖房ファン残留運転：2時間
	03	暖房ファン残留運転：6時間
るす番	00	リモコン信号受信部LED：輝度明
	01	リモコン信号受信部LED：輝度暗
	02	リモコン信号受信部LED：消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長：0.1m
	0.2	グリル自動昇降降下長：0.2m
	・	・
	・	・
	2.0	グリル自動昇降降下長：2.0m
	・	・
	・	・
	3.9	グリル自動昇降降下長：3.9m
	4.0	グリル自動昇降降下長：4.0m
運転/停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

※　詳細は782ページを参照ください。

⑤ 受信部

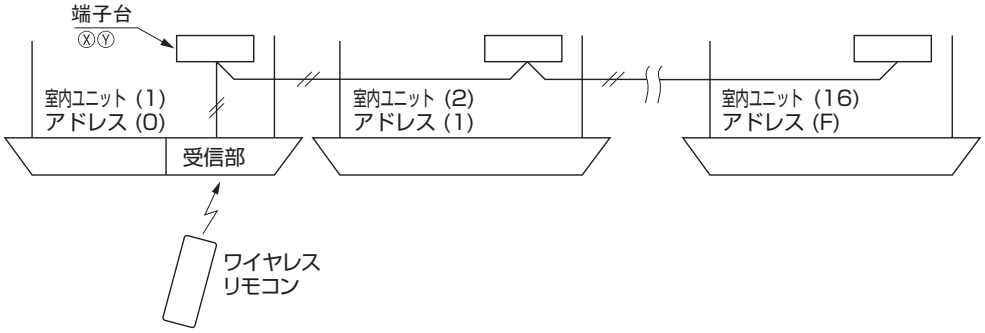
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

1. 1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）を
   グループ制御できます。
   同一モード、同一室温設定で運転します。
2. グループ制御用に各室内ユニット間を
   2心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大600m）	
標準	0.3 mm^2 × 100m 以内
	0.5 mm^2 × 200m 以内
	0.75mm^2 × 300m 以内
	1.25mm^2 × 400m 以内
	2.0 mm^2 × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に
設定してください。

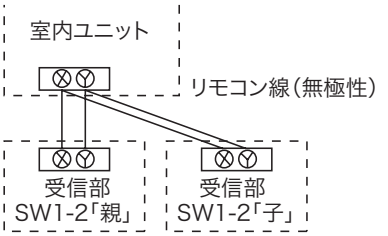


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台（または1グループ）に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



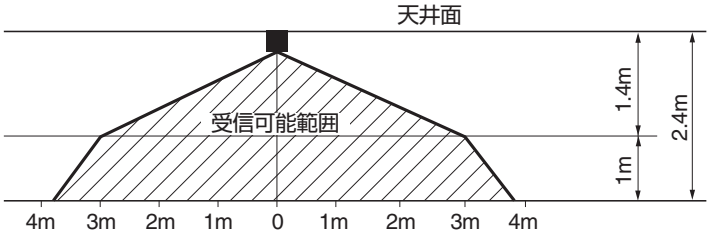
スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

ワイヤレスリモコンの操作距離

1. 標準的な受信距離

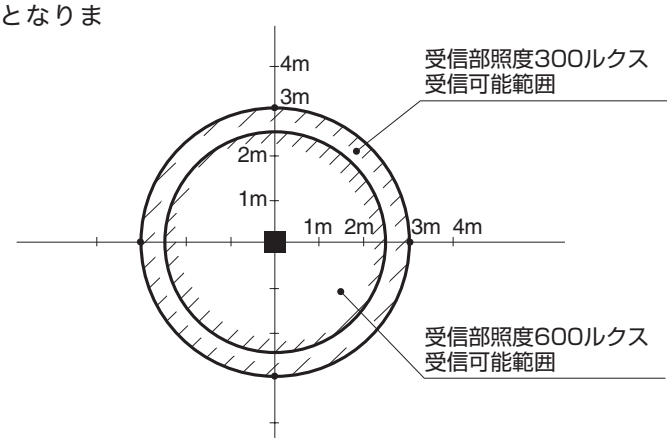
［条件］受信部照明度 300 ルクス

（一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）



⑤ 受信部のつづき

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
   [条件] 天井高さ 2.4m、床面より 1m の高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係を右図に示します。 照度が 2 倍になると受信距離は 2 ／ 3 となります。

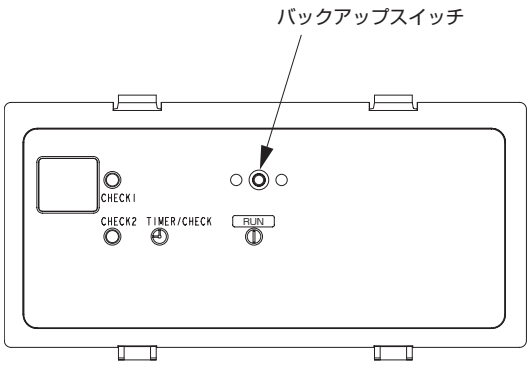


3. 複数台近接設置の注意
   [条件] 受信部照明度 300 ルクス
   (一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)
   [複数台近接設置] リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5m です。

バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合 (電池切れ、紛失、故障) に応急的に使用してください。
操作は手で直接操作してください。

1. 停止中に押すことにより自動モード (冷専は冷房モード) で運転します。
   風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
2. 運転中に押すことにより「停止」します。
3. ラクリーナパネル使用時、2 秒以上押し続けてから離した場合、自動昇降パネル上昇となります。



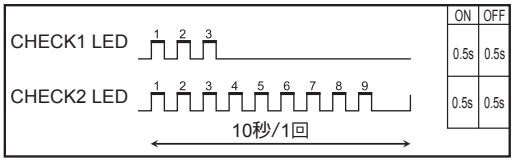
冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

点検表示の見方

- 点検 LED 表示 “CHECK1” ／ “CHECK2” の LED がエラーコードの “十の位” ／ “一の位” の数だけ点滅します。

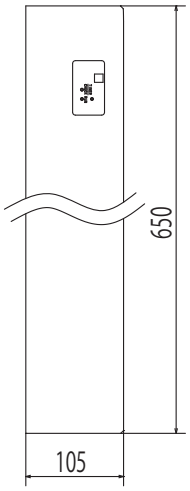
例 : E39のとき



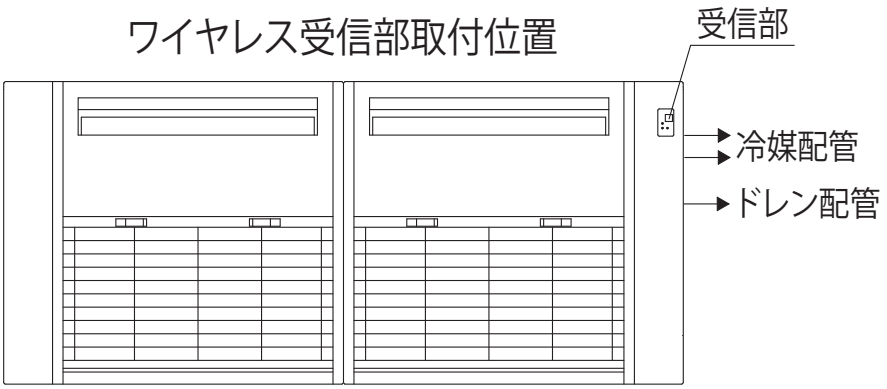
(4) FDTS シリーズ
ワイヤレスリモコン（RCN-D5）・ワイヤレス受信部（LA-TS）
(a) 仕様

PJC001Z409B

受信部



ワイヤレス受信部取付位置



注 図の位置にのみ受信部は取付可能です。

受信部基板上のスイッチ設定

SW1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON:通常]	OFF:切換え
SW2	受信部の親子切換え	[ON:親]	OFF:子
SW3	ブザー音	[ON:有り]	OFF:無し
SW4	停電補償	ON:有効	[OFF:無効]

出荷時設定：□で囲まれた設定

お願い
- ワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
- 操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態により変化します。
- 受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

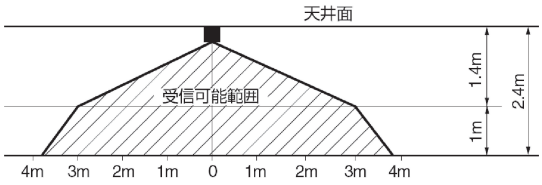
ワイヤレス受信部の据付

ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。
ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。

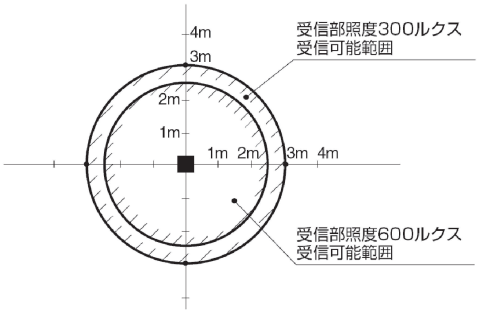
（1）直射日光の当たる場所
（2）発熱器具の近く
（3）湿気の多い所・水の掛る所
（4）取付面が発熱・結露する場所
（5）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（6）取付面に凹凸がある所
（7）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（8）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
　　あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
（9）他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
（10）ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に
　　隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

① 標準的な受信距離
　[条件] 受信部照明度300ルクス
　　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）



② 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
　[条件] 天井高さ2.4m、床面より1mの
　　高さより、ワイヤレスリモコン操作した
　　場合の受信部照度と受信距離との関係を
　　右図に示します。
　　照度が2倍になると受信距離は2／3
　　となります。



③ 複数台近接設置時の注意
　[条件] 受信部照明度300ルクス
　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）
　[複数台近接設置]ワイヤレスリモコン使用時の同一動作を防止できる
　　最小距離は5mです。

(b) 据付説明書

PJC012D309

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設･修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。

❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
感電、故障や動作不良の原因になります。

⃠ **●改造は絶対にしない。**
感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。

⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液･特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●基板のケースを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部
LA-TS

① 受信部		1
② 据付説明書 (本紙)		1

ワイヤレスリモコン（別売品）
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

現地設定

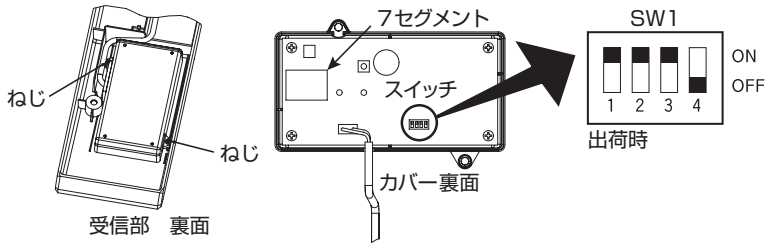
受信部基板上のスイッチの設定は右記の通りです。
なお、出荷時の設定は [ ] で囲まれた設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON：通常]	OFF：切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON：親]	OFF：子
SW1-3	ブザー音	[ON：有効]	OFF：無効
SW1-4	停電補償	ON：有効	[OFF：無効]

② 取付前の準備のつづき

現地設定の変更方法

1. 受信部裏面のねじ 2 本を外し、カバーを取外してください。
2. カバー裏面の基板上のスイッチを変更してください。



3. SW1-1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。
   設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

複数リモコン使用時の親子設定

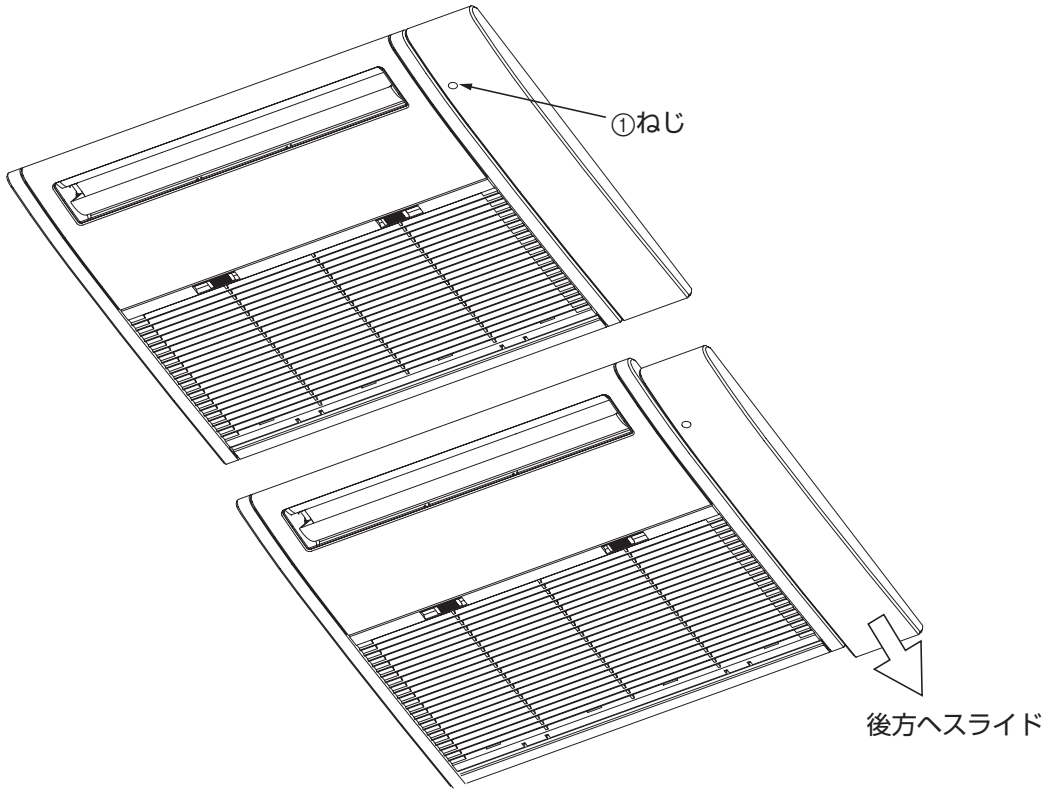
1 つのグループに対して最大 2 個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は 2 つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

③ 受信部の取付

本ワイヤレスキットの受信部は、冷媒配管側のサイドパネルと交換することにより取付可能です。

取付前の準備

① 冷媒配管側のサイドパネルのねじを1本外してください。
② サイドパネルを後方にずらし、取外してください。
③ ねじ2本を外して、エアコン本体のコントロールボックスのカバーを取外してください。

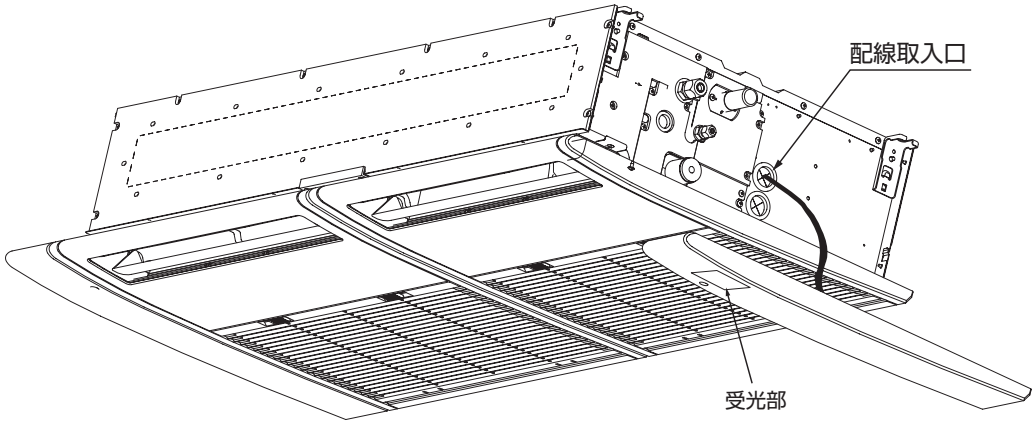


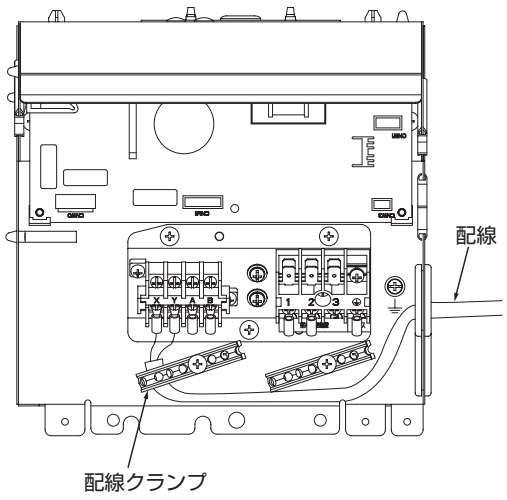
③ 受信部の取付のつづき

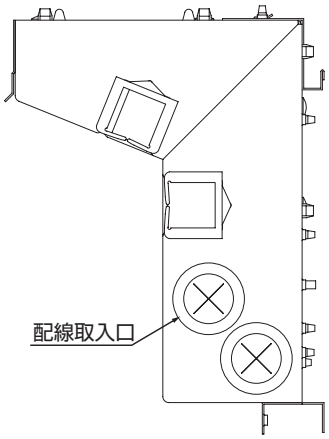
受信部の取付

① 受信部の配線を下図に示すように、現地配線と一緒にコントロールボックスに入れてください。
② 配線をコントロールボックス内の端子台 (X、Y) に接続してください。(無極性)
③ 下図に示すように、配線をクランプで固定してください。
④ コントロールボックスのカバーを元通りに取付けてください。
⑤ 受信部をパネルにひっかけ、ねじ (1 本) を用いて取付けてください。

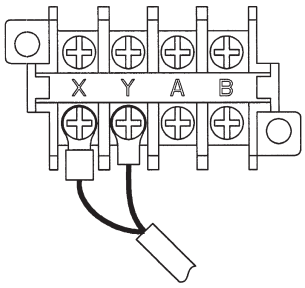
※ ご注意 : 取付の際、配線をはさまないようにしてください。







エアコン本体のコントロール
ボックス中の端子台

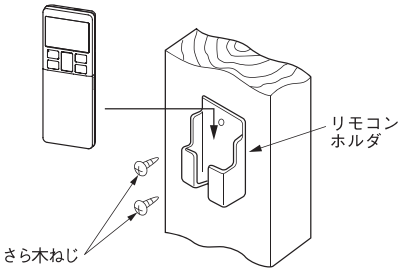


④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

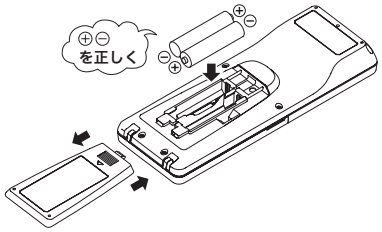
リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

※ホルダ取付時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取付けないでください。



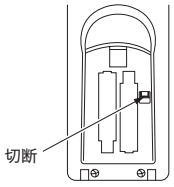
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

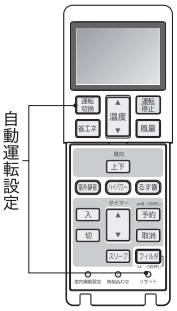
1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換え線をニッパ等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



リモコンの設定変更

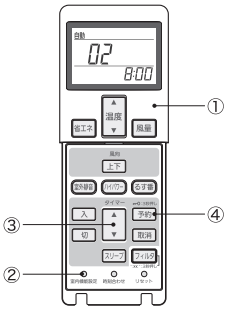
自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。



室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
   ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
   ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
   ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
   ④ 予約ボタンを押す。
   リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
   LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンのつづき

2. 設定内容
　機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定：標準
	01	風速設定：設定1　※
	02	風速設定：設定2　※
運転切換	00	暖房室温補正：無効
	01	暖房室温補正：+1℃
	02	暖房室温補正：+2℃
	03	暖房室温補正：+3℃
フィルタ	00	フィルタサイン表示：なし
	01	フィルタサイン表示：180時間
	02	フィルタサイン表示：600時間
	03	フィルタサイン表示：1000時間
	04	フィルタサイン表示：1000時間後運転停止
上/下	00	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：無効
	01	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：有効
室外静音	00	人感センサ設定：無効
	01	人感センサ設定：有効
ハイパワー	00	人感センサ制御：無効
	01	人感センサ制御：パワーコントロールのみ
	02	人感センサ制御：オートオフのみ
	03	人感センサ制御：パワーコントロール+オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転：無効
	01	冷房ファン残留運転：0.5時間
	02	冷房ファン残留運転：2時間
	03	冷房ファン残留運転：6時間
切	00	暖房ファン残留運転：無効
	01	暖房ファン残留運転：0.5時間
	02	暖房ファン残留運転：2時間
	03	暖房ファン残留運転：6時間
るす番	00	リモコン信号受信部LED：輝度明
	01	リモコン信号受信部LED：輝度暗
	02	リモコン信号受信部LED：消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長：0.1m
	0.2	グリル自動昇降降下長：0.2m
	・	・
	・	・
	2.0	グリル自動昇降降下長：2.0m
	・	・
	・	・
	3.9	グリル自動昇降降下長：3.9m
	4.0	グリル自動昇降降下長：4.0m
運転/停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

※　詳細は782ページを参照ください。

⑤ 受信部

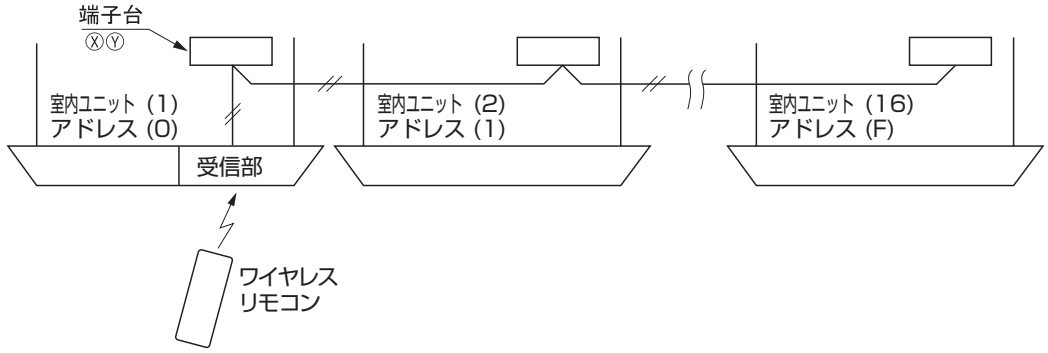
1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

1. 1 つのリモコンで複数台のユニット (最大 16 台) を
   グループ制御できます。
   同一モード、同一室温設定で運転します。
2. グループ制御用に各室内ユニット間を
   2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大 600m）	
標準	0.3 mm^2 × 100m 以内
	0.5 mm^2 × 200m 以内
	0.75mm^2 × 300m 以内
	1.25mm^2 × 400m 以内
	2.0 mm^2 × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に
設定してください。

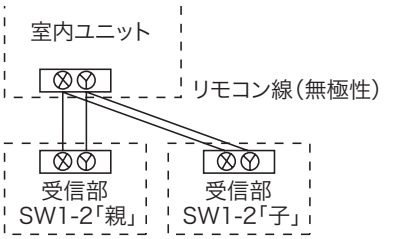


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

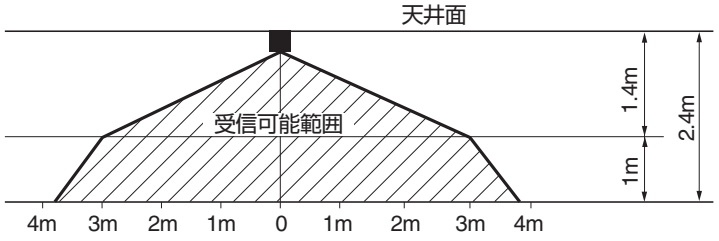
室内ユニット 1 台 (または 1 グループ) に対して最大 2 個までのリモコンを接続できます。



スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

ワイヤレスリモコンの操作距離

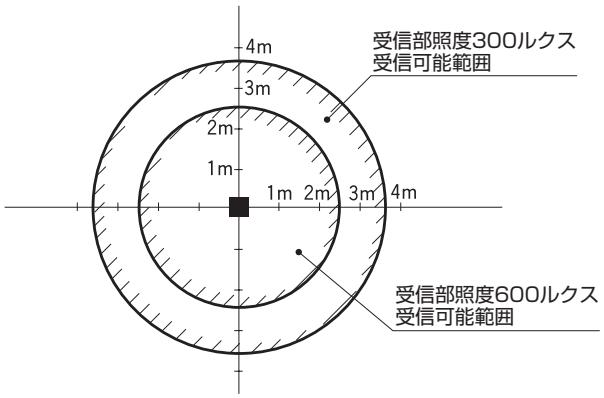
1. 標準的な受信距離
   [条件] 受信部照明度 300 ルクス
   (一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)



⑤ 受信部のつづき

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係

［条件］天井高さ 2.4m、床面より 1m の高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係を右図に示します。照度が 2 倍になると受信距離は 2 ／ 3 となります。



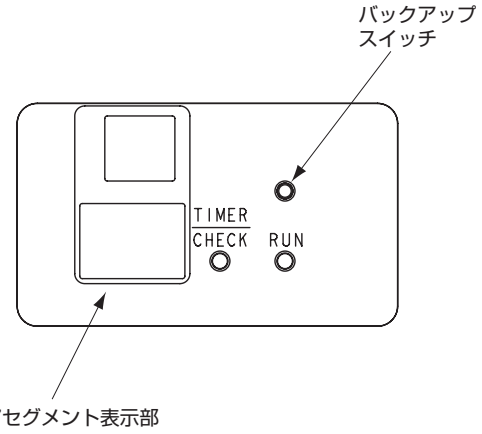
3. 複数台近接設置の注意

［条件］受信部照明度 300 ルクス
（一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）
［複数台近接設置］リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5m です。

バックアップスイッチ操作

受信部の表面にバックアップスイッチを装備しています。ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。操作は、手で直接してください。

1. 停止中にバックアップスイッチを押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
   風量「急」温度設定「23℃」ルーバ「水平」
2. 運転中にバックアップスイッチを押すことにより「停止」します。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

2 桁表示の見方

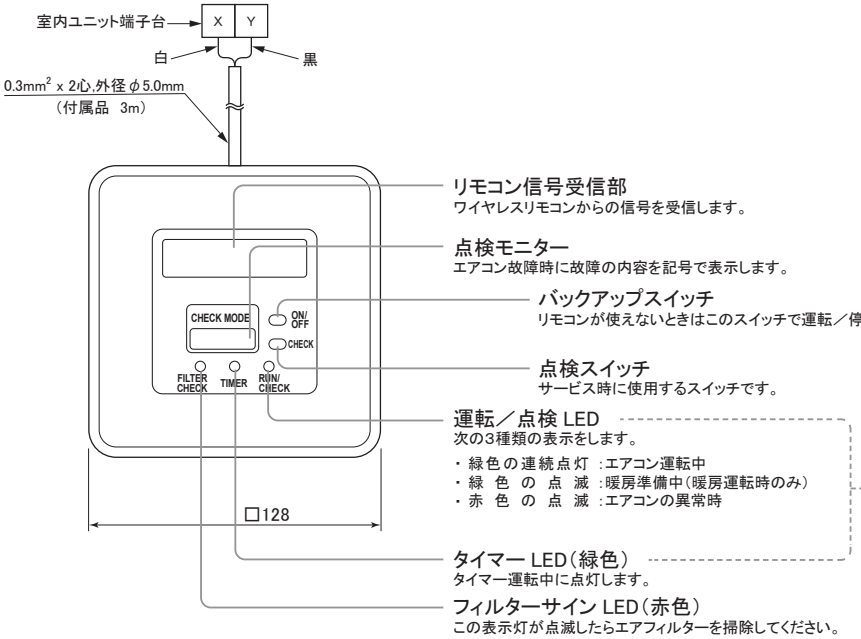
受信部は 2 桁表示（7 セグメント）を装備しています。

1. 表示は電源投入後 1 時間表示します。
2. リモコンから「停止」送信または、バックアップスイッチ「停止」操作後 3.5 秒間表示します。
3. 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
4. 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。

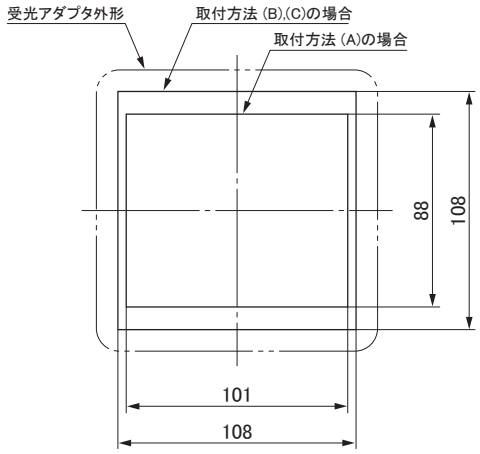
(5) FDR, FDU, FDE (P224, P280), FDES, FDF シリーズ
RCN-KIT4

(a) 仕様

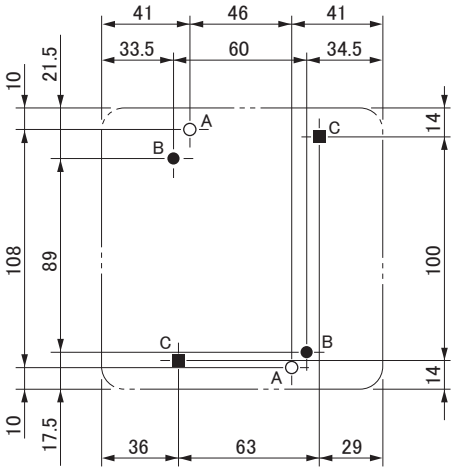
PJZ000Z322



天井あるいは壁面の開口寸法



受光アダプタ取付寸法

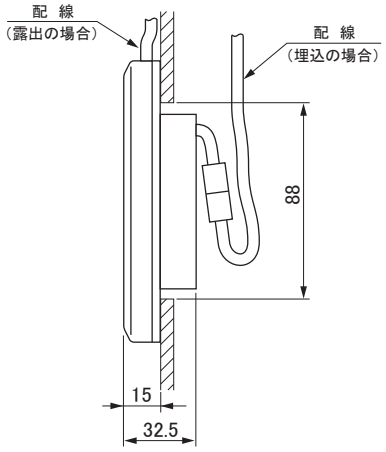


○印:(A)天井あるいは壁面への木ネジによる直接取付。
●印:(B)JISボックス(客先手配品)による取付。
■印:(C)付属ブラケットによる取付。

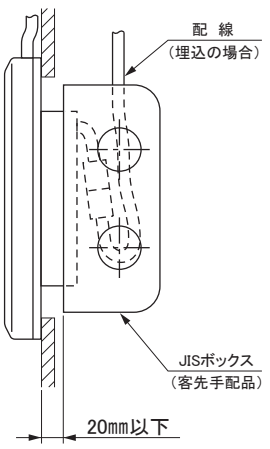
単位:mm

受光アダプタ取付方法 (天井あるいは壁面への取付方法として下図に示す3種類の取付が可能です。設置場所に応じて選んでください。)

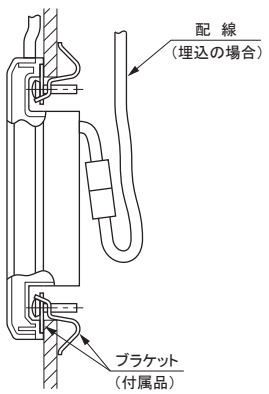
(A)木ねじによる直接取付



(B)JISボックス(客先手配)による取付



(C)付属ブラケットによる取付



ワイヤレスキットの据付

ワイヤレスキットを下記場所に設置しないでください。
ワイヤレスキットの故障や変形の原因になることがあります。

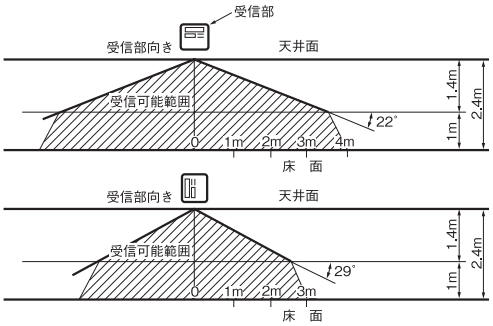
(1) 直射日光の当たる場所
(2) 発熱器具の近く
(3) 湿気の多い所・水の掛る所
(4) 取付面が発熱・結露する場所
(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
(6) 取付面に凹凸がある所
(7) 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
(8) 蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
あるいは，直射日光が受光アダプタに当たる場所
(9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
(10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て，障害物に隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

天井面に取付けた場合

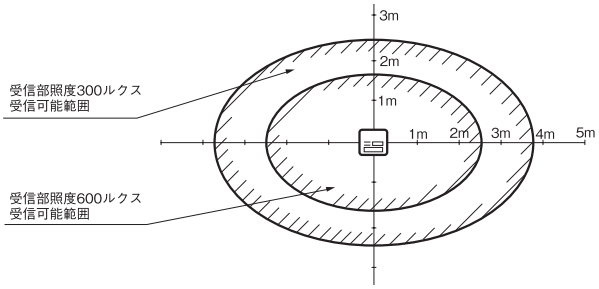
① 標準的受信距離

条件 受信部照度 300 ルクス（一般事務所で受信アダプタ周辺１ｍ以内の天井面に照明がない場合）



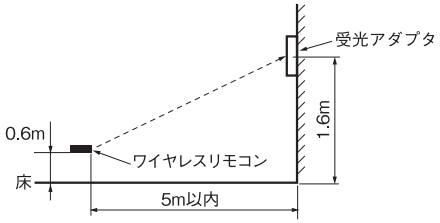
② 平面から見た時の受信部照度と受信距離の関係

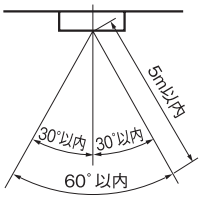
条件 天井高さ2．4m，床面より1mの高さより，リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係。
照度が2倍になると受信距離は2/3となる。



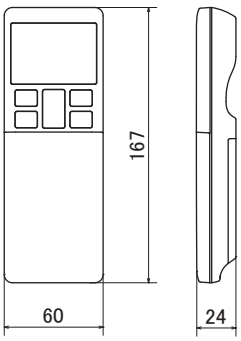
壁面に取付けた場合

条件 受信部照度 800 ルクス

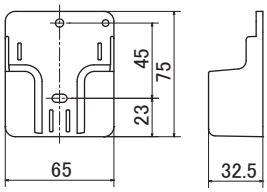




リモコン



リモコン用ホルダ



注）リモコン用として単4乾電池が2個付属しています。

お願い
○リモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
○操作距離は受信部照明度，部屋壁面の反射状態により変化します。
○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合，操作距離の縮小や受信不良が起こる場合があります。

PJZ012D111

(b) 据付説明書

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠ **警告**　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠ **注意**　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設･修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。

❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
感電、故障や動作不良の原因になります。

⃠ **●改造は絶対にしない。**
感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。

⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液･特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●基板のケースを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

① 受光アダプタ		1
② 配線 (3m)		1
③ パーツセット (A)		1
④ パーツセット (B)		1
⑤ パーツセット (C)		1
⑥ 据付説明書 (本紙)		1

① ワイヤレスリモコン(RCN-D5)		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

① 受光アダプタ用ねじ		2
② バンド		1
③ クランプ		5
④ 同上用ねじ		5

① 受光部取付用ブラケット		1
② 同上用ねじ		2
③ 取付金具		2
④ JISボックス取付用ねじ		2

② 取付前の準備

現地設定

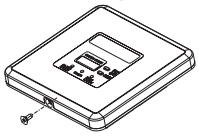
受信基板上のスイッチの設定は右記の通りです。

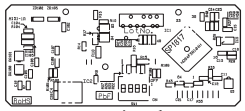
SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON : 通常]	OFF : 切換え (2ch)
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON : 親]	OFF : 子
SW1-3			
SW1-4	停電補償	ON : 有効	[OFF : 無効]

② 取付前の準備のつづき

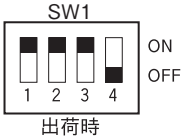
現地設定の変更方法

1. 受信部下面のねじ(1 本)を外し、基板を取外してください。
2. 基板上(7 セグメント表面側)のスイッチを変更してください。





スイッチ



出荷時

3. SW1-1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。
   設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

複数リモコン使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は 2 つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

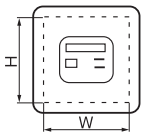
③ 受信部の取付

天井あるいは、壁面 (以後あわせて壁面と呼ぶこととします) への取付方法として下記3種類の取付が可能です。
設置場所に応じて選んでください。

〈取付け方法〉 (A) 壁面への木ねじによる直接取付
(B) JIS ボックス (現地手配) による取付
(C) 付属ブラケットによる取付

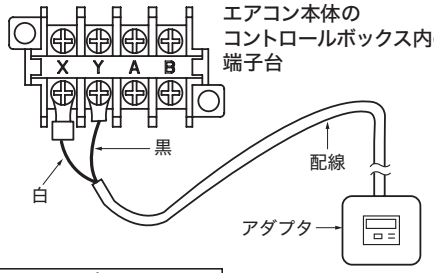
(1) 壁面への穴あけ (壁面開口)

取付用の穴を付属配線 (3 m) で接続可能な壁面位置に、右表の寸法にてあけてください。



(A) 壁面への木ねじによる直接取付	88mm(H)×101mm(W)
(B) JIS ボックスによる取付 (C) 付属ブラケットによる取付	108mm(H)×108mm(W)

(2) 受光アダプタ用配線



⚠注意
配線を端子台 200V に接続しないこと。
プリント基板が焼損します。

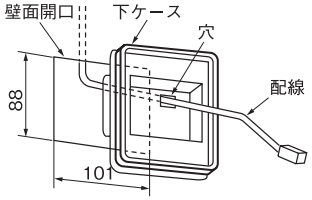
(3) 受光アダプタ取付

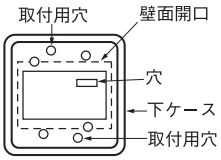
側面についているねじをはずし、上ケースと下ケースに分割してください。
下記4種 (A～D) のうちのいずれかの方法により取付けてください。

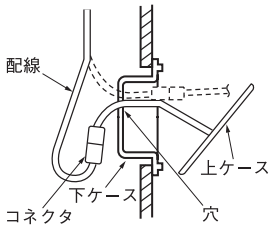
(A) 壁面への木ねじによる直接取付

▷ 壁面が木製などのもので、直接木ねじにより取付けても強度的に問題のない場合にこの方法で取付けてください。

① 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
② 下ケースを壁面開口にはめてください。この時、下ケース後面凸部と壁面開口とのすきまは両側ともできるだけ等しくなる様にしてください。
③ 上図 2 か所の取付用穴を用いて付属の木ねじにより下ケースを壁に固定してください。(他の 4 か所の穴は使用しません。)
④ 配線と上ケースから出ている配線とをコネクタにより接続してください。







③ 受信部の取付のつづき

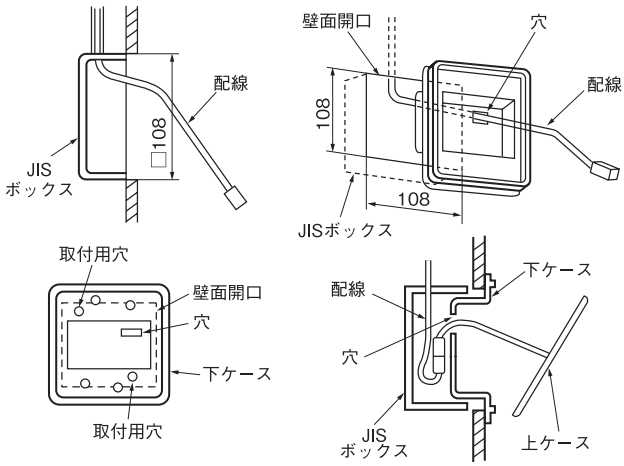
⑤ 接続したコネクタを①項にて配線を通した下ケースの穴より裏側へ出してください。
⑥ 上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじをしめてください。

(B)　JIS ボックスによる取付（JIS ボックス：現地手配）

① JIS ボックスと配線をあらかじめ設置しておきます。

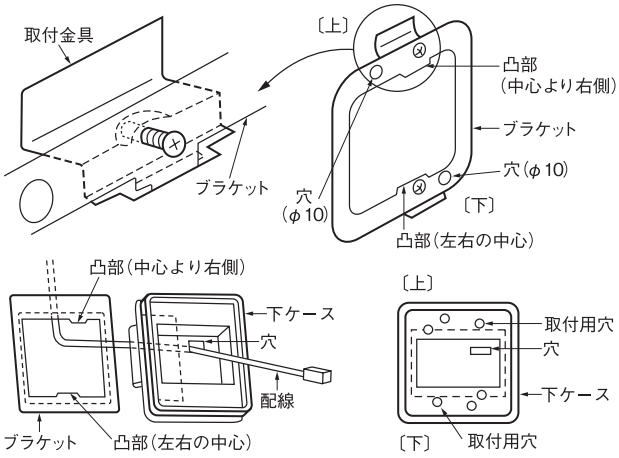
〔使用可能 JIS ボックス〕
JIS C 8435
埋込用四角アウトレットボックス中浅形
JIS C 8340
中形四角アウトレットボックス

② 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
③ 右図 2 か所の取付用穴を用いて付属しているねじにより下ケースは JIS ボックスに固定してください。(他の 4 か所の穴は使用しません。)
④ 配線と上ケースから出ている配線とをコネクタにより接続してください。
⑤ 接続したコネクタを②項にて配線を通した下ケースの穴より、下ケースと JIS ボックスの間へ入れていください。
⑥ 上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじをしめてください。



(C)　付属ブラケットによる取付

① 上図の様に付属ブラケットの凸部 (2 か所) に取付金具を引掛け、ねじにより仮止めしてください。(ブラケットには上下および表裏があります。上下凸部の位置およびブラケットにあるφ10 の穴と取付金具の取付面との位置関係を上図にてご確認願います。)
② 壁面開口より取付金具の端部を壁面裏側へ入れ、さらにねじを締めてブラケットを壁面に固定してください。
③ 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
④ 下ケースをブラケットにはめ込み、上図 2 か所の取付用穴を用いて下ケースをブラケットに固定してください。(他の 4 か所の穴は使用しません)
⑤ 以降 (A) の①～⑥を参照して取付けてください。

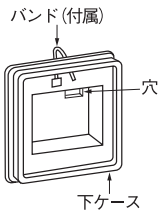


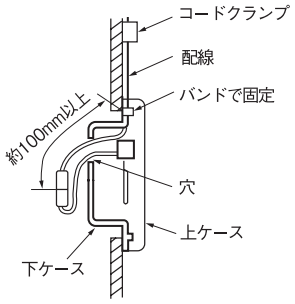
③ 受信部の取付のつづき

(D)　配線露出取付

配線を露出させて取付ける場合は下記の通りに行なってください。

① 上ケース側面の薄肉部をニッパ、ナイフ等で切取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。(この部分に配線を通します。)
② 下ケースの配線取出部の穴に付属のバンドを通します。
③ 3 項の受光アダプタ取付方法 (A ～ C) のいずれかの方法に従い、下ケースを壁面に固定してください。ただし、配線は下ケースの穴に通さないでください。
④ バンドでの固定部から配線のコネクタの先端までの長さを 100 mm以上とした状態でバンドにより配線を固定してください。(ただし、JIS ボックスにより下ケースを取付けた場合は約 100 mmとしてください。)
⑤ 配線と上ケースより出ている配線をコネクタにより接続してください。
⑥ 接続したコネクタおよび不要な配線を下ケースの穴より裏側へ出してください。
⑦ 上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじを締めてください。
⑧ 配線は付属のコードクランプで適宜固定してください。



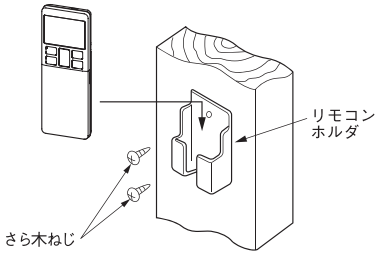


④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

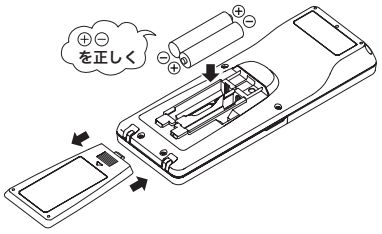
1. リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

※ホルダ取付時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取付けないでください。



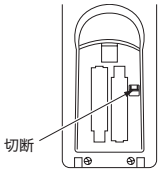
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

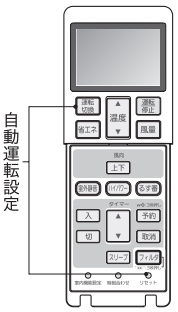
1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換え線をニッパ等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



④ ワイヤレスリモコンのつづき

リモコンの設定変更

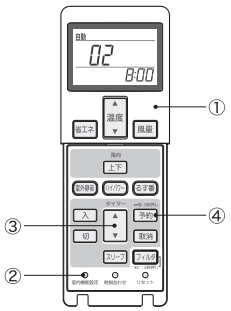
自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ（除く冷暖フリーマルチ）は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。



※注意：一度電池を取外すと初期設定（工場出荷時設定）へ戻ります。
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。

室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
④ 予約ボタンを押す。
リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



2. 設定内容
機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定	ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定　標準	入	00	冷房ファン残留運転　無効
	01	風速設定　設定1　※		01	冷房ファン残留運転　0.5時間
	02	風速設定　設定2　※		02	冷房ファン残留運転　2時間
運転切換	00	暖房室温補正　無効		03	冷房ファン残留運転　6時間
	01	暖房室温補正　+1℃	切	00	暖房ファン残留運転　無効
	02	暖房室温補正　+2℃		01	暖房ファン残留運転　0.5時間
	03	暖房室温補正　+3℃		02	暖房ファン残留運転　2時間
フィルタ	00	フィルタサイン表示　なし		03	暖房ファン残留運転　6時間
	01	フィルタサイン表示　180時間	るす番	00	リモコン信号受信部LED　輝度明
	02	フィルタサイン表示　600時間		01	リモコン信号受信部LED　輝度暗
	03	フィルタサイン表示　1000時間		02	リモコン信号受信部LED　消灯
	04	フィルタサイン表示　1000時間後運転停止	省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長　0.1m
上/下	00	ドラフト防止設定(エアフレックス設定)　無効		0.2	グリル自動昇降降下長　0.2m
	01	ドラフト防止設定(エアフレックス設定)　有効		・	・
室外静音	00	人感センサ設定　無効		・	・
	01	人感センサ設定　有効		2.0	グリル自動昇降降下長　2.0m
ハイパワー	00	人感センサ制御　無効		・	・
	01	人感センサ制御 パワーコントロールのみ		・	・
				3.9	グリル自動昇降降下長　3.9m
	02	人感センサ制御 オートオフのみ		4.0	グリル自動昇降降下長　4.0m
			運転/停止	50	グリル自動昇降周波数　50Hz
	03	人感センサ制御 パワーコントロール+オートオフ		60	グリル自動昇降周波数　60Hz

※　詳細は782ページを参照ください。

⑤ 受信部

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

① 1 つのリモコンで複数台のユニット（最大 16 台）をグループ制御できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。

② グループ制御用に各室内ユニット間を
2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

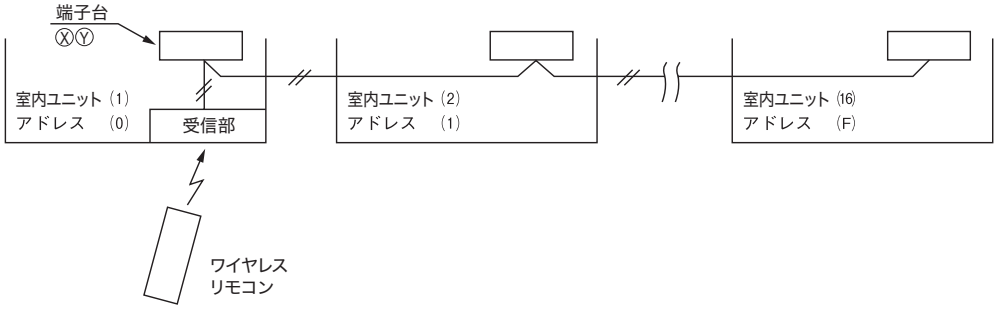
渡り配線の太さと長さの制限（最大 600m）

標準	0.3 mm^2 × 100m 以内
	0.5 mm^2 × 200m 以内
	0.75mm^2 × 300m 以内
	1.25mm^2 × 400m 以内
	2.0 mm^2 × 600m 以内

⑤ 受信部のつづき

店舗シリーズの場合

③ 室内基板上のロータリスイッチSW２により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

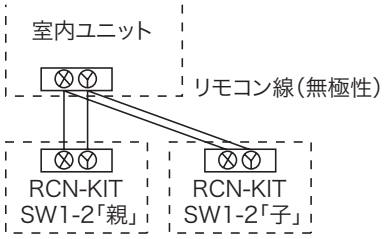


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

④ 室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット１台（または１グループ）に対して最大２個までのリモコンを接続できます。

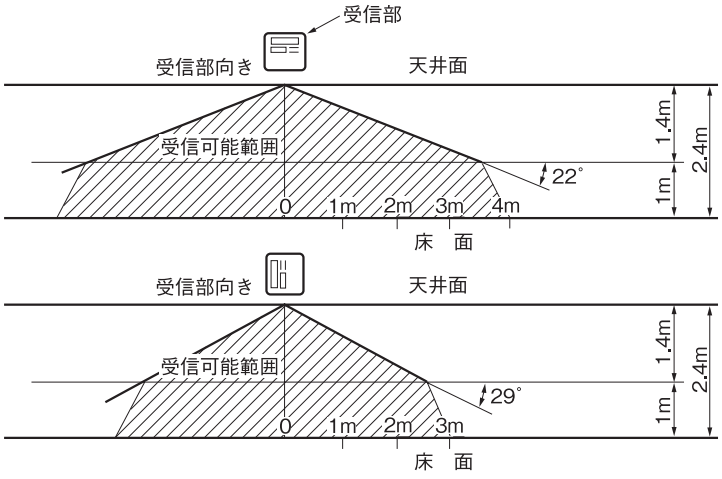


スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

天井面に取付けた場合

① 標準的受信距離

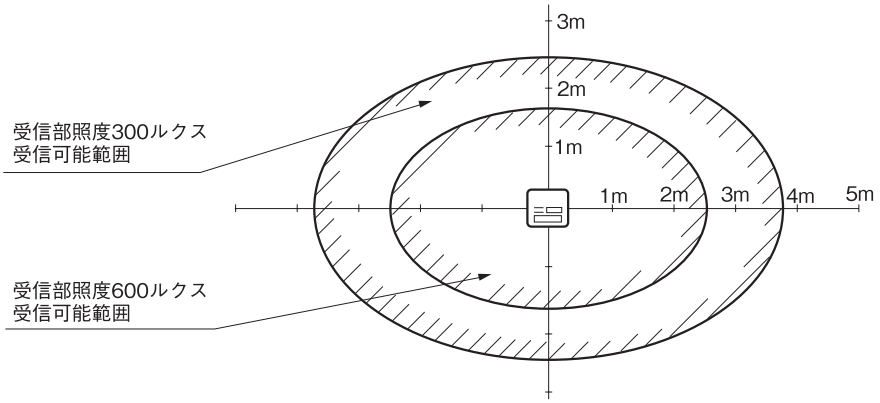
条件 受信部照明度 **300 ルクス**（一般事務所で受信アダプタ周辺１m以内の天井面に照明がない場合）



② 平面から見た時の受信部照度と受信距離の関係

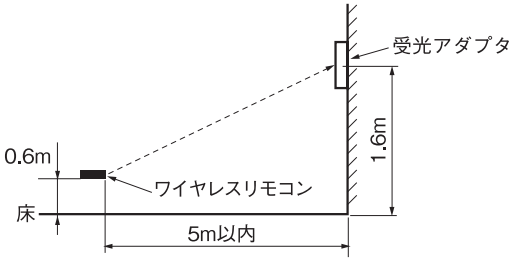
条件 天井高さ 2.4 m、床面より１mの高さより、リモコン操作をした場合の受信部照度と受信距離との関係。照度が２倍になると受信距離は 2/3 となる。

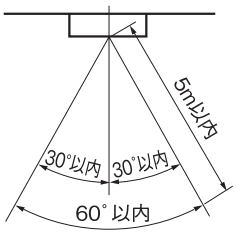
⑤ 受信部のつづき



壁面に取付けた場合

条件 受信部照度 **800 ルクス**

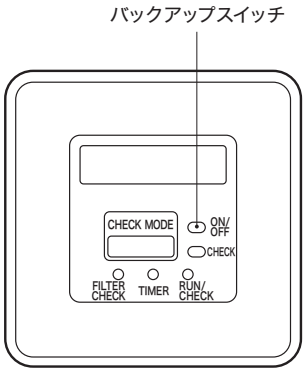




バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に
応急的に使用してください。
操作は手で直接操作してください。

⑴ 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
　風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
⑵ 運転中に押すことにより「停止」します。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を
  送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の
  結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

6 桁表示の見方

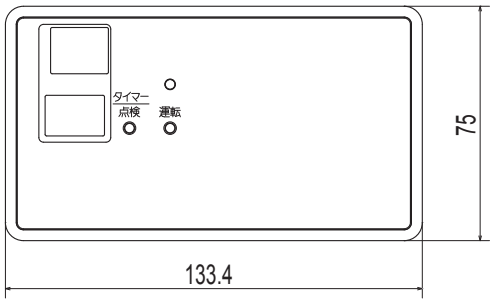
受信部は 6 桁表示（7 セグメント）を装備しています。

⑴ 表示は電源投入後 1 時間表示します。
⑵ エアコン停止中に、ワイヤレスリモコン「停止」信号送信により 3.5 秒間表示します。
⑶ 上記の表示は、運転開始により消灯します。
⑷ 異常履歴がない場合は、接続台数分のアドレスを表示します。
⑸ 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
⑹ 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコン「停止」信号送信により
　クリアされます。

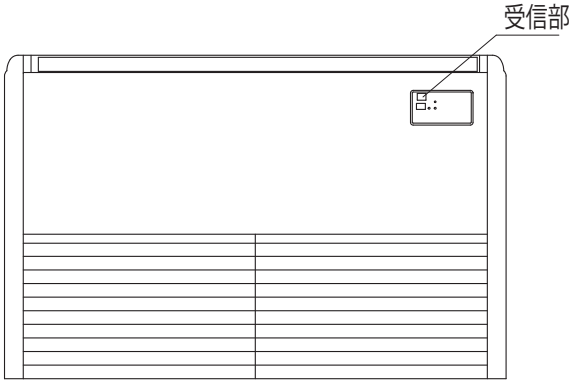
(6) FDE（P56 ～ P160）シリーズ
ワイヤレスリモコン（RCN-D5）・ワイヤレス受信部（LA-E1/A）
(a) 仕様

PFA004Z078

受信部



ワイヤレス受信部取付位置

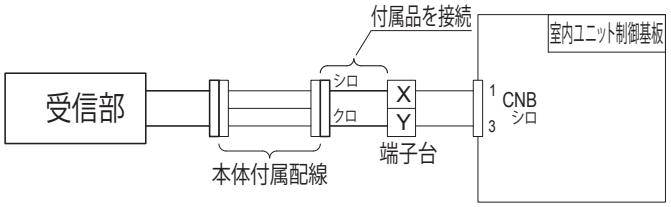


受信部基板上のスイッチ設定

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON:通常]　OFF:切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON:親]　OFF:子
SW1-3	ブザー音	[ON:有り]　OFF:無し
SW1-4	停電補償	ON:有効　[OFF:無効]

出荷時設定：□で囲まれた設定

お願い　○ワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
○操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態により変化します。
○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。



ワイヤレス受信部の据付

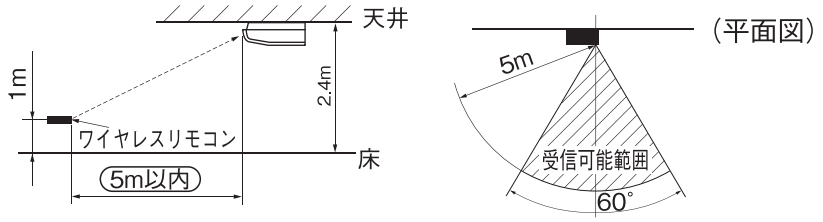
ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。
ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。

（1）直射日光の当たる場所
（2）発熱器具の近く
（3）湿気の多い所・水の掛る所
（4）取付面が発熱・結露する場所
（5）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（6）取付面に凹凸がある所
（7）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（8）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
　　あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
（9）他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
（10）ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に
　　隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

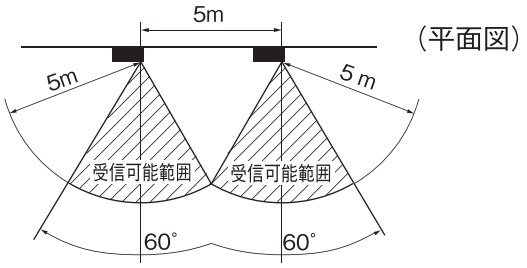
① 標準的な受信距離

[条件] 受信部照明度 360ルクス
（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）



② 複数台近接設置時の注意

[条件] 受信部照明度 360ルクス
同一動作を防止できるユニット間最小距離は5mです。



PFA012D634

(b) 据付説明書

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠ **警告**　誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠ **注意**　誤った取扱をしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。

❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
感電、故障や動作不良の原因になります。

⃠ **●改造は絶対にしない。**
感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。

⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●基板のケースを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。
⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯（特にインバータタイプ）の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部
LA-E1

① 受信部		1
② 据付説明書		1
③ 配線		1

ワイヤレスリモコン（別売品）
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

受信部の設定

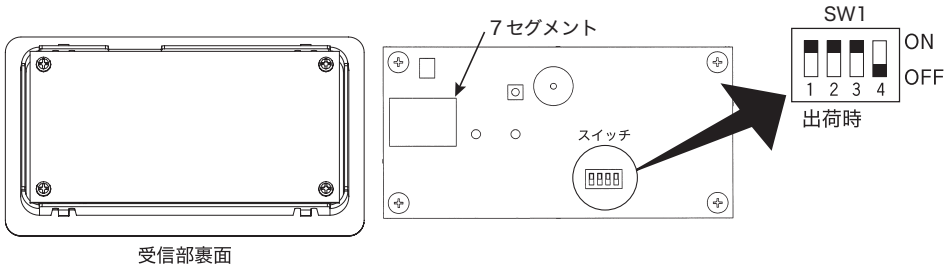
受信基板上のスイッチの設定は
右記の通りです。
なお、出荷時の設定は [　] で
囲まれた設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON：通常] OFF：切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON：親] OFF：子
SW1-3	ブザー音	[ON：有り] OFF：無し
SW1-4	停電補償	ON：有効 [OFF：無効]

② 取付前の準備のつづき

現地設定の変更方法

1. 受信部裏面のねじ（4 本）を外し、基板を取外してください。
2. 基板上（7 セグメント表面側）のスイッチを変更してください。



複数リモコン使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。その際は 2 つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

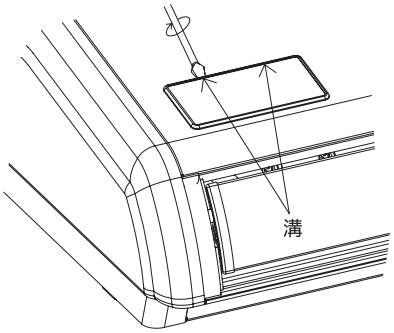
3. SW1-1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。
   設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

③ 受信部の取付

本ワイヤレスキットの受信部は、パネルのカバーと交換することにより取付可能です。

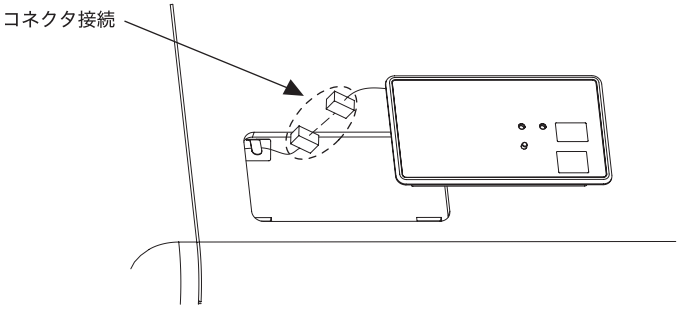
注意：**本体吊り込み前に受信部を取付けください。**
吊り込み後に取付ける場合、高所作業となり、転倒などによりケガの恐れがあります。

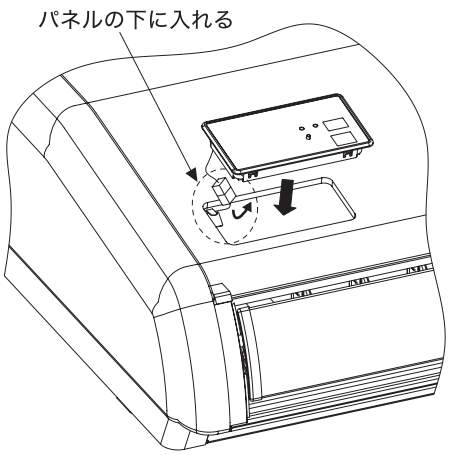


① カバーを取外し
カバーの溝（2 か所）に工具を挿し、パネル塗装面を傷付けないように軽くねじると外れます。

② 配線の接続
受信部の配線とパネル穴部の配線を接続してください。

注意：**配線を固定しているクランプは外さないでください。**



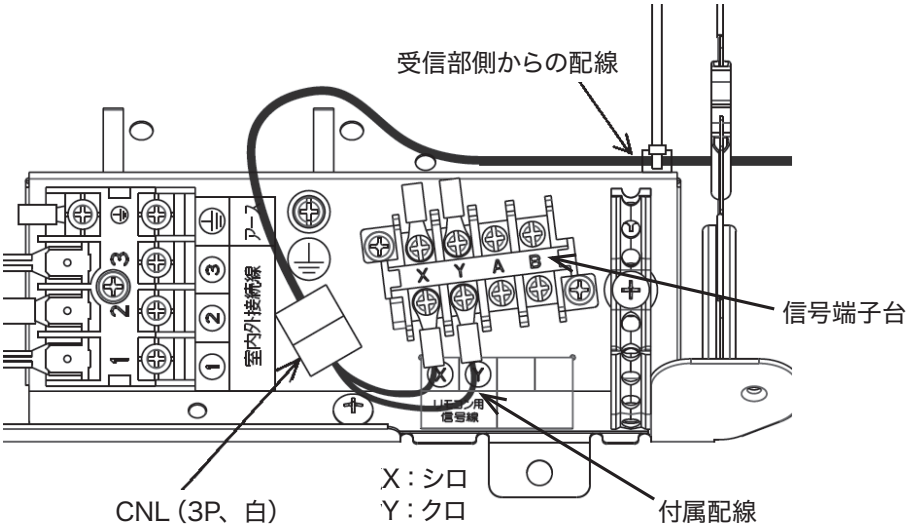


③ 受信部の取付
右図の様にコネクタをパネルの下に入れ、受信部の向きに注意し、パネルへ取付けてください。

注意： コネクタは受信部を取付ける前に接続してください。
取付後にコネクタを接続する場合、パネルを外す必要があります。

④ コントロールボックス側の配線接続

コントロールボックス内信号端子台ⓍⓎの1次側（吸込グリル側）に付属配線を接続し、
受信部側からの配線コネクタ CNL（3P 白）と接続してください。
※既に信号端子台からワイヤレス受信部側へ配線がつながっている機種は、この作業は不要です。

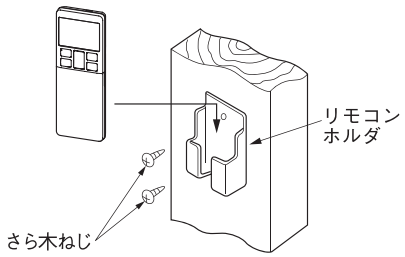


⑤ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

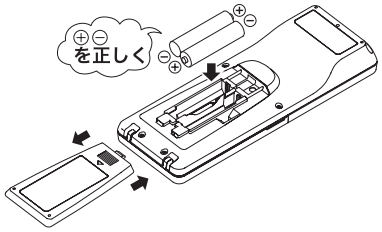
リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

※ホルダ取付時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取付けないでください。



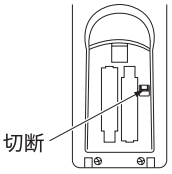
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

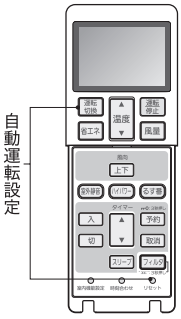
1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換え線をニッパ等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



リモコンの設定変更

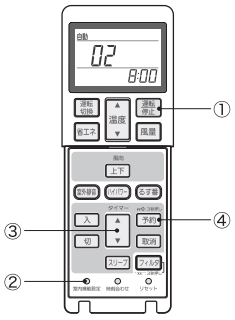
自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。



室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
   ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
   ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
   ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
   ④ 予約ボタンを押す。
   リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
   LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



⑤ ワイヤレスリモコンのつづき

2. 設定内容
　機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定：標準
	01	風速設定：設定１　※
	02	風速設定：設定２　※
運転切換	00	暖房室温補正：無効
	01	暖房室温補正：＋ 1℃
	02	暖房室温補正：＋ 2℃
	03	暖房室温補正：＋ 3℃
フィルタ	00	フィルタサイン表示：なし
	01	フィルタサイン表示：180 時間
	02	フィルタサイン表示：600 時間
	03	フィルタサイン表示：1000 時間
	04	フィルタサイン表示：1000 時間後運転停止
上 / 下	00	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：無効
	01	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：有効
室外静音	00	人感センサ設定：無効
	01	人感センサ設定：有効
ハイパワー	00	人感センサ制御：無効
	01	人感センサ制御：パワーコントロールのみ
	02	人感センサ制御：オートオフのみ
	03	人感センサ制御：パワーコントロール＋オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転：無効
	01	冷房ファン残留運転：0.5 時間
	02	冷房ファン残留運転：2 時間
	03	冷房ファン残留運転：6 時間
切	00	暖房ファン残留運転：無効
	01	暖房ファン残留運転：0.5 時間
	02	暖房ファン残留運転：2 時間
	03	暖房ファン残留運転：6 時間
るす番	00	リモコン信号受信部 LED：輝度明
	01	リモコン信号受信部 LED：輝度暗
	02	リモコン信号受信部 LED：消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長：0.1 m
	0.2	グリル自動昇降降下長：0.2 m
	・	・
	・	・
	2.0	グリル自動昇降降下長：2.0 m
	・	・
	・	・
	3.9	グリル自動昇降降下長：3.9 m
	4.0	グリル自動昇降降下長：4.0 m
運転 / 停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

※　詳細は782ページを参照ください。

⑥ 受信部

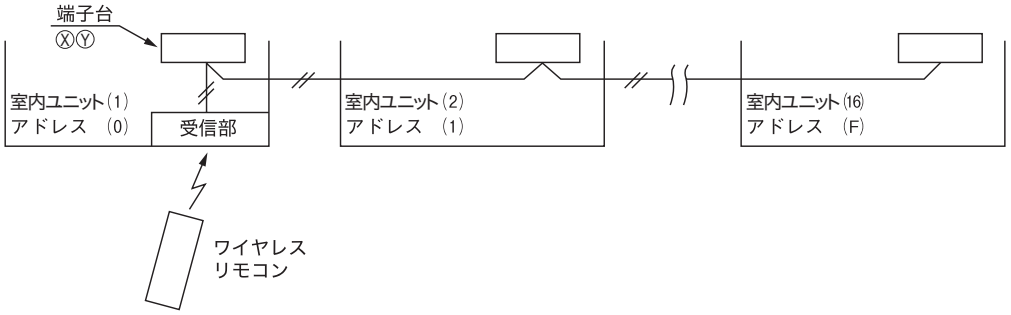
1リモコンによる複数台室内ユニット制御

1. 1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）を
   グループ制御できます。
   同一モード、同一室温設定で運転します。
2. グループ制御用に各室内ユニット間を
   2心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大600m）	
標準	0.3 mm^2 × 100m 以内
	0.5 mm^2 × 200m 以内
	0.75mm^2 × 300m 以内
	1.25mm^2 × 400m 以内
	2.0 mm^2 × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に
設定してください。

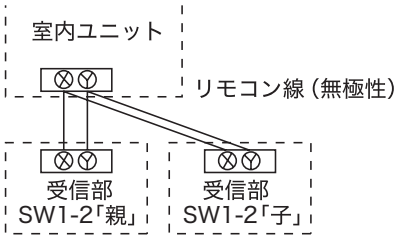


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台（または1グループ）に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

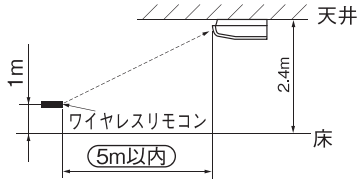
⑥ 受信部のつづき

ワイヤレスリモコンの操作距離

1. 標準的な受信距離

［条件］受信部照明度 300 ルクス

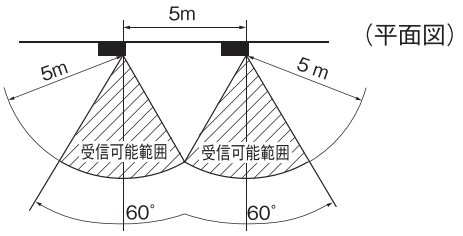
（一般事務所でユニット周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）

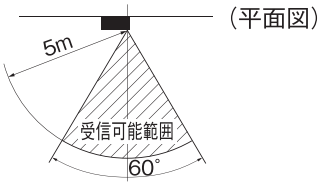


2. 複数台近接設置時の注意

［条件］受信部照明度 300 ルクス

同一動作を防止できるユニット間最小距離は 5m です。





お願い

○リモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。

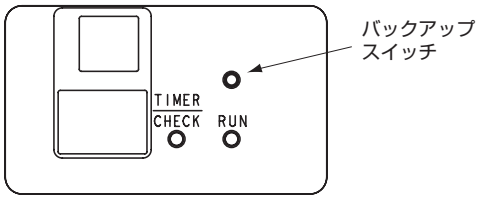
○操作距離は、受信部照明度、部屋壁面の反射状態により変化します。

○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。
操作は手で直接操作してください。

1. 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
   風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
2. 運転中に押すことにより「停止」します。
3. ラクリーナパネル使用時、2秒以上押し続けてから離した場合、自動昇降パネル上昇となります。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

2 桁表示の見方

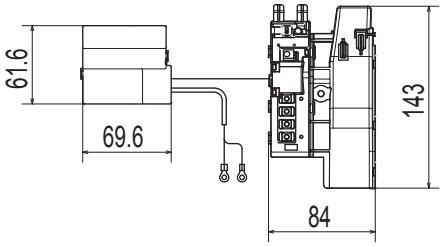
受信部は 2 桁表示（7 セグメント）を装備しています。

1. 表示は電源投入後 1 時間表示します。
2. エアコン停止中に、ワイヤレスリモコン「停止」信号送信により 3.5 秒間表示します。
3. 上記の表示は、運転開始により消灯します。
4. 異常履歴がない場合は、接続台数分のアドレスを表示します。
5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコン「停止」信号送信によりクリアされます。

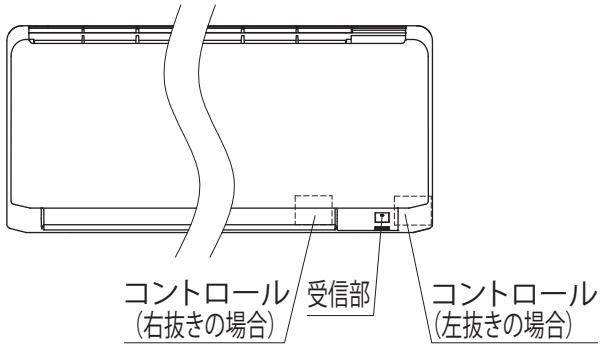
(7) FDK シリーズ
ワイヤレスリモコン（RCN-D5K）・ワイヤレス受信部（LA-SK，LA-BK）
(a) 仕様

PHA001Z121 A
PHA001Z122 A

コントロール 受信部



ワイヤレス受信部取付位置

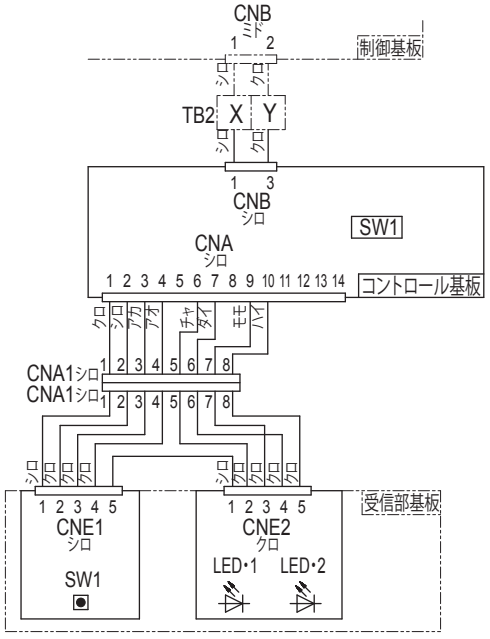


コントロール基板上のスイッチ設定

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	ON:通常	OFF:切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	ON:親	OFF:子
SW1-3	ブザー音	ON:有り	OFF:無し
SW1-4	停電補償	ON:有効	OFF:無効
SW1-5	点検表示	ON:有効	OFF:無効
SW1-6	機種	ON:FDK	OFF:FDTW

出荷時設定: □ で囲まれた設定

お願い
○ワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
○操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態により変化します。
○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。



受信部基板上の記号説明

SW1	バックアップスイッチ
LED・1	運転／点検1
LED・2	タイマー／点検2

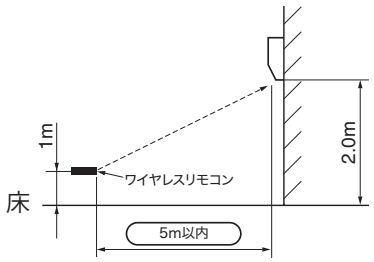
ワイヤレス受信部の据付

ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。
ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。

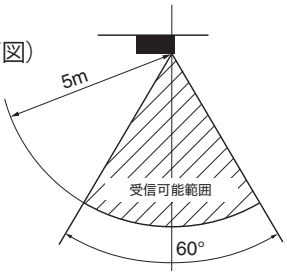
（1）直射日光の当たる場所
（2）発熱器具の近く
（3）湿気の多い所・水の掛る所
（4）取付面が発熱・結露する場所
（5）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（6）取付面に凹凸がある所
（7）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（8）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
　　あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
（9）他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
（10）ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に
　　隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

① 標準的受信距離
　[条件] 受信部照明度 360ルクス
　　（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）

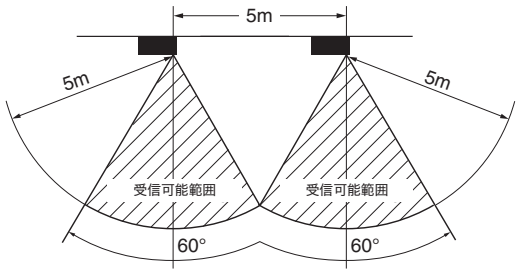


（平面図）



② 複数台近接設置時の注意
　[条件] 受信部照明度 360ルクス
　　同一動作を防止できるユニット間最小距離は5mです。

（平面図）



PHA012D048

(b) 据付説明書

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠ **警告**　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠ **注意**　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。

❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。

❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
感電、故障や動作不良の原因になります。

⃠ **●改造は絶対にしない。**
感電、火災、故障の原因になります。

❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。

⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
感電、火災、故障の原因になります。

⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

●本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

●基板のケースを取外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

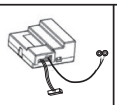
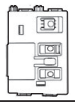
●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

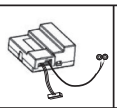
① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受光部
LA-SK

① コントローラ		1
② ディスプレイアセンブリ		1
③ 据付説明書 (本紙)		1

LA-BK

① コントローラ		1
② ディスプレイ		1
③ 据付説明書		1

ワイヤレスリモコン (別売品)
RCN-D5K

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

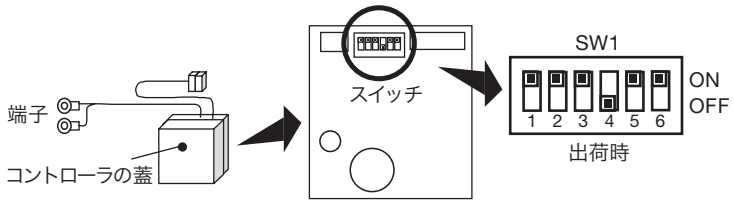
現地設定

受信基板上のスイッチの設定は右記の通りです。
なお、出庫時の設定は [ ] で囲まれた設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	[ON：通常]	OFF：切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	[ON：親]	OFF：子
SW1-3	ブザー音	[ON：有効]	OFF：無効
SW1-4	停電補償	ON：有効	[OFF：無効]
SW1-5	点検表示	[ON：有効]	OFF：無効
SW1-6	機種	[ON：FDK]	OFF：FDTW

現地設定の変更方法

1. ワイヤレスインターフェースの上蓋を取外してください。
2. 基板上のスイッチを変更してください。



複数リモコン使用時の親子設定

1つのグループに対して最大2個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は2つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

3. SW1 - 1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。
   設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の [**混信防止設定**] をご覧ください。

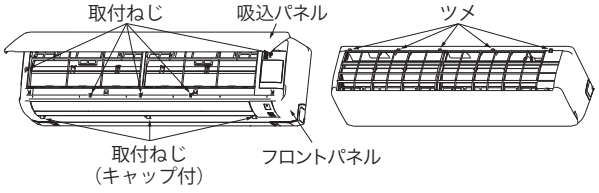
※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

③ 受信部の取付

コントローラとディスプレイアセンブリは室内ユニットの中に据付が可能です。
電源を落とし、安全を確認したうえで行ってください。

①フロントパネルの取外し順序

(a) 吸込パネルを取外してください。
(b) 取付ねじを取外してください。(5か所・キャップ付3か所)
(c) 上品のツメ(5か所)を外し、フロントパネルを取外してください。

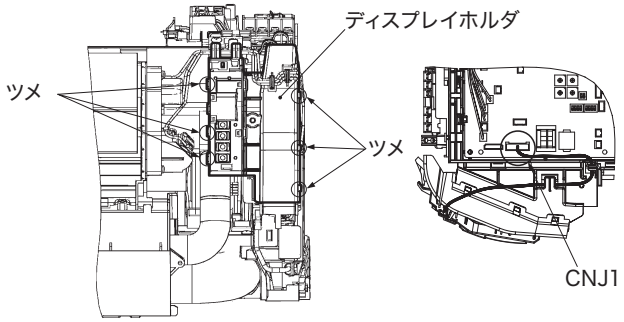


KP56, KP80

③ 受信部の取付のつづき

②ディスプレイ アセンブリの取付

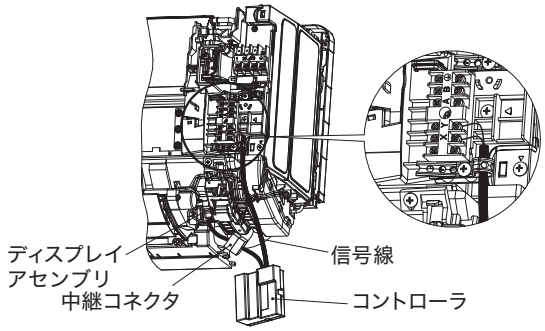
(a) ユニットのコントロール ボックスの蓋を外し、ルーバ線を基板のコネクタ（CNJ1）から外す。
(b) ディスプレイホルダに引っ掛けてあるルーバ線を外す。
(c) ディスプレイホルダのツメを外し、ディスプレイホルダを取外します。（6 か所）
※ディスプレイホルダのツメを外すときは、マイナスドライバー等を使用してください。
(d) ディスプレイアセンブリのツメを引っ掛け、ユニットに取付けてください。（6か所）
(e) ルーバ線をディスプレイ アセンブリに引っ掛けてください。
(f) ルーバ線を基板のコネクタ（CNJ1）に差し、コントロールボックスの蓋を閉めます。



KP56，KP80

③配線接続とコントローラの取付

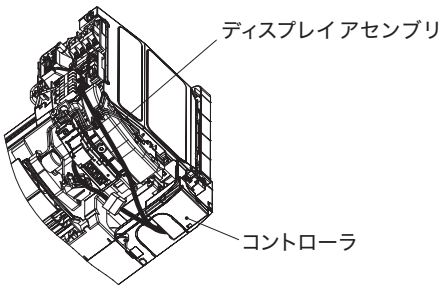
(a) 信号線（X、Y）をユニットの端子台に接続します。(無極性)
(b) 図に示すように配線をとりまわします。
(c) ディスプレイ アセンブリとコントローラの中継コネクタを接続してください。



KP56，KP80

(d) コントローラの据付場所は下記を参照してください。

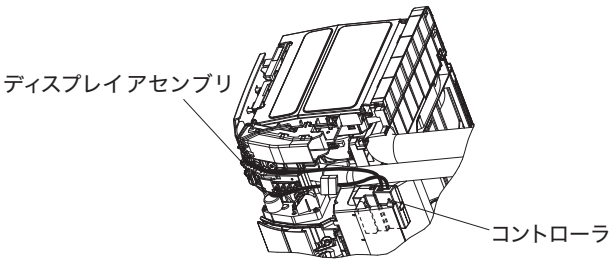
左引き配管の場合



KP56，KP80

③ 受信部の取付のつづき

右引き配管の場合



KP56，KP80

④フロントパネルの取付順序

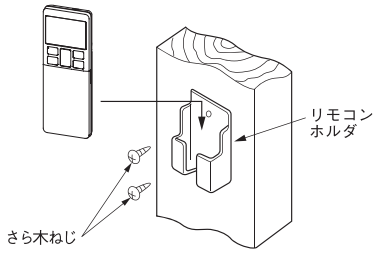
（a） フロントパネルをユニットにかぶせ、上部のツメ(5か所) を引っ掛けてください。
（b） 取付ねじを締めます。(5 か所・キャップ付３か所)
（c） 吸込パネルを取付けてください。

④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

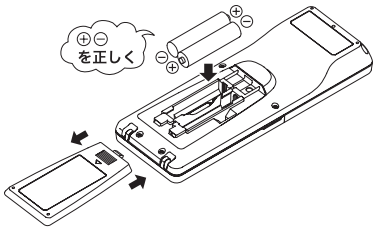
1. リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

※ホルダ取付時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取付けないでください。



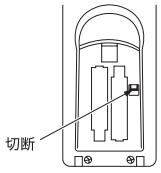
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換え線をニッパ等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



④ ワイヤレスリモコンのつづき

リモコンの設定変更

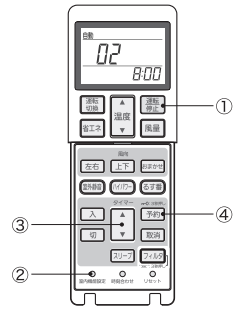
自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ（除く冷暖フリーマルチ）は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取外すと初期設定（工場出荷時設定）へ戻ります。
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。



室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
④ 予約ボタンを押す。
リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



2. 設定内容
機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定　標準
	01	風速設定　設定 1　※
	02	風速設定　設定 2　※
運転切換	00	暖房室温補正　無効
	01	暖房室温補正　＋ 1℃
	02	暖房室温補正　＋ 2℃
	03	暖房室温補正　＋ 3℃
フィルタ	00	フィルタサイン表示　なし
	01	フィルタサイン表示　180 時間
	02	フィルタサイン表示　600 時間
	03	フィルタサイン表示　1000 時間
	04	フィルタサイン表示　1000 時間後運転停止
上 / 下	00	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）　無効
	01	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）　有効
室外静音	00	人感センサ設定　無効
	01	人感センサ設定　有効
ハイパワー	00	人感センサ制御　無効
	01	人感センサ制御 パワーコントロールのみ
	02	人感センサ制御 オートオフのみ
	03	人感センサ制御 パワーコントロール＋オートオフ

ボタン	番号表示部	機能設定
入	00	冷房ファン残留運転　無効
	01	冷房ファン残留運転　0.5 時間
	02	冷房ファン残留運転　2 時間
	03	冷房ファン残留運転　6 時間
切	00	暖房ファン残留運転　無効
	01	暖房ファン残留運転　0.5 時間
	02	暖房ファン残留運転　2 時間
	03	暖房ファン残留運転　6 時間
るす番	00	リモコン信号受信部 LED　輝度明
	01	リモコン信号受信部 LED　輝度暗
	02	リモコン信号受信部 LED　消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長　0.1 m
	0.2	グリル自動昇降降下長　0.2 m
	・	・
	・	・
	2.0	グリル自動昇降降下長　2.0 m
	・	・
	・	・
	3.9	グリル自動昇降降下長　3.9 m
	4.0	グリル自動昇降降下長　4.0 m
運転 / 停止	50	グリル自動昇降周波数　50Hz
	60	グリル自動昇降周波数　60Hz

※　詳細は782ページを参照ください。

⑤ 受信部

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

① 1 つのリモコンで複数台のユニット（最大 16 台）をグループ制御できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。

② グループ制御用に各室内ユニット間を
2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

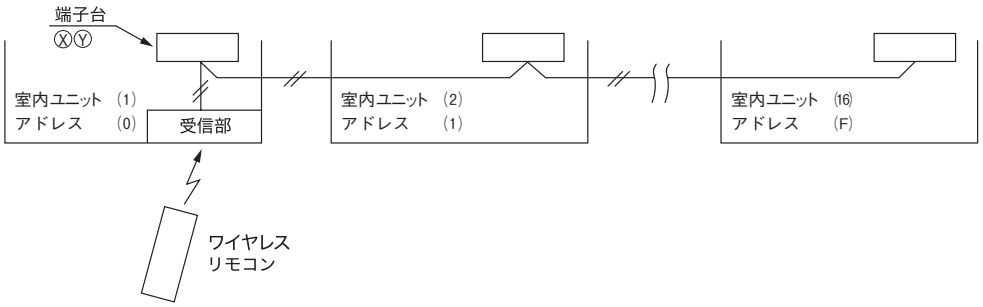
渡り配線の太さと長さの制限（最大 600m）

標準	0.3　mm² × 100m 以内
	0.5　mm² × 200m 以内
	0.75mm² × 300m 以内
	1.25mm² × 400m 以内
	2.0　mm² × 600m 以内

⑤ 受信部のつづき

店舗シリーズの場合

③ 室内基板上のロータリスイッチSW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

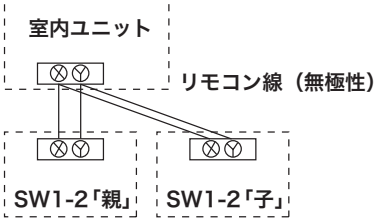


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

④ 室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット 1 台（または 1 グループ）に対して最大 2 個までのリモコンを接続できます。

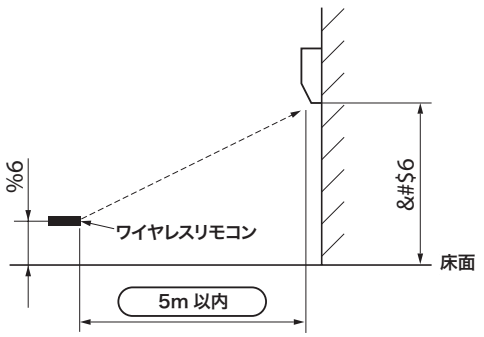


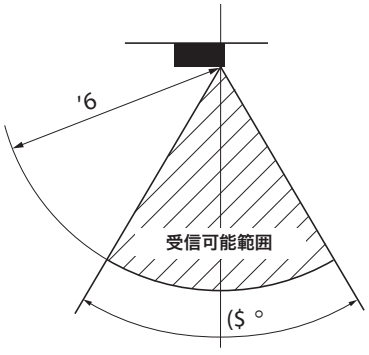
スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

壁掛の場合

① 標準的受信距離

条件 受信部照明度 360 ルクス（一般事務所で受信アダプタ周辺 1 m以内の天井面に照明がない場合）

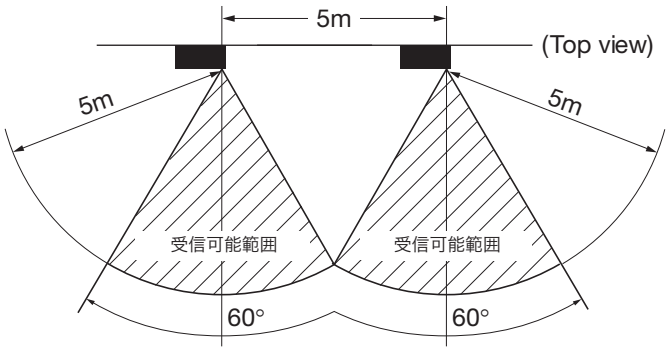




⑤ 受信部のつづき

② 隣接設置時の受信部照度と受信距離の関係

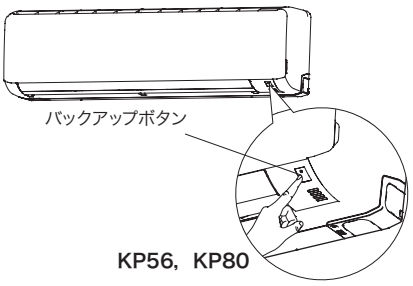
条件 **受信部照明度 360 ルクス**



バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。
操作は手で直接操作してください。

⑴ 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
⑵ 運転中に押すことにより「停止」します。



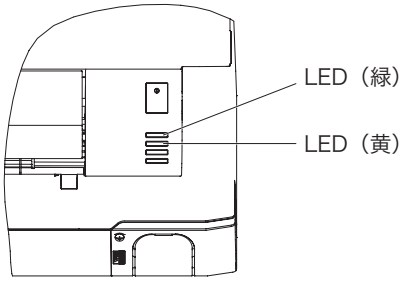
KP56, KP80

冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

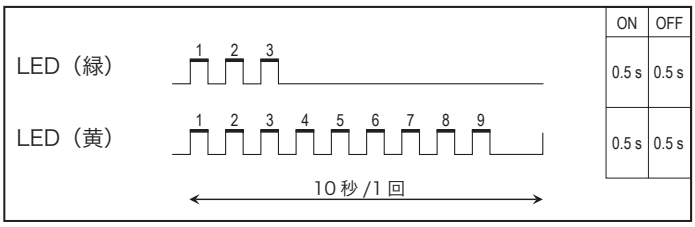
注意

・LED（緑）と LED（黄）はエラーコードを示します。
・点滅する回数でエラーコードを表示し、LED（緑）は 10 の位、LED（黄）は 1 の位を示します。



KP56, KP80

表示方法
例：E39 エラーの場合



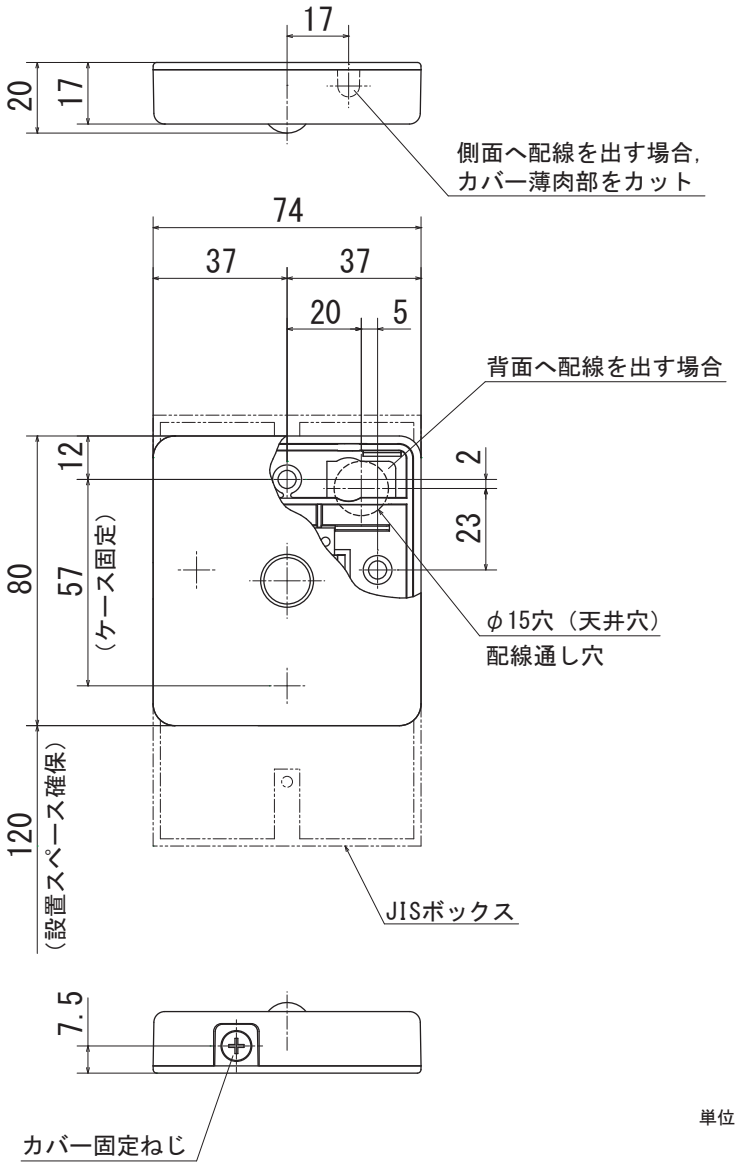
1.19.2 人感センサキット

(1) FDT, FDTS, FDR, FDU, FDE（P224，P280），FDK，FDF シリーズ（LB-KIT2）

(a) 仕様

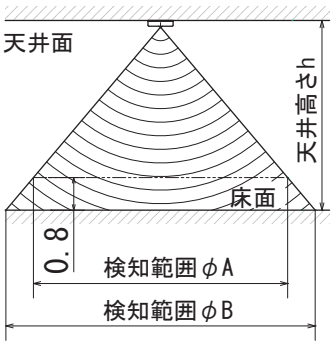
PJZ000Z340

外 形 図



単位:mm

検知範囲



記事

1．据付高さは４ｍ以内としてください。
　センサ感度が鈍くなり，検知しにくくなります。
2．接続配線（現地調達）は0.2mm^2×3心以上（赤，白，黒）の
　信号用配線を使用してください。配線長さは最大８ｍです。
3．本製品は壁面にも設置可能ですが、天井面設置を推奨します。
4．壁面設置の場合，検知範囲は正面で５ｍ，左右約１００°です。
5．詳細は据付説明書を参照してください。

天井高さh[m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲φA[m]	4.5	6.4	7.6
検知範囲φB[m]	6.4	8.3	9.5

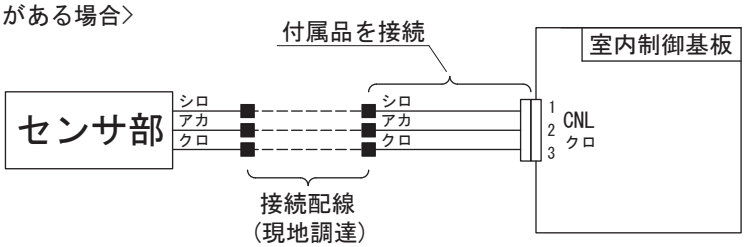
人感センサの据付

人感センサを下記場所に設置しないでください。
人感センサの故障や変形の原因になることがあります。

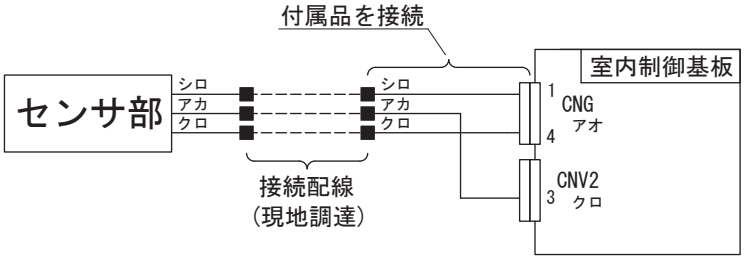
（１）直射日光の当たる場所
（２）発熱器具の近く
（３）湿気の多い所・水の掛る所
（４）取付面が発熱・結露する場所
（５）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（６）取付面に凹凸がある所
（７）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（８）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
　　あるいは，直接日光がセンサ部に当たる場所
（９）他の赤外線通信機器の光線がセンサ部に当たる場所
（１０）長時間振動が加わる状態
（１１）静電気や強い電磁波のある場所
（１２）塵埃の多い場所，レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所
（１３）電源配線などの強電圧線と並走させないこと

配線接続

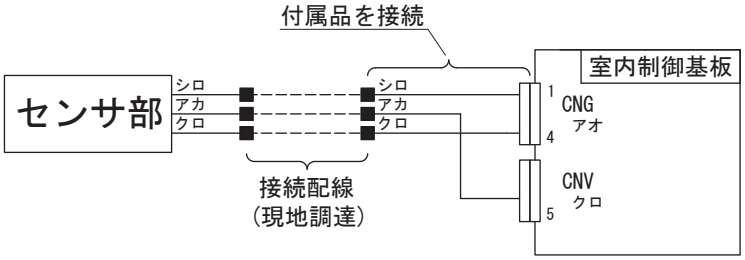
〈CNLコネクタがある場合〉



〈CNLコネクタがない場合〉
（DCモータ機の場合）［記事5参照］



〈CNLコネクタがない場合〉
（ACモータ機の場合）［記事5参照］



⑹ 据付説明書

PJZ012D133

⚠ 警告

●室内ユニットのコントロールボックス内にあるプリント基板に配線を接続し、基板に負荷がかからないように、配線を確実に固定する。
接続や固定が不完全な場合は、異常発熱や火災の原因になります。

●電気配線作業の際は、必ず電源を OFF にすること。
電気配線作業にあたって電源が ON のままだと、感電・故障・誤作動の原因になります。

⚠ 注意

●人感センサキットを下記場所に設置しない。
人感センサキット故障や変形の原因、誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ 長時間振動が加わる場所
⑾ 静電気や強い電磁波のある場所
⑿ 塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所
⒀ 室内ユニットの電源線などの強電圧線と並走する場所

●人感センサをカバーを付けずに放置しない。
カバーを取外す場合は、梱包や袋を使用して人感センサを保護してください。水やほこりとの接触をさけてください。

① 取付前の準備

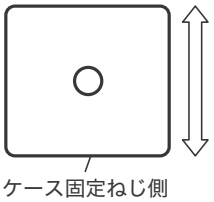
次の付属品を確かめてください。

受信部	配線〈1〉	配線〈2〉	配線〈3〉	木ねじ 2 本	説明書
	室内ユニット基板に CNL コネクタがある場合 (FDT・FDK・FDTC) 	室内ユニット基板に CNV2 コネクタがある場合 	室内ユニット基板に CNV コネクタがある場合 (FDTSC・FDFL・FDFU) 		

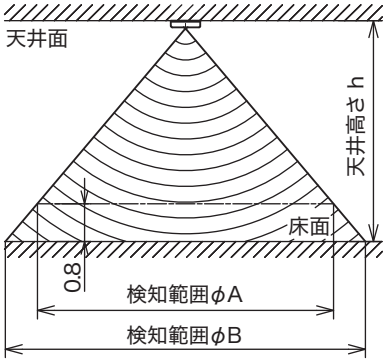
※受信部と室内ユニット間の中継配線は現地手配してください。(0.2mm^{2}以上 3心 (赤、白、黒) 通信用ケーブル 最大8m)

② 人感センサ検知範囲・設置場所

・据付高さは床面より4m以内としてください
センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・周囲との温度差のある物体が動くことにより、センサが検知します。
・⇦⇨印方向の動きをより検知します。
・小さな子供や動きの少ない乳児は検知できない場合があります。
・本製品は壁面にも設置可能ですが、天井面設置を推奨します。
・壁面設置の場合、検知範囲は正面で約 5m、左右約 100° です。



高さ h (m)	2.7	3.5	4.0
検知範囲 φA (m)	4.5	6.4	7.6
検知範囲 φB (m)	6.4	8.3	9.5



③ 受信部の取付

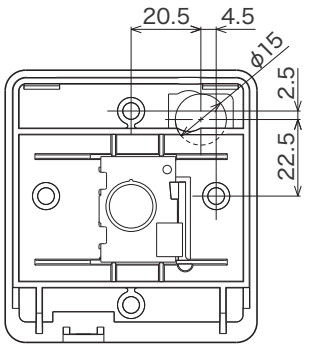
天井面あるいは壁面（以後あわせて天井面と呼ぶこととします）への取付方法として、下記 3 種類の取付が可能です。設置場所に応じて選んでください。

〈取付方法〉

（A）天井面への木ねじによる直接取付、配線を天井面内に収める場合

（B）天井面への木ねじによる直接取付、配線を部屋内にはわせる場合

（C）JIS ボックス（現地手配）による取付の場合

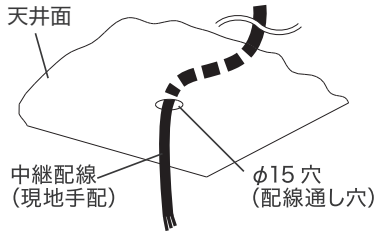


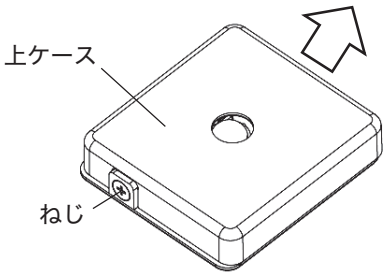
中継配線の取出穴とねじ取付穴との位置関係

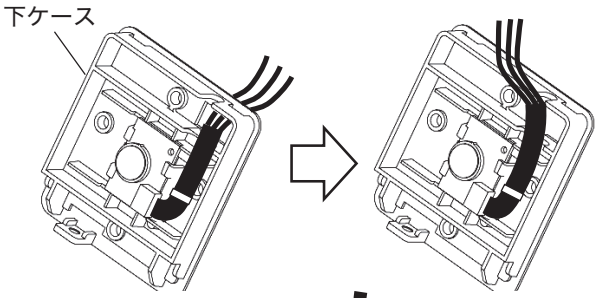
（A）の場合

►天井面に、人感センサキットを直接木ねじで取付けても強度的に問題ない場合はこの方法で取付けてください。

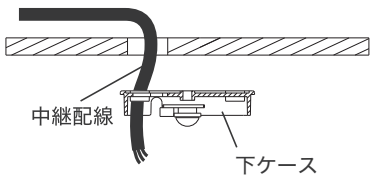
① 現地手配の中継配線をあらかじめ設置しておきます。
② 受信部側面のねじを外し、上ケースを矢印の方向へスライドさせ取外します。
③ 受信部側の配線を下図のように手前へ取出してください。
④ 中継配線を下ケース穴に通してください。

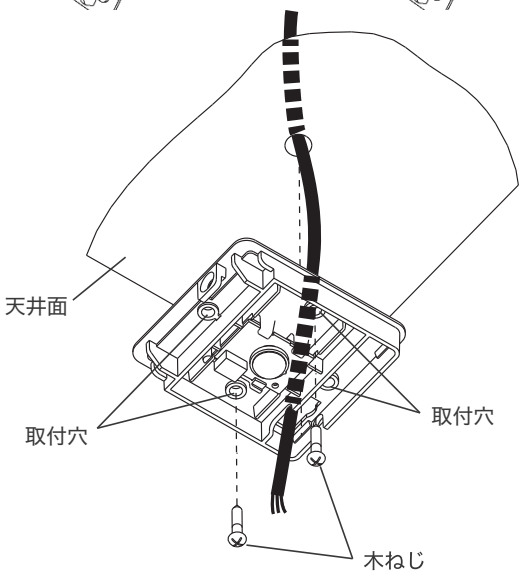






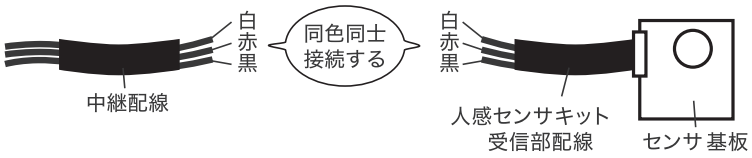
⑤ 下ケースを天井面に固定する際は、右図の取付穴（4 か所）のうち、対辺 2 か所を付属の木ねじにより締めつけてください。



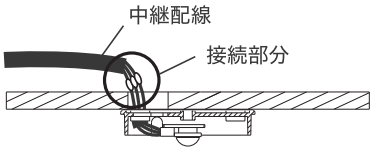


③ 受信部の取付のつづき

⑥ 圧着端子等を用いて、現地手配の中継配線と受信部の配線を同色同士で接続してください。



⑦ 配線の接続部分を天井面の内側へ入れてください。
⑧ 下ケースの配線貫通穴をパテでシールしてください。
⑨ 配線をかみこまないよう注意しながら上ケースを下ケースにはめ込み、ねじを締めてください。

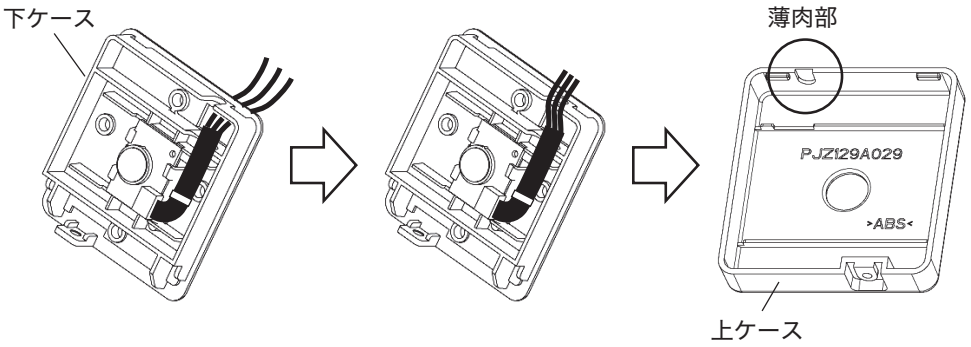


注意：トラッキング防止のため、接続部分にほこり等がつもらないよう施工してください。

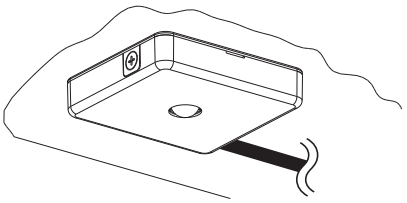
(B) の場合

►天井面に、人感センサ キットを直接木ねじで取 付けても強度的に問題ない場合はこの方法で取付けてください。

① 受信部側面のねじを外し、上ケースを矢印の方向へスライドさせ取外します。(A ②と同じ)
② 受信部の配線を側面方向へ取出します。
上ケースの薄肉部を削り取って使用してください。



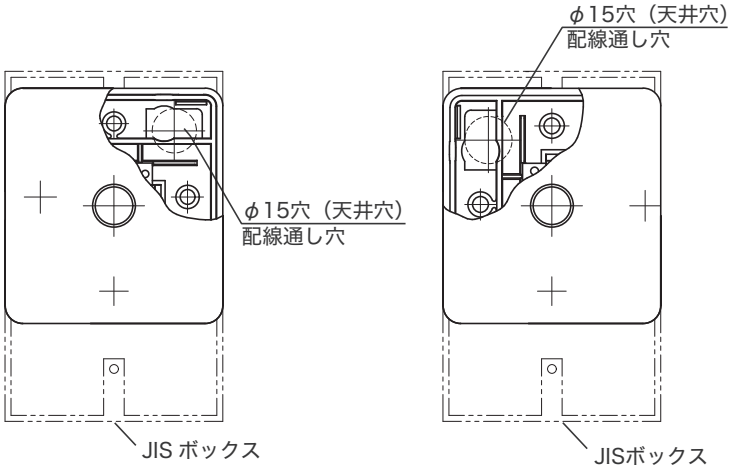
③ 下ケースを天井面に固定する際は、取付穴(4か所)のうち、対辺2か所を付属の木ねじによりしめつけてください。((A) ⑤と同じ)
④ 圧着端子等を用いて現地手配の中継配線と受信部の配線を同色同士で接続してください。
((A) ⑥と同じ)
⑤ 配線をかみこまないように注意しながら上ケースを下ケースにはめ込み、ねじをしめてください。((A) ⑨と同じ)
⑥ ②で切取った部分をパテでシールしてください。



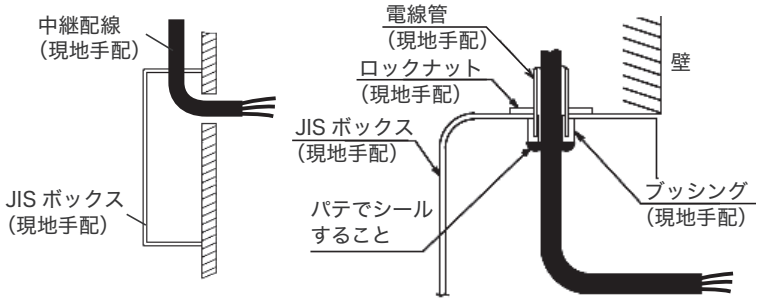
③ 受信部の取付のつづき

（C）の場合

① JIS ボックスと現地手配の中継配線をあらかじめ設置しておきます。中継配線引込口はパテでシールしてください。（右図参照）



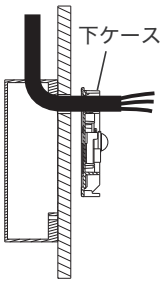
JIS ボックスと配線通し穴との位置関係

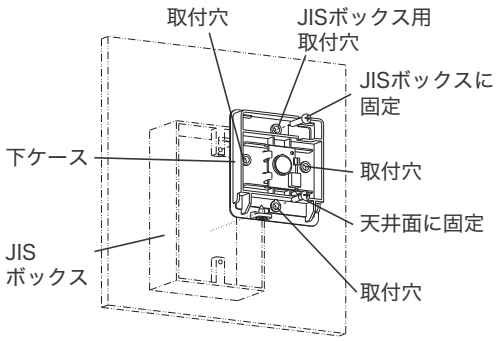


② 受信部側面のねじを外し、上ケースを矢印の方向へスライドさせ取外します。（(A)②と同じ）

③ 受信部側の配線を手前へ取出してください。（(A) ③と同じ）

④ 中継配線を JIS ボックス側から下ケース穴に通してください。



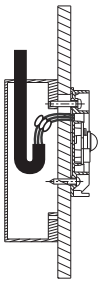


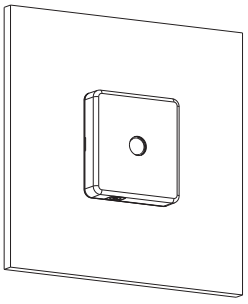
⑤ 右図の取付穴（1 か所）を用いて、下ケースを JIS ボックスに固定してください。

⑥ 現地手配の中継配線と受信部側の配線を同色同士で接続してください。（(A) ⑥と同じ）

⑦ 配線の接続部分を④項で配線を通した下ケースの穴より、下ケースと JIS ボックスとの間へ入れてください。

⑧ 配線をかみこまないように注意しながら 上ケースを下ケースにはめ込み、ねじを締めてください。（(A) ⑨と同じ）





④ 本体コントロールへの配線接続

注意：人感センサ付属配線は、室内ユニットの機種ごとに使用する配線が異なります。配線取付前に、確認してください。

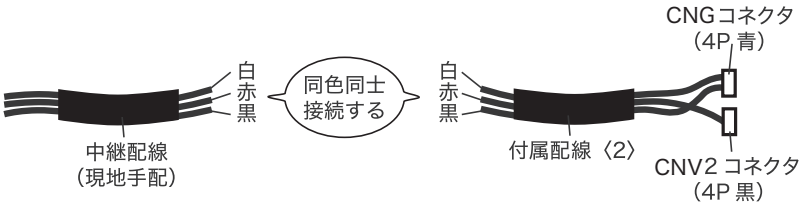
〈室内ユニット基板に CNL コネクタがある場合 (FDT・FDK・FDTU)〉

① 現地手配の中継配線と、人感センサ付属配線〈1〉を同色同士で接続してください。
② ユニット本体のコントロールボックスの蓋を取外してください。
③ CNL コネクタ（3P 黒）を基板へ接続してください。



〈室内ユニット基板に CNV2 コネクタがある場合〉

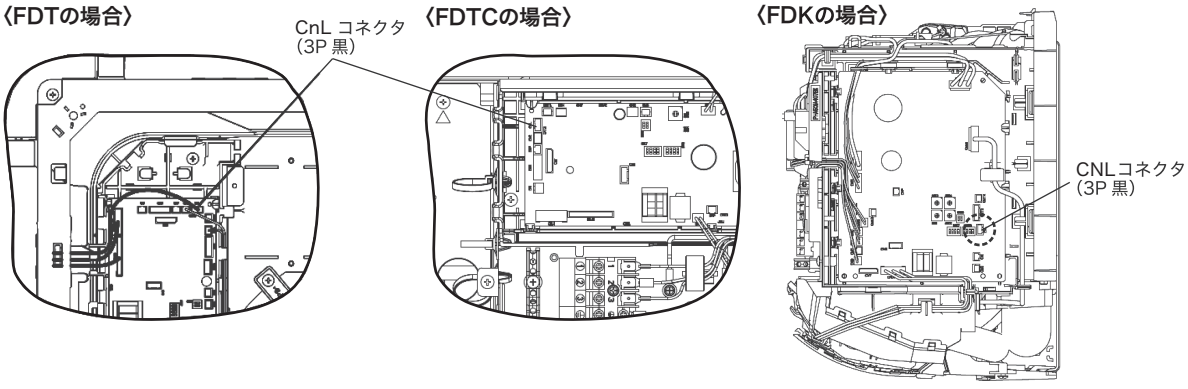
① 現地手配の中継配線と、人感センサ付属配線〈2〉を同色同士で接続してください。
② ユニット本体のコントロールボックスの蓋を取外してください。
③ CNG コネクタ（4P 青）を制御基板へ接続してください。
④ CNV2 コネクタ（4P 黒）を制御基板へ接続してください。



〈室内ユニット基板に CNV コネクタがある場合 (FDTSC・FDFL・FDFU)〉

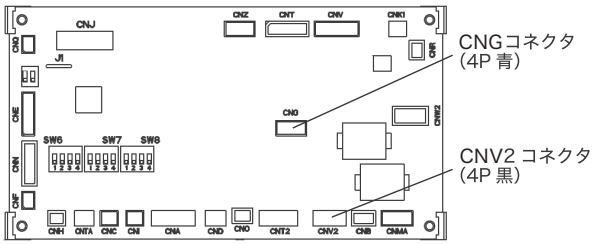
① 現地手配の中継配線と、人感センサ付属配線〈2〉を同色同士で接続してください。
② ユニット本体のコントロールボックスの蓋を取外してください。
③ CNG コネクタ（4P 青）を制御基板へ接続してください。
④ CNV コネクタ (5P 黒) を制御基板へ接続してください。



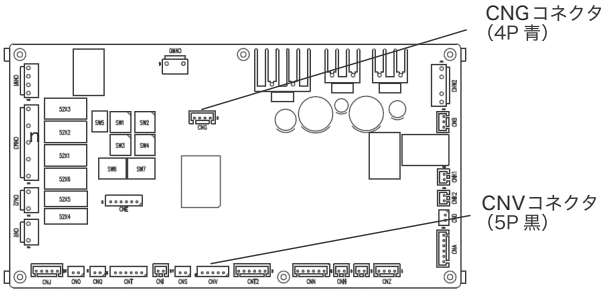


④ 本体コントロールへの配線接続のつづき

〈室内基板に CNV2 コネクタがある場合〉



〈FDTSC・FDFL・FDFUの場合〉

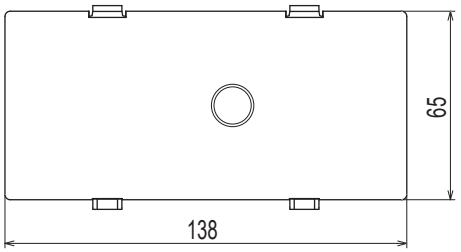


(2) FDTW シリーズ（LB-TW-6W）

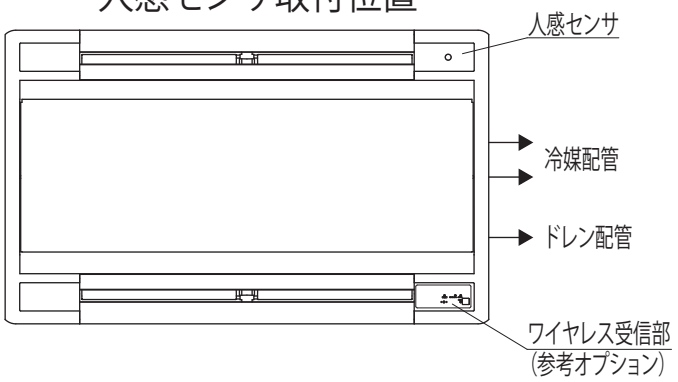
(a) 仕様

PJB001Z817

センサ部



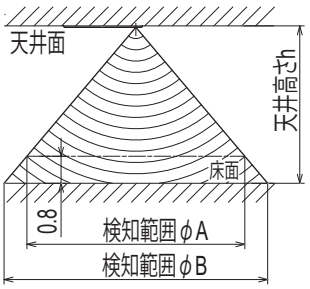
人感センサ取付位置



人感センサの据付

人感センサを下記場所に設置しないでください。
人感センサの故障や変形の原因になることがあります。

（1）直射日光の当たる場所
（2）発熱器具の近く
（3）湿気の多い所・水の掛る所
（4）取付面が発熱・結露する場所
（5）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（6）取付面に凹凸がある所
（7）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（8）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
　　あるいは、直接日光がセンサ部に当たる場所
（9）他の赤外線通信機器の光線がセンサ部に当たる場所
（10）長時間振動が加わる状態
（11）静電気や強い電磁波のある場所
（12）塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所



天井高さh[m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲φA[m]	4.5	6.4	7.6
検知範囲φB[m]	6.4	8.3	9.5

記事
1.据付高さは4m以内としてください。
センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。

(b) 据付説明書

PJB012D310A

⚠ 警告

●室内ユニットのコントロールボックス内にあるプリント基板に配線を接続し、基板に負荷がかからないように、配線を確実に固定する。
接続や固定が不完全な場合は、異常発熱や火災の原因になります。

●電気配線作業の際は、必ず電源を OFF にすること。
電気配線作業にあたって電源が ON のままだと、感電・故障・誤作動の原因になります。

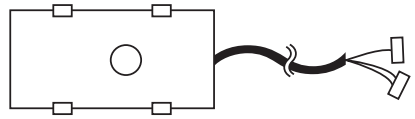
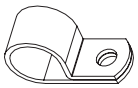
⚠ 注意

●人感センサキットを下記場所に設置しない。
人感センサキット故障や変形の原因、誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ 長時間振動が加わる場所
⑾ 静電気や強い電磁波のある場所
⑿ 塵埃の多い場所､レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●人感センサをカバーを付けずに放置しない。
カバーを取外す場合は、梱包や袋を使用して人感センサを保護してください。水やほこりとの接触をさけてください。

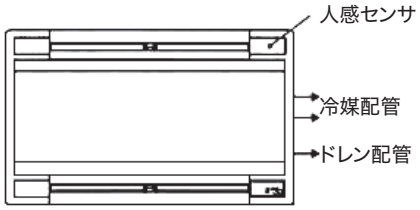
① 付属品

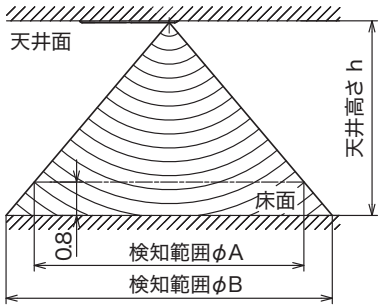
次の付属品を確かめてください。

受信部	グロメット	配線クランプ	ねじ	説明書
				

② 人感センサ据付場所、検知範囲

・据付高さは床面より４m以内としてください。
センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・周囲との温度差のある物体が動くことにより、センサが検知します。
・小さな子供や動きの少ない乳児は検知できない場合があります。





高さ h〔m〕	2.7	3.5	4.0
検知範囲 φA〔m〕	4.5	6.4	7.6
検知範囲 φB〔m〕	6.4	8.3	9.5

③ 受信部の取付＜パネル吊り込み前の作業＞

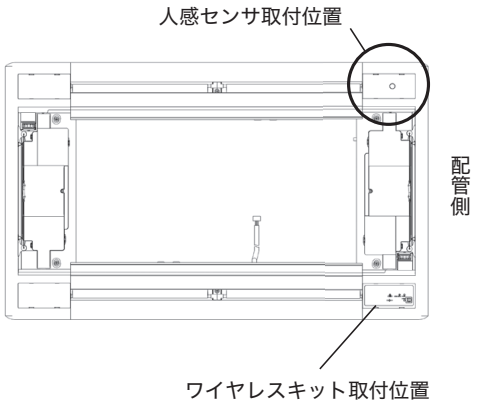
※**注意：** 下図に示すコーナーリッド部にのみ、人感センサを取付けることが可能です。
受信部の取付向きに注意してください。

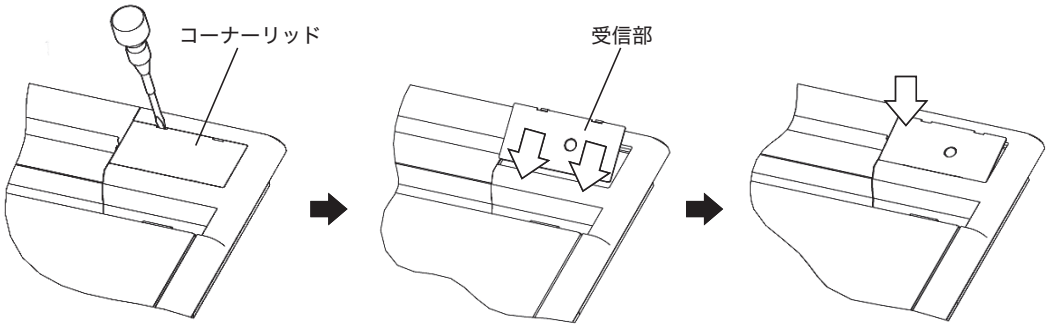
① 人感センサ取付位置のコーナーリッドを取外してください。
溝に工具を挿し、フレームを傷付けないように軽く外側に倒してください。

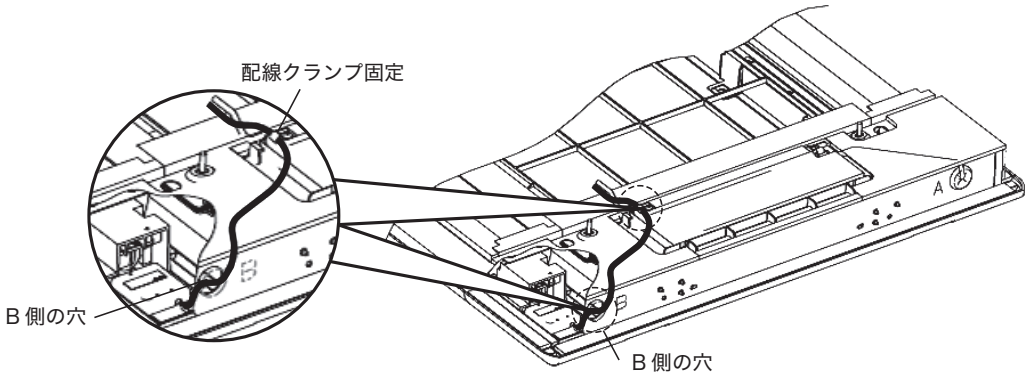
② パネル側面に貼付けられた断熱材のスリット（丸穴（φ 25）、B側）を切取り、付属のグロメットを取付けてください。

③ 受信部の配線を B 側の穴に通した後、受信部のツメ部（2 か所)をフレームに挿しながら外側を押込み取付けます。

④ パネル天井裏側図に示すように配線を通し、付属の配線クランプ・ねじにて固定します。





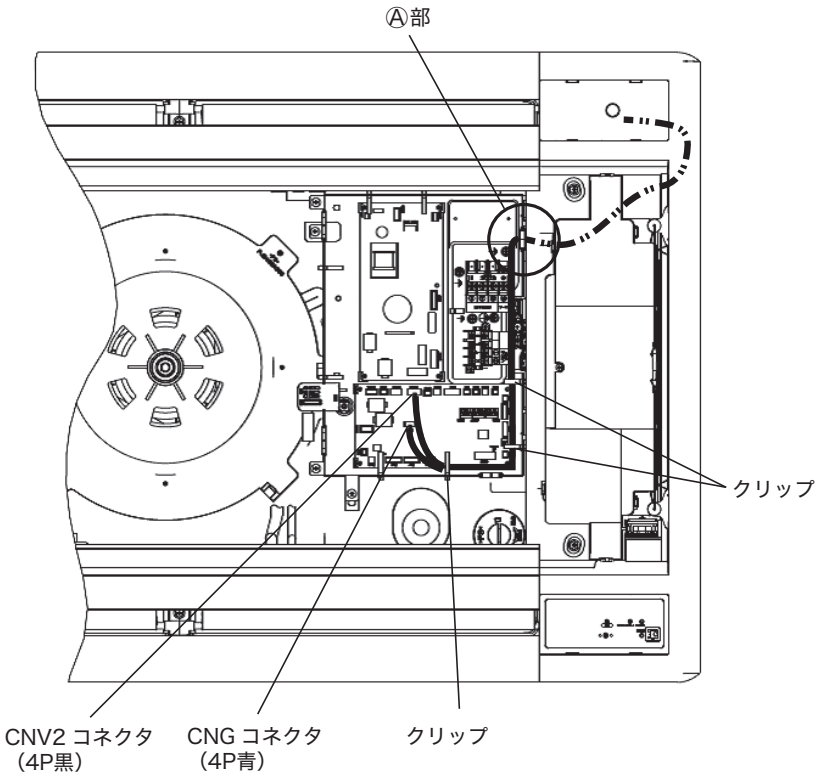


④ パネル付属の説明書を参照して、室内ユニットへパネルを装着してください。

※**注意：** パネル取付時、配線を挟込まないようにしてください。

⑤ コントロール ボックス内の配線接続

① サービスパネルとエアフィルタを取外してください。
② ユニット本体のコントロール ボックスの蓋を取外してください。（ねじ 2 か所）
③ Ⓐ部から配線をコントロール ボックス内へ入れてください。
④ 配線をクリップ（3 か所）で固定してください。
⑤ CNG コネクタ（4P 青）を制御基板に接続してください。
⑥ CNV2 コネクタ（4P 黒）を制御基板に接続してください。

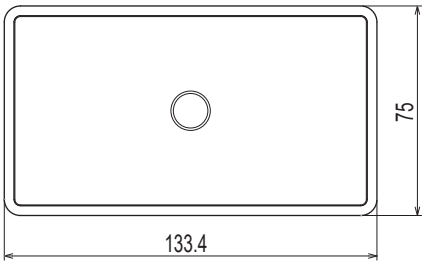


(3) FDE（P56 ～ P160）シリーズ（LB-E）

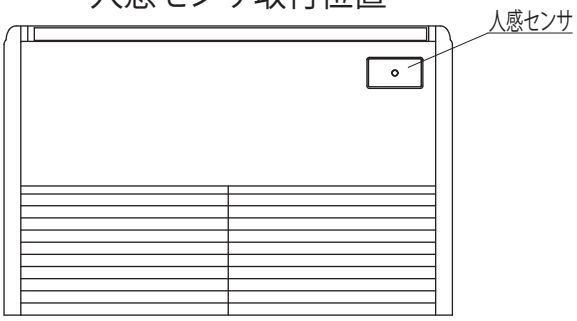
(a) 仕様

PFA004Z076

センサ部

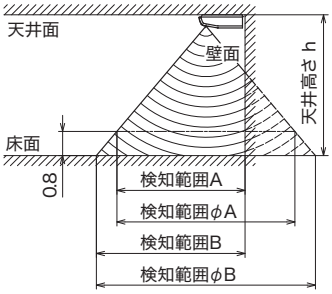


人感センサ取付位置

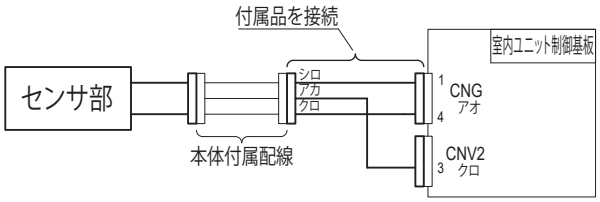


人感センサの据付

人感センサを下記場所に設置しないでください。
人感センサの故障や変形の原因になることがあります。
（1）直射日光の当たる場所
（2）発熱器具の近く
（3）湿気の多い所・水の掛る所
（4）取付面が発熱・結露する場所
（5）油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
（6）取付面に凹凸がある所
（7）室内ユニットの吹出空気が当たる場所
（8）蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く
あるいは、直接日光がセンサ部に当たる場所
（9）他の赤外線通信機器の光線がセンサ部に当たる場所
（10）長時間振動が加わる状態
（11）静電気や強い電磁波のある場所
（12）塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所



天井高さh[m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲A[m]	2.9	3.9	4.5
検知範囲φA[m]	4.5	6.4	7.6
検知範囲B[m]	3.9	4.8	5.4
検知範囲φB[m]	6.4	8.3	9.5



記事
1.据付高さは4m以内としてください。
センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。

(b) 据付説明書

⚠ 警告

●室内ユニットのコントロールボックス内にあるプリント基板に配線を接続し、基板に想定外の負荷がかからないように、配線を確実に固定する。
接続や固定が不完全な場合は、異常発熱や火災の原因になります。

●電気配線作業の際は、必ず電源を OFF にすること。
電気配線作業にあたって電源が ON のままだと、感電・故障・誤作動の原因になります。

⚠ 注意

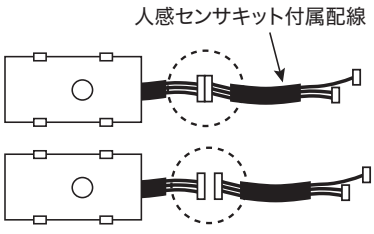
●人感センサキットを下記場所に設置しない。
人感センサキット故障や変形の原因、誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。

⑴ 直射日光の当たる場所
⑵ 発熱器具の近く
⑶ 湿気の多い所・水のかかる所
⑷ 取付面が発熱・結露する場所
⑸ 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
⑹ 取付面に凹凸がある所
⑺ 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
⑻ 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が当たる場所
⑼ 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
⑽ 長時間振動が加わる場所
⑾ 静電気や強い電磁波のある場所
⑿ 塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所

●人感センサをカバーを付けずに放置しない。
カバーを取外す場合は、梱包や袋を使用して人感センサを保護してください。水やほこりとの接触をさけてください。

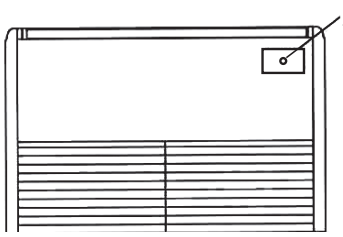
① 付属品

次の付属品を確かめてください。

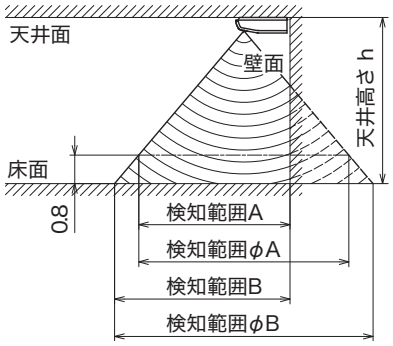
受信部（※）	説明書
 ※受信部側配線と付属配線はコネクタ接続した状態で出荷しています。 ○印部分のコネクタを取外してから室内ユニット付属配線へ接続し、使用します。	

② 人感センサ据付場所、検知範囲

・据付高さは床面より4m以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
・周囲との温度差のある物体が動くことにより、センサが検知します。
・小さな子供や動きの少ない乳児は検知できない場合があります。
・人の活動範囲の近くで人感センサを使用したい場合は、別置形の人感センサを使用してください。
・ワイヤレスリモコンと人感センサを併用する場合は、別置形の人感センサを使用してください。



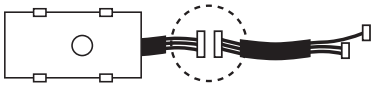
天井高さ	h（m）	2.7	3.5	4.0
検知範囲	A（m）	2.9	3.9	4.5
検知範囲	φA（m）	4.5	6.4	7.6
検知範囲	B（m）	3.9	4.8	5.4
検知範囲	φB（m）	6.4	8.3	9.5



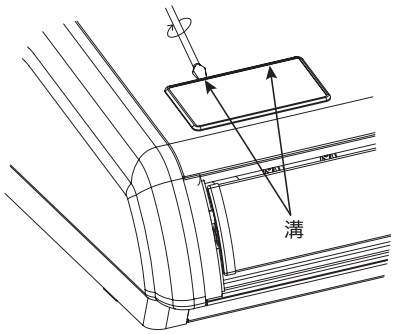
③ 受信部の取付＜ユニット吊り込み前の作業＞

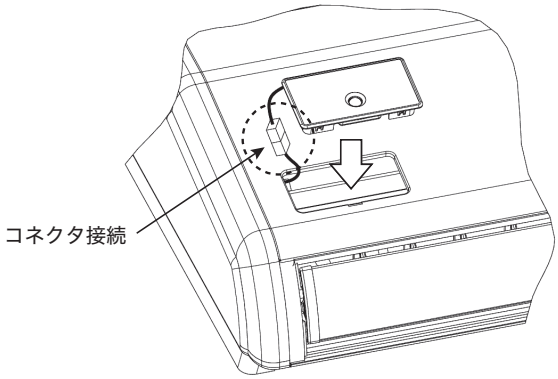
人感センサキットの受信部は、パネルのカバーと交換することにより取付可能です。
注意：**本体吊り込み前に受信部を取付けてください。**
　　吊り込み後に取付ける場合、高所作業となり、転倒などによりケガの恐れがあります。

① 受信部と配線のコネクタを取外してください。



② パネルのカバーの溝（2 か所）に工具を挿し、
　パネル塗装面を傷付けないように軽くねじり、カバーを取外してください。
③ パネル穴部の配線（室内ユニット付属、配線色：白・赤・黒、コネクタ：3P 白）と受信部の配線を装着してください。受信部の取付向きに注意してください。
注意：**配線を固定しているクランプは外さないでください。**



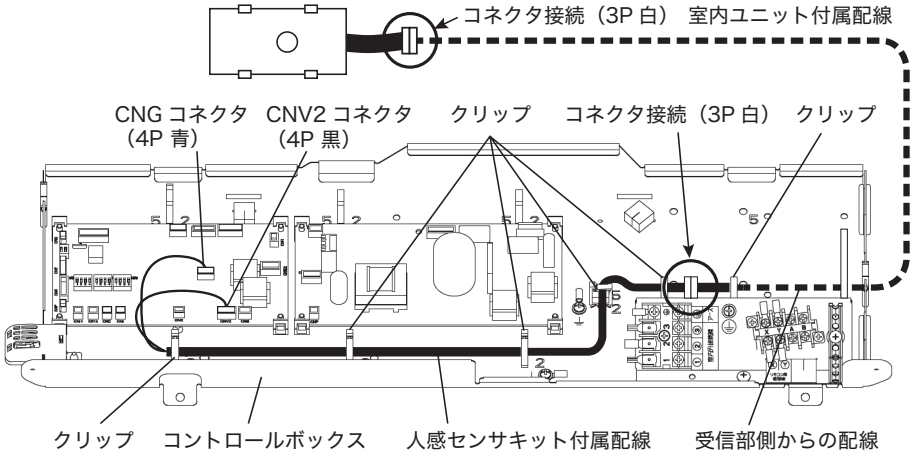


④ 受信部の取付
　コネクタをパネルの下に入れ、受信部の向きに注意し、パネルへ取付けてください。

注意：コネクタは受信部を取付ける前に接続してください。
　　取付後にコネクタを接続する場合、パネルを外す必要があります。

④ コントロール ボックス内の配線接続

① 受信部からの配線（室内ユニット付属、配線色：白・赤・黒、コネクタ：3P 白）と人感センサキット付属の配線を接続してください。
② 配線をクリップ（6 か所）で固定してください。
③ CNG コネクタ（4P 青）を制御基板に接続してください。
④ CNV2 コネクタ（4P 黒）を制御基板に接続してください。



(4) 共通事項（取扱方法）

PJZ012D133

ご使用上のご注意

⚠ 警告

●子供・病気の方など 補助を必要とする人が使う場合、周囲の人が十分注意する。
異常や人感センサ制御などにより空調機が停止した場合、体調不良や事故の原因になることがあります。

お知らせ

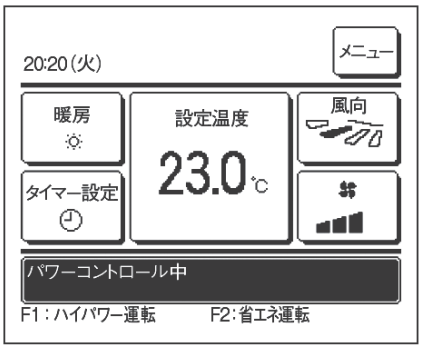
・検知エリアの隅では人を検知しにくくなります。
・周囲と温度差のある物体が動く場所に据付けた場合「人がいる」と検知する場合があります。
・設定温度の補正に伴い、肌寒く感じる場合があります。

本品は、人感センサを利用して検知範囲内の人の活動量を検知し、エアコンの制御を補助するものです。
リモコンからご希望の制御を設定して頂き、ご使用ください。

室内ユニット制御	検知状況	制御内容	ecoタッチリモコン表示
①パワーコントロール	活動量が多い時	快適性を重視して室温設定を下げる。	パワーコントロール中
	活動量が少ない時	省エネ重視して室温設定を上げる。	パワーコントロール中
②オートオフ	検知無し 1 時間経過	運転停止＋待機状態	オートオフ中
	検知無し 1 ～ 50 時間経過	運転停止	ー
①＋②	上記の組合せ	上記のいづれか	上記のいづれか
全て無効（出荷時）	ー	標準制御	ー

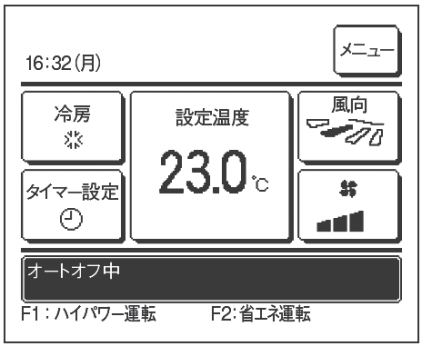
センサ未接続・センサ不良の場合は活動量検知無し（少ない）状況の制御になります。

設定方法は、次項を参照してください。



・パワーコントロール有効の場合
人感センサにより人の活動量を検知し、設定温度を補正します。
（リモコンの設定温度は補正された温度で表示されます。）
冷房時 33 ℃、暖房時 15 ℃まで設定温度を段階的に補正します。
設定温度を補正中はメッセージ表示部に「パワーコントロール中」を表示します。

・冷房暖房設定温度（RC-DX3D）
上記設定温度を 1 ℃きざみで設定することができます。
冷房：25 ℃～ 35 ℃（初期設定は 33 ℃）
暖房：10 ℃～ 20 ℃（初期設定は 15 ℃）



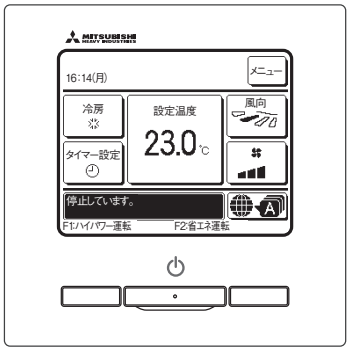
・オートオフ有効の場合
人が不在となって、1 時間経過すると『運転待機』状態となります。運転待機時間が 1 ～ 50 時間経過すると『完全停止』します。
『運転待機』…エアコンは停止しますが、人が戻ると運転を再開します。
メッセージ表示部に「オートオフ中」を表示します。
『完全停止』…エアコンを停止します。人が戻っても運転を再開しません。
メッセージ表示部の「オートオフ中」表示が消え、運転ランプが消灯します。

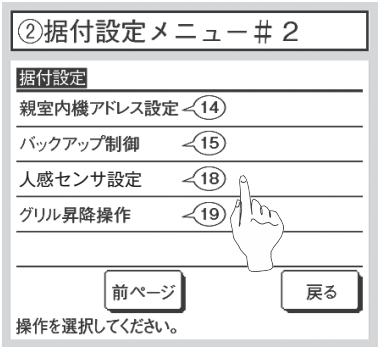
・運転待機時間 (RC-DX3D)
冷房時、暖房時の運転待機時間（初期設定は 12 時間）は
1 ～ 50 時間 (1 時間きざみ）で設定することができます。

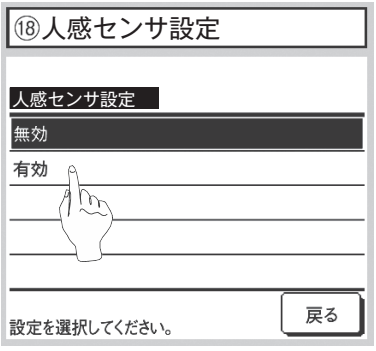
制御設定 <ecoタッチリモコンから設定する場合>

●ecoタッチリモコン付属の据付説明書を参照して、人感センサを有効に設定する。

TOP 画面 **メニュー** ⇒ **サービス設定** ⇒ **据付設定** ⇒ **サービスパスワード**







●ecoタッチリモコン付属の取扱説明書を参照して、制御モードを設定する。

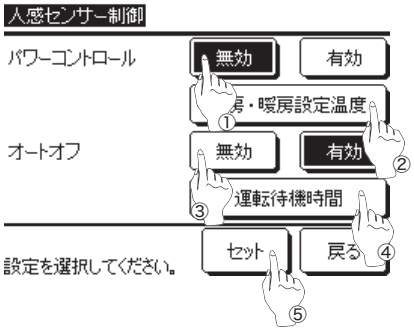
■人感センサ制御

人感センサにより人の有無・活動量をセンサーで判定し、各制御を行います。

■リモコンが子リモコン設定されている場合、人感センサ制御の設定はできません。

TOP 画面 **メニュー** ⇒ **省エネ設定** ⇒ **管理者パスワード** ⇒ **人感センサー制御** を選択してください。

人感センサ制御画面と現在の設定内容が表示されます。



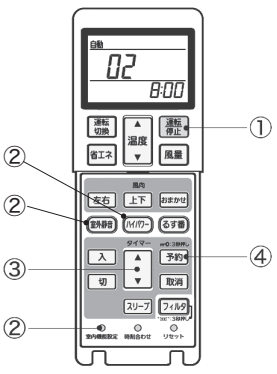
① パワーコントロールの有効 / 無効を設定します。
② 冷房・暖房設定温度タッチしてください。▲▼ボタンで設定温度を設定し、セットボタンをタッチしてください。設定温度が仮決定します。
③ オートオフの有効 / 無効を設定します。
④ 運転待機時間をタッチしてください。▲▼ボタンで待機時間を設定し、セットボタンをタッチしてください。
運転待機時間が仮決定します。
⑤ 各項目設定後、セットボタンをタッチしてください。人感センサ制御が決定し、省エネ設定メニュー画面に戻ります。
※②、④は RC-DX3Dのみ設定できます。
※⑤を実施しないと本制御は実行されません。

制御設定 <ワイヤレスリモコンから設定する場合>

●ワイヤレスリモコン付属の据付説明書を参照して、**室内機能設定** の人感センサを有効に設定する。

室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
① 運転／停止を押し、停止状態にする。
② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
③ 選択ボタン▲、▼で設定番号を選択する。
④ 予約ボタンを押す。
リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



2. 設定内容

ボタン	番号表示部	機能設定
室外静音	00	人感センサ設定：無効
	01	人感センサ設定：有効
ハイパワー	00	人感センサ制御：無効
	01	人感センサ制御：パワーコントロールのみ
	02	人感センサ制御：オートオフのみ
	03	人感センサ制御：パワーコントロール＋オートオフ

1.19.3 コンパクトリモコン（RCH-D3）

PJZ012D068A

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

⚠警告

- **●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。**
  接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- **●元電源を切った後に電気工事をする。**
  感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

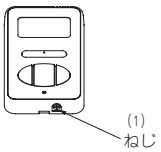
- **●下記の様な所にリモコンを設置しない。**
  リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
  (1) 直射日光の当たる場所　(4) 取付面が発熱・結露する場所
  (2) 発熱器具の近く　(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
  (3) 湿気の多い所・水の掛る所　(6) 取付面に凹凸がある所
- **●リモコンの上ケースを取外したまま放置しない。**
  上ケースを取外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包袋に入れて保護してください。

付属品	リモコン本体、 木ねじ（φ3.5 × 16） 2 本
客先手配品	リモコンコード （2 心）(「2. リモコンコードを延長する場合の注意」を参照ください。) ［ 埋込取付の場合 ］ JIS ボックス、M4 ねじ（2 本） ［ 露出取付の場合 ］ コードクランプ （適時）

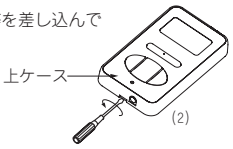
1. 取付要領

埋込取付の場合

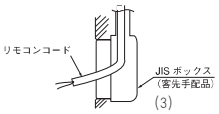
(1) リモコンの下面のねじを必ず外してください。



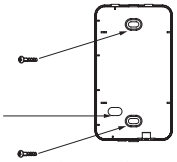
(2) リモコンの上ケースを外してください。
リモコン下面の凹部にマイナスドライバー等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。

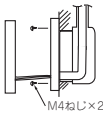


(3) JIS ボックスとリモコンコードをあらかじめ埋込んでおきます。
［ 使用可能 JIS ボックス ］
JIS C 8336　1 個用スイッチボックス



(4) M4 ねじ 2 本（推奨長さ 12～16mm）を用意して、下ケースを JIS ボックスに取付けてください。
ねじ穴の周囲の壁の高さより、ねじ頭の大きなねじを、使用しないでください。



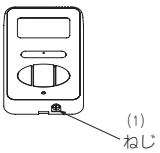


(5) リモコンコードを端子台に接続してください。
リモコンの端子（X，Y）と室内ユニットの端子（X，Y）とを接続してください。
（X，Y の極性はありません。）

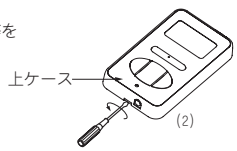
(6) リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取付け、外したねじで固定してください。

露出取付の場合

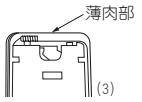
(1) リモコンの下面のねじを必ず外してください。



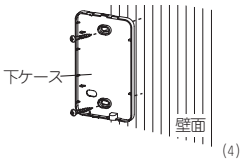
(2) リモコンの上ケースを外してください。
リモコン下面の凹部にマイナスドライバー等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。



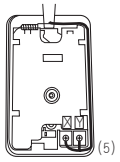
(3) リモコンコードの取出方向は、上部中央から可能です。
リモコン上ケースの上方の薄肉部をニッパ・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。



(4) リモコンの下ケースを付属の木ねじ 2 本で平らな壁に取付けます。



(5) リモコンコードを端子台に接続してください。
リモコンの端子（X，Y）と室内ユニットの端子（X，Y）とを接続してください。(X，Y の極性はありません。)
配線経路は右図の通りとなります。



リモコンケース内を通る配線は、0.3mm^2（推奨）～最大 0.5mm^2 以下としてください。
また、シース部を皮むきしてください。
各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

X 配線：160mm
Y 配線：150mm



(6) リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取付け、外したねじで固定してください。

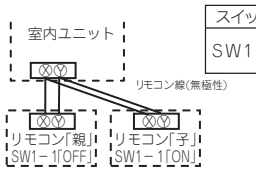
(7) 露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないように、コードクランプ等で壁面に固定します。

2. リモコンコードを延長する場合の注意　最大総延長 600m

(1) リモコンコードは 0.3mm^2×2 心です。
延長距離が 100m を超える場合は、下記サイズに変更してください。
ただし、リモコンケース内を通る配線は0.3mm^2（推奨）～最大0.5mm^{2}以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しない様な処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のない様確実に行ってください。
100～200m 以内 ……0.5mm^2 × 2 心
300m 以内 ……0.75mm^2 × 2 心
400m 以内 ……1.25mm^2 × 2 心
600m 以内 ……2.0mm^2 × 2 心

3. 複数リモコン使用時の親子設定

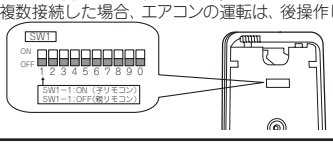
(1) 室内ユニット 1 台（または 1 グループ）に対して最大 2 個までのリモコンを接続できます。



スイッチ	設定	機能内容
SW1−1	ON	子リモコン
	OFF	親リモコン

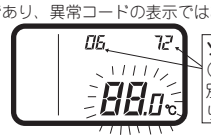
(2) 子リモコンの切換スイッチ SW1-1 を「子」(ON) に設定してください。工場出荷時は「親」(OFF)設定です。

(注)・リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。
・親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください
・リモコンを複数接続した場合、エアコンの運転は、後操作したリモコンに従います。



4. 電源投入時の表示

(1) 電源投入時、最初の２秒間全点灯した後、下記表示となります。
リモコン LCD 上部に表示される番号は、ソフトウェアの管理番号を表示させて
いるものであり、異常コードの表示ではありません。



ソフトウェア管理番号
（左記記号は一例です。
別の番号が出る場合もあ
ります。）

(2) その後、リモコンと室内ユニットの通信が確定するまで、リモコンには、「88.0℃」
が点滅します。

(3) 室内ユニット１台（または１グループ）に、１個のリモコンを接続する場合は、
必ず親リモコン（出荷時設定）としてください。
子リモコンにすると通信ができません。

(4) リモコンと室内ユニットの通信ができない
状態が30 分程度続くと、「 E」表示がでます。
室内ユニットおよび室外ユニットの配線、および
リモコンの親子設定等をご確認願います。



5. 吸込温度の確認方法

リモコン操作により、吸込温度の確認ができます。

(1) **エアコンNo ボタンを５秒以上押す。**
温度設定表示部に、「88」が点滅します。
（データを読み込む間約２秒間点滅）
↓
その後、吸込温度を表示します。
（例）吸込温度：「27℃」（点灯）
（注）吸込温度は、通常の場合室内ユニットの吸込温度を表示しますが、リモコ
ンセンサ有効の場合は、リモコンセンサ検知温度が表示されます。



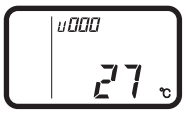
(2) **運転／停止 ボタンを押す。**
終了します。

【リモコンセンサが無効で､一つのリモコンに複数台の室内ユニットが接続されている場合】

(1) **エアコンNo ボタンを５秒間押す。**
室内ユニットNo表示部：「U 000」（点滅）
（接続されている室内ユニットの､最も若い番号を表示）

(2) **TEMP △ または TEMP▽ ボタンを押す。**
室内ユニットの番号を選びます。

(3) **MODE ボタンを押す。**
室内ユニットNoを確定します。



（例）室内ユニットNo表示部：「U 000」
温度設定表示部に､「88」が点滅します｡（データを読み込む間約2～10秒間点滅）
その後、吸込温度を表示します。 **エアコンNo** ボタンを押すと、室内ユニット選択表示
（例「U 000」）に戻ります。

(4) **運転／停止 ボタンを押す。**
終了します。

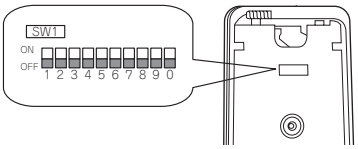
6. 機能設定

リモコンと室内ユニットの各機能は、リモコンと室内ユニットを接続した際に、標準的な使い方である初期設定に自動的に設定されます。標準的な使い方をする場合は、設定の変更はいりません。
ただし、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。**設定内容は記録して保管してください。**

(1) 基板上の切換えスイッチによる機能設定項目

スイッチNo	設定	設定内容	初期設定
SW1－1	ON	子リモコン	
	OFF	親リモコン	○
SW1－2	ON	リモコンセンサ有効	
	OFF	リモコンセンサ無効	○
SW1－3	ON	「運転切換」ボタン禁止	
	OFF	「運転切換」ボタン有効	○
SW1－4	ON	「運転／停止」ボタン禁止	
	OFF	「運転／停止」ボタン有効	○

スイッチNo	設定	設定内容	初期設定
SW1－5	ON	「温度設定」ボタン禁止	
	OFF	「温度設定」ボタン有効	○
SW1－6	ON	「風量調整」ボタン禁止	※注１
	OFF	「風量調整」ボタン有効	※注１
SW1－7	ON	停電補償有効	
	OFF	停電補償無効	○
SW1－8, 9, 0	ON OFF	未使用	



・子リモコンは SW1-1 以外は設定無効です。
・風量1速の室内ユニットは「風量調整」ボタン有効にはできません。

(2) ボタン操作による機能設定項目

分類	機能番号	機能	設定番号	設定	初期設定	備考
リモコン機能	01	室内ファン速度	01	ファン速度３速	※注１	ファン風量が、急－強－弱の３速となります。
			02	ファン速度２速（Hi-Lo）	※注１	ファン風量が、急－弱の２速となります。
			03	ファン速度２速（Hi-Me）		ファン風量が、急－強の２速となります。
			04	ファン１速	※注１	ファン風量が１速のみで固定されます。
	03	冷房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし	○	
			02	リモコンセンサ＋３．０℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、＋３．０℃温度補正する。
			03	リモコンセンサ＋２．０℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、＋２．０℃温度補正する。
			04	リモコンセンサ＋１．０℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、＋１．０℃温度補正する。
			05	リモコンセンサ－１．０℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、－１．０℃温度補正する。
			06	リモコンセンサ－２．０℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、－２．０℃温度補正する。
			07	リモコンセンサ－３．０℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、－３．０℃温度補正する。
	04	暖房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし	○	
			02	リモコンセンサ＋３．０℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、＋３．０℃温度補正する。
			03	リモコンセンサ＋２．０℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、＋２．０℃温度補正する。
			04	リモコンセンサ＋１．０℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、＋１．０℃温度補正する。
			05	リモコンセンサ－１．０℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、－１．０℃温度補正する。
			06	リモコンセンサ－２．０℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、－２．０℃温度補正する。
			07	リモコンセンサ－３．０℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、－３．０℃温度補正する。
	05	換気設定	01	換気接続なし	○	
			02	エアコンと連動		シングル機は室内基板 CnT、マルチ機は室内基板 CND に換気機器を接続すると、室内ユニットの運転に連動し、換気機器の運転／停止を行います。
	06	「自動」運転設定	01	「自動」運転有効	※注１	
			02	「自動」運転無効	※注１	「自動」運転不可
室内機能	07	運転許可 / 禁止	01	無効	○	
			02	有効		運転許可／禁止制御を有効にします。
	08	外部入力切替	01	レベル入力	○	
			02	パルス入力		
	09	高天井設定	01	標準	注２	
			02	高天井１	注２	
			03	高天井２	注２	
	10	冷房時 ファン残留運転	01	残留運転なし	○	冷房停止後、ファン残留運転なし。
			02	０．５時間		冷房停止後、０．５時間ファン残留運転する。
			03	１時間		冷房停止後、１時間ファン残留運転する。
			04	６時間		冷房停止後、６時間ファン残留運転する。
	11	暖房時 ファン残留運転	01	残留運転なし	○	暖房停止、または暖房サーモ OFF 後、ファン残留運転なし。
			02	０．５時間		暖房停止、または暖房サーモ OFF 後、０．５時間ファン残留運転する。
			03	２時間		暖房停止、または暖房サーモ OFF 後、２時間ファン残留運転する。
			04	６時間		暖房停止、または暖房サーモ OFF 後、６時間ファン残留運転する。
	12	暖房室温補正	01	補正なし	○	
			02	室温補正＋３．０℃		暖房時の設定温度を＋３．０℃補正します。
			03	室温補正＋２．０℃		暖房時の設定温度を＋２．０℃補正します。
			04	室温補正＋１．０℃		暖房時の設定温度を＋１．０℃補正します。
	13	暖房ファン制御	01	弱風	○	暖房サーモ OFF 時、弱風で運転します。
			02	設定風量		暖房サーモ OFF 時、設定風量で運転します。電気集塵機を取付けた場合は「設定風量」に設定してください。
			03	間欠運転		暖房サーモ OFF 時、間欠運転します。
			04	停止		暖房サーモ OFF 時、ファンは停止します。 リモコンセンサ有効時は、自動的に「停止」に設定されます。本体サーモの時は、設定しないでください。
	14	吸込温度補正	01	補正なし	○	
			02	吸込温度補正＋２．０℃		室内ユニットの吸込温度を＋２．０℃補正します。
			03	吸込温度補正＋１．５℃		室内ユニットの吸込温度を＋１．５℃補正します。
			04	吸込温度補正＋１．０℃		室内ユニットの吸込温度を＋１．０℃補正します。
			05	吸込温度補正－１．０℃		室内ユニットの吸込温度を－１．０℃補正します。
			06	吸込温度補正－１．５℃		室内ユニットの吸込温度を－１．５℃補正します。
			07	吸込温度補正－２．０℃		室内ユニットの吸込温度を－２．０℃補正します。

注１：「※」印の初期設定は、接続される室内ユニットおよび室外ユニットにより異なり、下記の通り自動判別されます。

スイッチNo 機能番号	機能	設定	機種
SW1－6	風量調整	「風量調整」ボタン禁止	室内ファン風量切換えが１速のみの機種
		「風量調整」ボタン有効	室内ファン風量切換えが２速または３速の機種
リモコン機能 01	室内ファン速度	ファン速度３速	室内ファン風量３速の機種
		ファン速度２速（Hi-Lo）	室内ファン風量２速の機種
		ファン速度２速（Hi-Me）	
		ファン１速	室内ファン風量切換えが１速のみの機種
リモコン機能 06	「自動」運転設定	「自動」運転有効	「自動」モード選択可能な機種
		「自動」運転無効	「自動」モードの無い機種

注２：高天井設定時のファンタップ

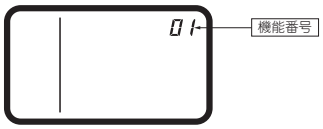
ファンタップ	室内風量設定		
	急－強－弱	急－弱	急－強
標準	Hi － Me － Lo	Hi － Lo	Hi － Me
高天井１・２	UHi － Hi － Me	UHi － Me	UHi － Hi

機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。

注３：ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合、室内機能設定は親室内ユニット・子室内ユニット各々設定してください。ただし、「07 運転許可／禁止」「08 外部入力切替」は親室内ユニットのみで設定可能です。

7. ボタン操作による機能設定の仕方

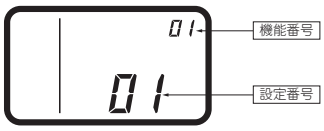
(1) **エアコンを停止させて、エアコンNoとMODEボタンを同時に長押しする。**
右上に、機能番号「01」が点滅します



(2) **TEMP△またはTEMP▽ボタンを押す。**
機能番号を選択します。

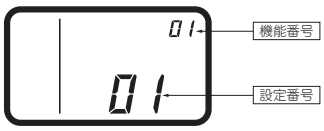
(3) **MODEボタンを押す。**
機能番号を確定する。

(4) **【リモコン機能（01～06）を選んだ場合】**
① 選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。
（例）
機能番号：「01」（点灯）
設定番号：「01」（点滅）

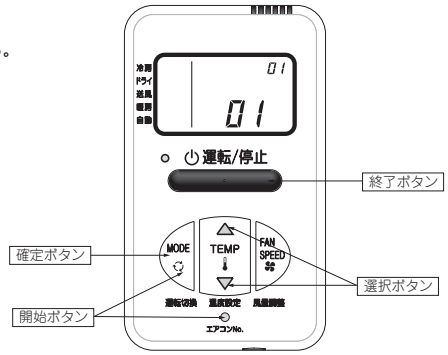


② **TEMP△またはTEMP▽ボタンを押す。**
設定番号を選択します。

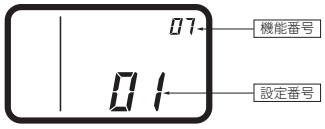
③ **MODEボタンを押す。**
設定が完了します。
確定した機能番号と、設定番号をデータを送信する間約3～20秒間点灯します。
（例）
機能番号：「01」（3～20秒間点灯）
設定番号：「01」（3～20秒間点灯）



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、
続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。
終了する場合は、(5)へお進みください。

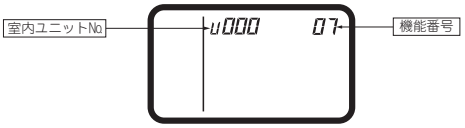


【室内機能（07～14）を選んだ場合】
① **温度設定表示部に、「88」が点滅します。**
（データを読み込む間約2～10秒点滅）
↓
その後、選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。
（例）
機能番号：「07」（点灯）
設定番号：「01」（点滅）



② へお進みください。

【注意】
a. 一つのリモコンに、室内ユニットを複数台接続している場合は、下記表示となります。
室内ユニットNo表示部：「U 000」（点滅）
（接続されている室内ユニットの、最も若い番号を表示。）

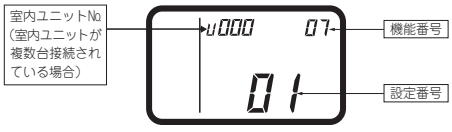


b. TEMP△またはTEMP▽ボタンを押す。
設定したい室内ユニットの番号を選びます。
「U ALL」を選択すると、全台同一の設定ができます。

c. MODEボタンを押す。
室内ユニットNoを確定します。
温度設定表示部に、「88」が点滅します。（データを読み込む間2～10秒点滅）
エアコンNoボタンを押すと室内ユニット選択表示（例「U 000」点滅）に戻ります。

② **TEMP△またはTEMP▽ボタンを押す。**
設定番号を選択します。

③ **MODEボタンを押す。**
設定が完了します。
確定した室内ユニットNo、機能番号、設定番号をデータを送信する間約3～20秒間点灯します。
（例）
室内ユニットNo：「U 000」（3～20秒間点灯）
機能番号：「07」（3～20秒間点灯）
設定番号：「01」（3～20秒間点灯）



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。終了する場合は、(5)へお進みください。

(5) **運転／停止ボタンを押す**
設定を終了します。

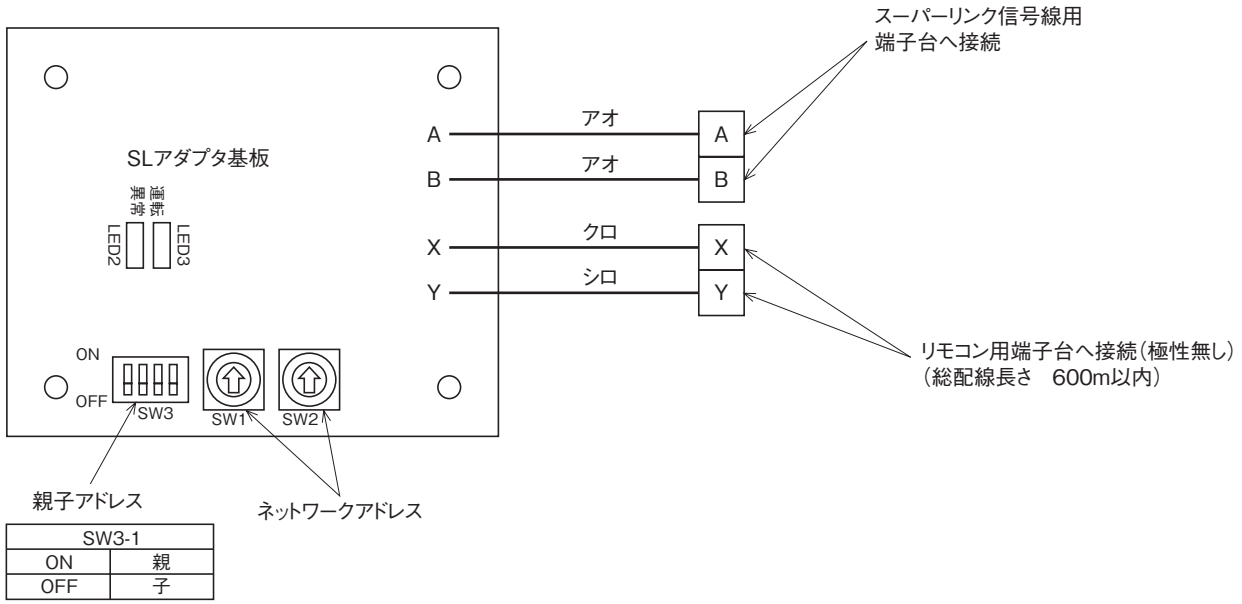
・設定の途中で、運転／停止ボタンを押しても終了します。ただし、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
・設定内容は、コントローラ内部に記憶され停電しても保存されております。

【現在設定の確認方法】
上記操作により、「機能番号」を選び、MODEボタンを押した時に、最初に表示される「設定番号」が、現在設定されている内容です。
（ただし、「U ALL」（全台）を選んだ場合は、室内ユニットNoの最も若い機種の設定番号が表示されます。）

1.19.4 スーパーリンクアダプタ（SC-ADNA）

仕　様			
名　称	スーパーリンクアダプタ	機能	(1) スーパーリンクオプションからの設定内容を各室内ユニットに送信 (2) スーパーリンクオプションからのデータ要求に対し優先室内ユニットのデータを返信 (3) 接続室内ユニットの異常状態を点検コードでスーパーリンクオプションに送信
形　式	SC-ADNA		
適用機種	室外-室内　2心通信仕様		
外形寸法（mm）	プリント基板　65×80×20 板金ボックス100×85×35		
制御可能な室内機台数	最大16台 （同一運転モード）		

接続要領



SW3-1	
ON	親
OFF	子

●信号線

0.75mm^2～1.25mm^{2}のシールド線（MVVS 2心）

注(1)　線径が0.75mm^{2}時で1500mまで，1.25mm^{2}時で1000mまでとなります。
2.0mm^{2}は使用しないでください。誤動作となる場合があります。

注(2)　シールド線は，両端をアースしてください。

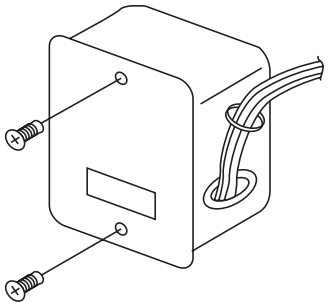
リモコンコードを延長する場合の注意

●コードは必ずシールド線を使用してください。
- 0.3mm^2×2心

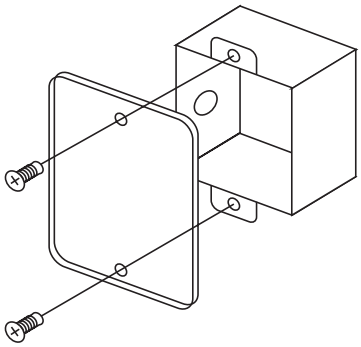
注(1)　延長距離が100mを超える場合は下記のサイズに変更してください。但し，リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm^{2}以下とし，リモコン外部の近傍で配線接続により，サイズを変更してください。
100～200m以内…0.5mm^2×2心
～300m以内…0.75mm^2×2心
～400m以内…1.25mm^2×2心
～600m以内…2mm^2×2心

取付要領

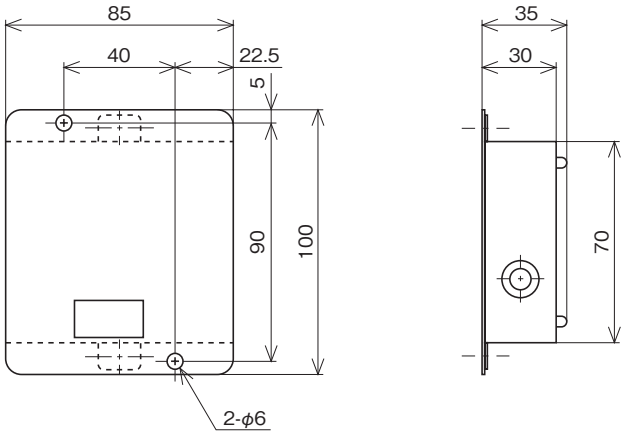
► 室内ユニット外へ
設置する場合は,
板金カバーを取付け
てください。



► リモコン背面へ取付
の場合は, 直接リモコン
下ケースへ取付けてください。



板金ボックス外形図



1.19.5 FDT お掃除ラクリーナパネル（T-PSCLS-6AW）

(1) 据付説明書

PJF012D052

本説明書は、お掃除ラクリーナパネルの据付方法を記載してあります。
室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

⚠ 警　告

●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。また、ぬれた手で操作などしない。
感電、故障や動作不良の原因になります。

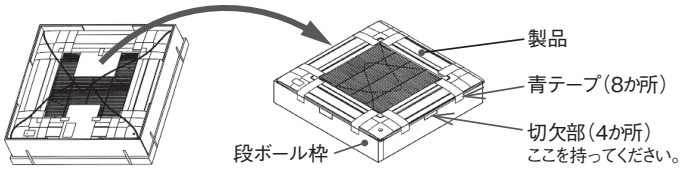
⚠ 注　意

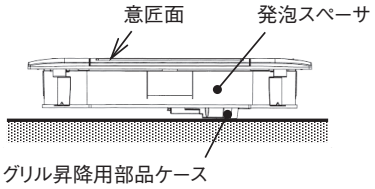
●次の場所への設置は避けてください。故障の原因になります。
・油煙が発生する作業場や水蒸気の発生、湿気の多いところ　・粉が浮遊する作業場や細かなホコリが大量に発生するところ
・タバコの煙が多いところ　・化粧品・特殊なスプレーを使用するところ

●温度制御が重要なところへの設置は避けてください。トラブルの原因になります。
エアコン運転中にフィルター清掃を開始すると、風量Lo・風向制御停止となります。

注　意

製品を梱包から取出す際は、段ボール枠と共に取出して、平らな場所に置いてください。
段ボール枠は製品に青テープで固定されています。段ボール枠の切欠部を持って取出してください。
グリル昇降用部品ケースが製品の面より突出しているため、段ボール枠なしに意匠面を上にして製品を置くと、
クリル昇降用部品やそれを固定している発泡スペーサが破損します。

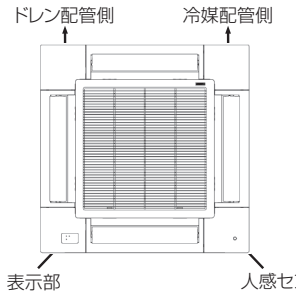




お願い　<ラクリーナ(グリル昇降)について>

・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
・電源投入前にお掃除ラクリーナパネルを取付けた場合、リモコンによる吸込グリルの昇降動作はできません。
・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。
・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
・吸込グリル取付け後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。
（マイコンが収納位置を記憶します。）
・ワイヤーは、折り曲げ、ねじり、噛み込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

❶ 据付の前に



付属品

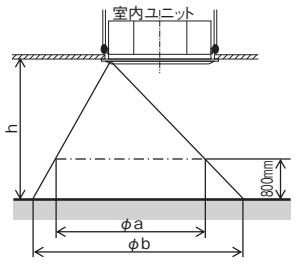
取扱説明書	1 冊	
据付説明書	1 枚	
ボルト	4 本	室内ユニットへの固定用
ストラップ	4 本	コーナリッド落下防止用
ねじ	4 本	コーナリッド固定用 ※
クランプ	4 本	吸込グリル仮固定用

※：電源投入前に吸込グリルを仮固定する際に使用する
クランプを固定するためにも流用します。

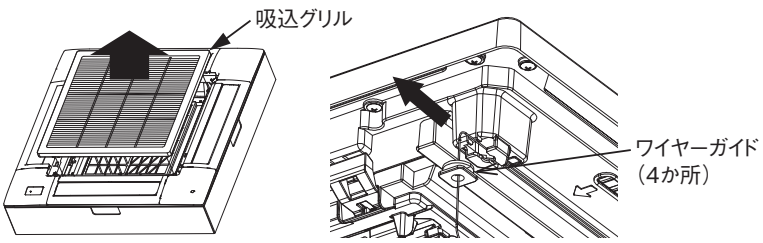
・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
・付属品を確認してください。
・人感センサの検知範囲の目安は以下のとおりです。

人感センサ検知範囲の目安

天井高さ　h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①　φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②　φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

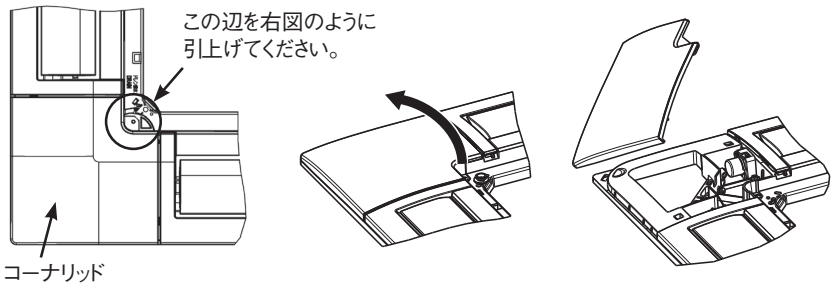


❷ 吸込グリルの取外し



1. 吸込グリルを持ち上げて、吸込グリルを開けます。
2. 吸込グリルのコーナに取付けてあるワイヤーガイドを外側にスライドして外してください。（4か所）
3. 吸込グリル内側のダストボックスの固定に使用している段ボールと青テープを取外してください。

❸ コーナリッドの取外し

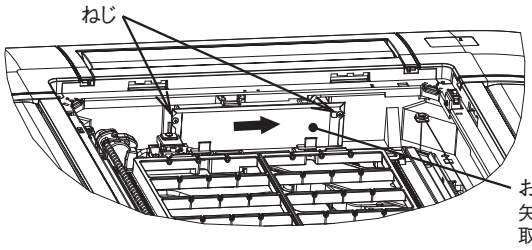


・コーナリッドを矢印の方向へ引上げて取外してください。（4 コーナとも）

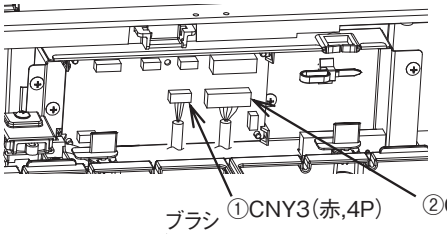
ご注意

表示部および人感センサ部は、コーナリッド内で配線が接続されています。

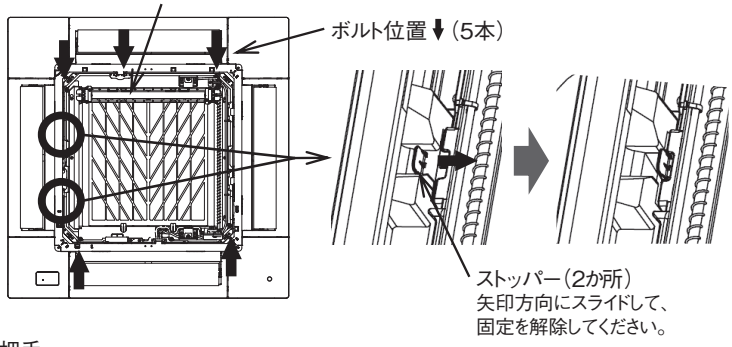
❹ お掃除ユニットの取外し



1. お掃除用制御箱の蓋を取外してください。
ねじ(2本)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドして取外してください。

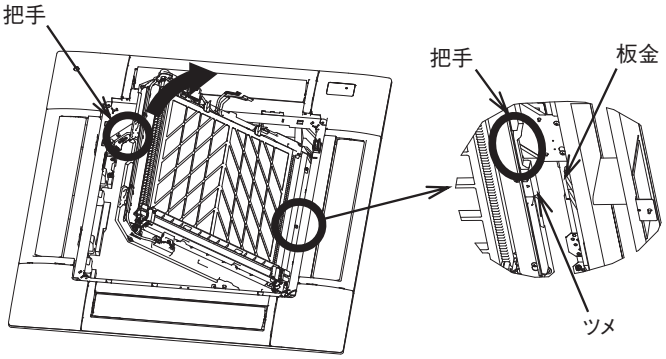


2. お掃除用制御箱内のコネクタを外してください。
①CNY3（赤，4P）：ブラシ位置検知スイッチ線
②CNM2（白，20P）：ブラシモータ線



3. ボルト(5本)を取外してください。

4. 仮固定ストッパー(2か所)を図の矢印の方向にスライドして、固定を解除してください。



5. 把手を持って、ストッパー側から引上げてください。
反対側はお掃除ユニットのツメがパネル本体の板金に引掛かっています。

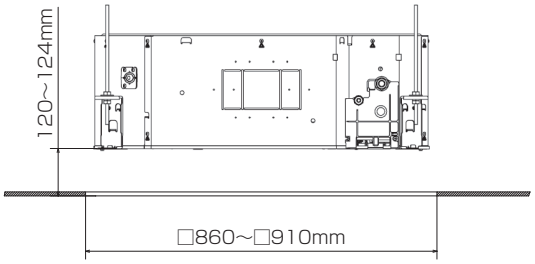
6. ツメを板金から外し、お掃除ユニットをパネル本体から取外してください。

ご注意

シャフトやブラシを持たないでください。
フィルタ清掃が正常に動かなくなります。

7. お掃除ユニットは、フィルタ側を上にして平らな場所に置いてください。
平らな場所には置くことができます。

❺ 室内ユニットの取付レベルの確認



室内ユニット取付高さは、パネル取付後にコーナ開口部より微調整ができます。

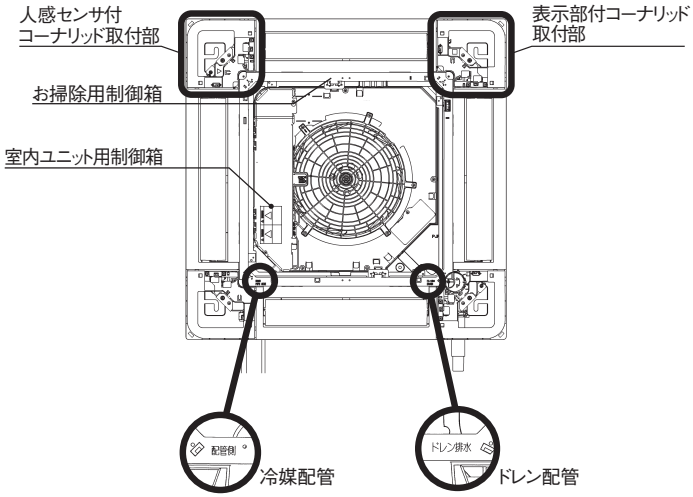
標準パネルよりも+110mm高く

・お掃除ラクリーナパネルの場合、標準パネルの据付に対し、天井裏高さが110mm増します。
天井下面と室内ユニット下面の差は120~124mmの範囲内としてください。
・天井開口は標準パネルと同一の□860~□910mmの範囲にしてください。

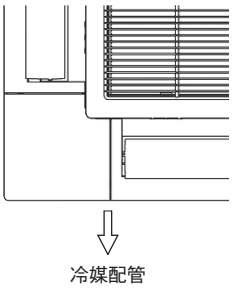
ご注意

パネル本体取付の際、室内ユニットの天井からの高さはパネル本体に無理な荷重がかからない高さにしてください。フィルタ清掃が正しくできなかったり、吸込グリルが正しく閉じないことがあります。

❻ パネル本体の取付方向

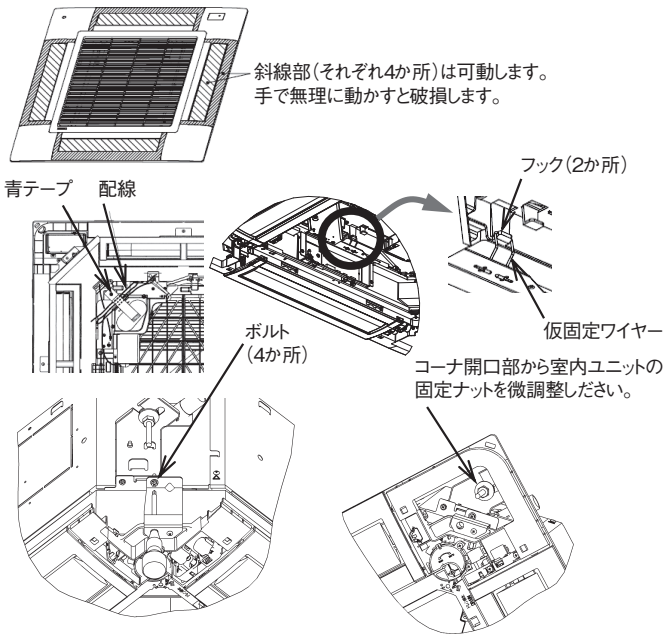


・パネル本体の取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。
・パネル本体は、図に示す方向で取付けてください。
・パネル本体の「ドレン排水」と室内ユニットドレン配管の位置を合わせてください。
・パネル本体の「配管側」と室内ユニット冷媒配管の位置を合わせてください。



吸込グリルに方向性があります。
一方向にしか取付けられません。

❼ パネル本体の取付



ご注意

吹出口のルーバ(▨部)と吹出口周囲のエアフレックス(▨部)は可動する部品です。
手で無理に動かすと破損します。パネル本体を持つ際は取扱に注意してください。

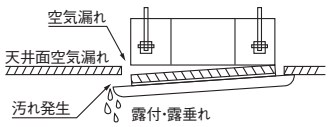
1. パネル本体の裏側で配線が青テープで固定されています。青テープを剥がしてください。
2. パネル本体の仮固定ワイヤーを室内ユニットのフック(2か所)に引掛けて、パネル本体を室内ユニットに吊るします。
3. 付属のボルト(4本)で、パネル本体と室内ユニットを固定してください。
室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がなければ、パネル本体を取付けたまま室内ユニットの据付高さを微調整できます。

ご注意

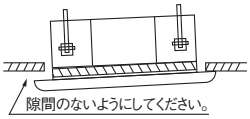
パネル本体取付の際、室内ユニットの天井からの高さはパネル本体に無理な荷重がかからない高さにしてください。フィルタ清掃が正しくできなかったり、吸込グリルやエアフレックスを閉じることができない恐れがあります。

ご注意

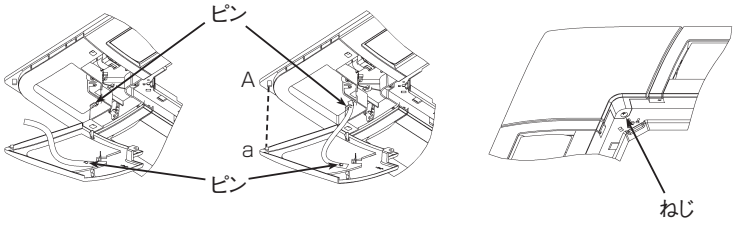
・吊りボルトの締込が不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。

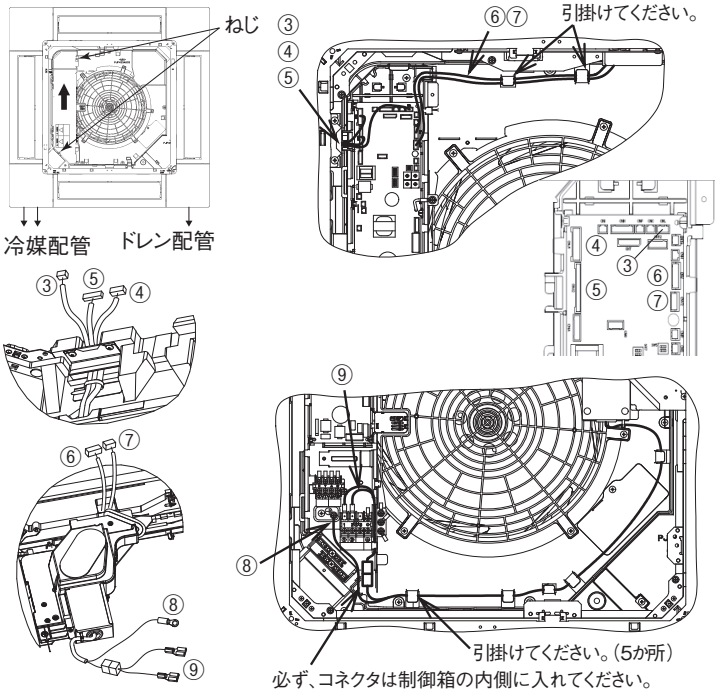


⑧ コーナリッドの取付



1. 付属のストラップをコーナリッドのピンに折り返して引掛けてください。
2. コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネル本体のピンに引掛けてください。
3. コーナリッドのa部をパネル本体のA部に挿入して、コーナリッドのツメ（2か所）をはめてください。
4. 付属のねじで固定してください。

⑨ 電気配線工事（パネルと室内ユニットとの接続）

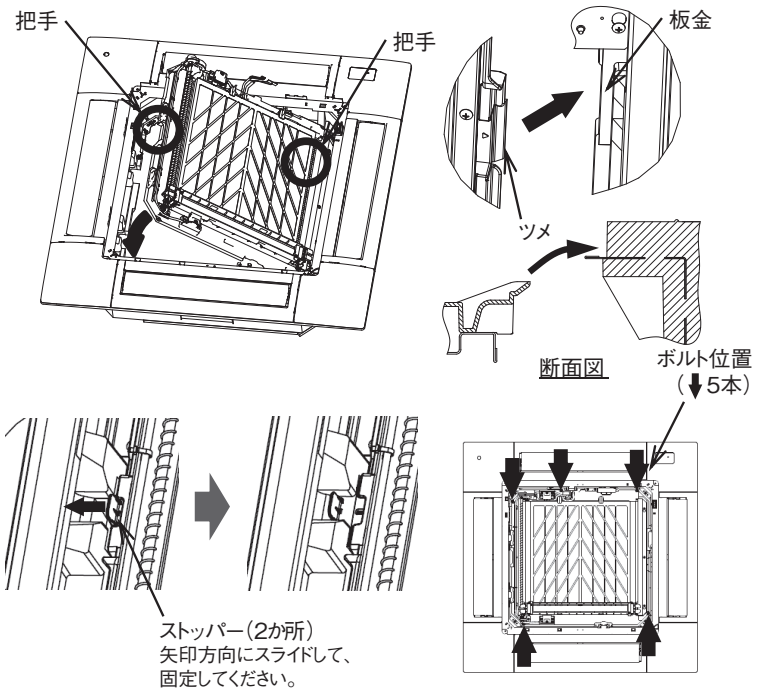


1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドして取外してください。
2. パネル本体の配線を室内ユニットに接続してください。
＜信号線＞
③CNL（黒，３P）：人感センサ線
④CNJ1（白，20P）：ルーバモータ線
⑤CNJ2（白，20P）：エアフレックスモータ線
⑥CNV（白，６P）：ラクリーナ基板線
⑦CNV2（黒，４P）：お掃除基板線
＜電源線＞
⑧ファストン端子（２個）：ラクリーナ電源線
⑨丸端子（１個）：アース線

ご注意
アース線は、所定の箇所に接続してください。

3. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)を締付けてください。
4. 室内ユニットの形式、製造号機を取扱説明書裏ページ等へ控えてください。
（お掃除ユニットを取付けると室内ユニットの装置銘鈑が見え難くなります。）

⑩ お掃除ユニットの取付



1. お掃除ユニットの把手(2か所)を持って、取付てください。

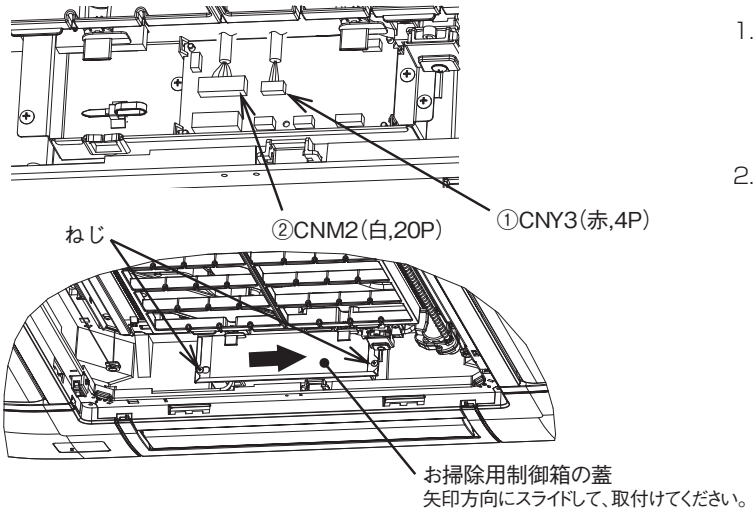
ご注意
シャフトやブラシを持たないでください。
フィルタ清掃が正常に動かなくなります。

2. お掃除ユニットのツメをパネル本体の板金部に乗るように、お掃除ユニットをパネル本体に収めてください。
3. お掃除ユニットのシャフト側をパネル本体に収めてください。

ご注意
お掃除ユニットをパネル本体に収める際、
ワイヤを噛込まないよう注意してください。

4. 仮固定ストッパー(2か所)を矢印の方向にスライドして、仮固定してください。
5. ボルト(5本)で固定してください。

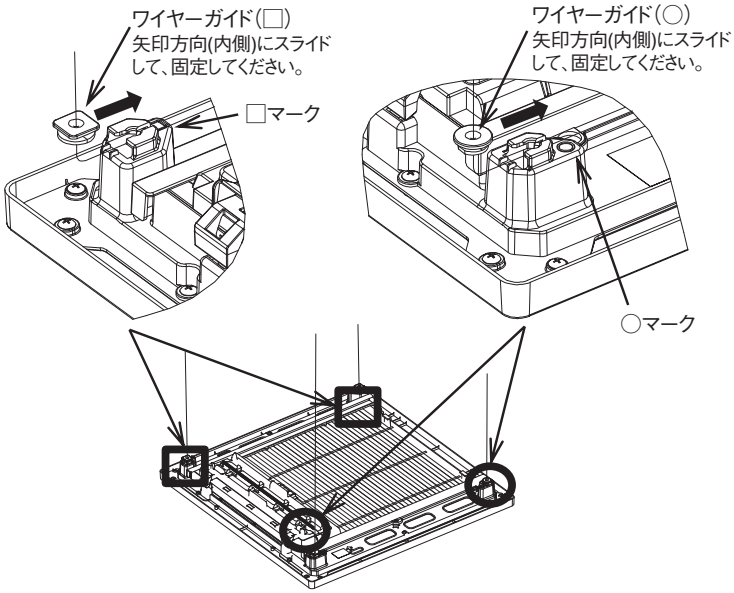
⓫ 電気配線工事（パネルとお掃除ユニットとの接続）



1. お掃除用制御箱内の配線を接続してください。
   ①CNY3(赤,4P):ブラシ位置検知スイッチ線
   ②CNM2(白,20P):ブラシモータ線

2. お掃除用制御箱の蓋を取付けてください。
   蓋を図の矢印の方向にスライドし、ねじ(2本)を締付けてください。

⓬ 吸込グリルの取付



1. ワイヤーガイドを吸込グリルに取付けてください。
   ワイヤーガイドの形状と取付部のマークの形状を合わせてください。
   形状が異なる組合せでは取付けることができません。

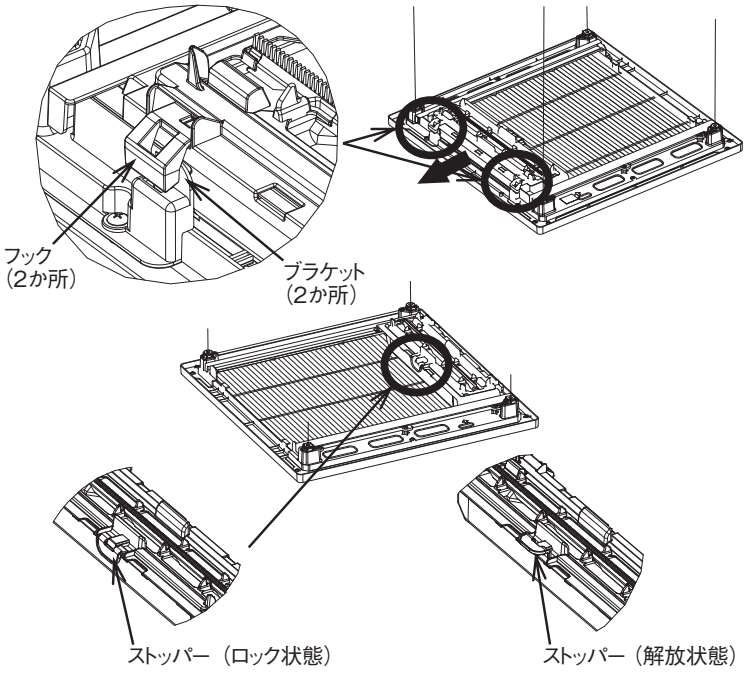
ご注意

吸込グリルの取付には方向性があります。
正しい方向に取付けないと、フィルタ清掃ができません。

ご注意

ワイヤーガイドは確実に取付けてください。また、ワイヤーが他の部品に絡まっていないか確認してください。
吸込グリルの昇降ができなくなったり、吸込グリルが脱落する恐れがあります。

⓭ ダストボックスの確認



1. ダストボックス蓋のフック(2か所)が吸込グリルのブラケットに引掛かっていることを確認してください。
   引掛かっていない場合は、ダストボックスを矢印の方向に移動し、フックを引掛けてください。

ご注意

ダストボックス蓋のフックが引掛かっていない状態で吸込グリルを閉じると、正しくフィルタ清掃できません。
最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

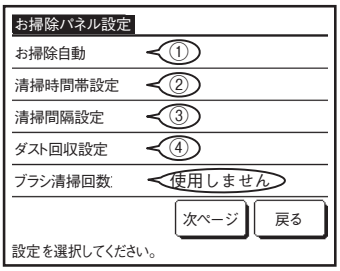
2. ダストボックス蓋のストッパー(1か所)がロックされ、ダストボックス（透明）が出てこないことを確認してください。

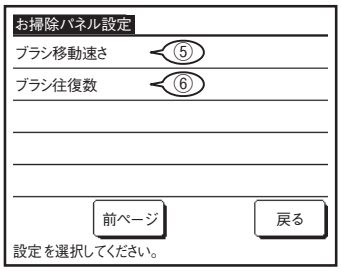
⑭ ecoタッチリモコンによる各種設定

フィルタ清掃などお掃除ラクリーナパネルの機能や吸込グリルの昇降、人感センサを使用した制御を使用するには、 ecoタッチリモコンでの設定が必要です。必ず、本項の設定をしてください。

<お掃除機能の設定> 詳細はecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

TOP画面 メニュー ⇒ お手入れ ⇒ お掃除パネル設定 ⇒ 管理者パスワード入力





ご注意

必ず、①お掃除自動を有効に設定してください。
フィルタ清掃しません。

①お掃除自動

お掃除機能の有効/休止を設定します。

休止を選択した場合、お掃除に関する全ての機能が使用できませんので、ご注意ください。

制御有効：お掃除に関する全ての制御が有効になります。自動フィルタ清掃などお掃除の機能を有効にします。

制御休止：お掃除に関する全ての制御が休止になります。

フィルタ清掃しなくなり、お掃除の機能が全て使えなくなります。 ecoタッチリモコンやバックアップスイッチでの操作も全てできなくなります。

②清掃時間帯設定

自動でフィルタ清掃を開始する時間帯を設定します。

設定した時間帯のエアコンが停止しているときにフィルター清掃を開始します。

A：0:00 ～ 6:00
B：6:00 ～ 12:00
C：12:00 ～ 18:00
D：18:00 ～ 24:00
E：時刻指定 … フィルタ清掃を開始する時刻を5分単位で設定できます。設定した時刻にフィルタ清掃を開始します。

③清掃間隔設定

フィルタ清掃する間隔を設定します。

設定した期間中に1回もエアコンを運転していない場合、設定した間隔でフィルタ清掃しません。

ただし、エアコンを運転していない期間が連続7日経過すると、自動でフィルタ清掃します。

A：毎日…… 1日1回、フィルタ清掃します。
B：2日毎 … 2日1回、フィルタ清掃します。
C：3日毎 … 3日1回、フィルタ清掃します。

④ダスト回収設定

ダスト回収(ダストボックス内に溜まったホコリを廃棄)をお知らせする時期を設定します。

パネル表示部の表示灯(黄)が点灯し、ecoタッチリモコンにダスト回収の時期であることを表示します。

A：半年毎
B：1年毎
C：2年毎
D：日付指定 … 設定した日にちにダスト回収時期をお知らせします。

参考

一般事務所１年分のホコリを想定しています。
ホコリの多少により設定してください。

⑤ブラシ移動速さ設定

フィルタ清掃するブラシの移動速さを設定します。（工場出荷時の設定はB：ふつう）

カッコ内の時間は、ブラシが1往復する時間です。

A：ゆっくり （約45分）
B：ふつう （約30分）
C：少し はやい （約17分）
D：はやい （約8分）

参考

ホコリがフィルタに残る場合、A：ゆっくりに設定すると改善される場合があります。

⑥ブラシ往復数設定

フィルタ清掃1回にブラシが往復する回数を設定します。（工場出荷時の設定は1回）

1～3回で設定できます。

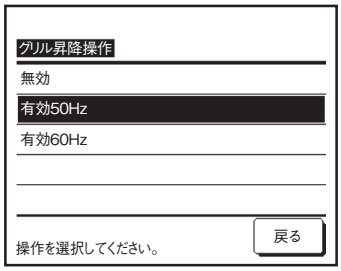
1回のフィルタ清掃に要する時間は設定した⑤ブラシ移動速さの時間と ⑥ブラシ往復数の積になります。

例）ブラシ移動速さ：ふつう（約30分）、ブラシ往復数：2回に設定した場合。

約30分 × 2往復 = 約60分 … フィルタ清掃開始して完了するまでに要する時間（1回のフィルタ清掃の時間）

＜吸込グリル昇降の設定＞

TOP画面 メニュー ⇒ サービス設定 ⇒ 据付設定 ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ グリル昇降操作



据付場所の電源周波数をタッチしてください。

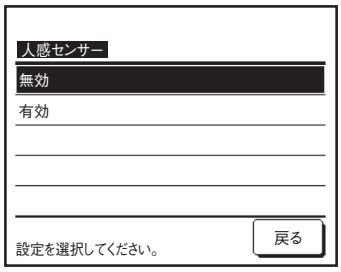
ご注意

必ず、設定してください。
吸込グリルを昇降できません。

吸込グリル下降長さを設定する場合はecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。
（工場出荷時の設定は2m）

＜人感センサーの設定＞

TOP画面 メニュー ⇒ サービス設定 ⇒ 据付設定 ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ 人感センサー設定



有効 をタッチしてください。

ご注意

必ず、設定してください。
人感センサの機能が使えません。

人感センサを使用した制御の設定は　ecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

＜エアフレックス(風よけ)について＞

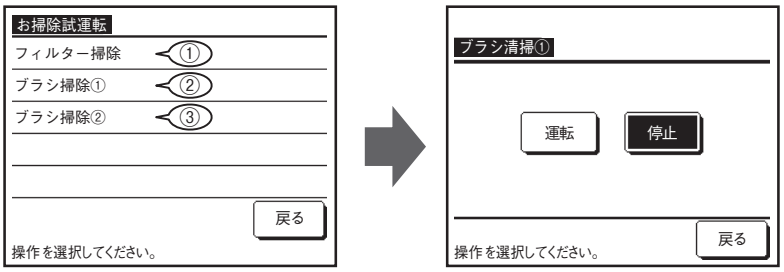
エアフレックス(風よけ)の設定は特に必要ありません。
ecoタッチリモコンのF1スイッチで、エアフレックス(風よけ)をON/OFFできます。
ただし、吹出口ごとや運転モードによりエアフレックス(風よけ)のON/OFFを変更する場合はecoタッチリモコンでの設定が必要です。ecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

⑮ ecoタッチリモコンによる動作確認など

ecoタッチリモコンを使用して、フィルタ清掃の実施や各動作の確認をすることができます。

1. 試運転

TOP画面 メニュー ⇒ サービス設定 ⇒ 据付設定 ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ 試運転 ⇒ お掃除試運転



①フィルタ清掃

フィルタ清掃します。フィルタ清掃中は吸込グリルの昇降ができません。
フィルタ清掃を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。
表示灯(緑)：点灯 ／ 表示灯(黄)：消灯

②ブラシ清掃①

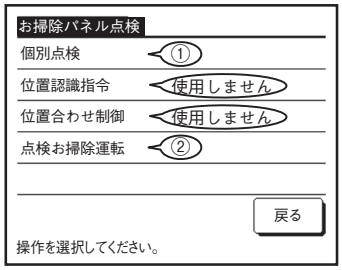
ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルタに残っているホコリを除去するため、
ブラシが移動速さC：少し はやいでランダムに往復を繰り返します。（約12分）
ブラシ清掃①を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。
表示灯(緑)：点灯 ／ 表示灯(黄)：連続点滅

③ブラシ清掃②

ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルタ
に残っているホコリを除去するため、
ブラシが設定した移動速さでランダムにブラシ清掃①より少ない往復数で往復を繰り返します。
（所要時間はブラシ移動速さによる）
ブラシ清掃②を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。
表示灯(緑)：点灯 ／ 表示灯(黄)：連続点滅

2. 点検

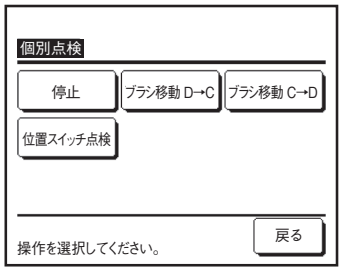
TOP画面 メニュー ⇒ サービス設定 ⇒ サービス･メンテナンス ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ お掃除パネル点検



※位置認識指令と位置合わせ制御は本製品では使用しません。
旧型のお掃除ラクリーナパネルで使用します。

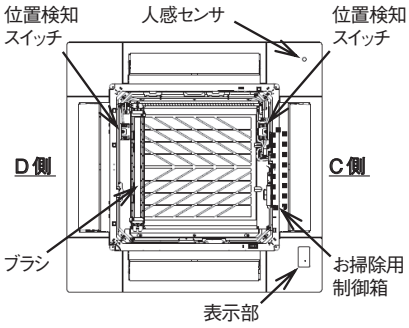
①個別点検

ブラシを移動させたり、位置検知スイッチの点検をすることができます。



ブラシ移動 D→C： ブラシがD側→C側に移動します。
ブラシがC側端に到達すると停止します。
また、停止をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。
表示灯(緑)：1回点滅 ／ 表示灯(黄)：連続点滅

ブラシ移動 C→D： ブラシがC側→D側に移動します。
ブラシがD側端に到達すると停止します。
また、停止をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。
表示灯(緑)：2回点滅 ／ 表示灯(黄)：連続点滅



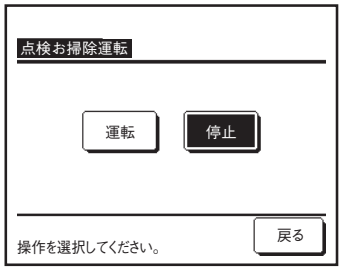
位置スイッチ点検： 表示灯(緑)と表示灯(黄)が3秒間点滅します。その後、
位置検知スイッチ(D側)をON中は表示灯(緑)が点灯します。
位置検知スイッチ(C側)をON中は表示灯(黄)が点灯します。
停止をタッチするか、5分経過すると終了します。

ご注意

吸込グリルを開いた状態でブラシ移動した場合、移動の途中など、ブラシがD側端にない状態(表示灯(黄)：連続点滅)で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルタ清掃できません。
最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

②点検お掃除運転

フィルタ清掃を開始します。フィルター清掃中に吸込グリルの昇降ができます。
また、お掃除ユニットの動作を点検する場合など、吸込グリルを開いた状態でフィルタ清掃ができます。



表示灯(緑)：点灯 ／ 表示灯(黄)：連続点滅

ご注意

吸込グリルを開いた状態で点検お掃除運転した場合、フィルタ清掃の途中など、ブラシがD側端にない状態(表示灯(黄)：連続点滅)で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルタ清掃できません。
最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

③バックアップスイッチでの点検

バックアップスイッチで下記の点検動作ができます。動作内容はecoタッチリモコンを使用した場合と同じです。

バックアップスイッチのON時間	点検内容	表示灯(緑)	表示灯(黄)
3秒未満	点検お掃除運転	点灯	連続点滅
3～6秒	ブラシ移動D→C	1回点滅	連続点滅
6～10秒	ブラシ移動C→D	2回点滅	連続点滅
10秒以上	位置スイッチ点検	※	

※：表示灯(緑)と表示灯(黄)が3秒間点滅します。その後、
位置検知スイッチ(D側)をON中は表示灯(緑)が点灯します。
位置検知スイッチ(C側)をON中は表示灯(黄)が点灯します。
再び、バックアップスイッチを押すか、5分経過すると終了します。

ご注意

点検動作中は、ブラシがD側端部にない(表示灯(黄)：連続点滅)状態でグリルを昇降できます。（通常はできません。）
表示灯(黄)が連続点滅しているときは吸込グリルを閉じないでください。
正しくフィルタ清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。
必ず、表示灯(黄)が消灯しているのを確認してから、吸込グリルを閉じてください。表示灯(黄)が連続点滅してる場合は、消灯してから吸込グリルを閉じてください。（個別点検の ブラシ移動 C→D をタッチしてください。）

ダスト回収時期に到達した場合は表示灯(黄)は点灯します。
ダスト回収し、フィルタサインをリセットした後、表示灯(黄)が連続点滅するか確認してください。

PJF012A026A A

安全上のご注意

■ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お掃除ラクリーナパネル関連事項を抜粋しています。必ずエアコンの取扱説明書「安全上のご注意」もお読みください。
■ここに示した注意事項は，「⚠ 警告」，「⚠ 注意」に区分していますが，誤った取扱をしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。しかし，「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。
■絵表示の例


△記号は，危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。


○記号は，禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。


●記号は，行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを行なってください）が描かれています。

■お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また，お使いになる方が代わる場合は，必ず本書をお渡しください。

据付上の注意事項

⚠ 警告

据付は，販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると，水漏れや感電，火災，エアコン落下によるケガの原因になります。

⚠ 注意

次の場所への設置は避けてください。故障の原因になります。
- 油煙が発生する作業場
- 粉が浮遊する作業場
- タバコの煙が多いところ
- 水蒸気の発生，湿気の多いところ
- 化粧品・特殊なスプレーを使用するところ
- 細かいホコリが多いところ

温度制御が重要なところへの設置は避けてください。
トラブルの原因になります。
エアコン運転中にフィルター清掃を開始すると，風量 Lo・風向制御停止となります。24 時間運転等のところでは，フィルター清掃中運転状態（能力低下）が変わります。尚，フィルター清掃中は表示部に緑が点灯します。

使用上の注意事項

⚠ 警告

エアコンおよびリモコンを水洗いしない。
エアコンおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になります。

可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）はエアコンの近くで使用しない。ベンジン・シンナーで室内ユニット，パネルをふかない。
引火・感電・ひび割れの原因になります。

⚠ 注意

濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

濡れたフィルターを使用しない。
フィルターを洗った時は乾かしてから装着してください。

eco タッチリモコンの日付・時刻設定をする。
日付・時刻設定をしないと制御タイマが正しく動作しません。

ダストボックスを外して使用しない。
ダスト回収後の装着忘れにご注意ください。

特殊用途には使用しない。
動植物の飼育や栽培などの用途に使用すると，微生物繁殖の原因になることがあります。

定期点検を行う。
1 年 1 回以上，フィルタのホコリ取残し，ダストボックスが満杯でないか点検をしてください。

移設・修理時の注意事項

⚠ 警告

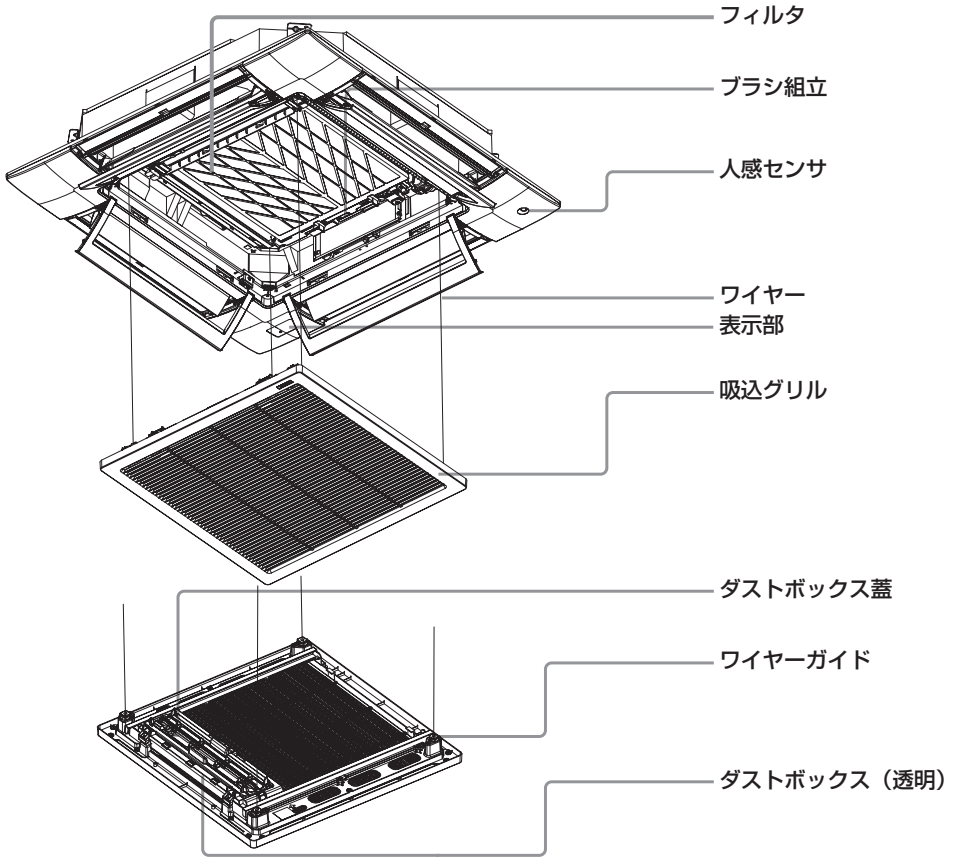
改修は絶対にしない。また，修理はお買い上げの販売店に相談する。
部品の交換は，お買い上げの販売店に相談してください。
修理に不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。

エアコンを移動再設置する場合は，販売店または専門業者に相談する。
据付に不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。

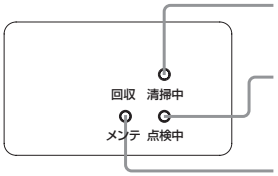
室内ユニットの修理・点検作業に際して「室内ユニット電源ブレーカ」を必ず落とす。
点検･修理にあたって，室内ユニットの電源ブレーカが ON のままだと，感電および室内ユニットのファン回転による受傷の原因になります。

各部のなまえ

• 下図は吸込グリルが下がった状態を示します。



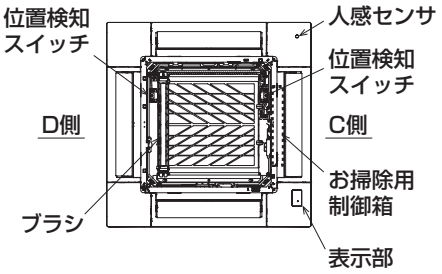
■表示部



バックアップスイッチ

表示灯（緑）：清掃／点検
フィルター清掃中に点灯します。
点検動作中は点滅します。

表示灯（黄）：ダスト回収／メンテナンス
ダストボックス内のホコリの回収時期に点灯します。
メンテナンスが必要なときに点滅します。
メンテナンスコードにより点滅回数が異なります。



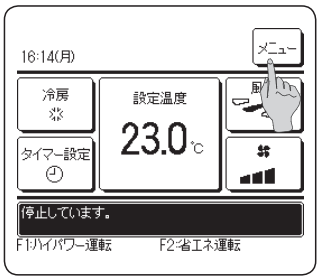
表示内容

No.	表示灯 (緑)	表示灯 (黄)	eco タッチリモコンの表示	内　容
1	点灯	消灯	フィルター清掃中　○○% 現在、グリル昇降できません	フィルタ清掃 (お掃除運転)中で、○○%完了しています。 吸込グリルの昇降ができません。
2	成り行き	点灯	ダスト回収　ここをタッチしてください	ダスト回収時期になりました。 ダスト回収をしてください。
3	点灯	連続点滅	フィルター清掃中　○○%	点検お掃除運転を実施中で、○○%完了しています。 吸込グリルの昇降ができます。
4	点灯	連続点滅		ブラシ清掃①を実施中です。 吸込グリルの昇降ができます。
5	点灯	連続点滅		ブラシ清掃②を実施中です。 吸込グリルの昇降ができます。
6	1回点滅	消灯	M01	D側→C側へのブラシの移動が正しく終了しませんでした。
7	2回点滅	消灯	M02	C側→D側へのブラシの移動が正しく終了しませんでした。
8	3回点滅	消灯	M03	C側→D側へブラシが移動中にC側の位置検知スイッチがON しました。
9	4回点滅	消灯	M04	D側→C側へブラシが移動中にD側の位置検知スイッチがON しました。
10	5回点滅	成り行き	M21	吸込グリルが正しくパネル本体に収納されていません。
11	6回点滅	消灯	M06	2つ位置検知スイッチが同時に ON になっています。

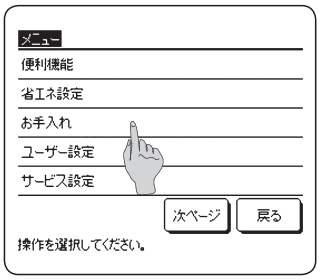
・空欄は成り行きの表示をします。
・No.6～ 11 の処置方法は〈サービス編〉をご覧ください。

フィルタ清掃運転の設定

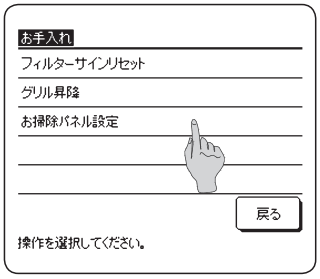
ecoタッチリモコンは液晶部をタッチすると画面が明るくなります。日付・時刻の両方を正しくセットしてください。
セットされていないと制御タイマが正しく作動しません。
日付・時刻の設定は，ecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。「メニュー⇒初期設定⇒時刻設定」
フィルタ清掃運転に関する設定は，ecoタッチリモコンから設定ができます。なお，本取扱説明書のecoタッチリモコンの表示はRC-DX3Dの場合です。リモコンの形式が異なる場合はリモコンの取扱説明書をご覧ください。



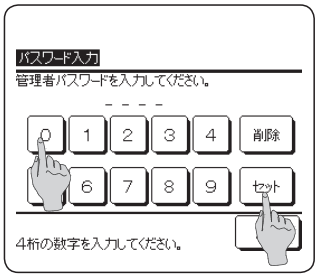
1 TOP画面上の メニュー をタッチしてください。



2 メニュー画面で お手入れ をタッチします。



3 お手入れ画面で お掃除パネル設定 をタッチします。

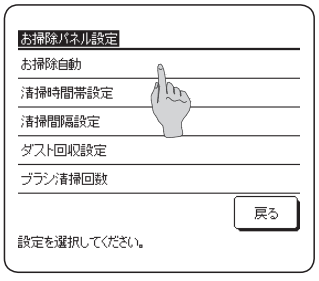


4 管理者パスワード入力画面を表示します。

管理者パスワード（数字4桁）入力後， セット をタッチしてください。
パスワードがわからない場合，異なった場合は，設定変更ができません。

お知らせ

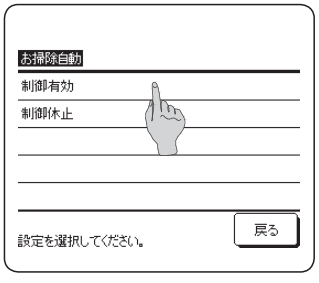
・工場出荷時に設定されている管理者パスワードは，据付工事説明書を参照ください。
また管理者パスワードを忘れた場合も，据付工事説明書を参照し，管理者パスワードの初期化を行ってください。



5 お掃除パネル設定メニュー画面を表示します。

設定する項目をタッチしてください。
①お掃除自動…… お掃除機能の有効/休止を設定します。
②清掃時間帯設定…… フィルタ清掃を開始する時間帯を設定します。
③清掃間隔設定…… フィルタ清掃する間隔を設定します。
④ダスト回収設定…… ダスト回収をお知らせする時期を設定します。
⑤ブラシ清掃回数…… 本製品では使用しません。旧型のお掃除ラクリーナパネルで使用します。
⑥ブラシ移動速さ設定… フィルタ清掃するブラシの移動速さを設定します。
⑦ブラシ往復数設定…… フィルタ清掃1回にブラシが往復する回数を設定します。

■お掃除自動設定のしかた



1 お掃除自動制御の有効/休止を設定します。

制御有効： お掃除に関する全ての制御が有効になります。フィルタ清掃などお掃除の機能を有効にします。
制御休止： お掃除に関する全ての制御が休止になります。
フィルタ清掃しなくなり、お掃除の機能が全て使えなくなります。ecoタッチリモコンやバックアップスイッチでの操作が全てできなくなります。

休止を選択した場合、お掃除に関する全ての機能が使用できませんので、ご注意ください。

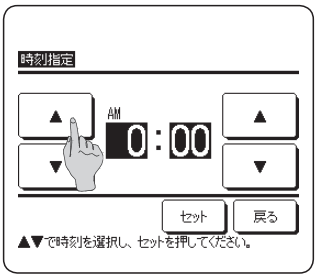
■清掃時間帯設定のしかた



1 自動でフィルタ清掃を開始する時間帯を設定します。

設定された時間帯内の任意の時刻に自動清掃を開始します。
エアコンの停止している時間を見計らって開始します。
エアコンが運転している場合は，風量を弱まで下げ，ルーバ停止し，フィルタ清掃を行います。
フィルタ清掃中はモータ音が発生します。
フィルタ清掃が気にならない時間帯（通常不在の）を選択してください。

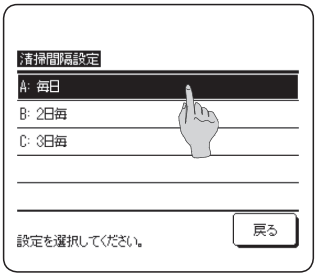
「E：時刻指定」を選択することにより，お掃除自動運転を開始する時刻を指定することができます。（☞2 へ）



2 清掃時間帯設定において，時刻指定を選択すると，時刻設定画面を表示します。

▲ ▼ で，ご希望の時刻（5分単位）に合わせてください。
ご希望の時刻に設定後，セット をタッチしてください。

■清掃間隔設定のしかた

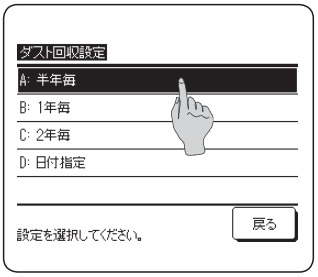


1 フィルタ清掃する間隔を設定します。

A：毎日　　…1日1回、フィルタ清掃します。
B：2日毎　…2日1回、フィルタ清掃します。
C：3日毎　…3日1回、フィルタ清掃します。

設定した期間中に1回もエアコンを運転していない場合、設定した間隔でフィルタ清掃しません。
ただし、エアコンを運転していない期間が連続7日経過すると、自動でフィルタ清掃します。

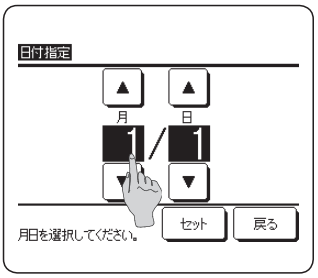
■ダスト回収設定のしかた



1 ダスト回収をお知らせする時期を設定します。

設定された日になると，ecoタッチリモコンに「ダスト回収　ここをタッチしてください。」を表示し、表示部の表示灯（黄）が点灯します。
一般事務所1年分のホコリを想定しています。ホコリの多少により設定してください。

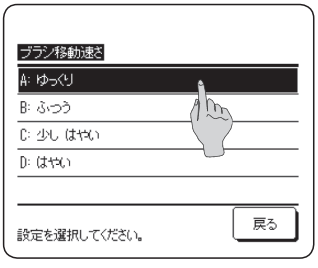
「D：日付指定」を選択することにより，ダスト回収時期を日付指定することができます。（☞2 へ）



2 ダスト回収設定において，日付指定を選択すると，日付設定画面を表示します。

▲ ▼ で，ご希望の日付に合わせてください。
ご希望の日付に設定後，セット をタッチしてください。
設定した日付になると，「ダスト回収　ここをタッチしてください。」を表示します。

■ブラシ移動速さの設定のしかた



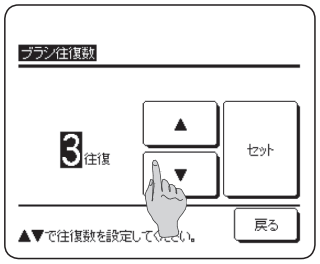
1 フィルタ清掃するブラシの移動速さを設定します。

A：ゆっくり　　（約45分）
B：ふつう　　（約30分）
C：少し はやい　（約17分）
D：はやい　　（約8分）

カッコ内の時間は、ブラシが1往復する時間です。

ホコリがフィルタに残る場合、『A：ゆっくり』に設定すると改善される場合があります。

■ブラシ往復数の設定のしかた



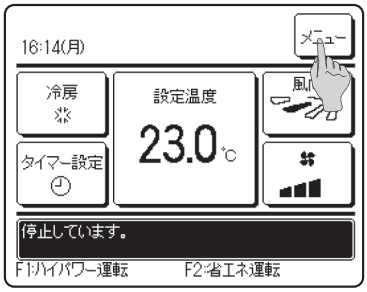
1 フィルタ清掃１回にブラシが往復する回数を設定します。

１～３回で設定できます。
フィルタ清掃する時間は設定した⑥ブラシ移動速さの時間と⑦ブラシ往復数の積になります。

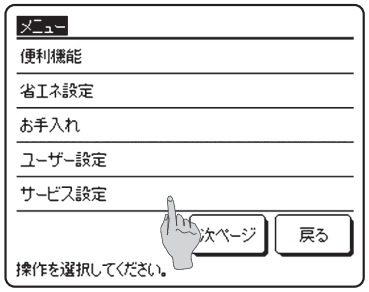
例）ブラシ移動速さ：ふつう（約30分）、ブラシ往復数：２回に設定した場合。

約30分 × ２往復 = 約60分 …フィルタ清掃開始して完了するまでの時間（１回のフィルタ清掃時間）

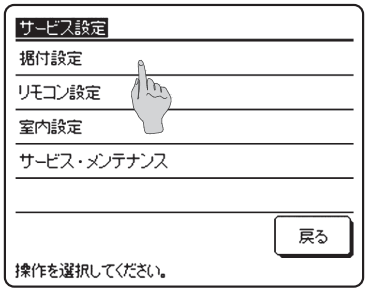
お掃除ラクリーナパネルの試運転



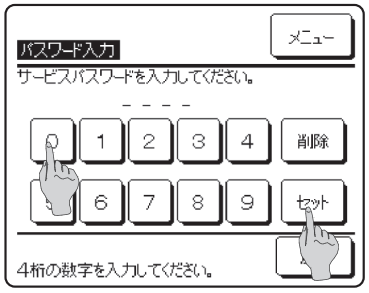
1
メニューをタッチする
メニュー設定画面に切換わります。



2
サービス設定をタッチする
サービス設定画面に切換わります。

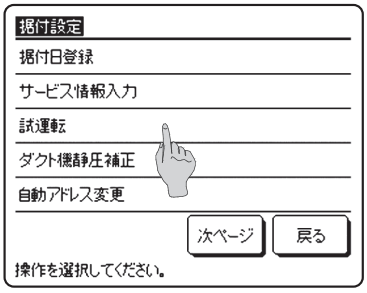


3
据付設定をタッチする
パスワード入力画面に切換わります。

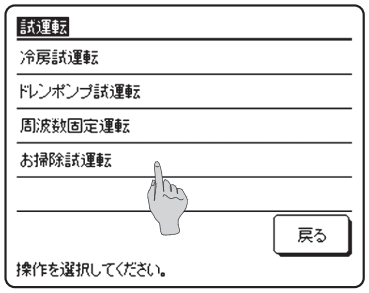


4
サービスパスワードを入力する

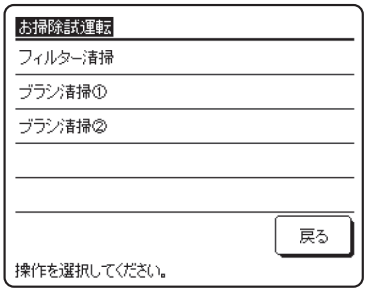
5
セットをタッチする
据付設定画面に切換わります。



6
試運転をタッチする
試運転画面に切換わります。



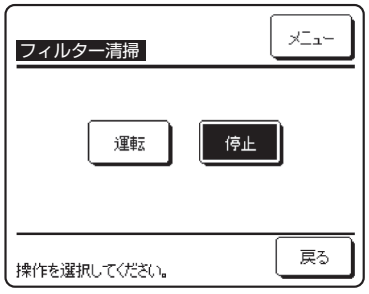
7
お掃除試運転をタッチする
お掃除試運転画面に切換わります。



(1)

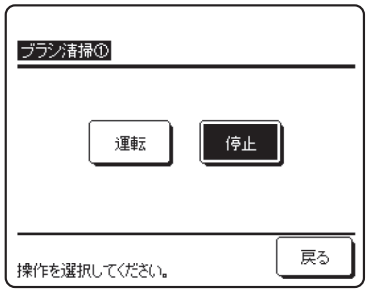
(2)

(1)フィルター清掃



フィルタ清掃をおこないます。

(2)ブラシ清掃①またはブラシ清掃②



ブラシ清掃①または
ブラシ清掃②を
おこないます。

フィルター清掃：設定したブラシ移動速さでフィルタ清掃します。フィルタ清掃中は吸込グリルの昇降ができません。フィルタ清掃中、表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。
表示灯（緑）：点灯 ／ 表示灯（黄）：消灯

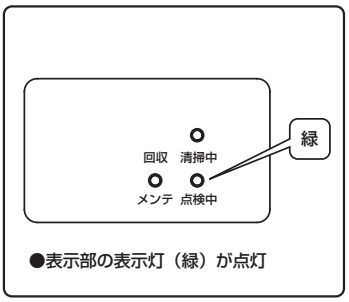
ブラシ清掃①　：ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルタに残っているホコリを除去するため、ブラシが移動速さC：少し はやいでランダムに往復を繰り返します。（約12分）
表示灯（緑）：点灯 ／ 表示灯（黄）：連続点滅

ブラシ清掃②　：ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルタに残っているホコリを除去するため、ブラシが設定した移動速さでランダムにブラシ清掃①より少ない往復数で往復を繰り返します。
表示灯（緑）：点灯 ／ 表示灯（黄）：連続点滅

お知らせ

フィルタ清掃の時間は設定したブラシ移動速さとブラシ往復数により異なります。

フィルタ清掃中



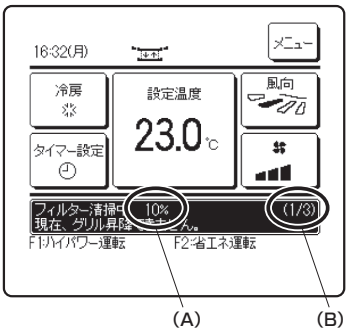
●表示部の表示灯（緑）が点灯

フィルタ清掃中は，表示部の表示灯（緑）が点灯します。

フィルタ清掃中もエアコン運転は可能ですが，風量はLoでの運転になります。

フィルタ清掃中は，ルーバ制御が実行されません。
（設定内容は記憶され，フィルタ清掃終了後に実行されます　）

フィルタ清掃中は，モータやブラシの作動音が発生します。



ecoタッチリモコンに、「フィルター清掃中 ○○%」と表示します。
フィルター清掃が完了するまでグリル昇降はできません。

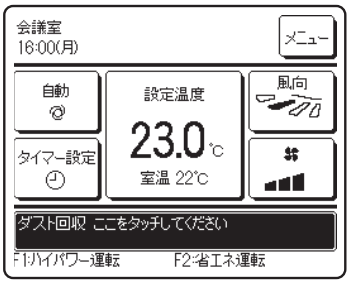
A：フィルタ清掃全工程の進捗率を表示します。
100%になると完了し、グリル昇降ができるようになります。

B：実施中のブラシ往復数／設定したブラシ往復数を表示します。
"1"は1往復目、"3"は設定した往復数を表しています。

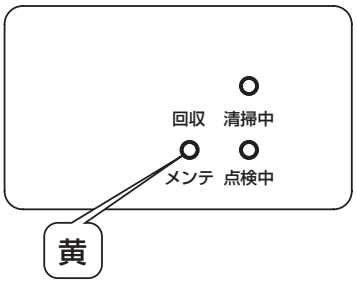
ダスト回収のしかた

ダスト回収時期をお知らせするため，設定時間に達すると表示がでます。

■ecoタッチリモコン



■表示部の表示灯（黄）が点灯

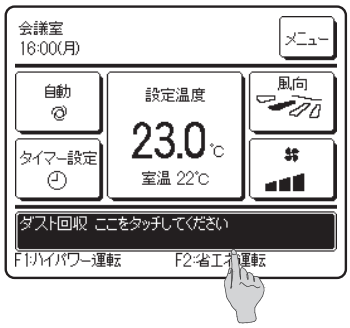


ダスト回収のしかた

吸込グリルを下げてからダスト回収してください。室内ユニットの下方に障害物がないことを確認してから，吸込グリルを下げてください。

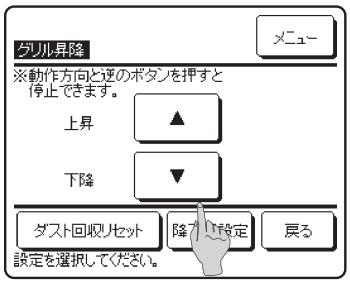
ecoタッチリモコンに複数台の室内ユニットを接続している場合，室内機選択画面を表示します。ダスト回収する室内ユニットを選択してください。グリル昇降画面に切換わります。

1）ダスト回収時期のお知らせが表示されたときに吸込グリルを下げる場合

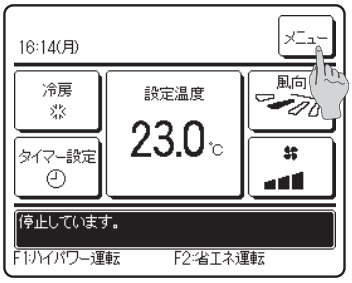


1 吸込グリルを下げる

“ここをタッチしてください。”をタッチする
↓
▼ をタッチする

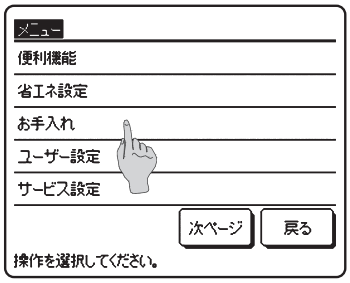


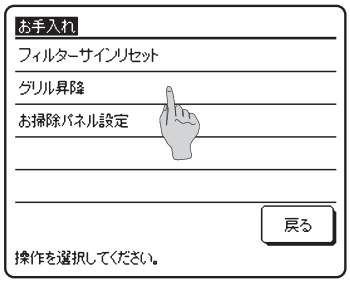
2）メニュー画面から吸込グリルを下げる場合

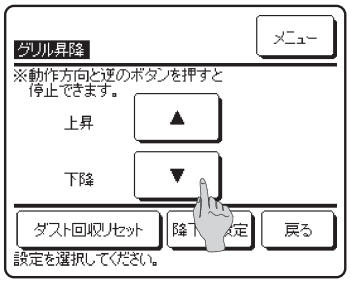


1 吸込グリルを下げる

メニュー をタッチする
↓
お手入れ をタッチする
↓
グリル昇降 をタッチする
↓
▼ をタッチする







ご注意

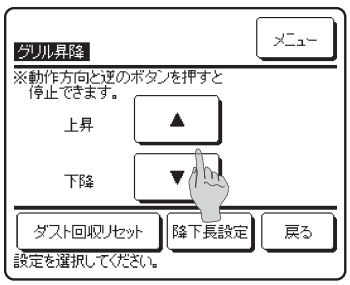
- グリル昇降 をタッチしてもグリル昇降画面に移行しない(「操作無効です。」が表示される)場合、グリル昇降操作が"無効"になっています。
  据付説明書に従い、吸込グリル昇降の設定をしてください。
- 吸込グリルを降下させている間は、ホコリの飛散防止のため、ファンが回転しルーバおよびエアフレックス（ON 設定の場合）が開きます。
  （風量：弱、ルーバ位置：①※上限位置）

3）F1またはF2スイッチにグリル昇降を割り当てたときに吸込グリルを下げる場合

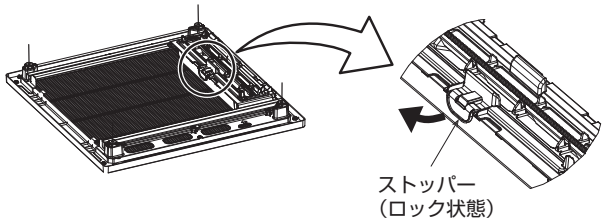


1 吸込グリルを下げる

F1：スイッチを押す。
↓
▼ をタッチする

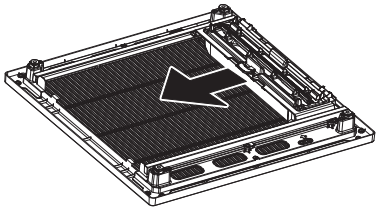


※F1スイッチにグリル昇降を割り当てた場合



2 ダストボックス蓋のストッパーのロックを外す

ダストボックス蓋のストッパー（1か所）のロックを外してください。

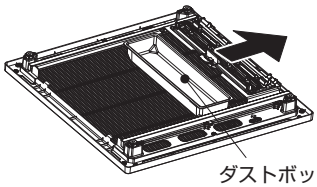


3 ダストボックスを取外す

ダストボックス（透明）を図の矢印の方向に引出して、吸込グリルから取外してください。

4 ホコリを回収する

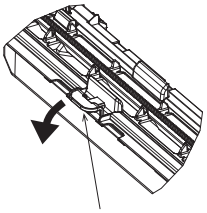
ダストボックス（透明）内のホコリを回収してください。



5 ダストボックスをセットする

ダストボックス（透明）を吸込グリルの上に置き、図の矢印の方向に押して、ダストボックス蓋にセットしてください。

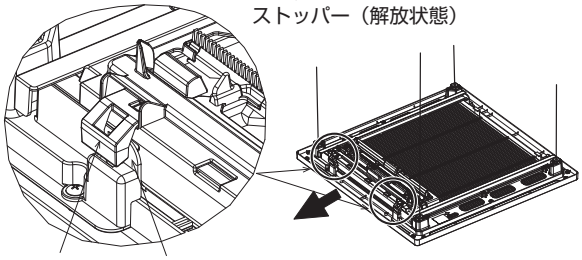
ダストボックス（透明）は、吸込グリルにセットする方向性はありません。



6 ダストボックス蓋のストッパーをロックする

ダストボックス蓋のストッパー（1か所）をロックしてください。

ダストボックス（透明）が出てこないことを確認してください。



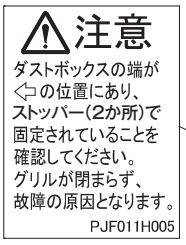
7 ダストボックス蓋の位置と固定を確認する

ダストボックス蓋の端部が吸込グリルの矢印の位置になっていることを確認してください。

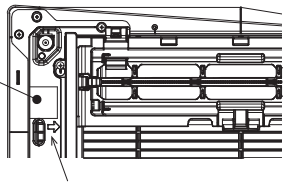
また、ダストボックス蓋のフック（2か所）が吸込グリルのブラケットに引掛かっていることを確認してください。
引掛かっていない場合は、ダストボックス蓋を図の矢印の方向に移動し、端部が吸込グリルの矢印位置にして、フックを引掛けてください。

ご注意

ダストボックス蓋のフックが引掛かっていない状態でグリルを閉じると、正しくフィルタ清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。



注意ラベル

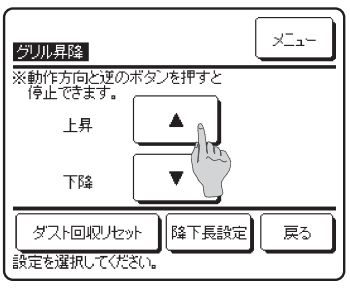


8 吸込グリルを上げる

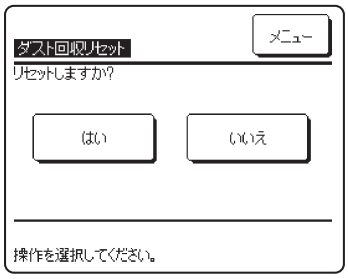
▲ をタッチして、吸込グリルを閉じてください。

ご注意

吸込グリルを閉じる前に、表示部の表示灯（黄）が点滅していないことを確認してください。
通常は表示灯(黄)が点滅することはありません。表示灯（黄）が点滅している場合、ブラシは所定の位置にありません。
そのまま吸込グリルを閉じると正しくフィルタ清掃できません。
最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。



ダスト回収時期に到達した場合は表示灯（黄）は点灯します。
ダスト回収し、フィルタサインをリセットした後、表示灯（黄）が連続点滅するか確認してください。



9 ダスト回収リセット

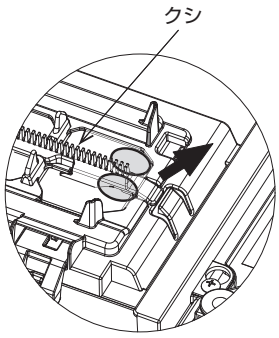
ダスト回収が終了したら，**ダスト回収リセット**をタッチしてください。
はいをタッチしてください。

⚠ 注意　ダスト回収を行わずにエアコンの運転を続けると，エアコンが停止する場合があります。
またホコリが落ちてきたり故障の原因になりますので必ずダスト回収を行ってください。

クシ，フィルタ，ブラシの取外し方・取付方

クシ，フィルタ，ブラシを取外す際は、吸込グリルを下げて行ってください。
吸込グリルの昇降方法は eco タッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

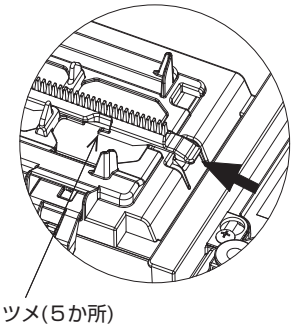
1）クシ
クシにホコリが堆積しているとブラシのホコリを除去できず、そのホコリをフィルタに再付着させることがあります。
また、eco タッチリモコンに「M 01」または「M 02」が表示されたとき、クシとブラシ、ブラシとフィルタの抵抗により正常にフィルタ清掃できない場合があります。
そのようなときは、クシに付着しているホコリを除去してください。クシは水洗いもできます。

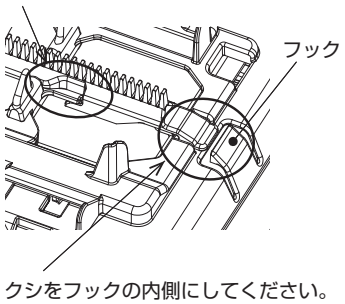




1 取外し方

図の⬭部分を持って、矢印の方向(斜め上方向)にブラシだけを引上げるとダストボックス蓋からクシが外れます。





2 取付方

クシを図のようにダストボックス蓋の上に乗せ、矢印の方向にカチッと音がするまでスライドしてください。

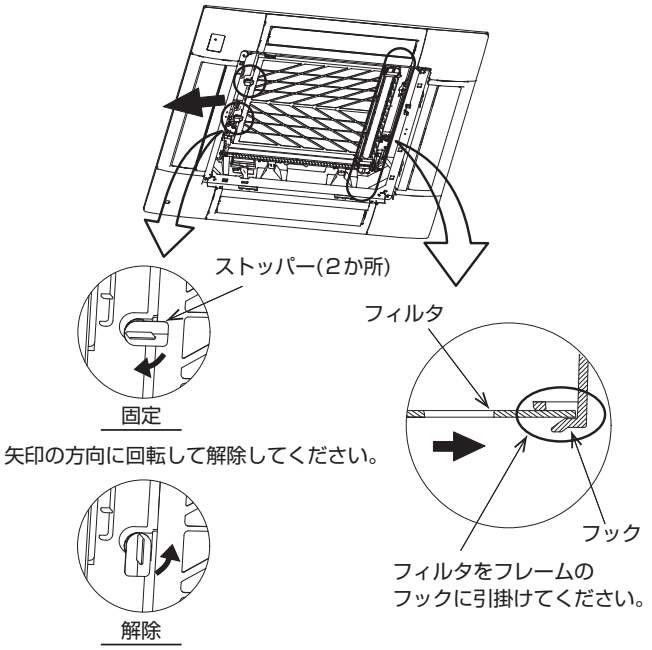
クシのツメ(5か所)全てがダストボックス蓋に引掛かっていることを確認してください。
また、クシがフックよりも内側にあるようにしてください。
なお、クシを水洗いした場合は水分を十分に取除いてください。

ご注意

クシを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルタ清掃に悪影響を与える可能性があります。

2）フィルタ

自動のフィルタ清掃で取りきれないホコリもあります。そのようなホコリが堆積すると、フィルタが室内ユニットに吸込空気を通さなくなり、エアコンがエラー停止する場合があります。
また、eco タッチリモコンに「M 01」または「M 02」が表示されたとき、ブラシとフィルタの抵抗により正常にフィルタ清掃できない場合があります。
そのようなときは、フィルタに付着しているホコリを除去してください。フィルタは水洗いもできます。
フィルタの取外しは高所作業です。



1 取外し方

ストッパーを90度以上回転して、フィルタを図の矢印の方向に引き出してください。
(ストッパーの回転方向はどちらでも可)。

2 取付方

フィルタを図の矢印の方向に差し込んでください。
(フィルタに方向性はありません)

フィルタがフックに引掛かっていることを確認してください。

ストッパーを図の位置まで回転して、フィルタが確実に引っ掛かるようにしてください。

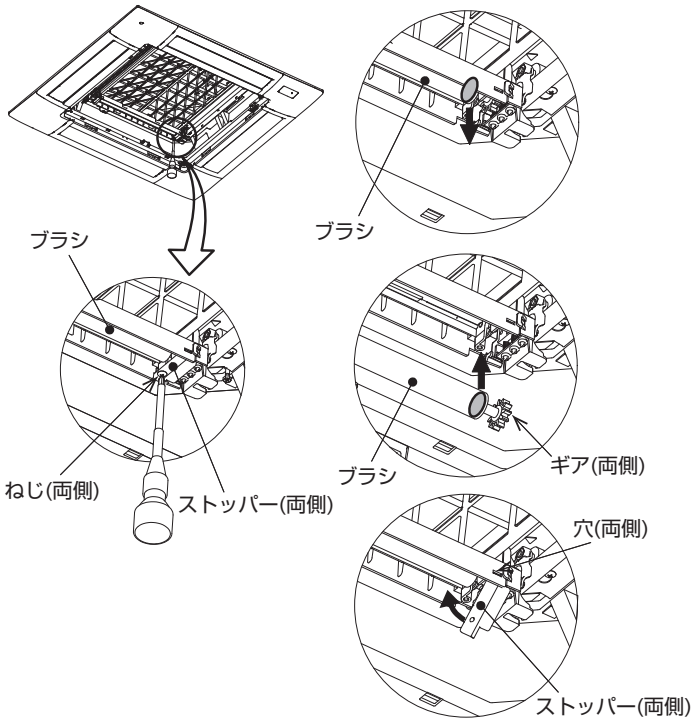
なお、フィルタを水洗いした場合は水分を十分に取除いさてください。

ご注意

フィルタを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルタ清掃に悪影響を与える可能性があります。

3）ブラシ

ブラシにホコリが堆積していると、そのホコリをフィルタに再付着させることがあります。
また、eco タッチリモコンに「M 01」または「M 02」が表示されたとき、ブラシとフィルタの抵抗により正常にフィルタ清掃できない場合があります。
そのようなときは、ブラシに付着しているホコリを除去してください。ブラシは水洗いもできます。
ブラシの取外しは高所作業で、工具 (ドライバー) が必要です。



1 取外し方

ストッパー(2個)を取外します。
ストッパーはねじ(1個)で固定されています。

ブラシの図の(軸の根本)辺りを持って下方向に引っ張って取外してください。

2 取付方

ブラシの図の(軸の根本)辺りとギアを上方向に押し込んで、ギアの軸部をはめてください。
カクッという感触があります。ブラシは落下しません。
ストッパー(2個)を取付けてください。
ストッパーの凸部を穴に差込んでから、図の矢印の方向に倒してください。

ねじ(2個)で固定してください。

なお、ブラシを水洗いした場合は水分を十分に取除いてください。

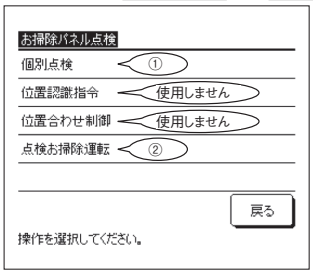
ご注意

ブラシを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルタ清掃に悪影響を与える可能性があります。

動作確認など

本項の操作で動作確認などが可能です。

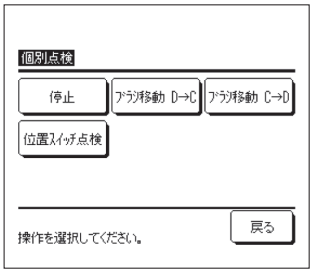
TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ [お掃除パネル点検]



※位置認識指令と位置合わせ制御は本製品では使用しません。
旧型のお掃除ラクリーナパネルで使用します。

①個別点検

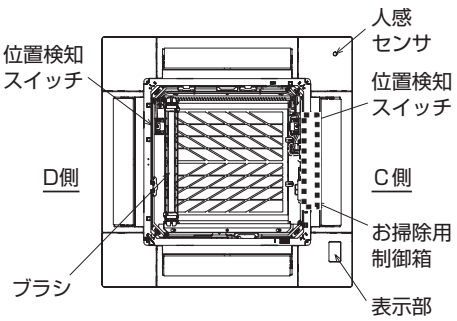
ブラシを移動させたり、位置検知スイッチの点検をすることができます。



ブラシ移動 D→C：ブラシがD側→C側に移動します。
ブラシがC側端に到達すると停止します。
また、[停止] をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。
表示灯（緑）：1回点滅 ／ 表示灯（黄）：連続点滅

ブラシ移動 C→D：ブラシがC側→D側に移動します。
ブラシがD側端に到達すると停止します。
また、[停止] をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。
表示灯（緑）：2回点滅 ／ 表示灯（黄）：連続点滅

位置スイッチ点検：表示灯（緑）と表示灯（黄）が3秒間点滅します。その後、位置検知スイッチ（D側）をON中は表示灯（緑）が点灯します。
位置検知スイッチ（C側）をON中は表示灯（黄）が点灯します。
[停止] をタッチするか、5分経過すると終了します。

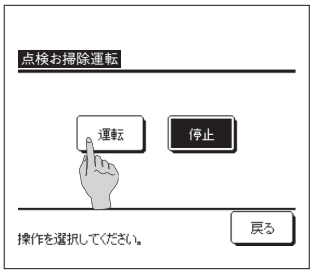


ご注意

吸込グリルを開いた状態でブラシ移動した場合、移動の途中など、ブラシがD側端にない状態（表示灯（黄）：連続点滅）で吸込グリルを閉じないでください。
正しくフィルタ清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

②点検お掃除運転

フィルタ清掃を開始します。フィルタ清掃中に吸込グリルの昇降ができます。
また、お掃除ユニットの動作を点検する場合など、吸込グリルを開いた状態でフィルタ清掃ができます。



ご注意

吸込グリルを開いた状態で点検お掃除運転した場合、フィルタ清掃の途中など、ブラシがD側端にない状態（表示灯（黄）：連続点滅）で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルタ清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

③バックアップスイッチでの点検

バックアップスイッチで下記の点検動作ができます。動作内容はecoタッチリモコンを使用した場合と同じです。

バックアップスイッチのON時間	点検内容	表示灯(緑)	表示灯(黄)
3秒未満	点検お掃除運転	点灯	連続点滅
3～6秒	ブラシ移動D→C	1回点滅	連続点滅
6～10秒	ブラシ移動C→D	2回点滅	連続点滅
10秒以上	位置スイッチ点検	※	

※表示灯（緑）と表示灯（黄）が3秒間点滅します。その後、位置検知スイッチ（D側）をON中は表示灯（緑）が点灯します。
位置検知スイッチ（C側）をON中は表示灯（黄）が点灯します。再度、バックアップスイッチを押すか5分経過すると終了します。

ご注意

点検動作中は、ブラシがD側端部にない（表示灯（黄）：連続点滅）状態でグリルを昇降できます。（通常はできません。）
表示灯（黄）が連続点滅しているときは吸込グリルを閉じないでください。
正しくフィルタ清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。
必ず、表示灯（黄）が消灯しているのを確認してから、吸込グリルを閉じてください。表示灯（黄）が連続点滅してる場合は、消灯してから吸込グリルを閉じてください。（個別点検の [ブラシ移動 C→D] をタッチしてください。）

ダスト回収時期に到達した場合は表示灯（黄）は点灯します。
ダスト回収し、フィルタサインをリセットした後、表示灯（黄）が連続点滅するか確認してください。

保守点検について

本機は自動でエアフィルタ清掃を行うため，普段のフィルタのお手入れは不要です。ただし，環境条件や使用条件によっては，想定している交換周期よりも早く消耗が進みフィルタの目詰まり等の影響がでる場合がありますので，下記の点検周期での保守点検を行ってください。

■点検と保全周期の目安について

保全周期は保証期間を示しているものではありませんので注意ください。
頻繁な発停のない通常の使用において，10時間/日，2,500時間/年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

主要部品	点検周期	保全周期 交換または修理	部品番号
ルーバ用モータ	1年	20,000 時間	SSA512T096
エアフレックス用モータ			SSA512T049
吸込グリル昇降用モータ			SSA511T029C
ブラシ移動シャフト用モータ			SSA512T067
ブラシ移動シャフト	1年	5年	PJF271A012
ブラシ移動ナット			PJF914C001
ブラシ移動シャフト用軸受			PJF935D001
ブラシ移動シャフト用ギア			PJF273A004 PJF273A009
ブラシ用ギア			PJF273J001
ブラシストッパー			PJF129A103
クシ			PJF129A105
ダストボックス蓋			PJF112A004
ダストボックス (透明)			PJF142A035
表示基板	1年	25,000 時間	PJA505A272
お掃除基板			PJA505A271H
吸込グリル昇降基板			PJZ505A033Z

主要部品	点検周期	交換周期	部品番号
フィルタ	1年	3年	PJF437A010A
ブラシ	1年	3年	PJF271A015

注意：部品番号は 2020 年4月現在のものです。予告なく変更することがあります。
最新の部品番号は販売店にお問い合わせください。

この表は一般的な使用条件下における定期点検の周期（点検周期）および部品交換などの目安を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。建築物衛生法（ビル管法）の対象設備に該当する場合は，法規に従った保守点検も実施してください。「保全周期」および「交換周期」は，使用条件（運転時間が長い）や使用環境（高温・多湿・ホコリの量・油雰囲気など）がきびしくなると短縮する必要があります。

■エラー表示

リモコン		制御内容	表示部	
			表示灯(緑)	表示灯(黄)
メンテナンス表示	M01	ブラシ組立のD→C移動中に規定時間内に位置検知スイッチ1(C側)を検知しない場合。	1回点滅	消灯
	M02	ブラシ組立のC→D移動中に規定時間内に位置検知スイッチ2(D側)を検知しない場合。	2回点滅	消灯
	M03	ブラシ組立のC→D移動中に位置検知スイッチ1(C側)がONした場合。	3回点滅	消灯
	M04	ブラシ組立のD→C移動中に位置検知スイッチ2(D側)がONした場合。	4回点滅	消灯
	M06	ブラシ組立が移動中、位置検知スイッチ1と位置検知スイッチ2が同時にONした場合。	6回点滅	消灯
	M21	1秒以上パネルスイッチが開を検知した場合。	5回点滅	消灯
—		グリル降下中にブラシ組立が移動している場合。（※） 位置検知スイッチがD側、C側どちらも押されていない場合。	消灯	連続点滅

パネル表示部のバックアップスイッチ

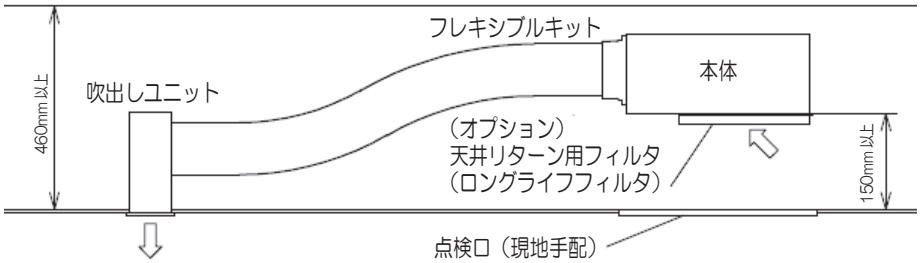
バックアップスイッチON時間	制御	内容
3秒未満	点検お掃除運転	点検お掃除運転(点検)
3秒以上6秒未満	ブラシ移動(D→C)	ブラシ移動D→C(点検)
6秒以上10秒未満	ブラシ移動(C→D)	ブラシ移動C→D(点検)
10秒以上	位置検知スイッチ点検	位置検知スイッチ点検

※：表示灯（黄）が連続点灯中にグリルを閉じないでください。
個別点検のブラシ移動（C→D）でブラシ組立をD側に移動させ、表示灯（黄）が消灯したのを確認後、グリルを閉じてください。

1.19.6 フィルタキット（FDR シリーズ）

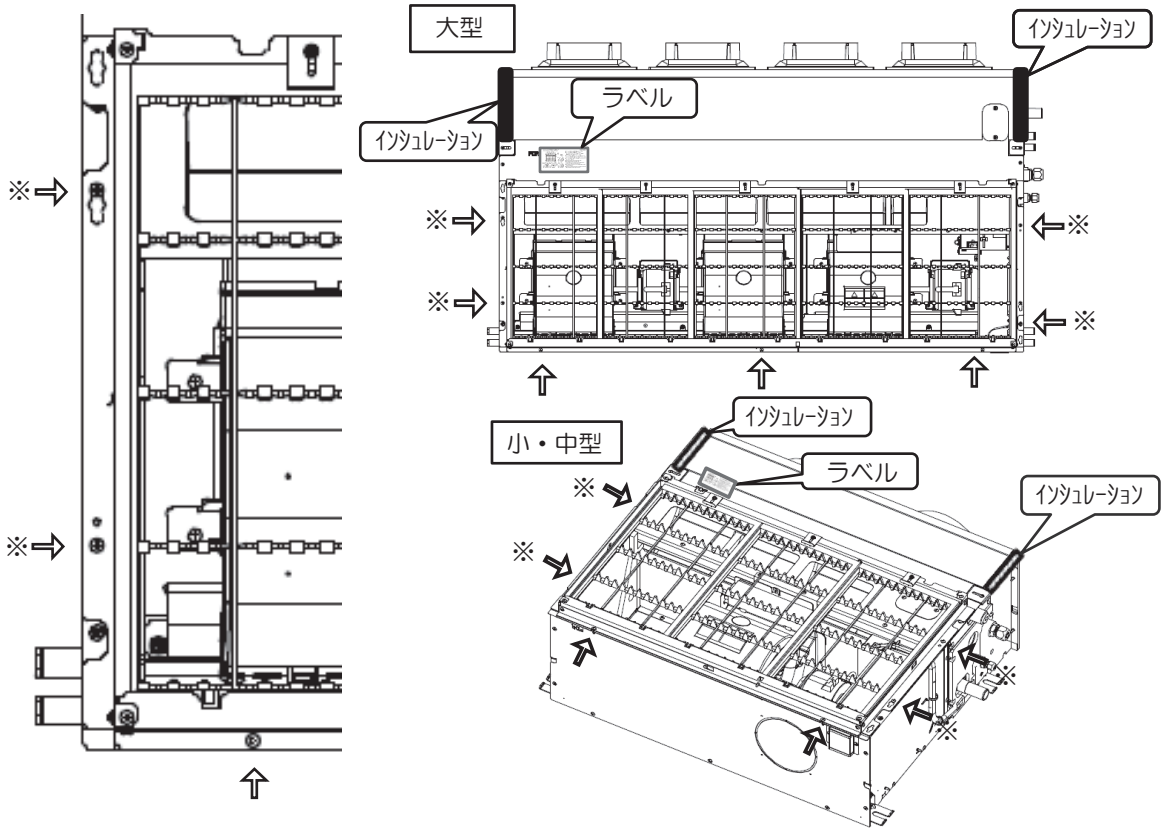
PJG012D011A B

室内ユニット付属の据付説明書と合わせて、ご覧ください。
フィルタ清掃用・ユニット点検用に点検口を設置してください。
天井内が負圧にならない様に設計してください。



フィルターキット形式		R-FL-2A							R-FL-3A				R-FL-4A		
		P22	P28	P36	P40	P45	P50	P56	P63	P71	P80	P90	P112	P140	P160
適用機種	店舗				●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
	ビル空調	●	●	●		●		●		●	●	●	●	●	
	GHP	●	●	●		●		●		●		●	●	●	
内容物	フィルタ	フィルタ小　3枚							フィルタ大　3枚				フィルタ小 2枚 フィルタ大 3枚		
	ねじ	6本							6本				7本		
	インシュレーション	2枚							2枚				2枚		

- 付属のラベル『エアフィルタの取付・取外し方』を貼付けてください。
- ⇨矢印部を付属のねじで固定してください。　小型・中型は6本　大型は7本
- 機種によって、※部のねじがユニット側のねじと重なる場合があります。
  その場合はユニット側のねじを取外してから共締めしてください。
- インシュレーションを下図に従って2か所貼付けてください。
- 室内ユニット付属の据付説明書を参照に静圧設定を行ってください。

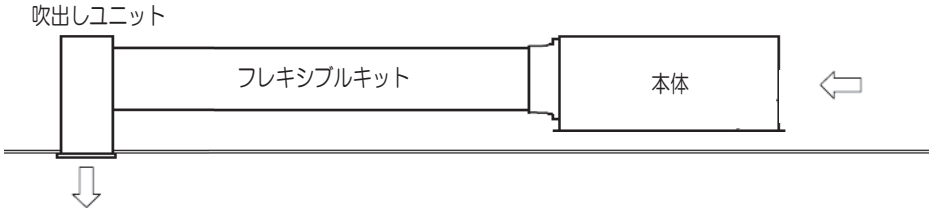


1.19.7 丸ダクト変換キット（FDU シリーズ）

PJG012D012A△A

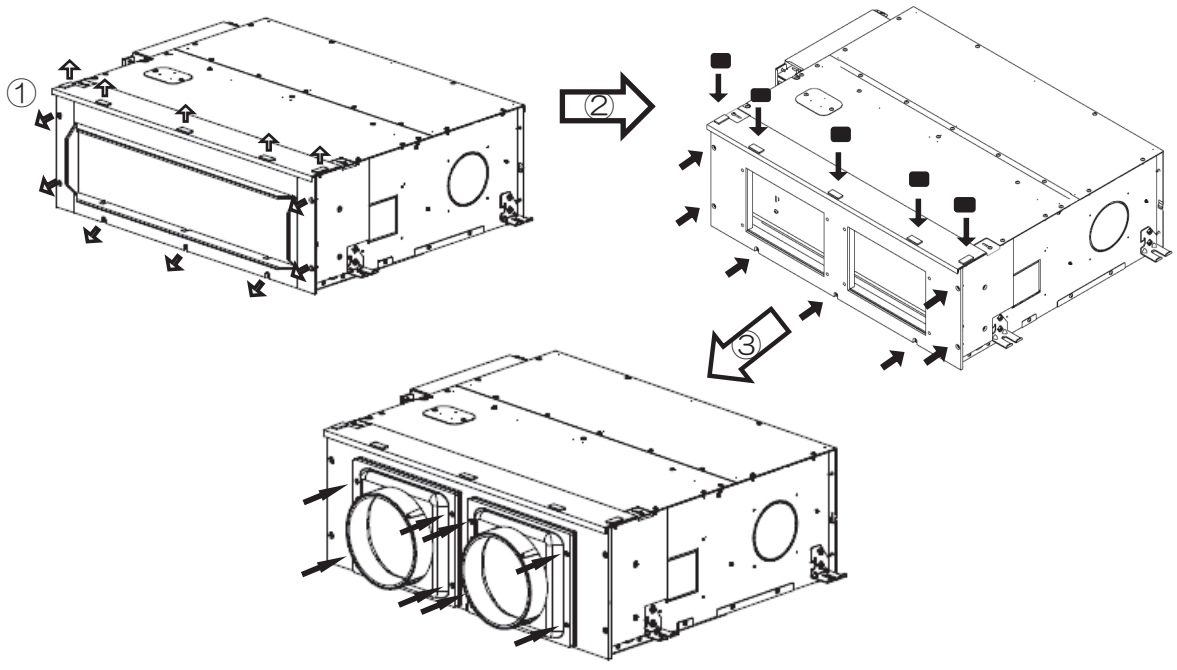
○ 室内ユニット付属の据付説明書と合わせて、ご覧ください。
○ φ200丸形ダクトを接続してください。
○ 各スポット間のダクト長さは、2対1以内としてください。
○ ダクトは、最短長さとなるよう施工してください。
○ ４スポットを３スポット、３スポットを２スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板を別売品として用意しています。中央いずれかを塞いでください。
○ ２スポットから１スポットへの改修は、行わないでください。
○ 室内ユニット付属の据付説明書を参照に静圧設定を行ってください。

注意：丸ダクト仕様の場合、最大機外静圧は、１００Pa以下としてください。



シリーズ展開		小型							中型				大型		
		P22	P28	P36	P40	P45	P50	P56	P63	P71	P80	P90	P112	P140	P160
シリーズ展開	店舗						●	●	●	●	●		●	●	●
	ビル空調	●	●	●		●		●		●	●	●	●	●	●
	GHP					●		●		●		●	●	●	
丸ダクト変換キット	丸ダクト	1個	2個						3個				4個		
	形式	U-UM-1A	U-UM-2A						U-UM-3A				U-UM-4A		
付属品	付属ねじ（長さ12mm）	12本	12本						13本				14本		
	付属ねじ（長さ16mm）	4本	8本						12本				16本		
	断熱材	5枚	5枚						6枚				6枚		

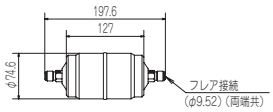
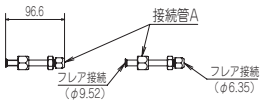
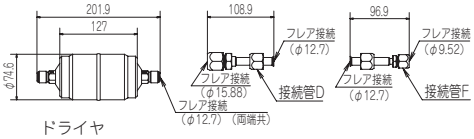
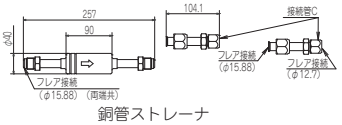
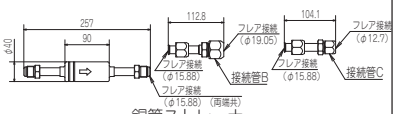
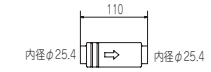
● 本作業は、本体吊り込み前に実施してください。
① 熱交換器側の角ダクトフランジを取外してください。矢印のねじを外してください。 ⇨
② フロントパネルを取付けてください。付属のねじ（長さ12mm）を使用してください。 ➡
付属のインシュレーションを貼付けてください。 ■
③ 丸ダクトを取付けてください。付属のねじ（長さ16mm）を使用してください。 ➡



1.19.8 リニューアルキット

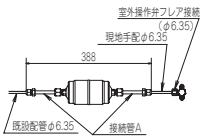
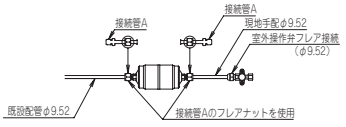
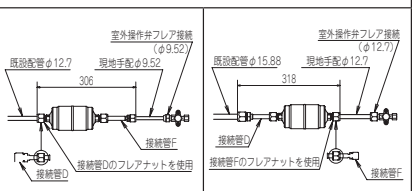
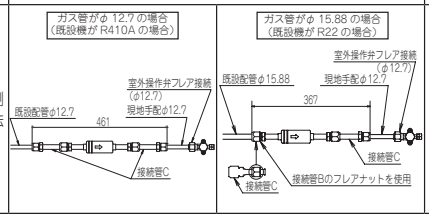
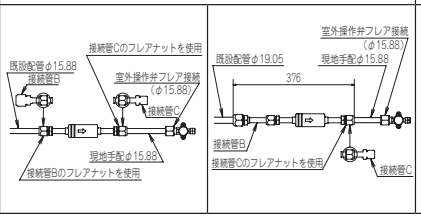
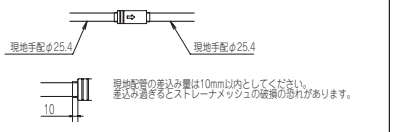
(1) 付属品

・据付工事前に確認してください。

	REW−KIT63T	REW−KIT160T	REW−KIT280T
液管側	 ドライヤ		 ドライヤ
ガス管側	 銅管ストレーナ	 銅管ストレーナ	 銅管ストレーナ

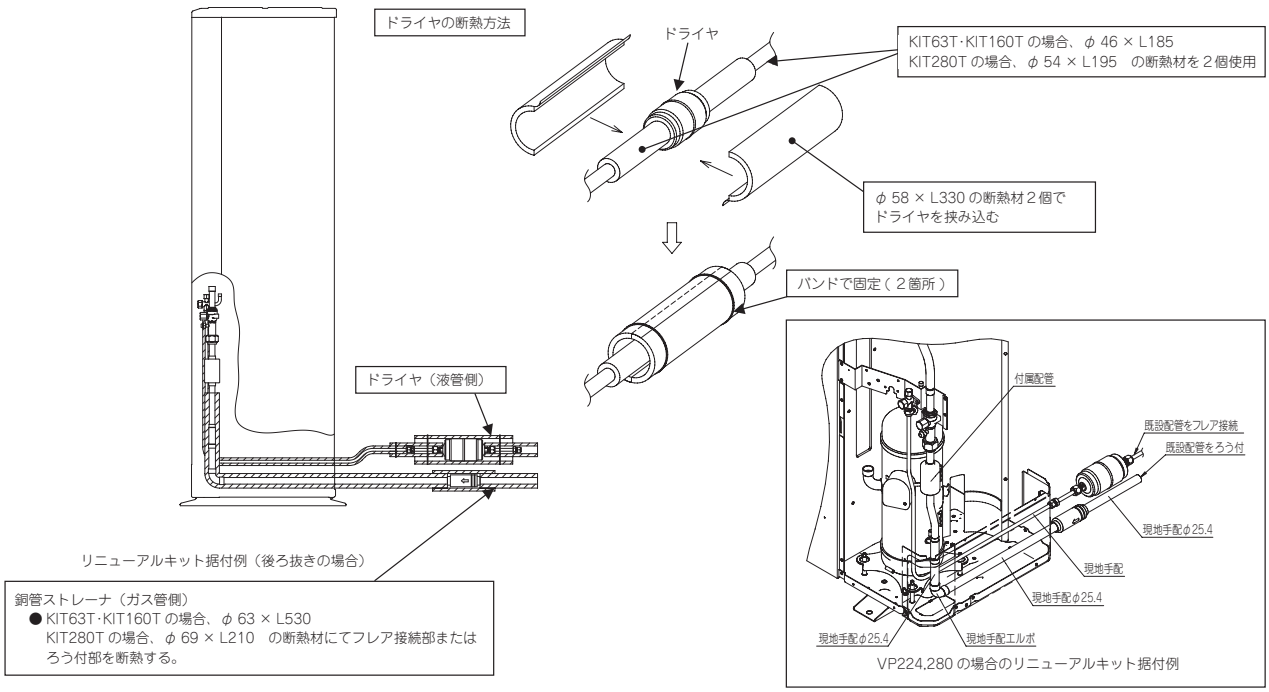
(2) リニューアルキット据付方法

●ドライヤを液管へ、銅管ストレーナをガス管へ取付けてください。
●ドライヤおよび銅管ストレーナの取付方向は自由です。(360°全方位)
●ドライヤおよびガス管ストレーナはできるだけ室外ユニット近傍に据付けてください。
●本キット内には下表に示す付属配管が同梱されています。下表に従い据付を行ってください。

	REW−KIT63T	REW−KIT160T	REW−KIT280T
機種	エクシードハイパーシリーズの3〜6馬力, ハイパーインバータシリーズの3〜10馬力には, リニューアルキットを内蔵しています。		
液管側接続方法			
ガス管側接続方法			

●ドライヤは、運搬保管時の水分, 異物の浸入を防止する目的でビニールキャップにて密封包装されています。据付時はビニールキャップを外してください。
ビニールキャップを外した後は、長時間放置せず素早く既設配管へ取付、真空引きを行ってください。(長時間放置するとドライヤの性能が低下します。)
●ガス管, 液管両方共に断熱材(パイプカバー)が付属されています。
リニューアルキット本体, フレア接続部およびろう付部を断熱してください。

⚠ 注意 断熱工事に不備がありますと錆が発生し、リニューアルキット本体, フレア部あるいはろう付部からの冷媒漏れ事故になる恐れがあります。



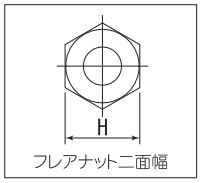
(3) 既設配管流用時の確認・留意事項

(a) 既設配管流用時の条件

・新規配管同様に下記に示す注意ポイントを確認・遵守ください。

注意ポイント	配管
クリーン(CLEAN) ・配管内にゴミがないこと。	(a)既設配管内の劣化油・異物を下記方法にて除去すること。 ポンプダウン／冷媒回収後、窒素ガスによるブローにて既設配管内の冷凍機油を確認し下記のいずれかに該当する場合は「配管洗浄」または「新規配管」を使用してください。 ・褐色や黒色に変色した油の場合……色標6.0以上の場合は使用できません。 ・多量の残渣物を含んでいる場合 ・異臭等明らかに通常と異なると判断できる場合 **【既設配管長が50m以下の場合】※** ・既設機が運転可能かつポンプダウン可能な場合は、既設機を30分間冷房運転を行い、ポンプダウンを実施。 ※既設配管径によっては配管長が短くなる場合もあります。詳細は、1167ページをご覧ください。 ・既設機が運転不可能またはポンプダウン不可能な場合は、配管洗浄を実施。 ※ただし、ある一定条件をクリアすればリニューアルキット(別売)の取付にて洗浄レス対応可能。 ZP80～280,VP112～280は内蔵のリニューアルキットによる洗浄を実施してください。 **【既設配管長が50m超の場合】※** ・配管洗浄を実施。但し、P40～P63にて50m超の場合は、既設配管の再利用は不可。 ※配管洗浄を行う場合は、最寄の代理店にお問い合わせください。 ZP80～280,VP112～280は内蔵のリニューアルキットによる洗浄を実施してください。 ※内蔵リニューアルキットによる洗浄については1168ページでご確認ください。 (b)フロン排出抑制法に従い、確実に冷媒回収を行うこと。 ・冷媒をみだりに大気中に放出すると罰則が適用されることがあります。 (c)既設配管がユニットに接続された状態であること。 (外れた状態では、既設配管内に雨水,空気が混入し、配管内が錆びている可能性があります。)
ドライ(DRY) ・配管内部に水分がないこと。	(d)確実な真空引きの実施 ・−101kPa(-755mmHg)以下になってから1時間以上真空ポンプの運転を実施。
タイト(TIGHT) ・冷媒漏れがないこと。	(e)既設配管に腐食・傷・へこみがないこと。更に、断熱材の剥れ・劣化がないこと。 (f)R410A/R32用のフレアナットの使用かつフレア加工の実施。 (g)気密試験(規定圧力:4.15MPa)を確実に行うこと。

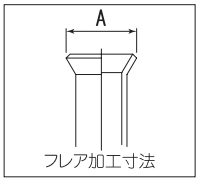
・R410A/R32用のフレアナットについて
フレアナットは流用せず室外ユニット付属のものを使用し,またフレアは必ずR410A/R32用に再加工してください。
※拡管寸法変更に伴い,φ12.7,φ15.88 のフレアナット対辺寸法が変わります。



フレアナット二面幅

フレアナット寸法

配管外径(mm)	R410A/R32(Hmm)	R22(Hmm)
φ6.35	17	17
φ9.52	22	22
φ12.7	26	24
φ15.88	29	27



フレア加工寸法

フレア加工寸法

配管外径(mm)	R410A/R32(Amm)	R22($A^{+0}_{-0.4}$ mm)
φ6.35	8.9～ 9.1	9
φ9.52	12.8～13.2	13
φ12.7	16.2～16.6	16.2
φ15.88	19.3～19.7	19.4

(b) 既設配管流用時の施工手順

現地施工前

・リニューアル対象範囲の確認　・既設の冷媒配管使用可否確認
・既設の制御配線使用可否確認　・既設の電源設備使用可否確認

【確認・留意事項】
・流用する冷媒配管、制御配線、電源設備等の信頼性(老朽化に伴う特性不良等)に関しては、当社としては保証しかねますのでご注意ください。
・既設の冷媒配管使用可否確認は、「(c)既設配管流用可否判断フローチャート」および「(e)分岐管使用時の留意点分岐管流用可否判断フローチャート」に基づき実施してください。
・冷媒配管長制約および適用可能配管径等については、「(d)既設配管使用許可範囲と配管長制限」を参照してください。
・室外ユニット～室内ユニット～リモコン間の制御配線に関し、既設の制御配線を流用する場合は、「(f)既設配線・電源流用」に基づき確認を実施してください。
・電源設備に関しては、室外ユニット、室内ユニットに適合した電圧、相数とし、電源配線接続図に基づくブレーカ容量および配線径としてください。
・既設の電源設備(電源配線含む)を使用する場合は、設備の老朽化、破損の有無を必ず確認してください。
・古い配線や電源設備の場合は、漏電や火災の原因ともなりますのでご注意ください。

⇩

「(c)既設配管流用可否判断フローチャート」および「(f)既設配線・電源流用」に従い既設配管および既設配線・電源流用の可否を判断。

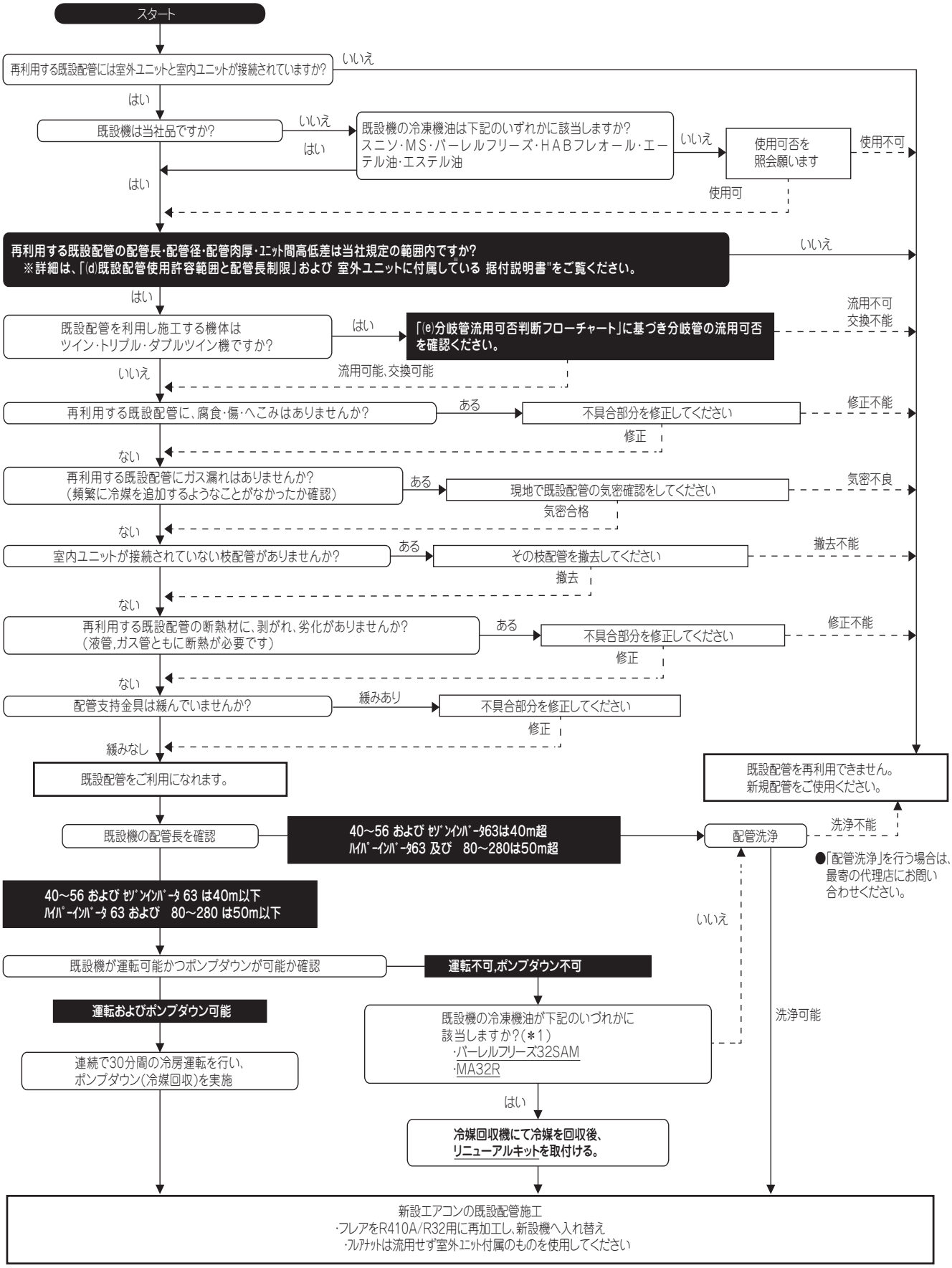
現地施工時

⇩
既設の室外ユニット、室内ユニット、リモコン等取外し
⇩
室外ユニット、室内ユニット、リモコン等据付、電気工事の実施
⇩
配管工事の実施
⇩
配管の気密確認　※気密圧力試験値は、4.15MPa。
⇩
配管の真空引き　※-101kPa以下で1時間以上
⇩
冷媒追加充填
⇩
試運転調整

配管の気密確認
・気密試験の圧力値を4.15MPaとしてください。
・ガス管φ19.05×t1.0のO材、OL材の場合（ツイン・トリプル・ダブルツインで第1分岐以降の配管にφ19.05×t1.0のO材、OL材が存在する場合を含む)は気密試験の圧力値を3.6MPaとしてください。

⚠ **注意**
●フレアナットは流用せず本キット及び室外ユニット付属のものを使用し、フレアは必ずR410A/R32用 に再加工してください。
※拡管寸法変更に伴い,φ12.7,φ15.88 のフレアナット対辺寸法が変わります。
●フレア接続はダブルスパナで締付け、適正トルクを超えて締めないでください。
●新設エアコンを既設配管に接続した後は、気密試験と真空引きを確実に行ってください。
※詳細は、室外ユニットに付属している"据付説明書"をご覧ください。

(c) 既設配管流用可否判断フローチャート



*1:該当する冷凍機油は、改良のため予告なしに変更することがあります。 詳細は、最寄の代理店にお問い合わせください。
*2:冷媒回収はフロン排出抑制法に従い、適正に行ってください。冷媒をみだりに大気中に放出すると罰則が適用されることがあります。

(d) 既設配管使用許可範囲と配管長制限（ZP,VP ６型シリーズ）

＜配管サイズ制限表＞

◎：標準配管サイズ　○：使用可能　△：配管長制限短縮　冷↓：冷房能力低下　×：使用不可

配管１ｍ当たりの追加チャージ量		0.02kg/m		0.054kg/m *7					0.11kg/m *8			0.07kg/m			0.12kg/m		
配管サイズ	液管	φ 6.35		φ 9.52					φ 12.7			φ 12.7			φ 15.88		
	ガス管	φ12.7	φ15.88	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ22.22	φ25.4	φ15.88	φ19.05	φ22.22	φ22.22	φ25.4	φ28.6	φ22.22	φ25.4	φ28.6
ZP40,45,50,56 VP40,45,50,56	適用可否	◎	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	最大片道配管長	50	50	20	20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	チャージレス長	20	20	10	10	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ZP63 VP63	適用可否	◎	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	最大片道配管長	50	50	20	20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	チャージレス長	30	30	15	15	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ZP80 VP80	適用可否	冷↓	△	冷↓	◎	○ *1	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×
	最大片道配管長	20	20	70 *9	70 *9	70 *9	×	×	35	×	×	×	×	×	×	×	×
	チャージレス長	10	10	30	30	30	×	×	15	×	×	×	×	×	×	×	×
ZP112,140,160 VP112,140,160 KP80,112	適用可否	×	△	×	◎	○ *1	×	×	△	△ *1	×	×	×	×	×	×	×
	最大片道配管長	×	20	×	100 *2	100 *2 *5	×	×	50	50	×	×	×	×	×	×	×
	チャージレス長	×	10	×	30	30	×	×	15	15	×	×	×	×	×	×	×
VP112,140,160 (1ファン)	適用可否	×	△	×	◎	○ *1	×	×	△	△ *1	×	×	×	×	×	×	×
	最大片道配管長	×	17	×	80 *2	80 *2 *5	×	×	40	40	×	×	×	×	×	×	×
	チャージレス長	×	10	×	30	30	×	×	15	15	×	×	×	×	×	×	×
ZP224 VP224	適用可否	×	×	×	×	冷↓ *3	冷↓ *3	◎ (冷↓*3)	×	冷↓	冷↓	×	○	○	冷↓ *4	△ *4	△ *4
	最大片道配管長	×	×	×	×	40 *5	40 *5	40 *5	×	60 *5	60 *5	×	100 *5	100 *5	60 *5	60 *5	60 *5
	チャージレス長	×	×	×	×	30	30	30	×	23	23	×	23	23	13	13	13
ZP280 VP280	適用可否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	冷↓ *4	×	◎	○	冷↓	△	△ *1
	最大片道配管長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	60 *5	×	100 *5	100 *5	60*5*6	60*5*6	60*5*6
	チャージレス長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	30	×	30	30	17	17	17

＊１：φ 19.05 × t1.0 は耐圧強度が不足のため、室外ユニット基板上のディップスイッチＳＷ５－１をＯＮにしてください。
ZP80 の場合はディップスイッチＳＷ７－１をＯＮにしてください。VP80 の場合はディップスイッチ SW8-1 を ON にしてください。
（ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合、第１分岐以降の配管にφ 19.05 × t1.0 が存在する場合を含む。）
ただし、1/2 H材または肉厚 1.2 以上の配管を使用の場合は必要ありません。

＊２：分岐後の配管サイズは、主管と同じ径もしくは小さい径であること。

＊３：片道配管長が 40m を超える場合、既設配管は使用できません。主配管の液管サイズをφ 12.7 としてください。

＊４：主配管長が 40 mを越える場合既設配管は使用できません。

＊５：リニューアルキットおよびユニット内蔵リニューアルキットを使用した場合、最大片道配管長は下表の通りとなります。
配管長制限を超える場合は、配管洗浄器での配管洗浄が必要です。（最寄の代理店にお問い合わせください。）

主管ガス管径	φ 19.05	φ 22.22	φ 25.4	φ 28.58
最大片道配管長	50m		30m	

＊６：追加できる最大冷媒量は 4.9kg までです。追加冷媒量が 4.9kg を超える場合は液管サイズを下げて新設してください。

＊７：VP80 の場合 0.04kg/m、ZP2246,2806,VP 2246,2806 の場合は 0.07kg/m（主管）0.054kg/m（枝管）

＊８：ZP2246,2806,VP 2246,2806 の場合 0.07kg/m

＊９：VP80 の場合 50m

●既設配管の曲げＲが７０mm 未満の場合は、配管の耐圧上室外ユニット基板上のディップスイッチＳＷをＯＮにしてください。
（ZP40 ～ 63, VP40 ～ 80：SW8-1, ZP80：SW7-1, ZP112 ～ 160, VP112 ～ 280：SW5-1）

● ZP80 は配管長が 3m より短い場合は工場出荷チャージ量より、0.54kg 減らしてください。

室外ユニット形式	配管長	工場出荷時チャージ量	調整後チャージ量
ZP80	3m以下	3.6kg	3.06kg

●表に記載のない配管サイズの組合せ及び表の×の配管サイズの組合せは使用できません。

＜配管使用制限＞

１．配管長・サイズ制限　○使用可能　△配管長制限短縮　冷↓：冷房能力低下

・既設配管流用には片道最大配管長と総冷媒量による配管長制限があります。下記の制限を満たすことを確認してください。

KP140、KP160 主管 1m あたりの追加チャージ量		0.06kg/m		0.08kg/m	
主管サイズ	液管	φ 9.52		φ 12.7	
	ガス管	φ 15.88	φ 19.05	φ 15.88	φ 19.05
可否		○		○	
最大片道配管長		100m ※１		100m ※１	
チャージレス配管長 3m 以下		30m ※２		15m ※２	

※１　配管仕様制限を満たさない場合は、既設配管をご使用になれません。

※２　ユニット内蔵リニューアルキットを使用した場合、最大片道配管長は下表の通りとなります。
配管長制限を超える場合は、内蔵リニューアルキット以外での配管洗浄が必要です。（最寄の代理店にお問い合わせください。）

主管ガス管径	φ 15.88	φ 19.05	φ 22.22
最大片道配管長	50m		

※ 3　追加できる最大冷媒量は 9.3kg までです。追加冷媒量が 9.3kg を超える場合は液管サイズを下げて新設してください。
※ 4　分岐管サイズおよび 1m あたりの追加チャージ量はフローチャート内の表 1 を参照してください。

⚠ 注意　ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合、下記事項を必ずお守りください。

●同じ室外ユニットに接続される室内ユニットは、同一の部屋に設置し、空調負荷が同一となる条件で使用してください。
空調負荷が同一でない条件で使用され場合は、能力不足となる可能性があります。
●分岐管セット DIS-TA1G，DIS-TB1G を使用する場合は、各室内ユニット間までの配管長差を 3m 未満としてください。
3m 以上の配管長差を必要とする場合は、下記の分岐管セットを使用してください。
室外 :P160 ＝室内 :P50 ＋ P50 ＋ P50　･･･　DIS-WA1G を 2 個
室外 :P224 ＝室内 :P80 ＋ P80 ＋ P80　･･･　DIS-WB1G，DIS-WA1G 各 1 個
●下記組合せ時は、DIS-WB1G，DIS-WA1G を各 1 個 を使用し、各室内ユニット間までの配管長差を 3m 未満としてください。
3m 以上の配管長差の接続は不可です。
室外 :P280 ＝室内 :P71 ＋ P71 ＋ P140（第 1 分岐の接続に P140 を接続してください。）
室外 :P280 ＝室内 :P80 ＋ P80 ＋ P112（第 1 分岐の接続に P112 を接続してください。）
●既設機が FDK、FDF の 8・10 馬力のトリプル・ダブルツインの場合、リニューアルキット使用不可です。
（水漏れ、または露たれの発生する可能性があるため）

追加チャージ量計算式

追加チャージ量（kg）＝｛主配管長（m）ー表のチャージレス長（m)｝× 表の配管 1m 当たりの追加チャージ量（kg/m）
＋ 分岐管総長（m）× 表の配管 1m 当たりの追加チャージ量（kg/m）

※計算の結果が負の値になる場合は追加チャージ不要です。
例）既設配管 30m（液管φ 12.7、ガス管φ 15.88）を使用して、ZP80（シングル機）を設置する場合。
（30m ー 15m）× 0.11kg/m=1.65kg を追加チャージする。
例）既設配管 30m（主配管長 20m、液管φ 12.7、ガス管φ 15.88 ／分岐後配管長 5m × 2、液管φ 9.52、ガス管φ 12.7）を使用して、ZP80（ツイン機）を設置する場合。
（20m ー 15m）× 0.11kg/m+5m × 2 × 0.054kg/m=1.09kg を追加チャージする。
例）既設配管 20m（液管φ 12.7、ガス管φ 19.05）を使用して、VP160（シングル機）を設置する場合。
（20m ー 15m）× 0.11kg/m=0.55kg を追加チャージする。

＜既設ユニットが冷房運転可能な場合＞

既設ユニットで下記作業を実施してください。（①→②→③→④の順番）
① 30 分間冷房運転
②ビニールシートなどで室内ユニット吸込口を完全に閉塞し 3 分間冷房運転（液バック運転）
③室外ユニットの液操作弁を締めポンプダウン（冷媒回収）
④窒素ガスによるブロー　※ブローにより変色した冷凍機油や油以外の残留物が排出された場合は「配管洗浄」または「新規配管」をお願いします。
●フレアナットは流用せず室外ユニット付属のものを使用してください。またフレアは R32 用に再加工してください。
●ガス配管サイズがφ 19.05 の場合、ZP80 は SW7-1 を ON に、VP80 は SW8-1 を ON に、ZP112 ～ 280、VP112 ～ 280 は SW5 － 1 を ON にしてください。

＜既設ユニットが冷房運転できない場合＞

①冷媒回収機で冷媒を回収ください。
②既設配管内の冷凍機油の汚れを確認ください。
色標 6.0 以上の黒色、褐色（＊）、多量の残渣、異臭がある場合「配管洗浄」または「新規配管」をご使用おねがいします。
＊冷凍機油の色標はカタログの末頁を参考ください。

(i)　別売のリニューアルキットにより、既設配管をご使用できます。

リニューアルキットを取付し SW5-1 を ON によりご使用可能です。（P40 ～ P63 除く）
●「配管洗浄」を行う場合は、最寄の代理店にお問合せください。

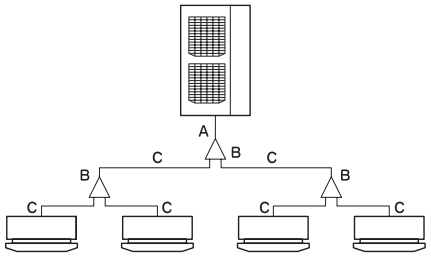
(ii)　内蔵リニューアルキットによる洗浄運転（ZP80 ～ 280, VP112 ～ 280）

順番	操　作　内　容
①	冷媒配管工事、電気配線、室内工事が正しく完了しているか確認してください。
②	ガス側操作弁を全開にしてください。
③	液側操作弁を全開にしてください。
④	既設配管にφ19.05×t1.0をご使用の場合、ZP80はSW7-1をONに、ZP112～160, VP112～280はSW5-1をONにしてください。
⑤	ZP80はSW8-1をOFF⇒ON、ZP112～160, VP112～280はSW5-2をOFF⇒ONで既設配管洗浄を開始します。
⑥	⑤のディップスイッチONで緑LEDが高速点滅します。(0.5秒ON/0.5秒OFF) リモコン(RC-DX2等)のディスプレイ上には「冷房試運転」が表示されます。 (洗浄運転は冷房運転で行います。リモコンディスプレイ上は「冷房試運転」と表示します。)
⑦	赤LEDが点滅していないことを確認してください。
⑧	室内ユニットから冷風が吹いていることを確認ください。(洗浄運転は冷房運転で行います。)
⑨	洗浄運転は2時間必要です。⑤ディップスイッチON後、圧縮機の積算運転時間2時間で自動終了(緑LEDが通常点滅(1秒ON/1秒OFF))になります。手動にて終了する場合、ディップスイッチをON⇒OFFにしてください。再始動はOFF⇒ONで可能です。)

○洗浄運転自動終了後、ディップスイッチSW8-1(ZP80)，SW5-2(ZP112～280，VP112～280)はON位置のままでも通常のエアコン制御になります。停電後の復電時、ON位置のままでも、エアコン制御を行います。
(洗浄運転開始はディップスイッチ位置のOFF⇒ON一連の動作から開始します。)
○複数台数の室外ユニットを同一リモコンに接続する場合については、洗浄運転の実施後に、各室外ユニット毎のリモコン配線を接続してください。
○室内吸込温度が15℃以下の場合、洗浄運転が断続運転になる場合がありますが、故障ではありません。
この圧縮機が停止している時間は洗浄運転の累積時間に含まれません。

(e) 分岐管使用時の留意点（エクシードハイパーシリーズ・ハイパーインバータシリーズ）

ツイン・トリプル・ダブルツイン機にて既設配管を使用する場合は，下記の該当項目を確認してください。



室外ユニット容量（馬力）		P80 (3)	P112 (4)	P140 (5)	P160 (6)	P224 (8)	P280 (10)
既設配管部	A部 主管	△ 既存配管使用可能範囲1167ページ参照					
	B部 分岐管	△ 当社製ユニット分岐管の場合，一部使用可。					
	C部 分岐後配管	△ 配管サイズにより，一部使用可。					

■ツイン，トリプル，ダブルツイン機で既設配管を使用する場合，下記フローチャートで主管・分岐管・分岐後配管の流用可否を確認してください。

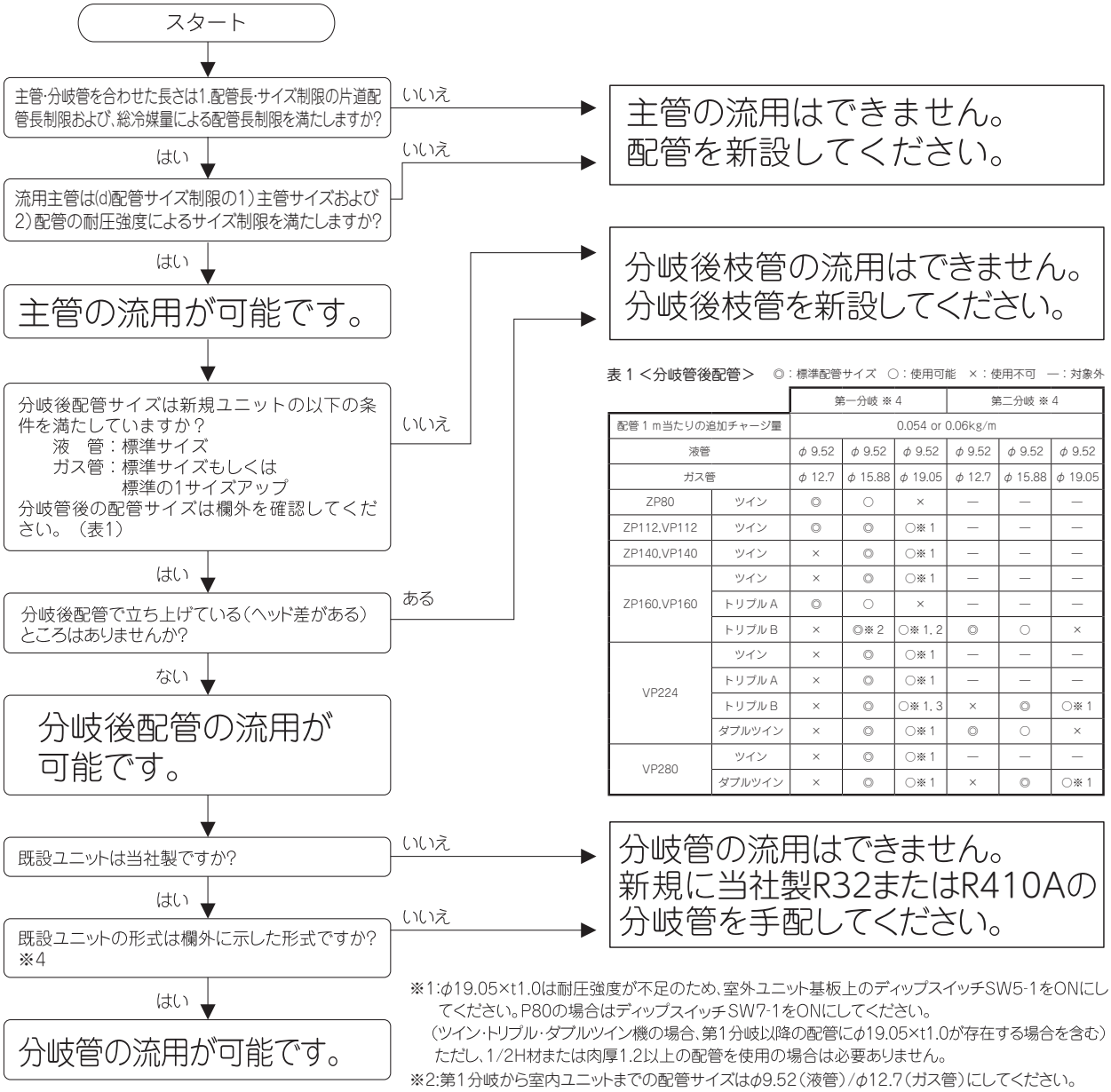


表 1 <分岐管後配管>　◎：標準配管サイズ　○：使用可能　×：使用不可　—：対象外

		第一分岐 ※4			第二分岐 ※4		
配管 1 m当たりの追加チャージ量		0.054 or 0.06kg/m					
液管		φ 9.52	φ 9.52	φ 9.52	φ 9.52	φ 9.52	φ 9.52
ガス管		φ 12.7	φ 15.88	φ 19.05	φ 12.7	φ 15.88	φ 19.05
ZP80	ツイン	◎	○	×	—	—	—
ZP112,VP112	ツイン	◎	◎	○※1	—	—	—
ZP140,VP140	ツイン	×	◎	○※1	—	—	—
ZP160,VP160	ツイン	×	◎	○※1	—	—	—
	トリプル A	◎	○	×	—	—	—
	トリプル B	×	◎※2	○※1, 2	◎	○	×
VP224	ツイン	×	◎	○※1	—	—	—
	トリプル A	×	◎	○※1	—	—	—
	トリプル B	×	◎	○※1, 3	×	◎	○※1
	ダブルツイン	×	◎	○※1	◎	○	×
VP280	ツイン	×	◎	○※1	—	—	—
	ダブルツイン	×	◎	○※1	×	◎	○※1

※1:φ19.05×t1.0は耐圧強度が不足のため，室外ユニット基板上のディップスイッチSW5-1をONにしてください。P80の場合はディップスイッチSW7-1をONにしてください。
（ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合，第1分岐以降の配管にφ19.05×t1.0が存在する場合を含む）
ただし，1/2H材または肉厚1.2以上の配管を使用の場合は必要ありません。
※2:第1分岐から室内ユニットまでの配管サイズはφ9.52（液管）/φ12.7（ガス管）にしてください。
※3:第1分岐から室内ユニットまでの配管サイズはφ9.52（液管）/φ15.88（ガス管）にしてください。
※4:分岐管の配管サイズは，主管と同じ径もしくは小さい径にしてください。

トリプルA=第1分岐から室内ユニットまでの配管長さが3m未満の場合
トリプルB=第1分岐から室内ユニットまでの配管長さが3m以上10m以下の場合

※5:<分岐管流用可能な既存ユニット機種>
112～160:FDCJ～H,FDCJ～HA,FDCJ～HD,FDCJ～HD1,FDCJ～HD2,FDCJ～HD3(A)，とFDCP～HD3以降のFDCの後に″ P″がつく形式
224,280:FDCJ～HD2以前の機種の分岐管は耐圧不足となります。(FDCJ～HD2を含みます。)
※～には能力を示す数字が入ります。※既存ユニットがFDC～ではじまる形式の場合（FDCの後に″ J″または″ P″がつかない形式。例:FDC125H8A），分岐管は流用できません。当社製R32またはR410Aの分岐管を使用してください。（分岐管にオリフィスが無いため室内ユニット間の分配不良となります。また耐圧不足となります。）

（f） 既設配線・電源流用

(i) 既設配線・電源流用に関する確認留意事項

既設配線・電源の流用におきましては、下記内容にご留意ください。
配線接続は電気設備技術基準及び内線規程に従い適切に工事を実施してください。

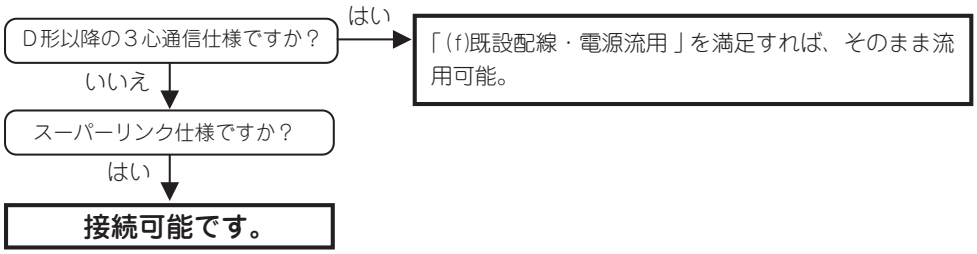
①既設配線（内外渡り線）の確認
既設配線は線の種類や心数の他、設備図面などによって配線長や分岐数も確認してください。
・電源配線について
◆漏電しゃ断器の容量，電線の太さ，こう長，およびアース線については、室外ユニットに付属している“据付説明書”をご覧ください。
◆単相機の場合は２心，三相機の場合は３心のＶＣＴキャプタイヤケーブル、または ＶＶＦ平方ケーブルをご使用ください。
◆４心ケーブルを使用したアース線と同心ケーブルとしないでください。シールド線は使用しないでください。
・内外渡り配線について
（３心通信仕様の場合）
◆必ず３心のＶＣＴキャプタイヤケーブル、または ＶＶＦ平方ケーブルを使用してください。シールド線は使用しないでください。
（スーパーリンク仕様の場合）
◆配線の接続は、既設配線毎に「次ページの(iii)接続方法、(iv)室外ユニット改修内容」に従ってください。
◆室内電源取りは室外ユニット容量 80 以下の単相機に限ります。
・リモコン線について
◆配線の仕様については、室内ユニットに付属している“据付説明書”をご覧ください。
◆多心ケーブルの使用は避けてください。
◆配線はアース（建物の鉄骨部分または金属等）からできるだけ離してください。

②既設電源の確認
既設電源の電圧や相数、漏電しゃ断器の容量などを確認してください。
◆既設の漏電しゃ断器がインバータ回路用しゃ断器の場合はそのまま使用できます。
インバータ回路用しゃ断器でない場合はインバータ回路用しゃ断器に交換してください。
既設の電源設備を使用する際は、設備の老朽化、破損の有無を必ず確認してください。古い配線や電源設備の場合は、漏電や火災の原因ともなりますのでご注意ください。

③既設配線の導通確認
既設配線の導通確認、電圧確認、漏電しゃ断器の動作確認を行なってください。
異常があれば電線、部品の交換を行ない、配線を適切な状態にしてください。
◆配線と大地間を 500 Ｖメガーで計測して 100 Ω以上あることを確認してください。
配線の劣化等により、100 Ω以上ない場合は新規配線工事を行ってください。

④故障履歴の確認
伝送異常や通電不良など、配線・電源の異常が原因と考えられる故障が過去になかったかを確認してください。
該当する故障があった場合、その異常が改修されているかも確認し、改修されていない場合はその処置を行なってください。
また、少しでも劣化、異常が感じられる部品、配線は、交換もしくは新設を行なってください。

【既設配線流用の例】



(ii) 対象機種

母形毎の代表形式を表１に示します。
各容量毎に右表から母形番号を確認してください。

表１ セゾンエアコン室外ユニット 代表形式

機種母形	ハイパーインバータ	エクシードハイパー
①	FDCVP406HK	FDCZP406HK
②	FDCVP406H	FDCZP406H
③	—	FDCZP806HK
④	—	FDCZP806H
⑤	FDCVP1126H	—
⑥	—	FDCZP1126H
⑦	FDCVP2806H	FDCZP2806H

機種	ハイパーインバータ		エクシードハイパー	
容量	単相	三相	単相	三相
40	①	②	①	②
45				
50				
56				
63				
80			③	④
112		⑤		⑥
140				
160				
224		⑦		⑦
280				

㈢ 接続方法

1) 室外電源取り

・図１に従い配線の接続を行ってください。
・現行機に対して電源線と信号線が分離されている為、内外各端子台の端子台 [2] にて電源線と信号線を共締めしてください。
（ユニット改修は必要ありません。）
・配線長、線種は表２に従ってください。

表２ 配線長、線種（室外電源取り）

電源線	配線長	最大 50m（ただしこう長の範囲内）
	線種	VCT キャプタイヤケーブルもしくは VVF 平形ケーブル 同等品
	線径	$2mm^2$（φ 1.6）以上
信号線	配線長	最大 50m
	線種	VCTF
	線径	$0.75mm^2$ 以上

2) 室内室外別電源取り

・図２に従い配線の接続を行ってください。
・誤配線時の短絡防止の為、図中に示す室外ユニット内の部品を外します。
［㈣室外ユニット改修内容］に従い改修してください。
・室内ユニット端子台の端子台 [2] では、電源線と信号線を共締めしてください。
・配線長、線種は表３に従ってください。

表３ 配線長、線種（室内室外別電源取り）

信号線	配線長	最大 50m
	線種	VCTF
	線径	$0.75mm^2$ 以上

表４ 配線長、線種（室内電源取り）

電源線	配線長	最大 50m（ただしこう長の範囲内）
	線種	VCT キャプタイヤケーブルもしくは VVF 平形ケーブル 同等品
	線径	φ 2.0 以上
信号線	配線長	最大 50m
	線種	VCTF
	線径	$0.75mm^2$ 以上

3) 室内電源取り（単相機のみ）

・図３に従い配線の接続を行ってください。
・誤配線時の短絡防止の為、図中に示す室外ユニット内の部品を外します。
［㈣室外ユニット改修内容］に従い改修してください。
・内線規定に従い、室内ユニットの端子台 [2] に電源線、室外電源線および 信号線を接続します。
・配線長、線種は表４に従ってください。

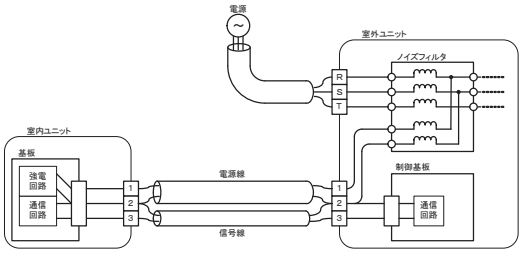


図１　室外電源取りの場合

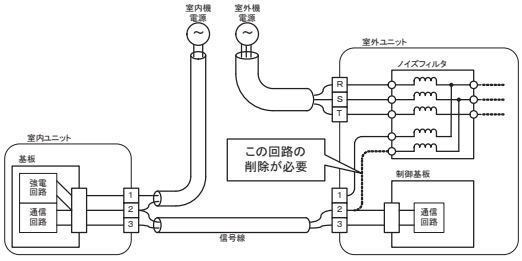


図２　室内外渡り線が信号線のみで別電源取りの場合
（7,8 形店舗用 PAC の配線で室内外別電源取り）

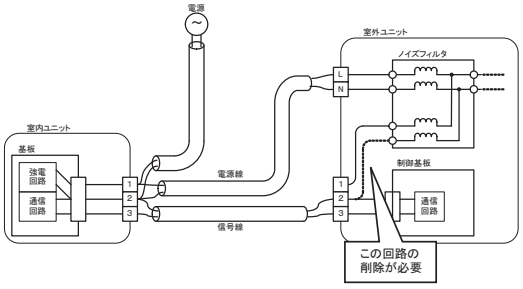


図３　室内電源取りの場合

㈣ 室外ユニット改修内容

接続方法が［室内室外別電源取り］、［室内電源取り］の場合には、以下の記載内容に従い室外ユニットの改修を行ってください。

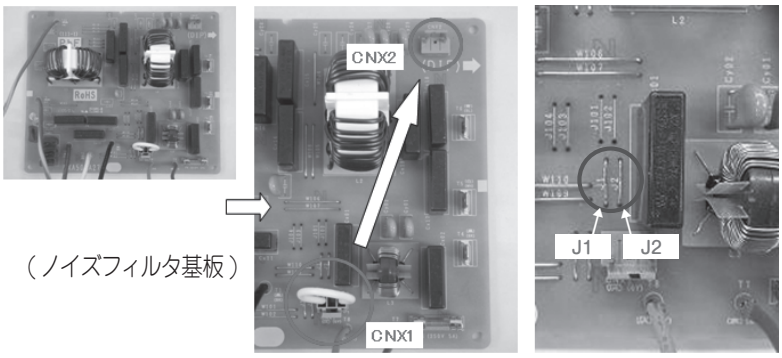
表１ セゾンエアコン室外ユニット 代表形式

機種母形	ハイパーインバータ	エクシードハイパー
①	FDCVP406HK	FDCZP406HK
②	FDCVP406H	FDCZP406H
③	—	FDCZP806HK
④	—	FDCZP806H
⑤	FDCVP1126H	—
⑥	—	FDCZP1126H
⑦	FDCVP2806H	FDCZP2806H

機種	ハイパーインバータ		エクシードハイパー	
容量	単相	三相	単相	三相
40	①	②	①	②
45				
50				
56				
63				
80			③	④
112		⑤		⑥
140				
160				
224		⑦		⑦
280				

1）母形②の場合

ＣＮＸ１に接続されているジャンパコネクタをＣＮＸ２に接続しジャンパ線 J1、J2 を切断してください。



（ノイズフィルタ基板）

図４　母形②の改修部位

2）母形①，③～⑥の場合

端子台 [2] に接続されている端子を外します。端子台 [2] には配線が２本接続されていますが、外すのは１本のみです。

（１）母形(①)では電源端子台[L2]に接続されているほうを外してください。母形(③～⑥)ではノイズフィルタに接続されているほうを外してください。(各母形における改修対象は図５を参照)

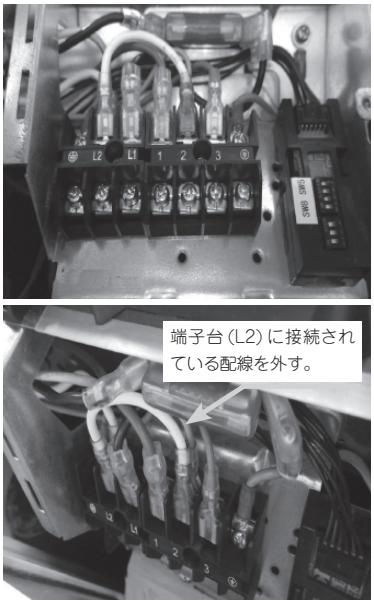


図 5-1 母形①の改修部位

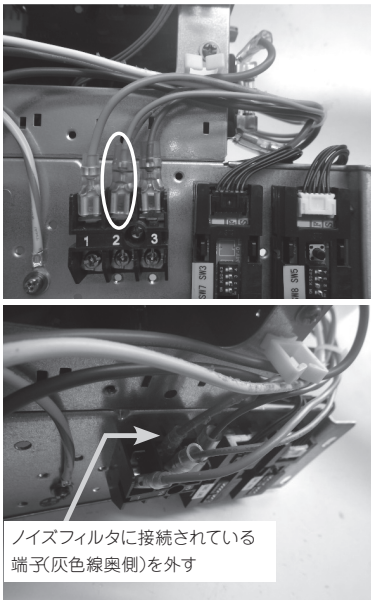


図 5-2 母形③、④の改修部位



図 5-3 母形⑤の改修部位

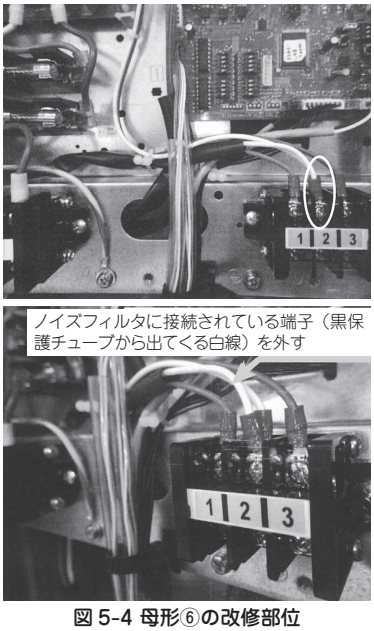


図 5-4 母形⑥の改修部位

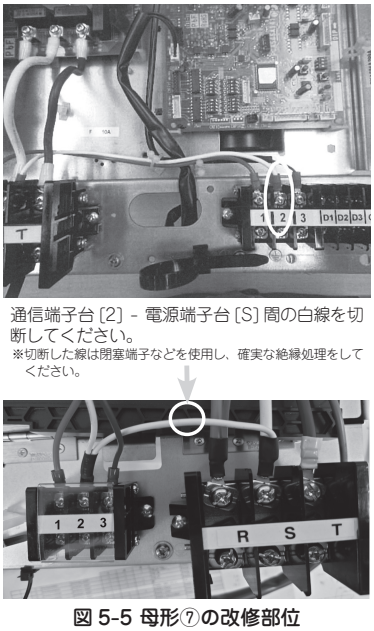


図 5-5 母形⑦の改修部位

（２）外した端子は、閉塞端子などを使用し確実な絶縁処理をしてください。(図６)

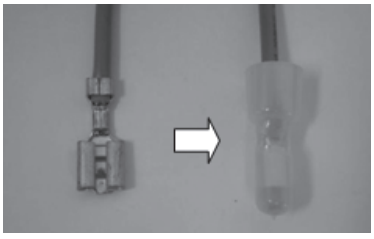


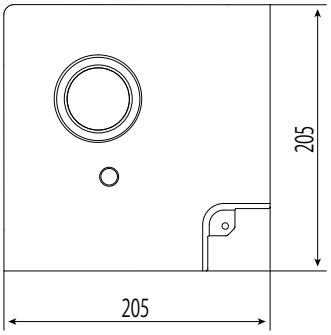
図６ 端末処理

1.19.9 サーマルセンサキット（FDT シリーズ）

LC-T-5CW-E, LC-T-5CB-E

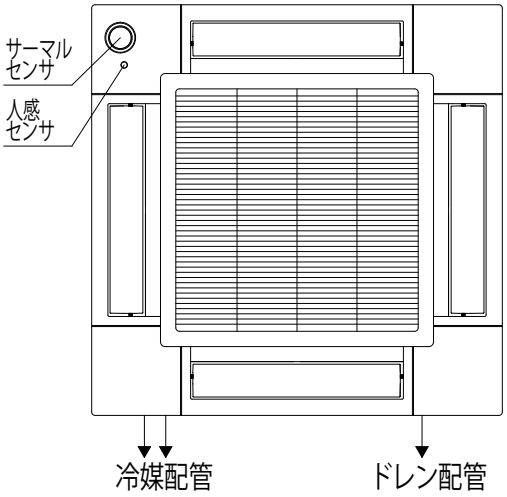
(a) 仕様

サーマルセンサキット



(単位:mm)

サーマルセンサ据付位置

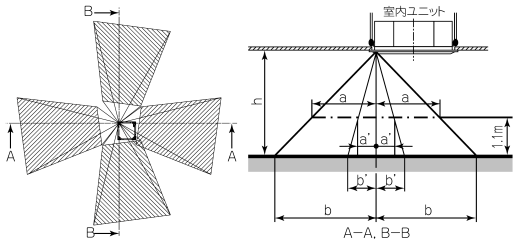


サーマルセンサの据付

サーマルセンサを下記場所に設置しないでください。
サーマルセンサキット故障や変形の原因、誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。

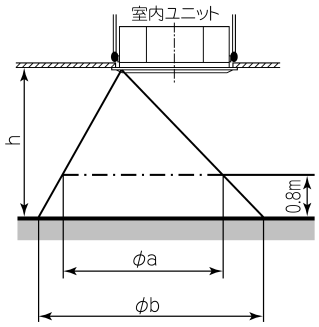
(1)直射日光の当たる場所
(2)発熱器具の近く
(3)湿気の多い所・水のかかる所
(4)取付け面が発熱・結露する場所
(5)油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
(6)室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
(7)蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く
あるいは、直射日光が当たる場所
(8)他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
(9)人感センサーおよびサーマルセンサの検知を妨げる物体がある場所
(10)ちりやほこりの多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所
(11)静電気や強い電磁波のある場所
(12)長時間振動が加わる場所

サーマルセンサ検知範囲の目安



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲	a [m]	約3.1	約4.6	約5.6
非検知範囲	a' [m]	約0.6	約0.9	約1.1
検知範囲	b [m]	約5.2	約6.8	約7.7
非検知範囲	b' [m]	約1.1	約1.4	約1.6

人感センサ検知範囲の目安



天井高さ	h[m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲	φa[m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲	φb[m]	約6.4	約8.3	約9.5

記事
(1)サーマルセンサキットは、図に示された位置に取り付けてください。

PJF000Z905

(b) 据付説明書

PJF012D071 A

⚠ 警　告

- ●室内ユニットのコントロールボックス内にあるプリント基板に所定の配線を接続し、基板に負荷がかからないように、配線を確実に固定する。接続や固定が不完全な場合は、異常発熱や火災の原因になります。
- ●電気配線作業の際は、必ず電源を OFF にすること。電気配線作業にあたって電源が ON のままだと、感電・故障・誤作動の原因になります。
- ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。
- ●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災によるケガの原因になります。
- ●子供・病気の方など 補助を必要とする人が使う場合、周囲の人が十分注意する。異常や人感センサ制御などにより空調機が停止した場合、体調不良や事故の原因になることがあります。
- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

⚠ 注　意

●サーマルセンサキットを下記場所に設置しない。
サーマルセンサキット故障や変形の原因、誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。

(1) 直射日光の当たる場所
(2) 発熱器具の近く
(3) 湿気の多い所・水のかかる所
(4) 取付面が発熱・結露する場所
(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
(6) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
(7) 蛍光灯（特にインバータタイプ）の近くあるいは、直射日光が当たる場所
(8) 人感センサとサーマルセンサの検知を妨げる物体がある場所
(9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
(10) 塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所
(11) 静電気や強い電磁波のある場所
(12) 長時間振動が加わる場所

●人感センサとサーマルセンサをカバーを付けずに放置しない。
カバーを取外す場合は、梱包や袋を使用して人感センサとサーマルセンサを保護してください。水やほこりとの接触をさけてください。

●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

●水のかかる場所で使用しない。また、ぬれた手で接触しない。

お知らせ

- 取扱説明書にそって、正しい使用方法をお客様に説明してください。
- 室内ユニット本体の据付方法は、室内ユニット付属の据付説明書をご覧ください。
- 検知範囲の隅では人を検知しにくくなります。
- 周囲と温度差のある物体がある場所に据付けた場合「人がいる」と検知する場合があります。
- 設定温度の補正に伴い、肌寒く感じる場合があります。
- 周囲温度が人間の体温に近い場合、サーマルセンサによる検知ができない可能性があります。
- 人感センサは人の動作で反応するため、在室時でも人の動作が小さい場合は不在と検知する場合があります。

① 付属品

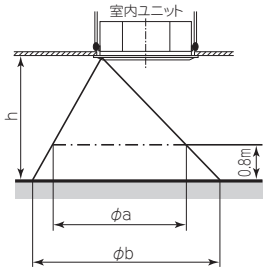
次の付属品を確かめてください。

サーマルセンサ		1

② サーマルセンサの据付

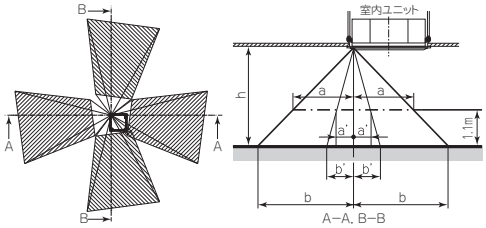
サーマルセンサの据付にはパネルのコーナリッドの取外しが必要です。

人感センサ検知範囲の目安



天井高さ	h[m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲	ϕa[m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲	ϕb[m]	約6.4	約8.3	約9.5

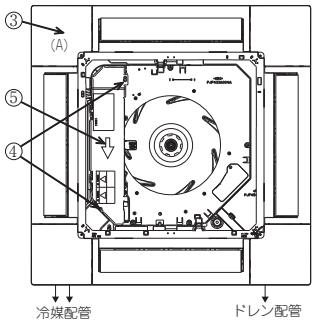
サーマルセンサ検知範囲の目安



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲	a [m]	約3.1	約4.6	約5.6
非検知範囲	a' [m]	約0.6	約0.9	約1.1
検知範囲	b [m]	約5.2	約6.8	約7.7
非検知範囲	b' [m]	約1.1	約1.4	約1.6

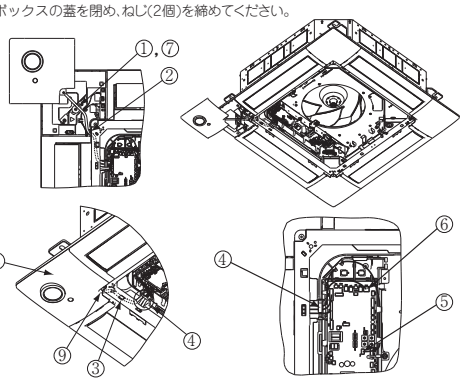
据付前の準備

①パネルの据付説明書にしたがって、パネルを室内ユニットに据付ます。
②吸込みグリルを取外します。
③下図の(A)のコーナーリッドを取外します。
④制御箱の蓋のねじ(2個)を緩めます。（ねじの取外しは不要です。）
⑤蓋を図の矢印の方向にスライドし、蓋を取外してください。



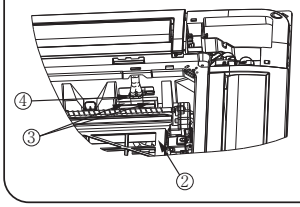
サーマルセンサの据付

①パネルを固定するボルトをゆるめ、室内ユニット本体とパネルの間にすき間を作ってください。
②人感センサの配線をパネルの配線通し穴を通してください。
③配線をパネル内側の配線固定用のツメに固定してください。
④配線をコントロールボックス側面の切欠部に通してください。
⑤コネクタ(3P, 黒)を制御基板のCNLコネクタ(3P, 黒)へ接続してください。
⑥コネクタ(10P, 白)を制御基板のCNL2コネクタ(10P, 白)へ接続してください。
⑦パネルを固定するボルトを締めてください。
⑧サーマルセンサをパネルに取付けてください。
⑨サーマルセンサをねじで固定してください。
⑩コントロールボックスの蓋を閉め、ねじ(2個)を締めてください。



お掃除ラクリーナパネルの場合

お掃除ラクリーナパネルにサーマルセンサを設置する場合、サーマルセンサの据付の前に次の通りパネルにサーマルセンサを取付けてください。詳しくはお掃除ラクリーナパネルの据付説明書をご覧ください。



①吸込グリルを外してください。
②お掃除ユニットを外してください。
③プレートを外してください。
④バンドを緩めてください。
⑤既設のコーナリッドを外し、サーマルセンサを取付けてください。
⑥サーマルセンサの配線を④のバンドに通し、バンドを締めてください。
⑦プレート、お掃除ユニット、吸込グリルの順に取付けてください。

③ サーマルセンサの設定

サーマルセンサは取付けただけでは機能しません。
リモコンからサーマルセンサの機能を有効に設定してください。
設定方法は各リモコンの取扱説明書をご確認ください。
注意：下記のリモコンではサーマルセンサの設定はできませんのでご注意ください。

Wired: RC-DX3C, RC-D4G, RCH-D3
Wireless: RCN-D5

2. マルチVシリーズ

記　載　形　式

室外ユニット

FDCVP1126H，1406H，1606H
FDCVP2246H，2806H
FDCZP1126H，1406H，1606H

室内ユニット

FDTZP636SA，716SA，806SA，1606SA
FDRZP566S，636S，806S，1126S，1606S

目　　次

2.1　仕　　様 …… 1350
2.2　使 用 範 囲 …… 1357
2.3　据付関連事項 …… 1357

本章に記載以外の項目については1. エクシードハイパー・ハイパーインバータシリーズをご覧ください。

●形式記号説明

（例）FDCVP1126H

- ヒートポンプ
- シリーズNo.
- 冷房最大能力を示す。（11.2kW）
- Z：エクシードハイパー
  V：ハイパーインバータ
- 機種名(1)

注(1) FDT……天井埋込形4方向吹出し
FDR……天埋カセテリア
FDC……室外ユニット

■機種一覧

機種＼容量	P50形	P56形	P63形	P71形	P80形	P112形	P140形
FDT（天井埋込形４方向吹出し）	FDTZP636SA	FDTZP636SA	FDTZP636SA	FDTZP716SA	FDTZP806SA	FDTZP1606SA	FDTZP1606SA
FDR（天埋カセテリア）	FDRZP566S	FDRZP566S	FDRZP636S	FDRZP806S	FDRZP806S	FDRZP1126S	FDRZP1606S
FDC（室外ユニット）	FDCVP1126H, 1406H, 1606H, 2246H, 2806H FDCZP1126H, 1406H, 1606H						

■システム組合せ一覧

室外ユニット	組合せタイプ	同機種同容量，異機種同容量	同機種異容量，異機種異容量	分岐管セット（1）（必須別売品）
FDCVP1126H FDCZP1126H	ツイン	P56+P56	P50+P71	DIS-WA1G
FDCVP1406H FDCZP1406H	ツイン	P71+P71	P63+P80	DIS-WA1G
FDCVP1606H FDCZP1606H	ツイン	P80+P80	P50+P112	DIS-WA1G
	トリプル	P50+P50+P50	———	DIS-TA1G注(3) DIS-WA1G×2セット注(4)
FDCVP2246H	ツイン	P112+P112	P80+P140	DIS-WC1G
	トリプル	P80+P80+P80(5)	———	DIS-TB1G注(3) DIS-WA1G,WC1G各1セット注(4)
	ダブルツイン	P56+P56+P56+P56	———	DIS-WA1G, WC1G注(2)
FDCVP2806H	ツイン	P140+P140	———	DIS-WC1G
	トリプル	———	P71+P71+P140 P80+P80+P112	DIS-WA1G,WC1G各1セット注(3)
	ダブルツイン	P71+P71+P71+P71	———	DIS-WA1G, WC1G注(2)

注(1)　冷媒配管の分岐には必ず分岐管セットを使用してください。
（2）　ダブルツインの分岐管セットはDIS-WA1G×2セット，DIS-WC1G×1セットの合計3セット必要です。
（3）　各室内ユニット間までの配管長差3m未満の場合。
（4）　各室内ユニット間までの配管長差3m以上の場合。
（5）　FDT同容量トリプル時はP71×3台としてください。

2.1 仕　　様

(1) **室内ユニット**〔室内ユニットは，間仕切りの無い同一の部屋に設置し，空調負荷が同一となる条件で使用してください。〕

(a) **FDT**（天井埋込形４方向吹出し）

項目＼形式				FDTZP636SA（P50設定）	FDTZP636SA（P56設定）	FDTZP636SA（P63設定）	FDTZP716SA（P71設定）
パネル形式（別売品）				293ページをご覧ください。			
リモートコントローラ				RC-DX3D			
電源				単相　２００Ｖ　５０/６０Hz			
運転音	パワーレベル		dB(A)	P急：51，急：46，強：44，弱：42		P急：51，急：46，強：44，弱：42	
	音圧レベル			P急：37，急：33，強：31，弱：29		P急：37，急：33，強：31，弱：29	
外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	本体：２３６×８４０×８４０注(2)　パネル：３５×９５０×９５０			
製品質量			kg	本体：21　標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：12			
送風装置	風量		m^3/min	P急：18，急：15，強：13，弱：11		P急：19，急：15，強：13，弱：11	
	電動機	定格出力	W	５８			
IPコード				IPX0			

注(1) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が３速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は,高天井設定(P急・急・強)としてください。
(2) お掃除ラクリーナパネル使用時は，外形寸法本体高さがプラス110mm高くなります。

項目＼形式				FDTZP806SA（P80設定）	FDTZP1606SA（P112設定）	FDTZP1606SA（P140設定）
パネル形式（別売品）				293ページをご覧ください。		
リモートコントローラ				RC-DX3D		
電源				単相　２００Ｖ　５０/６０Hz		
運転音	パワーレベル		dB(A)	P急：58，急：51，強：46，弱：43	P急：63，急：58，強：50，弱：45	P急：63，急：58，強：51，弱：46
	音圧レベル			P急：43，急：35，強：31，弱：28	P急：48，急：42，強：35，弱：29	P急：48，急：42，強：36，弱：29
外形寸法	高さ×幅×奥行		mm	本体：２９８×８４０×８４０注(2)　パネル：３５×９５０×９５０		
製品質量			kg	本体：24.5（P80形），27（P160形）標準パネル：5，エアフレックスパネル：6，ラクリーナパネル：7，お掃除ラクリーナパネル：１２		
送風装置	風量		m^3/min	P急：30，急：22，強：18，弱：15	P急：36，急：25，強：22，弱：18	P急：36，急：27，強：24，弱：19
	電動機	定格出力	W	１２０		
IPコード				IPX0		

注(1) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が３速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は,高天井設定(P急・急・強)としてください。
(2) お掃除ラクリーナパネル使用時は，外形寸法本体高さがプラス110mm高くなります。

(b) FDR（天埋カセテリア）

項目＼形式				FDRZP566S（P50，P56 設定）		FDRZP636S（P63設定）	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-2AW	R-PNC-2AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ				RC-DX3D			
電源				単相　200V　50/60Hz			
運転音	パワーレベル		dB(A)	P急：64，急：60，強：58，弱：57	P急：65，急：61，強：59，弱：58	P急：66，急：60，強：57，弱：53	P急：67，急：61，強：58，弱：54
	音圧レベル			P急：43，急：39，強：37，弱：36	P急：44，急：40，強：38，弱：37	P急：45，急：39，強：36，弱：32	P急：46，急：40，強：37，弱：33
外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	348×750×635	(348+α)×750×635[注(1)]	348×950×635	(348+α)×950×635[注(1)]
	パネル			20×1040×750	20×864×585	20×1240×750	20×1064×585
製品質量	本体		kg	29		34	
	パネル			10	7.6	11.4	9.3
送風装置	風量		m^3/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8		P急：20，急：15，強：13，弱：10	
	電動機	定格出力	W	100		130	
IPコード				IPX0			

注(1)　キャンバスパネル仕様の外形寸法高さはキャンバスダクト分が＋αされています。
（2）　ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は，高天井設定（P急・急・強）としてください。

項目＼形式				FDRZP806S（P71設定）		FDRZP806S（P80設定）	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-3AW	R-PNC-3AW	R-PNS-3AW	R-PNC-3AW
リモートコントローラ				RC-DX3D			
電源				単相　200V　50/60Hz			
運転音	パワーレベル		dB(A)	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53	P急：68，急：64，強：60，弱：52	P急：69，急：65，強：61，弱：53
	音圧レベル			P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32	P急：47，急：43，強：39，弱：31	P急：48，急：44，強：40，弱：32
外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	サイレントパネル使用：348×950×635　キャンバスパネル使用：(348+α)×950×635[注(1)]			
	パネル			20×1240×750	20×1064×585	20×1240×750	20×1064×585
製品質量	本体		kg	34			
	パネル			11.4	9.3	11.4	9.3
送風装置	風量		m^3/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10			
	電動機	定格出力	W	130			
IPコード				IPX0			

注(1)　キャンバスパネル仕様の外形寸法高さはキャンバスダクト分が＋αされています。
（2）　ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は，高天井設定（P急・急・強）としてください。

項目＼形式				FDRZP1126S（P112設定）		FDRZP1606S（P140設定）	
吸込パネル				サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル
パネル形式（別売品）				R-PNS-4AW	R-PNC-4AW	R-PNS-4AW	R-PNC-4AW
リモートコントローラ				RC-DX3D			
電源				単相　200V　50/60Hz			
運転音	パワーレベル		dB(A)	P急：70，急：65，強：62，弱：56	P急：71，急：66，強：63，弱：57	P急：71，急：67，強：62，弱：57	P急：72，急：68，強：63，弱：58
	音圧レベル			P急：49，急：44，強：41，弱：35	P急：50，急：45，強：42，弱：36	P急：50，急：46，強：41，弱：36	P急：51，急：47，強：42，弱：37
外形寸法（高さ×幅×奥行）	本体		mm	348×1368×738	(348+α)×1368×738[注(1)]	348×1368×738	(348+α)×1368×738[注(1)]
	パネル			20×1658×850	20×1484×585	20×1658×850	20×1484×585
製品質量	本体		kg	54			
	パネル			17	13.5	17	13.5
送風装置	風量		m^3/min	P急：36，急：28，強：25，弱：19		P急：39，急：32，強：25，弱：20	
	電動機	定格出力	W	100+130		100+200	
IPコード				IPX0			

注(1)　キャンバスパネル仕様の外形寸法高さはキャンバスダクト分が＋αされています。
（2）　ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速（急・強・弱）となります。P急モードをご使用の場合は，高天井設定（P急・急・強）としてください。

■ 天井リターン仕様（オプション）

項目＼形式			FDRZP566S（P50，P56設定）	FDRZP636S（P63設定）	FDRZP806S（P71設定）
フィルタキット			R-FL-2A	R-FL-3A	
リモートコントローラ			RC-DX3D		
電源			単相　200V　50/60Hz		
運転音	パワーレベル	dB(A)	P急：70，急：66，強：63，弱：61	P急：71，急：66，強：63，弱：59	P急：74，急：70，強：66，弱：58
	音圧レベル		P急：49，急：45，強：42，弱：40	P急：50，急：45，強：42，弱：38	P急：53，急：49，強：45，弱：37
外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	(280+37)×750×635	(280+37)×950×635	
製品質量		kg	29	34	
送風装置	風量	m³/min	P急：13，急：10，強：9，弱：8	P急：20，急：15，強：13，弱：10	P急：24，急：19，強：15，弱：10
	機外静圧	Pa	定格：10，最小：10，最大：95注(1)	定格：30，最小：20，最大：100注(1)	
	電動機 定格出力	W	100	130	
IPコード			IPX0		

注(1) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は,高天井設定(P急・急・強)としてください。

項目＼形式			FDRZP806S（P80設定）	FDRZP1126S（P112設定）	FDRZP1606S（P140設定）
フィルタキット			R-FL-3A	R-FL-4A	
リモートコントローラ			RC-DX3D		
電源			単相　200V　50/60Hz		
運転音	パワーレベル	dB(A)	P急：74，急：70，強：66，弱：58	P急：77，急：72，強：68，弱：62	P急：78，急：74，強：68，弱：63
	音圧レベル		P急：53，急：49，強：45，弱：37	P急：56，急：51，強：47，弱：41	P急：57，急：53，強：47，弱：42
外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	(280+37)×950×635	(280+37)×1368×738	
製品質量		kg	34	54	
送風装置	風量	m³/min	P急：24，急：19，強：15，弱：10	P急：36，急：28，強：25，弱：19	P急：39，急：32，強：25，弱：20
	機外静圧	Pa	定格：30，最小：20，最大：100注(1)		
	電動機 定格出力	W	130	100+130	100+200
IPコード			IPX0		

注(1) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は,高天井設定(P急・急・強)としてください。

記事 1. 天井リターン仕様（パネルを使用しない）の場合は，標準機に対し機内圧力損失が減るため，リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

必要な機外静圧（Pa）		15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定（Pa）	FDRZP566S	10	20	30	40	50	60	70	80	90

必要な機外静圧（Pa）		20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定（Pa）	FDRZP636S,806S FDRZP1126S,1606S	10	20	30	40	50	60	70	80	90

(2) 室外ユニット

項目＼形式					FDCZP1126H	FDCZP1406H	FDCZP1606H
電源					三相　200V　50/60Hz		
能力	冷房能力	定格		kW	10.0〔2.7～11.2〕	12.5〔3.2～14.0〕	14.0〔3.7～16.0〕
	暖房能力	定格標準			11.2〔2.9～14.3〕	14.0〔3.5～18.3〕	16.0〔4.0～20.3〕
		定格低温			13.0	15.0	15.0
エネルギー消費効率					冷：4.44，暖：4.85	冷：4.14，暖：4.50	冷：3.36，暖：3.87
運転音	パワーレベル			dB(A)	冷：66，暖：66	冷：67，暖：69	冷：68，暖：70
	音圧レベル				冷：49，暖：50	冷：50，暖：52	冷：52，暖：53
外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505 × 970 × 370		
製品質量				kg	115		
冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5126SWE2×1		
		電動機出力		kW	2.0	2.7	3.4
	空気熱交換器	形式			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
	冷媒封入量			kg	4.2〔R32〕(主管30m分封入済)		
	冷凍機油封入量			L	0.9(M-MB75)		
送風装置	形式・台数				プロペラファン ×2		
	風量			m^3/min	冷：92，暖：92		冷：92，暖：100
	電動機	定格出力		W	86×2		
クランクケースヒータ				W	20		
低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(3)		
除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	φ9.52（フレア接続）	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	φ15.88（フレア接続）	φ15.88（フレア接続）
	排水口				内径φ20mmの排水穴×3個		
断熱					冷媒配管：液管，ガス管共必要　ドレン配管：屋内部分必要		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.16(届出不要)	2.34(届出不要)	2.34(届出不要)
IPコード					IPX4		
保護装置					冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護		
組合せ可能室内ユニット					組合せ可能室内ユニットは1349ページをご覧ください。		

注（1）能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。〔　～　〕は最小最大範囲幅を示します。
（2）冷媒封入量の詳細は1364ページをご覧ください。
（3）外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

項目＼形式					FDCVP1126H	FDCVP1406H	FDCVP1606H
電源					三相　200V　50/60Hz		
能力	冷房能力	定格		kW	10.0〔3.3～11.2〕	12.5〔3.3～14.0〕	14.0〔3.5～16.0〕
	暖房能力	定格標準			11.2〔2.8～14.3〕	14.0〔3.8～18.3〕	16.0〔4.0～20.3〕
		定格低温			12.5	13.0	14.0
エネルギー消費効率					冷：4.17，暖：4.98	冷：3.77，暖：4.62	冷：2.89，暖：4.36
運転音	パワーレベル			dB(A)	冷：70，暖：71	冷：70，暖：72	冷：72，暖：73
	音圧レベル				冷：58，暖：59	冷：58，暖：59	冷：58，暖：59
外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1050 × 970 × 370		
製品質量				kg	86		
冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5134SWE3×1		
		電動機出力		kW	2.0	3.0	3.7
	空気熱交換器	形式			アルミフィン＆銅チューブ式		
		冷媒制御器			電子膨張弁		
	冷媒封入量			kg	3.3〔R32〕(主管30m分封入済)		
	冷凍機油封入量			L	0.9(M-MB75)		
送風装置	形式・台数				プロペラファン ×1		
	風量			m^3/min	冷：86，暖：86		
	電動機	定格出力		W	144		
クランクケースヒータ				W	20		
低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(3)		
除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式		
防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付		
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	φ9.52（フレア接続）	φ9.52（フレア接続）
		ガス管			φ15.88（フレア接続）	φ15.88（フレア接続）	φ15.88（フレア接続）
	排水口				内径φ20mmの排水穴×6個		
断熱					冷媒配管：液管，ガス管共必要　ドレン配管：屋内部分必要		
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26		
法定冷凍能力				トン	2.59(届出不要)	2.82(届出不要)	2.82(届出不要)
IPコード					IPX4		
保護装置					冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護		
組合せ可能室内ユニット					組合せ可能室内ユニットは1349ページをご覧ください。		

注（1）能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。〔　～　〕は最小最大範囲幅を示します。
（2）冷媒封入量の詳細は1364ページをご覧ください。
（3）外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。

(2) 室外ユニット

項目＼形式					FDCVP2246H	FDCVP2806H
電源					三相　200V　50/60Hz	
能力	冷房能力	定格		kW	20.0〔6.0～22.4〕	25.0〔6.3～28.0〕
	暖房能力	定格標準			22.4〔5.6～28.0〕	28.0〔7.0～31.5〕
		定格低温			22.0	24.0
エネルギー消費効率					冷：3.78，暖：3.95	冷：3.03，暖：3.60
運転音	パワーレベル			dB(A)	冷：76，暖：74	冷：76，暖：78
	音圧レベル				冷：62，暖：60	冷：62，暖：64
外形寸法	高さ×幅×奥行			mm	1505 × 970 × 370	
製品質量				kg	130	
冷却装置	圧縮機	形式・台数			RMT5141SBE1×1	
		電動機出力		kW	4.5	7.3
	空気熱交換器	形式			アルミフィン＆銅チューブ式	
		冷媒制御器			電子膨張弁	
	冷媒封入量			kg	6.0〔R32〕(主管30m分封入済)	
	冷凍機油封入量			L	1.0(M-MB75)	
送風装置	形式・台数				プロペラファン ×2	
	風量			m^3/min	冷：145，暖：130	冷：145，暖：148
	電動機	定格出力		W	86×2	
クランクケースヒータ				W	20	
低外気温時冷房運転制御機能					室外送風用電動機制御により外気温度−15℃～50℃で冷房運転可能(3)	
除霜					マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
防振・防音装置					圧縮機：防振ゴム，吸音断熱材巻付	
配管寸法	冷媒配管（外径）	液管		mm	φ9.52（フレア接続）	φ12.7（フレア接続）
		ガス管			φ25.4（ろう付接続）	φ25.4（ろう付接続）
	排水口				内径φ20mmの排水穴×4個	
断熱					冷媒配管：液管，ガス管共必要　ドレン配管：屋内部分必要	
設計圧力				MPa	高圧部：4.15，低圧部：2.26	
法定冷凍能力				トン	3.65(届出不要)	
IPコード					IPX4	
保護装置					冷房時フロスト防止，過負荷保護，吐出温度保護	
組合せ可能室内ユニット					組合せ可能室内ユニットは1349ページをご覧ください。	

注（1）能力・運転特性は適正冷媒量においてJIS B 8616：2015条件により運転した値です。〔　～　〕は最小最大範囲幅を示します。
（2）冷媒封入量の詳細は1364ページをご覧ください。
（3）外気温度が−5℃以下で冷房運転を行う場合，フレックスフローアダプタおよび防雪フード（別売品）を取付けてください。
（4）P2246形の場合，主管長が40mを超える場合は，液管サイズを必ずφ12.7としてください。

運転特性

マルチVシリーズは室内ユニットの組合せが異容量・異機種でできるシステムです。組合せの総合運転特性は，室内・外ユニットの単独の運転特性を記載しますので，下記の要領で計算してください。

1) 室外ユニット運転特性

区分＼形式		FDCZP1126H	FDCZP1406H	FDCZP1606H
消費電力（kW）	冷房	2.25	3.02	4.17
	暖房標準	2.31	3.11	4.13
	暖房低温	4.90	5.92	5.99
運転電流（A）	冷房	6.8	9.2	12.7
	暖房	6.9	9.5	12.5
始動電流〈最大電流〉（A）		5〈25〉	5〈27〉	5〈27〉

区分＼形式		FDCVP1126H	FDCVP1406H	FDCVP1606H	FDCVP2246H	FDCVP2806H
消費電力（kW）	冷房	2.40	3.32	4.84	5.29	8.16
	暖房標準	2.25	3.03	3.67	5.06	7.09
	暖房低温	5.00	5.28	5.69	7.66	7.76
運転電流（A）	冷房	7.1	9.8	14.3	15.9	24.5
	暖房	6.8	9.0	10.9	15.2	21.3
始動電流〈最大電流〉（A）		5〈25〉	5〈27〉	5〈27〉	5〈35〉	5〈35〉

注(1)　上表はJIS B 8616：2015の条件によります。
　(2)　接続される室内ユニットの台数・容量・形式に係らず運転特性は上表の通りです。

2) 室内ユニット運転特性（下表は JIS B 8616：2015 の条件によります。冷房・暖房運転共通です。）

FDTシリーズ

区分＼容量	FDTシリーズ	
	50，56，63，71	80，112，140
消費電力（kW）	0.058	0.12
運転電流（A）	0.3	0.5

FDRシリーズ

区分＼容量	FDRシリーズ				
	50，56	63	71，80	112	140
消費電力（kW）	0.07(0.095)	0.10(0.140)	0.14(0.190)	0.22(0.300)	0.26(0.360)
運転電流（A）	0.6(0.6)	0.7(1.0)	1.0(1.3)	1.7(2.0)	1.9(2.4)

注　（　）内数値は，天井リターン仕様で機外静圧を最大に設定した場合（静圧100Pa）を示します。

総合運転特性の求め方（例）

マルチVシリーズは，室内ユニットの組合せにより，運転特性が異なりますので，システムの総合運転特性は，室内・外ユニットごとに仕様を読み取り下式により求めてください。

1. **総合消費電力**
   総合消費電力(kW)＝室外ユニット消費電力＋Σ(室内ユニット消費電力)
2. **総合運転電流**
   総合運転電流(A)＝室外ユニット運転電流＋〔Σ(室内ユニット運転電流)×$\frac{2}{3}$〕
3. **総合力率**
   総合力率(%)＝〔総合消費電力(kW)／$\sqrt{3}$× 総合運転電流(A)×200〕×100
4. **始動電流**
   始動電流(A)＝室外ユニット始動電流＋Σ(室内ユニット運転電流)

〔例〕（条件）運転周波数……60Hz
　　運転モード……冷房・暖房
　　ユニット……FDCVP2246H
　　FDTZP806SA×2台，FDRZP806S×1台

各ユニット運転特性

区分＼形式	FDCVP2246H	FDTZP806SA	FDRZP806S
消費電力（kW）	冷：5.29，暖：5.06	冷・暖：0.12	冷・暖：0.14
運転電流　（A）	冷：15.9，暖：15.2	冷・暖：0.5	冷・暖：1.0
始動電流　（A）	5	——	——

①総合消費電力

〔冷房〕5.29+(0.12×2+0.14)=5.67(kW)
〔暖房〕5.06+(0.12×2+0.14)=5.44(kW)

②総合運転電流

〔冷房〕$15.9+(0.5\times2+1.0)\times\frac{2}{3}\fallingdotseq17.2$(A)

〔暖房〕$15.2+(0.5\times2+1.0)\times\frac{2}{3}\fallingdotseq16.5$(A)

③総合力率

〔冷房〕$\frac{5.67\times1000}{\sqrt{3}\times17.2\times200}\times100\fallingdotseq95$(%)

〔暖房〕$\frac{5.44\times1000}{\sqrt{3}\times16.5\times200}\times100\fallingdotseq95$(%)

④始動電流

5+(0.5×2+1.0)=7.0

2.2 使用範囲

詳細については，エクシードハイパーシリーズおよびハイパーインバータシリーズと同様です。245 ページおよび 247 ページをご覧ください。

2.3 据付関連事項

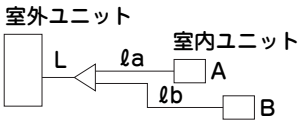
本項では室内外ユニットの冷媒配管，電気配線に関する事項を記載しています。他の事項はエクシードハイパーシリーズおよびハイパーインバータシリーズと同じです。492ページ以降の該当する形式をご覧ください。

(1) 冷媒配管

冷媒配管の接続方法（室内・外ユニットへの接続）はエクシードハイパーシリーズおよびハイパーインバータシリーズと同じです。本項では冷媒配管の距離制限・分岐管および冷媒量について記載しています。

(a) 冷媒配管の距離・高さの制限

(i) ツインタイプ



図のLが主管を，ℓa，ℓbが分岐管を示す。

総配管長(m)

L + ℓa + ℓb ≦ 105 (40)

片道配管長(m)

P1126～P1606 の場合：L + ℓa + ℓb ≦ 50
P2246，P2806 の場合：L + ℓa ≦ 100(40)，L + ℓb ≦ 100(40)
注（ ）内数値は P2246 形で液管サイズφ9.52 の場合を示します。

分岐配管長(m)

P1126 ～ P1606 の場合：| ℓa − ℓb | ≦ 10
ℓa ≦ 30，ℓb ≦ 30
P2246 ～ P2806 の場合：| ℓa − ℓb | ≦ 10
ℓa ≦ 40，ℓb ≦ 40

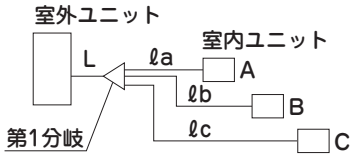
高　低　差

・室外ユニットが室内ユニットより上の場合は，30m 以下。
・室外ユニットが室内ユニットより下の場合は，15m 以下。
・室内ユニット間は，0.5m 以下。

(ii) トリプルタイプ

a）第1分岐から各室内ユニット間までの配管長差が3m未満の場合。

●P1606, P2246の場合



図のLが主管を，ℓa，ℓb，ℓcが分岐管を示す。

総配管長(m)

L + ℓa + ℓb + ℓc ≦ 105 (40)

片道配管長(m)

P1606 の場合：L + ℓ a + ℓ b + ℓ c ≦ 50
P2246 の場合：L +ℓ a ≦ 100(40)，L +ℓ b ≦ 100(40)，L +ℓ c ≦ 100(40)
注（ ）内数値は液管サイズφ9.52 の場合を示します。

分岐配管長(m)

・P1606 の場合

$|\ell a-\ell b| \leqq 3$, $|\ell a-\ell c| \leqq 3$, $|\ell b-\ell c| \leqq 3$
$\ell a \leqq 30$, $\ell b \leqq 30$, $\ell c \leqq 30$

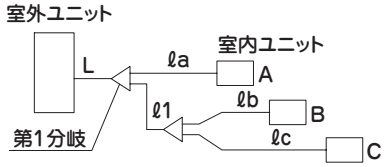
・P2246 の場合

$|\ell a-\ell b| < 3$, $|\ell a-\ell c| < 3$, $|\ell b-\ell c| < 3$
$\ell a \leqq 40$, $\ell b \leqq 40$, $\ell c \leqq 40$

高　低　差

・室外ユニットが室内ユニットより上の場合は，30m 以下。
・室外ユニットが室内ユニットより下の場合は，15m 以下。
・室内ユニット間は，0.5m 以下。

●P2806の場合



図のL1が主管をℓ1，ℓa，ℓb，ℓcが分岐管を示す。

注 ℓaには片道長さが最大となるユニットを接続してください。

総配管長(m)

$L + \ell 1 + \ell a + \ell b + \ell c \leqq 105\ (40)$

片道配管長(m)

$L + \ell a \leqq 70$, $L + \ell 1 + \ell b \leqq 70$, $L + \ell 1 + \ell c \leqq 70$

分岐配管長(m)

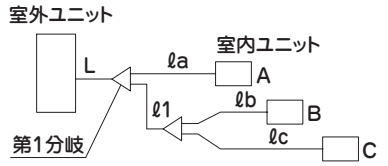
$L + \ell a \leqq 70$, $L + \ell 1 + \ell b \leqq 70$, $L + \ell 1 + \ell c \leqq 70$
$\ell a \leqq 30$, $\ell 1 + \ell b \leqq 30$, $\ell 1 + \ell c \leqq 30$
$|\ell a-(\ell 1 + \ell b)| \leqq 3$, $|\ell a-(\ell 1 + \ell c)| \leqq 3$
$|\ell b-\ell c| \leqq 10$, $\ell 1 \leqq 5$

高　低　差

・室外ユニットが室内ユニットより上の場合は，30m 以下。
・室外ユニットが室内ユニットより下の場合は，15m 以下。
・室内ユニット間は，0.5m 以下。

b）第1分岐から各室内ユニット間までの配管長差
3m以上10m未満の場合。（P1606, P2246の場合）

注 P2806の場合第1分岐から各室ユニット間までの配管長差3m以上は不可です



図のLが主管をℓ1，ℓa，ℓb，ℓcが分岐管を示す。

注 ℓaには片道長さが最大となるユニットを接続してください。

・P1606 の場合

片道配管長(m)

$L + \ell 1 + \ell a + \ell b + \ell c \leqq 50$

分岐配管長(m)

$\ell a \leqq 30$, $\ell 1 + \ell b \leqq 30$, $\ell 1 + \ell c \leqq 30$
$3 \leqq \ell a-(\ell 1 + \ell b) \leqq 10$, $3 \leqq \ell a-(\ell 1 + \ell c) \leqq 10$
$|\ell b-\ell c| \leqq 10$, $\ell 1 \leqq 5$
※分岐後の片道配管長が最長のユニットをℓaに接続すること

高　低　差(m)

・室外ユニットが室内ユニットより上の場合は，30m 以下。
・室外ユニットが室内ユニットより下の場合は，15m 以下。
・室内ユニット間は，0.5m 以下。

・P2246 の場合

総配管長(m)

$L + \ell 1 + \ell a + \ell b + \ell c \leqq 105\ (40)$

片道配管長(m)

$L + \ell a \leqq 100$

注 ℓaには片道長さが最大となる室内ユニットを接続してください。
(ℓ1+ℓb)と(ℓ1+ℓc) は，ℓaに対し片道長さの差が 3m 以上 10m 以下の制限長さ内としてください。

分岐配管長(m)

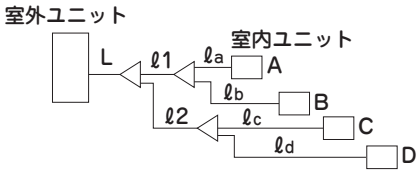
$\ell a \leqq 40$, $\ell 1 + \ell b \leqq 37$, $\ell 1 + \ell c \leqq 37$
$3 \leqq \ell a-(\ell 1 + \ell b) \leqq 10$, $3 \leqq \ell a-(\ell 1 + \ell c) \leqq 10$
$|\ell b-\ell c| \leqq 10$, $\ell 1 \leqq 5$
※分岐後の片道配管長が最長のユニットをℓaに接続すること

高　低　差(m)

・室外ユニットが室内ユニットより上の場合は，30m 以下。
・室外ユニットが室内ユニットより下の場合は，15m 以下。
・室内ユニット間は，0.5m 以下。

(iii) ダブルツインタイプ

・P2246，P2806の場合



図のLが主管を，ℓ1，ℓ2，ℓa，ℓb，ℓc，ℓdが分岐管を示す。

総配管長(m)

$L + \ell 1 + \ell 2 + \ell a + \ell b + \ell c + \ell d \leqq 105\ (40)$

片道配管長(m)

$L + \ell 1 + \ell a \leqq 100$, $L + \ell 1 + \ell b \leqq 100$, $L + \ell 2 + \ell c \leqq 100$, $L + \ell 1 + \ell c \leqq 100$
$(L + \ell 1 + \ell a \leqq 40$, $L + \ell 1 + \ell b \leqq 40$, $L + \ell 2 + \ell c \leqq 40$, $L + \ell 1 + \ell c \leqq 40)$
注（ ）内数値は P2246 形で液管サイズφ9.52 の場合を示します。

分岐配管長(m)

$\ell 1 + \ell a \leqq 40$, $\ell 1 + \ell b \leqq 40$, $\ell 2 + \ell c \leqq 40$, $\ell 2 + \ell d \leqq 40$
$\ell a + \ell b \leqq 15$, $\ell c + \ell d \leqq 15$
$|\ell a-\ell b| \leqq 10$, $|\ell c-\ell d| \leqq 10$
$|(\ell 1 + \ell a)-(\ell 2 + \ell c)| \leqq 10$, $|(\ell 1 + \ell a)-(\ell 2 + \ell d)| \leqq 10$
$|(\ell 1 + \ell b)-(\ell 2 + \ell c)| \leqq 10$, $|(\ell 1 + \ell b)-(\ell 2 + \ell d)| \leqq 10$

高　低　差

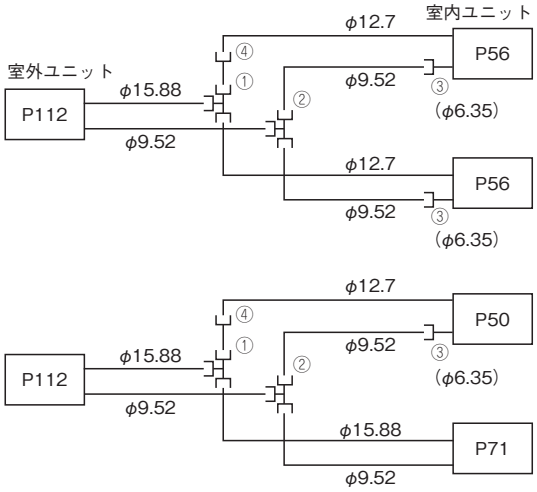
・室外ユニットが室内ユニットより上の場合は，30m 以下。
・室外ユニットが室内ユニットより下の場合は，15m 以下。
・室内ユニット間は，0.5m 以下。

(b) 冷媒配管サイズ

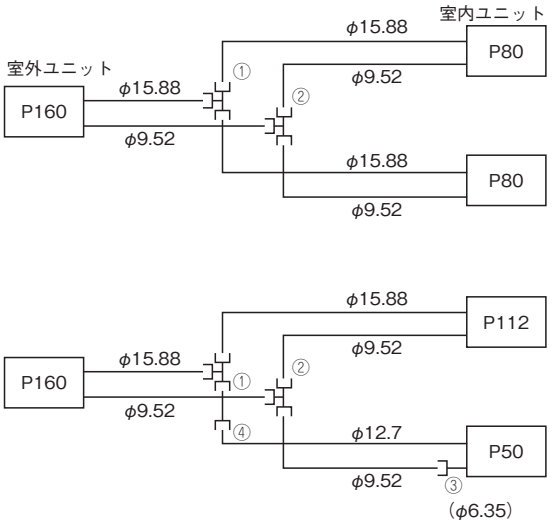
室内ユニットの容量がP50，P56，P63の場合，分岐配管（分岐管～室内ユニット）の液管サイズはφ9.52を使用してください。

(i) ツインタイプ

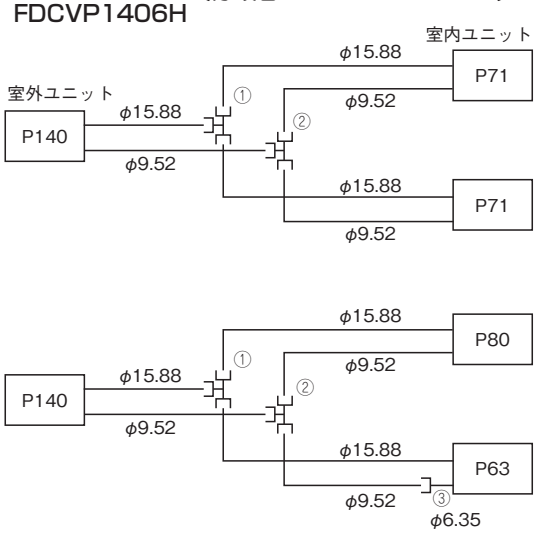
•FDCZP1126H〔分岐管セット：DIS-WA1G〕
FDCVP1126H



•FDCZP1606H〔分岐管セット：DIS-WA1G〕
FDCVP1606H



•FDCZP1406H〔分岐管セット：DIS-WA1G〕
FDCVP1406H

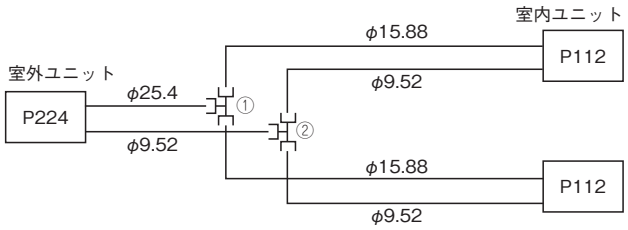


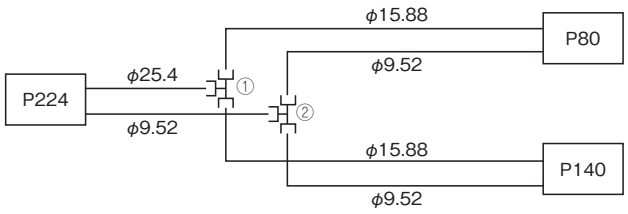
分岐管部品形状一覧（DIS-WA1G）

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
ID15.88 ID15.88 ID15.88 1個	①	ID9.52 ID9.52 ID9.52 ID9.52 1個	②	ID9.52 φ6.35フレア 2個	③
				OD15.88 ID12.7 2個	④

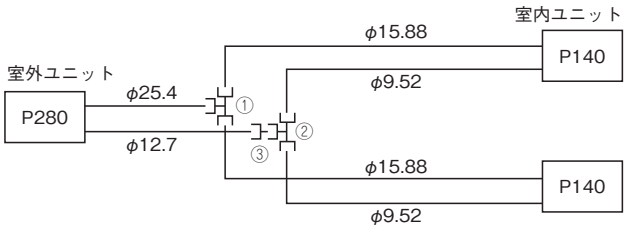
注（1）　図注の①～④は分岐管セットの付属品に含む分岐管，異径継手の形状の記号を示します。
（2）　**分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**
（詳細は次ページをご覧ください。）

●FDCVP2246H〔分岐管セット：DIS-WC1G〕

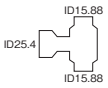
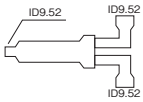
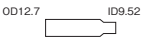




●FDCVP2806H〔分岐管セット：DIS-WC1G〕

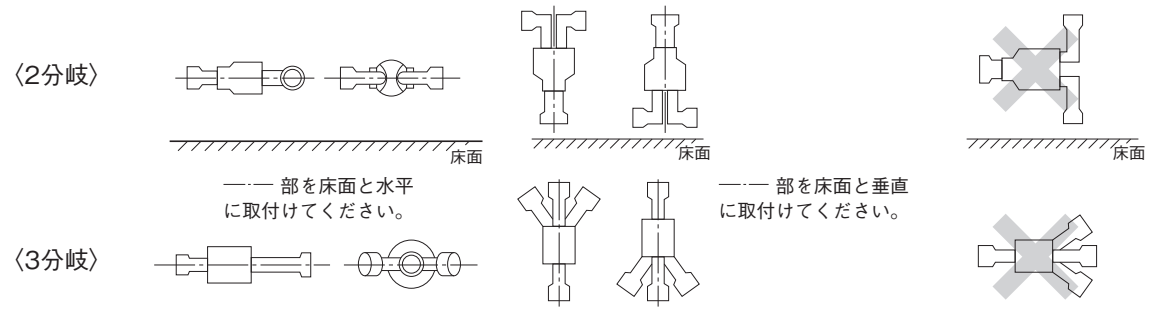


分岐管部品形状一覧（DIS-WC1G）

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
 1個	①	 1個	②	 1個	③

注(1)　図中の①～③は分岐管セットの付属品に含む分岐管，異径継手の形状の記号を示します。
（2）　**分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**（詳細は下記をご覧ください。）
（3）　FDCVP2246Hの場合，主管長が40m を超える場合は液管サイズをφ12.7としてください。

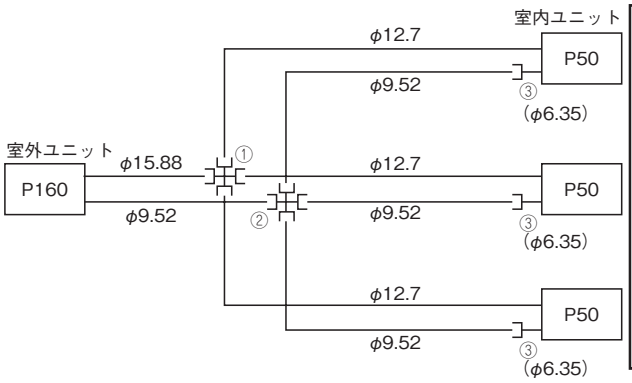
■分岐管（ガス・液側共）は必ず水平分岐または垂直分岐となるようにしてください。



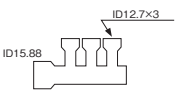
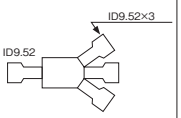
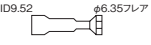
(ii) トリプルタイプ

a) 室外ユニットから各室内ユニット間までの配管長差3m未満の場合。

●FDCZP1606H〔分岐管セット：DIS-TA1G〕
FDCVP1606H

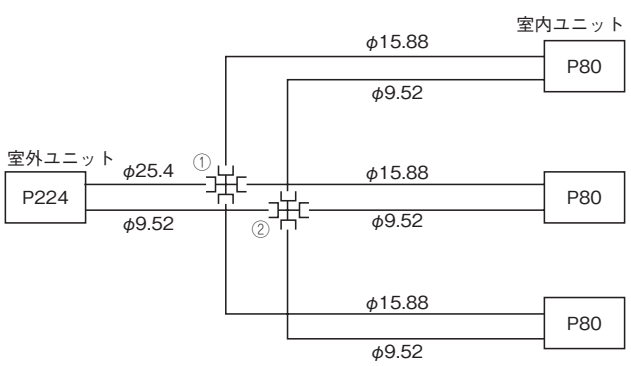


分岐管部品形状一覧（DIS-TA1G）

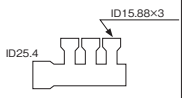
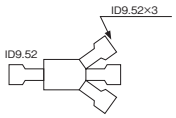
ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
 1個	①	 1個	②	 3個	③

注(1)　図中の①～③は分岐管セットの付属品に含む分岐管，異径継手の形状の記号を示します。
（2）　**分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**（詳細は上記をご覧ください。）

●FDCVP2246H〔分岐管セット：DIS-TB1G〕

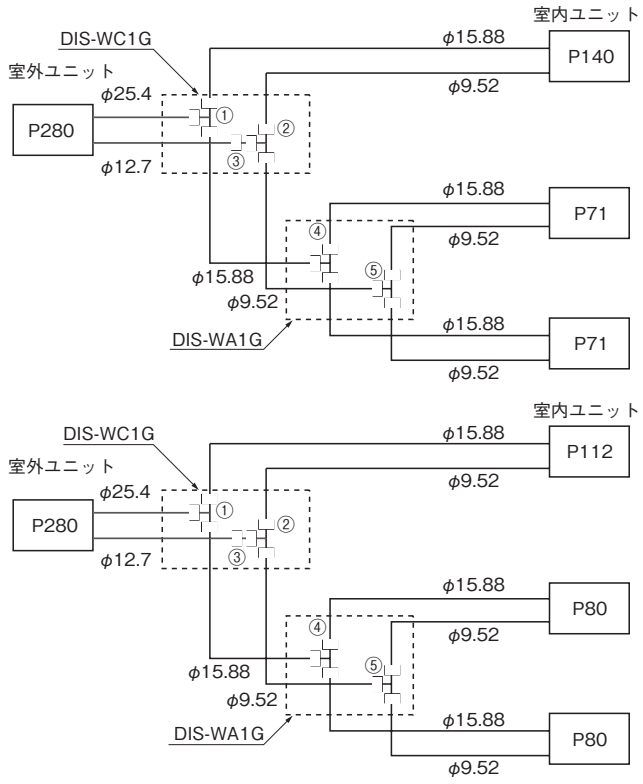


分岐管部品形状一覧（DIS-TB1G）

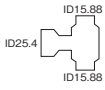
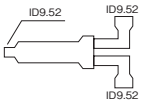
ガス管	記号	液　管	記号
 1個	①	 1個	②

注（1）　図中の①，②は分岐管セットの付属品に含む分岐管，異径継手の形状の記号を示します。
（2）　**分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**（詳細は1360ページをご覧ください。）

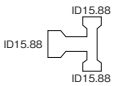
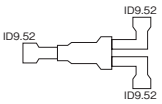
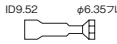
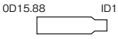
●FDCVP2806H〔分岐管セット：DIS-WA1G，DIS-WC1G〕



分岐管部品形状一覧（DIS-WC1G）

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
 1個	①	 1個	②	1個	③

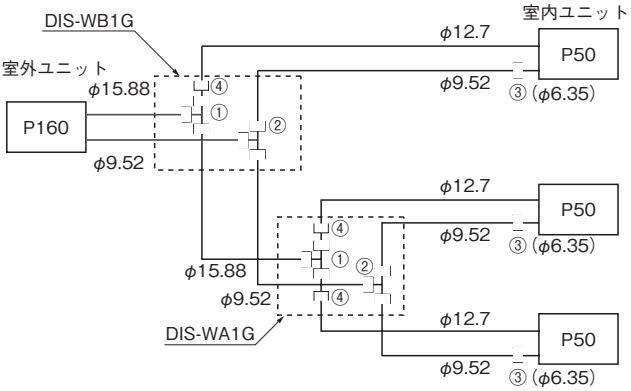
（DIS-WA1G）

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
 1個	④	 1個	⑤	 2個	⑥
				 2個	⑦

注（1）図中の①～⑤は分岐管セットの付属品に含む分岐管，異径継手の形状の記号を示します。
（2）**分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**（詳細は1360ページをご覧ください。）

b) 室外ユニットから各室内ユニット間までの配管長差3m以上の場合。

•FDCZP1606H〔分岐管セット：DIS-WA1G×2セット〕
FDCVP1606H

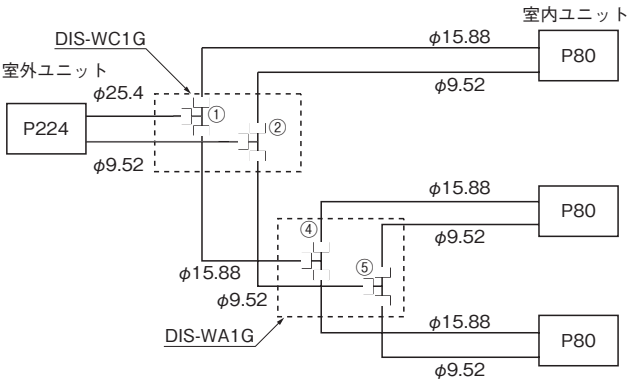


分岐管部品形状一覧（DIS-WA1G）

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
ID15.88 ID15.88 ID15.88 1個	①	ID9.52 ID9.52 ID9.52 1個	②	ID9.52 φ6.35フレア 2個	③
				0D15.88 ID12.7 2個	④

注（1）図中の①～④は分岐管セットの付属品に含む分岐管，異径継手の形状の記号を示します。
（2）**分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**
（詳細は1360ページをご覧ください。）

•FDCVP2246H〔分岐管セット：DIS-WA1G，DIS-WC1G〕



分岐管部品形状一覧（DIS-WC1G）

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
ID15.88 ID25.4 ID15.88 1個	①	ID9.52 ID9.52 ID9.52 1個	②	ID12.7 0D9.52 1個	③

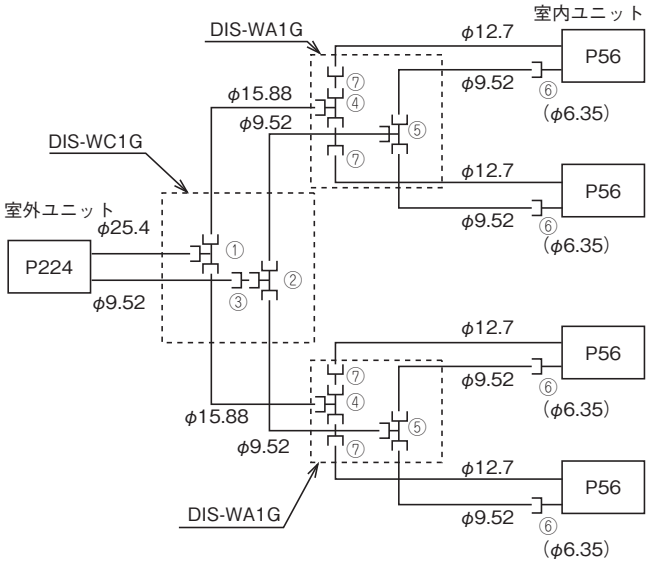
（DIS-WA1G）

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
ID15.88 ID15.88 ID15.88 1個	④	ID9.52 ID9.52 ID9.52 1個	⑤	ID9.52 φ6.35フレア 2個	⑥
				0D15.88 ID12.7 2個	⑦

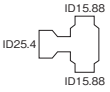
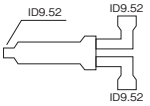
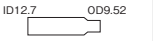
注（1）図中の①～⑤は分岐管セットの付属品に含む分岐管，異径継手の形状の記号を示します。
（2）**分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**
（詳細は1360ページをご覧ください。）
（3）主管長が40mを超える場合は液管サイズをφ12.7としてください。

(iii)ダブルツインタイプ

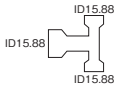
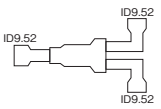
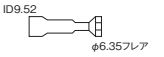
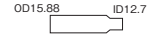
•FDCVP2246H〔分岐管セット：DIS-WA1G×2セット，DIS-WC1G×1セット〕



分岐管部品形状一覧（DIS-WC1G）

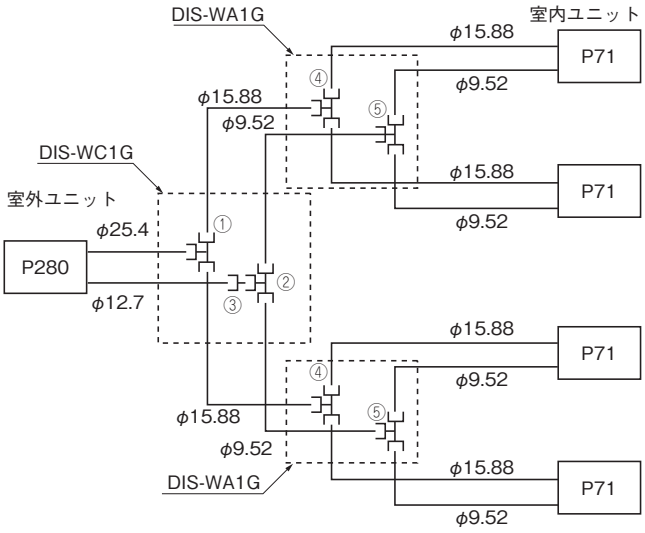
ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
 1個	①	 1個	②	 1個	③

(DIS-WA1G)

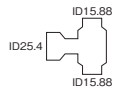
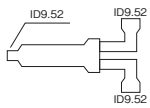
ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
 1個	④	 1個	⑤	 2個	⑥
				 2個	⑦

注（1） 図中の①～⑦は分岐管セットの付属品に含む分岐管，異径継手の形状の記号を示します。
（2） **分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**（詳細は1360ページをご覧ください。）
（3） 主管長が40mを超える場合は液管サイズをφ12.7としてください。

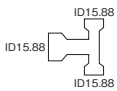
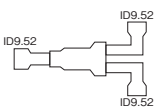
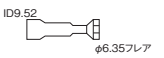
•FDCVP2806H〔分岐管セット：DIS-WA1G×2セット，DIS-WC1G×1セット〕



分岐管部品形状一覧（DIS-WC1G）

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
 1個	①	 1個	②	 1個	③

(DIS-WA1G)

ガス管	記号	液　管	記号	異径継手	記号
 1個	④	 1個	⑤	 2個	⑥
				 2個	⑦

注(1) 図中の①～⑤は分岐管セットの付属品に含む分岐管,異径継手の形状の記号を示します。
（2） **分岐管は必ず水平または垂直分岐となるようにしてください。**（詳細は1360ページをご覧ください。）

(c) 冷媒配管と付属配管の接続方法

ガス側操作弁と冷媒配管の接続は，必ず付属配管を使用してください。
詳細については674ページをご覧ください。

(d) 追加冷媒封入量

下表に従い冷媒封入量を計算してください。

ツイン・トリプル・ダブルツイン機

形式＼項目		基準冷媒(1)封入量（kg）	冷媒配管(2) 1m当たりの追加封入量（kg）	工場出荷時封入量（kg） 室外	追加封入不要の現地配管長さ（m）	冷媒配管の制限長さ（m）
ツイン機	P1126	2.7	0.06（主管・分岐管）	4.5	30（チャージレス仕様）	100
	P1406	3.1		4.9		
	P1606					
	P2246	4.2	主管 液配管φ9.52：0.06 液配管φ12.7：0.12 分岐管0.06	6.0		
	P2806	2.4	主管0.12 分岐管0.06	6.0		
トリプル機	P1606	3.1	主管0.06（主管・分岐管）	4.9		
	P2246	4.2	主管 液配管φ9.52：0.06 液配管φ12.7：0.12 分岐管0.06	6.0		
	P2806	2.4	主管0.12 分岐管0.06	6.0		
ダブルツイン機	P2246	4.2	主管 液配管φ9.52：0.06 液配管φ12.7：0.12 分岐管0.06	6.0		
	P2806	2.4	主管0.12 分岐管0.06	6.0		

注（1）基準冷媒封入量は，冷媒配管長さ0mの封入量を示します。
（2）配管1m当たりの追加封入について／工場出荷時冷媒封入量は，上図の如く一部現地配管分の冷媒を封入していますのでそれを超えた分については，計算し追加封入してください。
（3）冷媒量の調整
配管長が3mより短い場合は，工場出荷時封入量より1.0kg減らしてください。ただし，再チャージをする場合は，基準封入量に配管長分を計算して冷媒を封入してください。

追加チャージ量計算例

① FDCVP1606H（ツイン機），主管：20m　分岐管全長：15mの場合の封入量は？

（20＋15－30）×0.06＝0.3

- 1m当たりの追加封入量（kg/m）
- ユニット封入済の冷媒で接続できる配管長さ（m）
- 配管全長

追加冷媒封入量＝0.3kg（必ず計量して封入してください。）

② FDCVP2806H（ツイン機），主管：50m　分岐管全長：15mの場合の封入量は？

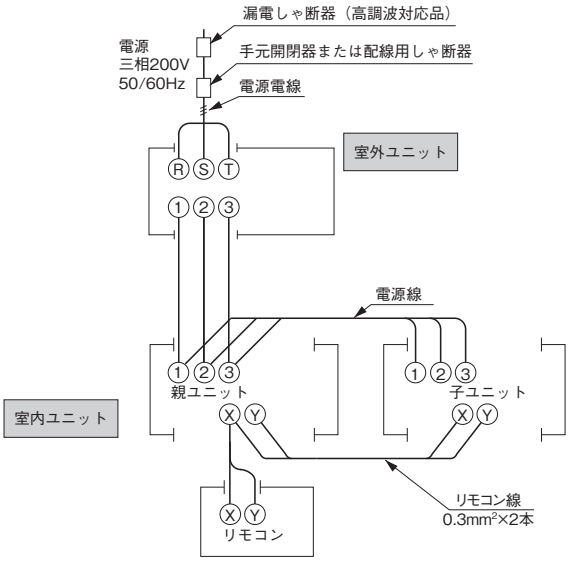
（50－30）× 0.12＋ 15×0.06＝3.3

- 分岐管1m当たりの追加封入量（kg/m）
- 分岐管全長（m）
- 主管1m当たりの追加封入量（kg/m）
- ユニット封入済の冷媒で接続できる配管長さ（m）
- 主管全長

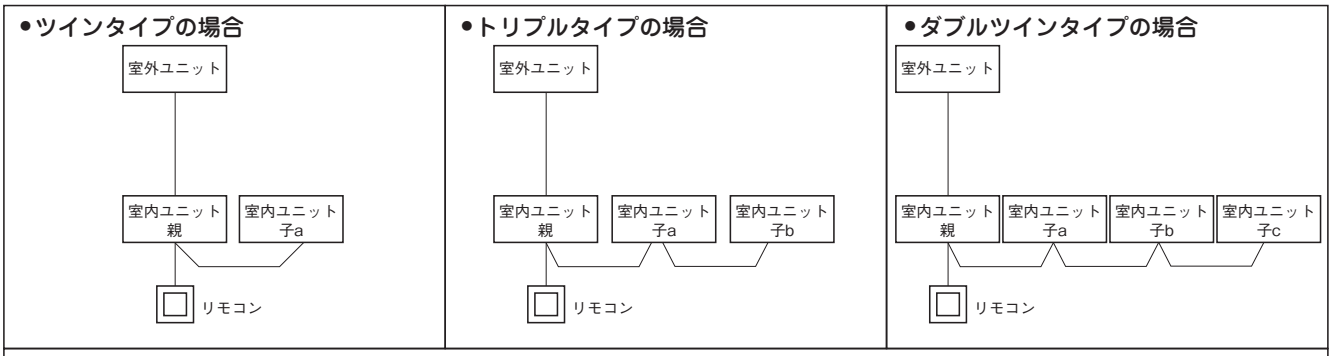
追加冷媒封入量＝3.3kg（必ず計量して封入してください。）

(2) 電気配線

(a) 配線接続図



(b) 室内ユニットの親・子設定方法



室内基板上のアドレススイッチSW5-1，
SW5-2を右表のように設定してください。

工場出荷時「親」設定

	室内ユニット			
	親	子a	子b	子c
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

三菱重工サーマルシステムズ株式会社　〒100-8332　東京都千代田区丸の内３-２-３
三菱重工冷熱株式会社　〒108-0023　東京都港区芝浦２-11-５

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。